

創世記

1 初めに、神は天と地を創造された。²
地は形がなく、空虚で、闇が深淵の表にあり、
神の霊が水の上を動いていた。³

神は言われた、「光あれ。」すると光があった。⁴
神は光が良いことを見て、光と闇を分けられた。⁵
神は光を「昼」と名づけ、闇を「夜」と名づけられ
た。夕があり、朝があった。第一日。⁶

神は言われた、「水の間に大空があって、水と水を
分けよ。」⁷
神は大空を造り、大空の下の水と大空の上の水とを
分けられた。そのようになった。⁸

神は大空を「天」と名づけられた。夕があり、朝が
あった。第二日。⁹
神は言われた、「天の下の水は一つ所に集まれ、乾
いた地が現れよ。」そのようになった。¹⁰

神は乾いた地を「陸」と名づけ、集まった水を「海
」と名づけられた。神はそれが良いことを見られた
。¹¹

神は言われた、「地は草や種を持つ植物、種類に従
って種を持つ実を結ぶ果樹を生じよ。」そのように
なった。¹²

地は草を生じ、種類に従って種を持つ植物を生じ、
種類に従って種を持つ実を結ぶ果樹を生じた。神は
それが良いことを見られた。¹³
夕があり、朝があった。第三日。

14
神は言われた、「天の大空に光があって、昼と夜を
分け、印として季節や日や年を示せ。¹⁵
また、天の大空にあって地を照らす光となれ。」そ
のようになった。¹⁶

神は二つの大きな光、昼を治める大きな光と夜を治
める小さな光を造り、また星をも造られた。¹⁷
神はそれらを天の大空に置いて地を照らし、¹⁸
昼と夜を治め、光と闇を分けられた。神はそれが良
いことを見られた。¹⁹
夕があり、朝があった。第四日。²⁰

神は言われた、「水は生き物で満ち、鳥は地の上、
天の大空を飛べ。」²¹
神は大きな海の生き物と水に群がるすべての生き物
を種類に従って造り、翼のあるすべての鳥を種類に
従って造られた。神はそれが良いことを見られた。²²

神はそれらを祝福して言われた、「生めよ、増えよ
、海の水に満ちよ。鳥は地に増えよ。」²³
夕があり、朝があった。第五日。²⁴
神は言われた、「地は種類に従って生き物を生じよ
。家畜、地を這うもの、地の獣を種類に従って生じ

よ。」そのようになった。²⁵
神は地の獣を種類に従って、家畜を種類に従って、
地を這うすべてのものを種類に従って造られた。神
はそれが良いことを見られた。²⁶
神は言われた、「我々のかたちに、我々に似せて人
を造り、海の魚、空の鳥、家畜、地のすべての獣、
地を這うすべてのものを治めさせよう。」

27
神はご自身のかたちに人を創造された。
神のかたちに創造された。男と女に創造された。

28
神は彼らを祝福して言われた、「生めよ、増えよ、
地を満たし、それを従わせよ。海の魚、空の鳥、地
を這うすべての生き物を治めよ。」²⁹

神は言われた、「私は地の全表にあるすべての種を
持つ植物と種を持つ実を結ぶすべての木をあなたた
ちに与える。それらはあなたたちの食物となる。³⁰
また、地のすべての獣、空のすべての鳥、地を這う
すべてのものの、命の息を持つすべてのものに、すべ
ての緑の植物を食物として与える。」そのようにな
った。³¹

神は造ったすべてのものを見て、それが非常に良い
ことを見られた。夕があり、朝があった。第六日。

2
こうして、天と地とそのすべての光の配列が完
成した。²

第七の日に、神は行っていたすべての仕事を完
成された。それで神は第七の日にすべての仕事から
休まれた。³

そして神は第七の日を祝福し、それを聖なるものと
された。なぜなら、その日に神は創造のすべての仕
事を終えて休まれたからである。⁴

これが、主なる神が地と天を造られたときの、天と
地の創造の記録である。⁵

今、まだ野の灌木は地に現れておらず、野の植物も
まだ芽を出していなかった。主なる神が地に雨を降
らせておらず、また地を耕す人もいなかったからで
ある。⁶

しかし、霧が地から立ち上り、地の表面全体を潤し
ていた。⁷

主なる神は地の塵から人を形作り、その鼻に命の息
を吹き込まれた。こうして人は生きる魂となった。⁸

主なる神は東のエデンに園を植え、そこに形作った
人を置かれた。⁹

主なる神は地から見た目に良く、食べるのに良いす
べての木を生えさせた。園の中央には命の木と善悪
の知識の木があった。¹⁰

エデンから園を潤す川が流れ出て、そこから分かれ
て四つの源流となった。¹¹

創世記

第一の川の名はピションで、金のあるハビラの全地を巡っている。¹²

その地の金は良く、そこには芳香樹脂と縞瑪瑙もある。¹³

第二の川の名はギホンで、クシュの全地を流れている。¹⁴

第三の川の名はチグリスで、アッシリアの東を流れている。第四の川はユーフラテスである。¹⁵

主なる神は人を取り、エデンの園に置いてそれを耕し、守らせた。¹⁶

そして主なる神は人に命じて言われた。「あなたは園のどの木からでも自由に食べてよい。¹⁷

しかし、善悪の知識の木からは食べてはならない。それを食べるとき、あなたは必ず死ぬ。」¹⁸

主なる神は言われた。「人が一人でいるのは良くない。彼にふさわしい助け手を作ろう。」¹⁹

さて、主なる神は地からすべての野の動物と空のすべての鳥を形作り、それらを人のところに連れてきて、彼がそれらを何と呼ぶかを見られた。人が生き物に呼ぶものはすべて、その名となった。²⁰

それで人はすべての家畜、空の鳥、野のすべての動物に名前を付けた。しかし、アダムにはふさわしい助け手が見つからなかった。²¹

それで主なる神は人を深い眠りに落とし、彼が眠っている間にその肋骨の一つを取り、その場所を肉で閉じた。²²

そして主なる神はその肋骨から女を形作り、彼女を人のところに連れて来られた。²³

人は言った。「ここに、ついに私の骨からの骨、私の肉からの肉がある。彼女は『女』と呼ばれる。彼女は男から取られたからである。」²⁴

このために、男は父と母を離れ、妻と結ばれ、一体となるのである。²⁵

人とその妻は二人とも裸であったが、恥ずかしいとは感じなかった。

3 さて、主なる神が造られたどの野の獣よりも蛇は狡猾であった。彼は女に言った、「神は本当に『園のどの木からも食べてはならない』と言われたのですか？」²

女は蛇に答えた、「私たちは園の木の实を食べることができますが、³

神は『園の中央にある木の实を食べてはならない、触れてもならない、さもないと死ぬ』と言われました。」⁴

蛇は女に言った、「あなたは決して死ぬことはありません！⁵

神は、あなたがそれを食べるとき、あなたの目が開かれ、神のように善悪を知る者となることを知っているのです。」⁶

女がその木が食べるのに良く、目に楽しく、賢くなるために望ましいことを見たとき、彼女はその実を取って食べた。また、彼女と共にいた夫にも与えたので、彼もそれを食べた。⁷

すると、二人の目が開かれ、自分たちが裸であることに気づいた。それで、彼らはイチジクの葉を縫い合わせて腰の覆いを作った。⁸

そのとき、彼らは日が涼しくなった頃に園を歩く主なる神の声を聞いたので、男とその妻は園の木の中に隠れて主なる神の顔を避けた。⁹

主なる神は男に呼びかけて、「あなたはどこにいるのか？」と言われた。¹⁰

彼は答えた、「私は園であなたの声を聞いたので、裸であることを恐れて隠れました。」¹¹

神は言われた、「あなたが裸であることを誰があなたに告げたのか？あなたが食べてはならないと命じた木から食べたのか？」¹²

男は言った、「あなたが私と共に置かれた女が、その木の实を私に与えたので、私は食べました。」¹³

そこで主なる神は女に言われた、「あなたは何ををしたのか？」女は言った、「蛇が私を欺いたので、私は食べました。」¹⁴

そこで主なる神は蛇に言われた、「あなたがこれをしたので、あなたはすべての家畜とすべての野の獣の中で呪われる。あなたは腹で這い、あなたの生涯のすべての日に塵を食べるであろう。¹⁵

私はあなたと女の間に、またあなたの子孫と彼女の子孫の間に敵意を置く。彼はあなたの頭を打ち、あなたは彼のかかとを打つであろう。」¹⁶

女に言われた、「私はあなたの出産の苦しみを大いに増す。苦しんで子を産むであろう。あなたの欲望は夫に向かい、彼はあなたを支配するであろう。」¹⁷

アダムに言われた、「あなたが妻の声に聞き従い、食べてはならないと命じた木から食べたので、地はあなたのために呪われる。あなたは生涯のすべての日に苦しんで地から食物を得るであろう。¹⁸

地はあなたのために茨とあざみを生じさせ、あなたは野の草を食べるであろう。¹⁹

あなたは顔に汗を流してパンを食べ、ついには地に帰るであろう。あなたはそこから取られたのだから。あなたは塵であり、塵に帰るであろう。」²⁰

男はその妻をエバと呼んだ。彼女がすべての生きる者の母であったからである。²¹

主なる神はアダムとその妻のために皮の衣を作り、彼らに着せられた。²²

そして主なる神は言われた、「見よ、人は我々の一人のようになり、善悪を知る者となった。彼が手を伸ばして命の木からも取って食べ、永遠に生きるこ

創世記

とがないようにしなければならない。」²³
それゆえ、主なる神は彼をエデンの園から追い出し、
彼が取られた地を耕させることにした。²⁴
それで神は人を追い出し、エデンの園の東にケルビムと、
命の木への道を守るために四方に回る炎の剣を置かれた。

4 アダムは妻エバと親しくし、彼女は身ごもってカインを産んだ。
彼女は言った、「主の助けによって、私は男を得た。」²

その後、彼女はカインの弟アベルを産んだ。アベルは羊飼いであり、
カインは土を耕す者であった。³
時が経ち、カインは地の産物の一部を主への捧げ物として持ってきた。⁴
アベルもまた捧げ物を持ってきた—

彼の群れの初子の脂肪の部分。主はアベルとその捧げ物を好意的に見られたが、
カインとその捧げ物には目を留められなかった。カインは非常に怒り、
顔を伏せた。⁶

主はカインに尋ねられた、「なぜ怒っているのか？なぜ顔を伏せているのか？」⁷

もし正しいことをするなら、受け入れられないだろうか？
しかし、もし正しいことをしないなら、罪が戸口で待ち伏せている。
それはあなたを求めているが、あなたはそれを支配しなければならない。」⁸

カインは弟アベルに話しかけた。彼らが野にいるとき、
カインはアベルに立ち向かい、彼を殺した。⁹
その後、主はカインに言われた、「あなたの弟アベルはどこにいるのか？」
彼は答えた、「知りません。私は弟の番人でしょうか？」¹⁰

主は言われた、「何をしたのか？あなたの弟の血が地から私に叫んでいる。」¹¹
その結果、あなたは地から呪われている。それはあなたの手から弟の血を受け取るために口を開けた。¹²

あなたが地を耕すとき、それはもはやその力をあなたに与えない。
あなたは地上でさまよう者、漂う者となる。」¹³

カインは主に言った、「この罰は私には耐えられません！」¹⁴

今日、あなたは私を地から追放し、私はあなたの存在から隠されるでしょう；
私は地上でさまよう者、漂う者となり、私を見つける者は誰でも私を殺すでしょう。」¹⁵

しかし主は彼に言われた、「そうではない；カインを殺す者は誰でも七倍の復讐を受ける。」
そして主はカインに印を付け、彼を見つけた者が彼を殺さないようにされた。¹⁶

カインは主の存在から去り、エデンの東、ノドの地に住んだ。¹⁷

カインは妻と親しくし、彼女は身ごもってエノクを産んだ。
カインは都市を建設しており、それを息子エノクにちなんで名付けた。¹⁸

エノクはイラデの父となり、イラデはメフヤエルを生み、
メフヤエルはメトシャエルを生み、メトシャエルはラメクを生んだ。¹⁹

ラメクは二人の妻を娶った：一人はアダと名付けられ、
もう一人はツィラと名付けられた。²⁰

アダはヤバルを産んだ；彼の系統は天幕に住み、家畜を飼う者となった。²¹

彼の兄弟の名はユバルであった；彼の系統は弦楽器と笛を奏でる者となった。²²

ツィラもまたトバル・カインを産んだ、彼は青銅と鉄のあらゆる道具を鍛える者であった。
トバル・カインの姉妹はナアマであった。²³

ラメクは妻たちに言った、「アダとツィラ、私の言うことを聞け；
ラメクの妻たちよ、私の言葉を聞け。私は私を傷つけた男を殺した、
私を打った若者を。」²⁴

もしカインが七倍の復讐を受けるなら、ラメクは七十七倍の復讐を受ける。」²⁵

アダは再び妻と親しくし、彼女は息子を産んでセツと名付けた、
言って、「神はカインがアベルを殺したので、アベルの代わりにもう一人の子を私に授けてくださった。」²⁶

セツもまた息子を持ち、彼をエノシュと名付けた。
その時、人々は主の名を呼び始めた。

5 これはアダムの世代の記録である。神が人類を創造した日に、
彼は彼らを神のかたちにつくられた。²

彼は彼らを男と女に創造し、彼らを祝福された。彼らが創造された日に、
彼は彼らを「人類」と名付けた。³

アダムが130歳になったとき、彼は自分のかたち、自分の姿に似た息子をもうけ、
彼をセツと名付けた。⁴

セツが生まれた後、アダムは800年間生き、他の息子と娘をもうけた。⁵

それで、アダムが生きたすべての日数は930年であり、
そして彼は死んだ。⁶

セツが105歳になったとき、彼はエノシュをもうけた。⁷

エノシュが生まれた後、セツは807年間生き、他の息子と娘をもうけた。⁸

それで、セツのすべての日数は912年であり、そして彼は死んだ。⁹

エノシュが90歳になったとき、彼はケナンをもうけた。¹⁰

ケナンが生まれた後、エノシュは815年間生き、他

創世記

の息子と娘をもうけた。¹¹
それで、エノシュのすべての日数は**905**年であり、
そして彼は死んだ。¹²
ケナンが**70**歳になったとき、彼はマハラレルをも
うけた。¹³
マハラレルが生まれた後、ケナンは**840**年間生き、
他の息子と娘をもうけた。¹⁴
それで、ケナンのすべての日数は**910**年であり、そ
して彼は死んだ。¹⁵
マハラレルが**65**歳になったとき、彼はヤレドをも
うけた。¹⁶
ヤレドが生まれた後、マハラレルは**830**年間生き、
他の息子と娘をもうけた。¹⁷
それで、マハラレルのすべての日数は**895**年であり
、そして彼は死んだ。¹⁸
ヤレドが**162**歳になったとき、彼はエノクをもうけ
た。¹⁹
エノクが生まれた後、ヤレドは**800**年間生き、他の
息子と娘をもうけた。²⁰
それで、ヤレドのすべての日数は**962**年であり、そ
して彼は死んだ。²¹
エノクが**65**歳になったとき、彼はメトシェラをも
うけた。²²
メトシェラをもうけた後、エノクは**300**年間神と共
に歩み、他の息子と娘をもうけた。²³
こうして、エノクの総寿命は**365**年であった。²⁴
エノクは神と共に歩んだ。そして彼はもはやいなか
った。神が彼を取られたからである。²⁵
メトシェラが**187**歳になったとき、彼はレメクをも
うけた。²⁶
レメクが生まれた後、メトシェラは**782**年間生き、
他の息子と娘をもうけた。²⁷
それで、メトシェラのすべての日数は**969**年であり
、そして彼は死んだ。²⁸
レメクが**182**歳になったとき、彼は息子をもうけた
。²⁹
彼は彼をノアと名付けて言った、「彼は主が呪われ
た地によって私たちの手の労苦と仕事に慰めをもた
らすであろう。」³⁰
ノアが生まれた後、レメクは**595**年間生き、他の息
子と娘をもうけた。³¹
それで、レメクのすべての日数は**777**年であり、そ
して彼は死んだ。³²
ノアが**500**歳になった後、彼はセム、ハム、ヤベテ
をもうけた。

6 地上で人類が増え始め、彼らに娘たちが生まれ
たとき、²
神の子たちは人間の娘たちが美しいのを見て、
彼らを選んだすべての者を妻として迎えた。³

そのとき、主は言われた、「わたしの霊はいつまで
も人間と争わない。彼らは肉にすぎないからである
。彼らの寿命は**120**年であろう。」⁴
そのころ、またその後も、地上にはネフィリムがい
た。神の子たちが人間の娘たちのところに行って、
彼らに子を産ませたときである。これらは昔の勇士
たち、名高い人々であった。⁵
主は人間の悪が地上に大きいこと、彼らの心の思い
のすべてが常に悪に傾いているのを見られた。⁶
主は地上に人間を造ったことを悔い、心を痛められ
た。⁷
それで主は言われた、「わたしは人間を地の面から
拭い去ろう。彼らと共に、動物、鳥、地を這うすべ
てのものを。わたしが彼らを造ったことを悔いるか
らである。」⁸
しかし、ノアは主の前に恵みを得た。⁹
これはノアとその家族の歴史である。ノアは正しい
人であり、その時代の中で全き者であった。ノアは
神と共に歩んだ。¹⁰
ノアにはセム、ハム、ヤベテという三人の息子がい
た。¹¹
今や地は神の前に墮落し、暴力で満ちていた。¹²
神は地を見られた。見よ、それは墮落していた。す
べての肉が地上でその道を墮落させていたからであ
る。¹³
それで神はノアに言われた、「すべての肉の終わりが
わたしの前に来た。彼らによって地は暴力で満ち
ているからである。見よ、わたしは彼らと共に地を
滅ぼそうとしている。」¹⁴
あなたは自分のためにゴフェルの木で箱舟を作りな
さい。箱舟に部屋を作り、内側と外側にビッチを塗
りなさい。¹⁵
あなたがそれを作る方法は次のとおりである。箱舟
の長さは三百キュビット、幅は五十キュビット、高
さは三十キュビットである。¹⁶
箱舟には屋根を作り、上から一キュビットで仕上げ
なさい。箱舟の側面に扉を設け、下、中、上の三層
にしなさい。¹⁷
見よ、わたしは天の下で命の息のあるすべての肉を
滅ぼすために、大水を地に持って来る。地上のすべ
てのものは滅びるであろう。¹⁸
しかし、わたしはあなたと契約を結ぶ。あなたは箱
舟に入りなさい。あなたとあなたの息子たち、あな
たの妻、あなたの息子たちの妻たちと共に。¹⁹
すべての生き物の中から、各種類ごとに一対ずつ、
雄と雌を箱舟に連れて行き、あなたと共に生き残ら
せなさい。²⁰
鳥はその種類ごとに、動物はその種類ごとに、地を
這うすべてのものはその種類ごとに、各種類ごとに

創世記

二つずつ、あなたのもとに来て生き残るであろう。

²¹ あなたは食べるべきすべての食物を取り、それをあなたと彼らのための備えとして蓄えなさい。」²²
ノアは神が命じたすべてをそのまま実行した。

7 それから主はノアに言われた、「あなたとあなたの全家族は箱舟に入りなさい。この世代であなただけ一人、私の前に正しいと見出されたからです。」²

すべての清い動物の中から、雄とその雌を七組ずつ、またすべての汚れた動物の中から、雄とその雌を一組ずつ連れて行きなさい。³

また、すべての鳥の中から、雄と雌を七組ずつ連れて行き、その子孫を地の表に生き残らせなさい。⁴
七日後に、私は四十日四十夜、地に雨を降らせ、私が作ったすべての生き物を地の表から拭い去ります。」⁵

ノアは主が命じられたとおりにすべてを行った。⁶
ノアが六百歳のとき、洪水の水が地を覆い始めた。⁷

ノアと彼の息子たち、彼の妻、そして彼の息子たちの妻たちは、洪水の水を避けるために彼と共に箱舟に入った。⁸

清い動物と汚れた動物のペア、鳥と地を動くすべての生き物のペアが、⁹
ノアのもとに来て、神がノアに命じたように、雄と雌が箱舟に入った。¹⁰

そして七日後、洪水の水が地に来た。¹¹
ノアの生涯の六百年目の第二の月の十七日に、その日に大いなる深淵のすべての泉が破裂し、天の窓が開かれた。¹²

そして雨は四十日四十夜、地に降り注いだ。¹³
その日に、ノアと彼の息子セム、ハム、ヤペテ、ノアの妻、そして彼の息子たちの三人の妻たちは箱舟に入った。¹⁴

彼らはすべての種類の野生動物、すべての種類の家畜、すべての種類の地を動く生き物、すべての種類の鳥、すべての翼ある生き物を連れていた。¹⁵

命の息を持つすべての生き物のペアがノアのもとに来て、箱舟に入った。¹⁶
入ったものはすべての生き物の雄と雌で、神が彼に命じたように入った。そして主は彼を閉じ込めた。¹⁷

四十日間、洪水は地に降り、増水する水が箱舟を地の上に高く持ち上げた。¹⁸
水は地に大いに増し、箱舟は水の表に浮かんだ。¹⁹

水は地に非常に増し、天の下のすべての高い山々が覆われた。²⁰
水は増し、山々を十五キュビット以上の深さまで沈

めた。²¹

地上を動くすべての生き物、鳥、家畜、野生動物、地を群がるすべての生き物、そしてすべての人間が滅びた。²²

命の息を鼻に持つすべての陸上の命が死んだ。²³
地の表のすべての生き物が拭い去られた。人間と動物、地を動く生き物、空の鳥が地から拭い去られた。ノアだけが残り、彼と共に箱舟にいた者たちだけが残った。²⁴ 水は百五十日間、地に増し続けた。

8 しかし、神はノアと箱舟にいたすべての動物と家畜を覚えておられ、地に風を送って水を引かせた。²

大いなる深淵の泉と天の窓が閉ざされ、空からの雨が止んだ。³

水は地から徐々に引き、百五十日が経つと水は減少した。⁴

第七の月の十七日に、箱舟はアララト山の上にとどまった。⁵

水は第十の月まで減り続け、第十の月の初日に山々の頂が現れた。⁶

四十日後、ノアは自分が作った箱舟の窓を開けた。⁷

彼はカラスを送り出したが、それは水が地から乾くまで行ったり来たりした。⁸

次に彼は鳩を送り出し、地面の水が引いたかどうかを確かめた。⁹

しかし、鳩は足を休める場所を見つけられず、箱舟に戻ってきた。水がまだ地の表にあったからである。彼は手を伸ばして鳩を取り、箱舟に戻した。¹⁰

彼はさらに七日待って、再び鳩を箱舟から送り出した。¹¹

鳩は夕方に戻ってきて、そのくちばしには新しく摘まれたオリーブの葉があった。それでノアは地から水が引いたことを知った。¹²

彼はさらに七日待って鳩を送り出したが、鳩は戻ってこなかった。¹³

六百一歳の年の第一の月の初日に、地から水が乾いた。ノアは箱舟の覆いを取り除き、地の表が乾いているのを見た。¹⁴

第二の月の二十七日までに、地は完全に乾いた。¹⁵
神はノアに語りかけて言われた、¹⁶

「あなたとあなたの妻、あなたの息子たち、そしてあなたの息子たちの妻たちと共に箱舟を出なさい。」¹⁷

あなたと共にいるすべての生き物、鳥、動物、地を這うすべての生き物を連れ出し、地上で繁殖し、実を結び、増え広がるようにしなさい。」¹⁸
こうして、ノアは息子たち、妻、息子たちの妻と共に出て行った。¹⁹

創世記

すべての動物、すべてのこの生き物、すべての鳥、地上を動くすべてのものが、一種ずつ箱舟から出て行った。

その後、ノアは主に祭壇を築き、すべての清い動物と鳥の中からいくつかを取り、祭壇で焼き尽くす捧げ物を捧げた。

主はその心地よい香りを嗅ぎ、心の中で言われた、「人間の心の傾向が若い時から悪であるにもかかわらず、再び地を人間のために呪うことはしない。また、今したようにすべての生き物を滅ぼすこともない。

地が続く限り、種まきと収穫、寒さと暑さ、夏と冬、昼と夜は止むことはない。」

9 神はノアとその息子たちを祝福して言われた、「生めよ、増えよ、地に満ちよ。

地のすべての獣、空のすべての鳥、地を動くすべてのもの、海のすべての魚は、あなたたちを恐れ、あなたたちを恐れるであろう。これらはあなたたちの手に渡された。

動くすべての生き物はあなたたちの食物となるであろう。緑の植物を与えたように、今やすべてをあなたたちに与える。

しかし、その命の血がまだ中にある肉を食べてはならない。

そして、あなたたちの命の血については、必ず報いを求める。すべての動物からそれを求める。そして、各人から、他の人の命について報いを求める。人の血を流す者は、人によってその血が流されるであろう。神のかたちに人を造られたからである。あなたたちも、生めよ、増えよ。地に大いに増え、そこに増えよ。」

神はノアと彼と一緒にいるその息子たちに言われた、

「見よ、私はあなたたちとあなたたちの後の子孫と契約を結ぶ。

そして、あなたたちと共にいるすべての生き物、鳥、家畜、すべての野の獣、あなたたちと共に箱舟から出たすべての生き物、地上のすべての生き物と共に。

私はあなたたちと契約を結ぶ。再び洪水の水によってすべての命が滅ぼされることはない。再び地を滅ぼす洪水は起こらない。」

そして神は言われた、「これは私とあなたたちとあなたたちと共にいるすべての生き物との間に、未来のすべての世代のために結ぶ契約のしるしである。

私は私の虹を雲の中に置いた。それは私と地との契約のしるしとなるであろう。

私が雲を地に送るとき、虹が雲の中に現れるであろ

う。

私は私とあなたたちとすべての種類の生き物との間の契約を思い出す。再び水が洪水となってすべての肉を滅ぼすことはない。

虹が雲の中にあるとき、私はそれを見て、地上のすべての種類の生き物との間の永遠の契約を思い出すであろう。」

それから神はノアに言われた、「これは私と地上のすべての命との間に結んだ契約のしるしである。」

箱舟から出たノアの息子たちは、セム、ハム、ヤベテであった。（ハムはカナン之父であった。）これらはノアの三人の息子であり、彼らから全地が再び満たされた。

ノアは土を耕す者であり、ぶどう畑を作り始めた。

彼はぶどう酒を飲んで酔い、天幕の中で裸になった。

カナン之父ハムは父の裸を見て、外にいる二人の兄弟に告げた。

しかし、セムとヤベテは衣を取り、それを肩にかけて後ろ向きに歩き、父の裸を覆った。彼らの顔は背を向けていたので、父の裸を見なかった。

ノアがぶどう酒から覚め、末の息子がしたことを知ったとき、

彼は言った、「カナンは呪われよ！彼は兄弟たちの奴隷の中の最も低い者となるであろう。」

彼はまた言った、「主、セムの神は祝福されよ！カナンはセムの奴隷となるであろう。」

神がヤベテの領土を広げられ、彼がセムの天幕に住むことができるように。そしてカナンは彼の僕となるであろう。」

ノアは洪水の後、さらに350年間生き続けた。ノアのすべての日は950年であり、彼は死んだ。

10 これはノアの息子たち、セム、ハム、ヤベテの世代の記録である。洪水の後、彼らに息子たちが生まれた。

ヤベテの子孫には、ゴメル、マゴグ、マダイ、ヤワン、トバル、メシェク、ティラスが含まれていた。

ゴメルの子孫には、彼の息子アシュケナズ、リファテ、トガルマが含まれていた。

ヤワンの子孫は、エリシャ、タルシシュ、キッティム、ロダニムであった。

これらから、海洋民族はそれぞれの氏族と言語によって、彼らの国々の中で領土に広がった。

ハムの子孫には、クシュ、エジプト、プト、カナンが含まれていた。

クシュの子孫は、セバ、ハビラ、サブタ、ラアマ、

創世記

サブテカであり、ラアマの息子はシェバとデダンであった。⁸

クシュはニムロデの父となった。彼は地上で力ある戦士となった。⁹

彼は主の前で力ある狩人であった。それゆえ、「主の前で力ある狩人、ニムロデのように」と言われる¹⁰

。彼の王国の始まりは、シナルの地にあるバビロン、ウルク、アッカド、カルネであった。¹¹

その地から彼はアッシリアに進み、ニネベ、レホボテ・イル、カラを建てた。¹²

そして、ニネベとカラの間にあるレセンを建てた。これは大いなる町である。¹³

エジプトはルディム、アナミム、レハビム、ナフトヒムの父となった。¹⁴

パトルシム、カスルヒム（そこからペリシテ人が出た）、カフトリム。¹⁵

カナンの長子はシドンであり、彼はヒッタイトの祖先でもあった。¹⁶

エブス人、アモリ人、ギルガシ人、ヒビ人、アルキ人、シニ人、¹⁷

アルワデ人、ツマリ人、ハマテ人。後にカナン人の氏族は散らばった。¹⁸

カナンの境界は、シドンからガザに至るゲラルの方へ、そしてソドム、ゴモラ、アデマ、ゼボイムの方へ、ラシャに至るまで広がった。¹⁹

これらはハムの息子たちであり、彼らの氏族、言語、土地、国々による。²⁰

セムにも息子たちが生まれた。彼はエベルのすべての子孫の祖であり、ヤベテの兄である。²¹

セムの子孫には、エラム、アシュル、アルパクシャド、ルド、アラムが含まれていた。²²

アラムの子孫には、彼の息子ウズ、フル、ゲテル、マシュが含まれていた。²³

アルパクシャドはシラの父となり、シラはエベルの父となった。²⁴

エベルには二人の息子がいた。一人はベレグと名付けられた。彼の時代に地が分かれたからである。彼の兄弟はヨクタンと名付けられた。²⁵

ヨクタンはアルモダデ、シャレフ、ハザルマウテ、エラの父であった。²⁶

ハドラム、ウザル、ディクラ、²⁷

オバル、アビマエル、シェバ、²⁸

オフイル、ハビラ、ヨバブ。これらはすべてヨクタンの子孫であった。²⁹

彼らの地域はメシャから東の山地のセファルに至るまで広がっていた。³⁰

これらはセムの息子たちであり、彼らの氏族、言語、土地、国々による。³¹

これらはノアの息子たちの家族であり、彼らの系図によって、彼らの国々の中にあつた。これらから、洪水の後、国々は地上に広がった。

11 さて、全地は一つの言語、一つの言葉であつた。²

彼らが東に向かって旅をしていると、シナルの地に平野を見つけ、そこに住んだ。³

彼らは互いに言った、「さあ、れんがを作って、それを十分に焼こう。」彼らは石の代わりにれんがを使い、漆喰の代わりにアスファルトを使った。⁴

そして彼らは言った、「さあ、我々のために町を建て、天に届く塔を建てて、我々の名を高めよう。さもなければ、我々は全地の表に散らされてしまう。」⁵

」

主は、人々が建設している町と塔を見るために降りて来られた。⁶

主は言われた、「見よ、彼らは一つの民であり、同じ言語を持っている。そしてこれが彼らの始めたことだ。今や彼らが計画することは何も不可能ではない。」⁷

さあ、我々は降りて行って、彼らの言語を混乱させ、彼らが互いに言葉を理解できないようにしよう。⁸

」

それで主は彼らをそこから全地の表に散らされたので、彼らは町を建てるのをやめた。⁹

それゆえ、その名はバベルと呼ばれた。そこでは主が全地の言語を混乱させたからである。そこから主は彼らを全地の表に散らされた。¹⁰

これがセムの世代である。セムは洪水の後、2年目にアルパクシャデの父となったとき**100**歳であつた¹¹

。

セムはアルパクシャデの父となった後、**500**年間生き、他の息子と娘をもうけた。¹²

アルパクシャデは**35**歳でシラの父となった。¹³

シラの父となった後、アルパクシャデは**403**年間生き、他の息子と娘をもうけた。¹⁴

シラは**30**歳でエベルの父となった。¹⁵

エベルの父となった後、シラは**403**年間生き、他の息子と娘をもうけた。¹⁶

エベルは**34**歳でベレグの父となった。¹⁷

ベレグの父となった後、エベルは**430**年間生き、他の息子と娘をもうけた。¹⁸

ベレグは**30**歳でレウの父となった。¹⁹

レウの父となった後、ベレグは**209**年間生き、他の息子と娘をもうけた。²⁰

レウは**32**歳でセルグの父となった。²¹

セルグの父となった後、レウは**207**年間生き、他の息子と娘をもうけた。²²

セルグは**30**歳でナホルの父となった。²³

創世記

ナホルの父となった後、セルグは200年間生き、他の息子と娘をもうけた。

ナホルは29歳でテラの父となった。

テラの父となった後、ナホルは119年間生き、他の息子と娘をもうけた。

テラは70歳でアブラム、ナホル、ハランの父となった。

これがテラの世代である。テラはアブラム、ナホル、ハランの父となり、ハランはロトの父となった。

ハランは彼の父テラの生涯の間に、彼の生まれた地、カルデアのウルで亡くなった。

アブラムとナホルはそれぞれ妻を迎えた。アブラムの妻はサライと名づけられ、ナホルの妻はミルカと名づけられた。ミルカはハランの娘であり、ミルカとイスカの父であった。

サライは子供を持てなかった。彼女には子供がいなかった。

テラは彼の息子アブラム、孫のロト（ハランの息子）、そして彼の嫁サライ（アブラムの妻）を連れて、カルデアのウルからカナンの地に向かって出発した。しかし、彼らがハランに到達したとき、そこに住んだ。

テラは205歳まで生き、ハランで亡くなった。

12 主はアブラムに言われた、「あなたの国、あなたの親族、あなたの父の家を離れて、わたしが示す地へ行きなさい。

わたしはあなたを大いなる国民とし、あなたを祝福し、あなたの名を高める。あなたは祝福となるであろう。

あなたを祝福する者をわたしは祝福し、あなたを呪う者をわたしは呪う。地上のすべての民族は、あなたによって祝福される。」

そこでアブラムは主が彼に言われたとおりに出発し、ロトも彼と共にいった。アブラムがハランを出た時は七十五歳であった。

彼は妻サライと、甥ロトと、彼らが集めたすべての財産と、ハランで得た人々を連れてカナンカナンの地へ向かった。彼らがカナンに到着した時、

アブラムはシェケムのモレの大樹のところまでその地を旅した。その時、カナン人がその地に住んでいた。

主はアブラムに現れて言われた、「あなたの子孫にこの地を与える。」そこで彼は、彼に現れた主のためにそこに祭壇を築いた。

そこから彼はベテルの東の山地に移り、ベテルを西に、アイを東にして天幕を張った。彼はそこに主のために祭壇を築き、主の名を呼んだ。

その後、アブラムは旅を続けてネゲブへ向かった。

10 その地に飢饉があったので、アブラムはしばらくエジプトに住むために下って行った。飢饉が激しかったからである。

彼がエジプトに入ろうとした時、妻サライに言った、「あなたは美しい女であることを私は知っている。

エジプト人があなたを見て、『これは彼の妻だ』と言うと、彼らは私を殺し、あなたを生かしておくだろう。

どうか、あなたは私の妹だと言ってください。そうすれば、あなたのために私は良く扱われ、あなたのおかげで私の命が助かるでしょう。」

アブラムがエジプトに入った時、エジプト人はサライが非常に美しいを見た。

ファラオの家臣たちは彼女を見てファラオに称賛し、彼女は宮殿に連れて行かれた。

彼は彼女ののためにアブラムを良く扱い、アブラムは羊、牛、雄のろば、男女の奴隸、雌のろば、ラクダを得た。

しかし、主はアブラムの妻サライのことで、ファラオとその家に重い災いを下された。

そこでファラオはアブラムを召し寄せて言った、「あなたは私に何をしたのか。なぜ彼女があなたの妻であることを私に告げなかったのか。

なぜ『彼女は私の妹だ』と言ったのか。それで私は彼女を妻として迎えたのだ。今、ここにあなたの妻がいる。彼女を連れて行きなさい。」

ファラオはアブラムについて家臣たちに命じ、彼と彼の妻と彼の持ち物すべてを送り出した。

13 こうしてアブラムはエジプトからネゲブへ、妻とすべての所有物を伴い、ロトも彼と共にいった。

アブラムは家畜、銀、金において非常に裕福であった。

彼はネゲブからベテルまで旅をし、初めに天幕を張った場所、ベテルとアイの間の場所に行った。

以前にそこに築いた祭壇の場所で、アブラムはそこで主の名を呼んだ。

アブラムと共に旅をしたロトもまた、羊の群れ、牛の群れ、天幕を持っていた。

しかし、彼らの所有物が非常に多かったため、彼らが一緒に住むことができるほど土地は彼らを支えることができなかった。

そして、アブラムの家畜の牧者とロトの牧者の間に争いがあった。その時、カナン人とペリジ人がその地に住んでいた。

そこでアブラムはロトに言った、「あなたと私の間、また私の牧者とあなたの牧者の間に争いがないよ

創世記

うにしましょう。私たちは親類ですから。⁹
全地があなたの前にあるではありませんか。どうか
私から別れてください。もしあなたが左に行くなら
、私は右に行きます。もしあなたが右に行くなら、
私は左に行きます。」¹⁰
ロトは目を上げて、ヨルダンの全平野がどこもかし
こもよく潤っているのを見た。それは主の園のよう
であり、ゾアルに向かうエジプトの地のようであっ
た。（これは主がソドムとゴモラを滅ぼす前のこと
である。）¹¹
そこでロトはヨルダンの全平野を自分のために選び
、東へ移動した。こうして彼らは別れた。¹²
アブラムはカナンの地に住み、ロトは平野の町々に
住み、ソドムの近くに天幕を張った。¹³
今、ソドムの人々は非常に悪く、主に対して大いに
罪を犯していた。¹⁴
ロトが彼から別れた後、主はアブラムに言われた、
「あなたのいる場所から目を上げて、北と南、東と
西を見渡しなさい。¹⁵
あなたが見るすべての地を、私はあなたとあなたの
子孫に永遠に与えます。¹⁶
私はあなたの子孫を地の塵のように多くします。も
し誰かが地の塵を数えることができるなら、あなた
の子孫も数えることができるでしょう。¹⁷
立ち上がり、その地をその長さと幅にわたって歩き
なさい。私はそれをあなたに与えます。」¹⁸
こうしてアブラムは天幕を移し、ヘブロンにあるマ
ムレの大樹のそばに住み、そこで主に祭壇を築いた
。

14 シナルの王アムラフェル、エラサル王ア
リオク、エラムの王ケドルラオメル、ゴイ
ムの王ティダルがいた時代に、²
彼らはソドムの王ベラ、ゴモラの王ビルシャ、アデ
マの王シナブ、ゼボイムの王シェメベル、ベラ（す
なわちツォアル）の王と戦争をした。³
これらの後者の王たちは皆、シディムの谷（すなわ
ち塩の海）で同盟を結んだ。⁴
彼らは十二年間ケドルラオメルに従属していたが、
十三年目に反乱を起こした。⁵
十四年目に、ケドルラオメルと彼と共にいた王たち
は出て行き、アシュタロテ・カルナイムでレファイ
ムを、ハムでズズ人を、シャウエ・キリアタイムで
エミムを打ち破った。⁶
そしてセイルの山地にいるホリ人を、荒野に近いエ
ル・パランまで打ち破った。⁷
それから彼らは引き返し、エン・ミシュパテ（すな
わちカデシュ）に来て、アマレク人の全地域を征服
し、またハツェツォン・タマルに住んでいるアモリ
人も征服した。⁸

その時、ソドムの王、ゴモラの王、アデマの王、ゼ
ボイムの王、ベラ（すなわちツォアル）の王が出て
きて、シディムの谷で戦いの陣を敷いた。⁹
エラムの王ケドルラオメル、ゴイムの王ティダル、
シナルの王アムラフェル、エラサル王アリオクに
対して、四人の王が五人に対抗した。¹⁰
さて、シディムの谷はタールの穴で満ちており、ソ
ドムとゴモラの王たちが逃げたとき、ある者はその
中に落ち、残りは山に逃げた。¹¹
四人の王はソドムとゴモラのすべての財産と食糧を
奪い、去った。¹²
彼らはまた、アブラムの甥ロトと彼の所有物も奪つ
た。彼はソドムに住んでいたからである。¹³
その後、生き残った者が来て、ヘブライ人アブラム
に知らせた。彼はアモリ人マムレの樅の木の下に
住んでいた。マムレはエシュコルとアネルの兄弟で
、アブラムと同盟を結んでいた。¹⁴
アブラムは、自分の親族が捕えられたと聞いたと
き、彼の家で生まれた318人の訓練された者たちを
集め、ダンまで追跡した。¹⁵
夜の間に、アブラムは彼の部隊を分けて攻撃し、彼
らを打ち破り、ダマスカスの北のホバまで追跡した
。¹⁶
彼はすべての財産を取り戻し、彼の親族ロトとその
所有物、女性たち、その他の人々を連れ戻した。¹⁷
アブラムがケドルラオメルと彼と同盟を結んでいた
王たちを打ち破って戻った後、ソドムの王が彼を迎
えるためにシャウエの谷（すなわち王の谷）に出て
きた。¹⁸
その時、サレムの王メルキゼデクがパンとぶどう酒
を持ってきた。彼は至高の神の祭司であった。¹⁹
彼はアブラムを祝福して言った、「天と地を創造さ
れた至高の神によってアブラムは祝福されますよう
に。²⁰
そして、あなたの敵をあなたの手に渡された至高の
神が賛美されますように。」それからアブラムは彼
にすべてのものの十分の一を与えた。²¹
ソドムの王はアブラムに言った、「人々を私に返し
、財産はあなたが取ってください。」²²
しかしアブラムはソドムの王に言った、「私は天と
地を創造された至高の神、主に誓いました。²³
あなたのものは何一つ、糸一本、靴のひも一本さえ
も取らないと、あなたが『私はアブラムを富ませた
』と言わないようにするためです。²⁴
私の人々が食べたものと、私と共に行った者たち、
アネル、エシュコル、マムレの分だけを受け取りま
す。彼らが彼らの分を取るようになさってください。
」

15 これらの出来事の後、主の言葉がアブラムに幻の中で臨み、言われた。「恐れるな、アブラムよ。私はあなたの盾である。あなたの報いは非常に大きいであろう。」²

しかしアブラムは言った。「主なる神よ、私が子供を持たないままで、私の家の相続人がダマスコのエリエゼルであるのに、何を私に与えてくださるのですか？」³

アブラムはまた言った。「あなたは私に子孫を与えてくださらなかったで、私の家で生まれたしもべが私の相続人となるでしょう。」⁴

すると、主の言葉が彼に臨み、言われた。「この者があなたの相続人となるのではなく、あなた自身の肉と血から生まれる息子があなたの相続人となるであろう。」⁵

彼を外に連れ出して言われた。「天を見上げ、星を数えることができるなら数えなさい。」そして彼に言われた。「あなたの子孫はこのようになるであろう。」⁶

アブラムは主を信じ、それが彼の義とみなされた。⁷

そして彼に言われた。「私は主である。カルデア人のウルからあなたを連れ出し、この地をあなたに与えて所有させるためである。」⁸

しかしアブラムは言った。「主なる神よ、私がそれを所有することをどうして知ることができるでしょうか？」⁹

そこで主は彼に言われた。「三歳の雌牛、三歳の雌山羊、三歳の雄羊、鳩、若い鳩を私に持ってきなさい。」¹⁰

アブラムはこれらすべてを持ってきて、二つに切り分け、それぞれの半分を互いに向かい合わせに並べた。しかし鳥は切り分けなかった。¹¹

すると猛禽が死体に降りてきたが、アブラムはそれらを追い払った。¹²

太陽が沈むとき、アブラムは深い眠りに落ち、恐ろしい大きな暗闇が彼を襲った。¹³

そのとき、主はアブラムに言われた。「あなたの子孫が自分たちのものでない地で寄留者となり、そこで四百年間奴隷となり、虐げられることを確かに知りなさい。」¹⁴

しかし彼らが仕える国を私は裁き、その後、彼らは多くの財産を持って出てくるであろう。¹⁵

あなた自身は平安のうちに先祖のもとに行き、良い老齢で葬られるであろう。¹⁶

第四世代に、彼らはここに戻ってくるであろう。アモリ人の罪がまだ満ちていないからである。」¹⁷

太陽が沈み、暗くなったとき、煙を上げる炉と燃える松明が現れ、それらの切り分けた部分の間を通り

過ぎた。¹⁸

その日、主はアブラムと契約を結び、言われた。「あなたの子孫にこの地を与えた。エジプトの川から大河ユーフラテスまで—¹⁹

ケニ人、ケニズ人、カドモニ人の領土、²⁰
ヒッタイト人、ペリジ人、レファイム人、²¹

アモリ人、カナン人、ギルガシ人、エブス人の領土を。」

16 さて、アブラムの妻サライは彼に子供を産んでいなかったが、エジプト人の奴隷ハガルを持っていた。²

サライはアブラムに言った、「主が私に子供を産ませないようになされました。どうか私の奴隷と関係を持ってください。もしかしたら彼女を通じて家族を築けるかもしれません。」アブラムはサライの言うことを聞いた。³

アブラムがカナンに住んで十年後、アブラムの妻サライはエジプト人の奴隷ハガルを取り、彼の妻として夫アブラムに与えた。⁴

彼はハガルと関係を持ち、彼女は妊娠した。彼女が妊娠したことを知ったとき、彼女は女主人を軽んじ始めた。⁵

サライはアブラムに言った、「私が受けている不当な扱いはあなたの責任です。私は私の奴隷をあなたの腕に入れましたが、彼女が妊娠したことを知って、私を軽んじています。主があなたと私の間を裁いてくださいますように。」⁶

アブラムはサライに答えた、「あなたの奴隷はあなたの手の中にあります。あなたが良いと思うことを彼女にしてください。」それでサライはハガルを厳しく扱い、彼女は逃げた。⁷

主の使いは荒野の泉のそばでハガルを見つけた。それはシュルへの道にある泉であった。⁸

彼は言った、「サライの奴隷ハガルよ、どこから来たのか、どこへ行くのか？」彼女は答えた、「私は女主人サライから逃げています。」⁹

主の使いは彼女に指示した、「女主人のもとに戻り、彼女の指導を受け入れなさい。」¹⁰

主の使いはさらに言った、「私はあなたの子孫を非常に増やし、数え切れないほどにする。」¹¹

主の使いはさらに彼女に言った、「あなたは妊娠しており、男の子を産むでしょう。彼をイシュマエルと名付けなさい。主があなたの苦しみを聞かれたからです。」¹²

彼は野生のろばのような人となり、彼の手はすべての人に対して、すべての人の手は彼に対して、彼はすべての兄弟に対抗して生きるでしょう。」¹³

彼女は彼女に語った主の名を「私を見る神」と呼んだ。彼女は言った、「私は今、私を見る方を見た。」

」¹⁴
 それゆえ、その井戸はベエル・ラハイ・ロイと呼ばれた。それは今もカデシュとベレドの間にある。¹⁵
 ハガルはアブラムに男の子を産み、アブラムは彼女が産んだ息子をイシュマエルと名付けた。¹⁶
 アブラムがイシュマエルを産んだとき、アブラムは八十六歳であった。

17 アブラムが九十九歳のとき、主が彼に現れ、言われた。「わたしは全能の神である。²
 わたしの前を歩み、全き者であれ。²
 わたしはわたしとあなたとの間に契約を立て、あなたの子孫を非常に増やすであろう。」³
 アブラムはひれ伏した。そして神は彼に語って言われた。⁴
 「わたしはあなたと契約を結ぶ。あなたは多くの国民の父となる。⁵
 あなたの名はもはやアブラムとは呼ばれず、あなたの名はアブラハムとなる。わたしがあなたを多くの国民の父としたからである。⁶
 わたしはあなたを非常に多産にし、国々をあなたから出させ、王たちがあなたから出るであろう。⁷
 わたしはわたしとあなたとの間に、またあなたの後の子孫との間に、彼らの世々にわたって、永遠の契約を立て、あなたの神、またあなたの後の子孫の神となるであろう。⁸
 わたしはあなたとあなたの後の子孫に、あなたが寄留者としている地、すなわちカナンの全地を永遠の所有として与えるであろう。そしてわたしは彼らの神となる。」⁹
 神はさらにアブラハムに言われた。「あなたはわたしの契約を守らなければならない。あなたとあなたの後の子孫は、その世々にわたって守らなければならない。¹⁰
 わたしとあなたとの間に、またあなたの後の子孫との間に守るべき契約はこれである。あなたがたのうちの男子は皆、割礼を受けなければならない。¹¹
 あなたがたは包皮の肉に割礼を施さなければならない。それがわたしとあなたとの間の契約のしるしとなる。¹²
 あなたがたのうちの男子は皆、生まれて八日目に割礼を受けなければならない。あなたの家で生まれた者、またはあなたの子孫でない外国人から金で買った者も含まれる。¹³
 あなたの家で生まれた奴隷も、あなたの金で買った者も、割礼を受けなければならない。こうしてわたしの契約はあなたがたの肉において永遠の契約となるであろう。¹⁴
 割礼を受けていない男子、すなわち包皮の肉に割礼を施されていない者は、その民から断たれるであ

う。彼はわたしの契約を破ったからである。」¹⁵
 神はまたアブラハムに言われた。「あなたの妻サライについては、彼女をサライと呼んではならない。彼女の名はサラとなる。¹⁶
 わたしは彼女を祝福し、彼女によってあなたに男の子を与える。わたしは彼女を祝福し、彼女は国々の母となる。多くの民の王たちが彼女から出るであろう。」¹⁷
 アブラハムはひれ伏して笑い、心の中で考えた。「百歳の男に子が生まれるだろうか。九十歳のサラが子を産むことができるだろうか。」¹⁸
 アブラハムは神に言った。「どうかイシュマエルがあなたの祝福のもとに生きますように。」¹⁹
 しかし神は言われた。「いや、あなたの妻サラがあなたに男の子を産む。その名をイサクと呼びなさい。わたしは彼と彼の後の子孫との間に永遠の契約を立てる。²⁰
 イシュマエルについては、わたしはあなたの言うことを聞き入れた。わたしは彼を祝福し、彼を多産にし、非常に増やすであろう。彼は十二人の君主を生み、わたしは彼を大いなる国民とする。²¹
 しかし、わたしの契約はイサクと結ぶ。サラが来年のこの時期にあなたに産むであろう。」²²
 神はアブラハムとの対話を終え、彼から去って行かれた。²³
 それからアブラハムはその息子イシュマエルと、彼の家で生まれたすべての者、また彼のコで買ったすべての者、アブラハムの家のすべての男子を連れて、その日に神が彼に命じたとおり割礼を施した。²⁴
 アブラハムは九十九歳のときに包皮の肉に割礼を施された。²⁵
 彼の息子イシュマエルは十三歳のときに割礼を受けた。²⁶
 その同じ日に、アブラハムとその息子イシュマエルは割礼を受けた。²⁷
 彼の家のすべての男子、すなわち家で生まれた者も、外国人から金で買った者も、彼と共に割礼を受けた。

18 主はマムレの樫の木のそばでアブラハムに現れた。彼が昼の暑い時に天幕の入口に座しているときであった。²
 アブラハムは目を上げて、三人の人が近くに立っているのを見た。彼はそれを見て、天幕の入口から走って行き、彼らを迎え、地にひれ伏した。³
 彼は言った、「わが主よ、もし私があなたの目に恵みを見いだしているなら、どうかあなたのしもべのそばを通り過ぎないでください。⁴
 少し水を持って来させてください。あなたがたの足

創世記

を洗い、木の下で休んでください。⁵
パンを少し持って来させてください。あなたがたが
元気を取り戻してから道を進んでください。あなたが
たがしがしめべのところに來られたからです。」彼ら
は言った、「あなたが言ったとおりにしてください。⁶
そこでアブラハムは急いで天幕に入り、サラに言っ
た、「急いで、上等の小麦粉を三セア取って、こね
てパンを作ってください。」⁷
それから彼は家畜のところに走り、柔らかくて良い
子牛を選び、それをしもべに渡した。しもべは急い
でそれを調理した。⁸
彼は凝乳と牛乳、調理した子牛を取って、彼らの前
に置いた。彼らが食べている間、彼は木の下で彼ら
のそばに立っていた。⁹
彼らは彼に尋ねた、「あなたの妻サラはどこにいま
すか？」彼は答えた、「天幕の中です。」¹⁰
その一人が言った、「私は來年の今頃、必ずあなた
のところに戻ってきます。見よ、あなたの妻サラに
は男の子がいるでしょう。」サラはその人の後ろに
ある天幕の入口で聞いていた。¹¹
アブラハムとサラは年をとっており、年齢が進んで
いた。サラは子を産む年齢を過ぎていた。¹²
それでサラは心の中で笑い、「私は老いており、主
人も年をとっているのに、どうしてこの喜びがある
のでしょうか？」と思った。¹³
すると主はアブラハムに言った、「なぜサラは笑っ
て、『私は年をとっているのに、本当に子を産むの
か』と言ったのか。」¹⁴
主にとって難しいことがあるだろうか。來年の定め
られた時に、私はあなたのところに戻ってきます。
そしてサラには男の子がいるでしょう。」¹⁵
サラは恐れて、否定して言った、「私は笑いません
でした。」しかし彼は言った、「いや、あなたは笑
いました。」¹⁶
その人たちが立ち上がって去るとき、彼らはソドム
の方を見下ろした。アブラハムは彼らを見送るため
に一緒に歩いた。¹⁷
主は考えた、「私はアブラハムにしようとしている
ことを隠すべきだろうか。」¹⁸
アブラハムは確かに大いなる強い国民となり、地上
のすべての国民が彼によって祝福されるだろう。¹⁹
私は彼を選んだ。彼がその子供たちと彼の後の家族
に主の道を守り、正しいことと公正なことを行うよ
うに命じるためである。それで主はアブラハムに約
束したことを成就されるだろう。」²⁰
それから主は言った、「ソドムとゴモラに対する叫
びは実に大きく、彼らの罪は非常に重い。」²¹
私は今下って行き、彼らが行ったことが私に届いた

叫びのように悪いかどうかを見てみよう。そうでな
ければ、私は知るだろう。」²²
その人たちはソドムの方に向かって行ったが、アブ
ラハムは主の前に残った。²³
アブラハムは近づいて言った、「あなたは本当に正
しい者を悪者と一緒に滅ぼすのですか。」²⁴
もしその町に五十人の正しい者がいるとしたら、本
当にそれを滅ぼし、そこにいる五十人の正しい者の
ためにその場所を惜しまないのですか。」²⁵
正しい者を悪者と一緒に殺し、正しい者と悪者を同
じように扱うことは、あなたには遠いことです。全
地の裁き主は正しいことを行うべきではありません
か。」²⁶
主は言った、「もしソドムの町に五十人の正しい者
を見つけたら、そのためにその場所全体を惜しむだ
ろう。」²⁷
それからアブラハムは再び言った、「私は塵と灰に
すぎないのに、主に話すことをあえてしました。」²⁸
もし五十人の正しい者が五人足りないとしたら、そ
の五人のために全市を滅ぼすのですか。」彼は言っ
た、「もし四十五人を見つけたら、私はそれを滅ぼ
さない。」²⁹
彼は再び言った、「もし四十人がそこに見つかった
らどうですか。」彼は言った、「四十人のために、
私はそれをしない。」³⁰
それから彼は言った、「主よ、怒らないでください
。しかし、私に話させてください。もし三十人がそ
こに見つかったらどうですか。」彼は答えた、「も
し三十人を見つけたら、それをしない。」³¹
アブラハムは言った、「私は主に話すことをあえて
しましたが、もし二十人がそこに見つかったらどう
ですか。」彼は言った、「二十人のために、私はそ
れを滅ぼさない。」³²
それから彼は言った、「主よ、怒らないでください
。しかし、もう一度だけ話させてください。もし十
人がそこに見つかったらどうですか。」彼は答えた
、「十人のために、私はそれを滅ぼさない。」³³
主がアブラハムとの話を終えたとき、彼はその道を
進み、アブラハムは自分の場所に戻った。

19 その夕方、二人の天使がソドムに到着し、
ロトは町の門に座っていた。ロトは彼らを
見て立ち上がり、地に顔を伏せて彼らを迎
えた。²
彼は言った、「どうか、私の主よ、あなたのしもべ
の家に立ち寄って夜を過ごし、足を洗ってください
。それから早く起きて道を進んでください。」彼ら
は言った、「いいえ、私たちは広場で夜を過ごしま
す。」³
しかし、ロトは強く勧めたので、彼らは彼のところ

創世記

に立ち寄り、彼の家に入った。彼は彼らのために宴を準備し、種なしパンを焼き、彼らは食べた。⁴
彼らが横になる前に、ソドムの町の男たち、若い者も年老いた者も、すべての人々が四方から家を囲んだ。⁵
彼らはロトに呼びかけた、「今夜あなたのところに来た男たちはどこにいるのか？彼らを私たちのところに連れて来て、私たちが彼らと関係を持てるようにしなさい。」⁶
ロトは彼らのところへ出て行き、後ろのドアを閉めた。⁷
そして言った、「どうか、兄弟たちよ、そんな悪事を働かないでください。」⁸
見てください、私は男を知らない二人の娘がいます。どうか、彼女たちをあなたがたのところに連れて行かせてください。あなたがたの望むように彼女たちにしてください。ただし、これらの男たちには何もしないでください。彼らは私の屋根の下に保護を求めて来たのです。」⁹
しかし彼らは言った、「引っ込んでいろ！」彼らはまた言った、「この男は外国人としてここに来たのに、今や裁判官のように振る舞おうとしている！私たちは彼らよりもあなたをひどく扱うつもりだ。」
彼らはロトに強く押し寄せ、ドアを破ろうと近づいてきた。¹⁰
しかし、内側の男たちは手を伸ばしてロトを家の中に引き込み、ドアを閉めた。¹¹
それから彼らは、家のドアのところにいた男たちを、大小問わず盲目にしたので、彼らはドアを見つけようとして疲れ果てた。¹²
二人の男はロトに言った、「ここに他に誰がいますか—
婿、息子、娘、またはこの町にあなたに属する他の誰か？この場所から彼らを連れ出しなさい。」¹³
私たちはこの場所を滅ぼそうとしているのです。この町の人々に対する叫びが主の前に大きくなったからです。主は私たちを送ってこれを滅ぼすのです。」¹⁴
それでロトは出て行き、彼の娘たちと結婚する予定の婿たちに話し、「起きて、この場所から出て行きなさい。主がこの町を滅ぼそうとしているのです。」しかし、彼は婿たちには冗談を言っているように見えた。¹⁵
朝が明けると、天使たちはロトを促して言った、「起きて、ここにいるあなたの妻と二人の娘を連れて行きなさい。さもないとこの町の罰に巻き込まれます。」¹⁶
しかし彼はためらったので、男たちは彼の手と彼の妻と二人の娘の手を掴んだ。主が彼に慈悲を示した

からである。そして彼らは彼を連れ出し、町の外に置いた。¹⁷
彼らを外に連れ出したとき、彼らの一人が言った、「命を守るために逃げなさい！振り返ったり、平野のどこかで止まったりしてはいけません。山に逃げなさい、さもないと巻き込まれます。」¹⁸
しかしロトは彼らに言った、「どうか、私の主よ、そうではありません！」¹⁹
あなたのしもべはあなたの目の前で恵みを見つけ、あなたは私の命を救って大きな親切を示してくださいました。しかし、私は山に逃げるのができません。災害が私を追い越し、私は死んでしまいます。²⁰
見てください、ここに逃げるのに十分近い町があります。それは小さいです。どうか、そこに逃げさせてください—それは小さいではありませんか？—
そうすれば私の命は助かるでしょう。」²¹
彼は彼に答えた、「この要求も聞き入れましょう。あなたが言った町を滅ぼしません。」²²
しかし急いで、そこに逃げなさい。あなたがそこに到着するまで私は何もできません。」それゆえ、その町はツォアルと呼ばれた。²³
ロトがツォアルに到着したのは、ちょうど太陽が地に昇ったときだった。²⁴
そのとき、主はソドムとゴモラに硫黄と火を降らせた—主から天から。²⁵
彼はそれらの町とすべての平野、町の住民すべて、そして地に生えていたものを覆した。²⁶
しかし、ロトの妻は振り返り、塩の柱になった。²⁷
朝早く、アブラハムは主の前に立っていた場所に戻った。²⁸
彼はソドムとゴモラ、平野のすべての地を見下ろし、地から炉の煙のように濃い煙が上がっているのを見た。²⁹
それで、神が平野の町々を滅ぼしたとき、彼はアブラハムを思い出し、ロトを覆しの中から送り出した。彼がロトの住んでいた町々を覆したときに。³⁰
ロトはツォアルから上り、二人の娘と一緒に山に住んだ。彼はツォアルに住むのを恐れていたからである。彼と彼の二人の娘は洞窟に住んだ。³¹
長女は妹に言った、「私たちの父は年を取っており、地上には私たちに来る男がいません。地のすべての習慣に従って。」³²
さあ、父に酒を飲ませ、私たちは彼と寝て、父を通して私たちの家系を保ちましょう。」³³
それで、彼らはその夜、父に酒を飲ませ、長女は入って行き、父と寝た。彼は彼女が横たわったときも、起きたときも知らなかった。³⁴
翌日、長女は妹に言った、「見て、私は昨夜父と寝

た。今夜も彼に酒を飲ませ、あなたが入って行き、彼と寝て、父を通して私たちの家系を保ちましょう。」³⁵
 それで彼らはその夜も父に酒を飲ませ、妹は起きて彼と寝た。彼は彼女が横たわったときも、起きたときも知らなかった。³⁶
 こうしてロトの娘たちは二人とも父によって身ごもった。³⁷
 長女は男の子を産み、彼をモアブと名付けた。彼は今日までのモアブ人の父である。³⁸
 妹もまた男の子を産み、彼をベン・アミと名付けた。彼は今日までのアンモン人の父である。

20 さて、アブラハムはそこからネゲブ地方に向かって旅をし、カデシュとシュルの間に住み、しばらくの間ゲラルに滞在した。²
 そしてアブラハムは妻サラについて、「彼女は私の妹です」と言った。それでゲラルの王アビメレクはサラを召し寄せて彼女を取った。³
 しかし、神は夜の夢の中でアビメレクに現れ、彼に言った。「見よ、あなたは取った女のために死ぬことになる。彼女は既婚の女だからだ。」⁴
 アビメレクはまだ彼女に近づいていなかったのので、「主よ、たとえその国が無罪であっても滅ぼされるのですか?」と言った。⁵
 彼は私に『彼女は私の妹です』と言わなかったか?そして彼女自身も『彼は私の兄です』と言った。私はこれを清い良心と無実の手で行いました。」⁶
 すると神は夢の中で彼に言った。「そうだ、あなたが清い良心でこれを行ったことを私は知っている。それで私はあなたが私に対して罪を犯さないようにした。それゆえ、あなたが彼女に触れることを許さなかったのだ。」⁷
 今、その男の妻を返しなさい。彼は預言者であり、彼があなたのために祈るとあなたは生きる。しかし、もし彼女を返さなければ、あなたとあなたに属するすべての者が必ず死ぬことを知らないさい。」⁸
 それでアビメレクは朝早く起きて、すべての召使いたちを呼び寄せ、これらのことをすべて彼らに話した。そして男たちは非常に恐れた。⁹
 それからアビメレクはアブラハムを召し寄せて彼に言った。「あなたは私たちに何をしたのですか?私があなたにどのような罪を犯したので、あなたは私と私の王国にこのような大きな罪をもたらしたのですか?」¹⁰
 あなたは私にしてはならないことをしました。」¹¹
 そしてアビメレクはアブラハムに尋ねた。「何があなたをこれをするように促したのですか?」¹¹
 アブラハムは答えた。「私は思いました。この場所には確かに神を恐れる心がないので、彼らは私の妻

のために私を殺すだろうと。¹²
 それに、彼女は本当に私の妹であり、父の娘ですが母の娘ではありません。そして彼女は私の妻になりました。¹³
 そして神が私を父の家からさまよわせたとき、私は彼女に言いました。『これはあなたが私に示すことのできる親切です。私たちが行くすべての場所で、私について「彼は私の兄です」と言いなさい。』」¹⁴
 それからアビメレクは羊と牛と男奴隷と女奴隷を取り、アブラハムに与え、彼の妻サラを彼に返した。¹⁵
 そしてアビメレクは言った。「見よ、私の土地はあなたの前にあります。あなたの好きなところに住みなさい。」¹⁶
 サラに対して彼は言った。「私はあなたの兄に銀千シェケルを与えました。これはあなたに対するすべての侮辱をあなたの前にいるすべての者の前で覆うためです。あなたは完全に無罪です。」¹⁷
 それからアブラハムは神に祈り、神はアビメレクと彼の妻、そして彼の女奴隷たちを癒し、彼らが再び子供を産むことができるようにした。¹⁸
 主がアブラハムの妻サラのためにアビメレクの家のすべての胎を閉じていたからである。

21 主はサラに語られたとおりに注意を払い、主はサラに約束したことを果たされた。²
 サラは身ごもり、神が彼に指定した時に、アブラハムに息子を産んだ。³
 アブラハムは、サラが彼に産んだ息子にイサクと名付けた。⁴
 アブラハムは、神の命令に従って、息子イサクが生後八日目に割礼を施した。⁵
 アブラハムは、息子イサクが生まれた時、百歳であった。⁶
 サラは言った、「神は私に笑いをもたらしてください。聞く者は皆、私の喜びを分かち合ってください。」⁷
 彼女はまた言った、「誰がアブラハムに、サラが子供を養うと言ったのでしょうか。それでも私は彼に老年で息子を与えました。」⁸
 子供は成長し、乳離れした。イサクが乳離れした日に、アブラハムは盛大な宴を開いた。⁹
 サラは、エジプト人ハガルがアブラハムに産んだ息子が嘲笑しているのを見た。¹⁰
 彼女はアブラハムに言った、「この奴隷の女とその息子を追い出してください。この奴隷の息子は、私の息子イサクと共に相続することはありません。」¹¹
 このことは、アブラハムにとって息子のために非常

創世記

に悩ましかった。¹²
しかし神はアブラハムに言われた、「少年とあなたの奴隷の女のことで悩んではならない。サラの言うことを聞きなさい。イサクを通してあなたの子孫が名を成すからです。¹³
私はまた、奴隷の女の息子を一つの国民にします。彼もあなたの子孫だからです。」¹⁴
翌朝早く、アブラハムはパンと水の皮袋を取り、ハガルに与え、彼女の肩に置いて、少年と共に送り出した。彼女は去り、ベエルシェバの荒野をさまよった。¹⁵
皮袋の水が尽きたとき、彼女は少年を一本の灌木の下に置いた。¹⁶
彼女は行って、彼の向かいに弓の射程ほど離れて座り、「私は少年が死ぬのを見ることができません。」と言った。そして彼女はそこに座り、声を上げて泣いた。¹⁷
神は少年の声を聞き、神の使いが天からハガルに呼びかけた、「ハガルよ、どうしたのか。恐れるな、神はそこにいる少年の声を聞いた。¹⁸
立ち上がり、少年を抱き上げ、手を取れ。私は彼を大いなる国民にする。」¹⁹
神は彼女に井戸を見せた。彼女は行って皮袋に水を満たし、少年に飲ませた。²⁰
神は少年と共におられた。彼は成長し、荒野に住み、弓を引く者となった。²¹
彼はバランの荒野に住み、彼の母はエジプトから彼に妻を見つけた。²²
その時期に、アビメレクとその軍の司令官ピコルがアブラハムに言った、「神はあなたのすべての行いにおいて共におられます。²³
今ここで神の前で私に誓ってください。私や私の子孫を欺かないと。私があなたに示したように、あなたが住んでいるこの土地にも同じ親切を示してください。」²⁴
アブラハムは言った、「私はそう誓います。」²⁵
その後、アブラハムはアビメレクに、アビメレクの僕たちが奪った井戸について苦情を言った。²⁶
アビメレクは答えた、「誰がこれをしたのか私は知りません。あなたは私に知らせておらず、私は今日初めてそれを聞きました。」²⁷
それでアブラハムは羊と牛を取り、アビメレクに与え、二人の男は契約を結んだ。²⁸
アブラハムは群れから七頭の雌羊を選んだ。²⁹
アビメレクはアブラハムに尋ねた、「あなたが別にしたこの七頭の雌羊にはどんな意味がありますか？」³⁰
彼は答えた、「この井戸を私が掘った証として、私の手からこの七頭の羊を受け取ってください。」³¹

それゆえ、その場所はベエルシェバと呼ばれました。³²
そこで二人は誓いを立てたからです。
ベエルシェバで契約を結んだ後、アビメレクとその軍の司令官ピコルはペリシテ人の地に戻った。³³
アブラハムはベエルシェバに一本のタマリスクの木を植え、そこで永遠の神、主の名を呼び求めた。³⁴
そしてアブラハムはペリシテ人の地に長い間住んだ。

22

これらの出来事の後、神はアブラハムを試みて彼に言われた。「アブラハムよ！」彼は答えて、「ここにおります」と言った。

神は言われた。「あなたの息子、あなたの愛するひとり子イサクを連れて、モリヤの地に行きなさい。そこで、私が示す一つの山の上で彼を燔祭として捧げなさい。」³
アブラハムは朝早く起き、ろばに鞍を置き、若者二人と息子イサクを連れて行った。彼は燔祭のための薪を割り、神が彼に告げた場所へと出発した。⁴
三日目に、アブラハムは目を上げて遠くにその場所を見た。⁵
アブラハムは若者たちに言った。「あなたたちはここでろばと一緒に待っていてください。私と少年はあそこへ行き、礼拝してからあなたたちのところへ戻ってくる。」⁶
アブラハムは燔祭のための薪を取り、それを息子イサクに背負わせ、自分は火とナイフを持った。二人は一緒に歩いて行った。⁷
イサクは父アブラハムに話しかけて言った。「お父さん？」彼は答えて、「はい、我が子よ？」イサクは言った。「火と薪はここにありますが、燔祭のための小羊はどこにありますか？」⁸
アブラハムは言った。「神が燔祭のための小羊を備えてくださるでしょう、我が子よ。」それで二人は一緒に進んで行った。⁹
彼らが神が示された場所に着いたとき、アブラハムはそこに祭壇を築き、薪を並べ、息子イサクを縛り、薪の上にある祭壇に彼を置いた。¹⁰
アブラハムは手を伸ばし、息子を殺そうとしてナイフを取った。¹¹
しかし、主の使いが天から彼に呼びかけて言った。「アブラハム、アブラハム！」彼は答えて、「ここにおります」と言った。¹²
その使いは言った。「その少年に手を下してはならない。何もしてはならない。今、あなたが神を恐れることを私は知った。あなたは自分の息子、ひとり子を惜しまなかったからだ。」¹³
アブラハムは目を上げて、角をやぶに引っ掛けている雄羊を見た。彼は行ってその雄羊を取り、息子の

創世記

代わりに燔祭として捧げた。¹⁴
アブラハムはその場所を「主が備えてくださる」と名付けた。今日に至るまで、「主の山の上で備えられる」と言われている。¹⁵
主の使いは再び天からアブラハムに呼びかけた。¹⁶
そして言った。「私は自分自身にかけて誓う、と主は宣言する。あなたがこれを行い、あなたの息子、ひとり子を惜しまなかったので、¹⁷
私は確かにあなたを祝福し、あなたの子孫を天の星のように、海辺の砂のように大いに増やすであろう。あなたの子孫は敵の門を所有するであろう。¹⁸
そしてあなたの子孫を通して地のすべての国民は祝福を受けるであろう。あなたが私の声に従ったからである。」¹⁹
それからアブラハムは若者たちのところに帰り、彼らは一緒にベエルシェバへ出発し、アブラハムはそこに住んだ。²⁰
これらのことの後、アブラハムは告げられた。「ミルカもまた、あなたの兄弟ナホルに子供を産んだ。²¹
ウズ、長男、彼の兄弟ブズ、アラムの父ケムエル、²²
またケセド、ハヅ、ビルダシュ、イドラフ、ベトエル。」²³
ベトエルはリベカの父となった。ミルカはこれら八人の息子をアブラハムの兄弟ナホルに産んだ。²⁴
彼の側女であるレウマもまた、テバ、ガハム、タハシュ、マアカを産んだ。

23 サラの生涯は百二十七年であった。これがサラの生きた年である。²
サラはカナンの地、キリヤテ・アルバ（すなわちヘbron）で死んだ。アブラハムはサラのために嘆き悲しんだ。³
アブラハムは死んだ妻のそばから立ち上がり、ヒッタイト人に言った。⁴
「私はあなたがたの間で寄留者であり、異邦人です。ここに墓地として土地を売ってください。私は死んだ者を私の目の前から葬りたいのです。」⁵
ヒッタイト人はアブラハムに答えて言った。⁶
「我が主よ、お聞きください。あなたは我々の間で神の君です。あなたの死んだ者を我々の最良の墓に葬りなさい。誰もあなたに自分の墓を拒む者はいません。」⁷
アブラハムは立ち上がり、その地の人々、ヒッタイト人に敬意を表してお辞儀をした。⁸
彼は彼らに言った。「もしあなたがたが私の死んだ者を私の目の前から葬ることを許してくださるなら、私のためにゾハルの子エフロンに取り成してください。⁹

彼が持っているマクベラの洞窟を、彼の畑の端にあるものを、私に売ってください。あなたがたの間で墓地として、それを完全な値段で私に売ってください。」¹⁰
エフロンはヒッタイト人の中に座っており、彼の町の門に來たすべてのヒッタイト人の聞いているところでアブラハムに答えて言った。¹¹
「いいえ、我が主よ、お聞きください。私は畑をあなたに差し上げます。また、その中の洞窟も差し上げます。私の民の前で、それをあなたに与えます。あなたの死んだ者を葬りなさい。」¹²
アブラハムは再びその地の人々の前でお辞儀をした。¹³
彼は彼らの聞いているところでエフロンに言った。
「もしよろしければ、私の言うことを聞いてください。私は畑の値段を支払います。それを受け取ってください。そうすれば、私はそこに私の死んだ者を葬ることができます。」¹⁴
エフロンはアブラハムに答えて言った。¹⁵
「我が主よ、私の言うことを聞いてください。その土地は銀四百シェケルの価値があります。それがあなたと私の間で何になるのでしょうか。あなたの死んだ者を葬りなさい。」¹⁶
アブラハムはエフロンの言うことに同意し、ヒッタイト人の聞いているところで彼に銀四百シェケルを商人の間で通用する重さで量って渡した。¹⁷
こうして、マムレに近いマクベラのエフロンの畑、洞窟のある畑、そしてその境界内のすべての木々が、¹⁸
その町の門に入ったすべてのヒッタイト人の前で、アブラハムの所有物として譲渡された。¹⁹
この後、アブラハムはカナンの地、マムレに近いマクベラの畑の洞窟に妻サラを葬った。²⁰
こうして、その畑とその中の洞窟は、ヒッタイト人によってアブラハムに墓地として譲渡された。

24 アブラハムは年を取り、年齢が進んでいたが、主は彼をあらゆる面で祝福しておられた。²
アブラハムは、彼の家の年長のしもべで、彼の所有物を管理している者に言った。「どうかあなたの手を私の腿の下に置いてください。」³
そして、私はあなたに、私が住んでいるカナン人の娘たちから私の息子のために妻を選ばないように、天の神、地の神である主によって誓わせます。⁴
しかし、あなたは私の故郷と私の親族のところへ行き、私の息子イサクのために妻を見つけなさい。」⁵
しもべは彼に尋ねた。「もしその女性が私と一緒にこの地に戻ることを望まない場合、あなたの息子を

創世記

あなたが来た地に連れて行くべきでしょうか？」⁶
「私の息子をそこに連れて行かないように気をつけなさい」とアブラハムは答えた。⁷
「私の父の家と私の故郷から私を連れ出し、私に語り、私に誓って、『あなたの子孫にこの地を与える』と言われた天の神、主が、あなたの前に御使いを送ってくださり、あなたはそこから私の息子のために妻を見つけるでしょう。⁸
しかし、その女性があなたについて行くことを望まない場合、あなたはこの私の誓いから解放されます。ただし、私の息子をそこに連れて行かないでください。』」⁹
それで、しもべは彼の主人アブラハムの腿の下に手を置き、この件について彼に誓った。¹⁰
それから、しもべは彼の主人の十頭のラクダを取り、主人の良い品々を持って出発した。彼はメソポタミア、ナホルの町へ向かった。¹¹
彼は夕方、水を汲みに出る女性たちの時間に、町の外の井戸のそばにラクダを落ち着かせた。¹²
そして彼は祈った。「私の主人アブラハムの神、主よ、どうか今日私に成功を与え、私の主人アブラハムに親切を示してください。¹³
ご覧ください、私は泉のそばに立っており、町の人々の娘たちが水を汲みに来ています。¹⁴
私が『どうかあなたの瓶を下げて、私に飲ませてください』と言う若い女性が、『飲んでください、そして私はあなたのラクダにも水を飲ませます』と答えるなら、その女性があなたがあなたのしもべイサクのために選ばれた方です。これによって、あなたが私の主人に親切を示されたことを知るでしょう。¹⁵
」
彼が祈り終える前に、リベカが肩に瓶を持って出てきた。彼女はアブラハムの兄弟ナホルの妻ミルカの息子ベトエルの娘であった。¹⁶
その若い女性は非常に美しく、処女であり、男性と交わったことがなかった。彼女は泉に下り、瓶を満たして上がってきた。¹⁷
しもべはすぐに彼女に近づき、「どうかあなたの瓶から少し水をください」と言った。¹⁸
「飲んでください、私の主よ」と彼女は言い、すぐに瓶を手にかけて彼に飲ませた。¹⁹
彼に飲ませた後、彼女は言った。「あなたのラクダにも水を汲んで、飲み終わるまで飲ませます。」²⁰
それで彼女はすぐに瓶を水槽に空け、井戸に走って戻り、すべてのラクダのために十分な水を汲んだ。²¹
その男は彼女をじっと見て、主が彼の旅を成功させたかどうかを黙って見守っていた。²²
ラクダが飲み終わったとき、その男は半シェケルの

重さの金の鼻輪と十シェケルの重さの金の腕輪を取り出した。²³
そして彼は尋ねた。「あなたは誰の娘ですか？どうか教えてください。私たちが夜を過ごすための場所があなたの父の家にありますか？」²⁴
彼女は答えた。「私はナホルにミルカが産んだ息子ベトエルの娘です。」²⁵
そして彼女は付け加えた。「私たちにはたくさんのわらと飼料があり、夜を過ごす場所もあります。」²⁶
それからその男はひざまずき、主を礼拝した。²⁷
言った。「私の主人アブラハムの神、主が祝福されますように。彼は私の主人への親切と誠実を捨てられませんでした。私に関しては、主が私の主人の親族の家に導いてくださいました。」²⁸
その若い女性は走って行き、これらのことを彼女の母の家に知らせた。²⁹
リベカにはラバンという兄がいて、彼は泉のところにいる男のところに走って行った。³⁰
彼が鼻輪を見て、彼の妹の腕にある腕輪を見て、リベカがその男が彼女に言ったことを話したのを聞くと、彼はその男のところにいき、泉のそばのラクダの近くに立っているのを見つけた。³¹
「主に祝福された方よ、来てください」と彼は言った。「なぜここに立っているのですか？私は家とラクダのための場所を整えました。」³²
それでその男は家に行き、ラクダは荷を下ろされた。ラクダのためにわらと飼料が持ち込まれ、彼と一緒にいた人々の足を洗うための水も持ち込まれた。³³
彼の前に食べ物が置かれたが、彼は言った。「私が言わなければならないことを話すまで食べません。」³⁴
」ラバンは言った。「話してください。」³⁵
彼は始めた。「私はアブラハムのしもべです。主は私の主人を大いに祝福し、彼は裕福になりました。彼は彼に羊の群れと牛の群れ、銀と金、男と女のしもべ、ラクダとロバを与えました。³⁶
私の主人の妻サラは彼に老年で息子を産み、彼は彼に所有するすべてを与えました。³⁷
私の主人は私に誓わせました。『あなたは私が住んでいる地のカナン人の娘たちから私の息子のために妻を取ってはならない。³⁸
しかし、あなたは私の父の家族と私の親族のところにいき、私の息子のために妻を見つけなさい。』」³⁹
それから私は私の主人に尋ねました。『もしその女性が私について来ない場合はどうしますか？』⁴⁰
彼は答えました。『私が歩んできた主は、あなたと共に御使いを送り、あなたの旅を成功させ、私の親族と私の父の家族から私の息子のために妻を見つけることができるようになります。』」⁴¹

創世記

あなたが私の家族のところに行ったとき、彼らが彼女をあなたに与えることを拒否するのなら、あなたは私の誓いから解放されます。』⁴²

「今日、私は泉に来て、祈りました。『私の主人アブラハムの神、主よ、もしあなたが望むなら、私が来た旅を成功させてください。』⁴³

ご覧ください、私は泉のそばに立っています。もし若い女性が水を汲みに来て、私が彼女に「どうかあなたの瓶から少し水を飲ませてください」と言うのなら、⁴⁴

彼女が「飲んでください、そして私はあなたのラクダにも水を汲みます」と答えるのなら、その女性が主が私の主人の息子のために選ばれた方です。』⁴⁵

「私が心の中で祈り終える前に、リベカが肩に瓶を持って出てきました。彼女は泉に下り、水を汲みました。私は彼女に『どうか私に飲ませてください』⁴⁶

と言いました。彼女がすぐに肩から瓶を下げて言いました。『飲んでください、そして私はあなたのラクダにも水を汲みます。』それで私は飲み、彼女はラクダにも水を汲みました。⁴⁷

私は彼女に尋ねました。『あなたは誰の娘ですか？』彼女は言いました。『ミルカがナホルに産んだ息子ベトエルの娘です。』それで私は彼女の鼻に輪を入れ、彼女の手首に腕輪をはめました。⁴⁸

私はひざまずき、主を礼拝しました。私は私の主人アブラハムの神、主を賛美しました。彼は私の主人の兄弟の娘を彼の息子のために取るために私を正しい道に導いてくださいました。⁴⁹

今、あなたが私の主人に親切と誠実を示すのなら、私に教えてください。そうでないなら、私に知らせてください。そうすれば、私はどちらに向かうべきかを知ることができます。』⁵⁰

ラバンとベトエルは答えました。「この件は主から出たものです。私たちはあなたに良いとも悪いとも言うことはできません。⁵¹

ここにリベカがいます。彼女を連れて行き、あなたの主人の息子の妻としなさい。主が言われたとおり。に。」⁵²

アブラハムのしもべは彼らの言葉を聞いたとき、地にひれ伏して主を礼拝しました。⁵³

それからしもべは銀と金の宝飾品と衣服を取り出し、リベカに与えました。また、彼女の兄弟と母にも貴重な贈り物を与えました。⁵⁴

それから彼と彼と共にいた人々は食べて飲み、その夜を過ごしました。朝になると、彼は言いました。「私を私の主人のもとに送り出してください。」⁵⁵

しかし彼女の兄弟と母は言いました。「若い女性を数日、例えば十日ほど私たちと共にいさせてくださ

い。それから彼女は行くことができます。」⁵⁶

しかし彼は彼らに言いました。「主が私の旅を成功させてくださったので、私を遅らせないでください。私を送り出してください。そうすれば、私は私の主人のもとに行くことができます。」⁵⁷

それで彼らは言いました。「若い女性を呼んで、彼女に尋ねましょう。」⁵⁸

それで彼らはリベカを呼び、彼女に尋ねました。「あなたはこの男と一緒にいきますか？」彼女は言いました。「私は行きます。」⁵⁹

それで彼らはリベカ、彼らの妹を彼女の乳母とアブラハムのしもべと彼の人々と共に送り出しました。⁶⁰

そして彼らはリベカを祝福して彼女に言いました。「私たちの妹よ、あなたが数万の数千になり、あなたの子孫が彼らを憎む者の門を所有しますように。」⁶¹

それからリベカと彼女の侍女たちは準備を整え、ラクダに乗ってその男に従いました。それでもべはリベカを連れて出発しました。⁶²

さて、イサクはベエル・ラハイ・ロイから来ていました。彼はネゲブに住んでいました。⁶³

彼は夕方に野に出て黙想し、目を上げると、ラクダが近づいてくるのを見ました。⁶⁴

リベカも目を上げてイサクを見ました。彼女はラクダから降り、⁶⁵

しもべに尋ねました。「私たちに会いに来る野にいるあの男は誰ですか？」しもべは答えました。「彼は私の主人です。」それで彼女はベールを取って自分を覆いました。⁶⁶

それからしもべはイサクに彼がしたすべてのことを話しました。⁶⁷

イサクは彼女を母サラの天幕に連れて行き、彼女と結婚しました。彼女は彼の妻となり、彼は彼女を愛しました。そしてイサクは母の死後、慰めを得ました。

25 アブラハムは再び妻をめとった。彼女の名はケトウラであった。²

彼女は彼にジムラン、ヨクシャン、メダン、ミディアン、イシュバック、シュアの子を産んだ。³

ヨクシャンはシェバとデダンの父となった。デダンの子孫はアシュリム、レトシム、レウミムであった。⁴

ミディアンの子はエファ、エフェル、ハノク、アビダ、エルダアであった。これらはすべてケトウラの子孫であった。⁵

アブラハムは自分の持ち物をすべてイサクに与えた。⁶

創世記

しかし、側女たちの子たちには、アブラハムは生きて
いるうちに贈り物を与え、彼の子イサクから遠ざ
けて、東の地に送った。⁷
アブラハムの生涯の全期間は**175年**であった。⁸
アブラハムは息を引き取り、老齢で満ち足りた年齢
で死に、彼の民に加えられた。⁹
彼の息子たちイサクとイシュマエルは、彼をマクベ
ラの洞穴に葬った。それはヒッタイト人ツォハルの子
エフロン¹⁰の畑にあり、マムレの近くににあった。
その畑はアブラハムがヘテの子孫から購入したもの
であった。そこにアブラハムは妻サラと共に葬られ
た。¹¹
アブラハムの死後、神は彼の子イサクを祝福し、イ
サクはベエル・ラハイ・ロイの近くに住んだ。¹²
これはアブラハムの子イシュマエルの家系の記録で
ある。イシュマエルはエジプト人でサラの女奴隷ハ
ガルがアブラハムに産んだ子である。¹³
イシュマエルの息子たちの名は、彼らの誕生順に次
の通りである。イシュマエルの長子ネバヨテ、ケダ
ル、アドベエル、ミブサム、¹⁴
ミシュマ、ドウマ、マツサ、¹⁵
ハダド、テマ、エトウル、ナフィシュ、ケデマであ
る。¹⁶
これらはイシュマエルの息子たちであり、彼らの村
と宿营地による名である。彼らはそれぞれの氏族に
従って十二の部族の長であった。¹⁷
イシュマエルは**137年**生きた。彼は息を引き取り、
死に、彼の民に加えられた。¹⁸
彼の子孫はハビラからシュルに至るまで、エジプト
の東、アッシリアに向かう道に住んだ。彼らはすべ
ての親族に対して敵対して住んでいた。¹⁹
これはアブラハムの子イサクの家系の記録である。
アブラハムはイサクを生んだ。²⁰
イサクは**40歳**のとき、パダン・アラムのアラム人
ベトエルの娘で、アラム人ラバンの妹リベカを妻に
迎えた。²¹
イサクは妻のために主に祈った。彼女が不妊であっ
たからである。主は彼の祈りに答え、彼の妻リベカ
は身ごもった。²²
子供たちは彼女の中で争った。彼女は言った、「も
しそうなら、なぜ私はこのような状態にいるのか？」
それで彼女は主に尋ねに行った。²³
主は彼女に言われた、「二つの国があなたの胎内に
あり、二つの民があなたの体から分かれる。一つの
民は他の民よりも強く、年長者は年少者に仕える。
」²⁴
彼女が出産する時が来たとき、彼女は双子を産んだ
。²⁵
最初に出てきたのは赤く、全身が毛の衣のようであ

った。彼らは彼をエサウと名付けた。²⁶
その後、彼の兄弟が出てきた。彼の手はエサウのか
かをつかんでいた。それで彼はヤコブと名付けら
れた。イサクは彼らを産んだとき**60歳**であった。²⁷
少年たちは成長し、エサウは巧みな狩人、野の人と
なり、ヤコブは穏やかな人で、天幕に住んでいた。²⁸
イサクはエサウを愛した。彼が狩りの獲物を好んだ
からである。しかしリベカはヤコブを愛した。²⁹
ある時、ヤコブが煮物を作っていたとき、エサウが
野から帰ってきて疲れ果てていた。³⁰
彼はヤコブに言った、「どうかその赤い煮物を食べ
させてくれ、私は疲れ果てている。」それゆえ、彼
はエドムと呼ばれた。³¹
ヤコブは言った、「まずあなたの長子の権利を私に
売らない。」³²
エサウは言った、「私は死にそうだ。長子の権利が
私に何の役に立つのか？」³³
ヤコブは言った、「まず私に誓いなさい。」それで
彼は彼に誓い、長子の権利をヤコブに売った。³⁴
それからヤコブはエサウにパンとレンズ豆の煮物を
与えた。彼は食べて飲み、立ち上がって去った。こ
のようにしてエサウは長子の権利を軽んじた。

26 さて、アブラハムの時代に起こった以前の
飢饉とは別に、その地に飢饉があった。イ
サクはゲラルのペリシテ人の王アビメレク
のもとに行った。²
主がイサクに現れ、言われた。「エジプトに下つて
はならない。私があなたに告げる地にとどまりな
さい。³
しばらくこの地に住み、私はあなたと共にいて、あ
なたを祝福しよう。あなたとあなたの子孫に、これ
らすべての地を与え、あなたの父アブラハムに誓っ
た誓いを成就しよう。⁴
私はあなたの子孫を空の星のように増やし、彼らに
これらすべての地を与え、あなたの子孫を通して地
上のすべての国民が祝福を受けるであろう。⁵
それはアブラハムが私に従い、私の命令、掟、律法
を守ったからである。」⁶
こうして、イサクはゲラルにとどまった。⁷
その場所の人々が彼の妻について尋ねたとき、彼は
「彼女は私の妹です」と言った。彼は「彼女は私の
妻です」と言うことを恐れた。彼は「この場所の人
々がリベカのために私を殺すかもしれない」と考え
たからである。彼女は美しかった。⁸
イサクがそこに長くいた後、ペリシテ人の王アビメ
レクは窓から見て、イサクが彼の妻リベカを愛撫し
ているのを見た。⁹

創世記

そこでアビメレクはイサクを呼び寄せて言った。「彼女は確かにあなたの妻です！なぜ『彼女は私の妹です』と言ったのですか？」イサクは答えた。「彼女のために殺されるかもしれないと思ったからです。」¹⁰

するとアビメレクは言った。「あなたは何をしてくれたのですか？人々の一人があなたの妻と寝てしまうかもしれない、私たちに罪をもたらすところでした。」¹¹

そこでアビメレクはすべての人々に命じて言った。「この男や彼の妻に害を加える者は、必ず死刑にされる。」¹²

イサクはその地に作物を蒔き、その年に百倍の収穫を得た。主が彼を祝福されたからである。¹³

その人は富を得、その富は増え続け、非常に裕福になった。¹⁴

彼は多くの羊の群れ、牛の群れ、そして多くの使用人を持っていたので、ペリシテ人は彼を羨んだ。¹⁵ 彼の父アブラハムの時代に彼の父の使用人たちが掘ったすべての井戸を、ペリシテ人は土で埋めた。¹⁶ そこでアビメレクはイサクに言った。「私たちから離れてください。あなたは私たちよりも強くなりすぎました。」¹⁷

それでイサクはそこを去り、ゲラルの谷に天幕を張り、そこに住んだ。¹⁸

イサクは彼の父アブラハムの時代に掘られた井戸を再び掘り、ペリシテ人がアブラハムの死後にそれらを埋めたので、彼はそれらに彼の父がつけた同じ名前をつけた。¹⁹

イサクの使用人たちは谷で掘り、新鮮な水の泉を見つけた。²⁰

しかし、ゲラルの牧者たちはイサクの牧者たちと争い、「その水は私たちのものだ」と言った。それで彼はその井戸をエセクと名付けた。彼らが彼と争ったからである。²¹

彼らは別の井戸を掘ったが、それについても争った。それで彼はそれをシトナと名付けた。²²

彼はそこから移動し、別の井戸を掘ったが、それについては争わなかった。彼はそれをレホボトと名付け、「今、主が私たちに場所を与え、私たちはこの地で繁栄するだろう」と言った。²³

彼はそこからベエル・シェバに移動した。²⁴

その夜、主が彼に現れて言われた。「私はあなたの父アブラハムの神である。恐れるな、私はあなたと共にいる。私のしもべアブラハムのために、私はあなたを祝福し、あなたの子孫を増やす。」²⁵

イサクはそこに祭壇を築き、主の名を呼んだ。そこに彼は天幕を張り、彼の使用人たちは井戸を掘った。²⁶

その間に、アビメレクは彼の助言者アフザトと彼の軍の司令官ピコルと共にゲラルから彼のもとに来了。²⁷

イサクは彼らに言った。「あなたたちは私に敵対し、私を追い出したのに、なぜ私のもとに来了のですか？」²⁸

彼らは答えた。「主があなたと共にいることをはつきりと見たので、私たちは『今、私たちとあなたの間に誓いの契約を結ぼう』と言いました。私たちとあなたの間に契約を結びましょう。」²⁹

私たちがあなたに触れず、あなたに良いことだけをし、平和に送り出したように、あなたも私たちに害を加えないように。あなたは今、主によって祝福されています。」³⁰

それでイサクは彼らのために宴会を開き、彼らは食べて飲んだ。³¹

翌朝早く、彼らは誓いを交わした。それからイサクは彼らを送り出し、彼らは平和に去った。³²

その同じ日に、イサクの使用人たちは彼に来て、彼らが掘った井戸について知らせた。彼らは言った。「水を見つけました！」³³

彼はそれをシバと名付けた。それゆえ、その町は今日までベエル・シェバと呼ばれている。³⁴

エサウが四十歳のとき、彼はヒッタイトのベエリの娘ユディトと、ヒッタイトのエロンの娘バセマトを妻に迎えた。³⁵

彼らはイサクとリベカに悲しみをもたらした。

27 イサクが年老いて目がかすんで見えなくなったとき、彼は長男エサウを呼び、「わが子よ」と言った。エサウは「ここにおります」と答えた。²

イサクは言った、「見よ、私は年老いており、自分の死ぬ日を知らない。」³

今、あなたの道具、矢筒と弓を取り、野に出て私のために獲物を狩ってきなさい。⁴

私が愛するような美味しい食事を作り、私に持ってきて食べさせなさい。そうすれば、私が死ぬ前にあなたを祝福することができる。」⁵

さて、リベカはイサクが息子エサウに話しているのを聞いていた。エサウが獲物を狩りに野に出て行ったとき、⁶

リベカは息子ヤコブに言った、「見よ、私はあなたの父が兄エサウに言うのを聞きました、⁷

『私に獲物を持ってきて、私が食べ、死ぬ前に主の前であなたを祝福するために、美味しい食事を準備しなさい。』⁸

今、わが子よ、私が命じることを注意深く聞きなさい。⁹

群れの中から良い若いヤギを二頭持ってきなさい。

創世記

そうすれば、私はそれをあなたの父のために、彼が好きなように美味しい食事を準備します。¹⁰
それをあなたの父に持って行き、食べさせなさい。
そうすれば、彼が死ぬ前にあなたを祝福することができる。」¹¹
ヤコブは母リベカに言った、「しかし、兄エサウは毛深い人で、私は滑らかな肌をしています。」¹²
おそらく父が私に触れるでしょう。そうすれば、私は彼に欺く者のように見え、祝福ではなく呪いを自分に招くことになります。」¹³
彼の母は彼に言った、「あなたの呪いは私にかかるでしょう、わが子よ。ただ私の声に従い、それを私のために持ってきなさい。」¹⁴
彼は行ってそれを持ってきて母に渡し、彼女は父が愛するように美味しい食事を準備した。¹⁵
それからリベカは家にあったエサウの最上の衣服を取り、彼女の若い息子ヤコブに着せた。¹⁶
彼女はまた、ヤギの皮で彼の手と首の滑らかな部分を覆った。¹⁷
それから彼女は息子ヤコブに美味しい食事と彼女が作ったパンを渡した。¹⁸
彼は父のもとに行き、「父よ」と言った。彼は言った、「ここにいる。お前は誰だ、わが子よ？」¹⁹
ヤコブは父に言った、「私はあなたの長男エサウです。あなたが命じたとおりにしました。どうぞ起きて私の獲物を食べ、私を祝福してください。」²⁰
イサクは息子に尋ねた、「どうしてそんなに早く見つけたのか、わが子よ？」彼は答えた、「主なるあなたの神が私に成功を与えてくださったからです。」²¹
それからイサクはヤコブに言った、「どうか近くに来て、わが子よ、お前が本当にわが子エサウかどうか知るために触れさせてくれ。」²²
ヤコブは父イサクの近くに行き、彼は彼に触れて言った、「声はヤコブの声だが、手はエサウの手だ。」²³
彼は彼を認識しなかった。彼の手が兄エサウの手のように毛深かったからである。それで彼は彼を祝福した。²⁴
「お前は本当にわが子エサウか？」彼は尋ねた。「私はそうです」と彼は答えた。²⁵
それから彼は言った、「それを私に持ってきて、わが子の獲物を食べ、あなたを祝福しよう。」彼はそれを彼に持って行き、彼は食べた。また彼は彼にワインを持って行き、彼は飲んだ。²⁶
それから父イサクは彼に言った、「どうか近くに来て、わが子よ、私にキスをしてくれ。」²⁷
彼は近づいて彼にキスをした。イサクは彼の衣服の香りを嗅ぎ、彼を祝福して言った、「見よ、わが子

の香りは主が祝福された野の香りのようだ。²⁸
神が天の露と地の豊かさを与え、穀物と新しいワインの豊かさを与えてくださいますように。²⁹
国々があなたに仕え、民があなたにひれ伏しますように。あなたの兄弟たちの上に立ち、あなたの母の息子たちがあなたにひれ伏しますように。あなたを呪う者は呪われ、あなたを祝福する者は祝福されま

すように。」³⁰
さて、イサクがヤコブを祝福し終え、ヤコブが父の前からほとんど離れたとき、兄エサウが狩りから帰ってきた。³¹
彼もまた美味しい食事を準備し、父に持って行った。それから彼は言った、「父よ、起きてわが子の獲物を食べ、私を祝福してください。」³²
父イサクは彼に尋ねた、「お前は誰だ？」彼は言った、「私はあなたの息子、あなたの長男エサウです。」³³
それからイサクは激しく震え、「では、誰が獲物を狩り、私に持ってきたのか？私はあなたが来る前にすべてを食べ、彼を祝福した。そして彼は確かに祝福されるだろう！」³⁴
エサウが父の言葉を聞いたとき、非常に大きく苦い叫び声を上げて父に言った、「私も祝福してください、私も、父よ！」³⁵
しかし彼は言った、「あなたの兄弟が欺いてきて、あなたの祝福を奪った。」³⁶
エサウは言った、「彼はヤコブと名付けられるのが正しいではないか？彼はこの二度も私を裏切った。彼は私の長子の権利を奪い、今また私の祝福を奪った。」それから彼は尋ねた、「私のために祝福を残していないのですか？」³⁷
イサクはエサウに答えた、「見よ、私は彼をあなたの主人とし、彼のすべての親族を彼の僕とした。そして穀物と新しいワインで彼を支えた。では、わが子よ、あなたのために何ができるのか？」³⁸
エサウは父に言った、「父よ、祝福は一つしかないのですか？私も祝福してください、私も、父よ！」それからエサウは声を上げて泣いた。³⁹
父イサクは彼に答えた、「見よ、地の豊かさから離れたところにあなたの住まいがあり、天の露からも離れている。」⁴⁰
あなたは剣によって生き、兄弟に仕える。しかし、あなたが不満を抱くとき、彼のくびきからあなたの首を解くでしょう。」⁴¹
それでエサウは父が彼に与えた祝福のためにヤコブに恨みを抱いた。エサウは心の中で言った、「父の喪の日が近づいている。そのとき私は弟ヤコブを殺すだろう。」⁴²
長男エサウの言葉がリベカに報告されたとき、彼女

創世記

は若い息子ヤコブを呼び、「見よ、あなたの兄エサウはあなたを殺そうと計画して自分を慰めている。

43
今、わが子よ、私の声に従い、すぐにハランの私の兄ラバンのもとに逃げなさい。 44

あなたの兄の怒りが収まるまで、しばらく彼と一緒にいなさい。 45

あなたの兄があなたに対する怒りを忘れ、あなたが彼にしたことを忘れるとき、私はあなたをそこから呼び戻します。なぜ私は一日にあなたたち二人を失わなければならないのですか？」 46

そしてリベカはイサクに言った、「ヘテの娘たちのために生きることが嫌になりました。もしヤコブがこの地の娘たちのようにヘテの娘たちから妻を取るなら、私の人生は何の価値があるのでしょうか？」

28 イサクはヤコブを呼び寄せて彼を祝福し、命じて言った。「カナンの娘たちから妻を迎えてはならない。 2

立って、パダン・アラムへ行き、あなたの母の父ベトエルの家に行きなさい。そこから、あなたの母の兄ラバンの娘たちの中から妻を選びなさい。 3

全能の神があなたを祝福し、あなたを多産にし、あなたの子孫を増やし、あなたが多くの民になるように。 4

神がアブラハムに与えた地、あなたが寄留者として住んでいる地をあなたとあなたの子孫に与えるために、アブラハムの祝福をあなたに与えられますように。」 5

それからイサクはヤコブを送り出し、彼はパダン・アラムへ旅立った。アラム人ベトエルの子ラバン、リベカの兄、ヤコブとエサウの母のもとへ行った。 6

さて、エサウはイサクがヤコブを祝福し、パダン・アラムへ妻を見つけに送り出したこと、そして彼に「カナンの女をめとってはならない」と命じたことを見た。 7

ヤコブが父と母の言うことを聞いてパダン・アラムへ行ったことも見た。 8

エサウはカナンの女たちが父イサクにとって不快であることを理解した。 9

それで彼はイシュマエルのもとへ行き、ネバヨテの妹でアブラハムの子イシュマエルの娘マハラテを、すでに持っていた妻たちに加えて妻とした。 10

ヤコブはベエル・シェバを出発し、ハランへ向かった。 11

彼はある場所に着き、日が沈んだのでそこで一夜を過ごすことにした。彼はその場所の石の一つを取って枕にし、横になって眠った。 12

彼は夢を見た。地に立てられた梯子があり、その頂

は天に達していた。そして神の使いたちがそれを上り下りしていた。 13

その上に主が立っておられ、言われた。「わたしは主、あなたの父アブラハムの神、イサクの神である。あなたが横たわっている地をあなたとあなたの子孫に与える。 14

あなたの子孫は地の塵のようになり、西へ東へ北へ南へと広がる。地上のすべての民族はあなたとあなたの子孫によって祝福される。 15

わたしはあなたと共にいて、あなたが行く所どこであろうとあなたを守り、この地に戻らせる。わたしがあなたに約束したことを果たすまで、決してあなたを離れない。」 16

ヤコブは眠りから覚めて言った。「確かに主はこの場所におられるのだが、私はそれを知らなかった。 17

」彼は恐れを抱いて言った。「この場所はなんと恐ろしいことか！ここは神の家であり、天の門である。 18

」翌朝早く、ヤコブは枕にしていた石を取り、それを柱として立て、その上に油を注いだ。 19

彼はその場所をベテルと名付けたが、その町の名は以前はルズであった。 20

ヤコブは誓いを立てて言った。「もし神が私と共にいて、この旅路で私を守り、食べ物を与え、衣服を与えてくださるなら、 21

無事に父の家に帰ることができるなら、主は私の神となるでしょう。 22

そして、私が柱として立てたこの石は神の家となり、あなたが私に与えてくださるすべてのものの十分の一をあなたに捧げます。」

29 ヤコブは旅を続け、東の民の地に到着した。 2

彼は野に井戸があり、その近くに三つの羊の群れが横たわっているのを見た。群れはその井戸から水を飲んでいて。井戸の口を覆う石は大きかった。 3

すべての群れが集まると、羊飼いたちは井戸の口から石を転がして羊に水を飲ませ、その後、井戸の口に石を戻した。 4

ヤコブは羊飼いたちに尋ねた。「兄弟たち、どこから来たのですか？」彼らは答えた。「ハランから来ました。」 5

彼は彼らに尋ねた。「ナホルの孫ラバンを知っていますか？」彼らは答えた。「知っています。」 6

ヤコブはさらに尋ねた。「彼は元気ですか？」彼は言った。「はい、元気です。そして、ここに彼の娘ラケルが羊を連れてきます。」 7

ヤコブは言った。「見てください、まだ日が高いで

創世記

す。家畜を集める時間ではありません。羊に水を飲ませて、再び牧場に連れて行きなさい。」⁸

しかし彼らは答えた。「すべての群れが集まって、井戸の口から石が転がされるまでできません。その後で羊に水を飲ませます。」⁹

彼がまだ彼らと話している間に、ラケルが父の羊を連れてきた。彼女は羊飼いだっただ。¹⁰

ヤコブはラケル、彼の叔父ラバンの娘とラバンの羊を見たとき、井戸の口から石を転がして叔父の羊に水を飲ませた。¹¹

ヤコブはラケルに口づけし、声を上げて泣いた。¹²

ヤコブはラケルに、自分が彼女の父の親戚であり、リベカの息子であることを説明した。彼女は走って父に知らせた。¹³

ラバンは、姉の息子ヤコブのことを聞くと、急いで彼に会いに行った。彼を抱きしめ、口づけし、家に連れて行った。ヤコブはこれらの出来事をすべて話した。¹⁴

ラバンは彼に言った。「確かにあなたは私の骨肉です。」そしてヤコブは彼と一緒に一ヶ月滞在した。¹⁵

その後、ラバンはヤコブに言った。「あなたが私の親戚だからといって、何もなしに私のために働くべきでしょうか？あなたの賃金を教えてください。」¹⁶

ラバンには二人の娘がいた。長女はレア、次女はラケルと名付けられた。¹⁷

レアは目が弱かったが、ラケルは姿も顔も美しかった。¹⁸

ヤコブはラケルを愛していたので、「あなたの次女ラケルのために七年間仕えます」と言った。¹⁹

ラバンは答えた。「彼女を他の男に与えるよりも、あなたに与える方が良いです。私と一緒にいなさい。」²⁰

ヤコブはラケルのために七年間仕えたが、彼女への愛のためにそれはほんの数日のように感じられた。²¹

その後、ヤコブはラバンに言った。「私の妻をください。私の期間が満了したので、彼女と一緒にになりたいのです。」²²

そこでラバンはその場所の人々を集め、宴会を開いた。²³

しかし夕方になると、彼は娘レアを連れてきて、ヤコブのもとに行かせた。ヤコブは彼女と一緒にになった。²⁴ ラバンは娘レアに侍女ジルバを与えた。²⁵ 朝になると、そこにいたのはレアだった！そこでヤコブはラバンに言った。「私に何をしたのですか？ラケルのために仕えたではありませんか？なぜ私を欺いたのですか？」²⁶

ラバンは言った。「ここでは、年下の娘を年上の娘の前に嫁がせる習慣はありません。」²⁷

この娘の婚礼の週を終えなさい。そうすれば、もう一人の娘も与えます。その代わりにさらに七年間働いてください。」²⁸

ヤコブはそうした。彼はレアとの週を終え、その後ラバンは娘ラケルを彼の妻として与えた。²⁹

ラバンは娘ラケルに侍女ビルハを与えた。³⁰

ヤコブはラケルとも一緒にになり、レアよりもラケルを愛した。彼はラバンのためにさらに七年間働いた。³¹

主はレアが愛されていないのを見て、彼女に子を受けたが、ラケルは子を持たなかった。³²

レアは妊娠し、男の子を産んだ。彼女は彼をルベンと名付けた。彼女は言った。「主が私の苦しみを見てくださった。今こそ夫は私を愛してくれるだろう。」³³

彼女は再び妊娠し、男の子を産んで言った。「主が私が愛されていないのを聞いて、この子も与えてくださった。」それで彼をシメオンと名付けた。³⁴

彼女は再び妊娠し、男の子を産んで言った。「今度こそ夫は私に結びつくだろう。私は彼に三人の息子を産んだから。」それで彼はレビと名付けられた。³⁵

彼女は再び妊娠し、男の子を産んで言った。「今度は主を賛美しよう。」それで彼をユダと名付けた。それから彼女は子を産むのをやめた。

30 ラケルは自分がヤコブに子供を産んでいないのを見て、姉妹を羨ましく思い、ヤコブに言った。「私に子供をください。さもないと私は死んでしまいます！」²

ヤコブはラケルに怒って言った。「私は神の代わりにいるのですか？神があなたから子供の祝福を奪われたのです。」³

すると彼女は言った。「ここに私の女奴隷ビルハがいます。彼女のところに生きてください。彼女が私の代わりに子供を産むかもしれませんが。そうすれば私も彼女を通して家族を持つことができます。」⁴

そこで彼女は女奴隷ビルハをヤコブに妻として与え、ヤコブは彼女と共にいた。⁵

ビルハは身ごもり、ヤコブに息子を産んだ。⁶

ラケルは言った。「神は私を裁き、私の声を聞いて息子を与えてくださった。」それで彼女は彼をダンと名付けた。⁷

ラケルの女奴隷ビルハは再び身ごもり、ヤコブにもう一人の息子を産んだ。⁸

ラケルは言った。「私は姉妹と大いに争い、勝ちました。」それで彼女は彼をナフタリと名付けた。⁹ レアは自分がもう子供を産まないのを見て、女奴隷

創世記

ジルバを取り、ヤコブに妻として与えた。¹⁰
そしてレアの女奴隷ジルバはヤコブに息子を産んだ。¹¹
レアは言った。「なんて幸運でしょう！」それで彼女は彼をガドと名付けた。¹²
レアの女奴隷ジルバはヤコブにもう一人の息子を産んだ。¹³
レアは言った。「私は幸せです！娘たちは私を祝福された者と呼ぶでしょう。」それで彼女は彼をアシエルと名付けた。¹⁴
小麦の収穫の時期に、ルベンが畑でマンドレイクを見つけ、それを母レアに持ってきた。するとラケルはレアに言った。「あなたの息子のマンドレイクを少しください。」¹⁵
しかし彼女は言った。「あなたが私の夫を取ったのは小さなことですか？私の息子のマンドレイクも取るつもりですか？」ラケルは答えた。「いいでしょう、彼は今夜あなたと共に寝るでしょう、あなたの息子のマンドレイクと引き換えに。」¹⁶
夕方、ヤコブが畑から帰ってきたとき、レアは彼を迎えに出て言った。「あなたは私のところに来なければなりません。私は息子のマンドレイクであなたを雇いました。」それで彼はその夜彼女と共にいた。¹⁷
神はレアの声を聞き、彼女は身ごもり、ヤコブに五番目の息子を産んだ。¹⁸
レアは言った。「私は女奴隷を夫に与えたので、神は私に報いてくださいました。」それで彼女は彼をイッサカルと名付けた。¹⁹
レアは再び身ごもり、ヤコブに六番目の息子を産んだ。²⁰
レアは言った。「神は私に良い贈り物を与えてくださいました。今や夫は私を尊重するでしょう、私は彼に六人の息子を産んだからです。」それで彼女は彼をゼブルンと名付けた。²¹
その後、彼女は娘を産み、彼女をディナと名付けた。²²
神はラケルを顧み、彼女の声聞いて、彼女が身ごもることを許された。²³
彼女は身ごもり、息子を産んで言った。「神は私の恥を取り去ってくださいました。」²⁴
彼女は彼をヨセフと名付けて言った。「主が私にもう一人の息子を加えてくださいますように。」²⁵
ラケルがヨセフを産んだ後、ヤコブはラバンに言った。「私を行かせてください、私が自分の場所、自分の国へ行けるように。」²⁶
私があなたに仕えた妻たちと子供たちを返してください、そして私を行かせてください。あなたは私ができるように仕えてきたかを知っています。」²⁷

しかしラバンは彼に言った。「もしあなたが私の目に恵みを見つけたなら、どうか留まってください。私は経験を通じて、主があなたのために私を祝福してくださったことを学びました。」²⁸
彼は言った。「あなたの賃金を言ってください、私はそれを支払います。」²⁹
ヤコブは彼に言った。「あなたは私がどのようにあなたに仕えてきたか、あなたの家畜が私の世話の下でどのように繁栄したかを知っています。」³⁰
私が来る前はあなたは少ししか持っていませんでしたが、それは大いに増えました。そして主は私がどこに行ってもあなたを祝福してくださいました。しかし今、私はいつ自分の家族のために備えるのでしょうか？」³¹
「何をあなたに与えましょうか？」彼は尋ねた。ヤコブは答えた。「あなたは私に何も与える必要はありません。もしあなたが私のためにこの一つのことをしてくれるなら、私はあなたの群れを引き続き世話します。」³²
今日、あなたの群れをすべて通り抜け、すべての斑点のある羊、斑のある羊、暗色の子羊、ヤギの中の斑点のあるものと斑のあるものを取り除きます。これらが私の賃金となります。」³³
それで私の誠実さが後で私のために答えるでしょう。あなたが私の賃金を確認しに来るとき、ヤギの中で斑点のあるものや斑のあるもの、子羊の中で暗色のものが私と共に見つかったなら、それは盗まれたものと見なされます。」³⁴
ラバンは言った。「同意しました、あなたの言った通りにしましょう。」³⁵
その同じ日に、彼は縞模様のある雄ヤギ、斑点のある雌ヤギ、白いものがあるすべてのもの、暗色の子羊を取り除き、それらを彼の息子たちの管理下に置いた。³⁶
彼は自分とヤコブの間に三日間の距離を置き、ヤコブはラバンの残りの群れを世話し続けた。³⁷
ヤコブは新鮮なボブラ、アーモンド、ブラタナスの枝を取り、それに白い縞を剥いて、枝の白い部分を露出させた。³⁸
彼は剥いた枝を群れが水を飲むために来る水槽の前に置き、彼らが水を飲むときに交配した。³⁹
群れは枝のそばで交配し、縞模様、斑点、斑のある若いものを産んだ。⁴⁰
ヤコブは子羊を分け、ラバンの群れの縞模様のあるものと暗色の動物に向かって群れを向けさせ、自分の群れを別に置き、ラバンの群れとは混ぜなかった。⁴¹
強い雌が発情しているときはいつでも、ヤコブは動物の前に枝を水槽に置き、枝の近くで交配させた。

しかし、動物が弱いときは、そこに置かなかった。
それで弱い動物はラバンのものとなり、強いものは
ヤコブのものとなった。⁴³

このようにしてその男は非常に繁栄し、大きな群れ
と女奴隷と男奴隷、ラクダとロバを持つようになった。
た。

31 ヤコブはラバンの息子たちが言うのを聞いた。
「ヤコブは私たちの父のものをすべて
奪い、父のものからこの富を得た。」²

ヤコブはラバンの態度が以前のようにではないことに
気づいた。³

そのとき、主はヤコブに言われた。「あなたの父と
親族の地に帰りなさい。私はあなたと共にいる。」⁴

そこでヤコブは使いを送り、ラケルとレアを彼の群
れがいる野に呼び寄せた。⁵

彼は彼女たちに言った。「あなたたちの父の私に対
する態度が以前のようにではないのを見ている。しか
し、私の父の神は私と共におられる。」⁶

あなたたちは、私が全力であなたたちの父に仕えた
のを見た。⁷

しかし、あなたたちの父は私を欺き、私の賃金を十
回も変えた。しかし、神は彼が私を害することを許
さなかった。⁸

彼が『まだらのものをあなたの賃金とせよ』と言え
ば、すべての群れがまだらで生まれ、『縞のものを
あなたの賃金とせよ』と言えば、すべての群れが縞
で生まれた。⁹

こうして神はあなたたちの父の家畜を私に移された
。¹⁰

繁殖期に、私は夢を見て、群れと交尾している雄ヤ
ギが縞、まだら、または斑点のあるものであるのを見
た。¹¹

神の使いが夢の中で私に言った、『ヤコブよ』と。
私は『ここにいます』と答えた。¹²

彼は言った、『目を上げて見よ。群れと交尾してい
るすべての雄ヤギは縞、まだら、または斑点のある
ものである。私はラバンがあなたにしていることを
すべて見ている。』¹³

私はベテルの神である。あなたが柱に油を注ぎ、私
に誓いを立てた場所だ。今、立ち上がり、この地を
去り、あなたの生まれた地に帰りなさい。』¹⁴

ラケルとレアは答えた。「私たちの父の家の相続に
まだ何か分け前がありますか？」¹⁵

彼は私たちを外国人と見なしていませんか？彼は私
たちを売り、私たちのために支払われたものを使い
果しました。¹⁶

確かに、神が私たちの父から奪ったすべての富は私

たちと私たちの子供たちのものです。だから、神が
あなたに言われたことを何でもしなさい。」¹⁷

それからヤコブは子供たちと妻たちをラクダに乗せ
て旅の準備をした。¹⁸

彼はパダン・アラムで得たすべての家畜と財産を追
い立て、カナンの地にいる父イサクのもとへ向かつ
た。¹⁹

ラバンが彼の群れを刈りに行っている間に、ラケル
は彼女の父の家の神々を盗んだ。²⁰

さらに、ヤコブはアラム人ラバンを欺いて、彼が逃
げていることを告げなかった。²¹

彼はすべてを持って逃げ、ユーフラテス川を渡り、
ギルアデの山地へ向かった。²²

三日目に、ラバンはヤコブが逃げたことを知らされ
た。²³

彼は親族を連れてヤコブを追い、七日間追跡してギ
ルアデの山地で彼に追いついた。²⁴

しかし、神は夜の夢でアラム人ラバンに現れ、「ヤ
コブに良いことも悪いことも話さないように気をつ
けなさい」と言われた。²⁵

ラバンはヤコブに追いついた。ヤコブは山地にテン
トを張っており、ラバンと彼の親族もそこに宿営し
た。²⁶

それからラバンはヤコブに言った。「あなたは私を
欺いて、私の娘たちを捕虜のように連れて行ったの
ですか？」²⁷

なぜ密かに逃げて私を欺いたのですか？なぜ私に告
げなかったのですか？そうすれば、喜びと歌、タン
バリンと堅琴であなたを送り出せたのに。²⁸

あなたは私の孫たちと娘たちにさよならのキスさえ
させなかった。あなたは愚かに行動しました。²⁹

私はあなたを害する力を持っています。しかし昨夜
、あなたの父の神が私に言われました、『ヤコブに
良いことも悪いことも話さないように気をつけな
さい』と。³⁰

今、あなたは父の家に帰りたと思っています。去
りました。³¹

しかし、なぜ私の神々を盗んだのですか？」
ヤコブはラバンに答えた。「私は恐れていました。
あなたが力づくで娘たちを私から奪うかもしれない
と思ったからです。」³²

しかし、あなたの神々を持っている者が見つければ
、その者は生きていられません。私たちの親族の前
で、ここに私と共にあるあなたのものがあるかどう
か見てください。そして、あれば持って行ってくだ
さい。」ヤコブはラケルが神々を盗んだことを知ら
なかった。³³

それでラバンはヤコブのテントに入り、レアのテン
トに入り、二人の女奴隷のテントに入ったが、見つ
からなかった。彼はレアのテントから出た後、ラケ

創世記

ルのテントに入った。³⁴
ラケルは家の神々を取って、ラクダの鞍の中に入れて、それに座っていた。ラバンはテントの中を探したが、何も見つからなかった。³⁵
ラケルは父に言った。「私の主よ、お怒りにならないでください。私はあなたの前に立つことができません。月のものがあるのです。」それで彼は探したが、家の神々を見つけられなかった。³⁶
ヤコブは怒り、ラバンを責めた。「私の罪は何ですか？」彼はラバンに尋ねた。「あなたが私を熱心に追いかけた私の罪は何ですか？」³⁷
今、あなたは私のすべての持ち物を探しましたが、あなたの家のものが何が見つかりましたか？それを私たちの親族の前に置き、彼らに私たちの間を裁かせましょう。³⁸
「私は今、二十年間あなたと共にいました。あなたの雌羊と雌ヤギは流産せず、私はあなたの群れの雄羊を食べませんでした。³⁹
私は野獣に裂かれた動物をあなたに持って来ず、私は自分でその損失を負いました。そして、あなたは昼も夜も盗まれたものの代金を私に要求しました。⁴⁰
これが私の状況でした。昼間は暑さが私を消耗させ、夜は寒さが私を襲い、眠りは私の目から逃げました。⁴¹
二十年間、私はあなたの家にいました。私はあなたの二人の娘のために十四年間、あなたの群れのために六年間働き、あなたは私の賃金を十回も変えました。⁴²
もし私の父の神、アブラハムの神、イサクが恐れた方が私と共にいなかったなら、あなたは確かに私を空手で送り出したでしょう。しかし、神は私の苦勞と手の苦勞を見て、昨夜あなたを叱責されました。⁴³
」
ラバンはヤコブに答えた。「娘たちは私の娘たち、子供たちは私の子供たち、群れは私の群れです。あなたが見るすべては私のものです。しかし、今日、私の娘たちや彼らが産んだ子供たちについて何ができるでしょうか？」⁴⁴
さあ、今、私たちの間で契約を結びましょう。それが私たちの間の証となるように。」⁴⁵
それでヤコブは石を取り、それを柱として立てた。⁴⁶
彼は親族に言った。「石を集めなさい。」それで彼らは石を集め、積み上げ、その積み上げた石のそばで食事をした。⁴⁷
ラバンはそれをエガル・サハドタと呼び、ヤコブはそれをガルエドと呼んだ。⁴⁸
ラバンは言った。「この積み上げた石は今日、あな

たと私の間の証です。」それがガルエドと呼ばれた理由である。⁴⁹
それはまたミツパとも呼ばれた。彼が言ったからである。「私たちが互いに離れているとき、主が私たちを見守ってくださいますように。」⁵⁰
もしあなたが私の娘たちを虐待したり、彼女たち以外の妻を取ったりするなら、たとえ誰も私たちと共にいなくても、神があなたと私の間の証人であることを覚えておいてください。」⁵¹
ラバンはヤコブに続けて言った。「ここにこの積み上げた石があり、ここにあなたと私の間に立てた柱がある。⁵²
この積み上げた石は証であり、この柱は証である。私はこの積み上げた石を越えてあなたの側に行つてあなたを害することはなく、あなたもこの積み上げた石と柱を越えて私の側に行つて私を害することはない。」⁵³
アブラハムの神、ナホルの神、彼らの父の神が私たちの間を裁かれますように。」それでヤコブは彼の父イサクが恐れた方に誓った。⁵⁴
彼は山地で供え物をし、親族を食事に招いた。彼らが食事を終えた後、彼らはそこで夜を過ごした。⁵⁵
夜明けに、ラバンは孫たちと娘たちにキスをし、彼らを祝福した。それから彼は去って自分の場所に帰った。
32 ヤコブが旅を続けていると、神の使いが彼に出会った。²
彼らを見たとき、ヤコブは「これは神の陣営だ！」と言った。それで、その場所をマハナイムと名付けた。³
ヤコブはセイルの地、エドムの地方にいる兄エサウのもとに使者を送り出した。⁴
彼は彼らに命じた、「私の主エサウにこう言いなさい。『あなたのしもべヤコブからの報告です。私はラバンと共に住んでおり、今までそこに留まっています。』⁵
私は牛、ろば、羊の群れ、男女のしもべを持っています。このメッセージを私の主に送り、あなたのご機嫌を伺いたいと思っています。』」⁶
使者たちはヤコブのもとに戻り、「私たちはあなたの兄エサウのもとに行きました。彼は四百人の男たちを連れてあなたに会いに来ています。」と言った。⁷
ヤコブは非常に恐れ、困惑し、彼と共にいる人々と羊の群れ、牛、らくだを二つの隊に分けた。⁸
彼は考えた、「もしエサウが一つの隊を攻撃したら、もう一つの隊は逃れることができる。」⁹
ヤコブは祈った、「私の父アブラハムの神、私の父イサクの神、主よ、あなたは私に『故郷と親族の

創世記

とに帰れ、私はあなたを繁栄させる』と言われました。¹⁰

私はあなたがしもべに示されたすべての慈しみと誠実に値しません。私は杖一本でこのヨルダンを渡りましたが、今や二つの陣営になりました。¹¹

どうか私の兄エサウの手から私を救い出してください。彼が私を攻撃し、母親たちとその子供たちをも攻撃するのではないかと恐れています。¹²

しかし、あなたは『私は必ずあなたを繁栄させ、あなたの子孫を海の砂のように数え切れないほど多くする』と約束されました。』¹³

彼はその夜をそこで過ごし、兄エサウへの贈り物を彼が持っているものから選んだ。¹⁴

二百の雌山羊と二十の雄山羊、二百の羊と二十の雄羊、¹⁵

三十の乳を出すらくだとその子、四十の雌牛と十の雄牛、二十の雌ろばと十の雄ろば。¹⁶

彼はそれらをそれぞれの群れごとにしもべたちに託し、「私の前を行き、群れの間に距離を置きなさい」と命じた。¹⁷

彼は先頭の者に指示した、「私の兄エサウがあなたに会い、『あなたは誰のもので、どこへ行くのか、あなたの前にいるこれらの動物は誰のものか』と尋ねたら、¹⁸

『あなたのしもべヤコブのものです。これは私の主エサウへの贈り物で、彼が私たちの後に続いています』と答えなさい。』¹⁹

彼は二番目、三番目、そして群れに続くすべての者に命じた、「エサウに会ったとき、同じことを言いなさい。²⁰

そして必ず『あなたのしもべヤコブが私たちの後に来ています』と言いなさい。』彼は考えた、「私はこれらの贈り物で彼の怒りを和らげよう。その後、彼に会ったとき、彼が私を受け入れてくれるかもしれない。』²¹

それでヤコブの贈り物は彼の前を進み、彼はその夜、陣営に留まった。²²

その夜、ヤコブは起きて、彼の二人の妻、二人の女奴隷、十一人の息子連れてヤコブの渡しを渡った。²³

彼が彼らを川の向こうに送った後、彼の持ち物もすべて送り出した。²⁴

ヤコブは一人で残り、ある人が夜明けまで彼と格闘した。²⁵

その人はヤコブに勝てないと気づいたとき、彼の腰の関節を打ち、彼らが格闘している間にヤコブの腰が外れた。²⁶

その人は言った、「私を行かせなさい、夜が明けるから。』しかしヤコブは答えた、「あなたが私を祝

福してくださらない限り、私はあなたを行かせません。』²⁷

その人は彼に尋ねた、「あなたの名前は何ですか？」彼は答えた、「ヤコブです。』²⁸

その人は言った、「あなたの名前はもうヤコブではなく、イスラエルです。あなたは神と人と争って勝ったからです。』²⁹

ヤコブは言った、「どうかあなたの名前を教えてください。』しかし彼は答えた、「なぜ私の名前を尋ねるのですか？」そして彼はそこで彼を祝福した。³⁰

それでヤコブはその場所をベヌエルと名付け、「私は顔と顔を合わせて神を見たが、私の命は救われた」と言った。³¹

彼がベヌエルを通過したとき、太陽が彼の上に昇り、彼は腰のために足を引きずっていた。³²

このため、今日に至るまでイスラエルの人々は腰の関節に付いている腱を食べない。ヤコブの腰が腱のところで打たれたからである。

33 ヤコブは目を上げ、エサウが四百人の男たちを連れて近づいてくるのを見た。彼は子供たちをレア、ラケル、そして二人の女奴隷の間に分けた。²

彼は女奴隷とその子供たちを前に、次にレアとその子供たちを、そしてラケルとヨセフを後ろに置いた。³

ヤコブ自身は前に進み、兄に近づくにつれて地に七度ひれ伏した。⁴

エサウはヤコブを迎えに走り、彼を抱きしめ、首に倒れかかり、口づけし、二人は共に泣いた。⁵

エサウは目を上げ、女たちと子供たちを見て、「これらはあなたと一緒にいるのは誰ですか？」と尋ねた。ヤコブは答えた、「これらは神があなたのしもべに恵んでくださった子供たちです。』⁶

それから女奴隷たちとその子供たちが前に出てひれ伏した。⁷

レアとその子供たちも前に出てひれ伏した。最後に、ヨセフとラケルが近づいてひれ伏した。⁸

エサウは尋ねた、「私が会ったこれらの群れは何を意味するのですか？」ヤコブは答えた、「私の主の目に恵みを見出すためです。』⁹

エサウは言った、「兄弟よ、私は十分に持っています。あなたのものはあなたのままにしておきなさい。』¹⁰

ヤコブは主張した、「いいえ、どうか、もし私があなたの目に恵みを見出したなら、この贈り物を私から受け取ってください。あなたの顔を見ることは、神の顔を見るようであり、今あなたは私を好意的に受け入れてくださったのです。』¹¹

創世記

「どうかあなたに持ってきた贈り物を受け取ってください。神は私に恵みを与えてくださり、私はすべてを持っています。」ヤコブが彼を促したので、エサウは受け取った。

エサウは提案した、「さあ、出発して行きましょう。私はあなたに同行します。」

ヤコブは言った、「私の主は子供たちが弱いことをご存じですし、私は授乳中の群れと家畜の世話をしなければなりません。もし一日でも激しく追い立てられたら、動物たちは死んでしまいます。」

「どうか私の主はしもべの前を進んでください。私は家畜と子供たちに合わせてゆっくり進み、セイルで私の主に会います。」

エサウは申し出た、「私の男たちの何人かをあなたと一緒に残しましょう。」しかしヤコブは言った、「なぜそうするのですか？ 私の主の目に恵みを見出させてください。」

エサウはその日、セイルへの旅を続けて出発した。

しかしヤコブはスコテへ旅し、そこに家と家畜のための小屋を建てた。それゆえ、その場所はスコテと呼ばれる。

ヤコブはバダン・アラムから来て、カナン人のシェケムの町に無事に到着し、町の前に宿営した。彼はシェケムの父ハモルの息子たちから、彼が天幕を張った土地を百枚の銀で購入した。そこに祭壇を設け、それをエル・エロヘ・イスラエルと名付けた。

34 ヤコブの娘であるレアの娘ディナは、その地の娘たちを訪ねに出かけた。

その地の首長であるヒビ人ハモルの子シェケムが彼女を見て、彼女を連れ去り、彼女と寝て、彼女を辱めた。

彼の心はヤコブの娘ディナに惹かれ、彼は若い女性を愛し、優しく彼女に語りかけた。それでシェケムは父ハモルに言った、「この若い女性を私の妻として迎えてください。」

ヤコブは娘ディナが辱められたことを聞いたが、彼の息子たちは野にいる家畜と一緒にいたので、彼らが帰るまで黙っていた。

その後、シェケムの父ハモルはヤコブと話をするために出かけた。

ヤコブの息子たちはそれを聞いて野から帰ってきた。彼らは悲しみ、非常に怒った。シェケムがヤコブの娘と寝たことはイスラエルで恥ずべきことであり、してはならないことだったからである。

しかし、ハモルは彼らに言った、「私の息子シェケムの心はあなたの娘を慕っています。どうか彼女を彼の妻としてください。」

私たちと婚姻関係を結びましょう。あなたの娘たちを私たちに与え、私たちの娘たちをあなた方に受け入れてください。

あなた方は私たちの中に住むことができます。この地はあなた方に開かれています。そこに住み、商売をし、財産を得てください。」

シェケムはディナの父と兄弟たちに言った、「あなた方の目に好意を得させてください。私はあなた方が求めるものを何でも差し上げます。」

花嫁の価格と贈り物をあなた方が望むだけ高く設定してください。私はあなた方が求めるものを何でも支払います。ただ、若い女性を私の妻としてください。」

ヤコブの息子たちは、彼が彼らの妹ディナを辱めたので、シェケムと彼の父ハモルに偽って答えた。彼らは言った、「私たちはそのようなことをすることはできません。割礼を受けていない男に私たちの妹を与えることは私たちにとって恥ずべきことです。」

私たちはこの条件でのみあなた方に同意します。すべての男性が割礼を受けて私たちのようになることです。

そうすれば、私たちはあなた方に私たちの娘たちを与え、あなた方の娘たちを私たちのために受け取ります。私たちはあなた方の中に住み、一つの民となるでしょう。

しかし、もしあなた方が割礼を受けることに同意しないなら、私たちは妹を連れて行きます。」

ハモルと彼の息子シェケムはその提案に同意した。

彼の父の家族の中で最も尊敬されていた若者は、ヤコブの娘を喜んでいたので、彼らが言ったことを実行するのに遅れなかった。

それでハモルと彼の息子シェケムは町の門に行き、町の男たちに話をした。

「これらの人々は私たちと友好的です」と彼らは言った。「彼らをこの地に住ませ、商売をさせましょう。この地は彼らにとって十分に広いです。私たちは彼らの娘たちを妻として取り、私たちの娘たちを彼らに与えることができます。」

しかし、彼らが私たちと一つの民として住むことに同意するのは、私たちのすべての男性が彼らのように割礼を受けるという条件だけです。

彼らの家畜、財産、すべての動物は私たちのものにならないでしょうか？ 彼らの条件に同意しましょう。そうすれば、彼らは私たちの中に住むでしょう。」

町の門を出たすべての者はハモルと彼の息子シェケムに同意し、町のすべての男性は割礼を受けた。

創世記

三日後、彼らがまだ痛みを感じている間に、ヤコブの息子たち、シメオンとレビ、ディナの兄弟たちは剣を取り、油断している町を襲い、すべての男性を殺した。²⁶
彼らは剣でハモルと彼の息子シェケムを殺し、ディナをシェケムの家から連れ出して去った。²⁷
ヤコブの息子たちは殺された者たちに襲いかかり、町を略奪した。彼らの妹が辱められたからである。²⁸

彼らは町と野にある彼らの羊の群れ、牛の群れ、ろば、その他すべてのものを奪った。²⁹
彼らはすべての財産とすべての子供たちと妻たちを奪い、家の中のすべてのものを略奪した。³⁰
その後、ヤコブはシメオンとレビに言った、「あなたたちはこの地の住民であるカナン人とペリジ人に私を嫌われるようにして、私に困難をもたらしました。私たちは少数であり、もし彼らが力を合わせて私を攻撃したら、私と私の家族は滅ぼされるでしょう。」³¹
しかし彼らは答えた、「彼が私たちの妹をそのようなひどい不名誉で扱うべきだったのでしょうか？」

35 そのとき、神はヤコブに言われた。「立って、ベテルに上り、そこに住み、あなたが兄エサウから逃げたときに現れた神に祭壇を築きなさい。」²
そこでヤコブは自分の家族と共にいたすべての者に言った。「あなたがたの中にある異国の神々を取り除き、身を清め、衣を替えなさい。」³
「さあ、ベテルに上って行こう。そこで私は、苦難のときに私に答え、私がどこに行っても共におられた神に祭壇を築こう。」⁴
彼らは持っていた異国の神々と耳にある指輪をヤコブに渡し、ヤコブはそれらをシェケムの近くの樫の木の下に埋めた。⁵
彼らが旅をすると、神からの大いなる恐れが周囲の町々に臨み、誰もヤコブの息子たちを追わなかった。⁶
ヤコブと彼と共にいたすべての人々は、カナンの地のルズ（すなわちベテル）に到着した。⁷
彼はそこに祭壇を築き、その場所をエル・ベテルと名付けた。彼が兄から逃げたときに神が彼に現れた場所だからである。⁸
さて、リベカの乳母デボラが亡くなり、ベテルの下、樫の木の下に葬られた。それはアロン・パクテと名付けられた。⁹
神はパダン・アラムから帰ってきた後、再びヤコブに現れ、彼を祝福された。¹⁰
神は彼に言われた。「あなたの名はヤコブだが、もうヤコブとは呼ばれない。イスラエルがあなたの名

となる。」こうして彼は彼をイスラエルと名付けた。¹¹
神はまた彼に言われた。「私は全能の神である。多産し、増えよ。一つの国民と多くの国民があなたから出て、王たちがあなたから出るであろう。」¹²
「私がアブラハムとイサクに与えた地をあなたに与え、あなたの後の子孫にこの地を与えるであろう。」¹³
その後、神は彼と話した場所から彼を離れた。¹⁴
ヤコブは神が彼と話した場所に石の柱を立て、その上に飲み物の供え物を注ぎ、また油を注いだ。¹⁵
ヤコブは神が彼と話した場所をベテルと呼んだ。¹⁶
それから彼らはベテルを出発した。エフラテにまだ少し距離があるとき、ラケルは産気づき、激しい難産を経験した。¹⁷
彼女の激しい陣痛の間、助産婦は彼女に言った。「恐れることはありません。あなたにはもう一人の息子がいます。」¹⁸ 彼女が息を引き取るとき—彼女は死にかけていた—
彼女は息子をベン・オニと名付けたが、父は彼をベニヤミンと呼んだ。¹⁹
こうしてラケルは亡くなり、エフラテ（すなわちベツレヘム）への道で葬られた。²⁰
ヤコブは彼女の墓の上に柱を立てた。それは今日までラケルの墓の柱である。²¹
イスラエルは旅を続け、エデルの塔を越えて彼の天幕を張った。²²
イスラエルがその地に住んでいる間、ルベン之父の側女ビルハと寝た。そしてイスラエルはそれを聞いた。さて、ヤコブには十二人の息子がいた。²³
レアの息子たちは、ルベン（ヤコブの長男）、シメオン、レビ、ユダ、イッサカル、ゼブルンであった。²⁴
。ラケルには二人の息子がいた。ヨセフとベニヤミンである。²⁵
ラケルの女奴隷ビルハの息子たちはダンとナフタリであった。²⁶
レアの女奴隷ジルパの息子たちはガドとアシェルであった。これらはパダン・アラムで彼に生まれたヤコブの息子たちである。²⁷
ヤコブはママレ、すなわちキリヤテ・アルバ（ヘブロン）にいる父イサクのもとに來た。そこはアブラハムとイサクが滞在していた場所である。²⁸
イサクは百八十歳に達した。²⁹
そして彼は息を引き取り、死んで、老齢で満ち足りてその民に加えられた。彼の息子たち、エサウとヤコブが彼を葬った。

創世記

36 これはエサウ（エドムとも呼ばれる）の系譜の記録である。 2

エサウはカナンの娘たちから妻を迎えた。ヒッタイト人エロンの娘アダ、ヒビ人ジベオンの孫娘でアナの娘オホリバマ― 3

そしてイシュマエルの娘でネバヨテの妹であるパセマテである。 4

アダはエサウにエリファズを産み、パセマテはレウエルを産んだ。 5

オホリバマはエウシュ、ヤラム、コラを産んだ。これらもまた、カナンの地で彼に生まれたエサウの息子たちである。 6

エサウは妻たち、息子たち、娘たち、そして家の全員を、彼の家畜、牛、カナンで得たすべての財産と共に連れて、兄ヤコブから離れた地に移った。 7

彼らの財産があまりにも多く、一緒に住むことができなかったため、彼らが住んでいた土地は彼らの家畜のために支えきれなかった。 8

こうして、エサウはセイルの山地に住むことになった。エサウはエドムである。 9

これはセイルの山地におけるエサウ、エドム人の父の系譜の記録である。 10

ここにエサウの息子たちの名前がある。エサウの妻アダから生まれたエリファズ、エサウの妻パセマテから生まれたレウエル。 11

エリファズの息子たちはテマン、オマル、ツェボ、ガタム、ケナズである。 12

ティムナはエサウの息子エリファズの側室であり、彼女はエリファズにアマレクを産んだ。これらはエサウの妻アダの孫たちである。 13

レウエルの息子たちはナハテ、ゼラフ、シャマ、ミザである。これらはエサウの妻パセマテの孫たちである。 14

エサウの妻オホリバマ、アナの娘でジベオンの孫娘の息子たち：彼女はエサウにエウシュ、ヤラム、コラを産んだ。 15

これらはエサウの子孫の中の族長たちである。エサウの長男エリファズの息子たち：族長テマン、オマル、ツェボ、ケナズ、 16

コラ、ガタム、アマレク。これらはエドムの地におけるエリファズから出た族長たちであり、彼らはアダの息子たちである。 17

エサウの息子レウエルの息子たち：族長ナハテ、ゼラフ、シャマ、ミザ。これらはエドムの地におけるレウエルから出た族長たちであり、彼らはエサウの妻パセマテの息子たちである。 18

エサウの妻オホリバマの息子たち：族長エウシュ、ヤラム、コラ。これらはエサウの妻オホリバマ、アナの娘から出た族長たちである。 19

これらはエサウの子孫、エドムとも呼ばれる者たちであり、これらは彼らの族長たちである。 20

これらはその地に住んでいたホリ人セイルの子孫たちである。ロタン、ショバル、ジベオン、アナ、 21
ディション、エゼル、ディシャン。これらはエドムの地におけるセイルの息子たちであるホリ人の族長たちである。 22

ロタンの息子たちはホリとホمامであり、ティムナはロタンの妹である。 23

ショバルの家族にはアルバン、マナハテ、エバル、シェフォ、オナムがいた。 24

これらはジベオンの息子たちである。アイアとアナ。これは、彼の父ジベオンのロバを牧している間に荒野で温泉を発見したアナである。 25

これらはアナの子供たちである。ディションとアナの娘オホリバマ。 26

これらはディションの息子たちである。ヘムダン、エシュバン、イテラン、ケラン。 27

エゼルの家族はビルハン、ザアバン、アカンである。 28
ディシャンの家族はウツとアランである。 29

これらはホリ人の族長たちである。ロタン、ショバル、ジベオン、アナ、 30

ディション、エゼル、ディシャン。これらはセイルの地における彼らの分に従ったホリ人の族長たちである。 31

これらはイスラエルの子らの上に王が治める前にエドムの地に治めた王たちである。 32

ベオルの子ベラがエドムで治め、その町の名はディンハバであった。 33

ベラが死んだとき、ボツラのゼラフの子ヨバブが彼に代わって王となった。 34

ヨバブが死んだとき、テマン人の地から来たフシャムが王となった。 35

フシャムが死んだとき、モアブの地でミディアンを打ち破ったベダゲの子ハダゲが彼に代わって王となった。彼の町の名はアビテであった。 36

ハダゲが死んだとき、マスレカから来たサムラが王となった。 37

サムラが死んだとき、川のほとりのレホボテから来たシャウルが王となった。 38

シャウルが死んだとき、アクボルの子バアル・ハナンが彼に代わって王となった。 39

アクボルの子バアル・ハナンが死んだとき、ハダルが彼に代わって王となった。彼の町の名はパウであり、彼の妻の名はメヘタベル、マトレドの娘でメザハブの娘であった。 40

これらはエサウから出た族長たちの名前であり、彼らの家族とその居住地に従って、彼らの名前によるものである。族長ティムナ、族長アルバ、族長エテ

創世記

テ、⁴¹ 族長オホリバマ、族長エラ、族長ビノン、
⁴² 族長ケナズ、族長デマン、族長ミブザル、⁴³
族長マグディエル、族長イラム。これらは彼らが占
めた地におけるエドムの族長たちである。これはエ
サウの系譜であり、エドム人の父である。

37 ヤコブは、父が外国人として住んでいたカ
ナンの地に住んでいた。²

これはヤコブの家系の記録である。ヨセフ
は17歳の時、父の妻ビルハとジルパの息子たちと
一緒に羊の世話をしていた。ヨセフは彼らの悪い噂
を父に伝えた。³
イスラエルは、年老いてからの子であるヨセフを他
のすべての息子たちよりも愛していた。それで彼に
色とりどりの長服を作った。⁴

兄たちは父が彼を自分たちよりも愛しているを見
て、彼を憎み、友好的に話すことができなかった。
⁵

ヨセフは夢を見て、それを兄たちに話したとき、彼
らはますます彼を憎んだ。⁶

彼は彼らに言った、「どうか私が見た夢を聞いてく
ださい。⁷

私たちは畑で束を結んでいましたが、突然私の束が
立ち上がり、まっすぐに立ちました。すると、あな
たたちの束が私の束の周りに集まり、私の束にひれ
伏しました。」⁸

兄たちは彼に言った、「本当に私たちの上に君臨す
るつもりか？本当に私たちを支配するつもりか？」
それで彼らは彼の夢と彼の言葉のためにますます彼
を憎んだ。⁹

彼はまた別の夢を見て、それを兄たちに話した。「
聞いてください」と彼は言った、「私はまた夢を見
ました。今度は太陽と月と十一の星が私にひれ伏し
ていました。」¹⁰

彼が父と兄たちにそれを話したとき、父は彼を叱っ
て言った、「あなたが見た夢は何ですか？あなたの
母と私と兄たちが本当にあなたの前に地にひれ伏す
ことになるのですか？」¹¹

兄たちは彼を嫉妬し、父はそのことを心に留めてい
た。¹²

兄たちはシェケムの近くで父の羊の群れを飼ってい
た。¹³

イスラエルはヨセフに言った、「兄たちはシェケム
の近くで羊の群れを飼っていないか？来なさい、私
はあなたを彼らのところに送ります。」ヨセフは答
えた、「行きます。」¹⁴

彼は彼に言った、「さあ、行って兄たちと羊の群れ
が無事かどうか見て、知らせを持ってきてください
。」それで彼はヘブロン谷から彼を送り出し、彼
はシェケムに着いた。¹⁵

ある人が彼を見つけ、野原をさまよっているのを見
て、「何を探しているのですか？」と尋ねた。¹⁶
彼は答えた、「私は兄たちを探しています。彼らが
どこで羊の群れを飼っているか教えてください。」
¹⁷

その人は言った、「彼らはここから移動しました。
『ドタンに行こう』と言っているのを聞きました。
」それでヨセフは兄たちを追い、ドタンで彼らを見
つけた。¹⁸

彼らは遠くから彼を見て、彼が近づく前に彼を殺そ
うと計画した。¹⁹

彼らは互いに言った、「あの夢見る者が来た！²⁰
さあ、彼を殺して、この穴の一つに投げ込みまし
ょう。野獣が彼を食い尽くしたと言えます。そうすれ
ば彼の夢がどうなるか見てみましょう。」²¹

しかしルベンはこの話を聞いて、彼を彼らの手から救
おうとした。「彼の命を取らないようにしましょう」と
彼は言った。²²

「血を流してはいけません。この荒野の穴に彼を投
げ込み、手を下さないように。」ルベンは彼を彼ら
から救い出し、父に戻そうとしてこれを言った。²³
ヨセフが兄たちに到着したとき、彼らは彼の着てい
た色とりどりの長服を剥ぎ取った。²⁴

彼らは彼を捕らえて穴に投げ込んだ。その穴は空で
、水がなかった。²⁵

彼らが食事をするために座ったとき、ギレアデから
来るイシュマエル人の隊商が見えた。彼らのラクダ
は香料、乳香、没薬を運び、エジプトに向かってい
た。²⁶

ユダは兄たちに言った、「兄を殺してその血を隠し
ても何の利益があるのか？」²⁷

さあ、彼をイシュマエル人に売り渡し、手を下さな
いようにしよう。彼は私たちの兄弟、私たちの肉親
だから。」兄たちは同意した。²⁸

ミディアンの商人たちが通りかかったとき、彼らは
ヨセフを穴から引き上げ、銀20シェケルでイシュ
マエル人に売った。彼らはヨセフをエジプトに連れ
て行った。²⁹

ルベンが穴に戻ってヨセフがいないのを見たとき、
彼は衣を裂いた。³⁰

彼は兄たちのところに帰り、「少年がいない！私は
今どこへ行けばいいのか？」と言った。³¹

彼らはヨセフの長服を取り、ヤギを殺してその血に
長服を浸した。³²

彼らはその色とりどりの長服を父のところに持って
行き、「これを見つけました。これがあなたの息子
の長服かどうか調べてください。」と言った。³³
彼はそれを認めて言った、「これは私の息子の長服
だ！野獣が彼を食い尽くしたのだ。ヨセフは確かに

創世記

引き裂かれた。」³⁴
ヤコブは衣を裂き、荒布を腰に巻き、息子のために多くの日々を悲しんだ。³⁵
すべての息子と娘たちが彼を慰めようと来たが、彼は慰めを拒んだ。「いや」と彼は言った、「私は息子のために悲しみながら墓に下ります。」それで父は彼のために泣いた。³⁶
エジプトでは、ミディアン人がヨセフをファラオの高官で護衛隊長であるポティファルに売った。

38 その頃、ユダは兄弟たちから離れて、アドラム人ヒラという者のところに行って滞在した。²
そこで、ユダはシュアというカナン人の娘を見て、彼女を妻に迎え、彼女と関係を持った。³
彼女は妊娠し、男の子を産んだ。ユダはその子をエルと名付けた。⁴
彼女は再び妊娠し、男の子を産んで、オナンと名付けた。⁵
さらにもう一人の男の子を産み、シュラと名付けた。彼女は彼を産んだのはケジブであった。⁶
ユダは長男エルのために妻を見つけた。その名はタマルであった。⁷
しかし、ユダの長男エルは主の目に悪であったので、主は彼を死なせた。⁸
そこでユダはオナンに言った。「兄の妻のところに入り、義弟としての務めを果たし、兄のために子孫を起しなさい。」⁹
しかし、オナンはその子孫が自分のものではないことを知っていたので、兄の妻と関係を持つたびに、その子孫を兄のために与えないように地に流した。¹⁰
彼のしたことは主の目に悪であったので、主は彼をも死なせた。¹¹
それからユダは嫁のタマルに言った。「私の子シュラが成長するまで、父の家で未亡人として住みなさい。」彼は「彼も兄たちのように死ぬかもしれない」と考えたからである。そこでタマルは父の家に住んだ。¹²
かなりの時が経った後、ユダの妻、シュアの娘が死んだ。ユダは喪が明けた後、友人のアドラム人ヒラと共に羊の毛を刈るためにティムナに上って行った。¹³
タマルは「あなたの義父が羊の毛を刈るためにティムナに上って行く」と告げられた。¹⁴
そこで彼女は未亡人の衣を脱ぎ、ベールで顔を覆い、ティムナへの道にあるエナイムの入口に座った。彼女はシュラが成長したのに、まだ彼に嫁がされていないことを知っていた。¹⁵
ユダは彼女を見て、顔を覆っていたので、彼女を娼

婦だと思った。¹⁶
彼は彼女が嫁であることを知らずに、道端で彼女に近づき、「さあ、私と関係を持たせてくれ」と言った。彼女は「私と関係を持つために何をくれますか」と尋ねた。¹⁷
彼は「私の群れから若いヤギを送ろう」と答えた。彼女は「それを送るまで何か保証をくれますか」と言った。¹⁸
彼は「何を保証にすればいいのか」と言った。彼女は「あなたの印章とその紐、そして手に持っている杖をください」と答えた。そこで彼はそれらを彼女に渡し、彼女と関係を持ち、彼女は彼によって妊娠した。¹⁹
彼女は立ち去り、ベールを取り去り、再び未亡人の衣を着た。²⁰
ユダは友人のアドラム人を通じて若いヤギを送り、女性から保証を取り戻そうとしたが、彼女を見つけないことができなかった。²¹
彼はその場所の人々に「エナイムの道端にいた神殿娼婦はどこにいますか」と尋ねた。彼らは「ここには神殿娼婦はいませんでした」と答えた。²²
彼はユダのもとに戻り、「彼女を見つけれませんでした。その場所の人々は『ここには神殿娼婦はいませんでした』と言いました」と報告した。²³
ユダは「彼女にそれを持たせておけ。私たちは笑い者になるだろう。結局、私はこの若いヤギを送ったが、あなたは彼女を見つけれなかった」と言った。²⁴
。約三ヶ月後、ユダは「あなたの嫁タマルが身を売り、今や妊娠しています」と告げられた。ユダは「彼女を連れ出して焼いてしまえ」と言った。²⁵
彼女が連れ出されるとき、彼女は義父に「これらの持ち主によって私は妊娠しました」と伝言を送り、「どうかこれらの印章と紐と杖が誰のものか見てください」と言った。²⁶
ユダはそれらを認識し、「彼女は私よりも正しい。私は彼女を私の子シュラに与えなかったからだ」と言った。そして彼は再び彼女と関係を持たなかった。²⁷
。彼女が出産する時が来たとき、彼女は双子を身ごもっていた。²⁸
彼女が出産していると、一人が手を出し、助産婦がその手に赤い糸を結び、「この子が先に出了」と言った。²⁹
しかし彼が手を引っ込めると、兄弟が出てきたので、彼女は「何という突破を自分で作ったのだ」と言った。それで彼はペレツと名付けられた。³⁰
その後、赤い糸を手に結んでいた兄弟が出てきて、彼はゼラと名付けられた。

39 さて、ヨセフはエジプトに連れて行かれ、
ファラオの役人で護衛隊長のエジプト人ボ
ティファルが、彼をそこに連れて来たイシ
ュマエル人から買い取った。²
主はヨセフと共におられ、彼は繁栄する者となり、
エジプト人の主人の家に住んでいた。³
彼の主人は、主が彼と共におられ、主が彼の行うす
べてのことに成功を与えておられることを見た。⁴
ヨセフは主人の目にかなって、彼の個人的な従者とな
った。ボティファルは彼を家の管理者に任命し、
彼に全財産を委ねた。⁵
彼が家と全財産の管理者に任命された時から、主は
ヨセフのためにエジプト人の家を祝福された。主の
祝福は、家の中にも畑にも及んだ。⁶
それでボティファルは全財産をヨセフの管理に任せ
、ヨセフがいることで、彼は食べる物のことだけを
心配した。さて、ヨセフは姿も顔立ちも美しかった。⁷
しばらくして、主人の妻がヨセフに目をつけて、「
私と寝てください」と言った。⁸
しかし彼は拒んで、主人の妻に言った。「私が管理
していることで、主人は家の中の何事にも心配して
いません。彼は全財産を私に委ねています。⁹
この家の中で私より偉い者はいません。主人はあな
たを除いて、何も私に隠していません。なぜなら、
あなたは彼の妻だからです。それなのに、どうして
私はこのような悪事を行い、神に罪を犯すことがで
きましようか。」¹⁰
彼女が日々ヨセフに話しかけても、彼は彼女のそば
に寝ることも、共にいることも聞き入れなかった。¹¹
ある日、彼が仕事をするために家に入ったとき、家
の使用人は誰もそこにいなかった。¹²
彼女は彼の衣をつかんで、「私と寝てください！」
と言った。しかし彼は彼女の手を衣に残して外に逃
げた。¹³
彼が彼女の手を衣を残して外に逃げたことを知ると
、¹⁴
彼女は家の使用人たちを呼んで言った。「見てくだ
さい、このヘブライ人が私たちをあざけるために連
れて来られました！彼は私と寝ようとして来まし
た、私が呼びました。¹⁵
私が声を上げて叫んだとき、彼は私のそばに衣を残
して外に逃げました。」¹⁶
彼女は主人が帰ってくるまで、その衣を自分のそば
に置いておいた。¹⁷
そして彼女は彼に事件を話し、「あなたが私たちに
連れて来たヘブライ人の奴隷が私をあざけるために
来しました。」¹⁸

しかし、私が声を上げて叫ぶと、彼は私のそばに衣
を残して外に逃げました。」¹⁹
主人は妻が話したその話を聞いて、「あなたの奴隷
が私にしたことはこれです」と言ったとき、激怒し
た。²⁰
ヨセフの主人は彼を捕らえて、王の囚人が閉じ込め
られている監獄に入れた。そして彼はその監獄に留
まった。²¹
しかし主はヨセフと共におられ、彼に変わらぬ愛を
示し、監獄の看守の目にかなうようにされた。²²
看守はヨセフをそこにいるすべての囚人の管理者に
任命し、彼は監獄で行われるすべてのことに責任を
持った。²³
看守はヨセフの管理下にあることには何も注意を払
わなかった。なぜなら、主が彼と共におられ、彼が
行うことをすべて繁栄させたからである。

40 しばらくして、エジプトの王の献酌官とパ
ン職人がその主であるエジプトの王を怒ら
せた。²
ファラオは二人の役人、すなわち献酌官長とパン職
人長に非常に怒った。³
彼は彼らを護衛長の家に拘留し、ヨセフが閉じ込め
られていた同じ監獄に入れた。⁴
護衛長は彼らをヨセフに任せ、彼は彼らに仕えた。
彼らはしばらくの間拘留されていた。⁵
エジプトの王の献酌官とパン職人は、監獄に閉じ込
められていたが、同じ夜にそれぞれ夢を見た。そし
てそれぞれの夢にはそれぞれの意味があった。⁶
朝、ヨセフが彼らのところに来ると、彼らが落ち込
んでいるのに気づいた。⁷
それで彼は、彼の主人の家で彼と一緒に拘留されて
いるファラオの役人たちに尋ねた。「今日はなぜそ
んなに落ち込んでいるのですか？」⁸
彼らは答えた。「私たちは夢を見ましたが、それを
解釈する者がいません。」ヨセフは彼らに言った。
「解釈は神に属するものではありませんか？どうか
私に夢を話してください。」⁹
そこで献酌官長がヨセフに自分の夢を話し始めた。
「私の夢では、私の前に一本のぶどうの木がありま
した。¹⁰
そのぶどうの木には三つの枝がありました。それが
芽を出すと、その花が咲き、房が熟してぶどうにな
りました。」¹¹
ファラオの杯が私の手にあり、私はぶどうを取っ
て、それをファラオの杯に絞り、その杯を彼の手に渡
しました。」¹²
ヨセフは彼に言った。「これがその解釈です。三つ
の枝は三日です。」¹³
三日以内にファラオはあなたの頭を上げ、あなたを

創世記

あなたの地位に戻し、あなたは再びファラオの杯を彼の手に渡すでしょう。ちょうどあなたが彼の献酌官であったときのように。

しかし、あなたに良いことが起こったときには、私を思い出し、私に親切を示し、ファラオに私のことを話して、私の監獄から私を出してください。私はヘブライ人の地から無理やり連れて来られましたが、ここでも私は地下牢に入れられるようなことは何もしていません。」

パン職人長はその解釈が良いものであるのを見て、ヨセフに言った。「私も夢を見ました。私の頭の上には三つのパンのかごがありました。」

一番上のかごにはファラオのためのあらゆる種類の焼き菓子がいましたが、鳥が私の頭の上のかごからそれを食べていました。」

ヨセフは答えた。「これがその解釈です。三つのかごは三日です。」

三日以内にファラオはあなたの頭を上げ、あなたを木に吊るし、鳥があなたの肉を食べるでしょう。」

三日目、ファラオの誕生日であるその日に、彼はすべての役人のために宴会を開いた。彼は役人たちの前で献酌官長とパン職人長の頭を上げた。彼は献酌官長をその地位に戻し、彼が再びファラオの手に杯を渡すようにした。

しかし、彼はパン職人長を処刑した。ちょうどヨセフが彼らに解釈した通りであった。しかし、献酌官長はヨセフを思い出さず、彼のことを忘れてしまった。

2年が過ぎた後、ファラオはナイル川のほとりに立っている夢を見ました。

そして川から、よく肥えた美しい7頭の雌牛が上がってきて、葦の草を食べていました。その後、醜くて痩せた別の7頭の雌牛がナイルから上がってきて、川岸の他の雌牛のそばに立ちました。

その痩せた醜い雌牛たちは、よく肥えた美しい7頭の雌牛を食べ尽くしました。そこでファラオは目を覚ましました。

彼は再び眠り、2度目の夢を見ました。1本の茎に、満ちて良い7つの穂が育っていました。その後、東風に焼かれた痩せた別の7つの穂がそれに続いて出てきました。

その痩せた穂は、満ちた7つの穂を飲み込みました。そこでファラオは目を覚まし、それは夢でした。

朝になり、彼の心は乱れました。それで彼はエジプトのすべての魔術師と賢者を召集しました。ファラオは彼らに夢を語りましたが、誰もそれを解釈する

ことができませんでした。

その時、首席の酒杯持ちがファラオに言いました。「今日、私は自分の過ちを思い出しました。」

ファラオは僕たちに怒り、私と首席のパン職人を護衛長の家に拘留しました。

私たちは同じ夜にそれぞれ夢を見て、それぞれの夢にはそれぞれの解釈がありました。

そこには若いヘブライ人がいて、護衛長の下僕でした。私たちは彼に夢を語り、彼は私たちにそれを解釈し、それぞれの夢の解釈を与えました。

そして、彼が解釈した通りに事が運びました。私は私の地位に復帰し、もう一人の男は絞首刑にされました。」

そこでファラオはヨセフを呼び寄せ、彼らは急いで彼を牢獄から連れ出しました。彼が髭を剃り、服を着替えた後、彼はファラオの前に出ました。

ファラオはヨセフに言いました。「私は夢を見たが、誰もそれを解釈できない。しかし、あなたが夢を理解して解釈できると聞いている。」

ヨセフはファラオに答えました。「それは私にはありません。神がファラオに平安の答えを与えるでしょう。」

ファラオはヨセフに語りました。「私の夢の中で、私はナイルの岸に立っていました。」

すると、太って美しい7頭の雌牛が川から上がってきて、葦の草を食べていました。

その後、貧しく非常に醜く痩せた別の7頭の雌牛が上がってきました。エジプト全土で見たことのないようなものでした。

その痩せた醜い雌牛たちは、最初に上がってきた太った雌牛たちを食べ尽くしました。

しかし、彼らがそれを食べた後も、誰もそれをしたとは分からず、彼らは以前と同じように醜く見えませんでした。それで私は目を覚ましました。

私の夢の中で、私はまた、満ちて良い7つの穂が1本の茎に育っているのを見ました。

その後、枯れた痩せた東風に焼かれた別の7つの穂がそれに続いて出てきました。

その痩せた穂は、良い7つの穂を飲み込みました。私はこれを魔術師たちに話しましたが、誰も私にそれを説明できませんでした。」

その時、ヨセフはファラオに言いました。「ファラオの夢は一つです。神がファラオに何をしようとしているかを明らかにされました。」

良い7頭の雌牛は7年間であり、良い7つの穂も7年間です。それは一つの夢です。

その後にながってきた痩せて醜い7頭の雌牛は7年間であり、東風に焼かれた無価値な7つの穂も同様に7年間の飢饉です。

創世記

それは私がファラオに言った通りです。神がファラオに何をしようとしているかを示されました。²⁹
エジプト全土に7年間の大豊作が来るでしょう。³⁰
しかし、その後7年間の飢饉が続きます。するとエジプトの豊かさは忘れ去られ、飢饉が土地を荒廃させるでしょう。³¹
その後の飢饉が非常に厳しいため、土地の繁栄は記憶から消えるでしょう。³²
夢がファラオに2つの形で与えられた理由は、その事が神によって確定されており、彼がそれをすぐに実行されるからです。³³
今、ファラオは洞察力と知恵のある人を探し、エジプトの地を管理させなさい。³⁴
ファラオは土地に監督者を任命し、豊作の7年間にエジプトの収穫の5分の1を取らせなさい。³⁵
彼らはこれから来る良い年のすべての食糧を集め、ファラオの権限の下で穀物を都市に保管し、食糧として保持しなさい。³⁶
この食糧は国のために備蓄され、エジプトに来る7年間の飢饉の間に使用され、国が飢饉によって荒廃しないようにしなさい。³⁷
この計画はファラオとすべての役人にとって好ましいものでした。³⁸
それでファラオは彼らに尋ねました。「この人のように神の霊を持つ者を見つけることができるか？」³⁹
それからファラオはヨセフに言いました。「神がこれをすべてあなたに知らせたので、あなたのように洞察力と知恵のある者はいない。⁴⁰
あなたは私の宮殿を監督し、私のすべての民はあなたの命令に従うでしょう。王座に関してのみ、私はあなたよりも偉大です。」⁴¹
それでファラオはヨセフに言いました。「私はここにエジプト全土をあなたに任命します。」⁴²
それからファラオは自分の指から印章の指輪を取り、ヨセフの指に置きました。彼は彼に細かいリネンの衣を着せ、首に金の鎖を飾りました。⁴³
彼は彼を2番目の戦車に乗せ、人々は彼の前で「ひざまずけ！」と叫びました。このようにして彼はエジプト全土を管理させました。⁴⁴
それからファラオはヨセフに宣言しました。「私はファラオであるが、あなたの同意なしに、誰もエジプト全土で何もすることはできない。」⁴⁵
ファラオはヨセフにザフェナト・パネアという名前を与え、オンの祭司ポティフェラの娘アセナトを彼の妻として与えました。そしてヨセフはエジプト全土を旅しました。⁴⁶
ヨセフはエジプトの王ファラオに仕え始めた時、30歳でした。そしてヨセフはファラオの前から出て

エジプト全土を旅しました。⁴⁷
豊作の7年間、土地は豊かに実りました。⁴⁸
ヨセフはエジプトのその7年間の豊作で生産されたすべての食糧を集め、都市に保管しました。各都市には、その周囲の畑で育った食糧を置きました。⁴⁹
ヨセフは海の砂のように大量の穀物を蓄えました。それはあまりにも多く、測るのをやめたほどでした。⁵⁰
。飢饉の年が来る前に、ヨセフはオンの祭司ポティフェラの娘アセナトとの間に2人の息子をもうけました。⁵¹
ヨセフは長男をマナセと名付け、「神が私のすべての苦難と父の家を忘れさせてくださったからです」と言いました。⁵²
次男をエフライムと名付け、「神が私の苦しみの中で私を豊かにしてくださったからです」と言いました。⁵³
エジプトの豊作の7年間で終わりました。⁵⁴
そして、ヨセフが予告した通りに、7年間の飢饉が始まりました。他のすべての地に飢饉がありましたが、エジプト全土には食糧がありました。⁵⁵
エジプト全土が飢饉を感じ始めたとき、人々はファラオに食糧を求めて叫びました。するとファラオはすべてのエジプト人に「ヨセフのところに行き、彼が言うことをしなさい」と指示しました。⁵⁶
飢饉が国全体に広がると、ヨセフはすべての倉庫を開き、エジプト人に穀物を売りました。飢饉はエジプト全土で非常に厳しかったからです。⁵⁷
そして、世界中の人々がヨセフから穀物を買うためにエジプトに来ました。飢饉はどこでも非常に厳しかったからです。

42 ヤコブはエジプトに穀物があることを知ったとき、息子たちに言った。「なぜお互いに見つめ合っているのか？」²
彼は続けて言った。「エジプトに穀物があると聞いた。そこへ行って、私たちのために買ってきなさい。そうすれば私たちは生き延び、死なずに済む。」³
こうして、ヨセフの兄弟たち10人は穀物を買うためにエジプトへ旅立った。⁴
しかし、ヤコブはヨセフの弟ベニヤミンを他の者たちと一緒に送らなかった。彼は彼に害が及ぶことを恐れていたからである。⁵
こうして、イスラエルの息子たちは、カナン地のにも飢饉があったため、穀物を買に行った者たちの中にいた。⁶
ヨセフはその地の総督であり、その地のすべての人々に穀物売る者であった。ヨセフの兄弟たちが到着すると、彼らは地面に顔を伏せて彼にひれ伏した。⁷

創世記

ヨセフは兄弟たちを見て彼らを認識したが、彼は自分を隠し、彼らに厳しく話しかけた。「どこから来たのか？」と彼は尋ねた。「カナンの地からです」¹と彼らは答えた。「食料を買いに来ました。」²ヨセフは兄弟たちを知っていたが、彼らは彼を認識しなかった。³ヨセフは彼らについての夢を思い出し、言った。「あなたたちはスパイだ！我々の地の無防備なところを見に来たのだ。」⁴彼らは答えた。「いいえ、主よ。私たちはあなたのしもべであり、食料を買いに来ました。」⁵私たちは皆、一人の男の息子です。私たちは正直な者であり、スパイではありません。」⁶しかし彼は主張した。「いいえ、あなたたちは我々の地の無防備なところを見に来たのだ。」⁷彼らは答えた。「あなたのしもべたちは、カナンの一人の男の息子である12人の兄弟です。末の弟は父と共におり、一人はもういません。」⁸ヨセフは彼らに言った。「私が警告した通りだ。あなたたちはスパイだ！」⁹これがあなたたちが試される方法だ。ファラオの命にかけて、末の弟がここに来るまで、この場所を離れることはできない。¹⁰あなたたちのうち一人を送り、弟を連れて来させなさい。他の者は拘束され、あなたたちの言葉が真実かどうか試される。さもなければ、ファラオの命にかけて、あなたたちはスパイだ！」¹¹そして彼は彼ら全員を3日間拘留した。¹²3日目に、ヨセフは彼らに言った。「これを行い、そうすれば生き延びるであろう。私は神を畏れるからだ。」¹³もしあなたたちが正直な者であるなら、あなたたちの兄弟の一人をここに囚われの身として残し、他の者は行って飢えた家族のために穀物を持ち帰りなさい。¹⁴しかし、末の弟を私のもつに連れて来なければならない。そうすればあなたたちの言葉が確認され、死ぬことはない。」彼らはそうすることに同意した。¹⁵彼らは互いに言った。「確かに私たちは兄弟のために罰を受けている。彼が私たちに懇願したときの彼の苦しみを見たが、私たちは聞かなかった。それがこの困難を招いたのだ。」¹⁶ルベンが答えた。「私は少年に罪を犯さないように言わなかったか？しかし、あなたたちは聞かなかった！今や彼の血のために正義が求められている。」¹⁷彼らはヨセフが通訳を使っているため、彼が理解できることに気づかなかった。¹⁸

ヨセフは彼らから離れて泣いたが、戻って再び彼らに話しかけた。彼はシメオンを彼らから取り、彼らの目の前で縛った。¹⁹ヨセフは彼らの袋を穀物で満ちし、各人の銀を袋に戻し、旅のための食料を提供するよう命じた。これは彼らのために行われた。²⁰彼らは穀物をロバに積み、出発した。²¹彼らが夜を過ごすために立ち寄った場所で、一人が袋を開けてロバに餌をやろうとすると、袋の口に銀があるのを見た。²²「私の銀が返された」と彼は兄弟たちに言った。「ここに袋の中にある。」彼らの心は沈み、互いに震えながら言った。「神が私たちに何をしたのか？」²³彼らがカナンの地にいる父ヤコブのもとに戻ったとき、彼らは自分たちに起こったすべてのことを彼に話し、²⁴「その地の主である男は私たちに厳しく話しかけ、私たちが国のスパイのように扱いました。」²⁵しかし、私たちは彼に保証しました。『私たちは正直な者であり、スパイではありません。』²⁶私たちは一人の父の息子である12人の兄弟です。一人はもういません、そして末の弟はカナンにいる父と共にいます。』²⁷その地の主である男は私たちに言いました。『あなたたちが正直な者かどうかを知る方法はこれです。あなたたちの兄弟の一人を私と共にここに残し、飢えた家族のために穀物を持ち帰り、行きなさい。』²⁸しかし、末の弟を私のもつに連れて来なさい。そうすればあなたたちがスパイではなく正直な者であることがわかる。そうすれば私はあなたたちの兄弟を返し、あなたたちはその地で商売をすることができる。』²⁹彼らが袋を空にしていると、各人の袋の中に銀の袋があった。彼らと彼らの父がその金の袋を見たとき、彼らは恐れた。³⁰彼らの父ヤコブは彼らに言った。「あなたたちは私から子供たちを奪った。ヨセフはいない、シメオンもない、そして今度はベニヤミンを連れて行くこととしている。すべてが私に逆らっている！」³¹ルベンが父に言った。「もし彼をあなたに戻さなければ、私の二人の息子を殺してもよい。彼を私の世話に任せてください、そして私は彼をあなたに戻します。」³²しかしヤコブは言った。「私の息子はあなたたちと一緒に下りて行かない。彼の兄弟は死んでおり、彼だけが残っている。もし彼にあなたたちが行く旅で何か害が及べば、あなたたちは私の白髪を悲しみのうちにシェオルに下らせるだろう。」³³

43 その地には飢饉が激しく続いていた。²
彼らがエジプトから持ってきた穀物をすべて消費したとき、彼らの父は彼らに言った。「戻って、少しでも食料を買ってきなさい。」³
ユダは彼に答えた。「その人は厳しく警告しました、『あなたたちの弟が一緒にでなければ、私の顔を見ることはできない』と。」⁴
もし弟と一緒にいけば、私たちは下って行って、あなたのために食料を買います。⁵
しかし、もし彼を送らないなら、私たちは下って行きません。なぜなら、その人が私たちに言ったからです、『あなたたちの弟が一緒にでなければ、私の顔を見ることはできない』と。」⁶
イスラエルは言った。「なぜあなたたちは、その人にもう一人の兄弟がいると話して、私にこの困難をもたらしたのか？」⁷
彼らは言った。「その人は私たち自身と家族について詳しく尋ねました。『あなたたちの父はまだ生きているか？もう一人の兄弟がいるか？』と。私たちは彼の質問に答えました。どうして彼が『弟をここに連れて来い』と言うとは知らなかったのでしょうか？」⁸
それからユダは父イスラエルに言った。「少年を私と一緒に送ってください。そうすれば、私たち、あなた、そして私たちの子供たちが生き延び、死なないようにすぐに出発します。」⁹
私は彼の安全を個人的に保証します。あなたは私を責任者としてください。もし彼を連れ戻してあなたにお見せしないなら、私は永遠にその責任を負います。¹⁰
もし私たちが遅れなかったなら、今頃は二度も行って帰ってきたでしょう。」¹¹
それから彼らの父イスラエルは言った。「もしそうしなければならぬなら、こうしなさい。袋にこの地の最良の産物を少し入れて、その人への贈り物として持って行きなさい。少しのバルサム、少しの蜂蜜、香料と没薬、ビスタチオナッツ、アーモンドを。」¹²
お金を倍にして持って行き、袋の口に戻されたお金を返しなさい。おそらくそれは見落としだったのでしょ。」¹³
弟も連れて行き、その人のところにすぐに戻りなさい。」¹⁴
そして全能の神がその人の目の前であなたたちに慈悲を与え、あなたたちの他の兄弟とベニヤミンを解放してくださいますように。私としては、もし私が子供を失うなら、失うのです。」¹⁵
それで男たちは贈り物と倍のお金、そしてベニヤミンも連れて行った。彼らは急いでエジプトに下り、

ヨセフの前に立った。¹⁶
ヨセフが彼らと一緒にベニヤミンを見たとき、彼は家の執事に言った。「これらの男たちを私の家に連れて行き、動物を屠って食事を準備しなさい。彼らは正午に私と一緒に食事をするのです。」¹⁷
執事はヨセフの指示通りにし、男たちをヨセフの家に連れて行った。¹⁸
男たちはヨセフの家に連れて行かれたとき、恐れていた。彼らは考えた。「私たちがここに連れて来られたのは、最初に袋に戻されたお金のためだ。彼は私たちを襲い、圧倒し、奴隷として、私たちのロバと一緒に捕らえるつもりだ。」¹⁹
それで彼らはヨセフの執事に近づき、家の入口で彼に話しかけた。²⁰
彼らは言った。「ご主人様、どうかお許しください。私たちは確かに最初にここに食料を買いに来ました。」²¹
しかし、宿営地に着いたとき、私たちは袋を開け、各人の袋の口にお金があるのを見つけました。私たちのお金が全額です。それで私たちはそれを持ってきました。²²
私たちは食料を買うために追加のお金も持ってきました。誰が私たちのお金を袋に入れたのか分かりません。」²³
執事は言った。「安心してください。恐れることはありません。あなたたちの神とあなたたちの父の神があなたたちの袋に宝を与えたのです。私はあなたたちのお金を受け取りました。」それから彼はシメオンを彼らのところに連れて来た。²⁴
執事は男たちをヨセフの家に連れて行き、足を洗うための水を与え、彼らのロバのために飼料を提供した。²⁵
彼らは正午にヨセフが到着するための贈り物を準備した。彼らはそこで食事をするのを聞いていたからである。²⁶
ヨセフが家に帰ってきたとき、彼らは家に持ってきた贈り物を彼に差し出し、地面にひれ伏して彼の前に礼をした。²⁷
彼は彼らの安否を尋ね、「あなたたちが話していた年輩の父はまだ生きているか？」と言った。²⁸
彼らは答えた。「あなたのしもべである私たちの父はまだ生きており、元気です。」そして彼らは敬意を表してひれ伏した。²⁹
彼が周りを見渡し、彼の母の息子である弟ベニヤミンを見たとき、彼は尋ねた。「これがあなたたちが私に話した最年少の弟ですか？」そして彼は言った。「神があなたに恵みを与えますように、我が子よ。」³⁰
弟を見て深く感動したヨセフは急いで出て行き、泣

創世記

く場所を探した。彼は自分の私室に入り、そこで泣いた。³¹

顔を洗った後、彼は出てきて、自分を制御し、「食事を出しなさい」と言った。³²

彼らは彼を一人で、兄弟たちを一人で、彼と一緒に食事をするエジプト人を一人で食事を出した。なぜなら、エジプト人はヘブライ人と一緒に食事をすることができなかったからである。それは彼らにとって忌まわしいことであった。³³

男たちは彼の前に年齢順に、長子から最年少まで座らされ、彼らは互いに驚いて見合った。³⁴

ヨセフのテーブルから彼らに分けられたとき、ベニヤミンの分け前は他の誰よりも五倍多かった。それで彼らは彼と一緒に自由に飲み食いした。

44 ヨセフは家の執事に命じて言った。「人々の袋を、彼らが運べるだけの食料で満たし、それぞれの袋の上に彼らの金を置きなさい。²

また、私の銀の杯を末の者の袋の上に、彼の穀物の金と一緒に置きなさい。」執事はヨセフの命じたとおりにした。³

朝が明けると、人々はロバを連れて出発した。⁴ 彼らが町を出て遠くないところで、ヨセフは執事に言った。「すぐにあの人々を追いかけ、追いついたら言いなさい。『なぜ善を悪で返したのか？⁵

これは私の主人が飲むために使う杯ではないのか？ あなたたちは悪事を働いた。』」⁶

彼が彼らに追いついたとき、これらの言葉を伝えた。⁷

彼らは答えた。「なぜ私の主はそのようなことをおっしゃるのですか？ あなたのしもべたちがそのようなことをするとは思えません。⁸

私たちは袋の口で見つけた金をカナンからあなたに持ち帰りました。なぜあなたの主人の家から銀や金を盗むでしょうか？⁹

もしあなたのしもべの中にそれが見つかった者がいれば、その者は死に、残りの者は私の主の奴隷となります。」¹⁰

彼は答えた。「あなたの言うとおりにしなさい。それが見つかった者は私の奴隷となり、残りの者は無罪となります。」¹¹

各人は急いで袋を地面に下ろし、それを開けた。¹² 執事は捜し始め、年長者から始めて末の者で終わり、杯はベニヤミンの袋に見つかった。¹³

これを見て、彼らは衣を裂いて悲しみ、各人はロバを再び積み直し、町に戻った。¹⁴

ユダと彼の兄弟たちがヨセフの家に着くと、彼はまだそこにおいて、彼らは彼の前に地にひれ伏した。¹⁵ ヨセフは彼らに言った。「あなたたちは何をしたの

か？ 私のような者が占いをすることができることを知らないのか？」¹⁶

ユダは答えた。「私の主に何を言えばよいのでしょうか？ どうやって自分たちを正当化すればよいのでしょうか？ 神はあなたのしもべたちの罪を明らかにされました。私たちは今、私の主の奴隷です。杯が見つかった者も、私たちも。」¹⁷

しかしヨセフは言った。「私がそんなことをするとは思えません。杯が見つかった者だけが私の奴隷となり、残りの者は平和に父のもとに帰りなさい。」¹⁸

するとユダは彼に近づいて言った。「どうか、私の主よ、あなたのしもべが私の主の耳に一言申し上げさせてください。あなたのしもべに怒らないでください。あなたはまるでファラオのようです。¹⁹

私の主はしもべたちに尋ねました。『父や兄弟がいるか？』²⁰

私たちは答えました。『年若い父と、老年に生まれた若い息子がいます。彼の兄弟は死んでおり、彼は母の子の中で唯一残っています。父は彼を愛しています。』²¹

それからあなたはしもべたちに言いました。『彼を私のもとに連れてきなさい。彼を見たいのです。』²²

私たちは私の主に言いました。『その少年は父を離れることができません。もし彼が離れたら、父は死んでしまうでしょう。』²³

しかしあなたはしもべたちに言いました。『あなたたちの末の弟が一緒にない限り、私の顔を見ることはできません。』²⁴

私たちがあなたのしもべである父のもとに戻ったとき、私の主が言ったことを伝えました。²⁵

私たちの父は言いました。『戻って、もう少し食料を買ってきなさい。』²⁶

しかし私たちは言いました。『末の弟が一緒にない限り、下ることはできません。彼が一緒にないと、その人の顔を見ることはできません。』²⁷

あなたのしもべである私たちの父は私たちに言いました。『私の妻は私に二人の息子を産みました。²⁸ 一人は私を離れ、私は言いました。「彼はきっと引き裂かれたに違いない。」それ以来、彼を見ていません。』²⁹

もしこの子も私から連れ去られ、彼に災いが降りかかるなら、あなたたちは私の白髪を悲しみのうちに墓に送り込むことになるでしょう。』³⁰

今、その少年が私たちと一緒にないとき、私があるあなたのしもべである父のもとに戻るとき、父の命はその少年の命に密接に結びついています。³¹

その少年が私たちと一緒にないのを見ると、彼は死

創世記

んでしまうでしょう。あなたのしもべたちは父の白髪を悲しみのうちに墓に送り込むことになります。

32

あなたのしもべはその少年の安全を父に保証しました。『もし彼を戻さなければ、私は一生父の前で責任を負います。』

33

どうか、あなたのしもべをその少年の代わりに私の主の奴隷として残し、その少年を兄弟たちと一緒に帰らせてください。

34

その少年が私と一緒にでないとき、どうやって父のもとに戻るのでしょうか？私は父に降りかかる悲しみを見るのを恐れています。」

45 ヨセフは、彼のそばに立っているすべての者の前で、もはや自分を抑えることができず、「皆、私から離れよ！」と叫んだ。それで、ヨセフが兄弟たちに自分を明かしたとき、彼と共にいる者はいなかった。

2

彼は声を上げて泣いたので、エジプト人がそれ聞き、ファラオの家にもその知らせが届いた。

3

ヨセフは兄弟たちに言った。「私はヨセフです！父はまだ生きていますか？」しかし、兄弟たちは彼の前で恐れて答えることができなかった。

4

ヨセフは兄弟たちに言った。「どうか私に近づいてください。」彼らが近づいたとき、彼は言った。「私はあなたたちの兄弟ヨセフです。あなたたちがエジプトに売った者です。」

5

今、私をここに売ったことで心を痛めたり怒ったりしないでください。神が命を救うためにあなたたちより先に私を送ったのです。

6

この地には2年間の飢饉があり、まだ5年間は耕作も収穫もないでしょう。

7

神は地上に残りの者を確保し、大いなる救いによってあなたたちの命を救うために私を先に送ったのです。

8

それで、私をここに送ったのはあなたたちではなく、神です。神は私をファラオの父、彼の全家の主、エジプト全土の支配者とされました。

9

急いで父のもとに戻り、彼に言うてください。『あなたの息子ヨセフがこう言っています。神は私をエジプト全土の主とされました。私のもとに下って来ててください。遅れないでください。』

10

あなたはゴシェンの地に住み、私の近くにいるでしょう。あなたとあなたの子供たち、孫たち、羊の群れ、牛の群れ、そしてあなたが持っているすべてのもの。

11

私はそこであなたを養います。まだ5年間の飢饉が来るからです。さもないと、あなたとあなたの家族、そしてあなたが持っているすべてのものが困窮するでしょう。』

12

見てください、あなたたちの目と私の兄弟ベニヤミンの目が、私があなたたちに話していることを見ています。

13

私の榮譽とエジプトでのすべてのことを父に伝えてください。そして、父をここに急いで連れて来ててください。」

14

それから彼は兄弟ベニヤミンを抱きしめて泣き、ベニヤミンも彼の肩で泣いた。

15

彼はすべての兄弟たちに口づけし、彼らの上で泣いた。その後、兄弟たちは彼と話した。

16

ヨセフの兄弟たちが来たという知らせがファラオの家に届いたとき、ファラオとその家来たちは喜んだ。

17

ファラオはヨセフに命じた。「あなたの兄弟たちに言いなさい、『こうしなさい。あなたたちの動物に荷を積み、カナンの地に戻り、』

18

父と家族を私のもとに連れて来なさい。私はエジプトの最良の地をあなたたちに与え、地の豊かさを楽しむことができるでしょう。』

19

また命じられた、『こうしなさい。エジプトから子供たちと妻たちのためにいくつかのワゴンを持って行き、父を連れて来なさい。』

20

持ち物を心配しないでください。エジプトの最良のものはすべてあなたたちのものです。』

21

イスラエルの子らはそうした。ヨセフはファラオが命じたように彼らにワゴンを与え、旅のための食料も提供した。

22

彼はそれぞれに衣服を与えたが、ベニヤミンには銀三百枚と衣服五着を与えた。

23

彼の父には次のものを送った。エジプトの最良のものを積んだ雄ロバ十頭と、穀物、パン、旅のための食料を積んだ雌ロバ十頭。

24

彼は兄弟たちを送り出し、彼らが出発する際に言った。「道中で争わないでください！」

25

彼らはエジプトから上って行き、カナンの地で父ヤコブのもとに来了。

26

彼らは彼に言った。「ヨセフはまだ生きていて、実際にエジプト全土の支配者です。」ヤコブは驚いて、彼らを信じなかった。

27

しかし、彼らがヨセフが彼らに話したすべての言葉を彼に伝え、ヨセフが彼を運ぶために送ったワゴンを見たとき、父ヤコブの霊はよみがえった。

28

そしてイスラエルは言った。「これで十分だ。私の息子ヨセフはまだ生きている。私は行って、死ぬ前に彼を見よう。」

46 こうしてイスラエルはすべての持ち物を携えて出発し、ベエルシエバに着くと、父イサクの神に犠牲を捧げた。

2

そして神は夜の幻の中でイスラエルに語りかけ、「

創世記

ヤコブ、ヤコブ」と言った。彼は「ここにおります」³と答えた。

神は言われた、「わたしは神、あなたの父の神である。エジプトに下ることを恐れるな。そこでわたしはあなたを大いなる国民にする。⁴
わたしはあなたと共にエジプトに下り、必ずあなたを再び連れ帰る。そしてヨセフがあなたの目を閉じるであろう。」⁵

それからヤコブはベエルシェバを出発し、イスラエルの子らは父ヤコブとその子供たち、妻たちを、パロが送った車に乗せた。⁶

彼らはカナンで得た家畜と財産を携えてエジプトに行った。ヤコブとそのすべての子孫が共に行った。⁷

その息子たちと孫たち、娘たちと孫娘たち―彼のすべての子孫をエジプトに連れて行った。⁸

エジプトに行ったイスラエルの子らの名は次の通りである。ヤコブとその息子たち：ルベン、ヤコブの長男。⁹

ルベンの息子たちはハノク、パル、ヘツロン、カルミである。¹⁰

シメオンの息子たち：エムエル、ヤミン、オハデ、ヤキン、ツォハル、カナン人の女から生まれたシャウル。¹¹

レビの息子たちはゲルション、コハテ、メラリである。¹²

ユダの息子たち：エル、オナン、シェラ、ペレズ、ゼラ（しかしエルとオナンはカナンの地で死んだ）。

ペレズの息子たちはヘツロンとハムル。¹³

イッサカルの息子たち：トラ、プワ、ヨブ、シムロン。¹⁴

ゼブルンの息子たちはセレデ、エロン、ヤリエルである。¹⁵

これらはレアがパダン・アラムでヤコブに産んだ息子たちと娘ディナである。彼の息子と娘は合わせて三十三人であった。¹⁶

これらはガドの息子たち：ツィフィオン、ハギ、シュニ、エツボン、エリ、アロディ、アレリ。¹⁷

アシェルの息子たち：イムナ、イシュワ、イシュビ、ベリア、彼らの姉妹セラ。ベリアの息子たちはヘベルとマルキエル。¹⁸

これらはラバンが娘レアに与えたジルバからヤコブに生まれた子供たちで、合計十六人である。¹⁹

ヤコブの妻ラケルはヨセフとベニヤミンを産んだ。²⁰

エジプトでヨセフには、オンの祭司ポティフェラの娘アセナテからマナセとエフライムの二人の息子が生まれた。²¹

ベニヤミンの息子たち：ベラ、ベケル、アシュベル、ゲラ、ナアマン、エヒ、ロシュ、ムビム、フビム

、アルド。²²

これらはラケルからヤコブに生まれた子供たちで、合計十四人である。²³

ダンの息子はフシムと呼ばれた。²⁴

ナフタリの息子たちはヤハツエル、グニ、エゼル、シレムである。²⁵

これらはラバンが娘ラケルに与えたビルハからヤコブに生まれた息子たちで、合計七人である。²⁶

ヤコブに属するすべての人々、彼の直系の子孫で、ヤコブの息子たちの妻を除いて、エジプトに行った者は合計六十六人であった。²⁷

エジプトでヨセフに生まれた二人の息子を加えて、エジプトに行ったヤコブの家の者は合計七十人であった。²⁸

ヤコブはユダをヨセフのもとに先に送り、ゴシェンへの道案内をさせた。彼らがゴシェンの地に着いたとき、²⁹

ヨセフは自分の車を整え、ゴシェンに行つて父イスラエルに会った。彼が父の前に現れると、彼を抱きしめ、長い間泣いた。³⁰

イスラエルはヨセフに言った、「今、私は死んでもよい。あなたがまだ生きているのを自分の目で見ただから。」³¹

ヨセフは兄弟たちと父の家族に言った、「私は上つて行って、パロに告げます。『私の兄弟たちと父の家族がカナンに住んでいたが、私のもとにきました。』³²

彼らは羊飼いで、家畜を飼っていました。彼らは羊の群れ、牛の群れ、そして彼らの持ち物すべてを持ってきました。』³³

パロがあなたたちを召し出して、『あなたたちの職業は何か』と尋ねたとき、³⁴

あなたたちは『私たちのしもべたちは若い頃から今に至るまで家畜を飼ってきました。私たちの父たちもそうでした』と言いなさい。これによってあなたたちはゴシェンの地に住むことができるでしょう。すべての羊飼いはエジプト人にとって忌み嫌われているからです。」

47 ヨセフはファラオのもとに行つて言った。「私の父と兄弟たちが、彼らの羊の群れ、牛の群れ、そして彼らが持っているすべてのものと共にカナンから来て、今ゴシェンにいます。」²

彼は兄弟たちの中から五人を選び、ファラオの前に立たせた。³

ファラオは彼らに尋ねた。「あなたたちの職業は何ですか？」彼らは答えた。「あなたのしもべたちは羊飼いです。私たちの先祖もそうでした。」⁴

彼らは続けて言った。「私たちはここに一時的に住

創世記

むために来ました。カナンの飢饉は厳しく、私たちの群れのための牧草地がありません。どうかあなたのしもべたちをゴシェンに住まわせてください。」⁵

ファラオはヨセフに言った。「あなたの父と兄弟たちがあなたのもに來た。」⁶

エジプトの土地はあなたの手にあります。家族を土地の最良の部分に住まわせなさい。彼らをゴシェンに住まわせなさい。もし彼らの中に有能な者がいれば、私の家畜の管理を任せなさい。」⁷

ヨセフは父ヤコブをファラオのもとに連れて行き、ヤコブはファラオを祝福した。⁸

ファラオはヤコブに尋ねた。「あなたは何年生きてきましたか?」⁹

ヤコブは答えた。「私の旅の年数は**130年**です。私の年は少なく、困難でした。私の先祖たちの旅の年数には及びません。」¹⁰

ヤコブは再びファラオを祝福し、その場を去った。¹¹

ヨセフは父と兄弟たちをエジプトに住まわせ、ファラオの命令通りにラメセスの地域、土地の最良の部分に彼らに財産を与えた。¹²

ヨセフはまた、父、兄弟たち、そして父の家のすべての者に、その扶養家族の数に応じて食料を提供した。¹³

飢饉が厳しかったため、地域全体に食料がなく、エジプトとカナンはそれによって苦しんでいた。¹⁴

ヨセフはエジプトとカナンで見つかったすべてのお金を穀物と引き換えに集め、それをファラオの家に持って行った。¹⁵

エジプトとカナンのお金が尽きたとき、エジプト人たちはヨセフに近づいて言った。「食料をください。なぜ私たちがあなたの前で滅びるべきでしょうか。私たちのお金は使い果たされました。」¹⁶

ヨセフは答えた。「あなたたちの家畜を持ってきなさい。お金がないので、それと引き換えに食料を提供します。」¹⁷

彼らは家畜をヨセフのもとに持ってきた。ヨセフは馬、羊、山羊、牛、ロバと引き換えに彼らに食料を供給した。彼はその年を通して彼らの家畜のために食料を提供した。¹⁸

その年が終わると、彼らは翌年戻ってきて言った。「私たちのお金がなく、家畜もあなたのものになったことを、私たちの主に隠すことはできません。私たちの主に残っているのは私たちの体と土地だけです。」¹⁹

なぜ私たちと私たちの土地があなたの目の前で滅びるべきでしょうか。食料と引き換えに私たちと私たちの土地を買い、私たちはファラオのしもべになり

ます。種を提供して、私たちが生きて死なず、土地が荒れ果てないようにしてください。」²⁰

ヨセフはエジプトのすべての土地をファラオのために買い取った。飢饉が厳しかったため、すべてのエジプト人が自分の畑を売り、土地はファラオのものとなった。²¹

ヨセフは人々をエジプトの端から端まで都市に移住させた。²²

しかし、彼は祭司たちの土地を買わなかった。彼らはファラオから定期的な配給を受けてそれで生活していたので、彼らの土地を売ることはなかった。²³

ヨセフは人々に言った。「今日はあなたたちとあなたたちの土地をファラオのために買いました。ここに種があります。土地に蒔きなさい。」²⁴

収穫時には、五分の一をファラオに納め、残りの五分の四はあなたたちの種、食料、家族、子供たちのためのものとしなさい。」²⁵

彼らは言った。「あなたは私たちの命を救いました! 私たちの主の目に恵みを見いだしますように。私たちはファラオのしもべになります。」²⁶

ヨセフはエジプトの土地についての法律を制定し、今日もなお有効であり、収穫物の五分の一はファラオのものとされた。祭司たちの土地だけはファラオのものとはならなかった。²⁷

イスラエルの人々はエジプト、ゴシェンの地域に住み、財産を得て、非常に多くの子孫を増やした。²⁸ ヤコブはエジプトで**17年**間生き、その寿命は**147年**であった。²⁹

イスラエルが死ぬ時が近づいたとき、彼は息子ヨセフを呼び、「もし私があなたの目に恵みを見いだしたなら、あなたの手を私のもの下に置き、私に親切と誠実を示すと約束してください。私をエジプトに埋葬しないでください。」³⁰

私が私の先祖と共に休むとき、私をエジプトから運び出し、彼らの埋葬地に埋葬してください。」ヨセフは言った。「あなたの言うとおりにします。」³¹ 「私に誓ってください」とヤコブは主張した。そこでヨセフは彼に誓い、イスラエルは杖の先に寄りかかって礼拝した。

48 これらの出来事の後、ヨセフは「あなたの父が病気で」と知らされました。それで彼は二人の息子、マナセとエフライムを連れて行きました。²

ヤコブが「あなたの息子ヨセフがあなたのもとに來ました」との知らせを受けたとき、イスラエルは力を振り絞ってベッドに座り直しました。³

ヤコブはヨセフに言いました、「全能の神がカナンの地のルズで私に現れ、私に祝福を授けました。⁴ そして私に言われました、『私はあなたを実り多く

し、あなたの子孫を増やす。私はあなたを多くの民とし、この地をあなたの子孫に永遠の所有として与える。』⁵

「今、あなたがここに来る前にエジプトで生まれたあなたの二人の息子は、私のものとされる。エフライムとマナセは、ルベンとシメオンのように私のものとなる。」⁶

彼らの後にあなたに生まれる子供たちはあなたのものとなる。彼らはその兄弟たちの名の下にその相続に記録される。⁷

私がパダンから帰る途中、ラケルはカナンの地で、私の悲しみの中で亡くなりました。私たちはまだ旅の途中で、エフラテから少し離れたところでした。それで私は彼女をエフラテへの道の途中に葬りました」（それはベツレヘムです）。⁸

ヨセフの息子たちを見て、イスラエルは尋ねました、「これらは誰ですか？」⁹

ヨセフは父に言いました、「彼らは神がここで私に与えた私の息子たちです。」するとイスラエルは言いました、「彼らを私のところに連れてきてください、私が彼らを祝福できるように。」¹⁰

今やイスラエルの目は老齢のために衰えていて、ほとんど見えませんでした。それでヨセフは彼らを近づけ、父は彼らに口づけし、抱きしめました。¹¹ イスラエルはヨセフに言いました、「私は再びあなたの顔を見ることを期待していませんでしたが、今や神はあなたの子供たちも見させてくださいました。」¹²

ヨセフは彼らをイスラエルの膝から移動させ、地面に顔を伏せてひれ伏しました。¹³

ヨセフは二人を連れて行き、エフライムを右手でイスラエルの左手に向け、マナセを左手でイスラエルの右手に向けて、彼に近づけました。¹⁴

しかしイスラエルは右手を伸ばしてエフライムの頭に置きました。彼は若い方であり、腕を交差させて左手をマナセの頭に置きました。マナセは長子であったにもかかわらず。¹⁵

それから彼はヨセフを祝福して言いました、「私の父アブラハムとイサクが歩んだ神、私の生涯を今まで牧者として導いてくださった神、すべての悪から私を贖ってくださった天使が、この少年たちを祝福してください。私の名が彼らにおいて存続し、私の父アブラハムとイサクの名が彼らにおいて存続しますように。そして彼らが地上で多くの人々となりますように。」¹⁷

ヨセフは父が右手をエフライムの頭に置いているのを見て、それを不快に思いました。それで彼は父の手をエフライムの頭からマナセの頭に移そうとしました。¹⁸

ヨセフは父に言いました、「どうか、父よ、この者が長子です。彼の頭に右手を置いてください。」¹⁹ しかし彼の父は拒否して言いました、「わかっている、息子よ、わかっている。彼もまた一つの民となり、彼もまた偉大になる。しかし、彼の弟は彼よりも偉大になり、彼の子孫は多くの国々となる。」²⁰ 彼はその日彼らを祝福して言いました、「イスラエルはあなたによって祝福を述べるでしょう、『神があなたをエフライムとマナセのようにされますように。』」こうして彼はエフライムをマナセの前に置きました。²¹

それからイスラエルはヨセフに言いました、「私はもうすぐ死にますが、神はあなたと共におられ、あなたをあなたの父たちの地に戻されるでしょう。²² そして私はあなたに、あなたの兄弟たちよりも一つ多くの分を与えます。それは私が剣と弓でアモリ人から取ったものです。」

49 その後、ヤコブは息子たちを呼び寄せて言った、「集まってください。これからあなたたちに起こることを告げましょう。」²

「集まって聞きなさい、ヤコブの息子たちよ。イスラエルであるあなたたちの父に耳を傾けなさい。³ 「ルベン、あなたは私の長子、私の力、私の力の始まり、尊厳と力において優れている。⁴ 水のように不安定で、あなたは優れない。あなたは父の寝床に上り、汚したからだ。彼は私の寝台に上った。」⁵

「シメオンとレビは兄弟であり、彼らの剣は暴力の道具である。⁶ 私の魂を彼らの会議に入れしないでください。私の栄光を彼らの集会に結びつけないでください。彼らは怒りにおいて人を殺し、自己意志で牛の脚を切り落としたからです。⁷

彼らの怒りは激しく、彼らの憤りは残酷であるため、呪われよ！私は彼らをヤコブの中に散らし、イスラエルの中に分散させる。⁸

「ユダよ、あなたの兄弟たちはあなたを称賛する。あなたの手は敵の首にあり、あなたの父の息子たちはあなたにひれ伏す。」⁹

ユダは若いライオンである。獲物から、わが子よ、あなたは上がった。彼はライオンのように身をかがめ、横たわる。誰が彼を起こすことができるだろうか？¹⁰

王杖はユダから離れず、支配者の杖は彼の足の間から離れない。それは彼に属する者が来るまで、そして民の服従が彼のものであるまで。¹¹

彼は彼のロバをぶどうの木に、彼の子ロバを良い枝に結びつける。彼は彼の衣をぶどう酒で、彼の服をぶどうの血で洗う。¹²

創世記

彼の目はぶどう酒よりも輝き、彼の歯は乳よりも白い。¹³

「ゼブルンは海岸に住み、船の避難所となる。その境界はシドンに向かって伸びる。¹⁴

「イッサカルはたくましいロバのようで、羊の囲いの間に横たわる。¹⁵

彼は休息の場所が良く、土地が心地よいと見たとき、肩を下げて重荷を負い、強制労働の僕となった。¹⁶

「ダンはいスラエルの部族の一つとして彼の民を治める。¹⁷

ダンは道端の蛇、道の上の毒蛇であり、馬のかかとを噛んでその乗り手を後ろに倒す。¹⁸

「あなたの救いを待ち望みます、主よ。¹⁹

「ガドは襲撃者の一団に襲われるが、彼は彼らのかかとを襲う。²⁰

「アシェルの食物は豊かであり、彼は王にふさわしい美味を提供する。²¹

「ナフタリは自由な雌鹿であり、彼は優雅に話す。²²

「ヨセフは実り豊かなぶどうの木、泉のそばの実り豊かなぶどうの木であり、その枝は壁を越える。²³ 射手たちは彼を苦々しく攻撃し、彼に矢を放ち、彼を悩ませた。²⁴

しかし、彼の弓は堅固であり、彼の腕は敏捷であった。それはヤコブの力ある者、イスラエルの岩である牧者の手によるものである。²⁵

あなたの父の神によって助けられ、全能者によって祝福される。上の天からの祝福、下の深みからの祝福、乳と胎の祝福。²⁶

あなたの父の祝福は古代の山々の祝福を超え、永遠の丘の豊かさを超える。それらがヨセフの頭に、彼の兄弟たちの中の君主の額に留まるように。²⁷

「ベニヤミンは食欲な狼である。朝に獲物を食らい、夕に分捕り物を分ける。」²⁸

これらはすべてイスラエルの十二部族であり、これは彼らの父が彼らを祝福したときに彼らに言ったことであり、各々に適切な祝福を与えた。²⁹

その後、彼は彼らに命じて言った、「私は私の民に加えられようとしている。私の父たちと共に、ヒッタイト人エフロンの畑の洞窟に葬ってください。³⁰

カナンのmamレの近くのマクベラの畑の洞窟で、アブラハムがヒッタイト人エフロンから畑と共に買った埋葬地です。³¹

そこにアブラハムと彼の妻サラが葬られ、そこにイサクと彼の妻リベカが葬られ、そこに私はレアを葬った。³²

その畑とその中の洞窟はヘテ人の子孫から購入された。」³³

ヤコブが息子たちに指示を終えたとき、彼は足をベッドに引き寄せ、息を引き取り、彼の民に加えられた。

50 ヨセフは父の顔に伏して泣き、彼に口づけをした。²

ヨセフは彼の仕える医者たちに命じて父イスラエルをミイラにするように指示した。それで医者たちは彼をミイラにした。³

ミイラにするのに四十日を要したが、それは通常必要な期間であった。エジプト人は彼のために七十日間喪に服した。⁴

喪の日々が終わったとき、ヨセフはファラオの家臣たちに言った、「もし私があなたの目に恵みを見いだしているなら、どうか私のためにファラオに言ってください、⁵

『私の父が私に誓わせて言った、「見よ、私は死ぬうとしている。カナンの地に私が自分のために準備した墓に、あなたは私を葬らなければならない。』今、私を行かせて父を葬らせてください。それから戻ります。』⁶

ファラオは答えた、「行って、あなたの父を葬りなさい。彼があなたに誓わせたとおりに。」⁷

それでヨセフは父を葬るために上って行った。彼と共にファラオのすべての役人、彼の家の長老たち、そしてエジプトのすべての長老たちが行った。⁸

ヨセフの家の者、彼の兄弟たち、そして彼の父の家の者も共に行った。彼らの子供たち、羊の群れ、牛の群れだけがゴシェンに残された。⁹

戦車と騎兵も彼と共に行った。それは非常に大きな一行であった。¹⁰

彼らがヨルダンの向こう側のアタドの打ち場に着いたとき、彼らは非常に大きな悲しみと嘆きで喪に服した。ヨセフは父のために七日間の喪を観察した。¹¹

そこに住んでいたカナン人がアタドの打ち場での喪を見たとき、彼らは言った、「これはエジプト人のための厳粛な喪である。」それゆえ、その場所はヨルダンの向こうのアベル・ミツライムと名付けられた。¹²

ヤコブの息子たちは彼が命じたとおりに彼のために行った。¹³

彼らは彼をカナンの地に運び、マクベラの野の洞窟に葬った。それはmamレに面しており、アブラハムがヒッタイト人エフロンから埋葬地として野と共に買ったものである。¹⁴

父を葬った後、ヨセフは兄弟たちと共に、父を葬るために彼と共に上って行ったすべての者と共にエジプトに戻った。¹⁵

ヨセフの兄弟たちは父が死んだのを見て言った、「

創世記

もしヨセフが私たちに恨みを抱き、私たちが彼にしたすべての悪に報いるならどうしよう。」¹⁶

それゆえ、彼らはヨセフに言葉を送って言った、「あなたの父は死ぬ前にこの命令を与えました、¹⁷

『ヨセフにこう言いなさい。私はあなたにお願いする、あなたの兄弟たちの罪と彼らの罪過を許してください。彼らはあなたを悪く扱いました。』今、どうかあなたの父の神のしもべたちの罪過を許してください。」ヨセフは彼らが彼に話したとき泣いた。

¹⁸その後、彼の兄弟たちも来て彼の前にひれ伏して言った、「見よ、私たちはあなたのしもべです。」¹⁹しかしヨセフは彼らに言った、「恐れることはありません。私は神の代わりにいるのでしょうか。」²⁰あなたがたは私に害を加えようとしたが、神はそれを良いことに用い、今行われていること、多くの命を救うことを成し遂げました。²¹

それゆえ、恐れることはありません。私はあなたが

たとあなたがたの子供たちを養います。」そして彼は彼らを慰め、親切に語りかけた。²²

ヨセフはエジプトに留まり、彼と彼の父の家の者たちも共にいた。彼は百十歳まで生きた。²³

彼はエフライムの子供たちの第三世代を見、またマナセの子マキルの子供たちもヨセフの膝の上で生まれた。²⁴

ヨセフは兄弟たちに言った、「私は死のうとしているが、神は必ずあなたがたを助け、この地からアブラハム、イサク、ヤコブに誓った地に連れて行かれるでしょう。」²⁵

それからヨセフはイスラエルの子らに誓わせて言った、「神は必ずあなたがたを助けるでしょう、そしてあなたがたは私の骨をこの場所から運び上げなければなりません。」²⁶

それでヨセフは百十歳で亡くなり、彼らが彼をミイラにした後、彼はエジプトで棺に納められた。

出エジプト記

1 ヤコブと共にエジプトに旅したイスラエルの子
たちの名前は次のとおりです。それぞれの家族
と共に来ました。

ルベン、シメオン、レビ、ユダと共に；
イッサカル、ゼブルン、ベニヤミンと共に；
ダンとナフタリ、ガドとアシェルと共に。

ヤコブの子孫は全部で七十人でしたが、ヨセフはす
でにエジプトにいました。

その後、ヨセフは死に、彼の兄弟たちとその世代の
すべての者も死にました。

イスラエルの人々は多産で非常に増え、非常に強く
なり、その地は彼らで満たされました。

さて、ヨセフを知らない新しい王がエジプトに起こ
りました。

彼はその民に言いました、「見よ、イスラエルの人
々は我々よりも多く、また強力になっている。
さあ、彼らがさらに増えないように賢く対処しよう

戦争が起こったとき、彼らが我々の敵に加わり、
我々と戦い、この地を去るかもしれない。」

それで彼らは彼らを圧迫するために監督者を任命し
、パロのために貯蔵都市ピトムとラメセスを建設し
ました。

しかし、彼らが圧迫されればされるほど、彼らはま
すます増え広がり、エジプト人はイスラエルの人々
を恐れるようになりました。

エジプト人はイスラエルの人々に無慈悲に労働を強
いました。

彼らの生活を苦いものにし、モルタルとレンガの厳
しい労働と野外のあらゆる労働で彼らを苦しめまし
た。すべての労働は厳しく課せられました。

エジプトの王はヘブライの助産婦に話しかけまし
た。その一人はシフラ、もう一人はプアと名付けられ
ていました。

彼は言いました、「ヘブライの女性が出産するのを
助け、彼女たちが産座にいるのを見たら、男の子な
ら殺しなさい。しかし、女の子なら生かしておきな
さい。」

しかし、助産婦たちは神を恐れ、エジプトの王が命
じたようにはせず、男の子たちを生かしました。
エジプトの王は助産婦たちを呼び出し、「なぜこの
ようにして男の子たちを生かしたのか」と尋ねまし
た。

助産婦たちはパロに答えました、「ヘブライの女性
はエジプトの女性とは違います。彼女たちは強健で
、助産婦が到着する前に出産します。」

それゆえ、神は助産婦たちに親切にし、人々は増え
、非常に強くなりました。

そして、助産婦たちが神を恐れたので、神は彼女た
ちに自分の家族を与えました。

その後、パロはすべての民に命じました、「生まれ
た男の子はすべてナイル川に投げ入れなさい。しか
し、女の子はすべて生かしておきなさい。」

2 レビの家のある人が行って、レビの娘を妻に迎
えた。

その女は身ごもり、男の子を産んだ。その子が
美しいのを見て、三か月の間その子を隠していた。

しかし、もはや隠しきれなくなったので、葦の籠を
取り、ビッチとタールでそれを塗り、子供をその中
に入れ、ナイル川の岸の葦の間に置いた。

その姉が遠くに立って、どうなるかを見守っていた

。ファラオの娘がナイル川に水浴びに下りてきたとき
、彼女の侍女たちは川岸を歩いていた。彼女は葦の
間に籠を見つけ、侍女を遣わしてそれを取らせた。

それを開けると、泣いている赤ん坊を見て、その子
に憐れみを感じ、「これはヘブライ人の子供です」
と言った。

すると、その姉がファラオの娘に言った。「あなた
のために乳を飲ませるヘブライ人の女を呼んで、そ
の子に乳を飲ませましょうか。」

「行きなさい」とファラオの娘は答えた。それで、
その少女は行って、その子の母を呼んだ。

ファラオの娘は彼女に言った。「この子を連れて行
って、私のために乳を飲ませなさい。私はあなたに
報酬を払います。」それで、その女はその子を引き
取り、乳を飲ませた。

その子が成長したとき、彼女はファラオの娘のもと
に連れて行き、その子は彼女の息子となった。彼女は
その子をモーセと名付け、「私は彼を水から引き
出した」と言った。

その頃、モーセが成長したとき、自分の民のところ
に出て行き、彼らの苦役を見た。そして、彼はエジ
プト人が自分の民の一人であるヘブライ人を打って
いるのを見た。

彼はあたりを見回し、誰もいないのを見て、そのエ
ジプト人を打ち殺し、砂の中に隠した。

翌日、彼が出て行くと、二人のヘブライ人が争って
いるのを見た。彼は不正を働いている者に言った。
「なぜあなたの仲間のヘブライ人を打つのですか。」

その男は答えた。「誰があなたを私たちの支配者や
裁判官にしたのですか。あなたはエジプト人を殺し
たように私を殺すつもりですか。」モーセは恐れ、
「確かにこのことは知られている」と思った。
ファラオがこのことを聞いたとき、彼はモーセを殺
そうとしたが、モーセはファラオから逃れ、ミディ

出エジプト記

アン¹⁶の地に住み着き、井戸のそばに座った。
ミディアンの祭司には七人の娘がいて、水を汲みに来て、父の羊の群れに水を与えるために水槽を満たした。¹⁷
羊飼いたちが来て彼女たちを追い払ったが、モーセは立ち上がり、彼女たちを助け、彼女たちの群れに水を与えた。¹⁸
彼女たちが父レウエルのもとに帰ると、彼は言った。「なぜ今日はこんなに早く帰ってきたのか。」¹⁹
彼女たちは答えた。「エジプト人が私たちを羊飼いたちから救ってくれました。彼は私たちのために水を汲み、群れに水を与えてくれました。」²⁰
「彼はどこにいるのか」とレウエルは娘たちに言った。「なぜ彼を置いてきたのか。彼を招いて食事を共にしなさい。」²¹
モーセはその男と共に住むことに同意し、その男は娘ツィボラをモーセに妻として与えた。²²
ツィボラは男の子を産み、モーセは彼をゲルショムと名付け、「私は異国の地で寄留者となった」と言った。²³
その長い期間の間に、エジプトの王が死んだ。イスラエルの人々はその苦役の下でうめき、叫び声を上げた。彼らの奴隷状態のための助けを求める叫び声は神に届いた。²⁴
神は彼らのうめきを聞き、アブラハム、イサク、ヤコブとの契約を思い起こされた。²⁵
神はイスラエルの人々を見て、彼らに心を留められた。

3 さて、モーセはミディアンの祭司である義父イテロの羊の群れを飼っていた。彼は群れを荒野の奥に導き、神の山ホレブに来了。²
すると、主の使いが茂みの中の燃える火の中で彼に現れた。モーセは茂みが燃えているのを見たが、それは消えなかった。³
そこでモーセは、「私はあの驚くべき光景を見に行こう。なぜ茂みが燃え尽きないのか」と思った。⁴
主が彼が見に行くのを見たとき、神は茂みの中から彼に呼びかけて、「モーセ、モーセ！」と言われた。⁵
モーセは「ここにおります」と答えた。
「これ以上近づいてはならない」と神は言われた。「あなたの立っている場所は聖なる地であるから、履物を脱ぎなさい。」⁶
そして彼は言われた、「私はあなたの父の神、アブラハムの神、イサクの神、ヤコブの神である。」これを聞いて、モーセは神を見るのを恐れて顔を隠した。⁷
主は言われた、「私は確かにエジプトにいる私の民の苦しみを見、彼らの監督者たちのために彼らの叫びを聞いた。私は彼らの苦しみを知っている。」⁸

それで私は彼らをエジプト人の力から救い出し、良い広い地、乳と蜜の流れる地、カナン人、ヘテ人、アモリ人、ペリジ人、ヒビ人、エブス人の住む地に連れて行くために降りてきた。⁹
今や、イスラエル人の呼びが私に届き、エジプト人が彼らをどのように虐げているかを見た。¹⁰
だから今行きなさい。私はあなたをファラオのもとに遣わし、私の民イスラエル人をエジプトから導き出す。」¹¹
しかしモーセは神に言った、「私が誰であって、ファラオのもとに行き、イスラエル人をエジプトから導き出すことができるでしょうか。」¹²
神は言われた、「確かに私はあなたと共にいる。そしてこれがあなたに対するしるしである。私があなたを遣わしたのだ。あなたが民をエジプトから導き出したとき、この山で神を礼拝することになる。」¹³
するとモーセは神に言った、「私はイスラエル人のもとに行き、『あなたたちの父の神が私をあなたたちに遣わした』と言ったとき、彼らが『その名は何ですか』と尋ねたら、何と答えればよいでしょうか。」¹⁴
神はモーセに言われた、「私はあるという者である。イスラエル人にこう言いなさい、『私はあるという者が私をあなたたちに遣わした』と。」¹⁵
神はまたモーセに言われた、「イスラエル人にこう言いなさい、『主、あなたたちの先祖の神、アブラハムの神、イサクの神、ヤコブの神が私をあなたたちに遣わした』と。これは永遠に私の名であり、世々にわたって私が記憶される名である。」¹⁶
「行って、イスラエルの長老たちを集め、彼らに言いなさい、『主、あなたたちの先祖の神、アブラハム、イサク、ヤコブの神が私に現れ、こう言われた。私はあなたたちを見守り、エジプトであなたたちにされたことを見た。』¹⁷
そして私はエジプトでのあなたたちの苦しみからあなたたちを連れ出し、カナン人、ヘテ人、アモリ人、ペリジ人、ヒビ人、エブス人の地、乳と蜜の流れる地に連れて行く」と約束した。』¹⁸
「イスラエルの長老たちはあなたの言うことを聞く。そしてあなたと長老たちはエジプトの王のもとに行き、彼に言いなさい、『ヘブライ人の神、主が私たちに現れた。私たちの神、主に犠牲を捧げるために荒野へ三日の旅をさせてください。』¹⁹
しかし、私はエジプトの王が強い手によって強制されない限り、あなたたちを去らせないことを知っている。」²⁰
それで私は私の手を伸ばし、彼らの中で行うすべての奇跡でエジプトを打つ。その後、彼はあなたたち

出エジプト記

を去らせる。²¹
「そして私はエジプト人がこの民を好意的に見るようにするので、あなたたちが去るとき、手ぶらで行くことはない。²²
すべての女は隣人や家に住む女に銀や金の品物や衣服を求め、それをあなたたちの息子や娘に着せる。こうして、あなたたちはエジプト人の富を奪う。」

5 その後、モーセとアロンはファラオのもとに行き、「イスラエルの神、主がこう言われます。

『私の民を去らせ、荒野で私に祭りを行わせなさい』』と言いました。²
ファラオは答えました。「主とは誰か、私がその声に従ってイスラエルを去らせるべきだろうか。私は主を知らないし、さらにイスラエルを去らせることはしない。」³

彼らは言いました。「ヘブライ人の神が私たちに会われました。どうか私たちを三日の道のりを荒野に行かせ、私たちの神、主に犠牲を捧げさせてください。さもないと、疫病や剣で私たちを打たれるかもしれません。」⁴

しかし、エジプトの王は彼らに言いました。「モーセとアロンよ、なぜ人々をその仕事からそらすのか。自分たちの労働に戻れ！」⁵

ファラオは続けて言いました。「見よ、この地の民は今や多くなっているのに、あなたたちは彼らをその労働から解放しようとしている！」⁶

その同じ日に、ファラオは民の監督者と作業監督に命令を出しました。⁷

「これまでのように、もう民にレンガ作りのためのわらを生給してはならない。彼らに自分たちでわらを集めさせよ。」⁸

しかし、これまでと同じ量のレンガを作らせることは変わらない。それを減らしてはならない。彼らは怠け者だから、『私たちの神に犠牲を捧げに行かせてください』』と叫んでいるのだ。⁹

その仕事をさらに重くして、彼らが働き続け、虚偽に注意を払わないようにせよ。」¹⁰

そこで、監督者と作業監督は出て行き、民に告げました。「ファラオがこう言われる。『私はあなたたちにわらを生給しない。』」¹¹

自分たちでどこでも見つけられるところからわらを集めよ。しかし、あなたたちの仕事量は少しも減らされない。』」¹²

こうして、民はわらを集めるためにエジプト全土に散らばりました。¹³

監督者は彼らを急かし、「わらがあったときのように、日々の仕事量を完成させよ」と言いました。¹⁴
ファラオの監督者は、彼らが任命したイスラエルの作業監督を打ち、「なぜ昨日も今日も、これまでの

ようにレンガの量を満たさなかったのか」と問い詰めました。¹⁵

すると、イスラエルの作業監督はファラオのもとに行き、訴えました。「なぜあなたはこうに僕たちを扱うのですか。」¹⁶

僕たちにはわらが与えられず、それでも『レンガを作れ』』と言われます。見よ、僕たちは打たれていますが、その責任はあなたの民にあります。」¹⁷

しかし、ファラオは言いました。「お前たちは怠け者だ、非常に怠け者だ。それで『私たちを去らせ、主に犠牲を捧げさせてください』』と言うのだ。」¹⁸

さあ、行って働け。お前たちにはわらが与えられないが、レンガの量は満たさなければならない。」¹⁹

イスラエルの作業監督は、「日々のレンガの量を減らしてはならない」と言われたとき、自分たちが困難な状況にあることを悟りました。²⁰

彼らがファラオのもとを去ると、モーセとアロンが待っているのに出会うました。²¹

彼らはモーセとアロンに言いました。「主があなたたちを見て裁かれますように。あなたたちは私たちをファラオとその役人たちの目に憎まれる者とし、私たちを殺すために彼らの手に剣を与えました。」²²

モーセは主のもとに戻り、言いました。「主よ、なぜあなたはこの民に災いをもたらされたのですか。なぜ私を遣わされたのですか。」²³

私があなたの名によってファラオに話しに行ってきた、彼はこの民に害をもたらし、あなたは全くあなたの民を救っておられません。」

6 その後、主はモーセに言われた。「今、わたしはあなたがファラオに対して何をするかをあなたは見るであろう。わたしの強い手によって彼は彼らを去らせるであろう。実に、わたしの強い手によって彼は彼らをその地から追い出すであろう。」²

神はさらにモーセに語って言われた。「わたしは主である。」³

わたしはアブラハム、イサク、ヤコブに全能の神として現れたが、わたしの名、主によっては彼らに完全に知られなかった。⁴

また、わたしは彼らと契約を結び、彼らが寄留者として住んでいたカナンを授けると約束した。⁵
さらに、エジプト人が奴隷としているイスラエル人のうめきをわたしは聞き、わたしの契約を思い出した。⁶

それゆえ、イスラエル人に言え。『わたしは主であり、わたしはあなたたちをエジプト人の重荷の下から連れ出し、彼らの奴隷状態から救い出す。わたしは伸ばした腕と大いなる裁きによってあなたたちを贖う。』」⁷

出エジプト記

わたしはあなたたちをわたしの民とし、わたしはあなたたちの神となる。そうすれば、わたしがあなたたちをエジプト人の重荷の下から連れ出した主であることをあなたたちは知るであろう。

そして、わたしはアブラハム、イサク、ヤコブに与えたと誓った地にあなたたちを連れて行き、それをあなたたちに所有させる。わたしは主である。』」

モーセはこれをイスラエル人に伝えたが、彼らは失望と過酷な労働のために彼の言うことを聞かなかった。主はモーセに命じて言われた、「行け、エジプトの王ファラオに言え。イスラエル人を彼の地から去らせよ。」

しかし、モーセは主に言った。「イスラエル人が私に耳を傾けなかったのに、どうしてファラオが私に耳を傾けるでしょうか。私は言葉に不器用です。」

それにもかかわらず、主はモーセとアロンに語り、イスラエル人とエジプトの王ファラオに関する命令を与え、イスラエル人をエジプトの地から連れ出すようにした。

これらは彼らの家族の頭であった。イスラエルの長子ルベンの子らは、ハノク、パル、ヘツロン、カルミ。これらはルベンの氏族である。

シメオンの子らは、エムエル、ヤミン、オハデ、ヤキン、ツォハル、そしてカナン人の女の子シャウル。これらはシメオンの氏族である。

これらは彼らの世代に従ったレビの子らの名である。ゲルション、コハテ、メラリ。レビは137年生きた。

ゲルションの子らは、その氏族に従って、リブニとシメイ。

コハテの子孫は、アムラム、イツハル、ヘブロン、ウジエル。コハテは133年生きた。

メラリの子らは、マフリとムシ。これらは彼らの記録に従ったレビの氏族である。

アムラムは父の姉妹ヨケベドを妻に迎え、彼女は彼にアロンとモーセを産んだ。アムラムは137年生きた。

イツハルの子孫は、コラ、ネフェグ、ジクリ。ウジエルの子孫は、ミシャエル、エルツァファン、シトリ。

アロンはアミナダブの娘でナフシヨンの姉妹エリシエバを妻に迎え、彼女は彼にナダブ、アビフ、エルアザル、イタマルを産んだ。

コラの子らは、アシル、エルカナ、アビアサフ。これらはコラの氏族である。

アロンの子エルアザルはブティエルの娘の一人を妻に迎え、彼女は彼にビネハスを産んだ。これらは氏

族ごとのレビ族の家族の頭である。

これが、主がイスラエル人をその部隊ごとにエジプトから連れ出すように命じたアロンとモーセであった。

これらは、イスラエル人をエジプトから連れ出すことについてエジプトの王ファラオに語った者たちである。同じモーセとアロンである。

主がエジプトでモーセに語ったその日に、主はモーセに命じて言われた。「わたしは主である。わたしがあなたに言うすべてのことをエジプトの王ファラオに伝えよ。」

しかし、モーセは主に言った。「私は雄弁ではありません。どうしてファラオが私に耳を傾けるでしょうか。」

その時、主はモーセに言われた。「見よ、わたしはあなたをファラオに対して神のようにし、あなたの兄弟アロンはあなたの預言者となる。

あなたはわたしが命じるすべてのことを話し、あなたの兄弟アロンはファラオにイスラエルの人々を彼の地から去らせるように言う。

しかし、わたしはファラオの心をかたくなにし、わたしのしるしと奇跡をエジプトで増やす。

ファラオはあなたたちの言うことを聞かないだろう。それで、わたしはエジプトに手を下し、わたしの大きなさばきによって、わたしの軍勢、わたしの民イスラエルの人々を連れ出す。

わたしがエジプトに手を伸ばし、イスラエルの人々を彼らの中から連れ出すとき、エジプト人はわたしが主であることを知るだろう。」

モーセとアロンは、主が命じたとおりに正確に行った。

モーセは八十歳であり、アロンは八十三歳で、彼らがファラオに話したときであった。

主はモーセとアロンに語り、「ファラオがあなたに『奇跡を行え』と言うとき、あなたはアロンに『あなたの杖を取ってファラオの前に投げ下ろせ、それは蛇になる』と言わなければならない。」

そこでモーセとアロンはファラオのもとに行き、主が命じたとおりに行った。アロンは杖をファラオとその役人たちの前に投げ下ろし、それは蛇になった。

ファラオは賢者と魔術師を呼び寄せ、エジプトの魔術師たちは彼らの秘術で同じことを行った。それぞれが杖を投げ下ろし、それらは蛇になった。

しかし、アロンの杖は彼らの杖を飲み込んだ。しかし、ファラオの心は依然として頑固で、彼は彼らの言うことを聞かなかった。主が言われたとおりに

出エジプト記

であった。¹⁴
その時、主はモーセに言われた。「ファラオの心は頑固でかたくなであり、彼は人々を去らせることを拒んでいる。¹⁵
朝、彼が水に出かけるとき、ファラオのもとに行け。ナイルの岸に立って彼に会い、蛇に変わった杖を手に取れ。¹⁶
彼に言え、『ヘブライ人の神、主が私をあなたのものと遣わして言わせた。わたしの民を去らせ、荒野でわたしを礼拝させよ。しかし、あなたは今まで聞かなかった。¹⁷
これが主の言葉である。これによってあなたはわたし主であることを知るだろう。わたしは手に持つ杖でナイルの水を打ち、それは血に変わる。¹⁸
ナイルの魚は死に、川は臭くなり、エジプト人はナイルの水を飲むことができなくなる。』¹⁹
主はモーセに言われた。「アロンに言え、『あなたの杖を取り、エジプトの水の上に手を伸ばせー彼らの川、流れ、池、すべての貯水池の上にーそしてそれらは血に変わる。木の器にも石の器にも、エジプト全土に血があるだろう。』」²⁰
モーセとアロンは主が命じたとおりに行った。彼は杖を持ち上げ、ファラオとその役人たちの目の前でナイルの水を打ち、ナイルのすべての水が血に変わった。²¹
ナイルの魚は死に、川は臭くなり、エジプト人はナイルの水を飲むことができなかった。血がエジプト全土にあった。²²
しかし、エジプトの魔術師たちは彼らの秘術で同じことを行い、ファラオの心はかたくなで、モーセとアロンの言うことを聞かなかった。主が言われたとおりであった。²³
ファラオは振り向いて宮殿に入り、このことを心に留めなかった。²⁴
すべてのエジプト人はナイルの水を飲むことができなかったので、ナイル沿いに水を求めて掘った。²⁵
主がナイルを打った後、一週間が過ぎた。

8 それから主はモーセに言われた、「ファラオのところに行って、彼に言いなさい、『主はこう言われる、わたしの民を去らせて、わたしに仕えさせなさい。²
もしあなたが彼らを去らせることを拒むなら、わたしはカエルの災いをあなたの全地に送るであろう。³

ナイル川はカエルで満ち、それらは上がってきて、あなたの宮殿、寝室、寝台、あなたの役人や民の家、あなたのかまど、こね鉢に入るであろう。⁴
カエルはあなたとあなたの民とあなたの役人に侵入するであろう。』」。⁵

それから主はモーセに言われた、「アロンに命じて、『あなたの杖を川、流れ、池の上に伸ばし、エジプトの地にカエルを上らせなさい』」。⁶
そこでアロンはエジプトの水の上に手を伸ばし、カエルが上がってきて地を覆った。⁷
しかし、魔術師たちもその秘術で同じことをし、エジプトの地にカエルを上らせた。⁸
ファラオはモーセとアロンを呼び寄せて言った、「主に願って、私と私の民からカエルを取り除いてください。そうすれば、あなたの民を去らせて主に犠牲を捧げさせます」。⁹
モーセはファラオに言った、「あなたのために、あなたの役人とあなたの民のために、いつ私が祈るべきかを決める名誉をあなたに与えます。カエルがあなたとあなたの家から取り除かれ、ナイル川にだけ残るように」。¹⁰
ファラオは答えた、「明日」。モーセは言った、「あなたの言うとおりになるでしょう。これで、主なる我々の神のような者がいないことをあなたが知るためです」。¹¹
カエルはあなたとあなたの家、あなたの役人、あなたの民から去り、ナイル川にだけ残るでしょう」。¹²
モーセとアロンがファラオのもとを去った後、モーセはファラオに課せられたカエルについて主に叫んだ。¹³
そして主はモーセの願いどおりにされた。カエルは家、庭、野で死んだ。¹⁴
それらは山積みになれ、地はそれらの臭いで満ちた。¹⁵
しかし、ファラオは安堵を見て心を固くし、主が言われたとおりにモーセとアロンの言うことを聞かなかった。¹⁶
それから主はモーセに言われた、「アロンに言いなさい、『あなたの杖を伸ばし、地の塵を打ちなさい』。それはエジプトの全地でぶよになるであろう」。¹⁷
。彼らはこれを行い、アロンが杖を伸ばして地の塵を打ったとき、人と動物にぶよが現れた。エジプトの全地の塵がぶよになった。¹⁸
魔術師たちはその秘術でぶよを生み出そうとしたが、できなかった。人と動物にぶよがいた。¹⁹
魔術師たちはファラオに言った、「これは神の業です」。しかし、ファラオの心は頑なで、主が言われたとおりに聞かなかった。²⁰
それから主はモーセに言われた、「朝早く起きて、川に行くファラオに立ち向かい、彼に言いなさい、『主はこう言われる、わたしの民を去らせて、わたしに仕えさせなさい。』」。²¹

出エジプト記

もしわたしの民を去らせることを拒むなら、わたしはあなたとあなたの役人、あなたの民、あなたの家に蠅の群れを送るであろう。エジプト人の家は蠅で満ち、地もそれで覆われるであろう。²²

しかし、その日わたしはわたしの民が住むゴシェンの地を分けて、そこには蠅の群れがいないようにする。これで、わたしがこの地にいる主であることをあなたが知るためである。²³

わたしはわたしの民とあなたの民の間に区別を設ける。このしるしは明日起こるであろう』」。²⁴そして主はそうにされた。密集した蠅の群れがファラオの宮殿と彼の役人の家に入り、エジプト全土が蠅で荒らされた。²⁵

それからファラオはモーセとアロンを呼び寄せて言った、「この地であなたの神に犠牲を捧げなさい」。²⁶

しかしモーセは言った、「それは正しくありません。私たちの神、主に捧げる犠牲はエジプト人にとって忌まわしいものです。もし彼らの目に忌まわしい犠牲を捧げたら、彼らは私たちを石で打たないでしょうか。²⁷

私たちは主なる私たちの神に犠牲を捧げるために、荒野への三日の旅をしなければなりません。主が私たちに命じられたとおりに」。²⁸

ファラオは言った、「あなたがたが荒野で主なるあなたの神に犠牲を捧げることを許しますが、あまり遠くへ行ってはなりません。今、私のために祈ってください」。²⁹

モーセは答えた、「あなたを去るとすぐに、私は主に祈ります。そして明日、蠅はファラオと彼の役人、彼の民から去るでしょう。ただし、ファラオは再び欺いて、民を去らせて主に犠牲を捧げさせないことがないようにしてください」。³⁰

モーセはファラオのもとを去り、主に祈った。³¹そして主はモーセの願いどおりにされた。蠅はファラオと彼の役人、彼の民から去り、一匹も残らなかった。³²

しかし、ファラオは再び心を固くし、民を去らせなかった。

9 その後、主はモーセに言われた。「ファラオのところに行って、彼に告げなさい。『ヘブライ人の神、主がこう言われる。「私の民を解放し、私に仕えさせなさい。」』²

もしあなたが彼らを行かせることを拒み、彼らを引き止め続けるならば、³

見よ、主の手が野にいるあなたの家畜、馬、ろば、ラクダ、牛、羊、ヤギに重い疫病をもたらすでしょう。⁴

しかし、主はイスラエルの家畜とエジプトの家畜を

区別し、イスラエル人のものは一匹も死なないようにされる。』」⁵

主は特定の時を定めて言われた。「明日、主はこの行動を地に行うでしょう。」⁶

そして翌日、主はそうされた。エジプト人の家畜はすべて死んだが、イスラエル人のものは一匹も死ななかった。⁷

ファラオは人を送って調べさせたと、イスラエル人の家畜は一匹も死んでいなかった。しかし、ファラオの心は頑なで、彼は民を解放しなかった。⁸その後、主はモーセとアロンに言われた。「炉のすすを手いっぱいに取り、モーセがファラオの前でそれを空中に投げなさい。⁹

それはエジプト全土に細かい塵となり、地全体で人と動物に腫れ物を生じさせるでしょう。」¹⁰

彼らは炉のすすを取ってファラオの前に立ち、モーセはそれを空中に投げた。すると、人と動物に腫れ物が生じた。¹¹

魔術師たちはモーセの前に立つことができなかった。彼らもエジプト人も腫れ物に苦しんだからである。¹²

しかし、主はファラオの心を頑なにされたので、彼はモーセとアロンの言うことを聞かなかった。これは主がモーセに予告された通りであった。¹³

その後、主はモーセに言われた。「朝早く起きてファラオの前に立ち、彼に言いなさい。『ヘブライ人の神、主がこう言われる。「私の民を解放し、私に仕えさせなさい。」¹⁴

さもないと、今回はあなたとあなたの役人、そしてあなたの民に私のすべての災いを送るでしょう。それは、地上に私のような者がいないことをあなたが知るためです。¹⁵

今や私は手を伸ばし、あなたとあなたの民を疫病で打ち、地から消し去ることができたでしょう。¹⁶

しかし、私はこの目的のためにあなたを残しておいた。それは、私の力を示し、私の名を地上に広めるためです。¹⁷

あなたはまだ私の民に対して高慢で、彼らを行かせようとしなさい。¹⁸

それゆえ、明日のこの時、エジプトにこれまで降ったことのない激しい雹を降らせるでしょう。エジプトが建国されて以来のことです。¹⁹

今すぐ命令を出して、あなたの家畜と野にあるすべてのものを避難させなさい。雹が野にいて避難しなかったすべての人と動物に降り、彼らは死ぬでしょう。』」²⁰

ファラオの役人の中で主の言葉を恐れた者たちは、急いでその僕たちと家畜を屋内に避難させた。²¹

しかし、主の言葉を無視した者たちは、僕たちと家

出エジプト記

畜を野に残した。²²
その後、主はモーセに言われた。「手を天に向けて伸ばしなさい。そうすれば、雹がエジプト全土に降るでしょう。人にも動物にも、エジプトの野のすべての植物にも。」²³
モーセが杖を天に向けて伸ばすと、主は雷と雹を送り、火が地に降り注いだ。こうして、主はエジプトの地に雹を降らせた。²⁴
雹が降り、雹の中で火が絶え間なく閃き、エジプトが国となって以来、最も激しい嵐となった。²⁵
エジプト全土で、雹は野にあるすべてのもの、人も動物も打ち、すべての植物を打ち倒し、すべての木を砕いた。²⁶
ただし、イスラエル人が住んでいたゴシェンの地には雹は降らなかった。²⁷
その後、ファラオはモーセとアロンを呼び寄せた。「今回は私が罪を犯しました」と彼は言った。「主が正しく、私と私の民が間違っています。」²⁸
主に祈ってください。神の雷と雹はもう十分です。私はあなたたちを行かせます。もうここにいる必要はありません。」²⁹
モーセは答えた。「私が町を出たらすぐに、主に向かって手を広げます。雷は止み、雹は降らなくなるでしょう。それは、地が主のものであることをあなたが知るためです。」³⁰
しかし、私はあなたとあなたの役人がまだ主なる神を畏れていないことを知っています。」³¹
(亜麻と大麦は打ち倒されました。大麦は穂を出し、亜麻は花が咲いていたからです。³²
しかし、小麦とスペルトは打ち倒されませんでした。それらは後で熟すからです。)³³
その後、モーセはファラオを離れ、町を出た。彼は主に向かって手を広げた。すると、雷と雹は止み、雨も地に降らなくなった。³⁴
ファラオは雨と雹と雷が止んだのを見て、再び罪を犯した。彼と彼の役人たちは心を頑なにした。³⁵
こうして、ファラオの心は頑なになり、彼はイスラエル人を行かせなかった。これは主がモーセを通して語られた通りであった。

10 それから主はモーセに言われた、「パロのところにへ行け。わたしは彼とその家来たちの心をかたくなにした。それはわたしがこれらのしるしを彼らの中で行うためである。」²
そして、わたしがエジプト人をどのようにあざげったか、またわたしが彼らの中でのようにしるしを行なったかを、あなたの子孫に語り伝えるためである。それはあなたがたがわたしが主であることを知るためである。」³
そこでモーセとアロンはパロのところにいき、彼に

言った、「ヘブル人の神、主はこう言われる、『いつまでわたしの前にへりくだることを拒むのか。わたしの民を去らせて、わたしに仕えさせよ。』」⁴
もしわたしの民を去らせることを拒むなら、見よ、わたしは明日、あなたの領土にいなごをもたらす。」⁵
それらはいなごが地の表を覆い、誰もそれを見ることができないほどになる。彼らは雹の後に残ったものを食い尽くし、あなたの畑に生えているすべての木をも食い尽くす。」⁶
あなたの家、あなたの家来たちの家、すべてのエジプト人の家がそれで満たされる。これは、あなたの父も祖父も、この地に住み始めた日から今日まで見たことのないものである。』」それからモーセはパロの前を去った。⁷
するとパロの家来たちは彼に言った、「いつまでこの人がわたしたちのわなであるのか。人々を去らせて、彼らの神、主に仕えさせよ。エジプトが減じたことをまだ悟らないのか。」⁸
そこでモーセとアロンはパロのところに連れ戻され、彼は彼らに言った、「行け、あなたがたの神、主に仕えよ。しかし、誰が行くのか教えてくれ。」⁹
モーセは言った、「わたしたちは若い者も年寄りも、息子も娘も、羊の群れも牛の群れも連れて行きます。なぜなら、わたしたちは主に祭りを行わなければならないからです。」¹⁰
すると彼は彼らに言った、「あなたがたの小さい者たちと一緒に行かせるなら、主があなたがたと共にいるように！明らかに、あなたがたには悪意がある。」¹¹
いや、男たちだけが行って主に仕えよ。それがあなたがたの望むことだから。」それからモーセとアロンはパロの前から追い出された。¹²
それから主はモーセに言われた、「エジプトの地に向かってあなたの手を伸ばし、いなごが地に来て、雹の後に残った地のすべての植物を食い尽くすようにせよ。」¹³
そこでモーセはエジプトの地に向かって杖を伸ばし、主はその日とその夜、東風を地に吹かせた。朝になると、その風はいなごをもたらした。¹⁴
いなごはエジプトの全地に上がり、エジプトの全領土に非常に多く集まった。これまでにこのようないなごの災害はなく、これからもないであろう。」¹⁵
彼らは地の表を覆い、それが暗くなるまでになった。彼らは地のすべての植物と雹が残した木のすべての果実を食い尽くした。エジプト全地の木や植物には何も緑のものが残らなかった。¹⁶
それからパロは急いでモーセとアロンを呼び、「わたしはあなたがたの神、主に対して、またあなたが

出エジプト記

たに対して罪を犯しました。¹⁷
今、どうかこの一度だけわたしの罪を赦し、あなたがたの神、主に祈って、この死をわたしから取り去ってください。」¹⁸
それからモーセはパロの前を去り、主に祈った。¹⁹
そこで主は非常に強い西風に変え、それがいなごを拾い上げて紅海に追いやった。エジプトの全領土にはいなごは一匹も残らなかった。²⁰
しかし、主はパロの心をかたくなにし、彼はイスラエルの人々を去らせなかった。²¹
それから主はモーセに言われた、「空に向かってあなたの手を伸ばし、エジプトの地に感じられる暗闇を広げよ。」²²
そこでモーセは空に向かって手を伸ばし、濃い暗闇がエジプトの全地を三日間覆った。²³
誰も他の人を見ることができず、三日間その場所から動かなかった。しかし、イスラエルの人々はその住まいに光があった。²⁴
それからパロはモーセを呼び、「行け、主に仕えよ。あなたがたの小さい者も一緒に行ってよい。しかし、あなたがたの羊の群れと牛の群れは残しておけ。」²⁵
しかしモーセは言った、「わたしたちはまた、わたしたちの神、主に捧げる犠牲と燔祭を持って行かなければなりません。²⁶
わたしたちの家畜もまた一緒に行かなければなりません。ひづめ一つも残してはならないのです。わたしたちはそれらを用いてわたしたちの神、主に仕えるために持って行かなければならないのです。そして、そこに着くまで、わたしたちがどのように主に仕えるか知りません。」²⁷
しかし、主はパロの心をかたくなにし、彼は彼らを去らせようとしなかった。²⁸
それからパロはモーセに言った、「わたしの前から去れ！二度とわたしの顔を見ないようにせよ。わたしの顔を見たその日には、あなたは死ぬであろう。」²⁹
モーセは答えた、「あなたは正しく言いました。わたしは二度とあなたの顔を見ないでしょう！」

11 主はモーセに言われた。「私はファラオとエジプトに最後の一つの災いをもたらす。その後、彼はあなたたちをここから解放するだろう。彼がそうするとき、きっとあなたたちを完全に追い出すだろう。²
人々に指示しなさい。各々の男と女が隣人から銀と金の品物を求めるように。」³
主はエジプト人の人々を好意的に見させ、モーセはファラオの役人と民衆から非常に尊敬された。⁴
モーセは言った。「これは主が言われることです。

『真夜中ごろ、私はエジプト全土を歩き巡る。⁵
エジプトの地のすべての初子は、王座に座っているファラオの初子から、石臼の後ろにいる女奴隷の初子、そしてすべての家畜の初子に至るまで、死ぬだろう。⁶
エジプト全土には大きな嘆きがあるだろう。それはこれまでに起こったこともなく、これからも起こることのないものである。⁷
しかしイスラエルの人々の間では、犬さえも人や動物に向かって吠えることはないだろう。それによって、主がエジプトとイスラエルの間に区別を設けることをあなたたちは理解するだろう。』⁸
あなたのこれらの役人たちは皆、私のところに来て、私の前にひれ伏し、『去れ、あなたとあなたに従うすべての人々も！』と言うだろう。その後、私は去る。」それからモーセは激しい怒りを抱いてファラオのもとを去った。⁹
主はモーセに言われた。「ファラオはあなたの言うことを聞かないだろう。それは私の奇跡がエジプトで増し加わるためである。」¹⁰
モーセとアロンはこれらすべての奇跡をファラオの前で行ったが、主はファラオの心を頑なにされ、彼はイスラエルの人々をその地から去らせなかった。

12 主はエジプトの地にいるモーセとアロンに告げられた。²
「この月をあなたたちにとっての月の始まりとしなさい。これがあなたたちにとっての年の最初の月である。³
イスラエルの全会衆に告げなさい。『この月の十日に、各人は父の家に従って、一家族ごとに子羊を取るように。⁴
もし一家が子羊を持つには少なすぎる場合は、その人と最も近い隣人が、その人数に応じて一匹を取るように。各人が食べる分に応じて子羊を分けなさい。⁵
。あなたたちの子羊は、一歳の欠けのない雄でなければならない。それを羊またはヤギから取ることができる。⁶
そして、それを同じ月の十四日まで保ち、その後、イスラエルの全会衆が夕暮れにそれを屠る。⁷
さらに、彼らはその血を取って、それを食べる家の二つの門柱と上枠に塗る。⁸
その夜にその肉を火で焼いて食べ、種なしパンと苦菜と共にそれを食べる。⁹
それを生でまたは水で煮て食べてはならない。火で焼いたものでなければならない。その頭と足と内臓と共に。¹⁰
そして、朝までそれを残してはならない。朝まで残ったものは、火で焼かなければならない。¹¹

出エジプト記

このようにしてそれを食べなさい。腰に帯を締め、足に履物を履き、手に杖を持って。それを急いで食べなさい。それは主の過越である。

その夜、私はエジプトの地を通り、エジプトの地のすべての初子を、人間も動物も打つ。また、エジプトのすべての神々に対して裁きを行う。私は主である。

その血は、あなたがたが住む家の上でのしるしとなる。私はその血を見て、あなたがたを過ぎ越し、エジプトの地を打つときに、滅ぼす災いがあなたがたに及ぶことはない。

この日はあなたがたにとって記念の日となり、主への祭りとして祝うべきである。世々にわたってこれを永遠の定めとして守りなさい。

七日間、種なしパンを食べなさい。しかし、最初の日にあなたがたの家から酵母を取り除きなさい。最初の日から七日目まで酵母のあるものを食べる者は、イスラエルから断たれる。

最初の日に聖なる集会を持ち、七日目にも聖なる集会を持ちなさい。その日に何の仕事もしてはならない。ただし、各人が食べるために必要なものだけは準備してもよい。

また、種なしパンの祭りを祝うべきである。この日に私はあなたがたの群れをエジプトの地から連れ出したからである。それゆえ、世々にわたってこの日を永遠の定めとして祝うべきである。

最初の月の十四日の夕方から、その月の二十一日の夕方まで、種なしパンを食べなさい。

七日間、あなたがたの家には酵母が見つかつてはならない。酵母のあるものを食べる者は、異邦人であれ、土地の生まれであれ、イスラエルの会衆から断たれる。

酵母のあるものを食べてはならない。あなたがたのすべての住まいで、種なしパンを食べなさい。

それからモーセはイスラエルのすべての長老を呼び寄せて言った。「行って、あなたがたの家族に従って子羊を選び、過越の子羊を屠りなさい。

ヒソブの束を取り、鉢の中の血に浸し、その鉢の中の血を上枠と二つの門柱に塗りなさい。朝まで誰も家の戸口の外に出てはならない。

主がエジプト人を打つために通り過ぎるとき、上枠と二つの門柱に血があるのを見て、主はその戸口を過ぎ越し、滅ぼす者があなたがたの家に入って打つことを許さない。

この出来事をあなたがたとあなたがたの子孫のための定めとして守りなさい。

主が約束されたようにあなたがたに与える地に入ったとき、この儀式を守りなさい。

あなたがたの子供たちが『この儀式は何の意味があ

るのか』と言うとき、

『これは主への過越の犠牲である。主がエジプトでエジプト人を打ったとき、イスラエルの家を過ぎ越し、私たちの家を守られたからである』と言いなさい。」そして人々はひれ伏して礼拝した。

イスラエルの子らは行って、主がモーセとアロンに命じられたとおりに行った。

そして、真夜中ごろ、主はエジプトの地のすべての初子を打たれた。王座に座っていたファラオの初子から、牢にいた捕虜の初子、そしてすべての家畜の初子まで。

ファラオは夜中に起き上がり、彼とすべての家来とすべてのエジプト人も起き上がった。エジプトには大きな叫び声があった。死者のいない家は一つもなかったからである。

そして彼は夜中にモーセとアロンを呼び寄せて言った。「起きて、私の民から出て行きなさい。あなたがたとイスラエルの子らも。行って、主に仕えなさい。あなたがたが言ったとおりに。

あなたがたの羊と牛も連れて行きなさい。あなたがたが言ったとおりに。そして私を祝福しなさい。」

エジプト人は人々を急いで送り出そうとした。「私たちは皆滅びるだろう」と言ったからである。

それで人々はまだ発酵していない生地を取り、衣服に包んで肩に担いだ。

イスラエルの子らはモーセの言葉に従って行い、エジプト人から銀や金の器具、衣服を求めた。

主がエジプト人の目に人々を好意的に見せられたので、彼らは求めたものを与えた。こうして彼らはエジプト人を略奪した。

イスラエルの子らはラメセスからスコテに向かって旅立った。子供を除いて約六十万人の男が徒歩で。

混合した多くの人々と彼らと共に上り、羊や牛、大量の家畜と共に。

彼らはエジプトから持ち出した生地を焼いて種なしパンのケーキを作った。それは発酵していなかった。彼らはエジプトから追い出され、遅れることができず、自分たちのために何の備えもしていなかったからである。

イスラエルの子らがエジプトに住んでいた期間は**430年**であった。

430年の終わりに、その同じ日に、主のすべての群れがエジプトの地から出発した。

それは主のための夜であり、彼らをエジプトの地から連れ出したからである。この夜は主のためのものであり、イスラエルのすべての子孫が世々にわたって守るべきものである。

出エジプト記

主はモーセとアロンに言われた。「これは過越の定めである。外国人はそれを食べてはならない。」⁴⁴
しかし、誰かが金で買った奴隷は、割礼を受けた後にそれを食べることができる。⁴⁵
寄留者や雇い人はそれを食べてはならない。⁴⁶
それは一つの家で食べられるべきである。肉を家の外に持ち出してはならず、その骨を折ってはならない。⁴⁷
イスラエルのすべての会衆がこれを祝うべきである。⁴⁸

しかし、もし異邦人があなたたちと共に住んでいて、主への過越を祝うなら、そのすべての男子は割礼を受けるべきである。そして彼は近づいてそれを祝うことができる。彼は土地の生まれの者のようになる。しかし、割礼を受けていない者はそれを食べてはならない。⁴⁹
同じ法律が土地の生まれの者にも、あなたたちの間に住む異邦人にも適用される。」⁵⁰
それからイスラエルの子らは命じられたとおりに行った。彼らは主がモーセとアロンに命じられたとおりに行った。⁵¹
その同じ日に、主はイスラエルの子らをその群れでエジプトの地から連れ出された。

13 主はモーセに語って言われた。²
「イスラエルの人々の間で、人でも動物でも、すべての初めて生まれるもの、すべての初子をわたしにささげよ。それはわたしのものである。」³
モーセは民に言った。「この日を覚えておきなさい。あなたがたがエジプトから、奴隷の家から出てきた日を。主が力強い手であなたがたを連れ出されたからである。酵母を含むものを食べてはならない。」⁴

この日はアビブの月にあなたがたが出発することを示している。⁵
主があなたの先祖たちに誓って与えると約束されたカナン人、ヒット人、アモリ人、ヒビ人、エブス人の地、乳と蜜の流れる地にあなたを導き入れるとき、この月にこの儀式を守りなさい。⁶
七日間、種を入れないパンを食べ、七日目に主に祭りを行いなさい。⁷
その七日間は種を入れないパンを食べなさい。あなたの中には酵母を含むものが見られず、あなたの領土のどこにも酵母が見られてはならない。⁸
その日にあなたの子に、『これは主が私をエジプトから連れ出されたときにくださったことのためである』と言いなさい。⁹
それはあなたの手の上のしるしとなり、あなたの領土の記念となるであろう。主の律法があなたの唇

にあるためである。主が力強い手であなたをエジプトから連れ出されたからである。¹⁰
あなたは年ごとにその定められた時にこの儀式を守らなければならない。¹¹
「主がカナン人の地にあなたを導き入れ、あなたとあなたの先祖たちに誓ったようにそれを与えられるとき、¹²
すべての初めて生まれるものを主にささげなさい。あなたの家畜の初子の雄はすべて主のものである。¹³

すべての初めて生まれるろばは子羊で代えなさい。しかし、もしそれを代えないなら、その首を折りなさい。あなたの息子の初子はすべて贖いなさい。¹⁴
後の日に、あなたの子が『これは何を意味するのですか』と尋ねるとき、『主が力強い手で私たちをエジプトから、奴隷の家から連れ出されたためである』と言いなさい。¹⁵
ファラオが私たちを去らせることを頑固に拒んだとき、主はエジプトの地の初子を、人も動物もすべて殺された。それゆえ、私はすべての初子の雄を主にささげ、私の息子の初子をすべて贖うのである。」¹⁶

それはあなたの手の上のしるしとなり、あなたの額の上の箱となるであろう。主が力強い手で私たちをエジプトから連れ出されたからである。」¹⁷
ファラオが民を去らせたとき、神は彼らをペリシテ人の地の道を通らせなかった。それは近道であったが、神は「もし彼らが戦争に直面したら、心変わりしてエジプトに戻るかもしれない」と言われたからである。¹⁸

それで神は民を荒野の道を通して紅海の方に導かれた。イスラエルの人々は戦闘の準備をしてエジプトを出た。¹⁹
モーセはヨセフの骨を持って行った。ヨセフはイスラエルの人々に、神が必ずあなたがたを助けに来られると誓わせ、「そのとき、あなたがたは私の骨をここから持ち上げて行かなければならない」と言ったからである。²⁰
スコテを出発した後、彼らは荒野の端にあるエタムに宿営した。²¹
昼は主が雲の柱で彼らの前を進んで導き、夜は火の柱で光を与え、昼も夜も旅を続けることができるようにされた。²²
昼の雲の柱も夜の火の柱も、民の前から離れることはなかった。

14 さて、主はモーセに語られた。²
「イスラエルの人々に告げて、引き返してビ・ハヒロテの近く、ミグドルと海の間に着宿させなさい。あなたたちはバアル・ゼフォンに

出エジプト記

向かって、海のそばに宿営しなければならない。³
ファラオはイスラエルの人々について、『彼らは地に迷い込み、荒野が彼らを閉じ込めた』と言うだろう。⁴

そして、私はファラオの心をかたくなにし、彼は彼らを追いかけるだろう。そして、私はファラオと彼の全軍を通して自分の栄光を得、エジプト人は私が主であることを知るだろう。」彼らはそのようにした。⁵

エジプトの王に人々が逃げたことが知らされたとき、ファラオとその役人たちは彼らについて心変わりし、「我々は何をしたのか？イスラエルの人々を去らせて、彼らの奉仕を失ったのだ！」と言った。⁶
それで彼は戦車を整え、自分の民を連れて行った。⁷

彼は選ばれた六百の戦車を取り、エジプトの他のすべての戦車と、それらすべての上に将校を乗せた。⁸

主はエジプトの王ファラオをかたくなにし、彼は大胆に進むイスラエルの人々を追いかけた。⁹

エジプト人はファラオのすべての馬と戦車、騎兵と軍隊で彼らを追い、ピ・ハヒロテの近く、パアル・ゼフォンに向かって海のそばに宿営している彼らを追いついた。¹⁰

ファラオが近づくと、イスラエルの人々は目を上げ、エジプト人が彼らを追いかけてくるのを見て、恐れて主に叫んだ。¹¹

彼らはモーセに言った。「エジプトには墓がないから、あなたは私たちを荒野で死なせるために連れてきたのですか？エジプトから私たちを連れ出すことで、あなたは私たちに何をしたのですか？」¹²

エジプトで私たちがあなたに言ったではありませんか、『私たちを放っておいて、エジプト人に仕えさせてください』と。荒野で死ぬよりも、エジプト人に仕えたほうが良かったのです！」¹³

しかし、モーセは人々に言った。「恐れてはならない。しっかり立て、今日主があなたたちに与える救いを見なさい。今日あなたたちが見るエジプト人を、あなたたちは二度と見ることはないでしょう。¹⁴

主があなたたちのために戦われる。あなたたちはただ静かにしていればよい。」¹⁵

そのとき、主はモーセに言われた。「なぜ私に叫ぶのか？イスラエルの人々に前進するように言いなさい。¹⁶

あなたの杖を上げ、手を海の上に伸ばして水を分け、イスラエルの人々が乾いた地を通して海を渡るようにしなさい。¹⁷

私はエジプト人をかたくなにし、彼らが彼らを追い

かけるようにする。そして、私はファラオと彼の全軍、彼の戦車と騎兵を通して栄光を得る。¹⁸

ファラオと彼の戦車と騎兵を通して私が栄光を得るとき、エジプト人は私が主であることを知るだろう。」¹⁹

そのとき、イスラエルの軍の前を進んでいた神の使いが動いて彼らの後ろに行き、雲の柱も前から動いて彼らの後ろに立った。²⁰

エジプトの宿営とイスラエルの宿営の間に来た。夜通し雲は一方に暗闇をもたらし、もう一方に光をもたらしたので、夜通し互いに近づくことはなかった。²¹

モーセが手を海の上に伸ばすと、主はその夜通し強い東風で海を押し戻し、乾いた地に変えた。水は分かれた。²²

イスラエルの人々は乾いた地を通して海を渡り、右と左に水の壁があった。²³

エジプト人は彼らを追い、ファラオのすべての馬、戦車、騎兵が海に入った。²⁴

夜明けの見張りの間に、主は火と雲の柱からエジプトの軍を見下ろし、彼らの間に混乱をもたらした。²⁵

彼は彼らの戦車の車輪を詰まらせ、運転が困難になった。エジプト人は言った。「イスラエルの人々から逃げよう！主が彼らのためにエジプトと戦っている。」²⁶

そのとき、主はモーセに言われた。「手を海の上に伸ばして、水がエジプト人とその戦車と騎兵の上に返るようにしなさい。」²⁷

モーセが手を海の上に伸ばすと、夜明けに海は元の場所に戻った。エジプト人はそれに向かって逃げたが、主は彼らを海に押し込んだ。²⁸

水は戻り、戦車と騎兵、イスラエルの人々を追って海に入ったファラオの全軍を覆った。彼らの中で生き残った者はいなかった。²⁹

しかし、イスラエルの人々は乾いた地を通して海を渡り、右と左に水の壁があった。³⁰

その日、主はイスラエルをエジプト人の手から救い出し、イスラエルはエジプト人が岸に死んでいるのを見た。³¹

イスラエルの人々が主の力強い手がエジプト人に対して示されたのを見たとき、人々は主を恐れ、主とそのしもべモーセを信頼した。

15 そのとき、モーセとイスラエルの子らは主に向かってこの歌を歌った。「私は主に歌おう。主は高くあがめられた。馬とその乗り手を海に投げ込まれた。²

主は私の力、私の歌。主は私の救いとなった。主は私の神、私は主を賛美しよう。私の父の神、私は主

出エジプト記

をあげよう。³
主は戦いにおいて力強い。主はその名である。⁴
パロの戦車とその軍勢を主は海に投げ込まれた。パ
ロの最上の将校たちは紅海に沈んだ。⁵
深い水が彼らを覆い、彼らは石のように深みに沈ん
だ。⁶
主よ、あなたの右手は力強く、主よ、あなたの右手
は敵を打ち砕く。⁷
あなたの威厳の大きさにおいて、あなたは立ち向か
う者を打ち倒す。あなたは燃える怒りを放ち、それ
は彼らをもみがらのように焼き尽くす。⁸
あなたの鼻の息吹で、水は積み上がった。波立つ水
は壁のように立ち上がり、深みは海の心で凝固した
。⁹
敵は言った、『私は追いかけて、追いつき、戦利品を
分けよう。私は彼らを食い尽くそう。私は剣を抜き
、私の手で彼らを滅ぼそう。』¹⁰
しかし、あなたの息で海は彼らを覆った。彼らは鉛
のように力強い水の中に沈んだ。¹¹
主よ、天の存在の中であなたのような者は誰か。聖
なる威厳においてあなたのような者は誰か。栄光に
満ち、驚異を行う者。¹²
あなたは強い右手を伸ばし、地は彼らを飲み込んだ
。¹³
あなたの変わらぬ愛において、あなたは贖った民を
導かれた。あなたの力において、あなたは彼らをあ
なたの聖なる住まいに導かれた。¹⁴
国々は聞いて震え、ペリシテの住民は苦悩に包まれ
た。¹⁵
エドムの首長たちは驚き、モアブの指導者たちは震
えに包まれ、カナンの住民は皆溶け去った。¹⁶
恐怖と恐れが彼らに降りかかり、あなたの腕の力に
よって、彼らは石のように静まり返った。あなたの
民が通り過ぎるまで、主よ、あなたが買い取られた
民が通り過ぎるまで。¹⁷
あなたは彼らを連れて行き、あなたの相続の山に彼
らを定められる。主よ、あなたが住まいを作られた
場所、主よ、あなたの手が設けた聖所。¹⁸
主は永遠に統治される。」¹⁹
パロの馬、戦車、騎兵が海に入ったとき、主は海の水を
彼らの上に戻されたが、イスラエルの人々は海の真
ん中を乾いた地を歩いて渡った。²⁰
そのとき、預言者ミリアム、アロンの姉妹は手にタ
ンバリンを持ち、すべての女性たちは彼女の後にタ
ンバリンと踊りて出て行った。²¹
そしてミリアムは彼らに歌った。「主に歌いなさい
。主は高くあげられた。馬とその乗り手を海に投
げ込まれた。」²²
その後、モーセはイスラエルを紅海から導き出し、

彼らはシュルの荒野に入った。三日間荒野を旅した
が、水を見つけることができなかった。²³
彼らがマラに着いたとき、その水は苦くて飲むこと
ができなかった。（それゆえ、その場所とはマラと呼
ばれる。）²⁴
それで人々はモーセに不平を言い、「私たちは何を
飲むのか」と尋ねた。²⁵
そのときモーセは主に叫び、主は彼に一本の木を示
された。彼はそれを水に投げ入れ、水は甘くなった
。そこで主は彼らのために法令と規則を定め、そこ
で彼らを試みられた。²⁶
主は言われた、「もしあなたがあなたの神、主の声
に注意深く耳を傾け、主の目に正しいことを行い、
主の命令に注意を払い、すべての規定を守るならば
、私はエジプト人に下したどの病もあなたに下さな
い。私は主であり、あなたを癒す者である。」²⁷
その後、彼らはエリムにきた。そこには十二の泉と
七十本のヤシの木があり、彼らはその水辺に宿営し
た。

16 イスラエル人の全会衆はエリムを出発し、
エリムとシナイの間にあるシンの荒野に向
かって旅を続けた。これはエジプトを出て
から第二の月の十五日目のことであった。²
荒野で、イスラエル人の全会衆はモーセとアロンに
対して不平を言った。³
イスラエル人は彼らに言った、「ああ、主の手によ
ってエジプトの地で死んでいたらよかったのに。そ
こでは肉の鍋のそばに座り、パンを腹いっぱい食べ
ていたのに。あなたたちはこの荒野に私たちを連れ
てきて、この全会衆を飢え死にさせようとしている
。」⁴
すると主はモーセに言われた、「見よ、わたしはあ
なたたちのために天からパンを降らせる。民は毎日
出て行って、その日の分を集めなければならない。
こうして、わたしの指示に従うかどうか、彼らを試
す。」⁵
六日目には、彼らが持ち帰るものを準備しなければ
ならないが、それは他の日に集める量の二倍である
。」⁶
そこでモーセとアロンは全イスラエル人に言った、
「夕方には、主があなたたちをエジプトから連れ出
されたことを知るでしょう。⁷
そして朝には、主の栄光を見るでしょう。主はあな
たたちの不平を聞かれたからです。私たちは何者な
のか、あなたたちが私たちに不平を言うのは。」⁸
モーセはまた言った、「主が夕方肉を与え、朝に
腹いっぱいのパンを与えられるとき、あなたたちは
主であることを知るでしょう。主はあなたたちの不
平を聞かれたからです。私たちは何者なのか。あな

出エジプト記

たちが不平を言うのは私たちにではなく、主に對してです。」⁹

それからモーセはアロンに言った、「イスラエル人の全会衆に言いなさい、『主の前に出なさい。主はあなたたちの不平を聞かれたからです。』」¹⁰

アロンがイスラエル人の全会衆に話していると、彼らは荒野の方を向いた。すると見よ、主の栄光が雲の中に現れた。¹¹ 主はモーセに語られた、¹²

「わたしはイスラエル人の不平を聞いた。彼らに言いなさい、『夕暮れには肉を食べ、朝にはパンで満たされる。そしてあなたたちは、わたしがあなたたちの神、主であることを知るでしょう。』」¹³

その夕方、うずらが来て宿営を覆い、朝には宿営の周りに露の層があった。¹⁴

露が蒸発すると、見よ、荒野の表面には、地面の霜のように細かい、薄片状のものがあった。¹⁵

イスラエル人がそれを見たとき、彼らは互いに「これは何だろう？」と言った。彼らはそれが何であるか知らなかったからである。モーセは彼らに言った、「これは主があなたたちに食べさせるために与えたパンです。」¹⁶

これは主が命じられたことです。『各自が必要に応じて集めなさい。あなたたちの天幕にいる人一人につき一オメルを取りなさい。』」¹⁷

イスラエル人は指示通りに行い、多く集める者もいれば、少なく集める者もいた。¹⁸

彼らがオメルで測ると、多く集めた者も余ることなく、少なく集めた者も足りないことはなかった。各自が必要なだけ集めた。¹⁹

それからモーセは彼らに言った、「誰もそれを朝まで残しておいてはならない。」²⁰

しかし、彼らはモーセに聞き従わず、一部を朝まで残しておいた者がいた。それは虫がわき、臭くなった。そこでモーセは彼らに怒った。²¹

毎朝、各自が必要に応じて集め、太陽が熱くなると、それは溶けてしまった。²²

六日目には、彼らは通常の二倍、つまり一人につき二オメルを集めた。会衆のすべての指導者が来て、モーセに報告した。²³

彼は彼らに言った、「これは主が命じられたことです。『明日は安息日、主に聖なる安息日です。焼きたいものを焼き、煮たいものを煮なさい。残ったものはすべて保存して、朝まで取っておきなさい。』」²⁴

彼らはモーセの指示通りにそれを朝まで保存し、それは臭くならず、虫もわかなかった。²⁵

モーセは言った、「今日はそれを食べなさい。今日は主にとっての安息日です。今日は地面にそれを見付けることはできません。」²⁶

六日間はそれを集めなければなりません、七日目の安息日にはそれはありません。」²⁷

それでも、七日目にそれを集めに出た者がいたが、何も見つけれなかった。²⁸

すると主はモーセに言われた、「いつまでわたしの命令と指示を守ることが拒むのか。」²⁹

見よ、主はあなたたちに安息日を与えた。それゆえ、六日目に二日分のパンを与えるのです。七日目には各自が自分の場所に留まり、誰も外に出てはならない。」³⁰

こうして、民は七日目に休息を守った。³¹

イスラエル人はそのパンをマナと呼んだ。それはコリアンダーの種のように白く、蜂蜜で作ったウエハースのような味がした。³²

モーセは言った、「これは主が命じられたことです。『一オメルのマナを取って、後の世代のために保存しなさい。彼らが荒野であなたたちに食べさせたパンを見ることができるように、わたしがあなたたちをエジプトから連れ出したときに。』」³³

そこでモーセはアロンに言った、「壺を取って、一オメルのマナを入れなさい。それを主の前に置き、後の世代のために保存しなさい。」³⁴

主がモーセに命じた通りに、アロンはそれを証の前に置いて保存した。³⁵

イスラエル人は四十年間マナを食べ、定住した地に到達するまで食べ続けた。彼らはカナンの境に来るまでマナを食べた。³⁶

(オメルはエファの約十分の一である。)

17 イスラエル人の全会衆は、主の命令に従ってシンの荒野から段階的に出発し、レフィディムに宿営したが、そこには人々が飲む水がなかった。²

民はモーセと争い、「私たちに飲む水をください」と要求した。モーセは答えた。「なぜ私と争うのですか？ なぜ主を試みるのですか？」³

民は水に渴き、モーセに不平を言って、「なぜ私たちをエジプトから連れ出して、私たちと私たちの子供たちと家畜を渴きで殺そうとするのですか？」と言った。⁴

モーセは主に叫んで言った。「この民に対して私はどうすればよいのでしょうか？」

彼らはもう少しで私を石で打とうとしています！」⁵

主はモーセに言われた。「民の前を通り、イスラエルの長老たちの何人かを連れて行き、ナイルを打った杖を手に持って行きなさい。」⁶

私はホレブの岩の上であなたの前に立つ。岩を打て、そうすれば水がそこから出てきて、民が飲むことができる。」モーセはイスラエルの長老たちの目の

出エジプト記

前でそのようにした。⁷
彼はその場所をマッサとメリバと名付けた。それはイスラエル人の争いのためであり、彼らが「主は私たちの中におられるのか、いないのか?」と主を試みただけである。⁸
アマレク人が来て、レフィディムでイスラエルと戦った。⁹
モーセはヨシュアに言った。「私たちのために人を選び、アマレクと戦いに行きなさい。明日、私は神の杖を手に持って丘の頂に立つ。」¹⁰
ヨシュアはモーセが命じたとおりにしてアマレクと戦い、モーセとアロンとフルは丘の頂に上った。¹¹
モーセが手を上げている間は、イスラエルが勝ち、手を下ろすとアマレクが勝った。¹²
モーセの手が重くなったので、彼らは石を取って彼の下に置き、彼はその上に座った。アロンとフルは一人がこちら側に、もう一人があちら側にいて彼の手を支えたので、彼の手は日没までしっかりと保たれた。¹³
ヨシュアは剣でアマレクとその民を打ち破った。¹⁴
主はモーセに言われた。「これを記念として書物に記し、ヨシュアに読ませなさい。私は天の下からアマレクの記憶を完全に消し去る。」¹⁵
モーセは祭壇を築き、それを「主は私の旗」と名付けた。¹⁶
彼は宣言した。「主が誓われたので、主は代々にわたってアマレクと戦われる。」

18 さて、ミディアン¹の祭司でモーセの義父であるイテロは、神がモーセとその民イスラエルのために行ったすべてのこと、すなわち主がイスラエルをエジプトから導き出されたことを聞いた。²
モーセの義父イテロは、モーセが送り出した後、モーセの妻チッポラを迎えていた。³
彼女の二人の息子と共に。一人はゲルショムと名付けられた。モーセが「私は異国の地で寄留者であった」と言ったからである。⁴
もう一人はエリエゼルと名付けられた。彼が「私の父の神が私を助け、ファラオの剣から私を救い出された」と言ったからである。⁵
モーセの義父イテロは、モーセの息子たちと妻を連れて、神の山に宿営している荒野の彼のもとに来た。⁶
彼はモーセにメッセージを送った。「私はあなたの義父イテロです。あなたの妻とその二人の息子と一緒にあなたのもとに来ています。」⁷
モーセは義父を迎えに出て、ひれ伏して口づけした。彼らはお互いの安否を尋ね合い、その後テントに入った。⁸

モーセは義父に、主がイスラエルのためにファラオとエジプト人に行ったすべてのこと、彼らが旅の途中で直面したすべての困難、そして主がどのように彼らを救い出されたかを語った。⁹
イテロは、主がエジプト人の手から彼らを救い出されたすべての良いことを喜んだ。¹⁰
イテロは言った。「エジプト人とファラオの手からあなたを救い、民をエジプト人の手から救い出された主は祝福されるべきです。」¹¹
今、私は主が他のすべての神々よりも偉大であることを知りました。彼らが民に対して高慢に振る舞ったときに、主がこれを示されたからです。」¹²
その後、モーセの義父イテロは神に全焼の捧げ物と犠牲を捧げ、アロンはイスラエルのすべての長老たちと共に来て、神の前でモーセの義父と食事をした。¹³
翌日、モーセは民を裁くために座り、彼らは朝から夕方まで彼の周りに立っていた。¹⁴
モーセの義父が彼が民のためにしているすべてのことを見たとき、彼は尋ねた。「あなたは民のために何をしているのですか?なぜあなた一人で裁き、すべての民が朝から夕方まであなたの周りに立っているのですか?」¹⁵
モーセは義父に答えた。「民が神の御心を求めて私のもとに来るからです。」¹⁶
彼らが争いを持つとき、それは私のもとに持ち込まれ、私は当事者間を裁き、神の掟と律法を知らせます。」¹⁷
モーセの義父は彼に話し、「あなたがしていることは良くありません」と言った。¹⁸
あなたとあなたのもとに来るこの民は、ただ疲れ果てるだけです。この仕事はあなたには重すぎます。あなた一人ではできません。¹⁹
今、私の言うことを聞いてください。私はあなたに助言を与え、神があなたと共におられますように。あなたは神の前で民の代表となり、彼らの争いを神に持って行くべきです。²⁰
彼らに神の掟と指示を教え、彼らが生きるべき道と行うべき仕事を示しなさい。²¹
民の中から能力のある者、神を恐れる者、信頼できる者、不正な利益を憎む者を選び、千人、百人、五十人、十人の上に立てなさい。²²
彼らに常に民の裁判官として仕えさせなさい。しかし、難しい事件はすべてあなたのもとに持って来させ、簡単な事件は彼ら自身で決めさせなさい。これにより、あなたの負担が軽くなり、彼らがあなたと共にそれを分かち合うでしょう。²³
もしあなたがこれを行い、神がそう命じられるなら、あなたは耐えることができ、この民は皆満足して

出エジプト記

帰るでしょう。」²⁴
モーセは義父の言うことを聞き、その提案をすべて
実行した。²⁵
彼はイスラエル全体から能力のある者を選び、千人
、百人、五十人、十人の上に立てた。²⁶
彼らは常に民を裁いた。彼らは難しい事件をモーセ
のもとに持って来たが、簡単な事件は自分たちで決
めた。²⁷
それからモーセは義父に別れを告げ、イテロは自分
の地に帰った。

19 イスラエルの人々がエジプトを出発してか
ら3か月目のその日に、彼らはシナイの荒
野に到着した。²
彼らはレフィディムを出発し、シナイの荒野に来て
、山の前に宿営した。³
モーセは神のもとに登って行った。すると主は山か
ら彼に呼びかけて言われた。「ヤコブの家にこう言
い、イスラエルの子らに告げなさい。⁴
『あなたたちは、わたしがエジプト人にしたこと、
またわたしがあなたたちを鷲の翼に乗せて、わたし
のもとに連れて来たことを見た。⁵
今、もしあなたがたがわたしの声に従い、わたしの
契約を守るならば、あなたがたはすべての国々の中
でわたしの宝となる。全地はわたしのものであるか
らだ。⁶
あなたがたはわたしにとって祭司の王国、聖なる国
民となる。』これがイスラエルの子らに語るべき言
葉である。⁷
モーセは戻って来て、民の長老たちを召集し、主が
命じられたすべての言葉を彼らの前に置いた。⁸
民は皆一緒に答えて、「主が語られたことはすべて
行います」と言った。それでモーセはその答えを主
に持って行った。⁹
主はモーセに言われた。「わたしは厚い雲の中であ
なたのもとに来る。そうすれば、わたしがあなたと
話すとき、民は聞いて、いつもあなたを信じるよう
になる。」それからモーセは民の言葉を主に伝えた
。¹⁰
主はモーセに言われた。「民のところに行き、今日
と明日、彼らを聖別しなさい。彼らに衣服を洗わせ
なさい。¹¹
三日目に備えさせなさい。その日、主は全ての民の
目の前でシナイ山に降りて来るからである。¹²
民の周りに境界を設けて、彼らに警告しなさい。『
山に登ったり、その端に触れたりしないように気を
つけなさい。山に触れる者は必ず死ななければなら
ない。¹³
手で触れてはならない。彼らは石で打たれるか、矢
で射られるかしなければならぬ。動物でも人間で

も、生きてはならない。羊の角が長く鳴り響くとき
にだけ、彼らは山に近づくことができる。』」¹⁴
モーセは山から下りて来て、民を聖別し、彼らは衣
服を洗った。¹⁵
彼は民に言った。「三日目に備えなさい。性的関係
を避けなさい。」¹⁶
三日目の朝、雷鳴と稲妻があり、山の上に厚い雲が
あり、非常に大きなラッパの音が鳴り響き、宿営中
のすべての人々が震えた。¹⁷
モーセは民を導いて宿営を出て神に会いに行き、彼
らは山のふもとに立った。¹⁸
シナイ山は煙に包まれていた。主が火の中で山に降
りて来たからである。煙は炉の煙のように立ち上り
、山全体が激しく揺れ動いた。¹⁹
ラッパの音がますます大きくなる中、モーセは話し
、神は雷のような声で彼に答えられた。²⁰
主はシナイ山の頂に降りて来て、モーセを山の頂に
呼ばれた。モーセは登って行った。²¹
主はモーセに言われた。「下りて行き、民が主を見
ようとして押し寄せないように警告しなさい。さも
ないと多くの者が滅びることになる。²²
主に近づく祭司たちでさえ、自らを清めなければなら
ない。さもないと主は彼らに対して行動を起こさ
れる。」²³
モーセは主に言った。「民はシナイ山に登ることは
できません。あなたご自身が『山の周りに境界を設
けて、それを聖別しなさい』と警告されたからです
。」²⁴
主は言われた。「下りて行き、アロンを連れて来な
さい。しかし、祭司たちや民が主に近づこうとして
押し寄せてはならない。さもないと主は彼らに対
して行動を起こされる。」²⁵
それでモーセは民のもとに下りて行き、彼らに告げ
た。

20 神はこれらすべての言葉を宣言された。²
「わたしはあなたの神、主であり、あなた
をエジプトの地、奴隷の家から救い出した
者である。³
「あなたはわたしのほかに、ほかの神々を持つては
ならない。⁴
「あなたは自分のために、上の天にあるもの、下の
地にあるもの、地の下の水の中にあるもののいかな
る形の偶像も作ってはならない。⁵
それらにひれ伏してはならず、それらに仕えてはな
らない。あなたの神、主であるわたしは、ねたむ神
であり、わたしを憎む者には、父の罪を子に報い、⁶
三代、四代に及ぼすからである。⁷
しかし、わたしを愛し、わたしの戒めを守る者には
、千代に至るまで恵みを施す。⁷

出エジプト記

「あなたの神、主の名をみだりに唱えてはならない。主は、その名をみだりに唱える者を罰せずにはおかない。」⁸

「安息日を覚えて、これを聖なるものとせよ。六日間働いて、あなたのすべての仕事をしなければならぬ。」¹⁰

しかし、第七日はあなたの神、主の安息である。あなたはどんな仕事もしてはならない。あなた自身も、あなたの息子や娘も、あなたの男奴隷や女奴隷も、あなたの家畜も、あなたの町に住む外国人も。¹¹ 主は六日間で天と地と海とその中のすべてのものを造り、第七日に休まれたからである。それゆえ、主は安息日を祝福し、これを聖なるものとされた。¹²

「あなたの父と母を敬え。そうすれば、あなたの神、主が与える地であなたの日々は長くなる。」¹³

「殺してはならない。」¹⁴ 「姦淫してはならない。」¹⁵ 「盗んではならない。」¹⁶

「あなたの隣人に対して偽証してはならない。」¹⁷ 「あなたの隣人の家を欲してはならない。あなたの隣人の妻、または彼の男奴隷や女奴隷、彼の牛やロバ、またはあなたの隣人のものを何も欲してはならない。」¹⁸

すべての民は雷鳴と稲妻の閃光を見、ラッパの音を聞き、山が煙を上げるのを見たとき、震え上がり、遠くに立った。¹⁹

彼らはモーセに言った、「あなたが私たちに話してください。そうすれば私たちは聞きます。しかし、神が私たちに話されることはないようにしてください。そうでない私たちは死んでしまいます。」²⁰ モーセは民に言った、「恐れてはならない。神があなたたちを試みるために来られたのです。それは、あなたたちが罪を犯さないように、神への恐れがあなたたちと共にあるためです。」²¹

それで、民は遠くに立ち続け、モーセは神がおられる厚い暗闇に近づいた。²²

その後、主はモーセに命じられた、「イスラエルの人々にこう言いなさい、『あなたたちは、わたしが天からあなたたちに話したことを目撃した。』」²³

わたしのそばに他の神々を作ってはならない。銀の神々や金の神々を自分のために作ってはならない。²⁴

土の祭壇をわたしのために作り、その上であなたたちの焼き尽くす捧げ物と平和の捧げ物、羊と牛を捧げなさい。わたしがわたしの名を記憶させるすべての場所で、わたしはあなたたちのところに来て、あなたたちを祝福する。²⁵

もし石の祭壇をわたしのために作るなら、切り石でそれを建ててはならない。もしそれに道具を使うなら、それを汚すことになるからである。²⁶

そして、あなたの裸が露わにならないように、わたしの祭壇に階段で上ってはならない。』

21 「これらはあなたが彼らの前に置くべき定めである。」²

「あなたがヘブライ人のしもべを買うならば、彼は六年間仕えなければならない。しかし、七年目には、彼は自由の身として、何の支払いもなく解放される。」³

もし彼が一人で来たならば、一人で去らなければならない。しかし、彼が結婚しているならば、その妻も彼と共に去らなければならない。」⁴

もし彼の主人が彼に妻を与え、彼女が息子や娘を産んだならば、その妻と子供たちは彼の主人に属し、彼は一人で去らなければならない。」⁵

しかし、もししもべが、『私は主人、妻、子供たちを愛しているので、自由の身として去りたくない』と言うならば、⁶

その主人は彼を神の前に連れて行かなければならない。そして、彼を戸口または柱に連れて行き、錐で彼の耳を刺し通さなければならない。彼は永久に彼に仕えることになる。」⁷

「もし人が娘を女奴隷として売るならば、彼女は女奴隷のように自由にはならない。」⁸

もし彼女が彼女を自分のために選んだ主人に気に入らないならば、彼は彼女を贖うことを許さなければならない。彼は彼女を外国の人々に売る権利を持たない、彼女に対する不誠実のために。」⁹

もし彼が彼女を息子のために指定するならば、彼は娘の権利に従って彼女を扱わなければならない。」¹⁰

もし彼が他の女性と結婚するならば、彼は彼女の食物、衣服、婚姻の権利を減らしてはならない。」¹¹

もし彼がこれら三つのことを彼女に提供しないならば、彼女は何の支払いもなく自由にならなければならない。」¹²

「人を打って死なせた者は、必ず死刑にされなければならない。」¹³

しかし、それが故意でなく、神がそれを許した場合には、私は彼が逃れるための場所を指定する。」¹⁴

しかし、もし誰かが故意に隣人を殺すならば、あなたは彼を私の祭壇からでも連れ出して死刑にしなければならない。」¹⁵

「父または母を打つ者は、必ず死刑にされなければならない。」¹⁶

「人を誘拐し、売ったり、まだ手元に置いている者は、必ず死刑にされなければならない。」¹⁷

「父または母を呪う者は、必ず死刑にされなければならない。」¹⁸

「もし人々が争い、石や拳で他の人を打ち、その被害者が死なずに床に就くならば、」¹⁹

出エジプト記

もし負傷者が再び起き上がり、杖を持って外を歩くならば、加害者は罰せられず、ただ時間の損失を補償し、被害者が完全に治るようにしなければならない。²⁰

「もし誰かが男奴隷または女奴隷を棒で打ち、その奴隷がその手で死ぬならば、彼は罰せられなければならない。²¹

しかし、もし奴隷が一日か二日生き延びるならば、復讐はされない。奴隷は彼の財産だからである。²²

「もし男たちが争い、妊婦を打って早産させるが、重大な傷害がないならば、犯人はその女性の夫が要求し、裁判官が認める罰金を支払わなければならない。²³

しかし、重大な傷害があるならば、命には命を与えなければならない。²⁴

目には目、歯には歯、手には手、足には足を。火傷には火傷、傷には傷、打撲には打撲を。²⁵

「もし所有者が男奴隷または女奴隷の目を打って破壊するならば、彼はその目の代償として奴隷を自由にしなければならない。²⁷

そして、もし彼が男奴隷または女奴隷の歯を打ち抜くならば、彼はその歯の代償として奴隷を自由にしなければならない。²⁸

「もし牛が男または女を突いて死なせるならば、その牛は石で打たれ、その肉は食べられてはならない。しかし、牛の所有者は責任を問われない。²⁹

しかし、もしその牛が以前から突くことが知られており、その所有者が警告を受けたにもかかわらず、それを閉じ込めていなかった場合、そしてそれが男または女を殺すならば、その牛は石で打たれ、その所有者も死刑にされなければならない。³⁰

もし身代金が要求されるならば、彼は要求されるものを支払って自分の命を贖うことができる。³¹

この法律は、牛が息子または娘を突いた場合にも適用される。³²

もし牛が男奴隷または女奴隷を突いたならば、所有者は奴隷の主人に銀三十シェケルを支払い、その牛は石で打たなければならない。³³

「もし誰かが穴を開けるか、穴を掘ってそれを覆わないで、牛またはロバがそこに落ちるならば、³⁴ 穴の所有者は補償しなければならない。彼は動物の所有者に金を渡し、死んだ動物は彼のものとなる。³⁵

「もし誰かの牛が他の人の牛を傷つけて死なせるならば、生きている牛を売ってその収益を等しく分け、また死んだ牛も分けなければならない。³⁶

しかし、その牛が突く癖があることが知られており、その所有者がそれを閉じ込めていなかった場合に

は、彼は牛を牛で補償し、死んだ動物は彼のものとなる。

22 「もし人が牛または羊を盗んでそれを屠り、または売ったなら、その牛のために五頭の牛を、羊のために四頭の羊をもって償わなければならない。²

もし盗人が押し入って捕らえられ、打たれて死んだなら、その者のために血の罪はない。³

しかし、もしそれが日の出の後であれば、その者のために血の罪がある。盗人は必ず償わなければならない。もし何も持っていないなら、その盗みのために売られなければならない。⁴

もし盗んだ物がその手に生きて見つかったなら、牛であれ、ろばであれ、羊であれ、倍にして償わなければならない。⁵

「もし人が家畜を野やぶどう畑で放牧させ、他人の畑に入ってしまったなら、その最良の畑またはぶどう畑から償わなければならない。⁶

「もし火が出て、いばらに燃え移り、積んだ穀物、立っている穀物、または畑そのものを焼いたなら、火を起こした者は償わなければならない。⁷

「もし人が隣人に金または物を預けて、それがその隣人の家から盗まれたなら、盗人が捕らえられたなら、倍にして償わなければならない。⁸

もし盗人が見つからなければ、その家の主人は裁判官の前に出て、隣人の財産に手をかけたかどうかを判断されなければならない。⁹

すべての不法所持の事件、牛、ろば、羊、衣服、または「これは私のものだ」と言う失われた財産については、両者が裁判官の前に出なければならない。裁判官が有罪と宣告した者は、他者に倍にして償わなければならない。¹⁰

「もし人が隣人にろば、牛、羊、またはどんな動物でも預けて、それが死んだり、傷ついたり、誰も見ていない間に連れ去られたなら、¹¹

両者は主の前で誓いを立て、隣人が他者の財産に手をかけなかったことを証明しなければならない。所有者はこれを受け入れ、償いは必要的。¹²

しかし、もしその動物が隣人から盗まれたなら、所有者は補償を受けなければならない。¹³

もし野獣によって引き裂かれたなら、隣人はその残骸を証拠として持ってきて、引き裂かれた動物のために支払う必要はない。¹⁴

「もし人が隣人から動物を借りて、それが傷ついたり死んだりした場合、所有者がその場にいないければ、完全に償わなければならない。¹⁵

もし所有者がその場にいるなら、借りた者は支払う必要はない。もし動物が借りられたものであれば、借用料が損失をカバーする。¹⁶

出エジプト記

「もし男が婚約していない処女を誘惑して彼女と寝たなら、彼女を妻とするために持参金を支払わなければならない。」¹⁷

もし彼女の父が彼女を与えることを拒むなら、処女の持参金に相当する額を支払わなければならない。

¹⁸ 「魔女を生かしておいてはならない。」¹⁹

「動物と性的関係を持つ者は死刑に処されなければならない。」²⁰

「主以外の神に犠牲を捧げる者は、完全に滅ぼされなければならない。」²¹

「外国人を虐げたり虐待したりしてはならない。あなたたちはエジプトの地で外国人だったからである。」²²

「未亡人や孤児を虐げてはならない。」²³ もし彼らを虐げ、彼らが私に叫び求めるなら、私は必ずその叫びを聞く。²⁴

私の怒りが燃え上がり、私は剣であなたを殺し、あなたの妻たちは未亡人となり、あなたの子供たちは父なし子となる。²⁵

「もし私の民、あなたの中の貧しい者に金を貸すなら、債権者のように振る舞ってはならない。利息を取ってはならない。」²⁶

もし隣人の上着を質に取るなら、日没までにそれを返さなければならない。」²⁷

それは彼らの唯一の覆いであり、体のための上着である。彼らは他に何を着て眠ることができるだろうか。彼らが私に叫び求めるとき、私は聞く。私は情け深いからである。²⁸

「神を冒したり、あなたの民の指導者を呪ったりしてはならない。」²⁹

「あなたの穀物やワインの捧げ物を控えてはならない。あなたの息子の初子を私に捧げなければならない。」³⁰

あなたの牛や羊も同様にしなさい。彼らを母親と共に七日間置いておき、八日目に私に捧げなさい。³¹

「あなたは私にとって聖なる民でなければならない。それゆえ、野獣によって引き裂かれた動物の肉を食べてはならない。それを犬に投げ与えなさい。」

23 「偽りの報告を広めてはならない。悪人と手を組んで悪意のある証人になってはならない。」²

「多数に従って悪を行ってはならない。また、訴訟で群衆に加担して正義を曲げて証言してはならない。」³

「争いにおいて貧しい者に偏見を持つてはならない。」⁴

「もし敵の牛やロバが迷っているのを見かけたら、それを彼らに返さなければならない。」⁵

あなたを憎む者のロバが重荷の下に倒れているのを見たら、それを放置せず、彼と共にそれを解放しな

ければならない。」⁶

「あなたの民の貧しい者たちの訴訟において正義を否定してはならない。」⁷

偽りの告発を避け、無実の者や正しい者を害してはならない。私は有罪の者を無罪とはしないからである。」⁸

「賄賂を受け取ってはならない。賄賂は明察を盲目にし、正しい者の言葉を腐敗させるからである。」⁹

「外国人を虐げてはならない。あなたたちはエジプトで外国人であったので、外国人の心を知っているからである。」¹⁰

「六年間、あなたの土地に種をまき、その産物を集めなさい。」¹¹

しかし、七年目にはそれを休ませ、休閑地としなさい。そうすれば、あなたの民の貧しい者たちが食べることができ、彼らが残したものを野の動物が食べることもができる。あなたのぶどう畑とオリーブ畑でも同じようにしなさい。」¹²

「六日間、あなたは仕事をしなければならないが、七日目には労働をやめなければならない。そうすれば、あなたの牛とロバが休むことができ、あなたの女奴隷の子と外国人が元気を取り戻すことができる。」¹³

「私があなたに告げたことをすべて注意深く行いなさい。他の神々の名を口にしてはならない。それらがあなたの唇に聞こえてはならない。」¹⁴

「年に三度、私に祭りを行いなさい。」¹⁵

種なしパンの祭りを守りなさい。七日間、種なしパンを食べなければならない。私が命じたように、アビブの月の定められた時に、エジプトから出てきたその月に行いなさい。誰も手ぶらで私の前に現れてはならない。」¹⁶

「畑に蒔いた労働の初穂を持って収穫の祭りを守り、年の終わりに畑から収穫を集める時に収穫の祭りを守りなさい。」¹⁷

「年に三度、すべての男子は主なる神の前に現れなければならない。」¹⁸

「私の犠牲の血を酵母を含むものと共に捧げてはならない。また、私の祭りの捧げ物の脂肪を朝まで残してはならない。」¹⁹

「あなたの土地の初穂の最良のものを、あなたの神、主の家に持って行きなさい。「子やぎをその母の乳で煮てはならない。」²⁰

「見よ、私はあなたの前に使いを送り、道中あなたを守り、私が用意した場所にあなたを導く。」²¹

彼に注意を払い、その声に耳を傾けなさい。彼に逆らってはならない。彼はあなたの罪を赦さないであろう。私の名が彼の中にあるからである。」²²

もし彼の声に従い、私が言うことをすべて行

出エジプト記

うならば、私はあなたの敵に敵対し、あなたに敵対する者に立ち向かうであろう。²³

私の使いがあなたの前に行き、アモリ人、ヒッタイト人、ペリジ人、カナン人、ヒビ人、エブス人の地にあなたを導き、私は彼らを完全に滅ぼすであろう。²⁴

あなたは彼らの神々にひれ伏してそれらに仕えたり、その行いに従ったりしてはならない。それらを打ち壊し、彼らの聖なる石を粉々にしなければならぬ。²⁵

あなたの神、主に仕えなさい。そうすれば、彼の祝福があなたの食物と水にあり、私はあなたの中から病を取り除くであろう。²⁶

あなたの地には流産する者も不妊の者もないであろう。私はあなたに満ち足りた寿命を与えるであろう。²⁷

「私はあなたの前に恐怖を送り、出会うすべての国を混乱に陥れるであろう。私はあなたの敵をすべて背を向けさせ、逃げさせるであろう。²⁸

私はあなたの前にスズメバチを送り、ヒビ人、カナン人、ヒッタイト人をあなたの道から追い払うであろう。²⁹

私はあなたの前から彼らを一年のうちに追い払わないであろう。そうしないと、地が荒れ果て、野の動物があなたにとって多すぎるからである。³⁰

徐々に、私はあなたの前から彼らを追い払い、あなたが増えて地を所有するまでにするであろう。³¹

「私はあなたの境界を紅海から地中海まで、砂漠からユーフラテス川まで確立するであろう。私はその地の住民をあなたの手に渡し、あなたは彼らをあなたの前から追い払うであろう。³²

あなたは彼らや彼らの神々と契約を結んではならない。³³

彼らをあなたの地に住まわせてはならない。さもないと、彼らは私に対して罪を犯させるであろう。彼らの神々を崇拜することは、確かにあなたにとって畏となるであろう。」

24 その後、主はモーセに言われた。「アロン、ナダブ、アビフ、およびイスラエルの長老七十人と共に、主のもとに上り、遠くから礼拝しなさい。²

モーセだけが主に近づくことができる。他の者は近づいてはならず、民も彼と共に上ってはならない。」³

モーセは来て、主のすべての言葉と定めを民に伝えた。民は皆、声を合わせて答えた。「私たちは主が語られたすべての言葉を行います。」⁴

モーセは主のすべての言葉を書き記した。翌朝早く、彼は山のふもとに祭壇を築き、イスラエルの十二

部族を表す十二の石柱を立てた。⁵

彼はイスラエルの若者たちを送り、焼き尽くす捧げ物を捧げ、主に和解のための雄牛を犠牲として捧げさせた。⁶

モーセは血の半分を取って鉢に入れ、残りの半분을祭壇に振りかけた。⁷

彼は契約の書を民に読み聞かせた。民は答えた。「私たちは主が語られたすべてのことを行い、従います。」⁸

モーセは血を取り、民に振りかけて言った。「これは主がこれらの言葉に従ってあなたたちと結んだ契約の血である。」⁹

モーセはアロン、ナダブ、アビフ、およびイスラエルの長老七十人と共に上った。¹⁰

彼らはイスラエルの神を見た。その足元には、空のように澄んだサファイアの舗道のようなものがあった。¹¹

しかし、彼はイスラエルの指導者たちに手を下さなかった。彼らは神を見、食べ、飲んだ。¹²

主はモーセに言われた。「山に上って私のもとに留まりなさい。私は彼らの教えのために書いた律法と戒めの石板をあなたに与える。」¹³

モーセは従者のヨシュアと共に出発し、神の山に上った。¹⁴

彼は長老たちに言った。「私たちがあなたたちのもとに戻るまでここで待ちなさい。アロンとフルがあなたたちと共にいる。法的な問題がある者は彼らに近づくことができる。」¹⁵

モーセが山に上ると、雲がそれを覆った。主の栄光がシナイ山に留まり、雲が六日間それを覆った。七日目に、主は雲の中からモーセを呼ばれた。¹⁷

イスラエルの人々には、主の栄光が山の頂上で燃え尽くす火のように見えた。¹⁸

モーセは雲の中に入り、山に上り、四十日四十夜そこに留まった。

25 主はモーセに告げて言われた。² 「イスラエルの人々に語り、彼らに私への捧げ物を持って来させなさい。心が動かされて捧げる者からその捧げ物を受け取りなさい。³

これらは彼らから受け取るべき捧げ物である。金、銀、青銅、⁴ 青、紫、緋の糸、細布、やぎの毛、⁵ 赤く染めた雄羊の皮、良い革、アカシア材、⁶ 灯りのためのオリーブ油、注ぎ油と香ばしい香のための香料、⁷ エボデと胸当てにはめ込むための縞瑪瑙と他の宝石。⁸

「彼らに私のために聖所を造らせ、私が彼らの中に住むことができるようにしなさい。」⁹

出エジプト記

幕屋とそのすべての備品を、私があなたに示す型どおりに作りなさい。¹⁰

「彼らはアカシア材で箱を作りなさい。長さ二キュビト半、幅一キュビト半、高さ一キュビト半。¹¹ それを純金で内側も外側も覆い、その周りに金の縁を作りなさい。¹²

そのために金の環を四つ作り、その四つの足に取り付けなさい。一方に二つの環、他方に二つの環を付けなさい。¹³

アカシア材で棒を作り、それを金で覆いなさい。¹⁴ その棒を箱の側面の環に差し込み、運搬するようにしなさい。¹⁵

棒は箱の環に差し込んだままにしておき、取り外してはならない。¹⁶

その箱の中に、私があなたに与える契約の法の石板を納めなさい。¹⁷

「純金で贖いの蓋を作りなさい。長さ二キュビト半、幅一キュビト半。¹⁸

金で二つのケルビムを作りなさい。蓋の両端に打ち出し細工で作りなさい。¹⁹

一方の端に一つのケルビム、他方の端にもう一つのケルビムを作りなさい。ケルビムを蓋と一体にし、その両端に作りなさい。²⁰

ケルビムは翼を上へ伸ばし、蓋を覆うようにしなさい。彼らは互いに向き合い、その顔は蓋に向けなさい。²¹

蓋を箱の上に置き、箱の中に私があなたに与える契約の法の石板を納めなさい。²²

その場所で、蓋の上、契約の法の箱の上にある二つのケルビムの間で、私はあなたに会い、イスラエルの人々のためにすべての指示を与える。²³

「アカシア材で机を作りなさい。長さ二キュビト、幅一キュビト、高さ一キュビト半。²⁴

それを純金で覆い、その周りに金の縁を作りなさい。²⁵

また、その周りに一手幅の縁を作り、その縁に金の縁を付けなさい。²⁶

机のために金の環を四つ作り、その四つの角に取り付けなさい。²⁷

環は縁に近く、机を運ぶための棒を通すようにしなさい。²⁸

アカシア材で棒を作り、それを金で覆い、机を運ぶために使いなさい。²⁹

その皿、皿、ピッチャー、注ぎ物のための鉢をすべて純金で作らなさい。³⁰

常に私の前にあるように、この机に臨在のパンを置きなさい。³¹

「純金で燭台を作りなさい。燭台、その台座とその軸は打ち出し細工で作り、その花のような杯、つぼ

み、花は一体にしなさい。³²

その側から六つの枝を伸ばしなさい。一方に三つ、他方に三つ。³³

各枝にはアーモンドの花の形をした三つの杯、つぼみ、花を持たせ、このデザインを燭台から伸びる六つの枝すべてに一貫させなさい。³⁴

燭台自体にはアーモンドの花の形をした四つの杯、つぼみ、花を持たせなさい。³⁵

燭台から伸びる最初の枝の対の下に一つのつぼみ、二番目の対の下にもう一つのつぼみ、三番目の対の下に三つ目のつぼみを置き、合計で六つの枝を作りなさい。³⁶

つぼみと枝はすべて燭台と一体にし、純金で作らなさい。³⁷

次に、その七つのランプを作り、それを設置してその前の区域を照らすようにしなさい。³⁸

その芯切りばさみと受け皿は純金で作らなさい。³⁹

燭台とこれらすべての付属品には純金の一タラントを使用しなさい。⁴⁰

山で示された型どおりにそれらを作るように注意しなさい。

26 「幕屋を作るには、巧みな職人によって作られたケルビムを取り入れた、青、紫、緋色の糸と撚り合わせた亜麻布の十枚の幕を用いなさい。²

各幕の長さは二十八キュビト、幅は四キュビトとし、すべての幕は同じ寸法にしなさい。³

五枚の幕をつなぎ合わせ、もう五枚の幕も同様につなぎ合わせなさい。⁴

最初の組の外側の幕の縁に青い材料の輪を作り、第二の組の外側の幕の縁にも同様にしなさい。⁵

一つの幕に五十の輪を作り、第二の組の幕の縁にも五十の輪を作り、輪が互いに向かい合うようにしなさい。⁶

金の留め金を五十個作り、それを用いて幕をつなぎ合わせ、幕屋が一つの単位となるようにしなさい。⁷

「幕屋の上にかける天幕として、山羊の毛で作った幕を十一枚作りなさい。⁸

これら十一枚の幕はそれぞれ長さ三十キュビト、幅四キュビトとし、寸法を統一しなさい。⁹

五枚の幕を一組にし、残りの六枚をもう一組にし、六枚目の幕を天幕の前で二重に折りたたみなさい。¹⁰

一組の外側の幕の縁に五十の輪を作り、もう一組の外側の幕の縁にも五十の輪を作りなさい。¹¹

青銅の留め金を五十個作り、それを輪に差し込んで天幕を一つの単位にしなさい。¹²

天幕の幕の余った長さ、残る半分の幕は幕屋の後ろ

出エジプト記

に垂れ下がるようにしなさい。¹³
天幕の幕の両側に残るキュービトは幕屋の側面を覆うように垂れ下がるようにしなさい。¹⁴
赤く染めた雄羊の皮の覆いを天幕のために作り、その上にさらに丈夫な革の覆いを作りなさい。¹⁵
「幕屋のためにアカシア材で立てる枠を作りなさい。¹⁶
各枠の長さは十キュービト、幅は一キュービト半としなさい。¹⁷
各枠には平行する二つの突起を持たせ、幕屋のすべての枠をこのように作りなさい。¹⁸
幕屋の南側のために二十の枠を作りなさい。¹⁹
枠の下に置くための銀の台座を四十個作りなさい。²⁰
各枠の突起の下に一つずつ台座を置きなさい。²¹
幕屋の北側のために二十の枠を作りなさい。²²
そして、四十の銀の台座を作りなさい。各枠の下に二つの台座を置きなさい。²³
幕屋の後ろ、西側のために六つの枠を作りなさい。²⁴
幕屋の後ろの角のために二つの枠を作りなさい。²⁵
これらの角の枠は、基部から上部まで二重にし、一つの輪に合わせて取り付けなさい。両方ともこのように作りなさい。²⁶
銀の台座を持つ八つの枠があり、合計で十六の台座、各枠の下に二つの台座を置きなさい。²⁷
「さらに、アカシア材の横木を作りなさい。幕屋の一方の側の枠のために五つ、²⁸
反対側の枠のために五つ、幕屋の後ろ、西側の枠のために五つ作りなさい。²⁹
中央の横木は枠の中央を端から端まで伸びるようにしなさい。³⁰
枠を金で覆い、横木を保持するための金の輪を作りなさい。横木も金で覆いなさい。³¹
山で示された計画に従って幕屋を組み立てなさい。³²
「青、紫、緋色の糸と撚り合わせた亜麻布で垂れ幕を作り、巧みな職人によってケルビムを織り込ませなさい。³³
金の鉤で四つのアカシア材の柱に掛け、金で覆い、四つの銀の台座に立てなさい。³⁴
垂れ幕を留め金から吊るし、垂れ幕の後ろに契約の箱を置きなさい。垂れ幕は聖所と至聖所の間の仕切りとなる。³⁵
至聖所に契約の箱の上に贖いの蓋を置きなさい。³⁶
垂れ幕の外、幕屋の北側に机を置き、それに対して南側に燭台を置きなさい。³⁷
「天幕の入口のために、青、紫、緋色の糸と撚り合わせた亜麻布でカーテンを作り、刺繍師によって作らせなさい。³⁸

このカーテンのために金の鉤を作り、金で覆ったアカシア材の柱を五本作り、五つの青銅の台座を鋳造しなさい。

27 「アカシア材で祭壇を作りなさい。長さ五キュービト、幅五キュービトで、祭壇は正方形にし、高さは三キュービトとしなさい。²
その四隅に角を作り、角は祭壇と一体にし、青銅で覆いなさい。³
そのすべての用具、すなわち灰を取り除くための鍋、シャベル、振りかける鉢、肉刺し、火皿を青銅で作りなさい。⁴
それのために格子を作りなさい。青銅の網で、網の四隅に青銅の輪を四つ作りなさい。⁵
それを祭壇の縁の下に置き、網が祭壇の半ばまで届くようにしなさい。⁶
祭壇のためにアカシア材の棒を作り、それを青銅で覆いなさい。⁷
棒を輪に通し、祭壇を運ぶときに両側に来るようにしなさい。⁸
板で中を空洞にして作りなさい。山であなたに示されたように、それを作りなさい。⁹
「幕屋の庭を作りなさい。南側には、長さ百キュービトのねじり糸の細布の垂れ幕を一方の側にしなさい。¹⁰
二十本の柱と二十の青銅の台座、柱には銀の鉤と帯をつけなさい。¹¹
同様に、北側にも長さ百キュービトの垂れ幕をし、二十本の柱と二十の青銅の台座、柱には銀の鉤と帯をつけなさい。¹²
庭の西側には、幅五十キュービトの垂れ幕をし、十本の柱と十の台座を設けなさい。¹³
庭の東側も幅五十キュービトとしなさい。¹⁴
入口の片側には、十五キュービトの垂れ幕をし、三本の柱と三つの台座を設けなさい。¹⁵
もう一方の側には、十五キュービトの垂れ幕をし、三本の柱と三つの台座を設けなさい。¹⁶
庭の入口には、長さ二十キュービトの幕を設けなさい。青、紫、緋色の糸とねじり糸の細布で作し、巧みな職人の手によるもので、四本の柱と四つの台座を設けなさい。¹⁷
庭の周りのすべての柱には銀の帯と鉤をつけ、青銅の台座を設けなさい。¹⁸
庭は長さ百キュービト、幅五十キュービト、高さ五キュービトのねじり糸の細布で、青銅の台座を設けなさい。¹⁹
幕屋の奉仕に用いるすべての器具、すべての杭、および庭のすべての杭は青銅で作しなさい。²⁰
「イスラエルの人々に命じて、灯火のために純粋なオリーブ油を持って来させ、常に灯りをとめてお

出エジプト記

きなさい。²¹
会見の天幕の中、証の前の垂れ幕の外で、アロンとその子らは夕方から朝まで主の前で灯りをともしておきなさい。これはイスラエルの人々が代々守るべき永遠の定めである。

28 「あなたの兄弟アロンとその息子たち、ナダブ、アビフ、エルアザル、イタマルをイスラエルの子らの中からあなたのもとに連れて来て、わたしに仕える祭司としなさい。²
あなたの兄弟アロンのために、栄光と美しさのために聖なる衣服を作りなさい。³
わたしが知恵を授けたすべての熟練した職人に話し、アロンの衣服を作らせ、彼を聖別し、わたしに仕える祭司としなさい。⁴
彼らが作るべき衣服は次のとおりである。胸当て、エフォド、ローブ、格子縞のチュニック、ターバン、帯である。これらの聖なる衣服をアロンとその息子たちのために作り、わたしに仕える祭司としなさい。⁵
彼らは金、青、紫、緋色の糸、細い亜麻布を用いる。⁶
「彼らは金、青、紫、緋色の糸、細かく撚った亜麻布でエフォドを作り、熟練した手の技で作りなさい。⁷
それは二つの肩の部分を持ち、その二つの角に取り付けられ、結び合わせることができるようにする。⁸
巧みに織られた帯は同じ作りで、金、青、紫、緋色の糸、細かく撚った亜麻布で作られる。⁹
「二つの縞瑪瑙を選び、イスラエルの子らの名前を刻みなさい。¹⁰
六つの名前を一つの石に、残りの六つをもう一つの石に、彼らの出生順に刻みなさい。¹¹
イスラエルの子らの名前を、宝石職人が印章を刻むように二つの石に刻み、金の細工の台座に取り付けなさい。¹²
石をエフォドの肩の部分に記念石として取り付けなさい。アロンはイスラエルの子らの名前を肩に担いで、主の前で記念とする。¹³
石を保持するために金の細工の台座を作りなさい。¹⁴
純金の二つの編んだ鎖を作り、縄のようにし、これらの鎖を台座に取り付けなさい。¹⁵
「決定をするための胸当てを作りなさい。熟練した手の技で作りなさい。エフォドのように、金、青、紫、緋色の糸、細かく撚った亜麻布で作りなさい。¹⁶
それは正方形で、一スパンの長さで一スパンの幅があり、二重に折りたたまれる。¹⁷

それに四列の貴石を取り付けなさい。第一列はルビー、トパーズ、エメラルドである。¹⁸
第二列はターコイズ、サファイア、ダイヤモンドである。¹⁹
第三列はヒヤシンス、アゲート、アメジストである。²⁰
第四列はベリル、縞瑪瑙、碧玉である。それらを金の細工の中に取り付けなさい。²¹
十二の石があり、イスラエルの子らの名前の一つずつが刻まれ、十二部族の一つずつの名前が印章のように刻まれる。²²
「胸当てのために、縄のような純金の編んだ鎖を作りなさい。²³
それに二つの金のリングを作り、胸当ての二つの角に取り付けなさい。²⁴
二つの金の鎖を胸当ての角のリングに取り付けなさい。²⁵
鎖の他の端を二つの台座に取り付け、エフォドの肩の部分の前に固定しなさい。²⁶
二つの金のリングを作り、それを胸当ての他の二つの角に、エフォドの内側の縁に取り付けなさい。²⁷
さらに二つの金のリングを作り、エフォドの肩の部分の前の縫い目の近く、エフォドの帯の上に取り付けなさい。²⁸
胸当てのリングをエフォドのリングに青い紐で結び、帯の上にあり、胸当てがエフォドから揺れないようにしなさい。²⁹
アロンが聖所に入るとき、彼はイスラエルの子らの名前を決定の胸当てに心の上に担いで、主の前で常に記念としなければならない。³⁰
ウリムとトンミムを決定の胸当てに入れ、アロンが主の前に入るときにそれらが彼の心の上にあるようにしなさい。こうしてアロンは常にイスラエルの子らのために決定をする手段を主の前で心の上に担う。³¹
「エフォドのローブをすべて青い布で作りなさい。³²
中央に頭のための開口部を作り、その開口部の周りに襟のような織り縁を作り、裂けないようにしなさい。³³
ローブの裾に青、紫、緋色の糸でザクロを作り、その間に金の鈴をつけなさい。³⁴
金の鈴とザクロ、金の鈴とザクロをローブの裾全体に取り付けなさい。³⁵
アロンはそれを着て仕えなければならない。彼が聖所に入るときと出るときに鈴の音が聞こえるようにし、彼が死なないようにしなさい。³⁶
「純金の板を作り、印章のように『主に聖なるもの』と刻みなさい。³⁷

出エジプト記

それをターバンに取り付けるために青い紐で結び、ターバンの前にあるようにしなさい。³⁸

それはアロンの額にあり、アロンはイスラエルの子らが捧げる聖なる贈り物に関わる罪を担う。彼の額に常にあり、彼らが主の前で受け入れられるようにしなさい。³⁹

「格子縞の細い亜麻布でチュニクを織り、細い亜麻布でターバンを作り、織工の技で帯を作りなさい。⁴⁰

アロンの息子たちのためにチュニク、帯、帽子を作り、栄光と美しさのために作りなさい。⁴¹

これらの衣服をあなたの兄弟アロンとその息子たちに着せた後、彼らを油で注ぎ、任命し、聖別し、わたしに仕える祭司としなさい。⁴²

彼らの裸を覆うために腰から腿まで届く亜麻布の下着を作りなさい。⁴³

アロンとその息子たちは会見の天幕に入るとき、または聖所で仕えるために祭壇に近づくときにそれを着用しなければならない。そうしないと罪を負い、死ぬことになる。これはアロンとその子孫のための永遠の定めである。

29 「彼らをわたしに仕える祭司として聖別するためにあなたがしなければならないことはこれである。傷のない若い雄牛と二頭の雄羊を取ること。²

また、上等の小麦粉で種を入れないパン、油を混ぜた種を入れない菓子、油を塗った種を入れない薄焼きパンを作ること。³

それらをかごに入れ、雄牛と二頭の雄羊と共にかごに入れて持ってくること。⁴

その後、アロンとその子たちを会見の幕屋の入口に連れてきて、水で彼らを洗うこと。⁵

衣服を取り、アロンに下着、エフォドの上着、エフォドそのもの、胸当てを着せ、エフォドを巧みに織った帯で彼に締めること。⁶

ターバンを彼の頭に置き、聖なる飾りをターバンに付けること。⁷

注ぎの油を取り、彼の頭に注いで彼を聖別すること。⁸ 彼の子たちを連れてきて、下着を着せること。⁹

アロンとその子たちに帯を巻き、帽子をかぶせること。祭司職は永遠の規定として彼らのものである。こうしてアロンとその子たちを任命すること。¹⁰

「雄牛を会見の幕屋の前に連れてきて、アロンとその子たちはその頭に手を置くこと。¹¹

雄牛を会見の幕屋の入口で主の前で屠ること。¹²

雄牛の血を少し取り、指で祭壇の角に塗り、残りを祭壇の基に注ぐこと。¹³

内臓を覆うすべての脂肪、肝臓の長い葉、二つの腎

臓とその上の脂肪を取り、祭壇で焼くこと。¹⁴

しかし、雄牛の肉、皮、汚物は宿営の外で焼くこと。それは罪のための捧げ物である。¹⁵

「一頭の雄羊を選び、アロンとその子たちはその頭に手を置くこと。¹⁶

雄羊を屠り、その血を取り、祭壇の周りに振りかけること。¹⁷

雄羊を切り分け、内臓と脚を洗い、頭と他の部分と共に置くこと。¹⁸

その後、全体の雄羊を祭壇で焼くこと。それは主への全焼の捧げ物であり、心地よい香り、主への火による捧げ物である。¹⁹

「もう一頭の雄羊を取り、アロンとその子たちはその頭に手を置くこと。²⁰

雄羊を屠り、その血を少し取り、アロンの右耳の耳たぶとその子たちの右耳の耳たぶ、右手の親指、右足の親指に塗り、残りの血を祭壇の周りに振りかけること。²¹

祭壇の血と注ぎの油を少し取り、アロンとその衣服、彼の子たちとその衣服に振りかけること。こうして彼とその衣服、彼の子たちとその衣服は聖別される。²²

「この雄羊から脂肪、脂尾、内臓を覆う脂肪、肝臓の長い葉、二つの腎臓とその上の脂肪、右のももを取ること。（これは任命の雄羊である。）²³

種を入れないパンのかごから一つのパン、一つの油を混ぜたパン、一つの薄焼きパンを取ること。²⁴

これらすべてをアロンとその子たちの手に置き、主の前で揺り動かす捧げ物として揺り動かすこと。²⁵ その後、それらを彼らの手から取り、全焼の捧げ物の上で祭壇で焼くこと。これは主の前で心地よい香り、主への火による捧げ物である。²⁶

アロンの任命の雄羊の胸を取り、主の前で揺り動かす捧げ物として揺り動かすこと。それはあなたの分となる。²⁷

揺り動かす捧げ物の胸と任命の雄羊から揺り動かされ、捧げられたももを聖別すること。アロンのためのものとその子たちのためのものである。²⁸

それはイスラエルの子らからアロンとその子たちへの永遠の分け前である。それは貢ぎ物であり、イスラエルの子らからの貢ぎ物であり、彼らの和解の捧げ物からの主への貢ぎ物である。²⁹

「アロンの聖なる衣服は彼の後の子孫に属し、彼らがそれを着て注がれ、任命されるようにすること。³⁰

彼の後を継いで祭司となり、聖所で仕えるために会見の幕屋に来る息子は、それを七日間着ること。³¹

「任命の雄羊を取り、その肉を聖なる場所で煮ること。³²

出エジプト記

会見の幕屋の入口で、アロンとその子たちはかごの中の雄羊の肉とパンを食べること。³³

彼らの任命と聖別のために贖いがなされたものを食べる。しかし、外部の者はそれを食べてはならない。それは聖なるものであるから。³⁴

もし任命の肉やパンが朝まで残った場合、その残りを火で焼くこと。それは食べてはならない。それは聖なるものであるから。³⁵

「アロンとその子たちのために、わたしが命じたすべてを行い、七日間かけて彼らを任命すること。³⁶ 毎日、罪のための捧げ物として雄牛を捧げ、祭壇のために贖いを行うときにそれを清め、注いで聖別すること。³⁷

七日間、祭壇のために贖いを行い、それを聖別すること。そうすれば祭壇は最も聖なるものとなり、祭壇に触れるものはすべて聖なるものとなる。³⁸

「祭壇で捧げるものはこれである。毎日、一歳の雄羊二頭を常に捧げること。³⁹

朝に一頭の雄羊を捧げ、夕暮れにもう一頭の雄羊を捧げること。⁴⁰

最初の雄羊には、上等の小麦粉一エファの十分の一を、打ち砕いた油一ヒンの四分の一と混ぜ、飲み物の捧げ物としてワイン一ヒンの四分の一を捧げること。⁴¹

夕暮れにもう一頭の雄羊を、朝と同じ穀物の捧げ物と同じ飲み物の捧げ物と共に捧げること。これは心地よい香り、主への火による捧げ物である。⁴²

それはあなたの世代を通じて会見の幕屋の入口で主の前で常に捧げる全焼の捧げ物である。そこでわたしはあなたと会い、そこであなたに語る。⁴³

わたしはそこでイスラエルの子らと会い、わたしの栄光によってそれを聖別する。⁴⁴

わたしは会見の幕屋と祭壇を聖別し、アロンとその子たちをわたしに仕える祭司として聖別する。⁴⁵ わたしはイスラエルの子らの中に住み、彼らの神となる。⁴⁶

彼らはわたしが彼らの神、主であることを知るであろう。わたしは彼らの中に住むために彼らをエジプトの地から導き出した。わたしは彼らの神、主である。

30 「アカシア材で香をたくための祭壇を作りなさい。²

それは正方形で、一辺が一キュビト、高さが二キュビトであり、角は本体と一体でなければならない。³

上面、側面、角を純金で覆い、その周りに金の縁を作りなさい。⁴

運搬用の棒を通すために、縁の下に対向する二つの金の輪を作りなさい。⁵

その棒はアカシア材で作り、金で覆いなさい。⁶ その祭壇を契約の箱の近くの垂れ幕の前、私があなたと会うところである贖いの蓋の前に置きなさい。⁷

アロンは毎朝、灯火を整えるときにその上で香をたきなさい。⁸

アロンが夕暮れに灯火をともしときにも再び香をたきなさい。この香はあなたたちの世代を通じて主の前に常にたかれるべきものである。⁹

この祭壇の上で異なる香、焼き尽くす捧げ物、穀物の捧げ物、または注ぎの捧げ物を捧げてはならない。¹⁰

アロンは年に一度、その角に贖いの罪の捧げ物の血で贖いをしなさい。これは世代を通じて続くべき永遠の定めであり、主にとって最も聖なるものである。¹¹ その後、主はモーセに言われた。¹²

「イスラエルの人々の人口調査をするとき、各人は数えられるときに主に命の贖いをしなければならぬ。そうすれば、人口調査の間に彼らに疫病が及ぶことはない。¹³

数えられる各人は聖所のシェケルに従って半シェケルを捧げなければならない。それは二十グラである。この半シェケルは主への捧げ物である。¹⁴

二十歳以上のすべての数えられる者は、この捧げ物を主に捧げなければならない。¹⁵

裕福な者は半シェケル以上を捧げてはならず、貧しい者は半シェケル以下を捧げてはならない。命の贖いのために主に捧げ物をする際には。¹⁶

イスラエルの人々から贖いの金を集め、それを会見の天幕の奉仕のために充てなさい。それはイスラエルの人々にとって主の前での記念となり、あなたたちの命の贖いとなる。¹⁷

その後、主はモーセに言われた。¹⁸

「洗うための青銅の洗盤を青銅の台と共に作り、それを会見の天幕と祭壇の間に置き、水を満たしなさい。¹⁹

アロンとその息子たちはその水で手と足を洗わなければならない。²⁰

彼らが会見の天幕に入るとき、または主に食物の捧げ物を捧げるために祭壇に近づくときは、死なないために水で洗わなければならない。²¹

彼らは手と足を洗わなければならない。そうしなければ死ぬ。このことはアロンとその子孫にとって世代を通じて続く永遠の定めである。²²

さらに、主はモーセに言われた。²³

「最上の香料を取りなさい。液体の没薬**500**シェケル、香り高いシナモン**250**シェケル、香り高い葎**250**シェケル、²⁴

聖所のシェケルに従って**500**シェケルのカシアと、

出エジプト記

ヒン一杯のオリーブ油。²⁵
これらを混ぜ合わせて聖なる注ぎ油を作りなさい。
それは香り高い混合物で、調香師の技によるものである。²⁶
それを用いて会見の天幕、契約の箱を注ぎなさい。²⁷

机とそのすべての器具、燭台とその付属品、香の祭壇、²⁸
焼き尽くす捧げ物の祭壇とそのすべての器具、洗盤とその台を注ぎなさい。²⁹
それらを聖別しなさい。それらに触れるものはすべて聖なるものとなる。³⁰
アロンとその息子たちに注ぎ、彼らを聖別して私に仕える祭司としなさい。³¹
イスラエルの人々に言いなさい。『これは私の世代を通じての聖なる注ぎ油である。³²
他の誰の体にも注いではならず、同じ配合で他の油を作ってはならない。それは聖なるものであり、あなたたちはそれを聖なるものとしなければならない。³³
これに似た香油を作る者や、祭司以外の者にそれを注ぐ者は、その民から断たれる。』³⁴
その後、主はモーセに言われた。「香り高い香料を取りなさい。スタクテ、オニカ、ガルバナム、純粋な乳香をすべて等しい分量で、³⁵
調香師の技による香り高い混合物を作りなさい。それは塩で味付けされ、純粋で聖なるものである。³⁶
その一部を細かく砕き、会見の天幕の契約の箱の前に置きなさい。そこは私があなたと会う場所である。それはあなたにとって最も聖なるものである。³⁷
この配合で個人的に香を作ってはならない。それを主にとって聖なるものとしなさい。³⁸
その香りを楽しむためにこれに似た香を作る者は、その民から断たれる。」

31 主はモーセに告げられた。²
「見よ、ユダ族のフルの子、ウリの子ベツアルエルを選んだ。³
彼を神の霊で満たし、知恵、理解、知識、あらゆる工芸の技を授けた。⁴
金、銀、青銅での芸術的なデザインを考案するために、⁵
石を切ってはめ込むため、木を彫るため、あらゆる工芸に従事するために。⁶
さらに、ダン族のアヒサマクの子オホリアブを彼の助け手として任命した。また、すべての熟練した職人に能力を授け、あなたに命じたすべてのものを作らせる。⁷
会見の天幕、契約の箱とその贖いの蓋、天幕のすべての備品、⁸

その器具付きの机、すべての付属品付きの純金の燭台、香の祭壇、⁹
すべての器具付きの焼き尽くす捧げ物の祭壇、洗盤とその台、¹⁰
織物の衣服、祭司として仕えるためのアロンの聖なる衣服とその子らの衣服、¹¹
聖所のための注ぎ油と香ばしい香料。彼らは、私があなたに命じたすべてに従ってそれらを作らなければならない。」¹² 主はさらにモーセに言われた。¹³

「イスラエルの人々に告げて言いなさい。『私たちは私の安息日を守らなければならない。これは世代を超えて私とあなたたちの間のしるしであり、私があなたたちを聖別する主であることを知るためである。¹⁴
それゆえ、あなたたちは安息日を守らなければならない。それはあなたたちにとって聖なるものである。これを汚す者は必ず死刑にされなければならない。その日に何か仕事をする者はその民から断たれなければならない。¹⁵
六日間は仕事をしてよいが、七日目は主にとって完全な休息の安息日である。安息日に何か仕事をする者は必ず死刑にされなければならない。¹⁶
イスラエルの人々は安息日を守り、それを世代を超えて永遠の契約として祝わなければならない。¹⁷
それは私とイスラエルの人々の間の永遠のしるしである。主は六日間で天と地を作り、七日目に労働をやめて休息したからである。』」¹⁸
主がシナイ山でモーセと話し終えたとき、契約の律法の二枚の石の板、神の指で刻まれた石の板を彼に渡された。

32 民はモーセが山から降りてくのが遅いのを見て、アロンの周りに集まり、「さあ、私たちの先を行く神を作ってください。このモーセ、私たちをエジプトの地から連れ上った人がどうなったのか、わからないのです」と言った。²
アロンは彼らに言った、「あなたたちの妻、息子、娘が身に着けている金の耳飾りを外して、私のところに持ってきたさい。」³
そこで、すべての民は金の耳飾りを外して、アロンのところに持ってきた。⁴
彼は彼らの手から金を受け取り、工具でそれを形作り、鑄造した子牛を作った。すると彼らは言った、「イスラエルよ、これがあなたをエジプトの地から連れ上ったあなたの神だ。」⁵
アロンはこれを見て、その前に祭壇を築き、「明日は主のための祭りだ」と宣言した。⁶
翌日、民は早く起きて、焼き尽くす捧げ物を捧げ、

出エジプト記

和解の捧げ物を捧げた。その後、彼らは座って食べたり飲んだりし、立ち上がって遊びに興じた。⁷
その時、主はモーセに言われた、「すぐに降りて行け。あなたがエジプトの地から連れ上ったあなたの民は墮落してしまった。⁸
彼らは私が命じた道からすぐにそれてしまった。彼らは鍛造した子牛を作り、それにひれ伏し、捧げ物をし、『イスラエルよ、これがあなたをエジプトの地から連れ上ったあなたの神だ』と言っている。」⁹

主はモーセに言われた、「私はこの民を見たが、確かに彼らは頑固な民である。¹⁰
今、私を一人にしておけ。私の怒りが彼らに対して燃え上がり、彼らを滅ぼすことができるように。その後、私はあなたを大いなる国民にする。」¹¹
しかし、モーセは彼の神、主の恵みを求めて言った、「主よ、なぜあなたの怒りがあなたの民に対して燃え上がっているのですか。あなたは偉大な力と強い手で彼らをエジプトの地から連れ出されたのです。¹²
なぜエジプト人が、『彼は彼らを山で殺し、地の表から消し去るために悪意を持って連れ出した』と言うべきでしょうか。あなたの激しい怒りをやめ、あなたの民に災いをもたらさないでください。¹³
あなたのしもべアブラハム、イサク、イスラエルを思い出してください。あなたはご自身にかけて彼らに誓われました、『私はあなたの子孫を天の星のように数え切れないものにし、あなたの子孫にこの地をすべて与え、それは永遠に彼らの相続地となる』と。」¹⁴
それで、主はご自身の民に下すと脅かされた災いを思い直された。¹⁵
モーセは山を降り、手に証の二枚の石板を持っていた。それは両面に刻まれており、表と裏に書かれていた。¹⁶
その石板は神によって作られたものであり、書かれている文字は神の文字で、石板に刻まれていた。¹⁷
ヨシュアは民の叫び声を聞いたとき、モーセに言った、「陣営に戦いの声があります。」¹⁸
しかし、モーセは答えた、「それは勝利の声でもなく、敗北の声でもない。私が聞くのは歌の声です。」¹⁹
モーセが陣営に近づき、子牛と踊りを見たとき、彼の怒りは燃え上がり、彼は手から石板を投げ捨て、山のふもとでそれを砕いた。²⁰
彼は彼らが作った子牛を取り、火で焼き、粉々に砕き、水に散らしてイスラエルの人々に飲ませた。²¹
モーセはアロンに言った、「この民はあなたに何をしたのですか。あなたが彼らにこのような大きな罪

をもたらしたのですか。」²²
アロンは答えた、「私の主の怒りを燃え上がらせないでください。あなたも知っているように、この民は悪に傾いています。²³
彼らは私に言いました、『私たちの先を行く神を作ってください。このモーセ、私たちをエジプトの地から連れ上った人がどうなったのか、わからないのです。』²⁴
それで私は彼らに言いました、『金の装飾品を持っている者はそれを外しなさい。』彼らはそれを私にくれたので、私はそれを火に投げ入れたところ、この子牛が出てきたのです！」²⁵
モーセが見たところ、民は制御不能になっていた。アロンが彼らを制御不能にさせ、敵の間で笑いのにされていたからである。²⁶
モーセは陣営の入口に立ち、「主の側にいる者は私のところに来なさい」と言った。するとレビの子たちが彼のもとに集まった。²⁷
彼は彼らに言った、「イスラエルの神、主がこう言われる、『各自が剣を腰に帯び、陣営を端から端まで行き来し、兄弟、友、隣人を殺せ』と。」²⁸
レビの子たちはモーセの命じたとおりに行き、その日、約三千人の民が倒れた。²⁹
その後、モーセは言った、「今日、あなたたちは主に献身しなさい。あなたたちは自分の息子や兄弟に逆らったが、今日、主があなたたちに祝福を授けるためである。」³⁰
翌日、モーセは民に言った、「あなたたちは大きな罪を犯しました。しかし今、私は主のもとに上って行きなす。おそらく、あなたたちの罪を償うことができるでしょう。」³¹
それで、モーセは主のもとに戻り、言った、「ああ、この民は大きな罪を犯しました！彼らは金の神を作りました。³²
しかし今、もしあなたが彼らの罪を赦すなら、どうかそうしてください。しかし、もしそうでないなら、どうかあなたが書かれた書から私を消し去ってください。」³³
主はモーセに答えられた、「私に対して罪を犯した者は、私の書から消し去るであろう。³⁴
今、行って、私があなたに告げた場所に民を導きなさい。見よ、私の使いがあなたの前に行く。しかし、私が罰する日には、彼らの罪を罰するであろう。」³⁵
それで、主はアロンが作った子牛のことで民を疫病で打たれた。

33 その後、主はモーセに言われた。「あなたと、あなたがエジプトから連れ出した民はここを去り、アブラハム、イサク、ヤコブ

出エジプト記

に与えると誓った地へ進みなさい。『私はその地をあなたの子孫に与える』と言ったのです。²

私はあなたの前に天使を送り、カナン人、アモリ人、ヒッタイト人、ペリジ人、ヒビ人、エブス人を追ひ払います。³

乳と蜜の流れる地へ登りなさい。しかし、私はあなたと共に行かない。あなたは頑固な民であり、途中であなたを滅ぼすかもしれないからです。」⁴

この不安な言葉を聞いたとき、民は悲しみ、誰も飾りを身につけませんでした。⁵

主はモーセに言われた。「イスラエルの子らに言いなさい。『あなたたちは頑固な民です。もし私が一瞬でもあなたたちと共に行くなら、あなたたちを滅ぼすかもしれません。それゆえ、飾りを外しなさい。そうすれば、私はあなたたちにどうするかを決めるでしょう。』」⁶

こうして、イスラエルの子らはホレブ山から飾りを外しました。⁷

モーセは天幕を取り、宿営の外、遠くに張り、それを「会見の天幕」と呼びました。主を求める者は皆、宿営の外にある会見の天幕に出て行きました。⁸ モーセが天幕に向かうとき、すべての民は立ち上がり、自分たちの天幕の入り口に立って、モーセが天幕に入るまで見ていました。⁹

モーセが天幕に入ると、雲の柱が降りてきて、天幕の入り口にとどまり、主はモーセと語り合いました。¹⁰

民が雲の柱が天幕の入り口に立っているのを見ると、皆が立ち上がり、それぞれ自分の天幕の入り口で礼拝しました。¹¹

主はモーセと顔を合わせて語り合われました。まるで友人が語り合うように。それからモーセは宿営に戻りましたが、彼の若い助手であるヌンの子ヨシュアは天幕を離れませんでした。¹²

モーセは主に言いました。「あなたは私に、『この民を導け』と言われましたが、誰を私と共に送るかを示されていません。あなたは、『私はあなたを名で知っており、あなたは私の前に恵みを見出した』と言われました。¹³

もし私が本当にあなたの前に恵みを見出しているなら、あなたの道を教えてください。そうすれば、私はあなたを知り、あなたの前に恵みを見出し続けることができます。この国があなたの民であることを覚えてください。」¹⁴

主は答えられました。「私の存在があなたと共に行き、私はあなたに安息を与えます。」¹⁵

モーセは答えました。「もしあなたの存在が私たちと共に行かないなら、私たちをここから行かせないでください。」¹⁶

あなたが私たちと共に行かない限り、私とあなたの民があなたの前に恵みを見出したことがどうして知られるでしょうか？地上のすべての民と私とあなたの民を区別するのは何でしょうか？」¹⁷

主はモーセに言われました。「あなたが求めたことを行います。あなたは私の前に恵みを見出し、私はあなたを名で知っているからです。」¹⁸

モーセは言いました。「どうか、あなたの栄光を私に見せてください。」¹⁹

主は言われました。「私は私のすべての善をあなたの前に通らせ、主の名をあなたの前で宣言します。私は恵みを与える者に恵みを与え、憐れみを与える者に憐れみを与えます。」²⁰

しかし、主は言われました。「あなたは私の顔を見ることはできません。誰も私を見て生きることはできないからです。」²¹

主は続けて言われました。「私の近くにあなたが立つことのできる岩があります。」²²

私の栄光が通り過ぎるとき、私はあなたを岩の裂け目に置き、私が通り過ぎるまで私の手であなたを覆います。²³

それから私は私の手を取り除き、あなたは私の背を見るでしょう。しかし、私の顔は見られてはなりません。」

34 主はモーセに言われた。「以前のものと同じように二枚の石の板を刻みなさい。私はあなたが砕いた最初の板にあった言葉をその上に書き記す。²

朝までに準備を整え、シナイ山に登り、山の頂で私に会いなさい。³

誰もあなたに同行してはならず、山のどこにも見えてはならない。羊や牛の群れも山の前で草を食べてはならない。」⁴

そこでモーセは以前のものと同じように二枚の石の板を刻み、朝早く起きて主が命じたようにシナイ山に登り、手に二枚の石の板を持って行った。⁵

主は雲の中に降りてきて、彼と共に立ち、主の名を呼ばれた。⁶

主は彼の前を通り過ぎて宣言された。「主、主なる神は、憐れみ深く、恵み深く、怒るのに遅く、慈しみと真実に富む者である。⁷

千代にわたって慈しみを保ち、不義と背信と罪を赦す。しかし、罪ある者を罰せずにはおかず、父の不義を子孫に、三代、四代にわたって報いる。」⁸

モーセはすぐに地にひれ伏して礼拝した。⁹

彼は言った。「もし私があなたの目に恵みを見いだしたなら、主よ、どうか主が私たちと共に歩んでください。この民は頑固な民ですが、私たちの不義と罪を赦し、私たちをあなたの所有としてください。」

出エジプト記

」¹⁰
主は答えられた。「私は契約を結ぶ。あなたの民の前で、世界のどの国でも行われたことのない驚くべきことを行う。あなたが住む民は、私があなたと共に
11 行う恐るべき行いを見るであろう。
今日、私が命じることを守りなさい。私はアモリ人、
カナニン人、ヒッタイト人、ペリジン人、ヒビ人、エ
12 ブス人をあなたの前から追い払う。
あなたが入る地の住民と契約を結ばないように注意
しなさい。それがあなたの中で畏となるからである
13 。
むしろ、彼らの祭壇を壊し、聖なる石を砕き、アシ
14 エラ像を切り倒しなさい。
他の神を拝んではならない。主の名は「ねたむ者」
15 であり、独占的な献身を求める神である。
その地の住民と契約を結ばないように注意しなさい
16 。彼らが偶像崇拜にふけり、彼らの神々に犠牲を捧
げるとき、あなたが招き、あなたが彼らの犠牲を食
17 べることになる。
あなたの息子のために彼らの娘を妻にすると、彼
18 らの娘が彼らの神々に身を売り、あなたの息子をも
同じように導くであろう。
19 金属の偶像を作ってはならない。
種なしパンの祭りを守りなさい。私は命じたように
、アビブの月に定められた時に七日間種なしパンを
20 食べなさい。その月にあなたはエジプトを出たから
である。
21 すべての初めて生まれるものは私のものである。牛
や羊の初めて生まれる雄も含む。
22 ろばの初めに子羊で贖いなさい。もし贖わないら
、その首を折りなさい。あなたの初子はすべて贖い
23 なさい。誰も捧げ物なしに私の前に来てはならない
。
24 六日間働き、七日目には休みなさい。耕作や収穫の
時期でも休まなければならない。
25 小麦の初穂の祭りである七週の祭りと、年の終わりの
収穫祭を祝いなさい。
26 年に三度、すべての男子はイスラエルの神、主の前
に出なければならない。
27 私はあなたの前から国々を追い払い、あなたの領土
を広げる。あなたが年に三度、あなたの神、主の前
に出るとき、誰もあなたの地を欲しがらない。
28 私の犠牲の血を発酵したものと共に捧げてはなら
ない。また、過越の祭りの犠牲を朝まで残してはな
29 らない。
あなたの土地の初穂の最良のものをあなたの神、主
の家に持って行きなさい。子ヤギをその母の乳で煮
てはならない。
30 主はモーセに言われた。「これらの言葉を書き記し

なさい。これらの言葉に基づいて、私はあなたとイ
スラエルと契約を結んだ。」²⁸
モーセはパンも食わず、水も飲まずに四十日四十夜
、主と共にそこにいた。彼は契約の言葉、十戒を板
29 に書き記した。
モーセが契約の法の二枚の板を手持ってシナイ山
から降りてきたとき、彼の顔が主と話したために輝
30 いていることに気づいていなかった。
アロンとすべてのイスラエルの人々がモーセを見た
とき、彼の顔が輝いていたので、彼に近づくことを
31 恐れた。
モーセは彼らと呼ばい、アロンと共同体のすべての指
32 導者が彼に戻り、彼は彼らに話した。
その後、すべてのイスラエルの人々が近づき、彼は
33 主がシナイ山で彼に与えたすべての命令を彼らに伝
えた。
モーセが彼らに話し終えると、彼は顔にベールをか
34 けた。
モーセが主の前に入って話すときはいつも、彼は出
てくるまでベールを外した。出てきてイスラエルの
35 人々に命令を伝えるとき、
彼らは彼の顔が輝いているのを見た。それからモー
セは主と話すために入るまで、顔にベールをかけた
。

35 モーセはイスラエルの全会衆を集めて彼ら
に言った。「これらは主があなたたちに従
うように命じた指示です。²
六日間は仕事をしなさい。しかし、第七日はあなた
たちにとって聖なる日、主への完全な安息の安息日
です。その日に何か仕事をする者は死刑に処されな
3 ければならない。
安息日には、あなたたちの家のどこでも火をともし
てはならない。」⁴
モーセはイスラエルの全会衆に向かって言った。「
5 これは主が命じたことです。
あなたたちが持っているものから主への献金を取り
なさい。心から進んでいる者は皆、主への献金とし
6 て金、銀、青銅を持って来なさい。
7 青、紫、緋色の糸、細布、やぎの毛、
8 赤く染めた雄羊の皮、他の種類の上質な革、アカシ
ア材、
9 灯火のための油、注ぎ油と香のための香料、
エボデと胸当てにはめ込むための瑪瑙と他の宝石
10 。

「あなたたちの中で技術を持っている者は皆、来て
11 主が命じたすべてのものを作りなさい。
幕屋とその天幕とその覆い、鉤、杵、横木、柱、台
12 座、
その棒と贖いの蓋とそれを覆う垂れ幕、
13 その棒とすべての器具と共に主の前に置かれるパン

出エジプト記

を載せる机、¹⁴
その付属品、灯火、灯火のための油を備えた灯台、¹⁵
その棒、注ぎ油、香のための香料、幕屋の入口の垂れ幕、¹⁶
その青銅の格子、その棒、すべての器具、洗盤とその台座、¹⁷ その柱と台座、庭の入口の垂れ幕、¹⁸
幕屋と庭のための天幕の杭とその綱、¹⁹
聖所での奉仕のために着る編み物の衣服、祭司アロンのための聖なる衣服、彼の息子たちが祭司として仕えるときの衣服。」²⁰
それから、イスラエルの全会衆はモーセの前から去った。²¹
そして、心が動かされ、霊が進んでいる者は皆、会見の天幕の仕事のため、すべての奉仕のため、聖なる衣服のために主への献金を持って来た。²²
進んでいる者は皆、男も女も、ブローチ、イヤリング、指輪、装飾品など、あらゆる種類の金の装飾品を持って来た。彼らは皆、主への揺り動かす捧げ物として金を捧げた。²³
青、紫、緋色の糸、細布、やぎの毛、赤く染めた雄羊の皮、上質な革を持っている者は皆、それらを持って来た。²⁴
銀や青銅の献金をできる者は皆、それを主への捧げ物として持って来た。また、仕事のために必要なアカシア材を持っている者は皆、それを持って来た。²⁵
技術を持つすべての女性は手で紡ぎ、青、紫、緋色の糸、細布を持って来た。²⁶
そして、技術に心を動かされたすべての女性はやぎの毛を紡いだ。²⁷
指導者たちはエボデと胸当てにはめ込むための縞瑪瑙と他の宝石を持って来た。²⁸
また、灯火のための油、注ぎ油、香のための香料を持って来た。²⁹
心が進んでいるイスラエルの男と女は皆、主がモーセを通して命じたすべての仕事のために主への自発的な捧げ物を持って来た。³⁰
それからモーセはイスラエルの人々に言った。「見よ、主はユダの部族のフルの子、ウリの子、ベツアルエルを名指しで呼ばれ、³¹
彼に神の霊、知恵、理解、知識、あらゆる種類の工芸を満たされた—³²
金、銀、青銅での芸術的なデザインを作るために、³³
石を切り、はめ込むために、木を加工するために、あらゆる種類の芸術的な工芸に従事するために。³⁴
また、彼とダンの部族のアヒサマクの子、オホリアブに他の人を教える能力を授けられた。³⁵

彼らに技術を満たし、彫刻師、デザイナー、青、紫、緋色の糸、細布での刺繍師、織工としてのあらゆる種類の仕事をするために、すべての技術者とデザイナーとしての能力を授けられた。

36 ベツアルエル、オホリアブ、および聖所を建設するすべての仕事を行うために主が知恵と理解を授けたすべての熟練した者は、主が命じられたすべてに従ってその仕事を行わなければならない。²
モーセはベツアルエル、オホリアブ、および主が能力を与えたすべての熟練した者、心が動かされて仕事に従事するために進んできたすべての者を呼び寄せた。³
彼らはモーセから、イスラエルの人々が聖所の仕事のために持ってきたすべての貢ぎ物を受け取った。そして人々は毎朝自発的な捧げ物を持ってき続けた。⁴
聖所の仕事に従事しているすべての熟練した労働者はその作業を離れ、⁵
モーセに報告した、「人々は主が私たちに言うように命じられた仕事のために必要以上のものを持っています。」⁶
そこでモーセは命令を出し、陣営全体に告知を送った、「聖所のためにこれ以上の捧げ物をする者はいないように。」こうして、人々はそれ以上持つてくることを制止された。⁷
彼らが持っていた材料は、すべての仕事を完成させるのに十分であり、さらに余るほどであった。⁸
労働者の中のすべての熟練した職人は、十枚の幕で幕屋を作った。それは、細かく燃った亜麻糸と青、紫、緋の糸で、熟練した職人によって編み込まれたケルビムが描かれていた。⁹
各幕は長さ二十八キュビト、幅四キュビトであり、すべての幕は同じ大きさであった。¹⁰
彼らは五枚の幕を一組に結び合わせ、他の五枚も同様に結び合わせた。¹¹
彼らは一組の端の幕の縁に青い材料のループを作り、他の組の端の幕にも同様にした。¹²
一つの幕に五十のループを作り、他の組の幕の縁にも五十のループを作り、ループを互いに向かい合わせにした。¹³
彼らはまた、五十の金の留め具を作り、それを使って二組の幕を結び合わせ、幕屋の一つの単位にした。¹⁴
。彼らは幕屋の上にかぶせるために、ヤギの毛で十一枚の幕を作った。¹⁵
十一枚の幕のそれぞれは長さ三十キュビト、幅四キュビトであり、すべて同じ寸法であった。¹⁶
彼らは五枚の幕を一組に結び合わせ、残りの六枚を

出エジプト記

別の組にした。¹⁷
彼らは一組の端の幕の縁に五十のループを作り、他の組の端の幕の縁にも五十のループを作った。¹⁸
彼らは五十の青銅の留め具を作り、テントを一つの単位として結び合わせた。¹⁹
彼らは赤く染めた雄羊の皮の覆いをテントのために作り、その上にもう一つの耐久性のある革の覆いを作った。²⁰
彼らは幕屋のためにアカシア材の直立した枠を作った。²¹
各枠は長さ十キュビト、幅一キュビト半であった。²²

二つのほぞが互いに平行にあり、幕屋のすべての枠はこのように作られた。²³
彼らは幕屋の南側に二十の枠を作った。²⁴
それを支えるために四十の銀の台座を作り、各枠の下に一つずつほぞの下に台座を置いた。²⁵
幕屋の北側のために、彼らは二十の枠を作った。²⁶
それを支えるために四十の銀の台座を作り、各枠の下に二つの台座を置いた。²⁷
彼らは幕屋の西端のために六つの枠を作った。²⁸
そして、幕屋の遠い端の角に二つの枠を作った。²⁹
これらの枠は下から上まで二重で、一つのリングに収められ、両方とも同じように作られた。³⁰
したがって、八つの枠と十六の銀の台座があり、各枠の下に二つの台座があった。³¹
彼らはまた、アカシア材の横木を作り、幕屋の一方の側の枠のために五つ、³²
他方の側のために五つ、西端の枠のために五つを作った。³³
中央の横木は枠の中央で端から端まで伸びるように作られた。³⁴
彼らは枠を金で覆い、横木を保持するための金のリングを作り、それも金で覆った。³⁵
彼らは青、紫、緋の糸と細かく撚った亜麻糸で垂れ幕を作り、熟練した職人によってケルビムが編み込まれていた。³⁶
そのためにアカシア材の四本の柱を作り、金で覆い、金のフックを付け、四つの銀の台座を鋳造した。³⁷
テントの入り口のために、青、紫、緋の糸と細かく撚った亜麻糸で刺繍された幕を作った。³⁸
そして、そのために五本の柱を作り、フックを付けた。柱の頂部とその帯は金で覆われ、その五つの台座は青銅で作られた。

37 ベツァルエルはアカシア材で箱を作った。
その長さは二キュビト半、幅は一キュビト半、高さは一キュビト半であった。²
彼はそれを内側も外側も純金で覆い、その周りに金

の縁飾りを作った。³
彼はそれのために金の輪を四つ鋳造し、それをその四つの足に取り付けた。片側に二つの輪、もう一方の側に二つの輪である。⁴
彼はアカシア材で棒を作り、それを金で覆った。⁵
彼は箱を運ぶために、棒を箱の側面の輪に差し込んだ。⁶
彼はまた、純金で贖いの蓋を作った。その長さは二キュビト半、幅は一キュビト半であった。⁷
彼は贖いの蓋の両端に、打ち出し金で二つのケルビムを作った。⁸
一つのケルブは一方の端に、もう一つのケルブは反対の端に位置していた。彼はケルビムを贖いの蓋と一体にして両端に作った。⁹
ケルビムは翼を上を広げ、それで贖いの蓋を覆っていた。彼らは互いに向かい合い、蓋の方を見ていた。¹⁰
彼はアカシア材で机を作った。長さは二キュビト、幅は一キュビト、高さは一キュビト半であった。¹¹
彼はそれを純金で覆い、その周りに金の縁飾りを作った。¹²
彼はまた、手のひら幅の縁を作り、その縁の周りに金の縁飾りを付けた。¹³
彼は机のために金の輪を四つ鋳造し、それを脚のある四隅に取り付けた。¹⁴
輪は縁に近い位置にあり、机を運ぶための棒を保持するためであった。¹⁵
彼はアカシア材で棒を作り、それを金で覆い、机を運ぶために用いた。¹⁶
彼は机のために、純金で皿、皿、鉢、注ぎ出すためのビッチャーを作った。¹⁷
彼は純金で燭台を作り、その台座と軸を打ち出し、その花のような杯、蕾、花びらを一体にした。¹⁸
六つの枝がその側面から伸びていた。片側に三つの枝、もう一方に三つの枝である。¹⁹
各枝にはアーモンドの花の形をした三つの杯、蕾、花びらがあり、このパターンは燭台から伸びる六つの枝すべてに一貫していた。²⁰
燭台自体にはアーモンドの花の形をした四つの杯、蕾、花びらがあった。²¹
最初の枝の対の下に蕾があり、二番目の対の下に二つ目の蕾があり、三番目の対の下に三つ目の蕾があった。合計で六つの枝である。²²
蕾と枝はすべて燭台と一体で、純金の一つの打ち出し作業であった。²³
彼はその七つのランプ、芯切りばさみ、皿を純金で作った。²⁴
彼は燭台とそのすべての付属品を純金の一タラントから作った。²⁵

出エジプト記

彼はアカシア材で香の祭壇を作った。長さは一キュビト、幅は一キュビトで正方形、高さは二キュビトで、その角は一体であった。

彼はその上部、周囲の側面、角を純金で覆い、その周りに金の縁飾りを作った。

彼は運ぶための棒を保持するために、縁飾りの下に対向する側に二つの金の輪を作った。

彼はアカシア材で棒を作り、それを金で覆った。

彼はまた、聖なる注ぎ油と純粋で香り高い香を調香師の技術で作った。

38 燔祭の祭壇はアカシア材で作られ、長さ五キュビト、幅五キュビト、高さ三キュビトで、四角形を成していた。

その四隅には角が作られ、祭壇と一体となっており、青銅で覆われていた。

祭壇のすべての用具、すなわち鍋、シャベル、鉢、肉刺し、火皿は青銅で作られた。

祭壇のために青銅の網の格子が作られ、祭壇の縁の下に置かれ、祭壇の半ばまで達していた。

青銅の格子の四隅には、棒を通すための四つの輪が鋳造された。

棒はアカシア材で作られ、青銅で覆われていた。

棒は祭壇の側面の輪に差し込まれ、運搬用とされた。祭壇は板で作られ、中は空洞であった。

青銅の洗盤とその台は、会見の天幕の入口で仕える女たちの鏡から作られた。

次に庭が作られた。南側には、長さ百キュビトのより糸の細布の垂れ幕があった。

この側には二十本の柱と二十の青銅の台座があり、柱には銀の鉤と帯があった。

北側もまた長さ百キュビトで、二十本の柱と二十の青銅の台座があり、柱には銀の鉤と帯があった。

西側には幅五十キュビトの垂れ幕があり、十本の柱と十の台座があり、柱には銀の鉤と帯があった。

東側、日の出に面して、幅五十キュビトであった。

入口の片側には、長さ十五キュビトの垂れ幕があり、三本の柱と三の台座があった。

同様に、入口の他の側にも、長さ十五キュビトの垂れ幕があり、三本の柱と三の台座があった。

庭の周囲のすべての垂れ幕は、より糸の細布であった。

柱の台座は青銅で、柱の鉤と帯は銀であり、その頂は銀で覆われていた。こうして庭のすべての柱には銀の帯があった。

庭の入口の幕は、青、紫、緋色の糸とより糸の細布で織物師によって作られた。長さは二十キュビト、高さは庭の垂れ幕と同じく五キュビトであった。それには四本の柱と四つの青銅の台座があった。鉤

と帯は銀で、その頂は銀で覆われていた。幕屋とその周囲の庭のすべての釘は青銅で作られていた。

これらは幕屋、証の幕屋のために使用された材料の数量であり、レビ人がモーセの指揮の下、祭司アロンの子イタマルによって記録された。

ユダ族のフルの子、ウリの子ベツアルエルは、主がモーセに命じたすべてを実行した。

彼と共に、ダン族のアヒサマクの子オホリアブがいた。彼は彫刻師、デザイナー、青、紫、緋色の糸と細布の熟練した刺繍師であった。

聖所のすべての作業に使用された揺り動かす供え物の金の総量は、聖所のシェケルに従って二十九タラントと七百三十シェケルであった。

共同体の人口調査から集められた銀は、聖所のシェケルに従って百タラントと千七百七十五シェケルであった。

これは一人当たりペカ、すなわち聖所のシェケルに従って半シェケルで、二十歳以上の男子から集められ、総計六十万三千五百五十人であった。

百タラントの銀は、聖所と幕のための台座を鋳造するために使用された。百の台座は百タラントから、一台座につき一タラントであった。

千七百七十五シェケルは、柱の鉤を作り、その頂を覆い、帯を作るために使用された。

揺り動かす供え物の青銅は、七十タラントと二千四百シェケルであった。

この青銅は、会見の天幕の入口の台座、青銅の祭壇とその青銅の格子、およびそのすべての用具を作るために使用された。

また、周囲の庭とその入口の台座、および幕屋とその周囲の庭のすべての釘を作るためにも使用された。

39 青、紫、緋の撚り糸から、彼らは聖所での奉仕のための精巧に織られた衣服と、主がモーセに命じたようにアロンのための聖なる衣服を作りました。

エフォドは金と青、紫、緋の撚り糸、そして精緻に撚られた亜麻布で作られました。

彼らは金の板を打ち延ばし、それを切って糸にし、青、紫、緋の撚り糸と精緻な亜麻布に織り込みました。これは熟練の手の技でした。

彼らはエフォドのために肩当てを作り、それをその上部の二つの角に取り付けました。

エフォドの巧みに織られた帯は、同じ技法と材料で作られました。金、青、紫、緋の撚り糸、精緻に撚られた亜麻布で、主がモーセに命じた通りです。彼らは金の細工の台座に縞瑠璃をはめ込み、それにイスラエルの子らの名前を印章のように刻みました

出エジプト記

。 7
これらは主がモーセに命じたように、イスラエルの子らの記念石としてエフォドの肩当てに取り付けられました。 8
胸当ては熟練の刺繍師によって、エフォドのように、金と青、紫、緋の撚り糸、精緻な亜麻布で作られました。 9
それは正方形で二つ折りにされ、長さと同幅がスパンでした。 10
彼らはそれに四列の宝石を取り付けました。第一列はルビー、トパーズ、エメラルドです。 11
第二列はターコイズ、サファイア、透明な宝石です。 12
第三列はヒヤシンス、アゲート、紫の石です。 13
第四列はベリル、縞瑪瑙、碧玉です。これらは金の細工の台座に取り付けられました。 14
十二の石があり、それぞれにイスラエルの十二部族の名前が印章のように刻まれていました。 15
胸当てのために、彼らは純金の鎖を作り、綱のように撚りました。 16
彼らは金の細工の台座と二つの金の輪を作り、それを胸当ての二つの角に取り付けました。 17
二つの金の鎖は胸当ての角の輪に取り付けられました。 18
鎖のもう一方の端は二つの台座に取り付けられ、エフォドの肩当ての前面に取り付けられました。 19
彼らは二つの金の輪を作り、それを胸当ての他の二つの角に取り付け、エフォドに接する内側の縁に取り付けました。 20
彼らはさらに二つの金の輪を作り、エフォドの肩当ての前面の帯の上の縫い目の近くに取り付けました。 21
胸当ての輪は青い紐でエフォドの輪に結び付けられ、胸当てが帯に固定されて揺れないようにしました。これは主がモーセに命じた通りです。 22
エフォドの上着は全体が青い布で作られ、織り手の技でした。 23
それは鎖帷子の開口部のように中央に開口部があり、裂けないようにその開口部には縁取りがされていました。 24
彼らは上着の裾に青、紫、緋の撚り糸と精緻な亜麻布でザクロを作りました。 25
純金の鈴を作り、裾のザクロの間に取り付けました。 26
鈴とザクロは裾の周りに交互に配置され、奉仕のために用いられました。これは主がモーセに命じた通りです。 27
アロンとその子らのために精緻に織られた亜麻布の上着が作られました。 28

彼らはまた、精緻な亜麻布のターバン、装飾された帽子、下着を作りました。 29
帯は精緻に撚られた亜麻布と青、紫、緋の撚り糸で作られ、刺繍師の技でした。これは主がモーセに命じた通りです。 30
彼らは純金の板を作り、それに印章のように「主に聖なるもの」と刻みました。 31
それをターバンに取り付けるために青い紐が付けられました。これは主がモーセに命じた通りです。 32
このようにして、会見の幕屋、すなわち会見の天幕のすべての作業が完了しました。イスラエルの人々は主がモーセに命じたすべてを行いました。 33
彼らは幕屋をモーセのもとに持ってきました。天幕とそのすべての備品、留め金、杵、横木、柱、台座、 34
赤く染めた雄羊の皮の覆い、上等な革の覆い、仕切りの幕、 35 契約の箱とその棒、贖いの蓋、 36
すべての器具と供えのパンを載せた机、 37
純金の燭台、並べられた灯とそのすべての付属品、 38
灯油、 39
金の祭壇、注ぎ油、香ばしい香、天幕の入口の幕、 39
青銅の祭壇、その青銅の格子、その棒とすべての器具、洗盤とその台、 40
庭の幕、その柱と台座、庭の入口の幕、庭のための綱と天幕の杭、会見の幕屋、すなわち会見の天幕の奉仕のためのすべての器具、 41
聖所での奉仕に用いる織物、祭司アロンのための聖なる衣服、彼の子らが祭司として仕えるときの衣服。 42
イスラエルの人々は主がモーセに命じた通りにすべての作業を完了しました。 43
モーセはその作業を確認し、彼らが主が命じた通りに行ったことを見て、彼らを祝福しました。

40 そのとき、主はモーセに語られた。 2
「第一の月の第一日に、幕屋、すなわち会見の天幕を設けなさい。 3
契約の箱をその中に置き、垂れ幕で箱を覆いなさい。 4
机を持ち込み、その上に物を並べなさい。そして燭台を持ち込み、その灯を設置しなさい。 5
契約の箱の前に金の香の祭壇を置き、幕屋の入口に垂れ幕を掛けなさい。 6
焼き尽くす捧げ物の祭壇を幕屋、すなわち会見の天幕の入口の前に置きなさい。 7
会見の天幕と祭壇の間に洗盤を置き、水を入れなさい。 8
その周りに庭を設け、庭の門に垂れ幕を掛けなさい。 9

出エジプト記

注ぎの油を取り、幕屋とその中のすべての物に注ぎなさい。それを聖別し、そのすべての備品も聖なるものとしなさい。¹⁹

焼き尽くす捧げ物の祭壇とそのすべての器具に注ぎ、祭壇を聖別しなさい。それは最も聖なるものとなる。¹¹

洗盤とその台に注ぎ、それを聖別しなさい。¹²
アロンとその子らを会見の天幕の入口に連れて来て、水で彼らを洗いなさい。¹³

アロンに聖なる衣を着せ、彼に油を注ぎ、彼を聖別しなさい。彼がわたしに仕える祭司となるために。¹⁴

その子らを連れて来て、彼らに上着を着せなさい。¹⁵

彼らの父に注いだように彼らにも注ぎなさい。彼らがわたしに仕える祭司となるために。彼らの注ぎは、彼らの世代を通じて永遠の祭司職となる。」¹⁶
モーセは主が命じられたとおりにすべての仕事を行った。¹⁷

第二年の第一の月の第一日に、幕屋が設けられた。¹⁸

モーセは幕屋を設け、その台を置き、その枠を立て、その横木を差し込み、その柱を立てた。¹⁹
彼は幕屋の上に天幕を広げ、その天幕の覆いをかけた。主が彼に命じられたとおりに。²⁰

彼は契約の法の板を取り、箱の中に納め、箱に棒を差し込み、贖いの蓋でそれを覆った。²¹

彼は箱を幕屋に持ち込み、遮る垂れ幕を掛け、契約の箱を覆った。主が彼に命じられたとおりに。²²

彼は会見の天幕の北側、垂れ幕の外に机を置いた。²³

彼は主の前にパンを並べた。主が彼に命じられたとおりに。²⁴

彼は会見の天幕の南側、机の向かいに燭台を置いた

。²⁵
彼は主の前に灯を設置した。主が彼に命じられたとおりに。²⁶

彼は会見の天幕の垂れ幕の前に金の祭壇を置いた。²⁷

彼はその上で香を焚いた。主が彼に命じられたとおりに。²⁸ 彼は幕屋の入口に垂れ幕を掛けた。²⁹
彼は幕屋、すなわち会見の天幕の入口の近くに焼き尽くす捧げ物の祭壇を設け、その上で焼き尽くす捧げ物と穀物の捧げ物を捧げた。主が彼に命じられたとおりに。³⁰

彼は会見の天幕と祭壇の間に洗盤を置き、洗うための水を入れた。³¹

モーセ、アロン、およびその子らはそれを使って手と足を洗った。³²

彼らは会見の天幕に入るたびに、また祭壇に近づくたびに洗った。主がモーセに命じられたとおりに。³³

その後、モーセは幕屋と祭壇の周りに庭を設け、庭の入口に垂れ幕を掛けた。こうしてモーセは仕事を完成させた。³⁴

そのとき、雲が会見の天幕を覆い、主の栄光が幕屋を満たした。³⁵

モーセは会見の天幕に入ることができなかった。雲がそのの上にとどまり、主の栄光が幕屋を満たしたからである。³⁶

彼らの旅の間、雲が幕屋の上から上がるときはいつでも、イスラエルの子らは旅立った。³⁷

しかし、雲が上がらないときは、それが上がる日まで旅立たなかった。³⁸

主の雲が昼は幕屋の上にあり、夜は雲の中に火があった。イスラエルの全家がその旅の間、常にそれを見ていた。

1 主はモーセを呼び、会見の天幕から彼に告げられた。 2

「イスラエルの人々に告げて言いなさい。『あなたがたのうちのだれかが主にささげ物を持って来るときは、家畜の中から、すなわち牛の群れや羊の群れからささげ物を持って来なければならない。 3 もしそのささげ物が牛の群れからの燔祭であるならば、傷のない雄をささげなければならない。会見の天幕の入口でそれをささげ、主に受け入れられるようにしなければならない。 4

彼は燔祭の頭に手を置かなければならない。それは彼のために受け入れられ、彼のために贖いをする。 5

彼は若い雄牛を主の前でほふり、アロンの子たちである祭司たちは、その血を持って来て、会見の天幕の入口の祭壇の周りにそれを注ぎかけなければならない。 6

彼は燔祭の皮をはいて、それをその部分に切り分けなければならない。 7

アロンの子たちである祭司たちは、祭壇の上に火を置き、火の上に木を並べなければならない。 8

その後、アロンの子たちである祭司たちは、頭と脂肪を含むその部分を、祭壇の上の火の上にある木の上に並べなければならない。 9

彼は内臓と脚を水で洗い、祭司はそれをすべて祭壇の上で焼かなければならない。それは燔祭であり、食物のささげ物であり、主にとって心地よい香りである。 10

しかし、もし彼のささげ物が羊の群れや山羊の群れからの燔祭であるならば、傷のない雄をささげなければならない。 11

彼はそれを祭壇の北側で主の前でほふり、アロンの子たちである祭司たちは、その血を祭壇の周りに注ぎかけなければならない。 12

彼はそれをその部分に切り分け、祭司は頭と脂肪を含むそれらを、祭壇の上の火の上にある木の上に並べなければならない。 13

彼は内臓と脚を水で洗い、祭司はそれをすべて持って来て、祭壇の上で焼かなければならない。それは燔祭であり、食物のささげ物であり、主にとって心地よい香りである。 14

しかし、もし彼の主へのささげ物が鳥の燔祭であるならば、彼はそのささげ物を山鳩や若い鳩から持って来なければならない。 15

祭司はそれを祭壇に持って行き、その頭を取り除き、祭壇の上で焼かなければならない。その血は祭壇の側面に流されなければならない。 16

彼はその喙と羽を取り除き、祭壇の東側、灰の場所に投げ捨てなければならない。 17

彼はそれを翼で裂き、完全には分けずに、祭司はそれを祭壇の上の火の上にある木の上で焼かなければならない。それは燔祭であり、食物のささげ物であり、主にとって心地よい香りである。

2 「誰かが主に穀物の供え物を捧げるとき、その供え物は上等の小麦粉でなければならない。彼らはその上にオリーブ油を注ぎ、乳香を置く。 2

それをアロンの子らである祭司たちのところに持って行く。祭司は小麦粉と油を一握り取り、すべての乳香と共にこれを祭壇で記念の分として焼く。これは主への食物の供え物であり、心地よい香りである 3

。穀物の供え物の残りはアロンとその子らのものとなる。それは主に火によって捧げられる供え物の中で最も聖なる部分である。 4

「もしあなたがオープンで焼いた穀物の供え物を持ってくるなら、それは油を混ぜた上等の小麦粉の無酵母のパンか、油を塗った無酵母の薄焼きパンでなければならない。 5

もしあなたの穀物の供え物が鉄板で調理されるなら、それは油を混ぜた上等の小麦粉で作られ、酵母を含まないものでなければならない。 6

それを小片に分け、油を注ぎなさい。これが穀物の供え物である。 7

もしあなたの穀物の供え物が鍋で調理されるなら、それは油を混ぜた上等の小麦粉で作られなければならない。 8

これらのもので作られた穀物の供え物を主に持って行き、それを祭司に差し出し、祭司はそれを祭壇に持って行く。 9

祭司は穀物の供え物から記念の分を取り出し、主への食物の供え物として祭壇で焼く。これは心地よい香りである。 10

穀物の供え物の残りはアロンとその子らのものとなる。それは主に火によって捧げられる供え物の中で最も聖なる部分である。 11

「あなたが主に持ってくるすべての穀物の供え物は酵母を含まないものでなければならない。酵母や蜂蜜を主への火による供え物として焼いてはならない 12

。それらを初穂の供え物として主に持ってくることはできるが、心地よい香りとして祭壇に捧げてはならない。 13

すべての穀物の供え物に塩を加えなさい。あなたの神の契約の塩を穀物の供え物から取り去ってはならない。すべての供え物に塩を捧げなさい。 14

「もし初穂の穀物の供え物を主に捧げるなら、新しい穀物の砕いた頭を火で焼いて捧げなさい。 15

それに油と乳香を加えなさい。これが穀物の供え物である。¹⁶
 祭司は砕いた穀物と油の記念の分を、すべての乳香と共に、主への火による供え物として焼く。

3 「もしあなたの捧げ物が和解のいけにえであり、それが牛の群れからのものであるならば、雄でも雌でも、それを傷のないものとして主の前に捧げなければならない。²
 あなたは捧げ物の頭に手を置き、会見の天幕の入口でそれをほふりなさい。そしてアロンの子たち、祭司たちは、その血を祭壇の周りに振りかけなければならない。³
 和解のいけにえから、主への火による捧げ物として、内臓を覆う脂肪とそれに付いているすべての脂肪を捧げなければならない。⁴
 また、腰の近くにある脂肪と共にある二つの腎臓、そして腎臓と共に取り除かなければならない肝臓の葉を捧げなければならない。⁵
 それからアロンの子たちは、それを火の上の木の上にある焼き尽くすいけにえの上に祭壇で焼かなければならない。それは主への火による捧げ物であり、心地よい香りである。⁶
 もしあなたの主への和解のいけにえが羊の群れからのものであるならば、傷のない雄または雌を捧げなければならない。⁷
 もし子羊を捧げるならば、それを主の前に捧げなければならない。⁸
 そしてその頭に手を置き、会見の天幕の前でそれをほふりなさい。それからアロンの子たちは、その血を祭壇の周りに振りかけなければならない。⁹
 和解のいけにえから、主への火による捧げ物として、その脂肪、背骨に近いところで取り除かれた全脂尾、内臓を覆う脂肪とそれに付いているすべての脂肪を捧げなければならない。¹⁰
 また、腰の近くにある脂肪と共にある二つの腎臓、そして腎臓と共に取り除かなければならない肝臓の葉を捧げなければならない。¹¹
 祭司はそれを祭壇で焼き、主への火による捧げ物として食物としなければならない。¹²
 もしあなたの捧げ物がヤギであるならば、それを主の前に捧げなければならない。¹³
 そしてその頭に手を置き、会見の天幕の前でそれをほふりなさい。それからアロンの子たちは、その血を祭壇の周りに振りかけなければならない。¹⁴
 そこから、主への火による捧げ物として、内臓を覆う脂肪とそれに付いているすべての脂肪を捧げなければならない。¹⁵
 また、腰の近くにある脂肪と共にある二つの腎臓、そして腎臓と共に取り除かなければならない肝臓の

葉を捧げなければならない。¹⁶
 祭司はそれらを祭壇で焼き、主への火による捧げ物として食物とし、心地よい香りとしなければならない。すべての脂肪は主のものである。¹⁷
 これはあなたがたのすべての世代にわたる永遠の掟であり、あなたがたが住むどこであれ、いかなる脂肪や血も食べてはならない。」

4 主はモーセに次のように語られた。²
 「イスラエルの人々に告げて言いなさい。『主が行ってはいならないと命じたことのいずれかを誤って行い、罪を犯したならば—³
 油注がれた祭司が罪を犯し、民に罪を負わせた場合、彼はその罪のために、主に欠陥のない若い雄牛を罪祭として捧げなければならない。⁴
 彼はその雄牛を会見の幕屋の入口に主の前に連れて行き、その頭に手を置き、そこで主の前でそれを屠らなければならない。⁵
 油注がれた祭司はその雄牛の血の一部を取り、会見の幕屋に持ち込まなければならない。⁶
 彼は指をその血に浸し、聖所の垂れ幕の前で主の前に七回それを振りかけなければならない。⁷
 祭司は香ばしい香の祭壇の角にその血の一部を塗り、残りの雄牛の血は会見の幕屋の入口にある焼き尽くす捧げ物の祭壇の基に注ぎ出さなければならない。⁸
 。
 彼は罪祭の雄牛からすべての脂肪を取り除かなければならない—
 内臓を覆う脂肪と内臓にあるすべての脂肪、⁹
 腰の近くにある脂肪を伴う二つの腎臓、腎臓と共に取り除く肝臓の長い葉—¹⁰
 和解の犠牲の牛から取り除くように。それから祭司はそれらを焼き尽くす捧げ物の祭壇で焼かなければならない。¹¹
 しかし、雄牛の皮とすべての肉、その頭、脚、内臓、糞—¹² すなわち、雄牛の残りすべて—彼はそれを清い場所、灰が注がれる陣営の外に持ち出し、そこで木の火で焼かなければならない。灰が注がれる場所でそれを焼かなければならない。¹³
 『もしイスラエルの全会衆が誤って罪を犯し、そのことが集会の注意を逃れ、主が行ってはいならないと命じたことのいずれかを行き、罪を犯したならば；¹⁴
 彼らが犯した罪が知られるようになったとき、集会は罪祭として若い雄牛を持ってきて、会見の幕屋の前に捧げなければならない。¹⁵
 共同体の長老たちは主の前でその雄牛の頭に手を置き、雄牛は主の前で屠られなければならない。¹⁶
 それから油注がれた祭司はその雄牛の血の一部を会見の幕屋に持ち込まなければならない。¹⁷

彼は指をその血に浸し、垂れ幕の前で主の前に七回それを振りかけなければならない。¹⁸

彼はその血の一部を会見の幕屋の中の主の前の祭壇の角に塗り、残りの血は会見の幕屋の入口にある焼き尽くす捧げ物の祭壇の基に注ぎ出さなければならない。¹⁹

彼はそのすべての脂肪を取り除き、それを祭壇で焼かなければならない。²⁰

そしてこの雄牛に対して罪祭の雄牛と同じようにしなければならない。このようにして祭司は彼らのために贖いを行い、彼らは赦されるであろう。²¹

それから彼はその雄牛を陣営の外に持ち出し、最初の雄牛を焼いたようにそれを焼かなければならない。これは集会のための罪祭である。²²

『指導者が誤って罪を犯し、主なる彼の神が行ってはいならないと命じたことのいずれかを行い、罪を犯した場合、²³

彼が犯した罪が知られるようになったとき、彼は欠陥のない雄の山羊を捧げ物として持ってこなければならない。²⁴

彼はその山羊の頭に手を置き、焼き尽くす捧げ物が屠られる場所でそれを屠らなければならない。それは罪祭である。²⁵

それから祭司は指で罪祭の血の一部を取り、焼き尽くす捧げ物の祭壇の角に塗り、残りの血は祭壇の基に注ぎ出さなければならない。²⁶

彼は和解の犠牲の脂肪を焼いたように、すべての脂肪を祭壇で焼かなければならない。このようにして祭司は彼の罪について贖いを行い、彼は赦されるであろう。²⁷

『共同体のいずれかの者が誤って罪を犯し、主が行ってはいならないと命じたことのいずれかを行い、罪を犯した場合、²⁸

彼が犯した罪が知られるようになったとき、彼は欠陥のない雌の山羊をその罪のために捧げ物として持ってこなければならない。²⁹

彼は罪祭の頭に手を置き、焼き尽くす捧げ物の場所でそれを屠らなければならない。³⁰

祭司は指でその血の一部を取り、焼き尽くす捧げ物の祭壇の角に塗り、残りの血は祭壇の基に注ぎ出さなければならない。³¹

彼は和解の犠牲から脂肪を取り除いたように、すべての脂肪を取り除き、祭司はそれを主への香ばしい香りとして祭壇で焼かなければならない。このようにして祭司は彼のために贖いを行い、彼は赦されるであろう。³²

『もし彼が罪祭として羊を捧げるならば、欠陥のない雌を持ってこなければならない。³³

彼はその頭に手を置き、焼き尽くす捧げ物が屠られ

る場所でそれを罪祭として屠らなければならない。³⁴

それから祭司は指で罪祭の血の一部を取り、焼き尽くす捧げ物の祭壇の角に塗り、残りの血は祭壇の基に注ぎ出さなければならない。³⁵

彼は和解の犠牲の羊から脂肪を取り除いたように、すべての脂肪を取り除き、祭司はそれを主への火による捧げ物として祭壇で焼かなければならない。このようにして祭司は彼が犯した罪のために贖いを行い、彼は赦されるであろう。

5 「もし個人が、目撃したことや知っていることについて証言するための公の呼びかけを聞いたときに声を上げることを怠って罪を犯した場合、その人は責任を負うことになります。²

また、もし人が、儀式的に汚れたもの、たとえば野生または家畜の汚れた動物の死体や地上を這う汚れた生き物に知らずに触れた後に自分の罪を認識し、その不浄を悟った場合も同様です。³

また、人間の不浄に触れ、それがどのような形であれ隠されていたが、後になってそれを認識した場合、その人は罪を犯したことになります。⁴

また、誰かが軽率に誓いを立て、良いことでも悪いことでも、どんなことであれ人々が軽率に誓うことについて、それが隠されていたが、後になってそれを認識し、自分の罪を悟った場合も同様です。⁵

これらのいずれかの事柄について自分の罪を認識したとき、彼らは自分がどのように罪を犯したかを告白しなければなりません。⁶

彼らが犯した罪の罰として、彼らは群れから雌の子羊または山羊を罪のための捧げ物として主に捧げなければなりません。そして、祭司は彼らの罪のために彼らのために贖いを行います。⁷

もし彼らが子羊を買う余裕がない場合、彼らは罪の罰として主に二羽の山鳩または二羽の若い鳩を持って来なければなりません。一羽は罪のための捧げ物として、もう一羽は焼き尽くす捧げ物としてです。⁸

彼らはそれらを祭司に差し出し、祭司はまず罪のための捧げ物として一羽を捧げます。彼はその首の前で頭を摘み取りますが、完全には切り離しません。⁹

そして、罪のための捧げ物の血を祭壇の側面に振りかけます。残りの血は祭壇の基部に流し出します。それは罪のための捧げ物です。¹⁰

二羽目の鳥は、規定に従って焼き尽くす捧げ物として準備します。このようにして、祭司は彼らが犯した罪のために彼らのために贖いを行い、彼らは赦されます。¹¹

しかし、もし彼らの手段が二羽の山鳩または二羽の

若い鳩に足りない場合、彼らは罪のための捧げ物として上等の小麦粉のエバの十分の一を持って来なければなりません。オリーブ油や乳香をそれに加えてはなりません。それは罪のための捧げ物です。¹² 彼らはそれを祭司に持って来て、祭司はそれを記念の部分として一握り取り、主への火による捧げ物と共に祭壇で焼きます。それは罪のための捧げ物です。¹³

このようにして、祭司は彼らが犯したこれらの罪について彼らのために贖いを行い、彼らは赦されます。捧げ物の残りは、穀物の捧げ物の場合と同様に、祭司のものとなります。」¹⁴

その後、主はモーセに語って言われました。¹⁵

「もし誰かが主の聖なるものに関して不誠実に行動し、意図せずに罪を犯した場合、彼らは群れから欠陥のない雄羊を、聖所のシェケルに従って銀のシェケルで評価された価値で、主に罪のための捧げ物として持って来なければなりません。それは罪のための捧げ物です。」¹⁶

彼らは聖なるものに関して行わなかったことの償いをし、その価値の五分の一を加えて祭司に与えなければなりません。祭司は罪のための捧げ物として雄羊を持って彼らのために贖いを行い、彼らは赦されます。¹⁷

もし誰かが主の命令のいずれかに反して罪を犯し、それに気づかなくても、彼らは罪を犯しており、その結果を負うことになります。¹⁸

彼らは群れから欠陥のない雄羊を、あなたの評価に従って、罪のための捧げ物として祭司に持って来なければなりません。このようにして、祭司は彼らが意図せずに犯した過ちのために彼らのために贖いを行い、彼らは赦されます。¹⁹

それは罪のための捧げ物です。彼らは確かに主の前で罪を犯しました。」

6 主はモーセに告げて言われた。²

「もし誰かが罪を犯し、主に対して不誠実に行動し、預けられたものや担保について隣人を欺いたり、盗みを働いたり、隣人から強奪したりした場合、³

または、失われた財産を見つけてそれについて嘘をついたり、偽って誓ったりするような罪を犯した場合—⁴

これらの方法で罪を犯し、自分の罪を自覚したときは、盗みや強奪で取ったもの、預けられたもの、見つけた失われた財産を返さなければなりません。⁵

または、偽って誓ったものについても同様である。それを完全に返済し、その価値の五分の一を加えて、罪の供え物を捧げる日に正当な所有者に渡さなければなりません。⁶

罰として、彼らは主への罪の供え物として、欠陥のない羊を群れから適正な価値で祭司に持って来なければなりません。⁷

このようにして、祭司は彼らのために主の前で贖いを行い、彼らが犯した罪のいずれについても赦される。」⁸ その後、主はモーセに指示して言われた。⁹

「アロンとその息子たちに命じて言いなさい、『焼き尽くす捧げ物の規定は次の通りである。焼き尽くす捧げ物は夜通し祭壇の炉に残され、朝まで燃やし続けなければならない。』¹⁰

祭司は亜麻布の衣を身に着け、亜麻布の下着を体に着け、祭壇で火が焼き尽くした焼き尽くす捧げ物の灰を取り除き、それを祭壇のそばに置かなければならない。¹¹

その後、彼はこれらの衣を脱ぎ、別の衣を着て、灰を宿営の外の清められた場所に運び出さなければならぬ。¹²

祭壇の火は燃え続けなければならない。それを消してはならない。毎朝、祭司は薪を加え、焼き尽くす捧げ物を火に並べ、和解の捧げ物の脂肪をその上で焼かなければならない。¹³

祭壇の火は絶えず燃え続けなければならない。それを消してはならない。¹⁴

「『穀物の捧げ物の規定は次の通りである。アロンの息子たちはそれを主の前、祭壇の前に捧げなければならない。』¹⁵

祭司は穀物の捧げ物の最上の小麦粉を一握り、その油とすべての香を取り、それを主への心地よい香りとして祭壇で焼かなければならない。¹⁶

アロンとその息子たちはその残りを食べなければならない。それは聖なる場所で、酵母を入れずに食べられなければならない。彼らは会見の天幕の庭でそれを食べなければならない。¹⁷

それは酵母を入れずに準備されなければならない。私はそれを私に捧げられる食物の捧げ物の彼らの分け前として与えた。それは罪の捧げ物や罪過の捧げ物と同様に最も聖なるものである。¹⁸

アロンの子孫のすべての男子はそれを食べることができる。それはすべての世代にわたって主に捧げられる食物の捧げ物の永遠の分け前である。それに触れる者は聖なる者となる。』」¹⁹

主はまたモーセに指示して言われた。²⁰

「これはアロンとその息子たちが彼が油注がれる日に主に捧げる捧げ物である。最上の小麦粉のエバの十分の一を通常の穀物の捧げ物として、朝にその半分、夕方にその半分の捧げなければならない。²¹ それは油で鉄板で調理されなければならない。それをよく混ぜて持ってきて、穀物の捧げ物を砕いて主

への心地よい香りとして捧げなければならない。²²
彼の後を継ぐ油注がれた祭司の息子がそれを準備し
なければならない。それは主の永遠の分け前であり
、完全に焼かれなければならない。²³

祭司のすべての穀物の捧げ物は完全に焼かれなければ
ならない。それを食ってはならない。」²⁴

その後、主はモーセに指示して言われた。²⁵

「アロンとその息子たちに言いなさい、『罪の捧げ
物の規定は次の通りである。罪の捧げ物は焼き尽く
す捧げ物が屠られる場所で主の前で屠られなければ
ならない。それは最も聖なるものである。²⁶
それを罪のために捧げる祭司はそれを食べなければ
ならない。それは聖なる場所、会見の天幕の庭で食
べられなければならない。²⁷

その肉に触れるものはすべて聖なる者となる。その
血が衣服に飛び散った場合は、聖なる場所でそれを
洗わなければならない。²⁸

それが調理された粘土の器は壊さなければならない
。しかし、それが青銅の器で調理された場合は、そ
の器を磨いて水で洗わなければならない。²⁹

祭司のすべての男子はそれを食べることができる。
それは最も聖なるものである。³⁰

しかし、血が聖所で贖いのために会見の天幕に持ち
込まれる罪の捧げ物は食ってはならない。それは火
で焼かなければならない。

7 ‘これは罪過の捧げ物の指針である。それは最
も神聖である。²

罪過の捧げ物は燔祭と同じ場所で屠られ、その
血は祭壇の周りに振りかけられる。³

彼はそのすべての脂肪を捧げるべきである。尾の脂
肪と内臓を覆う脂肪、⁴

腰の近くにある二つの腎臓とその上の脂肪、そして
腎臓と共に取り除くべき肝臓の長い葉。⁵

祭司はそれらを祭壇で主への火の捧げ物として焼く
。それは罪過の捧げ物である。⁶

祭司の中のすべての男性はそれを食べることができ
る。それは聖なる場所で食べられなければならない
。それは最も神聖である。⁷

罪の捧げ物と罪過の捧げ物には同じ規則が適用され
る。それらはそれで贖いをする祭司に属する。⁸

誰かのために燔祭を捧げる祭司は、その燔祭の皮を
自分のものとする。⁹

オープンで焼かれた、または鍋や鉄板で調理された
すべての穀物の捧げ物は、それを捧げる祭司のもの
である。¹⁰

油と混ぜられたか乾燥したかにかかわらず、すべて
の穀物の捧げ物はアロンのすべての息子たちに等し
く属する。¹¹

‘これは主に捧げる和解の捧げ物の指針である：¹²

もしそれを感謝として捧げるなら、感謝の捧げ物と
共に、油と混ぜた種なしパン、油を塗った種なしの
ウエハース、よく練られた細かい粉のケーキを油と
混ぜて捧げるべきである。¹³

感謝のための和解の捧げ物と共に、彼は発酵したパ
ンのケーキを捧げるべきである。¹⁴

彼はそれぞれの種類のものを一つずつ主への捧げ物
として持ってくるべきである。それは和解の捧げ物
の血を振りかける祭司に属する。¹⁵

彼の感謝の和解の捧げ物の肉は、それが捧げられた
日に食べられなければならない。それは朝まで残し
てはならない。¹⁶

しかし、彼の捧げ物が誓願や自発的な捧げ物である
ならば、彼の捧げ物を捧げた日に食べられ、残りは
翌日に食べることができる。¹⁷

三日目まで残った捧げ物の肉は火で焼かなければな
らない。¹⁸

もし彼の和解の捧げ物の肉が三日目に食べられるな
ら、それは受け入れられず、彼にとって功績とはな
らない。それは汚れたものであり、それを食べる者
はその罪を負う。¹⁹

何か汚れたものに触れた肉は食べられてはならず、
火で焼かれるべきである。他の肉については、清い
者が食べることができる。²⁰

しかし、主に属する和解の捧げ物の肉を食べる者が
汚れている場合、その者はその民から断たれるべき
である。²¹

人間の汚れや汚れた動物、または汚れた忌まわしい
ものに触れ、主に属する和解の捧げ物の肉を食べる
者は、その民から断たれるべきである。 ”²²

その後、主はモーセに語って言われた。²³

「イスラエルの人々に言いなさい。牛、羊、また
は山羊の脂肪を食べてはならない。²⁴

死んだ動物や野生の動物に引き裂かれた動物の脂肪
は他の目的に使うことができるが、それを食べては
ならない。²⁵

主に火による捧げ物として捧げられる動物の脂肪を
食べる者は、その民から断たれるべきである。²⁶

どこに住んでいても、鳥や動物の血を食べてはなら
ない。²⁷

血を食べる者は、その民から断たれるべきである。
 ”²⁸ その後、主はモーセに語って言われた。²⁹

「イスラエルの人々に言いなさい。‘主に和解の捧
げ物を捧げる者は、その一部を主への捧げ物として
持ってくるべきである。³⁰

彼自身の手で主への火による捧げ物を持ってくるべ
きである。彼は胸と共に脂肪を持ってきて、その胸
を主の前で揺り動かす揺り動かしの捧げ物とするべ
きである。³¹

祭司は脂肪を祭壇で焼くが、胸はアロンとその息子たちのものとなる。³²

あなたは和解の捧げ物の右の腿を祭司に貢ぎ物として与えるべきである。³³

和解の捧げ物の血と脂肪を捧げるアロンの息子は、その部分として右の腿を持つべきである。³⁴

私はイスラエルの人々の和解の捧げ物から揺り動かしの捧げ物の胸と貢ぎ物の腿を取り、それをアロン祭司とその息子たちに与え、イスラエルの人々からの永続的な分け前とした。³⁵

これは主への火による捧げ物の中で、アロンとその息子たちが主に仕えるために祭司として任命された日に割り当てられた部分である。³⁶

彼らが油注がれた日に、主はイスラエルの人々にこれを彼らに与えるように指示し、世々にわたる永続的な分け前とした。³⁷

これらは、燔祭、穀物の捧げ物、罪の捧げ物、罪過の捧げ物、任命の捧げ物、和解の捧げ物の指針である。³⁸

これらは、主がシナイ山でモーセに命じ、シナイの荒野でイスラエルの人々に主への捧げ物を持つてくるように指示した日に命じたものである。

8 主はモーセに告げて言われた。²
「アロンとその子たちを、その衣服、注ぎの油、罪のためのいけにえの雄牛、二頭の雄羊、種を入れないパンのかごと共に連れてきなさい。³
そして会見の天幕の入口に全会衆を集めなさい。」⁴

モーセは主が命じられたとおりに行い、会衆は会見の天幕の入口に集まった。⁵

モーセは会衆に告げて言った。「これは主の命令であり、実行されるべきことです。」⁶

モーセはアロンとその子たちを連れてきて、水で彼らを清めた。⁷

彼はアロンに長服を着せ、帯を締め、上着を着せ、エボデを着せた。また、エボデを飾り帯で締め、しっかりと結びつけた。⁸

彼は胸当てをアロンに着け、ウリムとトンミムを胸当てに入れた。⁹

彼はアロンの頭にターバンを置き、そのターバンの前に金の板、聖なる印を置いた。これは主がモーセに命じられたとおりである。¹⁰

モーセは注ぎの油を取り、幕屋とその中のすべてのものに油を注ぎ、これを聖別した。¹¹

彼はその油を祭壇に七度振りかけ、祭壇とそのすべての器具、洗盤とその台に油を注ぎ、これを聖別した。¹²

彼は注ぎの油をアロンの頭に注ぎ、彼を聖別するために油を注いだ。¹³

モーセはアロンの子たちを連れてきて、彼らに長服を着せ、帯を締め、帽子をかぶらせた。これは主がモーセに命じられたとおりである。¹⁴

彼は罪のためのいけにえの雄牛を連れてきて、アロンとその子たちはその頭に手を置いた。¹⁵

モーセはその雄牛を屠り、血を取り、指で祭壇の角に塗り、これを清めた。彼は残りの血を祭壇の基に注ぎ、これを聖別して贖いを行った。¹⁶

彼は内臓の周りのすべての脂肪、肝臓の長い葉、二つの腎臓とその脂肪を取り、祭壇で焼いた。¹⁷

しかし、雄牛の皮、肉、内臓は宿営の外で焼いた。これは主がモーセに命じられたとおりである。¹⁸

彼は全焼のいけにえの雄羊を連れてきて、アロンとその子たちはその頭に手を置いた。¹⁹

モーセはその雄羊を屠り、血を祭壇の周りに振りかけた。²⁰

彼はその雄羊を部分に分け、頭、部分、脂肪を焼いた。²¹

内臓と脚を水で洗った後、彼はその全体を祭壇で焼いた。それは全焼のいけにえであり、心地よい香りであり、主に捧げる火によるいけにえである。これは主がモーセに命じられたとおりである。²²

彼は次に、任職のための雄羊を連れてきて、アロンとその子たちはその頭に手を置いた。²³

モーセはその雄羊を屠り、その血を取り、アロンの右耳の耳たぶ、右手の親指、右足の親指に塗った。²⁴

彼はまたアロンの子たちを連れてきて、その右耳の耳たぶ、右手の親指、右足の親指に血を塗った。モーセはその後、残りの血を祭壇の周りに振りかけた。²⁵

彼は脂肪、脂尾、内臓の周りのすべての脂肪、肝臓の長い葉、二つの腎臓とその脂肪、右のももを取った。²⁶

主の前の種を入れないパンのかごから、厚いパン一つ、オリーブ油を混ぜたパン一つ、薄いパン一つを取り、脂肪の部分と右のももに置いた。²⁷

彼はこれらすべてをアロンとその子たちの手に置き、主の前で揺り動かす供え物として揺り動かした。²⁸

モーセはそれらを彼らの手から取り、全焼のいけにえの上に祭壇で焼いた。それは任職のためのいけにえであり、心地よい香りであり、主に捧げる火によるいけにえである。²⁹

モーセは胸を取り、主の前で揺り動かす供え物として揺り動かした。それは任職のための雄羊のモーセの分である。これは主がモーセに命じられたとおりである。³⁰

モーセは注ぎの油と祭壇の血を取り、アロンとその

衣服、彼の子たちとその衣服に振りかけた。こうして彼はアロンとその衣服、彼の子たちとその衣服を聖別した。³¹
 モーセはアロンとその子たちに命じて言った。「会見の天幕の入口で肉を煮て、任職のための供え物のかごからのパンと共にそこで食べなさい。『アロンとその子たちはそれを食べるべきである』と私は命じられた。³² 残りの肉とパンは焼きなさい。³³ あなたたちは会見の天幕の入口を七日間離れてはならない。任職の期間が完了するまで、あなたたちの任職は七日間続く。³⁴
 今日行われたことは、あなたたちのために贖いを行うために主が命じられたことである。³⁵
 あなたたちは七日間、昼も夜も会見の天幕の入口に留まり、主に対する義務を果たさなければならない。そうしなければ死ぬことになる。これは私が命じられたことである。」³⁶
 こうしてアロンとその子たちは、主がモーセを通して与えたすべての指示を実行した。

9 八日目に、モーセはアロンとその息子たち、そしてイスラエルの長老たちを呼び寄せた。²
 彼はアロンに指示した。「あなたの罪のための捧げ物として欠陥のない子牛、雄牛を、そして焼き尽くす捧げ物として欠陥のない雄羊を取り、主の前に捧げなさい。³
 それからイスラエルの人々に言いなさい。『罪のための捧げ物として雄山羊を、焼き尽くす捧げ物として一歳の欠陥のない子牛と子羊を取りなさい。⁴
 また、主の前に犠牲として捧げる和解のための捧げ物として雄牛と雄羊を、オリーブ油を混ぜた穀物の捧げ物と共に取りなさい。今日は主があなたたちに現れるからです。』」⁵
 彼らはモーセが命じたものを会見の天幕の前に持ってきた。そして全衆が近づき、主の前に立った。⁶

モーセは説明した。「これは主の命令です。それは、主の栄光があなたたちに現れるためです。」⁷
 モーセはアロンに言った。「祭壇に近づき、あなた自身と民のために罪のための捧げ物と焼き尽くす捧げ物を捧げて、贖いをしなさい。それから、主が命じられたように、民のために捧げ物をして彼らのために贖いをしなさい。」⁸
 アロンは祭壇に近づき、自分自身のための罪のための捧げ物として子牛を屠った。⁹
 彼の息子たちは血を彼に渡し、彼は指を血に浸し、祭壇の角にそれを塗り、残りを祭壇の基に注いだ。¹⁰
 彼は罪のための捧げ物の脂肪、腎臓、肝臓の長い葉を祭壇で焼いた。これは主がモーセに命じたもので

ある。¹¹
 彼は肉と皮を宿営の外に持ち出して焼いた。¹²
 彼は次に焼き尽くす捧げ物を屠り、彼の息子たちは血を彼に渡し、彼はそれを祭壇の周りに振りかけた。¹³
 彼らは焼き尽くす捧げ物を頭を含めて部分に分けて彼に渡し、彼はそれらを祭壇で焼いた。¹⁴
 彼は内臓と脚を洗い、それらを焼き尽くす捧げ物の上に祭壇で捧げた。¹⁵
 アロンは次に民の捧げ物を捧げた。彼は民の罪のための捧げ物として山羊を取り、それを屠り、最初のもののように罪のための捧げ物として捧げた。¹⁶
 彼は焼き尽くす捧げ物を捧げ、それを規定に従って捧げた。¹⁷
 彼はまた穀物の捧げ物を捧げ、それを一握り取り、朝の焼き尽くす捧げ物に加えて祭壇で焼いた。¹⁸
 彼は民のための和解のための捧げ物として雄牛と雄羊を屠った。彼の息子たちは血を彼に渡し、彼はそれを祭壇の周りに振りかけた。¹⁹
 雄牛と雄羊の脂肪部分—
 脂肪の尾、脂肪の層、腎臓、肝臓の長い葉—²⁰
 これらを胸の上に置き、アロンは脂肪を祭壇で焼いた。²¹
 アロンは胸と右腿を主の前で揺り動かす捧げ物として揺り動かした。これはモーセが命じたものである。²²
 。
 アロンは手を民に向けて挙げ、彼らを祝福した。罪のための捧げ物、焼き尽くす捧げ物、和解のための捧げ物を捧げた後、彼は降りた。²³
 モーセとアロンは会見の天幕に入り、出てきたとき、彼らは民を祝福した。そして主の栄光が全ての民に現れた。²⁴
 主の前から火が出てきて、祭壇の上の焼き尽くす捧げ物と脂肪部分を焼き尽くした。全ての民がそれを見たとき、彼らは叫び、顔を地に伏せた。

10 アロンの息子たち、ナダブとアビフはそれぞれ自分の香炉を取り、そこに火を入れ、香を加えた。そして、彼らは主が命じられなかった異なる火を主の前に捧げた。²
 すると、主の前から火が出てきて彼らを焼き尽くし、彼らは主の前で死んだ。³
 モーセはアロンに言った、「これは主が言われたことである。『私に近づく者の中で、私は聖なる者として示される。すべての民の前で、私は尊ばれる。』」それでアロンは黙っていた。⁴
 モーセはアロンの叔父ウジエルの息子たち、ミシャエルとエルツァファンを呼び、「前に進み、あなたたちの親族を聖所の前から宿営の外に運び出しなさい」と指示した。⁵

彼らは前に進み、モーセが指示したように、彼らをまだ衣服を着たままで宿営の外に運び出した。⁶

モーセはアロンとその息子たち、エルアザルとイタマルに言った、「あなたたちの髪を乱してはならないし、衣服を裂いてはならない。さもないと、あなたたちは死に、怒りが全会衆に及ぶ。しかし、あなたたちの親族、イスラエルの全家は、主が火で焼き尽くした者たちを悼むことができる。⁷

会見の天幕の入口から出てはならない。さもないと、あなたたちは死ぬ。主の注ぎ油があなたたちの上にあるからである。」それで彼らはモーセの指示に従った。⁸ 主はアロンに語りかけて言われた、⁹

「あなたとあなたの息子たちは、会見の天幕に入るときに、ぶどう酒や他の発酵飲料を飲んではいらない。さもないと、あなたたちは死ぬ。これはあなたたちの世代にわたる永遠の規定である。¹⁰

聖なるものと普通のもの、汚れたものと清いものを区別するためである。¹¹

そして、あなたたちはイスラエルの人々に、主がモーセを通して与えたすべての法令を教えることができるように。¹²

モーセはアロンとその残りの息子たち、エルアザルとイタマルに言った、「主の火による捧げ物から残った穀物の捧げ物を取り、祭壇のそばで種なしパンとして食べなさい。それは最も聖なるものである。¹³

あなたたちはそれを聖なる場所で食べなければならない。それは主への火による捧げ物からあなたたちとあなたたちの息子たちの分として与えられたものであるから、私はそう命じられた。¹⁴

揺り動かす捧げ物の胸と捧げ物の腿は、あなたたちとあなたたちの息子たち、娘たちと共に清い場所で食べることができる。それはイスラエルの人々の和解の捧げ物からあなたたちとあなたたちの子供たちの割り当てられた分として与えられたものである。¹⁵

彼らは揺り動かす捧げ物として、持ち上げられる腿と揺り動かされる胸を、脂肪部分の火による捧げ物と共に主の前に持って来る。それはあなたたちとあなたたちの息子たちと共に永遠の義務となる。主が命じられたとおりである。¹⁶

モーセは罪の捧げ物であるヤギを熱心に探し、それが焼かれているのを見つけた。彼はエルアザルとイタマル、アロンの残りの息子たちに怒って言った、¹⁷

「なぜあなたたちは罪の捧げ物を聖所で食べなかったのか。それは最も聖なるものであり、会衆の罪を取り除き、彼らのために主の前で贖いをするためにあなたたちに与えられたものである。¹⁸

その血が聖所に持ち込まれなかったので、あなたたちはそれを聖所で食べるべきだったのだ。私はそう命じた。」¹⁹

アロンはモーセに答えて言った、「今日、彼らは主の前で自分たちの罪の捧げ物と焼き尽くす捧げ物を捧げたが、このようなことが私に起こった。もし今日、私が罪の捧げ物を食べたなら、それは主の目に喜ばれるだろうか。」²⁰

モーセがこれを聞いたとき、彼は満足した。

11 その後、主はモーセとアロンに語りかけて言われた。²

「イスラエルの人々に語り、言いなさい。

『地上に住むすべての動物の中で、あなたたちが食べてよいものは次の通りです。³

完全に分かれたひづめを持ち、反芻する動物はどれでも食べてよい。⁴

しかし、反芻するだけ、またはひづめが分かれているだけのものは食べてはならない。ラクダは反芻するが、ひづめが分かれていないので、あなたたちには汚れたものである。⁵

岩狸は反芻するが、ひづめが分かれていないので、あなたたちには汚れたものである。⁶

ウサギは反芻するが、ひづめが分かれていないので、あなたたちには汚れたものである。⁷

豚は完全に分かれたひづめを持っているが、反芻しないので、あなたたちには汚れたものである。⁸

これらの肉を食べたり、その死体に触れたりしてはならない。これらはあなたたちには汚れたものである。⁹

水中に住むすべての生き物の中で、ひれと鱗を持つものはどれでも食べてよい。¹⁰

しかし、海や川に住むもので、ひれや鱗を持たないものは、すべて水中の群がるものや他の生き物の中で、あなたたちには忌むべきものである。¹¹

これらはあなたたちには忌むべきものであるので、その肉を食べてはならず、その死体を忌むべきものとしなければならない。¹²

水中に住むもので、ひれや鱗を持たないものは、あなたたちには忌むべきものである。¹³

忌むべきものとして食べてはならない鳥は次の通りである。ワシ、ハゲワシ、トビ、¹⁴

赤トビ、すべての種類のハヤブサ、¹⁵

すべての種類のカラス、¹⁶

ダチョウ、フクロウ、カモメ、すべての種類のタカ、¹⁷

小フクロウ、ウミウ、フクロウ、¹⁸

ミミズク、ペリカン、ハゲタカ、¹⁹

コウノトリ、すべての種類のサギ、ヤツガシラ、コウモリ。²⁰

四つ足で歩くすべての羽のある昆虫は、あなたたち

には忌むべきものである。²¹
 しかし、四つ足で歩く羽のある昆虫の中で、地面を
 跳ねるための関節のある脚を持つものは食べてよい²²
 。
 これらの中で、イナゴ、バッタ、コオロギ、バッタ
 のどれでも食べてよい。²³
 しかし、四つ足の他のすべての羽のある昆虫は、忌
 むべきものである。²⁴
 これらによってあなたたちは汚れる。これらの死体
 に触れる者は夕方まで汚れる。²⁵
 これらの死体を拾う者は衣服を洗わなければならない
 、夕方まで汚れる。²⁶
 完全に分かれたひづめを持たない、または反芻しな
 いすべての動物は、あなたたちには汚れたものであ
 る。それらの死体に触れる者は汚れる。²⁷
 四つ足で歩くすべての動物の中で、足で歩くものは
 あなたたちには汚れたものである。その死体に触れ
 る者は夕方まで汚れる。²⁸
 その死体を拾う者は衣服を洗わなければならない、夕
 方まで汚れる。これらの動物はあなたたちには汚れ
 たものである。²⁹
 地を這う動物の中で、あなたたちには汚れたものは
 次の通りである。モグラ、ネズミ、すべての種類の
 大トカゲ、³⁰
 ヤモリ、オオトカゲ、トカゲ、スキנק、カメレオ
 ン。³¹
 地を這うすべてのものの中で、これらはあなたたち
 には汚れたものである。死んだときにそれらに触れ
 る者は夕方まで汚れる。³²
 これらの一つが死んで何かに落ちた場合、その物は
 木製、布製、革製、または袋布製であっても汚れる
 。それは水に入れなければならない、夕方まで汚れ、
 そして清くなる。³³
 それらの一つが粘土の器に落ちた場合、その中のす
 べてのものは汚れ、その器は壊さなければならない³⁴
 。
 食べてよい食物がそのような器の水に触れた場合、
 それは汚れ、またその器から飲まれる液体も汚れる
 。³⁵
 それらの死体が落ちたものはすべて汚れ、オープン
 や調理用の鍋は壊さなければならない。それらは汚
 れ、あなたたちはそれらを汚れたものとしなければ
 ならない。³⁶
 しかし、泉や水を集めるための貯水池は清いままで
 あるが、これらの死体に触れる者は汚れる。³⁷
 種を植えるための種に死体が落ちた場合、それらは
 清いままである。³⁸
 しかし、種に水がかけられていて、その上に死体が
 落ちた場合、それはあなたたちには汚れる。³⁹

食べてよい動物が死んだ場合、その死体に触れる者
 は夕方まで汚れる。⁴⁰
 その死体の一部を食べる者は衣服を洗わなければな
 らず、夕方まで汚れる。その死体を拾う者は衣服を
 洗わなければならない、夕方まで汚れる。⁴¹
 地を這うすべての生き物は忌むべきものであり、食
 べてはならない。⁴²
 腹で這うもの、四つ足で歩くもの、多くの足を持つ
 もの、いずれも食べてはならない。それらは忌むべ
 きものである。⁴³
 これらの生き物によって自分を汚してはならない。
 それらによって自分を汚し、汚れたものとされては
 ならない。⁴⁴
 私はあなたたちの神、主である。自分を聖別し、聖
 であれ。私は聖であるからである。地を這うすべて
 の生き物によって自分を汚してはならない。⁴⁵
 私はあなたたちをエジプトから導き出した主であり
 、あなたたちの神となるためである。それゆえ、聖
 であれ。私は聖であるからである。⁴⁶
 これらは動物、鳥、水中に住むすべての生き物、地
 を這うすべての生き物に関する法律である。⁴⁷
 汚れたものと清いもの、食べてよい生き物と食べて
 はならない生き物を区別しなければならない。』」

12 主はモーセに告げて言われた、²
 「イスラエルの人々に告げなさい。『女が
 妊娠して男の子を産むとき、彼女は月経の
 期間と同様に七日間、儀式的に汚れる。³
 八日目には、その男の子の包皮を割礼しなければな
 らない。⁴
 その後、彼女は三十三日間、血の清めの状態に留ま
 るなければならない。彼女の清めの日が満ちるまで
 、聖なるものに触れたり、聖所に入ったりしてはな
 らない。⁵
 女の子を産んだ場合、彼女は月経の期間と同様に二
 週間、汚れる。彼女はその後、六十六日間、血の清
 めの状態に留まらなければならない。⁶
 『息子または娘のための清めの日が終わったとき、
 彼女は会見の天幕の入口に、一歳の子羊を燔祭のた
 めに、また若い鳩か山鳩を罪祭のために祭司に持つ
 て来なければならない。⁷
 祭司はそれらを主の前に捧げて、彼女のために贖い
 をし、彼女は血の流れから清められる。これは男の
 子または女の子を産む女のための規定である。⁸
 もし彼女が子羊を買う余裕がない場合、彼女は二羽
 の山鳩または二羽の若い鳩を持って来なければなら
 ない。一羽は燔祭のために、もう一羽は罪祭のため
 に。このようにして、祭司は彼女のために贖いをし
 、彼女は清められる。』」

13 主はモーセに告げて言われた。²
 「人の体の皮膚に腫れ物、かさぶた、また

は輝く斑点ができ、それがらい病の感染の可能性がある場合、その人は祭司アロンまたはその息子たちの祭司のもとに連れて行かれなければならない。³

祭司はその皮膚の感染部分を調べ、もし感染部分の毛が白く変わり、感染が皮膚よりも深く見えるなら、それはらい病である。祭司がそれを調べて、その人を汚れていると宣言しなければならない。⁴

もし輝く斑点が皮膚に白く、皮膚よりも深く見え、毛が白くならないなら、祭司はその人を七日間隔離しなければならない。⁵

七日目に祭司はその人を調べ、もし感染が変わらず、皮膚に広がっていないなら、祭司はその人をさらに七日間隔離しなければならない。⁶

祭司は七日目に再びその人を調べ、もし感染が薄れ、広がっていないなら、祭司はその人を清いと宣言しなければならない。それはただの発疹である。その人は自分の衣服を洗わなければならない、清くなる。⁷

しかし、発疹が皮膚に広がり、祭司のもとに現れて清めを受けた後でも、その人は再び祭司の前に出なければならない。⁸

祭司はその人を調べ、もし発疹が広がっているなら、その人を汚れていると宣言しなければならない。それはらい病である。⁹

「人がらい病の感染を受けたときは、その人は祭司のもとに連れて行かれなければならない。¹⁰

祭司はその人を調べ、もし皮膚に白い腫れがあり、毛が白く変わり、腫れに生肉があるなら、¹¹
 それは皮膚の慢性らい病であり、祭司はその人を汚れていると宣言しなければならない。その人は隔離される必要はない、すでに汚れているからである。¹²

もしらい病が皮膚に広がり、頭から足まで全身を覆っているなら、祭司が見る限り、¹³

祭司はその人を調べ、もしらい病が全身を覆っているなら、その人を清いと宣言しなければならない。それがすべて白く変わったので、その人は清い。¹⁴

しかし、生肉が現れるときは、その人は汚れている。¹⁵

祭司が生肉を見たとき、その人を汚れていると宣言しなければならない。生肉は汚れており、それはらい病である。¹⁶

もし生肉が変わって白くなったなら、その人は祭司のもとに出なければならない。¹⁷

祭司はその人を調べ、もし感染部分が白く変わっているなら、祭司はその人を清いと宣言しなければ

ならない。その人は清い。¹⁸

「皮膚に腫れ物ができ、それが治ったとき、¹⁹
 その腫れ物の場所に白い腫れまたは赤白い輝く斑点があるなら、その人は祭司のもとに出なければならない。²⁰

祭司はそれを調べ、もしそれが皮膚よりも深く見え、毛が白く変わっているなら、祭司はその人を汚れていると宣言しなければならない。それは腫れ物に現れたらい病である。²¹

しかし、祭司がそれを調べ、白い毛がなく、皮膚よりも深く見え、薄れているなら、祭司はその人を七日間隔離しなければならない。²²

もしそれが皮膚に広がるなら、祭司はその人を汚れていると宣言しなければならない。それは感染である。²³

しかし、輝く斑点が変わらず、広がっていないなら、それはただの腫れ物の跡であり、祭司はその人を清いと宣言しなければならない。²⁴

「皮膚に火傷があり、その火傷の生肉が輝く斑点、赤白いまたは白い斑点になるとき、²⁵

祭司はその斑点を調べ、もし輝く斑点の毛が白く変わり、皮膚よりも深く見えるなら、それは火傷に現れたらい病である。祭司はその人を汚れていると宣言しなければならない。それはらい病の感染である。²⁶

しかし、祭司がそれを調べ、白い毛がなく、皮膚よりも深く見え、薄れているなら、祭司はその人を七日間隔離しなければならない。²⁷

七日目に祭司はその人を調べ、もしそれが皮膚に広がるなら、祭司はその人を汚れていると宣言しなければならない。それはらい病の感染である。²⁸

しかし、輝く斑点が変わらず、皮膚に広がらず、薄れているなら、それは火傷からの腫れであり、祭司はその人を清いと宣言しなければならない。それはただの火傷の跡である。²⁹

「男または女が頭やひげに感染を持つとき、³⁰
 祭司はその感染を調べ、もしそれが皮膚よりも深く見え、薄い黄色の毛があるなら、祭司はその人を汚れていると宣言しなければならない。それは鱗であり、頭やひげのらい病である。³¹

しかし、祭司が鱗の感染を調べ、それが皮膚よりも深く見え、黒い毛がないなら、祭司はその人を七日間隔離しなければならない。³²

七日目に祭司は感染を調べ、もし鱗が広がらず、黄色の毛が生えておらず、皮膚よりも深く見えないなら、³³

その人は自分を剃らなければならないが、感染部分は除いて、祭司はその人をさらに七日間隔離しなければならない。³⁴

七日目に祭司は鱗を調べ、もしそれが広がらず、皮膚よりも深く見えないなら、祭司はその人を清いと宣言しなければならない。その人は自分の衣服を洗わなければならない、清くなる。

しかし、鱗が清いと宣言された後に皮膚に広がるなら、

祭司はその人を調べ、もし鱗が広がっているなら、黄色の毛を探す必要はない。その人は汚れている。

もし鱗が変わらず、黒い毛が生えているなら、鱗は治り、その人は清い。祭司はその人を清いと宣言しなければならない。

「男または女が皮膚に輝く斑点、白い輝く斑点を持つとき、

祭司はその人を調べ、もし輝く斑点が薄い白であるなら、それは皮膚に現れた湿疹であり、その人は清い。

「男が頭の髪を失うなら、その人は禿げているが清い。

もし前頭部や側頭部の髪を失うなら、その人は額が禿げているが清い。

しかし、禿げた頭や額に赤白い感染があるなら、それは禿げた頭や額に現れたらい病である。

祭司はその人を調べ、もし感染の腫れが禿げた頭や額に赤白く見えるなら、それは皮膚のらい病のようである。

その人はらい病の者であり、汚れている。祭司はその人を汚れていると宣言しなければならない。その頭の感染のためである。

「そのような感染を持つ人は、衣服を裂き、髪を乱し、顔の下部を覆い、『汚れている！汚れている！』と叫ばなければならない。

感染がある限り、その人は汚れていなければならない。その人は一人で宿営の外に住まなければならない。

「衣服にらい病の印があるとき、それが羊毛または亜麻の衣服であるかどうか、

経糸または緯糸にあるか、亜麻または羊毛であるか、革または革製品であるかどうか、

もし衣服や革に緑または赤の印があり、経糸または緯糸にあるか、革製品にあるなら、それはらい病の印であり、祭司に見せなければならない。

祭司はその印を調べ、物を七日間隔離しなければならない。

七日目に祭司はその印を調べ、もし衣服、経糸または緯糸、革に広がっているなら、それはらい病の悪性であり、汚れている。

その衣服、経糸または緯糸、羊毛または亜麻、または印がある革製品を焼かなければならない。それは

らい病の悪性である。火で焼かなければならない。

しかし、祭司がそれを調べ、印が衣服、経糸または緯糸、革製品に広がっていないなら、

祭司はその物を洗うよう命じ、さらに七日間隔離しなければならない。

物が洗われた後、祭司は再びそれを調べ、もし印がその姿を変えていないなら、たとえ広がっていても、それは汚れている。それを焼かなければならない。印が裏か表にあるかどうかにかかわらず。

しかし、祭司がそれを調べ、洗った後に印が薄れているなら、それを衣服、革、経糸または緯糸から切り取らなければならない。

もしそれが衣服、経糸または緯糸、革製品に再び現れるなら、それは広がる印である。その物を焼かなければならない。

洗った後に印が消えた衣服、経糸または緯糸、革製品は再び洗わなければならない、清くなる。」

これらは羊毛または亜麻の衣服、経糸または緯糸、革製品におけるらい病の印の規定であり、それを清いか汚れていると宣言するためのものである。

14 主はモーセに語って言われた。

「これは、皮膚病を患っている者が清められる日についての律法である。彼らは祭司のもとに連れて行かれる。

祭司は宿営の外に出て彼らを調べる。もしその者が汚れた皮膚病から癒されているならば、

祭司は命じて、清められる者のために、生きた清い鳥二羽、杉の木、緋色の糸、ヒソブを持って来させる。

祭司は命じて、一羽の鳥を土器の中で流れる水の上でほふらせる。

次に、生きた鳥と杉の木、緋色の糸、ヒソブを取り、流れる水の上でほふった鳥の血に浸す。

彼は皮膚病から清められる者に七度その血を振りかけて清いと宣言し、生きた鳥を野に放つ。

清められる者は衣服を洗い、全ての毛を剃り、水で体を洗う。そうすれば彼は清い。後に彼は宿営に入ることができるが、七日間は自分の天幕の外に留まらなければならない。

七日目には、彼は全ての毛を剃らなければならない。頭、ひげ、眉毛、その他の全ての毛を剃り、衣服を洗い、水で体を洗う。そうすれば彼は清い。

八日目には、傷のない雄の子羊二頭、傷のない一歳の雌の子羊一頭、油を混ぜた上等の小麦粉三分の一エファを穀物の供え物として、油一ログを持って来なければならない。

清いと宣言する祭司は、清められる者とその供え物を会見の天幕の入口で主の前に立たせる。

レビ記

祭司は雄の子羊一頭を取り、これを罪過のための供え物として、油一ログと共に主の前で揺り動かす揺り供えとする。¹³

彼は罪過のための供え物として子羊を屠り、罪のための供え物と焼き尽くす供え物が屠られる聖所の場所で屠る。罪過のための供え物は罪のための供え物と同様に祭司のものであり、最も聖なるものである。¹⁴

祭司は罪過のための供え物の血を取り、清められる者の右耳の耳たぶ、右手の親指、右足の拇指に塗る。¹⁵

祭司はまた油一ログを取り、左手のひらに注ぐ。¹⁶ 彼は右手の指を油に浸し、その指で油を七度主の前に振りかける。¹⁷

彼の手のひらに残った油を、清められる者の右耳の耳たぶ、右手の親指、右足の拇指に、罪過のための供え物の血の上に塗る。¹⁸

彼の手のひらに残った油を、清められる者の頭に塗り、主の前で彼のために贖いを行う。¹⁹

その後、祭司は罪のための供え物を捧げ、清められる者の汚れを贖う。その後、焼き尽くす供え物を屠る。²⁰

祭司は焼き尽くす供え物と穀物の供え物を祭壇で捧げる。このようにして、祭司は彼らのために贖いを行い、彼らは清いとされる。²¹

しかし、もし彼らが貧しくてこれらを用意できない場合は、罪過のための供え物として雄の子羊一頭を取り、贖いを行うために揺り動かす揺り供えとし、油を混ぜた上等の小麦粉一エファの十分の一を穀物の供え物として、油一ログを持って来なければならない。²²

そして、彼らが用意できる二羽の山鳩または若い鳩を、一羽を罪のための供え物として、もう一羽を焼き尽くす供え物として持って来る。²³

八日目には、彼らの清めのためにこれらを会見の天幕の入口で祭司のもとに持って来なければならない。²⁴

祭司は罪過のための供え物として子羊を取り、油一ログと共に主の前で揺り動かす揺り供えとする。²⁵ 彼は罪過のための供え物として子羊を屠り、その血を清められる者の右耳の耳たぶ、右手の親指、右足の拇指に塗る。²⁶ 祭司は油を左手のひらに注ぐ。²⁷

祭司は右手の指で手のひらから油を七度主の前に振りかける。²⁸

彼の手のひらに残った油を、罪過のための供え物の血を塗った同じ場所、清められる者の右耳の耳たぶ、右手の親指、右足の拇指に塗る。²⁹

彼の手のひらに残った油を、清められる者の頭に塗

り、主の前で彼のために贖いを行う。³⁰

彼は彼らが用意できる山鳩または若い鳩を一羽捧げる。³¹

彼は彼らが用意できるものを、罪のための供え物として一羽、焼き尽くす供え物としてもう一羽、穀物の供え物と共に捧げる。このようにして、祭司は清められる者のために主の前で贖いを行う。³²

これは、清めのための通常の供え物を用意できない者のための、汚れた皮膚病に関する律法である。³³

主はまたモーセとアロンに語って言われた。³⁴

「あなたがたが所有するために与えるカナンの地に入るとき、その地の家に広がるカビを許すならば、³⁵

家の所有者は祭司のもとに行き、『私の家に汚れたカビのようなものがあるのを見つめました』と言わなければならない。³⁶

祭司は、その家を調べる前に、家の中のものが汚れと宣言されないように、家を空にするよう命じなければならない。³⁷

彼は壁のカビを調べ、もしそれが壁の表面よりも深く見える緑色または赤色のくぼみであるならば、³⁸ 祭司は家から出て、七日間それを閉じ込める。³⁹

七日目に、祭司は家を再調査するために戻る。もしカビが壁に広がっているならば、⁴⁰

彼は汚染された石を取り除き、町の外の汚れた場所に捨てよう命じる。⁴¹

彼は家の内側の壁全体を削り取り、削り取った材料を町の外の汚れた場所に持って行くよう命じる。⁴²

その後、他の石を取ってこれらを置き換え、新しい粘土を使って家を塗り直す。⁴³

もし石が取り除かれ、家が削られ、塗り直された後に、再び家に汚れたカビが現れるならば、⁴⁴

祭司はそれを調べに行き、もしカビが家に広がっているならば、それは持続する汚れたカビであり、その家は汚れている。⁴⁵

その家は取り壊されなければならない。石、木材、全ての塗り壁を町の外の汚れた場所に持って行く。⁴⁶

閉じ込められている間にその家に入る者は、夕方まで汚れる。⁴⁷

その家で寝たり食べたりする者は、自分の衣服を清めなければならない。⁴⁸

しかし、祭司がそれを調べに来て、家が塗り直された後にカビが広がっていないならば、彼はその家を清いと宣言する。なぜなら、汚れたカビがなくなったからである。⁴⁹

家を清めるために、彼は二羽の鳥、杉の木、緋色の糸、ヒソブを取る。⁵⁰

彼は一羽の鳥を新しい水の入った土器の中で殺す。

次に、彼は杉の木、ヒソブ、緋色の糸、生きた鳥を取り、殺された鳥の血と新しい水に浸し、家に七度振りかける。

彼は鳥の血、新しい水、生きた鳥、杉の木、ヒソブ、緋色の糸を使って家を清める。

その後、彼は生きた鳥を町の外の野に放つ。このようにして、彼は家のために贖いを行い、それは清いものとなる。」

これは、汚れた皮膚病、傷のための律法である。布や住居の有害なカビのための律法である。

その他の皮膚の状態、腫れ、発疹、光沢のある斑点のための律法である。

何がいかに汚れているかを判断するためのものである。これは、汚れた皮膚病と汚れたカビのための律法である。

15 主はモーセとアロンに語って言われた。「イスラエルの人々に告げて言いなさい。

『もし人の体から漏出があるなら、その漏出は汚れている。

漏出の汚れはこれである。体がその漏出を流すか、またはそれを妨げるかにかかわらず、それは汚れている。

漏出のある人が寝るどんな寝床も汚れ、彼が座るものもすべて汚れる。

その寝床に触れる者は、衣服を洗い、水で体を洗い、夕方まで汚れる。

漏出のある人が座ったものに座る者は、衣服を洗い、水で体を洗い、夕方まで汚れる。

漏出のある人に触れる者は、衣服を洗い、水で体を洗い、夕方まで汚れる。

漏出のある人が清い人に唾をかけたなら、その人は衣服を洗い、水で体を洗い、夕方まで汚れる。

漏出のある人が乗るどんな鞍も汚れる。

彼の下にあったものに触れる者は夕方まで汚れ、それらを運ぶ者は衣服を洗い、水で体を洗い、夕方まで汚れる。

漏出のある人が手を水で洗わずに触れた者は、衣服を洗い、水で体を洗い、夕方まで汚れる。

漏出のある人が触れた土器は砕かれ、木製の器具は水で洗われなければならない。

漏出のある人がその漏出から清められたとき、彼は清めのために七日を数えなければならない。彼は衣服を洗い、流れる水で体を洗い、それで清くなる。

14

八日目に彼は山鳩二羽または若い鳩二羽を持って、会見の天幕の入口に主の前に来て、祭司に渡さなければならない。

祭司はそれらを捧げ、一つを罪祭として、もう一つ

を燔祭として捧げる。このようにして、祭司は漏出のために主の前で彼のために贖いをする。

人が精液を漏らしたときは、全身を水で洗い、夕方まで汚れる。

精液のついたどんな衣服や革も水で洗われ、夕方まで汚れる。

人が女性と性的関係を持ち、精液が漏れたときは、両者とも水で体を洗い、夕方まで汚れる。

女性が漏出をし、その漏出が血であるとき、彼女は七日間その月経の汚れにある。彼女に触れる者は夕方まで汚れる。

彼女が月経の汚れの間に寝るどんなものも汚れ、彼女が座るものもすべて汚れる。

彼女の寝床に触れる者は、衣服を洗い、水で体を洗い、夕方まで汚れる。

彼女が座ったものに触れる者は、衣服を洗い、水で体を洗い、夕方まで汚れる。

それが寝床であらうと、彼女が座っていたものであらうと、誰がそれに触れても、夕方まで汚れる。

人が彼女と性的関係を持ち、彼女の月経の汚れが彼にあるとき、彼は七日間汚れ、彼が寝るどんな寝床も汚れる。

女性が月経の時期でないのに多くの日にわたって血の漏出をするか、または期間を超えて漏出をするなら、彼女は月経の汚れの間と同様に汚れる。

彼女が漏出の間に寝るどんな寝床も、月経のときの寝床のように、彼女が座るどんなものも月経の汚れのように汚れる。

それらに触れる者は汚れ、衣服を洗い、水で体を洗い、夕方まで汚れる。

彼女が漏出から清められたとき、七日を数え、その後、清くなる。

八日目に彼女は山鳩二羽または若い鳩二羽を持って、会見の天幕の入口に祭司のもとに持って行かなければならない。

祭司は一つを罪祭として、もう一つを燔祭として捧げる。このようにして、祭司は彼女の汚れた漏出のために主の前で彼女のために贖いをする。

あなたはイスラエルの人々をその汚れから分けて、彼らが私の住まいを汚してその中で死ぬことのないようにしなければならない。

これは漏出のある人のための律法であり、精液の漏出によって汚れた者のためのものである。

また、月経の汚れにある女性のため、漏出のある男女のため、そして汚れた女性と性的関係を持つ男性のためのものである。

16 主は、アロンの二人の息子が主の前に近づいて死んだ後、モーセに語られた。

主はモーセに命じて言われた。「あなたの

レビ記

兄アロンに告げなさい。彼は、いつでも好きなときに、垂れ幕の後ろ、贖いの蓋の前に入ってはならない。そうしないと彼は死ぬ。私は贖いの蓋の上の雲の中に現れるからである。

アロンは、罪のためのいけにえとして若い雄牛を、焼き尽くすいけにえとして雄羊を携えて聖所に入る。

彼は、聖なる亜麻布の上着を着、体に亜麻布の下着を着け、亜麻布の帯を締め、亜麻布のターバンをかぶる。これらは聖なる衣服であるから、彼はそれらを着る前に水で体を洗わなければならない。

彼はイスラエルの会衆から、罪のためのいけにえとして二頭の雄ヤギと、焼き尽くすいけにえとして一頭の雄羊を取る。

アロンは、自分自身とその家族のために罪のためのいけにえとして雄牛を捧げ、贖いをする。

彼は二頭のヤギを取り、会見の天幕の入口で主の前に立たせる。

アロンは二頭のヤギのためにくじを引く。一つは主のためのくじ、もう一つはアザゼルのためのくじである。

アロンは、主のためのくじが当たったヤギを捧げ、罪のためのいけにえとして捧げる。

しかし、アザゼルのためのくじが当たったヤギは、生きたまま主の前に立たせて贖いをし、アザゼルとして荒野に送り出す。

アロンは、自分自身とその家族のために罪のためのいけにえとして雄牛を持ってきて、贖いをし、その罪のためのいけにえとして雄牛を屠る。

彼は、主の前の祭壇から燃える炭をいっぱいにした香炉と、細かく砕いた香りの良い香を両手いっぱいに取り、垂れ幕の内側に持って行く。

彼は主の前で香を火にかけ、香の雲が契約の法の上の贖いの蓋を覆うようにする。そうすれば彼は死なない。

彼は雄牛の血を少し取り、指で贖いの蓋の前面に振りかける。彼は指でそれを贖いの蓋の前に七回振りかける。

彼は次に、民のための罪のためのいけにえとしてヤギを屠り、その血を垂れ幕の内側に持って行き、雄牛の血と同じようにそれを贖いの蓋の上とその前に振りかける。

このようにして、彼はイスラエルの人々の汚れと叛逆、すべての罪のために聖所を贖う。彼は彼らの汚れの中にある会見の天幕のためにも同じことをする。

アロンが聖所で贖いをするために入ってから出てくるまで、誰も会見の天幕の中にいてはならない。彼が自分自身とその家族、そしてイスラエルの全会衆

のために贖いをした後である。

その後、彼は主の前の祭壇に出て行き、そのために贖いをする。彼は雄牛の血とヤギの血を取り、祭壇の角にすべて塗る。

彼は指でそれを七回振りかけて、イスラエルの人々の汚れからそれを清め、聖別する。

アロンが聖所、会見の天幕、祭壇のために贖いを終えたら、生きたヤギを連れて来る。

彼は生きたヤギの頭に両手を置き、イスラエルの人々のすべての悪と叛逆、すべての罪を告白し、それをヤギの頭に置く。彼はそのヤギを荒野に送り出すために選ばれた人の手に委ねる。

ヤギはそれ自身にすべての罪を負って遠くの地に行く。そしてその人はそれを荒野に放つ。

その後、アロンは会見の天幕に入り、聖所に入る前に着た亜麻布の衣服を脱ぎ、それをそこに置く。

彼は聖なる場所で水で体を洗い、通常の衣服を着る。それから出てきて、自分自身と人々のために焼き尽くすいけにえを捧げ、贖いをする。

彼は罪のためのいけにえの脂肪を祭壇で焼く。アザゼルとしてヤギを放つ人は、衣服を洗い、水で体を洗わなければならない。その後、彼は宿営に入ることができる。

聖所で贖いをするためにその血が持ち込まれた罪のためのいけにえの雄牛とヤギは、宿営の外に持ち出されなければならない。その皮、肉、内臓は焼かれる。

それを焼く人は、衣服を洗い、水で体を洗わなければならない。その後、彼は宿営に入ることができる。

これはあなたがたのための永遠の掟である。第七の月の十日に、あなたがたは自分自身を低くし、いかなる仕事もしてはならない。それが生まれながらの者であろうと、あなたがたの中に住む外国人であろうと。

この日にあなたがたのために贖いがなされ、あなたがたを清める。主の前で、あなたがたはすべての罪から清められる。

これは厳粛な安息日であり、あなたがたは自分自身を低くしなければならない。これは永遠の掟である。

父の後を継いで大祭司となるために油を注がれ、任命された祭司が贖いをする。彼は聖なる亜麻布の衣服を着る。

彼は聖なる聖所、会見の天幕、祭壇のために贖いをする。また、祭司たちと会衆のすべての者のために贖いをする。

これはあなたがたのための永遠の掟である。イスラエルの人々のすべての罪のために年に一度贖いがな

される。」そして、それは主がモーセに命じたとおりに行われた。

17 主はモーセに語って言われた。²
 「アロンとその子たち、およびすべてのイスラエルの人々に語り、彼らに言いなさい。
 『これは主が命じられたことである。³
 イスラエルの家の者で、宿営の中で、または外で、牛、羊、または山羊をいけにえとしてささげる者は、⁴
 それを会見の幕屋の入口に持ってきて、幕屋の前で主にささげないなら、その者は血を流した罪を負う。その者は血を流したので、その民から断たれなければならない。⁵
 これは、イスラエルの人々が現在野原でささげているいけにえを、会見の幕屋の入口に持ってきて、主にささげ、祭司に渡し、交わりのいけにえとしてささげるためである。⁶
 祭司は会見の幕屋の入口で主の祭壇にその血を振りかけ、脂肪を焼いて主に香ばしい香りとする。⁷
 彼らはもはや、彼らが不貞を働いてきた山羊の悪霊にいけにえをささげてはならない。これは彼らとその後の世代のための永遠の掟である。』⁸
 「彼らに言いなさい。『イスラエルの人々、または彼らの中に住む外国人で、焼き尽くすいけにえやささげ物をささげる者は、⁹
 それを会見の幕屋の入口に持ってきて主にささげないなら、その者はその民から断たれなければならない。¹⁰
 イスラエルの人々、または彼らの中に住む外国人で、いかなる血をも食べる者に対して、私は顔を向け、その者をその民から断つ。¹¹
 生き物の命は血の中にあるからである。私はそれをあなたがたに与えて、祭壇であなたがたの魂のために贖いをするためである。血が命のために贖いをするからである。¹²
 それゆえ、私はイスラエルの人々に言う。「あなたがたのうちの誰も血を食べてはならない。また、あなたがたの中に住む外国人も血を食べてはならない。¹³
 イスラエルの人々、またはあなたがたの中に住む外国人で、食べられる動物や鳥を狩る者は、その血を流し出し、地で覆わなければならない。¹⁴
 すべての生き物の命はその血の中にあるからである。それゆえ、私はイスラエルの人々に言った。「あなたがたはどんな生き物の血も食べてはならない。すべての生き物の命はその血の中にあるからである。これを食べる者は断たれなければならない。』¹⁵
 生まれつきの者でも外国人でも、野獣に引き裂かれたものや死んでいるものを食べる者は、その衣服を

洗い、水で身を洗わなければならない。彼らは夕方まで儀式的に汚れたままにいるが、その後、清くなる。¹⁶
 しかし、もし彼らがその衣服を洗わず、身を洗わないなら、彼らはその罪の責任を負うことになる。

18 その時、主はモーセに告げて言われた。²
 「イスラエルの人々に告げて言いなさい。
 『わたしはあなたがたの神、主である。³
 あなたがたは、かつて住んでいたエジプトの地で彼らが行っているようにしてはならず、また、わたしがああなたがたを導き入れるカナンの地で彼らが行っているようにしてはならない。彼らの習慣に従ってはならない。⁴
 わたしの裁きを守り、わたしの定めを守って、それに従って生きなさい。わたしはあなたがたの神、主である。⁵
 それゆえ、わたしの定めとわたしの裁きを守りなさい。それを行う人はそれによって生きるであろう。わたしは主である。⁶
 『あなたがたのうち、誰も近親者に近づいて性的関係を持つてはならない。わたしは主である。⁷
 あなたの父の裸、すなわちあなたの母の裸を見てはならない。彼女はあなたの母である。彼女の裸を見てはならない。⁸
 あなたの父の妻を脱がせてはならない。それはあなたの父を裸にすることと同じである。⁹
 あなたの姉妹、すなわちあなたの父の娘またはあなたの母の娘、家で生まれたか他所で生まれたかを問わず、その裸を見てはならない。¹⁰
 あなたの息子の娘またはあなたの娘の娘の裸を見てはならない。彼女たちの裸はあなた自身の裸である。¹¹
 あなたの父の妻の娘で、あなたの姉妹である者の裸を見てはならない。¹²
 あなたの父の姉妹の裸を見てはならない。彼女はあなたの父の近親者である。¹³
 あなたの母の姉妹の裸を見てはならない。彼女はあなたの母の近親者である。¹⁴
 あなたの父の兄弟の妻の裸を見てはならない。彼女はあなたの叔母である。¹⁵
 あなたの息子の妻を脱がせてはならない。彼女はあなたの息子の妻である。¹⁶
 あなたの兄弟の妻を脱がせてはならない。それはあなたの兄弟を辱めることになる。¹⁷
 ある女とその娘の裸を見てはならない。また、その息子の娘またはその娘の娘の裸を見てはならない。彼女たちは近親者である。それは悪である。¹⁸
 あなたの妻が生きている間に、その姉妹を対抗する妻として迎えて、その裸を見てはならない。¹⁹

月経の汚れの間に女に近づいてその裸を見てはならない。²⁰

あなたの隣人の妻と性的関係を持って、彼女と共に汚れてはならない。²¹

あなたの子供をモレクに捧げてはならない。また、あなたの神の名を汚してはならない。わたしは主である。²²

男と女がするように男と性的関係を持ってはならない。それは忌まわしいことである。²³

どんな動物とも性的関係を持って、それによって汚れてはならない。また、女が動物に近づいて交わってはならない。それは倒錯である。²⁴

これらのことによって自分を汚してはならない。わたしがあなたがたの前から追出す国々は、これらのすべてのことによって汚れた。²⁵

その地は汚れたので、わたしはその罪のためにそれを罰し、その地はその住民を吐き出した。²⁶

しかし、あなたがたはわたしの定めとわたしの裁きを守り、これらの忌まわしいことを行ってはならない。生まれながらの者も、あなたがたの間に住む外国人も。²⁷

あなたがたの前にその地に住んでいた人々は、これらの忌まわしいことをすべて行い、その地は汚れた。²⁸

その地があなたがたを吐き出さないように、あなたがたがそれを汚すと、あなたがたの前にいた国々を吐き出したように。²⁹

これらの忌まわしいことのいずれかを行う者は、その人はその民の中から断たれなければならない。³⁰ それゆえ、わたしの要求を守り、あなたがたの前に行われた忌まわしい習慣に従ってはならない。それによって自分を汚してはならない。わたしはあなたがたの神、主である。』

19 主はモーセに告げて言われた。² 「イスラエルの子らの全会衆に告げて言いなさい。『あなたがたは聖なる者とならなければならない。わたし、あなたがたの神、主が聖なる者であるからである。³

あなたがたはおのおの、その母と父を敬い、わたしの安息日を守らなければならない。わたしはあなたがたの神、主である。⁴

偶像に向かつてはならない。また、鋳物の神々を自分のために造ってはならない。わたしはあなたがたの神、主である。⁵

主に和解のいけにえをささげるときは、あなたがたのために受け入れられるようにささげなければならない。⁶

それはあなたがたがささげるその日、またはその翌日に食べられなければならない。三日目まで残った

ものは火で焼かなければならない。⁷

もし三日目にそれを食べるならば、それは汚れたものとされ、受け入れられない。⁸

それを食べる者はその罪の責任を負わなければならない。彼は主に聖なるものを汚したからである。その人はその民から断たれなければならない。⁹

あなたがたの地の収穫を刈り入れるときは、畑の端まで刈り尽くしてはならない。また、収穫の落ち穂を集めてはならない。¹⁰

ぶどう畑の落ちぶどうを拾い集めてはならない。それを貧しい者と外国人のために残しておかなければならない。わたしはあなたがたの神、主である。¹¹

あなたがたは盗んではならない。また、偽りを言うてはならない。互いに欺いてはならない。¹²

わたしの名によって偽りの誓いをしてはならない。そうしてあなたの神の名を汚してはならない。わたしは主である。¹³

あなたの隣人を欺いてはならない。また、彼を奪い取ってはならない。雇い人の賃金を翌朝まで手元に置いてはならない。¹⁴

耳の聞こえない者を呪ってはならない。また、盲人の前に障害物を置いてはならない。あなたの神を恐れなければならない。わたしは主である。¹⁵

あなたがたは裁きを曲げてはならない。貧しい者に偏ってはならない。また、偉大な者をひいきしてはならない。あなたの隣人を公正に裁かなければならない。¹⁶

あなたの民の間で害を及ぼすうわさを広めてはならない。また、あなたの隣人の命を危険にさらしてはならない。わたしは主である。¹⁷

あなたの心の中で同胞を憎んではならない。あなたの隣人を率直に戒め、彼の罪を共に負わないようにしなければならない。¹⁸

あなたの民の中の誰に対しても復讐してはならない。また、恨みを抱いてはならない。あなたの隣人を自分自身のように愛さなければならない。わたしは主である。¹⁹

わたしの掟を守らなければならない。異なる種類の動物を交配させてはならない。畑に二種類の種をまいてはならない。二種類の材料で織られた衣服を着てはならない。²⁰

もし男が奴隷の女と性的関係を持ち、その女が他の男に約束されているが、まだ贖われていないか自由を与えられていない場合、適切な罰がなければならない。彼らは死刑にはされない、彼女が自由ではなかったからである。²¹

その男は罪過のために主に雄羊を会見の天幕の入口に持ってこなければならない。²²

罪過のための雄羊で、祭司は彼が犯した罪のために

主の前で彼のために贖いをしなければならない。そして彼の罪は赦される。²³

あなたがたがその地に入り、果樹を植えるとき、その果実を禁じられたものとしなければならない。三年間それはあなたがたに禁じられ、食べてはならない。²⁴

四年目には、そのすべての果実は聖なるもの、主への賛美の捧げ物としなければならない。²⁵

しかし五年目には、その果実を食べることができる。それによってその収穫があなたがたのために増えるであろう。わたしはあなたがたの神、主である。²⁶

血のある肉を食べてはならない。古いや兆しを求めてはならない。²⁷

頭の側面の髪を切りそろえてはならない。また、ひげの端を切り落としてはならない。²⁸

死者のために体に印をつけてはならない。また、体に刺青をしてはならない。わたしは主である。²⁹

あなたの娘を辱めて娼婦にしてはならない。さもないと、その地は荒春に陥り、悪に満ちるであろう。³⁰

わたしの安息日を守り、わたしの聖所を敬わなければならない。わたしは主である。³¹

霊と交信すると主張する者に向かつてはならない。また、死者を相談する者を求めてはならない。彼らによって汚されるであろう。わたしはあなたがたの神、主である。³²

老人の前で立ち上がり、年老いた者を敬い、あなたの神を畏れなければならない。わたしは主である。³³

あなたがたの地に住む外国人を虐げてはならない。³⁴

あなたがたの中に住む外国人は、あなたがたの生まれた者のように扱わなければならない。彼を自分自身のように愛さなければならない。あなたがたはエジプトで外国人であったからである。わたしはあなたがたの神、主である。³⁵

長さ、重さ、量を測るときに不正な計りを使ってはならない。³⁶

正確な天秤と正直な重り、正直なエファと正直なヒンを使わなければならない。わたしはあなたがたをエジプトから導き出したあなたがたの神、主である。³⁷

わたしのすべての掟とすべての法を守り、それに従わなければならない。わたしは主である。』

20 主はモーセに告げて言われた、²
「イスラエルの人々に言いなさい。『イスラエルの人々やイスラエルに住む外国人で、モレクに自分の子供を捧げる者は必ず死刑にされ

なければならない。その土地の人々は彼を石で打ち殺さなければならない。』³

私はその者に対して顔を向け、彼をその民から断ち切る。彼が自分の子供をモレクに捧げ、私の聖所を汚し、私の聖なる名を汚したからである。⁴

もしその土地の人々が、その者が自分の子供をモレクに捧げるのを見て見ぬふりをし、彼を死刑にしないならば、⁵

私はその者とその家族に対して顔を向け、彼らをその民から断ち切る。また、モレクに身を売って従うすべての者も同様である。⁶

『もし誰かが霊媒や占い師に身を売って従うならば、私はその者に対して顔を向け、彼をその民から断ち切る。⁷

あなたたちは自分を捧げ、聖なる者となりなさい。

私はあなたがたの神、主である。⁸

私の掟を守り、それを行いなさい。私はあなたがたを聖別する主である。⁹

『父または母を呪う者は必ず死刑にされなければならない。彼は父または母を呪ったので、その血は彼自身に帰する。¹⁰

『もし男が他人の妻と姦淫を犯すならば、姦淫を犯した男も女も必ず死刑にされなければならない。』¹¹

『もし男が父の妻と性的関係を持つならば、彼は父の裸を露わにしたのである。彼らは必ず死刑にされなければならない。その血は彼ら自身に帰する。¹²

『もし男が嫁と性的関係を持つならば、彼らは必ず死刑にされなければならない。彼らは倒錯を犯したので、その血は彼ら自身に帰する。¹³

『もし男が女と同じように男と性的関係を持つならば、彼らは忌まわしい行いをしたのである。彼らは必ず死刑にされなければならない。その血は彼ら自身に帰する。¹⁴

『もし男が女とその母を娶るならば、それは悪である。彼も彼女たちも火で焼かれなければならない。あなたがたの中に悪があってはならない。¹⁵

『もし男が動物と性的関係を持つならば、彼は必ず死刑にされなければならない。また、その動物も殺さなければならない。¹⁶

『もし女が動物に近づいてそれと性的関係を持つならば、その女と動物を殺さなければならない。彼らは必ず死刑にされなければならない。その血は彼ら自身に帰する。¹⁷

『もし男が父または母の娘である姉妹を娶り、性的関係を持つならば、それは恥ずべきことである。彼らはその民の目の前で断ち切られなければならない。彼は姉妹の裸を露わにしたので、その罪を負わなければならない。¹⁸

『もし男が月経中の女と性的関係を持つならば、彼

はその流れの源を露わにし、彼女もそれを露わにしたのである。彼らはその民から断ち切られなければならない。¹⁹

『あなたたちは母の姉妹や父の姉妹の裸を露わにしてはならない。それは近親者を辱めることであり、あなたたちはその罪を負わなければならない。²⁰

『もし男が叔母と性的関係を持つならば、彼は叔父の裸を露わにしたのである。彼らはその罪を負い、子を持たずに死ななければならない。²¹

『もし男が兄弟の妻を娶るならば、それは不浄な行いである。彼は兄弟の裸を露わにしたのである。彼らは子を持たないであろう。²²

『私のすべての掟と法を守り、それに従いなさい。そうすれば、私があなたたちを住まわせるために導く地があなたたちを吐き出すことはない。²³

私はあなたたちの前から追い出そうとしている国々の習慣に従ってはならない。彼らはこれらのことをすべて行い、私は彼らを忌み嫌った。²⁴

しかし、私はあなたたちに言った。「あなたたちは彼らの地を受け継ぐであろう。私はそれをあなたたちに相続地として与える。乳と蜜の流れる地である。」私はあなたたちの神、主であり、あなたたちを国々から区別した者である。²⁵

『それゆえ、あなたたちは清い動物と汚れた動物、汚れた鳥と清い鳥を区別しなければならない。私はあなたたちのために汚れたものとして区別した動物や鳥、地を這うすべてのものによって自分を汚してはならない。²⁶

あなたたちは私にとって聖なるものでなければならない。私は主であり、聖なる者であるから、あなたたちを国々から区別して私のものとした。²⁷

『あなたたちの中に霊媒や占い師がいるならば、その者は死刑にされなければならない。あなたたちは彼らを石で打ち殺さなければならない。その血は彼ら自身に帰する。』」

21 主はモーセに語って言われた。「祭司たち、アロンの子らに語り、彼らに告げよ。『祭司はその民の中で亡くなった者のために身を汚してはならない。²

ただし、彼の最も近い親族、すなわち母、父、息子、娘、または兄弟の場合は別である。³

また、彼に依存している処女の姉妹の場合も、彼女には夫がいないので、彼女のためには身を汚してもよい。⁴

結婚によって関係のある者のためには身を汚してはならず、こうして自分を汚してはならない。⁵

祭司たちは頭に禿げた部分を作ってはならず、ひげの端を剃ってはならず、体に切り傷をつけてはならない。⁶

彼らは自分の神に対して聖でなければならない、自分の神の名を汚してはならない。彼らは主に火による供え物、彼らの神の食物を捧げるからである。それゆえ、彼らは聖でなければならない。⁷

彼らは売春婦や汚された女性を妻にしてはならず、また夫から離縁された女性を妻にしてはならない。彼らは自分の神に対して聖であるからである。⁸

それゆえ、彼らを聖としなさい。彼らはあなたの中の神の食物を捧げるからである。彼らはあなたにとって聖でなければならない。私は主であり、あなたを聖別する者であるからである。⁹

もし祭司の娘が売春によって自分を汚すならば、彼女は父に恥をもたらす。彼女は火で焼かれなければならない。¹⁰

兄弟たちの中で頭に注ぎ油が注がれ、衣服を着るために聖別された大祭司は、その髪を乱したり、衣服を裂いたりしてはならない。¹¹

彼はどんな死体にも近づいてはならず、父や母のためにも自分を汚してはならない。¹²

また、自分の神の聖所を離れてはならず、それを汚してはならない。彼の神の注ぎ油の聖別が彼にあるからである。私は主である。¹³

彼は処女を妻にしなければならない。¹⁴

彼は未亡人や離縁された女性、売春によって汚された女性を妻にしてはならず、自分の民の中から処女を取らなければならない。¹⁵

彼が自分の民の中で子孫を汚さないためである。私は主であり、彼を聖別する者である。』」¹⁶

主はモーセに語って言われた。¹⁷

「アロンに語りなさい。『あなたの子孫の中で、世代を通じて欠陥のある者は誰も、自分の神の食物を捧げるために近づいてはならない。¹⁸

欠陥のある者は誰も近づいてはならない。盲目の者、足の不自由な者、顔に欠陥のある者、または目立つ変形のある者、¹⁹

または足や手が折れている者、²⁰

または背の曲がった者や小人、目に欠陥のある者、臃んだ傷やかさぶたのある者、または砕かれた睾丸のある者。²¹

アロンの子孫である祭司の中で欠陥のある者は誰も、主に火による供え物を捧げるために近づいてはならない。彼には欠陥がある。彼は自分の神の食物を捧げるために近づいてはならない。²²

彼は自分の神の食物、最も聖なる部分と聖なる部分の両方を食べることが許されている。²³

しかし、彼の欠陥のために、彼は幕に近づいてはならず、祭壇に近づいてはならない。彼が私の聖所を汚さないためである。私は主であり、彼らを聖別する者である。』」²⁴

モーセはこれらの指示をアロンとその子ら、そしてすべてのイスラエルの人々に伝えた。

22 その後、主はモーセに語り、言われた。²
 「アロンとその子たちに告げて、イスラエルの人々が私に捧げる聖なる供え物を慎重に扱うようにし、私の聖なる名を汚さないようにしなさい。私は主である。³

彼らに言いなさい。『あなたたちの子孫の中で、世代を通じて、儀式的に汚れている状態で主に捧げられた聖なる贈り物に近づく者は、その者は私の前から断たれる。私は主である。⁴

アロンの子孫で、汚れた皮膚病や分泌物のある者は、清くなるまで聖なる供え物を食べてはならない。死体や精液を出した男に触れると、彼もまた汚れる。⁵

また、彼を汚す群がる生き物や、彼を汚す人に触れると、どんな汚れであれ、彼は汚れる。⁶
 そのようなものに触れた者は夕方まで汚れており、水で体を洗わない限り、聖なる供え物を食べてはならない。⁷

日が沈むと彼は清くなり、その後、聖なる供え物を食べることができる。それは彼の食物である。⁸
 自然に死んだものや野生動物に裂かれたものを食べてはならず、それによって汚れてはならない。私は主である。⁹

彼らは私に対してその義務を果たし、罪を犯して死ぬことのないようにしなければならない。それを汚すことになるからである。私は彼らを聖とする主である。¹⁰

『よそ者は聖なる供え物を食べてはならない。祭司と共に住む外国人や雇われた労働者もそれを食べてはならない。¹¹

しかし、祭司が自分のお金で奴隷を買った場合、その者はそれを食べることができ、その家で生まれた者も彼の食物を食べることができる。¹²
 祭司の娘が一般の人と結婚した場合、彼女は聖なる供え物を食べてはならない。¹³

しかし、祭司の娘が未亡人になったり離婚されたりして子供がいない場合、彼女が若い頃のように父の家に戻ったなら、彼女は父の食物を食べることができる。しかし、よそ者はそれを食べてはならない。¹⁴

誰かが誤って聖なる供え物を食べた場合、その者はその供え物のために祭司に償いをし、その価値の五分の一を加えなければならない。¹⁵

祭司たちは、イスラエルの人々が主に捧げる聖なる供え物が尊重されるようにしなければならない。¹⁶
 彼らが聖なる供え物を食べることを許し、それによって償いを必要とする罪を負わせることによって、

私は彼らを聖とする主である。』¹⁷

主はモーセに語り、¹⁸

「アロン、その子たち、そしてすべてのイスラエルの人々に語りなさい。『イスラエルの人々であれ、イスラエルに住む外国人であれ、主に焼き尽くす供え物として贈り物を捧げる場合、誓願を果たすために自由意志の供え物として、¹⁹

それは牛、羊、または山羊の中から傷のない雄でなければならない。それがあなたたちのために受け入れられるためである。²⁰

傷のあるものを捧げてはならない。それはあなたたちのために受け入れられないからである。²¹

誰かが特別な誓願を果たすために、または自由意志の供え物として、群れや家畜から主に交わりの供え物を捧げる場合、それは傷や欠陥のないものでなければならない。それが受け入れられるためである。²²

盲目、傷ついた、または欠けたもの、いぼ、潰瘍、または流れ出る傷のあるものを主に捧げてはならない。これらのいずれも主に捧げる食物の供え物として祭壇に置いてはならない。²³

しかし、牛や羊が変形しているか、成長が止まっている場合、それを自由意志の供え物として捧げることはできるが、誓願の成就としては受け入れられない。²⁴

精巣が打撲されたり、砕かれたり、裂かれたり、切られたりした動物を主に捧げてはならない。あなたたちの地でこれをしてはならない。²⁵

また、外国人からそのような動物を受け入れて、あなたたちの神の食物として捧げてはならない。それらは変形しており、欠陥があるため、あなたたちのために受け入れられない。』²⁶

主はモーセに語り、²⁷

「子牛、子羊、または子山羊が生まれたとき、それは七日間その母と共にいなければならない。八日目以降、それは主に捧げる食物の供え物として受け入れられる。²⁸

牛や羊をその子と同じ日に屠ってはならない。²⁹

「主に感謝の供え物を捧げるとき、それがあなたたちのために受け入れられるようにしなさい。³⁰

それは同じ日に食べなければならない。翌朝まで残してはならない。私は主である。³¹

「私の戒めを守り、それを行いなさい。私は主である。³²

私の聖なる名を汚してはならない。私はイスラエルの人々によって聖とされなければならない。私はあなたたちを聖とする主である。³³

そして、あなたたちの神となるためにエジプトから

あなたたちを救い出した者である。私は主である。
」

23 主はモーセに告げて言われた。²
「イスラエルの人々に告げて言いなさい。
『これらは主の定められた時であり、あなたたちが聖なる集会として宣言すべきものである。私の定めた祭りは次のとおりである。³
六日間は仕事をしてよいが、七日目は完全な休息の日、聖なる集会の日である。あなたたちはどんな仕事もしてはならない。それはあなたたちのすべての住まいで主に対する安息日である。⁴
これらは主の定められた時、聖なる集会であり、あなたたちがその時に合わせて宣言すべきものである。⁵
第一の月の十四日の夕暮れに、主の過越しが行われる。⁶
同じ月の十五日には、主に対する種なしパンの祭りがある。七日間、あなたたちは酵母を入れないパンを食べなければならない。⁷
初日には聖なる集会を開き、通常の仕事をしてはならない。⁸
七日間、火による捧げ物を主に捧げなさい。七日目には聖なる集会を開き、通常の仕事をしてはならない。』」⁹ 主はモーセに告げて言われた。¹⁰
「イスラエルの人々に告げて言いなさい。『あなたたちが私が与えようとしている土地に入り、その収穫を刈り取るとき、刈り取った最初の穂束を祭司に持ってきなさい。¹¹
祭司はその穂束を主の前で揺り動かし、あなたたちのために受け入れられるようにしなければならない。祭司は安息日の翌日にそれを揺り動かす。¹²
その日に、あなたたちは一歳の傷のない雄の子羊を全焼の捧げ物として主に捧げなければならない。¹³
それに加えて、油と混ぜた最上的小麦粉の十分の二エファの穀物の捧げ物、火による捧げ物として主に捧げる香ばしい香りの捧げ物、そして四分の一ヒンのぶどう酒の飲み物の捧げ物を捧げなさい。¹⁴
あなたたちは、この捧げ物をあなたたちの神に持ってくるその日まで、パンや焼いたもの、新しい穀物を食べてはならない。これは、あなたたちの住むどこであれ、世々にわたって守るべき永遠の掟である。¹⁵
安息日の翌日、揺り動かす捧げ物の穂束を持ってきた日から、七週間を数えなさい。¹⁶
七番目の安息日の翌日まで五十日を数え、新しい穀物の捧げ物を主に捧げなさい。¹⁷
あなたたちの住まいから、最上的小麦粉の十分の二エファで作ったパン二つを持ってきなさい。それらは酵母を入れて焼き、初穂の揺り動かす捧げ物とし

て主に捧げる。¹⁸
このパンと共に、一歳の傷のない雄の子羊七頭、若い雄牛一頭、雄の羊二頭を捧げなさい。それらは主に對する全焼の捧げ物であり、穀物の捧げ物と飲み物の捧げ物と共に、火による捧げ物、主に對する香ばしい香りの捧げ物である。¹⁹
その後、罪のための捧げ物として雄のやぎ一頭、交わりの捧げ物として一歳の雄の子羊二頭を捧げなさい。²⁰
祭司は初穂のパンと共に、二頭の子羊を主の前で揺り動かす捧げ物として揺り動かしなさい。それらは祭司のための聖なる捧げ物である。²¹
その同じ日に、聖なる集会を宣言し、通常の仕事をしてはならない。これは、あなたたちの住むどこであれ、世々にわたって守るべき永遠の掟である。²²
あなたたちの土地の収穫を刈り取るとき、畑の端まで刈り取ったり、収穫の落ち穂を集めたりしてはならない。それらを貧しい者やあなたたちの間に住む外国人のために残しておきなさい。私はあなたたちの神、主である。』」²³
主は再びモーセに告げて言われた。²⁴
「イスラエルの人々に告げて言いなさい。『第七の月の第一日には、休息の日、ラッパの音で宣言される記念日、聖なる集会がある。²⁵
通常の仕事をしてはならないが、火による捧げ物を主に捧げなさい。』」²⁶
主はモーセに告げて言われた。²⁷
「この第七の月の十日には、贖罪の日がある。聖なる集会を開き、身を低くし、火による捧げ物を主に捧げなさい。²⁸
その日にはどんな仕事もしてはならない。それは贖罪の日であり、あなたたちの神、主の前であなたたちのために贖いを行う日である。²⁹
その日に身を低くしない者は、その民から断たれなければならない。³⁰
その日にどんな仕事をする者も、その民の中から滅ぼされるであろう。³¹
すべての仕事を控えなさい。これは、あなたたちの住むどこであれ、世々にわたって守るべき永遠の掟である。³²
それはあなたたちにとって完全な休息の日であり、身を低くしなければならない。月の九日の夕方から翌日の夕方まで、あなたたちの安息日を守りなさい。」³³ 主は再びモーセに告げて言われた。³⁴
「イスラエルの人々に告げて言いなさい。『この第七の月の十五日には、七日間の主に対する仮庵の祭りがある。³⁵
初日には聖なる集会を開き、通常の仕事をしてはならない。³⁶

七日間、火による捧げ物を主に捧げ、八日目には聖なる集会を開き、火による捧げ物を主に捧げなさい。それは特別な閉会の集会であり、通常の仕事をし

てはならない。³⁷
これらは主の定められた祭りであり、火による捧げ物を主に捧げるための聖なる集会である。全焼の捧げ物、穀物の捧げ物、犠牲と飲み物の捧げ物、それぞれの日の要求に応じて捧げなさい。³⁸

主の安息日のものに加えて、あなたたちの贈り物やすべての誓願の捧げ物、主に捧げる自発的な捧げ物に加えて捧げなさい。³⁹

第七の月の十五日には、土地の作物を集めたとき、七日間主に対する祭りを祝いなさい。初日は休息の日であり、八日目も休息の日である。⁴⁰

初日には、豊かな木々の枝、ヤシの木、柳や他の葉の多い木々の枝を取り、七日間あなたたちの神、主の前で喜びなさい。⁴¹

毎年七日間それを主に対する祭りとして祝いなさい。これは、世々にわたって守るべき永遠の掟である。第七の月にそれを祝いなさい。⁴²

七日間仮の住まいに住みなさい。すべての生まれながらのイスラエル人はそのような住まいに住まなければならない。⁴³

それは、私がエジプトから彼らを連れ出したときにイスラエルの人々を仮の住まいに住ませたことを、あなたたちの子孫が知るためである。私はあなたたちの神、主である。』⁴⁴

こうしてモーセはイスラエルの人々に主の定められた祭りを宣言した。

24 その後、主はモーセに告げて言われた。²
「イスラエルの人々に命じて、灯火のために純粋なオリーブ油を持って来させ、常に灯をともしようにしなさい。³

会見の天幕の証の幕の外で、アロンは夕方から朝まで、主の前で常に灯を管理しなければならない。これはすべての世代にわたる永遠の定めである。⁴

主の前の純金の燭台の上の灯は、常に整えられていなければならない。⁵

「上等の小麦粉を取り、それで十二個のパンを焼きなさい。各パンにはエファの十分の二を用いること。⁶

それらを二列に並べ、各列に六個ずつ、主の前の純金のテーブルの上に置きなさい。⁷

各列の上に純粋な香を置き、それをパンの記念分として、主への火による捧げ物としなさい。⁸

このパンは、イスラエルの人々のための永遠の契約として、毎週安息日に主の前に常に置かれるべきである。⁹

それはアロンとその子らのものとなり、彼らはそれ

を聖なる場所で食べなければならない。それは主への火による捧げ物の中で、彼らの永遠の分け前の中で最も聖なる部分である。」¹⁰

さて、イスラエルの女とエジプト人の父を持つ息子がイスラエルの人々の間に出て行き、彼とイスラエル人の男の間で陣営内で争いが起こった。¹¹

そのイスラエルの女の息子は主の名を冒瀆し、呪った。それで彼らは彼をモーセのもとに連れて来た。

（彼の母の名はダン族のディブリの娘シェロミスであった。）¹²

彼らは主の意志を彼について判断できるまで、彼を拘留していた。¹³

その後、主はモーセに告げて言われた。¹⁴

「冒瀆者を陣営の外に連れ出し、彼を聞いたすべての者が彼の頭に手を置き、全会衆が彼を石で打ちなさい。¹⁵

イスラエルの人々に言いなさい。『自分の神を呪う者は、その罪の責任を負わなければならない。¹⁶

主の名を冒瀆する者は必ず死刑にされなければならない。全会衆は彼を石で打たなければならない。外国人であろうと、土地の生まれであろうと、主の名を冒瀆する者は死刑にされなければならない。¹⁷

「『人の命を奪う者は必ず死刑にされなければならない。¹⁸

動物の命を奪う者は、命に対して命をもって償わなければならない。¹⁹

もし誰かが隣人を傷つけたなら、その者にも同じことがなされなければならない。²⁰

骨折には骨折、目には目、歯には歯。彼が他の者を傷つけたように、その者にも同じことが加えられなければならない。²¹

動物を殺した者は償わなければならないが、人を殺した者は必ず死刑にされなければならない。²²

あなたがたは外国人にも土地の生まれにも同じ法律を持たなければならない。私はあなたがたの神、主である。』²³

それからモーセはイスラエルの人々に語り、彼らは冒瀆者を陣営の外に連れ出し、彼を石で打った。イスラエルの人々は主がモーセに命じた通りに行った。²⁴

25 主はシナイ山でモーセに告げられた。²

「イスラエルの人々に言いなさい。『あなたがたに与える土地に入ったとき、その土地は主に対して安息を守らなければならない。³

六年間、畑に種をまき、ぶどう畑を剪定し、その産物を集めることができる。⁴

しかし、第七年には土地は安息の休みを持ち、主に対する安息としなければならない。畑に種をまいた

り、ぶどう畑を剪定したりしてはならない。⁵
 自然に生えたものを刈り取ったり、手入れされていないぶどうの木からぶどうを集めたりしてはならない。土地は一年間の休みを持たなければならない。⁶

安息年に土地が生み出すものは、あなた自身、あなたの男女の奴隷、雇い人、あなたの間に住む外国人のための食物となる。⁷

また、あなたの家畜や土地の野生動物のためにも。土地が生み出すものは食べることができる。⁸

「『あなたは七つの安息年を数えなければならない。七回の七年で、七つの安息年が四十九年に相当する。⁹

そして、第七の月の十日に、全国にラッパを鳴らなさい。贖罪の日に、あなたの土地全体でラッパを鳴らしなさい。¹⁰

五十年目を聖別し、その土地のすべての住民に自由を宣言しなさい。それはあなたにとってヨベルの年となる。各々が自分の財産と家族に戻る。¹¹

五十年目はあなたにとってヨベルの年となる。種をまいたり、自然に生えたものを収穫したり、手入れされていないぶどうの木からぶどうを集めたりしてはならない。¹²

それはヨベルの年であり、あなたにとって聖なるものである。畑から直接取ったものだけを食べなければならない。¹³

「『このヨベルの年には、各々が自分の財産に戻る。¹⁴

『あなたの同胞に土地を売ったり、彼らから土地を買ったりする場合、互いに不当な利益を得てはならない。¹⁵

ヨベル以来の年数に基づいて同胞から購入し、収穫の年数に基づいて彼らに売らなければならない。¹⁶
 年数が多いほど価格を上げ、年数が少ないほど価格を下げなければならない。それはあなたに売られる作物の数であるからだ。¹⁷

互いに不当な利益を得てはならないが、あなたの神を恐れなさい。わたしはあなたの神、主である。¹⁸

「『わたしの法令に従い、わたしの法律を注意深く守りなさい。そうすれば、あなたはその土地で安全に暮らすことができる。¹⁹

そのとき、土地はその産物を生み出し、あなたは満腹に食べ、それに安全に住むことができる。²⁰

あなたは、「第七年に何を食べるのか、作物を植えたり収穫したりしない場合はどうするのか」と尋ねるかもしれない。²¹

わたしは第六年にあなたのために祝福を命じ、その土地が三年間の十分な収穫を生み出すようにする。

第八年に種をまいている間、古い産物を食べ、第九年にその産物が入るまでそれを食べ続ける。²³

「『土地は永久に売られてはならない。なぜなら、土地はわたしのものであり、あなたはわたしの土地に住む寄留者であり、客だからである。²⁴

あなたが所有する土地全体で、土地の贖いを確保しなければならない。²⁵

「『あなたの同胞の一人が貧しくなり、彼らの財産の一部を売る場合、彼らの最も近い親戚が来て、彼らが売ったものを取り戻さなければならない。²⁶

彼らのためにそれを贖う者がいない場合、後に彼らが繁栄し、自分でそれを贖うのに十分な手段を得るならば、²⁷

彼らはそれを売った年数の価値を計算し、それを買った者に残高を返し、それから彼らの財産に戻るることができる。²⁸

しかし、彼らが返済する手段を得ない場合、売られたものはヨベルの年まで買い手のもとに残る。それはヨベルに戻され、彼らはその財産に戻るることができる。²⁹

「『城壁のある都市で家売る者は、その売却後一年間、贖いの権利を保持する。その間に、売り手はそれを贖うことができる。³⁰

一年が過ぎる前に贖われない場合、城壁のある都市の家は買い手とその子孫に永久に属する。それはヨベルに戻されることはない。³¹

しかし、周囲に城壁のない村の家は、開けた国の一部と見なされる。それらは贖われることができ、ヨベルに戻される。³²

「『レビ人は、彼らが所有するレビの町の家を贖う永続的な権利を持っている。³³

したがって、レビ人の財産は贖われる。それは、彼らが持つ町で売られた家であり、ヨベルに戻される。レビ人の町の家はイスラエルの中で彼らの所有物である。³⁴

しかし、彼らの町に属する牧草地は売られてはならない。それは彼らの永続的な所有物である。³⁵

「『あなたの同胞の一人が貧しくなり、あなたの中で自分を支えることができない場合、彼らを外国人や客のように助け、彼らがあなたの中で生き続けることができるようにしなさい。³⁶

彼らに利子を課したり、利益を求めたりしてはならないが、あなたの神を恐れなさい。そうすれば、彼らはあなたの中で生き続けることができる。³⁷

彼らに利子をつけてお金を貸したり、利益を求めて食物を売ったりしてはならない。³⁸

わたしはあなたの神、主であり、エジプトからあなたを救い出し、カナン之地を与え、あなたの神となる者である。³⁹

「『あなたの同胞の一人が貧しくなり、あなたに自分
を売する場合、彼らを奴隷のように扱ってはならない。⁴⁰

彼らはあなたの中で雇われた労働者や一時的な居住
者と見なされ、ヨベルの年まであなたのために働か
なければならぬ。⁴¹

その後、彼らとその子供たちは解放され、自分の氏
族と先祖の財産に戻る。⁴²

イスラエルの人々はわたしのしもべであり、わたし
がエジプトから彼らを連れ出したので、彼らは奴隷
として売られてはならない。⁴³

彼らを厳しく支配してはならないが、あなたの神を
恐れなさい。⁴⁴

「『あなたの男女の奴隷は、あなたの周囲の国々か
ら来る。彼らから奴隷を得ることができる。⁴⁵

また、あなたの中に住む一時的な居住者やあなたの
国で生まれた彼らの氏族のメンバーを得ることがで
き、彼らはあなたの財産となる。⁴⁶

あなたは彼らの子供たちに相続財産として譲り、彼
らを生涯奴隷にすることができるが、同胞のイスラ
エル人を厳しく支配してはならない。⁴⁷

「『あなたの中に住む外国人が繁栄し、あなたの同
胞のイスラエル人が貧しくなり、その外国人や外国
人の氏族のメンバーに自分を売する場合、⁴⁸

彼らは自分を売った後も贖いの権利を保持する。親
戚が彼らを贖うことができる。⁴⁹

叔父、いとこ、または彼らの氏族の近親者が彼らを
贖うことができる。また、彼らが繁栄すれば、自分
で贖うことができる。⁵⁰

彼らと買い手は、自分を売った年からヨベルの年ま
での時間を計算し、その年数に基づいて雇われた労
働者に支払われる料金で解放の価格を決定する。⁵¹
残りの年数が多い場合、贖いの価格の大部分を支払
わなければならない。⁵²

ヨベルの年までの残りの年数が少ない場合、それを
計算し、それに応じて贖いの価格を支払わなければ
ならない。⁵³

彼らは年ごとに雇われた労働者として扱われ、彼ら
が奉仕を負う者が彼らを厳しく支配しないようにし
なければならない。⁵⁴

「『これらの方法で贖われない場合でも、彼らとそ
の子供たちはヨベルの年に解放される。⁵⁵

イスラエルの人々はわたしのしもべである。彼らは
わたしがエジプトから連れ出したわたしのしもべで
ある。わたしはあなたの神、主である。

26 「偶像を作ったり、自分のために彫像や記
念碑を立てたりしてはならない。また、あ
なたの地に彫刻された石を置いて、それに
ひれ伏してはならない。私はあなたの神、主である

からだ。²

あなたは私の安息日を守り、私の聖所を敬わなけれ
ばならない。私は主である。³

もしあなたが私の規定に従って歩み、私の命令を熱
心を守るならば、⁴

私は時に応じて雨を降らせ、地はその産物を生じ、
野の木々はその実を結ぶであろう。⁵

あなたの脱穀はぶどうの収穫まで続き、ぶどうの収
穫は種まきの時まで続くであろう。あなたは満ち足
りて食べ、あなたの地に安らかに住むであろう。⁶

私は地に平和を与え、あなたが恐れることなく横た
わることができるようにする。私はまた、有害な獣
を地から取り除き、剣があなたの領土を通ることは
ないであろう。⁷

あなたは敵を追いかけ、彼らはあなたの前で剣によ
って敗れるであろう。⁸

あなたの五人が百人を追いかけ、百人が一万人を逃
げさせ、あなたの敵はあなたの前で剣によって打ち
負かされるであろう。⁹

私はあなたに向かい、あなたを宥め、増やし、私
の契約をあなたと共に守るであろう。¹⁰

あなたは古い供給を消費し、新しいもののために道
を開くであろう。¹¹

私はあなたの中に私の住まいを設け、私の魂はあな
たを拒まないであろう。¹²

私はあなたの中を歩み、私はあなたの神となり、あ
なたは私の民となるであろう。¹³

私はあなたの神、主であり、あなたをエジプトの地
から連れ出し、奴隷でなくするために、あなたのく
びきの棒を砕き、あなたが頭を高く上げて歩くこと
を可能にした。¹⁴

「しかし、もしあなたが私に耳を傾けず、これらの
命令をすべて実行しないならば、¹⁵

もしあなたが私の規定を拒み、私の条例を嫌い、す
べての命令を実行せず、私の契約を破るならば、¹⁶

私はあなたにこれを行うであろう。私は突然の恐怖
、目を損ない、力を奪う浪費病と熱病をあなたに送
り、あなたの種を無駄にまき、敵がそれを食べるで
あろう。¹⁷

私はあなたに対して顔を向け、あなたは敵に敗れ、
あなたを憎む者があなたを支配し、誰も追いかけて
いないのに逃げるであろう。¹⁸

これらすべての後でもあなたが私に耳を傾けないな
らば、私はあなたの罪のために七倍にして罰するで
あろう。¹⁹

私はあなたの頑固な誇りを打ち砕き、あなたの上の
空を鉄のようにし、あなたの下の地を青銅のように
するであろう。²⁰

あなたの力は無駄に費やされ、あなたの地はその産

物を生じず、地の木々はその実を結ばないであろう。²¹

「もしあなたが私に敵対し、私に従うことを拒むならば、私はあなたの苦しみをあなたの罪に应じて七倍に増やすであろう。」²²

私は野獣をあなたの中に送り、あなたの子供を奪い、あなたの家畜を滅ぼし、あなたの数を減らし、あなたの道を荒廃させるであろう。²³

「これらのことにもかかわらず、あなたが私の矯正を受け入れず、私に敵対し続けるならば、私はあなたに対しても敵対し、あなたの罪のために七倍にして打つであろう。」²⁵

私は契約の復讐を実行するために剣をあなたに送り、あなたが都市に集まるとき、疫病をあなたに送り、あなたは敵に引き渡されるであろう。²⁶

私があなたのパンの供給を断つとき、十人の女性が一つのオープンであなたのパンを焼き、重さで分け与えるであろう。あなたは食べるが、満足しないであろう。²⁷

「これにもかかわらず、あなたが私に耳を傾けず、私に敵対し続けるならば、

私は激しい敵意をもってあなたに対処し、あなたの罪のために七倍にして罰するであろう。」²⁹

あなたはあなたの息子の肉と娘の肉を食べるであろう。³⁰

私はあなたの高き所を破壊し、あなたの香の祭壇を切り倒し、あなたの偶像の無生命の形の上にあなたの遺体を積み上げるであろう。私の魂はあなたを嫌うであろう。³¹

私はあなたの都市を荒廃させ、あなたの聖所を荒れ果てさせ、あなたの供え物の心地よい香りを喜ばないであろう。³²

私は地を荒廃させ、そこに住むあなたの敵を驚かせるであろう。³³

私はあなたを諸国の間に散らし、あなたの地が荒廃し、あなたの都市が廃墟となるように、剣を引き出すであろう。³⁴

そのとき、地はその荒廃の日々にその安息日を享受し、あなたが敵の地にいる間、地は休み、その安息日を楽しむであろう。³⁵

その荒廃の日々、地はあなたが住んでいたときに持たなかった安息を持つであろう。³⁶

残ったあなたたちには、敵の地で心に恐れをもたらすであろう。風に吹かれた葉の音でさえ彼らを追いかけ、彼らは剣から逃げるかのように逃げ、誰も追いかけていないのに倒れるであろう。³⁷

彼らは剣から逃げるかのように互いにつまずき、誰も追いかけていないのに倒れるであろう。そしてあなたは敵の前に立つ力を持たないであろう。³⁸

あなたは諸国の間で滅び、敵の地があなたを消費するであろう。³⁹

残った者たちは、彼らの罪のために敵の地で衰え、また彼らの祖先の罪のために衰えるであろう。⁴⁰

「しかし、もし彼らが彼らの罪と祖先の罪、すなわち彼らの不信と私に対する敵意を告白するならば—⁴¹

それが私を彼らに敵対させ、彼らを敵の地に送った—

そのとき、彼らの割礼を受けていない心がへりくだり、彼らがその不正を償うならば、⁴²

私はヤコブとの契約、イサクとの契約、アブラハムとの契約を思い出し、地を思い出すであろう。⁴³

地は彼らによって放棄され、彼らがいない間にその安息日を享受するであろう。彼らは私の条例を拒み、私の規定を嫌ったために、彼らの罪を償うであろう。⁴⁴

しかし、これにもかかわらず、彼らが敵の地にいるとき、私は彼らを完全に滅ぼすために彼らを拒んだり嫌ったりして、私の契約を破ることはしない。私は彼らの神、主であるからだ。⁴⁵

彼らのために、私は彼らの祖先との契約を思い出すであろう。私は彼らを諸国の目の前でエジプトの地から連れ出した。私は彼らの神となるために。私は主である。」⁴⁶

これらは、主がシナイ山でモーセを通してご自身とイスラエルの子らとの間に定めた規定、条例、法である。

27 主は再びモーセに語り、言われた。²

「イスラエルの人々に告げて言いなさい。

『ある人が特別な誓願を立てて、主に人を捧げるときは、あなたの評価に従ってその人を評価しなければならない。』³

評価が二十歳から六十歳までの男性の場合、その価値は聖所のシェケルで銀五十シェケルとする。⁴

女性の場合、その価値は三十シェケルとする。⁵

五歳から二十歳までの人の場合、男性は二十シェケル、女性は十シェケルとする。⁶

一か月から五歳までの人の場合、男性は銀五シェケル、女性は銀三シェケルとする。⁷

六十歳以上の人の場合、男性は十五シェケル、女性は十シェケルとする。⁸

誓願を立てる者が指定された金額を支払うには貧しすぎる場合、彼らは祭司のもとに連れて行かれ、祭司が彼らの支払能力に応じて評価する。⁹

「『誓願が主に捧げられる動物の場合、それは聖なるものとされる。¹⁰

良いものを悪いもので、または悪いものを良いもので交換してはならない。もし動物を交換するなら、

レビ記

元のものも交換されたものも聖なるものとなる。¹¹
誓願された動物が儀式的に汚れていて、主への捧げ物として受け入れられない場合、それは祭司に提示されなければならない。¹²

祭司はその品質を評価し、良いか悪いかを判断する。祭司が設定した価値がその価値となる。¹³
所有者が動物を買い戻したい場合、その価値に五分の一を加えなければならない。¹⁴

「『誰かが自分の家を主に聖なるものとして捧げる場合、祭司はその品質を評価し、良いか悪いかを判断する。祭司が設定した価値がそのまま残る。¹⁵
家を捧げた者がそれを買い戻したい場合、その価値に五分の一を加えなければならない、それは再び彼らのものとなる。』¹⁶

「『誰かが自分の家族の土地の一部を主に捧げる場合、その価値はその土地に必要な種の量に応じて設定される。大麦の種一ホメルにつき銀五十シケルとする。¹⁷
彼らがヨベルの年にその畑を捧げる場合、設定された価値がそのまま残る。¹⁸

ヨベルの後に畑を捧げる場合、祭司は次のヨベルまでの残りの年数に応じて価値を計算し、その価値は減少する。¹⁹
畑を捧げた者がそれを買い戻したい場合、その価値に五分の一を加えなければならない、それは再び彼らのものとなる。²⁰

彼らが畑を買い戻さない場合、またはそれが他の人に売られた場合、それは買い戻すことができない。²¹

ヨベルの年に畑が解放されるとき、それは主に聖なるものとなり、主に捧げられた畑のように、それは祭司の所有物となる。²²

「『誰かが主に捧げるために買った畑で、家族の土地の一部でない場合、²³

祭司はヨベルの年までの価値を評価し、その所有者はその日にその価値を主に聖なるものとして支払わなければならない。²⁴

ヨベルの年には、その畑はそれを買った人に戻り、その土地の元の所有者に戻る。²⁵

すべての価値は聖所のシケルに従って設定される。それは二十ゲラから成る。²⁶

「『動物の初子を捧げてはならない。初子はすでに主のものである。牛でも羊でも、それは主のものである。²⁷

それが汚れた動物の一つである場合、それは設定された価値に五分の一を加えて買い戻すことができる。買い戻されない場合、それは設定された価値で売られる。²⁸

「『人が所有し、主に捧げるものは、人間であれ動物であれ家族の土地であれ、売られたり買い戻されたりしてはならない。すべてそのように捧げられたものは、主にとって最も聖なるものである。²⁹
減ぼされるべきとされた人は贖われることができない。彼らは死刑にされなければならない。³⁰

「『土地からのすべての産物の十分の一、すなわち土からの穀物でも木からの果実でも、主に捧げられたものであり、それは主にとって聖なるものである。³¹

誰かが自分の十分の一を買い戻したい場合、その価値に五分の一を加えなければならない。³²

群れや家畜のすべての十番目の動物、牧者の杖の下を通るものは何であれ、主に聖なるものである。³³
良いものと悪いものを選んだり、代替をしてはならない。代替が行われた場合、元のものも代替されたものも聖なるものとなり、買い戻すことができない。』³⁴

これらは主がシナイ山でモーセに与えた、イスラエルの人々への指示である。

民数記

1 エジプトを出た後の第2年の第2月の第1日に、
シナイの荒野で、会見の天幕で、主はモーセに
語られた。²
「イスラエル人の全会衆を、その家族ごとに、父祖
の家ごとに、名を一人一人挙げて調べなさい。³
あなたとアロンは、イスラエルの中で20歳以上で
軍務に就くことのできるすべての者を、その軍団ご
とに数えなさい。⁴
あなたと共に、各部族から一人ずつ、その家の頭で
ある者を連れて行きなさい。⁵
あなたを助ける者たちの名前は次のとおりである。
ルベンからは、シデウルの子エリツル。⁶
シメオンの部族からは、ツリシャダイの子セルミ
エル。⁷
ユダの部族からは、アミナダブの子ナフション。⁸
イッサカルの部族からは、ツアルの子ネタネル。⁹
ゼブルンの部族からは、ヘロンの子エリアブ。¹⁰
ヨセフの子孫からは、エフライムの部族からは、ア
ミフデの子エリシャマ。マナセの部族からは、パダ
ツルの子ガマリエル。¹¹
ベニヤミンの部族からは、ギデオニの子アビダン。
¹²
ダンの部族からは、アミシャダイの子アヒエゼル。
¹³ アシェルの部族からは、オクランの子バギエル。
¹⁴ ガドの部族からは、デウエルの子エリアサフ。¹⁵
ナフタリの部族からは、エナンの子アヒラ。¹⁶
これらは、会衆から選ばれた者たちであり、彼らの
父祖の部族の指導者であり、イスラエルの氏族の頭
であった。¹⁷
モーセとアロンは、名を指定されたこれらの者たち
を集め、¹⁸
第2月の第1日に全会衆を集めた。彼らは家族ごと
に、父祖の家ごとに、20歳以上の者を一人一人名
を挙げて登録した。¹⁹
主がモーセに命じたように、彼はシナイの荒野で彼
らを数えた。²⁰
ルベンの子孫、イスラエルの長子からは、20歳以
上で軍務に就くことのできるすべての者が、氏族と
家族ごとに名を挙げて登録された。²¹
ルベンの部族の数は46,500人であった。²²
シメオンの子孫からは、20歳以上で軍務に適する
すべての者が、氏族と家族ごとに名を挙げて登録さ
れた。²³
シメオンの部族の数は59,300人であった。²⁴
ガドの子孫からは、20歳以上で軍務に適するすべ
ての者が、氏族と家族ごとに名を挙げて登録された
。²⁵ ガドの部族の数は45,650人であった。²⁶
ユダの子孫からは、20歳以上で軍務に適するすべ
ての者が、氏族と家族ごとに名を挙げて登録された

。²⁷ ユダの部族の数は74,600人であった。²⁸
イッサカルの子孫からは、20歳以上で軍務に適す
るすべての者が、氏族と家族ごとに名を挙げて登録
された。²⁹
イッサカルの部族の数は54,400人であった。³⁰
ゼブルンの子孫からは、20歳以上で軍務に適する
すべての者が、氏族と家族ごとに名を挙げて登録さ
れた。³¹
ゼブルンの部族の数は57,400人であった。³²
ヨセフの子孫からは、エフライムの部族からは、2
0歳以上で軍務に適するすべての者が、氏族と家族
ごとに名を挙げて登録された。³³
エフライムの部族の数は40,500人であった。³⁴
マナセの子孫からは、20歳以上で軍務に適するす
べての者が、氏族と家族ごとに名を挙げて登録され
た。³⁵ マナセの部族の数は32,200人であった。³⁶
ベニヤミンの子孫からは、20歳以上で軍務に適す
るすべての者が、氏族と家族ごとに名を挙げて登録
された。³⁷
ベニヤミンの部族の数は35,400人であった。³⁸
ダンの子孫からは、20歳以上で軍務に適するすべ
ての者が、氏族と家族ごとに名を挙げて登録された
。³⁹ ダンの部族の数は62,700人であった。⁴⁰
アシェルの子孫からは、20歳以上で軍務に適する
すべての者が、氏族と家族ごとに名を挙げて登録さ
れた。⁴¹
アシェルの部族の数は41,500人であった。⁴²
ナフタリの子孫からは、20歳以上で軍務に適する
すべての者が、氏族と家族ごとに名を挙げて登録さ
れた。⁴³
ナフタリの部族の数は53,400人であった。⁴⁴
これらは、モーセとアロンがイスラエルの指導者た
ちと共に数えた者たちであり、12人のそれぞれが
父祖の家を代表していた。⁴⁵
イスラエルの軍隊において軍務に適する20歳以上
のすべてのイスラエル人は、家族ごとに数えられた
。⁴⁶ 彼らの総数は603,550人であった。⁴⁷
しかし、レビの部族は他の者たちと共に数えられな
かった。⁴⁸
主がモーセに語り、彼に命じたからである。⁴⁹
「レビの部族を数えたり、他のイスラエル人の中に
含めたりしてはならない。⁵⁰
むしろ、証の幕屋とそのすべての備品とそのすべて
のものについて、レビ人を任命しなさい。彼らは幕
屋とそのすべての備品を運び、それを管理し、その
周りに宿営しなければならない。⁵¹
幕屋が移動するときは、レビ人がそれを取り下げ、
設営するときはレビ人がそれを設営しなければならない。
外部の者がそれに近づくと死刑にされる。⁵²

民数記

イスラエル人はそれぞれ自分の陣営と自分の旗のもとに宿営しなければならない。⁵³

しかし、レビ人は証の幕屋の周りに宿営し、イスラエルの会衆に対する神の怒りが起こらないようにしなければならない。レビ人は証の幕屋の奉仕を担当する。」⁵⁴

イスラエル人は、主がモーセに命じたとおりにすべてを行った。

2 主はモーセとアロンに告げて言われた、
「イスラエルの人々は、それぞれ自分の旗の下に、その家族の旗印を掲げて、会見の幕屋の周りに宿営しなければならない。」³

東側、日の出の方には、ユダの陣営の部族がその旗の下に宿営する。ユダの人々の指導者はアミナダブの子ナシオンである。⁴

彼の部隊の人数は**74,600**人である。⁵

その次にはイッサカルの部族が宿営する。イッサカルの人々の指導者はツアルの子ネタネルである。⁶

彼の部隊の人数は**54,400**人である。⁷

その後にはゼブルンの部族が宿営する。ゼブルンの人々の指導者はヘロンの子エリアブである。⁸

彼の部隊の人数は**57,400**人である。⁹

ユダの陣営に割り当てられたすべての人々は、その部隊に従って**186,400**人である。彼らは最初に出発しなければならない。¹⁰

南側には、ルベンの陣営の部族がその旗の下に宿営する。ルベンの人々の指導者はシデウルの子エリツルである。¹¹ 彼の部隊の人数は**46,500**人である。¹²

その次にはシメオンの部族が宿営する。シメオンの人々の指導者はツリシャダイの子シェルミエルである。¹³ 彼の部隊の人数は**59,300**人である。¹⁴

その後にはガドの部族が宿営する。ガドの人々の指導者はデウエルの子エリアサフである。¹⁵

彼の部隊の人数は**45,650**人である。¹⁶

ルベンの陣営に割り当てられたすべての人々は、その部隊に従って**151,450**人である。彼らは2番目に出発しなければならない。¹⁷

その後、会見の幕屋とレビ人の陣営が、他の陣営の中であって出発する。彼らは宿営した順序で、それぞれ自分の旗の下に出発しなければならない。¹⁸

西側には、エフライムの陣営の部族がその旗の下に宿営する。エフライムの人々の指導者はアミフデの子エリシャマである。¹⁹

彼の部隊の人数は**40,500**人である。²⁰

その次にはマナセの部族が宿営する。マナセの人々の指導者はベダヅルの子ガマリエルである。²¹

彼の部隊の人数は**32,200**人である。²²

その後にはベニヤミンの部族が宿営する。ベニヤミ

ンの人々の指導者はギデオニの子アビダンである。²³

彼の部隊の人数は**35,400**人である。²⁴

エフライムの陣営に割り当てられたすべての人々は、その部隊に従って**108,100**人である。彼らは3番目に出発しなければならない。²⁵

北側には、ダンの陣営の部族がその旗の下に宿営する。ダンの人々の指導者はアミシャダイの子アヒエゼルである。²⁶

彼の部隊の人数は**62,700**人である。²⁷

その次にはアシェルの部族が宿営する。アシェルの人々の指導者はオクランの子バギエルである。²⁸

彼の部隊の人数は**41,500**人である。²⁹

その後にはナフタリの部族が宿営する。ナフタリの人々の指導者はエナンの子アヒラである。³⁰

彼の部隊の人数は**53,400**人である。³¹

ダンの陣営に割り当てられたすべての人々は**157,600**人である。彼らは最後に、その旗の下に出発しなければならない。³²

これらは、家族に従って数えられたイスラエルの人々である。陣営の中のすべての人々の総数は、その部隊に従って**603,550**人である。³³

しかし、レビ人は他のイスラエルの人々と共に数えられなかった。主がモーセに命じたからである。³⁴

こうしてイスラエルの人々は、主がモーセに命じたすべてのことを行った。彼らはそれぞれ自分の旗の下に宿営し、家族と氏族と共に出発した。

3 これは、主がシナイ山でモーセに語られたときのアロンとモーセの家族の記録である。²

アロンの息子たちは、長男ナダブ、アビフ、エルアザル、イタマルであった。³

これらはアロンの息子たち、油を注がれた祭司たちであり、祭司として仕えるために任命された者たちである。⁴

しかし、ナダブとアビフは、シナイの荒野で主の前に許可されていない火を捧げたとき、主の前で死んだ。彼らには息子がいなかった。それで、エルアザルとイタマルが、父アロンの生存中に祭司として仕えた。⁵ そのとき、主はモーセに語って言われた。⁶

「レビ族を連れてきて、祭司アロンの前に立たせ、彼を助けさせなさい。」⁷

彼らは会見の天幕で、幕屋の仕事をすることによって、彼と全会衆のために務めを果たさなければならない。⁸

彼らは会見の天幕のすべての備品を管理し、イスラエル人の義務を果たし、幕屋の仕事を管理する責任を負う。⁹

レビ人をアロンとその息子たちに割り当てなさい。彼らはイスラエル人の中から彼に専属で与えられて

民数記

いる。¹⁹
アロンとその息子たちを祭司として任命しなさい。
しかし、聖所に近づく一般の人は死ななければなら
ない。」¹¹ 主は再びモーセに語って言われた。¹²
「見よ、わたしはイスラエルの子らの中からレビ人
を取り、イスラエルの子らのうちのすべての初子、
胎を開く初子の代わりとした。レビ人はわたしのも
のである。¹³
すべての初子はわたしのものである。エジプトの地
で初子をすべて打った日に、わたしはイスラエルの中
のすべての初子を、人も獣もわたしのために聖別
した。彼らはわたしのものである。わたしは主であ
る。」¹⁴
主はシナイの荒野でモーセに告げられた。¹⁵
「レビの子らをその家族と氏族ごとに数えなさい。
生後一か月以上のすべての男子を数えなさい。」¹⁶
それでモーセは、主の言葉に従って、命じられたと
おりに彼らを数えた。¹⁷
これらはレビの子らの名前である。ゲルション、コ
ハテ、メラリ。¹⁸
これらはゲルションの子ら、その家族ごとの名前で
ある。リブニとシメイ。¹⁹
コハテの子孫はその家族ごとにアムラム、イツハル
、ヘブロン、ウジエルを含む。²⁰
メラリの子ら、その家族ごとはマフリとムシである
。これらは父の家に従ったレビの家族である。²¹
ゲルションからはリブニ人とシメイ人の家族が出た
。これらはゲルション人の家族である。²²
生後一か月以上のすべての男子の数は**7,500**人であ
った。²³
ゲルション人の家族は幕屋の後ろ、西側に宿営しな
ければならなかった。²⁴
ゲルション人の家族の父の家の長はラエルの子エリ
アサフであった。²⁵
会見の天幕でのゲルションの子らの務めは、幕屋と
天幕、その覆い、会見の天幕の入口の垂れ幕であっ
た。²⁶
また、庭の垂れ幕、幕屋と祭壇を囲む庭の入口の垂
れ幕、その綱に関するすべての務めであった。²⁷
コハテからはアムラム人、イツハル人、ヘブロン人
、ウジエル人の家族が出た。これらはコハテ人の家
族である。²⁸
生後一か月以上のすべての男子の数は**8,600**人であ
り、聖所の務めを担当していた。²⁹
コハテの子孫の家族は幕屋の南側に宿営しなければ
ならなかった。³⁰
コハテ人の家族の父の家の長はウジエルの子エリザ
ファンであった。³¹
彼らの務めには、契約の箱、机、燭台、祭壇、奉仕

するための聖所の器具、垂れ幕、及びそれに関する
すべての務めが含まれていた。³²
祭司アロンの子エルアザルはレビの指導者たちの頭
であり、聖所の務めを行う者たちを監督していた。³³
メラリからはマフリ人とムシ人の家族が出た。これ
らはメラリの家族である。³⁴
生後一か月以上のすべての男子の数は**6,200**人であ
った。³⁵
メラリの家族の父の家の長はアビハイルの子ズリエ
ルであった。彼らは幕屋の北側に宿営しなければなら
なかった。³⁶
メラリの子らに割り当てられた務めには、幕屋の枠
組み、その横木、その柱、その台座、すべての器具
、及びそれに関するすべての務めが含まれていた。³⁷
また、庭を囲む柱、その台座、その杭、その綱も含
まれていた。³⁸
幕屋の前、会見の天幕の東側、日の出の方に宿営す
る者は、モーセとアロンとその息子たちであり、イ
スラエルの子らの義務のために聖所の務めを行って
いた。しかし、近づく一般の人は死ななければなら
なかった。³⁹
モーセとアロンが主の命令に従ってその家族ごとに
数えたレビ人のすべての男子は、生後一か月以上で
22,000人であった。⁴⁰
その後、主はモーセに命じて言われた。「イスラエ
ルの子らのすべての初子の男子を、生後一か月以上
で数え、その名前の一覧を作りなさい。⁴¹
そして、イスラエルの子らのすべての初子の代わり
に、わたしのためにレビ人を取らなければならない
。わたしは主である。また、イスラエルの子らの家
畜のすべての初子の代わりに、レビ人の家畜を取ら
なければならない。」⁴²
それでモーセは、主が命じられたとおりに、イスラ
エルの子らのすべての初子の子を数えた。⁴³
生後一か月以上のすべての初子の男子の名前の数は
22,273人であった。⁴⁴
その後、主はモーセに告げて言われた。⁴⁵
「イスラエルの子らのすべての初子の代わりにレビ
人を取り、彼らの家畜の代わりにレビ人の家畜を取
らなければならない。レビ人はわたしのものである
。わたしは主である。⁴⁶
レビ人の数を超えるイスラエルの子らの初子**273**人
の贖いのために、⁴⁷
一人当たり五シェケルを集めなければならない。そ
れを聖所のシェケルに従って取らなければならない
（シェケルは二十ゲラである）。⁴⁸
そして、その余分な者たちの贖いの金をアロンとそ

民数記

の息子たちに渡さなければならない。」⁴⁹
それでモーセは、レビ人によって贖われた者たちの
数を超える者たちから贖いの金を集めた。⁵⁰
イスラエルの子らの初子から、聖所のシェケルに従
って1,365シェケルを集めた。⁵¹
そしてモーセは、主の命令に従って、主がモーセに
命じられたとおりに、その贖いの金をアロンとその
息子たちに渡した。

4 主はモーセとアロンに告げて言われた、²
「レビ人のコハテ族の家系を、その家族と父の
家ごとに調べなさい。³
会見の天幕で働くために、30歳から50歳までのす
べての者を数えなさい。⁴
会見の天幕におけるコハテ族の務めは、最も聖なる
物の世話をすることである。⁵
「宿営が移動するとき、アロンとその子たちは入っ
て、遮る幕を取り下げ、それで契約の箱を覆いなさ
い。⁶
次に、それを丈夫な革で覆い、その上に紫の布を広
げ、担ぎ棒を差し込みなさい。⁷
臨在の机の上には紫の布を広げ、その上に皿、パン
、鉢、灌祭のための瓶を置き、常供のパンをその上
に置きなさい。⁸
これらの上に緋色の布を広げ、丈夫な革で覆い、担
ぎ棒を差し込みなさい。⁹
灯火のための燭台を、その灯、芯切りばさみ、皿、
およびすべての油器とともに紫の布で覆いなさい。¹⁰
それとそのすべての用具を丈夫な革の覆いに入れ、
担ぎ棒に置きなさい。¹¹
金の祭壇の上には紫の布を広げ、丈夫な革で覆い、
担ぎ棒を差し込みなさい。¹²
聖所での奉仕に用いるすべての器具を紫の布で包み
、丈夫な革で覆い、担ぎ棒に置きなさい。¹³
青銅の祭壇から灰を取り除き、その上に紫の布を広
げなさい。¹⁴
次に、祭壇での奉仕に用いるすべての器具、すなわ
ち火皿、肉刺し、シャベル、鉢をその上に置きなさ
い。その上に丈夫な革の覆いを広げ、担ぎ棒を差し
込みなさい。¹⁵
アロンとその子たちが聖なる物と聖所のすべての備
品を覆い終えた後、宿営が移動する時、コハテ族は
それを運ぶために来るが、聖なる物に触れてはなら
ない。さもないと死ぬであろう。これらは会見の天
幕においてコハテ族が運ぶべき物である。¹⁶
祭司アロンの子エルアザルは、灯火のための油、香
り高い香、常供の穀物の供え物、注ぎ油を管理しな
ければならない。彼は幕屋とその中のすべての物、
聖なる備品と器具を監督する。」¹⁷

主はモーセとアロンに告げて言われた、¹⁸
「レビ人の中からコハテ族の氏族が絶やされないよ
うにしない。」¹⁹
彼らが最も聖なる物に近づくときに生き延びて死な
ないように、次のことを彼らのために行いなさい。
アロンとその子たちは入って、各人にその務めと運
ぶべき物を割り当てなさい。²⁰
しかし、コハテ族は聖なる物に近づいて見てはなら
ない。そうでないと死ぬであろう。」²¹
主はモーセに告げて言われた、²²
「ゲルシオン族も、その家族と父の家ごとに調べな
さい。²³
会見の天幕で働くために、30歳から50歳までのす
べての者を数えなさい。²⁴
ゲルシオン族の氏族が運ぶべき物とその他の務めは
次の通りである。²⁵
彼らは幕屋の垂れ幕、会見の天幕とその覆い、丈夫
な革の外覆い、会見の天幕の入口の垂れ幕を運びな
さい。²⁶
また、幕屋と祭壇を囲む庭の垂れ幕、庭の入口の垂
れ幕、綱、およびその奉仕に用いるすべての器具を
運びなさい。ゲルシオン族はこれらの物に関するす
べての仕事を行いなさい。²⁷
彼らのすべての奉仕、運搬またはその他の仕事は、
アロンとその子たちの指示の下で行われる。あなたは
彼らにすべての務めと責任を割り当てなさい。²⁸
これが会見の天幕におけるゲルシオン族の氏族の奉
仕である。彼らの務めは祭司アロンの子イタマルの
指示の下で行われる。²⁹
メラリ族をその氏族と父の家ごとに数えなさい。³⁰
会見の天幕で働くために、30歳から50歳までのす
べての者を数えなさい。³¹
これが会見の天幕における彼らのすべての奉仕の一
部としての務めである。彼らは幕屋の枠、その横木
、柱、台座を運びなさい。³²
また、庭を囲む柱、その台座、杭、綱、すべての器
具、およびその使用に関連するすべての物を運びな
さい。各人に運ぶべき特定の物を名前で割り当てな
さい。³³
これが会見の天幕におけるメラリ族の氏族の務め
であり、祭司アロンの子イタマルの指示の下で行わ
れる。³⁴
モーセ、アロン、および共同体の指導者たちは、コ
ハテ族をその氏族と父の家ごとに数えた。³⁵
会見の天幕で働くために入ることのできる30歳か
ら50歳までのすべての者³⁶
その氏族ごとに数えられた者は2,750人であった。
³⁷
これが、モーセとアロンが主の命令に従って数えた

民数記

、会見の天幕で奉仕するコハテ族の氏族の総数である。³⁸

ゲルシオン族はその氏族と父の家ごとに数えられた。³⁹

会見の天幕で働くために入ることのできる30歳から50歳までのすべての者—⁴⁰

その氏族と父の家ごとに数えられた者は2,630人であった。⁴¹

これが、モーセとアロンが主の命令に従って数えた、会見の天幕で奉仕するゲルシオン族の氏族の総数である。⁴²

メラリ族はその氏族と父の家ごとに数えられた。⁴³

会見の天幕で働くために入ることのできる30歳から50歳までのすべての者—⁴⁴

その氏族ごとに数えられた者は3,200人であった。⁴⁵

これが、モーセとアロンが主の命令に従って数えた、メラリ族の氏族の総数である。⁴⁶

こうしてモーセ、アロン、およびイスラエルの指導者たちは、レビ人をその氏族と父の家ごとに数えた。⁴⁷

会見の天幕で奉仕し、運搬するために入ることのできる30歳から50歳までのすべての者⁴⁸

彼らは8,580人で数えられた。⁴⁹

主がモーセに命じた指示に従って、各人にその務めと運ぶべき物が割り当てられた。このようにして彼らは、主がモーセに指示した通りに数えられた。

5 主はモーセに次のように語られた。²

「イスラエルの人々に指示して、汚れた皮膚病を持つ者、分泌物のある者、死体に触れて汚れた者を宿営から追い出しなさい。³

男も女も宿営の外に送り出し、私が彼らの中に住む宿営を汚さないようにしなさい。」⁴

イスラエルの人々はその通りに行い、彼らを宿営の外に送り出した。彼らは主がモーセに命じたとおりに行った。⁵

主はモーセに次のように語られた。⁶「イスラエルの人々に告げなさい。『人が他人に対して罪を犯し、それによって主に対して不誠実になり、罪を犯したとき、⁷

彼らは犯した罪を告白しなければならない。彼らはその不正行為のために全額を償い、その価値の五分の一を加えて、彼らが不正を行った相手に渡さなければならない。』⁸

もしその人に償いをする近親者がいない場合、その償いは主に属し、祭司に渡さなければならない。また、罪を犯した者のための贖いの雄羊も一緒に渡さなければならない。』⁹

イスラエルの人々が祭司に持ってくるすべての聖なる献げ物は彼に属する。¹⁰

各人の聖なる贈り物はその人自身のものであるが、祭司に与えられるものはすべて祭司に属する。』」¹¹

主はモーセに次のように語られた。¹²

「イスラエルの人々に告げなさい。『もし男の妻が道を外れ、彼に対して不誠実になり、¹³

他の男と性的関係を持ち、これが夫に隠されていて、彼女の汚れが発見されず、証人もなく、現行犯で捕まっていない場合、¹⁴

もし夫に嫉妬の感情が生じ、彼女が汚れていると疑う場合、または彼が嫉妬し、彼女が汚れていないのに疑う場合—¹⁵

彼は妻を祭司のもとに連れて行き、エバの十分の一の大麦粉の供え物を持って行かなければならない。彼はそれに油を注いだり、乳香を置いたりしてはならない。これは嫉妬の供え物であり、不正行為を思い出させるための記念の供え物である。¹⁶

祭司は彼女を連れて来て、主の前に立たせなければならない。¹⁷

祭司は土の器に聖なる水を取り、幕屋の床の塵を水に入れなければならない。¹⁸

祭司はその後、女性を主の前に立たせ、彼女の髪を解き、彼女の手に記念の供え物、嫉妬の穀物の供え物を置き、呪いをもたらす苦い水を持たせる。¹⁹

祭司は女性に誓わせて言う。「もし他の男と性的関係を持たず、夫と結婚している間に汚れに陥っていないなら、この呪いをもたらす苦い水があなたに害を与えませんように。²⁰

しかし、もし夫と結婚している間に道を外れ、他の男と性的関係を持って自分を汚したなら—²¹

祭司は女性に呪いの誓いをさせ、彼女に言う。「主があなたの腹を膨らませ、あなたの子宮を流産させるとき、あなたが民の中で呪いとなりますように。²²

この呪いをもたらす水があなたの体に入り、あなたの腹を膨らませ、あなたの子宮を流産させますように。」そして女性は「アーメン、そうなりますように」と言わなければならない。²³

祭司はこれらの呪いを巻物に書き、それを苦い水に洗い流さなければならない。²⁴

彼は女性に呪いをもたらす苦い水を飲ませ、この呪いをもたらす水が彼女に入り、苦しみをもたらす。²⁵

祭司は彼女の手から嫉妬の穀物の供え物を取り、主の前でそれを揺り動かし、祭壇に持って行かなければならない。²⁶

祭司は記念の供え物として穀物の供え物の一握りを取り、祭壇で焼かなければならない。その後、彼は女性に水を飲ませる。²⁷

もし彼女が自分を汚し、夫に不誠実であったなら、

民数記

呪いをもたらす水が彼女に入り、彼女の腹を膨らませ、彼女の子宮を流産させ、彼女は民の中で呪いとなる。

しかし、もし女性が自分を汚しておらず、清いなら、彼女は罪から解放され、子供を産むことができる。

これは妻が道を外れ、夫と結婚している間に自分を汚すときの嫉妬の法である。

または、嫉妬の感情が男に生じ、彼が妻を疑うとき。祭司は彼女を主の前に立たせ、この全ての法を彼女に適用しなければならない。

男は罪を免れるが、女性は自分の罪の結果を負わなければならない。』」

6 主は再びモーセに語って言われた。

「イスラエルの人々に告げて言いなさい。『男または女が特別な誓願、すなわちナジル人の誓願を立てて、主に身をささげるときは、

彼らはぶどう酒や強い酒を断たなければならない。ぶどう酒や強い酒から作られた酢を飲んでではなく、ぶどうジュースを飲んでも、新しいぶどうや乾燥したぶどうを食べてもならない。

誓願の期間中、彼らはぶどうの木から出るものを何も食べてはならない。種も皮も食べてはならない。

「『ナジル人の誓願の全期間中、かみそりを頭に当ててはならない。彼らは主にささげられる時が終わるまで聖なる者であり、髪を長く伸ばさなければならない。

「『主にささげられる期間中、ナジル人は死体に近づいてはならない。

彼らの父、母、兄弟、または姉妹が死んでも、自分を汚してはならない。神への奉獻のしるしが彼らの頭にあるからである。

奉獻の期間中、彼らは主に対して聖なる者である。

「『もし誰かが突然彼らのそばで死んで、彼らの奉獻された髪を汚した場合、彼らは第七日に頭を剃らなければならない。それは彼らの清めの日である。

第八日に、彼らは二羽の山鳩または二羽の若い鳩を会見の天幕の入口にいる祭司のもとに持って行かななければならない。

祭司は一羽を罪のための捧げ物として、もう一羽を焼き尽くす捧げ物として捧げ、死体のそばにいたことによる罪のために彼らのために贖いをするしなければならない。同じ日に、彼らは再び頭を奉獻しなければならない。

彼らは誓願の全期間を通して主に再び身をささげ、一歳の雄羊を罪過のための捧げ物として持って来な

ければならない。以前の日々は数えられない。彼らの奉獻が汚されたからである。

「『これはナジル人の法であり、彼らの奉獻の期間が終わったときに適用される。彼らは会見の天幕の入口に連れて来られなければならない。

そこで、彼らは主に捧げ物を捧げなければならない。傷のない一歳の雄羊を焼き尽くす捧げ物として、傷のない一歳の雌羊を罪のための捧げ物として、傷のない雄羊を和解のための捧げ物として、細かい小麦粉に油を混ぜた種なしパンの籠、油を塗った種なしのウエハース、穀物の捧げ物と飲み物の捧げ物を共に捧げなければならない。

「『祭司はこれらを主の前に捧げ、罪のための捧げ物と焼き尽くす捧げ物を捧げなければならない。

また、祭司は和解のための捧げ物として雄羊を主に捧げ、種なしパンの籠と共に、祭司は穀物の捧げ物と飲み物の捧げ物を捧げなければならない。

「『ナジル人は会見の天幕の入口で奉獻された髪を剃り、その髪を和解のための捧げ物の下の火に置かななければならない。

「『ナジル人が奉獻された髪を剃った後、祭司は彼らの手に煮た雄羊の肩、一つの種なしパン、一つの種なしウエハースを籠から取って置かななければならない。

祭司はそれらを主の前で揺り動かす捧げ物として揺り動かさなければならない。それらは聖なるものであり、祭司のものとなる。揺り動かされた胸と捧げられた腿と共にである。その後、ナジル人はぶどう酒を飲むことができる。

「『これはナジル人の法であり、彼らが主に捧げる誓願に従って捧げ物をする者に適用される。彼らは奉獻の法に従って立てた誓願を果たさなければならない。』」

「アロンとその子たちに告げて言いなさい。『あなたがたはこのようにしてイスラエルの人々を祝福しなさい。彼らに言いなさい。

「『『主があなたを祝福し、あなたを守られますように。

主が御顔をあなたに照らし、あなたに恵みを与えられますように。

主が御顔をあなたに向け、あなたに平和を賜いますように。』」

「このようにして、彼らはわたしの名をイスラエルの人々に呼びかけ、わたしは彼らを祝福する。」

7 モーセが幕屋を設置し終えた日に、彼はそれとそのすべての備品、祭壇とそのすべての器具を油で注ぎ、聖別しました。

その後、イスラエルの指導者たち、すなわち、部族の指導者であり、数えられた者たちを監督する父祖

民数記

の家の頭たちが捧げ物をしました。³
彼らは主の前に捧げ物を持ってきました。覆いのあ
る六台の車と十二頭の牛―
各指導者から一頭の牛、二人の指導者ごとに一台の
車を持ってきました。彼らはこれらを幕屋の前に差
し出しました。⁴
その時、主はモーセに語って言いました。⁵
「これらを彼らから受け取り、会見の天幕の奉仕に
用いるようにしなさい。それをレビ人に各自の奉仕
に応じて分配しなさい。」⁶
こうして、モーセは車と牛を受け取り、それをレビ
人に分配しました。⁷
彼は二台の車と四頭の牛をゲルシヨンの子らに、そ
の奉仕に応じて与えました。⁸
また、四台の車と八頭の牛をメラリの子らに、その
奉仕に応じて、祭司アロンの子イタマルの監督の下
で与えました。⁹
しかし、彼はコハテの子らには何も与えませんでした。
彼らは聖なる物を肩に担って運ぶ責任があった
からです。¹⁰
指導者たちは祭壇が油で注がれた時、その奉納のた
めの捧げ物を持ってきて、祭壇の前に差し出しまし
た。¹¹
主はモーセに命じました。「毎日一人の指導者が祭
壇の奉納のために捧げ物を持ってくるようにしなさい。」¹²
初日に、ユダ族のアミナダブの子ナフシヨンのその
捧げ物を持ってきました。¹³
彼の捧げ物は、**130**シェケルの重さの銀の皿一枚と
、**70**シェケルの重さの銀の鉢一つで、どちらも聖
所のシェケルに従い、油と混ぜた上質の小麦粉を入
れた穀物の捧げ物でした。¹⁴
10シェケルの重さの金の香炉一つ、香を入れたも
の。¹⁵
若い雄牛一頭、雄羊一頭、一歳の雄の子羊一頭を燔
祭として。¹⁶ 罪祭として雄の山羊一頭。¹⁷
そして、和解の捧げ物として、雄牛二頭、雄羊五頭
、雄の山羊五頭、一歳の雄の子羊五頭。これがアミ
ナダブの子ナフシヨンの捧げ物でした。¹⁸
二日目に、イッサカルの指導者ズアルの子ネタネル
がその捧げ物を持ってきました。¹⁹
彼の捧げ物は、**130**シェケルの重さの銀の皿一枚と
、**70**シェケルの重さの銀の鉢一つで、どちらも聖
所のシェケルに従い、油と混ぜた上質の小麦粉を入
れた穀物の捧げ物でした。²⁰
10シェケルの重さの金の香炉一つ、香を入れたも
の。²¹
若い雄牛一頭、雄羊一頭、一歳の雄の子羊一頭を燔
祭として。²² 罪祭として雄の山羊一頭。²³

そして、和解の捧げ物として、雄牛二頭、雄羊五頭
、雄の山羊五頭、一歳の雄の子羊五頭。これがズア
ルの子ネタネルの捧げ物でした。²⁴
三日目に、ゼブルンの民の指導者ヘロンの子エリア
ブがその捧げ物を持ってきました。²⁵
彼の捧げ物は、**130**シェケルの重さの銀の皿一枚と
、**70**シェケルの重さの銀の鉢一つで、どちらも聖
所のシェケルに従い、油と混ぜた上質の小麦粉を入
れた穀物の捧げ物でした。²⁶
10シェケルの重さの金の香炉一つ、香を入れたも
の。²⁷
若い雄牛一頭、雄羊一頭、一歳の雄の子羊一頭を燔
祭として。²⁸ 罪祭として雄の山羊一頭。²⁹
そして、和解の捧げ物として、雄牛二頭、雄羊五頭
、雄の山羊五頭、一歳の雄の子羊五頭。これがヘロ
ンの子エリアブの捧げ物でした。³⁰
四日目に、ルベンの民の指導者シデウルの子エリツ
ルがその捧げ物を持ってきました。³¹
彼の捧げ物は、**130**シェケルの重さの銀の皿一枚と
、**70**シェケルの重さの銀の鉢一つで、どちらも聖
所のシェケルに従い、油と混ぜた上質の小麦粉を入
れた穀物の捧げ物でした。³²
10シェケルの重さの金の香炉一つ、香を入れたも
の。³³
若い雄牛一頭、雄羊一頭、一歳の雄の子羊一頭を燔
祭として。³⁴ 罪祭として雄の山羊一頭。³⁵
そして、和解の捧げ物として、雄牛二頭、雄羊五頭
、雄の山羊五頭、一歳の雄の子羊五頭。これがシデ
ウルの子エリツルの捧げ物でした。³⁶
五日目に、シメオンの民の指導者ズリシャダイの子
シエルミエルがその捧げ物を持ってきました。³⁷
彼の捧げ物は、**130**シェケルの重さの銀の皿一枚と
、**70**シェケルの重さの銀の鉢一つで、どちらも聖
所のシェケルに従い、油と混ぜた上質の小麦粉を入
れた穀物の捧げ物でした。³⁸
10シェケルの重さの金の香炉一つ、香を入れたも
の。³⁹
若い雄牛一頭、雄羊一頭、一歳の雄の子羊一頭を燔
祭として。⁴⁰ 罪祭として雄の山羊一頭。⁴¹
そして、和解の捧げ物として、雄牛二頭、雄羊五頭
、雄の山羊五頭、一歳の雄の子羊五頭。これがズリ
シャダイの子シエルミエルの捧げ物でした。⁴²
六日目に、ガドの民の指導者デウエルの子エリアサ
ブがその捧げ物を持ってきました。⁴³
彼の捧げ物は、**130**シェケルの重さの銀の皿一枚と
、**70**シェケルの重さの銀の鉢一つで、どちらも聖
所のシェケルに従い、油と混ぜた上質の小麦粉を入
れた穀物の捧げ物でした。⁴⁴
10シェケルの重さの金の香炉一つ、香を入れたも

民数記

の。⁴⁵
若い雄牛一頭、雄羊一頭、一歳の雄の子羊一頭を燔祭として。⁴⁶ 罪祭として雄の山羊一頭。⁴⁷
そして、和解の捧げ物として、雄牛二頭、雄羊五頭、雄の山羊五頭、一歳の雄の子羊五頭。これがデウエルの子エリアサフの捧げ物でした。⁴⁸
七日目に、エフライムの民の指導者アミフデの子エリシャマがその捧げ物を持ってきました。⁴⁹
彼の捧げ物は、**130**シェケルの重さの銀の皿一枚と、**70**シェケルの重さの銀の鉢一つで、どちらも聖所のシェケルに従い、油と混ぜた上質の小麦粉を入れた穀物の捧げ物でした。⁵⁰
10シェケルの重さの金の香炉一つ、香を入れたものの。⁵¹
若い雄牛一頭、雄羊一頭、一歳の雄の子羊一頭を燔祭として。⁵² 罪祭として雄の山羊一頭。⁵³
そして、和解の捧げ物として、雄牛二頭、雄羊五頭、雄の山羊五頭、一歳の雄の子羊五頭。これがアミフデの子エリシャマの捧げ物でした。⁵⁴
八日目に、マナセの民の指導者ベダツルの子ガマリエルがその捧げ物を持ってきました。⁵⁵
彼の捧げ物は、**130**シェケルの重さの銀の皿一枚と、**70**シェケルの重さの銀の鉢一つで、どちらも聖所のシェケルに従い、油と混ぜた上質の小麦粉を入れた穀物の捧げ物でした。⁵⁶
10シェケルの重さの金の香炉一つ、香を入れたものの。⁵⁷
若い雄牛一頭、雄羊一頭、一歳の雄の子羊一頭を燔祭として。⁵⁸ 罪祭として雄の山羊一頭。⁵⁹
そして、和解の捧げ物として、雄牛二頭、雄羊五頭、雄の山羊五頭、一歳の雄の子羊五頭。これがベダツルの子ガマリエルの捧げ物でした。⁶⁰
九日目に、ベニヤミンの民の指導者ギデオニの子アビダンがその捧げ物を持ってきました。⁶¹
彼の捧げ物は、**130**シェケルの重さの銀の皿一枚と、**70**シェケルの重さの銀の鉢一つで、どちらも聖所のシェケルに従い、油と混ぜた上質の小麦粉を入れた穀物の捧げ物でした。⁶²
10シェケルの重さの金の香炉一つ、香を入れたものの。⁶³
若い雄牛一頭、雄羊一頭、一歳の雄の子羊一頭を燔祭として。⁶⁴ 罪祭として雄の山羊一頭。⁶⁵
そして、和解の捧げ物として、雄牛二頭、雄羊五頭、雄の山羊五頭、一歳の雄の子羊五頭。これがギデオニの子アビダンの捧げ物でした。⁶⁶
十日目に、ダンの民の指導者アミシャダイの子アヒエゼルがその捧げ物を持ってきました。⁶⁷
彼の捧げ物は、**130**シェケルの重さの銀の皿一枚と、**70**シェケルの重さの銀の鉢一つで、どちらも聖

所のシェケルに従い、油と混ぜた上質の小麦粉を入れた穀物の捧げ物でした。⁶⁸
10シェケルの重さの金の香炉一つ、香を入れたものの。⁶⁹
若い雄牛一頭、雄羊一頭、一歳の雄の子羊一頭を燔祭として。⁷⁰ 罪祭として雄の山羊一頭。⁷¹
そして、和解の捧げ物として、雄牛二頭、雄羊五頭、雄の山羊五頭、一歳の雄の子羊五頭。これがアミシャダイの子アヒエゼルの捧げ物でした。⁷²
十一日目に、アシェルの子アヒエゼルの民の指導者オクランの子バギエルがその捧げ物を持ってきました。⁷³
彼の捧げ物は、**130**シェケルの重さの銀の皿一枚と、**70**シェケルの重さの銀の鉢一つで、どちらも聖所のシェケルに従い、油と混ぜた上質の小麦粉を入れた穀物の捧げ物でした。⁷⁴
10シェケルの重さの金の香炉一つ、香を入れたものの。⁷⁵
若い雄牛一頭、雄羊一頭、一歳の雄の子羊一頭を燔祭として。⁷⁶ 罪祭として雄の山羊一頭。⁷⁷
そして、和解の捧げ物として、雄牛二頭、雄羊五頭、雄の山羊五頭、一歳の雄の子羊五頭。これがオクランの子バギエルの捧げ物でした。⁷⁸
十二日目に、ナフタリの民の指導者エナンの子アヒラがその捧げ物を持ってきました。⁷⁹
彼の捧げ物は、**130**シェケルの重さの銀の皿一枚と、**70**シェケルの重さの銀の鉢一つで、どちらも聖所のシェケルに従い、油と混ぜた上質の小麦粉を入れた穀物の捧げ物でした。⁸⁰
10シェケルの重さの金の香炉一つ、香を入れたものの。⁸¹
若い雄牛一頭、雄羊一頭、一歳の雄の子羊一頭を燔祭として。⁸² 罪祭として雄の山羊一頭。⁸³
そして、和解の捧げ物として、雄牛二頭、雄羊五頭、雄の山羊五頭、一歳の雄の子羊五頭。これがエナンの子アヒラの捧げ物でした。⁸⁴
これらは祭壇が油で注がれた時の、祭壇の奉納のためのイスラエルの指導者たちの捧げ物でした。十二の銀の皿、十二の銀の鉢、十二の金の香炉。⁸⁵
各銀の皿は**130**シェケル、各鉢は**70**シェケルの重さでした。これらの器具の銀の合計は、聖所のシェケルに従い、**2,400**シェケルでした。⁸⁶
香を入れた十二の金の香炉は、それぞれ聖所のシェケルに従い、十シェケルの重さでした。香炉の金の合計は**120**シェケルでした。⁸⁷
燔祭のための動物の総数は、若い雄牛十二頭、雄羊十二頭、一歳の雄の子羊十二頭、その穀物の捧げ物と共に。罪祭のためには雄の山羊十二頭が用いられました。⁸⁸
和解の捧げ物のための動物の総数は、雄牛二十四頭

、雄羊六十頭、雄の山羊六十頭、一歳の雄の子羊六十頭でした。これらは祭壇が油で注がれた後の奉納のための捧げ物でした。⁸⁹

モーセが主と話すために会見の天幕に入った時、彼は証の箱の上の贖いの蓋の上から、二つのケルビムの間から語る声を聞きました。こうして主は彼に語りました。

8 そのとき、主はモーセに次の言葉を語られた。²

「アロンに言いなさい。『灯火を並べるとき、七つの灯火が燭台の前を照らすようにしなさい。』」³

アロンは従い、主がモーセに命じたとおりに、燭台の前を照らすように灯火を並べた。⁴

これが燭台の作り方である。それはその台座から装飾の花まで打ち出し金で作られていた。それは主がモーセに示した型に従って作られた。⁵

主は再びモーセに次の言葉を語られた。⁶

「イスラエル人の中からレビ人を選び、彼らを清めなさい。⁷

彼らを清めるために次のことを行いなさい。清めの水を彼らに振りかけ、彼らの全身をかみそりで剃り、衣服を洗わせなさい。こうして彼らは自らを清める。⁸

細かい粉に油を混ぜた穀物の捧げ物を伴う雄牛を一頭取り、罪のための捧げ物としてもう一頭の雄牛を取る。⁹

レビ人を会見の天幕の前に連れて行き、イスラエルの全会衆を集めなさい。¹⁰

レビ人を主の前に立たせ、イスラエル人はレビ人の上に手を置く。¹¹

アロンはレビ人をイスラエル人からの揺り動かす捧げ物として主の前に捧げる。そうすれば彼らは主の奉仕を行う準備ができる。¹²

レビ人は雄牛の頭に手を置き、一頭を罪のための捧げ物として、もう一頭を焼き尽くす捧げ物として主に捧げ、レビ人のために贖いをする。¹³

レビ人をアロンとその息子たちの前に立たせ、主の前に揺り動かす捧げ物として捧げなさい。¹⁴

このようにして、レビ人を他のイスラエル人から分け、レビ人は私のものとなる。¹⁵

レビ人を清め、揺り動かす捧げ物として捧げた後、彼らは会見の天幕で奉仕を行うことができる。¹⁶

彼らはイスラエル人の中から完全に私に与えられたものである。私は彼らを、すべての胎の初子、すべてのイスラエル人の初子の代わりに自分のものとした。¹⁷

イスラエルのすべての初子は、人も動物も私のものである。エジプトで初子を打った日に、私は彼らを

自分のために聖別した。¹⁸

私はイスラエル人のすべての初子の代わりにレビ人を取った。¹⁹

私はレビ人をイスラエル人の中からアロンとその息子たちに贈り物として与え、イスラエル人のために会見の天幕で奉仕を行い、彼らのために贖いをする。そうすれば、彼らが聖所に近づくときにイスラエル人に災いが及ばない。²⁰

モーセ、アロン、そしてイスラエルの全会衆は、主がモーセに命じたとおりにレビ人に行った。²¹

レビ人は自らを清め、衣服を洗った。アロンは彼らを主の前に揺り動かす捧げ物として捧げ、彼らを清めるために贖いを行った。²²

その後、レビ人はアロンとその息子たちの監督の下で会見の天幕での務めを果たすためにいった。彼らは主がモーセに命じたとおりにレビ人に行った。²³

主はモーセに次の言葉を語られた。²⁴

「レビ人に関しては次のことが適用される。二十五歳以上の者は、会見の天幕での奉仕に入る。²⁵

しかし、五十歳になったら、定期的な奉仕を退き、もう働かない。²⁶

彼らは会見の天幕での務めを果たす兄弟たちを助けることができるが、自分たちで働いてはならない。これがレビ人の責任を割り当てる方法である。」

9 エジプトを出た後の第二年の第一月に、シナイの荒野で主がモーセに語られた。²

「イスラエルの人々は、定められた時に過越を守らなければならない。³

この月の十四日の夕暮れに、それを定められた時に守り、すべての規定と規則に従ってそれを行わなければならない。」⁴

それでモーセはイスラエルの人々に過越を守るように命じた。⁵

彼らはシナイの荒野で、第一月の十四日の夕暮れに、主がモーセに命じられたすべてに従って過越を守った。⁶

しかし、死体に触れて汚れた者たちがいて、その日には過越を守ることができなかったのも、その日モーセとアロンのもとに来て、⁷

言った。「私たちは死体のために汚れていますが、なぜ私たちは他のイスラエル人と共に定められた時に主の供え物を捧げることから除外されるべきなのでしょう。」⁸

モーセは答えた。「ここにとどまりなさい。あなたたちについて主が命じられることを聞くまで。」⁹

そのとき、主がモーセに語られた。「イスラエルの人々に語りなさい。『あなたたちやあなたたちの子孫が死体のために汚れているか、旅をしている場合でも、主への過越を守ることができ

民数記

る。¹¹
第二月の十四日の夕暮れにそれを守り、種なしパンと苦菜と共にそれを食べなければならない。¹²
それを朝まで残してはならず、その骨を折ってはならない。過越のすべての規定に従ってそれを守らなければならない。¹³
しかし、清い者で旅をしていない者が過越を守れることを怠るなら、その者はその民から断たれるであろう。定められた時に主の供え物を捧げなかったからである。その者はその罪の責任を負う。¹⁴
もしあなたがたの中に寄留者がいて、主への過越を守りたいと望むなら、その者はその規定と規則に従ってそれを行わなければならない。あなたがたは寄留者にも生まれながらの者にも同じ法を持たなければならない。』¹⁵
証の幕屋、すなわち幕屋が設置された日に、雲がそれを覆った。夕方から朝まで、幕屋の上の雲は火のように見えた。¹⁶
これは通常のパターンであった。雲は昼間はそれを覆い、夜は火のように見えた。¹⁷
雲が幕屋の上から上がると、イスラエルの人々は出発し、雲がとどまるところに彼らは宿営した。¹⁸
主の命令によって、イスラエルの人々は出発し、主の命令によって宿営した。雲が幕屋の上にとどまる限り、彼らは宿営した。¹⁹
雲が幕屋の上に多くの日とどまるときも、イスラエルの人々は主の命令に従い、出発しなかった。²⁰
時には雲が幕屋の上に数日しかとどまらないこともあったが、そのときは主の命令によって宿営し、またその命令によって出発した。²¹
雲が夕方から朝までしかとどまらないときは、朝に雲が上がると彼らは出発した。昼でも夜でも、雲が上がるときはいつでも彼らは出発した。²²
雲が幕屋の上に二日、あるいは一か月、または一年とどまるときも、イスラエルの人々は宿営し、出発しなかった。しかし、それが上がると彼らは出発した。²³
主の命令によって彼らは宿営し、主の命令によって出発した。彼らは主の指示に従い、モーセを通しての命令に従った。

10 主はモーセに語って言われた。²
「あなたのために、打ち出し銀で二つのラッパを作りなさい。それを用いて会衆を召集し、また宿営を出発させるのに使いなさい。³
両方のラッパが吹かれるとき、全会衆は会見の天幕の入口にあなたの前に集まらなければならない。⁴
もし一つのラッパだけが吹かれるなら、イスラエルの部族の長たち、すなわち族長たちがあなたの前に集まらなければならない。」⁵

警報が鳴らされるとき、東側に宿営している部隊が出発しなければならない。⁶
二度目に警報が鳴らされるとき、南側の部隊が出発しなければならない。彼らが宿営を出発するために警報が鳴らされる。⁷
会衆を召集するためには、ラッパを吹き鳴らしなさいが、警報を鳴らしてはならない。⁸
アロンの子らである祭司たちがラッパを吹き鳴らしなければならない。これはあなたがたの世代にわたって永遠の定めとなる。⁹
あなたがたの地であなたを圧迫する敵に対して戦争に行くときは、ラッパで警報を鳴らしなさい。そうすれば、あなたがたはあなたがたの神、主によって覚えられ、敵から救われるであろう。¹⁰
あなたがたの喜びの日、定められた祭り、月の始めには、あなたがたの燔祭と交わりの捧げ物の上でラッパを吹き鳴らしなさい。それはあなたがたの神の前での記念となる。わたしはあなたがたの神、主である。¹¹
第二年の第二月の二十日に、契約の幕屋の上から雲が上がった。¹²
イスラエルの人々はシナイの荒野から出発し、雲がパランの荒野にとどまるまで旅を続けた。¹³
彼らは主の命令により、モーセを通して初めて出発した。¹⁴
ユダの宿営の旗がまず出発し、その部隊ごとにアミナダブの子ナフションが指揮を執った。¹⁵
イッサカルの部族の部隊はツアルの子ネタネルが指揮を執った。¹⁶
ゼブルンの部族の部隊はヘロンの子エリアブが指揮を執った。¹⁷
次に幕屋が解体され、ゲルション族とメラリ族がそれを運んで出発した。¹⁸
次にルベンの宿営の旗がその部隊ごとに出発し、シデウルの子エリツルが指揮を執った。¹⁹
シメオンの部族の部隊はツリシャダイの子シェルミエルが指揮を執った。²⁰
ガドの部族の部隊はデウエルの子エリアサフが指揮を執った。²¹
次にコハテ族が出発し、聖なる物を運んだ。幕屋は彼らの到着前に設置されることになっていた。²²
次にエフライムの宿営の旗がその部隊ごとに出発し、アミフデの子エリシャマが指揮を執った。²³
マナセの部族の部隊はベダツルの子ガマリエルが指揮を執った。²⁴
ベニヤミンの部族の部隊はギデオニの子アビダンが指揮を執った。²⁵
最後に、全宿営の後衛を形成するダンの宿営の旗がその部隊ごとに出発し、アミシャダイの子アヒエゼ

民数記

ルが指揮を執った。²⁶
アシェルの部族の部隊はオクランの子バギエルが指揮を執った。²⁷
ナフタリの部族の部隊はエナンの子アヒラが指揮を執った。²⁸
これはイスラエルの部隊が出発する際の行進順序であった。²⁹
モーセはミデヤン人レウエルの子ホバブに言った。「私たちは主が与えると約束された場所へ出発します。私たちと一緒に来てください。主はイスラエルに良いことを約束されたので、私たちはあなたを良く扱います。」³⁰
彼は答えた。「私は行きません。自分の土地と自分の民に帰ります。」³¹
モーセは頼んだ。「どうか私たちを離れないでください。あなたは荒野で私たちがどこに宿営すべきかを知っており、私たちの案内人になれます。」³²
もし私たちと一緒に来てくださるなら、主が私たちに与えるどんな良いものもあなたと分かち合います。」³³
彼らは主の山から出発し、三日間旅をした。その三日間、主の契約の箱が彼らの前を進み、彼らのために安息の場所を探した。³⁴
彼らが宿営を出発するとき、昼は主の雲が彼らの上にあった。³⁵
契約の箱が出発するたびに、モーセは言った。「立ち上がれ、主よ！あなたの敵が散らされ、あなたに逆らう者があなたの前から逃げ去りますように。」³⁶
それがとどまるとき、彼は言った。「帰れ、主よ、イスラエルの多くの千人のもとに。」

11 民は主の耳に入るように自分たちの不運について不平を言い始めた。主がそれを聞かれたとき、怒りが燃え上がった。主の火が彼らの間で燃え、宿営の端を焼き尽くした。²
民はモーセに叫び、モーセが主に祈ると、火は消えた。³
その場所はタバラと呼ばれた。主の火が彼らの間で燃えたからである。⁴
彼らの中にいた混血の群れが他の食べ物欲しがり始め、イスラエルの子らも再び泣き出して、「誰が私たちに肉を食べさせてくれるのか？」と言った。⁵
「エジプトでただで食べた魚、キュウリ、メロン、ニラ、タマネギ、ニンニクを思い出す。」⁶
しかし今や私たちの食欲は失せ、このマナ以外に見るものは何もない！」⁷
マナはコリアンダーの種のように、樹脂のような外見をしていた。⁸

民はそれを集めて、臼でひいたり、乳鉢で砕いたりした。それを鍋で煮て、ケーキにし、オリーブ油で作ったもののような味がした。⁹
夜、露が宿営に降りるとき、マナもそれと共に降りてきた。¹⁰
モーセは各家族が自分の天幕の入口で泣いているのを聞いた。主の怒りは非常に燃え上がり、モーセは悩んだ。¹¹
モーセは主に言った、「なぜあなたはあなたのしもべにこの苦しみをもたらしたのですか？なぜ私があるあなたの目に恵みを見出さなかったのですか？それであなたはこの民全体の重荷を私に負わせるのですか？」¹²
私がこの民全体を宿したのですか？私が彼らを産んだのですか？それであなたは私に、『彼らを乳母が乳飲み子を抱くように腕に抱えて、あなたが彼らの先祖に約束した地に連れて行け』と言われるのですか？¹³
どこで私はこの民全体に与える肉を見つけることができるでしょうか？彼らは私に泣き続けて、『私たちに肉を食べさせてくれ』と言います。¹⁴
私はこの民全体の責任を一人で負うことができません。それは私にはあまりにも重すぎます。¹⁵
もしあなたが私をこのように扱うのであれば、どうか今すぐ私を殺してください—
もし私があなたの目に恵みを見出したなら—
そして私自身の破滅を見させないでください。」¹⁶
主はモーセに言われた、「イスラエルの長老たちで、あなたが民の長老とその役人であると知っている者を七十人集めて、会見の天幕に連れて行き、あなたと共にそこに立たせなさい。」¹⁷
私は降りて行ってそこであなたと話し、あなたにある霊の一部を取って彼らに与える。彼らはあなたと共に民の重荷を分かち合い、あなたが一人でそれを負うことがないようにする。¹⁸
民に言いなさい、『明日のために身を清めなさい。あなたたちは肉を食べることになる。あなたたちは主の耳に入るように泣いて、『誰が私たちに肉を食べさせてくれるのか？エジプトではもっと良かった！』と言ったからである。それゆえ、主はあなたたちに肉を与え、あなたたちはそれを食べるようになる。』¹⁹
一日や二日、五日、十日、二十日だけでなく、²⁰
一か月の間、それがあなたたちの鼻から出て、嫌になるまで食べるようになる。あなたたちはあなたたちの中にいる主を拒み、「なぜ私たちはエジプトを離れたのか？」と主の前で泣いたからである。』²¹
モーセは言った、「ここに六十万の歩兵がいるのに

、あなたは『私は彼らに一か月間食べる肉を与える』と言われます。²²

もし群れや牛が彼らのために屠られたとしても十分でしょうか？もし海のすべての魚が彼らのために捕らえられたとしても十分でしょうか？」²³

主はモーセに言われた、「主の力に限界があるのか？今、私の言葉があなたにとって真実かどうかを見ることになる。」²⁴

それでモーセは出て行って、主が言われたことを民に伝えた。彼は民の長老たち七十人を集め、天幕の周りに立たせた。²⁵

その時、主は雲の中に降りて来て、彼と話し、彼にあった霊の一部を取り、七十人の長老たちに与えた。霊が彼らに留まると、彼らは預言し始めたが、それ以後はしなかった。²⁶

しかし、二人の男が宿営に残っていた。一人はエルダデと名付けられ、もう一人はメダデと名付けられた。霊は彼らにも留まり、彼らは宿営で預言した。²⁷

若者が急いでモーセのところに行き、「エルダデとメダデが宿営で預言しています」と知らせた。²⁸

ヌンの子ヨシュアは、若い頃からモーセの助手であったが、声を上げて言った、「モーセ様、彼らを止めてください！」²⁹

しかしモーセは答えた、「あなたは私のために心配しているのですか？私は主のすべての民が預言者であり、主が彼らにその霊を与えられることを望んでいます！」³⁰

その後、モーセとイスラエルの長老たちは宿営に戻った。³¹

主から風が出て、海からウズラを運び、宿営のそばに落とした。それは宿営のこの側とあの側に一日の旅程の距離にわたって、地面に約二キュピットの深さであった。³²

民はその日一日中、夜通し、そして次の日もウズラを集め続けた。最も少ない者でも十ホメルを集めた。彼らはそれを宿営の周りに広げた。³³

しかし、肉がまだ彼らの歯の間にあって、消費される前に、主の怒りが民に対して燃え上がり、主は彼らを激しい疫病で打たれた。³⁴

その場所はキプロテ・ハッタアワと名付けられた。そこでは他の食べ物を欲しがった民が埋葬されたからである。³⁵

キプロテ・ハッタアワから民はハゼロテに旅をし、そこに滞在した。

12 ミリアムとアロンは、モーセがクシュ人の女を妻にしたことで彼に対して非難した。彼は確かにクシュ人の女を妻にしていたからである。²

彼らは言った、「主はモーセを通してだけ語られたのか。我々を通して語られたのではないか。」そして主はそれを聞かれた。³

（モーセは地上の誰よりも非常に謙遜な人であった。）⁴

突然、主はモーセ、アロン、ミリアムに言われた、「あなたたち三人は会見の天幕に出て来なさい。」それで彼らは出て行った。⁵

主は雲の柱の中に降りて来て、天幕の入口に立たれた。彼はアロンとミリアムを呼び、彼らが前に進み出たとき、⁶

彼は言われた、「私の言葉を聞きなさい。あなたたちの中に預言者がいるなら、私は主として幻の中で彼に現れ、夢の中で彼に語る。」⁷

私のしもべモーセとはそうではない。彼は私の家の全てにおいて忠実である。⁸

彼とは、私は顔と顔を合わせて、はっきりと語り、謎ではない。彼は主の姿を見ている。では、なぜあなたたちは私のしもべモーセに対して恐れずに語ったのか。」⁹

主の怒りが彼らに対して燃え上がり、彼は去られた。¹⁰

雲が天幕の上から離れたとき、ミリアムの肌は雪のように白く、らい病にかかっていた。アロンが彼女を見たとき、彼女は汚れた皮膚病にかかっていた。¹¹

アロンはモーセに言った、「ああ、我が主よ、どうかこの罪を我々に負わせないでください。我々は愚かに行動し、罪を犯しました。」¹²

どうか、彼女が生まれたばかりの死産児のように、肉が半分腐った状態にならないようにしてください。」¹³

それでモーセは主に熱心に願った、「どうか、神よ、彼女を癒してください！」¹⁴

主はモーセに答えられた、「もし彼女の父が彼女の顔に唾を吐いたなら、彼女は七日間恥を受けるのではないか。彼女を七日間宿営の外に閉じ込めなさい。その後、彼女を戻すことができる。」¹⁵

それでミリアムは七日間宿営の外に閉じ込められ、彼女が戻されるまで人々は移動しなかった。¹⁶

その後、人々はハゼロテを去り、バランの荒野に宿営した。

13 そのとき、主はモーセに語って言われた。²

「わたしがイスラエルの人々に与えるカナンの地を探るために人を送りなさい。彼らの父祖の各部族から一人ずつ、各々その中の指導者を送りなさい。」³

それで、主の命令により、モーセは彼らをバランの

荒野から送り出した。彼らは皆、イスラエルの人々の指導者であった。

これらは彼らの名前である。ルベンの部族からは、ザツクルの子シャムア。

シメオンの部族からは、ホリの子シャファテ。

ユダの部族からは、エフネの子カレブ。

イッサカルの部族からは、ヨセフの子イガル。

エフライムの部族からは、ヌンの子ホセア。

ベニヤミンの部族からは、ラフの子パルティ。

ゼブルンの部族からは、ソディの子ガディエル。

ヨセフの部族の一部であるマナセの部族からは、スシの子ガディ。

ダン部族からは、ゲマリの子アミエル。

アシェルの部族からは、ミカエルの子セトル。

ナフタリの部族からは、ボフシの子ナフビ。

ガドの部族からは、マキの子ゲウエル。

これらはモーセが地を探るために送った人々である。モーセはまた、ヌンの子ホセアにヨシュアという名前を与えた。

モーセが彼らをカナンの地を探るために送ったとき、彼らに指示して言った。「ネゲブを通って上り、そして丘陵地帯に入って行きなさい。

その地がどのようなものであるかを見なさい。そこに住む人々が強いかわい、少ないか多いかを見なさい。

彼らが住む土地はどのようなものか。それは良いか悪い。町々はどのようなものであるか。それらは城壁がないか、または要塞化されているか。

そして土壌はどうか。それは肥沃か貧しいか。そこに木があるかないか。勇気を持ってその地の果物を持ち帰りなさい。」今は最初の熟したぶどうの季節であった。

それで彼らは上って行き、ツインの荒野からレホブに至るまで、レボ・ハマテに向かってその地を探った。

彼らはネゲブを通って上り、ヘブロンにきた。そこにはアナクの子孫であるアヒマン、シェシャイ、タルマイがいた。（ヘブロンはエジプトのツォアンよりも七年前に建てられた。）

彼らがエシュコルの谷に到達したとき、一つのぶどうの房を持つ枝を切り落とした。二人がそれを棒に掛けて運び、さらにザクロといちじくも持って行った。

その場所は、イスラエルの人々がそこで切り取ったぶどうの房のためにエシュコルの谷と呼ばれた。

四十日後、彼らはその地を探ることから戻った。彼らはモーセとアロンとバランの荒野のカデシュにいる全イスラエル共同体のもとに戻ってきた。そこで彼らは彼らと全会衆に報告し、その地の果物を見

せた。

彼らはモーセにこの報告をした。「私たちはあなたを送った地に入りましたが、確かにそれは乳と蜜が流れる地です。これがその果物です。

しかし、そこに住む人々は強力で、都市は要塞化され非常に大きいです。私たちはそこにアナクの子孫も見ました。

アマレク人はネゲブに住んでおり、ヒッタイト人、エブス人、アモリ人は丘陵地帯に住んでいます。カナン人は海の近くとヨルダン川沿いに住んでいます。」

そのとき、カレブはモーセの前で人々を静めて言った。「私たちは上って行ってその地を占領すべきです。私たちは確かにそれを征服できます。」

しかし、彼と共に上った人々は言った。「私たちはその人々に対抗して上って行くことはできません。彼らは私たちよりも強いのです。」

そして彼らは探った地についてイスラエルの人々の間に悪い報告を広めて言った。「私たちが探った地はその住民を食い尽くす地であり、そこに見たすべての人々は非常に大きな体格をしています。

私たちはそこにネフィリムを見ました（アナクの子孫はネフィリムから出たのです）。私たちは自分たちの目にはバツタのように見え、彼らの目にもそのように見えました。」

14 その夜、全会衆は声を上げて叫び、民は泣きました。

イスラエルの全ての人々はモーセとアロンに不平を言い、全会衆は彼らに言いました。「エジプトで死んでいたらよかったのに！

あるいはこの荒野でさえも！なぜ主は私たちをこの地に連れて来て、剣で倒れさせようとしているのですか？

私たちの妻と子供たちは略奪されるでしょう。エジプトに戻った方が良くはないですか？」

そして彼らは互いに言いました、「指導者を立ててエジプトに戻ろう。」

その時、モーセとアロンはそこに集まったイスラエルの全会衆の前で顔を伏せました。

ヌンの子ヨシュアとエフネの子カレブは、その地を探った者たちの中にいて、自分たちの衣を裂きました。

そして彼らはイスラエルの全会衆に言いました、「私たちが通り過ぎて探った地は非常に良い地です。

もし主が私たちに好意を持たれるなら、主は私たちをこの地、乳と蜜の流れる地に導き入れ、それを私たちに与えてくださるでしょう。

ただし、主に逆らってはなりません。その地の民を

民数記

恐れてはなりません。彼らは私たちの餌食となるでしょう。彼らの守りは去り、主が私たちと共におられるのです。彼らを恐れてはなりません。」¹⁹

しかし、全会衆は彼らを石で打とうと話し合いました。その時、主の栄光が会見の天幕に現れ、全イスラエルに見えました。¹¹

主はモーセに言いました、「この民はいつまで私を軽んじるのか？

私が彼らの中で行った全てのしるしにもかかわらず、いつまで私を信じないのか？」¹²

私は彼らを疫病で打ち、滅ぼし、あなたを彼らよりも大きく強い国民にします。」¹³

モーセは主に言いました、「それならエジプト人がそれを聞くでしょう！

あなたの力によって、あなたはこの民を彼らの中から導き出されたのです。¹⁴

そして彼らはこの地の住民にそれを伝えるでしょう。彼らは、あなた、主がこの民と共におられ、あなた、主が顔と顔を合わせて見られたこと、あなたの雲が彼らの上に留まり、昼は雲の柱、夜は火の柱で彼らの前を行かれることを聞いています。¹⁵

もしあなたがこの民全てを滅ぼされるなら、あなたについてのこの報告を聞いた国々は言うでしょう、¹⁶

『主はこの民を彼らに誓った地に導き入れることができなかったので、彼らを荒野で滅ぼしたのだ。』¹⁷

「今、主の力が大きくなりますように、あなたが宣言されたように：

『主は怒るのに遅く、愛に満ち、罪と反逆を赦す。しかし、罪を犯した者を罰せずにはおかない。彼は父の罪を子孫に三代、四代にわたって問う。』¹⁹

あなたの大きな愛に従って、これらの民の不正を赦してください。彼らがエジプトを出た時から今まで、あなたが彼らを赦されたように。」²⁰

主は答えました、「あなたの願い通りに彼らを赦した。²¹

しかし、私が生きている限り、主の栄光が全地を満たす限り、²²

私の栄光とエジプトと荒野で行ったしるしを見たにもかかわらず、私に従わず、十度も私を試みた者たちの中で、²³

私が彼らの先祖に誓った地を見る者は一人もいない。私を軽んじた者たちはそれを見ることはない。²⁴

しかし、私のしもべカレブは異なる心を持ち、全き心で私に従ったので、彼が探った地に彼を導き入れ、彼の子孫はそれを継承するでしょう。²⁵

アマレク人とカナナン人が谷に住んでいるので、明日向きを変えて、紅海への道に沿って荒野へ出発しな

さい。」²⁶ 主はモーセとアロンに語りました、²⁷
「この悪しき会衆はいつまで私に不平を言うのか？私はこの不満を持つイスラエル人の不平を聞きました。²⁸

だから彼らに言いなさい、『私が生きている限り、主の宣言として、あなたがたが言った通りにあなたがたに行うでしょう。』²⁹

この荒野であなたがたの体は倒れるでしょう。二十歳以上で数えられ、私に不平を言った者は皆。³⁰

カレブ、エフネの子とヌンの子ヨシュアを除いて、私が誓った地に入る者はいない。³¹

あなたがたが略奪されると言った子供たちは、あなたがたが拒んだ地を楽しむために私が導き入れるでしょう。³²

しかし、あなたがたの体はこの荒野で終わるでしょう。³³

あなたがたの子供たちはここで四十年間羊飼いとなり、あなたがたの不信仰の結果を耐え、あなたがたの体が荒野で最後を迎えるまで。³⁴

四十日間、あなたがたが地を探ったその日数に応じて、四十年間、あなたがたは罪の結果を負い、私があなたがたに敵対することを知るでしょう。』³⁵

私は主であり、私はこれらの反逆する全会衆に確かにこれらのことを行います。彼らはこの荒野で終わりを迎え、ここで滅びるでしょう。」³⁶

それで、モーセが地を探るために送った者たちが戻り、それについての否定的な報告を広めて全会衆を不平にさせた—³⁷

その地についての否定的な報告を広めた責任のあるこれらの者たちは、主の前で疫病で打たれ死にしました。³⁸

地を探るために行った者たちの中で、ヌンの子ヨシュアとエフネの子カレブだけが生き残りました。³⁹

モーセがこれを全イスラエル人に報告したとき、彼らは大いに嘆きました。⁴⁰

翌朝早く、彼らは丘陵地帯の最高地点に向かって出発し、「今、主が約束された地の上に行く準備ができました。確かに、私たちは罪を犯しました！」と言いました。⁴¹

しかしモーセは言いました、「なぜ主の命令に逆らうのですか？ これは成功しません！」⁴²

進んではなりません。主はあなたがたと共におられないので、あなたがたは敵の手に敗北するでしょう。⁴³

アマレク人とカナナン人がそこにいて、あなたがたに立ち向かうでしょう。あなたがたが主から離れたので、主はあなたがたを支えず、あなたがたは剣で倒れるでしょう。」⁴⁴

それにもかかわらず、彼らは思い上がって丘陵地帯

の最高地点に向かって進みましたが、モーセも主の契約の箱も陣営から出発しませんでした。⁴⁵
すると、その丘陵地帯に住んでいたアマレク人とカナン人が下って来て、彼らを攻撃し、ホルマまで散らしました。

15 そのとき主はモーセに語って言われた。²
「イスラエルの人々に告げて言いなさい。
『あなたがたが住むために入る地、すなわち私が与える地に入ったとき、³
あなたがたが主に火による犠牲を捧げるとき、焼き尽くす捧げ物や特別な誓願を果たすための犠牲、または自発的な捧げ物、あるいは定められた祭りの際に、牛や羊の群れから主に喜ばれる香りを作るために、⁴
その捧げ物を捧げる者は、主に一エバの十分の一の最上の小麦粉を四分の一ヒンの油と混ぜた穀物の捧げ物を捧げなければならない。⁵
また、焼き尽くす捧げ物や犠牲のために、子羊一頭につき四分の一ヒンのぶどう酒を飲み物の捧げ物として準備しなければならない。⁶
雄羊の場合は、二エバの十分の二の最上の小麦粉を三分の一ヒンの油と混ぜた穀物の捧げ物を準備しなければならない。⁷
また、飲み物の捧げ物として三分の一ヒンのぶどう酒を捧げ、主に喜ばれる香りとしなければならない。⁸
雄牛を焼き尽くす捧げ物や特別な誓願を果たすための犠牲、または主への交わりの捧げ物として準備するとき、⁹
その雄牛と共に、三エバの十分の三の最上の小麦粉を半ヒンの油と混ぜた穀物の捧げ物を捧げなければならない。¹⁰
また、半ヒンのぶどう酒を飲み物の捧げ物として捧げ、火による捧げ物として主に喜ばれる香りとしなければならない。¹¹
これは、雄牛、雄羊、子羊、または山羊のそれぞれに対して行われるべきことである。¹²
準備する数に応じて、それぞれに対してこのようにしなければならない。¹³
生まれながらの者は皆、主に喜ばれる香りとして火による捧げ物を捧げるとき、このようにしなければならない。¹⁴
あなたがたの世代を通じて、あなたがたと共に住む外国人が、主に喜ばれる香りとして火による捧げ物を捧げたいと思うときは、あなたがたと同じようにしなければならない。¹⁵
会衆はあなたがたと共に住む外国人に対しても同じ規定を持たなければならない。それはあなたがたの世代を通じて永遠の定めである。あなたがたがそう

であるように、外国人も主の前でそうでなければならない。¹⁶
一つの律法と一つの規定が、あなたがたと共に住む外国人に適用される。』¹⁷
主はモーセに語りかけ、¹⁸
「イスラエルの人々に告げて言いなさい。『私があなたがたを導く地に入ったとき、¹⁹
その地の食物を食べるとき、主に捧げ物として一部を捧げなければならない。²⁰
あなたがたの地の最初の穀物から、打ち場からの捧げ物として一つのパンを捧げなければならない。²¹
あなたがたの世代を通じて、あなたがたの地の最初の穀物から主に捧げ物を捧げなければならない。²²
しかし、もし主がモーセに与えたこれらの命令を守ることを意図せずに怠った場合—²³
主がモーセを通じてあなたがたに与えた命令のいずれかを、主がそれを与えた日から続く世代にわたって—²⁴
そして、これが共同体が気づかないうちに意図せず行われた場合、全共同体は若い雄牛を焼き尽くす捧げ物として、主に喜ばれる香りとして捧げ、その規定された穀物の捧げ物と飲み物の捧げ物、そして罪のための雄山羊を捧げなければならない。²⁵
祭司は全イスラエルの共同体のために贖いを行い、彼らは許される。なぜなら、それは意図的ではなく、彼らは主に対してその過ちのために食物の捧げ物と罪の捧げ物を捧げたからである。²⁶
全イスラエルの共同体と彼らの間に住む外国人は許される。なぜなら、すべての人々が意図せずに関与したからである。²⁷
もし個人が意図せずに罪を犯した場合、その人は一年齢の雌山羊を罪の捧げ物として持って来なければならない。²⁸
祭司は意図せずに罪を犯した者のために主の前で贖いを行い、贖いが行われたとき、その人は許される。²⁹
意図せずに罪を犯すすべての者には、一つの律法が適用される。それは、生まれながらのイスラエル人であれ、あなたがたの間に住む外国人であれ同様である。³⁰
しかし、意図的に罪を犯す者は、生まれながらの者であれ外国人であれ、主を軽んじ、イスラエルの民から切り離されなければならない。³¹
彼らは主の言葉を拒み、主の命令を破ったので、必ず切り離されなければならない。彼らの罪は彼らに残る。』³²
イスラエルの人々が荒野にいる間、彼らは安息日に木を集めている男に出会った。³³
彼を見つけた者たちは彼をモーセ、アロン、および

全会衆のもとに連れて行った。³⁴
 そして、彼を拘留した。なぜなら、彼に対して何をすべきか決まっていなかったからである。³⁵
 そのとき主はモーセに言われた。「その男は死刑にされなければならない。全会衆は彼を陣営の外で石打ちしなければならない。」³⁶
 そこで、会衆は彼を陣営の外に連れ出し、主がモーセに命じたとおりに石打ちで彼を処刑した。³⁷
 主はモーセに語りかけ、³⁸
 「イスラエルの人々に告げて、彼らの世代を通じて衣服の角に房を作り、それぞれの房に青い紐を付けるように言いなさい。」³⁹
 これらの房はあなたがたが見て、主のすべての命令を思い出し、それを守り、あなたがた自身の心と目に従って迷わないためのものである。⁴⁰
 それによって、あなたがたは私のすべての命令を思い出し、あなたがたの神に捧げられる者となる。⁴¹
 私はあなたがたの神、主であり、あなたがたをエジプトから救い出してあなたがたの神となった者である。」

16 レビの子、コハテの子、イツハルの子コラは、ルベンの部族からエリアブの子ダタンとアビラム、ペレテの子オンと共に人々を連れて²
 イスラエルの人々の中から選ばれた会衆の指導者である名高い**250**人の者たちと共にモーセに立ち向かった。³
 彼らはモーセとアロンに逆らって集まり、彼らに言った。「あなたがたはやりすぎです！会衆全体が聖なる者であり、主が彼らの中におられます。それなのに、なぜあなたがたは主の会衆の上に立つのですか？」⁴ これを聞いたモーセはひれ伏しました。⁵
 彼はコラとその全ての仲間に言いました。「朝になれば、主が誰が主に属する者であり、誰が聖なる者であるかを示され、その者を主に近づけられるでしょう。主が選ばれる者を主に近づけられるのです。」⁶
 これをしなさい。コラとその全ての仲間たちよ、香炉を取って、⁷
 明日それに火を入れ、主の前で香を焚きなさい。主が選ばれる者が聖なる者となるのです。レビの子たちよ、あなたがたはやりすぎです！」⁸
 モーセはまたコラに言いました。「レビの子たちよ、聞きなさい。⁹
 イスラエルの神があなたがたをイスラエルの会衆から分けて、主の幕屋の奉仕を行い、会衆の前に立って彼らに仕えるために近づけられたことが小さなことなのでしょ

うか？」¹⁰
 主はあなたがたとあなたがたの全てのレビの兄弟たちを近づけられましたが、今度は祭司職をも求めているのです。¹¹
 それゆえ、あなたがたとあなたがたの全ての仲間たちは主に逆らって集まっているのです。アロンは何者で、あなたがたが彼に不平を言うのですか？」¹²
 それからモーセはエリアブの子ダタンとアビラムを呼び寄せましたが、彼らは言いました。「私たちは上がりません。¹³
 あなたが私たちを乳と蜜の流れる地から連れ出して荒野で殺そうとしているのは十分ではないのですか、それでもなお私たちの上に君臨しようとするのですか？」¹⁴
 さらに、あなたは私たちを乳と蜜の流れる地に導かず、畑やぶどう畑の相続地を与えませんでした。これらの人々の目をえぐり出すつもりですか？私たちは上がりません！」¹⁵
 それでモーセは非常に怒り、主に言いました。「彼らの供え物を顧みないでください。私は彼らから一頭のろばも取らず、彼らの誰にも害を与えていません。」¹⁶
 モーセはコラに言いました。「あなたとあなたの全ての仲間たちは、明日主の前に立ちなさい—あなたがたと彼らとアロンと共に。¹⁷
 各自が香炉を取り、それに香を入れ—全部で**250**の香炉を—主の前に持ってきなさい。あなたとアロンも香炉を持ってきなさい。」¹⁸
 それで彼らは各自香炉を取り、それに火を入れ、香を置き、モーセとアロンと共に会見の天幕の入口に立ちました。¹⁹
 コラが彼の全ての仲間たちを会見の天幕の入口に集めたとき、主の栄光が全会衆に現れました。²⁰
 それから主はモーセとアロンに言いました。²¹
 「この会衆から離れなさい。そうすれば、私は彼らを瞬時に滅ぼすことができる。」²²
 しかし彼らはひれ伏して言いました。「ああ神よ、全ての生き物に息を与える神よ、たった一人の人が罪を犯したために全会衆に怒られるのですか？」²³
 それで主はモーセに言いました。²⁴
 「会衆に言いなさい、『コラ、ダタン、アビラムの天幕から離れなさい。』」²⁵
 モーセは立ち上がり、イスラエルの長老たちと共にダタンとアビラムのところに行きました。²⁶
 彼は会衆に警告しました。「これらの悪しき者たちの天幕から離れなさい！彼らの所有物に触れてはなりません。さもないと、彼らの全ての罪のために巻き込まれます。」²⁷
 それで彼らはコラ、ダタン、アビラムの天幕から離れました。ダタンとアビラムは出てきて、彼らの妻

、子供たち、小さな者たちと共に天幕の入口に立ちました。²⁸

それからモーセは言いました。「これによって、主が私を遣わしてこれら全ての業を行わせたことをあなたたちは知るでしょう。それは私自身の考えではありません。²⁹

もしこれらの者たちが自然死を迎え、または全人類の運命をたどるなら、主は私を遣わされなかったこととなります。³⁰

しかし、もし主が全く新しいことを創造し、地が口を開けて彼らとその所有物全てを飲み込み、彼らが生きたままシェオルに下るなら、あなたたちはこれらの者たちが主を侮ったことを知るでしょう。」³¹

彼が話し終えるや否や、彼らの足元の地が裂け、³² 地が口を開けて彼らとその家族、コラに属する全ての人々とその所有物を飲み込みました。³³

彼らはその所有物全てと共に生きたままシェオルに下り、地が彼らの上を閉じ、彼らは会衆の中から消え去りました。³⁴

彼らの叫び声に、周囲の全イスラエル人は逃げ去り、「地が私たちも飲み込むかもしれない!」と叫びました。³⁵

そして主から火が出て、香を捧げていた**250人**の者たちを焼き尽くしました。³⁶

それで主はモーセに言いました。³⁷

「アロンの子、祭司エルアザルに言いなさい。香炉を焼け跡から取り出し、炭を遠くに散らしなさい。香炉は聖なるものです—³⁸

命を犠牲にして罪を犯した者たちの香炉です。それらを打ち延ばして祭壇の覆いとしなさい。主の前に捧げられたので聖なるものとなりました。それをイスラエル人へのしとしなさい。」³⁹

それで祭司エルアザルは、焼き尽くされた者たちが持ってきた青銅の香炉を取り、祭壇の覆いとして打ち延ばしました。⁴⁰

それは、アロンの子孫以外の者が主の前で香を焚かないように、またコラとその仲間のようにならないように、イスラエル人への記念としてのものでした—主がモーセを通して彼に語られたとおりに。⁴¹

しかし翌日、イスラエルの全会衆はモーセとアロンに不平を言い、「あなたたちは主の民を殺した」と言いました。⁴²

会衆がモーセとアロンに逆らって集まったとき、彼らは会見の天幕の方を向き、雲がそれを覆い、主の栄光が現れました。⁴³

モーセとアロンは会見の天幕の前に進みました。⁴⁴ それで主はモーセに言いました。⁴⁵

「この会衆から離れなさい。そうすれば、私は彼らを瞬時に滅ぼすことができます。」そして彼らはひれ

伏しました。⁴⁶

それからモーセはアロンに言いました。「香炉を取り、祭壇から火を入れ、それに香を置き、急いで会衆のもとに行って彼らのために贖いをしなさい。主から怒りが出て、疫病が始まっています。」⁴⁷

それでアロンはモーセの言うとおりにし、会衆の中に走り込みました。疫病はすでに民の間で始まっていましたが、アロンは香を焚いて彼らのために贖いをしました。⁴⁸

彼は生者と死者の間に立ち、疫病は止まりました。⁴⁹

しかし、コラのために死んだ者たちに加えて、疫病で**14,700人**が亡くなりました。⁵⁰

それからアロンは会見の天幕の入口でモーセのもとに戻りました。疫病は止まりました。

17 主はモーセに告げて言われた。² 「イスラエルの人々に告げて、彼らの父祖の部族ごとに一本ずつ杖を集めなさい。十二の杖を、彼らの父祖の部族の各指導者から一本ずつ。³

各人の杖にその人の名を刻みなさい。レビの杖にはアロンの名を刻みなさい。父祖の部族ごとに一本の杖が必要だからです。⁴

それらを会見の幕屋の証の前に置きなさい。そこは私があなたと会う場所です。⁵

私が選ぶ人の杖は芽を出す。そのことによって、イスラエルの人々があなたに対してつぶやくのを終わらせる。」⁶

モーセはイスラエルの人々に告げ、彼らの指導者たちは父祖の部族ごとに一本ずつ、アロンの杖を含めて十二の杖を彼に渡した。⁷

モーセは杖を証の幕屋の中で主の前に置いた。⁸

翌日、モーセが幕屋に入ると、レビの部族を代表するアロンの杖が芽を出し、花を咲かせ、アーモンドを实らせていた。⁹

モーセは主の前からすべての杖を取り出し、イスラエルの人々に見せた。彼らはそれを調べ、各指導者は自分の杖を取り戻した。¹⁰

主はモーセに言われた。「アロンの杖を証の前に戻し、反抗する者たちに対するしるしとして保管しなさい。そうすれば、彼らが私に対してつぶやくのをやめ、死なないようにする。」¹¹

モーセは主の指示に正確に従った。¹²

イスラエルの人々はモーセに言った。「私たちは滅びる!

私たちは滅びつつある、私たちは皆滅びつつある!¹³

主の幕屋に近づく者は皆死ぬ。私たちは皆完全に滅びるのか?」

18 主はアロンに言われた、「あなたとあなたの息子たち、そしてあなたの家族は、聖所に関連するいかなる罪の責任も負わなければならない。また、あなたとあなたの息子たちだけが、あなたの祭司職に関するいかなる罪の責任も負わなければならない。」²

あなたの同胞レビ人、あなたの祖先の部族を連れてきて、あなたとあなたの息子たちが証の幕屋の前で奉仕する間、彼らがあなたを助けるようにしなさい。³

彼らはあなたに責任を負い、幕屋全体の任務を遂行しなければならないが、彼らは聖所の備品や祭壇に近づいてはならない。そうしないと、彼らもあなたも死ぬことになる。⁴

彼らはあなたに加わり、会見の幕屋の任務、幕屋でのすべての仕事を世話しなければならないが、許可されていない者はあなたに近づいてはならない。⁵ あなたは聖所と祭壇の任務に責任を負わなければならない。それによって、イスラエルの人々に再び怒りが降りかからないようにしなさい。⁶

私はあなたの同胞レビ人をイスラエルの中から選び、主に捧げられた贈り物としてあなたに与え、会見の幕屋での仕事を遂行させる。⁷

しかし、祭壇や垂れ幕の内側に関しては、あなたとあなたの息子たちだけが祭司として奉仕しなければならない。私は祭司職を贈り物としてあなたに与える。誰でも他の者が近づくならば、死ななければならない。」⁸

それから主はアロンに言われた、「私はあなたを私の捧げ物の責任者にした。イスラエルの人々が私に捧げるすべての聖なる贈り物を、私はあなたとあなたの息子たちに、あなたの分け前として、永続的な分け前として与える。⁹

これは火から守られた最も聖なる捧げ物からのものである。彼らのすべての贈り物、穀物、罪、または罪過の捧げ物から、これらはあなたとあなたの息子たちにとって最も聖なるものである。¹⁰

それを最も聖なるものとして食べなさい。すべての男性がそれを食べるべきである。それを聖なるものとして扱いなさい。¹¹

これもまたあなたのものである。イスラエルの人々のすべての揺り動かし捧げ物から取り分けられたもの。私はそれらをあなたとあなたの息子たち、娘たちに永続的な分け前として与える。あなたの家族の中で儀式的に清い者は誰でもそれを食べることができる。¹²

私は新鮮なオリーブ油のすべての最良の部分と、新鮮なワインと穀物のすべての最良の部分、主に捧げる初穂としてあなたに与える。¹³

彼らの地にあるすべての初めて熟した果実を、主に持ってくるものはあなたのものである。あなたの家族の中で清い者は誰でもそれを食べることができる。¹⁴

イスラエルで主に捧げられたすべてのものはあなたのものである。¹⁵

すべての胎の初めての産物、人間も動物も、主に捧げられるものはあなたのものである。しかし、すべての初めて生まれた息子と汚れた動物の初めての子は贖わなければならない。¹⁶

彼らが生後一か月のとき、贖いの価として銀五シェケルを、聖所のシェケルに従って、すなわち二十ゲラで贖わなければならない。¹⁷

しかし、牛、羊、または山羊の初めての子は贖ってはならない。彼らは聖なるものである。彼らの血を祭壇に振りかけ、彼らの脂肪を食物の捧げ物として焼き、主にとって心地よい香りとする。¹⁸

彼らの肉はあなたのものである。ちょうど揺り動かしの捧げ物の胸と右腿があなたのものであるように。¹⁹

イスラエルの人々が主に捧げるすべての聖なる贈り物の捧げ物を、私はあなたとあなたの息子たち、娘たちに永続的な分け前として与える。それは主の前であなたとあなたの子孫にとって永遠の塩の契約である。²⁰

主はアロンに言われた、「あなたは彼らの地で相続地を持たず、彼らの中でいかなる部分も所有しない。私はイスラエルの人々の中であなたの部分であり、あなたの相続地である。²¹

レビ人には、私はイスラエルのすべての十分の一を彼らの相続地として与える。彼らが会見の幕屋で奉仕する仕事の代わりとしてである。²²

これからは、イスラエルの人々は会見の幕屋に近づいてはならない。そうしないと、彼らは罪の結果を負い、死ぬことになる。²³

ただし、レビ人だけが会見の幕屋の奉仕を行い、彼ら自身の罪を負わなければならない。これは将来の世代のための永続的な規定である。彼らはイスラエルの人々の中で相続地を持たない。²⁴

その代わりに、私はイスラエルの人々が主に捧げる捧げ物としてレビ人に十分の一を彼らの相続地として与える。それが彼らについて私が言った理由である。『彼らはイスラエルの人々の中で相続地を持たない。』²⁵

その後、主はモーセに言われた、²⁶ 「レビ人に言いなさい。『あなたがたがイスラエルの人々から受け取る十分の一を、あなたがたの相続地として与えるとき、その十分の一の一部を主への捧げ物として捧げなければならない。²⁷

あなたの捧げ物は、脱穀場からの穀物やワインの酒

槽からのジュースとしてあなたに信用される。²⁸
 このようにして、あなたがたもイスラエルの人々から受け取るすべての十分の一から主への捧げ物を捧げなければならない。これらの十分の一から、主の部分のアロン祭司に与えなければならない。²⁹
 あなたがたに与えられたすべてのものの中で、最良で最も聖なる部分を主の部分として捧げなければならない。』³⁰
 彼らに言いなさい。『あなたがたが最良の部分を持つとき、それは脱穀場やワインの酒槽の産物としてあなたがたに信用される。³¹
 あなたとあなたの家族はその残りをどこでも消費することができる。それは会見の幕屋でのあなたの仕事に対する報酬である。³²
 最良の部分を持つことによって、この件で罪を犯すことはない。それから、あなたがたはイスラエルの人々の聖なる捧げ物を汚すことはなく、死ぬこともない。』」

19 それから主はモーセとアロンに話された。²
 「これは主が命じた律法の定めである。イスラエルの人々に言いなさい。彼らが欠陥や傷のない赤い雌牛を連れてくるように。それはまだくびきを負ったことがないものである。³
 あなたはそれを祭司エルアザルに渡し、彼の目の前で宿営の外に連れて行き、ほふらなければならない。⁴
 祭司エルアザルはその血を指で取り、会見の天幕の前に向かって七度振りかけなければならない。⁵
 その雌牛は彼の目の前で焼かれなければならない。その皮、肉、血、内臓はすべて火で焼き尽くされる。⁶
 祭司は杉の木、ヒソブ、緋色の羊毛を取り、燃えている雌牛の中に投げ入れなければならない。⁷
 その後、祭司は自分の衣服を洗い、水で体を洗わなければならない。それから宿営に入ることができるが、夕方まで儀式的に汚れている。⁸
 雌牛を焼く者もまた、自分の衣服を洗い、水で体を洗わなければならない。そして彼は夕方まで汚れている。⁹
 清い人が雌牛の灰を集め、宿営の外の清い場所に置かなければならない。それはイスラエルの共同体によって罪からの清めの水として使用されるために保管される。¹⁰
 灰を集める人は自分の衣服を洗わなければならない、彼は夕方まで汚れている。これはイスラエル人と彼らの間に住む外国人にとって永遠の定めである。¹¹
 人間の死体に触れる者は七日間汚れる。¹²
 彼らは三日目と七日目に水で自分を清めなければな

らない。そうすれば清くなる。三日目と七日目に自分を清めないなら、彼らは清くならない。¹³
 死体に触れて自分を清めない者は、主の幕屋を汚す。彼らはイスラエルから断たれなければならない。清めの水が彼らに振りかけられていないので、彼らは汚れたままである。¹⁴
 人が天幕で死んだときの律法はこれである。天幕に入る者、またその中にいる者は七日間汚れる。¹⁵
 蓋のない開いた容器はすべて汚れる。¹⁶
 野外で剣で殺された者、自然に死んだ者、または人間の骨や墓に触れる者は七日間汚れる。¹⁷
 汚れた者のために、焼かれた清めの捧げ物の灰を取り、流れる水を容器に加えなければならない。¹⁸
 清い人がヒソブを取り、水に浸し、それを天幕、すべての家具、そこにいた人々に振りかけなければならない。また、骨、墓、殺された者、自然に死んだ者に触れた者にも振りかけなければならない。¹⁹
 清い人は三日目と七日目に汚れた者に振りかけ、七日目に彼らを清めなければならない。彼らは自分の衣服を洗い、水で体を洗わなければならない、夕方には清くなる。²⁰
 しかし、汚れた者が自分を清めないなら、彼らは会衆から断たれなければならない。彼らは主の聖所を汚したからである。清めの水が彼らに振りかけられていないので、彼らは汚れている。²¹
 これは彼らにとって永遠の定めである。清めの水を振りかける者は自分の衣服を洗わなければならない、清めの水に触れる者は夕方まで汚れる。²²
 汚れた者が触れるものはすべて汚れ、誰でもそれに触れる者は夕方まで汚れる。」

20 第一の月に、イスラエルの全会衆はツインの荒野に到着し、カデシュに滞在した。ミリアムはそこで死に、葬られた。²
 会衆には水がなく、彼らはモーセとアロンに対して集まった。³
 民はモーセに争いを挑み、「私たちの兄弟たちが主の前で死んだときに、私たちも死んでいたらよかったのに！」⁴
 なぜあなたは主の民をこの荒野に連れてきたのですか？私たちと私たちの家畜が死ぬ危険にさらされています。⁵
 なぜあなたは私たちをエジプトからこの恐ろしい場所に連れてきたのですか？ここは穀物、いちじく、ぶどう、ざくろのある場所ではなく、飲む水もありません！」⁶
 モーセとアロンは会衆から会見の天幕の入口に行き、ひれ伏した。そして主の栄光が彼らに現れた。⁷
 主はモーセに語って言われた、⁸
 「杖を取り、あなたとあなたの兄弟アロンは会衆を

民数記

集めなさい。彼らの目の前で岩に語りかけなさい。そうすれば岩はその水を出すでしょう。あなたは岩から水を出し、会衆とその家畜に飲ませるのです。」

モーセは主の前から杖を取り、指示された通りにした。

モーセとアロンは岩の前に会衆を集め、彼らに言った。「反逆者たちよ、聞け。この岩からあなたたちのために水を出さなければならないのか？」

それからモーセは手を上げ、杖で岩を二度打った。水が豊かに湧き出て、会衆とその家畜は飲んだ。しかし主はモーセとアロンに言われた、「あなたたちが私を信じてイスラエルの子らの前で私を聖なるものとして尊ばなかったので、あなたたちはこの会衆を私が彼らに与えた地に導き入れることはできない。」

これがメリバの水であり、イスラエルの子らが主と争った場所で、彼は彼らの中で聖なるものとされた。

モーセはカデシュからエドムの王に使者を送り、言った。「あなたの兄弟イスラエルがこう言います。私たちに降りかかったすべての困難をご存知でしょう。」

私たちの先祖はエジプトに下り、長い間そこに住んでいました。エジプト人は私たちと私たちの先祖を虐待しました。

しかし、私たちが主に叫ぶと、彼は私たちの声を聞き、天使を送り、私たちをエジプトから連れ出しました。今、私たちはあなたの領土の端にある町カデシュにいます。

どうか私たちがあなたの土地を通過させてください。私たちは畑やぶどう畑を通らず、井戸の水も飲みません。王の道に沿って進み、あなたの領土を通過するまで右にも左にも曲がりません。」

しかしエドムは答えた。「ここを通過することはできない。もし試みるなら、剣を持ってあなたたちに立ち向かう。」

イスラエルの子らは彼に言った。「私たちは大通りを進みます。もし私たちや私たちの家畜があなたの水を飲んだなら、その代金を払います。私たちはただ徒歩で通過したいだけです。」

しかし彼は言った。「通過することはできない。」それからエドムは大きな力を持って彼らに立ち向かってきた。

エドムがイスラエルに自分たちの領土を通過させることを拒んだので、イスラエルは彼らから離れた。

イスラエルの全会衆はカデシュを出発し、ホル山に到着した。

エドムの境界近くホル山で、主はモーセとアロンに語られた。

「アロンは自分の民に加えられる。彼は私がイスラエルの子らに与えた地に入ることはできない。あなたたちがメリバの水で私の命令に逆らったからだ。」

アロンとその子エルアザルをホル山の斜面に連れて行きなさい。

アロンの衣服を脱がせて、その子エルアザルに着せなさい。アロンは自分の民に加えられ、そこで死ぬ。」

モーセは主の指示に従い、彼らは全会衆の目の前でホル山に登った。

モーセはアロンの衣服を脱がせて、その子エルアザルに着せた。アロンは山の頂で死んだ。それからモーセとエルアザルは山から降りてきた。

全会衆がアロンが死んだことを見たとき、すべてのイスラエルの子らは彼のために三十日間喪に服した。

21 ネゲブに住んでいたカナン人のアラドの王は、イスラエルがアタリムの道を通して来ることを聞き、イスラエルと戦い、彼らの一部を捕虜にした。

そこでイスラエルは主に誓願を立てて言った。「もしあなたがこの民を私たちの手に渡してくださるなら、私たちは彼らの町々をことごとく滅ぼします。」

主はイスラエルの願いを聞き入れ、カナン人を彼らに渡された。彼らはカナン人とその町々をことごとく滅ぼし、その場所をホルマと名付けた。

彼らはエドムの地を迂回するために、紅海の道を通ってホル山から旅立ったが、道中で民は忍耐を失った。

民は神とモーセに対して言った。「なぜ私たちをエジプトから連れ出して荒野で死なせるのですか。パンもなく、水もなく、このみじめな食べ物嫌っています！」

そこで主は燃える蛇を民の中に送り、彼らを喰んだので、多くのイスラエル人が死んだ。

民はモーセのもとに来て言った。「私たちは主とあなたに対して語ったことで罪を犯しました。蛇を私たちから取り去るように主に祈ってください。」それでモーセは民のために祈った。

主はモーセに言われた。「燃える蛇を作り、それを旗竿の上に掲げなさい。喰まれた者はそれを見れば生きる。」

そこでモーセは青銅の蛇を作り、それを旗竿の上に掲げた。蛇に喰まれた者が青銅の蛇を見れば生きた。

民数記

イスラエルの人々は旅を続け、オボテに宿営した。

11
彼らはオボテから旅立ち、モアブに面した荒野の東側にあるイエ・アバリムに宿営した。¹²
そこからさらに進んで、ゼレデの谷に宿営した。¹³
そこから旅立ち、アモリ人の領土に広がる荒野にあるアルノンの向こう側に宿営した。アルノンはモアブの境界で、モアブとアモリ人の間にある。¹⁴
それゆえ、「主の戦いの書」にこう書かれている。¹⁵
「スファのワヘブ、アルノンの谷々、
そしてアルの地に至る谷々の斜面は、モアブの境界に沿っている。」¹⁶

そこから彼らはベエルに進んだ。そこは主がモーセに「民を集めなさい。私は彼らに水を与える」と言われた井戸である。¹⁷
そのときイスラエルは喜びの歌を歌った。「湧き上がれ、井戸よ！私たちはそれに歌おう！」¹⁸
この井戸は、指導者たちが掘り、民の貴族たちが杖と杖で掘り出した。」それから彼らは荒野からマッタナに進んだ。¹⁹
マッタナからナハリエルに進み、ナハリエルからバモテに進んだ。²⁰
そしてバモテからモアブの地の谷、ビスガの頂上に進んだ。そこは荒野を見下ろしている。²¹
イスラエルはアモリ人の王シホンに使者を送って言った。²²

「私たちにあなたの地を通らせてください。畑やぶどう畑にそれて行かず、井戸の水も飲みません。私たちは王の道を通って、あなたの領土を通過するまで進みます。」²³

しかしシホンはイスラエルが彼の領土を通ることを許さなかった。彼は全軍を集めて荒野でイスラエルに向かって出て行き、ヤハズに来てイスラエルと戦った。²⁴

イスラエルは剣の刃で彼を打ち、アルノンからヤボクまで、アンモン人の境界まで彼の地を占領した。アンモン人の境界は堅固であった。²⁵

イスラエルはアモリ人のすべての町を占領し、ヘシュボンとその周辺のすべての集落に住んだ。²⁶
ヘシュボンはアモリ人の王シホンの町であった。彼はモアブの元の王と戦い、アルノンまで彼の地をすべて奪った。²⁷

それゆえ、ことわざを言う者たちは言う。「ヘシュボンに来て、それを再建しよう。シホンの町を復興しよう。」²⁸

ヘシュボンから火が出て、シホンの町から炎が出た。それはモアブのアルを焼き尽くし、アルノンの高地の領主たちを焼き尽くした。²⁹

モアブよ、あなたに災いあれ！ケモシュの民よ、あ

なたは滅ぼされた！彼は息子たちを逃亡者として、娘たちを捕虜としてアモリ人の王シホンに渡した。

30
しかし私たちは彼らを撃ち倒した。ヘシュボンはディボンまで滅ぼされ、ノファまで荒らし尽くし、それはメデバに達した。³¹
こうしてイスラエルはアモリ人の地に住んだ。³²
モーセはヤゼルに斥候を送り、その周辺の集落を占領し、そこにいたアモリ人を追い出した。³³
それから彼らはバシヤンの道を上り、バシヤンの王オグとその全軍がエドレイで彼らに戦いを挑むために出てきた。³⁴
しかし主はモーセに言われた。「彼を恐れてはならない。私は彼とその全軍とその地をあなたの手に渡した。ヘシュボンにいたアモリ人の王シホンにしたように、彼にもそうしなさい。」³⁵
それで彼らは彼とその息子たちとその全軍を打ち倒し、生存者を残さず、その地を占領した。

22 イスラエルの人々はモアブの平野に旅し、ヨルダン川の向かい、エリコの対岸に宿営した。²

ツイッボルの子バラクは、イスラエルがアモリ人に対して行ったすべてのことを目撃した。³
モアブはその民のために非常に恐れた。彼らは多くの数であったため、モアブはイスラエルの人々のために恐怖に満ちていた。⁴

モアブ人はミディアン長老たちに言った、「この群れは、野の草を食べ尽くす牛のように、私たちの周りのすべてを消費するだろう。」その時、ツイッボルの子バラクはモアブの王であった。⁵

彼は使者を送って、ベトルにいるベオルの子バラムを呼び寄せた。ベトルはユーフラテス川の近くにあり、彼の故郷であった。バラクは言った、「エジプトから出てきた民がいる。彼らは地の表を覆い、私の隣に住んでいる。」⁶

どうか来て、この民を呪ってください。彼らは私には強すぎます。おそらく私は彼らを打ち負かし、地から追い出すことができるでしょう。私はあなたが祝福する者が祝福され、あなたが呪う者が呪われることを知っています。」⁷

モアブとミディアンの長老たちは出発し、占いの報酬を持って行った。彼らがバラムのもとに到着すると、バラクのメッセージを彼に伝えた。⁸

バラムは彼らに言った、「ここに一晚泊まりなさい。主が私に与える答えをあなたたちに持ち帰ります。」それで、モアブの指導者たちは彼と共に滞在した。⁹

主がバラムに近づき、「あなたと共にいるこれらの人々は誰ですか？」と尋ねた。¹⁰

バラムは神に答えた、「モアブの王、ツィッポルの子バラクが私にこのメッセージを送りました：『エジプトから出てきた民が地の表を覆っています。今来て、彼らを呪ってください。おそらく私は彼らと戦い、彼らを追い出すことができるでしょう。』」

しかし神はバラムに言った、「彼らと共に行ってはならない。この民を呪ってはならない。彼らは祝福されているからだ。」

バラムは朝に起きて、バラクの役人たちに言った、「自分の国に戻りなさい。主が私をあなたたちと共に行かせることを拒まれたからです。」

モアブの役人たちはバラクのもとに戻り、「バラムは私たちと共に来ることを拒みました。」と報告した。

バラクは、最初よりも多く、より名誉ある他の役人たちを送った。

彼らはバラムのもとに来て言った、「これはツィッポルの子バラクが言ったことです：あなたが私のもとに来るのを妨げるものは何もないようにしてください。」

私はあなたに豊かな報酬を与え、あなたが求めることを何でもします。どうか来て、この民を私のために呪ってください。」

バラムは彼らに答えた、「たとえバラクが彼の宮殿を銀と金で満たして私に与えたとしても、私は私の神、主の命令を超えて何も大きなことも小さなこともできません。」

さて、今夜もここに泊まってください。主が私に何を言うかを知るためです。」

その夜、神はバラムに来て言った、「これらの人々があなたを呼びに来たので、彼らと共に行きなさい。しかし、私が言うことだけを行いなさい。」

バラムは早く起きて、彼のロバを準備し、モアブの役人たちと共に行った。

しかし、神は彼が行くことに怒り、主の使いが彼に立ちはだかるために道に立った。バラムは彼のロバに乗り、彼の二人の従者が彼と共にいた。

ロバが主の使いが手に剣を持って道に立っているのを見たとき、それは道を外れて畑に入った。バラムはそれを道に戻すために打った。

主の使いは次に、両側に壁があるブドウ畑の狭い道に立った。

ロバが主の使いを見たとき、それは壁に押し付け、バラムの足をそれに押しつけた。それで彼は再びロバを打った。

主の使いはさらに進んで、右にも左にも曲がる余地のない狭い場所に立った。

主の使いを見て、ロバはバラムの下に伏し、彼を怒

らせ、彼はそれを杖で打った。

その時、主はロバに話す力を与え、ロバはバラムに言った、「なぜ私を三度も打ったのですか？」

バラムはロバに答えた、「あなたは私を恥ずかしめた！もし手に剣があれば、今すぐにでもあなたを殺していたでしょう。」

ロバはバラムに言った、「私はあなたが今日まで乗ってきたあなた自身のロバではありませんか？これまであなたに対してこのようなことをしたことがありますか？」彼は「いいえ」と答えた。

その時、主はバラムに明確に見えるようにし、彼は主の使いが剣を抜いて道に立っているのを見た。それで彼は低く頭を下げてひれ伏した。

主の使いは彼に尋ねた、「なぜあなたは三度もあなたのロバを打ったのですか？私はあなたの道が私の前で無謀なものであるため、あなたに立ちはだかるためにここに来ました。」

ロバは私を見て、三度も私から外れました。それが外れなかったなら、私は今すでにあなたの命を取っていたでしょうが、それを生かしておいたでしょう。」

バラムは主の使いに言った、「私は罪を犯しました。あなたが私に立ちはだかっているとは気づきませんでした。もしあなたが不満であるなら、私は戻ります。」

主の使いはバラムに言った、「人々と共に行きなさい。しかし、私が言うことだけを話しなさい。」それでバラムはバラクの役人たちと共に進んだ。

バラムの接近を聞いて、バラクは彼を迎えるためにアルノンの境界にあるモアブの町に出て行った。

バラクはバラムに言った、「私はあなたを緊急に呼び寄せなかったのですか？なぜ私のもとに来なかったのですか？私は本当にあなたに報いることができないのですか？」

バラムは答えた、「さて、私は今あなたのもとに来ました。しかし、私はただ何でも言うことができるでしょうか？私は神が私の口に置くことだけを話さなければなりません。」

バラムはバラクと共にキリヤト・フツォトに行った。

バラクは牛と羊を捧げ、それをバラムと彼と共にいた役人たちと分け合った。

翌朝、バラクはバラムをバアルの高き所に連れて行き、そこからイスラエルの宿営の一部を見ることができた。

23 バラムはバラクに言った、「ここに七つの祭壇を築き、七頭の雄牛と七頭の雄羊を用意してください。」

バラクはバラムの指示に従い、共に各祭壇で雄牛と

28

29

30

31

32

33

34

35

36

37

38

39

40

41

2

雄羊を捧げた。³
 バラムはバラクに言った、「あなたの供え物のそばに留まっていてください。もしかしたら主が私に会ってくださるかもしれません。主が私に示されることをあなたに伝えます。」それで彼は荒れた丘に行った。⁴
 神はバラムに会い、バラムは言った、「私は七つの祭壇を築き、各祭壇で雄牛と雄羊を捧げました。」⁵
 主はバラムの口に言葉を置き、「バラクのところに戻り、このメッセージを伝えなさい」と指示した。⁶
 バラムはバラクのところに戻った。バラクはすべてのモアブの指導者たちと共に供え物のそばに立っていた。⁷
 バラムはその託宣を始めた。「バラクは私をアラムから、モアブの王は東の山々から呼び寄せて言った、『来て、ヤコブを呪え。来て、イスラエルを非難せよ。』⁸
 神が呪っていない者をどうして呪えるでしょうか。主が非難していない者をどうして非難できるでしょうか。⁹
 岩の頂から彼らを見、丘から彼らを観察する。ここに、国々の中に数えられない民がいる。¹⁰
 ヤコブの塵を誰が数えられるでしょうか、イスラエルの四分の一をも数えられるでしょうか。正しい者の死を私に死なせ、私の終わりを彼らのようにしてください。」¹¹
 バラムはバラムに言った、「あなたは私に何をしたのでか。私は敵を呪うためにあなたを呼んだのに、あなたは彼らを祝福しました！」¹²
 バラムは答えた、「主が私の口に置かれたことを話さなければならないのではありませんか？」¹³
 バラムは言った、「私と共に別の場所に来てください。そこから彼らを見てください。全部ではなく一部だけ見えるでしょう。そこから彼らを呪ってください。」¹⁴
 それで彼はバラムをビスガの頂にあるツォフィムの野に連れて行き、七つの祭壇を築き、各祭壇で雄牛と雄羊を捧げた。¹⁵
 バラムはバラクに言った、「あなたの供え物のそばに立っていてください。私はあちらで主に会います。」¹⁶
 主はバラムに会い、彼の口に言葉を置き、「バラクのところに戻り、このメッセージを伝えなさい」と言った。¹⁷
 バラムはバラクのところに戻った。バラクはモアブの役人たちと共に供え物のそばに立っていた。バラクは尋ねた、「主は何を語られましたか？」¹⁸

バラムはそのメッセージを伝えた、「立ち上がれ、バラクよ、聞け。私の言うことを聞け、ツイッポルの子よ。¹⁹
 神は人ではないので、偽ることはない。人の子ではないので、心を変えることはない。彼が語れば、行わないでようか。彼が約束すれば、果たさないでようか。²⁰
 私は祝福するように命じられた。彼は祝福を与えられたので、私はそれを変えることはできない。²¹
 ヤコブには不幸が見られず、イスラエルには苦しみがない。彼らの神、主が共におられ、王の叫びが彼らの中にある。²²
 神は彼らをエジプトから導き出された。彼らは強い雄牛の力を持っている。²³
 ヤコブに対する呪術はなく、イスラエルに対する占いはない。今、ヤコブとイスラエルについて、『神が何をされたかを見よ！』と言われる。²⁴
 民は雌ライオンのように立ち上がり、獲物を食い尽くし、殺された者の血を飲むまで休まないライオンのように自らを奮い立たせる。」²⁵
 バラムはバラムに言った、「彼らを呪うことも祝福することもやめてください！」²⁶
 バラムは答えた、「主が言われることを私はしなければならぬとあなたに言わなかったでしょうか？」²⁷
 バラムは言った、「来て、別の場所に連れて行きます。もしかしたら神がそこから彼らを呪うことを許してくださるかもしれません。」²⁸
 バラムはバラムをベオルの頂に連れて行き、荒野を見渡した。²⁹
 バラムは言った、「ここに七つの祭壇を築き、七頭の雄牛と七頭の雄羊を用意してください。」³⁰
 バラムはバラムの指示に従い、各祭壇で雄牛と雄羊を捧げた。

24 バラムは、イスラエルを祝福することが主の御心にかなうことを悟ったとき、以前のよう²に占いを求めず、荒野に目を向けた。

そしてバラムは目を上げ、部族ごとに宿営しているイスラエルを見た。すると、神の霊が彼に臨んだ。³

彼はその託宣を始めて言った、「ベオルの子バラムの言葉、目が開かれた人の言葉。⁴
 神の言葉を聞く者、全能者の幻を見る者、倒れ伏して、目が開かれた者の言葉。⁵
 ヤコブよ、あなたの天幕はなんと美しいことか、イスラエルよ、あなたの住まいは！⁶
 それは谷のように広がり、川のそばの園のようであり、主が植えたアロエのようであり、水辺の杉のよ

うだ。⁷
彼の器から豊かな水が流れ、その子孫は多くなる。
彼の王はアガグよりも偉大であり、その王国は高く
上げられる。⁸
神は彼をエジプトから導き出された。彼は野牛の力
を持っている。彼は敵である国々を食い尽くし、そ
の骨を砕き、その矢で彼らを貫く。⁹
彼はかがみ、獅子のように伏し、雌獅子のようだ。
誰が彼を起こすことができようか。あなたを祝福す
る者は祝福され、あなたを呪う者は呪われる。」¹⁰
すると、バラクの怒りはバラムに対して燃え上がり、
彼は手を打ち合わせてバラムに言った、「私はあ
なたを招いて、私の敵を呪わせようとしたが、あな
たはこれまでに三度も彼らを祝福した！」¹¹
それゆえ、今すぐあなたの場所に逃げ去れ！私はあ
なたを大いに報いると言ったが、主があなたを栄誉
から遠ざけた。」¹²
バラムはバラクに答えて言った、「私はあなたが私
に送った使者たちに言わなかったか、
『たとえバラクが彼の宮殿を銀と金で満たして私に
与えたとしても、私は主の命令を越えて、自分の意
思で善悪を行うことはできない。主が語ること、そ
れを私は語る』と。」¹⁴
今、見よ、私は私の民に帰る。しかし、来なさい、
私はこの民が後の日にあなたの民に何をするかを知
らせよう。」¹⁵
そして彼はその託宣を始めて言った、「ベオルの子
バラムの言葉、目が開かれた人の言葉。¹⁶
神の言葉を聞き、至高者からの知識を持ち、全能者
の幻を見る者、倒れ伏して、目が開かれた者の言葉
。」¹⁷
私は彼を見ているが、今ではない。私は彼を見てい
るが、近くはない。星がヤコブから出て、杖がイス
ラエルから立ち上がり、モアブの額を打ち砕き、シ
エトのすべての子らを滅ぼす。¹⁸
エドムは所有となり、セイル、その敵も所有となり
、イスラエルは力を増す。¹⁹
支配者がヤコブから出て、町の生存者を滅ぼす。」²⁰
そして彼はアマレクを見て、その託宣を始めて言っ
た、「アマレクは国々の中で最初であったが、その
終わりは完全な滅びとなる。」²¹
彼はケニ人を見て、その託宣を始めて言った、「あ
なたの住まいは確かであり、あなたの巢は岩の中に
置かれている。」²²
それにもかかわらず、ケニ人はアッシリアがあなた
を捕虜にするときに滅ぼされる。」²³
そして彼はその託宣を始めて言った、「ああ！神が
それを望まなければ、誰が生き残ることができるか

？²⁴
しかし、キティムの海岸から船が来て、アッシリア
を悩ませ、エベルを悩ませる。そして彼らもまた滅
びに至る。」²⁵
それからバラムは立ち上がり、自分の場所に帰り、
バラクもまた自分の道を行った。

25 イスラエルがシティムに滞在している間に
、民はモアブの娘たちと不道徳な行為を始
めた。²

彼らは民を自分たちの神々への犠牲に招き、イスラ
エル人はそれを食べてこれらの神々にひれ伏した。³

こうして、イスラエルはベオルのバアルと結びつき
、主の怒りがイスラエルに対して燃え上がった。⁴
主はモーセに言われた、「民の指導者たちを全員捕
らえ、主の前で白昼に彼らを処刑せよ。そうすれば
、主の激しい怒りがイスラエルから離れるであろう
。」⁵

モーセはイスラエルの裁判官たちに言った、「あな
たたちのそれぞれの者は、ベオルのバアルと結びつ
いた自分の部下を殺さねばならない。」⁶

その時、あるイスラエル人の男がミデヤン人の女を
自分の家族に連れてきた。モーセとイスラエルの全
会衆の目の前で、彼らは会見の天幕の入口で泣いて
いた。⁷

アロンの子で祭司エルアザルの子ビネハスが見て、
会衆の中から立ち上がり、手に槍を取った。⁸

彼はそのイスラエル人を追って天幕の奥の部屋に入
り、イスラエル人の男と女の腹を槍で突き刺した。
こうして、イスラエル人に対する疫病は止まった。⁹

しかし、疫病で死んだ者の数は二万四千人であつた
。¹⁰ その時、主はモーセに語りかけて言われた、
¹¹

「祭司アロンの子エルアザルの子ビネハスは、イス
ラエル人の間で私と同じように熱心であつたので、
私の怒りをイスラエル人からそらした。それゆえ、
私は熱心さの中でイスラエル人を滅ぼさなかつた。
¹² それゆえ、彼に私の平和の契約を与えろと言え。
¹³

それは彼とその子孫にとって永遠の祭司の契約とな
る。彼は自分の神の名誉のために熱心であり、イス
ラエル人のために贖いをしたからである。」¹⁴
ミデヤン人の女と共に殺されたイスラエル人の男の
名は、シメオン族の家族の指導者であるサルの子ジ
ムリであつた。¹⁵
殺されたミデヤン人の女の名は、ミデヤンの部族の
指導者の家族の娘であるツルの娘コズビであつた。

民数記

16 主はモーセに言われた、 17
「ミデヤン人を敵として扱い、彼らを攻撃せよ。 18
彼らはベオルの事件と、ミデヤンの指導者の娘であ
る彼らの妹コズビに関して、あなたたちを欺いて敵
として扱ったからである。彼女はベオルのために疫
病の日に殺された。」

26 疫病の後、主はモーセと祭司アロンの子エ
ルアザルに語って言われた。 2

「イスラエルの全会衆を、その家族ごとに
、イスラエルで戦いに出ることができる者、二十歳
以上の者を数えなさい。」 3

そこでモーセと祭司エルアザルは、エリコに向かい
合うヨルダン川のモアブの平野で彼らに告げて言っ
た。 4

「主がモーセに命じられたように、二十歳以上の男
子数を数えなさい。」これらはエジプトから出てきた
イスラエル人である。 5

ルベン、イスラエルの長子の子孫は次のとおりであ
る。ハノクからはハノク族、バルからはバル族、 6
ヘツロンからはヘツロン族、カルミからはカルミ族
。 7

これらはルベン族の家族であり、数えられた者は4
3,730人であった。 8
バルにはエリアブという子がいた。 9

エリアブの子はネムエル、ダタン、アビラムである
。これらは会衆によって召されたダタンとアビラム
であり、コラの仲間と共にモーセとアロンに逆らい
、主に逆らった者たちである。 10

地は口を開けて彼らとコラを飲み込み、その仲間が
死んだとき、火が250人を焼き尽くし、彼らは警告
のしるしとなった。 11

しかし、コラの子孫は絶えなかった。 12
シメオンの子孫はその家族ごとに次のとおりである
。ネムエルからはネムエル族、ヤミンからはヤミン
族、ヤキンからはヤキン族、 13

ゼラからはゼラ族、シャウルからはシャウル族。 14
これらはシメオン族の家族であり、数えられた者は
22,200人であった。 15

ガドの子孫はその家族ごとに次のとおりである。ゼ
フォンからはゼフォン族、ハギからはハギ族、シュ
ニからはシュニ族、 16

オズニからはオズニ族、エリからはエリ族、 17
アロデからはアロデ族、アレリからはアレリ族。 18
これらはガドの子孫の家族であり、数えられた者は
40,500人であった。 19

ユダの子はエルとオナンであったが、彼らはカナ
ンの地で死んだ。 20

ユダの子孫はその家族ごとに次のとおりである。シ
ェラからはシェラ族、ベレツからはベレツ族、ゼラ

からはゼラ族。 21
ベレツの子孫は次のとおりである。ヘツロンからは
ヘツロン族、ハムルからはハムル族。 22

これらはユダの家族であり、数えられた者は76,50
0人であった。 23

イッサカルの子孫はその家族ごとに次のとおりであ
る。トラからはトラ族、ブワからはブニ族、 24
ヤシュブからはヤシュブ族、シムロンからはシムロ
ン族。 25

これらはイッサカル族の家族であり、数えられた者は
64,300人であった。 26

ゼブルンの子孫はその家族ごとに次のとおりである
。セレドからはセレド族、エロンからはエロン族、
ヤリエルからはヤリエル族。 27

これらはゼブルンの家族であり、数えられた者は6
0,500人であった。 28

ヨセフの子孫はその家族ごとにマナセとエフライム
であった。 29

マナセの子孫は次のとおりである。マキルからはマ
キル族、マキルはギレアデの父である。ギレアデか
らはギレアデ族。 30

ギレアデの子孫は次のとおりである。イエゼルから
はイエゼル族、ヘレクからはヘレク族、 31
アスリエルからはアスリエル族、シケムからはシケ
ム族、 32

シミダからはシミダ族、ヘフェルからはヘフェル族
。 33

ヘフェルの子ゼロフェハデには息子がなく、娘だけ
であった。ゼロフェハデの娘の名はマフラ、ノア、
ホグラ、ミルカ、ティルツアであった。 34

これらはマナセの家族であり、数えられた者は52,7
00人であった。 35

これらはエフライムの子孫でその家族ごとに次のと
おりである。シュテラからはシュテラ族、ベケルか
らはベケル族、タハンからはタハン族。 36

シュテラの子孫は次のとおりである。エランからは
エラン族。 37

これらはエフライムの子孫の家族であり、数えられ
た者は32,500人であった。これらはヨセフの子孫
でその家族ごとである。 38

ベニヤミンの子孫はその家族ごとに次のとおりであ
る。ベラからはベラ族、アシュベルからはアシュベ
ル族、アヒラムからはアヒラム族、 39
シュフファムからはシュフファム族、フファムから
はフファム族。 40

ベラの子孫はアルドとナアマンである。アルドから
はアルド族、ナアマンからはナアマン族。 41

これらはベニヤミンの家族であり、数えられた者は
45,600人であった。 42

民数記

これらはダンの子孫でその家族ごとに次のとおりである。シュハムからはシュハム族。これらはダンの家族である。

シュハム族のすべての家族であり、数えられた者は**64,400**人であった。

アシェルの子孫はその家族ごとに次のとおりである。イムナからはイムナ族、イシュビからはイシュビ族、ベリアからはベリア族。

ベリアの子孫は次のとおりである。ヘベルからはヘベル族、マルキエルからはマルキエル族。アシェルにはセラという娘がいた。

これらはアシェルの子孫の家族であり、数えられた者は**53,400**人であった。

ナフタリの子孫はその家族ごとに次のとおりである。ヤフゼエルからはヤフゼエル族、グニからはグニ族、

イエゼルからはイエゼル族、シレムからはシレム族。

これらはナフタリの家族であり、数えられた者は**45,400**人であった。

イスラエル人の総数は**601,730**人であった。そのとき、主はモーセに命じて言われた。

「その名の数に従って、彼らの間で土地を相続地として分け与えなさい。

多い者には多くの相続地を与え、少ない者には少ない相続地を与えなさい。各々がその名の数に従って相続地を受け取るべきである。

土地はくじで分け与えなさい。各々が相続するものは、その先祖の部族の名に従ってである。

相続地はくじで多い者にも少ない者にも分け与えられるべきである。

これらはその家族ごとに数えられたレビ人である。ゲルシオンからはゲルシオン族、コハテからはコハテ族、メラリからはメラリ族。

これらもレビの家族である。リブニ族、ヘブロン族、マフリ族、ムシ族、コラ族。コハテはアムラムの父である。

アムラムの妻の名はヨケベドで、レビの娘であり、エジプトでレビに生まれた。彼女はアムラムにアロンとモーセ、その妹ミリアムを産んだ。

アロンの子はナダブ、アビフ、エルアザル、イタマルであった。

しかし、ナダブとアビフは主の前で許可されていない火をささげたときに死んだ。

一か月以上のすべてのレビの男子は**23,000**人であった。彼らは他のイスラエル人と共に数えられなかった。彼らは彼らの間で相続地を受け取らなかったからである。

これらはモーセと祭司エルアザルが、エリコに向か

い合うヨルダン川のモアブの平野でイスラエル人を数えたものである。

これらの中には、シナイの荒野でモーセと祭司アロンがイスラエル人を数えたときに数えられた者は一人もいなかった。

主が彼らについて、「彼らは必ず荒野で死ぬであろう」と言われたからである。彼らの中には、エフネの子カレブとヌンの子ヨシュアを除いて、一人も残っていないかった。

27 ヨセフの子マナセの氏族から、マキルの子、ギレアデの子、ヘフェルの子、ツェロフハデの娘たちが進み出た。娘たちの名前は、マフラ、ノア、ホグラ、ミルカ、ティルツアであった。

彼女たちはモーセ、祭司エルアザル、指導者たち、そして会衆全体の前に、会見の天幕の入口で立ち、

「私たちの父は荒野で死にました。彼はコラと共に主に逆らった者たちの中にはいみませんでした、自分の罪のために死に、息子を残しませんでした。なぞ私たちの父の名が息子がいないために彼の氏族から消え去るべきなのでしょうか。私たちに父の親族の間で財産を与えてください。」

そこでモーセは彼女たちの訴えを主のもとに持って行った。すると主はモーセに言われた、

「ツェロフハデの娘たちは正しいことを言っている。あなたは確かに彼女たちに父の兄弟たちの間で相続地を与え、彼女たちに父の相続地を譲り渡さなければならない。

イスラエルの人々に言いなさい、『もし人が死んで息子がいないなら、その相続地を娘に譲り渡しなさい。』

しかし娘がいない場合は、その相続地を彼の兄弟たちに与えなさい。

彼に兄弟がいない場合は、その相続地を彼の父の兄弟たちに与えなさい。

彼の父に兄弟がいない場合は、その相続地を彼の親族の中で最も近い者に与え、彼がそれを所有しなさい。これはイスラエルの人々に対する法令である。

主がモーセに命じた通りに。』」

主はモーセに言われた、「アバリム山脈に登り、私がイスラエルの人々に与えた地を見なさい。

それを見た後、あなたはあなたの兄弟アロンがしたように、あなたの先祖たちに加わるであろう。それはあなたがツィンの荒野のメリバの水のところで、イスラエルの人々の前で私の聖性を守らなかったためである。」（これはツィンの荒野のカデシユのメリバの水である。）

モーセは主に言った、

64
65
2
4
5
7
8
9
10
11
12
13
14
15
16

民数記

「すべての生き物に命を与える神、主よ、会衆の上に指導者を任命してください。」¹⁷

彼が彼らを導き出し、導き入れるようにしてください。そうすれば、主の民が羊飼いのいない羊のようにならないでしょう。」¹⁸

主はモーセに言われた、「ヌンの子ヨシュアを取れ、彼の中に霊がある者である。彼に手を置きなさい。」¹⁹

彼を祭司エルアザルと会衆全体の前に立たせ、彼を彼らの目の前で任命しなさい。²⁰

あなたの権威の一部を彼に授けなさい。それでイスラエルの人々の全会衆が彼に従うであろう。²¹

彼は祭司エルアザルの前に立ち、エルアザルは主の前でウリムの決定によって彼のために尋ねるであろう。彼の命令で彼らは出て行き、彼の命令で彼らは入るであろう。彼とイスラエルの人々の全会衆の両方が。」²²

モーセは主が命じた通りに行った。彼はヨシュアを取り、彼を祭司エルアザルと会衆全体の前に立たせた。²³

彼は彼に手を置き、主がモーセを通して指示したように彼を任命した。

28 主はモーセに語って、次の言葉を言われた。²

「イスラエルの人々に命じて言いなさい。『私への捧げ物、火による私への食物の捧げ物を、私にとって心地よい香りとして、定められた時に捧げるように注意しなさい。』」³

彼らに言いなさい。『これは主に捧げる火による捧げ物です。欠けのない一歳の雄の子羊二頭を、毎日の常供の燔祭として捧げなさい。』⁴

朝に一頭の子羊を捧げ、もう一頭を夕暮れに捧げなさい。⁵

純粋な油の四分の一ヒンを混ぜた上質の小麦粉の十分の一エファを穀物の捧げ物として添えなさい。⁶

これはシナイ山で制定された常供の燔祭であり、心地よい香りとして、主への火による捧げ物です。⁷

付随する飲み物の捧げ物として、各子羊に強い飲み物の四分の一ヒンを捧げなさい。聖所で主に飲み物の捧げ物を注ぎなさい。⁸

夕暮れに二頭目の子羊を捧げ、朝と同じ種類の穀物の捧げ物と飲み物の捧げ物を添えなさい。これは主にとって心地よい香りの火による捧げ物です。⁹

「『安息日には、欠けのない一歳の雄の子羊二頭を、油を混ぜた上質の小麦粉の二十分の一エファを穀物の捧げ物として、その飲み物の捧げ物と共に捧げなさい。』」¹⁰

これは各安息日の燔祭であり、通常の燔祭とその飲み物の捧げ物と共に捧げるものです。¹¹

「『各月の初めに、主に若い雄牛二頭、雄羊一頭、一歳の雄の子羊七頭を、すべて欠けのないものとして燔祭を捧げなさい。』」¹²

各雄牛には、油を混ぜた上質の小麦粉の十分の一エファを穀物の捧げ物として捧げなさい。雄羊には、油を混ぜた上質の小麦粉の二十分の一エファを捧げなさい。¹³

各子羊には、油を混ぜた上質の小麦粉の十分の一エファを穀物の捧げ物として捧げなさい。これは燔祭であり、心地よい香りとして、主への火による捧げ物です。¹⁴

各雄牛には半ヒンのワインを、雄羊には三分の一ヒンを、各子羊には四分の一ヒンを飲み物の捧げ物として捧げなさい。これは毎月の新月の燔祭であり、年間を通じて捧げるものです。¹⁵

通常の燔祭とその飲み物の捧げ物に加えて、主に罪のための雄山羊一頭を捧げなさい。¹⁶

「『主の過越の祭は、第一月の十四日に行われます。』」¹⁷

この月の十五日には祭りがあり、七日間、種なしパンを食べなさい。¹⁸

初日には聖なる集会を開き、労働をしてはなりません。¹⁹

主に火による捧げ物として、若い雄牛二頭、雄羊一頭、一歳の雄の子羊七頭を、すべて欠けのないものとして燔祭を捧げなさい。²⁰

各雄牛には、油を混ぜた上質の小麦粉の十分の一エファを穀物の捧げ物として準備しなさい。雄羊には二十分の一エファを準備しなさい。²¹

七頭の子羊には、それぞれ十分の一エファを準備しなさい。²²

罪のための雄山羊一頭を捧げて、あなたたちのために贖いを行いなさい。²³

これらの捧げ物を、通常の朝の燔祭に加えて捧げなさい。²⁴

このようにして、七日間、毎日主に心地よい香りとして食物の捧げ物を捧げなさい。これは通常の燔祭とその飲み物の捧げ物に加えて捧げるものです。²⁵

七日目には聖なる集会を開き、労働をしてはなりません。²⁶

「『初穂の日には、週の祭りの間に主に新しい穀物の捧げ物を捧げるとき、聖なる集会を開き、労働をしてはなりません。』」²⁷

若い雄牛二頭、雄羊一頭、一歳の雄の子羊七頭を、主に心地よい香りとして燔祭を捧げなさい。²⁸

各雄牛には、油を混ぜた上質の小麦粉の十分の一エファを穀物の捧げ物として捧げなさい。雄羊には二十分の一エファを捧げなさい。²⁹

七頭の子羊には、それぞれ十分の一エファを捧げな

さい。³⁰
 あなたたちのために贖いを行うために、雄山羊一頭
 を捧げなさい。³¹
 これらを飲み物の捧げ物と共に、通常の燔祭とその
 穀物の捧げ物に加えて捧げなさい。動物は欠けのな
 いものであることを確認しなさい。

29 「第七の月の第一日に、聖なる集会を開き
 、通常の仕事を一切してはならない。それ
 はラッパを鳴らす日である。²
 主に心地よい香りとして、焼き尽くす捧げ物を捧げ
 なさい。傷のない若い雄牛一頭、雄羊一頭、一歳の
 雄の子羊七頭である。³
 その雄牛には、油を混ぜた上等の小麦粉三分の一エ
 バの穀物の捧げ物を、雄羊には二分の一エバを捧げ
 なさい。⁴
 七頭の子羊には、それぞれ十分の一エバを捧げな
 さい。⁵
 罪のための捧げ物として雄山羊一頭を含め、あなた
 がたのために贖いを成し遂げなさい。⁶
 これらの捧げ物は、月ごとの焼き尽くす捧げ物とそ
 の穀物の捧げ物、そして定常的な焼き尽くす捧げ物
 とその穀物の捧げ物、飲み物の捧げ物に加えて捧げ
 るものである。それらは主への火による心地よい香
 りの捧げ物である。⁷
 「この第七の月の第十日に、聖なる集会を開き、自
 らを謙虚にしなさい。仕事をしてはならない。⁸
 主に心地よい香りとして、焼き尽くす捧げ物を捧げ
 なさい。傷のない若い雄牛一頭、雄羊一頭、一歳の
 雄の子羊七頭である。⁹
 その雄牛には、油を混ぜた上等の小麦粉三分の一エ
 バの穀物の捧げ物を、雄羊には二分の一エバを捧げ
 なさい。¹⁰
 七頭の子羊には、それぞれ十分の一エバを捧げな
 さい。¹¹
 贖罪の捧げ物と定常的な焼き尽くす捧げ物、その穀
 物の捧げ物、飲み物の捧げ物に加えて、罪のための
 捧げ物として雄山羊一頭を含めなさい。¹²
 「第七の月の第十五日に、聖なる集会を開き、通常
 の仕事を一切してはならない。主のために七日間の
 祭りを祝う。¹³
 主に心地よい香りとして、焼き尽くす捧げ物を捧げ
 なさい。傷のない若い雄牛十三頭、雄羊二頭、一歳
 の雄の子羊十四頭である。¹⁴
 十三頭の雄牛には、それぞれ油を混ぜた上等の小麦
 粉三分の一エバの穀物の捧げ物を、二頭の雄羊には
 二分の一エバを捧げなさい。¹⁵
 十四頭の子羊には、それぞれ十分の一エバを捧げな
 さい。¹⁶
 定常的な焼き尽くす捧げ物、その穀物の捧げ物、飲

み物の捧げ物に加えて、罪のための捧げ物として雄
 山羊一頭を含めなさい。¹⁷
 「第二日には、傷のない若い雄牛十二頭、雄羊二頭
 、一歳の雄の子羊十四頭である。¹⁸
 雄牛、雄羊、子羊には、指定された数に応じてその
 穀物の捧げ物と飲み物の捧げ物を捧げなさい。¹⁹
 定常的な焼き尽くす捧げ物、その穀物の捧げ物、飲
 み物の捧げ物に加えて、罪のための捧げ物として雄
 山羊一頭を含めなさい。²⁰
 「第三日には、傷のない若い雄牛十一頭、雄羊二頭
 、一歳の雄の子羊十四頭である。²¹
 雄牛、雄羊、子羊には、指定された数に応じてその
 穀物の捧げ物と飲み物の捧げ物を捧げなさい。²²
 定常的な焼き尽くす捧げ物、その穀物の捧げ物、飲
 み物の捧げ物に加えて、罪のための捧げ物として雄
 山羊一頭を含めなさい。²³
 「第四日には、傷のない若い雄牛十頭、雄羊二頭、
 一歳の雄の子羊十四頭である。²⁴
 雄牛、雄羊、子羊には、指定された数に応じてその
 穀物の捧げ物と飲み物の捧げ物を捧げなさい。²⁵
 定常的な焼き尽くす捧げ物、その穀物の捧げ物、飲
 み物の捧げ物に加えて、罪のための捧げ物として雄
 山羊一頭を含めなさい。²⁶
 「第五日には、傷のない若い雄牛九頭、雄羊二頭、
 一歳の雄の子羊十四頭である。²⁷
 雄牛、雄羊、子羊には、指定された数に応じてその
 穀物の捧げ物と飲み物の捧げ物を捧げなさい。²⁸
 定常的な焼き尽くす捧げ物、その穀物の捧げ物、飲
 み物の捧げ物に加えて、罪のための捧げ物として雄
 山羊一頭を含めなさい。²⁹
 「第六日には、傷のない若い雄牛八頭、雄羊二頭、
 一歳の雄の子羊十四頭である。³⁰
 雄牛、雄羊、子羊には、指定された数に応じてその
 穀物の捧げ物と飲み物の捧げ物を捧げなさい。³¹
 定常的な焼き尽くす捧げ物、その穀物の捧げ物、飲
 み物の捧げ物に加えて、罪のための捧げ物として雄
 山羊一頭を含めなさい。³²
 「第七日には、傷のない若い雄牛七頭、雄羊二頭、
 一歳の雄の子羊十四頭である。³³
 雄牛、雄羊、子羊には、指定された数に応じてその
 穀物の捧げ物と飲み物の捧げ物を捧げなさい。³⁴
 定常的な焼き尽くす捧げ物、その穀物の捧げ物、飲
 み物の捧げ物に加えて、罪のための捧げ物として雄
 山羊一頭を含めなさい。³⁵
 「第八日には、特別な集会を開き、通常の仕事を一
 切してはならない。³⁶
 主に心地よい香りとして、焼き尽くす捧げ物を捧げ
 なさい。傷のない雄牛一頭、雄羊一頭、一歳の雄の
 子羊七頭である。³⁷

雄牛、雄羊、子羊には、指定された数に応じてその穀物の捧げ物と飲み物の捧げ物を捧げなさい。³⁸
 定常的な焼き尽くす捧げ物、その穀物の捧げ物、飲み物の捧げ物に加えて、罪のための捧げ物として雄山羊一頭を含めなさい。³⁹
 「あなたがたの誓願の捧げ物と自発的な捧げ物に加えて、これらを指定された祭りに主に捧げなさい。焼き尽くす捧げ物、穀物の捧げ物、飲み物の捧げ物、平和の捧げ物を捧げなさい。」⁴⁰
 モーセは、主が彼に命じたすべてのことをイスラエルの人々に伝えた。

30 モーセはイスラエルの部族の長たちに言った。「これは主が命じられたことである。²

人が主に誓願を立てるか、誓いを立てて誓約で自分を縛るとき、その言葉を破ってはならない。彼は自分が言ったことをすべて行わなければならない。³
 まだ父の家に住んでいる若い女性が、主に誓願を立てるか、誓約で自分を縛る場合、⁴
 その父が彼女の誓願を聞いても何も言わないなら、彼女のすべての誓願と誓約は有効である。⁵
 しかし、父がそれを聞いた日に彼女を禁じるなら、彼女の誓願や誓約は無効である。主は彼女を解放される。なぜなら、彼女の父がそれを無効にしたからである。⁶
 彼女が誓願や軽率な約束をした後に結婚する場合、⁷

その夫がそれを聞いても何も言わないなら、彼女の誓願は有効である。⁸
 しかし、夫がそれを聞いた日にそれを無効にするなら、彼女が誓ったことは無効であり、主は彼女を解放される。⁹
 未亡人や離婚した女性が立てた誓願は、彼女に対して有効である。¹⁰
 夫と共に住んでいる女性が誓願や誓約を立てる場合、¹¹
 夫がそれを聞いても何も言わないなら、彼女のすべての誓願は有効である。¹²
 しかし、夫がそれを聞いたときにそれを無効にするなら、それは無効である。主は彼女を解放される。¹³

夫は彼女が立てた誓願や誓いを確認することも、無効にすることもできる。¹⁴
 彼が日ごとに沈黙を守るなら、彼は彼女のすべての誓願と誓約を確認する。¹⁵
 しかし、後になってそれを無効にするなら、彼は彼女の罪の責任を負う。¹⁶
 これらは、主がモーセに与えた、夫と妻、そして父と娘が彼女の家に住んでいる間の規定である。

32 ルベンとガドの子孫は、多くの家畜を持っており、ヤゼルとギレアデの地方が彼らの家畜に適していることに気づきました。²
 そこで、彼らはモーセ、祭司エルアザル、および共同体の指導者たちに近づいて言いました。³
 「アタロテ、ディボン、ヤゼル、ニムラ、ヘシュボン、エレアレ、セバム、ネボ、バオンの町々」⁴
 主がイスラエルの会衆の前で征服された土地は、家畜に理想的であり、あなたのしもべたちは家畜を所有しています。⁵
 彼らは続けて言いました、「もし私たちがあなたの目に恵みを見いだしたなら、この土地を私たちの所有としてしもべたちに与えてください。ヨルダンを渡ることを強制しないでください。」⁶
 モーセはガドとルベンの子孫に答えました、「あなたたちの兄弟が戦争に行く間、あなたたちはここに留まるのですか？」⁷
 なぜあなたたちはイスラエルの人々を、主が彼らに与えた土地に渡ることから落胆させるのですか？⁸
 これは、私が彼らをカデシュ・バルネアから土地を調査するために送ったときに、あなたたちの父たちがしたことと同じです。⁹
 彼らがエシュコルの谷に到達し、土地を見たとき、彼らはイスラエルの人々を、主が彼らに約束した土地に入ることから落胆させました。¹⁰
 その結果、その日、主の怒りが燃え上がり、彼は誓って言いました。¹¹
 『エジプトから上ってきた二十歳以上の男たちは、アブラハム、イサク、ヤコブに誓った土地を見ることはない。彼らは私に完全に従わなかったからである。』¹²
 ただし、ケナズ人エフネの子カレブとヌンの子ヨシユアは、主に完全に従ったのである。』¹³
 こうして、主の怒りはイスラエルに対して燃え上がり、彼らを四十年間荒野をさまよわせ、主の目に悪を行った世代全体が減びるまで続けました。¹⁴
 そして今、あなたたちは父たちに代わって立ち上がり、罪深い人々の集団となり、イスラエルに対する主の怒りをさらに燃え上がらせています。¹⁵
 もしあなたがたが彼に従うことから離れるなら、彼は再び彼らを荒野に残し、あなたたちは彼らの減びの責任を負うことになります。』¹⁶
 彼らは彼に近づいて言いました、「私たちはここに私たちの家畜のための囲いと、私たちの子供たちのための都市を建設したいと思います。』¹⁷
 しかし、私たちは迅速に武装し、イスラエルの人々を導き、彼らをその場所に連れて行くまで、私たちの子供たちは土地の住民に対する保護のために要塞化された都市に住むことになります。』¹⁸

民数記

すべてのイスラエルの人々が彼の相続地を受け取るまで、私たちは自分たちの家に戻りません。¹⁹
ヨルダンの向こう側には彼らと共に相続地を求めることはありません。私たちの相続地は、ヨルダンのこちら側、東に割り当てられています。」²⁰
モーセは答えました、「もしあなたがたがこれを行うなら—
もしあなたがたが主の前で戦いのために武装するなら、²¹
そしてすべての武装した男たちが主の前でヨルダンを渡り、彼が敵を彼の前から追い払うまで—²²
その後、土地が主の前で征服されたなら、あなたがたは主とイスラエルに対する義務から解放され、この土地は主の前であなたがたの所有となるでしょう。²³
しかし、もしこれを行わないなら、あなたがたは主に対して罪を犯したことになります、あなたがたの罪があなたがたを見つけ出すことを確信しなさい。²⁴
あなたがたの子供たちのために都市を建設し、あなたがたの家畜のために囲いを作り、約束したことを果たしなさい。」²⁵
ガドとルベンの子孫はモーセに答えました、「あなたのしもべたちは、私たちの主が命じたとおりに行います。²⁶
私たちの子供たち、妻たち、家畜、そしてすべての牛はギレアデの都市に留まります。²⁷
あなたのしもべたちは、戦いのために武装したすべての者が主の前で渡り、戦いに参加します。私たちの主が言ったとおりに。」²⁸
そこでモーセは彼らについて、祭司エルアザル、スンの子ヨシュア、およびイスラエルの部族の父の家の頭たちに指示を与えました。²⁹
モーセは彼らに指示しました、「もしガドとルベンの子孫が、すべての戦いのために武装した者が主の前であなたがたと共にヨルダンを渡り、土地があなたがたの前で征服されたなら、あなたがたはギレアデの土地を彼らの所有として与えなければなりません。³⁰
しかし、もし彼らが武装してあなたがたと共に渡らないなら、彼らはカナンであなたがたの中に相続地を受け入れなければなりません。」³¹
ガドとルベンの子孫は答えました、「主があなたのしもべたちに語ったとおりに、私たちは行きます。³²
私たちは主の前で武装してカナンに渡りますが、私たちの相続地の財産はヨルダンのこちら側に留まります。」³³
そこでモーセは、ガドの子孫、ルベンの子孫、そしてヨセフの子マナセの半部族に、アモリ人の王シホ

ンの王国とバシヤンの王オグの王国—
その都市と周辺の領土を割り当てました。³⁴
ガドの子孫はディボン、アトロテ、アロエルの町を建設しました。³⁵
アトロテ・シヨファン、ヤゼル、ヨグベハを建設しました。³⁶
ベテ・ニムラとベテ・ハランを要塞化された都市として、彼らの家畜のための囲いを作りました。³⁷
ルベンの子孫はヘシュボン、エレアレ、キリヤタイムを再建しました。³⁸
また、ネボとバアル・メオン（その名前は変更されました）およびジブマを再建しました。彼らは再建した都市に新しい名前を与えました。³⁹
マナセの子マキルの子孫はギレアデに行き、それを捕らえ、そこにいたアモリ人を追い出しました。⁴⁰
それゆえ、モーセはギレアデをマナセの子マキルに与え、彼はそこに住みました。⁴¹
マナセの子孫ヤイルは彼らの集落を捕らえ、それらをハボテ・ヤイルと名付けました。⁴²
ノバはケナテとその周辺の村々を捕らえ、自分の名にちなんでそれをノバと名付けました。

33 これは、イスラエルの人々がモーセとアロンの指導のもと、エジプトの地を出発した旅程である。²
主の命令により、モーセは彼らの旅程に従って出発地点を記録した。これが彼らの旅程である。³
イスラエルの人々は第一の月の十五日にラメセスを出発した。これは過越の祭りの翌日であり、彼らはすべてのエジプト人の目の前で大胆に出発した。⁴
その間、エジプト人は主が彼らの間で撃たれたすべての長子を葬っていた。主は彼らの神々に対して裁きを行われたからである。⁵
イスラエルの人々はラメセスを旅立ち、スコテに宿営した。⁶
彼らはスコテを旅立ち、荒野の端にあるエタムに宿営した。⁷
彼らはエタムを旅立ち、バアル・ゼフォンの東にあるビ・ハヒロテに戻り、ミグドルの前に宿営した。⁸
彼らはビ・ハヒロテを旅立ち、海の中を通して荒野に入り、エタムの荒野で三日間旅した後、マラに宿営した。⁹
彼らはマラを旅立ち、エリムにきた。そこには十二の泉と七十本のなつめやしの木があり、彼らはそこに宿営した。¹⁰
エリムから彼らは旅立ち、紅海のそばに宿営した。¹¹
彼らは紅海を旅立ち、シンの荒野に宿営した。¹²
彼らはシンの荒野を旅立ち、ドフカに宿営した。¹³
ドフカから彼らは旅立ち、アルシュに宿営した。¹⁴

民数記

彼らはアルシュを旅立ち、レフィディムに宿営した。
そこには人々が飲む水がなかった。
彼らはレフィディムを旅立ち、シナイの荒野に宿営した。
彼らはシナイの荒野を旅立ち、キプロテ・ハッタアワに宿営した。
彼らはキプロテ・ハッタアワを旅立ち、ハゼロテに宿営した。
ハゼロテから彼らは旅立ち、リテマに宿営した。
彼らはリテマを旅立ち、リモン・ペレツに宿営した。
。彼らはリモン・ペレツを旅立ち、リブナに宿営した。
。リブナから彼らは旅立ち、リッサに宿営した。
リッサから彼らは旅立ち、ケヘラタに宿営した。
ケヘラタから彼らは旅立ち、シェフェル山に宿営した。
シェフェル山から彼らは旅立ち、ハラダに宿営した。
。ハラダから彼らは旅立ち、マケロテに宿営した。
マケロテから彼らは旅立ち、タハテに宿営した。
タハテから彼らは旅立ち、テラに宿営した。
テラから彼らは旅立ち、ミテカに宿営した。
ミテカから彼らは旅立ち、ハシュモナに宿営した。
ハシュモナから彼らは旅立ち、モセロテに宿営した。
。彼らはモセロテを旅立ち、ベネ・ヤアカンに宿営した。
。彼らはベネ・ヤアカンを旅立ち、ホル・ハギダガに宿営した。
。彼らはホル・ハギダガを旅立ち、ヨタバタに宿営した。
。ヨタバタから彼らは旅立ち、アブロナに宿営した。
。彼らはアブロナを旅立ち、エツヨン・ゲベルに宿営した。
。彼らはエツヨン・ゲベルを旅立ち、ツインの荒野にあるカデシュに宿営した。
。彼らはカデシュを旅立ち、エドムの地の端にあるホル山に宿営した。
主の命令により、祭司アロンはホル山に登り、イスラエルの人々がエジプトを出てから四十年目の五ヶ月目の一日にそこで死んだ。
アロンはホル山で亡くなったとき、百二十三歳であった。
さて、カナンのネゲブに住むアラドのカナン人の王は、イスラエルの人々の到来を聞いた。
彼らはホル山を旅立ち、ザルモナに宿営した。

ザルモナから彼らは旅立ち、ブノンに宿営した。
ブノンから彼らは旅立ち、オボテに宿営した。
彼らはオボテを旅立ち、モアブの境にあるイエ・アバリムに宿営した。
。彼らはイエ・アバリムを旅立ち、ディボン・ガドに宿営した。
。彼らはディボン・ガドを旅立ち、アルモン・ディブラタイムに宿営した。
。彼らはアルモン・ディブラタイムを旅立ち、ネボの近くのアバリムの山々に宿営した。
。彼らはアバリムの山々を旅立ち、エリコに向かい合うヨルダン川のモアブの平原に宿営した。
。モアブの平原で、彼らはベテ・イエシモテからアベル・シッティムまでヨルダン川沿いに宿営した。
そのとき、主はエリコに向かい合うヨルダン川のモアブの平原でモーセに語りかけて言われた。
「イスラエルの人々に命じて言いなさい。『あなたがたがヨルダン川を渡ってカナンの地に入るとき、その地の住民をすべて追い払い、彼らの彫像を滅ぼし、彼らの鑄造した偶像を滅ぼし、彼らの高き所を破壊しなさい。
あなたがたはその地を所有し、そこに住むであろう。わたしはその地をあなたがたに与えて住まわせるからである。
あなたがたはくじによってその地をあなたがたの氏族に分配しなさい。大きな部族には大きな相続地を、小さな部族には小さな相続地を与えなさい。くじで当たったところが彼らのものとなる。あなたがたはそれを祖先の部族に従って分配しなさい。
しかし、もしその地の住民を追い払わないならば、あなたがたが残しておく者たちはあなたがたの目にとげとなり、わき腹にいばらとなり、あなたがたが住む地であなたがたを悩ませるであろう。
そして、わたしが彼らにしようとしていることを、あなたがたに対して行うであろう。』」

34 主はモーセに語り、次の言葉を言われた。
「イスラエルの人々に命じて言いなさい。
『あなたがたがカナンの地に入るとき、これはあなたがたたちに相続地として割り当てられる地であり、その境界は次の通りである。
「『あなたがたの南側は、エドムの境界に沿ってツインの荒野から始まり、南の境界は塩の海の東端から始まる。
アクラビムの坂を南に越え、ツインに至り、カデシュ・バルネアの南を通る。それからハツァル・アダルに達し、アツモンに続く。
そこで境界は曲がり、エジプトのワディに合流し、

民数記

地中海で終わる。⁶
「『あなたたちの西の境界は地中海の海岸線である。⁷
これが西の境界となる。⁸
『あなたたちの北の境界は、地中海からホル山まで線を引く。⁹
ホル山から境界をレボ・ハマトに引き、境界はツエダデに至る。¹⁰
ツイフロに続き、ハツアル・エナンで終わる。これが北の境界である。¹¹
「『あなたたちの東の境界は、ハツアル・エナンからシェファムまで線を引く。¹²
境界はシェファムからアインの東側のリブラに下り、ガリラヤ湖の東の斜面に沿って続く。¹³
それから境界はヨルダン川に沿って下り、塩の海で終わる。『これが四方の境界を持つあなたたちの土地である。』¹⁴
モーセはイスラエルの人々に命じた。「この土地をくじで割り当て、主が命じたように九つ半の部族に相続地として与えなさい。¹⁵
ルベンの部族、ガドの部族、そしてマナセの半部族はその家族に従って相続地を受け取ったからである。¹⁶
これらの二つ半の部族は、エリコに向かい、日の出の方向にあるヨルダンの東側で相続地を受け取った。」¹⁷
主はモーセに語り、次の言葉を言われた。
「これらはあなたたちに相続地を割り当てる者たちの名前である。祭司エルアザルとヌンの子ヨシュア。¹⁸
土地の割り当てを助けるために各部族から指導者を任命しなさい。¹⁹
名前は次の通りである。ユダの部族からは、エフネの子カレブ。²⁰
シメオンの部族からは、アミフデの子シェムエル。²¹
ベニヤミンの部族からは、キスロンの子エリダデ。²²
ダン部族からは、指導者として、ヨグリの子ブツキ。²³
マナセの部族からは、指導者として、エフォデの子ハンニエル。²⁴
エフライムの部族からは、指導者として、シフタンの子ケムエル。²⁵
ゼブルンの部族からは、指導者として、パルナクの子エリツァファン。²⁶
イッサカルの部族からは、指導者として、アツァンの子バルティエル。²⁷
アシェルの部族からは、指導者として、シェロミの子アヒフデ。²⁸

ナフタリの部族からは、指導者として、アミフデの子ベダヘル。」²⁹
これらは、主がカナンの地でイスラエルの人々に相続地を分配するよう命じた者たちである。

35 主はエリコに対するヨルダン川の向こう側、モアブの平原でモーセに語られた。²
「イスラエルの人々に命じて、彼らの所有地の相続地からレビ人に住む町を割り当て、これらの町の周囲に牧草地を与えなさい。³
これらの町は彼らが住むためのものであり、牧草地は彼らの家畜、器具、その他すべての動物のためのものである。⁴
「レビ人に与える町の周囲の牧草地は、町の壁から外側に千キュビット延びるものとする。⁵
町の東、西、南、北の側に町を中心として二千キュビットを測りなさい。この区域が町の牧草地となる。⁶
「レビ人に与える町のうち、六つを避難都市として指定し、過失で人を殺した者が逃れることができるようにしなさい。また、他に四十二の町を与えなさい。⁷
合計で四十八の町をレビ人に与え、その牧草地も含めなさい。⁸
イスラエルの人々の土地からレビ人に与える町は、各部族の相続地に比例して与えなさい。大きな相続地を持つ部族からは多くの町を、小さな相続地を持つ部族からは少ない町を取りなさい。」⁹
その後、主はモーセに語られた。¹⁰
「イスラエルの人々に言いなさい。『あなたがたがヨルダン川を渡ってカナンの地に入るとき、¹¹
避難都市として使う町を選びなさい。そこに、誤って人を殺した者が逃れることができる。¹²
これらの町は復讐者からの避難所となり、被告が集会の前で裁判を受ける前に死ぬことがないようにする。¹³
あなたがたが提供する六つの町が避難都市となる。¹⁴
ヨルダン川のこちら側に三つの町を、カナンの地に三つの町を避難都市として割り当てなさい。¹⁵
これらの六つの町は、イスラエルの人々、外国人、およびあなたがたの中に住む寄留者のための避難所となり、誤って人を殺した者がそこに逃れることができる。¹⁶
「もし誰かが鉄の器具で他人を打って死なせたなら、その者は殺人者である。殺人者は必ず死刑にされなければならない。¹⁷
もし誰かが手に石を持って他人を打ち、死なせたなら、その者は殺人者である。殺人者は必ず死刑にされなければならない。¹⁸

また、もし誰かが手に木の器具を持って他人を打ち、死なせたなら、その者は殺人者である。殺人者は必ず死刑にされなければならない。¹⁹

血の復讐者は殺人者を処刑する。復讐者が殺人者に会ったとき、その者を殺さなければならない。²⁰もし誰かが憎しみを持って他人を押し、または悪意を持って何かを投げつけて死なせたなら、²¹または悪意を持って他人を打ち、死なせたなら、その者は殺人者である。復讐者は殺人者に会ったとき、その者を殺さなければならない。²²

「しかし、もし誰かが突然に敵意なく他人を押し、または悪意なく何かを投げつけたなら、²³または、見ずに死に至る重さの石を落とし、その人が死んだが、敵意も害意もなかったなら、²⁴

その場合、集会は被告と血の復讐者の間をこれらの法律に従って裁かなければならない。²⁵集会は過失致死の被告を血の復讐者から守り、被告を逃れた避難都市に戻さなければならない。被告は聖油で油注がれた大祭司の死までそこに留まらなければならない。²⁶

「もし被告が逃れた避難都市の境界を越えて出たなら、²⁷血の復讐者がその者を町の外で見つけた場合、復讐者はその者を殺しても殺人の罪に問われない。²⁸被告は大祭司の死まで避難都市に留まらなければならない。大祭司の死後にのみ、自分の所有地に戻ることができる。²⁹

「これらの規定は、あなたがたの住むどこであっても、世代を超えて法的な規則となる。³⁰「誰かが他人を殺した場合、証人の証言によってのみ殺人者として死刑にされる。たった一人の証人の証言で死刑にされてはならない。³¹

「死に値する殺人者の命の代わりに贖いを受け入れるてはならない。その者は必ず死刑にされなければならない。³²

「避難都市に逃れた者のために贖いを受け入れて、大祭司の死前に自分の土地に戻って住むことを許してはならない。³³

「あなたがたの住む地を汚してはならない。流血は地を汚し、流血があった地のための贖いは、それを流した者の血によってのみなされる。³⁴あなたがたが住む地を汚してはならない。そこには私も住んでいるからである。私は主であり、イスラエルの人々の間に住んでいる。」

ヨセフの子孫の家族から、マナセの子マキルの子ギレアデの家族の父の家の頭たちが近づいてきて、モーセと指導者たち、イスラエルの部族の父の家の頭たちの前で語った。²彼らは言った、「主は私の主に、くじによってイスラエルの人々に相続地を分け与えるように命じ、私の主は主によって、私たちの兄弟ゼロフェハデの相続地を彼の娘たちに与えるように指示されました。³

しかし、もし彼女たちが他のイスラエルの部族の男と結婚すれば、彼女たちの相続地は私たちの先祖の相続地から取り除かれ、彼女たちが結婚する部族に加えられ、私たちの割り当てられた相続地が減少します。⁴

イスラエルの人々のためのヨベルの年が来るとき、彼女たちの相続地は彼女たちが結婚する部族に加えられ、彼女たちの財産は私たちの先祖の部族の相続地から取り除かれます。」⁵

モーセはイスラエルの人々に主の命令を伝えて言った、「ヨセフの子孫の部族はその主張において正しい。⁶

これはゼロフェハデの娘たちについて主が命じることです：彼女たちは望む者と結婚してもよいが、父の部族の家族の中で結婚しなければなりません。⁷このようにして、イスラエルにおいて相続地が部族から部族へ移されることはなく、各イスラエル人は自分の先祖の部族の相続地を保つことになります。⁸

どのイスラエルの部族においても土地を相続する娘は、父の部族の家族の中から結婚相手を選ばなければなりません。そうすれば、各イスラエル人は自分の先祖の相続地を保つことができます。⁹

相続地が一つの部族から他の部族へ移されることはありません。各イスラエルの部族は自分の相続地を保つことになります。」¹⁰

ゼロフェハデの娘たちは、主がモーセに命じたように行いました。¹¹

マフラ、ティルツァ、ホグラ、ミルカ、ノア、ゼロフェハデの娘たちは、父の側のいとこと結婚しました。¹²

彼女たちはヨセフの子マナセの子孫の家族に嫁ぎ、彼女たちの相続地は父の部族と家族の中に留まりました。¹³

これらは、モアブの平原でヨルダン川の対岸、エリコに面したところで、主がモーセを通してイスラエルの人々に与えた命令と規定です。

申命記

1 これは、モーセがヨルダン川の向こう側、アラバの荒野、スフに対する場所、バランとトフェル、ラバン、ハゼロテ、ディザハブの間で、全イスラエルに語った言葉である。²
ホレブからセイル山を経てカデシュ・バルネアに至る道のりは十一日である。³
第四十年の第十一日の初日に、モーセはイスラエルの子らに、主が彼に命じたすべてのことを語った。⁴

彼がヘシュボンに住んでいたアモリ人の王シホンと、アシュタロテとエデレイに住んでいたバシヤンの王オグを打ち破った後のことである。⁵
ヨルダン川の向こう側、モアブの地で、モーセはこの律法を説明し始めて言った。⁶
「我々の神、主はホレブで我々に語られた、『あなたたちはこの山に長く留まっている。⁷
向きを変えて旅立ち、アモリ人の山地、アラバのすべての隣人、山地、低地、ネゲブ、海岸、カナン人の地、レバノン、大河ユーフラテスに至るまで行け。⁸
見よ、私はその地をあなたたちの前に置いた。行って、主があなたたちの父祖アブラハム、イサク、ヤコブに与えると誓った地を占領せよ。彼らの後の子孫に与えるために。』⁹
その時、私はあなたたちに言った、『私は一人であなたたちを担うことはできない。¹⁰
あなたたちの神、主はあなたたちを増やし、見よ、今日あなたたちは空の星のように多くなっている。¹¹

あなたたちの先祖の神、主があなたたちを千倍に増やし、約束されたように祝福されますように！¹²
しかし、どうして私一人であなたたちの問題、負担、争いを担うことができるだろうか？¹³
あなたたちの各部族から、知恵があり、理解があり、尊敬される人々を選びなさい。私は彼らをあなたたちの指導者に任命する。』¹⁴
するとあなたたちは私に答えた、『あなたが提案することは良いことです。』¹⁵
そこで私はあなたたちの部族の指導者、知恵があり尊敬される人々を取り、千人隊、百人隊、五十人隊、十人隊の指揮官として、またあなたたちの部族の役人として任命した。¹⁶
その時、私はあなたたちの裁判官に命じて言った、『あなたたちの民の間の訴えを聞き、公平に裁きなさい。それがイスラエル人同士の訴えであれ、あなたたちの間に住む外国人との訴えであれ。¹⁷
裁きにおいて偏見を持つてはならない。小さな者も大きな者も同様に聞きなさい。誰をも恐れてはならない。裁きは神のものである。あなたたちにとって

難しい訴えは私のところに持ってきなさい。私はそれを聞く。』¹⁸
その時、私はあなたたちに行くべきすべてのことを命じた。¹⁹
それから我々はホレブを出発し、我々の神、主が命じたように、あなたたちが見たあの広大で恐ろしい荒野を通して、アモリ人の山地に向かい、カデシュ・バルネアに到達した。²⁰
そして私はあなたたちに言った、『あなたたちは我々の神、主が与えてくださるアモリ人の山地に到達した。²¹
見よ、あなたたちの神、主がその地をあなたたちの前に置かれた。上って行ってそれを占領せよ。あなたたちの先祖の神、主があなたたちに語られたように。恐れてはならない。気を落としてはならない。』²²
するとあなたたちは皆私のところに来て言った、『我々の前に人を送り、我々が行くべき道と到達する町々について報告を持ち帰らせましょう。』²³
その計画は私にとって良いと思われたので、私はあなたたちの中から十二人を選び、各部族から一人ずつ選んだ。²⁴
彼らは出発し、山地に上り、エシュコルの谷に来てそれを探った。²⁵
彼らはその地の果物を持ち帰り、我々に報告して言った、『我々の神、主が与えてくださる地は良い地です。』²⁶
しかし、あなたたちは上って行こうとせず、あなたたちの神、主の命令に逆らった。²⁷
あなたたちは自分の幕で不平を言って言った、『主が我々を憎んでおられるので、我々をエジプトから連れ出し、アモリ人の手に渡して滅ぼそうとしているのだ。』²⁸
我々はどこに行けるだろうか？我々の兄弟たちは我々の心を溶かして言った、「その民は我々よりも強く、背が高い。町々は大きく、天にまで要塞化されている。我々はそのこにアナク人も見た。」²⁹
私はあなたたちを励まし、言った、『恐れてはならない。彼らを恐れるな。』³⁰
あなたたちの前に行くあなたたちの神、主が、エジプトであなたたちの目の前でしてくださったように、あなたたちのために戦われる。³¹
また、荒野では、あなたたちの神、主があなたたちを運んでくださったことを見た。父が息子を運ぶように、あなたたちがこの場所に到達するまで、すべての道のりで。』³²
それにもかかわらず、あなたたちはあなたたちの神、主を信頼しなかった。³³
主はあなたたちの旅の先を行き、宿営する場所を探

申命記

し、夜は火で、昼は雲で、行くべき道を示された。

主はあなたたちの言ったことを聞いて怒り、誓って言われた。

『この悪い世代の者は一人も、私があなたたちの先祖に与えたと誓った良い地を見ることはない。ただし、エフネの子カレブだけは見るができる。彼とその子孫には、彼が足を踏み入れた地を与える。彼は主に完全に従ったからである。』

主はあなたたちのために私にも怒り、『あなたもそこに入ることはできない。』

ヌンの子ヨシュアはあなたたちの前に立っている。彼はそこに入る。彼を励ましなさい。彼がイスラエルを導いてそれを継がせる。

さらに、あなたたちが捕虜になると言った幼子たち、善悪をまだ知らないあなたたちの子供たちは、その地に入る。私はそれを彼らに与え、彼らがそれを占領する。

しかし、あなたたちは向きを変え、紅海の道を通って荒野に向かいなさい。』

するとあなたたちは答えて言った、『我々は主に対して罪を犯しました。我々は上って行き、我々の神、主が命じたように戦います。』それであなたたちは皆、武器を取り、山地に上ることが容易だと思った。

しかし、主は私に言われた、『彼らに言え、「上って行って戦ってはならない。私はあなたたちの中にいない。そうでなければ、あなたたちは敵に打ち負かされる。』

それで私はあなたたちに語ったが、あなたたちは聞き入れず、主の命令に逆らい、思い上がって山地に上って行った。

そこに住んでいたアモリ人はあなたたちに向かって出てきて、蜂の群れのように追いつき、セイルからホルマまで打ち負かした。

あなたたちは戻って主の前で泣き叫んだが、主はあなたたちの泣き声に耳を傾けず、耳を貸さなかった。

それであなたたちはカデシュに長い間留まった。そこにいたすべての日々を。

それから私たちは向きを変え、主が私に命じたように、紅海の道を通って荒野へ向かい、セイル山の周りを多くの日々にわたって回った。

そのとき、主が私に語って言われた、『あなたたちはこの山地を回ることが長すぎた。今、北へ向きを変えなさい。』

人々に命じて言いなさい、『あなたたちはセイルに住む兄弟たち、エサウの子孫の領土を通過しようとしている。彼らはあなたたちを恐れるので、非常に

注意しなさい。

彼らを戦いに挑発してはならない。私は彼らの土地を、足の裏ほどのものさえもあなたたちに与えない。私はセイル山をエサウに彼の所有として与えたからである。

あなたたちは彼らから食べ物を買って食べ、水も金で買って飲むべきである。』

あなたの神、主はあなたの手のすべての働きを祝福された。主はこの広大な荒野でのあなたの旅を見守ってくださった。この四十年間、あなたの神、主はあなたと共におられた。あなたは何も欠けることがなかった。

それで私たちはセイルに住む兄弟たち、エサウの子孫を通り過ぎ、アラバの道から離れ、エラテとエツィオン・ゲベルから離れ、モアブの荒野の道を進んだ。

そのとき、主が私に命じて言われた、「モアブを悩ませたり、彼らを戦いに挑発したりしてはならない。私は彼らの土地の一部を所有としてあなたに与えない。私はアルをロトの子孫に所有として与えたからである。」

(エミムはそこに住んでいた。彼らはアナク人のように大きく、数多く、背が高い民であった。アナク人のように、彼らもレファイムと見なされていたが、モアブ人は彼らをエミムと呼んでいた。ホリ人は以前セイルに住んでいたが、エサウの子孫が彼らを追い出し、彼らを滅ぼし、その場所に住んだ。これはイスラエルが主が彼らに与えた所有の地で行ったのと同じである。)

そして主は言われた、「今立ち上がり、ゼレドの谷を渡りなさい。」それで私たちは谷を渡った。

カデシュ・バルネアからゼレドの谷を渡るまでにかかった時間は三十八年であり、その間に戦うことのできるすべての世代が主が彼らに誓ったように宿営から滅び去った。

確かに、主の力は彼らに対して働き、彼らを宿営の中で滅ぼし、すべてを滅ぼした。

この戦うことのできる人々の最後の者が死んだとき、主は私に語られた、

「今日、あなたはアルのモアブの地域を通過しようとしている。

アモン人の前に来たとき、彼らを悩ませたり、戦いに挑発したりしてはならない。私はアモン人の土地を所有としてあなたに与えない。私はそれをロトの子孫に所有として与えたからである。」

(それもまたレファイムの地と見なされていた。彼らはそこに住んでいたが、アモン人は彼らをザムズミムと呼んでいた。

彼らはアナク人のように大きく、数多く、背が高い

申命記

民であった。主は彼らをアモン人の前から滅ぼし、アモン人は彼らを追い出し、その場所に住んだ。²² 主はセイルに住むエサウの子孫のために同じことを行われた。彼はホリ人を彼らの前から滅ぼし、彼らは彼らを追い出し、その場所に住んだ。それは今日まで続いている。²³

ガザまでの村々に住んでいたアビムについては、カフトルから来たカフトリムが彼らを打ち破り、その場所に住んだ。²⁴

「今出発し、アルノンの谷を渡りなさい。見よ、私はアモリ人のシホン、ヘシュボンの王とその国をあなたの手に渡した。彼を打ち破り、その土地を占領し始めなさい。」²⁵

今日、私はあなたの恐れと畏れを天の下のすべての国々の顔に置き始める。彼らはあなたの報告を聞いて震え、あなたのために苦しむであろう。」²⁶

私はケデモテの荒野からシホン、ヘシュボンの王に平和の言葉を持って使者を送った。²⁷

「私たちはあなたの国を通過させてください。私たちは主要な道に留まり、右にも左にもそれません。」²⁸

あなたは私たちに食べ物と金を売ってください、そうすれば私たちは食べます。また、水を金でください、そうすれば私たちは飲みます。ただ徒歩で通過させてください—²⁹

セイルのエサウの子孫やアルのモアブ人が私たちに許したように—

私たちの神、主が私たちに与えている土地にヨルダンを渡るまで。」³⁰

しかし、シホン、ヘシュボンの王は私たちが彼の土地を通過することを許さなかった。あなたの神、主が彼の霊を固くし、彼の心を頑なにされたからである。それは今日のように彼をあなたに渡すためであった。³¹

そして主は私に言われた、「見よ、私はシホンとその国をあなたに渡し始めた。今、彼の土地を征服し、所有し始めなさい。」³²

それでシホンはすべての民を率いてヤハツで私たちに戦いを挑んできた。³³

そして私たちの神、主は彼を私たちに渡し、私たちは彼とその息子たちとすべての民を打ち破った。³⁴ そのとき、私たちは彼のすべての町を占領し、すべての都市の男、女、子供を完全に滅ぼした。生存者は残さなかった。³⁵

私たちは捕えた町々から家畜と戦利品だけを取った。³⁶

アルノンの谷の端にあるアロエルから、谷の町、ギレアデまで、私たちにとって強すぎる町はなかった。私たちの神、主はすべてを私たちに与えた。³⁷

あなたたちの神、主の命令に従って、あなたたちはアモン人の土地には侵入しなかった。ヤボクの流れに沿った土地も、丘の中の町々の周りの土地もそうである。

3 それから私たちは向きを変えてバシヤンへの道を上り、バシヤンの王オグが全軍を率いてエデレイで私たちに戦いを挑んできた。²

主は私に言われた、「彼を恐れてはならない。私は彼とその全軍とその地をあなたの手に渡した。あなたはヘシュボンでアモリ人の王シホンにしたように、彼にもそうしなければならぬ。」³

それで私たちの神、主はバシヤンの王オグとその全ての民を私たちの手に渡し、私たちは彼らを打ち破り、生き残りが一人もいなくなるまで滅ぼした。⁴

その時、私たちは彼の全ての都市を占領した。彼らから奪わなかった都市は一つもなく、六十の都市、アルゴブの全地域、バシヤンの王国オグの全ての都市を占領した。⁵

これらの都市は全て高い壁と門と横木で守られており、さらに多くの城壁のない村々もあった。⁶

私たちはヘシュボンの王シホンにしたように、彼らを完全に滅ぼし、全ての都市を、男も女も子供も、完全に滅ぼした。⁷

しかし、全ての家畜と都市からの戦利品は私たち自身のものとした。⁸

その時、私たちはヨルダン川の向こう側にいるアモリ人の二人の王から、アルノンの谷からヘルモン山までの地を奪った。⁹

(ヘルモンはシドン人によってシリオンと呼ばれ、アモリ人はそれをセニルと呼ぶ。)¹⁰

私たちは高原の全ての都市、ギレアデ全域、バシヤン全域をサレカとエデレイまで、バシヤンの王国オグの都市を奪った。¹¹

(バシヤンの王オグはレファイムの最後の者であった。彼の寝台は鉄で作られており、長さは九キュビット以上、幅は四キュビットであった。それは今もアンモン人のラバにある。)¹²

その時に私たちが奪った地のうち、私はルベン人とガド人にアルノンの谷の北にあるアロエルの地、ギレアデの半分の山地とその都市を与えた。¹³

ギレアデの残りバシヤン全域、オグの王国をマナセの半部族に与えた。(バシヤンのアルゴブ全域はレファイムの地として知られていた。)¹⁴

マナセの子孫ヤイルはゲシュル人とマアカ人の境界までアルゴブ全域を取った。それは彼の名にちなんで名付けられ、今日までバシヤンはハボテ・ヤイルと呼ばれている。¹⁵

そして私はギレアデをマキルに与えた。¹⁶ ルベン人とガド人には、ギレアデからアルノンの谷

申命記

までの地（谷の中央が境界）とアンモン人の境界であるヤボク川までの地を与えた。¹⁷

その西の境界はアラバのヨルダン川であり、キネレテからアラバの海（すなわち塩の海）、ピスガの斜面の下までである。¹⁸

その時、私はあなたの方に命じた、「あなた方の神、主がこの地を所有するように与えた。全ての勇敢な者たちは、武装してあなた方の同胞イスラエル人の前を渡らなければならない。¹⁹

しかし、あなた方の妻、子供、そして家畜（あなた方には多くの家畜があることを知っている）は、私があなた方に与えた都市に留まることができる。²⁰

主があなた方の同胞イスラエル人に安息を与え、彼らもまたヨルダンの向こう側にあなた方の神、主が与えている地を所有するまで。そしてその後、あなた方は私が与えた所有地に戻るることができる。」²¹

その時、私はヨシュアに命じた、「あなたの目は、あなたの神、主がこれら二人の王にした全てのことを見た。主はあなたが行く全ての王国にも同じことをするであろう。²²

彼らを恐れてはならない。あなたの神、主があなたのために戦うであろう。」²³

その時、私は主に熱心に求めた：²⁴
「主なる神よ、あなたはあなたのしもべにあなたの偉大さと力強い手を示し始められました。天にも地にも、あなたの行う業と力強い行いを行う神は他にありません。²⁵

どうか私を渡らせて、ヨルダンの向こうの良い地、あの美しい山地とレバノンを見させてください。」²⁶

しかし、主はあなた方のために私に怒り、私の願いを聞き入れなかった。「それで十分だ」と主は言われた。「この件について私にもう話さないでください。²⁷

ピスガの頂に上り、西、北、南、東を見渡しなさい。あなたはこのヨルダンを渡ることはないのです、自分の目でその地を見るがよい。²⁸

しかし、ヨシュアを任命し、彼を励まし、強めなさい。彼がこの民を渡らせ、あなたが見るその地を彼らに所有させるであろう。」²⁹

こうして、私たちはベテ・ペオルに対する谷に留まった。

4 さて、イスラエルよ、私が教えようとしている掟と法令を聞いて守りなさい。そうすれば、あなたたちは生きて、主、あなたたちの先祖の神が与えてくださる地に入り、それを所有することができる。²

私があなたたちに命じる言葉に何も加えず、何も減らしてはならない。そうすれば、主、あなたたちの

神の命令を守ることができる。³

あなたたちは、自分の目で主がバアル・ペオルについて何をなさったかを見た。主、あなたたちの神は、バアル・ペオルに従った者を皆、あなたたちの中から滅ぼされた。⁴

しかし、主、あなたたちの神にしっかりとついていたあなたたちは皆、今日生きている。⁵

見よ、私は主、私の神が命じた通りに掟と法令を教えた。それは、あなたたちが入って所有しようとしている地でそれを守るためである。⁶

それを注意深く守りなさい。そうすれば、これがあなたたちの知恵と理解を諸国民に示すことになる。彼らはこれらの掟を聞いて、「確かにこの偉大な国民は賢く理解のある民だ」と言うだろう。⁷

他にどの国が、私たちが呼び求めるたびに私たちに近い神を持っているだろうか。⁸

そして、今日私があなたたちの前に置くこのような正しい掟と法令を持っている偉大な国が他にあるだろうか。⁹

ただし、注意深く、自分自身をしっかりと見守りなさい。そうすれば、あなたたちの目が見たことを忘れず、あなたたちが生きている限り、それが心から消えることはない。それをあなたたちの子供たちやその後の子供たちに知らせなさい。¹⁰

ホレブであなたたちの神、主の前に立った日を思い出しなさい。主が私に言われた、「私の言葉を聞くために人々を私の前に集めなさい。そうすれば、彼らは地上で生きている間、私を畏れることを学び、それを子供たちに教えることができる。」¹¹

あなたたちは近づいて、天に達する火で燃えている山のふもとに立った。それは黒い雲と深い暗闇に囲まれていた。¹²

その時、主は火の中からあなたたちに語られた。あなたたちは言葉の音を聞いたが、形は見なかった。ただ声だけがあった。¹³

主はその契約、すなわち十戒をあなたたちに宣言し、それを守るよう命じ、二枚の石の板にそれを書かれた。¹⁴

その時、主は私に掟と法令を教えるよう命じられた。それは、あなたたちがヨルダンを渡って所有しようとしている地でそれを守るためである。¹⁵

非常に注意しなさい。主がホレブで火の中からあなたたちに語られた日に、あなたたちは形を見なかったからである。¹⁶

それで、あなたたちは墮落して、自分たちのために偶像を作らないようにしなさい。それは、人間や女性の形をしたもの、¹⁷

地上のどの動物の形、空を飛ぶどの鳥の形、地面を這うどの生き物の形、水中のどの魚の形でも

申命記

ない。¹⁹そして、空を見上げて、太陽、月、星々―
天のすべての軍勢を見たとき、それらを拝んで礼拝
することに引き込まれないようにしなさい。それは、
主、あなたたちの神が天の下すべての国々に分
け与えたものである。²⁰
しかし、あなたたちについては、主はあなたたちを
鉄の炉、エジプトから連れ出し、今日のようにご自
身の相続の民とするために連れ出された。²¹
主はあなたたちのために私に怒り、私はヨルダン
を渡って、主、あなたたちの神があなたたちに相続
として与えている良い地に入ることはないと言われ
た。²²
私はこの地に留まる。私はヨルダンを渡らない。し
かし、あなたたちは渡って、その良い地を所有する
。²³
主、あなたたちの神があなたたちと結んだ契約を忘
れないように注意しなさい。主、あなたたちの神が
禁じたどの形の偶像も作らないようにしなさい。²⁴
主、あなたたちの神は焼き尽くす火であり、独占的
な献身を望む神である。²⁵
あなたたちが子供や孫を持ち、その地に長く住んだ
後―
もしあなたたちが墮落して、どのような偶像でも作
り、主、あなたたちの神の目に悪を行い、その怒り
を引き起こすならば、²⁶
私は今日、天と地を証人として呼び出し、あなたた
ちがヨルダンを渡って所有しようとしている地から
速やかに滅び去ることを宣言する。あなたたちはそ
こに長く住むことはなく、必ず滅ぼされる。²⁷
主はあなたたちを諸国民の間に散らし、主があなた
たちを追いやる国々の中で、わずかしが残らない。²⁸
そこでは、人間の手で作られた木や石の神々に仕え
ることになる。それらは見ることも聞くことも食べ
ることも嗅ぐこともできない。²⁹
しかし、そこから主、あなたたちの神を求めるなら
ば、心を尽くし、魂を尽くして探すならば、主を見
出すだろう。³⁰
あなたたちが困難に遭い、これらのことがすべてあ
なたたちに起こったとき、後の日にあなたたちは主
、あなたたちの神に戻り、その声に従うだろう。³¹
主、あなたたちの神は慈悲深い神である。あなたた
ちを見捨てたり、滅ぼしたり、先祖と結んだ契約を
忘れたりしない。それは、主が彼らに誓ったもので
ある。³²
今、あなたたちの前の時代、神が地上に人類を創造
した日から、天の一端から他端まで尋ねてみなさい
。このように偉大なことが起こったことがあるか、
あるいはそのようなことが聞かれたことがあるか。

³³
他のどの民が、あなたたちのように火の中から語る
神の声を聞いて生き残っただろうか。³⁴
他のどの神が、試練、しるしと不思議、戦争、強い
手と伸ばした腕、または偉大で恐ろしい行いによっ
て、一つの国を他の国から自分のために取るうとし
たことがあるか。あなたたちの神、主があなたたち
の目の前でエジプトで行ったすべてのことのように
。³⁵
これらのことがあなたたちに示されたのは、主が神
であることを知るためである。主の他にはない。³⁶
天から主はその声を聞かせてあなたたちを教え、地
上ではその偉大な火を見せ、火の中からその言葉を
聞かせた。³⁷
あなたたちの先祖を愛し、その子孫を選ばれたため
、主はご自身の臨在と大いなる力であなたたちをエ
ジプトから連れ出された。³⁸
あなたたちよりも大きく、強い国々をあなたたちの
前から追い出し、彼らの地にあなたたちを導き入れ
、それをあなたたちの相続地として与えるためであ
る。それは今日のことである。³⁹
今日、心に留めて認識しなさい。天の上にも地の下
にも主が神である。他にはない。⁴⁰
今日、私があなたたちに与える掟と命令を守りなさい。
そうすれば、あなたたちとあなたたちの子孫が
幸せになり、主、あなたたちの神が永遠に与える地
で長く生きることができる。⁴¹
その時、モーセはヨルダンの東に三つの都市を指定
した。⁴²
それは、誤って隣人を殺した者が逃げることができ
る場所であり、意図せずに人を殺した者がこれらの
都市の一つに逃げ込み、その命を守ることができる
ようにするためである。⁴³
その都市は次の通りである。荒野の高原にあるベゼ
ルはルベン族のため、ギレアデのラモテはガド族の
ため、バシヤンのゴランはマナセ族のためである。⁴⁴
これがモーセがイスラエルの人々に示した律法であ
る。⁴⁵
これらは、モーセがエジプトから出たときに彼らに
与えた証言、掟、法令である。⁴⁶
彼らがエジプトから出たとき、ヨルダンの東、ベト
・ペアルの近くの谷に位置し、ヘシュボンで治めて
いたアモリ人の王シホンの領土にいた。⁴⁷
彼らはバシヤンの王オグの領土と共に、ヨルダンの
東にある二人のアモリ人の王の領土を占領した。⁴⁸
この地はアルノン溪谷の端にあるアロエルからシリ
オン山（すなわちヘルモン）まで広がっていた。⁴⁹
そして、ヨルダンの東、アラバの海に至るまで、ピ

申命記

スガの斜面の下にあるすべてのアラバを含んでいた。
。

5 モーセは全イスラエルを呼び集めて彼らに言った。「イスラエルよ、今日あなたがたの聞くと
ここで私が宣言する掟と法令を開け。それらをよく学び、忠実に守りなさい。
私たちの神、主はホレブで私たちと契約を結ばれた

。主がこの契約を結ばれたのは私たちの先祖とではなく、今日ここに生きている私たちすべてとである。
4 主は火の中から山であなたがたに直接語られた。

5 その時、私は主とあなたがたの間に立って、主の言葉をあなたがたに告げた。あなたがたは火を恐れて山に登らなかったからである。そして主は言われた

。『わたしはあなたの神、主であり、エジプトの奴隷の家からあなたを導き出した者である。

『あなたはわたし以外に他の神々を持つてはならない。

『あなたは、上の天にあるもの、下の地にあるもの、また地の下の水の中にあるものの形を作って自分のために偶像を作ってはならない。

それらにひれ伏してはならず、それらに仕えてはならない。あなたの神、主であるわたしは熱心な神であり、わたしを拒む者には、その父の罪を子孫に三代、四代までも問うが、

わたしを愛し、わたしの命令を守る者には、千代にわたって慈しみを施す。

『あなたの神、主の名をみだりに唱えてはならない。主はその名をみだりに唱える者を罰せずにはおかない。

『安息日を守ってこれを聖とせよ。あなたの神、主が命じたとおりに。

六日間働いて、あなたのすべての仕事をしなさい。

しかし、第七日はあなたの神、主の安息日である。あなたは何の仕事もしてはならない。あなたも、あなたの息子や娘も、あなたの男奴隷や女奴隷も、あなたの牛やロバ、その他の家畜も、あなたの町囲みの中にいる寄留者も同様である。あなたの男奴隷や女奴隷も、あなたと同様に休むことができるように

。あなたがたはエジプトで奴隷であったこと、そしてあなたの神、主が力強い手と伸ばされた腕をもってそこからあなたを導き出したことを思い出しなさい。それゆえ、あなたの神、主は安息日を守るように命じたのである。

『あなたの神、主が命じたとおりに、あなたの父と

母を敬え。そうすれば、あなたの神、主が与える地であなたの命が長く続き、幸せになるであろう。
『殺してはならない。
『姦淫してはならない。

『盗んではならない。
『隣人に対して偽証してはならない。

『隣人の妻を欲してはならない。隣人の家、畑、男奴隷、女奴隷、牛、ロバ、その他隣人のものを欲してはならない。』

これらは、主が火、雲、深い暗闇の中から山であなたがた全体の集会に大声で宣言した戒めである。主はそれ以上何も加えず、それらを二枚の石の板に書いて私に与えた。

あなたがたが暗闇の中からの声を聞いたとき、山は火で燃えていたので、あなたがたの部族のすべての指導者と長老たちは私のもとに近づいた。

そして言った、『私たちの神、主はその栄光と威厳を私たちに示し、私たちは火の中からのその声を聞いた。今日、神が人と語ってもその人が生きることができるのを見た。

しかし今、なぜ私たちは命を危険にさらすのか。この大いなる火が私たちを焼き尽くし、私たちは私たちの神、主の声を聞き続けるならば滅びることを恐れる。

すべての人間の中で、私たちのように火の中から語る生ける神の声を聞いて生き延びた者が誰がいるのか。

近づいて、私たちの神、主が言われるすべてを聞きなさい。そして、私たちの神、主があなたに告げることを私たちに伝えなさい。私たちはそれを聞いて従います。』

あなたがたが私に語ったとき、主はあなたがたの声を聞き、主は私に言われた、『この民があなたに言ったことを私は聞いた。彼らは言ったことすべてをよく行った。

ああ、彼らの心が常に私を敬い、私のすべての命令を守るように傾いているならば、彼らとその子孫が永遠に幸せになるであろうに！

『行つて、彼らに自分の天幕に戻るように命じなさい。

しかし、あなたはここに私と共に残り、私が彼らに教えるために与えるすべての命令、法令、律法を彼らに教えなさい。彼らが所有するために与える地でそれに従うように。』

だから、あなたの神、主が命じたとおりに注意深く行いなさい。右にも左にもそれてはならない。

あなたの神、主が命じたすべてに従いなさい。そうすれば、あなたがたは生き、繁栄し、所有する地で日々が長く続くであろう。

申命記

6 これは、あなたがたの神、主が私に教えるよう
命じられた戒め、掟、おきてであり、あなたが
たがヨルダンを渡って所有する地でそれを守る
ためです。²
それは、あなたとあなたの子供たち、そしてその子
孫が、あなたの神、主を恐れ、私が命じるすべての
掟と戒めを一生涯守り、長寿を得るためです。³
イスラエルよ、聞け。そして、あなたがたの先祖の
神、主が約束されたように、乳と蜜の流れる地で大
いに増えるために、注意深く従いなさい。⁴
イスラエルよ、聞け。我らの神、主は唯一の主であ
る。⁵
あなたは、心を尽くし、魂を尽くし、力を尽くして
、あなたの神、主を愛しなさい。⁶
今日、私があなたに命じるこれらの戒めを心に刻み
なさい。⁷
これをあなたの子供たちに教え込みなさい。家に座
っているときも、道を歩くときも、寝るときも、起
きるときも、これを語りなさい。⁸
これをあなたの手にしるしとして結び、あなたの目
の間に置きなさい。⁹
これをあなたの家の戸口と門に書き記しなさい。¹⁰
あなたの神、主が、アブラハム、イサク、ヤコブに
誓った地にあなたを導き入れるとき、あなたが建て
なかった大きくて美しい町々、¹¹
あなたが満たさなかったあらゆる良いもので満ちた
家々、あなたが掘らなかつた井戸、あなたが植えな
かつたぶどう畑とオリーブ畑を与えられるとき、あ
なたが食べて満足するとき、¹²
あなたをエジプト、奴隷の地から導き出した主を忘
れないように注意しなさい。¹³
あなたの神、主を礼拝し、ただ彼に仕え、彼の名に
よって誓いなさい。¹⁴
あなたの周りの民の神々、他の神々に従ってはな
らない。¹⁵
あなたの中にいるあなたの神、主は嫉妬深い神であ
るから、そうしないと、あなたの神、主の怒りがあ
なたに向かって燃え上がり、地の面からあなたを消
し去るだろう。¹⁶
マッサで試みたように、あなたの神、主を試しては
ならない。¹⁷
あなたの神、主の戒めと、彼が与えた掟と法令を必
ず守りなさい。¹⁸
主の目に正しいこと、良いことを行いなさい。そう
すれば、あなたがたが良い地を得て、先祖に誓った
地を所有することができるようになる。¹⁹
主が語られたように、あなたの前からすべての敵を
追い払うことによって。²⁰
将来、あなたの息子が「我々の神、主が命じた掟、

法令、おきての意味は何ですか」と尋ねるとき、²¹
彼に伝えなさい。「我々はエジプトでファラオの奴
隷であったが、主は力強い手で我々をエジプトから
救い出された。²²
主は我々の目の前で、エジプト、ファラオ、その家
に対して大いなる恐ろしいしるしと奇跡を行われた
。²³
しかし、主は我々をそこから導き出し、先祖に誓っ
た地を与えるために導き入れられた。²⁴
主は我々にこれらすべての掟を守り、我々の神、主
を常に恐れるよう命じられた。それは我々の益とな
り、今日のように我々が生き延びるためである。²⁵
そして、我々が我々の神、主の前でこの戒めを注意
深く守るなら、それは我々の義となるだろう。」
7 あなたの神、主があなたを導いて入らせようと
している地に入り、それを所有する時、主があ
なたの前から多くの国々を追ひ払われる。すな
わち、ヘテ人、ギルガシ人、アモリ人、カナン人、
ペリジ人、ヒビ人、エブス人、あなたよりも多く、
かつ力のある七つの国々である。²
あなたの神、主がこれらの国々をあなたに渡され、
あなたが彼らを打ち破る時、あなたは彼らをことご
とく滅ぼさなければならない。彼らと契約を結ん
ではならず、彼らを憐れんではならない。³
彼らと婚姻をしてはならない。あなたの娘を彼らの
息子に与えてはならず、彼らの娘をあなたの息子に
迎えてはならない。⁴
それは彼らがあなたの子供たちを私に従うことから
背かせ、他の神々に仕えさせるからである。その時
、主の怒りがあなたに向かって燃え上がり、速やか
にあなたを滅ぼされる。⁵
あなたが彼らに対してしなければならないことは次
の通りである。彼らの祭壇を壊し、彼らの聖なる石
を砕き、アシエラの柱を切り倒し、彼らの彫像を火
で焼き払うことである。⁶
あなたはあなたの神、主にとって聖なる民である。
あなたの神、主は地の表のすべての民の中からあな
たを選び、彼の宝の所有とされた。⁷
主があなたを選ばれたのは、あなたが他の民よりも
多かつたからではない。あなたはすべての民の中で
最も少なかった。⁸
しかし、主があなたを愛し、あなたの先祖たちに誓
われた誓いを守られたために、主は力強い手をもつ
てあなたを導き出し、奴隷の家、エジプトの王ファ
ラオの手から贖い出された。⁹
それゆえ、あなたの神、主が神であることを知りな
さい。彼は忠実な神であり、彼を愛し、彼の戒めを
守る者に対して千代にわたって契約の愛を守られる
。¹⁰

申命記

しかし、彼を憎む者には、彼らの顔に報いて滅ぼされる。彼を憎む者には遅れずに報いられる。¹¹
だから、今日あなたに与える命令、掟、法律を守り行うように努めなさい。¹²
もしこれらの法律に注意を払い、それを守り行うならば、あなたの神、主はあなたの先祖たちに誓われたように、あなたと契約の愛を守られる。¹³
主はあなたを愛し、祝福し、あなたの数を増やされる。主はあなたの胎の実、地の産物—穀物、新しいぶどう酒、オリーブ油—あなたの家畜の子牛、羊の子を祝福される。主があなたの先祖たちに与えると誓われた地で。¹⁴
あなたはすべての民の上に祝福される。あなたの男も女も不妊ではなく、あなたの家畜も若いものを欠くことはない。¹⁵
主はあなたをすべての病から守られる。エジプトで知っていた恐ろしい病をあなたに負わせず、あなたを憎む者すべてにそれを与えられる。¹⁶
あなたの神、主があなたに渡されるすべての民を滅ぼさなければならない。彼らを憐れんではならず、彼らの神々に仕えてはならない。それはあなたにとって異となるからである。¹⁷
あなたは心の中で、「これらの国々は私たちよりも強大である。どうやって彼らを追い出せるだろうか」と言うかもしれない。¹⁸
しかし、彼らを恐れてはならない。あなたの神、主がファラオとエジプト全土に行われたことをはっきりと思い出しなさい。¹⁹
あなたは自分の目で見た。主があなたを導き出された大いなる試練、しるしと不思議、力強い手と伸ばされた腕を。あなたの神、主は今あなたが恐れているすべての民にも同じことをされる。²⁰
さらに、あなたの神、主は彼らの中にスズメバチを送られ、あなたから隠れている生き残りさえも滅ぼされる。²¹
彼らに驚いてはならない。あなたの神、主はあなたと共におられる、力強く畏るべき神である。²²
あなたの神、主はこれらの国々をあなたの前から少しずつ追い払われる。すべてを一度に滅ぼすことはできない。さもないと野の獣があなたにとって多くなりすぎる。²³
しかし、あなたの神、主は彼らをあなたに渡され、大混乱に陥れて滅ぼされる。²⁴
主は彼らの王たちをあなたに渡され、あなたは彼らの名を天の下から消し去る。誰もあなたに立ち向かうことはできない。あなたは彼らを滅ぼす。²⁵
彼らの神々の彫像を火で焼き払わなければならない。その上の銀や金を欲しがってはならず、自分のものとしてはならない。さもないとそれがあなたにと

って異となる。あなたの神、主にとって忌むべきものであるから。²⁶
忌むべきものをあなたの家に持ち込んではいならない。さもないと、それと同じように滅ぼされるべきものとなる。それを忌み嫌い、完全に拒絶しなさい。それは滅ぼされるべきものだからである。

8 今日、私があなたに与えるすべての戒めを守り行いなさい。そうすれば、あなたは生き、増え、主があなたの先祖に誓った地に入り、それを所有することができる。²
また、あなたの神、主がこの四十年の間、荒野であなたを導かれたすべての道を覚えなさい。それは、あなたをへりくだらせ、試み、あなたの心の中に何があるか、あなたがその戒めを守るかどうかを知るためであった。³
主はあなたをへりくだらせ、飢えさせ、あなたもあなたの先祖も知らなかったマナを食べさせた。それは、人はパンだけで生きるのではなく、主の口から出るすべての言葉によって生きることをあなたに知らせるためであった。⁴
この四十年の間、あなたの衣服はすり切れず、あなたの足も腫れなかった。⁵
それゆえ、あなたの心の中で理解しなさい。あなたの神、主は、人がその子を訓練するように、あなたを訓練される。⁶
それゆえ、あなたの神、主の戒めを守り、その道を歩み、主を恐れなさい。⁷
あなたの神、主は、良い地にあなたを導き入れようとしている。そこは、谷や丘から流れ出る川や泉がある地である。⁸
そこは、小麦と大麦、ぶどうの木、いちじくの木、ざくろが豊富にあり、オリーブ油と蜂蜜が豊かな地である。⁹
そこは、あなたが不足なく食べる地であり、何も欠けることのない地である。その地の石は鉄であり、その丘からは銅を掘り出すことができる。¹⁰
あなたが食べて満足したとき、主が与えてくださった良い地のために、あなたの神、主を祝福しなさい。¹¹
今日、私があなたに与える主の戒め、その律法、その掟を守らないことで、あなたの神、主を忘れないように注意しなさい。¹²
さもないと、あなたが食べて満足し、良い家を建てて住むようになり、¹³
あなたの牛や羊の群れが増え、あなたの銀や金が増え、あなたのすべての所有物が増えるとき、¹⁴
あなたの心が高ぶり、あなたをエジプトから、奴隸の家から連れ出したあなたの神、主を忘れることになる。¹⁵

申命記

主は、燃える蛇やサソリがいる広大で恐ろしい荒野を通り、水のない乾いた地であなたを導かれた。主は火打ち石の岩から水を出してあなたに飲ませた。

16 主は、あなたの先祖が知らなかったマナを荒野で食べさせ、あなたをへりくだらせ、試み、最後にはあなたに良いことをするためであった。

17 あなたは心の中で、「私の力と私の手の強さがこの富を私のために得た」と言うかもしれない。

18 しかし、あなたの神、主を覚えなさい。富を得る力を与えてくださるのは主であり、今日のように、主があなたの先祖に誓われた契約を確立するためである。

19 もしあなたがいつかあなたの神、主を忘れ、他の神々に従い、それらに仕え、拝むならば、私は今日あなたに証言する。あなたは必ず滅びる。

20 主があなたの前で滅ぼされた国々のように、あなたも滅びるであろう。それは、あなたの神、主の声に従わなかったからである。

9 イスラエルよ、開け。あなたは今日ヨルダンを渡って、あなたよりも大きく強い国々を追い払うために入ろうとしている。天にまで強化された大きな都市がある。2 その民は強くて背が高い。アナク人である。あなたは彼らについて知っており、「誰がアナクの子孫に立ち向かえるだろうか」と言われているのを聞いたことがある。

3 しかし、今日理解しなさい。あなたの神、主が焼き尽くす火としてあなたの前に進んで行かれる。主は彼らを滅ぼし、あなたの前で彼らに従わせる。だから、あなたは彼らを追い出し、主が約束されたとおりに速やかに彼らを滅ぼし尽くしなさい。

4 あなたの神、主があなたの前で彼らを追い払われたとき、心の中で「私の義のゆえに主が私をこの地を所有するために連れて来られた」と言うてはならない。むしろ、これらの国々の悪のゆえに、主があなたの前で彼らを追い払っておられるのである。

5 あなたが彼らの地を所有するために入って行くのは、あなたの義や心の正しさのゆえではない。むしろ、彼らの悪のゆえに、あなたの神、主が彼らをあなたの前で追い払っておられるのであり、主があなたの先祖、アブラハム、イサク、ヤコブにされた約束を確認するためである。

6 したがって、あなたの神、主がこの良い地をあなたに与えて所有させるのは、あなたの義のゆえではないことを知りなさい。あなたは頑固な民だからである。

7 あなたの神、主を荒野でどのように怒らせたかを覚え、忘れてはならない。エジプトを出てからここに来るまで、あなたは主に対して反逆してきた。

ホレブでは、あなたは主の怒りを引き起こし、主はあなたを滅ぼそうとされた。

9 私が山に登って、主があなたと結ばれた契約の石の板を受け取ったとき、私は四十日四十夜山に留まり、パンも食わず、水も飲まなかった。

10 主はご自身の指で書かれた二枚の石の板を私に与えられた。その上には、主が山で火の中からあなたに語られたすべての言葉があった。

11 四十日四十夜の終わりに、主は私に二枚の石の板—契約の板を与えられた。

12 そのとき、主は私に言われた。「立ち上がり、すぐにここから下りなさい。あなたがエジプトから連れて来た民が墮落した。彼らは私が命じた道からすぐにそれて、自分たちのために偶像を作った。」

13 そして主は言われた。「私はこの民を見たが、確かに彼らは頑固な民である。

14 私を一人にしておけ。そうすれば彼らを滅ぼし、彼らの名を天の下から消し去ることができる。そして私はあなたを彼らよりも強く、より多くの国民にする。」

15 それで私は振り返り、火で燃えている山を下り、契約の二枚の板を手を持っていた。

16 そして私は、あなたがあなたの神、主に対して罪を犯し、自分たちのために子牛の偶像を作ったのを見た。あなたは主が命じられた道からすぐにそれてしまった。

17 それで私は二枚の板を取り、あなたの目の前でそれを投げ捨て、砕いた。

18 それから私は主の前に四十日四十夜、最初の時のように伏していた。私はパンを食わず、水を飲まなかった。あなたが犯したすべての罪、主の目に悪を行い、主を怒らせたためである。

19 私は主の激しい怒りを恐れた。主はあなたに非常に怒っておられ、あなたを滅ぼそうとしておられた。しかし、主はその時も私の言うことを聞かれた。

20 主はアロンに対しても怒りを燃やし、彼を滅ぼそうとされたが、その時も私はアロンのために祈った。

21 それから私はあなたが作ったその罪深いもの—子牛を取り、火で焼き、砕いて粉にし、山から流れ下る川にその粉を投げ入れた。

22 あなたはまた、タベラ、マサ、キプロテ・ハタアワでも主を怒らせた。

23 そして主がカデシュ・バルネアからあなたを送り、「上って行き、私が与えた地を占領せよ」と言われたとき、あなたはあなたの神、主の命令に逆らった。あなたは主を信頼せず、従わなかった。

24 私はあなたを知ったその日から、あなたは主に対して反逆してきた。

25 それで私は四十日四十夜、主の前に伏していた。主

申命記

があなたを滅ぼそうと言われたからである。²⁶
私は主に祈り、「主なる神よ、あなたの民、あなたの相続地を滅ぼさないでください。あなたの偉大さによって贖われ、強い手でエジプトから連れ出されたのです。²⁷
あなたのしもべアブラハム、イサク、ヤコブを思い出してください。この民の頑固さや悪、罪を見ないでください。²⁸
さもないと、あなたが私たちを連れ出した地が、『主は約束された地に彼らを連れて行くことができなかったし、彼らを憎んでいたので、彼らを荒野で殺すために連れ出したのだ』と言うでしょう。」²⁹
しかし、彼らはあなたの民—
あなたの相続地であり、あなたの大きな力と伸ばされた腕で連れ出されたのです。

10 その時、主は私に言われた。「最初のもののような石の板を二枚切り出し、私のもとに山に登り、自分のために木の箱を作りなさい。²
私はあなたが砕いた最初の板にあった言葉をその板に書き記す。それからそれを箱に納めなさい。」³
それで私はアカシアの木で箱を作り、最初のもののような石の板を二枚切り出し、二枚の板を手持って山に登った。⁴
主はその板に、前と同じ言葉、すなわち、集会の日に火の中から山であなたに語られた十戒を書き記し、それを私に与えられた。⁵
それから私は振り返って山を降り、主が命じられたように板を私が作った箱に納めた。それらは今日までそこにある。⁶
(イスラエルの人々はベネ・ヤアカンの井戸からモセラに旅をした。そこでアロンは死んで葬られ、彼の子エルアザルが彼に代わって祭司となった。⁷
そこから彼らはグドゴダに旅をし、次いでヨトバタに行った。そこは水の流れる地であった。⁸
その時、主はレビ族を選び、主の契約の箱を運び、主の前に立って仕え、今日までその名によって祝福するようにされた。⁹
これが理由で、レビ人は他のイスラエルの人々と共に分け前や相続地を持たない。主が彼らの相続地であり、あなたの神、主が彼らに約束された。) ¹⁰
私は最初の時のように四十日四十夜山に滞在し、主は再び私の言うことを聞かれた。主はあなたを滅ぼすことを望まれなかった。¹¹
主は私に言われた。「立ち上がり、民を導いて旅をさせ、彼らの先祖に与えると誓った地を彼らが得るようにしなさい。」¹²
さて、イスラエルよ、あなたの神、主があなたに求めていることは何か。それは、あなたの神、主

を恐れ、すべての道を歩み、主を愛し、心を尽くし、魂を尽くしてあなたの神、主に仕えることである。¹³
そして、今日あなたの益のために与える主の命令と掟を守ることである。¹⁴
見よ、天と、いと高き天と、地とその中のすべてのものは、あなたの神、主のものである。¹⁵
しかし、主はあなたの先祖を愛し、彼らの子孫であるあなたを、今日のように、すべての国民の中から選ばれた。¹⁶
それゆえ、あなたの心に割礼を施し、もはや頑なであってはならない。¹⁷
あなたの神、主は神々の神、主の主であり、偉大で力強く、恐るべき神であり、偏り見ることなく、賄賂を受け取らない。¹⁸
主は孤児と寡婦の権利を守り、あなたの中にいる異国人を愛し、彼らに食物と衣服を与えられる。¹⁹
あなたがたも異国人を愛しなさい。あなたがたもエジプトで異国人であったからである。²⁰
あなたの神、主を畏れ、主に仕え、主に固く付き、主の名によって誓いなさい。²¹
主はあなたの賛美であり、あなたの神であり、あなたの目で見えた偉大で恐るべきことをあなたのために行われた。²²
あなたの先祖は七十人でエジプトに下ったが、今やあなたの神、主はあなたを天の星のように多くされた。

11 あなたの神、主を愛し、その命令、掟、定め、戒めを常に守りなさい。²
今日、あなたがたの子供たちには話していないことを知りなさい。彼らは知らず、見たこともないからである。あなたの神、主の訓練、偉大さ、力強い手、伸ばされた腕を。³
また、彼がエジプトの中で、エジプトの王ファラオとその全地に行ったしるしと行いを。⁴
また、彼がエジプトの軍隊、その馬と戦車に対して行ったことを。彼が紅海の水を彼らの上に覆わせ、あなたがたを追いかけたとき、主が彼らに永続する滅びをもたらしたことを。⁵
また、あなたがたがこの場所に来るまで、荒野であなたがたのために行ったことを。⁶
また、エリアブの子、ルベンの子ダタンとアビラムに対して行ったことを。地が口を開け、彼らとその家族、天幕、彼らに属するすべての生き物をイスラエルの中で飲み込んだことを。⁷
しかし、主が行ったすべての偉大な業を見たのは、あなたがた自身の目であった。⁸
それゆえ、今日あなたがたに与えるすべての命令を守りなさい。そうすれば、ヨルダンを渡って所有す

申命記

る地を取りに行く力を得ることができる。⁹
また、主があなたがたの先祖とその子孫に約束した
、乳と蜜の流れる地で長く生きることができるよう
に。¹⁰
あなたがたが所有しに行く地は、あなたがたが来た
エジプトの地のようではない。そこでは、種を蒔き
、足で水をやる菜園のようであった。¹¹
しかし、あなたがたがヨルダンを渡って所有しに行く
地は、丘と谷の地であり、天からの雨を受ける。¹²
それは、あなたの神、主が見守る地であり、年の初
めから終わりまで、主の目が常にその上にある。¹³
そして、もし今日あなたがたに与える命令を忠実に
守り、あなたの神、主を愛し、心を尽くし、魂を尽
くして仕えるならば、¹⁴
彼はその季節にあなたがたの地に雨を降らせ、初め
の雨と後の雨を与え、穀物、新しいぶどう酒、オリ
ーブ油を集めることができるようにする。¹⁵
また、家畜のために畑に草を与え、あなたがたは食
べて満足する。¹⁶
気をつけなさい。心が欺かれ、他の神々を拝み、そ
れらにひれ伏すことのないように。¹⁷
そうすれば、主の怒りがあなたがたに対して燃え上
がり、天を閉じて雨を降らせず、地は産物を出さず
、主があなたがたに与える良い地から速やかに滅び
去ることになる。¹⁸
それゆえ、これらの言葉を心と魂に刻み、手にしる
しとして結び、額に結びなさい。¹⁹
それをあなたがたの子供たちに教え、家に座してい
るとき、道を歩くとき、寝るとき、起きるときに話
さない。²⁰
それをあなたがたの家の戸口と門に書き記しなさい
。²¹
そうすれば、主があなたがたの先祖に与えると約束
した地で、あなたがたとあなたがたの子供たちの日
々が、天が地の上にある日々のように多くなる。²²
もし、あなたがたが今日与えるこの命令を注意深く
守り、あなたの神、主を愛し、そのすべての道を歩
み、彼にしっかりとつかまるならば―²³
主はこれらの国々をあなたがたの前から追い払い、
あなたがたは自分よりも大きく強い国々を所有する
ことになる。²⁴
あなたがたの足の裏が踏むすべての場所があなたが
たのものとなる。あなたがたの領土は荒野からレバ
ノンまで、ユーフラテス川から西の海まで広がる。²⁵
誰もあなたがたに立ち向かうことはできない。あな
たの神、主があなたがたに約束したように、全地に
あなたがたの恐れとおののきを置く。²⁶

見よ、今日、私はあなたがたに祝福と呪いを提示す
る。²⁷
今日あなたがたに与えるあなたの神、主の命令に従
うならば、祝福を。²⁸
そして、もしあなたがたの神、主の命令に従わず、
今日命じる道から外れて、知らない他の神々に従う
ならば、呪いを。²⁹
そして、あなたの神、主があなたがたを所有しに行
く地に導き入れるとき、ゲリジム山で祝福を、エバ
ル山で呪いを宣言しなさい。³⁰
それらはヨルダンの向こう、西方、日没の方向、ア
ラバに住むカナン人の地、ギルガルの向かい、モレ
の太木のそばにあるではないか。³¹
あなたがたはヨルダンを渡って、あなたの神、主が
与える地を所有しに行くところであり、それを所有
し、そこに住むことになる。³²
そして、今日あなたがたの前に置くすべての掟と判
断を注意深く守りなさい。

12 これは、あなたがたの先祖の神、主が所有
するように与えた地で、地上に生きている
限り、注意深く守らなければならない掟と
法令である。²
あなたがたが追い払う国々がその神々に仕えている
すべての場所を、高い山々、丘の上、そしてすべて
の茂った木の下で完全に破壊しなければならない。³

彼らの祭壇を壊し、聖なる石を砕き、アシェラ像を
火で焼き、彼らの神々の彫像を切り倒し、それらの
場所からその名を消し去りなさい。⁴
あなたがたは、彼らのやり方であなたがたの神、主
を礼拝してはならない。⁵
むしろ、あなたがたの神、主がすべての部族の中か
らその名を置くために選ぶ場所を求め、そこに行か
なければならない。⁶
そこにあなたがたの全焼のいけにえ、犠牲、十分の
一、特別な贈り物、誓願のいけにえ、自発的な捧げ
物、家畜と羊の初子を持って行きなさい。⁷
そこでは、あなたがたの神、主の前で、あなたがた
とその家族が食べ、あなたがたのすべての事業にお
いて喜びなさい。なぜなら、あなたがたの神、主が
あなたを祝福されたからである。⁸
今日ここで私たちがしているように、各々が自分の
目に正しいと思うことをしてはならない。⁹
あなたがたの神、主が与えている安息の場所と相続
地にまだ到達していないからである。¹⁰
しかし、ヨルダン川を渡り、あなたがたの神、主が
相続地として与える地に住み着き、周囲のすべての
敵からの安息を与えられ、安全に住むことができ
ようになったとき、¹¹

申命記

そのとき、あなたがたの神、主がその名を置くために選ぶ場所に、私が命じるすべてのもの、すなわち全焼のいけにえ、犠牲、十分の一、特別な贈り物、そして主への誓願のいけにえを持って行きなさい。

12

そして、あなたがたの神、主の前で喜びなさい。あなたがた、あなたがたの息子や娘、男奴隷や女奴隷、そして町々のレビ人たちも。彼らはあなたがたと共に割り当てや相続地を持っていないからである。

13

見かけたどの場所でも全焼のいけにえを捧げないように注意しなさい。

14

それを捧げるのは、あなたがたの神、主が選ぶ部族の一つの場所だけであり、そこで私が命じるすべてのことを守りなさい。

15

しかし、あなたがたの神、主が与える祝福に従って、町々で家畜をほふり、望むだけの肉を食べることができる。儀式的に汚れている者も清い者も、それをガゼルや鹿のように食べることができる。

16

しかし、血を食べてはならない。それを水のように地に注ぎ出さない。

17

あなたがたの町で、穀物、新しいぶどう酒、オリーブ油の十分の一や、家畜と羊の初子、誓願のいけにえ、自発的な捧げ物、特別な贈り物を食べてはならない。

18

むしろ、あなたがたの神、主が選ぶ場所で、あなたがた、あなたがたの息子や娘、男奴隷や女奴隷、町々のレビ人たちと共にそれを食べ、すべての事業において喜びなさい。

19

あなたがたの地に住んでいる限り、レビ人を支えることを忘れないようにしなさい。

20

あなたがたの神、主が約束されたように領土を広げ、肉を食べたいと思うとき、「肉を食べたい」と言うなら、望むだけの肉を食べることができる。

21

あなたがたの神、主がその名を置くために選ぶ場所が遠すぎる場合、あなたがたの神、主が与えた家畜をほふり、私が命じたようにして、望むだけの肉を町々で食べることができる。

22

それをガゼルや鹿のように食べなさい。儀式的に汚れている者も清い者も、それを食べることができる。

23

しかし、血を食べないように注意しなさい。血は命であり、肉と共に命を食べてはならない。

24

血を食べてはならない。それを水のように地に注ぎ出さない。

25

それを食べるのを控えなさい。そうすれば、あなたがたとあなたがたの子孫が後に幸せになるからである。あなたがたは主の目に正しいことを行うことになるからである。

26

しかし、あなたがたの聖なるものと誓願のいけにえを持って行き、主が選ぶ場所に行きなさい。

27

あなたがたの神、主の祭壇で、全焼のいけにえを捧げなさい。肉と血の両方を。あなたがたの犠牲の血は、あなたがたの神、主の祭壇のそばに注がなければならないが、肉は食べることができる。

28

私が与えるこれらすべての規定を守ることに注意しなさい。そうすれば、あなたがたとあなたがたの子孫が後に常に幸せになるからである。あなたがたはあなたがたの神、主の目に良いこと、正しいことを行うことになるからである。

29

あなたがたの神、主が侵略し、追い払おうとしている国々を取り除くであろう。しかし、それらを追い出し、その地に住み着いたとき、

30

彼らの神々について尋ねて畏れにかなないように注意しなさい。「これらの国々はどうのようにしてその神々に仕えているのか。我々も同じようにしよう」と言ってはならない。

31

あなたがたの神、主を彼らのやり方で礼拝してはならない。彼らの神々を礼拝するにあたって、主が憎むあらゆる忌まわしいことを行っているからである。彼らはその神々に対する犠牲として、自分たちの息子や娘を火で焼くことさえしている。

32

私が命じるすべてのことを確実に行いなさい。それに加えたり、減らしたりしてはならない。

13 あなたの中に預言者や夢見る者が現れ、しるしや不思議を示し、

2

そのしるしや不思議が実現し、彼が『私たちは他の神々に従い、それに仕えよう』と言ったとしても（あなたが知らない神々）、

3

その預言者や夢見る者の言葉に耳を傾けてはならない。あなたの神、主は、あなたが心を尽くし、魂を尽くして本当に主を愛しているかどうかを試しておられる。

4

あなたがたの神、主に従い、主を恐れなさい。主の戒めを守り、主の声に聞き従い、主に仕え、主に固くつき従いなさい。

5

その預言者や夢見る者は死ななければならない。彼はあなたをエジプトから導き出し、奴隷の家から贖い出したあなたの神、主に逆らって語り、主があなたに命じた道からあなたをそらせようとしたからである。こうして、あなたの中から悪を取り除かなければならない。

6

もしあなたの兄弟、あなたの息子や娘、あなたの愛する妻、またはあなたの親しい友が密かにあなたを誘い、『さあ、私たちは他の神々に仕えよう』と言ったなら（あなたもあなたの先祖も知らなかった神々、

7

近くにいるか遠くにいるか、地の果てから果てまで

申命記

の周囲の民の神々)、⁸
彼らに従ってはならず、彼らの言うことを聞いては
ならない。憐れんではない。容赦してはならず
、隠してはならない。⁹

必ず彼らを死なせなければならない。まずあなたの
手が彼らに対して最初に下され、その後全ての民
の手が加わる。¹⁰

彼らを石で打ち殺しなさい。彼らはあなたをエジプ
トから、奴隷の家から導き出したあなたの神、主か
らそらせようとしたからである。¹¹

その時、全イスラエルは聞いて恐れ、再びあなたの中
でこのような悪事を行う者はいなくなる。¹²

あなたの神、主が住まわせるために与える町の一つ
で、¹³

無価値な者たちがあなたの中に現れ、その町の人々
をらせ、『さあ、私たちは他の神々に仕えよう』
と言ったと聞いたなら(あなたが知らない神々)、¹⁴

あなたは調べ、探し、詳しく尋ねなければならない
。それが真実であり、あなたの中でこの忌まわしい
ことが行われたことが確かであるなら、¹⁵

その町に住む全ての者を必ず剣で打ち殺しなさい。
その町とその家畜を全く滅ぼし尽くしなさい。¹⁶

その町の全ての略奪品を町の広場に集め、町とその
略奪品を全焼の捧げ物としてあなたの神、主に焼き
尽くしなさい。それは永遠に廃墟となり、再建され
ることはない。¹⁷

滅ぼすべきものは何もあなたの手に残してはならな
い。そうすれば、主はその激しい怒りを翻し、あな
たに憐れみを示し、あなたを増やし、あなたの先祖
に誓ったようにされるであろうー¹⁸

もしあなたが今日私が与える全ての命令を守り、あ
なたの神、主の目に正しいことを行うならば。

14 あなたがたはあなたの神、主の子供である
。死者のために自分を傷つけたり、額に禿
げを作ったりしてはならない。²

あなたがたはあなたの神、主にとって聖なる民であ
り、地の表にいるすべての民の中から、主はあなた
がたを選び、ご自分の宝の民とされた。³

忌み嫌われるものを食べてはならない。⁴

あなたがたが食べることを許されている動物は次の
通りである。牛、羊、山羊、⁵

鹿、ガゼル、ノロジカ、野山羊、アイベックス、ア
ンテロープ、山羊。⁶

ひづめが分かれていて、反芻する動物はすべて食べ
てよい。⁷

しかし、反芻するか、ひづめが分かれているものの
中で、ラクダ、ウサギ、ケラは食べてはならない。

これらは反芻するが、ひづめが分かれていないので

、あなたがたには汚れている。⁸

豚もまたあなたがたには汚れている。ひづめは分か
れているが、反芻しない。これらの肉を食べてはな
らず、その死体に触れてはならない。⁹

水中に住むすべての生き物のうち、ひれと鱗のある
ものは食べてよい。¹⁰

しかし、ひれと鱗のないものは食べてはならない。
それはあなたがたには汚れている。¹¹

清いとされる鳥はすべて食べてよい。¹²

しかし、これらは食べてはならない。ワシ、ハゲワ
シ、トビ、¹³

アカトビ、クロトビ、すべての種類のハヤブサ、¹⁴

すべての種類のカラス、¹⁵

ダチョウ、フクロウ、カモメ、すべての種類のタカ
、¹⁶ さまざまな種類のフクロウ、¹⁷

ペリカン、ミサゴ、ウ、¹⁸

コウノトリ、すべての種類のサギ、ヤツガシラ、コ
ウモリ。¹⁹

すべての飛ぶ昆虫はあなたがたには汚れている。そ
れらを食べることを控えよ。²⁰

しかし、清い翼のある生き物はすべて食べてよい。
²¹

自ら死んだものを食べてはならない。それをあなた
の町に住む外国人に与えて食べさせてもよいし、外
国人に売ってもよい。あなたがたはあなたの神、主
にとって聖なる民である。子山羊をその母の乳で煮
てはならない。²²

毎年、あなたの畑が生産するすべてのものの十分の
一を必ず捧げなさい。²³

あなたの穀物、新しいぶどう酒、オリーブ油の十分
の一、およびあなたの家畜の初子を、あなたの神、
主の御前で、主が御名を置くために選ばれる場所で
食べなさい。そうすることで、あなたの神、主を常
に畏れることを学ぶ。²⁴

しかし、その場所が遠すぎて、あなたの神、主があ
なたを祝福されたために十分の一を運ぶことができ
ない場合、主が御名を置くために選ばれる場所が遠
すぎる場合、²⁵

その十分の一を銀に変え、その銀を持って行き、あ
なたの神、主が選ばれる場所に行きなさい。²⁶

その銀であなたが望むものを買いなさい。牛、羊、
ぶどう酒、または他の強い飲み物、またはあなたが
望むものを。そこであなたとあなたの家族はあなた
の神、主の御前で食べて喜びなさい。²⁷

あなたの町に住むレビ人を忘れないでください。彼
らには自分の割り当てや相続地がないからです。²⁸

3年ごとに、その年の生産物の十分の一をすべて集
めて、あなたの町に蓄えなさい。²⁹

そうすれば、自分の割り当てや相続地を持たないレ

申命記

び人、またあなたの町に住む外国人、孤児、未亡人が来て食べ、満足することができる。このようにして、あなたの神、主はあなたの手のすべての働きを祝福される。

15 七年の終わりごとに、あなたは債務の免除を行わなければならない。²

免除の方法は次のとおりである。すべての債権者は隣人に貸したものを赦し、同胞のイスラエル人からそれを要求してはならない。主の免除の時³が宣言されたからである。

外国人からは支払いを要求してもよいが、兄弟があなたに負っているものは赦さなければならない。⁴ あなたの中に貧しい者がいてはならない。主があなたに相続地として与えようとしている地で、主があなたを祝福されるからである。⁵

ただし、今日あなたに与えるこれらの命令をすべて守り、あなたの神、主の声に注意深く聞くならば。⁶

あなたの神、主が約束されたようにあなたを祝福されるので、あなたは多くの国に貸すが、借りることはなく、多くの国を治めるが、彼らはあなたを治めることはない。⁷

あなたの神、主が与えようとしている地のどの町にでも、あなたの同胞であるイスラエル人の中に貧しい者がいるならば、心を固くしてはならず、貧しい兄弟に対して手を閉じてはならない。⁸

むしろ、彼に自由に手を開き、彼が必要とするものを貸しなさい。⁹

『第七年、免除の年が近い』という悪い考えを心に抱いて、困っている兄弟に対して悪意を示し、何も与えないように注意しなさい。そうすれば彼はあなたに対して主に訴え、あなたは罪を犯すことになる。¹⁰

彼に惜しみなく与えなさい。彼に与えるとき、心を悔やんではならない。このために、あなたの神、主はあなたのすべての働きと、あなたが手をつけるすべてのことにおいてあなたを祝福される。¹¹

貧しい者は地から絶えることがないからである。それゆえ、私はあなたに命じる。あなたの地にいる兄弟、困っている者、貧しい者に自由に手を開きなさい。¹²

あなたの同胞であるヘブライ人、男でも女でも、あなたに売られ、六年間あなたに仕えるならば、第七年には彼らを自由にしなければならない。¹³

彼らを自由にするとき、手ぶらで送り出してはならない。¹⁴

あなたの羊の群れ、脱穀場、酒ぶねから惜しみなく彼らに与えなさい。あなたの神、主があなたを祝福されたように彼らに与えなさい。¹⁵

あなたがエジプトで奴隷であったこと、そしてあなたの神、主があなたを贖われたことを思い出しなさい。それゆえ、私は今日この命令をあなたに与える。¹⁶

しかし、もしあなたのしもべが『私はあなたを去りたくない』と言うならば、彼はあなたとあなたの家族を愛し、あなたと共にいることが幸せだからである。¹⁷

その場合、きりを取って彼の耳を戸に刺し通し、彼は一生あなたのしもべとなる。女のしもべにも同じようにしなさい。¹⁸

しもべを自由にすることを苦勞と考えてはならない。彼らの六年間の奉仕は、雇われた労働者の二倍の価値があったからである。あなたの神、主はあなたの行うすべてのことにおいてあなたを祝福される。¹⁹

あなたの神、主にすべての初子の雄の家畜と羊を聖別しなさい。牛の初子を働かせてはならず、羊の初子の毛を刈ってはならない。²⁰

あなたとあなたの家族は、毎年あなたの神、主の前で、主が選ぶ場所でそれを食べなさい。²¹

もし動物に欠陥があり、足が不自由であったり、盲目であったり、重大な欠陥があるならば、それをあなたの神、主に捧げてはならない。²²

あなたの町の中でそれを食べることができる。儀式的に汚れている者も清い者も、それをガゼルや鹿のように食べることができる。²³

しかし、血を食べてはならない。それを水のように地に注ぎなさい。

16 アビブの月を守り、あなたの神、主に過越を行いなさい。あなたの神、主が夜にエジプトからあなたを導き出したのは、アビブの月であったからです。²

あなたの神、主が御名を置くために選ばれた場所で、群れや家畜からあなたの神、主に過越を捧げなさい。³

それを酵母入りのパンと共に食べてはならない。七日間、無酵母のパン、苦しみのパンを食べなさい。あなたがエジプトを急いで出たからであり、あなたの生涯のすべての日にエジプトからの出発の日を思い出すためです。⁴

七日間、あなたの領土全体に酵母が見つからないようにしなさい。初日の夕方に捧げた肉の一部を朝まで残してはならない。⁵

あなたの神、主が与える町のどこでも過越を捧げてはならない。⁶

ただし、あなたの神、主が御名を置くために選ばれた場所でのみ、それを捧げなさい。そこでは、夕方、日没時に、エジプトからの出発の時に過越を捧げ

申命記

なさい。⁷
あなたの神、主が選ばれる場所でそれを焼いて食べなさい。そして朝には、あなたの天幕に戻りなさい。⁸
六日間、無酵母のパンを食べ、七日目にはあなたの神、主に対して厳肅な集会を開きなさい。何の仕事もしてはならない。⁹
立っている穀物の刈り入れを始める時から七週間を数え始めなさい。¹⁰
その後、あなたの神、主に対して、あなたの神、主が与えてくださった祝福に応じて自由意志の捧げ物を捧げ、七週の祭りを守りなさい。¹¹
あなたの神、主の前で喜びなさい。あなたとあなたの息子や娘、男奴隷や女奴隷、町にいるレビ人、外国人、孤児、未亡人も、あなたの神、主が御名を置くために選ばれる場所。¹²
あなたがエジプトで奴隷であったことを思い出し、これらの法令を注意深く守りなさい。¹³
脱穀場やワインプレスの産物を集めた後、七日間仮庵の祭りを祝いなさい。¹⁴
祭りで喜びなさい。あなたとあなたの息子や娘、男奴隷や女奴隷、町に住むレビ人、外国人、孤児、未亡人も。¹⁵
七日間、あなたの神、主が選ばれる場所で祭りを祝いなさい。あなたの神、主はあなたの収穫とあなたの手のすべての働きを祝福し、あなたの喜びは満ちるでしょう。¹⁶
年に三度、すべての男子はあなたの神、主の前に、主が選ばれる場所で現れなければならない。無酵母のパンの祭り、七週の祭り、仮庵の祭りに。誰も手ぶらで主の前に現れてはならない。¹⁷
あなたの神、主があなたを祝福された方法に応じて、各自が贈り物を持って来なければならない。¹⁸
あなたの神、主が与えるすべての町で、各部族のために裁判官と役人を任命しなさい。そして彼らは正しい判断で人々を裁かなければならない。¹⁹
正義を曲げたり、偏見を示したりしてはならない。賄賂を受け取ってはならない。賄賂は賢者の目をくらませ、正しい者の言葉を歪めるからである。²⁰
正義を追求し、ただ正義を追求しなさい。そうすれば、あなたの神、主が与える地に住み、所有することができる。²¹
あなたの神、主の祭壇のそばに、どんな種類の木でもアシエラの柱を植えてはならない。²²
そして、聖なる石を立ててはならない。これらはあなたの神、主が嫌うものである。

もし、あなたの神、主が与えている町のいずれかで、男または女が主の契約を破って主の目に悪を行っているのが見つかったならば—³
他の神々に仕え、それらにひれ伏すために行き、太陽や月、天の万象にひれ伏すことを、私が命じていないことを—⁴
それがあなたに告げられ、あなたがそれを聞いたならば、あなたは徹底的に調査しなければならない。それがイスラエルで行われた忌まわしいことだと確認されたならば、⁵
その悪事を行った男または女をあなたの門に連れ出し、石で打ち殺さなければならない。⁶
死に値する者は、二人または三人の証人の証言によって死刑にされなければならない。一人の証人の証言だけで死刑にされることはない。⁷
証人の手が最初に執行し、その後すべての民の手が続かなければならない。あなたはあなたの中から悪を取り除かなければならない。⁸
もし、あなたの門の中で、血を流すこと、訴訟、または暴行など、あなたが判断するのが難しい事件が起こったならば、あなたはあなたの神、主が選ぶ場所に上らなければならない。⁹
レビ人の祭司たちとその時に職にある裁判官のもとに行き、彼らに尋ねなさい。彼らはあなたに法的な決定を告げるであろう。¹⁰
あなたの神、主が選ぶ場所で彼らがあなたに与える決定に従って行動しなさい。彼らが指示するすべてのことを注意深く行いなさい。¹¹
彼らが教える律法と彼らが宣告する決定に従いなさい。彼らがあなたに告げることから右にも左にもそれてはならない。¹²
あなたの神、主の前で仕えるために立っている祭司や裁判官の言うことを傲慢に聞こうとしない者は死刑にされなければならない。あなたはイスラエルから悪を取り除かなければならない。¹³
そうすれば、すべての民は聞いて恐れ、再び傲慢に行動することはないであろう。¹⁴
あなたの神、主があなたに与えている地に入り、それを所有し、そこに住み着いたとき、あなたが『私たちの周りのすべての国のように、私たちの上に王を立てよう』と言うならば、¹⁵
あなたの神、主が選ぶ者をあなたの上に王として立てなければならない。彼はあなたの同胞イスラエル人の一人でなければならない。あなたの兄弟でない外国人をあなたの上に置いてはならない。¹⁶
王は自分のために多くの馬を得てはならず、また人々をエジプトに送り返してさらに多くを得てはならない。主があなたに『あなたは再びその道を戻ってはならない』と言われたからである。¹⁷

申命記

彼は多くの妻を持つてはならない。さもないと心が迷わされる。また、銀や金を多く蓄えてはならない。¹⁸

彼が王国の王座に着いたとき、彼はレビ人の祭司たちが持っている巻物からこの律法の写しを巻物に書き写さなければならない。¹⁹

それは彼と共にあり、彼は生涯それを読み、彼の神、主を恐れることを学び、この律法のすべての言葉とこれらの規定を注意深く守らなければならない。²⁰

このようにして、彼の心は同胞イスラエル人の上に高ぶることなく、命令から右にも左にもそれることはないであろう。そうすれば、彼とその子孫はイスラエルで長くその王国を治めるであろう。

18 レビ人の祭司たち、すなわちレビ族全体は、イスラエルと共に分け前や相続地を持たない。彼らは主に焼き尽くす捧げ物を食べて生きる。それが彼らの相続地である。²

彼らは同胞のイスラエル人の中で相続地を持たない。主が彼らの分であると約束されたからである。³ これは、牛や羊を捧げる人々から祭司に与えられる分である。肩、両頬、胃袋である。⁴

あなたの穀物、新しいぶどう酒、オリーブ油の初物、および羊の毛を刈るときの初物を彼らに与えなければならない。⁵

あなたの神、主は、彼らとその子孫を、すべての部族の中から選び、常に主の名によって仕えるために立たせたからである。⁶

イスラエル全土のどの町に住んでいても、レビ人が主が選ぶ場所に行きたいと望むとき、⁷

彼は主の前に立つ他のレビ人たちのように、彼の神、主の名によって仕えることができる。⁸

彼らは、家族の所有物の売却から得るものを除いて、等しく利益を分け合う。⁹

あなたの神、主が与える地に入ったとき、これらの国々の忌まわしい習慣を学んではならない。¹⁰

あなたの中に、息子や娘を火の中を通らせる者、占いをする者、魔術を行う者、兆しを解釈する者、または魔法を使う者があってはならない。¹¹

また、呪文を唱える者、霊媒や霊能者、死者に助言を求める者があってはならない。¹²

これらのことを行う者は皆、主に忌まわしいからである。これらの忌まわしい行いのために、あなたの神、主はそれらの国々をあなたの前から追い払う。¹³

あなたの神、主の前で完全に誠実でなければならない。¹⁴

あなたが追い払う国々は、占い師や占星術師に耳を傾けるが、あなたには、あなたの神、主がそのよう

なことを許していない。¹⁵

あなたの神、主は、あなたの同胞イスラエル人の中から、私のような預言者を立てる。あなたは彼に従わなければならない。¹⁶

これは、あなたがホレブでの集会の日に、あなたの神、主に求めたことに従っている。「私たちの神、主の声を聞かせないでください。この大いなる火をもう見せないでください。さもないと死んでしまいます。」¹⁷

主は私に言われた、「彼らの言葉は良い。」¹⁸

私は彼らの同胞イスラエル人の中から、あなたのような預言者を立て、私の言葉を彼の口に置き、彼は私が命じるすべてのことを彼らに語るであろう。¹⁹ そして、彼が私の名によって語る私の言葉に耳を傾けない者は、私自身が責任を問う。²⁰

しかし、私が命じていないことを私の名によって語る預言者や、他の神々の名によって語る預言者は、その預言者は死ななければならない。」²¹

あなたは、「主が語られなかったメッセージをどうやって見分けることができるのか」と問うかもしれない。²²

もし預言者が主の名によって宣言したことが起こらないか、成就しないなら、それは主が語られなかったメッセージである。預言者は思い上がって語ったのである。彼を恐れてはならない。

19 あなたの神、主があなたに与えている地の国々を断ち滅ぼし、あなたがそれらを追い払い、その町や家に住むとき、²

あなたの神、主が所有としてあなたに与えている地の中に、あなたのために三つの町を指定しなさい。³

道を整え、あなたの神、主が相続地としてあなたに与えている地を三つの部分に分けなさい。そうすれば、誰でも誤って人を殺した者がそこに逃げることができる。⁴

これは、前もって悪意なく、誤って他人を殺した者の場合である。意図せずに隣人を殺したときのことである。⁵

例えば、人が隣人と一緒に森に木を切りに行き、木を倒そうと斧を振るときに、鉄の頭が柄から外れて隣人に当たり、死に至らせた場合、その者はこれらの町の一つに逃げて生き延びることができる。⁶

そうでなければ、血の復讐者が怒って彼を追い、距離が遠すぎると彼を追い越して殺すかもしれない。彼は前もって憎しみを抱いていなかったのに、死に値しないのに。⁷

それゆえ、私はあなたに三つの町を設けるよう命じる。⁸

もしあなたの神、主があなたの領土を広げるならば

申命記

、彼があなたの先祖に誓ったように、そして彼が約束したすべての地を与えるならば、

今日あなたに与えているこれらの命令を注意深く守り、あなたの神、主を愛し、常に彼の道を歩むならば、これらの三つの町に加えて、さらに三つの町を設けなさい。

これは、あなたの神、主が相続地としてあなたに与えている地で無実の血が流されないようにし、あなたが血を流した罪を負わないようにするためである。

しかし、誰かが隣人を憎み、待ち伏せして襲い、殺し、それからこれらの町の一つに逃げた場合、その町の長老たちは彼を呼び寄せ、そこから連れ戻し、血の復讐者に引き渡して死なせなさい。

哀れみを示してはならない。イスラエルから無実の血を流した罪を取り除かなければならない。そうすれば、あなたは幸せになる。

あなたの神、主が所有としてあなたに与えている地で、あなたの先祖が定めた隣人の境界石を動かしてはならない。

一人の証人では、誰かが犯した罪や違反を有罪とするのに十分ではない。事柄は二人または三人の証人の証言によって確立されなければならない。

悪意のある証人が立ち上がり、誰かを不正行為で告発する場合、

争いの両当事者は、当時の職にある祭司と裁判官の前で、主の前に立たなければならない。

裁判官は徹底的な調査を行い、証人が偽りであることが証明され、同胞イスラエル人に対して偽証を行った場合、

あなたは偽証者に対して、彼が兄弟にしようとしたことを行わなければならない。あなたの中から悪を取り除かなければならない。

人々はこれを聞いて恐れ、そのような悪事があなたの中で繰り返されないようにする。

哀れみを示してはならない。命には命、目には目、歯には歯、手には手、足には足を。

20 あなたがたが敵と戦うために出て行き、馬や戦車、そして自分たちよりも多い民を見たとき、彼らを恐れてはならない。エジプトからあなたを導き出したあなたの神、主があなたと共にいるからである。

あなたがたが戦いに臨もうとしているとき、祭司は進み出て民に語らなければならない。

彼は言わなければならない。「イスラエルよ、聞け。今日はあなたがたが敵と戦いに臨む日である。心を弱くしてはならない。恐れてはならない。彼らを前にして慌てたり、恐怖に陥ったりしてはならない。

あなたの神、主があなたと共にいて、あなたの敵と戦い、あなたに勝利をもたらすからである。」

その後、役人たちは民に語らなければならない。「新しい家を建ててまだ奉獻していない者はいるか。その者は家に帰らせなさい。戦いで死んで、他の者がそれを奉獻することがないように。」

ぶどう畑を植えてまだその果実を楽しんでいない者はいるか。その者は家に帰らせなさい。戦いで死んで、他の者がその果実を楽しむことがないように。

女性と婚約してまだ結婚していない者はいるか。その者は家に帰らせなさい。戦いで死んで、他の者がその女性と結婚することがないように。」

役人たちはまた言わなければならない。「恐れている者や心が弱い者はいるか。その者は家に帰らせなさい。同胞の心がその者のように溶けることがないように。」

役人たちが民に語り終えたとき、彼らは軍隊の指揮官を任命しなければならない。

あなたがたがある町に近づいてそれと戦おうとするとき、その町に平和の条件を提示しなければならない。

もしそれがあなたと平和を結び、門を開くなら、その町にいるすべての人々はあなたの強制労働者となり、あなたに仕えることになる。

しかし、それが平和を拒み、戦いを挑むなら、それを包囲しなければならない。

あなたの神、主がそれをあなたの手に渡したとき、その町のすべての男を剣で打ち倒さなければならない。

しかし、女性、子供、家畜、そして町のすべての戦利品は、あなたがたのものとして奪い取ることができる。あなたの神、主があなたの敵から与えた戦利品を利用しなければならない。

これは、あなたから遠く離れた町々で、近くの国々に属さない町々に対して取るべき方法である。

しかし、あなたの神、主があなたに相続地として与えている国々の町々では、息をするものを一切生かしておいてはならない。

あなたの神、主が命じたように、ヘテ人、アモリ人、カナン人、ペリジ人、ヒビ人、エブス人を完全に滅ぼさなければならない。

さもないと、彼らが自分たちの神々のために行っているすべての忌まわしい行いをあなたに教え、あなたがあなたの神、主に対して罪を犯すことになるからである。

ある町を長期間包囲し、それを攻め取ろうとするとき、その木々を斧で切り倒してはならない。なぜなら、その果実を食べることができるからである。木

申命記

々を切り倒してはならない。野の木々は人間であらうか、あなたがそれを包囲する必要があるのか。²⁰ しかし、果樹でないとかわっている木々は切り倒してもよい。それを使って、あなたと戦争状態にある町に対して攻城兵器を作り、その町が陥落するまで攻め続けなければならない。

21 あなたの神、主があなたに与えて所有させようとしている地で、野に倒れている殺された人が見つかり、誰がその人を打ったのか²がわからない場合、あなたの長老たちと裁き人たちは出て行って、その殺された人の周囲の町々までの距離を測りなさい。³

その死体に最も近い町の長老たちは、まだ働かされたことのない、くびきを負わされたことのない若い雌牛を取らなければならない。⁴ そしてそれを流れのある谷、耕されたことも種がまかれたこともない場所に連れて行き、そこでその雌牛の首を折らなければならない。⁵

その後、レビ人の祭司たちが進み出なければならない。彼らはあなたの神、主がご自身に仕えさせ、主の名によって祝福させ、すべての争いと暴行の事件を解決させるために選ばれたからである。⁶ その死体に最も近い町のすべての長老たちは、谷で首を折られた雌牛の上で手を洗わなければならない。⁷

そして彼らは宣言しなければならない。「私たちの手はこの血を流しておらず、私たちの目もそれを見ていない。⁸

主よ、あなたが贖われたあなたの民イスラエルをお赦しください。そして、無実の血の罪をあなたの民イスラエルに負わせなさい。こうして血の罪は彼らに赦される。⁹

あなたは主の目に正しいことを行っただけ、あなたの中から無実の血の罪を取り除かなければならない。¹⁰

あなたが敵と戦い、あなたの神、主が彼らをあなたの手に渡し、あなたが捕虜を取ったとき、¹¹ もし捕虜の中に美しい女を見て彼女に惹かれたなら、彼女を妻として迎えることができる。¹² 彼女をあなたの家に連れて行き、彼女は頭を剃り、爪を整えなければならない。¹³

彼女はまた、捕虜になったときに着ていた服を脱ぎ、あなたの家に住んで、父と母のために一か月間泣き悲しむ。その後、あなたは彼女のもとに行き、彼女の夫となり、彼女はあなたの妻となる。¹⁴ もし彼女があなたの気に入らないなら、彼女を自由に行かせなければならない。彼女を売ったり、奴隷として扱ったりしてはならない。あなたが彼女を辱

めたからである。¹⁵ もし人が二人の妻を持ち、一人を愛し、もう一人を愛さず、両方が彼に息子を産んだが、長男が愛されない妻の子である場合、¹⁶ 彼が自分の財産を息子たちに譲るとき、愛される妻の子に長男の権利を与えて、実際の長男である愛されない妻の子に優先させてはならない。¹⁷ 彼は長男、愛されない妻の子を認め、彼に自分の持っているすべてのものの二倍の分け前を与えなければならない。彼は父の力の最初のしるしである。長男の権利は彼に属する。¹⁸

もし人が頑固で反抗的な息子を持ち、その息子が父と母に従わず、彼らが懲らしめても聞き入れない場合、¹⁹ その父と母は彼を連れて町の門の長老たちのもとに行かなければならない。²⁰ 彼らは長老たちに言わなければならない。「この私たちの息子は頑固で反抗的です。彼は私たちに従いません。彼は大吃いで酒飲みです。」²¹

その町のすべての男たちは彼を石で打ち殺さなければならない。あなたはあなたの中から悪を取り除かなければならない。イスラエル全体がそれを聞いて恐れるだろう。²²

もし人が死刑に値する罪を犯し、死刑にされ、あなたが彼の体を木に挂ける場合、²³ その体をその夜の間木に残しておいてはならない。その日中に必ず埋葬しなければならない。吊るされた者は神の呪いを受けているからである。あなたの神、主があなたに相続地として与えている地を汚してはならない。

22 あなたの同胞の牛や羊が迷っているのを見たら、それを無視してはならない。必ずそれをあなたの同胞に返さなければならない。²

もしあなたの同胞が近くに住んでいないか、所有者が誰かわからない場合は、それをあなたの家に持ち帰り、彼らがそれを請求しに来るまで保管しなさい。³ その後、それを返さなければならない。同胞のロバ、外套、または見つけた同胞のどんな失われた財産についても同じようにしなければならない。それを無視してはならない。⁴

あなたの同胞のロバや牛が道に倒れているのを見たら、それを無視してはならない。それを立ち上げさせるのを手伝わなければならない。⁵ 女は男の服を着てはならず、男は女の服を着てはならない。あなたの神、主はこのようなことをする者を忌み嫌われる。⁶ 道ばたで、木の上や地面にある鳥の巣を見つけ、母鳥がひなや卵の上に座っている場合、母鳥をひなと

申命記

一緒に取ってはならない。⁷
ひなを取ることはできるが、母鳥は放してやらなければならない。そうすれば、あなたが幸せになり、⁸
長生きすることができる。
新しい家を建てるときは、屋根に手すりを作らなければならない。そうしないと、人がそこから落ちた場合に家に流血の罪をもたすことになる。⁹
ぶどう畑に二種類の種をまいてはならない。そうしないと、まいた作物とぶどう畑の実がすべて汚れる。¹⁰
牛とロバと一緒にくびきにつないで耕してはならない。¹¹
羊毛と亜麻を混ぜて織った衣服を着てはならない。¹²
着る外套の四隅に房をつけなさい。¹³
男が妻を迎え、彼女と一緒にいた後、彼女に反感を抱く場合¹⁴
そして彼女に悪い評判を立て、「この女を迎えたが、近づいたときに彼女の処女の証拠を見つかなかった」と偽って告発する場合、¹⁵
その娘の父と母は、娘の処女の証拠を町の門の長老たちに持って来なければならない。¹⁶
娘の父は長老たちに言わなければならない、「私はこの男に娘を妻として与えたが、彼は彼女に反感を抱いている。¹⁷
今、彼は彼女を告発し、『あなたの娘が処女であることを見つけなかった』と言っている。しかし、ここに私の娘の処女の証拠がある。」その後、彼らはその布を町の長老たちの前に展示しなければならない。¹⁸
そして、長老たちはその男に対して行動を起こし、彼を懲らしめる。¹⁹
彼らは銀百シケルを罰金として彼女の父に与えなければならない。なぜなら、この男がイスラエルの処女を中傷したからである。彼女は彼の妻として残り、彼は生きている限り彼女を離縁してはならない。²⁰
。しかし、もしその告発が真実であり、娘の処女の証拠が見つからない場合、²¹
彼女は父の家の戸口に連れて行かれ、町の男たちが彼女を石で打ち殺さなければならない。彼女は父の家で品行を働き、イスラエルで恥ずべき行為をしたからである。あなたはそこから悪を取り除かなければならない。²²
もし男が既婚の女と寝ているのが見つかった場合、その男と女の両方が死ななければならない。あなたはイスラエルから悪を取り除かなければならない。²³
もし婚約中の処女が町で他の男に見つかり、彼が彼女と寝た場合、²⁴

あなたは彼らを町の門に連れて行き、石で打ち殺さなければならない。女は町にいるのに助けを求めて叫ばなかったからであり、男は隣人の妻を犯したからである。あなたはそこから悪を取り除かなければならない。²⁵
しかし、男が婚約中の娘を田舎で見つけて彼女を強姦した場合、その男だけが死ななければならない。²⁶
娘には何もしてはならない。彼女は死に値する罪を犯していない。この場合は、隣人を襲って殺した者と同じである。²⁷
男が田舎で彼女を見つけ、婚約中の娘が助けを求めて叫んだが、救う者がいなかったからである。²⁸
もし男が婚約していない処女を見つけて彼女を強姦し、彼らが発見された場合、²⁹
彼は彼女の父に銀五十シケルを支払わなければならない。彼は彼女を妻にしなければならない。彼は彼女を犯したからである。彼は生きている限り彼女を離縁してはならない。³⁰
男は父の妻を娶ってはならない。それは父の寝床を汚すことになるからである。

23 負傷によって去勢された者や男性器を切除された者は、主の会衆に入ってはならない。²
。不義の結合から生まれた者やその子孫は、十代目に至るまで主の会衆に入ってはならない。³
アンモン人やモアブ人、その子孫は、十代目に至るまで主の会衆に入ってはならない。⁴
彼らはあなたがエジプトから出てきたとき、旅路でパンと水を持って迎えず、メソポタミアのベトルからベオルの子バラムを雇ってあなたを呪わせたからである。⁵
しかし、あなたの神、主はバラムの言うことを聞かず、主があなたを愛しておられるので、その呪いを祝福に変えられた。⁶
あなたは彼らの平和や繁栄を求めてはならない、すべての日において。⁷
エドム人を軽蔑してはならない。彼らはあなたの親族である。エジプト人を軽蔑してはならない。あなたは彼らの地で寄留者であったからである。⁸
彼らに生まれた三代目の子供は、主の会衆に入ることができる。⁹
敵に対して陣を張るときは、不浄なものに対して警戒しなさい。¹⁰
あなたの中に夜間の排泄によって不浄な者がいるなら、その者は陣営の外に出て、再び入ってはならない。¹¹
しかし、夕方になったら水で身を洗い、日没時に陣営に戻るることができる。¹²

申命記

個人的な用を足すために、陣営の外に場所を設けな
さい。 13

装備の中にシャベルを持ち、用を足すときは穴を掘
り、排泄物を覆いなさい。 14

あなたの神、主はあなたを守り、敵をあなたに渡す
ために陣営の中を歩かれる。したがって、陣営は聖
なるものでなければならず、主があなたの中に何か
不適切なものを見てあなたから離れないようにしな
さい。 15

奴隷があなたのもとに逃げてきたら、その主人に引
き渡してはならない。 16

彼らが選ぶ場所、好む町に住まわせなさい。彼らを
虐げてはならない。 17

イスラエルの男や女は、神殿娼婦になってはならな
い。 18

娼婦の稼ぎや犬の賃金を、あなたの神、主の家に持
ち込んで誓いを果たしてはならない。これらはどち
らもあなたの神、主にとって忌まわしいものである
。 19

イスラエルの同胞に対して、金銭、食物、または利
子を生む他の何物に対しても利子を取ってはならな
い。 20

外国人には利子を取ってもよいが、イスラエルの同
胞には取ってはならない。そうすれば、あなたの神
、主があなたが入って所有しようとしている地で、
あなたのすべての行いを祝福される。 21

あなたの神、主に誓いを立てたなら、それを果たす
のを遅らせてはならない。あなたの神、主はそれを
必ず求められ、あなたは罪を犯すことになる。 22
しかし、誓いを立てるのを控えるなら、罪を犯すこ
とはない。 23

あなたの唇で約束したことは必ず行いなさい。あな
た自身の口であなたの神、主に自由に誓ったからで
ある。 24

隣人のぶどう畑に入ったときは、好きなだけぶどう
を食べてもよいが、かごに入れてはならない。 25
隣人の穀物畑に入ったときは、手で穂を摘んでもよ
いが、立っている穀物に鎌を入れてはならない。

24 人が妻を娶り、彼女が彼の目に好ましくな
いことがわかった場合、彼は彼女に不品行
を発見したため、離婚証書を書き、それを
彼女の手渡し、彼の家から送り出すことができる
。 2

彼女が彼の家を出て、他の男の妻となった場合、
その二番目の夫が彼女を嫌い、離婚証書を書いて彼
女の手渡し、彼の家から送り出すか、彼が死んだ
場合、 4

彼女を送り出した最初の夫は、彼女が汚された後に
彼女を再び妻として迎えることは許されない。これ

は主の前で忌まわしいことであり、あなたの神、主
があなたに相続地として与える地に罪をもたらして
はならない。 5

人が新しい妻を迎えたとき、彼は軍隊に出たり、何
らかの任務を割り当てられたりしてはならない。彼
は1年間家に留まり、彼が娶った妻を幸せにするた
めに自由でなければならぬ。 6

借金の担保として手挽き臼や上臼石を取ってはなら
ない。それは誰かの生活を担保に取ることになるか
らである。 7

誰かが同胞のイスラエル人を誘拐し、商品として扱
ったり売ったりしているのが見つかった場合、その
誘拐者は死ななければならない。あなたの中から悪
を取り除かなければならない。 8

汚れた皮膚病のケースでは、レビの祭司たちが指示
する通りに正確に行うように非常に注意しなさい。
私が彼らに命じたことを注意深く守りなさい。 9

あなたの神、主がエジプトからの旅の間にミリアム
に何をしたかを思い出しなさい。 10

隣人に何らかの種類の貸し付けをする場合、担保を
取りにその家に入ってはならない。 11

外に立ち、あなたが貸している人が担保を持って出
てくるのを待ちなさい。 12

その人が貧しい場合、彼の担保を持ったまま寝ては
ならない。 13

日没までに彼の外套を返し、彼がそれで寝てあなた
を祝福するようにしなさい。これはあなたの神、主
の前で義とされる行為である。 14

貧しくて困窮している雇われた労働者を搾取しては
ならない。それが同胞のイスラエル人であれ、あな
たの町に住む外国人であれ。 15

彼らの賃金を日没前に支払いなさい。彼らは貧しく
、それに依存しているからである。さもなければ、
彼らはあなたに対して主に叫び、あなたは罪に問わ
れることになる。 16

親は子供のために死刑にされてはならず、子供も親
のために死刑にされてはならない。それぞれが自分
の罪のために死ななければならない。 17

外国人や父のない者に対する正義を曲げてはならず
、未亡人の外套を担保に取ってはならない。 18

あなたがエジプトで奴隷であったこと、そしてあな
たの神、主がそこからあなたを贖ったことを思い出
しなさい。それが私がこれを命じる理由である。 19

畑で収穫をするとき、束を忘れた場合、それを取り
に戻ってはならない。それを外国人、父のない者、
未亡人のために残しておきなさい。そうすれば、あ
なたの神、主があなたの手のすべての仕事を祝福し
てくださる。 20

オリーブの木からオリーブを集めるとき、枝を二度

申命記

見てはならない。残ったものを外国人、父のない者、未亡人のために残しておきなさい。²¹

ぶどう園からぶどうを集めるとき、つるを再び見てはならない。残ったものを外国人、父のない者、未亡人のために残しておきなさい。²²

あなたがエジプトの地で奴隷であったことを思い出しなさい。それゆえ、私はこれを命じる。

25 人々の間に争いがあるとき、それを法廷に持ち込み、裁判官がその事件を裁き、無罪の者を正しいとし、有罪の者を罪に定める²

有罪の者が鞭打ちに値する場合、裁判官は彼を伏せさせ、その罪に応じた数の鞭打ちを彼の目の前で加えさせる。³

裁判官は四十回以上の鞭打ちを課してはならない。さもないと、同胞のイスラエル人が過度に打たれてあなたの目に軽蔑されることになる。⁴

穀物を打ち場で踏む牛に口籠をつけてはならない。⁵

兄弟が一緒に住んでいて、そのうちの一人が息子を残さずに死んだ場合、未亡人は家族外の者と結婚してはならない。亡くなった夫の兄弟が彼女と結婚し、義兄の務めを果たさなければならない。⁶

彼女が産む最初の息子は、亡くなった兄弟の名を継ぎ、彼の名がイスラエルから消えないようにする。⁷

しかし、その男が兄弟の未亡人と結婚したくない場合、彼女は町の門で長老たちに行って、「私の夫の兄弟はイスラエルにおいて兄弟の名を保とうとしません。彼は私に義兄の務めを果たそうとしません」と言わなければならない。⁸

すると、その町の長老たちは彼を呼び出して彼に話す。彼が「彼女と結婚したくない」と言い続けるなら、⁹

彼の兄弟の未亡人は長老たちの前で彼に近づき、彼のサンダルを脱がせ、彼の顔に唾を吐き、「これが兄弟の家系を築こうとしない男に対して行われることです」と言わなければならない。¹⁰

彼の家族はイスラエルで「サンダルを脱がされた家」として知られるようになる。¹¹

二人の男が戦っていて、一人の妻が彼女の夫を攻撃者から救おうとして介入し、彼の秘部を掴んだ場合、¹²

適切な措置を取らなければならない。寛容を示してはならない。¹³

あなたの袋に異なる重さを持っていたはならない—一つは重く、一つは軽い。¹⁴

あなたの家に異なる量りを持っていたはならない—一つは大きく、一つは小さい。¹⁵

正確で正直な重さと量りを持たなければならない。そうすれば、主なるあなたの神が与えてくださる地で長く生きることができる。¹⁶

主なるあなたの神は、これらのことを行う者、すなわち不正を行う者を忌み嫌われる。¹⁷

エジプトからの旅の途中でアマレク人があなたにしたことを覚えていなさい。¹⁸

あなたが疲れ果てていたとき、彼らは後ろに遅れていたすべての者を攻撃した。彼らは神を恐れなかった。¹⁹

主なるあなたの神が、あなたに与えようとしている相続地で周囲のすべての敵からあなたを休ませてくださるとき、天の下からアマレクの名を消し去らなければならない。忘れてはならない！

26 あなたがたの神、主が相続地として与えてくださる地に入り、それを所有し、そこに住むとき、²

あなたの神、主が与えてくださる地のすべての産物の初穂を取り、それをかごに入れ、あなたの神、主が御名を置くために選ばれた場所に行きなさい。³

その時に仕えている祭司のもとに行き、彼に言いなさい。「私は今日、私の神、主の前で宣言します。私は主が私たちの先祖に誓って与えると約束された地に来ました。」⁴

祭司はあなたの手からかごを取り、あなたの神、主の祭壇の前に置きます。⁵

その後、あなたの神、主の前で宣言しなさい。「私の父はさすらうアラム人で、エジプトに下り、そこに住みました。人数は少なかったが、そこで大いなる力強い、人口の多い国民となりました。⁶

しかし、エジプト人は私たちを虐待し、圧迫し、重労働を課しました。⁷

そのとき、私たちは私たちの父の神、主に叫びました。すると、主は私たちの声を聞き、私たちの苦しみ、労苦、圧迫を見てくださいました。⁸

主は力強い手と伸ばされた腕、大いなる恐れ、しるしと不思議をもって私たちをエジプトから導き出されました。⁹

主は私たちをこの場所に導き、この地、乳と蜜の流れる地を私たちに与えてくださいました。¹⁰

今、私はあなたが私に与えてくださった地の初穂を捧げます。」あなたはかごをあなたの神、主の前に置き、主の前にひれ伏しなさい。¹¹

その後、あなたとレビ人、およびあなたの中に住む外国人は、あなたの神、主があなたとあなたの家に与えてくださったすべての良いものを喜びなさい。¹²

三年目、すなわち十分の一の年に、すべての産物の十分の一を取り分け終えたとき、それをレビ人、外

申命記

国人、孤児、未亡人に与えなさい。彼らがあなたの町で食べて満足できるように。

その後、あなたの神、主の前で宣言しなさい。「私は聖なる分を家から取り除き、あなたの命令に従ってレビ人、外国人、孤児、未亡人に与えました。私はあなたの命令から逸れることなく、それを忘れることもありませんでした。

私は喪に服している間にそれを消費せず、汚れている間にそれを取り除かず、死者にそれを捧げませんでした。私は私の神、主に従い、あなたが命じたすべてを行いました。

あなたの聖なる住まいである天から見下ろし、あなたの民イスラエルと私たちに与えてくださった地を祝福してください。私たちの先祖に誓って約束された、乳と蜜の流れる地です。」

この日、あなたの神、主はこれらの法令と掟を守ることを命じます。それゆえ、心を尽くし、魂を尽くしてそれを守りなさい。

今日、あなたは主があなたの神であることを宣言し、主の道を歩み、主の法令、命令、掟を守り、主の声に耳を傾けることを宣言しました。

そして今日、主はあなたを主の民、主の宝の所有物として宣言し、主の命令をすべて守るように命じました。

主はあなたを造られたすべての国民の上に高く置き、賛美、名声、栄誉を与え、あなたがたがあなたの神、主に聖別された民となるように宣言されました。

27 モーセとイスラエルの長老たちは民に命じて言った、「今日、私があなたに与えるすべての戒めを守りなさい。」

あなたがたがヨルダン川を渡り、あなたの神、主が与える地に入る日に、大きな石を立て、それにしっくいを塗りなさい。

渡ったときにその石にこの律法のすべての言葉を刻みつけなさい。そうすれば、あなたの神、主が与える地、すなわち、あなたの先祖の神、主が約束した乳と蜜の流れる地に入ることができる。

ヨルダン川を渡ったとき、今日あなたに命じるように、これらの石をエバル山に立て、それにしっくいを塗りなさい。

そこにあなたの神、主のために石で祭壇を築き、そこに鉄の道具を使ってはならない。

切り石を用いずにあなたの神、主の祭壇を築き、その上であなたの神、主に焼き尽くす献げ物をささげなさい。

そこで和解の献げ物をささげ、それを食べ、あなたの神、主の前で喜びなさい。

立てた石にこの律法のすべての言葉を非常に明確に

書きなさい。

その後、モーセとレビ人の祭司たちはイスラエル全体に向かって言った、「静かにしなさい、イスラエルよ、聞け！」

今日、あなたはあなたの神、主の民となった。あなたの神、主に従い、今日私があなたに与える戒めと掟を守りなさい。」

モーセはその日、民にさらに命じて言った、「ヨルダン川を渡ったとき、これらの部族はゲリジム山に立ち、民に祝福を宣言する：シメオン、レビ、ユダ、イッサカル、ヨセフ、ベニヤミン。

そして呪いのために、これらの部族はエバル山に立つ：ルベン、ガド、アシェル、ゼブルン、ダン、ナフタリ。

レビ人はその後、イスラエルのすべての民に向かって大声で宣言する：

『偶像や銅像を作り、それを秘密に設置する者は呪われる。それは主にとって忌むべきものであり、熟練した手の業である。』

するとすべての民は『アーメン』と言う。

『父や母を軽んじる者は呪われる。』

するとすべての民は『アーメン』と言う。

『隣人の境界標を移動する者は呪われる。』

するとすべての民は『アーメン』と言う。

『盲人を道で誤らせる者は呪われる。』

するとすべての民は『アーメン』と言う。

『外国人、孤児、または未亡人に正義を否定する者は呪われる。』

するとすべての民は『アーメン』と言う。

『父の妻と寝る者は呪われる、彼は父の床を汚すからである。』

するとすべての民は『アーメン』と言う。

『動物と関係を持つ者は呪われる。』

するとすべての民は『アーメン』と言う。

『父の娘であれ、母の娘であれ、妹と寝る者は呪われる。』

するとすべての民は『アーメン』と言う。

『義母と不適切な関係を持つ者は呪われる。』

するとすべての民は『アーメン』と言う。

『隣人を秘密に攻撃する者は呪われる。』

するとすべての民は『アーメン』と言う。

『無実の人を害するために賄賂を受け取る者は呪われる。』

するとすべての民は『アーメン』と言う。

『この律法の言葉を守り行わない者は呪われる。』

するとすべての民は『アーメン』と言う。

28 もしあなたがたが、あなたの神、主の声に聞き従い、今日私が命じるすべての命令を忠実に守るならば、あなたの神、主は地の

申命記

すべての国々の上にあなたを高く置かれるであろう。
これらすべての祝福があなたに臨み、あなたに伴うであろう。もしあなたが、あなたの神、主に聞き従うならば。
あなたは町でも祝福され、野でも祝福されるであろう。
あなたの胎の実、地の産物、家畜の子牛、牛の子、羊の子は祝福されるであろう。
あなたのかごとこね鉢は祝福されるであろう。
あなたは出ても入っても祝福されるであろう。
主はあなたに立ち向かう敵をあなたの前で打ち破られるであろう。彼らは一つの道からあなたに攻め寄せるが、七つの道から逃げ去るであろう。
主はあなたの倉とあなたの手のすべての働きに祝福を命じ、あなたの神、主が与えられる地であなたを祝福されるであろう。
主はあなたを、ご自分の聖なる民として立てられるであろう。もしあなたが、あなたの神、主の命令を守り、その道を歩むならば。
地のすべての民は、あなたが主の名によって呼ばれていることを見て、あなたを恐れるであろう。
主はあなたに、あなたの胎の実、家畜の子牛、地の産物において豊かに恵まれるであろう。主があなたの先祖たちに与えると誓われた地で。
主はご自分の豊かさの宝庫である天を開き、時に応じてあなたの地に雨を降らせ、あなたの手のすべての働きを祝福されるであろう。あなたは多くの国に貸し付けるが、借りることはないであろう。
主はあなたを頭とし、尾とはされないであろう。もし今日私が命じるあなたの神、主の命令に聞き従い、それを守り行うならば、あなたは常に上に立ち、下に立つことはないであろう。
今日私が命じる命令から右にも左にもそれて、他の神々に従い、それに仕えることがないようにしなさい。
しかし、もしあなたが、あなたの神、主の声に聞き従わず、今日私が命じるすべての命令と掟を守り行わないならば、これらすべての呪いがあなたに臨み、あなたを追い越すであろう。
あなたは町でも呪われ、野でも呪われるであろう。
あなたのかごとこね鉢は呪われるであろう。
あなたの胎の実、地の産物、家畜の子牛、羊の子は呪われるであろう。
あなたは出ても入っても呪われるであろう。
主はあなたが行うすべてのことにおいて、呪いと混乱と叱責を送られるであろう。あなたが滅び、急に滅び去るまで。あなたが主を捨てたことによる悪のために。

主はあなたを疫病で打ち、あなたが入って行って所有しようとしている地からあなたを滅ぼされるであろう。
主はあなたを消耗病、炎症、熱病、熱風、枯れ病、かびで打たれるであろう。それらはあなたを追い詰め、滅び去るまで。
あなたの頭上の天は青銅となり、あなたの下の地は鉄となるであろう。
主はあなたの地に降る雨を塵と粉に変えられるであろう。それはあなたが滅び去るまで、天から降り続けるであろう。
主はあなたを敵の前で打ち破られるであろう。あなたは一つの道から彼らに向かって出て行くが、七つの道から彼らの前から逃げ去るであろう。そしてあなたは地のすべての国々に恐れられるものとなるであろう。
あなたの死体は空のすべての鳥と地の獣の餌食となり、それらを追い払う者はいないであろう。
主はあなたをエジプトの腫れ物、腫瘍、悪性の腫れ物、かゆみで打たれるであろう。それは治ることができない。
主はあなたに狂気、盲目、心の混乱をもたらされるであろう。
真昼にあなたは暗闇の中の盲人のように手探りするであろう。あなたの行うすべてのことは成功しないであろう。日々あなたは虐げられ、奪われ、救う者はいないであろう。
あなたは妻を娶るが、他の者が彼女を犯すであろう。あなたは家を建てるが、そこに住むことはないであろう。あなたは葡萄畑を植えるが、その実を楽しむことはないであろう。
あなたの牛はあなたの目の前で屠られるが、あなたはそれを食べることはないであろう。あなたのろばは力ずくで奪われ、返されることはないであろう。あなたの羊は敵に渡され、救う者はいないであろう。
あなたの息子や娘は他の国に渡され、あなたの目は日々彼らを待ち望んで疲れ果て、手を挙げることもできないであろう。
あなたの地と労働の産物を、あなたが知らない民が食い尽くし、あなたは日々ただ虐げられ、圧迫されるであろう。
あなたが見ることはあなたを狂わせるであろう。
主はあなたの膝と脚を治らない悪性の腫れ物で打たれるであろう。それは足の裏から頭の頂まで広がるであろう。
主はあなたとあなたが立てた王を、あなたもあなたの先祖も知らない国に連れて行かれるであろう。そこであなたは木と石の他の神々に仕えるであろう。

申命記

37

あなたは主があなたを追い遣られるすべての民の中で、恐れられ、ことわざとなり、物笑いの種となるであろう。

あなたは多くの種を畑に蒔くが、収穫は少ないであろう。蝗がそれを食い尽くすからである。

あなたは葡萄畑を植え、耕すが、その葡萄酒を飲むことも、葡萄を集めることもないであろう。虫がそれを食い尽くすからである。

あなたは全地にオリーブの木を持つが、その油を使うことはないであろう。オリーブが落ちるからである。

あなたは息子や娘を持つが、彼らを保つことはできないであろう。彼らは捕らえられて行くからである。

蝗の群れがあなたのすべての木と地の産物を食い尽くすであろう。

あなたの中にいる外国人はますます高く上り、あなたはますます低く下るであろう。

彼らはあなたに貸し付け、あなたは彼らに貸し付けることはないであろう。彼らは頭となり、あなたは尾となるであろう。

これらすべての呪いがあなたに臨み、あなたを追い越し、滅ぼすであろう。あなたが、あなたの神、主の声に聞き従わず、彼が与えた命令と掟を守らなかったからである。

これらはあなたとあなたの子孫に対するしるしと不思議となるであろう。永遠に。

あなたが、あなたの神、主に喜びと心の喜びをもって仕えなかったからである。豊かさの時に。

それゆえに、飢えと渇き、裸と欠乏の中で、主があなたに送る敵に仕えるであろう。彼はあなたの首に重いくびきを置き、あなたを滅ぼすまで。

主は地の果てから、あなたに対して国を連れて来られるであろう。驚が舞い降りるように、あなたが理解できない言葉を話す国を。

その国は老人を敬わず、若者を憐れまない恐ろしい顔をした国である。

彼らはあなたの家畜の子牛と地の産物を食い尽くし、あなたを滅ぼすであろう。彼らはあなたに穀物も、新しい葡萄酒も、オリーブ油も、牛の子も、羊の子も残さず、あなたを滅ぼすであろう。

彼らはあなたが信頼する高く堅固な城壁が落ちるまで、あなたのすべての町を包囲するであろう。主があなたの神が与えられる地のすべての町を包囲するであろう。

敵があなたに包囲を加える際の困難のために、あなたはあなたの神、主が与えられた息子や娘の肉を食べるであろう。

あなたの中で最も優しく、繊細な男でさえ、自分の兄弟や愛する妻、生き残った子供たちに対しても同情を失うであろう。

彼は自分が食べている子供たちの肉を分け与えることを拒むであろう。それが彼に残されたすべてであり、敵があなたに包囲を加える際の困難のために。

あなたの中で最も優しく、繊細な女でさえ、足の裏で地面に触れることを避けるほど繊細で優しい女でさえ、愛する夫や自分の息子や娘を惜しむであろう。

彼女の胎から出る後産と彼女が生む子供たちを。彼女の切迫した必要の中で、彼女はそれらを秘密裏に食べることを意図している。敵があなたの町を包囲する際の困難のために。

もしあなたがこの書に書かれているこの律法のすべての言葉を注意深く守らず、この栄光ある恐るべき名、あなたの神、主を敬わないならば、

主はあなたとあなたの子孫に恐ろしい疫病、厳しい長引く災害、重く長引く病気を送られるであろう。

彼はあなたが恐れていたエジプトのすべての病をあなたに持ち込み、それらはあなたにまわりつくであろう。

主はまた、この律法の書に記録されていないあらゆる種類の病氣と災害をあなたに持ち込み、あなたを滅ぼすまで。

あなたがたは空の星のように数多くあったが、あなたの神、主に聞き従わなかったために、わずかしか残らないであろう。

主があなたを繁栄させ、数を増やすことを喜ばれたように、あなたを滅ぼし、破壊することを喜ばれるであろう。あなたが入って行って所有しようとしている地からあなたを根こそぎにされるであろう。

その後、主はあなたを地の果てから果てまで、すべての国の間に散らされるであろう。そこであなたはあなたもあなたの先祖も知らなかった木と石の他の神々に仕えるであろう。

その国々の間であなたは休むことができず、足の裏を休める場所も見つけられないであろう。そこで主はあなたに不安な心、望み疲れた目、絶望的な心を与えられるであろう。

あなたは常に不安定な生活を送り、昼も夜も恐れに満たされ、自分の命を確信することができないであろう。

朝には「夕方であればよいのに」と言い、夕方には「朝であればよいのに」と言うであろう。あなたの心をつかむ恐怖とあなたの目が目撃する光景のために。

申命記

主はあなたを再び船でエジプトに送り返されるであろう。私はあなたに二度と行ってはならないと言った旅で。そこであなたは敵に自分を男奴隷や女奴隷として売ろうとするが、買う者はいないであろう。

29 これらは、主がモアブの地でイスラエルの人々と結ぶようにモーセに命じた契約の条項であり、ホレブで彼らと結んだ契約に加えてのものである。

モーセは全イスラエルを集めて彼らに言った。「あなたたちは、主がエジプトでパロとそのすべての役人、およびその全地に行ったことを目撃した。あなたがたの目は、あの大きな試練、あのしるしと不思議を見た。

しかし今日に至るまで、主は理解する心、見る目、聞く耳をあなたたちに与えなかった。

私は四十年間、荒野をあなたたちと共に導いたが、あなたたちの衣服はすり減らず、足の履物もすり減らなかった。

あなたたちはパンを食べず、ぶどう酒や他の発酵飲料を飲まなかった。それは、私があなたたちの神、主であることを知るためである。

あなたたちがこの場所に来たとき、ヘシュボンの王シホンとバシヤンの王オグが出てきて私たちと戦ったが、私たちは彼らを打ち破った。

私たちは彼らの地を占領し、それをルベン族、ガド族、マナセの半部族に相続地として割り当てた。

したがって、この契約の条項を守り、それを実行しなさい。そうすれば、あなたたちが行うすべてのことにおいて繁栄するであろう。

今日、あなたたちは皆、あなたたちの神、主の前に立っている—

あなたたちの指導者、部族、長老、役人、イスラエルのすべての男たち、

あなたたちの子供たちと妻たち、あなたたちの陣営に住む木を切り、水を汲む外国人も共に、

あなたたちの神、主と契約を結ぶために、主が今日あなたたちと結び、誓いを立てる契約である。

今日、あなたたちを主の民として立てるために、主があなたたちの神となるために、主があなたたちに約束し、あなたたちの父祖アブラハム、イサク、ヤコブに誓ったように。

私はこの契約とこの誓いをあなたたちだけと結ぶのではなく、

今日、私たちの神、主の前にいるここにいる者たちと、今日ここにいない者たちとも結ぶのである。

あなたたちは、私たちがエジプトでどのように暮らして、ここに来る途中でどの国々を通過したかを知っている。

あなたたちは、木や石、銀や金の忌まわしい像や偶

像を見た。
今日、あなたたちの中に、心が私たちの神、主から離れ、これらの国々の神々を拝む者がいないようにしなさい。また、苦い毒を生み出す根があなたたちの中になくするようにしなさい。

そのような者がこの誓いの言葉を聞いて、自分自身を祝福し、『私は自分の頑固な心に従っても安全である』と思うとき、それは潤った地にも乾いた地にも災いをもたらすであろう。

主は彼らを赦すことを望まない。主の怒りと熱心が彼らに対して燃え上がる。この書に書かれたすべての呪いが彼らに降りかかり、主は彼らの名前を天の下から消し去るであろう。

主は彼らをイスラエルのすべての部族から災いのために分け、律法の書に書かれた契約のすべての呪いに従って行うであろう。
後の世代—
あなたたちの後に起こる子孫や遠い国から来る外国人たち—

は、この地に降りかかった災いと、主がそれに与えた病を見て、

その全地が塩と硫黄の燃える荒地となり、何も蒔かれず、何も芽生えず、何の植物も育たないのを見て、主が激しい怒りで滅ぼしたソドムとゴモラ、アドマとゼボイムのようにになる。

すべての国々は尋ねるであろう、『なぜ主はこの地にこのようなことをしたのか？なぜこの激しい怒りなのか？』

その答えは、『この民が、彼らの先祖の神、主の契約を捨てたからである。主が彼らをエジプトから導き出したときに彼らと結んだ契約を。』

彼らは行って他の神々に仕え、それを拝んだ。それは彼らが知らず、主が彼らに割り当てなかった神々である。

それゆえ、主の怒りがこの地に対して燃え上がり、この書に書かれたすべての呪いをもたらした。
主は怒りと憤りで彼らをその地から引き抜き、今日のように別の地に投げ入れた。』

隠されたことは私たちの神、主に属するが、明らかにされたことは永遠に私たちと私たちの子供たちに属する。それは私たちがこの律法のすべての言葉に従うためである。

30 私があなたの前に置いたこれらすべての祝福と呪いがあなたに臨み、あなたの神、主があなたを散らされたすべての国々でそれを心に留めるとき、

あなたとあなたの子供たちが心を尽くし、魂を尽くしてあなたの神、主に立ち返り、今日私が命じるすべてのことに従うならば、

そのとき、あなたの神、主はあなたの運命を回復し

申命記

、あなたを憐れみ、彼があなたを散らしたすべての民の中から再びあなたを集めるでしょう。⁴
たとえあなたが地の果てに追放されていても、そこからあなたの神、主はあなたを集め、あなたを連れ戻すでしょう。⁵
彼はあなたをあなたの先祖が所有していた地に連れて行き、あなたはそれを所有するでしょう。彼はあなたをあなたの先祖よりも繁栄させ、数を増やすでしょう。⁶
さらに、あなたの神、主はあなたの心とあなたの子孫の心に割礼を施し、あなたが心を尽くし、魂を尽くして彼を愛し、生きることができるようにされるでしょう。⁷
あなたの神、主はあなたを憎み、迫害する敵にこれらすべての呪いを下すでしょう。⁸
あなたは再び主の声に耳を傾け、今日私があなたに与えるすべての命令を実行するでしょう。⁹
そのとき、あなたの神、主はあなたの手のすべての働き、あなたの胎の実、あなたの家畜の子孫、あなたの土地の作物においてあなたを非常に繁栄させるでしょう。主は再びあなたの先祖を喜ばせたように、あなたを良いことで喜ばせるでしょう。¹⁰
もしあなたがあなたの神、主に耳を傾け、この律法の書に書かれている彼の命令と法令を守り、心を尽くし、魂を尽くしてあなたの神、主に立ち返るならば。¹¹
今日私があなたに与えるこの命令は、あなたにとって難しすぎるものでも、あなたの手の届かないものでもありません。¹²
それは天にあるのではなく、あなたが『誰が天に上ってそれを取り、私たちに告げてくれるので、それに従うことができるのか』と尋ねる必要はありません。¹³
それは海の彼方にあるのではなく、あなたが『誰が海を渡ってそれを取り、私たちに告げてくれるので、それに従うことができるのか』と尋ねる必要もありません。¹⁴
いいえ、その言葉は非常にあなたに近く、あなたの口にあり、あなたの心にあるので、それに従うことができます。¹⁵
見よ、私は今日あなたの前に命と繁栄、死と逆境を置きます。¹⁶
今日私はあなたに、あなたの神、主を愛し、彼の道を歩み、彼の命令、法令、律法を守るよう命じます。そうすれば、あなたは生きて増え、あなたの神、主はあなたが入って所有しようとしている地であなたを祝福されるでしょう。¹⁷
しかし、もしあなたの心が離れ、従わず、他の神々にひれ伏し、それらを拝むように惑わされるならば

、¹⁸
私は今日あなたに宣言します、あなたは必ず滅びます。あなたがヨルダンを渡って入って所有しようとしている地であなたの日々を長くすることはありません。¹⁹
私は今日、天と地をあなたに対して証人として呼びます。私はあなたの前に命と死、祝福と呪いを置きました。今、命を選びなさい、そうすればあなたとあなたの子孫は生きるでしょう。²⁰
あなたの神、主を愛し、彼の声に耳を傾け、彼にしっかりとつかまりなさい。主はあなたの命であり、彼はあなたの父祖アブラハム、イサク、ヤコブに与えると誓った地であなたに多くの年を与えるでしょう。

31 それからモーセは行って、これらの言葉を全イスラエルに語った。²
彼は彼らに言った、「私は今や百二十歳であり、もはやあなたたちを導くことができません。そして主は私に、『あなたはヨルダン川を渡ってはならない』と言われました。³
あなたの神、主はあなたの先に渡って行かれます。主はこれらの国々をあなたの前で滅ぼされ、あなたは彼らの土地を占領するでしょう。主が語られたように、ヨシュアもまたあなたの先に渡って行きます。⁴
。主はシホンとオグ、アモリ人の王たちにしたように、彼らにもされます。主は彼らとその土地を滅ぼされました。⁵
主は彼らをあなたに渡されるので、あなたは私が命じたすべての戒めに従って彼らに行きなさい。⁶
強く、勇敢でありなさい。彼らを恐れたり、怯えたりしてはなりません。あなたの神、主があなたと共に行かれるからです。主はあなたを離れず、見捨てられません。⁷
それからモーセはヨシュアを呼び、全イスラエルの前で彼に言った、「強く、勇敢でありなさい。あなたはこの民と共に、主が彼らの先祖に与えると誓われた地に行き、それを彼らに相続地として分け与えるでしょう。⁸
主ご自身があなたの先に行かれ、あなたと共におられます。主はあなたを離れず、見捨てられません。恐れてはならず、落胆してはなりません。」⁹
それでモーセはこの律法を書き、主の契約の箱を担ぐレビ人の祭司たちと、イスラエルのすべての長老たちに渡した。¹⁰
それからモーセは彼らに命じた、「七年ごとに、負債の免除の年の終わりに、仮庵の祭りの時に、¹¹
すべてのイスラエルがあなたの神、主の前に現れるために主が選ばれる場所で、あなたはこの律法を彼

申命記

らの前で読んで聞かせなさい。¹²
人々を集めなさい—
男、女、子供、そしてあなたの町に住む外国人—
彼らが聞いて、あなたの神、主を恐れることを学び
、この律法のすべての言葉を注意深く守るためです。¹³
この律法を知らない彼らの子供たちもそれを聞き、
あなたがヨルダン川を渡って所有する地に住んでいる
限り、あなたの神、主を敬うことを学ぶべきです。¹⁴
主はモーセに言われた、「あなたの死の時が近づいて
いる。ヨシュアを呼び、会見の幕屋で自分を示し
なさい。そこで私は彼に任命を与える。」それでモ
ーセとヨシュアは行って、会見の幕屋で自分を示し
た。¹⁵
主は雲の柱の中で幕屋に現れ、雲は幕屋の入口に立
った。¹⁶
主はモーセに言われた、「あなたは先祖たちと共に
休む時が来ているが、この民はすぐに彼らが入る地
の外国の神々に向かうだろう。彼らは私を捨て、私
が彼らと結んだ契約を破るだろう。¹⁷
その日、私の怒りは彼らに対して燃え上がり、私は
彼らを捨て、私の顔を彼らから隠すだろう。彼らは
滅び、多くの災害と災難が彼らに降りかかるだろう
。そして彼らは言うだろう、『これらの災害が私た
ちに降りかかったのは、私たちの神が私たちと共に
いないからではないか?』¹⁸
彼らが他の神々に向かうすべての悪のために、その
日私は確かに私の顔を隠すだろう。¹⁹
「今、この歌を書き記し、イスラエルの人々に教え
、それを彼らの唇に置きなさい。それが彼らに対す
る私の証人となるためです。²⁰
私が彼らを乳と蜜の流れる地に導き、彼らの先祖に
誓った地に入れ、彼らが食べて満足し、繁栄する時
、彼らは他の神々に向かい、それらを礼拝し、私を
拒絶し、私の契約を破るだろう。²¹
多くの災害と災難が彼らに降りかかる時、この歌は
彼らに対する証言となるだろう。彼らの子孫によっ
て忘れ去られることはないからです。私は彼らが何
をしようとしているかを知っている、私が彼らを誓
った地に導く前から。」²²
それでモーセはその日この歌を書き記し、イスラエ
ルの人々に教えた。²³
主はヌンの子ヨシュアに命じて言われた、「強く、
勇敢でありなさい。あなたはイスラエルの人々を私
が誓った地に導くからです。私はあなたと共にいる
。」²⁴
モーセがこの律法の言葉を初めから終わりまで書き
終えた後、²⁵

彼は主の契約の箱を担ぐレビ人に命じた。²⁶
「この律法の書を取り、あなたの神、主の契約の箱
のそばに置きなさい。そこにそれがあなたに対する
証言として残るだろう。²⁷
あなたがどれほど反抗的で頑固であるかを私は知っ
ている。私がまだあなたと共に生きている間にあな
たが主に反抗しているなら、私の死後にはどれほど
もっと反抗することだろうか。²⁸
あなたの部族のすべての長老と役人を私の前に集め
なさい。私は彼らの聞いている前でこれらの言葉を
語り、天と地を彼らに対する証人として呼ぶため
です。²⁹
私の死後、あなたがたが腐敗し、私が命じた道から
離れることを私は知っている。来るべき日には、あ
なたがたが主の目の前で悪を行い、あなたがたの手
で作ったもので主を怒らせるので、災害があなたが
たに降りかかるだろう。」³⁰
そしてモーセはこの歌の言葉を初めから終わりまで
、イスラエルの全会衆の聞いている前で朗読した。

32 天よ、聞け、私は語る。地よ、私の口の言
葉を開け。²
私の教えは雨のように降り、私の言葉は露
のように滴り、柔らかな草の上の小雨のように、草
の上のにわか雨のように。³
私は主の名を宣言する。私たちの神に偉大さを帰す
る!⁴
岩なる方、その業は完全で、その道は皆正しい。真
実の神であり、不義はなく、正義で正しい方である
。⁵
彼らは彼に対して墮落した行いをし、彼の子供では
なく、その欠点のために曲がった、ねじれた世代で
ある。⁶
これは主に報いる方法か、愚かで賢くない民よ。彼
はあなたを買った父ではないか。彼はあなたを造り
、確立した。⁷
昔の日々を思い出し、多くの世代が見た年を考えな
さい。あなたの父に尋ねなさい、彼はあなたに示す
だろう。あなたの長老たちに、彼らはあなたに思い
出させるだろう。⁸
至高者が国々にその相続を与え、人類を分けたとき
、彼はイスラエルの子供たちの数に従って人々の境
界を定めた。⁹
主の宝は彼の民であり、ヤコブは彼の選ばれた相続
である。¹⁰
彼は彼を荒地で、荒れ果てた荒野で見つけた。彼
は彼を囲み、彼を守り、彼を瞳のように守った。¹¹
巢をかき立てる鷲のように、その若いものの上を舞
い上がり、翼を広げ、彼らを捕まえ、翼に乗せるよ
うに、¹²

申命記

主だけが彼を導き、彼と共に異国の神はいなかった。
彼は地の高い所に乗せ、畑の産物を食べさせた。彼は岩から蜂蜜を吸わせ、硬い岩から油を吸わせた。

群れからの凝乳、羊の群れからの乳、バシヤンの種の雄羊、やぎ、小麦の最上のものと共に、あなたはぶどうの血からのワインを飲んだ。

しかし、エシュルンは繁栄し、自己満足した。あなたは太り、肥え、滑らかになった。それから彼は彼を造った神を捨て、彼の救いの岩を嘲笑した。彼らは異国の神々で彼を嫉妬させ、忌まわしい行いで彼を怒らせた。

彼らは神ではない霊に犠牲を捧げ、知らなかった神々、新しく現れた神々、あなたの祖先が恐れなかった神々に捧げた。

あなたは父とした岩を忘れ、あなたに命を与えた神を忘れた。

主はそれを見て、彼の息子と娘の挑発のために彼らを拒絶した。

そして彼は言った、「それで私は彼らから顔を隠し、彼らの終わりがどうなるかを見る。彼らは信仰のない曲がった世代である。

彼らは神ではないもので私を嫉妬させ、偶像で私を怒らせた。だから私は彼らを人ではないもので嫉妬させ、愚かな国で彼らを挑発する。

私の怒りによって火が点火され、墓の深みに燃え、地とその産物を消費し、山の基を燃やす。

そして私は彼らに災害をもたらし、私の矢を彼らに尽くす。

彼らは飢えて消耗し、疫病と苦い病で消費される。私は彼らに獣の歯を送り、塵の中を這う生き物の毒を送る。

外では剣が奪い、内では恐怖が、若者と処女、授乳中の子供と白髪の男に襲いかかる。

私は言っただろう、「私は彼らを遠くに散らし、彼らの記憶を人々の中から消す。」

敵の嘲笑を恐れなかったなら、彼らの敵が誤解しないように、彼らが「私たちの手が勝利した、これは主がしたことではない」と言わないように。

彼らは助言の概念を持たない国であり、彼らには理解がない。

もし彼らが知恵を持っていたら、これを理解し、彼らの最終的な運命を見分けただろう！

一人が千を追い、二人が一万を逃げさせることができたのは、彼らの岩が彼らを引き渡し、主が彼らを引き渡したからでなければならない。

彼らの岩は私たちの岩のようにではない。私たちの敵自身が裁く。

彼らのぶどうの木はソドムのぶどうの木から、ゴモラの畑から来ている。彼らのぶどうは毒のようで、彼らの房は苦い。

彼らのワインは蛇の毒のようで、アスブの残酷な毒である。

「これは私と共に蓄えられていないか、私の宝庫に封印されているか？

復讐は私のものであり、報いも、彼らの足が滑るするために。彼らの災難の日は近く、彼らの破滅は速やかに近づいている。」

主は彼の民を弁護し、彼の僕たちに憐れみを示さだろう。彼らの力が尽き、残る者がいないとき、自由な者も奴隷も。

その時、彼は彼らについて言うだろう、「彼らの神々はどこにいるのか、彼らが避難を求めた岩はどこにあるのか、

その時、犠牲の脂肪を消費し、飲み物の捧げ物のワインを飲んだ者たちは？彼らが立ち上がってあなたを助け、あなたの保護となるように！

今見よ、私、私こそが彼であり、私の他に神はいない。私は死をもたらし、命を与える。私は傷つけ、癒す。そして私の手から逃れる者はいない。

私は天に手を上げて宣言する。私は永遠に生きる。

もし私が輝く剣を研ぎ、私の手が裁きを取るなら、私は私の敵に復讐し、私を憎む者に報いる。

私は私の矢を血で浸し、私の剣は肉を消費するだろうー

殺された者と捕虜の血で、敵の長髪の頭から。」
国々よ、彼の民と共に喜べ。彼は彼の僕たちの血を復讐し、彼の敵に復讐し、彼の地と民のために贖いをする。

モーセは来て、この歌のすべての言葉を人々の耳に語った。彼とヌンの子ヨシュアと共に。

そして、モーセがこれらの言葉をイスラエル全体に言い終えたとき：

彼は彼らに言った、「今日、私があなたに警告しているすべての言葉を心に留め、あなたの子供たちに教え、彼らがこの律法のすべての言葉を注意深く守るようにしなさい。

これはあなたにとって空しい言葉ではなく、あなたの命そのものであり、この言葉によってあなたはヨルダンを渡って所有する地で長く生きるだろう。」

その日に主はモーセに語った、

「アバリムの山、このモアブの地にあるネボ山に登り、エリコに向かい、私がイスラエルの民に所有として与えているカナンの地を見よ。

そしてあなたは登る山で死に、あなたの民に集められるだろう。ちょうどあなたの兄弟アロンがホル山

申命記

で死に、彼の民に集められたように。⁵¹
なぜなら、あなたはツインの荒野のメリバ・カデシ
シュの水でイスラエルの民の中で私に対して信仰を破
ったからであり、イスラエルの民の中で私を聖なる
ものとして立てなかったからである。⁵²
あなたはあなたの前にその地を見るが、あなたはそ
こに入ることはできない。私はイスラエルの民にそ
の地を与えている。」

33 これは神の人モーセが死ぬ前にイスラエルの
人々に与えた祝福である。²
彼は言った。「主はシナイから来て、セイル
から彼らに現れ、バランの山から輝いた。彼は聖
なる者たちの無数の者と共に来た。彼の右手には彼
らのために閃光の稲妻があった。³
確かに、彼こそが人々を愛する方である。すべての
聖なる者たちは彼の手の中にある。彼らは彼の足跡
に従い、彼の言葉を受け取る。⁴
モーセは私たちに律法を与えた。それはヤコブの集
会の所有である。⁵
彼はエシュルンの王であった。人々の指導者たちが
集まり、イスラエルの部族が共に集まったとき。⁶
「ルベンが生き、死なず、その民が少なくならない
ように。」⁷
そして、彼はユダについてこう言った。「主よ、ユ
ダの声を聞き、彼をその民に連れて行ってください
。彼は自分の手で彼らのために戦い、あなたが彼の
敵に対して助けとなりますように。」⁸
レビについて彼は言った。「あなたのトゥンミムと
ウリムをあなたの忠実な僕に与えてください。彼は
マッサであなたに試され、メリバの水であなたと争
った者です。⁹
彼は父と母について『私は彼らを顧みない』と言っ
た。彼は兄弟を認めず、自分の子供たちを顧みなか
った。彼らはあなたの言葉を守り、あなたの契約を
守ったからである。¹⁰
彼らはあなたの定めをヤコブに、あなたの律法をイ
スラエルに教える。彼らはあなたの前で香をたき、
あなたの祭壇で全焼のいけにえを捧げる。¹¹
主よ、彼の力を祝福し、彼の手の働きを喜んでくだ
さい。彼に逆らう者、彼の敵を打ち倒し、彼らが再
び立ち上がらないようにしてください。」¹²
ベニヤミンについて彼は言った。「主に愛される者
が彼のそばで安全に住むように。彼は一日中彼を守
り、彼の肩の間に住む。」¹³
ヨセフについて彼は言った。「主が彼の土地を天か
らの貴重な露と下にある深い水で祝福されますよう
に。」¹⁴ 太陽の最良の収穫と月の最良の産物で。¹⁵
古代の山々の最良の贈り物と永遠の丘の豊かさで。¹⁶

地の最良の贈り物とその豊かさ、燃える茂みに住ん
でいた方の恵みで。これらがヨセフの頭に、彼の兄
弟たちの中の君の額に留まりますように。¹⁷
彼の威厳は初子の雄牛のようであり、彼の角は野牛
の角である。彼らで彼は地の果てまで国々を突き刺
す。これがエフライムの万、これがマナセの千であ
る。」¹⁸
ゼブルンについて彼は言った。「ゼブルンよ、あな
たの出て行くことを喜び、イッサカルよ、あなたの
天幕で喜べ。¹⁹
彼らは人々を山に呼び寄せ、そこで正しいいけにえ
を捧げる。彼らは海の豊かさや砂に隠された宝を楽
しむ。」²⁰
ガドについて彼は言った。「ガドの領域を広げる者
は祝福される！ガドはそこに獅子のように住み、腕
と頭を引き裂く。²¹
彼は自分のために最良の土地を選んだ。指導者の分
が彼のために確保された。彼は人々の頭と共に来た
。彼は主の正義と彼の定めをイスラエルと共に実行
した。」²²
ダンについて彼は言った。「ダンはバシヤンから跳
び出す若い獅子である。」²³
ナフタリについて彼は言った。「ナフタリは主の恵
みに満ち、彼の祝福に満ちている。彼は海と南を所
有する。」²⁴
アシェルについて彼は言った。「息子たちの中で最
も祝福されるのはアシェルである。彼の兄弟たちに
愛され、彼の足を油に浸す。²⁵
あなたの門の横木は鉄と青銅であり、あなたの力は
あなたの日々に等しい。」²⁶
「エシュルンの神のような者はいない。彼はあなた
を助けるために天を駆け巡り、その威厳の中で雲に
乗る。」²⁷
永遠の神はあなたの避難所であり、あなたの下には
彼の永遠の腕がある。彼はあなたの敵をあなたの前
から追い出し、『彼らを打ち負かせ！』と言う。²⁸
それでイスラエルは安全に住むであろう。ヤコブは
穀物と新しいぶどう酒の地に安全に住むであろう。²⁹
天が露を降らせる場所です。
イスラエルよ、あなたは祝福されている！主によっ
て救われた民のような者は誰か？彼はあなたの盾で
あり助けであり、あなたの栄光の剣である。あなた
の敵はあなたの前で縮み上がり、あなたは彼らの高
い場所を踏みつける。」

34 モーセはモアブの平原からネボ山、ピスガ
の頂上、エリコに向かい合うところに登つ
た。主は彼にギラデからダンに至るまで
の全地を示された。²
ナフタリの全地、エフライムとマナセの地域、そし

申命記

て西の海に至るまでのユダの全地、³
ネゲブと、ヤシの町エリコの谷からツォアルに至る
全地域を。⁴

主は彼に言われた、「これは、アブラハム、イサク
、ヤコブに誓って『あなたの子孫に与える』と言っ
た地である。私はあなたにそれを目で見させたが、
あなたはそこに渡ることはできない。」⁵

こうして、主のしもべモーセは、主が言われたとお
り、モアブの地で死んだ。⁶

彼はモアブの地、ベテ・ペオルに向かい合う谷に葬
られたが、今日に至るまでその墓の場所を知る者は
いない。⁷

モーセは死んだとき百二十歳であつたが、その目は
かすまず、力も衰えていなかった。⁸

イスラエルの子らはモアブの平原でモーセのために

三十日間泣き悲しみ、モーセのための泣き悲しむ期
間が終わった。⁹

ヌンの子ヨシュアは、モーセが彼の上に手を置いた
ので、知恵の霊に満たされていた。イスラエルの子
らは彼に従い、主がモーセに命じたとおりに行った
。¹⁰

イスラエルには、主が親しく知っておられたモーセ
のような預言者は再び現れなかった。¹¹

主が彼をエジプトに遣わし、ファラオとそのすべて
の家臣、およびその全地に対して行わせたすべての
しるしと不思議のために、¹²

そして、モーセが全イスラエルの目の前で行ったす
べての力強い行いと、すべての偉大な恐るべき行い
のために。

ヨシュア記

1 主のしもべモーセの死後、主はモーセに仕えていたヌンの子ヨシュアに告げて言われた、²

「わたしのしもべモーセは死んだ。今、あなたとこのすべての民は立ち上がり、ヨルダン川を渡って、わたしがイスラエルの人々に与えようとしている地に入れ。³

あなたの足の裏が踏み所はすべて、わたしがモーセに約束したように、あなたに与えた。⁴

あなたの領土は、荒野とレバノンから大川、すなわちユーフラテス川まで、すべてのヒッタイト人の地、そして西の大海まで広がる。⁵

あなたの一生の間、だれもあなたに立ち向かうことはできない。わたしがモーセと共にいたように、あなたと共にいる。わたしはあなたを見放さず、見捨てない。⁶

強くあれ、雄々しくあれ。あなたはこの民を導いて、わたしが彼らの先祖に与えると誓った地を受け継がせるからである。⁷

ただ強く、非常に雄々しくあれ。わたしのしもべモーセが命じたすべての律法に従って行い、右にも左にもそれてはならない。そうすれば、あなたは行く先々で成功する。⁸

この律法の書をあなたの口から離さず、昼も夜もそれを口ずさみ、その中に書かれているすべてのことを守り行うためである。そうすれば、あなたの道は栄え、成功する。⁹

わたしが命じたではないか。強くあれ、雄々しくあれ。恐れてはならない。おののいてはならない。あなたの神、主があなたと共にいるからである。」¹⁰
そこでヨシュアは民の役人たちに命じて言った、¹¹
「宿営の中を通して民に命じなさい。『食料を用意しなさい。三日後にあなたたちはヨルダン川を渡り、あなたたちの神、主が与えてくださる地を占領するために入るのだから。』」¹²

ヨシュアはルベン人、ガド人、およびマナセの半部族に言った、¹³

「主のしもべモーセがあなたたちに命じたことを思い出しなさい。『あなたたちの神、主はあなたたちに安息の地を与え、この地を与える。』」¹⁴

あなたたちの妻や子供、家畜はヨルダンの東、モーセが与えた地に留まることができるが、戦いの準備ができたすべての勇士は、あなたたちの同胞イスラエル人の先頭に立って渡り、彼らを助けなければならない。¹⁵

主があなたたちに与えたように、彼らにも安息を与え、彼らもまたあなたたちの神、主が与える地を占領した後、あなたたちは自分たちの地、すなわちヨルダンの東、日の出の方にあるモーセのしもべが与えた地に帰ることができる。」¹⁶

彼らはヨシュアに答えて言った、「あなたが命じたことはすべて行い、あなたが送る所にはどこへでも行きます。¹⁷

モーセに従ったように、すべてにおいてあなたに従います。ただし、あなたの神、主がモーセと共にいたように、あなたと共にいてくださるように。¹⁸
あなたの命令に逆らい、あなたが命じるすべてのことに従わない者は死刑に処される。ただ強く、雄々しくあれ！」

2 ヌンの子ヨシュアはシッティムから密かに二人の男をスパイとして送り、彼らに「行ってその地を探りなさい。特にエリコを」と指示しました。彼らは行って、ラハブという名の娼婦の家に入り、そこに泊まりました。²

エリコの王に「見よ、今夜イスラエル人の中から何人かの男がこの地を探るために来ました」と報告がありました。³

そこでエリコの王はラハブに使者を送り、「あなたのところに来てあなたの家に入った男たちを引き渡しなさい。彼らはこの地全体を探るために来たのです」と言いました。⁴

しかし、その女は二人の男を取って隠しました。彼女は答えました。「はい、その男たちは私のところに來ましたが、彼らがどこから來たのかは知りませんでした。⁵

夕暮れ時、町の門を閉じる時に彼らは出て行きました。彼らがどちらに行ったのかは知りません。急いで追いかければ、彼らに追いつくでしょう。」⁶

(しかし、彼女は彼らを屋上に連れて行き、屋上に広げていた亜麻の茎の下に隠しました。)⁷

そこで男たちはヨルダンの渡し場への道を追って行き、追手たちが出て行くとともに門は閉じられました。⁸

スパイたちが夜に横になる前に、彼女は屋上に上がって彼らのところに行きました。⁹

そして彼らに言いました。「主があなたたちにこの地を与えたことを私は知っています。そしてあなたたちへの大いなる恐れが私たちに降りかかり、この地のすべての住民があなたたちのために絶望しています。¹⁰

私たちは、あなたたちがエジプトから出てきたときに主があなたたちの前で紅海の水を干上がらせたこと、そしてヨルダンの向こう側のアモリ人の二人の王、シホンとオグにあなたたちがしたこと、彼らを完全に滅ぼしたことを聞きました。¹¹

それを聞いたとき、私たちの心は恐れて溶け、誰もがあなたたちのために勇気を失いました。なぜなら、あなたたちの神、主は天の上にも地の下にも神だからです。¹²

ヨシュア記

「今、どうか主にかけて私に誓ってください。私があなたたちに親切を示したように、あなたたちも私の家族に親切を示してください。確かな印をください。」¹³

私の父と母、兄弟姉妹、そして彼らに属するすべての者の命を助け、私たちを死から救ってください。」¹⁴

男たちは彼女に保証しました。「私たちの命をあなたのために！もしあなたがこの事を漏らさなければ、主が私たちにこの地を与えるとき、私たちはあなたに親切に、誠実に扱います。」¹⁵

それから彼女は彼らを窓から縄で降ろしました。彼女の家は町の城壁の一部であり、彼女は城壁に住んでいたからです。¹⁶

彼女は彼らに助言しました。「追手が見つけないように丘に行きなさい。彼らが戻るまで三日間そこに隠れ、その後道を進みなさい。」¹⁷

男たちは彼女に言いました。「あなたが私たちに誓わせたこの誓いは、」¹⁸

私たちがこの地に入るとき、あなたが私たちを降ろした窓にこの緋色の紐を結び、あなたの父、母、兄弟、そしてあなたの家族全員をあなたの家に集めていない限り、私たちには拘束されません。¹⁹

彼らのうち誰かがあなたの家の外に出て通りに行けば、その血は彼ら自身の頭にかかります。私たちは責任を負いません。しかし、あなたと共に家にいる者が害を受けた場合、その血は私たちの頭にかかります。²⁰

しかし、あなたがこの事を漏らした場合、私たちはあなたが私たちに誓わせた誓いから解放されます。」²¹

彼女は同意しました。「あなたの言うとおりにしましょう。」それで彼女は彼らを送り出し、彼らは去りました。彼女はその後、窓に緋色の紐を結びました。²²

彼らが去ると、丘に行き、追手が道を探し回り、見つけられずに戻るまで三日間そこに留まりました。²³

その後、二人の男は戻り、丘から降りて渡り、ヌンの子ヨシュアのもとにきました。彼らは自分たちに起こったすべてのことを彼に報告しました。²⁴ 彼らはヨシュアに言いました。「主は確かにこの地全体を私たちの手に渡されました。すべての人々が私たちのために絶望しています。」

3 ヨシュアは朝早く起き、彼と全イスラエルの人々はシティムを出発し、ヨルダン川に到着し、渡る前にそこで宿営した。²

三日目の終わりに、役人たちは宿営の中を巡り歩いた。³

彼らは民に命じて言った、「あなたがたの神、主の契約の箱がレビ人の祭司たちによって運ばれるのを見たならば、あなたがたは自分の場所を出発し、それに従いなさい。」⁴

しかし、あなたがたとそれとの間には約二千キュビトの距離を置きなさい。それに近づいてはならない。そうすれば、あなたがたが行くべき道を知ることができる。あなたがたはこの道を以前に通ったことがないからである。」⁵

ヨシュアは民に言った、「自分を聖別しなさい。明日、主はあなたがたの中で奇跡を行われるからである。」⁶

そしてヨシュアは祭司たちに言った、「契約の箱を取り上げ、民の前を進みなさい。」それで彼らは箱を取り上げ、民の前を進んだ。⁷

主はヨシュアに言われた、「今日、わたしはイスラエル全体の前であなたを高くし始める。彼らが、わたしがモーセと共にいたように、あなたと共にいることを知るためである。」⁸

契約の箱を運ぶ祭司たちに命じなさい、『ヨルダンの水の縁に達したとき、ヨルダンの中で立ち止まりなさい。』」⁹

ヨシュアはイスラエルの人々に言った、「集まって、あなたがたの神、主の言葉を聞きなさい。」¹⁰

そしてヨシュアは言った、「これによって、あなたがたの中に生ける神がいることを知るであろう。そして、彼がカナン人、ヘテ人、ヒビ人、ペリジ人、ギルガシ人、アモリ人、エブス人を確かにあなたがたの前から追い払われることを知るであろう。」¹¹

見よ、全地の主の契約の箱があなたがたの前を進んでヨルダンに入る。¹²

それゆえ、イスラエルの部族から一人ずつ、十二人の人を選びなさい。¹³

そして、全地の主、主の箱を運ぶ祭司たちの足の裏がヨルダンの水に休むとき、下流に流れる水は断たれ、一つの堆に立ち上がる。」¹⁴

民がヨルダンを渡るためにその天幕を出発し、祭司たちが契約の箱を運んで彼らの前を進んだとき、¹⁵

そして、箱を運ぶ祭司たちがヨルダンに達し、その足が水の縁に浸ったとき（ヨルダンは収穫期にはその全ての岸を越えて流れる）、¹⁶

上流から流れる水は止まり、ザレタンの近くのアダムという町の遠くに一つの堆に立ち上がり、アラバの海、塩の海に流れ下る水は完全に断たれた。それで民はエリコの向かい側を渡った。¹⁷

主の契約の箱を運ぶ祭司たちはヨルダンの真ん中で乾いた地にしっかりと立ち、全イスラエルは乾いた地を渡り、国全体が渡り終えるまで続いた。

ヨシュア記

4 全ての国民がヨルダン川を渡り終えたとき、主はヨシュアに語られた。 2

「民の中から十二人を選び、それぞれの部族から一人ずつ選びなさい。 3

そして彼らに命じて、祭司たちがしっかりと立っているヨルダン川の真ん中から十二の石を取り、あなたたちが今夜宿泊する場所にそれを運び置くようにしなさい。」 4

そこでヨシュアは、イスラエルの子らからそれぞれの部族から一人ずつ選ばれた十二人と呼び寄せ、 5 彼らに言った。「あなたたちの神、主の箱の前に進み、ヨルダン川の真ん中に行き、それぞれ肩に石を担いなさい。それはイスラエルの部族の数に応じたものです。 6

これはあなたたちの間でのしるしとなるでしょう。将来、あなたたちの子供たちが『これらの石は何を意味するのですか?』と尋ねたとき、 7 彼らに説明しなさい。『主の契約の箱がヨルダン川を渡ったとき、ヨルダン川の水は止められた。これらの石はイスラエルの民にとって永遠の記念となるのです。』 8

イスラエルの人々はヨシュアが指示した通りに正確に行った。彼らはヨルダン川の真ん中から十二の石を取り、主がヨシュアに命じたように、イスラエルの部族の数に従ってそれを運び、彼らの宿営地に置いた。 9

ヨシュアもまた、契約の箱を運ぶ祭司たちが立っていた場所にヨルダン川の真ん中に十二の石を立て、それらは今日までそこに残っている。 10 契約の箱を運ぶ祭司たちは、主がヨシュアに命じた全てのことが民によって完了するまでヨルダン川の真ん中に立っていた。モーセがヨシュアに指示した全てのことに従って、民は急いで渡った。 11

全ての人が渡り終えたとき、主の箱と祭司たちは人々の目の前で向こう岸に上がった。 12

ルベンの子ら、ガドの子ら、およびマナセの半部族は、モーセが彼らに命じたように、イスラエルの前で戦闘隊形を組んで渡った。 13

約四万人が武装して戦いの準備をして、主の前でエリコの平原に渡った。 14

その日、主はヨシュアを全イスラエルの目の前で高め、彼らはモーセを敬ったように、彼を生涯にわたって敬った。 15 その後、主はヨシュアに語り、 16 「契約の箱を運ぶ祭司たちにヨルダン川から上がるように命じなさい。」 17

そこでヨシュアは祭司たちに命じた。「ヨルダン川から上がりなさい。」 18

主の契約の箱を運ぶ祭司たちがヨルダン川の真ん中から上がり、彼らの足が乾いた地に着いたとき、ヨ

ルダン川の水は元の場所に戻り、以前のように岸を越えて流れた。 19

第一の月の十日に、民はヨルダン川から上がり、エリコの東の境界にあるギルガルに宿営した。 20 ギルガルで、ヨシュアはヨルダン川から取った十二の石を立てた。 21

彼はイスラエルの人々に語った。「将来、あなたたちの子孫が父親に『これらの石は何を意味するのですか?』と尋ねたとき、 22

彼らに知らせなさい。『イスラエルは乾いた地を渡ってヨルダン川を渡ったのです。』 23

あなたたちの神、主がヨルダン川の水をあなたたちの前で乾かし、渡り終えるまでそうされたのです。これは、あなたたちの神、主が紅海に対して行われたことと同じで、私たちが渡り終えるまでそれを乾かされたのです。 24

主がこのことをされたのは、地の全ての民が主の手が力強いことを認識し、あなたたちが常にあなたたちの神、主を敬うためです。」

5 ヨルダンの西側のアモリ人のすべての王たちと、海沿いのカナン人のすべての王たちは、主がイスラエル人の前でヨルダンの水を乾かし、彼らが渡るまでにしたことを聞いたとき、心が溶けて恐れ、イスラエル人に立ち向かう気力を失った。 2 その時、主はヨシュアに命じて言われた。「火打ち石のナイフを用意し、もう一度イスラエル人に割礼を施しなさい。」 3

そこでヨシュアは火打ち石のナイフを用意し、ギベアテ・ハアラロテでイスラエル人に割礼を施した。 4

ヨシュアが彼らに割礼を施した理由はこれである。エジプトから出てきたすべての男性、戦士たちは、エジプトを出た後の旅の途中で荒野で死んだからである。 5

出てきたすべての人々は割礼を受けていたが、エジプトからの道中で荒野で生まれた者たちは割礼を受けていなかった。 6

イスラエル人は四十年間荒野をさまよい、エジプトから出てきた戦士たちは、主に従わなかったために滅びた。主は彼らの先祖に約束した、乳と蜜の流れる地を見ることはないと言われた。 7

それで主は彼らの代わりにその子たちを立てられた。ヨシュアは彼らに割礼を施した。彼らは旅の途中で割礼を受けていなかったからである。 8

国民全体が割礼を受けた後、彼らは癒えるまで宿営にとどまった。 9

その時、主はヨシュアに言われた。「今日、私はあなたたちからエジプトの恥を取り去った。」それゆえ、その場所は今日までギルガルと呼ばれている。

ヨシュア記

10

エリコの平野のギルガルに宿営している間に、イスラエル人は月の十四日の夕方に過越の祭りを行った。¹¹
過越の祭りの翌日、その日に彼らは地の産物を食べた。種なしパンと焼いた穀物である。¹²
彼らが地の産物を食べた翌日、マナは止まり、イスラエル人にはもはやマナはなく、その年にカナンの地の産物を食べた。¹³
ヨシュアがエリコの近くにいたとき、彼は目を上げて、一人の男が剣を抜いて手に持って立っているのを見た。ヨシュアは彼に近づいて尋ねた。「あなたは我々の味方ですか、それとも敵の側ですか？」¹⁴
彼は答えた。「どちらでもない。しかし、今、私は主の軍の司令官として来た。」そこでヨシュアは地にひれ伏して礼をし、「私の主はそのしもべに何をお告げになりますか？」と尋ねた。¹⁵
主の軍の司令官はヨシュアに言った。「あなたの履物を脱げ。あなたが立っている場所は聖なる地である。」ヨシュアはそうにした。

6 さて、エリコはイスラエル人のために厳重に閉ざされていた。出入りする者は一人もいなかった。²
主はヨシュアに言われた。「見よ、わたしはエリコとその王および勇敢な戦士たちをあなたの手に渡した。³
あなたがたは、すべての戦士たちと共に町の周りを一度回りなさい。これを六日間行いなさい。⁴
七人の祭司が七つの雄羊の角笛を持って契約の箱の前を進み、七日目には町を七回回り、祭司たちは角笛を吹き鳴らしなさい。⁵
彼らが雄羊の角笛を長く吹き鳴らし、あなたがたがその角笛の音を聞くと、すべての民は大声で叫びなさい。すると町の壁は平らに崩れ落ち、民はそれぞれまっすぐに進み上ることができる。」⁶
そこでヌンの子ヨシュアは祭司たちを呼び、「契約の箱を取り上げなさい。そして七人の祭司が主の箱の前で七つの雄羊の角笛を持って進みなさい」と言った。⁷
彼は民に言った。「進みなさい。そして町の周りを回りなさい。武装した者たちは主の箱の前を進みなさい。」⁸
ヨシュアが民に語ったとき、七人の祭司たちは主の前で七つの雄羊の角笛を持って進み、角笛を吹き鳴らし、主の契約の箱が彼らに従った。⁹
武装した者たちは角笛を吹く祭司たちの前を進み、後衛は箱に従い、角笛は鳴り続けた。¹⁰
しかしヨシュアは民に命じて言った。「あなたがたは叫んではならない。声を聞かせてはならない。口

から言葉を出してはならない。わたしが叫べと言う日まで。そうしたら叫びなさい。」¹¹
彼は主の箱を持って町の周りを一度回らせた。それから彼らは宿営に戻り、そこで夜を過ごした。¹²
ヨシュアは夜明けに早く起き、祭司たちは主の箱を取り上げた。¹³
七人の祭司たちは主の箱の前で七つの雄羊の角笛を持って進み、角笛を吹き鳴らし、武装した者たちは彼らの前を進み、後衛は主の箱に従い、角笛は鳴り続けた。¹⁴
二日目も彼らは町の周りを一度回り、宿営に戻った。彼らはこれを六日間行った。¹⁵
七日目には、彼らは夜明けに早く起き、同じように町を七回回った。その日だけは町を七回回った。¹⁶
七回目に祭司たちが角笛を吹いたとき、ヨシュアは民に言った。「叫びなさい！主があなたがたに町を与えられたからです。¹⁷
町とその中にあるすべてのものは主にささげられる。ただし、娼婦ラハブと彼女の家にいるすべての者は助けられる。彼女が我々が送った使者たちを隠したからである。¹⁸
しかし、あなたがたは滅ぼし尽くすべきものから自分を守り、それを欲しがってはならない。さもないと、イスラエルの宿営を滅ぼし、災いをもたらすことになる。¹⁹
すべての銀と金、青銅と鉄の器は主に聖なるものであり、主の宝物庫に入れられる。」²⁰
民は叫び、祭司たちは角笛を吹き鳴らした。民が角笛の音を聞いたとき、大声で叫び、壁は平らに崩れ落ちた。民はそれぞれまっすぐに進み上り、町を取った。²¹
彼らは町にあるすべてのものを、男も女も、若い者も年老いた者も、牛、羊、ろばも、剣の刃で滅ぼし尽くした。²²
ヨシュアは地を偵察した二人の男に言った。「娼婦の家に入り、その女と彼女の持ち物をすべて、あなたがたが彼女に誓った通りに連れ出しなさい。」²³
偵察をした若者たちは入り、ラハブと彼女の父、母、兄弟たち、そして彼女の持ち物をすべて連れ出し、彼女の親族をすべてイスラエルの宿営の外に置いた。²⁴
彼らは町とその中にあるすべてのものを火で焼いた。ただし、銀と金、青銅と鉄の器は主の家の宝物庫に入れた。²⁵
しかしヨシュアは娼婦ラハブと彼女の家族、彼女に属するすべての者を助けた。彼女がヨシュアがエリコを偵察するために送った使者たちを隠したからである。彼女は今日までイスラエルの中に住んでいる。²⁶

ヨシュア記

その時、ヨシュアは厳粛な誓いを立てた。「主の前で呪われる者は、この町エリコを再建しようとする者である。彼の長子の代価でその基を築き、彼の末子の代価でその門を立てるであろう。」²⁷
こうして主はヨシュアと共におられ、彼の名声は全地に広まった。

7 しかし、イスラエルの人々は、滅ぼすべきものに関して不誠実に行動しました。ユダ族のゼラの子、ザブディの子、カルミの子であるアカンが、これらのものの一部を取ったからです。それゆえ、主の怒りがイスラエルの人々に向けられました。²

ヨシュアはエリコからベテルの東、ベテ・アベンの近くにあるアイに人を送り、「上って行って、その地を探れ」と命じました。そこで、その人々は上って行き、アイを探りました。³
彼らがヨシュアのもとに戻ってきて報告しました。「すべての人々が上って行く必要はありません。二、三千人ほどを送ってアイを攻撃させてください。全軍を煩わせることはありません。住民は少ないのです。」⁴

約三千人が上って行きましたが、アイの人々によって追い返されました。⁵
アイの人々は彼らのうち約三十六人を打ち倒し、町の門から石切り場まで追いかけ、斜面で彼らを打ち倒しました。人々の心は溶けて水のようにになりました。⁶

ヨシュアは衣を裂き、イスラエルの長老たちと共に夕方まで主の箱の前に地に伏し、頭に塵をかぶりました。⁷

ヨシュアは嘆いて言いました。「ああ、主なる神よ、なぜこの民をヨルダン川を渡らせ、アモリ人の手に渡して滅ぼすためにここに連れてきたのですか？もし私たちがヨルダン川の向こう側に住んでいたなら、満足していたでしょうに！」⁸

主よ、どうかお許しください。イスラエルが敵の前で背を向けた今、私は何を言うことができるでしょうか？⁹

カナン人とこの地のすべての住民がこれを知り、私たちを取り囲み、地上から私たちの名を消し去るでしょう。そうになったら、あなたの大きな名のために何をなさいますか？」¹⁰

主はヨシュアに言いました。「立ち上がれ！なぜ顔を地に伏せているのか？」¹¹

イスラエルは罪を犯した。彼らは私が命じた契約を破った。彼らは滅ぼすべきものを取り、盗み、嘘をつき、それを自分の持ち物の中に置いた。¹²
それゆえ、イスラエルの人々は敵に立ち向かうことができず、背を向けて逃げるのです。彼らは滅ぼさ

れるべきものとなったからです。あなたがたの中から滅ぼすべきものを取り除かない限り、私はもうあなたがたと共にいません。¹³

「行って、民を聖別せよ。彼らに言いなさい、『明日のために自分を聖別せよ。イスラエルの神、主がこう言われるからです。イスラエルよ、あなたがたの中に滅ぼすべきものがある。あなたがたがそれを取り除くまでは、敵に立ち向かうことはできない。』」¹⁴

「『朝になったら、部族ごとに自分を示せ。主が選ぶ部族は、氏族ごとに進み出よ。主が選ぶ氏族は、家族ごとに進み出よ。主が選ぶ家族は、男ごとに進み出よ。』」¹⁵

滅ぼすべきものを持っている者は、彼の所有物と共に火で焼かれる。彼は主の契約を破り、イスラエルで恥ずべき行為を行ったからである。』」¹⁶
翌朝早く、ヨシュアはイスラエルを部族ごとに進み出させ、ユダ族が選ばれました。¹⁷

ユダの氏族が進み出て、ゼラの一族が選ばれました。ゼラの一族が男ごとに進み出て、ザブディが選ばれました。¹⁸

ヨシュアはその家族を男ごとに進み出させ、カルミの子、ザブディの子、ゼラの子であるアカンが選ばれました。¹⁹

ヨシュアはアカンに言いました。「わが子よ、イスラエルの神、主に栄光を帰し、彼をたたえよ。あなたがしたことを私に告げなさい。それを隠してはならない。」²⁰

アカンは答えました。「確かに、私はイスラエルの神、主に対して罪を犯しました。私がしたことはこうです。」²¹

私は戦利品の中にシナルの美しい衣服、銀二百シェケル、金五十シェケルの延べ棒を見て、それを欲し、取りました。それらは私の天幕の中に隠されており、銀はその下にあります。」²²

ヨシュアは使者を送り、彼らは急いで天幕に行きました。そこには隠されていた物があり、銀はその下にありました。²³

彼らはその物を天幕から取り出し、ヨシュアとすべてのイスラエルの人々のもとに持って行き、主の前にそれを広げました。²⁴

その後、ヨシュアはイスラエル全体と共に、ゼラの子アカン、銀、衣服、金の延べ棒、彼の息子たちと娘たち、彼の牛、ロバ、羊、彼の天幕、そして彼が持っていたすべてのものをアコルの谷に連れて行きました。²⁵

ヨシュアは言いました。「なぜ私たちに災いをもたらしたのか？主は今日あなたに災いをもたらす。」そして、すべてのイスラエルの人々が彼を石で打ち

ヨシュア記

、彼らを焼きました。²⁶
アカンの上に大きな石の山を築き、それは今日まで残っています。その後、主は激しい怒りを収めました。それゆえ、その場所は今日までアコルの谷と呼ばれています。

8 そのとき、主はヨシュアに言われた。「恐れてはならない、落胆してはならない。すべての兵士を連れて、アイに上って行け。見よ、わたしはアイの王、その民、その町、その地をあなたの手に渡した。²

あなたはアイとその王に、エリコとその王にしたようにしなければならぬ。ただし、その戦利品と家畜は自分たちのものとして取ってよい。町の後ろに伏兵を置け。」

³
ヨシュアはすべての戦士たちと共にアイに上って行くために立ち上がった。彼は三万人の勇敢な戦士を選び、夜に送り出した。⁴

彼らにこのように命じた。「見よ、あなたたちは町の後ろから待ち伏せしなければならない。遠くに行つてはならないが、全員が警戒していなさい。⁵
私と共にいるすべての者は町に近づく。彼らが以前のように私たちに会いに出てきたら、私たちは彼らから逃げる。⁶

彼らは私たちを町から引き離すまで追いかけてくるだろう。彼らは『彼らは以前のように我々の前から逃げている』と言うだろう。だから私たちは彼らの前から逃げる。⁷

そのとき、あなたたちは隠れている場所から立ち上がり、町を奪取しない。主、あなたの神がそれをあなたの手に渡されるからである。⁸

町を取ったら、主の言葉に従ってそれに火をつけなさい。見よ、あなたたちに命じた。」

⁹
ヨシュアは彼らを送り出し、彼らはベテルとアイの間、アイの西側にある待ち伏せの場所に行き、待機した。しかし、ヨシュアはその夜を民と共に過ごした。¹⁰

ヨシュアは朝早く起きて民を集め、彼とイスラエルの長老たちは民の前に立ってアイに上った。¹¹
彼と共にいるすべての戦士たちは上って行き、町に近づき、彼らと町の間に谷を挟んでアイの北側に陣を張った。¹²

彼は約五千人を取り、ベテルとアイの間、町の西側に待ち伏せさせた。¹³

こうして民は自分たちの位置を取り、主な陣営は町の北側に、待ち伏せはその西側にあった。ヨシュアはその夜を谷で過ごした。¹⁴

アイの王がこれを見たとき、彼とその町のすべての人々は早く出て、イスラエルと戦うために砂漠の平原の前の定められた場所に急で行ったが、彼は町の後ろに待ち伏せがあることを知らなかった。¹⁵
ヨシュアとイスラエル全体は彼らの前で打ち負かされたふりをして、荒野に向かって逃げた。¹⁶
アイのすべての人々は彼らを追うために呼び集められ、ヨシュアを追いかけ、町から引き離された。¹⁷
アイやベテルには、イスラエルを追わない者は一人も残らず、町を開け放したままイスラエルを追った。¹⁸

¹⁹
そのとき、主はヨシュアに言われた。「あなたの手にある槍をアイに向かって伸ばしなさい。わたしはその町をあなたの手に渡す。」そこでヨシュアは手に持っていた槍を町に向かって伸ばした。¹⁹
彼がこれをするするとすぐに、待ち伏せしていた者たちは早速早く立ち上がり、町に駆け込み、それを捕らえ、速やかに火をつけた。²⁰

アイの人々は振り返り、町の煙が空に上がっているのを見たが、どの方向にも逃げる機会は無かった。荒野に逃げていたイスラエル人たちは追手に向かって戻った。²¹

ヨシュアとイスラエル全体が待ち伏せが町を捕らえ、煙が上がっているのを見たとき、彼らは戻ってアイの人々を攻撃した。²²

他の者たちも町から出て彼らに向かってきたので、彼らは真ん中に挟まれ、両側にイスラエル人がいた。イスラエルは彼らを打ち倒し、生存者も逃亡者も残さなかった。²³

しかし、彼らはアイの王を生け捕りにし、ヨシュアのもとに連れて行った。²⁴

イスラエルがアイの住民を野と彼らが追った荒野で殺し終え、すべてが剣で倒れたとき、イスラエル全体はアイに戻り、剣の刃でそれを打った。²⁵

その日、アイの男と女、合わせて一万二千人が減びた—そのすべての人々が。²⁶

ヨシュアはアイの住民を完全に滅ぼすまで、槍を伸ばした手を引っ込めなかった。²⁷

イスラエル人は主がヨシュアに命じたとおり、家畜と町の戦利品だけを自分たちのものとして取った。²⁸

こうしてヨシュアはアイを焼き、廢墟の山とし、今日に至るまで荒れ果てた場所とした。²⁹

彼はアイの王を木にかけ、夕方までそのままにし、日没時にヨシュアはその体を木から降ろし、町の門の入口に投げ、上に大きな石の山を築かせた。それは今日まで残っている。³⁰

その後、ヨシュアは主のために、イスラエルの神の

ヨシュア記

ために、エバル山に祭壇を築いた。³¹
それは主のしもべモーセがイスラエル人に命じたとおり、モーセの律法の書に書かれているように、鉄の道具を使わない切り石の祭壇であった。彼らはその上で主に焼き尽くす捧げ物を捧げ、交わりの捧げ物を捧げた。³²
イスラエル人の目の前で、ヨシュアはモーセの律法の写しを石に刻んだ。³³
すべてのイスラエル人、その長老たち、役人たち、裁判官たちは、契約の箱を運ぶレビ人の祭司たちの前に立ち、外国人もその中に住む者も、先住民もいた。民の半分はゲリジム山の前に、半分はエバル山の前に立った。これは主のしもべモーセがイスラエルの民を祝福したときに命じたとおりである。³⁴
その後、ヨシュアは律法のすべての言葉—

祝福と呪い—
を、律法の書に記録されているとおりに朗読した。³⁵

モーセが命じたすべての言葉の中で、ヨシュアがイスラエルの全会衆、女性、子供、彼らの中に住む外国人に読まなかった言葉は一つもなかった。

9 さて、ヨルダン川の向こう側のすべての王たちがこれらの出来事を聞いたとき—
山地、低地、大海の沿岸全体、レバノンに向かう地域にいるヒットイト人、アモリ人、カナン人、ペリジ人、ヒビ人、エブス人の王たち—²
彼らは一つの目的で集まり、ヨシュアとイスラエルに対して戦おうとした。

3
しかし、ギベオンの住民はヨシュアがエリコとアイに対して行ったことを聞いたとき、⁴
彼らは巧妙に行動し、供給品を用意して出発し、ロバに古びた袋と古いぶどう酒の革袋を積み、ひび割れて修理されたものを持って行った。⁵
彼らは足に古くて継ぎはぎのサンダルを履き、古びた服を着ていた。彼らのパンはすべて乾燥して砕けていた。⁶
彼らはギルガルの陣営にいるヨシュアのもとに行き、彼とイスラエル人に言った。「私たちは遠い国から来ました。今、私たちと契約を結んでください。」⁷

イスラエル人はヒビ人に言った。「もしかしたらあなたたちは私たちの近くに住んでいるかもしれませんが。それならどうして私たちはあなたたちと契約を結べるのでしょうか？」⁸
彼らはヨシュアに答えた。「私たちはあなたのしもべです。」ヨシュアは彼らに尋ねた。「あなたたちは誰で、どこから来たのですか？」⁹

彼らは答えた。「あなたのしもべたちは、あなたの神、主の名声のために非常に遠い国から来ました。私たちはエジプトで彼が行ったすべてのことを聞きました。」¹⁰

また、ヨルダンの向こう側のアモリ人の二人の王—ヘシュボンの王シホンと、バシヤンの王オグ、アシエタロテで治めていた者たちに対して彼が行ったすべてのことを聞きました。¹¹

私たちの長老たちと国のすべての住民が私たちに言いました、『旅のために供給品を持って行き、彼らに会いに行きなさい。彼らに言いなさい、「私たちはあなたのしもべです。私たちと契約を結んでください。』」¹²

このパンは、私たちがあなたのもとに来るために出発した日に温かかったのですが、今では乾燥して砕けています。¹³

そして、私たちが満たしたこのぶどう酒の革袋は新しくなったのですが、今では裂けています。私たちの服とサンダルは非常に長い旅のために古びています。」¹⁴

イスラエル人は彼らの供給品を試食しましたが、主の助言を求めませんでした。¹⁵

それからヨシュアは彼らと平和を結び、彼らを生かしておく契約を結び、会衆の指導者たちはそれを誓いによって確認しました。

16
彼らがギベオン人と契約を結んでから三日後、イスラエル人は彼らが近くに住んでいる隣人であることを知りました。¹⁷

イスラエル人は出発し、三日目に彼らの都市、ギベオン、ケフィラ、ベエロテ、キリアテ・ヤリムに到着しました。¹⁸

しかし、イスラエル人は彼らを攻撃しませんでした。なぜなら、会衆の指導者たちがイスラエルの神、主によって彼らに誓いを立てていたからです。会衆全体が指導者たちに不平を言いましたが、¹⁹
すべての指導者たちは会衆に言いました。「私たちはイスラエルの神、主によって彼らに誓いを立てました。今、私たちは彼らを害することはできません」。²⁰

これが私たちがすることです：彼らを生かしておきましょう。そうすれば、私たちが彼らに誓った誓いを破ることで怒りが私たちに降りかからないでしょう。」²¹

彼らは続けて言いました、「彼らを生かしておきましょう。しかし、彼らを会衆全体のための木こりと水汲み人にしましょう。」このようにして指導者たちの約束は守られました。²²

それからヨシュアはギベオン人を呼び寄せて言いま

ヨシュア記

した。「なぜ私たちが欺いて、『私たちはあなたたちから遠く離れて住んでいます』と言ったのですか。実際にはあなたたちは私たちの間に住んでいるのに。」²³

今、あなたたちは呪われています。あなたたちは決して私の神の家のための木こりと水汲み人として仕えることをやめることはありません。」²⁴

彼らはヨシュアに答えました。「あなたのしもべたちは、あなたの神、主がそのしもべモーセに、あなたたちにすべての土地を与え、その前にすべての住民を滅ぼすよう命じたことを明確に知らされました。それで私たちはあなたたちのために非常に恐れ、このように行動しました。」²⁵

今、私たちはあなたの手の中にあります。あなたが良いと思うこと、正しいと思うことを私たちにしてください。」

こうしてヨシュアは彼らをイスラエル人から救い、彼らは殺されませんでした。²⁷

その日、彼はギベオン人を会衆と主の祭壇のための木こりと水汲み人にしました。主が選ぶ場所で。そしてそれが今日までの彼らの役割です。

10 エルサレムの王アドニ・ツェデクは、ヨシュアがアイを占領し、完全に滅ぼしたことを聞き、彼がエリコとその王にしたように、ギベオンの住民がイスラエルと平和を結び、彼らの中にいることを聞いた。²

彼とその民は非常に恐れた。ギベオンは王の都市の一つのような重要な都市であり、アイよりも大きく、その全ての男たちは勇敢な戦士であったからである。³

それでエルサレムの王アドニ・ツェデクは、ヘブロン王ホハム、ヤルムテ王ピラム、ラキシユ王ヤフィア、エグロンの王デビルに言葉を送った。⁴ 「上ってきて私を助け、ギベオンを攻撃してください。彼らはヨシュアとイスラエル人と平和を結んだからです。」⁵ すると、エモリ人の五人の王たち—エルサレム、ヘブロン、ヤルムテ、ラキシユ、エグロンの王たち—

が力を合わせた。彼らは全軍を率いてギベオンに対して陣を敷き、戦うために進んだ。⁶

ギベオンの男たちはギルガルの陣営にいるヨシュアに言葉を送った。「あなたの僕たちを見捨てないでください。すぐに私たちのもとに上ってきて、私たちを救ってください。山地のエモリ人の全ての王たちが私たちにに対して集まってきたのです。」⁷

それでヨシュアはギルガルから全ての戦士たちと共に、勇敢な戦士たちを含めて上ってきた。⁸

主はヨシュアに言われた。「彼らを恐れるな。私は彼らをあなたの手に渡した。彼らの一人もあなたの前に立つことはできない。」⁹

ヨシュアはギルガルから一晩中行軍して彼らに突然襲いかかった。¹⁰

主はイスラエルの前で彼らを混乱に陥れ、ギベオンで大敗を喫し、ベト・ホロンへの道を追い、アゼカとマケダに至るまで彼らを打ち破った。¹¹

彼らがベト・ホロンの下り坂でイスラエルから逃げると、主は天から大きな雹を彼らに投げつけ、アゼカに至るまで彼らを打ち、剣で殺された者よりも多くの者が雹で死んだ。¹²

その日、主がエモリ人をイスラエルに渡されたとき、ヨシュアは主に語り、イスラエルの目の前で言った。

「太陽よ、ギベオンの上に止まれ、
月よ、アヤロンの谷に。」

¹³ それで太陽は止まり、

月は止まった、¹⁴ 国民が敵に復讐するまで。
ヤンシャルの書に書かれているではないか？
太陽は空の真ん中に止まり、
ほぼ一日中沈むことを遅らせた。

そのような日がそれ以前にもそれ以後にもなかった。主が人の声に耳を傾けられたのだ。主がイスラエルのために戦われたからである。¹⁵

ヨシュアは全イスラエルと共にギルガルの陣営に戻った。¹⁶

さて、五人の王たちは逃げてマケダの洞窟に隠れていた。¹⁷

ヨシュアに「五人の王たちがマケダの洞窟に隠れているのが見つかりました」と報告された。¹⁸

ヨシュアは指示を出した。「大きな石を洞窟の口に転がし、彼らを見張る者を置け。」¹⁹

しかしそこに留まらず、敵を追いかけ、後ろから攻撃せよ。彼らを都市に入れさせるな。あなたの神、主が彼らをあなたの手に渡されたからである。」²⁰ ヨシュアとイスラエル人が彼らで大敗させ、滅ぼし尽くし、生き残った者たちが要塞都市に逃げ込んだとき、²¹

全ての民は無事にマケダの陣営でヨシュアのもとに戻り、誰もイスラエル人に対して言葉を発しなかった。²²

ヨシュアは命じた。「洞窟の口を開け、その五人の王たちを私のもとに連れて来い。」²³

それで五人の王たちが洞窟から連れ出された—エルサレム、ヘブロン、ヤルムテ、ラキシユ、エグ

ヨシュア記

ロンの王たち。²⁴
これらの王たちがヨシュアのもとに連れて来られると、彼はイスラエルの全ての男たちを呼び、彼と共に行った軍の指揮官たちに言った。「前に出て、これらの王たちの首に足を置け。」それで彼らは前に出て、その首に足を置いた。²⁵
ヨシュアは彼らに言った。「恐れるな、怯むな。強く勇敢であれ。主があなたが戦う全ての敵に対してこのようにされるのだ。」²⁶
その後、ヨシュアは彼らを打ち、殺し、五本の木に吊し、夕方まで木に残した。²⁷
日没時にヨシュアは命じ、彼らを木から降ろし、彼らが隠れていた洞窟に投げ入れ、その洞窟の口に大きな石を置き、今日に至るまで残っている。²⁸
その日、ヨシュアはマケダを占領し、その王を剣で打ち、そこにいる全ての者を滅ぼし尽くし、生存者を残さなかった。彼はマケダの王に対してエリコの王にしたようにした。²⁹
その後、ヨシュアと全イスラエルはマケダからリブナに移動し、それに対して戦った。³⁰
主はその都市とその王をイスラエルの手に渡した。ヨシュアはそれを剣で打ち、生存者を残さず、その王に対してエリコの王にしたようにした。³¹
その後、ヨシュアと全イスラエルはリブナからラキシシュに移動し、それに対して陣を敷き、攻撃した。³²
主はラキシシュをイスラエルに渡し、ヨシュアは二日目にそれを占領した。彼はリブナにしたようにそれを剣で打った。³³
その間に、ゲゼルの王ホルムがラキシシュを助けに上ってきたが、ヨシュアは彼とその軍を打ち破り、生存者を残さなかった。³⁴
その後、ヨシュアと全イスラエルはラキシシュからエグロンに移動し、それに対して陣を敷き、攻撃した。³⁵
。彼らはその日中にそれを占領し、剣で打ち、ラキシシュにしたようにそこにいる全ての者を滅ぼし尽くした。³⁶
その後、ヨシュアと全イスラエルはエグロンからヘブロンに上り、それを攻撃した。³⁷
彼らはそれを占領し、その王、その村々、そこにいる全ての者を剣で打った。彼はエグロンにしたように生存者を残さなかった。³⁸
その後、ヨシュアと全イスラエルはデビルに向かい、それを攻撃した。³⁹
彼らはそれを占領し、その王、その村々を剣で打ち、そこにいる全ての者を滅ぼし尽くし、生存者を残さなかった。彼はヘブロンとリブナにしたようにした。⁴⁰

こうしてヨシュアは丘陵地帯、ネゲブ、西の丘陵地帯、山の斜面を含む全地域を征服し、その全ての王たちを打ち破った。彼は生存者を残さず、息する者を全て滅ぼし尽くした。これはイスラエルの神、主が命じられたことである。⁴¹
ヨシュアはカデシュ・バルネアからガザに至る地域と、ゴシェンの全地域からギベオンに至るまでを征服した。⁴²
これらの王たちとその地をヨシュアは一度の戦いで占領した。イスラエルの神、主がイスラエルのために戦われたからである。⁴³
その後、ヨシュアは全イスラエルと共にギルガルの陣営に戻った。

11 ハツオルの王ヤビンはこれを聞くと、マドンの王ヨバブ、シムロンの王、アクシャフの王に使者を送った。²
また、北方の山地、キンネロテの南のアラバ、低地、西のドールの高地の王たちにも送った。³
さらに、東西のカナン人、山地のアモリ人、ヒッタイト人、ペリジ人、エブス人、ミツパの地のヘルモンの下のヒビ人にも送った。⁴
彼らはすべての軍勢を連れて出てきた。海辺の砂のように多くの兵士と、非常に多くの馬と戦車を持っていた。⁵
これらすべての王たちは連合して、イスラエルと戦うためにメロムの水辺に集結した。⁶
主はヨシュアに言われた。「彼らを恐れるな。明日の今頃までに、私は彼らをすべてイスラエルの手に渡す。彼らの馬の腿を切り、戦車を火で焼きなさい。」⁷
そこでヨシュアとすべての戦士たちは、メロムの水辺で突然彼らに襲いかかり、攻撃した。⁸
主は彼らをイスラエルの手に渡された。彼らは彼らを打ち破り、大シドン、ミスレフォテ・マイム、東のミツパの谷まで追い詰め、生き残りを一人も残さなかった。⁹
ヨシュアは主が命じたとおりに彼らに行い、彼らの馬の腿を切り、戦車を火で焼いた。¹⁰
その時、ヨシュアは戻ってハツオルを占領し、その王を剣で打ち、ハツオルがこれらすべての王国の頭であったからである。¹¹
彼らはその中にいたすべての人々を剣で打ち、完全に滅ぼし、息をする者を一人も残さず、ハツオルを火で焼いた。¹²
ヨシュアはこれらすべての王都とその王たちを捕らえ、剣で打ち、主のしもべモーセが命じたとおりに完全に滅ぼした。¹³

ヨシュア記

しかし、イスラエルはハツオル以外の丘の上に建てられた都市を焼かなかった。ヨシュアがハツオルを焼いたのである。¹⁴

イスラエル人はこれらの都市のすべての戦利品と家畜を略奪したが、彼らはすべての人を剣で打ち、息をする者を一人も残さなかった。¹⁵

主がそのしもべモーセに命じたとおりに、モーセはヨシュアに命じ、ヨシュアはそれを行った。主がモーセに命じたすべてを何一つ残さなかった。¹⁶

こうしてヨシュアはこの地全体を取った。山地、ネゲブ全体、ゴシェンの全地域、低地、アラバ、イスラエルの山地とその低地を取った。¹⁷

セイルに向かって上るハラク山から、ヘルモン山の下のレバノンの谷のバアル・ガドまで。彼はすべての王を捕らえ、彼らを殺した。¹⁸

ヨシュアはこれらすべての王と長期間戦った。¹⁹ ギバオンに住むヒビ人を除いて、イスラエルと和平を結んだ都市は一つもなく、彼らはすべて戦いで取った。²⁰

それは主が彼らの心を固くしてイスラエルと戦わせ、彼らを完全に滅ぼし、憐れみなく彼らを絶滅させるためであり、主がモーセに命じたとおりであった。²¹

その時、ヨシュアは来て、ヘブロン、デビル、アナブ、ユダの山地全体、イスラエルの山地全体からアナク人を滅ぼし、彼らとその都市を完全に滅ぼした。²²

イスラエルの領土にはアナク人は残らず、ガザ、ガテ、アシュドデにのみ生き残りがいた。²³

こうしてヨシュアは主がモーセに語られたとおりに全地を取った。そして彼はそれをイスラエルにその部族ごとに相続地として与えた。それでその地は戦争から休んだ。

12 これは、イスラエルの人々が打ち破り、ヨルダンの向こう側、日の出の方、アルノン峡谷からヘルモン山に至るまで、すべての東のアラバを含む領土を占領した地の王たちである。²

ヘシュボンに住んでいたアモリ人の王シホン。彼はアルノン峡谷の端にあるアロエルから、峡谷の中央まで、そしてギルアデの半分、さらにはアンモン人の境界であるヤボク川に至るまで支配していた。³

また、彼はキンネロテの海からアラバの海（すなわち塩の海）までの東のアラバを、ベテ・イエシモテに向かって東に、そしてピスガの斜面の下に南に向かって支配していた。

⁴ バシヤンの王オグの領土であり、レファイムの最後の者の一人で、アシュタロテとエデレイに住んでいた。⁵

彼はヘルモン山、サルカ、バシヤン全域をゲシュル人とマアカ人の境界まで、そしてギルアデの半分をヘシュボンの王シホンの境界まで支配していた。⁶

主のしもべモーセとイスラエルの人々は彼らを打ち破った。そして主のしもべモーセはその地をルベン族、ガド族、マナセの半部族に所有地として与えた。⁷

ここに、ヨシュアとイスラエルの人々がヨルダンの西側で打ち破った地の王たちがいる。レバノンの谷のバアル・ガドからセイルに向かって上るハラク山まで。ヨシュアはその地をイスラエルの部族に分けて相続地として与えた。⁸

その地には丘陵地、低地、アラバ、山の斜面、荒野、ネゲブが含まれていた。ヒッタイト人、アモリ人、カナナン人、ペリジ人、ヒビ人、エブス人の地であった。これらがその王たちである。⁹

エリコの王、一人；ベテルの近くのアイの王、一人；¹⁰

エルサレムの王、一人；ヘブロン¹¹の王、一人；ヤルムテ¹²の王、一人；ラキシユ¹³の王、一人；エグロンの王、一人；ゲゼル¹⁴の王、一人；ホルマ¹⁵の王、一人；アラド¹⁶の王、一人；リブナ¹⁷の王、一人；アドラム¹⁸の王、一人；マケダ¹⁹の王、一人；ベテル²⁰の王、一人；

タブアの王、一人；ヘフェルの王、一人；²¹ アフエクの王、一人；ラシャロンの王、一人；マドン²²の王、一人；ハツオル²³の王、一人；

シムロン・メロンの王、一人；アクシャフ²⁴の王、一人；タアナク²⁵の王、一人；メギド²⁶の王、一人；

ケデシュ²⁷の王、一人；カルメル²⁸の王、一人；²⁹ ドール³⁰の高地に位置するドールの王、一人；ギルガルのゴイイム³¹の王、一人；

ティルツァ³²の王、一人；合計三十一人の王。

13 ヨシュアが年を重ね、老いたとき、主は彼に言われた。「あなたは年を重ね、老いたが、まだ占領すべき土地が多く残っている。²

これが残っている土地である。ペリシテ人とゲシュル人の全地域。³

エジプトの東にあるシホルから北のエクロンの領土まで、これはカナナン人と見なされる。ペリシテ人の五人の領主、ガザ人、アシュドデ人、アシュケロン

ヨシュア記

人、ガテ人、エクロン人、そしてアビテ人。⁴
南に向かって、カナン人の全地、シドン人に属する
メアラからアベクまで、アモリ人の境界まで。⁵
ゲバル人の地、レバノンの全地、東に向かって、ヘ
ルモン山の下のパアル・ガドからレボ・ハマテまで
。⁶
レバノンからミスレフォテ・マイムまでの山地の住
民、すべてのシドン人をイスラエル人の前から追い
出す。私はあなたに命じたように、イスラエルに相
続地として分け与えなさい。⁷
それゆえ、この地を九つの部族とマナセの半部族に
相続地として分け与えなさい。」⁸
他の半部族と共に、ルベン人とガド人はヨルダンの
東でモーセが与えた相続地を受け取った。主のしも
べモーセが彼らに与えた通りに。⁹
アルノンの谷の端にあるアロエルから、谷の中央に
ある町と、ディボンまでのメデバの平野全体。¹⁰
ヘシュボンで治めたアモリ人の王シホンのすべての
都市、アンモン人の境界まで。¹¹
ギレアデ、ゲシュル人とマアカ人の地、ヘルモン山
全体、バシヤンの王オグの全王国、彼はアシュタロテとエ
デレイで治めた（彼はレファイムの最後の者であつ
た）。モーセは彼らを打ち破り、その地を奪った。¹²
¹³
しかし、イスラエル人はゲシュル人やマアカ人を追
い出さなかった。それゆえ、ゲシュルとマアカは今
日までイスラエルの中に住んでいる。¹⁴
ただし、レビ族には相続地を与えなかった。イスラ
エルの神、主への火による捧げ物が彼らの相続地で
あると約束された。¹⁵
こうして、モーセはルベンの子孫の部族にその家族
に従って相続地を割り当てた。¹⁶
彼らの領土は、アルノンの谷の端にあるアロエルか
ら、谷の中央にある町と、メデバの平野全体。¹⁷
ヘシュボンとその周辺の平野の都市、ディボン、バ
モテ・パアル、ベテ・パアル・メオン、¹⁸
ヤハズ、ケデモテ、メファアテの町々、¹⁹
キリヤタイム、シブマ、谷の丘に位置するゼレテ・
シャハルの町々、²⁰
ベテ・ベオル、ピスガの斜面、ベテ・イエシモテの
地域、²¹
平野のすべての都市、ヘシュボンで治めたアモリ人
の王シホンの全王国、モーセがミディアンの指導者
エビ、レケム、ツル、フル、レバと共に打ち破った
シホンの指導者たちがその地に住んでいた。²²
イスラエル人はまた、占いを行ったベオルの子バラ
ムを他の死者と共に剣で殺した。²³
ルベン人の境界はヨルダンであつた。これがルベン

の子孫の相続地であり、その家族に従って、都市と
その村々である。²⁴
モーセはガドの部族、ガドの子孫にその家族に従つ
て相続地を与えた。²⁵
彼らの領土には、ヤゼルとギレアデの都市、アンモ
ンの子孫の地の半分、ラバに対するアロエルまでが
含まれていた。²⁶
ヘシュボンからラマテ・ミツペとベトニムに至り、
マハナイムからデビルの境界に至る。²⁷
谷には、ベテ・ハラム、ベテ・ニムラ、スコテ、ザ
フォン、ヘシュボンの王シホンの王国の残りの部分
があり、ヨルダンを境界とし、ヨルダンの東にある
キンネレテの海の下端に至る。²⁸
これがガドの子孫の相続地であり、その家族に従つ
て、都市とその村々である。²⁹
モーセはまた、マナセの半部族に相続地を与えた。
それはマナセの子孫の半部族にその家族に従って与
えられた。³⁰
彼らの領土はマハナイムから始まり、バシヤン全体
、バシヤンの王オグの全王国、バシヤンにあるヤイ
ルの町々、合計六十の都市を含んでいた。³¹
また、ギレアデの半分、バシヤンの王国の都市アシ
ュタロテとエデレイは、マナセの子マキルの子孫の
ために、その家族に従って与えられた。³²
これらはモーセがヨルダンの東、エリコの向かいの
モアブの平野で相続地として割り当てた土地である
。³³
しかし、レビ族にはモーセは相続地を与えなかった
。イスラエルの神、主が彼らの相続地であると約束
された。
14 これらは、カナンの地でイスラエルの子ら
が受け継いだ領地であり、祭司エルアザル
とヌンの子ヨシュア、およびイスラエルの
部族の氏族の頭たちが彼らに相続地として分け与え
たものである。²
彼らの相続地は、主がモーセを通して命じたように
、くじによって九つの部族と半部族に分けられた。
³
モーセはヨルダンの東側に二つの部族と半部族に相
続地を与えたが、レビ人には彼らの中で相続地を与
えなかった。⁴
ヨセフの子孫はマナセとエフライムの二つの部族を
形成した。レビ人には、住むための町と、彼らの家
畜と所有物のための牧草地が与えられた。⁵
イスラエルの子らは主がモーセに命じたとおりに行
い、地を分けた。⁶
その時、ユダの人々がギルガルでヨシュアのもとに
来た。ケナズ人エフネの子カレブが彼に言った、「
あなたは、主が神の人モーセにカデシュ・バルネア

ヨシュア記

であなたと私について語った言葉を知っています。

私は四十歳の時、主のしもべモーセが私をカデシュ・パルネアから遣わして地を探らせた時、私は自分の信念に基づいて報告を持ち帰りました。

しかし、私と共に上った同胞のイスラエル人たちは、人々の心を恐れで溶かしました。しかし、私は私の神、主に心から従いました。

その日、モーセは私に誓って言いました、『あなたの足が踏んだ地は、あなたとあなたの子孫の永遠の相続地となる。なぜなら、あなたは私の神、主に心から従ったからです。』

そして今、見よ、主は約束通りに私を生かしてくださり、イスラエルが荒野にいた時に主がこれをモーセに語ってから四十五年が経ちました。今、私は今日、八十五歳です！

私は今日でも、モーセが私を遣わした日のように強いです。今の私の力は、戦いのためにも、出入りのためにも、あの時と同じです。

今、主がその日私に約束したこの山地を私に与えてください。あなたはその時、アナク人がそこにいて、大きな要塞都市があると聞きましたが、主の助けがあれば、私は彼らを主が言われたように追い出すでしょう。」

ヨシュアはエフネの子カレブを祝福し、彼にヘブロンを相続地として与えた。

それゆえ、ヘブロンはケナズ人エフネの子カレブのものとなった。彼がイスラエルの神、主に心から従ったからである。

ヘブロンの名前は以前はキリヤテ・アルバであった。アルバはアナク人の中で最も偉大な人であった。その後、その地は戦争から休息を得た。

15 ユダの子孫の部族のくじは、その家族に従って、エドムの境界まで達し、南の果てのツィンの荒野にまで及んだ。

彼らの南の境界は、塩の海の南端の湾から始まった。

アクラビムの坂の南を通り、ツィンに至り、カデシュ・パルネアの南を上った。それからヘツロンを通り、アダルに上り、カルカに向かった。

それはアツモンに続き、エジプトの川に合流し、海で終わった。これが彼らの南の境界であった。

東の境界は、ヨルダンの河口までの塩の海であった。北の境界は、ヨルダンの河口の海の湾から始まった。

それはベト・ホグラに上り、ベト・アラバの北を通り、ルベンの子ボハンの石に至った。

境界はアコルの谷からデビルに上り、アドミムの坂の反対側、谷の南にあるギルガルに向かって北に曲

がった。それはエン・シェメシュの水に至り、エン・ロゲルで終わった。

それからベン・ヒノムの谷を上り、エブス人の町（すなわちエルサレム）の南斜面に沿って進んだ。そこからヒノムの谷の西の丘の頂上に上り、レファイムの谷の北端に至った。

丘の頂上から、境界はネフタの水の泉に向かい、エフロン山の都市に出て、バアラ（すなわちキルヤテ・ヤリム）に向かって曲がった。

それからバアラから西に曲がり、セイル山に沿って進み、チェサロン（すなわちエヤリム山）の北斜面に沿って進み、ベト・シェメシュに下り、ティムナに渡った。

それはエクロンの北斜面に至り、シッケロンに向かって曲がり、バアラ山を通り、ヤブネエルに至り、そこで境界は海で終わった。

西の境界は大海の海岸線であった。これがユダの子孫の部族の周囲の境界であった。

13 主がヨシュアに命じたとおり、彼はユダの子孫の中からエフネの子カレブに、キルヤテ・アルバ（アルバはアナクの父であった）、すなわちヘブロンを与えた。

カレブはそこからアナクの三人の子、シェシャイ、アヒマン、タルマイを追い出した。

そこから彼はデビルの住民に向かって上って行った（以前はキルヤテ・セフェルと呼ばれていた）。

カレブは言った、「キルヤテ・セフェルを攻撃して捕らえる者には、私の娘アクサを妻として与える。」

」ケナズの子オテニエル、カレブの兄弟がそれを捕らえたので、カレブは彼に娘アクサを妻として与えた。

彼女がオテニエルのもとに来たとき、彼女は父に烟を求めるよう彼を促した。彼女がろばから降りると、カレブは彼女に尋ねた、「何を望むのか？」

彼女は答えた、「私に祝福をください。ネゲブの地を与えてくださったので、水の泉もください。」そこでカレブは彼女に上の泉と下の泉を与えた。

20 これはユダの子孫の部族の相続地であり、その家族に従っている。

ネゲブにおけるユダの部族の最南端の町とその村々は、カブツエル、エデル、ヤグル、キナ、ディモナ、アダダの集落、ケデシュ、ハツォル、イテナンの集落、ジフ、テレム、ベアロテの集落、ハツォル・ハダッタ、ケリオテ・ヘツロン（ハツォ

ヨシュア記

ルとも呼ばれる)、
アマム、シェマ、モラダの集落、
ハツアル・ガダ、ヘシュモン、ベト・ペレテの集落、
ハツアル・シュアル、ベエル・シェバ、ビジオテヤの集落、
バアラ、イイム、エツェムの集落、
エルトラド、ケシル、ホルマの集落、
ツィクラグ、マドマンナ、サンサンナの集落、
レバオテ、シルヒム、アイン、リモンー
合計二十九の町とその村々。

シェフェラでは、エシュタオル、ツォラ、アシュナの集落、

ザノア、エン・ガニム、タツプア、エナムの集落、
ヤルムテ、アドラム、ソコ、アゼカの集落、
シャアライム、アディタイム、ゲデラ、ゲデロタイム—十四の町とその村々。

ゼナン、ハダシャ、ミグダル・ガデの集落、
ディレアン、ミツベ、ヨクテエルの集落、
ラキシユ、ボツカテ、エグロンの集落、
カボン、ラハマス、キトリシュの集落、
ゲデロテ、ベト・ダゴン、ナアマ、マケダー—十六の町とその村々。

リブナ、エテル、アシャンの集落、
イフタ、アシュナ、ネジブの集落、
ケイラ、アクジブ、マレシヤー—九つの町とその村々。

エクロン、その周辺の町と村々、
エクロンの西、アシュドドの近くのすべての地域とその村々、
アシュドド、その町と村々、ガザ、その町と村々、
エジプトの川までの地域と大海の海岸線。

山地では、シャミル、ヤッティル、ソコ、
ダンナ、キルヤテ・サンナ（すなわちデビル）、
アナブ、エシュテモ、アニムの集落、
ゴシエン、ホロン、ギロー—十一の町とその村々。

アラブ、ドゥマ、エシャンの集落、
ヤヌム、ベト・タツプア、アフエカの集落、
フムタ、キルヤテ・アルバ（すなわちヘブロン）、
ツィオル—九つの町とその村々。

マオン、カルメル、ジフ、ユッタの集落、
イズレエル、ヨクデアム、ザノアの集落、
カイン、ギベア、ティムナの集落—十の町とその村々。
ハルフル、ベト・ツル、ゲドルの集落、
マアラテ、ベト・アノト、エルテコン—

六つの町とその村々。
キルヤテ・バアル（すなわちキルヤテ・ヤリム）と
ラバー—二つの町とその村々。
荒野では、ベト・アラバ、ミディン、セカカ、
ニブシャン、塩の町、エン・ゲディー—
六つの都市、町とその村々。
ユダの子孫はエルサレムに住むエブス人を追い出す
ことができなかった。それでエブス人は今日までユ
ダの子孫と共にそこに住んでいる。

16 ヨセフの子孫のためのくじは、エリコの近
くのヨルダン川から始まり、泉の東にあり
、荒野に進み、丘陵地帯を上ってベテルに
至った。

ベテルからルズに移り、アタロテのアルキ人の境界
に渡った。
それから西に下り、ヤフレテ人の領土に達し、下ベ
ト・ホロンに至り、ゲゼルにまで伸び、海で終わっ
た。
このようにして、ヨセフの子孫、マナセとエフライ
ムはその相続地を受け取った。

これはエフライム人に割り当てられた領土であり、
彼らの氏族に従っている。彼らの相続地の境界は、
東のアタロテ・アダルから上ベト・ホロンにまで伸
びていた。
境界は北のミクメタテで西に進み、東に曲がってタ
アナテ・シロに至り、ヤノアの東を通過した。
ヤノアからアタロテとナアラに下り、エリコに触れ
て、ヨルダン川に出た。
タプアから境界はカナ川の谷に西に移り、海で終わ
った。これはエフライム人の部族の相続地であり、
彼らの氏族に従っている。
さらに、マナセ人の相続地の中に、エフライム人の
ために町とその村々が設けられた。

彼らはゲゼルに住むカナン人を追い出さなかった。
それゆえ、カナン人は今日までエフライム人の中に
住み続け、強制労働に従事させられた。

17 これはヨセフの長子であるマナセの部族へ
の割り当てであった。
マナセの長子でギレアデの父であるマキル
には、戦士であったため、ギレアデとバシヤンが与
えられた。
それで、マナセの部族の残りの者たちには、彼らの
氏族に従って割り当てがなされた。すなわち、アビ
エゼル、ヘレク、アスリエル、シケム、ヘフェル、
シエミダの子孫たちである。これらはヨセフの子で

ヨシュア記

あるマナセの男の子孫たちで、彼らの氏族による。

さて、ヘフェルの子であるツェロフェハデには息子がなく、娘だけがあった。彼女たちの名前は、マフラ、ノア、ホグラ、ミルカ、ティルツァであった。⁴ 彼女たちは祭司エルアザルとヌンの子ヨシュア、および指導者たちのところに行き、「主はモーセに、私たちに親族の中で相続地を与えるよう命じました。」と言った。それでヨシュアは、主の命令に従って、彼女たちに父の叔父たちの中で相続地を与えた。⁵ マナセの分け前は、ヨルダンの東にあるギレアデとバシヤンに加えて、十の部分から成っていた。⁶ なぜなら、マナセの部族の娘たちが息子たちと共に相続地を受けたからである。ギレアデの地はマナセの残りの子孫に属していた。

マナセの境界は、アシェルからシケムの東のミクメタマまで伸びていた。境界はその後、南に向かってエン・タブアに住む人々を含むように走っていた。

タブアの地自体はマナセに属していたが、マナセの境界にあるタブアはエフライムの子孫に属していた。

その後、境界はカナの谷に降り、谷の南にあった。エフライムに属する町々はマナセの中にあったが、マナセの境界は谷の北側にあり、海で終わっていた。

南の地はエフライムに、北の地はマナセに属していた。海が彼らの境界であった。彼らは北でアシェルに、東でイッサカルに接していた。

イッサカルとアシェルの中には、マナセもまたベテ・シャン、イブレアム、ドール、エンドル、タアナク、メギドの人々を持っていた。それぞれの周辺の集落と共に。

しかし、マナセの子孫たちはこれらの都市の人々を追い出すことができず、カナン人はそこに住み続けた。

しかし、イスラエル人が強くなると、彼らはカナン人を強制労働に従事させたが、完全に追い出すことはしなかった。

ヨセフの子孫たちはヨシュアに言った。「なぜ私たちに相続地として一つの割り当てと一つの部分しか与えないのですか。私たちは多くの民であり、主は私たちを大いに祝福してくださいました。」¹⁵ ヨシュアは答えた。「もしあなたがたがそれほど多くの民であり、エフライムの山地があなたたちにと

って狭いなら、ペリジ人とレファイムの領土に行って、そこで自分たちのために土地を開墾しなさい。

ヨセフの子孫たちは言った。「山地は私たちには十分ではありません。そして平地に住むすべてのカナン人は鉄の戦車を持っています。ベテ・シャンとその集落にいる者たちも、イズレエルの谷にいる者たちも。」¹⁶

しかし、ヨシュアはヨセフの部族、すなわちエフライムとマナセに言った。「あなたたちは多くの民であり、非常に強力です。あなたたちは一つの割り当てだけを持つことはありません。」¹⁸

森林の山地もあなたたちのものです。それを開墾し、その最遠の限界もあなたたちのものとなるでしょう。カナン人が鉄の戦車を持っていて強くても、あなたたちは彼らを追い出すことができます。」

18 イスラエルの全会衆はシロに集まり、そこに会見の天幕を設置した。地は彼らの前に征服されていた。

しかし、イスラエルの中には、まだその相続地を受けていない七つの部族が残っていた。

ヨシュアはイスラエル人に言った。「あなたたちの先祖の神、主が与えた地を占領するのを、いつまでぐずぐずしているのか。」⁴

各部族から三人ずつ選びなさい。彼らを送り出して地を調査させ、相続地に従ってその記述を書かせ、それから私のもとに戻らせなさい。

あなたたちはその地を七つの部分に分けなければならない。ユダは南の領土にとどまり、ヨセフの部族は北の領土にとどまる。

地の七つの分割の記述を書き終えたら、それをここに持ってきなさい。私はあなたたちのために、私たちの神、主の前でくじを引く。

レビ人はあなたたちの中に相続地を受けない。主の祭司の務めが彼らの相続地だからである。ガド、ルベン、およびマナセの半部族は、すでにヨルダンの東側で相続地を受けている。それは主のしもべモーセが彼らに与えたものである。」

人々が地を調査するために出発するとき、ヨシュアは彼らに指示した。「行って地を調査し、その記述を書き、私のもとに戻りなさい。私はここシロで主の前であなたたちのためにくじを引く。」⁹ 人々は行って地を巡り、町ごとにその記述を七つの分割にして書き、シロの宿営にいるヨシュアのもと

に戻った。¹⁰
 ヨシュアはシロで主の前で彼らのためにくじを引き、そこでイスラエル人にその部族ごとに地を分配した。

¹¹
 最初のくじは、ベニヤミンの部族に、その氏族に従って落ちた。彼らの割り当てられた領土は、ユダとヨセフの部族の間にあった。¹²

北側では、彼らの境界はヨルダンから始まり、エリコの北の斜面を上り、丘陵地帯を西に向かって延び、ベテ・アベンの荒野で終わった。¹³
 そこから南に向かい、ルズ（すなわちベテル）の斜面を越え、アタロテ・アダルに下り、下ベテ・ホロンの南の丘に至った。¹⁴

ベテ・ホロンに面した丘から南に向かい、西側に沿って南に曲がり、キリヤテ・バアル（すなわちキリヤテ・ヤリム）で終わった。これはユダの人々の町である。これが西側であった。¹⁵

南側はキリヤテ・ヤリムの端から始まり、ネフタの水の泉に至る境界が延びていた。¹⁶

境界はベン・ヒンノムの谷に面した丘の麓に下り、レファイムの谷の北にあり、ヒンノムの谷に沿ってエブス人の町の南斜面に下り、エン・ロゲルに至った。¹⁷

それから北に向かい、エン・シエメシュに進み、アドミムの上り坂に対するグリロテに続き、ルベンの子ボハンの石に下った。¹⁸

それはベテ・アラバの北斜面に続き、アラバに下った。¹⁹

境界はベテ・ホグラの北斜面に行き、南のヨルダンの河口である塩の海の北の湾で終わった。これが南の境界であった。²⁰

ヨルダンが東側の境界を形成した。これらがベニヤミンの氏族の相続地を定める境界であった。

²¹
 ベニヤミンの部族の氏族ごとの町は、エリコ、ベテ・ホグラ、エメク・ケジズ、²²
 ベテ・アラバ、ゼマライム、ベテルの集落、²³
 アビム、バラ、オフラの集落、²⁴
 ケファル・アモニ、オフニ、ゲバ
 これらはその村々と共に十二の町である。²⁵
 ギベオン、ラマ、ベエロテの集落、²⁶
 ミツパ、ケフィラ、モツァの集落、²⁷
 レケム、イルペエル、タララの集落、²⁸
 ツェラ、ハエレフ、エブス人の町（すなわちエルサレム）、ギベア、キリアテ
 これらはその村々と共に十四の町である。これがベニヤミンの部族の氏族ごとの相続地であった。

19 第二のくじはシメオンの部族に、その氏族に従って落ちた。彼らの相続地はユダの部族の割り当て地の中にあった。²

彼らの割り当て地には、ベエルシェバ（またはシェバ）、モラダ、³
 ハツアル・シュアル、バラ、エツェムの住居地、⁴
 エルトラデ、ベトゥル、ホルマの住居地、⁵
 ツィクラグ、ベト・マルカボト、ハツアル・スサの住居地、⁶
 ベト・レバオテ、シャルヘン；**13**の町とその村々

；
 アイン、リモン、エテル、アシャン；**4**つの町とその村々

そして、これらの町を囲むすべての村々は、バアラテ・ベエル（ネゲブのラマ）まで達した。これが、シメオンの部族の氏族に従った相続地であった。⁹
 シメオンの相続地はユダの割り当て地から取られた。ユダの割り当てが彼らには大きすぎたため、シメオンの人々はユダの領土内に相続地を得た。

¹⁰
 第三のくじはゼブルンの部族に、その氏族に従って落ちた。彼らの相続地の境界はサリドにまで及んだ。¹¹

彼らの境界は西に向かってマララに上り、ダベシエテに接し、ヨクネアムの近くの谷に達した。¹²
 それはサリドから東に向かって日の出の方へ、キスロテ・タボルの境界に向かい、ダベラテに続き、ヤフィアに上った。¹³

そこから東に向かってガテ・ヘフェルとエト・カジンに進み、リモンに出て、ネアに向かって曲がった。¹⁴

境界は北に向かってハンナトンを回り、イフタ・エルの谷で終わった。¹⁵

含まれていたのは、カッタテ、ナハラル、シムロン、イダラ、ベツレヘム；**12**の町とその村々。¹⁶
 これらの町とその村々は、ゼブルンの部族の氏族に従った相続地であった。

¹⁷
 第四のくじはイッサカルの部族に、その氏族に従って落ちた。¹⁸

彼らの土地はイズレエル、ケスロテ、シュネムを含んでいた。¹⁹

ハファライム、シオン、アナハラテの住居地、²⁰
 ラビテ、キシオン、エベツの住居地、²¹
 レメテ、エン・ガニム、エン・ハッダ、ベト・パツエツの住居地。²²

境界はタボル、シャハズマ、ベト・シエメシュに接し、ヨルダンで終わった；**16**の町とその村々。²³

ヨシュア記

これらの町とその村々は、イッサカルの部族の氏族に従った相続地であった。²⁴

第五のくじはアシェルの部族に、その氏族に従って落ちた。²⁵

彼らの領土には、ヘルカテ、ハリ、ベテン、アクシヤフが含まれていた。²⁶

アラメレク、アマデ、ミシャル；西の境界はカルメルとシホル・リブナテに接していた。²⁷

それは東に向かってベト・ダゴンに曲がり、ゼブルンとイフタ・エル谷に接し、北に向かってベト・エメクとネイエルに進み、左側のカブルを通過した。²⁸

それはエブロン、レホブ、ハモン、カナに進み、大シドンにまで達した。²⁹

境界はラマに戻り、要塞都市ツロに進み、ホサに向かい、アクジブの地域で地中海に終わった。³⁰

含まれていたのは、ウマ、アフエク、レホブ；**22**の町とその村々。³¹

これらの町とその村々は、アシェルの部族の氏族に従った相続地であった。³²

第六のくじはナフタリの部族に、その氏族に従って落ちた。³³

彼らの境界はヘレフとザアナニムの大木から始まり、アダミ・ネケブとヤブネエルを通り、ラッコムに至り、ヨルダンで終わった。³⁴

境界は西に向かってアズノテ・タボルに曲がり、フツコクに出た。それは南でゼブルン、西でアシェル、東でヨルダンに接していた。³⁵

要塞都市はツィディム、ゼル、ハマテ、ラッカテ、キンネレテ、³⁶

アダマ、ラマ、ハツォルの住居地、³⁷

ケデシュ、エドレイ、エン・ハツォルの住居地、³⁸

ヤイロン、ミグダル・エル、ホレム、ベト・アナト、ベト・シメシュ；**19**の町とその村々。³⁹

これらの町とその村々は、ナフタリの部族の氏族に従った相続地であった。⁴⁰

第七のくじはダンの部族に、その氏族に従って落ちた。⁴¹

彼らの相続地には、ツォラ、エシュタオル、イル・シメシュが含まれていた。⁴²

シヤアルビン、アヤロン、イテラの住居地、⁴³

エロン、ティムナ、エクロンの住居地、⁴⁴

エルテケ、ギバトン、バアラテの住居地、⁴⁵

イェフド、ベネ・ベラク、ガテ・リモンの都市、⁴⁶

メ・ヤルコン、ラコン、ヨツパに面した地域。⁴⁷

ダンの人々がその領土を失った後、彼らは上ってレシエムを攻撃し、それを占領してそこに住み、祖先にちなんでそれをダンと改名した。⁴⁸

これらの町とその村々は、ダンの部族の氏族に従つ

た相続地であった。⁴⁹

土地がその部分に分けられた後、イスラエルの人々はヌンの子ヨシュアに彼らの中で相続地を与えた。⁵⁰

主が命じたように、彼らは彼が求めた町、エフライムの山地にあるティムナテ・セラを彼に与えた。彼はその町を建て直し、そこに住んだ。⁵¹

これらは、祭司エルアザル、ヌンの子ヨシュア、イスラエルの部族の氏族の長たちが、シロで主の前、会見の幕屋の入口でくじによって割り当てた領土である。こうして、彼らは土地の分割を完了した。

20 そのとき、主はヨシュアに言われた、²
「イスラエルの人々に語り、モーセを通してあなたに指示したように、避難の町を定めるように命じなさい。³

それは、誤って意図せずに人を殺してしまった者がそこに逃げ込み、血の復讐者から保護を得るためである。⁴

彼らがこれらの町の一つに逃げ込んだとき、その町の門の入口に立ち、その町の長老たちに自分の事を述べなければならない。長老たちはその逃亡者を町に迎え入れ、彼らにその中で住む場所を提供しなければならない。⁵

もし血の復讐者が彼らを追ってきたとしても、長老たちは過失致死を犯した者を引き渡してはならない。彼らは意図せずに、悪意なく隣人を殺したからである。⁶

彼らは会衆の前で裁きを受けるまで、またその時に仕えている大祭司が死ぬまで、その町に留まらなければならない。その後、彼らは逃げた町に戻り、自分の家に帰ることができる。」⁷

こうして彼らは、ナフタリの山地にあるガリラヤのケデシュ、エフライムの山地にあるシェケム、ユダの山地にあるキリヤテ・アルバ（これはヘブロン）を選んだ。⁸

また、ヨルダン川の東、エリコの向かいにある荒野の高原に、ルベン族からベゼル、ガド族からギルアデのラモテ、マナセ族からバシヤンのゴランを指定した。⁹

これらは、すべてのイスラエル人とその中に住む外国人のために指定された町であり、誤って人を殺してしまった者がそこに逃げ込み、会衆の前で裁きを受けるまで血の復讐者に殺されないようにするためである。

21 レビ族の家族の指導者たちは、祭司エルアザル、ヌンの子ヨシュア、およびイスラエルの部族の家族の長たちに近づいた。²

ヨシュア記

彼らはカナンの地のシロで彼らに言った。「主はモーセを通して、私たちに住む町と家畜のための牧草地を与えるように命じられました。」³

それで、主が命じられたように、イスラエル人は自分たちの相続地からレビ人に町と牧草地を与えた。

最初のくじはコハテ族の氏族のために引かれた。レビの子孫であるアロンの子孫は、ユダ、シメオン、ベニヤミンの部族からくじで十三の町を受け取った。

コハテの残りの子孫は、エフライム、ダン、およびマナセの半部族の家族から十の町を割り当てられた。

ゲルシヨンの子孫は、イッサカル、アシエル、ナフタリ、およびバシヤンのマナセの半部族の家族から十三の町を受け取った。

メラリの子孫は、その家族に従って、ルベン、ガド、およびゼブルンの部族から十二の町を与えられた。

こうしてイスラエル人は、主がモーセを通して命じられたように、これらの町と牧草地をレビ人に割り当てた。

ユダとシメオンの部族から、次の町を名前で割り当てた。

これらの町は、レビ人のコハテ族のアロンの子孫のためのもので、彼らのくじは最初だった。

彼らは、ユダの山地にあるキルヤテ・アルバ（すなわちヘブロン）とその周辺の牧草地を与えた。（アルバはアナクの一族の父であった。）

しかし、その町の周辺の畑と村は、エフネの子カレブに彼の所有として与えられていた。

それで、彼らはアロンの子孫にヘブロンの町を与えた。（意図せず人を殺した者のための避難都市）、彼らはまたアロンの子孫にリブナの町を与えた。ヤッティルとエシュテモア、¹⁵ ホロンとデビル、

アイン、ユッタ、およびベテ・シメシュ、これらの牧草地と共に—

これら二つの部族から九つの町を与えた。

ベニヤミンの部族から、ギベオン、ゲバ、アナトとアルモン、これらの牧草地と共に—

四つの町を与えた。

アロンの子孫である祭司たちのための町の総数は、牧草地と共に十三であった。

レビ人のコハテ族の残りの氏族は、エフライムの部族から町を受け取った。

エフライムの山地では、彼らはシェケム（意図せず

人を殺した者のための避難都市）とゲゼルを与えられた。

キブツァイムとベテ・ホロン、これらの牧草地と共に—四つの町を与えられた。

ダンの部族から、エルテケ、ギベトン、アイヤロンとガテ・リモン、これらの牧草地と共に—四つの町を与えられた。

マナセの半部族から、タアナクとガテ・リモン、これらの牧草地と共に—二つの町を受け取った。

合計で、これら十の町とその牧草地は、コハテ族の残りの氏族に与えられた。

レビ人のゲルシヨン族の氏族は、マナセの半部族から、バシヤンのゴラン（意図せず人を殺した者のための避難都市）とベ・エシュテラを牧草地と共に—二つの町を与えられた。

イッサカル部族から、キシヨン、ダベラテ、ヤルムテとエン・ガニム、これらの牧草地と共に—四つの町を与えられた。

アシエルの部族から、ミシャル、アブドン、ヘルカテとレホブ、これらの牧草地と共に—四つの町を与えられた。

ナフタリの部族から、ガリラヤのケデシュ（意図せず人を殺した者のための避難都市）、ハモテ・ドル、カルタン、これらの牧草地と共に—

三つの町を受け取った。

ゲルシヨン族の氏族のための町の総数は、牧草地と共に十三であった。

レビ人の残りのメラリ族の氏族は、ゼブルンの部族から、ヨクネアム、カルタ、

ディムナ、ナハラル、これらの牧草地と共に—四つの町を与えられた。

ルベンの部族から、ベゼル、ヤハズ、ケデモテ、メファアテ、これらの牧草地と共に—四つの町を与えられた。

ガドの部族から、ギルアデのラモテ（意図せず人を殺した者のための避難都市）、マハナイム、ヘシュボン、ヤゼル、これらの牧草地と共に—

合計で四つの町を受け取った。

レビ人の残りのメラリ族の氏族に割り当てられた町の総数は十二であった。

イスラエル人が所有する領土内のレビ人の町の総数は、牧草地と共に四十八であった。

これらの町のそれぞれには周囲に牧草地があった。これはすべての町に共通していた。

こうして、主は彼らの先祖に与えると誓ったすべての地をイスラエルに与え、彼らはそれを所有し、そ

ヨシュア記

ここに住んだ。⁴⁴
主は彼らの先祖に誓ったとおり、彼らに四方に平和を与えた。彼らの敵は一人も彼らに立ち向かうことができず、主はすべての敵を彼らの手に渡された。⁴⁵

主がイスラエルの家に約束したすべての良い約束のうち、一つも失敗することなく、すべてが成就した。

22 その後、ヨシュアはルベン人、ガド人、マナセの半部族を呼び寄せ、²
彼らに言った。「あなたたちは、主のしもべモーセが命じたことをすべて守り、私が指示したことにすべて従いました。³

長い間、あなたたちは兄弟たちを見捨てず、主なるあなたたちの神が命じた義務を果たしました。⁴
今や、主なるあなたたちの神が約束したとおりに兄弟たちに安息を与えたので、ヨルダンの向こう側にある主のしもべモーセが与えた土地に戻り、あなたたちの天幕に帰りなさい。⁵

主のしもべモーセが与えた戒めと律法をよく守り、あなたたちの神、主を愛し、そのすべての道を歩み、戒めを守り、主にしっかりと従い、心を尽くし、魂を尽くして主に仕えなさい。」⁶
ヨシュアは彼らを祝福し、送り出し、彼らは自分たちの天幕に戻った。⁷

マナセの半部族には、モーセがパシヤンで土地を与えたが、もう一方の半部族には、ヨシュアがヨルダンの西側で兄弟たちの中に土地を与えた。ヨシュアが彼らを天幕に送り出すとき、彼は彼らを祝福し、⁸

「多くの富、数々の家畜、銀、金、青銅、鉄、そして大量の衣服を持って天幕に帰りなさい。敵からの戦利品を兄弟たちと分け合いなさい。」と言った。⁹

こうして、ルベンの子孫、ガドの子孫、マナセの半部族は、カナンのシロにいるイスラエル人を離れ、モーセを通して主の命令に従って得た自分たちの土地、ギルアデの地に帰った。¹⁰

彼らがカナンの地のヨルダン地方に到着したとき、ルベン人、ガド人、マナセの半部族はヨルダンのそばに立派な祭壇を築いた。¹¹

そして、イスラエル人は報告を聞いた。「見よ、ルベン人、ガド人、マナセの半部族がカナンの境界、ヨルダン地方、イスラエル側に祭壇を築いた。」¹²
イスラエル人はこれを聞くと、全会衆がシロに集まり、彼らと戦うために出発した。¹³
そこで、イスラエル人は祭司エルアザルの子ピネハ

スをギルアデの地に送り、ルベン人、ガド人、マナセの半部族のもとに行かせた。¹⁴

彼と共に、イスラエルの各部族から一人ずつ、イスラエルの氏族の中で家の頭である十人の指導者を送った。¹⁵

彼らがギルアデに到着すると、ルベン人、ガド人、マナセの半部族に言った。¹⁶

「主の全会衆がこう言います。『あなたたちは、主から離れ、自分たちのために祭壇を築き、神に対して反逆するという不信仰の行為をなぜ行なったのですか？』¹⁷

ペオルの罪は私たちにとって十分ではなかったのですか？それは今日まで私たちを清めていないのに、主の会衆に疫病をもたらしました。¹⁸

そして今、あなたたちは主から離れようとしています。もし今日、主に反逆するなら、明日にはイスラエルの全会衆に怒りが下るでしょう。¹⁹

もしあなたたちの所有地が汚れているなら、主の所有地に渡し、主の幕屋が立っている場所で私たちと土地を共有しなさい。しかし、主に対して反逆したり、私たちに対して反逆したりして、主なる私たちの神の祭壇以外の祭壇を築くことはしないでください。²⁰

ゼラの子アカンが奉納物について不信仰な行為をしたとき、イスラエルの全会衆に怒りが下りませんでしたか？彼はその罪のために一人で滅びたわけではありません。』」²¹

すると、ルベン人、ガド人、マナセの半部族はイスラエルの氏族の頭たちに答えた。²²

「力ある者、神、主！彼は知っています、そしてイスラエルも知るべきです。もしこれが主に対する反逆や不従順であるなら、今日私たちを助けないでください。²³

もし私たちが主から離れるために自分たちの祭壇を築いたり、焼き尽くす捧げ物や穀物の捧げ物、平和の捧げ物を捧げるために築いたりしたなら、主ご自身が私たちを裁いてください。²⁴

いいえ！私たちは、将来あなたたちの子孫が私たちの子孫に『あなたたちは主、イスラエルの神と何の関係があるのか？』と言うかもしれないという懸念からこれを行いました。²⁵

主がヨルダンを私たちとあなたたちの間の境界とされたので、ルベン人とガド人であるあなたたちは主に何の分け前も持たないのです。だからあなたたちの子孫が私たちの子孫に主を恐れることをやめさせるかもしれません。²⁶

それで私たちは言いました、『祭壇を準備して築こう、しかし焼き尽くす捧げ物や犠牲のためではない

ヨシュア記

。むしろ、それは私たちとあなたたち、そして後に続く世代の間の証となるためです。私たちは主の聖所で焼き尽くす捧げ物、犠牲、交わりの捧げ物を捧げるのです。そうすれば将来、あなたたちの子孫が私たちの子孫に『あなたたちは主に何の分け前も持たない』と言うことはできません。²⁵

そして私たちは言いました、『もし彼らが私たちや私たちの子孫にこれを言うなら、私たちは答えます：見よ、私たちの先祖が築いた主の祭壇の複製を見よ。それは焼き尽くす捧げ物や犠牲のためではなく、私たちとあなたたちの間の証としてです。』²⁶ 私たちが今日、主に反逆し、主から離れて、焼き尽くす捧げ物、穀物の捧げ物、犠牲のために、主なる私たちの神の幕屋の前に立っている祭壇以外の祭壇を築くことから、私たちは遠く離れています。」²⁷ 祭司ピネハスとイスラエルの氏族の頭たち、すなわち共同体の指導者たちがルベン人、ガド人、マナセの半部族の言葉を聞いたとき、彼らは喜んだ。²⁸ そして、祭司エルアザルの子ピネハスはルベン人、ガド人、マナセに言った。「今日、私たちは主が私たちと共にいることを知りました。あなたたちはこの件で主に不信仰ではありませんでした。今、あなたたちはイスラエル人を主の手から救いました。」²⁹

その後、祭司エルアザルの子ピネハスと指導者たちは、ルベン人とガド人とのギルアデでの会合からカナンに戻り、イスラエル人に報告した。³⁰ イスラエル人はその報告を聞いて喜び、神を賛美した。彼らはルベン人とガド人が住む土地を荒らすために戦争に行くことをもう話さなかった。³¹ そして、ルベン人とガド人はその祭壇を「証」と名付けた。「なぜなら」と彼らは言った、「それは私たちの間で主が神であることの証だからです。」³²

23 多くの日が過ぎ、主がイスラエルに四方の敵からの安息を与えた後、ヨシュアは年若い年を重ねていた。¹

彼はイスラエルのすべての長老、指導者、裁判官、役人を召集し、彼らに言った。「私は今や年老いて年を重ねています。」² あなたたちは、あなたたちのために主なるあなたたちの神がこれらすべての国々に対して行ったことを目撃しました。それは主なるあなたたちの神があなたたちのために戦ったからです。³

私は、ヨルダンから西の大海に至るまで、私が征服したすべての国々と共に、これらの残りの国々をあなたたちの部族への相続地として割り当てたことを覚えておいてください。⁴

主なるあなたたちの神は、あなたたちの前から彼らを追い出し、あなたたちのために彼らを押しのけ、主なるあなたたちの神が約束したように、あなたたちは彼らの土地を所有するでしょう。⁵

モーセの律法の書に書かれているすべてのことを、右にも左にもそれずに守り行うことを非常に決意してください。⁶

それによって、あなたたちの中に残っているこれらの国々と交わらず、彼らの神々の名を口にせず、それによって誓ったり、仕えたり、ひれ伏したりしないようにしてください。⁷

しかし、今日までしてきたように、主なるあなたたちの神にしっかりとついていなさい。⁸

主はあなたたちの前から強大な国々を追い出しましたが、今日まで誰もあなたたちに立ち向かうことはできませんでした。⁹

あなたたちの一人が千人を追い払うことができるのは、主なるあなたたちの神があなたたちのために戦っているからであり、彼が約束した通りです。¹⁰ だから、主なるあなたたちの神を愛することに十分に注意しなさい。¹¹

しかし、もしあなたたちがこれらの国々の生き残りに心を寄せ、彼らと結婚し、交わるならば、¹² 主なるあなたたちの神がこれらの国々をあなたたちの前からもはや追い出さないことを確信してください。¹³

むしろ、彼らはあなたたちにとって罾となり、わなとなり、あなたたちの脇腹の鞭となり、あなたたちの目のとげとなり、主なるあなたたちの神が与えたこの良い地から滅び去るまで続くでしょう。¹⁴

「今、私は地のすべての道を行こうとしていますが、あなたたちは心と魂を尽くして、主なるあなたたちの神があなたたちに約束したすべての良い約束が一つも失敗していないことを知っています。すべての約束が成就しました。一つも失敗していません。」¹⁵

しかし、主なるあなたたちの神が約束したすべての良いことがあなたたちに降りかかったように、主は警告したすべての悪いことをあなたたちに降りかからせ、この良い地からあなたたちを滅ぼし去るまで続けるでしょう。¹⁶

もしあなたたちが主なるあなたたちの神の契約を破り、他の神々に仕え、ひれ伏すならば、主の怒りがあなたたちに対して燃え上がり、彼が与えたこの良い地から速やかに滅び去るでしょう。」¹⁷

ヨシュアはすべてのイスラエルの部族をシェケムに集め、イスラエルの長老たち、指導者たち、裁判官たち、役人たちを呼び寄せた。彼らは神の前に立った。

ヨシュアはすべての民に言った。「イスラエルの神、主はこう言われます。『昔、あなたがたの先祖、すなわちアブラハムとナホルの父テラは、ユーフラテス川の向こうに住んでいて、他の神々を拝んでいた。

しかし、私はあなたがたの父アブラハムをユーフラテス川の向こうから連れ出し、カナン之地を巡らせ、その子孫を増やし、イサクを与えた。

イサクにはヤコブとエサウを与えた。私はセイルの山地をエサウに与えたが、ヤコブとその子たちはエジプトに下った。

その後、私はモーセとアロンを送り、エジプトで行ったことによって彼らを悩ませ、その後あなたがたを連れ出した。

私はあなたがたの先祖をエジプトから連れ出し、あなたがたは海に來た。エジプト人は戦車と騎兵であなたがたを紅海まで追いかけてきた。

しかし、彼らが主に叫ぶと、主はあなたがたにエジプト人の間に暗闇を置き、海を彼らの上に持ってきて覆った。あなたがた自身が目私にエジプトで行ったことを見た。その後、あなたがたは長い間荒野に住んだ。

私はあなたがたをヨルダンの向こうに住むアモリ人の地に連れて行った。彼らはあなたがたに戦いを挑んだが、私は彼らをあなたがたの手に渡し、あなたがたは彼らの地を占領した。私は彼らをあなたがたの前で滅ぼした。

その後、モアブの王ジッポルの子バラクがイスラエルに戦いを挑み、ベアルの子バラムを呼んであなたがたを呪わせようとした。

しかし、私はバラムの言うことを聞かず、彼は何度もあなたがたを祝福し、私は彼の手からあなたがたを救った。

あなたがたはヨルダンを渡り、エリコに來た。エリコの住民はあなたがたに戦いを挑んだが、私は彼らをあなたがたの手に渡した。

私はあなたがたの前にスズメバチを送り、彼らをあなたがたの前から追い払った。あなたがたの剣や弓ではなかった。

私はあなたがたに勞せずして得た地と建てなかつた町々を与えた。あなたがたはそこに住み、植えなかつたぶどう畑とオリーブ畑から食べている。』

14

それゆえ、今、主を恐れ、誠実に仕えなさい。あなたがたの先祖がユーフラテス川の向こうやエジプトで拝んでいた神々を捨て、主に仕えなさい。

しかし、もし主に仕えることがあなたがたにとって望ましくないなら、今日、誰に仕えるかを選びなさい。ユーフラテス川の向こうであなたがたの先祖が仕えた神々か、あなたがたに住んでいる地のアモリ人の神々か。しかし、私と私の家は主に仕えます。

すると民は答えた。「私たちが主を捨てて他の神々に仕えることは決してありません！

私たちが私たちの先祖をエジプトから、奴隷の地から連れ出し、私たちの目の前で偉大な奇跡を行い、私たちが通ったすべての道とすべての国々で私たちを守ってくださったのは、私たちの神、主です。主は私たちの前からこの地に住んでいたすべての国々、特にアモリ人を追い出してくださいました。私たちも主に仕えます。主が私たちの神だからです。」

19

ヨシュアは民に言った。「主に仕えることは難しいかもしれませんが。主は聖なる神であり、熱心な神です。あなたがたの反逆や罪を見逃すことはありません。

もしあなたがたが主から離れ、他の神々に仕えるなら、主はあなたがたに災いをもちまし、あなたがたを滅ぼすでしょう。主があなたがたに良くしてくださった後でも。」

21

しかし民はヨシュアに強く言った。「私たちは主に仕えることを決意しています。」

するとヨシュアは言った。「あなたがた自身が主に仕えることを選んだ証人であることを認めますか。」彼らは答えた。「はい、私たちは証人です。」「では」とヨシュアは言った。「あなたがたの中にいる外国の神々を捨て、心をイスラエルの神、主に向けなさい。」

民はヨシュアに言った。「私たちは主、私たちの神に仕え、その声に従います。」

その日、ヨシュアは民のために契約を結び、シェケムで彼らのために法令と律法を確認した。

ヨシュアはこれらのことを神の律法の書に記録した。そして、大きな石を取り、主の聖所の近くの樫の木の下に立てた。

「見よ！」と彼はすべての民に言った。「この石は私たちに對する証人となる。主が私たちに言われたすべての言葉を聞いたからだ。あなたがたがあなた

ヨシュア記

がたの神に対して不忠実であるなら、それはあなたがたに対して証言する。」²⁸
その後、ヨシュアは民をそれぞれの相続地に送り出した。

²⁹
これらのことの後、主のしもべヌンの子ヨシュアは百十歳で死んだ。³⁰
彼らは彼を彼の相続地、エフライムの山地のティムナテ・セラに葬った。それはガアシユ山の北にある。³¹

イスラエルはヨシュアの生涯の間、そして彼の後に生き残った長老たちの間、主に仕えた。彼らは主がイスラエルのために行ったすべての業を見た。³²
また、イスラエルの子らがエジプトから持ち上げてきたヨセフの骨は、シェケムの地に葬られた。これはヤコブがシェケムの父ハモルの子らから銀百枚で買った土地であり、ヨセフの子孫の相続地となった。³³
。アロンの子エルアザルも死に、エフライムの山地にあるギベアに葬られた。それは彼の子ピネハスに与えられた。

士師記

1 ヨシュアの死後、イスラエルの人々は主に尋ねた。「誰が我々に代わって最初にカナン人と戦うために上って行くべきでしょうか？」²

主は答えられた。「ユダが上って行くべきだ。私はその地を彼の手に渡した。」³

ユダは兄弟シメオンに言った。「私に割り当てられた地と一緒に行って、カナン人と戦おう。そして私もあなたの地に一緒に行く。」そこでシメオンは彼と共にいった。

4 ユダが上って行くと、主はカナン人とペリジ人を彼らの手に渡し、彼らはベゼクで一万人を打ち破った。⁵

彼らはベゼクでアドニ・ベゼクに出会い、彼と戦い、カナン人とペリジ人を打ち破った。⁶

アドニ・ベゼクは逃げたが、彼らは彼を追い、捕らえて、彼の親指と足の親指を切り落とした。⁷

アドニ・ベゼクは言った。「七十人の王たちが親指と足の親指を切り落とされ、私のテーブルの下でくずを集めていた。私がしたように、神が私に報いられた。」彼らは彼をエルサレムに連れて行き、そこで彼は死んだ。⁸

ユダの人々はエルサレムを攻撃し、それを占領し、剣で打ち、町を火で焼いた。⁹

その後、ユダは丘陵地帯、ネゲブ、低地に住むカナン人と戦うために下っていった。¹⁰

ユダはヘブロン（以前はキルヤテ・アルバと呼ばれていた）に住むカナン人に対して進み、シェシャイ、アヒマン、タルマイを打ち破った。

11 そこから彼らはデビル（以前はキルヤテ・セフェルと呼ばれていた）の住民に対して進んだ。¹²

カレブは宣言した。「キルヤテ・セフェルを攻撃して占領する者には、私の娘アクサを妻として与える。」¹³

ケナズの息子でカレブの弟であるオテニエルがそれを占領したので、カレブは彼に娘アクサを妻として与えた。¹⁴

彼女がオテニエルのもとに来たとき、彼女は父に畑を求めるよう彼を促した。彼女がロバから降りると、カレブは彼女に尋ねた。「何を望むのか？」¹⁵

彼女は答えた。「私に祝福をください。ネゲブの地を私に与えたので、泉もください。」そこでカレブは彼女に上の泉と下の泉を与えた。

16 モーセの義父であるケニ人の子孫は、パームの町からユダの人々と共にアラドの南のユダの荒野に上り、そこに住んだ。¹⁷

ユダは兄弟シメオンと共に行き、ツェファテに住むカナン人を攻撃し、完全に滅ぼした。それでその町はホルマと名付けられた。¹⁸

ユダはまた、ガザとその領域、アシュケロンとその領域、エクロンとその領域を占領した。¹⁹

主はユダと共におられ、彼らは丘陵地帯を占領したが、鉄の戦車を持つ平地の住民を追い出すことはできなかった。²⁰

ヘブロンはモーセが約束したようにカレブに与えられ、彼はそこからアナクの三人の息子たちを追い出した。²¹

ベニヤミン族はエルサレムに住むエブス人を追い出さなかったので、エブス人は今日までエルサレムでベニヤミン族と共に住んでいる。

22 ヨセフの部族もベテルに対して上って行き、主は彼らと共におられた。²³

彼らはベテル（以前はルズと呼ばれていた）を偵察するために人を送った。²⁴

偵察者たちは町から出てくる男を見て彼に言った。「町の入口を教えてください、あなたを親切に扱います。」²⁵

彼は彼らに町の入口を教え、彼らは剣でそれを打ち、男とその家族全体を助けた。²⁶

その男はヒッタイトの地に行き、町を建て、それをルズと名付けた。それが今日までその名である。²⁷

マナセはベテ・シャンとその村々、タナクとその村々、ドルとその村々、イブレアムとその村々、メギドとその村々を占領しなかったので、カナン人はその地に住み続けた。²⁸

イスラエルが強くなったとき、彼らはカナン人を強制労働に従わせたが、完全に追い出すことはしなかった。²⁹

エフライムはゲゼルに住むカナン人を追い出さなかったので、彼らはその中に住み続けた。³⁰

ゼブルンはキトロンやナハロルの住民を追い出さなかったので、カナン人は彼らの中に住み、強制労働に従わされた。³¹

アシェルはアッコ、シドン、アフラブ、アクジブ、ヘルバ、アフィク、レホブの住民を追い出さなかった。³²

アシェルの人々はその地のカナン人の住民の中に住み、彼らを追い出さなかった。³³

ナフタリはベテ・シェメシュやベテ・アナトの住民を追い出さず、カナン人の中に住んだ。ベテ・シェメシュとベテ・アナトの住民は彼らのために強制労働者となった。³⁴

アモリ人はダン族を丘陵地帯に閉じ込め、谷に下ることを許さなかった。³⁵

士師記

アモリ人はヘレス山、アイヤロン、シャアルビムに住み続けたが、ヨセフの家の力が増すと、彼らは強制労働に従わされた。³⁶
アモリ人の境界はアクラビムの登りからセラに上るまで広がっていた。

2 主の使いがギルガルからボキムに上り、宣言した。「私はあなたたちをエジプトから連れ出し、あなたたちの先祖に約束した地に導いた。私はあなたたちに『私はあなたたちとの契約を決して破らない、²
この地の住民と契約を結んではならない。彼らの祭壇を打ち壊さなければならない』と約束した。しかし、あなたたちは私に従わなかった。これは一体何をしたのか？³
それゆえ、私はまた宣言した、『私は彼らをあなたたちの前から追い出さない。彼らはあなたたちの側にとげとなり、彼らの神々はあなたたちにとって異となるだろう』。⁴
主の使いがこれらの言葉をすべてのイスラエル人に語ったとき、人々は声を上げて大声で泣いた。⁵
そして彼らはその場所をボキムと名付けた。そこで彼らは主に犠牲を捧げた。

6
ヨシュアが人々を解散させた後、イスラエル人はそれぞれ自分の相続地に行き、その地を占領した。⁷
人々はヨシュアの生涯と、彼を生き延びた長老たちの生涯を通じて主に仕えた。彼らは主がイスラエルのために行ったすべての偉大な行いを目撃した。⁸
主のしもべヌンの子ヨシュアは、百十歳で死んだ。⁹
彼らは彼をエフライムの山地、ガアシュ山の北にある彼の相続地のティムナテ・ヘレスに葬った。

10
その世代全体が先祖のもとに集められた後、主を知らず、イスラエルのために行われた業を知らない別の世代が現れた。¹¹
そのとき、イスラエル人は主の目の前で悪を行い、バアルに仕えた。¹²
彼らはエジプトから連れ出した先祖の神、主を捨てた。彼らは周囲の民のさまざまな神々に従い、これを拝み、主の怒りを引き起こした。¹³
彼らは主を捨て、バアルとアシュタロテに仕えた。¹⁴

主の怒りがイスラエルに対して燃え上がり、彼らを略奪者の手に渡した。彼は彼らを周囲の敵の手に売り渡し、彼らはもはや敵に立ち向かうことができなかった。¹⁵
彼らが行くところどこでも、主の手は彼らに災いを

もたらすためにあつた。主が彼らに誓った通りであった。彼らは大いに苦しんだ。¹⁶
そのとき、主は彼らを略奪者の手から救う士師を立てた。¹⁷
しかし、彼らは士師に聞き従わず、他の神々に身を売り、これを拝んだ。彼らは先祖が歩んだ道からすぐに離れ、主の命令に従わなかった。¹⁸
主が彼らのために士師を立てるとき、主はその士師と共にいて、士師の生涯の間、彼らを敵の手から救った。主は彼らを圧迫し苦しめる者たちの下での彼らの嘆きに心を動かされたからである。¹⁹
しかし、士師が死ぬと、人々は先祖よりもさらに墮落した道に戻り、他の神々に従い、これを仕え、拝んだ。彼らは悪しき行いと頑固な道を捨てることを拒んだ。²⁰
それゆえ、主の怒りがイスラエルに対して燃え上がり、彼は言った。「この民は私が彼らの先祖のために定めた契約を破り、私の声に従わなかった。²¹
私はヨシュアが亡くなったときに残したいかなる国々も追い出すことをやめる。²²
私はこれらの国々を用いてイスラエルを試し、彼らが先祖が歩んだように主の道を守り歩むかどうかを見る。」

23
こうして、主はそれらの国々を残し、速やかに取り除くことはせず、ヨシュアにそれらを渡さなかった。

3 これは、カナンでの戦争を経験していないすべてのイスラエル人を試すために主が残された国々である。²
これは、以前にそれを経験していないイスラエルの世代に戦争を教えるために行われた。³
その国々には、ペリシテ人の五人の支配者、すべてのカナン人、シドン人、そしてレバノン山地に住むヒビ人が含まれており、バアル・ヘルモン山からレボ・ハマテまでである。⁴
彼らはイスラエル人を試すために残され、彼らがモーセを通して先祖に与えられた主の命令に従うかどうかを見るためである。⁵
イスラエル人はカナン人、ヒッタイト人、アモリ人、ペリジ人、ヒビ人、エブス人の間に住んでいた。⁶
彼らは彼らと婚姻を結び、彼らの娘を妻として迎え、自分たちの娘を彼らの息子に与え、彼らの神々に仕えた。
7
イスラエル人は主の目に悪を行い、彼らの神である

士師記

主を忘れ、バアルとアシェラに仕えた。⁸
主の怒りがイスラエルに対して燃え上がり、彼らをクシャン・リシャタイム、アラム・ナハラタイムの王の手に売り渡した。イスラエル人は彼に八年間仕えた。⁹
イスラエル人が主に叫ぶと、主は彼らのために救い主を立てられた。ケナズの息子でカレブの弟であるオトニエルが彼らを救った。¹⁰
主の霊が彼に臨み、彼はイスラエルの士師となり、戦争に出た。主はアラムの王クシャン・リシャタイムを彼の手に渡し、オトニエルは彼に勝利した。¹¹
その地はオトニエル、ケナズの息子が死ぬまで四十年間平和であった。¹²
再びイスラエル人は主の目に悪を行い、このために主はモアブの王エグロンをイスラエルに対して強くされた。¹³
エグロンはアモン人とアマレク人を集め、イスラエルを攻撃し、ヤシの町を占領した。¹⁴
イスラエル人はモアブの王エグロンに十八年間仕えた。¹⁵
イスラエル人が主に叫ぶと、主は彼らのために救い主を立てられた。ベニヤミン人ゲラの息子で左利きのエフドである。イスラエル人は彼をモアブの王エグロンに貢物を持って行かせた。¹⁶
エフドは一キュビトの長さの両刃の剣を作り、それを衣服の下に右腿に帯びた。¹⁷
彼はモアブの王エグロンに貢物を捧げた。エグロンは非常に肥えた人であった。¹⁸
貢物を捧げた後、エフドはそれを運んできた者たちを送り出した。¹⁹
しかし彼自身はギルガルの石像のところで引き返し、「王様、あなたに秘密の言葉があります」と言った。王は「静かにせよ!」と言い、すべての従者が去った。²⁰
エフドは涼しい上の部屋で一人座っている彼に近づき、「神からの言葉があります」と言った。王が席から立ち上がると、²¹
エフドは左手を伸ばし、右腿から剣を引き抜いて王の腹に突き刺した。²²
柄までも刃に続いて沈み込み、脂肪がそれを覆ったので、剣を引き抜かなかった。そして排泄物が出てきた。²³
その後、エフドはボーチに出て、上の部屋の扉を開めて鍵をかけた。²⁴
彼が去った後、従者たちが来て、上の部屋の扉が開まっているのを見つけた。彼らは「彼は宮殿の内室

で用を足しているに違いない」と言った。²⁵
彼らは恥ずかしくなるまで待ったが、彼が扉を開けなかったので、鍵を取って開けた。すると、彼らの主人が床に倒れて死んでいるのを見つけた。²⁶
彼らが待っている間に、エフドは逃げ、石像を通り過ぎてセイラに逃れた。²⁷
彼がそこに着くと、エフライムの山地でラッパを鳴らし、イスラエル人は彼と共に丘から下りてきた。彼が彼らを導いた。²⁸
彼は彼らに言った、「私に従いなさい。主があなたたちの敵、モアブ人をあなたたちの手に渡されたのです。」彼らは彼に従い、ヨルダンの渡し場をモアブに向かって制圧し、誰も渡らせなかった。²⁹
その時、彼らは約一万人のモアブ人を打ち倒した。すべての強健で勇敢な男たちで、一人も逃げなかった。³⁰
その日、モアブはイスラエルの手に屈し、その地は八十年間平和であった。³¹
エフドの後、アナトの息子シャムガルが立ち上がり、牛の突き棒で六百人のペリシテ人を打ち倒した。彼もまたイスラエルを救った。

4 エフデが死んだ後、再びイスラエルの人々は主の目の前で悪を行った。²
それで、主は彼らをカナンの王ヤビンの手に渡された。ヤビンはハツォルで王位にあった。彼の軍の司令官シセラは、ハロシエテ・ハゴイムに駐留していた。³
シセラは鉄の戦車九百両を持ち、二十年間イスラエルの人々を厳しく圧迫したので、彼らは主に助けを求めて叫んだ。⁴
その時、ラピドテの妻で預言者であるデボラがイスラエルを裁いていた。⁵
彼女はエフライムの山地にあるラマとベテルの間のデボラの椰子の木の下で裁きを行い、イスラエルの人々は彼女のもとに来て争いを解決してもらった。⁶
彼女はナフタリのケデシュからアビノアムの子バラクを呼び寄せて言った。「イスラエルの神、主はあなたに命じておられる。『行け、ナフタリとゼブルンから一万人を連れてタボル山に向かえ。』」⁷
私はヤビンの軍の司令官シセラを、その戦車と軍勢と共にキション川に引き寄せ、彼をあなたの手に渡す。』」⁸
バラクは彼女に答えた。「もしあなたが一緒に行くなら、私は行きます。しかし、あなたが一緒に行かないなら、私は行きません。」⁹
デボラは答えた。「確かに、私はあなたと一緒に行

士師記

きます。しかし、この旅の荣誉はあなたのものではなくになります。主はシセラを女性の手に渡されるからです。」それでデボラはバラクと共にケデシュに行った。¹⁸

バラクはゼブルンとナフタリをケデシュに呼び寄せ、一万人が彼と共に上った。デボラも彼に同行した。

¹¹ さて、ケニ人ヘベルは他のケニ人、すなわちモーセの義父ホバブの子孫から離れて、ケデシュ近くのツァアナニムの大きな木のそばに天幕を張っていた。¹²

アビノアムの子バラクがタボル山に上ったとシセラに知らされたとき、¹³

シセラはすべての戦車、鉄の戦車九百両とすべての兵をハロシエテ・ハゴイムからキション川に召集した。¹⁴

その時、デボラはバラクに言った。「立ち上がりなさい！今日は主がシセラをあなたの手に渡された日です。主はあなたの前に出て行かれたではありませんか？」それでバラクは一万人を従えてタボル山を下った。¹⁵

主はバラクの前でシセラとそのすべての戦車と軍を剣で打ち破り、シセラは戦車を捨てて徒歩で逃げた。¹⁶

バラクはハロシエテ・ハゴイムまで戦車と軍を追撃し、シセラの軍勢はすべて剣に倒れ、一人も残らなかった。¹⁷

その間に、シセラは徒歩でケニ人ヘベルの妻ヤエルの天幕に逃げ込んだ。ハツォルの王ヤビンとケニ人ヘベルの家とは平和であったからである。¹⁸

ヤエルはシセラを迎えに出て、「どうぞ、お入りください。恐れることはありません。」と言った。彼は彼女の天幕に入り、彼女は彼を毛布で覆った。¹⁹ 彼は彼女に言った。「私は喉が渇いています。水を少し飲ませてください。」彼女は乳袋を開け、彼に飲ませ、彼を覆った。²⁰

彼は彼女に指示した。「天幕の入口に立っていて、誰かが来て『ここに誰がいるか？』と尋ねたら、『いない』と言いなさい。」²¹

しかし、ヘベルの妻ヤエルは天幕の杭と槌を取り、彼が疲れ果てて深く眠っている間に静かに彼のもとに行き、杭を彼のこめかみに打ち込んで地面に貫き通した。彼は死んだ。

²² ちょうどその時、バラクがシセラを追って来た。ヤエルは彼を迎えに出て、「来てください。あなたが探している人をお見せします。」と言った。それで

彼は彼女と共に入り、そこにシセラが天幕の杭でこめかみを貫かれて横たわっているのを見た—
死んでいた。²³

その日、神はイスラエルの人々の前でカナンの王ヤビンを屈服させた。²⁴

イスラエルの人々はカナンの王ヤビンに対して力を増し続け、ついに彼を完全に打ち破った。

5 その日、デボラとアビノアムの子バラクは歌って言った。²

「イスラエルで指導者たちが立ち上がり、人々が自ら進んで献身するとき、主を賛美せよ！³

「聞け、王たちよ！ 聞け、支配者たちよ！私、いや私が主に歌う。
私はイスラエルの神、主を賛美する。⁴

「主よ、あなたがセイルから出て行かれたとき、エドムの野を進まれたとき、
地は震え、天は降り注ぎ、雲は水を降らせた。⁵

山々は主の前で震えた、シナイの主の前で、
イスラエルの神、主の前で。⁶

「アナトの子シャムガルの日々に、ヤエルの日々に、大道は荒れ果て、
旅人たちは曲がりくねった道を取った。⁷

村人たちはイスラエルで絶えた。
彼らは私、デボラが立ち上がるまで、
私が立ち上がるまで、イスラエルの母として。⁸

新しい神々が選ばれた。すると門に戦争があった
イスラエルの四万人の中に
盾や槍は見られなかった。⁹

私の心はイスラエルの指揮官たちと共にある、
人々の中で自ら進んで献身する者たちと共に。
主を祝福せよ！

¹⁰ 「白いろばに乗る者たちよ、鞍の敷物に座る者たちよ、
道を歩く者たちよ、これを考えよ。¹¹

水場での歌う者たちの声。
彼らは主の正しい行いを語り継ぐ、
イスラエルの村人たちの正しい行いを。¹²

その時、主の民は 門に下って行った。
「目覚めよ、目覚めよ、デボラ！
目覚めよ、目覚めよ、歌を歌え！
立ち上られ、バラクよ、捕虜を連れて行け、アビノアムの子よ。¹³

「その時、貴族の残りが下って来た。
主の民が戦士として私のもとに下って来た。¹⁴

エフライムから、アマレクに根を持つ者たちが、
彼らは下って来た。あなたに従う、ベニヤミンよ、
あなたの民と共に。マキルから、指揮官たちが下

士師記

って来た、
ゼブルンから、職務の杖を持つ者たちが。
15 イッサカルの君たちはデボラと共にいた。
はい、イッサカルはバラクと共にいた、
彼の後に谷に急いで行った。ルベンの部族では、
心の多くの探求があった。
16 なぜあなたは羊の囲いの中に留まって
羊の群れのための笛を聞いていたのか？
ルベンの部族では、心の多くの探求があった。
17 ギルアデはヨルダンの向こうに留まった。
そしてなぜダンは船のそばに留まったのか？
アシェルは海岸に留まり、
その波止場のそばに留まった。
18 ゼブルンの民は命を賭けた。
ナフタリも野の高地でそうした。
「王たちが来て戦った、
カナンの王たちはタアナクで戦った、
メギドの水のそばで。
20 彼らは銀の略奪を取らなかった。
天から、星々が戦いに加わった、
その天の道から、彼らはシセラと戦った。
21 キションの洪水が彼らを押し流した、
古代の洪水、キションの洪水。
私の魂よ、力を持って進め！
22 その時、馬のひづめが鳴り響いた—
彼の強力な馬の疾走、疾走。
23 『メロズを呪え』と主の使いが言った。
『その住民を激しく呪え、
彼らが主の助けに來なかったからだ、
力ある者に対する主の助けに。』

24 「女の中で最も祝福された者はヤエル、
ケニ人ヘベルの妻。
彼女は天幕の中の女の中で最も祝福された者。
25 彼は水を求め、彼女は彼に乳を与えた。
彼女は彼に凝乳を持って来た、立派な鉢で。
26 彼女の手は天幕の杭を取った、
彼女の右手は職人の槌を取った。
彼女はシセラを打ち、彼の頭を砕いた、
彼女は彼のこめかみを打ち砕き、貫いた。
27 彼女の足元で彼は沈み、倒れた。
そこに彼は横たわった。
彼女の足元で彼は沈み、倒れた。
彼が沈んだ所で、彼は倒れた—命を失って。

28 「窓から、シセラの母が
格子越しに見て叫んだ、
『なぜ彼の戦車は来るのがこんなに遅いのか？
なぜ彼の戦車の音が遅れているのか？』」
29 彼女の賢い女たちが彼女に答えた、

実際、彼女は自分自身に言い続けた。
30 『彼らは戦利品を見つけて分けているのではない
か： 各々の男に一人か二人の女、
シセラのための戦利品としての色とりどりの衣服
、 刺繍された色とりどりの衣服、
私の首のために高度に刺繍された衣服—
31 これらすべてが戦利品として？』
「主よ、あなたのすべての敵がこのように滅びま
すように！ しかし、あなたを愛する者たちは
その力で昇る太陽のようでありますように。」
そしてその地は四十年間平和であった。

6 イスラエルの人々は主の目の前で悪を行ったの
で、主は彼らを七年間ミデヤン人の手に渡され
た。
2 ミデヤンの力はイスラエルに対して圧倒的であつた
。それゆえ、イスラエルの人々は山の裂け目や洞窟
、要塞に避難所を作った。
3 イスラエルの人々が作物を蒔くたびに、ミデヤン人
、アマレク人、その他の東方の民がその地に侵入し
た。
4 彼らはその地に宿営し、ガザに至るまで作物を荒ら
し、イスラエルには食糧も羊も牛もろばも残さなかつ
た。
5 彼らは家畜と天幕を持って上ってきて、いなごのよ
うに群がった。彼らの数とラクダは数えきれないほ
どであり、彼らはその地を荒らすために侵入した。
6 ミデヤンはイスラエルを極度の貧困に追いやり、イ
スラエルの人々は主に助けを求めて叫んだ。
7 イスラエルの人々がミデヤンの圧迫のために主に叫
んだとき、
8 主は彼らに預言者を送り、彼は言った、「イスラエ
ルの神、主はこう言われる、『私はあなたたちをエ
ジプトから、奴隷の家から導き出した。
9 私はあなたたちをエジプト人の手から、すべての圧
迫者の手から救い出し、彼らをあなたたちの前から
追い出し、その地をあなたたちに与えた。
10 私はあなたたちに言った、『私はあなたたちの神、
主である。あなたたちが住んでいる地のアモリ人の
神々を恐れてはならない。』しかし、あなたたちは
私の声に聞き従わなかった。』」

11 主の使いはオフラにあるアビエゼル人ヨアシュのもの
の檜の木の下に座った。そこでは彼の息子ギデオ
ンがミデヤン人から隠れるために酒ぶねで妻を打っ
ていた。
12

士師記

主の使いは彼に現れ、「主はあなたと共におられる、勇敢な戦士よ。」と言った。¹³

ギデオンは答えた、「お許しください、主よ。しかし、もし主が私たちと共におられるなら、なぜこれまですべてのことが私たちに起こったのでしょうか。私たちの先祖が私たちに語った主のすべての奇跡はどこにあるのでしょうか。『主は私たちをエジプトから導き出されたではないか』と言っていたのに。しかし今、主は私たちを見捨て、ミデヤンの手に渡されました。」¹⁴

主は彼に向かって言われた、「あなたの持つ力で行き、イスラエルをミデヤンの手から救え。私があなたを遣わすのではないか。」¹⁵

ギデオンは言った、「お許しください、主よ。しかし、どうして私がイスラエルを救えるのでしょうか。私の一族はマナセの中で最も弱く、私は家族の中で最も小さいのです。」¹⁶

主は彼に保証された、「私はあなたと共にいる。あなたはミデヤン人を一人残らず打ち倒すだろう。」¹⁷

ギデオンは答えた、「もし今、私があなたの目に恵みを見いだしたなら、あなたが本当に私に話していることを示すしるしをください。」¹⁸

どうか私が戻ってきて、私の捧げ物を持ってきてあなたの前に置くまで、ここを離れないでください。」主は言われた、「あなたが戻ってくるまで待とう。」¹⁹

ギデオンは家に入り、若いヤギを準備し、一エファの小麦粉から種なしパンを作った。彼は肉をかごに入れ、スープを鍋に入れ、それらを持ち出して榎の木の下で捧げた。²⁰

神の使いは彼に指示した、「肉と種なしパンをこの岩の上に置き、スープを注げ。」ギデオンはその通りにした。²¹

すると、主の使いは手に持っていた杖の先で肉と種なしパンに触れ、岩から火が燃え上がり、肉とパンを焼き尽くした。主の使いはその後、姿を消した。²²

ギデオンはそれが主の使いであることを理解し、「ああ、主なる神よ！私は主の使いを顔と顔を合わせで見ました！」と叫んだ。²³

しかし、主は彼に言われた、「安心せよ。恐れるな。あなたは死ぬことはない。」²⁴

ギデオンはそこに主のために祭壇を築き、それを「主は平和である」と呼んだ。それは今日もアビエゼル人のオフラに立っている。²⁵

その夜、主は彼に言われた、「あなたの父の雄牛と七歳の第二の雄牛を取り、あなたの父のバアルの祭壇を壊し、そのそばのアシェラ像を切り倒せ。」²⁶

そして、その高さの上にあなたの神、主のために正しい祭壇を築き、切り倒したアシェラ像の木を使って第二の雄牛を焼き尽くす捧げ物として捧げよ。」²⁷

ギデオンは十人の召使を連れて行き、主が命じられた通りにした。しかし、彼は家族と町の人々を恐れていたので、昼間ではなく夜にそれを行った。²⁸ 朝、町の人々が起きると、バアルの祭壇が壊され、そのそばのアシェラ像が切り倒され、新しく築かれた祭壇の上に第二の雄牛が捧げられているのを見つけた。²⁹

彼らは互いに尋ねた、「誰がこれをしたのか？」調査した結果、「ヨアシュの息子ギデオンがやった」と告げられた。³⁰

町の人々はヨアシュに要求した、「あなたの息子を連れて来い。彼はバアルの祭壇を壊し、そのそばのアシェラ像を切り倒したので、死ななければならない。」³¹

しかし、ヨアシュは敵意を持った群衆に答えた、「あなたたちはバアルのために訴えるのか？あなたたちは彼を救うのか？彼のために戦う者は朝までに死ななければならない！もしバアルが本当に神であるなら、彼の祭壇を壊した者に対して自分で争わせよ。」³²

こうしてギデオンがバアルの祭壇を壊したので、彼らは彼に「バアルと争わせよ」と言って、彼にエルバアルという名を与えた。³³

さて、すべてのミデヤン人、アマレク人、その他の東方の民が力を合わせ、ヨルダンを渡り、イズレエルの谷に宿営した。³⁴

その時、主の霊がギデオンに臨み、彼はラッパを吹き鳴らし、アビエゼル人を召集した。³⁵

彼はマナセ全土に使者を送り、彼らを武装させ、またアシェル、ゼブルン、ナフタリにも送り、彼らも彼に会いに上ってきた。³⁶

ギデオンは神に言った、「もしあなたが約束された通り、私の手でイスラエルを救おうとされるなら—」³⁷

見よ、私は打ち場に羊毛の羊毛を置きます。もし羊毛にだけ露があり、地面が乾いているなら、あなたが私の手でイスラエルを救われることを知ります。」³⁸

そのようになった。ギデオンは翌朝早く起き、羊毛を絞り、露を絞り出して一杯の水を得た。³⁹

その後、ギデオンは神に言った、「どうか私に怒らないでください。もう一度だけお願いさせてください。羊毛で一度だけ試させてください。しかし今度は羊毛を乾いたままにし、地面に露を降らせてください。」⁴⁰

士師記

その夜、神は求められた通りにされた。羊毛だけが乾いており、地面はすべて露で覆われていた。

7 早朝、エルバアル（すなわちギデオン）と彼と共にいるすべての民は、ハロデの泉のそばに陣を張った。ミデヤンの陣営は彼らの北、モレの丘の谷にあった。²

主はギデオンに言われた。「あなたと共にいる民は多すぎるので、ミデヤンを彼らの手に渡すことはできない。イスラエルは私に対して、『私の力が私を救った』と言って誇るかもしれない。³

今、民に聞こえるように宣言しなさい。『恐れて震えている者は誰でも、ギラアデ山から帰り去りなさい。』」

それで、二万二千人の民が帰り、残ったのは一万人だった。⁴

主はギデオンに言われた。「民はまだ多すぎる。彼らを水辺に連れて行き、そこであなたのために彼らを試す。私が『彼と共に行け』と言う者は行き、『彼と共に行くな』と言う者は行かせてはならない。」⁵

それでギデオンは民を水辺に連れて行った。主は彼に言われた。「犬が水をなめるように舌で水をなめる者と、ひざまずいて飲む者を分けなさい。」⁶ 手を口に持っていつて水をなめた者の数は三百人であった。しかし、残りの者は皆ひざまずいて水を飲んだ。⁷

主はギデオンに言われた。「水をなめた三百人の者たちと共に、私はあなたを救い、ミデヤン人をあなたの手に渡す。他の者たちは皆、自分の家に帰しなさい。」⁸

それで三百人の者たちは他の者たちの食料とラッパを受け取った。ギデオンは他のイスラエル人を皆、自分の天幕に帰したが、三百人の者たちを残した。ミデヤンの陣営は彼の下谷にあった。⁹

その夜、主はギデオンに言われた。「立ち上がり、陣営に下りなさい。私はそれをあなたの手に渡したからだ。」¹⁰

もし攻撃するのをためらうなら、あなたの従者ブラと共に陣営に下りなさい。¹¹

彼らは何を言っているかを聞きなさい。その後、あなたは陣営を攻撃する勇気を得るだろう。」それで彼は従者ブラと共に陣営の前哨に下りて行った。¹²

ミデヤン人、アマレク人、そして東のすべての民は谷に横たわっており、いなごのように数えきれないほどであった。彼らのラクダは数えきれないほどで、海辺の砂のように多かった。¹³

ギデオンが到着したとき、一人の男が友人に夢を語

っていた。彼は言った。「私は夢を見た。大麦のパンの塊がミデヤンの陣営に転がり込み、テントに激しくぶつかって、テントがひっくり返って倒れた。」¹⁴

彼の友人は答えた。「これはギデオン、ヨアシュの子、イスラエル人の剣に他ならない。神はミデヤンとその全陣営を彼の手に渡されたのだ。」

15 ギデオンがその夢とその解釈を聞いたとき、彼は礼拝のためにひれ伏した。彼はイスラエルの陣営に戻り、「立ち上がれ！主はミデヤンの陣営をあなたの手に渡された。」と叫んだ。¹⁶

彼は三百人の者を三つの隊に分け、すべての者の手にラッパと空の壺を持たせ、その壺の中に松明を入れた。¹⁷

彼は彼らに言った。「私を見て、私のすることをしてください。私が陣営の外れに着いたとき、私がする通りにしなさい。」¹⁸

私と共にいるすべての者がラッパを吹くとき、あなたたちも陣営の周りでラッパを吹き、『主のために、ギデオンのために！』と叫びなさい。」¹⁹

ギデオンと彼と共にいる百人の者たちは、ちょうど中番の始まりに、見張りが立てられた後、陣営の端に着いた。彼らはラッパを吹き、手に持っていた壺を打ち砕いた。²⁰

三つの隊はラッパを吹き、壺を壊した。左手に松明を持ち、右手にラッパを持って吹き、「主のために、ギデオンのために剣だ！」と叫んだ。²¹

各人は陣営の周りでその場に立ち、ミデヤン人は皆、叫びながら逃げた。²²

三百のラッパが鳴り響くと、主は陣営中で互いに剣を向けさせた。軍はベテ・シッタからゼレラに向かって逃げ、アベル・メホラの境界、タバテに近いところまで逃げた。²³

イスラエルの人々はナフタリ、アシェル、そして全マナセから呼び出され、ミデヤン人を追撃した。²⁴

ギデオンはエフライムの山地全体に使者を送り、「ミデヤン人に対して下り、彼らの前でヨルダンの水をベテ・バラまで押さえない。」と言った。それでエフライムの人々は皆呼び出され、ヨルダンの水をベテ・バラまで押さえた。²⁵

彼らはミデヤンの二人の指導者、オレブとゼエブを捕らえた。彼らはオレブをオレブの岩で、ゼエブをゼエブの酒ぶねで殺した。彼らはミデヤン人を追撃し、オレブとゼエブの頭をヨルダンのそばにいるギデオンのもとに持ってきた。

8すると、エフライムの人々はギデオンに言った。「あなたがミディアンと戦うために私たちを呼ばなかったのはどういうことですか？」そして彼らは激しく彼と争った。²しかし彼は答えた。「私があなたたちに比べて成し遂げたことは何ですか？エフライムのぶどうの拾い集めは、アビエゼルの収穫全体よりも良くないですか？」³神はオレブとゼエブ、ミディアンの指導者たちをあなたたちの手に渡されました。私があなたたちに比べて何をすることができたでしょうか？」これにより、彼らの彼に対する怒りは収まった。

4ギデオンと彼と共にいた三百人の兵士たちは、疲れ果てながらも追撃を続け、ヨルダンに到達し、渡った。⁵彼はスコテの人々に言った。「どうか私の兵士たちにパンを与えてください。彼らは疲れています。私はミディアンの王ゼバとザルムナを追っています。」⁶しかしスコテの指導者たちは答えた。「ゼバとザルムナがすでにあなたの手にあるのですか？私たちがあなたの軍隊にパンを与えるべきですか？」⁷ギデオンは答えた。「この返答のために、主がゼバとザルムナを私の手に渡されたとき、私は荒野の茨といばらであなたたちを罰します。」

8そこから彼はベヌエルに上り、同じ要求をしたが、彼らもスコテの人々と同じように答えた。⁹そこで彼はベヌエルの人々に言った。「私が無事に戻ったとき、この塔を壊します。」¹⁰さて、ゼバとザルムナはカルコルにいて、約一万五千人の兵士がいました。これは東方の民の軍隊の残りであり、十二万人の剣士が倒れていた。¹¹ギデオンはノバとヨグベハの東の遊牧民の道を通って上り、無防備な陣営を攻撃した。¹²ゼバとザルムナは逃げたが、彼は追撃し、ミディアンの二人の王ゼバとザルムナを捕らえ、彼らの軍隊全体を打ち破った。¹³ギデオン、ヨアシユの子は、ヘレスの坂を通して戦いから戻った。¹⁴彼はスコテの若者を捕らえ、彼に質問し、その若者はスコテの七十七人の指導者と長老の名前を書き記した。¹⁵それからギデオンはスコテの人々のもとに来て言った。「ここにゼバとザルムナがいます。あなたたちは私を嘲って、『ゼバとザルムナがすでにあなたの手にあるのですか？私たちがあなたの疲れた兵士た

ちにパンを与えるべきですか？』と言いました。」¹⁶彼は町の長老たちを捕らえ、スコテの人々を荒野の茨といばらで懲らしめた。¹⁷彼はまたベヌエルの塔を壊し、その町の人々を処罰した。¹⁸それから彼はゼバとザルムナに尋ねた。「タボルであなたが殺した人々はどうな人々でしたか？」彼らは答えた。「あなたのような人々で、皆が王子のような風格を持っていました。」¹⁹ギデオンは言った。「彼らは私の兄弟、私の母の息子たちでした。主が生きておられる限り、もしあなたたちが彼らの命を助けていたなら、私はあなたたちを殺さなかったでしょう。」²⁰彼は長男のイエテルに向かって言った。「立ち上がって彼らを殺しなさい。」しかしその少年はまだ若く、恐れて剣を抜かなかった。²¹ゼバとザルムナは言った。「自分で立ち上がって私たちを打ちなさい。人がどのようであるかによって、その力もそうである。」そこでギデオンは進み出てゼバとザルムナを殺し、彼らのラクダの首から飾りを取った。²²イスラエルの人々はギデオンに言った。「あなたが私たちをミディアンの手から救ったので、あなたとあなたの息子、そして孫が私たちを導いてください。」²³しかしギデオンは答えた。「私はあなたたちを治めませんし、私の息子もあなたたちを治めません。主があなたたちを治めます。」²⁴ギデオンは言った。「私には一つの願いがあります。それは、あなたが戦利品の中から一つの耳飾りを私に与えることです。」（イシュマエル人は金の耳飾りをつける習慣がありました。）²⁵彼らは答えた。「喜んでそれを与えます。」それで彼らは衣服をあげ、各人が自分の戦利品から耳飾りをその上に投げた。²⁶彼が求めた金の耳飾りの重さは千七百シェケルであり、ミディアンの王たちが身に着けていた装飾品、ペンダント、紫の衣服、また彼らのラクダの首の鎖は含まれていなかった。²⁷ギデオンはその金をエフオドに作り、彼の町オフラに置いた。全イスラエルはそこでそれを拝み、それがギデオンと彼の家族にとって畏となった。²⁸こうしてミディアンはイスラエルの前に屈服し、再び立ち上がらなかった。ギデオンの生涯の間、地は四十年間平和を享受した。²⁹エルバアル、ヨアシユの子は自分の家に戻って住んだ。³⁰

士師記

彼には七十人の息子がいた。彼には多くの妻がいたからである。³¹

シェケムに住む側女によっても息子が生まれ、彼はその子をアビメレクと名付けた。³²

ギデオン、ヨアシュの子は良い老齢で亡くなり、アビエゼルのオフラにある彼の父ヨアシュの墓に葬られた。³³

ギデオンが死ぬとすぐに、イスラエルの人々は再びバアルに向かい、バアル・ペリトを彼らの神とした。³⁴

彼らは彼らの神、主を思い出さず、四方のすべての敵の手から彼らを救い出した。³⁵

彼らはまた、エルバアル（すなわちギデオン）の家族に対して親切を示さず、彼がイスラエルのために行ったすべての良いことにもかかわらずであった。

9 エルバアルの子アビメレクは、シェケムに行き、母の親族に話し、母の父の家族全体に言った、²

「シェケムのすべての指導者に言うてください、『エルバアルの子である**70**人の男があなたたちを治めるのと、一人の男が治めるのと、どちらが良いですか？私があなたたちの肉親であることを覚えていてください。』」³

彼の母の親族は、これらの言葉を彼の代わりにシェケムの指導者たちに話し、彼らはアビメレクに従うことに傾いた。彼らは「彼は我々の親族だ」と言った。⁴

彼らはバアル・ペリトの神殿から銀**70**枚を彼に与え、アビメレクはそれで無価値で無謀な男たちを雇い、彼の従者とした。⁵

彼はオフラにある父の家に行き、エルバアルの子である兄弟たち**70**人を一つの石の上で殺した。しかし、エルバアルの末の子ヨタムは隠れて生き延びた。⁶

その後、シェケムとベテ・ミロのすべての指導者が集まり、シェケムの記念石のオークの下でアビメレクを王とした。

7 ヨタムがこれを知らされ、ゲリジム山の頂に立ち、彼らに叫んで言った、「シェケムの指導者たちよ、私に聞け。そうすれば神もあなたたちに聞いてくださる。⁸

木々が自分たちの上に王を立てようと出かけ、オリーブの木に言った、『私たちを治めてください！』⁹

しかし、オリーブの木は答えた、『神々と人々が私の油で栄誉を受けるのをやめて、木々の上を揺れ動くべきでしょうか？』¹⁰

次に木々はイチジクの木に言った、『あなたが私たちを治めてください！』¹¹

しかし、イチジクの木は答えた、『私の甘さと良い実をやめて、木々の上を揺れ動くべきでしょうか？』¹²

木々は次にブドウの木に言った、『あなたが私たちを治めてください！』¹³

しかし、ブドウの木は答えた、『神々と人々を喜ばせる私の酒をやめて、木々の上を揺れ動くべきでしょうか？』¹⁴

最後に、すべての木々はいばらに言った、『あなたが私たちを治めてください！』¹⁵

いばらは木々に言った、『もし本当に私をあなたたちの上に王として油を注ぐなら、私の陰に避難しなさい。そうでなければ、いばらから火が出てレバノンの杉を焼き尽くすように。』¹⁶

「だから今、あなたたちがアビメレクを王とするにあたって、誠実と正直をもって行動し、エルバアルとその家に対して良く扱い、彼にふさわしい扱いをしたならば—¹⁷

私の父はあなたたちのために戦い、ミデヤンの手からあなたたちを救うために命を危険にさらしたのです。¹⁸

しかし今日、あなたたちは私の父の家に逆らい、彼の息子たち**70**人を一つの石の上で殺し、彼の女奴隷の息子であるアビメレクを、彼があなたたちの親族だからという理由でシェケムの指導者たちの上に王としたのです—¹⁹

もし今日、あなたたちがエルバアルとその家に対して誠実と正直をもって行動したならば、アビメレクを喜び、彼もまたあなたたちを喜ぶでしょう。²⁰ しかし、そうでなければ、アビメレクから火が出て、シェケムとベテ・ミロの指導者たちを焼き尽くし、シェケムとベテ・ミロの指導者たちから火が出てアビメレクを焼き尽くすように。」²¹

その後、ヨタムは逃げてベエルに逃れ、兄アビメレクを恐れてそこに住んだ。²²

アビメレクはイスラエルを**3**年間治めた。²³

その後、神はアビメレクとシェケムの指導者たちの間に不和の霊を送った。シェケムの指導者たちはアビメレクに対して裏切りを働いた。²⁴

それは、エルバアルの**70**人の息子たちに対する暴力が報復され、彼らの血の責任が彼らを殺した兄アビメレクと、彼の兄弟たちを殺すのを助けたシェケムの指導者たちに負わされるためであった。²⁵

シェケムの指導者たちは丘の上に待ち伏せの者を置き、道を通る者を皆襲った。これがアビメレクに報告された。²⁶

エベデの子ガアルが親族と共に来てシェケムに渡り

士師記

、シェケムの指導者たちは彼に信頼を置いた。²⁷
彼らは野に出て、ぶどう園のぶどうを集め、踏み、
祭りを開いた。彼らは自分たちの神の家に入り、飲
み食いし、アビメレクを呪った。²⁸
エベデの子ガアルは言った、「アビメレクとは誰か
、シェケムとは何か、我々が彼に仕えるべきか？彼
はエルバアルの子ではないか、ゼブルは彼の副官で
はないか？ハモルの子孫、シェケムの父に仕えよ！
なぜ我々が彼に仕えるのか？」²⁹
もしこの民が私の指揮下にあれば、私は彼を追い払
うだろう。」そして彼はアビメレクに言った、「軍
を増やして出て来い！」³⁰
町の指導者ゼブルは、エベデの子ガアルが言ったこ
とを聞いて非常に怒った。³¹
彼は密かに使者をアビメレクに送り、「エベデの子
ガアルとその親族がシェケムに来て、あなたに対し
て町を煽動しています。³²
だから、今、夜に起きて、あなたと共にいる人々と
共に野に待ち伏せしなさい。³³
朝、日の出と共に町に進軍しなさい。彼と彼と共に
いる人々があなたに向かって出て来たら、できる限
りのことをしなさい。」³⁴
そこでアビメレクと共にいるすべての人々は夜に起
き、シェケムの近くに四つの隊に分かれて隠れた。
³⁵
エベデの子ガアルは出て、町の門の入口に立った。
ちょうどその時、アビメレクと共にいる人々が待ち
伏せから立ち上がった。³⁶
ガアルがそれを見て、ゼブルに言った、「見てくだ
さい、人々が山の頂から降りて来ています！」ゼブ
ルは答えた、「あなたは山の影を人々と見間違えて
います。」³⁷
しかし、ガアルは再び言った、「見てください、人
々が地の高い所から降りて来ています。一つの隊が
占い師の木の方向から来ています。」³⁸
するとゼブルは彼に言った、「今、あなたの誇りは
どこにあるのか、『アビメレクとは誰か、我々が彼
に仕えるべきか』と言ったあなたは？これらはあな
たが嘲笑った人々ではないか？出て行って彼らと戦
いなさい！」³⁹
そこでガアルはシェケムの指導者たちの目の前で出
て行き、アビメレクと戦った。⁴⁰
アビメレクは彼を追い、彼は彼の前で逃げ、多くの
者が門の入口まで負傷した。⁴¹
アビメレクはアルマに留まり、ゼブルはガアルとそ
の親族をシェケムから追い出した。⁴²
翌日、人々は野に行行った。これがアビメレクに
報告された。⁴³
そこで彼は人々を取り、三つの隊に分けて野に待ち

伏せを置いた。彼が町から出て来る人々を見たとき
、彼は彼らを攻撃した。⁴⁴
アビメレクと彼と共にいる隊は町の門の入口に急行
した。すると他の二つの隊は野にいる者たちを攻撃
し、彼らを打ち倒した。⁴⁵
アビメレクはその日一日中町と戦い、それを占領し
、その人々を殺した。それから町を破壊し、その上
に塩をまいた。⁴⁶
シェケムの塔のすべての指導者たちがこれを聞いた
とき、彼らはエル・ベリトの神殿の内室に入った。
⁴⁷
アビメレクに、シェケムの塔のすべての指導者たち
が集まっていることが報告された。⁴⁸
そこでアビメレクはザルモン山に上り、彼と共にい
るすべての人々も上った。アビメレクは手に斧を取
り、木から枝を切り落とし、それを肩に担ぎ、彼と
共にいる人々に言った、「あなたたちが私のすること
を見た通りに、急いで同じようにしなさい。」⁴⁹
そこですべての人々は枝を切り落とし、アビメレク
に従った。彼らはそれを内室に積み上げ、その上に
火をつけたので、シェケムの塔にいたすべての人々
、約千人の男と女が死んだ。⁵⁰
アビメレクは次にテベズに行き、それを包囲し、占
領した。⁵¹
しかし、町の中には強い塔があり、すべての男と女
、町のすべての指導者たちがそこに逃げ込み、閉じ
込め、塔の屋上に登った。⁵²
アビメレクは塔に行き、それを攻撃し、入口に近づ
いて火をつけようとした。⁵³
しかし、一人の女が上臼の石をアビメレクの頭に落
とし、彼の頭蓋骨を砕いた。⁵⁴
彼は急いで若い武器持ちに呼びかけ、「剣を抜いて
私を殺せ。そうでないと、『女が彼を殺した』と言
われるだろう。」そこで若者は彼を刺し通し、彼は
死んだ。⁵⁵
イスラエルの男たちはアビメレクが死んだのを見て
、それぞれ家に帰った。⁵⁶
こうして神はアビメレクが父に対して行った悪事、
すなわち彼の70人の兄弟を殺したことを報いられ
た。⁵⁷
神はまた、シェケムの男たちのすべての悪事を彼ら
の頭に返し、エルバアルの子ヨタムの呪いが彼らに
降りかかった。

10 アビメレクの死後、イッサカル族の者であ
るドドの子ブアの子トラがイスラエルを救
うために立ち上がった。彼はエフライムの
山地にあるシャミルに住んでいた。²
彼はイスラエルを二十三年間治め、その後亡くなり
、シャミルに葬られた。³

彼の後にギレアド人のヤイルが現れ、二十二年間イスラエルを治めた。⁴

ヤイルには三十人の息子がいて、彼らは三十頭のロバに乗り、ギレアドにある三十の町を所有していた。それらは今日までハボット・ヤイルと呼ばれている。⁵
ヤイルが亡くなると、彼はカモンに葬られた。

⁶
再びイスラエルの人々は主の目の前で悪を行った。彼らはバアルやアシュタロテ、アラム、シドン、モアブ、アンモン人、ペリシテ人の神々を拝んだ。彼らは主を捨て、主に仕えることをやめた。⁷
主の怒りがイスラエルに向けられ、主は彼らをペリシテ人とアンモン人の手に渡された。⁸

その年、彼らはイスラエルを圧迫し、打ち砕いた。ヨルダンの東側、アモリ人の地であるギレアドの全イスラエルを十八年間圧迫した。⁹
アンモン人はヨルダンを渡り、ユダ、ベニヤミン、エフライムの家と戦い、イスラエルに大きな苦痛をもたらした。¹⁰

イスラエルの人々は主に叫び、「私たちは神を捨て、バアルに仕えたことであなたに罪を犯しました」と告白した。¹¹

主はイスラエルの人々に答えた。「私はエジプト人、アモリ人、アンモン人、ペリシテ人からあなたたちを救わなかったのか？」¹²

シドン人、アマレク人、マオン人があなたたちを圧迫したとき、あなたたちは私に叫び、私は彼らの手からあなたたちを救った。¹³

しかし、あなたたちは私から離れ、他の神々に仕えた。それゆえ、私はもうあなたたちを救わない。¹⁴
あなたたちが選んだ神々に叫びなさい。困難な時に彼らがあなたたちを救うように。」

¹⁵
しかし、イスラエルの人々は主に懇願した。「私たちは罪を犯しました。あなたが良いと思うことを私たちにしてください。しかし、どうか今日私たちを救ってください。」¹⁶

彼らは自分たちの中から異国の神々を取り除き、主に仕えた。主はイスラエルの苦しみをもう耐えられなくなった。¹⁷

アンモン人は武装してギレアドに陣を張り、イスラエルの人々は集まり、ミツバに陣を張った。¹⁸
ギレアドの指導者たちは互いに言った。「アンモン人を攻撃する指導者となる者は、ギレアドの全住民の頭となるだろう。」

11 ギレアド人のエフタは勇敢な戦士であったが、娼婦の子であった。ギレアドが彼の父であった。²

ギレアドの妻は彼に息子たちを産み、彼らが成長したとき、エフタを追い出して言った。「あなたは他の女の子だから、私たちの家族の相続には加わらない。」³

それでエフタは兄弟たちから逃げてトブの地に住んだ。そこでは、無価値な者たちが彼の周りに集まり、彼に従った。⁴

しばらくして、アンモン人がイスラエルに戦争を仕掛けた。⁵

アンモン人がイスラエルと戦ったとき、ギレアドの長老たちはトブの地からエフタを連れ戻しに行った。⁶

彼らはエフタに近づいて言った。「来て、アンモン人と戦う私たちを導いてください。」⁷

エフタはギレアドの長老たちに答えた。「あなたたちは私を憎み、父の家から追い出したではないか。なぜ今、困っているときに私のところに来るのか？」⁸

ギレアドの長老たちはエフタに言った。「このために今、あなたのところに戻ってきたのです。あなたが私たちと共に行ってアンモン人と戦い、ギレアドの全住民の上に私たちの指導者となるためです。」⁹

エフタは彼らに言った。「もし私を連れ戻してアンモン人と戦わせ、主が彼らを私に渡されるなら、私は本当にあなたたちの指導者となるのか？」¹⁰

ギレアドの長老たちは答えた。「主が私たちの間の証人です。私たちはあなたが言ったとおりにします。」¹¹

それでエフタはギレアドの長老たちと共に行き、人々は彼を自分たちの頭と指揮官にした。エフタはミツバで主の前でそのすべての言葉を繰り返した。¹²

エフタはアンモン人の王に使者を送り、「私の地に対して戦いを仕掛ける理由は何か？」と尋ねた。¹³

アンモン人の王はエフタの使者に答えた。「イスラエルがエジプトから上ってきたとき、彼らはアルノンからヤボク、ヨルダンまで私の地を奪った。今、それを平和的に返せ。」¹⁴

エフタは再びアンモン人の王に使者を送った。「エフタはこう言う。イスラエルはモアブの地やアンモン人の地を取ったのではない。」¹⁵

彼らがエジプトから上ってきたとき、イスラエルは荒野を通り、紅海に至り、それからカデシュに来了。¹⁶

イスラエルはエドムの王に使者を送り、『どうかあなたの地を通らせてください』と頼んだが、エドム

士師記

の王は聞き入れなかった。またモアブの王にも送ったが、彼も拒否した。それでイスラエルはカデシュに留まった。¹⁸

それから彼らは荒野を通り、エドムとモアブを迂回し、モアブの東に来てアルノンの向こう側に宿営した。彼らはモアブの領土には入らなかった。アルノンがその境界であったからである。¹⁹

イスラエルはヘシュボンの王、アモリ人の王シホンに使者を送り、『どうかあなたの地を通らせて、私たちの場所に行かせてください』と言った。²⁰

しかしシホンはイスラエルが自分の領土を通ることを信じなかった。彼はすべての軍隊を集め、ヤハツに宿営し、イスラエルと戦った。²¹

イスラエルの神、主はシホンとそのすべての民をイスラエルの手に渡し、彼らは彼らを打ち破った。イスラエルはその地域に住んでいたアモリ人のすべての地を占領した。²²

彼らはアルノンからヤボク、荒野からヨルダンまでのすべての領土を占領した。

²³ 今やイスラエルの神、主がその民イスラエルの前からアモリ人を追い出したのに、あなたがそれを所有すべきだろうか？²⁴

あなたはあなたの神ケモシュと与えるものを所有しないのか？同様に、私たちの神、主が私たちに与えたものを私たちは所有する。²⁵

あなたはモアブの王、ツィボルの子バラクよりも優れているのか？彼はイスラエルに争いを挑んだり、戦争を仕掛けたりしたことがあるか？²⁶

三百年間、イスラエルはヘシュボン、アロエル、その周辺の集落、アルノン沿いのすべての町を占領していた。その間になぜそれを取り戻さなかったのか？²⁷

私はあなたを害していないが、あなたは私に戦争を仕掛けて私を害している。主、裁き主が今日、イスラエル人とアンモン人の間の争いを裁かれるように。²⁸

しかし、アンモン人の王はエフタが送ったメッセージを無視した。

²⁹ そのとき、主の霊がエフタに臨んだ。彼はギレアデとマナセを通り、ギレアデのミツパを通り、アンモン人に向かって進んだ。³⁰

エフタは主に誓願を立てた。「もしあなたがアンモン人を私の手に渡されるなら、³¹ 私がアンモン人から勝利を得て帰るとき、私の家の戸口から出てくるものは何であれ、それを主に捧げ、全焼のいけにえとして捧げます。」³²

エフタはアンモン人と戦うために渡ったが、主は彼らを彼の手に渡された。³³

彼はアロエルからミンニトの近く、二十の町に至るまで、アベル・ケラミムまで彼らを打ち破った。こうしてアンモン人はイスラエル人の前に屈服した。³⁴

エフタがミツパの家に帰ったとき、彼の娘がタンバリンと踊りを持って彼を迎えに出てきた。彼女は彼の唯一の子であり、彼には彼女のほかに息子も娘もいなかった。³⁵

彼女を見たとき、彼は自分の衣を裂いて言った。「ああ、私の娘よ！あなたは私を落胆させ、私を悩ます者の一人となった。私は主に誓ったので、それを撤回することはできない。」³⁶

彼女は答えた。「父よ、あなたは主に誓ったのですから、アンモン人に対する敵を主があなたに復讐されたので、あなたが約束したとおりに私に行ってください。」³⁷

彼女はその後、父に言った。「この願いを聞いてください。二ヶ月の間、丘を巡り、友人たちと共に私が結婚しないことを嘆かせてください。」³⁸

彼は言った。「行きなさい。」それで彼は彼女を二ヶ月間送り出した。彼女と彼女の友人たちは丘に行き、彼女の処女を嘆いた。³⁹

二ヶ月後、彼女は父のもとに戻り、彼は彼女に誓ったとおりに行った。そして彼女は処女であった。これにより、イスラエルには習慣が生まれた。⁴⁰

毎年、イスラエルの娘たちはギレアデ人エフタの娘を記念するために四日間出かける。

12 エフライムの人々が呼び集められ、ザフォンに渡った。彼らはエフタに言った。「なぜ我々を招かずアンモン人と戦いに行ったのか？我々はお前の家を焼き払う！」²

エフタは答えた。「私と私の民はアンモン人と重大な争いをしていたが、私はあなたたちを呼んだ。しかし、あなたたちは彼らの手から私を救い出さなかった。」³

あなたたちが助けてくれないと分かったとき、私は命を賭けてアンモン人と戦いに渡った。そして主は彼らに対する勝利を私に与えてくださった。それなのに、なぜ今日私と戦いに来たのか？」⁴

その後、エフタはギレアデの人々を集めてエフライムと戦った。ギレアデ人はエフライムを打ち破った。彼らが「お前たちギレアデ人はエフライムとマナセの中にいる逃亡者だ」と言ったからである。⁵ ギレアデ人はエフライムに通じるヨルダンの渡し場を押さえ、エフライムの生き残りが「渡らせてくれ

士師記

」と言うと、ギレアデの人々は「お前はエフライム人か?」と尋ねた。彼が「違う」と答えると、⁶ 彼らは『シボレテ』と言ってしろ」と言った。彼が「シボレテ」と言えずに「シボレテ」と言ったとき、彼らは彼を捕らえてヨルダンの渡し場で殺した。その時、四万二千人のエフライム人が倒れた。⁷ エフタは六年間イスラエルを治めた。その後、ギレアデ人エフタは死に、ギレアデの町に葬られた。

⁸ エフタの後、ベツレヘムのイブザンがイスラエルを治めた。⁹ 彼には三十人の息子と三十人の娘がいた。彼は娘たちを自分の氏族の外に嫁がせ、息子たちには氏族外から三十人の若い女性を妻として迎えた。イブザンは七年間イスラエルを治めた。¹⁰ その後、イブザンは死に、ベツレヘムに葬られた。¹¹

彼の後、ゼブルン人のエロンが十年間イスラエルを治めた。¹² ゼブルン人のエロンはやがて死に、ゼブルンの地のアヤロンに葬られた。¹³ 彼の後、ヒレルの子ピラトン人アブドンがイスラエルを治めた。¹⁴ 彼には四十人の息子と三十人の孫がいて、七十頭のロバに乗っていた。アブドンは八年間イスラエルを治めた。¹⁵ その後、ヒレルの子アブドンは死に、エフライムの地、アマレク人の山地にあるピラトンに葬られた。

13 イスラエルの人々は再び主の目の前で悪を行い、主は彼らを四十年間ペリシテ人の手に渡された。²

ツォラにダン族の一族の者で、マノアという名の男がいた。彼の妻は不妊で、子を産んだことがなかった。³ 主の使いが彼女に現れ、「あなたは不妊で子供がないが、身ごもって男の子を産むだろう」と言った。⁴ 今、気をつけて、ぶどう酒や強い飲み物を飲まず、汚れたものを食べてはならない。⁵ あなたは身ごもって男の子を産むからである。彼の頭にかみそりを当ててはならない。その子は胎内から神に捧げられたナジル人である。彼はイスラエルをペリシテ人から救い始めるだろう。」

⁶ 女は夫のところに行き、「神の人が私のところに来ました。その姿は非常に畏れ多い神の使いのようでした。私は彼がどこから来たのか尋ねず、彼も私に名前を告げませんでした」と言った。⁷ 彼は私に、『あなたは身ごもって男の子を産むだろ

う。今、ぶどう酒や強い飲み物を飲まず、汚れたものを食べてはならない。その子は胎内から死ぬ日まで神に捧げられたナジル人である』と言いました。⁸

」⁹ マノアは主に祈り、「どうか、主よ、あなたが送られた神の人をもう一度私たちのところに來させて、これから生まれる子をどのように育てるべきか教えてください」と言った。⁹

神はマノアの声を聞かれ、神の使いが再び女のところに來たが、その時彼女の夫マノアは一緒にいなかった。¹⁰

女は急いで夫のところに行き、「この間私に現れた人がここにいます!」と言った。¹¹

マノアは立ち上がり、妻について行った。彼がその人に会うと、「あなたは私の妻に話した人ですか?」と尋ねた。「そうです」と彼は答えた。¹² マノアは尋ねた、「あなたの言葉が成就した時、その子の生き方と使命は何ですか?」¹³

主の使いは答えた、「あなたの妻は私が彼女に言っただけのことは守らなければならない。¹⁴

彼女はぶどうの木から何も食わず、ぶどう酒や強い飲み物を飲まず、汚れたものを食べてはならない。彼女は私が命じたすべてのことを行わなければならない。¹⁵

マノアは主の使いに言った、「どうか、若いヤギをあなたのために準備しますので、しばらくお待ちください。」¹⁶

主の使いは答えた、「たとえあなたが私を引き留めても、私はあなたの食べ物を食べません。しかし、もし焼き尽くす捧げ物を準備するなら、それを主に捧げなさい。」マノアはそれが主の使いであることを知らなかった。¹⁷

マノアは主の使いに尋ねた、「あなたの名前は何ですか? あなたの言葉が実現した時にあなたをたたえるために。」¹⁸

彼は答えた、「なぜ私の名前を尋ねるのですか? それは神秘です。」¹⁹

マノアは若いヤギと穀物の捧げ物を取り、岩の上で主に捧げた。主はマノアと彼の妻が見ている間に奇跡を行った。²⁰

祭壇から天に向かって炎が上がると、主の使いはその炎の中に昇った。これを見て、マノアと彼の妻は顔を地に伏せた。²¹

主の使いが再びマノアと彼の妻に現れなかった時、マノアはそれが主の使いであることを悟った。²²

マノアは妻に言った、「私たちは神を見たので、きっと死ぬでしょう!」²³

しかし彼の妻は答えた、「もし主が私たちを殺すつもりなら、私たちの手から焼き尽くす捧げ物と穀物

士師記

の捧げ物を受け入れたり、これらすべてのことを私たちに見せたり、これを告げたりはしなかったでしょう。」²⁴

女は男の子を産み、彼をサムソンと名付けた。彼は成長し、主は彼を祝福された。²⁵

主の霊が彼を動かし始めたのは、ツォラとエシュタオルの間のマハネ・ダンにいた時であった。

14 サムソンはティムナに下り、そこでペリシテ人の若い女性を見ました。²

帰ってきたとき、彼は父と母に言いました。「私はティムナでペリシテ人の女性を見ました。今、彼女を私の妻にするよう手配してください。」³

彼の父と母は彼に尋ねました。「あなたの親族や私たちの民の中に適した女性はいないのですか？なぜ割礼を受けていないペリシテ人の中から妻を求めるのですか？」しかしサムソンは父に強く言いました。「彼女を私に迎えてください。彼女は私の気に入っています。」⁴

彼の両親は、これは主から出たことであり、主がペリシテ人に対して行動を起こす機会を求めておられたことを知らなかったのです。その時、彼らはイスラエルを支配していました。⁵

サムソンは父と母と一緒にティムナに下りました。彼らがティムナのぶどう畑に近づいたとき、若いライオンが彼に向かって吠えかかってきました。⁶ 主の霊が力強く彼に臨み、彼は若いヤギを裂くように素手でライオンを引き裂きました。彼は父や母にそのことを話ませんでした。⁷ 彼は下ってその女性と話し、彼女はサムソンの気に入りました。⁸

しばらくして、彼が彼女と結婚するために戻ったとき、彼はライオンの死骸を見に立ち寄り、その中に蜂の群れといくらかの蜂蜜があるのを見ました。⁹ 彼は手で蜂蜜をすくい取り、歩きながらそれを食べました。彼が両親に再会したとき、彼は彼らにもそれを与え、彼らはそれを食べましたが、彼はライオンの死骸から蜂蜜を取ったことを明かしませんでした。¹⁰

彼の父はその女性を見に下り、サムソンはそこで宴会を開きました。それは若者たちの習慣でした。¹¹ 人々が彼を見たとき、彼らは彼と一緒にいるために三十人の仲間を選びました。¹²

サムソンは彼らに言いました。「あなたたちに謎を出しましょう。宴会の七日間のうちにそれを解けたなら、私はあなたたちに三十枚の亜麻布と三十着の衣服を差し上げます。」¹³

しかし解けなければ、あなたたちは私に三十枚の亜麻布と三十着の衣服を与えなければなりません。」
彼らは答えました。「あなたの謎を教えてください、聞きたいのです。」¹⁴ 彼は言いました、

「食べる者から食べ物が出、
強い者から甘いものが出た。」

三日間、彼らはその謎を解けませんでした。¹⁵ 四日目に、彼らはサムソンの妻に言いました。「あなたの夫を説得して、私たちにその謎を説明させてください。さもないと、あなたとあなたの父の家を焼き殺します。私たちを貧しくするためにここに招いたのですか？」¹⁶

サムソンの妻は彼の前で泣いて言いました。「あなたは私を憎んでいます！あなたは私を愛していません。あなたは私の民に謎を出しましたが、その答えを私に教えてくれませんでした。」彼は答えました。「私は父や母にも教えていないのに、なぜあなたに教えるべきでしょうか？」¹⁷

彼女は宴会の七日間ずっと泣き続けました。七日目に、彼は彼女に強く迫られたので、ついに彼女に教えました。彼女はその謎を彼女の民に説明しました。¹⁸

。七日目の日没前に、その町の男たちは彼に言いました、

「蜂蜜より甘いものは何か？
ライオンより強いものは何か？」

サムソンは答えました、

「もし私の雌牛で耕さなかったなら、
あなたたちは私の謎を解けなかっただろう。」

¹⁹すると主の霊が力強く彼に臨みました。彼はアシュケロンに下り、三十人の男を打ち倒し、彼らの持ち物を取り、それを謎を解いた者たちに与えました。怒りに燃えて、彼は父の家に戻りました。²⁰ サムソンの妻は、彼の宴会に出席した彼の仲間の一人に与えられました。

15 しばらくして、小麦の収穫の時期に、サムソンは若いヤギを持って妻を訪ねに行った。彼は言った、「私は妻の部屋に行こう。」しかし、彼女の父は彼を入れさせなかった。² 彼女の父は言った、「あなたが彼女を嫌ったと思ったので、彼女をあなたの友人に与えました。彼女の妹の方が美しいではありませんか？あなたは彼女を代わりに持ってもよいです。」³ サムソンは彼らに答えた、「今回はペリシテ人を害しても私は罪がない。」

それでサムソンは行って、三百匹の狐を捕まえ、松明を取り、狐の尾を対にして結び、各対の尾の間に松明を置いた。

彼は松明に火をつけ、狐をペリシテ人の立っている穀物の中に放ち、束と立っている穀物、さらにぶどう畑とオリーブ畑を焼いた。

ペリシテ人が「誰がこれをしたのか？」と尋ねたとき、彼らは「ティムナの娘婿サムソンだ。彼の妻が彼の友人に与えられたからだ。」と告げられた。そこでペリシテ人は上って行き、彼女と彼女の父を火で焼いた。

サムソンは彼らに言った、「あなたたちがこのようにしたので、私はあなたたちに復讐するまでやめない。」

彼は激しく彼らを攻撃し、多くを殺した。それから彼は下ってエタムの岩の洞窟に滞在した。

ペリシテ人は上ってきて、ユダに陣を張り、レヒの近くに広がった。

ユダの人々は尋ねた、「なぜ我々に対して来たのですか？」彼らは答えた、「サムソンを捕らえに来たのだ。彼が我々にしたように彼にするために。」それからユダの三千人の男たちがエタムの岩の洞窟に下って行き、サムソンに言った、「ペリシテ人が我々を支配していることを知らないのですか？あなたは我々に何をしたのですか？」彼は答えた、「彼らが私にしたように私は彼らにしたのだ。」

彼らは彼に言った、「我々はあなたを縛ってペリシテ人に引き渡しに来たのだ。」サムソンは言った、「あなたたち自身では私を殺さないと誓ってください。」

彼らは答えた、「同意する。我々はただあなたを縛って彼らに引き渡すだけだ。あなたを殺しはしない。」それで彼らは彼を新しい縄で縛り、岩から連れ出した。

彼がレヒに近づくと、ペリシテ人は叫び声を上げて彼に向かって来た。主の霊が彼に力強く臨み、彼の腕の縄は焼けた亜麻のようになり、束縛は彼の手から落ちた。

彼は新しいロバの顎骨を見つけ、それを手に取り、それで千人を殺した。

それからサムソンは宣言した、「ロバの顎骨で、山を築いた；ロバの顎骨で、千人を殺した。」

彼が話し終わったとき、彼は顎骨を投げ捨て、その場所をラマト・レヒと名付けた。

非常に喉が渴いたので、彼は主に呼びかけて言った、「あなたはこの大いなる勝利をあなたのしもべに与えてくださいました。今、私は渇きで死に、割礼を受けていない者の手に落ちるのでしょうか？」

すると神はレヒの中のかぼみを開き、そこから水が流れ出した。サムソンがそれを飲むと、彼の力は戻り、彼は元気を取り戻した。それでその泉はエン・ハッコレと名付けられ、今日もレヒに残っている。

サムソンはペリシテ人の時代にイスラエルを二十年間裁いた。

16

サムソンはガザに行き、そこで遊女を見つけ、彼女と一夜を過ごした。

ガザの人々は「サムソンがここにいる」と知らされ、彼を待ち伏せし、夜通し町の門で静かに待ち続けた。「夜明けに彼を殺そう」と言った。サムソンは真夜中まで寝て、起き上がり、町の門の扉と二本の柱を掴み、横木ごと引き抜いた。彼はそれを肩に担いで、ヘブロンに向かう丘の頂上まで運んだ。

その後、彼はソレクの谷に住むデリラという名の女性を愛するようになった。

ペリシテ人の指導者たちは彼女に近づき、「彼の大きな力の源を探り出し、どうすれば彼を縛って征服できるか教えてくれ。私たちはそれぞれ銀千百枚をあなたに与える」と言った。

デリラはサムソンに尋ねた。「あなたの大きな力の秘密と、どうすればあなたを縛って征服できるか教えてください。」

サムソンは彼女に言った。「もし誰かが私を乾いていない新しい弓の弦で縛れば、私は他の男と同じように弱くなる。」

ペリシテ人の指導者たちは乾いていない新しい弓の弦を彼女に持ってきたので、彼女はそれで彼を縛った。

部屋に男たちを隠して、彼女は叫んだ。「サムソン、ペリシテ人が襲ってきた！」しかし彼は弦を火の近くで糸が切れるように簡単に切った。彼の力の秘密は明らかにならなかった。

デリラはサムソンに言った。「あなたは私を愚弄し、嘘をついた。どうすればあなたを縛れるか教えてください。」

彼は答えた。「もし誰かが使われたことのない新しい縄でしっかりと私を縛れば、私は他の男と同じように弱くなる。」

そこでデリラは新しい縄で彼を縛った。そして、部屋に男たちを隠して、彼女は叫んだ。「サムソン、ペリシテ人が襲ってきた！」しかし彼は縄を糸のように腕から切り離した。

デリラはサムソンに言った。「今までずっとあなたは私を愚弄し、嘘をついてきた。どうすればあなたを縛れるか教えてください。」彼は言った。「もし私の髪を七つの束を機の布に織り込み、釘で固定すれば、私は他の男と同じように弱くなる。」彼が眠

士師記

っている間に、デリラは彼の髪を七つの束を布に織り込んだ。¹⁴

彼女はそれを釘で固定し、「サムソン、ペリシテ人が襲ってきた！」と叫んだ。彼は眠りから目覚め、釘と機と布を引き抜いた。¹⁵

彼女は彼に言った。「どうして『愛している』と言えるのですか？あなたは私に心を開いてくれませんか。これで三度目ですが、あなたの大きな力の秘密を教えてくださいませんかでした。」¹⁶

彼女はしつこく彼を責め続け、彼は死ぬほど疲れ果てた。¹⁷

そこで彼はすべてを彼女に打ち明けた。「私の頭には決して剃刀が触れたことはありません。私は母の胎内にいる時から神に捧げられたナジル人だからです。もし私の頭が剃られたら、私の力は失われ、他の男と同じように弱くなります。」¹⁸

デリラは彼がすべてを打ち明けたと悟り、ペリシテ人の指導者たちに「もう一度来てください。彼はすべてを私に打ち明けました」と知らせた。指導者たちは銀を手にして戻ってきた。¹⁹

彼女は彼を膝の上で眠らせ、人を呼んで彼の髪を七つの束を剃らせた。こうして彼を征服し始め、彼の力は失われた。²⁰

彼女は叫んだ。「サムソン、ペリシテ人が襲ってきた！」彼は目を覚まし、「前のように出て行って自分を解放しよう」と思った。しかし彼は主が彼から離れたことに気づかなかった。²¹

ペリシテ人は彼を捕らえ、彼の目をえぐり出し、ガザに連れて行った。彼を青銅の鎖で縛り、牢獄で穀物を挽かせた。

²²
しかし、彼の頭の髪は剃られた後に再び伸び始めた。²³

ペリシテ人の指導者たちはダゴンという彼らの神に大きな犠牲を捧げ、祝うために集まった。「我らの神が我らの敵サムソンを我らの手に渡された」と言った。²⁴

人々が彼を見たとき、彼らは彼らの神を賛美し、「我らの神が我らの敵を我らの手に渡された。彼は我らの地を荒らし、多くの我らを殺した者だ」と言った。²⁵

彼らが上機嫌になったとき、彼らはサムソンを呼んで彼らを楽しませるようにした。彼らは彼を牢獄から連れ出し、彼は彼らの前で演じた。彼らは彼を柱の間に置いた。²⁶

サムソンは彼の手を引く若者に言った。「私が神殿を支える柱に触れられるようにしてくれ、そこに寄りかきたい。」²⁷

神殿は男と女で混み合っており、ペリシテ人のすべ

ての指導者たちがそこにいた。屋根にはサムソンの演技を見ている約三千人の男と女がいた。²⁸

そのときサムソンは主に祈った。「主なる神よ、私を覚えてください。どうか、もう一度だけ私を強めてください。私の両目のためにペリシテ人に一撃を加えて復讐させてください。」²⁹

サムソンは神殿を支える二本の中央の柱に手を伸ばし、一方に右手を、他方に左手を置いて自らを支えた。³⁰

サムソンは言った。「ペリシテ人と共に死なせてください！」彼は全力で押し、神殿は指導者たちとそこにいるすべての人々の上に崩れた。こうして彼は生涯のうちに殺したよりも多くの人を死に至らせた。³¹

その後、彼の兄弟たちと父の全家族が彼を迎えに來た。彼らは彼を連れて行き、ゾラとエシュタオルの間にある彼の父マノアの墓に葬った。彼はイスラエルを二十年間裁いた。

17 エフライムの山地にミカという名の男がいた。²

彼は母に言った。「あなたから取られた千百枚の銀について、あなたが呪いを宣言し、私がそれを聞いたことがあります、ご覧ください、私がその銀を持っています。私がそれを取りました。」彼の母は答えた。「主によって私の息子が祝福されますように。」³

彼は千百枚の銀を母に返した。すると彼女は言った。「私はこの銀を主に捧げ、私の息子のために彫像と銅像を作ること厳粛に誓います。それをあなたに返します。」⁴

彼が銀を母に返した後、彼女は二百枚の銀を取り、それを銀細工師に渡し、それを彫像と銅像に作らせ、それらはミカの家に置かれた。⁵

ミカは聖所を持ち、彼はエゴデといくつかの家庭の偶像を作り、彼の息子の一人を祭司として任命した。⁶

その時、イスラエルには王がいなかったので、皆が自分の判断に従って行動した。⁷

ユダのベツレヘムに、ユダの家系のレビ人の若者がいて、彼はそこに滞在していた。⁸

彼は滞在する場所を見つけるためにユダのベツレヘムの町を出て、旅の途中でエフライムの山地にあるミカの家に來た。⁹

ミカは彼に尋ねた。「どこから來たのですか？」彼は答えた。「私はユダのベツレヘムから來たレビ人で、滞在する場所を探しています。」¹⁰

ミカは彼に言った。「私と一緒にいて、私の父と祭

士師記

司になってください。私はあなたに年に十枚の銀と衣服と食物を与えます。」それでレビ人は入った。

レビ人はミカと共に住むことに同意し、その若者は彼の息子の一人ようになった。

ミカはレビ人を任命し、その若者は彼の祭司として仕え、ミカの家に住んだ。

ミカは言った。「今、私は主が私に良いことをしてくださることを知っています。なぜなら、私はレビ人を祭司として持っているからです。」

その頃、イスラエルには王がなく、ダン族は自分たちの住むべき領土を探していた。

それまでの間、彼らはイスラエルの部族の中で相続地を割り当てられていなかったからである。

そこでダン族はゾラとエシュタオルから五人の有能な者を送り、土地を偵察し、探らせた。彼らに「行って土地を探れ」と命じた。彼らがエフライムの山地に着いたとき、ミカの家に来て、そこで一晩泊まった。

彼らがミカの家に近いとき、若いレビ人の声を聞き分けて、彼に話しかけるために立ち寄り、「誰があなたをここに連れてきたのか。この場所で何をしているのか。ここには何があるのか」と尋ねた。

彼は答えた。「これはミカが私にしてくれたことです。彼は私を雇い、私は彼の祭司になりました。」

すると彼らは彼に言った。「どうか神に伺って、私たちの旅が成功するかどうかを知ってください。」

祭司は彼らに言った。「安心して行きなさい。あなたたちの旅は主の承認を得ています。」

そこで五人の者は出発し、ライシュに到着した。そこで彼らは、人々がシドン人のように安全に住んでいるのを観察した。平和で油断している。彼らの土地には何も欠けることがなく、繁栄していた。彼らはシドン人から遠く離れており、他の誰とも関わりがなかった。

彼らがゾラとエシュタオルの兄弟たちのもどに戻ると、同じダン族の者たちが彼らに「報告はどうか」と尋ねた。

彼らは答えた。「さあ、攻撃しに行こう。私たちはその土地を見たが、それは非常に良い。なぜためらっているのか。行ってその土地を占領するのを遅らせてはならない。」

あなたがたが到着すると、油断している人々と、神

があなたたちの手に与えた広い土地を見つかるだろう。そこには地上の何も欠けることがない。」

それから、ダン族の六百人が戦闘の準備をしてゾラとエシュタオルから出発した。

彼らの旅の途中で、ユダのキリヤテ・ヤリムの近くにキャンプを張った。このため、その場所は今日までマハネ・ダンと呼ばれており、キリヤテ・ヤリムの西に位置している。

そこから、彼らはエフライムの山地に進み、ミカの家に来た。

すると、ライシュの土地を偵察した五人の者が親族に言った。「これらの家にはエポデや家庭の神々、銀で覆われた彫像があることを知っていますか。今、何をすべきか分かりますね。」

そこで彼らは立ち寄り、ミカの場所にいる若いレビ人の家に行き、彼に挨拶した。

六百人のダン族は戦闘の準備をして、門の入口に立っていた。

土地を偵察した五人の者は中に入り、彫像、エポデ、家庭の神々、鑄造された金属の像を取ったが、その間、祭司と六百人の武装した者は門の入口に立っていた。

これらの者がミカの家に入り、彫像、エポデ、家庭の神々、鑄造された金属の像を取ったとき、祭司は彼らに尋ねた。「何をしているのか。」

彼らは答えた。「黙って、口に手を当てて、私たちと一緒に来て、私たちの父と祭司になってください。

一人の家の祭司でいるのと、イスラエルの部族と氏族の祭司でいるのと、どちらが良いですか。」

祭司は喜んで、エポデ、家庭の神々、彫像を取り、人々と一緒に行った。

彼らは子供たち、家畜、財産を前に置いて、立ち去った。

彼らがミカの家から少し離れたところで、ミカの家の近くに住んでいた人々が集まり、ダン族を追い越した。

彼らが後ろから叫ぶと、ダン族は振り返り、ミカに言った。「なぜあなたは人々を呼び集めて戦うのか。」

彼は答えた。「あなたたちは私が作った神々と私の祭司を奪い去った。私には他に何があるのか。どうして『何が問題なのか』と尋ねることができるのか。」

ダン族は彼に言った。「私たちに声を上げるな。さもないと、激しい者たちがあなたを襲い、あなたとあなたの家族が命を失うことになるかもしれない。」

それでダン族はその道を進み、ミカは彼らが自分よりも強いと見て、引き返して家に戻った。

士師記

彼らはミカが作ったものと彼の祭司を持って行き、平和で安全に住んでいるライシュの人々のところに行った。彼らは剣で攻撃し、その町を焼き払った。

28 彼らを救う者はいなかった。彼らはシドンから遠く離れ、他の誰とも関わりがなかったからである。その町はベテ・レホブの近くの谷にあった。ダン族はその町を再建し、そこに住んだ。

29 彼らはそれをダンと名付けた。イスラエルに生まれた先祖ダンにちなんでいるが、その町は以前はライシュと呼ばれていた。

30 ダン族は自分たちのために彫像を立て、モーゼの子ゲルショムの子ヨナタンとその子たちが、土地の捕囚の時までダン族の祭司であった。

31 彼らはシロに神の家がある間、ミカが作った彫像を使い続けた。

19 そのころ、イスラエルには王がいなかった。エフライムの山地の奥地に住んでいたあるレビ人が、ユダのベツレヘムからそばめを迎えた。

2 しかし、そのそばめは彼に不貞を働き、彼を離れてユダのベツレヘムにある父の家に帰り、四か月間そこに留まった。

3 彼女の夫は彼女を連れ戻そうとして出かけ、優しく語りかけた。彼は召使いと二頭のろばを連れて行った。彼女は彼を父の家に迎え入れ、彼女の父は彼を見て喜んだ。

4 女の父は彼に滞在するように勧めたので、彼は三日間そこに留まり、食べたり飲んだり泊まったりした。

5 四日目の朝早く、彼らは起きて出発の準備をした。しかし、女の父は婿に言った。「何か食べて元気をつけてから出発しなさい。」

6 それで二人は一緒に座って食べたり飲んだりした。女の父は言った。「どうかもう一晩泊まって楽しんでください。」

7 その男が立ち去ろうとしたとき、義父は彼を説得し、彼はもう一晩泊まった。

8 五日目の朝早く、彼は出発しようとしたが、女の父は言った。「どうか、元気をつけて午後まで待ってください。」それで二人は一緒に食事をした。

9 その男がそばめと召使いを連れて立ち去ろうとしたとき、義父は言った。「見てください、日はほとんど暮れています。ここに泊まって楽しんでください。明日の朝早く起きて家に帰ることができます。」

10 しかし、その男はもう一晩泊まることを望まず、二

頭の鞍をつけたろばとそばめを連れてエルサレム（エブス）に向かって旅立った。

11 彼らがエブスに近づいたとき、日はほとんど暮れていた。召使いは主人に言った。「このエブス人の町に入り、夜を過ごしましょう。」

12 主人は答えた。「我々はイスラエル人でない外国人の町に寄り道しない。ギベアまで進もう。」

13 彼はさらに言った。「さあ、ギベアかラマに到達して、そこで夜を過ごそう。」

14 それで彼らは旅を続け、ベニヤミンのギベアに近づいたとき、日が沈んだ。

15 彼らはギベアで夜を過ごすために立ち寄った。彼らは町の広場に座ったが、誰も彼らに宿を提供しなかった。

16 その夕方、一人の老人が畑での仕事から帰ってきた。彼はエフライムの山地出身で、ギベアに住んでいたが、そこにはベニヤミン人が住んでいた。

17 彼が町の広場で旅人を見たとき、老人は尋ねた。「どこへ行くのか、どこから来たのか?」

18 彼は答えた。「我々はユダのベツレヘムからエフライムの山地の奥地に向かって旅をしています。そこに住んでいます。ベツレヘムに行って、今は主の家に向かっています。誰も我々を泊めてくれません。」

19 我々にはろばのための藁と飼料があり、自分たちのためのパンとワインもあります。あなたの僕たち、私と女と若者のために何も欠けていません。」

20 老人は言った。「私の家によこそ。すべての必要を満たしましょう。ただし、広場で夜を過ごさないでください。」

21 それで彼は彼を家に連れて行き、ろばに餌を与えた。彼らは足を洗った後、食べたり飲んだりした。

22 彼らが楽しんでいるとき、町の邪悪な男たちが家を取り囲んだ。彼らはドアを叩き、老人に叫んだ。「あなたの家に来た男を出しなさい。我々は彼と関係を持ちたい。」

23 家の主人は外に出て言った。「いや、兄弟たちよ、そのような邪悪な行為をしてはならない。この男は私の客です。この卑劣なことをしてはならない。見てください、ここに私の処女の娘と彼のそばめがいます。今、彼女たちをあなたたちに差し出します。彼女たちに好きなことをしてください。しかし、この男に対してこの卑劣な行為をしてはならない。」

24 しかし、男たちは彼の言うことを聞かなかった。それでその男はそばめを彼らのところに送り出した。彼らは彼女を一晩中暴行し、虐待し、夜明けに彼女を解放した。

25 夜が明け始めると、その女は主人が滞在している家

に戻り、ドアの前で倒れ、昼までそこに横たわっていた。²⁷

彼女の主人が朝起きて、ドアを開け、道を進もうとしたとき、彼はそばめが家の戸口に手をかけて横たわっているのを見つけた。²⁸

彼は彼女に言った。「起きて、行こう。」しかし、返事はなかった。彼は彼女をろばに乗せて家に向かった。²⁹

彼が家に着くと、ナイフを取り、そばめを手足に分けて十二の部分に切り分け、イスラエルの全領土に送った。³⁰

それを見たすべての者は言った。「このようなことは、イスラエル人がエジプトから上ってきて以来、見たことも行われたこともない。考え、計画を立て、意見を述べよ。」

20 ダンからベエル・シェバに至るまでのすべてのイスラエル人が、ギルアデの地を含めて、ミツパで主の前に一つの集会として集まった。²

イスラエルのすべての部族の指導者たちは、剣を持った四十万人の歩兵を含む神の民の集会においてその場を占めた。³

(ベニヤミン人はイスラエル人がミツパに集まったことを聞いた。) イスラエル人は尋ねた、「この悪事がどのようにして起こったのか説明してください。」⁴

殺された女性の夫であるレビ人が答えた、「私のそばめと私は夜を過ごすためにベニヤミンのギベアにきました。」⁵

ギベアの男たちは私に立ち向かい、夜に家を囲み、私を殺そうとしました。彼らは私のそばめを犯し、彼女は死にました。⁶

私はそばめを切り分け、イスラエルの領土全体に送りました。彼らはイスラエルで恥ずべき、卑劣な行為を行ったからです。⁷

今、すべてのイスラエル人よ、ここであなたたちの判決と助言をください。」⁸

すべての人々は一つになって立ち上がり、「私たちの誰も自分の天幕や家に戻らない」と言った。⁹

これがギベアに対して私たちが行うことです：攻撃方法を決めるためにくじを引きます。¹⁰

イスラエルのすべての部族から百人につき十人、千人につき百人、一万人に付き千人を取り、軍隊のために食料を供給します。軍隊がベニヤミンのギベアに到着したとき、彼らはイスラエルで行われた卑劣な行為に対して彼らを罰します。」¹¹

こうしてイスラエルのすべての男たちは一つになっ

てその町に対抗した。¹²

イスラエルの部族はベニヤミンの部族全体に使者を送り、「あなたたちの中で起こったこの悪事は何ですか?」と言った。¹³

「今、ギベアの悪人たちを引き渡し、彼らを死刑にしてイスラエルから悪を取り除くために。」しかし、ベニヤミン人は仲間のイスラエル人の言うことを聞こうとしなかった。¹⁴

代わりに、ベニヤミン人は町々からギベアに集まり、イスラエル人に対抗して戦うことにした。¹⁵

その日、ベニヤミン人は町々から二万六千人の剣士を動員し、ギベアから選ばれた七百人の男を除いた。¹⁶

これらの兵士の中には、左利きの七百人の選ばれた部隊がいて、髪の毛に石を投げて外さない能力を持っていた。¹⁷

ベニヤミンを除くイスラエル人は、戦いの準備ができた四十万人の剣士を集めた。¹⁸

イスラエル人はベテルに上り、神に尋ねた、「誰が最初にベニヤミン人と戦うべきですか?」主は答えた、「ユダが最初に行くべきです。」¹⁹

翌朝、イスラエル人は起きてギベアの近くに陣を張った。²⁰

イスラエル人はベニヤミン人と戦うために進み、ギベアで彼らに対して戦闘態勢を取った。²¹

ベニヤミン人はギベアから出てきて、その日、戦場で二万二千人のイスラエル人を打ち倒した。²²

しかし、イスラエル人は互いに励まし合い、初日にしたように再び陣を張った。²³

イスラエル人は主の前で夕方まで泣き、主に尋ねた、「ベニヤミン人、私たちの兄弟たちと再び戦うべきですか?」主は答えた、「彼らに対して進みなさい。」²⁴

イスラエル人は二日目にベニヤミン人に近づいた。²⁵

この時、ベニヤミン人はギベアから出てきて、再び剣を持ったイスラエル人一万八千人を殺した。²⁶

その後、イスラエル人全軍はベテルに上り、主の前で泣き、夕方まで断食し、焼き尽くす捧げ物と和解の捧げ物を主に捧げた。²⁷

イスラエル人は主に尋ねた。(その時、神の契約の箱はそこにあり、²⁸

アロンの子エルアザルの子ピネハスがある前まで仕えていた。) 彼らは尋ねた、「ベニヤミン人、私たちの兄弟たちと再び戦うべきですか、それともやめるべきですか?」主は答えた、「行け、明日、私は彼らをあなたたちの手に渡す。」²⁹

それからイスラエルはギベアの周りに伏兵を置いた。³⁰

三日目に、イスラエル人はベニヤミン人に対して進み、以前と同じようにギベアに対して陣を張った。

ベニヤミン人は彼らに会うために出てきて、町から引き離された。彼らは以前と同じようにイスラエル人に被害を与え始め、ベテルに通じる道とギベアに通じる道で約三十人が倒れた。

ベニヤミン人は、「以前のように彼らを打ち負かしている」と思ったが、イスラエル人は「退却して彼らを町から道に引き離そう」と言った。

イスラエルのすべての男たちはその位置から動き、バアル・タマルで陣を張り、イスラエルの伏兵はマアレ・ゲバから突撃した。

イスラエルの選ばれた一万人がギベアに正面攻撃を仕掛けた。戦いは激しく、ベニヤミン人は災難に近いことに気づけなかった。

主はイスラエルの前でベニヤミンを打ち負かし、その日、イスラエル人は剣を持った二万五千百人のベニヤミン人を打ち倒した。

ベニヤミン人は自分たちが打ち負かされたことを見た。イスラエルの男たちはギベアの近くに設けた伏兵に頼って、ベニヤミンの前で退いた。

伏兵にいた者たちはギベアに突入し、広がって町全体を剣で打ち倒した。

イスラエル人は伏兵と合図を決めており、それは町から大きな煙の柱を上げることだった。

その瞬間、イスラエル人は反撃を開始した。ベニヤミン人はイスラエル人に（約三十人）被害を与え始め、「最初の戦いのように彼らを打ち負かしている」と言った。

しかし、煙の柱が町から上がり始めたとき、ベニヤミン人は振り返り、町全体が煙に包まれているのを見た。

その時、イスラエル人は彼らに向かって反撃し、ベニヤミン人は災難が自分たちに降りかかったことを悟って恐れた。

彼らは荒野に向かってイスラエル人の前から逃げたが、戦いから逃れることはできなかった。町々から出てきたイスラエル人がそこで彼らを打ち倒した。

彼らはベニヤミン人を包囲し、追い詰め、ギベアの東で容易に彼らを打ち倒した。

一万八千人のベニヤミン人が倒れ、すべて勇敢な戦士たちだった。

彼らが荒野に向かってリモンの岩に逃げると、イスラエル人は道で五千人を捕らえ、ギドムで彼らを追い越し、さらに二千人を打ち倒した。

その日、二万五千人のベニヤミンの剣士が倒れ、すべて勇敢な戦士たちだった。

しかし、六百人の男が荒野に逃げ込み、リモンの岩に逃げ込み、四ヶ月間そこに留まった。

イスラエルの男たちはベニヤミンに戻り、見つけたすべての町を剣で打ち倒し、動物やその他のものも含めて、出会ったすべての町に火を放った。

イスラエル人はミツパで誓いを立てて言った。「私たちの娘をベニヤミン人に嫁がせる者はいない。」

民はベテルに行き、夕方まで神の前に座り、声を上げて激しく泣いた。

「イスラエルの神、主よ、なぜこのようなことがイスラエルで起こったのですか。今日、イスラエルから一つの部族が欠けているのです。」

翌日、民は早く起き、祭壇を築き、燔祭と和解のいけにえを捧げた。

イスラエル人は尋ねた。「イスラエルのすべての部族の中で、誰がミツパでの集会に主のもとに来なかったのか？」彼らはミツパで主のもとに来なかった者について厳粛な誓いを立てていた。「彼は必ず死刑にされる。」

イスラエル人は彼らの兄弟ベニヤミンを悼み、「今日、イスラエルから一つの部族が切り離された」と言った。

「残った者たちのために妻をどうすればよいのか。私たちは主に誓って、彼らに私たちの娘を嫁がせない」と誓ったのに。」

彼らは尋ねた。「イスラエルの部族の中で、誰がミツパで主のもとに来なかったのか？」彼らはヤベシュ・ギルアデから誰も集会のために陣営に来ていないことを見つけた。

人々が数えられたとき、ヤベシュ・ギルアデの住民の中には誰もいなかった。

そこで、集会は剣を持ってヤベシュ・ギルアデの住民を打つために、女や子供を含む一万二千人の勇敢な戦士を送った。

彼らは命じた。「これがあなたがたのすることです。男と男と寝たことのある女をすべて滅ぼさない。」

彼らはヤベシュ・ギルアデの住民の中から男を知らない若い処女四百人を見つけ、カナン人のシロの陣営に連れて行った。

全会衆はリモンの岩にいるベニヤミン人に平和を告げる使者を送った。

その時、ベニヤミン人は戻り、彼らはヤベシュ・ギ

士師記

ルアデの女性たちを彼らに与えたが、それでも十分ではなかった。¹⁵

民はベニヤミンを悼んだ。主がイスラエルの部族の間に空白を許されたからである。¹⁶

会衆の長老たちは言った。「ベニヤミンの女性が滅ぼされたので、残った者たちのために妻をどうすればよいのか。」¹⁷

「ベニヤミンの生存者には相続地がなければならぬ」と彼らは言った。「そうでなければ、イスラエルから部族が消えてしまう。」¹⁸

「しかし、私たちの娘を彼らに妻として与えることはできない」と彼らは言った。「イスラエル人は、『ベニヤミン人に妻を与える者は呪われる』と誓ったからである。」¹⁹

彼らは言った。「見よ、ベテルからシェケムに向かう道の東、レボナの南にあるシロで主の年次祭がある。」²⁰

彼らはベニヤミン人に指示して言った。「行って、

ぶどう畑に隠れなさい。²¹

そして見張りなさい。シロの娘たちが踊りに出てきたら、ぶどう畑から飛び出して、シロの娘たちから一人ずつ妻を奪い、ベニヤミンの地に帰りなさい。²²

彼女たちの父や兄弟が私たちに苦情を言いに来たら、『戦争中に彼らのために妻を取らなかったのも、彼らを許してやってください。あなたがたは自分の娘を彼らに与えたわけではないので、誓いを破ったことにはなりません』と言います。」

²³
ベニヤミン人はそうして、踊った者たちから自分たちの数に応じて妻を奪った。それから彼らは自分たちの相続地に帰り、町を再建し、そこに住んだ。²⁴
その時、イスラエル人はそこからそれぞれ自分の部族と家族に戻り、自分の相続地に帰った。²⁵

その頃、イスラエルには王がなく、各々が自分の目に正しいと見えることを行っていた。

ルツ記

1 士師たちが治めていた時代に、その地に飢饉があった。ユダのベツレヘムのある男が、妻と二人の息子と共にモアブの地に住むために行った。

2 その男の名はエリメレク、妻の名はナオミ、二人の息子の名はマフロンとキリオンであった。彼らはユダのベツレヘムのエフラテ人であった。彼らはモアブに入り、そこに住んだ。

3 ナオミの夫エリメレクが亡くなり、彼女は二人の息子と共に残された。

4 彼らはモアブの女たちを妻に迎えた。一人の名はオルパ、もう一人の名はルツであった。彼らはそこに約十年間住んだ。

5 マフロンとキリオンもまた死に、ナオミは二人の息子と夫を失った。

6 ナオミはモアブで、主がその民に食物を与えて訪れたということを聞いた。彼女とその嫁たちはそこから帰る準備をした。

7 彼女は住んでいた場所から、二人の嫁と共に出発し、ユダの地に戻るための道を進んだ。

8 ナオミは二人の嫁に言った。「それぞれの母の家に帰りなさい。あなたたちが死んだ者と私に示したように、主があなたたちに慈しみを示してくださいように。」

9 主があなたたちに、新しい夫の家で安らぎを見つけてくださいますように。」そして彼女は彼女たちに口づけし、彼女たちは声をあげて泣いた。

10 彼女たちは彼女に答えた。「私たちはあなたの民のもとに戻ります。」

11 しかしナオミは言った。「帰りなさい、娘たちよ。なぜ私と一緒に来るのですか？あなたたちの夫となる息子が私にまだいるでしょうか？」

12 帰りなさい、娘たちよ。私は夫を持つには年を取りすぎています。たとえ希望があると思っても、たとえ今夜夫を持ち、息子を産んでもー

13 彼らが育つまで待ちますか？結婚せずにいるのでしょうか？いいえ、娘たちよ。主の手が私に逆らっているので、あなたたちよりも私の方が苦しいのです！

14 」

彼女たちは再び声をあげて泣いた。オルパは姑に別れの口づけをしたが、ルツは彼女にしがみついた。

15 ナオミは言った。「見なさい、あなたの義姉は彼女の民と彼女の神々のもとに戻っています。あなたも彼女と一緒に帰りなさい。」

16 しかしルツは答えた。「私にあなたを離れて、あなたに従うことをやめさせないでください。あなたが行くところに私は行き、あなたが住むところに私は

住みます。あなたの民は私の民、あなたの神は私の神です。」

17 あなたが死ぬところで私は死に、そこに葬られます。死があなたと私を分かつ以外に、主が私にどんなに厳しくしても構いません。」

18 ナオミはルツが彼女と一緒に行く決意をしているのを見て、説得をやめた。

19 二人の女はベツレヘムに着くまで進んだ。彼女たちがベツレヘムに着いたとき、町中が彼女たちのことで騒ぎ立て、女たちは言った。「これはナオミですか？」

20 彼女は彼らに答えた。「私をナオミと呼ばないでください。代わりにマラと呼んでください。全能者が私に非常に苦い思いをさせたからです。」

21 私は満ちて出て行きましたが、主は私を空にして帰らせました。なぜ私をナオミと呼ぶのですか？主が私に逆らって証言し、全能者が私を苦しめたのです。」

22 こうしてナオミはモアブから、モアブの女ルツ、彼女の嫁と共に帰り、大麦の収穫が始まる頃にベツレヘムに着いた。

2 さて、ナオミには夫の側に親戚がいた。エリメレクの家族で、名をボアズという非常に裕福な男であった。

2 モアブ人のルツはナオミに言った。「どうか、畑に行き、私が誰かの目にかなって恵みを見つけることができる人の後で、穂を拾わせてください。」

3 ナオミは答えた。「行きなさい、娘よ。」

4 彼女は出かけて、畑に入り、刈り取り人の後で穂を拾い始めた。偶然、彼女はエリメレクの家族であるボアズの所有する畑の一部で働いていることに気づいた。

5 ちょうどその時、ボアズがベツレヘムから来て、刈り取り人たちに言った。「主があなたがたと共におられますように。」

6 彼は彼女に答えた。「主があなたを祝福されますように。」

7 ボアズは刈り取り人の監督者に尋ねた。「この若い女性は誰のものですか？」

8 監督者は答えた。「彼女はモアブの地からナオミと共に戻ってきた若いモアブ人の女性です。」

9 彼女は、『刈り取り人の後で、束の間で拾い集めてください』と頼みました。彼女は朝から今までここにおいて、短い休憩を除いてずっと働いています。」

10 するとボアズはルツに言った。「よく聞きなさい、娘よ。他の畑に行き、拾い集めてはいけません。この畑を離れないでください。私の若い女性たちのそ

ルツ記

ばにいなさい。⁹
彼女たちが刈り取っている畑に目を留め、彼女たちの後について行きなさい。若い男たちにはあなたに触れないように指示しました。喉が渴いたら、若い男たちが満たした水瓶から飲みなさい。」¹⁰
これ聞いて、彼女は地面にひれ伏し、顔を伏せて言った。「なぜ私はあなたの目に恵みを見つけたのでしょうか。私は外国人なのに、あなたが私に気を留めてくださるとは。」¹¹
ボアズは答えた。「あなたが夫の死後、義母に対して行ったすべてのこと、あなたが父と母と生まれた地を離れ、以前知らなかった民のところに来たことを、私はすべて聞いています。」¹²
主があなたの行いに報いてくださいますように。あなたが避け所を求めたイスラエルの神、主から十分な報いを受けられますように。」¹³
彼女は言った。「私の主よ、あなたの目に恵みを見つけた。あなたは私を慰め、あなたの女奴隷の一人のようではない私に親切に話してくださいました。」¹⁴
食事の時、ボアズは彼女に言った。「こちらに来て、パンを食べ、酢に浸しなさい。」彼女は刈り取り人たちのそばに座り、彼は彼女に焼いた穀物を提供した。彼女は満足するまで食べ、残りを持ち帰った。¹⁵
。彼女が拾い集めに立ち上がったとき、ボアズは若い男たちに指示した。「彼女に束の間でも拾わせ、侮辱してはいけません。」¹⁶
また、彼女のために束からいくつかの茎を引き抜いて、拾わせてやりなさい。彼女を叱ってはいけません。」¹⁷
ルツは夕方まで畑で拾い集め続けた。その後、彼女が集めた大麦を脱穀したところ、約エファになった。¹⁸
。彼女はそれを町に持ち帰り、義母は彼女がどれだけ拾い集めたかを見た。ルツはまた、満腹した後に残ったものを取り出して彼女に与えた。¹⁹
義母は彼女に尋ねた。「今日はどこで拾い集めたのですか？どこで働いたのですか？あなたに気を留めた人が祝福されますように！」彼女は義母に、自分が働いていた場所の男について話した。「今日私が一緒に働いた男の名はボアズです」と彼女は言った。²⁰
。ナオミは義娘に言った。「主がその人を祝福されますように。彼は生きている者にも死んだ者にも親切を惜しまれませんでした。」彼女はさらに言った。「その人は私たちの近親者です。彼は私たちの贖い主の一人です。」²¹
するとモアブ人のルツは言った。「彼は私に、『私

の収穫がすべて終わるまで、私のしもべたちのそばにいなさい』と言いました。」²²
ナオミは義娘ルツに言った。「娘よ、あなたが彼の若い女性たちと一緒に出かけるのは良いことです。他の畑で危害を受けないように。」²³
ルツはボアズの若い女性たちのそばにいて、大麦と小麦の収穫が終わるまで拾い集め続けた。そして彼女は義母と共に住んだ。

3 ルツのしゅうとめナオミは彼女に言った。「娘よ、あなたのために安住の地を探してあげましょう。それであなたが幸せになるように。」²
さて、あなたが一緒に働いている若い女性たちの親戚であるボアズが、今夜、打ち場で大麦をふるい分けるでしょう。³
だから、自分を洗い、香油を塗り、最良の服を着て、打ち場に下りなさい。ただし、彼が食べたり飲んだりするのが終わるまで、彼に自分を知らせてはいけません。」⁴
彼が横たわるとき、彼が横たわっている場所に注意を払いなさい。それから行って、彼の足を覆い、横たわりなさい。彼があなたに何をすべきか教えてくれるでしょう。」⁵
ルツは答えた。「あなたが言うことをすべて行います。」⁶
それで彼女は打ち場に下り、しゅうとめが指示したすべてを行いました。⁷
ボアズが食べたり飲んだりして心が楽しんだ後、穀物の山の端で横たわりました。ルツは静かに来て、彼の足を覆い、横たわりました。⁸
夜中に、その男は驚いて前かがみになりました。彼の足元に女性が横たわっていました。⁹
彼は尋ねた。「あなたは誰ですか？」彼女は答えた。「私はあなたのしもべルツです。あなたのしもべにあなたの衣を広げてください。あなたは近親者の贖い主です。」¹⁰
彼は言った。「主があなたを祝福されますように、娘よ。この最後の親切は最初のものよりも大きいです。あなたは若い男たちを追い求めなかったからです、金持ちであれ貧乏であれ。」¹¹
さて、娘よ、恐れなくてください。あなたが求めることは何でもしてあげます。私の町のすべての人々が、あなたが高貴な性格の女性であることを知っているからです。¹²
確かに私は贖い主ですが、私よりも近い親戚がいます。¹³
今夜はここに留まり、朝になったら、彼があなたを贖いたいと思うなら、良いでしょう。彼にあなたを

ルツ記

贖わせなさい。しかし、彼が望まないなら、主が生きておられる限り、私があなたを贖います。朝までここに横たわりなさい。」¹⁴

彼女は朝まで彼の足元に横たわりましたが、誰も認識できないうちに起きました。彼は言った。「女性が打ち場に来たことを知られてはならない。」¹⁵ 彼は言った。「あなたが着ているショールを持ってきて、それを広げなさい。」彼女がそれを広げると、彼は六つの大麦を測って彼女に置きました。それから彼女は町に戻りました。¹⁶

ルツがしゅうとめのところに戻ると、ナオミは尋ねました。「どうだったの、娘よ？」ルツはボアズが彼女のためにしたすべてを伝えました。¹⁷

彼女は付け加えました。「彼は私にこの六つの大麦を与えて、『しゅうとめのところに手ぶらで戻ってはいけない』と言いました。」¹⁸

ナオミは言った。「娘よ、事がどうなるかを見るまで待ちなさい。男は今日、この事を解決するまで休まないでしょう。」

4 ボアズは町の門に上って行き、そこに座りました。するとちょうどその時、ボアズが言っていた買い戻しの権利を持つ者が通りかかりました。ボアズは言いました。「こちらに来て、友よ、座ってください。」彼は来て座りました。²

ボアズは町の長老たちのうち十人と呼び、「ここに座ってください。」と言いました。彼らは座りました。³

彼は買い戻しの権利を持つ者に言いました。「モアブから戻ってきたナオミが、私たちの親族エリメレクの所有していた土地を売ろうとしています。」⁴

私はあなたに知らせて、ここに座っている人々と私の民の長老たちの前でそれを買収するよう提案しました。もしあなたがそれを買収するならそうしてください。しかし、そうでないなら私に知らせてください。あなたが買い戻す権利を持っており、私は次にその権利を持っています。」買い戻しの権利を持つ者は言いました。「私はそれを買収します。」⁵

するとボアズは言いました。「あなたがナオミから土地を買う日に、あなたはまた、亡くなった者の未亡人であるモアブ人のルツを引き受け、その相続財産と共に亡くなった者の名を保つことになります。」⁶

買い戻しの権利を持つ者は答えました。「私は自分の財産を危うくすることになるので、それを自分で買い戻すことはできません。あなたが私の買い戻しの権利を引き受けてください。私はそれをする事ができません。」⁷

昔のイスラエルでは、買い戻しと財産の譲渡を確定するために、一方が自分のサンダルを脱いで他方に渡すという方法がありました。これがイスラエルでの取引を合法化する方法でした。⁸

買い戻しの権利を持つ者はボアズに言いました。「あなたがそれを買収してください。」そして彼は自分のサンダルを脱ぎました。⁹

ボアズは長老たちとすべての人々に宣言しました。「今日、あなたがたは証人です。私はナオミからエリメレク、キリオン、マフロンのすべてのものを買収しました。」¹⁰

また、私はモアブ人のルツ、マフロンの未亡人を妻として迎え、亡くなった者の名をその財産と共に保つためです。彼の名がその家族や故郷から消え去らないようにするためです。今日、あなたがたは証人です。」¹¹

すると、門にいたすべての人々と長老たちは言いました。「私たちは証人です。どうか主が、あなたの家に来るこの女性を、共にイスラエルの家を築いたラケルとレアのようにしてくださいますように。あなたがエフラタで繁栄し、ベツレヘムで名を成すことができますように。」¹²

どうか主がこの若い女性によってあなたに与える子供たちを通して、あなたの家がタマルがエダに産んだペレツの家のようにになりますように。」¹³

こうしてボアズはルツを迎え、彼女は彼の妻となりました。彼が彼女と関係を持ったとき、主は彼女が身ごもることを可能にし、彼女は男の子を産みました。¹⁴

女たちはナオミに言いました。「主を賛美します。この日、あなたを買い戻す者を残さなかった主に。彼はイスラエル中で有名になりますように！」¹⁵

彼はあなたの命を新たにし、老後のあなたを支えてくれるでしょう。あなたを愛し、七人の息子よりもあなたにとって良いあなたの嫁が彼を産んだのです。」¹⁶

ナオミはその子を取り、膝に抱いて世話をしました。¹⁷

隣の女たちは言いました。「ナオミに息子が生まれました！」そして彼らは彼をオベデと名付けました。彼はエッサイの父、ダビデの祖父でした。¹⁸ これはペレツの系譜です。ペレツはヘツロンの父でした。¹⁹

ヘツロンはラムの父となり、ラムはアミナダブの父となりました。²⁰

アミナダブはナフションの父となり、ナフションはサルモンの父となりました。²¹

サルモンはボアズの父となり、ボアズはオベデの父となりました。²²

ルツ記

オベデはエッサイの父となり、エッサイはダビデの父でした。

サムエル記上

1 エフライムの山地、ラマタイム・ツォフィムから来た一人の男がいた。その名はエルカナ、エロハムの子、エリフの子、トフの子、ツフの子、エフライム人であった。²
彼には二人の妻がいた。一人の名はハンナ、もう一人はペニンナであった。ペニンナには子供がいたが、ハンナにはいなかった。³
毎年、この男は自分の町からシロに上り、万軍の主を礼拝し、犠牲を捧げていた。そこではエリの二人の息子、ホフニとピネハスが主の祭司として仕えていた。⁴
エルカナが犠牲を捧げるたびに、彼は妻ペニンナとそのすべての息子と娘に肉の分け前を与えた。⁵
しかし、ハンナには二倍の分け前を与えた。彼は彼女を愛していたからである。主が彼女に子供を授けていなかったにもかかわらず。⁶
彼女のライバルは、主が彼女の胎を閉じられたため、彼女を苦しめ、怒らせた。⁷
このことは年ごとに繰り返された。ハンナが主の家に上るたびに、彼女のライバルは彼女を挑発し、彼女は泣いて食べることができなかった。⁸
彼女の夫エルカナは彼女に言った。「ハンナ、なぜ泣いているのか？なぜ食べないのか？なぜそんなに落ち込んでいるのか？私は十人の息子よりもあなたにとって良くないのか？」⁹

彼らがシロで食べたり飲んだりした後、ハンナは立ち上がった。その時、祭司エリは主の神殿の門柱のそばにある椅子に座っていた。¹⁰
ハンナは深く悩み、主に祈り、激しく泣いた。¹¹
彼女は誓いを立てて言った。「万軍の主よ、もしあなたが本当にあなたのしもべの苦しみを見て、私を覚え、あなたのしもべを忘れず、息子を授けてくださるなら、その子を生涯にわたって主に捧げ、剃刀をその頭に触れさせません。」¹²
彼女が主の前で祈り続けている間、エリは彼女の口元を見ていた。¹³
ハンナは心の中で話していた。彼女の唇は動いたが、声は聞こえなかった。それでエリは彼女が酔っていると思った。¹⁴
エリは彼女に言った。「いつまで酔っているのか？ワインをやめなさい！」¹⁵
しかし、ハンナは答えた。「いいえ、主よ、私は心に悩みを抱えた女です。ワインや強い飲み物を飲んでいませんが、私は主の前に自分の魂を注ぎ出しているのです。」¹⁶
あなたのしもべを悪い女と見なさないでください。私は苦しみと悲しみの中から祈っているのです。」¹⁷

するとエリは答えた。「安心して行きなさい。イスラエルの神があなたの願いを叶えてくださるように。」¹⁸
彼女は言った。「あなたのしもべがあなたの目に恵みを見いだしますように。」¹⁹
それから彼女は自分の道を行き、何かを食べ、彼女の顔はもはや落ち込んでいなかった。²⁰
翌朝早く、彼らは起きて主の前で礼拝し、それからラマに帰った。エルカナは妻ハンナと親しくし、主は彼女を覚えておられた。²¹
時が来て、ハンナは身ごもり、男の子を産んだ。彼女はその子をサムエルと名付け、「主に願ったから」と言った。²²
エルカナが家族全員と共に主に年ごとの犠牲を捧げ、誓いを果たすために上ったとき、²³
ハンナは行かなかった。彼女は夫に言った。「その子が乳離れした後、私は彼を連れて行きます。彼が主の前に現れ、そこに永住するためです。」²⁴
彼女の夫エルカナは彼女に言った。「あなたにとって最善と思われることをしなさい。彼が乳離れるまで待ちなさい。ただし、主がその御言葉を確立されますように。」²⁵
それで彼女は家に留まり、息子が乳離れるまで養った。²⁶

24
彼女が息子を乳離れさせた後、彼女は彼を連れてシロの主の家に行き、三歳の雄牛一頭、エバの小麦粉、ワインの皮袋を持って行った。その子はまだ若かった。²⁵
彼らは雄牛を屠り、その子をエリのもとに連れて行った。²⁶
彼女は彼に言った。「お許しください、主よ。あなたが生きている限り、主よ、私はここであなたのそばに立ち、主に祈っていた女です。」²⁷
私はこの子のために祈りました。そして主は私の願いを叶えてくださいました。²⁸
それで今、私は彼を主に捧げます。彼が生きている限り、彼は主に捧げられています。」²⁹
そして彼はそこで主を礼拝した。

2 ハンナは祈って言った。
「私の心は主にあって喜びます。
私の角は主によって高く上げられます。
私の口は敵に向かって大きく開かれます。
私はあなたの救いを喜びますから。²
主のように聖なる方はいません。
あなたのほかには誰もいません。」

サムエル記上

私たちの神のような岩ありません。
高ぶったことを言わないでください。
あなたの口から傲慢な言葉を出さないでください。
主は知識の神であり、
彼によって行いが量られます。
力ある者の弓は折られ、
よろめく者は力を帯びます。
満ち足りていた者はパンのために雇われ、
飢えていた者は今や満たされています。
不妊の女は七人の子を産み、
多くの子を持つ女は衰えます。
主は死をもたらし、命を与えます。
彼は墓に下し、また引き上げます。
主は貧しくし、また富ませます。
彼は低くし、また高くします。
彼は貧しい者を塵から引き上げ、
乏しい者を灰の中から持ち上げ、
君主たちと共に座らせ、栄誉の座を継がせます。
地の基は主のものであり、
彼はその上に世界を据えました。
彼は忠実な者の足を守りますが、
悪者は暗闇の中で沈黙します。
力によって人は勝利しません。
主に逆らう者は打ち砕かれます。
彼は天から彼らに雷を轟かせます。
主は地の果てを裁きます。
彼はその王に力を与え、
その油注がれた者の角を高く上げます。」

エルカナはラマの自分の家に帰りましたが、その少年は祭司エリのもとで主に仕え続けました。
さて、エリの息子たちは悪者で、主を顧みませんでした。
祭司たちが民と行う習慣は、誰かが犠牲を持って来ると、祭司の召使いが三つ叉のフォークを持って来て、肉が煮えている間に、
鍋や釜や大釜や釜に突っ込み、フォークが引き上げたものを祭司が自分のために取るというものでした。
これが、シロに来たすべてのイスラエル人に対する彼らの扱いでした。
脂肪が焼かれる前に、祭司の召使いが来て、犠牲を捧げる人に「祭司に焼く肉をください。彼はあなたから煮た肉を受け取らず、生の肉だけを受け取ります」と言いました。
もしその人が「まず脂肪を焼かせてください。それからあなたの望みだけ取ってください」と言った場合、彼は「いいえ、今すぐ渡しなさい。さもなければ力ずくで取ります」と答えました。

こうして若者たちの罪は主の前で非常に大きく、彼らは主の捧げ物を軽んじていました。

しかし、サムエルは主の前で仕えていました。彼は亜麻布のエポデを着た少年でした。
毎年、彼の母は彼のために小さな上着を作り、夫と共に年ごとの犠牲を捧げに行くときにそれを持って行きました。
エリはエルカナとその妻を祝福して、「主がこの女からあなたに子どもを与えてくださいますように。彼女は主に捧げた子の代わりに」と言いました。
そして主はハンナを訪れ、彼女は妊娠して三人の息子と二人の娘を産みました。その間、少年サムエルは主の前で成長しました。

さて、エリは非常に年を取っており、彼の息子たちがイスラエル全体に対して行っていること、すなわち会見の天幕の入口で仕える女たちと寝ていることを聞きました。
そこで彼は彼らに言いました。「なぜそんなことをするのですか？私は民全体からあなたたちの悪事について聞いています。
私の息子たちよ、主の民の間で広がっている報告は困ったものです。
人が他の人に罪を犯すなら、神が彼のために仲裁するかもしれません。しかし、誰かが主に對して罪を犯すなら、誰が仲裁できますか？」しかし、彼らは父の言うことを聞きませんでした。それは主が彼らを死に至らせることを望んでいたからです。

少年サムエルは成長し、主と人々の両方において好意を得続けました。

神の人がエリのもとに来て彼に言いました。「主はこう言われます。あなたの先祖の家に、彼らがエジプトでファラオの支配下にあったとき、私は明確に自分を示さなかったでしょうか？
私はイスラエルのすべての部族の中からあなたの先祖を選び、私の祭司として祭壇で犠牲を捧げ、香を焚き、私の前でエポデを着るようになりました。また、私はイスラエル人からの火によるすべての捧げ物をあなたの家族に与えました。
それなのに、なぜ私の住まいで命じた私の犠牲と捧げ物を軽んじるのですか？なぜあなたの息子たちを私よりも尊重し、私の民イスラエルが捧げるすべての捧げ物の最上の部分で自分たちを肥えさせるので

サムエル記上

すか？」

「それゆえ、イスラエルの神、主は宣言します。私はあなたの家族とあなたの先祖の家族が永遠に私の前で仕えること約束しました。しかし今や」と主は宣言します、「それは私から遠いことです！私を尊重する者を私は尊重し、私を軽んじる者は軽んじられるでしょう。」

あなたの力とあなたの家族の力を断ち切る時が来ます。あなたの家には長寿を迎える者がいなくなるでしょう。

あなたは私の住まいでの苦難を見るでしょうが、イスラエルには良いことがなされ、あなたの家系には決して年老いた者がいなくなるでしょう。

私の祭壇から切り離さない者は、あなたの目に悲しみをもたらし、あなたの心に悲しみをもたらすためにのみ残されるでしょう。そしてあなたの子孫は皆、壮年で死ぬでしょう。

あなたの二人の息子、ホフニとビネハスについては、このしるしがあなたに来ます。彼らは同じ日に二人とも死ぬでしょう。

その後、私は自分のために忠実な祭司を立て、私の心と思いにあることを行わせませう。私は彼の家を確立し、彼は私の油注がれた者の前で永遠に仕えるでしょう。

その後、あなたの家族に残された者は皆、彼の前に来て銀の一片とパンの一塊を求め、『どうか私を祭司の職に任命して、食べ物を得させてください』と言うでしょう。」

3 少年サムエルはエリのもとで主に仕えていた。その頃、主の言葉はまれであり、幻も広まっていなかった。

ある夜、目がかすんでよく見えなくなったエリが、いつもの場所に横になっていた。

神の灯はまだ消えておらず、サムエルは神の箱がある主の神殿に横になっていた。

そのとき、主がサムエルを呼ばれた。

彼は答えた、「ここにいます！」

彼はエリのもとに走って行き、「ここにいます。あなたが呼ばれたからです」と言った。

しかしエリは、「私は呼んでいない。戻って横にならなさい」と言った。

それで彼は戻って横になった。

再び主が「サムエル！」と呼ばれた。

サムエルは起きてエリのもとに行き、「ここにいます。あなたが呼ばれたからです」と言った。

しかしエリは答えた、「私は呼んでいない、わが子よ。戻って横になりなさい。」

サムエルはまだ主と会っておらず、主の言葉は彼に明かされていなかった。

主は三度目にサムエルを呼ばれた。

彼は起きてエリのもとに行き、「ここにいます。あなたが呼ばれたからです」と言った。

そのときエリは、主が少年を呼んでいることを理解した。

それでエリはサムエルに言った、「行って横になりなさい。そしてもし再び呼ばれたら、『お話しください、主よ。しもべは聞いております』と言いなさい。」

それでサムエルは行って自分の場所に横になった。

主は来てそばに立ち、これまでと同じように呼ばれた、「サムエル！サムエル！」

そのときサムエルは言った、「お話しください。しもべは聞いております。」

そして主はサムエルに言われた、「見よ、私はイスラエルで何かをしようとしている。それを聞く者の耳を鳴らすであろう。」

その日に私はエリの家に関して語ったすべてのことを、始めから終わりまで実行する。

彼の息子たちが神を冒瀆し、彼がそれを抑えなかったという不義のために、私は彼の家族を永遠に裁くと彼に告げたからである。

それゆえ、私はエリの家に誓った、『エリの家の罪は、いけにえや供え物によって決して償われることはない』と。」

サムエルは朝まで横になっていた。それから彼は主の家の扉を開けた。

しかしサムエルはエリにその幻について話すのを恐れていた。

エリは彼を呼んで言った、「サムエル、わが子よ。」

サムエルは答えた、「ここにいます。」

「彼があなたに何を言ったのか？」とエリは尋ねた。「私に隠してはならない。もし彼があなたに語ったことを何も隠すなら、神があなたを厳しく扱うように。」

それでサムエルは彼にすべてを話し、何も隠さなかった。

するとエリは言った、「彼は主である。彼の目に良いと思われることをさせよ。」

サムエルは成長し、主は彼と共におられ、サムエルの言葉を一つも地に落とされなかった。

そしてダンからベエル・シェバに至るまで、イスラエル全体がサムエルが主の預言者として確認されたことを認識した。

サムエル記上

主は引き続きシロで現れ、そこで彼の言葉によってサムエルにご自身を現された。

4 サムエルの言葉は全イスラエルに広まった。

さて、イスラエル人はペリシテ人と戦うために出陣した。彼らはエベネゼルに陣を敷き、ペリシテ人はアフエクに陣を敷いた。²

ペリシテ人はイスラエルに対抗するために軍を整え、戦いが展開されると、イスラエルはペリシテ人に打ち負かされ、戦場で約四千人が殺された。³

兵士たちが陣営に戻ると、イスラエルの長老たちは言った。「なぜ主は今日、ペリシテ人に私たちを打ち負かされることを許されたのか。シロから主の契約の箱を持って来よう。そうすれば、主が私たちと共にいて、敵から私たちを救ってくださるだろう。」⁴

そこで、人々はシロに人を送り、万軍の主の契約の箱を持ち帰った。主はケルビムの間に座しておられる。そして、エリの二人の息子、ホフニとピネハスも神の契約の箱と共にそこにいた。⁵

主の契約の箱が陣営に入ると、全イスラエルは大声で叫び、地面が揺れた。⁶

ペリシテ人はその叫び声を聞いて、「ヘブライ人の陣営でのこの大きな叫び声は何だ？」と尋ねた。

彼らが主の箱が陣営に入ったことを知ると、⁷ペリシテ人は恐れた。「神が彼らの陣営に入った」と言った。「我々に災いがある！こんなことはこれまででなかった。」⁸

我々に災いがある！誰がこの力強い神々の手から我々を救うことができるのか？これらは荒野でエジプト人をあらゆる疫病で打った神々だ。⁹勇気を出して男らしくあれ、ペリシテ人よ、さもないとヘブライ人の奴隷になってしまうだろう。彼らがあなたたちにそうしたように。男らしく戦え！」¹⁰

ペリシテ人は戦い、イスラエルは敗北した。すべての者が自分の天幕に逃げた。虐殺は非常に大きく、イスラエルの歩兵三万人が倒れた。¹¹

神の箱は敵の手に落ち、エリの二人の息子、ホフニとピネハスは命を失った。¹²

ベニヤミン族の一人が戦線から走り、その日、衣を裂き、頭に土をかぶってシロに来了。¹³

彼が到着すると、エリは道のそばの席に座って見守っていた。彼の心は神の箱のために震えていた。その男が町に入り、何が起こったかを報告すると、町全体が叫び声を上げた。¹⁴

エリはその叫び声を聞いて、「この騒ぎは何事か？

」と尋ねた。

その男は急いでエリに伝えに行った。¹⁵

エリは九十八歳で、目が弱くて見えなかった。¹⁶

その男はエリに言った。「私は戦線から来ました。今日、そこから逃げてきました。」¹⁷

エリは尋ねた。「何があったのか、息子よ？」¹⁸

使者は答えた。「イスラエルはペリシテ人の前から逃げ、民の間で大虐殺がありました。あなたの二人の息子、ホフニとピネハスは死に、神の箱は奪われました。」¹⁹

彼が神の箱のことを言ったとき、エリは門のそばの席から後ろに倒れた。彼の首は折れ、彼は死んだ。彼は年老いて重かった。彼は四十年間イスラエルを裁いていた。²⁰

さて、エリの嫁、ピネハスの妻は妊娠しており、出産の時が近づいていた。彼女は神の箱が奪われ、義父と夫が死んだという知らせを聞くと、陣痛に襲われて出産した。²¹

彼女が死にかけているとき、そばに立っていた女たちは言った。「恐れるな、男の子を産んだのだ。」²²

しかし、彼女は答えず、注意を払わなかった。²³彼女はその子をイカボデと名付け、「イスラエルから栄光が去った」と言った。神の箱が奪われたことと、義父と夫の死のためである。²⁴

彼女は言った。「イスラエルから栄光が去った。神の箱が奪われたからだ。」²⁵

5 ペリシテ人が神の箱を奪った後、それをエベネゼルからアシュドに運びました。²

彼らは神の箱をダゴンの神殿に運び込み、ダゴンのそばに置きました。³

アシュドの人々が翌朝早く起きると、ダゴンの箱の前で地面に顔を伏せて倒れていました。

彼らはダゴンを取り戻し、元の場所に戻しました。⁴

しかし、翌朝早く起きると、ダゴンは再び主の箱の前で顔を伏せて倒れていました。

彼の頭と両手は切り取られ、敷居の上にあります。胴体だけが残っていました。⁵

それゆえ、今日に至るまで、ダゴンの祭司やアシュドのダゴンの神殿に入る者は誰も敷居を踏みません。⁶

主の手はアシュドの人々に対して重く下されました。彼らを荒廃させ、腫瘍で苦しめました。⁷

アシュドの人々が何が起きているのかを見たとき、彼らは言いました。「イスラエルの神の箱は私たちと一緒にいてはならない。彼の手が私たちと私たち

サムエル記上

ちの神ダゴンに対して厳しいからです。」⁸
それで彼らはペリシテ人のすべての支配者を召集し、「イスラエルの神の箱をどうすればよいか？」と尋ねました。

彼らは答えました、「それをガテに移しましょう。」
それで彼らはイスラエルの神の箱をそこに移しました。⁹

しかし、それを移した後、主の手はその都市にも対しても重く下されました。彼はその都市に大きな恐慌をもたらし、若い者も老いた者も腫瘍で苦しみ、その都市に広がりました。¹⁰

それで彼らは神の箱をエクロンに送りました。しかし、箱がエクロンに来ると、人々は叫びました、「彼らはイスラエルの神の箱を私たちに持ってきて、私たちと私たちの民を殺そうとしています！」¹¹

それで彼らはペリシテ人のすべての支配者を召集し、「イスラエルの神の箱を送り返しましょう。それを元の場所に戻しましょう。そうすれば、私たちと私たちの民を殺さないでしょう。」と言いました。死と恐慌がその都市を満たしていたからです。神の手は非常に重かったのです。¹²
生き残った者たちは腫瘍で苦しみ、その都市の叫び声は天にまで上がりました。

6 主の箱はペリシテ人の領地に七か月間とどまっていた。²

そこでペリシテ人は祭司と占い師を呼び寄せて言った。「主の箱をどうすればよいか。どのようにしてそれを元の場所に送り返すべきか教えてください。」³

彼らは答えた。「もしイスラエルの神の箱を返すなら、空のまま返してはならない。必ず罪の供え物を添えて送り返しなさい。そうすればあなたたちは癒され、なぜ神の手があなたたちから離れなかったのかがわかるでしょう。」⁴

ペリシテ人は尋ねた。「どのような罪の供え物を彼に送ればよいのか。」

彼らは答えた。「ペリシテ人の領主の数に従って、金の腫れ物五つと金の鼠五つです。同じ疫病があなたたちとあなたたちの領主に降りかかったからです。」⁵

それで、あなたたちの地を荒らしている腫れ物と鼠の模型を作り、イスラエルの神に栄光を帰しなさい。そうすれば、もしかすると彼はあなたたち、あなたたちの神々、そしてあなたたちの地からその手を取り去るかもしれません。⁶
なぜエジプト人とファラオのように心を頑なにする

のか。彼が彼らを厳しく扱った後、彼らは民を去らせ、彼らは去って行ったのではないか。

⁷
さあ、新しい車を作り、まだ軛をかけられたことのない、子を産んだばかりの雌牛二頭を取って来なさい。その雌牛を車に繋ぎ、子牛を連れ去って囲いに入れなさい。⁸

そして主の箱を車に乗せ、罪の供え物として送る金の物を入れた箱をその隣に置きなさい。それを送り出し、行かせなさい。⁹

それが何をするかを見守りなさい。もしそれが自分の地、ベテ・シェメシュに向かって上って行くなら、主がこの災いを私たちに下されたのです。しかし、そうでなければ、それは私たちを打ったのが彼の手ではなく、偶然に起こったことだとわかるでしょう。」

¹⁰
そこで彼らは指示通りに行動した。二頭の雌牛を取り、車に繋ぎ、子牛を家に閉じ込めた。¹¹

彼らは主の箱を車に乗せ、金の鼠と腫れ物の模型を入れた箱も一緒に置いた。¹²

すると、雌牛はまっすぐにベテ・シェメシュに向かって行き、道を外れずに鳴きながら進んだ。

ペリシテ人の領主たちはベテ・シェメシュの境界まで彼らを追った。

¹³
ベテ・シェメシュの人々は谷で小麦を刈り入れていた。彼らが目を上げて箱を見たとき、その光景に喜んだ。¹⁴

車はベテ・シェメシュのヨシュアの畑に来て、大きな石のそばで止まった。人々は車の木を切り裂き、雌牛を焼き尽くす捧げ物として主に捧げた。¹⁵

レビ人は主の箱とその隣にある金の物を入れた箱を下ろし、大きな石の上に置いた。

その日、ベテ・シェメシュの人々は焼き尽くす捧げ物を捧げ、主に犠牲を捧げた。¹⁶

ペリシテ人の五人の領主たちがこれを見て、その日のうちにエクロンに戻った。

¹⁷
これらはペリシテ人が主に罪の供え物として送った金の腫れ物である。アシュドド、ガザ、アシュケロン、ガテ、エクロンのためにそれぞれ一つずつである。¹⁸

そして金の鼠は、ペリシテ人の五人の領主に属するすべての町の数に従っていた。城壁のある町も、田舎の村も含まれている。レビ人が主の箱を置いた大

サムエル記上

きな石は、ベテ・シェメシュのヨシュアの畑に今日まで証として残っている。

19

しかし、ベテ・シェメシュの人々の中には、主の箱を覗き見たために神に打たれた者がいた。彼は彼らのうち七十人を打ち殺し、人々は主が彼らに大きな打撃を与えたために嘆いた。

20

ベテ・シェメシュの人々は言った。「この聖なる神、主の前に誰が立つことができるだろうか。この箱をどこに送るべきか。」

21

それで彼らはキリヤテ・ヤリムの人々に使者を送り、「ペリシテ人が主の箱を返しました。降りてきてそれをあなたたちのところに持ち上げてください。」と言った。

7 キリヤテ・ヤリムの人々は来て、主の箱を運び上げた。彼らはそれを丘の上にあるアビナダブの家に持って行き、彼の息子エレアザルを聖別して主の箱を守らせた。

2

箱はキリヤテ・ヤリムに長い間、二十年の間留まっていた。その後、イスラエルの全家は悲しみながら主に立ち返った。

3

サムエルはイスラエルのすべての人々に言った。「もしあなたがたが心を尽くして主に立ち返るなら、あなたたちの中から異国の神々とアシュタロテを取り除き、主にだけ心を向けて仕えなさい。そうすれば、主はペリシテ人の手からあなたたちを救い出してくださる。」

4

それで、イスラエル人はバアルとアシュタロテを取り除き、主だけに仕えた。

5

その時、サムエルは言った。「ミツパでイスラエル全体を集めなさい。私はあなたたちのために主に祈ります。」

6

彼らがミツパに集まったとき、水を汲んでそれを主の前に注いだ。その日、彼らは断食し、「私たちは主に対して罪を犯しました」と告白した。

そしてサムエルはミツパでイスラエル人を裁いていた。

7

ペリシテ人はイスラエルがミツパに集まったことを聞き、その支配者たちは彼らを攻撃しに上ってきた。イスラエル人はこれを聞いて、ペリシテ人を恐れた。

8

彼らはサムエルに言った。「私たちのために私たちの神、主に叫ぶのをやめないでください。そうすれば、主はペリシテ人から私たちを救い出してくださるでしょう。」

9

サムエルは乳飲み子の子羊を取り、それを全焼のい

けにえとして主に捧げた。彼はイスラエルのために主に叫び、主は彼に答えられた。

10

サムエルが焼き尽くすいけにえを捧げている間に、ペリシテ人はイスラエルと戦うために近づいてきた。しかしその日、主は大きな声でペリシテ人に雷鳴を轟かせ、彼らを混乱させたので、イスラエルの前で敗走した。

11

イスラエルの人々はミツパから出てペリシテ人を追ひ、ベテ・カルの下まで彼らを打ち倒した。

12

サムエルはミツパとシェンの間に石を立て、それをエベネゼルと呼び、「ここまで主が私たちを助けてくださった」と宣言した。

13

こうしてペリシテ人は征服され、再びイスラエルの領土を侵略しなかった。サムエルの生涯を通じて、主の手はペリシテ人に対してあった。

14

ペリシテ人がイスラエルから奪った町々は、エクロンからガテまで回復され、イスラエルはペリシテ人から周辺の領土を取り戻した。そしてイスラエルとアモリ人の間には平和があった。

15

サムエルはその生涯の残りの間、イスラエルを裁き続けた。

16

彼は毎年、ベテルからギルガル、ミツパへと巡回し、これらの場所でイスラエルを裁いた。

17

しかし彼は常にラマに戻り、そこに彼の家があり、そこでイスラエルを裁いた。そして彼はそこに主のための祭壇を築いた。

8 サムエルが年を重ねると、彼は自分の息子たちをイスラエルの裁き人に任命した。

2

彼の長男はヨエルと名付けられ、次男はアビヤと名付けられた。彼らはベエルシェバで裁き人として仕えた。

3

しかし、彼の息子たちは彼の例に従わなかった。彼らは不正な利益を追い、賄賂を受け取り、正義を曲げた。

4

その時、イスラエルの長老たちは皆集まり、ラマでサムエルのもとに来た。

5

彼らは彼に言った、「あなたは年を取り、あなたの息子たちはあなたの道を歩んでいません。他の国々のように、私たちを治める王を任命してください。」

6

しかし、この要求はサムエルを不快にさせた、特に彼らが王を求めて裁いてもらおうという要求が。そこで彼は主に祈った。

7

サムエル記上

主はサムエルに言われた、「民があなたに言うすべてのことを聞きなさい。彼らが拒んでいるのはあなたではなく、私を彼らの王として拒んでいるのです。」⁸

彼らは、私が彼らをエジプトから連れ出した日以来、私に対して行ってきたように、あなたに対しても行っているのです—

私を捨てて他の神々に仕えているのです。⁹

今、彼らの言うことを聞きなさい。しかし、彼らに厳粛な警告を与え、彼らを治める王が何をするかを説明しなさい。」

¹⁰そこでサムエルは、王を求める民に主のすべての言葉伝えた。¹¹

彼は言った、「あなたたちを治める王がすることはこうです：彼はあなたたちの息子たちを取り、彼の戦車と馬に割り当て、彼の戦車の前を走らせるでしょう。」¹²

彼は千人隊長や五十人隊長を任命し、他の者たちには彼の土地を耕させ、収穫を刈り取らせ、戦争の武器や戦車の装備を作らせるでしょう。¹³

彼はあなたたちの娘たちを取り、香料を作る者、料理人、パン焼きにさせるでしょう。¹⁴

彼はあなたたちの畑、ぶどう畑、オリーブ畑の最良のものを取り、それを彼の役人に与えるでしょう。¹⁵

彼はあなたたちの穀物とぶどう酒の十分の一を取り、それを彼の宦官と役人に与えるでしょう。¹⁶

彼はあなたたちの男奴隷と女奴隷、最良の牛とロバを取り、それを彼自身のために使うでしょう。¹⁷

彼はあなたたちの羊の十分の一を取り、あなたたちは彼に仕えることになるでしょう。¹⁸

その日が来ると、あなたたちは自分たちが選んだ王のために叫ぶでしょうが、その日に主はあなたたちに答えないでしょう。」

¹⁹しかし、民はサムエルの言うことを聞こうとしなかった。「いいえ！」彼らは言った。「私たちを治める王が欲しいのです。」²⁰

そうすれば、私たちは他のすべての国々のようになり、王が私たちを導き、私たちの前に出て、私たちの戦いを戦ってくれるでしょう。」²¹

サムエルが民の言ったことをすべて聞いたとき、彼はそれを主に伝えた。²²

そして主はサムエルに言われた、「彼らの言うことを聞き、彼らに王を任命しなさい。」

それからサムエルはイスラエルの人々に言った、「各自、自分の町に帰りなさい。」

9 ベニヤミンの人で、名をキシュという者がいた。彼はアビエルの子、ゼロルの子、ペコラテの子、アフィアの子で、ベニヤミン人であり、富裕な人であった。²

彼にはサウルという名の息子がいた。彼は選ばれた美しい若者で、イスラエルの子らの中で彼よりも印象的な者はいなかった。彼は肩から上が民の誰よりも高かった。³

さて、サウルの父キシュのロバたちが迷子になった。そこでキシュは息子サウルに言った、「しもべの一人を連れて行って、ロバたちを探しに行きなさい。」⁴

彼はエフライムの山地を通り、シャリシャの地を通ったが、彼らは見つからなかった。それからシャアリムの地を通ったが、そこにもいなかった。彼はまたベニヤミンの領土を通ったが、彼らは見つからなかった。⁵

彼らがツツの地に来たとき、サウルと一緒にいたしもべに言った、「さあ、帰ろう。さもないと父がロバたちのことを心配するのをやめて、私たちのことを心配し始めるだろう。」⁶

しかし、しもべは言った、「今見てください、この町には神の人がいて、彼は尊敬されている人です。彼が言うことはすべて確実に実現します。そこに行きましょう。おそらく彼が私たちの道を教えてくれるでしょう。」⁷

するとサウルはしもべに言った、「しかし、見てください、もし私たちが行くなら、何をその人にとって行くべきでしょうか。私たちの袋からパンはなくなり、神の人に贈り物として差し出すものがありません。私たちには何がありますか？」⁸

しもべは再びサウルに答えて言った、「見てください、私には銀の四分の一シェケルがあります。私はそれを神の人に差し上げます。そうすれば彼が私たちの道を教えてくれるでしょう。」⁹

(以前、イスラエルでは、人が神に伺いを立てるとき、「さあ、先見者のところに行こう」と言った。今日の預言者は以前は先見者と呼ばれていた。) ¹⁰するとサウルはしもべに言った、「あなたの助言は良い。さあ、行こう。」

それで彼らは神の人がいる町へ行った。¹¹

彼らが町へ登る坂を上って行くと、水を汲みに出してきた若い女性たちに出会い、彼らに言った、「先見者はここにいますか？」¹²

彼女たちは答えて言った、「はい、あなたたちのすぐ前にいます。急いでください。今日は彼が町に来た日です。なぜなら、民が高き所で犠牲を捧げているからです。」¹³

サムエル記上

あなたがたが町に入るとすぐに、彼が高き所に上って食事をする前に彼を見つけてしょう。民は彼が来るまで食べません。彼が犠牲を祝福しなければならぬのです。その後、招かれた者たちが食べます。今すぐ上って行ってください。すぐに彼を見つけてしょう。」¹⁴

それで彼らは町に上って行った。彼らが入ると、見よ、サムエルが彼らに向かって高き所に上って行くところであった。

¹⁵ さて、主はサウルが来る前日にサムエルに示して言った、¹⁶

「明日の今頃、私はベニヤミンの地から一人の男をあなたに送る。あなたは彼に油を注いで、私の民イスラエルの君主とせよ。彼は私の民をペリシテ人の手から救うであろう。なぜなら、彼らの叫びが私に届いたから、私は私の民を顧みただけである。」¹⁷

サムエルがサウルを見たとき、主は彼に言った、「見よ、これがあなたに話した男である！彼が私の民を治めるであろう。」

¹⁸ サウルはサムエルに近づいて入口で言った、「先見者の家に行く道を教えてくださいませんか？」¹⁹

サムエルはサウルに答えて言った、「私は先見者です。私の前に高き所に上って行きなさい。今日は私と一緒に食事をしなさい。明日、私はあなたを送り出し、あなたの心にあるすべてを告げましょう。」²⁰ 三日前に失われたあなたのロバたちについては、心配しないでください。彼らは見つかっています。そして、イスラエルのすべての願いは、あなたとあなたの父の家に向けられているではありませんか？」²¹

サウルは答えて言った、「私はイスラエルの部族の中で最も小さいベニヤミン人ではありませんか。そして私の家族はベニヤミンの部族のすべての氏族の中で最も小さいではありませんか？なぜあなたは私にこのように話されたのですか？」

²² それからサムエルはサウルと彼のしもべを連れてホールに入り、招かれた者たちの先頭に彼らを座らせた。約三十人であった。²³

そしてサムエルは料理人に言った、「私があなたに与えた部分を持ってきなさい。それについて『取っておきなさい』と言ったものです。」²⁴

それで料理人は腿とその上にあったものを取り、サウルの前に置いた。そしてサムエルは言った、「見よ、取っておいたものがあなたの前に置かれていま

す。食べなさい。それはあなたのために定められた時まで取っておかれたものです。私は『私は人々を招待しました』と言いました。」

その日、サウルはサムエルと共に食事をした。

²⁵

彼らが高き所から町に降りた後、サムエルは屋上でサウルと語り合った。²⁶

彼らは早く起き、夜明けにサムエルは屋上でサウルを呼んで言った、「起きなさい。私はあなたを送り出しましょう。」

それでサウルは起き、彼とサムエルは共に通りに出た。²⁷

彼らが町の端に下って行くと、サムエルはサウルに言った、「しもべに私たちの前を進むように言いなさい」—そしてしもべは進んだ—

「しかし、あなたはしばらく立ち止まりなさい。私はあなたに神の言葉を告げましょう。」

10 その時、サムエルは油の入った瓶を取り、サウルの頭に注ぎ、彼に口づけして言った。「主があなたを御自分の嗣業の支配者として油を注がれたものではありませんか。」²

今日、私から去るとき、あなたはベニヤミンの領地、ゼルツァにあるラケルの墓の近くで二人の男に会うでしょう。彼らはあなたに言うでしょう、『あなたが探しに行ったロバは見つかりました。今、あなたの父はロバのことを心配するのをやめ、あなたのことを心配しています。「私の息子のことをどうしようか」と言っています。』³

それから、あなたはそこから進んでタボルの檜の木に来るでしょう。ベテルに神を礼拝しに行く三人の男がそこであなたに会うでしょう。一人は三匹の若いヤギを運び、もう一人は三つのパンを運び、もう一人はワインの入った皮袋を運んでいます。⁴

彼らはあなたに挨拶し、二つのパンをあなたに与えるでしょう。あなたはそれを彼らの手から受け取らなければなりません。⁵

その後、あなたはペリシテ人の駐屯地があるギベアト・エロヒムに来るでしょう。町に近づくと、高い所からハーブ、タンバリン、フルート、ライアーを持って降りてくる預言者の一団に会うでしょう。彼らは預言をしています。⁶

その時、主の霊が力強くあなたに臨み、あなたは彼らと共に預言し、別の人に変えられるでしょう。⁷ これらのしるしがあなたに来るとき、あなたの手が見つけることを行いなさい。神があなたと共におられるからです。⁸

あなたは私の前にギルガルに下りなさい。見よ、私はあなたのところに下りて焼き尽くす捧げ物を捧げ

サムエル記上

、和解の捧げ物を捧げます。私があなたのところに来て、あなたが何をすべきかを示すまで、七日間待ちなさい。」

9

サウルがサムエルから去ろうとしたとき、神は彼に別の心を与え、その日、すべてのしるしが成就しました。

10

彼らがギベアに来たとき、見よ、預言者の一団が彼に会いました。そして神の霊が彼に臨み、彼は彼らの中で預言しました。

11

彼を以前から知っていたすべての人が彼が預言者たちと共に預言しているのを見たとき、人々は互いに言いました。「キシウの息子に何が起こったのか？サウルも預言者の中にいるのか？」

12

そこからある人が答えて言いました、「しかし、彼らの父は誰ですか？」それゆえ、「サウルも預言者の中にいるのか？」ということわざが生まれました。

13

彼が預言を終えた後、彼は高い所に上がりました。

14

サウルの叔父が彼と彼の召使いに言いました、「どこに行っていたのか？」

彼は言いました、「ロバを探しに行きました。見つからないとわかったとき、サムエルのところに行きました。」

15

サウルの叔父は尋ねました、「サムエルがあなたに何を言ったのか教えてください。」

16

サウルは叔父に言いました、「彼は私たちにロバが見つかったことをはっきりと伝えました。」しかし、彼はサムエルが話した王国のことについては言いませんでした。

17

その後、サムエルは人々をミツパで主の前に集めるように召集しました。

18

彼はイスラエルの子らに言いました、「イスラエルの神、主がこう言われます、『私はイスラエルをエジプトから連れ出し、エジプト人の手から、そしてあなたを圧迫するすべての王国の力から救い出しました。』」

19

しかし、あなたたちは今日、あなたたちをすべての災難と苦難から救う神を拒み、『いいえ！私たちの上に王を立ててください』と言いました。今、あなたたちは部族ごと、氏族ごとに主の前に出なさい。

20

それでサムエルはイスラエルのすべての部族を近づけ、ベニヤミンの部族がくじで選ばれました。それから彼はベニヤミンの部族をその家族ごとに近づけ、マトリの家族が選ばれ、キシウの息子サウル

が選ばれました。しかし、彼を探しても見つかりませんでした。

22

それで彼らはさらに主に尋ねました、「その人はここにいましたか？」すると主は言われました、「見よ、彼は荷物の中に隠れています。」

23

それで彼らは走って彼をそこから連れ出しました。そして彼が人々の中に立ったとき、彼は肩から上がすべての人々よりも高かったです。

24

サムエルはすべての人々に言いました、「主が選ばれた者を見なさい。確かに彼のような者はすべての人々の中にいません。」

それで、すべての人々は叫びました、「王様万歳！」

25

それからサムエルは人々に王国の規則を伝え、それを書物に書き、主の前に置きました。それからサムエルはすべての人々をそれぞれの家に送りました。

26

サウルはギベアの自宅に戻り、神が心を動かした勇敢な男たちが彼に付き従いました。

27

しかし、何の価値もない人々は言いました、「この人がどうやって私たちを救うことができるのか？」そして彼らは彼を軽蔑し、彼に何の贈り物も持ってきませんでした。

しかし、サウルは黙っていました。

11 その時、アンモン人ナハシュが上ってきて、ヤベシュ・ギルアデを包囲した。ヤベシュのすべての男たちはナハシュに言った。

「私たちと契約を結んでください。そうすれば、私たちはあなたに仕えます。」

2

しかし、アンモン人ナハシュは彼らに言った。「この条件であなたたちと契約を結びます。それは、あなたたち全員の右目をえぐり出し、イスラエル全体に恥をかかせることです。」

3

ヤベシュの長老たちは彼に言った。「イスラエル全土に使者を送るために七日間の猶予をください。それで、もし私たちを救う者がいなければ、あなたに降伏します。」

4

使者たちがサウルのギベアに来て、その条件を民の耳に報告すると、民は皆声を上げて泣いた。

5

さて、サウルは牛の後ろの畑から帰ってきたところで、彼は言った。「民に何が起こったのか、なぜ泣いているのか？」そこで彼らはヤベシュの男たちの言葉を彼に伝えた。

6

その時、神の霊が力強くサウルに臨み、彼はこれらの言葉を聞いたとき、大いに怒りが燃え上がった。

7

彼は一対の牛を取り、それを切り分け、使者の手に

サムエル記上

よってイスラエル全土に送り、「サウルとサムエルに従わない者の牛はこのようにされる」と言った。すると、主の恐れが民に臨み、彼らは一人の人のように出てきた。⁸
彼がベゼクで彼らを集めたとき、イスラエルの子らは三十万人、ユダの男たちは三万人であった。⁹
彼らは来た使者たちに言った。「ヤベシュ・ギルアドの男たちにこう言いなさい。『明日、太陽が熱くなる頃には、あなたたちは救われる。』」
そこで使者たちは行ってヤベシュの男たちに伝え、彼らは喜んだ。¹⁰
その時、ヤベシュの男たちは言った。「明日、私たちはあなたたちに出席します。あなたが適切と思うことを私たちにしてください。」

¹¹
翌日、サウルは軍隊を三つの部隊に分け、夜明けに陣営の中に入り、日が高くなるまでアンモン人を打ち倒した。残った者たちは散り散りになり、二人と一緒に残る者はいなかった。¹²
その時、民はサムエルに言った。「サウルが私たちに治めるのかと言った者は誰か？その者たちをここに連れてきて、私たちは彼らを死刑にします。」¹³
しかし、サウルは言った。「今日は誰も死刑にされるべきではない。今日は主がイスラエルに救いをもたらしたからだ。」

¹⁴
サムエルは民に言った。「来なさい、ギルガルに行つて、そこで王国を新たにしよう。」¹⁵
それで、すべての民はギルガルに行き、そこで主の前でサウルを王とした。そこで彼らは主の前で和解のいけにえを捧げ、サウルとイスラエルのすべての男たちは大いに喜んだ。

12 それからサムエルはイスラエル全体に言った。「見よ、あなたがたが私に言ったすべてのことにおいて、私はあなたがたの声に耳を傾け、あなたがたの上に王を任命しました。²
今、ここにあなたがたの前を歩く王がいます。そして私は年老いて白髪になりました。見よ、私の息子たちはあなたがたと共にいます。私は若い頃から今日まであなたがたの前を歩んできました。³
ここに私はいます。主とその油注がれた者の前で私に対して証言してください。誰の牛を私は取ったのか？誰のロバを私は取ったのか？誰を私は欺いたのか？誰を私は圧迫したのか？誰の手から私は賄賂を取って目をくらませたのか？私に対して証言してください、そうすれば私はそれをあなたに返します。⁴
」
彼らは答えた。「あなたは私たちを害したり、圧迫

したり、誰の手からも何も取ったりしていません。⁵
」
彼は彼らに言った。「主とその油注がれた者が、今日あなたがたが私の所有物に何も見つけなかったことの証人です。」
彼らは答えた。「彼が証人です。」

⁶
それからサムエルは民に言った。「モーセとアロンを任命し、あなたがたの父祖をエジプトの地から連れ出したのは主です。⁷
今、立ち止まって、主の前であなたがたとあなたがたの父祖のために行われた主のすべての正しい行いについて、私があなたがたと論じることができるようにしてください。⁸
ヤコブがエジプトに入ったとき、あなたがたの父祖が主に呼び求めたので、主はモーセとアロンを送り、彼らをエジプトから連れ出し、この地に住まわせました。⁹
しかし、彼らは主なる彼らの神を忘れたので、主は彼らをハツオルの軍の司令官シセラの手に、ペリシテ人の手に、モアブの王の手に渡し、彼らは彼らと戦いました。¹⁰
それから彼らは主に呼び求めて言った、『私たちは罪を犯しました。主を捨ててバアルとアシュタロテを仕えたからです。しかし今、私たちを敵の手から救い出してください、そうすれば私たちはあなたに仕えます。』¹¹
それから主はエルバアルとベダンとエフタとサムエルを送り、あなたがたを四方の敵の手から救い出し、あなたがたは安全に住みました。¹²
しかし、アモン人の王ナハシュがあなたがたに対して来たとき、あなたがたは私に言いました、『いいえ、私たちの上に王が治めるべきです』—
あなたがたの神、主があなたがたの王であったときに。¹³
今、見よ、あなたがたが選んだ王、あなたがたが求めた王がここにいます。そして見よ、主はあなたがたの上に王を立てました。¹⁴
もしあなたがたが主を恐れ、彼に仕え、彼の声に従い、主の命令に逆らわず、あなたがたとあなたがたの上に治める王があなたがたの神、主に従うならば、それは良いことです。¹⁵
しかし、もしあなたがたが主の声に従わず、主の命令に逆らうならば、主の手はあなたがたとあなたがたの王に対して立ち向かいます。

¹⁶
今、立ち止まって、主があなたがたの目の前で行うこの大いなることを見てください。¹⁷

サムエル記上

今日は小麦の収穫ではありませんか？私は主に呼びかけ、彼が雷と雨を送るようにします。そうすれば、あなたがたが主の目の前で行ったあなたがたの悪事がどれほど大きいかわかり、見ることができます。」¹⁸

そしてサムエルが主に呼びかけると、その日、主は雷と雨を送りました。それで全ての民は主とサムエルを非常に恐れました。

¹⁹そして全ての民はサムエルに言いました、「あなたの神、主に、私たちが死なないように、あなたの僕たちのために祈ってください。私たちはすべての罪にこの悪を加え、私たち自身のために王を求めました。」²⁰

それからサムエルは民に言いました、「恐れることはありません。あなたがたはこのすべての悪を行いましたが、それでも主に従うことをやめず、心を尽くして主に仕えなさい。」²¹

そして、利益をもたらず、救うこともできない虚しいものに従って逸れてはなりません。それらは何もありません。」²²

主はその大いなる名のためにその民を捨てることはありません。主があなたがたをその民とすることを喜ばれたからです。」²³

私に関しては、あなたがたのために祈ることをやめて主に罪を犯すことは決してありません。むしろ、私はあなたがたを良い正しい道に導きます。」²⁴

心を尽くして主を恐れ、誠実に彼に仕えなさい。彼があなたがたのために行った大いなることを考えなさい。」²⁵

しかし、あなたがたが悪事を続けるならば、あなたがたとあなたがたの王は滅びに直面するでしょう。

13 サウルは三十歳で王となり、イスラエルを四十二年間治めた。」²

サウルはイスラエルから三千人を選んだ。二千人はミクマスとベテルの山地にいるサウルと共におり、千人はベニヤミンのギベアにいるヨナタンと共にいた。残りの民はそれぞれ自分の天幕に帰した。」³

ヨナタンはゲバにいるペリシテ人の守備隊を打ち破り、ペリシテ人はこれを聞いた。サウルは全地にラッパを吹き鳴らし、「ヘブライ人に聞かせよ！」と言った。」⁴

そして、全イスラエルはサウルがペリシテ人の守備隊を打ち破ったこと、イスラエルがペリシテ人に憎まれるようになったことを聞いた。それで民はギルガルでサウルのもとに召集された。

⁵ペリシテ人はイスラエルと戦うために集まった。戦車三万、騎兵六千、海辺の砂のように多くの兵士がいた。彼らは上ってきて、ベテ・アベン⁶の東、ミクマスに陣を張った。

イスラエルの人々は自分たちが危険にさらされているのを見た。民は圧迫されていたので、洞窟、茂み、岩の間、地下室、穴に隠れた。」⁷

ヘブライ人の一部はヨルダンを渡ってガドとギルアデの地に行った。しかし、サウルはギルガルに留まり、民は震えながら彼に従った。」⁸

彼はサムエルが定めた時に従って七日間待った。しかし、サムエルはギルガルに來ず、民は彼から散っていった。」⁹

サウルは「燔祭と和解の捧げ物を私のもとに持って来なさい」と命じた。そして彼は燔祭を捧げ始めた。」¹⁰

彼が燔祭を捧げ終わるとすぐに、サムエルが来た。サウルは彼に会い、挨拶するために出て行った。」¹¹しかし、サムエルは言った、「何をしたのですか？」

サウルは答えた、「民が私から散っていくのを見て、あなたが定められた日までに來られず、ペリシテ人がミクマスに集まっているのを見たとき、」¹²

私は『ペリシテ人がすぐにギルガルに下ってくるだろう、そして私は主の好意を求めている』と思いました。それで私は燔祭を捧げることを余儀なくされました。」¹³

するとサムエルはサウルに言った、「あなたは愚かなことをしました。あなたの神、主の命令を守らなかったのです。今、主はあなたの王国をイスラエルの上に永遠に確立されたでしょう。」¹⁴

しかし今、あなたの王国は続かないでしょう。主はご自身の心にかなう人をお求め、彼を主の民の指導者として任命されました。あなたが主の命じたことを守らなかったからです。」

¹⁵それからサムエルは立ち上がり、ギルガルからベニヤミンのギベアに上った。サウルは彼と共にいる民を数えたが、約六百人であつた。」¹⁶

今、サウルとその息子ヨナタンと彼らと共にいる民はベニヤミンのギベアに留まり、ペリシテ人はミクマスに陣を張っていた。」¹⁷

ペリシテ人の陣営から三つの隊が出てきた。一つの隊はオフラ、シュアルの地に向かい、もう一つの隊はベテ・ホロンに向かい、もう一つの隊はゼボイムの谷を見下ろす国境、荒野に向かった。」¹⁸

サムエル記上

19

その時、イスラエル全土には鍛冶屋が一人もいなかった。ペリシテ人が「ヘブライ人が剣や槍を作らないように」と言ったからである。

それで、イスラエル全体がペリシテ人のところに下って行き、それぞれ自分の鋤、鍬、斧、鎌を研いでもらった。

鋤、鍬、三叉のフォーク、斧を研ぎ、突き棒を整える料金は三分の二シェケルであった。

それで戦いの日、サウルとヨナタンと共にいる民の手には剣も槍も見つからなかったが、それらはサウルとその息子ヨナタンの手にだけあった。

ペリシテ人の守備隊はミクマスの峠に出て行った。

14 ある日、サウルの息子ヨナタンは、彼の武器を持つ若者に言った。「さあ、向こう側のペリシテ人の守備隊に行こう。」しかし、彼は父に告げなかった。

サウルはミグロンのザクロの木の下、ギベアの郊外に留まっていた。彼と共にいた人々は約六百人であった。

そして、アヒトブの息子アヒヤ、イカボデの兄弟、ピネハスの息子、エリの孫であるシロの主の祭司がエフォドを着ていた。しかし、人々はヨナタンが去ったことを知らなかった。

ヨナタンがペリシテ人の守備隊に渡ろうとした通路の間には、一方に鋭い岩があり、他方にも鋭い岩があった。一つはボゼツと呼ばれ、もう一つはセネと呼ばれていた。

一つの岩は北側のミクマスに向かってそびえ、もう一つは南側のゲバに向かってそびえていた。

ヨナタンは彼の武器を持つ若者に言った。「さあ、これらの割礼を受けていない者たちの守備隊に渡ろう。主が我々のために行動されるかもしれない。主が救うことを妨げるものは何もない、多くによっても少なくによっても。」

彼の武器を持つ者は彼に言った。「あなたの心にあることをすべて行ってください。進んでください。私は心と魂をもってあなたと共にいます。」

するとヨナタンは言った。「今、我々はその男たちのところに渡り、彼らに姿を見せよう。」

もし彼らが我々に『こちらに来るまで待て』と言ったら、我々はその場に留まり、彼らのところに上がらない。

しかし、もし彼らが『こちらに上がって来い』と言ったら、我々は上がって行こう。主が彼らを我々の手に渡されたのだ。これが我々へのしるしとなる。」

11

彼ら二人がペリシテ人の守備隊に姿を現したとき、ペリシテ人は言った。「見よ、ヘブライ人が彼らが隠れていた穴から出てきた。」

守備隊の男たちはヨナタンと彼の武器を持つ者に声をかけて言った。「こちらに上がって来い、何かを見せてやろう。」

ヨナタンは彼の武器を持つ者に言った。「私の後に上がって来い。主が彼らをイスラエルの手に渡されたのだ。」

するとヨナタンは手と足を使って上がり、彼の武器を持つ者も後に続いた。そして彼らはヨナタンの前に倒れ、彼の武器を持つ者がその後に彼らを殺した。

その最初の攻撃で、ヨナタンと彼の武器を持つ者は約半ファーロングの土地内で約二十人を殺した。そして、陣営、野、すべての人々の間に震えが起こった。守備隊や襲撃者たちも震え、地は揺れ、神からの大きな恐慌となった。

16

ベニヤミンのギベアにいるサウルの見張りたちは見えた。見よ、多くの者が溶けて四方に散っていた。するとサウルは彼と共にいる人々に言った。「点呼を取って、我々から誰が去ったか見てみよ。」そして彼らが点呼を取ったとき、見よ、ヨナタンと彼の武器を持つ者はいなかった。

そこでサウルはアヒヤに言った。「神の箱をここに持って来い。」その時、神の箱はイスラエルの子らと共にあった。

サウルが祭司に話している間に、ペリシテ人の陣営の騒ぎは増していった。そこでサウルは祭司に言った。「あなたの手を引け。」

するとサウルと彼と共にいるすべての人々は集まり、戦いに入った。見よ、各々の剣が仲間に向かっており、大混乱があった。

以前ペリシテ人と共にいたヘブライ人たちが、周囲の国から彼らと共に陣営に上がってきたが、彼らもサウルとヨナタンと共にいるイスラエル人に加わった。

そしてエフライムの山地に隠れていたイスラエルのすべての人々が、ペリシテ人が逃げていることを聞き、彼らもまた戦いで彼らを追い詰めた。

こうしてその日、主はイスラエルを救い、戦いはベテ・アベンを越えて進んだ。

24

その日、イスラエルの人々は苦しんでいた。サウルが人々に誓いを立てさせて言ったからである。「夕方まで食べ物を食べる者は呪われる。私が敵に復讐

サムエル記上

する前に。」それで人々は誰も食べ物をお口にしません。²⁵

その後、全地の人々が森に入ったとき、地面に蜂蜜があった。²⁶

そして人々が森に入ったとき、見よ、蜂蜜が滴っていたが、誰も手を口に持って行かなかった。人々が誓いを恐れたからである。²⁷

しかしヨナタンは、彼の父が人々に誓いを立てさせたことを聞いていなかったの、彼の手にあった杖の端を伸ばして蜂の巣に浸し、手を口に持って行った。そして彼の目は輝いた。²⁸

すると人々の一人が言った。「あなたの父は人々に厳しく誓いを立てさせて、『今日食べ物を食べる者は呪われる』と言った。」そして人々は弱っていた。²⁹

そのときヨナタンは言った。「私の父はこの地に災いをもたらした。見よ、私の目がこの蜂蜜を少し味わったことで輝いている。³⁰

もし人々が今日、彼らの敵から見つけた戦利品を自由に食べていたら、どれほど良かったことか！今、ペリシテ人との間の虐殺は大したことがなかった。」³¹

その日、彼らはミクマスからアイヤロンまでペリシテ人を打ち破り、人々は非常に疲れていた。³²

人々は戦利品に食欲に飛びかかり、羊、牛、子牛を取り、地面でそれらを殺し、血と共にそれらを食べた。³³

それでサウルに告げられた。「見よ、人々が血と共に肉を食べて主に罪を犯している。」

彼は言った。「あなた方は裏切りを働いた。ここに大きな石を転がして来い。」³⁴

それからサウルは言った。「人々の間に散らばり、彼らに言え、『各々自分の牛や羊を持って来て、ここでそれを殺して食べよ。血と共に食べて主に罪を犯すな。』」それで人々はその夜、自分の牛を持って来て、そこでそれらを殺した。³⁵

そしてサウルは主のために祭壇を築いた。これは彼が主のために築いた最初の祭壇であった。³⁶

それからサウルは言った。「夜にペリシテ人を追い、朝の光まで彼らを略奪し、一人も残さないようにしよう。」彼らは言った。「あなたに良いと思われることをしてください。」しかし祭司は言った。「ここで神に近づこう。」³⁷

そしてサウルは神に尋ねた。「ペリシテ人を追っていくべきでしょうか？あなたは彼らをイスラエルの手に渡されますか？」しかしその日、彼は彼に答え

なかった。³⁸

それでサウルは言った。「ここに来い、すべての民の長たちよ、今日この罪がどこにあるかを知り、見よ。」³⁹

イスラエルを救う主が生きておられる限り、たとえそれが私の息子ヨナタンであっても、彼は必ず死ぬ。」しかし、すべての民の中で彼に答える者はいなかった。⁴⁰

それから彼は全イスラエルに言った。「あなた方は一方にいなさい。私はヨナタン、私の息子と共に他方にいる。」民はサウルに言った。「あなたに良いと思われることをしてください。」⁴¹

それゆえサウルは主に言った。「イスラエルの神よ、完全なくじをお与えください。」そしてヨナタンとサウルが取られ、民は逃れた。⁴²

それからサウルは言った。「私と私の息子ヨナタンの間でくじを引け。」そしてヨナタンが取られた。⁴³

それからサウルはヨナタンに言った。「あなたが何をしたか教えてくれ。」

ヨナタンは彼に言った。「私は確かに私の手にあった杖の端で少し蜂蜜を味わいました。ここに私はいます。私は死ななければなりません。」⁴⁴

サウルは言った。「神が私にそうされ、さらにそれ以上をされるように。あなたは必ず死ぬ、ヨナタン。」⁴⁵

しかし民はサウルに言った。「イスラエルにこの大いなる救いをもたらしたヨナタンが死ぬべきでしょうか？決してそんなことはありません！主が生きておられる限り、彼の頭の髪一本も地に落ちることはありません。彼は今日、神と共に働いたのです。」それで民はヨナタンを救い、彼は死ななかった。⁴⁶ それからサウルはペリシテ人を追うのをやめ、ペリシテ人は自分たちの場所に戻った。

⁴⁷ さて、サウルがイスラエルの王国を取ったとき、彼は周囲のすべての敵と戦った—

モアブ、アモン人、エドム、ツォバの王たち、そしてペリシテ人に対して。そして彼が向きを変えるたびに、彼は彼らを打ち破った。⁴⁸

彼は勇敢に行動し、アマレク人を打ち、彼らからイスラエルを救った。⁴⁹

サウルの息子たちはヨナタン、イシュヴィ、マルキ・シュアであった。彼の二人の娘は、長女がメラブ、次女がミカルと名付けられた。⁵⁰

アヒノアム、アヒマアツの娘はサウルの妻であった。彼の軍の司令官はアブネル、ネールの息子で、サウルの叔父であった。⁵¹

サウルはキシユの息子であり、アブネルの父ネール

サムエル記上

はアビエルの息子であった。⁵²
サウルのすべての日々、ペリシテ人に対する激しい戦いがあった。そしてサウルが強い人や勇敢な人を見るたびに、彼を自分の奉仕に取り入れた。

15 サムエルはサウルに言った。「主は私を遣わして、あなたをその民イスラエルの王として油を注がせた。今、主の言葉に耳を傾けなさい。」²

万軍の主はこう言われる。『私はアマレクがイスラエルにしたこと、すなわち彼がエジプトから上ってくる途中で彼に立ちはだかったことについて、アマレクを罰する。³
今行って、アマレクを打ち、彼らの持っているものをすべて滅ぼし尽くせ。彼らを惜しんではならない。男も女も、子供も乳飲み子も、牛も羊も、ラクダもロバも、皆殺しにせよ。』」⁴

それでサウルは民を召集し、テラ임で彼らを数えた。歩兵は二十万人、ユダの人々は一万人であった。⁵

サウルはアマレクの町に来て、谷で待ち伏せた。⁶
サウルはケニ人に言った。「行け、離れよ。アマレク人の中から下って行け。そうしないと、私はあなたを彼らと一緒に滅ぼすことになる。あなたはエジプトから上ってきたとき、イスラエルの子らすべてに親切にしたからだ。」それでケニ人はアマレク人の中から離れた。⁷

それからサウルはハビラからエジプトの東にあるシユルに至るまで、アマレク人を打ち倒した。⁸

彼はアマレク人の王アガグを生け捕りにし、民を剣の刃でことごとく滅ぼした。⁹

しかしサウルと民はアガグと羊、牛、肥えた動物、子羊、そしてすべて良いものを惜しんで、滅ぼし尽くすことを望まなかった。しかし、すべて軽蔑されるもの、価値のないものはことごとく滅ぼした。

¹⁰ そのとき、主の言葉がサムエルに臨んだ。¹¹
「私はサウルを王にしたことを悔いる。彼は私に従うことをやめ、私の命令を実行しなかったからだ。」サムエルは心を痛め、一晚中主に叫び続けた。¹²

サムエルは朝早く起きてサウルに会いに行った。サムエルに報告があり、「サウルはカルメルに来て、自分のために記念碑を立て、その後ギルガルに下って行った。」と言われた。¹³

サムエルがサウルに会うと、サウルは彼に言った。「主によって祝福されますように！私は主の命令を果たしました。」¹⁴

しかしサムエルは言った。「では、私の耳に聞こえ

るこの羊の鳴き声と牛の鳴き声は何ですか？」¹⁵
サウルは答えた。「それらはアマレク人から持ってきたものです。民は主なるあなたの神に捧げるために、羊と牛の最良のものを惜しんだのです。しかし、その他のものはすべて滅ぼし尽くしました。」

¹⁶
するとサムエルはサウルに言った。「やめなさい！昨夜主に言われたことをあなたに告げましょう。」彼は言った。「話してください。」¹⁷
サムエルは言った。「あなたが自分を取るに足らない者と考えていたとき、あなたはイスラエルの部族の頭とされなかったか？そして主はあなたに油を注いでイスラエルの王とされた。」¹⁸

そして主はあなたを使命に送り出し、『行って罪深いアマレク人をことごとく滅ぼし、彼らが絶えるまで戦え』と命じられた。¹⁹

それなのに、なぜあなたは主の声に従わず、むしろ戦利品を奪い、主の目に悪とされることをしたのですか？」²⁰

サウルはサムエルに言った。「私は確かに主の声に従い、主が私を遣わされた使命を果たし、アマレクの王アガグを連れ戻し、アマレク人をことごとく滅ぼしました。」²¹

しかし民は、ギルガルで主なるあなたの神に捧げるために、滅ぼすべきものの中から最良の羊と牛を取ったのです。」

²² サムエルは言った。

「主は焼き尽くす献げ物や犠牲を
主の声に従うことほど喜ばれるだろうか。
見よ、従うことは犠牲にまさり、
聞くことは雄羊の脂肪にまさる。²³
反逆は占いの罪のようであり、
頑固は不義と偶像礼拝のようだ。
あなたが主の言葉を拒んだので、
主もまたあなたを王位から退けた。」

²⁴
サウルはサムエルに言った。「私は罪を犯しました。私は主の命令とあなたの言葉に背いたのです。民を恐れて彼らの声に従ったからです。」²⁵

今、どうか私の罪を赦し、私と一緒に戻ってください。そうすれば私は主を礼拝できます。」²⁶

しかしサムエルはサウルに答えた。「私はあなたと一緒に戻らない。あなたは主の言葉を拒んだから、主はあなたをイスラエルの王位から退けた。」²⁷

サムエルが去ろうとすると、サウルは彼の衣の端をつかんだので、それが裂けた。²⁸

そこでサムエルは彼に言った。「主は今日、イスラ

サムエル記上

エル王国をあなたから裂き取り、あなたよりも優れた隣人に与えた。²⁹

さらに、イスラエルの栄光は欺くことも、心を変えることもない。彼は人ではないので、心を変えることはない。」

30

サウルは言った。「私は罪を犯しました。しかし、どうか今、私の民の長老たちとイスラエルの前で私を尊重し、私と一緒に戻ってください。そうすれば私はあなたの神、主を礼拝できます。」³¹

それでサムエルはサウルの後について行き、サウルは主を礼拝した。³²

その後、サムエルは言った。「アマレク人の王アガグを私のところに連れて来なさい。」アガグは喜んで彼に近づき、「死の苦しみは過ぎ去ったに違いない。」と言った。³³

しかしサムエルは言った。

「あなたの剣が女たちを子なしにしたように、
あなたの母も女たちの中で子なしになる。」
そしてサムエルはギルガルで主の前でアガグを殺した。

34

その後、サムエルはラマに行き、サウルはサウルのギベアの家に入った。³⁵

サムエルはサウルの死の日まで再び彼を見ることはなかった。

サムエルはサウルのために悲しみ、主はサウルをイスラエルの王にしたことを悔やんだ。

16 主はサムエルに言われた。「いつまでサウルのことで嘆いているのか。私は彼をイスラエルの王として退けたのだ。

角に油を滴たして行け。私はあなたをベツレヘム人エッサイのもとに遣わす。彼の息子たちの中から、私のために王を選んだ。」²

しかしサムエルは言った。「どうして行けましょうか。サウルがそれを聞いたら、私を殺すでしょう。」

主は言われた。「若い雌牛を連れて行き、『私は主に犠牲を捧げに来た』と言いなさい。」³

それからエッサイを犠牲に招き、私があなたに示すことを行いなさい。

そして私があなたに示す者に油を注ぎなさい。」⁴ サムエルは主が言われたことを行い、ベツレヘムに行った。

町の長老たちは震えながら彼を迎えに来て言った。

「あなたは平和をもたらすために来たのですか。」

5

彼は言った。「はい、平和をもたらすためです。私は主に犠牲を捧げに来ました。

あなたたち自身を聖別し、私と一緒に犠牲を捧げに来なさい。」

それから彼はエッサイとその息子たちを聖別し、犠牲に招いた。

6

彼らが到着すると、彼はエリアブを見て、「確かに主の油注がれた者がここにいる」と思った。⁷

しかし主はサムエルに言われた、

「彼の外見や背の高さを見てはならない。

私は彼を退けたからだ。

主は人が見るようには見ない。

人は外見を見るが、主は心を見る。」

8

次にエッサイはアビナダブを呼び、サムエルの前を通らせた。

しかし彼は言った。「主はこの者をも選ばれなかった。」⁹

次にエッサイはシャマを通らせた。しかし彼は言った。「主はこの者をも選ばれなかった。」¹⁰

こうしてエッサイは七人の息子たちをサムエルの前に通らせた。

しかしサムエルはエッサイに言った。「主はこれらの者を選ばれなかった。」

11

それからサムエルはエッサイに言った。「これで全部の若者ですか。」

彼は言った。「まだ末の子が残っていますが、見てください、彼は羊を飼っています。」

サムエルはエッサイに言った。「彼を送って連れて来なさい。彼がここに来るまで座りません。」¹²

そこで彼は彼を送って連れて来た。

彼は赤みを帯び、美しい目をした、容姿の良い若者であった。

主は言われた。「立って、彼に油を注ぎなさい。これがその人だ。」¹³

それからサムエルは油の角を取り、彼の兄弟たちの前で彼に油を注いだ。

その日から主の霊が力強くダビデと共にあった。

サムエルは立ち上がり、ラマへ行った。

14

その時、主の霊はサウルから離れ、主からの悩ます霊が彼を苦しめ始めた。¹⁵

サウルのしもべたちは彼に言った。「今、神からの悪い霊があなたを悩ませています。」¹⁶

どうか、あなたの前にいるしもべたちに命じてください。

サムエル記上

ハーブを巧みに奏でる者を探させてください。
神からの悪い霊があなたに臨むとき、
彼が奏でると、あなたは良くなるでしょう。」¹⁷
そこでサウルはしもべたちに命じた。「上手に奏でる者を見つけて、私のもとに連れて来なさい。」¹⁸
すると若者の一人が答えて言った、
「見てください、私はベツレヘム人エッサイの息子を見ました。彼は巧みに奏でる者で、
勇敢な者、戦士、雄弁な者、容姿の良い者です。
そして主が彼と共におられます。」

¹⁹
そこでサウルは使者をエッサイに送り、「群れと共にいるあなたの息子ダビデを私に送ってください」と頼んだ。²⁰

エッサイはパンを積んだロバ、ワインの壺、若いヤギを取り、息子ダビデを通してサウルに送った。²¹

それからダビデはサウルのもとに来て、彼に仕えるようになった。

サウルは彼を非常に愛し、彼は彼の武器持ちとなった。²²

そしてサウルはエッサイに言葉を送って言った、「ダビデを私のもとに留まらせてください。彼は私の目になかったからです。」²³

それで、神からの悪い霊がサウルに臨むたびに、ダビデはハーブを取り、手で奏でた。
するとサウルは元気を取り戻し、良くなり、悪い霊は彼を離れた。

17 ペリシテ人は戦いのために軍隊を集め、ユダに属するソコに集結した。彼らはソコとアゼカの間、エフェス・ダミムに陣を敷いた。²

サウルとイスラエルの人々は集まり、エラの谷に陣を敷き、ペリシテ人に対抗するために隊列を組んだ。³

ペリシテ人は一方の丘に陣を敷き、イスラエルは反対側の丘に立ち、谷を挟んで対峙した。⁴

そのとき、ペリシテ人の陣営から一人の勇士が出てきた。ガテ出身のゴリアテという名で、彼の身長は六キュビトと一スパンであった。⁵

彼は頭に青銅の兜をかぶり、五千シェケルの青銅の鱗状の鎧を着ていた。⁶

また、青銅のすね当てをつけ、肩に青銅の投げ槍を背負っていた。⁷

彼の槍の柄は織り機の横木のようにあり、槍の鉄の先は六百シェケルの重さがあった。彼の盾持ちが彼の前を歩いていた。⁸

彼は立ち、イスラエルの隊列に向かって叫んで言っ

た。「なぜ戦いのために出てくるのか。私はペリシテ人ではないか。あなたたちはサウルのしもべではないか。自分たちのために一人の男を選び、私のところに降りて来させよ。」⁹

もし彼が私と戦って私を打ち負かすことができれば、私たちはあなたたちのしもべとなる。しかし、もし私が彼を打ち負かして殺すなら、あなたたちは私たちのしもべとなり、私たちに仕えることになる。¹⁰

」
ペリシテ人は言った。「私は今日、イスラエルの戦列を侮る。私に一人の男をよこせ。私たちは共に戦おう。」¹¹

サウルとイスラエルの全ての者がペリシテ人の言葉を聞いたとき、彼らは恐れと大きな不安に満たされた。¹²

さて、ダビデはユダのベツレヘムに住むエフラタ人、エッサイの息子であった。彼には八人の息子があり、サウルの時代には既に年老いていた。¹³

エッサイの三人の長男はサウルに従って戦いに出ていた。戦いに行った三人の息子の名は、長男エリアブ、次男アビナダブ、三男シャマであった。¹⁴
ダビデは末っ子であった。三人の長男はサウルに従って行った。¹⁵

しかし、ダビデはサウルのもとを行ったり来たりして、ベツレヘムで父の羊の群れを世話していた。¹⁶
四十日間、ペリシテ人は毎朝と夕方に進み出て立っていた。

¹⁷
そのとき、エッサイは息子ダビデに言った。「兄弟たちのために、この焙煎した穀物一エファとこのパン十個を持って行き、急いで兄弟たちの陣営に行きなさい。」¹⁸

また、これらのチーズ十個を千人隊の長に持って行き、兄弟たちの安否を確かめ、彼らの様子を知らせてください。」¹⁹

サウルとイスラエルの全ての者はエラの谷にいて、ペリシテ人と戦っていた。²⁰

ダビデは朝早く起き、羊の群れを番人に任せ、エッサイが命じたとおりに物資を持って行った。

彼は軍隊が戦いのために出て行くときに陣営に着き、戦いの叫びを上げた。²¹

イスラエルとペリシテ人は軍隊対軍隊で戦いの陣形を整えていた。²²

ダビデは荷物を荷物番に預け、戦いの列に走って行き、兄弟たちに挨拶した。²³

彼が彼らと話している間に、見よ、ガテ出身のペリシテ人の勇士ゴリアテがペリシテ人の軍から進み出

サムエル記上

て、以前と同じ言葉を語った。そしてダビデはそれ
を聞いた。²⁴
イスラエルの全ての者が彼を見たとき、彼から逃げ
去り、大いに恐れた。

25

イスラエルの人々は言った。「この男が上がつてく
るのを見たか。確かに彼はイスラエルを侮るために
上がつてきている。王は彼を殺す者に大いなる富を
与え、娘を与え、彼の父の家をイスラエルで自由に
するだろう。」²⁶
するとダビデは彼のそばに立っている人々に言った
。「このペリシテ人を殺してイスラエルからこの恥
を取り除く者には何がなされるのか。この無割礼の
ペリシテ人は何者か、生ける神の軍を侮るとは。」²⁷

人々は彼に同じように答えて言った。「彼を殺す者
にはこのようにされる。」²⁸
そのとき、彼の長兄エリアブは彼が人々に話してい
るのを聞いた。そしてエリアブの怒りはダビデに対
して燃え上がり、彼は言った。「なぜここに下りて
きたのか。荒野にいるあの少しの羊を誰に任せてき
たのか。私はお前の高慢と心の悪を知っている。お
前は戦いを見るために下りてきたのだ。」²⁹
しかしダビデは言った。「今、私は何をしたのか。
ただの質問ではなかったのか。」³⁰
それから彼は彼から離れて別の者に同じことを言っ
た。そして人々は以前と同じように彼に答えた。

31

ダビデが話した言葉が聞かれたとき、それはサウル
に報告され、彼はダビデを呼び寄せた。³²
ダビデはサウルに言った。「このペリシテ人のため
に誰も心を失わないようにしてください。あなたの
しもべが行って彼と戦います。」³³
しかしサウルはダビデに言った。「あなたはこのペ
リシテ人と戦うために行くことはできない。あなた
は若者に過ぎず、彼は若い時からの戦士である。」³⁴

しかしダビデはサウルに言った。「あなたのしもべ
は父の羊を世話していました。ライオンや熊が来て
群れから子羊を取ったとき、³⁵
私はそれを追いかけて打ち、子羊をその口から救い
出しました。そしてそれが私に向かって立ち上がった
とき、私はそれをそのひげで捕まえて打ち殺しま
した。³⁶
あなたのしもべはライオンと熊の両方を打ち負かし
ました。そしてこの無割礼のペリシテ人もその一人
のようになるでしょう。彼は生ける神の軍を侮った
からです。」³⁷

ダビデは言った。「主は私をライオンの爪と熊の爪
から救い出してください。その主がこのペリシテ
人の手からも私を救い出してください。」
サウルはダビデに言った。「行け、主があなたと共
におられますように。」

38

それからサウルはダビデに自分の衣を着せ、頭に青
銅の兜をかぶせ、鎧を着せた。³⁹
ダビデは鎧の上に剣を帯びて歩こうとしたが、慣れ
ていなかった。
それでダビデはサウルに言った。「これでは行けま
せん。私はこれに慣れていません。」
そしてダビデはそれらを脱ぎました。⁴⁰
それから彼は手に杖を取り、川から滑らかな石を五
つ選び、
それを持っていた羊飼いの袋、すなわちポーチに入
れ、手に投石器を持ってペリシテ人に近づいた。⁴¹
その間にペリシテ人は進み出てダビデに近づき、盾
持ちが彼の前にいた。⁴²
ペリシテ人はダビデを見て彼を輕蔑した。彼は若者
で、赤みがかっていて、容姿が美しかったからであ
る。⁴³
ペリシテ人はダビデに言った。「私は犬か、杖を持
って私に来るとは。」
そして彼は自分の神々によってダビデを呪った。⁴⁴
ペリシテ人はまたダビデに言った。「私に来い。私
はあなたの肉を空の鳥と野の獣に与えるだろう。」

45するとダビデはペリシテ人に言った、

「あなたは剣と槍と投げ槍を持って私に来るが、
私はあなたが侮ったイスラエルの軍の神、
万軍の主の名によってあなたに立ち向かう。⁴⁶
今日、主はあなたを私の手に渡される。
私はあなたを打ち倒し、あなたの頭をあなたから
取り除く。
今日、私はペリシテ人の軍の死体を空の鳥と地の
野獣に与える。
それで全地がイスラエルに神がいることを知るだ
ろう。⁴⁷ また、この全会衆が知るだろう。
主は剣や槍によって救うのではない。
戦いは主のものであり、
彼はあなたを私たちの手に渡される！」

48

それから、ペリシテ人が立ち上がりダビデに向かっ
て進み出たとき、
ダビデはペリシテ人に向かって戦いの列に急いで走
った。⁴⁹
ダビデは袋に手を入れ、そこから石を取り出して投

サムエル記上

げ、ペリシテ人の額に当てた。
石は額に食い込み、彼は地面に顔を伏せて倒れた。

50

こうしてダビデは投石器と石でペリシテ人に勝ち、
ペリシテ人を打ち倒して殺した。
しかしダビデの手には剣がなかった。
それからダビデは走ってペリシテ人の上に立ち、彼の
剣を取り鞘から抜き、
彼を殺してその頭を切り落とした。

ペリシテ人たちは彼らの勇士が死んだのを見て逃げ
た。

52

それからイスラエルとユダの人々は立ち上がり叫び
声を上げ、谷までペリシテ人を追い、
エクロンの門まで追い詰めた。

そしてペリシテ人の死体はシャアラームへの道に沿
って、ガテとエクロンにまで散らばっていた。

53

それからイスラエルの子らはペリシテ人を追うこと
から戻り、彼らの陣営を略奪した。

54

ダビデはペリシテ人の頭を取ってエルサレムに持っ
て行き、彼の武器を自分の天幕に置いた。

55

さて、サウルがダビデがペリシテ人に向かって行く
のを見たとき、
彼は軍の司令官アブネルに言った。「アブネル、こ
の若者は誰の息子か。」

アブネルは言った。「王よ、あなたの魂が生きてい
るように、私は知りません。」

56

王は言った。「その若者が誰の息子か調べなさい。
」

57

ダビデがペリシテ人を打ち負かして戻ってきたとき
、アブネルは彼を連れてサウルの前に連れて行った
。彼の手にはペリシテ人の頭があった。

58

サウルは彼に言った。「若者よ、あなたは誰の息子
か。」

ダビデは言った。「私はあなたのしもべ、ベツレヘ
ム人エッサイの息子です。」

18 サウルに話し終えた後、ヨナタンはダビデ
に深く結びつき、ヨナタンは彼に対して自
分の魂のように献身的になった。

2

その日、サウルは彼を連れて行き、彼を父の家に帰
らせなかった。

3

それからヨナタンはダビデと契約を結び、彼に対し
て自分の魂のように献身的になった。

4

ヨナタンは自分の着ていた上着を脱ぎ、それをダビ
デに与えた。また、自分の鎧、剣、弓、帯も与えた
。

5

ダビデは出て行き、サウルが送るどこでも成功を収
めたので、サウルは彼を戦士たちの上に立てた。こ

れはすべての民の目にも、サウルの家来たちの目にも
喜ばれた。

6

彼らが帰ってくる時、ダビデがペリシテ人を打ち
倒して帰ってきたとき、イスラエルのすべての町か
ら女たちが出てきて、タンバリンを持ち、喜びと楽
器を持って歌い踊りながらサウル王を迎えた。
女たちは祝いながら歌って言った、

「サウルは千を打ち、ダビデは万を打った。」

8

そのとき、サウルは非常に怒り、この言葉が彼を不
快にさせたので言った。「彼らはダビデに万を与え
、私には千しか与えていない。彼が王国を手に入れ
ること以外に何があるのか？」

9

それでサウルはその日からダビデを疑いの目で見た
。

10

翌日、神からの悪霊がサウルに激しく臨み、彼は家
の中で狂ったように振る舞った。ダビデはいつもの
ように手でハーブを弾いていた。サウルは手に槍を
持っていた。

11

サウルは槍を投げてダビデを壁に突き刺そうとした
。しかし、ダビデは二度も彼の前から逃げることで
きた。

12

サウルはダビデを恐れていた。主が彼と共におられ
、サウルから離れていたからである。

13

それでサウルは彼を自分の前から取り除き、千人の
指揮官として任命した。彼は民の前に出入りした。

14

ダビデはすべての事で成功を収め、主が彼と共に
おられた。

15

サウルは彼が非常に成功しているのを見て、彼を恐
れた。

16

しかし、イスラエルとユダのすべての民はダビデを
愛していた。彼は彼らを戦いに導き、彼らの前に帰
ってきたからである。

17

そのとき、サウルはダビデに言った。「ここに私の
長女メラブがいる。彼女を妻として与えよう。ただ
し、私のために勇敢な男となり、主の戦いを戦え。
」サウルは「私の手が彼に向かうのではなく、ペリ
シテ人の手が彼に向かうようにしよう」と考えた。

18

しかし、ダビデはサウルに言った。「私は何者であ
り、私の命やイスラエルの私の父の家族が何である
のか、王の娘婿になるべきなのか？」

19

それで、メラブ、サウルの娘がダビデに与えられる

サムエル記上

時が来たとき、彼女はメホラ人アドリエルに妻として与えられた。

29

さて、ミカル、サウルの娘はダビデを愛していた。彼らがサウルにそれを告げたとき、そのことは彼を喜ばせた。

21

サウルは考えた。「彼女を彼に与えよう。そうすれば彼女が彼にとって異となり、ペリシテ人の手が彼に向かうだろう。」

それでサウルはダビデに言った。「今日、再び私の娘婿になれる。」

22

それからサウルは家来たちに命じた。「ダビデに密かに話し、『見よ、王はあなたを喜び、すべての家来たちがあなたを愛している。今、王の娘婿になれる』と言いなさい。」

23

それでサウルの家来たちはこれらの言葉をダビデに語った。しかし、ダビデは言った。「王の娘婿になることがあなた方の目に些細なことなのか、私は貧しい人間であり、軽んじられている。」

24

サウルの家来たちはダビデが言ったことを彼に報告した。

25

それからサウルは言った。「ダビデにこう言いなさい。『王は持参金を求めている。ただし、ペリシテ人の敵に復讐するために百の割礼を求めている。』」

しかし、サウルはダビデがペリシテ人の手によって倒れることを意図していた。

26

家来たちがこれらの言葉をダビデに伝えたとき、王の娘婿になることはダビデを喜ばせた。定められた時が過ぎる前に、

27

ダビデは出発し、彼と彼の部下はペリシテ人の中で二百人を打ち倒した。それからダビデは彼らの割礼を持ってきて、その全数を王に提出し、王の娘婿となるために。サウルは彼に娘ミカルを妻として与えた。

28

サウルが主がダビデと共におられること、そしてサウルの娘ミカルが彼を愛していることを観察し理解したとき、

29

サウルのダビデに対する恐れは増した。それで、サウルは絶えずダビデの敵であり続けた。

30

それからペリシテ人の指揮官たちが戦いに出た。そして、彼らが出るたびに、ダビデはサウルのすべての家来たちよりも成功を収めた。

19 さて、サウルは息子ヨナタンとすべての家来にダビデを殺すように命じた。

しかし、サウルの息子ヨナタンはダビデを非常に喜んでいた。

2

そこでヨナタンはダビデに知らせて言った、「私の父サウルはあなたを殺そうとしています。だから、朝に気をつけて、ひそかな場所に隠れてください。」

3

私は出て行って、あなたがいる野で父のそばに立ち、あなたについて父と話します。そして何かを知ったら、あなたに知らせます。」

4

それからヨナタンは父サウルにダビデのことを好意的に話し、彼に言った、

「王はしもべダビデに対して不正を行わないでください。彼はあなたに何も悪いことをしておらず、彼の行動はあなたにとって非常に有益でした。」

5

彼は命をかけてペリシテ人を打ち、主はイスラエル全体に大勝利をもたらしました。あなたはそれを見て喜びました。

それなのに、なぜ理由もなくダビデを殺して無実の血を流そうとするのですか？」

6

サウルはヨナタンの言葉を聞き入れ、誓いを立てて言った、「主の生きておられる限り、ダビデは殺されることはない。」

7

それからヨナタンはダビデを呼び、これらの言葉をすべて彼に伝えた。

ヨナタンはダビデをサウルのもとに連れて行き、彼は以前のようにサウルの前にいた。

8

再び戦争が起こったとき、ダビデは出て行ってペリシテ人と戦い、

彼らを大いに打ち負かし、彼らは彼の前から逃げ去った。

9

さて、主からの悪霊がサウルに臨み、彼は槍を手に持って家に座っていた。

ダビデは手でハーブを弾いていた。

10

サウルは槍でダビデを壁に突き刺そうとしたが、彼はサウルの前から逃げ去り、槍は壁に突き刺さった。

11

ダビデはその夜逃げ去った。それからサウルは使者をダビデの家に送り、朝に彼を殺そうと見張らせた。

しかし、ダビデの妻ミカルは彼に言った、「今夜あなたの命を救わなければ、明日には殺されるでしょう。」

12

そこでミカルはダビデを窓から逃がし、彼は逃げ去った。

13

ミカルは家の偶像を取ってベッドに置き、その頭にヤギの毛のキルトをかけ、服で覆った。サウルがダビデを捕らえるために使者を送ったとき、

14

彼女は「彼は病気です」と言った。

15

それからサウルは使者に言った、「彼をベッドごと私のもとに連れて来い、私は彼を殺す。」

16

使者が入ると、見よ、偶像がベッドにあり、その頭

サムエル記上

にヤギの毛のキルトがあった。¹⁷
そこでサウルはミカルに言った、「なぜこのようにして私を欺き、私の敵を逃がしてしまったのか？」ミカルはサウルに言った、「彼は私に『行かせてくれ！なぜあなたを殺さなければならないのか？』と仰いました。」

¹⁸
さて、ダビデは逃げ去り、ラマのサムエルのもとに行き、サウルが彼にしたことをすべて彼に告げた。それから彼とサムエルはナヨテに行って滞在した。¹⁹

サウルに「見よ、ダビデはラマのナヨテにいる」と報告された。²⁰

それからサウルは使者を送り、ダビデを捕らえようとしたが、

彼らが預言者たちの集団が預言しているのを見たとき、サムエルが彼らを導いて立っていた。

神の霊がサウルの使者たちに臨み、彼らも預言した。²¹

サウルにそれが伝えられると、彼は他の使者を送り、彼らもまた預言した。

それでサウルは三度目に使者を送り、彼らもまた預言した。²²

それから彼自身がラマに行き、セクの大きな井戸に came。

彼は尋ねた、「サムエルとダビデはどこにいるのか？」

誰かが言った、「見よ、彼らはラマのナヨテにいる。」²³ それで彼はラマのナヨテに行った。

そして神の霊が彼にも臨み、彼はラマのナヨテに到着するまで預言し続けた。²⁴

それから彼もまた服を脱ぎ、サムエルの前で預言し、その日とその夜、裸で横たわった。

それゆえ、人々は言う、「サウルもまた預言者の中にいるのか？」

20 ダビデはラマのナヨテから逃げ出し、ヨナタンのところに来て言った、

「私は何をしたのですか。私の罪は何ですか。あなたの父の前で私の罪は何ですか。彼が私の命を狙っているのはなぜですか。」²

しかし彼は言った、「そんなことはありません。あなたは死なないでしょう。見てください、私の父は大きなことも小さなことも私に知らせず何も行いません。

なぜ私の父がこのことを私に隠すのでしょうか。それはそうではありません。」³

しかしダビデは再び誓って言った、「あなたの父は、私があなたの目に恵みを得たことをよく知ってお

り、『ヨナタンにはこれを知らせてはならない、彼が悲しまないように』と仰いました。

しかし、本当に、主が生きておられる限り、そしてあなた自身が生きている限り、私と死の間にはほとんど一歩しかありません。」⁴

それからヨナタンはダビデに保証して言った、「あなたの求めることは何でもします。」⁵

ダビデはヨナタンに言った、「見てください、明日は新月で、私は王と一緒に食事をするようになっていきます。

しかし、私を行かせてください、そうすれば私は三日目の夕方まで野に隠れることができます。」⁶

もしあなたの父が私を見逃したら、『ダビデはベツレヘム、彼の町に行く許可を私に熱心に求めました、

なぜならそこでは家族全体のための年次の犠牲があるからです』と仰いなさい。⁷

もし彼が『それは良い』と言ったら、あなたのしもべは安全です。

しかし、彼が怒ったら、彼が私を害することを決めたことを知ってください。⁸

それゆえ、あなたのしもべに親切に接してください、あなたは主との契約にあなたのしもべを連れてきたからです。

しかし、もし私に罪があるなら、あなた自身で私を殺してください。なぜあなたが私をあなたの父のもとに連れて行くのですか。」⁹

ヨナタンは言った、「そんなことはありません。もし私が本当に私の父があなたを害することを決めたことを知ったら、あなたに知らせないでしょうか？」¹⁰

それからダビデはヨナタンに尋ねた、「あなたの父があなたに厳しく答えたら、私はどうやって知ることができますか？」¹¹

ヨナタンはダビデに言った、「来て、野に出ましょう。」¹² それで二人は野に出た。

それからヨナタンはダビデに言った、「イスラエルの神、主が証人です！

明日か三日目に私が父の心を探ったとき、もしダビデが無事であれば、私はあなたに知らせてそれを明かさないでしょうか？」¹³

しかし、もし私の父があなたを害することを喜ぶなら、主が私、ヨナタンに厳しく、さらに厳しく扱われるでしょう、

もし私があなたに知らせてあなたを安全に送り出さないなら。

そして主が私の父と共におられたように、あなたと

サムエル記上

共におられますように。¹⁴
もし私がまだ生きているなら、主の慈しみを私に示して、私が死なないようにしてくれませんか？¹⁵
そしてあなたは私の家からの忠誠を永遠に絶やしてはなりません、
主がダビデの敵を地の面からすべて取り除くときでさえ。」¹⁶
それでヨナタンはダビデの家と契約を結び、「主がダビデの敵を責任を持って扱われますように」と言った。¹⁷
ヨナタンは彼への愛のためにダビデに再び誓わせた、
彼は自分の命を愛するように彼を愛していたからである。
¹⁸
それからヨナタンは彼に言った、「明日は新月で、あなたは見逃されるでしょう、あなたの席が空いているからです。」¹⁹
三日間滞在したら、急いで降りて、あなたがその出来事の日に隠れていた場所に来てください、
そして石エゼルのそばに留まってください。²⁰
そして私は的を狙うかのように横に三本の矢を放ちます。²¹
それから見てください、私は少年を送り、『行って、矢を見つけない』と言います。
もし私が少年に特に『見てください、矢はあなたのこちら側にあります、それを取ってください』と言ったら、
出てきてください、あなたには安全があり、害はありません、主が生きておられる限り。²²
しかし、もし私が若者に『見てください、矢はあなたの向こうにあります』と言ったら、行ってください、主があなたを送り出されたからです。²³
あなたと私が話したことについては、見てください、主が永遠にあなたと私の間にいます。」
²⁴
それでダビデは野に隠れた。そして新月が来たとき、王は食事をするために座った。²⁵
王はいつものように壁際の席に座った。
それからヨナタンは立ち上がり、アブネルはサウルの側に座ったが、ダビデの席は空いていた。²⁶
それにもかかわらず、サウルはその日何も言わなかった、彼は思った、
「それは事故に違いない、彼は儀式的に清くない、確かに彼は清くない。」²⁷
そして次の日、新月の第二日目に、ダビデの席は空いていた。
それでサウルはその息子ヨナタンに言った、「なぜ

エッサイの息子は昨日も今日も食事に来なかったのか？」²⁸
ヨナタンはサウルに答えた、「ダビデはバツレヘムに行く許可を私に熱心に求めました。」²⁹
彼は言った、『どうか私を行かせてください、私たちの家族が町で犠牲を捧げ、兄が私に出席するよう命じたからです。
今、もし私があなたの目に恵みを得たなら、どうか私を逃れさせて兄弟たちに会わせてください。』
その理由で彼は王の食卓に来なかったのです。」
³⁰
それからサウルの怒りはヨナタンに対して燃え上がり、彼に言った、
「お前は道を外れた反逆者の女の子供だ！
お前がエッサイの息子を選んで自分の恥と母の恥を選んでいることを私は知らないのか？」³¹
エッサイの息子が地上に生きている限り、お前とお前の王国は確立されない。
今すぐ誰かを送り、彼を私のもとに連れて来い、彼は死ぬ運命にある！」³²
しかしヨナタンは父サウルに答えて尋ねた、「なぜ彼を死刑にするのですか？彼は何をしたのですか？」³³
それからサウルは彼を打ち倒そうと槍を投げた。それでヨナタンは父がダビデを殺そうと決心していることを悟った。³⁴
それでヨナタンは激しい怒りで食卓から立ち上がり、新月の第二日目に食事をしなかった、
彼はダビデを思っで悲しんだ、父が彼を辱めたからである。
³⁵
さて、朝になってヨナタンはダビデとの会合のために野に出て行った、
そして小さな少年が彼と一緒にいた。³⁶
そして彼は少年に言った、「走れ、私が撃つ矢を見つけない。」
少年が走ると、彼は彼を越えて矢を放った。³⁷
少年がヨナタンが放った矢の場所に着いたとき、ヨナタンは少年に向かって叫び、「矢はあなたの向こうではないか？」と言った。³⁸
そしてヨナタンは少年に向かって叫び、「急げ、速く、留まるな！」
そしてヨナタンの少年は矢を拾い上げて主人のもとに来た。³⁹
しかし少年は何も知らなかった、ヨナタンとダビデだけがそのことを理解していた。⁴⁰
それからヨナタンは彼の武器を少年に渡し、「行け、それを町に持って行け」と指示した。⁴¹

サムエル記上

少年が去ったとき、ダビデは南側から立ち上がり、地面に顔を伏せて三度礼をした。
そして彼らは互いに口づけし、共に泣いたが、ダビデはもっと泣いた。⁴²
ヨナタンはダビデに言った、「安全に行きなさい、私たちは主の名によって誓ったからです、
『主が私とあなたの間に、そして私の子孫とあなたの子孫の間に永遠にいます。』」
それでダビデは出発し、ヨナタンは町に入った。

21 ダビデはノブに到着し、そこに祭司アヒメレクがいた。

アヒメレクは震えながらダビデを迎えに来て、彼に尋ねた。「なぜあなたは一人で、誰も伴っていないのですか？」²

ダビデは祭司アヒメレクに言った。「王が私にある任務を命じ、『あなたを送り出すこの任務について誰にも知らせてはならない』と言いました。

そして私は若者たちをある場所に指示しました。³

それで、どんな備えがあるのですか？パンを五つ、または見つかるものをください。」⁴

祭司はダビデに答えて言った。「普通のパンは手元にはありませんが、聖別されたパンがあります。ただし、男たちが女性から離れている場合に限りです。」⁵

ダビデは祭司に答えて言った。「確かに、私が出かけるときはいつも女性から離れています。

若者たちの器は聖なるものでしたが、それは普通の旅でした。ましてや今日、彼らの器は聖なるものでしょう。」⁶

それで、祭司は彼に聖別されたパンを提供しました。そこには主の前から取り去られた供えのパンしかなく、それが取り去られるときに熱いパンで置き換えられました。

⁷
その日、サウルのしもべの一人がそこにいて、主の前に留められていました。

彼の名はエドム人ドエグで、サウルの羊飼いたちの長でした。⁸

ダビデはアヒメレクに尋ねた。「ここに槍か剣がありますか？」

王の任務が急だったので、私の剣も武器も持ってこなかったのです。」⁹

祭司は答えた。「エラの谷であなたが打ち倒したペリシテ人ゴリアテの剣が、エボダの後ろに布で包まれてここにあります。

もしそれを取りたいなら、どうぞ。ここには他にありません。」

ダビデは言った。「それに勝るものはありません。それを私にください。」

¹⁰

それからダビデは立ち上がり、その日サウルから逃げて、ガテの王アキシュのもとに行きました。¹¹

しかし、アキシュのしもべたちは彼に言った。

「これは地の王ダビデではないか？彼について踊りながら歌ったのではないか、

『サウルは千を打ち、
ダビデは万を打った』と。」

¹²

ダビデはこれらの言葉を心に留め、ガテの王アキシュを非常に恐れました。¹³

それで彼は彼らの前で行動を変え、彼らの手の中で狂ったふりをし、

門の扉に落書きし、唾をひげに垂らしました。¹⁴

するとアキシュはしもべたちに言った。

「見ろ、この男は狂っている。なぜ彼を私のところに連れてきたのか？」¹⁵

私は狂人が足りないのか、この男を私の前で狂ったように振る舞わせるために連れてきたのか？

この男を私の家に入れるべきか？」

22 ダビデはその場所を去り、アドラムの洞窟に避難した。

彼の兄弟たちと父の家の全員がこれを知ると、彼のもとに下ってきた。²

困っている者、借金を抱えている者、不満を抱いている者が皆彼のもとに集まり、

彼は彼らの長となった。彼と共にいる者は約四百人であった。³

ダビデはそこからモアブのミツパに行った。

彼はモアブの王に言った、「どうか私の父と母があなたのもとに来て、

神が私のために何をなさるかを知るまで、あなたと共に留まらせてください。」⁴

彼は彼らをモアブの王に託し、ダビデが要塞にいます間、彼らは彼と共に留まった。⁵

しかし、預言者ガドはダビデに言った、「要塞に留まってはならない。ユダの地に行け。」

それでダビデは去り、ヘレテの森に行った。

⁶

その時、サウルはダビデと彼と共にいる者たちが発見されたことを聞いた。

サウルはギベアで、丘の上のタマリスクの木の下に座っており、手には槍を持ち、

彼のすべての家来たちは彼の周りに立っていた。⁷

サウルは彼の周りに立っている家来たちに言った、

サムエル記上

「聞け、ベニヤミン人たちよ！エッサイの子があなたたち全員に畑やぶどう畑を与えるだろうか？彼があなたたち全員を千人隊や百人隊の長にするだろうか？」⁸

あなたたち全員が私に対して共謀しているからだ、誰も私に知らせず、私の息子がエッサイの子と契約を結んだとき、誰も私を気かけず、私の息子が私に対して私の家来をそそのかし、待ち伏せしていることを知らせない。」⁹

その時、サウルの家来たちのそばに立っていたエドム人ドエグが言った、

「私はエッサイの子がノブに来て、アヒトブの子アヒメレクのもとに行くのを見ました。¹⁰彼は彼のために主に伺い、彼に供給物を与え、ペリシテ人ゴリアテの剣を彼に与えました。」¹¹

それで王は人を送って、アヒトブの子である祭司アヒメレクと彼の父の家の全員、ノブにいる祭司たちを呼び寄せた。彼らは皆、王のもとに来た。¹²

サウルは言った、「聞け、アヒトブの子よ。」¹³彼は言った、「ここにおります、我が主よ。」するとサウルは彼に言った、

「なぜあなたとエッサイの子は私に対して共謀し、彼にパンと剣を与え、彼のために神に伺い、彼が私に対して立ち上がり、待ち伏せするようにしたのか、今日のように。」¹⁴

アヒメレクは王に答えて言った、
「あなたのすべての家来の中で、ダビデほど忠実な者がいるでしょうか、

王の娘婿であり、あなたの護衛の長であり、あなたの家で尊敬されている者です。」¹⁵

今日初めて彼のために神に伺ったのでしょうか？決してそんなことはありません！

王はあなたの家来や私の父の家の誰にも罪を負わせないでください、

あなたの家来はこの全てのことについて何も知りません。」¹⁶

しかし王は宣言した、「アヒメレク、あなたとあなたの父の家の全員は必ず死ぬ！」¹⁷

そして王は彼に仕える護衛たちに言った、
「振り返って、主の祭司たちを殺せ、

彼らもダビデと共に手を組んでおり、彼が逃げていることを知っていて私に知らせなかったからだ。」

しかし王の家来たちは主の祭司たちに手を下すことを望まなかった。¹⁸

それで王はドエグに言った、「振り返って祭司たちを襲え！」

そこでエドム人ドエグは振り返って祭司たちを襲い、
その日、リネンのエフォドを着た八十五人を殺した。¹⁹

彼はまた、祭司たちの町ノブを剣の刃で打ち、男も女も、子供も乳児も、牛もロバも羊も剣の刃で打ち倒した。²⁰

しかし、アヒトブの子アヒメレクの子であるアビアタルという名の一人の息子が逃げ延び、ダビデのもとに逃れた。²¹

アビアタルはダビデに、サウルが主の祭司たちを殺したことを告げた。²²

するとダビデはアビアタルに言った、
「私はその日、エドム人ドエグがそこにいるのを見て、

彼が必ずサウルに知らせるだろうと気づいた。私はあなたの父の家のすべての人に害をもたらした。²³ 私と共にいなさい。恐れることはない、私の命を狙っている者はあなたの命も狙っているが、あなたは私と共にいることで安全だ。」

23 その後、ダビデに告げられた。「見よ、ペリシテ人がケイラを攻撃し、打ち場を略奪しています。」²

そこでダビデは主に伺いを立てて言った、「私は行ってこれらのペリシテ人を攻撃すべきでしょうか？」

主はダビデに答えて言われた、「行け、ペリシテ人を攻撃し、ケイラを救え。」³

しかし、ダビデの部下たちは言った、「私たちは既にユダで恐れています。

ましてや、ペリシテ人の陣営に対してケイラに行くとなれば、なおさらです。」⁴

そこでダビデは再び主に伺いを立てた。

主は彼に答えて言われた、「立ち上がり、ケイラに下って行け。私はペリシテ人をあなたの手に渡す。」⁵

ダビデとその部下たちはケイラに行き、ペリシテ人と戦った。

彼は彼らの家畜を奪い、大いに打ち殺した。こうしてダビデはケイラの住民を救った。⁶

アヒメレクの子アビアタルがケイラに逃げてダビデのもとに来たとき、

彼は手にエボダを持って下って来た。⁷

ダビデがケイラに来たことがサウルに報告されると、サウルは言った、

「神が彼を私の手に渡された。彼は門とかんぬきの

サムエル記上

ある町に入って自分を閉じ込めたのだ。」⁸
そこでサウルはダビデとその部下たちを包囲するため、全軍を集めてケイラに下って行こうとした。⁹

ダビデはサウルの自分に対する策略を知っていたので、
アビヤタル祭司に言った、「エポデをここに持って来てください。」¹⁰

ダビデは言った、「イスラエルの神、主よ、あなたのしもべは確かにサウルがケイラに来て、私のためにこの町を滅ぼそうとしていることを聞きました。」¹¹

ケイラの人々は私を彼の手に渡すでしょうか？サウルはあなたのしもべが聞いたとおりに下って来るでしょうか？

イスラエルの神、主よ、どうかあなたのしもべに告げてください。」¹²

主は言われた、「彼は下って来る。」¹²
ダビデは言った、「ケイラの人々は私と私の部下をサウルに渡すでしょうか？」

主は言われた、「彼らはあなたを渡す。」¹³
そこでダビデとその部下たち、約六百人は立ち上がり、ケイラを去り、行けるところへ行った。
サウルがダビデがケイラから逃げたことを聞くと、追撃をやめた。¹⁴

ダビデは荒野の要塞にとどまり、ジフの荒野の山地に住んでいた。

サウルは毎日彼を捜し求めたが、神は彼をサウルの手に渡さなかった。¹⁵

ダビデはサウルが自分の命を奪おうとして出て来たことを知った。

彼がジフの荒野のホレシュにいる間に。¹⁶

サウルの子ヨナタンはホレシュにいるダビデのもとに行き、神において彼の信仰を強めた。¹⁷

彼は言った、
「恐れるな、私の父サウルの手はあなたを見つけられない。

あなたはイスラエルの王となり、私はあなたの次に立つ。

そして私の父サウルもそれを知っている。」¹⁸

二人は主の前で契約を結んだ。

ダビデはホレシュにとどまり、ヨナタンは家に帰った。¹⁹

ジフ人たちはギベアのサウルのもとに来て言った、
「ダビデは私たちと共にホレシュの要塞に隠れているではありませんか、

エシモンの南、ハキラの丘に。」²⁰
今、王よ、あなたの心の望むままに下って来てください。 私たちの役目は彼を王に渡すことです。」²¹

サウルは言った、「主に祝福されよ、あなたたちは私に親切を示してくれた。」²²

今行って、非常に注意深く、彼がどこにいるか、彼を見た者が誰かを確かめてください。

彼は非常に狡猾だと聞いています。²³

彼が隠れているすべての場所を観察し、確実な情報を持って私のもとに戻って来てください。

そして、彼がその地にいるなら、私はユダの何千もの中から彼を捜し出します。」

²⁴ 彼らは立ち上がり、サウルの前にジフへ行った。
ダビデとその部下たちはエシモンの南、アラバのマオンの荒野にいた。²⁵

サウルとその部下たちが彼を捜しに行ったとき、彼らはダビデに知らせた。

彼は岩に下り、マオンの荒野にとどまった。
サウルがそれを聞くと、彼はマオンの荒野でダビデを追った。²⁶

サウルは山の一方に進み、ダビデとその部下たちは山の他方に進んだ。

ダビデはサウルから逃れようと急いでいた。

サウルとその部下たちはダビデとその部下たちを捕らえようと囲んでいた。²⁷

しかし、使者がサウルのもとに来て言った、「急いで来てください、

ペリシテ人がその地を襲っています！」²⁸

そこでサウルはダビデを追うのをやめ、ペリシテ人と対決するために戻った。

それゆえ、その場所を逃れの岩と呼んだ。²⁹

ダビデはそこから去り、エン・ゲディの要塞に住んだ。

24 さて、サウルがペリシテ人を追撃して帰ってきたとき、

人々は彼に、「見よ、ダビデはエン・ゲディの荒野にいます」と告げた。²

そこでサウルは、イスラエル全体から選ばれた三千人を連れて、

野やぎの岩の前でダビデとその部下を探しに行った。³

。彼は道の途中で羊の囲いを通り過ぎ、そこに洞窟があった。

サウルは用を足すためにその中に入った。

そのとき、ダビデとその部下は洞窟の奥に座っていた。⁴

ダビデの部下たちは彼に言った、
「見よ、これは主があなたに言われた日です。」

サムエル記上

『見よ、私はあなたの敵をあなたの手に渡そうとしている。

あなたが良いと思うように彼にきなさい』と。」

それでダビデは立ち上がり、サウルの上着の端をひそかに切り取った。

しかしその後、ダビデはサウルの上着の端を切り取ったことに喜びを感じなかった。

それで彼は部下たちに言った、

「主のために、私の主である主の油注がれた者に対して、

このようなことをすることは私には遠いことです。

彼に手を伸ばすことはできません。彼は主の油注がれた者だからです。」

そしてダビデはこれらの言葉で部下たちを抑え、彼らがサウルに立ち向かうことを許さなかった。

サウルは立ち上がり、洞窟を出てその道を進んだ。

8

その後、ダビデは立ち上がり、洞窟を出てサウルの後ろから呼びかけて言った、「我が主、王よ！」

サウルが後ろを振り向いたとき、ダビデは地面に顔を伏せてひれ伏した。⁹ ダビデはサウルに言った、

「なぜ人々の言葉を聞くのですか、『見よ、ダビデがあなたを害しようとしている』と？」¹⁰

見よ、今日、主があなたを私の手に渡されたことをあなたの目は見ました。

ある者はあなたを殺せと言いましたが、私はあなたを惜みしました。

そして私は言いました、『私は我が主の手を伸ばさない、彼は主の油注がれた者だから』と。¹¹

それで、我が父よ、見てください！

確かに、あなたの上着の端が私の手にあります！

私はあなたの上着の端を切り取ったが、あなたを殺さなかったのですから、

私の手には悪や反逆がないことを知り、理解してください。

私はあなたに対して罪を犯していませんが、あなたは私の命を取ろうとしています。¹²

主があなたと私の間で裁き、あなたに正義をもたらしますように。

しかし、私の手はあなたに対してはありません。¹³ 古いことわざにあるように、

『悪からは悪が出る』

しかし、私の手はあなたに対してはありません。

¹⁴ イスラエルの王は誰を追い出したのですか？ あなたは誰を追い求めているのですか？

ただの犬、一匹のノミですか？¹⁵ それゆえ、主があなたと私の間で裁き、決定しますように。

そして、主が私の訴えを見て支持し、あなたの手から私を救ってくださいますように。」

16

さて、ダビデがこれらの言葉をサウルに話し終えたとき、サウルは言った、

「これはあなたの声ですか、我が子ダビデよ？」

そしてサウルは声を上げて泣いた。¹⁷

彼はダビデに言った、

「あなたは私よりも正しい。あなたは私に良くしてくれたが、

私はあなたに悪意を持って接しました。¹⁸

今日、あなたは私に良いことをしてくれたことを示しました。

主が私をあなたの手に渡されたのに、あなたは私を殺しませんでした。¹⁹

人が敵を見つけたら、彼を安全に去らせるでしょうか？

主が今日、あなたが私にしてくれたことに報いて、良いことをしてくださいますように。²⁰

今、見よ、私はあなたが確かに王になることを知っています。

そしてイスラエルの王国があなたの手に確立されることを。²¹

それゆえ、今、主によって私に誓ってください。私の後に私の子孫を断たず、

私の父の家から私の名を消さないと。」²²

そしてダビデはサウルに誓った。

それからサウルは自分の家に帰り、

ダビデとその部下は要塞に上った。

25 その後、サムエルが死んだので、イスラエル全体が集まり、彼のために嘆き悲しみ、ラマにある彼の家に葬った。

ダビデは立ち上がり、パランの荒野の下って行った。

2

マオンに一人の男がいて、その事業はカルメルにあった。

この男は非常に裕福で、三千頭の羊と千頭の山羊を持っていた。

彼がカルメルで羊の毛を刈っているときのことであつた—³

その男の名はナバルで、彼の妻の名はアビガイルであつた。その女性は賢明で美しかったが、

その男は粗野で不正直であり、彼はカレブ族であつた。⁴

そのとき、ダビデは荒野でナバルが羊の毛を刈っていると聞いた。⁵

ダビデは十人の若者を送り、彼らに命じた、

サムエル記上

「カルメルに上り、ナバルを訪ね、私の名で挨拶を
伝えなさい。」⁶

そしてこう言うのです、『あなたに平安があり、あ
なたの家に平安があり、あなたのすべてに平安があ
りますように！』⁷

今、私はあなたが羊の毛を刈っていると聞きました

。
あなたの羊飼いたちは私たちと一緒にいましたが、
私たちは彼らを侮辱せず、
彼らがカルメルにいる間、何も失いませんでした。⁸

あなたの若者たちに尋ねてみてください、彼らはあ
なたに告げるでしょう。

それゆえ、私の若者たちがあなたの目に好意を見つ
けますように、 私たちは祝祭の日に来ました。

どうか、あなたが手に入れるものをあなたのしもべ
たちとあなたの息子ダビデに与えてください。』⁹

ダビデの若者たちが到着し、これらの言葉をダビデ
の名でナバルに伝えた後、彼らは彼の返答を待った¹⁰

。しかし、ナバルはダビデのしもべたちに答えた、
「ダビデとは誰だ？ イエッサイの息子とは誰だ？
この頃は多くのしもべたちが主人から逃げ出してい
る。」¹¹

それで、私が自分のパンや水や、羊の毛を刈るため
に用意した肉を取り、

どこの出身かも知らない男たちに与えるべきだろう
か？」¹²

それでダビデの若者たちは戻り、帰って来て、これ
らの言葉をすべて彼に告げた。¹³

ダビデは自分の人々に言った、「各自が自分の剣を
帯びよ！」

それで各自が自分の剣を帯び、ダビデもまた自分の
剣を帯びた。

そして約四百人がダビデの後に上り、二百人は物資
と共に留まった。

¹⁴
しかし、若者の一人がナバルの妻アビゲイルに告げ
て言った、

「見よ、ダビデは荒野から使者を送り、我々の主人
に挨拶を伝えましたが、彼は彼らに怒鳴りつけまし
た。」¹⁵

しかし、その人々は私たちに非常によくしてくれ、
私たちは侮辱されず、何も失いませんでした。

彼らと共にいる間、私たちが野にいる間、何も失い
ませんでした。¹⁶

彼らは夜も昼も私たちを守ってくれました、私たち
が羊を飼っている間、ずっと。¹⁷

それで、今、あなたは知って考えるべきです、
私たちの主人とその家全体に害が決まっているので
、

彼は誰も彼に話すことができない無価値な男です。¹⁸

」
それでアビゲイルは急いで二百のパン、二つのぶど
う酒の瓶、

すでに準備された五頭の羊、五セアの焼いた穀物、
百の干しぶどうの房、二百の干しいちじくのケーキ
を取り、ロバに積んだ。¹⁹

彼女は若者たちに言った、「私の前を行きなさい。
見よ、私はあなたの後に来ます。」

しかし、彼女は夫ナバルには何も告げなかった。²⁰
彼女がロバに乗って山の隠れた部分を下って来るど
き、

ダビデと彼の人々が彼女に向かって降りて来たので
、彼女は彼らに会った。²¹

今、ダビデは言った、「確かにこの男の持ち物を荒
野で守ったのは無駄だった、
彼の持ち物のすべてが失われないようにしたのに、
彼は私に善を悪で返した。」²²

ダビデの敵に神がそうされるように、さらにそれ以
上に、
もし朝までに彼のものの中に一人の男でも残してお
かないならば。」²³

アビゲイルがダビデを見たとき、彼女は急いでロバ
から降り、

ダビデの前にひれ伏して地面に頭を下げた。²⁴
彼女は彼の足元にひれ伏して言った、

「私の主よ、罪は私にあります。
どうかあなたのしもべに話させてください、そして
あなたのしもべの言葉を聞いてください。」²⁵

どうか私の主はこの無価値な男ナバルに注意を払わ
ないでください、
彼の名の通り、彼はナバルであり、愚かさが彼と共
にあります。

しかし、私はあなたのしもべ、私の主が送った若者
たちを見ませんでした。²⁶

それで、今、私の主よ、主が生きておられるように
、あなたが生きているように、
主があなたを流血から守り、
自分の手で復讐することから守ってくださったので
、

あなたの敵と私の主に害を求める者がナバルのよう
になりますように。²⁷

そして今、あなたのしもべが私の主に持ってきたこ
の贈り物を

私の主と共にいる若者たちに与えてください。²⁸

サムエル記上

どうかあなたのしもべの罪をお許してください。
主は確かに私の主のために永続する家を作られるでしょう、
私の主が主の戦いを戦っておられるからです、
そして悪はあなたのすべての日にあなたの中に見つからないでしょう。²⁹
そして誰かがあなたを追い求め、あなたの命を求めるとき、
私の主の命は主あなたの神と共に生きる者の束に結ばれ、
しかしあなたの敵の命は主が投石器のくぼみから投げ出されるようにされます。³⁰
そして主が私の主について約束されたすべての良いことを成し遂げ、
あなたをイスラエルの指導者に任命されるとき、³¹
これはあなたにとって障害や心の悩みとはならないでしょう、
理由もなく流血し、私の主が自分で復讐したことによって。
主が私の主に良くしてくださるとき、あなたのしもべを思い出してください。」

³² それでダビデはアビガイルに言った、
「イスラエルの神、主があなたを今日私に会わせるために送ってくださったことを祝福します。³³
あなたの識別力を祝福し、
あなたを祝福します、今日私を流血から守り、
自分の手で復讐することから守ってくださったあなたを。³⁴
しかし、イスラエルの神、主が生きておられるように、
あなたを害することから私を抑えてくださった方が、
もしあなたが急いで私に会いに来なかったならば、
確かに朝までにナバルには一人の男も残されなかったでしょう。」³⁵
それでダビデは彼女の手から彼女が持ってきたものを受け取り、彼女に言った、
「平安のうちにあなたの家に上りなさい。見よ、私はあなたの言葉を聞き、あなたの願いを受け入れました。」
³⁶
それからアビガイルはナバルのもとに行き、見よ、彼は王の宴のような宴を自分の家で開いていた。
ナバルの心は彼の中で陽気で、非常に酔っていたので、
彼女は朝の光が差すまで彼に何も言わなかった。³⁷
しかし朝になり、ナバルから酒が抜けたとき、彼の妻は彼にこれらのことを告げた、

そして彼の心は彼の中で死んで、彼は石のようになった。³⁸ 約十日後、主はナバルを死なせた。

³⁹
ダビデはナバルが死んだと聞いたとき、彼は言った、
「主を祝福します、ナバルの手によって私に向けられた侮辱の原因を訴え、
そのしもべを悪から守ってくださった主を。
主はまたナバルの悪を彼自身の頭に返された。」
それからダビデはアビガイルに彼を妻として迎えるために使者を送った。⁴⁰
ダビデのしもべたちがカルメルでアビガイルのもとに来たとき、彼らは彼女に言った、
「ダビデがあなたを妻として迎えるために私たちを送った。」⁴¹
彼女は立ち上がり、地面に顔を伏せて言った、
「見よ、あなたのしもべは私の主のしもべたちの足を洗うための奴隷です。」⁴²
それからアビガイルは急いで立ち上がり、ロバに乗り、彼女の後に五人の女中が続いた。
そして彼女はダビデの使者たちの後について行き、彼の妻となった。

⁴³
ダビデはまたイズレエルのアヒノアムを迎え、彼女はアビガイルと共に彼の妻となった。⁴⁴
さて、サウルは彼の娘ミカル、ダビデの妻をガリム出身のライシュの子バルティに与えていた。

26

ジフ人たちはギブアでサウルに近づいて言った、
「ダビデはエシモンに向かうハキラの丘に隠れているではありませんか？」²
そこでサウルは立ち上がり、ジフの荒野へ向かって旅立った。
彼はイスラエルの選ばれた三千人を連れて、
ジフの荒野でダビデを探すために出発した。³
サウルはエシモンに向かうハキラの丘の道のそばに陣を張った。
しかしダビデは荒野に留まり、サウルが自分を追って荒野に来たことを見た。⁴
ダビデは斥候を送り、サウルが確かに来たことを知った。⁵
ダビデは立ち上がり、サウルが陣を張っている場所に行った。
そしてダビデはサウルが横たわっている場所と、彼の軍の司令官ネルの子アブネルを見た。
サウルは陣の内側に横たわっており、人々は彼の周りに陣を張っていた。

サムエル記上

6

ダビデはヒッタイト人アヒメレクと、ゼルヤの子で
ヨアブの兄弟アビシャイに言った、

「誰が私と一緒にサウルの陣に行くか？」
アビシャイは答えた、「私があなたと一緒に下りま
す。」 7

そこでダビデとアビシャイは夜、人々のところに来
た。

すると、サウルは陣の中で眠っており、彼の頭のそ
ばに槍が地面に突き刺さっていた。

アブネルと人々は彼の周りに横たわっていた。 8
その時、アビシャイはダビデに言った、

「今日、神はあなたの敵をあなたの手に渡されまし
た。

今、どうか私に槍で彼を地面に一突きさせてくださ
い。二度突く必要はありません。」 9

しかしダビデはアビシャイに答えた、
「彼を殺してはならない。主の油注がれた者に手を
伸ばして無罪でいられる者が誰かいるか？」 10

ダビデはまた言った、
「主は生きておられる、主は必ず彼を打たれるであ
ろう、あるいは彼の死ぬ日に来るか、

または彼が戦いによって滅びるであろう。 11
主が禁じられる、私が主の油注がれた者に手を伸ば
すことを！

しかし今、どうか彼の頭のそばにある槍と水差しを
取って行こう。」 12

そこでダビデはサウルの頭のそばから槍と水差しを
取って行った。

しかし誰もそれを見ず、知らず、目覚めなかった。
彼らは皆、眠っていたからである。主からの深い眠
りが彼らに降りかかっていたからである。

13
その後、ダビデは向こう側に渡り、山の頂に立った
。 彼らの間には広い距離があった。 14

ダビデは人々とネルの子アブネルに呼びかけて言っ
た、

「アブネル、答えないのか？」
するとアブネルは答えた、「王に呼びかけるあなた
は誰か？」 15

ダビデはアブネルに言った、
「あなたは男ではないか？イスラエルであなたのよう
な者は誰か？

それなのに、なぜあなたの主君である王を守らなかつ
たのか？

人々の一人があなたの主君である王を害しに来たの
だ。 16

あなたがしたこのことは良くない。
主は生きておられる、あなたたちは皆死ななければ
ならない、

なぜならあなたたちはあなたの主君、主の油注がれ
た者を守らなかったからだ。

今、王の槍と彼の頭のそばにあった水差しがどこに
あるか見てみよう。」

17
するとサウルはダビデの声を認識して言った、
「これはあなたの声か、我が子ダビデよ？」

ダビデは言った、「私の声です、我が主君、王よ。
」 18

彼はまた言った、「なぜ我が主君はそのしもべを追
いかけるのですか？

私が何をしたのか、私の手にどんな悪があるのか？
19

今、どうか我が主君、王はそのしもべの言葉を聞い
てください。

もし主があなたを私に対して駆り立てたのなら、彼
が供え物を受け入れられますように。

しかしそれが人々であるなら、彼らは主の前で呪わ
れます。

彼らは今日、私を追い出し、主の相続地に分け前を
持たせないようにして、

『行け、他の神々に仕えよ』と言っています。 20
それゆえ、私の血を主の前から遠く離れた地に落と
さないでください。

イスラエルの王が一匹の蚤を探しに出て来たのです
から、まるで山でヤマウズラを狩るように。」

21
するとサウルは言った、

「私は罪を犯しました。戻って来い、我が子ダビデ
よ。私はもうあなたを害しない。

今日、あなたが私の命を尊重してくれたからだ。
見よ、私は愚かに振る舞い、ひどい間違いを犯した
。」 22

ダビデは答えて言った、
「見よ、王の槍です！

今、若者の一人を渡らせてそれを取らせてください
。」 23

主は各人にその義と誠実さに従って報いられるでし
ょう。

今日、主はあなたを私の手に渡されましたが、
私は主の油注がれた者に手を伸ばすことを拒みまし
た。 24

今見よ、今日、あなたの命が私の目に高く評価され
たように、

私の命も主の目に高く評価され、主が私をすべての
苦難から救い出されますように。」 25

するとサウルはダビデに言った、
「祝福されよ、我が子ダビデよ。あなたは多くを成
し遂げ、必ず勝利するだろう。」

こうしてダビデは自分の道を進み、サウルは自分の
場所に戻った。

サムエル記上

27 ダビデは心の中で言った、
「今や私はいつかサウルの手によって滅ぼされるだろう。」

私にとって最善の策は、ペリシテ人の地に逃れることだ。

そうすればサウルはイスラエルの境界内で私を探すことを諦め、

私は彼の手から逃れることができる。」²

こうして、ダビデは彼に従う六百人の者たちと共に出発し、

ガテの王マオクの子アキシュのもとへ行った。³

ダビデはアキシュと共にガテに住んだ。彼と彼の人々は、それぞれの家族と共に住んだ。

ダビデは彼の二人の妻、イズレエルのアヒノアムとカルメルのナバルの未亡人アビガイルと共に住んだ。⁴

さて、ダビデがガテに逃れたことがサウルに知らされると、彼はもはやダビデを探さなかった。⁵

そのときダビデはアキシュに言った、
「もし今、私があなたの目に恵みを見出したなら、田舎の町の一つに私に住む場所を与えてください。なぜあなたのしもべがあなたと共に王都に住むべきでしょうか？」⁶

アキシュはその日、ジクラクを彼に与えた。

その結果、ジクラクは今日までユダの王たちに属している。⁷

さて、ダビデがペリシテ人の地に住んだ期間は一年四ヶ月であった。

8

ダビデと彼の人々は上って行き、ゲシュル人、ギルジ人、アマレク人を襲った。

彼らは昔からこの地の住民であり、シュルに至るまで、エジプトの地に至るまで住んでいた。⁹

ダビデはその地を襲い、男も女も生かしておかず、羊、牛、ろば、ラクダ、衣服を奪った。

それから彼は戻ってアキシュのもとに來た。¹⁰

アキシュは言った、「今日はどこを襲ったのか？」

ダビデは言った、「ユダのネゲブを襲った」、

または「エラフメル人のネゲブを襲った」、

または「ケニ人のネゲブを襲った」。¹¹

ダビデは男も女も生かしてガテに連れて行かず、

「さもないと彼らは私たちについて、『これがダビデのしたことだ』と言うだろう」と言った。

ダビデはペリシテ人の地に住んでいる間、ずっとこの行動を続けた。¹²

アキシュはダビデを信頼し、言った、

「彼は確かに彼の民イスラエルに嫌われている。それゆえ、彼は永遠に私のしもべとなるだろう。」

28 その頃、ペリシテ人はイスラエルと戦うために軍を集めた。

アキシュはダビデに言った、「確かにあなたとあなたの部下は私と共に軍に出ることになる。」²

ダビデはアキシュに言った、「よろしい、あなたのしもべが何をできるか知ることになるでしょう。」
アキシュはダビデに言った、「よろしい、私はあなたを生涯の護衛に任命します。」³

さて、サムエルは死んでおり、イスラエル全体が彼のために喪に服し、彼の町ラマに葬った。

サウルは国から靈媒師と占い師を追放していた。⁴

ペリシテ人は集まり、シュネムに陣を敷いたが、サウルはイスラエル全体を集め、ギルボアに陣を敷いた。⁵

サウルはペリシテ人の陣営を見て、恐れに満たされ、心が激しく震えた。⁶

サウルは主に尋ねたが、主は夢によっても、ウリムによっても、預言者によっても答えなかった。⁷

そこでサウルはしもべたちに言った、「靈媒師の女を探し出せ、彼女のところに行行って相談しよう。」
しもべたちは答えた、「見よ、エンドルに靈媒師の女がいます。」⁸

サウルは変装して他の服を着て、二人の男と共に夜にその女のところに行行った。

彼は言った、「どうか霊を呼び出して、私があなたに告げる者を呼び上げてください。」⁹

しかし、女は彼に言った、

「見よ、サウルが何をしたか、靈媒師と占い師を国から追放したのを知っているでしょう。
なぜ私の命を毘にかけて、私を死に追いやろうとするのですか？」¹⁰

サウルは主に掛けて彼女に誓い、

「主は生きておられる、あなたにこのことのために罰は下らない。」¹¹

女は尋ねた、「誰を呼び出しましょうか？」

彼は答えた、「サムエルを呼び上げてください。」¹²

女がサムエルを見たとき、大声で叫び、サウルに言った、

「なぜ私を欺いたのですか？あなたはサウルです！」¹³

しかし、王は彼女に言った、「恐れることはない、何が見えるか教えてください。」

女はサウルに言った、「神のような者が地から上がってくるのが見えます。」¹⁴

彼は彼女に言った、「その姿はどのようなですか？」
彼女は言った、「老人が上がってきて、外套をまとっています。」

サムエル記上

サウルはそれがサムエルであると知り、地に顔を伏せて礼をした。

15 サムエルはサウルに言った、「なぜ私を呼び上げて悩ませるのですか？」

サウルは答えた、「私は非常に苦しんでいます。ペリシテ人が私に戦いを挑んでおり、神は私を離れ、預言者によっても夢によっても答えてくださらないのです。

それで私はあなたを呼びました、何をすべきか教えていただきました。」 16

サムエルは言った、「なぜ私に尋ねるのですか、主があなたを離れ、あなたに敵対しているのに？」 17

主は私を通して語ったとおりに行いました。主はあなたの手から王国を引き裂き、あなたの隣人であるダビデに与えました。 18

あなたが主の声に従わず、アマレクに対する主の激しい怒りを実行しなかったため、

主は今日このことをあなたに行ったのです。 19

さらに、主はイスラエルをあなたと共にペリシテ人の手に渡されます。

明日、あなたとあなたの息子たちは私と共にいるでしょう。

確かに、主はイスラエルの軍をペリシテ人に渡されます！」

20

サウルはすぐに地面に全身を投げ出し、サムエルの言葉に非常に恐れた。

彼には力がなく、一日中一晩中何も食べていなかったからである。 21

女はサウルのところに来て、彼が恐れているのを見て、

彼に言った、「見よ、あなたのしもべはあなたに従い、命をかけて

あなたが私に言った言葉に耳を傾けました。 22

だから今、あなたもどうかしもべの声に耳を傾け、あなたが道を進むときに力を得るために、パンを一切れあなたの前に置かせてください。」 23

しかし彼は拒んで言った、「私は食べない。」しかし、彼のしもべたちと女が彼を説得し、彼は彼らに従った。

それで彼は地面から立ち上がり、床に座った。 24 女は家に肥えた子牛を飼っており、急いでそれを屠った。

そして粉を取り、こねて種なしパンを焼いた。 25

彼女はそれをサウルと彼のしもべたちの前に持ってきて、彼らは食べた。

それから彼らはその夜立ち去った。

29 さて、ペリシテ人はそのすべての軍勢をアフェクに集め、

イスラエル人はイズレエルの泉のそばに陣を敷いていた。 2

ペリシテ人の領主たちは百人隊、千人隊ごとに進んで行き、

ダビデとその部下はアキシュと共に後方に進んでいった。 3

すると、ペリシテ人の将軍たちが言った、「これらのヘブライ人は何をしているのか？」

アキシュはペリシテ人の将軍たちに言った、

「これはイスラエルの王サウルのしもべダビデではないか。彼は今や何日も何年も私と共にいて、彼が私に逃げて来た日から今日まで、私は彼に何の過ちも見つけていない。」 4

しかし、ペリシテ人の将軍たちは彼に怒り、ペリシテ人の将軍たちは彼に言った、

「その男を帰らせて、あなたが彼に割り当てた場所に戻らせよ。

彼が我々と共に戦い到下って行かないようにせよ。

彼が戦いの間に我々に対する敵にならないように。

この男が彼の主に受け入れられるためには何をすべきか？

それはこれらの者たちの首ではないか？ 5

これは彼らが踊りの中で歌っているダビデではないか、

『サウルは千を打ち、
ダビデは万を打った』と。」

6

それでアキシュはダビデを呼んで彼に言った、「主は生きておられる、あなたは正直であり、

軍の中で私と共に出入りすることは私の目に良い。あなたが私のところに来た日から今日まで、私はあなたが

あなたに悪を見つけていない。

しかしながら、あなたは領主たちの目に喜ばれない。 7

だから今、帰って平和に行き、ペリシテ人の領主たちを不快にさせないようにせよ。」 8

しかしダビデはアキシュに言った、

「しかし、私は何をしたのか？

私があなたの前に来た日から今日まで、あなたのしもべに何をみつけたのか、

私が私の主である王の敵と戦いに行かないようにするために？」 9

しかしアキシュはダビデに答えた、「私はあなたが神の使いのように私に喜ばれることを知っている。

しかし、ペリシテ人の将軍たちは言った、

『彼は我々と共に戦いに上ってはならない。』 10

それで、あなたと共に来たあなたの主のしもべたちと共に、朝早く起きなさい。

そして、朝早く起きて明るくなったら、出発せよ。

サムエル記上

それでダビデとその部下は朝早く起きて出発し、ペリシテ人の地に戻った。

その間に、ペリシテ人はイズレエルに上って行った。

30 ダビデとその部下が三日目にツィクラグに到着したとき、アマレク人がネゲブとツィクラグを襲撃し

ツィクラグを打ち倒し、火を放ったことを発見した

彼らはその中にいた女たちと小さい者も大きい者も
皆捕らえ、

誰も殺さずに連れ去り、自分たちの道を進んだ。³
町に着くと、ダビデとその部下は町が焼かれている
のを見つけ、

妻たち、息子たち、娘たちが捕らえられたことを知った。

ダビデと彼と共にいた民は声をあげて泣き、泣く力がなくなるまで泣いた。

ダビデの二人の妻、
イズレエルのアヒノアムとカルメル人ナバルの未亡
人アビガイルも捕らえられた。

ダビデは非常に悩んだ。民が彼を石で打とうと話していたからである。

彼らは皆、自分の息子や娘のことで苦々しく思っていた。

しかし、ダビデは主なる彼の神にあって力を得た。

7
ダビデはアヒメレクの子である祭司アビヤタルに言った、「どうかエポデを私に持ってきてください。」

」
アビヤタルはエポデをダビデのもとに持ってきた。

8 ダビデは主に伺って言った、
「この襲撃隊を追うべきでしょうか。彼らに追いつ
けるでしょうか。」 主は答えた、

「追いなさい。必ず彼らに追いつき、すべてを救い出すことができる。」

そこでダビデは彼と共にいた六百人の部下と共に出發し、

ベソル川に到着した。そこに残った者たちがいた。

10 ダビデは四百人の部下と共に追跡を続け、二百人は疲れ果ててベソル川を渡れず、そこに留まった。

11
彼らは野でエジプト人を見つけ、ダビデのもとに連

れてきて、
パンを与えて食べさせ、水を飲ませた。

彼らは彼に一切れのいちじくのケーキと二房の干しぶどうを与え、

彼が食べた後、彼の精神は回復した。

彼は三日三晩、パンを食べず、水を飲んでいなかったからである。

ダビデは彼に尋ねた、「あなたは誰に属しており、どこから来たのですか。」

彼は答えた、「私はアマレク人のしもべである若いエジプト人です。

主人が私を置き去りにしたのは、三日前に病気になったからです。¹⁴ 私たちはケレテ人のネゲブ、

ユダに属するもの、カルブのネゲブを襲撃し、ツィクラグを火で焼きました。」

ダビデは彼に言った、「この襲撃隊のところに私を連れて行っていただけますか。」

彼は言った、「神に誓って私を殺さず、主人に引き渡さないと誓ってください。

そうすれば、この襲撃隊のところにあなたを連れて
行きます。」

彼が彼を連れて行くと、彼らは全地に広がっている
のを見つけ、食べたり、飲んだり、祝っていた。

それは彼らがペリシテ人の地とユダの地から奪った
大いなる戦利品のためであつた 17

ダビデは彼らを夕暮れから翌日の夕方まで打ち、
ラクダに垂つて逃げた四百人の若者を除いて

彼らの中で逃げた者はいなかった。

彼の二人の妻を救い出した。 19

も大きい者も、息子も娘も、戦利品も、彼らが自分たちのために取ったものも

ダビデはすべてを取り戻した。

「これはザビラの戦利品だ」と言った。

21 ダビデが彼に従うことができず、

ベソル川に残された二百人のところに来たとき、
彼らはダビデを迎え、彼と共にいた人々を迎えに出

た。ダビデは人々に近づき、彼らに挨拶した。²²
すると、ダビデと共に行った者の中の悪しき者と無

益な者たちが言った、
「彼らは私たちと共に行かなかったので、私たちが

取り戻した戦利品を彼らに与えません。
ただし、各人にその妻と子供たちを与えて、彼らを

連れて行かせ、去らせます。」
しかし、ダビデは言った、

「兄弟たちよ、主が私たちに与えてくださったもの

サムエル記上

を、 あなたたちはそうしてはならない。
主は私たちを守り、私たちに立ち向かった襲撃隊を
私たちの手に渡してください。 ²⁴

このことにおいて、誰があなたたちの言うことを聞く
でしょうか。

戦いに下る者の分け前も、荷物を守る者の分け前も
同じであるべきです。

彼らは等しく分け合うべきです。」 ²⁵

その日から後、それはイスラエルのための定めと規
則として定められた。

26

ダビデはツィクラグに戻ると、ユダの長老たちに戦
利品の一部を送り、
彼の友人たちに言った、「ここに主の敵からの戦利
品の贈り物があります。」 ²⁷

ベテル、ネゲブのラモテ、ヤティルにいる者たちへ；
²⁸

アロエル、シフモテ、エシュテモアにいる者たちへ；
²⁹

ラカルにいる者たち、エラフメエル人の町々にいる
者たち、 ケニ人の町々にいる者たちへ； ³⁰

ホルマ、ボル・アシャン、アタクにいる者たちへ；³¹
ヘブロンにいる者たち、ダビデ自身と彼の部下が歩
いたすべての場所へ。」

31 ペリシテ人はイスラエルと戦い、
イスラエルの人々はペリシテ人の前から退
き、ギルボア山で倒れた。 ²

ペリシテ人はサウルとその息子たちを追い詰め、
ペリシテ人はサウルの息子ヨナタン、アビナダブ、
マルキシュアを殺した。 ³

戦いはサウルに激しく迫り、
弓を引く者たちが彼を見つけ、彼をひどく傷つけた
。 ⁴

そのときサウルは自分の武器を持つ者に言った、

「剣を抜いて私を刺せ。さもないと、この割札を受
けていない者たちが来て私を刺し、私を虐げるだろ
う。」

しかし、彼の武器を持つ者は非常に恐れていたため
、そうすることを拒んだ。

それでサウルは剣を取ってその上に倒れた。 ⁵

彼の武器を持つ者はサウルが死んだのを見て、
彼もまた自分の剣の上に倒れ、彼と共に死んだ。 ⁶

こうしてサウルはその三人の息子、彼の武器を持
つ者、そしてその日一緒にいたすべての人々と共に死
んだ。

⁷ 谷の向こう側にいたイスラエルのの人々と、
ヨルダンの向こう側にいた者たちは、イスラエルの
人々が逃げ、

サウルとその息子たちが死んだのを見て、
町を捨てて逃げた。それでペリシテ人が来てそこに
住んだ。 ⁸

翌日、ペリシテ人が死体を剥ぎ取るために来たとき
、

彼らはサウルとその三人の息子がギルボア山に倒れ
ているのを見つけた。 ⁹

彼らは彼の頭を取り、その武器を剥ぎ取り、
それをペリシテ人の地全体に送り、
彼らの偶像の家と民に知らせるために告げた。 ¹⁰

それから彼らは彼の武器をアシュタロテの神殿に置
き、彼の体をベテ・シャンの壁に釘付けにした。

11

ヤベシュ・ギルアデの住民がペリシテ人がサウルに
したことを知ったとき、 ¹²

すべての勇敢な者たちが出発し、一晩中歩いて、
ベテ・シャンの壁からサウルの体とその息子たちの
体を取り、

ヤベシュに来てそれらを焼いた。 ¹³
そして彼らはその骨を取り、ヤベシュのタマリスク
の木の下に安置し、七日間断食を行った。

サムエル記下

1 サウルが死んだ後、ダビデはアマレク人を打ち破って帰ってきたとき、ツィクラグに二日間滞在した。 2

三日目に、サウルの陣営から一人の男が来た。その服は裂け、頭には土がかぶっていた。彼がダビデに近づくと、地面にひれ伏して敬意を表した。 3

ダビデは彼に尋ねた、「どこから来たのか？」

彼は答えた、「イスラエルの陣営から逃げてきました。」 4

ダビデは言った、「何が起こったのか？話してくれ。」

彼は答えた、「軍隊は戦いから逃げ、多くの者が倒れて死にました。サウルとその息子ヨナタンも死にました。」 5

そのとき、ダビデは報告を持ってきた若者に尋ねた、「サウルとその息子ヨナタンが死んだことをどうして知っているのか？」 6

若者は答えた、「私はたまたまギルボア山にいました。すると、そこにサウルが槍に寄りかかっている、戦車と騎兵が彼に迫っていました。」 7

彼が振り向いて私を見たとき、彼は私を呼びました。私は『ここにいます』と言いました。 8

彼は尋ねました、『お前は誰だ？』

私は答えました、『私はアマレク人です。』 9
すると彼は言いました、『私の上に立ってとどめを刺してくれ、私は苦しんでいるが、まだ生きている。』 10

それで私は彼の上に立って彼を殺しました。彼が倒れたら生き延びることはないかと知っていたからです。

それから私は彼の頭にあった冠と腕の腕輪を取り、ここにいる私の主に持ってきました。」

11
するとダビデは自分の服を裂き、彼と共にいたすべての人も同じようにした。 12

彼らはサウルとその息子ヨナタン、そして主の民とイスラエルの国のために、剣で倒れたことを悲しみ、泣き、夕方まで断食した。 13

ダビデは報告を持ってきた若者に尋ねた、「お前はどこから来たのか？」

彼は答えた、「私は外国人の子、アマレク人です。」 14

ダビデは彼に言った、「どうして主の油注がれた者を殺すことを恐れなかったのか？」 15

それからダビデは自分の部下の一人を呼び、「行って彼を打ち倒せ」と言った。

それで彼は彼を打ち、男は死んだ。 16
ダビデは彼に言った、「お前の血は自分の頭にある

。お前の口が証言したのだ、『私は主の油注がれた者を殺した』と。」

17

それからダビデはサウルとその息子ヨナタンのためにこの哀歌を作った、 18

そしてユダの人々にこの弓の歌を教えるよう命じた—それはヤシャルの書に書かれている：

19

イスラエルよ、あなたの栄光は高き所で倒れた。

勇者たちはどうして倒れたのか！ 20

ガデでそれを告げるな、

アシュケロンの通りでそれを宣言するな、

ペリシテ人の娘たちが喜ぶことのないように、

割れを受けていない者たちの娘たちが勝ち誇ることのないように。 21

ギルボアの人々よ、

あなたの上に露も雨も降るな、

供え物をもたらす畑もないように、

そこでは勇者の盾が汚された、 サウルの盾— 22

もはや油で注がれていない。

倒れた者たちの血から、 勇者たちの肉から、

ヨナタンの弓は引き返さず、

サウルの剣は空しく戻らなかった。 23

サウルとヨナタン—生前は愛され、称賛され、

死においても分かたれなかった。

彼らは驚よりも速く、 ライオンよりも強かった。

24 イスラエルの娘たちよ、サウルのために泣け、

あなたを絳色と装飾品で装わせ、

あなたの衣服を金の飾りで飾った者のために。 25

勇者たちは戦いでどうして倒れたのか！

ヨナタンはあなたの高き所で、その体が命を失っている。 26

ヨナタン、私の兄弟よ、私はあなたのために悲しむ；

あなたは私にとって非常に大切だった。

あなたの私への愛は、

女の愛よりも素晴らしかった。 27

勇者たちはどうして倒れたのか！

戦の武器は失われた！

2 その後、ダビデは主に伺いを立てて言った、「ユダの町の一つに上るべきでしょうか？」

主は言われた、「上れ。」

ダビデはまた言った、「どの町に行くべきでしょうか？」 主は言われた、「ヘブロンへ。」 2

そこでダビデはそこに上った。彼の二人の妻、イズレエルのアヒノアムと、カルメル人ナバルの妻であったアビガイルも共に行った。 3

ダビデはまた、彼と共にいた人々を、各々その家族と共に連れて行き、

彼らはヘブロンの町々に住んだ。 4

サムエル記下

その時、ユダの人々が来て、そこでダビデに油を注ぎ、ユダの家の王とした。

彼らはダビデに告げて言った、

「サウルを葬ったのはヤベシュ・ギレアデの人々です。」⁵

そこでダビデはヤベシュ・ギレアデの人々に使者を送り、彼らに言った、

「あなたがたがサウルあなたがたの主にこの親切を示し、彼を葬ったことについて、主があなたがたを祝福されますように。」⁶

そして今、主があなたがたに慈しみと真実を示されますように、

私もまた、あなたがたがこのことを行ったので、この善を示します。⁷

それゆえ、今、あなたがたの手を強くし、勇敢でありなさい。

サウルあなたがたの主は死にましたが、ユダの家は私に油を注ぎ、彼らの王としました。」⁸

しかし、ネルの子アブネル、サウルの軍の司令官は、

サウルの子イシュ・ボシエテを連れてマハナイムに行った。⁹

そして彼をギレアデ、アシュル人、イズレエル、エフライム、ベニヤミン、

さらには全イスラエルの王とした。¹⁰

サウルの子イシュ・ボシエテはイスラエルの王となった時、四十歳であり、彼は二年間統治した。

しかし、ユダの家はダビデに従った。¹¹

ダビデはヘブロンでユダの家を七年六ヶ月間統治した。¹²

ネルの子アブネルは、マハナイムからギベオンに出て行った。

サウルの子イシュ・ボシエテのしもべたちと共に。¹³

ゼルヤの子ヨアブとダビデのしもべたちも出て行き、彼らと会った。

ギベオンの池のそばで；彼らは座り、一方のグループは池の片側に、もう一方のグループは反対側に座った。¹⁴

するとアブネルはヨアブに言った、

「今、若者たちを立たせ、私たちの前で競わせよう。」¹⁵

ヨアブは言った、「立たせよ。」

それで彼らは立ち上がり、数えられて前に出た：ベニヤミンとサウルの子イシュ・ボシエテのために十二人、そしてダビデのしもべたちから十二人。¹⁶

そして各々が相手の頭をつかみ、相手の脇腹に剣を突き刺した；それで彼らは共に倒れた。

それゆえ、その場所はヘルカト・ハズリムと呼ばれた、ギベオンにある。¹⁷

その日、戦いは非常に激しくなり、アブネルとイスラエルの人々はダビデのしもべたちの前で敗北した。

¹⁸

ゼルヤの三人の息子がそこにいた：ヨアブ、アビシヤイ、アサヘル。

そしてアサヘルは野のガゼルのように足が速かった。¹⁹

アサヘルはアブネルを追いかけ、右にも左にも曲がらずに彼を追い続けた。²⁰

するとアブネルは振り返って言った、

「それはお前か、アサヘル？」

彼は答えた、「私です。」²¹

それでアブネルは彼に言った、

「右か左にそれて、若者の一人を捕まえ、その鎧を取れ。」²²

しかしアサヘルは彼を追うのをやめなかった。

それでアブネルは再びアサヘルに言った、

「私を追うのをやめよ。」

なぜお前を地に打ち倒さねばならないのか？²³

どうしてお前の兄弟ヨアブに顔向けできようか？」

しかし、彼はそれることを拒んだ；

それでアブネルは槍の柄で彼を腹に打ち、槍が彼の背中から突き出た。

彼はそこで倒れ、その場で死んだ。

アサヘルが倒れ死んだ場所に来た者は皆、立ち止まった。²⁴

しかしヨアブとアビシヤイはアブネルを追いかけ、彼らがギベオンの荒野の道にあるギアの前のアマの丘に来たとき、太陽は沈んでいた。²⁵

ベニヤミンの息子たちはアブネルの後ろに集まり、一つの隊となり、丘の頂上に立った。²⁶

するとアブネルはヨアブに呼びかけて言った、

「剣は永遠に食い尽くすのか？

最後には苦くなることを知らないのか？

いつまで人々に彼らの同胞を追うのをやめるように言わないのか？」²⁷

ヨアブは言った、「神が生きておられるように、もしあなたが話さなかったなら、人々は朝までにそれぞれ兄弟を追うのをやめていただろう。」²⁸

それでヨアブはラッパを吹き、人々は皆止まり、イスラエルを追うのをやめ、戦うのを続けなかった。²⁹

それからアブネルと彼の人々はその夜アラバを旅し

サムエル記下

、
ヨルダンを渡り、朝まで歩き、マハナインに来了。
38 それからヨアブはアブネルを追うのをやめ、
彼がすべての人々を集めたとき、アサヘルを除いて
ダビデのしもべのうち十九人が欠けていた。
39 しかしダビデのしもべたちはベニヤミンとアブネル
の人々を多く打ち倒し、三百六十人を殺した。
40 彼らはアサヘルを拾い上げ、彼の父の墓に葬った、
それはベツレヘムにあった。
それからヨアブと彼の人々は夜通し旅し、夜明けに
ヘブロンに着いた。

3 さて、サウルの家とダビデの家の間の戦争は長
く続いた。ダビデはますます強くなり、
サウルの家はますます弱くなった。
2 ダビデにはヘブロンで息子たちが生まれた。
長男はイズレエル人アヒノアムによるアムノンであ
る。
3 次男はカルメルのナバルの未亡人アビガイルによる
キリアブ、
三男はゲシュルの王タルマイの娘マアカの子アブサ
ロムである。
4 四男はハギテの子アドニヤ、
五男はアビタルの子シェファティアである。
5 六男はダビデの妻エグラによるイトレアムである。
これらの子供たちはヘブロンでダビデに生まれた。

6 サウルの家とダビデの家の間の争いの間に、
アブネルはサウルの家で影響力を増していた。
7 サウルにはアヤの娘リツパという側女がいた。
イシュボシェテはアブネルに言った、
「なぜ父の側女と共にいるのか？」
8 するとアブネルはイシュボシェテの言葉に非常に怒
り、言った、「私はユダに属する犬の頭か？
今日、私はあなたの父サウルの家、その兄弟たち、
友人たちに親切を示し、
あなたをダビデに渡さなかった。
それなのに、あなたは今日、女のことで私を非難す
るのか？」
9 神がアブネルにそうし、さらにそれ以上のことをさ
れるように、
もし主がダビデに誓われたように、私が彼のために
そうしないならば：
10 サウルの家から王国を移し、
ダビデの王座をイスラエルとユダの上に、
ダンからベエルシェバに至るまで確立するために！
」
11 イシュボシェテはアブネルを恐れて、
彼に一言も答えることができなかった。

12 その後、アブネルはダビデに使者を送り、言った、
「土地は誰のものか？

私と契約を結びなさい。見よ、私の手はあなたと共に
あり、
すべてのイスラエルをあなたに引き渡す。」
13 ダビデは言った、
「よし、私はあなたと契約を結ぶ。
しかし、私はあなたに一つの条件を要求する。
あなたが私に会いに来るとき、まずサウルの娘ミカ
ルを連れて来ない限り、
あなたは私の顔を見ることはできない。」
14 それでダビデはサウルの息子イシュボシェテに使者
を送り、言った、「私の妻ミカルを返しなさい。
私はペリシテ人の包皮百枚で彼女を自分のために婚
約した。」
15 それでイシュボシェテは彼女を夫のラエシュの子バ
ルティエルから連れて来た。
16 しかし彼女の夫は彼女と共に泣きながら行き、
パフリムまで彼女を追った。
そのときアブネルは彼に「行け、戻れ」と言ったの
で、彼は戻った。

17 アブネルはイスラエルの長老たちに語った、
「過去にあなたたちはダビデをあなたたちの王にし
ようと求めた。
18 今、行動しなさい！主はダビデについてこう言われ
た、
『私のしもべダビデの手によって、私は私の民イス
ラエルを救う。
ペリシテ人の手から、そしてすべての敵から。』」
19 アブネルはベニヤミンの耳にも語った。
さらに、アブネルはヘブロンでダビデに会いに行き
、
イスラエルの目に良いこと、ベニヤミンの家の目に
良いことをすべて語った。
20 それからアブネルと彼と共にいた二十人の男たちは
ヘブロンでダビデのもとに来了。
ダビデはアブネルと彼と共にいた男たちのために宴
を準備した。
21 アブネルはダビデに言った、「私を立たせて、私の
主である王のもとに全イスラエルを集めさせてくだ
さい。
彼らがあなたと契約を結び、
あなたがあなたの魂が望むすべての上に王となるよ
うに。」
それでダビデはアブネルを送り出し、彼は平和のう
ちに去った。

22 見よ、ダビデのしもべたちとヨアブは襲撃から戻り、
多くの戦利品を持って来た。
しかし、アブネルはダビデと共にヘブロンにいなか
った。ダビデが彼を送り出し、彼は平和のうちに去

サムエル記下

っていたからである。²³
ヨアブと彼と共にいたすべての軍隊が到着したとき、
彼らはヨアブに知らせた、
「ネルの子アブネルが王のもとに來たが、彼は彼を送り出し、彼は平和のうちに去った。」²⁴
それからヨアブは王に近づいて尋ねた、
「あなたは何をしたのですか？アブネルがあなたののもとに來た。
なぜ彼を送り出し、彼はすでに去ってしまったのですか？」²⁵
あなたはネルの子アブネルを知っている。
彼はあなたを欺き、あなたの動きを知り、
あなたがするすべてのことを知るために來たのです。」

²⁶
ヨアブがダビデを去ったとき、彼はアブネルの後に使者を送り、
彼らは彼をシラの井戸から連れ戻した。
しかし、ダビデはそれを知らなかった。²⁷
アブネルがヘブロンに戻ったとき、ヨアブは彼を門の中央に連れて行き、
彼と個人的に話をした。
そして彼は彼を腹に刺し、
彼は彼の兄弟アサヘル²⁸の血のために死んだ。

²⁸
その後、ダビデがそれを聞いたとき、彼は言った、
「私はと私の王国は永遠に主の前でネルの子アブネルの血から無罪です。」²⁹
その結果がヨアブと彼の父の家全体に降りかかりますように。
そしてヨアブの家からは、
漏出のある者、らい病にかかる者、
糸巻きを持つ者、剣で倒れる者、パンに欠ける者が
絶えませんように。」³⁰
こうして、ヨアブと彼の兄弟アビシヤイはアブネルの死に責任があった。
彼がギベオンでの戦いで彼らの兄弟アサヘルを殺したからである。

³¹
それからダビデはヨアブと彼と共にいたすべての人々に命じた、
「あなたたちの衣を裂き、荒布をまとい、アブネルの前で嘆け。」
そしてダビデ王は棺の後ろを歩いた。³²
彼らはアブネルをヘブロンに葬った。
王はアブネルの墓で声を上げて泣き、
すべての人々も泣いた。³³
そして王はアブネルのために哀歌を歌い、言った、

「アブネルは愚か者のようにその終わりを迎えるべきか？³⁴ あなたの手は縛られていなかった、
あなたの足は青銅の足かせに入れられていなかった。
悪者の前に倒れるように、あなたは倒れた。」
そしてすべての人々は再び彼のために泣いた。

³⁵
その後、すべての人々はダビデの苦しみの中で食べ物を提供しに來たが、
ダビデは誓って言った、
「神が私にそうし、さらにそれ以上のことをされるように、
もし私が日が沈む前にパンや他の何かを味わうならば。」

³⁶ すべての人々はそれに注目し、それを喜んだ。
ちょうど王がするすべてのことがすべての人々に喜ばれたように。³⁷
それでその日、すべての人々とすべてのイスラエルは理解した。
それはネルの子アブネルを死に至らせることが王の意志ではなかった。³⁸
それから王は彼のしもべたちに言った、
「あなたたちは今日、イスラエルで指導者であり偉大な人が倒れたことを知らないのか？」³⁹
そして私は今日弱い、油注がれた王であるにもかかわらず。
そしてこれらの人々、ゼルヤの息子たちは私には敵しすぎる。
主が悪を行う者にその悪に従って報いられますように。」

4 サウルの子イシュ・ボシエテは、アブネルがヘブロンで死んだと聞いたとき、
彼の勇気は失われ、イスラエル全体が動揺した。²
サウルの子には襲撃隊の指揮官である二人の男がいた。
一人の名はバアナ、もう一人の名はレカブで、ベエロテ人リモンの子であり、
ベニヤミンの子孫である（ベエロテもベニヤミンの一部と見なされている）。³
ベエロテ人はギタイムに逃げ、今日までそこに寄留者として住んでいる）。⁴
さて、サウルの子ヨナタンには両足が不自由な息子がいた。
彼はサウルとヨナタンの知らせがイズレエルから來たとき五歳であった。
彼の乳母が彼を抱えて逃げた。
しかし、急いで逃げる途中で彼は落ちて足が不自由になった。彼の名はメフィボシエテであった。

サムエル記下

5

そこでベエロテ人リモンの子、レカブとバアナは、
昼の暑い時にイシュ・ボシェテの家に来た。彼が正
午に寢床に横たわっているときであった。

6

彼らは小麦を取りに来たかのように家に入り、
彼を腹部に打ち、

レカブと彼の兄弟バアナは逃げた。

7

彼らが家に入ったとき、彼は寢室の寢床に横たわっ
ていた。

彼らは彼を打ち殺し、首を切り落とした。

彼らはその頭を持ってアラバの道を一晩かけて旅し
た。

8

そして彼らはイシュ・ボシェテの頭をヘブロンのだ
ビデのもとに持って行き、

王に言った。

「見よ、あなたの敵でああなたの命を狙ったサウルの
子イシュ・ボシェテの頭です。

主は今日、サウルとその子孫に対する復讐を私の主
である王に与えられました。」

9

しかしダビデはベエロテ人リモンの子、レカブと彼
の兄弟バアナに答えて言った。

「私の命をすべての苦難から贖ってくださった主は
生きておられる。

10

ある者が私に知らせ、『見よ、サウルが死んだ』
と言ったとき、

彼は良い知らせを持ってきたと思っていたが、
私は彼をツィクラグで捕らえて殺した。これが彼の
知らせに対する報酬であった。

11

ましてや、悪人がその家の寢床で正しい人を殺した
とき、

私は今、その血をあなたたちの手から求め、地上か
らあなたたちを排除しないであろうか？」

12

それからダビデの命令で若者たちは彼らを処刑し、
手足を切り落とし、

ヘブロンの池のそばに晒した。

しかし、彼らはイシュ・ボシェテの頭を取り、ヘブ
ロンのアブネルの墓に葬った。

5 それから、イスラエルのすべての部族がヘブロン
でダビデのもとに集まり、言った、

「見よ、私たちはあなたの骨肉です。」

2

以前、サウルが私たちの王であったとき、
イスラエルを出入りさせたのはあなたでした。

そして主はあなたに言われました、

『あなたは私の民イスラエルを牧し、イスラエルの
君主となるであらう。』

3

そこでイスラエルのすべての長老たちはヘブロンで
王のもとに来了。

そしてダビデ王はそこで主の前で彼らと契約を結び

、

彼らはダビデに油を注いでイスラエルの王とした。

4 ダビデは三十歳で王となり、四十年間統治した。

5 彼はヘブロンでユダを七年六か月間統治し、
エルサレムでイスラエルとユダ全体を三十三年間統
治した。

6

さて、王とその人々はエルサレムに行き、エブス人
、その地の住民に対抗した。

彼らはダビデに言った、

「ここには入れない、盲人と足の不自由な者があな
たを追い返すだろう」、

ダビデはここに入れな**い**と思っていた。

7

しかし、ダビデはシオンの要塞を奪取した、

それはダビデの町として知られている。

8

その日、ダビデは言った、

「エブス人を攻撃する者は誰でも、水路を通して足
の不自由な者と盲人に達しなければなら**ない**、

彼らはダビデの魂に軽蔑されている。」

それゆえに彼らは言う、「盲人と足の不自由な者は
家に入ってはなら**ない**。」

9

それでダビデはその要塞に住み、それをダビデの町
と呼んだ。

そして彼はミロから内側に向かって周囲を建設した
。そしてダビデはますます偉大になった、
万軍の神である主が彼と共におられたからである。

11 ツロの王ヒラムはダビデに使者を送り、杉の木、
大工と石工を共に送り、

彼らはダビデのために家を建てた。

12

そしてダビデは主が彼をイスラエルの王として確立
し、

その王国を主の民イスラエルのために高められたこ
とを悟った。

13

その間に、ダビデはヘブロンから来た後にエルサレ
ムでさらに側女と妻を取った、

そして彼にさらに息子と娘が生まれた。

14

エルサレムで彼に生まれた子供たちは、

シャムア、ショバブ、ナタン、ソロモン、

15

イブハル、エリシュア、ネフェグ、ヤフィア、

16

そしてエリシャマ、エリアダ、エリフェレット。

17

ペリシテ人はダビデがイスラエルの王として油注が
れたと聞いたとき、

すべてのペリシテ人がダビデを探しに上ってきた。

そしてダビデはそれを聞いて要塞に下った。

18

ペリシテ人は進軍し、レファイムの谷に広がった。

19 それでダビデは主に尋ねて言った、
「ペリシテ人に向かって上っていくべきでし**ょうか**

サムエル記下

？
あなたは彼らを私の手に渡してくださいますか？」
そして主はダビデに答えて言われた、
「上って行け、私は確かにペリシテ人をあなたの手に渡すであろう。」²⁰
それでダビデはバアル・ペラツィムに行き、そこで彼らを打ち破った。そして彼は宣言した、
「主は私の前で敵を水の破れのように破られた。」
それゆえに、彼はその場所をバアル・ペラツィムと名付けた。²¹
ペリシテ人はそこで偶像を残したので、
ダビデとその人々はそれらを持ち去った。

²² ペリシテ人は再び上ってきて、
レファイムの谷に広がった。²³
それでダビデは主に尋ねた、そして主は言われた、
「直接上って行ってはならない；彼らの後ろを回り込んで、
バルサムの木の前で彼らに向かって行け。」²⁴
そして、バルサムの木の前で行進の音を聞くと、
すぐに行動せよ、主があなたの前に出て、
ペリシテ人の軍を打つであろう。」²⁵
それからダビデは主が命じられたとおりに行い、
ゲバからゲゼルまでペリシテ人を打ち破った。

6 ダビデは再びイスラエルの選ばれた人々三万人を集めた。²

そしてダビデは立ち上がり、彼と共にいるすべての民と共にバアル・ユダに行った。
そこから神の箱を運び上げるためである。その箱は名によって呼ばれている。
軍勢の主の名であり、ケルビムの上に座しておられる。³ 彼らは神の箱を新しい車に乗せ、
丘の上にあるアビナダブの家からそれを運び出した。
アビナダブの息子たち、ウザとアヒオがその新しい車を導いていた。⁴
こうして彼らは丘の上にあるアビナダブの家から神の箱を運び出した。
アヒオは箱の前を歩いていた。⁵
その時、ダビデとイスラエルの全家は主の前で祝っていた。
ジュニパーの木で作られた様々な楽器、堅琴、琴、タンバリン、カスタネット、シンバルを用いて。

⁶ しかし、彼らがナコンの打ち場に来たとき、
ウザは神の箱に手を伸ばしてそれをつかんだ。牛が
つまずいたからである。⁷
そして主の怒りがウザに向けられ、神はその不敬のために彼を打った。彼は神の箱のそばで死んだ。⁸
その時、ダビデは主がウザに対して怒りを発したこ

とで不満を抱いた。
その場所は今日までベレツ・ウザと呼ばれている。
⁹ ダビデはその日、主を恐れ、
「どうして主の箱が私のもってくることができるだろうか」と言った。¹⁰
そしてダビデは主の箱をダビデの町に運ぶことを望まなかった。
しかし、ダビデはそれをガテ人オベデ・エドムの家に運んだ。¹¹
こうして主の箱は三ヶ月間ガテ人オベデ・エドムの家にとどまった。
そして主はオベデ・エドムとその全家を祝福された。

¹² 今やダビデ王に報告があり、
「主は神の箱のためにオベデ・エドムの家と彼に属するすべてのものを祝福された」と言った。
そこでダビデはオベデ・エドムの家から神の箱をダビデの町に喜びをもって運び上げた。¹³
そして、主の箱を運ぶ者たちが六歩進んだとき、
彼は雄牛と肥えた牛を犠牲にした。¹⁴
ダビデは全力で主の前で踊っていた。
彼は亜麻布のエフォドを着ていた。¹⁵
こうしてダビデとイスラエルの全家は歓声を上げ、
ラッパの音と共に主の箱を運び上げた。

¹⁶ その時、主の箱がダビデの町に入ると、
サウルの娘ミカルは窓から見下ろし、
主の前で跳ね踊るダビデ王を見て、
彼を心の中で軽蔑した。¹⁷
こうして彼らは主の箱をその指定された場所に置き、
ダビデがそのために設けた天幕の中に置いた。
そしてダビデは主の前で焼き尽くす捧げ物と和解の捧げ物を捧げた。¹⁸
ダビデが焼き尽くす捧げ物と和解の捧げ物を終えたとき、
彼は軍勢の主の名によって民を祝福した。¹⁹
そして彼はすべての民、イスラエルの全群衆、男も女も、
一人一人にパンのケーキ、肉の部分、干しぶどうのケーキを配った。
それからすべての民はそれぞれ自分の家に帰った。

²⁰ しかし、ダビデが自分の家を祝福するために戻ったとき、
サウルの娘ミカルがダビデを迎えに出てきて言った。
「今日、イスラエルの王はどのようにして自分を区別したことか！

サムエル記下

彼は今日、自分のしもべたちの女奴隷の目の前で、愚かな者の一人のように恥ずかしげもなく自分をさらけ出した！」²¹

しかしダビデはミカルに言った。
「それは主の前でのことだ。主はあなたの父やその家のすべての者よりも私を選び、
主の民であるイスラエルの上に私を君主として任命された。それゆえ、私は主の前で祝うのだ！」²²
そして私はこれ以上に自分を卑しめ、自分の目に卑しい者となるかもしれない。
しかし、あなたが言った女奴隷たちと共に、私は彼らに尊敬されるだろう。」²³

そしてサウルの娘ミカルはその生涯を通じて子を持たなかった。

7 王が自分の家に落ち着き、
主が彼に四方のすべての敵から平和を与えられたとき、² 王は預言者ナタンに言った、
「今見よ、私は杉の家に住んでいるが、神の箱は幕の中に住んでいる。」³ ナタンは王に言った、
「行って、あなたの心にあるすべてのことを行いなさい。主があなたと共におられるからです。」

⁴
しかし、その夜、主の言葉がナタンに臨んで言った、
「行って、わたしのしもべダビデに告げなさい。
『主はこう言われる。

あなたがわたしのために住む家を建てるべきであろうか。』⁶
わたしはイスラエルの子らをエジプトから導き上った日から今日に至るまで、家に住んだことはない。
むしろ、わたしは幕屋、すなわち住まいの中を移動してきた。⁷
わたしがイスラエルのすべての子らと共に行ったどこでも、
わたしがわたしの民イスラエルを牧するよう命じたイスラエルの部族の一つにでも、
「なぜあなたはわたしのために杉の家を建てなかったのか」と言ったことがあっただろうか。』

⁸ それゆえ、わたしのしもべダビデに言いなさい。
『万軍の主はこう言われる。
わたしはあなたを牧場から、羊を追うことから取り、
わたしの民イスラエルの君主とした。』⁹
そして、あなたが行くどこにでもわたしはあなたと共におり、
あなたのすべての敵をあなたから取り除いた。
そして、わたしはあなたの名を偉大にし、
地上の偉大な人々の名のようにするであろう。¹⁰
わたしはわたしの民イスラエルのために場所を定め

、彼らを植え付ける。
それで彼らは自分の場所に住み、再び動揺することはない。

悪者も以前のように彼らを苦しめることはない。¹¹
わたしがわたしの民イスラエルの上に裁き人を任命した時から、

そして、わたしはあなたにすべての敵からの平和を与える。

主もまたあなたに告げる、彼があなたのために家を建てることを。¹²

あなたの日が満ちて、あなたが先祖と共に休むとき、

わたしはあなたの後にあなたから出る子孫を立て、その王国を確立する。¹³

彼はわたしの名のために家を建て、
わたしは彼の王国の王座を永遠に確立する。¹⁴

わたしは彼の父となり、彼はわたしの子となる。
彼が悪を行うとき、わたしは人間の杖と人の子らの鞭で彼を懲らしめる。¹⁵

しかし、わたしの恵みは彼から離れることはない。
わたしがサウルからそれを取り去り、あなたの前から彼を取り除いたようには。¹⁶

あなたの家とあなたの王国はわたしの前に永遠に堅く立つであろう。

あなたの王座は永遠に確立されるであろう。』¹⁷
ナタンはこれらすべての言葉とこの幻をダビデに告げた。

¹⁸
その後、ダビデ王は入って主の前に座り、言った、
「主なる神よ、私は何者であり、私の家は何であるのか、あなたがここまで私を導いてくださったとは。」¹⁹

しかし、これはあなたの目には小さなことでした、主なる神よ。

あなたはまた、あなたのしもべの家について遠い未来に関しても語られました。

そして、これは人類の習慣です、主なる神よ。²⁰
さらに、ダビデはあなたに何を言うことができるでしょうか。

あなたはあなたのしもべを知っておられるからです、主なる神よ！²¹

あなたの約束のために、そしてあなた自身の心に従って、

あなたはこのすべての偉大さを行い、あなたのしもべに理解させました。²²

それゆえ、あなたは偉大です、主なる神よ。
あなたのような方はおられず、あなた以外に神はありません。 私たちが耳で聞いたすべてに従って。²³

サムエル記下

そして、あなたの民イスラエルのような者は誰ですか。
地上で神がご自身のために民として贖いに行った一つの国民であり、
ご自身のために名を作り、
あなたのために偉大なことを行い、あなたの地のために恐るべきことを行った。
あなたのためにエジプトから、他の国々とその神々から贖われたあなたの民のために。
あなたはあなたの民イスラエルを永遠にあなた自身の民として確立されました。
そして、あなたは彼らの神とられました、主よ。

今、主なる神よ、あなたがあなたのしもべとその家について語られた言葉、
永遠に確かにし、あなたが語られたとおりに行ってください。
それで、あなたの名が永遠に偉大であるように、
『万軍の主はイスラエルの神である』と宣言され、
あなたのしもべダビデの家があなたの前に確立されるように。
あなたは、万軍の主、イスラエルの神、あなたのしもべに、『あなたのために家を建てる』と啓示されました。
それゆえ、あなたのしもべはこの祈りをあなたに祈る勇気を見出しました。
それゆえ、主なる神よ、あなたは神であり、
あなたの言葉は真実であり、
あなたはこの良いことをあなたのしもべに約束されました。
そして今、どうかあなたのしもべの家を祝福することを喜んでください。
それがあなたの前に永遠に続くように。
あなたが語られたからです、主なる神よ。
そして、あなたの祝福をもってあなたのしもべの家が永遠に祝福されるように。」

これらの出来事の後、ダビデはペリシテ人を打ち負かし、彼らを従わせた。
そしてダビデはペリシテ人の手から主要な都市を奪った。
彼はまたモアブを打ち負かし、線で測った。
彼らを地面に伏せさせ、
二つの線を測って殺し、一つの完全な線を生かしておいた。
こうしてモアブ人はダビデの僕となり、貢ぎ物を持ってきた。
ダビデはまた、ゾバの王レホブの子ハダデゼルを打ち負かした。
彼がユーフラテス川で勢力を取り戻そうとしていた

ときのことである。
ダビデは彼から1,700人の騎兵と20,000人の歩兵を捕らえた。
そしてダビデはすべての戦車の馬の脚の筋を切ったが、100台の戦車のために十分な馬を残した。
ダマスコのアラム人がゾバの王ハダデゼルを助けに來たとき、
ダビデはアラム人22,000人を打ち倒した。
その後、ダビデはダマスコのアラム人の中に守備隊を置き、
アラム人はダビデの僕となり、貢ぎ物を持ってきた。
そして主は、ダビデが行く先々で彼を助けられた。
ダビデはハダデゼルの僕たちが持っていた金の盾を取り、エルサレムに持ち帰った。
ハダデゼルの都市ベタとペロタイから、
ダビデ王は非常に多くの青銅を手に入れた。
ハマテの王トイが、ダビデがハダデゼルの全軍を打ち負かしたことを聞いたとき、
トイは息子ヨラムをダビデ王のもとに送り、彼を祝福した。
彼がハダデゼルと戦い、彼を打ち負かしたからである。
(ハダデゼルはトイと戦争状態にあった。)
ヨラムは銀、金、青銅の品々を持ってきた。
ダビデ王はこれらを主に捧げた。
彼が従わせたすべての国々から分けておいた銀と金と共に。
アラム、モアブ、アモン人、ペリシテ人、アマレク、
そしてゾバの王レホブの子ハダデゼルの戦利品から、
こうしてダビデは名を成した。彼が塩の谷で18,000人のアラム人を打ち負かして帰ったときのことである。
彼はエドムに守備隊を置いた。エドム全土に守備隊を置き、
すべてのエドム人はダビデの僕となった。
そして主は、ダビデが行く先々で彼を助けられた。
ダビデは全イスラエルを治め、
彼の民すべてに正義と義を施した。
ゼルヤの子ヨアブは軍の長であり、
アヒルドの子ヨシャファテは書記官であった。
アヒトブの子ザドクとアビアタルの子アヒメレクは祭司として仕え、
セラヤは書記であった。
エホヤダの子ベナヤはクレテ人とベレテ人の上であり、
ダビデの息子たちは主要な役人であった。

サムエル記下

9 それからダビデは言った、
「サウルの家にまだ誰が残っている者はいるか、

ヨナタンのためにその者に慈しみを示したい。」²
サウルの家のしもべで、ツィバという者がいた。
彼はダビデの前に連れて来られた。

王は彼に尋ねた、「あなたはツィバか？」
彼は答えた、「私はあなたのしもべです。」³
それから王は言った、

「サウルの家にまだ誰が残っている者はいないか、
神の慈しみをその者に示したい。」

ツィバは王に言った、
「ヨナタンの息子が一人残っていますが、
両足が不自由です。」⁴

王は尋ねた、「彼はどこにいるのか？」
ツィバは王に答えた、
「彼はロ・デバルのアミエルの子マキルの家にいま
す。」⁵

それでダビデ王は使者を送り、ロ・デバルのアミエ
ルの子マキルの家から彼を連れて来させた。⁶

メフィボシェテ、ヨナタンの息子でサウルの孫がダ
ビデのもとに来て、ひれ伏して礼をした。
ダビデは言った、「メフィボシェテ！」

彼は答えた、「ここにあなたのしもべがいます！」⁷
ダビデは彼に言った、

「恐れることはない、あなたの父ヨナタンのために
、私は確かにあなたに慈しみを示し、
あなたの祖父サウルの土地をすべてあなたに戻し、
あなた自身は常に私の食卓で食事をすることになる
。」⁸ 彼はひれ伏して言った、

「あなたのしもべは何者でしょうか、
あなたがこのような死んだ犬のような者に目を留め
るとは。」⁹

それから王はサウルのしもべツィバを呼び、彼に言
った、
「私はあなたの主人の孫に、サウルとその家族に属
するすべてのものを与えた。」¹⁰

あなたとあなたの息子たち、しもべたちは彼のため
に土地を耕し、収穫をもたらし、
あなたの主人の孫が食べ物を得るようにしなさい。
しかし、あなたの主人の孫メフィボシェテは常に私
の食卓で食事をすることになる。」

ツィバには十五人の息子と二十人のしもべがいた。
¹¹ それからツィバは王に言った、
「私の主君である王がしもべに命じたすべてに従っ
て、あなたのしもべは行きます。」

それでメフィボシェテはダビデの食卓で食事をした
、王の息子たちの一人のように。¹²

メフィボシェテにはミカという若い息子がいた。
ツィバの家に住むすべての者はメフィボシェテのし
もべであった。¹³

それでメフィボシェテはエルサレムに住んでいた、
彼は常に王の食卓で食事をした。
そして彼は両足が不自由であった。

10 その後、アンモン人の王が死に、
その子ハヌンが代わりに王となった。²
そこでダビデは言った、「私はナハシュの
子ハヌンに親切を示そう。

彼の父が私に親切を示したように。」
それでダビデは彼の父のことで彼を慰めるために使
者を送った。

しかしダビデの使者がアンモン人の地に来たとき、
³

アンモン人の首長たちは彼らの主ハヌンに言った、
「ダビデがあなたの父を敬って慰めの使者を送った
と思いますか？」

ダビデは町を探り、偵察してそれを覆すために使者
を送ったではありませんか？」⁴

そこでハヌンはダビデの使者を捕らえ、彼らのひげ
の半分を剃り、
衣服を腰まで切り落として送り返した。⁵

ダビデにこのことが報告されると、彼は使者を送っ
て彼らに会わせた。
人々は非常に恥をかいていたからである。
王は言った、「あなたたちのひげが生えそろうまで
エリコに留まり、それから戻りなさい。」

⁶ アンモン人は自分たちがダビデに嫌われたことを知
り、
アンモン人はベテ・レホブのアラム人とツォパのア
ラム人を雇い、

二万の歩兵を、
マアカの王と千人の者、
トブの人々と一万二千人の者を雇った。⁷

これを知ったダビデは、ヨアブと全軍、勇敢な戦士
たちを派遣した。⁸
アンモン人は出てきて、町の入口で戦いの陣を敷い
た。

一方、ツォバとレホブのアラム人、トブとマアカの
人々は野に別れていた。⁹

ヨアブは前後に戦いが仕掛けられているのを見て、
イスラエルの中から選ばれた者たちを取り、アラム
人に対抗して陣を敷いた。¹⁰

そして残りの人々を彼の兄弟アビシヤイの指揮下に
置き、アンモン人に対抗して陣を敷いた。¹¹
彼は言った、「もしアラム人が私にとって強すぎる
なら、あなたが私を助けなさい。」

サムエル記下

しかし、もしアンモン人があなたにとって強すぎるなら、私はあなたを助けに行きます。¹²
強くあれ、我々の民と我々の神の町々のために勇敢に振る舞おう。
そして主が御目になうことをされますように。」¹³

それでヨアブと彼と共にいる民は進み出てアラム人と戦ったが、彼らは彼の前から退いた。¹⁴
アンモン人はアラム人が逃げたのを見て、彼らもまたアビシヤイの前から逃げて町に入った。
それでヨアブはアンモン人と戦うのをやめてエルサレムに帰った。

¹⁵
アラム人はイスラエルに打ち負かされたことを知り、再び集結した。¹⁶
ハダデゼルは使者を送り、ユーフラテス川の向こうにいるアラム人を呼び出し、
彼らはヘラムに来了。
ハダデゼルの軍の司令官ショバクが彼らを率いた。¹⁷
ダビデにこれが報告されると、
彼はイスラエル全軍を集め、ヨルダン川を渡ってヘラムに来了。
アラム人はダビデに対抗して陣を敷き、彼と戦った。¹⁸ しかしアラム人はイスラエルの前から逃げ、
ダビデはアラム人の戦車兵七百人と騎兵四万人を殺し、
彼らの軍の司令官ショバクを打ち倒し、彼はそこで死んだ。¹⁹
ハダデゼルの家来であったすべての王たちは、イスラエルに打ち負かされたことを見て、
イスラエルと和平を結び、彼らに仕えるようになった。
それでアラム人はもうアンモン人を助けることを恐れた。

11 その後、春になり、王たちが戦いに出る時期に、
ダビデはヨアブと彼の従者たち、そして全イスラエルを送り出し、
彼らはアンモンの子らを滅ぼし、ラバを包囲した。
しかし、ダビデはエルサレムに留まっていた。²
ある夕方、ダビデは寝床から起きて、王の家の屋上を歩いていた。
そこから彼は、一人の女が水浴びをしているのを見たが、その女は非常に美しかった。³
ダビデはその女について尋ねるために従者を送った。
するとある者が言った、
「これはエリアムの娘、ヘテ人ウリヤの妻パテシバではありませんか？」⁴

それからダビデは使者を送り、彼女を連れて来させ、彼女が来たとき、彼は彼女と寝た。[—]
彼女はその汚れから清められていた—
それから彼女は自分の家に帰った。⁵
そしてその女は身ごもり、
ダビデに使いを送り、「私は妊娠しました」と言った。

⁶
ダビデはヨアブに使いを送り、「ヘテ人ウリヤを私のところに送れ」と言った。
それでヨアブはウリヤをダビデのもとに送った。⁷
ウリヤが彼のもとに来たとき、ダビデはヨアブの安否と民の安否、戦争の状況について尋ねた。⁸
ダビデはウリヤに言った、「あなたの家に下り、くつろぎなさい。」
それでウリヤは王の家を出て行き、王からの贈り物が彼に続いた。⁹
しかし、ウリヤは王の家の入口で彼の主のすべての従者たちと共に寝て、
自分の家には下らなかった。¹⁰
彼らがダビデに、「ウリヤは自分の家に下りませんでした」と告げたとき、
ダビデはウリヤに言った、「あなたは旅から来たのではないか。なぜ自分の家に下らなかったのか？」¹¹
ウリヤはダビデに言った、

「箱とイスラエルとユダは仮の宿にあり、私の主ヨアブと私の主の従者たちは野に宿営しています。
それなのに、私が自分の家に行って食べたり飲んだりし、妻と寝るべきでしょうか。
あなたの命とあなたの魂の命にかけて、私はこのことをしません。」¹²
それでダビデはウリヤに言った、「今日もここに留まりなさい。明日、私はあなたを送り出します。」
それでウリヤはその日と次の日、エルサレムに留まった。¹³
ダビデは彼を呼び寄せ、彼の前で食べたり飲んだりさせ、彼を酔わせた。
夕方になると、彼は彼の主の従者たちと共に寝るために出て行ったが、自分の家には下らなかった。
¹⁴
朝になって、ダビデはヨアブに手紙を渡し、それをウリヤに持たせて送った。¹⁵
彼は手紙に書いていた、
「ウリヤを最も激しい戦いの前線に置き、
彼から退いて、彼が打たれて死ぬようにしなさい。」¹⁶
ヨアブがその町を見張っているとき、
彼はウリヤを、勇敢な者たちがいると知っている場

サムエル記下

所に配置した。¹⁷
町の者たちは出てきてヨアブと戦い、
ダビデの従者たちの中の幾人かが倒れた。
ヘテ人ウリヤも死んだ。¹⁸
それからヨアブは使いを送り、戦争のすべての出来事をダビデに報告させた。¹⁹
彼は使者に命じて言った、
「あなたが王に戦争のすべての出来事を報告し終えたとき、²⁰
もし王の怒りが燃え上がり、あなたに言うなら、
『なぜ町にこんなに近づいて戦ったのか？
彼らが城壁から撃つことを知らなかったのか？²¹
誰がエルバアルの子アビメレクを打ったのか？
女が城壁から上石臼を投げて彼を打ち、テベツで彼が死んだのではなかったか？
なぜ城壁にこんなに近づいたのか？』[—]
そのときあなたは言いなさい、
『あなたの従者ヘテ人ウリヤも死にました。』」
²²
それで使者は出発し、ヨアブが彼に報告させるために送ったすべてのことをダビデに告げた。²³
使者はダビデに言った、
「その者たちは私たちにに対して優勢になり、野に出てきましたが、
私たちは彼らを門の入口まで追い返しました。²⁴
そのとき弓兵たちが城壁からあなたの従者たちに向かって撃ち、
王の従者たちの幾人かが死にました。
あなたの従者ヘテ人ウリヤも死にました。」²⁵
それでダビデは使者に言った、
「ヨアブにこう言いなさい、
『このことで心を痛めてはならない。剣は一人をも、また他の者をも滅ぼす。
あなたの戦いを強化し、その町を打ち倒しなさい』
そして彼を励ましなさい。」

²⁶
ウリヤの妻は彼女の夫ウリヤが死んだことを聞いたとき、
彼女は彼女の夫のために嘆いた。²⁷
喪が過ぎたとき、
ダビデは使者を送り、彼女を自分の家に連れて来させ、
彼女は彼の妻となった。
それから彼女は彼に息子を産んだ。
しかし、ダビデが行ったことは主の目に悪であった。
。

12 その時、主はナタンをダビデのもとに遣わされた。
彼はダビデのもとに来て言った、
「ある町に二人の男がいました。一人は富んでおり、もう一人は貧しかった。²

富んでいる男は、多くの羊の群れと牛の群れを持っていました。³
しかし、貧しい男は何も持っておらず、
ただ一匹の小さな雌羊を買って育てていました。
その羊は彼と彼の子供たちと一緒に育ち、
彼から食べ物をもらい、彼の杯から飲み、彼の腕の中で寝て、
彼にとって娘のようでした。⁴
ある時、旅人が富んでいる男のところに来ました。
しかし、彼は自分の羊の群れや牛の群れから何かを取って、
彼のもとに来た旅人のために準備することができず、
貧しい男の雌羊を取って、彼のもとに来た男のためにそれを準備しました。」⁵
すると、ダビデはその男に対して激しい怒りを抱き、
ナタンに言った、
「主は生きておられる、そのことをした男は必ず死に値する！⁶
彼はその雌羊のために四倍の償いをしなければならない、
なぜなら彼はこのことを行い、憐れみを持たなかったからだ。」⁷
ナタンはダビデに言った、
「あなたがその男です！
イスラエルの神、主はこう言われます、
『私はあなたをイスラエルの王として油を注ぎ、サウルの手からあなたを救い出した。』⁸
また、私はあなたにあなたの主の家とその妻たちを与え、
イスラエルとユダの家を与えた。
そしてそれが不十分であったなら、私はあなたにさらに多くの祝福を加えたであろう！⁹
なぜあなたは主の言葉を軽んじて、主の目の前で悪を行ったのか？
あなたはヒッタイト人ウリヤを剣で打ち殺し、
彼の妻を自分の妻として奪い、
アンモン人の剣で彼を殺した。』¹⁰
それゆえ、剣はあなたの家から決して離れないであろう、
なぜならあなたは私を軽んじ、
ヒッタイト人ウリヤの妻を自分の妻として奪ったからだ。』¹¹
主はこう言われます、
『見よ、私はあなたにあなた自身の家から災いをもたらす。
私はあなたの目の前であなたの妻たちを取り、あなたの隣人に与える。
彼は白昼にあなたの妻たちと寝るであろう。』¹²
確かに、あなたはそれを秘密に行ったが、
私はこのことをイスラエル全体の前で、そして公然と行うであろう。』
¹³
するとダビデはナタンに言った、
「私は主に対して罪を犯しました。」

サムエル記下

ナタンはダビデに言った、
「主もまたあなたの罪を赦された。あなたは死なないであろう。」¹⁴

しかし、この行いによってあなたは主を全く軽んじたので、

あなたに生まれる子は必ず死ぬであろう。」¹⁵

その後、ナタンは自分の家に帰った。

主はウリヤの妻がダビデに生んだ子を打たれたので、その子は非常に病気になる。

ダビデはその子のために神に懇願し、
断食して一晩中地面に伏していた。¹⁷

彼の家の長老たちは彼を助け起こそうと彼のそばに立ったが、

彼は拒んで彼らと一緒に食事をしなかった。¹⁸

そして七日目にその子は死んだ。

しかしダビデの家来たちはその子が死んだことを彼に告げるのを恐れた。 彼らは言った、

「見よ、その子がまだ生きている間、私たちは彼に話しかけたが、彼は私たちの声を聞かなかった。

どうしてその子が死んだことを彼に告げることができようか？彼は自分を傷つけるかもしれない。」¹⁹

しかしダビデは彼の家来たちがひそひそ話しているのを見て、 その子が死んだことを悟った。

それでダビデは彼の家来たちに言った、

「その子は死んだのか？」

彼らは言った、「彼は死にました。」²⁰

それでダビデは地面から起き上がり、洗い、油を塗り、衣を替え、 主の家に入って礼拝した。

それから彼は自分の家に戻り、食事を求めたので、彼らは彼に食事を出し、彼は食べた。²¹

すると彼の家来たちは彼に言った、

「あなたがしたことは何ですか？

その子が生きている間、あなたは断食し泣いていましたが、

その子が亡くなった時、起き上がって食事をしました。」²² 彼は言った、

「その子がまだ生きている間、私は断食し泣いていました。

私は思った、『誰が知っているか、主が私に恵みを与え、その子が生きるかもしれない。』²³

しかし今や彼が亡くなったので、なぜ断食するのか？

私は彼を再び連れ戻すことができるのか？私は彼のもとの行くが、彼は私のもとの戻ってこない。」

²⁴ その後、ダビデは彼の妻バテシバを慰め、彼女のもとに行き、彼女と寝た。彼女は息子を産み、彼はその子をソロモンと名付けた。

今、主はその子を愛された。²⁵

そして主は預言者ナタンを通して言葉を送り、その子を「エディディア」と名付けた、主のために。

²⁶

その時、ヨアブはアンモン人のラバに対して戦い、王の都市を占領した。²⁷

それからヨアブはダビデに使者を送り、言った、「私はラバに対して戦い、ついに水の都市を占領しました。」²⁸

今、残りの人々を集め、都市に対して陣を敷き、それを占領してください。

さもないと私が都市を占領し、それが私の名で呼ばれることになるでしょう。」²⁹

それでダビデは全ての人々を集め、ラバに行き、都市に対して戦い、それを占領した。³⁰

そして彼は彼らの王の冠をその頭から取り、その重さは金のタラントであり、その中には貴重な石があり、

それがダビデの頭に置かれた。そして彼は都市の戦利品を大量に持ち出した。³¹

彼はまたその中にいた人々を連れ出し、鋸や鋭い鉄の道具、斧で働かせ、

彼らをレンガ窯に送った。

そして彼はアンモン人の全ての都市に同じことをした。

それからダビデと全ての人々はエルサレムに戻った

。

13 その後、ダビデの息子アブサロムには、美しい妹タマルがいた。

ダビデの息子アムノンは彼女を愛していた。²

アムノンは妹タマルのことで非常に悩み、病気になる。

彼女は処女であり、アムノンには彼女に何かをするのが難しいように思われた。³

アムノンにはヨナダブという名の友人がいた。彼はダビデの兄弟シメアの息子で、

ヨナダブは狡猾で知られていた。⁴

彼はアムノンに言った、「なぜ王の息子であるあなたが、毎朝そんなに落ち込んでいるのですか？私に話してくれませんか？」

するとアムノンは彼に言った、「私は兄弟アブサロムの妹タマルを愛しています。」⁵

ヨナダブは彼に言った、「ベッドに横たわり、病気のふりをしなさい。

そして父があなたを見に来たときに、『どうか妹タマルに来てもらって、私に食べ物を与えてください。

彼女が私の目の前で食べ物準備し、それを見て彼女の手から食べたいのです。』と言いなさい。」⁶

サムエル記下

それでアムノンは横たわり、病気のふりをした。
そして王が彼を見に来たとき、アムノンは王に言った、
「どうか妹タマルに来てもらって、私の目の前でケーキを作り、彼女の手から食べたいのです。」⁷
それでダビデはタマルの家に言葉を送り、
「今すぐ兄弟アムノンの家に行き、彼のために食べ物を用意しなさい。」と言った。⁸
それでタマルは兄弟アムノンの家に行き、彼が横たわっているところに行った。
彼女は生地を取り、こねて、彼の前でケーキを作り、それを焼いた。⁹
それから彼女は鍋を取り、彼の前にそれを出したが、彼は食べることを拒んだ。
アムノンは言った、「皆を私から去らせなさい。」
それで皆が彼から去った。¹⁰
それからアムノンはタマルに言った、
「食べ物を寝室に持ってきて、あなたの手から食べたいのです。」
それでタマルは彼女が作ったケーキを取り、寝室にいる兄弟アムノンのところに持って行った。¹¹
彼女がそれらを彼に食べさせるために持って行ったとき、彼は彼女を捕らえて言った、
「来て、私と一緒に寝なさい、妹よ。」¹²
しかし彼女は答えた、
「いいえ、兄弟よ！私を辱めないでください。このようなことはイスラエルでは行われません。
この恥ずべき罪を犯さないでください！」¹³
私について言えば、私はどこに私の恥を負うことができるでしょうか？
そしてあなたについて言えば、あなたはイスラエルの愚か者の一人になるでしょう。
今、どうか王に話してください。彼はあなたを拒まないでしょう。」¹⁴
しかし彼は彼女の言うことを聞かなかった。
彼は彼女よりも強かったので、彼女を力で押さえつけて彼女と寝た。¹⁵
それからアムノンは彼女を非常に憎んだ。
彼が彼女を憎んだ憎しみは、彼が彼女を愛した愛よりも大きかった。
それでアムノンは彼女に言った、「立ち上がって、去りなさい！」¹⁶
しかし彼女は彼に言った、
「いいえ、私を追い出すこの不正は、あなたがすでに私にしたことよりもさらに大きいです！」
それでも彼は彼女の言うことを聞かなかった。¹⁷
それから彼は彼に仕える若者を呼び、
「今、この女を私の前から連れ出し、彼女の後ろでドアを閉めなさい！」と言った。¹⁸
彼女は長袖の衣を着ていた。

これは以前、王の処女の娘たちが着ていたものである。
それで彼の従者は彼女を外に連れ出し、彼女の後ろでドアを開けた。¹⁹
それからタマルは頭に灰をかぶり、彼女の上にあった長袖の衣を裂き、
頭に手を置いて去り、声を上げて泣きながら去った。²⁰
そして彼女の兄弟アブサロムは彼女に言った、
「あなたの兄弟アムノンがあなたと一緒にいたのですか？」
しかし今は黙っていなさい、妹よ。彼はあなたの兄弟です。このことを心に留めないでください。」
それでタマルは兄弟アブサロムの家に住み、荒れ果てた。

²¹
王ダビデがこれらすべてのことを聞いたとき、彼は怒りに満ちた。²²
アブサロムはアムノンと良いことも悪いことも話さなかった。
アブサロムは彼の妹タマルを辱めたアムノンを憎んでいたからである。

²³
それから二年が経ち、アブサロムはエフライムの近くにあるバアル・ハツォルで羊の毛を刈る者たちを持っていた。
アブサロムは王の息子たち全員を招待した。²⁴
それからアブサロムは王のもとに来て言った、
「今、ご覧ください、あなたのしもべは羊の毛を刈る者たちを持っています。
どうか王とそのしもべたちがあなたのしもべと一緒に行ってください。」²⁵
しかし王はアブサロムに言った、
「いいえ、息子よ、私たちは皆行くべきではありません。そうすればあなたに負担をかけないでしょう。」
彼が彼を促しても、彼は行かなかった。しかし彼は彼を祝福した。²⁶
それからアブサロムは言った、
「それなら、どうか私の兄弟アムノンを私たちと一緒に行かせてください。」
そして王は彼に言った、「なぜ彼があなたと一緒に行くべきなのですか？」²⁷
それでもアブサロムはしつこく頼んだので、彼はアムノンと王の息子たち全員を彼と一緒に行かせた。²⁸
それからアブサロムは彼のしもべたちに命じて言った、
「今、アムノンの心が酒で喜んでいるとき、私があなたに『アムノンを打て』と言ったら、彼を殺しなさい。」

サムエル記下

恐れるな。私があなたに命じたのではないか？ 勇気を持ち、勇敢であれ。」²⁹

アブサロムのしもべたちはアムノンに関して彼の命令に従った。

それから王の息子たちは皆立ち上がり、それぞれ自分のラバに乗って逃げた。

30

彼らが道を進んでいる間に、ダビデに報告が届いた、

「アブサロムが王の息子たち全員を打ち殺し、一人も残っていない！」³¹

それから王は立ち上がり、衣を裂いて地に伏し、彼のしもべたちは皆、衣を裂いて彼のそばに立っていた。³²

しかし、ダビデの兄弟シメアの息子ヨナダブが答えて言った、

「私の主が、王の息子たち全員が殺されたと思わないでください。

アムノンだけが死んだのです。アブサロムは彼の妹タマルを辱めた日からこれを計画していました。」³³ 今、私の主である王がこの報告を心に留めないでください。

『王の息子たち全員が死んだ』というのは、アムノンだけが死んだのです。」³⁴

さて、アブサロムは逃げた。

見張りをしていた若者が目を上げて見たところ、多くの人々が山の側から道を通して来ているのを見た。³⁵ ヨナダブは王に言った、

「ご覧ください、王の息子たちが来ました。あなたのしもべの言葉通りに、それが起こりました。」³⁶

彼が話し終わるとすぐに、

見よ、王の息子たちが来て声を上げて泣いた。

そして王とすべてのしもべたちも非常に泣いた。

37

その間に、アブサロムはゲシュルの王アミフデの息子タルマイのもとに逃げた。

そしてダビデは毎日彼の息子のために嘆いた。³⁸

それでアブサロムは逃げてゲシュルに行き、そこに三年間いた。³⁹

そして王ダビデの心はアブサロムに向かって行きたがっていた。

彼は息子アムノンの死に苦しんでいたからである。

14 ゼルヤの子ヨアブは、王の心がアブサロムを気にかけていることを悟った。²

それでヨアブはテコアに人を送り、そこから賢い女を連れて来た。

彼は彼女に言った、「どうか喪に服しているふりをし、悲しみの衣をまとうてください。

油を塗らず、長い間死者を悼んでいる女のように振る舞ってください。」³

それから王に近づき、このように話してください。

」 ヨアブは彼女に言うべきことを教えた。⁴

テコアの女が王に話しかけたとき、彼女は地面に顔を伏せてひれ伏し、

「王よ、お助けください」と言った。⁵

王は彼女に言った、「何があなたを悩ませているのか？」

彼女は答えた、「本当に私は未亡人です。夫は死にました。」⁶

今、あなたのしもべには二人の息子がいましたが、その二人は野で争いました。

誰も彼らを引き離す者はいませんでした。

一人がもう一人を打って殺しました。⁷

今、家族全体があなたのしもべに向かって立ち上がり、

『兄弟を打った者を連れて来い。彼の兄弟を殺したために彼を死刑にしよう』と言っています。

彼らはまた相続人を滅ぼそうとしています。

それで彼らは私に残された燃える炭を消し、私の夫のために地上に名前も残りも残さないでしょう。」⁸

それから王は女に言った、「あなたの家に帰りなさい。私はあなたの件について指示を出します。」⁹

テコアの女は王に言った、

「私の主、王よ、その罪は私と私の父の家にあります。王とその王座には罪がありませんように。」¹⁰

王は言った、「もし誰かがあなたを悩ませるなら、彼を私のもとに連れて来なさい。

彼はもうあなたを悩ませることはないでしょう。」¹¹

彼女は言った、「どうか王があなたの神、主を思い出してください。

血の復讐者がこれ以上滅ぼさないように、

彼らが私の息子を滅ぼさないように。」

彼は言った、「主の生きておられる限り、あなたの息子の髪の毛一本も地に落ちることはない。」¹²

それから女は言った、「どうかあなたのしもべが私の主、王に一言申し上げさせてください。」

彼は言った、「言いなさい。」¹³

それで女は言った、

「それならなぜあなたは神の民に対してそのようなことを計画されたのですか？

この言葉を話すことで、王は罪を犯しているかのようです。王は追放された者を戻さないからです。」¹⁴

私たちは確かに死ぬでしょう。そして地にこぼれた

サムエル記下

水のように、再び集めることはできません。
しかし神は命を奪うことはなく、追放された者が彼から離れたままにならないように手段を考え出されます。¹⁵

今、私はこの件について私の主、王に話しに来ました。
人々が私を恐れさせたからです。
それであなたのしもべは言いました、『王に話させてください。おそらく王は彼のしもべの願いを聞き入れてくださるでしょう。』¹⁶
王は聞いて、彼のしもべを救ってくださるでしょう。

。私と私の息子を神の相続から切り離そうとする者の手から。」¹⁷

それであなたのしもべは思いました、『私の主、王の言葉は安らぎをもたらすでしょう。
私の主、王は神の使いのように、善悪を見分けることができるからです。
そしてあなたの神、主があなたと共におられますように。』」

¹⁸ それから王は女に答えて言った、「私があなたに尋ねようとしていることを何も隠さないでください。」
女は言った、「私の主、王が話してください。」¹⁹
それで王は言った、「このすべてにヨアブの手があなたと共にありますか？」

女は答えた、「私の主、王の魂が生きている限り、私の主、王が話されたことから右にも左にも向かうことはできません。
確かにあなたのしもべヨアブが私に命じたのです。
そして彼がこれらの言葉をあなたのしもべの口に入れたのです。」²⁰

あなたのしもべヨアブはこの状況を変えるためにこれを行いました。
しかし私の主は賢明で、地にあるすべてを知る神の使いの知恵のようです。」

²¹ それから王はヨアブに言った、「今、私はこのことを行います。
それゆえ、若者アブサロムを連れ戻しなさい。」²²
ヨアブは地に顔を伏せてひれ伏し、王を祝福した。
それからヨアブは言った、「今日、あなたのしもべは私があなたの目に恵みを見出したことを知っています。」

私の主、王が彼のしもべの願いを聞き入れてくださったからです。」²³
それでヨアブはゲシュルに向かい、アブサロムをエルサレムに連れ戻した。²⁴
しかし、王は言った、「彼を自分の家に帰らせ、私の顔を見させないように。」

それでアブサロムは自分の家に帰り、王の顔を見なかった。

²⁵ 今、全イスラエルの中でアブサロムほどその容姿が称賛される者はいなかった。
彼の足の裏から頭のてっぺんまで、彼には欠点なかった。²⁶ 彼が頭の髪を切るとき—それは毎年の終わりに彼がそれを切るからで、それが彼に重かったので、彼がそれを切るとき、それを王の重さで二百シェケルと量った。²⁷
アブサロムには三人の息子とタマルという名の娘がいた。彼女は美しい容姿の女であった。

²⁸ アブサロムはエルサレムに二年間とどまったが、王の顔を見なかった。²⁹
それからアブサロムはヨアブを王に送るために呼び寄せたが、彼は彼のもとに来なかった。
それで彼はもう一度二度目に送ったが、それでも彼は来なかった。³⁰

それで彼は彼のしもべたちを命じた、「見よ、ヨアブの畑は私の隣にあり、そこには大妻がある。行ってそれを火で焼きなさい。」
それでアブサロムのしもべたちはその畑を焼いた。³¹

それからヨアブは立ち上がり、アブサロムの家に来て彼に言った、「なぜあなたのしもべたちは私の畑を火で焼いたのですか？」³² アブサロムはヨアブに答えた、「見よ、私はあなたに言いました、『ここに来てください。私はあなたを王に送るために言いました、なぜ私はゲシュルから来たのですか？まだそこにいた方が良かったでしょう。』」
それで今、私は王の顔を見たいです。
もし私に罪があるなら、彼に私を死刑にしてください。」³³

それでヨアブは王のもとに来て彼に伝えた。
それから彼はアブサロムを呼び寄せ、彼は王のもとに来て、王の前で地に顔を伏せてひれ伏した。
そして王はアブサロムに口づけした。

15 この後、アブサロムは自分のために戦車と馬を用意し、
その前を走る五十人を用意した。²

アブサロムは早朝に起きて門の道のそばに立ち、誰かが王の前に訴えを持ってくると、アブサロムはその人に呼びかけて言った、「あなたはどの町から来ましたか？」
彼は言った、「あなたのしもべはイスラエルの部族の一つから来ました。」³

サムエル記下

するとアブサロムは彼に言った、
「見てください、あなたの訴えは正しく、正当です」。

しかし、王があなたを聞くために任命した者はいません。」⁴ そしてアブサロムは言った、
「ああ、私がこの地の裁判官に任命されていたなら

、訴えや原因を持つすべての人が私のところに来て、私は彼に正義を与えるでしょう。」⁵

そして、誰かが彼の前にひれ伏そうとすると、彼は手を伸ばし、彼をつかんで、彼に口づけした。⁶

アブサロムは王の前に来たイスラエルのすべての人に対してこれを行った。

それでアブサロムはイスラエルの人々の心を盗んだ。

⁷ 四年の終わりに、アブサロムは王に言った、
「どうか私を行かせて、ヘブロンに主に誓った誓いを果たさせてください。」⁸

あなたのしもべはアラムのゲシュルに住んでいたときに誓いを立てました。

『もし主が本当に私をエルサレムに戻してくださるなら、私は主に仕えます。』」⁹

王は答えた、「安全に行きなさい。」
それで彼は立ち上がり、ヘブロンに行った。¹⁰

しかし、アブサロムはイスラエルのすべての部族に使者を送り、指示した、

「ラッパの音を聞いたら、
『アブサロムがヘブロンで王になった！』と宣言しなさい。」¹¹

そして、エルサレムからアブサロムと共に二百人が行った。彼らは招かれて行ったが、

何も知らずに無邪気に行った。¹²

アブサロムが犠牲を捧げている間に、彼はギロのアヒトフェル、ダビデの顧問を彼の町ギロから召喚した。そして陰謀は力を増し、アブサロムと共にいる人々は増え続けた。

¹³ そのとき、使者がダビデのもとに来て言った、
「イスラエルの人々の忠誠はアブサロムに向かっています。」¹⁴

それでダビデはエルサレムにいる彼と共にいるすべてのしもべに言った、

「立ち上がれ、逃げよう。さもなければ私たちは誰もアブサロムから逃れることができない。

急いで行こう、さもないと彼が突然私たちを追い越し、災いをもたらし、

剣の刃で町を打つかもしれない。」¹⁵
すると王のしもべたちは彼に言った、

「見よ、あなたのしもべたちは私の主、王が選ぶことを何でもする準備ができています。」¹⁶

それで王は出て行き、彼の家族全員が彼と共に行った。

しかし、王は十人の側室を家を守るために残した。¹⁷

そして王は彼に同行するすべての人々と共に出発し、最後の家で立ち止まった。¹⁸

今や彼のすべてのしもべが彼の前を通り過ぎ、ケレテ人、ペレテ人、ガテから彼に従って来た六百人のギテ人が王の前を通り過ぎた。¹⁹

すると王はギテ人のイッタイに言った、
「なぜあなたも私たちと一緒に行くのですか？王と共に戻り、留まりなさい。

あなたは外国人であり、またあなた自身の場所からの亡命者です。」²⁰

あなたは昨日来たばかりであり、今日私と一緒にさまようことをさせるのですか、

私はどこに行くのかさえわからないのに。

戻り、あなたの兄弟たちを連れて行きなさい。慈悲と真実があなたと共にありますように。」²¹

しかし、イッタイは王に答えて言った、
「主が生きておられる限り、また私の主、王が生きておられる限り、

確かに私の主、王がいるところならどこでも、死のためであれ、命のためであれ、あなたのしもべはそこにいます。」²²

それでダビデはイッタイに言った、
「行きなさい、進みなさい。」

それでギテ人のイッタイは彼のすべての人々と彼と共にいる小さな者たちと共に通り過ぎた。

²³

すべての土地が大声で泣き叫び、すべての人々が通り過ぎた。そして王はキデロンの谷を渡り、

すべての人々が荒野の道に向かって渡った。²⁴

見よ、ザドクも来て、彼と共にレビ人全員が来て、神の契約の箱を運んでいた。

彼らは神の箱を置き、アビアタルが上がって来たすべての人々が町を出るのが終わるまで。²⁵

そのとき王はザドクに言った、
「神の箱を町に戻しなさい。

もし主の目に恵みを見つけるなら、主は私を戻してそれとその住まいを見ることを許してくださいでしょう。」²⁶

しかし、もし主がこう言われるなら、『私はあなたを喜ばない』、

見よ、ここに私はいます。主が良いと思われることを私にしてください。」²⁷

王はまたザドク祭司に言った、

サムエル記下

「あなたは預言者ではありませんか？安全に町に戻りなさい、あなたの二人の息子と共に、あなたの息子アヒマアズとアビアタルの息子ヨナタン。²⁸ 見よ、私は荒野の渡し場で待ちます、あなたが知らせを送って私に知らせるまで。」²⁹ こうして、ザドクとアビアタルは神の箱をエルサレムに戻し、そこに留まった。

³⁰ そしてダビデはオリーブ山の登りを上がって行き、泣きながら行った。彼の頭は覆われ、彼は裸足で歩いた。彼と共にいるすべての人々も頭を覆い、泣きながら上がって行った。³¹ そのとき誰かがダビデに言った、「アヒトフェルがアブサロムと共に陰謀を企んでいます。」そしてダビデは言った、「主よ、どうかアヒトフェルの助言を愚かにしてください。」³²

今やダビデが神が礼拝される頂上に来たとき、見よ、アルキ人のフシャイが彼に会いに来た。彼の衣は裂け、頭には土があった。³³ そしてダビデは彼に言った、「もしあなたが私と共に渡るなら、あなたは私にとって重荷になるでしょう。」³⁴ しかし、もしあなたが町に戻り、アブサロムに言うなら、『私はあなたのしもべです、王よ。過去にあなたの父のしもべであったように、今私はあなたのしもべになります。』そうすれば、あなたは私のためにアヒトフェルの助言を妨げることができます。³⁵ ザドクとアビアタルの祭司たちはそこにいないでしょうか？

だから、あなたが王の家から聞くことは何でも、ザドクとアビアタルの祭司たちに報告しなさい。³⁶ 見よ、彼らの二人の息子が彼らと共にいます。ザドクの息子アヒマアズ、アビアタルの息子ヨナタン。そして彼らを通じて、あなたが聞くすべてのことを私に送ってください。」³⁷ それでダビデの友人フシャイは町に入った。ちょうどアブサロムがエルサレムに到着した時だった。

16 ダビデが山頂を少し過ぎたとき、メフィボシェテのしもべツィバが、鞍をつけた二頭のろばを連れて彼に会いに来た。その上には、二百のパン、一百の干しぶどうの房、一百の夏の果物、そして一容器のぶどう酒があった

。² 王はツィバに言った、「これらは何をするためのものか？」ツィバは言った、「ろばは王の家の者が乗るためのもので、パンと夏の果物は若者たちが食べるためのもので、ぶどう酒は荒野で疲れた者が飲むためのものです。」³ それから王は言った、「あなたの主人の息子はどこにいるのか？」ツィバは王に言った、「見よ、彼はエルサレムにとどまっています。彼は言いました、『今日、イスラエルの家は私に父の王国を回復するだろう』と。」⁴ それで王はツィバに言った、「見よ、メフィボシェテに属していたすべてのものは今やあなたのものだ。」ツィバは言った、「私はあなたの前にひれ伏します。どうか私の主、王の御前に恵みを見いださせてください。」

⁵ ダビデ王がバフリムに来たとき、見よ、サウルの家の一族から出てきた男がいた。その名はゲラの子シメイであった。⁶ 彼は出てきて、来るたびに呪っていた。彼はダビデとダビデ王のすべてのしもべに石を投げつけた。すべての民とすべての勇士たちが彼の右と左にいたにもかかわらず、⁷ シメイは呪いながら言った、「出て行け、出て行け、血を流す者、無価値な者よ！」⁸ 主はあなたにサウルの家の血を返された。あなたはその代わりに王位を得た。主は王国をあなたの息子アブサロムの手に渡された。⁹ 見よ、あなたは自分の悪に捕らえられている。あなたは血を流す者だからだ！」⁹ ゼルヤの子アビシャイは王に言った、「なぜこの死んだ犬が私の主、王を呪うのか？今すぐ行って彼の首をはねさせてください。」¹⁰ しかし王は言った、「ゼルヤの子たちよ、私があなたたちと何の関係があるのか？もし彼が呪うなら、そして主が彼に『ダビデを呪え』と言ったなら、誰が言うことができるのか、『なぜあなたはそうしたのか』と？」¹¹ それからダビデはアビシャイとすべてのしもべたち

に言った、「見よ、私自身の息子が私の命を求めている。ましてやこのベニヤミン人はどうだろうか？彼を放っておいて、彼に呪わせなさい。主が彼にそう言ったのだから。」¹²

サムエル記下

もしかしたら主は私の苦しみを見て、今日の彼の呪いの代わりに私に良いことをしてくださるかもしれない。」¹³

それでダビデと彼の人々は道を進んだ。シメイは彼の向かいの丘の側を進みながら、呪い、石を投げ、塵を投げつけた。¹⁴
そして王と彼と共にいたすべての人々は疲れ果てて到着し、そこで彼は自分を元気づけた。

¹⁵ さて、アブサロムとすべての人々、イスラエルの人々はエルサレムに来了。
アヒトフェルも彼と共にいた。¹⁶
その時、アルキンフシャイ、ダビデの友がアブサロムのところに来て言った、
「王様万歳！王様万歳！」¹⁷
しかしアブサロムはフシャイに言った、
「これはあなたが友に示す忠誠の仕方か？なぜあなたは友と共に行かなかったのか？」¹⁸
それからフシャイはアブサロムに言った、
「いいえ！主、この民、そしてイスラエルのすべての人々が選ぶ者が誰であれ、その者のものに私はいる、そして彼と共にとどまる。」¹⁹
さらに、私は誰に仕えるべきか？その息子ではないか？
私はあなたの父に仕えてきたように、あなたに仕えるだろう。」

²⁰ それからアブサロムはアヒトフェルに言った、
「私たちに助言してください。何をすべきか？」²¹
アヒトフェルはアブサロムに言った、
「あなたの父が家を守るために残した側女たちのところに入りなさい。
そうすれば、すべてのイスラエルがあなたが父に嫌われたことを聞くだろう。
そうすれば、あなたと共にいるすべての者の手が強くなるだろう。」²²
それで彼らはアブサロムのために屋上に天幕を張り、
アブサロムはイスラエルのすべての人々の目の前で父の側女たちのところに入った。²³
さて、アヒトフェルのその時代の助言は、まるで神の言葉を尋ねるかのようであった。
ダビデとアブサロムの両方に対するアヒトフェルのすべての助言はそうであった。

17 アヒトフェルはアブサロムに言った、
「私に一万二千人を選ばせてください。私は立ち上がり、今夜ダビデを追いましょう。」²
彼が疲れて手が弱っているときに彼に襲いかかり、

彼を恐れさせ、彼と共にいるすべての人々を逃げさせます。そして私は王だけを打ち倒します。³
そして私はすべての人々をあなたのもとに連れ戻します。
すべての人々の帰還は、あなたが求めるその人にかかっています。
そうすれば、すべての人々は平和になるでしょう。」⁴
アブサロムとイスラエルのすべての長老たちは、その助言を良しとした。

⁵ しかしアブサロムは言った、
「アルキンフシャイをも呼び、彼の言葉も聞いてみましょう。」⁶
フシャイがアブサロムのもとに来たとき、アブサロムは彼に言った、
「アヒトフェルはこのように語った。私たちは彼の言葉に従うべきか？そうでないなら、言ってみなさい。」⁷
するとフシャイはアブサロムに言った、
「今回アヒトフェルが与えた助言は良くありません。」⁸
フシャイはさらに言った、
「あなたの父とその人々が勇敢であり、野で子を奪われた熊のように魂が苦々しいことを知っています。
さらに、あなたの父は戦の達人です。
彼は人々と共に夜を過ごしません。」⁹
見よ、彼は今でも穴の一つか他の場所に隠れています。
そして最初の攻撃で何人かが倒れると、それを聞いた者は皆、『アブサロムの追従者たちの間で虐殺があった』と言うでしょう。¹⁰
すると、勇敢で獅子の心を持つ者でさえも完全に溶け去るでしょう。
イスラエル全体があなたの父が勇敢な人であり、彼と共にいる者たちが勇敢であることを知っているからです。」¹¹
「しかし、私はイスラエル全体をあなたのもとに集めることを勧めます。
ダンからベエルシェバまで、海の砂のように豊富に、そしてあなた自身が戦いに出るべきです。」¹²
そうすれば、彼が見つかるどんな場所にでも彼に襲いかかり、
地に露が降るように彼に降りかかります。
彼と共にいるすべての人々の中で、一人も残らないでしょう。¹³
もし彼が町に退くなら、イスラエル全体がその町に縄を持ち寄り、それを谷に引きずり込み、
そこには小石一つも見つからないようにします。」¹⁴
するとアブサロムとイスラエルのすべての人々は言った、

サムエル記下

「アルキ人フシャイの助言はアヒトフェルの助言よりも良い。」

主がアヒトフェルの良い助言を打ち破ることを定められたからである。

それは主がアブサロムに災いをもたらすためであった。

その後、フシャイは祭司ザドクとアビアタルに言った、

「アヒトフェルはアブサロムとイスラエルの長老たちにこのように助言しましたが、私は彼らに異なる助言をしました。」

それゆえ、急いでダビデに伝えてください、『荒野の渡し場で夜を過ごさず、必ず渡りなさい。』

さもないと、王と彼と共にいるすべての人々が飲み込まれてしまいます。」

ヨナタンとアヒマアズはエン・ロゲルに滞在しており、女中が行って彼らに伝え、彼らは行ってダビデ王に知らせることになっていた。

彼らは町に入るのを見られる危険を冒せなかったからである。

しかし、若者が彼らを見てアブサロムに告げた。それで彼らは急いでバフリムのある男の家に行き、その中庭に井戸があり、彼らはその中に降りた。

女は覆いを取って井戸の口に広げ、その上に穀物をまき散らしたので、何も知られなかった。

するとアブサロムの僕たちがその家の女のもとに来て言った、「アヒマアズとヨナタンはどこにいるのか？」

女は彼らに言った、「彼らは水の小川を渡りました。」

彼らは捜したが見つけれず、エルサレムに戻った。彼らが去った後、男たちは井戸から上がり、ダビデ王に告げに行った。

彼らはダビデに言った、「急いで水を渡りなさい、アヒトフェルがあなたに対してこのように助言したからです。」

それでダビデと彼と共にいるすべての人々は立ち上がり、ヨルダンを渡った。

夜明けまでに、ヨルダンを渡っていない者は一人もいなかった。

アヒトフェルは自分の助言が聞き入れられなかったのを見て、

ろばに鞍を置き、立ち上がって自分の家、町に行った。彼は家を整え、自らを紋首した。こうして彼は死に、父の墓に葬られた。

その後、ダビデはマハナyimに到着した。アブサロムもヨルダンを渡り、イスラエルのすべての人々と共に渡った。

アブサロムはヨアブに代わってアマサを軍の長に任命した。

アマサはイスラエル人イテラという男の子で、ナハシュの娘でヨアブの母ゼルヤの妹アビガイルに入った者であった。

アブサロムとイスラエル人たちはギルアデの地に陣を張った。

ダビデがマハナyimに来たとき、アンモン人のラバからナハシュの子シヨビ、ロ・デバルからアミエルの子マキル、

ログリムからギルアデ人バルジライが、ベッド、洗面器、土器、小麦、大麦、粉、炒った穀物、豆、レンズ豆、炒った種子を持ってきた。

蜂蜜、凝乳、羊、群れからのチーズを持ってきた。それはダビデと彼と共にいる人々が食べるためであった。彼らは言った、

「人々は荒野で飢え、疲れ、渴いている。」

それからダビデは彼と共にいる民を集め、千人隊の長と百人隊の長を彼らの上に立てた。

ダビデは軍を送り出した。三分の一はヨアブの指揮下に、

三分の一はゼルヤの子アビシャイ、ヨアブの兄弟の指揮下に、

三分の一はガテ人イッタイの指揮下に置いた。

王は民に言った、「私も必ずあなたたちと一緒に出て行く。」

しかし民は言った、

「あなたは出て行つてはなりません。もし私たちが逃げても、彼らは私たちを気にしないでしょ。たとえ私たちの半分が死んでも、彼らは気にしないでしょ。」

しかしあなたは私たち一万人に値するのです。それゆえ、あなたが町から援助を送る準備をしている方が良いのです。」

王は彼らに言った、「あなたたちの目に良いことを私はします。」

それで王は門のそばに立ち、民は百人隊、千人隊ごとに出て行った。

王はヨアブ、アビシャイ、イッタイに命じて言った、

「若者アブサロムを私のために優しく扱ってくれ。」

サムエル記下

民は皆、王がアブサロムについて指揮官たちに命じたのを聞いた。

それから民はイスラエルと戦うために野に出て行き、
戦いはエフライムの森で行われた。⁷
そこでイスラエルの民はダビデのしもべたちに打ち負かされ、
その日、そこでは大いに虐殺が行われた。二万人の人々が倒れた。⁸ 戦いは全地に広がり、
その日、森が剣よりも多くの人々を飲み込んだ。

さて、アブサロムはダビデのしもべたちに出会った。
アブサロムはラバに乗っていたが、
ラバは大きな榿の木の厚い枝の下を通った。
彼の頭は木に引っかかり、
彼は天と地の間に吊りになった。
彼の下にいたラバはそのまま進んで行った。¹⁰
ある人がそれを見てヨアブに告げた、
「見よ、アブサロムが榿の木にぶら下がっているのを見ました。」¹¹
するとヨアブはそれを告げた人に言った、
「彼を見たのか！なぜその場で彼を地に打ち倒さなかったのか？
私は銀十枚と帯をあなたに与えたであろうに。」¹²
しかしその人はヨアブに言った、
「たとえ銀千枚を受け取っても、
私は王の子に手を出しません。

私たちが聞いているところで王があなたとアビシャイとイットタイに命じて、
『若者アブサロムを私のために守れ』と言われたからです。¹³
さもなければ、もし私が彼の命に対して裏切りを働いたなら、
王には何も隠れることはありません。
その時あなた自身が私を避けて立っていたでしょう。」¹⁴
するとヨアブは言った、
「私はあなたと時間を無駄にしない。」

それで彼は手に三本の槍を取り、
それを榿の木の中でまだ生きているアブサロムの心に突き刺した。¹⁵
そしてヨアブの武具を持つ十人の若者がアブサロムを取り囲み、
彼を打ち殺した。¹⁶
その後、ヨアブはラッパを吹き、
民はイスラエルを追うのをやめた。
ヨアブが軍を止めたからである。¹⁷
彼らはアブサロムを取り、森の中の大きな穴に投げ込み、
その上に非常に大きな石の塚を築いた。
そしてイスラエルは皆、それぞれ自分の天幕に逃げ帰った。¹⁸

さて、アブサロムは生前、自分のために柱を立てていた。
それは王の谷にあり、
彼は言った、「私の名を保つ息子がいない。」
そして彼はその柱を自分の名で呼び、
それは今日までアブサロムの記念碑と呼ばれている。¹⁹

その時、ツアドクの子アヒマアズが言った、
「私に走らせて、王に知らせを届けさせてください。」
主が彼を敵の手から救い出して正義を示されたことを。²⁰
しかしヨアブは彼に言った、
「今日は知らせを運んではならない。別の日に知らせを運ぶことになるだろう。
今日は知らせを届けてはならない。
王の子が死んだからだ。」²¹
その後、ヨアブはクシュ人に言った、
「行って、あなたが見たことを王に告げなさい。」
それでクシュ人はヨアブにお辞儀をして走った。²²
ツアドクの子アヒマアズは再びヨアブに言った、
「何があっても、どうか私もクシュ人の後を走らせてください。」
ヨアブは言った、「なぜ走るのか、息子よ、知らせに対する報酬はないのに。」²³
「しかし、何があっても走ります」と彼は言った。
それで彼は彼に言った、「走れ。」
それでアヒマアズは平地を通して走り、クシュ人を追いつ越した。

今、ダビデは二つの門の間に座っていた。
見張りには壁の門の屋根に上り、
目を上げて見た。見よ、一人の人が一人で走っていた。²⁵
見張りは呼びかけて王に告げた。
王は言った、「彼が一人なら、彼の口には良い知らせがある。」
そして彼はますます近づいてきた。²⁶
その後、見張りはもう一人の人が走っているのを見た。
見張りは門番に呼びかけて言った、
「見よ、もう一人の人が一人で走っている。」
王は言った、「彼も良い知らせを持っている。」²⁷
見張りは言った、
「最初の人の走り方はツアドクの子アヒマアズの走り方の方です。」
王は言った、「彼は良い人であり、良い知らせを持って来る。」²⁸
するとアヒマアズは叫んで王に言った、
「すべてはうまくいっています。」
彼は王の前に地面に顔を伏せてひれ伏し、言った、
「あなたの神、主が祝福されますように。
私の主である王に手を挙げた人々を引き渡されたの

サムエル記下

です。」²⁹ 王は言った、
「若者アブサロムは無事か？」
アヒマズは答えた、
「ヨアブが王のしもべを送ったとき、あなたのしもべは大きな騒ぎを見ましたが、それが何であるかは知りませんでした。」³⁰
王は彼に指示した、「脇に立ってここで待て。」
それで彼は脇に立って待った。³¹
その後、見よ、クシュ人が到着して言った、
「私の主である王が良い知らせを受け取りますように。」
主がこの日、あなたを立ち上がったすべての者の手から救い出されました。」³²
王はクシュ人に言った、
「若者アブサロムは無事か？」
クシュ人は答えた、
「私の主である王の敵と、あなたに対して悪を企むすべての者が、
その若者のようになりますように。」

³³ その時、王は深く動揺し、
門の上の部屋に上って泣いた。
彼が行くとき、彼は言った、
「ああ、私の息子アブサロム、私の息子、私の息子アブサロム！
私があなたの代わりに死んでいたらよかったのに、
ああアブサロム、私の息子、私の息子！」

19 そのとき、ヨアブに報告があった、
「見よ、王はアブサロムのために泣き悲しんでおられる。」²
その日、勝利はすべての民にとって悲しみに変わった。
その日、民はこう言うのを聞いたからである、
「王がその子のために悲しんでおられる。」³
そして民はその日、
戦いに敗れて逃げるときに恥ずかしがる人々のように、
こっそりと町に入った。⁴
王は顔を隠して大声で嘆いた、
「ああ、わが子アブサロムよ、ああアブサロム、わが子、わが子よ！」⁵
そのとき、ヨアブが王の家に来て言った、
「今日、あなたはすべてのしもべたちを辱めました。
彼らは今日、あなたの命とあなたの息子たちと娘たちの命、
あなたの妻たちと側女たちの命を救ったのです。」⁶
あなたを憎む者を愛し、あなたを愛する者を憎むことによって。
今日、あなたは指揮官としもべたちがあなたにとつ

て何でもないことを明らかにしました。
今日、もしアブサロムが生きていて、私たちがみな死んでいたなら、あなたは喜んだことでしょう。」⁷
さあ、今立ち上がり、出て行って、しもべたちに優しく語りかけなさい。
主にかけて誓いますが、もしあなたが出て行かないなら、
今夜、誰一人としてあなたと共に留まる者はいないでしょう。
そしてこれは、あなたが若い頃から今までに降りかかったすべての災難よりも、あなたにとって悪いことになるでしょう。」

⁸ それで王は立ち上がり、門に座った。
そしてすべての民に、「見よ、王が門に座っておられる」と告げられたとき、
すべての民は王の前に来た。
さて、イスラエルはそれぞれ自分の天幕に逃げ帰った。⁹
イスラエルのすべての部族の民は議論して言った、
「王は我々を敵の手から救い出し、
ペリシテ人の手からも救い出してくださったが、
今、彼はアブサロムから逃れて国を出てしまった。」¹⁰

そして我々が自分たちの上に油を注いだアブサロムは戦いで死んでしまった。
それならば、なぜ王を連れ戻すことについて何も言わないのか？」¹¹
そこでダビデ王はザドクとアビアタルの祭司たちに言葉を送って言った、
「ユダの長老たちに言いなさい、
『なぜあなたたちは王を自分の家に連れ戻すことに最後になっているのか、
イスラエル全体の言葉が王に届いて、彼を自分の家に戻すようにしているのに？』¹²
あなたたちは私の親族であり、私の肉と骨である。
それならば、なぜ王を連れ戻すことに最後になっているのか？』¹³ アマサに言いなさい、
『あなたは私の骨と肉ではないか？
もしあなたがヨアブの代わりに私の前で軍の指揮官にならないなら、
神が私にこれを行い、さらにそれ以上のことを行われるように。』」¹⁴

それで彼はユダのすべての人々の心を一人の人のように変えたので、
彼らは王に言葉を送って言った、
「戻って来てください、あなたとすべてのしもべたち。」

サムエル記下

¹⁵ それで王は戻り、ヨルダン川まで来た。
そしてユダの人々はギルガルに来て、王を迎え、
ヨルダン川を渡らせるために王を護衛した。¹⁶
そのとき、ゲラの子でベニヤミン人のシメイが、
急いでユダの人々と共にダビデ王を迎えに来了。¹⁷
彼と共にベニヤミンから千人の人々がいた。
また、サウルの家のしもべであるジバも、
彼の十五人の息子たちと二十人のしもべたちと共に
いた。
彼らは王の前にヨルダン川に急いで行った。¹⁸
彼らは王の家族を渡らせ、彼の望むことをするために
渡し場を渡った。
そのとき、ゲラの子シメイは王の前にひれ伏した、
彼がヨルダン川を渡ろうとしていたときに。¹⁹
彼は王に言った、
「どうか私の主が私を罪に定めないでください。
また、私の主である王がエルサレムから出て行かれた
日に、
あなたのしもべが犯した過ちを心に留めないでくだ
さい。²⁰
あなたのしもべは自分が罪を犯したことを知ってい
ます。 それゆえ、見てください、私は今日、
ヨセフの家の中で最初に来て、
私の主である王を迎えに来ました。」²¹
しかし、ゼルヤの子アビシヤは答えて言った、
「シメイはこのことで死刑にされるべきではないで
しょうか、
彼が主の油注がれた者を呪ったからです。」²²
しかしダビデは言った、
「ゼルヤの子たちよ、私とあなたたちに何の関係が
あるのか、
今日、あなたたちは私に対する敵となるのか？
今日、イスラエルで誰かが死刑にされるべきでし
ょうか？
私が今日、イスラエルの王であることを知らないで
しょうか？」²³ それで王はシメイに言った、
「あなたは死なない。」そして王は彼に誓った。

²⁴
そのとき、サウルの子メフィボシェテが王を迎えに
下って来た。
彼は王が出発した日から平和に戻る日まで、
足の手入れをせず、ひげを整えず、
衣服を洗わなかった。²⁵
彼がエルサレムに来て王を迎えたとき、
王は彼に言った、
「メフィボシェテ、なぜ私と一緒に行かなかったの
か？」²⁶ 彼は答えた、
「私の主である王よ、私のしもべが私を欺きました
。」

あなたのしもべは、『私は自分のためにロバを鞍付
けし、
それに乗って王と共に行く』と言ったのですが、
あなたのしもべは足が不自由なのです。²⁷
そして彼はあなたのしもべを私の主である王に中傷
しました。
しかし、私の主である王は神の使いのようです。
それゆえ、あなたが良いと思われることをしてくだ
さい。²⁸
私の父の家のすべての者は、私の主である王の前で
は死んだ者に過ぎませんでした。
しかし、あなたはあなたのしもべをあなたの食卓で
食べる者の中に置いてくださいました。
それゆえ、私は王に対して何の権利があつて、さら
に訴えることができますか？」²⁹
それで王は彼に言った、
「なぜあなたのことをこれ以上話すのか？
私は決定しました。あなたとジバは土地を分け合う
ことにします。」³⁰
そしてメフィボシェテは王に言った、
「私の主である王が自分の家に平和に戻られたので
、
彼がすべてを取ることができるようにしてください
。」

³¹
さて、ギルアデ人のバルジライはロゲリムから下っ
て来て、 ヨルダン川を渡って王を護衛した。³²
バルジライは年老いた人で、八十歳であった。
彼はマハナ임に滞在している間、王に食物を提供
していた。
彼は非常に裕福な人であったからである。³³
王はバルジライに言った、
「私と一緒に来てください、そうすれば私はエルサ
レムであなたを養います。」³⁴
しかし、バルジライは王に言った、
「私はどれほど生きることができるでしょうか、王
と共にエルサレムに上るべきでしょうか？」³⁵
私は今日、八十歳です。
善悪を見分けることができるでしょうか？
あなたのしもべは食べるものや飲むものの味を感じ
ることができるでしょうか？
歌う男たちや歌う女たちの声をまだ聞くことがで
きるでしょうか？
それならば、なぜあなたのしもべが私の主である王
に負担をかけるべきでしょうか？」³⁶
あなたのしもべはただ王と共にヨルダン川を渡るだ
けです。
なぜ王が私にこのような報酬を与えるべきでしょ
うか？」³⁷

サムエル記下

どうかあなたのしもべを帰らせてください、私が自分の町で死ぬことができるように、私の父と母の墓の近くで。

しかし、ここにあなたのしもべキムハムがいます。彼を私の主である王と共に渡らせてください、そしてあなたが良いと思われることを彼にしてください。」³⁸ そして王は答えた、

「キムハムは私と共に渡るでしょう、そして私はあなたが良いと思われることを彼にします。

あなたが私に望むことは何でも、私はあなたのためにします。」³⁹

それで、すべての民はヨルダン川を渡った、

そして王も渡った。

そして王はバルジライに口づけし、彼を祝福した、

そして彼は自分の場所に帰った。

⁴⁰ さて、王はギルガルに進んだ、

そしてキムハムも彼と共に進んだ。

ユダのすべての民とイスラエルの半分の民も

王を護衛した。⁴¹

すると、見よ、イスラエルのすべての人々が王のもとに来て言った、

「なぜ我々の兄弟であるユダの人々があなたを盗み、

王とその家族をヨルダン川を渡らせ、
ダビデのすべての人々を共に渡らせたのか？」⁴²

ユダのすべての人々はイスラエルの人々に答えた、

「王は我々に近い親戚だからです。

なぜあなたたちはこのことで怒っているのか？

我々が王の費用で食べたことがあるのか、それとも彼が我々に何か贈り物をしたのか？」⁴³

するとイスラエルの人々はユダの人々に答えて言った、

「我々は王に十の分け前を持っている。それゆえ、我々もあなたたちよりもダビデに対して多くの権利を持っている。

それならば、なぜ我々を軽んじたのか？

我々が王を連れ戻すことを最初に話したのではないか？」

しかし、ユダの人々の言葉はイスラエルの人々の言葉よりも激しかった。

20 さて、そこに無価値な男がいた。その名はビクリの子シェバで、ベニヤミン人であった。
彼はラッパを吹いて言った、

「我々はダビデには何の分け前もない。

エッサイの子には何の相続もない。

イスラエルよ、各々自分の天幕に帰れ！」²

そこで、イスラエルの男たちは皆ダビデから離れて、ビクリの子シェバに従った。

しかし、ユダの男たちはヨルダンからエルサレムまで、彼らの王に忠実であり続けた。

³

それからダビデはエルサレムの自分の家に戻った。王は家を守るために残しておいた十人の側女たちを連れてきて、彼女たちを閉じ込め、養ったが、彼女たちのところには入らなかった。それで彼女たちは死ぬ日まで閉じ込められ、未亡人として暮らした。

⁴

その後、王はアマサに命じた、

「ユダの男たちを三日以内に集めて、

あなた自身もここに来るようにしなさい。」⁵

そこでアマサはユダを召集しに行ったが、

彼に定められた時を過ぎて遅れた。⁶

それでダビデはアビシャイに言った、

「今やビクリの子シェバはアブサロムよりも我々に害を及ぼすだろう。

あなたの主君のしもべたちを連れて、彼を急いで追いかけなさい。

そうしないと、彼が防備のある町を見つけて、我々の目から逃れてしまう。」⁷

そこでヨアブの部下たちは彼を追って出発し、ケレテ人、ペレテ人、そしてすべての勇士たちも一緒に行った。

彼らはエルサレムから出発して、ビクリの子シェバを追った。⁸

彼らがギベオンの大きな石のところに来たとき、

アマサが彼らに会いに来た。

その時ヨアブは軍服を着ており、

その上には鞘に収められた剣が腰に固定されていた。
。 彼が前に進むと、それが落ちた。⁹

ヨアブはアマサに挨拶して言った、

「兄弟よ、元気か？」

そしてヨアブは右手でアマサのひげをつかんで彼にキスしようとした。¹⁰

しかし、アマサはヨアブの手にある剣に気づかなかった。

それでヨアブは彼の腹をその剣で刺し、彼の内臓を地面に流し出した。

彼は再び刺されることなく死んだ。

それからヨアブと彼の兄弟アビシャイはビクリの子シェバを追った。

¹¹

さて、ヨアブの若い者の一人が彼のそばに立って言った、

「ヨアブを支持する者、ダビデに味方する者は、ヨアブに従え！」¹²

しかし、アマサは道の真ん中で血にまみれて横たわっていた。

その男が人々が皆立ち止まっているのを見たとき、

サムエル記下

彼はアマサを道から畑に移し、彼の上に衣をかけた。
それは、彼のそばを通る者が皆立ち止まるのを見たからである。¹³ 彼が道から移されたとき、皆ヨアブの後を追ってビクリの子シェバを追った。

¹⁴ さて、彼はイスラエルのすべての部族を通してアベルに行き、ベテ・マアカにまで行き、ビクリの者たちも集まり、彼の後を追った。¹⁵ 彼らはアベルのベテ・マアカに来て、彼を包囲し、町に土塁を築き、それが城壁のそばに立った。ヨアブと共にいたすべての人々が壁を壊そうとしていた。¹⁶ そのとき、町から賢い女が呼びかけた、「聞いて、聞いて！どうかヨアブに言ってください、『ここに来て、あなたと話をさせてください』と。」¹⁷ それで彼は彼女に近づき、女は言った、「あなたはヨアブですか？」彼は答えた、「そうです。」それから彼女は彼に言った、「あなたのしもべの言葉を聞いてください。」彼は言った、「聞いています。」¹⁸ それから彼女は言った、「昔の人々は言いました、『アベルで助言を求めよ』と、それで彼らは争いを解決しました。」¹⁹ 私はイスラエルの中で平和で忠実な者の一人です。あなたはイスラエルの母なる町を滅ぼそうとしています。なぜ主の相続地を飲み込もうとするのですか？」²⁰ ヨアブは答えた、「そんなことはない、そんなことはない、私は飲み込んだり滅ぼしたりするつもりはない！」²¹ それは事実ではありません。エフライムの山地から来た男、名をビクリの子シェバが、王ダビデに対して手を挙げました。彼を引き渡すだけで、私は町から退きます。」女はヨアブに言った、「見よ、彼の首をあなたに壁越しに投げます。」²² それから女は賢くすべての人々に話した。彼らはビクリの子シェバの首を切り落とし、ヨアブに投げた。それで彼はラッパを吹き、彼らは町から解散し、各々自分の天幕に帰った。ヨアブはエルサレムの王のもとに戻った。

²³ さて、ヨアブはイスラエルの全軍の上に立ち、エホヤダの子ベナヤはケレテ人とベレテ人の上に立

った。²⁴ アドラムは強制労働の上に立ち、アヒルドの子ヨシャバテは記録係であった。²⁵ シェバは書記官であり、ザドクとアビアタルは祭司であった。²⁶ そしてヤイリ人イラムもダビデの祭司であった。

21 ダビデの時代に3年間、年ごとに飢饉があった。ダビデは主に伺いを立てた。主は言われた、「それはサウルとその血にまみれた家のためであり、彼がギブオン人を殺したからである。」² それで王はギブオン人を呼び寄せて彼らに話しかけた。 (ギブオン人はイスラエルの子孫ではなく、アモリ人の残りの者であった。イスラエルの子孫は彼らに誓いを立てていたが、サウルはイスラエルとユダの子孫のために彼らを打ち倒そうと熱心に求めた。)³ こうしてダビデはギブオン人に言った、「あなた方のために何をすればよいのか、どのようにして贖いをすればよいのか、主の相続地を祝福するために。」⁴ ギブオン人は彼に言った、「私たちにはサウルやその家と銀や金の請求はありません、またイスラエルで誰かを死に至らせることも私たちのためではありません。」それで彼は言った、「あなたが言うことを何でもします。」⁵ それで彼らは王に言った、「私たちを消し去り、滅ぼそうと計画したその男、イスラエルの全領土で私たちが居場所を持たないようにした—」⁶ 彼の息子たちから7人を私たちに引き渡してください、そして私たちは彼らを主の前でギブアのサウルの地で吊るします、主の選ばれた者。」そして王は言った、「私は彼らを与えます。」⁷ しかし王はメフィボシェテを助けた、ヨナタンの息子、サウルの息子、彼らの間にあった主の誓いのために、ダビデとヨナタンの息子サウルの間に。⁸ それで王はアイアの娘リツパの2人の息子を取った、彼女がサウルに産んだアルモニとメフィボシェテ—そしてサウルの娘メラブの5人の息子、彼女がメホランパルジライの息子アドリエルに産んだ。⁹ それから彼は彼らをギブオン人に引き渡し、彼らは主の前で山で彼らを吊るした。それで7人は一緒に倒れ、

サムエル記下

彼らは収穫の初めの日に、
大麦の収穫の始まりに死に至らせられた。

10

それからアイアの娘リツパは粗布を取り、それを岩の上に広げた、
収穫の始まりから空から雨が降るまで；
そして彼女は昼間に空の鳥が彼らに止まるのを許さず、
夜には野生の動物も許さなかった。¹¹
ダビデがアイアの娘リツパの行動を知ったとき、
サウルの側女、¹²
ダビデはヤベシュ・ギルアデの人々からサウルの骨とその息子ヨナタンの骨を取りに行った、
彼らはベテ・シャンの公衆広場からそれらを盗んだ、
そこではペリシテ人がそれらを吊るした、
ペリシテ人がギルボアでサウルを殺した日に。¹³
彼はそこからサウルとその息子ヨナタンの骨を取り戻し、
処刑された者たちの遺体を集めた。¹⁴
そして彼らはサウルとその息子ヨナタンの骨をベニヤミンの国ゼラに埋葬し、
彼の父キシユの墓に。
それで彼らは王が命じたすべてを行った。
その後、神は土地のための祈りに応えた。

¹⁵ 今、ペリシテ人は再びイスラエルと戦争をした、
そしてダビデは彼の従者たちと共に下り、ペリシテ人と戦った、
そしてダビデは疲れた。¹⁶
その時、巨人の子孫の中にいたイシュビ・ベノブ、
その槍は青銅300シェケルの重さがあり、
新しい剣を帯びていた、
ダビデを殺そうとした。

17

しかしゼルヤの息子アビシャイが彼を助け、ペリシテ人を打ち倒して殺した。
それからダビデの人々は彼に誓って言った、
「あなたはもう私たちと共に戦いに出てはなりません、
イスラエルの灯火を消さないように。」

18

これがあった後、ゴブで再びペリシテ人との戦争があった。
その時、フシャ人シバカイが巨人の子孫のサフを打ち倒した。¹⁹
そして再びゴブでペリシテ人との争いがあり、
ベツレヘム人ヤアレ・オレギムの息子エルハナンがガテ人ゴリアテを打ち倒した、
その槍の柄は織機の梁のようであった。²⁰
ガテで再び戦争があり、
そこには大きな体格の男がいた、
彼は各手に6本の指、各足に6本の指を持ち、
合計24本；
彼もまた巨人の子孫であった。²¹
彼がイスラエルに挑んだとき、
ダビデの兄弟シメイの息子ヨナタンが彼を打ち倒し

た。²² これらの4人はガテの巨人に生まれ、
彼らはダビデとその従者たちによって打ち倒された。
。

22 ダビデはこの歌の言葉を主に向かって語った。

その日は、主が彼をすべての敵の手から、
またサウルの手から救い出された日であった。²
彼は宣言した：

「主は私の岩、私の砦、私の救い主です。³
私の神、私の岩、私が安全を見出す方、
私の盾、私の救いの角、私の要塞、私の避難所、
私の救い主、あなたは私を害から守ってくださいます。⁴
私は賛美に値する主を呼び求めます、
そして私は敵から救われます。

⁵ 死の波が私を取り囲み、
破壊の激流が私を押し流しました。⁶
シェオルの縄が私を取り巻き、
死の罟が私に立ちはだかりました。⁷
私の苦しみの中で私は主を呼び求め、
はい、私の神に呼びかけました。
彼の神殿から彼は私の声を聞き、
私の助けを求める叫びが彼の耳に届きました。

⁸ すると地は揺れ動き、震え、
天の基が震え、
彼が怒ったために揺れました。⁹
煙が彼の鼻から立ち上り、
口から火が燃え上がり、
炭がそれによって燃え上がりました。¹⁰
彼は天を曲げて降りて来られ、
足元には濃い闇がありました。¹¹
彼はケルブに乗って飛び、
風の翼に乗って舞い上がりました。¹²
彼は周りに暗闇を彼の天幕とし、
水の集まり、空の厚い雲を。¹³ 彼の前の輝きから
炭火が点火されました。¹⁴
主は天から雷鳴を轟かせ、
いと高き方が声を上げました。¹⁵
彼は矢を放って彼らを散らし、
稲妻を放って彼らを追い払いました。¹⁶
すると海の流れが現れ、
世界の基が露わになりました。
主の叱責によって、彼の鼻の息の爆風によって。

¹⁷ 彼は高いところから手を伸ばし、私を取った。
彼は私を多くの水から引き出しました。¹⁸
彼は私を強力な敵から救い出し、
私を憎む者から救い出しました。彼らは私には強すぎました。¹⁹
彼らは私の災難の時に私に立ちはだかりましたが

サムエル記下

、主は私の支えでした。²⁰
彼は私を広い場所に連れ出し、
彼は私を救いました。彼は私を喜ばれたからです。
。

²¹ 主は私の義に従って私に報い、
私の手の清さに従って私に報いられました。²²
私は主の道を歩み、
私の神から離れませんでした。²³
彼のすべての定めは私の前にあり、
私は彼の掟から離れませんでした。²⁴
私は彼の前で無垢であり、
私の罪から自分を守りました。²⁵
それゆえ、主は私の義に従って私に報い、
彼の目の前で私の清さに従って。

²⁶ 忠実な者にはあなたは忠実を示し、
無垢な者にはあなたは無垢を示します。²⁷
純粋な者にはあなたは純粋を示し、
曲がった者にはあなたは巧妙を示します。²⁸
そしてあなたは謙虚な人々を救い、
しかしあなたの目は高慢な者に向けられ、彼らを
引き下ろします。

²⁹ あなたは私の灯火、主よ、
主は私の暗闇を照らします。³⁰
あなたによって私は軍隊に立ち向かうことができます。
私の神によって私は壁を飛び越えることができます。
³¹ 神について言えば、彼の道は完璧です。
主の言葉は純粋です。
彼は彼に避難するすべての者の盾です。³²
主でなければ誰が神ですか？
私たちの神でなければ誰が岩ですか？³³
神は私の要塞です。
彼は私の道をまっすぐにします。³⁴
彼は私の足を鹿の足のようにし、
高い場所に私を置きます。³⁵
彼は戦いのために私の手を準備し、
私の腕が青銅の弓を引くことができるようにします。³⁶
あなたはまた、あなたの救いの盾を私に与え、
あなたの支えが私を偉大にします。³⁷
あなたは私の足元に道を広げ、
私の足は滑りませんでした。

³⁸ 私は敵を追いかけて打ち負かし、
彼らが滅ぼされるまで引き返しませんでした。³⁹
私は彼らを消費し、粉々にしました。
彼らは立ち上がり、私の足元に倒れました。⁴⁰
あなたは戦いのために私に力を与え、

私に逆らう者を私の下に従わせました。⁴¹
あなたは私の敵を私に背を向けさせ、
私は私を憎む者を滅ぼしました。⁴²
彼らは見ましたが、救う者はいませんでした。
主にさえ、しかし彼は彼らに答えませんでした。
⁴³ それから私は彼らを地の塵のように砕き、
彼らを粉々にし、街の泥のように踏みつけました。
。
⁴⁴ あなたは私を私の民の争いから救い出し、
私を国々の頭として保ちました。
私が知らない民が私に仕えます。⁴⁵
外国人は私に従順を装い、
聞くやいなや、彼らは私に従います。⁴⁶
外国人は心を失い、
彼らの要塞から震えながら出てきます。

⁴⁷ 主は生きておられ、祝福されよ、私の岩よ。
私の救いの基である私の神が高められますように。
。⁴⁸ 私のために復讐をもたらし、
民を私の下に引き下ろす神、⁴⁹
私を敵から救い出す方、
あなたは私に逆らう者の上にさえ私を持ち上げ、
暴力的な人から私を救ってくださいます。⁵⁰
それゆえ、私は国々の間であなたに感謝を表し、
あなたの名に賛美を歌います。⁵¹
彼は彼の王に救いの塔であり、
彼の油注がれた者に恵みを示し、
ダビデとその子孫に永遠に。」

23 これはダビデの最後の言葉である。
エッサイの子ダビデが語る、
いと高き方により高められた人、
ヤコブの神に油注がれた者、
イスラエルの愛される詩人が語る。

² 「主の霊が私を通して語り、
その言葉が私の舌にあった。³
イスラエルの神が言われた、
イスラエルの岩が私に語った：
『人を正しく治める者、神を畏れて支配する者、
⁴ それは太陽が昇る朝の光のようであり、
雲のない夜明け、
日光と雨の後に地から芽生える新しい草のようだ。⁵
』
本当に私の家は神と共にそうではないのか？

彼は私と永遠の契約を結び、
すべてのことにおいて整えられ、確保された。
彼は確かに私のすべての救いとすべての願いを成長させないだろうか？⁶
しかし、無価値な者たちは皆、茨のように投げ捨

サムエル記下

てられる、それは彼らが扱えないからである。⁷
しかし、彼らに触れる者は
鉄と槍の柄を備えなければならず、
彼らはその場で完全に火で焼かれる。」

8

これがダビデが持っていた勇士たちの名前である：
タフケモニ人ヨシエブ・バシエベス、隊長たちの頭
― 彼は槍を振るい、一度に八百人を殺した。⁹
彼の次はアホヒ人ドドの子、エルアザル、
ダビデと共にいた三人の勇士の一人であり、
彼らが戦いのために集まったペリシテ人に立ち向か
ったとき、イスラエルの人々は退いた。¹⁰
彼は立ち上がり、ペリシテ人を打ち倒し、手が疲れ
て剣にくつつくまで戦った。
その日、主は大いなる勝利をもたらした。
人々は彼の後に戻り、倒れた者たちを剥ぎ取っただ
けだった。¹¹ 彼の次はハラル人アゲの子シャマ。
ペリシテ人が軍隊に集まっていた場所に、
レンズ豆で満ちた地面の区画があった。
人々はペリシテ人から逃げた。¹²
しかし彼はその区画の真ん中に立ち、守り、
ペリシテ人を打ち倒した。
主は大いなる勝利をもたらした。

13

その後、三十人の隊長のうちの三人が収穫の時に下
り、アドラムの洞窟でダビデのもとに来了。
その間、ペリシテ人の陣営はレファイムの谷にあっ
た。¹⁴ ダビデは要塞におり、
ペリシテ人の守備隊はベツレヘムにあった。¹⁵
ダビデは渴望して言った、
「誰かが門のそばにあるベツレヘムの井戸から私に
飲み水を持ってきてくれたらいいのに！」¹⁶
そこで三人の勇士たちはペリシテ人の陣営を突破し
、
門のそばにあるベツレヘムの井戸から水を汲み、
それを持ってきてダビデに渡した。
しかし、彼はそれを飲まず、主への捧げ物として注
いだ。¹⁷ 彼は言った、
「主よ、私がこれをする事から遠ざけてください
！
命を危険にさらした人々の血を飲むべきでしょうか
？」
彼はそれを飲まなかった。
これらの行為は三人の勇士たちによって行われた。

¹⁸ ヨアブの兄弟、ゼルヤの子アビシャイは、
三十人の隊長であった。
彼は槍を振るい、三百人を殺し、
三人と同じ名声を持っていた。¹⁹
彼は三十人の中で最も名誉ある者であったので、

彼らの指揮官となった。
しかし、彼は三人には及ばなかった。²⁰
次に、カブツェル出身の勇敢な戦士、
エホヤダの子ベナヤがいた。
彼は力強い行いをし、
モアブのアリエルの二人の息子を殺した。
また、雪の日に穴の中でライオンを殺した。²¹
彼はまた、著名なエジプト人を殺した。
そのエジプト人は手に槍を持っていたが、
彼は杖を持って彼に下り、
エジプト人の手から槍を奪い、
彼自身の槍で彼を殺した。²²
これらの行為はエホヤダの子ベナヤによって行われ
、 彼は三人の勇士たちと同じ名声を持っていた。
²³ 彼は三十人の中で名誉を受けたが、
三人には及ばなかった。
ダビデは彼を自分の護衛の長に任命した。

²⁴ アサエル、ヨアブの兄弟は三十人の中にいた。
ベツレヘムのドドの子エルハナン、²⁵
ハロデ人シャマ、もう一人のハロデ人エリカ、²⁶
パルティ人ヘレツ、
テコア出身のイケシュの子イラ、²⁷
アナト出身のアビエゼル、
フシヤ人メブソナイ、²⁸ アホヒ人ツアルモン、
ネトファ出身のマハライ、²⁹
ネトファ出身のパアナの子ヘレブ、
ベニヤミン族のギベア出身のリバイの子イッタイ、
³⁰ ビラトン人ベナヤ、ガアシュの谷のヒダイ、³¹
アルバ人アビ・アルボン、
パルフム人アズマウエテ、³²
シャルボン人エリアバ、
ヤシェンの子たち、ヨナタンを含む、³³
ハラル人シャマ、
アラル出身のシャルの子アヒアム、³⁴
マアカ人アハスバイの子エリフェレット、
ギロ出身のアヒトフェルの子エリアム、³⁵
カルメル人ヘツロ、アルバ人バアライ、³⁶
ツォバ出身のナタンの子イガル、ガド人パニ、³⁷
アンモン人ツエレク、
ベエロテ人ナハライ、ゼルヤの子ヨアブの武器持ち
、³⁸ イテリ人イラ、もう一人のイテリ人ガレブ、
³⁹ ヒッタイト人ウリヤ、合計三十七人。

24 再び主の怒りがイスラエルに向けられ、
主はダビデを彼らに対してそそのかし、言
われた、
「行って、イスラエルとユダの人口を数えよ。」²
そこで王は、彼と共にいる軍の司令官ヨアブに言っ
た、 「今すぐイスラエルのすべての部族を巡り、

サムエル記下

ダンからベエル・シェバまで、民を数えよ。
それで民の数を知りたいのだ。」³
しかしヨアブは王に言った、
「どうか主なるあなたの神が、今の民の数を百倍に
増やされますように。
私の主君である王の目がそれを見ることができま
すように。
しかし、なぜ私の主君である王はこのことを喜ばれ
るのですか？」⁴
それでもなお、王の言葉はヨアブと軍の司令官たち
に勝った。
そこでヨアブと軍の司令官たちは王の前から出て行
き、イスラエルの民を数えに行った。⁵
彼らはヨルダンを渡り、アロエルに宿営した。
それはガドの谷の中央にある町の右側で、ヤゼルに
向かう場所である。⁶
それから彼らはギルアデとタフティム・ホドシの地
に來た。
そしてダン・ヤアンに來て、シドンに回った。⁷
彼らはツロの要塞とヒビ人とカナン人のすべての町
に來た。
そしてユダの南、ベエル・シェバに出て行った。⁸
こうして彼らは全地を旅した後、
九か月と二十日の終わりにエルサレムに戻った。⁹
ヨアブは民の人口調査の数を王に報告した。
イスラエルには剣を取る者が八十万人、
ユダの者は五十万人であった。
¹⁰ ダビデは民を数えた後、自分の心が痛んだ。
そこでダビデは主に言った、
「私は大いに罪を犯しました。
しかし今、主よ、どうかあなたのしもべの罪を赦し
てください。
私は非常に愚かなことをしました。」¹¹
ダビデが朝目覚めたとき、
主の言葉が預言者ガド、ダビデの先見者に臨んで言
った、¹² 「行つてダビデに告げよ、
『主はこう言われる。私はあなたに三つのことを提
示する。
そのうちの一つを選びなさい。私はそれをあなたに
行う。』」¹³
そこでガドはダビデのもとに來て言った、
「あなたの地に七年間の飢饉が来るのか？
それとも三か月間、敵があなたを追いかける間、逃
げるのか？
あるいはあなたの地に三日間の疫病があるのか？
今考えて、私を遣わした方にどの答えを返すべきか
見てください。」¹⁴ ダビデはガドに言った、
「私は非常に苦しんでいます。
私たちを主の手に委ねましょう。

主の慈しみは大きいからです。
しかし、人の手には落ちたくありません。」
¹⁵
それで主は朝から定められた時まで、イスラエルに
疫病を送った。
ダンからベエル・シェバまでの民のうち、七万人が
死んだ。¹⁶
天使がエルサレムに手を伸ばしてそれを滅ぼそうと
したとき、主はその災いを思い直し、
民を滅ぼす天使に言われた、
「もう十分だ！今すぐ手を緩めよ！」
そして主の天使はエブス人アラウナの打ち場にいた
。¹⁷
ダビデは民を打ち倒す天使を見たとき、主に言った
、
「見よ、罪を犯したのは私であり、悪を行ったのも
私です。
しかし、これらの羊たちは何をしたのでしょうか？
どうかあなたの手を私と私の父の家に向けてくださ
い！」
¹⁸ その日、ガドはダビデのもとに來て言った、
「上って行き、エブス人アラウナの打ち場に主のため
に祭壇を築きなさい。」¹⁹
ダビデはガドの言葉に従って上って行った。
ちょうど主が命じられた通りに。²⁰
アラウナは見下ろして、王とそのしもべたちが自分
の方に渡ってくるのを見た。
彼は出て行き、地に顔を伏せて王に礼をした。²¹
アラウナは言った、
「なぜ私の主君である王はしもべのもとに來られた
のですか？」
ダビデは言った、
「あなたから打ち場を買い、
主に祭壇を築くためです。
それで疫病が民から止むように。」²²
アラウナはダビデに言った、
「どうぞ私の主君である王が良いと思われるものを
取って捧げてください。
見てください、燔祭のための牛、
打ち場のそり、牛のくびきの木があります。²³
これらすべてを、王よ、アラウナは王に自由に捧げ
ます。」
そしてアラウナは王に言った、
「どうか主なるあなたの神があなたを受け入れてく
ださいますように。」²⁴
しかし、王はアラウナに言った、
「いや、私は必ずあなたからそれを代価で買います
。
私は私の神、主に何も費用をかけずに燔祭を捧げる
ことはしません。」

サムエル記下

それでダビデは銀五十シケルで打ち場と牛を買った。²⁵
そしてダビデはそこで主のために祭壇を築き、

燔祭と和解の捧げ物を捧げた。
そして主はその地のための祈りに応えられ、
疫病はイスラエルから取り去られた。

列王記上

1 さて、ダビデ王は年を重ねて老いていた。
彼に毛布をかけても、暖くなることはなかった。² そこで彼の家来たちは言った、「我が主君である王のために若い処女を探し求め、その娘を王に仕えさせ、あなたの腕の中で寝かせ、我が主君である王を暖かく保ちましょう。」³ そこで彼らはイスラエル全土を探し、美しい若い女を見つけ、シュネムのアビシャグを見つけて、王のもとに連れてきた。⁴ その若い女は非常に美しく、王の世話をし、仕えたが、王は彼女と関係を持たなかった。

5 ハギテの子アドニヤは自ら宣言し、「私は王になる」と言った。
そして彼は自分のために戦車と騎兵、および自分の前を走る五十人を用意した。⁶ 彼の父は彼を叱ったことがなく、「なぜこんなことをしたのか」と尋ねたこともなかった。彼はまた非常に美しい男で、アブサロムの後に生まれた。⁷ 彼はゼルヤの子ヨアブおよび祭司アビヤタルと相談し、彼らはアドニヤに従い、彼を支持した。⁸ しかし、祭司ツァドク、エホヤダの子ベナヤ、預言者ナタン、シメイ、レイ、およびダビデの勇士たちはアドニヤと共にいなかった。

9 アドニヤは羊と牛と肥えた家畜をエン・ロゲルのそばのゾヘレテの石のところで犠牲として捧げた。
彼はすべての兄弟である王の息子たち、および王の家来であるユダの人々を招いた。¹⁰ しかし、預言者ナタン、ベナヤ、勇士たち、そして彼の兄弟ソロモンは招かれなかった。

11 ナタンはバテシバ、ソロモンの母に近づき言った、「ハギテの子アドニヤが自ら王を宣言したことを知らないのですか、そして我々の主君ダビデはそれを知らないのです。」¹² さあ、私があなたに助言を与えましょう、あなたの命とあなたの息子ソロモンの命を救うために。¹³ すぐにダビデ王のもとに行き、彼に言いなさい、『我が主君である王よ、あなたはあなたの女奴隷に誓って、
「確かにあなたの息子ソロモンが私の後に王となり、私の王座に座る」と言ったではありませんか。それなのに、なぜアドニヤが王になったのですか?』¹⁴ それから、あなたがまだ王と話している間に、

私はあなたの後に入ってきて、あなたの言葉を確認します。」

15 そこでバテシバは王の部屋に行った。
その時、王は非常に老いており、シュネムのアビシャグが王に仕えていた。¹⁶ バテシバは王の前にひれ伏し、地に伏して礼をした。王は言った、「あなたは何を望むのか?」¹⁷ 彼女は言った、「我が主よ、あなたはあなたの神、主によってあなたの女奴隷に誓いました、
『確かにあなたの息子ソロモンが私の後に王となり、私の王座に座る』と。
しかし今、見よ、アドニヤが王となつています、そしてあなた、我が主君である王はそれを知らないのです。」¹⁹ 彼は多くの牛と肥えた家畜と羊を犠牲として捧げ、すべての王の息子たち、および祭司アビヤタルと軍の指揮官ヨアブを招きましたが、あなたのしもべソロモンは招かれていません。²⁰ そしてあなた、我が主君である王よ、イスラエルのすべての目はあなたに注がれています、彼らに誰が我が主君である王の後に王座に座るべきかを告げるために。²¹ さもなければ、我が主君である王が彼の先祖と共に眠るとき、私と私の息子ソロモンは罪人と見なされるでしょう。」

22 彼女がまだ王と話している間に、預言者ナタンが入ってきた。²³ 彼らは王に告げた、「見よ、預言者ナタンがここにいる。」
彼は王の前に来て、地に顔を伏せて王に礼をした。²⁴ ナタンは言った、「我が主君である王よ、あなたは言いましたか、
『アドニヤが私の後に王となり、私の王座に座る』と?」²⁵ 彼は今日下り、多くの牛と肥えた家畜と羊を犠牲として捧げ、すべての王の息子たち、軍の指揮官たち、祭司アビヤタルを招きました。
そして見よ、彼らは彼の前で食べたり飲んだりし、『アドニヤ王万歳!』と言っています。²⁶ しかし、私、あなたのしもべである私、および祭司ツァドク、エホヤダの子ベナヤ、そしてあなたのしもべソロモンは招かれていません。²⁷ このことは我が主君である王によってなされたのでしょうか、

列王記上

そしてあなたはあなたのしもべたちに、誰が我が主君である王の後に王座に座るべきかを告げていないのでしょうか？」

28 ダビデ王は答えた、
「バテシバを私のもと呼びなさい。」
彼女は王の前に来て、王の前に立った。 29
王は誓って言った、
「私の命をすべての苦難から贖ってくださった主は
生きておられる、 30
私はあなたにイスラエルの神、主によって誓ったと
おりに、
『あなたの息子ソロモンが私の後に王となり、
私の代わりに私の王座に座る』と、
私は今日それを実行します。」 31
するとバテシバは地に顔を伏せて礼をし、
王の前にひれ伏して言った、
「我が主君ダビデ王が永遠に生きられますように。」

その後、ダビデ王は言った、
「祭司ツァドク、預言者ナタン、エホヤダの子ベナヤを私のもとに呼びなさい。」
彼らは王の前に来た。³³ 王は彼らに命じた、
「あなたの主君のしもべたちを連れて行き、
私の息子ソロモンを私の自分のラバに乗せ、
彼をギホンに連れて行きなさい。」³⁴
そこで祭司ツァドクと預言者ナタンが彼に油を注ぎ、
イスラエルの王とし、
ラッパを吹き鳴らし、『ソロモン王万歳!』と言いなさい。³⁵ その後、彼に従って上り、
彼が私の王座に座り、私の代わりに王となるようにしなさい。
私は彼をイスラエルとユダの支配者に任命しました。
。」³⁶ エホヤダの子ベナヤは王に答えて言った、
「アーメン! 我が主君である王の神、主がそれを確認されますように。」³⁷
主が我が主君である王と共におられたように、
ソロモンと共におられ、
彼の王座を我が主君ダビデ王のそれよりも高くされますように。」

38
そこで祭司ツァドク、預言者ナタン、エホヤダの子
ベナヤ、 およびケレテ人とペレテ人は下り、
ソロモンをダビデ王のラバに乗せ、
彼をギホンに連れて行った。 39
祭司ツァドクは幕屋から油の角を取り出し、ソロ
モンに油を注いだ。
それから彼らはラッパを吹き鳴らし、
すべての人々は「ソロモン王万歳！」と言った。 40

すべての人々は彼の後に上り、
人々は笛を吹き、大いに喜び、
地が彼らの音で震えるほどであった。

さて、アドニヤと彼と共にいたすべての客たちは、宴会を終えたときにそれを聞いた。

ヨアブがラッパの音を聞いたとき、彼は言った、「なぜ町がこのように騒がしいのか？」

彼がまだ話しているとき、祭司アビヤタルの子ヨナタンが到着した。

アドニヤは言った、「入って来なさい、あなたは立派な人であり、きつと良い知らせを持ってきたに違いない。」

しかし、ヨナタンはアドニヤに答えて言った、「いいえ！我々の主君ダビデ王がソロモンを王とされました。」

王は彼と共に祭司ツアドク、預言者ナタン、エホヤダの子ベナヤ、ケレテ人とベレテ人を送り、彼らは彼を王のラバに乗せました。

祭司ツアドクと預言者ナタンは彼をギボンで王として油を注ぎ、彼らはそこから喜びながら上ってきたので、町が騒がしくなっています。

これがあなたが聞いた音です。

さらに、ソロモンは今、王国の王座に座っています。

さらに、王のしもべたちが我々の主君ダビデ王を祝福しに来て言いました、『あなたの神がソロモンの名をあなたの名よりも高くし、彼の王座をあなたの王座よりも大きくされますように。』そして王は床の上でひれ伏しました。

王もまた言いました、「イスラエルの神、主を賛美せよ、私の目がそれを見るこの日に私の王座に座る者を与えてくださった。」

するとアドニヤのすべての客たちは恐れ、立ち上がり、それぞれ自分の道を行った。

アドニヤはソロモンを恐れ、立ち上がり、祭壇の角をつかんだ。

それからソロモンに報告があり、「見よ、アドニヤはソロモン王を恐れている。見よ、彼は祭壇の角をつかんで言っています、『ソロモン王が今日私に誓って、彼のしもべを剣で殺さないようにしてください。』」

ソロモンは言った、「彼が立派な人であれば、彼の髪の毛一本も地に落ちることはない。

しかし、彼に悪が見つければ、彼は死ぬ。」

列王記上

そこでソロモン王は人を送り、彼を祭壇から連れてきた。彼は来てソロモン王にひれ伏し、ソロモンは彼に言った、「家に帰りなさい。」

2 ダビデの死が近づいたとき、彼は息子ソロモンに指示を与えて言った、²「私は地上のすべての者が行く道に行く。それゆえ、強くあれ、そして男らしくあれ。³あなたの神、主の命令を守り、その道を歩み、主の律法、戒め、定め、証を守りなさい。それはモーセの律法に書かれている通りである。そうすれば、あなたが行くすべてのこと、どこに向かっても成功するであろう。⁴それは主が私について語られた言葉を成就するためである。

『もしあなたの息子たちがその道を慎んで、心を尽くし、魂を尽くして私の前を歩むなら、イスラエルの王座に座る者があなたに欠けることはない。』

5 さらに、あなたも知っているように、ゼルヤの子ヨアブが私にしたこと、イスラエルの軍の二人の司令官、ネルの子アブネルとイテルの子アマサにしたことを。彼は彼らを殺し、平時に戦争の血を流し、その血を腰に巻いた帯と足のサンダルに付けた。⁶それゆえ、あなたの知恵に従って行動し、彼の白髪を安らかに墓に下らせてはならない。⁷しかし、ギレアデ人バルジライの息子たちには親切を示し、彼らをあなたの食卓で食べる者の中に加えなさい。彼らはあなたの兄弟アブサロムから私が逃げたときに私のもとに来たからである。⁸そして見よ、あなたのそばにベニヤミン人バフリムのゲラの子シメイがいる。彼は私がマハナイムに行った日に激しい呪いをかけた。しかし、彼がヨルダンで私に会いに来たとき、私は主によって彼に誓い、『私はあなたを剣で殺さない』と言った。⁹しかし今、彼を無罪と考えてはならない。あなたは賢い人であり、彼に何をすべきか知っているからである。そして彼の白髪を血で墓に下らせなさい。」

10 こうしてダビデは死んで先祖と共に葬られ、ダビデの町に埋葬された。¹¹ダビデはイスラエルを四十年間治めた。彼はヘブロンで七年間、エルサレムで三十三年間治

めた。¹²ソロモンは父ダビデの王座に就き、彼の王国は堅固に確立された。

13 さて、ハギテの子アドニヤがソロモンの母バテシバのもとに来た。彼女は言った、「あなたは平和をもたらすために来ましたか？」彼は言った、「平和をもたらすために。」¹⁴それから彼は言った、「あなたに言いたいことがあります。」彼女は言った、「言いなさい。」¹⁵彼は言った、「あなたも知っているように、王国は私のものであり、全イスラエルが私が治めることを期待していました。

しかし、王国は回り道をして私の兄弟のものとなりました。それは主から彼のものでした。¹⁶今、私は一つの願いを求めます。拒まないでください。」彼女は言った、「言いなさい。」¹⁷彼は言った、

「どうかソロモン王に話してください。彼はあなたを拒まないでしょう。シュネム人アビシャグを妻として私に与えてください。」¹⁸バテシバは言った、「よろしい、あなたのために王に話しましょう。」

19 こうしてバテシバはアドニヤのためにソロモン王に話しに行った。王は彼女に会いに立ち上がり、彼女にお辞儀をし、自分の王座に座り、王の母のために王座を設け、彼女は彼の右手に座った。²⁰彼女は言った、「あなたに小さな願いがあります。拒まないでください。」王は彼女に言った、「求めなさい、母よ、私はあなたを拒まない。」²¹

彼女は言った、「シュネム人アビシャグをあなたの兄弟アドニヤに妻として与えてください。」²²ソロモン王は母に答えて言った、「なぜアドニヤのためにシュネム人アビシャグを求めるのですか？彼のために王国も求めなさい。彼は私の兄であるからです。

彼のために、アビアタル祭司とゼルヤの子ヨアブのためにも！」²³それからソロモン王は主によって誓い、言った、「もしアドニヤが自分の命に対してこの言葉を語らなかつたなら、

列王記上

神が私に厳しく対処されるように。²⁴
今や、主が生きておられる限り、私を確立し、
父ダビデの王座に私を置き、
約束されたように私に家を作られた主が、
アドニヤは今日確かに死にます。」²⁵
こうしてソロモン王はエホヤダの子ベナヤを送り、
彼を打ち殺し、彼は死んだ。

²⁶ その後、王はアビアタル祭司に言った、
「アナトトにあるあなたの畑に行きなさい。
あなたは死に値するが、今はあなたを殺さない。
あなたは私の父ダビデの前で主なる神の箱運び、
私の父が苦しんだすべてのことにおいて苦しんだからである。」²⁷
こうしてソロモンはアビアタルを主の祭司の職から
退け、
シロでエリの家について主が語られた言葉を成就し
た。

²⁸ さて、ヨアブにこの知らせが届いた。
ヨアブはアドニヤに従ったが、
アブサロムには従わなかった。
そこでヨアブは主の幕屋に逃げ、祭壇の角をつかん
だ。²⁹
ソロモン王にヨアブが主の幕屋に逃げたことが伝え
られ、
見よ、彼は祭壇のそばにいた。
それでソロモンはエホヤダの子ベナヤを送り、
「行って彼を打ち殺しなさい」と言った。³⁰
ベナヤは主の幕屋に来て彼に言った、
「王が言われる、『出て来なさい』と。」
しかし彼は言った、「いいえ、私はここで死にます
。」³¹ それでベナヤは再び王に言葉を持ち帰り、
「これがヨアブの言ったことです。彼はこう答えま
した」と言った。³¹ 王は彼に言った、
「彼が言ったようにし、彼を打ち殺して埋葬しな
さい。

そうすれば、ヨアブが理由なく流した血の罪を
私と私の父の家から取り除くことができる。³²
主は彼の血を彼自身の頭に返される。
彼は自分よりも正しく、優れた二人の男を剣で殺し
たからである。
イスラエルの軍の司令官ネルの子アブネル、
ユダの軍の司令官イテルの子アマサを。³³
私の父ダビデはそれを知らなかった。
それゆえ、彼らの血はヨアブの頭とその子孫の頭に
永遠に返される。
しかし、ダビデとその子孫、その家、その王座には
主からの平和が永遠にあるであろう。」³⁴
それからエホヤダの子ベナヤは上って行き、ヨアブ
を打ち殺し、彼は荒野の自分の家に埋葬された。

³⁵ 王はエホヤダの子ベナヤを彼の代わりに軍の上に置
き、
王はアビアタルの代わりにザドクを祭司に任命した
。

³⁶ それから王はシメイを呼び寄せて言った、
「エルサレムに家を見て、そこに住み、
そこから他の場所に出て行つてはならない。」³⁷
キデロンの谷を渡って出て行くその日に、
あなたは確かに死ぬことを知るであろう。
あなたの血はあなた自身の頭にかかる。」³⁸
シメイは王に言った、
「その言葉は良いです。私の主である王が言われた
ように、あなたのしもべは行きます。」³⁹
こうしてシメイはエルサレムに多くの日住んだ。
しかし、三年後、
シメイの二人のしもべがガテの王マアカの子アキシ
シュのもとに逃げた。
彼らはシメイに言った、「見よ、あなたのしもべた
ちはガテにいます。」⁴⁰
それでシメイは立ち上がり、ロバに鞍を置き、
ガテにアキシシュのもとに行き、しもべたちを探し、
シメイはガテからしもべたちを連れ戻した。⁴¹
ソロモンはシメイがエルサレムからガテに行き、戻
ったことを聞いた。⁴²
それで王はシメイを呼び寄せて言った、
「私はあなたに主によって誓わせ、厳かに警告した
ではないか、
『確かに知っておけ、どこかに出て行くその日に、
あなたは確かに死ぬ』と。
あなたは私に『その言葉は良い』と言った。」⁴³
なぜあなたは主の誓いと
私があなたに与えた命令を守らなかったのか？」⁴⁴
王はまたシメイに言った、

「あなたは心の中で私の父ダビデにしたすべての悪
を知っている。
それゆえ、主はあなたの悪をあなた自身の頭に返さ
れる。」⁴⁵ しかし、ソロモン王は祝福され、
ダビデの王座は主の前に永遠に確立されるであらう
。」⁴⁶ それで王はエホヤダの子ベナヤに命じ、
彼は出て行き、彼を打ち殺し、彼は死んだ。
こうして王国はソロモンの手に確立された。

3 ソロモンはエジプトの王ファラオと婚姻を結び
、ファラオの娘をダビデの町に連れてきた。
これは彼が自分の家、
主の家、エルサレムの周りの城壁を建設し終えるま
でのことであった。²
人々はまだ高き所で犠牲を捧げていた、

列王記上

主の名のための家がまだ建てられていなかったからである。³ さて、ソロモンは主を愛していた、彼の父ダビデの掟に従って歩んでいたが、ただし高き所で犠牲を捧げ、香を焚いていた。

⁴ 王はギベオンに行ってそこで犠牲を捧げた、そこが大いなる高き所であったからである。ソロモンはその祭壇で千の燔祭を捧げた。⁵ ギベオンで、主は夜の夢の中でソロモンに現れ、神は言われた、「あなたが欲しいものを求めなさい。」⁶ するとソロモンは言った、「あなたはあなたのしもべである私の父ダビデに大いなる慈しみを示されました、

彼があなたの前を真実に、義と心の正しさをもって歩んだからです。そしてあなたはこの大いなる慈しみを彼のために保ち、今日のように彼の王座に座る息子を与えられました。⁷ 今、私の神、主よ、あなたは私の父ダビデに代わってあなたのしもべを王とされましたが、私はまだ小さな子供であり、出入りする方法を知りません。⁸ そしてここに、あなたの選ばれた民の中にいるあなたのしもべがいます、⁹ 数えられないほどの大いなる群衆です。それゆえ、あなたのしもべに理解の心を与えてあなたの民を治めさせ、善悪を区別することができるようにしてください。誰がこの大いなるあなたの民を治めることができるのでしょうか？」

¹⁰ ソロモンがこの願いをしたことは、主の目にかなった。¹¹ 神は彼に言われた、「あなたがこれを求め、自分のために長寿を求めず、¹² 富を求めず、敵の命を求めず、正義を理解するための分別を求めたので、見よ、私はあなたの言葉に従って行った。私はあなたに賢く分別のある心を与えた、それであなたの前に誰もあなたのような者はおらず、あなたの後にも誰もあなたのような者は現れないでしょう。¹³ また、あなたが求めなかったもの、富と名誉も与えた、あなたの生涯において王たちの中であなたのような者はいないでしょう。¹⁴ そしてもしあなたが私の道を歩み、私の掟と命令を守るなら、あなたの父ダビデが歩んだように、

私はあなたの日々を長くします。」¹⁵ するとソロモンは目を覚まし、見よ、それは夢であった。

彼はエルサレムに来て主の契約の箱の前に立ち、燔祭と和解の犠牲を捧げ、すべてのしもべのために宴を開いた。

¹⁶ その後、商売で知られている二人の女が王のもとに来て、彼の前に立った。¹⁷ 一人の女が言った、「どうか、私の主よ：この女と私は同じ家に住んでいます。そして私は彼女が家にいる間に子供を産みました。¹⁸ 私が出産して三日目に、この女も子供を産みました。私たちは一緒にいました。

家には私たち二人だけで、他に誰もいませんでした。¹⁹ そしてこの女の息子は夜の間に死にました、彼女が誤って彼の上に横たわったからです。²⁰ 彼女は夜中に起きて、あなたのしもべが眠っている間に私の息子を私のそばから取り、²¹ 彼女の腕に抱き、彼女の死んだ息子を私の腕に置きました。私が朝起きて私の息子に授乳しようとしたとき、見よ、彼は死んでいました。しかし、朝よく見たところ、見よ、彼は私が産んだ息子ではありませんでした。²² するともう一人の女が言った、「いいえ！生きているのは私の息子で、死んでいるのはあなたの息子です。」しかし最初の女は言った、「いいえ！死んでいるのはあなたの息子で、生きているのは私の息子です。」こうして彼らは王の前で話した。

²³ すると王は言った、「この者は、『これが私の息子で、生きているのはあなたの息子で、死んでいるのはあなたの息子です』と言っている。そしてもう一人は、『いいえ！あなたの息子が死んでいるので、私の息子が生きています』と言っている。」²⁴ すると王は命じた、「私に剣を持ってきなさい。」それで彼らは王に剣を持ってきた。²⁵ そして王は命じた、「生きている子供を二つに切り、半分を一人に、半分をもう一人に与えなさい。」²⁶ すると、生きている子供の母親である女が王に話しかけた、

列王記上

彼女は息子を思つて深く心を動かされ、言った、
「どうか、私の主よ、
その生きている子供を彼女に与えて、殺さないでください！」
しかしもう一人の女は言った、
「彼は私のものでもあなたのものでもない。分けなさい！」
すると王は答えた、
「最初の女に生きている子供を与え、彼を殺してはならない。彼女がその母親である。」

イスラエル全体が王が下した判断を聞いたとき、
彼らは王を畏れた、
彼らは神の知恵が彼にあって正義を行うことを見たからである。

ソロモン王はイスラエル全土を治めた。
これらは彼の役人たちであつた。
ザドクの子アザリヤは祭司として仕えた。
エリホレフとアヒヤ、シシャの子たちは書記官として働いた。
アヒルドの子ヨシャファテは記録係として機能した。
エホヤダの子ベナヤは軍隊を指揮した。
ザドクとアビアタルは祭司であつた。
ナタンの子アザリヤは副官を監督した。
ナタンの子ザブドは祭司であり、王の友であつた。
アヒシャルは家政を管理した。
アブダの子アドニラムは強制労働を監督した。

ソロモンはイスラエル全土に十二人の副官を置き、
王とその家のために食料を供給させた。
各人は年に一か月ずつ供給することになっていた。

彼らの名前には、エフライムの山地のベン・フルが含まれていた。
ベン・デケルは、マカズ、シャアルビム、ベテ・シエメシュ、エロン・ベテ・ハナンの総督であつた。

ベン・ヘセドはアルボテにおり（ソコとヘフェルの全地が彼に属していた）。
ベン・アビナダブはドルの全地域におり（タファテ、ソロモンの娘が彼の妻であつた）。
アヒルドの子バアナはタアナクとメギドにおり、
イズレエルの下のザレタンそばのベテ・シェアンからアベル・メホラまで、
ヨクメアムの向こう側にまで及んでいた。
ベン・ゲベルはラモテ・ギレアデにおり（マナセの子ヤイルの町々、ギレアデにあるものは彼のものであつた。またバシヤンにあるアルゴブの地域も一壁と青銅のかんぬきのある六十の大きな町々）。
アヒナダブはイドの子で、マハナウムにおり、
アヒマズはナフタリにおり（彼もまたバセマテ、

ソロモンの娘を妻に迎えた）。
フシャイの子バアナはアシェルとベアロテを担当した。
バルアの子ヨシャファテはイッサカルにおり、
エラの子シメイはベニヤミンにおり、
ウリの子ゲベルはギレアデの地におり、
アモリ人の王シホンとバシヤンの王オグの国におり、
その地を治める副官が一人いた。

ユダとイスラエルは海辺の砂のように多く、
彼らは食べ、飲み、喜んでいた。
ソロモンは川からペリシテ人の地、エジプトの境界までのすべての王国を治めた。
彼らは貢ぎ物を持ってきて、ソロモンに彼の生涯のすべての日々仕えた。

ソロモンの毎日の食料は、上質の小麦粉三十コル、
食事用の小麦粉六十コルであつた。
肥えた牛十頭、牧草で育てた牛二十頭、
羊百頭、さらに鹿、ガゼル、ノロジカ、肥えた鳥であつた。
彼は川の西側のすべてを支配しており、
ティブサからガザに至るまで、川の西側のすべての王を支配していた。
彼は周囲のすべての側に平和を持っていた。
それでユダとイスラエルは安全に住み、
ソロモンのすべての日々において、ダンからベエル・シェバに至るまで、
各人が自分のぶどうの木といちじくの木の下に住んでいた。

ソロモンは戦車のために四万の馬の厩舎を持ち、
一万二千の騎兵を持っていた。
これらの副官たちはソロモン王とソロモン王の食卓に来るすべての人々のために食料を供給し、
各人がその月に供給し、何も欠けることがなかった。
彼らはまた馬と速い馬のために大麦とわらを必要な場所に持ってきた。各人がその任務に応じて行った。

神はソロモンに知恵と非常に大きな識別力を与え、
海辺の砂のような広い理解力を与えた。
ソロモンの知恵は東のすべての人々の知恵を超え、
エジプトのすべての知恵を超えていた。
彼は他のすべての人々よりも賢く、
エズラ人エタン、ヘマン、カルコル、マホルの子ダルダよりも賢く、
彼の名声は周囲のすべての国々に知られていた。
彼はまた三千の箴言を語り、

列王記上

彼の歌は千五であった。³³
彼はレバノンの杉から壁に生えるヒソブに至るまでの木々について語り、
また動物、鳥、爬虫類、魚についても語った。³⁴
人々はソロモンの知恵を聞くためにすべての国から来た。
彼の知恵を聞いた地のすべての王たちから来た。

5 ツロの王ヒラムはそのしもべたちをソロモンのもとに送った。

彼が父の代わりに王として油注がれたことを聞いたからである。

ヒラムはいつもダビデの友であった。²
ソロモンはヒラムにメッセージを送り、こう言った。³

「あなたも知っているように、私の父ダビデは彼の神、主の名のために家を建てることができませんでした。彼を取り巻く戦争のためであり、主がそれらを彼の足の裏に置くまで続けました。⁴
しかし今、私の神、主は私に四方の平和を与えてくださいました。敵もなく、災い也没有せん。⁵
それゆえ、見よ、私は私の神、主の名のために家を建てるつもりです。
主が私の父ダビデに語られたように、
『あなたの代わりに私があなたの王座に置くあなたの息子、
彼が私の名のために家を建てるであろう。』⁶
それで今、彼らがレバノンから私のために杉を切るよう命じてください。

私のしもべたちはあなたのしもべたちと共にいます。
そして私はあなたのしもべたちにあなたが言うことに従って賃金を支払います。
あなたも知っているように、私たちの中にはシドン人のように木を切ることを知っている者はいません。」

⁷
ヒラムがソロモンのメッセージを聞いたとき、彼は非常に喜び、言った。

「今日、主をほめたたえよ。
ダビデにこの偉大な民を治める賢い息子を与えられた。」⁸

それでヒラムはソロモンに言葉を送り、言った。
「あなたが私に送ったメッセージを聞きました。
あなたの望むことを杉材と糸杉材について行きます。」⁹

私のしもべたちはそれらをレバノンから海へ下ろします。
そしてそれらをいかだにして、あなたが指定する場所へ海を通して行かせ、

そこでそれらを解体させます。
そしてあなたはそれらを運び去ることができます。
その後、私の要求を満たして
私の家のために食料を提供してください。」

¹⁰
それでヒラムはソロモンに彼が望むすべての杉材と糸杉材を与えました。¹¹

ソロモンはヒラムに彼の家の食料として二万コルの小麦と、二十コルの打ち油を与えました。

ソロモンはこれを年ごとにヒラムに与えました。¹²
そして主はソロモンに約束されたように知恵を授けられました。

そしてヒラムとソロモンの間には調和があり、
彼ら二人は契約を結びました。

¹³
さて、ソロモン王はイスラエル全土から強制労働者を徴用し、強制労働者は三万人でした。¹⁴
彼は彼らをレバノンに送った。月ごとに一人ずつ交代で、

彼らは一か月レバノンにいて、二か月は家にいました。

アドニラムが強制労働の監督でした。¹⁵
さて、ソロモンには荷物を運ぶ七万人の男たちと、

山で石を切り出す八万人の男たちがいました。¹⁶
ソロモンの仕事を監督する主要な役人たちを除いて

、
仕事をする人々を指揮する三千三百人がいました。¹⁷
それから王は命じ、

彼らは大きな石、貴重な石を切り出し、
切り石で家の基礎を築くために準備しました。¹⁸
それでソロモンの建築者たちとヒラムの建築者たち、
そしてゲバルの人々が石を切り、
家を建てるために木材と石を準備しました。

6 イスラエルの子らがエジプトの地を出てから四
百八十年目、

ソロモンがイスラエルを治めて四年目の
ジブの月（第二の月）に、
彼は主の家の建設を開始した。²

ソロモン王が主のために建てた家は、長さ六十キュビト、幅二十キュビト、
高さ三十キュビトであった。³

家の本堂の前のポーチは長さ二十キュビトで、
家の幅に沿っており、

家の前に深さ十キュビトであった。⁴
そして彼は家に芸術的な枠の窓を作った。⁵

彼はまた、家の壁に付けて付属建物を経て、
家の壁の周り、すなわち本堂と内陣の周りに、
側室を作った。⁶ 最下層の床は幅五キュビト、
中層は幅六キュビト、

列王記上

三層目は幅七キュビトであつた。
彼は家の壁の周りに段を作り、
梁が家の壁に差し込まれないようにした。
家は採石場で準備された石で建てられ、
建設中は家の中でハンマーや斧、鉄の道具の音は聞
こえなかった。
最下層の側室の入口は家の右側にあり、
螺旋階段で中層に上がり、
中層から三層目に上がった。
こうして彼は家を建てて完成させ、
家を杉の梁と板で覆った。
彼はまた、家全体に対して側室を建て、
それぞれ高さ五キュビトで、
それらは杉の木材で家に取り付けられていた。

その時、主がソロモンに言われた、
「あなたが建てているこの家について、
もしあなたが私の掟を守り、私の定めを行い、
私のすべての命令を守って歩むならば、
私はあなたの父ダビデに語った言葉をあなたに果た
す。そして私はイスラエルの子らの間に住み、
私の民イスラエルを見捨てない。」

こうして、ソロモンは家を建てて完成させた。
彼は家の内側の壁を杉で建て、
家の床から天井まで内側を木で覆い、
家の床をジュニパーの板で覆った。
彼はまた、家の後部に杉の板で二十キュビトの部分
を建て、床から天井まで内側に建て、
それを内陣、すなわち最も聖なる場所として知られる
場所とした。内陣の前の本堂は、
長さ四十キュビトであつた。
家の内部は杉で飾られ、
ひょうたんや開いた花の形に彫刻されていた。
すべてが杉で、石は見えなかった。

彼は家の中に内陣を準備し、
主の契約の箱を置くためであつた。
内陣は長さ二十キュビト、幅二十キュビト、
高さ二十キュビトで、純金で覆われていた。
彼はまた、祭壇を杉で覆った。
ソロモンは家の内部を純金で覆った。
彼は内陣の前に金の鎖を引き、
それを金で覆った。彼は家全体を金で覆い、
家が完成するまでそうした。
彼はまた、内陣のそばにあった祭壇全体を金で覆っ
た。

内陣の中に、彼はオリーブの木で二つのケルビムを
作り、それぞれ高さ十キュビトであつた。
ケルビムの一つの翼の長さも五キュビト、

もう一つの翼の長さも五キュビトで、
翼の先から翼の先まで十キュビトであつた。
もう一つのケルビムも十キュビトで、
両方のケルビムは同じ大きさと形であつた。
一つのケルビムの高さは十キュビトで、
もう一つのケルビムも同じ高さであつた。
彼はケルビムを内陣に置き、
ケルビムの翼は広げられ、
一つの翼が一方の壁に触れ、
もう一つのケルビムの翼が他方の壁に触れ、
彼らの翼は家の中央で互いに触れ合っていた。
彼はまた、ケルビムを金で覆った。

彼は家のすべての壁を周囲に彫刻し、
ケルビム、ヤシの木、開いた花の彫刻を施し、
内側の部屋から外側の部屋までそうした。
彼はまた、家の床を金で覆い、
内側の部屋から外側の部屋までそうした。

内陣の入口には、オリーブの木で扉を作り、
上枠と五面の柱を作った。
彼はオリーブの木で二つの扉を作り、
それにケルビム、ヤシの木、開いた花を彫刻し、
それを金で覆い、
ケルビムとヤシの木に金を打ち付けた。
同様に、彼は本堂の入口にオリーブの木で四面の柱
を作り、糸杉の木で二つの扉を作り、
一つの扉の二枚の葉は回転軸で回り、
もう一つの扉の二枚の葉も回転軸で回った。
彼はそれにケルビム、ヤシの木、開いた花を彫刻し
、彫刻の上に均等に金を施した。

彼は切石の三列と
杉の梁の一行で内庭を建設した。

第四年のジブの月に、主の家の基礎が据えられた。
第十一年のブルの月（第八の月）に、
家はすべての部分とすべての計画に従って完成した
。彼はそれを七年間で建てた。

さて、ソロモンは自分の家を十三年かけて建て
、その家をすべて完成させた。
彼はレバノンの森の家を建てた。
その長さは百キュビト、幅は五十キュビト、高さは
三十キュビトで、
四列の杉の柱の上に杉の梁があつた。
それは四十五の柱の上に、上の部屋に杉で屋根がか
けられており、各列に十五の柱があつた。
三列の装飾的な窓枠があり、
各窓は三段にわたって他の窓に向かつていた。
すべての戸口と戸枠は四角い芸術的な枠があり、

列王記上

各窓は三段にわたって他の窓に向かっていた。⁶
次に彼は柱の広間を作った。
その長さは五十キュビト、幅は三十キュビトで、
前には柱とその前に天蓋があるポーチがあった。⁷
彼は裁きを行うための玉座の広間、裁きの広間を作った。
それは床から天井まで杉でパネルが張られていた。
⁸ 彼が住むための家は、
広間から内側の他の中庭にあり、同じ工法で作られていた。
彼はまた、ソロモンが妻として迎えたパロの娘のために、この広間のような家を作った。

⁹ これらすべては貴重な石で作られており、
大きさに合わせて切られ、内側と外側に鋸で切られていた。
基礎から軒まで、外側から大きな中庭まで。¹⁰
基礎は貴重な石で、
大きな石、十キュビトと八キュビトの石であった。
¹¹
その上には貴重な石、大きさに合わせて切られた石、
そして杉があった。¹²
そのため、大きな中庭は周囲に三列の切石と
一列の杉の梁があり、
主の家の内庭と家のポーチに似ていた。

¹³
この時、ソロモン王はツロからヒラムを呼び寄せた。
¹⁴ 彼はナフタリ族の末亡人の息子で、
彼の父はツロの人で青銅の職人であった。
彼は青銅のあらゆる作業を行うための知恵と理解と
技術に満ちていた。
それで彼はソロモン王のもとに来て、すべての作業
を行った。¹⁵ 彼は青銅の柱を二本鋳造した。
一本の柱の高さは十八キュビトで、
十二キュビトの線が両方の周囲を測った。¹⁶
彼は柱の頂上に置くための鋳造青銅の冠を二つ作った。
一つの冠の高さは五キュビトで、もう一つの冠の高
さも五キュビトであった。¹⁷
柱の頂上にある冠のために、格子細工と鎖細工のね
じれた糸があり、各冠に七つずつあった。¹⁸
それで彼は柱を作り、
一つの格子細工の周りにザクロを二列作り、
柱の上にある冠を覆った。もう一つの冠も同様にし
た。¹⁹
今、ポーチの柱の頂上にある冠はユリのデザインで
、
四キュビトであった。²⁰
そして、格子細工の隣にある丸い部分の上に、二つ
の柱の上に冠があり、

ザクロは各冠の周りに二百個ずつ列をなしていた。
²¹ 彼は大広間のポーチに柱を立てた。
右の柱を立ててそれをヤキンと名付け、
左の柱を立ててそれをボアズと名付けた。²²
柱の頂上にはユリのデザインがあった。
それで柱の作業は完了した。

²³
彼はまた鋳造金属の海を作った。縁から縁まで十キ
ュビトで、円形であり、
高さは五キュビトで、三十キュビトの線がその周囲
を測った。²⁴ その縁の下にはひょうたんがあり、
一キュビトに十個、海の周りを取り囲んでいた。
ひょうたんは鋳造されたときに二列に鋳造された。
²⁵ それは十二の雄牛の上に立っており、
三つは北を向き、三つは西を向き、三つは南を向き
、三つは東を向いていた。海はその上に置かれ、
そのすべての後部は内側を向いていた。²⁶
それは手の幅の厚さがあり、
その縁はカップの縁のように、
ユリの花のように作られていた。
それは二千バスを収容できた。

²⁷ 次に彼は青銅の台を十個作った。
各台の長さは四キュビト、幅は四キュビト、高さは
三キュビトであった。²⁸
そして台のデザインはこうであった。
それらには杵があり、杵の間に境界があった。²⁹
そして杵の間の境界には獅子、雄牛、ケルビムがあ
った。
そして杵の上には台座があり、
獅子と雄牛の下には装飾的な花輪があった。³⁰
今、各台には青銅の車輪が四つあり、青銅の軸があ
り、
その四つの足には支持があった。
盆の下には鋳造された支持があり、
各側に花輪があった。³¹
その頂上の冠の内側の開口部は一キュビトで、
開口部は台座のように丸く、一キュビト半の直径が
あった。
そして開口部にも彫刻があった。
その境界は四角で、丸くはなかった。³²
そして四つの車輪は境界の下にあり、
車輪の軸は台の上にあった。
車輪の高さは一キュビト半であった。³³
車輪の工芸は戦車の車輪のようであった。
その軸、縁、スポーク、ハブはすべて鋳造されてい
た。³⁴
今、各台の四つの角には四つの支持があり、
これらの支持は台自体に一体化されていた。³⁵
台の頂上には半キュビトの高さの円形の形があり、
台の頂上にはその支えと境界が一体化されていた。
³⁶ 彼はその支えの板と境界に彫刻を施し、

列王記上

ケルビム、獅子、ヤシの木を、
各々の利用可能なスペースに応じて、
周囲に花輪を施した。
彼はこのようにして十個の台を作った。
それらはすべて均一な鋳造、寸法、形状を持っていた。

そして彼は青銅の盆を十個作り、十個の台の各々に一つの盆を作った。
各盆は四十バスを収容し、四キュビトであった。
そして十個の台の各々に一つの盆があった。
それから彼は台を設置した。
五つは家の右側に、五つは家の左側に。
そして海を家の右側、東側の南に設置した。

さて、ヒラムは盆、シャベル、鉢を作った。
それでヒラムはソロモン王のために主の家で行ったすべての作業を完了した。
二つの柱と、二つの柱の頂上にある二つの冠の鉢、
そして柱の頂上にある二つの冠の鉢を覆うための二つの格子細工。
そして二つの格子細工のための四百のザクロ、
各格子細工のための二列のザクロが柱の上の冠の鉢を覆うためにあった。
さらに十個の台とその十個の盆。
そして大きな盆、すなわち海とその下の十二の雄牛。
そして鍋、シャベル、鉢。
ヒラムがソロモン王のために主の家で作ったこれらすべての器具は磨かれた青銅であった。
ヨルダンの平野で、王はそれらを鋳造した。
スコテとザレタンの間の粘土の土で。
ソロモンはすべての器具を計量せずに残した。
それらがあまりにも多かったので、
青銅の重さは測定できなかった。

ソロモンはまた、主の家にあるすべての家具を作った。
金の祭壇と、供えのパンが置かれた金のテーブル。

そして燭台、五つは右側に、五つは左側に、内陣の前に、
純金で、花、ランプ、金のトング。
そしてカップ、芯切り、鉢、スプーン、火皿、純金で。
内側の家の扉のための蝶番、
すなわち、至聖所のため、そして家の扉、すなわち、廊のため、金で。

それで、ソロモン王が主の家で行ったすべての作業は完了した。

そしてソロモンは父ダビデが捧げたもの、
銀、金、器具を持ち込み、
それらを主の家の宝物庫に置いた。

そのとき、ソロモンはイスラエルの長老たちとすべての部族の頭たち、
イスラエルの子らの祖先の家の指導者たちをエルサレムに召集し、
ダビデの町、すなわちシオンから主の契約の箱を運び上げるために、
ソロモン王のもとに集めた。
イスラエルのすべての人々は、
エタニムの月、すなわち第七の月の祭りに、
ソロモン王の前に集まった。
そしてイスラエルのすべての長老たちが到着し、
祭司たちは契約の箱を運んだ。
彼らは主の箱、
会見の天幕、および天幕にあったすべての聖なる器具を運び上げた。
祭司たちとレビ人たちはそれらを運び上げた。
ソロモン王と彼に集まったイスラエルの全会衆は、
契約の箱の前に共にいて、
数え切れないほど多くの羊と牛を捧げた。
祭司たちは主の契約の箱をその位置に置き、
家の内側の聖所、
至聖所に置き、
ケルビムの翼の下に置いた。
ケルビムは箱の場所の上に翼を広げ、
ケルビムは箱とその棒を上から覆った。
しかし、棒は非常に長く、
その端が内側の聖所の前の聖所から見えたが、
外からは見えなかった。
それは今日までそこにある。
箱の中には、ホレブでモーセが置いた石の二枚の板以外には何もなかった。
そこでは、主がイスラエルの子らと契約を結ばれた。
彼らがエジプトの地から出てきたとき。

祭司たちが聖所を出たとき、
雲が主の家を満たした。
そのため、祭司たちは雲のために立つて仕えることができなかった。
主の栄光が主の家を満たしたからである。

そのときソロモンは言った、
「主は厚い雲の中に住むと宣言された。
私は確かにあなたのために壮麗な家を建てました。
永遠にあなたの住まいとする場所です。」

それから王はイスラエルの全会衆を祝福するために向きを変えた。
イスラエルの全会衆が立っている間に。
彼は言った、

列王記上

「イスラエルの神、主は祝福されますように。

彼は私の父ダビデに口で語り、
その手でそれを成し遂げられました。こう言われま
した、¹⁶

『私がイスラエルの民をエジプトから導き出した日
から、
私の名を置くために家建てる都市を、
イスラエルのすべての部族の中から選んだことはあ
りませんでした、
私はダビデを選んで私の民イスラエルの上に置きま
した。』¹⁷ 今、私の父ダビデの心には、
イスラエルの神、主の名のために家建てることが
ありました。¹⁸

しかし、主は私の父ダビデに言われました、
『あなたの心に私の名のために家建てることがあ
るのを見ました。あなたがこの願いを持ったのは良
いことです。』¹⁹

しかし、あなたはその家建てることはありません
。
あなたに生まれる息子が、
私の名のためにその家建てるでしょう。』²⁰

今、主は彼が語られた言葉を成し遂げられました。
私は私の父ダビデの代わりに立ち、イスラエルの王
座に座っています。主が約束されたように、
私はイスラエルの神、主の名のために家建てまし
た。²¹

そして私はそこに契約の箱のための場所を設けまし
た。
それは主が私たちの父たちと結ばれた契約です。
彼らがエジプトの地から導き出されたとき。」

²² それからソロモンは主の祭壇の前に立ち、
イスラエルの全会衆の前で、
天に向かって手を挙げた。²³ 彼は言った、
「イスラエルの神、主よ、
天の上にも地の下にもあなたのような神はいません
。

あなたの前を心を尽くして歩むあなたのしもべたち
に、
契約を守り、誠実を示される方です。²⁴
あなたはあなたのしもべ、私の父ダビデに約束され
たことを守られました。
あなたは口で語り、手でそれを成し遂げられました
。今日のように。²⁵

それゆえ、イスラエルの神、主よ、
あなたのしもべダビデ、私の父に約束されたことを
守ってください。こう言われました、
『あなたの子がその道に気をつけて、
私の前を歩むならば、
イスラエルの王座に座る人が欠けることはありません
。』²⁶ それゆえ、イスラエルの神よ、
あなたがあなたのしもべ、私の父ダビデに語られた
言葉を確かにしてください。

²⁷

しかし、神が本当に地上に住むことができるでしょ
うか。

見よ、天と天の天もあなたを収めることはできませ
ん。まして私が建てたこの家はなおさらです！²⁸

しかし、あなたのしもべの祈りと願いに心を向けて
ください。
私の神、主よ、
あなたのしもべが今日あなたの前で祈る叫びと祈り
を聞いてください。²⁹

あなたの目が昼も夜もこの家に向けられ、
あなたが『私の名はそこにある』と言われた場所に
向けられ、
あなたのしもべがこの場所に向かって祈る祈りを聞
いてください。³⁰

あなたのしもべとあなたの民イスラエルの願いを聞
いてください。
彼らがこの場所に向かって祈るとき、
あなたの住まいである天で聞いてください。
そして、聞かれるとき、赦してください。

³¹

もし誰かが隣人に対して罪を犯し、誓いを立てる必
要がある場合、
彼が来てこの家であなたの祭壇の前で誓うならば、
³² 天で聞いて行動し、あなたのしもべたちを裁き、
悪しき者を彼の行いを彼の頭に返すことによって罪
に定め、
正しい者を彼の義に従って報いることによって正し
いと認めてください。

³³ あなたの民イスラエルが敵の前で敗北する場合、
彼らがあなたに対して罪を犯したからです。
もし彼らが再びあなたに立ち返り、あなたの名を告
白し、祈り、
この家であなたに願うならば、³⁴
天で聞いて、あなたの民イスラエルの罪を赦し、
彼らの父たちに与えた地に彼らを戻してください。

³⁵ 空が閉じられ雨が降らない場合、
彼らがあなたに対して罪を犯したからです。
彼らがこの場所に向かって祈り、あなたの名を告白
し、
あなたが彼らを苦しめるときに彼らの罪から立ち返
るならば、³⁶
天で聞いて、あなたのしもべたちとあなたの民イス
ラエルの罪を赦してください。
彼らが歩むべき良い道を教えてください。
そしてあなたが彼らに相続として与えた地に雨を降
らせてください。

³⁷ 地に飢饉がある場合、
疫病や枯れやカビ、
イナゴやバッタがある場合、

列王記上

敵が彼らの都市の地で彼らを包囲する場合、
どんな疫病、どんな病気がある場合でも、³⁸
誰かが、またはあなたの民イスラエル全体が、
自分の心の苦しみを知り、
この家に向かって手を広げて祈りや願いをするなら
ば、³⁹ 天にあるあなたの住まいで聞いて、赦し、
行動し、すべての道に従って各人に与えてください
。
あなたが心を知っている者に一
あなたはすべての人間の心を知っている唯一の方で
す—⁴⁰
それは彼らが私たちの父たちに与えた地に住むすべ
ての日々、あなたを恐れるためです。

⁴¹
また、あなたの民イスラエルに属していない外国人
についても、
彼があなたの名のために遠い国から来るとき、⁴²
（彼らはあなたの大きな名とあなたの力強い手、
あなたの伸ばされた腕を聞くでしょう）、
彼が来てこの家に向かって祈るとき、⁴³
天にあるあなたの住まいで聞いてください。
そして外国人があなたに呼び求めるすべてのことに
応じてください。
それは地のすべての民があなたの名を知り、
あなたを恐れるためです。あなたの民イスラエルが
そうするように、
そして私が建てたこの家があなたの名によって呼ば
れていることを知るためです。

⁴⁴ あなたの民が敵に対して戦いに出るとき、
あなたが彼らを送るどんな道でも、
彼らがあなたが選んだ都市と
あなたの名のために私が建てた家に向かって主に祈
るならば、⁴⁵ 天で彼らの祈りと願いを聞いて、
彼らの訴えを支えてください。

⁴⁶
彼らがあなたに対して罪を犯すとき（罪を犯さない
者は誰もいないからです）、
あなたが彼らに怒り、敵に引き渡し、
彼らが敵の地に捕らえられて連れて行かれるとき、
遠くでも近くでも、⁴⁷
彼らが捕らえられている地で心に留め、
彼らの捕らえた者たちの地であなたに悔い改め、願
い求め、
『私たちは罪を犯し、悪を行い、悪事を働きました
』と言うならば、⁴⁸
彼らが彼らを捕らえた敵の地で、
心を尽くし魂を尽くしてあなたに立ち返り、
彼らの父たちに与えた地、
あなたが選んだ都市、私があなたの名のために建て

た家に向かって祈るならば、⁴⁹
天にあるあなたの住まいで彼らの祈りと願いを聞いて、
彼らの訴えを支えてください。⁵⁰
あなたに対して罪を犯したあなたの民と、
彼らがあなたに対して犯したすべての罪を赦し、
彼らを捕らえた者たちの前で彼らを憐れみの対象と
し、
彼らが彼らに憐れみを示すようにしてください。⁵¹
彼らはあなたの民であり、あなたの相続財産です。
あなたがエジプトから、鉄の炉の中から連れ出され
た—⁵² あなたのしもべの願いと
あなたの民イスラエルの願いに目を開いてください
。

彼らがあなたに呼び求めるとき、いつでも彼らの声
を聞いてください。⁵³
あなたは彼らを地のすべての民からあなたの相続財
産として分けられました。
あなたがモーセを通して語られたように、
私たちの父たちをエジプトから連れ出されたとき、
主なる神よ。」

⁵⁴
ソロモンがこのすべての祈りと願いを主に捧げ終え
たとき、
彼は主の祭壇の前から立ち上がり、
天に向かって手を広げて膝をついていた場所から立
ち上がった。⁵⁵
そして彼は立ち上がり、大声でイスラエルの全会衆
を祝福して言った、⁵⁶
「主は祝福されますように。彼はイスラエルの民に
休息を与えられました。
彼が約束されたすべての道に従って、
彼の良い約束の一言も失われることはありませんで
した。彼がモーセを通して約束されたことです。
⁵⁷

私たちの神、主が私たちと共におられますように。
私たちの父たちと共におられたように。
彼が私たちを離れず、見捨てられませんように。⁵⁸
彼が私たちの心を彼自身に導かれますように。
彼のすべての道歩み、
彼の命令、法令、条例を守るために。
彼が私たちの父たちに命じられたことです。⁵⁹
そして私が主の前で願ったこれらの言葉が、
昼も夜も私たちの神、主に近くありますように。
それは彼が彼のしもべの訴えを支え、
イスラエルの民の訴えを支えられるためです。日々
の必要に応じて、⁶⁰ それは地のすべての民が
主が神であることを知るためです。他にはいないこ
とを。⁶¹
それゆえ、あなたの心を私たちの神、主に完全に捧
げ、

列王記上

彼の法令を歩み、彼の命令を守りなさい。この日と同じように。」

62

それから王は、イスラエル全体と共に、主の前で犠牲を捧げた。⁶³ ソロモンは平和の犠牲として、主に捧げたものとして、二万二千頭の牛と十二万頭の羊を捧げた。

それで王とイスラエルのすべての子らは主の家を捧げた。⁶⁴

同じ日に王は主の家の前の中庭の中央を聖別した。そこでは焼き尽くす捧げ物、穀物の捧げ物、平和の犠牲の脂肪を捧げた。主の前の青銅の祭壇は、焼き尽くす捧げ物、穀物の捧げ物、平和の犠牲の脂肪を収めるには小さすぎたからである。⁶⁵ それでソロモンはその時に祭りを行った。

彼と共にイスラエル全体が、ハマテの入口からエジプトの小川までの大集会が、私たちの神、主の前で、七日間、さらに七日間、合計十四日間行った。⁶⁶

八日目に彼は民を送り出し、彼らは王を祝福した。それから彼らは自分たちの天幕に帰り、心が喜びと幸せで満たされていた。主がダビデとそのしもべに、そしてイスラエルの民に示されたすべての善のために。

9 ソロモンが主の家の建設を完了し、王の家と、

ソロモンが成し遂げたいと思っていたすべてのことを終えたとき、² 主はギブオンでのように再びソロモンに現れた。³ そして主は彼に言われた、

「あなたが私の前でささげた祈りと願いを聞いた。私はあなたが建てたこの家を聖別し、私の名をそこに永遠に置く。

私の目と心は常にそこにあるであろう。⁴ あなたについて言えば、もしあなたが私の前を歩むならば、

あなたの父ダビデが心の誠実さと正直さで歩んだように、私が命じたすべてのことに従い、私の掟と法令を守るならば、⁵

私はあなたの王国の王座をイスラエルの上に永遠に確立する。

ちょうどあなたの父ダビデに約束したように、『あなたはイスラエルの王座に後継者を持つてであろう。』⁶

しかし、もしあなたやあなたの息子たちが私に従うことをやめ、

私があなたの前に置いた私の命令と掟を守らず、他の神々に仕え、それらを拝むならば、⁷

私はイスラエルを彼らに与えた地から切り離し、私の名のために聖別したこの家を、私の視界から追い出す。

こうしてイスラエルはすべての民の間でことわざとなり、嘲笑的となるであろう。⁸

そしてこの家は廃墟の山となる。通り過ぎる者は皆驚き、口笛を吹いて言うであろう、

『なぜ主はこの地とこの家にこのようなことをしたのか?』⁹ そして彼らは言うであろう、

『彼らはエジプトの地から彼らの父祖を連れ出した主なる彼らの神を捨て、他の神々を採用し、それらを拝み、仕えたからである。それゆえ、主はこれらすべての災いを彼らに下された。』」

¹⁰ 二十年の終わりに、ソロモンが二つの家、主の家と王の家を建設した期間に、¹¹

ソロの王ヒラムがソロモンに彼の望むすべての杉と糸杉の木材と金を供給したので、ソロモン王はガリラヤの地にある二十の都市をヒラムに与えた。¹²

そこでヒラムはソロモンが彼に与えた都市を見にトロから来たが、それらは彼を喜ばせなかった。¹³

そして彼は言った、「兄弟よ、あなたが私に与えたこれらの都市は何ですか?」それで彼はそれらを今日までカブルの地と呼んだ。¹⁴

そしてヒラムは王に百二十タラントの金を送った。

¹⁵ さて、これは強制労働の記録である、ソロモン王が主の家を建てるために徴用した、彼自身の家、ミロ、エルサレムの城壁、ハツォル、メギド、ゲゼル。¹⁶

エジプトの王ファラオは上ってきてゲゼルを捕らえ、火で焼き、都市に住んでいたカナン人を殺し、それを彼の娘、ソロモンの妻への持参金として与えた。¹⁷ こうしてソロモンはゲゼルを再建し、

下ベテホロン、¹⁸ バアラテとユダの荒野のタマル、¹⁹

ソロモンが持っていたすべての貯蔵都市、彼の戦車と彼の騎兵のための都市、そしてソロモンがエルサレム、レバノン、彼の支配下にあるすべての地に建てることを喜んだすべてのもの。

²⁰ アモリ人、ヒッタイト人、ペリジ人、ヒビ人、エブス人のうち、イスラエルの子孫ではない者たちについては、²¹ 彼らの後に残ったその地の子孫、

列王記上

イスラエルの子孫が完全に排除することができなかった者たち、
ソロモンは彼らに今日まで強制労働を課した。²²
しかしソロモンはイスラエルの子孫を奴隷にはしなかった。
彼らは戦士であり、彼の召使い、彼の指揮官、彼の隊長、戦車の指揮官、彼の騎兵であった。²³
これらはソロモンの仕事を監督する五百五十人の主要な役人であり、
仕事をする人々を監督していた。

²⁴
ファラオの娘がダビデの町から彼女のためにソロモンが建てた家に上ってきたとき、
彼はミロを建設した。²⁵
さて、ソロモンは年に三度、焼き尽くす捧げ物と和解の捧げ物を捧げ、
彼が主のために建てた祭壇で、それらと共に香を焚いた。
こうして彼は家を完成させた。

²⁶
ソロモン王はまた、エツィオン・ゲベルで船団を建設した、
それはエドムの地にある紅海の岸にあるエロトの近くである。²⁷
そしてヒラムはその船団と共に彼の召使いを送り、海を知っている船員たちを、
ソロモンの召使いたちと共に。²⁸
彼らはオフィルに旅し、そこで四百二十タラントの金を手に入れ、
それをソロモン王のもとに持ってきた。

10 シェバの女王は、主の名に関連するソロモンの名声を聞いたとき、
彼を難問で試そうとやって来た。²
彼女は非常に多くの従者を伴ってエルサレムに来了。
ラクダには香料、大量の金、宝石が積まれていた。
彼女がソロモンのもとに来たとき、彼女は心にあるすべてのことを彼に話した。³
ソロモンは彼女のすべての質問に答えた。
王が彼女に説明しなかったことは何も隠されていなかった。⁴
シェバの女王はソロモンのすべての知恵を見たとき、
彼が建てた家、⁵ 彼の食卓の食物、彼のしもべたちの席、
彼の大臣たちの出席とその服装、
彼の杯を持つ者たち、
そして彼が主の家に上がる階段を見たとき、
彼女の中にもう息がなかった。⁶

それから彼女は王に言った、
「私の国であなたの言葉と知恵について聞いた報告は本当でした。⁷
しかし、私はその報告を信じませんでした。自分の目で見るまで。
そして見よ、私に伝えられたのは半分に過ぎませんでした！
あなたは私が聞いた報告を超えて知恵と繁栄において優れています。⁸ あなたの人々は幸いです、あなたの前に常に立ち、あなたの知恵を聞くこれらのしもべたちは幸いです。⁹
主、あなたの神は祝福されます、イスラエルの王座にあなたを据えることを喜ばれました！
主がイスラエルを永遠に愛されたので、彼はあなたを王にされ、公正と正義を行うためです。」¹⁰
それから彼女は王に百二十タラントの金、非常に多くの香料、宝石を贈った。
シェバの女王がソロモン王に贈ったほどの香料の豊富さは、二度と来なかった。

¹¹
また、オフィルから金を運んできたヒラムの船も、オフィルから非常に多くのアルムグの木と宝石を運んできた。¹²
王はアルムグの木から主の家と王の家のための支えを作り、歌う者たちのための堅琴と琴も作った。
そのようなアルムグの木は再び来ることがなく、今日まで見られていない。

¹³
ソロモン王はシェバの女王に彼女が望むすべてのもの、彼女が求めたものを与えた、
彼が彼女に王室の贈り物として与えたものの他に。
それから彼女は自分の国に帰り、彼女のしもべたちと共に去った。

¹⁴
ソロモンに一年で来た金の量は六百六十六タラントの金であった、¹⁵
商人たちの交易品や商人たちの品物、アラブのすべての王たちと地の総督たちからのものを除いて。¹⁶
ソロモン王は打たれた金で二百の大盾を作った、各盾には六百シェケルの金が使われた。¹⁷
そして彼は打たれた金で三百の盾を作った、各盾には三ミナの金が使われた。
そして王はそれらをレバノンの森の家に置いた。¹⁸
さらに、王は象牙の大きな王座を作り、それを精錬された金で覆った。¹⁹
王座には六つの階段があり、その後ろには丸い頂があり、
座席の両側には腕があり、

列王記上

その腕のそばには二頭の獅子が立っていた。²⁰
十二頭の獅子が六つの階段の上に立っていた、それぞれ
の側に一頭ずつ。
他のどの王国にもそのようなものは作られなかった。²¹
ソロモン王のすべての飲み物の器は金であり、
レバノンの森の家のすべての器も純金であった。
銀のものはなかった。それはソロモンの時代には価値
がないと考えられていた。

²²
王はタルシシュの船をヒラムの船と共に海に持っていた。
三年ごとにタルシシュの船が来て、
金、銀、象牙、猿、孔雀を運んできた。²³
こうしてソロモン王は富と知恵において地のすべての
王たちよりも偉大になった。²⁴
全世界はソロモンに会見を求めた、
神が彼の心に置かれた知恵を聞くために。²⁵
そして彼らはそれぞれ自分の贈り物を持ってきた：
銀と金の品物、衣服、武器、香料、馬、ラバ、
年ごとに非常に多く。

²⁶ ソロモンは戦車と騎兵を集めた。
彼は千四百の戦車と一万二千の騎兵を持っていた、
そして彼はそれらを戦車の都市とエルサレムの王と
共に配置した。²⁷
王はエルサレムで銀を石のように一般的にし、
彼は低地のシカモアのように杉を豊富にした。²⁸
ソロモンの馬はエジプトとクエから輸入された。
王の商人たちはそれらをクエから価格で取得した。²⁹
戦車はエジプトから六百シェケルの銀で輸入され、
馬は百五十であった。
そして彼らの手段によって、それらはヒッタイトの
すべての王たちとアラムの王たちに輸出された。

11 さて、ソロモン王はパロの娘のほかにも多く
の外国の女を愛した。
モアブ人、アモン人、エドム人、シドン人
、ヒッタイト人の女たちである。²
これらの国々について、主はイスラエルの子らに言
われた、
「あなたがたは彼らと交わってはならないし、彼ら
もあなたがたと交わってはならない。
彼らは必ずあなたの心をその神々に向けさせるであ
ろう。」
ソロモンはこれらの女たちに愛着を持った。³
彼には王族の出の妻が七百人、側女が三百人いた。
そしてその妻たちは彼の心を惑わせた。⁴
ソロモンが年をとったとき、
その妻たちは彼の心を他の神々に向けさせた。

彼の心は彼の父ダビデの心のように、
彼の神、主に全く向いてはいなかった。⁵
ソロモンはシドン人の女神アシュタロテと、
アモン人の忌むべきもののミルコムに従った。⁶
ソロモンは主の目の前で悪を行い、
彼の父ダビデのように主に従い尽くさなかった。⁷
その時、ソロモンはモアブの忌むべきもののケモシュ
のために高き所を建てた。
エルサレムの東の山の上に、
またアモンの子らの忌むべきもののモレクのためにも
そうした。⁸
彼はまた、すべての外国の妻たちのために同じよう
にした。
彼らは自分たちの神々に香をたき、犠牲をささげた
。

⁹ さて、主はソロモンに怒りを発した。
彼の心がイスラエルの神、主から離れたからである
。
主は彼に二度現れたことがあった。¹⁰
そしてこの事について彼に命じて、
他の神々に従ってはならないと言った。
しかし彼は主が命じたことを守らなかった。¹¹
それで主はソロモンに言われた、
「あなたがこのことを行い、
わたしの契約とわたしが命じた掟を守らなかったの
で、
わたしは必ずあなたから王国を引き裂き、あなたの
しもべに与える。¹²
しかし、あなたの父ダビデのために、あなたの時代
にはそうしない。
あなたの子の手からそれを引き裂く。¹³
しかし、わたしは全王国を取り去ることはしない。
わたしはあなたの子に一つの部族を与える。
わたしのしもべダビデのために、またわたしが選ん
だエルサレムのために。」

¹⁴ その時、主はソロモンに敵を起こした。
エドム人のハダデである。彼はエドムの王族の者で
あった。¹⁵
ダビデがエドムにいたとき、軍の司令官ヨアブが
殺された者たちを葬りに上った。
彼はエドムのすべての男を打ち殺した。¹⁶
ヨアブとイスラエルのすべての者は六か月間そこに
滞在し、エドムのすべての男を滅ぼした。¹⁷
しかしハダデはエジプトに逃げた。
彼と彼の父のしもべたちの一部が彼と共にいた。
その時ハダデはまだ少年であった。¹⁸
彼らはミディアンを出発し、パランにきた。
そして彼らはパランから人々を連れてエジプトに来
た。

列王記上

エジプトの王パロのもとに、彼は彼に家を与え、食物を割り当て、土地を与えた。¹⁹

さて、ハダデはパロの目に大いに恵みを見出した。彼は自分の妻の妹、タフベネスの妹を彼に妻として与えた。²⁰

タフベネスの妹は彼の息子ゲヌパテを産んだ。タフベネスはファラオの家で彼を育て、ゲヌパテはファラオの家の中でファラオの息子たちと共にいた。²¹

しかしハダデがエジプトで、ダビデが彼の父たちと共に眠り、軍の司令官ヨアブが死んだことを聞いたとき、ハダデはパロに言った、「私を送り出して、私の国に帰らせてください。」²²

するとパロは彼に言った、「しかし、あなたは私と共に何が不足していたのですか、今あなたが自分の国に帰りたと思っているのですか？」

彼は言った、「何もありません。それでも、あなたは私を必ず行かせなければなりません。」

²³ 神はまた彼にもう一人の敵を起こした。ゾバの王ハダデゼルのもともと逃げたエリアダの子レゼンである。²⁴

彼は人々を集めて自分の一団の指導者となった。ダビデがゾバの人々を殺したとき、彼らはダマスコに行き、そこに滞在し、ダマスコで王となった。²⁵

彼はソロモンのすべての日にイスラエルの敵であった。ハダデが行った悪と共に、彼はイスラエルを憎み、アラムを治めた。

²⁶ さて、ネバデの子ヤロブアム、ゼレダ出身のエフライム人、ソロモンのしもべであったー彼の母の名はゼルア、未亡人であったー彼もまた王に対して手を挙げた。²⁷

さて、彼が王に対して手を挙げた理由は次の通りである。ソロモンはミロを建て、彼の父ダビデの町の裂け目を塞いだ。²⁸

さて、ヤロブアムは勇敢な戦士であり、ソロモンはその若者が勤勉であるのを見て、彼をヨセフの家の強制労働の全ての監督に任命した。²⁹

さて、その時、ヤロブアムがエルサレムを出たとき、預言者アヒヤ、シロ人が道で彼に会った。彼は新しい外套を身にまとい、二人は野に一人でいた。³⁰

アヒヤは彼が着ていた新しい外套を取って、それを十二の部分に裂いた。³¹そして彼はヤロブアムに言った、

「あなたは十の部分をも自分のために取りなさい。これはイスラエルの神、主がこう言われるからである。」

『見よ、わたしはソロモンの手から王国を引き裂き、あなたに十の部族を与える。³²

しかし彼は一つの部族を保持するであろう。わたしのしもべダビデのために、またわたしが選んだエルサレムのために、イスラエルのすべての部族から選んだ町であるからである。³³ 彼らはわたしを捨て、

シドン人の女神アシュタロテにひれ伏し、モアブの神ケモシュに、アモンの子らの神ミルコムにひれ伏し、わたしの道を歩まず、わたしの目に正しいことを行わず、わたしの掟と定めを守らなかった。

彼の父ダビデが行ったように。³⁴ それにもかかわらず、わたしは彼の手から全王国を取り去ることはしない。

わたしは彼を彼の生涯のすべての日にわたって治めさせる。わたしのしもべダビデのために、彼を選んだ者であり、彼はわたしの命令と掟を守ったからである。³⁵

しかし、わたしは彼の子の手から王国を取り、あなたに与えるーそれは十の部族である。³⁶ しかし彼の子には一つの部族を与える。わたしのしもべダビデがエルサレムでわたしの前に常に光を持つために、

わたしが自分のために名を置くために選んだ町である。³⁷ しかし、わたしはあなたを取り、あなたの心が望むすべてを治めさせ、あなたはイスラエルの王となる。³⁸

もしあなたがわたしが命じるすべてを聞き、わたしの道を歩み、わたしの目に正しいことを行い、わたしの掟と命令を守るならば、わたしのしもべダビデが行ったように、

わたしはあなたと共にいて、ダビデのために建てたようにあなたのために永続する家を建て、イスラエルをあなたに与える。³⁹

それゆえ、わたしはこのためにダビデの子孫を苦しめるが、永遠ではない。』

⁴⁰ ソロモンはヤロブアムを殺そうとしたが、ヤロブアムは立ち上がりエジプトに逃げた。エジブ

列王記上

トの王シシャクのもとに、
彼はソロモンの死までエジプトに滞在した。

41
さて、ソロモンの他の行いと、彼が成し遂げたすべてのこと、彼の知恵は、
ソロモンの行為の書に記録されているではないか。

42
このようにして、ソロモンはエルサレムでイスラエル全体を四十年間治めた。
43
そしてソロモンは彼の父たちと共に眠り、彼の父ダビデの町に葬られた。
そして彼の子レハブアムが彼の代わりに王となった。

12
レハブアムはシェケムに旅をした。
イスラエルの全体が彼を王にするためにそこに集まっていたからである。

2
ネパテの子ヤロブアムがこれを聞いたとき、
彼はまだエジプトにいて、ソロモン王の顔を避けて逃げていた。

3
ヤロブアムはエジプトに留まっていた。
3
彼らは人を遣わして彼を呼び、
ヤロブアムとイスラエルの全会衆が来て、
レハブアムに言った。

4
「あなたの父は私たちのくびきを重くしました。
今、あなたの父が私たちに課した重労働と重いくびきを軽くしてください。
そうすれば、私たちはあなたに仕えます。」
5
彼は彼らに言った、
「三日後に戻ってきなさい。」
それで人々は去った。

6
その後、レハブアム王は彼の父ソロモンに仕えていた長老たちと相談し、
「この人々にどのように答えるべきか、あなたの方の意見を教えてください。」と言った。
7
彼らは彼に言った、
「もし今日この人々に仕え、彼らに良い言葉をかけて彼らの願いを聞き入れるならば、
彼らは永遠にあなたの僕となるでしょう。」
8
しかし、彼は長老たちの与えた助言を捨て、
彼と共に育った若者たちと相談した。
9
彼は彼らに言った、
「あなた方はどのように助言しますか？
『あなたの父が私たちに課したくびきを軽くしてください』と言ったこの人々に、
どのように答えるべきでしょうか？」
10
彼と共に育った若者たちは彼に言った、
「あなたに言ったこの人々にこう言いなさい、

『あなたの父が私たちのくびきを重くしたが、あなたはそれを軽くしてください！』
あなたは彼らにこう言いなさい、
『私の小指は父の腰よりも太い！』
11
父があなたたちに重いくびきを課したとしても、私はそれを増やします。
父はむちであなたたちを懲らしめたが、私はさそりで懲らしめます。』」

12
ヤロブアムと全ての民は三日目にレハブアムのもとに戻った。
王が「三日目に私のもとに戻りなさい」と言ったからである。
13
王は民に厳しい答えをした。
彼は長老たちの与えた助言を捨てたからである。
14
彼は若者たちの助言に従って彼らに言った、
「父があなたたちのくびきを重くしたが、私はそれをさらに重くします。
父はむちであなたたちを懲らしめたが、私はさそりで懲らしめます。」
15
それで王は民の言うことを聞かなかった。
これは主からの出来事であり、
主がシロ人アヒヤを通してネパテの子ヤロブアムに語った言葉を確立するためであった。

16
イスラエルの全体が王が彼らの言うことを聞かなかったのを見たとき、
民は王に答えて言った、
「我々はダビデに何の分け前があるのか？
エッサイの子には何の相続もない！
イスラエルよ、自分の天幕に帰れ！
ダビデよ、自分の家を見よ！」
17
それでイスラエルは自分の天幕に帰った。
しかし、ユダの町々に住むイスラエル人については、
レハブアムは彼らの上に王として君臨した。
18
その後、レハブアム王は強制労働の監督であるアドラムを遣わしたが、
全イスラエルは彼を石で打ち殺した。
レハブアム王は急いで戦車に乗り、エルサレムに逃げた。
19
こうして、イスラエルは今日までダビデの家に対して反抗し続けている。

20
そして、全イスラエルがヤロブアムが戻ったことを聞いたとき、
彼らは人を遣わして彼を集会に呼び、彼を全イスラエルの王とした。
ダビデの家に従った者はユダの部族だけであった。
21
レハブアムがエルサレムに戻ったとき、
彼はユダの全家とベニヤミンの部族を集め、

列王記上

選ばれた十八万人の兵士を集め、
イスラエルの家と戦って王国をソロモンの子レハブ
アムに戻すために戦った。²²

しかし、神の人シェマヤに主の言葉が臨んで言った。
。²³ 「ソロモンの子レハブアム、ユダの王に、
ユダとベニヤミンの全家と残りの民に伝えなさい。
²⁴

『主はこう言われる。あなたたちは上って行っては
ならない、
またあなたたちの兄弟、イスラエルの子らと戦って
はならない。
各々自分の家に帰れ。このことは私から出たことであ
る。』
それで彼らは主の言葉を聞き、主の言葉に従って帰
った。

²⁵
ヤロブアムはエフライムの山地にあるシェケムを築
き、そこに住んだ。
彼はそこから出てベヌエルを建てた。²⁶
ヤロブアムは心の中で考えた、
「今、王国はダビデの家に戻るだろう。²⁷
もしこの民がエルサレムの主の家で犠牲を捧げ続け
るならば、
彼らの心は彼らの主人、
ユダの王レハブアムに戻るだろう。
そして彼らは私を殺し、ユダの王レハブアムに戻る
だろう。」²⁸
それで王は相談し、
二つの金の子牛を作り、
民に言った、
「エルサレムに上るのは大変だ。

イスラエルよ、これがあなたをエジプトの地から連
れ上った神々だ。」²⁹
彼は一つをベテルに置き、
もう一つをダンに置いた。³⁰
この行為は罪を招いた。

民はダンまで行ってその一つを礼拝した。³¹
彼は高き所に神殿を建て、
レビの子孫でない民の中から祭司を任命した。³²
ヤロブアムは八月の十五日にユダでの祭りのような
祭りを制定し、
祭壇に上った。
彼はベテルで同様に行い、彼が作った子牛に犠牲を
捧げた。

彼は彼が作った高き所の祭司をベテルに配置した。
³³

彼は八月の十五日に彼がベテルで作った祭壇に上り
、
彼の心の中で考えた月に、
イスラエルの子らのために祭りを制定し、
祭壇に上って香を焚いた。

13 さて、神の人がユダからベテルに主の言葉
によって来た。
その時、ヤロブアムは香をたくために祭壇

のそばに立っていた。²
彼は主の言葉によって祭壇に向かって叫び、言った
、
「祭壇よ、祭壇よ、主はこう言われる、
『見よ、ダビデの家に一人の子が生まれるであろう
、
その名はヨシヤである。
彼はあなたの上で、高き所の祭司たちを犠牲にし、
彼らはあなたの上で香をたく。
そして人の骨があなたの上で焼かれるであろう。』
」³
その日、彼はしるしを示して言った、
「これは主が宣言されたしるしである。

見よ、祭壇は裂け、
その上の灰はこぼれ出るであろう。」⁴
王が神の人の言葉を聞いたとき、
彼がベテルの祭壇に向かって叫んだ言葉を、
ヤロブアムは祭壇から手を伸ばして言った、
「彼を捕えよ！」

しかし彼が伸ばした手はしおれ、
自分のものに引き戻すことができなかった。⁵
祭壇もまた裂け、
その上の灰は祭壇からこぼれ出た。
これは神の人が主の言葉によって与えたしるしに従
ったものである。⁶
王は神の人に答えて言った、
「どうかあなたの神、主に願って、私のために祈っ
てください、
私の手が元に戻るように。」

そこで神の人は主に願い、
王の手は元に戻り、以前のようになった。⁷
王は神の人を招いて言った、
「私と一緒に家に来て、元気をつけなさい。あなた
に贈り物をあげよう。」⁸

しかし神の人は王に答えて言った、
「たとえあなたが私に財産の半分を与えても、
私はあなたと一緒にいかず、
この場所でパンを食べたり水を飲んだりしません。
⁹
私は主の言葉によって命じられたのです、
『パンを食べてはならず、水を飲んでではなく、
来た道を戻ってはならない。』」¹⁰
彼は別の道を取り、
ベテルにきた道を戻らなかった。

¹¹
さて、ベテルに住んでいた一人の年老いた預言者が
いた。
その息子たちがその日に神の人がベテルで行ったす
べての行いを彼に告げ、
また彼が王に語った言葉を父に告げた。¹²
父は彼らに言った、
「彼はどちらの道を行ったのか？」
息子たちは、ユダから来た神の人が行った道を見て
いた。¹³
彼は息子たちに言った、
「私のためにロバを鞍付けしなさい。」

列王記上

彼らは彼のためにロバを鞍付けし、彼はそれに乗った。¹⁴ 彼は神の人を追ひ、
櫟の木の下に座っている彼を見つけた。

彼は彼に言った、
「あなたはユダから来た神の人ですか？」
彼は答えた、「そうです。」¹⁵

彼は彼を招いて言った、
「私と一緒に家に来て、パンを食べなさい。」¹⁶
しかし彼は言った、
「私はあなたと一緒に戻ることも、同行することもできません、
この場所でパンを食べたり水を飲んだりすることもできません。」¹⁷

私は主の言葉によって命じられたのです、
『そこではパンを食べてはならず、水を飲んでではない。
来た道を戻ってはならない。』¹⁸

しかし彼は彼に言った、
「私もあなたのように預言者です。
そして天使が主の言葉によって私に語って言いました、

『彼をあなたの家に連れ戻し、
彼にパンを食べさせ、水を飲ませなさい。』¹⁹
しかし彼は彼に嘘をついた。

こうして彼は彼と一緒に戻り、彼の家で食事をし、水を飲んだ。

²⁰ さて、彼らが食卓に座っていたとき、
主の言葉が彼を連れ戻した預言者に臨んだ。²¹
彼はユダから来た神の人に宣言して言った、

「主はこう言われる、
『あなたが主の命令に従わず、
あなたの神、主が命じた命令を守らなかったので、
²²

あなたが戻って、パンを食べ、水を飲んだ場所で、
彼があなたに「パンを食べてはならず、水を飲んで
はならない」と言ったのに、

あなたの死体はあなたの父たちの墓に入らないであ
ろう。』²³ 彼がパンを食べ、水を飲んだ後、
彼は彼を連れ戻した預言者のためにロバを鞍付けし
た。²⁴ 彼が行ったとき、

ライオンが道で彼に会い、彼を殺した。
彼の死体は道に投げ出され、
ロバはそのそばに立ち、ライオンも死体のそばに立
っていた。²⁵

見よ、人々が通りがかり、道に投げ出された死体
を見、ライオンがそのそばに立っているのを見た。
彼らはそれを年老いた預言者が住んでいる町で告げ
た。

²⁶ 彼を連れ戻した預言者がそれを聞いたとき、
彼は言った、「それは神の人である、

彼は主の命令に従わなかった。
それゆえ、主は彼をライオンに渡し、
それが彼を裂き、殺した。これは主が彼に語られた
言葉による。」²⁷ 彼は息子たちに命じて言った、
「私のためにロバを鞍付けしなさい。」

彼らはそれを鞍付けした。²⁸
彼は行つて、道に投げ出された彼の死体を見つけた
。

ロバとライオンがその死体のそばに立っていた。
ライオンはその死体を食べず、ロバを襲わなかった
。²⁹ 預言者は神の人の死体を拾い上げ、
それをロバに載せて戻り、
年老いた預言者の町に来て、彼を悼み、葬った。³⁰
彼は彼の死体を自分の墓に置き、
彼らは彼を悼んで言った、「ああ、我が兄弟よ！」

³¹ 彼が彼を葬った後、彼は息子たちに言った、
「私が死んだら、神の人が葬られた墓に私を葬りな
さい。 私の骨を彼の骨のそばに置きなさい。」³²
彼が主の言葉によってベテルの祭壇に向かって叫ん
だ言葉、
サムリアの町々にある高き所の家々に向かって叫ん
だ言葉は、必ず成就するであろう。」

³³ この出来事の後、ヤロブアムはその悪い道を離れず
、再び民の中から高き所の祭司を任命した。
望む者は誰でも任命され、
彼らは高き所の祭司となった。³⁴

この出来事もまたヤロブアムの家にとって罪となり
、それを地の面から滅ぼし、消し去ることとなった。

14 その時期に、ヤロブアムの息子アビヤが病
気になった。² ヤロブアムは妻に言った、
「どうか起きて変装し、あなたがヤロブア
ムの妻であることがわからないようにして、
シロに行ってください。

見よ、預言者アヒヤがそこにいます。
彼は私について、この民の王になると言った者で
す。³ パン十個、ケーキ、蜂蜜の壺を持って行き、
彼のところに行ってください。

彼は少年に何が起こるかを教えてくれるでしょう。
」⁴ ヤロブアムの妻はそのようにし、
出発してシロに行き、アヒヤの家に来た。

アヒヤは年老いて目がかすんでいたので見ることが
できなかった。⁵ しかし主はアヒヤに言われた、
「見よ、ヤロブアムの妻が息子のことであなたに尋
ねに来る。彼は病気だからだ。

彼女にこれこれのことを言いなさい。彼女が来たとき、
彼女は他の人のふりをするだろう。」⁶

列王記上

アヒヤが彼女の足音が戸口に来るのを聞いたとき、
彼は言った、
「入ってください、ヤロブアムの妻よ！
なぜ他の人のふりをしているのですか？
私はあなたに厳しいメッセージを送るために遣わされました。⁷ ヤロブアムに伝えなさい、
『イスラエルの神、主はこう言われる、
「私はあなたを民の中から引き上げ、
私の民イスラエルの指導者として任命した。⁸
そして王国をダビデの家から引き裂いてあなたに与えたが、
あなたは私のしもべダビデのようではなかった。
彼は私の命令を守り、心を尽くして私に従い、
私の目に正しいとされることだけを行った。⁹
あなたはあなたの前にいたすべての者よりも多くの悪を行い、
他の神々を作り、鑄造した像を作り、
私を怒らせ、私を捨て去った。¹⁰
それゆえ、見よ、私はヤロブアムの家に災いをもたらし、
ヤロブアムからイスラエルの中のすべての男、奴隸も自由人も取り除き、
ヤロブアムの家を掃き清める。ちょうどごみを掃き清めるように、すべてがなくなるまで。¹¹
ヤロブアムに属する者で町で死ぬ者は犬が食べ、
野で死ぬ者は空の鳥が食べる。
主がそれを語られたからだ。』¹²
今、あなたは立ち上がって家に帰りなさい。
あなたの足が町に入るとき、子供は死ぬでしょう。¹³
そしてイスラエル全体が彼のために嘆き、彼を葬るでしょう。
彼だけがヤロブアムの家から墓に入るからです。
彼にはイスラエルの神、主に対して良い何かが見出されたからです。 ヤロブアムの家において。¹⁴
さらに、主はご自身のためにイスラエルの上に王を立て、
その日にヤロブアムの家を取り除くでしょう。
今からずっと！¹⁵
主はイスラエルを打ち、ちょうど水の中で葦が揺れるようにし、
彼らの父祖に与えたこの良い地からイスラエルを引き抜き、
ユーフラテス川の向こうに散らすでしょう。
彼らがアシェリムを作り、主を怒らせたからです。¹⁶
そして主はヤロブアムの罪のゆえにイスラエルを見捨てるでしょう。
彼が犯し、イスラエルを罪に導いた罪です。」¹⁷
それからヤロブアムの妻は立ち上がり、去ってティ

ルツアに來た。
彼女が家の敷居を越えたとき、子供は死んだ。¹⁸
そしてイスラエル全体が彼を葬り、彼のために嘆いた。
それは主が彼のしもべ、預言者アヒヤを通して語られた言葉に従ってのことであった。
¹⁹
さて、ヤロブアムの他の行い、彼の戦争と彼の治世については、
見よ、イスラエルの王の年代記の書に記録されている。²⁰
ヤロブアムの治世の期間は二十二年であった。
そして彼は彼の先祖と共に眠り、
彼の息子ナダブが彼の後を継いで王となった。

²¹
さて、ソロモンの息子レハブアムはユダで王となった。
レハブアムは四十一歳で王となり、
エルサレムで十七年間治めた。
エルサレムは主がイスラエルのすべての部族からご自身の名を置くために選ばれた都市である。
彼の母の名はアンモン人のナアマであった。²²
そしてユダは主の目の前で悪を行い、
彼らの父祖が行ったすべてのことよりも多く主を嫉妬させた。 彼らが犯した罪によって。²³
彼らもまた高き所、記念碑、アシェリムを自分たちのために建てた。
すべての高い丘の上とすべての豊かな木の下に。²⁴
また、地には男の神殿娼婦もいた。
彼らは主がイスラエルの子らの前から追い払った国々のすべての忌まわしいことを行った。²⁵
レハブアム王の治世の五年目に、エジプトの王シシャクがエルサレムに進軍した。²⁶
彼は主の家の宝物と王の家の宝物を奪い、
すべてを奪った。
彼はまたソロモンが作ったすべての金の盾を奪った。
。²⁷
それでレハブアム王はそれらの代わりに青銅の盾を作り、
王の家の入口を守る護衛の指揮官たちにそれらを委ねた。²⁸ そして王が主の家に入るたびに、
護衛たちはそれら運び、護衛の部屋に戻した。

²⁹
さて、レハブアムの他の行いと彼が行ったすべてのことについては、
それらはユダの王の年代記の書に記録されているではないか？³⁰
レハブアムとヤロブアムの間には彼らの治世を通じて争いと戦争が続いた。³¹

列王記上

そしてレハブアムは彼の先祖と共に眠り、
ダビデの町に彼らと共に葬られた。
彼の母の名はアンモン人のナアマであった。
そして彼の息子アビヤムが彼の後を継いで王となつた。

15 ネバテの子ヤロブアム王の十八年目に、
アビヤムがユダを治め始めた。²
彼はエルサレムで三年間統治し、
彼の母はアビシャロムの娘マアカであった。³
彼は父が彼の前に犯したすべての罪を歩み、
彼の心は彼の神、主に全く向かっていなかった、
彼の先祖ダビデの心とは異なり。⁴
しかしダビデのために、彼の神、主はエルサレムに
灯を備え、
彼の後に息子を立て、エルサレムを確立した。⁵
ダビデは主の目に正しい行いをし、
彼の生涯のすべての日において、主が命じたことから
逸れなかったからである、
ヒッタイト人ウリヤに関する事を除いて。⁶
レハブアムとヤロブアムの間には彼の生涯を通じて
絶え間ない争いがあった。⁷
アビヤムの他の行いと彼が成し遂げたすべてのことは、
ユダの王の年代記の書に記されていないだろうか。
そしてアビヤムとヤロブアムの間には戦争があった。
。⁸ アビヤムは彼の先祖と共に眠りにつき、
彼らは彼をダビデの町に葬った。
そして彼の息子アサが彼の後を継いで王となった。

⁹ ヤロブアムのイスラエル統治の二十年目に、
アサがユダの王となった。¹⁰
彼はエルサレムで四十一年間統治し、
彼の母はアビシャロムの娘マアカであった。¹¹
アサは彼の先祖ダビデのように、
主の目に正しいことを行った。¹²
彼はまた、国から男の神殿娼婦を追放し、
彼の先祖が作ったすべての偶像を取り除いた。¹³
また彼は母マアカを太后の地位から退けた、
彼女がアシェラとして冒流的な像を作ったからである。
そしてアサは彼女の冒流的な像を切り倒し、キデロ
ンの谷で焼いた。¹⁴
しかし高き所は取り除かれなかった。
それでもアサの心は彼の生涯のすべての日において
主に全く向かっていて、¹⁵ 彼は主の家に、
彼の父の聖なる捧げ物と彼自身の聖なる捧げ物を持
ち込んだ。銀、金、器具である。

16

アサとイスラエルの王バーシャの間には、彼らの統

治期間中ずっと絶え間ない争いと戦争があった。¹⁷
そしてイスラエルの王バーシャはユダに攻め上り、
ラマを要塞化し、
ユダの王アサのもとに出入りする者を妨げた。¹⁸
その時、アサは主の家の財宝と王の家の財宝に残つ
ていたすべての銀と金を取り、
それを彼の家来たちに渡した。
そして王アサはそれをダマスカスに住むアラムの王
、タブリモンの子、ヘジオンの子、ベン・ハダデに
送って言った。¹⁹ 「あなたと私の間に、
私の父とあなたの父の間にあったような条約を結び
ましょう。
見よ、私はあなたに銀と金の贈り物を送りました。
行つて、イスラエルの王バーシャとの条約を破棄し
、彼が私から退くようにしてください。」²⁰
そこでベン・ハダデは王アサの言うことを聞き入れ

、
彼の軍隊の指揮官たちをイスラエルの都市に送り、
彼らはイヨン、ダン、アベル・ベト・マアカ、
キンネロテ全城、ナフタリの全地を征服した。²¹
それを聞くと、バーシャはラマの要塞化をやめ、テ
イルツァに留まった。²²
その後、王アサはユダ全体に告知を出し、誰も免除
されなかった。
彼らはバーシャが建てたラマの石と木材を運び去り
、
王アサはそれでベニヤミンのゲバとミツパを建てた
。

23

さて、アサのすべての行いと彼の力と彼が行ったす
べてのこと、
そして彼が建てた都市は、
ユダの王の年代記の書に記されていないだろうか。
しかし彼の老年の時に、彼は足の病に苦しんだ。²⁴
そしてアサは彼の先祖と共に眠りにつき、彼の父ダ
ビデの町に彼の父たちと共に葬られた。
そして彼の息子ヨシャファテが彼の後を継いで王と
なった。

25

ヤロブアムの子ナダブは、ユダの王アサの二年目に
イスラエルの王となり、
彼はイスラエルを二年間統治した。²⁶
彼は主の目に悪を行い、
彼の父の道と彼がイスラエルに導いた罪に従った。

27

その時、イッサカルの家のアヒヤの子バーシャが彼
に対して陰謀を企て、
バーシャはペリシテ人に属するギベトンで彼を打ち
、

列王記上

ナダブとイスラエル全体がギベトンに包囲している間に彼を打った。²⁸

こうして、パーシャはユダの王アサの三年目に彼を殺し、²⁹ 王位を奪った。

そして彼が王になるとすぐに、彼はヤロブアムの家をすべて打ち倒した。彼はヤロブアムに残る者を一人も残さず、完全に彼らを滅ぼした。

それは主がシロ人アヒヤを通して語られた言葉によるものである。³⁰

それはヤロブアムの罪のためであり、彼が犯し、イスラエルを導いた罪のためであり、彼がイスラエルの神、主を怒らせた挑発のためである。

³¹ さて、ナダブの他の行いと彼が行ったすべてのことは、イスラエルの王の年代記の書に記されていないだらうか。³²

アサとイスラエルの王パーシャの間には、彼らの統治期間中ずっと絶え間ない争いがあった。

³³ ユダの王アサの三年目に、アヒヤの子パーシャがティルツァでイスラエル全体の王となり、³⁴ 二十四年間統治した。彼は主の目に悪を行い、ヤロブアムの道と彼がイスラエルを導いた罪に従った。

16 主からの言葉がハナニの子エフにバアシャについて伝えられた。²

「わたしはあなたを塵から高く引き上げ、わたしの民イスラエルの指導者としたが、あなたはヤロブアムの道を歩み、わたしの民イスラエルに罪を犯させ、³ 彼らの罪によってわたしを怒らせた。見よ、わたしはバアシャとその家を滅ぼし、あなたの家をネバテの子ヤロブアムの家のようにする。⁴

バアシャに属する者で町で死ぬ者は犬が食べ、野で死ぬ者は空の鳥が食べる。」⁵ バアシャのその他の行い、彼の行動とその力については、イスラエルの王たちの年代記の書に記録されているではないか。⁶

バアシャは死んでティルツァに葬られ、⁷ その子エラが彼の後を継いで王となった。さらに、預言者ハナニの子エフを通しての主の言葉が、⁸ バアシャとその家に対しても来た。彼が主の目の前で行ったすべての悪、彼の手の働き

によって主を怒らせたこと、ヤロブアムの家のようであったこと、そしてそれを打ち倒したことのためである。

⁸ ユダの王アサの第**26**年に、バアシャの子エラがティルツァでイスラエルの王となり、⁹ **2**年間治めた。

しかし、彼の家臣で戦車の半分を指揮するジムリが彼に対して陰謀を企てた。

その時、エラはティルツァで、家の管理をしていたアルザの家で酔っていた。¹⁰

ジムリは入ってきて彼を打ち、ユダの王アサの第**27**年に彼を殺し、¹¹ その代わりに王となった。

彼が王となり、即位するとすぐに、バアシャの家のすべての者を打ち倒した。彼は男を一人も残さず、親族も友人も残さなかった。¹²

こうしてジムリはバアシャの家をすべて滅ぼした。それは、主が預言者エフを通してバアシャに対して語られた言葉に従ったものであった。¹³

バアシャのすべての罪とその子エラの罪、彼らが犯し、イスラエルを導いて罪を犯させ、その偶像によってイスラエルの神、主を怒らせたためである。¹⁴

エラのその他の行いと彼が行ったすべてのことについては、イスラエルの王たちの年代記の書に記録されているではないか。

¹⁵ ユダの王アサの第**27**年に、ジムリはティルツァで**7**日間王となった。その時、民はペリシテ人に属するギベトンに包囲していた。¹⁶

包囲していた民は、「ジムリが陰謀を企て、王を打ち倒した」と聞いた。

それでその日、イスラエルのすべての民は陣営で軍の指揮官オムリをイスラエルの王とした。¹⁷

オムリは彼と共にいたイスラエルのすべての者と共にギベトンから進軍し、ティルツァを包囲した。¹⁸

ジムリは町が陥落したのを見て、王宮の城塞に入り、¹⁹ その周りに火を放ち、自らを滅ぼした。

彼が犯した罪のためである。彼は主の目の前で悪を行い、ヤロブアムの道を歩み、²⁰ 彼が犯した罪によってイスラエルに罪を犯させた。

ジムリのその他の行いと彼が行った陰謀については、

列王記上

イスラエルの王たちの年代記の書に記録されているではないか。

²¹ その後、イスラエルの民は二つの派に分かれた。民の半分はギナテの子ティブニに従い、彼を王としようとし、他の半分はオムリに従った。

²² しかし、オムリに従う者たちはギナテの子ティブニに従う者たちよりも強かった。

それでティブニは死に、オムリが王となった。²³ ユダの王アサの第31年に、オムリはイスラエルの王となり、12年間治めた。彼はティルツァで6年間治めた。²⁴

彼はシェメルから銀二タラントでサマリアの丘を買ひ、その丘に町を建て、サマリアと名付けた。それは丘の元の所有者シェメルにちなんでのことである。²⁵

しかし、オムリは主の目の前で悪を行い、彼の前にいたすべての者よりも悪を行った。²⁶ 彼はネバテの子ヤロブアムの道を完全に歩み、イスラエルを誤らせた彼の罪を犯し、その無価値な偶像によってイスラエルの神、主を怒らせた。²⁷

オムリのその他の行いと彼が成し遂げたこと、彼が示した力については、イスラエルの王たちの年代記の書に記録されているではないか。²⁸

オムリは死んでサマリアに葬られ、その子アハブが彼の後を継いで王となった。

²⁹ オムリの子アハブがユダの王アサの第38年にイスラエルの王となり、オムリの子アハブはサマリアで22年間イスラエルを治めた。³⁰

オムリの子アハブは彼の前にいたすべての者よりも主の目の前で悪を行った。³¹

彼にとってヤロブアムの子ネバテの罪を追うことが些細なことのように思えたとき、彼はまたシドン人の王エテバルの娘イゼベルを妻に迎え、バルに仕え、彼を拝んだ。³²

彼はサマリアに建てたバルの家にバルのための祭壇を築いた。³³ アハブはまたアシェラを作った。

こうしてアハブは彼の前にいたすべてのイスラエルの王よりもイスラエルの神、主を怒らせることを多く行った。

³⁴ 彼の時代にベテル人ヒエルがエリコを再建した。彼はその基礎を彼の長子アビラムの犠牲で築き、その門を彼の末子セグブの犠牲で建てた。

これはヌンの子ヨシュアを通して主が語られた言葉に従ったものであった。

17 ギルアデの住民であるティシュベ人エリヤはアハブに言った、
「私が仕えるイスラエルの神、主は生きておられる。

私の言葉によらない限り、この数年間、露も雨も降らないであろう。」²

その時、主の言葉が彼に臨んで言った、
「ここを去り、東へ向かい、ヨルダンの東にあるケリテ川のほとりに身を隠しなさい。」⁴

あなたはその川から水を飲むことができる。そして私はカラスに命じて、そこであなたに食物を運ばせる。」⁵

そこで彼は主の言葉に従って行動し、ヨルダンの東にあるケリテ川のほとりに住んだ。⁶ カラスは朝にパンと肉を彼に運び、夕方にもパンと肉を運び、彼はその川から水を飲んだ。⁷ しばらくして、その川は干上がった。地に雨が降らなかったからである。

⁸ その時、主の言葉が彼に臨んで言った、
「立ち上がり、シドンに属するザレパテに行き、そこに住みなさい。」

見よ、私はそこで一人の未亡人に命じて、あなたに食物を与えさせる。」¹⁰

そこで彼は立ち上がりザレパテに行った。そして町の入口に來た時、見よ、一人の未亡人がそこで薪を集めていた。

彼は彼女に呼びかけて言った、
「どうか、私が飲めるように、少しの水を杯に持ってきてください。」¹¹

彼女がそれを取りに行くと、彼は彼女に呼びかけて言った、

「どうか、あなたの手にあるパンも一切れ持ってきてください。」¹² しかし彼女は言った、

「あなたの神、主は生きておられます。私には食物がなく、ただ一握りの粉が鉢にあり、少しの油が瓶にあります。」

見てください、私は二、三本の薪を集めて、それを私と息子のために調理し、それを食べて死のうとしています。」¹³

するとエリヤは彼女に言った、
「恐れることはありません。あなたが言ったように行いなさい。

しかしまず、それから少しのパンを私のために作り、私のところに持ってきてなさい。

列王記上

その後で、あなたとあなたの息子のために作りなさい。¹⁴ イスラエルの神、主はこう言われます、『主が地の表に雨を降らせる日まで、鉢の粉は尽きず、瓶の油はなくならない。』」¹⁵ 彼女はエリヤが言ったように行い、彼女と彼と彼女の家族は多くの日々食物を得た。¹⁶ 鉢の粉は尽きず、瓶の油もなくならなかった。これは主の言葉がエリヤを通して語られた通りであった。

¹⁷ これらのことの後、その家の女主人の息子が病気になる。彼の病気は非常に重く、ついには息が絶えた。¹⁸ そこで彼女はエリヤに言った、「神の人よ、私と何の関係があるのでしょうか。あなたは私の罪を思い出させ、私の息子を殺すために来たのですか！」¹⁹ しかし彼は彼女に言った、「あなたの息子を私にください。」彼は彼女の腕から彼を取り、彼が泊まっていた屋上の部屋に運び、自分の寝床に彼を横たえた。²⁰ そして彼は主に呼びかけて言った、「私の神、主よ、私が泊まっているこの未亡人にも災いをもたらし、彼女の息子を死なせるのですか？」²¹ 彼は少年の上に三度身を横たえ、主に呼びかけて言った、「私の神、主よ、どうかこの少年の命を彼に戻してください。」²² そして主はエリヤの声を聞き入れ、少年の命は彼に戻り、彼は生き返った。²³ エリヤは少年を取り、屋上の部屋から家に降りてきて、彼を彼の母に渡し、エリヤは言った、「見なさい、あなたの息子は生きています。」²⁴ するとその女はエリヤに言った、「今、私はあなたが神の人であること、そしてあなたの口にある主の言葉が真実であることを確信しました。」

18 長い期間が過ぎた後、主の言葉がエリヤに第三年に臨んだ。彼に命じて言われた、「行って、アハブに会いなさい。そうすれば私は地に雨を降らせる。」² それで、エリヤはアハブに会いに出かけた。その時、サマリヤでは飢饉が激しかった。³ アハブは家の管理をしていたオバデヤを呼び寄せた。（オバデヤは主を非常に敬っていた。⁴ イゼベルが主の預言者たちを滅ぼそうとしたとき、オバデヤは百人の預言者を五十人ずつ洞窟に隠し、パンと水を供給していた。）⁵

それでアハブはオバデヤに言った、「地のすべての水の泉とすべての谷を通り抜けなさい。おそらく草を見つけて馬とラバを生かしておくことができるかもしれない。そうすれば家畜の一部を殺さずに済む。」⁶ それで彼らは地を分けて探索することにした。アハブは一方に行き、オバデヤは他方に行った。⁷ さて、オバデヤが道を進んでいると、見よ、エリヤが彼に会った。彼は彼を認識し、顔を地に伏せて言った、「あなたですか、私の主エリヤ？」⁸ 彼は彼に言った、「はい、私です。あなたの主に伝えなさい、『見よ、エリヤがここにいる』と。」⁹ しかし彼は言った、「私がどんな悪事をしたというのですか、あなたは私の主アハブに私を渡して殺されようとしているのですか？」¹⁰ あなたの神、主が生きておられる限り、私の主があなたを探すために送らなかった国や王国はありません。そして彼らが『彼はここにはいない』と言ったとき、彼はその王国や国にあなたを見つけれないと誓わせました。¹¹ そして今、あなたは私に言っている、『行って、あなたの主に伝えなさい、「見よ、エリヤがここにいる」と。』¹² そして私があなたを離れると、主の霊があなたを私の知らない場所に運ぶでしょう。¹³ それで私が行ってアハブに伝え、彼があなたを見つけれなければ、彼は私を殺すでしょう。私はあなたのしもべであり、若い頃から主を敬ってきました。¹⁴ 私の主に報告されていないでしょうか、イゼベルが主の預言者たちを殺したとき、私は主の百人の預言者を五十人ずつ洞窟に隠し、パンと水を供給していたことを？」¹⁵ 今、あなたは私に言っている、『行って、あなたの主に伝えなさい、「見よ、エリヤがここにいる』と。』¹⁶ そうすれば彼は私を殺すでしょう。」¹⁷ しかしエリヤは言った、「私が立っている万軍の主が生きておられる限り、私は今日彼に必ず自分を示します。」¹⁸ それでオバデヤはアハブに会いに行き、彼に知らせた。そしてアハブはエリヤに会いに行った。¹⁹ アハブがエリヤを見たとき、アハブは彼に言った、

列王記上

「あなたですか、イスラエルを悩ませる者よ？」¹⁸
彼は答えた、
「私はイスラエルを悩ませたのではなく、あなたとあなたの父の家が悩ませたのです。
なぜなら、あなたは主の戒めを捨て、バアルに従ったからです。¹⁹
今、命令を出して、イスラエルのすべての人々をカルメル山に集めなさい。
バアルの預言者**450人**とアシェラの預言者**400人**も一緒に、
彼らはイゼベルの食卓で食事をしています。」

²⁰
それでアハブはイスラエルのすべての子らに命令を出し、
預言者たちをカルメル山に集めた。²¹
するとエリヤはすべての人々に近づいて言った、
「あなたたちはいつまで二つの意見の間をためらうのですか？
もし主が神であるなら、彼に従いなさい。しかしもしバアルが神であるなら、彼に従いなさい。」
しかし人々は彼に一言も答えなかった。²²
するとエリヤは人々に言った、
「私はただ一人、主の預言者として残っていますが、バアルの預言者は**450人**です。²³
今、彼らに二頭の牛を与えなさい。
彼らは自分たちのために一頭の牛を選び、切り分けて、
木の上に置き、火をつけないようにしなさい。
そして私はもう一頭の牛を準備し、木の上に置き、火をつけないでおきます。²⁴
それからあなたたちはあなたたちの神の名を呼び、私は主の名を呼びます。
そして火で答える神が神です。」
すべての人々は答えて、「それは良い提案です」と言った。²⁵
それでエリヤはバアルの預言者たちに言った、
「あなたたちのために一頭の牛を選び、まずそれを準備しなさい。あなたたちは多いからです。
そしてあなたたちの神の名を呼びなさい。しかし火をつけてはなりません。」²⁶
それから彼らは与えられた牛を取り、それを準備し、
朝から正午までバアルの名を呼び続けて言った、
「おおバアルよ、答えてください！」
しかし声はなく、誰も答えなかった。
そして彼らは自分たちが作った祭壇の周りを引きずり回った。²⁷
正午にエリヤは彼らを嘲って言った、
「大声で呼びなさい、彼は神だからです。
おそらく彼は深く考えているか、道を進んでいるか

、旅をしているかもしれません。
あるいは彼は眠っていて目を覚ますでしょう！」²⁸
それで彼らは大声で叫び、
彼らの習慣に従って剣や槍で自分たちを切りつけ、
血が彼らに流れ出るまでそうした。²⁹
正午が過ぎると、彼らは夕方の犠牲の時間まで狂乱状態になった。
しかし声はなく、答えもなく、注意を払う者もいなかった。
³⁰
それからエリヤはすべての人々に言った、「私に近づきなさい。」
それで人々は彼に近づいた。
そして彼は主の祭壇を修復した。それは壊されていた。³¹
それからエリヤは十二の石を取った。
それはヤコブの子らの部族の数を表していた。
主の言葉が彼に臨んで言われた、
「イスラエルがあなたの名となる。」³²
そして彼はその石で主の名において祭壇を築いた。
そして彼は祭壇の周りに溝を作った。それは二セアの種を収容できるほど大きかった。³³
それから彼は木を並べ、牛を切り分けて木の上に置いた。
そして彼は言った、
「四つの壺に水を満たし、焼き尽くす捧げ物と木の上に注ぎなさい。」³⁴
それから彼は言った、「もう一度やりなさい。」
彼らはもう一度それを行った。
それから彼は言った、「三度目をやりなさい。」
彼らは三度目を行った。³⁵
それで水は祭壇の周りに流れ、
彼はまた溝を水で満たした。³⁶
それから夕方の犠牲の時間に、
預言者エリヤが近づいて言った、
「アブラハム、イサク、イスラエルの神、主よ、
今日あなたがイスラエルの神であることを知らしめてください。
そして私はあなたのしもべであり、あなたの言葉に従ってこれらすべてのことを行ったことを。³⁷
私を聞いてください、主よ、私を聞いてください。
この民があなた、主が神であることを知るために、
そしてあなたが彼らの心を戻されたことを。」³⁸
すると主の火が降り、焼き尽くす捧げ物を焼き尽くし、
木、石、塵を焼き尽くし、
溝の中の水を舐め尽くした。³⁹
すべての人々がこれを見たとき、彼らは顔を地に伏せて言った、「主こそ神です。主こそ神です！」
##列王記第一 18:40
それからエリヤは彼らに言った、
「バアルの預言者たちを捕らえなさい。彼らの一人も逃してはならない。」

列王記上

それで彼らは彼らを捕らえた。エリヤは彼らをキシオン川のほとりに連れて行き、そこで彼らを殺した。

41 エリヤはアハブに言った、「上がって行き、食べて飲みなさい。大雨の音がするからです。」 42
それでアハブは上がって行き、食べて飲んだ。しかしエリヤはカルメルの頂上に上がり、地にひざまずき、顔を膝の間に置いた。 43
そして彼はしもべに言った、「今すぐ上がって行き、海の方を見なさい。」
それで彼は上がって行き、見て、「何もありません」と言った。
しかし彼は「戻りなさい」と七度言った。 44
そして彼が七度目に戻って来たとき、彼は言った、「見よ、人の手のように小さな雲が海から上がって来ています。」
エリヤは言った、「上がって行き、アハブに言いなさい、『あなたの戦車を準備し、下って行きなさい。大雨があなたを止めないように。』」 45
その間に空は雲と風で暗くなり、大雨が降った。そしてアハブは乗ってイズレエルに行った。 46
それから主の手がエリヤに臨み、彼は自分のマントを腰に巻き、アハブを追い越してイズレエルに行った。

19 アハブはイゼベルに、エリヤが成し遂げたすべてのこと、特に彼が剣で預言者たちを皆殺したことを報告した。 2
するとイゼベルは使者をエリヤのもとに送り、言った、「もし明日の今頃までに、私があなたの命を彼らの一人の命のようにしなければ、神々が私にこのように、さらにもっと行うように。」 3
エリヤは恐れに満たされ、命を守るために立ち上がり逃げた。
彼はユダに属するベエルシェバに到着し、そこで彼の従者を残した。 4
しかし彼自身は荒野に一日の旅を進み、一本のえにしだの木の下に来て座り、自分の命を絶つことを願い、言った、「もう十分です！主よ、今私の命を取ってください。私は父たちよりも優れていません。」 5
それから彼はえにしだの木の下に横たわり眠りに落ちた。
しかし見よ、天使が彼に触れ、「起きて食べなさい」と言った。 6

彼を見ると、見よ、彼の頭のそばに熱い石で焼かれたパンと 水の入った壺があった。
それで彼は食べて飲み、再び横たわった。 7
しかし主の天使は再び戻って彼に触れ、「起きて食べなさい。
旅はあなたにはあまりにも過酷です」と言った。 8
それで彼は起きて食べて飲み、その食物の力で四十日四十夜を旅し、神の山ホレブに到着した。

9
彼はそこにある洞窟に来て、その中で夜を過ごした。
すると見よ、主の言葉が彼に臨み、彼に言った、「エリヤよ、ここで何をしているのか？」 10
彼は言った、「私は万軍の神、主のために非常に熱心でした。イスラエルの子らはあなたの契約を捨て、あなたの祭壇を壊し、剣であなたの預言者たちを殺しました。
そして私は一人だけ残りましたが、彼らは私の命を取ろうとしています。」 11
すると彼は言った、「出て、主の前で山に立ちなさい。」
見よ、主が通り過ぎていた！
そして大きく強力な風が山々を裂き、主の前で岩を砕いていた。
しかし主は風の中にはおられなかった。
風の後に地震があったが、主は地震の中にはおられなかった。 12
地震の後に火があったが、主は火の中にはおられなかった。
火の後に、穏やかなささやきの声があった。 13
エリヤがそれを聞いたとき、彼は自分の顔を外套で包み、洞窟の入り口に出て立った。
すると見よ、声が彼に臨み、言った、「エリヤよ、ここで何をしているのか？」 14
彼は言った、「私は万軍の神、主のために非常に熱心でした。イスラエルの子らはあなたの契約を捨て、あなたの祭壇を壊し、剣であなたの預言者たちを殺しました。
そして私は一人だけ残りましたが、彼らは私の命を取ろうとしています。」 15
主は彼に指示した、「行け、来た道を戻ってダマスカスの荒野へ行き、そこに着いたら、ハザエルをアラムの王として油注ぎなさい。 16
また、ニムシの子エフをイスラエルの王として油注ぎ、アベル・メホラのシャファテの子エリシャをあなたの代わりに預言者として油注ぎなさい。」 17

列王記上

ハザエルの剣を逃れる者は、エフが殺し、
エフの剣を逃れる者は、エリシャが殺すことになる。
しかし私はイスラエルに七千人を残しておく。
バアルにひざまずかなかつたすべての膝と、彼に口
づけしなかつたすべての口。」

彼はそこを去り、シャファデの子エリシャを見つけた。
彼は十二対の牛で耕しており、
彼はその十二番目の牛と共にいた。
エリヤは彼のそばを通り過ぎ、彼に自分の外套を投げかけた。
すると彼は牛を離れ、エリヤの後を追いかけて言った、
「どうか父と母に口づけさせてください、それから
あなたに従います。」
エリヤは答えた、「戻りなさい、私はあなたに何を
したのか？」
彼は彼の後を追うのをやめ、
牛を取ってそれを犠牲にし、
牛の道具でその肉を煮て、
人々に与え、彼らは食べた。
それから彼は立ち上がりエリヤに従い、彼に仕えた。

さて、アラムの王ベン・ハダデは全軍を集
めた。彼と共に三十二人の王たちがいて、
馬と戦車を伴っていた。彼は進軍し、サマ
リアを包囲して攻撃した。
彼は使者をイスラエルの王アハブのもとに送り、こ
う言った。
「ベン・ハダデがこう言う。『あなたの銀と金は私
のものだ。あなたの最良の妻と子供たちも私のもの
だ。』」
イスラエルの王は答えた。「仰せの通りです、我が
主である王よ。私と私の持っているすべてのものは
あなたのものです。」
すると使者たちは戻ってきて言った。「ベン・ハダ
デがこう言う。私はあなたに銀と金、妻と子供たち
を渡すように言った。」
しかし今、私は明日のこの時間に私のしもべたちを
あなたのもとに送り、彼らはあなたの家とあなたの
役人たちの家を調べる。あなたの目に貴重なものは
何でも取り去る。」

それでイスラエルの王は国のすべての長老たちを召
集し、「この男がどのようにして災いを求めている
かを見てください。彼は私の妻、子供たち、銀、金
を求めてきたが、私は拒まなかつた。」
すべての長老と民は彼に言った。「彼の言うことを

聞いてはならないし、従ってはならない。」
それで彼はベン・ハダデの使者たちに言った。「我
が主である王に伝えてください。あなたのしもべに
最初に要求したすべてのことはお渡ししますが、こ
の二度目の要求には応じられません。」
それで使者たちは去って報告した。
するとベン・ハダデは再び言葉を送り、言った。
「私に従う者たちに一握りの砂を与えるのに十分な
砂がサマリアに残っているなら、神々が私を厳しく
罰するように！」
しかしイスラエルの王は答えた。
「彼に伝えなさい。鎧を着る者がそれを脱ぐ者のよ
うに誇ってはならない。」
ベン・ハダデがこの返事を聞いたとき、彼と他の王
たちは天幕で酒を飲んでいた。
彼は部下に命じた。「攻撃の準備をせよ！」
それで彼らは都市を襲撃する準備をした。

その時、預言者がイスラエルの王アハブのもとに來
て言った。「主がこう言われる。この大軍を見たか
。私は今日それをあなたの手に渡し、あなたは私が
主であることを知るだろう。」
アハブは尋ねた。「誰によって？」
彼は言った。「主がこう言われる。地区総督の若い
将校たちによって。」
アハブはさらに尋ねた。「誰が戦いを始めるのか？」
彼は答えた。「あなたが始める。」
それでアハブは地区総督の若い将校たちを召集し、
合計232人だった。
それから彼は残りの軍隊、すべてのイスラエル人を
集めた。その数は七千人だった。
彼らは正午に出撃したが、ベン・ハダデと彼と共に
いた三十二人の王たちは天幕で酔っていた。
地区総督の若い将校たちがまず出て行った。
ベン・ハダデは斥候を送り、報告を受けた。「サマ
リアから人々が進軍してきています。」
彼は言った。「もし彼らが和平のために来たなら、
生け捕りにせよ。もし戦争のために来たなら、生け
捕りにせよ。」
それで地区総督の若い将校たちは軍隊を引き連れて
都市から進軍した。
それぞれが対戦手を打ち倒し、アラム人は逃げた

。イスラエルは彼らを追撃し、アラムの王ベン・ハダ
デは騎兵の一部と共に馬で逃げた。
それからイスラエルの王は出撃し、馬と戦車を打ち
倒し、アラム人に大敗を与えた。

列王記上

22

その後、預言者がイスラエルの王のもとに来て言った。

「行って自らを強化せよ。何をすべきかを慎重に考えよ。

春にはアラムの王が再びあなたに向かって来るだろう。」²³

一方、アラムの王の役人たちは彼に言った。

「彼らの神々は山の神々だ。それゆえ、彼らは我々よりも強かった。

しかし、もし我々が平地で彼らと戦えば、きっと我々は彼らよりも強いだろう。」²⁴

こうしなさい。すべての王たちを指揮から外し、司令官に置き換えよ。」²⁵

また、失った軍隊と同じように軍を集めよ。馬には馬、戦車には戦車を。

そうすれば、我々は平地で彼らと戦うことができる。そうすれば、きっと彼らを打ち負かすことができる。」彼は同意し、彼らの助言に従った。

26

春が来ると、ベン・ハダデはアラム人を集め、アフエクに上ってイスラエルと戦うために出撃した。²⁷ イスラエル人もまた召集され、食糧を支給され、彼らを迎え撃つために出撃した。

イスラエルの民は彼らの前に二つの小さな山羊の群れのように陣取ったが、アラム人はその地を埋め尽くしていた。」²⁸

その時、神の人がイスラエルの王に来て言った。

「主がこう言われる。アラム人が言ったからだ。

『主は山の神であり、谷の神ではない』と。

私はこの大軍をあなたの手に渡し、あなたは私が主であることを知るだろう。」

29

彼らは七日間向かい合って陣を張った。七日目に彼らは戦いを始め、イスラエル人は一日でアラム人の歩兵十万人を打ち倒した。」³⁰

残りはアフエクの町に逃げ込み、そこで壁が崩れて二万七千人が死んだ。

ベン・ハダデは逃げて、町の奥の部屋に隠れた。³¹ 彼の役人たちは彼に言った。

「見てください、イスラエルの王たちは慈悲深いと聞いています。

我々は粗布をまとい、頭に縄を巻いてイスラエルの王のもとに行きましょう。

おそらく彼はあなたの命を助けてくれるでしょう。」³²

それで彼らは粗布と縄を身に着け、イスラエルの王のもとに行き、

「あなたのしもべベン・ハダデが言います。どうか私を生かしてください。」

アハブは答えた。「彼はまだ生きているのか？彼は私の兄弟だ。」³³

その人々はそれを良い兆しと受け取り、すぐに答えた。「はい、ベン・ハダデはあなたの兄弟です。」

アハブは言った。「行って彼を連れて来なさい。」それでベン・ハダデは出てきて、アハブは彼を戦車に乗せた。」³⁴

ベン・ハダデは言った。「私の父があなたの父から取った町々を返しましょう。

あなたはダマスコに市場を設けることができます。

私の父がサマリアで行ったように。」

アハブは言った。「この協定に基づいて、私はあなたを解放します。」

それで彼は彼と条約を結び、彼を解放した。

35

さて、預言者の子たちの一人が主の言葉によって隣人に言った。「私を打ってください。」

しかし、その人は彼を打つことを拒んだ。」³⁶

それで預言者は彼に言った。

「あなたが主の声に従わなかったので、私を去るとすぐに、ライオンがあなたを殺すだろう。」

そして彼が去るとすぐに、ライオンが彼を見つけて殺した。」³⁷

彼は別の人に近づき、頼んだ。「私を打ってください。」その人は彼を打ち、傷つけた。」³⁸

それから預言者は行って道で王を待ち、目に包帯を巻いて変装した。」³⁹

王が通り過ぎると、彼は彼に叫んだ。

「あなたのしもべは戦いの中に入り、誰かが脇にそれて一人の男を私のもとに連れてきて言った。」

『この男を守れ。もし彼がいなくなったら、あなたの命は彼の命の代わりとなり、さもなければ銀一タラントを支払わなければならない。』⁴⁰

しかし、あなたのしもべがあちこちで忙しくしている間に、その男は消えてしまった。」

イスラエルの王は彼に言った。「それがあなたの判断だ。あなた自身がそれを決めた。」⁴¹

すると預言者はすぐに目から包帯を取り除き、イスラエルの王は彼を預言者の一人だと認識した。

⁴² 彼は王に言った。「主がこう言われる。あなたが私が滅ぼすと定めた男を手から逃したので、

あなたの命は彼の命の代わりとなり、あなたの民は彼の民の代わりとなる。」⁴³

列王記上

それでイスラエルの王は家に帰り、ふてくされて怒り、サマリアに来た。

21 これらのこの後、イズレエル人ナボテには、サマリアの王アハブの宮殿の隣に、イズレエルにブドウ畑があった。 2

アハブはナボテに言った、「あなたのブドウ畑を私に譲って、野菜畑にさせてください。それは私の宮殿の近くにあるからです。私はその代わりに、もっと良いブドウ畑をあなたに与えます。もしあなたが望むなら、その価値を銀で支払います。」 3

しかしナボテはアハブに言った、「主が禁じられたことです。私は先祖の相続地をあなたに譲ることはできません。」 4

それでアハブは家に帰り、イズレエル人ナボテが「私は先祖の相続地をあなたに譲らない」と言ったために、ふてくされて怒っていた。彼はベッドに横たわり、顔を背けて食事を拒んだ。

5 彼の妻イゼベルが入ってきて、「なぜそんなに気を落としているのですか？なぜ食事をしないのですか？」と尋ねた。 6

彼は答えた、「私はイズレエル人ナボテに話しかけ、彼のブドウ畑を売ってくれるように、または彼が望むなら交換してくれるように頼んだ。しかし彼は『私はあなたに私のブドウ畑を譲らない』と答えた。」 7

彼の妻イゼベルは言った、「これがイスラエルの王としての振る舞いですか？立ち上がって何か食べてください。元気を出してください。私がイズレエル人ナボテのブドウ畑をあなたに手に入れます。」 8

そこで彼女はアハブの名で手紙を書き、それに彼の印を押し、ナボテの町に住む長老たちと貴族たちに送った。 9 その手紙にはこう書かれていた：「断食を宣言し、ナボテを民の中で目立つ場所に座らせなさい。」 10

しかし、彼の向かいに二人の悪党を座らせ、彼が神と王を呪ったと証言させなさい。それから彼を連れ出して石で打ち殺しなさい。」

11 それでナボテの町の人々、そこに住む長老たちと貴族たちは、イゼベルが彼らに送った手紙に書かれていた通りに行った。 12

彼らは断食を宣言し、ナボテを民の中で目立つ位置に置いた。 13

すると二人の無価値な者が入ってきて、彼の向かいに座り、民の前で証言して言った、「ナボテは神と王を呪った。」

それで彼らは彼を町の外に連れ出し、石で打ち殺し

た。 14
その後、彼らはイゼベルに知らせた、「ナボテは石で打たれ、死にました。」

15 イゼベルがナボテが石で打たれ、死んだと聞くと、彼女はアハブに言った、
「立ち上がって、あなたが売ってくれと言ったイズレエル人ナボテのブドウ畑を手に入れなさい。彼はもう生きていない、死んでいるのです。」 16
アハブはナボテが死んだと聞くと、立ち上がり、ブドウ畑を手に入れるためにそこへ下って行った。

17 主の言葉がティシユベ人エリヤに臨んだ、それは： 18

「サマリアで治めているイスラエルの王アハブに会いに行け。彼は今、ナボテのブドウ畑にいる、そこに行つてそれを手に入れようとしている。 19
彼に言え：『これは主が言われることです：あなたは殺害し、さらに所有するのか？』

それから彼に言え、『これは主が言われることです：犬がナボテの血を舐めた場所で、犬があなたの血も舐めるだろうーそう、あなたの血を！』」 20
アハブはエリヤに言った、「あなたは私を見つけたのですね、私の敵よ！」

エリヤは答えた、「私はあなたを見つけました、なぜならあなたは主の目の前で悪を行うために自分を売ったからです。 21
これは主が言われることです：

『私はあなたに災いをもたらす。私はあなたの子孫を一掃し、イスラエルのアハブから奴隷も自由人もすべて断ち切る。 22

私はあなたの家をネバテの子ヤロブアムの家のようにし、アヒヤの子バアシャの家のようにする、なぜならあなたは私の怒りを引き起こし、イスラエルに罪を犯させたからです。』 23

そしてイゼベルについて、主も言われる：『犬がイズレエルの壁のそばでイゼベルを食べるだろう。』 24

犬はアハブに属する者で町で死ぬ者を食べ、鳥は野で死ぬ者を食べるだろう。」

25 アハブのように、主の目の前で悪を行うために自分を売った者は誰もいなかった、それは彼の妻イゼベルによって影響を受けた。 26

彼は偶像に従うことによって最も忌まわしい行動をした、それは主がイスラエルの前から追い出したアモリ人が行ったように。

27

アハブはこれらの言葉を聞いたとき、彼は服を裂き、
荒布をまとい、断食した。

彼は荒布をまとして静かに謙虚に歩いた。 28

主の言葉がティシュベ人エリヤに臨んだ： 29

「アハブが私の前でどのように謙虚になったか見た
か？

彼が謙虚になったので、私は彼の生涯には災いをも
たらさない。

私は彼の家にその災いを彼の息子の日に下す。」

22 3年間、アラムとイスラエルは争いをしな
かった。 2

しかし、3年目にユダの王ヨシャバテはイ
スラエルの王を訪れた。 3

イスラエルの王は家臣たちに言った、「ラモテ・ギ
レアドは我々のものであることを知らないのか？
それなのに、我々はアラムの王からそれを取り戻す
ために何もしていない。」 4

そこで彼はヨシャバテに尋ねた、「ラモテ・ギレ
アドでの戦いに一緒に行ってくださいませんか？」

ヨシャバテはイスラエルの王に答えた、「私はあな
たと同じです。私の民はあなたの民と同じ、私の馬
もあなたの馬と同じです。」

5

しかしヨシャバテはイスラエルの王に言った、「ま
ず、主の言葉を求めましょう。」 6

そこでイスラエルの王は預言者たちを集めた一
約400人—

そして彼らに尋ねた、「ラモテ・ギレアドに戦い
に行くべきか、それとも控えるべきか？」

彼らは答えた、「行きなさい、主がそれを王の手に
渡されるでしょう。」 7

しかしヨシャバテは尋ねた、「ここにまだ主の預
言者がいて、私たちが尋ねることができるのではあり
ませんか？」 8

イスラエルの王はヨシャバテに言った、「まだ主
に尋ねることができる男が一人いますが、私は彼を憎
んでいます。彼は私について良いことを預言したこ
とがなく、災いだけです。彼はイムラの子ミカヤで
す。」

ヨシャバテは答えた、「王はそうのように言っ
てはいけません。」 9

そこでイスラエルの王は役人呼び、「すぐにイ
ムラの子ミカヤを連れて来なさい」と言った。

10

さて、イスラエルの王とユダの王ヨシャバテは、サ
マリアの門の入口にある打ち場で、衣をまとして王
座に座っており、すべての預言者が彼らの前で預言

していた。

11

ケナアナの子ゼデキヤは鉄の角を作り、言った、「
これは主が言われることです。これでアラム人を突
き刺し、彼らを滅ぼすでしょう。」 12

すべての預言者は同じことを預言していた、「ラモ
テ・ギレアドに上って勝利しなさい、主がそれを王
の手に渡されるでしょう。」

13

ミカヤを呼びに行った使者は彼に言った、「見てく
ださい、預言者たちの言葉はすべて一致しており、
王に成功を約束しています。あなたの言葉も彼らの
ようにし、好意的に話してください。」 14
しかしミカヤは言った、「主が生きておられる限り
、私は主が私に告げることを言います。」

15

彼が王の前に来たとき、王は彼に尋ねた、「ミカ
ヤよ、ラモテ・ギレアドに戦いに行くべきか、それ
とも行かないべきか？」

彼は答えた、「行きなさい、そして勝利しなさい、
主がそれを王の手に渡されるでしょう。」 16

王は彼に言った、「主の名によって真実だけを話
すように何度も言わせる必要がありますか？」 17

するとミカヤは言った、
「私はイスラエル全体が山々に散らされているの
を見ました、羊飼いのいない羊のように、

そして主は言われました、『これらの人々には主
人がいない。各々が自分の家に平和に帰るがよい
。』」

18

イスラエルの王はヨシャバテに言った、「彼が私
について良いことを預言せず、災いだけを預言する
と言ったではないか？」 19

ミカヤは言った、「それゆえ、主の言葉を聞きな
さい：

私は主がその御座に座っておられるのを見まし
た、天の軍勢がその右と左に立っていました。 20

そして主は言われました、『誰がアハブをそ
のかしてラモテ・ギレアドで倒れるようにするか？』

ある者はこう言い、またある者はああ言った。 21
すると霊が主に近づいて言った、『私が彼をそ
のかします。』 22

『どうやって？』主は尋ねました。
『すべての預言者の口に偽りの霊となって』と彼は
言った。

主は言われました、『あなたは彼をそのかすこ
とに成功する。行ってそれをしなさい。』 23

だから今、主はあなたのこれらの預言者の口に偽
り

列王記上

の霊を置かれました。

主はあなたに災いを宣告されました。」

24

するとケナアナの子ゼデキヤはミカヤに近づき、彼の頬を打った。

彼は言った、「主の霊が私からどのようにしてあなたに話すために行ったのか？」

25

ミカヤは答えた、「あなたが内室に隠れる日にこれを知るでしょう。」

26

イスラエルの王は命じた、「ミカヤを捕らえ、町の総督アモンと王の子ヨアシュのもとに送りなさい、

27

そして言いなさい、『これは王が言うことです：この男を牢に入れ、私が無事に戻るまでパンと水だけを与えなさい。』」

28

しかしミカヤは宣言した、「もしあなたが無事に戻るなら、主は私を通して語られなかったことになりました。」

そして彼は付け加えた、「すべての人々よ、注意しなさい！」

29

それゆえ、イスラエルの王とユダの王ヨシャパテはラモテ・ギレアデに進んだ。

30

イスラエルの王はヨシャパテに言った、「私は戦いに行くときに変装しますが、あなたは王の衣を着てください。」

それでイスラエルの王は変装して戦いに出た。

31

その間に、アラムの王は32人の戦車隊長に命じていた、「誰とも戦わず、イスラエルの王だけを狙え。」

32

戦車隊長たちがヨシャパテを見たとき、彼らは「確かにこれはイスラエルの王だ」と思った。それで彼らは彼を攻撃しようと向かったが、ヨシャパテは叫んだ。

33

戦車隊長たちは彼がイスラエルの王ではないと見たとき、彼から離れた。

34

しかし、誰かが偶然に弓を引いてイスラエルの王を鎧の継ぎ目の間に射た。

彼は戦車の御者に言った、「回れ右して私を戦場から連れ出してくれ、私は傷を負っている。」

35

その日、戦いは激しく、王はアラム人に向かって戦車の中で支えられていた。

しかし、傷からの血が戦車の床に流れ、その夕方彼は死んだ。

36

日没時に、軍全体に叫び声が上がった、「各々が自分の町に帰れ、各々が自分の土地に帰れ！」

37

こうして、王は死に、サマリアに運ばれ、そこに葬

られた。

38

彼らはサマリアの池で戦車を洗い、娼婦たちがそこで水浴びをし、犬たちが彼の血を舐めた。これは主の言葉が語った通りであった。

39

さて、アハブのその他の行い、彼が行ったすべてのこと—彼が建てた象牙の宮殿と彼が強化した都市—は、イスラエルの王の年代記の書に書かれているのではないか？

40

アハブは先祖と共に眠り、その子アハズヤが彼の後を継いで王となった。

41

アサの子ヨシャパテは、イスラエルの王アハブの第4年にユダの王として即位した。

42

ヨシャパテは35歳で即位し、エルサレムで25年間統治した。彼の母の名はシルヒの娘アズバであった。

43

彼は父アサの道を歩み、それから逸れることなく、主の目にかなうことを行った。

しかし、高き所は取り除かれず、民はそこで犠牲を捧げ、香を焚き続けた。

44

ヨシャパテはイスラエルの王と平和な関係を保った。

45

ヨシャパテのその他の行い、彼が行った力強い業績と戦った戦い—

は、ユダの王の年代記の書に書かれているのではないか？

46

彼は父アサの時代から残っていた男の神殿娼婦を地から取り除いた。

47

エドムには王がいなかったので、代わりに副王が治めていた。

48

ヨシャパテはタルシシュの船を建造し、金を求めてオフィルに航海しようとしたが、彼らは出航せず、エツィオン・ゲベルで難破した。

49

この期間中、アハブの子アハズヤはヨシャパテに提案した、「私の人々をあなたの人々と一緒に航海させてください。」しかしヨシャパテは断った。

50

ヨシャパテは先祖と共に眠り、彼の父ダビデの町に彼らと共に葬られた。

そして彼の子ヨラムが彼の後を継いで王となった。

51

アハブの子アハズヤは、ユダの王ヨシャパテの第17年にサマリアでイスラエルの王として即位し、2年間イスラエルを統治した。

52

彼は主の目に悪を行い、父と母の道を歩み、イスラ

列王記上

エルに罪を犯させたネバテの子ヤロブアムの道を歩
んだ。

53

彼はバアルに仕え、礼拝し、イスラエルの神、主を
怒らせた。それは彼の父がした通りであった。

列王記下

1 アハブの死後、モアブはイスラエルに対して反乱を起こした。²

さて、アハズヤはサマリアの上の部屋の格子から落ちて怪我をした。

それで彼は使者を送り、彼らに言った、「行ってエクロンの神バアル・ゼブブに、この怪我から回復するかどうかを尋ねなさい。」³

しかし、主の使いはティシュベ人エリヤに言った、「サマリアの王の使者たちに会いに行つて、彼らに言いなさい、

『イスラエルに神がいないので、あなたたちはエクロンの神バアル・ゼブブに相談しに行くのか？』⁴
それゆえ、主はこう言われる：あなたは横たわっている床から離れることはない。あなたは確かに死ぬであろう。』」それでエリヤは行つた。

5
使者たちが戻ると、王は尋ねた、「なぜ戻ってきたのか？」⁶

彼らは答えた、「ある男が私たちに会いに来て言いました、

『あなたを送った王に戻つて言いなさい、主はこう言われる：イスラエルに神がいないので、あなたはエクロンの神バアル・ゼブブに相談するために人を送るのか？

それゆえ、あなたは横たわっている床から離れることはない。あなたは確かに死ぬであろう。』」⁷

王は彼らに尋ねた、「あなたたちに会いに来てこのことを言ったのはどんな人だったのか？」⁸

彼らは答えた、「彼は毛皮の衣をまとい、腰に革の帯を締めた男でした。」

王は言った、「それはティシュベ人エリヤだ。」

9
それから王は五十人の部隊長をエリヤのもとに送つた。

彼は丘の上に座っているエリヤのもとに行き、彼に言った、

「神の人よ、王が『降りて来い！』と言っています。」¹⁰ エリヤは部隊長に答えた、

「もし私が神の人であるなら、天から火が降りてきてあなたとあなたの五十人を焼き尽くすであろう。」

すると天から火が降りてきて部隊長とその部下を焼き尽くした。¹¹

これを受けて、王はもう一人の五十人の部隊長を送つた。

彼はエリヤに言った、「神の人よ、王が『すぐに降りて来い！』と言っています。」¹²

エリヤは答えた、

「もし私が神の人であるなら、天から火が降りてきてあなたとあなたの五十人を焼き尽くすであろう。」

すると神の火が天から降りてきて彼らを焼き尽くした。

13
それで王は三度目の五十人の部隊長を送つた。この三度目の部隊長はエリヤのもとに行き、ひざまずいて彼に懇願した、

「神の人よ、どうか私の命とこれら五十人のあなたのしもべたちの命を尊重してください。」¹⁴

見よ、火が天から降りてきて最初の二人の部隊長とその部下たちを焼き尽くしました。

しかし今、どうか私の命をあなたの目に尊いものとしてください。」¹⁵

すると主の使いはエリヤに言った、「彼と一緒に降りて行きなさい。恐れることはない。」

それでエリヤは立ち上がり、彼と一緒に王のもとに降りて行つた。

16
彼は王に言った、「主はこう言われる：あなたはエクロンの神バアル・ゼブブに相談するために使者を送つた。

それはイスラエルに神がいないからか？

それゆえ、あなたは横たわっている床から離れることはない。あなたは確かに死ぬであろう。」¹⁷

それでアハズヤは、エリヤによって語られた主の言葉どおりに死んだ。

彼には息子がいなかったので、ヨラムがユダの王ヨシャファテの子ヨラムの第二年に彼の後を継いで王となった。

18
アハズヤのその他の行為と彼が行つたことについては、

イスラエルの王たちの年代記の書に記されているのではないか？

2
主がエリヤをつむじ風で天に上げようとする時が近づいたとき、エリヤとエリシャはギルガルから旅をしていた。²

エリヤはエリシャに言った、「ここに留まっていなさい。主が私をベテルに遣わされたから。」

しかしエリシャは言った、「主が生きておられる限り、またあなたが生きておられる限り、私はあなたを離れません。」

それで彼らはベテルに下つて行つた。³

ベテルの預言者の仲間がエリシャのところに出てきて尋ねた、

「今日、主があなたの主人をあなたから取り去ろう

列王記下

としていることを知っていますか？」
彼は答えた、「はい、知っています」
静かにしてください。」
それからエリヤは彼に言った、「エリシャ、ここに留まっていなさい。主が私をエリコに遣わされたから。」
しかし彼は答えた、「主が生きておられる限り、またあなたが生きておられる限り、私はあなたを離れません。」
それで彼らはエリコに行った。
エリコの預言者の仲間がエリシャに近づいて言った、
「今日、主があなたの主人をあなたから取り去ろうとしていることを知っていますか？」
そして彼は答えた、「はい、知っています。静かにしてください。」
それからエリヤは彼に言った、「ここに留まっていなさい。主が私をヨルダンに遣わされたから。」
しかしエリシャは答えた、「主が生きておられる限り、またあなたが生きておられる限り、私はあなたを離れません。」
それで二人は歩き続けた。
預言者の仲間のうち五十人が行って、エリヤとエリシャがヨルダンで立ち止まった場所を遠くから見守っていた。
それからエリヤは自分の外套を取り、それを巻いて水を打った。
水は左と右に分かれ、二人は乾いた地を渡った。
彼らが渡ったとき、エリヤはエリシャに言った、「私があなたから取り去られる前に、あなたのために何をするか求めなさい。」
エリシャは言った、「あなたの霊の二倍の分け前を私にください。」
エリヤは答えた、「あなたは難しいことを求めました。
しかし、もし私があなたから取り去られるときにあなたが私を見るなら、それはあなたのものとなりますでしょう」
さもなければ、そうではありません。」
彼らが歩きながら話していると、突然火の戦車と火の馬が現れ、二人を分けた。
そしてエリヤはつむじ風で天に上がった。
エリシャはそれを見て叫んだ、「私の父よ、私の父よ！イスラエルの戦車とその騎兵よ！」
そしてエリシャは彼をもう見なかった。
それから彼は自分の衣服をつかんで二つに裂いた。

「エリヤの神、主はどこにおられるのか？」
彼は水を打つと、それは左と右に分かれ、エリシャは渡った。
エリコから見ていた預言者の仲間が彼を見たとき、彼らは言った、
「エリヤの霊が今やエリシャの上にある。」
そして彼らは彼に会いに来て、彼の前に地にひれ伏した。
彼らは彼に言った、「見てください、あなたのしもべたちには五十人の強い男がいます。彼らを行かせてあなたの主人を探させてください。」
おそらく主の霊が彼を持ち上げて山か谷に下ろしたのかもしれませんが。」
しかしエリシャは答えた、「彼らを送らないでください。」
しかし彼らは彼が拒むのを恥じるまでしつこく言った。それで彼は言った、「彼らを送りなさい。」
そして彼らは五十人を送り、三日間探したが、彼を見つげなかった。
彼らがエリコに留まっていたエリシャのところに戻ったとき、彼は彼らに言った、「行かないようにと言わなかったか？」
町の人々はエリシャに言った、「見てください、私たちの主はこの町が良い場所にあることをご覧になれるが、水が悪く、土地が不毛です。」
エリシャは指示した、「新しい鉢を持ってきて、塩を入れなさい。」
それで彼らはそれを彼に持ってきた。
それから彼は泉に出て行き、そこに塩を投げ入れ、言った、「主はこう言われる、この水を癒した。もう二度と死をもたらすことも、土地を不毛にすることもない。」
そしてその水は今日まで純粋なままであり、エリシャが宣言したとおりである。
そこからエリシャはベテルに上った。
彼が道を歩いていると、町から少年たちが出てきて彼を嘲笑し、言った、「上って行け、はげ頭よ！上って行け、はげ頭よ！」
彼は振り返り、彼らを見て、主の名によって彼らを呪った。
すると二頭の熊が森から出てきて、少年たち四十二人を襲った。
そこからエリシャはカルメル山に行き、そしてサムリアに戻った。

列王記下

3 ユダの王ヨシヤファテの十八年に、アハブの子
ヨラムがサマリアでイスラエルの王となり、十
二年間王位にあった。 2

彼は主の目の前に悪を行ったが、父と母のようでは
なかった。

彼は父が作ったバアルの聖なる柱を取り除いたから
である。 3

しかし、彼はネバテの子ヤロブアムの罪に固執し、
イスラエルに罪を犯させた。

彼はそれらから離れなかった。

4 さて、モアブの王メシャは羊を飼う者で、イスラエ
ルの王に十万の子羊と十万の雄羊の毛を貢納してい
た。 5

しかし、アハブの死後、モアブの王はイスラエルの
王に対して反逆した。 6

そこで、ヨラム王はその時サマリアを出発し、イス
ラエル全軍を召集した。 7

彼はまたユダの王ヨシヤファテにこのメッセージを
送った。

「モアブの王が私に反逆しました。あなたは私と一
緒にモアブと戦いに行きますか？」

ヨシヤファテは答えた、「私はあなたと同じです。
私の民はあなたの民と同じ、私の馬はあなたの馬と
同じです。」 8

それから彼は尋ねた、「どの道を行きましょうか？」
ヨラムは答えた、「エドムの荒野を通して。」

9 そこで、イスラエルの王、ユダの王、エドムの王が
出発した。

七日間の回り道の行進の後、軍隊や彼らに従う動物
のための水がなかった。 10

するとイスラエルの王は言った、「ああ！
主はこれら三人の王を召して、モアブの手に渡すた
めに集めたのだ！」 11

しかしヨシヤファテは言った、「ここに主の預言者
はいないのか、私たちが主に伺うことができるよう
に？」

イスラエルの王の一人のしもべが答えた、「シャフ
ファテの子エリシャがここにいます。彼はエリヤの手
に水を注いでいました。」 12

ヨシヤファテは言った、「主の言葉は彼と共にあり
ます。」

それでイスラエルの王、ヨシヤファテ、エドムの王
は彼のもとに下った。

13 エリシャはイスラエルの王に言った、
「私があなたと何の関係があるのか？」

あなたの父の預言者と母の預言者のところに行きな

さい。」

しかしイスラエルの王は彼に言った、「いいえ、主
が私たち三人の王を集めて、モアブに渡すためです
。」 14

エリシャは言った、
「私が仕える万軍の主が生きておられる限り、
もし私がユダの王ヨシヤファテの存在を考慮しなけ
れば、

私はあなたを見向きもしないし、注意もしないでし
ょう。 15 しかし今、音楽家を連れてきなさい。」
そして音楽家が演奏すると、主の手がエリシャに臨
んだ。 16

彼は言った、「これは主が言われることです。この
谷を溝で満たしなさい。 17

これは主が言われることです。

あなたは風も雨も見ないでしょう、

しかしこの谷は水で満たされ、
あなたとあなたの家畜とあなたの動物は飲むでし
ょう。

18 これは主の目には簡単なことです。
彼はまたモアブをあなたの手に渡すでしょう。 19

あなたはすべての要塞都市とすべての主要な町を征
服するでしょう。

あなたはすべての良い木を切り倒し、すべての泉を
塞ぎ、すべての良い畑を石で覆うでしょう。

20 翌朝、朝のいけにえの時間に、
突然エドムの方向から水が来て、地は水で満たされ
た。

21 さて、すべてのモアブ人は、王たちが彼らと戦うた
めに上ってきたことを聞き、

武器を持つことができる年齢のすべての男が召集さ
れ、国境に配置された。 22

彼らが朝早く起きると、太陽が水に輝いていて、
モアブ人にはそれが血のように赤く見えた。 23

彼らは言った、「これは血だ！

王たちは戦って互いを殺した。

今、略奪しよう、モアブ！」 24

しかしモアブ人がイスラエルの陣営に来たとき、イ
スラエル人は立ち上がって彼らを打ち倒した。

彼らはイスラエルの前から逃げ、イスラエルは彼ら
を追ひ、彼らを打ち倒した。 25

彼らは都市を破壊し、

すべての良い畑に石を投げてそれを覆うまで、
すべての泉を塞ぎ、すべての良い木を切り倒した。

ただキル・ハレセテだけが残され、しかしそれも投
石兵によって囲まれ攻撃された。

列王記下

²⁶ モアブの王は戦いが自分に不利であるのを見て、七百人の剣士を連れてエドムの王に突破しようとしたが、成功しなかった。²⁷ それから彼は自分の後を継ぐはずの長男を取り、城壁の上で焼き尽くす捧げ物として捧げた。大きな怒りがイスラエルに臨み、彼らは彼から撤退し、自分の地に戻った。

4 預言者の弟子たちの妻の一人がエリシャに叫びました、

「あなたのしもべである私の夫は死にました。そしてあなたは、彼が主を恐れていたことを知っています。」

今、債権者が来て、私の二人の子供を奴隷として連れて行こうとしています。」²

エリシャは彼女に答えました、

「どうすればあなたを助けられるでしょうか？ どうか教えてください、あなたの家には何がありますか？」

彼女は答えました、
「あなたのしもべには、家には油の壺しかありません。」³

すると彼は言いました、
「行って、他の場所から、すべての隣人から、空の器を借りてきなさい。少しだけではなく。」⁴

それから、あなたとあなたの息子たちの後ろでドアを開けて、油をこれらすべての容器に注ぎなさい。そして、それが満たされたら、それぞれを脇に置きなさい。」⁵

彼女は彼を離れて、息子たちと一緒にドアを閉めました。

彼らは彼女に容器を持ってき続け、彼女は注ぎ続けました。⁶

容器が満たされたとき、彼女は息子に言いました、
「もう一つ容器を持ってきて。」

しかし彼は彼女に言いました、「もう一つもありません。」⁷ すると油は止まりました。

彼女は神の人に知らせにきました。
そして彼は彼女に指示しました、

「行って、油を売り、借金を返しなさい。そしてあなたとあなたの息子たちは残りで生活できます。」

⁸ ある日、エリシャがシュネムに行ったとき、そこに著名な女性がいて、彼に食事をするように勧めました。

彼が通るたびに、彼はそこに立ち寄って食事をしました。⁹

彼女は夫に言いました、
「今見てください、私はこの方が神の聖なる人であることを知っています。彼は私たちのところを常に通ります。」¹⁰

どうか、小さな壁で囲まれた上の部屋を作りましょう。

そこに彼のためにベッドとテーブル、椅子、燭台を置きましょう。

彼が私たちのところに来るとき、そこに立ち寄ることができます。」¹¹

ある日、彼はそこに来て、上の部屋に入り、そこに横たわりました。¹²

彼はしもべゲハジに言いました、

「このシュネムの女性を呼びなさい。」

彼は彼女を呼び、彼女は彼の前に立ちました。¹³

彼は彼に言いました、「今、彼女に言いなさい、

『見てください、あなたは私たちのためにこれだけの苦勞をしてくれました。私はあなたのために何をすることができますか？』

王や軍の司令官にあなたのために話しましょうか？』」

しかし彼女は答えました、「私は自分の民の中に住んでいます。」¹⁴

彼は言いました、「それでは彼女のために何をすべきでしょうか？」

ゲハジは答えました、「さて、彼女には息子がいません、そして彼女の夫は年を取っています。」¹⁵

彼は言いました、「彼女を呼びなさい。」

彼は彼女を呼び、彼女は戸口に立ちました。¹⁶

彼は言いました、

「来年のこの時期に、あなたは息子を抱くでしょう。」

しかし彼女は言いました、「いいえ、私の主よ、神の人も、あなたのしもべに嘘をつかないでください。」¹⁷

しかし、その女性は妊娠し、翌年のその季節に息子を産みました、
エリシャが彼女に言ったとおりに。

¹⁸ その子供は成長しました。

ある日、彼は父親のところに、刈り手たちのところに出かけました。¹⁹

彼は父親に言いました、「私の頭が、私の頭が！」

彼はしもべに言いました、「彼を母親のところに運びなさい。」²⁰

彼が彼を運び、母親のところに連れて行ったとき、彼は彼女の膝の上に座り、正午まで、そして彼は亡くなりました。²¹

彼女は上がって行き、神の人のベッドに彼を置き、彼の後ろでドアを開けて出て行きました。²²

彼女は夫に呼びかけて言いました、

「どうかしもべの一人とロバの一头を送ってください、

神の人のところに走って行って戻るために。」²³

しかし彼は言いました、

「なぜ今日彼のところに行くのですか？それは新月

列王記下

でも安息日でもありません。」
彼女は言いました、「大丈夫です。」²⁴
彼女はロバに鞍を置き、しもべに言いました、
「進み続けて、私が言うまでペースを落とさないで
ください。」²⁵
彼女は行き、カルメル山の神の人のところに來まし
た。
神の人が彼女を遠くから見るとき、彼はしもべゲハ
ジに言いました、
「見てください、シュネムの女性がいます。」²⁶
今、彼女に会いに走って行って、彼女に言いなさい
、
『あなたは大丈夫ですか？あなたの夫は大丈夫です
か？子供は大丈夫ですか？』
彼女は答えました、「大丈夫です。」²⁷
彼女が丘の神の人のところに來たとき、彼の足をつか
みました。
ゲハジは彼女を押しつけようとしたが、神の人は
言いました、
「彼女を放っておきなさい、彼女の魂は彼女の中で
悩んでいます。
主はそれを私に隠し、私に知らせていません。」²⁸
彼女は言いました、
「私の主に息子を求めましたか？『私を誤解させな
いください』と言いませんでしたか？」
²⁹ 彼はゲハジに言いました、
「準備をし、私の杖を手に取り、行きなさい。
誰かに会ったら、挨拶しないでください、
誰かがあなたに挨拶しても、答えしないでください。
そして私の杖を少年の顔に置きなさい。」³⁰
しかし少年の母親は言いました、
「主が生きておられる限り、あなた自身が生きてい
る限り、私はあなたを離れません。」
彼は立ち上がり、彼女に従いました。³¹
ゲハジは彼らの前に行き、少年の顔に杖を置きまし
たが、音も反応ありませんでした。
彼は戻って彼に会い、「少年は目覚めていません」
と彼に伝えました。
³² エリシャが家に入ったとき、
見よ、少年は死んでいて、彼のベッドに横たわって
いました。³³
彼は入り、二人の後ろでドアを閉め、主に祈りまし
た。³⁴
彼はベッドに上がり、子供の上に横たわり、
彼の口を彼の口に、彼の目を彼の目に、彼の手を彼
の手に置き、
彼の上にかがむと、子供の肉は暖くなりました。
³⁵ 彼は戻り、家の中を一度行ったり来たりし、

再び上がって彼の上にかがみました。
少年は七回くしゃみをし、目を開けました。³⁶
彼はゲハジを呼び、「このシュネムの女性を呼びな
さい」と言いました。
彼は彼女を呼び、彼女が彼のところに來たとき、彼
は言いました、「あなたの息子を抱き上げなさい。」
³⁷
彼女は入ってきて、彼の足元にひれ伏し、地面に頭
を下げました。
そして彼女は息子を抱き上げて出て行きました。
³⁸
エリシャがギルガルに戻ったとき、土地には飢饉が
ありました。
預言者の弟子たちが彼の前に座しているとき、彼は
しもべに指示しました、
「大きな鍋を用意し、預言者の弟子たちのためにシ
チューを作りなさい。」³⁹
一人が野に出て草を集め、野生のつるを見つけ、
それから野生の瓜を一抱え集めてきて、シチューの
鍋に切り入れました、
それが何であるかを知らずに。⁴⁰
彼らはそれを人々に出して食べさせました。
しかし、彼らがシチューを食べているとき、彼らは
叫び、言いました、
「神の人の、鍋の中に死があります！」
彼らはそれを食べることができませんでした。⁴¹
彼は言いました、「小麦粉を持ってきなさい。」
彼はそれを鍋に投げ入れ、言いました、
「人々に出して食べさせなさい。」
鍋の中には何も有害なものはありませんでした。
⁴² ある人がバアル・シャリシャから来て、
神の人に初穂のパンを持ってきました：大麦のパン
二十個と 袋の中の新しい穂。
エリシャは言いました、「人々に与えて食べさせな
さい。」⁴³ しかし彼の従者は言いました、
「どうやってこれを百人の前に置くことができるで
しょうか？」
それでも彼は言いました、「人々に与えて食べさせ
なさい、これは主が言われることです：
『彼らは食べて、残りがあろうでしょう。』」⁴⁴
彼はそれを彼らの前に置き、彼らは食べて、残りが
ありました、主の言葉に従って。
5 さて、アラムの王の軍の司令官ナアマンは、主
君の前で偉大な人であり、非常に尊敬されてい
た。
主が彼によってアラムに勝利を与えたからである。
その人はまた勇敢な戦士であったが、彼はらい病に
かかっていた。²

列王記下

さて、アラム人は隊を組んで出て行き、イスラエルの地から若い娘を捕らえた。

彼女はナアマンの妻に仕えていた。³

彼女はその女主人に言った、

「もし私の主人がサマリヤの預言者のもとにいたら！ 彼はきっと彼のらい病を癒すでしょう。」⁴

それでナアマンは入って行き、主君に告げて言った、

「これはイスラエルの地から来た娘が言ったことです。」⁵

するとアラムの王は答えて言った、「今すぐ行きなさい。私はイスラエルの王に手紙を送ります。」

それで彼は出発し、銀十タラント、金六千シェケル、衣服十着を持って行った。⁶

彼はイスラエルの王に手紙を持って行った。その手紙にはこう書かれていた：

「今、この手紙があなたに届いたとき、見よ、私はナアマン、私のしもべをあなたのもとに送ったので、彼のらい病を治してやってください。」⁷

しかし、イスラエルの王はその手紙を読んだとき、自分の衣服を引き裂いて言った、

「私は神であって、生かし、また殺すことができる者であるか、この人が私に人のらい病を治せと言っているのか？

しかし、今考えてみて、彼が私と争おうとしていることを見てください。」

⁸

さて、神の人エリシャは、イスラエルの王が自分の衣服を引き裂いたことを聞いたとき、王に言葉を送って言った、

「なぜあなたは自分の衣服を引き裂いたのですか？ 彼を私のもとに來させなさい。そうすれば彼はイスラエルに預言者がいることを知るでしょう。」⁹

それでナアマンは馬と戦車を連れて来て、エリシャの家の入口に立った。¹⁰

エリシャは使者を彼に送り、指示して言った、

「ヨルダン川で七回洗いなさい。

そうすればあなたの肉は元通りになり、あなたは清くなるでしょう。」¹¹

しかしナアマンは怒って去り、言った、

「見よ、私は思った、『彼は確かに私のもとに出て来て立ち、

彼の神、主の名を呼び、その場所の上で手を振って、らい病を治すだろう。』」¹²

ダマスコの川アパナとパルバルは、イスラエルのすべての水よりも良くないか？

私はそれらで洗って清くなることができないのか？」¹³

すると彼のしもべたちが近づいて彼に話し、言った

、

「父よ、預言者があなたに何か大きなことをするようと言ったなら、あなたはそれをしなかったでしょうか？

それならば、彼があなたに『洗って清くなりなさい』と言ったとき、なおさらではないでしょうか？」¹⁴

それで彼は降りて行き、神の人の指示に従ってヨルダン川で七回身を浸した。

すると彼の肉は若い子供のように元通りになり、彼は清くなった。

¹⁵

それから彼はすべての従者を連れて神の人のもとに戻り、彼の前に立った。そして彼は宣言した、

「見よ、今私は知っています、地上にはイスラエル以外に神はいないことを。

それでどうかあなたのしもべからの贈り物を今受け取ってください。」¹⁶

しかし彼は言った、「主が生きておられる限り、私が立っているその前で、私は何も受け取りません。」

彼はそれを受け取るように彼を促したが、彼は拒否した。¹⁷

それでナアマンは言った、「もしそうでないなら、どうかあなたのしもべに二頭のラバの荷の土をください。

あなたのしもべはもはや他の神々に焼き尽くす捧げ物や犠牲を捧げず、ただ主にだけ捧げます。」¹⁸

この件において主があなたのしもべをお赦しくださいますように：

私の主人がリモンの家に入ってそこで礼拝するとき、

彼は私の手に寄りかかり、私がリモンの家で身をかがめるとき— 私がリモンの家で身をかがめるとき、

主がこの件においてあなたのしもべをお赦しくださいますように。」¹⁹

彼は彼に言った、「安心して行きなさい。」

それで彼は彼から少しの距離を去った。

²⁰

しかし、神の人エリシャのしもべゲハジは考えた、「見よ、私の主人はこのアラム人ナアマンを手から受け取らずに免じた。

主が生きておられる限り、私は彼の後を追って何かを彼から取ります。」²¹

それでゲハジはナアマンを追った。

ナアマンは誰かが彼の後を追って来るのを見たとき、彼は戦車から降りて彼に会い、尋ねた、

「すべて順調ですか？」²²

彼は言った、「すべて順調です。私の主人が私を送って言いました、

列王記下

『見よ、ちょうど今、預言者の子たちの中から二人の若者がエフライムの山地から私のもとに来ました。

どうか彼らに銀一タラントと衣服二着を与えてください。』²³ ナアマンは言った、「どうかニタラントを取ってください。」

彼は彼を促し、銀ニタラントを二つの袋に入れ、衣服二着と共に縛り、二人のしもべに与えた。彼らはそれを彼の前で運んだ。²⁴

彼が丘に来たとき、彼はそれを彼らの手から取り、家にしまい、そしてその人たちを送り出し、彼らは去った。²⁵

しかし彼は入って行き、彼の主人の前に立った。エリシャは彼に尋ねた、「ゲハジ、どこに行っていたのか？」

彼は答えた、「あなたのしもべはどこにも行っていない。」²⁶ すると彼は彼に言った、「あなたがその人が戦車から降りてあなたに会いに来たとき、

私の心はあなたと共に行かなかったのか？今は金を受け取り、衣服、オリーブ畑、ぶどう畑、羊、牛、男と女のしもべを受け取る時か？」²⁷

それゆえ、ナアマンのらい病はあなたとあなたの子孫に永遠に付きまとうでしょう。」それで彼は彼の前から出て行き、雪のように白いらい病にかかっていた。

6 預言者の子たちがエリシャに近づいて言った、「ご覧ください、私たちがあなたの指導の下で住んでいる場所は私たちには狭すぎます。² 私たちがヨルダンに行くことを許してください。私たち一人一人がそこから梁を取って、私たちが住む場所をそこに建てましょう。」

彼は言った、「行きなさい。」³ すると彼らの一人が言った、「どうかあなたのしもべたちと一緒に来てください。」

彼は答えた、「私は行きます。」⁴ それで彼は彼らと一緒に行った。

そしてヨルダンに到着すると、彼らは木を切り始めた。⁵ しかし、ある者が梁を切っているとき、斧の頭が水に落ちた。

彼は叫んで言った、「ああ、私の主人よ！それは惜りたものです！」⁶

神の人が尋ねた、「それはどこに落ちたのですか？」⁷ 彼がその場所を示したとき、彼は木の枝を切ってそこに投げ入れ、鉄を浮かせた。すると彼は手を伸ばしてそれを取った。

⁸ アラムの王はイスラエルと戦っており、彼のしもべたちと相談して言った、「このような場所に私の陣を張る。」⁹

しかし、神の人はイスラエルの王に言葉を送り、「この場所を通らないように注意しなさい。アラム人がそこに降りてきます。」¹⁰

それでイスラエルの王は神の人が彼に告げた場所に人を送った。

彼は彼に警告し、彼はそこを一度や二度以上守った。¹¹ アラムの王の心はこの事に激怒し、

彼はしもべたちを呼んで言った、「私たちのうち誰がイスラエルの王のためにいるのか教えてくれないか？」¹²

彼のしもべの一人が答えた、「いいえ、王様。しかし、イスラエルにいる預言者エリシャが、あなたが寝室で話す言葉をイスラエルの王に知らせています。」¹³

それで彼は言った、「彼がどこにいるか見に行き、彼を捕らえるために人を送りたい。」¹⁴ 彼に報告があり、「見よ、彼はドタンにいる。」それで彼は馬、戦車、および大軍をそこに送り、彼らは夜に到着し、その都市を包囲した。

¹⁵ 神の人の従者が早朝に起きて外に出ると、見よ、馬と戦車を持つ軍隊が都市を取り囲んでいた。彼のしもべは彼に言った、

「ああ、私の主人よ！私たちはどうすればよいのですか？」¹⁶ 彼は言った、「恐るるな、私たちと共にいる者は彼らと共にいる者よりも多いのだ。」¹⁷

するとエリシャは折って言った、「主よ、どうか彼の目を開いて、彼が見えるようにしてください。」

主はしもべの目を開き、彼は見た。見よ、山はエリシャの周りに火の馬と戦車で満ちていた。

¹⁸ 彼らが彼に降りてきたとき、エリシャは主に折って言った、「この民を盲目にしてください。」

それで彼はエリシャの言葉に従って彼らを盲目にした。¹⁹ するとエリシャは彼らに言った、「これはその道ではなく、この都市でもありません。

私について来なさい。あなたが探している人のところに案内します。」²⁰ そして彼は彼らをサマリアに導いた。

彼らがサマリアに来たとき、エリシャは言った、「主よ、これらの人々の目を開いて、彼らが見えるようにしてください。」

列王記下

それで主は彼らの目を開き、彼らは見た。
見よ、彼らはサマリアの真ん中にいた。²¹
イスラエルの王は彼らを見たとき、エリシャに言った、
「彼らを殺しましょうか？私の父よ、彼らを殺しましょうか？」²² しかし彼は言った、
「彼らを殺してはならない。あなたは剣と弓で捕らえた者を殺すだろうか？
彼らの前にパンと水を置き、彼らが食べて飲んで彼らの主人のもとに帰るようにしなさい。」²³
それで彼は彼らのために大宴会を用意し、彼らが食べて飲んだ後、彼らを送り出した。
彼らは彼らの主人のもとに帰った。
そしてアラムの略奪隊は再びイスラエルの地に来なかった。

²⁴ その後、アラムの王ベン・ハダデは全軍を集め、サマリアを包囲しに上った。²⁵
サマリアには激しい飢饉があり、
見よ、彼らはそれを包囲し続け、ロバの頭が銀八十シェケルで売られ、
鳩の糞の四分の一カブが銀五シェケルで売られた。²⁶
イスラエルの王が城壁を通り過ぎているとき、女が彼に叫んで言った、「助けてください、王様！」²⁷ しかし彼は言った、
「主があなたを助けないなら、私がどこからあなたを助けることができるでしょうか？
脱穀場からか、または酒ぶねからか？」²⁸
それから王は彼女に言った、「あなたに何があったのですか？」 彼女は答えた、
「この女が私に言いました、『あなたの息子を与えて、今日彼を食べましょう。』
そして明日私の息子を食べましょう。』²⁹
それで私たちは私の息子を料理して食べました。
そして翌日、私は彼女に言いました、『あなたの息子を与えて、彼を食べましょう。』
しかし彼女は彼女の息子を隠しました。」

³⁰
王がその女の言葉を聞いたとき、彼は衣を裂いた。
そして彼が城壁を通り過ぎているとき、人々は見た。
見よ、彼は体に粗布をまとっていた。³¹
それから彼は言った、
「神が私にこれをし、さらにそれ以上をもするよう
に、
もしシャファテの子エリシャの頭が今日彼の上に残っているならば！」³²
今、エリシャは彼の家に座っており、長老たちが彼と共に座っていた。

そして王は彼の前に人を送ったが、使者が彼に来る前に、 彼は長老たちに言った、
「この殺人者の息子が私の頭を取り除くために人を送ったのを見ますか？
見よ、使者が来たら、ドアを開けて彼に対してそれを閉じておきなさい。
彼の主人の足音が彼の後ろにあるのではないか？」³³
彼がまだ彼らと話している間に、見よ、使者が彼に降りてきて言った、
「見よ、この悪は主から来ている。私はなぜ主を待つべきなのか？」

7 するとエリシャは言った、
「主の言葉を聞きなさい。
主はこう言われる、『明日の今頃、サマリアの門で、上等の小麦粉一セアが一シェケルで、大麦二セアが一シェケルで売られるであろう。』」²
すると、王が頼りにしていた側近の者が神の人に答えて言った、
「見よ、たとえ主が天に窓を作られたとしても、そんなことが起こるでしょうか？」 彼は言った、
「見よ、あなたは自分の目でそれを見るが、それを食べることはない。」

³
さて、門の入口にツアラアトにかかった四人の男がいて、 彼らは互いに言った、
「なぜ我々はここに座って死ぬのを待っているのか？」⁴
もし我々が『町に入ろう』と言え、町には飢饉があり、そこで死ぬだろう。
ここに座っていても、我々は死ぬだろう。
だから今、アラム人の陣営に行こう。
もし彼らが我々を生かしてくれれば生きるし、殺されれば死ぬだけだ。」⁵
そこで彼らは夕暮れにアラム人の陣営に向かって立ち上がった。
アラム人の陣営の端に着いたとき、見よ、そこには誰もいなかった。⁶
主がアラム人の陣営に戦車の音、馬の音、すなわち大軍の音を聞かせたので、彼らは互いに言った、
「見よ、イスラエルの王が我々に対抗するために、ヒッタイトの王たちとエジプトの王たちを雇ったのだ！」⁷ 彼らは夕暮れに立ち上がって逃げ、そのままの状態で大幕や馬、ロバを残し、命を守るために逃げた。

列王記下

8

これらのツァアラトにかかった男たちが陣営の端に
来たとき、一つの天幕に入り、食べたり飲んだりし
、銀や金、衣服を持ち出して隠した。

それから戻って別の天幕に入り、そこからも物を持
ち出して隠した。⁹ すると彼らは互いに言った、
「我々は正しいことをしていない。」

今日は良い知らせの日なのに、我々は黙っている。
もし朝の光まで待てば、罰が我々を襲うだろう。

さあ、行って王の家に知らせよう。¹⁰

そこで彼らは来て、町の門番に呼びかけ、言った、
「我々はアラム人の陣営に行ったが、見よ、そこには
誰もいなかった。」

人の声もなく、ただ馬とロバが繋がれており、天幕
がそのままだった。¹¹

門番たちは呼びかけ、王の家の中に報告された。

¹² すると王は夜中に起きて家来たちに言った、
「今、アラム人が我々に何をしたかを話そう。」

彼らは我々が飢えていることを知っているの、陣
営を出て野に隠れているのだ。

『彼らが町を出てきたときに、生け捕りにして町に
入ろう』と言っているのだ。¹³

しかし、家来の一人が答えて言った、
「どうか、町に残っている馬の中から五頭を取らせ
てください。」

見よ、彼らは町に残っているイスラエルの群衆のよ
うになるでしょう。

彼らを送り出して見させましょう。¹⁴

そこで彼らは馬をつけた二台の戦車を準備し、
王はアラム人の軍隊を追跡するように命じて送り出
した、「行って見てこい。」¹⁵

彼らはヨルダンまで彼らを追い、
見よ、道はアラム人が急いで捨てた衣服や装備で満
ちていた。使者たちは戻って王に報告した。

¹⁶

それで人々は出て行き、アラム人の陣営を略奪した
。

その結果、上等の小麦粉一セアが一シェケルで、大
麦二セアが一シェケルで売られた。

これは主の言葉に従ったものであった。¹⁷

さて、王は彼が頼りにしていた側近の者を門の管理
者に任命したが、

人々は彼を門で踏みつけ、彼は死んだ。

これは神の人が言った通りであった、王が彼のもと
に来たときに言ったことだ。¹⁸

そして、神の人が王に言った通りに起こった、
「明日の今頃、サマリアの門で、大麦二セアが一シ
ェケルで、上等の小麦粉一セアが一シェケルで売ら

れる。」

19

すると、側近の者が神の人に答えて言った、
「今、見よ、たとえ主が天に窓を作られたとしても
、そんなことが起こるでしょうか？」

彼は言った、
「見よ、あなたは自分の目でそれを見るが、それを
食べることはない。」²⁰

そして、実際に彼に起こったことはこれである：人
々は彼を門で踏みつけ、彼は死んだ。

8 さて、エリシャは彼が命を蘇らせた女に言った
、

「立ち上がり、あなたの家族と共に行き、住め
るところに住みなさい。」

主が飢饉を呼ばれたので、それがこの地に七年間も
及ぶでしょう。²

そこで、その女は立ち上がり、神の人の言葉に従っ
て行動し、

彼女の家族と共にペリシテ人の地に七年間住んだ。³

七年が過ぎたとき、その女はペリシテ人の地から戻
り、彼女の家と畑のために王に訴えに行った。⁴

その時、王は神の人のしもべゲハジと話していて、
「エリシャが行ったすべての驚くべきことを私に教
えてください。」と言った。⁵

彼が王に死者を蘇らせたことを話していると、
見よ、彼が命を蘇らせた女が彼女の家と畑のために
王に訴えた。

そこでゲハジは言った、
「我が主、王よ、これがその女であり、これがエリ
シャが命を蘇らせた彼女の息子です。」⁶

王がその女に尋ねると、彼女はその話をした。

そこで王は彼女のためにある役人を任命し、言った

、
「彼女のものすべてを、彼女がこの地を去った日か
ら今に至るまでの畑の収穫もすべて返しなさい。」

⁷ エリシャはダマスカスに到着した。

その時、アラムの王ベン・ハダドは病気であり、彼
は言われた、
「神の人がここに来た。」⁸

そこで王はハザエルに言った、

「贈り物を手に持って神の人に会いに行き、
彼を通して主に伺いなさい、『この病気から回復す
るでしょうか?』と。」⁹

そこでハザエルは彼に会いに行き、ダマスカスのす
べての良いものを四十頭のラクダに積んで贈り物と
して持って行き、

彼の前に立って言った、
「あなたの息子、アラムの王ベン・ハダドが私をあ
なたに送って、『この病気から回復するでしょうか
?』と言っています。」¹⁰

するとエリシャは彼に言った、

列王記下

「行って、彼に『あなたは確かに回復する』と言いなさい、
しかし主は彼が確かに死ぬことを私に示された。」
11

彼はハザエルを恥ずかしがらせるまでじっと見つめ、
神の人は泣いた。
12

ハザエルは言った、「なぜ我が主は泣いているのですか？」
彼は答えた、
「あなたがイスラエルの子らに行う悪を知っているからです。」

あなたは彼らの要塞に火を放ち、若者を剣で殺し、
幼子を打ち砕き、妊婦を裂くでしょう。」
13

するとハザエルは言った、
「しかし、あなたのしもべである私は犬に過ぎないのに、
どうしてこの大きなことを行うことができるでしょうか？」
エリシャは答えた、
「主はあなたがアラムの王となることを私に示された。」
14

彼はエリシャを離れ、主人のもとに戻り、
「エリシャはあなたに何と言いましたか？」と彼が言った。

彼は言った、「彼はあなたが確かに回復すると私に言いました。」
15

しかし、翌日、彼は覆いを取り、水に浸して彼の顔に広げ、彼を死に至らせた。

そしてハザエルが彼の代わりに王となった。

16
さて、イスラエルの王アハブの子ヨラムの第五年に、

ユダの王ヨシャパテがユダの王ヨシャパテの子ヨラムが王となった。
17

彼は三十二歳で王座に就き、エルサレムで八年間統治した。
18

彼はアハブの家のようにイスラエルの王たちの道を歩み、
アハブの娘が彼の妻となったからである。

それで彼は主の目の前で悪を行った。
19

しかし、主は彼のしもべダビデのためにユダを滅ぼすことを望まれなかった、
彼が彼の子孫に常に灯火を与えると約束されたからである。

20
彼の時代にエドムはユダの支配から離れ、彼ら自身の王を立てた。
21

ヨラムはすべての戦車を連れてザイルに渡り、
夜に起きて彼を囲んでいたエドム人と戦車の隊長たちを打ち破ったが、民は自分の天幕に逃げた。
22

それでエドムは今日までユダに対して反逆した。
その時リブナもまた反逆した。
23

さて、ヨラムのその他の行為と彼が行ったすべてのことは、
ユダの王たちの年代記の書に書かれていないのか？
24

それでヨラムは彼の先祖と共に眠り、ダビデの町に彼らと共に葬られ、
彼の息子アハズヤが彼の代わりに王となった。

25 イスラエルの王アハブの子ヨラムの第十二年に、
ユダの王ヨラムの子アハズヤが王となった。
26

アハズヤは二十二歳で王となり、
エルサレムで一年間統治した。

彼の母の名はアタリヤで、イスラエルの王オムリの孫娘であった。
27

彼はアハブの家の道を歩み、主の目の前で悪を行った、
アハブの家のように、彼がアハブの家と婚姻関係にあったからである。
28

彼はアハブの子ヨラムと共にアラムの王ハザエルと戦うためにラモテ・ギレアデに行き、
アラム人がヨラムを負傷させた。
29

それでヨラム王はアラムの王ハザエルと戦ったラマでアラム人が負わせた傷を癒すためにイズレエルに戻った。

そしてユダの王ヨラムの子アハズヤは、ヨラムの子アハブが病気であるため、イズレエルに彼を見に下った。

9 預言者エリシャは預言者の弟子の一人を呼び、
彼に言った、

「腰に帯を締め、この油の入った瓶を手に取り、
ラモテ・ギレアデへ行きなさい。」
2

そこに着いたら、ニムシの子、ヨシャファテの子、エヒウを探し、
彼の兄弟たちの中から彼を立たせ、奥の部屋に連れて行きなさい。
3

その後、油の入った瓶を取り、彼の頭に注ぎ、言いなさい、
『主はこう言われる、私はあなたをイスラエルの王として油を注いだ。』
4

それから、扉を開けて逃げなさい、遅れることなく。」
5

預言者に仕える若者は、ラモテ・ギレアデへ向かった。
6

彼が到着すると、見よ、軍の指揮官たちが座っていた。彼は言った、
「指揮官、あなたに伝言があります。」
7

エヒウは言った、「私たちの誰にですか？」
彼は言った、「あなたにです、指揮官。」
8

彼は立ち上がり、家に入った。若者は彼の頭に油を

列王記下

注ぎ、彼に言った、

「イスラエルの神、主はこう言われる、
『私はあなたを主の民、イスラエルの王として油を
注いだ。』」⁷

あなたはあなたの主人アハブの家を打ち倒しなさい、
それは私のしもべである預言者たちの血と、
主のすべてのしもべたちの血を、イゼベルの手から
報復するためである。⁸

アハブの家全体が終わりを迎えるからである、
私はイスラエルにおいて、アハブから奴隷も自由人
もすべての男を断ち切る。⁹

私はネバテの子ヤロバアムの家と、
アヒヤの子バアシャの家のように、アハブの家を滅
ぼす。¹⁰

犬がイズレエルの地でイゼベルを食い尽くし、
彼女は埋葬されない。』」
それから彼は扉を開けて逃げた。

11

エヒウは彼の主人のしもべたちのところに出て行っ
た。すると一人が彼に言った、
「すべては無事ですか？なぜこの狂人があなたのと
ころに来たのですか？」

彼は彼らに言った、「あなたたちはその男と彼の話
を知っている。」¹²

しかし彼らは言った、「それは嘘です！今すぐ教え
てください。」

彼は言った、「彼が私に言ったのはこれです、
『主はこう言われる、私はあなたをイスラエルの王
として油を注いだ。』」¹³

すると彼らは急いで、各々が自分の衣を取り、裸の
階段に彼の下に置き、
ラッパを吹いて、「エヒウが王だ！」と宣言した。

14

それでニムシの子、ヨシヤファテの子、エヒウはヨ
ラムに対して陰謀を企てた。
その時、ヨラムはアラムの王ハザエルのために、彼
と全イスラエルがラモテ・ギレアデを守っていた。

15

しかし、ヨラム王はハザエル王との戦いでアラム人
が彼に負わせた傷を癒すためにイズレエルに戻って
いた。

それでエヒウは言った、「もしこれがあなたたちの
決定ならば、
誰も逃げたり、イズレエルに知らせに行くことを許
してはならない。」¹⁶

それからエヒウは戦車に乗ってイズレエルへ行った
、
ヨラムはそこで回復していた。
そしてユダの王アハズヤはヨラムを見に来ていた。

17

今、見張りはイズレエルの塔に立っていて、エヒウ
の一行が来るのを見て、

彼は言った、「一行が見えます。」
ヨラムは言った、「騎兵を送り、彼らに会いに行か
せ、『平和か？』と言わせなさい。」¹⁸

それで騎兵が彼に会いに行き、「王が『平和か？』
と尋ねています。」と言った。

エヒウは言った、「平和があなたに何の関係がある
のか？私の後ろにつけ。」

そして見張りは報告した、「使者は彼らに到達した
が、戻ってこなかった。」¹⁹

それで彼は二人目の騎兵を送り出し、彼は彼らに來
て言った、

「王が『平和か？』と尋ねています。」
エヒウは答えた、「平和があなたに何の関係がある
のか？私の後ろにつけ。」²⁰

そして見張りは報告した、「彼は彼らに到達したが
、戻ってこなかった。」

そしてその運転はニムシの子エヒウのようであり、
彼は激しく運転している。」

21

それでヨラムは言った、「準備せよ。」そして彼ら
は彼の戦車を準備した。

イスラエルの王ヨラムとユダの王アハズヤはそれぞ
れ自分の戦車に乗り、

エヒウに会いに出て行き、イズレエル人ナボテの所
有地で彼に出会った。²²

ヨラムがエヒウを見たとき、彼は言った、「エヒウ
、平和か？」

彼は答えた、「あなたの母イゼベルの淫行と魔術が
多い限り、
どうして平和があるのか？」²³

それでヨラムは手綱を引いて逃げ、アハズヤに言っ
た、「裏切りだ、アハズヤ！」²⁴

するとエヒウは弓を力いっぱい引き、ヨラムの腕の
間に矢を射た。

矢は彼の心臓を貫き、彼は戦車の中で沈んだ。²⁵

そしてエヒウは彼の将校ビドカルに言った、
「彼を引き上げてイズレエル人ナボテの畑に投げ入
れなさい、

あなたが私が彼の父アハブの後ろで一緒に乗ってい
たとき、

主が彼に対してこの宣告をしたことを覚えているだ
ろう：」²⁶

『確かに私は昨日ナボテの血と彼の息子たちの血を
見た』と主は宣言する、

『そして私はこの地であなたに報いる』と主は宣言
する。

列王記下

だから今、彼を取り、主の言葉に従ってその地に投げ入れなさい。」

27

今、ユダの王アハズヤはこれを見たとき、ベテ・ハガンへの道を逃げた。

しかしエヒウは彼を追い、「彼も戦車の中で打ち倒せ。」と言った。

それで彼らはイブREAMのグルへの登りで彼を打った。しかし彼はメギドに逃げ、そこで死んだ。²⁸

それから彼のしもべたちは彼を戦車に乗せてエルサレムに運び、

ダビデの町で彼の先祖たちと共に彼を葬った。²⁹

それはヨラムの十一年目、アハブの子の年に、アハズヤがユダの王位に就いた。

39

今、エヒウがイズレエルに来たとき、イゼベルはそれを聞いた。

そして彼女は目に化粧を施し、頭を飾り、窓から外を見た。³¹ エヒウが門に入ると、彼女は言った、

「ジムリ、あなたの主人の殺人者よ、すべては無事か？」³² すると彼は顔を窓に向けて言った、

「誰が私の側にいるのか？誰だ？」

そして二、三人の役人が彼を見下ろした。³³

彼は言った、「彼女を投げ落とせ。」

それで彼らは彼女を投げ落とし、彼女の血の一部が壁と馬にかかり、彼は彼女を踏みじった。³⁴

それから彼は中に入り、食べたり飲んだりして言った、

「この呪われた女に注意を払い、彼女を埋葬せよ、彼女は王の娘だから。」³⁵

それで彼らは彼女を埋葬しに行ったが、彼女の頭蓋骨と足と手のひら以外は何も見つけれなかった。³⁶ それで彼らは戻って彼に報告した。

彼は言った、

「これは主の言葉であり、主がティシュベ人エリヤを通して言われた、

『イズレエルの地で犬がイゼベルの肉を食べるであろう。』³⁷

そしてイゼベルの死体はイズレエルの地の面に糞のようになり、

『これがイゼベルだ』と言うことができないようになる。』」

10 さて、アハブにはサマリアに七十人の息子がいた。

そこで、エフは手紙を書いてサマリアに送り、

イズレエルの支配者たち、長老たち、アハブの息子たちの後見人たちに言った。²

「この手紙があなたたちに届いたとき、あなたたちの主の息子たちがあなたたちと共にいるので、

戦車、馬、要塞都市、武器を持っているなら、³ あなたたちの主の息子の中で最も優れた者を選び、

彼を父の王座に座らせ、あなたたちの主の家のために戦いなさい。」⁴

しかし、彼らは非常に恐れて言った。

「見よ、二人の王が彼の前に立てなかったのに、どうして私たちが立てるだろうか。」⁵

そこで、家の監督者、市の監督者、長老たちと後見人たちはエフに言葉を送り、

「私たちはあなたの僕です。あなたが言うことはすべて行います。

私たちは誰も王にしません。あなたの目に良いと思うことを行いなさい。」⁶

すると彼は再び彼らに手紙を書いて言った。

「もしあなたたちが私の側にいるなら、そして私の声に耳を傾けるなら、

あなたたちの主の息子たちの頭を取り、明日のこの時にイズレエルに私のもとに来なさい。」

さて、王の息子たち、七十人は、彼らを育てていた市の指導者たちと共にいた。⁷

そして手紙が彼らに届くと、彼らは王の息子たちを取り、七十人を殺し、

その頭を籠に入れてイズレエルに彼のもとに送った。⁸

使者が到着して報告したとき、

「彼らは王の息子たちの頭を持ってきました。」

彼は指示した、

「それらを門の入口に二つの山に並べ、朝まで置いておきなさい。」

9 朝、彼は出て立ち、すべての人々に言った、

「あなたたちは正しい。見よ、私は私の主に対して陰謀を企てて彼を殺した。

しかし、これらすべてを殺したのは誰か？」¹⁰

それゆえ、主がアハブの家について語った言葉のうち、

地に落ちることは何もないことを知きなさい。主はその僕エリヤを通して語ったことを行った。」¹¹

そこでエフはイズレエルに残っていたアハブの家の者すべてを打ち、

彼の偉大な者たち、知人たち、祭司たちをすべて、彼に生存者を残さないようにした。¹²

それから彼は出発し、サマリアに向かって旅をした。途中、彼が羊飼いのベテクドにいたとき、¹³ エフはユダの王アハズヤの親族に出会い、尋ねた、

列王記下

「あなたたちは誰ですか？」 彼らは答えた、
「私たちはアハズヤの親族であり、
王の息子たちと王妃の息子たちを迎えに来ました。」

すると彼は言った、「彼らを生き捕りにしなさい。」

そこで彼らは彼らを生き捕りにし、ベテケドの井戸で彼らを殺し、四十二人を、
彼は彼らを生かしておかなかった。

さて、彼がそこから去るとき、レカブの子ヨナダブが彼に会いに来た。 彼は彼を迎えて尋ねた、
「あなたの心は私の心と同じように真実ですか？」
ヨナダブは答えた、「そうです。」
エフは言った、「そうであれば、あなたの手を私にください。」

彼は彼に手を差し出し、彼を戦車に引き上げた。
彼は言った、

「私と共に来て、主への私の熱意を見なさい。」
それで彼は彼を戦車に乗せた。
彼がサマリアに来たとき、彼はサマリアに残っていたアハブの者すべてを打ち、
彼らを滅ぼし尽くした。これは主がエリヤに語った言葉に従ったものである。

それからエフはすべての人々を集めて言った、
「アハブはバアルに少し仕えたが、エフは彼に大いに仕えるだろう。」

今、バアルのすべての預言者、すべての崇拜者、すべての祭司を私に召集しなさい。

誰も欠けてはならない。私はバアルのために大いなる犠牲を捧げる。欠けている者は生き残れない。」
しかし、エフはバアルの崇拜者を滅ぼすために欺いていた。

エフは言った、「バアルのために厳粛な集会を聖別しなさい。」 それで彼らはそれを宣言した。
それからエフはイスラエル全土に言葉を送り、バアルの崇拜者すべてが来た。
来なかった者は一人もいなかった。

彼らがバアルの家に入ったとき、バアルの家は端から端まで満ちていた。

彼は衣装の管理者に言った、
「バアルの崇拜者すべてのために衣服を持ち出さない。」

それで彼は彼らのために衣服を持ち出した。
それからエフとレカブの子ヨナダブはバアルの家に入り、
バアルの崇拜者たちに言った、
「注意深く調べて、主の僕があなたたちの中にいないか確認しなさい。バアルの崇拜者だけがいる。」

彼らが犠牲と焼き尽くす捧げ物を捧げるために入ったとき、

エフは自分のために外に八十人を配置し、
彼は言った、

「私があなたたちの手に渡す者を逃がした者は、自分の命を代償にしなければならない。」

彼が焼き尽くす捧げ物を捧げ終わったとき、
エフは衛兵と役人たちに言った、

「入って、彼らを殺しなさい。誰も出てはならない。」

それで彼らは剣の刃で彼らを打ち、
衛兵と役人たちは彼らを投げ出し、バアルの家の内室に入った。

彼らはバアルの家の記念石を持ち出して焼いた。
彼らはまたバアルの記念石を引き倒し、バアルの家を壊し、それを今日まで便所にした。

このようにして、エフはイスラエルからバアルを取り除いた。

しかし、エフはネバテの子ヤロブアムの罪から離れなかった。

彼はイスラエルに罪を犯させた。特に、ベテルとダンにあった金の子牛である。

そして主はエフに言った、

「あなたが私の目に正しいことを行い、
私の心にあったすべてのことをアハブの家に行ったので、

あなたの子孫は四代にわたってイスラエルの王座に座るだろう。」

しかし、エフはイスラエルの神、主の律法を心を尽くして歩むことに注意を払わなかった。
彼はヤロブアムの罪から離れなかった。彼はイスラエルに罪を犯させた。

その頃、主はイスラエルから部分を切り取ることを始めた。

ハザエルはイスラエルの領土全体を打ち破った。
ヨルダン川の東側、ギルアデの全地—
ガド族、ルベン族、マナセ族—

アルノンの谷にあるアロエルから、ギルアデとバシヤンまで。

さて、エフの行ったその他の事、彼が成し遂げたすべてのこと、彼の力、
それらはイスラエルの王の年代記の書に記録されていないだろうか？

エフは彼の先祖たちと共に休み、彼らは彼をサマリアに葬った。
そして彼の子アハズが彼に代わって王となった。

列王記下

36

エフのサマリアでのイスラエルに対する治世は二十八年続いた。

11 アハズヤの母アタルヤは、彼女の息子が死んだことを知ったとき、立ち上がって王家の子孫をすべて滅ぼした

。しかし、ヨラム王の娘でアハズヤの妹であるヨシエバは、

アハズヤの息子ヨアシュを取り、殺されようとしていた王の息子たちの中から彼を盗み出し、彼と彼の乳母を寝室に置いた。

それで彼らはアタルヤから彼を隠し、彼は殺されなかった。

彼は六年間、主の家で彼女と共に隠されていた。その間、アタルヤは国を治めていた。

4 第七年に、ヨヤダは送り、カリ人と護衛の百人隊長たちを連れて来て、彼らを主の家に連れて来た。それから彼は彼らと契約を結び、主の家で彼らに誓

わせ、王の息子を見せた。

そして彼は彼らに命じて言った、「あなたがたがすべきことはこれです。

安息日に入って来て王の家を守るあなたがたの三分の一は、三分の一はスルの門に、三分の一は護衛の後ろの門にいるべきです。

そしてあなたがたは家を守り、それを守らなければなりません。

安息日に出て行くあなたがたの二部隊は、王のために主の家を守らなければなりません。

そしてあなたがたは王を囲み、各々が手に武器を持ち、

隊列に入る者は誰でも殺されなければなりません。

そして王が出入りする際には彼と共にいなければなりません。」

9 それで百人隊長たちは、祭司ヨヤダが命じたすべてのことを行った。

彼らは安息日に入って来るべき者たちと、安息日に出て行くべき者たちを連れて来て、祭司ヨヤダのもとに来了。

そして祭司は百人隊長たちに、主の家にあったダビデ王の槍と盾を与えた。

それから護衛たちは、各々が手に武器を持ち、家の右側から左側まで、

祭壇と家のそばで、王の周りに立った。そして彼は王の息子

を与えた。彼らは彼を王とし、彼に油を注いだ。彼らは手を叩いて言った、「王様万歳！」

13 アタルヤは護衛と民の騒音を聞いたとき、主の家で民のところに来た。

彼女は見て、見よ、王が柱のそばに立っていた、これは慣例であった。

王のそばには百人隊長とラッパ吹きがいた。そして国のすべての民は喜び、ラッパを吹いていた。

それでアタルヤは衣を裂き、叫んだ、「反逆だ！反逆だ！」

それから祭司ヨヤダは軍隊を指揮する百人隊長たちに命じて言った、

「彼女を隊列の間に連れ出し、彼女に従う者は剣で殺しなさい。」

祭司は言った、「彼女は主の家で殺されてはならない。」

それで彼らは彼女を捕らえ、彼女は馬の入口の道を通して王の家に行き、そこで殺された。

17 それからヨヤダは、主と王と民との間に契約を結び、

彼らが主の民となるようにし、また王と民との間にも契約を結んだ。

そして国のすべての民はバアルの家に来て、それを壊し、彼の祭壇と像を徹底的に打ち砕き、

バアルの祭司マタンを祭壇の前で殺した。

そして祭司は主の家に役人を任命した。そして彼は百人隊長たち、カリ人、護衛たち、国のすべての民を集め、

彼らは王を主の家から護衛し、護衛の門を通して王の家に行った。

そこで彼は王座に座った。

それで国のすべての民は喜び、町は平和であった。彼らはアタルヤを王の家で剣で殺したからである。

21 ヨアシュは王に即位したとき、わずか七歳であった。

エフの第七年に、ヨアシュは王となり、エルサレムで四十年間統治しました。

彼の母はベエルシェバのジビアでした。

ヨアシュは、祭司エホヤダが彼を教えたすべての日々において、主の目に正しいことを行いました。

しかし、高き所は取り除かれず、民はその上で犠牲を捧げ、香を焚き続けました。

4 そのとき、ヨアシュは祭司たちに言いました、「主の家に持ち込まれる聖なる捧げ物のすべての金

列王記下

、
各人の評価のための金と、主の家に持ち込むことを
心に促されるすべての金—

祭司たちはそれを自分の知り合いから受け取り、
家のどこにでも見つかる損傷を修理しなさい。」

しかし、ヨアシュ王の第二十三年になっても、
祭司たちは家の損傷を修理していませんでした。

そこで、ヨアシュ王はエホヤダ祭司と他の祭司たち
を呼び、彼らに言いました、

「なぜ家の損傷を修理していないのですか？
今後、あなたの知り合いから金を受け取らず、
それを家の修理のために渡しなさい。」

それで祭司たちは、人々からもう金を受け取らず、
自分たちで家の損傷を修理しないことに同意しまし
た。

しかし、エホヤダ祭司は箱を取り、その蓋に穴を開
け、
それを祭壇のそば、主の家に入る右側に置きました

。そして、敷居を守る祭司たちは、主の家に持ち込ま
れるすべての金をその中に入れました。

箱に多くの金があるのを見たとき、
王の書記と大祭司が上がってきて、

主の家に見つかった金を袋に入れて数えました。

それから、数えられた金を、
主の家の監督をする者たちの手に渡し、

彼らはそれを主の家で働く大工や建築者に支払いま
した。

また、石工や石切りに、
主の家の損傷を修理するための木材や切石を購入す
るために、

そして家を修理するために費やされたすべてのもの
に支払いました。

しかし、主の家のために銀の杯、火掻き棒、鉢、ラ
ツパ、

金や銀の器は、主の家に持ち込まれた金から作られ
ませんでした。

それは工事をする者たちに割り当てられ、彼らはそ
れを使って主の家を修復しました。

さらに、彼らは工事をする者たちに金を支払うため
に金を渡した人々から会計を求めませんでした。

彼らは誠実に行動したからです。

罪過の捧げ物の金と罪の捧げ物の金は

主の家に持ち込まれませんでした。それは祭司たち
が保持しました。

その後、アラムの王ハザエルが進軍し、ガテと戦っ
てそれを占領しました。

そしてハザエルはエルサレムに上ろうと準備しまし
た。

そこでユダの王ヨアシュは、
彼の父たちであるユダの王ヨシャバテ、ヨラム、ア
ハズヤが捧げたすべての聖なるもの、

彼自身の聖なるもの、そして主の家と王の家の宝物
の中に見つかったすべての金を取り、

それをアラムの王ハザエルに送りました。それで彼
はエルサレムから撤退しました。

ヨアシュの治世の他の出来事と彼が成し遂げたすべ
てのことは、
ユダの王たちの年代記の書に記録されていないでし
ょうか？

そして彼の臣下たちは立ち上がり、陰謀を企て、
ミロの家でヨアシュを打ち、シラへ下る道で彼を打
ちました。

シメアテの子ヨザカルとショメルの子ヨザバデ、彼
の臣下たちが彼を打ち、彼は死にました。

そして彼らは彼をダビデの町に彼の父たちと共に葬
り、

その子アマツヤが彼の後を継いで王となりました。

ユダの王アハズヤの子ヨアシュの第23年に
、

エヒューの子エホアハズがサマリアでイス
ラエルの王となり、17年間統治した。

彼は主の目の前で悪を行い、ネバテの子ヤロブアム
の罪に従った。

ヤロブアムはイスラエルに罪を犯させたが、彼はそ
れを離れなかった。

それで主の怒りがイスラエルに向けられ、
彼らをアラムの王ハザエルの手に、

そしてハザエルの子ベン・ハダデの手に絶えず渡さ
れた。

するとエホアハズは主の恵みを求め、
主は彼に耳を傾けられた。

主はイスラエルの圧迫を見られたからである。アラ
ムの王が彼らを圧迫していた。

主はイスラエルに救い主を与えられ、
彼らはアラム人の手から逃れた。

イスラエルの子らは以前のように自分たちの天幕に
住んだ。

しかし、彼らはヤロブアムの家の罪から離れず、
それに従って歩んだ。

また、アシェラ像もサマリアに残っていた。

彼はエホアハズに50人の騎兵、10台の戦車、1万人
の歩兵以上の軍隊を残さなかった。

アラムの王が彼らを打ち破り、打ち場の塵のように
したからである。

列王記下

8

エホアハズのその他の行い、彼のすべての業績と力は、イスラエルの王の年代記の書に記されているではないか。

エホアハズは先祖と共に眠りににつき、サマリアに葬られた。彼の子ヨアシュが代わって王となった。

ユダの王ヨアシュの第37年に、エホアハズの子ヨアシュがサマリアでイスラエルの王となり、16年間統治した。

彼は主の目の前で悪を行った。彼はネバテの子ヤロブアムのすべての罪から離れず、

イスラエルに罪を犯させたが、それに従って歩んだ。

ヨアシュのその他の行い、彼のすべての業績、ユダの王アマツヤと戦った力は、イスラエルの王の年代記の書に記されているではないか。

ヨアシュは先祖と共に眠りににつき、ヤロブアムが彼の王座に座った。

ヨアシュはイスラエルの王たちと共にサマリアに葬られた。

エリシャが死ぬ病にかかったとき、イスラエルの王ヨアシュが彼のもとに下り、彼の上に泣いて言った、

「わが父よ、わが父よ、イスラエルの戦車とその騎兵よ！」
エリシャは彼に言った、

「弓と矢を取れ。」
彼は自分のために弓と矢を取った。

そして彼はイスラエルの王に命じた、
「弓に手をかけよ。」

彼が手をかけると、エリシャは王の手の上に自分の手を置いた。

彼は言った、「東向きの窓を開けよ。」彼がそれを開けると、
エリシャは言った、「射よ。」彼が射ると、
彼は言った、

「主の勝利の矢、アラムに対する勝利の矢。
あなたはアフエクでアラム人を打ち、彼らを滅ぼすまで打つであらう。」

彼は言った、「矢を取れ。」彼がそれを取ると、彼はイスラエルの王に命じた、

「地を打て。」彼は三度打って止めた。

すると神の人は彼に怒って言った、
「あなたは五、六度打つべきであった。
そうすればアラムを打ち滅ぼすまで打つことができたであらう。」

しかし今、あなたはアラムを三度だけ打つであらう。」

エリシャは死に、彼を葬った。
モアブ人の部隊が年の春にその地を侵略してきた。

彼らが人を葬っているとき、略奪隊を見つけたので、
その人をエリシャの墓に投げ入れた。
エリシャの骨に触れると、その人は生き返り、立ち上がった。

エホアハズの時代に、アラムの王ハザエルはイスラエルを圧迫していた。

しかし、主は彼らに恵みを施し、彼らを憐れみ、彼らに向き直られた。

アブラハム、イサク、ヤコブとの契約のゆえに、主は彼らを滅ぼさず、今に至るまで御前から追い払わなかった。

アラムの王ハザエルが死ぬと、彼の子ベン・ハダデが代わって王となった。

エホアハズの子ヨアシュは、ハザエルの子ベン・ハダデの手から再び奪い返した。

彼の父エホアハズの手から戦争で奪われた都市を。
ヨアシュは彼を三度打ち破り、イスラエルの都市を取り戻した。

イスラエルの王、エホアハズの子ヨアシュの第二年に、

ユダの王、ヨアシュの子アマツヤが王となった。
アマツヤは二十五歳で王となり、エルサレムで二十九年間統治した。

彼の母はエルサレムのヨアディンであった。
彼は主の目にかなうことを行ったが、先祖ダビデのようではなかった。

彼は父ヨアシュの例に従った。
しかし、高き所は取り除かれず、

民はそこで引き続き犠牲を捧げ、香を焚いた。
彼の王国が確立されると、

彼は父である王を暗殺した家来たちを処刑した。
しかし、彼は殺人者たちの子供たちを死に至らしめなかった。

これはモーセの律法の書に書かれている通りであり、
主が命じられたように、

「父は子のために死に至らせられることはなく、
子も父のために死に至らせられることはない。
各々は自分の罪のために死に至らせられるべきである。」

彼は塩の谷でエドム人一万人を打ち破り、戦いでセラを奪い、それをヨクテエルと名付けた。

列王記下

それは今日までそのままである。⁸
その後、アマツヤはイスラエルの王、エホアハズの子、エフの子、ヨアシュに使者を送り、
「さあ、戦いに出よう」と言った。⁹
しかし、イスラエルの王ヨアシュはユダの王アマツヤに使者を送り、
「レバノンの茨がレバノンの杉に使者を送り、
『あなたの娘を私の息子の妻にください』」と言った。
。

しかし、レバノンの野獣が通りかかり、その茨を踏みつけた。¹⁰
あなたは確かにエドムを打ち破り、心が高ぶった。
あなたの榮譽を楽しみ、家に留まりなさい。
なぜあなたは災いを招き、あなたとユダが共に倒れるのか？」¹¹

しかし、アマツヤは警告を聞き入れなかった。
それでイスラエルの王ヨアシュは進軍し、
彼とユダの王アマツヤはユダの一部であるベテ・シエメシュで対峙した。¹²

ユダはイスラエルに敗れ、
各々の天幕に逃げ帰った。¹³
イスラエルの王ヨアシュはユダの王アマツヤを捕らえ、
彼の父ヨアシュ、アハズヤの子をベテ・シエメシュで捕らえた。

彼はエルサレムに行き、エフライムの門から角の門まで、エルサレムの城壁を四百キュビット壊した。¹⁴

彼は主の家と王の家の宝物庫にあったすべての金銀と器具を取り、人質と共にサマリアに戻った。

¹⁵ ヨアシュの残りの業績、彼の力、そして彼がユダの王アマツヤと戦ったこと、それらはイスラエルの王たちの年代記の書に記録されていないのか？¹⁶

ヨアシュは彼の先祖たちと共に眠り、サマリアでイスラエルの王たちと共に葬られ、
彼の息子ヤロブアムが彼の後を継いで王となった。

¹⁷ ユダの王、ヨアシュの子アマツヤは、イスラエルの王、エホアハズの子ヨアシュの死後、さらに十五年間生きた。¹⁸

アマツヤの治世の他の出来事は、ユダの王たちの年代記の書に記録されていないのか？¹⁹

彼らはエルサレムで彼に対して陰謀を企て、彼はラキシュに逃げた。
しかし、彼らはラキシュに人を送り、彼をそこで殺した。²⁰

彼らは彼を馬に乗せて戻り、彼の先祖たちと共にダ

ビデの町でエルサレムに葬った。²¹
ユダのすべての民はアザリヤを取り、彼は十六歳で、彼の父アマツヤに代わって王とした。²²
彼はエラトを再建し、王が亡くなった後にそれをユダに戻した。

²³ ユダの王、ヨアシュの子アマツヤの第十五年に、イスラエルの王、ヨアシュの子ヤロブアムがサマリアで王となり、四十一年間統治した。²⁴

彼は主の目に悪を行い、
ネパテの子ヤロブアムのすべての罪から離れず、イスラエルを罪に陥れた。²⁵

彼はイスラエルの国境をハマテの入口からアラバの海まで回復した。

これはイスラエルの神、主の言葉に従ったものであり、

彼はその言葉をガテ・ヘフェルの預言者、アミタイの子ヨナを通して語った。²⁶

主はイスラエルの苦しみが非常に激しいことを見られた。そこには自由な者も奴隷も残っておらず、イスラエルを助ける者もいなかった。²⁷

しかし、主はイスラエルの名を天の下から消し去るとは宣言されず、
彼はヨアシュの子ヤロブアムの手によって彼らを救われた。

²⁸ ヤロブアムの残りの業績、彼が成し遂げたすべてのこと、

彼の力、彼がどのように戦い、ユダに属していたダマスコとハマテをイスラエルに取り戻したか、それらはイスラエルの王たちの年代記の書に記録されていないのか？²⁹

ヤロブアムは彼の先祖たちと共に眠り、イスラエルの王たちと共に葬られ、
彼の息子ゼカリヤが彼の後を継いで王となった。

15 イスラエルの王ヤロブアムの第二十七年に、
ユダの王アマツヤの子アザリヤが王となった。² 彼は十六歳で王となり、エルサレムで五十二年間統治した。

彼の母はエルサレムのエコリヤであった。³

彼は父アマツヤの例に従って、
主の目にかなう正しい行いをした。⁴

しかし、高き所は取り除かれず、
民は引き続きこれらの高き所で犠牲を捧げ、香を焚いた。⁵

そして主は王を患わせ、彼は死ぬ日まで重い皮膚病にかかった。彼は別の家に住み、

王の子オタムが家を管理し、国の民を裁いた。⁶

列王記下

アザリヤの他の行いや彼のすべての業績は、ユダの王たちの年代記の書に記録されているではないか。⁷
アザリヤは死んで、ダビデの町で先祖と共に葬られ、彼の子ヨタムが彼に代わって王となった。

⁸ ユダの王アザリヤの第三十八年に、ヤロブアムの子ゼカリヤがイスラエルの王となり、サマリアで六ヶ月間統治した。⁹
彼は主の目に悪を行い、彼の先祖たちが行ったように、ネバテの子ヤロブアムの罪から離れなかった。¹⁰
彼はイスラエルを罪に導いた。¹⁰
そのとき、ヤベシュの子シャルムが彼に対して陰謀を企て、民の前で彼を打ち倒し、殺して、彼に代わって王となった。¹¹ ゼカリヤの他の行いは、確かに、イスラエルの王たちの年代記の書に記録されている。¹² これは主がエフに語った言葉である。「あなたの子孫は四代にわたってイスラエルの王座に座るであろう。」そしてその通りになった。

¹³ ヤベシュの子シャルムはユダの王ウジヤの第三十九年に王となり、サマリアで一ヶ月間統治した。¹⁴
そのとき、ガディの子メナヘムがティルツァからサマリアに上り、サマリアでヤベシュの子シャルムを打ち倒し、殺して、彼に代わって王座を奪った。¹⁵
シャルムの他の行いや彼の陰謀は、確かに、イスラエルの王たちの年代記の書に記録されている。¹⁶
その後、メナヘムはティルツァからティブサとその周辺のすべてを攻撃し、彼に開かれなかったため、それを攻撃し、妊娠しているすべての女性を引き裂いた。

¹⁷ ユダの王アザリヤの第三十九年に、ガディの子メナヘムがイスラエルの王となり、サマリアで十年間統治した。¹⁸
彼は主の目に悪を行い、彼のすべての日々、ネバテの子ヤロブアムの罪から離れなかった。彼はイスラエルを罪に導いた。¹⁹
アッシリアの王プルが国に攻めてきた。メナヘムはプルに銀千タラントを与え、彼の支援を得て、彼の統治下で王国を確保した。²⁰
その後、メナヘムはイスラエルから金を徴収し、すべての富裕な者から一人当たり銀五十シェケルを取り、アッシリアの王に与えた。
それでアッシリアの王は撤退し、国に留まらなかった。²¹

メナヘムの他の行いや彼のすべての業績は、イスラエルの王たちの年代記の書に記録されているではないか。²² メナヘムは死に、彼の子ベカヒヤが彼に代わって王となった。

²³ ユダの王アザリヤの第五十年に、メナヘムの子ベカヒヤがイスラエルの王となり、サマリアで二年間統治した。²⁴
彼は主の目に悪を行い、ネバテの子ヤロブアムの罪から離れなかった。²⁵
彼はイスラエルを罪に導いた。²⁵
そのとき、彼の役人レマリヤの子ベカが彼に対して陰謀を企て、サマリアの王宮の城で彼を打ち倒し、アルゴブとアリエと共に、ギルアデ人の五十人と共に彼を殺し、彼に代わって王座を奪った。²⁶
ベカヒヤの他の行いや彼のすべての業績は、確かに、イスラエルの王たちの年代記の書に記録されている。

²⁷ ユダの王アザリヤの第五十二年に、レマリヤの子ベカがイスラエルの王となり、サマリアで二十年間統治した。²⁸
彼は主の目に悪を行い、ネバテの子ヤロブアムの罪から離れなかった。²⁹
彼はイスラエルを罪に導いた。²⁹
イスラエルの王ベカの時代に、アッシリアの王ティグラテ・ピレセルが来て、イオン、アベル・ベテ・マアカ、ヤノア、ケデシュ、ハツオル、ギルアデ、ガリラヤ、ナフタリの全地を占領し、住民をアッシリアに捕囚として連れて行った。³⁰
そしてエラの子ホセアがレマリヤの子ベカに対して陰謀を企て、彼を打ち倒し、殺して、彼に代わって王座を奪った。
それはウジヤの子ヨタムの第二十年のことであった。³¹
ベカの他の行いや彼のすべての業績は、確かに、イスラエルの王たちの年代記の書に記録されている。

³² イスラエルの王レマリヤの子ベカの第二年に、ユダの王ウジヤの子ヨタムが王となった。³³
彼は二十五歳で王となり、エルサレムで十六年間統治した。³⁴
彼の母はザドクの娘エルシャであった。³⁴
彼は主の目にかなう正しい行いをし、彼の父ウジヤのすべての道に従った。³⁵
しかし、高き所は取り除かれず、民は引き続きこれらの高き所で犠牲を捧げ、香を焚いた。³⁶
彼は主の家の上の門を建設した。³⁶

列王記下

ヨタムの他の行いや彼の業績は、
ユダの王たちの年代記の書に記録されているではないか。³⁷

その時、主はアラムの王レツィンとレマリヤの子ベカをユダに送ることを始めた。³⁸

ヨタムは死んで、彼の父ダビデの町で先祖と共に葬られ、彼の子アハズが彼に代わって王となった。

16 レマリヤの子ベカの第十七年に、
ユダの王ヨタムの子アハズが王となった。

² アハズは二十歳で王となり、
エルサレムで十六年間統治した。

彼は父ダビデが行ったように、彼の神、主の目にかなうことを行わなかった。³

しかし、彼はイスラエルの王たちの道を歩み、
その上、自分の子を火の中を通らせた。

これは、主がイスラエルの子らの前から追い払った
国々の忌まわしい行いに従ったものである。⁴

彼は高き所、丘の上、すべての青々とした木の下で、
いけにえをささげ、香をたいた。

⁵

その時、アラムの王レツィンとイスラエルの王レマリヤの子ベカがエルサレムに攻め上り、
アハズを包囲したが、彼を打ち破ることはできなかった。⁶

その時、アラムの王レツィンはエラトをアラムに取り戻し、

ユダの人々をエラトから完全に追い出した。

そしてアラム人がエラトに来て、今日までそこに住んでいる。

⁷

そこでアハズはアッシリアの王ティグラテ・ピレセルに使者を送り、

「私はあなたのしもべであり、あなたの子です。アラムの王とイスラエルの王が私に立ち向かっているので、私を助けに来てください」と言った。⁸

アハズは主の家にあった銀と金、
および王宮の宝物庫にあったものを取り、アッシリアの王に贈り物として送った。⁹

アッシリアの王は彼の願いを聞き入れ、
ダマスコに攻め上ってそれを占領し、
その民をキルに捕囚として連れて行き、レツィンを殺した。

¹⁰

さて、アハズ王はアッシリアの王ティグラテ・ピレセルに会うためにダマスコに行き、

そこでダマスコにあった祭壇を見た。
アハズ王はその祭壇の型とその模型を祭司ウリヤに

送り、そのすべての細工に従って作らせた。¹¹
祭司ウリヤはアハズ王がダマスコから送ったすべてに従って祭壇を作った。

祭司ウリヤは王がダマスコから来る前にそれを作った。¹²

王がダマスコから来たとき、王は祭壇を見た。
そして王は祭壇に近づき、それに上った。¹³

彼はその上で燔祭と穀物の供え物を焼き、
その上に注ぎの供え物を注ぎ、和解のいけにえの血を祭壇に振りかけた。¹⁴

そして、主の前にあった青銅の祭壇を、
彼の祭壇と主の家の間から移し、
彼の祭壇の北側に置いた。¹⁵

それからアハズ王は祭司ウリヤに命じて言った、
「大祭壇の上で朝の燔祭と夕の穀物の供え物を焼き

、王の燔祭とその穀物の供え物を焼き、
国のすべての民の燔祭とその穀物の供え物とその注ぎの供え物を焼き、

燔祭のすべての血といけにえのすべての血をその上に振りかけなさい。

しかし、青銅の祭壇は私が伺いを立てるためのものとする。」¹⁶

祭司ウリヤはアハズ王が命じたすべてを行った。

¹⁷ それからアハズ王は台座の縁を切り取り、
その上の洗盤を取り除いた。

また、青銅の牛の上にあった海を取り下ろし、
石の舗道の上に置いた。¹⁸

そして、彼は安息日のために建てられた覆いのある庇を取り除き、

主の家から王のための外の入口を取り除いた。

これはアッシリアの王のためである。

¹⁹ さて、アハズの行ったその他の行為は、
ユダの王たちの年代記の書に記録されているではないか。²⁰

アハズはその父たちと共に眠り、ダビデの町にその父たちと共に葬られ、

その子ヒゼキヤが彼に代わって王となった。

17 ユダの王アハズの第十二年に、
エラの子ホセアがサマリアでイスラエルの王となり、九年間治めた。²

彼は主の目の前で悪を行ったが、
彼以前のイスラエルの王たちほどではなかった。³

アッシリアの王シャルマネセルが彼に対して進軍し、
ホセアは彼の臣下となり、貢ぎ物を納めた。⁴

しかし、アッシリアの王はホセアに陰謀を見つけた。

彼はエジプトの王ソに使者を送り、
毎年のようにアッシリアの王に貢ぎ物を納めなかったからである。

列王記下

それでアッシリアの王は彼を捕らえ、牢に繋いだ。

その後、アッシリアの王は全土を侵略し、サマリア
に上って三年間それを包囲した。⁶
ホセアの第九年に、アッシリアの王はサマリアを攻
略し、
イスラエルの民をアッシリアに捕囚として連れて行
き、
彼らをハラ、ゴザン川のほとりのハボル、メディア
の町々に住ませた。

これはイスラエルの子らが彼らの神、主に対して罪
を犯したためである。
彼らはエジプトの王ファラオの手から彼らを連れ出
した主を忘れ、⁸ 他の神々を恐れた。
そして、主がイスラエルの子らの前から追い払った
国々の習慣に従い、
イスラエルの王たちが導入した習慣に従った。⁹
イスラエルの子らは彼らの神、主に対して正しくな
いことを密に行った。
さらに、彼らは自分たちの町々の中に高き所を建て
、¹⁰ 見張り台から要塞の町に至るまでそうした。
彼らはすべての高い丘の上と、
すべての青々とした木の下に石の柱とアシェラ像を
立てた。¹¹ 彼らはすべての高き所で香を焚き、
主が彼らの前に追い払った国々のように行い、
悪事を行って主を怒らせた。¹²
彼らは偶像に仕えたが、主は彼らに、
「このことをしてはならない」と言われた。¹³
それにもかかわらず、主はすべての預言者とすべて
の先見者を通じてイスラエルとユダにメッセージを送り、
「あなたがたの悪い道から立ち返り、私の命令と律
法を守りなさい。
それは私があなたがたの父祖に命じ、
私のしもべである預言者たちを通じてあなたがたに
送った律法に従っている」と言われた。¹⁴
しかし、彼らは聞かず、首を固くし、
彼らの父祖のように、彼らの神、主を信じなかった
。¹⁵
彼らは主の律法と、彼が彼らの父祖と結んだ契約を
拒み、¹⁶ 彼が彼らに警告した警告を拒んだ。
そして、彼らは偶像に従い、空しくなり、
彼らを囲む国々に従った。
主は彼らに、それらの国々のようにしてはならない
と命じた。
彼らは彼らの神、主のすべての命令を捨て、
自分たちのために铸造した二つの子牛の像を作り、
アシェラ像を作り、天の万象を拝み、バアルに仕え

た。¹⁷
彼らはまた、自分たちの息子や娘を火の中を通らせ
、¹⁸ 占いを行い、兆しを解釈し、
主の目の前で悪を行い、彼を怒らせた。
それで主はイスラエルに非常に怒り、彼らを彼の前
から取り除いた。¹⁹ ユダの部族だけが残った。
また、ユダも彼らの神、主の命令を守らず、
イスラエルが導入した習慣に従った。²⁰
それで主はイスラエルのすべての子孫を拒み、彼ら
を苦しみ、
略奪者の手に渡し、彼が彼らを彼の前から追い出す
までそうした。²¹
彼がイスラエルをダビデの家から分けたとき、
彼らはネバデの子ヤロブアムを王とした。
その後、ヤロブアムはイスラエルを主に従うことか
ら遠ざけ、²² 彼らに大きな罪を犯させた。
イスラエルの子らはヤロブアムが犯したすべての罪
を歩み、²³ それから離れなかった。
ついに主はイスラエルを彼の前から取り除いた。
彼がすべてのしもべである預言者たちを通じて語っ
たように。
それでイスラエルは自分たちの土地からアッシリア
に捕囚として連れて行かれ、今日に至る。
²⁴
その後、アッシリアの王はバビロン、クタ、アワ、
ハマト、セファルワイムから人々を連れてきて、
イスラエルの子らの代わりにサマリアの町々に住ま
わせた。
彼らはサマリアを所有し、その町々に住んだ。²⁵
彼らがそこに住み始めたとき、彼らは主を恐れなかつ
た。
それで主は彼らの中にライオンを送り、彼らのうち
の何人かを殺した。²⁶
それで彼らはアッシリアの王に報告して言った、
「あなたが捕囚として連れて行き、サマリアの町々
に住ませた国々の人々は、
その土地の神の習慣を知らないの、
彼は彼らの中にライオンを送り、見よ、彼らを殺し
ている。
彼らはその土地の神の習慣を知らないからです。」
²⁷ それでアッシリアの王は命じて言った、
「あなたがたがそこから捕囚として連れて行った祭
司の一人を連れて行き、²⁸ 彼をそこに住ませ、
その土地の神の習慣を彼らに教えさせなさい。」
それでサマリアから捕囚として連れて行かれた祭司
の一人が来て、
ベテルに住み、彼らに主を恐れる方法を教えた。

列王記下

²⁹ しかし、各国民はそれぞれ自分たちの神を作り、サマリアの人々が作った高き所の家に置いた。各国民は自分たちが住んでいる町々にそうした。³⁰ バビロンの人々はスコテ・ペノテを作り、クタの人々はネルガルを作り、ハマトの人々はアシマを作った。³¹ アワの人々はニブハズとタルタクを作り、セファルワイムの人々は自分たちの子供を火の中で焼き、セファルワイムの神アドラメレクとアナメレクに捧げた。³² 彼らはまた主を恐れ、自分たちの中から高き所の祭司を任命し、彼らを高き所の家で仕えさせた。³³ 彼らは主を恐れたが、自分たちの神々に仕えた。彼らが捕囚として連れて行かれた国々の習慣に従った。³⁴ 今日に至るまで彼らは以前の習慣に従って行動している。

彼らは主を恐れず、彼の律法、彼の掟、彼の法、また彼がヤコブの子らに命じた命令に従わない。³⁵ 彼は彼らをイスラエルと名付けた。主は彼らと契約を結び、彼らに命じて言われた、「あなたがたは他の神々を恐れてはならず、彼らにひれ伏してはならず、彼らに仕えてはならず、彼らに犠牲を捧げてはならない。³⁶ しかし、あなたがたを大いなる力と伸ばした腕でエジプトの地から連れ出した主を恐れ、彼にひれ伏し、彼に犠牲を捧げなさい。³⁷ そして、彼があなたがたのために書いた律法、掟、法、命令を常に守り、他の神々を恐れてはならない。³⁸ そして、私があなたがたと結んだ契約を覚え、他の神々を恐れてはならない。³⁹ しかし、あなたがたの神、主を恐れなさい。そうすれば、彼はあなたがたをすべての敵の手から救う。」⁴⁰ しかし、彼らは聞かず、以前の習慣に従って行動し続けた。⁴¹ それで、これらの国々は主を恐れたが、彼らの偶像にも仕えた。彼らの子供たちも孫たちも同様に、彼らの父祖が行ったように、今日に至るまでそうしている。

18 さて、イスラエルの王、エラの子ホセアの第三年に、ユダの王アハズの子ヒゼキヤが王となった。² 彼は二十五歳で王となり、エルサレムで二十九年間統治した。彼の母はゼカリヤの娘アビであった。³

彼は主の目にかなう正しいことを行い、父ダビデが行ったすべてに従った。⁴ 彼は高き所を取り除き、記念碑を打ち砕き、アシェラを切り倒し、またモーセが作った青銅の蛇を粉々にした。その日までにイスラエルの子らはそれに香をたいていた。それはネフシュタンと呼ばれていた。⁵ 彼はイスラエルの神、主に信頼を置いた。彼の前にも後にも、ユダのすべての王の中で彼のような者はいなかった。⁶ 彼は主にしっかりと従い、主に従うことをやめず、主がモーセに与えた戒めを守った。⁷ 主は彼と共におられた。彼が行くところどこでも成功を収めた。彼はまたアッシリアの王に立ち向かい、彼に仕えなかった。⁸ 彼はガザとその領土に至るまで、見張りの塔から要塞都市に至るまで、ペリシテ人を打ち破った。

⁹ ヒゼキヤ王の第四年、すなわちイスラエルの王エラの子ホセアの第七年に、アッシリアの王シャルマネセルがサマリアに進軍し、それを包囲した。¹⁰ 三年の終わりに彼らはそれを占領した。ヒゼキヤの第六年、すなわちイスラエルの王ホセアの第九年に、サマリアは陥落した。¹¹ それからアッシリアの王はイスラエルをアッシリアに捕囚し、ハラとハボル、ゴザン川のほとり、メディアの都市に彼らを住ませた。¹² 彼らが彼らの神、主の声に従わず、主のしもべモーセが命じたすべての契約を破ったからである。彼らは聞かず、従わなかった。

¹³ ヒゼキヤ王の第十四年に、アッシリアの王セナケリブがユダのすべての要塞都市に進軍し、それを占領した。¹⁴ それでユダの王ヒゼキヤはラキシユにいるアッシリアの王に使者を送り、「私は誤りを犯しました。私から退いてください。あなたが課すものは何でも負います。」と言った。それでアッシリアの王はユダの王ヒゼキヤに銀三百タラントと金三十タラントを課した。¹⁵ ヒゼキヤは主の家にあったすべての銀と、王の家の宝物庫にあった銀を彼に提供した。¹⁶ その時、ヒゼキヤは主の宮の扉から金を取り除き、ユダの王ヒゼキヤが覆った門柱からも金を取り除き、それをアッシリアの王に与えた。

列王記下

17

それからアッシリアの王はタルタン、ラブ・サリス、ラブシャケをラキシユから

大軍と共にエルサレムのヒゼキヤ王のもとに送った。

。 彼らはエルサレムに上ってきて、

上の池の水道のそば、洗濯人の野の道に立った。 18

彼らは王を呼び出した。

ヒルキヤの子エリアキムが家を管理し、書記官シェブナと記録者アサフの子ヨアが彼らのもとに出てきた。 19

それからラブシャケは彼らに言った、

「ヒゼキヤに言いなさい、

『大王、アッシリアの王がこう言われる。

あなたが持っているこの自信は何か？ 20

あなたは言うが、それは空虚な言葉だ—

「私は戦争のための計画と力を持っている。」

今、あなたは誰に頼って私に反逆したのか？ 21

今見よ、あなたはこの壊れた葦の杖、エジプトに頼っている。

それに頼る者がいれば、それは彼の手に刺さり、突き刺す。

エジプトの王ファラオは彼に頼るすべての者にとってそうである。 22

しかし、もしあなたが私に言うなら、「私たちは私たちの神、主に信頼している。」

ヒゼキヤが取り除いた高き所と祭壇は彼ではないのか、

そしてユダとエルサレムに言った、「あなたがたはエルサレムのこの祭壇の前で礼拝しなければならぬ」と？ 23

今、私の主人アッシリアの王と賭けをしなさい。

私はあなたに二千の馬を与える、

もしあなたがそれに乗る者をあなたの側で置くことができるなら。 24

それならば、あなたは私の主人の最も小さな僕の一人の役人をもどうやって追い返すことができるのか、

そしてエジプトに戦車と騎兵を頼るのか？ 25

私は今、主の同意なしにこの場所に上ってそれを滅ぼすために来たのか？

主は私に言われた、「この地に上って、それを滅ぼせ。」 1

26

それからヒルキヤの子エリアキム、シェブナ、ヨアはラブシャケに言った、

「どうかあなたのしもべたちにアラム語で話してください、私たちはそれを理解します。

そして壁にいる人々の聞いている中でユダの言葉で私たちに話さないでください。」 27

しかしラブシャケは彼らに言った、

「私の主人はこれらの言葉をあなたの主人とあなた

にだけ話すために私を送ったのか、壁に座っている人々にはではないのか、彼らはあなたと共に自分の糞を食べ、自分の尿を飲む運命にある。」 28

それからラブシャケは立ち上がり、大声でユダの言葉で叫び、言った、

「大王、アッシリアの王の言葉を聞け！ 29

王はこう言われる、

『ヒゼキヤにあなたを欺かせてはならない、彼はあなたを私の手から救い出すことはできない。 30

ヒゼキヤに主に信頼させてはならない、

「主は確かに私たちを救い、この都市はアッシリアの王の手に渡されることはない。」と言って。 31

ヒゼキヤの言うことを聞いてはならない。これはアッシリアの王が言うことだ、

「私と和解し、私のもとに出てきなさい、そしてそれぞれ自分のぶどうの木から食べ、それぞれ自分のいちじくの木から食べ、

自分の井戸の水を飲みなさい、 32

私が来てあなたをあなたの土地のような地、穀物と新しいぶどう酒の地、

パンとぶどう畑の地、オリーブ油と蜂蜜の地に連れで行くまで。」

そうすればあなたは生き、死ぬことはない。」

しかしヒゼキヤの言うことを聞いてはならない、彼は「主が私たちを救う」と言ってあなたを惑わす。 33

国々の神々の中で、アッシリアの王の手から自分の土地を救い出した者がいるか？ 34

ハマテとアルパデの神々はどこにいるのか？

セファルワイム、ヘナ、イワの神々はどこにいるのか？

彼らは私の手からサマリアを救い出したのか？ 35

土地のすべての神々の中で、誰が私の手から自分の土地を救い出したのか、

主がエルサレムを私の手から救うことができるだろうか？」

36 しかし人々は黙って彼に一言も答えなかった、王の命令が「彼に答えてはならない」とあったからである。 37

それから家を管理していたヒルキヤの子エリアキム、書記官シェブナ、記録者アサフの子ヨアは、衣を裂いてヒゼキヤのもとに来て、ラブシャケの言葉を彼に報告した。

19 ヒゼキヤ王はこれを聞くと、自分の衣を裂き、荒布をまとい、主の宮に入った。 2
彼は家を管理するエリアキムと書記官シェブナ、

列王記下

そして祭司たちの長老たちを荒布をまとわせて、
預言者アモツの子イザヤのもとに送った。³

彼らは彼に言った、
「ヒゼキヤはこう言います。『今日は苦難と叱責と
侮辱の日です。

子どもたちが生まれる時が来たのに、産む力があり
ません。』」⁴

おそらく、あなたの神、主はラブシャケのすべての
言葉を聞かれるでしょう。

彼の主人、アッシリアの王が生ける神を侮辱するた
めに送った言葉を、

あなたの神、主が聞かれた言葉を叱責されるでしょ
う。

それゆえ、残された者のために祈りを捧げてくださ
い。』」⁵

こうして、ヒゼキヤ王の使者たちはイザヤのもとに
来た。⁶ イザヤは彼らに言った、

「あなたの主人にこう言いなさい。『主はこう言わ
れます。

あなたが聞いた言葉のために恐れてはならない。
アッシリアの王の使者たちが私を冒涇した言葉のた
めに。』」⁷ 見よ、私は彼の中に霊を入れ、

彼が噂を聞いて自分の国に帰るようにする。
そして私は彼をその国で剣によって倒す。』」⁸

ラブシャケは戻り、アッシリアの王がリブナと戦っ
ているのを見つけた。

彼はラクシュを去ったと聞かされていた。⁹
彼はクシュの王ティルハカについて言われるのを聞
いたとき、

「見よ、彼はあなたに戦いを挑みに来た」と、
再び使者をヒゼキヤに送り、言った。¹⁰

「ユダの王ヒゼキヤにこう言いなさい。
『あなたが信頼する神が、

「エルサレムはアッシリアの王の手に渡されない」と言って、
あなたを惑わすことがないように。』」¹¹

見よ、あなたはアッシリアの王たちがすべての国々
に何をしたかを聞いた。 彼らを完全に滅ぼした。

それであなたは救われるのか？¹²
私の先祖が滅ぼした国々の神々は彼らを救ったのか

—
ゴザン、ハラン、レゼフ、そしてテラサルにいたエ
デンの子らを？¹³ ハマテの王、アルパデの王、

セファルワイムの町の王、ヘナとイワの王はどうな
ったのか？』」¹⁴

ヒゼキヤは使者たちから手紙を受け取り、それを読
み、

主の宮に上り、それを主の前に広げた。¹⁵

ヒゼキヤは主の前で祈り、言った、
「イスラエルの神、主よ、ケルビムの上に座してお
られる方よ、

あなたは地のすべての王国の神です。
あなたが天と地を造られました。』」¹⁶

主よ、耳を傾けて聞いてください。
主よ、目を開いて見てください。

そして、センナケリブが生ける神を侮辱するために
送った言葉を聞いてください。』」¹⁷

確かに、主よ、アッシリアの王たちは国々とその土
地を荒らしました。』」¹⁸

彼らの神々を火に投げ入れました。
それは神ではなく、人間の手の作品、木や石にすぎ
なかったからです。

それで彼らはそれらを滅ぼしました。¹⁹
しかし今、私たちの神、主よ、私たちが彼の手から
救ってください。

それで地のすべての王国があなたが唯一の神である
ことを知るでしょう。』」²⁰

すると、アモツの子イザヤはヒゼキヤに言葉を送っ
た、

「イスラエルの神、主はこう言われます。
『あなたがアッシリアの王センナケリブについて私
に祈ったので、私はあなたを聞いた。』」²¹

これは主が彼に対して語ったメッセージです：

『彼女はあなたを軽蔑し、あなたを嘲笑した、
シオンの乙女の娘。 彼女はあなたに頭を振った、
エルサレムの娘！』」²²

誰に対してあなたは声を上げ、誇り高く目を上げ
たのか？ イスラエルの聖なる者に対して！²³

あなたは使者を通して主を侮辱し、言った、
「私の多くの戦車で山々の高みまで登った、
レバノンの最も遠い部分まで。

そしてその高い杉と選ばれたもみの木を切り倒し
た。』」²⁴

そしてその最も遠い休息の場所、その最も密集し
た森に入った。

私は井戸を掘り、外国の地の水を飲んだ、
そして私の足の裏で

エジプトのすべての川を干上がらせた。』」²⁵

あなたは聞いていないのか？
昔から私はそれを行った、

古代から私はそれを計画した。
今、私はそれを実現させた、

あなたが要塞都市を廃墟の山に変えることを。²⁶
それで彼らの住民は無力だった、

彼らは打ち砕かれ、恥をかかされた。
彼らは野の草のようであり、緑のハーブのようで

列王記下

あり、
成長する前に焼かれる屋根の草のようだった。²⁷
しかし私はあなたの座を知っている、
あなたの出入りを、
そして私に対するあなたの怒りを。²⁸
あなたの私に対する怒りのために、
そしてあなたの高慢が私の耳に達したために、
私はあなたの鼻に鉤を入れ、
あなたの唇に嚙を入れる、
そしてあなたが来た道であなたを戻す。』

²⁹ これはあなたへのしるしです：

あなたは今年、自生するものを食べ、
二年目には同じものから生えるものを食べ、
三年目には種を蒔き、刈り取り、
ぶどう畑を植え、その実を食べる。³⁰
そしてユダの家に残された生存者たちは
再び下に根を張り、上に実を結ぶ。³¹
エルサレムから残りの者が出て、
シオンの山から生存者が出る。
主の熱心がこれを成し遂げる。

³²
それゆえ、主はアッシリアの王についてこう言います：

『彼はこの都市に来ない、そこに矢を放たない。
盾を持ってそれに向かうことも、
包囲の坂を築くこともない。³³
彼は来た道を戻り、
この都市には来ない』と主は言われる。³⁴
『私はこの都市を守り、保存する、
私自身のため、そして私のしもべダビデのために
。』』

³⁵ その夜、主の使いが出て行き、
アッシリアの陣営で185,000人を打った。
そして人々が朝起きると、見よ、皆死体であった。³⁶

それでアッシリアの王センナケリブは去り、帰国し、
ニネベに住んだ。³⁷
彼が彼の神ニスロクの宮で礼拝していたとき、
アドラメレクとシャレゼルが彼を剣で殺し、
アララトの地に逃げた。
そして彼の子エサルハドンが彼の代わりに王となった。

20 その頃、ヒゼキヤは重い病にかかりました。
アモツの子である預言者イザヤが彼を訪ねて言いました、

「主はこう言われます。『あなたの家を整えなさい。
あなたは回復せず、死んでしまうだろう。』」²
これを聞いて、彼は壁に向かって主に祈り、³
「どうか主よ、私があなたの前を心を尽くし、誠実に歩み、
あなたの目に良いことを行ってきたことを思い出してください。」
そしてヒゼキヤは激しく泣きました。

⁴ イザヤが中庭を出る前に、
主の言葉が彼に臨んで言いました、⁵
「戻って、私の民の指導者ヒゼキヤに告げなさい。
『あなたの先祖ダビデの神、主はこう言われます。

あなたの祈りを聞き、 あなたの涙を見た。
見よ、私はあなたを癒す。
三日目にあなたは主の家に上るであろう。⁶
私はあなたの命を十五年延ばし、
あなたとこの町をアッシリアの王の手から救い、
私自身のために、
また私のしもべダビデのためにこの町を守る。』
」

⁷
するとイザヤは言いました、「イチジクのケーキを持ってきなさい。」
彼らはそれを持ってきて腫れ物に置き、彼は回復しました。⁸
ヒゼキヤはイザヤに尋ねました、
「主が私を癒し、
三日目に主の家に上るというしるしは何ですか？」
⁹ イザヤは言いました、
「主が約束されたことを行うというしるしはこれです：

影が十段進むべきか、
それとも十段戻るべきか？」

¹⁰ ヒゼキヤは答えました、
「影が十段進むのは簡単です；
いいえ、十段戻してください。」¹¹
すると預言者イザヤは主に呼びかけ、
主は影をアハズの階段で十段戻しました。
それは階段を降りた影でした。

¹²
その頃、バビロンの王バラダンの子、ペロダク・バラダンが、
ヒゼキヤの病気を聞いて手紙と贈り物を送りました。¹³
ヒゼキヤは彼らの言うことを聞き、彼らにすべての宝物庫を見せました—
銀、金、バルサム油、香油、彼の武器、そして彼の

列王記下

宝庫にあるすべてのものを。

彼の家にも、彼の領土にも、ヒゼキヤが彼らに見せなかったものは何もありませんでした。¹⁴

すると預言者イザヤが王ヒゼキヤのもとに来て言いました、

「これらの人々は何を言い、どこからあなたのもとに来たのですか？」

ヒゼキヤは言いました、「彼らは遠い国、バビロンから来ました。」¹⁵

彼は言いました、「彼らはあなたの家で何を見ましたか？」

ヒゼキヤは答えました、「彼らは私の家にあるすべてのものを見ました；

私の宝庫の中に彼らに見せなかったものは何もありません。」¹⁶ イザヤはヒゼキヤに言いました、

「主の言葉を聞きなさい：

¹⁷ 『見よ、あなたの家にあるすべてのもの、あなたの父たちが今日まで蓄えたすべてのものが

、バビロンに運ばれる日が来る。何も残らないだろう』と主は言われます。¹⁸

『そしてあなたの子孫の中から、あなた自身の子供たちが、連れ去られ、バビロンの王の宮殿で役人として仕えるだろう。』」

¹⁹ するとヒゼキヤはイザヤに言いました、「あなたが語った主の言葉は良いです。」

彼は思いました、「私の時代に平和と真実があるなら、それは良いことではないか？」

²⁰ さて、ヒゼキヤの他の行いと彼のすべての業績、彼がプールと水道を作り、町に水を引いたこと、それらはユダの王たちの年代記の書に記録されていないでしょうか？²¹

こうしてヒゼキヤは彼の先祖たちと共に眠り、彼の息子マナセが彼の後を継いで王となりました。

21 マナセは十二歳で王となり、エルサレムで五十五年間統治した。

彼の母の名はヘフジバであった。²

彼は主の目の前で悪を行い、

主がイスラエルの子らの前から追い払った国々の忌まわしい習慣に従った。³

彼は父ヒゼキヤが破壊した高き所を再建し、バアルのために祭壇を築き、アシェラ像を作った。

それはイスラエルの王アハブがしたように、彼は天の万象を拝み、それらに仕えた。⁴

彼はまた、主が「エルサレムにわたしの名を置く」と言われた主の家に祭壇を築いた。⁵

彼は主の家の二つの庭に、

天の万象のための祭壇を築いた。⁶

彼はまた、自分の子らを火の中を通らせ、

占いを行い、呪術を用い、

霊媒や口寄せに頼った。

彼は主の目の前で多くの悪を行い、主を怒らせた。⁷

彼は作ったアシェラ像を主がダビデとその子ソロモンに語られた家に置いた。

「わたしはイスラエルのすべての部族から選んだこの家とエルサレムに、わたしの名を永遠に置く。⁸

もし彼らがわたしが命じたすべてのことを守り、わたしのしもべモーセが命じた律法に従って行な

らば、

わたしは彼らの先祖に与えた地からイスラエルの足を再びさまよわせることはない。」⁹

しかし、彼らは聞き入れず、

マナセは彼らを感じ、

主がイスラエルの子らの前に滅ぼした国々よりもさらに多くの悪を行わせた。

¹⁰ 主はそのしもべである預言者たちを通して語られた。

「ユダの王マナセがこれらの忌まわしいことを行い、彼の前にいたアモリ人よりも多くの悪を行い、

その偶像によってユダにも罪を犯させたので、¹²

それゆえ、イスラエルの神、主はこう言われる。

『見よ、わたしはエルサレムとユダに大きな災いをもたらす。

それを聞く者は誰でも、その両耳が鳴るであろう。¹³

わたしはサマリアの測り縄とアハブの家の重り縄をエルサレムに伸ばし、

皿を洗うようにエルサレムを洗い、それをひっくり返す。¹⁴

わたしはわたしの嗣業の残りを捨て、

彼らをその敵の手に渡し、

彼らはすべての敵にとって略奪と戦利品となるであろう。¹⁵ 彼らがわたしの目の前で悪を行い、

彼らの先祖がエジプトから出てきた日から今日まで、わたしを怒らせ続けてきたからである。』」

¹⁶ さらに、マナセは非常に多くの無実の血を流し、エルサレムを端から端まで満たした。

彼がユダに罪を犯させ、

主の目の前で悪を行わせた罪のほか、

¹⁷ マナセのその他の行為と彼が行ったすべてのこと、

列王記下

彼が犯した罪は、
ユダの王たちの年代記の書に記録されているではないか。¹⁸ マナセはその先祖と共に眠り、彼の家の庭、ウッツァの庭に葬られた。その子アモンが彼に代わって王となった。

¹⁹ アモンは二十二歳で王となり、エルサレムで二年間統治した。彼の母はヨトバのハルツの娘メシュレメテであった。²⁰ 彼は父マナセがしたように、主の目の前で悪を行った。²¹ 彼は父が歩んだすべての道に従い、父が仕えた偶像に仕え、それらを拝んだ。²² 彼はその先祖の神、主を捨て、主の道を歩まなかった。²³ アモンの家臣たちは彼に対して陰謀を企て、王をその家で殺した。²⁴ しかし、その地の民はアモン王に対して陰謀を企てた者たちを討ち、その子ヨシヤを彼に代わって王とした。

²⁵ アモンのその他の行為、彼が行ったことは、ユダの王たちの年代記の書に記録されているではないか。²⁶ 彼はウッツァの庭の墓に葬られ、その子ヨシヤが彼に代わって王となった。

22 ヨシヤは八歳で王位に就き、エルサレムで三十一年間統治しました。彼の母の名はエダイアの娘エディダで、ボズカテの出身です。² 彼は主の目にかなう正しいことを行い、父ダビデの道をすべて歩み、右にも左にもそれませんでした。

³ ヨシヤ王の治世の十八年目に、王は書記官メシュラムの子アザリヤの子シャファンを主の家に送り、言いました。⁴ 「大祭司ヒルキヤのところに上り、主の家に持ち込まれた金を数えさせなさい。それは門番たちが民から集めたものです。⁵ そして、それを主の家の監督をしている作業員に渡し、主の家にいる作業員に渡して家の損傷を修理させなさい。⁶ 職人や建築者、石工たちに、家を修理するための木材や切石を買うために渡しなさい。⁷ しかし、彼らに渡された金については、彼らと会計をしなくてもよいのです。彼らは誠実に取り扱います。」

⁸ 大祭司ヒルキヤは書記官シャファンに告げました。「私は主の家で律法の書を発見しました。」

そしてヒルキヤはその書をシャファンに渡し、彼はそれを読みました。⁹ 書記官シャファンは王のもとに行き、王に報告して言いました。

「あなたのしもべたちは家で見つかった金を空にし、それを主の家の監督をしている作業員に渡しました。」¹⁰ さらに、書記官シャファンは王に告げて言いました。

「ヒルキヤ祭司が私に一冊の書を渡しました。」そしてシャファンはそれを王の前で読みました。¹¹ 律法の書の言葉を聞いたとき、王は自分の衣を裂きました。¹² そして王はヒルキヤ祭司、シャファンの子アヒカム、ミカヤの子アクボル、書記官シャファン、および王のしもべアサヤに命じて言いました。¹³ 「私のために、また民とユダ全体のために、この発見された書の言葉について主に伺いなさい。私たちの父たちがこの書の言葉を聞かず、私たちについて書かれているすべてに従って行わなかったため、主の激しい怒りが私たちに向かって燃えているからです。」

¹⁴ そこでヒルキヤ祭司、アヒカム、アクボル、シャファン、アサヤは、衣装係のハルハスの子ティクワの子シャルムの妻、預言者フルダのもとに行きました。（彼女はエルサレムの第二地区に住んでいました。）¹⁵ そして彼らは彼女に話しました。彼女は彼らに言いました。「イスラエルの神、主はこう言われます。『あなたを私のもとに遣わした人にこう言いなさい。』」

¹⁶ 主はこう言われます。見よ、私はこの場所とその住民に災いをもたらす。それはユダの王が読んだ書のすべての言葉です。¹⁷ 彼らが私を捨てて他の神々に香をたき、彼らの手のすべての業で私を怒らせたので、私の怒りはこの場所に対して燃え、それは消されることはない。』」

¹⁸ ユダの王が主に伺うためにあなたを遣わしたことに、彼にこう言いなさい。

列王記下

「イスラエルの神、主はこう言われます。
あなたが聞いた言葉について—¹⁹
あなたの心が柔らかく、主の前で自らを低くした
ので、
私がこの場所とその住民に対して語ったことを聞
いたとき、
彼らが恐怖と呪いの対象になることを、
あなたは衣を裂き、私の前で泣いたので、
私は確かにあなたを聞いた。」と主は言われます²⁰
。
「それゆえ、見よ、私はあなたをあなたの父たち
のもとに集め、
あなたは平和のうちに墓に集められる。
あなたの目は私がこの場所にもたらすすべての災
いを見ない。」』
それで彼らは王に言葉を持ち帰りました。

23 王は使者を送り、
ユダとエルサレムのすべての長老たちを彼
のもとに集めた。² 王は主の宮に上り、
ユダのすべての人々とエルサレムの住民すべて、
祭司、預言者、そして小さい者から大きい者までの
すべての人々と共に行った。
そして彼は主の宮で見つけた契約の書のすべての
言葉を彼らの聞いている前で読んだ。³
その後、王は柱のそばに立ち、主の前で契約を結ん
だ。
それは、主に従い、心を尽くし魂を尽くして彼の戒
め、証し、掟を守り、
この書に書かれている契約の言葉を実行することで
あった。
そしてすべての民はその契約を確認した。

⁴ その後、王は大祭司ヒルキヤと、
第二位の祭司たちと、門衛たちに命じて、
主の宮からバアルのために作られたすべての器具、
アシェラのため、そして天の万象のために作られた
すべての器具を持ち出させた。
そしてそれらをエルサレムの外のキデロンの野で焼
き、その灰をベテルに運んだ。⁵
彼はまた、ユダの王たちがユダの町々とエルサレム
の周辺で香をたくために任命した偶像の祭司たち、
バアルや太陽、月、星座、天の万象に香をたく者た
ちを取り除いた。⁶
彼はアシェラを主の宮からエルサレムの外のキデロ
ンの谷に持ち出し、キデロンの谷でそれを焼き、
それを粉々に砕き、
その粉を一般の人々の墓にまき散らした。⁷
彼はまた、主の宮にあった男の神殿娼婦の家を壊し
、

そこでは女たちがアシェラのために幕を織っていた
。⁸
次に彼はユダの町々からすべての祭司を連れて来て
、祭司たちが香をたいていた高き所を汚し、
ゲバからベエル・シェバまで。
そして彼は町の総督ヨシュアの門の入口にあった門
の高き所を壊した。
それは町の門の左側にあった。⁹
しかし、高き所の祭司たちはエルサレムの主の祭壇
に上らず、
彼らの兄弟たちと共に種なしパンを食べた。¹⁰
彼はまた、ヒノムの谷にあるトフェテを汚し、
誰もその息子や娘をモレクのために火を通らせない
ようにした。¹¹
そして彼はユダの王たちが太陽に捧げた馬を取り除
き、主の宮の入口、
官吏ナタン・メレクの部屋のそばにあった。¹²
そして彼は太陽の戦車を火で焼いた。
屋上にあった祭壇、アハズの上の部屋、
ユダの王たちが作ったもの、
そしてマナセが主の宮の二つの庭に作った祭壇を、
王は壊した。
そして彼はそれらをそこで砕き、その粉をキデロン
の谷に投げ捨てた。¹³
エルサレムの前にあった高き所、
イスラエルの王ソロモンがシドン人の忌むべきもの
のアシュタロテのために建てたもの、
モアブの忌むべきものケモシュのため、
アンモン人の忌むべきものミルコムのために建てた
ものを、王は汚した。¹⁴
彼はまた記念碑を砕き、アシェラ像を切り倒し、
その場所を人の骨で満たした。

¹⁵ さらに、ベテルにあった祭壇と高き所、
ネバテの子ヤロブアムがイスラエルに罪を犯させた
もの、その祭壇と高き所を彼は壊した。
そしてその石を砕き、粉々にし、アシェラを焼いた
。¹⁶ ヨシヤが振り向いたとき、
彼は山にある墓を見て、
人を送り、墓から骨を取り出し、
祭壇の上でそれを焼き、汚した。
これは神の人が宣言した主の言葉に従ったもので、
彼がこれらのことを宣言したのである。¹⁷
彼は言った、
「私が見ているこの記念碑は何ですか？」
そして町の人々は彼に言った、
「それはユダから来た神の人の墓です。
彼はあなたがベテルの祭壇に対して行ったこれらの
ことを宣言しました。」¹⁸ 彼は言った、
「それをそのままにしておけ、彼の骨を誰も動かし

列王記下

てはならない。」
それで彼らはその骨を動かさず、
サムリアから来た預言者の骨と共にそのままにした。
ヨシヤはまた、サムリアの町々にあったすべての高き所の神殿を取り除いた。
それはイスラエルの王たちが主を怒らせるために作ったもので、
彼はベテルで行ったようにそれらに対して行った。
そして彼はそこにいた高き所の祭司たちをすべて祭壇で屠り、
その上で人の骨を焼いた。
それから彼はエルサレムに戻った。

王はすべての民に命じて言った、
「あなたの神、主に過越を祝い、
この契約の書に書かれているように。」
このような過越は、
イスラエルを裁いた士師の時代以来、
イスラエルの王たちとユダの王たちのすべての日に祝われたことがなかった。
しかし、ヨシヤ王の十八年に、
この過越はエルサレムで主に対して行われた。

さらに、ヨシヤは霊媒師、占い師、家庭の偶像、偶像、
ユダの地とエルサレムで見られたすべての忌むべきものを取り除いた。
それは彼が律法の言葉を確認するためであった。
それは祭司ヒルキヤが主の宮で見つけた書に書かれていた。
彼の前には、彼のように心を尽くし魂を尽くし力を尽くして主に立ち返り、
モーセの律法のすべてに従った王はいなかった。
彼の後にも彼のような者は起こらなかった。

しかし、主はユダに対する怒りの激しさを和らげなかった。
それはマナセが彼を怒らせたすべての挑発のためであった。
そして主は言った、
「私はまたユダを私の目の前から取り除く。
イスラエルを取り除いたように。
そして私はエルサレム、この私が選んだ町を拒絶し、
『私の名がそこにある』と言った宮を拒絶する。」

ヨシヤのその他の行為と彼が行ったすべてのことは、

ユダの王たちの年代記の書に記録されていないのか？
彼の時代にエジプトの王ファラオ・ネコがアッシリアの王に会うためにユーフラテス川に上った。
そしてヨシヤ王は彼に会いに行ったが、
ファラオ・ネコが彼を見たとき、彼をメギドで殺した。
彼の僕たちは彼の体をメギドから戦車で運び、
エルサレムに連れて行き、彼自身の墓に葬った。
それから地の民はヨシヤの子エホアハズを取り、
彼に油を注ぎ、彼の父の代わりに王とした。

エホアハズは二十三歳で王となり、
エルサレムで三か月間統治した。
彼の母の名はハムタル、リブナのエレミヤの娘であった。
彼は主の目の前で悪を行い、
彼の父たちが行ったすべてのことに従った。
そしてファラオ・ネコは彼をハマテの地のリブラで投獄し、
彼がエルサレムで統治するのを防ぎ、
地に銀百タラントと金一タラントの罰金を課した。

それからファラオ・ネコはエリヤキムをヨシヤの子として彼の父ヨシヤの代わりに王とし、
彼の名をエホヤキムに変えた。
しかし彼はエホアハズを連れてエジプトに連れて行き、彼はそこで死んだ。
それでエホヤキムはファラオに銀と金を与えたが、
彼はファラオの命令でその金を与えるために地を課税した。
彼は地の民から、各々の評価に従って銀と金を取り立て、
ファラオ・ネコに与えた。

エホヤキムは二十五歳で王となり、
エルサレムで十一年間統治した。
彼の母の名はゼビダ、ルマのペダヤの娘であった。
彼は主の目の前で悪を行い、
彼の父たちが行ったすべてのことに従った。

24 その時、バビロンの王ネブカドネザルが攻め上り、
エホヤキムは三年間彼の僕となった。
しかしその後、彼は反逆して彼に背いた。
主はカルデア人の軍勢、
アラム人の軍勢、モアブ人の軍勢、アモン人の軍勢を彼に送った。
こうして主は彼らをユダに送り、それを滅ぼすようにした。
これは主がその僕である預言者たちを通して語られた言葉に従ったものである。
確かに、それは主の命令によってユダに降りかかった。
それはマナセの罪のためであり、

列王記下

彼が行ったすべてのことに従ったものである。⁴
また、彼が流した無実の血のためである。
彼はエルサレムを無実の血で満たした。
そして主は赦すことを望まなかった。

⁵
エホヤキムの治世の他の出来事と彼が成し遂げたすべてのことは、
ユダの王たちの年代記の書に記されているではないか。⁶
エホヤキムは先祖と共に眠り、
その子エホヤキンが彼の後を継いで王となった。⁷
エジプトの王は再びその地から出て行かなかった。
バビロンの王がエジプトの王に属するすべての地を
エジプトの川からユーフラテス川まで奪ったからである。

⁸ エホヤキンは十八歳で王となり、
エルサレムで三ヶ月間統治した。
彼の母はエルサレムのエルナタンの娘ネフシュタであった。⁹
彼は父の道に従って、
主の目の前で悪を行った。

¹⁰
その時期に、バビロンの王ネブカドネザルの僕たちがエルサレムに進軍し、都市は包囲された。¹¹
バビロンの王ネブカドネザル自身が都市に到着し、
彼の僕たちがそれを包囲していた。¹²
その時、ユダの王エホヤキンはバビロンの王のもとに出て行った。
彼と彼の母、彼の僕たち、彼の将校たち、彼の役人たちも共に出て行った。
こうしてバビロンの王は彼をその治世の八年目に捕虜とした。¹³
そして彼は主の家のすべての宝物、
王の家の宝物を持ち出し、
イスラエルの王ソロモンが主の神殿に作った
すべての金の器を切り刻んだ。
これは主が言われた通りであった。¹⁴
そして彼はエルサレムのすべての人々を捕虜として連れ去った。

すべての将校とすべての勇敢な戦士、1万人の捕虜、
すべての職人と鍛冶屋を。
地の最も貧しい民以外は誰も残らなかった。¹⁵
こうして彼はエホヤキンをバビロンに捕虜として連れ去った。
また、王の母、王の妻たち、彼の役人たち、地の指導者たちも、
エルサレムからバビロンに捕虜として連れ去った。
¹⁶ そしてすべての勇敢な男たち、7千人、
職人と鍛冶屋、1千人、
すべて戦争に適した強い者たちを、

これらをバビロンの王はバビロンに捕虜として連れ去った。

¹⁷
その後、バビロンの王はエホヤキンの叔父マタニヤを王に任命し、彼の名前をゼデキヤに変えた。¹⁸
ゼデキヤは21歳で王となり、
エルサレムで11年間統治した。
彼の母はリブナのエレミヤの娘ハムタルであった。
¹⁹ 彼はエホヤキムの道に従って、
主の目の前で悪を行った。²⁰
これは主の怒りのためにエルサレムとユダで起こったことであり、
主が彼らをその前から追い出すまで続いた。
そしてゼデキヤはバビロンの王に反逆した。

25 その治世の第九年の第十の月の第十の日に、
バビロンの王ネブカドネザルが全軍を率いてエルサレムに来て、
その周りに陣を敷き、周囲に包囲壁を築いた。²
こうして、その町はゼデキヤ王の第十一年まで包囲された。³
第四の月の第九の日に、町の中の飢饉が激しくなり、
その地の民に食物がなくなった。⁴
その時、町は破られ、夜に戦士たちは皆逃げた。
王の庭のそばの二つの壁の間の門を通して、
カルデア人が町の周りにいるにもかかわらず、
彼らはアラバの道を通って行った。⁵
しかし、カルデア人の軍隊は王を追い、
エリコの平原で彼を捕らえ、
彼の軍隊は皆彼から散り散りになった。⁶
彼らは王を捕らえ、彼をリブラのバビロンの王のもとに連れて行き、そこで彼は裁かれた。⁷
彼らはゼデキヤの息子たちを彼の目の前で殺し、
ゼデキヤの目をつぶし、彼を青銅の鎖で縛り、
バビロンに連れて行った。

⁸ 第五の月の第七の日に、
バビロンの王ネブカドネザルの第十九年に、
バビロンの王の従者であり、護衛隊長であるネブザラダンがエルサレムに来了。⁹
彼は主の家、王の家、
エルサレムのすべての家を焼き、
大きな家をすべて火で焼いた。¹⁰
護衛隊長と共にいたカルデア人の全軍は、
エルサレムの周りの壁を壊した。¹¹
その後、護衛隊長ネブザラダンは、
町に残っていた人々、
バビロンの王に降った脱走者、
そして残りの民を捕らえて連れ去った。¹²

列王記下

しかし、護衛隊長は、土地の最も貧しい人々を残して、葡萄園の管理者や農夫にした。

¹³ 主の家にあった青銅の柱、台座、青銅の海は、カルデア人によって砕かれ、青銅はバビロンに運ばれた。¹⁴

彼らはまた、鍋、シャベル、芯切りばさみ、匙、そして神殿の奉仕に使われるすべての青銅の器具を持ち去った。¹⁵ 護衛隊長はまた、火皿や鉢、金のもの、銀のものを持ち去った。¹⁶

ソロモンが主の家のために作った二つの柱、一つの海、台座、これらすべての器具の青銅は重さを超えていた。¹⁷ 一つの柱の高さは十八キュビットで、

その上に青銅の柱頭があり、柱頭の高さは三キュビットで、柱頭の周りには格子細工とザクロがあり、すべて青銅であった。もう一つの柱もこれと同様で、格子細工があった。

¹⁸ その後、護衛隊長は大祭司セラヤ、次の祭司ゼパニヤ、三人の門衛を捕らえた。¹⁹ そして、町からは戦士たちの監督である一人の役人、

町にいた王の顧問五人、地の民を集めた軍隊の書記官、町にいた地の民六十人を捕らえた。²⁰

護衛隊長ネブザラダンは彼らをリブラのバビロンの王のもとに連れて行った。²¹

バビロンの王は彼らを打ち、ハマテの地リブラで彼らを殺した。こうしてユダはその地から捕らえ移された。

²² ユダの地に残された民については、バビロンの王ネブカドネザルが残した者たちに、彼はアヒカムの子ゲダルヤを彼らの上に任命した。

²³ すべての軍隊の隊長たちとその部下たちは、バビロンの王がゲダルヤを総督に任命したと聞いたとき、彼らはミツパでゲダルヤのもとに来た。

すなわち、ネタニヤの子イシュマエル、カレアの子ヨハナン、タヌメテの子セラヤ、ネトファ人、マアカ人の子アザニヤ、彼らとその部下たちである。²⁴

ゲダルヤは彼らとその部下たちに誓い、彼らに言った。「カルデア人の従者を恐れることはない。この地に住み、バビロンの王に仕えれば、あなたがたは幸せになる。」²⁵

しかし、第七の月に、ネタニヤの子イシュマエル、エリシャマの子、王族の者が十人の男と共に来て、ゲダルヤを打ち殺し、ミツパで彼と共にいたユダヤ人とカルデア人も殺した。²⁶

その後、小さな者から大きな者までのすべての民と軍隊の隊長たちは、立ち上がりエジプトに行った。彼らはカルデア人を恐れていたからである。

²⁷ ユダの王エホヤキンの捕囚の第三十七年、第十二の月の第二十七の日に、バビロンの王エビル・メロダクは、その治世の年に、ユダの王エホヤキンを獄から解放した。²⁸ 彼は彼に親切に語り、バビロンにいる他の王たちの座よりも高く彼の座を置いた。²⁹

こうしてエホヤキンは獄の服を変え、彼の生涯のすべての日々、王の前で定期的に食事をした。³⁰ 彼の生活のために、王から毎日の分が与えられ、彼の生涯を通じて続けられた。

歴代誌上

- 1 アダム、セツ、エノシュ、
ケナン、マハラレル、ヤレド、
エノク、メトシェラ、ラメク、
ノア、その息子たちと共に：
セム、ハム、ヤベテ。
- 5 ヤベテの息子たちは次の通り：
ゴメル、マゴグ、マダイ、ヤwon、トバル、メシ
ェク、ティラス。
- 6 ゴメルの息子たちは：
アシュケナズ、ディファテ、トガルマ。
- 7 ヤwonの系譜には：
エリシャ、タルシシュ、キッティム、ロダニム。
- 8 ハムの息子たちは次の通り：
クシュ、ミツライム、プト、カナン。
- 9 クシュの息子たちは：
セバ、ハビラ、サブタ、ラアマ、サブテカ。
ラアマの息子たちは： シェバとデダン。 10
クシュはニムロデの父であつた；
彼は地上で力ある者となつた。
- 11 ミツライムは次の系譜の父であつた：
ルド、アナム、レハブ、ナフト、 12
パトルス、カスル（そこからペリシテ人が出た）
、カフトル。
- 13 カナンは次の者たちの父であつた：
シドン、その長子、ヘテ、
- 14 エブス人、アモリ人、ギルガシ人、 15
ヒビ人、アルキ人、シニ人、 16
アルワデ人、ゼマル人、ハマテ人。
- 17 セムの息子たちは次の通り：
エラム、アシュル、アルバクシャデ、ルド、アラ
ム、 アラムの息子たちは
ウズ、フル、ゲテル、メシエク。
- 18 アルバクシャデはシェラの父であり、
シェラはエベルの父であつた。 19
エベルには二人の息子がいた：
一人はベレグと名付けられた、彼の時代に地が分
けられたからである；
その兄弟はヨクタンと名付けられた。
- 20 ヨクタンの子孫には：
アルモダデ、シェレフ、ハザルマウテ、エラ、
- 21 ハドラム、ウザル、ディクラ、 22
エバル、アビマエル、シェバ、 23
オフィル、ハビラ、ヨバブ。
これらはすべてヨクタンの息子たちであつた。
- 24 セム、アルバクシャデ、シェラ、 25
エベル、ベレグ、レウ、 26
セルグ、ナホル、テラ、 27
そしてアブラム、彼はまたアブラハムとして知ら
れている。
- 28 アブラハムの息子たちは：
イサクとイシュマエルと名付けられた。
- 29 これらは彼らの世代である：
イシュマエルの長子はネバヨテ、その次にケダル
、アドベエル、ミブサム、
- 30 ミシュマ、ドゥマ、マツサ、ハダド、テマ、 31
エトウル、ナフィシュ、ケデマ。
これらはイシュマエルの子孫であつた。
- 32
アブラハムの側女ケトウラの息子たち、彼女が生ん
だ者たち：
ジムラン、ヨクシャン、メダン、ミディアン、イ
シュバク、シュア。 ヨクシャンの息子たちは：
シェバとデダン。
- 33 ミディアンの息子たちは：
エファ、エフェル、ハノク、アビダ、エルダア。
これらはすべてケトウラの息子たちであつた。
- 34 アブラハムはイサクを父とした。
イサクの息子たちは： エサウとイスラエル。
- 35 エサウの息子たちは：
エリファズ、レウエル、エウシュ、ヤラム、コラ
。
- 36 エリファズの息子たちは：
テマン、オマル、ゼフィ、ガタム、ケナズ、ティ
ムナ、アマレク。
- 37 レウエルの息子たちは：
ナハテ、ゼラフ、シャマ、ミザ。
- 38 セイルの息子たちは：

歴代誌上

ロタン、ショバル、ツイベオン、アナ、ディシオン、エツエル、ディシヤン。

39 ロタンの息子たちは：

ホリとホمام；そしてティムナはロタンの姉妹であった。

40 ショバルの息子たちは：

アリヤン、マナハテ、エバル、シェフィ、オナム。
そしてツイベオンの息子たちは：
アヤとアナ。

41 アナの息子は：

ディシオン。そしてディシオンの息子たちは：
ハムラン、エシュバン、イテラン、ケラン。

42 エツエルの息子たちは：

ビルハン、ザアワン、ヤアカン。
ディシヤンの息子たちは：ウツとアラン。

43

これらはイスラエル人の王が治める前にエドムの地を治めた王たちである：

ベオルの子ベラ、その町はディンハバと名付けられた。⁴⁴

ベラの死後、ゼラフの子ヨバブがボツラから彼の後を継いで王となった。⁴⁵

ヨバブの死後、テマニ人の地からフシャムが王位を継いだ。⁴⁶

フシャムが亡くなったとき、ベダデの子ハダデがモアブの地でミディアンを打ち破った者として王となった；彼の町はアビテと名付けられた。⁴⁷

ハダデの死後、マスレカからサムラが王位を継いだ。⁴⁸

サムラの死後、川のそばのレホボテからシャウルが彼の後を継いで王となった。⁴⁹

シャウルの死後、アクボルの子パアル・ハナンが王位を継いだ。⁵⁰

パアル・ハナンが亡くなったとき、ハダデが王となった；
彼の町はバイと名付けられ、彼の妻はメヘタベル、マトレデの娘、メザハブの娘であった。

51 その後、ハダデが死んだ。

そしてエドムの族長たちは：

族長ティムナ、族長アリヤ、族長エテテ、⁵²
族長オホリバマ、族長エラ、族長ビノン、⁵³
族長ケナズ、族長テマン、族長ミブツアル、⁵⁴
族長マグディエル、族長イラム。

これらはエドムの指導者たちであった。

2 これらはイスラエルの子たちである。

ルベン、シメオン、レビ、ユダ、イッサカル、
ゼブルン、
ダン、ヨセフ、ベニヤミン、ナフタリ、ガド、ア
シエル

2。3 ユダの子たちは次のとおりである。

エル、オナン、シェラ。
これらの三人はカナン人の女パテシュアによって
彼に生まれた。
主の目に悪とされたユダの長子エルは、主によつて死に至らされた。

4 タマル、ユダの嫁はペレツとゼラフを産んだ。

ユダには合計で五人の子がいた。

5 ペレツは二人の子の父であった。

ヘツロンとハムル。

6 ゼラフの子たちは次のとおりである。

ズムリ、エタン、ヘマン、カルコル、ダラー
合計五人。

7 カルミの子は次のとおりである。

アカル、彼は禁制を破ってイスラエルに災いをもたらしした。

8 エタンには次の名の子がいた。

アザリヤ。

9 ヘツロンには次の子たちがいた。

エラメエル、ラム、ケルバイ。

10

ラムはアミナダブを生み、アミナダブはナフションを生んだ。

ユダの子たちの指導者である。

11

ナフションはサルマを生み、サルマはボアズを生んだ。

12

ボアズはオベデを生み、オベデはエッサイを生んだ。

13 エッサイはエリアブを長子として生み、

歴代誌上

次にアビナダブを二番目に、シメアを三番目に、
¹⁴ ネタネルを四番目に、ラダイを五番目に、¹⁵
オゼムを六番目に、ダビデを七番目に。

¹⁶ 彼らの姉妹は次のとおりである。

ゼルヤとアビガイル。
ゼルヤには三人の子がいた。
アブシャイ、ヨアブ、アサエル。

¹⁷ アビガイルはアマサの母であり、

アマサの父はイシュマエル人のイテルであった。

¹⁸
さて、ヘツロンの子カレブはアズバという妻とエリ
オテによって子をもうけた。
彼女の子たちは次のとおりである。

イエシエル、ショバブ、アルドン。

¹⁹
アズバが亡くなったとき、カレブはエフラテと結婚
し、

彼女は彼にフルを産んだ。

²⁰
フルはウリを生み、ウリはベツアルエルを生んだ。

²¹
その後、ヘツロンはギルアデの父マキルの娘と結婚
し、

彼が六十歳のときに彼女を娶った。
彼女は彼にセグブを産んだ。

²²
セグブはヤイルを生み、ヤイルはギルアデの地に二
十三の町を所有していた。

²³
しかし、ゲシュルとアラムは彼らからヤイルの町を
奪い、ケナトとその村々、六十の集落を奪った。
これらはすべてギルアデの父マキルの子孫であった
。

²⁴ ヘツロンがカレブ・エフラテで死んだ後、
ヘツロンの妻アビヤは彼にアシュルを産んだ。
テコアの父である。

²⁵
さて、ヘツロンの長子エラメエルには次の子たちが
いた。

ラム、長子、次にブナ、オレン、オゼム、アヒヤ
。

²⁶ エラメエルにはアタラという名の別の妻がいた。

彼女はオナムの母であった。

²⁷ エラメエルの長子ラムには次の子たちがいた。

マアズ、ヤミン、エケル。

²⁸ オナムの子たちは次のとおりである。

シャマイとヤダ。
シャマイには次の子たちがいた。
ナダブとアビシュル。

²⁹ アビシュルの妻はアビハイルという名であり、
彼女は彼にアハバンとモリドを産んだ。

³⁰ ナダブの子たちは次のとおりである。

セレドとアパイム。
セレドは子を残さずに死んだ。

³¹ アパイムには次の名の子がいた。

イシ。 イシには次の名の子がいた。
シェシヤン。 シェシヤンには次の名の子がいた。
アフライ。

³² ヤダ、シャマイの兄弟には次の子たちがいた。

イエテルとヨナタン。
イエテルは子を残さずに死んだ。

³³ ヨナタンの子たちは次のとおりである。

ベレテとザザ。
これらはエラメエルの子孫である。

³⁴ シェシヤンには息子がなく、娘だけであった。
シェシヤンにはヤルハという名のエジプト人のしも
べがいた。

³⁵ シェシヤンは娘をしもべヤルハに嫁がせ、
彼女は彼にアツタイを産んだ。

³⁶
アツタイはナタンを生み、ナタンはザバデを生んだ
。

ザバデはエフラルを生み、エフラルはオベデを生
んだ。
オベデはエフを生み、エフはアザリヤを生んだ。
アザリヤはヘレツを生み、ヘレツはエルアサを生
んだ。
エルアサはシスマイを生み、シスマイはシャルムを

³⁷

³⁸

³⁹

⁴⁰

歴代誌上

生んだ。⁴¹
シャルムはエカミヤを生み、エカミヤはエリシャマを生んだ。

⁴² エラメエルの兄弟カレブには次の子たちがいた。

メシャ、長子、ジフの父であった。
マレシャの子たち、ヘブロンの父。

⁴³ ヘブロンには次の子たちがいた。

コラ、タツプア、レクム、シェマ。

⁴⁴
シェマはラハムの父であり、ラハムはヨルケアムの父であった。レクムはシャマイの父であった。

⁴⁵ シャマイの子は次のとおりである。

マオン、マオンはバツルの父であった。

⁴⁶
カレブの側女エファはハラン、モツア、ガゼズを産んだ。ハランはガゼズの父であった。

⁴⁷ ヤダイには次の子たちがいた。

レゲム、ヨタム、ゲジャン、ベレテ、エファ、シヤアフ。

⁴⁸
カレブの側女マアカはシェベルとティルハナを産んだ。

⁴⁹ 彼女はまた、マドマンナの父シヤアフを産み、マクベナとギベアの父シェバを産んだ。
カレブの娘はアクサであった。

⁵⁰ これらはカレブの子たちである。
エフラタの長子フルの子たち。

ショバル、キリアテ・ヤリムの父である。⁵¹
サルマ、バツレヘムの父である。
ハレフ、ベテ・ガデルの父である。

⁵²
キリアテ・ヤリムの父ショバルには次の子たちがいた。

ハロエとマナハテ人の半分。⁵³
キリアテ・ヤリムの家族、
イテ人、ブテ人、シュマテ人、ミシュラ人。
これからゾラ人とエシュタオル人が出た。

⁵⁴ サルマの子たちは次のとおりである。

バツレヘムとネットバン、
アトロテ・ベテ・ヨアブ、マナハテ人の半分、ゾラ人。

⁵⁵
ヤバツに住んでいた書記の家族は次のとおりである。
ティラテ人、シメアテ人、スカテ人。
これらはハマテから来たケニ人で、
レカブの家の父である。

3

ヘブロンでダビデに生まれた息子たちは次の通りです。

長男はアムノン、イズレエル人アヒノアムによるものです。

次男はダニエル、カルメル人アビガイルによるものです。²

三男はアブサロム、ゲシュルの王タルマイの娘マアカによるものです。

四男はアドニヤ、ハギトによるものです。³

五男はシェファティヤ、アビタルによるものです

。

六男はイテレアム、彼の妻エグラによるものです

。

⁴
ヘブロンで彼に六人の息子が生まれました。彼はそこで七年六ヶ月間統治しました。
エルサレムでは三十三年間統治しました。

⁵
エルサレムで生まれた彼の息子たちは次の通りです。

シメア、ショバブ、ナタン、ソロモン—
アミエルの娘バテシュアによる四人—⁶

イブハル、エリシャマ、エリフェレトが生まれました。⁷

ノガ、ネフェグ、ヤフィアが生まれました。⁸

エリシャマ、エリアダ、エリフェレート—
合計九人です。

⁹
これらはすべてダビデの息子たちで、側室たちの息子たちも含まれます。

タマルは彼らの姉妹でした。

¹⁰ レハバアムはソロモンの息子であり、

その後にアビヤ、¹¹ アサ、
ヨシャファトが続きます。¹¹ ヨラム、
アハズヤ、¹² ヨアシュが続きます。¹² アマツヤ、
アザリヤ、¹³ ヨタムが続きます。¹³ アハズ、

歴代誌上

ヒゼキヤ、 マナセが続きます。 ¹⁴ アモン、
その後ヨシヤが続きます。

¹⁵ ヨシヤの息子たちは次の通りです。

長男ヨハナン、 次男エホヤキム、
三男ゼデキヤ、 四男シャルム。

¹⁶ エホヤキムの息子たちは次の通りです。

ヨコニヤ彼の息子、 ゼデキヤ彼の息子。

¹⁷ 捕囚となったヨコニヤには息子たちがいました。

シェアルティエル彼の息子、 ¹⁸
マルキラム、 ペダヤ、 シェナザル、 エカミヤ、 ホ
シャマ、 ネダビヤと共に。

¹⁹ ペダヤの息子たちは次の通りです。

ゼルバベルとシメイ。
ゼルバベルの子供たちは次の通りです。
メシュラムとハナニヤ、 彼らの姉妹はシェロミト
です。 ²⁰
ハシュバ、 オヘル、 バレキヤ、 ハサディヤ、 ユシ
ヤブ・ヘセデー合計五人。

²¹ ハナニヤの息子たちは次の通りです。

ペラティヤとイエシヤヤ、 レパヤの息子たち、
アルナンの息子たち、 オバデヤの息子たち、
シェカニヤの息子たち。

²² シェカニヤの子孫は次の通りです。

シェマヤ、
シェマヤの息子たち：ハットシュ、 イガル、 バリ
ヤ、 ネアリヤ、 シャファトー合計六人。

²³ ネアリヤの息子たちは次の通りです。

エリオエナイ、 ヒズキヤ、 アズリカムー
合計三人。

²⁴ エリオエナイの息子たちは次の通りです。

ホダビヤ、 エリアシブ、 ペラヤ、 アクブ、 ヨハナ
ン、 デラヤ、 アナニー合計七人。

4 ユダの子たちは次の通りです。

ペレツ、 ヘツロン、 カルミ、 フル、 ショバル。

² ショバルの子レアヤはヤハテの父であり、

ヤハテはアフマイとラハデの父であった。
これらはツォラ人の系統である。

³ これらはエタムの子孫です。

エズレル、 イシュマ、 イドバシユ。
彼らの姉妹の名はハツェレルボニ。

⁴ ペヌエルはゲドルの父であり、
エゼルはフシヤの父であった。

これらはエフラタの長子フルの子孫であり、 ベツ
レヘムの父である。

⁵ テコアの父アシュフルには二人の妻がいました。

ヘラとナアラ。

⁶ ナアラは次の子を産みました。

アフザム、 ヘフェル、 テメニ、 ハアハシュタリ。
これらはナアラの子たちです。

⁷ ヘラの子たちは次の通りです。

ゼレテ、 イツハル、 エトナン。

⁸ コツはアヌブとツォベバの父であり、
ハルムの子アハルヘルの家族です。

⁹ ヤベツは兄弟たちよりも尊敬されており、
彼の母は彼をヤベツと名付けました。
「私は痛みの中で彼を産んだからです。」

¹⁰
ヤベツはイスラエルの神に呼びかけて言いました。

「どうか私を大いに祝福し、 私の領土を広げてく
ださい。 あなたの御手が私と共にあり、
私を害から守ってください。それが私を苦しめな
いように。」 神は彼の願いを叶えました。

¹¹ シュハの兄弟ケルブはメヒルの父であり、

メヒルはエシュトンの系統を父としました。

¹²
ベト・ラファはエシュトンの子であり、 パセアとテ
ヒンナもそうであり、 彼はイル・ナハシュの父です
。

これらはレカの人々です。

¹³ ケナズの子たちは次の通りです。

オトニエルとセライヤ。
オトニエルの子はハタデです。

¹⁴ メオノタイはオフラの父であり、

セライヤはジョアブの父であり、 ゲ・ハラシムの
父であり、 彼らは職人でした。

歴代誌上

15 カレブはエフンネの子であり、彼の子たちは次の通りです。

イル、エラ、ナアム。 エラの子はケナズです。

16 ヨハレルの子たちは次の通りです。

ジフ、ジファ、ティリア、アサレル。

17 エズラの子たちは次の通りです。

イテル、メレデ、エフェル、ヤロン。
これらはメレデが取ったファラオの娘ビティヤの子たちです。
彼女はミリアム、シャマイ、エシュテモアの父イシュバを産みました。

18 彼のユダヤ人の妻はゲドルの父イエレデ、ソコの父ヘベル、ザノアの父エクティエルを産みました。

これらはメレデが取ったファラオの娘ビティヤの子たちです。

19 ホディヤの妻の子たちは次の通りです。

ケイラのガルム人の祖先、
エシュテモアのマアカ人。

20 シモンの子たちは次の通りです。

アムノン、リナ、ベンハナン、ティロン。
イシの子たちは次の通りです。
ゾヘテとベン・ゾヘテ。

21 ユダの子シェラの子たちは次の通りです。

レカの父エル、 マレシャの父ラアダ、
ベト・アシュベアの亜麻布職人の家族。

22 ヨキム、コゼバの人々、
ヨアシュ、モアブを治めたサラフ、ヤシュビ・レヘム。 しかし記録は古いです。

23 これらは陶工であり、ネタイムとゲデラの住民です。彼らは王のためにそこに住んでいました。

24 シメオンの子たちは次の通りです。

ネムエル、ヤミン、ヤリブ、ゼラフ、シャウル。

25 彼の子シャルム、 彼の子ミブサム、
彼の子ミシュマ。

26 ミシュマの子たちは次の通りです。

彼の子ハムエル、 彼の子ザクル、
彼の子シメイ。

27

シメイには十六人の息子と六人の娘がいましたが、彼の兄弟たちにはそれほど多くの息子はいませんでした。

彼らの家族はユダの系統のように増えませんでした。

28

彼らはベエルシェバ、モラダ、ハザル・シュアルに住んでいました。

29

ビルハ、エツェム、トラデに住んでいました。 ³⁰
ベトエル、ホルマ、ツイクラグに住んでいました。

31

ベト・マルカボテ、ハザル・スシム、ベト・ビリ、
シャアライムに住んでいました。

これらはダビデの治世までの彼らの都市です。

32 彼らの村々は次の通りです。

エタム、アイン、リモン、トケン、アシャン—
五つの都市—

33

これらの都市の周囲のすべての集落とバアルまで。

これらは彼らの住居であり、彼らの系譜があります。

34

メショバブ、ヤムレク、ヨシャ、アマツィヤの父、

35

ヨエル、エフデヤの子孫ヨシビヤ、セライヤ、アシエル、 ³⁶

エリオエナイ、ヤコバ、エシヨハヤ、アサヤ、アデ ³⁷
ィエル、エシミエル、ベナヤ、

シフィの子ジザ、アロンの子、エダヤの子、シムリ
の子、シマヤの子—

38

名前で挙げられたこれらの者は彼らの家族の指導者であり、彼らの父の家は大いに増えました。

39 彼らはゲドルの入口に向かい、谷の東側に行き、
彼らの羊のための牧草地を探しました。

40

彼らは豊かで良い牧草地を見つけ、
その地は広く、静かで平和でした。

そこに以前住んでいた者たちはハムの子孫でした。

。

歴代誌上

41

ユダの王ヒゼキヤの時代に名前で挙げられた者たちは、そこにいたテントとメウニム人を襲い、彼らを今日まで完全に滅ぼし、彼らの場所に住んでいました。彼らの羊のために牧草地があったからです。

42

彼らから、シメオンの子孫から五百人がセイル山に行き、ペラティヤ、ネアリヤ、レファヤ、ウジエル、イシの子たちが彼らの指導者でした。

43

彼らは逃げたアマレク人の残りを滅ぼし、今日までそこに住んでいます。

5 イスラエルの長子ルベンの子孫は、（彼は長子であったが、父の床を汚したため、

その長子の権利はイスラエルの子ヨセフの子たちに与えられた。したがって、彼は長子の権利に従って系図に記されていない。

² ユダは兄弟たちの中で優れた者となり、

彼から指導者が出たが、長子の権利はヨセフに属していた。

3

イスラエルの長子ルベンの子孫は次のとおりである。

。

ハノク、パル、ヘツロン、カルミ。

⁴ ヨエルの子孫は次のとおりである。

その子シマヤ、その子ゴグ、その子シメイ、⁵
その子ミカ、その子レアヤ、その子バアル、⁶
その子ベエラ、
アッシリヤの王ティルガテ・ビルネセルが捕囚として連れて行った者である。
彼はルベン族の指導者であった。

7

彼の親族は、その家族と世代に従って、族長はエイエル、次にゼカリヤ、⁸
そしてアザズの子、シェマの子、ヨエルの子ベラである。

彼はアロエルに住み、ネボとバアル・メオンにまで及んだ。

9

東方に、ユーフラテス川から荒野の入口まで住んで

いた。

彼らの家畜がギルアデの地で増えたからである。

¹⁰ サウルの時代に、彼らはハグリ人と戦い、

彼らを打ち破り、
ギルアデの東の地に彼らの天幕に住んだ。

11

ガドの子孫はバシヤンの地に彼らの向かいに住んでいた。

サルカにまで及んでいた。

¹² ヨエルは族長であり、

次にシャファム、
そしてバシヤンのヤナイとシャファテであった。

¹³ 彼らの父の家からの親族は次のとおりである。

ミカエル、メシュラム、シェバ、ヨライ、ヤカン、
ジア、エベルー合計7人。

¹⁴ これらはフリの子アビハイルの子孫である。

ヤロアの子、ギルアデの子、ミカエルの子、
イエシジャイの子、ヤドの子、ブズの子

¹⁵ アブディエルの子、グニの子アヒは、

彼らの父の家の頭であった。

16

彼らはギルアデ、バシヤンとその町々、そしてシャロンの牧草地全体に住み、その境界に達した。

17

これらはすべてユダの王ヨタムの時代に、またイスラエルの王ヤロブアムの時代に系図に記録された。

¹⁸ ルベンの子孫、ガド族、マナセの半部族—

勇敢な者たち、盾と剣を持ち、
弓を引き、戦いのために訓練された者たち—
合計44,760人が軍務に出た。

¹⁹ 彼らはハグリ人と戦い、

エトル、ナフィシュ、ノダブと戦った。

20

彼らは彼らに対して助けを受け、ハグリ人とそのすべての仲間は彼らの手に渡された。

。

彼らが戦いの中で神に叫び、
彼が彼らの祈りに答えたからである。彼らが神を信頼したからである。

歴代誌上

²¹ 彼らは彼らの家畜を奪った。

五万のラクダ、 二十五万の羊、 二千のロバ、
十万人の人々。

²² 多くの者が致命傷を負って倒れた。
戦いは神によるものであったからである。

そして彼らは捕囚されるまでその場所に住んだ。

²³ マナセの半部族の子孫はその地に住んでいた。
バシヤンからバアル・ヘルモン、セニル、ヘルモン
山に至るまで、彼らは多くの者であった。

²⁴ これらは彼らの父の家の指導者である。

エフェル、イシ、エリエル、アズリエル、エレミ
ヤ、ホダビヤ、ヤディエル―
勇敢な者たち、名高い者たち、彼らの父の家の頭
たち。

²⁵ しかし彼らは父の神に不忠実であり、
その地の民の神々と偶像崇拜を行った。
神が彼らの前に滅ぼした者たちである。

²⁶ それでイスラエルの神はアッシリヤの王ブルの霊を
奮い立たせ、
すなわちアッシリヤの王ティルガテ・ピルネセルの
霊を奮い立たせ、
彼らを捕囚として連れて行った。すなわち、

ルベン族、ガド族、マナセの半部族を、
ハラ、ハゴル、ハラ、ゴザン川に連れて行った。
今日に至るまで。

6 レビの子孫は次のとおりです。
ゲルシオン、コハテ、メラリ。

² コハテの系譜は次のとおりです。

アムラム、イツハル、ヘブロン、ウジエル。

³ アムラムの子は次のとおりです。

アロン、モーセ、ミリアム。
アロンの子は次のとおりです。
ナダブ、アビフ、エルアザル、イタマル。

⁴ エルアザルはビネハスを生み、ビネハスはアビシュ
アを生み、
⁵ アビシュアはブッキを生み、ブッキはウジを生み、
⁶ ウジはゼラヒヤを生み、ゼラヒヤはメライオテを生
み、
⁷

メライオテはアマリヤを生み、アマリヤはアヒトブ
を生み、
⁸ アヒトブはザドクを生み、ザドクはアヒマアツを生
み、
⁹

アヒマアツはアザリヤを生み、アザリヤはヨハナン
を生み、
¹⁰

ヨハナンはアザリヤを生みました（彼はソロモンが
エルサレムに建てた家で祭司として仕えた）。
¹¹

アザリヤはアマリヤを生み、アマリヤはアヒトブを
生み、
¹²

アヒトブはザドクを生み、ザドクはシャルムを生み
、
¹³

シャルムはヒルキヤを生み、ヒルキヤはアザリヤを
生み、
¹⁴

アザリヤはセラヤを生み、セラヤはヨザダクを生み
ました。

¹⁵

ヨザダクは、主がネブカドネザルの手によってユダ
とエルサレムを捕囚にしたときに同行しました。

¹⁶ レビの子孫は次のとおりです。

ゲルシオン、コハテ、メラリ。

¹⁷ これらはゲルシオンの子です。

リブニとシメイ。

¹⁸ コハテの系譜は次のとおりです。

アムラム、イツハル、ヘブロン、ウジエル。

¹⁹ メラリの子は次のとおりです。

マフリとムシ。

これらは父の家に従ったレビ人の家族です。

²⁰ ゲルシオンの子孫は次のとおりです。

リブニが生み、ヤハテが生み、ジムマ
²¹ ヨアが生み、イドが生み、ゼラが生み、エアテラ
イ

²² コハテの系譜は次のとおりです。

アミナダブが生み、コラが生み、アシル、
²³ エルカナが生み、エビアサフが生み、アシル、
²⁴ タハテが生み、ウリエルが生み、ウジヤが生み、
シャウル。

²⁵ エルカナの子は次のとおりです。

アマサイとアヒモテ。

²⁶ エルカナ：

歴代誌上

エルカナが生み、ゾファイが生み、ナハテ、²⁷
エリアブが生み、エロハムが生み、エルカナ。

²⁸ サムエルの子は次のとおりです。

長男はヨエル、次男はアビヤ。

²⁹ メラリの子は次のとおりです。

マフリ、リブニが生み、シメイが生み、ウザ、³⁰
シメアが生み、ハギヤが生み、アサヤ。

³¹ これらはダビデが主の家での歌の奉仕に任命した者たちで、
契約の箱がそこに安置された後のことです。

³² 彼らは会見の天幕の幕屋の前で歌で奉仕し、
ソロモンがエルサレムに主の家を建てるまで、
彼らに与えられた順序に従ってその務めを果たしました。

³³ これらはその子たちと共に仕えた者たちです。
コハテ族の子孫から：

歌手ヘマン、その父はヨエル、その父はサムエル³⁴

、
その父はエルカナ、その父はエロハム、その父は
エリエル、その父はトア、³⁵

その父はツフ、その父はエルカナ、その父はマハ
テ、その父はアマサイ、³⁶

その父はエルカナ、その父はヨエル、その父はア
ザリヤ、その父はゼファニヤ、³⁷

その父はタハテ、その父はアシル、その父はエビ
アサフ、その父はコラ、³⁸

その父はイツハル、その父はコハテ、その父はレ
ビ、その父はイスラエル。

³⁹ ヘマンの親戚アサフは彼の右手に立ちました。

アサフ、その父はバレキヤ、その父はシメア、⁴⁰
その父はミカエル、その父はバーセヤ、その父は
マルキヤ、⁴¹

その父はエスニ、その父はゼラ、その父はアダヤ⁴²

、
その父はエタン、その父はジムマ、その父はシメ
イ、⁴³

その父はヤハテ、その父はゲルション、その父は
レビ。

⁴⁴ 左手には彼らの親戚がいました。

メラリの子孫：エタン、その父はキシ、その父は
アブディ、その父はマルク、⁴⁵

その父はハシャビヤ、その父はアマツヤ、その父

はヒルキヤ、⁴⁶
その父はアムジ、その父はバニ、その父はシェメ

ル、⁴⁷
その父はマフリ、その父はムシ、その父はメラリ

、その父はレビ。

⁴⁸

彼らの親戚であるレビ人は、神の家の幕屋のすべて
の奉仕に任命されました。

⁴⁹

しかし、アロンとその子たちは、焼き尽くす捧げ物
の祭壇と香の祭壇で捧げ物をし、
至聖所のすべての働きを行い、神のしもべモーセが
命じたすべてに従ってイスラエルのために贖いをし
ました。

⁵⁰ これらはアロンの子です。

エルアザルが生み、ビネハスが生み、アビシュア
が生み、⁵¹

ブッキが生み、ウジが生み、ゼラヒヤが生み、⁵²
メライオテが生み、アマリヤが生み、アヒトブが
生み、⁵³ ザドクが生み、アヒマアツ。

⁵⁴

さて、これらは彼らの境界内の宿営に従った彼らの
住居です。

コハテ族の家族のアロンの子たちには、

くじが最初に当たりました。

⁵⁵

彼らはユダの地にあるヘブロンとその周囲の牧草地
を彼らに与えました。⁵⁶

しかし、彼らはその町の畑とその村々をエフネの子
カレブに与えました。

⁵⁷

アロンの子たちには以下の避難都市を提供しました
。

ヘブロン、リブナとその牧草地、ヤッティル、エ
シュテモアとその牧草地、⁵⁸

ヒレンとその牧草地、デビルとその牧草地、⁵⁹
アジャンとその牧草地、ベテシエメシュとその牧
草地。

⁶⁰ ペニヤミン族からは以下を与えました。

ゲバ、アレメテ、アナトテとその牧草地。

アロンの子たちの家族のためのすべての町は、合
計で十三の町でした。

歴代誌上

61
コハテの残りの子たちには、半部族であるマナセの半部族から、くじで十の町を与えました。

62 ゲルシヨンの子たちには、その家族に従って、イッサカル、アシエル、ナフタリ、バシヤンのマナセから十三の町を与えました。

63 メラリの子たちには、その家族に従って、ルベン、ガド、ゼブルンの部族から十二の町を与えました。

64
こうして、イスラエルの子らはレビ人に町とその牧草地を提供しました。

65
彼らはユダの子孫の部族、シメオンの子孫の部族、ベニヤミンの子孫の部族から、名指しされたこれらの町をくじで割り当てました。

66 さて、コハテの子孫の家族の一部は、エフライムの部族から彼らの相続地の町を持っていました。

67 彼らは避難都市を与えました。

エフライムの山地にあるシェケムとその牧草地、
ゲゼルとその牧草地、
ヨクメアムとその牧草地、ベテホロンとその牧草地、
アヤロンとその牧草地、ガテリモンとその牧草地、
；

70 そして、マナセの半部族から：

アネルとその牧草地、ビレアムとその牧草地、
コハテの子孫の残りの家族のために。

71 ゲルシヨンの子たちには以下を与えました。

マナセの半部族の家族から：バシヤンのゴランとその牧草地、
アシュタロテとその牧草地；

72 イッサカルの部族から：

ケデシュとその牧草地、ダベラテとその牧草地、

73 ラモテとその牧草地、アネムとその牧草地；

74 アシエルの部族から：

マシャルとその牧草地、アブドンとその牧草地、

75 フコクとその牧草地、レホブとその牧草地；

76 ナフタリの部族から：

ガリラヤのケデシュとその牧草地、
ハモンとその牧草地、キリヤタイムとその牧草地
。

77 レビ人の残りの者たち、メラリの子たちには：

ゼブルンの部族から：リモノとその牧草地、タボルとその牧草地；

78 ヨルダンの東側、エリコの向こう側：

ルベンの部族から：荒野のベゼルとその牧草地、
ヤハズとその牧草地、
ケデモテとその牧草地、メファアテとその牧草地
；

80 ガドの部族から：

ギルアデのラモテとその牧草地、
マハナイムとその牧草地、
ヘシュボンとその牧草地、ヤゼルとその牧草地。

7 さて、イッサカルの子たちは次のとおりである。

トラ、ブア、ヤシュブ、シムロンー合計四人。

2 トラの子たちは次のとおりである。

ウジ、レファヤ、エリエル、ヤフマイ、イブサム、
サムエルー彼らの父の家の頭たち。
トラの子孫には、その世代ごとに戦士が割り当てられ、
ダビデの時代にはその数は二万二千六百人であった。

3 ウジの子はイズラヒヤであった。
そして、イズラヒヤの子たちは次のとおりである。

ミカエル、オバデヤ、ヨエル、イッシヤヤー
合計五人、すべてが主だった人々であった。

4
彼らの子孫と共に、父の家ごとに、戦いのための三万六千の兵を持っていた。

彼らには多くの妻と子供がいたからである。

5 イッサカルのすべての家族の親族たち、

勇敢な戦士たち、系図によって記録された者ー
合計八万七千人。

6 ベニヤミンの子たちは次のとおりである。

ベラ、ベケル、エディアルー三人。

7 ベラの子たちは次のとおりである。

歴代誌上

エズボン、ウジ、ウジエル、エリモテ、イリー五人。
彼らは父の家の頭たち、勇敢な戦士たちであり、系図によって記録された者—二万二千三十四人。

⁸ ベケルの子たちは次のとおりである。

ゼミラ、ヨアシュ、エリエゼル、エリオエナイ、オムリ、エリモテ、アビヤ、アナトデ、アレメテ。
これらはすべてベケルの子たちである。

⁹ 彼らはその世代ごとに系図によって記録され、父の家の頭たち、勇敢な戦士たちであった—

二万二千人。

¹⁰ エディアルの子はビルハンであった。
そして、ビルハンの子たちは次のとおりである。

エウシュ、ベニヤミン、エフド、ケナアナ、ゼタン、タルシシュ、アヒシャハル。

¹¹ これらはすべてエディアルの子たちである。

父の家の頭たちに従って、一万七千二百人の勇敢な戦士たちであり、軍と共に戦争に出る準備ができていた。

¹² シュビムとフビムはイルの子であった。

フシムはアヘルの子孫であった。

¹³ ナフタリの子たちは次のとおりである。

ヤハツエル、グニ、イエゼル、シャルム—ビルハの子たち。

¹⁴ マナセの子たちは次のとおりである。

アスリエル、彼のアラムの側女が産んだ者。
彼女はギレアデの父マキルを産んだ。

¹⁵ マキルはフビムとシュビムのために妻を迎えた。

彼らの姉妹の名はマアカであった。
二番目の者の名はツェロフハデであり、ツェロフハデには娘たちがいた。

¹⁶ マキルの妻マアカは息子を産んだ。

彼女はその名をペレシュと名付けた。
彼の兄弟はシェレシュであった。
彼の子たちは次のとおりである。
ウラムとラケム。

¹⁷ ウラムの子はバダンであった。

これらはマナセの子マキルの子ギレアデの子孫である。

¹⁸ 彼の姉妹ハモレケテは次の者たちの母となった。

イシュホド、アビエゼル、マフラ。

¹⁹ シェミダの子孫には次の者たちが含まれていた。

アヒアン、シェケム、リキ、アニアム。

²⁰ エフライムの子たちは次のとおりである。

シュテラ、彼の子ベレデ、彼の子タハテ、
彼の子エラダ、彼の子タハテ、
彼の子ザバデ、彼の子シュテラ、
エゼルとエレアデ。

しかし、彼らはその地で生まれたガテの人々に殺された。

彼らが家畜を奪い到下ってきたからである。

²² 彼らの父エフライムは多くの日々を悲しみ、

彼の親族たちが彼を慰めに来た。

²³

それから彼は妻のもとに行き、彼女は身ごもり息子を産んだ。

彼はその名をベリアと名付けた。災いが彼の家に降りかかったからである。

²⁴ 彼の娘はシェエラであった。

彼女は下ベト・ホロンと上ベト・ホロン、ウゼン・シェエラを建てた。

²⁵ レファは彼の子であり、

レシエフ、テラが父となり、タハンが父となり、

²⁶

ラダンが父となり、アミフデが父となり、エリシヤマが父となり、
ヌンが父となり、ヨシユアが父となった。

²⁸ 彼らの所有地と居住地は次のとおりである。

ベテルとその村々、
東にナアラン、西にゲゼルとその村々、
またシェケムとその村々、アヤまでとその村々。

²⁹ そしてマナセの子たちの境界に沿って、

ベテ・シェアン、タアナク、メギド、ドルとその村々。

これらにはイスラエルの子ヨセフの子たちが住んでいた。

³⁰ アシエルの子たちは次のとおりである。

歴代誌上

イムナ、イシュワ、イシュビ、ベリア、
そして彼らの姉妹セラ。

31 ベリアの子たちは次のとおりである。

ヘベルとマルキエル、彼はビルザイトの父となつた。

32 ヘベルの子たちは次のとおりである。

ヤフレテ、ショメル、ホタム、そして彼らの姉妹シュア。

33 ヤフレテの子たちは次のとおりである。

パサク、ビムハル、アシュワテ。
これらはヤフレテの子孫である。

34 シエメルの子たちは次のとおりである。

アヒ、ログ、エフバ、アラム。

35

彼の兄弟ヘレムの子たちには次の者たちが含まれていた。

ツォファ、イムナ、シェレシュ、アマル。

36

ツォファの子たちには次の者たちが含まれていた。

スア、ハルネフェル、シュアル、バリ、イムラ、

37
ベゼル、ホデ、シャマ、シルシャ、イテラン、ベエラ。

38 イテルの子たちには次の者たちが含まれていた。

エフンネ、ピスバ、アラ。

39 ウラの子たちには次の者たちが含まれていた。

アラ、ハニエル、リツヤ。

40 これらはすべてアシェルの子たちであり、

父の家の頭たち、選ばれた勇敢な戦士たち、主だった君主たちであった。

そして、戦争のために系図によって登録された者の数は二万六千人であった。

8 ベニヤミンは次の者たちの父であった。

長男ベラ、次男アシュベル、三男アハラ、
四男ノハ、五男ラファ。

3 ベラの息子たちには次の者たちがいた。

アダル、ゲラ、アビフド、
4

アビシュア、ナアマン、アホア、
5
ゲラ、シェフファン、フラム。

6
これらはエフドの子孫である。
彼らはゲバに住む家族の指導者であった。

そして彼らはマナハトに追放された。

7

すなわち、ナアマン、アヒヤ、ゲラである。彼が彼らを追放した。

彼はウツザとアヒフドの父であった。

8
シャハライムはモアブの地で子供をもうけた。
彼が妻フシムとバアラを送り出した後である。

9 妻ホデシュを通じて、彼は次の子供をもうけた。

ヨバブ、ジビア、メシヤ、マルカム、
10
エウズ、サキア、ミルマ。

これらは彼の息子たちであり、家族の指導者であった。

11 フシムとの間にもうけた子供は、

アビトブとエルバアル。

12 エルバアルの息子たちは、

エベル、ミシャム、シエメドー
彼はオノとその町々と共にロドを建てた。

13

ベリアとシエマであり、彼らはアイヤロンの住民の家族の指導者で、ガデの住民を追い払った。

14
アヒオ、シャシャク、エレモテ、
15

ゼバディア、アラデ、エデル、
16

ミカエル、イシュパ、ヨハはベリアの息子たちであった。

17
ゼバディア、メシュラム、ヒズキ、ヘベル、
18

イシュメライ、イズリア、ヨバブはエルバアルの息子たちであった。

19
ヤキム、ジクリ、ザブディ、
20

エリエナイ、ジレタイ、エリエル、
21

アダヤ、ベライヤ、シムラスはシメイの息子たちであった。

22
イシュパン、エベル、エリエル、
23

アブドン、ジクリ、ハナン、
24

ハナニヤ、エラム、アントティヤ、
25

イフデヤ、ペヌエルーシャシャクの息子たち。

歴代誌上

26 シヤムセライ、シェハリヤ、アタリヤ、²⁷
ヤアレシャヤ、エリヤ、ジクリはエロハムの息子たちであった。

28 これらはその世代に応じた家族の指導者であり、
エルサレムに住む著名な人々であった。

29 さて、ギベオンにはギベオンの家長エイエルが住んでおり、

彼の妻の名はマアカであった。

30 彼の長男はアブドンであり、次にツル、キシュ、バアル、ナダブ、³¹
ゲドル、アヒオ、ゼケルが続いた。

32 ミクロテはシメアの父であった。

彼らもまた、エルサレムで他の親族と向かい合って住んでいた。

33 ネルはキシュの系統の父であり、

キシュはサウルの父であり、
サウルはヨナタン、マルキシュア、アビナダブ、
エシュバアルの父であった。

34 ヨナタンの息子はメリブバアルであり、

メリブバアルはミカの父であった。

35 ミカの子孫は次の通りである。

ピトン、メレク、タレア、アハズ。

36 アハズはヨアダの父であり、

ヨアダはアレメテ、アズマベテ、ジムリの父であり、
ジムリはモザの父であった。

37 モザはビネアの父であり、
ラファは彼の息子であり、

エルアサは彼の息子であり、
アゼルは彼の息子であった。

38 アゼルには六人の息子がおり、彼らの名前は次の通りである。

アズリカム、ボケル、イシュマエル、シェアリヤ、
オバデヤ、ハナン。
これらはすべてアゼルの子孫であった。

39 エシエクの息子たちには次の者たちがいた。

長男ウラム、次男エウシュ、三男エリフェレデ。

40

ウラムの息子たちは弓術に優れた勇敢な戦士であった。

彼らには多くの息子と孫があり、合計**150**人であった。

これらはすべてベニヤミンの子孫であった。

9 こうして、全イスラエルは系図に記録され、
実際、彼らはイスラエルの王の書に記されています。

そしてユダは不信仰のためにバビロンに捕囚されました。

2

さて、彼らの所有地に最初に住んだ者たちは次の通りです：

イスラエル人、祭司、レビ人、そして宮のしもべたち。

3

ユダ、ベニヤミン、エフライム、マナセの子孫の一部はエルサレムに住んでいました：

4

アンミフデの子孫、オムリ、イムリ、バニの子孫であるウタイ、バレッツの子ユダの系統。

5 シロの子孫からは、長子アサヤとその子たち。

6

ゼラの子孫からは、エウエルとその親族、**690**人。

7

ベニヤミンの子孫の中からは、メシュラムの子サル、ホダヤの子、ハッセヌアの子、⁸
また、イブネヤ、エロハムの子孫、
ウジとミクリの子孫のエラ、
シェファテヤ、ルエル、イブニヤの子孫のメシュラム；

9

そして彼らの親族はその世代に従って、**956**人。
これらは皆、家系に従っての父の家の指導者たちでした。

10 祭司の中には、エダヤ、エホヤリブ、ヤキン、

11

そしてアザリヤ、ヒルキヤ、メシュラム、ツアド

歴代誌上

ク、メラヨテ、アヒトブの子孫で、神の家の主事
；

12

また、エロハムの子孫、バシュフル、マルキヤの
アダヤ；
アディエル、ヤハゼラ、メシュラム、メシレミテ
、イメルの子孫のマアサイ；

13

そして彼らの親族、父の家の長たち、**1,760**人の
神の家の奉仕のために働く力ある者たち。

14

レビ人の中からは、ハシュブ、アズリカム、ハシ
ャビヤの子孫、メラリの子孫のジェマヤ；

15

バクバカル、ヘレシュ、ガラル；
ミカ、ジクリ、アサフの子孫のマタニヤ；

16

ジェマヤ、ガラル、エドトンの子孫のオバデヤ；
アサ、エルカナの子孫のベレキヤ、ネトファ人の
村に住んでいた者たち。

17 門衛たちは次の通りです：

シャルム、アクブ、タルモン、アヒマン、そして
彼らの親族。 シャルムは長であった。

18

彼は東の王の門に今までいた。
これらはレビの子孫の陣営の門衛であった。

19

シャルム、コレの子孫、エビアサフ、コラ、
そして彼の父の家の親族、コラ人たちは、
幕屋の敷居の守りの奉仕の仕事をしていた。

彼らの父たちは主の陣営の上にあり、入口の守り
をしていた。

20

エルアザルの子孫のビネハスは以前、彼らの上に立
っていた、そして主は彼と共におられた。

21

メシレミヤの子ゼカリヤは会見の幕屋の入口の門衛
として仕えていた。

22

敷居の門衛として選ばれた者は全てで**212**人。
これらは彼らの村々で系図に記録されていた、

ダビデと預言者サムエルが彼らを信任の職に任命
した者たち。

23

彼らとその子たちは主の家の門の監督をしていた、

すなわち、幕屋の家の門衛として。

24 門衛たちは四方に配置されていた：

東、西、北、南に。

25

彼らの村々からの親族が7日ごとに定期的に彼らに
加わった；

26

四人の主な門衛はレビ人であり、
神の家の部屋や宝物の管理を任されていた。

27

彼らは神の家の周りで夜を過ごし、
見張りが彼らに任されていた；

そして彼らは毎朝それを開く責任があった。

28

今、彼らの中の一部は奉仕の器具の責任を負って
いた、
彼らはそれを持ち込むときと持ち出すときにそれを
数えた。

29

彼らの中の一部はまた、聖所の家具やすべての器具
、
上等の小麦粉、ワイン、油、乳香、香料の管理を任
されていた。

30

祭司の子孫の中の特定の者たちは香料の混合を準備
する任務を負っていた。

31

レビ人の一人で、コラ人シャルムの長子であるマテ
イティヤは、

平鍋での薄焼きパンの焼き上げの責任を負って
いた。

32

コハテ人の子孫の親族の一部は
毎週安息日に備えるための供えパンの管理をして
いた。

33

これらは歌う者たちで、レビ人の父の家の指導者た
ちであり、
彼らは神殿の部屋に住み、他の奉仕から免除されて
いた、彼らは昼も夜もその仕事に従事していた。

34

これらはレビ人の父の家の指導者たちであり、
その世代に従って、エルサレムに住んでいた主人
人々。

歴代誌上

35

ギベオンでは、ギベオンの父エイエルが住んでいた、

そして彼の妻の名はマアカであった。

36

彼の長子はアブドンであり、次いでツル、キシシュ、
バアル、ネル、ナダブ、
またゲドル、アヒオ、ゼカリヤ、ミクロテ。

37

38 ミクロテはシメアムをもうけた。

彼らもまたエルサレムで他の親族と向かい合って
住んでいた。

39

ネルはキシシュの父であり、キシシュはサウルの父であ
った；

サウルはヨナタン、マルキシシュア、アビナダブ、
エシュバアルの父であった。

40 ヨナタンの子はメリブバアルであり、

メリブバアルはミカの父であった。

41 ミカの子たちは次の通り：

ピトン、メレク、タレア、アハズ。

42 アハズはヤラの父であり、

ヤラはアレメテ、アズマベテ、ジムリの父であっ
た；ジムリはモツアの父であった；

43 モツアはビネアの父であり、

彼の子はレファヤ、彼の子はエレアサ、
彼の子はアゼルであった。

44 アゼルには六人の子がいて、その名は次の通り：

アズリカム、ボケル、イシュマエル、シェアリヤ
、オバデヤ、ハナン。
これらはアゼルの子たちであった。

10

ペリシテ人はイスラエルと戦い、
イスラエルの人々はペリシテ人から逃げ、
ギルボア山で殺された。

2

ペリシテ人はサウルとその息子たちを執拗に追い、
サウルの息子ヨナタン、アビナダブ、マルキシシュ
を打ち倒した。

3

戦いはサウルに対して激しくなり、
弓を射る者たちが彼を見つけた。

そして彼は弓を射る者たちによって傷を負った。

4 その時サウルは彼の武器を持つ者に言った、

「剣を抜いて私を突き刺せ、
そうでないとこの割礼を受けていない者たちが来
て私を虐待するだろう。」

しかし彼の武器を持つ者は非常に恐れて、それを
しなかった。

そこでサウルは自分の剣を取り、それに倒れた。

5 彼の武器を持つ者はサウルが死んだのを見て、

彼もまた自分の剣に倒れて死んだ。

6 こうしてサウルは彼の三人の息子と共に滅び、
彼の家のすべての者も共に滅びた。

7

谷にいたイスラエルのすべての人々が彼らが逃げた
のを見て、
サウルとその息子たちが死んだのを見て、

彼らは自分たちの町を捨てて逃げた。
それからペリシテ人が来てそこに住んだ。

8

翌日、ペリシテ人が戦死者を剥ぎ取るために来たとき、

彼らはサウルとその息子たちがギルボア山に倒れ
ているのを見つけた。

9

それで彼らは彼を剥ぎ取り、彼の頭と彼の武具を取
り、ペリシテ人の地に使者を送り、

彼らの偶像と人々に良い知らせを伝えた。

10 彼らは彼の武具を彼らの神々の家に置き、

彼の頭蓋骨をダゴンの家に固定した。

11

ヤベシュ・ギルアデの人々がペリシテ人がサウルに
したすべてのことを聞いたとき、

12

すべての勇敢な者たちが立ち上がり、サウルの体と
その息子たちの体を取り、
彼らをヤベシュに持ち帰り、
彼らの骨をヤベシュの樅の木の下に埋めた。

そして彼らは七日間断食した。

13 サウルは主に対する不信仰のために死んだ。

歴代誌上

主の言葉を守らなかったためである。
また、彼は霊媒に相談し、それを尋ねたためでも
ある。

¹⁴そして主に尋ねなかった。

それゆえ、主は彼を死に至らせ、王国をエッサイ
の子ダビデに渡された。

11 その時、全イスラエルはヘブロンでダビデ
のもとに集まり、言った。

「見よ、私たちはあなたの骨肉です。

² 昔、サウルが王であった時でさえ、
あなたがイスラエルを率いて出入りしていました

。そして、あなたの神、主はあなたに言われました
、『あなたは私の民イスラエルを救し、
あなたは私の民イスラエルの君となるであろう。
』」

³ それで、イスラエルのすべての長老たちはヘブロン
で王のもとに集まり、
ダビデはヘブロンで彼らと主の前で契約を結んだ。

そして彼らはダビデをイスラエルの王として油注
いだ。
これはサムエルを通しての主の言葉に従ったもの
である。

⁴ その後、ダビデと全イスラエルはエルサレム（すな
わちエブス）に行った。
そしてエブス人はその地の住民であった。

⁵ エブスの住民はダビデに言った。

「あなたはここに入ってはならない。」
しかし、ダビデはシオンの要塞を奪った。
それがダビデの町である。

⁶ さて、ダビデは言った。

「誰でも最初にエブス人を打つ者は、長となり司
令官となる。」
ゼルヤの子ヨアブが最初に上ったので、彼が長と
なった。

⁷ それでダビデはその要塞に住んだ。

それゆえ、それはダビデの町と呼ばれた。

⁸ 彼はミロから四方にわたって町を建てた。

そしてヨアブは町の残りを修復した。

⁹ ダビデはますます強くなった。

万軍の主が彼と共におられたからである。

¹⁰

さて、これがダビデの持っていた勇士たちの指導者
たちである。

彼らはイスラエル全体と共に彼の王国を強力に支え
、主の言葉に従って彼をイスラエルの王とした。

¹¹ これがダビデの勇士たちの指導者である。

ハクモニの子ヤショブアム、三十人の長である。
彼は槍を振るって三百人を一度に打ち倒した。

¹²

彼に続く者はアホハイトのドドの子エルアザルであ
った。

彼は三人の勇士の一人であった。

¹³

彼はバス・ダミムでダビデと共にいた。

その時、ペリシテ人が戦いのために集まっていた。

そこには大麦で満ちた土地があり、

人々はペリシテ人の前から逃げた。

¹⁴

しかし、彼らはその土地の真ん中に立ってそれを守
り、ペリシテ人を打ち倒した。

そして主は彼らに大いなる勝利を与えた。

¹⁵

その時、三十人の主だった者のうちの三人がアドラ
ムの洞窟の岩のもとにいるダビデのもとに行った。

その間、ペリシテ人の軍隊はレファイムの谷に陣
を張っていた。

¹⁶

ダビデはその時、要塞にいた。

ペリシテ人の守備隊はベツレヘムに駐留していた。

¹⁷ ダビデは望みを述べて言った。

「誰かが門のそばにあるベツレヘムの井戸の水を
私に飲ませてくれたら！」

¹⁸

そこで三人はペリシテ人の陣営を突破し、
門のそばにあるベツレヘムの井戸から水を汲んで、
それを持ってダビデのもとに持ってきた。

しかし、ダビデはそれを飲まず、主に注いだ。

¹⁹ そして彼は言った。

「私の神の前でこれをする事は私から遠いこと
です。

歴代誌上

これを命をかけて行ったこれらの人々の血を飲むべきでしょうか？
彼らは命をかけてそれを持ってきたのです。」
それゆえ、彼はそれを飲まなかった。
これらのことは三人の勇士が行った。

ヨアブの兄弟アブシャイについては、彼は三十人の長であった。

彼は槍を振るって三百人を打ち倒し、
三人と同様に名を得た。

彼は三十人の中で名誉を得た。

しかし、彼は三人には及ばなかった。
ダビデは彼を自分の護衛の長に任命した。

カブツエルの勇敢な男ヨヤダの子ベナヤは、
モアブのアリエルの二人の子を打ち倒した。

彼はまた、雪の日に穴の中でライオンを打ち倒した。

彼はまた、五キュビトの背丈のエジプト人を殺した。

エジプト人の手には機織りの横木のような槍があったが、
彼は杖を持って彼に向かい、
エジプト人の手から槍を奪い、その槍で彼を殺した。

これらの行いをヨヤダの子ベナヤは成し遂げた。

そして彼は三人の勇士と同様に名を得た。

彼は三十人の中で名誉を得た。

しかし、彼は三人には及ばなかった。
ダビデは彼を自分の護衛の長に任命した。

さて、軍隊の勇士たちは次の通りである。

ヨアブの兄弟アサエル、
ベツレヘムのドドの子エルハナン、
ハロデのシャモテ、ペロニのヘツ、
テコアのイケシュの子イラ、
アナトテのアビエゼル、
アホハイトのイライ、
ネトファのマハラ、
ネトファのバアナの子ヘレデ、
ベニヤミンの子たちのギベアのリバイの子イタイ、
ピラトンのベナヤ、
ガアシユの流れのフライ、アルバトのアビエル、
バフリムのアズマウエテ、
シャルボンのエリアバ、

ギズンのハシェムの子たち、
ハラルのシャグの子ヨナタン、
ハラルのサカルの子アヒアム、
ウルの子エリファル、
ペロニのアヒヤ、
エズバイの子ナアライ、
ハグリの子ミバル、
ベロテのナハラ、
ゼルヤの子ヨアブの武具を持つ者、
ヒッタイトのウリヤ、
アフライの子ザバデ、
ルベン人の指導者シザの子アディナ、
マアカの子ハナン、
ミトニのヨシャファテ、
アシュタロテのウジヤ、
アロエルのホタムの子シャマとエイエル、
シムリの子エディエル、
また彼の兄弟ティツのヨハ、
マホワイトのエリエル、
またエルナアムの子エリバイとヨシャビヤ、
モアブのイデマ、
エリエル、オベデ、メソバイトのヤアシエル。

さて、これらはジクラグでダビデのもとに
来た者たちである。
彼がサウル、キシュの子のためにまだ制限
されていたときに、

彼らは戦いで彼を助けた勇士たちの中にいた。

彼らは弓の技に熟達しており、

右手でも左手でも石を投げたり矢を射ることができた。
彼らはサウルの親族でベニヤミン族であった。

指導者はアヒエゼルで、その次にヨアシュが続いた。

ギベア人シェマアの子たちである。
また、エジエルとベレテ、アズマベテの子たち、
ベラカとアナトト人エフ、

ギベオン人イシュマヤ、三十人の中の勇敢な指導者であり、その上にいた。
それからエレミヤ、ヤハジエル、ヨハナン、ゲデラ人ヨザバデ、

エルザイ、エリモテ、ベアリヤ、シェマリヤ、ハ
ルフ人シェファテヤ、

歴代誌上

6
エルカナ、イッシャヤ、アザレル、ヨエゼル、コ
ラヤシヨベアム、

7 ゲドル人エロハムの子たちヨエラとゼバデヤ。

8
ガド人の中から勇敢な者たちが荒野の要塞でダビデ
のもとに来了。
彼らは勇士であり、戦いに訓練された者たちであつた。

盾と槍を扱うことができ、
その顔はライオンの顔のようであり、
山のガゼルのように速かった。

9
エゼルが指導者であり、オバデヤが続き、エリア
ブが三番目であった。

10
ミシュマナが四番目であり、エレミヤが五番目であつた。

11
アタイが六番目であり、エリエルが七番目であつた。

12
ヨハナンが八番目であり、エルザバデが九番目であつた。

13
エレミヤが十番目であり、マクバナイが十一番目であつた。

14 これらのガドの子たちは軍の指導者であつた。
彼らの中で最も弱い者でも百人に匹敵し、最も強い者は千人に匹敵した。

15
これらはヨルダン川がその岸をすべて溢れさせていた最初の月に渡った者たちである。

彼らは谷のすべての者たちを東と西に追い払った。
。

16
その後、ベニヤミンとユダの部族からの者たちが要塞でダビデに加わった。

17 ダビデは彼らを迎えに出て言った。
「もし平和に私を助けるために来たなら、私の心はあなたたちと一つになる。

しかし、私を敵に売り渡すために来たなら、私の手には暴力はないが、
私たちの父の神が見て裁かれるように。」

18
その時、三十人の指導者アマサイに霊が臨み、彼は言った。

「我々はあなたのものです、ダビデ、
エッサイの子よ、あなたと共にいる！
平和、平和があなたに、
あなたを助ける者に平和がありますように。
あなたの神があなたを助けるからです。」
それでダビデは彼らを受け入れ、隊の指導者にした。

19
マナセからの者たちがダビデに加わり、彼がペリシテ人と共にサウルに対抗して戦おうとしていたときに来了。しかし、彼らは助けなかった。

ペリシテ人の領主たちが相談の後、彼を送り返したからである。
「彼が我々の頭を代償にして主人サウルに寝返るかもしれない。」と言った。

20
彼がジクラグに行ったとき、マナセから彼のもとに来了者たちは次の通りである。

アドナ、ヨザバデ、エディエル、ミカエル、ヨザバデ、エリフ、ジルタイ、
マナセに属する千人の指導者たち。

21 彼らは襲撃者の隊に対抗してダビデを助けた。
彼らは皆勇敢な者たちであり、軍の指導者であつた。

22 日ごとに人々がダビデのもとに来て彼を支えた。
それは神の軍に匹敵する大軍になるまでであつた。

23
さて、これらは戦いのために準備された部隊の数であり、
ヘブロンでダビデのもとに来てサウルの王国を彼に移すためであつた。

主の言葉が宣言した通りに。

24 盾と槍を持つユダの子たちは次の通りである。

6,800人、戦いのために装備されていた。

歴代誌上

25

シメオンの子たちから、戦いのための勇敢な者たち
。

7,100人。

26 レビの子たちから。

4,600人。

27 アロンの家の指導者はエホヤダであった。

彼と共に3,700人がいた。

28 また、若い勇士ザドクがいた。

彼の父の家から二十二人の指導者がいた。

29 ベニヤミンの子たちから、サウルの親族。

3,000人。

その時まで彼らの大多数はサウルの家に忠誠を保っていた。

30

エフライムの子たちから、勇敢な者たち、父の家で
有名な者たち。

20,800人。

31 マナセの半部族から。

18,000人、名を指定されてダビデを王とするため
に來た。

32

イッサカルの子たちから、時を理解し、イスラエル
が何をすべきかを知っている者たち。

*彼らの指導者は200人で、
彼らの親族はすべて彼らの命令に従っていた。*

33

ゼブルンから、あらゆる種類の戦いの武器を持ち、
戦いの準備ができている者たち。

50,000人、戦いの隊形を整えることができ、心に
迷いがなかった。

34 ナフタリから。

**1,000人の指導者、
彼らと共に盾と槍を持つ37,000人。**

35

ダンの子たちから、戦いの隊形を整えることができ
る者たち。

28,600人。

36

アシェルから、戦いに出て、戦いの隊形を整えるこ
とができる者たち。

40,000人。

37

ヨルダンの向こう側から、ルベン人、ガド人、マナ
セの半部族から、あらゆる種類の戦いの武器を持つ
者たち。

120,000人。

38

これらすべての者たちは、戦いの隊形を整えること
ができる戦士であり、
完全な心を持ってヘブロンに来て、イスラエル全体
の王としてダビデを立てた。
そしてイスラエルの残りの者たちもダビデを王とす
ることに一心同体であった。

39

彼らはダビデと共に三日間そこにおいて、飲み食いし
た。

*彼らの親族が彼らのために用意してくれたからで
ある。*

40

さらに、彼らの近くにいた者たちも、イッサカル、
ゼブルン、ナフタリに至るまで、
ロバ、ラクダ、ラバ、牛に食物を積んで持ってきた
。大量の小麦粉、いちじくのケーキ、ぶどうのケー
キ、ワイン、油、牛、羊。

イスラエルには本当に喜びがあった。

13

ダビデは千人隊と百人隊の長たち、すべての
指導者に相談した。

² ダビデはイスラエルの全会衆に言った、

「もしあなたがたに良いと思われ、また私たちの
神、主から出たことであれば、
イスラエル全地に残っている私たちの同胞に、
また彼らと共にいる町々の牧場にいる祭司とレビ
人に、
私たちと会うために知らせを送りましょう。

3

そして私たちの神の箱を私たちのもとに戻しまし
ょう。
サウルの時代にはそれを求めなかったからです。
」

歴代誌上

4すると全会衆はそのようにすることに同意した。

それはすべての民の目に正しいことだったからである。

5それでダビデはイスラエル全体を集めた。
エジプトのシホルからハマテの入口まで、

キリヤテ・ヤリムから神の箱を運び上げるために。

6
ダビデとイスラエルの全体はユダのキリヤテ・ヤリムであるバアラに上り、

そこからケルビムの上に座しておられる主、
その名が呼ばれる神の箱を運び上げるために行つた。

7
彼らはアビナダブの家から新しい車に神の箱を載せて運んだ。

ウザとアヒオがその車を導いた。

8
ダビデとイスラエルの全体は、神の前で力の限りを尽くして祝った。

歌と堅琴、琴、タンバリン、シンバル、ラッパを用いて。

9
彼らがキドンの打ち場に來たとき、
ウザは手を伸ばして箱をつかんだ。

牛がそれを傾けそうになったからである。

10
主の怒りがウザに向かって燃え上がり、
彼が箱に手を出したために彼を打たれた。

そして彼は神の前でその場で死んだ。

11
ダビデは主がウザに対して怒りを発したことに憤慨した。

そしてその場所をベレツ・ウザと名付けた。それは今日までその名を保っている。

12ダビデはその日、神を恐れた。

「どうして神の箱を私のところに持って來ることができようか」と言った。

13
それでダビデは神の箱をダビデの町に持って行かず、

ガテ人オベデ・エドムの家にそれを運んだ。

14
こうして神の箱はオベデ・エドムの家族と共に彼の家に三か月間留まった。

そして主はオベデ・エドムの家と彼が持っているすべてのものを祝福された。

14
さて、ツロの王ヒラムはダビデに使者を送り、杉の木材、
石工、そして大工を送りました。

彼のために家を建てるためです。

2
ダビデは、主が彼をイスラエルの王として確立されたことを悟りました。

そして彼の王国が非常に高く上げられたのは、
主の民イスラエルのためであることを悟りました。

3エルサレムで、ダビデはさらに妻を迎えました。

そして彼はさらに多くの息子と娘の父となりました。

4
エルサレムで彼に生まれた子供たちの名前は次の通りです。

シヤムア、ショバブ、ナタン、ソロモン、
イブハル、エリシュア、エルベレテ、
ノガ、ネフエグ、ヤフィア、
エリシャマ、ベエリアダ、エリフェレテ。

8
ダビデがイスラエル全体の王として油注がれたことを聞いたとき、
ベリシテ人は彼を探しに集まりました。

ダビデがこれを知ったとき、彼は彼らに会いに出かけました。

9
その時、ベリシテ人は來て、レファイムの谷で襲撃を開始しました。

10その時ダビデは神に尋ねました。

「私はベリシテ人に向かって行くべきでしょうか、
そしてあなたは彼らを私の手に渡してくださいますか？」
主は彼に言いました。

歴代誌上

「上って行け、私は彼らをあなたの手に渡すであらう。」

11
それで彼らはバアル・ペラツィムに上り、そこでダビデは彼らに勝利を収めました。
ダビデは言いました。

「神は水が突破するように、私の手によって敵を突破された。」
それゆえ、その場所の名前をバアル・ペラツィムと名付けました。

12
彼らはそこで自分たちの神々の偶像を残しました。
それでダビデはそれらを火で焼くよう命じました。

。
13
その後、ペリシテ人は再び谷で襲撃を行いました。

14
ダビデは再び神に尋ね、神は彼に言いました。
「彼らに直接向かって行つてはならない。
彼らの後ろに回り込み、バカの木の前で彼らに向かつて行け。

15
そして、バカの木の上で行進の音を聞いたとき、
戦いに出て行け、
神があなたの前に出てペリシテ人の軍を打つであらう。」

16
ダビデは神が命じた通りに行いました。
そして彼らはギベオンからゲゼルに至るまでペリシテ人の軍を打ちました。

17
ダビデの名声は全地に広がりました。
そして主は彼に対する畏敬の念をすべての国々に与えました。

15
ダビデはダビデの町で自分のために家を建て、神の箱のために場所を準備し、
そのために天幕を設けた。

2
その時、ダビデは宣言した、
「レビ人以外の者は神の箱を運んではならない。
主が彼らを選び、主の箱を担ぎ、
永久に仕えるようにされたからである。」

3
ダビデはイスラエル全体をエルサレムに集め、主の箱を自分が準備した場所に運び上げるために集めた。

4
ダビデはアロンの子孫とレビ人を召集した。

5
コハテの子孫からは、指導者ウリエルとその親族120人。

6
メラリの子孫からは、指導者アサヤとその親族220人。

7
ゲルシヨンの子孫からは、指導者ヨエルとその親族130人。

8
エリツァフアンの子孫からは、指導者シマヤとその親族200人。

9
ヘブロンの子孫からは、指導者エリエルとその親族80人。

10
ウジエルの子孫からは、指導者アミナダブとその親族112人。

11
その時、ダビデは祭司ツァドクとアビアタル、そしてレビ人を呼び寄せた。

ウリエル、アサヤ、ヨエル、シマヤ、エリエル、アミナダブ、

12
彼らに言った、

「あなたたちはレビ人の父祖の家の長である。
あなたたちと親族を清めなさい。
それでイスラエルの神、主の箱を
私が準備した場所に運び上げることができるように。

13
最初にそれを運ばなかったために、
私たちの神、主が私たちに怒りを発した。
私たちは規定に従って彼を求めなかったからである。」

14
こうして、祭司とレビ人は自分たちを清め、イスラエルの神、主の箱を運び上げるために備えた。

15
レビ人の子らは神の箱を肩に担いで運んだ。

モーセが主の言葉に従って命じたように。

16
その時、ダビデはレビ人の指導者たちに言った。

歴代誌上

彼らの親族である歌う者たちを任命し、
楽器、ハープ、リュート、シンバルを持たせ、
喜びの声を上げさせるように。

17 そこでレビ人は選んだ。

ヨエルの子ヘマン、
その親族のベレクヤの子アサフ、
メラリの子孫の親族であるクシャヤの子エタン。

18 そして彼らと共に、第二位の親族を選んだ。

ゼカリヤ、ヤジエル、シミラモテ、エヒエル、ウ
ニ、エリアブ、ベナヤ、マアセヤ、マッティティ
ヤ、エリフェル、ミクネヤ、オベデ・エドム、エ
イエル、門衛。

19

こうして、歌う者たち、ヘマン、アサフ、エタンは
任命された。

青銅のシンバルを鳴らすために。

20

ゼカリヤ、アジエル、シミラモテ、エヒエル、ウニ
、エリアブ、マアセヤ、ベナヤは、

アラモト調に合わせたハープを持って。

21

マッティティヤ、エリフェル、ミクネヤ、オベデ・
エドム、エイエル、アザジャは、

シェミニト調に合わせたリュートを持って、歌を
指揮した。

22 レビ人の指導者ケナニヤは歌の責任者であった。

彼は歌を教えるのに熟練していたからである。

23 ベレクヤとエルカナは箱の門衛を務めた。

24

祭司シェバニヤ、ヨシャファテ、ネタネル、アマサ
イ、ゼカリヤ、ベナヤ、エリエゼルは、

神の箱の前でラッパを吹いた。
オベデ・エドムとエヒヤもまた箱の門衛であつた
。

25

こうして、ダビデはイスラエルの長老たちと千人隊
の長たちと共に、
主の契約の箱を運び上げるために行った。

オベデ・エドムの家から喜びを持って。

26

神が主の契約の箱を運ぶレビ人を助けてくださった
ので、

彼らは雄牛七頭と雄羊七頭を捧げた。

27

今やダビデは細かいリネンの上着を着ており、
箱を運ぶレビ人と歌う者たち、そして歌う者たちの
指導者ケナニヤも同様であった。

ダビデもまたリネンのエフォドを着ていた。

28

こうしてイスラエル全体が主の契約の箱を歓声と共に
運び上げた。

角笛の音、ラッパ、鳴り響くシンバル、
ハープとリュートの音と共に。

29

そして主の契約の箱がダビデの町に来た時、
サウルの娘ミカルは窓から見下ろし、ダビデ王が跳
ね回り、喜んでいるのを見た。

そして彼を心の中で軽蔑した。

16

彼らは神の箱を運び、ダビデがそのために
用意した天幕の中に置き、

神の前で燔祭と和解のいけにえを捧げた。

2

ダビデが燔祭と和解のいけにえを捧げ終えたとき、

彼は主の名によって民を祝福した。

3

彼はイスラエルのすべての人々、男も女も、

一人一人にパン一個、肉の分け前、そして干しぶ
どうの菓子配った。

4

彼はレビ人の中から何人かを主の箱の前に仕える者
として任命し、

イスラエルの神、主を祝うため、感謝し、賛美す
るようにした。

5

アサフを長とし、
次にゼカリヤ、エイエル、シェミラモテ、エヒエ
ル、マタテヤ、エリアブ、ベナヤ、オベデ・エド
ム、
エイエルは琴と堅琴を持ち、
アサフは大きな音を立てるシンバルを打った。

6

ベナヤとヤハジエルは常に神の契約の箱の前でラ
ッパを鳴らした。

歴代誌上

7

その日、ダビデは初めてこの感謝の歌を主に捧げるように

アサフとその兄弟たちに命じた。

8 主に感謝し、その御名を呼び求めよ。
その御業を民の間に知らせよ。

9 主に歌い、賛美を捧げよ。
そのすばらしい業を語り伝えよ。

10 その聖なる御名に栄光を帰せよ。
主を求める者の心は喜びに満ちる。

11 主とその力を求めよ。常にその御顔を求めよ。

12 彼が行った奇跡を思い起こせ、
その不思議な業とその口の裁きを。

13 イスラエルの子孫、彼のしもべ、
ヤコブの子ら、彼の選ばれた者たちよ！

14 彼こそ我らの神、主である。
その裁きは全地に及ぶ。

15 その契約を常に思い起こせ、
千代にわたって命じた御言葉を。

16 アブラハムと結んだ契約、イサクへの約束。

17 彼はそれをヤコブに永遠の掟として、
イスラエルに永遠の契約として確立した。

18 言われた、「あなたにカナンの地を与える、
あなたの相続地として。」

19 あなたがたが少数であったとき、
ごく少数で、その地で寄留者であったとき、

20 彼らは国から国へと旅し、
一つの王国から他の民へと移動した。

21 彼は誰にも彼らを虐げさせず、
彼らのために王たちを叱責して言った、

22 「わたしの油注がれた者たちに触れるな、
わたしの預言者たちに害を加えるな。」

23 全地よ、主に歌え。
日から日へとその救いを告げ知らせよ。

24 その栄光を国々の間に、
そのすばらしい業をすべての民の間に宣べ伝えよ。
。

25

主は偉大であり、大いに賛美されるべきである。
すべての神々にまさって畏れられるべきである。

26 すべての民の神々は偶像にすぎない、
しかし主は天を造られた。

27 栄光と威厳は彼の前にあり、
力と喜びは彼の住まいにある。

28 民の家族よ、主に帰せよ、
主に栄光と力を帰せよ。

29 その御名にふさわしい栄光を主に帰せよ。
捧げ物を持ってその前に来たれ。
聖なる装いをして主を礼拝せよ。

30 全地よ、彼の前に恐れよ。
確かに、世界は堅く立てられ、動かされることはない。

31 天は喜び、地は歓喜せよ。
国々の間で「主が王である」と告げ知らせよ。

32 海とその中に満ちるものは鳴り響け。
野とその中にあるすべてのものは歓喜せよ。

33 森の木々は主の前で歌うであろう。
彼が地に正義をもたらすために来られるからである。

34 主に感謝せよ、彼は良いお方である。
その信実永遠である。

35

そして言え、「我らの救いの神よ、救ってください、
我らを集め、国々から救い出してください、
あなたの聖なる名に感謝し、
あなたの賛美に栄光を帰するために。」

36 主、イスラエルの神は賛美されるべきである、
永遠から永遠まで！」
するとすべての民は言った、
「アーメン」と主を賛美した。

37

それで彼はアサフとその兄弟たちを主の契約の箱の
前に残し、

日々の仕事に応じて箱の前に仕えるようにした。

38

そしてオベデ・エドムとその六十八人の兄弟たち、

オベデ・エドムもまたエドトンの子であり、ホサ
も門衛として任命された。

歴代誌上

39

彼はザドクとその兄弟たちの祭司をギベオンの高き所にある主の幕屋の前に残した。

40

主のために燔祭の祭壇で朝夕に絶えず燔祭を捧げるために、

主がイスラエルに命じた律法に書かれているすべてに従って行った。

41

彼らと共にヘマンとエドトン、そして選ばれた他の者たちがいた。

彼らは名をもって主に感謝を捧げるように任命された、その信実は永遠であるから。

42

彼らと共にヘマンとエドトンはラッパとシンバルを持ち、音を立てて演奏し、

神の歌のための楽器を持ち、エドトンの子らは門のために任命された。

43 その後、すべての民はそれぞれ自分の家に帰り、ダビデもまた自分の家族を祝福するために戻った。

17 ダビデが自分の家に住んでいたとき、ダビデは預言者ナタンに言った。

「見よ、私は杉の家に住んでいるが、主の契約の箱は天幕の幕の下にある。」

2 するとナタンはダビデに言った。

「あなたの心にあることを行いなさい。神があなたと共におられるからです。」

3

しかし、その夜に、神の言葉がナタンに臨んで言った。

4

「行って、わたしのしもべダビデに言いなさい。『主はこう言われる。あなたはわたしのために家を建てて住まわせることはない。』

5

わたしはイスラエルを上らせた日から今日まで、家に住んだことがない。わたしは天幕から天幕へ、住まいから住まいへと移動してきた。

6

わたしがイスラエルのすべてと共に歩んできたど

の場所でも、わたしがわたしの民を牧させるために命じたイスラエルの裁き人たちの誰かに、
「なぜわたしのために杉の家を建てなかったのか」と言ったことがあるか。』

7

だから、わたしのしもべダビデにこう言いなさい。『万軍の主はこう言われる。わたしはあなたを牧場から、羊を追う者から取り、わたしの民イスラエルの指導者とした。』

8

あなたが行くところどこでも、わたしはあなたと共におり、あなたの敵をすべてあなたの前から滅ぼした。わたしは地上の偉大な者たちの名のように、あなたの名を大きくする。

9

わたしはわたしの民イスラエルのために場所を定め、彼らを植え付ける。彼らが自分の場所に住み、再び動かされることがないように。そして、悪者たちは以前のように彼らを浪費しない。

10

わたしがわたしの民イスラエルの上に裁き人を任命した日から。わたしはあなたのすべての敵を従わせる。さらに、わたしはあなたに告げる。主があなたのために家を建てる。

11

あなたの日々が満ちて、あなたがあなたの父たちと共に行くとき、わたしはあなたの後にあなたの子孫の一人を立て、彼の王国を確立する。

12

彼はわたしのために家を建て、わたしは彼の王座を永遠に確立する。

13

わたしは彼の父となり、彼はわたしの子となる。わたしはわたしの恵みを彼から取り去ることはない。あなたの前にいた者からそれを取り去ったようにはしない。

14

しかし、わたしは彼をわたしの家とわたしの王国

歴代誌上

に永遠に確立し、
彼の王座は永遠に確立される。’」

15 これらのすべての言葉とこの幻に従って、
ナタンはそれらをダビデに伝えた。

16 それからダビデ王は主の前行き、座して言った。

「主なる神よ、私は何者であり、私の家は何であるのか、
あなたがここまで私を連れて来られたのは。

17 これはあなたの目には小さなことでしたが、神よ、
あなたはあなたのしもべの家について遠い将来のことを語られ、
高い位の人の基準に従って私を見てくださった、
主なる神よ。

18 ダビデはあなたに何をさらに言うことができるでしょうか、あなたのしもべに与えられた名誉について。
あなたはあなたのしもべを知っておられるからです。

19 主よ、あなたのしもべのために、あなたの心に従って、
あなたはこのすべての偉大さを行い、これらの偉大なことを知らせてくださいました。

20 主よ、あなたのような方はおられません。
あなたのほかに神はおられません。
私たちが耳で聞いたすべてに従って。

21 地上のどの国があなたの民イスラエルのようなのでしょうか。
神がご自身のために民として贖われた、
偉大で恐るべき行いによって名を作るために、
あなたの民の前から国々を追出し、エジプトから贖ったあなたの民のために。

22 あなたはあなたの民イスラエルを永遠にあなたの民とされ、
あなたは主よ、彼らの神とられました。

23 今、主よ、あなたがあなたのしもべとその家につ

いて語られた言葉が永遠に確立され、
あなたが語られたように行われますように。

24 あなたの名が永遠に確立され、大きくなりますように、
「万軍の主はイスラエルの神であり、イスラエルの神である」と言われ、
あなたのしもべダビデの家があなたの前に確立されますように。

25 あなたは、私の神よ、あなたのしもべに家を建てることを明らかにされました。
それゆえ、あなたのしもべはあなたの前で祈る勇氣を見出しました。

26 今、主よ、あなたは神であり、
あなたはあなたのしもべにこの良いことを約束されました。

27 そして今、あなたはあなたのしもべの家を祝福することを喜ばれました。
それがあなたの前に永遠に続くように。
あなたが祝福され、永遠に祝福されているからです、主よ。」

18 この後、ダビデはペリシテ人を打ち破り、
彼らを征服しました。

そして彼はガテとその村々をペリシテ人の手から奪いました。

2 彼はモアブを打ち破り、

モアブ人はダビデに臣従し、貢ぎ物を捧げました。

3 ダビデはまた、ハマテでツォパの王ハダデゼルを打ち破りました。

彼がユーフラテス川での支配を確立しようとしたときです。

4 ダビデは彼から千の戦車、七千の騎兵、二万の歩兵を奪いました。

そしてダビデはすべての戦車の馬の脚の筋を切りましたが、
百の戦車のために十分な数を残しました。

歴代誌上

5
ダマスコのアラム人がツォバの王ハダデゼルの助けに来たとき、
ダビデはアラム人の二万二千人を打ち倒しました。

6
その後、ダビデはダマスコのアラム人の中に守備隊を配置しました。

そしてアラム人はダビデに臣従し、貢ぎ物を捧げました。
主はダビデのすべての業を助けられました。

7
そしてダビデはハダデゼルの家来たちが持っていた金の盾を奪い、

それらをエルサレムに持ち帰りました。

8
また、ティブハテとクン、ハダデゼルの都市からも、
ダビデは非常に多くの青銅を奪いました。

ソロモンはそれで青銅の海と柱、青銅の器具を作りました。

9
ダビデがツォバの王ハダデゼルの全軍を打ち破ったことを聞いたとき、

10
彼は息子ハドラムをダビデ王のもとに送り、彼を祝福しました。

彼がハダデゼルと戦って彼を打ち破ったからです
(ハダデゼルはトウと戦争状態にあった)。
そして彼は金、銀、青銅の様々な器を持ってきました。

11 ダビデ王はまた、これらを主に捧げました。

彼がすべての国々から持ち帰った銀と金と共に：
エドム、モアブ、アンモンの子ら、ペリシテ人、
アマレクから。

12
ゼルヤの子アビシャイは塩の谷で一萬八千人のエドム人に勝利しました。

13
彼はエドムに守備隊を配置し、すべてのエドム人は
ダビデに臣従しました。

主はダビデのすべての業を助けられました。

14 こうしてダビデはイスラエル全土を治めました。

そして彼はすべての民に公正と正義を確保しました。

15 ゼルヤの子ヨアブは軍隊を指揮し、

アヒルドの子ヨシャファテは書記官でした。

16
アヒトブの子ザドクとアビアタルの子アビメレクは
祭司であり、

シャブシャは書記官でした。

17
エホヤダの子ベナヤはケレテ人とペレテ人の上に立ち、

ダビデの息子たちは王の側近として最高の役人でした。

19 これらの出来事の後、
アンモン人の王ナハシュが亡くなり、

彼の息子が王位を継いだ。

2 ダビデは決心した、

「ナハシュの息子ハヌンに親切を示そう、
彼の父が私に親切してくれたように。」
それで、ダビデは使者を派遣して彼の父について
弔意を表した。
ダビデの僕たちはアンモン人の地に入り、ハヌン
に同情を示した。

3
しかし、アンモン人の指導者たちはハヌンに言った、

「ダビデがあなたの父を敬っていると思いますか、
慰めの使者を送ったからといって？
彼の僕たちがあなたのところに来たのは、土地を
探り、覆し、偵察するためではないですか？」

4 そこでハヌンはダビデの僕たちを捕らえ、

彼らの髭を剃り、衣服を腰まで切り落として送り
返した。

5
すると、ある人々がダビデにその男たちのことを知
らせたので、

彼は使者を送って彼らを迎えさせた、
男たちは非常に恥をかいていたからである。
王は言った、
「あなたたちの髭が生え揃うまでエリコに留まり、
それから戻りなさい。」

歴代誌上

6 アンモン人たちは自分たちがダビデに嫌われたことを知り、
ハヌンとアンモン人たちは銀千タラントを送って

メソポタミア、アラム・マアカ、ツォバから戦車と騎兵を雇った。

7 彼らは三万二千の戦車を雇い、
マアカの王とその民が来てメデバの前に陣を張った。
。アンモン人たちは自分たちの町から集まり、戦いに
出た。

8 これを聞いたダビデは、
ヨアブと全軍、勇士たちを送った。

9 アンモン人たちは出てきて、町の入口で戦いの陣を敷き、
来た王たちは野に別ていた。

10 ヨアブは前後に敵がいるのを見て、
イスラエルの選りすぐりの者たちを選び、
アラム人に対して陣を敷いた。

11 残りの民は彼の兄弟アビシャイの指揮下に置き、
アンモン人に対して陣を敷いた。

12 彼は言った、
「もしアラム人が私に対して強すぎるなら、あなたが私を助けなさい。
しかし、もしアンモン人があなたに対して強すぎるなら、私があなたを助けます。

13 強くあれ、我々の民と我々の神の町々のために勇敢に振る舞おう。
主が御目にかなうことをなされますように。」

14 ヨアブと彼と共にいた民はアラム人に対して戦いに進み、
彼らは彼から逃げた。

15 アラム人が逃げたのを見たアンモン人たちは、
彼の兄弟アビシャイからも逃げて町に入った。
それからヨアブはエルサレムに戻った。

16 アラム人たちはイスラエルに敗れたことを知り、
使者を送り、ユーフラテス川の向こうのアラム人を連れてきた。

ハダデゼルの軍の司令官ショファクが彼らを率いていた。

17 ダビデはこれを聞くと、
イスラエル全軍を集め、

ヨルダン川を渡り、彼らに向かって陣を敷いた。
ダビデがアラム人に対して戦いの陣を敷いたとき、
彼らは彼と戦った。

18 しかし、アラム人はイスラエルから逃げ、
ダビデはアラム人の戦車兵七千人と歩兵四万人を殺し、

軍の司令官ショファクを殺した。

19 ハダデゼルの僕たちはイスラエルに敗れたことを知ると、

ダビデと和平を結び、彼に仕えるようになった。
それでアラム人はもうアンモン人を助けようとはしなかった。

20 春が来たとき、王たちが通常戦争に出る季節に、
ヨアブは軍を率いてアンモン人の地を荒らし、

ラバを包囲するために進軍した。
その間、ダビデはエルサレムに留まった。
ヨアブはラバを攻撃し、それを征服した。

21 ダビデは彼らの王の頭から冠を取り、

それが金のタラントの重さであることを見つけ、
その中に貴重な石があった。
そしてそれはダビデの頭に置かれた。
彼は都市の戦利品を大量に持ち出した。

3 彼はその中にいた人々を連れ出し、
のこぎり、鉄のつるはし、斧で働かせた。

ダビデはアンモン人のすべての都市に対しても同様にした。
そしてダビデとすべての民はエルサレムに戻った。
。

4 その後、ゲゼルでペリシテ人との戦争が起こった。

歴代誌上

そのとき、フシヤ人のシベカイが巨人の子孫の一人であるシバイを打ち倒し、彼らは征服された。

⁵ 再び、ペリシテ人との戦いが起こった。

そしてヤイルの子エルハナンがガテ人ゴリアテの兄弟ラハミを打ち倒した。
その槍の柄は織機の横木のようにであった。

⁶ 再びガテで戦争があった。

そこには、手と足にそれぞれ六つずつ、合計二十四の指とつま先を持つ大男がいた。
彼もまた巨人の子孫であった。

⁷ 彼がイスラエルを侮辱したとき、
ダビデの兄弟シメアの子ヨナタンが彼を打ち倒した。

⁸ これらはガテの巨人の子孫であった。

そして彼らはダビデとそのしもべたちによって打ち倒された。

21 サタンがイスラエルに対して立ち上がり、
ダビデにイスラエルの民を数えるように促した。

² それでダビデはヨアブと民の指導者たちに言った。

「ベエルシェバからダンまでイスラエルを数え、その数を私に報告して、私が彼らの数を知ることができるようにしなさい。」

³ しかしヨアブは言った。

「主が今の百倍も多く民を増やされますように。しかし、我が主なる王よ、彼らは皆、我が主のしもべではありませんか。
なぜ我が主はこのことを求められるのですか。
なぜイスラエルに罪をもたらすのですか。」

⁴ それにもかかわらず、王の言葉はヨアブに勝った。
それでヨアブは出発し、イスラエル全土を巡り、
エルサレムに戻った。

⁵ ヨアブは人口調査の数をダビデに報告した。

イスラエル全体で剣を持つ者は**1,100,000**人、
ユダは剣を持つ者が**470,000**人であった。

⁶ しかし彼はレビとベニヤミンを数えなかった。

それは王の命令がヨアブにとって忌まわしかったからである。

⁷ 神はこの行動を不快に思い、

それでイスラエルに災いをもたらした。

⁸ するとダビデは神に言った。

「私はこのことを行って大いに罪を犯しました。
しかし今、どうかあなたのしもべの罪を赦してください。私は非常に愚かなことをしました。」

⁹ その後、主はダビデの預言者ガドにメッセージを与えた。

¹⁰ 「行ってダビデに言いなさい。
『主はこう言われる。
私はあなたに三つのことを提示する。
あなた自身で選びなさい。それをあなたに行う。』」

¹¹ それでガドはダビデのもとに来て彼に言った。

「主はこう言われます。

¹² 『あなた自身で選びなさい。三年間の飢饉か、
三ヶ月間敵の前で敗走し、
敵の剣があなたを追いかけるか、
三日間の主の剣、
地に疫病があり、
主の使いがイスラエルの領土全体を滅ぼすか。』
今、私を遣わした方にどの答えを持ち帰るか決めなさい。」

¹³ ダビデはガドに言った。

「私は非常に苦しんでいます。
主の手に落ちさせてください。
主の憐れみは非常に大きいからです。
しかし、人の手に落ちさせないでください。」

¹⁴ それで主はイスラエルに疫病を送った。

イスラエルの人々のうち七万人が倒れた。

¹⁵ 神はエルサレムを滅ぼすために使いを送った。
しかし、彼がそれを滅ぼそうとしたとき、
主は見て災いを思い直し、

滅ぼす使いに言った。

「もう十分だ。今、手を緩めなさい。」
主の使いはエブス人オルナンの打ち場のそばに立っていた。

歴代誌上

16

ダビデは目を上げ、地と天の間に立つ主の使いを見たと。

彼の手には抜かれた剣があり、エルサレムに向かって伸ばされていた。
ダビデと長老たちは荒布をまとい、顔を地に伏せた。

17 ダビデは神に言った。

「民を数えるよう命じたのは私ではありませんか。
確かに、罪を犯し非常に悪いことをしたのは私です。
しかし、これらの羊たちは何をしたのでしょうか。
私の神、どうかあなたの手を私と私の父の家に向けてください。
しかし、あなたの民には疫病がないようにしてください。」

18

その後、主の使いはガドにダビデに言うように指示した。

彼はエブス人オルナンの打ち場に行き、主のために祭壇を築くべきであると。

19 それでダビデはガドの指示に従って上った。

それは主の名によって彼が語ったものである。

20 オルナンは振り返り、使いを見た。
彼と共にいた四人の息子たちは隠れた。

オルナンは麦を打っていた。

21 ダビデがオルナンに近づくと、

オルナンはダビデを見て、打ち場から出てきて、顔を地に伏せてダビデにお辞儀をした。

22 その後、ダビデはオルナンに言った。

「この打ち場の場所を私にください。
それに主のための祭壇を築くことができるように。
その場所を全額で私にください。
そうすれば、民から疫病が止まるでしょう。」

23 しかしオルナンはダビデに言った。

「それを自分で取ってください。
そして、我が主なる王が良いと思うことをしてください。
見てください、私は焼き尽くす捧げ物のために牛

を、木のために打ち場のそりを、穀物の捧げ物のために麦を差し上げます。私はすべてを差し上げます。」

24 しかし、ダビデ王はオルナンに言った。

「いいえ、私は必ず全額でそれを買います。
私は主のためにあなたのものを取らず、何も費用をかけずに焼き尽くす捧げ物を捧げません。」

25

それでダビデはオルナンに場所を買うために金六百シケルを支払った。

26 その後、ダビデはそこで主のために祭壇を築き、

焼き尽くす捧げ物と和解の捧げ物を捧げた。
彼は主に呼びかけ、主は焼き尽くす捧げ物の祭壇に天から火をもって応えられた。

27 その後、主は使いに命じ、

彼は剣を鞘に戻した。

28

ダビデがエブス人オルナンの打ち場で主が彼に与えられたことを悟ったとき、

彼はそこで犠牲を捧げた。

29

その時、モーセが荒野で建てた主の幕屋と焼き尽くす捧げ物の祭壇はギベオンの高き所にあった。

30

しかしダビデは神に伺うためにそこに行くことができなかった。

それは主の使いの剣を恐れていたからである。

22 その時、ダビデは宣言した。

「これは主なる神の家であり、これはイスラエルのための燔祭の祭壇である。」

2

それでダビデは、イスラエルの地にいる異国人を集めるよう命じ、

神の家を建てるために仕上げた石を切る石工を任命した。

3

ダビデは門の扉の釘や留め金を作るために大量の鉄を用意し、

歴代誌上

重さを量ることができないほどの青銅を用意した。
。

4 また、豊富な杉材を用意した。
シドン人とツロ人がダビデに大量の杉材を運んで
きたからである。

5 ダビデは言った。

「私の息子ソロモンは若くて経験が浅い。
主のために建てられる家は極めて壮大で、
全地にわたって有名で栄光に満ちたものでなけ
ばならない。
それゆえ、私はそのために準備をする。」
こうしてダビデは自分の死の前に十分な準備をし
た。

6 彼は息子ソロモンを呼び寄せ、

イスラエルの神、主のために家を建てるように指
示した。

7 ダビデはソロモンに言った。

「私の息子よ、私は私の神、主の名のために家を
建てたいと心に思っていた。

8 しかし、主の言葉が私に臨んで言った、
『あなたは多くの血を流し、大きな戦争をした。
あなたは私の名のために家を建ててはならない。
あなたは私の前で地上に多くの血を流したからで
ある。

9 あなたには平和の人となる息子が生まれる。
私は彼に四方の敵からの安息を与える。
彼の名はソロモンとなり、
私は彼の時代にイスラエルに平和と静けさを与え
る。

10 彼が私の名のために家を建てる。
彼は私の子となり、私は彼の父となる。
私は彼の王国の王座をイスラエルの上に永遠に確
立する。』

11 さて、私の息子よ、主があなたと共におられます
ように。
それであなたが主のあなたの神の家を建てること
に成功しますように。
主があなたについて語られたように。

12 ただ、主があなたに洞察と理解を与え、
イスラエルを指導する力を与えますように。
それであなたが主のあなたの神の律法を守ること
ができますように。

13

そうすれば、あなたは繁栄し成功するでしょう。
あなたが主がモーセに命じたイスラエルに関する
法令と規定を忠実に守るならば。
強く勇敢であり、恐れずに落胆しないでください
。

14

今、見よ、私は主の家のために大いに努力して準備
した。

金十万タラント、 銀百万タラント、
そして計りきれないほどの青銅と鉄、
それらは非常に多いからである。
私はまた木材と石を用意した。あなたはそれに加
えることができる。

15 さらに、あなたには多くの職人がいる。

石工、石積み、大工、
あらゆる種類の仕事に熟練したすべての人々。

16 金、銀、青銅、鉄には限りがない。
立ち上がって働きなさい。そして主があなたと共に
おられますように。」

17

ダビデはイスラエルのすべての指導者たちに、息子
ソロモンを助けるように命じた。

18

「あなたの神、主はあなたと共におられないのか
。
そして彼は四方からあなたに安息を与えられたで
はないか。 彼はこの地の住民を私の手に渡され、
この地は主とその民の前に征服されている。

19

今、あなたの心と魂を主なるあなたの神を求める
ことに向けなさい。
立ち上がり、主なる神の聖所を建てなさい。
それであなたは主の契約の箱と
神の聖なる器具を主の名のために建てられる家に
持ち込むことができる。」

23 晩年に、ダビデはその子ソロモンをイスラ
エルの王に任命した。

2

そして彼はイスラエルのすべての指導者を集めた、
祭司とレビ人を含めて。

3 レビ人は三十歳以上から数えられた、

歴代誌上

そしてその人数は、男性の人口調査によれば三万八千人であった。

4
その中で、二万四千人は主の家の仕事を監督するためであった。

そして六千人は役人と裁判官として仕えた。

5
そして四千人は門番であり、四千人はダビデが礼拝のために作った楽器で主を賛美することに専念した。

6 ダビデは彼らをレビの子孫に従って区分けした。

ゲルシオン、コハテ、メラリ。

7 ゲルシオンの子孫からは：

ラダンとシメイ。

8 ラダンの子たちは：

第一はエヒエル、次にゼタムとヨエルの三人。

9 シメイの子たちは：

シェロモテ、ハジエル、ハランの三人。
これらはラダンの父の家の頭たちであった。

10 シメイの子たちには：

ヤハテ、ジナ、エウシュ、ベリア。
これら四人がシメイの子たちであった。

11
ヤハテは第一で、ジザは第二であった。しかしエウシュとベリアは多くの子を持たなかったので、

彼らは一つの父の家として数えられた。

12 コハテの子たちは：

アムラム、イツハル、ヘブロン、ウジエルの四人。

13 アムラムの子たちは：

アロンとモーセ。
そしてアロンは彼を最も聖なる者として聖別するために選ばれた。彼とその子たちは永遠に、主の前で犠牲を捧げ、主に仕え、主の名で祝福するために。

14
神の人モーセに関しては、彼の子たちはレビの部族の中に認められた。

15 モーセの子孫は：

ゲルシオンとエリエゼル。

16

ゲルシオンの子はシェブエルで、彼は長として仕えた。

17
エリエゼルの子はレハビアで長であった。そしてエリエゼルには他に子がいなかったが、

レハビアの子たちは多かった。

18

イツハルの子はシェロミテで、彼は指導者で長であった。

19 ヘブロンの子たちは：

第一はエリア、第二はアマリヤ、第三はヤハジエル、第四はエカメアム。

20 ウジエルの子たちは：

第一はミカ、第二はイシヤ。

21 メラリの子孫は：

マフリとムシ。 マフリの子たちは：
エルアザルとキシユ。

22

エルアザルは死んで息子がいなかったが、娘だけがあった。

そして彼女たちの親族であるキシユの子たちが彼女たちを妻に迎えた。

23 ムシの子たちは：

マフリ、エデル、エレモテの三人。

24

これらはレビの子たちで、彼らの父の家ごとに、個々の頭数による名前の数に従って数えられた、主の家の奉仕のために働く者たちであった。

二十歳以上から。

25 ダビデは宣言した、

「イスラエルの神、主はその民に平和を与え、永遠にエルサレムに住まわれる。

26

さらに、レビ人はもはや幕屋とその奉仕のためのすべての器具を運ぶ必要はない。」

27 ダビデの最終指示に従って、

レビの子たちは二十歳以上から数えられた。

歴代誌上

28

彼らの任務は、主の家の奉仕でアロンの子たちを助けることである。

中庭や部屋で、
すべての聖なるものの清めにおいて、
さらには神の家の奉仕の仕事においても。

29

また、供えのパン、穀物の捧げ物のための上質な小麦粉、種なしのウエハース、
または鍋で焼かれるものや混ぜられるもの、
すべての体積とサイズの計量において。

30

彼らは毎朝立って主に感謝し賛美することになっている。

そして同様に夕方にも。

31

そして主にすべての焼き尽くす捧げ物を捧げること、安息日、新月、定められた祭りにおいて、
それらに関する規定によって指定された数で、
主の前に絶えず。

32 それで彼らは会見の天幕の任務を果たし、

聖所の任務、
そしてアロンの子たち、彼らの親族の任務を、
主の家の奉仕のために果たすことになっている。

24 ここにアロンの子たちの分け方があります。

アロンの子たちはナダブ、アビフ、エルアザル、イタマルでした。

2 しかし、ナダブとアビフは父の前に死に、
彼らには子供がいませんでした。

それゆえ、エルアザルとイタマルが祭司として仕えました。

3

ダビデは、エルアザルの子孫のザドクとイタマルの子孫のアヒメレクと共に、

彼らをその奉仕の職務に従って分けました。

4

エルアザルの子孫からはイタマルの子孫よりも多くの主だった者が見つかりました。

そして彼らをそれに応じて分けました。
エルアザルの子孫の父の家の頭は十六人、
イタマルの子孫の父の家の頭は八人でした。

5

それで彼らはくじによって分けられました。互いに一つの組として、

聖所の役員と神の役員はエルアザルの子孫とイタマルの子孫から出ました。

6

レビ人の書記ネタネルの子シェマヤが、
王、役人、祭司ザドク、アビアタルの子アヒメレク
の前で彼らを書き記しました。

そして祭司とレビ人の父の家の頭たちの前で、
エルアザルのために一つの父の家が取り、イタマルのために一つが取りました。

7 最初のくじはエホヤリブに当たり、

二番目はエダヤに当たりました。

8 三番目はハリムに、
四番目はセオリムに当たりました。

9 五番目はマルキヤに、
六番目はミヤミンに当たりました。

10 七番目はハコツに、
八番目はアビヤに当たりました。

11 九番目はエシュアに、
十番目はシカニヤに当たりました。

12 十一番目はエリアシブに、
十二番目はヤキムに当たりました。

13 十三番目はフツパに、
十四番目はエシェバブに当たりました。

14 十五番目はビルガに、
十六番目はイメルに当たりました。

15 十七番目はヘジルに、
十八番目はハピツェツに当たりました。

16 十九番目はペタヒヤに、
二十番目はエゼキエルに当たりました。

17 二十一番目はヤキンに、
二十二番目はガムルに当たりました。

18 二十三番目はデラヤに、
二十四番目はマアジヤに当たりました。

19 これらは彼らの奉仕の職務であり、彼らが主の家に入るときにアロンの父を通じて与えられた規定に従っていました。

イスラエルの神、主が彼に命じたとおりです。

20 さて、レビの子たちの残りについては：

アムラムの子たち：シュバエル；

シュバエルの子たち：エフデヤ。

21

レハビヤからは、イシヤが彼の子たちの最初でした。

22

イツハルの子孫からは：シェロモテ；
シェロモテの子たち：ヤハテ。

23

ヘブロンの子たちは：第一はエリア、第二はアマリヤ、第三はヤハジエル、第四はエカメアム。

24

ウジエルの子たち：ミカ；
ミカの子たち：シェミル。

25

ミカの兄弟：イシヤ；
イシヤの子たち：ゼカリヤ。

26

メラリの子孫にはマフリとムシが含まれます；
ヤアジャの子たち：ベノ。

27

ヤアジャを通じたメラリの子孫はベノ、ショハム、ザクル、イブリでした。

28

マフリからは：エルアザル、彼には息子がいませんでした。

29

キシュからは：キシュの息子エラメル。

30 ムシの子たちは：

マフリ、エデル、エリモテ。

これらはレビの子たちで、彼らの父の家に従っています。

31

これらもまた、彼らの親族であるアロンの子たちと同様にくじを引きました。
ダビデ王、ザドク、アヒメレク、祭司とレビ人の父の家の頭たちの前で—

父の家の頭も彼の若い兄弟たちも同様に。

25 さらに、ダビデと軍の指揮官たちは、アサフ、ヘマン、エドトンの子たちの中から奉仕のために選び出した。

彼らは堅琴、ハーブ、シンバルを用いて預言をする者たちであった。

その奉仕を行う者たちの数は次の通りである。

2

アサフの子たちからは、ザクル、ヨセフ、ネタニヤ、アシャレラ。

これらの子たちはアサフに導かれ、
王の指導のもとで預言をした。

3

エドトンの子たちからは、ゲダリヤ、ゼリ、イェシャヤ、シメイ、ハシャビヤ、マティティヤの六人。

彼らは父エドトンの指導のもとでハーブを用い、感謝し、主を賛美する預言をした。

4

ヘマンの子たちからは、ブキヤ、マタニヤ、ウジエル、シェブエル、エリモテ、ハナニヤ、ハナニ、エリアタ、

ギダルティ、ロマンティ・エゼル、ヨシュベカシヤ、マロティ、ホティル、マハジオテ。

5

これらはすべて王の預言者ヘマンの子たちであり、

神の言葉に従って彼を称えるためであった。

神はヘマンに十四人の息子と三人の娘を授けられた。

6 これらすべては父の指導のもとで

主の家でシンバル、ハーブ、堅琴を用いて歌う者たちであり、
神の家の奉仕のためであった。
アサフ、エドトン、ヘマンは王の指導のもとにあった。

7

主に歌うことを訓練された者たちの数は、その親族と共に、すべて技量のある者たちで

288人であった。

8

彼らはその職務のためにくじを引いたが、すべて平等であった。

若者も年長者も、教師も生徒も同様であった。

9 アサフのための最初のくじはヨセフに当たり、

歴代誌上

二番目はゲダリヤに当たり、彼とその親族と息子たちは十二人であった。

10

三番目のくじはザクルに当たり、彼とその息子たちと親族は十二人であった。

11

四番目のくじはイズリに当たり、彼とその息子たちと親族は十二人であった。

12

五番目のくじはネタニヤに当たり、彼とその息子たちと親族は十二人であった。

13

六番目のくじはブギヤに当たり、彼とその息子たちと親族は十二人であった。

14

七番目のくじはイエシャレラに当たり、彼とその息子たちと親族は十二人であった。

15

八番目のくじはイエシャヤに当たり、彼とその息子たちと親族は十二人であった。

16

九番目のくじはマタニヤに当たり、彼とその息子たちと親族は十二人であった。

17

十番目のくじはシメイに当たり、彼とその息子たちと親族は十二人であった。

18

十一番目のくじはアザレルに当たり、彼とその息子たちと親族は十二人であった。

19

十二番目のくじはハシャビヤに当たり、彼とその息子たちと親族は十二人であった。

20

十三番目のくじはシュバエルに当たり、彼とその息子たちと親族は十二人であった。

21

十四番目のくじはマティティヤに当たり、彼とその息子たちと親族は十二人であった。

22

十五番目のくじはエリモテに当たり、彼とその息子たちと親族は十二人であった。

23

十六番目のくじはハナニヤに当たり、彼とその息子たちと親族は十二人であった。

24

十七番目のくじはヨシュベカシャに当たり、彼とその息子たちと親族は十二人であった。

25

十八番目のくじはハナニに当たり、彼とその息子たちと親族は十二人であった。

26

十九番目のくじはマロティに当たり、彼とその息子たちと親族は十二人であった。

27

二十番目のくじはエリアタに当たり、彼とその息子たちと親族は十二人であった。

28

二十一番目のくじはホテルに当たり、彼とその息子たちと親族は十二人であった。

29

二十二番目のくじはギダルティに当たり、彼とその息子たちと親族は十二人であった。

30

二十三番目のくじはマハジオテに当たり、彼とその息子たちと親族は十二人であった。

31

二十四番目のくじはロマンティ・エゼルに当たり、彼とその息子たちと親族は十二人であった。

26

門衛の分担について：

コラ人の中では、アサフの子孫であるコレの子メシレミヤ。

²メシレミヤの息子たちは：

長男ゼカリヤ、次男エディアエル、三男ゼパディヤ、四男ヤテニエル、

³

五男エラム、六男エホハナン、七男エリエホエナイ。

⁴オベデ・エドムの息子たちは：

長男シェマヤ、次男エホザバド、三男ヨア、四男サカル、五男ネタネル、

歴代誌上

5
六男アミエル、七男イッサカル、八男ペウレタイ
。主が彼を祝福されたからである。

6 また彼の息子シェマヤにも息子たちが生まれた。
彼らは父の家を治める勇敢な人々であった。

7 シェマヤの息子たちは:
オトニ、レファエル、オベデ、エルザバド、
その兄弟エリフとセマキヤは勇敢な人々であった
。

8
これらはすべてオベデ・エドムの息子たちであった
。彼らとその息子たちと親族たちは、仕事に強い力
を持つ有能な人々であった。

オベデ・エドムからは**62人**。

9
メシレミヤには息子と親族がいて、有能な人々であ
った。

合計**18人**。

10
また、メラリの子孫の一人であるホサにも息子たち
がいた。

シムリは長男であった（彼は長男ではなかったが
、父が彼を長男とした）。

11 次男ヒルキヤ、三男テバリヤ、四男ゼカリヤ。
ホサの息子と親族は合計**13人**であった。

12
これらの門衛の分担には、親族と同様に指導者たち
が任命され、

主の家で奉仕することになっていた。

13
彼らは小さな者も大きな者も同様に、父の家に従っ
てくじを引いた。

各門のために。

14 東の門のくじはシェレミヤに当たった。
その後、彼の息子ゼカリヤのために、洞察力のある
助言者としてくじを引いた。

そして彼のくじは北に出た。

15 オベデ・エドムには南の門が当たった。
そして彼の息子たちには倉庫が当たった。

16 シュビムとホサには西の門が当たった。

シャレケテ門の上り道に沿って。
守衛は守衛に対応していた。

17 東には六人のレビ人が割り当てられ、
北には毎日四人、南には毎日四人、
倉庫には同時に二人。

18 西のバルバルには道に沿って四人、
バルバルには二人。

19
これらはコラ人の子孫とメラリの子孫の門衛の分担
であった。

20
レビ人の中では、アヒヤが神の家の宝物の管理をし
ていた。

また、奉納物の宝物の管理もしていた。

21
ラダンの息子たち、ラダンに属するゲルシヨン人の
息子たち、ラダン・ゲルシヨン人に属する父の家の
頭たちは:

エヒエリ。

22 エヒエリの息子たちは:

ゼタムと彼の兄弟ヨエル、
彼らは主の家の宝物の管理をしていた。

23
アムラム、イツハル、ヘブロン、ウジエルの子孫た
ち—

24
ゲルシヨンとモーセの子孫であるシェブエルが宝物
の管理をしていた。

25 エリエゼルによる彼の親族は:

彼の息子レハビヤ、彼の息子イェシャヤ、
彼の息子ヨラム、彼の息子ジクリ、
彼の息子シェロモテ。

26
このシェロモテと彼の親族は、奉納物の宝物すべて
を管理していた。

ダビデ王と父の家の頭たち、
千人隊と百人隊の指揮官たち、
軍の指揮官たちが奉納したものを。

歴代誌上

27

彼らは戦いで得た戦利品の一部を主の家の修理に奉納した。

28 また、預言者サムエルが奉納したもの、

キシュの子サウル、 ネルの子アブネル、
ゼルヤの子ヨアブ、
誰かが奉納したすべてのもの、
それはシェロモテと彼の親族の管理下にあった。

29

イツハル人の中では、ケナニヤとその息子たちがイスラエルの外部の業務に任命され、

役人と裁判官として。

30

ヘブロン人の中では、ハシャブヤとその親族、1,700人の有能な人々が、

ヨルダン川の西でイスラエルの業務を担当し、
主のすべての仕事と王の奉仕をしていた。

31

ヘブロン人の中では、エリヤがヘブロン人の長であった。父の家ごとの系図に従って、

ダビデの治世の第四十年に彼らは調査され、
ギルアデのヤゼルで有能な人々が見つかった。

32

そして彼の親族、有能な人々は、2,700人の父の家の頭であった。

ダビデ王は彼らをルベン人、ガド人、マナセの半部族の上に任命し、
神と王のすべての業務を担当させた。

27

さて、これはイスラエルの子らの数、父の家の頭たち、
千人隊と百人隊の指揮官たち、

そして王に仕える役人たちの数である。彼らは年中、月ごとに出入りする部隊のすべての事柄で王に仕えた。各部隊は24,000人であった。

2

ザブディエルの子ヤショベアムは、第一の月の第一の部隊を率いた。

彼の部隊には24,000人がいた。

3

彼はペレツの子孫であり、第一の月に軍のすべての指揮官を率いた。

4

アホハイトのドダイは、第二の月の部隊を率いた。

ミクロトが主な役人であった。
彼の部隊には24,000人がいた。

5

祭司エホヤダの子ベナヤは、第三の月の軍の第三の指揮官であった。

彼の部隊には24,000人がいた。

6

このベナヤは三十人の勇士の一人であり、

三十人の上に立っていた。
彼の部隊の上には彼の子アミザバドがいた。

7

ヨアブの兄弟アサエルは、第四の月の第四の指揮官であり、彼の後を継いだのは彼の子ゼバデヤであった。

彼の部隊には24,000人がいた。

8

第五の月の第五の指揮官は、イズラヒのシャムフテであった。

彼の部隊には24,000人がいた。

9

テコア人イケシュの子イラは、第六の月の第六の指揮官であった。

彼の部隊には24,000人がいた。

10

エフライムの子孫であるペロニのヘレツは、第七の月の第七の指揮官であった。

彼の部隊には24,000人がいた。

11

ゼラフ人のフシャ人シベカイは、第八の月の第八の指揮官であった。

彼の部隊には24,000人がいた。

12

第九の月の第九の指揮官は、ベニヤミン人のアナトテ人アビエゼルであった。

彼の部隊には24,000人がいた。

13

ゼラフ人のネトファ人マハライは、第十の月の第十の指揮官であった。

歴代誌上

彼の部隊には24,000人がいた。

14

エフライムの子孫であるピラトン人ベナヤは、第十一の月の第十一の指揮官であった。

彼の部隊には24,000人がいた。

15

オテニエルのネトファ人ヘルダイは、第十二の月の第十二の指揮官であった。

彼の部隊には24,000人がいた。

16 さて、イスラエルの部族の上に立つ者たち：

ルベン人のためには、ジクリの子エリエゼルが主な役人であった。

シメオン人のためには、マアカの子シェファティヤが主な役人であった。

17

レビを監督する者は、ケムエルの子ハシャブヤであった。

アロンを監督する者は、ザドクであった。

18

ユダを率いる者は、ダビデの兄弟エリフであった。

。

イッサカルを率いる者は、ミカエルの子オムリであった。

19

ゼブルンを率いる者は、オバデヤの子イシュマヤであった。

ナフタリを率いる者は、アズリエルの子エレモテであった。

20

エフライムの子孫を監督する者は、アザズヤの子ホセアであった。

マナセの半部族を監督する者は、ペダヤの子ヨエルであった。

21

ギレアデのマナセの半部族を監督する者は、ゼカリヤの子イドであった。

ベニヤミンを監督する者は、アブネルの子ヤシエルであった。

22

ダンのためには、エロハムの子アザレル。これらはイスラエルの部族の長たちであった。

23

しかし、ダビデは二十歳以下の者を数えなかった。

主がイスラエルを天の星のように増やすと約束されたからである。

24

ゼルヤの子ヨアブは彼らを数え始めたが、終わらせなかった。

このために怒りがイスラエルに下った。

その数はダビデ王の年代記に記録されなかった。

25

さて、王の倉庫を管理する者は、アディエルの子アズマベテであった。

そして、田舎、都市、村、塔の倉庫を管理する者は、ウジヤの子ヨナタンであった。

26

土地を耕す者たちを管理する者は、ケルプの子エズリであった。

27

ブドウ畑を管理する者は、ラマテ人シメイであった。

ワインセラーに蓄えられたブドウ畑の産物を管理する者は、シフミン人ザブディであった。

28

シェフェラのオリーブの木とイチジクの木を管理する者は、ゲデル人バアル・ハナンであった。

油の倉庫を管理する者は、ヨアシュであった。

29

シャロンで放牧される牛を管理する者は、シャロン人シトライであった。

谷での牛を管理する者は、アドライの子シャファトであった。

30

ラクダを管理する者は、イシュマエル人オビルであった。

ロバを管理する者は、メロノト人エフデヤであった。

31

羊の群れを管理する者は、ハグリ人ヤジズであった。

これらはすべてダビデ王の財産の管理者であった。

32

また、ダビデの叔父ヨナタンは、相談役であり、理解力のある人であり、書記官であった。

歴代誌上

ハクモニの子エヒエルは王の息子たちの教育係であった。

33 アヒトフェルは王の相談役であり、

アルキ人フシャイは王の友であった。

34

ベナヤの子エホヤダとアビアタルはアヒトフェルの後を継いだ。

ヨアブは王の軍の指揮官であった。

28 ダビデはイスラエルのすべての役人をエルサレムに集めた。

部族の指導者たち、王に仕える部隊の司令官たち、千人隊と百人隊の司令官たち、王とその息子たちの財産と家畜の監督者たち、役人たち、勇士たち、そしてすべての勇敢な戦士たち。

2 そのとき、ダビデ王は立ち上がって言った。

「私の兄弟たち、私の民よ、聞いてください。私は主の契約の箱のために、そして私たちの神の足台のために、恒久的な家を建てることを心に抱いていました。それで、私はそれを建てる準備をしました。

3 しかし、主は私に言われました。

『あなたは私の名のために家を建ててはならない。
あなたは戦士であり、血を流してきたからである。』

4

それにもかかわらず、イスラエルの神、主は私の父の家から私を選び、永遠にイスラエルの王とされました。

主はユダを指導者を選び、ユダの家から私の父の家を選び、私の父の息子たちの中から私を喜んで、イスラエル全体の王とされました。

5

そして、私のすべての息子たちの中から（主は私を多くの息子で祝福されました）、

主は私の息子ソロモンを選び、イスラエルの上に私の王国の王座を継がせることにされました。

6 主は私に言われました。

『あなたの息子ソロモンが私の家と私の庭を建てる者である。

私は彼を私の息子として選び、私は彼の父となるであろう。

7

もし彼が今のように私の戒めと定めを忠実に守るならば、私は彼の王国を永遠に確立しよう。』

8

それゆえ、今、イスラエル全体、主の集会の前で、そして私たちの神の耳に聞こえるように、

あなたの神、主のすべての戒めを守り、求めなさい。そうすれば、あなたは良い地を所有し、あなたの後の子孫に永遠にそれを相続させることができるでしょう。

9

あなたに関しては、私の息子ソロモンよ、あなたの父の神を知りなさい。

全き心と喜んで従う心で彼に仕えなさい。主はすべての心を探り、思いのすべての意図を理解されるからです。もしあなたが彼を求めるなら、彼はあなたに見つけさせてくださるでしょう。しかし、もしあなたが彼を捨てるなら、彼はあなたを永遠に拒絶されるでしょう。

10

今考えなさい。主はあなたを選び、聖所のための家を建てさせることにされました。勇気を持って行動しなさい。」

11

それからダビデは彼の息子ソロモンに神殿の玄関の設計図を与えた。

その建物、倉庫、上の部屋、内室、そして慈悲の座の部屋の設計図を。

12 そして彼が心に描いたすべての設計図を、

主の家の庭や周囲の部屋、神の家の倉庫や捧げ物の倉庫のために。

13

そして祭司とレビ人の分担について、主の家の奉仕に関わる任務について、主の家の奉仕に用いるすべての器具について。

14

金の器具については、各奉仕のための器具ごとの金の重さを、

歴代誌上

銀の器具については、各奉仕のための器具ごとの銀の重さを。

15 金の燭台とその灯火の重さを、
各燭台とその灯火ごとの重さを、
銀の燭台とその灯火の重さを、
各燭台とその灯火ごとの重さを、それぞれの燭台の奉仕に応じて。

16 陳列パンのためのテーブルの金、各テーブルごとの重さを、銀で作られたテーブルのための銀を。

17 純金のフォーク、鉢、ピッチャーのために、
各鉢ごとの重さで金の鉢のために、
各鉢ごとの重さで銀の鉢のために。

18 香の祭壇のための精錬された金の重さを、
そして契約の箱を覆うケルビムの翼を広げた戦車の模型のための金を。

19 「これらすべての詳細を」とダビデは言った。
「主はその導きによって私に理解させ、
この設計のすべての複雑さを教えてください。」

20 それからダビデは彼の息子ソロモンに言った。

「強く、勇敢であり、行動しなさい。
恐れず、怯えずにいなさい。
私の神、主があなたと共におられるからです。
主の家の奉仕のためのすべての仕事が終わるまで、
彼はあなたを失望させず、見捨てられないでしょう。」

21 今見よ、神の家のすべての奉仕のために祭司とレビ人の分担があり、

すべての仕事において、どんな技術を持つすべての意欲的な人があなたと共にいるでしょう。
すべての仕事のために、役人とすべての民も完全にあなたの指揮下にあるでしょう。」

29 その時、ダビデ王は全会衆に言った、

「私の息子ソロモンは、ただ一人神が選ばれた者であり、若くて経験が浅い。
そしてその仕事は大きい。
なぜなら、その宮は人間のためではなく、主なる神のためだからである。」

2

今、私は私の神の家のために、私の全能力を尽くして備えた。

金のための金、 銀のための銀、
青銅のための青銅、 鉄のための鉄、
木のための木、
縞瑪瑙と象嵌石、アンチモニーの石と色とりどりの石、
そしてあらゆる種類の宝石と豊富な雪花石膏。

3 さらに、私の神の家を大いに喜んでいるので、
私自身の宝物である金と銀を私の神の家に与えた。

聖なる宮のために既に備えたすべてに加えて：

4 具体的には、オフィルの金3,000 タラント、
精錬された銀7,000 タラント、
建物の壁を覆うために；

5 金のための金、銀のための銀、
すべての仕事職人によって行われるように。
それでは、今日、自らを主に捧げる意志のある者は誰か？」

6

すると、父の家の指導者たち、イスラエルの部族の指導者たち、千人隊と百人隊の指揮官たち、

そして王の仕事を監督する者たちは自発的に捧げた。

7 そして神の家の奉仕のために彼らは与えた。

5,000 タラントと10,000 金貨、
10,000 タラントの銀、 18,000 タラントの青銅、
そして100,000 タラントの鉄。

8

貴重な石を持っている者はそれを主の家の宝庫に捧げた。

ゲルシオン人のエヒエルの管理のもとに。

9

その時、民は自発的に捧げたので喜んだ。
彼らは全心で主に捧げ物をしたからである。

そしてダビデ王も非常に喜んだ。

10

それでダビデは全会衆の前で主を賛美した。
そしてダビデは言った、

「イスラエルの神、私たちの父よ、あなたは祝福されています、永遠に。

11

主よ、偉大さ、力、栄光、勝利、威厳はあなたの

歴代誌上

ものです。
確かに天と地にあるすべてはあなたのものです。
主よ、あなたのものは支配であり、
あなたはすべての上に頭として自らを高められます。

12 富と誉れはあなたから来ます。
そしてあなたはすべてを支配します。
あなたの手には力と権威があり、
すべてを偉大にし、強くするのはあなたの手にあります。

13 それゆえ、私たちの神よ、私たちはあなたに感謝
を表し、あなたの栄光ある御名を賛美します。

14 しかし、私は何者であり、私の民は何者でしょう
か、
私たちがこのように寛大に捧げることができる
とは？ すべてのはあなたから来ており、
私たちはあなたの手から受け取ったものをあなた
に捧げました。

15 私たちはあなたの前では異邦人であり、旅人です。
。私たちの父たちも皆そうでした。
地上での日々は影のようで、確実なものではありません。

16 主なる私たちの神よ、あなたの聖なる御名のため
に家を建てるために集めたこの豊かさは、
あなたの手から来たものであり、すべてはあなた
のものです。

17 私の神よ、あなたが心を試し、正直を喜ばれるこ
とを知っているので、
私は心の誠実さをもってこれらすべてのものを自
発的に捧げました。
そして今、ここにいるあなたの民が自発的にあな
たに捧げ物をするのを喜んで見えています。

18 アブラハム、イサク、イスラエルの神、私たちの
父たちの主よ、
あなたの民の心の意図にこれを永遠に保ち、
彼らの心をあなたに導いてください。

19 そして私の息子ソロモンに献身的な心を与え、
あなたの戒め、証、法令を守り、

それらを実行し、
私が備えた宮を建てるようにしてください。」

20 その時、ダビデは全会衆に言った、

「今、あなたたちの神、主を賛美しなさい。」
そして全会衆は父たちの神、主を賛美し、
主と王にひれ伏し、礼拝した。

21 翌日、彼らは主に犠牲を捧げ、

主に焼き尽くす捧げ物を捧げた。
千頭の雄牛、千頭の雄羊、千頭の子羊、
それらの飲み物の捧げ物と共に、イスラエル全体
のために豊富な犠牲を捧げた。

22

それで彼らはその日、主の前で大いに喜んで食べ、
飲んだ。

そして彼らはダビデの息子ソロモンを再び王とし、

彼を主のための支配者として油を注ぎ、
ザドクを祭司とした。

23

その時、ソロモンは父ダビデに代わって主の王座に
座し、成功した。

そして全イスラエルは彼に従った。

24

すべての役人、勇士たち、
そしてダビデ王のすべての息子たちもまた、ソロモ
ン王に忠誠を誓った。

25

主はソロモンを全イスラエルの目の前で非常に高く
し、

彼にイスラエルのどの王にも与えられなかった王
の威厳を授けた。

26 エッサイの息子ダビデは全イスラエルを治めた。

27

彼のイスラエルでの治世の期間は四十年であった。

彼はヘブロンで七年間治め、
エルサレムで三十三年間治めた。

28

そして彼は良い老年で死に、日々、富、誉れに満ち
ていた。

そして彼の息子ソロモンが彼に代わって治めた。

29 さて、ダビデ王の行いは、最初から最後まで、

歴代誌上

預言者サムエルの記録、 預言者ナタンの記録、
そして預言者ガドの記録に記されている。

30

彼の治世、彼の力、
彼に、イスラエルに、そしてすべての地の王国に
降りかかった状況と共に。

歴代誌下

1 ダビデの子ソロモンは、その王国において確固たる支配を確立しました。

主なる彼の神が彼と共におられ、彼を大いに高められたからです。

2 ソロモンはイスラエル全体に語りかけました。

千人隊と百人隊の指揮官たち、
裁判官たち、そしてイスラエル全体のすべての指導者たち、父祖の家の長たちに。

3
ソロモンは全会衆と共にギブオンの高き所へ行きました。

そこには神の会見の幕屋があり、主のしもべモーセが荒野でそれを建てたからです。

4
しかし、ダビデはキリヤテ・ヤリムから神の箱を運び上げました。

彼がそのために準備した場所に、
彼はエルサレムに幕屋を設けました。

5
さて、ウリの子、フルの子ベツアルエルが作った青銅の祭壇は、

主の幕屋の前にありました。
ソロモンと会衆はそれを求めました。

6
ソロモンは会見の幕屋にある主の前の青銅の祭壇に近づきました。

そしてその上に千の全焼のいけにえを捧げました。
。

7 その夜、神はソロモンに現れ、言いました。

「あなたに何を与えるべきか、求めなさい。」

8 ソロモンは神に言いました。

「あなたは私の父ダビデに大いなる忠実を示され、私を彼の代わりに王とされました。

9
そして今、主なる神よ、あなたの私の父ダビデへの約束は成就しました。
あなたは私を地の塵のように多い民の上に王とされました。

10 それゆえ、私に知恵と知識を授けてください。
この民を導くために、

誰があなたのこの大いなる民を治めることができるでしょうか？」

11 すると神はソロモンに言いました。

「これがあなたの心にあったので、
あなたは富や財産、榮譽、あなたを憎む者たちの命を求めず、
長寿さえも求めず、
あなた自身のために知恵と知識を求め、
私があなたを王とした私の民を治めるために求めたので、

12
知恵と知識はあなたに与えられた。
また、私はあなたに富、財産、榮譽を与える。
あなたの前のどの王も持たなかったような、
あなたの後に来る者も持たないようなものを。」

13 ソロモンはギブオンの高き所から出発しました。

会見の幕屋からエルサレムに行き、
そこでイスラエルを治めました。

14 ソロモンは戦車と騎兵を集めました。

彼は1,400の戦車と12,000の騎兵を持っていました。
彼はそれらを戦車の都市とエルサレムの王と共に配置しました。

15
王はエルサレムで銀と金を石のように一般的にし、
低地のシカモアのように杉を豊富にしました。

16
ソロモンの馬はエジプトとクエから輸入されました。

王の商人たちはそれらをクエから価格で取得しました。

17
彼らはエジプトから戦車を一台600シェケルの銀で輸入し、

馬を150で輸入しました。
同じ方法で、彼らはそれらをヒッタイトの王たちとアラムの王たちに輸出しました。

2
ソロモンは主の御名のために家を建てることを計画し、
自分のために王宮を建てることを計画した。

2
そこでソロモンは七万人の人々を荷物を運ぶ者として任命し、

歴代誌下

八万人の人々を山で石を切り出す者として任命し、
三千六百人の監督を人々を指導する者として任命した。

それからソロモンはツロの王ヒラムに言葉を送った、

「あなたが私の父ダビデに対して行ったように、
彼に住む家を建てるために杉を送ったように、
私にも同じようにしてください。

見よ、私は私の神、主の御名のために家を建てて
います、それを彼に捧げるために、
彼の前で香を焚き、常に供えのパンを並べ、
朝と夕に燔祭を捧げ、
安息日、新月、そして私たちの神、主の定められ
た祭りに、
イスラエルで永遠に行われるべきことです。

私が建てようとしている家は壮大なものになるで
しょう、
私たちの神は他のすべての神々よりも偉大だから
です。

しかし、天と最高の天も彼を収めることができな
いの、
誰が彼のために家を建てることができるでしょう
か？
それで、私は誰なのでしょう、彼のために家を
建てるべきなのは、
彼の前で香を捧げる場所として以外には？

今、金、銀、銅、鉄、紫、紅、青の布で働くこと
ができ、
彫刻を知っている熟練した人を私に送ってくださ
い、
ユダとエルサレムにいる私と共に働く熟練した労
働者と共に、
私の父ダビデが提供した人々と共に。

また、レバノンから杉、糸杉、アルグムの木材を
私に送ってください、
あなたの僕たちがレバノンで木を切ることを知っ
ていることを私は知っています。
確かに私の僕たちはあなたの僕たちと共に働くで
しょう、

私のために豊富な木材を準備するために、
私が建てようとしている家は壮大で素晴らしいも
のになるでしょう。

見よ、私はあなたの僕たち、木を切る者たちに提
供します、二万コルの砕いた小麦、
二万コルの大麦、二万バテのワイン、
二万バテの油を。」

それからツロの王ヒラムはソロモンに手紙を送って
応えた：

「主がその民を愛されるがゆえに、
あなたを彼らの王として任命されたのです。」

ヒラムはまた言った、
「イスラエルの神、主を称えよ、
天と地を造られた方、
賢明な息子を王ダビデに与えられた方、
主のために家を建て、王宮を自分のために建てる
者。

今、私は理解力を持つ熟練した人、ヒラム・アビ
を送ります、

ダンの女とツロの父の息子、
金、銀、銅、鉄、石、木で働くことを知っている
者、
紫、青、亜麻、紅の布で働くことを知っている者、
あらゆる彫刻を知っている者、
あなたの熟練した労働者と共に、あなたの父ダビ
デの僕たちと共に働く者。

それでは、私の主が話された小麦、大麦、油、ワ
インを彼の僕たちに送ってください。

私たちはあなたが必要とする木材をレバノンから
切り出し、海で筏にしてヨッパに運びます、
それであなたはそれをエルサレムに持ち上げるこ
とができます。」

それからソロモンはイスラエルの地にいるすべての
外国人を数えた、

彼の父ダビデが取った人口調査に従って；
そして153,600人が見つかった。

歴代誌下

18

彼はそのうち七万人を荷物運ぶ者として任命し、八万人を山で石を切り出す者として任命し、三千六百人の監督を働く人々を指導する者として任命した。

3 ソロモンはエルサレムのモリヤの山で主の家の建設を始めた。

そこは、主が彼の父ダビデに現れた場所であり、
ダビデがエブス人オルナンの打ち場で準備した場所であった。

2

彼はその治世の第四年の第二の月の第二日に建設を開始した。

3

さて、これがソロモンが神の家を建てるために据えた基礎である。

古い尺度による長さは六十キュビト、幅は二十キュビトであった。

4

家の前にあるポーチは家と同じ幅で、二十キュビトであった。

高さは百二十キュビトであり、内部を純金で覆った。

5

彼は主室をジュニパーの木で覆い、それを上質の金で覆った。

そして、それをヤシの木と鎖で装飾した。

6 彼はまた、貴重な石で家を飾った。

その金はバルヴァイムの金であった。

7 彼は家、梁、敷居、壁、扉を金で覆った。

そして、壁にケルビムを彫刻した。

8 次に彼は至聖所を作った。

その長さは家の幅に対応して二十キュビト、幅も二十キュビトであった。

そして、それを六百タラントの上質の金で覆った。

9 釘は金で五十シェケルの重さがあった。

彼はまた、上の部屋も金で覆った。

19

次に彼は至聖所に二つの彫刻されたケルビムを作った。

そして、それらを金で覆った。

11 ケルビムの翼の幅は二十キュビトであった。

一方の翼は五キュビトで、家の壁に触れ、もう一方の翼は五キュビトで、他のケルビムの翼に触れていた。

12

他のケルビムの翼は五キュビトで、家の他の壁に触れ、もう一方の翼は五キュビトで、最初のケルビムの翼に接続されていた。

13 ケルビムの翼は二十キュビトに広がっていた。

そして、彼らは主室に向かって直立していた。

14 彼は紫、紫色、緋色、上質の亜麻の幕を作った。

そして、それにケルビムを織り込んだ。

15

彼はまた、家の前に三十五キュビトの高さの二本の柱を作った。

そして、それぞれの上部の柱頭は五キュビトであった。

16 彼は内陣に鎖を作り、それを柱の上に置いた。

そして、百個のザクロを作り、それらを鎖に置いた。

17 彼は神殿の前に柱を立てた。

一つは右に、もう一つは左に置いた。

そして、右の柱をヤキンと名付け、左の柱をボアズと名付けた。

4 彼は青銅の祭壇を作った。

長さ二十キュビト、幅二十キュビト、高さ十キュビト。

2

彼はまた鋳造した金属の海を作った。それは縁から縁まで十キュビト、円形で、

高さは五キュビト、周囲は三十キュビト。

3

その下には牛の形をしたものがそれを取り囲んでいた。

歴代誌下

一キュビトに十、海を完全に取り囲んでいた。
牛は二列に鑄造された。

4 それは十二の牛の上に立っていた。

北を向く三つ、西を向く三つ、南を向く三つ、東
を向く三つ、そして海はその上に置かれ、
すべての後ろ足は内側に向いていた。

5 それは手の幅ほどの厚さがあり、

縁は杯の縁のように、ユリの花のように作られて
いた。三千バスを収容できた。

6 彼はまた洗うための十の洗盤を作り、

右側に五つ、左側に五つ置いた。
焼き尽くす捧げ物のために洗うためである。
しかし海は祭司が洗うためのものであった。

7 彼はまたその仕様に従って十の金の燭台を作り、

神殿に置いた。右側に五つ、左側に五つ。

8 彼は十のテーブルを作り、

神殿に配置した。右側に五つ、左側に五つ。
さらに、百の金の鉢を作った。

9 彼は祭司の庭と大庭と庭のための扉を作り、

その扉を青銅で覆った。

10 彼は海を家の右側、南東に置いた。

11 フラムはまた、バケツ、シャベル、鉢を作った。

こうしてフラムは神の家でソロモン王のために引
き受けた仕事を完了した。

12 二本の柱、
柱の上の二つのボウルと二つのキャピタル、
そして柱上のキャピタルの二つのボウルを覆う
ための二つの格子細工、

13 二つの格子細工のための四百のザクロ、
各格子細工のための二列のザクロで、柱上のキ
ャピタルの二つのボウルを覆うため。

14 彼はまた台座とその上に置かれた洗盤を作った。

15 そして海とその下の十二の牛。

16 バケツ、シャベル、フォーク、その他のすべての
器具は、フラム・アビが磨かれた青銅で作った。
ソロモン王のために主の家のために。

17

王はそれらをヨルダンの平野の粘土の地で鑄造した
。

スコテとツェレダの間で。

18

こうしてソロモンはこれらの器具を大量に作った。

青銅の重さは測定できなかった。

19

ソロモンはまた神の家にあるすべての物を作った。

金の祭壇、そこにある供えのパンのテーブル、

20 純金の燭台とそのランプ、
規定に従って内陣の前で燃やすためのもの。

21

花、ランプ、金の tong、最上の金で作られた。

22

消火器、鉢、スプーン、純金の火皿、
家の入口、至聖所の内側の扉、家の扉、すなわち
主室の扉は金で作られていた。

5 このようにして、ソロモンが主の家のために完
成したすべての仕事が成し遂げられた。

そしてソロモンは、父ダビデが分けておいた品
々、すなわち銀、金、すべての器具を持ち込み、
それらを神の家の宝物庫に置いた。

2 それからソロモンは、イスラエルの長老たち、
すべての部族の頭たち、
イスラエルの子らの父祖の家の指導者たちをエルサ
レムに集め、
主の契約の箱をダビデの町、すなわちシオンから運
び上げるために集めた。

3 イスラエルのすべての男たちは、
第七の月に行われる祭りの時に王の前に集まった。

4

それからイスラエルのすべての長老たちが到着し、
レビ人たちが箱を持ち上げた。

5

彼らは箱、会見の天幕、
および天幕にあったすべての聖なる器具を運び上げ
た。レビの祭司たちがそれらを運び上げた。

6

そしてソロモン王と彼と共に集まったイスラエルの
全会衆は、
数え切れないほど多くの羊と牛を捧げていた。

歴代誌下

7 それから祭司たちは主の契約の箱をその場所、家の内陣、至聖所の中に持ち込み、ケルビムの翼の下に置いた。

8 ケルビムはその翼を箱の場所の上に広げ、ケルビムが箱とその棒の上に覆いを作った。

9 しかし、棒は非常に長く、箱の棒の端が内陣の前に見えたが、外からは見えなかった。そしてそれらは今日までそこにある。

10 箱の中には、ホレブでモーセがそこに置いた二枚の石板以外には何もなかった。そこは主がイスラエルの子らと契約を結ばれた場所であり、彼らがエジプトから出てきたときのことである。

11 祭司たちが聖所から出てきたとき、（そこにいたすべての祭司たちは、分け隔てなく自らを聖別していた）、

12 アサフ、ヘマン、エドトンとその息子たちおよび親族たち、細かい亜麻布をまとい、シンバル、ハーブ、リュートを持って、祭壇の東に立っていた。そして彼らと共に百二十人の祭司たちがラッパを吹いていた—

13 ラッパ吹きと歌う者たちが一つの声で主を賛美し栄光をたたえるために声を合わせ、ラッパ、シンバル、その他の楽器を伴って声を上げ、主を賛美して言ったとき、

「まことに主は良い、その慈しみは永遠に続く」すると、その家、主の家は雲で満たされた。

14 それで祭司たちは雲のために立って仕えることができなかった。主の栄光が神の家を満たしたからである。

6 そのときソロモンは言った、「主は濃い雲の中に住むと宣言された。

2 私はあなたのために壮大な家を建てました、そしてあなたの永遠の住まいの場所を。」

3 それから王は振り向き、イスラエルの全会衆を祝福した、その間、イスラエルの全会衆は立っていた。

4 彼は宣言した、「イスラエルの神、主は祝福されますように、私の父ダビデに語り、その手でそれを成し遂げた方が言われた、

5 『私がエジプトの地から私の民を連れ出した日以来、イスラエルのすべての部族の中から私の名を置くための家を作る都市を選んだことはなく、私の民イスラエルの上に指導者を選んだこともなかった。

6 しかし、私はエルサレムを選んで私の名をそこに置くことにし、ダビデを私の民イスラエルの上に置くことにした。』

7 私の父ダビデの心にはイスラエルの神、主の名のために家を作るがあった。

8 しかし主は私の父ダビデに言われた、『あなたの心に私の名のために家を作るがあったので、その願いを心に抱いたことは良かった。

9 しかし、あなたはその家を作ることはできない、あなたに生まれる息子が、彼が私の名のためにその家を作る。』

10 今、主は彼が語られた言葉を成就されました。私は父ダビデに代わって立ち、イスラエルの王座に座っています、主が約束されたように、そして私はイスラエルの神、主の名のためにその家を建てました。

11 そしてそこに私は契約の箱を置きました、それは主がイスラエルの子らと結ばれた契約です。」

12 それから彼は主の祭壇の前に立ち、イスラエルの全会衆の前で手を広げた。

13 ソロモンは青銅の台を作り、長さ五キュビト、幅五キュビト、高さ三キュビト、それを庭の中央に置きました。そして彼はその上に立ち、イスラエルの全会衆の前でひざまずき、天に向かって手を広げた。

歷代誌下

14 彼は言った、
「イスラエルの神、主よ、天にも地にもあなたのよ
うな神はいません、
心を尽くしてあなたの前を歩むあなたのしもべたち
に契約と忠実を守られる方—

15

あなたはあなたのしもべ、私の父ダビデに約束されたことを守られました。

あなたは口で語り、今日のように手でそれを成し遂げられました。

16 それでは今、イスラエルの神、主よ、
あなたのしもべ、私の父ダビデに約束されたことを
守ってください、
『あなたの息子たちが彼らの道を守り、
私の前を歩むように私の律法に従って歩むならば、
イスラエルの王座に座る者が欠けることはない。』

17 それでは今、イスラエルの神、主よ、
あなたがあなたのしもべダビデに語られた言葉を確
かなものとしてください。

18

しかし、神が本当に地上で人と共に住まわれるのでしょうか。

見よ、天と天の天もあなたを収めることはできません。

ましてや私が建てたこの家などなおさらです。

しかし、あなたのしもべの祈りと願いに目を向けてください、私の神、主よ、
あなたのしもべがあなたの前で捧げる叫びと祈りを聞いてください、

29 あなたの目が昼も夜もこの家に向けられ、
あなたがそこにあなたの名を置くと宣言された場所
に向けられ、
あなたのしもべがこの場所に向けて祈る祈りを聞いて
ください。

21

あなたのしもべとあなたの民イスラエルの願いを聞いてください、
彼らがこの場所に向けて祈るとき、
あなたの住まいである天から聞いてください、
聞いてお赦してください。

もし人が隣人に対して罪を犯し、誓いを立てることを求められ、

そして彼が来てこの家であなたの祭壇の前で誓いを立てるならば、

23 天から聞いて行動し、
あなたのしもべたちを裁き、
悪者に彼の道をその頭に返し、
正しい者を彼の義に従って報いてください。

もしあなたの民イスラエルがあなたに罪を犯したために敵に敗れ、
彼らが戻ってあなたの名を告白し、
この家であなたに祈り、願うならば、

25 天から聞いてあなたの民イスラエルの罪を赦し、
彼らと彼らの父たちに与えた地に彼らを戻してください。

もし天が閉ざされて雨が降らないとき、彼らがあなたに罪を犯したために、
彼らがこの場所に向けて祈り、あなたの名を告白し、
あなたが彼らを苦しめるときに彼らがその罪から離れるならば、

27

天で聞いてあなたのしもべたちとあなたの民イスラエルの罪を赦し、彼らに歩むべき良い道を教え、あなたが彼らに相続地として与えたあなたの地に雨を降らせてください。

もし地に飢饉があるならば、
疫病があるならば、
穀物の病やかびがあるならば、
いなごやバッタがあるならば、
敵が彼らの都市の地で彼らを包囲するならば、
どんな疫病や病気があるならば、

29 誰かが、あるいはあなたの民イスラエル全体が、
自分の苦しみや痛みを知り、
この家に向けて手を広げて祈るならば、

39 天のあなたの住まいから聞いて、
赦し、彼の道に従ってすべての人に報いてください、
あなたがその心を知っている者に—
あなたは人の子らの心をただ一人で知っているから
です—

31 彼らがあなたを畏れ、
あなたが私たちの父たちに与えた地に住んでいる間
、あなたの道に従って歩むために。

歴代誌下

32

また、あなたの民イスラエルではない外国人についても、
彼があなたの大きい名のために、
あなたの力強い手と伸ばされた腕のために遠い国から来るならば—彼らがこの家に向けて祈るならば、

33

天から、あなたの住まいから聞いて、
外国人があなたに求めるすべてのことを行ってください、
地のすべての民があなたの名を知り、あなたを畏れるように、
あなたの民イスラエルがそうするように、
そして私が建てたこの家があなたの名で呼ばれていることを知るために。

34

あなたの民が敵に向かって戦いに出るとき、あなたが彼らを送るどの方向にでも、
彼らがあなたに祈るならば、あなたが選んだこの都市に向けて、
そして私があなたの名のために建てたこの家に向けて、

35

天から彼らの祈りと願いを聞いて、彼らの訴えを支えてください。

36

彼らがあなたに罪を犯すとき（罪を犯さない人はいないので）
あなたが彼らに怒り、敵に引き渡すとき、
彼らが遠くまたは近くの地に捕らえられて連れて行かれるとき、

37

彼らが捕らえられて連れて行かれた地でそれを心に留め、
悔い改めて捕らえられた地であなたに願い、
『私たちは罪を犯し、悪を行い、悪事を働きました』と言うならば、

38

彼らが心を尽くし、魂を尽くしてあなたに立ち返り、
捕らえられて連れて行かれた地で、
あなたが彼らの父たちに与えた地に向けて祈り、
あなたが選んだ都市に向けて、
そして私があなたの名のために建てたこの家に向けて、

39

天から、あなたの住まいから彼らの祈りと願いを聞いて、
彼らの訴えを支えてください、

そしてあなたに罪を犯したあなたの民を赦してください。

40

今、私の神よ、あなたの目を開き、あなたの耳をこの場所ので捧げられる祈りに注意を向けてください。

41

それでは今、主なる神よ、あなたの安息の場所に立ち上がってください、
あなたとあなたの力の箱と共に。
あなたの祭司たち、主なる神よ、救いをまとわせてください、
あなたの忠実な者たちが善を喜びますように。

42

主なる神よ、あなたの油注がれた者の顔を背けないでください。
あなたのしもべダビデへのあなたの変わらぬ愛を覚えてください。」

7 ソロモンが祈りを終えたとき、
火が天から降り、燔祭と犠牲を焼き尽くし、
主の栄光がその家を満した。

2 そして、主の栄光が主の家を満したので、祭司たちは主の家に入ることができなかった。

3

イスラエルの全ての子らは、火が降り、主の栄光がその家にあるのを見て、
石畳の上に顔を地に伏せてひれ伏し、
主を礼拝し、賛美して言った。

「確かに主は良い方だ、
その慈しみは永遠である。」

4

その後、王と全ての民は主の前で捧げ物と犠牲を捧げた。

5

ソロモン王は二万二千頭の牛と十二万頭の羊を犠牲として捧げた。
こうして、王と全ての民は神の家を奉献した。

6

祭司たちはその役割を果たし、
レビ人もまた、主を賛美するためにダビデ王が作った楽器を持って立っていた。
「その慈しみは永遠である」
彼がそれらを用いて賛美するとき、
祭司たちは反対側でラッパを吹き、
全イスラエルは立っていた。

歴代誌下

7

その後、ソロモンは主の家の前の中庭を聖別した。彼はそこで燔祭と和解の犠牲の脂肪を捧げた。ソロモンが作った青銅の祭壇は、燔祭、穀物の供え物、脂肪を収容することができなかったからである。

8 その時、ソロモンは七日間の祭りをを行い、全イスラエルと共に、レボ・ハマテからエジプトの川までの非常に大きな集会を開いた。

9 そして八日目に彼らは盛大な集会を開いた。彼らは祭壇の奉献を七日間祝い、祭りを七日間祝った。

10 その後、七月の二十三日に、彼は民をその天幕に送り出した。彼らはダビデ、ソロモン、そしてイスラエルの民に示された主の善意のために、喜びと心の幸せを持っていた。

11 こうしてソロモンは主の家と王の宮殿を完成させ、彼が主の家と宮殿で行うことを計画していたすべてを成功裏に終えた。

12 その後、主は夜にソロモンに現れ、彼に言った。「私はあなたの祈りを聞き、この場所を自分のための捧げ物の家として選んだ。

13 もし私が天を閉じて雨を降らせず、または私が蝗を命じて地を食い尽くさせ、または私が疫病を私の民に送るならば、

14 そして私の名で呼ばれる私の民が自らを低くし、祈り、私の顔を求め、彼らの悪しき道から立ち返るならば、私は天から聞き、彼らの罪を赦し、彼らの地を回復させる。

15 これからは、私の目は開かれ、私の耳はこの場所での祈りに注意を払う。

16 現在の時点で、私はこの家を選び、聖別したので、私の名が永遠にそこに留まるようにし、私の目と私の心は常にそこにある。

17 あなたについて言えば、もしあなたがあなたの父ダビデが歩んだように私の前を歩み、

私が命じたすべてを行い、私の律法と規定を守るならば、

18

私はあなたの王位をあなたの父ダビデに約束したように確立し、『あなたにはイスラエルで支配者となる者が欠けることはない』と言った。

19

しかし、もしあなたが私の前に置いた私の律法と命令を捨て、他の神々に仕え、彼らを礼拝するならば、

20 私はあなたを私が与えた地から取り除き、私の名のために聖別したこの家を私の前から捨て、それをすべての民の間でことわざと嘲りの対象とする。

21 この家について言えば、それが高められたので、通り過ぎるすべての者が驚き、言うであろう。『なぜ主はこの地とこの家にこれらのことを行ったのか?』

22

そして彼らは言うであろう。『彼らは彼らの父たちをエジプトの地から連れ出した神、主を捨て、他の神々を取り入れ、彼らを礼拝し、彼らに仕えたからである。それゆえ、彼はこれらすべての災いを彼らに下した。』

8 ソロモンが主の宮と自分の住居を建設した二十一年の終わりに、

2

彼はフラムが彼に与えた都市を整備し、そこにイスラエルの子孫を住まわせた。

3

ソロモンはハマテ・ゾバに進み、それを支配下に置いた。

4

彼は荒野のタドモルと、ハマテに設立したすべての貯蔵都市を発展させた。

5

彼は上ベテ・ホロンと下ベテ・ホロンを建設し、それらは壁、門、かんぬきのある要塞都市であった。

6

また、バアラテとソロモンが持っていたすべての貯

歴代誌下

蔵都市、彼の戦車のための都市、騎兵のための都市、そして彼がエルサレム、レバノン、彼の支配下にあるすべての地で建設したいと思ったすべてのものを建設した。

7
ヒッタイト人、アモリ人、ペリジ人、ヒビ人、エブス人の残りの民で、イスラエルに属さない者たち—

8
彼らの子孫で、イスラエルの子孫が減ぼさなかった者たちを、ソロモンは今日まで強制労働に従事させた。

9
しかし、ソロモンはイスラエルの子孫を奴隷にして働かせることはしなかった。彼らは戦士であり、彼の主な隊長、役人、戦車と騎兵の指揮官であった。

10
これらはソロモン王の主要な役人であり、二百五十人が民を統治していた。

11
その後、ソロモンはパロの娘をダビデの町から彼女のために建てた家に連れて行った。彼は言った、「私の妻はイスラエルの王ダビデの家に住むべきではない。そこは主の箱が入った聖なる場所だからである。」

12
ソロモンはその後、主のために主の祭壇で燔祭を捧げた。それは玄関の前に彼が建設したものであった。

13
彼は日々の規則に従い、モーセの命令に従って、安息日、新月、年に三度の定めの祭り、すなわち、種なしパンの祭り、七週の祭り、仮庵の祭りに燔祭を捧げた。

14
彼の父ダビデの定めに従って、彼は祭司の分団をその奉仕のために、レビ人を賛美と祭司の前での奉仕のために、日々の規則に従って、門ごとに分団を設けた。これは神の人ダビデの命令であった。

15
彼らはすべての事柄において、倉庫を含め、祭司とレビ人への王の命令に忠実に従った。

16
こうしてソロモンのすべての仕事は、主の宮の基礎

が置かれた日から、それが完成するまで行われた。こうして主の宮は完成した。

17
その後、ソロモンはエツィオン・ゲベルとエドムの地の海岸にあるエロトに旅した。

18
フラムは彼に船を彼のしもべたちの手で送り、海を知っているしもべたちを送り、彼らはソロモンのしもべたちと共にオフィルに行き、そこから四百五十タラントの金を取り、ソロモン王に持ってきた。

9
シェバの女王はソロモンの名声を聞き、ソロモンを謎で試そうとしてエルサレムに来た。彼女は非常に多くの随行者を伴い、香料、大量の金、宝石を積んだラクダを連れて来た。彼女がソロモンのもとに来たとき、心にあるすべてのことを彼に話した。

2
ソロモンは彼女のすべての問いに答えた。ソロモンが彼女に説明しなかったことは何もなかった。

3
シェバの女王はソロモンの知恵と彼が建てた家を見たとき、

4
彼の食卓の食物、彼の臣下の席、彼の役人たちの奉仕とその服装、彼の杯を持つ者たちとその服装、そして彼が主の家に上る階段を見て、息をのんだ。

5
彼女は王に言った、「私の国で聞いたあなたの言葉と知恵についての報告は本当に真実でした。

6
しかし、私はその報告を信じませんでした。来て自分の目で見るまでは。そして見よ、あなたの知恵の偉大さの半分も私には語られていませんでした！あなたは私が聞いた報告を超えています。

7
あなたの人々はなんと幸運でしょう、あなたの知恵を常に聞くこれらのあなたのしもべたちはなんと幸運でしょう。

8
あなたを喜んで主の王座に置かれたあなたの神、主は祝福されますように。あなたの神はイスラエルを愛し、彼らを永遠に確立するために、あなたを彼らの上に王とされ、正義と義を行うようにされました。」

歴代誌下

9

彼女は王に百二十タラントの金と非常に多くの香料と宝石を贈った。シェバの女王がソロモン王に贈ったような香料は、二度と来なかった。

10

オフィルから金を持ってきたヒラムのしもべたちとソロモンのしもべたちは、また、アルグムの木と寶石を持ってきた。

11

王はアルグムの木から主の家と王の宮殿のための階段、歌う者たちのための堅琴とハーブを作った。ユダの地ではそれに似たものは見られなかった。

12

ソロモン王はシェバの女王に彼女が望むすべてのもの、彼女が求めたものすべてを与えた。彼女は王に持ってきたものの他に。そして彼女はしもべたちと共に自分の国に帰った。

13

ソロモンのもとに一年に来る金の量は六百六十六タラントであった。

14

商人や貿易商が持ってきたものに加えて、アラビアのすべての王たちと国の総督たちがソロモンに金と銀を持ってきた。

15

ソロモン王は打ち金の大盾二百枚を作り、各大盾に六百シェケルの打ち金を使った。

16

彼は打ち金の盾三百枚を作り、各盾に三百シェケルの金を使った。そして王はそれらをレバノンの森の家に置いた。

17

王はまた象牙の大きな王座を作り、それを純金で覆った。

18

その王座には六段の階段があり、金の足台が付いており、座席の両側に腕があり、その腕のそばに二頭の獅子が立っていた。

19

十二頭の獅子が六段の上に一方と他方に立っていた。それに似たものは他のどの王国にも作られなかった。

20

ソロモン王のすべての飲み物の器は金であり、レバノンの森の家のすべての器具は純金であった。ソロモンの時代には銀は価値がないと見なされていた。

21

王の船はヒラムのしもべたちと共にタルシシュに行った。三年ごとにタルシシュの船が金、銀、象牙、猿、孔雀を持って来た。

22

このようにしてソロモン王は富と知恵において地のすべての王たちを超えた。

23

そして地のすべての王たちは、神が彼の心に置かれた知恵を聞くためにソロモンのもとに来た。

24

彼らはそれぞれ銀と金の器、衣服、武器、香料、馬、ラバを贈り物として持って来た。それは年ごとに多くあった。

25

ソロモンは馬と戦車のための四千の厩舎と一万二千の騎兵を持っていた。そして彼はそれらを戦車の都市とエルサレムの王のもとに配置した。

26

そして彼はユーフラテス川からペリシテ人の地、エジプトの境界に至るすべての王たちを支配していた。

27

王はエルサレムで銀を石のように一般的にし、低地のシカモアの木のように杉を豊富にした。

28

そして馬はエジプトとすべての国からソロモンのために持って来られた。

29

さて、ソロモンの行った他の事績は、初めから終わりまで、預言者ナタンの記録、シロ人アヒヤの預言、ネバテの子ヤロブアムに関するイドの幻に書かれているのではないか。

30

ソロモンのエルサレムでのイスラエル全体に対する治世は四十年続いた。

31

そしてソロモンはその父ダビデの町に葬られ、彼の息子レハブアムが彼の代わりに王となった。

歴代誌下

10 レハブアムはシェケムに行った。全イスラエルが彼を王にするためにそこに集まっていたからである。

2

ネバテの子ヤロブアムはこれ聞いた（彼はソロモン王の前から逃れてエジプトにいた）。ヤロブアムはエジプトから帰ってきた。

3

彼らは彼を呼び寄せた。そしてヤロブアムと全イスラエルが来て、レハブアムに言った。

4

「あなたの父は私たちのくびきを重くしました。今、あなたの父が私たちに課した重労働と重いくびきを軽くしてください。そうすれば、私たちはあなたに仕えます。」

5

しかし、彼は彼らに言った。「三日後にまた私のところに来なさい。」それで人々は去った。

6

それから、レハブアム王は彼の父ソロモンが生きている間に仕えた長老たちと相談し、「この人々にどのように答えるべきか、あなた方はどう助言しますか」と言った。

7

彼らは彼に言った。「もしあなたがこの人々に親切にし、彼らを喜ばせ、彼らに優しい言葉をかけのなら、彼らはいつまでもあなたのしもべとなるでしょう。」

8

しかし、彼は長老たちが与えた助言を捨て、彼と一緒に育った若者たちと相談した。

9

それで彼は彼らに言った。「あなた方はどのように助言しますか。この人々が私に言った、『あなたの父が私たちに課したくびきを軽くしてください』という言葉に、私たちはどう答えるべきでしょうか。」

10

すると、彼と一緒に育った若者たちは彼に言った。「あなたの父が私たちのくびきを重くしたが、あなたはそれを軽くしてくださいと言ったこの人々に、こう言いなさい。『私の小指は父の腰よりも太い！

11

今、私の父はあなたたちに重いくびきを負わせたが

、私はあなたたちのくびきをさらに重くする。私の父は鞭であなたたちを訓練したが、私はサソリで訓練する。』」

12

ヤロブアムと全ての人々は、王が言ったように三日目にレハブアムのもとに戻ってきた。「三日目に私のところに戻ってきなさい。」

13

そして王は彼らに厳しく答え、レハブアム王は長老たちの助言を捨てた。

14

彼は若者たちの助言に従って彼らに言った。「私の父はあなたたちのくびきを重くしたが、私はそれをさらに重くする。私の父は鞭であなたたちを訓練したが、私はサソリで訓練する。」

15

それで王は人々の言うことを聞かなかった。これは神からの出来事であり、主がシロ人アヒヤを通してネバテの子ヤロブアムに語った言葉を確立するためであった。

16

全イスラエルが王が彼らの言うことを聞かなかったのを見たとき、人々は王に答えて言った。

「私たちはダビデに何の分け前があるのか。

エッサイの子に何の相続があるのか。

イスラエルよ、各々自分の天幕に帰れ！

今や自分の家を見よ、ダビデよ！」

それで全イスラエルは自分の天幕に去った。

17

しかし、レハブアムはユダの町に住むイスラエル人を治め続けた。

18

それからレハブアム王は強制労働の監督であるハドラムを送ったが、イスラエルの子らは彼を石で打ち殺した。そしてレハブアム王は急いで戦車に乗り、エルサレムに逃げた。

19

このようにして、イスラエルは今日に至るまでダビデの家に反抗している。

11 レハブアムがエルサレムに到着すると、彼はユダとベニヤミンの家を集め、18万の選ばれた戦士を集め、イスラエルと戦って王国を自分に戻すことを目的としました。

歴代誌下

2

しかし、神の人シェマヤに主からのメッセージが届きました。

3

「ソロモンの子、ユダの王レハバアムと、ユダとベニヤミンにいる全イスラエルにこのメッセージを伝えなさい。

4

『主はこう言われる。あなたたちは上って行って親族と戦ってはならない。それぞれ自分の家に帰りなさい。このことは私から出たことである。』」彼らは主の言葉に耳を傾け、ヤロブアムに対して行くのをやめて戻りました。

5

レハバアムはエルサレムに住み、ユダに防衛のための都市を建設しました。

6

彼はバツレヘム、エタム、テコアを設立しました。

7

さらにバツ・ツル、ソコ、アドラムを設立しました。

8 また、ガテ、マレシャ、ジフも設立しました。

9

さらにアドライム、ラキシユ、アゼカを設立しました。

10

ゾラ、アイヤロン、ヘブロンも含まれ、これらはユダとベニヤミンの要塞都市でした。

11

彼はさらに要塞を強化し、役人を任命し、食料、油、ワインの供給を提供しました。

12

彼はすべての都市に盾と槍を備え、非常に強化しました。こうして、彼はユダとベニヤミンを支配しました。

13

さらに、全イスラエルにいた祭司とレビ人は、すべての領土から彼に従いました。

14

レビ人は自分たちの牧草地と所有物を離れ、ユダとエルサレムに来ました。なぜなら、ヤロブアムとその息子たちが彼らを主に仕える祭司として排除したからです。

15

彼は自分のために高き所の祭司、山羊の悪霊、彼が作った子牛のための祭司を任命しました。

16

イスラエルのすべての部族から、イスラエルの神、主を求めることに専念していた者たちは、彼らに従ってエルサレムに来て、祖先の神、主に犠牲を捧げました。

17

彼らはユダの王国を強化し、ソロモンの子レハバアムを3年間支持しました。その間、彼らはダビデとソロモンの道に従いました。

18

レハバアムはダビデの子エリモテの娘マハラテと、エリアブの子イエシの娘アビハイルと結婚しました。

19

彼女は彼に息子たちを産みました。エウシュ、シエマリヤ、ザハムです。

20

その後、彼はアブサロムの娘マアカと結婚し、彼女はアビヤ、アタイ、ジザ、シェロミトを産みました。

21

レハバアムはアブサロムの娘マアカを他のすべての妻や側室よりも愛しました。彼は18人の妻と60人の側室を迎え、28人の息子と60人の娘をもうけました。

22

レハバアムはマアカの子アビヤを兄弟たちの中で首長として任命し、彼を王にしようと考えました。

23

彼は賢明に行動し、彼の息子たちをユダとベニヤミンのすべての地域、すべての要塞都市に分配しました。そして彼は彼らに豊富な供給を提供し、多くの妻を求めました。

12 レハバアムの王国が確立され強くなったとき、彼と彼と共にいる全イスラエルは主の律法から離れた。

2

レハバアム王の治世の五年目に、彼らが主に不忠実であったため、エジプトの王シシャクがエルサレムに攻め上った。

歴代誌下

3

彼は1,200の戦車、60,000の騎兵、そして彼と共にエジプトから来た無数の民、ルビム、スキイム、エチオピア人を伴って来た。

4

彼はユダの要塞都市を奪い、エルサレムに向かった。

5

その時、預言者シェマヤがレハブアムとシシヤクのためにエルサレムに集まっていたユダの指導者たちのところに来て、彼らに言った。「主はこう言われる。『あなたがたは私を見捨てたので、私もあなたがたをシシヤクに見捨てた。』」

6

それゆえ、イスラエルの指導者たちと王は自らを低くし、「主は正しい」と宣言した。

7

主が彼らが自らを低くしたのを見たとき、主の言葉がシェマヤに臨んで言った。「彼らは自らを低くしたので、私は彼らを滅ぼさず、少しの救いを与え、私の怒りをシシヤクによってエルサレムに注ぐことはない。

8

しかし、彼らは彼に仕えることになる。それは、彼らが私に仕えることと他の国々の王国に仕えることの違いを理解するためである。」

9

こうしてエジプトの王シシヤクがエルサレムに攻め上り、主の家の宝物と王の家の宝物を奪った。彼はすべてを奪った。彼はまたソロモンが作った金の盾も奪った。

10

それからレハブアム王はその代わりに青銅の盾を作り、それを王の家の入口を守る警備隊の指揮官に委ねた。

11

そして王が主の家に入るたびに、警備隊はそれを持ち運び、警備隊の部屋に戻した。

12

彼が自らを低くしたとき、主の怒りは彼から離れ、完全に彼を滅ぼすことはなく、ユダの状況も良好であった。

13

こうしてレハブアム王はエルサレムで強くなり、治

めた。レハブアムは四十一歳で王となり、エルサレムで十七年間治めた。エルサレムは主がイスラエルのすべての部族の中らご自分の名を置くために選ばれた都市である。彼の母の名はアンモン人のナアマであった。

14

彼は心を定めて主を求めなかったため、悪を行った。

15

レハブアムの行為は、最初から最後まで、預言者シェマヤと幻視者イドの記録に系図に従って記されているではないか。そしてレハブアムとヤロバアムの間には絶えず戦争があった。

16

レハブアムは先祖と共に眠り、ダビデの町に葬られた。彼の子アビヤが彼の後を継いで王となった。

13 ヤロバアム王の治世第十八年に、アビヤはユダの王となった。

2

彼はエルサレムで三年間治めた。彼の母の名はギブアのウリエルの娘ミカヤであった。アビヤとヤロバアムの間に戦争があった。

3

アビヤは四十万の選ばれた勇士の軍を率いて戦いを始めた。一方、ヤロバアムは八十万の選ばれた勇士を率いて彼に対抗して戦列を整えた。

4

アビヤはエフライムの山地にあるゼマライム山に立ち、宣言した、「ヤロバアムとイスラエルの全ての者よ、開け。

5

イスラエルの神、主がダビデとその子孫にイスラエルの王権を永遠に与えたことを知らないのか？

6

しかし、ネバテの子ヤロバアムは、ダビデの子ソロモンに仕えていたが、彼の主に反逆した。

7

そして、低俗な人々、正義に欠けた者たちが彼に集まり、ソロモンの子レハブアムが若くて優柔不断で彼らに対抗できなかった時に、彼らは彼を打ち負かした。

歴代誌下

8

今、あなたたちはダビデの子たちを通じて主の王国に対抗しようとしている。

あなたたちは大勢であり、ヤロブアムがあなたたちのために作った金の子牛を神として持っている。

9

あなたたちは主の祭司、アロンの子孫とレビ人を追い出し、土地の民のように自分たちのために祭司を作ったではないか。

雄牛と七匹の雄羊を持って自らを聖別しに来る者は誰でも、神ではないものの祭司になることができる。

10

しかし、私たちににとっては、主が私たちの神であり、私たちは彼を捨てていない。アロンの子たちは祭司として主に仕え、レビ人はその務めを果たしている。

11

毎朝と夕方に彼らは主に全焼のいけにえと香ばしい香をたき、純粋なテーブルに供えのパンを置き、そのランプが毎晩燃えるように金の燭台を用意している。

私たちは私たちの神、主から与えられた責任を守っているが、あなたたちは彼を捨てた。

12

今、見よ、神は私たちの頭におられ、彼の祭司たちはあなたたちに対して警報を鳴らすための信号ラッパを持っている。イスラエルの子たちよ、あなたたちの父祖の神、主に逆らって戦ってはならない。成功しないだろう。」

13

しかし、ヤロブアムは後ろから来る伏兵を配置していたので、イスラエルはユダの前に位置し、伏兵は彼らの後ろにいた。

14

ユダが振り返ったとき、見よ、彼らは前後から攻撃されていた。それで彼らは主に叫び、祭司たちはラッパを吹いた。

そのとき、ユダの人々は戦いの叫びを上げ、彼らがそうするやいなや、神はアビヤとユダの前でヤロブアムと全イスラエルを打ち破った。

16

それでイスラエルの子たちはユダの前で逃げ、神は彼らを彼らに引き渡した。

17

アビヤと彼の民は彼らを激しく打ち、イスラエルの選ばれた五十万人が倒れた。

18

その時、イスラエルの子たちは打ち負かされ、ユダの子たちは彼らの父祖の神、主を信頼したので勝利した。

19

アビヤはヤロブアムを追い、彼から都市を奪った。ベテルとその村々、イェシヤナとその村々、エフロンとその村々である。

20

ヤロブアムはアビヤの時代に再び力を取り戻すことはなく、主が彼を打ち、彼は死んだ。

21

しかし、アビヤは力を増し、十四人の妻を迎え、二十二人の息子と十六人の娘をもうけた。

22

さて、アビヤのその他の行い、彼の道と彼の言葉は、預言者イドの書に書かれている。

14

アビヤは死んで、ダビデの町に葬られた。彼の子アサが代わって王となった。彼の治世中、国は十年間平和であった。

2

アサは主なる神の前で正しく、かつ正義にかなった行いをした。

3

彼は異国の祭壇と高き所を取り除き、記念碑を壊し、アシェラ像を切り倒した。

4

そしてユダに、先祖の神、主を求め、律法と戒めを守るように命じた。

5

彼はまた、ユダのすべての町から高き所と香の祭壇を取り除いたので、王国は彼の治世中、平和であった。

6

彼はユダに城壁のある町々を建てた。国は平和であり、その年々に戦争はなかった。主が彼に安息を与えられたからである。

歴代誌下

7

彼はユダに言った、「これらの町を建て、城壁と塔、門と横木で囲もう。私たちが主なる神を求めたので、国は私たちのものであり続けている。私たちは主を求め、主は四方に平和を与えてくださった。」こうして彼らは建設し、繁栄した。

8

さて、アサはユダから大盾と槍を持つ30万人、ベニヤミンから盾を持ち弓を引く28万人の軍を持っていた。彼らは皆、勇敢な戦士であった。

9

さて、エチオピア人のゼラが百万の軍と三百の戦車を率いて彼らに向かって出てきて、マレシャまで来た。

10

アサは彼に立ち向かうために出て行き、彼らはマレシャのゼファタの谷で戦闘隊形を整えた。

11

するとアサは主なる彼の神に呼びかけて言った、「主よ、力ある者と力のない者との戦いで助けるのはあなた以外にありません。私たちの神、主よ、助けてください。私たちはあなたに信頼し、この大軍に対してあなたの名によって来ました。主よ、あなたは私たちの神です。誰もあなたに勝つことはできません。」

12

主はアサとユダの前でエチオピア人を打ち破り、エチオピア人は逃げ去った。

13

アサと彼と共にいた民はゲラルまで彼らを追い、エチオピア人は主とその軍の前で打ち砕かれたので、生き残った者は一人もいなかった。そして彼らは非常に多くの戦利品を持ち帰った。

14

彼らはゲラル周辺のすべての町を破壊した。主の恐れが彼らに臨んだからである。そして彼らはすべての町を略奪した。そこには多くの戦利品があった。

15

彼らはまた家畜を所有する者たちを打ち倒し、多くの羊とラクダを持ち去った。それから彼らはエルサレムに戻った。

15 神の霊がオデデの子アザリヤに降り、

2

彼はアサに近づいて言った、「アサよ、ユ

ダとベニヤミンの全ての者よ、聞け。あなたがたが主と共にいるとき、主はあなたがたと共におられる。もしあなたがたが主を求めるなら、主はあなたがたに見つけさせてくださる。しかし、もし主を捨てるなら、主もあなたがたを捨てられる。

3

長い間、イスラエルは真の神を持たず、教える祭司もおらず、律法もなかった。

4

しかし、彼らは苦難の中でイスラエルの神、主に立ち返り、主を求め、主は彼らに見つけさせてくださった。

5

その時代には、出入りする者に平和がなく、地の住民全てが多くの混乱に悩まされた。

6

国は国に、町は町に対して争い、神が彼らを様々な苦難で悩ませたからである。

7

しかし、あなたがたは勇気を出し、心を失わないでください。あなたがたの働きには報いがあるからです。」

8

アサはこれらの言葉と、預言者オデデの子アザリヤの預言を聞いて勇気を出し、ユダとベニヤミンの全地から忌まわしい偶像を取り除き、エフライムの山地で彼が捕らえた町々からも取り除いた。そして、主の前の廊の前にあった主の祭壇を修復した。

9

そして、ユダとベニヤミンの全ての者、エフライム、マナセ、シメオンから彼らと共に住んでいた者たちを集めた。彼らは多くの者がイスラエルから彼に加わったのを見た。彼の神、主が彼と共におられるのを見たからである。

10

こうして、彼らはアサの治世の十五年目の第三月にエルサレムに集まった。

11

その日、彼らは持ってきた戦利品から主に七百頭の牛と七千頭の羊を捧げた。

12

彼らは心と魂を尽くして父祖の神、主を求める契約を結んだ。

歴代誌下

13

イスラエルの神、主を求めない者は、地位や性別に関係なく厳しい罰を受けた。

14

さらに、彼らは大声で叫び、ラッパと角笛を伴って主に厳粛な誓いを立てた。

15

ユダの全ての者はその誓いを喜び、心を尽くして誓い、熱心に主を求め、主は彼らに見つけさせてくださった。それで主は彼らに四方からの安息を与えられた。

16

また、アサ王の母マアカを太后の位から退けた。彼女がアシェラのために忌まわしい像を作ったからである。アサはその像を切り倒し、砕いて、キデロン谷で焼いた。

17

しかし、高き所はイスラエルから取り除かれなかった。それでも、アサの心はその日まで全きものであった。

18

彼は父の聖なる物と自分の聖なる物、銀、金、器具を神の家に持ち込んだ。

19

そして、アサの治世の三十五年目まで平和があった。

16 アサの治世の三十六年に、イスラエルの王バアシャがユダに攻め上り、ラマを築き、ユダの王アサのもとに出入りする者を妨げた。

2

アサは主の家と王宮の宝物庫から銀と金を取り出し、ダマスコに住むアラムの王ベン・ハダデに送り、次のように言った。

3

「あなたと私の間には、私の父とあなたの父の間にあったように、条約があります。見よ、私はあなたに銀と金を送りました。行って、イスラエルの王バアシャとの条約を破棄し、彼が私から退くようにしてください。」

4

ベン・ハダデはアサ王の言うことを聞き入れ、彼の軍の指揮官たちをイスラエルの町々に送り、イオン

、ダン、アベル・マイム、ナフタリの貯蔵都市を打った。

5

バアシャはこれを聞くと、ラマを築くのをやめ、その仕事を放棄した。

6

アサ王はユダの全員を集め、バアシャが建てていたラマの石と木材を持ち去り、それを使ってゲバとミツパを築いた。

7

その時、先見者ハナニがユダの王アサのもとに来て言った、
「あなたがアラムの王に頼り、あなたの神、主に頼らなかったのも、アラムの王の軍はあなたの手から逃れました。」

8

エチオピア人とルビム人は、多くの戦車と騎兵を持つ大軍ではなかったか。
しかし、あなたが主を信頼したので、主は彼らをあなたの手に渡された。

9

主の目は全地を行き巡り、心が完全に主に向かう者を力強く支えられる。
あなたはこのことにおいて愚かに振る舞った。確かに、今後あなたは戦争に直面するでしょう。」

10

するとアサはその先見者に激怒し、彼を牢に入れた。
彼はこのことで彼に怒りを覚えたからである。
そしてアサはその時、民の一部をも圧迫した。

11

アサの行ったことは、始めから終わりまで、ユダとイスラエルの王の書に記録されている。

12

彼の治世の三十九年に、アサは足の病を患った。その病状は重かったが、
彼はその病気の中でも主を求めず、医者に頼った。

13

こうしてアサはその父たちと共に眠りについた。彼はその治世の四十一年に死んだ。

14

彼らは彼をダビデの町に自分のために切り出した墓に葬り、
香料師の技で調合された様々な香料で満たされた安

歴代誌下

置所に彼を置いた。
そして彼のために非常に大きな火を焚いた。

17 彼の息子ヨシャバテが彼の代わりに王となり、彼はイスラエルに対して強く振る舞った。

2
彼はユダのすべての要塞都市に軍隊を配置し、ユダの地と彼の父アサが捕らえたエフライムの都市に守備隊を駐留させた。

3
主はヨシャバテと共におられた。彼は先祖ダビデの初期の道を歩み、バアルを追い求めなかったからである。

4
彼は父の神を求め、その戒めを守り、イスラエルのように振る舞わなかった。

5
このようにして、主は彼の支配下で王国をしっかりと確立し、ユダのすべての人々はヨシャバテに贈り物を持ってきたので、彼は大いなる富と名誉を享受した。

6
彼は主の道を大いに誇り、再び高き所とアシェラ像をユダから取り除いた。

7
彼の治世の三年目に、彼はベン・ハイル、オバデヤ、ゼカリヤ、ネタネル、ミカヤをユダの都市で教えるために送り出した。

8
彼らと共にレビ人、シェマヤ、ネタニヤ、ゼバデヤ、アサヘル、シェミラモテ、ヨナタン、アドニヤ、トビヤ、トブ・アドニヤー・レビ人；そして彼らと共にエリシャマとヨラム、祭司たち。

9
彼らはユダで教え、彼らと共に主の律法の書を持っていた。彼らはユダのすべての都市を巡り、民の間で教えた。

10
さて、ユダの周囲の地のすべての王国に主の恐れがあり、彼らはヨシャバテと戦わなかった。

11
フィリスティア人の一部はヨシャバテに贈り物と銀

を貢ぎ物として持ってきた。
アラブ人もまた彼に羊の群れを持ってきた。**7,700**頭の雄羊と**7,700**頭の雄山羊である。

12
ヨシャバテは力を増し続け、ユダに要塞と貯蔵都市を建設した。

13
彼はユダの都市に豊富な物資を持ち、エルサレムには勇敢な力強い戦士たちがいた。

14 彼らの父の家に従った召集は次のとおりである：
*ユダの千人隊の指揮官：指揮官アドナ、彼と共に**300,000**人の勇敢な戦士たち；*

15
*彼の次に、指揮官ヨハナン、彼と共に**280,000**人；*

16
*彼の次に、ジクリの息子アマシャヤ、彼は主のために自らを進んで捧げた者で、彼と共に**200,000**人の勇敢な戦士たち；*

17
*ベニヤミンの者たち：勇敢な戦士エリアダ、彼と共に弓と盾を備えた**200,000**人；*

18
*彼の次に、ヨザバド、彼と共に戦争のために準備された**180,000**人。*

19
これらは王に仕えた者たちであり、王がユダの要塞都市に配置した者たちに加えてである。

18 ヨシャファテは豊かな富と名誉を持っていた。そして彼はアハブと婚姻関係を結んだ。

2
数年後、彼はサマリヤにいるアハブのもとに下って行った。アハブは彼と彼と共にいる人々のために多くの羊と牛を屠り、彼をラモテ・ギレアデに対して攻め上らせようとした。

3
イスラエルの王アハブはユダの王ヨシャファテに尋ねた。「ラモテ・ギレアデに対して私と共に戦ってくれますか？」彼は答えた。「私はあなたと同じであり、私の民もあなたの民と同じです。私たちは戦いであなたと共に立ちます。」

歴代誌下

4

しかしヨシャファテはイスラエルの王に言った。「
まず主の助言を求めましょう。」

5

そこでイスラエルの王は預言者たちを四百人集めて
彼らに言った。「ラモテ・ギレアデに対して戦いに行
くべきか、それとも控えるべきか？」彼らは言っ
た。「上って行け、神がそれを王の手に渡されるだ
ろう。」

6

しかしヨシャファテは言った。「ここに主の預言者
はいないのか、彼に伺うことができるように。」

7

するとイスラエルの王はヨシャファテに言った。「
まだ一人、主に伺うことができる者がいるが、私は
彼を憎んでいる。彼は私について良いことを預言し
たことがなく、悪いことばかりだ。彼はイムラの子
ミカヤである。」しかしヨシャファテは言った。「
王はそう言わないでください。」

8

それからイスラエルの王は役人を呼び、「イムラの
子ミカヤを急いで連れて来なさい」と言った。

9

さて、イスラエルの王とユダの王ヨシャファテはそ
れぞれ自分の王座に座り、衣をまとしてサマリアの
門の入口の打ち場に座っていた。そしてすべての預
言者たちが彼らの前で預言していた。

10

その時、ケナアナの子ゼデキヤは自分のために鉄の
角を作り、「主はこう言われる、『これでアラム人
を突き倒し、彼らを滅ぼすのだ』』』と言った。

11

すべての預言者たちも同じように預言して言った。
「ラモテ・ギレアデの上って行き、成功せよ。主が
それを王の手に渡されるだろう。」

12

それからミカヤを呼びに行った使者は彼に言った。
「見よ、預言者たちの言葉は皆、王に好意的だ。だ
からどうか、あなたの言葉も彼らの一人のようにし
、好意的に語ってください。」

13

しかしミカヤは言った。「主が生きておられる限り
、私の神が言われることを私は語る。」

14

彼が王のもとに来たとき、王は彼に言った。「ミカ
ヤ、私たちはラモテ・ギレアデに対して戦いに行く
べきか、それとも控えるべきか？」彼は言った。「
上って行き、成功せよ。彼らはあなたの手に渡され
るだろう！」

15

すると王は彼に言った。「何度あなたに誓わせれば
、主の名によって真実だけを私に告げるのか？」

16

そこで彼は言った。「私はイスラエル全体が山々に
散らされているのを見た。羊飼いのいない羊のよう
に。そして主は言われた、『これらには主人がいな
い。それぞれ自分の家に平和に帰るべきだ。』」

17

するとイスラエルの王はヨシャファテに言った。「
彼が私について良いことを預言しないで、悪いこと
ばかりだと言わなかったか？」

18

ミカヤは言った。「それゆえ、主の言葉を聞け。私
は主がその王座に座っておられ、天のすべての天使
たちがその右と左に立っているのを見た。

19

そして主は言われた、『誰がイスラエルの王アハブ
をそそのかしてラモテ・ギレアデで倒れるようにす
るか？』ある者はこう言い、またある者はああ言っ
た。

20

すると一つの霊が進み出て主の前に立ち、『私が彼
を説得します』と言った。主は彼に言われた、『ど
のようにして？』

21

彼は言った、『私は行って、すべての彼の預言者た
ちの口に偽りの霊となります。』すると主は言われ
た、『あなたは彼をそそのかし、また成功するだろ
う。行ってそうせよ。』

22

今、見よ、主はこれらのあなたの預言者たちの口に
偽りの霊を入れた。主はあなたに災いを告げら
れたのだ。」

23

するとケナアナの子ゼデキヤが近づいてミカヤの類
を打ち、「どのようにして主の霊が私から離れてあ
なたに語ったのか？」と言った。

歴代誌下

24

ミカヤは言った。「見よ、その日、あなたが一つの部屋から別の部屋へ逃げ込んで隠れるときに見るだろう。」

25

それからイスラエルの王は命じた。「ミカヤを町の総督アモンと王の子ヨアシュのもとに連れて行け、

26

そして言え、『王がこう言われる、「この男を牢に入れ、私が無事に帰るまでパンと水だけを与えよ。』』

27

しかしミカヤは言った。「もしあなたが本当に無事に帰るなら、主は私によって語られなかった。」そして彼は言った。「聞け、すべての民よ!」

28

こうして、イスラエルの王とユダの王ヨシャファテはラモテ・ギレアデに進んだ。

29

そしてイスラエルの王はヨシャファテに言った。「私は変装して戦いに行くが、あなたは王の装いをせよ。」それでイスラエルの王は変装し、彼らは戦いに出た。

30

さて、アラムの王はその戦車の隊長たちに命じて言った。「小さな者とも大きな者とも戦わず、ただイスラエルの王だけを狙え。」

31

それで戦車の隊長たちがヨシャファテを見たとき、「それはイスラエルの王だ!」と言って彼に向かって戦いを挑もうとした。しかしヨシャファテが叫ぶと、主が彼を助け、神が彼らを彼から引き離した。

32

戦車の隊長たちがそれがイスラエルの王ではないと気づいたとき、彼らは彼を追うのをやめた。

33

その時、ある男が無作為に弓を引いてイスラエルの王の鎧の継ぎ目を射抜いた。それで彼は戦車の御者に言った。「回れ、私を戦場から連れ出せ、私は重傷を負った。」

34

その日、戦いは激しく続き、イスラエルの王は夕方までアラム人に対して戦車の中で自分を支えていた。そして日没に彼は死んだ。

19

ユダの王ヨシャパテは、無事にエルサレムの自分の家に帰った。

2

その時、先見者ハナニの子エフが彼に会いに出て行き、王ヨシャパテに言った、

「あなたは悪者を助け、主を憎む者を愛するべきでしょうか。それで主の怒りを自ら招くのですか。」

3

しかし、あなたには良いところもあります。あなたはアシェラ像を地から取り除き、神を求める心を持っています。」

4

ヨシャパテはエルサレムに住み、再びベエルシェバからエフライムの山地まで民の間を巡り、彼らを先祖の神、主に立ち返らせた。

5

彼はユダのすべての堅固な町に裁判官を任命し、一つの町ごとに置いた。

6

彼は裁判官たちに言った、「あなたがたの行動に注意しなさい。あなたがたは人のためではなく、主のために裁くのです。主はあなたがたの裁きの中におられます。」

7

それゆえ、主を恐れなさい。あなたがたの行動に注意しなさい。私たちの神、主には不正も偏りも賄略を取ることもありません。」

8

エルサレムでも、ヨシャパテはレビ人、祭司、イスラエルの父祖の家の長たちを任命し、主の裁きとエルサレムの住民の間の争いを裁かせた。

9

彼は彼らに指示して言った、「主を恐れて、誠実と真心をもって行動しなさい。」

10

あなたがたの兄弟が住む町からあなたがたに持ち込まれる争いごと、血と血の間、律法と戒め、定めと裁きの間の争いごとがあるとき、彼らに警告して、主の前で罪を犯さないようにしなさい。そうすれば、あなたがたとあなたがたの兄弟に怒りが及ばないでしょう。

歴代誌下

これがあなたがたのすべきことであり、罪を負うことはありません。

11

見よ、主に関するすべてのことについては、大祭司アマルヤがあなたがたの上に立ち、王に関するすべてのことについては、ユダの家の支配者イシュマエルの子ゼバデヤが立ちます。また、レビ人はあなたがたの前で役人となります。勇気を持って行動しなさい。主が正しい者と共におられますように。」

20 これらの出来事の後、モアブの子らとアンモンの子らが、メウニムの一部と共に、ヨシャバテに戦いを挑んできた。

2 使者たちが来てヨシャバテに告げた、「大軍が海の向こう、アラムからあなたに向かって来ています。

見よ、彼らはハツアツォン・タマル（すなわちエン・ゲディ）にいます。」

3

ヨシャバテは恐れ、主を求めることに心を向けた。そしてユダ全体に断食を布告した。

4 こうしてユダは集まり、主からの助けを求めた。ユダのすべての町からも人々が来て主を求めた。

5

ヨシャバテはユダとエルサレムの会衆の中で、主の家の新しい庭の前に立ち、

6 言った、「主よ、私たちの先祖の神よ、あなたは天におられる神ではありませんか。そして、あなたはすべての国々の王国を治めておられるではありませんか。力と権威はあなたの手にあり、誰もあなたに立ち向かうことはできません。

7

私たちの神よ、あなたはこの地の住民をあなたの民イスラエルの前から追い払い、あなたの友アブラハムの子孫に永遠に与えられたものではありませんか。

8

彼らはそこに住み、あなたの名のために聖所を建てて言いました、

9

『もし剣、裁き、疫病、または飢饉が私たちに襲ってきたなら、

私たちはこの家の前で、あなたの前で立ちます（あなたの名はこの家にあります）、そして私たちの苦難の中であなたに叫びます。そうすれば、あなたは聞いて私たちを救ってくださいます。』

10

今、見よ、アンモンの子ら、モアブ、セイル山の者たち、あなたがイスラエルがエジプトの地を出たときに侵略を許さなかった者たち（彼らは彼らを避けて滅ばさなかった）、

11

彼らが私たちに報いるために来て、あなたが私たちに相続として与えられたあなたの所有地から私たちを追い出そうとしています。

12

私たちの神よ、あなたは彼らを裁かないのですか。私たちは私たちに向かって来るこの大軍に対して無力です。

私たちは何をすべきか分かりませんが、私たちの目はあなたに向いています。」

13

ユダのすべての人々は、彼らの幼子、妻、子供たちと共に主の前に立った。

14

その時、会衆が集まっていると、主の霊がゼカリヤの子、ベナヤの子、エイエルの子、マタニヤの子、アサフの子孫であるレビ人やハジエルに臨んだ。

15

彼は言った、「ユダのすべての人々とエルサレムの住民、そしてヨシャバテ王よ、聞きなさい。これは主があなたたちに言われることです。『この大軍を恐れたり、気落ちしたりしないでください。

戦いはあなたたちのものではなく、神のものです。

16

明日、彼らに向かって下って行きなさい。見よ、彼らはツイツの坂を上って来る。あなたたちは彼らをエルエルの荒野の前の谷の端で見つけるでしょう。

17

この戦いで戦う必要はありません。あなたたちの位置を取り、しっかりと立って、ユダとエルサレムのために主の救いを見なさい。恐れたり、気落ちしたりしないでください。明日、

歴代誌下

彼らに向かって出て行きなさい。主があなたたちと共におられるからです。』」

18 ヨシャパテは地に顔を伏せ、ユダのすべての人々とエルサレムの住民は主の前にひれ伏し、主を礼拝した。

19 コハテ族とコラ族の子孫であるレビ人たちは立ち上がり、イスラエルの神、主を非常に大きな声で賛美した。

20 彼らは朝早く起きて、テコアの荒野に出かけた。彼らが出かけると、ヨシャパテは立って言った、「ユダの人々とエルサレムの住民よ、私の言うことを聞きなさい。あなたたちの神、主を信頼しなさい。そうすれば耐え忍ぶことができます。彼の預言者たちを信頼しなさい。そうすれば成功します。」

21 民と相談した後、彼は主に歌う者たちと、聖なる装いをして主を賛美する者たちを任命し、彼らは軍の前に出て言った、

「主に感謝せよ、その慈しみは永遠である。」

22 彼らが歌い、賛美し始めたとき、主はユダに向かって来たアンモンの子ら、モアブ、セイル山の者たちに対して伏兵を置かれたので、彼らは打ち倒された。

23 アンモンの子らとモアブはセイル山の住民に立ち向かい、彼らを完全に滅ぼした。彼らがセイルの住民を滅ぼし終えると、互いに向かい合って滅ぼし合った。

24 ユダが荒野の見張り台に来たとき、彼らは群衆の方を向き、見よ、地面に死体が横たわっていた。誰一人として逃げ延びた者はいなかった。

25 ヨシャパテと彼の民が戦利品を集めに来たとき、彼らは多くの物、衣服、貴重な物を見つけ、それを自分たちのものとした。彼らは運びきれないほどであった。彼らは三日間にわたって戦利品を集めていた。あまりにも多かったからである。

26 そして四日目に彼らはベラカの谷に集まり、そこで主を祝福した。

それゆえ、その場所の名を「ベラカの谷」と呼んだ。それは今日まで続いている。

27 ユダとエルサレムのすべての人々は、ヨシャパテを先頭にして帰り、敵に対して主が彼らを喜ばせたので、喜びをもってエルサレムに戻った。

28 彼らは琴、堅琴、ラッパを持ってエルサレムに入り、主の家に進んだ。

29 そして、主がイスラエルの敵に対して戦ったことを聞いたとき、地のすべての王国に神への恐れがあった。

30 こうしてヨシャパテの王国は平和であった。彼の神が彼に四方からの安息を与えられたからである。

31 ヨシャパテは三十五歳でユダの王となった。彼はエルサレムで二十五年間統治した。彼の母はシルヒの娘アズバであった。

32 彼は父アサの道を歩み、それからそれることなく、主の目にかなうことを行った。

33 ただし、高き所は取り除かれなかった。民はまだ彼らの父祖の神に心を向けていなかった。

34 さて、ヨシャパテのその他の行い、最初から最後まで、見よ、それらはハナニの子エフの年代記に書かれており、イスラエルの王の書に記録されている。

35 この後、ユダの王ヨシャパテはイスラエルの王アハズヤと同盟を結んだ。彼はそれを行うことで悪を行った。

36 こうして彼はタルシシュに行くための船を作るために彼と同盟を結び、彼らはエツィオン・ゲベルで船を建造した。

37 マレシャのドダワの子エリエゼルはヨシャパテに対して預言して言った、「あなたがアハズヤと同盟を結んだため、主はあなたの作業を破壊された。」

歴代誌下

その結果、船は壊れ、タルシシュに行くことができなかった。

21 ヨシャファトは死んで、ダビデの町にある先祖の墓に葬られ、その子ヨラムが代わって王となった。

2 ヨラムには兄弟たちがいた。ヨシャファトの子たちである。アザリヤ、エヒエル、ゼカリヤ、アザルヤフ、ミカエル、シェファテヤ。これらは皆、イスラエルの王ヨシャファトの子たちであった。

3 彼らの父は、銀、金、貴重なものを多く与え、ユダの防備された町々を与えたが、王国は長子であるヨラムに与えた。

4 ヨラムが父の王国を継ぎ、力を得たとき、彼はすべての兄弟たちを剣で殺し、イスラエルの指導者たちの一部も殺した。

5 ヨラムは**32歳**で王となり、エルサレムで**8年間**統治した。

6 彼はイスラエルの王たちの道を歩み、アハブの家のようにした（アハブの娘が彼の妻であったため）、そして彼は主の目に悪を行った。

7 しかし、主はダビデの家を滅ぼすことを望まなかった。ダビデと結んだ契約のためであり、彼とその子孫のために永遠に灯を保つと約束したからである。

8 彼の時代に、エドムはユダの支配から離れて、自分たちの王を立てた。

9 ヨラムは指揮官たちとすべての戦車を連れて渡り、夜に立ち上がって彼を囲んでいたエドム人と戦車の指揮官たちを打ち倒した。

10 こうしてエドムは今日までユダに反逆した。その時、リブナも彼の支配から離れた。彼が父祖の神、主を捨てたからである。

11 さらに、彼はユダの山々に高き所を作り、エルサレムの住民を淫行に誘い、ユダを迷わせた。

12 その後、預言者エリヤから彼にメッセージが届いた。
。「あなたの先祖ダビデの神、主がこう宣言する：
『あなたは父ヨシャファトの道とユダの王アサの道を歩まず、

13 イスラエルの王たちの道を歩み、ユダとエルサレムの住民をアハブの家のように淫行に誘い、あなたよりも優れた自分の兄弟たちをも殺したので、

14 見よ、主はあなたの民、あなたの息子たち、あなたの妻たち、そしてすべての所有物に大きな災いをもたらす。

15 そしてあなたは腸の病気で大きな痛みに苦しみ、日ごとに腸が病氣のために出てくる。』」

16 その後、主はペリシテ人とエチオピア人に接するアラビア人の霊をヨラムに対して奮い立たせた。

17 彼らはユダに攻め上り、侵入し、王の家にあったすべての所有物を奪い、彼の息子たちと妻たちをも奪い去った。彼には末の息子アハズだけが残された。
。

18 この後、主は彼を治らない腸の病気で打った。

19 時が経ち、2年の終わりに彼の腸が病氣のために出て、彼は大きな痛みの中で死んだ。彼の民は彼のために父たちのためにしたような火を焚かなかった。

20 彼は**32歳**で王となり、エルサレムで**8年間**統治した。彼は誰の惜しみもなく去った。

彼はダビデの町に葬られたが、王たちの墓には葬られなかった。

22 エルサレムの民は、アラビア人と共に来た者たちがすべての兄たちを殺したため、彼の代わりにアハズヤ、彼の末の息子を王とした。

こうして、ユダの王ヨラムの息子アハズヤが王となった。

2 アハズヤは**22歳**で王となり、エルサレムで**1年間**統治

歴代誌下

治した。
彼の母はオムリの子孫であるアタリヤであった。

3 彼もまたアハブの家の道を歩んだ。
彼の母が彼に悪を行うように助言したからである。

4 彼は主の目の前でアハブの家のように悪を行った。
彼らが彼の父の死後、彼の破滅のために彼の助言者となったからである。

5 彼もまた彼らの助言に従い、
イスラエルの王アハブの息子ヨラムと共にアラムの
王ハザエルと戦うためにラモテ・ギレアドに行った。
しかし、アラム人はヨラムを傷つけた。

6 彼はラマでアラムの王ハザエルと戦ったときに受けた傷を癒すためにイズレエルに戻った。
ユダの王ヨラムの息子アハズヤは、アハブの息子ヨラムが病氣であったため、イズレエルに彼を見に行つた。

7 さて、アハズヤの没落は神から来たものであり、彼がヨラムのところに行つたことによる。
彼が来たとき、彼はニムシの息子エフーと共に出て行った。
主はアハブの家を滅ぼすために彼を油注がれた。

8 エフーがアハブの家に裁きを行っていたとき、
彼はユダの指導者たちとアハズヤの兄弟たちの息子たちがアハズヤに仕えているのを見つけ、彼らを殺した。

9 それから彼はアハズヤを探し、彼がサマリアに隠れているところを捕らえた。
彼らは彼をエフーのもとに連れて行き、彼を殺し、埋葬した。 彼らは言った、
「彼は心を尽くして主を求めたヨシャファテの息子である。」
こうしてアハズヤの家には王国の力を保つ者がいなかった。

10 アハズヤの母アタリヤは彼女の息子が死んだことを知ると、
立ち上がり、ユダの家の王族の子供たちを皆殺しにした。

11 しかし、王の娘ヨシャベアはアハズヤの息子ヨアシュを取り、

殺されようとしていた王の息子たちの中から彼を盗み出し、彼とその乳母を寝室に置いた。
ヨシャベアは王ヨラムの娘であり、祭司エホヤダの妻であった（彼女はアハズヤの姉妹であった）。
彼女はアタリヤから彼を隠し、彼を殺させないようにした。

12 彼は彼らと共に神の家に6年間隠れていた。
その間、アタリヤは国を治めていた。

23 さて、第七年にエホヤダは力を得て、
百人の隊長たち、すなわちエロハムの子アザリヤ、ヨハナンの子イシュマエル、
オベデの子アザリヤ、アダヤの子マアセヤ、ジクリの子エリシヤファテを取り、彼と契約を結んだ。

2 彼らはユダ全土を巡り、ユダのすべての町からレビ人を集め、
イスラエルの家の長たちをも集め、エルサレムに集まった。

3 そして、全会衆は神の家で王と契約を結んだ。
エホヤダは彼らに言った、
「見よ、王の子が治めるであろう、主がダビデの子たちについて語られたように。

4 これがあなたがたのすべきことです：
あなたがたのうちの三分の一は、安息日に来る祭司とレビ人で、門を守る者となるべきです。

5 三分の一は王の家に、三分の一は基礎の門にいますべきです。
そして、すべての民は主の家の庭にいますべきです。

6 しかし、祭司と奉仕するレビ人以外は、主の家に入ってはならない。
彼らは入ることができる、彼らは聖なる者だからです。
そして、すべての民は主の見張りを守るべきです。

7 レビ人は王を囲み、各々手に武器を持つべきです。
誰でもその家に入る者は死刑にされるべきです。
そして、あなたがたは王が入る時もある時も共にいるべきです。」

8 レビ人とユダのすべての者は、祭司エホヤダが命じたすべてのことに従って行った。
そして、彼らは安息日に入る者たちと、安息日に出る者たちを各々連れて行った。

歴代誌下

祭司エホヤダはどの部隊も解散させなかったからです。

9 祭司エホヤダは百人の隊長たちに、
神の家にあったダビデ王の槍と大盾、小盾を与えた。
。

10
彼はすべての民を配置し、各々手に武器を持たせ、
家の右側から左側まで、
祭壇のそばと家のそばに、王を囲んで立たせた。

11
それから彼らは王の子を連れ出し、彼に冠を置き、
証を渡し、 彼を王と宣言した。
エホヤダとその子たちは彼に油を注ぎ、「王様万歳
！」と宣言した。

12
アタルヤが人々が走り、王を祝う音を聞いたとき、
彼女は主の家に入って人々のところに行った。

13
彼女が見たとき、見よ、王は入口の柱のそばに立っ
ており、
隊長たちとラッパ吹きたちが王のそばにいた。
そして、国のすべての民は喜び、ラッパを吹いていた。
歌う者たちは楽器を持って賛美を導いていた。
するとアタルヤは衣を裂き、「反逆だ！反逆だ！」
と言った。

14
祭司エホヤダは軍隊を指揮する百人の隊長たちを呼
び出し、
彼らに言った、「彼女を隊列の間から連れ出せ。
彼女に従う者は誰でも剣で殺されるべきだ。」
祭司は言った、「彼女を主の家で殺してはならない
。」

15
彼らは彼女を捕らえ、彼女が王の家の馬の門に達し
たとき、そこで彼女を処刑した。

16
それからエホヤダは、自分とすべての民と王の間に
契約を結び、彼らが主の民となるようにした。

17
すべての民はバアルの家に行き、それを打ち壊し、
その祭壇と像を粉々にし、
バアルの祭司マタンを祭壇の前で殺した。

18
さらにエホヤダは、主の家の監督をレビの祭司たち
の手に置いた。

彼らはダビデが主の家に任命した者たちであり、
モーセの律法に書かれているように、
喜びと歌をもって主の焼き尽くす捧げ物を捧げるた
めであった。

19 彼は主の家の門に門衛を配置し、
何らかの方法で汚れた者が入らないようにした。

20
彼は百人の隊長たち、貴族たち、民の支配者たち、
国のすべての民を連れて、
王を主の家から連れ出し、
彼らは上の門を通して王の家に来た。
そして彼らは王を王座に据えた。

21
こうして国のすべての民は喜び、町は静かになった
。彼らはアタルヤを剣で殺したからである。

24 ヨアシュは7歳で王となり、エルサレムで4
0年間統治しました。彼の母はベエル・シ
ェバ出身のジビアでした。

2
ヨアシュは、祭司エホヤダの生涯を通じて、主の目
にかなう正しい行いをしました。

3
エホヤダは彼のために二つの結婚を取り決め、彼は
息子と娘をもうけました。

4
これらの出来事の後、ヨアシュは主の神殿を修復す
ることを決意しました。

5 彼は祭司とレビ人を集めて言いました、
「ユダの町々に出て行き、毎年イスラエル全体から
あなたがたの神の家を修理するための金を集めなさい。
そして迅速にその仕事をしなさい。」
しかしレビ人たちは迅速に行動しませんでした。

6
そこで王は大祭司エホヤダを呼び寄せて言いました
、
「なぜあなたはレビ人たちに、主のしもべモーセが
証の幕屋のために定めた徴収をユダとエルサレムから
持って来るように要求しなかったのですか？」

7
悪しきアタリヤの息子たちが神の神殿に押し入り、

歴代誌下

主の家の聖なる物をバアルのために使ったからです

。

8

そこで王は命じ、彼らは一つの箱を作り、主の神殿の門の外に置きました。

9

そしてユダとエルサレムに告示を出し、モーセが荒野でイスラエルに課した徴収を主に持って来るようにしました。

10

すべての役人とすべての民は喜び、彼らの貢ぎ物を持って来て、箱に入れました。それが終わるまで続けました。

11

レビ人が箱を王の役人のところに持って来るたびに、多くの金があるのを見ると、王の書記と大祭司の役人が来て箱を空にし、それを持ち帰って元の場所に戻しました。彼らはこれを日々行い、多くの金を集めました。

12

王とエホヤダはそれを主の家の奉仕の仕事をする者たちに渡しました。

彼らは主の家を修復するために石工や大工を雇い、また鉄と青銅の職人を雇って主の家を修理しました。

13

こうして職人たちは働き、修復の仕事は彼らの手で進み、彼らは神の家をその仕様に従って修復し、それを強化しました。

14

彼らが終わったとき、残りの金を王とエホヤダの前に持って来ました。それは主の家のための器具、奉仕のための器具、燔祭のための器具、金と銀の器具に作られました。そして彼らはエホヤダの生涯のすべての日に、主の家で絶えず燔祭を捧げました。

15

しかしエホヤダは年を取り、満ち足りて死にました。彼は死んだとき130歳でした。

16

彼らは彼をダビデの町に王たちの間に葬りました。彼はイスラエルと神とその家のために良いことをしたからです。

17

しかし、エホヤダの死後、ユダの役人たちが来て王にひれ伏し、王は彼らの助言を聞き入れました。

18

彼らは父祖の神、主の家を捨て、アシェラ像や偶像に仕えました。それでこの罪のためにユダとエルサレムに怒りが下りました。

19

それにもかかわらず、預言者たちが彼らを主に戻すために送られました。彼らは彼らに対して証言しましたが、彼らは聞き入れませんでした。

20

その時、神の霊が祭司エホヤダの子ゼカリヤに臨み、彼は民の上に立って彼らに言いました、「神がこう言われる、『なぜあなたたちは主の命令を破り、榮えることがないのか。あなたたちが主を捨てたので、主もあなたたちを捨てたのだ。』」

21

それで彼らは彼に対して陰謀を企て、王の命令で彼を主の神殿の庭で石打ちにして殺しました。

22

こうしてヨアシュ王は、彼の父エホヤダが彼に示した親切を思い出さず、彼の息子を殺しました。彼が死に際に言ったのは、「主が見て、報復されますように！」でした。

23

年の初めに、アラム人の軍勢がヨアシュに対して攻め上り、彼らはユダとエルサレムに来て、民の中からすべての役人を滅ぼし、そのすべての戦利品をダマスコの王に送りました。

24

実際、アラム人の軍勢は少数の人々と共に来ましたが、主は非常に大きな軍勢を彼らに渡しました。彼らが父祖の神、主を捨てたからです。それで彼らはヨアシュに対して裁きを行いました。

25

彼らが彼を残したときー彼を非常に病気のままにしてー彼の自分のしもべたちが、祭司エホヤダの子の血のために彼に対して陰謀を企て、彼を寢床で殺しました。彼は死に、彼らは彼をダビ

歴代誌下

デの町に葬りましたが、王たちの墓には葬りませんでした。

26 彼に対して陰謀を企てたのは次の者たちでした：アモン人の女シメアテの子ザバドと、モアブ人の女シムリテの子エホザバド。

27 彼の息子たち、彼に対する多くの託宣、そして神の家の修復については、見よ、それらは『王たちの書』の論文に書かれています。

その後、彼の息子アマツヤが彼の代わりに王となりました。

25 アマツヤは二十五歳で王となり、エルサレムで二十九年間統治した。
彼の母はエルサレムのヨアダンであった。

2 彼は主の目にかなうことを行ったが、心を尽くしてではなかった。

3 さて、王国が彼の手中にしっかりと収まるとすぐに、彼は父である王を殺した家来たちを処刑した。

4 しかし、彼はその子たちを処刑せず、モーセの書に書かれている律法に従って行動した。
主が命じられたように、
「父は子のために死に、子は父のために死ぬことはない。それぞれ自分の罪のために死ぬべきである。」

5 さらに、アマツヤはユダを集め、ユダとベニヤミン全土に千人隊と百人隊の指揮官の下に父の家ごとに彼らを任命した。そして二十歳以上の者を救え、戦いに出て槍と盾を扱うことのできる選ばれた者三十万人を見出した。

6 彼はまた、イスラエルから勇敢な戦士十万人を銀百タラントで雇った。

7 しかし、神の人が彼に来て言った、
「王よ、イスラエルの軍をあなたと共に行かせてはなりません。
主はイスラエルと共におられず、エフライムの子孫の誰とも共におられません。」

8 しかし、もし行くなら、行って戦いに強くあれ。しかし神はあなたを敵の前で倒されるでしょう。

神は助ける力も倒す力も持っておられるからです。」

9 アマツヤは神の人に言った、
「しかし、イスラエルの軍に与えた百タラントはどうすればよいのですか？」
神の人は答えた、
「主はこれよりも多くをあなたに与えることができます。」

10 それでアマツヤはエフライムから彼のもとにきた軍を解散させ、
帰らせた。すると彼らはユダに対して激怒し、激しい怒りを抱いて帰った。

11 さて、アマツヤは勇気を奮い立たせて民を率いて出て、
塩の谷に行き、セイルの子孫一万人を打ち倒した。

12 ユダの子たちはまた一万人を生け捕りにし、彼らを崖の頂上に連れて行き、
崖の頂上から投げ落として、彼らを粉々にした。

13 しかし、アマツヤが送り返した軍、彼と共に戦に行かなかった者たちは、
サマリアからベト・ホロンまでユダの町々を襲い、
三千人を打ち、非常に多くの戦利品を略奪した。

14 アマツヤがエドム人を打ち破って帰った後、
彼はセイルの子孫の神々を持ち帰り、自分の神々として立て、それらの前にひれ伏し、香をたいた。

15 すると主の怒りがアマツヤに対して燃え上がり、彼に預言者を送って言わせた、
「あなたの手から自分の民を救わなかった民の神々をなぜ求めたのか？」

16 彼が話していると、王は言った、
「誰があなたを王の相談役に任命したのか？ 話すのをやめよ！ さもないと打たれるぞ！」
すると預言者はやめて言った、
「あなたがこれを行い、私の助言に耳を傾けなかったので、神があなたを滅ぼす計画を立てていることを私は知っている。」

17 それからユダの王アマツヤは相談し、イスラエルの王エホアハズの子、エヒウの子、ヨアシュに使者を送り、

歴代誌下

「来て、私たちが戦いで顔を合わせよう」と言った。
。

18
しかし、イスラエルの王ヨアシュはユダの王アマツヤに返事を送り、
「レバノンにいたいばらがレバノンにいた杉に使者を送り、
『あなたの娘を私の息子に嫁がせよ』」と言った。
しかし、レバノンにいた野の獣が通りかかり、いばらを踏みつけた。

19
あなたは言った、『見よ、エドムを征服した』と。
そしてあなたの心は誇りに満ちている。
今、家に留まれ。なぜあなたが災いを招き、自分と共にユダをも滅ぼすことになるのか？」

20
しかし、アマツヤは聞き入れなかった。これは神から出たことであり、
彼らがエドムの神々を求めたために、神が彼らを引き渡すためであった。

21
それでイスラエルの王ヨアシュは上って行き、彼とユダの王アマツヤはユダに属するベト・シェメシュで顔を合わせた。

22
そしてユダはイスラエルに打ち負かされ、各々自分の天幕に逃げた。

23
それからイスラエルの王ヨアシュはユダの王アマツヤ、ヨアシュの子、エホアハズの子を捕らえ、
ベト・シェメシュで捕らえ、エルサレムに連れて行き、
エフライムの門から角の門まで、エルサレムの城壁を四百キュビトにわたって壊した。

24
そして彼はオベデ・エドムと共に神の家にあつたすべての金、銀、器具、
王の家の宝物、さらに人質も取り、サマリアに帰った。

25
ユダの王ヨアシュの子アマツヤは、イスラエルの王エホアハズの子ヨアシュの死後、十五年間生き続けた。

26
さて、アマツヤの最初から最後まででの行為の残りは

、見よ、ユダとイスラエルの王の書に書かれているではないか。

27
アマツヤが主に従うことをやめた時から、
彼に対してエルサレムで陰謀が企てられ、彼はラキシシュに逃げた。
しかし、彼らはラキシシュに人を送り、そこで彼を殺した。

28
その後、彼らは彼を馬に乗せて戻し、ユダの町にある彼の先祖と共に葬った。

26
ユダの民はウジヤを選び、彼が十六歳の時に父アマツヤに代わって王とした。

2
彼はエロトを再建し、王が先祖と共に眠った後にそれをユダに戻した。

3
ウジヤは十六歳で王となり、エルサレムで五十二年間治めた。彼の母の名はエルサレムのエコリヤであった。

4
彼は父アマツヤが行ったすべてに従い、主の目に正しいことを行なった。

5
彼はゼカリヤの時代に神を求め続けた。ゼカリヤは神の幻を通して洞察を持っていた。彼が主を求める限り、神は彼に成功を与えた。

6
彼は出て行き、ペリシテ人と戦い、ガテの壁、ヤブネの壁、アシュドドの壁を破壊した。そして彼はアシュドドとペリシテ人の間に都市を建設した。

7
神はペリシテ人に対して、グルバアルに住むアラブ人とメウニム人に対して彼を支えた。

8
アンモン人もまたウジヤに貢ぎ物をし、彼の名声はエジプトの国境にまで広がった。彼は非常に強大になったからである。

9
さらに、ウジヤはエルサレムにおいて角門、谷門、角の支えに塔を建て、それらを強化した。

10
彼は荒野に塔を建設し、多くの井戸を掘った。彼は低地と平野に多くの家畜を持っていたからである。

歴代誌下

彼はまた、山地と肥沃な土地に農夫と葡萄園の管理者を持っていた。彼は土を愛していたからである。

11

さらに、ウジヤは戦いに備えた軍隊を持っていた。彼らは書記エイエルと役人マアセヤによって記録された召集の数に従って部隊ごとに戦闘に参加した。これらは王の役人ハナニヤの指示の下であった。

12

家族の指導者、勇敢な戦士の総数は**2,600**人であった。

13

彼らの指揮下には、王を敵に対して助けるために大いなる力を持って戦うことのできる**307,500**人の強力な軍隊があった。

14

さらに、ウジヤは全軍に盾、槍、兜、鎧、弓、投石器を装備させた。

15

彼はエルサレムで塔や角に置くための巧妙に設計された装置を作り、矢や大石を射るためのものであった。彼の名声は速くまで広がった。彼は強くなるまで驚くべき助けを受けたからである。

16

しかし、彼が強くなると、その心は高ぶり、彼の没落を招いた。彼は彼の神、主に対して不忠実であり、香を焚くために主の神殿に入った。

17

その時、祭司アザリヤが彼に従い、主の祭司である勇敢な八十人の者たちが彼と共にいた。

18

彼らはウジヤ王に対抗して言った。「ウジヤよ、あなたが主に香を焚くことは許されていない。それは香を焚くために聖別されたアロンの子孫である祭司たちのためである。聖所を去りなさい。あなたは不忠実であり、主なる神からの栄誉を受けることはない。」

19

しかし、ウジヤは香を焚くための香炉を手にして怒った。そして彼が祭司たちに怒っている間に、彼の額にらい病が現れた。それは主の家の香の祭壇のそばで祭司たちの前であった。

20

祭司長アザリヤとすべての祭司たちが彼を見たとき

、彼の額にらい病があるのを見て、彼を急いでそこから追い出した。彼自身もまた急いで去った。主が彼を打たれたからである。

21

ウジヤ王は死ぬ日までらい病を患っていた。そして彼はらい病を患っていたため、別の家に住んでいた。彼は主の家から切り離されていた。そして彼の息子ヨタムが王の家を管理し、地の民を裁いていた。

22

ウジヤのその他の行いは、初めから終わりまで、預言者アモツの子イザヤによって記録された。

23

こうしてウジヤは先祖と共に眠り、彼らは彼を王たちの墓に属する畑に彼の父たちと共に葬った。彼らは「彼はらい病を患っている」と言った。そして彼の息子ヨタムが彼に代わって王となった。

27 ヨタムは**25**歳で王となり、エルサレムで**16**年間統治しました。彼の母はザドクの娘エルシャでありました。

。

2

彼は父ウジヤが行ったすべてに従って、主の目に正しいことを行いました。しかし、彼は主の神殿に入ることはありませんでした。しかし、人々は依然として腐敗した行動を続けました。

3

彼は主の家の上の門を建設し、オフエルの壁を大いに強化しました。

4

さらに、彼はユダの山地に都市を建設し、森林地帯に要塞と塔を建てました。

5

彼はアンモン人の王と戦い、彼らに勝利しました。その年、アンモン人は彼に銀**100**タラント、小麦**1**万コル、大麦**1**万コルを与えました。アンモン人は第**2**年と第**3**年にもこの額を支払いました。

6

こうしてヨタムは強力になりました。彼は主なる彼の神の前で自分の道を整えたからです。

7

ヨタムのその他の行為、すべての戦争と彼の行動は

歴代誌下

、見よ、イスラエルとユダの王の書に書かれています。

8
彼は25歳で王となり、エルサレムで16年間統治しました。

9
ヨタムは彼の先祖と共に眠り、彼らは彼をダビデの町に葬りました。
彼の息子アハズが彼の後を継いで王となりました。

28
アハズは二十歳で王となり、エルサレムで十六年間王として統治しました。
彼は父ダビデが行ったように、主の目にかなうことを行いませんでした。

2
むしろ、彼はイスラエルの王たちの道を歩み、バアルのために鋳造した像を作りました。

3
さらに、彼はベン・ヒノムの谷で香を焚き、その息子たちを火で焼きました。これは、主がイスラエルの子らの前から追い払った国々の忌まわしい行為に従ったものでした。

4
彼は高き所、丘の上、すべての青々とした木の下で犠牲を捧げ、香を焚きました。

5
それゆえ、彼の神である主は彼をアラムの王の手に渡されました。
彼らは彼を打ち負かし、多くの民をダマスカスに捕虜として連れて行きました。
また、彼はイスラエルの王の手にも渡され、彼に大敗を与えられました。

6
レマリヤの子ペカは、一日でユダの十二万人を殺しました。
これは、彼らが父祖の神である主を捨てたからです。

7
エフライムの勇士ジクリは、王の子マアセヤ、家の長アズリカム、王に次ぐ者エルカナを殺しました。

8
イスラエルの子らは彼らの兄弟である二十万人の女性、息子、娘を捕虜として連れ去り、多くの戦利品を彼らから奪い、サマリアに持ち帰りました。

9
しかし、主の預言者オデデがそこにいました。彼はサマリアに戻る軍隊に近づき、彼らに言いました。

「見よ、あなたたちの祖先の神である主がユダに怒っておられるため、彼らをあなたたちの手に渡されたのです。あなたたちは天に達するほどの激怒で彼らを殺しました。」

10
そして今、あなたたちはユダとエルサレムの子らを男奴隷、女奴隷として自分たちのものにしようとしていますか？

見よ、あなたたちもまたあなたたちの神である主の前で罪を犯しているではありませんか？

11
今、私の言うことを聞いて、あなたたちの兄弟から捕らえた捕虜を返しなさい。
主の激しい怒りがあなたたちに向かっています。」

12
すると、エフライムの子らの指導者の一部、ヨハナンの子アザリヤ、メシレモテの子ベレキヤ、シャルムの子エヒズキヤ、ハドライの子アマサが立ち上がり、戦いから戻ってくる者たちに反対しました。

13
彼らは彼らに言いました。
「捕虜をここに連れて来てはなりません。
あなたたちは主に対する罪を私たちに加えようとしています。私たちの罪と咎を増やしています。
私たちの罪は大きく、主の激しい怒りがイスラエルに向かっています。」

14
それで、武装した男たちは捕虜と戦利品を役人と全会衆の前に残しました。

15
その後、名を挙げられた人々が立ち上がり、捕虜を引き取り、戦利品から裸の者全員に衣服を与え、衣服とサンダルを与え、食べ物と飲み物を与え、油で彼らを癒し、
疲れた者をすべてロバに乗せ、彼らの兄弟のもとへ、エリコ、すなわち棕櫚の町に連れて行きました。
その後、彼らはサマリアに戻りました。

16
その期間中、アハズ王はアッシリアの王たちに助けを求めました。

歴代誌下

17

再びエドム人が来てユダを攻撃し、捕虜を連れ去りました。

18

また、バシテ人もユダの低地とネゲブの町々に侵入し、

ベテ・シェメシュ、アヤロン、ゲデロト、ソコとその村々、ティムナとその村々、ギムゾとその村々を奪い、そこに住み着きました。

19

主はイスラエルの王アハズのためにユダを低くされました。

彼はユダに混乱をもたらし、主に非常に不忠実でした。

20

それで、アッシリアの王ティルガト・ビルネセルが彼に対して来て、彼を支援するのではなく圧迫しました。

21 アハズは主の家、王の家、役人から一部を取り、アッシリアの王に与えましたが、それは彼を助けませんでした。

22

彼の苦難の時、この同じアハズ王はさらに主に不忠実になりました。

23

彼は彼を打ち負かしたダマスカスの神々に犠牲を捧げ、言いました。

「アラムの王たちの神々が彼らを助けたので、私は彼らに犠牲を捧げて、彼らが私を助けるようにします。」

しかし、それらは彼とイスラエル全体の破滅となりました。

24

さらに、アハズは神の家の器具を集め、神の家の器具を切り刻み、主の家の扉を閉じ、エルサレムのすべての角に自分のために祭壇を作りました。

25

ユダのすべての町において、彼は他の神々に香を焚くための高き所を設け、彼の父祖の神である主を怒らせました。

26

彼の行ったその他の行為とすべての業績については、最初から最後まで、見よ、それらはユダとイスラエルの王たちの書に記録されています。

27

アハズはその父たちと共に眠りにつき、彼らは彼をエルサレムの町に葬りました。

しかし、彼をイスラエルの王たちの墓に入れませんでした。

彼の子ヒゼキヤが彼の代わりに王となりました。

29

ヒゼキヤは二十五歳で王となり、エルサレムで二十九年間統治しました。

彼の母はゼカリヤの娘アビヤと名付けられていました。

彼は先祖ダビデの例に従って、主の目に正しいことを行いました。

3

彼の治世の最初の年の第一月に、彼は主の家の扉を再び開き、それらを修復しました。

彼は祭司とレビ人を召集し、東側の公衆広場に彼らを集めました。

5 そして彼は彼らに言いました、「レビ人たちよ、私の言うことを聞きなさい。今、あなたたち自身を聖別し、あなたたちの父祖の神、主の家を聖別し、聖なる場所から不浄なものを取り除きなさい。」

私たちの父たちは不忠実であり、私たちの神、主の目に悪を行い、

彼を捨て、主の住まいから顔を背け、背を向けました。7 彼らはまた、玄関の扉を閉じ、灯火を消し、イスラエルの神に聖所で香を焚くことも燔祭を捧げることもしていませんでした。

8 それゆえ、主の怒りがユダとエルサレムに向けられ、

あなたたちが自分の目で見ているように、彼らを恐怖、恐れ、嘲笑の対象とされました。

9 実際、私たちの父たちは剣に倒れ、私たちの息子、娘、妻たちはこのために捕囚の身となっています。

10

今、私はイスラエルの神、主と契約を結ぶことを決意しています。それは彼の激しい怒りが私たちから離れるためです。

11 私の子たちよ、今怠けてはなりません。主はあなたたちを選び、彼の前に立ち、彼に仕え、彼の奉仕者となり、香を捧げるために選ばれたのです。」

12

するとレビ人たちが立ち上がった。アマサイの子マハテとアザリヤの子ヨエル、

コハテ族の子孫からは、

メラリ族の子孫からは、アブディの子キシュとエ

ハレルエルの子アザリヤ、

ゲルシオン族からは、ジンマの子ヨアとヨアの子

歴代誌下

エデン。¹³
エリツァファンの子孫からは、シムリとエイエル、
アサフの子孫からは、ゼカリヤとマタニヤ。¹⁴
ヘマンの子孫からは、エヒエルとシメイ、
エドトンの子孫からは、シマヤとウジェル。

¹⁵ 彼らは兄弟たちを集め、自分たちを聖別し、
王の命令に従って主の言葉により、主の家を清めに入りました。¹⁶
それで祭司たちは主の家の内側に入り、それを清め、
彼らが主の宮で見つけたすべての不浄なものを主の家の庭に持ち出しました。
そしてレビ人たちはそれを受け取り、キデロン谷に持ち出しました。¹⁷
彼らは第一月の初日に聖別を始め、
月の八日目に主の玄関に入りました。
それから彼らは八日間で主の家を聖別し、第一月の十六日に終わりました。

¹⁸ それから彼らはヒゼキヤ王のもとに行き言いました、
「私たちは主の家全体、燔祭の祭壇とそのすべての器具、
そして供えのパンの机とそのすべての器具を清めました。¹⁹
さらに、アハズ王がその不忠実な治世中に捨てたすべての器具を、
私たちは準備し聖別しました。そして見よ、それらは主の祭壇の前にあります。」

²⁰ それからヒゼキヤ王は早朝に起き、町の首長たちを集め、主の家に上りました。²¹
彼らは王国、聖所、ユダのために罪のための捧げ物として七頭の雄牛、七頭の雄羊、七頭の子羊、七頭の雄山羊を持ってきました。
そして彼は祭司たち、アロンの子らにそれらを主の祭壇で捧げるよう命じました。²²
それで彼らは雄牛を屠り、祭司たちはその血を取って祭壇に振りかけました。
彼らは同様に雄羊を屠り、血を祭壇に振りかけました。
次に子羊を屠り、血を祭壇に振りかけました。²³
それから彼らは罪のための捧げ物として雄山羊を王と集会の前に持ってきて、
彼らはその上に手を置きました。²⁴
そして祭司たちはそれらを屠り、その血で祭壇を清め、全イスラエルのために贖いをしました。

なぜなら、王が全イスラエルのために燔祭と罪のための捧げ物を命じたからです。

²⁵ 彼はまた、レビ人たちをシンバル、ハーブ、リラを持って主の家に配置しました。
これはダビデと王の先見者ガド、預言者ナタンの命令によるものでした。
その命令は主から預言者たちを通して出たものでした。²⁶
そしてレビ人たちはダビデの楽器を持ってその場所に立ち、祭司たちはラッパを持って立ちました。

²⁷ それからヒゼキヤは燔祭を祭壇で捧げるよう命じました。
燔祭が始まると、主への歌もラッパと共に始まり、イスラエルの王ダビデの楽器に合わせて演奏されました。²⁸
それで全会衆が礼拝し、歌う者たちは歌い、ラッパは鳴り響きました。これらすべては燔祭が終わるまで続けました。

²⁹ 燔祭が終わったとき、王と彼と共にいたすべての者はひざまずいて礼拝しました。³⁰
さらに、ヒゼキヤ王と役人たちはレビ人にダビデと先見者アサフの言葉で主を賛美するよう命じました。
それで彼らは喜びをもって賛美し、ひざまずいて礼拝しました。

³¹ それからヒゼキヤは応じて言いました、「今、あなたたちは主に自分たちを聖別したので、近づいて主の家に犠牲と感謝の捧げ物を持ってきなさい。」
それで会衆は犠牲と感謝の捧げ物を持ってき、進んで燔祭を持ってきた者もいました。

³² 会衆は燔祭として七十頭の雄牛、百頭の雄羊、二百頭の子羊を持ってきました。
これらすべては主への燔祭でした。³³
そして捧げ物として分けられたものは六百頭の雄牛と三千頭の羊でした。³⁴
しかし祭司たちは少なかったため、すべての燔祭の皮を剥ぐことができませんでした。
それで彼らの兄弟であるレビ人たちが仕事が完了するまで、また祭司たちが自分たちを聖別するまで助けました。
レビ人たちは祭司たちよりも自分たちを聖別することに熱心でした。³⁵

歴代誌下

また、平和の捧げ物の脂肪と燔祭のための飲み物の捧げ物と共に、多くの燔祭がありました。

こうして、主の家の奉仕が再び確立されました。³⁶ それからヒゼキヤとすべての民は、神が民のために準備されたことを喜びました。なぜなら、それが突然起こったからです。

30 ヒゼキヤはイスラエルとユダのすべての人々に知らせを送り、またエフライムとマナセにも手紙を書いて、

エルサレムの主の家に来て、イスラエルの神、主の過越を祝うように招いた。²

王とその高官たち、およびエルサレムにいるすべての会衆は、第二の月に過越を守ることを決めた。³ その時にはそれを祝うことができなかったからである。なぜなら、十分な数の祭司が自分を聖別しておらず、民もエルサレムに集まっていなかったからである。⁴

この決定は王とすべての会衆の目に正しいと映った。⁵

それで彼らは、ベエルシェバからダンに至るまで、イスラエル全土に告知を巡らせ、エルサレムでイスラエルの神、主の過越を祝うために来るようにと布告を設けた。

彼らはそれを多くの人数で祝っていなかったからである。

⁶ 使者たちは王とその高官たちの手からの手紙を持ってイスラエルとユダを巡り、王の命令に従って言った。

「イスラエルの子らよ、アブラハム、イサク、イスラエルの神、主に帰れ。

そうすれば、アッシリアの王たちの手から逃れたあなたがたの残りの者に、主が帰って来られる。⁷ あなたがたの父たちや兄弟たちのようになってはならない。

彼らは父たちの神、主に不忠実であったため、主は彼らを恐ろしいものとされた。それはあなたがたが見ているとおりである。⁸

今、あなたがたの父たちのように頑固になってはならない。

むしろ主に従い、主が永遠に聖別されたその聖所に入り、

あなたがたの神、主に仕えなさい。そうすれば、主の燃える怒りがあなたがたから離れる。⁹

もし主に帰るなら、あなたがたの兄弟や息子たちは捕囚から彼らを連れ去った者たちから憐れみを受け、この地に帰って来

る。

あなたがたの神、主は恵み深く、憐れみ深い方であり、もし主に帰るなら、その顔をあなたがたから背けられない。」

¹⁰

それで使者たちはエフライムとマナセの地を巡り、ゼブルンに至るまで町から町へと通ったが、彼らは嘲笑と侮辱を受けた。¹¹

しかし、アシエル、マナセ、ゼブルンの一部の者たちは自らを低くし、エルサレムに来了。¹²

神はまたユダの人々の心を動かし、王と高官たちの命令に従って、主の言葉に従うように彼らを一つにした。

¹³

さて、非常に多くの会衆が第二の月に種なしパンの祭りを祝うためにエルサレムに集まった。¹⁴

彼らは立ち上がり、エルサレムにあった祭壇を取り除き、

またすべての香の祭壇を取り去って、キドロンの谷に投げ捨てた。

¹⁵

それから彼らは第二の月の十四日に過越の小羊を屠った。

祭司とレビ人は自らを恥じて、聖別し、主の家に燔祭を持って来た。¹⁶

彼らは神の人モーセの律法に従って、自分たちの位置に立ち、

祭司たちはレビ人の手から受け取った血を振りかけた。¹⁷

会衆の中には多くの者が自らを聖別していなかったので、

レビ人が汚れたすべての者のために過越の小羊を屠り、彼らを主に聖別する責任を負った。¹⁸

エフライム、マナセ、イッサカル、ゼブルンから多くの人々が自らを清めずに過越を食べた。

それは書かれていることに反していた。

ヒゼキヤは彼らのために祈り、

「良い主が赦してくださいますように」と言った。

¹⁹ 「その心を定めて神を求めるすべての者、その父たちの神、主を求める者を、たとえ聖所の清めの規定に従っていなくても。」²⁰

それで主はヒゼキヤの祈りを聞き、民を癒された。

²¹

エルサレムにいたイスラエルの子らは、種なしパンの祭りを七日間、大いに喜びながら祝った。

レビ人と祭司たちは日ごとに主を大声で賛美した。

歴代誌下

22

その後、ヒゼキヤは主の事柄において良い洞察を示したすべてのレビ人に励ましの言葉をかけた。彼らは定められた七日間を食べ、和解のいけにえを捧げ、彼らの父たちの神、主に感謝を捧げた。

23

それから会衆全体はさらに七日間祭りを祝うことを決め、彼らは喜びをもってさらに七日間を祝った。²⁴ ユダの王ヒゼキヤは会衆のために千頭の牛と七千頭の羊を提供し、指導者たちは会衆のために千頭の牛と一万頭の羊を提供した。

そして多くの祭司たちが自らを聖別した。²⁵ ユダの全会衆は、祭司、レビ人、イスラエルから来たすべての者、およびイスラエルの地から来た外国人とユダに住む者たちと共に喜んだ。²⁶

それでエルサレムには大いなる喜びがあった。このような出来事は、イスラエルの王ダビデの子ソロモンの時代以来、エルサレムで起こったことがなかったからである。²⁷ それからレビ人の祭司たちは立ち上がり、民を祝福した。

彼らの声は聞かれ、その祈りは主の聖なる住まい、天に届いた。

31 これらすべてが終わったとき、そこにいたイスラエルの全員はユダの町々に出て行き、

記念碑を打ち砕き、アシェラ像を切り倒し、ユダとベニヤミン全土、エフライムとマナセに至るまで、高き所と祭壇を取り壊した。それからイスラエルの子らは皆、自分の所有地に戻った。

2

ヒゼキヤは祭司とレビ人の分団を、その奉仕に従って任命し、祭司とレビ人の両方が、焼き尽くす献げ物と和解の献げ物を捧げ、主の陣営の門で感謝し、賛美するためであった。³ 彼はまた、王の財産の一部を焼き尽くす献げ物のために割り当て、すなわち、朝と夕の焼き尽くす献げ物、安息日、新月、定められた祭りのための焼き尽くす献げ物を、主の律法に書かれている通りに行った。⁴ 彼はまた、エルサレムに住む人々に、祭司とレビ人に与えるべき分を渡すように命じ、

彼らが主の律法に専念できるようにした。⁵

命令が広まるとすぐに、イスラエルの子らは穀物、新しいぶどう酒、油、蜂蜜の初穂を惜しみなく提供し、畑のすべての産物を持ち寄り、すべてのものの十分の一を豊かに持ち込んだ。⁶ ユダの町々に住むイスラエルとユダの民もまた、牛と羊の十分の一、主なる彼らの神に捧げられた聖なる献げ物の十分の一を持ち込み、山積みにした。⁷ 彼らは三月に山積みを集め始め、七月までにそれを完成させた。⁸

ヒゼキヤと指導者たちが来て、その山積みを見たとき、彼らは主とその民イスラエルを賛美した。

9

それからヒゼキヤは祭司とレビ人にその山積みについて尋ねた。¹⁰

ザドクの家の大祭司アザリヤは彼に言った、「献げ物が主の家に持ち込まれ始めて以来、私たちは食べるのに十分で、余りがたくさんあります。主がその民を祝福されたので、この豊かさが残っています。」

11

それからヒゼキヤは彼らに主の家に部屋を用意するように指示し、彼らはそれを整えた。¹² 彼らは忠実に献げ物、十分の一、奉納物を持ち込み、

レビ人のコナニヤがそれを管理する役人であり、彼の兄弟シメイが次席であった。¹³

コナニヤと彼の兄弟シメイの下には、エヒエル、アザザヤ、ナハテ、アサヘル、エリモテ、ヨザバデ、エリエル、イスマキヤ、マハテ、ペナヤが監督として任命され、アザリヤが神の家の主な役人として仕えた。

¹⁴ 東門の守衛であるレビ人イムナの子コレは、神への自発的な献げ物を管理し、主への献げ物と最も聖なるものを分配する役割を担っていた。¹⁵

彼の管理下には、祭司の町々にいるエデン、ミニアミン、ヨシュア、シマヤ、アマリヤ、シェカニヤがいて、彼らの兄弟にその分を忠実に分配していた。

¹⁶ 家系に関係なく、三十歳以上の男性に対して—主の家に入って日々の義務を果たすすべての者に—その職務に従って分配された。¹⁷ 祭司の家系による登録、および二十歳以上のレビ人の職務とその分団による

歴代誌下

登録が行われた。¹⁸
彼らの小さな子供たち、妻、息子、娘のすべての登録が行われ、
彼らは聖なるものとして忠実に身を捧げた。

¹⁹
また、アロンの子孫である祭司たちのために、彼らの町の牧草地や各都市において、
祭司のすべての男性と家系に登録されたレビ人に分配するために名を指定された人々がいた。

²⁰ これはヒゼキヤがユダ全土で行ったことであり、彼は主なる彼の神の前で良く、正しく、真実に行動した。²¹
彼が神の家の奉仕、律法、戒めにおいて始めたすべての仕事は、
彼の神を求め、心を尽くして行い、成功した。

32 これらの忠実な行いの後、アッシリアの王セナケリブが来てユダを侵略し、
要塞化された町々に対して陣を張り、自分のためにそれらを破ろうとした。²
ヒゼキヤはセナケリブが来てエルサレムに対して戦争をしようとしていることを知ったとき、³
彼は役人たちや戦士たちと相談して、町の外にある泉の水源を塞ぐことに決め、彼らは彼を助けた。⁴
それで、多くの人々が集まり、すべての泉と地を流れる川を塞ぎ、言った、
「なぜアッシリアの王たちが来て豊富な水を見つけるべきなのか？」⁵
そして彼は勇気を出し、壊されたすべての壁を再建し、その上に塔を建て、
さらに外壁を築き、ダビデの町のミロを強化し、多くの武器と盾を作った。

⁶
ヒゼキヤは民の上に軍の指揮官を任命し、彼らを町の門の広場に集め、励ましの言葉で彼らに語った、⁷
「強く、勇敢であれ。アッシリアの王や彼と共にいる大勢の者たちを恐れたり、落胆したりしてはならない。
私たちと共にいる者は彼と共にいる者よりも偉大であるからだ。⁸
彼と共にいるのは人間の力だけだが、私たちと共にいるのは私たちの神、主であり、
私たちを助け、私たちの戦いを戦ってください。」
そして民はユダの王ヒゼキヤの言葉に頼った。

⁹
この後、アッシリアの王セナケリブは彼のしもべたちをエルサレムに送り、

彼がラクシュを全軍と共に包囲している間に、
ユダの王ヒゼキヤとエルサレムにいるすべてのユダに対して言った、

¹⁰ 「アッシリアの王セナケリブはこう言う、
『あなたが包囲されたエルサレムに留まっているのは、何を頼りにしているのか？¹¹
ヒゼキヤがあなたたちを欺いて、飢えと渇きで死ぬようにさせているのではないか、
「私たちの神、主がアッシリアの王の手から私たちを救ってくださいる」と言って。¹²
同じヒゼキヤが彼の高き所と祭壇を取り去り、
ユダとエルサレムに言った、
「あなたたちは一つの祭壇の前で礼拝し、その上で香をたくべきだ」と。

¹³
私と私の先祖が地のすべての民に対して行ったことを知らないのか？
地の国々の神々は私の手から彼らの地を救うことができたのか？¹⁴
私の先祖が完全に滅ぼしたこれらの国々の神々の中で、
誰が彼の民を私の手から救うことができたのか、
あなたたちの神が私の手からあなたたちを救うことができるだろうか？¹⁵
今、ヒゼキヤにあなたたちを欺かせたり、このように誤解させたりしないで、
彼を信じてはならない。どの国や王国の神も私の手や私の先祖の手から彼の民を救うことができなかった。
ましてやあなたたちの神が私の手からあなたたちを救うことができるだろうか？』」

¹⁶
彼のしもべたちはさらに主なる神とそのしもべヒゼキヤに対して言った。¹⁷
彼はまたイスラエルの神、主をあざげる手紙を書き、
彼に対して言った、
「地の国々の神々が彼らの民を私の手から救わなかったように、
ヒゼキヤの神も彼の民を私の手から救わないだろう。」¹⁸
彼らはユダの言葉でエルサレムの城壁にいる民に大声で叫び、
彼らを恐れさせ、怯えさせて、町を攻略しようとした。¹⁹
彼らはエルサレムの神を地の民の神々のように、人間の手の作り物として語った。

歴代誌下

20

しかし、ヒゼキヤ王とアモツの子である預言者イザヤはこれについて祈り、天に叫んだ。²¹

そして主は一人の天使を送り、アッシリアの王の陣営のすべての勇士、指揮官、将校を滅ぼした。

それで彼は恥をかって自分の国に帰った。

そして彼が彼の神の神殿に入ったとき、彼の子供たちの一部が彼を剣で殺した。

22

こうして、主はヒゼキヤとエルサレムの住民をアッシリアの王セナケリブの手から、

そして他のすべての者の手から救い、彼らを四方から導かれた。²³

そして多くの者がエルサレムで主に贈り物を持って来て、ユダの王ヒゼキヤに貴重な物を持って来たので、彼はその後、すべての国々の目に高められた。

24

その頃、ヒゼキヤは重病になり、彼は主に祈った。そして主は彼に語り、彼にしるしを与えた。²⁵

しかし、ヒゼキヤは受けた恩恵に対して適切に応じなかった。彼の心が高ぶっていたからである。それゆえ、怒りが彼とユダとエルサレムに臨んだ。²⁶

それにもかかわらず、ヒゼキヤとエルサレムの住民は自らを低くし、ヒゼキヤの生涯の間、主の怒りは彼らに臨まなかった。

27

ヒゼキヤは莫大な富と名誉を持っていた。彼は銀、金、貴石、香料、盾、あらゆる種類の貴重な品物のために宝物庫を作った。²⁸

彼はまた、穀物、ぶどう酒、油の収穫のための貯蔵施設を建設し、さまざまな種類の家畜のための避難所と羊の囲いを作った。²⁹

彼はまた自分のために町々を作り、豊富な羊と牛を手に入れた。

神が彼に非常に大きな富を与えたからである。³⁰

ギホンの上の水の出口を塞ぎ、それをダビデの町の西側に導いたのはヒゼキヤであった。

そしてヒゼキヤは彼が行ったすべてのことに成功した。³¹

バビロンの支配者たちの使者たちの件においても、彼らはその地で起こった奇跡を尋ねるために彼のもとに送られたが、神は彼を一人にしており、彼の心にあるすべてを知するために彼を試された。

32

さて、ヒゼキヤの他の行いと彼の献身の業は、見よ、アモツの子である預言者イザヤの幻に記録されており、

ユダとイスラエルの王たちの書に記されている。³³

こうしてヒゼキヤは彼の先祖たちと共に眠り、彼らは彼をダビデの子たちの墓の上部に葬った。

そしてユダとエルサレムの住民は彼の死に際して彼を敬った。

そして彼の息子マナセが彼の代わりに王となった。

33 マナセは十二歳で王となり、エルサレムで五十五年間統治した。²

彼は主の目の前で悪を行い、主がイスラエルの子らの前から追い払われた国々の忌まわしいことに従った。³

彼は父ヒゼキヤが破壊した高き所を再び建て、バアルのために祭壇を築き、アシェラ像を作り、天の万象を拜んでそれに仕えた。⁴

彼は主の家に祭壇を築いた。主はその家について、「わたしの名は永遠にエルサレムにある」と宣言された。⁵

彼は主の家の二つの庭に天の万象のための祭壇を作った。⁶

彼はまた、ベン・ヒノムの谷でその子供たちを火の中を通らせ、魔術を行い、占いをし、呪術を行い、霊媒や口寄せと交わった。

彼は主の目の前で大いに悪を行い、主を怒らせた。

⁷ 彼は自分が作った彫像を神の家に置いた。

神はダビデとその子ソロモンに言われた、

「わたしはイスラエルのすべての部族から選んだこの家とエルサレムに、わたしの名を永遠に置く。⁸

もし彼らがモーセを通じて与えられたすべての律法、掟、規定に従って、わたしが命じたすべてのことを注意深く行うならば

、わたしは彼らの足を彼らの父祖に与えた地から再び動かさない。」⁹

こうしてマナセはユダとエルサレムの住民を惑わし

、主がイスラエルの子らの前から滅ぼした国々よりもさらに多くの悪を行わせた。

10

主はマナセとその民に語られたが、彼らは耳を傾けなかった。

そのため、主はアッシリアの王の軍の指揮官たちを彼らに対して来させ、¹¹

歴代誌下

彼らはマナセを捕らえて鉤で引き、青銅の鎖で縛り、バビロンに連れて行った。¹²
彼が苦しんでいたとき、彼はその神、主をなだめようとし、
その父祖の神の前に大いにへりくだった。¹³
彼が神に祈ると、神はその願いに心を動かされ、彼の嘆願を聞き、
彼をエルサレムに戻してその王国に復帰させた。
そのとき、マナセは主が唯一の神であることを知った。

¹⁴
その後、彼はギホンの西側、谷にあるダビデの町の外壁を築き、
魚の門の入口まで、それをオフエルまで囲み、それを非常に高くした。
そして彼はユダのすべての要塞都市に軍の指揮官を置いた。¹⁵
彼はまた、主の家から異国の神々と偶像を取り除き、
主の家の山とエルサレムに築いたすべての祭壇を取り除き、それらを町の外に投げ捨てた。¹⁶
彼は主の祭壇を復興し、その上に和解のいけにえと感謝のいけにえを捧げ、
ユダにイスラエルの神、主に仕えるよう命じた。¹⁷
しかし、民はなおも高き所でいけにえを捧げたが、ただ彼らの神、主にだけであった。

¹⁸ さて、マナセのその他の行い、彼の神への祈り、イスラエルの神、主の名によって彼に語った先者たちの言葉は、
見よ、イスラエルの王たちの記録に記されている。¹⁹

また、彼の祈りと、神が彼に心を動かされたこと、彼のすべての罪、彼の不信仰、
彼が高き所を築き、アシェラ像と彫像を立てた場所、
彼がへりくだる前のことは、見よ、ホザイの記録に記されている。²⁰
こうしてマナセはその父祖たちと共に眠り、彼の家に葬られ、
その子アモンが彼に代わって王となった。

²¹
アモンは二十二歳で王となり、エルサレムで二年間統治した。²²
彼は父マナセが行ったように、主の目の前で悪を行った。
アモンは父マナセが作ったすべての彫像を拝み、それに仕えた。²³
さらに、彼は父マナセがへりくだったように主の前

にへりくだらず、アモンはその罪を増した。²⁴
最終的に、その家来たちは彼に対して陰謀を企て、彼をその家で殺した。²⁵
しかし、地の民はアモン王に対するすべての陰謀者を打ち倒し、
地の民は彼の子ヨシヤを彼に代わって王とした。

34 ヨシヤは八歳で王となり、エルサレムで三十一年間統治した。²
彼は主の目にかなうことを行い、父ダビデの道に歩み、右にも左にもそれなかった。

³
彼の治世の第八年、まだ若い時に、彼は父祖ダビデの神を求め始めた。
そして第十二年に、ユダとエルサレムを高き所、アシェラ像、彫像、鋳像から清め始めた。⁴
彼の前でバアルの祭壇を打ち壊し、
その上にあった香の祭壇を切り倒し、
アシェラ像、彫像、鋳像を粉々に砕き、
それをそれらに犠牲を捧げた者たちの墓に撒いた。⁵

彼はまた祭司たちの骨をその祭壇の上で焼き、ユダとエルサレムを清めた。⁶
マナセ、エフライム、シメオンの町々、ナフタリに至るまで、その周辺の地域で、⁷
彼はまた祭壇を打ち壊し、アシェラ像と彫像を粉々に砕き、
イスラエルの全地で香の祭壇を切り倒した。
そして彼はエルサレムに戻った。

⁸ 彼の治世の第十八年、国と神殿を清めた時、彼はアザリヤの子シャファン、町の知事マアセヤ、記録係ヨアハズの子ヨアを送り、彼の神の主の家を修理させた。

⁹
彼らは大祭司ヒルキヤのもとに行き、神の家に持ち込まれた金を渡した。
それはレビ人、門番たちがマナセとエフライム、イスラエルの残りの者、ユダとベニヤミン、エルサレムの住民から集めたものであった。¹⁰
そして彼らはそれを主の家を監督する仕事人たちの手に委ね、
主の家で働いている仕事人たちはそれを使って神殿を修復し修理した。¹¹
彼らはそれを工匠と建築者に与え、切り石と結合材の木材を買い、
ユダの王たちが荒廃させた建物の梁を作るために使った。

歴代誌下

12

人々は忠実に働き、彼らを監督する監督者たちがいた。メラリの子孫のレビ人やハテとオバデヤ、コハテの子孫ゼカリヤとメシュラム、そして楽器に熟練したすべてのレビ人。彼らはまた荷物運搬人を監督し、仕事人たちの仕事ごとに監督した。レビ人の中には書記、役人、門番もいた。

14

彼らが主の家に持ち込まれた金を持ち出しているとき、祭司ヒルキヤはモーセによって与えられた主の律法の書を見出した。ヒルキヤは書記シャファンに言った。「私は主の家で律法の書を見つけました。」そしてヒルキヤはその書をシャファンに渡した。

16

シャファンはその書を王のもとに持って行き、王に追加の情報を伝えた。「あなたのしもべたちに割り当てられたことはすべて行っています。彼らはまた主の家で見つかった金をすべて空にし、それを監督者と仕事人たちの手に渡しました。」さらに、書記シャファンは王に報告し、「祭司ヒルキヤが私に書を渡しました。」そしてシャファンは王の前でそれを読んだ。

19

律法の言葉を聞いたとき、王は自分の衣を裂いた。その後、王はヒルキヤ、シャファンの子アヒカム、ミカの子アブドン、書記シャファン、王のしもべアサヤに命じて言った。「行って、私とイスラエルとユダに残っている者のために主に伺いなさい。見つかった書の言葉について、私たちの父たちが主の言葉を守らず、この書に書かれているすべてを行わなかったため、主の怒りが私たちに注がれているのは大きい。」

22

そこで、ヒルキヤと王が任命した者たちは預言者フルダのもとに行った。彼女はトカテの子シャルムの妻で、ハスラの子であり、衣装の管理者であった。（彼女はエルサレムの第二の地区に住んでいた。）彼らはこの件について彼女に話した。

23

彼女は彼らに言った。「イスラエルの神、主がこう言われる。あなたを私に遣わした者にこう伝えなさい。『主がこう言われる。見よ、私はこの場所とその住民に災いをもたらす。ユダの王の前で読まれた書に書かれているすべての呪いを。彼らが私を捨て、他の神々に香を焚いて、彼らの手のすべての業で私を怒らせたので、私の怒りはこの場所に注がれ、消えることはない。』しかし、ユダの王が主に何うためにあなたを遣わしたことについて、彼にこう言いなさい。『イスラエルの神、主があなたが聞いた言葉についてこう言われる。あなたの心が柔らかく、神の言葉をこの場所とその住民に対して聞いたとき、あなたが神の前でへりくだり、衣を裂き、私の前で泣いたので、私は確かにあなたを聞いた』と主は言われる。『見よ、私はあなたをあなたの父たちのもとに集め、あなたは平和のうちに墓に集められる。あなたの目は私がこの場所とその住民に下すすべての災いを見ないであろう。』」そこで彼らは王に報告を持ち帰った。その後、王は使者を送り、ユダとエルサレムのすべての長老を集めた。王は主の家に上り、ユダのすべての人々、エルサレムの住民、祭司、レビ人、最も偉大な者から最も小さな者まで、彼らの聞いている中で主の家で見つかった契約の書のすべての言葉を読んだ。その後、王は自分の場所に立ち、主の前で契約を結び、主に従い、心を尽くし、魂を尽くしてその戒め、誡、掟を守り、この書に書かれている契約の言葉を実行することを誓った。さらに、彼はエルサレムとベニヤミンにいるすべての者を彼と共に立たせた。それでエルサレムの住民は、彼らの父祖の神、神の契約に従って行動した。ヨシヤはイスラエルの子孫の地からすべての忌まわしいものを取り除き、イスラエルにいるすべての者に彼らの神、主に仕え

33

歴代誌下

るように強制した。

彼の生涯を通じて、彼らは父祖の神、主に従うことをやめなかった。

35 ヨシヤはエルサレムで主のために過越を守り、

過越の動物は第一の月の十四日に犠牲として捧げられた。²

彼は祭司たちをその職務に任命し、主の家の奉仕において彼らを励ました。³

彼はイスラエル全体を教え、主に捧げられたレビ人に命じた、

「聖なる箱をダビデの子、イスラエルの王ソロモンが建てた家に置きなさい。

それはもうあなたたちの肩の負担にはならない。

今、あなたたちの神である主とその民イスラエルに仕えなさい。⁴

イスラエルの王ダビデの書き物とその子ソロモンの書き物に従って、

あなたたちの父の家ごとに、あなたたちの分に従って準備しなさい。

⁵

さらに、あなたたちの同胞、民の子らの父の家の区分に従って、⁶

聖なる場所に立ちなさい、そしてレビ人に従って、父の家の区分に従いなさい。

今、過越の動物を屠り、あなたたち自身を聖別し、モーセの手による主の言葉を実行するために、あなたたちの同胞のために準備しなさい。」

⁷ ヨシヤは民の子らに、過越の捧げ物として、その場にいたすべての者に、羊と若いヤギの群れを提供した。

その数は3万で、さらに3千の雄牛もあった。これらは王の財産からのものであった。

⁸

彼の役人たちもまた、民、祭司、レビ人に自発的な捧げ物を提供した。

ヒルキヤ、ゼカリヤ、エヒエル、神の家の役人たちは、祭司たちに過越の捧げ物として、羊の群れから**2,600**、雄牛**300**を与えた。⁹

コナニヤ、シェマヤ、ネタネル、その兄弟たち、ハシャビヤ、エヒエル、ヨザバデ、レビ人の指導者たちは、レビ人に過越の捧げ物として、羊の群れから**5,000**、雄牛**500**を提供した。

¹⁰

こうして奉仕が整えられ、祭司たちはその位置に立ち、¹¹

レビ人は王の命令に従ってその分に従った。

彼らは過越の動物を屠り、祭司たちは受け取った血を振りかけ、¹²

それから彼らは焼き尽くす捧げ物を取り除き、それを民の子らの父の家の区分に渡して主に捧げた。¹³

これはモーセの書に書かれている通りである。彼らは雄牛についても同様に行った。¹⁴

それで彼らは過越の動物を規定に従って火で焼き、聖なるものを鍋、釜、平鍋で煮て、

すべての民の子らに速やかに運んだ。¹⁵

その後、彼らは自分たちと祭司たちのために準備した。

祭司たち、アロンの子らは、夜まで焼き尽くす捧げ物と脂肪を捧げることに専念していたからである。

こうしてレビ人は自分たちと祭司たち、アロンの子らのために準備した。

¹⁶

歌う者たち、アサフの子らは、ダビデの命令に従ってその位置にいた。

アサフ、ヘマン、王の先見者エドトン、そして門衛たちは各門にいた。

彼らはその奉仕を離れる必要がなかった。レビ人である同胞たちが彼らのために準備したからである。

¹⁷ こうしてその日に主のすべての奉仕が整えられ、過越を守り、ヨシヤ王の命令に従って主の祭壇に焼き尽くす捧げ物を捧げた。

そしてその時、そこにいたイスラエルの子らは過越を守り、¹⁸

七日間の種なしパンの祭りを守った。サムエル預言者の時代以来、イスラエルにはこのような過越はなかった。

また、ヨシヤが祭司たち、レビ人、そこにいたユダとイスラエルのすべての者、エルサレムの住民と共に行ったような過越を守ったイスラエルの王たちはいなかった。¹⁹

この過越はヨシヤの治世の十八年目に守られた。

²⁰ これらすべての後、ヨシヤが神殿を整えたとき、エジプトの王ネコがエウフラテスのカルケミシュで戦争を仕掛けて来た。

そしてヨシヤは彼に立ち向かうために出て行った。

²¹ しかしネコは彼に使者を送り、言った、「ユダの王よ、我々が互いに何の関係があるのか。私は今日あなたに対して来たのではなく、私が戦っている家に対して来たのだ。

そして神は私に急ぐように言われた。あなた自身のために、私と共にいる神を妨げることをやめなさい。

さもないと、彼があなたを滅ぼすことになる。」

歴代誌下

22

しかし、ヨシヤは彼から退こうとせず、彼と戦うために変装した。
彼は神の口からのネコの言葉を聞かず、
メギドの平原で彼と戦うために出て行った。

23

そして弓兵たちはヨシヤ王を射た。王はその家来たちに言った、

「私を連れ出してくれ、私は重傷を負った。」²⁴

それで彼の家来たちは彼を戦車から降ろし、彼が持っていた第二の戦車に乗せ、
彼をエルサレムに連れて行った。そこで彼は死に、
彼の父たちの墓に葬られた。
そしてユダとエルサレムのすべての者がヨシヤを悼んだ。

25

その後、エレミヤはヨシヤのために哀歌を歌った。
そしてすべての男と女の歌う者たちは、今日までその哀歌でヨシヤについて語っている。
そして彼らはそれをイスラエルの慣習とした。それらは哀歌に書かれている。

26

ヨシヤの行ったその他の事績と、主の律法に記録された彼の献身の行い、

27

そして彼の行いの始めから終わりまでのすべては、
イスラエルとユダの王の書に確かに書かれている。

36 国の民はヨシヤの子エホアハズを選び、エルサレムで彼の父に代わって王とした。

2

エホアハズは二十三歳で王となり、エルサレムで三か月間統治した。³

その後、エジプトの王がエルサレムで彼を退位させ、
国に銀百タラントと金一タラントの罰金を課した。⁴

エジプトの王は彼の兄弟エリアキムをユダとエルサレムの王とし、その名をエホヤキムに改めた。
しかしネコは彼の兄弟エホアハズを連れてエジプトに行った。

5

エホヤキムは二十五歳で王となり、エルサレムで十一年間統治した。

彼はその神、主の目の前で悪を行った。⁶
バビロンの王ネブカデネザルが彼に対して来て、彼をバビロンに連れて行くために青銅の鎖で縛った。

7

ネブカデネザルはまた、主の家の器具の一部をバビロンに持ち帰り、
それをバビロンの彼の神殿に置いた。

8

さて、エホヤキムのその他の行いと彼が行った忌まわしいこと、
彼に対して見つかったことは、
見よ、イスラエルとユダの王の書に記されている。
彼の子エホヤキンが彼に代わって王となった。

9

エホヤキンは八歳で王となり、エルサレムで三か月十日間統治した。
彼は主の目の前で悪を行った。

10

年が改まると、ネブカデネザル王は命令を送り、彼をバビロンに連れて行き、
主の家の貴重な器具と共に、
彼の親族ゼデキヤをユダとエルサレムの王とした。

11

ゼデキヤは二十一歳で王となり、エルサレムで十一年間統治した。¹²

彼はその神、主の目の前で悪を行った。
彼は主の名において語った預言者エレミヤの前で自らを低くしなかった。¹³

彼はまた、神によって誓わせたネブカデネザル王に逆らった。

しかし彼は首を固くし、イスラエルの神、主に戻ることに心を硬くした。¹⁴

さらに、祭司たちのすべての役人と民は非常に不誠実であり、
諸国民の忌まわしい習慣に従い、
彼がエルサレムで聖別した主の家を汚した。

15

そして彼らの父の神、主は、
その民とその住まいを憐れんで、使者たちを何度も送ったが、¹⁶

彼らは神の使者たちをあざけり、神の言葉を軽んじ、
預言者たちを侮辱し続けた。
主の怒りがその民に対して燃え上がり、もはや治療の余地がなくなるまで。¹⁷

それゆえ、彼はカルデア人の王を彼らに向かわせ、
彼らの若者たちを聖所の家で剣で殺し、
若者にも処女にも、老人にも病人にも憐れみをかけず、
彼らをすべて彼の手に渡した。¹⁸

神の家のすべての器具、大きいものも小さいものも、
主の家の宝物、
王とその役人たちの宝物を、
彼はすべてバビロンに持ち去った。¹⁹

それから彼らは神の家に火を放ち、エルサレムの城壁を壊し、
そのすべての宮殿を火で焼き、その貴重な器具をすべて破壊した。

歴代誌下

20

彼は剣から逃れた者たちをバビロンに連れて行き、
彼らはペルシヤ王国の支配が来るまで彼とその息子
たちに仕えた。

21

それはエレミヤによって語られた主の言葉を成就す
るためであり、土地がその安息を享受するまで。
その荒廃の日々、七十年が満ちるまで休んだ。

22

さて、ペルシヤの王クロスの元年に一
エレミヤによって語られた主の言葉を成就するため

に一主はペルシヤの王クロスの霊を奮い立たせ、
彼はその王国全体に布告を送り、また書面で言った
。

23

「ペルシヤの王クロスはこう言う。
『天の神、主は地のすべての王国を私に与え、
ユダにあるエルサレムに彼のために家を建てるよう
私を任命された。』

その民の中にいる者は誰でも、彼の神、主が彼と共
におられ、彼を上らせよ！』」

エズラ記

1 ペルシャの王クロスの元年に、主がエレミヤによって語られた言葉を成就するために、主はペルシャの王クロスの心を動かし、彼の領域全体に布告を発し、またそれを文書にした。

2 「ペルシャの王クロスはこう言う。『天の神、主は地のすべての王国を私に与え、ユダにあるエルサレムで彼のために家を建てるように私を任命された。

3 あなたがたのうち彼の民である者は皆、その神が共におられるようにし、ユダにあるエルサレムに上り、エルサレムにいるイスラエルの神、主の家を建てよ。**4**

そして、生き残った者が今住んでいるどの場所においても、人々は銀と金、物品と家畜で彼らを支え、エルサレムの神の家のために自発的な捧げ物をするように。』」

5 それから、ユダとベニヤミンの家の頭たち、祭司たち、レビ人たち—

神がその霊を動かしたすべての者が、エルサレムで主の家を建てるために上る準備をした。**6**

彼らの隣人は皆、銀と金の器物、物品と家畜、貴重な贈り物で彼らを助け、自発的な捧げ物を加えた。

7 さらに、ネブカデネザルがエルサレムから持ち去り、彼の神々の家に置いた主の家に属する器物を、クロス王が取り出した。**8**

ペルシャの王クロスはそれらを会計係ミスレダスに持ち出させ、彼がユダの君主シェシュバザルにそれらを数え渡した。⁹ これはその目録である。

金の皿三十、 銀の皿千、 銀の鍋二十九;
金の鉢三十、 銀の鉢四百十、 その他の器物千。

11 合計で、金と銀の器物は五千四百あった。シェシュバザルは、これらすべてをバビロンからエルサレムに上った捕囚民と共に持ち帰った。

2 バビロンの王ネブカドネザルがバビロンに捕囚として連れて行った捕囚のうち、帰還した州の人々は次の通りである。彼らはそれぞれ自分の町に帰った。**2**

彼らはゼルバベル、エシュア、ネヘミヤ、セラヤ、レエラヤ、モルデカイ、ビルシャン、ミスバル、ビッグワイ、レフム、パアナと共に来た。ここにイスラエルの民の人々の名簿がある。

3 パロシュの子孫、**2,172人**;
シェファティヤの子孫、**372人**;
アラの子孫、**775人**;

エシュアとヨアブの子孫であるパハテ・モアブの子孫、**2,812人**;
⁷ エラムの子孫、**1,254人**;
ザットウの子孫、**945人**;
ザツカイの子孫、**760人**;
¹⁰ バニの子孫、**642人**;
¹¹ ベバイの子孫、**623人**;
アズガドの子孫、**1,222人**;
アドニカムの子孫、**666人**;
ビッグワイの子孫、**2,056人**;
アディンの子孫、**454人**;
ヒゼキヤの子孫であるアテルの子孫、**98人**;
ベザイの子孫、**323人**;
¹⁸ ヨラの子孫、**112人**;
¹⁹ ハシュムの子孫、**223人**;
²⁰ ギバルの子孫、**95人**;

21 ベツレヘムの人々、**123人**;
ネトファの人々、**56人**;
アナトトの人々、**128人**;
アズマウエスの子孫、**42人**;
キリヤテ・ヤリム、ケフィラ、ベエロテの子孫、**743人**;
²⁶ ラマとゲバの子孫、**621人**;
²⁷ ミクマスの人々、**122人**;
²⁸ ベテルとアイの人々、**223人**;
²⁹ ネボの子孫、**52人**;
³⁰ マグビシュの子孫、**156人**;

31 もう一つのエラムの子孫、**1,254人**;
ハリムの子孫、**320人**;
ロド、ハディド、オノの子孫、**725人**;
エリコの人々、**345人**;
セナアの子孫、**3,630人**。
³⁶ 祭司たち:
エシュアの家のエダヤの子孫、**973人**;
イメルの子孫、**1,052人**;
パシュフルの子孫、**1,247人**;
ハリムの子孫、**1,017人**。

40 レビ人:
ホダビヤの子孫であるエシュアとカデミエルの家、**74人**。
⁴¹ 音楽家たち: アサフの家、**128人**。

42 神殿の門衛たち:

シャルム、アテル、タルモン、
アクブ、ハティタ、ショバイの子孫、**139人**。

43 神殿のしもべたち:

ツィハ、ハスファ、タバオテの子孫、
クロス、シアハ、バドンの子孫、
レバナ、ハガバ、アクブの子孫、
ハガブ、シャルマイ、ハナンの子孫、
ギデル、ガハル、レアヤの子孫、
レツィン、ネコダ、ガザムの子孫、

エズラ記

ウツザ、バセア、ベサイの子孫、
アスナ、メウニム、ネフシムの子孫、
バクブク、ハクファ、ハルフルの子孫、
バズルテ、メヒダ、ハルシヤの子孫、
バルコス、シセラ、テマの子孫、
ネジア、そしてハティファの子孫。

ソロモンのしもべたちの子孫：
ソタイ、ハソフェレテ、ベルダの子孫、

ヤアラ、ダルコン、ギデルの子孫、
シェファディヤ、ハティル、ポケレテ・ハツェバ
イム、アミの子孫。

神殿のしもべたちとソロモンのしもべたちの子孫は
合計392人。

これらはテル・メラ、テル・ハルシヤ、ケルブ、ア
ドン、イメルから上ってきた者たちであるが、彼ら
は自分たちの家系がイスラエルに属することを証明
できなかった。

デラヤ、トビヤ、ネコダの家族、652人。
そして祭司の中から：

ホバヤ、ハコツ、バルジライの子孫、
彼はギルアデ人バルジライの娘と結婚し、
その名を名乗った。
彼らは自分たちの家系の記録を探したが見つから
ず、不浄として祭司職から除外された。
総督は、ウリムとトンミムを持つ祭司が仕えるま
で、最も神聖な食物を取らないように指示した。

こうして、全会衆の総数は42,360人であった。

そのほかに、男奴隸と女奴隸が7,337人おり、200
人の男と女の歌手がいた。

彼らは736頭の馬と245頭のラバを持っていた。
435頭のラクダと6,720頭のロバを持っていた。

エルサレムの主の家に到着したとき、家族の長たち
の中には、神の家をその場所に再建するために自発
的に捧げ物をする者もいた。

彼らはその能力に応じて、この仕事のために金61,0
00ダリク、銀5,000ミナ、祭司の衣服100着を財庫
に寄付した。

祭司たち、レビ人たち、音楽家たち、門衛たち、神
殿のしもべたちは、自分たちの町に住み、その他の
人々もまた自分たちの町に住んだ。

3 第七の月が到来し、イスラエルの人々が自分た
ちの町に住み着いたとき、民はエルサレムに一
つとなって集まった。

それから、ヨザダクの子ヨシュアとその同僚の祭司
たち、およびシェアルティエルの子ゼルバベルとそ
の仲間たちは、イスラエルの神のために燔祭を捧げ
るための祭壇を築き始めた。それは神の人モーセの
律法に書かれている通りであった。

周囲の民を恐れながらも、彼らは祭壇をその基礎の
上に据え、朝も夕も主に燔祭を捧げた。

彼らは書かれている通りに仮庵の祭りを祝い、定め
られた数の燔祭を日ごとに捧げた。

その後、彼らは定期的な燔祭、新月のための供え物
、主のすべての定められた聖なる祭りのための供え
物、そして主への自発的な供え物を捧げた。

第七の月の初日から、彼らは主に燔祭を捧げ始めた
が、主の神殿の基礎はまだ据えられていなかった。

彼らは石工や大工に金を提供し、シドン人やティル
ス人に食物、飲み物、油を提供して、レバノンから
ヨッパの海まで杉材を運ばせた。これはペルシャの
王キュロスによって許可されたものであった。

彼らがエルサレムの神の家に到着してから二年目の
第二の月に、シェアルティエルの子ゼルバベル、ヨ
ザダクの子ヨシュア、そして彼らの兄弟である祭司
、レビ人、捕囚からエルサレムに帰還したすべての
者たちが仕事を始めた。彼らは二十歳以上のレビ人
を任命して、主の家の建設を監督させた。

ヨシュアとその息子たちと兄弟たち、カデミエルと
その息子たち、ホダビヤの子たち、ヘナダゲの子た
ちとその息子たちと兄弟たち—すべてのレビ人—
は、神の家で働く者たちを監督するために一緒にな
った。

主の神殿の基礎が据えられたとき、祭司たちは祭服
を着てラッパを持ち、レビ人、アサフの子たちはシ
ンバルを持って立ち、イスラエルの王ダビデの指示
に従って主を賛美した。

彼らは賛美と感謝をもって主に歌った。「彼は良い
お方であり、その愛はイスラエルに永遠に続く。」
そしてすべての民は、主の家の基礎が据えられたこ
とを喜んで大声で叫んだ。

しかし、以前の神殿を見たことのある多くの年老い
た祭司、レビ人、家の頭たちは、この神殿の基礎が
据えられるのを見て大声で泣いたが、多くの他の者
たちは喜びの声を上げた。

人々があまりにも大きな声を出したので、喜びの叫

エズラ記

びと泣き声を区別することができず、その音は遠くまで聞こえた。

4 ユダとベニヤミンの敵が、捕囚の民がイスラエルの神、主のために神殿を建てていることを聞いたとき、²
彼らはゼルバベルと父の家の長たちに近づいて言った。「私たちもあなたがたと共に建てさせてください。私たちもあなたがたと同じようにあなたがたの神を求め、アッシリアの王エサルハドンの時代から彼に犠牲を捧げてきました。」

³
しかし、ゼルバベルとヨシュアとイスラエルの父の家の残りの長たちは彼らに言った。「あなたがたは私たちの神の家を建てることにに関して私たちと関係ありません。私たちだけでイスラエルの神、主のために建てます。これはペルシャの王キュロスが私たちに命じたことです。」⁴
そのとき、土地の民はユダの民を落胆させ、建設を続けることを恐れさせました。⁵
そして、ペルシャの王キュロスの時代から、ペルシャの王ダリウスの治世に至るまで、彼らの計画を妨害するために相談役を雇いました。⁶
アハシュエロスの治世の初めに、彼らはユダとエルサレムの住民に対して告発を書きました。⁷
そして、アルタクセルクセスの時代に、ビシュラム、ミスレダテ、タベエル、および彼らの仲間たちはペルシャの王アルタクセルクセスに手紙を書きました。その手紙はアラム語で書かれ、翻訳されました。⁸

司令官レフムと書記官シムシャイは、エルサレムについてアルタクセルクセス王に手紙を作成し、次のように述べました。⁹

司令官レフム、書記官シムシャイ、および彼らの仲間たち—

裁判官、小さな総督、役人、秘書、ペルシャの人々、ウルク、バビロン、スサの人々、すなわちエラム人、¹⁰

および偉大で名誉あるオスナツパルが追放し、サマリアの都市および川の向こうの地域に住まわせたその他の国々。¹¹

(これが彼らが彼に送った手紙の写しです。)
「川の向こうの地域のあなたのしもべたち、王アルタクセルクセスへ： さて、¹²

王に知らせておきたいのは、あなたから上ってきたユダヤ人がエルサレムに来ており、反逆的で悪い都市を再建し、壁を完成させ、基礎を修理していることです。

¹³

さて、この都市が再建され、壁が完成した場合、彼らは貢ぎ物、関税、または通行料を支払わず、王室の収入に損害を与えることになります。¹⁴

さて、私たちは宮廷の奉仕に従事しているため、王の不名誉を見るのは適切ではありませんので、王に知らせておきます。¹⁵

あなたの先祖の記録簿を調べるために、調査が行われるようにしてください。記録の中に、この都市が王や州に害を与える反逆的な都市であり、反乱の歴史があることがわかるでしょう。それがこの都市が破壊された理由です。¹⁶

この都市が再建され、壁が完成した場合、あなたは川の向こうの州に所有権を持たないことを王にお知らせします。」¹⁷

王は次のように返信しました。「サマリアと川の向こうの州の残りの住民である司令官レフム、書記官シムシャイ、および彼らの仲間たちへ： 平和を。さて、¹⁸

あなたがたが私たちに送った文書は翻訳され、私の前で読まれました。¹⁹

私は命令を出し、調査が行われ、この都市が王に対する反乱の長い歴史を持ち、反乱と扇動の場所であったことがわかりました。²⁰

エルサレムには、川の向こうの州全体を支配する強力な王たちがいて、彼らに貢ぎ物、関税、通行料が支払われていました。²¹

これらの人々に仕事をやめさせる命令を出し、この都市が私によって命令が出されるまで再建されないようにしてください。²²

この問題において怠慢にならないように注意してください。なぜ王たちに損害を増やすべきでしょうか？」²³

その後、王アルタクセルクセスの手紙の写しがレフム、書記官シムシャイ、および彼らの仲間たちの前で読まれるとすぐに、彼らは急いでエルサレムに行き、武力でユダヤ人を止めました。²⁴

こうしてエルサレムの神の家の工事は中止され、ペルシャの王ダリウスの治世の第2年まで止まりました。

5 その時、預言者ハガイとイドの子ゼカリヤは、ユダとエルサレムのユダヤ人に対して、彼らの上におられるイスラエルの神の名によって預言した。²

シエアルティエルの子ゼルバベルとヨザダクの子イエシュアは立ち上がり、エルサレムにある神の家の再建を始めた。そして、神の預言者たちは彼らと共にいて、支援した。

エズラ記

3

この期間中、ユーフラテス川の向こう側の地域の総督タッテナイと、シェタル・ボゼナイおよび彼らの仲間たちが彼らに近づき、「この神殿を再建し、この構造物を完成させる権限を誰が与えたのか？」と尋ねた。

4

彼らはまた、この建物の建設に関与している者たちの名前についても尋ねた。

5

しかし、彼らの神の目がユダヤ人の長老たちの上にあったので、ダリウスに報告されて返答が得られるまで、妨げられることはなかった。

6

ここに、ユーフラテス川の向こう側の地域の総督タッテナイと、シェタル・ボゼナイおよびその仲間たち、その地域の役人たちがダリウス王に送った手紙の写しがある。

7

彼らが王に送った報告は次のように書かれていた：「ダリウス王へ：すべての平安を。

8

私たちは王に知らせたいことがあります。私たちはユダの州、偉大な神の神殿を訪れました。建物は大きな石で建設され、木材が壁に敷かれています。作業は熱心に進行しており、彼らの監督の下で成功裏に進んでいます。

9

私たちは長老たちに質問し、『この神殿を再建し、この構造物を完成させる権限を誰が与えたのか？』と尋ねました。

10

また、あなたに知らせるために彼らの名前を求め、指導者たちの名前を記録しました。

11

彼らの私たちへの返答はこうでした：『私たちは天と地の神のしもべであり、何年も前に建てられた神殿を再建しています。それはイスラエルの偉大な王が建て、完成させたものです。

12

しかし、私たちの先祖が天の神を怒らせたため、彼は彼らをカルデア人のバビロン王ネブカドネザルの手に渡しました。彼はこの神殿を破壊し、民をバビロンに追放しました。

13

それにもかかわらず、バビロンの王クロスの元年に、クロス王はこの神の家を再建するように命じました。

14

さらに、ネブカドネザルがエルサレムの神殿から持ち去り、バビロンの神殿に持ち込んだ神の家の金銀の器具を、クロス王はバビロンの神殿から取り戻し、総督に任命したシェシュバザルという名の男に託しました。

15

彼は彼に指示しました、「これらの器具を持って行き、エルサレムの神殿に収め、神の家を元の場所に再建せよ。」

16

こうして、シェシュバザルはエルサレムに神の家の基礎を置きました。そしてその時から今に至るまで

、建設が進められています、まだ完成していません。』

17

したがって、もし王がよろしければ、バビロンの王室の記録に調査を命じて、クロス王がエルサレムにこの神の家を再建するように命じたかどうかを確認し、この件に関する王の決定を私たちに送ってください。」

6 ダリウス王は勅令を発し、バビロンにある宝物が保管されている記録庫で調査が行われた。

2

メディアの州にあるエクパタナの要塞で巻物が発見され、次のように書かれていた。覚書—

3

キュロス王の元年に、エルサレムにある神の家について勅令が発せられた。神殿を再建し、犠牲を捧げる場所とし、その基礎を築くこと。高さ六十キュビト、幅六十キュビト、

4

大きな石を三層、木材を一層使用すること。費用は王室の財宝から賄われること。

5

さらに、ネブカドネザルがエルサレムから持ち去りバビロンに持ち込んだ神の家の金銀の器具は、エルサレムの神殿に戻されるべきである。それらは神の家に置かれるべきである。

6

さて、川向こうの州の総督タッテナイ、シェタル・ボゼナイ、およびその地域の同僚たちよ、そこから離れていなさい。

7

この神の家の工事を妨げてはならない。ユダヤ人の総督と長老たちがこの神の家を元の場所に再建することを許可しなさい。

8

さらに、私はこの神の家の再建において、ユダヤ人の長老たちに対して何をすべきかについて勅令を発する。全費用は王室の財宝から、川向こうの州の税金から、遅滞なくこれらの人々に支払われるべきである。

9

必要なものは何でも一天の神への燔祭のための雄牛、雄羊、子羊、エルサレムの祭司が求める小麦、塩、ワイン、オリーブ油—

毎日欠かさずに彼らに提供されなければならない。

10

それによって、彼らが天の神に犠牲を捧げ、王とその子たちの幸福を求めることができるようになるためである。

11

また、私はこの勅令に違反する者があれば、その家から梁を引き抜き、それに刺され、その家はこの罪のために廃墟とされるべきであると命じる。

12

そこにその名を住まわせた神が、この勅令を変更しようとしたり、エルサレムの神の家を破壊しようとする王や民を打ち倒されるように。私、ダリウスはこの勅令を発した。注意深く実行されるべきである

エズラ記

。それから、ダリウス王が送った勅令のために、川向
この州の総督タツテナイ、シュタル・ボゼナイ、
およびその仲間たちはそれを注意深く実行した。¹³
こうして、ユダヤ人の長老たちはハガイ預言者とイ
ドの子ゼカリヤの預言によって建設を続け、繁栄し
た。彼らはイスラエルの神の命令とベルシャの王キ
ュロス、ダリウス、アルタクセルクセスの勅令に従
って建物を完成させた。¹⁴
神殿は、ダリウス王の治世の第六年のアダル月の
三日に完成した。¹⁵ それから、イスラエルの人々
祭司、レビ人、その他の捕囚民たちは、神の家の奉
献を喜びと共に祝った。¹⁶
この神の家の奉献のために、彼らは百頭の雄牛、二
百頭の雄羊、四百頭の子羊、そして全イスラエルの
罪のための罪祭として、イスラエルの部族の数に応
じて十二頭の雄山羊を捧げた。¹⁷
彼らは祭司をその分団に、レビ人をその班に任命し
、モーセの書に書かれているようにエルサレムで神
の奉仕を行った。¹⁸
第一月の十四日に、捕囚民たちは過越を守った。¹⁹
祭司とレビ人は共に身を清め、皆が儀式的に清い状
態であった。レビ人は捕囚民全員のために、彼らの
兄弟である祭司たちのために、そして自分たちのた
めに過越の子羊を屠った。²⁰
こうして、捕囚から帰還したイスラエルの人々は、
それを食べ、異邦の汚れから身を分けてイスラエルの
神、主を求めるすべての者たちと共に食べた。²¹
彼らは七日間、種なしパンの祭りを喜びと共に祝った。
主が彼らに喜びを与え、アッシリアの王の心を
彼らに向けて変え、イスラエルの神、神の家の工事
を励ますようにしたからである。

7 これらの出来事の後、ペルシャの王アルタクセ
ルクセスの治世に、エズラはエルサレムに上った。
彼はセラヤの子、アザリヤの子、ヒルキヤ
の子であった。¹
シャルムの子、ツアドクの子、アヒトブの子であ
った。²
アマリヤの子、アザリヤの子、メラヨテの子であ
った。³
ゼラヒヤの子、ウジの子、ブッキの子であった。⁴
アビシュアの子、ビネハスの子、エルアザルの子、
大祭司アロンの子孫であった。⁵
このエズラはバビロンから上ってきた。彼はイスラ
エルの神、主が与えたモーセの律法に熟練した書記
官であった。王は彼が求めたすべてを許可した。⁶
彼の神、主の手が彼の上にあったからである。⁷
イスラエルの一部の者、祭司、レビ人、歌うたう者
、門衛、宮のしもべたちが、アルタクセルクセス王

の第七年にエルサレムに上った。⁸
エズラは王の第七年の第五の月にエルサレムに到着
した。

。第一の月の第一日に彼はバビロンから旅を始め、第
五の月の第一日にエルサレムに到着した。彼の神の
良い手が彼の上にあったからである。⁹
エズラは主の律法を学び、それを実行し、イスラエ
ルにその掟と条例を教えることに心を定めていた。¹⁰

これは、イスラエルのための主の戒めの言葉とその
掟に精通した祭司である書記官エズラに、アルタク
セルクセス王が与えた手紙の写しである。¹¹

「諸王の王アルタクセルクセスから、天の神の律法
の書記官である祭司エズラへ。完全な平和を。そし
て今¹²

私はイスラエルの民のうち、私の王国にいる祭司と
レビ人を含む誰でも、エルサレムに行きたいと思う
者は、あなたと共に行くことを許可するという布告
を発した。¹³

あなたは王とその七人の顧問によって、あなたの手
にあるあなたの神の律法に関してユダとエルサレム
を調査するために派遣されている。¹⁴

さらに、エルサレムに住まうイスラエルの神に、王
とその顧問たちが自発的に与えた銀と金を運ぶよう
に命じられている。¹⁵

バビロンの州で見つけたすべての銀と金、およびエ
ルサレムの彼らの神の家のための民と祭司の自発的
な捧げ物と共に。¹⁶

この金銭で、必ず雄牛、雄羊、子羊を、その穀物の
捧げ物と飲み物の捧げ物と共に買い、あなたの神の
家の祭壇に捧げなさい。¹⁷

その後、あなたとあなたの同胞は、残りの銀と金で
、あなたの神の意志に従って最善と思われることを
行うことができる。¹⁸

あなたの神の家の奉仕のためにあなたに託されたす
べての品物を、エルサレムの神に届けなさい。¹⁹

あなたの神の家のために必要な他のは、王室の
財宝から供給することができる。²⁰

「私は、アルタクセルクセス王が、ユーフラテス川
を越えた州のすべての財務官に布告を発する。天の
神の律法の書記官である祭司エズラがあなたに要求
するものは、すべて注意深く行われなければならない。²¹

銀百タラント、小麦百コル、ワイン百バス、オリ
ブ油百バス、塩は量らずに。²²

天の神が命じることは何でも、天の神の家のために
熱心に行われなければならない。そうでなければ、
王とその子らの王国に対して怒りが起こらないよう

エズラ記

に。²⁴
また、あなたに知らせるが、祭司、レビ人、歌うたう者、門衛、宮のしもべ、その他の神の家の働き手に対して、税、貢ぎ物、通行料を課すことは許されない。²⁵

「そしてあなた、エズラよ、あなたの神の知恵に従って、ユーフラテス川を越えた州のすべての民を裁くために、法律を知っているすべての者に裁判官と判事を任命しなさい。そして、法律を知らない者には教えなさい。²⁶

あなたの神の律法と王の律法に従わない者は、死刑、追放、財産の没収、または必要とされる拘禁によって罰せられるべきである。」²⁷

私たちの先祖の神、主をほめたたえよ。このようなことを王の心に置き、エルサレムで主の家を栄光あるものとするために、²⁸
王とその顧問たち、そしてすべての王の強力な役人たちの前で、私に恵みを広げてくださった。私の神、主の手が私の上にあったので、私は勇気を得て、イスラエルから指導者たちを集めて、私と共に上ることにした。

8 これは、アルタクセルクセス王の治世にバビロンから私と共に上ってきた者たちの家系の長たちと系図の記録である。²

ビネハスの子孫からはゲルシヨム、イタマルの子孫からはダニエル、ダビデの子孫からはハットシュ、³

パロシュの子孫であるシェカニヤの子孫からはゼカリヤ、彼と共に登録された男子**150人**、⁴

パハテ・モアブの子孫からはゼラヒヤの子エリエホエナイ、彼と共に**200人**の男子、⁵

ザットゥの子孫からはヤハジエルの子シェカニヤ、彼と共に**300人**の男子、⁶

アディンの子孫からはヨナタンの子エベド、彼と共に**50人**の男子、⁷

エラムの子孫からはアタリヤの子イエシャヤ、彼と共に**70人**の男子、⁸

シェファティヤの子孫からはミカエルの子ゼバディヤ、彼と共に**80人**の男子、⁹

ヨアブの子孫からはエヒエルの子オバデヤ、彼と共に**218人**の男子、¹⁰

バニの子孫からはヨシフィヤの子シェロミト、彼と共に**160人**の男子、¹¹

ベバイの子孫からはベバイの子ゼカリヤ、彼と共に**28人**の男子、¹²

アズガドの子孫からはハカタンの子ヨハナン、彼と共に**110人**の男子、¹³

アドニカムの子孫からは最後の者たちで、彼らの名はエリフェレット、エウエル、シェマヤ、彼らと共に

に**60人**の男子、¹⁴
ビッグワイの子孫からはウタイとザクル、彼らと共に**70人**の男子。¹⁵

私はアハワに向かう川で彼らを集め、そこで三日間宿営した。人々と祭司たちを調べたとき、レビ人がいないことに気づいた。¹⁶

そこで、エリエゼル、アリエル、シェマヤ、エルナタン、ヤリブ、エルナタン、ナタン、ゼカリヤ、メシュラムという指導者たちと、ヨヤリブとエルナタンという教師たちを呼び寄せた。¹⁷

彼らをカシフヤの指導者イドに送り、イドとその仲間のレビ人たち、カシフヤの神殿奉仕者たちに、私たちの神の家のために奉仕者を連れてくるように指示した。¹⁸

私たちの神の良き御手が私たちの上にあったので、彼らはマフリの子孫であるシャレビヤを連れてきた。彼は洞察力のある人で、レビの子、イスラエルの子であり、シャレビヤの息子と兄弟たち、合計**18人**、¹⁹

また、メラリの子孫であるイエシャヤとその兄弟たちとその息子たち、合計**20人**を連れてきた。²⁰

彼らはまた、ダビデと役人たちがレビ人を助けるために任命した神殿奉仕者**220人**を連れてきた。彼らはすべて名前登録されていた。²¹

そこで、アハワ川のほとりで私は断食を宣言し、私たちの神の前で自らを謙虚にし、私たちと私たちの子供たち、そしてすべての所有物のために安全な旅を求めた。²²

私は、道中の敵から私たちを守るために兵士や騎兵を王に求めることを恥じていた。なぜなら、私たちは王に「私たちの神の手は、彼を求めるすべての者に好意を持っているが、彼を捨てる者にはその力と怒りがある」と言っていたからである。²³

そこで、私たちは断食し、このことについて私たちの神に願ったところ、彼は私たちの願いを聞いてくださった。²⁴

それから私は、シャレビヤ、ハシャビヤ、そして彼らと共にいる**10人**の兄弟たちという**12人**の指導的な祭司を指名した。²⁵

私は彼らに、王、彼の顧問たち、彼の役人たち、そしてその場にいたすべてのイスラエルが買いだ私たちの神の家のための銀、金、そして品物を量った。²⁶

私は彼らに**650タラント**の銀、**100タラント**の銀の品物、**100タラント**の金を量った。²⁷

1000ダリクの価値のある**20**の金の鉢と、金と同じくらい貴重な磨かれた青銅の**2つ**の美しい品物。²⁸

私は彼らに言った、「あなたたちは主に聖なるものであり、品物も聖なるものである。銀と金はあなた

エズラ記

たちの祖先の神、主への自発的な捧げ物である。²⁹
イスラエルの指導的な祭司、レビ人、家系の長たちの前で、エルサレムの主の家の部屋でそれを量るまで、注意深く守りなさい。」³⁰

それで、祭司たちとレビ人は、エルサレムの私たちの神の家に持っていくために量られた銀、金、そして聖なる品物を受け取った。³¹

第一月の十二日に、私たちはアハワ川からエルサレムに向けて出発した。私たちの神の手が私たちの上にあり、彼は道中の敵や待ち伏せから私たちを守ってくださった。³²

それで、私たちはエルサレムに到着し、三日間そこに滞在した。³³

四日目に、私たちの神の家で、ウリヤの子メレモテの手に銀、金、聖なる品物を量った。彼と共にいたのは、ビネハスの子エルアザル、そしてレビ人のヨザバデ、イェシュアの子、ノアデヤ、ビンヌイの子であった。³⁴

すべてが数と重さで確認され、その時点で全体の重さが記録された。³⁵

それから、捕囚から戻った者たちはイスラエルの神に全焼の捧げ物を捧げた。イスラエル全体のための12頭の雄牛、96頭の雄羊、77頭の雄子羊、罪のための捧げ物として12頭の雄山羊。これらすべてが主への全焼の捧げ物であった。³⁶

彼らはまた、王の命令を王の総督たちとユーフラテス川の向こうの州の知事たちに届け、それから彼らは民と神の家を支援した。

9 これらの事が終わった後、役人たちが私に近づいて言った。「イスラエルの民、祭司、レビ人を含む者たちは、カナン人、ヒッタイト人、ペリジ人、エブス人、アンモン人、モアブ人、エジプト人、アモリ人のような隣国の民とその忌まわしい行いから自らを区別していません。²

彼らはその娘たちを自分たちや息子たちの妻として迎え、聖なる血統を土地の民と混ぜ合わせました。実際、指導者や役人たちがこの不信仰において最も先頭に立っています。」³

これを聞いて、私は自分の衣服と外套を裂き、頭とひげから髪を引き抜き、全く驚愕して座り込みました。⁴

それから、イスラエルの神の言葉に震えるすべての者が、捕囚の不信仰のために私の周りに集まり、私はタベの献げ物までも驚愕していました。⁵

タベの献げ物の時に、私は自らの卑下から立ち上がり、衣服と外套を裂いたまま、ひざまずき、私の神、主に手を広げて言いました。⁶

「わが神よ、私は恥ずかしくてあなたに顔を上げることができません、わが神よ。なぜなら、私たちの不義は頭を越えて増し、私たちの罪は天に達しています。⁷

私たちの先祖の日から今日に至るまで、私たちの罪は大きいです。私たちの罪のために、私たちと私たちの王たち、祭司たちは、今日のように剣、捕囚、略奪、恥に渡されました。⁸

しかし今、わずかな間、私たちの神、主は私たちに恵みを示し、残りの者を残し、聖なる場所に確かな足場を与えてくださり、私たちの神が私たちの目を明るくし、私たちの束縛の中で少しの安らぎを与えてくださいます。⁹

私たちは奴隷であるにもかかわらず、私たちの神は私たちを束縛の中で見捨てず、ペルシャの王たちの前で私たちに慈しみを広げ、私たちの神の家を再建し、その廃墟を復興し、ユダとエルサレムに保護の壁を与えてくださいました。¹⁰

「そして今、わが神よ、この後に私たちは何を言うことができるでしょうか。私たちは確かにあなたの戒めを捨てました。¹¹

あなたはあなたのしもべである預言者たちを通して言われました、『あなたが所有するために入る地は、その地の民の汚れによって汚されており、その忌まわしい行いが端から端まで満ちています。¹²

したがって、あなたの娘を彼らの息子に嫁がせてはならず、彼らの娘をあなたの息子に迎えてはならない。彼らの平和や繁栄を求めてはならない。そうすれば、あなたは強くなり、地の良いものを食べ、あなたの子供たちに永遠の遺産として残すことができます。』¹³

私たちの悪い行いと大きな罪のために私たちに降りかかったすべてのことの後で、あなた、わが神は私たちの罪にふさわしい以上の罰を与えず、このような残りの者を与えてくださいました。¹⁴

再びあなたの戒めを破り、そのような忌まわしい行いをする民と婚姻関係を結ぶべきでしょうか。あなたは私たちに怒りを抱き、残りの者や生き残りを残さずに私たちを滅ぼすのではないのでしょうか。¹⁵

イスラエルの神、主よ、あなたは正しいです！私たちは今日このように残りの者として残されています。私たちはあなたの前に立っていますが、私たちの罪のために、誰もあなたの前に立つことができません。」

10 エズラが祈り、告白し、泣きながら神の家の前で地に伏していると、非常に多くのイスラエルの人々、男、女、子供たちが彼の

エズラ記

周りに集まり、民は激しく泣いていた。²
その時、エラムの子孫のひとりであるシェカニヤ、
エヒエルの子がエズラに言った。「私たちはこの地
の民の異国の女を妻に迎えることによって、私たち
の神に不忠実でした。しかし、このことにもかかわ
らず、イスラエルには希望があります。³
今、私たちの神と契約を結び、これらの女とその子
供たちを送り出しましょう。私の主と、私たちの神
の命令を恐れる者たちの助言に従い、律法に従っ
て行いましょう。⁴
立ち上がりなさい。このことはあなたの責任です。
私たちはあなたを支持します。勇気を出して行動し
てください。」

⁵
そこでエズラは立ち上がり、指導的な祭司たち、レ
ビ人たち、そして全イスラエルに、提案されたこと
を行うことを誓わせた。彼らは誓いを立てた。⁶
その後、エズラは神の家の前から退き、エリアシブ
の子ヨハナンの部屋に行った。彼はそこでパンを食
べず、水も飲まなかった。彼は捕囚の民の不忠実さ
を嘆いていたからである。⁷
ユダとエルサレム全土に、すべての捕囚の民がエル
サレムに集まるようにとの布告が出された。⁸
三日以内に現れない者は、指導者と長老たちの決定
に従い、すべての財産を没収され、捕囚の民の集会
から除外されることになっていた。

⁹
三日以内に、ユダとベニヤミンのすべての男たちが
エルサレムに集まった。第九の月の二十日、すべて
の民は神の家の前の広場に座り、この問題と激しい
雨のために震えていた。¹⁰
その時、祭司エズラが立ち上がり、彼らに言った。
「あなたたちは異国の女を妻に迎えることによって
不忠実でした。これにより、イスラエルの罪を増や
しました。¹¹
今、あなたたちの先祖の神、主に告白し、彼の意志
を行いなさい。この地の民と異国の妻たちから離れ
なさい。」¹²
全会衆は大声で応じた。「あなたが言った通りにす
るのが私たちの義務です。¹³
しかし、ここには多くの方がいますし、雨季です。
外に立っていることはできません。それに、この問
題は一日や二日で解決できるものではありません。
私たちはこのことで大きな罪を犯しました。¹⁴
私たちの指導者たちが全会衆を代表して行動し、異
国の女を妻に迎えた者は皆、各町の長老と裁判官と
共に、定められた時に来るようにしなさい。この問
題に関する神の激しい怒りが私たちから離れるまで

。」¹⁵
アサヘルの子ヨナタンとティクワの子ヤハジヤがこ
れに反対した唯一の者であり、レビ人メシュラムと
シャベタイが彼らを支持した。¹⁶
そこで捕囚の民は提案通りに行った。祭司エズラは
家族の頭である者たちを選び、それぞれの家族の区
分から一人ずつ、皆名前前で指定された。彼らは第十
の月の第一日に集まり、この問題を調査した。¹⁷
そして、第一の月の第一日までに、異国の女を妻に
迎えたすべての男たちの問題を解決した。¹⁸
祭司の子孫の中で、異国の女を妻に迎えた者は次の
通りである。エホツァダクの子ヨシュアの子孫とそ
の兄弟たちからは、マアセヤ、エリエゼル、ヤリブ
、ゲダリヤ。¹⁹
彼らは妻を送り出すことを誓い、その罪のために、
それぞれ羊の群れから雄羊を罪過のための捧げ物と
して捧げた。²⁰
インメルの子孫からは、ハナニとゼバディヤ。²¹
ハリムの子孫からは、マアセヤ、エリヤ、シェマヤ
、エヒエル、ウジヤ。²²
パシュルの子孫からは、エロエナイ、マアセヤ、イ
シュマエル、ネタネル、ヨザバド、エラサ。²³
レビ人の中では、ヨザバド、シメイ、ケラヤ（ケリ
タとも呼ばれる）、ベタヒヤ、ユダ、エリエゼル。²⁴
エリアシブは音楽の役割を担っていた者たちの中に
いた。シャルム、テレム、ウリは門衛として仕えて
いた者たちの中にいた。²⁵
その他のイスラエル人の中では、パロシュの子孫か
らは、ラミヤ、イッザヤ、マルキヤ、ミヤミン、エ
リエゼル、マルキヤ、ベナヤ。²⁶
エラムの子孫からは、マタニヤ、ゼカリヤ、エヒエ
ル、アブディ、エレモテ、エリヤ。²⁷
ザットの子孫からは、エロエナイ、エリアシブ、マ
タニヤ、エレモテ、ザバド、アジザ。²⁸
ベバイの子孫からは、ヨハナン、ハナニヤ、ザッバ
イ、アトライ。²⁹
パニの家族からは、メシュラム、マルク、アダヤ、
ヤシュブ、シャアル、エレモテ。³⁰
パハテ・モアブの家族からは、アドナ、ケラル、ベ
ナヤ、マアセヤ、マタニヤ、ベツァレル、ビスイ、
マナセ。³¹
ハリムの子孫からは、エリエゼル、イシヤ、マルキ
ヤ、シェマヤ、シメオン、³²
ベニヤミン、マルク、シェマリヤを含む。³³
ハシュムの子孫からは、マテナイ、マタタ、ザバド
、エリフエレト、エレマイ、マナセ、シメイ。³⁴
パニの子孫からは、マアダイ、アムラム、ウエル、
³⁵ベナヤ、ベデヤ、ケルヒ、³⁶

エズラ記

パニヤ、メレモテ、エリアシブ、
マタニヤ、マデナイ、ヤアス。
ビヌイの子孫からは、シメイ、
シェレミヤ、ナタン、アダヤ、
マクナデバイ、シャシャイ、シャライ、
アザレル、シェレミヤ、シェマリヤ、

37 シヤルム、アマリヤ、ヨセフ。 43
38 ネボの子孫からは、エイエル、マティティヤ、ザバ
39 ド、ゼビナ、ヤダイ、ヨエル、ベナヤ。 44
40 これらすべての者が異国の女を妻に迎え、その妻た
41 ちとの間に子供をもうけた者もいた。
42

ネヘミヤ記

1 これはハカリヤの子ネヘミヤの言葉である。第
20年のクスレウの月に、私はスサの城にいた²。

私の兄弟の一人であるハナニが、ユダから来た数人の男たちと共に来たので、私は彼らに、捕囚を生き延びたユダヤ人の残りの者たちとエルサレムについて尋ねた。³

彼らは答えた、「捕囚を生き延びた者たちで州にいる者たちは、大きな苦難と恥辱の中にいる。エルサレムの城壁は崩れ、その門は火で焼かれている。」⁴

これらの言葉を聞いたとき、私は座り込み、数日間泣き悲しんだ。私は天の神の前で断食し祈った。⁵ 私は言った、「ああ、天の神、偉大で恐るべき神よ、あなたを愛し、あなたの戒めを守る者たちに契約の愛を守る方よ、⁶

どうか耳を傾け、あなたのしもべが昼も夜もあなたのしもべたち、イスラエルの民のために捧げる祈りを見てください。私は、私自身と私の父の家族を含む私たちイスラエル人があなたに対して犯した罪を告白します。⁷

私たちはあなたに対して非常に腐敗した行動をしました。私たちはあなたがあなたのしもべモーセに与えた命令、法令、律法を守りませんでした。⁸

あなたのしもべモーセに与えた言葉を思い出してください、『もしあなたがたが不信仰であるなら、私はあなたたちを諸国民の間に散らす、⁹

しかし、もしあなたがたが私に立ち返り、私の命令を守るなら、たとえあなたたちの追放された民が地の果てにいても、私はそこから彼らを集め、私の名を住まわせるために選んだ場所に連れて行く。』¹⁰ 彼らはあなたのしもべであり、あなたの偉大な力とあなたの強い手によって贖われたあなたの民です。¹¹

主よ、どうかあなたの耳をこのあなたのしもべの祈りと、あなたの名を畏れることを喜ぶあなたのしもべたちの祈りに傾けてください。今日、この人の前であなたのしもべに慈しみを与えて成功を授けてください。」私は王の献酌官であった。

2 ニサンの月、アルタクセルクセス王の治世第20年に、王の前に酒があったとき、私はその酒を取って王に差し出した。それまで王の前で悲しんだことはなかった。²

すると王は私に言った。「あなたは病気ではないのに、なぜ顔が悲しそうなのか。これは心の悲しみ以外の何ものでもない。」そこで私は非常に恐れた。³

そして王に言った。「王が永遠に生きられますよう

に！私の先祖が葬られている町が荒れ果て、その門が火で焼かれているのに、どうして私の顔が悲しくないでしょうか。」⁴

王は私に言った。「あなたは何を望んでいるのか。」そこで私は天の神に祈った。⁵

そして王に言った。「もし王がよろしければ、またもしあなたのしもべが御前で恵みを得ているなら、私をユダに、私の先祖の墓のある町に送ってください。それを再建したいのです。」⁶

すると王は、そばに座っている王妃と共に私に尋ねた。「あなたの旅はどのくらいかかり、いつ戻るのか。」それで王は私を送り出すことを喜び、私は時を定めた。⁷

私はまた王に言った。「もし王がよろしければ、川向こうの州の総督たちに宛てた手紙をください。私がユダに到着するまで通過を許可してもらえるように。」⁸

また、王の森の管理者アサフに宛てた手紙をください。彼が神殿のそばの城壁の門の梁、町の壁、そして私が住む家のための材木を与えてくれるように。」私の神の恵みの手が私の上にあったので、王は私の願いを聞き入れてくれた。⁹

それから私はユーフラテス川向こうの州の総督たちのもとに行き、王の手紙を渡した。王はまた、私と共に軍の将校と騎兵を送ってくれた。¹⁰

ホロニ人サンバラテとアンモン人の役人トビヤがこれを知ったとき、彼らはイスラエル人の福祉を求めに来た者がいることを非常に不快に思った。¹¹

エルサレムに到着したとき、私はそこに三日間滞在した。¹²

私は夜の間に数人の者と共に出発した。私の神がエルサレムのために私の心に抱かせたことを誰にも話していなかった。私が乗っている動物以外には動物はいなかった。¹³

夜の間に私は谷の門を通り、竜の泉と糞門に向かい、エルサレムの壊れた壁と火で焼かれた門を調査した。¹⁴

それから泉の門と王の池に向かったが、私の乗っている動物が通る余地はなかった。¹⁵

それで私は夜の間に谷を上り、壁を調査した。最後に戻って谷の門を再び通った。¹⁶

役人たちは私がどこに行ったのか、何をしているのかを知らなかった。私はまだユダヤ人、祭司、貴族、役人、その他の働きをする者たちに何も言っていなかったからである。¹⁷

それから私は彼らに言った。「あなたたちは私たちが置かれている状況を見ている。エルサレムは廃墟となり、その門は焼かれている。さあ、エルサレムの壁を再建しよう。そうすれば、もはや恥をかかな

ネヘミヤ記

くて済む。」¹⁸
私はまた、私の神の恵みの手が私の上にあったことと、王が私に言ったことを彼らに話した。彼らは答えた。「立ち上がって建てよう。」それで彼らはこの良い働きに手をつけた。¹⁹
しかし、ホロニ人サンバラテ、アンモン人の役人トビヤ、アラビア人ゲシュムがこれを聞いたとき、彼らは私たちを嘲笑し、侮辱した。「あなたたちは何をしているのか。」彼らは尋ねた。「王に反逆しているのか。」²⁰
私は彼らに答えた。「天の神が私たちに成功を与えてくださる。私たちはそのしもべとして再建を始める。しかし、あなたたちにはエルサレムにおいて何の分け前も、権利も、歴史的な主張もない。」

3 大祭司エリアシブとその同僚の祭司たちは、羊の門の工事を始めた。彼らはそれを聖別し、その扉を取り付けた。彼らは百人の塔とハナネルの塔に至るまで聖別を続けた。²
その次に、エリコの人々が隣接する部分を建設し、イムリの子ザツクルが彼らの隣で建設した。³
ハッセナアの子たちは魚の門を再建し、その梁を置き、その扉、かんぬき、および横木を取り付けた。⁴
その隣には、ハコツの子ウリヤの子メレモテが修理を引き受けた。その隣には、メシェザベルの子ベレキヤの子メシュラムが修理を行い、バアナの子ザドクがその隣で修理を行った。⁵
テコアの人々は次の部分を修理したが、彼らの貴族たちは監督者たちの仕事を支援しなかった。⁶
パセアの子ヨヤダとベンデヤの子メシュラムは、古い門を修理し、その梁を置き、その扉、かんぬき、および横木を取り付けた。⁷
その隣には、ギベオンの人メラティヤとメロノテの人ヤドンが、ユーフラテス川を越えた州の総督のために修理を行った。⁸
金細工師のハルハヤの子ウジェルは次の部分を修理し、香料師の一人ハナニヤがその隣で修理を行い、広い壁に至るまでエルサレムを修復した。⁹
エルサレムの半分の地区の役人フルの子レファヤは次の部分を修理した。¹⁰
これに隣接して、ハルマフの子エダヤが自分の家の向かいで修理を行い、ハシヤブネヤの子ハットシュがその隣で働いた。¹¹
ハリムの子マルキヤとパハテ・モアブの子ハシュブは、もう一つの部分とオープンの塔を修理した。¹²
エルサレムの半分の地区の役人ハロヘシュの子シャルムは、娘たちと共に次の部分を修理した。¹³
ザノアの住民ハヌンとその住民は谷の門を修理し、それを建設し、その扉、かんぬき、および横木を取

り付け、糞の門に至るまで千キュビトの壁を修理した。¹⁴
ベテ・ハツケレムの地区の役人レカブの子マルキヤは、糞の門を修理し、それを建設し、その扉、かんぬき、および横木を取り付けた。¹⁵
ミツパの地区の役人コル・ホゼの子シャルンは、泉の門を修理し、それに屋根をかけ、その扉、かんぬき、および横木を取り付けた。彼はまた、王の庭のそばのシロアムの池の壁を修理し、ダビデの町から降りる階段に至るまで修理した。¹⁶
その向こうには、ベテ・ツルの半分の地区の役人アズブクの子ネヘミヤが、ダビデの墓の向かいから人工の池と勇士の家に至るまで修理を行った。¹⁷
その隣には、レビ人たちがバニの子レフムの指導の下で修理を行った。その隣には、ケイラの半分の地区の役人ハシヤビヤが自分の地区のために修理を行った。¹⁸
その隣には、ケイラのもう一つの半分の地区の役人ヘナダデの子ビスイの指導の下で、彼らの同僚レビ人たちが修理を行った。¹⁹
その隣には、ミツパの役人エゼルの子エゼルが、武器庫への上り口の向かいにあるもう一つの部分を修理した。²⁰
その隣には、ザッパイの子バルクが、角から大祭司エリアシブの家の入口に至るまで、熱心にもう一つの部分を修理した。²¹
その隣には、ハコツの子ウリヤの子メレモテが、エリアシブの家の入口からその終わりに至るまで、もう一つの部分を修理した。²²
その隣には、周辺地域の祭司たちが修理を行った。²³
その向こうには、ベニヤミンとハシュブが自分の家の前で修理を行い、アナニヤの子マアセヤの子アザリヤが自分の家の隣で修理を行った。²⁴
その隣には、ヘナダデの子ビスイが、アザリヤの家から角と隅に至るまで、もう一つの部分を修理した。²⁵
ウザイの子パラルは、角と上の宮殿から突き出た塔の向かいで働いた。その隣には、パロシュの子ペダヤが修理を行った。²⁶
オフエルの丘に住む宮のしもべたちは、東に向かって水の門の向かいまで、突き出た塔に至るまで修理を行った。²⁷
その隣には、テコアの人々が、突き出た大きな塔からオフエルの壁に至るまで、もう一つの部分を修理した。²⁸
馬の門の上では、祭司たちが自分の家の前で修理を行った。²⁹
その隣には、イメルの子ザドクが自分の家の向かい

ネヘミヤ記

で修理を行い、東の門の番人シェカニヤの子シェマヤがその隣で修理を行った。³⁰

その隣には、シェレミヤの子ハナニヤとザラフの六番目の子ハヌンが、もう一つの部分を修理した。その隣には、ベレキヤの子メシュラムが自分の住居の向かいで修理を行った。³¹

その隣には、金細工師の一人マルキヤが、宮のしもべたちと商人たちの家に至るまで、検査の門の向かいで修理を行い、角の上の部屋に至るまで修理を行った。³²

角の上の部屋と羊の門の間では、金細工師たちと商人たちが修理を行った。

4 サンバラテは、私たちが城壁を再建していると聞いたとき、激怒し非常に怒り、ユダヤ人をあざけりました。²

彼は仲間たちとサマリアの軍隊の前で言いました。「この弱々しいユダヤ人たちは何をしているのか？彼らは城壁を修復するのか？彼らは犠牲を捧げることができるのか？彼らはそれを一日で完成させるのか？焼けた石を瓦礫の山からよみがえらせることができるのか？」³

彼のそばにいたアンモン人のトビヤは言いました。「彼らが建てているものは、たとえ狐がそれに登ったとしても、その石の壁を崩してしまうだろう！」⁴

私たちの神よ、私たちを聞いてください。私たちは軽蔑されています。彼らの侮辱を彼ら自身の頭に返し、捕囚の地で彼らを略奪者にしてください。⁵ 彼らの罪を覆わず、あなたの目の前からその罪を消し去らないでください。彼らは建設者たちを落胆させたからです。⁶

こうして、私たちは城壁を再建し続け、その高さの半分に達しました。人々がその仕事に完全に専念していたからです。⁷

サンバラテ、トビヤ、アラブ人、アンモン人、アシエドド人が、エルサレムの城壁の修理が進み、破れ目が閉じられていることを聞いたとき、彼らは非常に怒りました。⁸

彼らは皆、エルサレムに対して戦いを挑み、混乱を引き起こそうと共謀しました。⁹ それに応じて、私たちは神に祈り、この脅威に対抗するために昼夜を問わず見張りを配置しました。¹⁰ 一方、ユダの人々は言いました。「労働者の力が尽きてきており、瓦礫が多すぎて城壁を再建できません。」¹¹

私たちの敵は言いました。「彼らが気づく前に、私たちは彼らの中に入り込み、彼らを殺して仕事を終わらせるだろう。」¹²

その時、彼らの近くに住んでいたユダヤ人が来て、

繰り返し私たちに警告しました。「どこに向かってても、彼らは私たちに攻撃するだろう。」¹³

それゆえ、私は城壁の最も低い場所、露出した場所の後ろに人々を配置し、彼らを家族ごとに剣、槍、弓で組織しました。¹⁴

私は状況を見渡した後、貴族たち、役人たち、その他の人々に言いました。「彼らを恐れてはならない。偉大で恐るべき主を思い出し、あなたたちの家族、息子や娘、妻や家のために戦いなさい。」¹⁵

私たちの敵が、私たちが彼らの計画を知っており、神がそれを阻止したことを聞いたとき、私たちは皆、城壁に戻り、それぞれ自分の仕事に戻りました。¹⁶

その日から、私の部下の半分は建設に従事し、残りの半分は槍、盾、弓、鎧を装備しました。役人たちはユダの全ての人々の後ろに配置されました。¹⁷ 城壁を建設する者たちと材料を運ぶ者たちは、一方の手で仕事をし、もう一方の手で武器を持ちました。¹⁸

建設者たちは皆、仕事をしながら腰に剣を帯びていました。しかし、ラッパを吹く者は私と共にいました。¹⁹

私は貴族たち、役人たち、その他の人々に言いました。「この作業は広範囲に及び、私たちは城壁に沿って広く離れています。」²⁰

ラッパの音を聞いたら、私たちのところに集まってください。私たちの神が私たちのために戦ってくださいます！」²¹

こうして、私たちは夜明けから星が現れるまで、半分の人々が槍を持ちながら仕事を続けました。²² その時、私はまた人々に言いました。「各自とその助手は夜はエルサレムの中に留まり、夜は見張りとして、昼は作業者として仕えるように。」²³

私も私の兄弟たちも私の部下たちも私と共にいる見張りたちも、誰も服を脱がず、水を汲むときでさえ武器を手放しませんでした。

5 さて、民とその妻たちがユダヤ人の兄弟たちに對して大きな叫びを上げた。²

ある者たちは言った、「私たちと私たちの息子や娘は多いので、食べて生きるために穀物を得る必要があります。」³

他の者たちは言った、「飢饉のために、私たちの畑やぶどう畑、家を抵当に入れて穀物を手に入れていきます。」⁴

また、こう言う者たちもいた、「私たちは畑やぶどう畑にかかる王の税を払うためにお金を借りました。」⁵

ネヘミヤ記

今や私たちの肉は兄弟たちの肉と同じであり、私たちの子供たちは彼らの子供たちと同じです。それなのに、私たちは息子や娘を奴隷にしなければならず、娘たちの中にはすでに奴隷にされている者もいます。私たちは無力です、なぜなら私たちの畑やぶどう畑は他人のものだからです。」⁶

彼らの叫びとこれらの言葉を聞いたとき、私は非常に怒った。⁷

この問題を考えた後、私は貴族や役人たちを責めて言った、「あなたたちは自分の民に利息を取っている！」それで、私は彼らに対して大集会を開いた。⁸

私は彼らに言った、「私たちはできる限り、異邦人に売られたユダヤ人の兄弟たちを贖いました。今、あなたたちは自分の兄弟を売っている、それで彼らは私たちに売り戻されるのです！」彼らは沈黙し、答えることができなかった。⁹

それで私は続けて言った、「あなたたちがしていることは正しくありません。異邦人の敵の非難を避けるために、私たちの神を恐れて歩むべきではありませんか？」¹⁰

私も、私の兄弟たちも、私の人々も彼らにお金や穀物を貸しています。この利息をやめましょう！¹¹ どうか、今日この日、彼らに畑、ぶどう畑、オリーブ畑、家を返し、あなたたちが彼らに課している利息—

お金、穀物、新しいワイン、油の百分の一を返してください。」¹²

彼らは答えた、「私たちはそれを返し、彼らから何も要求しません。あなたの言う通りにします。」それから私は祭司たちを呼び、貴族や役人たちに彼らが約束したことを行う誓いを立てさせた。¹³

私はまた、自分の衣のひだを振り払い、「この約束を守らない者を神がその家と財産から振り払い、空にされるように！」と言った。全会衆は「アーメン」と言い、主を賛美した。そして人々は約束通りに行った。¹⁴

さらに、私がユダの地で彼らの総督に任命された日から、アルタクセルクセス王の二十年から三十二年までの十二年間、私も私の兄弟たちも総督の食料手当を消費しなかった。¹⁵

しかし、私の前の総督たちは民に重い負担をかけ、パンとワインに加えて四十シェケルの銀を取った。彼らの召使いさえも民を支配していた。しかし、私は神を恐れるゆえにそうしなかった。¹⁶

その代わりに、私はこの壁の仕事に専念した。私の人々は皆その仕事のために集められ、私たちは土地を取得しなかった。¹⁷

さらに、150人のユダヤ人と役人が私の食卓で食事

をし、周囲の国々から来た者たちもいた。¹⁸ 毎日、一頭の牛、六匹の選ばれた羊、いくつかの家禽が私のために用意され、十日ごとにあらゆる種類のワインが豊富に供給された。それにもかかわらず、私は総督の食料手当を要求しなかった、なぜならこれらの人々に対する要求が重かったからである。¹⁹

私がこれらの人々のためにしたすべてのことを、私の神よ、どうか私を好意的に覚えてください。

6 サンバラテ、トビヤ、アラビヤ人ゲシェム、およびその他の敵が、私が城壁を再建し、そこに隙間がないことを知ったとき—

その時点ではまだ門に扉を取り付けていなかったが—²

サンバラテとゲシェムは私にメッセージを送ってきた。「さあ、オノの平野の村の一つで会おう。」しかし、彼らは私に害を加えることを企んでいた。³ そこで私は使者を送って彼らに言った。「私は重要な仕事に従事しており、降りて行くことはできない。なぜ仕事を中断して、あなたたちのところに降りて行かなければならないのか？」⁴

彼らは同じメッセージを四度送ってきたが、私はその都度同じ返事をした。⁵

すると、五度目に、サンバラテは彼の召使いを同じメッセージと共に私に送り、その手には開かれた手紙があった。⁶

その手紙にはこう書かれていた。「諸国の間で報告されており、ガシムもそれを確認しているが、あなたとユダヤ人は反逆を企んでおり、それが城壁を再建している理由だということだ。これらの報告によれば、あなたは彼らの王になるつもりだ。」⁷

あなたはまた、エルサレムで『ユダに王がいる！』と宣言する預言者を任命した。この報告は王に届くだろう。だから、私たちは共に相談しよう。」⁸

私は彼にこの返事を送った。「あなたが言っていることは何も起こっていない。それはあなた自身の心で作り上げたものだ。」⁹

彼らは皆、私たちを脅かそうとしていた。「彼らの手は仕事に対して弱くなり、完成しないだろう。」と考えていた。しかし、私は折った。「今、神よ、私の手を強めてください。」¹⁰

私はデラヤの子、メヘタベルの子シェマヤの家にいった。彼は家に閉じこもっていた。彼は言った。「神の家、神殿の中で会おう。そして神殿の扉を閉じよう。彼らはあなたを殺しに来ている—¹¹

夜にあなたを殺しに来ている。」¹¹ しかし、私は言った。「私のような者が逃げるべきだろうか？そして、私のような者が命を救うために神殿に入るだろうか？私は入らない。」¹²

ネヘミヤ記

その時、私は神が彼を送っていないことに気づいたが、彼はトビヤとサンバラテが彼を雇ったために私に対して預言を述べた。¹³

彼は私を脅かして、恐れて罪を犯すようにし、彼らが私を辱めるための悪い報告の根拠を得るために雇われたのだ。¹⁴

私の神よ、トビヤとサンバラテ、そして私を脅かそうとした預言者ノアデヤとその他の預言者たちの行いを覚えてください。¹⁵

こうして城壁はエルルの月の二十五日に、五十二日で完成した。¹⁶

私たちのすべての敵がこれを知り、周囲のすべての国々がこれを見たとき、彼らは自信を失った。彼らはこの仕事私たちの神の助けによって成し遂げられたことを悟ったからだ。¹⁷

その日々、ユダの貴族たちは多くの手紙をトビヤに送り、トビヤからの手紙も彼らに来ていた。¹⁸

ユダの多くの者が彼に誓約していた。彼はアラの子シェカニヤの娘婿であり、彼の息子ヨハナンはベレクヤの子メシュラムの娘と結婚していたからだ。¹⁹ さらに、彼らは私の前で彼の善行を語り、私の言葉を彼に報告していた。そしてトビヤは私を脅かす手紙を送ってきた。

7 城壁が完成し、扉が取り付けられたとき、私は門衛、歌うた者、レビ人を任命しました。²

私は兄弟ハナニと、要塞の司令官ハナニヤをエルサレムの責任者に任命しました。彼は多くの人よりも神を恐れる誠実な人でした。³

私は彼らに指示しました。「太陽が高くなるまでエルサレムの門を開けてはならない。門衛がまだ勤務中の間に、扉を閉じてボルトをかけなさい。また、エルサレムの住民からそれぞれの持ち場と自分の家の前に守衛を任命しなさい。」

4 その町は広くて広々としていましたが、人口は少なく、家は再建されていませんでした。⁵

そのとき、私の神は貴族、役人、一般の人々を家族ごとに登録することを私の心に促しました。私は最初に戻ってきた人々の系図記録を見つけ、次のことを発見しました。⁶

これらは、バビロンの王ネブカドネザルが捕囚にした捕囚の地から戻ってきた州の人々です。彼らはそれぞれ自分の町にエルサレムとユダに戻ってきました。⁷

ゼルバベル、エシュア、ネヘミヤ、アザリヤ、ラアマヤ、ナハマニ、モルデカイ、ビルシャン、ミスペレテ、ビッグワイ、ネフム、バアナと共に。イスラエルの人々のリスト：

⁸ パロシュの家系、**2,172人**；⁹
シェファティヤの家系、**372人**；¹⁰
アラの家系、**652人**；¹¹

パハテ・モアブの家系、エシュアとヨアブの家系を通して、**2,818人**；¹² エラムの家系、**1,254人**；¹³
ザットの家系、**845人**；¹⁴ ザツカイの家系、**760人**；

¹⁵ ビンヌイの家系、**648人**；¹⁶
ベバイの家系、**628人**；¹⁷
アズガドの家系、**2,322人**；¹⁸

アドニカムの家系、**667人**；¹⁹
ビッグワイの家系、**2,067人**；²⁰
アディンの家系、**655人**；²¹

アテルの家系、ヒゼキヤを通して、**98人**；²²
ハシュムの家系、**328人**；²³ ベザイの家系、**324人**；²⁴
ハリフの家系、**112人**；²⁵

ギベオンの家系、**95人**；

²⁶ ベツレヘムとネトファの人々、**188人**；²⁷
アナトの人々、**128人**；²⁸

ベテ・アズマウエテの人々、**42人**；²⁹
キリアテ・ヤリム、ケフィラ、ベエロテの人々、**743人**；³⁰ ラマとゲバの人々、**621人**；³¹

ミクマスの人々、**122人**；³²
ベテルとアイの人々、**123人**；³³
他のネボの人々、**52人**；³⁴

他のエラムの家系、**1,254人**；³⁵
ハリムの家系、**320人**；³⁶ エリコの人々、**345人**；³⁷
ロド、ハディド、オノの人々、**721人**；³⁸
セナアの家系、**3,930人**。

³⁹ 祭司たち：

エシュアの家のエダヤの家系、**973人**；⁴⁰
イメルの家系、**1,052人**；⁴¹
パシュフルの家系、**1,247人**；⁴²
ハリムの家系、**1,017人**。

⁴³ レビ人たち：

エシュアの家系、カデミエルを通して、ホデワの家系、**74人**。

⁴⁴ 歌うた者たち：

アサフの家系、**148人**。

⁴⁵ 門衛たち：

シャルム、アテル、タルモン、アックブ、ハディタ、ショバイの家系、**138人**。

⁴⁶ 神殿のしもべたち：
ジハ、ハスファ、タバオテの家系、

ネヘミヤ記

47 ケロス、シア、バドンの家系、
レバナ、ハガバ、シャルマイの家系、
ハナン、ギデル、ガハルの家系、
レアヤ、レジン、ネコダの家系、
ガザム、ウザ、パセアの家系、
ベサイ、メウニム、神殿のしもベネフシシムの家
系、⁵³ バクブク、ハクファ、ハルフルの家系、⁵⁴
バズルテ、メヒダ、ハルシャの家系、⁵⁵
バルコス、シセラ、テマの家系、⁵⁶
ネジア、ハティファの家系。

57 ソロモンのしもべたちの子孫：
ソタイ、ソフェレテ、ベリダの子孫、⁵⁸
ヤアラ、ダルコン、ギデルの子孫、⁵⁹
シェファティヤ、ハティル、ボケレテ・ハツェバイ
ム、神殿のしもベアモンの子孫。⁶⁰
神殿のしもべたちとソロモンのしもべたちの子孫は
合計392人。

61 これらはテル・メラ、テル・ハルシャ、ケルブ、ア
ドン、イメルから上ってきた者たちですが、彼らは
自分たちの家系や出自を証明できず、イスラエルの
ものであるかどうか分かりませんでした。⁶²
デラヤ、トビヤ、ネコダの家系、642人。⁶³
祭司の中から：ホバヤ、ハコツ、ギルアデ人バルジ
ライの娘と結婚し、その名を取ったバルジライの子
孫。

64 これらの者たちは自分たちの家系記録を探しました
が、見つからず、不潔とされて祭司の職から除外さ
れました。⁶⁵
総督は、ウリムとトンミムを持つ祭司が現れるまで
、最も聖なる食物を食べないように命じました。

66 全会衆の数は42,360人、⁶⁷
そのほかに7,337人の男と女のしもべがいました。
また、245人の歌うたう者、男と女がいました。⁶⁸
彼らは736頭の馬、245頭のラバを持っていました
。⁶⁹
また、435頭のラクダ、6,720頭のロバを持ってい
ました。

70 家族の長たちの一部はその仕事に貢献しました。総
督は宝庫に1,000金ドラカマ、50の鉢、祭司のため
の530の衣服を与えました。⁷¹
家族の長たちの一部はその仕事のために宝庫に20,0
00金ドラカマ、2,200銀ミナを与えました。⁷²
残りの人々は20,000金ドラカマ、2,000銀ミナ、祭
司のための67の衣服を与えました。⁷³

祭司たち、レビ人たち、門衛たち、歌うたう者たち
、一部の人々、神殿のしもべたち、そして全イスラ
エルは自分たちの町に住み着きました。第七の月が
来たとき、イスラエルの人々は自分たちの町にいま
した。

8 すべての民は水の門の前の広場に一つとなって
集まり、エズラ書記に、主がイスラエルに与え
たモーセの律法の書を持ってくるように求めた
。²

そこで、エズラ祭司は、七月の第一日に、男、女、
理解できるすべての者を含む集会の前に律法を持っ
てきた。³
彼は、水の門の前の広場で、男、女、理解できる者
たちの前で、朝早くから昼までそれを声に出して読
み、すべての民は律法の書に注意深く耳を傾けた。

4
エズラ書記は、そのために作られた高い木の台に立
った。彼の右には、マッティティヤ、シエマ、アナ
ヤ、ウリヤ、ヒルキヤ、マアセヤが立ち、左には、
ペダヤ、ミシャエル、マルキヤ、ハシュム、ハシュ
バダナ、ゼカリヤ、メシュラムが立っていた。⁵
エズラは、すべての民の前で書を開いた。彼は彼ら
の上にいたので、書を開くと、すべての民は立ち上
がった。⁶

エズラが偉大な神、主を賛美すると、すべての民は
「アーメン、アーメン」と答え、手を挙げた。それ
から彼らはひれ伏し、顔を地にして主を礼拝した。
7

レビ人たち、すなわち、イエシュア、パニ、シェレ
ブヤ、ヤミン、アックブ、シャベタイ、ホディヤ、
マアセヤ、ケリタ、アザリヤ、ヨザバド、ハナン、
ペラヤは、民がその場所に立っている間に律法を民
に説明した。⁸

彼らは神の律法の書を読み、それを明確にし、意味
を提供して、民が読まれたことを理解できるように
した。
9

その後、総督ネヘミヤ、祭司で書記のエズラ、民を
教えていたレビ人たちは、すべての民に言った。「
この日はあなたたちの神、主にとって聖なる日です
。悲しんだり泣いたりしてはなりません。」民が律
法の言葉を聞いて泣いていたからである。¹⁰
ネヘミヤは言った。「行って、豊かな食べ物を食べ
、甘い飲み物を飲み、何も用意していない人々に分
け与えなさい。この日は私たちの主にとって聖なる
日です。悲しんではなりません。主の喜びがあなた
たちの力です。」¹¹

レビ人たちはすべての民を静めて言った。「静かに

ネヘミヤ記

しなさい。これは聖なる日です。悲しんではなりません。」¹²

それから、すべての民は食べて飲み、食物を分け合い、大いに喜んで祝った。彼らは説明された言葉を理解したからである。

13

第二日に、すべての家族の長たち、祭司たち、レビ人たちは、律法の言葉を理解するためにエズラ書記の周りに集まった。¹⁴

彼らは律法の中に、主がモーセを通して命じたことが書かれているのを見つけた。それは、イスラエル人が7月の祭りの間に仮の住まいに住むべきであるということだった。¹⁵

そして彼らはこのメッセージを宣言し、町々とエルサレムで広めるように言われた。「丘に行って、オリーブや野生のオリーブの木、ミルト、ヤシ、その他の葉の多い木の枝を持ち帰り、書かれているように仮の住まいを作りなさい。」¹⁶

そこで民は出て行き、枝を持ち帰り、屋根の上、庭、神の家の庭、水の門の広場、エフライムの門の広場に仮の住まいを作った。¹⁷

捕囚から帰ってきた全会衆は仮の住まいを作り、その中に住んだ。ヌンの子ヨシュアの時代からその日まで、イスラエル人はこのように祝ったことがなかった。そして彼らの喜びは非常に大きかった。¹⁸ 第一日から最後の日まで、エズラは神の律法の書を読み続けた。彼らは七日間祭りを祝い、八日目には規定に従って厳粛な集会があった。

9 その月の二十四日に、イスラエルの人々は集まり、断食し、荒布をまとい、頭にちりをかぶっていた。²

イスラエルの子孫はすべての外国人から離れ、自分たちの罪と父祖たちの不義を告白した。³

彼らはその場所に立って、四分の一の日を主なる彼らの神の律法の書を読み、もう四分の一を告白し、主なる彼らの神を礼拝した。⁴

レビ人の壇に立っていたのは、エシュア、パニ、カデミエル、シェパニヤ、ブニ、シェレビヤ、パニ、ケナニであり、彼らは大声で主なる彼らの神に叫んだ。⁵

それからレビ人、エシュア、カデミエル、パニ、ハシャブニヤ、シェレビヤ、ホディヤ、シェパニヤ、ベタヒヤが言った。「立ち上がれ、永遠から永遠までの主なるあなたの神を祝福せよ。あなたの栄光ある御名が、すべての祝福と賛美を超えて祝福され、高められますように。」⁶

あなたのみが主です。あなたは天を、すべての星の群れとともに天の天を、地とその上のすべてのもの

、海とその中のすべてのものを造られました。あなたはそれらすべてに命を与え、天の軍勢はあなたを礼拝します。⁷

あなたは主なる神であり、アブラムを選び、カルデヤ人のウルから彼を連れ出し、彼にアブラハムという名を与えました。⁸

あなたは彼の心があなたの前に忠実であることを見出し、彼と契約を結び、彼の子孫にカナン人、ヘテ人、アモリ人、ペリジ人、エブス人、ギルガシ人の地を与えるとして約束されました。あなたはその約束を果たされました。あなたは正しいからです。⁹

あなたはエジプトで私たちの先祖の苦しみを見、紅海で彼らの叫びを聞かれました。¹⁰

あなたはファラオ、そのすべての家来、および彼の地のすべての民に対してしるしと奇跡を行いました。彼らがどのように高慢に彼らを扱ったかを知っておられたからです。あなたは今日に至るまで残る名を得られました。¹¹

あなたは彼らの前で海を分け、彼らは海の中を乾いた地を通して渡りました。そして、彼らの追っ手を深みに投げ込み、力強い水の中の石のようにされました。¹²

昼は雲の柱で、夜は火の柱で彼らを導き、行くべき道を照らされました。¹³

あなたはシナイ山に降りてきて、天から彼らと語り、公正な定め、真実な律法、良い掟と命令を与えられました。¹⁴

あなたは彼らにあなたの聖なる安息日を知らせ、あなたのしもべモーセを通して命令、掟、律法を与えられました。¹⁵

彼らの飢えに、天からパンを与え、彼らの渇きに、岩から水を出されました。そして、彼らに行って、あなたが与えると誓われた地を占領するように言われました。¹⁶

しかし、彼ら、私たちの先祖は高慢に振る舞い、頑固になり、あなたの命令に従いませんでした。¹⁷

彼らは聞くことを拒み、あなたが彼らの間で行われた驚くべき業を思い出さず、頑固になり、奴隷に戻るために指導者を任命しました。しかし、あなたは赦す神であり、恵み深く、憐れみ深く、怒るのに遅く、慈しみに富んでおられました。あなたは彼らを見捨てませんでした。¹⁸

彼らが溶かした金属で子牛を作り、「これがあなたをエジプトから導き上った神だ」と宣言し、大いなる冒険を犯したときでさえ、¹⁹

あなたの大きな憐れみにより、荒野で彼らを見捨てませんでした。昼の雲の柱は彼らを離れず、夜の火の柱も彼らを離れず、行くべき道を照らしました。²⁰

20

ネヘミヤ記

あなたは彼らを教えるために良い御霊を与え、彼らの口からマナを取り去らず、彼らの渇きを癒すために水を与えました。²¹

四十年間、あなたは荒野で彼らを養い、彼らは何も欠けることなく、彼らの衣服はすり減らず、彼らの足は腫れませんでした。²²

あなたは彼らに王国と民を与え、最も遠い境界線まで分け与えました。彼らはヘシュボンの王シホンの地とバシヤンの王オグの地を占領しました。²³

あなたは彼らの子供たちを天の星のように多くし、彼らの先祖に与えると約束した地に彼らを導き入れました。²⁴

彼らの子供たちはその地に入り、占領しました。あなたはその地の住民であるカナン人を彼らの前に屈服させ、彼らの王たちとその地の民を彼らに引き渡し、彼らの望むように扱わせました。²⁵

彼らは要塞都市と肥沃な地を占領し、すべての良いものが満ちた家、掘られた井戸、ぶどう畑、オリーブ畑、果樹を豊かに取りました。彼らは満腹し、よく養われ、あなたの大きな恵みに喜びました。²⁶

しかし、彼らは不従順になり、あなたに背き、あなたの律法を背に向けました。彼らはあなたの預言者たちを殺し、彼らをあなたに戻すよう警告しましたが、大きな冒瀆を犯しました。²⁷

それで、あなたは彼らを敵の手に渡し、彼らを圧迫しました。しかし、彼らが苦しみの中であなたに叫ぶと、あなたは天から聞き、大きな憐れみにより、彼らを敵の手から救う救助者を与えました。²⁸

しかし、彼らが安息を得るとすぐに、再びあなたの前で悪を行いました。それで、あなたは彼らを敵の手に渡し、彼らを支配させました。彼らが再びあなたに叫ぶと、あなたは天から聞き、あなたの憐れみに従って何度も彼らを救いました。²⁹

あなたは彼らに律法に戻るよう警告しましたが、彼らは高慢に振る舞い、あなたの命令を聞きませんでした。彼らはあなたの定めに従うならば生きることができるのに、頑固な肩を向け、首を固くし、聞くことを拒みました。³⁰

それでも、あなたは多くの年にわたって彼らに忍耐し、あなたの霊を通して預言者たちによって彼らを戒めましたが、彼らは聞きませんでした。それゆえ、あなたは彼らを地の民に渡されました。³¹

それにもかわらず、あなたの大きな憐れみにより、彼らを滅ぼすことなく、見捨てませんでした。あなたは恵み深く、憐れみ深い神だからです。

指導者たち、祭司たち、預言者たち、先祖たち、そしてすべてのあなたの民に降りかかったすべての困難が、あなたの前で取るに足らないものとならないようにしてください。³²

私たちに起こったすべてのことにおいて、あなたは正しく、あなたは誠実に行動されましたが、私たちは悪を行いました。³³

私たちの王たち、指導者たち、祭司たち、先祖たちは、あなたの律法を守らず、あなたの命令とあなたが彼らを戒めた戒めに注意を払いませんでした。³⁴
³⁵ 彼らがその王国にいる間、あなたの与えた広大で肥沃な地での大きな恵みを享受しながらも、彼らはあなたに仕えず、悪の道から離れませんでした。

³⁶ 見よ、私たちは今日奴隷です。私たちの先祖にその果実と豊かさを食べさせるために与えられた地で奴隷です。³⁷

私たちの罪のために、その豊かな産物はあなたが私たちの上に立てた王たちに渡ります。彼らは私たちの体と家畜を彼らの望むままに支配し、私たちは大いなる苦しみの中にいます。³⁸

これらすべてのことのために、私たちは書面で拘束力のある契約を結び、私たちの指導者たち、レビ人たち、祭司たちがそれに印を押しています。

10

署名された文書には次の名前が記されています。

総督ネヘミヤ、ハカリヤの子、ゼデキヤ、

² セラヤ、アザリヤ、エレミヤ、³
バシュフル、アマルヤ、マルキヤ、⁴
ハットシュ、シェバニヤ、マルク、⁵
ハリム、メレモテ、オバデヤ、⁶
ダニエル、ギンネトン、バルク、⁷
メシュラム、アビヤ、ミヤミン、⁸
マアズヤ、ビルガイ、シェマヤ、これらは祭司であつた。⁹

そしてレビ人たち：アザニヤの子ヨシュア、ヘナダデの子たちのビンヌイ、カデミエル；¹⁰
彼らの兄弟たちと共に：シェバニヤ、ホディヤ、¹¹
ケリタ、ペラヤ、ハナン、¹²
ミカ、レホブ、ハシャブヤ、¹³
ザクル、シェレブヤ、シェバニヤ、¹⁴
ホディヤ、バニ、ベニヌ。

¹⁴ 民の指導者たち：

パロシュ、パハト・モアブ、エラム、ザット、バニ、¹⁵ ブニ、アズガド、ベバヤ、¹⁶
アドニヤ、ビグワイ、アディン、¹⁷
アテル、ヒゼキヤ、アズル、¹⁸

それゆえ、私たちの神、偉大で力強く、恐るべき神よ、あなたの契約と誠実を守る方よ、アッシリアの王たちの日から今日まで、私たち、私たちの王たち

ネヘミヤ記

ホディヤ、ハシュム、ベザイ、
ハリフ、アナトト、ネバイ、
マダビアシユ、メシュラム、ヘジル、
メシェザベル、ザドク、ヤドア、
ペラティヤ、ハナン、アナヤ、
ホセア、ハナニヤ、ハシユブ、
ハロヘシュ、ビルハ、ショベク、
レフム、ハシヤブナ、マアセヤ、
アヒヤ、ハナン、アナン、
マルク、ハリム、バアナ。

さて、残りの民—
祭司、レビ人、門衛、歌うたう者、宮のしもべたち
、そして地の民から神の律法に従って自らを分けた
すべての者、彼らの妻、息子、娘、知識と理解を持
つすべての者—
彼らの同族、貴族たちと共に参加し、モーセを通し
て神のしもべに与えられた神の律法を歩み、主なる
我々の神のすべての命令、規定、法令を守り、遵守
するために呪いと誓いを自らに課している。
そして、我々是我々の娘を地の民に嫁がせず、彼ら
の娘を我々の息子に娶らない。
安息日に商品や穀物を売りに来る地の民については
、安息日やいかなる聖なる日においても彼らから買
わず、第七年の作物とすべての負債を放棄する。
また、我々是我々の神の家の奉仕のために毎年三分
の一シェケルを寄付する義務を自らに課した。
供えのパン、定期的な穀物の供え物と焼き尽くす供
え物、安息日、新月、定められた祭り、聖なる供え
物、イスラエルのための罪の供え物、そして我々の
神の家のすべての務めのために。
同様に、我々は家族ごとに毎年定められた時に我々
の神の家に木材を供給するために、祭司、レビ人、
民の間でくじを引いた。それは律法に書かれている
ように、我々の神の祭壇で燃やすためである。
また、我々は毎年、我々の土地の初穂とすべての木
の実の初穂を主の家に持ってくる責任を負う。
そして、我々の神の家に、律法に書かれているよう
に、我々の息子と家畜の初子、我々の群れと家畜の
初子を、我々の神の家で仕える祭司たちに持ってくる。
さらに、我々の生地、初物、我々の貢ぎ物、すべて
の木の実、新しいワイン、油を我々の神の家の部屋
にいる祭司たちに持ってくる。また、我々の土地の
十分の一をレビ人に持ってくる。レビ人はすべての
田舎町で十分の一を受け取る者である。
そして、アロンの子孫である祭司は、レビ人が十分
の一を受け取るときにレビ人と共にいる。そして、
レビ人は十分の一の十分の一を我々の神の家に、倉
庫の部屋に持ってくる。

イスラエルの民とレビの子らは、穀物、新しいワイ
ン、油の貢ぎ物を聖所の器具、仕える祭司、門衛、
歌うたう者が保管されている倉庫に持ってくる。
このようにして、我々是我々の神の家を怠らない。

11 民の指導者たちはエルサレムに住むことにな
り、他の民はくじを引いて、10人に1人
を聖なる都エルサレムに住まわせ、残りの
9人はそれぞれの町に留まることになった。
民は自ら進んでエルサレムに住むことを選んだすべ
ての人々を称賛した。
エルサレムに住んだ州の長たちは次の通りである。
ユダの町々では、イスラエル人、祭司、レビ人、宮
のしもべ、ソロモンのしもべの子孫たちがそれぞれ
自分の所有地に住んでいた。
ユダとベニヤミンの子孫の一部はエルサレムに住
んでいた。

ユダの子孫からは：

ベレツの子孫であるマハラルの子シェファティヤ
の子アマリヤの子ゼカリヤの子ウジヤの子アタイ
ヤ、
シェラの子孫であるヨヤリブの子アダヤの子ハザ
ヤの子コル・ホゼの子バルクの子マアセヤ、
エルサレムに住んでいたベレツの子孫は、勇敢な
者468人であった。

ベニヤミンの子孫からは：メシュラムの子ヨエドの
子パダヤの子コラヤの子マアセヤの子イテエルの
子イェシャヤの子サル、
彼と共にいた者は、ガバイとサライー
928人であった。
彼らの長官はジクリの子ヨエルであり、町の副官は
ハッセヌアの子ユダであった。
祭司の中には、ヨヤリブの子エダヤとヤキンがいた
。
神の家の責任者であるアヒトブの子メラヨトの子ツ
アドクの子メシュラムの子ヒルキヤの子セラヤ、
神殿の務めを行うその仲間たち—822人；
ペラルヤの子アムジの子ゼカリヤの子パシュフルの
子マルキヤの子エロハムの子アダヤ、
その仲間たち、家族の長たち—242人；
アハザイの子メシレモテの子アザレルの子アマシャ
イ、
その兄弟たち、勇敢な戦士—
128人。彼らの長官はハゲドリムの子ザブディエル
であった。
レビ人の中には、ブニの子ハシヤブヤの子アズリカ
ムの子ハシユブの子シエマヤ、
神の家の外部の仕事を担当するレビ人の長であるシ

ネヘミヤ記

ヤベタイとヨザバド；¹⁷
祈りの感謝を始める者であるアサフの子ザブディの
子ミカの子マタニヤ；
その兄弟の中で2番目の者であるバクブキヤ；
エドトンの子ガラルの子シャムアの子アブダ。¹⁸
聖なる都に住むレビ人は284人であった。¹⁹
門衛たち：アックブ、タルモンとその兄弟たち、門
を守る者—172人。²⁰
他のイスラエル人、祭司、レビ人はユダのすべての
町に、それぞれの祖先の所有地に住んでいた。²¹
宮のしもべたちはオフェルの丘に住み、ジハとギシ
ユバが彼らを監督していた。²²
エルサレムのレビ人の長官は、神の家の務めを担う
歌う者であるアサフの子孫であるミカの子マタニヤ
の子ハシャブヤの子パニの子ウジであった。²³
歌う者に関する王の命令があり、彼らの日々の務め
を規定していた。²⁴
ゼラの子ユダの子孫であるメシェザベルの子パタヒ
ヤは、民に関するすべての事柄で王の代理人であっ
た。²⁵
村とその畑については、ユダの民の一部がキルヤテ
・アルバとその周辺の集落、ディボンとその村々、
エカブゼルとその集落に住んでいた。²⁶
エシュア、モラダ、ベテ・ペレテの町々に住んでい
た。²⁷
ハツアル・シュアル、ベエル・シェバとその集落に
住んでいた。²⁸
ツィクラダ、メコナとその集落に住んでいた。²⁹
エン・リモン、ツォラ、ヤルムテに住んでいた。³⁰
ザノア、アドラムとその村々、ラキシュとその畑、
アゼカとその集落に住んでいた。こうして彼らはベ
エル・シェバからヒンノムの谷まで住んでいた。³¹
ベニヤミンの子孫は、ゲバからミクマシュ、アイヤ
・ベテルとその集落に住んでいた。³²
アナトテ、ノブ、アナニヤに住んでいた。³³
ハツォル、ラマ、ギッタインに住んでいた。³⁴
ハディド、ツェボイム、ネバラトに住んでいた。³⁵
ロドとオノ、職人の谷に住んでいた。³⁶
ユダからベニヤミンに割り当てられたレビ人の一部
がいた。

12 シェアルティエルの子ゼルバベルとエシュ
アと共に上ってきた祭司とレビ人は次の通
りである。セラヤ、エレミヤ、エズラ、²
アマルヤ、マルク、ハットシュ、³
シェカニヤ、レフム、メレモテ、⁴
イド、ギンネトン、アビヤ、⁵
ミヤミン、マアデヤ、ビルガ、⁶
シェマヤ、ヨヤリブ、エダヤ、⁷

サル、アモク、ヒルキヤ、エダヤ。これらはエシュ
アの時代の祭司たちとその同族の長であった。

⁸
レビ人の中には、エシュア、ビンヌイ、カデミエル
、シェレブヤ、ユダ、マタニヤがいて、彼とその兄
弟たちは感謝の歌を担当していた。⁹
バクブキヤとウンニ、その兄弟たちは彼らの奉仕の
区分で向かい合って立っていた。¹⁰
エシュアはヨヤキムの父となり、ヨヤキムはエルヤ
シブの父となり、エルヤシブはヨヤダの父となつた。¹¹
ヨヤダはヨナタンの父となり、ヨナタンはヤドアの
父となつた。¹²
ヨヤキムの時代には、祭司の家族の長は次の通りで
あった。セラヤの家からはメラヤ、エレミヤの家か
らはハナニヤ、¹³
エズラの家からはメシュラム、アマルヤの家からは
ヨハナン、¹⁴
マルクの家からはヨナタン、シェバニヤの家からは
ヨセフ、¹⁵
ハリムの家からはアドナ、メラヨテの家からはヘル
カイ、¹⁶
イドの家からはゼカリヤ、ギンネトンの家からはメ
シュラム、¹⁷
アビヤの家からはジクリ、モアデヤの家からはビル
タイ、ミニアミンの地からは、¹⁸
ビルガの家からはシャムア、シェマヤの家からはヨ
ナタン、¹⁹
ヨヤリブの家からはマッテナイ、エダヤの家からは
ウジ、²⁰
サライの家からはカライ、アモクの家からはエベル
、²¹
ヒルキヤの家からはハシャブヤ、エダヤの家からは
ネタネル。²²
レビ人の長たちは、エルヤシブ、ヨヤダ、ヨハナン
、ヤドアの時代に記録され、またダリヨス王の治世
における祭司たちも記録された。²³
レビの子孫、家族の長たちは、エルヤシブの子ヨハ
ナンの時代まで年代記の書に記録された。²⁴
レビ人の指導者はハシャブヤ、シェレブヤ、カデミ
エルの子エシュアとその兄弟たちであり、彼らは向
かい合って立ち、神の人ダビデの定めに従って、感
謝と賛美を一方が他方に応答する形で行った。²⁵
マタニヤ、バクブキヤ、オバデヤ、メシュラム、タ
ルモン、アックブは門の倉庫を守る門衛であった。²⁶
彼らはエシュアの子ヨヤキムの時代、総督ネヘミヤ
と祭司で書記官のエズラの時代に仕えた。²⁷
エルサレムの城壁の奉献に際して、レビ人はそのす

ネヘミヤ記

すべての場所からエルサレムに集められ、シンバル、ハーブ、リュートの音楽と共に喜びをもって奉献を祝うために集められた。²⁸

歌うたちの子孫はエルサレム周辺の地域とネトファ人の村々から集まった。²⁹

ベト・ギルガル、ゲバとアズマベテの畑からも、歌うたちはエルサレムの周りに村を設けていたからである。³⁰

祭司とレビ人は自分たちを清め、また民、門、城壁を清めた。³¹

その時、私はユダの指導者たちを城壁の上に上らせ、感謝を捧げる二つの大きな合唱団を任命した。一つは城壁の上を右に進み、糞門に向かった。³²

ホシャヤとユダの指導者の半分が彼らに続いた。³³

アザリヤ、エズラ、メシュラム、³⁴

ユダ、ベニヤミン、シェマヤ、エレミヤ、³⁵

そしていくつかの祭司たちはラッパを持ち、またヨナタンの子ゼカリヤ、シェマヤの子、マタニヤの子、ミカヤの子、ザクルの子、アサフの子、³⁶
とその同族—

シェマヤ、アザレル、ミラライ、ギラライ、マアイ、ネタネル、ユダ、ハナニ—

神の人ダビデの楽器を持っていた。書記官エズラが彼らを導いた。³⁷

彼らは泉の門でダビデの町の階段を上り、城壁の上を進み、ダビデの家の上を通過して東の水門に至った。³⁸

第二の合唱団は左に進み、私は民の半分と共に彼らに続き、城壁の上を進み、オープン塔の上を通過して広い城壁に至った。³⁹

エフライム門、古門、魚門、ハナネルの塔、百の塔を越えて羊門に至り、彼らは守衛の門で止まった。⁴⁰

感謝を捧げる二つの合唱団は神の家でその場所を取った。私も官吏の半分と共にそこにいた。⁴¹

祭司たち—

エリアキム、マアセヤ、ミニアミン、ミカヤ、エリオエナイ、ゼカリヤ、ハナニヤ—

ラッパを持っていた。⁴²

マアセヤ、シェマヤ、エレアザル、ウジ、ヨハナン、マルキヤ、エラム、エゼル。歌うたちはイエズラヤの指導の下で歌った。⁴³

その日、彼らは大いなる犠牲を捧げ、神が彼らに大いなる喜びを与えたので喜んだ。女たちと子供たちも喜んだ。エルサレムでの喜びの声は遠くまで聞こえた。

44

その時、供え物、初穂、十分の一を集めるために、法に定められた分を祭司とレビ人のために町の畑か

ら集めるために、倉庫の管理者が任命された。ユダは奉仕する祭司とレビ人を喜んでいた。⁴⁵

彼らは神の礼拝と清めの奉仕を行い、歌うたちと門衛もダビデとその子ソロモンの命令に従って行った。⁴⁶

古代のダビデとアサフの時代には、歌うたちの指導者がいて、神への賛美と感謝の歌があった。⁴⁷

ゼルバベルとネヘミヤの時代には、イスラエル全体が歌うたちと門衛に日々必要な分を与え、レビ人のために聖別された分を分け、レビ人はアロンの子孫のために聖別された分を分けた。

13 その日、モーセの書が民の聞いているところで朗読され、アンモン人とモアブ人は決して神の会衆に入ってはならないことが発見された。²

彼らがイスラエル人をパンと水で迎えず、代わりにバラムを雇って彼らを呪わせたからである。しかし、私たちの神はその呪いを祝福に変えられた。³
彼らがこの律法を聞いたとき、イスラエルからすべての外国人を除外した。

4

これ以前に、私たちの神の家の倉庫を管理するように任命された祭司エリアシブは、トビヤと親しくしていた。⁵

彼はトビヤのために大きな部屋を用意していたが、それは以前、穀物の捧げ物、香、神殿の器具、レビ人、歌う者、門衛のために定められた穀物、新しいぶどう酒、オリーブ油の十分の一、そして祭司への貢ぎ物を保管するために使われていた。

6

しかし、この間、私はエルサレムにいなかった。バビロンの王アルタクセルクセスの32年に、私は王のもとに戻っていた。その後、私は王に休暇を求めた。⁷

そしてエルサレムに戻った。そこで、エリアシブがトビヤのために神の家の庭に部屋を提供した悪事を知った。⁸

私は非常に不満を抱き、トビヤの家財道具をすべて部屋から投げ出した。⁹

私は部屋を清めるよう命じ、その後、神の家の器具、穀物の捧げ物、香を元に戻した。¹⁰

また、レビ人に割り当てられた分が彼らに与えられていないことを発見したので、奉仕を担当するレビ人と歌う者たちはそれぞれの畑に戻っていた。¹¹

そこで私は役人たちを叱責し、「なぜ神の家が放置されているのか？」と問いました。そして彼らを集めて、それぞれの持ち場に配置した。¹²

ネヘミヤ記

その後、ユダの全体が穀物、新しいぶどう酒、オリブ油の十分の一を倉庫に持ってきた。¹³

私は祭司シェレミヤ、書記官ザドク、レビ人ペダヤを倉庫の管理者に任命し、彼らの助手としてマタニヤの子ザックルの子ハナンを任命した。彼らは信頼できると考えられていたからである。彼らは同僚のレビ人に物資を分配する責任を負っていた。

¹⁴ 私の神よ、このことを私のために覚えてください。私が私の神の家とその奉仕のために忠実に行ったことを消さないでください。¹⁵

その頃、私はユダで人々が安息日に酒ぶねを踏み、袋に入れた穀物を運び、ロバに載せ、ぶどう酒、ぶどう、いちじく、あらゆる荷物を持ち込んでいるのを見た。彼らはこれを安息日にエルサレムに持ち込んでいた。それで私はその日に食べ物を売ることに對して警告した。¹⁶

エルサレムに住むツロの人々が魚やあらゆる商品を持ち込み、安息日にもエルサレムでユダの人々に売っていた。¹⁷

私はユダの貴族たちを叱責し、「あなたがたは何という悪事をしているのか—

安息日を汚しているのか?」と言った。¹⁸ あなたたちの先祖も同じことをして、私たちの神がこのすべての災いを私たちとこの町に下したのではないか? 今、あなたたちは安息日を汚すことによってイスラエルにさらに怒りを招いている。

¹⁹ 安息日の前にエルサレムの門に夕方の影が落ちると、私は門を閉じ、安息日が終わるまで開けないよう命じた。私は自分の部下を門に配置し、安息日に荷物が持ち込まれないようにした。²⁰

数回、商人やさまざまな商品を売る者たちがエルサレムの外で夜を過ごした。²¹

しかし、私は彼らに警告して言った。「なぜ壁のそばで夜を過ごすのか? もう一度これをするなら、私

はあなたたちに力行使する。」その時から、彼らは安息日に来なくなった。²²

それから私はレビ人たちに自分を清め、門を守って安息日を聖なるものとするよう命じた。このことも私のために覚えてください、私の神よ、そしてあなたの大きいなる愛に従って私に憐れみを示してください。²³

さらに、その頃、私はユダの人々がアシュドド、アンモン、モアブの女たちと結婚しているのを見た。²⁴

彼らの子供の半分はアシュドドの言葉や他の民族の言葉を話し、ユダの言葉に堪能ではなかった。²⁵ そこで私は彼らを叱責し、呪いをかけた。私は何人かの男たちを打ち、彼らの髪を引き抜いた。そして彼らに神の名によって誓わせ、「あなたたちは自分の娘を彼らの息子に嫁がせてはならず、彼らの娘を自分の息子や自分のために取ってはならない」と言った。²⁶

イスラエルの王ソロモンもそのような結婚のために罪を犯さなかったか? 多くの国々の中で彼のような王はいなかった。彼は彼の神に愛され、神は彼をイスラエル全体の王とされたが、それでも彼は外国の女たちによって罪に導かれた。²⁷

今、あなたたちもこの大きな悪を行い、外国の女たちと結婚して私たちの神に不誠実であるということを開かなければならないのか?²⁸

大祭司エリアシブの子ヨヤダの息子の一人がホロニ人サンバラテの娘婿であった。それで私は彼を自分から追い出した。

²⁹ 私の神よ、彼らが祭司職とレビ人の契約に恥をもたらししたことを覚えてください。³⁰

私は祭司とレビ人をすべての外国のものから清め、それぞれの任務に従って職務を割り当てた。³¹ 私はまた、指定された時に木材の供え物と初穂のための手配をした。私の神よ、私を親切に覚えてください。

エステル記

1 アハシュエロスの時代、インドからクシュに至る127の州を治めていたアハシュエロスの時代に、²
アハシュエロス王がスサの城砦で王座に座していた時に、³
彼の治世の第三年に、彼はペルシャとメディアの軍の指導者たち、貴族たち、州の君主たちを招いて、すべての役人と召使いたちのために宴会を開いた。

4
彼はその栄光ある王国の富とその威厳の輝きを多くの日々、すなわち180日間にわたって示した。⁵
これらの日々が終わったとき、王はスサの城砦にいるすべての人々、最も偉大な者から最も小さな者までのために、王宮の庭の中庭で7日間の宴会を開いた。⁶
そこには、白と青の上質ナリネンの掛け布があり、銀の環に紫の上質ナリネンの紐で大理石の柱に結びつけられていた。ソファは金と銀でできており、ボルフィリー、大理石、真珠母、その他の高価な石のモザイクの敷石の上に置かれていた。⁷
飲み物は金の杯で供され、各々が異なっており、王の寛大さに応じて王室のワインが豊富に供された。⁸
王の命令により、飲むことに強制はなく、すべての執事たちに各人が望むものを供するよう指示されていた。

9
王妃ワシュティもまた、アハシュエロス王の王宮で女性たちのために宴会を開いた。¹⁰
第七日目に、王の心がワインで楽しんでいたとき、彼はムヘマン、ビズタ、ハルボナ、ビグタ、アバグタ、ゼタル、カルカス、王の前に仕える七人の宦官たちに命じた。¹¹
王妃ワシュティを王の前に、その王冠をつけて連れて来るように命じた。彼女の美しさを民と役人たちに見せるためであり、彼女は見るに麗しかったからである。¹²
しかし、王妃ワシュティは宦官たちによって伝えられた王の命令に従うことを拒んだ。それで王は激怒し、その怒りは彼の中で燃え上がった。¹³
それから王は時を理解する賢者たちに相談した。王が法と正義を知るすべての者の前で話すのが習慣であったからである。¹⁴
そして彼に最も近い者たち、カルシェナ、シェタル、アドマタ、タルシシュ、メレス、マルセナ、メムカン、ペルシャとメディアの七人の貴族たちで、王に接近でき、王国で最も高位にあった者たちである。

15
「王の命令を宦官たちによって伝えられたにもかかわらず、王妃ワシュティがそれを遂行しなかったため、法律に従って何がされるべきか」と彼は尋ねた。¹⁶
するとメムカンは王と貴族たちの前で答えた。「王妃ワシュティは王だけでなく、アハシュエロス王のすべての州の貴族たちと民たちにも害を与えました。¹⁷
王妃の行動がすべての女性に知られるようになると、彼女たちは夫を軽蔑して見るようになり、『アハシュエロス王は王妃ワシュティを自分の前に連れて来るよう命じたが、彼女は来なかった』と言うでしょう。¹⁸
この日、ペルシャとメディアの貴婦人たちは王妃の行動を聞いて、すべての王の役人たちに同じように応じるでしょう。その結果、多くの軽蔑と怒りが生じるでしょう。¹⁹
もし王がよろしければ、王妃ワシュティが二度とアハシュエロス王の前に出ることがないようにするという王の命令を発し、ペルシャとメディアの法律に記録され、取り消すことができないようにしてください。また、彼女の王妃の地位を彼女よりも優れた他の者に与えてください。²⁰
王の命令が彼の広大な王国全体に宣言されるとき、すべての女性は最も偉大な者から最も小さな者まで、夫を敬うでしょう。」²¹
この提案は王と貴族たちを喜ばせ、王はメムカンの提案通りに行った。²²
彼は王のすべての州に、各州の文字で、各民族の言語で手紙を送り、各人が自分の家で支配者となり、自分の民族の言語で話すべきであると宣言した。

2
これらの出来事の後、クセルクセス王の怒りが静まったとき、彼はワシュティと彼女がしたこと、そして彼女に対して下された命令を思い出した。²
すると、王に仕える従者たちが提案した。「王のために美しい若い処女たちを探しましょう。³
王は王国のすべての州に役人を任命し、美しい若い処女たちをスサの城に集め、王の宦官で女性たちの監督をしているヘガイの管理下に置き、美容の手当を施しましょう。⁴
そして、王を喜ばせる若い女性をワシュティの代わりに王妃にしましょう。」この提案は王を喜ばせ、彼はそれに従って行動した。

5
さて、スサの城にモルデカイというユダヤ人がいた。彼はヤイルの子で、シメイの子、キシユの子であ

エステル記

り、ベニヤミン族であった。⁶
彼は、バビロンの王ネブカドネザルが捕囚にしたユダの王エホヤキンと共にエルサレムから捕囚に連れて行かれた者たちと一緒に捕囚にされた者であった。⁷

モルデカイにはハダサ、すなわちエステルという名のいとこがいた。彼女は父も母もいなかったで、モルデカイが彼女を育てた。この若い女性は姿も顔立ちも美しかった。彼女の父と母が死んだとき、モルデカイは彼女を自分の娘として養子にした。

⁸
王の命令と布告が発表されたとき、多くの若い女性たちがササの城に連れて来られ、ヘガイの管理下に置かれた。エステルもまた王の宮殿に連れて行かれ、ハレムの管理をしているヘガイに託された。⁹
彼女は彼を喜ばせ、彼の好意を得た。すぐに彼は彼女に美容の手当と特別な食物を提供した。彼は王の宮殿から選ばれた7人の女性従者を彼女に割り当て、彼女とその従者たちをハレムの最良の場所に移した。¹⁰

エステルは自分の国籍や家族の背景を明かしていなかった。モルデカイがそうしないように指示していたからである。¹¹
モルデカイは毎日ハレムの庭の近くを行き来して、エステルがどうしているか、彼女に何が起きているかを知ろうとした。¹²

若い女性がクセルクセス王のもとに行く順番が来る前に、彼女は12か月の美容の手当を完了しなければならなかった。それは、6か月は没薬の油で、6か月は香料と化粧品であった。¹³

そして、彼女が王のもとに行くときには、彼女が望むものは何でもハレムから王の宮殿に持って行くことが許された。¹⁴

彼女は夕方に行き、朝にはハレムの別の部分に戻り、側室たちの管理をしている王の宦官シャアシュガズの管理下に置かれた。彼女は王が彼女を喜ばせ、名前前で召さない限り、再び王のもとに戻ることはなかった。

¹⁵
モルデカイの叔父アビハイルの娘で、彼が自分の娘として養子にしたエステルの順番が来たとき、彼女はハレムの管理をしている王の宦官ヘガイが提案したもの以外は何も求めなかった。そしてエステルは彼女を見るすべての人の目に好意を見出した。¹⁶
エステルは王の治世の第七年の第十月、すなわちテベテの月に王の宮殿に連れて行かれた。¹⁷
王は他のすべての女性よりもエステルを愛し、彼女は他のすべての処女よりも王の好意と優しさを見出

した。それで彼は彼女の頭に王冠を置き、ワシュティの代わりに彼女を王妃とした。¹⁸
その後、王はすべての貴族と役人のために盛大な宴会、すなわちエステルの宴会を開いた。彼は州全体に休日を宣言し、王の寛大さで贈り物を配った。

¹⁹
処女たちが再び集められたとき、モルデカイは王の門に座っていた。²⁰

エステルはモルデカイが指示したとおり、彼女の家族の背景や彼女の民族を明かしていなかった。彼女は彼が彼女を育てていたときのように、モルデカイの指示に従い続けていた。²¹
モルデカイが王の門にいたとき、入口を守っていた王の役人ビッグタナとテレシュの二人が怒り、クセルクセス王を害しようと企んだ。²²

しかし、その陰謀はモルデカイに知られ、彼は王妃エステルに知らせ、彼女はモルデカイの名前で王に報告した。²³

その報告が調査され、事実であることが判明すると、二人の役人は絞首台で吊るされた。すべてこれが王の前で年代記の書に記録された。

3 これらの出来事の後、クセルクセス王はハメダタの子、アガグ人ハマンを榮譽し、彼を高位に昇進させ、他のすべての役人の上に権威を確立しました。²

王の門にいるすべての王の臣下はハマンにひれ伏し、敬意を表しました。これは王が彼について命じたことだからです。しかし、モルデカイはひれ伏さず、敬意を表しませんでした。

³
そこで、王の門にいる王の臣下たちはモルデカイに尋ねました。「なぜ王の命令に従わないのですか？」⁴

彼らは日々彼に話しかけましたが、彼は聞き入れませんでした。それで、彼らはモルデカイの理由が容認されるかどうかを見るためにハマンに報告しました。彼が自分がユダヤ人であることを彼らに知らせていたからです。

⁵
ハマンはモルデカイがひれ伏さず、敬意を表さないのを見て、激怒しました。⁶
モルデカイの民が誰であるかを知った彼は、モルデカイだけを殺すのは自分にとって卑しいことだと考えました。代わりに、ハマンはクセルクセス王の王国全体にいるモルデカイの民であるすべてのユダヤ人を滅ぼそうとしました。⁷
クセルクセス王の第十二年の第一月、ニサンの月に

エステル記

、ハマンの前で日と月を決めるためにブル（すなわちくじ）が投げられました。そして、くじは第十二月、アダル月に当たりました。⁸

それからハマンはクセルクセス王に言いました。「あなたの王国のすべての州に散らばり離散しているある民がいます。彼らの習慣は他のすべての民と異なり、王の法律に従いません。彼らを容認するのは王の利益にはなりません。」⁹

もし王がよろしければ、彼らを滅ぼすための布告を出してください。私は王の財務を管理する者たちの手に一万タラントの銀を支払います。」¹⁰

王は自分の印章の指輪を手から取り、ユダヤ人の敵であるハメダタの子、アガグ人ハマンに与えました¹¹

。王はハマンに言いました。「銀はそのままにしておけ、民については好きなようにせよ。」¹²

第一月の十三日に、王の書記官たちが召集され、彼らはハマンの命令をすべて王の総督たち、各州の知事たち、すべての民の役人たちに書きました。各州の文字で、各民の言語で書かれました。これらはクセルクセス王の名で書かれ、彼の指輪で封印されました。¹³

使者たちによって王のすべての州に送られた命令は、ユダヤ人、若い者も年老いた者も、女性も子供も、一日で滅ぼし、殺し、絶滅させ、その財産を略奪するというものでした。それは第十二月、アダルの月の十三日でした。¹⁴

その布告の写しは、すべての州で法律として発行され、すべての民に知らされ、その日に備えるようにされました。¹⁵

使者たちは王の命令によって急がされて出発し、その布告はササの城で発行されました。王とハマンは座って飲みましたが、ササの町は混乱していました。¹⁶

4 モルデカイは、行われたすべてのことを知ったとき、彼は衣服を裂き、荒布と灰をまとい、町の中心に出て行き、大声で激しく泣き叫んだ。²

彼は王の門まで行ったが、荒布を着たままでは王の門に入ることは許されなかった。³

王の命令と布告が届いたすべての州で、ユダヤ人の間に大きな悲しみがあり、断食、泣き叫び、嘆きがあった。多くの者が荒布と灰の中に横たわった。⁴

エステル⁵の宦官と女官たちが来て、モルデカイのことを彼女に知らせたとき、彼女は大いに心を痛めた。彼女はモルデカイに荒布の代わりに着る衣服を送

ったが、彼はそれを受け取ることを拒んだ。⁵
それからエステルは、彼女に仕えるために任命された王の宦官の一人であるハタクを呼び、モルデカイのところに行って、彼に何が起きているのか、なぜそうなのかを尋ねるように指示した。⁶

ハタクは王の門の近くの町の広場でモルデカイのところに行った。⁷

モルデカイは彼に、自分に起こったすべてのことを話し、ユダヤ人を滅ぼすためにハマンが王室の財宝に預けると約束した正確な金額を含めて説明した。⁸

彼はまた、ササで発行された彼らの殲滅のための布告の写しを彼に渡し、それをエステルに見せて説明し、彼女に王の前に出て彼の好意を求め、彼女の民のために嘆願するように指示した。⁹

ハタクは戻って、モルデカイの言葉をエステルに伝えた。¹⁰

それからエステルはハタクにモルデカイに返事をするように指示した：¹¹

「王のすべての臣下と王の州の民は、召されずに内庭に入って王に近づく者は、男でも女でも同じ法律に直面することを知っています。それは死です。ただし、王が金の杖を差し伸べて彼らを生かす場合を除きます。私は30日間、王に召されていません。」¹² エステルの言葉はモルデカイに伝えられた。¹³

モルデカイはエステルにこの返事を送った：「あなたが王の家にいるからといって、あなた一人だけがすべてのユダヤ人の中で逃れると思っ

てはいけません。¹⁴
もしこの時に沈黙を守るなら、ユダヤ人のための救済と解放は他の場所から起こるでしょうが、あなたとあなたの父の家族は滅びるでしょう。そして、あなたがこのような時のために王妃の地位を得たのかもしれないことを誰が知っていますか？」

¹⁵ それからエステルはモルデカイに答えた：¹⁶

「行って、ササにいるすべてのユダヤ人を集め、私のために断食してください。3日間、昼も夜も食べたり飲んだりしないでください。私と私の侍女たちもあなたたちと同じように断食します。その後、法律に反していても私は王のもとに行きます。そして、もし滅びるなら、滅びます。」¹⁷

それでモルデカイは去り、エステルが彼に指示したすべてのことを行った。

エステル記

5 三日目に、エステルは王の衣装を身にまとい、王宮の内庭に立ち、王の広間の入口に向かって立った。王は王座の間で王座に座っており、入口に向かっていた。² 王がエステル王妃が庭に立っているのを見たとき、彼女は王の目に好意を見出し、王は手に持っていた金の笏を彼女に差し伸べた。エステルは近づいて笏の先に触れた。

3 王は尋ねた、「エステル王妃よ、何があなたを悩ませているのか? あなたの願いは何か? 王国の半分までなら、あなたに与えられる。」⁴ エステルは答えた、「もし王がよろしければ、今日、王とハマンが私が用意した宴会に来てください。」⁵

王は言った、「ハマンを急いで連れて来て、エステルの望むことをしよう。」それで、王とハマンはエステルが用意した宴会に行った。⁶ 彼らが宴会でワインを飲んでいるとき、王はエステルに尋ねた、「あなたの願いは何か? それはあなたに与えられる。そしてあなたの要求は何か? 王国の半分までなら、それは果たされる。」⁷

エステルは答えた、「これが私の願いと要求です:」⁸ もし私が王の目に好意を見出し、王が私の願いをかなえ、要求を果たすことを喜ばれるなら、明日、王とハマンが私が彼らのために用意する宴会に来てください。そうすれば、私は王の質問に答えます。」⁹

その日、ハマンは喜びと心の満足を持って去った。しかし、彼が王の門でモルデカイを見たとき、モルデカイが立ち上がり、彼の前で恐れを示さないのを見て、ハマンは彼に対して怒りに満ちた。¹⁰ それにもかかわらず、ハマンは自分を抑えて家に帰った。

彼は友人たちと妻のゼレシュを集め、¹¹ 彼の大きな富、彼の多くの息子たち、そして王が彼をどのように栄誉を与え、他の役人や召使たちの上に昇進させたかを自慢した。¹² ハマンはさらに言った、「さらに、エステル王妃は私以外に誰も王と共に彼女が用意した宴会に招待しませんでした。そして明日、私は再び彼女と共に王と一緒に招待されています。」¹³ しかし、モルデカイというユダヤ人が王の門に座っているのを見る限り、これらすべては私に満足を与えません。」

14 彼の妻ゼレシュとすべての友人たちは提案した、「高き五十キュビトの紋首台を建て、朝に王にモルデカイをその上に吊るすように頼みなさい。それから王と共に喜んで宴会に行きなさい。」この助言はハマンを喜ばせ、彼は紋首台を建てた。

6 その夜、王は眠れなかったので、年代記、すなわち彼の治世の記録の書を持って来て読ませるように命じた。²

そこには、モルデカイが王の入口を守る宦官のビゲタナとテレシュの二人が、クセルクセス王を襲おうと企んでいたことを報告したと記されていた。³ 王は尋ねた。「このことに対してモルデカイにどんな名誉や報酬が与えられたのか?」王の従者たちは答えた。「彼には何もされていません。」⁴

王は言った。「誰か宮廷にいるか?」ハマンはちょうど、モルデカイを自分が用意した紋首台にかけることを王に話そうと、宮殿の外庭に入ってきたところだった。⁵ 王の従者たちは答えた。「ハマンが庭に立っています。」王は言った。「彼を入れなさい。」⁶ ハマンが入ってきたとき、王は彼に尋ねた。「王が栄誉を与えたいと思う者には何をすべきか?」

ハマンは心の中で思った。「王が私以上に栄誉を与えたいと思う者がいるだろうか?」⁷ そこでハマンは王に答えた。「王が栄誉を与えたいと望む者には、⁸ 王が着たことのある王の衣を持って来させ、王が乗ったことのある馬を、その頭に王の冠を置いて持ってきてください。」⁹ その衣と馬を王の最も高貴な役人の一人に託し、王が栄誉を与えたいと思う者にその衣を着せ、馬に乗せて市の広場を引き回し、その前で『これが王が栄誉を与えたいと思う者に対して行われることだ!』と宣言させてください。」

10 王はハマンに命じた。「急いで、あなたが言った通りに衣と馬を持って行き、王の門に座っているユダヤ人のモルデカイにそれをしなさい。あなたが勧めたことを何も省いてはならない。」¹¹ そこでハマンは衣と馬を取り、モルデカイにそれを着せ、彼を馬に乗せて市の広場を引き回し、その前で「これが王が栄誉を与えたいと思う者に対して行われることだ!」と宣言した。¹² その後、モルデカイは王の門に戻ったが、ハマンは頭を覆って嘆きながら急いで家に帰った。¹³

エステル記

ハマンは妻ゼレシュとすべての友人に自分に起こったことをすべて話した。

彼の賢者たちと妻ゼレシュは彼に言った。「もしあなたが倒れ始めたモルデカイがユダヤ人の出身であるなら、あなたは彼に勝てず、必ず滅びるでしょう。」¹⁴

彼らがまだ彼と話している間に、王の宦官たちが到着し、急いでハマンをエステルが用意した宴会に連れて行った。

7 王とハマンは、エステル王妃と共に酒を飲みに行った。²

二日目、彼らが宴会で酒を飲んでいると、王は尋ねた。「エステル王妃よ、あなたの願いは何か。それはあなたに与えられる。そしてあなたの求めは何か。王国の半分に至るまで、それは果たされる。」³

エステル王妃は答えた。「もし私が王の目に恵みを見だし、もしそれが王の御心にかなうなら、私の命をお与えください—

これが私の願いです。そして私の民をお救いください—これが私の求めです。」⁴

私と私の民は滅ぼされ、殺され、絶やされるために売られました。もし私たちが単に奴隷として、男も女も売られたのなら、私は黙っていたでしょう。なぜなら、そのような苦しみは王を煩わせる理由にはならないからです。」⁵

アハシュエロス王はエステル王妃に尋ねた。「それは誰で、どこにいるのか、そのようなことを敢えてした者は？」⁶

エステルは言った。「敵対者であり、敵です！この悪しきハマンです！」するとハマンは王と王妃の前で恐れおののいた。⁷

王は酒から怒りをもって立ち上がり、宮殿の庭に行った。しかし、ハマンは王が自分に害を加えることを決めたことと悟り、エステル王妃に命乞いをするためにその場に残った。

⁸ 王が宮殿の庭から宴会の場に戻ると、ハマンはエステルがいるソファに倒れ込んでいた。王は叫んだ。「彼は私が家にいる間に王妃を襲おうとしているのか？」王の口から言葉が出るやいなや、彼らはハマンの顔を覆った。⁹

すると、王に仕えている宦官の一人、ハルボナが言った。「ご覧ください、ハマンの家には高さ五十キユビトの絞首台があります。彼は王を助けるために

声を上げたモルデカイのためにそれを作りました。」

王は言った。「彼をそれにかけよ！」¹⁰

こうして彼らはハマンを、彼がモルデカイのために準備した絞首台にかけた。すると王の怒りは静まった。

8 その日、アハシュエロス王はユダヤ人の敵ハマンの財産を王妃エステルに与えた。モルデカイは王の前に出た。エステルが彼らの関係を明かしたからである。²

王はハマンから取り上げた印章の指輪を外し、それをモルデカイに与えた。エステルはモルデカイをハマンの財産の管理者に任命した。³

エステルは再び王の前に出て、彼の足元にひれ伏し、泣きながらユダヤ人に対してハマン・アガグ人が企てた悪事を止めるよう懇願した。⁴

王はエステルに金の笏を差し伸べ、彼女は立ち上がって王の前に立った。⁵

彼女は言った、「もし王がよろしければ、また私が王の目に恵みを見だし、この事が王に正しいと思われ、私が王の目に喜ばしいのであれば、ハマン・ハメダタの子アガグ人がユダヤ人を滅ぼすために書いた手紙を取り消す命令を書いてください。」⁶

どうして私の民に降りかかる災いを見ることができましょうか。どうして私の家族の滅びを耐え忍ぶことができましょうか。」⁷

アハシュエロス王は王妃エステルとユダヤ人モルデカイに言った、「私はハマンの財産をエステルに与え、彼がユダヤ人に手をかけたために彼を絞首台にかけた。」⁸

今、あなたたちはユダヤ人のために王の名で適当と思う命令を書き、王の印章の指輪で封印しなさい。王の名で書かれ、王の指輪で封印された文書は取り消すことができないからです。」⁹

王の書記たちは直ちに召集され、第三の月、シワンの月の二十三日に、モルデカイの命令をユダヤ人、総督、知事、インドからクシュに至る¹²⁷の州の役人に書き送った。これらの命令は各州の文字と各民族の言語で、ユダヤ人には彼ら自身の文字と言語で書かれた。¹⁰

モルデカイはアハシュエロス王の名で書き、王の印章の指輪で封印し、王の速馬に乗った騎兵によってそれを送った。¹¹

王の勅令は、すべての都市のユダヤ人に集まり自衛する権利を与え、彼らを攻撃するかもしれないすべ

エステル記

ての民族や州の武装勢力を滅ぼし、殺し、全滅させ、彼らの財産を略奪する権利を与えた。¹²
これはアハシュエロス王のすべての州で、十二月、アダル月の十三日に行われることになっていた。¹³

勅令の文書の写しは各州で法律として公布され、すべての民族に知らされ、ユダヤ人がその日、自分たちの敵に復讐する準備をするためであった。¹⁴
王の命令に促されて、王の速馬に乗った騎兵たちは急いで出発し、勅令はスサの城で公布された。¹⁵
モルデカイは青と白の王服を着て、金の大きな冠と上等の亜麻布と紫の衣をまとうて王の前から出てきた。スサの町は歓声を上げ、喜んだ。¹⁶
ユダヤ人にとって、それは光と喜び、楽しみと栄誉の時であった。¹⁷
王の命令と勅令が届いたすべての州と都市で、ユダヤ人の間に喜びと楽しみがあり、宴会と祝祭が行われた。他の多くの民族の人々がユダヤ人になったのは、ユダヤ人に対する恐れが彼らに降りかかったからである。

9 第十二の月、すなわちアダル月の十三日に、王の命令と布告が施行される日、ユダヤ人の敵が彼らを圧倒しようと望んだその日に、事態は逆転し、ユダヤ人は自分たちを憎む者たちに対して優位に立った。²
ユダヤ人はクセルクセス王の全州にある自分たちの町に集まり、自分たちを害しようとする者たちを攻撃した。そして、彼らに立ち向かう者はいなかった。なぜなら、彼らへの恐れがすべての民に降りかかったからである。³
州のすべての役人、総督、知事、そして王の業務を行う者たちはユダヤ人を支持した。なぜなら、モルデカイへの恐れが彼らを圧倒したからである。⁴
モルデカイは王の宮殿で著名であり、彼の名声は州全体に広がった。彼はますます力を増していった。⁵

ユダヤ人は剣で敵を打ち倒し、彼らを殺し、滅ぼし、自分たちを憎む者たちに対して思いのままに行動した。⁶
スサの城砦内で、ユダヤ人は五百人の男を殺し、滅ぼした。⁷
パルシャンダタ、ダルフォン、アスパタ、⁸
ボラタ、アダリヤ、アリダタ、⁹
パルマシュタ、アリサイ、アリダイ、ヴァイザタ、¹⁰
ユダヤ人の敵であったハメダタの息子ハマンの十人の息子たち。しかし、彼らは戦利品を取らなかった。¹¹

¹¹
その日、スサの城砦で殺された者の数が王に報告された。¹²
王は王妃エステルに言った。「スサの城砦でユダヤ人は五百人の男とハマンの十人の息子を殺し、滅ぼした。王の他の州では何をしたいのか？今、あなたの願いは何ですか？それはあなたに与えられるでしょう。そして、さらに何を求めますか？それも行われるでしょう。」¹³
エステルは答えた。「もし王がよろしければ、スサのユダヤ人が今日の布告を明日も実行できるようにし、ハマンの十人の息子を絞首台に吊るしてください。」¹⁴
それで、王はこれを行うよう命じた。スサで布告が発せられ、彼らはハマンの十人の息子を吊るした。¹⁵

スサのユダヤ人はアダル月の十四日に再び集まり、スサで三百人の男を殺したが、戦利品には手を触れなかった。¹⁶

一方、王の州にいる他のユダヤ人たちは自分たちを守り、敵を排除するために集まり、彼らを憎む者七万五千人を殺したが、戦利品には手を触れなかった。¹⁷
これはアダル月の十三日に行われ、十四日には休んで宴会と喜びの日とした。¹⁸
しかし、スサのユダヤ人は十三日と十四日に集まり、十五日に休んで宴会と喜びの日とした。¹⁹
したがって、村に住む田舎のユダヤ人はアダル月の十四日を喜びと宴会の日、食べ物、贈り物を互いに送る日として守っている。²⁰

モルデカイはこれらの出来事を記録し、クセルクセス王の全州のユダヤ人に手紙を送り、近くも遠くも、²¹
アダル月の十四日と十五日を毎年、の祝祭として定めるようにした。²²
それは、ユダヤ人が敵から解放された時であり、彼らの悲しみが喜びに変わり、喪が祝祭の日が変わった月である。彼らはそれを宴会と喜びの日、食べ物の贈り物を互いに送り、貧しい人々に贈り物をする日として守るべきである。²³
それで、ユダヤ人はモルデカイが彼らに書いたように、始めた祝祭を続けることに同意した。²⁴
アガグ人ハメダタの息子ハマンは、すべてのユダヤ人の敵であり、ユダヤ人を滅ぼそうと企て、ブル、すなわちくじを引いて彼らを混乱させ、滅ぼそうとした。²⁵

エステル記

しかし、その問題が王の注意を引いたとき、王はハマンがユダヤ人に対して企てた悪事が彼自身の頭に返るようにとの書面命令を出し、彼とその息子たちを絞首台に吊るすようにした。²⁶

したがって、これらの日はプルという言葉からプーリムと呼ばれた。この手紙に書かれたすべてのことと、彼らが見たこと、彼らに起こったことのために、²⁷

ユダヤ人は自分たちとその子孫、そして彼らと同盟するすべての者のために、これらの二日間を毎年、定められた方法で、定められた時に祝う習慣を確立した。²⁸

これらの日はすべての世代、すべての家族、すべての州、すべての都市で記憶され、祝われるべきである。そして、プーリムの日々はユダヤ人によって祝われなくなることはなく、その記憶が彼らの子孫から消えることはない。

²⁹

その後、アビハイルの娘である王妃エステルは、ユダヤ人モルデカイと共に、プーリムについてのこの第二の手紙を確認するために全権を持って書いた。

³⁰

そして、モルデカイはクセルクセス王国の127州のすべてのユダヤ人に、平和と真実の言葉を含む手紙を送った。³¹

ユダヤ人モルデカイと王妃エステルが彼らのために定めたように、また彼ら自身とその子孫のために断食と嘆きの時について定めたように、これらのプーリムの日をその指定された時に確立するためである。³²

エステルの布告はプーリムに関するこれらの規定を確認し、それは記録に書き留められた。

10 アハシュエロス王は、陸地と海の島々に貢ぎ物を課した。²

彼の力と偉大さのすべての行い、そして王が栄誉を与えたモルデカイの偉大さの詳細な記録は、メディアとペルシャの王の年代記の書に記されているではないか。³

ユダヤ人のモルデカイはアハシュエロス王に次ぐ地位にあり、ユダヤ人の間で尊敬され、多くの同胞から高く評価されていた。彼は自分の民の利益を求め、国全体の福祉のために語ったからである。

ヨブ記

1 ヲブの地にヨブという名の人がいた。この人は
潔白で正しく、神を恐れ、悪を避けていた。 2
ヨブには七人の息子と三人の娘がいた。 3

彼の所有物には、七千の羊、三千のラクダ、五百の
対の牛、五百の雌ロバ、そして多くのしもべがいた。
彼は東のすべての人々の中で最も著名な人であっ
た。

4
彼の息子たちは、自分たちの家で順番に宴会を開き
、指定された日に三人の姉妹を招いて一緒に食べたり
飲んだりしていた。 5
宴会の日々が過ぎると、ヨブは彼らと呼び寄せて聖
別した。朝早く起きて、彼はそれぞれのために全焼
のいけにえを捧げた。「もしかしたら、私の子供た
ちは罪を犯し、心の中で神を呪ったかもしれない」
と考えたからである。これはヨブの常の行いであっ
た。

6
ある日、神の子たちが主の前に来て自分を示し、サ
タンも彼らの中に来た。 7
主はサタンに尋ねた。「どこから来たのか？」

サタンは主に答えた。「地を歩き回り、あちこち歩
き回ってきました。」 8
すると主はサタンに言った。「私のしもべヨブに心
を留めたか。地上に彼のような者はいない。彼は潔
白で正しく、神を恐れ、悪を避ける者である。」

9
サタンは主に答えた。「ヨブが何の見返りもなく神
を恐れるのでしょうか。」 10

「あなたは彼とその家と彼の持ち物のすべての周り
に垣を巡らせているではありませんか。あなたは彼
の手の働きを祝福し、彼の家畜は地に広がっていま
す。」 11

しかし、今、あなたの手を伸ばして彼の持ち物をす
べて打ってみてください。彼はきっとあなたを面と
向かって呪うでしょう。」

12
主はサタンに言った。「よろしい、彼の持ち物はす
べてあなたの手に委ねる。しかし、彼自身には手を
触れてはならない。」
こうしてサタンは主の前から去った。

13
ある日、ヨブの息子たちと娘たちが長兄の家で食べ
たり、ぶどう酒を飲んだりしているときに、 14
使者がヨブのもとに来て報告した。「牛が耕してい
て、雌ロバがその近くで草を食べていたとき、 15

サベア人が襲いかかり、それらを奪い去りました。
彼らはしもべたちを剣で殺し、私だけが逃れてあな
たに知らせに来ました。」

16
彼がまだ話しているうちに、別の使者が来て言った
。「神の火が天から降ってきて、羊としもべたちを
焼き尽くしました。私だけが逃れてあなたに知らせ
に来ました。」 17

彼がまだ話しているうちに、別の使者が来て言っ
た。「カルデア人が三つの隊を組んでラクダを襲い、
それらを奪い去りました。彼らはしもべたちを剣で
殺し、私だけが逃れてあなたに知らせに来ました。」 18

彼がまだ話しているうちに、さらに別の使者が来て
言った。「あなたの息子たちと娘たちが長兄の家で
食べたり、ぶどう酒を飲んだりしているときに、 19
突然、荒野から大風が吹き寄せてきて、家の四隅を
打ち、家は彼らの上に崩れ落ちました。彼らは死に
ました。私だけが逃れてあなたに知らせに来ました
。」 20

これを聞いて、ヨブは立ち上がり、衣を裂き、頭を
剃った。そして地にひれ伏して礼拝した。 21
彼は言った、

「裸で母の胎から出てきたように、
裸でそこに帰ろう。 主が与え、主が取られた。
主の御名がほむべきかな。」

22
これらすべての出来事を通して、ヨブは罪を犯さず
、神を非難しなかった。

2
また別の日に、神の子たちが主の前に立ち、自
分を示すために来たとき、サタンも彼らの中に
来て、主の前に自分を示した。 2
主はサタンに言った、「どこから来たのか？」

サタンは主に答えた、「地を歩き回り、そこを歩き
回ってきました。」

3
主はサタンに言った、「わたしのしもべヨブに心を
留めたか。地上に彼のような者はいない。彼は潔白
で正しく、神を恐れ、悪を避ける者だ。そして、あ
なたが理由もなく彼を滅ぼすようにわたしをその
かしたにもかかわらず、彼はなおその誠実を保って
いる。」 4

サタンは主に答えた、「皮には皮を！確かに、人は
自分の命のために持っているものをすべて与えるで
しょう。」 5
しかし今、あなたの手を伸ばして彼の骨と肉を打つ

ヨブ記

てみてください。彼はきっとあなたを面と向かって
呪うでしょう。」

6
主はサタンに言った、「よろしい、彼はあなたの手
にある。ただし、彼の命を取ってはならない。」⁷
そこでサタンは主の前から出て行き、ヨブを足の裏
から頭の頂まで痛ましい腫れ物で打った。⁸
ヨブは陶器の破片を取って自分を掻き、灰の中に座
った。⁹
彼の妻は彼に言った、「あなたはまだその誠実を保
っているのですか？神を呪って死になさい！」¹⁰
彼は答えた、「あなたは愚かな女の一人のように話
している。私たちは神から良いものを受けるべきで
あって、災いを受けないべきでしょうか？」このす
べてにおいて、ヨブはその唇で罪を犯さなかった。

11
ヨブの三人の友人、テマン人エリファズ、シュヒ人
ビルダデ、ナアマ人ツォファルは、彼に降りかかっ
たすべての災い聞き、それぞれの家から出発し、
彼を慰め、同情するために共に集まることにした。

12
彼らが遠くから彼を見たとき、彼をほとんど認識で
きなかった。彼らは声を上げて大声で泣き、衣を裂
き、空に向かって頭に塵を振りかけた。¹³
そして彼らは七日七晩、彼と共に地に座った。彼の
苦しみが非常に大きいを見て、誰も彼に一言も話
さなかった。

3 これらの出来事の後、ヨブは口を開き、自分の
誕生日を嘆いた。² 彼は言った：

3 「私の誕生日が消えてしまえ、
そして『男の子が宿った』と告げた夜も。⁴
その日は暗闇であれ； 上なる神がそれを無視し、
光がそれに輝かないように。⁵
暗闇と深い影がそれを奪い、
雲がその上に宿り、
日の黒さがそれを恐れさせよ。⁶
その夜については、濃い暗闇がそれを捕らえ、
年の中の日々に教えられず、
月の中に数えられないように。⁷
見よ、その夜は不毛であれ；
喜びの叫びがそれに聞こえないように。⁸
日を呪う者たちがその日を呪え、
レビヤタンを呼び起こす準備ができている者たち
が。⁹ その朝の星々が暗くなれ；
光を望んでも得られず、
夜明けの最初の光を見ることがないように、¹⁰
それは私の母の胎の扉を閉じず、
私の目から悩みを遠ざけなかったからだ。

11 「なぜ私は生まれた時に死ななかったのか、
胎から出て消え去らなかったのか？」¹²
なぜ私を受ける膝があり、
私が乳を吸う乳房があったのか？¹³
今、私は安らかに休んでいるだろう；
眠り、安らかに休んでいるだろう、¹⁴
地の王たちや助言者たちと共に、
自分たちのために廃墟を築いた者たちと共に、¹⁵
または金を持っていた王子たちと共に、
銀で家を満たした者たちと共に。¹⁶
またはなぜ私は流産した子のように隠されなかつ
たのか、 光を見たことのない幼子のように？¹⁷
そこでは悪者たちは不安から解放され、
疲れた者たちは休息を見つける。¹⁸
囚人たちは共に安らぎ、 圧制者の声を聞かない。
¹⁹ 卑しい者も偉大な者もそこにおり、
召使いは主人から解放される。

20 「なぜ苦しむ者に光が与えられ、
魂が苦い者に命が与えられるのか、²¹
死を待ち望むが、それが来ず、
隠された宝よりもそれを掘り求める者たちに、²²
墓を見つけた時に喜びに満ち、
歓喜する者たちに？²³
なぜ道が隠された人に光が与えられるのか、
神が彼を囲まれた者に？²⁴
私のため息は食事の前に来、
私のうめきは水のように流れ出る。²⁵
私が恐れていたことが私に降りかかり、
私が恐れていたことが私を襲った。²⁶
私には平和も静けさもなく、
休息もなく、ただ混乱だけがある。」

4 テマン人エリファズが答えた。
²

「もし誰かがあなたに語りかけようとしたら、
あなたは落ち着きを失うだろうか？
それでも、誰が言葉を抑えることができるだろう
か？」³ あなたが多くの人を教え、
弱い手を強めたことを考えてみなさい。⁴
あなたの言葉はつまずく者を支え、
よろめく膝を強くした。⁵
しかし今、それがあなたに降りかかり、あなたは
落胆している。
それがあなたに触れ、あなたは驚いている。⁶
あなたの神への畏れがあなたの自信ではないのか
、
あなたの道の誠実さがあなたの希望ではないのか
？

ヨブ記

7 「今、考えてみなさい、無実で滅びた者がいるだろうか？
また、正しい者が滅ぼされたことがあるだろうか？
8 私が見たところによれば、不義を耕す者、
9 災いを蒔く者はそれを刈り取る。
神の息によって彼らは滅び、
その怒りの吹き出しによって彼らは消え去る。
10 ライオンの咆哮と猛獣の声、
11 しかし若いライオンの歯は砕かれる。
獲物がないためにライオンは滅び、
12 ライオンの子たちは散らされる。
「言葉が密かに私に伝えられ、
私の耳はそのささやきを捉えた。
13 夜の幻の中での悩ましい思いの中で、
深い眠りが人々に降りかかるとき、
14 恐れと震えが私に襲いかかり、
私の骨をすべて震わせた。
15 霊が私の顔の前を滑り過ぎた。
私の肌の毛が逆立った。
16 それは立ち止まったが、その形を見分けることはできなかった。
目の前に形があり、
17 静かな声を聞いた。
『人は神の前で正しくあり得るか？
18 人はその造り主の前で清くあり得るか？
彼はその僕たちにも信頼を置かず、
19 その天使たちに過ちを見出す。
ましてや、粘土の家に住む者たちはどうだろうか
、その基は塵の中にあり、
20 蛾よりも容易く砕かれる者たち！
朝から夕方まで彼らは砕かれ、
21 気づかれずに永遠に滅び去る。
彼らの天幕の綱は彼らの中で引き抜かれなければ
うか？彼らは知恵もなく死ぬ。』

5 「さあ呼んでみよ、誰があなたに答えるか。
聖なる者たちのうち、誰に向かってあなたは振り向くのか。
2 怒りは愚か者を殺し、
嫉妬は無知な者を死に至らせる。
3 私は愚か者が根を張るのを見たが、
すぐにその家を呪った。
4 彼の子らは安全から遠く、門で圧迫され、
5 助ける者はいない。
飢えた者が彼の収穫を食い尽くし、
茨の中からでもそれを奪い、
6 計略家はその富を狙う。
災いは塵から起こるのではなく、
7 苦しみは地から芽生えるのではない。
しかし、人は苦しみのために生まれる、
火花が上に飛ぶように。

8 「しかし、私は神を求め、
私の訴えを神に向けるだろう。
9 神は偉大で計り知れない業を行い、
10 数えきれない奇跡を行う。
神は地に雨を降らせ、
11 野に水を送る。
それによって、低い者を高く置き、
12 悲しむ者を安全に引き上げる。
神は賢い者の計画を挫き、
13 彼らの手が成功を収められないようにする。
神は賢い者をその狡猾さに陥れ、
14 狡猾な者の助言はすぐに覆される。
昼間に彼らは暗闇に遭遇し、
15 正午に夜のように手探りする。
しかし、神は彼らの口の剣から救い出し、
16 貧しい者を強者の手から救い出す。
それで、無力な者には希望があり、
不正は口を閉ざす。

17 「見よ、神に正される人は幸いだ、
だから全能者の懲らしめを拒むな。
18 神は痛みを与え、そして癒しをもたらす。
神は傷を負わせ、その手で治す。
19 六つの災いからあなたを救い出し、
七つ目の災いでも、悪はあなたに触れない。
20 飢饉のとき、神はあなたを死から救い出し、
21 戦争のとき、剣の力から救い出す。
あなたは舌の鞭から隠され、
22 暴力が来ても恐れない。
あなたは破壊と飢えを笑い、
23 野生の生き物を恐れない。
あなたは野の石と契約を結び、
24 野の動物はあなたと平和である。
あなたは自分の天幕が安全であることを知り、
家を訪れても何も欠けていないことを見つける。
25 あなたの子孫が多くなることを知り、
あなたの子孫は地の草のように豊かである。
26 あなたは満ちた年齢で墓に至り、
27 季節に集められる穀物の束のように。
見よ、私たちはこれを調べ、真実である。
これを聞き、自分で理解せよ。」

6 するとヨブは答えて言った
2 「どうか私の苦しみが量られ、
私の災いが共に天秤にかけられるならば！
3 それは確かに海の砂よりも重いだろう。
だから私の言葉は軽率だったのだ。
4 全能者の矢が私の中にあり、
私の霊はその毒を飲み干している。
5 神の恐怖が私に向かって整列している。
野生のロバは草があるときに鳴くのか、

ヨブ記

牛は飼い糞の上で鳴くのか？⁶
味の無い食物が塩なしで食べられるか、
マロウの汁に何か味があるか？⁷
私はそのようなものに触れることを拒む。
それは私には忌まわしい食物のようだ。

⁸ 「ああ、私の願いが叶えられ、
神が私の望むことを与えてくださるならば、⁹
神が私を砕くことを望み、
その手を解き放ち、私を断ち切ってくださいならば！¹⁰
それなら私はまだこの慰めを持っているだろう—
絶え間ない痛みの中の私の喜び—
私が聖なる方の言葉を否定しなかったことを。

¹¹
私にどんな力があるのか、それで希望を持つべきか？ 私の終わりは何か、それで忍耐すべきか？¹²
私の力は石の力なのか、
それとも私の肉は青銅でできているのか？¹³
私の中に助けがあるのか、
成功が追い私われた今？

¹⁴ 「絶望する人には友からの親切があるべきだ、
それで彼は全能者への恐れを捨てない。¹⁵
しかし私の兄弟たちはワディのように欺いた、
溢れる流れのように¹⁶
それらは溶ける水で暗くなり、
溶ける雪で満たされるとき、¹⁷
しかし乾くと消え去り、
暑さでその場所から消える。¹⁸
その道は曲がりくねり、
荒れ地に登り、失われる。¹⁹ テマの隊商は見て、
シェバの旅人たちはそれを望む。²⁰
彼らは信頼したために恥をかく。
そこに到着するが、失望するだけだ。²¹
確かに、あなたたちは今や彼らのようになった。
あなたたちは恐ろしいものを見て恐れている。²²
私がかつて言ったことがあるか、『何かをくれ』
と、
『あなたの富から私のために賄賂を提供せよ』と
、²³ または、『敵の手から私を救え』と、
『無慈悲な者の手から私を贖え』と？

²⁴ 「教えてください、そうすれば私は黙ります。
私がどこで間違ったのか教えてください。²⁵
正直な言葉を聞くのはどれほど難しいことか！
しかしあなたたちの議論は何を確立するのか？²⁶
あなたたちは私の言葉を訂正しようとしているのか、
絶望している者の言葉を風のように扱うのか？²⁷

あなたたちは孤児を賭けにしても、
友を取引に出すだろう。

²⁸ しかし今、どうか私を見てください、
私があなたたちの顔に嘘をついているかどうか見て
ください。²⁹
思い直してください、不正がないように。
再考してください、私の誠実さがかかっているの
です。³⁰ 私の舌に何か悪があるか？
私の口は災いを識別しないのか？

7 「地上で人間は労働を強いられないか、
その日々は雇われ人の日々のようではないか。
² 奴隷が影を待ち望むように、
労働者が報酬を切に待つように、³
私は虚しさの月を与えられ、
苦しみに満ちた夜が私に割り当てられている。⁴
横になると、『いつ起きるのか』と問うが、
夜は長引き、夜明けまで私は落ち着かない。⁵
私の肉は虫と土の塊で覆われ、
私の皮膚は硬化し、裂ける。

⁶
私の日々は織機のシャトルよりも速く過ぎ去り、
希望なく終わる。⁷
私の命が息に過ぎないことを覚えてください。
私の目は再び良いものを見ることはない。⁸
私を見る者の目はもはや私を見ることはない。
あなたの目は私に向けられるが、私はいなくなる。
。⁹ 雲が消えてなくなるように、
シェオルに降りる者は戻らない。¹⁰
彼は再びその家に戻らず、
その場所も彼を認めなくなる。

¹¹ 「だから、私は言葉を抑えない。
私の霊の苦しみの中で語り、
私の魂の苦さの中で悲しみを表現する。¹²
私は海か、海の怪物か、
あなたが私に見張りを置くのか。¹³
『私の床が私を慰め、
私の寝台が私の不満を和らげる』と思うなら、¹⁴
あなたは夢で私を驚かせ、幻で私を恐れさせる。
¹⁵ それで私の魂は窒息を選び、
苦しみよりも死を望む。¹⁶
私は消耗している。永遠には生きない。
私を放っておいてください、私の日々は息に過ぎ
ないのだから。

¹⁷ 人間とは何か、あなたが彼を尊び、
彼を顧みるのは、¹⁸ あなたが毎朝彼を観察し、
毎瞬彼を試すのは？¹⁹
あなたは決して私から目を離さず、

ヨブ記

私が唾を飲み込むまで私を放っておかないのか？

20 私は罪を犯したのか？あなたに何をされたのか、
人類の守り手よ？ なぜ私をあなたの標的にし、
私自身に重荷を負わせるのか？ 21

なぜあなたは私の罪を赦さず、
私の不義を取り去らないのか？

今私は塵に横たわる。

あなたが私を探しても、私はもういない。」

8 シュヒ人ビルダデが答えた、

2 「いつまでこのようなことを話すのか、
あなたの口の言葉は強い風のように。」 3

神は正義をゆがめるのか。

全能者は正しいことを曲げるのか。

もしあなたの子供たちが神に罪を犯したなら、
彼は彼らをその背信の結果に引き渡したのだ。 5

しかし、もしあなたが真剣に神を求め、
全能者の慈悲を願うなら、
もしあなたが純粹で正しいなら、

彼はきっとあなたのために立ち上がり、
あなたの正しい場所を回復するだろう。 7
あなたの始まりが小さく見えても、
あなたの未来は大いに栄えるだろう。

8 「前の世代に尋ね、
彼らの祖先が発見したことを考えてみよ、
私たちはほんの昨日の者で、何も知らない、
地上での日々は影に過ぎないのだから。 10

彼らはあなたに教え、語りかけ、
彼らの理解から言葉を引き出すのではないか。 11
バビルスは沼地なしで高く育つことができるか。
葦は水なしで繁栄できるか。 12

まだ青く切られていないうちに、
他のどの植物よりも早く枯れる。 13
神を忘れる者すべての運命はそうだ；
神を知らない者の希望は滅びる。 14

彼らの自信は脆く、
彼らの信頼は蜘蛛の巣のようだ。 15
彼らは自分の家に寄りかかるが、それは立たない
；それにしがみつくと、それは持ちこたえない。

16 彼らは日光の中で繁栄する植物のようで、
庭にその芽を広げる。 17
その根は石の山に絡みつき、
岩の間に場所を求める。 18

しかし、それがその場所から引き抜かれると、
その場所はそれを否定し、『私はあなたを見たこ
とがない』と言うだろう。 19

確かにこれはその道の喜びであり、
土から他の者が芽を出すだろう。

20 見よ、神は誠実な人を拒まない、
また、悪を行う者を支持しない。 21

彼は再びあなたの口に笑いを、
あなたの唇に喜びをもたらすだろう。 22
あなたに反対する者は恥で覆われ、
悪者の天幕はもう存在しない。」

9 ヨブは答えて言った、

2 「本当に、私はこれが真実であることを知って
いる。

しかし、人がどうして神の前で義とされることが
できるだろうか。 3

もし誰かが彼と争おうと望んでも、
千回に一度も彼に答えることはできないだろう。 4

彼は心において賢く、力において強い。
誰が彼に逆らって無事でいられたか。 5

彼は山々を知らぬ間に取り除き、
怒りでそれらを覆す。 6

彼は地をその場所から揺るがし、
その基を震わせる。 7

彼は太陽に輝かないよう命じ、 星々を封じる。 8
彼だけが天を広げ、 海の波の上を歩く。 9

彼は北斗七星とオリオン座、ブレアデス、
そして南の星座を創造された。 10

彼は偉大で計り知れないことを行い、
数え切れない奇跡を行う。 11

もし彼が私のそばを通り過ぎても、私は彼を見な
いだろう。 12

もし彼が通り過ぎても、私は彼を感じないだろう
。

もし彼が奪い去るなら、誰が彼を妨げることがで
きるか。 13

誰が彼に、『何をしているのか』と問うことがで
きるか。 13 神はその怒りを引き戻さない。
彼の下ではラハブの助け手たちが恐れおののく。 14

それならば、どうして私は彼に答えることができ
るだろうか。

彼と共に言葉を選ぶことができるだろうか。 15
たとえ私が無罪であっても、彼に答えることはで
きない。

私は裁判官に憐れみを請わなければならないだろ
う。 16

もし私が呼びかけて彼が私に答えたとしても、
彼が私の声に注意を払っているとは信じられない
だろう。 17 彼は嵐で私を打ち砕き、
理由もなく私の傷を増やすだろう。 18

彼は私に息をつかせず、

ヨブ記

苦しみで私を満たすだろう。
もし力の問題なら、彼は強い。
そして正義の問題なら、誰が彼を召喚できるか。

たとえ私が正しくても、私自身の口が私を罪に定めるだろう。
もし私が無罪であっても、それは私を有罪と宣言するだろう。

私は無罪だが、自分自身を気にかけない。
私は自分の命を軽蔑する。
すべて同じだ。それゆえ私は言う、
『彼は無罪の者も悪者も滅ぼす。』
もし災いが突然の死をもたらすなら、
彼は無実の者の絶望を嘲笑う。
地が悪者の手に渡されるとき、
彼はその裁判官を盲目にする。
もしそれが彼でないなら、誰がそれをするのか。

「私の日々は走りよりも速く、
急いで去り、良いことを見ない。
それらはバビルスの舟のように過ぎ去り、
獲物に急降下する鷲のようだ。
もし私が言うなら、『私は不平を脇に置き、
表情を変えて、微笑む。』
私はなおもすべての苦しみを恐れる、
あなたが私を無罪としないことを知っているから。
既に私は有罪であるので、
なぜ無駄に労苦するのか。

たとえ私が雪で自分を洗い、
手を灰汁で清めても、
あなたは私を穴に投げ込み、
私の衣服さえも私を嫌うだろう。

彼は私のような人間ではないので、私は彼に答えることができない。
私たちが法廷で向き合うことはできない。
私たちの間に仲裁者はいない、
私たち双方に手を置く者はいない。
彼の杖を私から取り去ってください、
彼の恐怖が私を怯えさせないようにしてください。
そうすれば、私は彼を恐れずに話すことができるだろう、
しかし、私の現状では、それはできない。

10 「私は自分の命を憎むほど悲しんでいる。
だから私は自由に自分の不満を表明し、
私の魂の苦しみの中で語ろう。
神に尋ねよう、『私を罪に定めなくてください。
なぜあなたが私を非難するのか理解させてください

い。
あなたが本当に圧迫することが正しいのか、
あなたの手の業を拒むことが正しいのか、
悪者の計画を好意的に見ることが正しいのか？
あなたは人のような目を持っているのか、
それとも人間が見るように見えるのか？
あなたの日々は人間のようなものか、
あなたの年は人のようなものか、
あなたが私の過ちを探し、
私のすべての罪を探るべきなのか？
あなたは私が無罪であることを知っているのに、
あなたの手から私を救う者はいない。

『あなたの手が私を形作り、私を作ったのに、
今、私を滅ぼそうとするのか？
あなたが私を粘土のように作ったことを覚えてください。
そして私を再び塵に返そうとするのか？
あなたは私を牛乳のように形作り、
チーズのように固めたのではないか；
皮と肉で私を覆い、
骨と筋で私を編み合わせたのではないか？
あなたは私に命と親切を与え、
あなたの配慮が私の霊を保ってくれた。

しかし、これらのことをあなたは心に隠している。
私はこれがあなたの中にあることを知っている：

もし私が罪を犯すなら、あなたは私に注意を払い、
私の罪を赦さないだろう。
もし私が悪ければ、私に災いあれ！
しかし、もし私が正しいなら、私は頭を上げることを敢えてしない。
私は恥に満ち、自分の惨めさを知っている。
もし私の頭が高く上がるなら、あなたはライオンのように私を狩り、
再びあなたの力を私に示すだろう。
あなたはあなたの証人を私に対して新たにし、
あなたの怒りを私に向けて増やし、
苦難が次々と私に降りかかる。

それならなぜあなたは私を胎から出したのか？
もし私が死んでいて、誰の目にも見られなかったなら！
私は存在しなかったかのようであつたはずだ、
胎から墓に連れて行かれたのだ。』
私の日々は少なくないか？
やめて、私を一人にして、少しの喜びを持たせてください。
私が行く前に—そして戻らない—
暗闇と深い影の領域へ、

ヨブ記

完全な暗闇の地、まるで暗闇そのもののような、
秩序のない深い影の地、
そこでは光さえも暗闇のようだ。」

11 ナアマ人ゾファルが答えた。

「言葉の洪水が答えられずに済むだろうか、
おしゃべりな人が正当化されるべきだろうか？

あなたの空虚な話が他の人を黙らせるべきだろうか？

あなたが嘲笑するとき、誰もあなたを正さないのか？
あなたは言う、『私の教義は純粹で、私はあなたの目に清い』と。
ああ、神が語り、あなたに対してその唇を開いてくださるならば、

そして知恵の秘密をあなたに明かしてくださるならば、
真の知恵には二つの側面があるのだから。
神があなたの不義のいくつかを見逃していることを確信しなさい。

「あなたは神の神秘を理解できるだろうか？
全能者の限界を探ることができるだろうか？
それらは天よりも高い―
何を成し遂げられるだろうか？ 墓よりも深い―
何を理解できるだろうか？
その範囲は地よりも長く、海よりも広い。

もし彼が通り過ぎて監禁し、または法廷を呼ぶならば、
誰が彼に逆らうことができるだろうか？
彼は欺く人々を知っているからだ；
彼は悪を調べることなく見抜く。
愚かな者が理解を得るのは、
野生のロバの子が人間に生まれるときだ。

「もしあなたが心を整え、
彼に向かって手を伸ばすならば、
もしあなたの手に何か悪があるなら、それを取り除き、

あなたの天幕に悪が住まないようにしなさい、
そうすればあなたは恥じることなく顔を上げることができる；

あなたは恐れずにしっかりと立つことができる。
あなたは自分の苦しみを忘れ、
それを過ぎ去った水のように思い出すだろう。
あなたの人生は正午よりも明るくなるだろう；
暗闇さえも朝のようになるだろう。
あなたは安心を感じるだろう、希望があるから；
あなたは周りを見渡し、安全に休むだろう。
あなたは横になり、誰もあなたを怖がらせないだ

ろう、多くの人があなたの好意を求めるだろう。
しかし悪しき者の目は失敗し、
逃げることはできない；
彼らの希望は最後の息をすることだ。」

12 するとヨブは答えて言った、
「確かに、あなたたちは人々であり、
知恵はあなたたちと共に滅びることでしょう！

しかし、私もあなたたちと同様に理解しています。
私はあなたたちの下ではありません。
誰がこのようなことを知らないでしょうか？

私は友人たちの間で笑ひ者になりました、
神に呼びかけて答えられた者―
正しく無垢な人が笑ひ者になりました。
安らかでいる者たちは災難を軽蔑します、
それは足が滑る者たちのために備えられています。
強盗の天幕は平和であり、
神を挑発する者たちは安全です、
神が彼らの力に委ねた者たちです。

「しかし、動物に尋ねてみなさい、彼らはあなたに教えるでしょう；
あるいは空の鳥に、彼らはあなたに知らせるでしょう。
あるいは地に話しかけてみなさい、彼女はあなたに教えるでしょう；

海の魚に告げさせてみなさい。
これらすべての中で誰が認めないでしょうか
主の手がこれを行ったことを？
彼の手の中にすべての生き物の命があり、
すべての人間の息があります。
耳は言葉を試さないでしょうか
味覚が食物を味わうように？
知恵は年長者と共にあり、
理解は長寿と共に来ます。

「彼には知恵と力が属し；
助言と理解は彼のものです。
彼が壊すものは再建できません；
彼が閉じ込める者は解放されません。
彼が水を制限すれば、それらは干上がります；
彼がそれらを放てば、それらは地を覆います。
彼には力と健全な知恵が属し；
欺かれる者も欺く者も彼のものです。
彼は助言者を裸足で連れ去り
裁判官を愚か者にします。
彼は王の束縛を取り去り
彼らの腰に腰布を巻きます。

ヨブ記

彼は祭司を裸足で連れ去り
長く確立された者たちを覆します。
彼は信頼される助言者の言葉を黙らせ
長老たちの判断を取り去ります。
彼は貴族に軽蔑を注ぎ 力ある者の帯を緩めます。
22 彼は暗闇から深い事柄を明らかにし
隠された暗闇を光に持ち出します。
彼は国々を大きくし、それから滅ぼし；
国々を広げ、それから散らします。
彼は地の指導者たちの理性を奪い
彼らを道のない荒野でさまよわせます。
彼は光のない暗闇の中で手探し；
彼は彼らを酔っ払いのようによるめかせます。

13 「見よ、私の目はこれをすべて見た、
私の耳は聞いて理解した。
あなたが知っていることは、私も理解して
いる； 私はあなたより劣っていない。
しかし私は全能者に語りたい、
神と論じたいと切望している。
しかしあなたたちは偽りで私を覆う；
あなたたちは皆、無能な治療者だ。
もしあなたたちが黙っていれば、
それが本当にあなたたちの知恵となるだろう！
どうか私の嘆願を聞いて、
私の唇の議論に耳を傾けてください。
あなたたちは神のために不正を語り、
彼のために偽りを語るのか？
あなたたちは彼に偏見を示すのか？
神のために論じるのか？
彼があなたたちを調べるとき、それは良いことか
？ それとも人を欺くように彼を欺くのか？
もしあなたたちが密かに偏見を示すなら、
彼は確かにあなたたちを正すだろう。
彼の威厳はあなたたちを恐れさせないか、
彼の恐れがあなたたちに降りかからないか？
あなたたちの記憶に残る言葉は灰のことわざだ；
あなたたちの防衛は粘土の防衛だ。
13
「私の前で黙って、私が話せるようにしなさい；
それから何が私に降りかかってもよい。
なぜ私は自分の命を危険にさらし、
自分の手に命を置くのか？
15
彼が私を殺すかもしれないが、私は彼に信頼する
。
それでも、私は彼の前で自分のケースを提示する
。
16 これも私の救いとなるだろう、
神を知らない者は彼の前に立てないからだ。
17
私の言葉に注意を払い、

私の宣言をあなたたちの耳に届けてください。
18
今見よ、私は自分のケースを準備した；
私は正当化されると確信している。
19
誰が私に反論するのか？
そうでなければ私は黙って滅びるだろう。

20 「私に対して二つのことをしないでください、
そうすれば私はあなたの前から隠れないだろう；
21 あなたの手を私から引き、
あなたの恐れが私を圧倒しないようにしてくださ
い。
それから呼びかけてください、私は応答します；
あるいは私に話させて、それから私に答えてくだ
さい。
23 私の罪と過ちはどれほど多いのか？
私に私の罪と過ちを明らかにしてください。
24
なぜあなたは顔を隠し、
私をあなたの敵と見なすのか？
25
あなたは風に吹かれる葉を恐れさせるのか？
あるいは乾いたもみがらを追いかけるのか？
26
あなたは私に苦いことを書き記し、
私に若い頃の結果を負わせる。
27
あなたは私の足を足かせに閉じ込め、
私のすべての道を観察し、
28
私の足の裏に境界を設ける、
私が腐ったもののように衰えていく間、
蛾に食われた衣服のように。

14 「女から生まれる人間は、
短い命で悩みに満ちている。
2
花のように現れてははしおれ、
影のように逃げ去り、永続しない。
3
あなたも彼らを注意深く見守り、
ご自身と共に裁きにかけられる。
4
汚れたものから清いものを出せるのは誰か。
誰もできない！
5 彼らの日々は定められており、
その月の数はあなたに知られている。
彼らが越えられない境界をあなたが設けられた。
6 彼らから目をそらし、休息を与えてください、
雇われた労働者のようにその日を終えるまで。

7 「木には希望がある、
もし切り倒されても、再び芽を出し、
その若枝は絶えない。
8
たとえその根が地中で老い、
切り株が乾いた土で死んでも、
9
水の香りで芽を吹き、若木のように枝を伸ばす。
10
しかし、人が死んで伏せれば、
人が過ぎ去れば、彼らはどこにいるのか。
11
海から水が消え、川が干上がって乾くように、
12
人々は横たわって起き上がらない。

ヨブ記

天がもうない時まで、
彼らは目覚めず、眠りから呼び起こされない。

13

「ああ、あなたが私をシェオルに隠してくださる
なら、
あなたの怒りが収まるまで私を隠してくださるな
ら、
私のために時を定めて、私を思い出してくださる
なら！¹⁴ 人が死ねば、再び生きるのか。
私の苦難の日々をすべて待ちます、
私の再生が来るまで。¹⁵
あなたが呼びかければ、私は答えます。
あなたはあなたの手の業を望まれるでしょう。¹⁶
今、あなたは私の歩みを数え、
私の罪を見守られない。¹⁷
私の違反は袋に封じ込められ、
あなたは私の不義を覆われる。

18

「しかし、山は崩れ、崩れ去り、
岩はその場所から動かされる。¹⁹
水は石を侵食し、その激流は地の土を洗い流す。
それであなたは人の希望を減じられる。²⁰
あなたは絶えず彼らを圧倒し、彼らは去る。
あなたは彼らの姿を変え、送り出される。²¹
彼らの子供たちは榮譽を得るが、彼らはそれを知
らない。
または彼らが取るに足らない者となるが、彼らは
それを認識しない。²²
しかし、彼らの体は痛みを感じ、
彼らの魂はそれを嘆く。」

15 そこでデマン人エリファズが語った。

2

「知恵ある者が空虚な考えで答えるべきか
、そして熱い東風で自分を満たすべきか？³
無益な話に従事すべきか、
何の利益ももたらさない言葉で？⁴
あなたは確かに畏敬を減じ、
神の前での瞑想を妨げる。⁵
あなたの不正があなたの言葉を教え、
あなたは狡猾な者の舌を選ぶ。⁶
あなた自身の口があなたを非難する、私ではない
；あなた自身の唇があなたに対して証言する。⁷
「あなたは最初に生まれた人間か？⁸
丘よりも前に生まれたのか？⁹
あなたは神の秘密の会議を聞くのか？⁹
あなたは独占的な知恵を主張するのか？⁹
あなたは何を知っているのか、私たちが知らない
ことを？

あなたはどんな洞察を持っているのか、私たちに
欠けているものを？¹⁰

白髪のある者や年老いた者が私たちの中にいる、
あなたの父よりも年上の者が。¹¹
神の恵めはあなたにとって小さすぎるのか、
あなたに語られた優しい言葉は？¹²
なぜあなたの心はあなたを迷わせるのか、
なぜあなたの目は輝くのか、¹³
あなたが神に対して霊を向け、
そのような言葉を発するのか？¹⁴
人間とは何か、彼らが純粋であり得るとは、
女から生まれた者が正しいとされ得るとは？¹⁵
もし彼が聖なる者たちに信頼を置かず、
天でさえ彼の目には純粋でないなら、¹⁶
ましてや、汚れた腐敗した人間は、
不義を水のように飲む者たちは！

17

「私に聞け、私は説明しよう；
私が観察したことを宣言しよう、¹⁸
賢者たちが宣言し、
彼らの祖先から隠さなかったことを、¹⁹
彼らだけに地が与えられ、
異邦人が彼らの間を通らなかったとき：
悪しき者はそのすべての日に苦しみ、²⁰
無慈悲な者に予約された年は限られている。²¹
恐ろしい音が彼の耳を満たす；
彼が平和であるとき、略奪者が彼を襲う。²²
彼は暗闇からの自由を期待しない；
彼は剣のために印を付けられている。²³
彼は食物を求めてさまよう、『それはどこか？』
と言いながら；
彼は暗闇の日が近いことを知っている。²⁴
苦痛と苦悩が彼を恐れさせる；
それらは戦いの準備をする王のように彼を圧倒す
る、²⁵ 彼が神に対して手を伸ばし、
全能者に対して傲慢を示したからだ。²⁶
彼は厚く強い盾を持って彼に挑む。
²⁷ 彼の顔が脂肪で覆われていても
彼の腰が肉で満ちていても、²⁸
彼は荒れ果てた都市に住むだろう、
誰も住まない家に、廃墟になる運命にある。²⁹
彼は富を保つことはなく、その富は続かない；
彼の所有物は地に広がらない。³⁰
彼は暗闇からの避難所を見つけない；
炎が彼の芽を枯らし、
神の口の息が彼を運び去る。³¹
彼は虚無を信じて自分を欺いてはならない、
彼は何も得られないからだ。³²
それは彼の時よりも前に成就され、

彼の枝は栄えない。³³
 彼は未熟な葡萄を剥ぎ取られた葡萄の木のように
 、花を落とすオリーブの木のようになる。³⁴
 神を敬わない者の仲間是不毛であり、
 賄賂を愛する者の天幕は火に焼かれる。³⁵
 彼らは問題を思い描き、不正を生み出す；
 彼らの心は欺きを準備する。」

16

ヨブは答えて言った、
² 「私はこれをたくさん聞いてきた。

あなたたちは皆、効果のない慰め手だ！³
 あなたたちの長々とした話には終わりがないのか？
 何があなたたちを論争し続けさせるのか？⁴
 私もあなたたちのように話すことができる、
 もしあなたたちが私の立場にいたなら。
 私はあなたたちに対して雄弁なスピーチをし、
 あなたたちに向かって頭を振ることができる。⁵
 しかし私は口であなたたちを励まし、
 私の唇の慰めがあなたたちに安らぎをもたらすだ
 ろう。⁶

「もし私が話しても、私の苦しみは和らかず、
 もし黙っていても、それは私を離れない。⁷
 確かに、今や神は私を疲れさせた。
 あなたは私の全家を荒廃させた。⁸
 あなたは私をしばませ、それが証人となった。
 私のやつれが立ち上がり、私に対して証言する。
⁹ 神は怒りの中で私を引き裂き、狩り立てた。
 彼は私に歯をむく。私の敵は私をにらみつける。

¹⁰ 人々は口を開けて私を見つめ、
 彼らは私の頬を侮辱して打ち、
 私に対して集まる。¹¹ 神は私を悪者に引き渡し、
 不敬虔な者の手に投げ込んだ。¹²

私は安らかだったが、彼は私を打ち砕いた。
 彼は私の首をつかんで押しつぶした。
 彼は私を彼の標的にした。¹³
 彼の射手たちは私を囲む。
 情け容赦なく、彼は私の腎臓を貫き、
 私の胆汁を地面にこぼす。¹⁴
 彼は私を破れ目から破れ目へと突き破り、
 戦士のように私に突進する。¹⁵
 私は肌に荒布を縫い付け、額を塵に埋めた。¹⁶
 私の顔は涙で赤くなり、深い影が私の目を囲む。
¹⁷ 私の手は暴力から自由であり、
 私の祈りは純粋であるのに。

¹⁸ 「おお、大地よ、私の血を覆わないでくれ。
 私の叫びが休む場所を見つけないように！¹⁹
 それでも、私の証人は天にあり、
 私の弁護者は高きに住む。²⁰
 私の友は私のあざけり手だ。

私の目は神に涙を注ぐ。²¹
 人が神と共に訴えることができるように、
 友のために訴えるように。

²² 数年が過ぎ去った後、
 私は帰らない道を行くことになる。

17

「私の霊は砕かれ、私の日々は消え去り、
 墓が私を待っている。²
 確かにあざける者たちが私と共におり、
 私の目は彼らの挑発を見つめている。

³ どうかあなた自身と共に私のために誓いを立てて
 ください。誰が私の保証人となるでしょうか。⁴
 あなたは彼らの心を理解から遠ざけたので、
 彼らを高めることはないでしょう。⁵
 友を戦利品のために告げる者は、
 その子供たちの目は滅びる。

⁶ それでも彼は私を人々の間でことわざにし、
 人々が唾を吐く者となった。⁷
 私の目も悲しみのためにかすみ、
 私の体のすべての部分は影のようだ。⁸
 正しい者はこれに驚き、
 無実の者は神を恐れない者に立ち向かう。⁹
 それでも正しい者はその道を堅持し、
 清い手を持つ者はますます強くなる。

¹⁰ それでも、どうか皆戻ってきてください。
 あなた方の中に賢い者を見つけることはできません。¹¹

私の日々は過ぎ去り、私の計画は打ち砕かれ、
 私の心の願いも。¹² 彼らは夜を昼に変え、
 『光が近い』と言う、暗闇の中で。¹³
 もし私がシェオルを私の家と見なすなら、
 暗闇に私の寝床を広げる。¹⁴
 墓に向かって、『あなたは私の父』と呼び、
 ウジ虫に『私の母と姉妹』と言う。¹⁵
 それでは私の希望はどこにあるのか。
 誰が私に希望を見出すだろうか。¹⁶
 それは私と共にシェオルに降りるのか。
 私たちは共に塵の中に下るのか。」

18

するとシュヒ人ビルダデは答えて言った。
² 「いつまで言葉を探し続けるのか。
 賢明になれば、話し合うことができる。³

なぜ私たちは獣のように見られ、
 あなたの目には愚かに見えるのか。⁴
 怒りに身を裂く者よ、
 地はあなたのために見捨てられるべきか、
 岩がその位置から動かされるべきか。

ヨブ記

5 「悪しき者の光は消え、
その火の炎は輝きを失う。
その天幕の光は薄暗くなり、
その上の灯火は消される。
その力強い歩みは縮められ、
その計画が彼を倒す。」
8 その足は網に導かれ、
その網目に歩み入る。
かかとは畏に捕らえられ、
畏が彼をしっかりと押さえる。
地には彼のために縄が隠され、
その道には畏がある。
突然の恐怖が彼を四方から襲い、
一歩ごとに追いかける。
12 彼の力は尽き、
災いが彼の側に備えられている。
それは彼の皮膚の一部を食い尽くし、
死の長子が彼の四肢を食い尽くす。
彼はその天幕の安全から引き裂かれ、
恐怖の王の前に連れ出される。
硫黄が彼の住まいに撒かれ、
火がその天幕を焼き尽くす。
その根は下で枯れ、 その枝は上でしおれる。
その記憶は地から消え、 その名は地に残らない。
18 彼は光から闇に投げ出され、
世界から取り除かれる。
彼にはその民の中に子孫もなく、
住んでいた場所に生き残りもない。
西の者たちは彼の運命に驚き、
東の者たちは恐怖に満たされる。
21 確かにこれらは悪しき者の住まいであり、
神を知らない者の場所である。」

19

そこでヨブは答えて言った、
2 「いつまであなたたちは私を苦しめ、
言葉で私を打ち砕くのか。
あなたたちは十度も私を非難し、
私を虐待することを恥じない。
たとえ私が誤ったとしても、
その過ちは私自身に関わることだ。
もしあなたたちが私に対して自らを高め、
私の恥を私に対して用いるなら、
神によって不当に扱われ、
その網に囲まれていることを理解せよ。」

7 「私は『暴力だ!』と叫んでも答えはなく、
助けを求めても正義はない。
彼は私の道を塞いで通れなくし、
私の道を暗闇で覆った。
彼は私の荣誉を剥ぎ取り、 頭から冠を奪った。
10 彼は私を四方から引き裂き、
私は消え去り、彼は私の希望を木のように根こそ

ぎにする。
11 彼の怒りは私に対して燃え、
彼は私を敵と見なす。
12 彼の軍勢は一斉に進み、
私に対して包囲の土塁を築き、
私の天幕の周りに陣取る。

13 「彼は私から兄弟たちを遠ざけ、
知人たちは私から疎遠になった。
私に関係する者たちは私を見捨て、
親しい友人たちは私を忘れた。
15 私の家に住む者や女奴隷たちは私を異邦人と見なし、
彼らの目には私は外国人だ。
16 私は召使いを呼んでも答えず、
自分の口で懇願しなければならない。
17 私の息は妻に嫌われ、
自分の家族にも忌み嫌われる。
18 若い子供たちでさえ私を軽蔑し、
私が立ち上がると彼らは私に反対して話す。
19 親しい友人たちは皆私を憎み、
愛する者たちは私に背を向けた。
20 私は皮と骨にまで減り、 歯の皮一枚で逃れた。
21 「私の友よ、私に憐れみを示してくれ、憐れみを
示してくれ、 神の手が私を打ったのだから。
22 なぜあなたたちは神のように私を追い詰めるのか？
私の肉に満足しないのか？」

23 「ああ、私の言葉が記録され、
24 書物に刻まれるならば、
鉄の道具と鉛で刻まれ、
25 永遠に岩に彫られるならば！
私は知っている、私の贖い主は生きておられ、
26 最後には彼が地上に立たれることを。
私の皮が減ぼされた後も、
27 私の肉で私は神を見るであろう。
私自身が自分の目で彼を見るであろう
— 私が、他の者ではない。
私の心は私の内で焦がれている！
28 もしあなたたちが言うならば、『彼をどう迫害し
ようか、 問題の根が彼にあるのだから』と、
29 それならば剣に気をつけよ、
怒りは剣の結果をもたらすから、
裁きがあることを理解するために。」

20

ナアマ人ゾバルが答えた、
2 「私の落ち着かない思いが私を促し、
3 深い不安のために答えさせる。
私は自分を侮辱する非難を聞いた、
理解の洞察が私に答えさせる。
4 あなたは古代からこれを知らないのか、
5 人類が地に置かれた時から、
悪者の歓喜は一時的であり、

神を知らない者の喜びは瞬間的であることを？⁶
 彼のうめばれが天に達し、
 その頭が雲に触れても、
 彼は自分の排泄物のように永遠に消え去る；
 彼を見た者は言う、『彼はどこにいるのか？』⁸
 彼は夢のように消え去り、見つけられない；
 夜の幻のように追い払われる。
 彼を見た目はもう彼を見ない；
 彼の場所は彼をもう見ない。
 彼の子供たちは貧しい者の好意を求め、
 彼の手は彼の富を返す。
 若々しい活力に満ちていた彼の骨は、
 塵の中で彼と共に横たわる。
 12 「不正が彼の口に甘くても
 それを舌の下に隠しても、
 それを大切にせず、
 口の中に保っていても、
 それでも彼の食物は胃の中で酸っぱくなり；
 それは彼の中でコブラの毒となる。
 彼は富を飲み込むが、それを吐き出す；
 神が彼の腹からそれを出させる。
 彼はコブラの毒を吸い込む；
 毒蛇の舌が彼を倒す。
 彼は流れる蜜とクリームの間を流れる。
 彼は労したものを返し、消費しない；
 彼は取引からの富を楽しむことはない。
 彼は貧しい者を押しつぶし、見捨てたからだ；
 彼は建てなかった家を奪った。
 「彼は自分の中に平和を知らなかったので、
 彼は望むものを何も保てない。
 彼が食べ尽くすものは何も残らない；
 したがって彼の繁栄は続かない。
 彼の豊かさの中で、苦難が彼を襲う；
 苦しみの全力が彼に降りかかる。
 彼が腹を満たしたとき、神は彼に激しい怒りを解
 き放ち、彼が食べている間にそれを降らせる。²⁴
 彼が鉄の武器から逃げて、
 青銅の矢が彼を打つ。
 それは引かれ、彼の背中から出てくる、
 彼の肝臓からの閃光の先端；
 恐怖が彼に降りかかる。
 完全な暗闇が彼の宝物に備えられている；
 扇がない火が彼を消費し、
 彼の天幕に残るものを食い尽くす。
 天は彼の不正を暴露し、地は彼に立ち向かう。
 彼の家の増加は流れ去り；
 彼の所有物は神の怒りの日に消える。
 19 これは神が悪者に割り当てた分け前であり、
 神が彼に定めた相続である。」

21 ヨブは答えた：
 2 「私の言葉に注意深く耳を傾け、
 これをあなたたちの慰めとしてください。
 3 私に話させてください、
 私が話した後で、あなたたちは私を嘲笑してもよ
 い。
 4 私の不平はただの人間に向けられているのか？
 5 なぜ私は焦らないでいられるだろうか？
 6 私を見て驚愕しなさい；手を口に当てなさい。
 7 それを考えると、私は動揺し、
 恐怖が私の肉を掴む。なぜ悪者は生き続け、
 8 年を取り、力を増すのか？
 9 彼らの子供たちは彼らの周りで栄え、
 彼らの子孫は彼らの目の前にいる。
 10 彼らの家は安全で恐れがなく、
 神の杖は彼らに及ばない。
 11 彼らの雄牛は成功裏に繁殖し、
 彼らの雌牛は子を産み、失わない。
 12 彼らは子供たちを群れのように送り出し、
 彼らの小さな者たちは踊る。
 13 彼らはタンバリンと堅琴に合わせて歌い、
 笛の音に喜ぶ。
 14 彼らは繁栄の中で日々を過ごし、
 平和に墓に下る。
 15 しかし彼らは神に言う、『私たちから離れよ！
 私たちはあなたの道を知りたくない。
 全能者とは誰か、私たちが彼に仕えるべきか？
 16 彼に祈ることで私たちに何の利益があるのか？』
 確かに、彼らの繁栄は彼ら自身の手にあるのでは
 ない、だから私は悪者の助言から距離を置く。
 17 「悪者の灯火がどれほど頻繁に消されるか？
 災いがどれほど頻繁に彼らに降りかかるか、
 神の怒りによって分け与えられるか？
 18 彼らは風の前の藁のようか、
 嵐に吹き飛ばされるもみ殻のようか？
 19 『神は人の不義をその子供たちのために蓄える』
 と言われる。
 20 彼に彼らに返させて、彼ら自身がそれを知るよう
 にせよ。
 21 彼ら自身の目で彼らの没落を見させよ；
 全能者の怒りを飲ませよ。
 22 彼の割り当てられた月が終わった後で、
 彼らが自分の家族を気にかけることが何になるの
 か？
 23 誰が神に知識を授けることができるか、
 彼は最も高い者をも裁くのだから？
 ある者は完全な力で死に、

ヨブ記

完全に安らかで安全である、
その体はよく養われ、骨は髄で豊かである。
別の者は悩んだ魂で死に、
良いものを何も楽しんでいない。
彼らは共に塵の中に横たわり、
蟬虫が彼らを覆う。

「見よ、私はあなたたちの考えを知っている
そしてあなたたちが私に対して企てる策略を。
あなたたちは尋ねる、『今、貴族の家はどこにあるのか、
悪者が住んでいた天幕はどこにあるのか?』
旅をする者たちに尋ねたことはないのか?
彼らの話を考えたことはないのか—
悪者は災いの日から免れ、
怒りの日から連れ去られることを?
誰が彼らの行動に立ち向かい、
誰が彼らのしたことに報いるのか?
彼らは墓に運ばれ、
彼らの墓には見張りが置かれる。
谷の土は彼らに甘く、全人類が彼らの後に続き、
数え切れない他の者たちが彼らに先立つ。

それで、どうしてあなたたちは私に空虚な慰めを
提供できるのか?
あなたたちの答えは偽りに過ぎない!」

22 さて、teman エリファズが語った。

「人は神にとって何の役に立つのか。
賢い人は自分自身に利益をもたらすことができるのか。
あなたが正しいなら、それが全能者に喜びをもたらすのか、
あなたの道が完全なら、それが何か利益をもたらすのか。

あなたの敬虔さのために、彼はあなたを正すのか、
あなたと裁きに入るのか。
あなたの悪は広大ではないのか、
あなたの不義は終わりが無いのではないか。
あなたは理由もなく親族から担保を取り、
裸の者から衣服を奪った。
疲れた者に水を与えず、
飢えた者にパンを拒んだ。
しかし、土地は力ある者のものであり、
尊敬される者がそこに住む。
あなたは未亡人を手づからで送り出し、
孤児の力を砕いた。
それゆえ、罌があなたの周りにあり、

突然の恐怖があなたを圧倒する、
または、あなたが見えないほどの暗闇、
水の洪水があなたを覆う。

「神は天の高みにおられないのか。
そして、最も高い星々を見よ、彼らはどれほど高いか。
それでもあなたは問う、『神は何を知っているのか。濃い暗闇を通して裁くことができるのか。雲は彼の覆いであり、彼は私たちを見ない、そして彼は天の大空を歩く。』
あなたは古の道が続けるのか、
悪しき者たちが歩んだ道を、
彼らは時を待たずに連れ去られ、
基が洪水で流された者たちを。
彼らは神に、『私たちを放っておけ!』と言った、
そして『全能者が彼らに何をできるのか』と。
それでも彼は彼らの家を良いもので満たした、
しかし悪しき者の助言は私から遠い。
正しい者はそれを見て喜び、
無垢な者は彼らを嘲り、言う、
『確かに私たちの敵は断たれ、
火が彼らの富を消費する。』

「彼と親しくなり、平和であれ;
そうすれば良いことがあなたに来る。
彼の口からの指導を受け入れ、
彼の言葉を中心に宝とせよ。
もしあなたが全能者に戻るなら、あなたは回復される;
もし不義をあなたの天幕から遠ざけるなら、
あなたの金を塵に投げ、
オフィルの金を小川の石に投げるなら、
その時、全能者があなたの宝となり、
貴重な銀となる。
その時、あなたは全能者に喜びを見出し、
神に顔を上げる。
あなたは彼を呼び求め、彼はあなたに答える、
そしてあなたは誓いを果たす。
あなたが何かを宣言すると、それはあなたのために確立され、
光があなたの道に輝く。
人々が謙遜される時、あなたは言う、
『彼らを上げよ!』と彼は卑しい者を救う。
彼は罪ある者さえも救い出し、
あなたの手の清さによって救われる。」

23 ヨブは答えた、
「今日もまた私の訴えは苦い。
彼の手は私の嘆きにもかかわらず重い。
もしも彼を見つける方法がわかれば、

ヨブ記

彼の住まいにたどり着けるのに！
私は彼に私の訴えを述べ、
確信を持って話すだろう。
彼が私に答える言葉を知り、
彼が言うことを考えるだろう。
彼は大きい力で私に反対するだろうか？
いや、彼は確かに私に耳を傾けてくれるだろう。
そこでは正しい者が彼と対話でき、
私は裁判官から永遠に解放されるだろう。
「見よ、私は東に行くが彼はそこにいない、
西に行くが、彼を見つけることができない。
彼が北で働くとき、私は彼を見ない。
彼が南に向かうとき、私は彼を見ない。
しかし、彼は私の進む道を知っている。
彼が私を試されたとき、私は金のように出てくる
だろう。
私の足は彼の足跡にしっかりと留まり、彼の道を守り、
逸れなかった。
私は彼の唇の命令から離れなかった。
私は彼の口の言葉を日々の糧以上に大切にしていた。
しかし、彼は変わらず、誰が彼を変えられるだろうか？
彼は彼が望むことを行う。
彼は私のために計画したことを完了するだろう、
そしてそのような多くのことが彼のもとにある。
それゆえ、私は彼の存在に恐れを抱く。
これを考えるとき、私は彼を恐れる。
私の心を弱くしたのは神であり、
私を恐れさせたのは全能者である。
しかし、私は暗闇によって沈黙させられない、
私の顔を覆う深い暗闇によってもそうではない。
「なぜ全能者によって時が定められていないのか、
そして彼を知る者たちはその日を見ないのか？
人々は境界石を動かし、
群れを奪い取って消費する。
彼らは孤児のロバを追ひ払い、
未亡人の牛を質に取る。
彼らは貧しい者を道から追いやり、
地の貧しい者たちは一緒に隠れるようにされる。
見よ、荒野の野生のロバのように
彼らは活動の中で食物を探し、
砂漠で子供たちのための糧を求める。
彼らは畑で飼料を集め、
不正な者のぶどう園の落ち穂を拾う。
彼らは衣服なしで夜を過ごし、
寒さに対する覆いがない。

彼らは山の雨に濡れ、
避難所がないため岩にしがみつく。
他の者は乳飲み子を奪い、
貧しい者に対する質としてそれを奪う。
彼らは貧しい者を衣服なしで歩かせ、
飢えた者から束を奪う。
壁の中で彼らは油を絞り、
彼らは酒ぶねを踏むが渴いたままである。
都市から人々はうめき、負傷者の魂は叫ぶ。
しかし神は不正を顧みない。
他の者たちは光に逆らう者たちと共にいる。
彼らはその道を知りたがらず、
その道にとどまらない。
殺人者は夜明けに起き、
貧しい者と困窮者を殺し、
夜には盗人のように振る舞う。
姦淫者の目は夕暮れを待ち、
『誰も私を見ない』と言い、彼は顔を隠す。
暗闇の中で彼らは家に押し入り、
昼間は閉じこもる。彼らは光を知らない。
朝は彼にとって深い闇と同じである、
彼は深い闇の恐怖に慣れているからだ。
彼らは水面において取るに足らない存在である。
彼らの土地は地上で呪われている。
彼らはぶどう園に向かわない。
乾燥と熱は雪の水を消費し、
シェオルは罪を犯した者を消費する。
母親は彼を忘れ、虫が彼を甘く食べる。
彼はもはや記憶されない。
そして悪は木のように折れる。
彼は子のない女を虐待し、
未亡人に善を行わない。
しかし彼は強者を力で引きずり、
彼が立ち上がるが、誰も命の保証を持たない。
彼は彼らに安全を与え、彼らは支えられる。
そして彼の目は彼らの道にある。
彼らはしばらく高められ、そして消える。
さらに、彼らは集められたすべてのもののように
低くされる。
まるで穂の頭のように彼らは切り取られる。
さて、もしそうでないなら、誰が私を偽りと証明し、
私の言葉を無意味にすることができるのか？」

25

シュヒ人ビルダデは答えて言った、

「支配と畏怖は彼に属し、
高き所に秩序をもたらす方。」

彼の軍勢には限りがあるのか？

彼の光が照らさない者はいるのか？

それならば、人はどうして神の前に正しくあり得るのか？

女から生まれた者がどうして清くあり得るのか？

もし月さえも輝きを欠き、
星々も彼の目には清くないならば、
まして人間は、蛆であり、
人の子は、虫であるのに！」

26

ヨブは答えた、

「あなたは弱い者にどんな助けを与えたのか！
力のない腕をどれほど強めたのか！
知恵のない者にどんな助言を与えたのか！
どれほど豊かな洞察を示したのか！

あなたは誰に向かってこれらの言葉を書いたのか？
そして誰の霊があなたを通して語ったのか？

「死者の霊は震える 水の下とその住民の下で。」

シェオルの領域は彼の前に露わである；
アバドンは裸にされている。

彼は北の空を虚空の上に広げ、

地を何も無い上に吊るされる。

彼は雲の中に水を縛り、

それでも雲はその重さで破れない。

彼は満月の顔を隠し、 その上に雲を広げる。

彼は水の表面に円を描き、

光と闇の境界を定めた。 天の柱は揺れ動き、
彼の叱責に驚く。

彼の力によって、海をかき乱し、

彼の知恵によって、ラハブを打ち砕いた。

彼の息によって、空は澄み渡り、

彼の手は速い蛇を貫いた。

確かに、これらは彼の道の端に過ぎない；
そして私たちが彼について聞くさきやきはどれほどかすかなのか！

しかし彼の力の雷鳴を、誰が理解できるのか？」

27

それからヨブは再びその言葉を取り上げて言った。

「神が生きておられる限り、私に正義を拒まれた方、
全能者が私の魂を苦しみで満たされた方、
私の中に命がある限り、
全能者の息が私の鼻にある限り、

私の唇は偽りを語らず、

私の舌は欺きを言わない。

あなたがたが正しいと言うのは私には遠いことだ。
私が死ぬまで、私の誠実を捨てない。

私は私の義を堅く保ち、それを手放さない。

私の心は私のどの日にも私を責めない。

私の敵が悪者のようであるように、
私の対抗者が不正な者のようであるように。

神を知らない者がその命が終わるとき、

神がその命を求めるとき、何の希望があるのか。

災いが彼に降りかかるとき、

神は彼の叫びを聞かれるだろうか。

彼は全能者に喜びを見出すだろうか。

常に神を呼び求めるだろうか。

私はあなたがたに神の力について教える。

私は全能者のことを隠さない。

見よ、あなたがたは今それを見た。

それなのになぜ空虚な無駄話をするのか。

これは神からの悪者の運命であり、
全能者から受ける圧制者の相続である。

彼の子供たちが多くても、彼らは剣のために定められ、
その子孫はパンに飢える。

彼の生き残りは疫病で埋葬され、

その未亡人たちは悲しむことができない。

彼が銀を塵のように積み上げ、

布を粘土のように集めても、

彼がそれを集めても、正しい者がそれを着るだろう、

無垢な者がその銀を分け合うだろう。

彼は蜘蛛の巣のように家を建て、

見張り人が作った避難所のように。

彼は富んで横たわるが、再びそうではない。

彼が目を開けると、それは消えている。

恐怖が洪水のように彼を襲い、

嵐が夜に彼をさらって行く。

東風が彼を運び去り、彼は消える。

それが彼の場所から彼を掃き去る。

それは容赦なく彼に襲いかかる。

彼はその力から逃れようとするだろう。

人々は彼に拍手し、

その場所から彼に向かって嘲るだろう。

28

「確かに、銀のための鉱山があり、

金を精錬する場所がある。

鉄は地から取り出され、

銅は石から精錬される。 人は暗闇を終わらせ、

最も遠い限界まで探し求める、

暗闇と深い影の中の岩を。

彼は住居から遠くに坑道を掘り、

足に忘れられている；
 彼らは人々から遠く離れてぶら下がり、揺れ動く。
 5 地からは食物が出てくるが、
 その下は火のようにひっくり返される。
 6 その岩はサファイアを産し、その塵は金を含む。
 7 その道は猛禽類には知られておらず、
 8 鷹の目もそれを見たことがない。
 9 誇り高い獣もそれを歩んでおらず、
 ライオンもそれを越えていない。
 10 彼は火打石に手を置き、
 山をその根元でひっくり返す。
 11 彼は岩を切り抜いて水路を作り、
 その目はすべての貴重なものを見発する。
 彼は流れを止めて流れさせず、
 隠されていたものを光に出す。

12 「しかし、知恵はどこに見つかるのか？
 理解の場所はどこにあるのか？
 人間はその価値を知らず、
 それは生ける者の地に位置していない。
 13 海の深みは言う、『それは私の中にはない』；
 海も言う、『それは私と共にはない』。
 14 純金でそれを交換することはできず、
 銀をその価値として量ることもできない。
 15 オフィルの金でも評価されず、
 貴重な縞瑪瑙やサファイアでもない。
 16 金やガラスもそれに比べられず、
 純金の品物と交換することもできない。
 17 珊瑚や水晶は言及されるべきではない；
 知恵を得ることは真珠よりも貴重である。
 18 クシュのトパーズもそれに比べられず、
 純金でも評価されない。

20 「それでは、知恵はどこから来るのか？
 理解の場所はどこにあるのか？
 21 それはすべての生ける者の目から隠されており、
 22 空の鳥からも隠されている。
 アバドンと死は言う、
 『私たちの耳にはその噂を聞いたことがある』。
 23 神はその道を理解し、その場所を知っている。
 24 彼は地の果てまで見渡し、
 天の下のすべてを見ている。
 25 彼が風に重さを与え、水を計りで量ったとき、
 26 彼が雨のために境界を設け、
 27 雷のための道を定めたとき、
 そのとき彼はそれを見て宣言し、
 それを確立し、またそれを調べた。
 28 そしてすべての人類に言った、
 『見よ、主を恐れること、これが知恵である；
 悪から離れることが理解である』」

29 それからヨブは再び言葉を取り上げて言った。

2 「ああ、昔の月日のように、
 神が私を見守ってくださった日々のように戻れたら。
 3 その時、神の灯が私の上に輝き、
 その光で暗闇を歩んだ。
 4 私の若い日のように、
 神の守りが私の天幕の上にあった時のように。
 5 全能者がまだ私と共におられ、
 私の子供たちが私を囲んでいた時のように。
 6 私の歩みがバターで洗われ、
 岩が私のために油の流れを注いでくれた時のように！

7 私が町の門に行き、公の広場に座を取った時、
 8 若者たちは私を見て退き、
 9 老人たちは立ち上がって立った。
 10 指導者たちは話をやめ、口に手を置いた。
 11 貴族たちの声は静まり、
 彼らの舌は上顎にくっついた。
 12 耳が聞くと私を祝福し、
 目が見ると私を証した。
 13 私が助けを求める貧しい者を救い、
 支える者のない孤児を助けたからだ。
 14 滅びゆく者の祝福が私に降りかかり、
 私は未亡人の心を喜びで歌わせた。
 15 私は義をまとい、それが私を覆い、
 私の正義はローブと頭飾りのようだった。
 16 私は盲人の案内人であり、
 足の不自由な者の支えだった。
 17 私は困窮する者の父であり、
 知らない事件を調べた。
 18 私は悪者の顎を砕き、
 彼らの歯から獲物を救い出した。

19 その時、私は思った、『私は自分の巢で死に、
 日々を砂のように増やすだろう。
 20 私の根は水に広がり、
 夜通し私の枝に露が降りる。
 私の栄光は常に新しく、
 私の弓は手で新たにされる。』

21 彼らは私に耳を傾けて待ち、
 私の助言を求めて黙っていた。
 22 私の言葉の後、彼らは再び話さず、
 私の言葉は彼らに落ち着いた。
 23 彼らは雨を待つように私を待ち、
 春の雨のように口を開けた。
 24 彼らが信じない時、私は微笑み、
 25 彼らは私の顔の光を不快に見なかった。
 私は彼らの進路を決め、首長として座り、

軍隊の中の王のように住み、
悲しむ者を慰める者のようだった。

30 「しかし今や、私より若い者たちが私をあ
ざける。

彼らの父たちを、私は自分の群れの犬と一
緒に置くことはなかった。 2

実際、彼らの手の力が私に何の利益をもたらした
のか？ 彼らの活力は彼らから去っていた。 3

貧困と飢えから彼らはやせ細っている。
彼らは荒廃と荒れ地の中で夜に乾いた地をかじる
者たちだ。 4

彼らは茂みの間で塩草を集め、
その食物はエニシダの根だ。 5

彼らは共同体から追い出される。
人々は彼らに対して盗賊に向かうように叫ぶ。 6

彼らは荒れた谷に住み、 地面や岩の穴に住む。 7
茂みの間で彼らは泣き叫び、

雑草の下で彼らは一緒に身を寄せ合う。 8
愚かな者たちの子、名もなき者たちの子、

彼らは地から追い出された。

9 そして今、私は彼らのあざけりの的となり、
彼らにとってのことわざとなった。 10

彼らは私を嫌い、私から距離を置き、
私の顔に唾を吐くことをためらわない。 11

神がその弓の弦を緩め、私を苦しめたので、
彼らは私の前で抑制を失った。 12

右手には彼らの子孫が立ち上がり、
私の足を押しのけ、私に対して破壊の道を築く。 13

彼らは私の道を乱し、 誰も彼らを止めない。
私の没落から利益を得る。 14

彼らは壁の破れ口のように私に襲いかかり、
嵐の中で進む。 15

突然の恐怖が私に向かって変わり、
彼らは風のように私の名誉を追い、

私の繁栄は雲のように消え去った。

16 そして今、私の魂は私の中で注ぎ出され、
苦しみの日々が私を襲った。 17

夜にはそれが私の骨を貫き、
私の容赦ない痛みは休まない。 18

大きな力によって私の衣服は歪められ、
それは私の上着の襟のように私を縛る。 19

神は私を泥の中に投げ入れ、
私は塵と灰に還った。

20 私はあなたに助けを求めて叫ぶが、あなたは応え
ず、

私は立ち上がるが、あなたは私に顔を向ける。 21
あなたは私に対して厳しくなり、

あなたの手の力で私を迫害する。 22
あなたは私を風に持ち上げ、それに乗せ、

嵐の中で私を散らす。 23
私は知っている、あなたは私を死に至らせ、

生ける者すべての集会の家に連れて行くことを。

24 しかし、廃墟の中で手を伸ばさない者がいるだろ
うか、

あるいは災害の中で助けを求めて叫ばない者がい
るだろうか？ 25

私は苦しむ者のために泣かなかったか？
私の魂は困窮者のために悲しまなかったか？ 26

私が良いことを望んだとき、悪が来た。
光を待っていたとき、闇が来た。 27

私の内臓は混乱し、決して静まらない。
苦しみの日々が私に立ちはだかる。 28

私は慰めもなく喪に服してさまよい、
集会で立ち上がり、助けを求めて訴える。 29

私はジャッカルの間となり、
ダチョウの間となった。 30

私の肌は私の上で黒くなり、
私の骨は熱で燃えている。 31

こうして私のハーブは喪に調整され、
私の笛は嘆きの音に調整されている。

31 「私は自分の目と契約を結んだ。
どうして若い女性を見つめることができよ
うか。 2

上から神が与える分け前は何か、
あるいは全能者が高きから与える相続は何か。 3

不正を行う者には災いが、
不義を働く者には不幸があるのではないか。 4

彼は私の道を見守り、
私のすべての歩みを数えておられるのではないか
。

5 もし私が偽りを歩み、
私の足が欺きに急いだなら、 6

彼が正しいはかりで私を量り、
神が私の誠実を知ってくださるように。 7

もし私の歩みが道からそれ、
私の心が私の目に従い、 8

私の手に汚れがついたなら、
私が蒔いたものを他の者が食べ、
私の産物が引き抜かれるように。

9 もし私の心が女性に引き寄せられ、
隣人の戸口で待ったなら、 10

私の妻が他の者のために粉をひき、
他の者が彼女の上にかがむように。 11
それは恥ずべき行為であり、

ヨブ記

さらに、それは裁判官によって罰せられるべき不正である。¹² それは破壊に至る火であり、私のすべての増加を恨こそぎにするであろう。

13

もし私が私の男または女の奴隷の訴えを無視したなら、彼らが私に対して訴えたとき、¹⁴ 神が立ち上がるとき、私は何をすることができようか。

彼が私を問いただすとき、私はどう答えようか。¹⁵

私を胎内で作った方が彼らをも作られたのではないか、
同じ方が私たちを胎内で形作られたのではないか。¹⁶

もし私が貧しい者の願いを拒み、
未亡人の希望を失わせたなら、¹⁷
あるいは私の一口を一人で食べ、
孤児と分かち合わなかったなら¹⁸

(しかし、私の若い頃から彼は父のように私と共に育ち、私の母の胎から私は彼女を導いた)、¹⁹
もし私が衣服のない者を見て見ぬふりをし、
衣を持たない困窮者を見たなら、²⁰
もし彼の腰が私を祝福せず、
私の羊の毛で暖まらなかったなら、²¹
もし私が孤児に対して手を上げたなら、
門で私に支援があるのを見たからである、²²
私の肩が外れ、私の腕が肘で折れるように。²³
神からの災いの恐れが私を圧倒し、
その威厳のために、私は無力である。

²⁴ もし私が金に信頼を置き、
純金を私の安全と呼んだなら、²⁵
もし私の富が大きいことを喜び、
私の手が多くを得たからであるなら、²⁶
もし私が太陽が輝くときに心を奪われ、
月がその輝きで魅了したなら、²⁷
そして私の心が密かに引き寄せられ、
私の手が口からの接吻を捧げたなら、²⁸
それもまた裁きを受けるべき罪であり、
私は上の神を否定したことになる。

²⁹ 私は敵の没落を喜び、
彼に災いが降りかかったときに喜んだことがあるか。³⁰ いいえ、私は彼の命を呪いで求めることで
私の口が罪を犯すことを許さなかった。³¹
私の天幕の人々は言わなかったか、
『彼の食物で満たされなかった者を誰が見つけられるか』と。³² 旅人は外で夜を過ごさず、
私は旅人に私の戸を開けた。³³

私はアダムのように私の罪を隠し、
私の心に罪を隠したことがあるか、³⁴
大勢の群衆を恐れ、
家族の嘲笑に怯えて、
私は黙って外に出なかったのか。

³⁵ ああ、私を聞いてくれる者がいればよいのに！
ここに私の印がある；
全能者が私に答えてくださるように！
そして私の敵が書いた告訴状を、³⁶
私は確かにそれを肩に担い、
それを冠のように私に結びつけるだろう。³⁷
私は彼に私のすべての歩みを報告し、
王子のように彼に近づくだろう。

³⁸ もし私の土地が私に対して叫び、
その敵が共に嘆くなら、³⁹
もし私がその産物を支払わずに消費し、
その所有者の命を失わせたなら、⁴⁰
小麦の代わりに茨が生え、
大麦の代わりに雑草が生えるように。」
ヨブの言葉は終わった。

32

こうして、三人の男たちはヨブに答えるのをやめた。彼が自分の目には正しいと思っていたからである。²

しかし、ラムの家系のブズ人バラケルの子エリフは、
ヨブが神よりも自分を正しいとしたことに腹を立てた。³

また、三人の友人たちにも怒りが燃え上がった。彼らはヨブを非難したが、彼に反論する答えを見つけれなかったからである。⁴

エリフは、彼らが自分より年上であったため、ヨブに話すのを控えていた。⁵

しかし、エリフは三人の男たちがもう答えないので見て、怒りが燃え上がった。

⁶ そこで、ブズ人バラケルの子エリフは言った。

「私は年若く、あなたたちは年老いている。
だから、私は恐れて自分の考えを述べるのを控えていた。」⁷ 私は思った、『年が語り、

多くの年が知恵を授けるべきだ』と。⁸
しかし、人の中にあるのは霊であり、
全能者の息が理解を授けるのだ。⁹

賢いのは年老いた者だけではなく、
正義を理解するのは年を重ねた者だけではない。

10

だから、私は言う、『私の言うことを聞いてください。』

私も自分の知っていることを述べます』と。¹¹

私はあなたたちの言葉を待ち、

ヨブ記

あなたたちの熟考した言葉に耳を傾けた。
あなたたちが何を言うかを探している間に。 12
私はあなたたちに全注意を払った。
しかし、誰一人としてヨブを誤りだと証明せず、
彼の議論に答えた者はいない。 13
だから、『我々は知恵を見つけた。
神が彼を打ち負かすべきで、人間ではない』と言
わないでください。 14
しかし、ヨブは私に向かって言葉を発していない

。
私はあなたたちの議論で彼に答えるつもりはない
。

15 彼らは驚き、答えるのをやめた。
言葉が彼らを去ったのだ。 16
彼らが沈黙し、答えがない今、
私は待つべきだろうか？ 17
私も自分の意見を述べる。
私も自分の考えを述べる。 18
私は言葉で満たされている。
私の内にある霊が私に語らせようとしている。 19
私の内は、出口のないワインのようだ。
新しい革袋のように破裂しそうだ。 20
私は話さなければならない、そうすれば楽になる。
私は口を開いて答えなければならない。 21
私は偏見を示さず、
誰をもおだてることはしない。 22
私はおだて方を知らない。
もし知っていたら、私の造り主がすぐに私を取り
去るだろう。

33 「しかし今、ヨブよ、私の言葉を聞いてく
ださい。

私のすべての言葉に注意を払ってください
。
見てください、私は今口を開こうとしています。
私の舌は話す準備ができています。 3
私の言葉は私の心の誠実さから出てきます。
私の唇は知識を誠実に表現します。 4
神の霊が私を創造しました。
全能者の息が私に命を与えます。 5
もしできるなら私に答えてください。
自分を整えて立ち上がりなさい。 6
私は神の前であなたと同じです。
私も粘土から形作られました。 7
私を恐れる必要はありません。
私の手があなたに重くのしかかることもありませ
ん。

8
「しかし、あなたは私の聞いているところで話し

ました。
そして私はあなたが言った言葉を聞きました。 9
『私は純粋で、罪を犯していない。
私は清く、不義は私にありません。 10
それでも彼は私に対して機会を見つけます。
彼は私を敵と見なします。 11
彼は私の足を枷で縛ります。
彼は私のすべての道を見守ります。』

12
「しかし私はあなたに言います、これにおいてあ
なたは正しくありません。
神はどんな人間よりも偉大です。 13
なぜあなたは彼と争うのですか、
彼があなたの言葉に答えないとやって？ 14
神は話します—今はこの方法で、
今は別の方法で—
しかし誰もそれに気づきません。 15
夢の中で、夜の幻の中で、
深い眠りが人々に降りかかるとき、
彼らがベッドで眠っている間に、 16
彼は彼らの耳を開き、
警告で彼らを恐れさせるかもしれません。 17
人を悪行から遠ざけ、
彼らを高慢から守るために、 18
彼らの魂を穴から守り、
彼らの命を剣で滅びることから守るために。

19 「または彼らは痛みの中で燃えしめられ、
骨の中で絶え間ない苦しみ悩まされるかもしれ
ません。 20 彼らの存在はパンを嫌い、
彼らの魂はお気に入りの食べ物で軽蔑します。 21
彼らの肉は何もないほどにやせ細り、
かつて見えなかった骨が今は突き出ています。 22
彼らの魂は穴に近づき、
彼らの命は死の使者に近づきます。 23
それでももし彼らの側に天使がいるなら、仲介者
が、 千人に一人でも、
彼らに正しいことを示すために、 24
そして彼が彼らに恵みを与え、『彼らを穴に下る
ことから救い出せ。
私は彼らのための贖いを見つけた— 25
彼らの肉を子供のようになつたにし、
彼らを若々しい活力の日に戻せ』— 26
そのとき彼らは神に祈り、
彼と好意を見出し、喜びで彼の顔を見るでしょう
、そして彼は彼らの義を回復します。 27
彼らは他の人に歌い、言うでしょう、
『私は罪を犯し、正しいことを曲げたが、
私は受けるべきものを受けなかった。 28

ヨブ記

彼は私の魂を穴に下ることから救い出した、
そして私の命は光を見るだろう。』

29

「確かに、神は人に対してこれらすべてのことを
行います—二度、さらには三度—
彼らの魂を穴から戻すために、
彼らが命の光で啓発されるために。」

31

「注意深く聞いてください、ヨブ、そして私を聞
いてください。 静かにして、私は話します。 32
もし何か言いたいことがあるなら、私に答えてく
ださい。
話してください、私はあなたを正当化したいので
す。 33
しかし、そうでないなら、私の言葉に耳を傾けて
ください。
静かにして、私はあなたに知恵を授けます。」

34

それからエリフは続けて言った。

2 「賢い人々よ、私の言葉を聞け。
理解のある人々よ、私に耳を傾けよ。 3

味覚が食べ物を味わうように、
耳は言葉を識別する。 4
私たち自身で正しいことを選び取ろう。
共に良いことを見極めよう。

5 ヨブは言った、『私は正しいが、
神は私に公正を与えなかった。 6
私は非の打ち所がないのに、嘘つきと見なされる
。 私の傷は治らない、私は罪がないのに。』 7
ヨブのような人がいるだろうか、
嘲笑を水のように飲む者が、 8 悪者と交わり、
悪しき者と共に歩む者が？ 9
彼は言った、『神を喜ばせようとしても
人には何の利益もない。』 10
「だから、理解のある人々よ、私に耳を傾けよ。
神が悪を行うことは遠く、
全能者が不正を行うことも遠い。 11
彼は人にその行いに応じて報い、
その行動にふさわしいものをもたらす。 12
神が悪を行うことは考えられない、
全能者が公正を曲げることもない。 13
誰が彼に地上の権威を与えたのか？
誰が全世界を彼の手に委ねたのか？ 14
もし彼がその霊と 息を自分集めるなら、 15
全人類は共に滅び、人間は塵に帰るだろう。」

16

「もしあなたが賢いなら、このことに注意を払い

、 私の言葉の音に耳を傾けよ。 17
正義を憎む者が統治できるだろうか？
あなたは正しい者、力ある者を非難するのか？ 18
王たちに『あなたは無価値だ』と宣言し、
貴族たちに『あなたは腐敗している』と言うのは
彼ではないか？ 19 彼は君主に偏見を持たず、
富者を貧者よりも好まない、
彼らは皆、彼の手の業だからだ。 20
瞬間に彼らは死に、夜中に人々は震え、去り、
力ある者は人の手によらずに取り除かれる。

21 「彼の目は人間の道を見ている。
彼は彼らの一步一步を見ている。 22
悪者が隠れることができる 暗闇や深い影はない。
23 神は人々をさらに調べる必要はない、
彼らが彼の前に出て裁かれるために。 24
問い合わせなしに、彼は力ある者を打ち砕き、
他の者をその場所に置く。 25
彼は彼らの行動を観察し、
夜に彼らを覆し、彼らは砕かれる。 26
彼は彼らの悪のために 公の場で彼らを打つ、 27
彼らが彼に従うことをやめ、
彼の道を全く顧みなかったからだ。 28
彼らは貧しい者の叫びを彼の前に来させ、
彼は苦しむ者の叫びを聞いた。 29
彼が沈黙を守るとき、誰が彼を非難できるか？
彼が顔を隠すとき、誰が彼を見ることができるか
？ 彼は国にも個人にも同様に支配している、 30
神を知らない者が支配し、
人々に罟を仕掛けるのを防ぐために。

31 「誰かが神に言ったことがあるか、
『私は罰を受けた；もう罪を犯さない； 32
私が見ていないことを示してくれ；
もし私が間違ったことをしたなら、繰り返さない
』と？ 33
あなたが彼のものを拒むからといって、神があな
たの条件で報いるべきか？
あなたが選ばなければならない、私は選ばない；
だから、あなたの知っていることを宣言せよ。
34 理解のある人々は私に言うだろう、
私を聞く賢い人は言うだろう、 35
『ヨブは知識なしに話している；
彼の言葉には知恵が欠けている。』 36
ああ、ヨブが徹底的に試されることを！
悪しき者のように答えるからだ！ 37
彼は罪に反逆を加え、 私たちの間で手を叩き、
神に対して言葉を増やす。」

35

エリフは続けて語った。

「これが正しいと考えるのか？

あなたは『私の義は神の義を超えている』

と主張する。

あなたは『それが私に何の利益があるのか？

罪を犯した場合よりも何を得るのか？』と問う。

私はあなたと あなたの仲間に答えよう。

天を見上げて見よ。

雲を見よ、それらはあなたの上に高くある。

もしあなたが罪を犯しても、それが神に何の影響を与えるのか？

もしあなたの背きが多くても、それが神にどのように影響するのか？

もしあなたが義であっても、神に何を提供できる

のか、神はあなたの手から何を望むのか？

あなたの悪はあなた自身のような人間にのみ影響し、あなたの義は同じく人々に影響を与える。

「人々は圧迫の重みの下で叫ぶ。

彼らは強者の力からの救済を求める。

しかし誰も『私の造り主なる神はどこにいるのか

、

夜に歌を提供してくださる方はどこにいるのか』

と問わない。

地の獣よりも多くを教え、

空の鳥よりも賢くしてくださる方はどこにいるの

のか？」

それは悪しき者の高慢のためである。

確かに、神は空しい願いを聞き入れない。

全能者はそれに注意を払わない。

あなたが神を見ないと主張し、

あなたの訴えが神の前にあり、待たなければなら

ないと言うとき、神はなおさら聞かない。

そして今、神が怒りの中で罰せず、

不正を顧みないからといって、

ヨブは空しい言葉を語り、

理解せずに言葉を増やす。」

36

エリフは続けて語り、言った。

「もう少し我慢してくれ、

神のために語るべきことがまだあることを

示そう。

私は遠くから知識を持ち出し、

私の造り主に義を帰する。

私の言葉は偽りではないことを確信してくれ；

知識において完全な者があなたと共にいる。

見よ、神は力強く、誰も拒まない；

彼は力と理解において力強い。

彼は悪者を保たず、苦しむ者の権利を守る。

彼は正しい者から目をそらさず；

彼らを王たちと共に王座に座らせ、

永遠に彼らを高める。

もし彼らが鎖に縛られ、

苦しみの縄に捕らえられているなら、

彼は彼らにその行いを告げ、

彼らの傲慢な罪を告げる。

彼は彼らの耳を教えるに聞き、

彼らに不義から離れるよう命じる。

もし彼らが聞き従い、彼に仕えるなら、

彼らの日々を繁栄の中で過ごし、

彼らの年を幸福の中で過ごす。

しかし、もし彼らが聞かないなら、剣によって終

わりを迎え、理解せずに過ぎ去る。

心の中で神を知らない者は怒りを抱き；

彼が彼らを縛るとき、助けを求めない。

彼らは若くして死に、

彼らの命は神殿の男娼の中で終わる。

彼は苦しむ者をその苦しみの中で救い、

圧迫の時に彼らの耳を開く。

確かに、彼はあなたを苦しみの頸から引き出し、

制約のない広い場所へと導き、

あなたの食卓は豊かな食物で満たされている。

しかし今、あなたは悪者に対する裁きで満たされ

ている；裁きと正義があなたを捉えている。

怒りがあなたを軽蔑に誘わないように注意せよ、

大きな身代金があなたをそらさないようにせよ。

あなたの富やあなたの力の努力があなたを苦しみ

から守るだろうか？

人々がその場所から連れ去られる夜を待ち望むな

。悪に向かうことを警戒せよ、

あなたは苦しみよりもそれを好んでいるようだ。

見よ、神はその力において至高である；

誰が彼のように教えることができるか？

誰が彼の道を彼に定めたのか、

また誰が『あなたは間違っている』と言ったのか？

彼の業を称賛することを忘れるな、

人々が賛美の歌を歌ったものを。

全人類がそれを観察している；

人類は遠くからそれを見つめる。

見よ、神は我々の理解を超えて偉大である；

彼の年数は探りがたい。

彼は水滴を引き上げ、

それが天の流れから雨として滴る。

雲はその湿気を注ぎ、

豊かな雨が人類に降り注ぐ。

誰が雲の広がりを理解できるか、

ヨブ記

彼の幕屋からの雷鳴を？
見よ、彼はその周りに稲妻を散らし、
海の深みを覆う。
これらによって彼は国々を治め、
豊かな食物を提供する。
彼はその手を稲妻で満ちし、
それを目標に命じる。³³ 彼の雷鳴は嵐を告げる；
牛たちもその接近を知っている。

37 「これにより、私の心は震え、
その場所から飛び出します。
彼の声の雷を注意深く聞き、
彼の口から出る轟きを聞きなさい。
彼はそれを空全体に放ち、
彼の稲妻は地の果てに達します。
その後、声が轟きます。
彼は威厳ある声で雷鳴をとどろかせ、
彼の声が聞こえるとき、稲妻を控えません。
神はその声で驚くべき雷鳴をとどろかせ、
私たちの理解を超えた偉大なことを成し遂げます。
雪に「地に降れ」と命じ、
雨のシャワーに「強くあれ」と命じます。
彼はすべての人の手を封じ、
すべての人が彼の業を認識できるようにします。
そのとき、動物はその巢穴に退き、
その巣に留まります。
南から嵐が来て、
北から寒さが来ます。
神の息によって氷が形成され、
水の広がりが凍ります。
彼はまた雲を湿気で満ちし、
彼の稲妻の雲を散らします。
それは彼の導きによって方向を変え、回転し、
彼が命じることを住む地の表で成し遂げます。
訂正のためであれ、彼の世界のためであれ、
または慈悲のためであれ、彼はそれを起こさせます。

14 「これを聞け、ヨブよ。
立ち上がり、神の驚異を考えよ。
神がそれらをどのように確立し、
彼の雲の稲妻を輝かせるかを知っているか？
雲の浮遊について理解しているか、
知識において完全な者の驚異を、
あなたの衣服が暖かいとき、
南風のために土地が静かであるときに？
あなたは彼と共に空を広げることができるか、
鋳造された金属の鏡のように強く？

19

「私たちが彼に何を言うべきか教えてください。
暗闇のために私たちは自分の訴えを提示できません

ん。²⁰ 私が話すことを彼に報告すべきか？
それとも、人が圧倒されると言うべきか？
現在、人々は空に輝く光を見ません。
しかし、風が通り過ぎてそれらを晴らしました。
北から黄金の輝きが来ます。
神の周りには畏怖の威厳があります。²³ 全能者—
私たちは彼を完全に理解できません。
彼は力において高められ、
彼は正義と豊かな義を妥協しません。
それゆえ、人々は彼を畏れ敬います。
彼は心に賢い者を顧みません。」

38 そのとき、主はつむじ風の中からヨブに語
りかけて言われた。

2 「知識のない言葉で
わたしの計画を暗くする者は誰か。
男のように腰に帯を締めよ。
わたしはあなたに問かける。あなたはわたしに
知らせよ。
わたしが地の基を定めたとき、あなたはどこにい
たのか。知っているなら告げよ。
その測定を決めたのは誰か。確かにあなたは知っ
ているはずだ！ それに測り縄を張ったのは誰か。
その基は何に据えられたのか、
またその礎石を据えたのは誰か—
朝の星々が歌い、
神の子らが皆、喜び叫んだときに。

8 「海を扉で囲んだのは誰か、
それが胎からあふれ出たときに、
わたしがそれを雲で覆い、
濃い暗闇で包んだときに、
わたしがそのために限界を定め、
門と扉を設けたときに、
わたしが言った、『ここまで来てよいが、これ
以上は来るな。
ここであなたの誇る波は止まる』と。

12 「あなたは朝に命じたことがあるか、
また暁にその場所を示したことがあるか、
それが地の縁をつかみ、
悪者をそこから振り落とすために。
地は封印の下の粘土のように形を取り、
その特徴は衣のように際立つ。
光は悪者から奪われ、
高く上げられた腕は折られる。

16 「あなたは海の源にまで旅したことがあるか、
また海の深みを歩いたことがあるか。

ヨブ記

死の秘密があなたに示されたことがあるか。
あなたは陰の領域の門を見たことがあるか。 18
あなたは地の広大さを理解したことがあるか。
知っているなら告げよ。

19 光の住まいへの道はどこにあるのか。
また、暗闇はどこに住むのか、 20
あなたがそれをその領域に連れて行き、
その住まいへの道を見分けるために。 21
確かにあなたは知っているはずだ、あなたはその
時に生まれたのだから、
あなたの日々は多いのだから！

22 「あなたは雪の宝庫に入ったことがあるか、
また雪の備蓄を見たことがあるか、 23
それはわたしが困難の時のために、
戦争と戦いの日のために備えたものだ。 24
光が分かれる場所への道は何か、
また東風が地に散らされるのは何か。 25
雨の激流のために溝を刻んだのは誰か、
雷の道を作ったのは誰か、 26
人が住んでいない土地を潤し、
荒れ果てた荒野を、 27 荒れ果てた地を満たし、
草を芽生えさせるために。 28
雨には源があるのか。 露の滴の親は誰か。 29
氷は誰の胎から来るのか。
天からの霜を生むのは誰か 30
水が石のように固まり、
深みの表面が凍るときに。

31 「ブレアデスの鎖を縛ることができるか、
オリオンの綱を解くことができるか。 32
星座をその季節に出すことができるか、
熊とその子供たちを導くことができるか。 33
天の法則を知っているか。
それらの支配を地に定めることができるか。

34 「雲に呼びかけて
自分を水の大洪水で覆うことができるか。 35
稲妻を送り出すことができるか。
それらはあなたに『ここにいます』と言って現れ
るか。 36 心に知恵を置いたのは誰か、
また心に理解を与えたのは誰か。 37
知恵で雲を数えることができるか、
天の水瓶をひっくり返すことができるか 38
塵が固まり 塊が一緒にくっつくときに。

39 「雌ライオンの獲物を狩ることができるか、
若いライオンの飢えを満たすことができるか 40
彼らが巣でうずくまり
その隠れ家で待ち伏せするとき。 41
カラスに食物を提供するのは誰か

その若い者が神に向かって叫び
食物なしでさまようときに。

39 「山羊が出産する瞬間を知っていますか？
鹿が子を産むときに見守っていますか？ 2
彼らが満たす月を数えられますか、
あるいは彼らが出産する時を知っていますか？ 3
彼らはひざまずき、子を産み、
労苦の痛みを取り除きます。 4
彼らの子は強く成長し、野で成熟します；
彼らは去り、戻ってきません。

5 野生のロバを誰が自由にしたのか？
速いロバをその束縛から解放したのは誰か、 6
私が荒野を家として与え、
塩の地を住まいとしたのは誰か？ 7
彼は都市の混乱をあざ笑ひ、
監督者の叫びを聞きません。 8
彼は牧草を求めて山々をさまよひ、
あらゆる緑のものを探します。

9
野生の牛はあなたに仕えることを喜ぶでしょうか
、
それともあなたの飼ひ葉桶で夜を過ごすでしょう
か？ 10
野生の牛を縄で畝に縛りつけることができますか

、
それとも彼があなたの後に谷を耕すでしょうか？
11 彼の力が大きいからといって彼を信頼し、
あなたの労働を彼に任せますか？ 12
彼があなたの穀物を戻し、
脱穀場から集めることを頼りにしますか？

13 「ダチョウの翼は喜びに波打ち、
愛情の羽と羽軸で、 14 彼女は地面に卵を置き、
それらを塵の中で温めます、 15
そして足がそれらを踏みつぶすかもしれないこと
を知らず、
野生の動物がそれらを踏みにじるかもしれないこ
とを知らない。 16
彼女は自分の子を自分のものではないかのように
厳しく扱い、
労苦が無駄であっても気にしません、 17
神が彼女から知恵を奪ひ、
理解の分け前を与えなかったからです。 18
彼女が飛び立つとき、
馬とその騎手をあざ笑います。

19 「馬に力を与えるのはあなたですか？
その首に流れるたてがみを飾るのはあなたですか
？ 20

ヨブ記

彼をバッタのように跳ねさせるのはあなたですか？
その威厳ある鼻息は恐ろしい。

21

彼は谷で足を踏み鳴らし、その力を誇り、
戦いに突進します。

22

彼は恐れをあざ笑ひ、ひるまず、
剣から退きません。 矢筒が彼にぶつかり、
輝く槍と投げ槍が。

24

彼は地面を轟音と怒りで駆け抜け、
ラッパの音にじっとしていません。
ラッパが鳴るたびに彼は「アハ！」と叫び、
遠くから戦いを感じ取り、
隊長たちの雷鳴と戦いの叫びを感じ取ります。

25

26

「鷹が南に向かって翼を伸ばして飛ぶのはあなたの
知恵によるのですか？」

27

鷹が登り、高い所に巣を作るのはあなたの命令に
によるのですか？ 彼は崖に住み、夜を過ごし、
岩の裂け目、手の届かない場所にいます。

29

そこから彼は獲物を探し、
彼の目は遠くからそれを観察します。
彼の若者たちも血を食べ、
屍のある所に彼はいます。」

30

40

そのとき、主はヨブに語りかけた。

「全能者に異議を唱える者が争うのか。
神に挑む者は答えよ。」

ヨブは主に答えて言った。

4

「見よ、私は取るに足りない者です。どうしてあ
なたに答えられましょうか。
私は手を口に当てます。
一度語りましたが、もう答えません。
二度語りましたが、もう何も加えません。」

5

そのとき、主は嵐の中からヨブに語りかけた。

「男のように腰に帯を締めよ。
私はあなたに問いかける。あなたは私に知らせよ。
あなたは私の裁きを無効にするのか。
あなた自身を正当化するために私を非難するのか。
あなたは神のような力を持っているのか。
その声を神のように力強く響かせることができる
のか。」

10

「壮大さと威厳を身にまとい、
栄誉と威光を身に着けよ。
怒りの激しさを解き放ち、
高慢な者を見て彼らを低くせよ。
高ぶる者を見て彼らを低くし、

11

12

悪者をその場で打ち碎け。
彼らを共に塵の中に埋め、
隠れた場所に閉じ込めよ。
そのとき、私はあなたに認めよう、
あなた自身の右手があなたを救うことができると
。」

13

14

15

「見よ、ベヒモスを。私はあなたと共にそれを造
った。それは牛のように草を食べる。
その腰の力を見よ、その腹の筋肉の力を見よ。
その尾は杉のように揺れ動き、
その腿の筋は密に結ばれている。
その骨は青銅の管のようであり、
その肢は鉄の棒のようである。
それは神の業の中で最も偉大なものであり、
その造り主は剣をもってそれに近づくことができ
る。 山々はそれのために食物を供給し、
野の獣たちはその近くで遊ぶ。
それは蓮の木の下で休み、
沼の葦の中に隠れている。
蓮の木はそれに影を提供し、
小川の柳がそれを囲んでいる。
川が激しく流れても、それは驚かない。
ヨルダン川がその口に押し寄せても、それは自信
を持っている。
誰がそれを警戒しているときに捕らえることがで
きるか。 その鼻に罌をかけることができるか。」

16

17

18

19

20

21

22

23

24

41

「あなたは釣り針でレビヤタンを引き出せ
るか、
その舌を縄で押さえつけることができるか
。」

その鼻に縄を通せるか、

その顎を釣り針で突き刺せるか、

彼は繰り返してあなたに懇願するだろうか、

あるいは優しい言葉であなたに話しかけるだろう

か。 彼はあなたと契約を結ぶだろうか。

あなたは彼を永遠のしもべとして取るだろうか。

あなたは鳥のように彼と遊ぶだろうか、

あるいは若い娘たちのために彼を縛るだろうか。

商人たちは彼をめぐって取引するだろうか。

彼を商人たちの間で分け合うだろうか。

彼の皮膚を鉾で覆うことができるか、

彼の頭を釣り槍で覆うことができるか。

彼に手を置いてみよ。

戦いを思い出せ、再びそれを試みることはないだ

ろう！ 見よ、あなたの期待は無駄である。

彼を見ただけで打ちのめされるだろうか。

彼を起こすことを恐れない者はいない。

それならば、誰が私の前に立つことができるだ

10

11

12

うか。
誰が私に与えて、私がそれを返さなければなら
ないのか。
天の下にあるすべてのものは私のものである。

「私は彼の肢体について沈黙しない、
彼の強大な力や優雅な形についても。
誰が彼の外皮を剥ぎ取ることができるか。
誰が彼の二重の鎧を貫くことができるか。
誰が彼の口を開けることができるか。
彼の歯は畏怖を抱かせる。
彼の強い鱗は彼の誇り、
しっかりと密閉されている。
一つ一つが次のものに非常に近く、
空気もその間を通ることができない。
それらは互いに結びつき、
くっついて分離することはできない。
彼のくしゃみは光の閃きを放ち、
彼の目は夜明けの光線のようなものである。
彼の口からは燃えるたいまつが出て、
火の火花が飛び出す。 煙が彼の鼻から出る、
沸騰する鍋や燃える葦のように。
彼の息は炭を燃やし、 炎が彼の口から出る。
力は彼の首にあり、 恐れが彼の前に動く。
彼の肉のひだはしっかりと結びつき、
彼の上で堅固で動かない。
彼の心は石のように硬く、
実際、下の石臼のように硬い。
彼が立ち上がると、強者たちは恐れ、
衝撃音のために混乱する。
彼を打つ剣は勝てず、 槍も、矢も、投げ槍も。
彼は鉄を藁のように、
青銅を腐った木のように考える。
矢は彼を逃げさせることができない、
投石は彼にとってもみ殻のようである。
棍棒はもみ殻とみなされ、
彼は投げ槍の音を笑う。
彼の下部は鋭い陶器の破片のようで、
泥の上に脱穀機のように広がる。
彼は深みを鍋のようにかき回し、
海を香油の鍋のようにする。
彼の後ろには輝く跡が残り、
深みが白髪のように見える。
地上には彼のようなものはなく、
恐れを知らない生き物である。
彼はすべての高きものを見下ろし、
彼はすべての誇り高き者の王である。」

その後、ヨブは主に答えて言った、
「あなたがすべてのことを成し遂げること
ができ、
あなたの計画は何一つ妨げられないことを私は知
っています。
『知識もなく、計画を覆い隠す者は誰か?』
確かに、私は理解できないことを語りました、
私には知ることができない、あまりにも驚くべき
ことを。
『聞け、私は語る；
私はあなたに問いかける、そしてあなたは私に知
らせる。』
私は耳であなたのことを聞いていましたが、
今、私の目があなたを見ました；
それゆえ、私は自分の言葉を撤回し、
塵と灰の中で悔い改めます。」

主がこれらの言葉をヨブに語った後、彼はテマン人
エリファズに言った、「私の怒りはあなたとあなた
の二人の友に対して燃えている、なぜならあなた
たちは私について正しいことを語らなかったからだ、
私のしもべヨブがしたように。
今、七頭の雄牛と七頭の雄羊を取って、私のしもべ
ヨブのもとに行き、あなたたち自身のために全焼の
捧げ物を捧げなさい。私のしもべヨブがあなたたち
のために祈るだろう、そして私は彼の祈りを受け入
れ、あなたたちを愚かさに従って扱わない、なぜな
らあなたたちは私について正しいことを語らなかつ
たからだ、私のしもべヨブがしたように。」
そこで、テマン人エリファズ、シュヒ人ビルダデ、
ナアマ人ツォファルは行って、主が彼らに命じたと
おりに行った；そして主はヨブの祈りを受け入れた
。

ヨブが友のために祈ったとき、主はヨブの運命を回
復し、主は彼に以前の二倍を与えた。
その後、彼の兄弟、姉妹、そして以前彼を知ってい
たすべての人が彼のもとに来て、彼の家で彼と共に
食事をした。彼らは彼に同情し、主が彼に下したす
べての不幸について彼を慰めた、そしてそれぞれが
彼に銀の一片と金の指輪を与えた。

主はヨブの後半生を初めよりも祝福した。彼は一万
四千の羊、六千のラクダ、千の対の牛、千の雌ロバ
を持っていた。
彼は七人の息子と三人の娘に恵まれた。
彼は最初の娘をエミマ、二番目をケツィア、三番目

ヨブ記

をケレン・ハブクと名付けた。

15

その地には、ヨブの娘たちほど美しい女性は見つか
らなかった、そして彼の父は彼女たちに兄弟たちと
共に相続を与えた。

16

この後、ヨブは**140**年生きた；彼は自分の子供たち
とその子供たちを四代にわたって見た。¹⁷
こうして、ヨブは長く充実した人生を送り、亡くな
った。

詩篇

1 悪しき者の計りごとに歩まず、
罪人の道に立たず、
あざける者の座に座らない人は幸いである。 2
むしろ、主の律法を喜びとし、
昼も夜もその律法を思い巡らす。 3
彼は水路のそばに植えられた木のように、
時が来ると実を結び、 その葉は枯れない。
彼が行うすべてのことは榮える。

4 悪しき者はそうではなく、
風が吹き飛ばすもみがらのようだ。 5
それゆえ、悪しき者は裁きに耐えられず、
罪人は正しい者の集いに立てない。

6 主は正しい者の道を知っておられるが、
悪しき者の道は滅びに至る。

2 なぜ国々は騒ぎ立ち、
民はむなしいことを企むのか。 2
地の王たちは立ち上がり、
支配者たちは共に集まり、
主とその油注がれた者に逆らって言う、 3
「彼らの鎖を断ち切り、
彼らの縄を私たちから投げ捨てよう！」

4 天に住む方は笑い、 主は彼らをあざける。 5
そのとき、彼は怒りの中で彼らに語り、
激しい怒りで彼らを恐れさせて言う、 6
「それでも、私は私の王を立てた、
シオン、私の聖なる山に。」

7 私は主の定めを宣言する：

彼は私に言われた、「あなたは私の子、
今日、私はあなたの父となった。 8
私に求めよ、そうすれば私は国々をあなたの相続
財産として与え、
地の果てをあなたの所有物として与える。 9
あなたは鉄の杖で彼らを砕き、
陶器のように粉々に打ち砕く。」

10 それゆえ、王たちよ、賢くあれ；
地の裁き人たちよ、教えを受け入れよ。 11
畏れをもって主を礼拝し、 震えながら喜べ。 12
子を敬え、さもないと彼は怒り、あなたがたは道
で滅びる、
彼の怒りはすぐに燃え上がることがあるから。
彼に避け所を求めるすべての者は幸いである。

3 **ダビデの詩。彼が息子アブサロムから逃れた
とき。**

1 主よ、私の敵がどれほど増えたことでしょう！
多くの者が私に立ち向かっています。 2
多くの者が私について言っています、
「彼には神による救いはない。」 セラ

3 しかし、主よ、あなたは私を囲む盾、
私の栄光、私の頭を高く上げる方です。 4
私は声を上げて主に呼び求めました、
すると、彼はその聖なる山から私に答えました。
セラ

5 私は横たわって眠り、
目覚めました。主が私を支えてくださるからです。
6 私は私を取り囲む多くの人々を恐れません。

7 主よ、立ち上がってください。私の神よ、私を救
ってください！ あなたはすべての敵の頬を打ち、
悪者の歯を砕かれました。

8 救いは主のものです。
あなたの祝福があなたの民の上にありますように
。セラ

4 **指揮者のために。弦楽器による。ダビデの詩
篇。**

1 私が呼ぶときに答えてください、私の義の神よ！
あなたは私の苦しみの中で私を楽にしてください
ました。
私に恵みを施し、私の祈りを聞いてください。

2 人の子たちよ、いつまで私の名誉を恥に変えるの
か？
いつまで虚しいものを愛し、偽りを求めるのか？ 3
セラ
しかし、主がご自身のために忠実な者を選ばれた
ことを知りなさい。
私が主に呼ぶとき、主は聞いてくださる。

4 畏れを持ち、罪を犯してはならない。
自分の床の上で心静かに考え、静まれ。 セラ 5
義の捧げ物を捧げ、主に信頼を置け。

6 多くの者が言っている、「誰が私たちに良いもの
を見せてくれるのか？」
主よ、あなたの顔の光を私たちの上に照らしてく
ださい！ 7
あなたは私の心を喜びで満たしてくださいました

、
彼らの穀物と新しいぶどう酒が豊かにあるとき以上
に。

⁸ 私は平和のうちに横たわり、眠ります、
あなた一人、主よ、私に安全を与えてくださるから
です。

5

音楽監督のために；
フルートのために。ダビデの詩篇。

¹ 主よ、私の言葉を聞いてください、
私の嘆きを考慮してください。²
私の助けを求める嘆願を聞いてください、私の王
、私の神よ、私はあなたに祈ります。

³ 朝に、主よ、あなたは私の声を聞かれるでしょう；
夜明けに、私はあなたに祈りを捧げ、見守ります
。⁴ あなたは悪を喜ぶ神ではありません；
悪はあなたと共に住むことはできません。⁵
高慢な者はあなたの目の前に立つことはできませ
ん；あなたは不正を行う者をすべて嫌います。⁶
偽りを語る者を滅ばされます；
主は血を流す者と欺く者を忌み嫌います。⁷
しかし私に関しては、あなたの豊かな慈しみによ
って私はあなたの家に入ります；
あなたの聖なる宮で私はあなたを敬ってひれ伏し
ます。

⁸ 主よ、私の敵のためにあなたの義の中で私を導い
てください；
あなたの道を私の前にまっすぐにしてください。

⁹ 彼らの言葉には信頼できるものがありません；
彼らの内なる存在は破壊そのものです。

彼らの喉は開いた墓です；
彼らは舌を使ってお世辞を言います。¹⁰
神よ、彼らに責任を負わせてください；
彼ら自身の策略によって倒れさせてください！
彼らの多くの背信の中で、彼らを追い出してくだ
さい、彼らはあなたに逆らったからです。¹¹
しかし、あなたに避難を求めるすべての者を喜ば
せてください；

彼らがいつも喜びの歌を歌うようにしてください！
そしてあなたが彼らを守ってください；
あなたの名を愛する者があなたに歓喜するように
。

¹² あなたは正しい人を祝福されます、主よ、
あなたは彼らを盾のように恵みで囲まれます。

6

指揮者のために。弦楽器に合わせて、八弦の
琴にて。ダビデの詩篇。

¹ 主よ、怒りの中で私を叱らないでください。
あなたの憤りで私を懲らしめないでください。²
主よ、私に慈しみを示してください、私は弱って
います。

主よ、私を癒してください、私の骨は苦しんでい
ます。³ 私の魂も非常に悩んでいます。
しかし、主よ—いつまでですか？

⁴ 主よ、戻ってきて私の魂を救い出してください。
あなたの慈しみのゆえに私を救ってください。⁵
死においてはあなたを思い出すことはありません

。
シェオルで、誰があなたを賛美するのでしょうか？

⁶ 私は嘆き疲れました。
毎晩、私は寝床を濡らし、
涙で私の寝椅子を浸します。⁷
私の目は悲しみの弱くなりました。
それは私のすべての敵のために老いました。

⁸ 不正を行う者たちよ、私から離れよ、
主は私の泣く声を聞かれましたから。⁹
主は私の嘆願を聞かれました、
主は私の祈りを受け入れられます。¹⁰
私のすべての敵は恥をかき、大いに悩むでしょう
。彼らは退き、突然に恥をかくでしょう。

7

ベニヤミン人クシュについて、ダビデが主に
歌ったシガヨン。

¹ 私の神、主よ、私はあなたに避け所を求めました
。
私を追い迫る者すべてから救い出し、助けてくだ
さい。²

さもなければ、彼は獅子のように私の魂を引き裂
き、
助ける者もないままに引きずり去るでしょう。

³ 私の神、主よ、もし私がこれを行ったなら、
もし私の手に不正があるなら、⁴
もし私が友に悪を行い、
理由もなく敵を略奪したなら、⁵
敵に私の魂を追い迫らせ、それを捕らえさせてく

詩篇

ださい。そして彼に私の命を地に踏みにじらせ、
私の誉れを塵に置かせてください。 セラ

主よ、あなたの怒りの中で立ち上がり、
私の敵の激怒に立ち向かい、
私のために目覚めてください。
あなたは裁きを命じられました。
民の集まりがあなたを囲み、
あなたの高き所に戻ってください。
主は民を裁かれます。
主よ、私の義と私の内の誠実に従って私を裁いて
ください。
悪しき者の悪が終わり、正しい者を確立してくだ
さい。正しい神は心と思いを調べられます。

私の守りは神と共にあります。
心の正しい者を救われる方です。
神は公平な裁き主であり、
毎日怒りを表される神です。
もし人が悔い改めないなら、彼はその剣を研ぎ、
弓を引き絞り、それを備えられました。
彼はまた、致命的な武器を備え、
矢を燃える矢とされました。
見よ、悪しき者は不正に満ち、
害を考え、偽りを生み出します。
彼は穴を掘り、それを深くし、
自分が作った穴に落ちました。
彼の害は自分の頭に返り、
彼の暴力は自分の頭頂に降りかかります。
私は主の義に感謝し、
至高の主の名を賛美します。

8 指揮者のために。ギティトに合わせて。ダビデの詩。

主よ、私たちの主よ、
あなたの御名は全地にわたっていかに荘厳である
ことか。
あなたの栄光は天の上に掲げられています。
幼子や乳飲み子の口を通して、あなたは力を定め
られました。
あなたの敵のために、
復讐者と敵を沈黙させるためです。
あなたの天を見上げるとき、あなたの指の業、
あなたが備えられた月と星を見て、
人とは何者なのでしょうか、あなたが彼らを心に
留められるとは。
人の子とは何者なのでしょうか、あなたが彼を顧
みられるとは。

しかし、あなたは彼らを神よりも少し低く造り、
栄光と誉れを冠として彼らに与えられました。
あなたの手の業を彼らに治めさせ、
万物を彼らの足の下に置かれました。
すべての羊と牛、 また野の獣も、
空の鳥と海の魚、 海の道を通るものすべて。
主よ、私たちの主よ、
あなたの御名は全地にわたっていかに荘厳である
ことか。

9 指揮者のために。ムト・ラベンに合わせて。ダビデの詩。

私は心を尽くして主に感謝します。
あなたのすべての奇跡を語ります。
私はあなたにあって喜び楽しみます。
いと高き方よ、あなたの御名をほめ歌います。
私の敵が退くとき、
彼らはつまずき、あなたの前で滅びます。
あなたは私の正しい訴えを支持されました。
あなたは正しい裁きを行うために王座に座られま
した。
あなたは国々を責め、悪者を終わらせました。
彼らの名を永遠に消し去られました。
敵は永遠の廃墟に終わりました。
あなたは都市を根こそぎにしました。
彼らの記憶は消え去りました。

しかし、主は永遠に王として統治されます。
裁きのためにその王座を確立されました。
そして、主は義をもって世界を裁きます。
公平に民を治められます。
主はまた、虐げられた者の避難所、
苦難のときの砦となります。
あなたの名を知る者はあなたに信頼します。
主よ、あなたを求める者を見捨てられません。

シオンに住まわれる主をほめ歌いなさい。
その御業を民の中で告げ知らせなさい。
血を復讐する方は彼らを覚えておられます。
苦しむ者の叫びを忘れられません。

主よ、私に恵みを施してください。
私を憎む者からの苦しみを見てください。
あなたは私を死の門から引き上げる方です。
私があなたのすべての賛美を語り、
シオンの娘の門で
あなたの救いを喜ぶことができるように。

詩篇

15 国々は自ら掘った穴に沈みました。
隠した網に、自分の足がかかりました。 16
主はご自身を現し、裁きを行われました。
悪者は自分の手の働きに捕らえられました。
ヒガイオン セラ 17 悪者はシェオルに下ります。
神を忘れるすべての国々と共に。 18
貧しい者はいつまでも忘れられることはなく、
苦しむ者の希望は永遠に消えることはありません
。

19
主よ、立ち上がってください。人間を勝たせない
でください。
国々をあなたの前で裁いてください。 20
主よ、彼らに恐れを植え付けてください。
国々に彼らがただの人間であることを知らせてく
ださい。 セラ

10 主よ、なぜ遠くにおられるのですか。
なぜ困難な時に身を隠されるのですか。

2
悪者はその高慢の中で貧しい者を熱心に追い求め
ます。彼らが考え出した策略に陥りますように。
3 悪者は心の欲望を誇り、
貪欲な者は主を呪い、軽蔑します。 4
悪者はその高慢の中で神を求めません。
彼のすべての計画には神の余地がありません。 5
彼の道は常に繁栄しています。
しかし、あなたの裁きは彼の手の届かないところ
にあります。
彼のすべての敵に対して、彼は嘲笑します。 6
彼は心の中で言います、「私は揺るがされない。
すべての世代にわたって私は逆境に直面しない。
」

7 彼の口は呪い、欺き、抑圧で満ちています。
彼の舌の下には悪意と不正があります。 8
彼は村々で待ち伏せしています。
隠れた場所で無実の者を殺します。
彼の目は不幸な者を密かに見張っています。 9
彼は巣の中の獅子のように待ち伏せしています。
彼は貧しい者を捕らえようと待っています。
彼は網に引き込んで貧しい者を捕らえます。 10
彼はかがみ、身をかがめ、
不幸な者は彼の強者によって倒れます。 11
彼は心の中で言います、「神は見過ごしている。
彼は顔を隠した。彼は決して気づかない。」

12
主よ、立ち上がってください。神よ、あなたの手
を上げてください。

謙遜な者を見過ごさないでください。 13
なぜ悪者は神を軽蔑したのですか。
彼は心の中で言いました、「あなたは私を責めな
い。」 14
あなたはそれを見ておられます。害と挑発を手
に取るために注意を払っておられます。
不幸な者は自分をあなたに委ねます。
あなたは孤児の助け手であられました。 15
悪者と悪行者の力を打ち砕いてください。
彼の悪を探し出し、残らないようにしてください
。

16 主は永遠に王として統治されます。
国々は彼の地から消え去りました。 17
主よ、あなたは謙遜な者の願いを聞かれました。
あなたは彼らの心を強め、あなたの耳を傾けられ
ます。 18 孤児と虐げられた者を支え、
地に属する人間がもはや恐れを引き起こさないよ
うにされます。

11

音楽監督のために。ダビデの詩篇。

1 主に私は避け所を求める。
どうして私の魂に言うことができるのか、
「鳥のようにあなたの山に逃げよ」と。 2
見よ、悪者は弓を構え、
彼らは弦に矢を備えている。
心の正しい者を陰で射るために。 3
もし基礎が破壊されるなら、
正しい者は何をすることができるのか？」
4 主はその聖なる宮におられる。
主の御座は天にある。
その目は見、まぶたは人の子らを試みる。 5
主は正しい者と悪者を試み、
暴力を好む者を深く嫌われる。 6
彼は悪者の上に火の炭を降らせる。
火と硫黄と燃える風が彼らの杯の分となる。

7 主は正しいから、義を愛される。
正しい者はその御顔を見るであろう。

12

音楽監督のために。八弦の琴に合わせて。
ダビデの詩篇。

1 主よ、お助けください。敬虔な人が終わり、
忠実な者が人の子らから消え去りました。 2
彼らは互いに欺いて語り、
へつらう唇を持ち、心に二心を抱いています。

詩篇

³ 主がすべてのへつらう唇を黙らせ、
大きなことを誇る舌を黙らせますように。
⁴ 彼らは言いました、「私たちの言葉で成功する。
私たちの唇は私たちのもの。誰が私たちを主人と
することができるのか？」

⁵ 「貧しい者の圧迫のために、乏しい者のため息の
ために、
今、私は立ち上がる」と主は言われます。
「私は彼を彼が望む安全な場所に置く。」

⁶ 主の言葉は純粋な言葉です。
地上の炉で精錬された銀のように、
⁷ 七度も純化されています。
主よ、あなたは彼らを守り、
⁸ この世代から永遠に彼を守られます。
邪悪な者は四方にうつつき、
墮落が人の子らの間で噂ばれるときに。

13

音楽監督のために。ダビデの詩篇。

¹ いつまでですか、主よ。あなたは永遠に私を忘れる
のですか。
いつまであなたは御顔を私から隠されるのですか。
² いつまで私はこの心の悩みを抱えるのですか、
一日中心に悲しみを抱えて。
いつまで敵が私に勝利を収めるのですか。
³ 私を見て答えてください、私の神、主よ。
私の目を明るくしてください、死の眠りに落ちない
ように。
⁴ そうでないと、敵が「私は彼に勝った」と言い、
私が動揺するとき、私の敵は喜ぶでしょう。

⁵ しかし私はあなたの変わらぬ愛に信頼を置きました。
私の心はあなたの救いに喜びを見出すでしょう。
⁶ 私は主に歌います、
彼が私に恵みを施されたからです。

14

音楽監督のために。ダビデの詩篇。

¹ 愚か者は心の中で言った、「神はいない。」
彼らは腐敗しており、忌まわしい行いをした。
善を行う者はいない。

² 主は天から人の領域を見渡して、
賢い者がいるか、
神を求める者がいるかを見ておられる。
³ 彼らは皆、背を向け、共に腐敗してしまった。
善を行う者はいない、一人もいない。

⁴ 不正を行う者たちは気づかないのか、
彼らは私の民をパンを食べるように食い尽くし、
主を呼び求めないのか？

⁵ そこに彼らは大いに恐れている、
神が正しい世代と共におられるからだ。
⁶ あなたは貧しい者の計画を挫こうとするが、
主は彼らの避け所である。

⁷ ああ、イスラエルの救いがシオンから来ることを
！
主がその民の運命を回復されるとき、
ヤコブは喜び、イスラエルは歓喜するだろう。

15

ダビデの詩。

¹ 主よ、誰があなたの幕屋に住むことができるでし
ょうか。
誰があなたの聖なる丘に住むことができるでし
ょうか。

² 誠実に生き、公正に行動し、
心から真実を語る人。
³ 彼は舌で中傷せず、
隣人に悪を行わず、友に恥をかかせない。
⁴ 彼の目には卑しい者は軽蔑されるが、
主を恐れる者を尊敬する。
自分に不利益があっても誓いを変えない。
⁵ 彼は不正にお金を貸さず、
無実の者に対して賄賂を受け取らない。
このように生きる者は堅く立ち続ける。

16

ダビデのミクタム

¹ 神よ、私を守ってください。私はあなたに避け所
を求めます。

² 私は主に言いました、「あなたは私の主です。
あなた以外に私の善はありません。」
³ 地にいる聖徒たちについては、
彼らは尊い者たちです。私の喜びはすべて彼らに
あります。
⁴ 他の神を追い求める者たちの悲しみは増します。

詩篇

私は彼らの血の注ぎの供え物を注ぎません。
また、私の唇で彼らの名を語りません。

5 主は私の分け前であり、私の祝福の杯です。
あなたは私の運命を支えます。 6
境界線は私にとって心地よい場所に落ちました。
確かに、私は素晴らしい遺産を持っています。 7
私を導く主を賛美します。
確かに、私の心は夜に私を教えます。 8
私は絶えず主を私の前に置きます。
彼が私の右手にいますので、私は揺るがされません

9
それゆえ、私の心は喜び、私の霊は歓喜します。
私の体もまた安全に休むでしょう。 10
あなたは私の魂をシェオルに残さないでしょう。
あなたの聖なる者が腐敗を見ることを許さないで
しょう。 11
あなたは私に命の道を示してくださいます。
あなたの御前には喜びが満ちています。
あなたの右手には永遠の楽しみがあります。

17

ダビデの祈り。

1
正しい訴えを聞いてください、主よ、私の叫びに
耳を傾けてください。
偽りの唇から出たのではない祈りを聞いてくださ
い。 2
私の裁きがあなたの御前から来ますように。
あなたの目が正直に見てくださいますように。
3
あなたは私の心を試みられました。
夜に私を訪れました。
私を調べて何も見つけられませんでした。
私の意図は口で罪を犯さないことです。 4
人間の行いについては、
あなたの唇の言葉によって暴力の道から守られま
した。 5 私はあなたの道に堅く立ちました。
私の足は揺るぎませんでした。
6
あなたに呼びかけました、あなたは私に答えてく
ださるからです、神よ。
私に耳を傾け、私の言葉を聞いてください。 7
あなたの素晴らしい忠実さを示してください。
あなたの右手で避け所を求める者を救う方よ、
彼らに立ち向かう者から。 8
大切にされる者として私を守ってください。

あなたの翼の陰に私を隠してください。 9
私に暴力を振るう悪者から、
私を取り囲む死すべき敵から。

10
彼らは無感覚な心を硬くし、
その口で高慢に語ります。 11
彼らは今、私たちの足跡を取り囲み、
私たちを地に倒そうと目を向けています。 12
彼は裂こうとする獅子のようであり、
秘密の場所に潜む若い獅子のようです。

13
主よ、立ち上がり、彼に立ち向かい、彼を低くし
てください。
あなたの剣で悪者から私の魂を救ってください。
14
主よ、あなたの手によって人々から、
この世の人々から、彼らの分け前はこの命にあり
ます。
あなたの宝で彼らの腹を満たしてください。
彼らは子供たちに満足し、
その豊かさを幼子たちに残します。

15
私については、私は義によってあなたの顔を見つ
めます。
目覚めるとき、私はあなたの姿に満たされます。

18

音楽監督のために。主のしもべダビデの詩
。彼がすべての敵の手とサウルの手から救
い出された日に、主に向かってこの歌の言葉を語つ
た。そして彼は言った。

1 主よ、わが力よ、私はあなたを愛します。 2
主はわが岩、わが磐、わが救い主、
わが神、わが避け所の岩、
わが盾、わが救いの角、わが高きやぐら。
3
ほむべき主に呼ばわれれば、
わが敵から救われる。 4 死の綱が私を取り巻き、
滅びの激流が私を恐れさせた。 5
よみの綱が私を絡め、
死の罟が私に立ちはだかった。
6
私は苦しみの中で主に呼ばわり、
わが神に助けを求めて叫んだ。
彼はその宮から私の声を聞き、
私の叫びは彼の耳に届いた。 7
すると地は揺れ動き、震えた。
山々の基も揺れ動き、彼の怒りのために動いた。
8
彼の鼻から煙が上り、
彼の口からは焼き尽くす火が出た。

詩篇

燃える炭が燃え上がった。
彼はまた天を曲げて降り、
その足の下には暗黒があった。
彼はケルブに乗って飛び、
風の翼に乗って舞い上がった。
彼は暗闇をその隠れ場とし、
その周りを覆う幕とした。 暗い水、空の厚い雲。
12 彼の前の輝きから彼の厚い雲が過ぎ去り、
雷と火の炭があった。
主はまた天で雷鳴を響かせ、
いと高き方が声を上げられた。 雷と火の炭。
彼は矢を放ち、それらを散らし、
多くの稲妻を放って、それらを打ち破った。
すると水の流れが見え、
世界の基が露わになった。
主よ、あなたの叱責によって、
あなたの鼻の息の吹き出しによって。

16 彼は高き所から手を伸ばし、私を捕らえ、
深い水から私を引き上げた。
彼は私を強い敵から救い出し、
私を憎む者から救い出された。
彼らは私よりも強かったからである。
彼らは私の災いの日に私に立ち向かったが、
主は私の支えであった。
彼はまた私を広い場所に連れ出し、
私を救い出された。
彼は私を喜ばれたからである。

20 主は私の義に従って私に報い、
私の手の清さに従って私に報いられた。
私は主の道を守り、私の神から離れなかった。
彼のすべての裁きが私の前にあり、
私は彼の掟を無視しなかった。
私は彼の前で潔白であり、
私は自分を不正から守った。
それゆえ、主は私の義に従って私に報い、
彼の目の前で私の手の清さに従って私に報いられた。

25 忠実な者にはあなたは忠実を示し、
潔白な者にはあなたは潔白を示される。
清い者にはあなたは清さを示し、
曲がった者にはあなたは巧妙さを示される。
あなたは謙遜な民を救い、
高慢な目を低くされる。
あなたは私の灯をともしられる。
主、わが神は私の暗闇を明るくされる。
あなたの助けによって私は軍勢を追い越し、
わが神と共に私は壁を飛び越えることができる。

30 神について言えば、その道は完全である。
主の言葉は試みられたものである。
彼は彼に避け所を求めるすべての者の盾である。
31 主以外に誰が神であらうか。
わが神以外に誰が岩であらうか。
力で私を武装させ、私の道を完全にされる神。
彼は私の足を塵のように軽くし、
私を高い所に安全に立たせる。
彼は私の手を戦いのために訓練し、
私の腕が青銅の弓を引くことができるようにされる。
あなたはまた、あなたの救いの盾を私に与え、
あなたの右手が私を支え、
あなたの優しさが私を高める。
あなたは私の足の下に道を広げ、
私の足は滑らなかつた。

37 私は敵を追いかけて追い越し、
彼らが滅ぼされるまで引き返さなかつた。
私は彼らを打ち倒し、彼らは立ち上がれなかつた。
。 彼らは私の足元に倒れた。
あなたは戦いのために私を力で装備し、
私に立ち向かう者たちを従わせた。
あなたはまた、私の敵を私に背を向けさせ、
私を憎む者を滅ぼした。
彼らは助けを求めて叫んだが、救う者はいなかつた。
主に叫んだが、彼は彼らに答えなかつた。
それから私は彼らを風の前の塵のように砕き、
通りの泥のように投げ捨てた。
あなたは私を民の争いから救い出し、
私を国々の頭とされた。
私が知らなかつた民が私に仕える。
彼らは聞くとすぐに私に従い、
外国人が私に服従する。 45 外国人は心を失い、
その髻から震えながら出てくる。

46 主は生きておられる。わが岩はほむべきかな。
わが救いの神は崇められるべきかな。
私に正義をもたらし、民を私の下に従わせる神。
48 彼は私を敵から救い出し、
あなたは本当に私を立ち向かう者の上に引き上げ、
暴力を振るう者から私を救い出される。
それゆえ、私は国々の中であなたに感謝を表し、
主よ、あなたの名を賛美します。

50 彼はその王に大いなる救いを与え、
その油注がれた者に変わらぬ愛を示される。
ダビデとその子孫に永遠に。

19

音楽監督のために。ダビデの詩篇。

1 天は神の栄光を語り、
 2 大空は御手のわざを告げ知らせる。
 3 昼は昼へと語り継ぎ、夜は夜へと知識を示す。
 4 彼らは語らず、言葉もなく、
 5 その声は聞こえない。
 6 その響きは全地に行き渡り、
 7 その言葉は世界の果てまで届く。
 8 そこに神は太陽のための幕屋を設けられた。
 9 それは花婿がその部屋から出てくるように、
 10 その道を喜び走る勇士のようだ。
 11 その出は天の果てから始まり、
 12 その巡りは天の果てまで及ぶ。
 13 その熱から隠れうるものはない。

7 主の律法は完全で、魂を生き返らせる。
 8 主の証しは確かで、無知な者に知恵を与える。
 9 主の戒めは正しく、心を喜ばせる。
 10 主の命令は清らかで、目に光を与える。
 11 主への畏れは純粹で、永遠に続く。
 12 主の裁きは真実で、全く正しい。

10 それらは金よりも、純金よりも貴く、
 11 蜂蜜よりも、蜂の巣の滴りよりも甘い。
 12 さらに、あなたのしもべはそれらによって啓発さ
 13 れる。 それを守ることに大いなる報いがある。
 14 自分の過ちを誰が認識できるだろうか。
 15 隠れた過ちから私を清めてください。
 16 また、あなたのしもべを故意の罪から守ってくだ
 17 さい。
 18 それらが私を支配しないようにしてください。
 19 そうすれば私は潔白となり、
 20 大いなる背きから免れるでしょう。

14 私の口の言葉と心の思いが、
 15 あなたの御前に受け入れられますように。
 16 主よ、私の岩、私の贖い主よ。

20

音楽監督のために。ダビデの詩篇。

1 苦難の日に主があなたに答えられますように。
 2 ヤコブの神の御名があなたを守りますように。
 3 聖所からあなたに助けを送り、
 4 シオンからあなたを支えられますように。
 5 あなたのすべての供え物を思い出し、
 6 あなたの全焼のいけにえを喜んで受け入れられま
 7 すように。 セラ 8 あなたの心の願いをかなえ、

あなたのすべての計画を成し遂げられますように
 。

5 あなたの勝利を喜び歌い、
 私たちの神の御名によって旗を揚げます。

主があなたのすべての願いをかなえられますよう
 に。

6 今や私は確信しています、主が彼の油注がれた者
 を救われることを。 聖なる天から彼に伝え、
 7 右手の力強い力で彼を助けられます。
 8 ある者は戦車を誇り、ある者は馬を誇りますが、
 私たちは私たちの神、主の御名を誇ります。
 9 彼らは倒れて崩れましたが、
 私たちは立ち上がり、しっかりと立っています。

9 主よ、私たちを救ってください。
 私たちが呼ぶ日に、王が私たちに応えられますよう
 に。

21

指揮者のために。ダビデの詩篇。

1 主よ、王はあなたの力を喜び、
 あなたの救いを大いに喜びます！

2 あなたは彼の心の願いをかなえ、
 3 彼の唇の願いを拒まれませんでした。 セラ
 あなたは良きものの祝福で彼を迎え、
 4 純金の冠を彼の頭に置かれます。
 5 彼はあなたに命を求め、あなたはそれを彼に与え、
 6 永遠の長寿を与えられました。
 7 彼の栄光はあなたの救いによって大いなるもので
 あり、 威厳と尊厳を彼に授けられます。
 8 あなたは彼を永遠に非常に祝福し、
 9 あなたの御前で彼を喜びで満たされます。
 10 王は主に信頼し、
 11 至高者の揺るぎない愛によって、彼は揺るがされ
 12 ることはありません。

8 あなたの手はすべての敵に届き、
 あなたの右手はあなたに敵対する者を捕らえます
 9 。

あなたは彼らを怒りの時に燃える炉のようににされ
 10 ます。 主はその怒りで彼らを滅ぼし、
 11 火が彼らを焼き尽くします。
 12 あなたは彼らの子孫を地から絶やし、
 13 人の子らの中から彼らの子孫を絶やされます。
 14 彼らはあなたに対して悪を企み、
 15 計画を立てましたが、彼らは成功しません。

詩篇

あなたは彼らを退かせ、
あなたの弓の弦で彼らの顔を狙われます。

13 主よ、あなたの力で高く上げられますように。
私たちはあなたの力を歌い、賛美します。

22

音楽監督のために。アイエレット・ハシュシ
ヤハルに合わせて。ダビデの詩。

1 我が神、我が神、なぜ私をお見捨てになったのですか。
私の助けから遠く離れて、私のうめきの言葉も届きません。 2
我が神、昼に呼び求めても、あなたは応答されず、
夜にも、しかし私は安らぎを見つけません。

3 しかし、あなたは聖なる方です、
イスラエルの賛美の上に座しておられる方です。

4 あなたに私たちの先祖たちは信頼を置きました。
彼らは信頼し、あなたは彼らを救い出されました。 5
。 5

彼らはあなたに叫び、避難所を見つけました。
あなたに信頼し、恥をかくことはありませんでした。

6 しかし、私は虫のようで、人間ではありません、
人々の間での非難であり、大衆に軽蔑されています。 7 私を見る者は皆、私をあざ笑います。
彼らは口をゆがめ、頭を振りながら言います、 8
「主に身を委ねよ。彼が彼を救い出すだろう。
彼が彼を喜んでいるのだから、彼を救い出すだろう。」

9 しかし、それはあなたでした、私を母の胎から引き出した方は。
あなたは私を母の乳房の上で信頼させました。 10
生まれた時から、私はあなたに委ねられました。
あなたは私の神でした、母の胎内にいる時から。

11 私から遠く離れないでください、困難が近くにあるからです。 助ける者がいないのです。

12 多くの牡牛が私を囲みました。
バシヤンの強い牡牛が私を取り囲みました。 13
彼らは口を開けて私を見つめます、
飢えた吠えるライオンのように。 14

私は水のように注ぎ出され、
私の骨はすべて関節から外れています。
私の心は蠟のようで、私の内で溶けています。 15
私の力は陶器のかけらのように乾き、
私の舌は顎にくっついていました。
あなたは私を死の塵に置かれました。

16 犬が私を囲みました。
悪者の群れが私を取り囲み、
彼らは私の手と足を刺しました。 17
私はすべての骨を数えることができます。
彼らは私を見て、私を見つめます。 18
彼らは私の衣服を分け合い、
私の衣をくじで引きます。

19 しかし、主よ、あなたは遠く離れないでください。
。 19
私の助けであるあなたは、私を助けに急いでください。
20 私の魂を剣から救い出してください、
私の貴重な命を犬の手から。 21
ライオンの口から私を救い出してください。
野牛の角から、あなたは私に答えられました。

22 私はあなたの名を兄弟たちに宣言します。
会衆の中で、私はあなたを賛美します。 23
主を敬う者たちよ、彼を賛美せよ。
ヤコブの子孫たちよ、彼を尊敬せよ、
イスラエルの子孫たちよ、彼を畏れよ。 24
彼は苦しむ者の苦しみを無視せず、嫌わず、
彼の顔を彼から隠さず、
彼が助けを求めて叫んだとき、彼は聞かれました。
。

25 あなたから私の賛美は大いなる会衆の中に来ます。
。 25
私は彼を敬う者たちの前で私の誓いを果たします。
。 26 苦しむ者は食べて満足し、
彼を求める者たちは主を賛美します。
あなたの心が永遠に続きますように！

27 地の果てのすべては思い出し、主に帰り、
諸国のすべての家族はあなたの前にひれ伏します。
。 28 王国は主に属し、彼は諸国を治めます。

29 地の繁栄する者は皆、食べて礼拝し、
塵に下る者は皆、彼の前にひざまずきます、
自分の命を維持できない者も。 30
未来の世代が彼に仕え、
主について次の世代に語り継がれるでしょう。 31
彼らは来て、彼の義を宣言し、

まだ生まれていない人々に、彼がそれを成し遂げたことを。

23

ダビデの詩篇。

¹ 主は私の羊飼いです、私は乏しいことはありません。² 主は私を緑の牧場に伏させ、静かな水のほとりに導かれます。³ 主は私の魂を生き返らせ、ご自身の名のために義の道に導かれます。⁴ たとえ死の影の谷を歩むことがあっても、私は災いを恐れませんが、あなたが私と共におられるからです。あなたの杖とあなたの竿、それが私を慰めます。⁵ あなたは私の敵の前で私のために食卓を整え、私の頭に油を注いでくださいます。私の杯は溢れています。⁶ まことに、私の生きる限り、善しさと慈しみが私を追ってくるでしょう、そして私は永遠に主の家に住むでしょう。

24

ダビデの詩篇

¹ 地とそこに満ちているものは主のもの、世界とそこに住む者もその通りである。² 主がそれを海の上に据え、水の上に堅く立てられたからである。³ 誰が主の山に登ることを許されるのか。誰がその聖なる場所に立つことができるのか。⁴ 手が清く、心が純粋な者、その魂を偽りに向けず、偽って誓わなかった者。⁵ そのような人は主から祝福を受け、救う神から義を受ける。⁶ これが主を求める者たちの世代、あなたの顔を求める者たち、ヤコブ。セラ⁷ 頭を上げよ、門よ、永遠の扉よ、上がれ、栄光の王が入られるために。⁸ 栄光の王とは誰か。力強く勇ましい主、戦いに力ある主。⁹ 頭を上げよ、門よ、永遠の扉よ、上がれ、栄光の王が入られるために。¹⁰ この威厳ある王とは誰か。万軍の主、彼こそが真に栄光の王である。セラ

¹ 主よ、あなたに私の魂を捧げます。² 私の神よ、私はあなたに信頼します。私を辱めないでください。³ 私の敵が私に勝利しないようにしてください。⁴ 本当に、あなたを待ち望む者は誰も辱められません。理由もなく裏切る者は恥をかくでしょう。⁵ 主よ、あなたの道を私に示してください。あなたの道に私を導いてください。⁶ あなたの真理の中で私を導き、教えてください。あなたは私の救いの神ですから。私は一日中あなたを待ち望みます。⁷ 主よ、あなたの憐れみとあなたの変わらぬ愛を思い出してください。それらは古くから存在しています。⁸ 私の若い頃の罪や私の背きの罪を思い出さないでください。あなたの変わらぬ愛に従って私を思い出してください。あなたの善のために、主よ。⁹ 主は親切で正しい方です。それゆえ、彼は罪人を正しい道に導きます。¹⁰ 彼は謙遜な者を正しい道に導き、彼の道を謙遜な者に教えます。¹¹ 主のすべての道は変わらぬ愛と真理です。あなたの契約と彼の命令を守る者に対して。¹² あなたの名誉のために、主よ、私の罪を赦してください、それは大きいからです。¹³ 主を敬う者は誰ですか。彼はその者を選ぶべき道に導きます。¹⁴ 彼の魂は幸福に住み、彼の子孫は地を受け継ぐでしょう。¹⁵ 主の助言は彼を敬う者のためにあり、彼は彼らに彼の契約を明らかにします。私の目は常に主に向けられています。彼は私の足を闇から解放してくださるからです。¹⁶ 私に向かって恵みを示してください。私は孤独で苦しんでいますから。¹⁷ 私の心の不安は増えました。私を私の苦しみから救い出してください。¹⁸ 私の苦難と私の悩みを考慮し、私のすべての罪を赦してください。¹⁹ 私の敵を見てください、彼らは多数です。彼らは私に対して激しい憎しみを抱いています。

詩篇

20 私の魂を守り、私を救い出してください。
私を辱めないでください、私はあなたに避難所を
求めますから。
21 誠実と正直が私を守りますように。
私はあなたに希望を置いていますから。
22 イスラエルを救い出してください、神よ、
彼のすべての苦難から。

26

ダビデの詩。

1 主よ、私を弁護してください。私は誠実に歩ん
できました。
私は揺るがずに主に信頼してきました。
2 主よ、私を調べ、私の心を試みてください。
私の思いと魂を清めてください。
3 あなたの変わらぬ愛は私の目の前にあります。
私はあなたの真実に従いました。
4 私は偽りの人々と交わりません。
偽善者と共にしません。
5 私は悪を行う者の集まりを嫌います。
悪者と共に座りません。
6 私は潔白の手で手を洗い、
あなたの祭壇を囲みます、主よ。
7 感謝の声で宣言し、
あなたの素晴らしい業をすべて語ります。
8 主よ、私はあなたの家の住まいを大切にし、
あなたの栄光が宿る場所を愛します。
9 私の魂を罪人と共に集めないでください。
私の命を血を流す者と共にしないでください。
10 彼らの手には悪事の計画があり、
彼らの右手は賄賂で満ちています。
11 しかし私としては、私は誠実に歩みます。
私を救い、あなたの恵みを示してください。
12 私の足は堅固な地に立っています。
集会の中で、私は主を賛美します。

27

ダビデの詩篇。

1 主は私の光、私の救いです。
私は誰を恐れるべきでしょうか。
主は私の命の守りです。
私は誰を恐れなければならないでしょうか。
2 悪を行う者が私に害を加えようと近づいたとき、
私の敵と私の仇はつまずき倒れました。
3

たとえ軍隊が私に対して陣を張っても、
私の心は恐れません。
たとえ戦いが私に対して起こっても、
その時も私は自信があります。

4 私が主に願った一つのこと、それを私は求めます。
私が生涯、主の家に住むことができるように、
主の美しさを仰ぎ見、
その宮で思いを巡らすために。
5 災いの日に、主は私をその幕屋に隠してください
からです。主は私をその天幕の隠れた所に隠し、
岩の上に高く置いてくださいます。

6 今、私の頭は私を囲む敵の上に高く上げられます。
私はその天幕で喜びの叫びとともに犠牲を捧げ、
主に歌い、賛美を歌います。

7 主よ、私が声を上げて叫ぶとき、私を聞いてくだ
さい。私に恵みを施し、答えてください。
8 あなたが「私の顔を求めよ」と言われたとき、私
の心はあなたに答えました。
9 「主よ、私はあなたの顔を求めます。」
10 あなたの顔を私から隠さないでください。
怒りをもってあなたのしもべを退けないでくだ
さい。あなたは私の助けです。

私を見捨てず、見放さないでください。
10 私の救いの神よ！
私の父と母が私を見捨てても、
11 主は私を受け入れてくださいます。
主よ、あなたの道を私に教えてください。
私の敵のゆえに、平らな道に私を導いてくださ
い。
12 私を敵の意志に渡さないでください。
偽りの証人が私に対して立ち上がり、
暴力を吐き出しています。

13 私は生ける者の地で主の恵みを見ることを確信し
ています。
14 主を待ち望め。
強くあれ、心を奮い立たせよ。
確かに、主を待ち望め。

28

ダビデの詩篇

1 主よ、あなたに呼び求めます。
私の岩よ、私に耳を閉ざさないでください。
もしあなたが私に沈黙されたら、

詩篇

私は穴に下る者ようになります。²
私があなたの助けを求めて叫ぶとき、
あなたの聖なる聖所に向かって手を上げるとき、
私の願いを聞いてください。

³ 私を悪者と共に、
不正を行う者と共に引きずり去らないでください。
。 彼らは隣人と平和を語りながら、
心には悪を抱いています。⁴
彼らの行いに従って報い、
彼らの悪しき行為に従って報いてください。
彼らの手の働きに従って報い、
彼らにふさわしいものを与えてください。

⁵ 彼らは主の御業を考えず、
その手の働きをも考えないので、
主は彼らを打ち壊し、建て直されません。

⁶ 主はほむべきかな、
彼は私の願いの声を聞かれたからです。⁷
主は私の力、私の盾です。
私の心は彼に信頼し、私は助けられます。
それゆえ私の心は喜び、
私の歌で彼を感謝します。⁸ 主はその民の力、
その油注がれた者の救いの砦です。⁹
あなたの民を救い、あなたの嗣業に恵みを与え、
彼らを導き、常に支えてください。

29

ダビデの詩篇

¹ 力ある者たちよ、主に帰せよ、
主に栄光と力を帰せよ。²
その御名にふさわしい栄光を主に帰せよ。
聖なる輝きの中で主を礼拝せよ。

³ 主の声は水の上に響く。
栄光の神は雷鳴を轟かせ、
主は大水の上におられる。⁴ 主の声は力に満ち、
主の声は威厳に満ちている。⁵
主の声は杉の木を砕く。
主はレバノンの杉を粉々にされる。⁶
主はレバノンを子牛のように飼らせ、
シリオンを若い野牛のように跳ねさせる。⁷
主の声は火の炎を分ける。⁸
主の声は荒野を震わせる。
主はカデシュの荒野を震わせる。⁹
主の声は雌鹿を産ませ、 森を裸にする。
そしてその宮で、すべての者が「栄光」と叫ぶ。
¹⁰ 主は洪水の時に王座に着かれた。
主は永遠に王として統治される。¹¹

主はその民に力を授け、
主はその民に平和を与えられる。

30

家の奉獻の時の歌。ダビデの詩。

¹ 主よ、私はあなたを崇めます、
あなたが私を引き上げてくださり、
敵が私に勝ち誇ることを許されなかったからです。
。² 主、私の神よ、
私はあなたに助けを求め、あなたは私を癒してく
ださいました。³

主よ、あなたは私の魂をシェオルから引き上げ、
私の命を守り、穴に下ることを免れさせてくださ
いました。

⁴ 主に賛美を捧げよ、彼の聖徒たちよ、
彼の聖なる名を感謝せよ。⁵
彼の怒りは一瞬であり、彼の恵みは一生続く。
泣くことは夜の間続くかもしれないが、
喜びの叫びは朝に来る。

⁶ 私は繁栄の中で言った、
「私は決して揺るがされない。」⁷
主よ、あなたの恵みによって私の山を強く立たせ
てくださいました。
あなたが顔を隠されたとき、私は恐れました。

⁸ 主よ、私はあなたに呼びかけ、
主に懇願しました。⁹
「私が穴に下るなら、私の死に何の利益があるで
しょうか？

塵があなたを賛美するでしょうか？それはあなた
の真実を告げるでしょうか？」¹⁰
聞いてください、主よ、私に恵みを示してくださ
い。主よ、私を支えてください。」

¹¹ あなたは私の嘆きを踊りに変え、
私の荒布を脱がせ、喜びで私を囲んでくださいま
した。¹²
それで私の魂はあなたに賛美を歌い、黙っている
ことはありません。
主、私の神よ、私は永遠にあなたに感謝を表しま
す。

31

音楽監督のために。ダビデの詩篇。

¹ 主よ、私はあなたに逃げ所を求めました。
私が決して恥をかくことがないようにしてくださ
い。
あなたの義によって私を救い出してください。²

詩篇

私に耳を傾け、遅れることなく私を救い出してください。
私のために堅固な岩となり、私を守る砦となってください。

あなたは私の岩、私の砦です。
あなたの名のために、私を導き、案内してください。

彼らが密かに仕掛けた網から私を解放してください。
あなたは私の力だからです。

私の霊をあなたの手に委ねます。
あなたは私を贖ってくださいました、主よ、忠実な神よ。

私は虚しい偶像に頼る者を拒みます。
しかし、私は主に信頼します。

私はあなたの恵みに喜び、樂します。
あなたは私の苦しみを見て、

私の魂の悩みを知っておられるからです。
そして、あなたは私を敵の手に渡さず、

私の足を広い場所に置いてくださいました。

主よ、私に慈しみを示してください、私は苦しんでいます。
私の目は悲しみに衰え、私の魂も体も同様です。

私の人生は悲しみに消耗し、私の年は嘆きで過ぎ去ります。
私の力は私の罪のために衰え、

私の体は衰え果てました。
私のすべての敵のために、私は恥となり、

特に隣人にとっては、知人には恐怖の対象です。
通りで私を見る者は私から逃げます。

私は忘れ去られた者のように、心から消え去りました。
私は壊れた器のようです。

多くの人のささやきを聞きました、
「四方に恐怖！」 彼らは私に対して共謀し、私の命を奪おうと企てました。

しかし私はあなたに信頼します、主よ、私は宣言します、「あなたは私の神です。」
私の時はあなたの手にあります。

私を敵の手から、私を追い求める者から救い出してください。

あなたの顔をあなたのしもべに輝かせてください。
あなたの忠実さによって私を救ってください。

主よ、私があなたを呼び求めるので、恥をかかせないでください。
悪者が恥をかき、シェオルで沈黙するようにしてください。

偽りの唇を沈黙させてください、それは高慢と軽蔑をもって正しい者に対して傲慢に語ります。

あなたの善良さはどれほど豊かでしょう、あなたを恐れる者のためにあなたが備えたもの、あなたに逃げ所を求める者のためにあなたが成し遂げたもの、

人々の目の前で！
あなたは彼らを入々の策略からあなたの臨在の隠れ家に隠し、舌の争いから彼らを安全な逃げ所に保ちます。

主をほめたたえよ、彼は包囲された町で私にその驚くべき忠実さを示してくださいました。

私の恐れの中で、私は言いました、「私はあなたの目から切り離されました！」
しかし、あなたは私が助けを求めてあなたに呼び求めたとき、私の嘆願の声を聞いてくださいました。

主を愛せよ、すべての忠実な者たちよ！
主は忠実な者を守り、高慢に行動する者には完全に報います。
強くあれ、心を勇敢にせよ、主に希望を置くすべての者よ。

32

ダビデの詩。マスキール。

その過ちが赦され、その罪が覆われた人は幸いである。
主がその咎をお計りにならない人、その霊に偽りのない人は幸いである。

私が自分の過ちを黙っていたとき、私の体は弱り果て、
絶え間ないうめきによって、
昼も夜もあなたの手が私の上に重くのしかかり、私の力は夏の暑さで乾ききった。 セラ

私は自分の過ちをあなたに告白し、私の咎を隠さなかった。
私は言った、「私は主に自分の背きを告白しよう」。
そしてあなたは私の罪の咎を赦された。 セラ

それゆえ、すべての敬虔な者はあなたが見出される間にあなたに祈るべきである。
確かに大水の洪水があっても、彼には届かない。

あなたは私の逃げ所である。
あなたは私を困難から守り、解放の歌で私を囲んでくださる。 セラ

詩篇

8 私はあなたを導き、行くべき道を教えよう。
私は見守る目であなたを助言しよう。 9
理解のない馬や驛馬のようになってはならない。
彼らの装備には、彼らを抑えるためのくつわと手綱が含まれている。
さもなければ、彼らはあなたに近づかない。 10
悪者の悲しみは多いが、
主に信頼する者は善意に囲まれる。

11 主にあって喜び、楽しめ、正しい者たちよ。
心の正しいすべての者よ、喜びの声をあげよ。

33 主にあって喜べ、正しい者たちよ。
賛美は正直な者にふさわしい。 2
琴をもって主に感謝せよ。
十弦の堅琴で彼に歌え。 3 新しい歌を彼に歌え。
喜びの叫びと共に巧みに演奏せよ。

4 主の言葉は真実であり、
彼のすべての業は誠実に行われる。 5
彼は義と正義を愛される。
地は主の恵みに満ちている。

6 主の言葉によって天は創造され、
彼の口の息によってそのすべての軍勢が作られた。
7 彼は海の水を堆積のように集め、
深みを倉に納められる。 8 全地は主を畏れよ。
世界のすべての住民は彼を畏れよ。 9
彼が語ると、それは存在し、
彼が命じると、それは確立される。

10 主は国々の計画を破り、民の企みを挫かれる。

11 主の計画は永遠に続き、
彼の心の思いは世々にわたる。

12 主を神とする国は幸いである。
彼が自分の所有として選ばれた民。 13
主は天から見渡し、すべての人の子を見られる。
14 彼の住まいから彼は見守り、
地のすべての住民を見られる。 15
彼は彼らすべての心を形作り、
彼らのすべての行いを理解される。

16 王は大軍によって救われず、
勇士は大なる力によって救われない。 17
馬は勝利のための虚しい望みであり、
その大なる力によって救われない。 18
見よ、主の目は彼を畏れる者の上にあり、
彼の誠実に望みを置く者の上にある。 19
彼らの魂を死から救い、
飢饉の中で彼らを支えるために。

20 私たちの魂は主を待ち望む。
彼は私たちの助け、私たちの盾である。 21
私たちの心は彼に喜び、
彼の聖なる名に信頼するからである。 22
主よ、あなたの恵みが私たちの上にありますように、
私たちがあなたに望みを置いたように。

34 ダビデの詩。彼がアビメレクの前で狂った
ふりをし、追い出されて去ったときのこと

1 私は絶えず主を賛美します。
その賛美はいつも私の唇にあります。 2
私の魂は主を誇ります。
謙遜な者は聞いて喜びます。 3
私と共に主を崇めましょう。
共にその御名を崇めましょう。

4 私が主を求めると、主は答えてくださり、
すべての恐れから私を救い出してくださいました。
5 彼らは主を仰ぎ見て輝き、
その顔は決して恥に覆われることはありません。
6 この謙遜な者が叫ぶと、主は聞いてくださり、
すべての苦難から彼を救い出してくださいました。
7 主の使いは主を畏れる者を囲み、
彼らを救い出します。

8 味方い見よ、主が良いことを。
主に避け所を求める者は幸いです。 9
主を畏れよ、聖なる者たちよ。
主を畏れる者には欠けることはありません。 10
若い獅子は弱り、飢えることがあっても、
主を求める者には良いものが欠けることはありません。 11
来なさい、子供たちよ、私の言うことを聞きなさい。
主を畏れることを教えましょう。 12
命を望み、
多くの日を愛し、良いことを見る人は誰ですか。

13 あなたの言葉を悪から守り、
唇を欺きから守りなさい。 14
悪から離れて善を行い、
平和を求め、それを維持するよう努めなさい。

15 主は正しい者を見守り、
その叫びに耳を傾けます。 16
主の顔は悪を行う者に向けられ、
彼らの記憶を地から消し去ります。

17 正しい者が叫ぶと、主は聞いてくださり、
すべての苦難から彼らを救い出してくださいまし

詩篇

た。¹⁸ 主は心の打ち砕かれた者に近く、
霊の砕かれた者を救ってくださいます。

¹⁹
正しい者には多くの苦難があるかもしれませんが、
主はそれらすべてから彼を救い出してくださいます。
²⁰ 主は彼のすべての骨を守り、
そのうちの一本も折られることはありません。

²¹ 災いは悪者を襲い、
正しい者を憎む者は責任を問われます。²²
主はそのしもべたちの魂を贖い、
主に避け所を求める者は誰も罪に定められることは
ありません。

35

ダビデの詩篇

¹ 主よ、私と争う者と争ってください。
私と戦う者と戦ってください。² 盾と鎧を取り、
私を助けるために立ち上がってください。³
槍と投げ槍を引き抜き、私を追う者に向かってく
ださい。
私の魂に「私はあなたの救いです」と確信させて
ください。

⁴
私の命を狙う者たちが恥を受け、辱められますよ
うに。
私に対して悪を企む者たちが退けられ、恥を受け
ますように。⁵
彼らが風の前のもみ殻のようになりますように。
主の使いが彼らを追い払いますように。⁶
彼らの道が暗く滑りやすくなりますように。
主の使いが彼らを追いかけますように。

⁷
彼らは理由もなく私のために網を仕掛けました。
理由もなく私の魂のために穴を掘りました。⁸
彼が気づかないうちに破滅が彼に降りかかります
ように。彼が隠した網が彼を捕えますように。
彼がその破滅に陥りますように。⁹
私の魂は主にあって喜びます。
それは主の救いにあって喜びます。¹⁰
私のすべての骨は言います。「主よ、あなたのよ
うな方は誰ですか。
強すぎる者から悩む者を救い、
盗む者から貧しい者を救う方は。」

¹¹ 偽りの証人が立ち上がります。
彼らは私が知らないことについて私を問いただし

ます。¹² 彼らは私の善に対して害を返し、
私の魂に悲しみをもたらします。¹³
しかし私について言えば、彼らが病気のとき、私
は粗布を着ました。
私は断食で私の魂をへりくだらせましたが、
私の祈りは答えられずに戻りました。¹⁴
私は友や兄弟のように振る舞いました。
母を悼む者のように、私は悲しみに沈みました。
¹⁵

しかし私がつまずくと、彼らは喜び集まりました。
私が知らない悩む者たちが集まり、
彼らは絶え間なく私を中傷しました。¹⁶
宴会での不敬な道化師のように、
彼らは歯をむいて私に向かってきました。

¹⁷ 主よ、いつまで見ておられるのですか。
彼らの破壊から私の魂を救ってください。
ライオンから私の貴重な命を。¹⁸
私は大なる集会であなたに感謝します。
私は広大な集まりの中であなたを賛美します。¹⁹
不当に私の敵となる者たちが私を喜ぶことがあり
ませんように。
理由もなく私を憎む者たちが悪意を持って目配せ
しませんように。²⁰ 彼らは平和を語らず、
静かに地に住む者たちに対して欺く言葉企てま
す。²¹
彼らは口を大きく開けて私に向かって言いました。
。「ああ、ああ！私たちの目がそれを見た！」

²²
あなたはそれを見ておられます、主よ、黙ってい
ないでください。
主よ、私から遠く離れないでください。²³
あなた自身を奮い立たせ、私の権利と
私の訴えに目を覚ましてください、私の神、私の
主よ。²⁴
主よ、私の神よ、あなたの義に従って私を裁いて
ください。
彼らが私を喜ぶことを防いでください。

²⁵
彼らが心の中で「やった、私たちの望みだ！」と
言わないでください。
彼らが「私たちは彼を食い尽くした！」と言わな
いでください。²⁶
私の苦しみを喜ぶ者たちが恥を受け、完全に辱め
られますように。
私の上に自らを高くする者たちが恥と不名誉を着
ますように。²⁷
私の正当性を喜ぶ者たちが歓声を上げ、喜びます
ように。

詩篇

彼らが絶えず言いますように、「主が高く上げられますように、そのしもべの繁栄を喜ぶ方。」

28 私の舌はあなたの義を宣べ伝え、一日中あなたの賛美を歌います。

36 音楽監督のために。主のしもべダビデの詩篇。

1 悪は心の中で神を恐れない者に語りかける。彼の目の前には神への恐れがない。

2 それは彼自身の目に彼をおだて、彼の罪と憎しみの発見について。 3 彼の言葉は悪と欺きに満ちている。彼は知恵と善を捨てた。 4 彼は寝床で悪を企む。彼は良くない道を選び、悪から離れない。

5 主よ、あなたの慈しめは天にまで及び、あなたの真実は空にまで達します。 6 あなたの義は山のように壮大で、あなたの裁きは大いなる深淵のように深い。主よ、あなたは人間と動物の両方を守られます。 7

あなたの慈しめはどれほど貴重でしょう、神よ！人はあなたの翼の陰に避け所を見出します。 8 彼らはあなたの家の豊かさに満足し、あなたの喜びの川で彼らを潤します。 9 あなたと共に命の源があり、あなたの光の中で、私たちは光を見ます。

10 あなたを知る者にあなたの慈しみを続け、正しい心を持つ者にあなたの義を続けてください。 11 高慢の足が私を追い越さないようにし、悪者の手が私を追い払わないようにしてください。 12 そこに悪を行う者たちは倒れ、彼らは打ち倒され、立ち上がることができません。 。

37 ダビデの詩篇

1 悪を行う者のために心を乱してはならない。不正を行う者をうらやんではならない。 2 彼らはすぐに草のように枯れ、青々とした植物のようにしおれるからだ。

3 主に信頼して善を行え。地に住み、誠実を養え。 4 主を喜びとせよ。そうすれば、主はあなたの心の願いをかなえてくださる。

5 あなたの道を主に委ねよ。主に信頼せよ、主が成し遂げてくださる。 6 主はあなたの義を朝の光のように輝かせ、あなたの正義を真昼の太陽のように輝かせる。

7 主の前に静まり、主を待ち望め。自分の道で成功する者や、悪事を行う者のことで心を乱してはならない。

8 怒りを捨て、憤りを捨てよ。心を乱してはならない、それはただ害をもたらすだけだ。 9 悪を行う者は断たれるが、主を待ち望む者は地を受け継ぐ。

10 しばらくすると、悪者はいなくなる。あなたが彼らを探しても、見つからない。 11 しかし、柔和な者は地を受け継ぎ、豊かな平和を楽しむ。

12 悪者は正しい者に対して陰謀を企て、歯ざしりする。 13 主は悪者を笑われる。彼らの日が来るのを知っておられるからだ。

14 悪者は武器を構え、貧しい者と乏しい者を倒し、正しく歩む者を害しようとする。 15 彼らの剣は自分の心を貫き、彼らの弓は折れる。

16 正しい者が持っている少しのものは、多くの悪者の富にまさる。 17 悪者の力は折られるが、主は正しい者を支える。

18 主は無垢な者の日々を見守り、彼らの相続は永遠に続く。 19 彼らは困難な時に恥をかかず、飢饉の日にも豊かに満たされる。

20 しかし、悪者は滅びる。主の敵は牧草の華やかさのように消え去り、煙のように消え失せる。

21 悪者は借りても返さないが、正しい者は寛大に与える。 22 主に祝福された者は地を受け継ぎ、主に呪われた者は断たれる。

23 主はその人の歩みを確かなものとし、その道を喜ばれる。 24 たとえつまづいても倒れない。主がその手を支えてくださるからだ。

25 私は若かったが、今は年老いた。しかし、正しい者が見捨てられたり、その子孫がパンを乞うのを見たことがない。 26

詩篇

彼らはいつも寛大に貸し与え、
その子孫は祝福を受ける。

27 悪を避け、善を行え。
そうすれば、永遠に地に住むことができる。 28
主は正義を愛し、
ご自分の信仰のある者を見捨てない。

彼らは永遠に守られるが、
悪者の子孫は断たれる。 29
正しい者は地を受け継ぎ、そこに永遠に住む。

30 正しい者の口は知恵を語り、
その舌は正義を述べる。 31
彼らの心には神の律法があり、
その歩みは揺るがない。

32 悪者は正しい者を待ち伏せし、
その命を奪おうとする。 33
しかし、主は彼らを悪者の力に渡さず、
裁かれる時に罪に定められることはない。

34 主を待ち望み、その道を守れ。
そうすれば、主はあなたを高く上げて地を受け継
がせ、悪者が滅ぼされるのをあなたは見る。

35 私は悪者が繁栄し、
青々とした地元の木のように茂るのを見た。 36
しかし、彼らはすぐに過ぎ去り、もはやいない。
私が彼らを探しても、見つからなかった。

37 無垢な者を見守り、正しい者を観察せよ。
平和を追い求める者には未来がある。 38
しかし、すべての罪を犯す者は滅ぼされる。
悪者には未来がない。

39 正しい者の救いは主から来る。
主は困難な時の彼らの砦である。 40
主は彼らを助け、彼らを救い出す。
主は彼らを悪者から救い出し、彼らを救う。
彼らが主に避け所を求めるからだ。

38

ダビデの詩。記念のために。

1 主よ、怒りの中で私を責めないでください。
燃える怒りで私を罰しないでください。 2
あなたの矢は私に深く刺さり、
あなたの手は私の上に重くのしかかっています。
3

あなたの憤りのために私の肉には健康な部分があり
ません。
私の罪のために私の骨には健康がありません。 4

私の過ちは私を圧倒しています。
重い荷のように、それは私には耐えきれません。

5 私の傷は不快で炎症を起こしています。
自分の愚かさのためです。 6
私はかがみ、深くうなだれています。
一日中悲しみに歩いています。 7
私の脇腹は燃えるように痛み、
私の肉には健康な部分がありません。 8
私は気を失い、完全に打ちひしがれています。
心の動揺のためにうめいています。

9
主よ、私のすべての願いはあなたの前にあります
。私のため息はあなたから隠されていません。 10
私の心は激しく鼓動し、力が失われています。
私の目の光さえも失われました。 11
私の愛する者や友人は私の苦しみから遠ざかり、
親戚は遠くに立っています。 12
私の命を狙う者は罾を仕掛け、
私を害しようとする者は破壊を語り、
一日中欺きを企てています。

13
しかし、私は耳の聞こえない者のように聞こえず
、口を開かない者のように話しません。 14
はい、私は聞こえない者のようであり、
口には論争がありません。 15
私はあなたを待ち望んでいます、主よ。
あなたは応えてくださるでしょう、私の神、主よ
。 16
私は言いました、「彼らが私の足が滑るときに私
を嘲笑しないように、
彼らが私に対して自分を高めないように。」

17 私は倒れる寸前であり、
私の悲しみは常に私の前にあります。 18
私は自分の罪を告白します。
私は自分の罪のために不安でいっぱいです。 19
しかし、私の敵は活力に満ちて強く、
不当に私を憎む者は多いです。 20
善に対して悪を返す者たち、
彼らは私に反対します、私が善を追求するからで
す。

21 私を見捨てないでください、主よ。
私の神よ、私から遠く離れないでください。 22
助けに急いでください、私の救い主、主よ！

39

音楽監督のために、エドトンのために。ダ

ビデの詩篇。

1 私は言った、「私は自分の道を見守り、
私の舌で罪を犯さないようにする。
悪しき者が私の前にいる間、
私の口を口輪のように見守る。」
私は黙って静かにしていた、 良いことさえ控え、
そして私の痛みはかき立てられた。
私の心は私の中で燃えた、
私が考えている間に火が燃え上がった。
それから私は舌で話した：

4 「主よ、私の終わりを理解させてください、
私の日々を長さを。
私がどれほど儂いかを悟らせてください。
見よ、あなたは私の日々を手幅のように短くされ、
私の生涯はあなたの前では無に等しい。
本当に、全人類はただの息にすぎません。 セラ

6 本当に、すべての人は過ぎ去る影のように動きます。
彼らは目的のない騒ぎを起こします。
彼は富を集めますが、誰がそれを集めるかを知りません。

7
そして今、主よ、私は何を期待すべきでしょうか？
私の希望はあなたにあります。

私のすべての罪過から私を救い出してください。
愚かな者の嘲りにならないようにしてください。

9 私は黙って、口を開きません、
それはあなたが行動されたからです。
あなたの苦しみを私から取り去ってください。
あなたの手の圧力のために、私は打ちのめされています。
あなたは叱責で人を不義のために懲らしめ、
蛾のように彼にとって大切なものを消費します。
本当に、全人類はただの息にすぎません。 セラ

11
あなたの涙を聞いてください、主よ、私の助けを求める叫びを聞いてください。
私の涙を無視しないでください。
私はあなたと共にいる旅人であり、
私のすべての先祖のような放浪者です。

12
私が再び喜びを見つけることができるように、
私が去ってもういない前に、あなたの視線を私からそらしてください。

1 私は主を待ち望んだ。
そして、主は私に耳を傾け、私の叫びを聞かれた。
主は私を滅びの穴、泥沼から引き上げ、
私の足を岩の上に置き、私の歩みを確かにされた。
主は私の口に新しい歌を置かれた。私たちの神への
賛美の歌を。 多くの者が見て恐れ、
主に信頼を置くだろう。

4 主を信頼とする人は幸いである。
高ぶる者や偽りに関わる者に向かわない人は。
主、私の神よ、あなたが行われた奇跡は数多く、
私たちへの思いもまた多い。
あなたに比べられるものはない。
もしそれを語り告げようとすれば、
数え切れないほどである。

6 あなたは犠牲や供え物を望まらず、
私の耳を開かれた。
燔祭や罪祭を求められなかった。
その時、私は言った、「見よ、私は来ました。
書物の巻き物に私について書かれている。
私はあなたの御心を行うことを喜びとします、私の神よ。
あなたの律法は私の心の中にあります。」

9 私は大集会で義の良い知らせを告げました。
見よ、私は唇を控えません、主よ、あなたをご存知です。
私はあなたの義を心の中に隠さず、
あなたの真実と救いを告げました。
私はあなたの慈しみと真実を大集会で隠しませんでした。

11
主よ、あなたの憐れみを私から取り去らないでください。
あなたの慈しみと真実が絶えず私を守ってく
きますように。
数え切れないほどの悪が私を取り囲んでいます。
私の罪が私を追い越し、見えなくなりました。
それは私の頭の髪の毛より多く、
私の心は私を見捨てました。
主よ、どうか私を救ってください。
急いで私を助けてください。

14 私の命を奪おうとする者が共に恥を受け、
屈辱を受けますように。
私を傷つけることを喜ぶ者が
後退し、恥を受けますように。
私に「ああ、ああ」と言う者が
その恥のために驚きますように。
あなたを求めるすべての者があなたにあって喜び

、楽しみですように。

あなたの救いを愛する者が絶えず言いますように
、「主は大いに称えられますように!」

17 しかし私は苦しみ、貧しい。
主が私を心に留めてくださいますように。
あなたは私の助け、私の救い主です。
遅れないでください、私の神よ。

41

音楽監督のために。ダビデの詩篇。

1 弱い者を考慮する者は幸いである。
主は彼を困難の日に救われる。 2
主は彼を見守り、その命を守られる。
彼は地上で祝福されると見なされる。
彼を敵の意志に渡さないでください。 3
主は彼を病床で支えられる。
彼の病気のとき、あなたは彼を健康に戻される。

4
私に関しては、「主よ、私に憐れみを示してください。
私の魂を癒してください、私はあなたに罪を犯しましたから。」 5
私の敵は私のことを悪く言います、
「彼はいつ死に、彼の名は消えるのか？」 6
彼が私を見に来るとき、彼は不誠実に話します。
彼の心は悪を抱えています。
彼が外に出ると、それを広めます。

7
私を輕蔑する者は皆、共に私に対してささやきます。
彼らは私に害を企てて言います、 8
「ひどい病が彼を捕らえた。
彼が横たわるとき、彼は再び起き上がらない。」 9
私が信頼した親しい友でさえ、
私とパンを分け合った者が、私に背を向けた。

10
しかしあなた、主よ、私に憐れみを示し、私を立ち上らせてください。
私が彼らに報いることができるように。 11
これによって、あなたが私を喜んでおられることを知っています。
私の敵が私に勝利しないからです。 12
しかし私に関しては、あなたは私の誠実さを支え、
あなたの御前に永遠に置かれます。

13 主、イスラエルの神に祝福あれ、
永遠から永遠まで。 アーメン、アーメン。

42

音楽監督のために。コラの子たちのマスキール。

1 鹿が水の流れを慕いあえぐように、
私の魂もあなたを慕い求めます、神よ。 2
私の魂は生ける神を渴望しています。
いつ私は行って、神の御前に出ることができるの
でしょうか。 3
私の涙は昼も夜も私の糧となりました。
彼らは絶えず私に「あなたの神はどこにいるのか」
と言います。 4
私はこれらの思い出を呼び起こし、私の魂を注ぎ
出します。
私はかつて群衆と共に行き、神の家に導いていま
した。
喜びと感謝の叫び声と共に、祭りを祝う群れと共に。

5 なぜ、わが魂よ、お前はうなだれているのか。
なぜ、私の内で騒いでいるのか。
神を待ち望め、私はなおも彼を賛美するであろう。
彼の救いの御顔を、わが神を。

6 私の魂は私の内でうなだれています。
それゆえ、私はヨルダンの地からあなたを思い出
します。 ヘルモンの高地から、ミザル山から。 7
あなたの滝の音に深淵が深淵を呼びます。
あなたの波と大波は皆、私の上を越えて行きました。

8 主は昼にはその慈しみを送り、
夜にはその歌が私と共にあります。
私の命の神への祈りです。

9 私は神、私の岩に言います、「なぜあなたは私を
忘れたのですか。
なぜ私は敵の圧迫のために悲しみ歩むのですか。」 10
骨を砕くように、私の敵は私をあざけります。
彼らは絶えず私に「あなたの神はどこにいるのか」
と言います。

11 なぜ、わが魂よ、お前はうなだれているのか。
なぜ、私の内で騒いでいるのか。
神を待ち望め、私はなおも彼を賛美するであろう。
彼の救いの御顔を、わが神を。

43

神よ、私を弁護し、神を知らない国に対し
て私の訴えを論じてください。

欺く者と不正な者から私を救い出してください。

詩篇

さい！²
あなたは私の避け所の神です。なぜ私を拒まれた
のですか。
敵の圧迫のために、なぜ私は悲しみ歩くのですか
。³
あなたの光と真実を送ってください。それらが私
を導きますように。
それらがあなたの聖なる丘に、
あなたの住まいに私を連れて行きますように。⁴
その時、私は神の祭壇に近づきます。
私の最大の喜びである神に。
私は堅琴であなたを賛美します、私の神、私の神
よ。
⁵ なぜ、わが魂よ、うなだれているのか。
なぜ、私の中で不安なのか。
神を待ち望め、私はおも彼を賛美します。
彼の臨在の助けのために、私の神よ。

44 音楽監督のために。コラの子たちのマスキ ー。

¹ 神よ、私たちは耳で聞きました。
私たちの父たちは私たちに語りました。
あなたが彼らの日々に、
昔の日々に行われた御業を。²
あなたの力強い手で、国々を追ひ払い、私たちの
先祖を確立しました。
あなたは民を苦しめ、そして彼らを解放しました
。³
彼ら自身の剣によって彼らは地を得たのではなく
、
彼ら自身の腕が彼らを救ったものではありません。
しかし、あなたの右の手とあなたの腕とあなたの
御顔の光が、あなたが彼らを好まれたからです。
⁴ あなたは私の主権者、神よ。
ヤコブのために勝利を授けてください。⁵
あなたを通して、私たちは敵を退けます。
あなたの名によって、私たちは私たちに立ち向か
う者を打ち負かします。⁶
私は自分の弓に頼らず、
私の剣も私を救わないでしょう。⁷
しかし、あなたは私たちを敵から救い出し、
私たちを憎む者たちに恥をもたらしました。⁸
神において、私たちは一日中栄光を帰し、
絶えずあなたの名に感謝を捧げます。 セラ

⁹
しかし、あなたは私たちを拒絶し、私たちを恥に

さらし、私たちの軍と共に出て行かれませんか。¹⁰
あなたは私たちを敵から退かせ、
私たちを憎む者たちが自分たちのために戦利品を
取るようにしました。¹¹
あなたは私たちを食べられる羊のように引き渡し
、
国々の間に私たちを散らしました。¹²
あなたはあなたの民をわずかな代価で売り、
その売却から何も得ませんでした。
¹³ あなたは私たちを隣人の非難の対象にし、
周囲の者たちの嘲笑と侮辱の対象にしました。¹⁴
あなたは私たちを国々の間でことわざにし、
民の中で嘲りの源にしました。¹⁵
一日中、私の恥は私の前にあり、
私は私の屈辱で覆われています。¹⁶
嘲る者と非難する者の声のために、
敵と復讐者のために。

¹⁷
これらすべてが私たちに降りかかりましたが、私
たちはあなたを忘れず、
あなたの契約に忠実であり続けました。¹⁸
私たちの心は後ろに向かず、
私たちの歩みはあなたの道からそれませんでした
。¹⁹
しかし、あなたは私たちを荒れ果てた場所で打ち
砕き、深い闇で私たちを覆いました。

²⁰ もし私たちが私たちの神の名を忘れ、
異国の神に手を伸ばしたなら、²¹
神はこれを見つけないでしょうか。
彼は心の秘密を知っておられるからです。²²
しかし、あなたのために、私たちは一日中危険に
さらされ、
屠殺されるべき羊と見なされています。

²³
目覚めてください、なぜ眠っておられるのですか
、主よ。
起きて、私たちを永遠に拒絶しないでください。
²⁴ なぜあなたの顔を隠し、
私たちの苦しみと抑圧を無視されるのですか。

²⁵ 私たちの魂は塵に下げられ、
私たちの体は地にしがみついています。²⁶
起きて、私たちを助けてください。
あなたの慈しみのゆえに、私たちを贖ってくださ
い。

45 音楽監督のために。シヨシャニムに従って

詩篇

。 コラの子たちのマスキール。愛の歌。

1 私の心は良いテーマで動かされます。
私の詩を王に捧げます。
私の舌は巧みな書き手の筆です。

2 あなたは人の子らの中で最も美しい。
恵みがあなたの唇から流れます。
それゆえ、神はあなたを永遠に祝福されました。

3 あなたの腰に剣を帯びてください、力ある者よ、
あなたの栄光と威厳の中で！ 4
あなたの威厳の中で勝利を収めて進み出てください、
真実、謙遜、正義のために。
あなたの右手が驚くべきことを示してください。 5
あなたの矢は鋭い。
国々はあなたの下に倒れます。
あなたの矢は王の敵の心を貫きます。 6
あなたの御座、神よ、永遠に続きます。
あなたの王国の杖は正義の杖です。 7
あなたは正義を愛し、悪を憎みます。
それゆえ、神、あなたの神はあなたを油で
喜びの油で、あなたの仲間たちの上に注がれました。 8
あなたのすべての衣服は没薬、アロエ、カシアの
香りがします。
象牙の宮殿から、弦楽器があなたを喜ばせました 9

。 王の娘たちはあなたの貴婦人たちの中にいます。
あなたの右手にはオフィルの金で飾られた女王が
立っています。

10 聞きなさい、娘よ、観察し耳を傾けなさい。
あなたの民とあなたの父の家を離れなさい。 11
そうすれば、王はあなたの美しさを望むでしょう
。 彼はあなたの主であるから、彼を敬いなさい。

12 ティルススの娘が贈り物を持って来るでしょう。
民の中の富者があなたの好意を求めるでしょう。
13 王の娘は内側で輝いています。

彼女の衣装は金で織られています。 14
彼女は色とりどりの衣装で王に連れて来られます
。

彼女の後に従う乙女たち、彼女の仲間たちがあなた
のもとに連れて来られます。 15
彼らは喜びと歓喜をもって連れて来られます。
彼らは王の宮殿に入ります。

16 あなたの父たちの代わりにあなたの息子たちがいます。

あなたは彼らを地中の君主として任命するでしょう。

17
私はあなたの名をすべての世代にわたって記憶させます。
それゆえ、民はあなたを永遠に賛美するでしょう
。

46

音楽監督のために。コラの子たちの詩。アラモトに合わせて。歌。

1 神は我らの避け所、また力。
苦難のとき、非常に現れる助け。 2
それゆえ、地が揺れ動き、
山々が海の深みに沈むとも、我らは恐れない。 3
その水が鳴りとどろき、泡立ち、
山々がその高ぶりに揺れるとも。 セラ

4 神の都を喜ばせる川がある。
いと高き方の聖なる住まい。 5
神がその中におられるので、彼女は揺るがない。
神は朝明けに彼女を助けられる。 6
国々は騒ぎ、王国は揺れ動いた。
彼が声を上げると、地は溶けた。

7 万軍の主は我らと共におられる。
ヤコブの神は我らの砦。 セラ

8 来て、主の御業を見よ。
地に驚くべきことをもたらされた方。 9
彼は地の果てまで戦争を止め、
弓を折り、槍を断ち切り、戦車を火で焼かれる。
10 「静まり、わたしが神であることを知れ。
わたしは国々の間であがめられ、
地の上であがめられる。」

11 万軍の主は我らと共におられる。
ヤコブの神は我らの砦。 セラ

47

指揮者のために。コラの子たちの詩篇。

1 すべての民よ、手をたたけ。
喜びの声で神に叫べ。

2 いと高き主は畏るべき方、
全地の大いなる王である。 3
彼は民を私たちの支配下に置き、
国々を私たちの足元に置かれる。 4
彼は私たちのために私たちの遺産を選ばれる、
彼が愛するヤコブの誇りを。 セラ

5 神は喜びの叫びの中で昇られた、
主はラッパの音と共に。 6
神に賛美を捧げよ、賛美を捧げよ。
私たちの王に賛美を捧げよ、賛美を捧げよ。 7
神は全地の王であるから、
知恵の詩篇で賛美を捧げよ。

8 神は国々を治め、
神はその聖なる御座に座している。 9
民の指導者たちは集まった、
アブラハムの神の民として、
地の盾は神のものであるから、
彼は大いに崇められる。

48

歌、コラの子たちの詩篇。

1 主は偉大であり、非常に称赞されるべきである
我らの神の都、その聖なる山において。

2
その高さは壮大であり、全地に喜びをもたらす、
北の側にあるシオンの山、偉大な王の都。 3
神は彼女の宮殿の中で
避け所としてご自身を現された。

4 確かに、王たちは集まり、共に進んだ。 5
彼らはそれを見て驚き、
恐れ、急いで逃げ去った。 6 恐怖が彼らを襲い、
出産する女のような苦しみが。 7 東風で
タルシシュの船を打ち砕く。

8 我々が聞いたとおりに、我々は見た
軍の主の都、我らの神の都で、
神は彼女を永遠に確立される。 セラ

9 我々はあなたの慈しみを思い巡らした、神よ、
あなたの神殿の中で。 10
あなたの名が知られているように、神よ、
あなたの称赞も全地に及ぶ、
あなたの右手は義で満ちている。 11
シオンの山は喜び、 ユダの娘たちは祝う
あなたの裁きのゆえに。

12 シオンを歩き回り、彼女を巡り、
その塔を救えよ； 13 その城壁を考え、
その宮殿を通り抜け、
次の世代にそれを伝えるために。 14
この神は永遠に我らの神である；
彼は死に至るまで我々を導かれる。

49

音楽監督のために。コラの子たちの詩篇。

1 これを聞け、すべての民よ。
世のすべての住民よ、聞け。 2
身分の低い者も高い者も、
富む者も貧しい者も共に。 3
私の口は知恵を語り、
私の心の思いは洞察に満ちている。 4
私はことわざに耳を傾け、
ハーブで私のなぞを明かそう。

5 なぜ私は逆境の日に恐れるのか、
敵の罪が私を取り囲むときに、 6
自分の富に頼り、豊かな財産を誇る者たちが？ 7
誰も他人を贖うことはできない、
神に彼らのための贖いを捧げることもできない。 8
彼らの魂の贖いは計り知れないから、
彼らはそれを永遠に想像するのをやめるべきだ。 9
彼らが永遠に生き続けるために、
彼らが腐敗を経験しないために。 10
賢者でさえも終わりを迎えることを彼は観察する
からだ。 愚か者と無分別な者は同様に滅び、
彼らの富を他人に残す。 11
彼らは自分たちの家が永遠に続く信じ、
彼らの住まいが世代を超えて続く信じている。
彼らは自分たちの土地に自分たちの名をつけた。

12
しかし、人はその栄華の中にあっても長くは続かない。
彼は滅びる動物のようだ。

13 これが愚かな者たちの道であり、
彼らに従い、その言葉を認める者たちの道である。
セラ 14
羊のように彼らはシェオルに定められている。
死が彼らを牧する。
正しい者たちは朝に彼らを支配し、
彼らの姿はシェオルに消費され、
高貴な家を持たないように。 15
しかし、神は私の魂をシェオルの手から贖ってく
ださる。
彼は私を御自身に迎えてくださるからだ。 セラ 16
誰かが富を得るとき、
彼らの家の栄華が増すときに恐れるな。 17
彼らが死ぬとき、何も持っていけないからだ。
彼らの富は彼らに従って下ることはない。 18
彼らが生きている間に自分を称赞しても—
他の者があなたが繁栄するときにあなたを称赞し
ても— 19

彼らは自分の先祖たちの仲間に加わるだろう。
彼らは再び光を見ることはない。

20 栄華の中にあっても理解のない人類は、
滅びる動物のようだ。

50

アサフの詩篇

1 力ある者、神、主が語られた。
日の出から日の入りまで、地を呼び集められた。

2 シオンから、美の極み、
神はその光を現された。

3 我らの神が来られ、沈黙されないように。

彼の前には焼き尽くす火があり、

彼の周りには激しい嵐が巻き起こる。

彼は上の天を呼び、

地を呼び、その民を裁かれる。

「私に忠実な者たちを集めよ、
彼らは犠牲をもって私と契約を結んだ者たち。」

6 天は彼の義を宣べ伝える。
神ご自身が裁き主であるから。 セラ

7 「聞け、わが民よ、私は語る。
イスラエルよ、私はあなたに証言する。

私は神、あなたの神である。

あなたの犠牲については責めない。

あなたの焼き尽くす捧げ物は常に私の前にある。

9 あなたの家から雄牛を取らない。

あなたの囲いから雄山羊を取らない。

森のすべての生き物は私のものであり、

千の丘の家畜も私のものである。

山のすべての鳥を知っており、

野に動くすべてのものは私のものである。

もし私が飢えても、あなたに告げない。

世界は私のものであり、その中に満ちているもの

もすべて私のものであるから。

私は雄牛の肉を食べるのか、

雄山羊の血を飲むのか。

14 神に感謝の捧げ物を捧げ、
至高者に誓いを果たせ。 15 苦難の日に私を呼べ。

私はあなたを救い、あなたは私をたたえる。」

16 しかし、悪者に神は宣言される。

「あなたが私の定めを語り、

私の契約を口にする権利があるのか。

あなたは戒めを嫌い、

私の言葉を後ろに投げ捨てる。

盗人を見れば、彼と共に歩み、

姦淫する者と交わる。 19 あなたの口は悪を語り、

あなたの舌は欺きを編む。

あなたは座って兄弟を非難し、

自分の母の子を中傷する。

あなたはこれらのことを行い、私は黙っていた。

あなたは私を自分と同じだと思った。

私はあなたを責め、あなたの目の前に事を並べる

。

22 今、これを思い出せ、神を忘れる者よ、
さもなければ、私はあなたを裂き、救う者はいない。

23 感謝の犠牲を捧げる者は私をたたえる。
その道を正しく行う者に、私は神の救いを示す。

」

51

音楽監督のために。ダビデの詩。預言者ナ
タンが彼のもとに来たとき、彼がバテシバ
のもとに入った後。

1 神よ、あなたの慈しみによって私に恵みを与えて
ください。

あなたの大いなる憐れみによって、私の過ちを拭
い去ってください。

私の罪から徹底的に私を清め、

私の罪から私を清めてください。

3 私は自分の過ちを認識しています、
私の罪は常に私の前にあります。

あなたに対して、ただあなたにだけ、私は罪を犯
しました。 あなたの目の前で悪を行いました。

それで、あなたはあなたの言葉において正当であ
り、

あなたの裁きにおいて非難されることはありません。
5 確かに、私は罪の状態で生まれました、

そして罪の中で私の母は私を宿しました。

6 本当に、あなたは内なる真実を望んでおられます

、

隠れた部分であなたは私に知恵を知らせてくださ
います。

7 ヒソプで私を清めてください、そうすれば私は清
くなります。

私を清めてください、そうすれば私は雪よりも白
くなります。

喜びと楽しみを私に聞かせてください、
あなたがへし折った骨が喜ぶようにしてください

9 私の罪からあなたの顔を隠し、
私のすべての罪深い行いを拭い去ってください。

詩篇

10 神よ、私の中に清い心を創造し、
私の内に堅固な霊を新たにしてください。 11
あなたの御前から私を追放しないでください、
あなたの聖なる霊を私から取り去らないでくだ
さい。 12 あなたの救いの喜びを私に戻し、
喜んで従う霊で私を支えてください。

13 そのとき、私は罪人にあなたの道を教え、
罪人はあなたに立ち返るでしょう。 14
神よ、私の救いの神よ、血の罪から私を救ってく
ださい。
そうすれば、私の舌はあなたの義を喜んで歌うで
しょう。 15 主よ、私の唇を開いてください、
そうすれば、私の口はあなたの賛美を宣べ伝える
でしょう。 16
あなたは犠牲を喜ばれないので、私はそれを捧げ
ません。
あなたは焼き尽くす捧げ物を喜ばれません。 17
神への捧げ物は、謙虚な霊です。
砕かれた、悔い改めた心を、神よ、あなたは軽ん
じられません。

18 あなたの恵みによってシオンに善を行い、
エルサレムの城壁を築いてください。 19
そのとき、あなたは正しい犠牲を喜ばれるでしょ
う、 焼き尽くす捧げ物と全焼の捧げ物を。
そのとき、雄牛があなたの祭壇に捧げられるでし
ょう。

52

音楽監督のために。ダビデのマスキール。
エドム人ドエグが来て、サウルに告げ、「
ダビデがアヒメレクの家に来た」と言ったとき。

1 なぜ悪を誇るのか、力ある人よ。
神の誠実さは一日中続く。 2
あなたの舌は破壊を企む、
鋭いかみそりのように、欺く者よ。 3
あなたは善よりも悪を好む、
正しいことを語るよりも偽りを好む。 セラ 4
あなたは飲み込む言葉を喜ぶ、欺く舌よ。

5 しかし神はあなたを永久に倒されるだろう。
彼はあなたを捕らえて住まいから取り除き、
生ける者の地からあなたを根こそぎにする。 セラ
6 正しい者は見て恐れ、
彼をあざけって言うだろう、 7
「見よ、神を避け所としなかった人、
彼は豊かな富を信頼し、
自分の破滅を避け所とした。」

8 しかし私にとっては、私は神の家にある繁栄する
オリーブの木のように。
私は神の誠実さを永遠に信頼する。 9
あなたがそれを成し遂げたので、私は永遠にあなた
を賛美します、
あなたの名を待ち望みます、それは良いものであ
り、あなたの忠実な者たちの前で。

53

音楽監督のために。マハラテに従って。ダ
ビデのマスキール。

1 愚か者は心の中で言った、「神はいない。」
彼らは墮落し、忌まわしい不正を行った。
善を行う者はいない。

2 神は天から人類を見下ろされた。
理解を持ち、神を求める者がいるかどうかを見る
ために。 3
すべての者が離れ去り、共に墮落した。
善を行う者はいない、一人もいない。

4 不正を行う者たちは知識がないのか、
彼らはパンを食べるように私の民を食い尽くし、
神を呼び求めなかった。 5
彼らは恐れる理由のないところで大いに恐れた。
神があなたに対して陣取った者たちの骨を散らさ
れたからだ。
あなたは彼らを恥じさせた、神が彼らを拒絶した
からだ。

6 ああ、イスラエルの救いがシオンから来ることを
願う！ 神がその民の運命を回復されるとき、
ヤコブは喜び、イスラエルは喜ぶ。

54

音楽監督のために。弦楽器による。ダビデ
のマスキール。ジフ人が来てサウルに言っ
たとき、「ダビデは私たちの中に隠れているのでは
ないか？」

1 神よ、あなたの御名によって私を救い、
あなたの力によって私を正してください。 2
神よ、私の祈りに耳を傾け、
私の言葉に耳を傾けてください。

3 よそ者が私に逆らって立ち上がり、
無慈悲な者たちが私の命を求めています。
彼らは神を自分の前に置いていません。 セラ

詩篇

4 確かに、神は私の助け主です。
主は私の魂を支えてくださいます。

5 彼は私の敵に悪を返されます。
あなたの真実によって、彼らを倒してください。

6 自由にあなたに犠牲を捧げます。
主よ、あなたの御名を称えます。それは良いもの
です。 7
彼は私をすべての苦難から救い出されました。
私の目は敵を見て満足しました。

55

音楽監督のために。弦楽器による。ダビデ
のマスキール。

1 私の祈りを聞いてください、神よ。
私の嘆願から隠れないでください。 2
私に耳を傾け、答えてください。
私は不安定で、非常に悩んでいます。 3
敵の声のために、 悪者の圧迫のために。
彼らは私に苦しみを積み重ね、
怒りに満ちて私に恨みを抱いています。

4 私の心は私の内で深く痛み、
死の恐怖が私を捕らえました。 5
恐れと震えが私を襲い、 恐怖が私を包みました。

6
私は言いました、「ああ、鳩のような翼があれば
！ 飛び去って休息を見つけるでしょう。 7
見よ、私は速くに逃れ、
荒野で夜を過ごすでしょう。 セラ 8
嵐の風と激しい突風から
私の避難所に急ぐでしょう。」

9
主よ、彼らを混乱させ、彼らの舌を分けてくださ
い。 私は町の中で暴力と争いを目撃しました。 10
昼も夜も彼らはその壁の上を巡り、
不正と害がその中にあります。 11
破壊がその中にあり、
圧迫と欺瞞がその通りから離れません。

12
私を嘲るのが敵でないなら、私は耐えられたでし
ょう。
私を軽蔑する者が私に立ち向かうのでもないなら
、 私は彼から身を隠すことができたでしょう。 13
しかし、それはあなたです、私の同等の者、
私の仲間であり、私の親友です。 14
私たちは共に甘い交わりを持ち、
神の家で群衆の中を歩きました。

15 彼らに突然死が訪れますように。
彼らが生きたままシェオルに下りますように、
彼らの住まいには悪があるからです。

16 私は神を呼び求めます、
主は私を救ってください。 17
夕べも朝も昼も、私は嘆き悲しみます、
そして彼は私の声を聞いてくださいます。 18
彼は私の魂を戦いから平和に救ってくださいます
、 私に立ち向かう者が多いからです。 19
神は彼らを聞いて、彼らを低くされますー
古くから王座に座しておられる方ー セラ
彼らは変わらず、神を恐れません。

20 彼は平和を保っていた者たちに手を伸ばし、
彼の契約を破りました。 21
彼の言葉はバターよりも滑らかでしたが、
彼の心は戦争に向かっていました。
彼の言葉は油よりも柔らかでしたが、
それでもそれらは引き抜かれた剣でした。

22
あなたの重荷を主に委ねなさい、そうすれば彼は
あなたを支えてくださいます。
彼は正しい者が動かされることを決して許されま
せん。 23
しかし、あなたは、神よ、彼らを滅びの穴に落と
されます。
血を流し、欺く者たちはその日を半分も生き延び
ることはありません。
しかし、私はあなたに信頼を置きます。

56

音楽監督のために。ヨナテ・エレム・レホ
キムに従って。ダビデのミクタム。パリス
テ人がガテで彼を捕らえたとき。

1
神よ、私に恵みを施してください。人が私を踏み
にじりました。
一日中戦い、彼は私を圧迫します。 2
私の敵は一日中私を追いかけました。
誇りを持って私に対抗する者が多いからです。

3 恐れる時、 私はあなたに信頼を置きます。 4
私が賛美する神の言葉において、
神に信頼を置きました。私は恐れません。
ただの人間が私に何をできるのでしょうか？

5 一日中彼らは私の言葉をねじ曲げます。
彼らのすべての計画は私に害を与えるためです。
6 彼らは攻撃し、潜み、私の足跡を見守ります。

詩篇

彼らが私の命を奪うのを待っているように。⁷
彼らの悪のために、逃げ道はありますか？
あなたの怒りで、国々を倒してください、神よ！

⁸ あなたは私の苦しみを記録しました。
私の涙をあなたの瓶に集めてください。
それらはあなたの書に記録されていませんか？⁹
その時、私の敵は私が呼ぶ日に退きます。
私はこれを知っています、神が私と共にいること
を。

¹⁰ 私が賛美する神の言葉において、
主のメッセージを私は尊びます。¹¹
神に信頼を置きました。私は恐れません。
世界が私に何をできるでしょうか？

¹²
あなたの約束は私に対して拘束力があります、神
よ。 私はあなたに感謝の犠牲を捧げます。¹³
あなたは私の魂を死から救い出しました。
確かに私の足をつまずかせないように、
私が神の前を歩むために 命の輝きの中で。

57

音楽監督のために。アルタシュヘトに合わ
せて。ダビデのミクタム。彼が洞窟でサウ
ルから逃れたとき。

¹
神よ、私に恵みを施してください、私に恵みを施
してください、 私の魂はあなたに避難します。
あなたの翼の陰に私は避難します、
破壊が過ぎ去るまで。

² 私は至高の神に呼びかけます、
私のためにその目的を果たす神に。³
彼は天から送り、私を救ってくださいます。
彼は私を踏みじめる者を叱責します。 セラ
神はその恵みと真実を送ってくださいます。

⁴ 私の魂はライオンの中にあります。
私は食い尽くす者たちの間に横たわらなければな
りません、 人の子らの間に、彼らの歯は槍と矢、
彼らの舌は鋭い剣です。

⁵ 天の上に高く上げられますように、神よ；
あなたの栄光が全地にありますように。

⁶ 彼らは私の足のために罾を仕掛けました；
私の魂はかがみまず；
彼らは私の前に穴を掘りました；
彼ら自身がその中に落ちました。 セラ

⁷
私の心は揺るぎません、神よ、私の心は揺るぎま
せん；
私は歌います、確かに、私は賛美を歌います！⁸
起きよ、私の魂よ！ 起きよ、ハーブとライアよ！
私は朝の光を目覚めさせます。

⁹ 私は諸国の中であなたに感謝を捧げます、主よ；
私は国々の中であなたに賛美を歌います。¹⁰
あなたの慈しみは天にまで達し、
あなたの真実は雲にまで達します。

¹¹ 天の上に高く上げられますように、神よ；
あなたの栄光が全地にありますように。

58

指揮者のために。アル・タシュヘスに合わ
せて。ダビデのミクタム。

¹ 本当にあなたたちは正義を語るのか、神々よ？
人の子らよ、公平に裁くのか？²
しかし、心の中では不正を行い、
地上では手の暴力の道を整える。

³ 悪者は生まれつき迷い出ている。
偽りを語る者は生まれた時からさまよっている。
⁴ 彼らは蛇の毒を持っている。
耳をふさぐろうばいのように、⁵
魅惑する者の声を聞かないように、
巧みな呪文を唱える者の声を聞かない。

⁶ 神よ、彼らの口の中の歯を折ってください。
主よ、若い獅子の牙を取り除いてください。⁷
彼らが流れ去る水のように消え去りますように。
弓を引くとき、矢が頭のない矢のようになります
ように。⁸
彼らが溶けて粘液になるカタツムリのようにあり
ますように、
太陽を見ない流産のようでありますように。

⁹ あなたの鍋がいばらの熱を感じる前に、
生のものも燃えているものも、旋風で彼らを掃き
去る。¹⁰ 正しい者は正義を見て喜び、
彼は悪者の没落に足を浸す。¹¹
人々は言う、「本当に正しい者には報いがある。
本当に地上には裁く神がいる！」

59

指揮者のために。アル・タシュヘスに合わ
せて。ダビデのミクタム。サウルが人を送
って彼を殺すために家を見張らせたとき。

詩篇

¹ 私の神よ、敵から私を救い出してください。
私に立ち向かう者から高く安全な場所に私を置いてください。² 不正を行う者から私を救い出し、
暴力を振るう者から私を救ってください。

³
見よ、彼らは私の命を狙って罾を仕掛けています。
。 激しい人々が私を攻撃します。
主よ、私の不正や罪のためではありません。⁴
私の罪のないのに、彼らは走り、私に対して立ち
上がります。起きて私を助け、見てください！⁵
万軍の神、イスラエルの神、主よ、
すべての国に正義をもたらすために目覚めてくだ
さい。
不正を行う者に情けをかけないでください。 セラ

⁶ 彼らは夕方に戻り、犬のようにうなり、
町を歩き回ります。⁷
見よ、彼らは口から吐き出します。
剣が彼らの唇にあります。
彼らは言います、「誰が聞くのか？」⁸
しかし、主よ、あなたは彼らを笑いものにされま
す。あなたはすべての国をあざけります。

⁹ その力において、私はあなたを見守ります。
神は私の逃げ所です。¹⁰
私の神はその誠実さで私に来てくださいます。
神は私の敵に対する勝利を見せてくださいます。

¹¹
彼らを滅ぼさないでください、私の民が忘れない
ように。
あなたの力で彼らを散らし、彼らを倒してくださ
い。¹² 主よ、我らの盾よ。
彼らの口の罪と唇の言葉のために、
彼らがその誇りで捕らえられますように。
彼らが語る呪いと嘘のために。¹³
彼らを怒りで滅ぼし、彼らを消し去ってください
。
そうすれば、人々は神がヤコブを支配しているこ
とを知ることでしょう。地の果てまで。 セラ

¹⁴ 彼らは夕方に戻り、犬のようにうなり、
町を歩き回ります。¹⁵
彼らは食物を求めてさまよい、
満たされないと不満を言います。¹⁶
しかし私は、あなたの力を歌います。
はい、私は朝にあなたの慈しみを喜んで歌います
。
あなたは私の逃げ所であり、
私の苦難の日の避難所です。

¹⁷ 私の力よ、私はあなたを賛美します。
神は私の逃げ所であり、私に慈しみを示してくだ
さる神です。

60

音楽監督のために。シュジャン・エドゥト
に従って。ダビデのミクタム、教えるため
に。彼がアラム・ナハラタイムとアラム・ツォバと戦
い、ヨアブが帰ってきて塩の谷でエドムの一萬二千
人を打ち倒したとき。

¹
神よ、あなたは私たちを拒まれました。あなたは
私たちを打ち砕かれました。
あなたは怒られました。私たちを回復してくださ
い。²
あなたは地を揺るがし、それを裂かれました。
その亀裂を癒してください、それは揺れ動いてい
ます。³
あなたはあなたの民に苦難を経験させました。
私たちに酔わせる酒を与えられました。⁴
あなたを恐れる者たちに旗を与えられました。
それが真理のために掲げられるように。 セラ

⁵ あなたの愛する者が救われるために、
あなたの右の手で救い、私たちに答えてください
！⁶ 神はその聖なる中で語られました。
「私は勝利を得る、私はシェケムを分け、
スコテの谷を測り分ける。⁷
ギルアデは私のもの、マナセも私のもの。
エフライムも私の頭の兜、 ユダは私の杖。⁸
モアブは私の洗ひ鉢、
エドムの上に私のサンダルを投げる。
ペリシテよ、私のために歓声を上げよ！」

⁹ 誰が私を要塞の町に導くのか？
誰が私をエドムに連れて行くのか？¹⁰
あなた自身が私たちを拒まれたのではないですか
、神よ？
そしてあなたは私たちの軍と共に進まないのです
か、神よ？¹¹
敵に対して私たちに助けを与えてください、
人による救いは無価値です。¹²
神を通して私たちは勝利を得るでしょう、
そして私たちの敵を打ち負かすのは彼です。

61

音楽監督のために。弦楽器に合わせて。ダ
ビデの詩篇。

詩篇

¹ 神よ、私の叫びを聞いてください。
私の祈りに耳を傾けてください。

² 地の果てから、心が弱ったときにあなたを呼びます。
私を高い岩に導いてください。³
あなたは私の避難所であり、
敵に対する強い塔です。

⁴ 私が永遠にあなたの天幕に住むことができますように。
あなたの翼の陰に安全を見つけさせてください。
セラ⁵
神よ、あなたは私の誓いを聞いてくださいました。
⁶
あなたの名を敬う者の遺産を私に与えてくださいました。

⁶ あなたは王の命を延ばされます。
彼の年は世代を超えて続くでしょう。⁷
彼は永遠に神の前に住むでしょう。
慈しみと真実を任命し、彼を守らせてください。
⁸ それで私はあなたの名を永遠に賛美します。
私の誓いを日々果たすために。

62 音楽監督のために。エドゥトゥンに従って。 。ダビデの詩篇。

¹ 私の魂はただ神を待ち望む。
私の救いは彼から来る。²
彼だけが私の岩、私の救い、
私の砦である。私は大きく揺るがされることはない。

³ いつまであなたたちは人を攻撃するのか、
彼を倒そうとするのか、
傾いた壁のように、揺れる垣のように。⁴
彼らは彼を高い地位から倒そうと企んでいる。
彼らは偽りを喜ぶ。彼らは口で祝福するが、
心の中では呪っている。セラ

⁵ 私の魂よ、ただ神の前で静かに待て、
私の希望は彼から来る。⁶
彼だけが私の岩、私の救い、
私の避難所である。私は揺るがされることはない。
⁷ 私の救いと私の名誉は神に依存している。
私の力の岩、私の避難所は神にある。⁸
すべての時に彼を信頼せよ、民よ。

彼の前に心を注ぎ出せ。
神は私たちの避け所である。セラ

⁹ 低い地位の人々はただの息であり、高い地位の人々は欺きである。天秤にかけると彼らは上がる。
一緒にすると彼らは空気よりも軽い。¹⁰
圧迫に頼るな、略奪に虚しい希望を置くな。
富が増しても、それに心を置くな。

¹¹ 神は一度語られた。私は二度これを聞いた。
力は神に属することを。¹²
そして、主よ、あなたの慈しみはあなたのものである。
あなたは人にその行いに応じて報いるからである。
¹³

63 ダビデの詩。彼がユダの荒野にいたとき。

¹ 神よ、あなたは私の神です。私はあなたを待ち望みます。
私の魂はあなたを渴望し、私の肉はあなたを慕います。
水のない乾いた疲れた地で。

² こうして私は聖所でああなたを見、
あなたの力と栄光を見ました。³
あなたの恵みは命よりも良いので、
私の唇はあなたを賛美します。⁴
それゆえ、私は生涯を通じてあなたを祝福し、
あなたの名によって手を挙げます。⁵
私の魂は豊かな食物で満たされ、
私の口は喜びの唇で賛美を捧げます。

⁶ 私が床でああなたを思い起こし、
夜の見張りの間にあなたを思い巡らします。⁷
あなたが私の助けであったので、
あなたの翼の陰で私は喜び歌います。⁸
私の魂はあなたにしっかりとついていきます。
あなたの右の手が私を支えます。

⁹ しかし、私の命を害しようとする者たちは、
地の深みに下ります。¹⁰ 彼らは剣の力に渡され、
狐の餌食となります。¹¹
しかし、王は神にあって喜び、
彼に誓う者は皆、喜び誇ります。
偽りを語る者の口は閉じられるでしょう。

64 音楽監督のために。ダビデの詩篇。

詩篇

¹ 私の訴えを聞いてください、神よ。
敵の恐怖から私の命を守ってください。

² 悪事を働く者の秘密の計画から私を隠してください。
不正を行う者たちの騒ぎから、
³ 彼らは剣のように舌を研ぎ、
⁴ 苦い言葉は矢として放ちます。
無実の者を不意に打つために、
突然、恐れずに攻撃します。

⁵ 彼らは悪事を強化し、
秘密に罾を仕掛けることを話し合います。
彼らは言います、「誰がそれを見抜けるか？」
⁶ 彼らは不正を企てて言います、
「巧妙な計画で準備ができています」
人の内なる思いと心は深いからです。

⁷ しかし神は彼らに矢を放ちます。
突然、彼らは打たれます。
⁸ それで彼らはつまずき、
自分の舌が彼らに逆らいます。
彼らを見るすべての者は頭を振ります。
⁹ そのとき、すべての人は畏れを抱き、
神の業を宣べ伝え、
彼が成し遂げたことを考えます。

¹⁰ 正しい者は主にあって喜び、彼に避け所を求めます。
心の正しい者はみな歡喜します。

65

音楽監督のために。ダビデの詩。歌。

¹ 神よ、シオンであなたの前に沈黙があり、賛美があります。あなたへの誓いは果たされます。
² 祈りを聞かれる方よ、
すべての人があなたのもとに来ます。
³ 不義が私に勝りますが、
私たちの罪を、あなたは赦されます。
⁴ あなたが選び、近づける人は幸いです。
彼はあなたの庭に住むでしょう。
私たちはあなたの家の良さ、
あなたの聖なる神殿に満足します。

⁵ 驚くべき行いによって、あなたは義で私たちに答えられます。
私たちの救いの神よ、
⁶ 地の果てと遠い海の希望である方よ。
力によって山々を確立される方、
力に囲まれている方。
⁷ 海の轟きを静め、

その波の轟きを静め、国々の不安を静める方。
⁸ 地の果てに住む者たちはあなたのしるしに驚きます。
あなたは日の出と日の入りを喜びで叫ばせます。

⁹ あなたは地を訪れ、それを豊かにされます。
あなたはそれを大いに豊かにされます。
神の流れは水で満ちています。
あなたは彼らの穀物を準備されます。そうして地を準備されます。
¹⁰ あなたはその敵を豊かに水で潤し、
その敵を平らにし、雨で柔らかくし、
その成長を祝福されます。
¹¹ あなたはあなたの良さで年を冠し、
あなたの道は豊かさで溢れています。
¹² 荒野の牧草地は溢れ、丘は喜びで包まれます。
¹³ 草原は群れで飾られ、
谷は穀物で覆われています。
彼らは喜びで叫び、はい、歌います。

66

指揮者のために。歌。詩篇。

¹ 全地よ、神に向かって喜びの声を上げよ。
その御名の栄光を歌え。
その賛美を栄光のうちに響かせよ。
³ 神に言え、「あなたの御業はなんと驚くべきことでしょう。
あなたの力の偉大さのゆえに、あなたの敵はあなたに服従を装います。
⁴ 全地はあなたを礼拝し、あなたに賛美を歌います。
彼らはあなたの御名を祝います。」 セラ

⁵ 神の御業を見に来なさい。
彼は人の子らに対して驚くべきことを行われる方です。
⁶ 彼は海を乾いた地に変えられた。
彼らは川を歩いて渡った。
⁷ そこで私たちは彼にあって喜びましょう！
彼はその力によって永遠に支配される。
彼の目は国々を見守る。
反逆者たちは自らを高くしない。 セラ

⁸ 私たちの神を賛美せよ、すべての民よ、
その賛美を広く響かせよ、
⁹ 彼は私たちの命を守り、
私たちの足をつまずかせない。
¹⁰ あなたは私たちを試みられた、神よ。
あなたは銀を精錬するように私たちを精錬された。
¹¹ あなたは私たちを網の中に導き、
重い負担を私たちに置かれた。
¹² あなたは人々が私たちの頭の上を乗り越えること

詩篇

を許された。 私たちは火と水を通った。
しかしあなたは私たちを豊かさの場所に導かれた
。

13

私はあなたの家に焼き尽くす捧げ物を持って行きます。 私はあなたに誓ったことを果たします。 14
私の唇が語ったこと、
私の口が苦しみの中で宣言したことを。 15
私はよく肥えた動物の焼き尽くす捧げ物をあなたに捧げます。 雄羊の煙とともに。
私は雄牛と雄山羊の捧げ物を捧げます。 セラ

16 神を恐れるすべての者よ、来て聞け。
私は彼が私の魂のために行ったことを語ります。
17 私は口で彼に叫び、
その賛美は私の舌にあった。 18
もし私が心に邪悪を抱けば、主は聞かれない。 19
しかし神は聞かれた。
彼は私の祈りの声に耳を傾けられた。 20
神に祝福あれ、彼は私の祈りを退けず、
その恵みを私から取り去られなかった。

67

指揮者のために。弦楽器とともに。詩篇。
歌。

1 神が私たちに恵みを与え、私たちを祝福し、
御顔を私たちに輝かせてくださいますように—
セラ 2 あなたの道が地上に知られ、
あなたの救いがすべての国々に知られますように
。

3 民があなたを賛美しますように、神よ；
すべての民があなたを賛美しますように。 4
国々が喜び、歓声を上げますように；
あなたは公平に民を裁き、
地上の国々を導かれるからです。 セラ 5
民があなたを賛美しますように、神よ；
すべての民があなたを賛美しますように。

6 地はその収穫をもたらしました；
神、私たちの神は私たちを祝福してくださいます
。 7 神が私たちを祝福してくださいますように、
地の果てまでが神を畏れ敬いますように。

68

音楽監督のために。ダビデの詩篇。歌。

1 神が立ち上がると、その敵は散り、
彼を憎む者は彼の前から逃げ去る。 2
煙が吹き飛ばされるように、あなたは彼らを吹き

飛ばされる。 蟬が火の前で溶けるように、
悪者は神の前で滅びる。 3
しかし、正しい者は喜び、神の前で歓喜する。
はい、彼らは喜びに満ちて歓喜する。

4 神に歌い、彼の名を賛美せよ。
荒野を行く者を高く掲げよ。
その名は主であり、彼の前で喜べ。 5
孤児の保護者、寡婦の擁護者、
それが彼の聖なる住まいにいる神である。 6
神は孤独な者に家を与え、
囚人を繁栄の中に導き出す。
しかし、反逆者は乾いた地に住む。

7 神よ、あなたがあなたの民の前を進んだとき、
あなたが荒野を行進したとき、 セラ 8
地は震えた。 天もまた神の前で雨を降らせた。
シナイ山自体も神の前で震えた、イスラエルの神
の前で。 9 あなたは豊かな雨を送られた、神よ。
あなたの相続地が疲れていたとき、それを回復さ
れた。 10 あなたの民はそこに定住した。
あなたの善意によって、あなたは貧しい者のため
に備えられた、神よ。

11 主はメッセージを届ける。
良い知らせを告げる女性たちは大勢いる。 12
「軍の王たちは退却し、退却する。
家に留まる彼女が戦利品を分ける！」 13
あなたが羊の囲いの中で休むとき、
あなたは銀で覆われた鳩の翼のようであり、
その羽は輝く金である。 14
全能者がそこに王たちを散らされたとき、
それはザルモンに雪が降ったようだった。

15 バシヤンの山は壮大な山である。
バシヤンの山は多くの峰を持つ山である。 16
なぜ、あなたは嫉妬の目で見えるのか、険しい山々
よ。 神が住まいとして選んだ山を。
確かに、主はそこに永遠に住む。 17
神の戦車は数え切れない、何千もの何千もの。
主は彼らの中におられる、シナイで、聖なる中に
。 18
あなたは高く昇り、捕虜を引き連れて行かれた。
人々から贈り物を受け取られた。 反逆者からも、
主なる神がそこに住むために。

19 毎日私たちの重荷を担う主を賛美せよ。
私たちの救いの神。 セラ 20
私たちの神は救う神である。
主なる主に死からの逃れの道がある。 21
神は確かに彼の敵の頭を砕く。
罪を犯し続ける者の毛むくじやらの頭を。 22

詩篇

主は宣言された、「私は彼らをバシヤンから戻す。
私は彼らを海の深みから戻す。」²³
それはあなたの足が彼らの血の中を歩むため、
あなたの犬の舌が敵からの分け前を得るため。」

²⁴ 彼らはあなたの行列を見た、神よ。
私の神、私の王の行列を、聖所へ。²⁵
歌う者たちが先導し、音楽家たちが後に続く。
タンバリンを演奏する若い女性たちの中で。²⁶
集会で神を祝福せよ。
イスラエルの衆から来た者たちよ、主を。²⁷
ベニヤミン、最年少の者がそこにいて、彼らを導く。
ユダの君主たちがその群れの中にいる。
ゼブルンの君主たち、ナフタリの君主たち。

²⁸ あなたの神があなたの力を定めた。
あなたの力を示せ、神よ、あなたが私たちのために
に行動された。²⁹
あなたのエルサレムの神殿のために、
支配者たちはあなたに貢ぎ物を持ってくる。³⁰
葦の間の獣を叱責せよ。
国々の子牛と共にいる雄牛の群れを。
銀のかけらを踏みにじる者を。
彼は争いを楽しむ国々を散らされた。³¹
使者たちはエジプトから来る。
クシュはすぐに彼女の手を神に伸ばす。

³² 地のすべての王国よ、神に歌え。
主に賛美を歌え。 セラ³³
古代からの最高の天を駆ける方に。
見よ、彼はその声で語る、力強い声で。³⁴
神に力を帰せよ。
彼の栄光はイスラエルの上にあり、
彼の力は空にある。³⁵
神よ、あなたはあなたの聖所から畏敬の念を抱か
せる。
イスラエルの神自身が民に力と力を与える。
神を祝福せよ！

69

音楽監督のために;
シヨシャニムに従って。ダビデの詩篇。

¹ 神よ、私を救ってください、
水が私の命を脅かしています。²
私は深い泥に沈み、足場がありません。
深い水に入り、洪水が私を圧倒しています。³
私は泣き疲れて喉が乾いています。
私の目は神を待ち望むうちに衰えています。⁴
理由もなく私を憎む者は、私の頭の髪の毛よりも
多いです。

私を滅ぼそうとする者は力強く、偽りをもって私
に反対する者たちです。
私が盗まなかったものを、今や私は返さなければ
なりません。

⁵ 神よ、あなたは私の愚かさを知っています。
私の罪はあなたから隠されていません。

⁶ あなたを待ち望む者たちが、私のために恥をかか
ないようにしてください、万軍の主なる神よ。
あなたを求める者たちが、私のために辱められな
ないようにしてください、イスラエルの神よ。⁷
あなたのために私は恥を耐え忍びました。
屈辱が私の顔を覆いました。⁸
私は兄弟たちから疎外され、
母の息子たちには見知らぬ者となりました。⁹
あなたの家への熱意が私を消耗させ、
あなたを侮辱する者たちの侮辱が私に降りかかり
ました。¹⁰ 私が泣いて断食したとき、
それは私に非難をもたらしました。¹¹
私が衣服として粗布を着たとき、
私は彼らの間でことわざとなりました。¹²
門に座る者たちは私について話し、
酔った者たちの歌の題材となっています。

¹³ しかし私にとって、私の祈りはあなたに向けられ
ています、主よ、好意的な時に。
神よ、あなたの豊かな慈しみにおいて、
あなたの救いの真実で私に答えてください。¹⁴
泥から私を救い出し、沈ませないでください。
私を憎む者たちから、そして水の深みから救い出
してください。¹⁵
洪水が私を押し流さないように、
深みが私を飲み込まないように、
穴がその口を私の上に閉じないようにしてくださ
い。

¹⁶ 主よ、あなたの慈しみは豊かですので、私に応え
てください。
あなたの大いなる憐れみにおいて、私に向かつて
ください。¹⁷
あなたのしもべから顔を隠さないでください。
私は苦しんでいますので、速やかに私に答えてく
ださい。¹⁸
私の魂に近づき、それを贖ってください。
敵のために私を救い出してください！

¹⁹ あなたは私の非難、恥、屈辱を知っています。
私のすべての敵はあなたに知られています。²⁰

詩篇

非難が私の心を打ち砕き、私は非常に弱っています。同情を求めましたが、誰もいませんでした。慰める者を求めましたが、誰も見つかりませんでした。²¹ 彼らはまた私に苦い食物を与え、私の渇きには酸っぱいぶどう酒を提供しました。

²² 彼らの前の食卓が異となりますように。彼らが安全だと感じるとき、それが異となりますように。²³

彼らの目が暗くなって見えなくなりますように、彼らの体が絶えず震えますように。²⁴

あなたの憤りを彼らに注ぎ、あなたの激しい怒りが彼らを追い越しますように。

²⁵ 彼らの陣営が荒れ果てますように。彼らの天幕に住む者がいなくなりますように。²⁶

彼らはあなたが打たれた者を迫害し、あなたが傷つけた者の痛みを語ります。²⁷

彼らの不義に不義を加え、彼らがあなたの義に入ることがありませんように。

²⁸ 彼らが命の書から抹消され、義人と共に記されることがありませんように。

²⁹ しかし私は苦しみ、痛みにあります。あなたの救いが、神よ、私を高く安全に置いてください。

³⁰ 私は歌で神の名を讃え、感謝をもって彼を高く掲げます。³¹

それは主を喜ばせるでしょう、牛よりも、角と蹄のある雄牛よりも。³²

謙遜な者たちはそれを見て喜びます。神を求める者たちよ、あなたの心を生き返らせてください。³³ 主は貧しい者を聞き、彼の囚人を軽んじません。

³⁴ 天と地が彼を讃えますように、海とその中を動くすべてのものが。³⁵

神はシオンを救い、ユダの町々を再建されます。それで彼らはそこに住み、それを所有します。³⁶ 彼のしもべたちの子孫がそれを継承し、彼の名を愛する者たちがそこに住むでしょう。

70 音楽監督のために。ダビデの詩篇。思い出させるために。

¹ 神よ、急いで私を救ってください。主よ、急いで私を助けてください！

² 私の命を求める者たちが恥をかき、辱められますように。

私の害を喜ぶ者たちが退き、辱められますように。³ 「ああ、ああ！」とあざける者たちが自分の恥のために退きますように。⁴

あなたを求める者たちがみな、あなたにあって喜び樂しみますように。

あなたの救いを愛する者たちが絶えず言いますように、「神が崇められますように！」

⁵ しかし、私は苦しんでおり、貧しいです。神よ、私に急いでください！

あなたは私の助け、私の救い主です。

主よ、遅れないでください。

71 主よ、あなたに私は避け所を求めます。私が決して恥をかくことがありませんように。²

あなたの義によって私を救い、助けてください。

私に耳を傾け、助けてください。³

私が絶えず来ることのできる住まいの岩となってください。

あなたは私を救うよう命じられました。

あなたは私の岩であり、要塞です。⁴

私の神よ、悪者の手から、不正を行う者と無慈悲な者の手から私を救い出してください。

⁵ あなたは私の希望です。主なる神よ、あなたは私の若い頃からの信頼です。⁶

私は生まれた時からあなたに依り頼んでいます。あなたは私を母の胎から取り出してくださいまし

た。私の賛美は常にあなたにあります。⁷

私は多くの人にとって驚異となりました。

あなたは私の強い避け所です。⁸

私の口はあなたの賛美で満たされ、

一日中あなたの栄光で満たされています。

⁹ 私の老年の時に私を捨てないでください。私の力が衰える時に私を見捨てないでください。

¹⁰ 私の敵は私に対して語り、私の命を求める者たちは共に陰謀を企てています。¹¹

「神は彼を見捨てた。追いかけて捕らえよ、彼を救う者はいない。」と言っています。¹²

神よ、私から遠く離れないでください。

私の神よ、急いで助けてください！¹³

私の魂の敵対者たちが恥をかき、滅ぼされますように。

私を害しようとする者たちが恥と不名誉で覆われますように。

詩篇

14 しかし私は、絶えず希望を持ち、
ますますあなたを賛美します。

15 私の口はあなたの義を語り、
一日中あなたの救いを語ります。
私は書く技術を知りません。 16

主なる神の力強い業を持って私は来ます。
あなたの義、ただあなたの義を語ります。 17
神よ、あなたは私の若い頃から私を教えてください
しました。

私は今もおあなたの驚くべき業を宣べ伝えます
。 18

私が老いて白髪になっても、神よ、私を見捨てない
てください。 この世代にあなたの力を、
来るべきすべての人々にあなたの力を宣べ伝える
まで。

19 あなたの義は天にまで及びます。
あなたは驚くべき業を成し遂げられました。

神よ、誰があなたに比べられましょうか？ 20
多くの困難と苦難を私に経験させたあなたは、
再び私を回復させ、

絶望の深みから再び私を引き上げてくださいます
。 21 あなたが私の名誉を高め、
慰めをもたらしてくださいますように。

22 私はまた、琴を持ってあなたを賛美し、
私の神よ、あなたの真実を宣べ伝えます。
イスラエルの聖なる方よ、私は堅琴であなたを賛
美します。 23

私の唇はあなたを賛美するときに喜びの声を上げ
ます。 あなたが救ってくださった私の魂も。 24
私の舌も一日中あなたの義を語ります。
私を害しようとする者たちが恥をかき、辱められ
るからです。

72

ソロモンの詩篇

1 神よ、王にあなたの裁きを与え、
王の子にあなたの義を与えてください。 2
彼があなたの民を公正に治め、
苦しむ者たちを公平に扱いますように。

3 山々が民に平和をもたらし、
丘が義によって平和をもたらしますように。 4
彼が民の中の苦しむ者を守り、
貧しい者の子供たちを救い、
圧制者を打ち負かしますように。 5
彼らが太陽の続く限りあなたを敬い、
月の続く限り、世々にわたってあなたを敬います

ように。 6
彼が刈り取られた草の上に降る雨のように、
地を潤すタ立のように降りますように。 7
彼の時代に正しい者が栄え、
月がなくなるまで平和が豊かにありますように。

8 彼が海から海まで支配し、
ユーフラテス川から地の果てまで支配しますよう
に。 9 砂漠の遊牧民が彼の前にひれ伏し、
彼の敵がちりをなめますように。 10
タルシシュと島々の王たちが贈り物を持って来ま
すように。

シェバとセバの王たちが貢ぎ物を捧げますように
。 11 すべての王が彼の前にひれ伏し、
すべての国が彼に仕えますように。

12 彼は助けを求める貧しい者を救い、
苦しむ者と助けのない者をも救います。 13
彼は貧しい者と乏しい者を憐れみ、
乏しい者の命を守ります。 14
彼は彼らの命を圧制と暴力から贖い、
彼らの血が彼の目に導ばれます。

15 彼が生き、シェバの金が彼に与えられますように
。 彼のために絶えず祈り、
一日中彼を祝福しますように。 16

地に豊かな穀物があり、山の頂上にさえも、
その実がレバノンの杉のように揺れ動きますよう
に。
都市の者たちが地の植物のように栄えますように
。 17 彼の名が永遠に続きますように。
彼の名が太陽の輝く限り続きますように。

人々が彼を通して自らを祝福し、
すべての国が彼を祝福されますように。

18 イスラエルの神、主に賛美があるように。
ただ一人で奇跡を行われる方に。 19
その栄光の名が永遠に賛美されますように。
全地がその栄光で満たされますように。
アーメン、アーメン。

20 エッサイの子ダビデの祈りはここで終わる。

73

アサフの詩篇

1 神は確かにイスラエルに、
心の清い者たちに善良である！

2 しかし、私の足はほとんどつまずき、
私の歩みはほとんど滑りそうになった。 3

詩篇

傲慢な者たちをうらやんだために、
悪者の成功を見たときに。

4 彼らは死ぬときにも苦しみがなく、
その体はよく養われている。 5
彼らは他の人々のような苦難に遭わず、
他の人類のように悩まされることもない。 6
それゆえ、傲慢は彼らを首飾りのように飾り、
暴力は彼らを衣のように包む。 7
彼らの目は豊かさで膨れ、心の想像は溢れ出る。

8 彼らはあざけり、悪意をもって話し、
高慢な意図をもって話す。 9
彼らは口を天に向け、その舌は地を歩き回る。 10
それゆえ、彼らの民は彼らに向かい、
豊かに水を飲む。 11
彼らは言う、「神がどうして知ることができるのか？
いと高き者に知識があるのか？」

12 見よ、これらは悪者たちである。
常に安らかで、富を増す。

13 確かに私は無駄に心を清く保ち、
無垢のうちに手を洗った。 14
私は一日中苦しめられ、
毎朝慄らしめられたからだ。

15 もし私がこのように話すことを決意していたなら、
見よ、私はあなたの子供たちに不誠実であつた
だろう。 16 これを理解しようとしたとき、
それは私にとって重荷であつた。 17
神の聖所に入るまでは、
そのとき彼らの最終的な運命を理解した。

18 確かにあなたは彼らを滑りやすい道に置き、
彼らを破滅に投げ込む。 19
彼らはどれほど突然に滅ぼされ、
恐怖によって完全に掃き去られることか！ 20
人が目覚めるときの夢のように、主よ、
あなたが立ち上がるとき、彼らの姿を軽蔑する。

21 私の心が痛み、私の霊が苦々しくなったとき、
22 私は無知で愚かであつた。
あなたの前で獣のようであつた。

23 それでも私は常にあなたと共におり、
あなたは私の右手を支えてくださる。 24
あなたはあなたの知恵で私を導き、
その後、私を栄誉に受け入れてくださる。 25
天にはあなた以外に誰がいるのでしょうか？
地上では、私はあなた以外に何も望みません。 26

私の肉と心は衰えるかもしれませんが、
神は私の心の力であり、永遠の分け前です。

27 確かに、あなたから遠く離れている者は滅びる。
あなたに不誠実な者をすべて滅ぼす。 28
しかし、私にとっては、神に近づくことが良い。
主なる神を私の避け所とした。
あなたのすべての業を語るために。

74

アサフのマスキール

1 神よ、なぜ永遠に私たちを拒まれたのですか。
なぜあなたの怒りがあなたの牧場の羊に対して煙
を上げるのですか。 2
あなたが昔から取得されたあなたの民を思い出
してください、
あなたがあなたの相続の部族として取り戻された
者を。
そして、あなたが住まわれたこのシオンの山を。
3 荒れ果てた廢墟に近づいてください。
敵は聖所のすべてを荒廃させました。

4 あなたの敵はあなたの会合の場所の中心で吠えて
います。
彼らは自分たちの紋章をシンボルとして立てまし
た。 5 それはまるで
森の木々に斧を持ち上げる者のようです。 6
そして今、彼らはすべての彫刻を
斧とハンマーで壊しています。 7
彼らはあなたの聖所を灰にしました。
彼らはあなたの名の住まいを汚しました。 8
彼らは心の中で言いました、「完全に彼らを征服
しよう。」
彼らは地のすべての神の会合の場所に火を放ちま
した。

9 私たちは自分たちのしるしを見ません。
もう預言者はいません、
私たちの中には期間を知る者もいません。 10
どれくらいの間、神よ、敵はあなたを嘲るでし
ょうか。
敵は永遠にあなたの名を軽んじるのでしょうか。 11

なぜあなたはあなたの手、あなたの右手を引っ込
めているのですか。
あなたの胸からそれを解放し、正義をもたらし
てください！

詩篇

12 しかし、神は昔から私の王です、
地の中で救いの業を行われる方です。

13 あなたは力で海を分けられました。
水中の海の生き物の頭を砕かれました。 14
あなたはレビヤタンの頭を砕かれました。
あなたは彼を荒野の生き物の食物として提供され
ました。 15 あなたは泉と急流を開かれました。
永遠の流れを干上がらせました。 16
あなたのものは昼、あなたのものも夜です。
あなたは光と太陽を設けられました。 17
あなたは地のすべての境界を定められました。
あなたは夏と冬を形作られました。

18
主よ、これを覚えてください、敵があなたを嘲つ
たことを、
そして愚かな民があなたの名を軽んじたことを。
19
あなたの山鳩の魂を野獣に渡さないでください。
あなたの苦しむ者の命を永遠に忘れないでくださ
い。 20 契約を考慮してください。
地の暗い場所は暴力の住処で満ちています。 21
抑圧された者が恥をかいて戻らないようにしてく
ださい。
苦しむ者と貧しい者があなたの名を賛美するよう
にしてください。 22
神よ、立ち上がり、あなた自身の理由を守ってく
ださい。
愚かな者が一日中あなたを嘲るのを思い出してく
ださい。 23
あなたの敵の声を忘れないでください、
あなたに立ち向かう者たちの騒ぎは絶えず上がつ
ています。

75 音楽監督のために。アル・タシュヘスに合
わせて。アサフの詩篇、歌。

1 神よ、私たちはあなたに感謝します、
あなたの御名は近くにあります。
人々はあなたの驚くべき御業を宣言します。
2 「私が適切な時を選ぶとき、
私が公平に裁きます。 3
地とその住むすべての者が揺れ動くとき、
私がその柱をしっかりと立てました。 4 セラ
私は高慢な者に言いました、『自慢を控えよ』、
そして悪者に、『あなたの角を上げるな； 5
あなたの角を高く上げるな、
傲慢な誇りをもって語るな。』」

6 昇進は東からでも西からでもなく、
砂漠からでもありません。 7
しかし神は裁き主です。
彼は一人を下げ、もう一人を上げます。 8
主の手には杯があり、ぶどう酒は泡立ちます。
よく混ぜられており、彼はそれを注ぎ出します。
確かに地のすべての悪者はその滓を飲み干さなけ
ればなりません。
9 それでも私は永遠にそれを宣言します。
ヤコブの神を賛美します。 10
そして彼は悪者のすべての角を切り落とし、
正しい者の角は高く上げられます。

76 音楽監督のために。弦楽器による。アサフ
の詩篇、歌。

1 神はユダで崇められ、
その名はイスラエルで大いに知られている。 2
その聖所はサレムにあり、
その住まいはシオンにある。 3
そこで彼は燃える矢を砕き、
盾、剣、戦の道具をも砕かれた。 セラ
4 あなたは輝かしく、
獲物で満ちた山々よりも威厳に満ちている。 5
勇敢な者たちは奪われ、彼らは眠りに落ちた。
戦士たちの誰もその手を使うことができなかった。
。 6 ヤコブの神よ、あなたの叱責により、
騎手も馬も深い眠りに陥った。

7
あなた、まさにあなたは崇められるべきであり、
あなたが怒れるとき、誰があなたの前に立てる
だろうか。 8 あなたは天から裁きを響かせ、
地は震え、静かになった。 9
神が裁きを行うために立ち上がり、
地のすべての謙遜な者を救うとき。 10 セラ
人間の怒りはあなたを称え、
あなたは怒りの残りを身に帯びる。

11 あなたの神、主に誓いを立て、それを果たせ。
彼に近いすべての者は、崇められるべき彼に贈り
物を捧げるべきである。 12
彼は君主たちの精神を低くされる。
地の王たちに崇められる。

77 音楽監督のために。エドトンに従って。ア
サフの詩篇。

詩篇

1 私の声は神に向かって上がり、私は大声で叫びます。
私の声は神に向かって上がり、彼は私を聞いてくださいます。 2
私の苦しみの中で、私は主を求めました。
夜には、私の手は疲れることなく伸ばされました。
私の魂は慰めを見つけませんでした。
3 神を思うと、私は不安になります。
ため息をつく、私の霊は弱ります。 セラ 4
あなたは私の目を閉じさせませんでした。
私はあまりに悩んで、話すことができません。 5
昔の日々を思い返しました。
過ぎ去った時代の年々を。 6
夜に私の歌を思い出します。 私の心で黙想し、
私の霊は反映します。
7 主は永遠に拒絶されるのでしょうか。
そして、再び恵みを示されないのでしょうか。 8
彼の恵みは永遠に絶えたのでしょうか。
彼の約束はすべての時代に終わったのでしょうか。
9 神は恵みを忘れたのでしょうか、
それとも怒りの中で彼の憐れみを抑えたのでしょうか。 セラ
10
それから私は言いました、「これが私の悲しみです、
至高者の右手が変わったこと。」 11
私は主の行いを思い出します。
確かに私はあなたの昔の驚くべき業を思い出します。
12 私はあなたのすべての業を反映し、
あなたの行いに感謝します。
13 あなたの道は、神よ、神聖です。
我々の神のように偉大な神はどこにいるでしょう
か。 14 あなたは奇跡を行う神です。
あなたは国々の間であなたの力を示されました。
15
あなたの力によって、あなたはあなたの民を贖いました。
ヤコブとヨセフの子孫を。 セラ
16 水はあなたを見ました、神よ。
水はあなたを見て苦しみました。
海の深みも震えました。 17
雲は水を注ぎ出しました。 空は鳴り響きました。
あなたの矢は行き来しました。 18
あなたの雷の音は旋風の中にありました。
稲妻が世界を照らしました。
地は震え、揺れました。 19
あなたの道は海を通り、
あなたの道は力強い水を通り、

あなたの足跡は見えませんでした。 20
あなたはモーセとアロンの手によって
あなたの民を羊の群れのように導かれました。

78

アサフのマスキール

1 わが民よ、わたしの教えを聞け。
口の言葉に耳を傾けよ。 2
わたしはたとえをもって語り、
昔のなぞを口にしよう。 3
それは、わたしたちが聞いて知ったことであり、
祖先たちがわたしたちに語り伝えたものである。
4 わたしたちはそれを彼らの子孫に隠さず、
次の世代に主の賛美と、
その力と、行われた驚くべきわざを告げ知らせる。
5 主はヤコブに証を立て、
イスラエルに律法を定め、
それをわたしたちの祖先に命じて、
彼らの子らに教えさせた。 6
それは、次の世代、まだ生まれていない子らが知り、
彼らが立ち上がって、自分の子らにそれを告げる
ためである。 7 それで彼らは神に信頼を置き、
神のわざを忘れず、その命令を守るようになる。
8 彼らの祖先のようにならないために、
頑固で反逆する世代、心を整えず、
神に忠実でなかった世代のようにならないために
9 弓を持って武装したエフライムの子らは、
戦いの日に退いた。 10 彼らは神の契約を守らず、
その律法に従うことを拒んだ。 11
彼らは神のわざを忘れ、
彼らに示された奇跡を忘れた。 12
神は彼らの祖先の前で奇跡を行われた。
エジプトの地、ツォアンの野で。
13 神は海を分けて彼らを導き、
水を壁のように立たせた。 14
昼は雲で彼らを導き、夜は火の光で導かれた。 15
神は荒野で岩を裂き、
海の深みのように豊かな水を与えられた。 16
岩から流れを出し、川のように水を流れさせた。

[詩篇78は72節まで続きますが、その長さのため、
ここで一旦止めて、次のメッセージで
を続けますか?]

詩篇

17 しかし彼らはなおも神に対して罪を犯し、
荒野でいと高き方に逆らった。 18
彼らは心の中で神を試み、
欲望を満たす食物を求めた。 19
そして神に向かって言った、
「神は荒野に食卓を設けることができるだろうか
？ 20 見よ、神は岩を打って水を流れ出させ、
川を溢れさせたが、
パンを与えることができるだろうか？
その民に肉を供給するだろうか？」

21 それゆえ、主は聞いて怒りに燃え、
ヤコブに火が燃え上がり、
イスラエルに対しても怒りが上った。 22
彼らが神を信じず、
その救いを信頼しなかったからである。 23
それにもかかわらず、神は天の上を命じ、
天の門を開かれた。 24
彼らに食べ物としてマナを降らせ、
天からの食物を与えられた。 25
人々は天使のパンを食べた。
神は彼らに豊かに食物を供給された。

26 神は天で東風を吹かせ、
その力で南風を導かれた。 27
神は彼らに肉を塵のように降らせ、
翼のある鳥を海の砂のように降らせた。 28
神はそれを彼らの陣営の中に、
彼らの住まいの周りに落とされた。 29
彼らは食べて十分に満たされ、
神は彼らの望みを満たされた。 30
しかし彼らの欲望がまだ満たされる前に、
彼らの食物がまだ口の中にある間に、 31
神の怒りが彼らに向かって上り、
彼らの力ある者たちを打ち倒し、
イスラエルの選ばれた者たちを征服された。

32 それにもかかわらず、彼らはなおも罪を犯し続け
、 神の驚くべきわざを信じなかった。 33
それで神は彼らの日々を虚しさの中で終わらせ、
彼らの年を突然の恐怖で終わらせた。 34
神が彼らを打ち倒したとき、彼らは神を求め、
帰ってきて熱心に神を探し求めた。 35
彼らは神が彼らの岩であり、
いと高き神が彼らの贖い主であることを思い出した。

36 しかし彼らは口で神を欺き、
舌で神に偽りを言った。 37
彼らの心は神に対して堅固でなく、

その契約に忠実でなかった。 38
しかし神は憐れみ深く、彼らの不義を赦し、彼ら
を滅ぼさなかった。 しばしば神は怒りを抑え、
すべての憤りを解き放たなかった。 39
神は彼らがただの肉であることを思い出された。
帰らない過ぎ去る風であることを。

40 彼らはどれほどしばしば荒野で神に逆らい、
砂漠で神を悲しませたことか！ 41
彼らは何度も神を試み、
イスラエルの聖なる方を痛めつけた。 42
彼らは神の力を思い出さなかった。
敵から彼らを贖った日を。 43
神がエジプトでそのしるしを示し、
ツォアンの野でその奇跡を行われたときに。

44 神は彼らの川を血に変え、
彼らの流れを飲めないようにされた。 45
神は彼らに群がる蠅を送り、それが彼らを食い尽
くし、 蛙が彼らを荒らした。 46
神は彼らの作物をいなごに与え、
彼らの労働の産物を蝗に与えた。 47
神は彼らのぶどうの木を雹で破壊し、
彼らのいちじく桑の木を霜で破壊した。 48
神は彼らの家畜を雹に渡し、
彼らの群れを雷に渡された。

49 神は彼らに燃える怒りを送り、
激怒と憤りと苦しみを送り、
滅ぼす天使の群れを送られた。 50
神は怒りのために道を開き、
彼らの魂を死から免れさせず、
彼らの命を疫病に渡された。 51
そしてエジプトのすべての初子を打ち、
ハムの天幕で彼らの力の初子を打たれた。

52 それでも神はご自分の民を羊のように導き出し、
荒野で群れのように導かれた。 53
神は彼らを安全に導き、彼らは恐れなかった。
しかし海は彼らの敵を覆った。 54
それで神は彼らを聖なる地に連れて行き、
ご自分の右手が得たこの丘の地に連れて行かれた。
。 55 神はまた彼らの前から国々を追い払い、
彼らに測り分けて相続地を与え、
イスラエルの部族を彼らの天幕に住まわせた。

56 それでも彼らは最も高き神を試み、逆らい、
その定めを守らなかった。 57
彼らは背を向け、祖先のように欺き、
欠けた弓のように逸れた。 58
彼らは高き所で神を怒らせ、

詩篇

59 彫像で神を嫉妬させた。
神がそれを聞かれたとき、怒りに燃え、
イスラエルを完全に拒まれた。

60 それで神はシロの住まいを捨てられた、
人々の中に設けられた幕屋を。
神はその力を捕囚に渡し、
その栄光を敵の手に渡された。
神はまたその民を剣に渡し、
その嗣業に怒りを燃やされた。
火はその若者を焼き尽くし、
その乙女たちは婚礼の歌を持たなかった。
その祭司たちは剣で倒れ、
その未亡人たちは泣くことができなかった。

65 それから主は眠りから覚めたように、
酒に酔った勇士のように目覚められた。
神はその敵を後退させ、
彼らに永遠の恥を負わせた。
神はまたヨセフの幕屋を逃げ、
エフライムの部族を選ばれなかった。
しかしユダの部族を選び、
神が愛されたシオンの山を選ばれた。

69 神はその聖所を高き所のように設け、
永遠に基を置かれた地のように設けられた。
神はまたそのしもべダビデを選び、
羊を飼っていた彼を取られた。
乳を飲ませる羊を飼う彼を連れて来て、
ヤコブの民を牧させ、
イスラエルの嗣業を牧させた。
それで彼は心の誠実をもって彼らを牧し、
巧みな手で彼らを導いた。

くのですか。
あなたの熱心さは火のように燃えるのですか。
あなたを知らない国々にあなたの怒りを注ぎ、
あなたの名を呼ばない王国に注いでください。
彼らはヤコブを食い尽くし、
彼の住まいを荒廃させました。

8 私たちの先祖の罪を私たちに負わせないでください。
あなたの憐れみが速やかに私たちに臨みますように、
に、私たちは非常に低くされましたから。
私たちの救いの神よ、あなたの名のために私たちに
を助け、
私たちに救い、私たちの罪を赦してください。あなたの名のために。
なぜ国々は「彼らの神はどこにいるのか」と言う
のでしょうか。

あなたのしもべたちの流された血の報復を
私たちの目の前で国々に知らしめてください。
四人の嘆きがあるあなたの前に届きますように。
あなたの大きな力により、死に定められた者たち
を助けてください。
私たちの隣人に七倍にして彼らの懐に返してください。
彼らがあなたを嘲ったあざけりを、主よ。

13 それで私たち、あなたの民、あなたの牧場の羊は
、永遠にあなたに感謝し、
すべての世代にわたってあなたの賛美を宣べ伝え
ます。

80

音楽監督のために。シヨシヤニム、エドゥ
トに合わせて。アサフの詩篇。

1 神よ、国々があなたの嗣業を侵略しました。
彼らはあなたの聖なる宮を汚し、
エルサレムを廃墟にしました。
2 彼らはあなたのしもべたちの死体を空の鳥の餌と
して与え、
あなたの敬虔な者たちの肉を地の獣に与えました
。
3 彼らはエルサレムの周りで水のように彼らの血を
流し、彼らを葬る者はいませんでした。
4 私たちは隣人の前で恥とされ、
周りの者たちにあざけられ、嘲られました。

5 いつまでですか、主よ。あなたの怒りは永遠に続

1 イスラエルの羊飼いや、聞いてください。
ヨセフを群れのように導く方よ、
ケルビムの上に座しておられる方よ、輝き出てく
ださい！
2 エフライム、ベニヤミン、マナセの前で
あなたの力を目覚めさせ、私たちに救いに来てく
ださい！

3 神よ、私たちを戻してください。
あなたの顔を輝かせてください、そうすれば私たち
は救われます。

4 万軍の神、主よ、
あなたの民の祈りにどれほど長く不満を持たれる
のでしょうか？

詩篇

あなたは彼らに涙のパンを与え、
豊かな涙を飲ませました。
あなたは私たちを隣人の争いの種とし、
敵は自分たちの間で笑っています。

万軍の神よ、私たちを戻してください。
あなたの顔を輝かせてください、そうすれば私たち
は救われます。

あなたはエジプトからぶどうの木を持ち出し、
国々を追ひ払い、それを植えました。
あなたはそのために地を整え、
それは深く根を張り、地を満たしました。
その影は山々を覆い、
その枝は力強い杉に達しました。
その枝は海にまで伸び、
その若枝はユーフラテス川にまで達しました。

なぜあなたはその垣を破られたのですか、
すべて通り過ぎる者がその実を摘むように？
森の猪がそれを荒らし、
野に動くものがそれを食べます。
万軍の神よ、どうか戻ってください。
天から見下ろし、このぶどうの木を顧みてくだ
さい。
あなたの右手が植えた根、
あなたのために育てた子を。

それは火で焼かれ、切り倒されました。
彼らはあなたの御顔の叱責で滅びます。
あなたの右手の人の上に、
あなたがご自身のために強くされた人の子の上に、
あなたの手を置いてください。
そうすれば私たちはあなたから離れません。
私たちを生き返らせてください、そうすれば私た
ちはあなたの名を呼びます。

万軍の神、主よ、私たちを戻してください。
あなたの顔を輝かせてください、そうすれば私た
ちは救われます。

81

音楽監督のために。ギティトに合わせて。
アサフの詩。

私たちの力である神に喜び歌え。
ヤコブの神に喜び叫べ。
歌を上げ、タンバリンを打ち鳴らせ、
甘美な音色の堅琴とともに。
新月にラッパを鳴らせ、
満月に、私たちの祝祭の日。
これはイスラエルのための定め、
ヤコブの神の命令だから。

彼がそれをヨセフのための証として立てた、
彼がエジプトの地を旅したときに。
私は知らない言葉を聞いた。

「私は彼の肩から重荷を取り去り、
彼の手をかごから解放した。
あなたは苦難の中で呼び求め、私はあなたを救っ
た。私は雷の隠れた場所からあなたに答えた。
私はメリバの水であなたを試した。セラ
聞け、私の民よ、私はあなたを警告する。
イスラエルよ、もし私の声に耳を傾けるなら！
あなたの中に異国の神があつてはならない。
あなたは異国の神にひれ伏してはならない。
私はあなたの神、主である。
あなたをエジプトの地から導き出した者である。
あなたの口を大きく開け、私はあなたを満たそう
。」

しかし、私の民は私の声に耳を傾けず、
イスラエルは私に従わなかった。
それで私は彼らを心の頑なさ任せ、
彼ら自身の計画を追わせた。

ああ、私の民が私に耳を傾け、
イスラエルが私の道を歩むならば！
私は速やかに彼らの敵を打ち負かし、
彼らの敵に対して私の手を向けるだろう。
主を軽んじる者たちは偽りの服従をし、
彼らの罰は永遠であろう。
しかし、私はあなたに最上の小麦を与え、
岩からの蜂蜜であなたを満たそう。」

82

アサフの詩。

神はご自身の会衆の中に立ち、
神々の中で裁きを行われる。

いつまで不正な裁きをし、
悪者をひいきするの。セラ
弱い者と父のない者を守り、
苦しむ者と貧しい者の権利を守れ。
弱い者と貧しい者を救い出し、
悪者の手から救い出せ。

彼らは知ることなく、理解することもない。
闇の中をさまよい、
地の基はことごとく揺らいでいる。

私は言った、「あなたがたは神であり、
すべての者は至高者の子である。」

詩篇

しかし、あなたがたは人のように死に、
他の支配者のように倒れる。」

⁸ 神よ、立ち上がり、地を裁いてください！
あなたはすべての国々を支配しておられるからで
す。

83

アサフの歌、詩篇。

¹ 神よ、黙っていないでください。
沈黙せず、神よ、静かにしていないでください。

² 見よ、あなたの敵が騒ぎ立て、
あなたに逆らう者たちが身を起こしています。³
彼らはあなたの民に対して巧妙な計略を巡らし、
あなたの愛する者たちに対して共に陰謀を企てて
います。⁴

彼らは言いました、「さあ、彼らを国として滅ぼ
し、
イスラエルの名が忘れ去られるようにしよう。」

⁵ 彼らは一つの目的で団結し、
あなたに対して同盟を結びました。⁶
エドムとイシュマエル人の陣営、
モアブとハグリ人；⁷
ゲバル、アモン、アマレクの民、
フィリスティアとツロの住民⁸
アッシリアもまた彼らと同盟を結び、
ロトの子孫に支援を与えました。 セラ

⁹ ミディアンのように彼らを扱ってください、
キシオン川でシセラとヤビンにしたように、¹⁰
彼らはエンドルで滅び、
地の肥やしとなりました。¹¹
彼らの貴族をオレブとゼエブのようにし、
彼らの指導者をゼバとザルムナのようにしてくだ
さい、¹² 彼らは言いました、「神の野を
自分たちの所有にしよう。」

¹³ 我が神よ、彼らを旋風の塵のようにし、
風に吹き飛ばされるもみ殻のようにしてください
。¹⁴ 森を焼き尽くす火のように、

山々を燃え上がらせる炎のように、¹⁵
あなたの嵐で彼らを追い、
あなたの暴風で彼らを恐れさせてください。¹⁶
彼らの顔を恥で覆い、
主よ、彼らがあなたの名を求めるようにしてくだ
さい。

¹⁷ 彼らが永遠に恥じ入り、うろたえ、
恥をかいて消え去りますように、¹⁸
彼らがあなたの名が主であることを認識し、

あなたが全地の上におられる至高者であることを
知るように。

84

音楽監督のために。ギティトに合わせて。 コラの子たちの詩篇。

¹ 万軍の主よ、
あなたの住まいはなんと美しいことでしょう。²
私の魂は主の庭を慕い、さらには憧れています。
私の心と肉は生ける神を喜びます。³
鳥もまた家を見つけ、
つばめも自分のひなを置く巣を見つけます。
万軍の主よ、 私の王、私の神よ、
あなたの祭壇のそばに。⁴
幸いなことよ、あなたの家に住む人々は、
彼らは絶えずあなたを賛美します。 セラ

⁵ 幸いなことよ、その力があなたにある人、
その心にシオンへの道がある人。⁶
彼らはバカの谷を通り過ぎるとき、そこを泉の場
所とします。
初めの雨もまたそれを祝福で覆います。⁷
彼らは力から力へと進み、
各々がシオンで神の前に現れます。

⁸ 万軍の神、主よ、私の祈りを聞いてください。
ヤコブの神よ、耳を傾けてください。 セラ⁹
我らの盾を見てください、神よ、
あなたの油注がれた者の顔を顧みてください。

¹⁰ あなたの庭での一日は他の千日に勝ります。
私は私の神の家の敷居に立つことを選びます、
邪悪の天幕に住むよりも。¹¹
主なる神は太陽であり盾です。
主は恵みと栄誉を授けます。
主は誠実に歩む者に良いものを何一つ惜しみませ
ん。

¹² 万軍の主よ、
あなたに信頼を置く人は幸いです。

85

指揮者のために。コラの子たちの詩篇。

¹ 主よ、あなたは御国に恵みを示されました。
ヤコブの繁栄を回復されました。²
あなたは御民の不義を赦し、
すべての罪を覆われました。 セラ³
あなたはすべての怒りを引き下げ、
燃える怒りを退けられました。

詩篇

4

私たちを新たにしてください、私たちの救いの神よ、
そして私たちへの憤りを終わらせてください。⁵
あなたは永遠に私たちに怒り続けるのですか。
あなたの怒りはすべての世代に及ぶのですか。⁶
私たちを再び生かしてくださらないのですか、
それであなたの民があなたに喜びを見いだすために。⁷ 主よ、あなたの慈しみを私たちに示し、
あなたの救いを与えてください。

⁸ 私は神、主が何を言われるかを聞きます。
彼はその民、その忠実な者たちに平和を語られる
でしょう。
そして彼らが愚かさに戻らないように。⁹
確かに彼の救いは彼を畏れる者に近く、
栄光が私たちの地に宿るために。

¹⁰ 慈しみと真実が共に出会い、
義と平和が互いに抱き合いました。¹¹
真実は地から芽生え、義は天から見下ろします。
¹² 確かに、主は良いものを提供し、
私たちの地はその収穫をもたらすでしょう。¹³
義は彼に先立ち、
彼の足跡のために道を備えます。

86

ダビデの祈り。

¹ 主よ、耳を傾けて、私に答えてください。
私は悩み、貧しいのです。²
私の魂を守ってください。私はあなたに捧げられて
います。
あなたは私の神です。あなたに信頼するあなたの
しもべを救ってください。³
主よ、私に憐れみをください。
私は一日中あなたを呼び求めています。⁴
あなたのしもべの魂に喜びをもたらしてください。
主よ、私はあなたに魂を上げます。

⁵ 主よ、あなたは良い方で、赦す準備ができていま
す。
あなたを呼び求めるすべての者に豊かな憐れみを
持っています。⁶
主よ、私の祈りを聞いてください。
私の願いの声に耳を傾けてください！⁷
私の苦しみの日に私はあなたを呼び求めます。
あなたは私に答えてくださるからです。

8

主よ、神々の中にあなたのような方はいません。
あなたの業のようなものはありません。⁹
あなたが造られたすべての国々は来て、主よ、あ
なたの前に礼拝し、あなたの名を尊びます。¹⁰
あなたは偉大で、驚くべき業を行われます。
あなただけが神です。

¹¹ 主よ、あなたの道を教えてください。
私はあなたの真理を歩みます。
私の心をつにして、あなたの名を畏れさせてく
ださい。¹²
主なる私の神よ、私は心を尽くしてあなたに感謝
し、永遠にあなたの名を尊びます。¹³
あなたの私に対する憐れみは大きく、
あなたは私の魂をシェオルの深みから救い出され
ました。

¹⁴ 神よ、高慢な者たちが私に逆らって立ち上がり、
暴力的な者たちの集団が私の命を求めています。
彼らはあなたを考慮していません。¹⁵
しかし、主よ、あなたは憐れみ深く、恵み深い神
です。
怒るのに遅く、憐れみと真実に富んでいます。¹⁶
私に向いて、私に憐れみをください。
あなたのしもべに力を与え、
あなたのはしための子を救ってください。¹⁷
あなたの善意のしるしを私に示してください。
私を憎む者たちがそれを見て恥じるように。
主よ、あなたが私を助け、慰めてくださったから
です。

87

コラの子たちの詩。歌。

¹ 彼の基は聖なる山々に置かれている。²
主はシオンの門を愛される。
ヤコブのすべての住まいよりも。

³ あなたについて素晴らしいことが語られる、
神の都よ。 セラ⁴
「ラハブとバビロンを、私を知る者の中に数えよ
う。 見よ、ペリシテとツロとクシュも：
『この者はそこに生まれた。』」⁵
しかしシオンについては、「この者もあの者も彼
女の中に生まれた」と宣言される。
そして、いと高き方ご自身が彼女を支えられる。
⁶ 主は民を記録されるとき、数えられる：
「この者はそこに生まれた。」 セラ⁷

詩篇

歌う者も、笛を吹く者も共に宣言する、
「私の喜びの源はすべてあなたにある。」

88

歌。コラの子たちの詩篇。音楽監督のために。
マハト・レアンノトに従って。エズ
ラ人ヘマンのマスキール。

1 主よ、私の救いの神よ、
昼も夜もあなたの前で叫びました。 2
私の祈りがあなたに届きますように。
どうか私の願いを聞いてください！

3 私の魂は悩みで満ち、
私の命はシェオルに近づいています。 4
私は穴に下る者と見なされ、
力のない人になりました。 5
死者の中に捨てられ、
墓に横たわる刺し殺された者のように、
あなたがもう覚えておられない者、
あなたの手から切り離された者です。

6 あなたは私を最も低い穴に置き、
暗い場所、深みに置かれました。 7
あなたの怒りが私の上に重くのしかかり、
あなたのすべての波で私を圧倒されました。 セラ
8 あなたは私の知人を遠ざけ、
私を彼らの忌み嫌う者とされました。 9
私は閉じ込められ、出ることができません。
私の目は苦しみのために衰えました。

主よ、私は毎日あなたを呼び求めました。
私の手をあなたに差し伸べました。 10
あなたは死者のために奇跡を行われますか？
あるいは、亡霊が立ち上がってあなたを賛美しま
すか？ セラ 11
あなたの慈しみが墓で宣べられますか、
あなたの真実がアバドンで？ 12
あなたの奇跡が暗闇で現れますか？
忘却の地であなたの義が？

13
しかし、主よ、私はあなたに助けを求めて叫びま
した。 朝には私の祈りがあなたに届きます。 14
主よ、なぜ私の魂から顔を背けられるのですか？
なぜあなたの顔を私から隠されるのですか？

15 私は若い頃から苦しみ、死に近づいています。
あなたの恐怖に耐え、疲れ果てています。 16
あなたの激しい怒りが私を襲い、
あなたの恐怖が私を滅ぼしました。 17
それらは一日中水のように私を取り囲み、

完全に私を包囲しました。 18
あなたは愛する者と友を私から遠ざけ、
私の知人は暗闇に住んでいます。

89

エズラ人エタンのマスキール

1 私は主の慈しみを永遠に歌います。
私の口であなたの真実を世々に知らせます。 2
私は言いました、「慈しみを永遠に築かれる。
天においてあなたの真実を確立される。」 3
「私は私の選ばれた者と契約を結んだ。
私のしもべダビデに誓った、 4
あなたの子孫を永遠に確立し、
あなたの王座を世々に支える。」 セラ

5 天は主の驚くべき業を祝います。
あなたの真実もまた、聖なる者たちの集会の中で
。 6 天において主に比べられる者は誰か。
力ある者の中で主のような者は誰か、 7
聖なる者たちの会議で大いに畏れられる神、
彼を囲むすべての者の上に畏れられる方。 8
万軍の主なる神よ、あなたのような方は誰か、力
ある主よ。 あなたの真実はあなたを囲んでいる。

9 あなたは海の荒れ狂う波を治め、
その波が立ち上がるとき、あなたはそれらを静め
る。 10
あなたはラハブを打ち碎き、殺された者のようにし、
あなたの力強い腕で敵を散らされた。 11
天はあなたのものであり、地もまたあなたのもの
です。
あなたは世界とそこにあるすべてを確立されま
した。 12 あなたは北と南を形作り、
タボルとヘルモンはあなたの名に喜び歌います。
13 あなたは力強い腕を持ち、
あなたの手は力強く、あなたの右手は高く上げら
れています。

14 義と正義はあなたの王座の基盤であり、
慈しみと真実はあなたの前を進みます。 15
喜びの呼び声を聞く民は幸いです。
主よ、彼らはあなたの御顔の光の中を歩みます。
16 彼らは一日中あなたの名に喜び、
あなたの義によって高められます。 17
あなたは彼らの力の輝きであり、
あなたの恵みによって私たちの角は高く上げられ
ます。 18 私たちの守護者は主であり、
私たちの王はイスラエルの聖なる方です。

詩篇

19

あなたはかつてあなたの忠実な者たちに幻の中で語り、
言われました、「私は力ある者に助けを与え、
民の中から選ばれた者を高めた。
私は私のしもべダビデを見出し、
私の聖なる油で彼に油を注いだ、
彼と共に私の手は確かであり、
私の腕もまた彼を強くする。²² 敵は彼を欺かず、
悪しき者は彼を圧迫しない。
しかし私は彼の前で彼の敵を打ち砕き、
彼を憎む者を打ち倒す。
私の真実と私の慈しみは彼と共にあり、
私の名において彼の角は高く上げられる。
私は彼の手を海の上に伸ばし、
彼の右手を川の上に伸ばす。
彼は私に呼びかける、『あなたは私の父、
私の神、私の救いの基盤です。』
私はまた彼を私の初子とし、
地の王たちの中で最も高い者とする。
私は彼に対する私の慈しみを永遠に保ち、
私の契約は彼と共に堅固である。
こうして私は彼の子孫を永遠に確立し、
彼の王座を天の日々のように永続させる。

³⁰ もし彼の子らが私の律法を捨て、
私の裁きを守らないなら、
もし彼らが私の定めを破り、
私の命令を守らないなら、
そのとき私は彼らの不正を杖で罰し、
彼らの罪を災いで罰する。
しかし私は彼から私の慈しみを取り去らず、
私の約束に不誠実であることはない。
私は私の契約を破らず、
私の唇から出たことを変えることはない。
私は一度私の聖さにかけて誓った。
私はダビデを欺かない。
彼の子孫は永遠に続き、
彼の王座は私の前で太陽のように常にある。
それは月のように永遠に確立され、
天における忠実な証人である。」 セラ

³⁸ しかしあなたは拒絶し、軽蔑されました。
あなたはあなたの油注がれた者に対して怒りに満ちています。
あなたはあなたのしもべの契約を破棄し、
彼の冠を塵に汚されました。
あなたは彼のすべての城壁を破り、
彼の要塞を廃墟にされました。
通り過ぎるすべての者が彼を略奪し、

彼は隣人たちの恥となりました。
あなたは彼の敵の右手を高め、
彼のすべての敵を喜ばせました。
あなたはまた彼の剣の刃を引き返し、
戦いで彼を支えられませんでした。
あなたは彼の輝きを終わらせ、
彼の王座を地に投げ倒されました。
あなたは彼の若さの日々を短くし、
彼を恥で包まれました。 セラ

⁴⁶ どれほど長く、主よ。あなたは永遠に隠れられるのですか。
あなたの怒りは火のように燃えますか。
私の命がどれほど儚いかを思い出してください。
あなたはすべての人の子を何のために創造されたのでしょうか。
誰が生きて死を見ないことができるでしょうか。
彼はシェオルの力から自分の魂を救うことができるでしょうか。 セラ
主よ、あなたの以前の慈しみの行いはどこにありますか。
あなたがダビデに誓われたあなたの真実の中で。

⁵⁰ 主よ、あなたのしもべに対する嘲りを思い出してください。 私が心に抱く多くの民の嘲りを。
主よ、あなたの敵が嘲り、
あなたの油注がれた者の足跡を嘲ったことを。

⁵² 主が永遠に栄光を受けられますように。
アーメン、アーメン。

90

神の人モーセの祈り

¹ 主よ、あなたは世々にわたって私たちの住まいです。
² 山々が生まれる前から、
地と世界を形作られる前から、
永遠から永遠まで、あなたは神です。

³ あなたは人を塵に帰らせ、
「人の子らよ、帰れ」と言われます。
⁴ あなたの目には千年も、
昨日が過ぎ去ったように、
夜のひとときのように見えます。
⁵ あなたは彼らを洪水のように流し去り、彼らは眠りにつきます。 朝には新たになる草のようです。
⁶ 朝には栄え、新たに成長し、
夕方にはしおれ、枯れます。

詩篇

7 私たちはあなたの怒りによって消え去り、
あなたの憤りによって恐れおののきます。 8
あなたは私たちの不義をあなたの前に置き、
私たちの隠れた罪をあなたの顔の光の中に置かれ
ました。 9
私たちのすべての日はあなたの怒りの下で過ぎ去
り、私たちの年はため息とともに終わります。 10
私たちの生涯の日数は七十年、
力があれば八十年、
しかしその誇りは労苦と悲しみだけです。
それは速やかに過ぎ去り、私たちは飛び去ります
。 11 誰があなたの怒りの力を理解し、
あなたにふさわしい畏敬の念に従ってあなたの憤
りを理解するでしょうか。 12
それゆえ、私たちの日を正しく数えることを教え
てください。
知恵の心を得ることができるように。

13 帰ってきてください、主よ。いつまでですか。
あなたのしもべたちに憐れみをお与えください。
14
朝にあなたの慈しみで私たちを満たしてください
。 15
そうすれば、私たちは喜び歌い、すべての日に喜
ぶことができます。
あなたが私たちを苦しめた日々に応じて、
私たちが経験した逆境の年に応じて、私たちを喜
ばせてください。 16
あなたの業をあなたのしもべたちに示し、
あなたの栄光を彼らの子らに示してください。

17
私たちの神、主の恵みが私たちの上にありますよ
うに。 私たちの手の働きを確立してください—
はい、私たちの手の働きを確立してください。

91 いと高き方の避け所に住む者は、 2
全能者の陰に休むであろう。
私は主について言おう、「あなたは私の避
け所、私の磐石、
私の神、私が信頼を置く方です」と。

3 彼は民を仕掛ける者の民から、
そして危険な疫病からあなたを救い出されるから
である。 4 彼はその羽であなたを覆い、
その翼の下であなたは避け所を見つけるであろう
。 彼の真実は守りの盾であり、壁である。 5
あなたは夜の恐怖を恐れることはない、
星に飛ぶ矢も恐れることはない。 6
暗闇に歩き回る疫病も、
真昼に荒廃をもたらす破壊も恐れることはない。

7 千人があなたの側に倒れ、
万人があなたの右手に倒れても、
それはあなたに近づかない。 8
あなたはただ目で見て、
悪者への報いを目撃するであろう。
9 あなたが主を避け所とし、
いと高き方を住まいとしたので、 10
どんな害もあなたを襲わず、
どんな疫病もあなたの住まいに近づかない。 11
彼はその天使たちに命じて、
あなたのすべての道を守らせるからである。 12
彼らはその手であなたを支え、
あなたの足が石にぶつからないようにするのであ
ろう。 13 あなたは獅子とコブラを踏みつけ、
激しい獅子と蛇を踏みにじるであろう。

14
「彼が私に愛を抱くゆえに、私は彼を救い出し、
私の名を知るゆえに、彼を高く置く。 15
彼が私を呼び求めると、私は彼に答え、
苦難の中で彼と共におり、
彼を救い出し、彼を尊くする。 16
私は彼を長寿で祝福し、
彼に私の救いを示すであろう。」

92

安息日のための詩篇、歌。

1 主に感謝を捧げることは良いことす
いと高き方よ、あなたの御名を賛美することは良
いことです。 2 朝にあなたの慈しみを、
夜にあなたの真実を告げることは良いことです。
3 琴と堅琴の調和のとれた音で、
リュートの美しい音楽で。

4
主よ、あなたの御業によって私を喜びで満たして
くださったので、
あなたの手の業を喜び歌います。 5
主よ、あなたの御業はなんと素晴らしいことでし
ょう！ あなたの思いは非常に深いです。 6
愚かな者は知識を欠いており、
愚鈍な者はこれを理解しません。 7
悪者が草のように生い茂り、
不正を行う者が栄えるとき、
それは彼らが永遠に滅ぼされるためだけです。

8
しかし、主よ、あなたは永遠に高くおられます。

詩篇

9 確かに、主よ、あなたの敵は、
確かに、あなたの敵は滅びます。
不正を行う者は皆散らされます。 10
しかし、あなたは私の角を野牛のように高く上げ
、新しい油で私を油注ぎしてくださいました。 11
そして私の目は敵の没落を見、
私の耳は私に立ち向かう悪者のことを聞きます。

12 正しい者はナツメヤシのように栄え、
レバノンの杉のように成長します。 13
主の家に植えられ、 私たちの神の庭で栄えます。
14 彼らは晩年にもなお実を結び、
活力に満ち、非常に青々としています。 15
主が正しいことを宣言するために、
彼は私の岩であり、彼には悪意がありません。

93 主は王であり、威厳をまとうておられる。
主は力で身を包んでおられる。

確かに、世界は堅く立てられており、動か
されることはない。 2
あなたの御座は昔から確立されており、
あなたは永遠である。

3 洪水が上がり、主よ、 洪水がその声を上げ、
洪水がその碎ける波を持ち上げる。 4
多くの水の音を超えて、 海の力強い波を超えて、
高さ所におられる主は力強い。

5 あなたの御言葉は完全に確立されている。
聖なることがあなたの家を飾っている、
主よ、永遠に。

94 主よ、正義をもたらす神よ、
正義をもたらす神よ、ご自身を現してくだ
さい！ 2

地の裁き主よ、立ち上がってください、
高慢な者に正義を施してください。 3
主よ、悪者がいつまで
悪者がいつまで勝ち誇るのでしょうか？

4 彼らは言葉を注ぎ出し、傲慢に語ります；
悪を行う者は皆、自慢します。 5
彼らはあなたの民を圧迫し、主よ、
あなたの嗣業に害を与えます。 6
彼らは未亡人と異邦人の命を奪い、
孤児を殺します。 7
彼らは言いました、「主は見えていない、
ヤコブの神は気づいていない。」

8 民の中の愚かな者たちよ、注意を払いなさい；
いつになったら理解するのですか、愚かな者たち
よ？ 9
耳を創られた方が、聞かれないでしょうか？

目を形作られた方が、見られないでしょうか？ 10
国々を教える方が、正さないでしょうか、
人類に知識を授ける方が？ 11
主は人間の思いを知っておられます、
それがただの儂い息であることを。

12 主よ、あなたが正す者は幸いです、
あなたの律法から教えられる者は、 13
あなたが彼に苦難の日々からの安らぎを与えるた
めに、 悪者のために穴が準備されるまで。 14
主はご自身の民を見捨てず、
ご自身の嗣業を放棄されません。 15
正義は再び公正となり、
心の正しい者は皆、それを追求します。

16 誰が私のために悪を行う者に立ち向かうでしょ
うか？

誰が私と共に不正を行う者に立ち向かうでしょ
うか？ 17 もし主が私の支えでなかったなら、
私の魂はすぐに沈黙の中に住んでいたでしょう。

18 もし私が「私の足が滑った」と言ったら、
主よ、あなたの慈しみが私を支えてくださいます
。 19 私の思いが増すとき、
あなたの慰めが私の魂に喜びをもたらします。

20 破壊の王座があなたと結びつくことができるでし
ょうか、 法令で悪事を企てる者が？ 21
彼らは正しい者の命に対して集まり、
無実の者を死に定めます。 22
しかし主は私の避難所であり、
私の神は私の保護の岩です。 23
彼は彼らの悪行を彼らに返し、
彼らの悪において彼らを滅ぼされます；
私たちの神、主が彼らを滅ぼされます。

95 さあ、主に向かって喜び歌おう、
私たちの救いの岩に向かって歓声を上げよ
う。 2

感謝の歌をもって御前に進み出よう、
音楽をもって喜び賛美しよう。

3 主はまことに偉大な神であり、
すべての神々にまさる力ある王であるから。 4
地の深みは御手の中にあり、
山々の頂もまた御手に属している。 5
海は主のもので、主がそれを造られた、
乾いた地もその御手が形作った。

6 さあ、ひれ伏して礼拝しよう、
私たちの造り主、主の前にひざまずこう。 7

詩篇

主は私たちの神であり、
私たちはその牧場の民、その手が養う羊である。

今日、もし御声を聞くならば、
メリバのように心をかたくなにしてはならない
、 荒野でのマサの日のように、
あなたたちの先祖が私を試みたとき、
彼らは私の業を見たのに、私を試した。
四十年の間、私はその世代に憤り、
彼らは心の中で迷う民であり、
私の道を理解しなかったと言った。
それゆえ、私は怒りをもって宣言した、
彼らは決して私の安息に入れないと。

96 主に新しい歌を歌え。 全地よ、主に歌え。
2 主に歌え、御名をほめたたえよ。
その救いの良い知らせを日々告げよ。
3 国々の間でその栄光を宣べ伝えよ、
すべての民の間でその驚くべき業を。

4 主は偉大であり、多くの賛美に値する。
すべての神々にまさって畏れられるべきである。
5 すべての民の神々は偶像にすぎないが、
主は天を造られた。

主の前には威厳と尊厳があり、
その聖所には力と美がある。

7 国々の家族よ、主に帰せよ、
主に栄光と力を帰せよ。
その御名にふさわしい栄光を主に帰せよ。
捧げ物を持ってその庭に入れ。
聖なる装いをして主を礼拝せよ。
全地よ、その前でおのけ。
10 国々の間で宣言せよ、「主が王である。
確かに、世界は堅く立ち、揺るがされない。
主は公正をもって民を裁かれる。」

11 天は喜び、地は喜べ。
海とそこに満ちているものは鳴り響け。
12 野は喜び、そこにあるすべてのものも。
森のすべての木々は喜び歌う。
13 主の前で、主が来られるから。
主は地を裁くために来られる。
主は義をもって世界を裁き、
その真実をもって民を裁かれる。

97 主が統治される、地は喜べ。
多くの島々は祝え。
雲と深い暗闇が彼を囲む。
義と正義が彼の御座の基礎を成す。
3 火が彼の前を進み、その敵を四方で焼き尽くす。
4 彼の稲妻が世界を照らし、

地はそれを見て震えた。
5 山々は主の御前で蟻のように溶けた、
全地の主の御前で。
6 天は彼の義を宣言し、
すべての民は彼の栄光を目撃した。
7 彫像を崇める者は皆恥をかけ、
偶像を誇る者たちよ。
すべての神々よ、彼にひれ伏せ。

8 シオンは聞いて喜び、ユダの娘たちは喜んだ、
主よ、あなたの裁きのゆえに。
9 あなたは全地の上におられる至高の主であり、
すべての神々の上に高く上げられた。
10 主を愛する者よ、悪を憎め。
彼はその忠実な者たちの魂を守り、
悪者の手から彼らを救い出す。
11 光は義人のために散らされ、
心の正しい者のために喜びがある。
12 主にあつて喜べ、義人たちよ、
彼の聖なる名を賛美せよ。

98

詩篇。

1 主に新しい歌を歌え、
彼は驚くべきことを行われたからだ。
彼の右手と聖なる腕が彼に勝利をもたらした。
2 主はその救いを知らせ、
その義をすべての国々に示された。
3 彼はイスラエルの家に対する慈しみと誠実を思い
出された。
地の果てまでもが我らの神の救いを見た。

4 全地よ、主に喜びの声をあげよ。
喜び歌い、賛美を捧げよ。
5 琴をもって主に賛美せよ、
6 琴と旋律の音をもって
ラッパと角笛の音をもって
王である主の前で喜べ。

7 海とそこに満ちるもの、
世界とそこに住む者たちよ、鳴り響け。
8 川は喜びの拍手をし、
山々は共に喜びの歌を歌え。
9 主の前で、彼は地を裁くために来られるからだ。
彼は義をもって世界を裁き、
公正をもって民を裁かれる。

99 主は王である、民は震えよ。
主はケルビムの上に座している、地は揺れ
動け。
2 主はシオンにおいて偉大であり、
すべての民の上に高く上げられている。
3

詩篇

彼らはあなたの偉大で畏れ多い御名を賛美せよ。
聖なる方である。

4 王の力は正義を愛する。
あなたは公正を確立し、
ヤコブの中で正義と義を行われた。 5
我らの神、主を高く上げ、その足台で礼拝せよ。
聖なる方である。

6 その祭司の中にはモーセとアロンがあり、
サムエルもその名を呼び求めた者たちの中にいた。
。 彼らは主を呼び求め、主は彼らに答えられた。

7 主は雲の柱から彼らに語られた。
彼らはその証を守り、
主が彼らに与えた掟を守った。

8 我らの神、主よ、あなたは彼らに答えられた。
あなたは彼らにとって赦しの神であり、
彼らの悪事の報いをする者であった。 9
我らの神、主を高く上げ、
その聖なる山で礼拝せよ。
我らの神、主は聖なる方である。

100

感謝の詩篇

1 全地よ、主に向かって喜びの声を上げよ。 2
喜びをもって主に仕えよ。
喜び歌いつつ御前に来たれ。
主こそ神であることを知れ。
主が私たちを造られた。私たちは主のもの、
主の民、その牧場の羊である。 4
感謝しつつその門に入り、
賛美しつつその庭に入れ。
主に感謝し、御名をほめたたえよ。 5
主は慈しみ深く、その恵みはとこしえに、
その真実は世々に至る。

101

ダビデの詩篇

1 慈しみと公正を歌います。
主よ、あなたに賛美を歌います。 2
私は誠実の道を歩むことを心がけます。
いつあなたは私を訪れてくださるのでしょうか？
私は自分の家の中を誠実な心で歩みます。 3
価値のないものを目の前に置きません。
道を外れる者の行いを憎みます。
それは私にまわりつきません。 4

曲がった心は私から離れます。
私は悪に関わりません。

5 密かに隣人を中傷する者を私は終わらせませう。
高慢な目つきと傲慢な心を持つ者を私は耐え忍び
ません。

6 私の目は地の忠実な者に向けられ、彼らが私と共に
に住むことができるようにします。
非の打ち所のない道を歩む者が私に仕える者です
。

7 欺く者は私の家に留まることはできません。
偽りを語る者は私の前に立つことはできません。

8 毎朝、私は地の悪者を取り除きます。
主の都から不正を行う者をすべて取り除くため
です。

102

弱っている者が主の前に自分の訴えを
注ぎ出すときの祈り。

1 主よ、私の祈りを聞いてください。
私の助けを求める叫びをあなたに届けてください 2
。
私の苦しみの日にあなたの顔を隠さないでくださ
い。 私に耳を傾けてください。
私が呼ぶ日に、速やかに答えてください。
3 私の日々は煙のように消え、
私の骨は炉のように焼け焦げています。 4
私の心は打ちひしがれ、草のようにしおれていま
す。
確かに、私はパンを食べるのを忘れていました。 5
私の激しいうめきのために、
私の骨は私の肉にくっついていました。 6
私は荒野のペリカンのようにです。
廃墟の中のフクロウのようになっています。 7
私は目を覚ましています。
屋根の上の孤独な鳥のようです。 8
私の敵は一日中私を嘲笑し、
私を嘲る者は私の名を呪いとして使います。 9
私は灰をパンのように食べ、
私の飲み物に涙を混ぜました。 10
あなたの憤りと怒りのために、
あなたは私を持ち上げて投げ捨てられました。 11
私の日々は長い影のようで、
私は草のようにしおれています。

詩篇

12 しかし、主よ、あなたは永遠に続き、
あなたの名はすべての世にわたって記憶されています。 13

あなたは立ち上がり、シオンに憐れみを示されます。
その時が来たからです。 14
定められた時が来たからです。

確かに、あなたのしもべたちはその石を大切にし、
その塵に憐れみを持っています。 15

それで、国々は主の名を敬い、
地のすべての王たちはあなたの栄光を見るでしょう。 16
主はシオンを再建されました。
彼はその栄光を現されました。 17

彼は貧しい者の祈りに耳を傾け、
彼らの訴えを無視されませんでした。

18
これは未来の世代のために記録されるでしょう。
まだ創造されていない人々が主を賛美するために。
19 彼はその聖なる高みから見下ろされました。
天から主は地を観察されました。 20

四人たちのうめきを聞くために、
死に定められた者たちを解放するために。 21

人々がシオンで主の名を宣べ伝え、
エルサレムでその賛美を宣べ伝えるために。 22
人々が集まり、王国が主を礼拝するために。

23 彼は道中で私の力を弱め、
私の日々を短くされました。 24

私は言います、「私の神よ、私の日々の中で私
を取り去らないでください。
あなたの年はすべての世にわたって続きます。

25 昔、あなたは地の基を据えられました。
天はあなたの手によって作られました。 26

それらは滅びますが、あなたは残ります。
それらはすべて衣服のように古びます。

破れた布のようにあなたはそれらを変え、それら
は消え去ります。 27 しかし、あなたは変わらず、
あなたの年は終わることがありません。 28

あなたのしもべたちの子供たちは安全に住み、
彼らの子孫はあなたの前に確立されます。」

あなたの命を穴から贖い出し、
恵みとあわれみをもってあなたに冠を授ける。 5
あなたの一生を良いもので満たし、
あなたの若さを鷺のように新たにされる。

6 主は正義の行いをし、
すべて虐げられている者のために裁きを行われる

7 主はその道をモーセに示し、
そのわざをイスラエルの子らに示された。 8

主はあわれみ深く、恵みに満ち、
怒ることに遅く、慈しみに富んでおられる。 9
主はいつまでも争わず、
いつまでも怒りを抱かれない。 10

主は私たちの罪に従って私たちを扱わず、
私たちの咎に従って報いられない。 11

天が地上に高くあるように、
主を恐れる者に対する主の慈しみは大きい。 12
東が西から遠く離れているように、
主は私たちの背きの罪を私たちから遠く離された

13 父がその子をあわれむように、
主は主を恐れる者をあわれまれる。 14
主は私たちの成り立ちを知り、
私たちがただのちりであることを覚えておられる

15 人の日は草のように、
野の花のように咲く。
風がそれを過ぎると、もはやそれはなく、
その場所もそれを知らない。 16

しかし、主の慈しみは永遠から永遠まで、
主を恐れる者の上にあり、主の義は子孫に及ぶ。 17

18 主の契約を守り、
その戒めを心に留めて行う者に及ぶ。

19 主はその王座を天に設け、
その王国はすべてを治める。

20 主をほめたたえよ、主の御使いたちよ、
力ある勇士たちよ、主の言葉を行い、
その言葉の声に従う者たちよ。 21

主をほめたたえよ、主の万軍よ、
主に仕え、その御旨を行う者たちよ。 22

主をほめたたえよ、主のすべてのわざよ、
主の支配するすべての場所で。
わがたましいよ、主をほめたたえよ！

103

ダビデの詩。

1 わがたましいよ、主をほめたたえよ、
わたしの内にあるすべてのものよ、聖なる御名を
ほめたたえよ。 2

わがたましいよ、主をほめたたえよ、
主のすべての恵みを忘れるな。 3

主はあなたのすべての咎を赦し、
あなたのすべての病を癒し、 4

104

わが魂よ、主をほめたたえよ。
主なるわが神よ、あなたは非常に偉大
です。

あなたは栄光と威厳をまとおられます。

詩篇

2 光を衣のようにまとい、
天を幕のように広げておられます。 3
彼はその高殿の梁を水の上に置き、
雲を御車とし、 風の翼に乗って進まれます。 4
彼は風を使者とし、 炎の火を僕とされます。

5 彼は地をその基に据え、
それが永遠に揺るがないようにされました。 6
あなたはそれを覆いである深淵で覆い、
水は山々の上に立ちました。 7
あなたの叱責によって彼らは退き、
あなたの雷の声によって彼らは逃げ去りました。 8
山々は上り、谷は下り、
あなたが彼らのために定めた場所へと行きました。
9 あなたは彼らが越えないように境を設け、
再び地を覆うことがないようにされました。

10 彼は谷に泉を放ち、
それらは山々の間を流れます。 11
それらは野のすべての獣に飲み物を与え、
野生のロバはその渴きを癒します。 12
そのそばには空の鳥が住み、 枝の間で歌います。
13 彼はその高殿から山々に水を注ぎ、
地は彼の働きの実りで満たされています。 14
彼は家畜のために草を生えさせ、
人間の労働のために植物を生えさせ、
地から食物をもたらします。 15
人の心を喜ばせるぶどう酒、 顔を輝かせる油、
人の心を強める食物をもたらします。 16
主の木々はよく潤され、
彼が植えられたレバノンの杉もそうです。 17
そこには鳥が巣を作り、
コウノトリはモミの木を住処とします。 18
高い山は野生のヤギのため、
崖は岩ダヌキの避難所となります。

19 彼は月を作って季節を示し、
太陽はその沈む場所を知っています。 20
あなたが暗闇をもたらすと夜になり、
森のすべての獣が動き回ります。 21
若いライオンは獲物を求めて吠え、
神からその食物を求めます。 22
太陽が昇ると彼らは退き、
その巣に横たわります。 23
人はその仕事に出て行き、
夕方までその労働をします。

24 主よ、あなたの御業はなんと多いことでしょう。
あなたはそれらを知恵をもってすべて作られました。
25 地はあなたの創造物で満ちています。

ここに広大で広がる海があります。
その中には無数の生き物がいます。
小さなものも大きなものもいます。 26
船はそこを航行し、
あなたがそれで遊ぶために作られたレビヤタンも
います。

27 彼らは皆あなたに依存しています。
彼らはその時に食物を与えられるのを待っています。 28
あなたが与えると、彼らはそれを集めます。
あなたが手を開くと、彼らは良いもので満たされ
ます。 29 あなたが顔を隠すと、彼らは動揺し、
あなたが彼らの息を取り去ると、彼らは死に、
その塵に帰ります。 30
あなたが御霊を送ると、彼らは創造され、
あなたは地の表面を新たにされます。

31 主の栄光が永遠に続きますように。
主がその創造物を喜ばれますように。 32
彼が地を見れば、それは震え、
彼が山に触れば、それは煙を出します。

33 私は生きている限り主に歌います。
私が存在する限り私の神を賛美します。 34
私の願想が彼に喜ばれますように。
私は主に喜びを見出します。 35
罪人が地から消え去りますように。
悪者がもはやいませんように。
わが魂よ、主をほめたたえよ。 主を賛美せよ。

105

主に感謝を捧げ、その御名を呼び求めよ。

その御業を諸国の民の間で宣傳伝えよ。
2 主に歌い、賛美を捧げよ。
3 そのすべての奇跡を語り伝えよ。
その聖なる御名を誇れ。
4 主を求める者の心が喜びに満ちるように。
主とその力を求めよ。
その御顔を常に追い求めよ。

5 主が行われた奇跡を思い起こせ。
その驚くべき御業と、御口から出た裁きを。 6
そのしもべアブラハムの子孫よ、
ヤコブの子ら、選ばれた者たちよ。 7
彼は私たちの神、主である。
その裁きは全地に及ぶ。

8 彼はその契約を永遠に覚えておられる。
千代にわたる命令の言葉を。 9
アブラハムと結んだ契約、 イサクへの約束を。 10
それをヤコブに定めとして確認し、

詩篇

イスラエルに永遠の契約として。
「カナンの地をあなたに与える、
あなたの受け継ぐ割り当てとして」と宣言された。
。

彼らが数少なく、
ごくわずかで、その地の異邦人であったとき、
彼らは国から国へ、
一つの王国から他の民へと移動した。
主は誰にも彼らを虐げることを許さず、
彼らのために王たちを叱責し、こう宣言した。
「私の油注がれた者たちに触れるな。
私の預言者たちに害を加えるな。」

主はその地に飢饉を呼び、
すべてのパンの供給を断たれた。
彼は彼らの前に人を送り、
奴隷として売られたヨセフを。
彼の足は足かせで苦しめられ、
彼自身は鉄に繋がれた。
彼の言葉が成就する時まで、
主の言葉が彼を試した。
王は彼を呼び出して解放し、
民の支配者は彼を解き放った。
彼を家の主とし、
すべての所有物の支配者とした。
彼の役人たちを意のままに縛り、
長老たちに知恵を教えるために。

イスラエルもエジプトに来た。
ヤコブはハムの地に住んだ。
主はその民を非常に実らせ、
敵よりも強くされた。
主は彼らの心を変えてその民を憎ませ、
そのしもべたちに巧妙に扱わせた。
主はその選ばれたしもべモーセを送り、
アロンを選ばれた。
彼らはその中で主の奇跡を示し、
ハムの地で驚異を行った。
主は闇を送り、それを暗くされた。
彼らは主の命令に逆らわなかった。
主は彼らの水を血に変え、彼らの魚を死なせた。
彼らの地はカエルで満ち、
その王たちの部屋にも及んだ。
主が語ると、蠅の群れが来、
彼らの領土に蚊が満ちた。
主は雨の代わりに雹を与え、
その地に燃える火を降らせた。
主はまた彼らのぶどうの木といちじくの木を打ち、
彼らの領土の木々を打ち砕いた。
主が語ると、いなごが来、

数え切れないほどのバッタが来た。
彼らはその地のすべての草を食い尽くし、
その地の実を食い尽くした。
主はまた彼らの地のすべての初子を打ち、
彼らの力の初穂を打ち倒した。
そして主はイスラエルの民を銀と金と共に導き出し、
その部族の中には倒れる者が一人もいなかった。
エジプトは彼らが去るときに喜んだ、
彼らへの恐れがエジプト人に降りかかっていたからである。

主は雲を広げて覆いとし、
夜を照らす火を置かれた。
彼らが求めると、主はうずらを送り、
天のパンを与えられた。
主は岩を開き、水が流れ出た。
それは荒野を川のように流れた。
主はその聖なる誓いを覚えておられた。
そのしもべアブラハムへの誓いを。
そして主はその民を喜びと共に導き出し、
選ばれた者たちを歓声と共に導き出された。
そして主は彼らに国々の地を与え、
彼らは民の労苦を受け継いだ。
それは彼らが主の掟を守り、
主の律法を守るためである。主を賛美せよ！

106

主を賛美せよ！

主に感謝せよ、主は良いお方であるから。その恵みはとこしえまで。

主の大いなる御業を語ることができる者は誰か。
そのすべての賛美を告げることができる者は誰か。
幸いなのは、公正を守る人々、
常に義を行う人々である。

主よ、あなたの民への恵みの中で私を覚えてください。
あなたの救いをもって私を訪れてください。
あなたの選ばれた者たちの繁栄を見、
あなたの国民の喜びを分かち合い、
あなたの嗣業を誇りとするために。

私たちは先祖と同じように罪を犯しました。
私たちは迷い、悪を行いました。
私たちの先祖はエジプトであなたの驚くべき御業を理解せず、あなたの豊かな恵みを思い出さず、
海で、紅海で反逆しました。
それでも主はご自分の名のために彼らを救い、

詩篇

その力を知らしめました。⁹
主は紅海を叱責してそれを乾かし、
荒野を通して彼らを大水の中を導きました。
¹⁰ こうして主は彼らを憎む者の手から救い、
敵の手から贖いました。¹¹ 水は彼らの敵を覆い、
一人も残りませんでした。¹²
そのとき彼らは主の言葉を信じ、
主の賛美を歌いました。

¹³ 彼らはすぐに主の御業を忘れ、
主の導きを待ちませんでした。¹⁴
しかし荒野で食欲になり、
砂漠で神を試みました。¹⁵
それで主は彼らの願いをかなえ、
消耗する病を彼らに送りました。

¹⁶ 彼らが宿営でモーセを嫉妬し、
主の聖なる者アロンを嫉妬したとき、
地は開いてダタンを飲み込み、
アビラムの集会を包み込みました。¹⁸
火が彼らの仲間の中で燃え上がり、
炎が悪を行う者を焼き尽くしました。¹⁹
彼らはホレブで子牛を作り、
鋳物の像を拝みました。²⁰
こうして彼らは自分たちの栄光を
草を食べる雄牛の像に変えました。²¹
彼らは自分たちの救い主である神を忘れました。
神はエジプトで大いなることを行われたのに。²²
ハムの地での奇跡、紅海での恐るべき御業を。²³
それゆえ、主は彼らを滅ぼすと宣言されましたが、
主の選ばれた者モーセがその前に立って、
彼らを滅ぼす怒りをそらさなかったならば。

²⁴ それから彼らは麗しい地を拒み、
主の約束を信じませんでした。²⁵
しかし彼らは自分たちの天幕でつぶやき、
主の声に耳を傾けませんでした。²⁶
それゆえ、主は彼らに誓われました。
荒野で彼らを倒すと。²⁷
そして彼らの子孫を国々の中に散らし、
諸国の地に彼らを散らすと。

²⁸ 彼らはまたベオルのバアルに従い、
死者にささげられた犠牲を食べました。²⁹
こうして彼らはその行いで主を怒らせ、
疫病が彼らの間に広がりました。³⁰
そのときピネハスが立ち上がって介入し、
疫病は止まりました。³¹
それは彼に義とみなされ、
すべての世代にわたって。³²
彼らはまたメリバの水で主を怒らせ、

それがモーセにとって悪い結果をもたらしました。
。 ³³ 彼らが主の霊を侮ったため、
モーセは軽率に口を開きました。

³⁴ 彼らは諸国の民を滅ぼしませんでした。
主が命じられたように。³⁵
しかし彼らは諸国の民と混じり合い、
その習慣を学びました。³⁶
そして彼らの偶像を拝み、
それが彼らの毘となりました。³⁷
彼らは自分たちの息子や娘を悪霊にさえ捧げまし
た。³⁸ そして無実の血を流し、
自分たちの息子や娘の血を、
カナンの偶像に捧げ、
地はその血で汚されました。³⁹
こうして彼らはその行いで汚れ、
その行動で不忠実になりました。

⁴⁰ それゆえ、主の怒りはその民に対して燃え上がり
、主はその嗣業を忌み嫌われました。⁴¹
それで主は彼らを諸国の手に渡し、
彼らを憎む者が彼らを支配しました。⁴²
彼らの敵も彼らを圧迫し、
彼らはその力の下に屈服しました。⁴³
主は何度も彼らを救い出しましたが、
彼らは意図的に反抗し、
その罪に沈み込みました。⁴⁴
それでも主は彼らの苦しみを見て、
彼らの叫びを聞かれました。⁴⁵
そして主は彼らのために契約を思い出し、
その大いなる恵みによって心を和らげました。⁴⁶
主はまた彼らを捕らえた者たちの前で
哀れみの対象とされました。

⁴⁷ 私たちを救い出してください、私たちの神、主よ
。諸国の中から私たちを集めてください。
あなたの聖なる名に感謝し、
あなたの賛美に栄光を帰すために。

⁴⁸ イスラエルの神、主をほめたたえよ。
とこしえからとこしえまで。
すべての民は「アーメン」と言うであろう。
主を賛美せよ！

¹⁰⁷ 主に感謝せよ、主は慈しみ深い、
その恵みはとこしえまで。

² 主に贖われた者はそう言え、

詩篇

敵の手から救い出された者たち。
遠くの地から集められた者たち、
東から、西から、北から、南から。

彼らは荒野をさまよい、砂漠の地をさまよった。
住むべき町への道を見つけられなかった。
彼らは飢え、渇き、
その魂は彼らの中で弱り果てた。
その時、彼らは苦しみの中で主に叫び、
主は彼らをその悩みから救い出された。
主はまた彼らをまっすぐな道に導き、
住むべき町に行かせた。
主の恵みのために感謝せよ、
人の子らに対するその驚くべき業のために。
主は渴いた魂を満たし、
飢えた魂を良いもので満たされたからだ。

暗闇と死の影に住む者たちがいた、
苦しみと鎖の中の囚人たち。
彼らは神の言葉に逆らい、
いと高き方の助言を拒んだからである。
それゆえ、主は彼らの心を労苦で低くされた。
彼らはつまずき、助ける者もいなかった。
その時、彼らは苦しみの中で主に叫び、
主は彼らをその悩みから救い出された。
主は彼らを暗闇と死の影から連れ出し、
その鎖を断ち切った。
主の恵みのために感謝せよ、
人の子らに対するその驚くべき業のために。
主は青銅の門を打ち砕き、
鉄のかんぬきを切り裂いたからだ。

愚かな者たちは、その反逆の道のために、
その不義のために苦しんだ。
彼らの魂はあらゆる食物を嫌い、
死の門に近づいた。
その時、彼らは苦しみの中で主に叫び、
主は彼らをその悩みから救い出された。
主はその言葉を送り、彼らを癒し、
その破滅から救われた。
主の恵みのために感謝せよ、
人の子らに対するその驚くべき業のために。
感謝の捧げ物をもらし、
喜びの歌でその業を告げ知らせよ。

船で海に下り、大水で商いをする者たち。
彼らは主の業を見、
深いところでその驚くべき業を見た。
主が語り、嵐の風を起し、
海の波を高くしたからだ。

彼らは天に上り、深みに下り、
その勇気は苦しみの中で溶け去った。
彼らは酔った者のようによろめき、
その知恵は尽き果てた。
その時、彼らは苦しみの中で主に叫び、
主は彼らをその悩みから救い出された。
主は嵐を静め、海の波を鎮められた。
彼らは静かになったので喜び、
主は彼らを望む港に導かれた。
主の恵みのために感謝せよ、
人の子らに対するその驚くべき業のために。
民の集会で主を高く上げ、
長老の会で主を賛美せよ。

主は川を荒野に変え、
水の泉を乾いた地に変えられる。
寒り豊かな地を不毛の荒地に変えられる、
そこに住む者たちの悪のゆえに。
主は荒野を水の池に変え、
乾いた地を水の泉に変えられる。
そして、主は飢えた者たちをそこに住まわせ、
彼らが住むべき町を築くために。
彼らは畑を耕し、ぶどう畑を植え、
豊かな収穫を集める。
主は彼らを祝福し、彼らは大いに増え、
その家畜を減らすことはない。

彼らが減らされ、低くされるとき、
圧迫、苦しみ、悲しみのゆえに、
主は貴族たちに侮辱を注ぎ、
彼らを道のない荒野にさまよわせる。
しかし、主は貧しい者を高く安全に置き、苦しみ
から遠ざけ、
その家族を羊の群れのようにされる。
正しい者はそれを見て喜び、
すべての不正は口をつぐむ。

賢い者は誰か。これらのことに注意を払い、
主の恵みを考えよ。

108

歌。ダビデの詩篇。

神よ、私の心は揺るぎません。
私は歌います、私の魂と共に賛美します。
目覚めよ、ハープとライアーよ。
私は夜明けを告げ知らせます！
主よ、私は民の中であなたに感謝を捧げ、
諸国の中であなたを賛美します。
あなたの慈しみは天の上に広がり、
あなたの真実は空にまで及びます。

神よ、天の上に高くあがられ、
あなたの栄光が全地に及びますように。

6 あなたの愛する者が救われるために、
あなたの右の手で救い、私に答えてください！ 7
神はその聖なる所で語られました。「私は勝利を
得る、
シェケムを分け、スコテの谷を測り分ける。 8
ギルアデは私のもの、マナセも私のもの。
エフライムも私の頭の兜、 ユダは私の杖。 9
モアブは私の洗面器、
エドムに私のサンダルを投げつける。
私はペリシテに勝利を宣言する。」

10 誰が私を要塞の町に導くのか？
誰が私をエドムに導くのか？ 11
あなたご自身が私たちを拒まれたのではないです
か、神よ？
あなたは私たちの軍と共に出て行かないのですか
？ 12 敵に対して私たちに助けを与えてください、
人による救いは無駄です。 13
神によって私たちは偉大な業を成し遂げるでし
ょう、
そして彼こそが私たちの敵を征服するのです。

109

指揮者のために。ダビデの詩篇。

1 私の賛美の神よ、沈黙しないでください！ 2
彼らは悪意と欺瞞をもって私に対して語り、
偽りの言葉を使って私に対して語りました。 3
彼らは憎しみの言葉で私を囲み、
理由もなく私と戦いました。 4
私の愛に対して彼らは私を非難しますが、
私は祈り続けます。 5
彼らはこのようにして私に善に対して悪を返し、
私の愛に対して敵意を返しました。

6 不正な者を彼の上に任命し、
挑戦者が彼の右手に立つようにしてください。 7
彼が裁かれるとき、彼が有罪とされ、
彼の祈りが罪とみなされますように。
彼の日々が少なくなりますように；
別の者が彼の地位を引き継ぎますように。
彼の子供たちが父を失い、
彼の妻が夫を失いますように。
彼の子供たちがさまよい、助けを求め、
荒廃した家から遠くで糧を探しますように。 11
債権者が彼の持ち物をすべて奪い、
見知らぬ者が彼の労働の実を取りますように。 12
彼に親切を示す者がいませんように、

また彼の孤児の子供たちに好意を示す者がいませ
んように。 13 彼の子孫が断たれ、
次の世代に彼らの名が消されますように。 14
彼の先祖の不正が主の前に覚えられ、
彼の母の罪が消されませんように。 15
彼らが常に主の前にありますように、
それで主が彼らの記憶を地から消し去ることがで
きますように；

16 彼は憐れみを示さず、
苦しむ者と貧しい者を追い求め、
落胆した者を滅ぼそうとしました。 17
彼は呪いを愛したので、それが彼に降りかかり、
祝福を喜ばなかったのも、それが彼から遠ざかり
しました。 18 彼は呪いを衣のように身にまとい、
それが水のように彼の体に入り、
油のように彼の骨に入りました。 19
それが彼にとって彼が身にまとう衣のようであり
、 常に締める帯のようでありますように。 20
これが私の告発者たちへの主からの報いであり、
私の魂に害を語る者たちへの報いでありますよう
に。

21 しかしあなた、神、主よ、あなたの名のために私
に親切に行動してください；
あなたの慈悲が良いので、私を救ってください；
22 私は苦しんでおり、必要に迫られ、
私の心は深く傷ついています。 23
私は長くなる影のように消え去り、
バツタのように投げ捨てられます。 24
私の膝は断食で弱くなり、
私の体は栄養がなくてやせ細っています。 25
私は彼らにとっても非難的的となり、
彼らが私を見ると、彼らは頭を振ります。

26 主、私の神よ、私を助けてください；
あなたの慈悲に従って私を救ってください。 27
そして彼らがこれがあなたの行いであることを認
識しますように；
あなた、主がそれを成し遂げました。 28
彼らは呪いますが、あなたは祝福します；
彼らが立ち上がるとき、彼らは恥をかきますが、
あなたのしもべは喜びます。 29
私の告発者たちが恥で覆われ、
彼ら自身の恥で衣のように身を覆いますように。

30 私の口で私は主に豊かに感謝し、
多くの中で彼を賛美します。 31
彼は必要に迫られた者の側にいて、
彼の魂を裁く者たちから彼を救うためです。

110

ダビデの詩。

¹ 主は私の主に言われた。「私の右の座に着け。
私があなたの敵をあなたの足台とするまで。」

² 主はシオンからあなたの強い杖を伸ばし、言われ
る。「あなたの敵の中で治めよ。」³
あなたの民はあなたの力の日に自ら進んで捧げる
。 聖なる輝きの中で、夜明けの胎から、
あなたの若者は露のようにあなたに属する。

⁴ 主は変わらぬ誓いを立てられた。
「あなたは永遠に祭司である。
メルキゼデクのように。」

⁵ 主はあなたの右に立ち、
その怒りの日に王たちを打ち砕かれる。⁶
彼は国々の間で裁きを行い、
倒れた者でそれらを満たし、
広大な地の指導者たちを打ち砕かれる。⁷
彼は道のそばの小川から自らを潤し、
それゆえに彼は頭を高く上げる。

111

主をたたえよ！

私は心を尽くして主に感謝を表します
、正しい者たちの中で、集会の中で。

² 主の御業は壮大です；
それらを喜ぶ者たちによって探求されます。³
栄光と威厳は彼の業であり、
彼の義は永遠に続きます。⁴
彼はその驚異を覚えさせました；
主は恵み深く、憐れみ深いです。⁵
彼は彼を畏れる者たちに食物を与えます；
彼はその契約を永遠に覚えます。

⁶ 彼はその民にその御業の力を示しました、
国々の遺産を彼らに与えることによって。⁷
彼の手の業は真実と公正です；
彼のすべての戒めは信頼できます。⁸
それらは永遠に堅固です；
真実と誠実をもって行われます。⁹
彼はその民に贖いをもたらしました；
彼はその契約を永遠に確立しました；
聖なる者、畏るべき者は彼の名です。

¹⁰ 主を畏れることは知恵の始まりです；
彼の戒めを守る者は皆、良い理解を持っています
；彼の賛美は永遠に続きます。

112

主を賛美せよ！

主を畏れる者は幸いである、
その戒めを大いに喜ぶ者は。

² その子孫は地上で影響力を持つであろう；
正しい者の系譜は恵まれる。³
富と財産はその家にあり、その義は永遠に続く。
⁴ 光は正しい者のために暗闇に輝く；
彼は恵み深く、情け深く、公正である。⁵
寛大で貸す人には良いことがある；
彼は裁きにおいてその理由を守るであろう。

⁶ 彼は動揺せずに残るであろう；
正しい者は永遠に記憶される。⁷
彼は悪い知らせを恐れない；
その心は堅固であり、主に信頼する。⁸
その心は確固としており、恐れない、
しかし敵を見て決意を持つ。⁹
彼は貧しい者に自由に与えた、
その義は永遠に続く；
その角は栄誉において高められる。

¹⁰ 悪者はそれを見て悩む、
彼は歯ざりして消え去る；
悪者の願望は無に帰する。

113

主を賛美せよ！

主のしもべたちよ、賛美せよ、
主の御名を賛美せよ。²

主の御名がたたえられますように、
今よりとこしえに。³ 日の出から日の入りまで、
主の御名は賛美に値する。

⁴ 主はすべての国々の上に高くおられ、
その栄光は天の上にある。⁵
誰が、財たちの神、主に比べられようか、
高く座しておられる方に。⁶
天と地の事を見られるために
身を低くされる方に。

⁷ 貧しい者をちりから引き上げ、
乏しい者を灰の中から高く上げられる。⁸
彼らを君主たちと共に、
その民の指導者たちと共に座らせるために。⁹
子を持たない女に家を与え、
子供たちの喜ぶ母とされる。 主を賛美せよ！

114

イスラエルがエジプトを出たとき、
ヤコブの家が外国語を話す民の中から
出たとき、²

ユダは神の聖なる場所となり、
イスラエルは神の領域となった。

詩篇

³ 海はそれを見て退き、ヨルダンは逆流した。⁴
山々は雄羊のように跳ね回り、
丘は若い羊のように跳ねた。

⁵ 海よ、なぜ退くのか？
ヨルダンよ、なぜ逆流するのか？⁶
山々よ、なぜ雄羊のように跳ねるのか？
丘よ、なぜ若い羊のように跳ねるのか？

⁷ 主の前で、ヤコブの神の前で、地よ、震えよ、⁸
岩を水の池に変え、
火打ち石を流れる泉に変えた方の前で。

115 主よ、私たちにではなく、
あなたの御名に栄光を帰してください。
。あなたの慈しみと真実のゆえに。

² なぜ国々は言うのか、
「彼らの神は今どこにいるのか」と。³
しかし私たちの神は天におられ、
望むことをすべて行われる。⁴
彼らの偶像は銀と金でできており、
人の手で作られたものだ。⁵
口があるが、話さない。目があるが、見ない。⁶
耳があるが、聞かない。鼻があるが、嗅がない。
⁷ 手があるが、触れない。
⁸ 足があるが、歩かない。喉で音を立てない。
それを作る者は皆それに似るようになり、
それに信頼する者も皆そうなる。

⁹ イスラエルよ、主に信頼せよ。
主はあなたの助け、あなたの盾。¹⁰
アロンの家よ、主に信頼せよ。
主はあなたの助け、あなたの盾。¹¹
主を畏れる者たちよ、主に信頼せよ。
主はあなたの助け、あなたの盾。

¹² 主は私たちを心に留め、祝福を与えてくださる。
イスラエルの家を祝福し、
アロンの家を祝福してください。¹³
主を畏れる者たちを祝福してください、
小さな者も大きな者も。

¹⁴ 主があなたを繁栄させてくださるように、
あなたとあなたの子孫を。¹⁵
天と地を創造された主に恵まれますように。

¹⁶ 天は主のもの、しかし地は人間に委ねられた。
¹⁷ 死者は主を賛美しない、
沈黙に下る者もそうである。¹⁸
しかし私たちは主を祝福する、
今から永遠に至るまで。ハレルヤ！

116 私は主を愛します、主は私の声と私の
願いを聞いてくださるからです。²
主が耳を傾けてくださったので、
私は生涯にわたって主を呼び求めます。

³ 死の罟が私を取り囲み、
墓の恐怖が私を襲いました。
私は苦しみと悲しみに出会いました。⁴
その時、私は主の名を呼びました：
「どうか、主よ、私の命を守ってください！」

⁵ 主は恵み深く正しい方です。
確かに、私たちの神は憐れみに満ちています。⁶
主は心の単純な者を守ってくださいます。
私は低くされましたが、主は私を救い出してくださいました。

⁷ 私の魂よ、あなたの平安に戻りなさい、
主はあなたに寛大であったからです。⁸
あなたは私の魂を死から救い出し、
私の目を涙から、
私の足をつまずきから救ってくださいました。⁹
私は生ける者の地で主の前を歩みます。

¹⁰ 私は言ったときも信頼しました、
「私は非常に苦しんでいます。」¹¹
私は驚きの中で宣言しました、
「すべての人は偽りです。」

¹² 主にどのようにして
すべての恵みに報いることができるでしょうか？

¹³ 私は救いの杯を上げ、主の名を呼び求めます。
¹⁴ 私は主への約束を守ります、主の民の集会で。

¹⁵ 主の目には貴いものです、
その忠実な者の死は。¹⁶
主よ、私は本当にあなたのしもべです。
私はあなたのしもべ、あなたのはしめの子です、
あなたは私を束縛から解放してくださいました。

¹⁷ あなたに感謝のいけにえを捧げ、
主の名を呼び求めます。¹⁸
私は主への約束を守ります、主の民の集会で。¹⁹
主の家の庭で、あなたの中で、エルサレム。
主を賛美せよ！

117 主をたたえよ、すべての国々よ。
すべての民よ、主の御名を祝え。²
主の慈しみは私たちに対して大きく、
主の真実とはこしえに続く。
主をたたえよ！

118

主に感謝せよ、主は恵み深く、
その慈しみはとこしえに。

2 イスラエルは言え、

「その慈しみはとこしえに。」

アロンの家は言え、

「その慈しみはとこしえに。」

主を畏れる者は言え、

「その慈しみはとこしえに。」

5 苦しみの中で、私は主を呼び求めた。

主は私に答え、広い場所に置いてくださった。

主が私のそばにおられるので、私は恐れない。

人間は私に何ができようか。

主は私の助け手として共におられる。

それゆえ、私は私を憎む者たちを見て勝ち誇る。

8 主に避け所を求めるのは良いことだ。

人間に信頼を置くよりも。

主に避け所を求めるのは良いことだ。

君主に信頼を置くよりも。

すべての国々が私を囲んだ。

主の名によって、私は必ず彼らを退ける。

彼らは私を取り囲んだ、確かに彼らは私を囲んだ。

主の名によって、私は必ず彼らを退ける。

彼らは蜂のように私を取り囲んだ。

彼らは茨の中の火のように消えた。

主の名によって、私は必ず彼らを退ける。

あなたは私を激しく押して倒そうとしたが、

主が私を支えてくださった。

主は私の力、私の歌、

そして私の救いとなってくださった。

15 救いの喜びの声が正しい者の天幕に響く。

主の右手は力強く働く。

主の右手は高く上げられ、

主の右手は力強く働く。

私は死ぬことなく、生きる。

そして主の御業を語り伝える。

主は私を厳しく懲らしめられたが、

死に渡されることはなかった。

正義の門を私に開け。

私はそこを通って主を賛美しよう。

これは主の門である。正しい者がそこを通る。

あなたに感謝します、あなたが私に答えてくださり、

私の救いとなってくださったからです。

22 建築者たちが捨てた石が、隅の親石となった。

23 主がこれを成し遂げられた。

これは私たちの目に驚くべきことだ。

これは主が造られた日である。

私たちはこの日に喜び楽しもう。

25 主よ、どうか私たちを救ってください。

主よ、どうか私たちに成功をお与えください！

26 主の名によって来る者は幸いである。

私たちは主の家からあなたを祝福する。

主は神であり、私たちに光を与えられた。

祭りの捧げ物を祭壇の角に縄で結びつけよ。

28

あなたは私の神であり、私はあなたに感謝します。

。

あなたは私の神であり、私はあなたを崇めます。

29 主に感謝せよ、主は恵み深く、

その慈しみはとこしえに。

119

α アレフ

1 幸いなことよ、その道が全き者たち、

主の律法に歩む者たち。

幸いなことよ、主の証言を守る者たち、

心を尽くして主を求める者たち。

彼らもまた不正を行わず、主の道に歩む。

あなたはあなたの戒めを命じられました。

私たちがそれを熱心に守るために。

ああ、私の道が堅固であればよいのに、

あなたの掟を守るために。

そのとき私は恥じることがありません。

あなたのすべての命令を考えるときに。

私は心の誠実をもってあなたに感謝します。

あなたの正しい裁きを学ぶときに。

私はあなたの掟を守ります。

私を完全に見捨てないでください！

β ベート

9

若者がその道を清く保つにはどうすればよいでしょうか。

あなたの言葉に従ってそれを保つことによって。

19 私は心を尽くしてあなたを求めました。

あなたの命令から迷わせないでください。

私はあなたの言葉を心に蓄えました。

それはあなたに対して罪を犯さないためです。

主よ、あなたは賛美されるべきです。

あなたの掟を教えてください。

私の唇で私は宣言しました。

あなたの口のすべての定めを。

私はあなたの証言の道に喜びを見出しました。

すべての富においても。

私はあなたの戒めを黙想し、

詩篇

あなたの道を考えます。 16
私はあなたの掟に喜びを見出します。
あなたの言葉を忘れません。

♫ギメル

17 あなたのしもべを寛大に扱ってください。
私が生きてあなたの言葉を守るために。 18
私の目を開いてください。
あなたの律法からの素晴らしいことを見させてく
ださい。 19 私は地上の旅人です。
あなたの命令を私から隠さないでください。 20
私の魂は常にあなたの定めを慕って圧倒されてい
ます。 21
あなたは誇り高い者、呪われた者を叱責します。
あなたの命令から迷う者たちを。 22
私から恥辱と軽蔑を取り去ってください。
私はあなたの証言を守ります。 23
たとえ支配者たちが座って私に対して語っても、
あなたのしもべはあなたの掟を黙想します。 24
あなたの証言もまた私の喜びです。
彼らは私の助言者です。

♫ダレット

25 私の魂は地にくっついていました。
あなたの言葉に従って私を新たにしてください。
26
私は私の道を述べました、そしてあなたは私に込
えられました。 あなたの掟を教えてください。 27
あなたの戒めの道を理解させてください。
そうすれば私はあなたの驚異を黙想します。 28
私の魂は悲しみのために泣いています。
あなたの言葉に従って私を強めてください。 29
私から欺瞞の道を取り去ってください。
そしてあなたの律法を恵み深く与えてください。
30 私は誠実の道を選びました。
あなたの裁きを私の前に置きました。 31
私はあなたの証言にしがみつきます。
主よ、私を恥じさせないでください！ 32
私はあなたの命令の道を走ります。
あなたが私の心を広げてくださるからです。

♫ヘー

33 主よ、あなたの掟の道を教えてください。
そして私はそれを最後まで守ります。 34
理解を与えてください、そうすれば私はあなたの
律法を守ります。
そして心を尽くしてそれを守ります。 35
あなたの命令の道に導いてください。
私はそれを喜びます。 36

私の心をあなたの証言に向けてください。
不正な利益に向けないでください。 37
無価値なものを見ることから私の目をそらしてく
ださい。
そしてあなたの道で私を新たにしてください。 38
あなたのしもべにあなたの言葉を確立してくださ
い。 あなたを畏れることを鼓舞するものとして。
39 私が恐れる恥辱を取り去ってください。
あなたの裁きは良いからです。 40
見よ、私はあなたの戒めを慕っています。
あなたの義によって私を新たにしてください。

♫ワウ

41 あなたの恵みも私に來ますように、主よ、
あなたの言葉に従ったあなたの救いが。 42
そうすれば私を嘲る者に対して答えができます。
私はあなたの言葉を信頼していますから。 43
真理の言葉を私の口から完全に取り去らないでく
ださい。
私はあなたの裁きを待ち望んでいますから。 44
だから私はあなたの律法を常に守ります。
すべての時に。 45 そして私は自由に歩きます。
私はあなたの戒めを求めますから。 46
私はまた王たちの前であなたの証言を宣言します
。 そして恥じることはありません。 47
私はあなたの命令を喜びます。
それを愛しています。 48
そして私はあなたの命令に手を挙げます、それを
愛しています。
そして私はあなたの掟を黙想します。

♫ザイン

49
あなたのしもべに対する言葉を覚えてください。
あなたが私に希望を与えたもの。 50
これは私の苦しみの中での慰めです。
あなたの言葉が私を新たにしました。 51
誇り高い者は私を完全に嘲ります。
それでも私はあなたの律法から外れません。 52
主よ、私は昔からのあなたの裁きを思い出し、
慰めを見出します。 53
悪者たちがあなたの律法を捨てるので、
激しい憤りが私を襲いました。 54
あなたの掟は私の歌となりました。
私の旅の家で。 55
主よ、私は夜にあなたの名を思い出し、
あなたの律法を守ります。 56
これは私のものとなりました。
私があなたの戒めを守ることです。

詩篇

〇ヘット

57 主は私の分け前です。
私はあなたの言葉を守ることを約束しました。 58
私は心を尽くしてあなたの恵みを求めました。
あなたの言葉に従って私に恵みをください。 59
私は私の道を考え、
あなたの証言に向かって私の足を向けました。 60
私は急いで遅れずに、
あなたの命令に従いました。 61
悪者たちの罠が私を囲みましたが、
私はあなたの律法を忘れません。 62
私は真夜中に起きてあなたに感謝します。
あなたの正しい裁きのために。 63
私はあなたを恐れるすべての者の友です。
そしてあなたの戒めを守る者たちの。 64
地はあなたの慈しみに満ちています、主よ。
あなたの掟を教えてください。

ロテット

65 あなたはあなたのしもべを良く扱いました、主よ。
。 あなたの言葉に従って。 66
良い判断力と知識を教えてください。
私はあなたの命令を信頼していますから。 67
私は苦しむ前に迷いました。
しかし今はいつもあなたの言葉を守ります。 68
あなたは良い方であり、正しいことを行います。
あなたの掟を教えてください。 69
誇り高い者たちは私に対して嘘を作り上げました。
。 私は心を尽くしてあなたの戒めを守ります。 70
彼らの心は鈍感で、硬化した脂肪のようです。
しかし私はあなたの律法を喜びます。 71
私が苦しみを経験したことは私にとって有益です。
。 あなたの掟を学ぶために。 72
あなたの口の律法は私にとって
何千もの金や銀のかけらよりも貴重です。

・ヨッド

73 あなたの手は私を作り、形作りました。
理解を与えてください、そうすれば私はあなたの
命令を学びます。 74
あなたを恐れる者たちが私を見て喜びますように。
。 私はあなたの言葉に希望を置いていますから。
75
主よ、私は知っています、あなたの裁きは正しい
ことを。
そしてあなたが私に信仰を持って試練を与えたこ
とを。 76 あなたの恵みが私を慰めますように。

あなたのしもべへのあなたの言葉に従って。 77
あなたの憐れみが私に来て、命を与えますように。
。 あなたの律法は私の喜びですから。 78
誇り高い者たちが恥じますように、彼らは嘘で私
を傷つけます。
しかし私はあなたの戒めを黙想します。 79
あなたを恐れる者たちが私に向かいますように。
そしてあなたの証言を知る者たちが。 80
私の心があなたの掟に堅固でありますように。
そうすれば私は恥じることはありません。

ヵカフ

81 私の魂はあなたの救いを渴望しています。
私はあなたの言葉を待ち望んでいます。 82
私の目はあなたの言葉を慕って衰えています。
私が言う間に、「いつあなたは私を慰めてくださ
るのですか？」 83
私は煙の中の乾いた革袋のようになりましたが、
あなたの掟を忘れません。 84
私の日々の尺度は何ですか、あなたのしもべよ？
いつあなたは私を追い求める者たちに正義をもた
らしますか？ 85
誇り高い者たちは私のために穴を掘りました。
あなたの律法に従わない人々が。 86
あなたのすべての命令は忠実です。
彼らは嘘で私を迫害しました。 助けてください！
87 彼らは地上で私をほとんど滅ぼしましたが、
私はあなたの戒めを捨てませんでした。 88
あなたの慈しみに従って私を生かしてください。
そうすれば私はあなたの口の証言を守ります。

ハラメド

89 永遠に、主よ、
あなたの言葉は天に立っています。 90
あなたの真実は世代を超えて続きます。
あなたは地を確立し、それは立っています。 91
彼らはこの日もあなたの定めによって立っていま
す。 すべてのものがあなたに仕えますから。 92
あなたの律法が私の喜びでなかったならば、
私は私の苦しみで滅びていたでしょう。 93
私はあなたの戒めを決して忘れません。
それによってあなたは私を生かされましたから。
94
私はあなたに属しています。 私を救ってください
。 私はあなたの戒めを求めましたから。 95
悪者たちは私を滅ぼそうと待ち伏せしています。
私はあなたの証言を熱心に考えます。 96
私はすべての完全性に限界を見ました。
あなたの命令は非常に広いです。

詩篇

㊦ メム

97 あなたの律法をどれほど愛していますか！
それは私の一日中の黙想です。 98
あなたの命令は私を敵よりも賢くします。
それらは常に私のものですから。 99
私はすべての教師よりも多くの洞察を持っています。
あなたの証言は私の黙想ですから。 100
私は年若い者たちよりも理解しています。
私はあなたの戒めを守っているからです。 101
私はすべての悪の道から私の足を守りました。
それはあなたの言葉を守るためです。 102
私はあなたの裁きから外れませんでした。
あなたが私を教えられたからです。 103
あなたの言葉は私の味にどれほど甘いことでしょう！
はい、私の口に蜂蜜よりも甘いです！ 104
あなたの戒めから私は理解を得ます。
したがって私はすべての偽りの道を憎みます。

㊧ ヌン

105 あなたの言葉は私の足のための灯火であり、
私の道の光です。 106
私は誓いを立て、それを守ります。
あなたの正しい裁きを守るために。 107
私は非常に苦しんでいます。
主よ、あなたの言葉に従って私を生かしてください。 108
私の口の自発的な捧げ物を受け入れてください、
主よ、そしてあなたの裁きを教えてください。 109
私の命は常に私の手にありますが、
私はあなたの律法を忘れません。 110
悪者たちは私のために罠を仕掛けましたが、
私はあなたの戒めから迷いませんでした。 111
私はあなたの証言を永遠の遺産として受け取りました。
それらは私の心の喜びですから。 112
私はあなたの掟を行うために心を定めました。
永遠に、最後まで。

㊨ サメク

113 私は二心の者を憎みます。
しかし私はあなたの律法を愛します。 114
あなたは私の避け所であり、私の盾です。
私はあなたの言葉に希望を置きます。 115
私から離れよ、悪を行う者たちよ。
そうすれば私は私の神の命令を守ります。 116
あなたの言葉に従って私を支えてください、そう
すれば私は生きます。
そして私の希望を恥じさせないでください。 117
私を支えてください、そうすれば私は安全です。

そうすれば私はあなたの掟を常に考慮します。 118
あなたはあなたの掟から迷うすべての者を拒絶しました。
彼らの欺瞞は無益ですから。 119
あなたは地のすべての悪者を不純物として取り除きました。
それゆえ私はあなたの掟を愛します。 120
私の肉はあなたの恐れから震えます。
そして私はあなたの裁きを恐れます。

㊩ アイン

121 私は正義と義を行いました。
私を私の抑圧者たちに委ねないでください。 122
あなたのしもべのために良い保証人となってください。
誇り高い者たちが私を抑圧しないように。
123 私の目はあなたの救いを慕って衰えています。
そしてあなたの正しい言葉を。 124
あなたのしもべをあなたの慈しみに委ねてください。
そしてあなたの掟を教えてください。 125
私はあなたのしもべです。理解を与えてください。
そうすれば私はあなたの証言を知ります。 126
主が行動する時です。
彼らはあなたの律法を破りましたから。 127
それゆえ私はあなたの命令を愛します。
金よりも、はい、純金よりも。 128
それゆえ私はあなたのすべての戒めを注意深く守ります。
私はすべての偽りの道を憎みます。

㊪ ペー

129 あなたの証言は素晴らしいです。
それゆえ私の魂はそれを守ります。 130
あなたの言葉の啓示は光をもたらします。
それは単純な者に理解を与えます。 131
私は口を大きく開けて渴望しました。
あなたの命令を慕いましたから。 132
私に向かって恵みを施してください。
あなたの名を愛する者たちにふさわしいように。
133 あなたの言葉で私の足跡を確立してください。
そして不正が私に力を持たないようにしてください。 134
人間の抑圧から私を贖ってください。
そうすれば私はあなたの戒めを守ります。 135
あなたの顔をあなたのしもべに輝かせてください。
そしてあなたの掟を教えてください。 136
私の目は水の流れを流します。
彼らがあなたの律法を守らないからです。

㊫ ツァデー

137 主よ、あなたは正しいです。
そしてあなたの裁きは正しいです。 138
あなたはあなたの証言を正義と大いなる忠実さで
命じました。 139
私の熱意は私を圧倒しました。

詩篇

私の敵があなたの言葉を忘れたからです。¹⁴⁰
あなたの言葉は非常に純粋です。
それゆえあなたのしもべはそれを愛します。¹⁴¹
私は取るに足らず、軽蔑されています。
それでも私はあなたの戒めを忘れません。¹⁴²
あなたの義は永遠に正しいです。
そしてあなたの律法は真理の本質です。¹⁴³
苦しみと苦悩が私を見つけました。
それでもあなたの命令は私に喜びをもたらします。
。¹⁴⁴ あなたの証言は永遠に正しいです。
理解を与えてください、そうすれば私は生きます
。

㍑ コフ

¹⁴⁵
私は心を尽くして叫びました。答えてください、
主よ！ 私はあなたの掟を守ります。¹⁴⁶
私はあなたに呼びかけました。救ってください。
そして私はあなたの証言を守ります。¹⁴⁷
私は夜明け前に起きて助けを求めます。
私はあなたの言葉を待ち望みます。¹⁴⁸
私の目は夜の見張りを予期します。
そうすれば私はあなたの言葉を黙想します。¹⁴⁹
あなたの慈しみに従って私の声を聞いてください
。
主よ、あなたの裁きに従って私を生かしてください。¹⁵⁰
悪を追い求める者たちが近づいてきます。
彼らはあなたの律法から遠く離れています。¹⁵¹
それでもあなたは近くにいます、主よ。
そしてあなたのすべての命令は真理です。¹⁵²
昔から私はあなたの証言から学びました。
あなたがそれらを永遠に確立されたことを。

㍓ レシュ

¹⁵³ 私の苦しみを見て私を救ってください。
私はあなたの律法を忘れませんから。¹⁵⁴
私の訴えを弁護し、私を贖ってください。
あなたの言葉に従って私を生かしてください。¹⁵⁵
救いは悪者たちから遠く離れています。
彼らはあなたの掟を求めませんから。¹⁵⁶
あなたの憐れみは大きいです、主よ。
あなたの裁きに従って私を生かしてください。¹⁵⁷
私の迫害者と敵は多いですが、
それでも私はあなたの証言から外れません。¹⁵⁸
私は裏切り者を見て軽蔑を感じます。
彼らがあなたの言葉を守らないからです。¹⁵⁹
私があなたの戒めを愛していることを考えてくだ
さい。

主よ、あなたの慈しみに従って私を生かしてくだ
さい。¹⁶⁰ あなたの言葉の全体は真理です。
そしてあなたの正しい裁きのすべては永遠です。

㍕ シンとシン

¹⁶¹ 君主たちは理由もなく私を追い求めます。
しかし私の心はあなたの言葉に畏敬の念を抱きま
す。¹⁶² 私はあなたの言葉を喜びます。
大きな宝を見つけた者のように。¹⁶³
私は虚偽を嫌い、忌み嫌います。
しかし私はあなたの律法を愛します。¹⁶⁴
私は一日中あなたを賛美します。
あなたの正しい裁きのために。¹⁶⁵
あなたの律法を愛する者たちは大きな平和を持っ
ています。そして何も彼らをつまずかせません。
¹⁶⁶ 私はあなたの救いを希望します、主よ。
そしてあなたの命令を守ります。¹⁶⁷
私の魂はあなたの証言を守ります。
そして私はそれらを非常に愛しています。¹⁶⁸
私はあなたの戒めとあなたの証言を守ります。
私のすべての道はあなたの前にありますから。

㍗ タウ

¹⁶⁹ 私の叫びがあなたの前に来ますように、主よ。
あなたの言葉に従って理解を与えてください。¹⁷⁰
私の嘆願があなたの前に来ますように。
あなたの言葉に従って私を救ってください。¹⁷¹
私の唇が賛美で溢れますように。
あなたが私にあなたの掟を教えてください。¹⁷²
私の舌があなたの言葉を歌いますように。
あなたのすべての命令は正義ですから。¹⁷³
あなたの手が私を助ける準備をしてください。
私はあなたの戒めを選びましたから。¹⁷⁴
私はあなたの救いを慕います、主よ。
そしてあなたの律法は私の喜びです。¹⁷⁵
私の魂が生きてあなたを賛美しますように。
そしてあなたの定めが私を助けますように。¹⁷⁶
私は迷える羊のようにさまよいました。あなたの
しもべを探してください。
私はあなたの命令を忘れませんから。

120

登る歌。

¹ 私の苦しみの中で主に叫びました、
そして主は私に答えられました。²
主よ、偽りの唇から、
欺く舌から私の魂を救ってください。

詩篇

3
あなたに何が与えられ、さらに何があなたにされるのか、あなた、欺く舌よ？⁴ 戦士の鋭い矢、エニシダの木の燃える炭と共に！

5
ああ、私のために、私はメシエクに住んでいる、そしてケダルの天幕の間に私の家を作った！⁶
私の魂はあまりにも長く住んでいました
平和に反対する者たちの間に。⁷
私は平和を求めるが、私が話すとき、彼らは争いを追い求めます。

121

登る歌

1
私は山に向かって目を上げる。
私の助けはどこから来るのか。²
私の助けは主から来る。
天と地を造られた方から。
3
彼はあなたの足をよろけさせず、あなたを守る方はまどろむことがない。⁴
見よ、イスラエルを守る方はまどろむことも眠ることもない。
5
主はあなたを守る方、主はあなたの右手を覆う陰。⁶
星は太陽があなたを打たず、夜は月も打たない。

7
主はあなたをすべての災いから守り、あなたの魂を守られる。⁸
主はあなたの出入りを守られる。
今よりとこしえに至るまで。

122

登る歌。ダビデの詩。

1
彼らが私に言ったとき、私は喜びました、「主の住まいに行こう。」²
私たちの足は今、立っています
あなたの門の中に、エルサレムよ、
3
エルサレム、それは建てられた一つに結ばれた都市として；⁴
そこに部族が上る、主の部族が—
イスラエルへの定め— 主の名に感謝するために。
5
そこに裁きの座が設けられた、
ダビデの家の座が。

6
エルサレムの平和を祈りなさい：「あなたを大切にする者が安全を見つめますように。」⁷
あなたの壁の中に平穏があり、

あなたの宮殿の中に繁栄がありますように。」⁸
私の親族と仲間のために、私は今言います、「あなたの中に平穏がありますように。」⁹ 私たちの神、主の家のために、私はあなたの幸福を追求します。

123

登る歌

1
天に座しておられるあなたに、私は目を上げます。²
見よ、しもべたちの目がその主人の手に注がれ、はしための目がその女主人の手に注がれるように、
私たちの目は私たちの神、主に向けられています。
。彼が私たちに恵みを示してくださるまで。
3
主よ、私たちに恵みを示してください、恵みを示してください、
私たちは侮辱に飽き飽きしています。⁴
私たちの魂は飽き飽きしています、
安逸を貪る者たちの嘲りに、
高慢な者たちの侮辱に。

124

登る歌。ダビデによる。

1
「主が私たちの側にいなかったならば」イスラエルは今言え、²
「人々が私たちに向かって立ち上がったとき、主が私たちの側にいなかったならば、
彼らは私たちを完全に飲み込んでいただろう、彼らの怒りが激しく私たちに燃えたときに；⁴
そのとき、水は私たちを押し流し、流れは私たちの魂を押し流しただろう；⁵
激しい水は私たちの魂を押し流しただろう。」

6
主がほめたたえられるように、彼は私たちが彼らの歯によって裂かれることを許さなかった。⁷
私たちの魂は罾を仕掛ける者の罾から逃れた鳥のように逃れた； 罾は壊れ、私たちは逃れた。⁸
私たちの助けは主の名にある、
天と地を創造された方。

125

登る歌

1
主に信頼する者は、動かされることのないシオンの山のようで、永遠

詩篇

に残る。² 山々がエルサレムを囲むように、
主はその民を今も、そして永遠に囲まれる。

³ 悪の杖が正しい者の地に留まることはない。
それは正しい者がその手を悪に伸ばさないためである。

⁴ 主よ、善良な者と心の正しい者に慈しみを示してください。⁵
しかし、曲がった道に逸れる者には、
主は不正を行う者と共に彼らを導き去られる。
イスラエルの上に平和があるように。

126

登る歌

¹ 主がシオンの繁栄を回復されたとき、
私たちは夢を見ている者のようだった。²
そのとき、私たちの口は笑いで満たされ、
私たちの舌は喜びの歌で満たされた。
そのとき、国々の間で言われた、
「主は彼らのために大いなることをなされた。」
³ 主は私たちのために大いなることをなされた。
私たちは喜びで満たされている。

⁴ 主よ、私たちの繁栄を回復してください、
ネゲブの川のように。⁵
涙をもって種を蒔く者は、喜びの歌とともに刈り取る。⁶
種を蒔くために泣きながら出て行く者は、
確かに喜びの叫びとともに帰ってきて、束を携えてくる。

127

登る歌。ソロモンの詩。

¹ 主が家を建てられないなら、
建てる者たちの労苦はむなし。
主が町を守らないなら、
見張り人の目覚めはむなし。²
あなたがたが早く起きるのも、
遅くまで休まないのも、
苦勞して得たパンを食べるのもむなし。
主は愛する者に眠っている間に与えられるからである。

³ 見よ、子供たちは主からの賜物、
胎の実は報いである。⁴
戦士の手にある矢のように、
若い時に生まれた子供たちもそうである。⁵

矢筒を満たす人は幸いである。
彼らは門で敵と語るとき、恥をかくことはない。

128

登る歌

¹ 主を恐れるすべての人は幸いである。
その道を歩む者は幸いである。²
あなたは自分の手の労苦の実を食べる。
あなたは幸せであり、事はうまくいく。³
あなたの妻はあなたの家の中で実を結ぶぶどうの
木のようにであり、
あなたの子供たちはあなたの食卓の周りの若いオリ
ーブの木のようにである。⁴
見よ、このようにして、
主を敬う人は祝福される。

⁵ 主がシオンからあなたを祝福されますように、
あなたの生涯の日々にエルサレムの繁栄を見ます
ように。⁶
本当に、あなたの子孫を見ることができま
すように。イスラエルに平和がありますように！

129

登る歌

¹ 「若い頃から何度も私を攻撃してきた」
イスラエルは言え、²
「若い頃から何度も私を攻撃してきたが、
しかし、彼らは私に勝てなかった。³
耕す者は私の背中を耕し、
彼らはその溝を長くした。」⁴
主は正しい方である。
彼は悪者の縄を断ち切った。

⁵ シオンを軽蔑する者は皆、
恥をかかされ、後退させられますように。⁶
彼らが屋根の上の草のようでありま
すように、
育つ前に枯れる草のように。⁷
刈り取る者がその手を満たさず、
束ねる者がその腕を満たさないように。⁸
通る過ぎる者も言わない、
「主の祝福があなたにありますように。
私たちは主の名によってあなたを祝福します。」

130

登る歌。

¹ 深いところから、主よ、私はあなたに叫びました。
。² 主よ、私の声を聞いてください。

詩篇

あなたの耳が私の嘆願の聲に
注意を払ってくださいますように。

3 主よ、もしあなたが私たちの不義を記録されるなら、
主よ、誰が立ち得ましょうか。 4
しかし、あなたには赦しがあります。
それゆえ、あなたは畏れられます。

5 私は主を待ち望みます。私の魂は忍耐強く、
そして私は彼の言葉に希望を置きます。 6
私の魂は主を熱心に待ちます。
夜警が朝を待つよりも、
実に、夜警が朝を待つよりも。

7 イスラエルよ、主に希望を置け。
主には慈しみがあり、
彼には豊かな贖いがあります。 8
そして彼はイスラエルを
そのすべての不義から救い出されます。

131

登の歌。ダビデによる。

1 主よ、私の心は高ぶらず、私の目は高くありません。
私は大きなことや、私にとって難しすぎることに
関わりません。 2
確かに私は自分の魂を静め、落ち着かせました。
乳離れした子が母と共にいるように、
私の魂は私の内で乳離れした子のようにです。

3 イスラエルよ、主を待ち望め、
今よりとこしえに。

132

登る歌。

1 主よ、ダビデのために覚えてください、
彼のすべての苦しみを。

2 彼が主に誓いを立て、
ヤコブの力ある者に誓約したことを： 3
「私は確かに自分の家に入らず、
自分の寝床に横たわらない。 4
私は自分の目に眠りを許さず、
まぶたにまどろみを許さない、 5
主のために場所を見つけるまで、
ヤコブの力ある者のための聖所を。」

6 確かに、私たちはエフラタでそれを聞き、
ヤアルの野でそれを見つけた。 7

彼の住まいに入りましょう；
彼の足台でひれ伏しましょう。 8
主よ、あなたの安息の場所に立ち上がってください、
あなたとあなたの力の箱と共に。 9
あなたの祭司たちが義で飾られ、
あなたの忠実な者たちが喜びの声を上げますように。

10 あなたのしもべダビデのために、
あなたの油注がれた者の顔を拒まないでください
。

11 主はダビデに約束をされました、
それは取り消されない真実です：

「私はあなたの王座に あなたの自身の子孫を置く。
12 もしあなたの子らが私の契約を守り、
私が彼らに教える戒めを守るなら、
彼らの子孫も永遠にあなたの王座に座るでしょう。」

13 主はシオンを選ばれました；
彼はそれを住まいとして望まれました。 14
「これは私の永遠の安息の場所です；
ここに私は住む、私はそれを望んだからです。 15
私は彼女の食物を大いに祝福し、
彼女の貧しい者をパンで満たします。 16
私はまた彼女の祭司たちを救いて装い、
彼女の忠実な者たちは喜びの歌を歌います。

17 私はそこでダビデの角を繁榮させ、
私の油注がれた者のために光を準備しました。 18
私は彼の敵を恥で覆い、
しかし彼の上に、その冠は輝くでしょう。」

133

登の歌。ダビデの詩。

1 見よ、兄弟が共に一つになって住むことは、
なんと良いことであり、なんと楽しいことでしょう。

2 それは頭に注がれた貴重な油のようであり、
ひげに流れ落ちる、 アロンのひげに、
その衣の裾にまで流れ落ちる。 3
それはヘルモンの露のようであり、
シオンの山々に降る。
そこに主は祝福を命じられた— 永遠の命を。

134

登の歌

詩篇

¹ 見よ、主をほめたたえよ、主のすべてのしもべたちよ、
夜、主の家に仕える者たちよ。²
聖所に向かって手を上げ、主をほめたたえよ。

³ 天と地を造られた主が、シオンからあなたを祝福されるように。

135 主を賛美せよ！ 主の御名を讃えよ。
主のしもべたちよ、主を賛美せよ。²
主の家に立つ者たちよ、
我らの神の家の庭に立つ者たちよ！

³ 主を賛美せよ、主は良い方である。
その御名に賛美を歌え、それは心地よい。⁴
主はヤコブを御自分のために選び、
イスラエルを大切な所有物とされたからだ。

⁵ 主が偉大であることを私は確信している。
我らの主は他のすべての神々にまさる。⁶
主が望むことは何でも成し遂げる。
天においても地においても、海においても、すべての海の深みにおいても。⁷
地の果てから雲を立ち上らせ、
雨のために稲妻を作り、
その倉から風を出される。

⁸ エジプトの初子を打たれた、人も獣も。⁹
エジプトの中にしるしと不思議を送られた、
ファラオとそのすべてのしもべに対して。¹⁰
多くの国々を打ち破り、
強大な王たちを倒された。¹¹
アモリ人の王シホン、 バシヤンの王オグ、
カナンのすべての領土。¹²
そしてその地を相続地として与えられた、
その民イスラエルへの相続地として。

¹³ 主よ、あなたの御名は永遠に続く、
主よ、あなたの記憶はすべての世代にわたって続く。
¹⁴ 主はその民を裁き、
そのしもべたちに憐れみを示される。

¹⁵ 国々の偶像是銀と金で作られた、人の手の技。
¹⁶ 口があっても語らず、目があっても見えず。¹⁷
耳があっても聞こえず、その口には息がない。¹⁸
それを作る者はそれと同じようになり、
それに信頼する者も皆そうである。

¹⁹ イスラエルの家よ、主を讃えよ。
アロンの家よ、主を讃えよ。²⁰
レビの家よ、主を讃えよ。
主を畏れる者たちよ、主を讃えよ。²¹

シオンから来られる主を讃えよ、
エルサレムに住まわれる方を。主を賛美せよ！

136 主に感謝せよ、主は良い、
その恵みはとこしえに。

² 神の神に感謝せよ、
その恵みはとこしえに。

³ 主の主に感謝せよ、
その恵みはとこしえに。

⁴ ただひとり大いなる奇跡を行う方に、
その恵みはとこしえに。

⁵ 知恵をもって天を造られた方に、
その恵みはとこしえに。

⁶ 水の上に地を広げられた方に、
その恵みはとこしえに。

⁷ 大いなる光を造られた方に、
その恵みはとこしえに。

⁸ 昼を治めるために太陽を、
その恵みはとこしえに。

⁹ 夜を治めるために月と星を、
その恵みはとこしえに。

¹⁰ エジプト人、すなわちその初子を打たれた方に、
その恵みはとこしえに。

¹¹ そしてイスラエルをその中から導き出された方に、
その恵みはとこしえに。

¹² 強い手と伸ばされた腕で、
その恵みはとこしえに。

¹³ 紅海を分けられた方に、
その恵みはとこしえに。

¹⁴ そしてイスラエルをその中を通らせた方に、
その恵みはとこしえに。

¹⁵ しかし、パロとその軍勢を紅海に投げ込まれた方に、
、

詩篇

その恵みはとこしえに。

¹⁶ 荒野を通してその民を導かれた方に、

その恵みはとこしえに。

¹⁷ 大いなる王たちを打たれた方に、

その恵みはとこしえに。

¹⁸ 力ある王たちを殺された方に、

その恵みはとこしえに。

¹⁹ アモリ人の王シホン、

その恵みはとこしえに。

²⁰ パシヤンの王オグ、

その恵みはとこしえに。

²¹ 彼らの地を嗣業として与えられた方に、

その恵みはとこしえに。

²² そのしもベイスラエルへの嗣業として、

その恵みはとこしえに。

²³ 我らの卑しさを覚えておられた方に、

その恵みはとこしえに。

²⁴ そして我らの敵から救い出された方に、

その恵みはとこしえに。

²⁵ すべての肉に食物を与えられる方に、

その恵みはとこしえに。

²⁶ 天の神に感謝せよ、

その恵みはとこしえに。

137

バビロンの川のほとりで、

私たちは座って泣き、

シオンを思い出しました。

その中の柳に 私たちの堅琴を掛けました。

そこで私たちを捕えた者たちは歌を求め、

私たちを苦しめる者たちは喜びを求めて言いました、

「シオンの歌の一つを歌ってください！」

⁴ どうして主の歌を歌うことができましょうか

異国の地で？ ⁵ エルサレムを忘れるなら、

私の右手がその技を失うように。

もしあなたを思い出さないなら、

もしエルサレムを

私の最大の喜びの上に置かないなら、

私の舌が口の屋根にくっつくように。

⁷ 主よ、エドムの子らに対して

エルサレムの日を思い出してください、

彼らは言いました、「壊せ、壊せ、

その基まで！」

バビロンの娘よ、あなたは荒廃した者、

あなたに報いる者は祝福されるでしょう

あなたが私たちに与えた報いで。

祝福されるのは、あなたの子らを捕え、

岩に打ち砕く者です。

138

ダビデの詩。

¹ 私は心を尽くしてあなたに感謝します。

神々の前であなたを賛美します。

あなたの聖なる宮に向かってひれ伏し、

あなたの慈しみと真実のためにあなたの御名に感謝します。

あなたは御名にふさわしく御言葉を高く掲げられました。

私が呼び求めた日に、あなたは私に答え、

私の魂に力と勇気を与えてくださいました。

⁴ 地のすべての王たちは、主よ、あなたに感謝します。
彼らがあなたの口から出た言葉を聞いたときに。

⁵ 彼らは主の道を歌います。

主の栄光はまことに偉大です。

⁶ 主は高くあられるが、低い者を顧みられ、

高ぶる者を遠くから知っておられる。

⁷ 私が困難の中を歩むときも、あなたは私を生かして

てくださいます。

敵の怒りに対してあなたの手を伸ばし、

あなたの右手が私を救ってくださいます。

⁸ 主は私のために御計画を成し遂げられます。

主よ、あなたの慈しみは永遠です。

あなたの御手の業を見捨てないでください。

139

音楽監督のために。ダビデの詩篇。

¹ 主よ、あなたは私を探り、私を知っておられます

。

² 私が座るときも立つときも、あなたは知っておら

れます。遠くから私の思いを理解されます。

³

詩篇

私の道と私の横たわるのを見守り、
私のすべての道を知っておられます。⁴
言葉が私の舌にのぼる前に、
見よ、主よ、あなたはそれを完全に知っておられます。⁵ あなたは私を後ろからも前から囲み、
あなたの手を私の上に置かれました。⁶
そのような知識は私の理解を超えています。
それは非常に高く、私はそれを把握できません。

⁷ あなたの霊からどこに行けるでしょうか。
または、あなたの御前からどこに逃れられるでしょうか。
⁸ もし私が天に上っても、あなたはそこにおられます。
もし私が地の奥に身を横たえても、あなたはそこにおられます。⁹ もし私が曉の翼を取って、
海の果てに住んでも、¹⁰
そこでもあなたの手が私を導き、
あなたの右の手が私をしっかりと捕まえます。¹¹
もし私が言うなら、「確かに闇が私を覆い、
私の周りの光が夜になる」と。¹²
闇もあなたには暗くなく、
夜は昼のように輝きます。
闇と光はあなたにとって同じです。

¹³ あなたは私の内なる存在を形作り、
私を母の胎内で編み上げられました。¹⁴
私はあなたに感謝します、私は恐ろしくも驚くべきものに作られています。
あなたの御業は素晴らしい、
私の魂はそれをよく知っています。¹⁵
私の骨組みはあなたから隠されていませんでした、
私が密かに作られ、
地の深みで巧みに形作られたとき。¹⁶
あなたの目は私の形作られる前の体を見られました。
あなたの書には
私のために計画されたすべての日が書かれています、
それらのどれもまだ存在していないときに。¹⁷
あなたの思いは私にとってどれほど貴重でしょうか、神よ！
それらの総数はどれほど広大でしょうか！¹⁸
もしそれらを数えるなら、砂粒よりも多いでしょう。
私が目覚めるとき、私はまだあなたと共にいます
。

¹⁹ もしあなたが悪者を殺してくださるなら、神よ。
血を流す者たちよ、私から離れよ。²⁰
彼らは悪意をもってあなたに逆らって語り、

あなたの敵はあなたの名を誤用します。²¹
私はあなたを憎む者を憎まないでしょうか、主よ。
。
あなたに逆らって立ち上がる者を軽蔑しないで
でしょうか。²² 私は彼らを完全な憎しみで憎みます。
彼らは私の敵となりました。²³
神よ、私を調べ、私の心を知ってください。
私を試み、私の不安な思いを知ってください。²⁴
私の中に何か冒流的な道があるかどうかを見て、
永遠の道に私を導いてください。

140

音楽監督のために。ダビデの詩篇。

¹ 主よ、悪人から私を救い出してください。
暴力を振るう者から私を守ってください。²
彼らは心の中で悪事を企て、
絶えず争いを起こしています。³
彼らは蛇のように舌を研ぎ、
その唇の下には毒蛇の毒があります。 セラ

⁴ 主よ、悪人の手から私を守ってください。
暴力を振るう者から私を守ってください。
彼らは私の歩みを妨げようとしています。⁵
高慢な者たちは私のために罠を仕掛け、
道のそばに網を広げ、
私のために罠を設けました。 セラ

⁶ 私は主に言いました、「あなたは私の神です。
主よ、私の願いの声を聞いてください。」⁷
主権者なる主よ、私の救いの力、
あなたは戦いの日に私の頭を守ってくださいまし
た。⁸
主よ、悪人の欲望をかなえないでください。
彼らの悪事が成功しないようにしてください、彼
らが高ぶらないように。 セラ

⁹ 私を囲む者たちについて、
彼ら自身の言葉が彼らに害をもたらしますように
。¹⁰
燃える炭が彼らの上に降りかかりますように。
彼らが火の中に投げ込まれ、
抜け出せない深い穴に落ちますように。¹¹
中傷者が地上に長く留まりませんように。
悪が暴力を振るう者を破滅に追いやりますように
。

¹² 主が苦しむ者の訴えを支持し、
貧しい者に正義をもたらすことを私は確信してい
ます。¹³

詩篇

確かに正しい者はあなたの名に感謝を捧げ、
正直な者はあなたの御前に住むでしょう。

141

ダビデの詩篇

¹ 主よ、私はあなたを呼び求めます。急いで私に来てください！

私があなたに呼びかけるとき、私の声を聞いてください！ ²

私の祈りが香のようにあなたの前に立ち上りますように。

私の手を上げることがタベのいけにえのようになりますように。

³ 主よ、私の口に見張りを置いてください。私の唇の入り口を見守ってください。 ⁴

私の心が悪に引き寄せられないようにしてください。

悪を行う者たちとともに不義を行わないように。彼らのごちそうにあずからないようにしてください。

⁵ 正しい者が私を打つことは、親切です。彼が私を戒めることは、頭への油です。私の頭はそれを拒みません。私の祈りは彼らの悪事に対してなおも続きます。

⁶ 彼らの裁き人たちは岩のそばに投げ倒されます。彼らは私の言葉を聞きます、それは心地よいからです。 ⁷ 土を耕して割るときのように、私たちの骨はシェオルの口に散らばっています。

⁸ 私の目はあなたに向かっています、神である主よ。私はあなたに避け所を求めます、私の魂を無防備にしないでください。 ⁹

彼らが私のために仕掛けた罠の顎から、悪を行う者たちのわなから私を守ってください。

¹⁰ 悪者たちが自分の網に落ちますように、私は無事に通り過ぎますように。

142

ダビデのマスキール。彼が洞窟にいたときの祈り。

¹ 私は声を上げて主に叫びます。私は声を上げて主に憐れみを求めます。 ²

私の苦しみを御前に注ぎ出し、私の悩みを御前に告げます。

³ 私の霊が私の内で衰えたとき、あなたは私の道を知っておられました。私が歩く道に彼らは私のために罠を仕掛けました。 ⁴ 右を見てご覧ください。私に気を留める者はいません。私には逃れる場所がありません。私の魂を気にかける者はいません。

⁵ 私はあなたに呼びかけました、主よ。「あなたは私の避け所、生ける者の地での私の分け前です」と宣言しました。

⁶ 私の叫びを聞いてください。私は非常に低くされています。私を迫害者から救い出してください。彼らは私にはあまりにも強力です。 ⁷ 私の魂を悲しみから引き上げてください。そうすれば、あなたの名に感謝を捧げます。正しい者たちは私の周りに集まるでしょう。あなたが私を顧みてくださるからです。」

143

ダビデの詩。

¹ 主よ、私の祈りを聞いてください。私の嘆願に耳を傾けてください！あなたの真実と義によって私に答えてください！

² あなたのしもべを裁きにかけないでください、生きている者は誰もあなたの前で正しくないからです。 ³ 敵が私の魂を追い求め、私の命を地に打ち倒し、

長く死んだ者のように私を暗闇に住まわせました。 ⁴ それゆえ、私の霊は私の内で衰え、私の心は私の内で驚いています。 ⁵

私は昔の日々を思い出し、あなたのすべての業を黙想し、あなたの手の働きを考えます。 ⁶ 私はあなたに向かって手を伸ばし、私の魂は乾いた地のようにあなたを渴望します。セラ

⁷ 速やかに私に答えてください、主よ、私の霊は衰えています。あなたの顔を私から隠さないでください、さもないと私は穴に下る者のようになります。 ⁸ 朝にあなたの慈しみを聞かせてください、

詩篇

私はあなたに信頼しています。
私が歩むべき道を教えてください、
私はあなたに私の魂を持ち上げます。 9
主よ、私を敵から救い出してください、
私はあなたに避け所を求めます。 10
あなたの御名を行うように私を導いてください、
あなたは私の神です。
あなたの良き霊が私を平らな地に導いてください
。
11
あなたの御名のために、主よ、私に命を与えてく
ださい。
あなたの義によって私の魂を苦しみから救い出し
てください。 12
あなたの慈しみによって、私の敵を打ち破り、
私の魂を虐げる者をすべて滅ぼしてください、
私はあなたのしもべです。

144

ダビデの詩篇

1 主はほむべきかな、我が岩、
我が手を戦いのために、
我が指を戦のために訓練される方。 2
我が慈しみ、我が岩、
我が高きやぐら、我が救い主、
我が盾、我が避け所、
我が民を我が下に従わせる方。
3
主よ、人とは何者なので、あなたが彼を顧みられ
るのですか。
人の子とは何者なので、あなたが彼らを心に留め
られるのですか。 4 人は息のようであり、
その日々は過ぎ去る影のようです。
5 主よ、天を垂れて降りてください。
山々に触れて、煙を立ち上らせてください。 6
稲妻を放って彼らを散らし、
矢を放って彼らを混乱させてください。 7
上から御手を伸ばし、私を救い、強大な水から、
異邦人の手から救い出してください。 8
彼らの口は偽りを語り、
その右手は偽りの手です。
9 神よ、私はあなたに新しい歌を歌います。
十弦の琴であなたに賛美を捧げます。 10
王たちに救いを与え、
そのしもべダビデを害をなす剣から救われる方。
11

私を救い、異邦人の手から救い出してください。
彼らの口は偽りを語り、
その右手は偽りの手です。
12
我らの若者たちが育ち盛りの植物のようであり、
我らの娘たちが宮殿のために彫られた隅柱のよう
でありますように。 13 我らの倉が満ち、
あらゆる種類の産物を供給し、
我らの羊の群れが千頭、
万頭を我らの野に産みますように。 14
我らの牛が繁殖し、 災いも損失もなく、
我らの街に悲しみがありませんように。 15
このような状態にある民は幸いです。
その神が主である民は幸いです。

145

ダビデによる賛美の詩。

1 私の神、王よ、私はあなたをあがめます。
そして、永遠にあなたの御名を祝福します。 2
毎日、私はあなたを祝福します。
そして、いつまでもあなたの御名を賛美します。
3 主は偉大であり、高く賛美されるべきです。
その偉大さは計り知れません。 4
一世代が次の世代にあなたの御業を称賛し、
あなたの力強い行いを告げ知らせます。 5
あなたの威厳の栄光の輝きと
あなたの素晴らしい御業について、私は黙想しま
す。 6 人々はあなたの畏るべき力の行いを語り、
私はあなたの偉大さを語ります。 7
彼らはあなたの豊かな善の記憶を語り、
あなたの義を喜び叫びます。
8 主は恵み深く、憐れみに満ちておられます。
怒るのに遅く、慈しみに富んでおられます。
9 主はすべてに優しく、
その慈しみはすべての御業に及びます。 10
あなたのすべての御業はあなたに感謝し、主よ、
あなたの忠実な者たちはあなたを祝福します。 11
彼らはあなたの王国の栄光を語り、
あなたの力を語ります。 12
人の子らにあなたの力強い行いを知らせ、
あなたの王国の威厳の栄光を知らせるために。 13
あなたの王国は永遠の王国であり、
あなたの支配はすべての世代にわたって続きます
。
主はすべての約束において信頼でき、
その行いにおいて忠実です。 14

詩篇

主はすべてつまずく者を支え、
すべてかがむ者を持ち上げます。
すべての目はあなたを待ち望み、
あなたは適切な時に彼らに食物を与えます。
あなたは手を開き、
すべての生き物の必要を満たします。

主はそのすべての道において正しく、
そのすべての業において恵み深いです。
主はすべて彼を呼ぶ者に近く、
誠実に彼を呼ぶ者すべてに近いです。
彼は彼を畏れる者の願いを満たし、
彼らの助けを求める叫びを聞き、彼らを救います。
主は彼を愛するすべての者を守り、
しかし、すべての悪者を終わらせません。

私の口は主の賛美を宣言し、
すべての人々が永遠にその聖なる御名を祝福します。

146 主を賛美せよ！
私の魂よ、主をたたえよ！
私は生きている限り主を賛美し、
存在する限り私の神に歌います。
貴族を信頼してはならない、救いのない人間に。
彼の霊が去ると、彼は地に帰り、
その日には彼の計画は無に帰します。
ヤコブの神を助けとする者は幸いである、
主、その神に希望を置く者は。

天と地を創造された方、
海とそこにあるすべてのものを；
永遠に真実である方；
抑圧された者に正義をもたらす方；
飢えた者に食物を与える方。

主は捕らわれ人を解放される。
主は盲人に視力を与え、かがんだ者を持ち上げ、
正しい者を愛される。
主は異邦人を守り、
孤児と未亡人を支え、悪者の計画を挫かれる。

主は永遠に統治される、
あなたの神、シオンよ、世々にわたって。
主をたたえよ！

147 主を賛美せよ！
我らの神を賛美することは良いことだ。
それは楽しく、その賛美は美しい。

主はエルサレムを再建し、
イスラエルの追放された者たちを集める。
彼は心の傷ついた者を癒し、彼らの傷を治す。
彼は星の数を数え、それぞれに名を付ける。
我らの主は偉大で力に満ち、

その理解は限りがない。
主は虐げられた者を支え、悪者を地に落とす。

感謝の歌を主に捧げよ。
我らの神に堅琴で音楽を奏でよ。

彼は空に雲を広げ、地に雨を降らせ、
山に草を茂らせる。
彼は獣に食物を与え、
鳥の子が鳴くときに与える。

彼は馬の力を喜ばず、人の脚を喜ばない。
主は彼を畏れる者を喜び、
その慈しみに希望を置く者を喜ぶ。

エルサレムよ、主を賛美せよ。
シオンよ、あなたの神を讃えよ。

彼はあなたの門のかんぬきを強固にし、
あなたの中の子供たちを祝福した。
彼はあなたの境界内に平和を与え、
あなたを最良の小麦で満たす。

彼は命令を地に送り、
その言葉は速やかに走る。
彼は雪を羊毛のように与え、
霜を灰のように広げる。
彼は氷を破片のように投げ、
誰がその寒さに耐えられようか。
彼は言葉を送り、それらを溶かし、
風を吹かせ、水を流れさせる。

彼はヤコブにその言葉を示し、
イスラエルにその律法と裁きを示す。
彼は他のどの国ともこのように行わなかった。
その裁きを、彼らは理解していない。
主を賛美せよ！

148 主を賛美せよ！ 天から主を栄光あれ；
高き所で彼を賛美せよ！
彼を賛美せよ、すべての御使いたち；
彼を栄光あれ、すべての天の軍勢よ！
彼を賛美せよ、日と月よ；
彼を栄光あれ、すべての輝く星よ！
彼を賛美せよ、いと高き天よ、天の上の水よ！

彼らが主の名を賛美せよ、
彼が命じて、彼らが存在したからである。
彼は彼らを永遠に確立された；
彼は法令を定め、それは過ぎ去ることはない。

地から主を栄光あれ、
海の生き物とすべての海の深みよ；
火と雹、雪と霧；嵐の風、彼の言葉を実行する；
そびえる山々と穏やかな丘；

詩篇

実を結ぶ木々と壮大な杉；
動物とすべての家畜；　　這うものと飛ぶ鳥；
地の王たちとすべての民；
すべての支配者と地上のすべての裁き手；
若い男たちと乙女たち；　老人と若者。

彼らが主の名を賛美せよ、
彼の名だけが高められているからである；
彼の栄光は地と天の上にある。
そして彼は彼の民のために角を上げられた、
すべての彼の忠実な者たちへの賛美、
イスラエルの子らのために、彼に近い民。
主を賛美せよ！

149　主を賛美せよ！　主に新しい歌を歌い、
信仰者の集まりで彼を祝え。
イスラエルはその創造主に喜び、
シオンの子らはその王に歓喜せよ。
彼らは踊りでその名を賛美し、
タンバリンと堅琴で彼に歌え。
主はその民を喜び、　謙遜な者を救いで飾られる。
信仰者は栄光の中で喜び、
彼らの寢床で喜び歌え。

神の高らかな賛美が彼らの口にあり、
両刃の剣が彼らの手にある。
国々に正義をもたらし、
民に矯正を与えるために、
彼らの支配者を鎖で縛り、
彼らの貴族を鉄の手かせで縛るために、
彼らに対する判決を実行するために。
この栄誉はすべての信仰者に与えられる。
主を賛美せよ！

150　主を賛美せよ！
聖なる場所で神をたたえよ。
広大な天で神を賛美せよ。
力強い御業のために神をたたえよ。
偉大な力のために神を賛美せよ。
ラッパの音で神をたたえよ。
ハープと堅琴で神を賛美せよ。
タンバリンと踊りで神をたたえよ。
弦楽器と笛で神を賛美せよ。
響き渡るシンバルで神をたたえよ。
鳴り響くシンバルで神を賛美せよ。
息のあるすべてのものよ、主を賛美せよ。
主を賛美せよ！

箴言

1 イスラエルの支配者、ダビデの子ソロモンの賢
い言葉： 2

知恵と訓戒を得るために、理解の言葉を見分け
るために； 3
賢い行動、正義、公正、公平の訓戒を受けるために
； 4
単純な者に慎重さを、若者に知識と分別を与えるた
めに； 5
賢い者は聞いて学びを増し、理解のある者は指導を
得るように、 6
箴言とたとえ、賢者の言葉と謎を理解するために。 7

主を恐れることはすべての知識の始まりである；愚
かな者は知恵と訓戒を憎む。 8
わが子よ、父の指導に注意を払い、母の教えを捨て
てはならない； 9
それらはあなたの頭の美しい冠のようであり、あな
たの首の飾りのようである。

10
わが子よ、罪人があなたを誘おうとしても、従つて
はならない。 11
彼らが言うなら、「我々と一緒に来い、

血を待ち伏せしよう、
理由もなく無実の者を待ち伏せしよう；

12 墓のように彼らを生きたまま飲み込み、
穴に下る者のように全体を；

13 我々はあらゆる種類の貴重な品を見つけ、
我々の家を略奪品で満たそう；

14 我々と一緒にくじを投げよう、
我々は皆で一つの財布を共有しよう」—

15
わが子よ、彼らの道を歩んではならない、彼らの道
から足を守れ、 16 彼らは悪事を追うのが早く、
血を流すのを急ぐからである。 17
すべての鳥の目の前で網を広げることがどれほど無
駄なことか！ 18
しかしこれらの者は自分自身に罠を仕掛けている；
彼らは自分の命を待ち伏せている。 19
不正な利益を貪る者の道は皆このようである；それ
はそれを追い求める者の命を奪う。

20 知恵は街で大声で呼びかけ、
広場で声を上げる； 21 賑やかな通りの頭で叫び、
町の門の入口で彼女の演説をする； 22

「いつまで、単純な者たちよ、あなたたちは単純な
道を愛するののか？

いつまであざける者たちはあざけりを喜び、
愚か者たちは知識を憎むのか？

23 私の叱責に悔い改めよ！

そうすれば私はあなたたちに私の霊を注ぎ、
私の言葉をあなたたちに知らせる。

24
私が呼んでもあなたたちは拒み、私が手を差し伸べ
ても誰も注意を払わなかった； 25
あなたたちは私のすべての助言を無視し
私の叱責を受け入れなかったので、 26
私はあなたたちの災難を見て微笑む；
あなたたちの恐怖が来るときに私は喜んで応じる、

27
あなたたちの恐怖が嵐のように来るとき、あなたた
ちの災難が旋風のように来るとき、苦難と苦悩があ
なたたちに襲いかかるとき。 28
彼らは私を呼ぶが、私は応じない；彼らは熱心に私
を求めるが、私を見つけることはない、 29
彼らは知恵を拒み、主を恐れることを選ばなかった
からである。 30
彼らは私の助言を受け入れず、私のすべての叱責を
軽蔑した。 31
それゆえ、彼らは自分の道の実を食べ、自分の計画
の実で満たされる。 32
単純な者の迷いは彼らの破滅をもたらし、愚か者の
安逸は彼らの破滅をもたらし； 33
しかし、私に耳を傾ける者は安全に住み、害を恐れ
ることなく安らかである。」

2 わが子よ、もしあなたが私の言葉を受け入れ、
私の戒めをあなたの内に蓄えるならば、 2
それで知恵に耳を傾け、理解に心を開くならば
— 3
まことに、洞察を求めて叫び、理解を求めて声を上
げるならば、 4
もしそれを銀のように求め、隠された宝のように探
すならば、 5
そのとき、あなたは主を畏れることの意味を理解し
、神の知識を見つけるでしょう。 6
主は知恵を授けるからです。彼の口からは知識と理
解が流れ出ます。 7
彼は正直な者のために健全な知恵を蓄え、歩みが無
垢な者の盾です。 8
正義の道を守り、彼の忠実な者の道を見守ります。

箴言

9
そのとき、あなたは正しいこと、公正なこと、公平なこと—すべての良い道を理解するでしょう。¹⁰
知恵があなたの心を満たし、知識があなたの魂に喜びをもたらすからです。¹¹
思慮があなたを守り、理解があなたを見守ります。

12
悪しき人々の道から、曲がったことを話す者からあなたを救うために、¹³
正直な道を離れ、暗い道を歩む者から、¹⁴
悪を行うことを喜び、悪の曲がりくねったことを楽しむ者から、¹⁵
その道がねじれており、行動が欺瞞的な者から。

16
不貞な女から、言葉でお世辞を言う外国の女からあなたを救うために、¹⁷
若い頃の伴侶を離れ、彼女の神の契約を忘れる者から。¹⁸
彼女の家は死に至り、彼女の道は死者の霊に至るからです。¹⁹
彼女のもとに行く者は誰も戻らず、命の道を得ることはありません。

20
それで、あなたは善良な人々の道を歩み、正しい者の道を守るでしょう。²¹
正直な者は地を住むからであり、無垢な者はそこに住むでしょう。²²
しかし、悪しき者は地から取り除かれ、裏切り者はそこから根こそぎにされるでしょう。

3 わが子よ、わたしの教えを忘れず、心をもってわたしの戒めを守れ。²
それは日々の長さと命の年を加え、あなたに平安をもたらすからである。³
慈しみと真実をあなたから離れさせてはならない。それらを首に結び、心の板に刻みつけよ。⁴
そうすれば、神と人の前で恵みと良い評判を得るであろう。⁵
心を尽くして主に信頼し、自分の悟りに頼ってはならない。⁶
あなたの行くすべての道で主を認めよ。そうすれば、主はあなたの道をまっすぐにされる。⁷
自分を賢いと思ってはならない。主を恐れ、悪から離れよ。⁸
そうすれば、あなたの体に健康を与え、骨に潤いを与えるであろう。⁹
あなたの富をもって主を敬い、すべての産物の初物をもって主を敬え。¹⁰

そうすれば、あなたの倉は豊かに満たされ、あなたの酒槽は新しい酒で溢れるであろう。

11
わが子よ、主の懲らしめを軽んじてはならない。その叱責を嫌ってはならない。¹²
主は愛する者を懲らしめるからである。

父が喜ぶ子を懲らしめるように。

13 知恵を見出す者と、悟りを得る者は幸いである。¹⁴
その利益は銀よりも良く、その収穫は金よりも良い。¹⁵
彼女は宝石よりも価値があり、あなたの望むどんなものも彼女に等しいものはない。¹⁶
長寿は彼女の右手にあり、富と名誉は彼女の左手にある。¹⁷
彼女の道は楽しく、そのすべての道は平和である。¹⁸
彼女はそれを握る者にとって命の木であり、彼女をしっかりと保つ者は幸いである。

19
主は知恵によって地を据え、悟りによって天を確立された。²⁰
その知識によって深淵は分かれ、雲は露を降らせる。²¹

21
わが子よ、知恵と分別をあなたの目から離れさせず、健全な判断を守れ。²²
それらはあなたの魂に命を与え、あなたの首に飾りとなるであろう。²³
そうすれば、あなたは安全に道を歩み、あなたの足はつまずかないであろう。²⁴
あなたが横たわるとき、恐れることはなく、あなたの眠りは甘いであろう。²⁵
突然の災害を恐れてはならない。悪しき者の滅びが来るときも恐れてはならない。²⁶
主はあなたの信頼であり、あなたの足を罠から守られるからである。

27
あなたの力の及ぶ限り、ふさわしい者に善を施すことを控えてはならない。²⁸
隣人に「行って、また来なさい、

明日あげよう」と言ってはならない。あなたがそれを持っているときに。

29
あなたの隣人に対して害を企ててはならない。彼は

箴言

あなたのそばで信頼して住んでいる。³⁰
理由もなく誰かと争ってはならない。彼らがあなたに害を与えていないなら。³¹
暴力を振るう者を羨んではならない。そのどの道も選んではならない。³²
曲がった者は主に忌み嫌われるが、主は正直な者と親しい。³³
主の呪いは悪しき者の住まいにあるが、主は正しい者の家を祝福される。³⁴
主はあざける者をあざけり、謙遜な者には恵みを与える。³⁵
賢い者は名誉を受け継ぎ、愚かな者はただ恥を得る。³⁶

4 子たちよ、父の教えを聞け。理解を得るために注意を払え。²
私はあなたに健全な教えを提供するから、私の指導を捨ててはならない。³
私が父の子であったとき、母に大切にされていたとき、⁴ 彼は私に教えて言った、

「私の言葉を心に刻みなさい。
私の戒めを守り、生きなさい。」

⁵
知恵を求め、理解を求めよ。私の口の言葉を忘れず、離れてはならない。⁶
知恵を捨てるな、そうすれば彼女はあなたを守る。彼女を愛せよ、そうすれば彼女はあなたを見守る。⁷
知恵の始まりはこれだ：知恵を求めよ。たとえ全てを費やしても、理解を得よ。⁸
彼女を重んじよ、そうすれば彼女はあなたを高める。彼女を抱きしめよ、そうすれば彼女はあなたを名誉ある者とする。⁹
彼女はあなたの頭に恵みの花輪を置き、輝かしい冠を授ける。」¹⁰

¹⁰
息子よ、私の言葉を聞き入れよ。そうすればあなたの命の年は多くなる。¹¹
私はあなたを知恵の道に導き、正しい道に導く。¹²
あなたが歩むとき、あなたの歩みは妨げられず、走るときもつまずかない。¹³
教えをしっかりと守り、手放すな。それを守れ、それはあなたの命だから。¹⁴
悪者の道に入るな、悪を行う者の道を歩むな。¹⁵
それを避け、そこを通るな。それから離れ、自分の道を進め。¹⁶
彼らは悪を行わない限り眠れず、誰かをつまずかせ

るまで眠りを奪われる。¹⁷
彼らは悪のパンを食べ、暴力の酒を飲む。¹⁸
しかし、正しい者の道は朝の光のようで、日が完全に昇るまで明るくなる。¹⁹
悪者の道は深い闇のようで、彼らは何がつかずさせるのかを知らない。²⁰

²⁰
息子よ、私の言葉に注意を払い、私の言葉をよく聞け。²¹
それらを常に目の前に保ち、心の中にしっかりと抱け。²²
それらはそれを見つめる者に命を与え、全身に健康をもたらす。²³
全ての注意をもってあなたの心を守れ、それは命の源だから。²⁴
偽りの口を捨て、腐敗した言葉を唇から遠ざけよ。²⁵

あなたの目をまっすぐ前に向け、あなたの視線をまっすぐ前に固定せよ。²⁶
あなたの足の道を考え、そうすればあなたの道は確かになる。²⁷
右にも左にも曲がるな、悪から足を遠ざけよ。

5 わが子よ、わたしの知恵に注意を払い、わたしの理解に耳を傾けよ。²
それはあなたが慎みを保ち、あなたの唇が知識を守るためである。³
なぜなら、姦淫の女の唇は蜜を滴らせ、その言葉は油よりも滑らかだからである。⁴
しかし最終的には、彼女は苦よもぎのように苦く、両刃の剣のように鋭い。⁵
彼女の足は死に下り、彼女の歩みはまっすぐにシェオルに向かう。⁶
彼女は命の道を考えず、その道は不安定であり、彼女自身もそれを知らない。⁷

⁷
それゆえ、わが子たちよ、わたしに聞き従い、わたしの言葉から離れてはならない。⁸
あなたの道を彼女から遠ざけ、彼女の家の戸口に近づいてはならない。⁹
そうでないと、あなたの誉れを他人に渡し、あなたの年を残酷な者に渡すことになる。¹⁰
そうでないと、見知らぬ者があなたの富で満たされ、あなたの苦勞して得た財産が異邦人の家に行くことになる。¹¹
そして最後には、あなたの肉と体が尽き果てるときに、あなたはうめくことになる。¹²

箴言

あなたは言うだろう、「私はいかにして訓練を嫌い、心が矯正を拒んだことか！」¹³

私は教師の声に耳を傾けず、指導者に聞き従わなかった。¹⁴

私は集会と会衆の中で、ほとんど完全に破滅に陥っていた。」¹⁵

自分の貯水瓶から水を飲み、自分の井戸から新鮮な水を汲みなさい。¹⁶

あなたの泉が通りに溢れ出し、公共の広場に水の流れを持つべきだろうか？¹⁷

それらはあなたのものだけであり、見知らぬ者と分かち合うべきではない。¹⁸

あなたの喜びの源が祝福され、若い頃の妻に喜びを見出しなさい。¹⁹ 愛らしい雌鹿、優雅なガゼルー彼女の乳房が常にあなたを満たし、彼女の愛に常に酔いしれなさい。²⁰

なぜ、わが子よ、姦淫の女に酔いしれ、道に迷った女の胸を抱くのか？²¹

すべての人の道は主の目の前にあり、主は彼らのすべての道を調べる。²²

悪者の不正は彼らを捕らえ、彼らは自分の罪の縄によってしっかりと縛られる。²³

彼らは訓練の欠如のために死に、その愚かさの大きさの中で道を誤る。

6 わが子よ、もしあなたが隣人のために保証人となり、見知らぬ人のために握手をしたならば、²

あなたは自分の口の言葉によってわなにかかり、自分の語ったことによって捕らえられる。³

それゆえ、わが子よ、あなた自身を救うためにこうしなさい。あなたは隣人の手に落ちているのだから。

行って、自分を低くし、隣人に急いで頼んで自分を解放してもらいなさい。

⁴ あなたの目に眠りを与えず、まぶたにまどろみを与えないでください。⁵

狩人の手から逃れるかもしかのように、自分を救いなさい。

鳥を捕らえる者のわなから逃れる鳥のように。

⁶ 怠け者よ、蟻を考え、その道を見て知恵を得よ。

⁷ それには司も、役人も、支配者もないのに、⁸ 夏の間に食物を備え、収穫の時に食料を集める。⁹

怠け者よ、いつまで寝ているのか。いつ起きてくるのか。¹⁰ 少し眠り、少しまどろみ、

少し手を組んで休むと、

¹¹ 貧しさが漂流者のようにあなたに襲いかかり、欠乏が武装した人のように襲いかかる。¹²

無価値で悪しき者は、腐敗した口を持って歩む者、

¹³ 目でウインクし、足で合図し、指で指し示す者、

¹⁴ 心に欺きのある悪を企む者—

彼は絶えず争いを広める。

¹⁵ それゆえ、災いが突然彼を襲い、瞬時に彼は癒しよりもなく碎かれる。¹⁶

主が憎む六つのもの、彼にとって忌まわしい七つのものがある。

¹⁷ 高慢な目、偽りの舌、無実の血を流す手、¹⁸

悪しき計画を企む心、悪に急いで走る足、¹⁹

偽りを吐く偽証人、兄弟の間に争いを広める者。

²⁰ わが子よ、あなたの父の命令を守り、あなたの母の教えを捨ててはならない。²¹

それを絶えずあなたの心に結びつけ、あなたの首に結びつけなさい。²²

あなたが歩くとき、それはあなたを導き、あなたが眠るとき、それはあなたを見守り、

あなたが目覚めるとき、それはあなたに語りかける。

²³ 命令は灯であり、教えは光であり、懲らしめの戒めは命の道であるからです。²⁴

悪しき女から、道を踏み外した女の滑らかな舌からあなたを守るためです。²⁵

彼女の美しさを心に欲してはならず、彼女の目であなたを捕らえてはならない。

²⁶ 遊女は一斤のパンで得られるが、姦婦は貴重な命を狙う。²⁷

人は火をその懷に抱いて、その衣服が焼かれなくていられるだろうか。²⁸

また、熱い炭の上を歩いて、その足が焼けないでいられるだろうか。²⁹

箴言

隣人の妻に入る者も同様である。彼女に触れる者は罰を免れない。

39 盗人は飢えているときに腹を満たすために盗むならば、軽蔑されない。

しかし、捕まれば、彼は七倍を償わなければならない。たとえ彼の家のすべての富を費やしても。

しかし、女と姦淫を行う者は分別がなく、そうする者は自分自身を滅ぼす。

彼は傷と恥辱に直面し、その恥は決して消え去らない。

34 嫉妬は人を激怒させ、復讐の日には容赦しない。

35 彼はどんな賠償も受け入れず、どんなに大きな賄賂であっても、それを拒む。

7 わが子よ、わたしの言葉を守り、わたしの命令をあなたのうちに宝として蓄えなさい。

わたしの命令を守って生きなさい。わたしの教えをあなたの目の瞳として守りなさい。

それらをあなたの指に結び、あなたの心の板に刻みなさい。

知恵に「あなたはわたしの姉妹だ」と言い、理解をあなたの親しい友と呼びなさい。

5 それらがあなたを、言葉で誘惑する外国の女、姦淫の女から守るために。

6 わたしの家の窓から、格子を通して外を見たとき、

わたしは無知な者の中に、若者の中に、分別のない若者を見た。

彼女の角の近くを通り、彼女の家への道を進んでいた。夕暮れ、夜の暗がりに。

19 すると、見よ、彼に会いに来た女がいた。娼婦のような服装で、心は狡猾であった。

彼女は騒がしく反抗的で、足は家に留まらない。今は通りに、今は広場に、彼女はあらゆる角で待ち伏せている。

彼女は彼を捕まえて口づけし、厚かましい顔で言った。

14 「今日はわたしの誓願を果たし、わたしの和解のいけにえの食べ物が家にあります。

だから、あなたに会いに出てきました。熱心にあなたを探し、見つけました。

わたしはエジプトの色とりどりのリネンで寝床を飾

りました。わたしは没薬、アロエ、シナモンで寝床を香り付けしました。

さあ、朝まで愛を深く飲み、愛撫を楽しみましょう。

わたしの夫は家を留守にしており、長い旅に出ています。

彼は金袋を持って行き、満月まで帰ってきません。」

21 彼女の多くの説得で彼を誘惑し、滑らかな唇で彼を誘惑した。

突然、彼は彼女に従った。牛が屠殺場に行くように、

または鹿が罠にかかるように、

23 矢が彼の肝臓を貫くまで。

鳥が罠に急ぐように、それが命を奪うことを知らずに。

24 だから今、わが子たちよ、わたしに聞き従い、わたしの言うことに注意を払いなさい。

あなたの心を彼女の道に向けさせず、彼女の道に迷い込まないようにしなさい。

彼女は多くの犠牲者を倒してきたからです。彼女の殺した者は大勢です。

彼女の家は墓への大通りであり、死の部屋へ降りる道です。

8 知恵は呼びかけないのか、理解はその声を上げないのか。

道の高い所で、道が交わる所で、彼女は立っている。町に入る門のそば、入口で、彼女は叫ぶ。

「人々よ、私はあなたたちに呼びかけ、私の声は全人類に向けられている。

単純な者たちよ、慎重さを得よ。愚かな者たちよ、知恵を理解せよ。

聞け、私は高貴なことを語る。私の唇の開くところは正しいことを示す。

私の口は真実を語る。邪悪は私の唇には忌まわしい。

私の口のすべての言葉は正しい。それらには曲がったことも、ねじれたこともない。

洞察力のある者には、それらはすべてまっすぐである。知識を見つける者には、それらは正しい。

銀の代わりに私の教えを受け入れ、選りすぐりの金よりも知識を受け入れよ。

箴言

知恵はルビーよりも価値があり、あなたが望む何ものも彼女に等しいものはない。

12 「私、知恵は慎重さと共に住み、知識と分別を持っている。 13
主を恐れることは悪を憎むこと。私は高慢、傲慢、悪の道を憎む。

そして、*ねじれた言葉を憎む。*

14 健全な助言は私のものであり、真の知恵も私のもの。 15
私は理解であり、力は私のものである。
私を通して、王たちはその支配を行い、支配者たちは公正な布告を行う。 16
私によって、君主たちは統治し、貴族たちーすべて正しく判断する者たちも。 17
私は私を愛する者たちを大切に、熱心に私を求める者たちは私を見つける。 18
私と共にあるのは富と名誉、永続する富と正義。 19
私の実は金よりも、純金よりも良い。私の収穫は選りすぐりの銀を超える。 20
私は正義の道を歩み、公正の道の中を進む。 21
私を愛する者たちに富を授け、彼らの宝物を満たす。 22

「主はその業の初めとして私を創造し、昔のその行いの前に。 23
永遠から、私は確立され、始めから、世界が存在する前に。 24
海の深みが存在する前に、私は生み出され、水が溢れる泉の前に。 25
山々が創られる前に、丘の前に、私は生み出された。 26
。 27
彼が地を作る前に、その野や世界の塵の前に。
彼が天を定める時、彼が深みの面に円を描く時、私はそこにいた。 28
彼が上の空を堅くし、深みの泉をしっかりと固定する時、 29
彼が海に境界を定め、水が彼の命令を越えないようにする時、

そして*彼が地の基を定める時。*

30 その時、私は彼のそばにいて、名匠として、私は日々彼の喜びであった。

常に*彼の前で喜び、* 31 *彼の創造に喜びを見出し、人類に喜びを持つ。*

32 「だから今、私の子供たちよ、私に聞け。私の道を守る者は幸いである。 33
私の教えを聞いて賢くなれ。それを無視するな。 34
私を聞く人は幸いである。日々私の門で見張り、私の戸口で待つ。 35
私を見つける者は命を見出し、主からの恵みを受ける。 36
しかし、私を見つけれない者は自分を害し、私を憎む者は死を愛する。」

9 知恵はその家を建て、その七つの柱を刻み出した。 2
彼女はその宴を準備し、その酒を混ぜ合わせた。 3

彼女はまたその食卓を整えた。
3 彼女はその召使いを送り出し、町の高い所から呼びかける、 4 「愚かな者はここに来なさい！」
愚かさを欠く者に彼女は言う、 5
「来て、私の食べ物を食べ、私が混ぜた酒を飲みなさい。 6
愚かさを捨てて生きなさい。洞察の道を歩みなさい。」 7

あざける者を正す者は恥を招き、悪者を戒める者は侮辱を受ける。 8
あざける者を戒めるな、彼らがあなたを憎むことのないように。

賢い者を戒めよ、そうすれば彼らはあなたを愛する。

9 *賢い者に教えよ、そうすれば彼らはさらに賢くなる。*

正しい者に教えよ、そうすれば彼らは学びを深める。

10 主を敬うことは知恵の基であり、聖なる者を知ることから理解が生まれる。 11
知恵によってあなたの日々は増し、あなたの命に年が加えられる。 12
もしあなたが賢ければ、その知恵はあなたに利益をもたらす。もしあざげれば、あなた一人でその責任を負う。

13 愚かさは騒がしい女であり、彼女は無知で何も知ら

箴言

ない。¹⁴
彼女はその家の入口に座り、町の高い所の席に座っている。¹⁵
通り過ぎる者に呼びかけ、彼らがその道を行く間に、¹⁶「愚かな者はここに来なさい！」
そして愚かさを欠く者に彼女は言う、¹⁷「盗んだ水は甘く、秘密に食べるパンは楽しい。」
¹⁸
しかし彼らは、そこに死者が住んでいることを知らず、彼女の客は墓の深みにいることを知らない。

10 これらはソロモンの言葉です。賢い子は父に喜びをもたらし、愚かな子は母に悲しみをもたらしませう。²
不正に得た利益は長続きしませんが、正義は死から救います。³
主は正しい者を飢えさせず、悪者の欲望を挫きます。⁴
。忘れた手は貧困をもたらし、勤勉な手は富をもたらしませう。⁵
夏に集める者は賢明な子ですが、収穫の時に眠る者は恥ずべき子です。⁶
祝福は正しい者の頭に冠をかぶせますが、悪者の口は暴力を隠します。⁷
正しい者の記憶は祝福ですが、悪者の名は腐ります。⁸
。心の賢い者は命令を受け入れますが、愚かなことを話す者は滅びます。⁹
誠実に歩む者は安全に歩みますが、曲がった道を行く者は発見されます。¹⁰
悪意を持ってウイंकする者は悲しみをもたらし、愚かなことを話す者は滅びます。¹¹
正しい者の言葉は命の源ですが、悪者の言葉は害を隠します。¹²
憎しみは争いを引き起こしますが、愛はすべての過ちを覆います。¹³
分別のある者の唇には知恵がありますが、分別のない者の背には杖があります。¹⁴
賢い者は知識を蓄えますが、愚かな者の言葉は滅びを招きます。¹⁵
富者の富は彼らの要塞ですが、貧者の貧困は彼らの滅びです。¹⁶
正しい者の報酬は命に導きますが、悪者の収入は罰をもたらしませう。¹⁷
訓戒を聞く者は命への道を示しますが、矯正を無視する者は他を迷わせます。¹⁸
憎しみを偽りの言葉で隠し、中傷を広める者は愚かです。¹⁹
言葉が多いと罪は避けられませんが、唇を抑える者は賢いのです。²⁰

正しい者の舌は選ばれた銀のようですが、悪者の心はほとんど価値がありません。²¹
正しい者の唇は多くの人を養いますが、分別のない者は滅びます。²²
主の祝福は富をもたらし、それに悲しみを加えません。²³
愚かな者は悪事を楽しますが、賢い者は理解を喜びます。²⁴
悪者の恐れることは彼らを襲いますが、正しい者の願いは叶えられます。²⁵
嵐が過ぎ去ると、悪者はもはや存在せず、正しい者は永遠に堅く立ちます。²⁶
酢が歯に、煙が目にしみるように、怠け者は彼を送る者にとってそうです。²⁷
主を敬うことは命を長くしますが、悪者の年は短くなります。²⁸
正しい者の希望は喜びですが、悪者の期待は滅びます。²⁹
主の道は無垢な者の避難所ですが、悪を行う者には滅びです。³⁰
正しい者は安全に留まりますが、悪者は地に留まることはありません。³¹
正しい者の言葉は知恵の実を結びますが、曲がった舌は沈黙します。³²
正しい者の唇は何が好ましいかを知っていますが、悪者の口は何が曲がっているかだけを知っています。
。

11 主は偽りのはかりを憎むが、正確な重りは彼の喜びである。²
高慢が来ると恥も来るが、謙遜な者には知恵がある。³
正直な者の誠実さは彼らを導くが、不誠実な者の裏切りは彼らを滅ぼす。⁴
富は怒りの日に無益だが、義は死から救う。⁵
潔白な者の義は彼らの道を清めるが、悪者は自らの悪によってつまずく。⁶
正直な者の義は彼らを救うが、裏切り者は自らの食欲に捕らえられる。⁷
悪者が死ぬと、その望みは消え、その力の約束は無に帰する。⁸
正しい者は困難から救われ、悪者にそれが降りかかる。⁹
神を知らない者はその口で隣人を滅ぼすが、知識によって正しい者は救いを見出す。¹⁰
正しい者が栄えると町は喜び、悪者が滅びると祝賀がある。¹¹
町は正しい者の祝福によって高められるが、悪者の言葉によって滅ぼされる。¹²
隣人を軽んじる者は判断力に欠けるが、理解のある

箴言

者は黙っている。¹³
噂話をする者は秘密を漏らす、信頼できる者は事を隠す。¹⁴
指導がなければ国は倒れるが、多くの助言者によって勝利が来る。¹⁵
見知らぬ人の保証をする者はそれで苦しむが、そのような誓約を避ける者は安全である。¹⁶
心優しい女性は名誉を得るが、無慈悲な男は富しか得ない。¹⁷
慈悲深い者は自分に利益をもたらすが、残酷な者は自分に害をもたらす。¹⁸
悪者は欺瞞の報酬を得るが、義を蒔く者は真の報いを受ける。¹⁹
義に堅く立つ者は命を得るが、悪を追い求める者は死に至る。²⁰
主は曲がった心を持つ者を憎むが、潔白な者を喜ぶ。²¹
確かに、悪者は罰を免れないが、正しい者は救われる。²²
豚の鼻に金の輪のように、分別のない美しい女性がいる。²³
正しい者の願いは良い結果をもたらすが、悪者の期待は怒りをもたらす。²⁴
自由に与える者はさらに多くを得るが、不当に控える者は貧困に至る。²⁵
寛大な者は栄え、他者を潤す者は自らも潤される。²⁶
穀物を溜め込む者は人々に呪われるが、売ることをいとわない者には祝福がある。²⁷
善を求める者は好意を見出すが、悪を追い求める者には悪が来る。²⁸
富に頼る者は倒れるが、正しい者は青々とした葉のように栄える。²⁹
家族に災いをもたらす者は風を相続し、愚か者は賢者に仕える。³⁰
正しい者の実は命の木であり、賢者は命を救う。³¹
正しい者が地上で報いを受けるなら、悪者と罪人はなおさらである！

12 訓練を受する者は知識を受するが、叱責を軽んじる者は愚かである。²
善良な人は主からの恵みを受けるが、悪を企む者は主に非難される。³
悪によって確立される者はいないが、正しい者の根は揺るがない。⁴
高貴な性格の妻は夫の冠であるが、恥をもたらす妻は彼の骨に腐敗のようである。⁵
正しい者の思いは公正であるが、悪者の助言は欺瞞である。⁶
悪者の言葉は血を狙って待ち伏せするが、正直者の

言葉は彼らを救う。⁷
悪者は打ち倒されて消え去るが、正しい者の家は堅く立つ。⁸
人はその洞察によって称賛されるが、曲がった心を持つ者は軽蔑される。⁹
低い地位にあっても召使がいる方が、偉そうに見せかけて食べ物が無いより良い。¹⁰
正しい者はその動物の命を気遣うが、悪者の最も親切な行為も残酷である。¹¹
自分の土地を耕す者は豊富な食べ物を持つが、無価値な追求を追う者は分別がない。¹²
悪者は悪事を働く者の略奪を望むが、正しい者の根は実を結ぶ。¹³
悪事を働く者はその罪深い言葉に捕らえられるが、正しい者は困難を逃れる。¹⁴
人々はその言葉の実から良いものを満たされ、その手の働きが報いをもたらす。¹⁵
愚か者の道は彼らには正しく見えるが、賢い者は助言に耳を傾ける。¹⁶
愚か者はすぐに苛立ちを示すが、慎重な者は侮辱を見過ごす。¹⁷
正直な証人は真実を語るが、偽りの証人は欺瞞を語る。¹⁸
軽率な言葉は剣のように突き刺すが、賢い者の舌は癒しをもたらす。¹⁹
真実の言葉は永続するが、欺瞞の言葉は短命である。²⁰
心に欺瞞を抱く者は悪を企むが、平和を促進する者は喜びを経験する。²¹
正しい者は持続する害に遭わないが、悪者は困難で満たされる。²²
主は偽りの唇を嫌い、信頼できる者を喜ぶ。²³
慎重な者はその知識を自分に留めるが、愚か者の心は愚かさを口にする。²⁴
勤勉な手は支配するが、怠惰は強制労働に至る。²⁵
不安は心を重くするが、親切な言葉はそれを持ち上げる。²⁶
正しい者は友を選ぶのに慎重であるが、悪者の道は彼らを迷わせる。²⁷
怠惰な者は獲物を焼かないが、勤勉な者はその資源を利用する。²⁸
正義の道には命があり、その道には死がない。

13 知恵のある息子は父の指導に耳を傾けるが、あざける者は矯正に注意を払わない。²
人の口の実から、良いものが楽しめるが、不誠実な者の欲望は暴力を求める。³
口を守る者は命を守るが、軽率に話す者は破滅に至る。⁴
怠け者の魂は欲しても何も得られないが、勤勉な者

箴言

の願いは十分に満たされる。⁵
正しい者は偽りを嫌うが、悪者は恥ずべきことをし
、嫌悪される。⁶
正義は誠実な人を守るが、悪は罪人を覆す。⁷
富んでいるふりをして何も持たない者がいる；貧し
いふりをして大いなる富を持つ者がいる。⁸
人の富はその命を贖うことができるが、貧しい者は
叱責を聞かない。⁹
正しい者の光は明るく輝くが、悪者の灯は消える。¹⁰

高慢は争いを引き起こすが、知恵は助言を受け入れ
る者に出だされる。¹¹
不正に得た富は減少するが、少しずつ集める者はそ
れを増やす。¹²
遅れた希望は心に重くのしかかるが、願いがかな
うと、それは命の木のようなものである。¹³
教えを軽んじる者はそれに苦しむが、命令を尊重す
る者は報われる。¹⁴
賢者の教えは命の泉であり、死の罠から遠ざける。¹⁵

良い判断は好意を得るが、裏切り者の道は破滅に至
る。¹⁶
慎重な者は知識をもって行動するが、愚かな者はその
愚かさをさらけ出す。¹⁷
悪い使者は不幸に遭うが、信頼できる使者は癒しを
もたらす。¹⁸
規律を無視する者には貧困と恥が来るが、矯正を聞
く者は尊敬される。¹⁹
願いがかなうことは魂に甘いが、愚かな者は悪から離
れることを嫌う。²⁰
賢者と共にいる者は賢くなり、愚かな者の仲間は害を
受ける。²¹
災いは罪人を追いかけるが、正しい者は繁栄で報わ
れる。²²
良い人は孫のために遺産を残すが、罪人の富は正し
い者のために蓄えられる。²³
貧しい者の耕されていない畑には豊かな食物がある
が、不正によってそれは奪われる。²⁴
むちを惜しむ者はその子を憎むが、その子を受する
者は熱心に懲らしめる。²⁵
正しい者は心ゆくまで食べるが、悪者の腹は空腹の
ままである。

14 賢い女は自分の家を建てるが、愚かな女は
自分の手でそれを壊す。²
正しく歩む者は主を恐れるが、曲がった道
を行く者は主を軽んじる。³
愚かな者の口には背中を打つ杖があるが、賢い者の
唇は彼らを守る。⁴
牛がいなければ飼葉桶はきれいだが、多くの収穫

は牛の力から来る。⁵
真実な証人は嘘をつかないが、偽りの証人は欺きを
語る。⁶
あざける者は知恵を求めても見つけられないが、理
解のある者には知識が容易に見つかる。⁷
愚かな者の前から離れよ、彼の唇には知識の言葉が
見つからないからだ。⁸
慎重な者の知恵は自分の道を理解することだが、愚
かな者の愚かさは欺きである。⁹
愚かな者は罪の償いを軽んじるが、正しい者には善
意が見つかる。¹⁰
心は自分の苦しみの程度を知っており、他人はその
喜びを完全に共有することはできない。¹¹
悪者の住まいは倒されるが、正しい者の住まいは栄
える。¹²
人には正しいと思われる道があるが、その終わりは
死に至る。¹³
笑っていても心は痛むことがあり、喜びの終わりに
は悲しみがある。¹⁴
不信仰な者は自分の道で満たされるが、良い人は自
分の道で満足する。¹⁵
単純な者は何でも信じるが、慎重な者は自分の歩み
を考える。¹⁶
賢い者は注意深く悪を避けるが、愚かな者は無謀で
自信過剰である。¹⁷
短気な者は愚かに行動し、悪事を企む者は軽蔑され
る。¹⁸
素朴な者は愚かさを得るが、慎重な者は知識で飾ら
れる。¹⁹
悪事を働く者は善良な者の前にひれ伏し、悪者は正
しい者の門でひれ伏す。²⁰
貧しい者は隣人にさえ避けられるが、富める者には
多くの友がいる。²¹
隣人を軽んじることは罪であるが、貧しい者に親切
な者は幸いである。²²
悪を企む者は迷い出ないか？しかし、善を計画する
者には親切と真実が来る。²³
すべての勤勉な働きには利益があるが、無駄な話は
貧困に至るだけである。²⁴
賢い者の富は彼らの冠であるが、愚かな者の愚か
さはただの愚かさである。²⁵
真実な証人は命を救うが、嘘を語る者は欺く者であ
る。²⁶
主を恐れることには強い自信があり、その子供たち
には避難所となる。²⁷
主を恐れることは命の泉であり、死の罠から離れる
。 ²⁸
国の多くの民は王の誉れであるが、追隨者のいない
君主は滅びる。²⁹

箴言

怒りを遅くする者は大いなる理解を持つが、短気な者は愚かさを示す。 30

穏やかな心は体に命を与えるが、嫉妬は骨を腐らせる。 31

貧しい者を虐げる者はその造り主を軽んじるが、困っている者に親切な者は主を敬う。 32

災難が来るとき、悪者は倒されるが、正しい者は死んでも避難所を持つ。 33

知恵は識別力のある者の心に宿るが、愚かな者の間でも彼女は知られる。 34

正義は国を高めるが、罪はどの民にも恥をもたらす。 35

王は賢く行動するしもべを喜び、恥ずかしい行動をする者に対して怒る。

15 柔らかな答えは怒りをそらす、激しい言葉は憤りを引き起こす。 2

知恵ある者の舌は知識を高めるが、愚か者の口は愚かさをまき散らす。 3

主の目はすべての場所があり、悪者と善者を見守っている。 4

癒しの舌は命の木であるが、ねじれた舌は霊を打ち砕く。 5

愚か者は親の訓戒を拒むが、戒めを受け入れる者は賢い。 6

正しい者の家には大いなる富があるが、悪者の収入は悩みをもたらす。 7

知恵ある者の唇は知識を広めるが、愚か者の心は正しくない。 8

悪者のいけにえは主に忌み嫌われるが、正しい者の祈りは主を喜ばせる。 9

主は悪者の道を嫌うが、義を追い求める者を受する。 10

道を外れる者には厳しい訓戒が待っている。戒めを嫌う者は死ぬ。 11

シェオルとアバドンは主の前に開かれている。まして人の心はなおさらである。 12

あざける者は訓戒を嫌い、賢者を求めない。 13

喜びに満ちた心は顔を明るくするが、心が砕かれると霊を打ち砕く。 14

分別のある心は知識を求めるが、愚か者の口は愚かさにふける。 15

虐げられた者の日々は困難であるが、心が明るい者は常に宴を楽しむ。 16

主を恐れることが少しでもある方が、騒乱の中で大いなる富を持つよりも良い。 17

愛のある少しの野菜が、憎しみのある肥えた牛よりも良い。 18

怒りっぽい者は争いを引き起こすが、怒りを遅らせる者は争いを鎮める。 19

怠け者の道は灰の垣根のようだが、正しい者の道は広い道である。 20

賢い子は父を喜ばせるが、愚かな者は母を軽んじる。 21

愚かさは分別のない者に喜びをもたらすが、理解のある者はまっすぐな道を歩む。 22

相談がなければ計画は失敗するが、多くの助言者がいれば成功する。 23

適切な返答に喜びを見出し、時宜を得た言葉はどれほど心地よいことか。 24

慎重な者の命の道は上に向かい、彼らをシェオルに下らせない。 25

主は高慢な者の家を壊すが、やもめの境界を守る。 26

主は悪しき計画を忌み嫌うが、優しい言葉は純粋である。 27

食欲な者は家に悩みをもたらすが、賄賂を嫌う者は生きる。 28

正しい者の心は答えを考えるが、悪者の口は悪を吐き出す。 29

主は悪者から遠く離れているが、正しい者の祈りを聞く。 30

明るい目は心に喜びをもたらし、良い知らせは骨を潤す。 31

命を与える訓戒に耳を傾ける者は賢者の中に住む。 32

訓戒を無視する者は自分を軽んじるが、戒めを守る者は理解を得る。 33

主を恐れることは知恵の訓戒であり、榮譽の前には謙遜がある。

16 心の計画は人に属するが、舌の応答は主から来る。 2

人の道はすべて自分の目には純粋に見えるが、主は動機を量る。 3

あなたの行動を主に委ねよ、そうすれば主はあなたの計画を確立される。 4

主はすべてをその目的のために作られた、悪者でさえ災いの日のために。 5

主は心の高ぶる者をすべて忌み嫌われる、確かに彼らは罰を免れない。 6

慈しみと真実によって罪は贖われる、主を恐れることによって悪は避けられる。 7

人の道が主の御心になうとき、主はその敵をも彼と和らげる。 8

不正な多くの利益よりも、正義を伴う少しの方が良い。 9

人は心で自分の道を計画するが、主がその歩みを導かれる。

神の決定は王の唇にあり、その口は正義を裏切ってはならない。 11

正しいはかりと天秤は主のものであり、袋の中のすべての重りは主の関心事である。 12

王たちは不正を忌み嫌う、王座は正義によって確立されるからである。 13

正しい唇は王たちの喜びであり、彼らは正しいことを話す者を愛する。 14

王の怒りは死の使者であるが、賢い者はそれを和らげる。 15

王の顔の光には命があり、その恵みは春の雨をもたらす雲のようである。

金を得るよりも知恵を得る方がどれほど良いことか、理解を得ることは銀よりも選ばれるべきである。

正しい者の道は悪から遠ざかる、その道を守る者は命を保つ。 18

高慢は破滅に先立ち、驕る心は倒れる前にある。 19

抑圧された者と共に心を低くする方が、高ぶる者と戦利品を分けるよりも良い。 20

教えに注意を払う者は良いものを見出し、主に信頼する者は幸いである。 21

心の賢い者は識別力があると呼ばれ、言葉の甘さは説得力を増す。 22

理解はそれを持つ者にとって命の泉であるが、愚か者の愚かさは罰をもたらす。 23

賢い者の心はその口を慎重にし、その唇は学びを促進する。 24

心地よい言葉は蜂蜜の巣のようであり、魂に甘く骨を癒す。

人には正しいと思われる道があるが、その終わりは死に至る。 26

労働者の食欲は彼らのために働き、その飢えが彼らを駆り立てる。 27

無価値な者は悪を企て、その言葉は焼け付く火のようである。 28

曲がった者は争いを引き起こし、中傷者は親しい友を引き離す。 29

暴力的な者は隣人を誘惑し、彼らを有害な道へと導く。 30

目でウインクする者は曲がったことを企て、唇を圧縮する者は悪を実現させる。 31

白髪は栄光の冠であり、それは正義の道に見出される。 32

忍耐強い者は戦士よりも良く、自分の精神を制する

者は都市を征服する者よりも良い。
くじは膝に投げられるが、そのすべての決定は主から来る。

17

争いのある家での宴会よりも、平和のある乾いたパン切れの方が良い。 2

賢いしもべは恥ずべき息子を治め、家族の中で遺産を分け合う。 3

るつぼは銀のために、炉は金のためにあるが、主は心を調べる。 4

悪を行う者は偽りの唇に耳を傾け、嘘をつく者は有害な舌に注意を払う。 5

貧しい者を嘲る者はその造り主を侮辱し、災難を喜ぶ者は罰を免れない。 6

孫は祖父母の誇りであり、子供たちの栄誉は親にある。 7

雄弁な言葉は愚か者には不適切であり、ましてや指導者にとって偽りの唇はなおさらである。 8

賄賂はそれを与える者にとって魅力のようなものであり、彼が向かうところどこでも成功する。 9

罪を覆う者は愛を促進するが、問題を繰り返す者は親しい友を引き離す。 10

叱責は、百の鞭よりも洞察力のある人に深く浸透する。 11

反抗的な人は悪を求めるだけである。それゆえ、残酷な使者が彼に送られる。 12

愚か者の愚行に出会うよりも、子を奪われた熊に出会う方が良い。 13

善に悪で報いる者の家からは、悪は去らない。 14

争いの始まりは水を放つようなものである。それゆえ、争いが起こる前にそれを放棄せよ。 15

悪者を正当化し、正しい者を非難することは、主にとってどちらも忌まわしいことである。 16

理解のない者が知恵を買うために金を持つのはなぜか。 17

友は常に愛し、兄弟は逆境の時のためにいる。 18

分別のない者は握手して保証人となる。 19

争いを受ける者は罪を愛し、戸口を高くする者は破滅を求める。 20

曲がった心を持つ者は良いものを見つせず、偽りの舌を持つ者は困難に陥る。 21

愚か者を子に持つことは悲しみをもたらし、愚か者の親には喜びがない。 22

陽気な心は良い薬であり、打ちひしがれた精神は骨を乾かす。 23

悪者は秘密に賄賂を受け入れ、正義の流れを歪める。 24

。知恵は理解のある者の前にあり、愚か者の目は地の果てまでさまよう。 25

愚かな息子は父に悲しみをもたらし、彼を産んだ母

箴言

に悲しみをもたらす。²⁶
無実の者を罰することは良くなく、正直な者をその
誠実さのために鞭打つことも良くない。²⁷
知識のある者は言葉を控えめに使い、穏やかな精神
を持つ者は理解のある人である。²⁸
愚か者であっても、黙っていれば賢いと見なされ、
口を閉じていれば洞察力があると見なされる。

18 孤立する者は自分の欲望を求め、すべての
健全な判断に逆らって争う。²
愚か者は理解を喜ばず、ただ自分の考えを
表現することだけを喜ぶ。³
悪が到来するとき、軽蔑もやって来る。恥と共に非
難が来る。⁴
人の口から出る言葉は深い水であり、知恵の泉は流
れる小川である。⁵
悪者をひいきにすることや、正しい者に正義を否定
することは良くない。⁶
愚か者の唇は彼らを争いに巻き込み、その口は打た
れることを招く。⁷
愚か者の口は彼らの破滅であり、その唇は彼らの魂
の罠である。⁸
噂話の言葉は選ばれた美味であり、彼らの最も内側
に下っていく。⁹
仕事に怠ける者は、破壊する者の兄弟である。¹⁰
主の名は強い塔であり、正しい者はそこに走り込ん
で安全を得る。¹¹
富者の富は彼らの要塞都市であり、彼らはそれを登
れない壁と見なす。¹²
破滅の前に、人の心は高慢であるが、謙遜は名誉に
先立つ。¹³
聞く前に答えることは愚かであり、恥をもたらす。
¹⁴
人の霊は病気のときに彼らを支えるが、打ち砕かれ
た霊は誰が耐えられるだろうか？¹⁵
洞察力のある心は知識を得、賢い者の耳はそれを求
める。¹⁶
贈り物は贈り主の道を開き、彼らを偉大な者の前に
連れて行く。¹⁷
最初に自分の言い分を述べる者は正しいように見え
るが、他の者が来て彼らを調べるまでである。¹⁸
くじを引くことは争いを終わらせ、強力な対抗者を
分ける。¹⁹
怒らせた兄弟は要塞都市よりも頑固であり、争いは
城塞の閉ざされた門のようである。²⁰
彼らの口の果実から人の腹は満たされ、彼らの唇の
産物で満足する。²¹
舌は生と死の力を持ち、それを愛する者はその果実
を食べる。²²
妻を見つける者は良いものを見つけ、主からの恵み

を受ける。²³
貧しい者は慈悲を乞うが、富者は厳しく応じる。²⁴
友が多すぎる者は破滅に至るかもしれないが、兄弟
よりも親しい友がいる。

19 誠実に歩む貧しい人は、口が曲がっていて
愚かな者よりも良い。²
知識のない欲望は良くなく、急いで歩む者
は道を誤る。³
人の愚かさが破滅を招くが、その心は主に対して怒
る。⁴
富は多くの友を呼ぶが、貧しい人は友から遠ざけら
れる。⁵
偽りの証人は罰を免れず、偽りを広める者は逃れら
れない。⁶
多くの人が寛大な人の好意を求め、贈り物をする者
には皆が友となる。⁷
貧しい人の親戚は彼方を避ける。ましてや友は彼を
避ける。彼が懇願しても、彼らは見つからない。⁸
知恵を得る者は自分の魂を愛し、理解を大切にする
者は良いものを見つける。⁹
偽りの証人は罰を免れず、偽りを広める者はその終
わりを迎える。¹⁰
愚か者に贅沢は似合わない。ましてや、しもべが貴
族を治めることはなおさらである。¹¹
人の知恵は彼を怒りに遅らせ、侮辱を見過ごすこと
は彼の栄光である。¹²
王の怒りは獅子の咆哮のようであり、その好意は草
の上の露のようである。¹³
愚かな子は父の破滅であり、妻の争いは絶え間ない
滴りのようである。¹⁴
財産と富は親から受け継ぐが、賢い妻は主からのも
のである。¹⁵
怠惰は深い眠りをもたらし、怠け者は飢えに苦しむ
。¹⁶
戒めを守る者は命を守り、行動に無頓着な者は死ぬ
。¹⁷
貧しい人に親切な者は主に貸し、主はその善行に報
いる。¹⁸
希望があるうちに子供を訓練し、その死に加担して
はならない。¹⁹
怒りっぽい者は罰を受けなければならない。もし彼
を助けるなら、またそれをしなければならぬ。²⁰
助言を聞き入れ、訓練を受け入れよ。そうすれば、
残りの日に賢くなる。²¹
人の心には多くの計画があるが、主の目的が立つ。
²²
人に望まれるのはその親切であり、貧しくても偽り
者よりは良い。²³
主への畏敬は命をもたらし、その後は満足して休み

箴言

、災いに触れない。²⁴
怠け者は手を鉢に入れても、口に戻すことすらしない。²⁵
あざける者を打てば、単純な者は慎重さを学び、賢明な者を叱れば、知識を得る。²⁶
父を奪い、母を追いつ出す者は恥ずべき不名誉な息子である。²⁷
教える聞くのをやめれば、知識の言葉から迷い出る。²⁸
。無価値な証人は正義をあざけり、悪者の口は不正を飲み込む。²⁹
あざける者には裁きが用意されており、愚か者の背には打撃がある。

20 酒はあざける者であり、強い飲み物は騒がしい者である。それに惑わされる者は賢くない。²
王の怒りはライオンのほえ声のようであり、彼を怒らせる者は命を失う。³
争いを避けることは人にとって名誉であるが、愚か者はすぐに争う。⁴
怠け者は時期に耕さない。それゆえ、収穫の時に見ても何も得られない。⁵
人の心の目的は深い水のようにであるが、理解のある者はそれを汲み出す。⁶
多くの人は自分の誠実な愛を宣言するが、忠実な人を誰が見つけることができるだろうか。⁷
正しい者は誠実に歩む。その子供たちは後に祝福される。⁸
裁きの座に座る王は、その目で全ての悪をふるい分ける。⁹
「私は心を清めた。罪から解放された」と言える者は誰か。¹⁰
異なる重さと異なる尺度は、どちらも主にとって忌まわしいものである。¹¹
子供でさえ、その行動によって知られる。その行いが純粹で正しいかどうか。¹²
聞く力と見る力は、どちらも主によって作られた。¹³
眠りを愛してはならない。さもないと貧しくなる。目を開ければ、食べ物有余。¹⁴
「良くない、良くない」と買い手は言うが、去ってから自慢する。¹⁵
金と豊富な宝石があるが、知識を語る唇はまれな宝である。¹⁶
見知らぬ者のために保証をする者の衣服を取り、外部の者のためならばそれを質に取れ。¹⁷
欺きによって得た食物は甘い、その後、口は砂利で満たされる。¹⁸
計画は助言によって確立される。賢明な指導で戦争

を行え。¹⁹
ゴシップは信頼を裏切る。したがって、話しすぎる者を避けよ。²⁰
父や母を呪う者は、その灯が暗闇の中で消される。²¹
急いで得た遺産は、最後には祝福されない。むしろ、主「悪に報いる」と宣言してはならない。むしろ、主を待て。そうすれば彼があなたを救う。²³
異なる重さは主にとって忌まわしいものであり、不正なばかりは良くない。²⁴
主は人の歩みを導く。どうして誰も自分の道を完全に理解できるだろうか。²⁵
衝動的に何かを捧げることは危険であり、後になって誓いを反省する。²⁶
賢い王は悪者をふるい分け、脱穀車を彼らの上に転がす。²⁷
人間の精神は主の灯であり、すべての内なる部分を探る。²⁸
愛と誠実は王を保ち、忠誠によってその王座は確かなものとなる。²⁹
若者の栄光はその力であり、老人の輝きはその白髪である。³⁰
打撃と傷は悪を取り除き、打たれることは内なる存在を清める。

21 王の心は主の手の中の水路のようであり、主が望むところにそれを向ける。²
人の道は自分の目には正しく見えるが、主は心を評価する。³
義と正義を行うことは、犠牲よりも主にとって望ましい。⁴
高慢な目と誇り高い心、悪しき者の灯火は罪である。⁵
勤勉な者の計画は確かに利益をもたらすが、急ぐ者は貧困に終わる。⁶
偽りの舌で富を得ることは、つかの間の蒸気であり、致命的な罠である。⁷
悪しき者の暴力は彼らを連れ去る、なぜなら彼らは正義を行うことを拒むからである。⁸
有罪の者の道はねじれているが、純粋な者の行動はまっすぐである。⁹
争い好きな女と家を共にするよりも、屋根の隅に住む方がよい。¹⁰
悪しき者の魂は悪を欲しが、彼らは隣人に慈悲を示さない。¹¹
あざける者が罰せられると、単純な者は知恵を得る；賢い者が教えられると、知識を受け取る。¹²
正しい者は悪しき者の家を考え、彼らを滅ぼす。¹³
貧しい者の叫びに耳を閉じる者は、自らも叫び、答えられない。¹⁴
秘密に与えられる贈り物は怒りを静め、衣の中に隠

箴言

された賄賂は強い怒りを和らげる。¹⁵
正義の執行は正しい者に喜びをもたらすが、悪を行
う者には恐怖をもたらす。¹⁶
理解の道から外れる者は死者の仲間に休むことに
なる。¹⁷
快楽を愛する者は貧しくなり、酒と油を愛する者は
富を得ない。¹⁸
悪しき者は正しい者の身代わりとなり、裏切り者は
正直者のために尽くす。¹⁹
争い好きで怒りっぽい女と共にいるよりも、砂漠に
住む方が良い。²⁰
賢い者は貴重な宝と油を蓄えるが、愚かな者はそれ
をすべて消費する。²¹
義と愛を求める者は、命、繁栄、名誉を発見する。
²²
賢い者は強者の町を登り、その頼りにする要塞を打
ち倒すことができる。²³
口と舌を守る者は、自らをトラブルから守る。²⁴
高慢で傲慢な者、「あざける者」として知られる者
は、横柄な誇りを持って行動する。²⁵
忘ける者の欲望は彼の破滅となる、なぜなら彼の手は
働くことを拒むからである。²⁶
彼は一日中欲しがすが、正しい者は惜しみなく与え
る。²⁷
悪しき者の犠牲は忌まわしく、悪意を持って捧げら
れるとさらに忌まわしい。²⁸
偽りの証人は滅びるが、聞く者は耐えて語る。²⁹
悪しき者は大胆な顔をするが、正直な者は自分の道
を慎重に考える。³⁰
主に対抗できる知恵も理解も計画もない。³¹
馬は戦いの日のために備えられるが、勝利は主のも
のである。

22 良い名声は大いなる富に勝り、尊ばれるこ
とは銀や金に勝る。²
富者と貧者は共にこれを持っている。主が
彼らすべての造り主であること。³
慎重な人は危険を見て避けるが、愚かな者は進んで
罰を受ける。⁴
謙遜と主への畏れの報いは、富と名誉と命である。
⁵
悪者の道には茨と罠がある。自分の命を守る者はそ
れらから遠ざかる。⁶
子供をその行くべき道に教えよ。そうすれば、彼が
年をとってもそれを離れない。⁷
富を持つ者は少ない者に権威を持ち、借りる者は貸
す者に仕える立場にある。⁸
不正を蒔く者は災いを刈り取る。その怒りの杖は折
られる。⁹
寛大な者は祝福される。彼らは必要な者に食物を分

け与えるからである。¹⁰
あざける者を追い出せ、争いは去り、口論と侮辱は
止む。¹¹
純粋な心を愛し、優雅な言葉を話す者は、王を友と
する。¹²
主の目は知識を守るが、不誠実な者の言葉を覆す。
¹³
忘ける者は言う、「外にライオンがいる！私は街で殺
される！」¹⁴
姦淫の女の口は深い穴である。主に呪われた者はそ
こに落ちる。¹⁵
愚かさは子供の心に結びついているが、懲らしめの
杖はそれを遠ざける。¹⁶
貧しい者を虐げて富を増やす者、または富者に贈り
物をする者は、貧困に陥るだけである。
¹⁷
耳を傾けて賢者の言葉を聞き、心を私の知識に向け
よ。¹⁸
それをあなたの中に保ち、唇に備えておくことは喜
ばしいことだからである。¹⁹
あなたの信頼が主にあるように、私は今日、あなた
に教える。²⁰
私はあなたに多くの助言と知識の言葉を与えてきた
ではないか。²¹
あなたに真実で信頼できる言葉を教え、あなたを送
った者に正しい答えを与えるために。²²
貧しいからといって貧者を搾取してはならず、門で
困窮者を押しつぶしてはならない。²³
主が彼らの訴えを取り上げ、正義をもたらすからで
ある。
²⁴
怒りっぽい者と友達になってはならず、容易に怒る
者と交わってはならない。²⁵
さもないと、彼らの道を学び、自分のために罠を見
つけるかもしれない。
²⁶
保証のために手を握る者や、借金の保証人となる者
の仲間になってはならない。²⁷
もし返済するものがないなら、なぜあなたの寝床が
奪われるべきなのか？²⁸
あなたの先祖が定めた古い境界石を動かしてはなら
ない。²⁹
仕事に熟練した者を見たことがあるか？彼らは王の
前に仕えるであろう。彼らは無名の人々の前に仕え
ない。

23 支配者と共に食事をする時、あなたの前に
置かれたものに注意を払いなさい。 2
もしあなたが大食いに関心なら、自分の喉
にナイフを当てなさい。 3
彼のごちそうを欲しがってはならない。その食べ物
は欺きである。 4
富を追い求めて疲れ果ててはならない。自分の理解
に頼るのをやめなさい。 5
それに目を留めると、それは消えてしまう。富は必
ず翼を生やし、鷲のように空に飛んでいくからだ。

6
けちな主人のパンを食べてはならない。また彼のこ
ちそうを欲しがってはならない。 7
彼が心の中で思っているように、彼はそうである。
彼はあなたに「食べて飲め」と言うが、彼の心は本
当にあなたと共にあるわけではない。 8
あなたは食べた一口を吐き出し、あなたの褒め言葉
を無駄にするだろう。 9
愚か者の耳に話してはならない。彼はあなたの言葉
の知恵を軽蔑するからだ。 10
古い境界石を動かしてはならない。また、孤児の畑
に侵入してはならない。 11
彼らの守護者は強い。彼はあなたに対して彼らの訴
えを取り上げるだろう。 12
教えに専念し、知識の言葉に耳を傾けなさい。 13
子供から懲らしめを控えてはならない。もし彼らを
杖で打っても、彼らは死なない。 14
彼らを杖で打ち、彼らの魂をシェオルから救い出
しなさい。 15
わが子よ、もしあなたの心が賢いなら、私の心は本
当に喜ぶだろう。 16
あなたの唇が正しいことを語るとき、私の最も深い
部分は喜ぶだろう。 17
あなたの心を罪人を羨んではならない。しかし、常
に主を恐れることに熱心でありなさい。 18
確かにあなたには将来の希望があり、あなたの希望
は断たれることはない。 19
聞きなさい、わが子よ、賢くなり、あなたの心を正
しい道に向けなさい。 20
酒を飲みすぎる者や肉を食べ過ぎる者の仲間になっ
てはならない。 21
酔っ払いと大食いは貧困に陥り、眠気は彼らをぼろ
服で覆うからだ。 22
あなたに命を与えた父に注意を払いなさい。そして
、彼女が年老いたときに母を軽蔑してはならない。 23
真実を買い、それを売ってはならない。知恵、教え
、理解を得なさい。 24
正しい子供の父は大いに喜ぶ。賢い息子を持つ者は

彼を喜ぶだろう。 25
あなたの父と母を喜ばせなさい。あなたを産んだ彼
女を喜ばせなさい。 26
わが子よ、私にあなたの心を与え、私の道を楽しむ
ようにしなさい。 27
淫らな女は深い穴であり、放蕩する妻は狭い井戸で
ある。 28
彼女は盗賊のように潜み、男たちの中の不誠実な者
を増やす。 29
誰が悲しみを持っているのか？誰が悲嘆を持ってい
るのか？誰が争いを持っているのか？誰が不満を持
っているのか？誰が不必要な傷を持っているのか？
誰が血走った目を持っているのか？ 30
それは長く酒に浸る者、混ぜた酒を試す者である。
31
酒が赤く、杯の中で輝き、滑らかに下るとき、それ
に心を奪われてはならない。 32
最後にはそれは蛇のように噛み、毒蛇のように刺す
からだ。 33
あなたの目は奇妙なものを見、あなたの心は歪んだ
ことを語るだろう。 34
あなたは大海の上で眠っている者のようになり、マ
ストの上に横たわっている者になるだろう。 35
「彼らは私を打ったが、私は痛くなかった！彼らは
私を打ったが、私は感じなかった！いつ目覚めて、
また飲み物を見つけることができるのか？」と言う
だろう。

24 悪人を羨んではならない、その仲間になり
たいと思ってはならない。 2
彼らの心は暴力を企み、彼らの唇は災いを
語るからである。 3
知恵によって家は建てられ、理解によってそれはし
っかりと据えられる。 4
知識によってその部屋は貴重で心地よい宝で満たさ
れる。 5
知恵のある人は強く、知識のある人はその力を増す
。 6
賢明な指導によって戦いを行い、多くの助言者によ
って勝利が得られる。 7
知恵は愚か者の手の届かないものである。彼らは町
の門で口を開かない。 8
悪を企む者は策略家として知られる。 9
愚かさの企ては罪であり、あざける者は人々に忌み
嫌われる。 10
困難な時にくじけるなら、あなたの力は小さい。 11
死に向かう者を救い、虐殺に向かう者を引き止めよ

箴言

。「私たちはこれを知らなかった」と言っても、心を量る方はそれを見抜かないだろうか？
あなたの命を守る方はそれを知らないだろうか？
彼は各々の行いに応じて報いるのではないか？
わが子よ、蜂蜜を食べよ、それは良いものである。
巣からの蜂蜜はあなたの味に甘い。
知恵があなたの魂に甘いことを知れ。それを見つければ、未来があり、あなたの希望は断たれない。
悪しき者よ、正しい者の家に待ち伏せしてはならない。その住まいを破壊してはならない。
正しい者は七度倒れてもまた起き上がるが、悪しき者は災難が襲うとつまずく。
敵が倒れたときに喜んではならない、彼らがつまずいたときに心を喜ばせてはならない。
主がそれに気づき、彼らから注意をそらすことができるように。
悪を行う者のために心を悩ませてはならない、悪しき者を羨んではならない。
悪を行う者には未来がなく、悪しき者の灯は消される。
わが子よ、主と王を恐れよ、反逆者と交わってはならない。
彼らの災いは突然起こるからである、彼らがどのような破滅をもたらすか誰が知ろうか？
これらもまた知恵のある者の言葉である。裁きにおいて偏見を示すことは良くない。
悪しき者を無罪とする者は、民に呪われ、国々に非難される。
しかし、有罪を宣告する者には幸いがあり、豊かな祝福が彼らに来る。
誠実な応答は、優しいキスのように心地よい。
外で仕事を準備し、畑でそれを整えよ。その後、家を建てよ。
理由なく隣人に対して証言してはならない、唇で欺いてはならない。
「彼らが私にしたように、私も彼らにしよう、彼らの行いに報いよう」と言ってはならない。
忘ける者の畑を通り過ぎ、知恵のない者のぶどう畑を通り過ぎた。
それは茨で覆われ、地面は雑草で覆われ、石の壁は崩れていた。
私はそれを見て心に留め、見て教訓を受けた。
少しの眠り、少しのまどろみ、少しの手を組んで休む—
すると貧しさが盗人のようにあなたに襲い、欠乏が武装した者のように襲う。

25 これらは、ユダの王ヒゼキヤの人々によって書き写されたソロモンのさらなる箴言である。
事を隠すことは神の栄光であり、事を探ることは王の誉れである。
天が高く、地が深いように、王の心は測り知れない。
銀から不純物を取り除け、銀細工師のために器が現れる。
王の前から悪者を取り除け、その王座は義によって確立される。
王の前で自分を高めてはならず、偉大な者の場所に立つてはならない。
「ここに上がれ」と彼があなたに言う方が、あなたが見た君主の前で辱めを受けるより良い。
急いで法廷に行ってはならない。隣人があなたを恥じ入らせたなら、最後にどうするのか。
隣人と争いを論じ、他人の秘密を裏切ってはならない。
それを聞く者があなたを恥じ入らせ、あなたの評判が損なわれることのないように。
適切に語られた言葉は、銀の飾りにある金のリングのようである。
金のイヤリングや上質な金の飾りのように、聞く耳に対する賢い叱責は価値がある。
収穫時の雪の冷たさのように、忠実な使者は彼を送った者にとって、彼の主人の魂を爽やかにする。
与えられない贈り物を自慢する者は、雨のない雲や風のようなものである。
忍耐によって支配者を説得でき、柔らかい舌は骨を折ることができる。
蜂蜜を見つけたら、必要な分だけ食べよ。さもないと、食べ過ぎて吐いてしまう。
隣人の家には滅多に足を踏み入れないようにせよ。さもないと、彼があなたを嫌い、憎むようになる。
棍棒、剣、鋭い矢のように、隣人に対して偽証する者がいる。
悪い歯や足の不自由な者のように、困難な時に不誠実な者に頼るのは危険である。
寒い日に衣服を取り去る者や、ソーダに酔をかける者のように、重い心に歌を歌う者がいる。
敵が飢えているなら、彼に食物を与えよ。渴いているなら、彼に水を飲ませよ。
こうすることで、彼の頭に燃える炭を積むことになり、主があなたに報いてくださる。
北風が雨をもたらすように、狡猾な舌は怒った顔をもたらす。
争い好きな女と家を共有するよりも、屋根の隅に住

箴言

む方が良い。²⁵
遠くからの良い知らせは、疲れた魂に冷たい水のようである。²⁶
濁った泉や汚れた井戸のように、悪者の前で談歩する正しい者がいる。²⁷
蜂蜜を食べ過ぎるのには良くないし、自分の栄光を求めるのも誉れではない。²⁸
城壁が崩れた町のように、自制心のない人がある。

26 夏の雪、収穫の雨のように、愚か者に名誉は似合わない。²
ひらひら舞う雀や飛び回る燕のように、理由のない呪いは止まらない。³
馬には鞭、ロバにはくつわ、愚か者の背には杖。⁴
愚か者にその愚かさに応じて答えてはならない。さもないと自分も彼のようになる。⁵
愚か者にその愚かさに応じて答えよ。さもないと彼は自分の目に賢いと思う。⁶
愚か者にメッセージを送るのは、自分の足を切り落とし、暴力を飲むようなものだ。⁷
足の不自由な人にとっての足のように、愚か者の口にある箴言は役に立たない。⁸
石を投石器に結びつけるように、愚か者に名誉を与えるのは同じだ。⁹
酔っ払いの手にある茨のように、愚か者の口にある箴言は危険だ。¹⁰
無目的に矢を放つ射手のように、愚か者や通りすがりの人を雇う者がいる。¹¹
犬が自分の吐いたものに戻るように、愚か者は自分の愚かさを繰り返す。¹²
自分の目に賢いと思う者を見たことがあるか？彼よりも愚か者の方が希望がある。¹³
怠け者は言う、「道にライオンがいる、通りにライオンがいる！」¹⁴
ドアがその蝶番で回るように、怠け者はその寝床で回る。¹⁵
怠け者はその手を皿に埋めるが、それを口に戻すのも疲れる。¹⁶
怠け者は、自分の目に七人の分別ある答えをする人よりも賢いと思う。¹⁷
自分の関係ない争いに首を突っ込む者は、犬の耳をつかむ者のようだ。¹⁸
燃える矢と死を放つ狂人のように、¹⁹
隣人を欺いて「冗談だった」と言う者がいる。²⁰
木がなければ火は消え、噂話がなければ争いは収まる。²¹
炭が燃えさかるように、木が火を燃やすように、争いを起こす人は争いを燃え上がらせる。²²
噂話の言葉は美味しい食べ物のように、心の奥深くまで入っていく。²³

銀のかすで覆われた土器のように、悪意のある心を持つ熱心な唇がある。²⁴
敵である者はその意図を唇で隠すが、心の中には欺きがある。²⁵
彼らの言葉が魅力的でも、信じてはならない。心には七つの忌まわしいものが満ちている。²⁶
彼らの悪意は欺きで隠されていても、その悪事は集会で明らかにされる。²⁷
穴を掘る者はその中に落ち、石を転がす者はそれが自分に戻ってくる。²⁸
欺く舌はそれが害する者を軽蔑し、お世辞を言う口は破滅をもたらす。

27 明日のことを誇るのをやめなさい。あなたは一日が何をもらすかを知らないからです。²
他の人にあなたを誉めさせなさい、自分の口ではなく；それが見知らぬ人であり、あなた自身の唇ではないように。³
石は重く、砂は重荷ですが、愚か者の挑発はその両方よりも重いです。⁴
怒りは残酷で、憤りは圧倒的ですが、嫉妬に立ち向かえる者は誰でしょうか？⁵
隠された愛よりも、開かれた叱責の方が良いです。⁶
友の傷は信頼できますが、敵の口づけは欺瞞です。⁷
満腹の人は蜂蜜を軽蔑しますが、空腹の人には苦いものでも甘く感じられます。⁸
巣からさまよう鳥のように、家を離れる人もそうです。⁹
香油と油は心に喜びをもたらし、友の甘さは彼らの誠実な助言から来ます。¹⁰
友や父の友を見捨ててはならず、災難の日に兄弟の家に行ってはならない；近くの隣人は遠くの兄弟よりも良いです。¹¹

賢くなりなさい、わが子よ、そして私の心を喜ばせなさい、そうすれば私を非難する者に答えることができます。¹²
慎重な者は危険を見て身を隠しますが、単純な者は進み続けてそれに苦しみます。¹³
見知らぬ人の保証をする者の衣服を取りなさい；それが外国人のためならば、それを担保として持っていないさい。¹⁴
誰かが朝早く大声で隣人を祝福するなら、それは呪いと受け取られるでしょう。¹⁵
雨の日の絶え間ない滴りは、口論好きな妻のようです。¹⁶

箴言

彼女を抑えようとするのは、風を抑えることや手で油をつかむことに似ています。

17 鉄が鉄を研ぐように、人は人を研ぎます。 18
いちじくの木を手入れする者はその実を食べ、その主人を世話する者は尊敬されるでしょう。 19
水が顔を映すように、人の心はその人を映します。

20
シェオルとアバドン決して満足しません、人の目も同様です。 21
るつばは銀のためにあり、炉は金のためにありますが、人は受ける称賛によって試されます。 22
たとえ愚か者を臼で挽き、乳鉢で穀物のように挽いても、その愚かさは彼らから去りません。

23
あなたの羊の状態を確かめ、あなたの群れに注意を払いなさい； 24
富は永遠に続かず、王冠もすべての世代にわたって続くわけではありません。 25
干し草が取り除かれ、新しい成長が現れ、山のハーブが集められるとき、 26
子羊はあなたに衣服を提供し、山羊は畑の代金をもたらします。 27
そして、あなたの食物、家族の食物、女中たちの糧のために、十分な山羊の乳があるでしょう。

28 悪者は追う者がいなくても逃げるが、正しい者は獅子のように自信を持って立つ。 2
国が反乱を起こすとき、多くの支配者がいるが、理解と知識のある人と共にあれば、国は持ちこたえる。 3
貧しい者を虐げる支配者は、食物を残さない激しい雨のようだ。 4
律法を捨てる者は悪者をほめたたえるが、それを守る者は彼らに立ち向かう。 5
悪を行う者は正義を理解しないが、主を求める者はそれを完全に理解する。 6
正直に歩む貧しい者は、道が曲がっている富者よりも良い。 7
思慮深い息子は律法に従うが、暴食者の仲間には父に恥をもたらす。 8
利子や貧しい者からの利益で富を増やす者は、それを貧しい者に親切にする者のために集める。 9
律法を聞くことから離れる者の折りさえも忌まわしい。 10
正しい者を悪い道に導く者は自分の穴に落ちるが、潔白な者は良いものを受け継ぐ。

11
富者は自分の目に賢いが、理解のある貧しい者は彼

らを見抜く。 12
正しい者が成功するとき、大いなる祝賀があるが、悪者が権力を握るとき、人々は身を隠す。 13
罪を隠す者は栄えないが、それを告白し、捨てる者は憐れみを見出す。 14
常に神を恐れる者は幸いであるが、心を頑なににする者は災難に陥る。 15
貧しい民を支配する悪い支配者は、吠える獅子や突進する熊のようだ。 16
暴君は理解に欠けるが、不正な利益を憎む者はその日を長くする。 17
殺人の罪を負う者は死ぬまで逃亡者となる。誰も彼を支えてはならない。

18
潔白に歩む者は安全に保たれるが、道が曲がっている者は突然に倒れる。 19
自分の土地を耕す者は豊かな食物を得るが、幻想を追う者は豊かな貧困を得る。 20
忠実な者は祝福に満ちるが、富を急ぐ者は罰を免れない。 21
偏見を示すことは良くないが、一切れのパンのために人は悪を行う。 22
けちな者は富を急ぎ求め、貧困が待っていることに気づかない。 23
人を叱る者は、舌でお世辞を言う者よりも後で多くの好意を見出す。 24
父や母を盗んで「悪くない」と言う者は、破壊する者の仲間である。 25
高慢な者は争いを引き起こすが、主に信頼する者は栄える。 26
自分を信頼する者は愚か者であるが、賢く歩む者は安全に保たれる。 27
貧しい者に与える者は何も欠けることはないが、彼らに目を閉じる者は多くの呪いを受ける。 28
悪者が権力を握るとき、人々は身を隠すが、彼らが去ると正しい者は栄える。

29 頻繁に矯正を受けながらも頑固である者は、突然、治療不能な結果に直面する。 2
正しい者が栄えるとき、人々は喜ぶ。しかし、悪者が支配するとき、人々は嘆く。 3
知恵を愛する人は父に喜びをもたらすが、娼婦と交わる者は財産を浪費する。 4
王は正義によって国に安定をもたらすが、賄略を受け取る者はそれを損なう。 5
隣人をおだてる者は、その足に罠を仕掛けている。 6

悪事を働く者は自分の罪に捕らわれるが、正しい者は歌い、喜ぶ。 7

箴言

正しい者は貧しい者の権利を気にかけるが、悪者は
そのような関心を示さない。 8

あざける者は町を煽動するが、賢い者は怒りをそら
す。 9

賢い者が愚か者と争うとき、愚か者は怒るかあざけ
るかし、平和はない。 10

血に飢えた者は誠実な人を憎むが、正しい者は彼ら
を守ろうとする。 11

愚か者は怒りをすべて吐き出すが、賢い者はそれを
抑える。 12

支配者が虚偽に耳を傾けるなら、その役人たちは皆
腐敗する。 13

貧しい者と暴君はこれを共有する。主は両者の目を
照らす。 14

王が貧しい者を公正に裁くとき、その治世は堅固に
確立される。 15

むちと叱責は知恵を与えるが、放任された子は母に
恥をもたらす。 16

悪者が増えるとき、罪も増える。しかし、正しい者
は彼らの没落を目撃する。 17

子を懲らしめると、彼らはあなたに安らぎを与え、
魂に喜びをもたらす。 18

幻がないところでは、人々は抑制を捨てる。しかし、
律法を守る者は幸いである。 19

しもべは言葉だけでは矯正されない。彼らは理解し
ても応じないからである。 20

言葉に急ぐ者を見たことがあるか。愚か者よりも彼
に希望は少ない。 21

若い頃からしもべを甘やかす者は、最後には彼を反
抗的にする。 22

怒りっぽい者は争いを引き起こし、短気な者は罪に
満ちる。 23

誇りは人を低くするが、謙虚な精神は名誉を得る。 24

盗人の共犯者は自分の敵である。彼らは呪いを聞いて
も何も明かさない。 25

他人を恐れることは罌を仕掛けるが、主に信頼する
者は安全に守られる。 26

多くの者が支配者の好意を求めるが、人類の正義は
主から来る。 27

正しい者は不正を憎み、悪者は正しい者を憎む。

30 ヤケの子、アグルの言葉。イティエル、イ
ティエルとウカルに向かってこの人は宣言
する。「私は疲れました、神よ、しかし私
は勝つことができます。 2

確かに私は他の誰よりも無知であり、人間の理解を

欠いています。 3

私は知恵を得ておらず、聖なる者の知識を持ってい
ません。 4

誰が天に昇り、降りてきたのか？誰が風をその手に
集めたのか？誰が水を衣に包んだのか？誰が地のす
べての端を確立したのか？彼の名は何か、そして彼
の子の名は何か？確かにあなたは知っている！ 5

神の言葉はすべて欠けるところがなく、彼は彼に避
難を求める者の盾です。 6

彼の言葉に加えてはならない、さもないと彼はあな
たを叱責し、あなたは嘘つきとされるでしょう。 7

主よ、二つのことをあなたに求めます。私が死ぬ前
にそれを拒まないでください。 8

虚偽と欺瞞を私から遠ざけてください。貧困も富も
与えず、私に割り当てられた分を与えてください。 9

さもないと、私はあまりにも多くを持ち、あなたを
否定して『主とは誰か？』と言うかもしれません。
あるいは私は貧しくなり、盗みを働き、私の神の名
を汚すかもしれません。 10

しもべをその主人に中傷してはならない、さもない
と彼らはあなたを呪い、あなたは有罪とされるでし
ょう。 11

父を呪い、母を祝福しない者がいる。 12
自分を清いと考えているが、その不正から清められ
ていない者たち。 13

その目が非常に高慢で、その視線が傲慢で満ちてい
る者たち。 14

その歯が剣のようで、顎が貧しい者を地から、必要
としている者を人間の中から食い尽くすためにナイ
フである者たち。 15

ヒルには二人の娘がいて、『くれ！くれ！』と叫ぶ。
満足することのない三つのものがあり、『もう十
分！』と言わない四つのものがある。 16

墓、不妊の子宮、水で満たされることのない地、そ
して『もう十分！』と言わない火。 17

父を嘲り、老いた母を軽蔑する目は、谷のカラスに
えぐり取られ、ハゲタカに食べられる。 18

私にはあまりにも素晴らしい三つのものがあり、理
解できない四つのものがある。 19

空のワシの飛行、岩の上の蛇の動き、大海原の船の
航路、若い女性とこの男の道。 20

不誠実な女性の行動はこのようなものです。彼女は
食べ物を食べ、その後口を清めて『私は何も悪いこ

箴言

とをしていない』と言うことができる。²¹
三つのことの下で地は震え、四つのことの下で耐えられない。²²
王になるしもべ、食べ物で満たされる愚か者、²³
愛されない女性が結婚し、女主人を追いつくしもべ。²⁴

地上の四つの小さな生き物は非常に賢い。²⁵
アリは小さく弱いが、夏に食べ物を蓄える。²⁶
ヒダリスは力強くないが、岩の裂け目に家を作る。²⁷
バッタは王がいなくても、隊列を組んで進む。²⁸
トカゲは手で簡単に捕まえられるが、王の宮殿に見られる。²⁹

その歩みが堂々としている三つのものがあり、高貴な態度で動く四つのものがある。³⁰
生き物の中で威厳のあるライオンは、何ものからも退かない。³¹
誇り高い雄鶏、雄ヤギ、反乱に対して安全な王。³²

もしあなたが自分を高めることに愚かであったり、悪を企んだりしたなら、あなたの口に手を置きなさい。³³
牛乳をかき混ぜるとバターができ、鼻をひねると血が出るように、怒りをかき立てると争いが生じる。³⁴

31 レムエル王の言葉、彼の母が彼に授けた靈感のあるメッセージ：¹
どう呼びかけようか、わが子よ？ どう呼びかけようか、わが胎の子よ？ どう呼びかけようか、わが誓いの子よ？²
あなたの力を女に与えてはならない。王を滅ぼす者にあなたの道を与えてはならない。³
王にとって、レムエルよ、王にとって酒を飲むことは良くない。支配者にとって強い酒を求めることは良くない。⁴
彼らが飲んで、定められたことを忘れ、すべての虐げられた者の権利を曲げることがないように。⁵
滅びゆく者には強い酒を、苦しんでいる者には酒を与えよ。⁶
彼らに飲ませて貧しさを忘れさせ、もはや彼らの悩みを思い出させないように。⁷
自分で話せない者のために、すべての貧しい者の権利のために弁護せよ。⁸

声を上げ、公正に裁き、貧しい者と困っている者の権利を守れ。⁹

¹⁰
高貴な性格を持つ妻、誰が見つめることができるだろうか？ 彼女の価値はルビーよりもはるかに高い。¹¹

彼女の夫は彼女に全幅の信頼を寄せ、利益に不足することはない。¹²
彼女は彼に害を与えず、彼の一生を通して良いものをもたらす。¹³
彼女は羊毛と亜麻を求め、熱心に手を動かす。¹⁴
彼女は商船の艦隊のようで、遠くから食物を運んでくる。¹⁵

彼女はまだ夜のうちに起き、家族のために食物を用意し、女中たちに分け与える。¹⁶
彼女は畑を評価して購入し、その収益でぶどう畑を植える。¹⁷
彼女は力をもって自らを備え、腕を強化する。¹⁸
彼女は商売が利益をもたらすことを知り、夜もその灯火は消えない。¹⁹
彼女は手を紡錘に当て、手で糸をつかむ。²⁰
彼女は貧しい者に手を差し伸べ、困っている者に手を広げる。²¹

雪が降っても家族のために恐れぬ。彼ら全員が緋色の衣を着ているからだ。²²
彼女は自分の寝床のために覆いを作り、彼女の衣服は上質の亜麻布と紫である。²³

彼女の夫は市の門で尊敬され、その地の長老たちの中で席を取る。²⁴
彼女は亜麻布の衣服を作り、それを売り、商人に帯を供給する。²⁵
力と尊厳は彼女の衣服であり、彼女は来る日を笑うことができる。²⁶

彼女の言葉は知恵に満ち、彼女は親切を教える。それは彼女の舌に常にある。²⁷
彼女は家の活動を監督し、怠惰に加わることはない。²⁸

彼女の子供たちは立ち上がって彼女を祝福し、彼女の夫もまた彼女を称賛する。²⁹
「多くの女性が高貴なことをするが、あなたはそれらすべてに勝る。」³⁰

魅力は誤解を招くことがあり、美しさは続かない。³¹
しかし、主を敬う女性は称賛に値する。³²
彼女の手が成したすべてのことのために彼女を称え、その働きが市の門で彼女に称賛をもたらすように。³³

伝道者の書

1 ダビデの子、エルサレムの王である伝道者の言葉。 2

「空の空」と伝道者は言う。「空の空、すべては空である。」 3

人は太陽の下で労苦して働いて、何をを得るのか。 4
世代は去り、世代は来るが、地は永遠に変わらない。 5

太陽は昇り、太陽は沈み、また急いでその昇るところに帰る。 6

風は南に吹き、北に回り、巡り巡って、またその巡るところに帰る。 7

すべての川は海に流れ込むが、海は満ちることがない。川は流れ出たところに帰り、また流れ出る。 8

すべてのことは人が言い尽くせないほどに疲れさせる。目は見て満足せず、耳は聞いて満ち足りない。 9

過去にあったことはこれからもあり、過去に行われたことはこれからも行われる。太陽の下には新しいものは何もない。 10

「見よ、これは新しい」と言えるものがあるだろうか。それはすでに昔の時代に存在していた。 11

以前のことを覚えている者はなく、これからのことも後に来る者たちが覚えることはない。 12

私、伝道者は、エルサレムでイスラエルの王であった。 13

私は心を尽くして、天の下で行われるすべてのことを知恵をもって探り求めた。それは神が人の子らに与えた苦しい務めである。 14

私は太陽の下で行われるすべてのことを見たが、それはすべて空であり、風を追うようなものである。 15

曲がったものはまっすぐにできず、欠けているものは数えられない。 16

私は心の中で言った、「見よ、私はエルサレムで私の前にいたすべての者よりも多くの知恵を得た。私は多くの知恵と知識を経験した。」 17

それから私は心を尽くして知恵を知り、また狂気と愚かさを知ろうとしたが、これもまた風を追うようなものであると知った。 18

多くの知恵には多くの悩みがあり、知識を増す者は痛みを増す。

2 私は心の中で言った。「さあ、楽しみであなたを試し、何が価値あるかを見つけよう。」しかし、これもまた無意味であることがわかった。 2

私は笑いについて、「それは狂気だ」と言い、楽しみにについては、「それが何を成し遂げるのか」と言った。 3

私は心を知恵で導きながら、愚かさを抱きつつ、酒

で自分を楽しませ、人が天の下で短い人生の間に何をするのが良いかを見極めようとした。 4

私は大きな事業に着手し、自分のために家を建て、ぶどう畑を植えた。 5

私は庭園や公園を作り、その中にあらゆる種類の果樹を植えた。 6

私は繁茂する木々の林を潤すための貯水池を作った。 7

私は男奴隷と女奴隷を得、私の家で生まれた奴隷もいた。私はエルサレムで私より前にいた誰よりも多くの牛や羊の群れを持っていた。 8

私は自分のために銀と金、王たちや州の宝物を集めた。私は男歌手と女歌手を得、そして多くの側女という人間の楽しみを得た。 9

私はエルサレムで私より前にいた誰よりも偉大になった。このすべてにおいて、私の知恵は私と共にあった。 10

私は目が望むものを何も拒まず、心が喜ぶことを何も抑えなかった。私の心はすべての労働において喜び、これが私のすべての労苦の報いであった。 11

しかし、私の手が成し遂げたすべてのことと、私が達成しようと労したことを振り返ると、すべては無意味であり、風を追うようなものであった。太陽の下には何の利益もなかった。 12

それから私は知恵と狂気と愚かさを考えることにした。王の後継者が何をすることができるのか、それはすでに行われたこと以上の何かであろうか。 13

私は、光が闇に勝るように、知恵が愚かさに勝ることを見た。 14

賢者は頭の中に目を持ち、愚者は闇の中を歩く。しかし、同じ運命が彼ら両方に降りかかることに気づいた。 15

それで私は心の中で言った。「愚者の運命が私にも降りかかるのなら、賢くあることに何の利益があるのか？」私は心の中で言った。「これもまた無意味である。」 16

賢者も愚者も長くは記憶されない。やがて両者とも忘れ去られる。愚者のように、賢者もまた死ななければならない！ 17

それで私は人生を嫌った。太陽の下で行われた仕事

が私には辛かったからである。すべては無意味であり、風を追うようなものであった。 18

私は太陽の下で労したすべてのことを嫌った。それを私の後に来る者に残さなければならないからである。 19

そして、その者が賢いか愚かか、誰が知ることができるだろうか？しかし、彼らは私が太陽の下で注いだ努力と技術の結果をすべて支配することになる。これもまた無意味である。 20

伝道者の書

それで私の心は太陽の下でのすべての労苦に絶望で満たされた。²¹

人は知恵と知識と技術をもって労するが、その後にはそれを労しなかった他の者にすべてを残さなければならない。これもまた無意味であり、大きな不幸である。²²

人々は太陽の下で労し、苦勞して得るものは何か？²³

彼らの日々はすべて、仕事は悲しみと痛みをもたらし、夜も心が休まらない。これもまた無意味である。²⁴

人にとって、食べ、飲み、労苦の中に満足を見つけないこと以上に良いことはない。これもまた、神の手から来るものであると私は見た。²⁵

神から離れて、誰が食べたり楽しんだりできるだろうか？²⁶

神を喜ばせる者には、神は知恵と知識と幸福を与えるが、罪人には、神を喜ばせる者に渡すために富を集め、蓄えるという仕事を与える。これもまた無意味であり、風を追うようなものである。

3 すべてのことには定められた時があり、天の下のすべての営みには季節がある。²

生まれる時があり、死ぬ時があり、植える時があり、植えたものを引き抜く時がある。³

殺す時があり、癒す時があり、壊す時があり、建てる時がある。⁴

泣く時があり、笑う時があり、悲しむ時があり、踊る時がある。⁵

石を投げ散らす時があり、石を集める時があり、抱き合う時があり、抱き合うのをやめる時がある。⁶

探す時があり、失う時があり、保つ時があり、捨てる時がある。⁷

裂く時があり、縫う時があり、黙っている時があり、話す時がある。⁸

愛する時があり、憎む時があり、戦いの時があり、平和の時がある。⁹

働く者はその労苦から何を得るのか。¹⁰

私は神が人の子らに与えて彼らを悩ませる務めを見た。¹¹

神はすべてをその時に美しく造り、また人の心に永遠を与えられた。しかし、人は神が行われるみわざを、始めから終わりまで見極めることはできない。¹²

私は知っている、人にとって最も良いことは、喜び楽しむ、その生涯において善を行うことだ。¹³

また、人が食べたり飲んだりし、そのすべての労苦の中で満足を見出すことも、神の賜物である。¹⁴

私は知っている、神がなさることは永遠に続く。そこに何も加えることも、そこから何も取り去ること

もできない。神はこれを行われる、それは人々が神を恐れるためである。¹⁵

今あるものはすでにあったことであり、これからあるものもすでにあったことだ。神は過去を呼び戻される。¹⁶

さらに、私は太陽の下で見た、裁きの場所には悪があり、公正の場所には悪がある。¹⁷

私は心の中で言った、「神は正しい者と悪い者を裁かれる。すべての事柄とすべての行いには時があるからだ。」¹⁸

私はまた、人間について心の中で言った、「神は彼らを試される。それは彼らが自分たちが動物のようであることを見極めるためだ。」¹⁹

人間の運命と動物の運命は同じである。一方が死ぬように、他方も死ぬ。彼らは皆同じ息を持っている。人間は動物にまさるものはない。すべては無意味である。²⁰

すべては同じ場所に帰る。すべては塵から来て、塵に帰る。²¹

人の霊が上に昇り、動物の霊が地に下るかどうかを誰が知ることができるか。²²

それゆえ、私は見た、人がその労苦の中で喜びを見出すこと以上に良いことはない。それが彼の分だからだ。彼の後に何が起こるかを見せることができる者は誰もいない。

4 私は再び、太陽の下で行われるすべての抑圧の行為を観察しました。私は抑圧された者たちの涙を見ましたが、彼らには慰める者がいませんでした。力は彼らの抑圧者の側にあり、彼らには慰める者がいませんでした。²

私は、すでに死んだ者たちが、まだ生きている者たちよりも幸運であると結論しました。³

しかし、太陽の下で行われる悪事を目撃していない、生まれてこなかった者の方が、どちらよりも良いのです。⁴

私は、すべての労働とすべての成果が、一人の人の他人との競争から生じることに気づきました。これもまた虚しさであり、風を追うことです。⁵

愚か者は何もせずに座って、自らを破滅に追いやります。⁶

一握りの平穏が、二握りの労苦と風を追うことよりも良いのです。⁷

再び、私は太陽の下で無意味なことを観察しました。⁸

ある男がいましたが、彼は息子も兄弟もいない一人きりでした。彼の労苦には終わりがなく、彼の目は富に満足しませんでした。「私は誰のために労苦し、楽しみを奪っているのか」と彼は言いました。これもまた虚しさであり、悲惨な仕事です。⁹

伝道者の書

二人は一人よりも効果的であり、彼らの努力には良い報いがあります。¹⁰

一人が倒れたら、もう一人が彼を起こすことができます。しかし、倒れて助ける者がいない者は哀れです。¹¹

さらに、二人が共に横たわれれば暖かくなります。しかし、一人でどうして暖かくなれるでしょうか。¹²

一人が圧倒されるかもしれませんが、二人は自分を守ることができます。三つのより糸は簡単には切れません。¹³

貧しいが賢い若者は、もはや助言を受け入れることを知らない若い愚かな王よりも良いのです。¹⁴

彼は牢獄から出て王となったかもしれませんが、彼の王国で貧しく生まれたのです。¹⁵

私は、太陽の下で生き歩くすべての者が、王位の後継者である若者に従うのを観察しました。¹⁶

彼らの前にいたすべての人々には終わりがありますが、後から来る者たちは彼に満足しないでしょう。これもまた虚しさであり、風を追うことです。

5 神の家に入るときは注意し、愚か者の供え物をするよりも、聞くために近づきなさい。彼らは自分が悪を行っていることに気づいていないのです。²

口を急がせず、心を急がせて神の前に事を持ち出してはならない。神は天におられ、あなたは地にいるのだから、あなたの言葉を少なくしなさい。³

夢は多くの仕事と共に来るものであり、愚か者の声は多くの言葉と共に来るものです。⁴

神に誓いを立てたときは、それを果たすことを遅らせてはならない。神は愚か者を喜ばれない。あなたが誓ったことを果たしなさい。⁵

誓いを立てて果たさないよりは、誓いを立てない方が良い。⁶

あなたの口が罪を犯させないようにし、神の使者の前でそれが間違いだったと言ってもはならない。なぜ神があなたの言葉に怒り、あなたの手の働きを滅ぼされるべきでしょうか。⁷

多くの夢と多くの言葉には虚しさがある。むしろ、神を畏れなさい。⁸

もしあなたが地方で貧しい者の圧迫や、正義と権利の否定を見ても、そのことに驚いてはならない。なぜなら、一人の役人が他の高位の者によって見張られ、その上にさらに高位の者がいるからです。⁹

土地の産物はすべての人に分け与えられ、王さえも畑から利益を得ます。¹⁰

金を受する者は金に満足せず、富を受する者は収入に満足しない。これもまた虚しいことです。¹¹

財産が増えたと、それを食い尽くす者も増える。所

有者にとって何の利益があるでしょうか。それを眺めること以外に。¹²

労働者の眠りは甘く、少し食べても多く食べても、豊かさは富者を眠らせません。¹³

太陽の下で見た悲惨な悪があります。それは、所有者に害を及ぼすために蓄えられた富です。¹⁴

または、不幸な出来事によって失われ、子供たちに相続するものが何も残らないことです。¹⁵

母の胎から裸で来たように、彼らは来たときのように去ります。彼らの労苦から手に持って行けるものは何も持って行けません。¹⁶

これもまた悲惨な悪です。来たときと全く同じように去るのです。風を追う者にとって何の利益があるでしょうか。¹⁷

彼らのすべての日々は暗闇の中で、激しい苛立ち、病気、怒りと共に食べます。¹⁸

これが私が見た良いことであり、適切なことです。神が与えた少ない日々の間に、太陽の下でのすべての労苦において満足を見出し、食べ、飲むことです。¹⁹

さらに、神が誰かに富と財産を与え、それを楽しむ能力を与え、その分を受け入れ、労苦に喜びを見出すとき、これは神からの贈り物です。²⁰

彼らは自分の人生の日々をほとんど振り返りません。なぜなら、神が彼らの心に喜びを与えているからです。

6 私は太陽の下で悪を見た。それは人間の間に広まっている。²

神は人に富、財産、名誉を与え、その心が望むものに欠けることがないようにされるが、神はその人にそれを楽しむ力を与えず、代わりに他人がそれを楽しむ。これは虚しさであり、重大な不幸である。³

もし人が百人の子を持ち、多くの年を生き、どれほど長く生きても、その富を楽しむことができず、適切な埋葬を受けないなら、私は言う、流産の子の方が彼よりもましだと。⁴

それは虚しさの中に来て、暗闇に去り、その名は暗闇に包まれているからである。⁵

それは太陽を見ることもなく、何も知ることもないが、その人よりも多くの休息を見出す。⁶

たとえ彼が二千年生きても、その繁栄を楽しむことがなければ、皆同じ場所に行くのではないかと。⁷

すべての労働は口のためであるが、欲望は決して満たされない。⁸

賢者が愚か者に対して何の利点があるのか？生きていく間に自分を導く方法を知っている貧者には何の利益があるのか？⁹

目で見えるものは、欲望のさまようよりも良い。これ

伝道者の書

もまた虚しさであり、風を追うことである。¹⁹
存在するものはすでに名付けられており、人間が何であるかは知られている。誰も力ある者と争うことはできない。²⁰
言葉が多ければ多いほど、虚しさも増す。誰に何の利益があるのか？²¹
人の生涯において、彼らが影のように過ぎ去る少数で虚しい日々、何が良いのかを知る者は誰か？彼らが去った後、太陽の下で何が起るかを知らせることが出来る者は誰か？²²

7 良い名声は良い油にまさり、死ぬ日は生まれる日にまさる。¹
宴会の家に行くよりも、喪の家に行くほうが良い。すべての人の終わりがそこにあり、生きている者はそれを心に留めるべきであるからだ。²
悲しみは笑いにまさる。顔が悲しむと、心が良くなることがあるからだ。³
知恵ある者の心は喪の家にあり、愚かな者の心は楽しみの家にある。⁴
愚かな者の歌を聞くよりも、知恵ある者の叱責に耳を傾けるほうが良い。⁵
いばらが鍋の下でパチパチと音を立てるように、愚かな者の笑いもまた虚しい。⁶
圧制は知恵ある者を愚かにし、賄賂は心を墮落させる。⁷
事の終わりはその始まりにまさり、忍耐は高慢にまさる。⁸
怒りに速くなるな。怒りは愚かな者の胸に宿るからだ。⁹
「昔の日々は今より良かったのはなぜか」と言うな。そう尋ねるのは知恵にかなわないからだ。¹⁰
知恵は相続財産のように良いものであり、太陽を見る者に利益をもたらす。¹¹
知恵は金銭のように避け所であるが、知識の利点は知恵がその持ち主の命を守ることである。¹²
神の御業を考えよ。神が曲げたものを誰がまっすぐにできるだろうか。¹³
繁栄の日には喜び、逆境の日には考えよ。神はこれもあれも作られたので、人はその後何が起るかを見出すことができない。¹⁴
私の短い命の中で、私はこれらを見た。義人がその義によって滅び、悪人がその悪によって長生きするのを。¹⁵
過度に義となるな。また、過度に知恵ある者となるな。なぜ自分を滅ぼそうとするのか。¹⁶
過度に悪となるな。また、愚かになるな。なぜ時が来る前に死のうとするのか。¹⁷
これをつかんで、あれを手放さないのは良いことだ。神を恐れる者はすべての極端を避ける。¹⁸

知恵は知恵ある者に、町の十人の支配者よりも力を与える。¹⁹
確かに、地上には完全に義なる者は一人もいない。常に正しいことを行い、罪を犯さない者は一人もいない。²⁰
人々が言うすべての言葉に注意を払うな。さもないと、あなたのしもべがあなたを呪うのを聞くかもしれない。²¹
あなたもまた多くの回、他人を呪ったことを心に知っているからだ。²²
私はこれをすべてに知恵に適用し、「私は知恵ある者になろう」と言ったが、それは私を超えていた。²³
存在するものは遠く、深い。誰がそれを見出せるだろうか。²⁴
私は心に向けて、理解し、探求し、知恵と事の計画を探り、悪の愚かさと思かしの狂気を理解しようとした。²⁵
私は死よりも苦いものを見つけた。畏となる女、その心は畏であり、その手は鎖である。神を喜ばせる者は彼女を逃れ、罪人は彼女に捕らえられる。²⁶
「見よ」と教師は言う。「これが私が発見したことだ。一つ一つを加えて説明を見つかることだ。²⁷
まだ探しているが見つからない間に、千人の中で一人の正しい男を見つけたが、その中に正しい女は一人も見つからなかった。²⁸
これだけは見つけた。神は人間を正しく創造されたが、彼らは多くの計画を求めた。」²⁹

8 誰が知恵ある者に比べられようか。また、事の意味を理解する者は誰か。知恵は人の顔を明るくし、その厳しさを和らげる。¹
私はあなたに、神の前で立てた誓いのために、王の命令を守るように勧める。²
急いでその前を去ってはならない。悪事を支持してはならない。彼は自分の望むように行動するからだ。³
王の言葉は権威があるので、「あなたは何をしているのか」と彼に問うことができる者はいない。⁴
彼の命令に従う者は害を受けず、知恵ある心は適切な時と手続きを知っている。⁵
すべての事には適切な時と手続きがある。人の悩みが重くのしかかっている。⁶
何が起るかを知る者はいないので、それがいつ起るかを告げることができる者もない。⁷
風を抑える力を持つ者も、死の日を支配する権威を持つ者もない。戦争の時に免除されることがないように、悪を行う者を救うことはできない。⁸
私はこれらすべてを見て、太陽の下で行われるすべてのことに心に向けた。ある人が他の人に対して力を行使し、その人に害を与える時に。⁹

伝道者の書

次に、悪者が葬られるのを見た。彼らは聖なる場所に
通い、そこで行ったことが町で称賛された。これ
もまた虚しい。¹

悪事に対する判決が速やかに執行されないために、
人々の心は悪を行う計画で満たされている。²

罪人が百回悪を行い、その命を延ばしても、神を恐れ、
彼を公然と敬う者には良いことがあると私は確
信している。³

しかし、悪者には良いことはなく、彼らの日々は影
のように延びることはない。彼らは神を恐れないか
らだ。⁴

地上で起こる虚しさがある。正しい人が悪者の受け
るべきものを受け、悪者が正しい人の受けるべきも
のを受ける。これもまた虚しいと言う。⁵

それゆえ、私は楽しみを勧める。太陽の下で人にと
って食べ、飲み、楽しむこと以上に良いことはない。
これは神が彼らに与えた日々の労苦の中で彼らを
伴うものである。⁶

私が知恵を理解し、地上で行われる事業を観察しよ
うと心を定めたとき、たとえ人々が昼も夜も眠らな
くても、⁷

私は神のすべての働きを見た。太陽の下で何が起
こるかを理解できる者はいない。それを探し求めるす
べての努力にもかかわらず、その意味を発見するこ
とはできない。たとえ賢者が知っていると言張して
も、彼らは本当にそれを把握することはできない。

9 私はこれらすべてを考え、正しい者、知恵のあ
る者、その行いは神の手にあると決定しました
。しかし、誰も自分の前に愛があるのか憎しみ
があるのかを知りません。²

すべての人に同じ運命がある：正しい者も悪しき者
も、良い者も悪い者も、清い者も汚れた者も、犠牲
を捧げる者も捧げない者も。良い者がそうであるよ
うに、罪人もそうであり、誓いを立てる者は誓うこ
とを恐れる者と同じです。³

これは太陽の下で起こるすべての悪です：同じ運命
がすべての人に降りかかります。さらに、人々の心
は悪で満ちており、生きている間は狂気が心に宿り
、その後は死者に加わります。⁴

生きている者には希望があります。確かに、生きて
いる犬は死んだライオンに勝ります。⁵

生きている者は自分が死ぬことを知っていますが、
死者は何も知りません。彼らにはもう報いがなく、
彼らの記憶さえも忘れ去られます。⁶

彼らの愛も憎しみも熱意も、すでに消え去っており
、二度と太陽の下で起こる何事にも関わることはあ
りません。⁷

さあ、喜びをもってパンを食べ、心を楽しませてぶ
どう酒を飲みなさい。神はすでにあなたの行いを受

け入れておられるからです。⁸
いつも衣を白くし、頭に油を欠かさないようにしな
さい。⁹

神が太陽の下であなたに与えた虚しい人生の日々を
、愛する妻と共に楽しみなさい。これはあなたの人
生における分であり、太陽の下での労働における分
です。¹⁰

あなたの手が見つけたことは何でも、力を尽くして
行いなさい。あなたが行くシェオルには、活動も計
画も知識も知恵もないからです。¹¹

私は再び太陽の下で観察しました。競争は速い者の
ためではなく、戦いは強い者のためではなく、パン
は賢い者のためではなく、富は洞察力のある者のた
めではなく、好意は技術のある者のためではありません。
しかし、時と機会がすべての人に降りかかります。¹²

確かに、誰も自分の時がいつ来るかを知りません。
魚が危険な網にかかるように、鳥が罠にかかるよう
に、人々は突然降りかかる悪しき時に捕らえられま
す。¹³

私はまた、太陽の下でこの知恵の例を見ましたが、
それは私に大いに感銘を与えました。¹⁴
小さな町があり、住民は少なく、大きな王がそれ
に対して来て、それを囲み、大きな攻城兵器を築きま
した。¹⁵

その中には貧しいが賢い男が住んでおり、彼はその
知恵で町を救いました。しかし、その貧しい男を覚
えている者はいませんでした。¹⁶

そこで私は言いました、「知恵は力に勝る」。それ
にもかわからず、貧しい者の知恵は軽んじられ、そ
の言葉はもはや聞かれません。¹⁷

賢い者の静かな言葉は、愚か者の中の支配者の叫び
よりも聞かれるべきです。¹⁸

知恵は戦争の武器に勝りますが、一人の罪人が多く
の善を台無しにすることがあります。

10 死んだハエは香料師の油を臭くする。それ
と同じように、少しの愚かさは知恵と名誉
よりも影響力がある。²

賢い人の心は右に傾き、愚かな人の心は左に傾く。
³

愚かな者が道を歩いているときでさえ、彼は分別を
欠き、自分が愚かであることを皆に示す。⁴

支配者の怒りがあなたに向けられたとしても、その
場を離れてはならない。冷静さは大きな罪を鎮める
ことができる。⁵

私は太陽の下で見た悪がある。それは支配者から生
じる誤りのようなものである。⁶

愚かさが多くの高い地位に置かれ、富者が低い場所
に座る。⁷

伝道者の書

私は、しもべが馬に乗り、王子がしもべのように歩いているのを見た。⁸
穴を掘る者はその中に落ちるかもしれない、壁を破る者は蛇にかまれるかもしれない。⁹
石を切り出す者はそれによって傷つくかもしれない、木を割る者はそれによって危険にさらされるかもしれない。¹⁰
斧が鈍く、その刃が研がれていないなら、より多くの力が必要だが、知恵は成功をもたらす。¹¹
蛇が魅了される前にかむなら、魅了する者には利益がない。¹²
賢い者の口から出る言葉は恵み深いが、愚かな者の唇は彼を消費する。¹³
彼の言葉の始まりは愚かさであり、その終わりは悪しき狂気である。¹⁴
それでも愚かな者は言葉を増やす。何が起るかを知らず、彼にその後何が来るかを告げることができる者はいない。¹⁵
愚かな者の労苦は彼を疲れさせる。彼は町への道さえ知らない。¹⁶
王がしもべである国と、朝に宴会を開く王子たちを持つ国は災いである。¹⁷
王が高貴な生まれであり、王子たちが適切な時に食事をし、力のためであって酔うためでない国は幸いである。¹⁸
怠惰のために梁はたわみ、怠けた手のために家は漏れる。¹⁹
宴会は笑いのために作られ、酒は人生を楽しくし、金銭はすべての答えである。²⁰
心の中でさえ王を呪ってはならず、寝室で富者を呪ってはならない。空の鳥があなたの言葉運び、翼のある生き物があなたの言うことを報告するかもしれないからである。

11 あなたの穀物を水の上に送れ。多くの日の後に、それを再び見つけるかもしれない。²
あなたの資源を七つ、あるいは八つに分けよ。地上でどのような災難が起こるか分からないからだ。³
雲が満ちると、地に雨を降らせる。そして、木が南に倒れようと北に倒れようと、倒れた場所にそのまま残る。⁴
風を観察する者は種を蒔かず、雲を気にする者は刈り取らない。⁵
あなたが風の道を知らないように、妊婦の胎内で骨がどのように形成されるかを知らないように、あなたはすべてを創造された神の業を理解することはできない。⁶
朝にあなたの種を蒔き、夕方手に手を休めるな。どちらが栄えるかわからないからだ。これかあれか、あ

るいは両方とも同様にうまくいくかもしれない。⁷
光は心地よく、太陽を見ることは目に喜びである。⁸
人が多くの年を生きるなら、そのすべての年において喜べ。しかし、暗い日々を思い出せ。それらは多くなるだろう。来るべきすべてのことは虚しい。⁹
若者よ、あなたの若い日々喜び、あなたの心を楽ませよ。心の傾向と目の見るところに従え。しかし、神がこれらすべてのことについてあなたを裁きに召されることを知れ。¹⁰
それゆえ、心から悲しみを取り除き、身体から苦痛を遠ざけよ。若さと人生の夜明けは儚いからだ。

12 若い日にあなたの創造者を覚えよ。困難な日が来る前に、そして「それらには喜びを見いだせない」と言う年が近づく前に—²
太陽と光、月と星が暗くなる前に、雨の後に雲が戻る前に；³
家の守り手が震え、強い男たちがかがみ、粉をひく者が少なくなつて止まり、窓から見る者が暗くなる時に；⁴
通りの扉が閉ざされ、粉をひく音が消える時に；鳥の声で起き、歌の娘たちが低くされる時に；⁵
人々が高所を恐れ、通りの危険を恐れる時に；アーモンドの木が花を咲かせ、バッタが自らを引きずり、ケーパーの実が失敗する時に。人は永遠の家に行き、哀悼者が通りを行き来する。⁶
銀の紐が切れ、金の鉢が壊れる前に；泉で水差しが砕け、井戸で車輪が壊れる前に、あなたの創造者を覚えよ。⁷
そして塵は元の地に戻り、霊はそれを与えた神に戻る。⁸
「全くの虚しさだ」と教師は言う。「すべては虚しい！」⁹
賢明であることに加えて、教師はまた人々に知識を授けた。彼は多くの箴言を考え、探し出し、整理した。¹⁰
教師は正しい言葉を見つけ、真実の言葉を正確に書こうとした。¹¹
賢者の言葉は刺し棒のようであり、彼らの集めた言葉はしっかりと打ち込まれた釘のようである—
一人の牧者によって与えられた。¹²
しかしこれを超えて、息子よ、警告されよ：多くの書物を作ることに終わりはなく、多くの学びは体を疲れさせる。¹³
今、すべてが開かれた；ここに事の結論がある：神を恐れ、その戒めを守れ。これがすべての人の義務である。¹⁴
神はすべての行いを評価し、良いか悪いかにかかわらず、すべての隠されたことを含めて評価する。

雅歌

1 ソロモンに帰せられる、最も優れた歌。
2
どうか彼がその口の接吻で私に口づけしてくれ
ますように。

あなたの愛はぶどう酒よりも楽しいからです。 3
あなたの香油は心地よい香りを放ち、
あなたの名は精製された油のようです。
それゆえ、若い娘たちはあなたを慕います。 4
私を引き寄せてください、そして一緒に走りましょ
う！ 王は私をその部屋に連れて行きました。
私たちはあなたの中で喜び乐しみます。
私たちはあなたの愛をぶどう酒よりも称賛します。
彼らがあなたを愛するのは当然です。

5 私は黒くて美しい、エルサレムの娘たちよ、
ケダルの天幕のように、ソロモンの幕のように。 6
私が黒くなったからといって見つめないでください
、 太陽が私を焼いたのです。
私の母の息子たちは私に怒り、
私をぶどう畑の番人にしましたが、
私は自分のぶどう畑を世話しませんでした。

7 私の魂が愛するあなた、教えてください、
あなたはどこで羊の群れを飼い、
正午にどこで休ませますか？
なぜ私はあなたの仲間の群れのそばで
顔を覆う者のようでなければならないのでしょうか
？

8 もしあなたがわからないなら、
女性の中で最も美しい人よ、
群れの足跡をたどり、羊飼いの天幕の近くで
あなたの若い山羊を飼いなさい。 9
私の愛しい人よ、あなたは私にとって
ファラオの戦車の中の牝馬のようです。 10
あなたの頬は宝石で美しく、
あなたの首はビーズの首飾りで飾られています。 11
私たちはあなたのために金の宝石を作り、
銀のビーズをあしらいます。

12 王がその食卓にいる間、
私の香水はその香りを広げました。 13
私の愛しい人は私にとって没薬の袋のようで、
夜通し私の胸の間に休んでいます。 14
私の愛しい人は私にとってエンゲディの園の
ヘンナの花の房のようです。

15 なんて美しいのでしょう、私の愛しい人よ、
なんて美しいのでしょう！
あなたの目は鳩のようです。 16
なんてハンサムなのでしょう、私の愛しい人よ、

そしてなんて楽しいのでしょう！
確かに、私たちの寝床は豪華です！ 17
私たちの住まいの梁は杉で、
私たちの垂木は糸杉でできています。

2 シャロンのばらのように、
谷間のゆりのように私はある。 2
いばらの中のゆりのように、
若い女たちの中の私の愛しい人はそうだ。

3 森の木々の中でりんごの木が目立つように、
若い男たちの中で私の愛する人はそうだ。
その陰で私は大いに喜び、座った、
そしてその果実は私の口に甘かった。 4
彼は私を宴会の場に導いた、
そして彼の旗は私の上に愛である。 5
干しぶどうの菓子で私を元気づけ、
りんごで私を支えてください、
私は恋わずらいだからです。 6
彼の左手は私の頭を支え、
彼の右手は私をしっかりと抱きしめる。

7 私はあなたたちに誓います、
エルサレムの娘たちよ、
ガゼルや野の雌鹿によって、
愛を目覚めさせたり、かき立てたりしないように
それが望むまでは。

8 私の愛する人の声！ 見よ、彼が来る、
山々を跳び越え、丘を飛び越えて！ 9
私の愛する人はガゼルや若い牡鹿のようだ。
見よ、彼は私たちの壁の後ろに立っている、
彼は窓を通して見ている、
彼は格子を通して覗いている。

10 私の愛する人は私に話しかけて言った、
「立ち上がれ、私の愛しい人、美しい人よ、
そして一緒に来なさい。 11
確かに、冬は過ぎ去り、雨は終わり、去った。 12
花が地に現れた； ぶどうの剪定の時が来た、
そして山鳩の声が私たちの地で聞こえた。 13
いちじくの木はその果実を熟させ、
花咲くぶどうの木は香りを放った。
立ち上がれ、私の愛しい人、美しい人よ、
そして一緒に来なさい！」

14 岩の裂け目にいる私の鳩よ、
山道の隠れた場所に、あなたの姿を見せて、
あなたの声を聞かせてください；
あなたの声は甘く、
あなたの姿は美しいからです。

雅歌

¹⁵ 私たちのために狐を捕まえてください、
ぶどう畑を荒らす小狐を、
私たちのぶどう畑が花咲いている間に。

¹⁶ 私の愛する人は私のもので、私は彼のものです；
彼はゆりの中でその群れを飼う。¹⁷
日が息を吹き、影が逃げ去るまで、
戻ってきて、私の愛する人よ、ガゼルのように、
または険しい丘の若い牡鹿のように。

3 夜ごとに床の上で、私は彼を探しました
私の魂が愛する者を。
私は彼を探しましたが、見つけることができませんでした。²
今すぐ起きて、街を歩き回らなければなりません。
通りや広場で。
私の魂が愛する者を探さなければなりません。”
私は彼を探しましたが、見つけることができませんでした。³
街を巡回する見張りの者たちが私を見つけました、
そして私は尋ねました、
「私の魂が愛する者を見ましたか？」⁴
彼らを通り過ぎるとすぐに
私の魂が愛する者を見つけました。
私は彼をしっかりと抱きしめ、離しませんでした
彼を私の母の家に連れて行くまで、
私を宿した者の部屋に。

⁵ 私はあなたたちに誓います、
エルサレムの娘たちよ、
ガゼルや野の雌鹿にかけて、
愛を目覚めさせたり、かき立てたりしないように
それが望むまで。

⁶ これは何ですか、荒野から上ってくるのは
煙の柱のように、没薬と乳香で香り付けられ、
商人のすべての香料で。⁷
見よ、それはソロモンの移動式の寝台です。
その周りには六十人の勇士がいます、
イスラエルの勇士たちです。⁸
彼らは皆、剣を持つ者、
戦いに熟練した者たちです。
それぞれが腰に剣を帯び、
夜の恐怖から守っています。⁹
ソロモン王は自分のために輿を作りました
レバノンの木材から。¹⁰ 彼はその柱を銀で作り、
背もたれを金で、座席を紫の布で、
その内部をエルサレムの娘たちによって愛情を込めて
飾られました。

¹¹ 出て行きなさい、シオンの娘たちよ、
そしてソロモン王を見なさい、冠をかぶった彼を

彼の母が彼に冠を授けた 彼の結婚の日に、
彼の心の喜びの日に。

4 なんと美しいのでしょうか、わが愛しい人よ、
なんと本当に美しいのでしょうか！
あなたの目はペールの後ろの鳩のようです。
あなたの髪はギルアデの山から降りてくる
山羊の群れのよう流れています。²
あなたの歯は洗われたばかりの
新しく刈られた羊の群れのようで、
すべてが双子を産み、
その中の一匹も子を失っていません。³
あなたの唇は緋の糸のようで、
あなたの口は心地よい。
あなたのこめかみはペールの後ろの
ザクロの切片のようです。⁴
あなたの首はダビデの塔のようで、
石の層で建てられ、
そこには千の盾が掛けられています。⁵
すべての戦士の丸い盾です。
あなたの二つの乳房は二匹の小鹿のようで、
ガゼルの双子が ユリの中で草を食べています。

⁶ 日が涼しさを吹き込むまで、
影が逃げ去るときまで、 私は没薬の山へ、
乳香の丘へ行きます。⁷
あなたは完全に美しい、わが愛しい人よ、
あなたには欠点がありません。

⁸
レバノンから私と一緒に来てください、わが花嫁よ、
レバノンから私と一緒に来てください。
アマナの頂から降りて、
セニルとヘルモンの頂から、
ライオンの巢穴から、 ヒョウの山々から。⁹
あなたは私の心を奪いました、わが妹、わが花嫁よ。
あなたはあなたの目の一瞥で、
あなたのネックレスの一筋で私の心を奪いました。¹⁰

なんと心地よいのでしょうか、あなたの愛は、わが妹、
わが花嫁よ！
なんとワインよりも優れたあなたの愛は、
そしてあなたの油の香りはすべてのバルサム油よりも
優れています！¹¹
あなたの唇は蜜を滴らせませす、わが花嫁よ。
蜜と乳があなたの舌の下にあり、
あなたの衣服の香りはレバノンの香りのようです。¹²
閉ざされた園はわが妹、わが花嫁よ、
閉ざされた井戸、封じられた泉です。¹³
あなたの枝はザクロの果樹園のようで、
心地よい果実を持ち、

雅歌

ヘンナとナルドの植物があります。¹⁴
ナルドとサフラン、香料の葦とシナモン、
すべての乳香の木々と、
没薬とアロエ、すべての最高のバルサム油と共に。
¹⁵ あなたは庭の泉のようで、新鮮な水の井戸、
そしてレバノンから流れる小川です。

¹⁶ 目覚めよ、北風よ、来たれ、南の風よ。
私の庭に香りを吹き出させ、
そのバルサム油を流れさせてください。
私の愛する人が彼の庭に来て、
その心地よい果実を食べますように！

5 私は私の園に来た、私の妹、私の花嫁よ。
私は没薬と香料を集めた。
私は蜂の巣と蜂蜜を食べた。
私は私のワインとミルクを飲んだ。
食べよ、友よ。飲んで愛に酔いしれよ。

² 私は眠っていたが、私の心は目覚めていた。
声を聞いた！私の愛する者が戸口にいた。
「開けておくれ、私の妹、私の愛しい者、
私の鳩、私の完璧な者よ！
私の頭は露で濡れている、
私の髪は夜の湿気で濡れている。」
「私は上着を脱いでしまった、
どうやってまた着ることができようか？
私は足を洗った、
どうやってまた汚すことができようか？」
私の愛する者が開口部から手を伸ばした、
そして私の心は彼のために動かされた。
私は立ち上がり、私の愛する者に開けた。
そして私の手は没薬で覆われ、
私の指は流れる没薬で、
ボルトの取っ手の上にあった。
私は私の愛する者に開けた、
しかし私の愛する者は振り返って去ってしまった！
彼が去ったとき、私の魂は失われた。
私は彼を探したが見つけれなかった。
私は彼を呼んだが、彼は私に答えなかった。
⁷ 町を巡回する見張りたちが私を見つけた、
彼らは私を打ち、傷つけた。
城壁の守衛たちが私からショールを奪った。
⁸ 私はあなたたちに誓わせる、
エルサレムの娘たちよ、
もし私の愛する者を見つけたなら、
彼に何を伝えるかを：私は恋に悩んでいると。

⁹ あなたの愛する者はどんな人か、
最も美しい女性たちの中で？

あなたの愛する者はどんな人か、
私たちに誓わせるほどに？

¹⁰ 私の愛する者は輝いて赤みを帯び、
万人に優れている。¹¹
彼の頭は精錬された金のようにだ。
彼の髪はナツメヤシの房のようで、
カラスのように黒い。¹²
彼の目は水の流れのそばの鳩のようで、
ミルクに浸され、完璧に配置されている。¹³
彼の頬は香料の花壇のようで、
香り高い草の土手のようだ。彼の唇はユリで、
液体の没薬が滴っている。¹⁴
彼の手はトパーズで飾られた金の棒だ。
彼の腹は彫られた象牙で、
サファイアがはめ込まれている。¹⁵
彼の脚は純金の台座に立つアラバスターの柱だ。
彼の姿はレバノンのように威厳があり、
杉のように選び抜かれている。¹⁶
彼の口は甘美に満ちている。
そして彼は全く愛らしい。
これが私の愛する者であり、これが私の友だ、
エルサレムの娘たちよ。

6 あなたの愛する人はどこへ行ったのですか、
女性の中で最も美しい方よ。
あなたの愛する人はどこへ向かったのですか、
私たちがあなたと一緒に彼を探すために。

² 私の愛する人は彼の庭に下り、
バルサムの花壇へ、庭で彼の群れを飼い、
ユリを集めるために。³
私は私の愛する人のものであり、私の愛する人は私の
ものです、彼はユリの間で彼の群れを飼う。

⁴ あなたはティルツアのように魅力的です、私の愛しい人よ、
エルサレムのように美しく、
旗を掲げた軍隊のように威厳があります。⁵
私から目をそらしてください、
それは私を圧倒したからです。
あなたの髪はギルアデから下るヤギの群れのようです。⁶
あなたの歯は洗い場から上がった羊の群れのようです、
すべてが双子を産み、
その中の一つも子を失っていません。⁷
あなたのこめかみはあなたのペールの後ろのザクロ
の内側のようです。⁸
六十人の王妃と八十人の側女、
数え切れないほどの乙女たちがいます。⁹
しかし、私の鳩、私の完璧な者は一人です。

雅歌

彼女は彼女の母の唯一の娘です。
彼女は彼女を産んだ者の大切な子です。
若い女性たちは彼女を見て祝福されたと言い、
王妃たちと側女たちも彼女を称賛し、こう言いました、

10 「これは誰ですか、夜明けのように現れる者、
満月のように美しく、太陽のように純粹で、
旗を掲げた軍隊のように威厳がある者は？」

11 私はクルミの木の林に下り、
谷の花を見に行きました、
ブドウの木が芽を出したかどうか、
ザクロが咲いたかどうかを見に。 12
私が気づく前に、私の魂は私の
私の高貴な人々の戦車の中に置きました。

13
戻ってきてください、戻ってきてください、シュラムの女よ。
戻ってきてください、戻ってきてください、私たちが
があなたを見るために！
なぜあなたはシュラムの女を見るのですか、
二つの軍隊の踊りのように？

7 あなたの足はサンダルを履いてどれほど美しい
ことでしょう、王女の娘よ！
あなたの腰の曲線は宝石のようで、
芸術家の手の作品です。 2
あなたのへそは丸い杯で、
混ぜたぶどう酒が欠けることはありません。
あなたの腹は小麦の山のようで、
百合で囲まれています。 3
あなたの二つの乳房は優しい小鹿のようで、
ガゼルの双子です。 4
あなたの首は象牙の塔のように優雅で、
あなたの目はヘシュボンの静かな池のようです。
パテ・ラビムの門のそばにあります。
あなたの鼻はレバノンの塔のように優雅で、
ダマスカスを見渡しています。 5
あなたの頭はカルメルのように威厳があり、
あなたの頭の流れる髪は紫の糸のようです。
王はあなたの髪に魅了されています。
どれほど愛らしく、どれほど心地よいことでしょう
、私の愛しい人よ、あなたのすべての魅力で！ 7
あなたの姿はヤシの木のようで、
あなたの乳房はその房のようです。 8
私は言いました、「私はヤシの木に登り、
その果実の茎をつかみます。」
ああ、あなたの乳房がぶどうの房のようであります
ように、

あなたの息の香りがリンゴのようでありますように
、 9
そしてあなたの口が最上のぶどう酒のようでありま
すように！」
それは私の愛する者のために滑らかに流れ、
休む者の唇を通して優しく流れます。

10 私は私の愛する者に属し、
彼の望みは私にあります。 11
来てください、私の愛する者よ、田舎へ行きましょ
う、村々で夜を過ごしましょう。 12
早く起きてぶどう畑に行きましょう。
ぶどうの木が芽を出したかどうか、
その花が開いたかどうか、
ザクロが咲いたかどうか見てみましょう。
そこで私はあなたと愛を分かち合います。 13
マンドレイクはその香りを放ち、
私たちの扉の上にはすべての選りすぐりの果物があり
ます、新しいものも古いものも、
私の愛する者よ、あなたのために取っておいたもの
です。

8 ああ、あなたが私の兄弟のようであったなら、
私の母の乳を飲んだ者のようであったなら。
私は外であなたを見つけたら、あなたに口づけ
するでしょう。誰も私を軽蔑しないでしょう。 2
私はあなたを導いて、
私の母の家に連れて行くでしょう。彼女は私を教え
てくれました。
私はあなたにスパイス入りのワインを飲ませるでし
ょう。私のザクロのジュースから。 3
彼の左手は私の頭を支え、
彼の右手は私をしっかりと抱きしめます。

4 私はあなたに誓います、エルサレムの娘たちよ、
愛を目覚めさせたり、かき立てたりしないでくださ
い。それが喜ぶまで。

5 これは誰ですか、荒野から上ってくる
愛する者に寄りかかって？
“リンゴの木の下で私はあなたを目覚めさせました
。
そこではあなたの母があなたを産むために苦しいま
した。
彼女はそこで苦しみ、あなたを産みました。 6
私をあなたの心に印として置いてください、
あなたの腕に印として。愛は死のように強く、
情熱は墓のように容赦ない。
その閃光は火の閃光、神聖な炎です。 7
多くの水も愛を消すことはできず、
川もそれを溢れさせることはできません。

雅歌

もし人が愛のために家のすべての富を与えたなら、
それは全く輕蔑されるでしょう。

8 私たちには小さな妹がいます、
彼女はまだ成熟していません。
私たちは妹のために何をしましょうか、
彼女が求められる日には？ 9 もし彼女が壁なら、
私たちは彼女の上に銀の胸壁を築くでしょう。
しかし、もし彼女が扉なら、
私たちは彼女を杉の板で囲むでしょう。

10 私は壁であり、私の姿は塔のようでした。
それから私は彼の目には
平和を見つけた者のようになりました。 11
ソロモンはバアル・ハモンにぶどう園を持っていま

した。 彼はそのぶどう園を管理者に貸しました。
それぞれがその果実のために千シェケルの銀を持っ
てくることになっていました。 12

私自身のぶどう園は私の手にあります。
千シェケルはあなたのものです、ソロモン、
そして二百はその果実を管理する者たちのものです
。

13 庭に住むあなた、
私の仲間たちはあなたの声を聞こうとしています—
私に聞かせてください！ 14
急いでください、私の愛する者、
そして速いガゼルや若い雄鹿のように
香り高い丘の上を駆けてください。

イザヤ書

1 アモツの子イザヤが見た幻。ユダとエルサレムについて、ユダの王ウジヤ、ヨタム、アハズ、ヒゼキヤの時代に見たものである。²
天よ、開け。地よ、耳を傾けよ。主が語られたからだ。「わたしは子らを育て、彼らを大きくしたが、彼らはわたしに逆らった。³
牛はその飼い主を知り、ろばはその主人の飼い葉桶を知っている。しかし、イスラエルは知らない。わたしの民は理解しない。」⁴
ああ、罪深い国、咎を負った民、悪を行う者の子孫、腐敗した子ら！彼らは主を捨て、イスラエルの聖なる方を侮り、背を向けた。⁵
なぜ、あなたたちは再び打たれるべきなのか、反逆を続けるのか。頭全体が病んでおり、心全体が衰えている。⁶
足の裏から頭まで、健全なところはなく、打ち傷、腫れ物、生傷ばかりで、絞り出されず、包まれず、油で柔らげられてもいない。⁷
あなたたちの地は荒れ果て、あなたたちの町々は火で焼かれ、あなたたちの畑は、あなたたちの目の前で異国人に食い尽くされている。それは荒れ果て、異国人に滅ぼされたようだ。⁸
シオンの娘は、ぶどう畑の小屋のように、きゅうり畑の小屋のように、包囲された町のように残されている。⁹
もし万軍の主がわたしたちに少しでも生き残りを残されなかったなら、わたしたちはソドムのようになり、ゴモラようになっていただろう。¹⁰
ソドムの支配者たちよ、主の言葉を聞け。ゴモラの民のような者たちよ、わたしたちの神の教えに耳を傾けよ。¹¹
「あなたたちの多くのいけにえは、わたしに何の役に立つのか？」と主は言われる。「わたしは雄羊の焼き尽くすいけにえと肥えた家畜の脂肪に飽きた。わたしは雄牛、子羊、やぎの血を喜ばない。¹²
あなたたちがわたしの前に現れるとき、誰がこのことをあなたたちに求めたのか、わたしの庭を踏み荒らすことを。¹³
無意味ないけにえをもう持って来るな。香はわたしにとって忌まわしいものだ。新月、安息日、集会—わたしは不義と厳粛な集会を耐えられない。¹⁴
あなたたちの新月の祭りと定められた祭りは、わたしの魂を憎むものとなった。それらはわたしにとって重荷であり、わたしはそれを担うのに疲れ果てている。¹⁵
あなたたちが祈りのために手を広げるとき、わたしは目を隠す。たとえ多くの祈りをしても、わたしは聞かない。あなたたちの手は血で満ちている。¹⁶
自らを清め、行いを清めよ。あなたたちの行いの悪

をわたしの目の前から取り除け。悪を行うことをやめよ。¹⁷
善を学び、正義を求め、压制者を正し、父のない者を守り、未亡人のために訴えよ。¹⁸
「さあ、来たれ、論じ合おう」と主は言われる。「たとえあなたたちの罪が緋のようであっても、雪のように白くなる。たとえ紅のように赤くても、羊毛のようになる。¹⁹
もしあなたが進んで従うなら、地の豊かさを味わうことができる。²⁰
しかし、拒み反逆するなら、剣で滅ぼされる。」主がこう宣言されたからだ。²¹
忠実な町がどのようにして不忠実になったのか！正義で満ちていた彼女が！かつては義が宿っていたが、今は人殺しがいる。²²
あなたたちの銀はかすんでしまい、あなたたちのぶどう酒は水で薄められている。²³
あなたたちの支配者たちは反逆者で、盗人の仲間だ。皆、賄賂を愛し、報酬を追い求める。彼らは父のない者を守らず、未亡人の訴えは彼らの前に来ない。²⁴
それゆえ、主、万軍の主、イスラエルの力ある者は宣言される。「ああ、わたしは敵からの慰めを得、わたしの敵に復讐する。²⁵
わたしはあなたたちに手を向け、あなたたちのかすを完全に取り除き、すべての不純物を除去する。²⁶
わたしはあなたたちの裁判官を初めのように、あなたたちの助言者を初めのように回復する。その後、あなたたちは義の町、忠実な町と呼ばれる。」²⁷
シオンは正義によって贖われ、彼女の悔い改めた者たちは義によって贖われる。²⁸
しかし、反逆し罪を犯す者たちは共に打ち砕かれ、主を捨てる者たちは滅ぼされる。²⁹
彼らはあなたが望んだ樅の木を恥じ、あなたが選んだ庭園を恥じることになる。³⁰
あなたたちは葉が枯れる樅の木のようになり、水のない庭のようになる。³¹
強い者は火口となり、その業は火花となる。両者は共に燃え上がり、火を消す者は誰もいない。

2 アモツの子イザヤがユダとエルサレムについて受けたメッセージ。²
終わりの日に、主の家の山は山々の中で最も高く立てられ、丘の上にそびえ立ち、すべての国々がそこに流れ込む。³
多くの民が来て言う、「来たれ、主の山に、ヤコブの神の家に登ろう。主はその道を私たちに教え、その道を歩ませてくださる。」シオンから律法が出、エルサレムから主の言葉が出るからである。⁴
主は国々の間を裁き、多くの民を仲裁する。彼らは

イザヤ書

剣を打ち直して鋤にし、槍を打ち直して鎌にする。
国は国に向かって剣を上げず、もはや戦いを学ばない。

ヤコブの家よ、来たれ、主の光の中を歩もう。
あなたはヤコブの家であるあなたの民を見捨てられた。
彼らは東からの影響で満たされ、ペリシテ人の
ように占いを行い、外国人と同盟を結んでいるから
である。

彼らの地は銀と金で豊かであり、彼らの宝は尽きる
ことがない。彼らの地は馬で満ち、彼らの戦車は数
え切れない。

彼らの地は偶像で満ちており、彼らは自分たちの手
の作業、指で作ったものにひれ伏す。

それゆえ、人間は卑しめられ、各人は低くされる—
彼らを赦さないでください。

主の恐怖とその威光の輝きから逃れるために、岩に
入り、塵の中に隠れよ。

人間の高慢な目は卑しめられ、人間の誇りは低くさ
れる。その日には主だけが高くされる。

万軍の主には、すべての高慢で高ぶるもの、すべて
の高くされているものに対する報いの日があり、そ
れらは卑しめられる。

レバノンのすべての高く誇る杉、バシヤンのすべ
の檜の木に対して、

すべての高くそびえる山々、すべての高い丘に対
して、

すべての高い塔、すべての堅固な壁に対して、
タルシシュのすべての船、すべての美しい船に対
して。

人間の誇りは卑しめられ、人間の高慢は低くされ
る。その日には主だけが高くされる。

偶像は完全に消え去る。

人々は主の恐怖とその威光の輝きから逃れるため
に、岩の洞窟や地面の穴に逃げ込む。主が立ち上
がって地を揺るがすときに。

その日、人々は崇拜するために作った銀の偶像や金
の偶像をもぐらやコウモリに投げ捨てる。

彼らは主の恐怖とその威光の輝きから逃れるため
に、岩の裂け目や垂れ下がった崖に退く。主が立ち
上がって地を揺るがすときに。

ただの人間を信頼するのをやめよ。彼らは鼻に息を
持つだけである。なぜ彼らを尊ぶのか？

3 見よ、万軍の神である主は、エルサレムとユダ
から支えと頼みを取り去ろうとしている。すべ
てのパンの供給とすべての水の供給を。

勇士と戦士、裁き人と預言者、占い師と長老、
五十人の隊長と名士、相談役と熟練した職人、そし

て巧みな呪術師を。

「私は彼らの指導者として若者を任命し、無秩序な
子供たちが彼らを治める。」

そして人々は互いに、また隣人によって圧迫される
。若者は長老に逆らい、卑しい者は尊ばれる者に逆
らう。

ある人が父の家で兄弟を捕まえて言うとき、「あな
たはマントを持っている、あなたが私たちの指導者
になりなさい。この廢墟の山を支配しなさい！」

その日、彼は抗議して言うだろう、「私はあなたの
治療者にはならない。私の家にはパンもマントもな
いからだ。私を人々の指導者に任命しないでくださ
い。」

エルサレムはつまずき、ユダは倒れた。彼らの言葉
と行いが主に逆らい、彼の栄光ある臨在を侮辱する
からだ。

彼らの顔の表情は彼らに対して証言している。彼ら
はソドムのように罪を誇示し、隠そうともしない。
彼らに災いあれ！彼らは自らに災いをもたらしたの
だ。

正しい者に言いなさい、それは彼らにとって良いこ
とである。彼らは自分の行動の実を楽しむだろう。

悪しき者に災いあれ！それは彼にとって悪いこと
である。彼の手が行ったことが彼に行われるだろう。

私の民よ！彼らの圧迫者は子供たちであり、女性が
彼らを治めている。私の民よ、あなたを導く者たち
はあなたを惑わし、あなたの道を誤らせる。

主は争うために立ち上がり、人々を裁くために立ち
上がる。

主は彼の民の長老たちと指導者たちと裁判に入る。

「あなたたちが私のぶどう園を荒らし、貧しい者か
らの戦利品があなたたちの家にある。

私の民を押しつぶし、貧しい者の顔をすりつぶすと
はどういうことか？」と万軍の神である主は宣言す
る。

さらに、主は言われる、「シオンの娘たちは高慢で
、首を伸ばし、誘惑的な目で歩き、行く途中で足を
鳴らしている。

主はシオンの娘たちの頭皮を傷つけ、彼女たちの額
を裸にする。」

その日、主は彼女たちの足飾り、ヘッドバンド、三
日月の飾りを取り去る。

ぶら下がるイヤリング、ブレスレット、パールを。
頭飾り、足鎖、帯、香水瓶、護符を。

イザヤ書

権威の指輪と鼻の飾りを。²²
祝祭の衣服、外衣、ショール、財布を。²³
そして、上質なりネンの衣服、ターバン、パールを。²⁴
そして、それは香りの代わりに悪臭が、帯の代わりに縄が、整った髪のために禿げが、上質な衣服の代わりに粗布が、美しさの代わりに焼き印があるようになる。²⁵
あなたの男たちは剣で運命を迎え、あなたの戦士たちは戦いで倒れる。²⁶
そして彼女の門は嘆き悲しみ、彼女は地面に座って荒れ果てる。

4 その日、七人の女が一人の男にすがりついて言う、「私たちは自分のパンを食べ、自分の衣を着ます。ただ、あなたの名をもって私たちを呼んでください。私たちの恥を取り去ってください！」²
その日、主の若枝は美しく栄え、地の実はイスラエルの生き残りの者たちの誇りと栄光となる。³
シオンに残る者、エルサレムに残される者は、みな聖なる者と呼ばれる。エルサレムで生きる者たちの中に記録されている者たちである。⁴
主はシオンの娘たちの汚れを洗い流し、エルサレムの血の汚れをその中から清める。裁きの霊と焼き尽くす霊によって。⁵
その時、主はシオンの山全体とそこに集まる者たちの上に、昼は雲を、夜は燃える火の輝きを創造される。すべての栄光の上には天幕がある。⁶
それは昼の暑さを避ける陰となり、また暴風雨や雨を避ける隠れ場、避難所となる。

5 私の愛する者のために、彼のぶどう畑についての歌を歌おう。私の愛する者は肥沃な丘にぶどう畑を持っていた。²
彼はそれを掘り起こし、石を取り除き、最良のぶどうを植えた。彼はその中に見張り塔を建て、また酒ぶねを掘り出した。それから良いぶどうを期待したが、できたのは役に立たない実だけだった。³
「さて、エルサレムの住民とユダの人々よ、私と私のぶどう畑の間を抜け。⁴
私のぶどう畑に対して、私がした以上に何ができただろうか？ 良いぶどうを期待したのに、なぜ悪いものしかできなかったのか？⁵
今、私は私のぶどう畑に何をするかをあなたに告げよう。私はその垣を取り除き、それは食い尽くされる。私はその壁を崩し、それは踏みにじられる。⁶
私はそれを荒れ果てさせる。それは剪定も耕作もされず、いばらと茨が生える。私は雲に命じて、それに雨を降らせない。」⁷

万軍の主のぶどう畑はイスラエルの家であり、ユダの人々は彼が喜んだぶどうの木である。彼は正義を求めたが、見たのは流血であり、義を求めたが、聞いたのは悲鳴だった。

8
家を家に加え、畑を畑に結びつけて、場所がなくなるまで、そしてあなたがその地に一人でいるまで、災いがある。⁹
万軍の主が私の耳に宣言した：「多くの家は荒れ果て、大きく立派なものも住む者がいなくなる。¹⁰
十エーカーのぶどう畑はわずかに一バテのワインを生み、ホメルの種はわずかに一エファの穀物を生む。」

11
朝早く起きて強い酒を追い求め、夜遅くまで起きてワインに酔いしれる者たちに災いがある。¹²
彼らの宴会は堅琴と琴、タンバリンと笛、そしてワインで伴われる。しかし彼らは主の業に目を向けず、彼の手の働きを考えない。¹³
それゆえ、私の民は理解の欠如のために捕囚に行く。彼らの貴族は飢えて死に、多くの者は渴きで乾く。¹⁴
それゆえ、シェオルはその喉を広げ、限りなく口を開ける。そこに彼らの貴族と群衆が、すべての歓喜と喜びと共に降りていく。¹⁵
それで人々はへりくだり、すべての者が低くされ、高慢な者の目はへりくだる。¹⁶
しかし、万軍の主はその正義によって高められ、聖なる神はその義によって自らを聖なるものと示される。¹⁷
そのとき、子羊は自分の牧草地のように草を食み、異邦人は富裕層の廃墟の中で食べる。

18
欺瞞の網で罪を引きずり、車の綱のように悪を引きずる者たちに災いがある。¹⁹
「神を急がせ、その業を速めて私たちに見せてくれ。イスラエルの聖なる者の計画が近づき、成就するのを知りたい」と言う者たちに。²⁰
悪を善と呼び、善を悪と呼び、暗闇を光とし、光を暗闇とし、苦いものを甘いものとし、甘いものを苦いものとする者たちに災いがある。²¹
自分を賢いと思い、自分を賢明だと考える者たちに災いがある。²²
ワインを飲むことに勇敢で、強い酒を混ぜることに勇ましい者たちに災いがある。²³
賄賂で有罪を無罪とし、無実の者に正義を与えない者たちに。²⁴
それゆえ、火の舌が藁を食い尽くし、乾いた草が炎の中で崩れるように、彼らの根は腐り、彼らの花は

イザヤ書

塵のように吹き飛ばされる。彼らは万軍の主の律法を拒み、イスラエルの聖なる者の言葉を軽んじたからだ。²⁵

それゆえ、主の怒りはその民に対して燃え、その手は上げられ、彼らを打ち倒す。山々は揺れ、彼らの死体は通りにごみのように横たわる。それでもなお、彼の怒りは収まらず、その手はまだ上げられたままだ。²⁶

彼は遠くの国々のために旗を掲げ、地の果てにいる者たちを呼び寄せる。見よ、彼らは速やかにやって来る！²⁷

彼らの中には疲れる者もつまずく者もなく、眠る者も眠る者もない。腰の帯は緩まず、サンダルの上も切れない。²⁸

彼らの矢は鋭く、すべての弓は引かれている。彼らの馬のひづめは火打石のようであり、彼らの戦車の車輪は旋風のようだ。²⁹

彼らの咆哮は雌ライオンのようであり、若いライオンのように吠える。彼らは獲物を捕らえて運び去り、救う者はいない。³⁰

その日、彼らは海の咆哮のようにそれを覆う。そして、もし誰かがその地を見るなら、そこにはただ暗闇と苦悩があり、光さえも雲によって暗くされる。

6 ウジヤ王が亡くなった年に、私は主が高く上げられた御座に座しておられるのを見た。その衣の裾は神殿を満たしていた。²

その上にセラフィムが立っていた。各々は六つの翼を持っており、二つで顔を覆い、二つで足を覆い、二つで飛んでいた。³

彼らは互いに呼び交わして言った。「聖なるかな、聖なるかな、聖なるかな、万軍の主。その栄光は全地に満ちている。」⁴

その声の響きで、門の基が揺れ動き、神殿は煙で満たされた。⁵

そこで私は言った。「ああ、私は滅びる！私は唇の汚れた者で、唇の汚れた民の中に住んでいるのに、万軍の主である王を見たからだ。」⁶

すると、一人のセラフィムが私の方に飛んできて、祭壇から火ばさみで取った燃え盛る炭を手を持っていた。⁷

彼はそれを私の口に触れさせて言った。「見よ、これがあなたの唇に触れたので、あなたの罪は取り去られ、あなたの罪は贖われた。」⁸

その後、私は主の声を聞いた。「誰を遣わそうか、誰が我々のために行くだろうか？」そこで私は言った。「ここに私がいます。私を遣わしてください！」⁹

彼は言った。「行って、この民に告げよ。『聞き続けても理解せず、見続けても認識しない。』」¹⁰

この民の心を鈍くし、その耳を重くし、その目を閉じよ。そうでなければ、彼らはその目で見、その耳で聞き、その心で理解し、立ち返って癒されるだろう。」¹¹

そこで私は尋ねた。「主よ、いつまでですか？」すると彼は答えた。「町々が荒れ果てて住む者がなくなり、家々が人けのないままになり、畑が荒れ果てるまで、」¹²

主が人々を遠くに追いやり、地が完全に荒れ果てるまで。」¹³

そして、もしその中に十分の一が残っても、それは再び焼かれるだろう。伐られてもその切り株が残るテレビンや樺の木のように。聖なる種がその切り株である。」

7 ユダの王、ウジヤの子、ヨタムの子、アハズの時代に、アラムの王レツィンと、イスラエルの王レマルヤの子ベカがエルサレムに攻め上って来たが、それに勝つことはできなかった。²

ダビデの家に「アラムがエフライムと同盟を結んだ」と告げられたとき、アハズとその民の心は、風に揺れる森の木のように震えた。³

そのとき、主はイザヤに言われた。「あなたとあなたの子シェアル・ヤシュブは、今すぐにアハズに会いに行きなさい。上の池の水道の端、洗濯する者の野に通じる道で。」⁴

彼に言いなさい、『氣をつけて、静かにし、恐れず、心を失わないようにしなさい。レツィンとアラムとレマルヤの子の激しい怒りのために、これら二つの燃え残った薪の切れ端のために。』⁵

アラムとエフライムとレマルヤの子があなたに対して悪を企んで言った、

「ユダに攻め上り、これを恐れさせ、これを自分たちのものに分け、タベエルの子をその中に王として立てよう。」と。⁷

主なる神はこう言われる、「それは立たず、成し遂げられない。」⁸

ダマスコはアラムの首都であり、レツィンはダマスコの長である。六十五年のうちに、エフライムは打ち砕かれ、民ではなくなる。⁹

エフライムの頭はサマリヤであり、サマリヤの頭はレマルヤの子である。もしあなたが信仰に堅く立たなければ、全く立つことができない。」と。¹⁰

主は再びアハズに語られた、¹¹

「あなたの神、主にしるしを求めよ。下の深いところからでも、上の高いところからでも。」¹²

しかしアハズは言った、「私はしるしを求めません。私は主を試みません。」¹³

するとイザヤは言った、「ダビデの家よ、今聞け！人の忍耐を試すだけでは足りないのか？

イザヤ書

私の神の忍耐も試すのか？ 14

それゆえ、主ご自身があなたにしろしめを与えられる。
見よ、若い処女が身ごもって男の子を産み、その名をインマヌエルと呼ぶであろう。 15
彼は悪を拒み、善を選ぶことを知る頃には、凝乳と蜂蜜を食べる。 16
その子が悪を拒み、善を選ぶことを知る前に、あなたが恐れている二人の王の地は見捨てられるであろう。

17
主はあなたとあなたの民とあなたの父の家に、エフライムがユダから離れた時以来の日々をもたらすであろう—彼はアッシリアの王をもたらす。」 18
その日、主はエジプトの遠い流れからの蠅とアッシリアの地からの蜂を呼び寄せるであろう。 19
彼らは皆来て、陰しい谷間、岩の裂け目、すべての茨の茂み、すべての水場に住みつくであろう。 20
その日、主はユーフラテスの向こうから雇った剃刀—

アッシリアの王を使って、あなたの頭と足の毛を剃り、あなたの髭も取り去るであろう。 21
その日、人は若い雌牛と二頭の羊を養うであろう。 22

そして彼らが生産する乳の豊かさのために、彼は凝乳を食べるであろう。地に残ったすべての者は凝乳と蜂蜜を食べるであろう。 23
その日、千の銀シェケルの価値がある千のぶどうの木があったすべての場所は、茨と棘になるであろう。 24

。 24
人々は弓と矢を持ってそこに行くであろう。なぜなら、全地が茨と棘で覆われるからである。 25
かつて鋤で耕されたすべての丘については、茨と棘を恐れてそこに行かないであろう。彼らは牛が歩き回り、羊が踏みつける場所となるであろう。

8 主は私に言われた、「大きな板を取って、普通の文字で『マヘル・シャル・ハシュ・バズ』と書きなさい。」 2

私はウリヤ祭司とエベレキヤの子ゼカリヤを、私のために信頼できる証人として呼び寄せた。 3
私は女預言者に近づき、彼女は身ごもって男の子を産んだ。主は私に命じて言われた、「彼をマヘル・シャル・ハシュ・バズと呼びなさい。 4
その子が『父』や『母』と言うことを知る前に、ダマスカスの富とサマリアの戦利品はアッシリアの王によって奪われるからだ。」

5 主は再び私に語りかけられた： 6
「この民がシロアの静かに流れる水を拒み、レツィンとレマリヤの子を喜んでいるので、 7

それゆえ、主は彼らにユーフラテスの強力であふれる水をもたらそうとしている—
アッシリアの王とそのすべての栄光を。水はすべての運河を越えて上昇し、すべての岸を越えてあふれる。 8

それはユダを押し流し、洪水となって通り過ぎ、首にまで達する。その広げた翼は、あなたの地、インマヌエルよ、全土を覆う。」 9

砕けよ、国々よ、打ち砕かれよ！
遠くの地よ、開け。戦いの準備をせよ、しかし打ち砕かれよ！

戦いの準備をせよ、しかし打ち砕かれよ！ 10
計画を立てよ、しかしそれは無に帰す。策略を提案せよ、しかしそれは成功しない。なぜなら神が我々と共にいるからだ。

11
これは主が強い手で私に言われたことであり、この民の道を歩まないように警告された： 12

「この民が陰謀と呼ぶすべてのことを陰謀と呼んではならない。彼らが恐れるものを恐れず、それを恐れてはならない。 13
万軍の主を聖なるものとしなさい。彼を恐れ、彼を恐れなさい。 14

彼は聖所となる。しかしイスラエルの両家にとっては、人々がつまずく石、倒れる岩となる。エルサレムの民にとっては、罌とわなとなる。 15
多くの者がそれにつまずき、倒れて打ち砕かれ、捕えられ、捕えられる。」

16
証を縛り、律法を私の弟子たちの間に封じなさい。 17

私はヤコブの家から顔を隠している主を待ち望む。私は彼に希望を置く。 18
ここに私と、主が私に与えた子供たちがいる。我々はシオンの山に住む万軍の主からのイスラエルの中の徴と象徴である。

19
人々があなたに「ささやき、つぶやく霊媒や霊能者に相談しなさい」と言うとき、民は自分の神に尋ねるべきではないのか？

生きている者のために死者に相談するのはなぜか？ 20
律法と証に目を向けよ！

もし彼らがこの言葉に一致して語らないなら、それは光がないからだ。 21
彼らは地をさまよい、苦しみ、飢え、飢えたときには怒り、上を見上げて彼らの王と彼らの神を呪う。 22

そして彼らは地を見て、ただ苦しみと暗闇、苦悩の

イザヤ書

陰鬱を見るだけであり、完全な暗闇に追いやられる。
。

9 しかし、苦しんでいた者たちには、もはや暗闇はない。以前はゼブulunの地とナフタリの地を卑しめたが、後には海の道、ヨルダンの向こうの異邦人のガリラヤを榮えさせる。²

暗闇の中を歩んでいた民は大いなる光を見た。深い暗闇の地に住んでいた者たちの上に光が輝いた。³ あなたは国を広げ、その喜びを増し加えられた。彼らはあなたの前で喜び祝う、収穫を喜ぶように、戦利品を分け合うときのように。⁴

あなたは彼らの重荷のくびきと肩の上の杖、圧制者の杖をメディアンの敗北の日のように折った。⁵ 戦いの騒ぎの中での戦士のすべての靴と血にまみれたすべての衣服は焼かれ、火の燃料となる。⁶

私たちのために一人の子が生まれ、私たちに一人の男の子が与えられた。主権は彼の肩にあり、彼の名は「驚くべき助言者、力ある神、永遠の父、平和の君」と呼ばれる。⁷

彼の主権と平和の増し加わりには終わりが無い。彼はダビデの王座とその王国の上に立ち、公正と義でそれを確立し、支える。今よりとこしえに至るまで。万軍の主の熱心がこれを成し遂げる。⁸

主はヤコブに対して言葉を送られ、それはイスラエルに降りかかる。⁹

そしてすべての民、エフライムとサマリアの住民はそれを知るであろう。彼らは心の高慢と傲慢をもって言う。¹⁰

「レンガは崩れ落ちたが、切り石で再建しよう。シカモアの木は切り倒されたが、杉でそれを置き換えよう。」¹¹

しかし主はレツィンの敵を彼らに対して強め、彼らの敵を奮い立たせた。¹²

東からアラム人が、西からペリシテ人が口を開けてイスラエルを食い尽くした。それにもかかわらず、彼の怒りは去らず、彼の手はまだ伸ばされたままである。¹³

しかし、民は彼らを打った方に戻らず、万軍の主を求めなかった。¹⁴

それゆえ、主はイスラエルから頭と尾、ヤシの枝と葦を一日で切り落とす。¹⁵

尊敬される長老と高貴な人は頭であり、偽りを教える預言者は尾である。¹⁶

この民を導く者たちは彼らを誤らせ、導かれる者たちは混乱している。¹⁷

それゆえ、主は彼らの若者たちを喜ばず、彼の父なき者と未亡人に憐れみを持たない。すべての者が不敬虔で悪しき者であり、すべての口が愚かさを語るからである。それにもかかわらず、彼の怒りは去ら

ず、彼の手はまだ伸ばされたままである。¹⁸ 悪は火のように燃え、茨といばらを食い尽くし、森林の茂みを燃やし、煙の柱となって上昇する。¹⁹ 万軍の主の怒りによって、地は焼かれ、民は火の燃料となる。誰も兄弟を惜しまない。²⁰ 右手で食べてもなお飢え、左手で食べても満たされない。それぞれが自分の腕の肉を食い尽くす。²¹ マナセはエフライムを食い尽くし、エフライムはマナセを食い尽くす。共にユダに対抗する。それにもかかわらず、彼の怒りは去らず、彼の手はまだ伸ばされたままである。

10 不正な法律を作り、害を及ぼす布告を記録し続ける者たちに災いあれ。²

困窮者に正義を否定し、わたしの民の貧しい者たちの権利を奪い、未亡人を彼らの獲物とし、父のない者を略奪する。³

裁きの日に、遠くから破壊が来るとき、あなたは何をするのか。誰に助けを求めて逃げ、どこに富を残すのか。⁴

残されているのは、捕虜の中にうずくまるか、殺された者の中に倒れることだけだ。それにもかかわらず、彼の怒りは去らず、彼の手は伸ばされたままである。⁵

アッシリアに災いあれ、わたしの怒りの杖、その手にわたしの憤りの杖がある者。⁶

わたしは彼を神を知らない国に送り、わたしの怒りの民に対して彼を任命し、戦利品を奪い、略奪を行い、彼らを街の泥のように踏みしめる。⁷

しかし、これは彼の意図ではなく、彼の心に計画していることでもない。彼の目的は、多くの国を滅ぼし、消し去ることである。⁸

彼は言う、「わたしの司令官たちは王のようではないか？」⁹

「カルノはカルケミシュのようではないか？ ハマスはアルバデのようではないか、サマリアはダマスカスのようではないか？」¹⁰

わたしの手が偶像の王国に届いたように、その彫像はエルサレムとサマリアのものよりも大きかった。¹¹

わたしがサマリアとその偶像にしたことを、エルサレムとその像にも同じようにしないだろうか？」¹²

主がシオンの山とエルサレムに対するすべての仕事を終えたとき、彼は言う、「わたしはアッシリアの王の高慢な心の実と彼の目の誇りを罰する。」¹³

彼は言った、「わたしの手の力とわたしの知恵によってこれを行った、わたしには理解があるからだ。わたしは国々の境界を取り除き、彼らの宝を略奪し

イザヤ書

た。力ある者のように彼らの住民を征服した。¹⁴
わたしの手は巢のように人々の富に届き、見捨てられた卵を集めるように、わたしは全地を集めた。翼をばたつかせる者も、くちばしを開く者も、鳴く者もいなかった。」¹⁵

斧がそれを振るう者に誇るだろうか、または鋸がそれを使う者に自らを誇るだろうか。それは、杖がそれを持ち上げる者を振るうようなもの、または木でない者を振るう棍棒のようなものである。¹⁶

それゆえ、主、万軍の主は、その頑強な戦士たちの間に消耗病を送り、その栄光の下に火を燃やし、燃える炎のようにする。¹⁷

イスラエルの光は火となり、その聖なる者は炎となる。それは彼の茨といばらを一日で焼き尽くし、食い尽くす。¹⁸

彼はその森の輝きと肥沃な野を、魂も体も破壊する。それは病人が衰弱する時のようである。¹⁹

彼の森に残る木々はあまりにも少なく、子供がそれを書き留めることができるほどである。²⁰

その日、イスラエルの残りの者、ヤコブの家の生存者たちは、彼らを打ち倒した者に頼ることはなく、真にイスラエルの聖なる者である主に頼る。²¹
ヤコブの残りの者は力ある神に帰る。²²
あなたの民、イスラエルが海の砂のようであっても、ただ残りの者だけが帰る。破壊が定められており、義で溢れている。²³

主、万軍の主は、全地に定められた破壊を行う。²⁴
それゆえ、主、万軍の主はこう言う、「シオンに住むわたしの民よ、アッシリアを恐れるな、彼は杖であなたを打ち、エジプトがしたようにその杖をあなたに向ける。²⁵

ほんの少しの間で、あなたに対するわたしの憤りは終わり、わたしの怒りは彼らの破壊に向けられる。」²⁶

万軍の主は、オレブの岩でメディアンを打ち倒したときのように、彼らに鞭を振るう。そして彼は海の上にその杖を上げ、エジプトで行ったようにする。²⁷

その日、彼らの重荷はあなたの肩から取り除かれ、彼らのくびきはあなたの首から外される。くびきは肥満によって壊れる。²⁸

彼らはアイアスに向かって来た。彼らはミグロンを通過した。ミクマスで彼らは物資を預けた。²⁹

彼らは峠を越え、「ゲバで一晩宿営しよう」と言った。ラマは震え、サウルのゲバは逃げる。³⁰

ガリムの娘よ、叫べ！ライシャよ、聞け！貧しいアナトよ！³¹

マドメナは逃げた。ゲビムの人々は避難所を見つけ

た。³²
今日、彼らはノブで止まる。彼らはシオンの娘の山、エルサレムの丘に拳を振る。³³
見よ、主、万軍の主は大いなる力で枝を切り落とす。高い木々は倒され、高き者は低くされる。³⁴
彼は鉄の斧で森の茂みを切り倒す。レバノン力は力ある者の前に倒れる。

11 エッサイの幹から一つの芽が出て、その根から一つの枝が実を結ぶ。²

主の霊が彼の上にとどまる。知恵と理解の霊、助言と力の霊、知識と主を恐れる霊である。³
彼は主を恐れることを喜びとする。彼は目に見えるところによって裁かず、耳に聞くところによって決めない。⁴

しかし、彼は義によって貧しい者を裁き、公平をもって地の謙虚な者のために決める。彼はその口の杖で地を打ち、その唇の息で悪者を殺す。⁵

義は彼の腰の帯となり、誠実はその腰の帯となる。⁶

狼は子羊と共に住み、豹は子山羊と共に横たわり、子牛と若い獅子と肥えた家畜が共にいて、小さな子供がそれらを導く。⁷

牛と熊は共に草を食べ、その子供たちは共に横たわり、獅子は牛のようにものを食べる。⁸

乳飲み子はコブラの穴のそばで遊び、乳離れた子供は毒蛇の巣に手を入れる。⁹

彼らは私の聖なる山のどこでも害を加えず、破壊もしない。地は主の知識で満たされるからである。海が水で覆われているように。¹⁰

その日、エッサイの根は民のための旗として立ち、国々は彼に寄り集まり、彼の休む場所は栄光に満ちる。¹¹

その日、主は再び手を伸ばし、アッシリア、エジプト、パトロス、クシュ、エラム、シナル、ハマト、海の島々から彼の民の残りを取り戻す。¹²

彼は国々のために旗を掲げ、イスラエルの追放者を集め、ユダの散らされた者を地の四隅から集める。¹³

エフライムの嫉妬は消え、ユダを悩ます者は取り除かれる。エフライムはユダを嫉妬せず、ユダはエフライムを悩まさない。¹⁴

彼らは西のベリシテ人の斜面に降り立ち、共に東の民を略奪する。彼らはエドムとモアブを所有し、アモン人は彼らに従属する。¹⁵

主はエジプトの海の舌を完全に破壊し、焼けつく風でユーフラテス川の上に手を振り、それを七つの流れに分け、人々がサンダルで渡れるようにする。¹⁶

イザヤ書

アッシリアから彼の民の残りが戻るための道がある。
それはイスラエルがエジプトの地から上ってきた
ときのようなのである。

12 その日、あなたは言うでしょう。「主よ、
私はあなたに感謝します。あなたは私に怒
っておられましたが、あなたの怒りは去り
、あなたは私を慰めてくださいました。」²
見よ、神は私の救いです。私は信頼し、恐れません
。主なる神は私の力であり、私の歌です。彼は私の
救いとなりました。」³
喜びをもって、あなたは救いの泉から水を汲むでし
ょう。⁴
その日、あなたは言うでしょう。「主に感謝し、そ
の名を呼び求めよ。彼の業を国々に知らせ、その名
が高められていることを思い出させよ。」⁵
主に歌え、彼は驚くべきことをなされたからです。
これを全地に知らせよ。⁶
シオンに住む者よ、大声で叫び、喜びの歌を歌え。
イスラエルの聖なる方があなたの中で偉大だからで
す。」

13 アモツの子イザヤが見たバビロンについて
の託宣：²
裸の丘の上に旗を掲げ、彼らに向かって声
を上げよ。手を振り、高貴な者たちの門に入るよう
にせよ。³
私は戦いのために選び分けた者たちに命じた。私の
栄光を誇る戦士たちを呼び集め、私の怒りを実行さ
せる。⁴
聞け、山々での轟き、巨大な群衆のようだ！王国の
騒ぎを聞け、国々が集まっている！万軍の主が戦い
のために軍を集めている。⁵
彼らは遠い国々から、地の果てから来る—
主とその憤りの武器が—全地を荒廃させるために。
⁶
叫べ、主の日が近いからだ。それは全能者からの荒
廃として来る。⁷
それゆえ、すべての手はだらりと下がり、すべての
心は溶ける。⁸
彼らは恐怖に襲われ、痛みと苦しみで彼らを捕らえ
る。彼らは産みの苦しみを受ける女のように身をよじ
る。彼らは互いに驚いて見つめ合い、彼らの顔は炎
のようになる。⁹
見よ、主の日が来る—
残酷な日、激しい怒りと憤りの日—
地を荒廃させ、その中の罪人を滅ぼすために。¹⁰
天の星々とその星座は輝かず、昇る太陽は暗くなり
、月はその光を与えない。¹¹
私は世界の悪を罰し、悪者の不義を罰する。私は高
慢な者の傲慢を終わらせ、無慈悲な者の高ぶりを低

くする。¹²
私は人々を純金よりも希少にし、オフィルの金より
も少なくする。¹³
それゆえ、私は天を震わせ、地をその場所から動か
す。万軍の主の怒りの日に、彼の燃える怒りの中
で。¹⁴
それは狩られたガゼルのように、または集める者の
いない羊のようになる。各々は自分の民に向かい、
各々は自分の故郷に逃げる。¹⁵
見つかった者は皆、突き刺され、捕らえられた者は
皆、剣で倒れる。¹⁶
彼らの幼子たちは彼らの目の前で打ち砕かれ、彼ら
の家は略奪され、彼らの妻は辱められる。¹⁷
見よ、私はメディア人を彼らに対して奮い立たせる
。彼らは銀を重んじず、金を喜ばない。¹⁸
彼らの弓は若者を打ち倒し、彼らは幼子に憐れみを
示さず、子供たちを哀れまない。¹⁹
そしてバビロン、王国の宝石、カルデア人の誇りと
栄光は、神がソドムとゴモラを滅ぼした時のように
なる。²⁰
それは永遠に住まわれることはなく、世々にわたっ
て住まわれることはない。アラブ人はそこに天幕を
張らず、羊飼いたちはそこに群れを休ませない。²¹
しかし、砂漠の生き物がそこに横たわり、その家は
フクロウで満たされる。ダチョウがそこに住み、野
ヤギがそこではしゃぐ。²²
ハイエナがその要塞で吠え、ジャッカルがその豪華
な宮殿で吠える。その時は近づいており、その日々
は延ばされることはない。

14 主はヤコブを憐れみ、再びイスラエルを選
び、彼らを自分たちの地に住まわせる。異
邦人が彼らに加わり、ヤコブの家に結びつ
く。²
国々は彼らを連れてその場所に導き、イスラエルの
家は主の地で彼らを男奴隷、女奴隷として所有する
。彼らは自分たちを捕らえた者を捕らえ、彼らの圧
迫者を支配する。³
主があなたに苦しみ、混乱、そして奴隷としての厳
しい労働からの休息を与えるその日に、⁴
あなたはバビロンの王に対してこの言葉を唱えるだ
ろう。「圧制者が終わり、その激怒が終わった！」
⁵ 主は悪者の杖、支配者の笏を打ち砕いた。⁶
それは怒りで人々を絶え間なく打ち、激怒で国々を
抑圧し、絶え間ない迫害を行った。⁷
全地は安らぎ、静まり、歌を歌い始める。⁸
レバノンの糸杉と杉の木さえもあなたを喜び、「あ
なたが倒された今、木こりは私たちに来ない」と言
う。⁹
下の死者の国はあなたの来るのを迎えるために動き

イザヤ書

、地のすべての指導者たちの霊を目覚めさせる。それは国々のすべての王たちをその王座から引き起こす。

彼らは皆あなたに答えて言うだろう、「あなたも私たちのように弱くなり、私たちのようになった。」

あなたの栄華とあなたの琴の音は墓に下ろされ、あなたの下には蛆が敷かれ、虫があなたを覆う。天から落ちた、輝く者、暁の子よ！国々を倒したあなたが地に投げ落とされた！

あなたは心の中で言った、「私は天に昇り、神の星々の上に私の王座を上げ、北の果ての集会の山に座す。」

私は雲の上に昇り、いと高き者のようになろう。」

しかし、あなたは死者の国、穴の深みに下ろされる。

あなたを見る者はあなたをじっと見て、あなたの運命を考える。「これが地を震わせ、国々を揺るがした男か、

世界を荒野にし、その都市を覆し、捕虜を家に帰さなかった者か？」

国々のすべての支配者はそれぞれ自分の墓に名誉をもって休む。

しかし、あなたは拒絶された枝のように墓から投げ出され、剣で刺された者たち、穴の石に降りる者たち、踏みにじられた死体のように覆われている。

あなたは彼らと共に埋葬されることはない、あなたは自分の地を滅ぼし、自分の民を殺したからだ。悪者の子孫は再び言及されることはない。

彼の子供たちを先祖の罪のために殺す場所を準備せよ。彼らは地を受け継ぎ、その都市で地を満たしてはならない。

「私は彼らに立ち向かう」と万軍の主は宣言する、「そしてバビロンから名と生き残り、子孫と末裔を断ち切る」と主は宣言する。

「私は彼女をフクロウの住処とし、沼地に変える。私は滅びのほうきで彼女を掃く」と万軍の主は宣言する。

万軍の主は誓った、「確かに、私が計画したように、それは成り、私が意図したように、それは立つ。

私は私の地でアッシリア人を打ち砕く。私の山々で彼を踏みにじる。彼のくびきは私の民から取り除かれ、彼の重荷は彼らの肩から取り除かれる。」

これは全地に対して考案された計画であり、これはすべての国々に伸ばされた手である。

万軍の主が意図したことであり、誰がそれを妨げる

ことができるか？彼の手が伸ばされている、誰がそれを戻すことができるか？

アハズ王が死んだ年に、この預言が来た：すべてのペリシテ人よ、あなたを打った杖が折れたことを喜ぶな。その蛇の根から毒蛇が出て、その果実は飛び跳ねる毒蛇となる。

最も貧しい者は牧草地を見つけ、貧しい者は安全に横たわる。しかし、私は飢饉でああなたの根を滅ぼす。あなたの生き残りを殺す。

門よ、嘆け！都市よ、叫べ！すべてのペリシテ人よ、溶け去れ！北から煙の雲が来る、その隊列には遅れを取る者はいない。

その国の使者たちにどのような答えが与えられるのか？「主はシオンを確立し、その中で彼の民の苦しむ者が避難所を見つける。」

15 モアブについての宣告：確かに一夜にしてモアブのアルは荒廃し、廃墟となる。確かに一夜にしてモアブのキルは荒廃し、廃墟となる。

人々は神殿とディボンに登り、高き所で嘆く。モアブはネボとメデバのために嘆く。すべての頭は禿げ、すべてのひげは剃られている。

通りでは荒布をまとい、屋上や広場では皆が泣き叫び、涙に圧倒されている。

ヘシュボンとエレアレも叫び、その声はヤハズにまで届く。それゆえモアブの戦士たちは叫び、その心は内で震える。

私の心はモアブのために叫ぶ。その逃亡者はツォアルとエグラテ・シェリシャヤにまで達する。彼らはルビテの坂を泣きながら登る。確かに、ホロナイムへの道で彼らはその没落を嘆く叫びを上げる。

ニムリムの水は荒れ果てている。確かに、草は枯れ、新芽は消え去り、緑は何も残っていない。

それゆえ、彼らが集めて蓄えた富を、彼らはボブラの小川を越えて運び去る。

嘆きの叫びがモアブの地を囲み、その嘆きはエグライムにまで届き、その叫びはバール・エリムにまで届く。

ディモンの水は血で満たされている。私は確かにディモンにさらなる災いをもたらす。モアブの逃亡者と地に残る者たちにライオンを送る。

16 セラから荒野を通り、シオンの娘の山に至るまで、地の主権者に貢ぎ物として子羊を送れ。

巣から追い出された鳥のように、アルノンの渡し場でモアブの娘たちはそうである。

「助言を与え、決断せよ。真昼に夜のように影を投げかけよ。逃亡者を隠し、難民を裏切るな。」

イザヤ書

モアブの追放者をあなたのもとに住ませ、破壊者から彼らを守れ。」圧制者は終わり、荒廃は終わり、攻撃者は地から取り除かれる。

忠実に、王座が確立される。ダビデの幕屋に座し、公正を求め、義を速やかに行う者がいる。我々はモアブの誇りを聞いた—

彼女の高慢がいかに過剰であるか！—彼女の思い上がり、彼女の誇り、彼女の怒りを。しかし彼女の自慢は空しい。

それゆえモアブは嘆く。モアブ全体が泣き叫ぶ。キル・ハレセテの干しぶどうのために、深く打ちひしがれた者のように嘆け。

ヘシュボンの畑は枯れ、シブマのぶどうの木もそうだ。国々の主たちは選ばれたぶどうの木を踏みにじった。それはヤゼルに達し、荒野に広がった。そのつるは延びて海に達した。

それゆえ私はヤゼルがシブマのぶどうの木のために泣くように泣く。私はヘシュボンとエレアレのあなたを涙で濡らす。あなたの夏の果実と収穫の歓声はやんだ。

果樹園から喜びと楽しみは取り去られ、ぶどう畑では歌や歓声はなく、誰も酒を搾るために踏むことはない。私は歓声を沈黙させた。

私の心は琴の音のようにモアブのために嘆き、私の内なる者はキル・ハレセテのために嘆く。

モアブが高い場所に現れるとき、彼女は疲れ果てる。彼女が祈るために聖所に行くとき、それは無駄である。

これは以前に主がモアブについて語った言葉である。

しかし今、主は宣言する。「雇われた労働者が数えるように、三年以内にモアブの栄光とその多くの民は軽蔑され、その生存者は少なく弱々しくなる。」

17 ダマスコについての宣告：「見よ、ダマスコは都市であることをやめ、廃墟の山となる。

アロエルの町々は捨てられ、群れが横たわるために残され、誰もそれを邪魔する者はいない。

エフライムからは要塞都市が消え、ダマスコからは主権が消える。アラムの残りはイスラエルの子らの栄光のようになる」と万軍の主は宣言される。

その日には、ヤコブの栄光は衰え、その肉の肥えた部分は痩せ細る。

それは、刈り取り人が立っている穀物を集め、彼の腕が穂を刈り取るときのものであり、あるいはレファイムの谷で穂を拾い集めるときのものである。

しかし、拾い残しが残る。オリーブの木が揺さぶられたとき、最上部の枝に二、三のオリーブが残り、実り多い枝に四、五のオリーブが残るように」とイ

スラエルの神、主は宣言される。

その日には、人々は自分の造り主に向かい、彼らの目はイスラエルの聖なる者を見る。

彼らは自分たちの手の働きである祭壇を見ず、指で作ったもの、アシェラの柱や香の祭壇を顧みることはない。

その日には、彼らの要塞都市は森の中の捨てられた場所のようになり、イスラエル人の前に残された枝のようになり、地は荒れ果てる。

あなたは自分の救いの神を忘れ、避難所の岩を思い出さなかったからである。それゆえ、たとえ最良の植物を植え、輸入したブドウの苗を植えたとしても、

その日にはそれを成長させ、朝には種を咲かせても、収穫は病氣と治らない痛みの日には何もない。

ああ、多くの国々の喧騒、海の轟きのように轟き、人々の急流、強大な水の流れのように急ぐ！

国々は多くの水の流れのように急ぐが、彼は彼らを叱責し、彼らは遠くへ逃げ去り、風の前の山のもみ殻のように、嵐の前の舞い上がる塵のように追い払われる。

夕方には、見よ、恐怖！朝には、彼らはもういない。これが私たちを略奪する者たちの運命であり、私たちを略奪する者たちの分け前である。

18 クシュの川の向こうにある、羽音を立てる翼の地に災いあれ。

それは水の上をパピルスの船で使者を海に送る。速やかな使者たちよ、行け。高くて滑らかな肌の国民、広く恐れられる民、力強く攻撃的な国、その地が川によって分かれている国へ。

地に住むすべての世界の住民よ、山に旗が掲げられるとき、あなたはそれを見るであろう。ラッパが鳴るとき、あなたはそれを聞くであろう。

これは主が私に言われたことである。「私は静かにして、私の住まいから観察する。日光の中の揺らめく熱のように、収穫の暑さの中の露の雲のように。」

収穫の前に、花が散り、花が熟したブドウになるとき、彼は剪定ナイフで若枝を切り落とし、広がる枝を取り除き、持ち去る。

それらは山の猛禽類と野生動物のために一緒に残される。鳥は夏の間それらを食べ、野生動物は冬の間それらを食べる。

その時、贈り物の貢ぎ物が、主全能者のもとに、高くて滑らかな肌の国民、広く恐れられる民、力強く攻撃的な国、その地が川によって分かれている国から、主全能者の名の場所、シオンの山に持ち込まれる。

19 エジプトに関する預言：見よ、主は速い雲に乗ってエジプトに來られる。エジプトの偶像はその御前で震え、エジプト人の心は彼らの中で溶ける。²

「私はエジプト人をエジプト人に対して煽動する。兄弟は兄弟に対して戦い、隣人は隣人に対して、都市は都市に対して、王国は王国に対して戦う。³ エジプト人の霊は彼らの中で掛け、私は彼らの計画を混乱させる。彼らは偶像や死者の霊、霊媒や霊能者に頼る。⁴

私はエジプト人を残酷な主人の力に引き渡し、強大な王が彼らを治める」と、万軍の主は宣言される。⁵

海の水は干上がり、川床は乾ききる。⁶ 運河は悪臭を放ち、エジプトの流れは減少し干上がる。葦と草は枯れる。⁷

ナイル川のほとりの葦、川の端にあるもの、ナイル川に沿って蒔かれたすべての畑は乾き、追い払われ、もはや存在しない。⁸

漁師たちは呻き嘆く。ナイル川に釣り針を投げ入れる者は皆悲しみ、水面に網を広げる者は衰える。⁹ 櫛で梳かれた亚麻を扱う者は絶望し、細かいリネンを織る者は完全に落胆する。¹⁰

布を作る労働者は意気消沈し、雇われたすべての労働者は心の中で悲しむ。¹¹

ゾアンの役人たちは愚か者に過ぎない。ファラオの賢い助言者たちは無意味な助言をする。どうしてファラオに「私は賢者の一人であり、古代の王たちの弟子です」と言えるのか。¹²

あなたの賢者たちは今どこにいるのか。彼らに示させ、万軍の主がエジプトに対して計画したことを知らせさせよ。¹³

ゾアンの役人たちは愚か者になり、メンフィスの指導者たちは欺かれた。彼女の部族の礎石たちはエジプトを誤らせた。¹⁴

主は彼女の中にめまいの霊を混ぜた。彼らはエジプトを彼女が行うすべてのことにおいてよろめかせる。酔っ払いがその吐物の中でよろめくように。¹⁵ エジプトができることは何もない。頭も尾も、棕櫚の枝も葦も。¹⁶

その日、エジプト人は弱者となり、万軍の主が彼らに対して上げる手に恐れて震える。¹⁷

ユダの地はエジプト人に恐怖をもたらす。それが言及されるすべての者は、万軍の主が彼らに対して計画していることのために大いに恐れる。¹⁸

その日、エジプトの五つの都市がカナンの言葉を話し、万軍の主の忠誠を誓う。一つは太陽の都市と呼ばれる。¹⁹

その日、エジプトの中心に主への祭壇があり、その境界に主への記念碑がある。²⁰

それはエジプトの地における万軍の主へのしるしと証となる。彼らが圧制者のために主に叫ぶと、彼は彼らに救い主と防衛者を送り、彼らを救う。²¹

それで主はエジプト人にご自身を知らせ、その日彼らは主を認める。彼らは犠牲と捧げ物で礼拝し、主に誓いを立て、それを果たす。²²

主はエジプトに苦しみをもたらすが、また癒しをもたらす。彼らは主に立ち返り、彼は彼らの願いに応え、彼らを回復する。²³

その日、エジプトからアッシリアへの高速道路がある。アッシリア人はエジプトに行き、エジプト人はアッシリアに行く。エジプト人とアッシリア人は共に礼拝する。²⁴

その日、イスラエルはエジプトとアッシリアと共に第三の者となり、地の中で祝福となる。²⁵

万軍の主は彼らを祝福し、「私の民エジプト、私の手の業アッシリア、私の相続イスラエルは祝福される」と言われる。

20 アッシリアの王サルゴンがアシュドドに司令官を送った年に、彼はそれと戦い、それを占領した—²

その時、アモツの子イザヤを通して主が語られた。「あなたの体から粗布を取り去り、足からサンダルを脱ぎなさい。」彼はそうし、裸で裸足で歩き回った。³

その時、主は言われた。「ちょうど私のしもべイザヤが三年間、エジプトとクシュに対するしるしと象徴として裸で裸足で歩いたように、アッシリアの王はエジプトの捕虜とクシュの亡命者を、若者も老人も裸で裸足で、尻を露わにして連れ去り、エジプトを辱める。⁵

クシュに信頼を置き、エジプトを誇りに思っていた者たちは、狼狽し、恥じるだろう。⁶

その日、この海岸地帯の住民は言うだろう、『我々が頼りにしていた者たち、アッシリアの王からの助けと救いを求めて逃げた者たちに何が起こったのかを見よ！それでは、我々はどうやって逃れることができるのか？』

21 海の荒野についての宣告：ネゲブのつむじ風が吹き抜けるように、それは荒野から、恐怖の地から来る。²

厳しい幻が私に示された：裏切り者は裏切り続け、破壊者は破壊し続ける。エラムよ、進め！メディアよ、包囲せよ！私は彼女のすべてのうめきを終わらせた。³

それゆえ、私の腰は苦悶で満たされ、陣痛のような痛みが私を襲う。私は聞くことに戸惑い、見ることに恐れおののく。⁴

イザヤ書

私の心は揺れ動き、恐怖が私を圧倒する。私が待ち望んだ黄昏は、私にとって恐怖に変わった。⁵
彼らはテーブルを整え、布を広げ、食べ、飲む！司令官たちよ、立ち上がれ、盾に油を塗れ！⁶
これは主が私に言われたことである：「行け、見張りを立て、彼に見たことを告げさせよ。⁷
彼が馬のチームを組んだ戦車、ロバに乗った騎手、ラクダに乗った騎手を見ると、彼は完全に警戒し、非常に警戒しなければならない。」⁸
そして見張りは叫んだ、「日ごとに、主よ、私は見張り台に立ち、毎晩、私は私の持ち場にとどまります。⁹
見よ、人々の戦車が、二人の騎手と共に来る。そして彼は答えて言った、『バビロンは倒れた、倒れた！その神々のすべての像は地に砕け散っている！』」¹⁰
おお、私の打ち砕かれた民よ、脱鞍場で脱鞍された者よ、私はイスラエルの神、万軍の主から聞いたことをあなたに告げる。¹¹
エドムについての宣告：セイルから私に呼びかける者がいる、「見張りよ、夜はどれほど残っているのか？見張りよ、夜はどれほど残っているのか？」¹²
見張りは答える、「朝が来るが、夜もまた来る。もし尋ねたいなら、尋ねよ；また戻って来よ。」¹³
アラビアについての宣告：デダン人の隊商よ、アラビアの茂みに宿る者たちよ、¹⁴
渴いた者に水を持って来い；テマの住民よ、逃げて来た者たちにパンを与えよ。¹⁵
彼らは剣から、抜かれた剣から、引かれた弓から、戦いの熱から逃げて来る。¹⁶
これは主が私に語られたことである：「一年以内に、雇われた労働者が数えるように、ケダルのすべての栄光は終わる。¹⁷
弓を引く者の数、ケダルの勇士たちは少なくなる。」イスラエルの神、主が語られた。

22 幻の谷についての宣言：今、あなたがたは
何に悩んでいるのか、すべて屋上に上っ
ているのか？²

騒がしい町、騒々しい町、歓喜の町。あなたの死者は剣で殺されたのではなく、戦いで滅びたのでもない。³
あなたの指導者たちは皆一緒に逃げ去り、弓を使わずに捕らえられた。発見された者は皆一緒に捕らえられ、遠くに逃げた者もいた。⁴
それゆえ、私は言った、「私から目をそらせ、激しく泣かせてくれ。私の民の滅びについて慰めようとしなくてくれ。」⁵
万軍の神、主は幻の谷で恐慌、踏みにじり、混乱の日を持っている。壁を破壊し、山々に叫び声を上げ

る日だ。⁶
エラムは矢筒を取り、戦車、歩兵、騎兵を備え、キルは盾を覆う。⁷
あなたの選ばれた谷は戦車で満たされ、騎兵は城門に位置を取っている。⁸
主はユダの防御を取り除いた。その日にあなたは森の家の武器を見た。⁹
あなたはダビデの町の壁の破れ口が多いことを見た。あなたは下の池の水を集めた。¹⁰
あなたはエルサレムの家を数え、壁を強化するために家を壊した。¹¹
あなたは古い池の水のために二つの壁の間に貯水池を作ったが、それを作った者を見ず、昔からそれを計画した者を考えなかった。¹²
その日に、万軍の神、主はあなたを泣き、嘆き、頭を刺り、粗布を着るように呼んだ。¹³
しかし、代わりに、喜びと騒ぎ、牛を屠り、羊を殺し、肉を食べ、酒を飲む：「食べて飲もう、明日死ぬかもしれないから。」¹⁴
万軍の主は私の耳にこれを明らかにした：「確かにこの不義はあなたが死ぬまで許されない」と万軍の神、主は言う。¹⁵
万軍の神、主はこう言う：「行け、この執事に近づけ、王室の家を管理するシェブナに：¹⁶
ここで何の権利があるのか、ここに誰がいるのか、あなたがここに自分のために墓を掘り、高い所に墓を掘り、岩に安息の場所を彫るのか？」¹⁷
見よ、主はあなたを激しく投げ飛ばそうとしている、強い男よ。彼はあなたをしっかりと捕まえようとしている。¹⁸
そしてあなたをボールのようにしっかりと包み、大きな国に投げ込む。そこであなたは死に、そこであなたの素晴らしい戦車があり、あなたの主人の家の恥となる。¹⁹
私はあなたを職から外し、あなたをその地位から引き下ろす。²⁰
その日に、私は私のしもべ、ヒルキヤの子エリアキムを呼ぶ。²¹
私は彼にあなたの衣を着せ、あなたの帯をしっかりと彼に結び、あなたの権威を彼に渡す。彼はエルサレムの住民とユダの家の父となる。²²
私は彼の肩にダビデの家の鍵を置く。彼が開けるものは誰も閉じることができず、彼が閉じるものは誰も開けることができない。²³
私は彼を堅い場所に釘のように打ち込み、彼は彼の父の家の榮譽の座となる。²⁴
彼の家族のすべての栄光が彼にかかる：その子孫と末裔—すべての小さな器、鉢からすべての瓶まで。²⁵

イザヤ書

その日に」と万軍の主は宣言する、「堅い場所に打ち込まれた釘は外れ、切り落とされて落ち、その上にかかっている荷は切り落とされる。主が語ったからだ。」

23 ツロについてのメッセージ：タルシシュの船よ、嘆け。ツロは荒れ果て、家も港もない。キプロスの地から彼らに報告される。

海岸に住む者よ、黙れ。シドンの商人たちよ、あなたの使者たちは海を渡った。³ ナイルの穀物が広大な水域を越えてきた。彼女の収穫はツロの収入であり、彼女は国々の市場であった。

シドンよ、恥じよ。海が語ったからだ。海のを要塞が言う、「私は労したこともなく、産んだこともない。若者を育てたことも、娘を育てたこともない。」

その知らせがエジプトに届くとき、彼らはツロの知らせに苦しむだろう。⁶ タルシシュへ旅立て。海岸の住民よ、嘆け。⁷ これはあなたの喜びの町か、その起源は古代からで、その足が彼女を遠くの地に住まわせたのか？⁸ 誰がツロに対してこれ考えたのか、冠を与える者、その商人は王子であり、その貿易商は地上で尊敬されていた。⁹

万軍の主がそれを目的とされた。すべての輝きの誇りを汚し、地上で尊敬されるすべての者をへりくだらせるために。¹⁰

ナイルのようにあなたの土地をあふれさせよ、タルシシュの娘よ、あなたにはもはや制約がない。¹¹

主は海の上に手を伸ばし、王国を震わせた。カナンについての命令を与え、その要塞を破壊する。¹²

彼は宣言した、「あなたはもはや喜ぶことはない、砕かれたシドンの処女の娘よ。立ち上がり、キプロスに渡れ。そこでもあなたは休むことはない。」¹³ カルデア人の地を見よー

これは存在しなかった民である。アッシリアがそれを砂漠の生き物のために定めたー

彼らは包圍塔を設置し、その宮殿を剥ぎ取り、廃墟とした。¹⁴

タルシシュの船よ、嘆け。あなたの要塞は破壊された。¹⁵

その時、ツロは七十年間、王一人の時代のように忘れられる。七十年の終わりに、ツロには娼婦の歌のようなことが起こる。¹⁶

「琴を取り、町を回れ、忘れられた娼婦よ。琴を上手に弾き、多くの歌を歌え、そうすればあなたは引かれる。」¹⁷

七十年の終わりに、主はツロに注意を向ける。彼女

は貿易に戻り、地上のすべての王国と商売を行う。

しかし彼女の収益と賃金は主のために聖別される。それらは蓄えられたり、貯められたりすることはなく、彼女の利益は主の前に住む者たちに豊かな食物と素晴らしい衣服を提供する。

24 見よ、主は地を荒廃させ、これを荒らし、その表面を歪め、その住民を散らされる。

民は祭司と同じく、しもべはその主人と同じく、女中はその女主人と同じく、買う者は売る者と同じく、貸す者は借りる者と同じく、債務者は債権者と同じくなる。³

地は完全に荒廃し、徹底的に略奪される。主がこの言葉を宣言されたからである。⁴

地は乾き、しおれ、世界は衰え、崩れ去り、地の高貴な者たちは衰える。⁵

地はその住民によって汚されている。彼らは律法を犯し、定めを変え、永遠の契約を破った。⁶

それゆえ、呪いが地を食い尽くし、その住民はその罪のために苦しむ。こうして地の住民は焼かれ、わずかに残らない。⁷

新しいぶどう酒は嘆き、ぶどうの木はしおれ、心の楽しむ者たちはため息をつく。⁸

タンバリンの喜びは止み、騒ぐ者の音は終わり、琴の喜びは静まる。⁹

彼らは歌と共にぶどう酒を飲まず、強い酒はそれを飲む者に苦しむ。

混乱した町は廃墟となり、すべての家は閉ざされて、誰も入れない。¹¹

通りにはぶどう酒を求める叫びがあり、すべての喜びは陰鬱に変わり、地の喜びは追放される。¹²

荒廃が町に残り、門は廃墟に打ち砕かれる。¹³

こうして、地の中で国々の間にあるのは、オリーブの木を打つときのように、またぶどうの収穫の後の落ち穂拾いのようになる。¹⁴

彼らは声を上げ、喜びの歌を歌い、西から主の威光について叫ぶ。¹⁵

それゆえ、東で主をたたえ、海の沿岸でイスラエルの神、主の名をたたえよ。¹⁶

地の果てから歌声が聞こえる。「義なる者に栄光あれ。」しかし私は言う、「私は滅びる！私は滅びる！わがわいだ！裏切る者は裏切り、非常に裏切る。」¹⁷

恐怖、穴、畏があなたを待っている、地の住民よ。

恐怖の音から逃れる者は穴に落ち、穴から登る者は畏にかかる。天の窓は開かれ、地の基は震えるからである。¹⁹

地は完全に砕かれ、地は裂け、地は激しく揺れる。

20

地は酔った者のようによろめき、仮小屋のように揺れ動く。その背信は重く、それは倒れ、再び立ち上がることはない。

21

その日、主は天の天軍を罰し、地の王たちを地で罰する。

22

彼らは穴の中の囚人のように集められ、牢に閉じ込められ、多くの日の後に罰せられる。

23

その時、月は恥じ、太陽は恥じる。万軍の主がシオンの山とエルサレムで王となり、その栄光はその長老たちの前にあるからである。

25 主よ、あなたは私の神です。私はあなたを高く上げ、あなたの名に感謝します。あなたは素晴らしい業を成し遂げ、昔からの計画を完全な誠実さで実行されました。

2

あなたは町を瓦礫の山にし、要塞の町を廃墟にしました。外国人の宮殿はもはや町ではなく、再建されることはありません。

3

その結果、強い民はあなたを敬い、無慈悲な国々の町々はあなたを畏れます。

4

あなたは貧しい者のための要塞、困窮した者のための避難所、嵐からの避け所、暑さからの影となりました。無慈悲な者の息は壁に対する嵐のようです。

5

乾いた地の暑さのように、あなたは外国人の騒ぎを鎮めます。雲の影によって暑さが和らぐように、無慈悲な者の歌は静まります。

6

この山で、万軍の主はすべての民のために豪華な宴を用意します。熟成したワインの宴、最高の肉と最高のワインの宴です。

7

そしてこの山で、彼はすべての民を包む覆い、すべての国に広がるペールを取り除きます。

8

彼は永遠に死を飲み込み、主なる神はすべての顔から涙を拭い去ります。彼は彼の民の恥を全地から取り除きます。主が語られました。

9

その日には言われるでしょう。「確かにこれが私たちの神です。私たちは彼を待ち望み、彼は私たちを救いました。これが私たちが待ち望んだ主です。彼の救いを喜び、楽しみましょう。」

10

主の手はこの山に留まりますが、モアブはその場所で踏みじられ、肥料の山の水の中で薬が踏みにじられるようにされます。

11

彼らはその中で手を広げ、泳ぐ者が手を広げて泳ぐようにしますが、主は彼らの誇りを彼らの手の巧みさと共に打ち倒します。

12

高い要塞の壁を彼は打ち倒し、低くし、地面に、塵に投げ捨てます。

26 その日、ユダの地でこの歌が歌われる。「私たちは強い町がある。神はその城壁と防壁として救いを設けられた。」

2

門を開け、正しい国民が入るようにせよ、その国民は信仰を守る。

3

あなたは心を強く保つ者を完全な平和のうちに守られる。彼らはあなたに信頼しているからである。主に永遠に信頼せよ。主なる神は永遠の岩であるから。

5

高きに住む者を低くされる。高慢な町を低くし、それを地に倒し、塵に投げ捨てられる。

6

貧しい者の足、虐げられた者の歩みがそれを踏みこむ。

7

正しい者の道は平坦である。正直な方よ、あなたは正しい者の道を平らにされる。

8

確かに、あなたの律法の道を歩みながら、主よ、私たちはあなたを待ち望んだ。あなたの名とあなたの誉れは私たちの魂の望みである。

9

夜、私の魂はあなたを慕い、私の内なる霊はあなたを熱心に求める。あなたの裁きが地に臨むとき、世の住民は正義を学ぶ。

10

悪しき者に憐れみが示されても、彼らは正義を学ばない。彼らは正しき地においても不正を行い、主の威厳を認めない。

11

主よ、あなたの手は高く上げられているが、彼らはそれを見ない。あなたの民への熱心を見て、恥を受けさせてください。実に、あなたの敵のために備えられた火が彼らを焼き尽くすように。

12

主よ、あなたは私たちのために平和をもたらされる。あなたが私たちのためにすべての業を成し遂げられたからです。

13

私たちの神、主よ、あなた以外の支配者たちが私たちを治めましたが、私たちはあなたの名だけを敬います。

14

死者は生き返らず、亡霊は立ち上がらない。それゆえ、あなたは彼らを罰し、滅ぼし、彼らの記憶をすべて消し去られた。

15

主よ、あなたは国を増やされました。あなたは国を増やされました。あなたはご自身の栄光を得られました。あなたは地のすべての境界を広げられました。

16

主よ、彼らは苦難の中であなたを求めました。あなたが彼らを懲らしめたとき、彼らはただささやくように祈りました。

17

出産しようとしている妊婦が陣痛で身をよじり、叫ぶように、私たちはあなたの前でそうでした、主よ。

18

私たちは妊娠し、陣痛で身をよじりましたが、風を産みました。私たちは地の救いを成し遂げることが

できず、世の住民は生まれませんでした。¹⁹
 あなたの死者は生き返り、彼らの体は立ち上がる。
 塵の中に住む者たちよ、目覚めて喜びの声を上げよ。
 あなたの露は暁の露のようであり、地は亡霊を生
 み出す。²⁰
 さあ、私の民よ、あなたの部屋に入り、あなたの後
 ろで扉を閉めよ。しばらくの間隠れていなさい、憤
 りが過ぎ去るまで。²¹
 見よ、主はその場所から出て、地の住民の不義を罰
 しに来られる。地はその流血を明らかにし、もはや
 その殺された者を覆い隠さない。

27 その日、主はその激しい、大いなる、力強
 い剣で、速い蛇であるレビヤタンを罰し、
 巻きつく蛇であるレビヤタンを罰し、海の
 竜を殺される。² その日—
 「心地よいぶどう園を歌え：³
 私は主、その守り手である。私は絶えずそれに水を
 やる。私は昼も夜もそれを守り、誰もそれを害する
 ことがないようにする。⁴
 私は怒っていない。もし私に立ち向かういばらや茨
 があれば！私はそれらに向かって進み、それらをす
 べて燃やし尽くすだろう。⁵
 あるいは、彼らが私の保護を求め、私と和解しよう
 とするなら、そう、彼らは私と和解しようとする。⁶
 」
 来たるべき日には、ヤコブは根を張り、イスラエル
 は花を咲かせ、芽を出し、彼らは全世界を果実で満
 たす。⁷
 彼が彼らを打ったように、彼らを打った者が彼が打
 ったのか？または、彼らを殺した者が殺されたよう
 に、彼らが殺されたのか？⁸
 戦争と追放によって、あなたは彼らと争った—
 彼の激しい風で彼らを追い払った、東風が吹く日の
 ように。⁹
 それゆえ、これによってヤコブの罪は贖われ、その
 罪の除去の完全な尺度となる：彼がすべての祭壇の
 石を砕かれたチョークのようにし、アシェラの柱や
 香の祭壇は立っていない。¹⁰
 要塞の町は孤立し、荒れ果てた住居、荒野のように
 放棄されている；そこでは子牛が草を食べ、そこに
 横たわり、その枝を裸にする。¹¹
 その枝が乾くと、それらは折られ、女性たちがそれ
 で火を起こす。これは理解のない民であるから、彼
 らの創造者は彼らに慈悲を示さず、彼らの創造主は
 彼らに恵みを与えない。¹²
 その日、主は流れるユーフラテスからエジプトの小
 川までを打ち、あなたたちイスラエルの子らは一人
 一人集められる。¹³
 その日、大いなるラッパが鳴る。アッシリアで滅び

かけていた者たちとエジプトに追放されていた者た
 ちが来て、エルサレムの聖なる山で主を礼拝する。

28 エフライムの酔っ払いの誇り高き冠と、そ
 の栄光の美しさのしおれた花に災いあれ。
 それは肥沃な谷の頭に置かれ、酒に酔いし
 れる者たちのものだ。²
 見よ、主には強くて力ある者がいる。雹の嵐と破壊
 の暴風のように、力強い溢れる水の嵐のように、彼
 はそれを地に力強く投げ下ろす。³
 エフライムの酔っ払いの誇り高き冠は足の下で踏み
 にじられる。⁴
 その栄光の美しさのしおれた花は、肥沃な谷の頭に
 あり、夏の前の初熟のいちじくのようにになる。誰か
 がそれを見るとすぐに、それがまだ手にあるうちに
 、それを飲み込む。⁵
 その日、万軍の主はその民の残りの者のために美し
 い冠となり、栄光の宝石となる。⁶
 彼は裁きに座する者にとって正義の霊となり、門で
 戦いを返す者たちにとって力の源となる。⁷
 これらの者もまた酒に酔い、強い飲み物に酔ってよ
 ろめく。祭司と預言者は飲み物に酔い、酒に惑わさ
 れ、強い飲み物によろめき、幻を見ながらよろめき
 、決定を下すときに躓く。⁸
 すべてのテーブルは吐物で覆われており、どこにも
 清潔な場所はない。⁹
 「彼は誰に知識を教えようとしているのか、誰にメ
 ッセージを説明しようとしているのか？乳を離れた
 ばかりの子供たち、乳房から取られたばかりの者た
 ちか？¹⁰
 それは命令に命令、命令に命令、行に行、行に行、
 少しここ、少しそこだ。」¹¹
 確かに、ども唇と異国の言葉で、神はこの民に語
 る。¹²
 彼が宣言した者たちに、「ここが休息の場所だ、疲
 れた者に休息を与えよ」と言い、「ここが憩いの場
 所だ」と言ったが、彼らは聞くとうしなかった。¹³
 それゆえ、主の言葉は彼らにとって命令に命令、命
 令に命令、行に行、行に行、少しここ、少しそこ事
 となり、彼らが行って後ろに倒れ、壊れ、畏にかかり
 、捕らえられるためだ。¹⁴
 それゆえ、エルサレムのこの民を支配し、あざける
 者たちよ、主の言葉を聞け。¹⁵
 あなたがたは言ったからだ、「我々は死と契約を結
 び、シェオルと協定を結んだ。圧倒的な災いが通り
 過ぎるとき、それは我々に届かない。なぜなら、我
 々は偽りを避難所とし、欺瞞で身を隠したからだ。
 」¹⁶
 それゆえ、主なる神はこう言われる、「見よ、私は
 シオンに石を置く、試された石、確かな基礎のため

イザヤ書

の貴重な隅の石を置く。それを信じる者は動揺しない。¹⁷

私は正義を測り縄とし、義を下げ振りとする。雷が偽りの避難所を掃い去り、水が隠れ場を溢れさせる。¹⁸

あなたがたの死との契約は無効となり、シェオルとの協定は立たない。圧倒的な災いが通り過ぎるとき、あなたがたはそれに踏みにじられる。¹⁹

それが通るたびに、あなたがたを捕らえる。朝ごとに、昼も夜も、それは通り過ぎる。このメッセージの理解は純粋な恐怖をもたらす。²⁰

ベッドは伸びるには短すぎ、毛布は自分を包むには狭すぎる。²¹

主はベラツィム山でのように立ち上がり、ギベオンの谷でのように奮い立ち、彼の業、奇妙な業を行い、彼の仕事、異様な仕事を遂行する。²²

今、あなたがたのあざけりを止めよ、さもなければあなたがたの束縛は重くなる。私は万軍の神、主から全地に対する決定的な破壊を聞いたからだ。²³

聞け、私の声を聞け。注意を払い、私の言葉を聞け。²⁴

農夫は種を蒔くために絶えず耕すのか？絶えず地を耕し、砕くのか？²⁵

その表面を平らにしたとき、彼はディルを蒔き、クミンを散らし、小麦を列に植え、大麦をその場所に、ライ麦をその区域に植えないのか？²⁶

神は彼を教え、正しい道に導く。²⁷

ディルはそりで打たれず、クミンの上に車輪を転がさない。しかし、ディルは棒で打たれ、クミンは杖で打たれる。²⁸

穀物はパンを作るために砕かれなければならない。それを永遠に打ち続けることはない。車の車輪がそのの上を転がることがあっても、馬を使って穀物を挽くことはない。²⁹

これもまた万軍の主から来るものであり、その助言は素晴らしい、その知恵は偉大である。

29 「ああ、アリエル、アリエル、ダビデが宿営した町よ！年を重ね、祭りの周期を続けよ。²

しかし、私はアリエルに苦しみをもち、彼女は悲しみと嘆きの町となる。彼女は私にとって祭壇の炉ようになる。³

私はあなたを周囲から取り囲み、塔で包囲し、攻城堡を築く。⁴

あなたは低くされ、地面から話し、あなたの言葉はあなたが伏している塵から出る。あなたの声は地からの霊のようになり、あなたの言葉は塵からささやく。⁵

しかし、あなたの敵の群れは細かい塵のようになり

、無慈悲な群衆は風に吹かれるもみ殻のようになる。それは突然、一瞬のうちに起こる。⁶

万軍の主から、雷、地震、大きな騒音、旋風、暴風、そして焼き尽くす火の炎と共に訪れる。⁷

アリエルと戦うすべての国々の群れ、彼女を包囲し、彼女の要塞を攻める者たちは、夜の夢、幻のようになる。⁸

それは、飢えた者が食べる夢を見ても目覚めて飢えているように、渴いた者が飲む夢を見ても目覚めて弱り、渴いているようになる。シオンの山と戦うすべての国々の群れも同様である。⁹

驚き、驚愕せよ。自らを盲目にし、見えなくせよ。彼らは酒によらず酔い、強い飲み物によらずよろめく。¹⁰

主があなたに深い眠りの霊を注ぎ、あなたの目である預言者たちを閉じ、あなたの頭である先見者たちを覆われたからである。¹¹

この全ての幻は、あなたにとって封じられた書物の言葉のようになる。それが読める者に渡され、「これを読んでください」と言われると、彼は「それは封じられているので読めません」と言う。¹²

また、読めない者に渡され、「これを読んでください」と言われると、彼は「私は読むことができません」と言う。¹³

主は言われる：「この民は口で私に近づき、唇で私を敬うが、その心は私から遠く離れている。彼らの私への敬意は、人間の教えによる規則に基づいている。¹⁴

それゆえ、見よ、私は再びこの民の間で驚くべき業を行う。彼らの賢者の知恵は消え、彼らの慎重な者の理解は隠される。」¹⁵

主から深く隠すために計略を求め、暗闇の中で行動し、「誰が私たちを見ているのか？誰が私たちを知っているのか？」と言う者たちに災いあれ。¹⁶

あなたは自然の秩序を逆転させる！陶器師が粘土と同じと考えられるべきか？作られたものがその作り主について、「彼は私を作らなかった」と言うべきか？創造物がその創造主について、「彼は理解がない」と言うべきか？¹⁷

レバノンが肥沃な畑に変わり、肥沃な畑が森と見なされるのは間もなくではないか？¹⁸

その日、耳の聞こえない者が書物の言葉を聞き、彼らの暗闇と暗黒から盲目の者の目が見えるようになる。¹⁹

謙遜な者は主において喜びを増し、人類の中の貧しい者はイスラエルの聖なる者において喜ぶ。²⁰

無慈悲な者は終わりを迎え、あざける者は終わり、悪を見張る者は皆切り倒される—²¹

言葉で人を罪に陥れ、門で戒める者に罣を仕掛け、

偽証で正しい者を退ける者たち。²²
 それゆえ、アブラハムを贖った主がヤコブの家について言われる：「ヤコブはもはや恥じることなく、その顔は青さめることはない。²³
 しかし、彼がその子供たちを、私の手の業をその中で見るとき、彼らは私の名を聖別し、ヤコブの聖なる者を聖別し、イスラエルの神を畏れる。²⁴
 霊において誤った者たちは理解を得、つぶやく者たちは教訓を受け入れる。」

30 「反逆の子らは災いだ」と主は言われる。
 「彼らは私のものではない計画を実行し、私の霊によらない同盟を結び、罪に罪を重ねる。²
 彼らは私に相談せず、エジプトに下り、ファラオの保護に避難し、エジプトの影に隠れることを求める。³
 しかし、ファラオの保護はあなたたちの恥となり、エジプトの影に隠れることはあなたたちの屈辱となる。⁴
 彼らの役人がツォアンにおり、彼らの使者がハネスに到達しても、⁵
 彼らは役に立たない民のために皆恥をかく。助けも利益ももたらさず、ただ恥と屈辱をもたすだけだ。⁶」

ネゲブの獣についての予言：ライオンと雌ライオン、毒蛇と飛びかかる蛇のいる苦難と困難の地を通り、彼らは財宝をロバの背に、宝物をラクダのこぶに載せて、彼らに利益をもたさぬ民に運ぶ。⁷
 エジプトへ、それは全く無駄な助けだ。それゆえ、私は彼女を「何もしないラハブ」と呼んだ。⁸
 今行って、彼らの前でそれを板に書き、巻物に記せ。それが来るべき日の永遠の証となるように。⁹
 これは反逆の民、欺く子ら、主の教えを聞こうとしない子らだからだ。¹⁰
 彼らは先見者たちに「もう幻を見ないでくれ」と言い、預言者たちに「私たちに真実を預言しないでくれ。心地よいことを語り、幻想を預言してくれ。¹¹
 私たちを放っておいてくれ、道から外れてくれ、イスラエルの聖なる者と向き合うのをやめてくれ」と言う。¹²
 それゆえ、イスラエルの聖なる者はこう言われる。
 「あなたたちはこのメッセージを拒み、圧迫と欺きに頼り、それに依存したので、¹³
 この罪は高い壁の亀裂のように、膨らんで今にも崩れそうで、その倒壊は突然、一瞬にして来る。¹⁴
 それは陶器のように粉々に砕け、一片も見つからないほどに無慈悲に壊れる。炉から炭を取るための破片も、貯水池から水をすくうための破片もない。」

主なる神、イスラエルの聖なる者はこう言われる。
 「悔い改めと休息にあなたたちの救いがあり、静けさと信頼にあなたたちの力がある。しかし、あなたたちはそれを望まなかった。¹⁶
 あなたたちは言った、『いいえ、私たちは馬に乗って逃げる』。それゆえ、あなたたちは逃げることになる！あなたたちは言った、『私たちは速い馬に乗る』。それゆえ、あなたたちの追手は速い！¹⁷
 一人の脅威で千人が逃げ、五人の脅威であなたたちは皆逃げ去る。あなたたちは山頂の旗竿のように、丘の上の旗のように残される。」¹⁸
 しかし、主はあなたたちに恵みを施すことを望んでおられる。それゆえ、彼は立ち上がってあなたたちに憐れみを示される。主は正義の神である。彼を待ち望むすべての者は幸いである！¹⁹
 シオンの民、エルサレムに住む者たちよ、あなたたちはもう泣かない。助けを求めて叫ぶとき、彼はどれほど恵み深いことか！彼が聞くとき、彼はあなたたちに答える。²⁰
 主があなたたちに困難のパンと苦しみの水を与えても、あなたたちの教師はもはや隠れない。あなたたちの目はあなたたちの教師を見る。²¹
 どこに向かっても、あなたたちの耳は後ろからの声を聞く。「これが道だ。これに歩め。」²²
 そのとき、あなたたちは銀で覆われた偶像や金で覆われた像を汚し、それらを汚れたもののように投げ捨て、「去れ！」と言う。²³
 彼はまた、あなたたちが地に蒔く種のために雨を送り、地から来る食物は豊かで豊富になる。その日、あなたたちの家畜は広い牧草地で草を食べる。²⁴
 土を耕す牛とロバは、フォークとシャベルで広げられた調味料の飼料を食べる。²⁵
 高い山と高い丘のすべてに、水の流れがある。大虐殺の日、塔が倒れるときに。²⁶
 月の光は太陽の光のようになり、太陽の光は七倍に輝き、七日間の光のようになる。主が彼の民の傷を癒し、彼が負わせた傷を治すときに。²⁷
 見よ、主の名は遠くから来る。燃える怒りと濃い煙の雲と共に。彼の唇は怒りに満ち、彼の舌は焼き尽くす火のようだ。²⁸
 彼の息は首まで達する溢れる川のようで、国々を破壊のふるいにかけ、民の頸に彼らを迷わせるくつわを置く。²⁹
 あなたたちは聖なる祭りを祝う夜のように歌を持ち、笛を吹く人々が主の山、イスラエルの岩に上るときのように心が喜ぶ。³⁰
 主はその威厳ある声を聞かせ、彼の腕が激しい怒りと焼き尽くす火、豪雨、雷雨、雹と共に降りてくるのを見せる。³¹

主の声で、アッシリアは打ち砕かれる。彼は彼らを杖で打つ。³²

主が彼らに与えるすべての打撃は、タンバリンと堅琴の音楽に合わせて、彼の腕の打撃で彼らと戦う。³³

トフェテは長く準備されており、それは王のために用意されている。その火床は深く広く、火と木が豊富にある。主の息は燃える硫黄の流れのように、それを燃え上がらせる。

31 助けを求めてエジプトに下り、馬に頼り、戦車の多さと騎兵の力を信頼し、イスラエルの聖なる方に向かわず、主の導きを求めない者たちに災いあれ。²

しかし、主は知恵ある方であり、災いをもたらし、その言葉を撤回しない。悪を行う国と悪を支える者たちに立ち向かう。³

エジプト人は人間であり、神ではない。彼らの馬は肉であり、霊ではない。主がその手を伸ばすとき、助ける者はつまずき、助けられる者は倒れ、すべてが共に滅びる。⁴

主が私にこう言われた。「獲物を守るライオンや若いライオンがうなり、羊飼いたちの群れがそれに対抗して召集されても、その叫びに驚かず、その騒音に動じないように、万軍の主はシオンの山とその丘で戦いを挑むために下る。」⁵

鳥が舞うように、万軍の主はエルサレムを守り、盾となり、救い出し、通り過ぎて救う。⁶

イスラエルの人々よ、あなたがたが大いに背いたその方に立ち返れ。⁷

その日には、あなたがた一人ひとりが、自分の罪深い手で作った銀の偶像と金の偶像を捨てる。⁸

アッシリアは人間の手によらない剣で倒れ、人間ではない者の剣が彼らを滅ぼす。彼らは剣から逃げ、その若者たちは強制労働者となる。⁹

彼らの要塞は恐慌の中で崩れ、その指揮官たちは戦いの旗を見て恐れる」と主は宣言する。その火はシオンにあり、その炉はエルサレムにある。

32 見よ、王が義をもって治め、役人たちは公正をもって統治する。²

それぞれが風からの避け所となり、嵐からの避難所となり、乾いた地における水の流れのように、乾燥した地域における大きな岩の陰のようになる。³

その時、見る者の目は開かれ、聞く者は注意深く聞く。⁴

せっかちな者の心は知識を理解し、どもる者の舌は流暢で明瞭に話す。⁵

愚か者はもはや高貴と呼ばれず、悪党は寛大と見な

されない。⁶

愚か者は愚かさを語り、その心は悪に傾く。彼らは不敬虔にふるまい、主についての偽りを広める。彼らは飢えた者を満たさず、渴いた者に飲み物を与えない。⁷

悪党は悪しき計略を用い、偽りをもって貧しい者を滅ぼす計画を立てる。たとえ貧しい者が正しいことを語っても。⁸

しかし、高貴な人は高貴な計画を立て、高貴な行いによって立つ。⁹

立ち上がれ、安逸をむさぼる女たちよ、私の声を聞け。安心している娘たちよ、私の言葉に耳を傾けよ。¹⁰

一年余りで、安心しているあなたたちは悩むことになる。ぶどうの収穫は失敗し、果実の収集は行われない。¹¹

震えよ、安逸をむさぼる女たちよ。悩み、安心している娘たちよ。美しい衣を脱ぎ、粗布をまとえ。¹²

快適な畑と実り豊かなぶどうのために嘆け。¹³

私の民の地のために、茨といばらで覆われた地のために、そう、すべての喜びに満ちた家と歓喜の都市のために嘆け。¹⁴

宮殿は捨てられ、賑やかな都市は荒れ果てる。丘と見張り台は永遠に洞窟となり、野生のロバの喜びとなり、羊の牧草地となる。¹⁵

高き所から霊が私たちに注がれるまで、荒野は肥沃な畑となり、肥沃な畑は森と見なされる。¹⁶

その時、正義が荒野に住み、義が肥沃な畑に宿る。¹⁷

義の結果は平和であり、義の効果は永遠の静けさと自信である。¹⁸

私の民は平和な住まい、安心な家、乱されない休息の場所に住む。¹⁹

そして森が倒れるとき、雹が降り、都市は完全に低くされる。²⁰

すべての水のそばに種を蒔き、牛やロバを自由に放牧させるあなたたちは、どれほど幸いであろう。

33 あなたに災いあれ、破壊者よ、まだ破壊されていない者よ。裏切り者よ、まだ裏切られていない者よ。あなたが破壊を終えるとき、あなたは破壊される。あなたが裏切りをやめるとき、あなたは裏切られる。²

主よ、私たちに恵みを与えてください。私たちはあなたを待ち望んでいます。毎朝私たちの力となり、苦難のときに私たちの救いとなってください。³

あなたの騒音が響くとき、民は逃げ去り、あなたが立ち上がるとき、国々は散らされる。⁴

あなたの略奪品は、いなが集めるように集められ、人々はいながの群れのようにそれに群がる。⁵

イザヤ書

主は高く上げられ、彼は上に住まわれる。彼はシオンを正義と義で満たされた。

彼はあなたの時代の安定であり、救い、知恵、知識の富である。主を恐れることが宝である。

見よ、彼らの勇敢な者たちは街で叫び、平和の使者たちは激しく泣く。

大通りは荒れ果て、旅人は途絶えた。契約は破られ、都市は軽蔑され、人類に対する配慮はない。

地は悲しみ、衰え、レバノンのは恥じて枯れ、シャロンは砂漠のようになり、バシヤンとカルメルは葉を落とす。

「今、私は行動を起こす」と主は言われる。「今、私は高められ、今、私は上げられる。

あなたはほみがらを宿し、わらを産む。私の息があなたを火のように焼き尽くす。

民は石灰に焼かれ、切られた茨のように燃やされる。

遠くにいる者たちよ、私がしたことを聞け。近くにいる者たちよ、私の力を認めよ。

シオンの罪人たちは恐れ、神を知らない者たちは震えに襲われる。「私たちの中で誰が焼き尽くす火と共に住むことができるだろうか？私たちの中で誰が永遠の燃焼と共に住むことができるだろうか？」

正しく歩み、誠実に語り、不正な利益を拒み、賄賂から手を振り払い、流血を聞くことをやめ、悪を見ることを避ける者たち—

彼らは高い所に住み、その避難所は難攻不落の岩である。彼らのパンは供給され、水は確保される。

あなたの目は王の美しさを見、遠くに広がる地を見渡す。

あなたの心はかつての恐怖を思い出す。「教える者はどこにいるのか？量る者はどこにいるのか？塔を数える者はどこにいるのか？」

あなたはもはや激しい民、言葉が理解できない民、言語がわからない民を見ることはない。

シオンを見よ、私たちの祭りの都市。あなたの目はエルサレムを見るだろう、平和な住まい、動かされない天幕。その杭は決して引き抜かれず、その綱は切れない。

そこで主は私たちの威厳ある方となり、広い川と流れの場所となる。そこにはオールを持つガレー船もなく、強大な船も通らない。

主は私たちの裁判官であり、主は私たちの立法者であり、主は私たちの王である。彼は私たちを救ってください。

あなたの索具は緩んでいる。それはマストをしっかり支えることができず、帆を広げることもできない。そのとき、豊富な戦利品が分けられ、足の不自由な者さえも略奪品を持ち去る。

住民は「私は病氣だ」とは言わない。そこに住む民は彼らの不義を赦される。

34 国々よ、近づいて開け。民よ、耳を傾けよ。地とそれに満ちるもの、世界とそこから生じるすべてのものに聞かせよ。

主の憤りはすべての国々に臨み、その激怒はすべての軍隊に臨む。主は彼らを全く滅ぼし、彼らを屠殺に渡された。

彼らの殺された者は投げ捨てられ、その死体は悪臭を放ち、山々は彼らの血で浸される。

天のすべての星は消え去り、天は巻物のように巻き上げられる。そのすべての軍勢は、ぶどうの木から葉が枯れるように、またいちじくの木からしおれた実が落ちるようにしおれる。

わたしの剣は天で満たされた。見よ、それはエドムに、わたしが滅ぼすことに定めた民に下る。

主の剣は血にまみれ、脂肪で覆われている。子羊と山羊の血、雄羊の腎臓の脂肪で。主はボズラで犠牲を捧げ、エドムの地で大いなる屠殺を行うからだ。

野牛は彼らと共に倒れ、若い雄牛は力ある者と共に倒れる。その地は血で浸され、その塵は脂肪で油っぽくなる。

主には報復の時があり、シオンのために報いをする年がある。

その川はピッチに変わり、その塵は燃える硫黄に変わる。その地は燃えるピッチとなる。

それは昼も夜も消されず、その煙は永遠に立ち上る。世々にわたって荒れ果て、永遠にそこを通る者はない。

ペリカンとハリネズミがそれを所有し、フクロウとカラスがそこに住む。主はそれに混沌の測り縄と荒廃の下げ振りを伸ばされる。

その貴族たちは王国と呼ばれるものを持たず、そのすべての君主たちは消え去る。

その要塞には茨が生い茂り、その砦にはイラクサといばらが生える。それはジャッカルに住処となり、ダチョウの住まいとなる。

荒野の生き物はハイエナと出会い、野生のヤギは互いに呼び合う。そこには夜の鳥も住み、自分の休む場所を見つける。

木の蛇はそこに巣を作り、卵を産み、それをかえし、その影の下に集める。そこには鷹も集まり、それぞれがつがいと共にいる。

主の書から求めて読みなさい。これらのうち一つも欠けることはなく、そのつがい欠くこともない。

主の口が命じ、その霊がそれらを集めたからだ。主は彼らのためにくじを投げ、その手でそれを測つ

て彼らに分け与えた。彼らはそれを永遠に所有し、
世々にわたってそこに住む。

35 荒野と乾いた地は喜び、砂漠は喜び、クロ
ッカスのように豊かに花を咲かせる。²

それは花を咲かせ、大いなる喜びと歌で喜
ぶ。レバノンの栄光がそれに与えられ、カルメルと
シャロンの輝きが与えられる。彼らは主の栄光、我
々の神の威厳を見る。³

弱い手を支え、震える膝をしっかりさせよ。⁴

心配している者に言え、「強くあれ、恐れるな。見
よ、あなたの神が復讐と神の報いをもって来られる。
彼はあなたを救いに来られる。」⁵

その時、盲人の目が開かれ、耳の聞こえない者の耳
が開かれる。⁶

その時、足の不自由な者は鹿のように跳び、口のき
けない者の舌は喜び叫ぶ。荒野に水が湧き出し、砂
漠に川が流れるからである。⁷

焼けつく砂は池となり、乾いた地は水の泉となる。
ジャッカルの住処であったところには草、葦、葦が
生える。⁸

そこには大路があり、「聖なる道」と呼ばれる。不
潔な者はそこを通らず、その道を歩む者のためのも
のである。愚か者はそこを迷い歩かない。⁹

そこには獅子はおらず、猛獣もそこに上がってこな
い。それらはそこに見出されない。しかし、贖われ
た者がそこを歩む。¹⁰

主に贖われた者たちは帰り、歌いながらシオンに來
る。永遠の喜びが彼らの頭を冠する。喜びと楽しみ
が彼らを追い越し、悲しみと嘆きは逃げ去る。

36 ヒゼキヤ王の治世第十四年に、アッシリア
の王セナケリブがユダのすべての要塞都市
に攻め上り、それらを占領した。²

アッシリアの王は、ラキシユからエルサレムのヒゼ
キヤ王のもとに大軍を率いて彼の主将を送った。彼
は上の池の水道のそば、洗濯者の野に至る道に立ち
止まった。³

宮殿を管理するヒルキヤの子エリアキム、書記官シ
ェブナ、記録係アサフの子ヨアが彼に会いに出て行
った。⁴

主将は彼らに言った、「ヒゼキヤに言え、『大王、
アッシリアの王がこう言われる。あなたは何を頼り
にしているのか？』⁵

あなたは戦略と戦力を持っていると言うが、それは
ただの言葉に過ぎない。あなたは誰を頼りにして、
私に反逆したのか？』⁶

見よ、あなたはエジプトを頼りにしているが、それ
は手を突き刺す折れた葦の杖だ。誰でもそれに寄り
かかる者は手を突き刺される。ファラオ、エジプト

の王は、彼を信頼するすべての者にとってそのよう
なものだ。⁷

しかし、もしあなたが私に言うなら、「私たちは私
たちの神、主を信頼している」と。それはヒゼキヤ
が取り除いた高き所と祭壇ではないか、ユダとエル
サレムに命じて、「あなたたちはこの祭壇の前で礼
拝しなければならぬ」と言ったのではないか？⁸

『今、私の主人、アッシリアの王と取引をしなさい
。もしあなたが騎手を提供できるなら、私はあなた
に二千の馬を与える！』⁹

それなら、どうしてあなたは私の主人の最も小さな
役人の一人をも撃退できるのか、エジプトの戦車と
騎兵を頼りにしているのに？¹⁰

さらに、私は主の許可なしにこの地を攻めて滅ぼし
に來たのか？主ご自身が私に、「この地に攻め上り
、これを滅ぼせ」と言われたのだ。』¹¹

すると、エリアキム、シェブナ、ヨアは主将に言っ
た、「どうかアラム語であなたの僕たちに話してく
ださい。私たちはそれを理解できます。壁の上の人
々が聞いているユダの言葉で私たちに話さないでく
ださい。」¹²

しかし、主将は答えた、「私の主人が私を送ったの
は、あなたの主人とあなたたちだけにこれらの言葉
を話すためではなく、あなたたちと同じように自分
の糞を食べ、自分の尿を飲むことになる壁の上に座
っている人々にも話すためだ。」¹³

それから、主将は立ち上がり、ユダの言葉で大声で
叫んだ、「大王、アッシリアの王の言葉を聞け！¹⁴
王はこう言われる、ヒゼキヤにあなたたちを欺かせ
るな、彼はあなたたちを救うことはできない。¹⁵
ヒゼキヤが『主は必ず私たちを救ってください。こ
の都市はアッシリアの王の手に渡されない』と言っ
て、主を信頼するようにあなたたちを説得させるな
。』¹⁶

ヒゼキヤの言うことを聞くな。アッシリアの王がこ
う言われる、私と和解し、私のもとに出て来い。そ
うすれば、あなたたちはそれぞれ自分のぶどうの木
といちじくの木から食べ、自分の井戸から水を飲む
ことができる。¹⁷

私が来て、あなたたちをあなたたちの土地のような
土地、穀物と新しいぶどう酒の土地、パンとぶどう
畑の土地に連れて行くまで。¹⁸

ヒゼキヤが『主は私たちを救ってください』と言っ
て、あなたたちを惑わすことを許すな。国々の神々
のうち、誰がアッシリアの王の手から彼らの土地を
救ったか？¹⁹

ハマテとアルパデの神々はどこにいるのか？セファ
ルワイムの神々はどこにいるのか？彼らはサマリア
を私の手から救ったのか？²⁰

イザヤ書

これらの土地の神々のうち、誰が彼らの土地を私の手から救ったか、主がエルサレムを私の手から救うべきだろうか？」²¹

しかし、人々は黙って彼に一言も答えなかった。王が「彼に答えるな」と命じていたからである。²² それから、宮殿を管理するヒルキヤの子エリアキム、書記官シェブナ、記録係アサフの子ヨアは、衣を裂いてヒゼキヤのもとに来て、主将の言葉を彼に報告した。

37 ヒゼキヤ王はその報告を受け取ると、衣を裂き、荒布をまとい、主の宮に入った。²

彼は、宮を管理するエリアキムと書記官シェブナ、そして祭司たちの長老たちを、皆荒布をまとわせて、アモツの子である預言者イザヤのもとに送った。³

彼らは彼に言った、「ヒゼキヤがこう言っています、『この日は苦難と叱責と屈辱の日です。まるで子供が生まれる時が来たのに、産む力がないようです。』」⁴

おそらく、あなたの神、主は、彼の主人であるアッシリアの王が生ける神を侮辱するために送った野営司令官の言葉を聞き、あなたの神、主が聞かれた言葉を叱責されるでしょう。それゆえ、残っている者のために祈ってください。』」⁵

ヒゼキヤ王の使者たちはイザヤのもとに行った。⁶ イザヤは彼らに言った、「あなたの主人にこう言いなさい、『主がこう言われる、あなたが聞いた言葉、アッシリアの王の僕たちが私を冒涇した言葉を恐れるな。』」⁷

見よ、私は彼の中に霊を置くので、彼がある報告を聞くと、自分の国に帰り、そこで私は彼を剣で倒す。』」⁸

野営司令官が戻ると、彼はアッシリアの王がラキシュを離れたことを聞いて、リブナと戦っているのを見つけた。⁹

今、センナケリブはクシュの王ティルハカについて、「彼があなたに對抗するために出発した」と聞いた。これを聞くと、彼は使者をヒゼキヤに送り、言った、¹⁰

「ユダの王ヒゼキヤにこう言いなさい、『あなたが信頼している神が、「エルサレムはアッシリアの王の手に渡されない」と言って、あなたを欺かないようにしなさい。』」¹¹

確かに、アッシリアの王たちがすべての国々に対して行ったことを、完全に滅ぼしたことをあなたは聞いたでしょう。あなたは救われるでしょうか？¹²

私の先祖たちが滅ぼしたゴザン、ハラン、レゼフ、テラサルにいたエデンの人々を、諸国の神々が救ったのでしょうか？¹³

ハマテの王、アルパデの王、セファルワイム、ヘナ、イワの町の王たちはどこにいますか？』」¹⁴

ヒゼキヤは使者たちから手紙を受け取り、それを読んだ。そして彼は主の宮に上り、それを主の前に広げた。¹⁵ そしてヒゼキヤは主に祈りを捧げた、¹⁶

「万軍の主、イスラエルの神よ、ケルビムの上に座しておられる方よ、あなたこそ地のすべての王国の神です。あなたは天と地を造られました。¹⁷

主よ、耳を傾けて聞いてください。主よ、目を開いて見てください。そしてセンナケリブが生ける神を侮辱するために送ったすべての言葉を聞いてください。¹⁸

確かに、主よ、アッシリアの王たちはすべての国々とその土地を荒廃させました。¹⁹

そして彼らの神々を火に投げ入れました。彼らは神ではなく、人間の手の作ったもの、木と石だったからです。それゆえ彼らは滅ぼされました。²⁰

今、私たちの神、主よ、彼の手から私たちを救ってください。そうすれば地のすべての王国が、あなたこそ唯一の神、主であることを知るでしょう。」²¹

その時、アモツの子イザヤはヒゼキヤにメッセージを送り、「イスラエルの神、主がこう言われる、『あなたがアッシリアの王センナケリブについて私に祈ったので、²²

これは主が彼に対して語った言葉です。「シオンの乙女の娘はあなたを軽蔑し、あなたをあざける。エルサレムの娘はあなたが逃げるときに頭を振る。²³ あなたは誰を侮辱し、冒涇したのか？ 誰に対して声を上げ、誇り高く目を上げたのか？ イスラエルの聖なる方に対して！²⁴

あなたの僕たちによって、あなたは主を侮辱し、言った、『私の多くの戦車で山々の高み、レバノンの最遠の隠れ家に登った。私はその最も高い杉、その最良のもみの木を切り倒した。私はその最も遠い高み、その最も密集した森に達した。²⁵

私は井戸を掘り、水を飲んだ。そして私の足の裏でエジプトのすべての川を干上がらせた。』」²⁶

あなたは聞いていないのか？ 昔から私はそれを定めた。古の日に私はそれを計画した。今、私はそれを実現させた。あなたが要塞都市を廃墟の山に変えるように。²⁷

その住民たちは力を失い、恐れおののき、混乱している。彼らは野の草のようで、柔らかい緑の芽のようで、屋根の上の草のようで、成長する前に焼かれる。²⁸

しかし、私はあなたの座ること、出入りすること、そして私に対する怒りを知っている。²⁹

あなたの私に対する怒りと私の耳に届いたあなたの高慢のために、私はあなたの鼻に鉤を掛け、あなた

イザヤ書

の唇にくつわを掛け、あなたが来た道を引き返させる。³⁰

「これがあなたへのしるしです。今年は自然に生えるものを食べ、次の年もそれから生じるものを食べます。しかし三年目には種を蒔き、収穫し、ぶどう畑を植え、その実を食べます。³¹

ユダの家の残りの者は再び下に根を張り、上に実を結ぶでしょう。³²

エルサレムから残りの者が出て、シオンの山から生き残った者の群れが出てくるからです。万軍の主の熱心がこれを成し遂げます。³³

「それゆえ、主がアッシリアの王についてこう言われる、『彼はこの都市に入らず、そこに矢を射ることもない。彼は盾を持ってそれに向かうこともなく、攻城土塁を築くこともない。³⁴

彼は来た道を引き返し、この都市に入ることはない』と主が宣言される。³⁵

『私はこの都市を守り、それを救う。私のため、そして私のしもべダビデのために。』³⁶

その時、主の使いが出て行き、アッシリアの陣営で185,000人を打ち倒した。人々が朝早く起きると、見よ、皆死体であった。³⁷

それでアッシリアの王センナケリブは去り、帰国し、ニネベに住んだ。³⁸

そして彼が彼の神ニスロクの宮で礼拝している間に、彼の息子アドラメレクとシャレゼルが彼を剣で打ち倒し、アララトの地に逃げた。そして彼の息子エサルハドンが彼の代わりに王となった。

38 その頃、ヒゼキヤは重病にかかり、死にかけていた。アモツの子である預言者イザヤ

が彼のもとに来て言った。「主はこう言われます。『あなたの家を整えなさい。あなたは死ぬことになっており、生き延びることはない。』」²

ヒゼキヤは壁に向かって顔を向け、主に祈った。³

「主よ、どうか思い出してください。私は心を尽くして真実にあなたの前を歩み、あなたの目に良いとされることを行ってきました。」そしてヒゼキヤは激しく泣いた。⁴

その時、主の言葉がイザヤに届いた。⁵

「行ってヒゼキヤに告げなさい。『あなたの先祖ダビデの神、主はこう言われます。あなたの祈りを聞き、あなたの涙を見た。私はあなたの命に十五年を加える。⁶

私はまた、あなたとこの町をアッシリアの王の手から救い出し、この町を守る。⁷

『主が約束されたことを行うというしるしはこれです。⁸

私はアハズの階段で太陽が投げかける影を十段戻す。』」それで影は、降りていた十段を戻った。⁹

これは、ユダの王ヒゼキヤが病気になる、回復した後の記録である。¹⁰

私は言った。「私の日々の中頃に、私はシェオルの門を通り抜け、私の年の残りを奪われる。」¹¹

私は言った。「私は生ける者の地で主を見ることはない。私はもう人間を見ることも、世界の住民の中にいることもない。¹²

羊飼いの天幕のように、私の住まいは引き上げられ、私から取り去られる。織工のように、私は私の命を巻き上げ、彼は私を機から切り離す。昼から夜まで、あなたは私を終わらせる。¹³

私は朝まで自分を整えたが、ライオンのように、彼は私の骨をすべて砕く。昼から夜まで、あなたは私を終わらせる。¹⁴

私はツバメやツルのようにさえずり、鳩のようにうめいた。私の目は天を見上げて弱くなった。私は圧迫されている、主よ、私の支えとなってください！¹⁵

しかし、私は何を言うべきか。彼は私に語り、彼自身がそれを行った。私はこの魂の苦しみのために、私のすべての年を謙虚に歩む。¹⁶

主よ、このようなことで人々は生き、これらすべてに私の霊の命があります。私を健康に戻し、生かしてください。¹⁷

確かに、私はこのような苦しみを受けたのは私の利益のためでした。あなたの愛の中で、あなたは私を滅びの穴から守り、私のすべての罪をあなたの背後に投げ捨てられました。¹⁸

死者の領域はあなたに感謝することができず、死はあなたを賛美することができません。墓に下る者たちは、あなたの誠実さを望むことができません。¹⁹ 生ける者、生ける者が、今日私がするようにあなたに感謝します。親は子供たちにあなたの誠実さを語ります。²⁰

主は私を救い、私たちは私たちの命のすべての日々、主の家で弦楽器とともに歌います。²¹

イザヤは指示していた。「いちじくの膏薬を作り、それを腫れ物に塗りなさい。そうすれば彼は回復する。」²²

ヒゼキヤは尋ねた。「私は主の家に上ることができるといふしるしは何ですか？」

39 その時、バビロンの王、バラダンの子メロダク・バラダンは、ヒゼキヤの病氣と回復を聞いて、手紙と贈り物をヒゼキヤに送った。²

ヒゼキヤは喜んで、彼らに自分の宝物庫にあるすべてのもの、すなわち銀、金、香料、上等なオリーブ油、彼の全武器庫と彼の宝物の中にあるすべてのものを見せた。ヒゼキヤが彼らに見せなかったものは

イザヤ書

彼の宮殿にも王国全体にも何もなかった。³
その時、預言者イザヤがヒゼキヤ王のもとに来て言った、「これらの人々は何を言ったのですか、そしてどこからあなたのもとに来たのですか？」ヒゼキヤは答えた、「彼らは遠い国、バビロンから私ののもとに来了た。」⁴
預言者は尋ねた、「彼らはあなたの宮殿で何を見ましたか？」ヒゼキヤは答えた、「彼らは私の宮殿のすべてを見ました。私の宝物の中で彼らに見せなかったものは何もありません。」⁵
イザヤはヒゼキヤに言った、「万軍の主からの言葉を聞きなさい。」⁶
『見よ、あなたの宮殿にあるすべてのもの、そしてあなたの先祖たちが今日まで蓄えてきたすべてのものが、バビロンに運び去られる日が来る。何も残らない』と主は言われる。⁷
『そしてあなたの子孫、あなた自身の肉と血から生まれる者たちが連れ去られ、バビロンの王の宮殿で仕えることになる。』⁸
するとヒゼキヤはイザヤに言った、「あなたが語った主の言葉は良い。」彼は心の中で、「私の時代には平和と安全があるだろう」と思った。

40 「慰めよ、慰めよ、わたしの民を」とあなたがたの神は言われる。²
エルサレムに優しく語りかけ、彼女の戦いが終わり、彼女の罪が取り去られ、彼女が主の手からそのすべての罪に対して二倍を受け取ったことを告げよ。³
荒野で叫ぶ者の声がする。「主の道を備えよ。荒地で我らの神のためにまっすぐな道を作れ。」⁴
すべての谷は持ち上げられ、すべての山と丘は低くされ、不平な地は平らになり、険しい地形は平地となる。⁵
そのとき、主の威光が現れ、すべての人が共にそれを見る。主の口がこれを語られたからだ。」⁶
声が言う、「叫べ。」そして私は言った、「何を叫べばよいのか。」すべての肉は草のようであり、そのすべての美しさは野の花のようだ。⁷
草は枯れ、花はしぼむ。主の息がそれらに吹きかけるからだ。確かに人々は草である。⁸
草は枯れ、花はしぼむ。しかし、我らの神の言葉は永遠に立つ。⁹
シオンに良い知らせを伝える者よ、高い山に上れ。エルサレムに良い知らせを伝える者よ、声を上げて叫べ、声を上げて、恐れるな。ユダの町々に言え、「ここにあなたがたの神がいる！」¹⁰
見よ、主なる神は力をもって来られ、その腕は彼のために支配する。見よ、その報いは彼と共にあり、その報酬は彼の前にある。¹¹

彼は羊飼いのようにその群れを養い、子羊をその腕に集めてその胸に抱き、若いものを持つ者を優しく導く。¹²
誰がその手のひらで水を量り、その手のひらで天を広げたのか。誰が地の塵を量り、山々を天秤で、丘を秤で量ったのか。¹³
誰が主の霊を理解し、主の助言者として仕えたのか。¹⁴
誰に相談して彼を啓発し、誰が彼に正しい道を教えたのか。誰が彼に知識を教え、理解の道を示したのか。¹⁵
確かに国々はバケツの中の一滴のようであり、秤の上の塵のように見なされる。彼は島々を細かい塵のように持ち上げる。¹⁶
レバノンでさえ祭壇の火に十分ではなく、その動物も焼き尽くすに足りない。¹⁷
彼の前ではすべての国々は無に等しく、彼によって無価値で意味のないものと見なされる。¹⁸
それでは、誰と神を比較するのか。どのような姿に彼を似せるのか。¹⁹
偶像について言えば、職人がそれを铸造し、金細工師がそれに金をかぶせ、銀の鎖を作る。²⁰
そのような捧げ物に貧しい者は、腐らない木を選び、それを揺るがない偶像として立てるために熟練した職人を探す。²¹
あなたがたは知らないのか。聞いたことがないのか。初めからあなたがたに告げられていないのか。地の基が据えられた時から理解していないのか。²²
彼は地の輪の上に座し、その住民はバッタのようだ。彼は天を天幕のように広げ、住むためのテントのようにそれを広げる。²³
彼は君主を無にし、この世の支配者を無にする。²⁴
彼らが植えられたばかりで、まかれたばかりで、地に根を下ろしたばかりであるとき、彼がそれに吹きかけると、それらは枯れ、旋風がそれらをもみ殻のように吹き飛ばす。²⁵
「誰とわたしを比較できるのか。あるいは誰がわたしの等しい者か」と聖なる者は言われる。²⁶
目を上げて天を見よ。これらすべてを創造したのは誰か。それは星々の軍勢を一つ一つ呼び出し、それぞれを名で呼ぶ者である。彼の大きい力と強い力のゆえに、一つも欠けることはない。²⁷
なぜヤコブよ、あなたは訴えるのか。なぜイスラエルよ、あなたは言うのか、「わたしの道は主から隠されている。わたしの訴えはわたしの神によって見過ごされている」と。²⁸
あなたがたは知らないのか。聞いたことがないのか。主は永遠の神、地の果ての創造者である。彼は疲れることもなく、弱ることもない。その理解は人間

の及ぶところではない。²⁹
 彼は疲れた者に力を与え、弱い者の力を増し加える。³⁰
 若者でさえ疲れ、弱り、力強い若者もつまずき倒れる。³¹
 しかし、主を待ち望む者はその力を新たにする。彼らは驚のように翼を広げて上る。彼らは走っても疲れず、歩いても弱らない。

41 「島々よ、私の前で静かにせよ。国々は力を新たにせよ。彼らは進み出て語れ。我々は共に裁きのために会おう。²

誰が東から一人を奮い立たせたのか、義をもって彼を召し、その務めに就かせたのか。彼は国々を彼に渡し、王たちを従わせる。彼は彼らを剣で塵のようにし、弓で風に吹かれる藁のようにする。³

彼は彼らを追い、無事に進み、彼の足がこれまで通ったことのない道を行く。⁴

誰がこれを行い、成し遂げたのか、初めから世を呼び出したのか。私、主は最初であり、最後まで共にいる者、私がそれである。」⁵

島々はこれを見て恐れ、地の果ては震える。彼らは近づき、進み出る。⁶

互いに助け合い、仲間「強くあれ」と言う。⁷
 工匠は金細工師を励まし、金槌で平らにする者は金床を打つ者を励ます。彼らははんだ付けについて「良い」と言う。それを釘で固定し、倒れないようにする。⁸

「しかしあなた、イスラエルよ、私のしもべ、私が選んだヤコブ、私の友アブラハムの子孫よ、⁹
 私はあなたを地の果てから取り、最も遠いところから呼び出した。私は言った、『あなたは私のしもべである。私はあなたを選び、あなたを拒まなかった。¹⁰

恐れるな、私はあなたと共にいる。驚くな、私はあなたの神である。私はあなたを強め、あなたを助け、私の義の右手であなたを支える。¹¹

あなたに対して怒る者は皆、恥をかき、辱めを受ける。あなたと争う者は無に帰し、滅びる。¹²

あなたが敵を探しても、見つけないことはない。あなたと戦う者は無に帰し、存在しない。¹³

私はあなたの神、主であり、あなたの右手を握っている。私はあなたに言う、『恐れるな、私はあなたを助ける。』¹⁴

恐れるな、虫けらヤコブよ、小さなイスラエルよ、私自身があなたを助ける」と主、あなたの贖い主、イスラエルの聖なる者が言う。¹⁵

「見よ、私はあなたを新しい鋭い歯の多い脱穀機にする。あなたは山々を脱穀して粉碎し、丘を藁にする。¹⁶

あなたはそれらをふるい分け、風がそれらを選び去り、嵐がそれらを散らす。しかし、あなたは主にあって喜び、イスラエルの聖なる者にあって栄光を受ける。¹⁷

「貧しい者と乏しい者が水を求めても、見つからず、彼らの舌は渇きで乾いている。私は主が彼らに答え、私はイスラエルの神が彼らを見捨てない。¹⁸
 私は不毛の高地に川を流し、谷に泉を作る。私は砂漠を水の池にし、乾いた地を水の泉に変える。¹⁹
 私は荒野に杉を置き、アカシア、ミルトス、オリーブの木を置く。私は砂漠にジュンパーを、エルムとヒノキを共に置く。²⁰

人々が見て認識し、考え、理解するために、主の手がこれを行い、イスラエルの聖なる者がこれを創造したことを。²¹

「あなたの訴えを述べよ」と主は言う。「あなたの議論を提示せよ」とヤコブの王は言う。²²

彼らを進み出させ、何が起るかを宣言させよ。過去のことを語れ、私たちがそれを考え、その結果を知るために。または、来るべきことを宣言せよ。²³

未来が何を持っているかを明らかにせよ、私たちがあなたがたが神であることを知るために。何かを行え、良いことでも悪いことでも、私たちが驚き、畏敬の念に満たされるために。²⁴

しかし、あなたがたは無に等しく、あなたがたの業は全く無価値である。あなたがたを選ぶ者は忌まわしい。²⁵

「私は北から一人を奮い立たせ、彼は来る。日の出の方から彼は私の名を呼ぶ。彼は支配者たちをモルタルのように踏みつけ、陶器師が粘土を踏むようにする。²⁶

誰がこれを初めから宣言し、私たちが知るために、または昔から、私たちが『彼は正しい』と言うために？誰もそれを宣言せず、誰もそれを告げず、誰もあなたがたから言葉を聞かなかった。²⁷

私はシオンに最初に言った、『見よ、ここにいる！』私はエルサレムに良い知らせの使者を与えた。²⁸

しかし、私が見ると、そこには誰もいない。彼らの中には相談者がいない。私が尋ねても、答えをくれる者は一人もいない。²⁹

見よ、彼らは皆、欺く者である！彼らの行いは無に等しく、彼らの像は風と混乱に過ぎない。

42 「見よ、わたしのしもべ、わたしが選んだ者、わたしの心が喜び愛する者。わたしは彼の上にわたしの霊を置いた。彼は国々に公正をもたらす。²

彼は叫ばず、その声を上げず、その声を街角で聞かせない。³

折れた葦を折らず、くすぶる灯心を消さず、誠実に

イザヤ書

公正をもたらす。⁴
彼は地に公正を確立するまでくじけず、落胆しない。⁵
。海岸の民は彼の教えを待ち望む。」
天を創造し、それを広げ、地とそのすべての産物を
広げ、その上に住む民に息を与え、そこを歩む者に
霊を与える神、主がこう言われる。⁶
「わたしは主である。わたしは義によってあなたを
呼び、あなたの手を取り、あなたを見守る。わたし
はあなたを民の契約とし、国々の光とする。⁷
盲人の目を開き、囚われ人を閉じ込めから解放し、
暗闇に住む者をその監禁から解放するために。⁸
わたしは主である。これがわたしの名だ。わたしの
栄光を他の者に与えず、わたしの賛美を偶像に与え
ない。⁹
見よ、以前のことは成就した。新しいことを告げる
。芽生える前にそれをあなたに知らせる。」¹⁰
新しい歌を主に歌え、地の果てから彼の賛美を。海
に下る者とその中にあるすべてのもの、島々とその
上に住む者よ。¹¹
荒野とその町々、ケダルが住む集落が声を上げるよ
うに。セラの住民が喜び歌い、山の頂から叫ぶよう
に。¹²
彼らが主に栄光を与え、海岸で彼の賛美を宣傳え
るように。¹³
主は戦士のように出て行き、戦いの人のように熱意
をかき立てる。叫び声を上げ、戦いの叫びを上げ、
敵に勝利を収める。¹⁴
「わたしは長い間黙っていた。静かにして自制して
いた。今、座みの苦しみをする女のようにうめき、
息を切り、喘ぐ。¹⁵
山と丘を荒れ果てさせ、そのすべての植物を枯らし
、川を海岸に変え、池を干上がらせる。¹⁶
わたしは盲人を彼らが知らない道に導き、見知らぬ
道を案内する。彼らの前で暗闇を光に変え、でこぼ
こ道を平らにする。これらはわたしが行くこと、彼
らを見捨てない。¹⁷
偶像に頼る者、鑄像に『あなたがたは我々の神だ』
と言う者は、後ろに戻り、完全に恥をかく。¹⁸
聞け、耳の聞こえない者よ。見よ、目の見えない者
よ、そして見よ。¹⁹
わたしのしもべほど盲目な者がいるか。わたしが送
る使者ほど耳の聞こえない者がいるか。わたしと契
約を結んだ者ほど盲目な者がいるか。主のしもべほ
ど盲目な者がいるか。²⁰
あなたは多くのことを見たが、それを覚えていない
。あなたの耳は開いているが、誰も聞かない。²¹
主はその義のために、彼の律法を大いにし、栄光あ
るものとするを喜ばれた。²²
しかし、これは略奪され、奪われた民である。彼ら

は皆、穴に閉じ込められ、牢に隠されている。彼ら
は略奪され、救う者がいない。彼らは戦利品となり
、「彼らを返せ」と言う者がいない。²³
あなたがたの中でこれに耳を傾ける者は誰か。将来
のために注意を払い、聞く者は誰か。²⁴
誰がヤコブを略奪に、イスラエルを略奪者に渡した
のか。それは我々が罪を犯した主ではなかったか。
彼らは彼の道に従わず、彼の律法に従わなかった。²⁵
それで彼は彼らに怒りの熱と戦争の暴力を注ぎ、そ
れは彼らを炎で包んだが、彼らは理解せず、それは
彼らを焼き尽くしたが、彼らは注意を払わなかった
。

しかし今、主がこう言われる—
43 あなたを創造された方、ヤコブよ、あなた
を形作られた方、イスラエルよ。「恐れる
な、わたしはあなたを贖ったからだ。わたしはあな
たを名で呼んだ。あなたはわたしのものだ。²
あなたが水を通るとき、わたしはあなたと共にいる
。川を渡るとき、それはあなたを押し流さない。火
の中を歩くとき、あなたは焼かれず、炎はあなたを
燃やし尽くさない。³
わたしはあなたの神、主、イスラエルの聖なる者、
あなたの救い主である。わたしはあなたの身代金と
してエジプトを与え、あなたの代わりにクシュとセ
バを与えた。⁴
あなたはわたしの目に尊く、貴く、愛されているの
で、わたしはあなたのために人々を与え、あなたの
命の代わりに国々を与える。⁵
恐れるな、わたしはあなたと共にいるからだ。わた
しはあなたの子孫を東から連れ戻し、西からあなた
を集める。⁶
わたしは北に命じて彼らを解放させ、南には彼らを
引き止めさせない。遠くの地からわたしの息子たち
を集め、地の果てからわたしの娘たちを集めよ—⁷
わたしの名で呼ばれる者、わたしの栄光のために創
造した者、わたしが形作り、作った者たちを。」⁸
目があっても見えない民、耳があっても聞こえない
者たちを連れ出せ。⁹
すべての国々が集まり、民が集まる。誰がこれを宣
言し、過去のことを知らせることができるか。彼ら
の証人を出して、彼らが正しいことを証明させよ。
そうすれば、他の者たちが聞いて「それは真実だ」
とすることができる。¹⁰
「あなたがたはわたしの証人である」と主は言われ
る。「わたしが選んだわたしのしもべである。それ
はあなたがたがわたしを知り、信じ、わたしがそれ
であることを理解するためである。わたしの前には
神は形作られず、わたしの後にもいない。¹¹

イザヤ書

わたし、わたしこそ主であり、わたしのほかに救い主はいない。¹² わたしは啓示し、救い、宣言した—わたしであり、あなたがたの中にいる外国の神ではない。あなたがたはわたしの証人である」と主は言われる。¹³ 「わたしが神であることを。永遠から、わたしはそれであり、誰もわたしの手から救い出すことはできない。わたしが行動するとき、誰がそれを覆すことができるか。」¹⁴ これは主が言われる—あなたの贖い主、イスラエルの聖なる者。「あなたのために、わたしはバビロンに送り、彼らをすべて逃亡者として連れ戻す。カルデア人も、彼らが喜んでいた船で。」¹⁵ わたしは主、あなたの聖なる者、イスラエルの創造者、あなたの主権者であり王である。」¹⁶ これは主が言われる—海の中に道を作り、力強い水の中に道を作る方、¹⁷ 戦車と馬、軍隊と力ある者を連れ出す方。彼らは共に横たわり、再び起き上がらず、消え去り、芯のように消される。¹⁸ 「過去のことを思い出すな、昔のことに心を留めるな。」¹⁹ 見よ、わたしは新しいことを行う！今、それが芽生えている。あなたがたはそれを感じないのか。わたしは荒野に道を作り、砂漠に川を作る。²⁰ 野の獣、ジャッカルとダチョウがわたしを尊びます。わたしが荒野に水を供え、砂漠に川を供えるからです。わたしの選んだ民に飲ませるために、²¹ わたしが自分のために形作った民が、わたしの賛美を宣言するために。²² 「しかし、あなたはわたしを呼ばなかった、ヤコブよ。あなたはわたしに疲れた、イスラエルよ。²³ あなたはわたしに焼き尽くす捧げ物のための羊を持ってこなかったし、あなたの犠牲でわたしを尊ばなかった。わたしはあなたに捧げ物で負担をかけず、香で疲れさせなかった。」²⁴ あなたは金で甘い香を買わず、あなたの犠牲の脂でわたしを満足させなかった。むしろ、あなたはあなたの罪でわたしに負担をかけ、あなたの悪行でわたしを疲れさせた。²⁵ 「わたし、わたしこそがあなたの背きをわたし自身のために消し去り、あなたの罪をもう思い出さない者である。」²⁶ 過去をわたしと共に振り返り、共に議論しよう。あなたの言い分を述べて、あなたが正しいことを証明せよ。²⁷ あなたの最初の祖先が罪を犯し、あなたの代表者たちがわたしに逆らった。²⁸

それゆえ、わたしは聖所の役人たちを辱め、ヤコブを滅びに、イスラエルを侮辱に委ねる。

44 「しかし今、聞け、ヤコブ、わたしのしもべ、わたしが選んだイスラエルよ。²

主がこう言われる—

あなたを造り、胎内で形作り、あなたを助ける者が言う。恐れるな、わたしのしもべヤコブ、わたしが選んだエシユルンよ。³ わたしは乾いた地に水を注ぎ、乾いた地に川を流す。わたしの霊をあなたの子孫に注ぎ、わたしの祝福をあなたの子孫に注ぐ。⁴ 彼らは草の間から芽生え、流れる川のそばのボブラのように育つ。⁵ ある者は言う、『わたしは主のものだ』と。別の者はヤコブの名を名乗り、また別の者は手に『主のもの』と書き、イスラエルの名を名誉とする。

⁶ 主がこう言われる—イスラエルの王、その贖い主、万軍の主が言う。わたしは初めてであり、わたしは終わりである。わたしのほかに神はない。⁷

わたしのような者は誰か。彼に告げさせよ。彼に宣言させ、わたしの前にそれを示させよ。わたしが古代の民を立てて以来のこと、そしてこれから来ることを—彼らに予告させよ。⁸

恐れるな、怯えるな。わたしは長い間それを告げ、宣言してきたではないか。あなたたちはわたしの証人だ。わたしのほかに神があるか。いや、他に岩はない。わたしは一つも知らない。⁹

偶像を作る者は皆無駄であり、彼らの宝とするものは何の利益もない。彼らの証人も見えず、知ることでもできず、恥をかくことになる。¹⁰

神を形作り、偶像を鑄造する者は誰か、それは何の利益もない。¹¹

見よ、彼らの仲間はいずれも恥をかく。職人たち自身もただの人間だ。彼らをすべて集め、立たせよ。彼らは恐れと恥に落ちる。¹²

鍛冶屋は道具を取り、炭火で作業し、槌で偶像を形作り、腕の力でそれを鍛える。彼は空腹になり、力を失う。水を飲まずに弱る。¹³

大工は線を伸ばし、マーカーで輪郭を描く。のみで粗削りし、コンパスで印をつける。人間の形に、美しい人間の形に形作り、神殿に住ませる。¹⁴

彼は杉を切り倒し、あるいは糸杉や樅を取る。森の木々の中で強く育て、松を植え、雨がそれを育てる。¹⁵

それは燃料となり、一部を取って暖を取り、火を起こしてパンを焼く。しかし彼はまた神を形作り、それを拝む。偶像を作り、それにひれ伏す。¹⁶

木の半分を火で燃やし、その上で食事を準備し、肉を焼いて満腹する。彼はまた暖を取り、「ああ、暖かい。火が見える」と言う。¹⁷

残りから神を作り、彼の偶像を作る。彼はそれにひれ伏し、拝む。それに祈り、「救ってください。あなたはわたしの神です」と言う。¹⁸

彼らは何も知らず、何も理解しない。彼らの目は見えないように覆われ、心は理解できないようになっている。¹⁹

誰も考えず、知識も理解もなく、「その半分を燃料に使った。わたしはその炭でパンを焼き、肉を焼いて食べた。残りから忌まわしいものを作るべきか。木の塊にひれ伏すべきか」と言う者はいない。²⁰

彼は灰を食べ、欺かれた心が彼を惑わせる。彼は自分を救えず、「わたしの右手にあるこのものは偽りではないか」と言うこともできない。²¹

「これらのことを覚えよ、ヤコブよ。あなた、イスラエルはわたしのしもべだ。わたしはあなたを形作った、あなたはわたしのしもべだ。イスラエルよ、わたしはあなたを忘れない。²²

わたしはあなたの背きを雲のように、あなたの罪を霧のように消し去った。わたしに帰れ、わたしはあなたを贖ったからだ。」²³

喜びの歌を歌え、天よ、主がそれを成し遂げたからだ。地の低い部分よ、大声で叫べ。山々よ、森よ、すべての木々よ、歌を歌え。主がヤコブを贖い、イスラエルにその栄光を現されるからだ。²⁴

主がこう言われる—
あなたの贖い主、胎内であなたを形作った者が言う。わたしは主、すべてのものを造る者、わたし自身で天を広げ、ただ一人で地を広げる者だ。²⁵

偽預言者のしるしを挫き、古い師を愚かにし、賢者の学びを覆し、それを無意味にする者だ。²⁶

彼のしもべの言葉を確認にし、彼の使者の目的を遂行し、エルサレムについて『それは住まわれる』と言い、ユダの町々について『それらは再建される』と言い、その廃墟について『わたしはそれらを回復する』と言う者だ。²⁷

水の深みを命じて、『乾け、わたしはあなたの川を干上らせる』と言う者だ。²⁸

キュロスについて語る者、『彼はわたしの牧者であり、わたしのすべての望みを成し遂げる。彼はエルサレムについて「再建されよ」と言い、神殿について「その基を据えよ」と言う。』

45 主が油注がれた者、クロスにこう言われる。私は彼の右手を取って、彼の前に国々を征服させ、王たちの鎧を解かせる。彼の前に門を開き、門が閉じられないようにする。²
私はあなたの前を行き、険しい場所を平らにする。

私は青銅の門を打ち破り、鉄の棒を切り裂く。³
私は暗闇に隠された宝物と秘密の場所に蓄えられた富をあなたに与える。それは、あなたが私が主であり、イスラエルの神であり、あなたを名で呼ぶ者であることを知るためである。⁴

私の僕ヤコブのために、私の選んだイスラエルのために、私はあなたを名で呼び、あなたに名誉の称号を与えた。あなたは私を知らなかったが。⁵

私は主であり、他にはいない。私の他に神はいない。私はあなたを強くする、あなたが私を知らなかったとしても。⁶

それは、日の出から日の入りまで、人々が私の他に誰もいないことを知るためである。私は主であり、他にはいない。⁷

私は光を創り、闇を形作る。私は繁栄をもたらし、挑戦を許す。私、主がこれらすべてを行う。⁸

天よ、義を降らせよ。雲よ、それを注げ。地よ、広く開け、救いを芽生えさせ、義を共に繁栄させよ。私、主がそれを創造した。⁹

その造り主と争う者に災いあれ。地上の陶片の中の陶片に過ぎない者たち。粘土が陶工に「何を作っているのか」と言うのか。あなたの作品が「彼には手がない」と言うのか。¹⁰

父に「何を生んだのか」と問い、母に「何を産んだのか」と問う者に災いあれ。¹¹

イスラエルの聖なる者、その造り主である主がこう言われる。来るべきことについて、私の子供たちについて私に質問するのか、私の手の業について命令を出すのか。¹²

地を作り、その上に人類を創造したのは私である。私の手が天を広げ、その星々の軍勢を整えた。¹³

私は彼を義の中で立ち上がらせ、彼の道をまっすぐにする。彼は私の都市を再建し、私の捕囚民を解放するが、代価や報酬のためではない、と万軍の主は言われる。¹⁴

主がこう言われる。エジプトの産物、クシュの商売、背の高いサバ人があなたのもとに来て、あなたのもとなる。彼らは鎖につながれてあなたの後ろを歩く。彼らはあなたの前にひれ伏し、あなたに懇願して言う。「確かに神があなたと共におられ、他にはいない。他に神はいない。」¹⁵

本当に、あなたはご自身を隠される神、イスラエルの神、救い主である。¹⁶

偶像を作る者たちは皆、恥をかき、辱められる。彼らは共に不名誉のうちに去る。¹⁷

しかし、イスラエルは主によって永遠の救いを受ける。あなたは永遠に恥をかくことも、辱められることもない。¹⁸

主がこう言われる。天を創造した者、彼は神である

イザヤ書

。地を形作り、作った者、彼はそれを確立した。彼はそれを空虚に創らず、住まわせるために形作った。彼は言う。私は主であり、他にはいない。¹⁹
私は秘密のうちに、暗闇の地の隠れた場所から語ったのではない。私はヤコブの子孫に「無駄に私を求めよ」とは言わなかった。私は主であり、真実を語り、正しいことを宣言する。²⁰
集まり、来たれ。国々からの逃亡者たちよ、集まれ。木の偶像を運び、救えない神々に祈る者たちは無知である。²¹
宣言し、あなたの訴えを述べよ。彼らに共に相談させよ。これを久しく前に予告したのは誰か、遠い昔から宣言したのは誰か。それは私、主ではなかったか。私の他に神はいない。正しい神、救い主、私の他にはいない。²²
地の果てのすべての者よ、私に向かって救いを求めよ。私は神であり、他にはいない。²³
私自身によって誓った。私の口はすべての誠実さをもって言葉を発し、それは取り消されない。私の前にすべての膝かがみ、私によってすべての舌が忠誠を誓う。²⁴
彼らは私について言う。「主の中にのみ義と力がある。」彼に対して怒った者は皆、彼のもともと来て恥をかく。²⁵
主の中でイスラエルのすべての子孫は義とされ、誇るであろう。

46 ベルはかがみ、ネボは身をかがめる。彼らの偶像は獣や家畜によって運ばれる。あなたがたが運ぶ像は重荷であり、疲れた者への負担である。²
彼らは共にかがみ、身をかがめる。彼らは重荷を扱うことができず、彼ら自身が捕囚にされる。³
「ヤコブの家よ、イスラエルの民の残りの者たちよ、生まれた時から私によって支えられ、胎から運ばれてきたあなたがたよ、聞け。⁴
あなたがたの老いる時まで、白髪になるまで、私は同じである。私はあなたがたを運ぶ者である。私はあなたがたを造り、私はあなたがたを担い、私はあなたがたを運び、救う。⁵
「あなたがたは私を誰にたとえ、私を誰と同等にしようとするのか？私を誰と比べて、私たちが似ていると言おうとするのか？⁶
ある者は袋から金を取り出し、天秤で銀を量り、金細工師を雇ってそれを神に作らせ、それにひれ伏して拝む。⁷
彼らはそれを肩に担いで運び、それをその場所に据えると、そこに立ち続ける。それはその場所から動くことができない。誰かがそれに叫んでも、それは答えることができず、彼らをその苦しみから救うこ

とができない。⁸
「これを覚え、心に留めよ。心に留めよ、あなたがた不義の者たちよ。⁹
昔のこと、古のことを思い出せ。私は神であり、他にはいない。私は神であり、私のような者はいない。¹⁰
私は終わりを初めから告げ、古の時からまだ来ていないことを告げる。私は言う、『私の目的は立ち、私は私の望むすべてを成し遂げる。』¹¹
東から猛禽を呼び、遠い国から私の目的のための人を呼ぶ。私が語ったことは、私は成し遂げる。私が計画したことは、私は必ず行う。¹²
「聞け、心の頑なな者たちよ、義から遠いあなたがたよ。¹³
私は私の義を近づける、それは遠くない。私の救いは遅れない。私はシオンに救いを与え、イスラエルに私の栄光を与える。

47 「降りて、塵の中に座れ、バビロンの処女の娘よ。王座のない地面に座れ、カルデア人の娘よ。あなたはもはや優雅で繊細と呼ばれることはない。²
石臼を取り、小麦粉をひけ。あなたのベールを取り去り、スカートを持ち上げ、脚を露わにし、川を渡る。³
あなたの裸が露わになり、あなたの恥がさらされる。私は復讐し、誰も容赦しない。」⁴
私たちの賤い主、万軍の主はその名、イスラエルの聖なる者。⁵
「沈黙して闇に入れ、カルデア人の娘よ。あなたはもはや王国の女王と呼ばれることはない。⁶
私は私の民に怒り、私の遺産を汚し、彼らをあなたの手に渡した。あなたは彼らに憐れみを示さず、老人にさえ重い軛を負わせた。⁷
あなたは言った、『私は永遠に女王である』と。しかし、あなたはこれらのことを考えず、その結果を反省しなかった。⁸
「さて、聞け、快樂にふけり、安らかに住む者よ。心の中で言う、『私は私であり、私の他には誰もいない。私は未亡人になることも、子供を失うこともない』と。⁹
これら二つのことが突然一日にしてあなたに降りかかる。子供を失うことと未亡人になること。多くの魔術と強力な呪文にもかかわらず、これらは完全にあなたに降りかかる。¹⁰
あなたは自分の悪に安心し、『誰も私を見ていない』と言った。あなたの知恵と知識があなたを誤らせた。あなたは心の中で言った、『私は私であり、私の他には誰もいない』と。¹¹
しかし、災いがあなたに降りかかり、あなたはそれ

イザヤ書

を避ける方法を知らない。災難があなたに降りかかり、あなたはそれを避けることができない。予期しない破壊が突然あなたに降りかかる。

「あなたの呪文と若い頃から行ってきた多くの魔術を続けよ。おそらく成功するかもしれない、恐怖を引き起こすかもしれない。」

あなたは多くの助言に疲れている。占星術師たちに立ち上がらせよ、星を見て新月によって予言する者たちに、彼らにあなたを救わせよ、あなたに降りかかることから。

確かに彼らは藁のようであり、火が彼らを焼き尽くす。彼らは炎の力から自分自身を救うことができない。これは暖を取るための炭でもなく、そばに座るための火でもない。

これが彼らがあなたにとってなったものであり、あなたが労した者たち、若い頃からあなたと関わってきた者たちである。各々が自分の方向にさまよい、あなたを救う者はいない。

48 「ヤコブの子孫たちよ、これを聞け。イスラエルという名で呼ばれ、ユダの水から出てきた者たちよ。主の名によって誓い、イスラエルの神を呼び求めるが、真実や正義によらない者たちよ—

あなたたちは聖なる都の名を名乗り、イスラエルの神に頼る。万軍の主がその名である。

私は昔のことを久しく前に告げた。それは私の口から出て、私はそれを知らせた。突然私は行動し、それは成就した。

あなたが頑固であることを知っていたからだ。あなたの首は鉄の筋で、額は青銅である。

それゆえ、私はこれらのことを久しく前に告げた。それが起こる前にあなたに知らせたのは、あなたが『私の偶像がそれを行った。私の彫像と銅像がそれを命じた』と言わないためである。

あなたはこれらのことを聞いた。すべてを見よ。あなたはそれを宣言しないのか？今から私は新しいこと、あなたに知られていない隠されたことを告げる。

それらは今創造されたもので、久しく前ではない。あなたは今日までそれを聞いていなかったのので、『そうだ、私はそれを知っていた』とは言えない。

あなたは聞いたことも理解したこともない。昔からあなたの耳は開かれていなかった。私はあなたが非常に裏切りを働くことを知っていた。あなたは生まれながらに反逆者と呼ばれている。

私の名のために私は怒りを遅らせる。私の賛美のために私はそれをあなたのために抑える。あなたを断ち切らないために。

見よ、私はあなたを精錬したが、銀のように精錬し

たのではない。私はあなたを苦難の炉で試した。私自身のために、私自身のために、私はこれを行う。どうして私の名が汚されることがあろうか？私は私の栄光を他の者に与えない。

「私に注意を払え、ヤコブよ、私が呼んだイスラエルよ。私はその者である。私は初めてであり、私は終わりである。」

私の手が地の基を据え、私の右手が天を広げた。私がそれらと呼ぶと、それらは共に立ち上がる。皆集まり、聞け。彼らの中で誰がこれらのことを宣言したのか？主の選ばれた同盟者がバビロンに対してその目的を果たす。彼の腕はカルデア人に対してある。

私、まさに私が語った。確かに私は彼を呼んだ。私は彼を連れてきた、そして彼はその使命を成功させる。

「私に近づいてこれを聞け。初めから私は秘密に語っていなかった。それが起こる時から、私はそこにいる。」そして今、主権者なる主が私を送り、その霊を授けた。これは主が言われること—あなたの贖い主、イスラエルの聖なる者：「私はあなたの神、主である。あなたに利益を教え、あなたが行くべき道を導く者である。」

もしあなたが私の戒めに注意を払っていたなら、あなたの平和は川のようにあり、あなたの正義は海の波のようであっただろう。

あなたの子孫は砂のようであり、あなたの子孫は数えきれない粒のようであっただろう。彼らの名は私の前から消されることも、滅ぼされることもない。

」
バビロンを去れ、カルデア人から逃げよ！喜びの叫びとともにこれを告げ、宣言せよ。それを地の果てまで送れ。「主がそのしもべヤコブを贖った」と言え。

彼が彼らを砂漠を通して導いたとき、彼らは渇きを覚えなかった。彼は彼らのために岩から水を流れさせた。彼は岩を裂き、水が湧き出した。

「主は言われる、『悪しき者には平和がない』」

49 島々よ、私に聞け。遠くの国々よ、耳を傾けよ。主は胎内から私を呼び、母の体から私の名を呼ばれた。

主は私の口を鋭い剣のようにし、その手の陰に私を隠された。私を磨かれた矢とし、その矢筒に私を隠された。

主は私に言われた、「あなたは私のしもべ、イスラエル、私の栄光をあなたに示す。」

しかし私は言った、「私はむなしく労した。無駄に力を費やした。しかし私の正しい報いは主と共にあり、私の報酬は私の神と共にある。」

イザヤ書

そして今、主は言われる—
私を胎内で形作り、ヤコブを彼に戻し、イスラエルを彼に集めるためにしもべとされた方—
私は主の目に尊ばれ、私の神は私の力である—⁶
主は言われる、「ヤコブの部族を復興し、イスラエルの保たれた者を戻すために、あなたが私のしもべであることは小さすぎる。私はあなたを国々の光とし、私の救いを地の果てにまで達せさせる。」⁷
主、イスラエルの贖い主、聖なる者は、国に輕蔑され、忌み嫌われる者、支配者のしもべに言われる、「王たちは見て立ち上がり、君主たちはひれ伏す。主のために、彼は忠実であり、イスラエルの聖なる者があなたを選ばれたからである。」⁸
主はこう言われる、「私の恵みの時に私はあなたに答え、救いの日に私はあなたを助ける。私はあなたを守り、人々の契約とし、地を復興し、荒れた相続地を再配分するために、
捕らわれ人に『出て来い』と言い、暗闇にいる者に『姿を現せ』と言う。彼らは道のそばで食べ、すべての荒れた高地で牧草を見つける。」¹⁰
彼らは飢えることも渴くこともなく、焼く暑さや太陽が彼らを打つこともない。彼らに憐れみをかける者が彼らを導き、水の泉のそばに導く。¹¹
私はすべての山を道に変え、私の高速道路を高くする。¹² 見よ、彼らは遠くから来る—北から、西から、アスワンの地から。」¹³
天よ、喜びの声を上げよ。地よ、喜べ。山々よ、歌をもって歓声を上げよ。主はその民を慰め、苦しむ者に憐れみをかけるからである。¹⁴
しかしシオンは嘆いた、「主は私を見捨てた。主はもう私を覚えていない。」¹⁵
「母が乳飲み子を忘れ、自分が産んだ子に憐れみをかけないことがあろうか。たとえ彼女が忘れても、私はあなたを忘れない。」¹⁶
見よ、私はあなたを私の手のひらに刻んだ。あなたの城壁は常に私の前にある。¹⁷
あなたの子らは急いで戻り、あなたを荒廃させた者たちはあなたから去る。¹⁸
目を上げて見回せ。あなたの子らは皆集まり、あなたのもとに来る。私が生きている限り」と主は宣言する、「あなたは彼らをすべて飾りとして身に着け、花嫁のように彼らで身を飾る。」¹⁹
あなたが荒廃し、荒れ果て、あなたの地が荒らされたとしても、今やあなたの民には狭すぎ、あなたを飲み込んだ者たちは遠くにいる。²⁰
あなたの喪中に生まれた子らがあなたの耳に言う、『この場所は私たちには狭すぎる。住むための場所をもっとください。』²¹
そのとき、あなたは心の中で言う、『これらを産ん

だのは誰か。私は喪に服し、不妊であった。私は追放され、拒絶された。これらを育てたのは誰か。私は一人残されていたが、これらはどこから来たのか。』」²²
主なる神はこう言われる、「見よ、私は国々に手を振り、民に旗を掲げる。彼らはあなたの息子たちを腕に抱き、あなたの娘たちを肩に乗せて運ぶ。」²³
王たちはあなたの養父となり、彼らの女王たちはあなたの乳母となる。彼らは顔を地に伏せてあなたの前にひれ伏し、あなたの足の塵をなめる。そうしてあなたは私が主であることを知る。私に希望を置く者は恥をかかない。」²⁴
戦士から戦利品を奪うことができるのか、激しい者から捕らわれ人を解放することができるのか。²⁵
しかし主はこう言われる、「はい、戦士から捕らわれ人を奪い、激しい者から戦利品を取り戻すことができる。私はあなたと争う者と争い、あなたの子らを救う。」²⁶
私はあなたの圧迫者たちに彼ら自身の肉を食べさせ、彼らは甘いぶどう酒のように自分の血に酔う。そして全人類は私が主であり、あなたの救い主、贖い主、ヤコブの力強い者であることを知る。」
50 主はこう言われる。「私があなたの母を送り出した離婚証書はどこにあるのか。あるいは、私があなたを売った債権者は誰か。
見よ、あなたは自分の罪のために売られ、あなたの母はあなたの背信のために送り出されたのだ。」²
私が来たとき、なぜ誰もいなかったのか。私が呼んだとき、なぜ誰も答えなかったのか。私の腕は贖うには短すぎるのか。救う力が私にないのか。私の叱責によって、私は海を干上がらせ、川を砂漠に変える。その魚は水がないために腐り、渇きで死ぬ。³
私は天を暗闇で覆い、粗布をその覆いとする。」⁴
主なる神は私に学んだ者の舌を与え、疲れた者を言葉で支えることができるようにされた。彼は朝ごとに私を目覚めさせ、教えられる者のように私の耳を目覚めさせる。⁵
主なる神は私の耳を開かれた。私は反抗せず、背を向けなかった。⁶
私は打つ者に背を向け、ひげを引き抜く者に頬を差し出した。私は侮辱と唾を避けなかった。⁷
主なる神が私を助けるので、私は辱められない。それゆえ、私は顔を火打石のように固くし、私は恥をかかれないことを知っている。⁸
私を正しいとする方が近くにいる。誰が私と争うのか。共に立とう。私の訴える者は誰か。彼に私に向かわせよ。⁹
見よ、主なる神が私を助ける。誰が私を罪に定めるのか。彼らは皆、衣のように古び、蛾が彼らを食い

尽くす。¹⁰
 あなたがたの中で主を恐れ、そのしもべの声に従う者は誰か。暗闇の中を歩み、光のない者は、主の名に信頼し、自分の神に頼るがよい。¹¹
 見よ、火を点じ、燃える松明を自分の周りに巡らせる者たちよ、自分の火の光の中を歩み、自分が燃やした松明の中を歩め。これが私の手から受けるものだ。あなたは苦しみの中に横たわることになる。

51 「義を追い求め、主を求める者たちよ、私に耳を傾けよ。あなたがたが切り出された岩と、あなたがたが掘り出された採石場を
 考えよ。²
 あなたがたの父アブラハムと、あなたがたを産んだサラを思い起こせ。彼がただ一人のとき、私は彼を呼び、彼を祝福し、彼を多くした。」³
 まことに、主はシオンを慰め、その廃墟をすべて慰める。彼はその荒野をエデンに、その砂漠を主の園に変える。喜びと楽しみがそこに見いだされ、感謝と歌の声がある。⁴

「私の民よ、私に注意を払い、私の国よ、聞け。律法が私から出て、私の正義が国々への光となる。⁵
 私の義は近く、私の救いは来つつあり、私の腕が国々を裁く。海岸の国々は私を待ち望み、私の腕を待ち望む。⁶
 天に目を上げ、地を下に見よ。天は煙のように消え、地は衣のように古び、その住民は同じように滅びる。しかし、私の救いは永遠に続き、私の義は決して失われない。⁷

「義を知る者たちよ、私の律法が心にある民よ、私に聞け。人間の非難を恐れず、彼らの侮辱に怯えるな。⁸
 彼らは衣のように虫に食われ、羊毛のように虫に食われる。しかし、私の義は永遠に続き、私の救いは世々にわたる。」⁹

目を覚ませ、目を覚ませ、主の腕よ、力をまとい！昔の日々のように、古の世代のように目を覚ませ。ラハブを切り裂き、竜を刺したのはあなたではなかったか？¹⁰

海を干し、大いなる深みの水を干し、贖われた者が渡るために海の深みを道としたのはあなたではなかったか？¹¹

主に贖われた者たちは帰り、歌いながらシオンに来る。永遠の喜びが彼らの頭を冠し、彼らは楽しみと喜びを得、悲しみと嘆きは逃げる。¹²

「私、まさに私があなたを慰める者である。あなたは誰を恐れるのか、草のような人間を恐れるのか、¹³

天を伸ばし、地の基を据えたあなたの造り主、主を忘れ、滅ぼそうとする圧制者の怒りを日々恐れるの

か？圧制者の怒りはどこにあるのか？¹⁴
 捕われ人はすぐに解放され、彼らは地下牢で死ぬことなく、パンに欠けることもない。¹⁵

私は主、あなたの神であり、海をかき立ててその波を轟かせる者である—その名は万軍の主である。¹⁶
 私はあなたの口に私の言葉を置き、私の手の影であなたを覆い、天を確立し、地の基を据え、シオンに『あなたは私の民である』と言う。」¹⁷

目を覚ませ、目を覚ませ！エルサレムよ、立ち上がれ。主の手から怒りの杯を飲み、その杯を飲み干してよろめかせる杯を飲み干した者よ。¹⁸

彼女が産んだすべての子供たちの中に彼女を導く者はなく、彼女が育てたすべての子供たちの中に彼女の手を取る者もない。¹⁹

これらの二重の災難があなたに降りかかった—誰があなたを慰めるのか？—
 荒廃と破壊、飢饉と剣—

私はどうやってあなたを慰めることができるのか？²⁰

あなたの子供たちは気絶し、彼らは網にかかったガゼルのように、すべての街角に横たわっている。彼らは主の怒り、あなたの神の叱責で満たされている。²¹

。それゆえ、これを聞け、苦しむ者よ、酒ではなく酔っている者よ。²²

あなたの主、あなたの神である主がこう言われる。「見よ、私はあなたの手からよろめかせる杯を取り去った。私の怒りの杯、その杯をあなたは再び飲むことはない。²³

私はそれをあなたの苦しめる者たちの手に渡す。彼らはあなたに『私たちがあなたの上を歩くために横たわれ』と言った。そしてあなたは地面のように、通りのように背を横たえた。」

52 目を覚ませ、目を覚ませ、シオンよ、力をまとい！

エルサレム、聖なる都よ、華やかな衣を身に着けよ。無割札の者や汚れた者は、もはやあなたに入って来ない。²

塵を払い落とし、立ち上がれ、王座に座るエルサレムよ。首に巻きついた鎖から自らを解き放て、捕われの娘シオンよ。³

主はこう言われる。「あなたは無償で売られたが、金を払わずに贖われる。」⁴

主なる神はこう言われる。「わたしの民は最初、住むためにエジプトに下ったが、その後、アッシリアは理由もなく彼らを圧迫した。⁵

「今、ここで何が起きているのか？」と主は言われる。「わたしの民が無償で奪われ、彼らを支配する者たちが嘆いているのを見ている」と主は言われ

イザヤ書

る。「わたしの名は一日中、絶えず冒瀆されている。
それゆえ、わたしの民はわたしの名を知るようになる。その日、彼らはわたしが語っていることを知るだろう、『ここにわたしがいる』と。」
良い知らせを伝える者の足が山々の上でどれほど美しいことか、平和を告げ、喜びの知らせをもたらし、救いを告げ、シオンに「あなたの神が王となる」と言う者の足が。
あなたの見張りたちは声を上げ、共に喜びの声を上げる。彼らは主がシオンに戻られるのを自分の目で見ることからだ。
エルサレムの廃墟よ、共に喜びの歌を歌え。主はその民を慰め、エルサレムを贖われたからだ。
主はその聖なる腕をすべての国々の目の前に現され、地の果てまでもわたしたちの神の救いを見る。
去れ、去れ、そこから出よ！
汚れたものに触れるな！
その中から出て、清くあれ、主の器を運ぶ者たちよ。
しかし、あなたたちは急いで出ることはなく、逃げることもない。主があなたたちの前を行き、イスラエルの神があなたたちの後衛となるからだ。
見よ、わたしのしもべは賢く行動し、高く上げられ、非常に高くされる。
多くの者が彼に驚愕したように—
彼の姿は人間の姿を超えて損なわれ、その形は人の子らを超えていた—
彼は多くの国々を驚かせ、王たちは彼のために口を開かず。彼らが告げられなかったことを見、聞かなかったことを理解するからだ。

53 それでは、誰が私たちの報告を受け入れたのか。誰が主の強い腕を見たのか。
彼は主の前で若枝のように育ち、乾いた地から出る根のようであった。彼には私たちが彼に惹かれるような美しさや威厳はなく、私たちが彼を望むような姿もなかった。
彼は人々に軽蔑され、拒絶された。苦しみの人であり、痛みに慣れ親しんでいた。人々が顔を隠す者のように、彼は軽蔑され、私たちは彼を低く評価した。
確かに彼は私たちの痛みを引き受け、私たちの苦しみを担った。それにもかかわらず、私たちは彼を神に打たれ、苦しめられ、辱められたと考えた。
しかし、彼は私たちの背きのために刺され、私たちの不義のために砕かれた。私たちに平和をもたらす罰が彼に下り、彼の傷によって私たちは癒された。
私たちは皆、羊のようにさまよい、それぞれ自分の

道に向かった。しかし、主は私たち全ての不義を彼に負わせた。
彼は虐げられ、苦しめられたが、それでも沈黙を守った。彼は屠殺される子羊のように導かれ、毛を刈る者の前で黙っている羊のように、彼は沈黙を守った。
圧迫と裁きによって彼は取り去られた。しかし、彼の世代の中で誰がそれを考えたのか。彼は生ける者の地から断たれた。私の民の背きのために彼は罰せられた。
彼は悪者と共に墓を与えられ、彼の死において富む者と共に置かれた。彼は暴力を行わず、彼の口には偽りが見つからなかったにもかかわらず。
それでも、彼を砕き、苦しめることは主の御心であった。彼がその命を罪のための捧げ物とするとき、彼はその子孫を見、彼の日々を長くし、主の御心は彼の手の中で成功する。
彼が苦しんだ後、彼は命の光を見て満足する。彼の知識によって、私の正しいしもべは多くの人を義とし、彼は彼らの不義を担う。
それゆえ、私は彼に偉大な者たちの中で分け前を与え、彼は強い者たちと共に戦利品を分かち合う。彼はその命を死にまで注ぎ出し、背きの者たちの中に数えられたからである。彼は多くの人の罪を負い、背きの者たちのために執り成しをした。

54 「喜べ、不妊の女よ、子を産まなかったあなたよ。歌をうたい、喜びの声をあげよ、産みの苦しみを知らないあなたよ。夫のある女の子らよりも、荒れた女の子らのほうが多いからだ」と主は言われる。
「あなたの天幕の場所を広げ、住まいの幕を思い切って張り伸ばせ。惜しむな。綱を長くし、杭を強固にせよ。
あなたは右と左に広がり、あなたの子孫は国々を所有し、荒れた町々に住むからだ。
「恐れるな。あなたは恥をかくことがないからだ。恥じるな。あなたは辱められることがないからだ。あなたは若い時の恥を忘れ、やもめの時のそしりをもう思い出さない。
あなたを造った者はあなたの夫だからだ。その名は万軍の主、あなたの贖い主はイスラエルの聖なる者、全地の神と呼ばれる。
主はあなたを呼び戻された。捨てられ、心を痛めた妻のように、若い時に嫁いで拒まれた妻のように」とあなたの神は言われる。
「わずかの間、私はあなたを捨てたが、大いなる憐れみをもってあなたを集める。
怒りの時に、私は顔を隠したが、永遠の慈しみをもってあなたを憐れむ」とあなたの贖い主である主は

イザヤ書

言われる。⁹
「これは私にとってノアの時の日々のようなだ。私は
ノアの大水が再び地を覆わないと誓った。私は再び
あなたに怒らず、あなたを責めないと誓った。¹⁰
たとえ山が移り、丘が揺れ動いても、私のあなたへ
の変わらぬ愛は移らず、私の平和の契約は揺るがな
い」¹¹とあなたを憐れむ主は言われる。
「苦しめられ、嵐に打たれ、慰められない町よ、私
はあなたをトルコ石で建て直し、サファイアで基礎
を据える。¹²
私はあなたの城壁をルビーで、門を水晶で、全ての
壁を貴石で作る。¹³
あなたの子らは皆、主によって教えられ、その平和
は豊かである。¹⁴
あなたは義によって確立され、圧迫から遠く離れ、
恐れることはない。恐怖は遠く離れ、あなたに近づ
かない。¹⁵
誰かがあなたを攻撃しても、それは私からではない
。あなたを攻撃する者はあなたの前で倒れる。¹⁶
「見よ、私は炭を吹き起こし、その仕事に適した武
器を鍛える鍛冶を創造した者である。そして私は破
壊者を創造して滅ぼす。¹⁷
あなたに対して鍛えられた武器は成功せず、あなた
に対して裁きに立つ全ての舌をあなたは論破する。
これは主のしもべたちの受け継ぎであり、彼らの義
は私から来る」と主は宣言される。

55 「渇いている者は皆、水のところに来たれ
。金のない者も、来て買い、食べよ。金を
出さずに、代価を払わずに、ぶどう酒と乳
を買い。²
なぜ、パンでないもののために金を使い、満たされ
ないものために労苦するのか。私に注意深く聞き
、良いものを食べよ。そうすれば、あなたの魂は豊
かさを楽しむだろう。³
耳を傾けて私に來たれ。聞け、そうすれば生きるだ
ろう。私はあなたと永遠の契約を結ぶ。ダビデに約
束した私の変わらぬ愛を。⁴
見よ、私は彼を国々の証人として、民のための指導
者と司令官として任命した。⁵
確かに、あなたは知らない国々を呼び寄せ、あなた
を知らない国々があなたのもとに急いで来る。あな
たの神、イスラエルの聖なる者のゆえに、彼があな
たを栄光で輝かせたからだ。」⁶
主を求めよ、まだ見つけられるうちに。彼が近くに
いるうちに呼び求めよ。⁷
悪しき者はその道を捨て、不義の者はその思いを捨
てよ。主に帰れ、そうすれば彼は彼らを憐れむだろ
う。我々の神に帰れ、そうすれば彼は豊かに赦すだ
ろう。⁸

「私の思いはあなたの思いとは異なり、あなたの道
は私の道とは異なる」と主は言われる。⁹
「天が地よりも高いように、私の道はあなたの道よ
りも高く、私の思いはあなたの思いよりも高い。¹⁰
雨や雪が天から降りて来て、地を潤し、芽を出させ
、成長させ、種まく者に種を与え、食べる者にパン
を与えるように、¹¹
私の口から出る言葉もそのように、空しく私に戻る
ことはない。それは私の望むことを成し遂げ、私が
それを送った目的を成功させる。¹²
あなたは喜びをもって出て行き、平和のうちに導か
れるだろう。山々と丘々はあなたの前で歌を歌い、
野のすべての木々は手を打つだろう。¹³
いばらの代わりに、いとすぎが生え、茨の代わりに
、ミルトスが生える。これは主への記念となり、絶
えることのない永遠のしるしとなる。」

56 主はこう言われる。「公正を守り、正義を
行え。わたしの救いが近づき、わたしの義
がすぐに現れるからだ。²
このように行く人、これを守る人は幸いである。安
息日を汚さず、手を悪から遠ざける者。」³
主に結びついた外国人は言うてはならない、「主は
必ず私をその民から分け離す。」また宦官も言うて
はならない、「私はただの枯れ木だ。」⁴
主はこう言われる。「安息日を守り、わたしの喜ぶ
ことを選び、わたしの契約を固く守る宦官たちには
—⁵
わたしの家とその壁の中に、息子や娘たちよりも優
れた記念碑と名を与える。彼らには決して断たれる
ことのない永遠の名を与える。⁶
そして、主に結びついて仕え、主の名を愛し、その
しもべとなる外国人たち、安息日を汚さずに守り、
わたしの契約を固く守る者たち—⁷
これらの者をわたしの聖なる山に連れて行き、わた
しの祈りの家で喜ばせる。彼らの燔祭と犠牲はわた
しの祭壇で受け入れられる。わたしの家はすべての
民の祈りの家と呼ばれるからだ。」⁸
イスラエルの散らされた者を集める神、主は宣言さ
れる、「わたしはすでに集められた者たちに、さら
に他の者たちを集める。」⁹
野のすべての野獣よ、來たれ、食い尽くせ、森のす
べての獣よ！¹⁰
彼の見張りたちは盲目で、皆知識がない。彼らは皆
、吠えることのできない黙った犬、夢見て横たわり
、眠るのを愛する。¹¹
犬たちは貪欲で、決して満足しない。彼らは理解の
ない牧者たちである。皆、自分の道に向かい、それ
ぞれ自分の利益を求めている。¹²
「來たれ」と彼らは言う、「酒を取りに行こう、強

い酒をたっぷり飲もう。そして明日は今日のように、さらに豊かになるだろう。」

57 正しい者が滅びるとき、だれもそれを心に留めない。敬虔な者が取り去られるとき、だれも理解しない。正しい者が悪から免れるために取り去られることを。

彼らは平安に入る。彼らはその寝床で安らかに休む。すべて正しく歩んだ者は。

「しかし、ここに来なさい、魔女の子供たち、姦淫者と娼婦の子孫よ！

あなたたちは誰をあげているのか？誰に対して口を大きく開けて舌を突き出しているのか？あなたたちは反逆者の一族、欺きの子孫ではないのか？あなたたちは樫の木の間で、すべての繁茂した木の下で欲望に燃え、谷間で、岩の裂け目の下で子供たちを虐殺する。

谷間の滑らかな石の間にあなたの分け前がある。それらがあなたのくじだ。そう、あなたはそれらに飲み物の供え物を注ぎ、穀物の供え物を捧げた。これらのことについて私は思いとどまるべきだろうか？

あなたは高くそびえた丘の上にあなたの休息の場所を設けた。そこにあなたは登っていったあなたの犠牲を捧げた。

あなたの扉と門柱の後ろにあなたは異教の象徴を置いた。私を捨てて、あなたはあなたの寝床を覆い、そこに登り、それを広げた。あなたはあなたが愛する者たちの寝床と契約を結び、彼らの裸を見た。あなたはオリーブ油を持って王のもとへ旅し、あなたの香料を増やした。あなたはあなたの使者を遠くに送り、シェオルに下った。

あなたは多くの旅で疲れ果てたが、『もうだめだ』とは言わなかった。あなたはあなたの力の新たな供給を見つけたので、あなたは気絶しなかった。

「あなたは誰を恐れ、誰を恐れて私に不誠実になり、私を思い出さず、心に留めなかったのか？それは私が長い間黙っていたからではないか、あなたが私を恐れないのは？

私はあなたの義とあなたの行いを暴露し、それらはあなたに利益をもたらさない。

あなたが助けを求めて叫ぶとき、あなたの偶像の集まりがあなたを救うがよい！風がそれらをすべて運び去り、息がそれらを吹き飛ばす。しかし、私に避難する者は地を継ぎ、私の聖なる山を所有する。」

そしてこう言われるだろう。「築き上げよ、築き上げよ、道を備えよ！私の民の道から障害物を取り除け。」

これは高くそびえた者、永遠に生きる者、その名が

聖である者が言うことである。「私は高く聖なる場所に住むが、悔い改めた者と心の低い者と共に住み、その低い者の霊を生かし、悔い改めた者の心を生かす。

私は永遠に訴え続けることはないし、いつも怒っていることもない。そうでなければ、霊は私の前で衰え、私が作った者たちの息もそうなるからだ。彼の不正な利益の罪のために私は怒り、彼を打った。私は怒りの中で顔を隠したが、彼は心の道を歩み続けた。

私は彼の道を見たが、私は彼を癒し、彼を導き、彼と彼の嘆く者たちに慰めを回復する。

彼らの唇に賛美をもたらす。「平和、平和、遠くにいる者にも近くににいる者にも」と主は言う。「そして私は彼らを癒す。」

しかし、悪者は休むことのない波立つ海のように、その水は泥と汚れを投げ上げる。

「私の神は宣言する、『悪者には平和がない』」

58 「大声で叫べ、遠慮するな。ラッパのようにあなたの声を上げ、わたしの民に彼らの反逆を、ヤコブの家に彼らの罪を告げよ。

彼らは日々わたしを求め、わたしの道を知ることを喜ぶ。まるで義を行い、彼らの神の定めを捨てなかった国のように。彼らは正しい判決をわたしに求め、神の近さを喜ぶ。

『なぜ私たちは断食したのに、あなたは見てくださらないのですか？なぜ私たちは身を低くしたのに、あなたは気づいてくださらないのですか？』

見よ、あなたたちの断食の日に、あなたたちは自分の欲望を追い求め、すべての労働者を虐げている。

あなたたちの断食は争いと不和を招き、悪しき拳で互いを打つことになる。今日のように断食しても、あなたたちの声が高く聞かれることはない。

これはわたしが選んだ断食なのか、人が自らを低くするための日なのか？葦のように頭を垂れ、荒布と灰を広げるだけなのか？これを断食と呼び、主に受け入れられる日とするのか？

わたしが選んだ断食はこれではないか：不正の鎖を解き、軛の縄をほどき、虐げられた者を自由にし、すべての軛を砕くことではないか？

飢えた者にあなたのパンを分け与え、家のない貧しい者をあなたの家に迎え入れることではないか。裸の者を見て彼らを覆い、あなた自身の肉親から身を隠さないことではないか？

そのとき、あなたの光は暁のように輝き出し、あなたの癒しは速やかに現れる。あなたの義はあなたの前に行き、主の栄光があなたの後衛となる。

イザヤ書

そのとき、あなたが呼べば、主は答え、助けを求めれば、『ここにいる』と言われる。もしあなたが軛をあなたの中から取り除き、指さしと悪意ある言葉をやめるならば、¹⁰

飢えた者にあなた自身を捧げ、苦しむ者の必要を満たすならば、あなたの光は暗闇の中に昇り、あなたの陰鬱は真昼のようになる。¹¹

主は絶えずあなたを導き、乾いた地であなたの必要を満たし、あなたの骨を強くする。あなたは潤った庭のようになり、水の枯れない泉ようになる。¹² あなたの民は古い廃墟を再建し、古の基を立て直す。あなたは破れた壁の修理者、住むべき道の復興者と呼ばれる。¹³

「もしあなたが安息日を破ることを控え、わたしの聖なる日に自分の思い通りに行動せず、安息日を喜びとし、主の聖なる日を尊ぶならば、そして自分の道を行かず、自分の楽しみを求めず、無駄な言葉を語らないならば、¹⁴

そのとき、あなたは主にあって喜びを見出し、わたしはあなたを地の高き所に乗せ、あなたの父ヤコブの遺産を食べさせる。」主の口がこれを語った。

59 見よ、主の手は短くて救えないのではなく、その耳は鈍くて聞こえないのではない。²

しかし、あなたたちの不義があなたたちとあなたたちの神との間に隔たりを作ったのであり、あなたたちの罪が彼の顔を隠したために彼は聞かれない。³ あなたたちの手は血で汚れ、指は不義で汚れている。あなたたちの唇は偽りを語り、舌は悪をつぶやく。⁴

正義を呼び求める者はおらず、正直に訴える者もない。彼らは空虚な議論に頼り、偽りを語る。彼らは災いを考え出し、災害を生む。⁵

彼らは毒蛇の卵をかえし、蜘蛛の巣を織る。彼らの卵を食べる者は死に、つぶされた卵からは蛇が出る。⁶

彼らの巣は衣服にはならず、彼らが作るもので身を覆うことはできない。彼らの行いは不義の行いであり、暴力が彼らの手にある。⁷

彼らの足は悪に走り、無実の血を流すことに速い。彼らの考えは不義の考えであり、荒廃と破壊が彼らの道にある。⁸

彼らは平和の道を知らず、正義は彼らの道にない。彼らは自分たちの道を曲げている。そこを歩む者は平和を見いださない。⁹

その結果、正義は私たちから遠く、義は私たちに届かない。私たちは光を望むが、見よ、暗闇がある。明るさを望むが、私たちは暗がりを歩む。¹⁰

私たちは盲人のように壁に手探りし、目のない者の

ように道を探る。真昼に蹢くのは夕暮れのようにであり、強い者の中で私たちは死者のようだ。¹¹

私たちは皆、熊のようにうなり、鳩のように悲しく嘆く。私たちは正義を求めるが見いだせず、救いを求めるがそれは私たちから遠い。¹²

私たちの罪過はあなたの前に多く、私たちの罪は私たちに対して証言する。私たちの不義は私たちと共にあり、私たちは自分たちの咎を認めている。¹³

主への反逆と否認、私たちの神からの背き、圧迫と反逆を語り、心から偽りの言葉を考え出し、発する。¹⁴

正義は退けられ、義は遠く立ち去る。真実は街中でつまずき、正直さは入ることができない。¹⁵

真実は欠けており、悪を避ける者は獲物となる。主は見えておられ、正義がないことを不快に思われた。¹⁶

彼は誰もいないことを見て、仲裁する者がいないことに驚かれた。それで彼の腕が彼に救いをもたらし、彼の義が彼を支えた。¹⁷

彼は義を胸当てとして着け、救いの兜を頭にかぶり、復讐の衣をまとい、熱心を外套として身に包んだ。¹⁸

彼は彼らの行いに応じて報いる。敵に怒りを、敵に報復を、島々には彼らの報いを返す。¹⁹

それで人々は西から主の名を恐れ、日の昇るところから彼の栄光を恐れる。彼は主の息によって押し流される激流のように来る。²⁰

「贖い主はシオンに来る。ヤコブの中で罪を離れる者たちに」と主は宣言される。²¹

「私に関しては、これが彼らとの私の契約である」と主は言われる。「あなたの上にある私の霊と、私があなたの口に置いた私の言葉は、あなたの口からも、あなたの子供たちの口からも、彼らの子孫の口からも、この時から永遠に離れることはない」と主は言われる。

60 「起きて輝け、あなたの光が来たからだ。主の栄光があなたの上に昇ったからだ。²

見よ、闇が地を覆い、深い暗闇が民を覆っている。しかし、主があなたの上に昇り、その栄光があなたの上に現れる。³

国々はあなたの光に引き寄せられ、君主たちはあなたの暁の輝きに引き寄せられる。⁴

「目を上げて周りを見よ。彼らは皆集まり、あなたのもとに来る。あなたの息子たちは遠くから来、あなたの娘たちは腰に抱かれて来る。⁵

そのとき、あなたは見て輝き、あなたの心は震え、喜びで膨らむ。海の富があなたにもたらされ、国々の財宝があなたのもとに来る。⁶

多くのラクダがあなたの地を覆い、ミディアンとエ

ファの若いラクダたちが来る。シェバからのすべての者が金と乳香を携え、主の賛美を宣べ伝える。⁷
ケダルのすべての羊の群れがあなたに集まり、ネバヨテの雄羊があなたに仕える。彼らは私の祭壇で受け入れられ、私は私の栄光の神殿を飾る。⁸
雲のように飛び、巢に戻る鳩のようなこれらは誰か。⁹

確かに、海岸の地は私を待ち望み、タルシシュの船が先頭に立ち、あなたの子供たちを遠くから、銀と金を携えて連れて来る。あなたの神、イスラエルの聖なる者の栄誉のために、彼があなたを栄光にしたからだ。¹⁰

「外国人があなたの城壁を再建し、彼らの王たちがあなたに仕える。私の怒りであなたを打ったが、私の恵みであなたに憐れみを示した。¹¹

あなたの門は常に開かれ、昼も夜も閉じられない。人々が国々の富をあなたにもたらし、王たちが行列で導かれるために。¹²

あなたに仕えない国や王国は滅びる。それは完全に破壊される。¹³

レバノンの栄光があなたに来る。杉、モミ、糸杉が共に来て、私の聖所を美しくし、私の足の場所を栄光にする。¹⁴

あなたを虐げた者たちの子らがあなたの前にひれ伏し、あなたを侮ったすべての者があなたの足元にひれ伏し、あなたを主の都、イスラエルの聖なる者のシオンと呼ぶ。¹⁵

「あなたが見捨てられ、憎まれ、誰も通らなかったとしても、私はあなたを永遠の誇り、世々の喜びとする。¹⁶

あなたは国々の豊かさを享受し、王室の供給で養われる。それからあなたは、私があなたの救い主、贖い主、ヤコブの力強い者であることを知る。¹⁷

青銅の代わりに金を、鉄の代わりに銀を、木の代わりに青銅を、石の代わりに鉄をもたす。私は平和をあなたの統治者とし、義をあなたの監督者とする。¹⁸

あなたの地にはもはや暴力が聞かれず、あなたの境界内には破壊や滅びがない。しかし、あなたはあなたの城壁を救いと呼び、あなたの門を賛美と呼ぶ。¹⁹

太陽はもはや昼にあなたの光とはならず、月の輝きもあなたを照らさない。主があなたの永遠の光となり、あなたの神があなたの栄光となるからだ。²⁰

あなたの太陽は再び沈むことなく、あなたの月はもう欠けることがない。主があなたの永遠の光となり、あなたの嘆きの日々が終わるからだ。²¹

そのとき、あなたの民は皆義となり、彼らは永遠にその地を所有する。彼らは私が植えた枝、私の手の

業であり、私が栄光を受けるためである。²²
あなたの中で最も小さい者が千となり、最も小さい者が強大な国となる。私、主がその時に速やかにそれを成し遂げる。」

61 神である主の霊が私に臨んでいる。主が私に油を注ぎ、貧しい者に良い知らせを伝えるために私を遣わされたからである。心の傷ついた者を癒し、捕らわれ人には自由を、囚人には解放を告げるために。²

主の恵みの年と、我々の神の復讐の日を宣言し、すべての悲しむ者を慰めるために。³

シオンで悲しむ者たちに、灰の代わりに冠を、悲しみの代わりに喜びの油を、憂いの心の代わりに賛美の衣を与えるために。彼らは義の樅の木、主の栄光のために植えられた者と呼ばれる。⁴

彼らは古代の廃墟を再建し、昔の荒れ果てた場所を復興する。多くの世代にわたる荒れ地を新たにする。⁵

他国人があなたの群れを飼い、外国人があなたの農夫とぶどう栽培者となる。⁶

しかし、あなたは主の祭司と呼ばれ、我々の神の奉仕者と名付けられる。あなたは国々の富を食べ、その栄華を誇る。⁷

あなたの恥の代わりに二倍の分け前を受け、屈辱の代わりに彼らはその相続を喜ぶ。したがって、彼らはその地で二倍の分け前を持ち、永遠の喜びが彼らのものとなる。⁸

私は主であり、正義を愛し、略奪と不正を憎む。私の忠実さにおいて、彼らに報い、彼らと永遠の契約を結ぶ。⁹

彼らの子孫は国々の間で知られ、彼らの末裔は民の間で知られる。彼らを見るすべての者は、主が祝福した民であることを認める。¹⁰

私は主にあつて大いに喜び、私の魂は私の神にあつて歓喜する。彼が私に救いの衣をまかせ、義の外套を着せたからである。花婿が祭司のように頭を飾り、花嫁が宝石で身を飾るように。¹¹

地が芽を出し、園が種を育てるように、神である主はすべての国の前に義と賛美を芽生えさせる。

62 シオンのために、私は黙っていられず、エルサレムのために、私は静かにしてられない。彼女の義が夜明けのように輝き、彼女の救いが燃えるたいまつのようになるまで。²

国々はあなたの義を見、すべての王はあなたの栄光を見る。あなたは主の口が定める新しい名を与えられる。³

あなたは主の手にある栄光の冠のように、あなたの神が持つ王の宝石のようになる。⁴

イザヤ書

あなたはもう捨てられた者と呼ばれず、あなたの地は荒れ果てた者と呼ばれない。代わりに、あなたはヘフジバと呼ばれ、あなたの地はベウラと呼ばれる。主があなたを喜び、あなたの地は結婚するからである。⁵
若者が若い女性と結婚するように、あなたの息子たちはあなたと結婚し、花婿が花嫁を喜ぶように、あなたの神はあなたを喜ぶ。⁶
私はあなたの城壁に見張りを置いた、エルサレムよ。彼らは昼も夜も黙っていない。主を呼ぶ者たちよ、休むな、⁷
そして、彼がエルサレムを確立し、地の賛美とするまで、彼に休みを与えるな。⁸
主はその右手とその力強い腕にかけて誓った。「私はもう二度とあなたの穀物を敵の食物として与えず、外国人があなたの労した新しいぶどう酒を飲むこともない。⁹
しかし、それを収穫する者がそれを消費し、主を賛美し、ぶどうを集める者が私の聖所の庭でそれを楽しむ。」¹⁰
門を通れ！民のために道を整えよ。大路を築け！石を取り除け。国々のために旗を掲げよ。¹¹
見よ、主は地の果てに宣言された。「シオンの娘に言え、『見よ、あなたの救い主が来る。見よ、その報いは彼と共にあり、その報酬は彼に伴う。』」¹²
彼らは聖なる民、主に贖われた者と呼ばれ、あなたは求められる者、もう捨てられない町と呼ばれる。

63 エドムから来るこの者は誰か、ボツラから輝く色の衣をまとい、この者はその装いに威厳があり、その力の偉大さの中を進んでいる。「それは私だ、義をもって語り、救う力を持つ者だ。」²
なぜあなたの衣は赤いのか、まるで酒ぶねを踏む者のように？³
「私は一人で酒ぶねを踏んだ、国々からは誰も私と共にいなかった。私は怒りの中で彼らを踏みつけ、憤りの中で彼らを砕いた。彼らの血が私の衣に飛び散り、私のすべての衣を染めた。⁴
復讐の日が私の心に入り、私の贖いの年が来たからだ。⁵
私は見渡したが、助ける者は誰もおらず、支える者がいないことに驚いた。それで私自身の腕が私に救いをもたらし、私の憤りが私を支えた。⁶
私は怒りの中で国々を踏みつけ、彼らを私の憤りで酔わせ、彼らの血を地に注いだ。」⁷
私は主の慈しみを数え上げ、主の賛美を、主が私たちのために行ったすべてのことに従って、イスラエルの家に対する大いなる善意を、彼の慈悲と豊かな慈しみに従って数え上げる。⁸

彼は言った、「確かに彼らは私の民、偽りを言わない子供たちだ。」それで彼は彼らの救い主となった。⁹
彼らのすべての苦しみの中で、彼も苦しみ、彼の存在の天使が彼らを救った。彼の愛と慈悲の中で、彼は彼らを贖い、彼らを持ち上げ、古の日々を通して運んだ。¹⁰
しかし彼らは反逆し、彼の聖なる霊を悲しませた。それで彼は振り向き、彼らの敵となり、彼自身が彼らに対抗した。¹¹
その時、彼の民は古の日々、モーセの日々を思い出した。彼の群れの羊飼いと共に彼らを海を通して連れて行った者はどこにいるのか？彼の聖なる霊を彼らの中に置いた者はどこにいるのか、¹²
モーセの右手に彼の栄光の力の腕を送った者、彼のために永遠の名を得るために彼らの前で水を分けた者はどこにいるのか、¹³
深みを通して彼らを導いた者は？荒野の馬のように、彼らはつまづかなかった。¹⁴
平地に下る家畜のように、主の霊が彼らに休息を与えた。あなたはあなたの民を導き、あなた自身のために栄光の名を作った。¹⁵
天から見下ろし、あなたの聖なる栄光の高き住まいから見てください。あなたの熱心とあなたの力強い行いはどこにあるのか？あなたの心の動きとあなたの慈悲は私たちから抑えられている。¹⁶
あなたは私たちの父である、アブラハムは私たちを知らず、イスラエルは私たちを認識しないが、あなた、主よ、あなたは私たちの父であり、昔からの私たちの贖い主はあなたの名である。¹⁷
なぜ、主よ、あなたは私たちをあなたの道から迷わせ、あなたを恐れることから私たちの心を固くするのか？あなたのしもべたちのために、あなたの遺産の部族のために戻ってください。¹⁸
しばらくの間、あなたの聖なる民はあなたの聖所を所有したが、今や私たちの敵がそれを踏みについた。¹⁹
私たちはあなたが治めていない民となり、あなたの名によって呼ばれていない者たちになった。

64 どうか、あなたが天を裂いて降りて来られますように。山々があなたの御前で震え動きましますように—²
火が柴を燃やし、水を沸かせるように、降りて来て、あなたの御名を敵に知らせ、国々があなたの御前で震え動きましますように！³
あなたが予期しない驚くべきことを行われたとき、あなたは降りて来られ、山々はあなたの御前で震え動きました。⁴
昔から、人は耳に聞いたこともなく、目で見たこと

もない、あなた以外の神が、待ち望む者のために行動されることを。

あなたは正義を行うことを喜ぶ者、あなたの道を心に留める者に会われます。見よ、私たちは罪を犯し、あなたは怒られました。私たちは長い間罪の中にいました。どうすれば救われるのでしょうか？

私たちは皆、汚れた者のようになり、私たちの正しい行いは皆、汚れた衣のようです。私たちは皆、葉のようにしおれ、私たちの不義は風のように私たちを吹き去ります。

あなたの御名を呼び求める者も、あなたを捉えようと奮い立つ者もいません。あなたが私たちから顔を隠し、私たちを不義の力に引き渡されたからです。

しかし、主よ、あなたは私たちの父です。私たちは粘土であり、あなたは陶器師です。私たちは皆、あなたの手の作品です。

主よ、どうか過度に怒らないでください。また、私たちの不義を永遠に覚えないうでください。見てください、私たちは皆、あなたの民です。

あなたの聖なる町々は荒野となり、シオンは荒れ果て、エルサレムは荒廃しました。

私たちの聖なる美しい神殿、私たちの先祖があなたを賛美した場所は火で焼かれ、私たちの宝物はすべて廃墟となりました。

主よ、これらのことに対してあなたは黙っておられるのですか？あなたは沈黙を守り、私たちを過度に苦しめられるのですか？

65 「私は、私を求めなかった者たちに見出されることを許した。私は、私を探さなかった者たちに見出された。私は、『ここにいる、ここにいる』と言った、私の名を呼ばなかった国に対して。

私は一日中、反逆する民に手を差し伸べた。彼らは良くない道を歩み、自分の考えに従っている— 絶えず私を公然と怒らせる民、庭で犠牲を捧げ、煉瓦の上で香を焚く者たち。

墓の間に座り、秘密の場所で夜を過ごす者たち。豚の肉を食べ、不浄な肉の汁をその器に入れている者たち。

彼らは言う、『自分だけでいて、私に近づくなでくれ、私はあなたよりも聖なる者だから！』そのような人々は私の鼻に煙のようであり、一日中燃える火のようだ。

見よ、それは私の前に記録されている。私は黙っていないで報いる。私は彼らの膝に報いる—

あなたの罪とあなたの先祖の罪を」と主は言う。「彼らが山で香を焚き、丘で私を軽んじたため、私は彼らの膝に彼らの以前の行動の完全な報いを測る。

これは主が言われることです。「新しいぶどう酒が房の中に見つかるとき、誰かが言う、『それを壊すな、それには祝福があるからだ』。それと同じように、私は私のしもべたちのために行動し、彼らを全滅させない。

私はヤコブから子孫を出し、ユダから私の山を継ぐ者たちを出す。私の選ばれた者たちがそれを所有し、そこに私のしもべたちが住む。

シャロンは群れの牧草地となり、アコルの谷は群れの休息の場となる。私を求める私の民のために。しかし、主を捨て、私の聖なる山を忘れ、運命のために食卓を設け、混ぜたぶどう酒の杯を運命のために満たす者たちよ、

私はあなたを剣に定め、あなた全員を虐殺に伏させる。私が呼んだがあなたは答えず、私が話したがあなたは聞かなかった。あなたは私の目の前で悪を行い、私を喜ばせないことを選んだ。」

それゆえ、主なる神はこう言われる。「見よ、私のしもべたちは食べるが、あなたは飢える。見よ、私のしもべたちは飲むが、あなたは渴く。見よ、私のしもべたちは喜ぶが、あなたは恥をかく。

見よ、私のしもべたちは心の喜びから歌うが、あなたは心の痛みから叫び、壊れた壺から嘆く。

あなたはあなたの名を私の選ばれた者たちのための呪いとして残し、主なる神はあなたを死に至らせるが、彼は彼のしもべたちに別の名を与える。

地で祝福を呼び求める者は真実の神によってそうする。地で誓いを立てる者は真実の神によって誓う。以前の苦難は忘れられ、私の目から隠されるからだ。

「確かに、私は新しい天と新しい地を創造する。以前のことは思い出されず、心に上ることもない。

しかし、私が創造するものに永遠に喜び、楽しみなさい。確かに、私はエルサレムを喜びのために創造し、その民を楽しみのために創造する。

私はエルサレムを喜び、私の民を楽しむ。彼女の中で泣き声や叫び声はもはや聞かれない。

そこには数日しか生きない幼子も、年を全うしない老人ももはやいない。百歳で死ぬ者は若者と見なされ、百歳に達しない者は呪われた者と考えられる。

彼らは家を建てて住み、またぶどう畑を植えてその実を楽しむ。

彼らは建てて他の者が住むことはなく、植えて他の者が食べることはない。木の日々のように、私の民の日々もそうであり、私の選ばれた者たちは彼らの手の働きを長く楽しむ。

彼らは無駄に労働せず、不幸に定められた子供を産

イザヤ書

むことはない。彼らは主によって祝福された民であり、彼らとその子孫と共にある。²⁴

彼らが呼ぶ前に、私は応え、彼らがまだ話している間に、私は彼らに注意を払う。²⁵

狼と子羊は共に草を食べ、獅子は牛のように藁を食べ、塵は蛇の食物となる。彼らは私の聖なる山のどこでも害を加えず、破壊しない」と主は言われる。

66 主はこう言われる。「天は私の王座であり、地は私の足台である。あなたがたが私のために建てることのできる家はどこにあるのか。私の憩いの場所はどこにあるのか。²

私の手がこれらすべてのものを作ったので、これらは存在するようになった」と主は宣言される。「しかし、私はこの者に目を留める。心の貧しい者、霊の打ち砕かれた者、私の言葉に震える者。³

しかし、牛を屠る者は人を殺す者のようであり、羊を捧げる者は犬の首を折る者のようであり、穀物の捧げ物をする者は豚の血を捧げる者のようであり、香を焚く者は偶像を拝む者のようである。彼らは自分の道を選び、その魂は彼らの忌まわしいことに喜んでいる。⁴

それゆえ、私は彼らに厳しい扱いを選び、彼らが恐れるものを彼らに降らせる。私が呼んだとき、誰も答えず、私が話したとき、彼らは聞かなかった。むしろ、彼らは私の目の前で悪を行い、私を喜ばせないことを選んだ。⁵

主の言葉を聞け、彼の言葉に震える者よ。「あなた自身の民が私の名のためにあなたを憎み、あなたを除外したとき、『主が栄光を受けられ、私たちがあなたの喜びを見ることができるよう』に』と言った。しかし、彼らは恥をかくことになる。⁶

町からの騒音、神殿からの声、主が敵に報いる声が聞こえる。⁷

「彼女が陣痛に入る前に、彼女は出産する。痛みが来る前に、彼女は男の子を産む。⁸

誰がこんなことを聞いたことがあるか。誰がこんなことを見たことがあるか。一日で国が生まれることができるか、一瞬で国が生まれることができるか。しかし、シオンが陣痛に入るとすぐに、彼女はその子供たちを産んだ。⁹

私は出産の時を迎えさせておいて、出産させないだろうか」と主は言われる。「私は出産させるときに胎を閉じるだろうか」とあなたの神は言われる。¹⁰

「エルサレムと共に喜び、彼女を愛するすべての者よ、彼女のために喜べ。彼女のために嘆くすべての者よ、彼女と共に喜びに満たされよ。¹¹

それは、あなたが彼女の慰めの乳房で乳を飲み、満足するためである。あなたは彼女の豊かな乳房で深く飲み、喜ぶだろう。」¹²

主はこう言われる。「私は彼女に川のような平和を、あふれる流れのような国々の栄光を広げる。あなたは彼女の腰に抱かれ、膝の上で揺らされる。¹³ 母がその子を慰めるように、私はあなたを慰める。あなたはエルサレムで慰められる。」¹⁴

あなたがこれを見るとき、あなたの心は喜び、あなたの骨は新しい草のように繁栄する。主の手はそのしもべたちに知られるが、彼はその敵に対して憤る。¹⁵

。見よ、主は火と共に来られ、その戦車は旋風のようであり、怒りをもってその憤りを、火の炎をもってその叱責を下される。¹⁶

火とその剣をもって、主はすべての人々に裁きを下され、多くの者が主の手によって倒れる。¹⁷

「庭に入るために自らを聖別し、清める者、中心にいる者に従う者、豚の肉、忌まわしいもの、鼠を食べる者は皆、一緒にその終わりを迎える」と主は宣言される。¹⁸

「私は彼らの行いと考えを知っている。そして、すべての国々と言語を集める時が来ている。彼らは来て、私の栄光を見る。¹⁹

私は彼らの中にしるしを立て、生き残った者を国々に送る。タルシシュ、プト、ルド、メシェク、トバル、ヤワン、私の名声を聞いたことのない遠い海岸に送る。彼らは国々の中で私の栄光を宣べ伝える。²⁰

彼らはあなたの民をすべての国々から私の聖なる山エルサレムに、主への捧げ物として連れて来一馬に乗り、戦車や荷車に乗り、ラバやラクダに乗って」と主は言われる。「イスラエルの人々が穀物の捧げ物を清い器に入れて主の家に持ってくるように。²¹

。私は彼らの中から幾人かを祭司とレビ人として選ぶ」と主は言われる。²²

「私が作る新しい天と新しい地が私の前に永遠に続くように」と主は宣言される。「あなたの名と子孫も永遠に続く。²³

新月から新月へ、安息日から安息日へ、すべての人類が私の前にひれ伏すために来る」と主は言われる。²⁴

。「そして彼らは出て行き、私に逆らった者たちの死体を見る。彼らの虫は死なず、彼らの火は消えず、彼らはすべての人類にとって忌まわしいものとなる。」

エレミヤ書

1 ベニヤミンの地、アナトテの祭司の一人、ヒルキヤの子エレミヤの言葉。 2

ユダの王アモンの子ヨシヤの治世第十三年に、主の言葉が彼に臨んだ。 3

また、ヨシヤの子、ユダの王エホヤキムの治世にも、ヨシヤの子、ユダの王ゼデキヤの第十一年の第五月、エルサレムの民が捕囚にされた時まで、臨んだ。 4 その時、主の言葉が私に臨んで言われた。 5

「わたしがあなたを胎内に形作る前から、あなたを知っていた。あなたが生まれる前から、あなたを聖別し、国々への預言者として任命した。」 6
そこで私は言った。「ああ、主なる神よ！私は若者なので、話すことを知りません。」 7

しかし主は私に言われた。「『私は若すぎる』と言ってはならない。わたしがあなたを遣わすすべての人々のところに行き、わたしが命じることをすべて語りなさい。 8

彼らを恐れてはならない。わたしがあなたと共にいて、あなたを守るからだ。」と主は宣言される。 9
その時、主は手を伸ばして私の口に触れ、私に言われた。「わたしの言葉をあなたの口に置いた。 10
見よ、今日、わたしはあなたを国々と王国の上に任命し、引き抜き、壊し、滅ぼし、覆し、建て、植えるためである。」 11

主の言葉が私に臨んで言われた。「エレミヤ、何が見えるか？」私は答えた。「アーモンドの枝が見えます。」 12

主は私に言われた。「あなたは正しく見た。わたしの言葉を成就するために見守っているからだ。」 13
主の言葉が再び私に臨んで言われた。「何が見えるか？」私は言った。「北から傾いている煮えたぎる鍋が見えます。」 14

その時、主は私に言われた。「北からこの地に住むすべての者に災いが注がれる。 15

わたしは北の王国のすべての民を呼び寄せようとしている。」と主は宣言される。「彼らの王たちは来て、エルサレムの門の入口にその王座を設け、彼女の周囲のすべての壁に対して、ユダのすべての町に対して来る。 16

彼らがわたしを捨て、他の神々に香を焚き、彼らの手で作ったものを拝んだその悪行のために、わたしの裁きを彼らに告げる。 17

「自分を整えよ！立ち上がって、わたしが命じることを彼らに言いなさい。彼らに恐れを抱いてはならない。さもないと、わたしは彼らの前であなたを恐れさせる。 18

今日、わたしはあなたを強固な都市、鉄の柱、青銅の壁のようにし、ユダの王たち、その役人たち、その祭司たち、そしてこの地の民全体に対抗させる。

19

彼らはあなたと戦うが、あなたに勝てない。わたしがあなたと共にいて、あなたを救うからだ。」と主は宣言される。

2 主からのメッセージが私に届いた。 2
「行ってエルサレムの耳に告げよ。『主はこう

言われる。「あなたの若い頃の献身、花嫁としての愛を覚えている。あなたが種をまかない地を通して、荒野を通して私に従ったことを。 3

イスラエルは主にとって聖なるものであり、彼の収穫の初穂であった。彼女を食い尽くす者は皆、罪に問われ、災いが彼らに降りかかった」と主は宣言される。 4

ヤコブの子孫よ、イスラエルの家のすべての家族よ、主の言葉を聞け。 5

主はこう言われる。「あなたの先祖は私に何の不足を見出したのか、彼らは私から遠く離れてさまよったのか。彼らは無価値な偶像を追い求め、自らも無価値になった。 6

彼らは言わなかった、『私たちをエジプトから連れ出し、不毛の荒野を、砂漠と穴の地を、乾きと深い闇の地を、誰も旅しない、誰も住まない地を導いた主はどこにいるのか』と。 7

私はあなたを肥沃な地に連れて行き、その果実と良いものを食べさせた。しかし、あなたは来て私の地を汚し、私の相続地を忌まわしいものとした。 8

祭司たちは言わなかった、『主はどこにいるのか』と。律法を扱う者たちは私を知らず、支配者たちは私に逆らい、預言者たちはバアルによって預言し、無益なものを追求めた。 9

「それゆえ、私は再びあなたに対して訴えを起こす」と主は宣言される。「そして、あなたの子孫たちと争う。 10

キティムの海岸に渡って見よ、ケダルに送り、よく観察せよ。これまでこのようなことがあったかどうかを見よ。 11

国がその神々を変えたことがあるか、たとえそれが神々でなくても。しかし、私の民はその栄光の神を無価値なものと交換した。 12

これに驚け、天よ、大いに恐れよ」と主は宣言される。 13

「私の民は二つの罪を犯した。彼らは私を捨て、生ける水の泉を捨て、自分たちで水を溜める壊れた水槽を掘った、それは水を保つことができない。 14
イスラエルは奴隷か、生まれつきの奴隷か。なぜ彼は略奪されるようになったのか。 15

ライオンたちは彼に向かって吠え、大声で吠えた。彼らは彼の地を荒らし、彼の町々は焼かれ、荒れ果てた。 16

エレミヤ書

また、メンフィスとタハパネスの人々はあなたに害を与えた。¹⁷

これはあなたが主なるあなたの神を捨てたことによって、自分自身に招いたことではないか、彼があなたを導いたときに。¹⁸

今、なぜナイルの水を飲むためにエジプトに行くのか。なぜユーフラテスの水を飲むためにアッシリアに行くのか。¹⁹

あなたの悪はあなたを正し、あなたの背信はあなたを責める。考えよ、そして理解せよ、主なるあなたの神を捨て、私を恐れないことがどれほど悪く苦いかを」と主、軍の神は宣言される。²⁰

「昔、あなたは自分のくびきを壊し、束縛を解いた。あなたは言った、『私はあなたに仕えない!』と。確かに、すべての高い丘の上で、すべての広がる木の下で、あなたは不誠実な者のように横たわった。²¹

私はあなたを選ばれたブドウの木のように、完全に忠実な種として植えた。どうしてあなたは私に逆らって腐敗した野生のブドウの木になったのか。²²たとえあなたが灰汁で自分を洗い、多くの石鹸を使っても、あなたの罪の汚れは私の前に残っている」と主なる神は宣言される。²³

「どうしてあなたは言えるのか、『私は汚れていない。私はバアルを追い求めている』と。谷でのあなたの行動を見よ。あなたが何をしたかを考えよ。あなたはあちこち走り回る速い雌ラクダだ。²⁴

砂漠に慣れた野生の雌ロバ、欲望の中で風を嗅ぐー彼女の発情期には誰が彼女を抑えることができるか。彼女を追い求める雄たちは疲れる必要はない。彼女の時には彼らは彼女を見つける。²⁵

あなたの足が裸になるまで、あなたの喉が乾くまで走るな。しかし、あなたは言った、『無駄だ! 私は外国の神々を愛し、彼らを追い求めなければならない』と。²⁶

「盗人が捕まったときに恥じるように、イスラエルの家も恥じるー

彼ら、彼らの王たち、彼らの役人たち、彼らの祭司たち、彼らの預言者たち。²⁷

彼らは木に向かって言う、『あなたは私の父だ』と、石に向かって『あなたは私を産んだ』と。彼らは私に背を向け、顔を向けなかった。それでも彼らが困難に陥ると、彼らは叫ぶ、『来て私たちを救え!』と。²⁸

それなら、あなたが自分のために作った神々はどこにいるのか。もし彼らがあなたを救うことができるなら、困難の時に彼らを立ち上がらせよ! ユダよ、あなたには町の数だけ神々がいる。²⁹

「なぜあなたは私に訴えを起こすのか。あなたは皆

、私に逆らった」と主は宣言される。³⁰

「私は無駄にあなたの民を懲らしめた。彼らは矯正に応じなかった。あなたの剣は飢えたライオンのようにあなたの預言者たちを食い尽くした。³¹

「あなたの世代よ、主の言葉を考えよ。私はイスラエルにとって砂漠であったか、厚い闇の地であったか。なぜ私の民は言うのか、『私たちは自由にさまようことができる。もうあなたのもとには来ない』と。³²

若い女性がその装飾品を忘れるか、花嫁がその結婚の飾りを忘れるか。それでも私の民は数え切れないほどの日々、私を忘れた。³³

あなたは愛を追い求めるのにどれほど巧みか! 最悪の女性でさえ、あなたのやり方から学ぶことができる。³⁴

あなたの衣服には、無実の貧しい者の命の血が見つかる、たとえ彼らが侵入しているところを捕まえたかったとしても。それにもかかわらず、³⁵

あなたは言う、『私は無実だ。確かに彼の怒りは私から離れた』と。しかし、私はあなたを裁く、なぜならあなたが言うからだ、『私は罪を犯していない』と。³⁶

なぜあなたはそんなにさまよい、あなたの道を変えるのか。あなたはエジプトに失望するだろう、アッシリアに失望したように。³⁷

あなたはその場所を手を頭に置いて去るだろう。主はあなたが信頼する者たちを拒絶したからだ。あなたは彼らと共に繁栄しないだろう。

3 主は言われる、「もし人がその妻を離別し、彼女が去って他の男の妻となったならば、その人は再び彼女のもとに帰るべきだろうか? その土地は完全に汚されないだろうか? しかしあなたは多くの恋人たちと姦淫を行った。それでも私に帰ろうとするのか?」と主は宣言される。²

「不毛の高地を見上げて考えてみよ。あなたが汚されていない場所があるだろうか? あなたは砂漠の遊牧民のように道端で恋人たちを待ち、あなたの売春と悪行で土地を汚した。³

その結果、雨が止まり、春の雨が降らなかった。あなたは娼婦のように大胆で、恥を感じることを拒んでいる。⁴

あなたはただ私に呼びかけているではないか、『私の父よ、あなたは私の若い頃の伴侶です、⁵

あなたは永遠に怒るのですか? あなたの怒りは終わりまで続くのですか?』これがあなたの言うことだが、あなたはできる限りの悪を続けている。」⁶

ヨシヤ王の時代に、主は私に言われた、「信仰を失ったイスラエルが何をしたか見たか? 彼女はすべての高い丘とすべての広がる木の下に行き、そこで姦

エレミヤ書

淫を行った。⁷
私は考えた、『彼女がこれをすべて行った後、彼女は私に帰るだろう』と。しかし彼女は帰らず、彼女の不信仰な姉妹ユダがそれを見た。⁸
私は信仰を失ったイスラエルに離婚証書を与え、彼女の姦淫のために彼女を送り出した。それでも彼女の不信仰な姉妹ユダは恐れず、彼女もまた姦淫を行った。⁹
彼女の軽率な不道徳のために、彼女は土地を汚し、石や木と姦淫を行った。¹⁰
それにもかかわらず、彼女の不信仰な姉妹ユダは心から私に帰らず、ただ偽って帰った』と主は宣言される。¹¹
そして主は私に言われた、「信仰を失ったイスラエルは不信仰なユダよりも義である。¹²
北に向かってこのメッセージを宣言せよ、『帰れ、信仰を失ったイスラエルよ』と主は宣言される、『私はあなたに対して怒りを保たない、私は慈悲深い』と主は宣言される、『私は永遠に怒らない。¹³
ただあなたの罪を認めよ—
あなたがあなたの神、主に逆らい、広がる木の下で外国の神々にあなたの好意を散らし、私の声に従わなかったことを』と主は宣言される。¹⁴
「帰れ、信仰を失った民よ」と主は宣言される、「私はあなたの主人である。私はあなたを—
一つの都市から一人、家族から二人—
取り、シオンに連れて行く。¹⁵
その時、私は私の心になかった牧者をあなたに与え、知識と理解であなたを導く。¹⁶
その日には、あなたが地に増え広がったとき」と主は宣言される、「彼らはもはや『主の契約の箱』と言わない。それは心に浮かばず、彼らはそれを思い出さず、恋しくも思わず、それは再び作られない。¹⁷
その時、エルサレムは主の御座と呼ばれ、すべての国々が主の名を尊ぶためにエルサレムに集まる。彼らはもはや彼らの悪しき心の頑なさに従わない。¹⁸
その日には、ユダの家はイスラエルの家と共に歩み、共に北の地からあなたの祖先に相続として与えられた地に来る。¹⁹
「私は言った、『どんなに喜んであなたを息子として扱い、心地よい地を与え、どの国よりも美しい相続を与えることか』。私はあなたが私を『父』と呼び、私に従うことをやめなかつたと思った。²⁰
しかし、妻が夫に不信であるように、あなた、イスラエルは私に不信であった」と主は宣言される。²¹
不毛の高地で声が聞こえる、イスラエルの民の泣き声と嘆願の聲が、彼らはその道を曲げ、彼らの神、主を忘れたからである。²²

「帰れ、信仰を失った民よ；私はあなたの背信を癒す。」
「はい、私たちはあなたのもとに来ます、あなたは私たちの神、主です。²³
確かに丘や山の騒ぎは欺瞞です；本当に私たちの神、主にイスラエルの救いがあります。²⁴
私たちの若い頃から、恥ずべき神々が私たちの祖先の労働の実を消費してきた—
彼らの羊群や牛群、彼らの息子や娘たちを。²⁵
私たちの恥の中に横たわり、私たちの恥辱が私たちを覆うようにしよう。私たちは私たちの神、主に対して罪を犯した、私たちも私たちの祖先も；私たちの若い頃から今日まで私たちは私たちの神、主の声に従わなかった。」

4 「イスラエルよ、もし戻るなら」と主は言われる、「私のもとに戻れ。もしあなたが憎むべき偶像を私の目の前から取り除き、迷わないならば、²
そして、『主は生きておられる』と真実に、正義に、義に誓うならば、国々は彼によって祝福され、彼の中に栄光を見出すであろう。」³
これはユダの民とエルサレムに対して主が言われたことである。「あなたがたの末耕地を耕し、茨の中に種を蒔くな。
主に対して割礼を受け、心に割礼を施せ、ユダの民とエルサレムの住民よ。さもないと、あなたがたの行いの悪のために、私の怒りが火のように燃え上がり、誰もそれを消すことができない。」⁵
「ユダで宣言し、エルサレムで告げ、言え：『国中にラッパを吹き鳴らせ！大声で叫び、言え：集まれ、そして要塞の町に逃げよう！』
シオンに向かって合図を掲げよ！安全のために遅れることなく逃げよ！私は北から災いを、すなわち大きな破壊をもたらすからだ。」⁷
ライオンがその茂みから出てきた。国々を滅ぼす者が出発した。彼はあなたの地を荒らすためにその場所を去った。あなたの町々は住む者もなく荒廃する。⁸
このために、粗布をまとい、嘆き、泣き叫べ。主の激しい怒りが私たちから去っていないからだ。⁹
「その日には」と主は言われる、「王の心も、役人たちの心も失われる。祭司たちは恐れ、預言者たちは驚く。」¹⁰
そのとき私は言った、「ああ、主なる神よ！あなたはこの民とエルサレムを『平和がある』と言って完全に欺かれましたが、剣が私たちの喉元にあります！』¹¹
その時、この民とエルサレムに言われる、「砂漠の荒れた高地から私の民に向かって焼けつく風が吹く

エレミヤ書

。それはふるい分けたり清めたりするためではない¹²
。それよりも強い風が私から来る。今、私は彼らに対する裁きを告げる。」¹³
見よ、彼は雲のように進み、彼の戦車は旋風のように、彼の馬は驚よりも速い。ああ、私たちは滅びる！¹⁴
エルサレムよ、あなたの心から悪を洗い流し、救われるようにせよ。いつまであなたは悪しき思いを抱くのか？¹⁵
ダンから声が聞こえ、エフライムの丘から災いを告げる。¹⁶
「これを国々に報告し、エルサレムについて告げよ：『遠い国から包囲する軍が来て、ユダの町々に対して戦いの叫びを上げている。』¹⁷
彼らは見張りのように彼女を囲んでいる。彼女が私に逆らったからだ』と主は言われる。¹⁸
「あなたの行動が行いがこれをもたらした。これはあなたの罰である。なんと苦いことか！それは心に突き刺さる！」¹⁹
ああ、私の苦しみ、私の苦しみ！私は痛みに身をよじる。ああ、私の心の苦悩！私の心は私の中で打ち鳴る、私は黙っていられない。私はラッパの音、戦いの警報を聞いたからだ。²⁰
災いに次ぐ災いが告げられ、全地が荒廃する。瞬く間に私の天幕は破壊され、私の避難所は一瞬で壊される。²¹
いつまで私は戦いの旗を見、ラッパの音を聞かなければならないのか？²²
「私の民は愚かで、私を知らない。彼らは無分別な子供たちで、理解がない。彼らは悪を行うことに長けており、善を行うことを知らない。」²³
私は地を見たが、それは形がなく空であった。そして天を見たが、その光は消えていた。²⁴
私は山々を見たが、それらは震えていた。すべての丘は揺れていた。²⁵
私は見たが、人々はいなかった。空のすべての鳥は飛び去っていた。²⁶
私は見たが、実り豊かな地は荒れ野であった。そのすべての町は主の前で、彼の激しい怒りの中で廃墟となっていた。²⁷
これは主が言われたことである。「全地は荒廃するが、私は完全にはそれを滅ぼさない。」²⁸
それゆえ、地は嘆き、上の天は暗くなる。私は語り、後悔せず、私は決意し、引き返さない。」²⁹
騎兵と弓兵の音にすべての町が逃げ出し、茂みに入り、岩の間に登る。すべての町は捨てられ、誰も住んでいない。³⁰
そして、あなた、荒廃した者よ、あなたは何をする

のか？たとえ緋色の衣をまとい、金の宝石を身に掛け、目を化粧で強調しても、無駄にあなたは美しくなる。あなたの愛人たちはあなたを軽蔑し、あなたの命を求める。³¹
私は産みの苦しみをする女のような叫び声を聞く、初めての子を産む者のうめき声を聞く—娘シオンの息を切らし、手を伸ばして言う叫び声を、「ああ！私は気を失いそうだ。私の命は殺人者たちに渡されている。」

5 「エルサレムの通りを歩き回り、観察して注意を払え。彼女の広場で探せ。もし正義を行い、真実を求める一人の人を見つけたなら、私は彼女を赦そう。²
彼らが『主は生きておられる』と言っても、確かに偽って誓っている。」³
主よ、あなたの目は真実を求めているのですか？あなたは彼らを打ったが、彼らは痛みを感じず、あなたは彼らを滅ぼしたが、彼らは矯正を拒んだ。彼らは顔を岩よりも硬くし、戻ることを拒んだ。⁴
私は思った、「これらはただの貧しい者たちで、愚かであり、主の道、彼らの神の裁きを知らない。」⁵
私は偉大な者たちのところに行き、彼らに話そう。彼らは確かに主の道、彼らの神の裁きを知っている。」しかし彼らもまたくびきを破り、絆を断ち切った。⁶
それゆえ、森からのライオンが彼らを殺し、砂漠からの狼が彼らを荒らし、ヒョウが彼らの町を見張っている。外に出る者は皆、引き裂かれる。彼らの背信は多く、彼らの背教は数多いからだ。⁷
「なぜ私はあなたを赦すべきか？あなたの子供たちは私を捨て、神ではない者たちに誓った。私は彼らに与えたが、彼らは姦淫を犯し、娼婦の家に群がった。⁸
彼らはよく肥えた、欲望に満ちた種馬のようで、皆が隣人の妻を求めていなくな。⁹
これらのことのために私は彼らを罰しないのか？」と主は宣言する。「このような国に対して私は自分を復讐しないのか？」¹⁰
「彼女のぶどう畑を通り抜けて、それを荒らせ。しかし完全に滅ぼしてはならない。彼女の枝を取り去れ。彼らは主に属していないからだ。¹¹
イスラエルの家とユダの家は私に対して完全に不誠実であった」と主は宣言する。¹²
彼らは主を否定し、「彼は何もしない。災害は私たちに来ない。剣も飢饉も見ないだろう」と言った。¹³
預言者たちはただの風であり、言葉は彼らの中にな
い。それゆえ、それは彼らに行われる。」¹⁴
それゆえ、万軍の神、主はこう言う。「あなたがこ

エレミヤ書

の言葉を語ったので、私はあなたの口の中の私の言葉を火とし、この民を木とし、それが彼らを焼き尽くす。¹⁵

見よ、私は遠くからあなたに国を連れてくる、イスラエルの家よ」と主は宣言する。「それは古くからの永続する国であり、あなたが知らない言語を持つ民であり、彼らが何を言っているのか理解できない¹⁶

。彼らの矢筒は深い穴のようで、皆が勇敢な戦士である。¹⁷

彼らはあなたの収穫と食物を食い尽くし、あなたの息子と娘を食い尽くし、あなたの羊の群れと牛の群れを食い尽くし、あなたのぶどうの木といちじくの木を食い尽くす。彼らはあなたが信頼する要塞都市を剣で破壊する。¹⁸

「その日々においても」と主は宣言する、「私はあなたを完全に滅ぼさない。¹⁹

そして人々が『なぜ私たちの神、主はこれを私たちにを行ったのか?』と尋ねるとき、あなたは彼らに言うべきだ、『あなたが私を捨てて自分の土地で異国の神々に仕えたように、あなたは自分の土地ではない異国で仕えることになる。』²⁰

「ヤコブの子孫にこれを告げ、ユダでそれを告知せよ。²¹

これを聞け、目があっても見ず、耳があっても聞かない、無分別で愚かな民よ。²²

私を恐れないのか?」と主は宣言する。「私の前で震えないのか? 私は海のために砂を境界として設定し、それを越えることのできない永遠の障壁とした。波が押し寄せても、それは勝てず、吠えても、それを越えることはできない。²³

しかしこの民は頑固で反抗的な心を持ち、脇にそれて去った。²⁴

彼らは心の中で言わない、『私たちの神、主を恐れよう。彼は季節に応じて秋と春の雨を与え、定期的な収穫の週を保証してくださる。』²⁵

あなたの悪行がこれらを奪い、あなたの罪が良いものをあなたから遠ざけた。²⁶

私の民の中には悪人が見つかる。彼らは人々を捕らえる罠を仕掛ける者のように待ち伏せる。²⁷

鳥でいっぱいのかごのように、彼らの家は欺瞞で満ちている。それゆえ、彼らは大きくなり、富を得た²⁸

。彼らは肥え太り、つややかになった。彼らの悪行には限りがない。彼らは正義を求めず、孤児の訴えを守らず、貧しい者の権利を守らない。²⁹

これらのことのために私は彼らを罰しないのか?」と主は宣言する。「このような国に対して私は自分を復讐しないのか?」³⁰

「驚くべき恐ろしいことがこの地に起こった。³¹ 預言者たちは偽って預言し、祭司たちは自分の権威で支配し、私の民はそれを好む。しかし、終わりが来るとき、あなたはどうするのか?

6 「ベニヤミンの人々よ、安全のために逃げよ、エルサレムの中から! テコアでラッパを吹き鳴らし、ベテ・ハケレムで合図を上げよ。災いが北から迫っており、大いなる破壊が伴っているからだ。² 美しく繊細なシオンの娘を、私は滅ぼす。³ 羊飼いたちはその群れを連れて彼女に攻め寄せる。彼らは彼女の周りに天幕を張り、それぞれ自分の分を世話する。⁴

『彼女に対して戦いの準備をせよ! 立ち上がれ、正午に攻撃しよう! 我々に災いあれ、日は暮れかかり、夕方の影が長くなっている!⁵

だから立ち上がれ、夜に攻撃し、彼女の要塞を破壊しよう!』⁶

これは万軍の主が言われることだ。『木を切り倒し、エルサレムに対して包囲の坂を築け。この都市は罰せられねばならない。それは圧迫で満ちている。⁷

井戸がその水を新鮮に保つように、彼女はその悪を注ぎ出す。暴力と破壊が彼女の中で鳴り響き、病と傷が常に私の前にある。⁸

エルサレムよ、警告を受け入れよ、さもなければ私はあなたから離れ、あなたの地を荒れ果てた無人のものとする。⁹

これは万軍の主が言われることだ。『彼らにイスラエルの残りをぶどうのように徹底的に収穫させよ。ぶどうを集める者のように、枝をもう一度手でなぞれ。』¹⁰

誰に話し、警告を与えれば、彼らは聞くのか? 彼らの耳は閉じられており、聞くことができない。主の言葉は彼らにとって攻撃的であり、彼らはそれを喜ばない。¹¹

しかし私は主の怒りで圧倒され、それを抑えることができない。『それを街の子供たちに注ぎ出し、集まった若者たちに注ぎ出せ。夫も妻もそれに捕らえられ、年老いた者も、年を重ねた者も。¹²

彼らの家は他人に渡され、畑や妻もそうなる。私がこの地の住民に手を伸ばすときに』と主は宣言される。¹³

『最も小さい者から最も大きい者まで、皆が利益を貪っている。預言者も祭司も皆、欺きを行っている。¹⁴

彼らは私の民の傷を軽く扱う。『平和だ、平和だ』と言うが、実際には平和はない。¹⁵

彼らはその忌まわしい行いを恥じているのか? いや、彼らは全く恥じていない。赤面することすら知ら

エレミヤ書

ない。それゆえ、彼らは倒れる者たちの中に倒れ、私が彼らを罰するときに打ち倒される』と主は言われる。¹⁶

これは主が言われることだ。『交差点に立ち、見よ。古の道を尋ねよ、良い道がどこにあるかを。そしてそれを歩め。そうすればあなたの魂に安息を見出す。しかしあなたは言った、「我々はそれを歩まない」と。¹⁷

私はあなたの上に見張りを置き、「ラッパの音を聞け」と言った。しかしあなたは言った、「我々は聞くことを拒む」と。¹⁸

それゆえ、諸国よ、聞け。そして会衆よ、彼らの中に何があるかを理解せよ。¹⁹

地よ、聞け。私はこの民に災いをもたらす。彼らの計画の実を。彼らは私の言葉を聞かず、私の律法を拒んだからだ。²⁰

シェバからの香や遠方の甘い葦が私に何の関係があるのか？あなたの燔祭は受け入れられず、あなたの犠牲は私を喜ばせない。²¹

それゆえ、これは主が言われることだ。『私はこの民の前に障害を置く。親も子も同様にそれにつまずき、隣人も友も滅びる。』²²

これは主が言われることだ。『見よ、軍が北の地から来る。大いなる国が地の遠くから奮い立たされている。²³

彼らは弓と槍で武装している。彼らは残酷で容赦がない。彼らの声は海のように轟き、馬に乗って戦いのために整列している、シオンの娘に対して。』²⁴ 我々は彼らについての報告を聞き、手が弱くなった。苦痛が我々を襲い、産みの苦しみのような痛みが。²⁵

畑に出ることや道を歩くことを避けよ。敵が剣を持っており、あらゆる側に恐怖があるからだ。²⁶

粗布をまとい、灰で身を覆え。ひとり子のために深く嘆くように嘆け。突然、破壊者が我々に襲いかかるからだ。²⁷

『私はあなたを金属の試験者とし、私の民を鉱石とした。あなたが彼らの道を観察し、調べるために。²⁸

彼らは皆、頑固に反抗し、誹謗中傷者として歩き回る。彼らは青銅と鉄であり、皆が腐敗して行動する。²⁹

ふいごは鉛を火で取り除くために激しく吹くが、精錬は無駄である。悪者は取り除かれない。³⁰ 彼らは拒絶された銀と呼ばれる。主が彼らから離れたからだ。」

7 主からエレミヤに与えられたメッセージ：² 「主の家の入口に立ち、このメッセージを宣言せよ。『これらの門を通して主を礼拝するため

に入るユダのすべての人々よ、主の言葉を聞け。』³

イスラエルの神、万軍の主はこう言われる。あなたたちの道と行いを改めよ。そうすれば、私はあなたたちをこの場所に住まわせる。⁴

『これは主の神殿、主の神殿、主の神殿だ』と言って、欺く言葉に頼ってはならない。⁵

もしあなたが本当に自分の道と行いを改め、人とその隣人との間で正義を行うならば、⁶

外国人、孤児、未亡人を虐げず、この場所で無実の血を流さず、自分の害となる他の神々に従わないならば、⁷

私はあなたたちをこの場所に住まわせる。あなたたちの先祖に与えた地に、永遠に住まわせる。⁸

見よ、あなたたちは何の益もない欺く言葉に頼っている。⁹

盗み、殺し、姦淫し、偽って誓い、バアルに香をたき、知らない他の神々に従い、¹⁰

そして私の名で呼ばれるこの家に来て、私の前に立ち、『私たちは安全だ』と言い、それによってこれらの忌まわしいことを続けるのか？¹¹

私の名で呼ばれるこの家は、あなたたちの目には強盗の巣になったのか？見よ、私はそれを自分で見た」と主は宣言される。¹²

「しかし今、私の名を最初に住ませたシロに行き、私の民イスラエルの悪のためにそれに何をしたかを見よ。¹³

そして今、あなたたちがこれらすべてのことを行っただけ」と主は宣言される。「私はあなたたちに語り続けたが、あなたたちは聞かず、呼んだが答えなかった。¹⁴

それゆえ、私の名で呼ばれるこの家、あなたたちが信頼する場所、あなたたちとあなたたちの父たちに与えた場所に、シロにしたようにする。¹⁵

私はあなたたちを私の目の前から追い出す。エフライムのすべての兄弟、すべての子孫を追い出したように。¹⁶

「あなたについては、この民のために祈ってはならない。彼らのために嘆願や祈りを捧げてはならない。私に嘆願してはならない。私はあなたを聞かない。¹⁷

ユダの町々で、またエルサレムの通りで、彼らが何をしているか見えないのか？¹⁸

子供たちは木を集め、父親たちは火をつけ、女たちは天の女王のためにケーキを作るために生地をこねる。そして他の神々に飲み物の供え物を注ぎ、私を怒らせる。¹⁹

彼らは私を怒らせているのか？」と主は宣言される。「それは彼ら自身ではないのか、彼ら自身の恥の

ために？」²⁰
 それゆえ、主なる神はこう言われる。「見よ、私の怒りと憤りはこの場所に、人と獣に、野の木々と地の果実に注がれる。それは燃え尽きず、消されることはない。」²¹
 イスラエルの神、万軍の主はこう言われる。「あなたたちの燔祭を犠牲に加え、自分たちで肉を食べよ！」²²

あなたたちの先祖をエジプトから連れ出したとき、私は燔祭と犠牲に関する命令を与えたのではなく、²³

この命令を与えた。私の声に従え。そうすれば、私はあなたたちの神となり、あなたたちは私の民となる。そして、私が命じるすべての道を歩め。そうすれば、あなたたちは幸せになる。」²⁴

しかし、彼らは聞かず、耳を傾けず、悪い心の固執に従った。彼らは後退し、前進しなかった。²⁵
 あなたたちの先祖がエジプトを出た時から今に至るまで、日々、私はすべての預言者である僕たちを送り続けた。²⁶

しかし、彼らは私に聞かず、耳を傾けなかった。彼らは首を固くし、先祖よりも多くの悪を行った。²⁷
 「それゆえ、あなたはこれらの言葉を彼らに話すが、彼らはあなたに聞かない。あなたは彼らと呼ぶが、彼らは答えない。」²⁸

それゆえ、彼らに言え。『これは彼らの神、主の声に従わず、訓練を受け入れなかった国だ。真実は滅び、彼らの唇から消え去った。』²⁹
 髪を切り、それを捨てよ。荒れた高地で嘆きを始めよ。主はその怒りの世代を拒絶し、見捨てたからだ。³⁰

ユダの民は私の目の前で悪を行った」と主は宣言される。「彼らは私の名で呼ばれる家に忌まわしい偶像を設置し、それを汚した。」³¹

彼らはベン・ヒノムの谷のトフェテの高き所を建て、息子や娘を火で焼いた。それは私が命じたことではなく、私の心にも思い浮かばなかったことだ。³²
 それゆえ、見よ、日が来る」と主は宣言される。「それはもはやトフェテやベン・ヒノムの谷と呼ばれることはなく、虐殺の谷と呼ばれる。彼らはトフェテに埋葬し、場所がなくなるまで。」³³

この民の死体は空の鳥や地の獣の餌となり、誰もそれを追い払う者はいない。³⁴

私はユダの町々とエルサレムの通りから喜びと楽しみ、花嫁と花婿の声を終わらせる。地は荒れ果てるからだ。

8 「その時」と主は言われる、「ユダの王たちの骨、指導者たちの骨、祭司たちの骨、預言者たちの骨、エルサレムの住民の骨が墓から取り出

される。²
 それらは、彼らが愛し、仕え、従い、相談し、捧いだ太陽、月、天のすべての星の前に広げられる。彼らは集められることも埋められることもなく、地面の表面の糞ようになる。³
 そして、この悪しき国の残りの者たちが、私が彼らを追いやった場所で、命よりも死を選ぶ」と万軍の主は宣言される。⁴

「あなたは彼らに言わなければならない、『主はこう言われる。「人は倒れても再び立ち上がらないのか？人は背を向けても戻らないのか？』⁵
 それならば、なぜこの民、エルサレムは永遠に背信し続けるのか？彼らは偽りにしがみつki、戻ることを拒む。」⁶

私は注意深く聞いたが、彼らは正しいことを言わない。誰も自分の悪を悔い改めて、『私は何をしたのか？』と言わない。皆、自分の道に向かい、戦いに突進する馬のようだ。⁷

空のコウノトリでさえ、定められた時を知っており、山鳩、ツバメ、鶴も渡りの時を守る。しかし、私の民は主の要求を知らない。⁸

「どうしてあなたたちは、『私たちは賢く、主の律法が私たちと共にあるのか？』と言えるのか？しかし見よ、書記たちの偽りの筆がそれを偽りに変えた。⁹
 賢者たちは恥をかかれ、彼らは驚き、畏にかけられる。彼らが主の言葉を拒んだので、彼らにはどんな知恵があるのか？』¹⁰

それゆえ、私は彼らの妻を他人に、彼らの畑を新しい所有者に与える。最小の者から最大の者まで、皆が利益を貪り、預言者から祭司まで、皆が偽りを行う。¹¹

彼らは私の民の傷を表面的に扱い、『平和、平和』と言うが、平和はない。¹²

彼らはその忌まわしい行いを恥じているのか？いや、彼らは全く恥じておらず、赤面することも知らない。それゆえ、彼らは倒れる者たちの中で倒れるだろう。彼らの罰の時に彼らは投げ倒される」と主は言われる。¹³

「私は確かに彼らを滅ぼす」と主は宣言される。「ぶどうの木にはぶどうがなく、いちじくの木にはいちじくがなく、葉は枯れる。私が彼らに与えたものは彼らから取り去られる。」¹⁴

なぜ私たちはじっと座っているのか？集まりなさい、私たちは要塞の町に逃げてそこで滅びよう。主なる私たちの神が私たちの滅びを定め、私たちに毒の水を飲ませたからだ。私たちが彼に対して罪を犯したからだ。¹⁵

私たちは平和を望んだが、良いことは来なかった。

エレミヤ書

私たちは癒しの時を望んだが、恐怖を見た！¹⁶
彼らの馬のいななきがダンから聞こえる。彼らの種
馬のいななきの音で全地が震える。彼らは地とその
中に満ちるもの、町とその中に住む者を食い尽くし
に来る。¹⁷

「見よ、私はあなたたちの間に蛇を送り、魅了され
ない虻を送り、それらがあなたたちを嘔む」と主は
宣言される。¹⁸
私の悲しみは癒しがたい、私の心は私の内で弱って
いる。¹⁹

遠い地から私の民の叫びを聞け：「主はシオンにい
ないのか？彼女の王は彼女の中にもいないのか？」

「なぜ彼らは彫刻した像と外国の偶像で私を怒らせ
たのか？」²⁰

「収穫の季節は過ぎ、夏は終わっていないのに、私
たちはまだ救われていない。」²¹

私の民の娘の破れのために私は破れ、私は嘆き、恐
怖が私を襲う。²²

ギレアデには香油がないのか？そこには医者がいな
いのか？それならば、なぜ私の民の娘の傷に癒しが
ないのか？

9 ああ、私の頭が水の泉であり、私の目が涙の泉
であったなら、私の民の娘の殺された者たちの
ために昼も夜も泣くことができるのに！²

ああ、旅人のための宿が荒野にあったなら、私は私
の民を離れて彼らから去ることができるのに！彼ら
は皆、姦淫を行う者たちであり、裏切りの集まりだ
からだ。³

「彼らは弓のように舌を曲げて偽りを射る。真実によ
ってこの地に勝つのではない。彼らは悪から悪へ
と進み、私を知らない」と主は宣言される。⁴

「すべての者は隣人に対して警戒し、どの兄弟も信
頼してはならない。すべての兄弟は完全に裏切り、
すべての友は中傷者である。」⁵

友は友を欺き、誰も真実を語らない。彼らは舌に偽
りを語ることを教え、不正を行うことで疲れ果て
る。⁶

あなたは欺きの中に住んでいる。彼らの欺きの中で
彼らは私を知ること拒む」と主は宣言される。⁷
それゆえ、万軍の主はこう言われる。「見よ、私は
彼らを精練し、試す。私の民の罪のために他に何が
できるだろうか？」⁸

彼らの舌は致命的な矢であり、偽りを語る。彼らの
口で隣人に平和を語るが、心の中では罌を仕掛け
る。⁹

これらのことのために私は彼らを罰しないだろうか？
？」と主は宣言される。「このような国に対して私
自身を復讐しないだろうか？」¹⁰

私は山々のために泣き叫び、荒野の牧草地のために

嘆きの声を上げる。なぜなら、それらは荒れ果て、
通り過ぎる者もなく、家畜の声も聞こえないからだ
。空の鳥や動物は逃げ去り、いなくなった。¹¹

私はエルサレムを荒れ果てた場所にし、野生動物の
住処とし、ユダの町々を荒廃させ、誰も住むことが
できないようにする。」¹²

誰がこれを理解するほど賢いのか？主によって教え
られ、それを宣言できる者は誰か？なぜ土地が破壊
され、誰も渡れない砂漠のように荒れ果てたのか？
¹³

主は言われた、「それは彼らが私の前に置いた私の
律法を捨て、私の声に従わず、それに従って歩まな
かったからだ。」¹⁴

彼らは心の頑なさでバアルに従い、先祖たちが教え
たようにした。」¹⁵

それゆえ、イスラエルの神、万軍の主はこう言われ
る。「見よ、私はこの民に苦い食物を食べさせ、毒
の水を飲ませる。」¹⁶

私は彼らを彼らも先祖たちも知らない国々に散らし
、彼らを滅ぼすまで剣で追い詰める。」¹⁷

万軍の主はこう言われる、「今考えよ！嘆きの女た
ちを呼び寄せよ。最も熟練した者たちを送れ。」¹⁸

彼女たちをすぐに来させ、私たちのために嘆きの声
を上げさせよ。そうすれば、私たちの目は涙を流し
、まぶたは水であふれる。¹⁹

シオンから嘆きの声が聞こえる、『私たちはどれほ
ど荒廃していることか！私たちの恥はどれほど大き
いことか！私たちは土地を離れなければならない、
彼らが私たちの家を壊したからだ。』²⁰

今、あなたたち女性たちよ、主の言葉を開け。彼の
口の言葉に耳を傾けよ。あなたたちの娘たちに嘆き
方を教えよ。互いに嘆きを教えよ。²¹

死が私たちの窓を通して入り、私たちの要塞に入っ
たからだ。それは通りから子供たちを、広場から若
者たちを取り去った。²²

言え、「これは主が宣言されることだ、『死体は野
の肥やしのように、刈り手の後ろに切られた穀物
のように横たわり、集める者はいない。』」²³

これは主が言われることだ、「賢者はその知恵を誇
ってはならない、強者はその力を誇ってはならない
、富者はその富を誇ってはならない。」²⁴

しかし、誇る者はこれを誇れ、私を知る理解を持っ
ていること、私は地に慈悲と正義と義を行う主であ
ること、これらを私は喜ぶ」と主は宣言される。²⁵

「見よ、その日が来る」と主は宣言される、「私は
肉体だけに割礼を受けたすべての者を罰する。²⁶
エジプト、ユダ、エドム、アンモン、モアブ、そし
て遠くの荒野に住むすべての者たち。これらの国々

エレミヤ書

は皆、割礼を受けておらず、イスラエルの家全体も心に割礼を受けていない。」

10 イスラエルの家よ、主があなたに語る言葉を聞け。²

主はこう言われる。「国々の道を採用してはならない。また、国々がそれに驚くとしても、天の兆しに驚いてはならない。」³

国々の習慣は無益である。彼らは森から木を切り出し、職人が道具でそれを形作る。⁴

彼らはそれを銀と金で飾り、釘とハンマーで固定して倒れないようにする。⁵

それはキュウリ畑のかかしのように、話すことができない。歩けないので運ばなければならない。それを恐れてはならない。それは害を及ぼすことも、良いことをすることもできない。」⁶

主よ、あなたのような方は他にいない。あなたは偉大であり、あなたの名は力において強い。⁷

国々の王よ、誰があなたを敬わないでいられようか。これはあなたの正当な権利である。国々のすべての賢者の中で、彼らのすべての王国の中で、あなたのような方はいない。⁸

彼らは皆、愚かで無知である。偶像の教えはただの木である。⁹

タルシムから運ばれてくる打ち出された銀、ウファズからの金、職人と金細工師の手の作品。彼らの衣服は紫と紫紺で、すべて熟練した職人によって作られている。¹⁰

しかし、主は真の神であり、生ける神、永遠の王である。地は彼の怒りに震え、国々は彼の憤りに耐えることができない。¹¹

彼らにこう言いなさい。「天と地を創造しなかった神々は、地から、これらの天の下から滅びる。」¹²

彼はその力によって地を作り、その知恵によって世界を確立し、その理解によって天を広げた。¹³

彼が語ると、天に水の騒ぎがあり、地の果てから雲を立ち上らせる。彼は雨と共に稲妻を送り、彼の倉から風を出す。¹⁴

すべての人は無知で知識がなく、すべての金細工師はその偶像によって恥をかく。それらの像は偽りであり、その中に息はない。¹⁵

それらは無価値であり、嘲笑の対象である。その罰の時に、それらは滅びる。¹⁶

ヤコブの分け前はこれらのようではない。彼はすべてのものの造り主であり、イスラエルは彼の相続の部族である。万軍の主が彼の名である。¹⁷

包囲下に住む者よ、あなたの持ち物を集めよ。¹⁸

主はこう言われる。「見よ、私はこの時、地の住民を投げ出し、彼らに苦難をもたらして捕らえられるようにする。」¹⁹

私の傷のために私は悲しむ！私の傷は治らない。それでも私は言った、「これは私の苦しみであり、私はそれを耐えなければならない。」²⁰

私の天幕は破壊され、そのすべての綱は切れた。私の子供たちは私から去り、もはやいない。私の天幕を張る者も、私の幕を立てる者もない。²¹

羊飼いたちは無知で主を求めなかった。それゆえ、彼らは繁栄せず、その群れはすべて散らされた。²² 聞け！報告が来ている—

北の地からの大きな騒ぎだ！それはユダの町々を荒廃させ、ジャッカルに住処とする。²³

主よ、私は理解する、人の道は自分の制御の中にあることを、また彼らの歩みを決定するのは彼らではないことを。²⁴

主よ、私を公正に懲らしめてください。怒りの中ではなく、さもないと私は減少してしまいます。²⁵ あなたを認めない国々、あなたの名を呼ばない家族にあなたの怒りを注いでください。彼らはヤコブを食い尽くし、完全に彼を食い尽くし、その故郷を荒廃させました。

11 これは主からエレミヤに臨んだ言葉である。²

この契約の言葉に注意を払い、ユダの人々とエルサレムの住民にそれを伝えなさい。³

彼らに言いなさい、『イスラエルの神、主はこう言われる。「この契約の言葉に従わない者は呪われる—」⁴

私があなたたちの先祖をエジプトから、鉄の炉から連れ出したときに命じた言葉に従いなさい。『私に従い、私が命じるすべてのことを行いなさい。そうすれば、あなたたちは私の民となり、私はあなたたちの神となる。』⁵

そのとき私はあなたたちの先祖に誓った誓いを果たし、今日のように乳と蜜の流れる地を与える。』⁶」私は答えた、「アーメン、主よ。」

主は私に言われた、「これらすべての言葉をユダの町々とエルサレムの通りに宣言しなさい。『この契約の言葉を聞き、それに従いなさい。』⁷

私はエジプトから彼らを連れ出した時から今日まで、彼らの先祖に厳かに警告し続け、『私に従いなさい』と言った。⁸

しかし、彼らは聞かず、耳を傾けなかった。代わりに、彼らの悪しき心の頑なさに従った。それで私は彼らに従うよう命じたこの契約のすべての言葉を彼らに下したが、彼らは守らなかった。』⁹

そのとき主は私に言われた、「ユダの人々とエルサレムの住民の間に陰謀がある。¹⁰

彼らは私の言葉を聞くことを拒んだ先祖の罪に戻った。彼らは他の神々に従い、それらに仕えている。

エレミヤ書

イスラエルの家もユダの家も、私が彼らの先祖と結んだ契約を破った。¹¹

それゆえ、主はこう言われる、『私は彼らに逃れられない災いをもたらす。彼らが私に叫んでも、私は聞かない。』¹²

ユダの町々とエルサレムの住民は、彼らが香を焚いている神々に叫ぶが、彼らの災いの時には全く救わない。¹³

ユダよ、あなたの神々はあなたの町々の数ほど多く、恥ずべき神バアルのために設けた祭壇はエルサレムの通りの数ほど多い。¹⁴

「だから、この民のために祈ってはならない。彼らのために嘆願や祈りを捧げてはならない。彼らが災いの時に私に呼びかけても、私は聞かないからだ。¹⁵

私の愛する者が多くの者と共に悪事を行うとき、私の家が何をしているのか。聖別された肉があなたの罰を避けることができるのか。あなたが悪事を行うとき、あなたは喜ぶ。」¹⁶

主はあなたを繁栄するオリーブの木、美しい実と形を持つと呼んだ。しかし、強力な嵐の轟きと共に、彼はそれを火で焼き、その枝を折る。¹⁷

あなたを植えた万軍の主は、イスラエルの家とユダの家がバアルに香を焚いて私を怒らせたため、あなたに災いを宣告した。¹⁸

主が彼らの陰謀を私に知らせてくださったので、私はそれを理解した。その時、彼は彼らが何をしているのかを私に示された。¹⁹

私は屠殺されるおとなしい子羊のようだった。彼らが私に対して陰謀を企んでいることを知らなかった。「その実と共に木を滅ぼし、生ける者の地から彼を切り離し、その名をもう思い出されないようにしよう。」²⁰

しかし、正しく裁き、心と思いを試す万軍の主よ、彼らに対するあなたの復讐を見させてください。私はあなたに私の訴えを委ねました。²¹

それゆえ、あなたの命を狙っているアナトトの人々について、主はこう言われる。「主の名によって預言するな、さもないと我々の手で死ぬことになる」と言っている―²²

それゆえ、万軍の主はこう言われる。「私は彼らを罰する。彼らの若者は剣で死に、彼らの息子と娘は飢饉で死ぬ。」²³

彼らには残りの者は残らない。私は彼らの罰の年にアナトトの人々に災いをもたらすからだ。」

12 主よ、私があなたに訴えを申し立てるとき、あなたは正しい方です。しかし、私はあなたと正義について論じたいのです。なぜ悪者の道が栄えるのですか。なぜ裏切りを行う者た

ちが安らかに暮らしているのですか。²

あなたは彼らを植え、彼らは根を張りました。彼らは成長し、実を結びます。彼らの唇にはあなたが近いですが、心からは遠いのです。³

しかし、主よ、あなたは私を知っておられます。あなたは私を見て、私の心の態度を調べておられます。彼らを屠殺のための羊のように引き離し、屠殺の日のために彼らを分けてください。⁴

どれくらいの間、地は嘆き、すべての野の草は枯れるのでしょうか。その中に住む者の悪によって、動物や鳥は滅びました。人々は言います、「彼は私たちの最後を見ないだろう」と。⁵

「もしあなたが人と足で競争して疲れ果てたなら、どうして馬と競争できるでしょうか。平和な地でつまずくなら、ヨルダンの茂みでどうやってやりくりできるでしょうか。」⁶

あなたの兄弟や父の家の者たちでさえ、彼らはあなたを裏切りました。彼らはあなたに対して大声を上げました。彼らが親切に話しても、彼らを信じてはいけません。」⁷

「私は私の家を捨て、私の相続を見放しました。私は私の魂の愛する者を彼女の敵の手に渡しました。⁸

私の相続は森の中の獅子のようになりました。彼女は私に向かって吠えます。それゆえ、私は彼女を憎むようになりました。⁹

私の相続はまだらの猛禽のようですか。他の猛禽が彼女を囲んで攻撃していますか。行って、すべての野獣を集め、彼らを食い尽くさせなさい。¹⁰

多くの牧者が私のぶどう園を荒らし、私の畑を踏みにじりました。彼らは私の心地よい畑を荒れ果てた荒野に変えました。¹¹

それは私の前で荒れ果て、乾き、荒れ果てています。誰もそれを心に留めないで、全地は荒れ果てています。¹²

荒野のすべての不毛の高地に破壊者が来ました。主の剣が地の端から端まで食い尽くすからです。誰にも平和はありません。¹³

彼らは小麦を蒔いたが、茨を刈り取りました。彼らは疲れ果てましたが、何も得ませんでした。主の激しい怒りのために、あなたの収穫を恥じなさい。」¹⁴

私の民イスラエルに与えた相続を害するすべての悪い隣人について、主はこう言われます。「見よ、私は彼らをその地から引き抜き、ユダの家を彼らの中から引き抜く。¹⁵

しかし、彼らを引き抜いた後、私は再び彼らに憐れみを持ち、彼らをそれぞれの相続と土地に戻します。¹⁶

もし彼らが私の民の道を真に学び、『主が生きておられるように』と私の名によって誓うなら—
かつて彼らが私の民にバアルによって誓わせたように—彼らは私の民の中に確立されるでしょう。¹⁷
しかし、もし彼らが聞き入れないなら、私はその国を徹底的に引き抜き、終わりをもたします」と主は宣言されます。

13 主が私にこう言われた。「行って亜麻布の帯を買い、あなたの腰に巻きなさい。ただし、それを水に触れさせてはならない。」²

そこで、私は主の命じられたとおりに帯を買い、腰に巻いた。³ その後、主の言葉が再び私に臨んだ。⁴

「あなたが買ったその帯を取り、腰に巻いているそれを持ってユーフラテス川へ行き、岩の裂け目にそれを隠しなさい。」⁵

私は行って、主が命じられたとおりにユーフラテス川のそばにそれを隠した。⁶

多くの日が過ぎた後、主は私に命じられた。「立って、ユーフラテス川へ行き、あなたにそこに隠すように命じた帯を取り戻しなさい。」⁷

そこで私はユーフラテス川へ行き、隠しておいた場所から帯を掘り出した。すると、見よ、その帯は腐っていて、全く役に立たなかった。⁸

その後、主の言葉が私に臨んだ。⁹

「主はこう言われる。『このように、私はユダの誇りとエルサレムの大いなる誇りを滅ぼす。』¹⁰

これらの悪しき民は、私の言葉を聞くことを拒み、心の頑なさに従い、他の神々に仕え、これを拝む。彼らはこの帯のように全く役に立たない。』¹¹

帯が人の腰に密着するように、私はイスラエルの全家とユダの全家を私に密着させた」と主は言われる。『それは彼らが私の民となり、名声と賛美と栄光のためであった。しかし、彼らは聞かなかった。』¹²

「それゆえ、彼らにこの言葉を語りなさい。『イスラエルの神、主はこう言われる。すべての容器はぶどう酒で満たされるべきである。』もし彼らが、『すべての容器がぶどう酒で満たされるべきことを知らないのか?』と言うなら、』¹³

彼らに言いなさい。『主はこう言われる。私はこの地の住民全てを、ダビデの王座に座る王たち、祭司たち、預言者たち、そしてエルサレムの全住民を酔わせる。』¹⁴

私は彼らを互いに打ち砕く、親も子も同様に」と主は言われる。『私は憐れみを示さず、彼らの滅びを防ぐために惜しむことも慈悲をかけることもない。』

』¹⁵
これを聞き、心に留めなさい。誇ってはならない。主が語られたからである。¹⁶

主なるあなたの神に栄光を帰しなさい。彼が暗闇をもたす前に、あなたの足が暗くなる丘でつまづく前に。あなたは光を望むが、彼はそれを深い暗闇に変え、濃い闇に変える。¹⁷

しかし、もしあなたが聞かないなら、私はあなたの誇りのために密かに泣く。私の目は涙で溢れ、苦しく泣く。主の群れが捕らえられるからである。¹⁸

王と王妃に言いなさい。「あなたの玉座から降りなさい。あなたの華やかな冠が頭から落ちるからである。」¹⁹

ネゲブの都市は閉ざされ、開く者はいない。ユダ全体が捕囚にされ、完全に連れ去られる。²⁰

目を上げて、北から来る者たちを見なさい。あなたに委ねられた群れ、あなたが誇っていた羊はどこにいるのか?」²¹

主があなたの上に、あなたが友として育てた者たちを置くとき、あなたは何と言うのか? 痛みがあなたを襲わないだろうか、産みの苦しみをする女のように?」²²

そして、もしあなたが「なぜ私にこれが起こったのか?」と問うなら、それはあなたの罪の大きさのためであり、あなたの裾が引き裂かれ、あなたの体が虐げられたからである。²³

エチオピア人がその肌を変えることができるか、ヒョウがその斑点を変えることができるか? 同様に、悪を行うことに慣れたあなたがたは、善を行うことができない。²⁴

「私はあなたを砂漠の風に吹き飛ばされるもみ殻のように散らす。²⁵

これがあなたの分け前、私があなたに定めた分け前である」と主は言われる。「あなたが私を忘れ、虚偽に頼ったからである。²⁶

私はあなたの裾を顔の上に引き上げ、あなたの恥が見えるようにする—²⁷

あなたの姦淫と欲望に駆られた嘶き、あなたの恥知らずな売春! 私は丘や野でのあなたの忌まわしい行いを見た。エルサレムよ、災いだ! いつまであなたは汚れたままでいるのか?」

14 これは、干ばつについてエレミヤに臨んだ主の言葉である。²

「ユダは嘆き、その門は衰え、民は地面に座り、喪服をまとい、エルサレムから叫び声が上がる。³

貴族たちは水を求めて召使いを送り、彼らは貯水池に行くが、水を見つけれない。彼らは容器を空にして戻り、恥をかき、辱めを受け、頭を覆う。⁴

地面は雨が降らないためにひび割れ、農夫たちは驚き、恥じて頭を覆う。

野の雌鹿さえも、新生児の子鹿を見捨てる。草がないからである。

野生のロバは荒れた高地に立ち、ジャッカルのように息を切らし、目は植生の欠如で衰える。

我々の不義が我々に証言するが、主よ、あなたの名のために行動してください。我々の背信は確かに多く、我々はあなたに罪を犯しました。

イスラエルの希望、苦難の時の救い主よ、なぜあなたはこの地で旅人のように、一晩だけ泊まる旅人のようなのですか？

なぜあなたは混乱した者のように、救うことのできない戦士のようなのですか？

それでも、あなたは我々の中におられ、主よ、我々はあなたの名によって呼ばれています。我々を見捨てないでください！

これはこの民について主が言われたことです。「彼らは非常にさまようことを愛し、足を抑えない。それゆえ、主は彼らを受け入れず、今や彼らの不義を思い出し、彼らの罪を罰する。」

その時、主は私に命じて言われた、「この民の幸福のために取り成してはならない。」

彼らが断食しても、私は彼らの叫びを聞かない。彼らが焼き尽くす捧げ物や穀物の捧げ物を捧げても、私はそれを受け入れない。代わりに、私は剣と飢饉と疫病で彼らを滅ぼす。」

しかし、私は答えた、「ああ、主なる神よ！

預言者たちは彼らに『あなたたちは剣を見ることも飢饉に苦しむこともない。確かに、私はこの場所に永続的な平和を与える。』と言っています。」

14

その時、主は私に言われた、「預言者たちは私の名によって偽りを預言している。私は彼らを送っていないし、命じてもないし、彼らに語ってもいない。彼らは偽りの幻、占い、無駄なこと、そして自分の心の妄想を預言している。」

それゆえ、私の名によって預言している預言者たちについて主が言われることはこうである：私は彼らを送っていないが、彼らは『この地に剣や飢饉は触れない』と言っている。剣と飢饉によって、これらの預言者はその終わりを迎える。

そして、彼らが預言している民は、飢饉と剣のためにエルサレムの通りに投げ出される。彼らを埋葬する者はなく、彼らの妻、息子、娘も同様である。私は彼らの悪を彼ら自身に注ぐ。

あなたは彼らにこの言葉を語るべきである：「私の目を昼も夜も絶え間なく涙で満たしなさい。私の民である処女の娘は重い傷を受け、打ち砕かれたから

である。

もし私が田舎に出れば、剣で殺された者たちを見る。もし私が都市に入れば、飢饉の荒廃を見る。預言者も祭司も知らない地にさまよっている。」

あなたはユダを完全に拒絶したのですか？

シオンを嫌っているのですか？

なぜ我々を苦しみ、癒されないようにしたのですか？

我々は平和を望んだが、良いことは来ず、癒しの時を望んだが、恐怖しかない。

主よ、我々の不義と先祖の罪を告白します。我々は確かにあなたに罪を犯しました。

あなたの名のために、我々を軽蔑しないでください。あなたの栄光の座を辱めないでください。我々との契約を思い出し、それを破棄しないでください。

22 国々の無価値な偶像が雨を降らせるのですか？天が自ら雨を降らせるのですか？

あなたではないのですか、我々の神、主よ？

それゆえ、我々はあなたを待ち望みます。あなたがこれらすべてのことを行う方だからです。

15 そのとき、主は私に言われた、「たとえモーセとサムエルが私の前に立っても、私の心はこの民に向かない。彼らを私の前から追い出し、去らせよ。」

彼らが『どこへ行けばよいのか』とあなたに尋ねるとき、彼らに言いなさい、『主はこう言われる、「死に定められた者は死へ、剣に定められた者は剣へ、飢饉に定められた者は飢饉へ、捕囚に定められた者は捕囚へ。」』

「私は彼らに四種類の災いを命じる」と主は宣言される。「殺すための剣、引きずり去るための犬、空の鳥と野の獣が食い尽くし、滅ぼすために。」

私は彼らを地のすべての王国に恐怖の的とする。これはユダの王ヒゼキヤの子マナセがエルサレムで行ったことのためである。

「エルサレムよ、誰があなたを憐れむだろうか。誰があなたのために嘆くだろうか。誰があなたの安否を尋ねに立ち寄るだろうか。」

あなたは私を捨てた」と主は宣言される。「あなたは背信を続けている。それゆえ、私は手を伸ばしてあなたを滅ぼす。私は思い直すことに疲れた。私は国の門で彼らをふるい分ける。私は彼らの子供を奪い、私の民を滅ぼす。彼らはその道を悔い改めなかったからだ。」

私は彼らの未亡人を海の砂よりも多くする。真昼に若者の母に滅ぼす者を送る。突然、彼らに苦痛と恐怖をもたらす。

七人の子を持つ母は衰え、息絶える。彼女の太陽はまだ昼であるうちに沈む。彼女は恥をかき、辱めら

エレミヤ書

れる。私は彼らの生き残りを敵の前で剣に渡す」と
主は宣言される。¹⁰

ああ、私の母よ、あなたが私を産んだことは災いだ。
私は全地にとって争いと対立の人となった。私は
貸したことも借りたこともないのに、皆が私を呪う。¹¹

主は言われた、「私は確かにあなたを良い目的の
ために救い出す。私は災難と苦難の時にあなたの敵が
あなたに懇願するようにする。¹²

「誰が鉄を、北からの鉄や青銅を砕くことができる
だろうか。¹³

私はあなたの富と宝を、あなたの国境全体でのすべ
ての罪のために、代価なしで略奪品として与える。¹⁴

私はあなたの敵があなたの持ち物を知らない地に運
び去るようにする。私の怒りの中で火が点火され、
それがあなたに対して燃えるからだ。」¹⁵

主よ、あなたはご存知です。私を覚えて私に注意を
払い、私の迫害者に復讐してください。あなたの忍
耐を考慮して私を奪わないでください。あなたのため
に私は非難を受けています。¹⁶

あなたの言葉が見つかり、私はそれを食べました。
それは私の喜びであり、私の心の喜びでした。私は
万軍の神、主の名を負っているからです。¹⁷

私は宴会を開く者たちの仲間に座って祝わなかった。
あなたの手が私の上にあったので、私は一人で座
った。あなたが私を憤りで満たされたからです。¹⁸
なぜ私の痛みは終わらず、私の傷は治らず、癒され
ることを拒むのですか。あなたは私にとって信頼で
きない水の流れのようになるのですか。¹⁹

それゆえ、主はこう言われる、「もしあなたが戻る
なら、私はあなたを回復し、あなたは私の前に立つ
ことができる。もしあなたが無価値なもののから貴重
なものを取り出すなら、あなたは私の代弁者となる。
彼らをあなたに向かわせなさい、しかしあなたは
彼らに向かってはならない。²⁰

私はこの民に対してあなたを青銅の要塞の壁とする。
彼らはあなたに戦いを挑むが、勝つことはできな
い。私はあなたを救い出し、解放するためにあなた
と共にいるからだ」と主は宣言される。²¹
「私はあなたを悪者の手から解放し、暴力的な者の
手からあなたを解放する。」

16 主から私に言葉があった。²
「あなたはこの地で妻をめとらず、息子や
娘を持つてはならない。」³

この地で生まれる息子や娘、その母親や父親につい
て、主はこう言われる。⁴

「彼らは重い病で死に、悼まれることも埋葬される
こともなく、地面の上の糞のようになる。彼らは剣

と飢饉で滅び、その死体は空の鳥と地の獣の餌食と
なる。」⁵

主はこう言われる。「悼む家に入ってはならず、彼
らを悼んだり慰めたりしてはならない。私はこの民
から平和と慈しみと憐れみを取り去ったからだ」と
主は言われる。⁶

「この地で大いなる者も小さき者も死に、埋葬され
ることもなく、誰も彼らのために悼んだり、彼らの
ために身体を傷つけたり頭を刺したりしない。⁷
誰も彼らのために悼んでパンを裂いて死者を慰めず
、父や母のために慰めの杯を彼らに与える者もいな
い。⁸

「宴会の家に入って、彼らと共に食べたり飲んだり
してはならない。」⁹

万軍の主、イスラエルの神はこう言われる。「私は
この地で、あなたの目の前で、あなたの日々に、喜
びと楽しみの声、花婿と花嫁の声を終わらせる。」¹⁰

「あなたがこの民にこれらすべての言葉を告げると
き、彼らがあなたに、『なぜ主は私たちにこの大い
なる災いを宣告されたのか。私たちの不義は何か。
私たちが主なる私たちの神に対して犯した罪は何か
』と言うなら、¹¹

あなたは彼らに言いなさい、『あなたたちの先祖が
私を捨てたからだ』と主は言われる。『彼らは他の
神々に従い、それに仕え、それを拝み、私を捨て、
私の律法を守らなかった。¹²

そしてあなたたちは先祖よりも悪いことをした。見
よ、あなたたち一人一人が悪しき心の頑なさに従い
、私の言うことを聞かない。¹³

それゆえ、私はあなたたちをこの地から追い出し、
あなたたちも先祖も知らなかった地に行かせる。そ
こであなたたちは昼も夜も他の神々に仕えることにな
る。私はあなたたちに恵みを示さないからだ。』¹⁴

「それゆえ、見よ、日が来る」と主は言われる。「
『イスラエルの子らをエジプトの地から導き出した
主は生きておられる』とはもう言われず、¹⁵

『イスラエルの子らを北の地から、彼らが追いやら
れたすべての地から導き出した主は生きておられる
』と言われる。そのため、私は彼らを彼らの先祖に
与えた自分の地に戻す。」¹⁶

「見よ、私は多くの漁師を送る」と主は言われる。
「彼らは彼らを捕まえる。その後、私は多くの猟師
を送る。彼らはすべての山から、すべての丘から、
岩の裂け目から彼らを狩る。¹⁷

私は彼らのすべての道を知っている。それは私から
隠されておらず、彼らの不義も私の目から隠されて
いない。¹⁸

エレミヤ書

彼らが忌まわしい偶像の死体で私の地を汚し、彼らの忌まわしいものを私の相続地に満たしたので、私は彼らの不義と罪に倍して報いる。」¹⁹

主よ、私の力、私の砦、困難の日の私の避け所よ、国々は地の果てからあなたのもとに来て言う。「確かに私たちの先祖は偽りを受け継ぎ、無益な偶像を持っていた。」²⁰

人が自分のために神々を作ることができるのか。しかし、それらは神ではない！」²¹

「それゆえ、見よ、私は彼らに知らせる。この時、私は彼らに私の力と私の力を知らせる。そして彼らは私の名が主であることを知る。」

17 ユダの罪は鉄の道具で刻まれ、彼らの心の石板と祭壇の角に火打ち石の先で刻まれている。²

彼らの子供たちが覚えてるように、彼らは青々とした木々のそばや高い丘の上の祭壇とアシェラの柱を思い出す。³

田舎の私の山よ、あなたの富とすべての宝物を、あなたの高い場所と共に、あなたの領土全体の罪のために略奪物として引き渡す。⁴

あなた自身の行動によって、私があなたに与えた相続を放棄することになる。私はあなたを知らない土地で敵に仕えさせる。あなたは私の中に永遠に燃える怒りの火を点けたからだ。

⁵ 主はこう言われる。「人間に信頼を置き、ただの肉に頼り、心が主から離れる者は呪われる。⁶ そのような者は荒野の低木のように、繁栄が来てもそれを見ない。彼らは無人の塩地、荒野の乾いた場所に住む。⁷

主に信頼を置き、主に希望を持つ者は祝福される。⁸

彼らは水のそばに植えられた木のように、その根を川に伸ばす。熱が来ても恐れず、その葉は緑のままである。干ばつの年にも心配せず、実を結ぶことをやめない。⁹

心は何よりも偽りに満ち、非常に病んでいる。誰がそれを理解できるだろうか？」¹⁰

私は主であり、心を探り、思いを調べ、それぞれの行いに応じて、その結果に応じて報いる。¹¹

自分が産んでいない卵をかえす山鵲のように、不正に富を集める者は、人生の途中でそれを失い、最後には愚か者とされる。¹²

初めから設けられた栄光の座、それが我々の聖所の場所である。¹³

主よ、あなたはイスラエルの希望です。あなたを捨てる者は皆、恥をかく。地上で背を向ける者は塵に

書かれる。彼らは生ける水の泉である主を捨てたからだ。¹⁴

主よ、私を癒してください、そうすれば私は癒されます。私を救ってください、そうすれば私は救われます。あなたは私の賛美です。¹⁵

彼らは私に言い続ける、「主の言葉はどこにあるのか？今すぐ来させよ！」¹⁶

私はあなたの牧者であることを急いでやめたことはありません。あなたは私が災難の日を望んでいないことを知っています。私が語ったことはあなたの前にあります。¹⁷

私に恐怖を与えないでください。あなたは困難な時の私の避難所です。¹⁸

私の迫害者たちを恥に陥らせ、私を恥に陥らせないでください。彼らを驚かせ、私を驚かせないでください。彼らに災難の日をもたらし、二重の破壊で彼らを打ち砕いてください。¹⁹

主は私にこう言われた、「人々の門に立ち、ユダの王たちが出入りするその門、またエルサレムのすべての他の門に立て。²⁰

彼らに言え、『ユダの王たち、すべてのユダとこれらの門を通るエルサレムの住民たちよ、主の言葉を聞け。²¹

主はこう言われる：自分自身に注意し、安息日に荷物を運んでエルサレムの門を通ってはならない。²² 家から荷物を持ち出したり、安息日に何か仕事をしなくてはならない。安息日を聖なるものとして守れ、あなたの先祖に命じたように。²³

しかし彼らは聞かず、耳を傾けず、頑固で聞かず、訓練を受け入れなかった。²⁴

しかし、もしあなたが私に注意深く聞き、主が言われるように安息日にこの町の門を通して荷物を運ばず、安息日を聖なるものとして守り、その日に何も仕事をしないならば、²⁵

ダビデの王座に座る王たちがその役人と共に、この町の門を通り、戦車や馬に乗って来る。彼らとその役人、ユダの人々とエルサレムの住民たちが来て、この町は永遠に住まわれる。²⁶

ユダの町々やエルサレム周辺の地域、ベニヤミンの地、低地、山地、ネゲブから、人々が焼き尽くす捧げ物、犠牲、穀物の捧げ物、香を持って来て、感謝の捧げ物を主の家に持って来る。²⁷

しかし、もしあなたが私に聞かず、安息日を聖なるものとして守り、安息日にエルサレムの門を通して荷物を運ばないならば、私はその門に火をつけ、その火はエルサレムの要塞を焼き尽くし、消されることはない。」

18 主からエレミヤに与えられた言葉、²
「立て陶器師の家に下り、そこでわたしの言葉をあなたに告げよう。」³

それで私は陶器師の家に下り、彼がろくろで仕事をしているのを見た。⁴

しかし、陶器師の手で作っていた粘土の器は壊れてしまったので、彼はそれを良いと思う別の器に作り直した。⁵ その時、主の言葉が私に臨んだ、⁶

「イスラエルの家よ、この陶器師がしたように、わたしもあなたに対してそうすることができないだろうか？」と主は言われる。「見よ、粘土が陶器師の手にあるように、あなたはわたしの手にあるのだ、イスラエルの家よ。」⁷

わたしはある時、国や王国について語り、それを引き抜き、引き倒し、滅ぼすことを考えることがある。⁸

もしわたしが語ったその国がその悪から立ち返るならわ、わたしはその上に下そうと考えていた災いを思い直す。⁹

またある時、国や王国について語り、それを建て上げ、植えることを考えることがある。¹⁰

もしそれがわたしの声に従わずにわたしの目の前で悪を行うならば、わたしはそのためにしようと考えていた良いことを思い直す。

11 今、ユダの人々とエルサレムの住民に語りなさい、『主はこう言われる、「見よ、わたしはあなたたちに対して災いを形作り、計画を立てている。今すぐにそれぞれの悪い道から立ち返り、あなたたちの道と行いを改めなさい!」』¹²

しかし彼らは言うだろう、『それは無駄だ! 私たちは自分たちの計画に従い、それぞれ自分の悪い心の頑固さに従って行動する。』¹³

それゆえ、主はこう言われる、『国々の中で尋ねてみよ、このようなことを聞いた者がいるか? イスラエルの乙女は最も恐ろしいことをした。¹⁴ レバノンの雪が岩の斜面を離れることがあるだろうか? 遠い源からの冷たい水が流れを止めることができるだろうか?』¹⁵

しかしわたしの民はわたしを忘れ、無価値な偶像に香をたき、彼らの道を踏み外し、古い道を歩まず、脇道を歩む。¹⁶

彼らの地は荒廃し、永遠の嘲笑の対象となる。通り過ぎる者は皆驚き、頭を振るだろう。¹⁷

強い東風のように、わたしは彼らを敵の前に散らし、災いの日には彼らに顔を向けず、わたしの顔を隠す。¹⁸

その時、彼らは言った、「さあ、エレミヤに対して計画を立てよう。確かに律法は祭司から、助言は知

者から、言葉は預言者から失われることはない。さあ、彼を言葉で攻撃し、彼の言葉には注意を払わないようにしよう。」¹⁹

主よ、私を聞いてください、そして私の敵が言っていることに耳を傾けてください!²⁰

善が悪で報いられるべきでしょうか? 彼らは私のために穴を掘りました。彼らのためにあなたの怒りを転じるために、彼らのためにあなたの前に立って話したことを覚えてください。²¹

それゆえ、彼らの子供たちを飢饉に渡し、剣の力に引き渡してください。彼らの妻を子供のいない亡亡人にし、彼らの男たちを死に、若者たちを戦いで剣に打たれさせてください。²²

あなたが突然襲撃者を彼らの家に送り込むとき、叫び声を聞かせてください。彼らは私を捕らえるために穴を掘り、私の足のために罠を隠しました。²³

しかし、主よ、あなたは私を殺そうとする彼らのすべての計画を知っています。彼らの不義を赦さず、彼らの罪をあなたの目の前から消さないでください。彼らがあなたの前で打ち倒されるように、あなたの怒りの時に彼らを扱ってください。

19 主はこう言われる。「行つて陶工から土の瓶を買い、民の長老たちと祭司の長老たちを連れて行きなさい。」²

それから、瀬戸物の門の入口の近くのベン・ヒノムの谷に行き、そこで私があなたに指示する言葉を宣言しなさい。³

そして言いなさい、『ユダの王たちとエルサレムの住民たちよ、主の言葉を聞け。イスラエルの神、万軍の主はこう言われる。見よ、私はこの場所に災いをもたらし、それを聞く者の耳を鳴らせる。⁴

彼らは私を捨て、この場所を異国のものとし、彼らもその先祖たちもユダの王たちも知らなかった神々に香をたき、この場所を無実の血で満たしたからである。⁵

彼らはバアルのために高き所を建て、自分たちの子供たちを火の中でバアルへの捧げ物として焼いた。それは私が命じたことも、話したことも、心に思い浮かべたこともないことである。⁶

それゆえ、見よ、主の宣言、日が来る。この場所はいもやトフェテヤベン・ヒノムの谷とは呼ばれず、虐殺の谷と呼ばれる。⁷

この場所で、私はユダとエルサレムの計画を挫折させる。私は彼らを敵の前で、彼らの命を狙う者の手によって剣で倒し、彼らの死体を空の鳥と地の獣の餌とする。⁸

私はこの都市を荒廃とし、嘲笑の的とする。通り過ぎる者は皆、その傷のために驚き、口笛を吹く。⁹ 私は彼らに自分たちの息子や娘の肉を食べさせる。

エレミヤ書

彼らは包圍と、彼らの命を狙う敵が彼らに与える苦痛のために互いの肉を食べるようになる。』¹⁰
その後、あなたに同行する者たちの前でその瓶を壊しなさい。¹¹

そして彼らに言いなさい、『万軍の主はこう言われる。私はこの民とこの都市を、陶工の器を壊すように粉々にする。それは修復できない。そして彼らはトフェテに死者を埋めるが、もう場所がない。¹²
これは私がこの場所とその住民に行くことである、と主は宣言する。この都市をトフェテのようにする。¹³

エルサレムの家々とユダの王たちの家々は、この場所、トフェテのように汚される。すべての屋上で星々の天の軍勢に香をたき、他の神々に飲み物の捧げ物を注いだ家々である。』¹⁴

その後、エレミヤは主が彼を預言させるために送ったトフェテから戻り、主の家の庭に立ってすべての人々に語った。¹⁵

「イスラエルの神、万軍の主はこう言われる。見よ、私はこの都市とその周囲の町々に、彼らに対して宣言したすべての災いをもたらす。彼らは首を硬くして、私の言葉を聞かなかったからである。」

20 主の家の監督者である祭司イメルの子バシユフルが、エレミヤがこれらのことを預言するのを聞いたとき、²

彼は預言者エレミヤを打ち、主の宮のベニヤミンの上の門にある足枷に入れた。³

翌日、バシユフルがエレミヤを足枷から解放したとき、エレミヤは彼に言った、「主はあなたをバシユフルと呼ばず、むしろ『四方に恐怖』と呼ばれる。⁴

主はこう言われる、『わたしはあなたをあなた自身とすべての友人にとって恐怖の的とする。あなたは彼らが敵の剣によって倒れるのを見るだろう。わたしはユダ全体をバビロンの王に引き渡し、彼らをバビロンに連れて行かせるか、剣で殺させる。⁵
わたしはこの町のすべての財産、そのすべての産物、すべての貴重品、ユダの王たちの宝物を敵の手に渡し、彼らはそれを略奪し、バビロンに持ち去る。⁶

そしてあなた、バシユフル、あなたの家に住むすべての者と共にバビロンに捕囚される。そこであなたは死に、埋葬される。あなたと、あなたが偽りの預言をしたすべての友人たちも。』⁷

主よ、あなたは私を欺き、私は欺かれました。あなたは私を圧倒し、勝利しました。私は一日中笑いものになり、皆が私を嘲ります。⁸

私が話すたびに、私は叫び、暴力と破壊を宣言します。主の言葉が一日中私に侮辱と非難をもたらしました。⁹

しかし、もし私が「彼のことを言わない、彼の名によってもう話さない」と言ったとしても、彼の言葉は私の心の中で燃える火のようで、骨の中に閉じ込められています。私はそれを抑えることに疲れしました。実際、私はできません。¹⁰

私は多くの囁きを聞きます、「四方に恐怖！彼を告発せよ！彼を告発しよう！」私の信頼する友人たちは皆、私が滑るのを待っており、「おそらく彼は欺かれ、私たちは彼に勝利し、彼に復讐するだろう」と言っています。¹¹

しかし、主は力強い戦士のように私と共におられる。それゆえ、私を迫害する者たちはつまずき、勝利しない。彼らは大いに恥をかき、その恥辱は決して忘れられない。¹²

万軍の主よ、義を試み、心と意を見える方よ、あなたの復讐を彼らに見せてください。私はあなたに私の訴えを委ねました。¹³

主に歌い、主を賛美せよ！彼は貧しい者の命を悪者の手から救われるからです。¹⁴

私の誕生日が忘れられますように！私の母が私を産んだ日が祝われませんように！¹⁵

私の父に「あなたに息子が生まれました」と知らせ、彼を非常に喜ばせた男が呪われますように！¹⁶

その男が主が容赦なく滅ぼした町ようになりますように。彼が朝に悲鳴を聞き、正午に戦いの音を聞きますように。¹⁷

彼が私の命を胎内で終わらせなかったために、私の母が私の墓となり、彼女の胎が永遠に広がっていたならば。¹⁸

なぜ私は胎から出てきて、苦難と悲しみを見、恥辱のうちに私の日々を終えるのか？

21 ゼデキヤ王がマルキヤの子バシユフルとマアセヤの子祭司ゼバニヤをエレミヤのもとに遣わして言わせたときに、主からエレミヤに臨んだ言葉。²

「どうか私たちのために主に伺ってください。バビロンの王ネブカドネザルが私たちに対して戦争を仕掛けています。主がその驚くべき御業に従って私たちのために行動してください、敵が私たちから退くかもしれません。」³

しかし、エレミヤは彼らに言った、「これをゼデキヤに言いなさい。⁴

『イスラエルの神、主はこう言われる。見よ、あなたたちの手にある戦争の武器を引き返させる。あなたたちが城壁の外で包圍しているバビロンの王とカルデア人に対して戦っている武器を。そしてそれら

エレミヤ書

をこの町の中に集める。⁵
私は自ら、伸ばした手と強い腕で、怒りと憤りと大いなる憤怒をもってあなたたちに対して戦う。⁶
私はこの町の住民、人々と動物の両方を打ち、彼らは激しい疫病で死ぬ。⁷
その後、主は宣言される、私はユダの王ゼデキヤ、その役人たち、そして疫病、剣、飢饉からこの町に生き残った人々を、バビロンの王ネブカドネザル、その敵、そして彼らの命を求める者たちに引き渡す。彼は彼らを剣で打ち倒す。彼は情けをかけず、憐れみも、慈悲も示さない。』

「さらに、この民に言いなさい、『主はこう言われる。見よ、私はあなたたちの前に命の道と死の道を置く。⁹
この町に留まる者は剣、飢饉、または疫病で死ぬ。しかし、外に出てあなたたちを包囲しているカルデア人に降伏する者は生き延び、その命を戦利品として得る。¹⁰
私はこの町に災いをもたらすことを決めたのであって、繁栄ではない、と主は宣言される。それはバビロンの王に引き渡され、彼はそれを火で焼く。』¹¹
「さらに、ユダの王の家に言いなさい、『主の言葉を聞け、¹²
ダビデの家よ、主はこう言われる。毎朝正義を行い、虐げる者の手から奪われた者を救え。そうすれば、私の怒りが火のように燃え上がり、誰もそれを消すことができないことがないようにしなさい。あなたたちの行いの悪のために。¹³
見よ、私はあなたたちに対して、谷に住む者、岩の高台に住む者よ、と主は宣言される—あなたたちは言う、「誰が私たちに降りてくることができるのか？誰が私たちの住居に入ることができるのか？」¹⁴
しかし、私はあなたたちの行いに応じて罰する、と主は宣言される。私はあなたたちの森に火をつけ、それがその周囲をすべて焼き尽くす。』

22 主はこう言われる。「ユダの王の住居に下って行き、そこでこのメッセージを伝えなさい。²
『ダビデの王座に座っているユダの王よ、あなたのしもべたちとこれらの門を通るあなたの民とともに、主の言葉を聞きなさい。³
主はこう言われる。正義と公正を行いなさい。強奪者の手から略奪の被害者を救いなさい。外国人、孤児、未亡人に害を加えたり暴力を振るったりせず、この場所で無実の血を流してはならない。⁴
もしこれらの指示に注意深く従うならば、ダビデの

王座に座る王たちが、この家の門を通して、しもべたちと民を伴い、戦車や馬に乗って入って来るだろう。⁵
しかし、もしこれらの言葉に耳を傾けないならば、主は宣言する。私は自分自身に誓って、この家を荒廃させる。』⁶
ユダの王の家について主はこう言われる。「たとえあなたが私にとってギルアデのようであり、レバノンの頂のようであっても、私は確かにあなたを荒野にし、住む者のいない都市にする。⁷
私はあなたに対して破壊者を任命し、それぞれが武器を持ち、彼らはあなたの最も良い杉を切り倒し、それを火に投げ込む。⁸
多くの国々がこの都市を通り過ぎ、互いに言うだろう、『なぜ主はこのような大都市にこれを行ったのか？』⁹
その答えはこうだろう。『彼らが主なる彼らの神の契約を捨て、他の神々を崇拝し、仕えたからだ。』¹⁰
死んだ王のために泣いたり、その喪失を嘆いたりするな。むしろ、追放された者のために激しく泣け。彼は決して戻らず、再び故郷の地を見ることはないからだ。¹¹
ユダの王として父に続いたが去ったヨシヤの子シャルムについて、主はこう宣言される。「彼は決して戻らない。¹²
彼は彼らが彼を捕らえた場所で死に、この地を見ることはない。』¹³
「不義によって自分の家を建て、不正によって上の部屋を作り、隣人をただで働かせ、その労働に報酬を支払わない者に災いあれ。¹⁴
彼は言う、『私は広い上の部屋を持つ壮大な家を建てよう。』それで彼は大きな窓を作り、杉で覆い、明るい赤で塗る。¹⁵
杉を多く持つことがあなたを王にするのか？あなたの父は食べ物と飲み物を持っていなかったか？彼は正しいことを行い、公正を行ったので、すべてが彼にとつてうまくいった。¹⁶
彼は貧しい者と困っている者のために訴えを守り、それでうまくいった。これが私を知るということではないか？」と主は宣言される。¹⁷
「しかし、あなたの目と心は不正な利益、無実の血を流すこと、圧制と強奪にだけ向けられている。』¹⁸
ヨシヤの子でユダの王であるエホヤキムについて、主はこう言われる。「彼のために『ああ、兄弟よ！ああ、姉妹よ！』と嘆く者はいない。彼のために『ああ、主人よ！ああ、その栄光よ！』と嘆く者はい

エレミヤ書

ない。¹⁹ 彼はロバの埋葬を受けるだろう—
引きずられてエルサレムの門の外に投げ捨てられる。²⁰

「レバノンに登って叫び、バシヤンであなたの声を
聞かせ、アバリムから呼びかけよ、あなたのすべての
の同盟者が打ち砕かれたからだ。²¹

私はあなたの繁栄の中であなたに語ったが、あなたは
言った、『私は聞かない！』これはあなたの若い
頃からのやり方であり、あなたは私の声に従わな
かった。²²

風があなたのすべての羊飼いを追い払い、あなたの
同盟者は捕虜となる。すると、あなたはすべての悪
事のために恥じ入り、辱められるだろう。²³

レバノンに住み、杉の建物に身を寄せるあなたよ、
陣痛があなたに襲いかかるとき、産みの苦しみの方
に、あなたはどのように呻くことか！²⁴

「私が生きている限り」と主は宣言される。「たと
えユダの王エホヤキムの子コニヤが私の右手の印章
の指輪であっても、私はあなたを引き離す。²⁵

私はあなたを命を狙う者たちの手に、あなたが恐
れる者たち—

バビロンの王ネブカドネザルとカルデア人の手に渡
す。²⁶

私はあなたとあなたを生んだ母を、どちらも生まれ
たことのない他の国に投げ込み、そこであなたたち
は死ぬだろう。²⁷

あなたが戻りたいと望む地に決して戻ることはない
。」²⁸

このコニヤという男は、誰も欲しがらない軽蔑され
砕かれた器なのか？なぜ彼とその子孫は投げ出され
、知らない地に投げ込まれるのか？²⁹

大地よ、大地よ、大地よ、主の言葉を聞け！³⁰

主はこう言われる。「この男を子のない者として記
録せよ、彼の生涯で繁栄しない者として。彼の子孫
は誰も繁栄せず、ダビデの王座に座る者もユダで再
び支配する者もない。」

23 「わたしの牧場の羊を滅ぼし、散らしてい
る牧者たちに災いがある！」と主は宣言さ
れる。²

それゆえ、わたしの民を養う牧者たちについて、イ
スラエルの神、主はこう言われる。「あなたたちは
わたしの群れを散らし、追い払ったが、彼らを顧み
なかった。見よ、わたしはあなたたちの悪行のため
にあなたたちに責任を問う」と主は宣言される。³

「その後、わたし自身がわたしの群れの残りを、わ
たしが追いやったすべての国々から集め、彼らを彼
らの牧場に戻し、そこで彼らは多くの実を結び、増
える。⁴

わたしは彼らを養う牧者たちを任命する。彼らはも

はや恐れたり、おののいたりせず、失われる者もい
ない」と主は宣言される。⁵

「見よ、その日が来る」と主は宣言される。「わた
しはダビデのために正しい若枝を起こす。彼は賢く
治め、地に公正と正義を行う王となる。⁶

彼の時代にユダは救われ、イスラエルは安らかに住
む。彼の名は『われらの義なる主』と呼ばれる。⁷

「それゆえ、見よ、その日が来る」と主は宣言され
る。「彼らはもはや、『イスラエルの子らをエジプ
トの地から導き出した主は生きておられる』とは言
わない。⁸

むしろ、『イスラエルの子孫を北の地から、彼が彼
らを追いやったすべての国々から導き出し、導いた
主は生きておられる』と言う。その時、彼らは自分
たちの土地に住む。」⁹

預言者たちについて：わたしの心は内で砕かれ、す
べての骨が震える。わたしは酔った人のように、酒
に打ち負かされた人のように、主とその聖なる言葉
のためにそうになっている。¹⁰

地は姦淫者で満ちている。呪いのために地は嘆き、
荒野の牧場は乾ききっている。彼らの道は悪であり
、彼らの力は正しくない。¹¹

「預言者も祭司も共に腐敗している。わたしの家の
中でさえ、彼らの悪を見つけた」と主は宣言される
。¹²

「それゆえ、彼らの道は滑りやすくなり、彼らは暗
闇に追いやられ、倒れる。わたしは彼らに災いをも
たらず、その罰の年に」と主は宣言される。¹³

「さらに、サマリアの預言者たちの中で、わたしは
不快なことを見た。彼らはバアルによって預言し、
わたしの民イスラエルを迷わせた。¹⁴

また、エルサレムの預言者たちの中で、わたしは恐
ろしいことを見た。彼らは姦淫を行い、欺きの中を
歩む。彼らは悪を行う者の手を強め、誰もその悪か
ら立ち返らない。彼らは皆、わたしにとってソドム
のようであり、エルサレムの住民はゴモラのように
ある。」¹⁵

それゆえ、万軍の主は預言者たちについてこう言わ
れる。「見よ、わたしは彼らに苦よもぎを食べさせ
、毒水を飲ませる。エルサレムの預言者たちから不
敬虔が地全体に広がったからだ。」¹⁶

万軍の主はこう言われる。「あなたたちに預言する
預言者たちの言葉を聞いてはならない。彼らはあな
たたちに偽りの希望を与えている。彼らは自分の心
の幻を語り、主の口から出たものではない。¹⁷

彼らはわたしを軽んじる者に向かって、『主は言わ
れた、「あなたたちは平安を得るだろう。」』と言
い、心の頑なさに従うすべての者に、『あなたたち
には災いは来ない』と言う。¹⁸

エレミヤ書

しかし、誰が主の会議に立ち、彼の言葉を見て聞いたのか？誰が聞いて彼の言葉を聞いたのか？¹⁹

見よ、主の嵐が怒りの中で出て行き、悪者たちの頭上に旋回する旋風となる。²⁰

主の怒りは、その心の目的を遂行し、成し遂げるまで戻らない。終わりの日にあなたたちはそれをはっきりと理解するだろう。²¹

わたしはこれらの預言者を送らなかったが、彼らは走った。わたしは彼らに語らなかったが、彼らは預言した。²²

しかし、もし彼らがわたしの会議に立っていたなら、彼らはわたしの言葉をわたしの民に告げ、彼らをその悪の道と悪行から立ち返らせただろう。²³

「わたしは近くにいる神ではないか」と主は宣言される。「遠くにいる神でもないのか？」²⁴

誰かが隠れた場所に隠れて、わたしが彼らを見つけれないことがあるだろうか？」と主は宣言される。「わたしは天と地を満たしていないのか？」と主は宣言される。²⁵

「わたしの名によって偽りを預言し、『夢を見た！夢を見た！』と言う預言者たちの言葉をわたしは聞いた。²⁶

これがいつまで彼らの心に続くのか？彼らは自分の心の幻を預言する欺く預言者たちだ。²⁷

彼らは互いに夢を語り合い、わたしの民がわたしの名を忘れるようにしている。彼らの先祖がバアルを通じてそうしたように。²⁸

夢を持つ預言者はその夢を語り、わたしの言葉を持つ者はそれを誠実に語れ。藁が穀物と何の関係があるのか？」と主は宣言される。²⁹

「わたしの言葉は火のようではないか」と主は宣言される。「岩を砕く金槌のようではないか？」³⁰

「それゆえ」と主は宣言される。「わたしは、互いに言葉を盗み、わたしからのものだとする預言者たちに反対する。³¹

はい」と主は宣言される。「わたしは、自分の舌を振り、『主は宣言される』と言う預言者たちに反対する。³²

見よ、わたしは偽りの夢を預言する者たちに反対する」と主は宣言される。「彼らはそれを語り、わたしの民を無謀な偽りで迷わせるが、わたしは彼らを送らず、任命もしなかった。彼らはこの民に少しも益をもたらさない」と主は宣言される。³³

「この民、または預言者や祭司があなたに、『主からのメッセージは何か？』と尋ねたとき、彼らに言え、『何のメッセージもない。わたしはあなたたちを見捨てる』と主は宣言される。³⁴

預言者や祭司、または他の誰かが『これは主からのメッセージだ』と主張するなら、その人とその家族

を罰する。³⁵
これがあなたたちが隣人や兄弟に言うことだ：『主は何と答えたか？』または『主は何を語ったか？』³⁶

しかし、もはや『主からのメッセージ』を言ってはならない。なぜなら、各人の言葉が自分自身のメッセージになるからだ。あなたたちは生ける神、万軍の主、われらの神の言葉を曲げた。³⁷

これが預言者に言うことだ：『主は何と答えたか？』または『主は何を語ったか？』³⁸

そして、もしあなたが『主のメッセージ！』と言うなら、その理由で主は言われる：『あなたたちがこのフレーズを使ったから、「主のメッセージ！」わたしはあなたたちに「主のメッセージ！」と言わないように言った。』³⁹

それゆえ、見よ、わたしは確かにあなたたちを忘れ、あなたたちとあなたたちの先祖に与えた町と共に、わたしの前から追い出す。⁴⁰

わたしはあなたたちに永遠の恥辱をもたらし、忘れられることのない永遠の恥を。」

24 ユダの王エホヤキムの子エホヤキンが、役人や職人、工匠たちと共にエルサレムからバビロンへとバビロンの王ネブカデネザルによって捕囚として連れて行かれた後、主は私に主の神殿の前に置かれた二つのいちじくの籠を示された。²

一つの籠には、早く熟した良いいちじくが入っており、もう一つの籠には、腐って食べられないほど悪いいちじくが入っていた。³

その時、主は私に、「エレミヤ、何が見えるか？」と尋ねられた。私は答えた、「いちじくです。良いものは非常に良いですが、悪いものは腐っていて食べられません。」⁴ 主からの言葉が私に臨んだ、⁵

「イスラエルの神、主はこう言われる、『これらの良いいちじくのように、私はこの場所からカルデア人の地へ送ったユダの捕囚たちを良いものとして見なす。⁶

私は彼らのために良いことを見守り、彼らをこの地に戻す。私は彼らを建て直し、壊さず、彼らを植えて、抜かない。⁷

私は彼らに私を主として認識する理解の心を与える。彼らは私の民となり、私は彼らの神となる。彼らは全心を持って私に戻るからである。⁸

『しかし、腐って食べられない悪いいちじくのように』と主は言われる、『私はユダの王ゼデキヤとその役人たち、エルサレムの残りの者たちを、この地に留まる者もエジプトに住む者も同様に扱う。⁹ 私は彼らを地のすべての王国にとっての恐怖と恥辱の対象とし、彼らを散らす場所で、彼らは非難とこ

エレミヤ書

とわざ、嘲りと呪いとなる。¹⁰
私は剣と飢饉と疫病を彼らに送り、彼らとその先祖
に与えた地から彼らを取り除かれるまで続ける。

25 ユダの王ヨシヤの子エホヤキムの第四年、
すなわちバビロンの王ネブカデネザルの第
一年に、ユダのすべての民についてエレミ
ヤに言葉が臨んだ。²

預言者エレミヤがユダのすべての民とエルサレムの
すべての住民に語った言葉。³

「アモンの子、ユダの王ヨシヤの第十三年から今日
に至るまで、この二十三年間、主の言葉が私に臨み
、私はあなたがたに絶えず語ってきたが、あなたが
たは聞かなかった。⁴

主はすべてのしもべである預言者たちをあなたがた
に絶えず遣わされたが、あなたがたは聞かず、耳を
傾けて聞こうとしなかった。⁵

『今こそ、あなたがた一人ひとりが悪い道と悪い行
いから立ち返り、主があなたがたとあなたがたの先
祖に与えた地に永遠に住みなさい。⁶

ほかの神々に従ってそれらに仕え、礼拝してはなら
ない。あなたがたの手の働きで私を怒らせてはなら
ない。そうすれば、私はあなたがたに害を加えない
。』⁷

しかし、あなたがたは私に聞き従わず、あなたがた
の手の働きで私を怒らせ、あなたがた自身に害をも
たらした」と主は宣言される。⁸

それゆえ、万軍の主はこう言われる。『あなたがた
が私の言葉に従わなかったので、⁹

見よ、私は北のすべての民を呼び寄せる』と主は宣
言される。『そして、私のしもべであるバビロンの
王ネブカデネザルを呼び寄せ、この地とその住民、
および周囲のすべての国々に対して彼らを送り、彼
らを全く滅ぼし、恐怖と軽蔑の対象とし、永遠の荒
廃とする。¹⁰

さらに、私は彼らから喜びと楽しみ、花婿と花
嫁の声、ひき臼の音と灯火の光を取り去る。¹¹

この全地は荒れ果てた荒野となり、これらの国々は
七十年間バビロンの王に仕える。¹²

しかし、七十年が満ちたとき、私はバビロンの王と
その国を、その不義のために罰し、カルデアの地を
永遠の荒廃とする』と主は宣言される。¹³

私はその地に対して私が宣言したすべての言葉、エ
レミヤがすべての国々に対して預言したこの書に書
かれているすべてをもたらす。¹⁴

彼らは多くの国々と偉大な王たちに従属する。私は
彼らの行いと手の働きに応じて彼らに報いる。』」¹⁵

イスラエルの神、主が私に言われたことはこうであ
る。「私の手から怒りのぶどう酒の杯を取り、私が

あなたを送るすべての国々にそれを飲ませなさい。¹⁶

彼らがそれを飲むとき、彼らはふらつき、私が彼ら
の間に送る剣のために狂う。」¹⁷

そこで私は主の手からその杯を取り、主が私を送つ
たすべての国々にそれを飲ませた。¹⁸

エルサレムとユダの町々、その王たちと役人たちに
、それを飲ませ、今日のように廃墟と恐怖、軽蔑と
呪いの対象とした。¹⁹

エジプトの支配者、そのしもべたち、役人たち、す
べての民に。²⁰

そこにいるすべての外国人、ウズの地のすべての王
、ペリシテの地のすべての王（アシュケロン、ガザ
、エクロン、アシュドドの残りの者たち）。²¹

エドム、モアブ、アンモンの子孫。²²

ツロの支配者、シドンの支配者、海を越えた沿岸地
帯の指導者たち。²³

デダン、テマ、ブズ、髪を切るすべての者。²⁴

アラビアのすべての王、砂漠に住む外国人のすべて
の王。²⁵

ジムリのすべての王、エラムのすべての王、メディ
アのすべての王。²⁶

北のすべての王、近くも遠くも、次々と一
地の表にあるすべての王国。そしてその後、シェシ
ャクの王もそれを飲む。²⁷

「それから彼らに言いなさい、『イスラエルの神、
万軍の主がこう言われる。飲め、酔え、吐け、そし
て私があなたがたの間に送る剣のためにもう立ち上
がるな。』²⁸

しかし、もし彼らがあなたの手からその杯を取って
飲むことを拒むなら、彼らに言いなさい、『万軍の
主がこう言われる。あなたがたは必ずそれを飲まな
ければならない！²⁹

見よ、私の名を持つ都市に災いをもたらし始めてい
るのに、あなたがたは本当に罰を免れるのか？あなた
がたは罰を免れない。私は地に住むすべての者に
剣を召喚している』と万軍の主は宣言される。³⁰

「それゆえ、あなたはこれらすべての言葉を彼らに
対して預言し、彼らに言いなさい。『主は高き所か
ら吠え、聖なる住まいから雷鳴を轟かせ、その地に
対して力強く吠える。彼はぶどうを踏む者のように
叫び、地に住むすべての者に對して叫ぶ。』³¹

その音は地の果てまで響く。主は国々と争いを持ち
、すべての人類に裁きを下し、悪者を剣にかけろ』
と主は宣言される。³²

万軍の主はこう言われる。『見よ！災いが国から国
へと広がり、地の果てから強大な嵐が起こっている
。』³³

その時、主によって殺された者たちは地の端から端

エレミヤ書

まで至る所にいる。彼らは悲しまれず、集められず、
葬られず、地面の糞ようになる。

羊飼いたちよ、泣き叫べ。群れの指導者たちよ、塵
の中で転げ回れ。あなたがたが屠られる時が来た。
あなたがたは最良の雄羊のように倒れる。

羊飼いたちは逃げ場を見つけれず、群れの指導者
たちは逃げる場所を見つけれない。

羊飼いたちの叫び声、群れの指導者たちの嘆き声を
聞け。主が彼らの牧場を減ぼしているからだ。
穏やかな牧場は主の激しい怒りのために荒れ果てる。

ライオンのように彼はその巣を離れた。彼らの地は
圧迫する剣と主の激しい怒りのために荒れ果てた。

26 ヨシヤの子、ユダの王エホヤキムの治世の
初めに、この言葉が主から来た。

「主はこう言われる。主の家の庭に立ち、
主の家に礼拝に来るユダのすべての町に向かって、
私があなたに命じるすべての言葉を彼らに告げなさい。
一言も省いてはならない。

彼らが聞いて、それぞれの悪い道から立ち返るかも
しれない。そうすれば、私は彼らの行いの悪さのため
に彼らに下そうと考えている災いを思い直す。

彼らに言いなさい、『主はこう宣言される。もしあ
なたたちが私に聞き従わず、私があなたたちの前に
置いた私の律法に従わないなら、

そして、私があなたたちに絶えず送り続けた私のし
もべである預言者たちの言葉に耳を傾けないなら、
あなたたちは聞かなかったが、
私はこの家をシロのようにし、この町を地のすべて
の国々の間で呪いとする。』」

祭司たち、預言者たち、そしてすべての民が、主の
家でエレミヤがこれらの言葉を語るのを聞いた。
エレミヤがすべての民に語るように主が命じられた
すべての言葉を語り終えたとき、祭司たち、預言者
たち、そしてすべての民が彼を捕らえて言った、「
あなたには死ななければならない！

なぜあなたは主の名によって預言し、この家がシロ
のようになり、この町が無人で荒れ果てると言うの
か？」そしてすべての民が主の家でエレミヤの周り
に集まった。

ユダの役人たちがこれらのことを聞いたとき、彼ら
は王の家から主の家に上り、主の家の新しい門の入口
に座した。

すると祭司たちと預言者たちは役人たちとすべての
民に言った、「この人は死刑に値する、彼はあなた
たちが自分の耳で聞いたようにこの町に対して預言
したからだ！」

そのときエレミヤはすべての役人とすべての民に言
った、「主が私を遣わして、この家とこの町に対し

てあなたたちが聞いたすべての言葉を預言させたの
です。

今、あなたたちの道と行いを改め、あなたたちの神
、主に従いなさい。そうすれば、主はあなたたちに
宣告した災いを思い直されるでしょう。

私について言えば、私はあなたたちの手にあります
。あなたたちが良いと思うように、正しいと思うよう
に私を扱いなさい。

しかし、確かに知っておいてください、もし私を殺
すなら、あなたたち自身とこの町とその住民に無実
の血をもたらすことになります。実際、主が私を遣
わして、あなたたちの耳にこれらすべての言葉を語
らせたのです。」

すると役人たちとすべての民は祭司たちと預言者た
ちに言った、「この人は死刑に値しない、彼は私たち
の神、主の名によって私たちに語ったのだから。」

その土地の長老たちの何人かが立ち上がり、すべて
の民の集会に向かって言った、

「モレシエテのミカは、ユダの王ヒゼキヤの時代に
預言した。彼はユダのすべての民に宣言した、『万
軍の主はこう言われる、「シオンは畑のように耕さ
れ、エルサレムは廃墟の山となり、神殿の丘は木の
茂みとなる。」』

ユダの王ヒゼキヤやユダの誰かが彼を殺しただろ
うか？ヒゼキヤは主を恐れ、その恵みを求めなかつ
ただろうか？そして主は彼らに宣告した災いを思い直
されたのではないか？私たちは自分たちに大きな悪
をたらそうとしている！」

さて、主の名によって預言した人がもう一人いた。
キリヤテ・ヤリムのシェマヤの子ウリヤで、彼はエ
レミヤと同じような言葉でこの町とこの地に対して
預言した。

王エホヤキムとそのすべての役人たちと官吏たちが
彼の言葉を聞いたとき、王は彼を殺そうとした。し
かし、ウリヤはそれを聞いて恐れ、エジプトに逃げ
た。

しかし、王エホヤキムはエジプトに人を送り、アク
ボルの子エルナタンと他の者たちを共に送った。
彼らはウリヤをエジプトから連れ出し、王エホヤキ
ムのもとに連れて行き、彼は剣で彼を打ち、その体
を一般の人々の墓に投げ入れた。

それにもかかわらず、シャファンの子アヒカムはエ
レミヤを支持したので、彼は人々に引き渡されて殺
されることはなかった。

27 ユダの王、ヨシヤの子ゼデキヤの治世の初
めに、この言葉が主からエレミヤに臨んだ。

主が私に命じられたことはこうである。「くびきと

エレミヤ書

ひもと横木を作り、それをあなたの首に置きなさい。
エドム、モアブ、アンモン、ツロ、シドンの王たちに、ユダの王ゼデキヤに会いにエルサレムに来た使者たちを通してメッセージを送れ。
彼らにその主人たちにこれを伝えさせなさい。『イスラエルの神、万軍の主はこう言われる。「これをあなたたちの主人に伝えなさい。
私の大いなる力と伸ばした腕で、私は地とその上に住む人間と動物を創造し、私が選ぶ者にそれを与える。
今、私はこれらすべての地をバビロンの王ネブカデネザル、私のしもべに渡し、野の動物も彼に従わせた。
すべての国は彼と彼の子と孫に仕えるが、その国の時が来ると、多くの国々と偉大な王たちが彼に従わせる。
もしどの国や王国がバビロンの王ネブカデネザルに仕えることを拒み、彼のくびきの下に従わないなら、私はその国を剣と飢饉と疫病で罰し、彼の手によってそれを滅ぼすと主は宣言する。
だから、あなたたちに『あなたたちはバビロンの王に仕えない』と言う預言者や占い師、夢見る者、占い師、魔術師の言葉を聞いてはならない。
彼らはあなたたちに偽りを預言しており、それがあなたたちを土地から追い出し、あなたたちを滅ぼすことになる。
しかし、バビロンの王のくびきを受け入れ、彼に仕える国は、その土地に留まり、それを耕し、そこに住むことを許すと主は宣言する。』
私は同じメッセージをユダの王ゼデキヤに伝え、「バビロンの王のくびきを受け入れ、彼と彼の民に仕え、そうすれば生き延びることができる。
なぜあなたとあなたの民が、バビロンの王に仕えない国に警告されたように、剣と飢饉と疫病で死ななければならないのか。
『あなたたちはバビロンの王に仕えない』と言う預言者の言葉を聞いてはならない。彼らはあなたたちに偽りを預言しているのだ。
『私は彼らを送っていない』と主は宣言する。『彼らは私の名で偽りを預言している。その結果、私はあなたたちを追い出し、あなたたちは滅びるだろう。偽りを預言する預言者たちも共に。』
それから私は祭司たちとすべての民に向かって言った。「主はこう言われる。『すぐにも主の家からの品々がバビロンから戻ってくる』と主張する預言者の言葉を聞いてはならない。彼らはあなたたちに偽りを預言している。
彼らに耳を傾けてはならない。バビロンの王に仕え

、そうすれば生き延びることができる。なぜこの町が荒廃しなければならないのか。
もし彼らが本当に預言者であり、主の言葉を持っているなら、主の家、ユダの王の宮殿、エルサレムに残っている品々がバビロンに持ち去られないように、万軍の主に願ひ求めさせなさい。
万軍の主がこの町に残っている柱、青銅の海、可動式の台、およびその他の品々についてこう言われるからである。
それは、バビロンの王ネブカデネザルが、ユダの王エホヤキムの子ヨヤキンをエルサレムからバビロンに追放したときに残したもので、ユダとエルサレムのすべての貴族と共に—
はい、これは万軍の主、イスラエルの神が、主の家、ユダの王の宮殿、エルサレムに残っている品々について言われることである。
『それらはバビロンに持ち去られ、私がそれらに目を留める日までそこに留まる』と主は宣言する。『その後、私はそれらを戻し、この場所に戻す。』」

28 同一年、ユダの王ゼデキヤの治世の始め、第四年、第五の月に、ギベオン出身のアズルの子である預言者ハナニヤが、主の家で祭司たちとすべての民の前で私に語った。
「イスラエルの神、万軍の主はこう言われる、『私はバビロンの王のくびきを打ち砕いた。
二年のうちに、ネブカデネザル、バビロンの王がここから持ち去ってバビロンに持って行った主の家のすべての器をこの場所に戻す。
私はまた、ユダの王エホヤキムの子エコニヤと、バビロンに行ったユダのすべての捕囚をこの場所に連れ戻す』と主は言われる、『私はバビロンの王のくびきを打ち砕くからである。』」
預言者エレミヤは、主の家に集まっていた祭司たちとすべての民の前で預言者ハナニヤに答えた。
そして言った、「アーメン！主がそのようにされまうように！主があなたが預言した言葉を成就され、主の家の器とすべての捕囚をバビロンからこの場所に戻されますように。
しかし、今、私があなたの聞くところ、すべての民の聞くところで語ろうとしているこの言葉を聞きなさい。
あなたや私の前に来た古の預言者たちは、多くの国々と大きな王国に対して、戦争、災害、疫病について預言しました。
しかし、平和を預言する預言者は、その予言が成就したときに初めて、主によって真に遣わされた者として認められるのです。」
すると、預言者ハナニヤは預言者エレミヤの首からくびきを取り外して、それを壊した。

エレミヤ書

そしてハナニヤはすべての民の前で言った、「主はこう言われる、『同じように、二年のうちに私はすべての国々の首からネブカデネザル、バビロンの王のくびきを打ち砕く。』」これを聞いて、預言者エレミヤは自分の道を行った。¹²

預言者ハナニヤが預言者エレミヤの首からくびきを壊した後、主の言葉がエレミヤに臨んだ。¹³

「行ってハナニヤに告げよ、『主はこう言われる、あなたは木のくびきを壊したが、その代わりに鉄のくびきを持つことになる。』」¹⁴

これはイスラエルの神、万軍の主がこう言われるからである。私はこれらすべての国々の首に鉄のくびきを置いて、彼らがネブカデネザル、バビロンの王に仕えるようにする。彼らは彼に仕えることになる。私は彼に野の獣をも与える。』」¹⁵

すると預言者エレミヤは預言者ハナニヤに言った、「聞け、ハナニヤ！主はあなたを遣わしていないが、あなたはこの民を偽りに信頼させた。¹⁶

それゆえ、主はこう言われる、『見よ、私はあなたを地の面から取り除こうとしている。今年、あなたは死ぬ。なぜなら、あなたは主に逆らうことを説いたからである。』」¹⁷

その年の第七の月に、預言者ハナニヤは死んだ。

29 これは、預言者エレミヤがエルサレムからバビロンへ捕囚された残りの長老たち、祭司たち、預言者たち、およびネブカデネザルがエルサレムからバビロンへ捕囚したすべての民に送った手紙の言葉である。²

（これは、エホヤキン王と王母、宮廷の役人たち、ユダとエルサレムの指導者たち、職人たち、工匠たちがエルサレムを去った後のことである。）³

その手紙は、ユダの王ゼデキヤがバビロンの王ネブカデネザルに送ったシャファンの子エラサとヒルキヤの子ゲマリヤに託された。手紙にはこう書かれていた。⁴

「万軍の主、イスラエルの神は、エルサレムからバビロンへ捕囚されたすべての者にこう言う。⁵

『家を建てて住み、庭を作ってその実を食べよ。⁶ 妻をめとり、息子や娘を生み、息子には妻を、娘には夫を与えて、彼らもまた息子や娘を生むようにせよ。そこで増え、減ってはならない。』⁷

私があなたたちを捕囚として送った町の平安を求め、そのために主に祈れ。その平安の中にあなたたちの平安があるからだ。』⁸

万軍の主、イスラエルの神はこう言う。『あなたたちの中にいる預言者や占い師に惑わされてはならない。彼らが見させる夢に耳を傾けてはならない。⁹ 彼らは私の名によって偽りを預言している。私は彼らを遣わしていない。』と主は言う。¹⁰

主はこう言う。『バビロンのために七十年が満ちるとき、私はあなたたちを訪れ、あなたたちをこの場所に帰らせるという私の良い約束を果たす。』¹¹

私があなたたちのために持っている計画を私は知っている。』と主は言う。『それはあなたたちを繁栄させ、害を与えず、将来と希望を与える計画である。』¹²

そのとき、あなたたちは私を呼び求め、私に来て祈るなら、私はあなたたちに耳を傾ける。¹³

あなたたちが心を尽くして私を求めるなら、私を見出すだろう。¹⁴

私はあなたたちに見出される。』と主は言う。『私はあなたたちの運命を回復し、あなたたちを追いやったすべての国々と場所から集める。』と主は言う。『そして、あなたたちを捕囚として送った場所に戻す。』¹⁵

あなたたちが「主はバビロンに私たちのために預言者を立てた」と言ったからである。¹⁶

これは、ダビデの王座に座っている王と、この町に残っているすべての民、あなたたちと共に捕囚に行かなかったあなたたちの同胞について、主がこう言うことである。¹⁷

万軍の主はこう言う。『見よ、私は彼らに剣と飢饉と疫病を送る。彼らを食べられないほど悪いイチジクのようにする。』¹⁸

私は彼らを剣と飢饉と疫病で追い、地のすべての王国に恐怖の的とし、呪いと恐怖、嘲りと非難の的とし、私が彼らを追いやったすべての国々でそうする。¹⁹

彼らが私の言葉を聞かなかったからである。』と主は言う。『私は私のしもべである預言者たちを通して何度も彼らに送った言葉である。そして、あなたたち捕囚たちも聞かなかった。』と主は言う。²⁰

それゆえ、エルサレムからバビロンへ送ったすべての捕囚たちよ、主の言葉を聞け。²¹

万軍の主、イスラエルの神は、コラヤの子アハブとマアセヤの子ゼデキヤについてこう言う。彼らは私の名によってあなたたちに偽りを預言している。『見よ、私は彼らをバビロンの王ネブカデネザルの手に渡し、彼はあなたたちの目の前で彼らを殺す。』²² 彼らのために、バビロンにいるユダのすべての捕囚たちがこの呪いを用いる。『主があなたをバビロンの王が火で焼いたゼデキヤとアハブのようにされますように。』²³

彼らはイスラエルで不道德を行い、隣人の妻と姦淫をし、私の名によって命じていない偽りを語ったからである。私はそれを知っており、証人である。』と主は言う。²⁴ ネヘラム人シェマヤに言え。²⁵

万軍の主、イスラエルの神はこう言う。『あなたが

エレミヤ書

自分の名でエルサレムのすべての民、祭司マアセヤの子ゼパニヤ、およびすべての祭司たちに手紙を送ったからである。²⁶

「主はあなたをエホヤダの代わりに祭司として立て、主の家の監督者とし、預言する狂人を足枷と首枷に入れるようにした。²⁷

それなのに、なぜあなたたちの中で預言者として振る舞うアナトのエレミヤを戒めなかったのか。²⁸ 彼は私たちにバビロンでこのメッセージを送った。

「捕囚は長く続く。家を建てて住み、庭を作ってその実を食べよ。」²⁹

しかし、祭司ゼパニヤはこの手紙を預言者エレミヤに読んだ。³⁰

そのとき、主の言葉がエレミヤに臨んだ。³¹

「すべての捕囚たちにこのメッセージを送れ。『ネヘラム人シェマヤについて主がこう言う。「シェマヤがあなたたちに預言したが、私は彼を遣わしていない。それにより、あなたたちは偽りを信じるようになった。」³²

それゆえ、主がこう言う。「見よ、私はネヘラム人シェマヤとその子孫を罰する。彼にはこの民の中に残る者がいない。私が私の民のために行う良いことを見ることもない。」と主は言う。「彼が私に対して逆説を説いたからだ。」³³

30 主の言葉がエレミヤに与えられた、言われた。²

「イスラエルの神、主はこう言われる。『私があなたに語ったすべての言葉を巻物に記録しなさい。³

見よ、その日が来る』と主は宣言される。『私は私の民、イスラエルとユダの繁栄を回復する。私は彼らを彼らの先祖に与えた地に戻し、彼らはそれを所有する』と主は言われる。」⁴

これはイスラエルとユダについて主が伝えられたことである。⁵

「主はこう言われる。『私は恐怖の叫びを聞いた、恐れの声であり、平和の声ではない。⁶

今、尋ねてみよ。男が出産することができるか？なぜすべての男が産みの苦しみをする女のように腹に手を当てているのか、なぜすべての顔が青ざめているのか？⁷

ああ、その日はどれほど恐ろしいことか！それに比べるものはない。それはヤコブの苦難の時であるが、彼はそれから救われる。⁸

その日には』と万軍の主は宣言される。『私は彼らの首からくびきを砕き、彼らの絆を引き裂く。外国人はもはや彼らを奴隷にしない。⁹

彼らは代わりに彼らの神、主と、私が彼らのために起こすダビデ王に仕える。

¹⁰

だから恐れるな、私のしもべヤコブよ』と主は宣言される。『イスラエルよ、恐れおののくな。私は遠くからあなたを救い、あなたの子孫を捕囚の地から救い出す。ヤコブは帰り、平和であり、心配なく、誰も彼を恐れさせない。¹¹

私はあなたと共にいる』と主は宣言される。『あなたを救うために。私はあなたを散らしたすべての国々を完全に滅ぼすが、あなたを完全には滅ぼさない。私はあなたを正しく懲らしめるが、無罰では済まさない。』¹²

主はこう言われる。『あなたの傷は治らず、あなたの怪我は治癒を超えている。¹³

あなたを弁護する者はおらず、あなたの痛みのための治療法もなく、あなたのための癒しもない。¹⁴

あなたの愛する者たちは皆あなたを忘れ、あなたを求めない。私はあなたを敵がするように傷つけ、残酷な者の罰で打った。あなたの罪が大きく、あなたの罪が多いからである。¹⁵

なぜあなたの傷について叫ぶのか、治らない痛みについて叫ぶのか？あなたの不正が大きく、あなたの罪が多いので、私はこれらのことをあなたにした。¹⁶

それゆえ、あなたを食い尽くす者は皆食い尽くされ、あなたの敵はすべて捕囚に行き、あなたを略奪する者は略奪され、あなたを奪う者は皆私が奪う。¹⁷ しかし、私はあなたを健康に戻し、あなたの傷を癒す』と主は宣言される。『あなたは誰も気にかけないシオンと呼ばれているからである。』¹⁸

主はこう言われる。『見よ、私はヤコブの天幕の繁栄を回復し、彼の住まいに憐れみをかける。都市はその廃墟の上に再建され、宮殿はその正しい場所に立つ。¹⁹

そこから感謝の歌と喜びの声が聞こえる。私は彼らを増やし、彼らは滅らされず、私は彼らを尊び、彼らは軽んじられない。²⁰

彼らの子供たちは昔のように栄え、彼らの共同体は私の前に確立される。私は彼らを虐げる者をすべて罰する。²¹

彼らの指導者は彼ら自身の者であり、彼らの支配者は彼らの中から出る。私は彼を近づけ、彼は私に近づく。誰が命を懸けて私に近づくことを敢えてするだろうか？』と主は宣言される。²²

『こうしてあなたたちは私の民となり、私はあなたたちの神となる。』²³

見よ、主の嵐が来る！怒りが出て行き、激しい嵐が悪者の頭に旋回する。²⁴

主の激しい怒りは、彼がその心の目的を成し遂げる

エレミヤ書

まで戻らない。終わりの日にあなたたちはこれを理解する。

31 「その日には」と主は宣言される。「私はイスラエルのすべての家族の神となり、彼らは私の民となる。」²

主はこう言われる。「剣を逃れた民は荒野で恵みを見出した。私はイスラエルに安息を与えるために来た。」³

主は昔から私たちに現れ、こう言われた。「私は永遠の愛をもってあなたを愛した。それゆえ、私は変わらぬ慈しみをもってあなたを引き寄せた。」⁴

「私は再びあなたを建て直す、そしてあなた、イスラエルの乙女よ、あなたは再建される。あなたは再びタンバリンを手に取り、喜びと共に踊り出る。」⁵

「再びあなたはサマリアの丘に葡萄畑を植える。農夫たちはそれを植え、その実を楽しむ。」⁶

「見張りがエフライムの丘で叫ぶ日が来る、『立ち上がれ、シオンに、我らの神、主のもとに行こう』と。」⁷

主はこう言われる。「ヤコブのために喜び歌え。国々の中で最も優れた者のために叫べ。宣言し、賛美し、『主よ、あなたの民、イスラエルの残りの者を救ってください』と言え。」⁸

「見よ、私は彼らを北の地から連れ戻し、地の果てから集める。彼らの中には盲人や足の不自由な者、妊婦や出産する者がいる。大いなる集団が帰ってくる。」⁹

「彼らは涙を流しながら来る。私は彼らを嘆願によって導く。彼らがつまずかないように、私は水の流れのそばのまっすぐな道を導く。私はイスラエルの父であり、エフライムは私の初子である。」¹⁰

「主の言葉を聞け、国々よ。遠くの海岸でそれを告げよ。『イスラエルを散らした者が彼らを集め、羊飼いのようにその群れを見守る』と。」¹¹

「主はヤコブを贖い、彼らを彼らより強い者の手から贖う。」¹²

「彼らはシオンの高地で喜びの声を上げ、主の恵みを受けて輝く。穀物、新しいぶどう酒と油、羊の群れと牛の若い者たちに。彼らの命はよく水を与えられた庭のようになり、再び衰えることはない。」¹³

「その時、若い女性たちは踊りで喜び、若い男たちも老人たちも同様に。私は彼らの悲しみを喜びに変え、彼らを慰め、悲しみの代わりに喜びを与える。」¹⁴

「私は祭司たちに豊かさを提供し、私の民は私の恵みで満たされる」と主は宣言される。¹⁵

主はこう言われる。「ラムで声が聞こえる、泣き声と大きな悲しみ、ラケルがその子供たちのために泣

き、慰めを拒む、彼らがもういないからだ。」¹⁶
主はこう言われる。「泣き声を抑え、涙を目から止めよ、あなたの働きは報われる」と主は宣言される。¹⁷

「それゆえ、あなたの未来には希望がある」と主は宣言される。「あなたの子供たちは自分たちの土地に帰ってくる。」¹⁸

「私は確かにエフライムの嘆きを聞いた、『あなたは私を不従順な子牛のように訓練し、私は矯正された。私を戻して、私は帰る、あなたは私の神、主だから。』」¹⁹

「私は迷った後、悔い改めた。教えられた後、私は太腿を打った。私は若い頃の恥を負ったため、恥じ入り、屈辱を感じた。」²⁰

「エフライムは私の愛する息子、私が喜ぶ子ではないか。私は彼にししばし反対して語るが、彼を覚えていた。それゆえ、私の心は彼を慕い、私は確かに彼に憐れみをかける」と主は宣言される。²¹

「道標を立て、案内標を設置せよ。あなたが行った道に心を向けよ。帰れ、イスラエルの乙女よ、あなたの町に帰れ。」²²

「どれほど長く迷うのか、不信の娘イスラエルよ。主は地に新しいことを創造された—女が男を守る。」²³

イスラエルの神、万軍の主はこう言われる。「彼らの運命を回復する時、ユダの地とその町々の人々は再びこれらの言葉を使う、『主があなたを祝福されるように、正義の場所、聖なる丘よ！』」²⁴

「ユダの住民とその町々のすべての人々—農夫たちとその群れを連れて歩く者たち—は共に住む。」²⁵

「私は疲れた者を元気づけ、弱った者を満たす。」²⁶

この時、私は目を覚まし、周りを見回し、私の眠りは心地よかった。²⁷

「見よ、日が来る」と主は宣言される。「私はイスラエルの家とユダの家に人と動物の種を蒔く。」²⁸

「私は彼らを抜き取り、引き倒し、覆し、破壊し、災いをもたらすために見守ったように、彼らを建て、植えるために見守る」と主は宣言される。²⁹

「その日には、もはや『親が酸っぱいぶどうを食べたので、子供たちの歯がしびれる』とは言われない。」³⁰

「むしろ、各人が自分の罪のために死ぬ。酸っぱいぶどうを食べる者は—自分の歯がしびれる。」³¹

「見よ、日が来る」と主は宣言される。「私はイスラエルの家とユダの家と新しい契約を結ぶ。」³²

「それは、彼らの先祖をエジプトから導き出した時に私が彼らと結んだ契約のようではない。彼らは私

エレミヤ書

の契約を破ったが、私は彼らにとって夫のようであった」と主は宣言される。³³

「これがその日後にイスラエルの家と結ぶ契約である」と主は宣言される。「私は彼らの心に私の律法を置き、彼らの心にそれを書き記す。私は彼らの神となり、彼らは私の民となる。」³⁴

「もはや彼らは隣人に救えたり、『主を知れ』と言ったりしない。彼らは皆、最も小さい者から最も大きい者まで私を知る」と主は宣言される。「私は彼らの悪を赦し、彼らの罪をもはや思い出さない。」³⁵

主はこう言われる、昼に太陽を輝かせ、夜に月と星を輝かせることを命じ、海をかき立ててその波を轟かせる者—万軍の主がその名である。³⁶

「これらの命令が私の目の前から消え去る時だけ」と主は宣言される。「イスラエルの子孫が私の前で国であることをやめる。」³⁷

主はこう言われる。「上の天が測られ、下の地の基が探られる時だけ、私はイスラエルのすべての子孫を彼らの行ったすべてのことのために拒む」と主は宣言される。³⁸

「見よ、日が来る」と主は宣言される。「その時、町はハナネルの塔から角の門まで主のために再建される。」³⁹

「測り縄はまっすぐにガレブの丘に向かい、そこからゴアに曲がる。」⁴⁰

「死体と灰が投げ込まれる谷全体と、東のキドロンの谷までのすべての段々畑は、主に聖なるものとなる。町は再び引き抜かれたり破壊されたりすることはない。」

32 ゼデキヤ、ユダの王の第十年、すなわちネブカデネザルの第十八年に、主の言葉がエレミヤに臨んだ。²

その時、バビロンの王の軍隊がエルサレムを包囲しており、預言者エレミヤはユダの王宮の守衛の庭に監禁されていた。³

ゼデキヤ、ユダの王が彼を監禁したのは、「なぜあなたは預言して、『主はこう言われる。この町をバビロンの王の手に渡し、彼がこれを捕らえる。』」⁴

ゼデキヤ、ユダの王はバビロニア人から逃れることができず、必ずバビロンの王の手に渡され、彼と顔を合わせ、目と目を合わせて話すことになる。⁵

彼はゼデキヤをバビロンに連れて行き、私が彼に対処するまでそこに留まる、と主は宣言する。もしあなたがバビロニア人と戦うなら、成功しないだろう』と言うのか」と言ったからである。⁶

エレミヤは言った、「主からのメッセージが私に臨んで、こう言われた。」⁷

『見よ、あなたの叔父シャルムの息子ハナメルがあ

なたのところに来て、「アナトトにある私の畑を買ってくれ。最も近い親戚として、それを買い戻す権利があるからだ」と言うだろう。』⁸

その後、主が言われた通りに、私のいとこハナメルが守衛の庭に来て、「どうかベニヤミンの領土にあるアナトトの私の畑を買ってください。それを買い戻し、所有する権利があるので、自分のためにそれを買ってください。」と言った。それで私はこれが主の言葉であることを知った。⁹

それで私はいとこハナメルからアナトトの畑を購入し、彼に銀十七シケルを量った。¹⁰

私は契約書に署名し、封をし、証人を立て、天秤で銀を量った。¹¹ 私は購入の契約書—条件を含む封印された写しと開かれた写し—を取った。¹²

そしてこの契約書をネリヤの息子でマヘセヤの息子であるバルクに、私のいとこハナメルと契約書に署名した証人たち、そして守衛の庭に座っているすべてのユダヤ人の前で渡した。¹³

彼らの前で、私はバルクに指示して言った。¹⁴

『イスラエルの神、万軍の主はこう言われる。これらの文書、購入の契約書の封印された写しと開かれた写しを取って、長く保存できるように粘土の壺に入れなさい。』¹⁵

イスラエルの神、万軍の主はこう言われる。この地で再び家、畑、ぶどう畑が取得される。』¹⁶

私は購入の契約書をネリヤの息子バルクに渡した後、主に祈って言った。¹⁷

『ああ、主なる神よ、あなたは大きな力と伸ばされた腕で天と地を造られました。あなたにとって難しいことは何もありません。』¹⁸

あなたは千代にわたって愛を示し、父たちの不正をその子供たちの膝に報います。偉大で力強い神、その名は万軍の主。¹⁹

助言において偉大で、行いにおいて力強く、人間のすべての道に目を開いておられます。あなたは各人にその行動に応じて報い、その行いにふさわしい報いを与えます。²⁰

あなたはエジプトでしるしと奇跡を行い、それを今日まで続け、イスラエルとすべての人間の間で行い、あなたの名声を得ました。²¹

あなたは奇跡のしるしと驚くべき行い、力強い手と伸ばされた腕で、畏怖の念を抱かせる行いで、イスラエルの民をエジプトから救い出しました。²²

あなたは彼らの先祖に約束したこの地を彼らに与えました、それは豊かで豊かな地です。²³

彼らはそこに入り、それを所有しましたが、あなたの声に従わず、あなたの律法に従わず、あなたが命じたことを行いませんでした。それであなたはこの

エレミヤ書

災いを彼らに下されました。²⁴
見よ、包圍の坂が町を取るために築かれています。
剣、飢饉、疫病のために、この町はそれを攻撃して
いるバビロニア人の手に渡されるでしょう。あなたが
語られたことは成就し、今あなたが見ている通り
です。²⁵
しかし、あなたは私に言われました、主なる神よ、
『銀で畑を買い、その取引を証人に立てよ』と、町
がバビロニア人に渡されているにもかかわらず。」²⁶
その後、主の言葉がエレミヤに臨んで、こう言われ
た。²⁷
「私は主であり、すべての人間の神である。私にと
って難しいことがあるだろうか。²⁸
それゆえ、主はこう言われる。見よ、この町をバビ
ロニア人とバビロンの王ネブカデネザルの手に渡そ
うとしている。²⁹
この町と戦っているバビロニア人が入り、それを火
で焼き払い、屋上でパアルに香を焚き、他の神々に
飲み物の捧げ物を注いで私の怒りを引き起こした家
々を焼き払うだろう。³⁰
イスラエルとユダの民は若い頃から私の目の前で悪
を行うことしかせず、実際、イスラエルの民はその
手の働きで私を怒らせることしかしていない、と主
は宣言する。³¹
それが建てられた日から今に至るまで、この町は私
の怒りと憤りを引き起こし、私はそれを私の目の前
から取り除かなければならない。³²
イスラエルとユダの民は彼らの行ったすべての悪に
よって私の怒りを引き起こした—
彼らの王たち、役人たち、祭司たち、預言者たち、
ユダの民とエルサレムに住む者たち。³³
彼らは私に背を向け、顔を向けず、私は何度も彼ら
を教えたが、彼らは聞かず、懲らしめに応じなかつ
た。³⁴
彼らは私の名を持つ家に忌まわしい像を立て、それ
を汚した。³⁵
彼らはベン・ヒノムの谷でパアルのために高き所を
建て、息子や娘をモレクに捧げたが、私は決して命
じなかったし、そのような忌まわしいことを行って
ユダを罪に陥れることが私の心に入ったこともなかつ
た。³⁶
それゆえ、主、イスラエルの神は、この町について
こう言われる。『剣、飢饉、疫病によってバビロン
の王に渡された』と言うこの町について、³⁷
見よ、私は確かに彼らを私が激しい怒りと大いなる
憤りで追いやったすべての地から集め、この場所に
戻し、安全に住まわせる。³⁸
彼らは私の民となり、私は彼らの神となる。³⁹

私は彼らに一つの心と一つの道を与え、彼らが常に
私を恐れるようにし、彼ら自身のため、そして彼ら
の後の子供たちのために良いことをする。⁴⁰
私は彼らと永遠の契約を結び、彼らに良いことをす
るのをやめず、彼らが私から離れないように私を恐
れる心を彼らに与える。⁴¹
私は彼らに良いことをすることを喜び、心と魂を尽
くしてこの地に彼らを確かに植える。⁴²
主はこう言われる。この民にこの大きな災いをもた
らしたように、私は彼らに約束したすべての繁栄を
与える。⁴³
『それは人も動物もいない荒れ果てた地で、バビロ
ニア人の手に渡された』と言うこの地で再び畑が買
われる。⁴⁴
ベニヤミンの領土、エルサレム周辺の地域、ユダの
町々、山地の町々、西の丘陵地帯の町々、ネゲブの
町々で、銀で畑が買われ、契約書が署名され、封印
され、証人が立てられる。私は彼らの運命を回復す
るからだ、と主は宣言する。」
33 主からの言葉が、まだ監視の庭に閉じ込め
られているエレミヤに二度目に臨んだ。²
「地を造り、それを形づくり、確立した主
、主という名の方がこう言われる。³
『わたしを呼べ。そうすれば、わたしはあなたに答
え、あなたの知らない大いなる隠された事をあなた
に示そう。』⁴
この町の家々と、ユダの王宮について、イスラエル
の神、主がこう言われる。これらは包圍攻撃のため
の傾斜路と剣に対抗するために取り壊された。⁵
『彼らがバビロニア人と戦うために来る間、わたし
の怒りと憤りでわたしが打った者たちの死体で家々
を満たす。わたしはこの町のすべての悪のために顔
を隠した。⁶
それにもかかわらず、わたしはそれに健康と癒しを
もたらし、わたしの民を癒し、彼らに豊かな平和と
真実を示す。⁷
わたしはユダとイスラエルの繁栄を回復し、彼らを
初めのように再建する。⁸
彼らがわたしに対して犯したすべての罪から彼らを
清め、わたしに対する反逆のすべての罪を赦す。⁹
そのとき、この町はわたしに喜びと賛美と榮譽をも
たらし、わたしがそのために行うすべての良いこと
を聞く地上のすべての国々の前で、彼らは驚き、わ
たしがそれに与える豊かな繁栄と平和に震える。』¹⁰
主はこう言われる。『あなたが「人も動物もいない
荒れ果てた地」と言うこの場所、ユダの町々とエル
サレムの通りで、人も動物もいない場所で、再び聞
かれるだろう。¹¹

喜びと楽しみ声、新郎新婦の声、主の家に感謝の捧げ物を持ってくる者たちの声が、「万軍の主に感謝せよ、主は良い、主の愛は永遠に続く」と言う。わたしは以前のようにこの地の繁栄を回復する』と主は言われる。¹²

万軍の主はこう言われる。『人も動物もいない荒れ果てたこの場所、そのすべての町で、羊飼いたちが群れを休ませる牧草地が再びできる。¹³

丘の国の町々、西の丘陵地帯、ネゲブ、ベニヤミンの領土、エルサレム周辺の村々、ユダの町々で、群れは再び数える者のもとを通る』と主は言われる。¹⁴

『その時が来る』と主は宣言される。『わたしがイスラエルとユダの民に約束した良い約束を果たす時が。¹⁵

その日々とその時に、わたしはダビデの系統から正しい枝を生じさせる。彼は地に公正と正義を行う。¹⁶

その日々にユダは救われ、エルサレムは安全に住む。それはこの名で呼ばれる。「主は我らの義」。』¹⁷

主はこう言われる。『ダビデにはイスラエルの家の王座に座る者が欠けることはない。¹⁸

また、わたしの前で焼き尽くす捧げ物を捧げ、穀物の捧げ物を焼き、絶えず犠牲を捧げるレビの祭司たちには人が欠けることはない。』¹⁹

主の言葉がエレミヤに臨んだ。²⁰

主はこう言われる。『もしあなたがわたしの昼との契約と夜との契約を破ることができるなら、昼と夜がその定められた時に起こらないようにすることができるなら、²¹

その時わたしのしもべダビデとの契約と、わたしの前で仕えるレビ人の祭司たちとの契約を破ることができる。ダビデにはその王座に座る子孫がいなくなる。²²

わたしはわたしのしもべダビデの子孫と、わたしの前で仕えるレビ人を、天の星のように数多くし、海の砂のように計り知れないものとする。』²³

主の言葉がエレミヤに臨んだ。²⁴

「あなたはこれらの人々が言っていることに気づいていないのか、『主は選んだ二つの家族を拒絶した』と。彼らはわたしの民を軽蔑し、もはや国として見なさない。²⁵

主はこう言われる。『もしわたしが昼と夜との契約を結ばず、天と地の法則を定めなかったなら、²⁶ その時わたしはヤコブとわたしのしもべダビデの子孫を無視し、アブラハム、イサク、ヤコブの子孫を治めるために彼の子孫の一人を選ばない。わたしは彼らの繁栄を回復し、彼らに憐れみをかける。』」

34

ネブカデネザル、バビロンの王とその全軍、および彼の支配下にあるすべての王国と民がエルサレムとそのすべての町々に対し

て戦争をしているときに、主からエレミヤに言葉が来た。²

「イスラエルの神、主はこう言われる。ユダの王ゼデキヤのもとに行って、彼に告げよ、『主はこう言われる。見よ、私はこの町をバビロンの王の手に渡そうとしている。彼はそれを火で焼くであろう。³ あなたは彼の手から逃れることはできず、必ず捕らえられて彼に引き渡される。あなたは自分の目でバビロンの王を見ることになり、彼と顔を合わせて話をするようになる。そしてあなたはバビロンに連れて行かれる。⁴

しかし、ユダの王ゼデキヤよ、主の言葉を聞け！主はあなたについてこう言われた。あなたは剣によって死ぬことはない。⁵

あなたは平和に死ぬ。あなたの先祖、あなたの前の王たちのために香が焚かれたように、あなたのためにも香が焚かれ、「ああ、我が主よ！」と嘆かれるであろう。この言葉を私は語った、と主は言われる。』⁶

それから預言者エレミヤはこれらすべての言葉をエルサレムでユダの王ゼデキヤに伝えた。⁷

その時、バビロンの王の軍隊はエルサレムとユダの残りの町々、すなわちラキシュとアゼカに対して戦っていた。これらはユダに残された唯一の要塞都市であった。⁸

ゼデキヤ王がエルサレムのすべての民と奴隷の自由を宣言する契約を結んだ後、主からエレミヤに言葉が来た。⁹

各人は自分のヘブライ人の奴隷、男女を解放し、誰も同胞のヘブライ人を奴隷として持たないようにすることになっていた。¹⁰

この契約に入ったすべての役人と民は、自分たちの男女の奴隷を解放し、もはや彼らを束縛しないことに同意した。彼らは従って彼らを解放した。¹¹

しかし、後になって彼らは心変わりし、解放した奴隷を取り戻し、再び奴隷として強制した。¹²

その後、主の言葉がエレミヤに届けられた。¹³

「イスラエルの神、主はこう言われる。私はあなたの先祖と契約を結んだ、彼らをエジプトから、奴隷の家から連れ出したときに言った、¹⁴

『七年の終わりに、あなた方は自分に売られた同胞のヘブライ人を解放しなければならない。彼らが六年間あなたに仕えた後、あなたは彼らを解放しなければならない。』しかし、あなたの先祖は私に聞き従わず、注意を払わなかった。¹⁵

最近、あなた方は私の目に正しいことを行い、各人

エレミヤ書

が隣人に自由を宣言し、私の名を持つ家で私の前に
契約を結んだ。¹⁶

しかし、今、あなた方は戻って私の名を汚し、各人
が自由にした男女の奴隷を取り戻し、彼らを再び奴
隷として従属させた。¹⁷

それゆえ、主はこう言われる。あなた方は兄弟と隣
人に自由を宣言することで私に従わなかった。だから
今、私はあなた方に「自由」を宣言する、と主は
言われる—

剣、疫病、飢饉への「自由」を。私はあなた方を地
のすべての王国にとって恐怖の的とする。¹⁸

私の契約を破り、私の前で結んだ契約の条項を果た
さなかった者たちを、彼らが二つに切り裂いてその
間を通った子牛のように扱う。¹⁹

ユダとエルサレムの指導者たち、宮廷の役人たち、
祭司たち、そしてその子牛の部分の間を通った地の
すべての民を、²⁰

彼らの命を求める敵の手に渡す。彼らの死体は空の
鳥と地の獣の餌食となる。²¹

私はユダの王ゼデキヤと彼の役人たちを彼らの命を
求める敵の手に、あなた方から撤退したバビロンの
王の軍隊に引き渡す。²²

見よ、私は命令を出す、と主は言われる、そして彼
らをこの町に戻す。彼らはそれに対して戦い、それ
を捕らえ、火を放つ。そして私はユダの町々を荒廃
させ、住む者のいない状態にする。」

35 ヨシヤの子、ユダの王エホヤキムの治世に
、主からエレミヤにあった言葉。²

「レカブ人の家に行って彼らに話し、彼ら
を主の家の側室の一つに連れて行き、彼らに酒を飲
ませよ。」³

そこで私は、ハバツィニヤの子エレミヤの子ヤザニ
ヤとその兄弟たち、すべての息子たち、レカブ人の
全家を連れて行った。⁴

そして彼らを神の人イグダルヤの子ハナンの子らの
部屋に連れて行った。その部屋は役人の部屋の隣、
門衛シャルムの子マアセヤの部屋の上にあった。⁵

それから私はレカブ人の家の男たちの前に酒の満ち
た鉢と杯を置き、「酒を飲め」と言った。⁶

しかし彼らは答えた。「私たちは酒を飲みません。
私たちの先祖レカブの子ヨナダブが、『あなたがた
もあなたがたの子孫も永遠に酒を飲んではいけません
』と命じたからです。」⁷

家を建てたり、種を蒔いたり、ぶどう畑を植えたり
、所有したりしてはならない。ただし、あなたがた
は一生涯天幕に住み、さすらい人として住む地で長
く生きるためです。」⁸

私たちは、私たちの先祖レカブの子ヨナダブの声に
従い、彼が命じたすべてのことを守り、私たちも、

私たちの妻も、息子たちも、娘たちも、酒を飲まな
いようにしています。⁹

住むための家を建てず、ぶどう畑や畑や種も持って
いません。¹⁰

私たちは天幕に住み、私たちの先祖ヨナダブが命じ
たすべてのことを守り行っています。¹¹

しかし、バビロンの王ネブカデネザルがこの地に侵
入したとき、私たちは『カルデア人とアラム人の軍
隊から逃れるためにエルサレムに行こう』と言いま
した。それで私たちはエルサレムに住んでいます。¹²

」¹² そのとき、主の言葉がエレミヤに臨んだ。¹³
「イスラエルの神、万軍の主はこう言われる。『ユ
ダの人々とエルサレムの住民に言え。「あなたがた
は教訓を学び、私の言葉を聞かないのか」と主は言
われる。』¹⁴

『レカブの子ヨナダブがその子孫に命じた言葉、す
なわち酒を飲んではいならないという命令は守られて
いる。彼らは今日まで酒を飲まない。彼らは先祖の
命令に従っている。しかし、私はあなたがたにしつ
こく語りかけたが、あなたがたは私に耳を傾けなかつ
た。』¹⁵

私は私のすべてのしもべである預言者たちをあなた
がたに何度も送り、「あなたがたはそれぞれ悪い道
を離れ、行いを改め、他の神々に従って仕えてはな
らない。そうすれば、私はあなたがたとあなたがた
の先祖に与えた地に住むことができる」と言った。
しかし、あなたがたは私に耳を傾けず、聞こうとし
なかった。¹⁶

レカブの子ヨナダブの子孫は彼らの先祖が命じた命
令を守ったが、この民は私に耳を傾けなかった。』¹⁷

それゆえ、イスラエルの神、万軍の主はこう言われ
る。『見よ、私はユダとエルサレムのすべての住民
に対して、私が彼らに告げたすべての災いをもたら
す。なぜなら、私は彼らに語ったが、彼らは聞かなか
った。私は彼らを呼んだが、彼らは答えなかった
からである。』¹⁸

そのとき、エレミヤはレカブ人の家に言った。「イ
スラエルの神、万軍の主はこう言われる。『あなた
がたがあなたがたの先祖ヨナダブの命令に従い、そ
のすべての指示を守り、彼が命じたすべてのことを
行ったので、』¹⁹

それゆえ、イスラエルの神、万軍の主はこう言われ
る。『レカブの子ヨナダブには、私の前に立つ子孫
が常に欠けることはない。』」

36 ユダの王、ヨシヤの子エホヤキムの第四年
に、主からエレミヤにこの言葉があった。²

「巻物を取り、イスラエル、ユダ、およびすべての

エレミヤ書

国々について、ヨシヤの時代から今日まで、私があなたに語ったすべての言葉を書き記しなさい。³
ユダの人々が、私が彼らに下そうとしているすべての災いを聞いて、各々がその悪い道から立ち返るかもしれない。そうすれば、私は彼らの不義と罪を赦そう。」⁴
そこでエレミヤはネリヤの子バルクを呼び、エレミヤが主から語られたすべての言葉を口述すると、バルクはそれを巻物に書き記した。⁵
エレミヤはバルクに命じて言った、「私は拘束されているので、主の家に入ることができない。⁶
それで、あなたが行って、私の口述で書き記した巻物から、主の言葉を断食の日に主の家で民に読み聞かせなさい。また、ユダの町々から来るすべての人々にも読み聞かせなさい。」⁷
彼らの願いが主の前に届き、各々がその悪い道から立ち返るかもしれない。主がこの民に対して宣告した怒りと憤りは大きいからだ。」⁸
ネリヤの子バルクは、預言者エレミヤが命じたすべてのことを行い、主の家で巻物から主の言葉を読み聞かせた。⁹
ユダの王、ヨシヤの子エホヤキムの第五年の九月に、エルサレムのすべての民とユダの町々から来た者たちのために、主の前で断食が宣言された。¹⁰
その時、バルクは巻物からエレミヤの言葉を、主の家の新しい門の入口にある上の庭で、書記官シャファンの子ゲマルヤの部屋で、すべての民に読み聞かせた。¹¹
シャファンの子ゲマルヤの子ミカヤが巻物からのすべての言葉を聞いたとき、¹²
彼は王宮の書記官の部屋に下り、そこに座っていたすべての役人たち、すなわち書記官エリシャマ、シェマヤの子デラヤ、アクバルの子エルナタン、シャファンの子ゲマルヤ、ハナニヤの子ゼデキヤ、およびその他のすべての役人たちに、¹³
バルクが民に巻物から読み聞かせたときに聞いたすべての言葉を報告した。¹⁴
すると、すべての役人たちはネタニヤの子、シェレミヤの子、クシの子エフディをバルクのもとに送り、「あなたが民に読み聞かせた巻物を持って来てください」と言った。そこでネリヤの子バルクは巻物を手に持って彼らのところに行った。¹⁵
彼らはバルクに言った、「どうぞ座って、それを私たちに読み聞かせてください。」そこでバルクはそれを彼らに読み聞かせた。¹⁶
彼らがこれらの言葉をすべて聞いたとき、互いに恐れて見つめ合い、バルクに言った、「これらの言葉をすべて王に知らせなければならぬ。」¹⁷
彼らはバルクに尋ねた、「これをすべてどのように

書いたのですか？エレミヤの口述によるのですか？」¹⁸
バルクは答えた、「はい、彼がこれらの言葉をすべて私に口述し、私はそれを巻物にインクで書きました。」¹⁹
すると、役人たちはバルクに助言した、「あなたとエレミヤは安全な場所を見つけなさい。誰にもあなたたちの居場所を知らせてはならない。」²⁰
彼らは巻物を書記官エリシャマの部屋に置き、庭に
いる王のもとに行き、すべてのことを報告した。²¹
王はエフディを送り、巻物を取って来させた。エフディは書記官エリシャマの部屋からそれを持って来て、王と彼のそばに立っているすべての役人たちに読み聞かせた。²²
それは九月で、王は冬の家に座っており、彼の前には火鉢で火が燃えていた。²³
エフディが三、四列を読むと、王は書記官のナイフでそれを切り取り、火鉢に投げ入れ、巻物全体が火で焼き尽くされるまで続けた。²⁴
王と彼のすべての家来たちは、これらの言葉をすべて聞いても恐れず、衣を裂かなかった。²⁵
エルナタン、デラヤ、ゲマルヤは王に巻物を焼かないように懇願したが、彼は彼らの言葉を聞き入れなかった。²⁶
代わりに、王は王の子エラメル、アズリエルの子セラヤ、アブデエルの子シェレミヤに命じて、書記官バルクと預言者エレミヤを捕らえさせようとしたが、主は彼らを隠された。²⁷
王がエレミヤの口述でバルクが書いた巻物を焼いた後、主の言葉がエレミヤに臨んだ。²⁸
「もう一つの巻物を取り、ユダの王エホヤキムが焼いた最初の巻物にあったすべての言葉を書き記しなさい。」²⁹
ユダの王エホヤキムについて、あなたは言わなければならない、『主はこう言われる、あなたはその巻物を焼き、「なぜバビロンの王が必ずこの地に来て、それを人も獣もない荒れ地にすると書いたのか」と言った。』³⁰
それゆえ、主はユダの王エホヤキムについてこう言われる、彼にはダビデの王座に座る者がいなくなる。彼の死体は昼は暑さにさらされ、夜は寒さにさらされる。³¹
私は彼と彼の子孫と彼の家来たちの不義を罰する。私は彼らとエルサレムの住民とユダの人々に、彼らが聞き入れなかったすべての災いをもたらす。』³²
その後、エレミヤはもう一つの巻物を取り、ネリヤの子バルクに渡し、エレミヤが口述すると、バルク

エレミヤ書

はユダの王エホヤキムが火で焼いた巻物のすべての言葉を書き記し、それに多くの同様の言葉を加えた。

37 ヨシヤの子ゼデキヤは、バビロンの王ネブカデネザルによってユダの王に任命され、エホヤキムの子エホヤキンの後を継いだ。

しかし、彼もその役人たちも、その地の民も、預言者エレミヤを通して語られた主の言葉に耳を傾けなかった。

しかし、ゼデキヤ王は、シェレミヤの子エフカルと、マアセヤの子である祭司ゼパニヤをエレミヤ預言者のもとに送り、「どうか私たちのために私たちの神、主に祈ってください」と頼んだ。

この時、エレミヤはまだ監禁されておらず、人々の中を自由に動き回ることができた。

ファラオの軍隊がエジプトから出発し、エルサレムを包囲していたバビロニア人がその知らせを聞いたとき、彼らはエルサレムから撤退した。

その時、主からエレミヤ預言者に言葉があった。

「イスラエルの神、主はこう言われる。あなたを私に尋ねに遣わしたユダの王に告げよ、『見よ、あなたを助けるために出発したファラオの軍隊は、自分たちの国エジプトに戻る。』」

その後、バビロニア人は戻ってきてこの町と戦い、それを捕らえ、火を放つ。』

主はこう言われる。『自分たちを欺いて、「バビロニア人は確かに私たちを去る」と思っているのではない。彼らは去らない！』

たとえあなたが攻撃しているバビロニア軍全体を打ち破り、負傷者だけが彼らの天幕に残っても、彼らは立ち上がり、この町に火を放つだろう。』」

ファラオの軍隊のためにバビロニア軍がエルサレムから撤退したとき、

エレミヤはエルサレムを出発し、ベニヤミンの地に行き、そこでの人々の中で自分の持ち分の財産を請求しようとした。

しかし、ベニヤミン門に到達したとき、警備隊の長であるハナニヤの子シェレミヤの子イリヤが彼を逮捕し、「あなたはバビロニア人に寝返ろうとしている！」と言った。

「それは誤りだ！」とエレミヤは答えた。「私はバビロニア人に寝返ろうとしているのではない。」しかし、イリヤは聞かず、エレミヤを逮捕し、役人たちのもとに連れて行った。

役人たちはエレミヤに怒り、彼を打ち、書記官ヨナタンの家に監禁した。その家は牢獄に改造されていた。

エレミヤは地下牢の丸天井の部屋に置かれ、そこに多くの日を過ごした。

その後、ゼデキヤ王は彼を呼び寄せ、宮殿で密かに彼に尋ねた。「主からの言葉はあるか？」エレミヤは答えた。「はい、あなたはバビロンの王に引き渡されるでしょう。」

エレミヤはまたゼデキヤ王に言った。「私があなたやあなたの役人、またはこの民に対してどんな罪を犯したので、私を監禁したのですか？」

今、あなたに預言して、『バビロンの王はあなたやこの地を攻撃しない』と言ったあなたの預言者たちはどこにいますか？

しかし今、私の主である王よ、どうか私の願いを聞いてください。私を再び書記官ヨナタンの家に送らないでください。さもないと私はそこで死んでしまいます。」

その後、ゼデキヤ王はエレミヤを警備隊の庭に置き、町のパン屋の通りから毎日一つのパンを与えるよう命じた。町のパンが尽きるまで。こうしてエレミヤは警備隊の庭に留まった。

38 マタンの子シェファティヤ、バシュフルの子ゲダルヤ、シェレミヤの子ユカル、マルキヤの子バシュフルは、エレミヤがすべての民に語っている言葉を聞いた。

「主はこう言われる、『この町にとどまる者は剣、飢饉、疫病で死ぬ。しかし、カルデア人に降伏する者は生き延びる。彼らは命を得て生きる。』」

主はこう言われる、『この町は必ずバビロンの王の軍隊の手に渡され、彼はそれを捕らえる。』」

そのとき、官吏たちは王に言った、「この男は死刑にされるべきです。彼はこの町に残っている兵士たちやすべての民を、この言葉を語ることで落胆させています。この男はこの民の幸福を求めているのではなく、むしろ害を求めています。」

ゼデキヤ王は言った、「見よ、彼はあなたたちの手にある。王はあなたたちに逆らうことはできない。」

そこで彼らはエレミヤを捕らえ、王の子マルキヤの水溜めに入れた。それは護衛の中庭にあった。彼らはエレミヤを縄で水溜めに下ろした。それには水がなく、ただ泥があり、エレミヤは泥に沈んだ。

しかし、王宮の役人であるクシュ人のエベデ・メレクは、彼らがエレミヤを水溜めに入れたことを聞いた。そのとき、王はベニヤミン門に座っていた。エベデ・メレクは宮殿から出て、王に言った、

「我が主、王よ、これらの人々は預言者エレミヤに対して行ったすべてのことにおいて悪を行いました。彼を水溜めに投げ入れました。彼は飢饉のために死ぬでしょう。町にはもうパンがありません。」

エレミヤ書

すると王はクシュ人のエベデ・メレクに命じて言った、「ここから三十人を連れて行き、預言者エレミヤを水溜めから引き上げなさい。彼が死ぬ前に。」¹¹

そこでエベデ・メレクは人々を連れて行き、宮殿の宝物庫の下の部屋に行った。彼はそこから古びた衣服やぼろ布を取り、縄でエレミヤに水溜めに下ろした。¹²

クシュ人のエベデ・メレクはエレミヤに言った、「これらの古びた衣服やぼろ布をあなたの腕の下に置き、縄を保護しなさい。」エレミヤはそうした。¹³ 彼らは縄で彼を引き上げ、水溜めから彼を連れ出した。エレミヤは護衛の中庭にとどまった。¹⁴

その後、ゼデキヤ王は預言者エレミヤを呼び寄せ、主の家の第三の入口に連れてきた。王はエレミヤに言った、「私はあなたに尋ねることがある。私に何も隠さないでくれ。」¹⁵

エレミヤはゼデキヤに言った、「もし私があなたに告げても、あなたは確かに私を殺さないでしょうか。たとえ私があなたに助言を与えても、あなたは私の言うことを聞かないでしょう。」¹⁶

しかし、ゼデキヤ王はエレミヤに密かに誓って言った、「主が生きておられる限り、私たちに命を与えられた方として、私はあなたを殺さず、あなたを殺そうとする者たちに引き渡さない。」¹⁷

その後、エレミヤはゼデキヤに言った、「イスラエルの神、万軍の主はこう言われる、『もしあなたがバビロンの王の役人たちに降伏するなら、あなたの命は助かり、この町は焼かれず、あなたとあなたの家族は生き残る。』」¹⁸

しかし、もしあなたがバビロンの王の役人たちに降伏しないなら、この町はカルデア人の手に渡され、彼らはそれを焼き払い、あなた自身は彼らから逃れることはできない。』」¹⁹

ゼデキヤ王はエレミヤに言った、「私はカルデア人に降ったユダヤ人たちを恐れています。彼らが私を彼らに引き渡し、私を虐待するかもしれません。」²⁰

エレミヤは答えた、「彼らはあなたを引き渡しません。主の言葉に従って、私が言うことを行いなさい。そうすれば、あなたはうまくいき、命を得ることができます。」²¹

しかし、もし降伏しないことを選ぶなら、主は私に次のことを示されました。²²

『見よ、ユダの王の宮殿に残されたすべての女たちはバビロンの王の役人たちのもとに連れ出される。これらの女たちはあなたに言うでしょう、「あなたの親しい友人たちはあなたを誤導し、あなたを圧倒しました。あなたの足は泥に沈んでいます。彼らは

あなたを見捨てました。」²³

「あなたの妻たちと子供たちはすべてカルデア人に連れ出される。あなた自身は彼らの手から逃れることはできず、バビロンの王に捕らえられ、この町は焼き払われる。」』²⁴

その後、ゼデキヤはエレミヤに言った、「この会話について誰にも知らせないでください。さもないと、あなたは危険にさらされるかもしれません。」²⁵ もし官吏たちが私があなたと話したことを聞いて、あなたのもとに来て、『王に何を言ったのか、王があなたに何を言ったのか教えてください。それを隠さないでください。さもないと、あなたを殺します』と言ったら、²⁶

彼らに『私はヨナタンの家に戻されて死ぬことがないように、王にお願いしていました』と言いなさい。」²⁷

すべての官吏たちはエレミヤのもとに来て彼に質問し、彼は王が命じたすべての言葉に従って彼らに報告した。それで彼らは彼と話すのをやめた。誰もその会話を聞いていなかったからである。²⁸

そしてエレミヤはエルサレムが捕らえられる日まで護衛の中庭にとどまった。

39 ユダの王ゼデキヤの第九年の第十の月に、バビロンの王ネブカデネザルが全軍を率いてエルサレムに進軍し、これを包囲した。²

ゼデキヤの第十一年の第四の月の九日、町の城壁が破られた。³

そのとき、バビロンの王のすべての高官たちが中の門に入り、座を占めた。サムガルのネルガル・シャレゼル、総司令官ネボ・サルセキム、高官ネルガル・シャレゼル、そしてバビロンの王の他のすべての高官たちである。⁴

ユダの王ゼデキヤとすべての兵士たちは彼らを見て、夜のうちに王の庭を通り、二つの城壁の間の門を経てアラバへと逃げた。⁵

しかし、カルデア軍は彼らを追い、エリコの平原でゼデキヤに追いついた。彼らは彼を捕らえ、ハマテの地リブラでバビロンの王ネブカデネザルのもとに連れて行き、彼に判決を下した。⁶

リブラで、バビロンの王はゼデキヤの息子たちを彼の目の前で殺し、またユダのすべての貴族たちを処刑した。⁷

その後、彼はゼデキヤの目をつぶし、青銅の鎖で縛ってバビロンへ連れ去った。⁸

カルデア人は王宮と民家に火を放ち、エルサレムの城壁を破壊した。⁹

護衛隊の長ネブザラダンは、町に残っていた民と彼に降伏した者たち、そして残りの民をバビロンへ追

エレミヤ書

放した。¹⁰
護衛隊の長ネブザラダンは、ユダの地に何も持たない貧しい人々を残し、その時彼らにぶどう畑と畑を与えた。¹¹
バビロンの王ネブカデネザルは、護衛隊の長ネブザラダンを通じてエレミヤについて命令を出していた。¹²
「彼を連れ出し、彼をよく見守れ。彼に害を加えず、彼の求めることを何でもしてやれ。」¹³
それで、護衛隊の長ネブザラダン、総司令官ネブシヤズバン、高官ネルガル・シャレゼル、そしてバビロンの王のすべての高官たちは、¹⁴
エレミヤを護衛の庭から連れ出し、彼をアヒカムの子シャファンの子ゲダルヤに託して家に連れて行かせた。こうして彼は自分の民の中に留まった。¹⁵
エレミヤが護衛の庭に閉じ込められていたとき、主の言葉が彼に臨んだ。¹⁶
「行ってクシュエベデ・メレクに言え、『イスラエルの神、万軍の主はこう言われる。この町に私の言葉をもたらそうとしている。それは災いの言葉であり、繁栄の言葉ではない。それらはあなたの目の前で成就する。』¹⁷
しかし、その日には私はあなたを救い出す、と主は言われる。あなたが恐れている者たちに引き渡されることはない。¹⁸
私は必ずあなたを救う。あなたは剣で倒れることはなく、命を持って逃れることができる。なぜなら、あなたが私を信頼したからだ、と主は言われる。』
」

40 ネブザラダン、護衛隊の長がラマでエレミヤを解放した後、主からエレミヤにきたメッセージ。彼はエレミヤを、バビロンに連れて行かれるエルサレムとユダの捕虜たちの中で鎖に繋がれているのを見つけた。²
護衛隊の長はエレミヤを連れて行き、彼に言った。「あなたの神、主はこの場所にこの災いを宣告された。³
そして今、主はそれを実現された。これはあなたたちが主に対して罪を犯し、その声に聞き従わなかったために起こったのです。⁴
しかし今日、私はあなたの手の鎖を解放します。もしバビロンに私と一緒に来たいのなら来なさい、私はあなたの世話をします。しかし、来たくないのなら来なくてよい。見よ、全地があなたの前にあります。あなたが行くのに良いと思うところに行きなさい。」⁵
エレミヤがまだ行くことを決めていない間に、ネブザラダンはさらに言った。「バビロンの王がユダの町々の上に任命したアヒカムの子ゲダルヤのところ

に戻り、彼と共に民の中に留まるか、あなたが良いと思うところに行きなさい。」それから護衛隊の長は彼に食料と贈り物を与えて彼を送り出した。⁶
それでエレミヤはミツパでアヒカムの子ゲダルヤのところに行き、その地に残された民の中に留まった。⁷
野にいる全ての軍隊の指揮官たちとその部下たちが、バビロンの王がアヒカムの子ゲダルヤを地の総督に任命し、彼をバビロンに追放されなかった地の最も貧しい人々の上に置いたと聞いたとき、⁸
彼らはミツパでゲダルヤのところに来た。ネタニヤの子イシュマエル、カレアの子ヨハナンとヨナタン、タヌメデの子セラヤ、ネトファ人エファイの子たち、マアカ人アザニヤとその部下たちと共に。⁹
アヒカムの子ゲダルヤ、シャファンの子は彼らとその部下たちに保証して言った。「バビロン人に仕えることを恐れないでください。地に住み、バビロンの王に仕えれば、あなたがたはうまくいくでしょう。¹⁰
私としては、ミツパに留まり、私たちのところに来るバビロン人の前であなたがたを代表します。しかし、あなたがたはワイン、夏の果物、オリーブ油を集め、それを壺に蓄え、あなたがたが占領した町々に住みなさい。」¹¹
モアブ、アモン、エドム、および周辺のすべての国々にいたユダヤ人が、バビロンの王がユダに残りの者を残し、アヒカムの子ゲダルヤを彼らの上に総督として任命したと聞いたとき、¹²
彼らはすべて散らされていた国々からユダの地に戻り、ミツパのゲダルヤのところに来た。そして彼らは豊富なワインと夏の果物を集めた。¹³
カレアの子ヨハナンとまだ野にいる全ての軍隊の指揮官たちがミツパのゲダルヤのところに来た。¹⁴
そして彼に言った。「アモン人の王バアリスがネタニヤの子イシュマエルを送ってあなたの命を狙っていることを知っていますか？」しかし、アヒカムの子ゲダルヤは彼らを信じなかった。¹⁵
それからカレアの子ヨハナンはミツパでゲダルヤに密かに言った。「私に行かせてネタニヤの子イシュマエルを殺させてください、誰もそれを知ることはありません。なぜ彼があなたの命を奪い、あなたの周りに集まったユダヤ人を散らし、ユダの残りの者を滅ぼすことになるのですか？」¹⁶
しかし、アヒカムの子ゲダルヤはカレアの子ヨハナンに言った。「そんなことをしてはいけません！あなたがイシュマエルについて言っていることは真実ではありません。」

41 第七の月に、王家の血筋であり、王の役人の一人であるネタニヤの子イシュマエル、エリシャマの子が、十人の男と共にミツパのアヒカムの子ゲダリヤのもとに来了。彼らがそこで共にパンを食べているとき、
 2 ネタニヤの子イシュマエルと彼と共にいた十人の男たちは立ち上がり、アヒカムの子ゲダリヤ、シャファンの子とを剣で打ち殺した。彼はバビロンの王が地の総督に任命した者であった。
 3 イシュマエルはまた、ミツパでゲダリヤと共にいたすべてのユダヤ人と、そこにいたカルデヤの兵士たちを殺した。
 4 ゲダリヤの暗殺の翌日、まだ誰もそれを知らないうちに、
 5 シェケム、シロ、サマリアから八十人の男たちが、ひげを剃り、衣服を裂き、体を傷つけて、主の家に穀物の供え物と香を持って来た。
 6 ネタニヤの子イシュマエルはミツパを出発し、彼らに会いに行き、近づくと泣いていた。彼らに会うと、「アヒカムの子ゲダリヤのもとに来なさい」と言った。
 7 彼らが町に入るやいなや、ネタニヤの子イシュマエルと彼と共にいた男たちは彼らを殺し、貯水槽に投げ込んだ。
 8 しかし、十人の者がイシュマエルに「私たちを殺さないでください！ 私たちは畑に小麦、大麦、油、蜂蜜を隠しています」と言ったので、彼は思いどまり、他の者たちと共に彼らを殺さなかった。
 9 イシュマエルがゲダリヤのために殺した男たちの遺体を投げ込んだ貯水槽は、イスラエルの王バアシャに対抗するためにアサ王が築いたものであった。ネタニヤの子イシュマエルはそれを死体で満たした。
 10
 イシュマエルはミツパにいた残りの人々、王の娘たちや、護衛隊長ネブザラダンがアヒカムの子ゲダリヤの管理下に置いたすべての者たちを捕らえた。ネタニヤの子イシュマエルは彼らを捕らえ、アンモン人のもとへ向かった。
 11 カレアの子ヨハナンと彼と共にいたすべての軍の指揮官たちが、ネタニヤの子イシュマエルが行ったすべての悪事を聞いたとき、
 12 彼らはすべての男たちを連れて、ネタニヤの子イシュマエルと戦うために行った。彼らはギベオンの大きな池の近くで彼を見つけた。
 13 イシュマエルと共にいたすべての人々が、カレアの子ヨハナンと彼と共にいた軍の指揮官たちを見たとき、彼らは大いに喜んだ。
 14 イシュマエルがミツパから捕らえてきたすべての人

々は、カレアの子ヨハナンのもとに行った。
 15 しかし、ネタニヤの子イシュマエルは八人の男と共にヨハナンから逃れ、アンモン人のもとへ逃げた。
 16

その後、カレアの子ヨハナンと彼と共にいたすべての軍の指揮官たちは、ネタニヤの子イシュマエルがアヒカムの子ゲダリヤを殺した後に彼から取り戻したミツパのすべての残りの人々、兵士、女性、子供、宮廷の役人たちをギベオンから連れ戻した。
 17 彼らはエジプトに行こうとして、バツレヘム近くのゲルテ・キムハムに滞在した。
 18 彼らはカルデヤ人を恐れていた。なぜなら、ネタニヤの子イシュマエルが、バビロンの王が地の総督に任命したアヒカムの子ゲダリヤを殺したからである。

42 そのとき、カレアの子ヨハナンとホシャヤの子エザニヤを含むすべての軍の指揮官たち、そして最小の者から最大の者までのすべての民が近づいてきた。
 2 そして預言者エレミヤに言った、「どうか私たちの願いを聞いて、あなたの神、主にこの残りの者全体のために祈ってください。ご覧のとおり、私たちは多くの中からほんの少ししか残っていません。
 3 主が私たちに歩むべき道と、何をすべきかを示してください。」「
 4 預言者エレミヤは答えた、「あなたたちの言うことを聞きました。あなたたちの願い通りにあなたの神、主に祈り、主が私に与えるすべての言葉を、何も隠さずにあなたたちに伝えます。」
 5 すると彼らはエレミヤに言った、「もし私たちがあなたの神、主があなたに伝えるように送るすべての言葉に従わないなら、主が私たちに対して真実で忠実な証人となりますように。
 6 それが好ましいことであろうと、好ましくないことであろうと、私たちはあなたを送る私たちの神、主の声に耳を傾けます。そうすれば、私たちが私たちの神、主の声に従うとき、私たちに良いことがあるでしょう。」
 7 十日後、主の言葉がエレミヤに臨んだ。
 8 そこで彼はカレアの子ヨハナンと彼と共にいるすべての軍の指揮官たち、そして最小の者から最大の者までのすべての民を呼び寄せた。
 9 彼は彼らに言った、「これはあなたたちが願いを伝えるために私を送ったイスラエルの神、主が言われることです。
 10 『もしこの地に留まるなら、私はあなたたちを建て上げ、引き倒さず、植え付け、引き抜かない。私はあなたたちに降りかかった災いを思い直したからです。』
 11

エレミヤ書

今あなたがたが恐れているバビロンの王を恐れるな。彼を恐れるな、と主は宣言する。私はあなたがたと共にいて、彼の手から救い出すからです。¹²

私はあなたがたに慈悲を示し、彼があなたがたに憐れみを示し、あなたがたを自分の土地に戻すようにします。』¹³

しかし、もしあなたがたが『この地に留まらない』と言って、あなたがたの神、主の声に従わないなら、¹⁴

そして『いや、私たちはエジプトに行き、戦争を見ず、ラッパの音を聞かず、パンに飢えない』と言うなら、¹⁵

それなら、ユダの残りの者よ、主の言葉を聞け。これは万軍の主、イスラエルの神が言われることです。『もしあなたがたがエジプトに行ってそこに住むことを決意するなら、¹⁶

あなたがたが恐れる剣がそこにあなたがたを見つけ、あなたがたが恐れる飢饉がエジプトであなたがたに追いつき、そこであなたがたは滅びるでしょう。¹⁷

実際、エジプトに行って住むことを決意したすべての者は、剣、飢饉、疫病によって死に、私が彼らに降りかかる災いから生き残る者はいないでしょう。』¹⁸

これは万軍の主、イスラエルの神が言われることです。『私の怒りと憤りがエルサレムの住民に注がれたように、あなたがたがエジプトに入るとき、私の憤りがあなたがたに注がれる。あなたがたは呪い、恐怖の対象、呪いの言葉、恥辱となり、二度とこの場所を見ることはないでしょう。』¹⁹

主はあなたがたに語られました、ユダの残りの者よ、『エジプトに行くな！』これを確信しなさい。私は今日あなたがたに警告しました。²⁰

あなたがたは自分自身を欺きました。あなたがたは私をあなたがたの神、主に送って、『私たちの神、主に祈ってください。私たちの神、主が言われるすべてを私たちに伝えてください、そして私たちはそれを行います』と言ったからです。²¹

私は今日あなたがたに伝えましたが、あなたがたは私たちの神、主が私に伝えるように送ったすべてに従わなかった。²²

だから今、これを確信しなさい。あなたがたは、あなたがたが行って住むことを望む場所で、剣、飢饉、疫病によって死ぬでしょう。』

43 主なる彼らの神が遣わされたエレミヤが、主なる彼らの神のすべての言葉を民に伝え終えたとき—これらすべての言葉—²

ホシャヤの子アザリヤ、カレアの子ヨハナン、およびすべての高慢な者たちはエレミヤに言った、「あ

なたは嘘をついている！主なる我々の神は、『あなたがたはエジプトに行ってそこに住んではならない』と告げるためにあなたを遣わしてはいない。³

しかし、ネリヤの子バルクがあなたを我々に対して扇動し、我々をバビロン人の手に渡そうとしているのだ。彼らは我々を殺すか、バビロンに追放するだろう。』⁴

こうしてカレアの子ヨハナンとすべての軍の指揮官たち、およびすべての民は、ユダの地に留まるようにという主の命令に従わなかった。⁵

代わりに、カレアの子ヨハナンとすべての軍の指揮官たちは、散らされていたすべての国々から戻ってきたユダの残りの者たち全員を連れて、ユダの地に住むために—⁶

男たち、女たち、子供たち、王の娘たち、および護衛隊長ネブザラダンがアヒカムの子ゲダルヤと共に残っていたすべての者、預言者エレミヤとネリヤの子バルク—⁷

彼らはエジプトに入り、主の声に従わず、タハパンヘスまで行った。⁸

タハパンヘスで、主の言葉がエレミヤに臨んだ、言われた、⁹

「あなたの手に大きな石を取り、タハパンヘスのパロの宮殿の入口にある煉瓦のテラスの粘土に埋めなさい、ユダヤ人の何人かの目の前で。¹⁰

そして彼らに言いなさい、『イスラエルの神、万軍の主はこう言われる：私はバビロンの王ネブカデネザル、私の僕を呼び寄せ、私が隠したこれらの石の上に彼の王座を置く。彼はその上に彼の王室の天幕を広げる。』¹¹

彼は来てエジプトの地を打ち、死に定められた者を死に、捕虜に定められた者を捕虜に、剣に定められた者を剣に渡す。¹²

彼はエジプトの神々の神殿に火を放ち、それらを焼き、その神々を捕虜にする。羊飼いが自分の衣を身にまとうように、彼はエジプトを身にまとい、無事に去る。¹³

彼はまた、エジプトの地にあるヘリオポリスの石柱を打ち壊し、エジプトの神々の神殿を火で焼く。』

44 エジプトの地に住んでいるすべてのユダヤ人、ミグドル、タフパネス、メンフィス、バトロスの地方に住んでいる者たちに対して、エレミヤに与えられた言葉、²

「万軍の主、イスラエルの神はこう言われる。あなたがたは、私がエルサレムとユダのすべての町に下した災害を見た。それらは今や荒廃し、住む者もない。³

それは、彼らが悪事を働き、私を怒らせ、彼らもあ

エレミヤ書

なたたちもあなたたちの先祖も知らなかった他の神々に犠牲を焼き、仕えたからである。⁴

私はすべての僕である預言者たちをあなたたちに繰り返し送り、『私が忌み嫌うこの忌まわしい行いをしてはならない』と言った。⁵

しかし、あなたたちは聞き入れず、耳を傾けて悪を離れ、他の神々に犠牲を焼くことをやめようとしなかった。⁶

それゆえ、私の怒りと憤りがユダの町々とエルサレムの通りに注がれ、焼き尽くし、今日のように荒廃し、無人となった。⁷

今、万軍の主、イスラエルの神はこう言われる。なぜあなたたちは自らに大きな害をもたらし、ユダから男も女も、子供も乳飲み子も断ち切り、残りを残さないようにするのか。⁸

なぜあなたたちは、住んでいるエジプトの地で他の神々に犠牲を焼き、私を怒らせ、地のすべての国々の間で呪いと非難的となるようにするのか。⁹

あなたたちの先祖の悪事、ユダの王たちの悪事、その妻たちの悪事、あなたたち自身の悪事、あなたたちの妻たちの悪事を忘れたのか。それらはユダの地とエルサレムの通りで行われた。¹⁰

今日に至るまで、彼らは自らを低くし、敬意を示さず、私があなたたちとあなたたちの先祖の前に置いた私の律法と命令に従っていない。¹¹

それゆえ、万軍の主、イスラエルの神はこう言われる。私はあなたたちに災いをもち、ユダを全滅させることを決意している。¹²

エジプトに入って住むことを決心したユダの残りの者を取り去り、彼らは皆エジプトで終わりを迎える。彼らは剣で倒れ、飢饉で滅びる。最小の者から最大の者まで、彼らは剣と飢饉で死に、呪い、恐怖、呪い、恥辱的となる。¹³

私はエジプトに住む者たちを、エルサレムを罰したように、剣と飢饉と疫病で罰する。¹⁴

エジプトに住むために行ったユダの残りの者は、ユダの地に戻って住むことを望んでいるが、逃げる者はほとんどいない。¹⁵

その時、他の神々に犠牲を焼いていることを知っていたすべての男たちと、そばに立っていたすべての女たち―大勢の集まり―

そしてエジプトの地、バトロスに住むすべての人々がエレミヤに答えた。¹⁶

「私たちは、あなたが主の名によって私たちに語った言葉を聞きません。¹⁷

私たちは、私たちの口から出たすべての言葉を確実に実行し、天の女王に犠牲を焼き、彼女に飲み物の捧げ物を注ぐでしょう。それは、私たち、私たちの先祖、私たちの王たち、私たちの指導者たちがユダ

の町々とエルサレムの通りで行ったことです。その時、私たちは食べ物が豊富で、良い生活を送り、災いを見ませんでした。¹⁸

しかし、私たちが天の女王に犠牲を焼き、彼女に飲み物の捧げ物を注ぐのをやめてから、私たちはすべてを失い、剣と飢饉で滅びつつあります。」¹⁹

女たちは付け加えた、「私たちが天の女王に犠牲を焼き、彼女に飲み物の捧げ物を注いだとき、私たちの夫なしで彼女の像にケーキを作り、彼女に飲み物の捧げ物を注いだのでしょうか。」²⁰

すると、エレミヤはこの答えをしているすべての人々、男も女もに言った。²¹

「ユダの町々とエルサレムの通りで、あなたたちとあなたたちの先祖、あなたたちの王たち、あなたたちの指導者たち、そして地の人々が焼いた犠牲を、主が思い出し、心に留めなかったでしょうか。」²²

主はあなたたちの悪事とあなたたちの行った忌まわしいことに耐えられなくなり、あなたたちの地は今日のように呪いと荒廃の地となった。²³

あなたたちが犠牲を焼き、主に罪を犯し、彼に従わず、彼の律法、彼の定め、彼の証言に従わなかったため、この災いがあなたたちに降りかかったのです。」²⁴

その後、エレミヤはすべての人々、特にすべての女たちに言った、「エジプトの地にいるすべてのユダよ、主の言葉を聞け。²⁵

万軍の主、イスラエルの神はこう言われる。あなたたちとあなたたちの妻たちは口で語り、手でそれを果たし、『私たちは確かに天の女王に犠牲を焼き、彼女に飲み物の捧げ物を注ぐという誓いを果たします』と言いました。どうぞ、誓いを果たし、それを実行しなさい！」²⁶

しかし、エジプトの地に住むすべてのユダよ、主の言葉を聞け。『私は私の大いなる名にかけて誓った』と主は言われる。『エジプトの地のすべてのユダの口から、再び私の名が呼ばれることはない。「主なる神が生きておられる」と。²⁷

私は彼らを見守っているが、それは良いことのためではなく、害のためである。エジプトの地にいるユダのすべての人々は、剣か飢饉で終わりを迎えるまで滅びる。²⁸

剣を逃れた者は、少数でエジプトの地からユダの地に戻る。その時、エジプトに住むために行ったユダの残りの者は、私の言葉が立つか彼らの言葉が立つかを知ることになる。²⁹

これはあなたたちへのしるしである』と主は宣言される。『私はこの場所であなたたちを罰しようとしているので、私の言葉が確実にあなたたちに対して害をもたらすことを知るために。³⁰

エレミヤ書

主はこう言われる。『私はエジプトの王ファラオ・ホフラを彼の敵、彼の命を求める者たちの手に渡す。ちょうど私がユダの王ゼデキヤを彼の敵であり、彼の命を求める者であるバビロンの王ネブカドネザルの手に渡したように。』

45 これは、ユダの王ヨシヤの子エホヤキムの第四年に、エレミヤが口述したこれらの言葉を書物に書き記したネリヤの子バルクに、預言者エレミヤが伝えたメッセージである。²
「イスラエルの神、主があなたに語るメッセージはこうである、バルクよ。³
『あなたは言った、「ああ、わたしは苦しい！主はわたしの痛みに悲しみを加えられた。わたしはうめき疲れて、安らぎを見つけれない。」』⁴
彼にこう言いなさい、『主はこう言われる、「見よ、わたしが建てたものをわたしは壊し、わたしが植えたものをわたしは引き抜く。この全地について。⁵

しかし、あなたは自分のために大いなることを求めているのか？
それを求めてはならない。わたしはすべての人々に災いをもたらすからである」と主は宣言される、「しかし、あなたが行くところどこでも、わたしはあなたの命を戦利品として与える。』」

46 これは諸国民について預言者エレミヤに届いた主の言葉である。²
エジプトについて：これはエジプトの王ファラオ・ネコの軍隊についてのメッセージである。彼らはユーフラテス川のカルケミシュでバビロンの王ネブカドネザルに敗れた。ユダの王ヨシヤの子エホヤキムの第四年に起こったことである。³
「盾と大盾を準備し、戦いに進め！⁴
馬を装備し、騎乗せよ！ 兜をかぶって陣を取れ！⁵
槍を磨き、鎧を着よ！
なぜ彼らが恐れ、退却し、戦士たちが打ち負かされているのを見ているのか？
彼らは振り返ることなく急いで逃げ、四方に恐怖がある」と主は宣言する。⁶
「速い者も逃げられず、戦士も逃げられない。彼らは北のユーフラテス川のほとりでつまずき、倒れた。⁷
これはナイルのように立ち上がる者は誰か、激しい水流のような者は誰か？⁸
エジプトはナイルのように立ち上がり、水が激しく流れる川のように。彼女は言う、『私は立ち上がり、地を覆い、都市とその住民を滅ぼす。』⁹
馬よ、突進せよ！ 戦車よ、激しく駆けよ！
戦士たちよ、進め—

盾を持つクシュとプトの人々、弓を引くリディアの人々。¹⁰
その日は主、全能の主の日であり、敵に報復する日である。剣は食らい、満足し、血を飲み干す。主、全能の主は北の地、ユーフラテス川のほとりで犠牲を捧げる。¹¹
「ギレアデに上り、バルサムを得よ、乙女エジプトよ。あなたは多くの治療を無駄にしたが、あなたには癒しがない。¹²
諸国民はあなたの恥を聞き、あなたの叫びは地を満たしている。一人の戦士が他の戦士につまずき、共に倒れた。」¹³
これはバビロンの王ネブカドネザルがエジプトを攻撃するために来ることについて、主が預言者エレミヤに与えた言葉である。¹⁴
「エジプトでこれを告げ、ミグドルで宣言せよ；メンフィスとタハペネスでもこれを宣言せよ：『陣を取り、準備せよ、剣があなたの周りを食うからだ。¹⁵
なぜあなたの戦士たちは打ち倒されたのか？
彼らは立つことができない、主が彼らを倒したからだ。¹⁶
彼らは何度もつまずき、実際に互いに倒れる。彼らは言う、『立ち上がれ、私たちの民と故郷に戻ろう、抑圧者の剣から離れて。』¹⁷
そこで彼らは叫ぶ、『エジプトの王ファラオはただの大きな音に過ぎない；彼は機会を逃した。』¹⁸
「私が生きている限り」と万軍の主という名の王が宣言する、「タボルが山々の中にあるように、カルメルが海のそばにあるように、一人が来る。¹⁹
エジプトに住む者よ、亡命のために荷物をまとめよ、メンフィスは荒廃し、住む者のない廃墟となる。²⁰
エジプトは美しい若い雌牛のようだが、北から彼女に対して蛇が来る。²¹
彼女の隊列の傭兵たちはよく肥えた子牛のようだ。彼らもまた共に逃げ去り、立ち止まることはない、災難の日が彼らに訪れるからだ、彼らが罰せられる時が来る。²²
彼女の音は逃げる蛇のように動く、敵が力を持って進むとき；彼らは斧を持って彼女に向かう、木を切り倒す者のように。²³
彼らは彼女の森を伐採する」と主は言う、「それがどんなに密であっても。彼らはバッタよりも多く、数えきれない。²⁴
娘エジプトは恥をかかされ、北の民の手に渡される。」²⁵
全能の主、イスラエルの神は言う：「私はテーベの神アモン、ファラオ、エジプトとその神々とその王

エレミヤ書

たち、ファラオに頼る者たちに裁きを下そうとして
いる。²⁶ 私は彼らを命を狙う者たちの手に渡す—
バビロンの王ネブカドネザルとその役人たち。しか
し後に、エジプトは昔のように住まわれる」と主は
宣言する。²⁷

「しかし、私のしもべヤコブよ、恐れるな、イスラ
エルよ、恐れおののくな。私は確かにあなたを遠く
から救い出し、あなたの子孫を彼らの捕囚の地から
救い出す。ヤコブは帰り、平和と安全を得て、誰も
彼を恐れさせる者はいない。²⁸

恐れるな、私のしもべヤコブよ、私はあなたと共に
いる」と主は宣言する。「私はあなたを散らしたす
べての国々を完全に滅ぼすが、あなたを完全には滅
ぼさない。私は適切な範囲であなたを懲らしめるが
、完全に罰を免れさせることはない。」

47 エレミヤに臨んだ主の言葉。ファラオがガ
ザを攻撃する前に、ペリシテ人について預
言したものである。²

万軍の主はこう言われる。「見よ、北から水が上が
ってくる—

それは溢れる洪水となり、地とそのすべてを満たす
ものを覆い尽くす。

その町とその住民は下っていく。その日、戦士たち
は叫ぶだろう。³ 盾と盾の音、戦いの叫びの音！
主がペリシテ人の地を滅ぼし、海岸の住民を一掃さ
れるからだ。⁴ ガザには禿げが来た。

アシュケロンは完全に切り離された。

オレムとガザは恥じる。彼らは自信を失った。

王とその君主たちは共に去った。⁵

海岸の残りの者よ、

いつまで自らを傷つけるのか？

主はあなたを創造された。

彼はあなたを厳しく罰し、健康を回復させる。⁶

万軍の主は言われる。「見よ、災いが海岸に—

ペリシテ人に—大きな破壊が来る。⁷

ガザには禿げが来た。アシュケロンは完全に切り離
された。オレムとガザは恥じる。

彼らは共に捕囚にされた。」

48 モアブについて。イスラエルの神、万軍の
主はこう言われる。「ネボに災いあれ、そ
れは滅ぼされる。キリヤタイムは恥をかか
され、捕らえられる。要塞は辱められ、打ち砕かれ
る。²

モアブはもはや称賛されない。ヘシュボンで彼女の
滅亡を企てている。『来たれ、彼女を国として断ち
切ろう。』あなたもまた、マドメンの民よ、沈黙さ
せられる。剣があなたを追う。³

ホロナイムから悲痛な叫びが上がる、『破壊と大い

なる滅亡！』⁴

モアブは打ち砕かれ、彼女の小さき者たちは苦しみ
の中で叫んだ。⁵

彼らはルビテの丘に登り、苦しみながら泣きながら
行く。ホロナイムの降り口で、破壊の悲痛な叫びを
聞く。⁶

逃げよ！命を救え。荒野の藪のようになれ。⁷

あなたが自分の行いと富に頼るので、あなたも捕ら
えられ、ケモシュは祭司や役人と共に捕囚に行く。⁸

破壊者がすべての町に来る。逃れる町はない。谷は
荒れ果て、高原は滅ぼされる。主が語られたとおり
に。⁹

モアブに翼を与えよ、彼女は荒れ果てる。彼女の町
々は無人の荒地となる。¹⁰

主の働きを怠惰に行う者は呪われよ！剣を血から引
く者は呪われよ！¹¹

「モアブは若い頃から安らかで、滓の上に落ち着い
た酒のようで、器から器に注がれず、捕囚に行っ
ていない。それで彼女はその風味を保ち、その香りは
変わらない。¹²

しかし日が来る」と主は言われる、「私は器を傾け
る者を送り、彼女を傾けさせる。彼らは彼女の瓶を
空にし、それを打ち砕く。¹³

その時、モアブはケモシュを恥じるようになる。イ
スラエルの家がベテルを頼りにした時に恥じたよう
に。¹⁴

どうして『我々は戦士であり、戦いに勇敢な男たち
だ』と言えるのか？¹⁵

モアブは滅ぼされ、彼女の町々は侵略される。彼女
の最良の若者たちは虐殺で倒れる」と、名を万軍の
主とする王が言われる。¹⁶

「モアブの災難は近づいており、彼女の災いは速や
かに来る。¹⁷

彼女のために嘆け、彼女の周りに住むすべての者、
彼女の名を知るすべての者よ。言え、『強き杖がど
れほど打ち砕かれたか、栄光の杖がどれほど打ち砕
かれたか！』¹⁸

あなたの栄光から降りて、乾いた地に座れ、ディボ
ンの娘の住民よ。モアブの破壊者があなたに向かっ
て上ってきて、あなたの要塞都市を滅ぼすからだ。¹⁹

道端に立って見守れ、アロエルに住む者よ。逃げる
男と逃れる女に尋ねよ、『何が起こったのか？』²⁰

モアブは恥をかかれ、彼女は打ち砕かれた。嘆き
叫べ！アルノンで宣言せよ、モアブは滅ぼされたと
。²¹ 裁きが高原に来た—

ホロン、ヤハズ、メファアテに、²²
ディボン、ネボ、ベテ・ディブラタイムの町々に、

エレミヤ書

23

キリヤタイム、ベテ・ガムル、ベテ・メオンの町々に、
24 ケリオテとボズラー
モアブのすべての町々に、近くも遠くも。

25

モアブの力は断たれ、彼女の力は打ち砕かれた」と
26 主は言われる。

「彼女を酔わせよ、彼女は主に逆らったからだ。モ
アブを彼女の吐物にまみれさせ、彼女を笑いのに
せよ。

27

イスラエルはあなたにとって笑いのものではなかった
か？彼女が盗賊の中に捕らえられたのか、あなたが
彼女を話すたびに頭を振って軽蔑するのか？

28

町々を離れ、岩の間に住め、モアブに住む者よ。洞
窟の口に巢を作る鳩のようになれ。

29

我々はモアブの誇りを聞いたー

彼女の高慢がどれほど大きいか！ー

彼女の傲慢、彼女の誇り、彼女の思い上がりと心の
高慢さを。

30

彼女の傲慢を知っている」と主は言われる、「しか
しそれは無駄だ。彼女の誇りは何も成し遂げない。

31

それゆえ、私はモアブのために嘆き、モアブ全体の
ために叫び、キル・ハレセテの民のために嘆く。
32 私はあなたのために泣く、ヤゼルが泣くように、シ
ブマのぶどうの木よ。あなたの枝は海を越えて広が
り、ヤゼルにまで達した。破壊者があなたの熟した
果実とぶどうに襲いかかった。

33

喜びと楽しみがモアブの果樹園と畑から消えた。私
は圧搾機からのワインの流れを止めた。誰も喜びの
叫びとともにそれを踏まない。叫びはあるが、それ
は喜びの叫びではない。

34

嘆きはヘシュボンからエレアレとヤハズに、ツォア
ルからホロナイムとエグラテ・シェリシャヤにまで
響き渡る。ニムリムの水さえも干上がっているから
だ。

35

モアブでは高き所で供え物をし、彼らの神々に香を
焚く者を終わらせる」と主は言われる。

36

「それゆえ、私の心はフルートの音楽のようにモア
ブのために嘆く。キル・ハレセテの民のために笛の
ように嘆く。彼らが得た富は失われた。

37

すべての頭は剃られ、すべてのひげは切られ、すべ
ての手には傷があり、腰には粗布が巻かれている。

38

モアブのすべての屋根と公の広場には嘆きしかない
。私は誰も望まない壺のようにモアブを打ち砕いた
からだ」と主は言われる。

39

「彼女はどれほど打ち砕かれたか！彼らはどれほど
嘆くか！モアブは恥じて背を向ける。モアブは笑い
ものとなり、その周りのすべての者に恐怖の対象と

なった。」

40

これは主が言われることだ。「見よ、鷲が舞い降り
、モアブの上に翼を広げている。

41

ケリオテは奪われ、要塞は占領される。その日、モ
アブの戦士たちの心は産みの苦しみをする女のように
に不安になる。

42

モアブは主に逆らったため、国として滅ぼされる。
43

恐怖、穴、畏がモアブの民を待っている」と主は言
われる。

44

「恐怖から逃れる者は穴に落ち、穴から這い上がる
者は畏にかかる。私はモアブに彼女の罰の年をもた
らすからだ」と主は言われる。

45

「ヘシュボンの影の中で逃亡者たちは無力で立っ
ている。ヘシュボンから火が出て、シホンの中から炎
が出て、モアブの額を焼き、声高な誇り高き者たち
の頭を焼く。

46

ああ、モアブよ！ケモシュの民は滅ぼされ、あなた
の息子たちは捕囚に、娘たちは捕らえられる。

47

「しかし、私は後の日にモアブの運命を回復する」
と主は言われる。ここにモアブに対する裁きが終わ
る。

49 アンモン人について。主はこう言われる。
「イスラエルには息子がいないのか。彼に
は相続人がいないのか。それならなぜマル
カムがガドを占領し、その民がその町々に住んでい
るのか。

2

それゆえ、見よ、その日が来る」と主は宣言される
。「私はアンモン人のラバに対して戦いの叫びを上
げる。その町は荒れ果てた塚となり、その周囲の町
々は火で焼かれる。その後、イスラエルは彼女を奪
った者たちを再び占領する」と主は言われる。

3

「ヘシュボンよ、嘆け。アイは滅ぼされた。ラバの
住民よ、叫べ。荒布をまとい、嘆け。城壁の中を行
き来せよ。マルカムはその祭司たちと指導者たちと
共に捕えられて行く。

4

なぜあなたは自分の谷、実り豊かな谷を誇るのか。
背信の娘アンモンよ、あなたは自分の宝を信頼し、
『誰が私を攻撃するのか』と言う。

5

見よ、私はあなたに恐怖をもたらす」と主、万軍の
神は宣言される。「あなたの周囲のすべての者から
。あなたの一人一人が追い払われ、逃亡者を集める
者はいない。

6

「しかしその後、私はアンモン人の繁栄を回復す
る」と主は宣言される。

7

エドムについて。万軍の主はこう言われる。「テマ
ンにはもはや知恵がないのか。賢者の助言は消え失
せたのか。彼らの知恵は腐ったのか。

8

逃げよ、引き返せ、深みに住め、デダンの住民よ。

エレミヤ書

私はエサウに災いをもたらす、その時に彼を罰する。
もしぶどう摘みがあなたのところに来たなら、いくらかの落ち穂を残さないだろうか。もし夜に盗賊が来たなら、彼らは欲しだけ盗むのではないか。
しかし私はエサウを裸にし、彼の隠れ場所を暴き、彼が自分を隠せないようにする。彼の子孫と兄弟たちは滅ぼされ、彼はもはや存在しない。
あなたの孤児を残せ。私は彼らを生かしておく。あなたの未亡人たちは私を信頼できる。」
主はこう言われる。「その杯を飲むことを命じられていない者たちがそれを飲まなければならないのなら、なぜあなたが罰を免れるのか。あなたは罰を免れず、それを飲まなければならない。
私は自分自身に誓った」と主は宣言される。「ボツラは廢墟となり、恥辱となり、荒地となり、呪いとなる。そのすべての町は永遠に廢墟となる。」
私は主からのメッセージを聞いた。使者が国々に送られ、「集まれ、彼女に対して来たれ！戦いのために立ち上がれ！」と言った。
「見よ、私はあなたを国々の間で取るに足らない者とし、人々に見下される者とした。
あなたが引き起こす恐怖とあなたの心の高慢があなたを欺いた。岩の裂け目に住み、丘の高みを占める者よ。たとえあなたが鷲のように巢を高く築いても、そこから私はあなたを引き下ろす」と主は宣言される。
「エドムは恐怖の場所となる。通り過ぎるすべての者がその傷のために驚き、あざける。
ソドムとゴモラとその隣接する町々が覆されたように」と主は言われる。「誰もそこに住まない。人々はそこに定住しない。
「ヨルダンの茂みから豊かな牧草地に上がってくるライオンのように、私は瞬時にエドムをその地から追い払う。誰がこれのために選ばれた者か。誰が私のようで、誰が私を法廷に召喚できるか。どの羊飼いが私に立ち向かえるか。」
それゆえ、エドムに対して主が計画したこと、テマーンに住む者たちに対して彼が意図したことを聞け。群れの若者たちは引きずり去られ、彼らの牧草地はその運命に驚く。
彼らの倒れる音で地は震え、その叫びは紅海にまで響く。
見よ、鷲が飛び上がり、ボツラの上に翼を広げる。その日、エドムの戦士たちの心は産みの苦しみをする女の心のようにになる。
 Damascusについて。「ハマテとアルバデは驚き、彼らは悲報を聞いた。彼らは心を痛め、動揺し、波立つ海のようになった。」

Damascusは弱くなった。彼女は逃げようとし、恐怖が彼女を捕らえた。苦痛と痛みが彼女を襲い、産みの苦しみをする女の痛みのようなのだ。
どうして名高い町、私が喜ぶ町が見捨てられないのか。
確かに、その若者たちはその通りで倒れ、その日のうちにすべての兵士が沈黙する」と万軍の主は宣言される。
「私はDamascusの城壁に火を放ち、それがベン・ハダデの要塞を焼き尽くす。」
ケダルとバビロンの王ネブカドネザルが攻撃したハツォルの王国について。主はこう言われる。「立ち上がり、ケダルを攻撃し、東の民を荒廃させよ。
彼らの天幕と羊の群れは奪われ、彼らの住まいはすべての財産とラクダと共に運び去られる。人々は彼らに叫ぶ、『周りには恐怖だ！』
「急いで逃げよ！深い洞窟に住め、ハツォルの住民よ」と主は宣言される。「バビロンの王ネブカドネザルがあなたに対して計画を立て、あなたに対して計画を練った。
「立ち上がり、安逸な国、安心して住んでいる国を攻撃せよ」と主は宣言される。「その国には門もかんぬきもなく、その民は危険から遠く離れて住んでいる。
彼らのラクダは略奪され、大きな群れは戦利品となる。私は髪の色を切る者たちを風に散らし、あらゆる側から彼らに災いをもたらす」と主は宣言される。
「ハツォルはジャッカルに住処となり、永遠に荒れ果てた場所となる。誰もそこに住まない。人々はそこに定住しない。」
ユダの王ゼデキヤの治世の初めに、預言者エレミヤにエラムについて臨んだ主の言葉。
万軍の主はこう言われる。「見よ、私はエラムの弓、その力の支えを折る。
私はエラムに四方から風をもたらし、彼らを風に散らし、エラムの亡命者が行かない国はない。
私は彼らの敵の前で、彼らの命を狙う者たちの前でエラムを打ち砕き、彼らに災いをもたらし、私の激しい怒りをもたらす」と主は宣言される。「私は彼らを剣で追い詰め、彼らを滅ぼし尽くす。
私はエラムに私の王座を据え、彼女の王と役人を滅ぼす」と主は宣言される。
「しかし、私は終わりの日にエラムの繁栄を回復する」と主は宣言される。

50 主が預言者エレミヤを通して、カルデアの地であるバビロンについて伝えたメッセージ：
「国々の間でそれを宣言し、知らせよ。旗を掲げ、

エレミヤ書

それを隠すな。言え、『バビロンが奪われた。ペルは恥をかき、マルドックは驚愕している。彼女の偶像是辱められ、彼女の像は打ち砕かれた。』³
北からの国が彼女に対して来るからである。それは彼女の地を荒廃させ、誰も住まないようにする。人も動物も逃げ去った。⁴
「その日、その時に」と主は言われる、「イスラエルの民とユダの民は共に来て、涙を流しながら彼らの神、主を求める。⁵
彼らはシオンへの道を尋ね、その方に顔を向ける。彼らは来て、忘れられることのない永遠の契約で主に結びつく。⁶
「私の民は迷える羊となった。彼らの羊飼いたちは彼らを誤らせ、山々をさまよわせた。彼らは山から丘へとさまよい、彼らの休む場所を忘れた。⁷
彼らを見つけた者は皆、彼らを食い尽くした。そして彼らの敵は言った、『我々は罪を犯していない。彼らは主に対して罪を犯したのだ。彼らの真の牧場、彼らの祖先の希望に。』⁸
「バビロンの中から逃げ、カルデアの地を去れ。群れを導く山羊のようになれ。⁹
私は北からの大国の集まりをバビロンに対して呼び起こし、彼女に対して陣を敷く。そこから彼女は捕らえられる。彼らの矢は熟練した戦士のようで、空手に戻ることはない。¹⁰
カルデアは略奪される。彼女を略奪する者は皆、満足する」と主は宣言される。¹¹
「あなたがたは喜び、歓喜しているからだ。私の相続を略奪する者よ、あなたがたは脱穀する牝牛のように跳ね回り、種馬のようにいないている。¹²
あなたの母は大いに恥じるだろう。あなたを産んだ者は辱められる。彼女は国々の中で最も小さくなり、荒野、乾いた地、砂漠となる。¹³
主の怒りのために彼女は住まわれず、完全に荒廃する。バビロンを通り過ぎる者は皆、その傷を見て驚き、あざける。¹⁴
「弓を引く者よ、バビロンを取り囲め。彼女に向かって撃て、矢を惜しむな。彼女は主に対して罪を犯したからだ。¹⁵
四方から彼女に対して叫びを上げよ！彼女は降伏し、その塔は倒れ、その壁は破壊された。これは主の復讐である。彼女に復讐せよ。彼女が他者にしたように彼女にせよ。¹⁶
バビロンから種を蒔く者と、収穫時に鎌を振るう者を断ち切れ。圧制者の剣のために、皆が自分の民に戻り、それぞれ自分の地に逃げる。¹⁷
「イスラエルは散らされた群れであり、ライオンによって追い払われた。彼らを最初に食い尽くしたのはアッシリアの王であり、彼らの骨を最後にかじつ

たのはバビロンの王ネブカドネザルである。』¹⁸
それゆえ、イスラエルの神、万軍の主はこう言われる。「私はバビロンの王とその地を罰する。アッシリアの王を罰したように。¹⁹
そして私はイスラエルを彼らの牧場に戻し、彼らはカルメルとバシヤンで草を食む。彼らの食欲はエフライムとギルアデの丘で満たされる。²⁰
その日、その時に」と主は宣言される、「イスラエルの罪を探しても見つからず、ユダの罪を探しても見つからない。私は残された者を赦すからだ。²¹
「メラタイムの地とベコドに住む者に対して進軍せよ。追い、打ち、完全に滅ぼせ」と主は宣言される。²²
地には戦いの音があり、大いなる破壊の音がある！²³
全地の大槌が切り倒され、砕かれた。バビロンが国々の間で恐怖となった！²⁴
私はあなたに罿を仕掛けた、バビロンよ、そしてあなたは知らぬ間に捕らえられた。あなたは見つかり、捕らえられた。主に逆らったからだ。²⁵
主はその武器庫を開き、その怒りの武器を取り出した。万軍の主なる神はカルデアの地で行うべき仕事を持っている。²⁶
最も遠い境から彼女に対して来よ。彼女の倉庫を開け、穀物の山のように積み上げ、完全に滅ぼし、残りを残すな。²⁷
彼女の若い雄牛をすべて剣にかけよ。彼らを屠殺へと下らせよ！彼らに災いあれ、その日が来たからだ、彼らが罰せられる時が。²⁸
バビロンからの逃亡者と難民がシオンで宣言するのを聞け。私たちの神、主がその神殿のために復讐を遂げたと。²⁹
「バビロンに対して弓を引く者を召集せよ。彼女の周りに陣を敷け。誰も逃がすな。彼女の行いに応じて報い、彼女がしたように彼女にせよ。彼女はイスラエルの聖なる者である主に逆らったからだ。³⁰
それゆえ、彼女の若者たちは彼女の通りで倒れ、その日にはすべての兵士が沈黙する」と主は宣言される。³¹
「見よ、私はあなたに対して、傲慢な者よ」と主、万軍の主は宣言される、「あなたの時が来たからだ、あなたが罰する時が。³²
傲慢な者はつまずき、倒れ、誰も彼女を起こす者はいない。私は彼女の町に火をつけ、それが彼女の周囲を焼き尽くす。」³³
万軍の主はこう言われる。「イスラエルの民は圧迫され、ユダの民も同様である。彼らの捕らえた者は彼らをしっかりと握り、解放しようとしな。しかし、彼らの贖い主は強い。万軍の主がその名で

エレミヤ書

ある。彼は彼らの訴えを力強く弁護し、彼らの地に安息をもたらし、バビロンに住む者には不安をもたらす。³⁵

「カルデア人に対して剣を！」と主は宣言される。「バビロンに住む者に対して、その役人と賢者に対して！」³⁶

彼女の古い師に対して剣を！彼らは愚かになる。彼女の戦士に対して剣を！彼らは恐怖で満たされる。³⁷

彼女の馬と戦車に対して剣を！彼女の隊列にいるすべての外国人に対して！彼らは弱くなる。彼女の宝に対して剣を！それらは略奪される。³⁸

彼女の水に干ばつを！それらは干上がる。偶像の地であり、彼らは恐怖で狂っているからだ。³⁹

「それゆえ、砂漠の生き物とジャッカルがそこに住み、ダチョウがそこに住む。それは再び住まわれることはなく、世代から世代にわたって住まわれることはない。」⁴⁰

神がソドムとゴモラとその隣接する町々を覆した時のように」と主は宣言される、「誰もそこに住まず、人々はそこに住まない。」⁴¹

「見よ！北からの民が来る。大国と地の果てから多くの王が呼び起こされている。」⁴²

彼らは弓と投げ槍を持っている。彼らは残酷で憐れみがない。彼らの声は海のように轟き、馬に乗って来る。戦いの陣形のように、娘バビロンに対して来る。」⁴³

バビロンの王は彼らについての報告を聞き、その手は垂れ下がる。苦悩が彼を捕らえ、産みの苦しみのような痛みが彼を襲う。」⁴⁴

「見よ、ヨルダンの茂みから豊かな牧草地に上って来る者がいる。私は瞬間に彼らをそこから追い払い、選ばれた者をその上に任命する。私のような者は誰か、私に挑む者は誰か？私に立ち向かえる羊飼いは誰か？」⁴⁵

それゆえ、主がバビロンに対して計画したこと、カルデアの地に対して意図したことを聞け。群れの若者たちは引きずり出され、その牧場は彼らの運命に驚愕する。」⁴⁶

バビロンの捕獲の音で、地は震え、その叫びは国々に聞こえる。

51 「これはバビロンについて、バビロニア人の地について、預言者エレミヤによる主のメッセージです。」²

「『国々の間で宣言し、告げ知らせ、旗を掲げよ。それを告げ知らせ、隠してはならない。』バビロンは捕らえられ、ペルは恥をかかされ、マルドックは打ち砕かれた。彼女の像は恥をかかされ、彼女の偶像は打ち砕かれた」と言え。³

北からの国が彼女に向かってやって来たからだ。それは彼女の地を荒廃させ、誇り高き群れを作る。彼女の住民は追い払われるであろう、人も獣も。」⁴

「『その日、その時に』と主は宣言する、『バビロニア人の地で羽音が聞こえるであろう。私は北の地から彼らに破壊をもたらすからだ。』⁵

バビロンの住民に、カルデア人の地に、かつての栄光が消え去った者たちに—

語れ、そして言え、「若者たちは街で打ち倒され、その衣服は恥をかかされる。」⁶

「『彼女に対して戦争の準備をせよ！鋤を扱う者は皆、後退し、完全武装で通り過ぎよ。』⁷

「『なぜ最上の衣服を身に着け、区別されようとするのか？ 弓を扱う者よ、兜をかぶれ！

剣を惜しむな、矢を控えるな！ 北から国が来る、そして地の果てから大王が起こる。』⁸

彼は指揮の天幕を張り、 集会の場所を覆い、彼は彼女に上り、彼女の若者たちは彼女の街で倒れた。」⁹

「『力ある者の弓は折られ、逃げる者たちは傷を負って歩くであろう。』

主が「バビロンに対して裁きを考え出し、カルデア人の地を滅ぼすために、その地は住む者のいない荒廃の対象となるであろう。」¹⁰

多くの水のほとりに住む者よ、宝に富む者よ、あなたの終わりが来た、 あなたの破壊の尺度が。」¹¹

「『軍の主はご自身に誓った：『確かに、私はあなたをイナゴのような人々に満たし、その騒音であなたを驚かせるほどの多くの人々に満たすであろう。』¹²

あなたは食べて満足し、あなたの神、主を賛美するであろう、彼があなたの心の願いを与えたからである。」

彼はあなたの領域を広げ、あなたの名の栄光のために自由を与える。」¹³

「『主は言う、『見よ、私はあなたの訴えを守り、あなたのために復讐をする。私は彼女の海を干上がらせ、彼女の泉を干上がらせる。』¹⁴

「『そしてバビロンは瓦礫となり、ジャッカルの住処、荒廃となる。』¹⁵

人が住まない村のように、乾いた地と砂漠のように。」¹⁶

「『私は彼女の力を喜ぶ者を彼女から追い出し、彼女の民は愚かさに圧倒されるであろう。』

エレミヤ書

彼女の役人と賢者は愚か者となる。¹⁷
その後、私は彼女の上に外国人を置き、
悪者は彼女の中にいるであろう。
私は彼らの悪を終わらせ、
彼らの歌の音はもはや聞こえないであろう。¹⁸
私はバビロンをハリネズミの所有物とし、
水の池とし、
私は彼女を破壊のほうきで掃くであろう』
軍の主は言う。
「『海がバビロンに上がってきた。
彼女はその轟く波で覆われた。
「『彼女の中から出て行け、私の民よ！
そして皆、主の激しい怒りから命を救え。
「『バビロンの壁に旗を掲げよ！
警備を強化せよ、見張りを置き、使者を送れ、
止まるな！馬を進めよ、馬に乗れ！
力ある者を集めよ！²²「『射手を送り出せ！
急いで彼女の周りに立ち向かえ、
一人も逃がすな！彼女の行いに応じて報いよ。
彼女がした通りに正確に彼女にせよ。²³
「『彼女の伸ばした腕の息を止めよ。
主が彼女の不義を返されるように。²⁴
「『私は彼女の息子と娘を四方の民に散らし、
バビロンに心の疫病、悲しみ、嘆きを与えるであろう。²⁵
「『私はあなたに対して、破壊する山よ、
全地を破壊する者よ』と主は言う。
「そして私はあなたに手を伸ばし、
崖からあなたを転がし、
焼けた山とするであろう。²⁶
その後、あなたから記念碑のために石は取られず、
再び立ち上がることはないであろう、
私はバビロンを永遠の荒廃とするからである。」²⁷
「地に旗を掲げよ！国々の間でラッパを吹け！
彼女に対して戦いのために国々を準備せよ！
彼女に対して王国を召集せよ、アラム人、ゲバル人、
アンモン人、モアブ人、彼女に対して、
ホベテとタムズの民、
彼女に対して、地の表のすべての国々。²⁸
「『はい、彼女に対してアルメニア、ミニ、アシュケナズの王国を集めよ。
彼女に対して射手を任命せよ。
彼女を破壊する命令を与えよ！
馬を送り、動かせ！
戦士たちよ、上がれ、恥で身を包め！²⁹
「『主はメディアの王たちの霊を起こした。
遠い地から彼らが来て、私は彼らを彼女に向かわせるであろう。
誰も銀を顧みず、金を喜ばないであろう。³⁰

彼らの弓は若者たちを虐殺し、
彼らは胎の実に憐れみを持たず、
彼らの目は子供たちを憐れまないであろう。³¹
「『そしてバビロンは荒れ果てた地の中の瓦礫となり、
国々への獲物とジレンマとなるであろう。³²
海がバビロンに上がってきた。
彼女はその轟く波で覆われた。³³
「『彼女の町々は荒廃となり、
乾いた地と砂漠となり、人が住まず、
人類の誰も通らない地となるであろう。³⁴
「『そして私はバビロンのペルを罰し、
マルドックの彫像と偶像崇拜の祭司たちを取り出し、
、彼らを同時に崇拜する者たちと共に、
彼らが愚かさとなり、捕らえられた獲物となるようにするであろう。³⁵
「『多くの水のほとりに住む者よ、宝に富む者よ、
あなたの終わりが来た、あなたの破壊の尺度が。³⁶
「『主は語った：
「確かに、私はあなたをイナゴのような人々に満たし、
彼らはあなたに対して戦いの叫びを上げるであろう³⁷
。」「『彼らはあなたに対して叫びを上げるであろう、
山々で脅威の戦いの叫びを上げる者のように。
主があなたを取って、
矢の音であなたを悩ませたからである。³⁸
「『しかし彼女の若者たちは彼女の街で倒れ、
その日には彼女のすべての戦士が滅ぼされるであろう』³⁹
主は宣言する。
「『見よ、私はあなたに対して、高慢な者よ』
軍の主なる神は宣言する、
「あなたの日が来た、私はあなたを罰する時が。⁴⁰
高慢な者はつまずき倒れ、
誰も彼を起こす者はいないであろう。
そして私は彼の都市に火をつけ、
それらは焼かれるであろう。⁴¹
「『私は復讐をもたらす。
私は憐れみを示さない。
そして彼らの目は処刑にサタンのような輝きを持つであろう。」⁴²
「『バビロンに対して四方から整列せよ、
弓を引くすべての者よ、彼女に向かって撃て。
矢を惜しむな！
彼女が主に対して罪を犯したからである。⁴³
「『見よ、主は彼女に対して北風のように立ち上がる者たちをもたらす。
そして彼らは嵐のように彼女を追い払うであろう。
⁴⁴高い門と青銅の棒は打ち砕かれるであろう！
王と王子たちはそこで恥じて座るであろう。

エレミヤ書

彼らは自分たちを閉じ込め、壁を登るであろう。
しかし私は彼らの顎に火をつけ、
それは彼らを焼き尽くすであろう。」
「『彼女の中から出て行け、私の民よ！
皆、主の激しい怒りから命を救え。
「耳を傾けて私に来よ。
聞け、そうすればあなたの命は守られるであろう。
見よ、私はバビロンに対して北の地からの大国の集
会を起こし、もたらすー
彼らは彼女に対して陣を張り、
彼らは壁と土塁を持ち、地から彼女に向かって矢を
放つであろう。 彼らは包囲の土塁を築き、
彼らは壁を築き、
彼らは彼女の門を通して入るであろう、
都市に侵入する者のように。
しかし彼らは捕らえられ、彼らの矢は戻らず、
弓の弦は折られるであろう。
主は報復の神であるから、
彼は完全に報いるであろう。
「見よ、私は彼らに対してメディア人を起こして
いる、 彼らは銀を顧みず、
金を喜ばないであろう。
彼らの弓は若者たちを虐殺し、
彼らは胎の実に憐れみを持たず、
彼らの目は子供たちを憐れまないであろう。
「『そしてバビロンは砂漠の中の瓦礫となり、
乾いた地と荒野となり、
人が住まず、通らない地となるであろう。
「『私はバビロンとカルデアのすべての住民に報復
を払い、
彼らがシオンでああなたの目の前で行ったすべての悪
に対して』 主は宣言する。
カルデア人の剣を逃れた者よ、
彼らを住まわせるために船出せよ、
そして地にあなたの衣服を埋め、
抑圧者の顔からそれを隠せ。
主は日を定めたからである。 復讐の日ー
彼はバビロンに対して憤りを持っている。
そして彼女の殺された者の力は彼女の中で倒れるで
あろう。
そして地のすべては彼女の倒れる音に震え、
叫びの音に、轟きの音に震えるであろう。
「彼女の声は海のように響いた。
彼女はドラゴンのように話し、
シオンに対して叫び、
脅威を投げつけ、激しく声を上げた。
それゆえ、その日に主の殺された者は地の端から端
まで倒れるであろう。 彼らは嘆かれず、

集められず、埋められず、
地の上の糞となるであろう。
「さらに、預言者エレミヤがネリヤの子セラヤに命
じた言葉は、彼がユダの王ゼデキヤと共にその治世
の第四年にバビロンに行ったときのものであった：
主がエレミヤにこう言ったからである：『大きな巻
物を取り、私がバビロンに対して、そしてその日か
ら今日に至るまで彼らについて語ったすべての言葉
を書き記せ。』
さらに、それを石に結びつけてユーフラテス川に投
げ込め、
そして言え、「こうしてバビロンは沈み、再び立ち
上がることはない。私が彼女に対してもたらす災害
のために。
そして彼らがあなたに『なぜそうしたのか？』と尋
ねたなら、彼らに言え、『主が語り、これらのこと
を行うと約束したからである。』
「そしてこの巻物を読み終えたら、それを石に結び
つけてユーフラテス川に投げ込め、
そして言え、『こうしてバビロンは沈み、再び立ち
上がることはない
私が彼女に対してもたらす災害のために』」
主は宣言する。
52 ゼデキヤは二十一歳で王となり、エルサレ
ムで十一年間統治しました。彼の母の名は
ハムタルで、リブナ出身のエレミヤの娘で
した。
彼は主の目の前で悪を行い、エホヤキムが行ったす
べてと同様でした。
主の怒りのために、これはエルサレムとユダに起こ
り、ついに主は彼らを御前から追い出された。そし
てゼデキヤはバビロンの王に反逆しました。
ゼデキヤの治世の九年目、十月の十日に、バビロン
の王ネブカドネザルが全軍を率いてエルサレムに來
ました。彼らはそれに対して陣を敷き、周囲に包囲
壁を築きました。
その都市はゼデキヤ王の十一年目まで包囲されまし
た。
四月の九日には、都市の中の飢饉が非常に激しくな
り、地の民のための食物がなくなりました。
その時、都市の壁が破られ、すべての戦士たちは逃
げました。彼らは夜の間に王の庭の近くの二つの壁
の間の門を通して都市を去りましたが、カルデア人
は都市を包囲していました。彼らはアラバに向かっ
て逃げました。
しかし、カルデア軍は王を追い、エリコの平原でゼ
デキヤを捕らえ、彼の兵士たちは彼から散り散りに
なりました。

エレミヤ書

彼らは王を捕らえ、ハマテの地リブラでバビロンの王のもとに連れて行き、彼に判決を下しました。¹⁰
バビロンの王はゼデキヤの息子たちを彼の目の前で殺し、リブラでユダのすべての役人たちも殺しました。¹¹

それから彼はゼデキヤの目をつぶし、青銅の鎖で彼を縛り、バビロンに連れて行き、彼が死ぬ日まで監禁しました。¹²

バビロンの王ネブカドネザルの十九年目、五月の十日に、バビロンの王に仕える護衛隊長ネブザラダンがエルサレムにきました。¹³

彼は主の家、王宮、エルサレムのすべての家に火を放ちました。彼はすべての大きな家を焼き尽くしました。¹⁴

護衛隊長の下にいるカルデヤ軍全体がエルサレムを囲むすべての壁を打ち壊しました。¹⁵

護衛隊長ネブザラダンは、都市に残っていた最も貧しい人々、バビロンの王に降伏した脱走者、そして残りの職人たちを捕らえて連れ去りました。¹⁶

しかし、ネブザラダンは地の最も貧しい人々を残して、ぶどう園の管理者や農夫にしました。¹⁷

カルデヤ人は主の家にあった青銅の柱、台座、青銅の海を壊し、すべての青銅をバビロンに運びました。¹⁸

彼らはまた、鍋、シャベル、芯切りばさみ、鉢、皿、そして神殿の奉仕に使われるすべての青銅の器具を持ち去りました。¹⁹

護衛隊長は、金や銀で作られたものすべて、鉢、火皿、鉢、鍋、燭台、皿、飲み物の捧げ物の鉢を持ち去りました。²⁰

主の家のためにソロモン王が作った二本の柱、海、その下の十二の青銅の牛、台座からの青銅は計り知れないものでした。²¹

各柱は高さ十八キュビト、周囲は十二キュビトで、厚さは四指で中は空洞でした。²²

各柱の上には青銅の柱頭があり、各柱頭は高さ五キュビトで、周囲には青銅の格子細工とザクロがありました。第二の柱も同様で、ザクロがありました。²³

側面には九十六のザクロがあり、合計で百のザクロが周囲の格子細工の上にありました。²⁴

護衛隊長は、祭司長セラヤ、副祭司ゼファニヤ、三人の門番を捕らえました。²⁵

彼はまた、都市から戦士たちの指揮官、七人の王の顧問、地の民を召集した軍の指揮官の書記、都市で見つかった六十人の男を捕らえました。²⁶

護衛隊長ネブザラダンは彼らを捕らえ、ハマテの地リブラでバビロンの王のもとに連れて行きました。²⁷

バビロンの王は彼らを打ち倒し、ハマテの地リブラで彼らを殺しました。このようにしてユダはその地から追放されました。²⁸

ネブカドネザルが追放した人々の数は次の通りです。七年目に、**3,023**人のユダヤ人；²⁹

ネブカドネザルの十八年目に、エルサレムから**832**人；³⁰

ネブカドネザルの二十三年目に、護衛隊長ネブザラダンが**745**人のユダヤ人を追放しました。合計で**4,600**人でした。³¹

ユダの王ヨヤキンの追放の三十七年目、十二月の二十五日に、バビロンの王エビル・メロダクは、彼の治世の初年に、ユダの王ヨヤキンに好意を示し、彼を監獄から解放しました。³²

彼はヨヤキンを親切に扱い、バビロンにいた他の王たちの王座の上に彼の王座を置きました。³³

それでヨヤキンは監獄の服を替え、彼の生涯の残りの間、王の前で定期的に食事をしました。³⁴

日々、バビロンの王から彼に定期的な手当が与えられ、彼が死ぬ日まで毎日分が支給されました。

哀歌

1 ああ、かつて人々と賑わっていた町が、今や孤独に座っている！

彼女は未亡人のようになり、かつて諸国の中で偉大だった。

彼女は地方の中で王女だったが、今や召使になってしまった。²

彼女は夜に激しく泣き、その涙は頬に流れる。
彼女を慰める者は、すべての愛人の中にいない。
すべての友人は彼女に裏切りを働き、彼女の敵となった。³
ユダは苦しみと厳しい奴隷状態の中で捕囚に行った。

。彼女は諸国の中に住んでいるが、休む場所を見つけれられない。

すべての追手が彼女の苦しみの中で彼女を追い越した。⁴
シオンへの道は嘆き悲しむ、誰も彼女の定められた祭りに来ないからだ。

すべての門は荒れ果て、祭司たちはうめき、若い女性たちは悩み、彼女自身も苦しみにある。⁵
彼女の敵は彼女の主人となり、彼女の敵は安らかに暮らしている。
主は彼女の多くの過ちのために彼女に悲しみをもたらした。

彼女の子供たちは捕囚に行き、敵に連れ去られた。⁶
娘シオンからすべての栄光が去った。
彼女の指導者たちは牧草を見つけれられない鹿のようで、追手の前で力なく逃げた。⁷
彼女の苦しみとホームレスの日々に、エルサレムは昔の日々のすべての宝物を思い出す。

彼女の民が敵の手に落ちたとき、彼女を助ける者はいなかった。
彼女の敵は彼女を見て、彼女の転落を笑った。⁸
エルサレムは大いに罪を犯し、不潔になった。
彼女を尊敬していたすべての者が彼女を軽蔑する、彼らは彼女の裸を見たからだ。

彼女自身はうめき、背を向ける。⁹
彼女の不潔さは彼女の衣服にまわりつく。
彼女は自分の未来を考えなかった。
彼女の転落は驚くべきもので、彼女を慰める者はいなかった。

「主よ、私の苦しみを見てください、敵が勝利を収めたからです。」¹⁰

敵は彼女のすべての貴重なものに手をかけた。
彼女は国々が彼女の聖域に入るのを見た—
あなたがあなたの集会に入ることを禁じた者たち。
¹¹ 彼女の民は皆、パンを探してうめく。
彼らは命をつなぐために宝物を食べ物と交換した。

「主よ、見て考えてください、私は軽蔑されています。」

¹² 「通り過ぎるすべての者よ、あなたにとって何でもないのですか？
私の悲しみのような悲しみがあるかどうか見てください、それは主がその激しい怒りの日に私に下されたものです。」¹³

高いところから彼は私の骨に火を送り、それは彼らを制した。
彼は私の足のために網を広げ、私を引き戻した。

彼は私を荒れ果てさせ、終日弱らせた。¹⁴
私の罪のくびきは彼の手によって結ばれ、それらは一緒に織り合わされている。
それらは私の首に来た。彼は私の力を奪った。
主は私が耐えられない者たちに私を引き渡した。¹⁵
主は私のすべての勇士を拒絶した。
彼は私に対して軍隊を召集し、私の若者たちを打ち砕いた。

主はユダの乙女を酒ぶねのように踏みつけた。¹⁶
これらのことのために私は泣く。
私の目は涙で溢れている。
私を慰める者は近くにいない、私の精神を回復する者もない。

私の子供たちは困窮している、敵が勝利を収めたからです。¹⁷
シオンは手を伸ばすが、彼女を慰める者はいない。
主はヤコブに関して命じた、彼の隣人が彼の敵となるように。
エルサレムは彼らの中で汚れたものとなった。¹⁸
「主は正しい、しかし私は彼の命令に逆らった。
すべての人々よ、聞け、私の苦しみを見よ。
私の若者たちと若い女性たちは捕囚に行った。¹⁹
私は同盟者に呼びかけたが、彼らは私を裏切った。
私の祭司たちと長老たちは命をつなぐ食べ物を求めている間に町で死んだ。」²⁰

主よ、私がどれほど苦しんでいるか見てください！
私は内で苦しみ、私の心は覆されている、私は非常に反抗的だったからです。

外では剣が奪い、内では死のようです。²¹
私のうめきはすべての者に知られているが、私を慰める者はいない。
私のすべての敵は私の苦しみを知っている、彼らはあなたがしたことを喜んでいる。
あなたが告げた日をもたらししてください、彼らが私のようにになるように。²²

彼らのすべての悪をあなたの前に出させてください。
あなたが私のすべての罪のために私にしたように彼

哀歌

らに対処してください。
私のうめきは多く、私の心は弱っている。」

2 主は怒りのうちに娘シオンを雲で包まれた！彼はイスラエルの栄光を天から地に投げ落とし、その怒りの日に彼の足台を思い出されなかった

3 主はヤコブのすべての住まいを容赦なく荒らされた。彼の激怒の中で娘ユダの要塞を破壊された。彼はその王国とその指導者たちを地に辱めて落とされた

4 激しい怒りの中で彼はイスラエルのすべての力を断ち切られた。敵が近づくとき、彼は彼の右手を引き戻し、ヤコブの中で四方に燃え上がる火のように燃え上がった。

5 彼は敵のように弓を引き、彼の右手は敵のように構えられた。彼は目に喜ばしいものすべてを打ち倒し、娘シオンの天幕の中で彼の怒りを火のように注がれた。

6 主は敵のようになり、イスラエルを食い尽くされた。彼はその宮殿をすべて飲み込み、その要塞を破壊し、娘ユダのために嘆きと悲しみを増やされた。彼は彼の幕屋を軽蔑された庭のように荒らし、彼の会合の場所を破壊された。主はシオンに彼女の定められた祭りと安息日を忘れさせ、彼の激しい怒りの中で王と祭司を軽蔑された。

8 主は彼の祭壇を拒み、彼の聖所を放棄された。彼は彼女の宮殿の壁を敵の手に渡し、彼らは祭りの日のように主の家で騒ぎを起こした。

9 主は娘シオンの壁を破壊することを決意された。彼は測り縄を伸ばし、破壊をもたらすことをためらわなかった。彼は壁と壁を嘆かせ、それらは共に衰えた。

10 彼女の門は地に沈み、彼は彼女の棒を打ち砕き、壊した。彼女の王と彼女の君たちは国々の間に追放され、律法はもはやなく、彼女の預言者たちは主からの幻を受け取らない。

11 娘シオンの長老たちは地に座り、沈黙している。彼らは頭に塵をかぶり、粗布をまとった。エルサレムの若い女性たちは頭を地に垂れている。

12 私の目は涙で衰え、私の霊は深く悩んでいる。私の心は私の民の破壊のために地に注がれている。子供たちと乳児たちが町の通りで倒れているからだ。彼らは母親に叫ぶ、「パンとぶどう酒はどこにあるのか？」と。彼らは町の通りで傷ついた者のように気を失い、彼らの命は母親の腕の中で消え去る。

13

あなたのために何を言えるだろうか？娘エルサレムよ、何とあなたを比べられるだろうか？処女娘シオ

ンよ、何とあなたを例えられるだろうか？あなたを慰めるために。あなたの破滅は海のように広大だ。誰があなたを癒せるだろうか？

14 あなたの預言者たちの幻は偽りで欺瞞的だった。彼らはあなたの捕囚を防ぐためにあなたの過ちを暴露しなかった。彼らがあなたに与えた預言は誤解を招くもので無価値だった。

15 通り過ぎるすべての者があなたに手を叩き、娘エルサレムをあざけり、頭を振る。「これが美の完璧さ、全地の喜びと呼ばれた町なのか？」

16 あなたのすべての敵があなたに対して口を大きく開け、彼らはシューシューと歯ざりし、「我々は彼女を食い尽くした。これは我々が待ち望んだ日だ。我々はそれを見るために生きてきた」と言う。

17 主は彼が計画したことを行われた。彼は昔から定めた言葉を成就された。彼は容赦なくあなたを引き裂き、敵があなたを誇ることを許し、あなたの敵の力を高められた。

18 人々の心は主に叫ぶ。娘シオンの壁よ、昼も夜も川のように涙を流せ。自分に休息を与えず、目に休息を与えるな。

19 夜に起きて叫べ、夜の見張りの始まりに。主の前で水のように心を注ぎ出せ。あなたの子供たちの命のために彼に手を挙げよ。彼らはすべての街角で飢えて気を失っている。

20 主よ、見て考えてください。あなたがこのように扱ったことのある者は誰ですか？女性が彼らの育てた子供たちを食べるべきでしょうか？祭司と預言者が主の聖所で殺されるべきでしょうか？

21 若者も老人も共に通りの塵の中に横たわっている。私の若者たちと若い女性たちは剣によって倒れた。あなたは彼らをあなたの怒りの日に殺し、容赦なく彼らを虐殺した。

22 まるで祝祭の日のように、あなたは四方から私に恐怖を呼び寄せた。主の怒りの日には誰も逃れず、生き残らなかった。私が世話をし育てた者たちを私の敵が滅ぼした。

3 私の御怒りの杖の下で苦しみを見た人です。

2 彼は私を追い出し、光ではなく暗闇の中を歩かせました。

3 確かに、彼は一日中繰り返し私に対して手を向けました。

4 彼は私の肌と肉を老いさせ、骨を砕きました。

5 彼は私を苦しみと困難で包囲し、囲みました。

6 彼は私を長く亡くなった者のように暗闇に住まわせました。

7 彼は私を囲んで逃げられないようにし、鎖で重荷を負わせました。

14

15

16

17

18

19

20

21

22

2

3

4

5

6

7

8

哀歌

私が叫んで助けを求めても、私の祈りは聞かれませ
ん。⁹
彼は石の塊で私の道を妨げ、私の道をねじ曲げまし
た。¹⁰
彼は待ち伏せる熊のように、隠れるライオンのよう
です。¹¹
彼は私を道から外し、私を引き裂き、荒れ果てさせ
ました。¹²
彼は弓を曲げ、私を矢の的にしました。¹³
彼は矢筒からの矢で私の心を貫きました。¹⁴
私は私の民のすべての人々の笑い者となり、一日中
彼らの歌で嘲られます。¹⁵
彼は私を苦さで満たし、苦よもぎを飲ませました。
¹⁶
彼は砂利で私の歯を砕き、私を塵に押し込みまし
た。¹⁷
私の魂は平和を知らず、幸福が何であるかを忘れま
した。¹⁸
それで私は言います、「私の栄光は滅び、主からの
希望もまた滅びました。」
¹⁹
私の苦しみと私のホームレス、苦さと胆汁を思い出
してください。²⁰
私の魂はそれらをよく覚えており、私の中で落ち込
んでいます。²¹
しかし、私はこれを思い出し、それゆえに希望を持
ちます：²²
主の慈しみは確かに尽きることがなく、その憐れみ
は決して失敗しません。²³
それらは毎朝新たにされます。あなたの誠実は偉大
です。²⁴
「主は私の分け前です」と私の魂は宣言します、「
それゆえに私は彼を待ちます。」²⁵
主は彼に希望を置く者に、彼を求める人に善を示し
ます。²⁶ 主の救いを静かに待つことは有益です。
²⁷ 若い時に軛を負うことは人にとって有利です。
主がそれを彼に課したので、彼は一人で静かに座り
ましょう。²⁹ 彼は塵に顔を埋めましょうー
おそらく希望があります。³⁰
彼を打つ者に頬を差し出し、恥辱で満たされましょ
う。³¹
しかし、主が永遠に拒絶することはありません。³²
彼が悲しみを引き起こすとしても、彼は豊かな慈し
みに従って憐れみを示します。³³
彼は人の子に進んで苦しみや悲しみをもたらすこと
はありません。³⁴
地の囚人を足で踏みつけること、
³⁵ 至高者の前で人に正義を否定すること、
³⁶ 彼らの訴訟で誰かを欺くことー

これらのことを主は承認しません。³⁷
主が命じない限り、誰が語ってそれを実現できませ
るか？³⁸
逆境も善も至高者の口から出るのではありませんか
？³⁹
罪のために罰せられるとき、なぜ生きている人は不
平を言うべきでしょうか？⁴⁰
私たちの道を調べ、試し、主に戻りましょう。⁴¹
私たちの心を持ち上げ、天にいる神に手を挙げまし
ょう。⁴²
私たちは罪を犯し、反逆しました、そしてあなたは
許しを控えました。⁴³
あなたは怒りで自らを包み、私たちを追い、容赦な
く殺しました。⁴⁴
あなたは雲で自らを隠し、祈りが通過できないよう
にしました。⁴⁵
あなたは私たちを民の中でかすとごみとしました。
⁴⁶
私たちの敵は皆、口を開けて私たちに対して語りま
した。⁴⁷
私たちは恐慌と落とし穴、荒廃と破壊に遭遇しまし
た。⁴⁸
私の目からは、私の民の娘の破壊のために涙の流れ
が流れます。⁴⁹
私の目は絶え間なく流れ、止まることはありません
、⁵⁰ 主が天から見てくださるまで。⁵¹
私が見るものは、私の町の娘たちのために私の魂に
悲しみをもたらしめます。⁵²
理由もなく私の敵であった者たちは、鳥のように私
を追いしました。⁵³
彼らは私の命を穴の中で終わらせようとし、石を投
げつけました。⁵⁴
水が私の頭上を閉じ、私は切り離されたと思いまし
た。⁵⁵
私は穴の底からあなたの名を呼びました、主よ。⁵⁶
あなたは私の嘆願を聞きました：「私の救いを求め
る叫びに耳を塞がないでください。」⁵⁷
あなたは私が呼んだときに近づき、「恐れるな」と
私を安心させました。⁵⁸
あなた、主よ、私の訴えを取り上げ、私の命を回復
しました。⁵⁹
主よ、あなたは私に対する不正を見ました。私の訴
えを支持してください！⁶⁰
あなたは彼らの復讐、私に対するすべての策略を観
察しました。⁶¹
主よ、あなたは彼らの侮辱、私に対するすべての陰
謀を知っていますー⁶²
私の攻撃者の唇と彼らのささやきは一日中私に向か
っています。⁶³

哀歌

彼らの座ることと立ち上がることを観察してください。私は彼らの嘲笑の歌です。⁶⁴

彼らの手の働きに応じて、主よ、彼らに報いてください。⁶⁵

彼らの心に覆いをかけ、あなたの呪いが彼らに降りますように！⁶⁶

怒りて彼らを追い、主の天の下から彼らを消し去ってください。

4 どうして金が曇り、純金が変わってしまったのか！聖なる石はすべての通りの角に散らばっている。²

シオンの貴い子供たちは、かつて純金のように価値があったが、今では陶器の壺のように見なされている。陶工の手の作品である。³

ジャッカルでさえ、自分の子を養うために乳を与えるが、私の民は荒野のダチョウのように残酷になってしまった。⁴

乳児の舌は渇きのために口の屋根にくっついている。子供たちはパンを求めるが、誰もそれを与えない。⁵

かつてごちそうを食べていた者たちは今、通りで震えている。緋色で育てられた者たちは今、灰の山に横たわっている。⁶

私の民の罰は、ソドムの罪よりも大きい。ソドムは瞬間に滅ぼされ、助ける手もなかった。⁷

彼らの君主たちは雪よりも純粋で、乳よりも白く、体はルビーよりも赤く、その姿はラピスラズリのようにであった。⁸

今ではすすよりも黒くなり、通りで認識されない。彼らの肌は骨にしみ、木のように乾いてしまった。⁹

剣で殺された者たちの方が、飢えて死ぬ者たちよりもましだ。彼らは畑の産物の欠乏に打たれ、衰弱していく。¹⁰

情け深い女性たちは自分の子供を煮た。それは私の民の滅亡の際に彼らの食物となった。¹¹

主はその怒りを尽くし、激しい怒りを注ぎ出した。彼はシオンに火をつけ、その基を焼き尽くした。¹²

地の王たちも、世界の住民たちも、敵がエルサレムの門に入ることができるとは信じなかった。¹³

これは彼女の預言者たちの罪と、彼女の祭司たちの不義のために起こった。彼らはその中で正しい者の血を流した。¹⁴

彼らは通りで盲目的にさまよい、血で汚れていたため、誰も彼らの衣服に触れることを恐れた。¹⁵

「去れ！汚れている！」と人々は彼らに叫んだ。「去れ！去れ！私たちに触れるな！」彼らが逃げてさまようと、国々の人々は言った。「彼らはここに長く留まることはできない。」¹⁶

主自身が彼らを散らした。彼はもはや彼らを見守らない。祭司たちは尊敬を受けず、長老たちは恩恵を受けない。¹⁷

私たちの目は助けを求めて無駄に疲れた。私たちの見張り台から救うことのできない国を待ち望んだ。¹⁸

彼らは私たちの足跡を追い、通りを歩くことができなかった。私たちの終わりは近く、日々は数えられ、私たちの終わりが来た。¹⁹

私たちの追手は空の鷲よりも速かった。彼らは山を越えて私たちを追い、荒野で待ち伏せした。²⁰

私たちの鼻の息、主の油注がれた者は、彼らの罠にかかった。私たちは彼の影の下で国々の間に住むと思っていた。²¹

喜べ、楽しめ、エドムの娘よ、ウズの地に住む者よ。しかし、その杯はあなたにも渡される。あなたは酔って自らをさらけ出すだろう。²²

あなたの罰は完了した、シオンの娘よ。彼はあなたの追放を長引かせない。しかし、彼はあなたの罪を罰し、エドムの娘よ、あなたの悪をさらけ出す。

5 主よ、私たちに降りかかったことを思い出してください。私たちの恥を見てください。²

私たちの相続地は他国の者に渡され、私たちの家は外国人に渡されました。³

私たちは孤児のようになり、父がいません。私たちの母は未亡人のようです。⁴

私たちは飲む水に代価を払い、薪を得るにも費用がかかります。⁵

追手が私たちのすぐ後ろにいます。私たちは疲れ果て、休むことができません。⁶

私たちはパンを得るためにエジプトとアッシリアに服従しました。⁷

私たちの先祖は罪を犯し、もうここにはいませんが、私たちは彼らの過ちの結果を負っています。⁸

しもべたちが私たちを支配しています。彼らの手から私たちを救い出す者はいません。⁹

荒野の剣のために、命の危険を冒してパンを得ます。¹⁰

私たちの肌は炉のように熱く、飢えのために熱病にかかっています。¹¹

シオンでは女性が辱められ、ユダの町々では乙女たちが辱められました。¹²

指導者たちは手で吊るされ、長老たちは尊敬を受けません。¹³

若者たちは石臼で働き、少年たちは薪の重荷にふらついています。¹⁴

長老たちは城門から姿を消し、若者たちは音楽をやめました。¹⁵

私たちの心の喜びは消え、踊りは嘆きに変わりまし

哀歌

た。¹⁶
冠は私たちの頭から落ちました。私たちは罪を犯した
ので、ああ、私たちに災いがあります！¹⁷
このために、私たちの心は弱り、これらの出来事
のために、私たちの目はかすみします。¹⁸
シオンの山は荒れ果て、野生の動物がそれを歩き回
っています。¹⁹
主よ、あなたは永遠に統治されます。あなたの王座

はすべての世代にわたって続きます。²⁰
なぜあなたは私たちを永遠に忘れるのですか？なぜ
こんなに長く私たちを見捨てるのですか？²¹
主よ、私たちをあなたに戻してください。そうすれ
ば私たちは帰ります。私たちの日々をかつてのよう
に新たにしてください。²²
あなたが完全に私たちを拒絶し、私たちに対して怒
りを保たない限り。

エゼキエル書

第三十年の第四の月の第五の日、私がケバル川のほとりで捕囚の民の中にいたとき、天が開け、私は神の幻を見た。²
その月の第五の日、すなわちヨヤキン王の捕囚の第五年に、³
主の言葉が、カルデアの地のケバル川のほとりで、ブジの子である祭司エゼキエルに臨んだ。そこで主の手が彼の上にあった。⁴
私が見ていると、北から激しい風が起り、大きな雲があり、稲妻が輝き、その周りに明るい光があった。火の中心には輝く金属のようなものがあった。⁵
その火の中には四つの生き物に似た姿があり、それらは人間のような形をしていた。⁶
それぞれが四つの顔と四つの翼を持っていた。⁷
彼らの足はまっすぐで、その足は子牛の足のようで、磨かれた青銅のように輝いていた。⁸
彼らの四つの側面の翼の下には人間の手があった。⁹
四つとも顔と翼を持っていた。¹⁰
彼らの翼は互いに触れ合っていた。彼らは動くときに回らず、まっすぐに進んだ。¹¹
彼らの顔はこのようであった。すなわち、人間の顔、右側にライオンの顔、左側に牛の顔、そして鷲の顔を持っていた。¹²
これが彼らの顔であった。彼らの翼は上に広げられ、各々が他の生き物に触れる二つの翼と、体を覆う二つの翼を持っていた。¹³
彼らはまっすぐに進み、霊が行くところに行き、動くときに回らなかった。¹⁴
生き物の姿は燃える炭火のようで、たいまつのものであった。火が生き物の間を行き来し、稲妻がそこから出ている。¹⁵
生き物は稲妻のように行き来していた。¹⁶
生き物を見ていると、四つの顔を持つそれぞれの生き物のそばに地面に車輪があった。¹⁷
車輪の姿は輝くトパーズのようで、四つとも同じように見えた。それらは車輪の中に車輪があるように作られているように見えた。¹⁸
彼らが動くとき、四つの方向のいずれかに進み、動くときに回る必要がなかった。¹⁹
彼らの縁は高く、恐ろしかった。四つの縁には周囲に目が満ちていた。²⁰
生き物が動くと、彼らのそばの車輪も動き、生き物が地面から上がると、車輪も上がった。²¹
霊が行くところに行くと、彼らも行き、車輪も彼らと共に上がった。生き物の霊が車輪の中にあつたからである。²²
生き物が動くと、車輪も動き、彼らが立ち止まると、車輪も立ち止まり、彼らが地面から上がると、車

輪も彼らと共に上がった。生き物の霊が車輪の中にあつたからである。²³
生き物の頭の上には、きらめく水晶のような広がりがあり、彼らの頭の上に広がっていた。²⁴
広がりの下で、彼らの翼はまっすぐに伸びており、互いに向かい合っていた。各々が体を覆う二つの翼を持っていた。²⁵
生き物が動くとき、私は彼らの翼の音を聞いた。それは奔流のような音、全能者の声のような音、軍隊の騒音のようであった。彼らが立ち止まると、翼を下ろした。²⁶
そのとき、彼らの頭の上の広がりの上から声が聞こえた。彼らが翼を下ろして立ち止まっているときであった。²⁷
彼らの頭の上の広がりの上には、ラピスラズリに似た玉座のようなものがあり、その上の高いところに人のような姿があつた。²⁸
私は見たところ、彼の腰から上は輝く金属のようで、火で満たされているように見え、そこから下は火のようで、輝く光が彼を囲んでいた。²⁹
彼の周りの輝きは、雨の日の雲の中の虹のようであった。これは主の栄光の姿のようであった。私はそれを見たとき、顔を伏せて倒れ、話す者の声を聞いた。

2 彼は私に言った、「人の子よ、立ち上がれ、私はあなたと話す。」²
彼が話していると、霊が私の中に入り、私を立たせた。そして私は彼が私に話すのを聞いた。³
彼は私に言った、「人の子よ、私はあなたをイスラエルの人々、私に逆らった反逆の国民に遣わす。彼らとその先祖たちは今日に至るまで私に反逆してきた。」⁴
私はあなたを厚かましく頑固な民に遣わす。あなたは彼らに、『主なる神がこう言われる』と言いなさい。⁵
彼らが聞こうと聞くまいと—
彼らは反逆の家である—
彼らは預言者が彼らの中にいたことを知るだろう。⁶

あなたについては、人の子よ、彼らや彼らの言葉を恐れてはならない。たとえアザミといばらがあなたを取り囲み、あなたがサソリの中に住んでいても恐れるな。彼らの言葉や存在に怯えてはならない。彼らは反逆の家であるからだ。⁷
彼らが聞こうと聞くまいと、あなたは私のメッセージを彼らに伝えなければならない。彼らは反逆者だからだ。⁸
しかしあなたは、人の子よ、私があなたに言うことを聞きなさい。あの反逆の家のように反逆してはならない。あなたの口を開けて、私が与えるものを食

エゼキエル書

べなさい。」⁹
それから私は見た。すると、手が私に向かって伸ばされ、その中には巻物があった。¹⁰
彼はそれを私の前に広げた。それは両面に書かれており、嘆きと悲しみと災いの言葉があった。

3 そして彼は私に言った、「人の子よ、ここにあるものを食べよ。この巻物を食べて、それからイスラエルの家に行って語れ。」²

そこで私は口を開け、彼はその巻物を私に食べさせた。³

彼は私に言った、「人の子よ、私はあなたに与えるこの巻物であなたの胃と体を満たせ。」それで私はそれを食べたが、それは口の中で蜂蜜のように甘かった。⁴

そして彼は私に言った、「人の子よ、イスラエルの家に行って、私の言葉を彼らに伝えよ。」⁵

あなたは理解できない言葉や難しい言語を持つ民にではなく、イスラエルの家に送られているのだから――⁶

あなたが理解できない言葉や難しい言語を持つ多くの民にではない。もし私があなたを彼らに送ったなら、彼らは確かにあなたの言うことを聞いたであろう。⁷

しかし、イスラエルの家はあなたの言うことを聞こうとしないであろう。彼らは私の言うことを聞こうとしないからだ。すべてのイスラエル人は頑固で強情である。⁸

見よ、私はあなたの顔を彼らの顔のように固くし、あなたの額を彼らの額のように固くした。⁹

最も硬い石のように、火打ち石よりも硬く、私はあなたの額を作った。彼らを恐れるな、彼らに驚くな、彼らは反逆の家である。」¹⁰

さらに彼は私に言った、「人の子よ、私があなたに語るすべての言葉を心に受け入れ、注意深く聞け。」¹¹

今、あなたの民に行って、彼らに語れ。彼らが聞くかどうかにかかわらず、『主なる神がこう言われる』と言え。」¹²

その時、霊が私を持ち上げ、私の後ろで大きな轟音が聞こえた。「主の栄光がその場所から賛美されますように！」¹³

それは生き物の翼が互いに触れ合う音と、そのそばの車輪の音、大きな轟音であった。¹⁴

それで霊が私を持ち上げて連れて行き、私は苦々しさと霊の怒りの中で行ったが、主の強い手が私の上にあった。¹⁵

私はケバル川のほとりに住む捕囚の民のところに来て、彼らの間に七日間座って、深く悩んでいた。¹⁶

七日後、主の言葉が私に臨んで言った、¹⁷

「人の子よ、私はあなたをイスラエルの家の見張り人として任命した。だから、私が語る言葉を聞き、彼らに私からの警告を与えよ。」¹⁸

私が悪者に『あなたは死ぬ運命にある』と言うとき、あなたが彼らに警告せず、彼らの命を救うために悪の道から離れるように話さないなら、その悪者はその罪のために死ぬが、私はあなたにその血の責任を問う。¹⁹

しかし、もしあなたが悪者に警告しても、彼らがその悪から離れないなら、彼らはその罪のために死ぬ。しかし、あなたは自分を救ったことになる。²⁰

再び、義人がその義から離れて悪を行い、私が彼らの前に障害を置くとき、彼らは死ぬ。あなたが彼らに警告しなかったので、彼らはその罪のために死に、彼らの義の行いは思い出されないが、私はあなたにその血の責任を問う。²¹

しかし、もしあなたが義人に罪を犯さないように警告し、彼らが罪を犯さないなら、彼らは警告を受け入れたので確かに生きるであろうし、あなたは自分を救ったことになる。」²²

さて、主の手がそこに私の上にあり、彼は私に言った、「立ち上がり、平地に出て行け。そこで私はあなたに語る。」²³

それで私は立ち上がって平地に出て行った。見よ、主の栄光がそこに立っていた。それは私がケバル川のほとりで見た栄光のようであり、私は顔を伏せた。²⁴

その時、霊が私の中に入り、私を立たせた。彼は私に語り、「行け、あなたの家の中に閉じこまれ」と言った。²⁵

そして、あなたについては、人の子よ、彼らはあなたを縄で縛り、あなたが人々の間に出て行けないようにする。²⁶

さらに、私はあなたの舌を口の屋根にくっつけ、あなたが彼らを叱責できないようにし、あなたは黙る。彼らは反逆の家であるからだ。²⁷

しかし、私があなたに語るとき、私はあなたの口を開け、あなたは彼らに『主なる神がこう言われる』と言うであろう。聞く者は聞かせ、拒む者は拒ませよ。彼らは反逆の家であるからだ。

4 「人の子よ、今、レンガを取り、それをあなたの前に置き、その上に都市――²

エルサレムを刻みなさい。」

そしてそれに対して包囲を行いなさい。包囲壁を築き、土塁を作り、陣営を設け、周囲に破城槌を配置しなさい。³

次に鉄の板を取り、それを自分と都市の間に鉄の壁として立て、顔をそれに向けなさい。それは包囲され、あなたはそれを包囲することになる。これはイ

エゼキエル書

スラエルの家へのしるしとなる。⁴

「あなたの左側に横たわり、イスラエルの家の不義をその上に置きなさい。あなたがその上に横たわる日数の間、彼らの不義を負うことになる。⁵

私は彼らの不義の年数と同じ日数、**390日**をあなたに割り当てる。したがって、あなたはイスラエルの家の不義を負うことになる。⁶

これらの日が完了したら、今度は右側に横たわり、ユダの家の不義を負いなさい。私はあなたに四十日を割り当てる。年ごとに一日である。⁷

エルサレムの包囲に顔を向け、腕を露わにしてそれに対して預言しなさい。⁸

私はあなたを縄で縛り、包囲の日数が完了するまで、片側から他の側に向きを変えることができないようにする。⁹

「小麦、大麦、豆、レンズ豆、キビ、スペルトを取り、それらを一つの器に入れ、自分のためにパンを作りなさい。あなたが横たわる日数、**390日**の間それを食べなさい。¹⁰

あなたが食べる食物は、**1日20シェケル**の重さで、定められた時に食べなさい。¹¹

あなたが飲む水は、**1ヒンの6分の1**の量で、定められた時に飲みなさい。¹²

それを大麦のケーキとして食べ、彼らの目の前で異常な燃料で焼きなさい。」¹³

主は言われた、「このようにして、イスラエルの子らは、私が彼らを散らす国々の中で汚れたパンを食べることになる。」¹⁴

私は言った、「ああ、主なる神よ！私は決して汚れたことがありません。若い頃から今に至るまで、自ら死んだものや動物に裂かれたものを食べたことはなく、汚れた肉が私の口に入ったこともありません。」¹⁵

彼は私に言った、「見よ、人間の糞の代わりに牛の糞を与えるので、それでパンを準備しなさい。」¹⁶

彼は私に言った、「人の子よ、見よ、私はエルサレムでパンの杖を折ろうとしている。彼らは重さでパンを食べ、不安と共に水を飲むことになる。¹⁷

なぜなら、食物と水が乏しくなるからである。彼らは互いに恐怖で見つめ合い、その罪悪感の中で衰弱する。」

5 「人の子よ、鋭い剣を取って理髪師のかみそりとして頭とひげを剃れ。それから、はかりを取って髪を分けよ。²

髪の毛の三分の一を、包囲の日が終わったときに町の中で火で焼け。もう三分の一を取って町の周りで剣で打ち、最後の三分の一を風に散らせ。私は抜き身の剣で彼らを追うからだ。³

その中から少しの髪を取り、衣の裾に結びつけよ。

その中からさらにいくつかを取り、火に投げ入れて焼け。そこから火がイスラエルの全家に広がる。⁵

「主なる神はこう言われる。これはエルサレムであり、私は彼女を国々の中心に置き、その周りに土地を配置した。⁶

しかし、彼女は私の掟に対して国々よりも悪く反逆し、私の法令に対して周りの土地よりも悪く反逆した。彼らは私の律法を拒み、私の定めに従わなかったからだ。⁷

それゆえ、主なる神はこう言われる。あなたがたは周りの国々よりも乱れており、私の法令に従わず、私の律法を守らず、周りの国々の基準にさえ従わなかったのだ。⁸

それゆえ、主なる神はこう言われる。見よ、私はあなたに対して、エルサレムよ、そして私は国々の目の前であなたに裁きを行う。⁹

あなたのすべての忌まわしい行いのために、私はあなたの中でこれまで行ったことのないことを行い、今後も行わないだろう。¹⁰

それゆえ、あなたの中で親が子を食べ、子が親を食べるだろう。私はあなたに裁きを行い、生き残った者をすべての風に散らす。¹¹

それゆえ、私が生きている限り、主なる神は言われる。あなたがたがすべての忌まわしい偶像と忌まわしい行いで私の聖所を汚したので、私は退き、私の目は惜しまず、哀れみもしない。¹²

あなたの民の三分の一は疫病で死ぬか、あなたの中で飢饉で滅びる。三分の一はあなたの周りで剣に倒れる。そして三分の一はすべての風に散らし、抜き身の剣で追う。¹³

そのとき、私の怒りは尽き、私は彼らに対する憤りを満らし、私は慰められる。彼らは私が主であり、私の熱心の中で語ったことを知るだろう、私が彼らに対する憤りを尽くしたときに。¹⁴

私はあなたを廢墟とし、あなたの周りの国々の間で恥辱とする。通り過ぎるすべての者の目の前で。¹⁵

あなたは恥辱となり、虐待の対象となり、警告となり、恐怖となるだろう、私が怒りと憤りと激しい叱責であなたに裁きを行うときに。私は主である、私は語った。¹⁶

私はあなたに対して破壊のための致命的な飢饉の矢を放つとき、私はあなたに飢饉を増し、あなたのパンの供給を断つ。¹⁷

私はあなたに飢饉と野獣を送り、彼らはあなたから子供を奪うだろう。疫病と流血があなたを襲い、私はあなたに剣をもたらす。私は主である、私は語った。」

エゼキエル書

6 主からのメッセージが私に届いた：²
「人の子よ、イスラエルの山々に向かって顔を
向け、彼らに対して預言せよ。」³

言え、『イスラエルの山々よ、主なる神の言葉を聞
け。主なる神が山々と丘に、谷間と谷にこう言われ
る：見よ、私はあなたたちに剣をもちたらし、あなた
たちの高き所を滅ぼす。⁴
あなたたちの祭壇は廢墟となり、香の祭壇は打ち砕
かれる。私はあなたたちの偶像の前であなたたちの
殺された者を倒れさせる。⁵

私はイスラエルの人々の死体を彼らの偶像の前に置
き、あなたたちの骨を祭壇の周りに散らす。⁶
あなたたちが住むどこでも、あなたたちの都市は廢
墟となり、高き所は荒れ果て、祭壇は廢墟となり荒
廢し、偶像は打ち砕かれ終わりを迎え、香の祭壇は
切り倒され、あなたたちの業は消し去られる。⁷
殺された者はあなたたちの間に倒れ、あなたたちは
私が主であることを知るようになる。⁸

『しかし私は残りの者を残し、あなたたちの中の何
人かは国々に散らされたときに剣を逃れる。⁹
その後、彼らが捕虜として連れて行かれた国々で、
逃れた者たちは私を思い出さだろう—
彼らの偶像に心を奪われ、私から離れた不貞な心に
私はどれほど悲しんだかを。彼らは自分たちの行っ
た悪とすべての忌まわしい行いを憎むだろう。¹⁰
そして彼らは私が主であることを知るだろう。私は
この災いを彼らに下すと無駄に言ったのではない。¹¹

『主なる神がこう言われる：手を叩き、足を踏み鳴
らし、「ああ！」と叫べ、イスラエルの家のすべて
の悪しき忌まわしい行いのために、彼らは剣、飢饉
、疫病で倒れるからだ。¹²

遠くにいる者は疫病で死に、近くにいる者は剣で倒
れ、生き残り免れた者は飢饉で死ぬ。こうして私は
彼らに対する怒りを尽くす。¹³
そして彼らの殺された者が偶像の周り、祭壇の周り
、すべての高い丘や山の頂、広がる木の下、葉の茂
る樫の木の下—

彼らがすべての偶像に香を捧げた場所に横たわると
き、あなたたちは私が主であることを知るだろう。¹⁴

私は彼らに対して手を伸ばし、荒野からディブラま
での地を荒れ果てた廢墟とする—
彼らが住むどこでも。そうして彼らは私が主である
ことを知るだろう。』¹⁵

7 さらに、主の言葉が私に臨んで言った。²
「人の子よ、イスラエルの地に対して、主なる
神がこう言われる。『終わりが！終わりが地の
四隅に来る。³

今や終わりがあなたに臨む。私はあなたに対して怒
りを解き放ち、あなたの行いに従ってあなたを裁き
、あなたのすべての忌まわしいことをあなたに報い
る。⁴

私の目は憐れみを示さず、あなたを容赦しない。私
はあなたの行いに従って報い、あなたの忌まわしい
ことがあなたの中にある。そうしてあなたは私が主
であることを知る。』⁵

主なる神がこう言われる。『災いだ！唯一の災いだ
！見よ、それが来る！⁶
終わりが来た！終わりが来た！それがあなたに対し
て目覚めた。見よ、それが来る！⁷

破滅があなたに臨んだ、地に住む者よ。時が来た、
日が近い。山々での喜びの叫びではなく、恐慌があ
る。⁸

今や私はすぐに私の怒りをあなたに注ぎ、私の憤り
をあなたに使い尽くす。私はあなたの行いに従って
あなたを裁き、あなたのすべての忌まわしいことを
あなたに報いる。⁹

私の目は憐れみを示さず、あなたを容赦しない。私
はあなたの行いに従って報い、あなたの忌まわしい
ことがあなたの中にある。そうしてあなたは私が主
であることを知る、私が打つ者であることを知る。¹⁰

『見よ、その日！見よ、それが来る！破滅が突如と
して現れた。杖が芽を出し、高慢が花を咲かせた。¹¹

暴力が起こり、悪者を罰する杖となった。彼らの中
には誰も残らず、彼らの群れも、彼らの富も、価値
のあるものも何も残らない。¹²

時が来た、その日がここにある。買い手は喜ぶな、
売り手は悲しむな。怒りが彼らの群れに臨んでいる
からだ。¹³

確かに、売り手は彼の生涯の間に売ったものを取り
戻すことはない。彼らの群れに関する幻は避けられ
ず、彼らの中の誰もその不正によって命を保つこと
はできない。¹⁴

『彼らはラッパを吹き、すべてを準備したが、誰も
戦いに行かない。私の怒りが彼らの群れに対してあ
るからだ。¹⁵

剣は都市の外にあり、疫病と飢饉は中にある。野に
いる者は剣で死に、都市にいる者は飢饉と疫病で滅
びる。¹⁶

彼らの生き残りが逃げ延びるとき、彼らは谷の鳩の
ように山に逃げ、皆が自分の不正のために嘆く。¹⁷
すべての手はだらりと垂れ、すべての膝は尿で濡れ
る。¹⁸

彼らは荒布をまとい、震えが彼らを圧倒する。すべ
ての顔に恥があり、すべての頭に禿げた部分がある

エゼキエル書

。彼らは銀を通りに投げ捨て、金は忌まわしいものとなる。彼らの銀と金は主の怒りの日に彼らを救うことができない。彼らは飢えを満たすことも、腹を満たすこともできない。彼らの不正がつまりずきの原因となったからだ。²⁰
彼らは美しい宝石を誇り、忌まわしい偶像を作るためにそれを使った。彼らはそれを卑しい像に変えた。それゆえ、私はそれを彼らに忌まわしいものとする。²¹
私はそれを外国人に戦利品として渡し、地の悪者に戦利品として渡す。彼らはそれを汚す。²²
私は彼らから顔を背け、彼らは私の宝を汚す。盗賊が入り、それを冒流する。²³
『拘束具を準備せよ！地は流血で満ち、都市は暴力で満ちているからだ。²⁴
それゆえ、私は最も悪しき国々を連れてきて、彼らの家を占領させる。私は強者の誇りを終わらせ、彼らの聖所を冒流させる。²⁵
恐怖が来るとき、彼らは平和を求めるが、それは見つからない。²⁶
災いが次々と来て、噂が次々と来る。彼らは預言者からの幻を求めるが、律法は祭司から失われ、助言は長老から失われる。²⁷
王は嘆き、君主は絶望に包まれ、地の民の手は震える。私は彼らの行いに従って彼らを扱い、彼ら自身の基準で彼らを裁く。そうして彼らは私が主であることを知る。』

8 第六年の第六の月の五日に、私が家に座っていると、ユダの長老たちが私の前にいると、主なる神の手がそこに私の上に臨んだ。²
私は見た。そこに人の姿のようなものがあつた。腰から下は火のように見え、腰から上は輝く金属のように見えた。³
彼は手のようなものを伸ばして、私の頭の髪をつかんだ。霊が私を地と天の間に持ち上げ、神の幻の中で私をエルサレムに連れて行つた。そこは内庭の北の門の入口で、嫉妬を引き起こす偶像が置かれていた。⁴
そして、そこにはイスラエルの神の栄光があり、私が平地で見た幻のようであつた。⁵
それから彼は私に言った。「人の子よ、北を見よ。」そこで私は北を見た。すると、祭壇の門の北に、その嫉妬の偶像が入口にあつた。⁶
彼は私に言った。「人の子よ、彼らがここで行っていること、イスラエルの家がここで行っている全く忌まわしいことを見たか？それは私を私の聖所から遠ざけるものである。しかし、あなたはさらに大いなる忌まわしいことを見るだろう。」⁷

それから彼は私を庭の入口に連れて行つた。私は見た、壁に穴があつた。⁸
彼は私に言った。「人の子よ、今、壁を掘れ。」そこで私は壁を掘ると、入口が見つかった。⁹
彼は私に言った。「入り、彼らがここで行っている悪しき忌まわしい行爲を見よ。」¹⁰
私は入って見た。壁一面に描かれているのは、あらゆる種類の這うものや汚れた動物、イスラエルの家の偶像であつた。¹¹
その前にはイスラエルの家の七十人の長老が立っており、シャファンの子アザニヤも彼らの中にいた。彼らは皆、手に香炉を持ち、香の雲の香りが立ち上つていた。¹²
彼は私に言った。「人の子よ、イスラエルの家の長老たちが暗闇の中で、自分の偶像の神殿で何をしているか見たか？彼らは言う、『主は私たちを見ていない。主はこの地を捨てた。』」¹³
再び彼は言った。「あなたは彼らがさらに大いなる忌まわしいことを行っているのを見るだろう。」¹⁴
それから彼は私を主の家の北の門の入口に連れて行つた。そこには女たちが座つていて、タムズのために泣いていた。¹⁵
彼は私に言った。「これを見たか、人の子よ？あなたはこれらよりもさらに大いなる忌まわしいことを見るだろう。」¹⁶
彼は私を主の家の内庭に連れて行つた。そこには神殿の入口、ポーチと祭壇の間に約二十五人の男たちがいた。彼らは主の神殿に背を向け、顔を東に向けて、東の太陽を拝んでいた。¹⁷
彼は私に言った。「これを見たか、人の子よ？ユダの家がここで行っている忌まわしいことは些細なことか？彼らはさらに地に暴力で満ちし、絶えず私を怒らせるのか？彼らが枝を鼻に当てているのを見よ！」¹⁸
それゆえ、私は彼らに怒りをもって対処する。私は彼らを憐れまず、彼らを容赦しない。彼らが大声で私の耳に叫んでも、私は彼らを聞かない。」

9 そのとき、私の前で大声で呼びかける声を聞いた。「都市に裁きを行うために任命された者たちを連れて来い、それぞれ破壊の武器を手にして。」²
すると、北を向く上の門の方向から六人の男が来るのを見た。それぞれ致命的な武器を持っていた。その中に、亜麻布を着て腰に書記の道具を持った男がいた。彼らは入ってきて、青銅の祭壇のそばに立った。³
今、イスラエルの神の栄光が、そこにあつたケルビムから神殿の敷居に昇つた。それから、腰に書記の道具を持った亜麻布を着た男を呼んだ。⁴

エゼキエル書

主は彼に言われた、「エルサレムの町を巡り、その中で行われているすべての忌まわしいことに嘆き悲しむ者たちの額に印をつけよ。」⁵

他の者たちには、私の聞いているところで言われた、「彼に従って町を巡り、打て。目を惜しまず、容赦するな。」⁶

老人も、若者も、乙女も、子供も、女も皆殺しにせよ。ただし、印のある者には触れるな。私の聖所から始めよ。」それで彼らは、神殿の前にいる長老たちから始めた。⁷

それから彼らに言われた、「神殿を汚し、庭を死体で満たせ。出て行け！」それで彼らは出て行き、町の人々を打った。⁸

彼らが人々を打っている間、私だけが残され、私は顔を伏せて叫び、「ああ、主なる神よ！あなたはエルサレムにあなたの怒りを注ぎ、イスラエルの残りの者を全滅させるのですか？」と言った。⁹

すると彼は私に言われた、「イスラエルとユダの家の罪は非常に大きく、地は血で満ち、町は曲がり事で満ちている。彼らは言う、『主はこの地を捨てられた、主は見えておられない！』」¹⁰

しかし、私は目を惜しまず、彼らを容赦しない。彼らの行いを彼ら自身の頭に返す。」¹¹

すると見よ、腰に書記の道具を持った亜麻布を着た男が報告して言った、「あなたが命じられたことをすべて実行しました。」

10 私は見た。ケルビムの頭の上に、サファイア¹の石で作られた王座のようなものが現れ、それは彼らの上の広がりにある王座に似ていた。²

そして主は亜麻布を着た人に言われた。「ケルビムの下の車輪の間に入り、ケルビムの間から燃える炭を手に満たし、それを町の上に撒きなさい。」彼は私が見ている間に入って行った。³

ケルビムはその人が入るとき、神殿の右側に位置しており、雲が内庭を満たした。⁴

すると、主の栄光がケルビムの上から神殿の敷居に上がった。神殿は雲で満たされ、中庭は主の栄光の輝きで満たされた。⁵

ケルビムの翼の音は外庭まで聞こえ、それは全能の神が語るときの声のようであった。⁶

主が亜麻布を着た人に「車輪の間、ケルビムの間から火を取れ」と命じたとき、彼は入り、車輪のそばに立った。⁷

ケルビムの一つが手を伸ばし、彼らの間の火を取り、亜麻布を着た人の手に置いた。彼はそれを取り出して行った。⁸

ケルビムの翼の下には、人間の手のようなものが見えた。⁹

私は見た。ケルビムのそばに四つの車輪があり、各ケルブのそばに一つの車輪があった。車輪はタルシシュの石のように輝いていた。¹⁰

その外見については、四つとも同じように見え、一つの車輪がもう一つの車輪の中にあるようであった。¹¹

彼らが動くとき、四つの方向のいずれにも曲がらずに進み、向いている方向に進んだ。¹²

彼らの全身、背中、手、翼、車輪は、周囲に目で覆われていた。¹³

私は車輪が「回転する車輪」と呼ばれるのを聞いた。¹⁴

各ケルブには四つの顔があった。第一はケルブの顔、第二は人間の顔、第三はライオンの顔、第四は鷲の顔であった。¹⁵

すると、ケルビムは上昇した。これらはケバル川のほとりで私が見た生き物であった。¹⁶

ケルビムが動くとき、車輪は彼らのそばに動き、ケルビムが地面から上昇するために翼を広げると、車輪は彼らのそばに留まった。¹⁷

ケルビムが止まると、車輪も止まり、彼らが上昇すると、車輪も彼らと共に上昇した。生き物の霊が彼らの中にあつたからである。¹⁸

その後、主の栄光が神殿の敷居から離れ、ケルビムの上に立った。¹⁹

私が見ている間に、ケルビムは翼を広げて地面から上昇し、車輪は彼らのそばにあり、彼らは主の家の東の門の入口に立ち、イスラエルの神の栄光が彼らの上にあつた。²⁰

これらはケバル川のほとりでイスラエルの神の下に見た生き物であり、私はそれらがケルビムであることを悟った。²¹

各々は四つの顔と四つの翼を持ち、その翼の下には人間の手の形があつた。²²

彼らの顔はケバル川のほとりで私が見たものと同じであつた。各々はまっすぐに進んだ。

11 霊が私を引き上げ、東に面した主の家の東の門に連れて行った。そこには門の入口に二十五人の男がいて、その中に私はアズルの子ヤザニヤとベナヤの子ペラテヤ、民の指導者たちを見た。²

彼は私に言った、「人の子よ、これらはこの町で悪を企て、悪しき助言をする者たちである。」³

彼らは言う、『家を建てる時ではないか。この町は鍋であり、我々はその中の肉である。』⁴

それゆえ、彼らに対して預言せよ。預言せよ、人の子よ。」⁵

その時、主の霊が私に臨み、彼は私に言われた、「主はこう言われる。イスラエルの家よ、これはあな

エゼキエル書

たちが考えていることだが、私はあなたたちの思いを知っている。⁶

あなたたちはこの町で多くの人を殺し、その通りを死体で満たした。⁷

それゆえ、主なる神はこう言われる。あなたたちが町に置いた死体は肉であり、この町は鍋である。しかし、私はあなたたちをそこから引き出す。⁸

あなたたちは剣を恐れているが、主なる神は言われる、私はその剣をあなたたちに臨ませる。⁹

私はあなたたちを町から引き出し、外国人に引き渡し、あなたたちに裁きを行う。¹⁰

あなたたちは剣に倒れ、イスラエルの国境で私はあなたたちを裁く。そうしてあなたたちは私が主であることを知る。¹¹

この町はあなたたちにとって鍋ではなく、あなたたちはその中の肉ではない。私はイスラエルの国境であなたたちを裁く。¹²

そしてあなたたちは私が主であることを知る。あなたたちは私の掟に従わず、私の律法を守らず、周囲の国々の習慣に従ってきたからである。」¹³

私が預言していると、ベナヤの子ペラテヤが死んだ。私は顔を伏せて大声で叫んだ、「ああ、主なる神よ！イスラエルの残りの者を完全に滅ぼされるのですか？」¹⁴

その時、主からのメッセージが私に届いた。¹⁵

「人の子よ、あなたの兄弟、あなたの親族、あなたの同胞である捕囚の者たち、そしてイスラエルの全家、彼らすべてについて、エルサレムの住民が言って、『主から遠ざかれ。この地は私たちの所有として与えられた。』」¹⁶

それゆえ、言え、『主なる神はこう言われる。私は彼らを国々の間に遠く送り、諸国の間に散らしたが、彼らが行った国々でしばらくの間、私は彼らのための聖所となっていた。』¹⁷

それゆえ、言え、『主なる神はこう言われる。私はあなたたちを民の中から集め、散らされた国々から連れ戻し、イスラエルの地をあなたたちに与える。』¹⁸

彼らが戻ってくると、すべての忌まわしいものと憎むべきものを取り除くだろう。¹⁹

私は彼らに一つの心を与え、新しい霊を彼らの中に置く。私は彼らの石の心を取り除き、肉の心を与える。²⁰

それから彼らは私の掟に従い、私の定めを守るようになる。彼らは私の民となり、私は彼らの神となる。²¹

しかし、その心が忌まわしいものと憎むべきものを追い求める者たちには、私は彼らの行いを彼らの頭上に返す、と主なる神は言われる。」²²

その時、ケルビムはそのそばにある車輪と共に翼を広げ、イスラエルの神の栄光が彼らの上にあった。²³

主の栄光は町の中から上がり、その東の山の上に立った。²⁴

霊が私を引き上げ、神の霊によって与えられた幻の中でカルデアの捕囚の者たちのもとに連れて行った。それから私が見た幻は私から去った。²⁵

そして私は、主が明らかにされたすべてのことを捕囚の者たちに伝えた。

12 主からのメッセージが私に届いた。²

「人の子よ、あなたは反逆の家のの中に住んでいる。彼らは見るための目を持っているが見ず、聞くための耳を持っているが聞かない。彼らは反逆の家だからである。³

それゆえ、人の子よ、あなたの持ち物を捕囚のために準備し、昼間に彼らの目の前で捕囚に行け。あなたの場所から別の場所へ彼らの目の前で移動せよ。彼らは反逆の家であるが、もしかしたら理解するかもしれない。⁴

あなたの持ち物を昼間に彼らの目の前で、捕囚の荷物として持ち出せ。それから夕方にも彼らの目の前で、捕囚に行く者のように出て行け。⁵

彼らの前で壁を掘り、そこからあなたの持ち物を持ち出せ。⁶

彼らの目の前であなたの肩に持ち物を載せ、暗闇の中でそれを運べ。あなたの顔を覆い、地を見ることができないようにせよ。私はあなたをイスラエルの家へのしるしとしたからである。」⁷

それで私は命じられた通りに行った。昼間に私は捕囚のために荷造りした持ち物を持ち出した。そして夕方にも私は手で壁を掘り、暗闇の中で肩に持ち物を載せて出て行った。彼らはそれを見ていた。⁸

朝になって、もう一つの主からのメッセージが私に届いた。⁹

「人の子よ、反逆の家であるイスラエルの家はあなたに『あなたは何をしているのか』と言わなかったか？」¹⁰

彼らに言え、『これは主なる神が言われることである。この預言はエルサレムの君主とそこにいるイスラエルの全家に関するものである。』¹¹

彼らに言え、『私はあなたたちへのしるしである。私がしたように、彼らにもそうされる。彼らは捕囚に行き、捕えられる。¹²

彼らの中の君主は暗闇の中で肩に持ち物を載せて出て行く。彼が通るために壁に穴が掘られる。彼は地を見ることができないように顔を覆う。¹³

私は彼のために網を広げ、彼は私の罠にかかる。私は彼をカルデアの地、バビロンに連れて行くが、彼

エゼキエル書

はそれを見ずにそこで死ぬ。¹⁴
私は彼の周りにいるすべての者—
彼の部下とすべての軍隊を風に散らし、抜き身の剣で彼らを追う。¹⁵
私は彼らを国々の間に散らし、国々を通して彼らを散らすとき、彼らは私が主であることを知る。¹⁶
しかし、私は彼らの中から剣、飢饉、疫病から少数を免れさせる。彼らが行く国々で彼らの忌まわしい行いを語るためであり、彼らは私が主であることを知る。¹⁷
さらに、もう一つの主からのメッセージが私に届いた。¹⁸
「人の子よ、震えながらパンを食べ、恐れと不安で水を飲め。¹⁹
それからその地の民に言え、『これは主なる神がエルサレムの住民とイスラエルの地について言われることである。彼らは恐れながらパンを食べ、恐怖で水を飲む。その地はそこに住むすべての者の暴力のためにその豊かさを奪われるからである。²⁰
住んでいる町々は荒廃し、その地は荒れ果てる。それからあなたたちは私が主であることを知る。』」²¹
それから、もう一つの主からのメッセージが私に届いた。²²
「人の子よ、イスラエルの地にあるこのことわざは何か、『日々が過ぎ去り、すべての幻は何もならない』と言っているのか？²³
それゆえ、彼らに言え、『これは主なる神が言われることである。このことわざを終わらせ、彼らはもはやイスラエルでそれを引用しない。』彼らに言え、『すべての幻が成就する日々が近い。²⁴
イスラエルの家の中にはもはや偽りの幻や欺瞞的な占いはない。²⁵
私は主であり、私が語る言葉は何であれ、遅れることなく成就する。反逆の家であるあなたたちの時代に、私は言葉を語り、それを行う』と主なる神が宣言する。」²⁶
さらに、もう一つの主からのメッセージが私に届いた。²⁷
「人の子よ、見よ、イスラエルの家は言っている、『彼が見る幻は多くの年後のことであり、彼は遠い未来について預言している。』²⁸
それゆえ、彼らに言え、『これは主なる神が言われることである。私の言葉はもはや遅れることはない。私が語る言葉は何であれ、行われる』と主なる神が宣言する。」

13 主の言葉が私に臨んだ、言われた。²
「人の子よ、イスラエルの預言者たちに対して預言せよ。自分の靈感から預言する者

たちに言え。『主の言葉を聞け！³
主なる神はこう言われる。何も見ていないのに自分の霊に従う愚かな預言者たちに災いあれ！⁴
イスラエルよ、お前たちの預言者は廃墟の中のジャッカルのようなのだ。⁵
お前たちは壁の破れ口の上って行かず、主の日に戦いに立ち向かうためにイスラエルの家の周りに壁を築かなかった。⁶
彼らの幻は偽りであり、彼らの占いは嘘だ。彼らは「主が言われる」と言うが、主は彼らを遣わしていない。それなのに彼らは自分たちの言葉が成就することを期待している。⁷
お前たちは偽りの幻を見、嘘の占いを語ったのではないか。「主が言われる」と言うとき、私は語っていないのに。⁸
それゆえ、主なる神はこう言われる。お前たちが偽りを語り、嘘を見たので、私はお前たちに対している、と主なる神は言われる。⁹
私の手は偽りの幻を見、嘘の占いを語る預言者たちに対してしている。彼らは私の民の会議に加わることなく、イスラエルの家の名簿に記録されることなく、イスラエルの地に入ることもない。そうしてお前たちは私が主なる神であることを知る。¹⁰
彼らが「平和だ」と言って私の民を惑わしたからだ。平和はないのに、壁が建てられると、それに白い漆喰を塗る。¹¹
それゆえ、白い漆喰を塗る者たちに言え、それは崩れると。豪雨が降り、私は雹を降らせ、暴風が吹き荒れる。¹²
壁が崩れるとき、人々は「お前が塗った漆喰はどこにあるのか」と問わないだろうか。¹³
それゆえ、主なる神はこう言われる。私の怒りの中で暴風を解き放ち、私の憤りの中で雹と豪雨が破壊的な激しさで降る。¹⁴
お前たちが白い漆喰を塗った壁を引き倒し、地面に平らにしてその基礎を露わにする。それが崩れるとき、お前たちはその中で滅びる。そしてお前たちは私が主であることを知る。¹⁵
それで私は壁に対して、またそれに白い漆喰を塗った者たちに対して私の怒りを費やす。私はお前たちに言う、「壁はなくなり、それを白く塗った者たちもいなくなる、¹⁶
エルサレムのために平和を語ったイスラエルの預言者たちもいなくなる」と主なる神は言われる。¹⁷
今、人の子よ、お前の民の娘たちに対して顔を向け、自分の想像から預言する者たちに対して預言せよ。¹⁸
そして言え、『主なる神はこう言われる。手首に魔法の護符を縫い付け、あらゆる高さの頭にパールを

エゼキエル書

作って魂を捕らえる女たちに災いあれ。お前たちは私の民の命を捕らえて自分の命を守るのか。¹⁹

お前たちはわずかな大麦とパンの屑のために、私の民の間に私を汚し、死ぬべきでない者を殺し、生きべきでない者を生かし、嘘を聞く私の民に嘘をつく。²⁰

それゆえ、主なる神はこう言われる。私はお前たちの魔法の護符に対して。それでお前たちは鳥のように人々を捕らえるが、私はそれをお前たちの腕から引き裂き、鳥のように捕らえた人々を解放する。²¹

私はお前たちのペールを取り除き、私の民をお前たちの手から救い出す。彼らはもはやお前たちの力の餌食にはならない。そうしてお前たちは私が主であることを知る。²²

お前たちが嘘をついて正しい者を落胆させ、私は彼らに悲しみをもたらしていないのに、悪者を励まして彼らの悪の道から離れさせず、命を救わせなかったからだ。²³

それゆえ、お前たちはもはや偽りの幻を見ることも占いを行うこともない。私は私の民をお前たちの手から救い出す。そうしてお前たちは私が主であることを知る。」

14 イスラエルの長老たちが私のところに来て、私の前に座った。²

そして、主からのメッセージが私に与えられた。³

「人の子よ、これらの人々は心の中に偶像を立て、顔の前に不正のつまずきの石を置いている。私は彼らが私に相談することを許すべきだろうか？」⁴

それゆえ、彼らに話し、こう言いなさい。『主なる神はこう言われる。イスラエルの家の誰でも、心の中に偶像を立て、顔の前に不正のつまずきの石を置き、そして預言者のもとに来るならば、私はその偶像崇拜に応じて彼らに答える。⁵ 私はこれを行い、偶像のために私から離れたイスラエルの家の心を取り戻す。』⁶

「それゆえ、イスラエルの家に言いなさい。『主なる神はこう言われる。悔い改めて、偶像から離れ、すべての忌まわしい行いを捨てなさい！』⁷

イスラエルの中に住むイスラエル人や外国人が私から離れ、心の中に偶像を立て、顔の前に不正のつまずきの石を置き、そして預言者のもとに来て私に尋ねるならば、私は自ら彼らに答える。⁸

私はその人に対して顔を向け、彼らをしるしとことわざにし、私の民から彼らを取り除く。そうすれば、あなたがたは私が主であることを知るだろう。⁹ もし預言者が言葉を語るように誘惑されるならば、それは私、主がその預言者を誘惑したのであり、私

は彼に対して手を伸ばし、彼をイスラエルの民の中から取り除く。¹⁰ 彼らはその罰を受けるであろう—預言者は彼を相談する者と同じように罪がある。¹¹ それから、イスラエルの家はもはや私から迷い出ることなく、すべての罪で自らを汚すこともなくなる。彼らは私の民となり、私は彼らの神となる、と主なる神は宣言される。」¹²

そして、主からのメッセージが私に与えられた。¹³ 「人の子よ、もし国が私に対して不忠実で罪を犯し、私が生きていて、その食糧供給を破壊し、飢饉を送り、人間と動物の命を取り除くために手を伸ばすならば、¹⁴ たとえノア、ダニエル、ヨブという三人の男がそこにいたとしても、彼らはその義によって自分自身だけを救うことができる、と主なる神は宣言される。¹⁵

もし私が野獣をその地に送り、それを無人にし、獣のために誰も通過できないようにするならば、¹⁶ 私が生きている限り、主なる神は宣言される、たとえこの三人の男がそこにいたとしても、彼らは息子や娘を救うことはできない。彼らだけが救われるが、地は荒れ果てる。¹⁷

または、もし私がその国に剣をもたらし、『剣をその地に通らせよ』と言い、人間と動物の命を取り除くならば、¹⁸

私が生きている限り、主なる神は宣言される、たとえこの三人の男がそこにいたとしても、彼らは息子や娘を救うことはできない。彼らだけが救われる。¹⁹

または、もし私がその地に疫病を送り、血を流して私の怒りを注ぎ、人間と動物の命を取り除くならば²⁰

、私が生きている限り、主なる神は宣言される、たとえノア、ダニエル、ヨブがそこにいたとしても、彼らは息子や娘を救うことはできない。彼らはその義によって自分自身だけを救う。²¹

主なる神はこう言われる。エルサレムに対して私の四つの厳しい裁き—剣、飢饉、野獣、疫病—を送り、人間と動物の命を取り除くとき、それがどれほど悪化するか！²²

それでも、生き残る者がいるであろう—息子や娘たちが連れ出される。彼らがあなたのところに来るとき、あなたは彼らの行動と行いを見て、私がエルサレムにもたらした災害について慰められるであろう—

私がそれにもたらしたすべての災害について。²³ あなたは彼らの行動と行いを見て慰められるであろう、なぜなら私が理由なくして何も行っていないことを知るからである、と主なる神は宣言される。」

エゼキエル書

15 主の言葉が私に臨んだ、言われた。²
「人の子よ、森の木の中のどの枝よりも、
ぶどうの木材木が優れているのか。³

それから何か有用なものを作るために木を取ることが
できるのか。それに掛けるためのくぎさえ作ること
ができるのか。⁴

もしそれが燃料として火に投げ込まれ、火が両端を
焼き尽くし、中間を焦がしたなら、それは何かに役
立つのか。⁵

それが完全な状態のときでさえ、何かに作られなかつた
のに、火で焼かれ焦がされた後では、なおさら
何かに使えるだろうか。⁶

それゆえ、主なる神はこう言われる。森の木の中の
ぶどうの木材木が燃料として火に与えられるよう
に、私はエルサレムの住民を同じように扱う。⁷

私は彼らに対して顔を向ける。彼らが火から出てき
ても、火は彼らを焼き尽くす。そして、私が彼らに
対して顔を向けるとき、あなたがたは私が主である
ことを知る。⁸

彼らが不誠実に行動したので、私はその地を荒れ果
てさせる、と主なる神は言われる。」

16 主からのメッセージが私に来た。²
「人の子よ、エルサレムに彼女の忌まわし
い行いを知らせなさい。³

そして言いなさい、『主なる神はエルサレムにこう
言われる。あなたの起源と出生はカナン人の地にあり、
あなたの父はアモリ人で、あなたの母はヒッタ
イト人であった。⁴

あなたが生まれた日に、あなたのへその緒は切られ
ず、あなたを清めるために水で洗われず、塩でこす
られず、布で包まれもしなかった。⁵

誰もあなたを憐れんでこれらのことをしてくれる者
はいなかった。むしろ、あなたは生まれた日に軽蔑
されて野原に投げ出された。⁶

『そのとき、私は通りかかり、あなたが血の中でう
ごめいているのを見て、あなたに言った、「血の中
で生きよ！」⁷

私はあなたを野の草のように成長させた。あなたは
成長し、発達し、美しい装飾を施す年齢に達した。
あなたの胸は形作られ、髪は伸びたが、あなたは裸
であった。⁸

『後に私は通りかかり、あなたが愛の年齢に達して
いるのを見た。私は衣の裾を広げてあなたの裸を覆
い、厳肅な誓いを立て、あなたと契約を結んだ、と
主なる神は言われる。そしてあなたは私のものとな
った。⁹

『私は水であなたを洗い、血を洗い流し、油であな
たを塗った。¹⁰

私は刺繍された衣をあなたに着せ、上質な革のサン

ダルを履かせた。私はあなたを細かいリネンで包み
、絹で覆った。¹¹

私はあなたを宝石で飾った。あなたの手首にブレス
レットをはめ、首にネックレスをかけた。¹²

そして鼻にリングを、耳にイヤリングを、美しい冠
を頭に置いた。¹³

このようにしてあなたは金と銀で飾られ、あなたの
服は細かいリネン、絹、刺繍布であった。あなたの
食べ物には上質な小麦粉、蜂蜜、オリーブ油であつた
。あなたは非常に美しくなり、王族にまで進んだ。¹⁴

あなたの美しさのために、あなたの名声は諸国に広
まった。それは私があなたに与えた輝きのために完
璧であつたからだ、と主なる神は言われる。¹⁵

『しかし、あなたは自分の美しさを信じ、名声のため
に不貞を働いた。あなたは通りすがりの者に自分の
好意を惜しみなく与え、あなたの美しさは彼のもの
となった。¹⁶

あなたは自分の衣服の一部を取って、派手な高い場
所を作り、そこで売春を行った。そのようなことは
起こるべきではなく、起こるべきではない。¹⁷

あなたはまた、私が与えた金と銀で作った美しい宝
石を取り、男性の像を作り、それらと共に売春を行
った。¹⁸

そしてあなたは刺繍された衣服を取ってそれらを飾
り、私の油と香をそれらの前に捧げた。¹⁹

また、私があなたに与えた食べ物、上質な小麦粉、
オリーブ油、蜂蜜を、それらの前に香ばしい香りとし
て捧げた。それが起こったことだ、と主なる神は
言われる。²⁰

『さらに、あなたは私に産んだ息子や娘を取り、偶
像に捧げて消費させた。あなたの卑しい行いは十分
ではなかったのか？²¹

あなたは私の子供たちを死に追いやり、火を通して
偶像に捧げた。²²

あなたのすべての忌まわしい行いと売春において、
あなたは裸であり、血の中でうごめいていた若い頃
の日々を思い出さなかった。²³

『災いだ！災いだ！と主なる神は言われる。あなた
のすべての悪事に加えて、²⁴

あなたは自分のために丘を築き、すべての広場に高
い場所を作った。²⁵

すべての街角にあなたの高い場所を築き、あなたの
美しさを汚し、通りすがりの者に対してますます淫
らに脚を広げた。²⁶

あなたは情欲に満ちた隣人であるエジプト人と売春
を行い、ますます淫らになって私を怒らせた。²⁷
それで私はあなたに対して手を伸ばし、あなたの領
土を滅らし、あなたを敵の食欲に引き渡した。彼ら

エゼキエル書

はあなたの淫らな行いを恥じたペリシテ人の娘たちである。²⁸

あなたはまた、飽くことを知らないためにアッシリア人と不道德な行いをした。それでもなお、あなたは満足しなかった。²⁹

それからあなたは商人の地であるバビロニアにまで淫らな行いを広げたが、それでもなお満足しなかった。³⁰

『あなたの心はどれほど熱狂しているのか、と主なる神は言われる。あなたがこれらすべてのことを行い、厚かましい売春婦のように振る舞うときに！³¹ あなたがすべての街角に丘を築き、すべての広場に高い場所を作ったとき、あなたは売春婦とは異なり、報酬を軽蔑した。³²

『あなたの夫よりも他人を好む不貞の妻よ！³³ すべての売春婦は贈り物を受け取るが、あなたはすべての愛人に贈り物を与え、あなたの卑しい行いのためにどこからでもあなたのもつて来るように賄賂を贈る。³⁴

だから、あなたの売春において、あなたは他の者とは異なり、誰もあなたの好意を求めて走ることはない。あなたはまさに逆であり、あなたは支払いを与え、誰もあなたに与えない。³⁵

『それゆえ、主の言葉を聞け、売春婦として行動した者よ！³⁶

主なる神はこう言われる。あなたの淫らな行いが注ぎ出され、あなたの裸が愛人との淫らな行いとすべての忌まわしい偶像と共に露わになり、あなたが彼らに与えた子供たちの血のために、³⁷

それゆえ、私はあなたが楽しみを見出したすべての愛人を集め、あなたが愛した者も憎んだ者も共に集め、あなたの裸を彼らに露わにし、彼らがあなたの裸をすべて見るができるようにする。³⁸

私は姦淫を犯し血を流した女たちを裁くようにあなたを裁き、私の怒りと嫉妬の血の復讐をあなたに下す。³⁹

それから私はあなたを愛人の手に引き渡し、彼らはあなたの丘を引き倒し、あなたの高い場所を破壊する。彼らはあなたの衣服を剥ぎ取り、あなたの美しい宝石を取り去り、あなたを裸にして放置する。⁴⁰ 彼らはあなたに対して群衆を扇動し、彼らはあなたを石で打ち、剣で切り刻む。⁴¹

彼らはあなたの家を焼き払い、多くの女たちの目の前であなたに裁きを執行する。私はあなたの売春を終わらせ、あなたはもはや愛人に支払うことはない。⁴²

それから私の怒りはあなたに対して収まり、私の嫉妬はあなたから離れる。私は落ち着き、もはや怒らない。⁴³

『あなたが若い頃の日々を思い出さず、これらすべてのことに私を怒らせたので、私は確かにあなたが行ったことをあなたの頭に下す、と主なる神は言われる。あなたはすべての他の忌まわしい行いに淫らな行いを加えなかったか？⁴⁴

『すべてのことわざを引用する者はあなたについてこう言うだろう。「母に似て娘あり。」⁴⁵

あなたは夫と子供を嫌った母の娘であり、夫と子供を嫌った姉妹の姉妹である。あなたの母はヒッタイト人であり、あなたの父はアモリ人であった。⁴⁶ あなたの姉はサマリアであり、彼女は娘たちと共に北に住んでいた。あなたの妹であるソドムは娘たちと共に南に住んでいた。⁴⁷

あなたは彼らの道を追い、彼らの忌まわしい行いを行っただけでなく、すべての道で彼らよりも早く墮落した。⁴⁸

確かに私は生きている、と主なる神は言われる。あなたの姉妹ソドムとその娘たちは、あなたとあなたの娘たちが行ったことを決して行わなかった。⁴⁹

『あなたの姉妹ソドムの罪はこれであった。彼女とその娘たちは高慢で、無頓着で、あまりにも快適な生活をしていた。彼らは貧しい者や困窮している者を助けなかった。⁵⁰

彼らは高慢で、私の前で忌まわしいことを行った。それゆえ、私は彼らをあなたが見たように滅ぼした。⁵¹

サマリアはあなたが犯した罪の半分を犯さなかった。あなたは彼らよりも忌まわしいことを行い、あなたが行ったすべてのことによって姉妹たちを正しいように見せた。⁵²

あなたの恥をええ、あなたは姉妹たちにいくらかの正当化を提供した。あなたの罪が彼らよりも卑劣であったため、彼らはあなたよりも正しいように見える。だから、恥じてあなたの恥辱をええ、あなたは姉妹たちを正しいように見せた。⁵³

『それにもかかわらず、私はソドムとその娘たちの運命を回復し、サマリアとその娘たちの運命を回復し、あなたの運命と共に回復する。⁵⁴

それであなたはあなたの恥を負い、彼らに慰めを与えたすべてのことを恥じる。⁵⁵

そしてあなたの姉妹たち、ソドムとその娘たち、サマリアとその娘たちは元の状態に戻り、あなたとあなたの娘たちも元の状態に戻る。⁵⁶

あなたは誇りの時代にあなたの姉妹ソドムを言及することさえしなかった。⁵⁷

あなたの悪事が露わになる前に。だから今、あなたはエドムの娘たちとそのすべての隣人、ペリシテ人の娘たち、あなたを軽蔑するすべての者によって軽蔑されている。⁵⁸

エゼキエル書

あなたはあなたの淫らな行いと忌まわしい行いの結果を負うだろう、と主は言われる。⁵⁹

『主なる神はこう言われる。あなたが私の誓いを軽蔑し、契約を破ったので、私はあなたの行いに従ってあなたを扱う。⁶⁰

それでも私はあなたの若い頃に結んだ契約を思い出し、あなたと永遠の契約を確立する。⁶¹

それからあなたは自分の道を思い出し、あなたよりも年上の姉妹たちと年下の姉妹たちを受け入れるときに恥じる。私は彼らをあなたに娘として与えるが、あなたとの契約のためではない。⁶²

だから私はあなたと契約を確立し、あなたが私が主であることを知るようにする。⁶³

それから、私があなたのために行ったすべてのことのためにあなたの贖いをしたとき、あなたは思い出し、恥じて、あなたの屈辱のために再び口を開くことはないだろう、と主なる神は言われる。』」

17 主からのメッセージが私に来了。²
「人の子よ、などを出し、イスラエルの人々にたとえ話として示せ。³

彼らに言いなさい、『主なる神はこう言われる。大きな翼と長い羽、色とりどりの羽毛を持つ強大な鷲がレバノンに来て、杉の木の頂を取った。⁴

彼はその若い枝の頂を折り取り、商人の国に運び、商人の町に植えた。⁵

彼はまた、その地から苗を取り、肥沃な土に植え、多くの水のある草地に置き、柳のようにそれを定めた。⁶

それは芽を出し、低く広がるぶどうの木となった。その枝は彼に向かって伸びたが、根はその下にとどまった。こうしてそれはぶどうの木となり、枝を出し、葉の茂る枝を伸ばした。⁷

しかし、もう一羽の大きな翼と多くの羽毛を持つ別の大鷲がいた。ぶどうの木は今やその根を彼に向かって伸ばし、植えられた床から彼に向かって枝を伸ばし、水を求めた。⁸

それは多くの水のある良い土に植えられていたので、枝を出し、実を結び、立派なぶどうの木となることができた。』⁹

彼らに言いなさい、『主なる神はこう言われる。それは繁栄するだろうか？

それは引き抜かれ、その実を奪われて枯れることはないだろうか？

その新しい成長はすべて枯れるだろう。それを根から引き抜くのに強い腕や多くの人は必要ないだろう。¹⁰

それが植えられていても、繁栄するだろうか？東風がそれを打つとき、それは完全に枯れないだろうか—それが育った床で枯れるだろうか？』」¹¹

後に、主からのメッセージが私に来了。¹²

「この反逆の家に言いなさい、『これらのことが何を意味するか分らないのか？』言いなさい、『バビロンの王がエルサレムに来て、その王と貴族を連れてバビロンに行った。¹³

彼は王家の一員を取り、彼と契約を結び、誓いを立てさせた。また、その地の指導者たちを連れ去った。¹⁴

それは王国が自らを高めず、契約を維持して生き残るためにへりくだるためであった。¹⁵

しかし、彼はエジプトに使者を送り、馬と大軍を求めて彼に反逆した。彼は成功するだろうか？

彼は契約を破って逃れることができるだろうか？¹⁶

私の命にかけて、主なる神は言われる、彼は彼を王位に就けた王の地、バビロンで死ぬだろう。彼の誓いを軽んじ、彼の契約を破った。¹⁷

ファラオはその強大な軍隊と大群を持ってしても、彼を助けることはないだろう。多くの命を滅ぼすために土塁が築かれ、包囲工作が設けられるとき。¹⁸

彼は契約を破って誓いを軽んじた。彼は誓いを立てたにもかかわらず、これらすべてのことを行なった。彼は逃れることはできない。¹⁹

それゆえ、主なる神はこう宣言される：私の命にかけて、私は彼が私の誓いを軽んじ、私の契約を破ったことに報いるだろう。²⁰

私は彼のために網を広げ、彼は私の罠にかかるだろう。私は彼をバビロンに連れて行き、私に不誠実であった彼にそこで裁きを行う。²¹

彼の選ばれた軍隊はすべて剣によって倒れ、生き残った者たちは四方の風に散らされるだろう。それからあなたたちは、私が主であることを知るだろう。²²

主なる神はこう言われる：私は自ら杉の高い頂から若枝を取り、それを植える。私はその頂の柔らかい芽を折り取り、高くそびえる山に植える。²³

イスラエルの山の高地にそれを植え、それが枝を出し、実を結び、立派な杉となるようにする。あらゆる種類の鳥がその下に巣を作り、その枝の陰に避難所を見つける。²⁴

野のすべての木は、私が主であることを知るだろう。私は高い木を倒し、低い木を高くする。私は緑の木を枯らし、枯れた木を繁栄させる。私が主である、私はそれを語り、そしてそれを行う。』

18 主からの言葉が私に臨んで言った。²
「イスラエルの地についてこのことわざを繰り返しているのはどういう意味ですか。

『父たちが酸っぱいぶどうを食べ、子どもたちの歯が浮く』と。³

私が生きている限り」と主なる神は言われる、「あ

エゼキエル書

あなたがたはイスラエルでこのことわざをもう使ってはならない。⁴

見よ、すべての魂は私のものである。父の魂も子の魂も私のものである。罪を犯す魂は死ぬ。⁵

「しかし、もし人が正しく、公正で正しいことを行なうなら—⁶

山の神殿で食事をせず、イスラエルの家の偶像に目を上げず、隣人の妻を汚さず、生理中の女に近づかず—⁷

誰も虐げず、債務者に担保を返し、強盗をせず、飢えた者にパンを与え、裸の者を衣服で覆い、⁸

利息を取らず、利益を得ず、不正から手を引き、真実の正義を人と人との間で行い、⁹

私の掟に従い、私の法令を守って誠実に行動するなら—

彼は正しい者である。彼は必ず生きる」と主なる神は言われる。¹⁰

「もし彼に暴力的な息子がいて、血を流し、これらのことを行なうなら—¹¹

彼自身はこれらのことを行わなかったのに—

山の神殿で食事をし、隣人の妻を汚し、¹²

困っている者を虐げ、強盗をし、担保を返さず、偶像を見つめ、忌まわしい行いにふけり、¹³

利息を取り、利益を得るなら、彼は生きるだろうか？彼は生きない！彼はこれらの忌まわしいことをすべて行ったので、必ず死刑にされる。彼の血は彼自身にかかる。¹⁴

「さて、この男に息子がいて、父の行ったすべての罪を見て、それを見て同じことをしないなら—¹⁵

山の神殿で食事をせず、イスラエルの家の偶像に目を上げず、隣人の妻を汚さず、¹⁶

誰も虐げず、担保を取らず、強盗をせず、飢えた者にパンを与え、裸の者を衣服で覆い、¹⁷

不正から手を引き、利息や利益を取らず、私の掟を守り、私の法令に従って歩むなら、彼は父の不義のために死ぬことはない。彼は必ず生きる。¹⁸

彼の父については、彼が強奪を行い、兄弟を強奪し、民の間で不正を行ったので、その不正のために死ぬ。¹⁹

「しかしあなたは言う、『なぜ息子が父の不義のために苦しまないのか？』と。息子が正しく、公正なことを行い、私のすべての掟を守り、それを行ったとき、彼は必ず生きる。²⁰

罪を犯す魂は死ぬ。息子は父の不義を負わず、父も息子の不義を負わない。正しい者の正義は彼自身にあり、悪しき者の悪は彼自身にある。²¹

「しかし、悪しき者がそのすべての罪から立ち返り、私のすべての掟を守り、正しく公正なことを行なうなら、彼は必ず生きる。彼は死なない。²²

彼が犯したすべての背信は彼に対して覚えられない。彼が行った正義のために、彼は生きる。²³

私は悪しき者の死を喜ぶだろうか」と主なる神は言われる、「むしろ彼がその道から立ち返り、生きることを喜ぶのではないか？²⁴

「しかし、正しい者がその正義から立ち返り、不義を行い、悪しき者が行うすべての忌まわしいことを行なうなら、彼は生きるだろうか？彼が行った正しい行いは何も覚えられない。彼が犯した背信と罪のために、彼は死ぬ。²⁵

「しかしあなたは言う、『主の道は公平でない』と。今、イスラエルの家よ、聞け。私の道は正しいのか？あなたの道が公平でないのではないか？²⁶ 正しい者がその正義から立ち返り、不義を行うなら、そのために彼は死ぬ。彼が犯した不義のために彼は死ぬ。²⁷

悪しき者がその悪から立ち返り、正しく公正なことを行なうなら、彼は自分の命を救う。²⁸

彼が考え、犯したすべての背信から立ち返ったから、彼は必ず生きる。彼は死なない。²⁹

しかしイスラエルの家は言う、『主の道は公平でない』と。イスラエルの家よ、聞け。私の道は正しいのか？あなたの道が公平でないのではないか？³⁰

「それゆえ、私はあなたがたを裁く、イスラエルの家よ、それぞれの道に従って」と主なる神は言われる。「すべての背信から立ち返り、罪があなたがたのつまずきとにならないようにせよ。³¹

あなたがたが犯したすべての背信を捨て、新しい心と新しい霊を作れ！なぜ死のうとするのか、イスラエルの家よ？³²

私は誰の死をも喜ばない」と主なる神は言われる。「だから立ち返り、生きよ。」

19 「イスラエルの支配者たちのために哀歌をあげよ²

そして言え：『あなたの母はライオンの中でどのようにに雌ライオンのようであったか！

彼女は若いライオンの間に横たわり、彼女の子を育てた。³

彼女はその子の一人を育て、彼は若いライオンとなつた。

彼は獲物を裂くことを学び、人々を食い尽くした。⁴

国々は彼のことを聞き、彼は彼らの異にかかった。彼らは彼を鉤でエジプトの地に連れて行った。⁵

彼女が希望を失い、期待が消えたとき、彼女は彼女の子のもう一人を取り、彼を若いライオンにした。⁶

彼はライオンの間を歩き回り、若いライオンとなつ

エゼキエル書

た。
彼は獲物を裂くことを学び、人々を食い尽くした。

彼は彼らの要塞を破壊し、彼らの都市を荒廃させた。
地とその住民は彼の咆哮に驚愕した。
それから国々は彼に対して四方から立ち上がった。
彼らは彼の上に網を広げ、彼は彼らの罠にかかった。

彼は彼を鉤で檻に入れ、バビロンの王のもとに連れて行ったので、彼の声はイスラエルの山々で聞かれなくなった。

あなたの母はあなたのぶどう園のぶどうの木のように、水辺に植えられていた。それは豊富な水のために実り多く、枝が多かった。

その枝は強く、支配者の杖に適していた。それは茂った葉の上に高くそびえ、その高さで多くの枝で目立っていた。

しかし、それは怒りの中で引き抜かれ、地に投げ捨てられた。東風がその実を乾かし、その強い枝は折れて枯れ、火がそれらを焼き尽くした。

それは今、荒野にあり、乾燥し渴いた地にある。
火がその主な枝から出て、その芽と実を焼き尽くした。支配者の杖に適した強い枝は残っていない。』
これは哀歌であり、哀歌として用いられるべきである。

20 第七年の第五の月の十日に、イスラエルの長老たちの一部が主を求めて来て、私の前に座った。

そのとき、主からのメッセージが私に来て、こう言った。

「人の子よ、イスラエルの長老たちに語りなさい。
『主なる神はこう言われる。あなたたちは私に尋ねに来たのか？私が生きている限り、主なる神は言われる、私はあなたたちに尋ねさせない。』」

「人の子よ、彼らを裁くのか？彼らの先祖の忌まわしい行いを知らせなさい。

彼らに言いなさい。『主なる神はこう言われる。私がイスラエルを選んだ日に、私はヤコブの子孫に誓い、エジプトで彼らに自分を現し、「私はあなたたちの神、主である」と言った。

その日に私は彼らをエジプトから連れ出し、乳と蜜の流れる地、すべての地の中で最も栄光ある地に彼らを連れて行く」と誓った。

そして私は彼らに言った。「あなたたち一人一人が目を楽しませる忌まわしいものを捨て、エジプトの偶像で自分を汚してはならない。私はあなたたちの神、主である。」

しかし彼らは私に逆らい、聞こうとしなかった。彼らは目を楽しませる忌まわしいものを捨てず、エジ

プトの偶像を捨てなかった。それで私は彼らに怒りを注ぎ、エジプトで彼らに対して怒りを解き放つことに決めた。

しかし私の名のために、彼らが住んでいた国々の目の前でそれが汚されないように行動した。私はその国々の目の前でイスラエル人に自分を現した。
それで私は彼らをエジプトから導き出し、荒野に連れて行った。

私は彼らに私の法令を与え、彼らがそれを守るなら生きるべき規定を知らせた。

私はまた、私の安息日を彼らに与え、それが私たちの間のしるしとなり、私が彼らを聖別する主であることを知るようにした。

しかしイスラエルの家は荒野で私に逆らった。彼らは私の法令に従わず、私の規定を拒絶した。それを守るなら生きるべき規定であるのに、彼らは私の安息日を大いに汚した。それで私は荒野で彼らに怒りを注ぎ、彼らを滅ぼすことに決めた。

しかし私は私の名のために行動し、それが彼らを導き出した国々の目の前で汚されないようにした。
また私は荒野で彼らに誓い、彼らに与えた地、乳と蜜の流れる地、すべての地の中で最も栄光ある地に彼らを連れて行かない」と誓った。

彼らが私の規定を拒絶し、私の法令に従わず、彼らの心が偶像に向かっていたため、私の安息日を汚したからである。

しかし私は彼らを憐れみ、荒野で彼らを滅ぼしたり、全滅させたりしなかった。

私は荒野で彼らの子供たちに言った。「あなたたちの親の法令に従わず、彼らの規定を守らず、彼らの偶像で自分を汚してはならない。

私はあなたたちの神、主である。私の法令に従い、私の規定を守るよう注意しなさい。

私の安息日を聖別しなさい。それが私たちの間のしるしとなり、私があなたたちの神、主であることを知るように。」

しかし子供たちは私に逆らった。彼らは私の法令に従わず、私の規定を守るよう注意せず、それを守るなら生きるべき規定であるのに、彼らは私の安息日を汚した。それで私は荒野で彼らに怒りを注ぎ、彼らに対して怒りを解き放つことに決めた。

しかし私は手を引き、私の名のために行動し、それが彼らを導き出した国々の目の前で汚されないようにした。

また私は荒野で彼らに誓い、彼らを国々に散らし、国々を通して彼らを散らす」と誓った。

彼らが私の規定に従わず、私の法令を拒絶し、私の安息日を汚し、彼らの目が親の偶像に欲望を抱いたからである。

エゼキエル書

それで私は彼らに有益でない法令と、彼らが繁栄できない規定を守らせた。²⁶

私は彼らを贈り物を通して汚し、すべての初子を犠牲にさせた。それで彼らが恐怖で満たされ、私が主であることを知るようにした。²⁷

「それゆえ、人の子よ、イスラエルの家に語りなさい。『主なる神はこう言われる。これにおいてもあなたたちの先祖は私を冒瀆し、私に不誠実であった。²⁸

私が彼らに与えると誓った地に彼らを連れて行ったとき、彼らはすべての高い丘と茂った木を見て、そこで彼らの犠牲を捧げ、彼らを怒らせる供え物を捧げた。そこで彼らは心地よい香りを作り、彼らの飲み物の供え物を注いだ。²⁹

それで私は彼らに言った。これはあなたたちが行く高い場所なのか？」（それは今日までバマと呼ばれている。）³⁰

「それゆえ、イスラエルの家に言いなさい。『主なる神はこう言われる。あなたたちは先祖のように自分を汚し、彼らの忌まわしいものを追い求めるのか？³¹

あなたたちが贈り物を捧げ、子供たちを火を通して通らせるとき、あなたたちは今日まですべての偶像で自分を汚し続けている。イスラエルの家よ、私に尋ねられるべきか？私が生きている限り、主なる神は言われる、私はあなたたちに尋ねさせない。³²

あなたたちが心に抱いていることは決して起こらない。あなたたちが言うとき、「私たちは国々のように、木や石を崇拜する世界の民のようになる。」³³ 私が生きている限り、主なる神は言われる、強い手と伸ばされた腕と注がれた怒りで、私はあなたたちを治める。³⁴

私はあなたたちを民の中から連れ出し、あなたたちが散らされた地から集める。強い手と伸ばされた腕と注がれた怒りで。³⁵

私はあなたたちを国々の荒野に連れて行き、そこで直接あなたたちと裁きを行う。³⁶

私がエジプトの地の荒野であなたたちの先祖を裁いたように、私はあなたたちを裁く、主なる神は言われる。³⁷

私はあなたたちを羊飼いの杖の下を通らせ、契約の束にあなたたちを連れて行く。³⁸

私はあなたたちから叛逆者と私に逆らう者を浄化する。彼らが住んでいる地から彼らを連れ出すが、彼らはイスラエルの地に入らない。そうすれば、私が主であることを知る。³⁹

「イスラエルの家よ、あなたたちについては、主なる神はこう言われる。行け、各々の偶像を崇拜せよ。しかし後にあなたたちは必ず私に聞き従い、私の

聖なる名を贈り物や偶像で汚すことはなくなる。⁴⁰ 私の聖なる山、イスラエルの高い山で、主なる神は言われる、そこではイスラエルの全家が地で私に仕え、私はそこで彼らを受け入れ、そこであなたたちの供え物と最も良い贈り物、すべての聖なるものを要求する。⁴¹

私はあなたたちを民の中から連れ出し、あなたたちが散らされた地から集めるとき、心地よい香りとしてあなたたちを受け入れ、国々の目の前で私があなたたちの中で聖なることを示す。⁴²

それから私はあなたたちをイスラエルの地に連れて行くとき、あなたたちの先祖に与えると誓った地に、私が主であることを知る。⁴³

そこであなたたちは自分の道と、自分を汚したすべての行いを思い出し、犯したすべての悪のために自分を嫌う。⁴⁴

私が私の名のためにあなたたちに対処し、あなたたちの悪い道や腐敗した行いに従ってではなく、イスラエルの家よ、私が主であることを知る、主なる神は言われる。⁴⁵

そのとき、主からのメッセージが私に来て、こう言った。⁴⁶

「人の子よ、南に向かって顔を向けよ。南に向かって説教し、ネゲブの森林地帯に向かって預言せよ。⁴⁷

ネゲブの森林に言いなさい。『主の言葉を聞け。主なる神はこう言われる。見よ、私はあなたの中に火をつけようとしている。それはすべての緑の木とすべての枯れた木を焼き尽くす。その燃えさかる炎は消えれず、南から北までのすべての顔がそれによって焼かれる。⁴⁸

そしてすべての人が、私が主であることを見て、それを消すことはできない。⁴⁹

それで私は言った。「ああ、主なる神よ！彼らは私について、『彼はただたとえ話を話しているのではないか？』と言っています。」

21 主からのメッセージが私に来了。²

「人の子よ、エルサレムに顔を向け、聖所に対して預言せよ。イスラエルの地に対して預言せよ。³

そしてイスラエルの地に言え。『主はこう宣言する。見よ、私はあなたに対して。私は剣を鞘から抜き、あなたから正しい者も悪い者も断ち切る。⁴

私は正しい者も悪い者も断ち切るので、私の剣は南から北までのすべての者に対して抜かれる。⁵

そのとき、すべての肉なる者は、私が主であることを知るであろう。私は剣を鞘から抜いた。それは再び戻らない。』⁶

それゆえ、人の子よ、心を痛め、苦い嘆きでうめけ

エゼキエル書

。彼らの前でうめけ。⁷
彼らがあなたに、『なぜうめいているのか』と尋ねるとき、あなたは言うであろう、『来るべき知らせのためだ。すべての心は溶け、すべての手は弱くなり、すべての霊は衰え、すべての膝は水のようになる。見よ、それは来る。そしてそれは起こる』と主なる神は宣言する。⁸
主からのメッセージが私に来了。⁹
「人の子よ、預言し、宣言せよ。『主はこう宣言する。剣、剣、研がれ、磨かれた—¹⁰
虐殺のために研がれ、稲妻のように輝くために磨かれた！我が子の杖を喜ぶべきか？剣はそのような杖をすべて軽蔑する。¹¹
剣は磨かれるように定められ、手で握られるように定められている。それは虐殺者の手のために研がれ、磨かれている。¹²
叫び、嘆け、人の子よ、それは私の民に対しての。それはイスラエルのすべての君主に対しての。彼らは私の民と共に剣に渡される。それゆえ、あなたの腿を打て。¹³
試練があるからだ。そして、剣が軽蔑する杖が続かないならどうなるか？と主なる神は宣言する。¹⁴
「それゆえ、人の子よ、預言し、手を叩け。剣を二度、いや三度振るわせよ。それは虐殺のための剣、大虐殺のための剣、彼らを取り囲む剣だ。¹⁵
心が揺らぎ、多くの者がすべての門で倒れるように、私は虐殺のために剣を配置した。ああ！それは稲妻のように輝くために作られ、虐殺のために研がれている。¹⁶
右に向け、剣よ。それから左に向け、あなたの刃が向けられるところへ。¹⁷
私もまた手を叩き、私の怒りを満たす。私は主であると語った。」¹⁸
主からのメッセージが私に来了。¹⁹
「人の子よ、バビロンの王の剣が進むための二つの道を示せ。どちらも同じ土地から始まる。都市への道の頭に標識を作れ。²⁰
剣がアンモン人のラバに來る道と、要塞化されたエルサレムに來る道を示せ。²¹
バビロンの王は道の分かれ目、二つの道の頭に立って、兆しを求める。彼は矢を振り、偶像に相談し、肝を調べる。²²
彼の右手にはエルサレムのためのくじが来る。破城槌を設置し、虐殺の命令を出し、戦いの叫びを上げ、門に破城槌を設置し、土手を築き、包囲工事を立てるためだ。²³
それは彼に誓いを立てた者たちには偽りの占いのように見えるが、彼は彼らの罪を思い出させ、彼らを捕らえる。²⁴

「それゆえ、主なる神はこう言う。『あなたがたは公然と反逆し、あなたがたの罪をすべての行動で明らかにし、あなたがたの罪を思い出させたので、あなたがたは捕らえられる。²⁵
そして、あなた、冒流的で悪しきイスラエルの君主よ、あなたの日が来た、最終的な罰の時に。²⁶
主なる神はこう言う。ターバンを取り、冠を外せ。それは以前のようにではない。低い者が高くされ、高い者が低くされる。²⁷
破壊、破壊、破壊を私はそれにする！それは正当に属する者が来るまで復元されない。彼に私はそれを与える。』²⁸
「そして、あなた、人の子よ、預言し、宣言せよ。『主なる神はアンモン人とその侮辱についてこう言う。剣、剣、虐殺のために引かれ、消費し、稲妻のように輝くために磨かれた—²⁹
彼らがあなたのために偽りの幻を見、あなたのために嘘を占う間に—
殺されるべき悪しき者の首にあなたを置くために、その日が来た、最終的な罰の時に。³⁰
剣を鞘に戻せ。あなたが創造された場所で、あなたの起源の地で、私はあなたを裁く。³¹
私はあなたに私の怒りを注ぎ、私の燃える怒りをあなたに吹きかける。私はあなたを破壊に熟練した残忍な者たちの手に渡す。³²
あなたは火の燃料となり、あなたの血はあなたの地で流され、あなたは記憶されない。私は主であると語った。』」

22 主からのメッセージが私に來て、こう言った、²
「人の子よ、あなたはこの流血の町を裁くか、裁くか？
それなら、彼女にそのすべての忌まわしいことを知らせなさい。³
そして言いなさい、『主なる神はこう言われる。血をその中で流して自らに破滅をもたらし、偶像で自らを汚し、自分の益に反する町よ。⁴
あなたは流した血によって罪を犯し、作った偶像によって汚された。あなたは自分の日を近づけ、年の終わりに來た。それゆえ、私はあなたを国々の恥とし、すべての地の笑いものとする。⁵
近くのものも遠くのものも、あなたを嘲るだろう、評判の悪い町、混乱に満ちた町よ。⁶
「イスラエルの君たちがあなたの中でどのように力を用いて血を流しているかを見なさい。⁷
あなたの中で彼らは父と母を軽んじ、外国人を虐げ、孤児と未亡人を虐待した。⁸
あなたは聖なるものを軽蔑し、私の安息日を汚した。⁹

エゼキエル書

あなたの中には血を流そうとする中傷者がいる。あなたの中には山の祭壇で食事をし、恥ずべき行いをする者がいる。

あなたの中には父の裸を暴く者がいる。あなたの中には、儀式的に汚れている時に女性を犯す者がいる。

あなたの中で一人の男が隣人の妻と忌まわしいことを行い、別の者が義理の娘を恥ずべき方法で汚し、また別の者が自分の父の娘である姉妹を犯す。あなたの中には暴力を行うために賄賂を受け取る者がいる。あなたは利息を取り、貧しい者から利益を得る。あなたは隣人から不正な利益を搾取する。そして、あなたは私を忘れた、と主なる神は言われる。

「見よ、私はあなたの不正な利益とその中で流血に対して手を打つ。

私があなたを扱う日、あなたの心は耐えられるか、あなたの手は強くいられるか？

私、主が語り、行う。

私はあなたを国々の間に散らし、土地を通して分散させる。そして、私はあなたの汚れを清める。あなたが国々の目の前で汚されたとき、あなたは私が主であることを知るだろう。』

その後、主からのメッセージが私に来て、こう言った、

「人の子よ、イスラエルの家は私にとってかすとなった。彼らは皆、炉に残された青銅、錫、鉄、鉛である。彼らは銀のかすに過ぎない。それゆえ、主なる神はこう言われる、『あなたがた全員がかすとなったので、私はあなたがたをエルサレムの中に集める。

銀、青銅、鉄、鉛、錫が炉に集められ、火の爆風で溶かされるように、私は怒りと憤りであなたを集め、町の中に入れて溶かす。

私はあなたを集め、私の憤りの火で吹きかけ、あなたはその中で溶ける。

銀が炉で溶けるように、あなたはその中で溶け、私が主であることを知るだろう。私はあなたに私の憤りを注いだ。』

再び主からのメッセージが私に来て、こう言った、

「人の子よ、その地に宣言しなさい、『あなたは怒りの日に清められず、雨も降らない地である。』」
その中の君たちの陰謀は、獲物を引き裂く咆哮するライオンのようだ。彼らは命をむさぼり、宝物や貴重品を奪い、多くの未亡人をその中に作る。その祭司たちは私の律法に暴力を振るい、私の聖なるものを汚した。彼らは聖と俗を区別せず、汚れたものと清いものの違いを教えず、私の安息日を守る

ことに目を閉じているので、私は彼らの中で汚されている。

その中の役人たちは獲物を引き裂く狼のようだ。彼らは血を流し、命を破壊して不正な利益を得る。その預言者たちは偽りの幻と欺瞞的な占いでこれらの行為を覆い隠す。彼らは『主なる神はこう言われる』と言うが、主は語っていない。

その地の人々は強奪を行い、強盗を働き、貧しい者や困窮者を虐げ、外国人を虐待し、正義を否定する。

私はその中で、地のために壁を築き、私の前で裂け目に立つ者を探したが、誰も見つけれなかった。

それゆえ、私は彼らに私の憤りを注ぎ、私の燃える怒りで彼らを消費し、彼らの行ったすべてのことを彼らの頭上に降らせる、と主なる神は言われる。』

23 主の言葉が再び私に臨んだ、
「人の子よ、同じ母から生まれた二人の姉妹がいた。

彼女たちはエジプトで淫行を行った。彼女たちは若い頃から自分を売り、そこで彼女たちの乳房は愛撫され、処女の胸は撫でられた。

姉の名はオホラ、妹の名はオホリバ。彼女たちは私のものであり、息子や娘を産んだ。オホラはサムリアを、オホリバはエルサレムを表している。

「オホラは私のものでありながら淫行を行い、彼女の隣人であるアッシリア人を愛した。

彼らは青い服を着た総督や司令官、すべて馬に乗った美しい若者たちだった。

彼女は彼らに淫らな行為を施し、アッシリア人の精鋭たちとすべての偶像で自分を汚した。

彼女はエジプトで始めた淫行をやめなかった。若い頃、男たちは彼女と寝て、処女の胸を撫で、欲望を注いだ。

それゆえ、私は彼女を彼女が愛したアッシリア人の手に渡した。

彼らは彼女の裸を暴き、息子や娘を奪い、剣で彼女を殺した。彼女は女性たちの間で語り草となり、裁きが彼女に下された。

「彼女の妹オホリバはこれを見たが、彼女の欲望と淫行は姉よりもひどかった。

彼女もまたアッシリア人を愛した—総督や司令官、豪華な服を着た者たち、馬に乗った美しい若者たち。

私は彼女もまた自分を汚しているのを見た。彼女たちは同じ道をたどった。

しかし彼女はさらに淫行を進めた。彼女は壁に描かれた男たち、赤く描かれたカルデア人の像を見た。

エゼキエル書

彼らは腰に帯を締め、頭に流れるターバンを巻いていた。すべてバビロンの役人のようで、カルデアの出身だった。¹⁶

彼女は彼らを見て欲望を抱き、カルデアに使者を送った。¹⁷

するとバビロン人が彼女のもとに来て、彼らの欲望で彼女を汚した。彼女が彼らによって汚された後、彼女は彼らを嫌悪して離れた。¹⁸

彼女は淫らな行為と裸をさらけ出した。それゆえ、私は彼女を嫌悪して離れた、ちょうど彼女の姉を嫌悪したように。¹⁹

しかし彼女は淫らな行為を増し、若い頃、エジプトで自分を売った日々を思い出した。²⁰

彼女は彼女の愛人たちを愛し、その肉はロバのようで、その放出は馬のようだった。²¹

こうして、あなたは若い頃の淫行を渴望した。エジプトであなたの胸は撫でられ、若い乳房は愛撫された。²²

「それゆえ、オホリバよ、主なる神はこう言われる。私はあなたが嫌悪して離れた愛人たちをあなたに向かわせ、彼らを四方からあなたに向かわせるー²³バビロン人とすべてのカルデア人、ペコド、ショア、コアの人々、そしてすべてのアッシリア人を、すべて総督や司令官、戦車の役人や高位の者たち、すべて馬に乗った者たち。²⁴

彼らは武器、戦車、馬車、多くの人々を伴ってあなたに向かい、大小の盾と兜で四方からあなたに向かう。私は彼らに裁きを委ね、彼らは彼らの習慣に従ってあなたを裁く。²⁵

私はあなたに対して嫉妬の怒りを向け、彼らは怒りであなたを扱う。彼らはあなたの鼻と耳を切り落とし、残った者は剣で倒れる。彼らはあなたの息子や娘を奪い、残った者は火で焼かれる。²⁶

彼らはまたあなたの衣服を奪い、あなたの美しい宝石を奪う。²⁷

こうして私はあなたの淫らな行為とエジプトから持ち込んだ淫行を終わらせる。あなたはこれらのことを渴望せず、エジプトを思い出すこともない。²⁸

これは主なる神が言われることだからである。私はあなたが嫌悪した者たち、あなたが嫌悪して離れた者たちにあなたを引き渡そうとしている。²⁹

彼らはあなたを憎んで扱い、あなたのすべての所有物を奪い、あなたを裸にし、裸にする。あなたの淫行の恥がさらされ、あなたの淫らな行為と淫らな行為が³⁰

これを招いた。なぜなら、あなたは国々を愛し、彼らの偶像で自分を汚したからである。³¹

あなたはあなたの姉の道をたどった。それゆえ、私は彼女の杯をあなたの手に置く。³²

これは主なる神が言われることだからである。あなたはあなたの姉の杯を飲む、それは深く広い杯であり、それは多くを含んでいるため、侮辱と嘲笑をもたらし。³³

あなたは酔いと悲しみで満たされる、破滅と荒廃の杯、あなたの姉サマリヤの杯。³⁴

あなたはそれを飲み干し、乾かし、その破片を嘔み、あなたの乳房を裂く。私は語った、主なる神が言われる。³⁵

それゆえ、これは主なる神が言われることだからである。あなたが私を忘れ、私を背後に投げ捨てたので、あなたはあなたの淫らな行為と淫らな行為の結果を負わなければならない。³⁶

さらに、主は私に言われた。「人の子よ、オホラとオホリバを裁くか？それなら彼女たちの忌まわしい行為を彼女たちに告げよ。³⁷

彼女たちは姦淫を犯し、彼女たちの手には血がある。彼女たちは偶像と不貞を働き、彼女たちが私に産んだ子供たちを彼らのために食物として捧げた。³⁸

彼女たちはまたこれを私に行った。同じ時に、彼女たちは私の聖所を汚し、私の安息日を犯した。³⁹

彼女たちはその日に彼女たちの偶像に子供たちを捧げ、私の聖所に入り、それを汚した。これが彼女たちが私の家で行ったことである。⁴⁰

さらに、彼女たちは遠くから来た男たちのために使者を送り、彼らが到着すると、あなたは彼らのために身を洗い、目に化粧を施し、宝石で身を飾った。⁴¹

あなたは豪華なソファに座り、その前にテーブルを広げ、その上に私の香と油を置いた。⁴²

彼女の周りには気楽な群衆の騒音があり、荒野から酔っ払いが連れて来られ、彼女と彼女の姉妹の手首にブレスレットをはめ、彼女たちの頭に美しい冠をかぶせた。⁴³

そのとき、私は姦淫で疲れ果てた者について言った、『今や彼女を娼婦として使わせよ、それが彼女のすべてであるから。』⁴⁴

そして彼らは娼婦に入るように彼女のもとに入った。彼らは淫らな女、オホラとオホリバのもとに入った。⁴⁵

しかし、正しい裁判官たちは彼女たちに姦淫を犯し、血を流した女たちの罰を宣告する。彼女たちは娼婦であり、彼女たちの手には血があるからである。⁴⁶

これは主なる神が言われることだからである。彼女たちに対して群衆を集め、彼女たちを恐怖と略奪に引き渡せ。⁴⁷

群衆は彼女たちを石で打ち、剣で彼女たちを切り倒す。彼らは彼女たちの息子や娘を殺し、彼女たちの

エゼキエル書

家を焼く。⁴⁸
こうして、私は地の淫らな行為を終わらせ、すべての女性が警告を受け、あなたを真似しないようにする。⁴⁹
あなたはあなたの淫らな行為の罰とあなたの偶像崇拜の行為の結果を負う。そうしてあなたは私が主なる神であることを知る。」

24 第九年の第十の月の十日に、主からのメッセージが私に届いた。²
「人の子よ、この日の名前、この日を記録せよ。バビロンの王がこの日にエルサレムに対して包囲を始めたからだ。³
この反逆の家にたとえを語り、彼らに言え。『主なる神はこう言われる。

「鍋を火にかけよ、それを置き、
水を注ぎ入れよ。⁴ 肉の塊を入れよ、
良い部分すべて一 腿と肩を。最良の骨で満たせ。
⁵ 群れの中から最良のものを選べ。
その下に薪を積み、よく煮立たせ、
骨をその中で煮込め。

⁶ 『主なる神はこう言われる。

「流血の町に災いあれ、
今や鍋はかさぶたで覆われ、汚れが離れない！
肉を一つ一つ取り出せ、選ばずに。⁷
彼女が流した血は彼女の中に残っている。
彼女はそれを裸の岩の上に流し、地面に注がず、
塵で覆わなかった。⁸
私の怒りを引き起こし、復讐を遂げるために、
私は彼女の血を裸の岩の上に置いた。
それは覆われることはない。⁹
それゆえ、主なる神はこう言われる。
「流血の町に災いあれ！
私は薪の山を大きくする。¹⁰ 薪を積み上げ、
火を燃やし、肉をよく煮込み、香辛料を混ぜ、
骨を焦がせ。¹¹ その後、空の鍋を炭の上に置き、
それが熱くなり、その鍋が輝くようにし、
不純物が溶け、汚れが消費されるようにせよ。¹²
それはその努力で私を疲れさせた。
その重い汚れは取り除かれていない、
火によってさえも。

¹³
あなたの不純は淫らさである。私はあなたを清めようとしたが、あなたは不純から清められようとしなかった。私の怒りがあなたに対して尽きるまで、あなたは再び清くならない。¹⁴
私は主である、私は語った。行動する時が来た。私は引き下がらない；私は憐れみを持たず、後悔もし

ない。あなたはあなたの行いと行動に従って裁かれる、と主なる神は宣言する。』¹⁵
主からの別のメッセージが私に届いた。¹⁶
「人の子よ、見よ、私はあなたの目の喜びを一撃で取り去ろうとしている。それでもあなたは喪に服したり泣いたりしてはならない、涙を流してはならない。¹⁷
静かにうめけ；死者のために喪に服してはならない。ターバンをしっかりと締め、足にサンダルを履き、口ひげやひげを覆わず、喪のパンを食べてはならない。』¹⁸
それで私は朝に人々に話し、夕方私の妻が死んだ。翌朝、私は命じられたとおりにした。¹⁹
すると人々は私に尋ねた、「あなたがしているこれらのことが私たちにとって何を意味するのか、教えてくれませんか？」²⁰
それで私は彼らに説明した、「主からのメッセージが私に届いた。²¹
イスラエルの家に言え、『主なる神はこう言われる：私は私の聖所を汚そうとしている—あなたの力の誇り、あなたの目の喜び、あなたの魂の憧れ。あなたが残した息子や娘たちは剣で倒れる。²²
そしてあなたは私がしたようにする。あなたは口ひげやひげを覆わず、喪のパンを食べない。²³
あなたは頭にターバンをし、足にサンダルを履く。あなたは喪に服したり泣いたりせず、あなたの不義のために衰え、互いにうめく。²⁴
エゼキエルはあなたにとってのしるしとなる；あなたは彼がしたように行動する。このことが起こるとき、あなたは私が主なる神であることを認識する。²⁵
「あなたに関しては、人の子よ、彼らから彼らの要塞、彼らの輝きの喜び、彼らの目の喜び、彼らの心の願い、そして彼らの息子や娘たちを取り去るその日に—²⁶
その日に、逃亡者があなたのもとに来て知らせを報告する。²⁷
その日に、あなたの口は逃れた者に対して開かれ、あなたは話し、もはや黙っていない。こうして、あなたは彼らにとってのしるしとなり、彼らは私が主であることを知る。」

25 主からのメッセージが私に届いた：²
「人の子よ、アンモン人に向かって顔を向け、彼らに対してこの預言をしなさい。³
彼らに言いなさい。『主なる神の言葉を開け。主なる神はこう言われる。あなたがたが私の聖所が汚されたとき、「ああ！」と言い、イスラエルの地が荒廃したとき、ユダの民が捕囚にされたときに、⁴

エゼキエル書

それゆえ、見よ、私はあなたを東の民に所有物として渡し、彼らはあなたの中に陣を張り、住まいを作り、あなたの果実を食べ、あなたの乳を飲む。⁵

私はラバをラクダの牧場とし、アンモンを羊の群れの休息地とする。そうしてあなたは私が主であることを知る。⁶

主なる神はこう言われる。あなたがたが手を叩き、足を踏み鳴らし、イスラエルの地に対して心からの悪意をもって喜んだので、⁷

それゆえ、見よ、私はあなたに手を伸ばし、あなたを国々への略奪物とする。私はあなたを民の中から切り離し、地から消し去る。私はあなたを滅ぼし、あなたは私が主であることを知る。』」⁸

「主なる神はこう言われる。『モアブとセイルが、「見よ、ユダの家は他のすべての国々と同じだ」と言ったので、⁹

それゆえ、見よ、私はモアブの側面を、その国境の町、ベテ・エシモテ、バアル・メオン、キリヤタイムから始めて露わにする。この地の栄光を。¹⁰

私はモアブをアンモン人と共に東の民に所有物として渡し、アンモン人が国々の中で忘れ去られるようにする。¹¹

そして私はモアブに裁きを行う。そうして彼らは私が主であることを知る。』」¹²

「主なる神はこう言われる。『エドムがユダの家に対して復讐し、そのことで大きな罪を犯したので、¹³

それゆえ、主なる神はこう言われる。私はエドムに手を伸ばし、人も獣も絶やす。私はそれを荒廃させ、テマンからデダンに至るまで剣で倒れる。¹⁴

私はイスラエルの民の手によってエドムに復讐し、彼らは私の怒りと憤りに従ってエドムを扱う。彼らは私の復讐を知る、主なる神が言われる。』」¹⁵

「主なる神はこう言われる。『ペリシテ人が復讐の心を抱き、悪意をもってユダを滅ぼそうとしたので、¹⁶

それゆえ、主なる神はこう言われる。見よ、私はペリシテ人に手を伸ばし、ケレテ人を絶やし、海岸に残った者を滅ぼす。¹⁷

私は彼らに対して激しい叱責で大いなる復讐を行う。そうして彼らは私が主であることを知る、私が彼らに復讐を下すときに。』」

国々の門が壊れた。それは私に開かれた。今や彼女が廃墟となったので、私は繁栄するだろう』と言ったので、³

それゆえ、主なる神はこう言われる。見よ、私はあなたに対して、ツロよ。私は多くの国々をあなたに対して送り、海が波を上げるようにする。⁴

彼らはツロの城壁を破壊し、その塔を引き倒す。私はその瓦礫を掃き去り、裸の岩にする。⁵

海の中で彼女は網を広げる場所となるであろう。私は語ったからだ、と主なる神は宣言する。彼女は国々の略奪物となる。⁶

彼女の本土の居住地は剣によって殺される。そうして彼らは私が主であることを知る。⁷

主なる神はこう言われる。見よ、私はバビロンの王ネブカドネザルを、馬、戦車、騎兵、大軍とともにツロに対して送り出す。⁸

彼は剣であなたの本土の居住地を荒らし、あなたに対して包囲の工事を設け、城壁に登るための傾斜路を築き、大盾を上げる。⁹

彼はその破城槌であなたの城壁を打ち、彼の武器であなたの塔を破壊する。¹⁰

彼の馬の群れのために、彼らが上げる塵があなたを覆う。彼があなたの門に入るとき、騎兵、戦車、戦車の音であなたの城壁は震える。城壁が破られた都市に人が入るように。¹¹

彼の馬の蹄で彼はあなたの通りを踏みしめる。彼は剣であなたの民を殺し、あなたの強い柱は地に倒れる。¹²

彼らはあなたの富を略奪し、あなたの商品を奪い、あなたの城壁を引き倒し、あなたの美しい家々を破壊し、あなたの石、木材、瓦礫を海に投げ込む。¹³

私はあなたの騒がしい歌を終わらせ、あなたのハーブの音はもう聞かれない。¹⁴

私はあなたを不毛の岩にし、漁網を広げる場所にする。あなたは再建されない。私は主であるから、主なる神は宣言する。¹⁵

主なる神はツロにこう言われる。あなたの倒れた音に、負傷者がうめき、あなたの中で虐殺が行われるとき、海岸は震えないだろうか。¹⁶

そのとき、海のすべての王子たちはその玉座から降り、彼らの衣を脱ぎ、刺繍された衣を脱ぎ捨てる。恐怖に包まれ、彼らは地面に座り、毎瞬震え、あなたに驚愕する。¹⁷

彼らはあなたについての哀歌を取り上げ、あなたに言う。

『あなたはどのようにして破壊されたのか、
名高い都市よ、海の人々に満ちた都市よ！
あなたとあなたの市民は海の力であった。
あなたはそこに住むすべての者に恐怖を与えた。』

26

第十一年の月の初めの日に、主からのメッセージが私に来了。²

「人の子よ、ツロがエルサレムについて、
『ああ！

エゼキエル書

18 海岸は今、あなたの没落の日に震える。
海の島々はあなたの崩壊に恐怖する。』

19 主なる神はこう言われる。私があなたを人の住まない荒れ果てた都市にし、海の深みをあなたの上に持ってきて、その広大な水があなたを覆うとき、
20 そのとき、私はあなたを古の人々とともに穴に下る者たちとともに下らせる。私はあなたを地の下の部分に住ませ、古代の廃墟のように、穴に下る者たちとともに住ませる。そうしてあなたは戻らず、
21 生ける者の地に居場所を取ることはない。私はあなたを恐ろしい終わりにし、あなたはもう存在しない。あなたは探されるが、再び見つかることはない、と主なる神は宣言する。

27 主からのメッセージが私に来了。
2 「人の子よ、ツロについて哀歌をあげよ。
3

海の門に座し、多くの海岸の民の商人であるツロに
言え、『これは主なる神が言われることです。

「『あなたは宣言した、ツロよ、
「私は美しさにおいて完璧である。」
4 あなたの領域は海の中心にあり、
あなたの建設者たちはあなたの美しさを完璧にした。
5 彼らはセニルのジュニパーであなたのすべての木材を作り、
レバノンの杉を取って
6 あなたのためにマストを作った。
バシヤンのオークで
7 彼らはあなたのオールを作り、
あなたのデッキはキプロスの海岸からの
ボックスウツドの象牙で象嵌された。
8 あなたの帆はエジプトの精巧に刺繍されたリネンで、
あなたの旗として役立ち、
あなたの天幕はエリシャの海岸からの
9 青と紫であった。
シドンとアルヴァドの住民があなたの漕ぎ手であり、
あなたの賢者たち、ツロよ、はあなたの船員として乗船していた。
10 ゲバルの長老たちとその熟練者たちはあなたと共にいて、
あなたの継ぎ目のかんぬきで留めた。
海のすべての船とその船員たちは
11 あなたの商品のために取引するためにあなたと共にあった。『ペルシャ、ルド、ブトの人々が
あなたの軍隊、あなたの戦士たちであった。
彼らはその盾と兜をあなたの壁に掛け、
あなたに栄光をもたらした。
アルヴァドの人々と

あなたの軍隊はあなたの壁の周りにおり、
ガンマディムはあなたの塔にいた。
彼らはその盾をあなたの壁の周りに掛け、
あなたの美しさを完璧にした。

12 「『タルシシュはあなたと取引し、あなたの豊富な
商品によって銀、鉄、錫、鉛をあなたの商品のた
めに交換した。』
13

「『ヤワン、トバル、メシェクはあなたの商人であり、
彼らはあなたの商品のために人命と青銅の器を取
引した。』
14

「『ベト・トガルマの人々は馬、戦馬、ラバをあなたの
商品のために交換した。』
15

「『デダンの人々はあなたの商人であり、多くの海岸
があなたの市場であり、彼らは象牙の牙と黒檀で
あなたに支払った。』
16

「『アラムはあなたの豊富な商品によってあなたの
顧客であり、彼らはあなたの商品のためにエメラル
ド、紫の布、刺繍された布、上質ナリネン、珊瑚、
ルビーを交換した。』
17

「『ユダとイスラエルはあなたと取引し、彼らはミ
ニテの小麦、ケーキ、蜂蜜、油、バルサムをあなた
の商品のために交換した。』
18

「『ダマスコはあなたの多くの製品と豊富な商品によ
ってあなたと取引し、ヘルボンのワインとザハルの
羊毛を提供した。』
19

ウザルからのヴェダンとヤワンは、あなたの商品の
ために鍛鉄、カシア、カラモスを交換した。
20

「『デダンはあなたと鞍布で取引した。』
21

「『アラビアとケダルのすべての王子たちはあなたの
顧客であり、子羊、雄羊、山羊で取引した。』
22

「『シェバとラアマの商人たちはあなたと取引し、
あなたの商品のために最も優れた香料、貴石、金を
交換した。』
23

「『ハラシ、カンネ、エデン、シェバ、アッシリヤ
、キルマドの商人たちはあなたと取引した。』
24 彼らはあなたの市場で選りすぐりの衣服、青い布、
刺繍された作品、緊密に撚られた紐で多色の敷物を
あなたと取引した。

25 「『タルシシュの船は
あなたの商品の運搬船であった。
あなたは重い貨物で満たされ、
26 海の中心で栄光に輝いた。
あなたの漕ぎ手たちはあなたを大海に運び、
東風があなたを 海の中心で粉々にした。』
27

あなたの富、商品、品物、
あなたの船員、船乗り、造船者、
あなたの商人とすべての戦士、

エゼキエル書

そしてあなたの中にいるすべての者が、
あなたの難破の日に 海の中心に落ちる。 28
あなたの船員の叫び声に 海岸地帯が震える。 29
オールを管理するすべての者が その船を放棄し、
船員とすべての船乗りが 岸に立つ。 30
彼らは声を上げて
あなたのために激しく泣き叫び、
頭に塵を投げかけ、 灰の中を転がる。 31
彼らはあなたのために頭を剃り、 荒布をまとい、
魂の苦しみであなたのために泣き、
激しい嘆きで泣く。 32
彼らがあなたのために泣き叫び、嘆くとき、
彼らはあなたのために哀歌を取り上げて歌う：
「海の中で今静かになったツロのような者は誰か？」 33
あなたの商品が海を渡って航行したとき、
あなたは多くの国に大きな交易をもたらした；
あなたの大いなる富と商品で
地の王たちに繁栄をもたらした。 34
今、あなたは海によって粉々にされ、
水の深みに沈み、 あなたの商品とすべての仲間が
あなたと共に沈んだ。 35
海岸に住むすべての者が
あなたに驚愕し、 彼らの王たちは恐怖で震え、
その顔は恐怖で歪む。 36
民の中の商人たちはあなたに嘲笑を浴びせ、
あなたは恐ろしい終わりを迎え、
もはや存在しない。』」

28 主からのメッセージが私に来了。 2
「人の子よ、ツロの君主に言え、『これは
主なる神が言われることだ。「あなたの心
の高慢さの中で、あなたは宣言する、
『私は神である；
私は海の中心にある神々の座に座っている。』
しかし、あなたは神ではなく人間である、
たとえあなたが自分を神のように賢いと想像しても
。 3
見よ、あなたはダニエルよりも賢いのか？
どんな秘密もあなたに隠されていないのか？ 4
あなたの知恵と理解によって
あなたは自分のために富を得、
金と銀をあなたの宝庫に集めた。 5
あなたの偉大な交易の技術によって
あなたは富を増やし、
あなたの心は富のために高慢になった。 6
「それゆえ、これは主なる神が言われることだ：

『あなたが心を 神の心のようにしたから、 7
それゆえ、見よ、私は外国人をあなたに対して送り、
最も無慈悲な国々を；
彼らはあなたの知恵の美しさに対して剣を抜き、
あなたの輝きを汚す。 8

彼らはあなたを深みに引き下ろし、
あなたは海の中心で暴力的に死ぬ。 9
あなたを殺す者たちの前で、
あなたはまだ『私は神である』と言うのか？
あなたは神ではなく人間である、
あなたを傷つける者たちの手の中で。 10
あなたは外国人の手によって
割れを受けていない者の死を遂げる。

私は語った、主なる神が宣言する。』 11
再び、主からのメッセージが私に来了。 12
「人の子よ、ツロの王に対して哀歌を上げ、彼に言え：『これは主なる神が言われることだ：

「あなたは完璧の印であり、
知恵に満ち、美しさに完璧であった。 13
あなたはエデン、神の園にいた；
あなたを覆うものはすべて貴重な石であった：
カーネリアン、トパーズ、ダイヤモンド、
ベリル、オニキス、ジャスパー、
ラピスラズリ、ターコイズ、エメラルド。
あなたの設定と取り付けは金で作られていた；
あなたが創造された日に それらは準備された。 14
あなたは覆う油注がれたケルブであり、
私はあなたを神の聖なる山に置いた；
あなたは火の石の間を歩いた。 15

あなたは創造された日から
あなたの道において無垢であった
邪悪があなたに見つかるまで。 16
あなたの交易の豊かさによって
あなたは暴力で満たされ、 罪を犯した。
それで私はあなたを神の山から
汚れた者として投げ出し、
あなたを滅ぼした、覆うケルブよ、
火の石の間から。 17

あなたの心は美しさのために高慢になった；
あなたの輝きのために知恵を墮落させた。
私はあなたを地に投げ出し；
私はあなたを王たちの前にさらし、
彼らがあなたを見つめるようにした。 18
あなたの不義の多さによって、
あなたの交易の不義において、
あなたはあなたの聖所を汚した。
それで私はあなたの中から火を出し；
それはあなたを焼き尽くし、
私はあなたを見たすべての者の前で
地上の灰とした。 19
あなたを知っていたすべての国々は
あなたに驚愕している； あなたは恐怖となり
永遠に存在しなくなる。』」

エゼキエル書

20 主からのメッセージが私に来了。²¹
「人の子よ、シドンに向かって顔を向け、彼女に対して預言せよ。²²
そして言え、『これは主なる神が言われることだ：

「見よ、私はあなたに対して、シドンよ、
そして私はあなたの中で栄光を現す。
それから彼らは私が主であることを知る、
私が彼女に対して裁きを行い
私の聖さを彼女に現すとき。²³
私は彼女に疫病を送り 彼女の通りに血を流す；
彼女の中で剣によって 四方から倒れる者がいる。
それから彼らは私が主であることを知る。

24
そしてイスラエルの家には、彼らを軽蔑した周囲の
者たちからの痛みを伴ういばらや刺すつげがもはや
存在しなくなる。それから彼らは私が主なる神である
ことを知る。²⁵
『これは主なる神が言われることだ：私がイスラエルの
家を彼らが散らされた国々から集め、国々の目の
前で彼らの中で私自身を聖なるものとする時、彼ら
は私が私の僕ヤコブに与えた彼ら自身の地に住む
。』²⁶
彼らはそこに安全に住み、家を建て、ぶどう園を植
え、彼らを軽蔑したすべての隣人に対して私が裁き
を行うとき、彼らは安全に住む。それから彼らは私
が彼らの神、主であることを知る。』」

29 第十年の第十の月の十二日に、主の言葉が
私に臨んだ。²
「人の子よ、エジプトの王パロに向かって
顔を向け、彼とエジプト全土に対して預言せよ。³
語って言え、『主なる神はこう言われる。

「私はあなたに立ち向かう、エジプトの王パロよ、
あなたは川の中に横たわる大いなる怪物だ。
あなたは言った、『ナイル川は私のものだ。私は
それを自分のために作った。』⁴
私はあなたの頸に鉤をかけ、
あなたの川の魚をあなたの鱗にくつつける。
私はあなたを川から引き上げる、
すべての魚があなたの鱗にくつついたまま。⁵
私はあなたを荒野に捨て、
あなたとあなたの川のすべての魚を。
あなたは開けた野に倒れる、
集められることも拾われることもない。
私はあなたを地の獣と空の鳥の餌として与えた。

6
その時、エジプトのすべての住民は私が主であるこ
とを知る。あなたはイスラエルの家にとって葦の杖

であつた。⁷
彼らがあなたを手で掴んだとき、あなたは裂けて彼
らの肩を引き裂いた。彼らがあなたに寄りかかった
とき、あなたは折れて彼らのすべての背を震わせた
。』⁸

『それゆえ、主なる神はこう言われる。私はあなた
に剣をもたらし、人と獣を断ち切る。⁹
エジプトの地は荒れ果てた荒野となる。その時、彼
らは私が主であることを知る。あなたが言ったから
だ、『ナイル川は私のものだ。私はそれを作った、
』』¹⁰

それゆえ、私はあなたとあなたの川に立ち向かい、
エジプトの地をミグドルからシエナまで、クシュの
境界に至るまで荒れ果てた荒野とする。¹¹
人の足も通らず、獣の足も通らず、四十年間住む者
がいない。¹²
私はエジプトの地を荒れ果てた地の中で荒れ果てさ
せ、その都市は四十年間廃墟の中で荒れ果てる。私
はエジプト人を国々の間に散らし、諸国に分散させ
る。¹³

『主なる神はこう言われる。四十年の終わりに、私
は彼らが散らされた民の中からエジプト人を集める
。』¹⁴

私はエジプトの繁栄を回復し、彼らを彼らの祖先の
地、パトロスの地に戻し、そこで彼らは卑しい王国
となる。¹⁵

それは王国の中で最も低く、再び他の国々の上に自
らを高めることはない。私はそれを非常に弱くし、
再び国々を支配することはない。¹⁶
エジプトはもはやイスラエルの家にとつての信頼の
源とはならず、彼らが助けを求めて彼女に向かった
ことの罪を思い起こさせる。彼らは私が主なる神で
あることを知る。』」¹⁷

第二十七年の第一の月の第一日に、主の言葉が私に
臨んだ。¹⁸

「人の子よ、バビロンの王ネブカドネザルはその軍
をティルスに対して激しく労働させた。すべての頭
は擦り減り、すべての肩は擦りむけた。しかし彼と
その軍はティルスに対する戦役から何の報酬も受け
取らなかった。¹⁹

それゆえ、主なる神はこう言われる。私はエジプト
をバビロンの王ネブカドネザルに与え、その富を奪
わせる。彼はその地を略奪し、彼の軍のための賃金
として奪い取る。²⁰

彼とその軍が私のために行動したので、私は彼にエ
ジプトを彼の努力の報酬として与えた、と主なる神
は宣言される。²¹

「その日、私はイスラエルの家のために力を起こし

エゼキエル書

、あなたが彼らの間で語ることを可能にする。その時、彼らは私が主であることを知る。」

30 主からのメッセージが私に届いた。²
「人の子よ、預言して宣言せよ。『これは主なる神が言われることである。

「嘆け、『ああ、その日よ！』³ その日は近い、
実に、主の日は近い。雲の日、⁴
諸国民にとっての破滅の時。
剣がエジプトに来る、クシュには苦しみがある。
エジプトで殺された者が倒れるとき、
その富は奪われ、その基盤は崩される。

5
クシュ、プト、ルド、全アラビア、リビア、そして
契約の地の民は、エジプトと共に剣によって倒れる。
。6『これは主が言われることである。

「エジプトの同盟者は倒れ、
その力の誇りは打ち砕かれる。
ミグドルからシエネまで、彼らはその中で剣によ
って倒れる」と主なる神が宣言される。⁷
「彼らは荒廃した地の中で荒廃し、
彼らの都市は荒れ果てた都市の中に横たわる。⁸
そのとき、彼らは私が主であることを知るだろう
、私がエジプトに火を放ち、
その助け手たちが打ち砕かれるときに。

9
その日、使者たちは私から船で出て行き、クシュを
その安逸から恐れさせる。エジプトの破滅の日に震
えが彼らを襲う、確かにそれは来る。¹⁰
『これは主なる神が宣言されることである。

「私はエジプトの大群を終わらせ、
バビロンの王ネブカデネザルの手を使う。¹¹
彼と彼と共にいる民、最も無慈悲な国々が、
地を破壊するために連れてこられる。
彼らはエジプトに対して剣を抜き、
地を殺された者で満たす。¹²
私はナイルの水を干上がらせ、
邪悪な人々の手に地を売り渡す。
外国人の手によって地を荒廃させ、
その中のすべてを荒廃させる。

私、主が語った。¹³
『これは主なる神が言われることである。

「私は偶像を破壊し、
メンフィスの像を終わらせる。
エジプトにはもう君主はいない、
私は地全体に恐怖を広める。¹⁴

私はバトロスを荒廃させ、ゾアンに火を放ち、
テーベに罰を与える。¹⁵
私はペルシウムに怒りを注ぎ、エジプトの要塞、
テーベの群衆を排除する。¹⁶
私はエジプトに火を放つ。
ペルシウムは苦しみで身をよじる、
テーベは突破され、
メンフィスは絶え間ない苦悩に陥る。¹⁷
ヘリオポリスとブバステイスの若者たちは
剣によって倒れ、
女性たちは捕虜として連れ去られる。¹⁸
タハパネスの日は暗くなる、
私がエジプトのくびきを砕くとき。
そこで彼女の誇り高き力は終わりを迎える。
彼女は雲で覆われ、
その娘たちは捕虜として連れ去られる。¹⁹
こうして私はエジプトに裁きを下し、
彼らは私が主であることを知るだろう。』」

20
第十一年の第一月の第七日に、主からのメッセージ
が私に届いた。²¹

「人の子よ、私はエジプトの王ファラオの腕を折つ
た。それは癒されるために包まれたり、剣を振るう
のに十分な強さを持つために包帯で巻かれたりして
いない。²²

それゆえ、これは主なる神が言われることである。
『見よ、私はエジプトの王ファラオに対しており、
彼の両腕、強い方も折れた方も折り、彼の手から剣
を落とさせる。²³

私はエジプト人を諸国民の間に散らし、彼らを地の
全域に分散させる。²⁴

私はバビロンの王を強化し、私の剣を彼の手に置く
が、ファラオの腕を折り、彼は重傷を負った者のよ
うに彼の前でうめく。²⁵

私はバビロンの王の腕を強化するが、ファラオの腕
は力を失う。私が私の剣をバビロンの王の手に置き
、彼がそれをエジプトの地に振るうとき、彼らは私
が主であることを知るだろう。²⁶

私がエジプト人を諸国民の間に散らし、彼らを地の
全域に分散させるとき、彼らは私が主であることを
知るだろう。』」

31 第十一年の第三の月の初日に、主からのメ
ッセージが私に来た。²

「人の子よ、エジプトの王ファラオとその
群衆に言いなさい。

『あなたの偉大さに匹敵する者は誰か？³
見よ、アッシリアはレバノンの杉のようであった
。美しい枝が森に影を与え、高くそびえ、

エゼキエル書

その頂は雲の中にあった。⁴
水がそれを養い、深い泉がそれを高く成長させた。
その流れは植えられた場所の周りを流れ、
野のすべての木に水路を送った。⁵
こうしてそれは野のすべての木よりも高くなり、
その枝は増え、豊富な水によって長く広がった。
⁶ 空のすべての鳥がその枝に巣を作り、
その枝の下で野のすべての動物が子を産んだ。
すべての大国がその影の下に住んでいた。⁷
それはその偉大さにおいて壮大であり、その広範
な枝を持っていた。
その根は豊富な水に達していたからである。⁸
神の園の杉はそれに匹敵せず、
糸杉もその枝に匹敵せず、
プラタナスもその枝に比べられない。
神の園のどの木もその美しさに等しくなかった。
⁹ 私はその多くの枝でそれを美しくした。
神の園のエデンのすべての木がそれを羨んだ。

10

「『それゆえ、主なる神はこう言われる。高さにお
いて高められ、その頂を雲の中に置き、その心がそ
の高さにおいて誇り高くなったので、
¹¹ 私はそれを国々の支配者に渡し、彼がその惡に従つ
てそれを扱うようにした。私はそれを投げ捨てた。
¹²

外国の暴君たちがそれを切り倒し、それを残した。
その枝は山々に落ち、すべての谷にあり、その枝は
地のすべての谷間に折れた。地のすべての民はその
影から離れ、それを見捨てた。¹³
空のすべての鳥がその倒れた幹に留まり、野のすべ
ての動物がその枝の間に避難した。¹⁴
こうして水のそばの他のどの木も高さにおいて誇り
高くそびえることはなく、その頂を雲の中に置くこ
ともなく、その豊富な水を持つ強大な者たちもその
高さにおいて立ち上がることはない。彼らは皆、死
に定められ、地の下、穴に下る者たちの間にいるか
らである。¹⁵

「『主なる神はこう言われる。それがシェオルに下
った日に、私はそのために喪に服し、深い泉を覆
い、その流れを止めた。その豊富な水は抑えられ、
私はレバノンにそのために喪に服させ、野のすべ
ての木を枯れさせた。¹⁶

私はそれをシェオルに下したとき、その倒れる音に
国々を震えさせた。穴に下る者たちと共に。それか
らエデンのすべての豊富な水を持つ木々、レバノ
ンの最良の者たちは地の下で慰められた。¹⁷
彼らもまた、それと共にシェオルに下り、剣で殺さ
れた者たちと共に、その力を持っていた者たちと共
に、国々の間でその影の中に住んでいた者たちと共

に下った。¹⁸
「エデンの木々の中で、栄光と偉大さにおいてあな
たに比べられる者は誰か？それでもあなたはエデン
の木々と共に地の下に下され、割礼を受けていない
者たちと共に、剣で殺された者たちと共に横たわる
。このファラオとそのすべての群衆であると、主な
る神は宣言される。」

32 第十二年の第十二の月の一日に、主からの
言葉が私に臨んで言った。²
「人の子よ、エジプトの王パロについて哀
歌を唱え、彼に言いなさい。
『あなたは諸国の中でライオンにたとえられたが、
実際には海の怪物のようだ。あなたは川の中で暴れ
回り、足で水を濁し、その流れを汚している。』³
これは主なる神がこう言われる。

『私は多くの民をもってあなたの上に網を広げ、
彼らは私の網であなたを引き上げる。⁴
私はあなたを地上に投げ捨て、野に投げ出す。
空のすべての鳥をあなたの上に住まわせ、
野のすべての獣をあなたで飽きさせる。⁵
私はあなたの肉を山々に置き、
あなたの残骸で谷を満たす。⁶
私はあなたの流れる血で地を浸し、
山々に至るまで、
谷間はあなたの肉で満たされる。⁷
私があなたを消し去るとき、
私は天を覆い、その星を暗くする。
私は雲で太陽を覆い、月はその光を与えない。⁸
天のすべての輝く光をあなたの上で暗くし、
あなたの地に闇をもたらす。』
と主なる神は言われる。⁹
『私は多くの民の心を悩ませる、
あなたの滅びを諸国の中にもたらすとき、
あなたが知らない地に。¹⁰
私は多くの民をあなたに驚かせ、
彼らの王たちはあなたのために恐怖で震える、
私が彼らの前で剣を振るうとき。
あなたの没落の日に、
彼らは皆、自分の命のために震える。』

¹¹ これは主なる神が宣言する。

『バビロンの王の剣があなたに向かって来る。¹²
私はあなたの群れを強力な戦士の剣で倒す。
彼らは最も無慈悲な国々である。
彼らはエジプトの誇りを打ち砕き、
そのすべての群れを打ち倒す。¹³
私は多くの水のそばから彼女のすべての家畜を滅
ぼし、
人の足も

エゼキエル書

動物の蹄もそれを濁すことはもうない。¹⁴
そのとき、私は彼女の水を静かにし、
彼女の流れを滑らかに流れるようにする。』
と主なる神は言われる。¹⁵
『私がエジプトの地を荒れ果てさせ、
それを満たすすべてのものを剥ぎ取り、
そこに住むすべての者を打ち倒すとき、
彼らは私が主であることを知る。』

¹⁶
これは彼女のために歌われる哀歌である。諸国の娘
たちはそれを歌う。エジプトとそのすべての群れに
対して彼らはそれを歌う。』と主なる神は言われる。¹⁷

第十二年の月の十五日に、主からの言葉が私に臨ん
で言った。¹⁸

「人の子よ、エジプトの群れのために嘆き、彼女と
強大な国々の娘たちを、穴に下る者たちと共に地の
下に送りなさい。¹⁹

彼らに言いなさい、『あなたは誰よりも美しいのか
？下って無割礼の者たちと共に横たわりなさい。』²⁰

彼らは剣で殺された者たちの中に数えられる。剣が
抜かれている。彼女とそのすべての群れを連れて行
かせなさい。²¹

力ある指導者たちは死者の国からエジプトとその同
盟国について語る。『彼らは下って無割礼の者たち
と共に横たわり、剣で殺された者たちと共にいる。
』²²

「アッシリアはそこにあり、その全軍がいる。彼女
はすべての殺された者たちの墓に囲まれている。剣
で倒れた者たちである。²³

彼らの墓は穴の奥深くにあり、その軍隊は彼女の墓
の周りに横たわっている。生きている地に恐怖を広
めた者たちは皆、剣で殺され、倒れた。²⁴

「エラムはそこにあり、そのすべての群れが彼女の
墓の周りにいる。彼らは皆、剣で殺され、倒れた。
生きている地に恐怖を広めた者たちは皆、無割礼の
まま地の下に下った。彼らは穴に下る者たちと共に
恥を負う。²⁵

彼女のために殺された者たちの中に休息の場が設け
られ、そのすべての群れが彼女の墓の周りにいる。
彼らは皆、無割礼であり、剣で殺された。彼らの恐
怖が生きている地に広まったため、彼らは穴に下る
者たちと共に恥を負い、殺された者たちの中に横た
わる。²⁶

「メシュクとトバルはそこにあり、そのすべての群
れが彼らの墓の周りにいる。彼らは皆、無割礼であ
り、剣で殺された。彼らは生きている地に恐怖を広
めたためである。²⁷

しかし、彼らは古の戦士たちと共に横たわっていな
い。彼らは戦争の武器を持って死者の国に下った。
彼らの剣は頭の下に置かれ、盾は骨の上に休んでい
る。これらの戦士たちもまた、生きている地を恐怖
に陥れた。²⁸

あなたもまた、バロよ、謙遜され、無割礼の者たち
と共に剣で殺された者たちの中に休む。²⁹

「エドムはそこにあり、その王たちとすべての君主
たちがいる。彼らの力にもかかわらず、彼らは剣で
殺された者たちと共に置かれている。彼らは無割礼
の者たちと共に休み、穴に下る者たちと共にいる。
³⁰

「北のすべての君主たちとすべてのシドン人たちは
そこにいる。彼らは力による恐怖にもかかわらず、
恥をかいて殺された者たちと共に下った。彼らは剣
で殺された者たちと共に無割礼で休み、穴に下る者
たちと共に恥を負う。³¹

「バロは彼らを見て、剣で殺されたそのすべての群
れのために慰められるであろう。」と主なる神は言
われる。³²

私は彼に生きている地に恐怖を広めさせたが、バロ
とそのすべての群れは無割礼の者たちと共に、剣で
殺された者たちの中に横たわるであろう。」と主な
る神は言われる。

33 主からのメッセージが私に来て、言われた²

「人の子よ、あなたの民の子らに語り、彼
らに言いなさい。『もし私が剣がある地に持ってきた
とき、その地の民が彼らの中から一人を選んで見
張り人に任命し、³

その者が地に剣が来るのを見て、ラッパを吹いて民
に警告するならば、⁴

誰かがラッパの音を聞いても警告を受け入れず、剣
が来て彼を奪い去るなら、その血は彼自身の頭に帰
する。⁵

彼はラッパの音を聞いたが警告を受け入れなかった
。その血は彼自身に帰する。もし彼が警告を受け入
れていたなら、彼は自分の命を救ったであろう。⁶

しかし、見張り人が剣が来るのを見てもラッパを吹
かず、民が警告を受けず、剣が来て人を奪い去るな
ら、その人は自分の不義のために奪い去られるが、
私はその血の責任を見張り人に問う。』⁷

「さて、あなたについて言えば、人の子よ、私はあ
なたをイスラエルの家の見張り人に任命した。それ
で、私が語る言葉を聞き、彼らに私からの警告を与
えなさい。⁸

私が悪者に、『あなたは必ず死ぬ』と言うとき、あ
なたがその悪者にその道から離れるよう警告しない
なら、その悪者は自分の罪のために死ぬが、私はそ

エゼキエル書

の血の責任をあなたに問う。⁹
しかし、あなたがその悪者にその道から離れるよう警告しても、彼がそうしないなら、彼は自分の罪のために死ぬが、あなたは自分の命を救ったことになる。¹⁰

「さて、あなたについて言えば、人の子よ、イスラエルの家に言いなさい。『これはあなたがたが言っていることです。『私たちの罪と不義が私たちを重くし、私たちはそれによって衰えています。どうして私たちは生き延びることができるのでしょうか?』』¹¹

彼らに言いなさい。『私は生きている、と主なる神は宣言する。私は悪者の死を喜ばない。むしろ、悪者がその道から離れて生きることを喜ぶ。戻れ、戻れ、あなたたちの悪しき道から! イスラエルの家よ、なぜあなたたちは死のうとするのか?』¹²

「それゆえ、人の子よ、あなたの同胞に言いなさい。『正しい人の正しさは、その人が罪を犯す日に彼を救うことにはない。また、悪者の悪しさは、その人が悪しきから離れる日に彼を倒すことにはない。正しい人も、罪を犯す日にその正しさによって生きることにはできない。』¹³

私が正しい人に、彼は必ず生きると言うとき、彼がその正しさに頼り、不正を行うなら、その正しい行いは何も思い出されず、彼はその不正のために死ぬ。¹⁴

しかし、私が悪者に、『あなたは必ず死ぬ』と言うとき、彼がその罪から離れ、公正で正しいことを行うなら—¹⁵

もし彼が借金の担保として取ったものを返し、盗んだものを返済し、命を保証する法令に従い、不正を行わないなら、彼は必ず生きる。彼は死なない。¹⁶
彼が犯した罪は何も思い出されない。彼は公正で正しいことを行ったので、彼は必ず生きる。¹⁷

「しかし、あなたの同胞は言う。『主の道は正しくない』と。実際には彼ら自身の道が正しくないのだ。¹⁸

正しい人がその正しさから離れて不正を行うなら、彼はそのために死ぬ。¹⁹

しかし、悪者がその悪しさから離れて公正で正しいことを行うなら、彼はそれによって生きる。²⁰
それでもあなたたちは言う。『主の道は正しくない』と。私はあなたたち一人一人をその道に従って裁く、イスラエルの家よ。」²¹

さて、私たちの捕囚の十二年目の十月五日に、エルサレムから逃れてきた人が私のところに来て言った。「町は取られた。」²²

さて、その人が来る前の晩、主の手が私の上にあり、彼が朝私のところに来る前に私の口を開かれた。

それで私の口は開かれ、私はもはや黙っていなかった。²³

そのとき、主からのメッセージが私に来て、言われた。²⁴

「人の子よ、イスラエルの地の廃墟に住む者たちは言っている。『アブラハムは一人の人であったが、それでも彼は地を所有していた。しかし、私たちは多くの者である。確かに地は私たちに所有として与えられている。』²⁵

それゆえ、彼らに言いなさい。『これが主なる神の言葉である。あなたたちは血のついた肉を食べ、偶像に目を上げ、血を流しているのに、地を所有することができるだろうか?』²⁶

あなたたちは剣に頼り、忌まわしいことを行い、各々が隣人の妻を汚している。それでも地を所有することができるだろうか?』²⁷

あなたは彼らにこう言いなさい。『これが主なる神の言葉である。私が生きている限り、廃墟にいる者たちは剣によって倒れ、野にいる者たちは野獣に与えられて食い尽くされ、要塞と洞窟にいる者たちは疫病で死ぬ。²⁸

私は地を荒れ果てた荒野にし、その誇り高き力を終わらせ、イスラエルの山々を荒れ果てさせ、誰も通らないようにする。²⁹

彼らが犯したすべての忌まわしいことのために、私が地を荒れ果てた荒野にしたとき、彼らは私が主であることを知る。』³⁰

「しかし、あなたについて言えば、人の子よ、あなたの同胞は壁のそばや家の戸口で互いに話し合い、言っている。『来て、主からのメッセージを聞こう。』³¹

そして彼らは人々が来るようにあなたのところに来て、私の民としてあなたの前に座り、あなたの言葉を聞くが、それを実行しない。彼らの口は愛を語るが、心は不正な利益を追い求めている。³²

実際、彼らにとってあなたは美しい声で愛の歌を歌い、楽器を上手に演奏する者のようである。彼らはあなたの言葉を聞くが、それを実行しない。³³

それが成就するとき—必ずそうなる—
彼らはその中に預言者がいたことを知る。」

34 主からのメッセージが私に来了。²

「人の子よ、イスラエルの牧者たちに対して預言せよ。彼らに言え。『主なる神はこう言われる。イスラエルの牧者たちよ、自分自身を養っている牧者たちに災いあれ! 牧者は群れの世話をすべきではないか?』³

あなたたちは脂肪を食べ、羊毛で身を覆い、最良の動物を屠るが、群れの世話をしない。⁴

弱い者を強めず、病気の者を癒さず、傷ついた者を

エゼキエル書

包まず、迷った者を連れ戻さず、失われた者を探し求めなかった。むしろ、力と厳しさで彼らを支配した。⁵

それで彼らは牧者がいないために散らされ、散らされたとき、すべての野獣の餌食となった。⁶

私の群れはすべての山々とすべての高い丘をさまよい、全地に散らされ、誰も彼らを探し求めなかった。⁷ それゆえ、牧者たちよ、主の言葉を聞け。⁸

私の命にかけて、主なる神は言われる。私の群れが略奪され、すべての野獣の餌食となり、私の牧者たちが私の群れを探し求めず、自分自身のために世話をしたからである。⁹

それゆえ、牧者たちよ、主の言葉に注意を払え。¹⁰ 主なる神はこう言われる。見よ、私は牧者たちに対して

いる。私は彼らを私の群れの世話から取り除き、彼らがもはや自分自身を養うことができないようにする。私は彼らの口から私の群れを救い出し、もはや彼らの餌食とはならない。¹¹

主なる神はこう言われる。見よ、私は自ら私の羊を探し求め、世話をする。¹²

牧者が彼の散らされた群れを見守るように、私は私の羊を世話し、雲と暗闇の日に散らされたすべての場所から彼らを救い出す。¹³

私は彼らを諸国民から連れ出し、国々から集め、彼ら自身の地に連れて行く。私はイスラエルの山々、川沿い、地のすべての住む場所で彼らを牧する。¹⁴ 私は彼らを良い牧草地で養い、彼らの放牧地はイスラエルの山の高地にある。そこで彼らは良い牧草地に横たわり、イスラエルの山々で豊かな牧草地で食べる。¹⁵

私は自ら私の羊を世話し、彼らを横たえさせる、主なる神は言われる。¹⁶

私は失われた者を探し求め、迷った者を連れ戻す。私は傷ついた者を包み、弱い者を強めるが、肥えた者と強い者には対処する。私は公正に群れを牧する。¹⁷

私の群れよ、主なる神はこう言われる。私は一匹の羊と他の羊、雄羊と山羊の間に区別を設ける。¹⁸ 良い牧草地で食べるだけで満足しないのか？残りの牧草地を足で踏み荒らす必要があるのか？清らかな水を飲むだけで満足しないのか？残りを足で濁す必要があるのか？¹⁹

私の群れはあなたが足で踏み荒らしたものを食べ、あなたが足で濁したものを飲まなければならないのか？²⁰

それゆえ、主なる神は彼らにこう言われる。見よ、私は自ら肥えた羊と痩せた羊の間を裁く。²¹

あなたが脇腹と肩で押し、角で弱い羊を突いて散らしたからである。²²

私は私の群れを救い出し、彼らはもはや略奪されない。私は一匹の羊と他の羊の間に区別を設ける。²³

私は彼らの上に一人の牧者、私のしもべダビデを任命し、彼が彼らを牧する。彼が彼らを牧し、彼らの牧者となる。²⁴

私は主であり、彼らの神となり、私のしもべダビデは彼らの中で指導者となる。私は主であり、これを語った。²⁵

私は彼らと平和の契約を結び、地から猛獣を取り除く。彼らは荒野で安全に住み、森で眠ることができる。²⁶

私は彼らと私の丘の周囲の場所を祝福の源とする。私は季節に応じて雨を降らせ、豊かな祝福の雨が降る。²⁷

木々はその実を結び、地はその作物を生み出す。人々はその地で安全に住む。彼らがそのくびきの棒を砕き、彼らを奴隷にしていた者の手から救い出すとき、彼らは私が主であることを知る。²⁸

彼らはもはや国々によって略奪されず、野獣に食い尽くされることもない。彼らは安全に住み、誰も彼らを恐れさせない。²⁹

私は彼らに作物で名高い地を提供し、彼らはもはやその地で飢饉に苦しむこともなく、国々の嘲りを受けることもない。³⁰

そのとき、彼らは私が彼らと共にいる主なる彼らの神であり、彼ら、イスラエルの家が私の民であることを知る、主なる神は言われる。³¹

あなたたちは私の羊、私の牧草地の羊であり、私はあなたたちの神である、主なる神は言われる。""

35 主からのメッセージが私に与えられた。² 「人の子よ、セイル山に向かって自分を向け、それに対して預言せよ。³

そして言え、『神である主はこう言われる。見よ、私はお前に敵対する、セイル山よ。私は手をお前に伸ばし、お前を荒れ果てた地にする。⁴

私はお前の町々を廃墟にし、お前を荒廃させる。そうすれば、お前は私が主であることを知る。⁵

お前が古くからの敵意を抱き、イスラエルの子らを彼らの災いの時、彼らの罰が頂点に達した時に剣に渡したからだ。⁶

それゆえ、私が生きている限り、神である主は言われる、私はお前を血に定め、血が追いかける。お前が血を憎まなかったので、血が追いかける。⁷

私はセイル山を荒れ果てた地にし、そこを通り過ぎる者も帰る者も断ち切る。⁸

私はお前の山々を殺された者で満たす。剣で殺された者が、お前の丘や谷やすべての谷間に倒れる。⁹

私はお前を永遠の荒廃にし、お前の町々は住まわることがない。そうすれば、お前は私が主であるこ

エゼキエル書

とを知る。¹⁰
お前が言ったからだ、「この二つの国とこの二つの地は我々のものとなり、我々がそれを所有する」と、主がそこにいたにもかかわらず。¹¹
それゆえ、私が生きている限り、神である主は言われる、私はお前が彼らに対して示した怒りと嫉妬に従ってお前を扱い、私が裁くときに彼らの中で私自身を知らせる。¹²
そうすれば、お前は私が主であることを知る。イスラエルの山々に対してお前が言ったすべての侮辱を私が聞いたからだ、「彼らは荒れ果て、我々に食い尽くされるために与えられた」と。¹³
お前は私に対して高慢に語り、私に対して言葉を増やした。私はそれを聞いた。¹⁴
神である主はこう言われる。全地が喜ぶとき、私はお前を荒廃させる。¹⁵
イスラエルの家の相続地が荒れ果てたときにお前が喜んでように、私はお前にそうする。お前は荒廃する、セイル山よ、そしてエドム全体、すべてが。そうすれば、彼らは私が主であることを知る。』」

36 「人の子よ、イスラエルの山々に預言し、宣言せよ。『イスラエルの山々よ、主の言葉を聞け。²
神である主はこう言われる。敵はあなたについて、「ああ！古代の高地が今や我々のものになった」と言った。³
それゆえ、預言して言え。『神である主はこう言われる。彼らがあなたを荒廃させ、四方からあなたを悩ませたので、あなたは残りの国々の所有物となり、悪意のある話や中傷の対象となった。⁴
それゆえ、イスラエルの山々よ、神である主の言葉を聞け。神である主は、山々と丘、谷間と谷、荒廃した廃墟と、あなたの周りの国々によって略奪され、嘲笑された無人の町々にこう言われる—⁵
それゆえ、神である主はこう言われる。私の嫉妬の火において、私は他の国々と、私の土地を喜びと軽蔑をもって自分たちのものとし、その牧草地を略奪しようとした全エドムに対して語った。⁶
それゆえ、イスラエルの地について預言し、山々と丘、谷間と谷に言え。『神である主はこう言われる。あなたがたが国々の侮辱に耐えてきたので、私は嫉妬の怒りをもって語った。⁷
それゆえ、神である主はこう言われる。私は誓った。あなたの周りの国々もまた自分たちの侮辱に耐えることになる。⁸
しかし、イスラエルの山々よ、あなたは枝を出し、私の民イスラエルのために実を結ぶ。彼らは間もなく戻ってくるからだ。⁹
確かに、私はあなたの味方であり、あなたに向かい

、あなたは耕され、種がまかれる。¹⁰
私はあなたの上に人々の数を増やし、イスラエルの全家、すべてを増やす。町々は住まれ、廃墟は再建される。¹¹
私はあなたの上に人々と動物の数を増やし、彼らは実を結び、増える。私は以前のようにあなたに人々を住ませ、以前よりも繁栄させる。そうすれば、あなたは私が主であることを知るだろう。¹²
私は私の民イスラエルをあなたの上を歩かせる。彼らはあなたを所有し、あなたは彼らの相続地となる。あなたはもはや彼らの子供を失わせることはない。¹³
。神である主はこう言われる。人々があなたに、「あなたは人々を食い尽くし、あなたの国の子供たちを失わせる」と言うので、¹⁴
それゆえ、あなたはもはや人々を食い尽くしたり、あなたの国の子供たちを失わせたりしないと、神である主は宣言される。¹⁵
私はもはや国々の侮辱を聞かせず、民の嘲笑を受けさせず、あなたの国を再びつまづかせることはない、と、神である主は宣言される。』¹⁶
主の言葉が再び私に臨んで言った、¹⁷
「人の子よ、イスラエルの家が自分たちの土地に住んでいたとき、彼らはその行動と行いによってそれを汚した。彼らの道は私の前で汚れた女の汚れのようであった。¹⁸
それで、私は彼らがその地で流した血のために、また彼らが偶像でそれを汚したために、私の怒りを彼らに注いだ。¹⁹
私は彼らを国々の間に散らし、彼らを国々に分散させた。私は彼らの行動と行いに応じて彼らを裁いた。²⁰
。そして彼らが国々の間に行ったとき、彼らは私の聖なる名を汚した。彼らについて「これらは主の民であるが、彼の土地を離れなければならなかった」と言われた。²¹
しかし、私は彼らが行った国々の間でイスラエルの家が汚した私の聖なる名を気にかけた。²²
それゆえ、イスラエルの家に言え。『神である主はこう言われる。イスラエルの家よ、私はあなたがたのために行動しようとしているのではなく、あなたがたが行った国々の間で汚した私の聖なる名のために行動しようとしている。²³
私は国々の間で汚された私の大いなる名を聖別する。あなたがたがそれを汚した国々の間で。そして、私はあなたがたを通して彼らの目の前で聖別されるとき、国々は私が主であることを知ると、神である主は宣言される。²⁴
私はあなたがたを国々の中から取り、すべての地か

エゼキエル書

ら集め、あなたがた自身の土地に戻す。²⁵
私は清い水をあなたがたに振りかけ、あなたがたは清くなる。私はすべての汚れとすべての偶像からあなたがたを清める。²⁶
私はあなたがたに新しい心を与え、あなたがたの内に新しい霊を吹き込む。私はあなたがたの堅い心を取り去り、応答する心を与える。²⁷
そして、私は私の霊をあなたがたの内に置き、私の掟に従わせ、私の法を守るようにさせる。²⁸
そのとき、あなたがたは私があなたがたの先祖に与えた土地に住む。あなたがたは私の民となり、私はあなたがたの神となる。²⁹
私はあなたがたをすべての汚れから救う。私は穀物を呼び、豊かにし、飢饉をあなたがたに送らない。³⁰
私は木々の実と畑の産物を増やし、飢饉のために国々の間で恥を受けることがないようにする。³¹
そのとき、あなたがたは自分の悪い道と良くなかった行いを思い出し、自分の罪と忌まわしい行いを嫌悪する。³²
私はあなたがたのためにこれをしているのではないことを知ってほしいと、神である主は宣言される。イスラエルの家よ、あなたがたの行動のために恥じ入り、辱めを受けよ！³³
神である主はこう言われる。私があなたがたをすべての罪から清める日に、私はあなたがたの町々を再び住まわせ、廢墟を再建する。³⁴
荒れ果てた土地は通り過ぎるすべての人の目の前で荒れ果てたままではなく、耕される。³⁵
彼らは言うだろう、「この荒れ果てた土地はエデンの園のようになった。廢墟で荒れ果てて破壊された町々は今や要塞化され、住まわれている。」³⁶
そのとき、あなたの周りに残っている国々は、私が主であることを知るだろう。私は破壊されたものを再建し、荒れ果てたものを再植した。私は主であり、私はそれを行う。³⁷
神である主はこう言われる。私は再びイスラエルの家の嘆願に応じてこれを彼らのために行う。私は彼らの人々を群れのように増やす。³⁸
犠牲のための群れのように、エルサレムの定められた祭りの間の群れのように、廢墟の町々は人々の群れで満たされる。そのとき、彼らは私が主であることを知る。」
37 主の手が私の上にあり、主の霊によって私を連れ出し、谷の中央に置かれた。それは骨で満ちていた。²
主は私をその骨の間を巡らせ、私は谷の表面に非常に多くの骨があるのを見た。実に、それらは非常に乾いていた。³

主は私に言われた、「人の子よ、これらの骨は生き返ることができるか？」私は答えた、「主なる神よ、あなたのみがご存じです。」⁴
すると主は私に命じられた、「これらの骨に預言し、彼らに言え、『乾いた骨よ、主の言葉を聞け。』」⁵
主なる神はこれらの骨にこう言われる、『私はあなたたちに息を吹き込む。それであなたたちは生きる。』⁶
私はあなたたちに腱をつけ、肉を生じさせ、皮膚で覆い、息を吹き込んで生きるようにする。そうしてあなたたちは私が主であることを知る。』」⁷
私は命じられた通りに預言した。私が預言していると、音がし、ガタガタと鳴り、骨が互いに寄り集まった。⁸
私は見た、腱と肉がそれらに生じ、皮膚がそれらを覆った。しかし、まだ息はなかった。⁹
すると主は私に言われた、「息に預言せよ、預言せよ、人の子よ、そして言え、『主なる神はこう言われる：四方の風から来て、息よ、これらの殺された者たちに吹き込み、彼らを生かせ。』」¹⁰
私は主が命じられた通りに預言した。すると息が彼らに入り、彼らは生き返り、足に立った。非常に大きな軍勢であった。¹¹
主は私に言われた、「人の子よ、これらの骨はイスラエルの全家を表している。彼らは言う、『私たちの骨は干からび、希望は失われ、完全に切り離された。』」¹²
それゆえ、預言して彼らに言え、『主なる神はこう言われる：私の民よ、私はあなたたちの墓を開き、そこからあなたたちを引き上げる。私はあなたたちをイスラエルの地に戻す。¹³
その時、私はあなたたちの墓を開き、そこからあなたたちを引き上げる時、あなたたちは私が主であることを知る。¹⁴
私は私の霊をあなたたちの中に置き、あなたたちは生きる。そして私はあなたたちをあなたたち自身の地に住まわせる。そうしてあなたたちは、私が主であり、語り、行ったことを知る。」と主は言われる。¹⁵
主の言葉が再び私に臨んだ：
「人の子よ、一本の杖を取り、それに『ユダと彼に関連するイスラエル人のために』と書け。そしてもう一本の杖を取り、それに『ヨセフ、エフライムの杖、そして彼に関連するイスラエルの全家のために』と書け。¹⁷
それらを一つに結び合わせ、あなたの手の中で一つにせよ。¹⁸
あなたの民があなたに、『これが何を意味するのか教えてくれないか？』と言う時、¹⁹

エゼキエル書

彼らに言え、『主なる神はこう言われる：私はエブライムの手にあるヨセフの杖と、彼に関連するイスラエルの部族を取り、ユダの杖と結び合わせる。私はそれらを一つの杖とし、私の手の中で一つにする。』²⁰ あなたが書いた杖を彼らの目の前に持て。

²¹ そして彼らに言え、『主なる神はこう言われる：私は彼らが行った国々からイスラエル人を取り、四方から彼らを集め、彼ら自身の地に戻す。²²

私は彼らをイスラエルの山々の地で一つの国とし、彼ら全員の上に一人の王がいる。彼らはもはや二つの国民ではなく、二つの王国に分かれることはない。

²³

彼らはもはや偶像や忌まわしい物、またはどんな罪によっても自らを汚すことはない。私は彼らが罪を犯したすべての背信から彼らを救い、彼らを清める。彼らは私の民となり、私は彼らの神となる。²⁴

「私のしもべダビデが彼らの王となり、彼ら全員に一人の牧者がいる。彼らは私の法を守り、私の掟を守り行う。²⁵

彼らは私が私のしもべヤコブに与えた地に住む。そこはあなたたちの先祖が住んだ地である。彼らとその子孫、そしてその子孫の子孫が永遠にそこに住む。私のしもべダビデが永遠に彼らの君主となる。²⁶

私は彼らと平和の契約を結ぶ。それは永遠の契約となる。私は彼らを確立し、増やし、私の聖所を永遠に彼らの中に置く。²⁷

私は彼らの中に住み、彼らの神となり、彼らは私の民となる。²⁸

その時、国々は私がイスラエルを聖別する主であることを理解する。私の聖所が永遠に彼らの中にある時。」

38 主からのメッセージが私に来て、言った、²

「人の子よ、マゴグの地のゴグ、メシェクとトバルの首長に向かって顔を向け、彼に対して預言せよ。³

そして宣言せよ。『これは主なる神が言われることである。見よ、私はあなたに対して、メシェクとトバルの首長、ゴグよ。⁴

私はあなたを引き回し、あなたの頸に鉤をかけ、あなたの全軍を引き出す。あなたの馬と騎兵、すべて華やかに装った者たち、盾と小盾を持つ大群、すべて剣を振るう者たち。⁵

ペルシャ、クシュ、ブトも彼らと共におり、すべて盾と兜を備えている。⁶

ゴメルとそのすべての軍勢、遠く北のベト・トガルマとそのすべての軍勢、多くの国々があなたと共にいる。⁷

「自分を備えよ。準備を整えよ。あなたとあなたの集めたすべての群れを、そして彼らを指揮せよ。⁸

多くの日の後、あなたは召される。後の年に、あなたは戦争から回復した地に来る。その地の民は多くの国々からイスラエルの山々に集められ、長い間荒れ果てていた。彼らは国々から連れ出され、今は安全に住んでいる。⁹

あなたとあなたのすべての軍勢、そして多くの国々が共に進み、嵐のように来る。あなたは地を覆う雲のようにになる。¹⁰

『これは主なる神が言われることである。その日、あなたの心に思いが生じ、あなたは悪しき計画を立てる。¹¹

あなたは言う、「私は城壁のない村を侵略しよう。私は平和で無防備な民を攻撃しよう。彼らは皆、城壁もなく、扉もなく、門もない。¹²

私は略奪し、奪い取ろう。再定住した廃墟と、国々から集められた民、家畜と財産を得た者たち、世界の中心に住む者たちに手を向けよう。」¹³

シェバとデダン、タルシシュの商人たちとそのすべての村々はあなたに尋ねる、「あなたは略奪しに来たのか？あなたは群れを集めて略奪し、銀と金を持ち去り、家畜と財産を奪い、多くの略奪をするために来たのか？」¹⁴

「それゆえ、人の子よ、ゴグに預言し、言え。『これは主なる神が言われることである。その日、私の民イスラエルが安全に住んでいるとき、あなたはそれを知らないのか？¹⁵

あなたは遠く北の自分の場所から来る。あなたと多くの国々が共に、馬に乗り、巨大な集団、強力な軍隊である。¹⁶

あなたは私の民イスラエルに対して進み、地を覆う雲のようにになる。それは終わりの日に起こる。私はあなたを私の地に連れてくる。それは、私があなたを通して彼らの目の前で聖なる者とされるとき、国々が私を認めるためである、ゴグよ。¹⁷

『これは主なる神が言われることである。あなたは、私がイスラエルの預言者たちを通して昔の日に語った者ではないか？その時、彼らは多くの年にわたって、私があなたを彼らに対して連れてくると預言した。¹⁸

その日、これが起こる。ゴグがイスラエルの地を攻撃するとき、私の怒りが燃え上がる、と主なる神は宣言する。¹⁹

私の熱心と燃える怒りの中で、私は宣言する。その日、イスラエルの地には大地震がある。²⁰ 海の魚、空の鳥、野の獣、地上を動くすべての生き物、そして地の表にいるすべての人間が私の存在に震える。山々は覆され、崖は崩れ、すべての壁は地

エゼキエル書

面に倒れる。²¹
私はゴグに対してすべての山で剣を呼び出す、と主なる神は宣言する。すべての人の剣はその兄弟に向かう。²²
私は彼に疫病と流血で裁きを行う。私は彼と彼の軍勢、そして彼と共にいる多くの国々に雨、雹、燃える硫黄を降らせる。²³
こうして、私は私の偉大さと私の聖さを示し、多くの国々の目の前で私自身を知らしめる。そうすれば、彼らは私が主であることを知る。』

39 「人の子よ、ゴグに対して預言しなさい。
そして言いなさい。『主なる神はこう言われる。見よ、わたしはあなたに立ち向かう、メシクとトバルの首長ゴグよ。²
わたしはあなたを引き返し、縄で導き、遠い北からイスラエルの山々に向かわせる。³
わたしはあなたの左手から弓を打ち落とし、あなたの右手から矢を落とさせる。⁴
あなたはイスラエルの山々で倒れる。あなたとあなたの全軍、そしてあなたと共にいる国々も。わたしはあなたをあらゆる種類の死肉を食べる鳥と野生の動物に与える。⁵
あなたは開けた野で倒れる。わたしがそれを宣言したからだ、と主なる神は言われる。⁶
わたしはマゴグと海岸で安全に住んでいる者たちに火を送る。彼らはわたしが主であることを認識する。⁷
わたしはわたしの聖なる名をわたしの民イスラエルの中に知らしめ、もはやわたしの聖なる名が汚れることを許さない。国々はわたしがイスラエルの聖なる主であることを知る。⁸
それが来る！それは確かに起こる、と主なる神は言われる。これがわたしが語った日である。⁹
その時、イスラエルの町に住む者たちは出て行き、武器を燃料として使い、それを燃やし尽くす。小さな盾、大きな盾、弓と矢、戦棍と槍を。彼らは七年間それを燃料として使う。¹⁰
彼らは野から木を集めたり、森から切り出したりする必要はない。彼らは武器を燃料として使うからだ。彼らは彼らを略奪した者たちを略奪し、彼らを略奪した者たちを略奪する、と主なる神は言われる。¹¹
その日、わたしはゴグにイスラエルでの埋葬地を与える。海の東を旅する者たちの谷に。それは旅人たちの道を塞ぐ。ゴグとその全軍勢がそこに埋葬されるからだ。それゆえ、それはハモン・ゴグの谷と呼ばれる。¹²
イスラエルの家は七ヶ月の間、彼らを埋葬して土地を清める。¹³

土地のすべての民が彼らを埋葬し、わたしが栄光を現す日は彼らにとって記念すべき日となる、と主なる神は言われる。¹⁴
彼らは地上に残っている者を埋葬して土地を清めるために、絶えず土地を通り過ぎる人々を任命する。¹⁵
七ヶ月後、彼らは捜索を行う。¹⁶
彼らが土地を通り過ぎるとき、誰かが人間の骨を見つけたら、それを墓掘り人がハモン・ゴグの谷に埋葬するまで、そのそばに印を立てる。¹⁷
ハモナという町の近くで。それによって彼らは土地を清める。¹⁸
「人の子よ、主なる神はこう言われる。あらゆる種類の鳥とすべての野生動物に呼びかけなさい。『集まれ、イスラエルの山々であなたのために準備している大いなる犠牲に來い。そこであなたは肉を食べ、血を飲む。¹⁹
あなたは力ある者たちの肉を食べ、地の君主たちの血を飲む。それはまるでバシヤンの肥えた家畜のように、雄羊、子羊、山羊、雄牛のように。²⁰
わたしがあなたのために準備している犠牲で、あなたは満腹になるまで脂肪を食べ、酔うまで血を飲む。²¹
わたしの食卓で、あなたは馬と騎手、力ある者、あらゆる種類の兵士を満腹になるまで食べる、と主なる神は言われる。²²
わたしは国々の間でわたしの栄光を現し、すべての国々はわたしが行く裁きと彼らに下すわたしの手を見る。²³
その日から、イスラエルの家はわたしが彼らの神、主であることを認識する。²⁴
そして国々は、イスラエルの家が彼らの不正のために追放されたことを理解する。彼らがわたしに不誠実だったから、わたしは彼らから顔を隠し、彼らを敵に引き渡し、彼らは皆剣で倒れた。²⁵
わたしは彼らの汚れと罪に従って彼らを扱い、彼らから顔を背けた。²⁶
それゆえ、主なる神はこう言われる。わたしは今、ヤコブの運命を回復し、イスラエルの全家に憐れみをかけ、わたしの聖なる名に対して熱心になる。²⁷
彼らはもはや彼らの恥と、彼らがわたしに対して示したすべての不誠実を思い出さない。彼らが安全に住んでいたとき、誰も彼らを恐れさせる者はいなかった。²⁸
わたしが彼らを国々から連れ戻し、彼らの敵の地から集めたとき、わたしは多くの国々の目の前で彼らを通して聖なることを証明する。²⁹
そのとき、彼らはわたしが彼らの神、主であることを理解する。わたしが彼らを国々の間に追放したとしても、わたしは彼らを彼ら自身の地に集め、誰も

エゼキエル書

残されないようにする。²⁹
わたしはもはや彼らから顔を隠さない。わたしはイスラエルの家にわたしの霊を注ぐからだ、と主なる神は言われる。」

40 私たちが捕囚となってから二十五年目の年の始め、月の十日目、市が陥落してから十四年目のこの正確な日に、主の手が私の上にあり、彼は私をそこに連れて行った。²
神の幻の中で、彼は私をイスラエルの地に連れて行き、非常に高い山の上に置いた。そして南側には都市の構造に似たものがあつた。³
彼は私をそこに連れて行き、見よ、青銅のような外見をした人がいて、彼の手には亜麻の縄と測り竿があり、彼は門の入り口に立っていた。⁴
その人は私に言った、「人の子よ、目で見、耳で聞き、私があなたに示そうとしているすべてのことに注意を払いなさい。あなたはここに連れて来られたのは、それをあなたに示すためである。イスラエルの家にあなたが見るすべてのことを報告しなさい。」⁵

見よ、神殿の区域を囲む壁があり、その人の手にある測り竿は六キュビットの長さで、各キュビットは一キュビットと一手幅であつた。彼は壁を測つた。それは一竿の厚さであり、一竿の高さであつた。⁶
それから彼は東向きの門に行き、その階段を上り、門の敷居を測つた。それは一竿の深さであつた。⁷
衛兵室は一竿の長さで一竿の幅であり、衛兵室の間には五キュビットがあつた。内側に面したポーチの隣の門の敷居は一竿であつた。⁸
彼は次に内側に面した門のポーチを測つた。⁹
それは八キュビットの深さであり、その柱は二キュビットの厚さであつた。門のポーチは内側に面していた。¹⁰
東の門には両側に三つの衛兵室があり、すべて同じ寸法であり、両側の突出した壁の面も同じ寸法であつた。¹¹

彼は門の入り口の幅を測つた。それは十キュビットであり、その長さは十三キュビットであつた。¹²
各衛兵室の前には一キュビットの高さの障壁があり、衛兵室は六キュビットの正方形であつた。¹³
彼は一つの衛兵室の屋根から反対側の屋根までの門を測つた。その距離は一つのドアから反対側のドアまで二十五キュビットであつた。¹⁴
彼は側柱を六十キュビットの高さに測つた。門は中庭の側柱まで全体に広がっていた。¹⁵
門の入り口からその内側のポーチの遠端までの距離は五十キュビットであつた。¹⁶
門内の衛兵室とその側柱には周囲に格子窓があり、ポーチにもあつた。周囲の開口部は内側に面してお

り、突出した壁の面にはヤシの木が飾られていた。¹⁷

それから彼は私を外庭に連れて行つた。そこには部屋と庭全体を囲む舗装があり、三十の部屋が舗装に面していた。¹⁸
舗装は下の舗装であり、門の側にあり、門の長さに対応していた。¹⁹

それから彼は下の門の前から内側の庭の外側の前までの距離を測つた。それは東と北の両側で百キュビットであつた。²⁰
それから彼は外庭に通じる北門の長さと同幅を測つた。²¹

その衛兵室は両側に三つずつあり、その側柱とポーチは最初の門と同じ寸法であつた。それは五十キュビットの長さで、二十五キュビットの幅であつた。²²

その窓、そのポーチ、そのヤシの木の装飾は東向きの門と同じ寸法であつた。七つの階段がそれに続いており、その前にポーチがあつた。²³

内庭への門が北門に面しており、東のものと同様であつた。彼は一つの門から反対側の門までを測つた。それは百キュビットであつた。²⁴

それから彼は私を南側に導き、見よ、南向きの門があつた。彼はその側柱とポーチを測り、それらは他と同じ寸法であつた。²⁵

門とそのポーチには周囲に窓があり、他の窓と同様であつた。それは五十キュビットの長さで、二十五キュビットの幅であつた。²⁶

それには七つの階段が続いており、その前にポーチがあつた。その側柱にはヤシの木の装飾があり、両側につつずつあつた。²⁷

内庭にも南向きの門があり、彼はこの門から南側の外門までを測つた。その距離は百キュビットであつた。²⁸

それから彼は私を南門を通して内庭に連れて行き、彼は南門を測つた。それは他と同じ寸法であつた。²⁹

その衛兵室、その側柱、そのポーチは他と同じ寸法であつた。門とそのポーチには周囲に窓があつた。それは五十キュビットの長さで、二十五キュビットの幅であつた。³⁰

内庭の周囲の門のポーチは二十五キュビットの幅で、五キュビットの深さであつた。³¹

そのポーチは外庭に面しており、側柱にはヤシの木が飾られており、八つの階段がそれに続いていた。³²

それから彼は私を東側の内庭に連れて行き、彼はその門を測つた。それは他と同じ寸法であつた。³³

その衛兵室、その側柱、そのポーチは他と同じ寸法

エゼキエル書

であった。門とそのポーチには周囲に窓があった。それは五十キュビットの長さで、二十五キュビットの幅であった。³⁴

そのポーチは外庭に面しており、側柱にはヤシの木が飾られており、八つの階段がそれに続いていた。³⁵

それから彼は私を北門に連れて行き、それを測った。それは他と同じ寸法であった。³⁶

その衛兵室、その側柱、そのポーチも同様であり、周囲に窓があった。それは五十キュビットの長さで、二十五キュビットの幅であった。³⁷

そのポーチは外庭に面しており、側柱にはヤシの木が飾られており、八つの階段がそれに続いていた。³⁸

門の側柱のそばには入口のある部屋があり、そこで燔祭を洗った。³⁹

門のポーチには両側に二つのテーブルがあり、燔祭、罪祭、愆祭のための屠殺に使われた。⁴⁰

北門の入口に向かう外側には二つのテーブルがあり、門のポーチの他の側にも二つのテーブルがあった。⁴¹

したがって、門の一方に四つのテーブルがあり、他方にも四つのテーブルがあり、合計で八つのテーブルがあり、その上で犠牲が屠殺された。⁴²

また、燔祭のための切石のテーブルが四つあり、それぞれ一キュビット半の長さ、一キュビット半の幅、一キュビットの高さであった。その上には燔祭や他の犠牲を準備するための器具が置かれていた。⁴³
二股の鉤はそれぞれ一手幅の長さで、壁の周囲に取り付けられていた。テーブルは供え物の肉のためであった。⁴⁴

内門の外、内庭には歌う者たちのための部屋があり、一つは南を向いた北門の側にあり、もう一つは北を向いた南門の側にあった。⁴⁵

彼は私に言った、「南を向いた部屋は神殿を管理する祭司たちのためのものである。⁴⁶

北を向いた部屋は祭壇を管理する祭司たちのためのものである。これらはツアドクの子孫であり、主の前で仕えるために近づくことができる唯一のレビ人である。」⁴⁷

彼は中庭を測った。それは完全な正方形で、長さ百キュビット、幅百キュビットであった。そして祭壇は神殿の前にあった。⁴⁸

彼は私を神殿のポーチに連れて行き、そのポーチの柱を測った。それは両側で五キュビットの幅であった。入口の幅は十四キュビットであり、その突出した壁は両側で三キュビットの幅であった。⁴⁹

ポーチは二十キュビットの幅で、前から後ろまで十

一キュビットであった。それは階段で到達され、柱が柱の両側にあった。

41 それから、その人は私を聖所に導き、側柱を測った。各側柱は幅六キュビットであった。²

入口は幅十キュビットで、両側はそれぞれ五キュビットであった。彼は聖所を測ったが、それは長さ四十キュビット、幅二十キュビットであった。³

彼は内側の区域に入り、ドアの柱を測ったが、それぞれ幅二キュビットであった。入口は幅六キュビットで、突出した壁は幅七キュビットであった。⁴

彼は内側の聖所を測ったが、それは長さ二十キュビット、幅二十キュビットで、主堂の前にあった。彼は私に言った、「これは至聖所である。」⁵

彼は神殿の壁を測ったが、それは厚さ六キュビットで、側室は神殿の周りに幅四キュビットであった。⁶

側室は三層に配置され、各層に三十室あった。それらは神殿の壁の棚によって支えられていたが、支えは神殿の壁自体に貫通していなかった。⁷

側室は上層に行くほど広くなった。構造は段階的に建てられ、上に行くほど部屋が広くなるようになっていた。階段は最下層から中層を経て最上層に通じていた。⁸

私は神殿がその周りに高くなった基礎を持っているのを観察したが、それは側室の基礎を形成していた。この基礎は高さ六長キュビットの完全な棒であった。⁹

側室の外壁は厚さ五キュビットであった。神殿の側室の間の空き地¹⁰

と外側の部屋の間は神殿の周りに幅二十キュビットであった。¹¹

空き地から側室への入口があり、一つは北を向き、もう一つは南を向いていた。空き地の幅は周囲五キュビットであった。¹²

神殿の中庭に面した西側の建物は幅七十キュビットで、壁は厚さ五キュビット、長さは九十キュビットであった。¹³

彼は神殿を測ったが、それは長さ百キュビットで、中庭とその壁のある建物も長さ百キュビットであった。¹⁴

神殿の中庭の東側、神殿の正面を含めて、長さ百キュビットであった。¹⁵

彼は神殿の後ろの中庭に面した建物の長さを測ったが、その両側のギャラリーを含めて、それは百キュビットであった。これには主堂、内側の聖所、中庭に面したポーチが含まれていた。¹⁶

敷居、狭い窓、三つの周りのギャラリーは、窓までの地面から木で覆われていた。¹⁷

内側の聖所の入口の上と、内外の壁には、定期的な

間隔で測られた彫刻があった。¹⁸
 ケルビムとヤシの木が彫られており、各ケルビムの間にヤシの木があった。各ケルビムには二つの顔があった。¹⁹
 人間の顔は一方のヤシの木に向かい、ライオンの顔は他方のヤシの木に向かっていた。これらは神殿の周りに彫られていた。²⁰
 床から入口の上まで、ケルビムとヤシの木が聖所の壁に彫られていた。²¹
 聖所のドアの柱は四角で、至聖所のドアの柱の外観も同様であった。²²
 木製の祭壇があり、高さ三キュビト、二キュビト四方で、その角、基礎、側面は木製であった。彼は私に言った、「これは主の前にあるテーブルである。」²³ 聖所と至聖所の両方に二重のドアがあった。²⁴
 各ドアには二枚の葉があり、各ドアに二つのヒンジ付きの葉があった。²⁵
 ケルビムとヤシの木が主堂のドアに彫られており、壁のものと似ており、ポーチの前には木製の庇があった。²⁶
 格子窓とヤシの木がポーチの両側の側壁を飾っており、神殿の側室と敷居にも同様であった。

42 それから彼は私を北の方へ外庭に連れ出し、北側の別の区域と建物に面した部屋に連れて行った。²
 その建物は長さ百キュビトで、入口は北を向いており、幅は五十キュビトであった。³
 内庭の二十キュビトに面し、外庭の舗道に対して、ギャラリーが三層にわたって向かい合っていた。⁴
 部屋の前には幅十キュビト、長さ百キュビトの内通路があり、北側に入口があった。⁵
 上の部屋は下の部屋よりも狭く、ギャラリーが下層と中層よりも多くの空間を取っていた。⁶
 上の部屋は下層と中層よりも奥に設けられており、柱が庭のようにないため、床面積が小さくなっていた。⁷
 部屋と外庭に平行して外壁があり、部屋の前に五十キュビト延びていた。⁸
 外庭に面した部屋の長さは五十キュビトで、聖所に面した部屋は百キュビトの長さであった。⁹
 これらの部屋の下には、外庭から入る東側の入口があった。¹⁰
 南側には、別の区域と建物に面した庭の壁に沿って部屋があった。¹¹
 その前の通路は北側の部屋と同様で、同じ長さ、幅、出口、寸法であった。¹²
 南側の部屋の戸口は北側のものに対応しており、東に延びる壁に平行した通路の始まりに入口があった

。¹³
 それから彼は私に言った、「別の区域に面した北と南の部屋は、主に近づく祭司たちが最も聖なる供え物を食べる聖なる部屋である。そこに最も聖なる供え物、穀物の供え物、罪の供え物、罪過の供え物を置く。なぜなら、その場所は聖なるものであるからだ。」¹⁴
 祭司たちが聖なる区域に入るとき、彼らが奉仕する衣服を残さずに外庭に出てはならない。これらは聖なるものであるからだ。彼らは人々のための場所に近づく前に、他の衣服を着なければならない。」¹⁵
 彼が神殿の内側の区域を測り終えたとき、彼は私を東の門を通して外に連れ出し、周囲の区域を測った。¹⁶
 彼は測り竿で東側を測り、それは五百キュビトであった。¹⁷
 彼は北側を測り、それは測り竿で五百キュビトであった。¹⁸
 彼は南側を測り、それは測り竿で五百キュビトであった。¹⁹
 彼は西側に向かってそれを測り、それは測り竿で五百キュビトであった。²⁰
 このようにして彼は四方の区域を測った。それは、聖なるものを俗なるものから分けるために、長さ五百キュビト、幅五百キュビトの壁で囲まれていた。

43 それから彼は私を東に面した門に導いた。²
 見よ、イスラエルの神の栄光が東から来た。その声は多くの水の音のようであり、地はその栄光で輝いていた。³
 私が見た幻は、彼が町を滅ぼしに来たときに見た幻のようであり、ケバル川のほとりで見た幻のようであった。そして私は顔を伏せた。⁴
 主の栄光は東に面した門を通して神殿に入った。⁵
 霊が私を内庭に運んだ。見よ、主の栄光が神殿を満たしていた。⁶
 その時、神殿の中から私に話しかける声を聞いた。その人は私のそばに立っていた。⁷
 彼は私に言った、「人の子よ、これは私の王座の場所、私の足の裏の場所であり、私はここに永遠にイスラエルの子らの間に住む。イスラエルの家はもはや私の聖なる名を汚すことはない。彼らも彼らの王たちも、その売春や死んだ王たちの屍によって私の名を汚すことはない。」⁸
 彼らの敷居を私の敷居の隣に置き、彼らの門柱を私の門柱の隣に置き、私と彼らの間に壁だけを置いて、彼らはその忌まわしい行いで私の聖なる名を汚した。それで私は怒りの中で彼らを滅ぼした。⁹
 彼らの不信の行いと彼らの王たちの残骸を私から遠

エゼキエル書

ざけさせ、私は彼らの間に永遠に住む。¹⁰
「人の子よ、イスラエルの家に神殿を説明し、彼らが自分たちの罪を恥じるようにし、その計画を測らせよ。¹¹
彼らが自分たちの行ったすべてのことを恥じるなら、神殿の設計、その配置、出口と入口、その全体の設計、すべての法令と法律を彼らに知らせよ。これらを彼らの目の前で書き記し、その完全な設計を守り、すべての法令に従わせよ。¹²
これは神殿の法である：山の上の全域が最も聖なるものである。見よ、これは神殿の法である。¹³
「これらは長いキュビトでの祭壇の寸法である（キュビトはキュビトと手幅である）：基部は深さ1キュビト、幅1キュビトで、その縁には1スパンの縁取りがある。これが祭壇の高さである：¹⁴
地面の基部から下の棚までは高さ2キュビトであり、棚は幅1キュビトである。小さな棚から大きな棚までは高さ4キュビトであり、棚も幅1キュビトである。¹⁵
祭壇の炉は高さ4キュビトであり、炉から上に4つの角が突き出ている。¹⁶
祭壇の炉は正方形で、長さ12キュビト、幅12キュビトである。¹⁷
上の棚も正方形で、長さ14キュビト、幅14キュビトである。祭壇の周りには幅1キュビトの溝があり、縁には半キュビトの縁取りがある。祭壇の階段は東を向く。」¹⁸
それから彼は私に言った、「人の子よ、これは主なる神が言われることです：『これは祭壇が建てられる日に、その上で焼き尽くす捧げ物を捧げ、血をその上に振りかけるための規則である。¹⁹
あなたはレビ族の祭司、ザドクの家系の者たちに、私の前で仕えるために近づく者たちに、罪のための捧げ物として若い雄牛を与えなければならない』と主なる神は宣言する。²⁰
その血の一部を取り、祭壇の四つの角と棚の四隅と縁の周りに塗り、祭壇を清め、そのために贖いをするしなければならない。²¹
罪のための捧げ物としての雄牛を取り、聖所の外の神殿区域の指定された場所で焼かなければならない。²²
『二日目には、欠陥のない雄山羊を罪のための捧げ物として捧げ、祭壇を雄牛で清めたように清めなければならない。²³
それを清め終わったら、欠陥のない若い雄牛と羊の群れからの雄羊を捧げなければならない。²⁴
それらを主の前に捧げ、祭司たちはそれらに塩を振りかけ、主への焼き尽くす捧げ物として捧げなければならない。²⁵

七日間、毎日罪のための捧げ物として雄山羊を提供しなければならない。また、欠陥のない若い雄牛と羊の群れからの雄羊を提供しなければならない。²⁶
七日間、彼らは祭壇のために贖いをし、それを清め、それを聖別する。²⁷
これらの日の終わりに、八日目以降、祭司たちはあなたの焼き尽くす捧げ物と和解の捧げ物を祭壇に捧げ、私はあなたを受け入れる』と主なる神は宣言する。」

44 それから彼は私を聖所の外の門、東に面した門に連れ戻したが、それは閉じられていた。²
主は私に言われた、「この門は閉じたままにしておきなさい。開けてはならず、誰もそこを通ってはならない。イスラエルの神、主がそこを通って入ったからである。それゆえ、閉じたままにしておきなさい。³
君主は、主の前でパンを食べるために門の中に座ることができる唯一の者である。彼は門のポーチを通して入り、同じ道を通して出て行く。」⁴
それから彼は私を北の門を通して家の前に連れて行った。私は主の栄光が主の家を満たしているのを見て、顔を地に伏せた。⁵
主は私に言われた、「人の子よ、よく見て、私があなたに言う主の家のすべての規定とそのすべての法律について、目で見ても耳で聞きなさい。家の入口と聖所のすべての出口に注意を払いなさい。⁶
反逆の家、イスラエルの家に言いなさい、『主なる神はこう言われる。イスラエルの家よ、お前たちのすべての忌まわしいことはもうたくさんだ！⁷
お前たちは他のすべての忌まわしいことに加えて、心と肉が割礼されていない外国人を私の聖所に連れてきて、それを汚し、私の食物、脂肪と血を捧げ、彼らは私の契約を破った。⁸
私の聖なるものに責任を持つ代わりに、外国人を任命して私の聖所を管理させた。⁹
主なる神はこう言われる。心と肉が割礼されていない外国人は、イスラエル人の中に住んでいる外国人であっても、私の聖所に入ってはならない。¹⁰
しかし、イスラエルが迷ったときに私から遠く離れ、偶像を追い求めたレビ人は、その過ちの罰を受ける。¹¹
彼らは私の聖所で奉仕し、家の門を監視し、家で奉仕し、焼き尽くす捧げ物と犠牲を人々のために屠り、彼らの前で奉仕することができる。¹²
彼らが偶像の前で奉仕し、イスラエルの家を罪に陥れたので、主なる神は宣言する、彼らはその過ちの罰を受ける。¹³
彼らは私に仕えるために祭司として近づくことはで

エゼキエル書

きず、私の聖なるものや最も聖なる捧げ物に近づくこともできない。彼らは自分たちが犯した恥と忌まわしいことを負う。

それにもかかわらず、私は彼らに家の責任を負わせ、そのすべての奉仕とそこで行われるすべてのことを任せる。

しかし、レビ人の祭司、ツァドクの子孫は、イスラエル人が私から迷ったときに私の聖所の責任を負ったので、私の前で奉仕するために近づくことができる。彼らは私の前で脂肪と血を捧げるために立つ、主なる神は宣言する。

彼らだけが私の聖所に入り、私の前で奉仕し、私に仕えるために私の食卓に近づくことができる。

彼らが内庭の門に入るとき、彼らは亜麻布の衣服を着なければならない。内庭の門や家の中で奉仕するときに、羊毛の衣服を着てはならない。

彼らは頭に亜麻布のターバンを巻き、腰に亜麻布の下着を着なければならない。汗をかかせるものを着てはならない。

彼らが外庭に出て人々のところに行くとき、奉仕していた衣服を脱いで聖なる部屋に置き、他の服を着なければならない。彼らの衣服で人々に聖性を移さないようにするためである。

彼らは頭を剃ったり、髪を長く伸ばしたりしてはならないが、髪を整えておかなければならない。

祭司は内庭に入るときにワインを飲んではならない。

彼らは未亡人や離婚した女性と結婚してはならない。イスラエルの子孫の中からの処女か、祭司の未亡人とだけ結婚できる。

彼らは私の民に聖なるものと普通のものの区別を教え、不浄なものと清いものの違いを認識させる。いかなる争いにおいても、祭司は裁判官として奉仕し、私の条例に従ってそれを決定する。彼らは私の法律と私の定めたすべての祭りを守り、私の安息日を聖なるものとしなければならない。

祭司は死者に近づいて自分を汚してはならない。ただし、死者が彼の父、母、息子、娘、兄弟、または未婚の姉妹である場合は、自分を汚すことができる。

彼の清めの後、彼は七日間待たなければならない。

彼が聖所に入り、内庭で聖所に奉仕する日に、彼は自分のために罪の捧げ物を捧げなければならない、主なる神は宣言する。

私は彼らの唯一の相続財産である。あなたは彼らにイスラエルでの財産を与えてはならない。私は彼らの所有物である。

彼らは穀物の捧げ物、罪の捧げ物、罪過の捧げ物を

食べる。イスラエルで主に捧げられたすべてのものは彼らのものである。

すべての初穂の最良のものとすべての特別な贈り物は祭司のものである。あなたは地面の食事の最初の部分を彼らに与えなければならない。それで祝福があなたの家にとどまるように。

祭司は、鳥や動物であれ、死んでいるか野獣に裂かれたものを食べてはならない。

45 “あなたがたが土地をくじで分けて相続地とするとき、主に捧げる分を設けなさい。

それは土地の聖なる区域であり、長さ**25,000**キュビト、幅**20,000**キュビトで、その全域が聖なるものとなる。

その中から、聖所のために**500**キュビト四方の区域を設け、その周囲に**50**キュビトの空地を設ける。

この聖なる区域の中で、長さ**25,000**キュビト、幅**10,000**キュビトの区域を測りなさい。その中に聖所、至聖所がある。

これは祭司たち、すなわち主に仕えるために近づく聖所の奉仕者たちのための土地の聖なる部分である。彼らの家のための場所であり、聖所のための聖なる場所である。

長さ**25,000**キュビト、幅**10,000**キュビトの区域はレビ人、すなわち神殿の奉仕者たちのものとなり、彼らの住む町のための所有地となる。

“あなたがたは、聖なる部分に隣接して、幅**5,000**キュビト、長さ**25,000**キュビトの区域を都市に割り当てなさい。それはイスラエルの全家のものとなる。

“君主は聖なる区域と都市の所有地の両側に土地を持つことになる。それは部族の一つの部分に並行して、西の境から東の境まで延びる。

この土地はイスラエルにおける彼の所有地となり、私の君主たちはもはや私の民を虐げることはなく、イスラエルの家がその部族に従って土地を所有することを許す。

“主なる神はこう言われる。イスラエルの君主たちよ、もう十分だ！暴力と圧制をやめ、公正と正義を行いなさい。私の民を追い出すのをやめなさい、と主なる神は宣言する。

あなたがたは正確なばかり、正確なエファ、正確なバテを持ちなさい。

エファとバテは同じ量であり、ホメルの十分の一で、ホメルが標準の量となる。

シェケルは**20**グラである。**20**シェケル、**25**シェケル、**15**シェケルがあなたがたのミナを構成する。

“これがあなたがたが捧げるべき供え物である。小麦のホメルごとにエファの**6**分の**1**、大麦のホメル

エゼキエル書

ごとにエファの6分の1を捧げなさい。¹⁴
バテで測られる油の定められた部分は、コルごとにバテの10分の1である（これは10バテ、すなわち1ホメルであり、10バテはホメルに相当する）。¹⁵
イスラエルのよく水を得た牧草地から、200頭ごとに1頭の羊を穀物の供え物、焼き尽くす供え物、平和の供え物として捧げ、彼らのために贖いをするためである、と主なる神は宣言する。¹⁶
土地のすべての民は、この特別な供え物をイスラエルの君主に捧げることを求められる。¹⁷
君主の義務は、祭り、新月、安息日に、イスラエルの家のすべての定められた祭りにおいて、焼き尽くす供え物、穀物の供え物、飲み物の供え物を提供することである。彼は罪の供え物、穀物の供え物、焼き尽くす供え物、平和の供え物を提供し、イスラエルの人々のために贖いをする。¹⁸
“主なる神はこう言われる。第一の月の第一日に、傷のない若い雄牛を取り、聖所を清めなさい。¹⁹
祭司は罪の供え物の血を取り、神殿の門柱、祭壇の上段の四隅、内庭の門柱に塗る。²⁰
あなたがたは、月の第七日に、知らずに罪を犯したり、無知によって罪を犯したりした者のために同じことをし、神殿のために贖いをする。²¹
“第一の月の十四日に、過越の祭りを守りなさい。それは七日間続く祭りで、その間に酵母を入れないパンを食べる。²²
その日に、君主は自分自身と土地のすべての民のために、罪の供え物として雄牛を提供する。²³
祭りの七日間、彼は傷のない七頭の雄牛と七頭の雄羊を主への焼き尽くす供え物として提供し、毎日羊の供え物として雄山羊を一頭提供する。²⁴
彼は各雄牛に対してエファを、各雄羊に対してエファを穀物の供え物として提供し、各エファに対してオリーブ油のヒンを提供する。²⁵
“第七の月の十五日に始まる祭りの七日間、彼は罪の供え物、焼き尽くす供え物、穀物の供え物、油のために同じ提供をする。

46 『主なる神はこう言われる。東に面した内庭の門は、六つの働く日には閉じられ、安息日と新月の日には開かれる。²
君主は外から門の玄関を通して入り、門柱のそばに立つ。祭司たちは彼の燔祭と交わりの供え物を準備する。彼は門の敷居で礼拝し、出て行くが、門は夕方まで閉じられない。³
地の民は、安息日と新月の日に、主の前でその門の入口で礼拝する。⁴
君主が安息日に主に捧げる燔祭は、欠けのない六頭の子羊と一頭の雄羊である。⁵
雄羊に対する穀物の供え物はエバであり、子羊に対

する穀物の供え物は彼が望むだけであり、各エバにはヒンのオリーブ油を添える。⁶
新月の日には、欠けのない若い雄牛一頭、子羊六頭、雄羊一頭を捧げる。⁷
彼は雄牛に対して一エバ、雄羊に対して一エバ、子羊に対しては彼が望むだけの穀物の供え物を提供し、各エバには油のヒンを添える。⁸
君主が入るときは、門の玄関を通して入り、同じ道を通して出る。⁹
地の民が定められた祭りの時に主の前に来るとき、北の門から入る者は南の門から出、南の門から入る者は北の門から出る。誰も入った門を通して戻ってはならず、反対の門から出なければならない。¹⁰
君主は彼らの中にいて、彼らが入るときに入り、彼らが出るときに出る。¹¹
祭りと定められた祭りの時には、穀物の供え物は雄牛に対して一エバ、雄羊に対して一エバ、子羊に対しては望むだけであり、各エバには油のヒンを添える。¹²
君主が主に対して自発的な供え物を提供するとき一燔祭であれ交わりの供え物であれ—
東向きの門は彼のために開かれる。彼は安息日と同じように燔祭または交わりの供え物を捧げる。彼が出た後、門は閉じられる。¹³
毎日、欠けのない一歳の子羊を燔祭として主に捧げる。朝ごとにそれを捧げる。¹⁴
また、朝ごとに穀物の供え物を提供し、それはエバの六分の一と油の三分の一ヒンで粉を湿らせる。これは主への永遠の定めである。¹⁵
このようにして、子羊、穀物の供え物、油は毎朝提供され、定期的な燔祭となる。¹⁶
主なる神はこう言われる。もし君主がその相続財産から息子の一人に贈り物をするなら、それはその子孫に属し、彼らの相続財産となる。¹⁷
しかし、彼がその相続財産から一人のしもべに贈り物をするなら、それは解放の年まで彼のものであり、その後、君主に戻る。彼の相続財産は息子たちだけに属し、それは彼らのものである。¹⁸
君主は民の相続財産を奪い、彼らをその所有地から追い出してはならない。彼は自分の所有地から息子たちに相続財産を与え、私の民の誰もその所有地から分離されないようにしなければならない。』¹⁹
それから彼は私を門の側口を通して北に面した聖なる部屋に連れて行き、祭司たちに属する場所を示し、西端にある場所を見せた。²⁰
彼は私に言った、「ここは祭司たちが罪のための供え物と罪のための供え物を調理し、穀物の供え物を焼く場所であり、それを外庭に持ち込んで民を聖別することを避けるためである。」²¹

エゼキエル書

それから彼は私を外庭に連れて行き、その四隅を回らせ、各隅に別の庭を見た。²²
外庭の四隅には囲まれた庭があり、それぞれの庭は長さ四十キュビト、幅三十キュビトであり、四隅の庭はすべて同じ大きさであった。²³
四つの庭のそれぞれの中には石の棚があり、棚の下には火を起こす場所が作られていた。²⁴
彼は私に言った、「これらは神殿で奉仕する者たちが民の供え物を調理するための厨房である。」

47 その人は私を家の入口に連れ戻し、家の敷居の下から東に向かって水が流れているのに気づいた。家は東を向いていたのである。²
。水は家の右側、祭壇の南側から流れていた。²
彼は私を北の門を通して外に連れ出し、東を向く外の門に連れて行った。そこには南側から水が滴っていた。³
その人が測り縄を手にして東に進むと、千キュビトを測り、私を足首まで水が届くところを通らせた。⁴
彼はさらに千キュビトを測り、私を膝まで水が届くところを通らせた。さらに千キュビトを測り、腰まで水が届くところを通らせた。⁵
さらに千キュビトを測ると、それは私が渡ることでできない川になっていた。水は増して泳げるほど深くなり、渡ることでできない川になっていた。⁶
彼は私に、「人の子よ、これを見たか?」と言い、私を川の岸に連れ戻した。⁷
戻ってみると、川の岸の両側に多くの木が生えていた。⁸
彼は私に言った、「これらの水は東の地域に流れ、アラバに下り、海に入る。海に流れ込むと、そこにある塩水が新鮮になる。⁹
川が流れるところには、群がるすべての生き物が生きている。そこには多くの魚がいるであろう。これらの水がそこに行き、塩水を新鮮にするからである。川が行くところではすべてが生きている。¹⁰
漁師たちは岸に立ち、エン・ゲディからエン・エグライムまで網を広げる場所がある。魚は種類が多く、大海の魚のようである。¹¹
しかし、湿地と沼地は塩のままで残り、塩のために取っておかれる。¹²
川の岸には、両側に食物のためのあらゆる種類の木が生える。その葉は枯れず、その実は絶えない。彼らは毎月実を結ぶ。聖所から流れる水が彼らに流れるからである。その実は食物のため、その葉は癒しのためである。」¹³
主なる神はこう言われる、「これがイスラエルの十二部族に土地を分ける境界である。ヨセフは二つの分け前を受ける。¹⁴

あなたたちはそれを彼らの間で等しく分けるべきである。私はそれをあなたたちの祖先に与えると誓ったからである。この土地はあなたたちの相続財産となる。¹⁵
「これが土地の境界である。北側では、大海からヘスロンの道を通り、ゼダデの入口までである。¹⁶
ハマテ、ペロタ、シブライム、これはダマスコスとハマテの境界の間にあり、ハウランの境界にあるハツアル・ハティコンまでである。¹⁷
境界は海からハツアル・エナンまで、ダマスコスの境界にあり、北にハマテの境界がある。これが北の境界である。¹⁸
「東側では、境界はハウランとダマスコスの間を通り、ヨルダン川に沿ってギルアデとイスラエルの地の間を通り、東の海まで、タマルまでである。これが東の境界である。¹⁹
「南側では、タマルからメリバ・カデシュの水まで、エジプトのワディに沿って大海までである。これが南の境界である。²⁰
「西側では、大海がハマテの入口に対する境界となる。これが西の境界である。²¹
「あなたたちはイスラエルの部族に従ってこの土地を分配するべきである。²²
あなたたちはそれを自分たちのため、またあなたたちの間に住む外国人のために相続財産として割り当てるべきである。彼らを生まれながらのイスラエル人と見なし、イスラエルの部族の間であなたたちと共に相続財産を分け与えるべきである。²³
外国人が住む部族の中で、彼らに相続財産を与えるべきである」と主なる神は宣言される。

48 「これが部族の名前である。北の端、ヘスロンからレボ・ハマテへの道に沿って、ダマスカスの境界にあるハツアル・エナンまで、北にハマテの隣接地まで、東から西へと広がる、ダンが一つの割り当てを持つ。²
「ダンの領地の隣、東から西へ、アシェルが一つの割り当てを持つ。³
「アシェルの領地の隣、東から西へ、ナフタリが一つの割り当てを持つ。⁴
「ナフタリの領地の隣、東から西へ、マナセが一つの割り当てを持つ。⁵
「マナセの領地の隣、東から西へ、エフライムが一つの割り当てを持つ。⁶
「エフライムの領地の隣、東から西へ、ルベンが一つの割り当てを持つ。⁷
「ルベンの領地の隣、東から西へ、ユダが一つの割り当てを持つ。⁸
「ユダの領地の隣、東から西へ、あなたが特別に設ける部分があり、幅は二万五千キュビトで、その長

エゼキエル書

さは部族の割り当ての一つのように東から西へと広がる。聖所はその中央にある。⁹

「あなたが主に捧げる部分は、長さ二万五千キュビト、幅一万キュビトである。¹⁰

「この聖なる部分は祭司のためのもので、北側は長さ二万五千キュビト、西側は幅一万キュビト、東側は幅一万キュビト、南側は長さ二万五千キュビトである。主の聖所はその中央にある。¹¹

「それは、私の命令を守り、イスラエルの子らが迷ったときにレビ人のように迷わなかった、ザドクの子らである聖別された祭司たちのためのものである。¹²

「それは、レビ人の境界に隣接する、土地の聖なる部分からの特別な贈り物であり、最も聖なる部分である。¹³

「祭司たちの境界に沿って、レビ人は長さ二万五千キュビト、幅一万キュビトの割り当てを持つ。全長は二万五千キュビト、幅は一万キュビトである。¹⁴

「彼らはそれを売ったり交換したりしてはならず、この選ばれた土地の部分を他の手に渡してはならない。それは主に聖なるものであるからだ。¹⁵

「残りの地域、幅五千キュビト、長さ二万五千キュビトは、都市のための共用地であり、家や牧草地のためである。都市はその中央にある。¹⁶

「これがその測定である。北側、四千五百キュビト。南側、四千五百キュビト。東側、四千五百キュビト。西側、四千五百キュビト。¹⁷

「都市は開けた場所を持つ。北側、二百五十キュビト。南側、二百五十キュビト。東側、二百五十キュビト。西側、二百五十キュビト。¹⁸

「聖なる部分に沿った残りの長さは、東に一万キュビト、西に一万キュビトである。その産物は都市の労働者の食料を供給する。¹⁹

「都市の労働者は、イスラエルのすべての部族から選ばれた者たちで、それに従事する。²⁰

「全体の部分は、二万五千キュビト四方の正方形である。あなたは聖なる部分を、都市の財産と共に特別に設ける。²¹

「残りは、聖なる部分と都市の財産の両側に、君主のものである。聖なる部分の二万五千キュビトから東の境界まで、また二万五千キュビトから西の境界まで、部族の割り当てに沿って広がる。聖なる部分と家の聖所はその中央にある。²²

「レビ人の財産と都市の財産を除いて、君主に属するものの中央にあるものはすべて、ユダの境界とベニヤミンの境界の間にある。²³

「残りの部族のために、東側から西側まで、ベニヤミンが一つの割り当てを持つ。²⁴

「ベニヤミンの領地の隣、東から西へ、シメオンが一つの割り当てを持つ。²⁵

「シメオンの領地の隣、東から西へ、イッサカルが一つの割り当てを持つ。²⁶

「イッサカルの領地の隣、東から西へ、ゼブルンが一つの割り当てを持つ。²⁷

「ゼブルンの領地の隣、東から西へ、ガドが一つの割り当てを持つ。²⁸

「そしてガドの領地の隣、南の境界はタマルから南に向かい、メリバ・カデシュの水まで、エジプトのワジに沿って大海まで伸びる。²⁹

「これがイスラエルの部族に相続地として割り当てる土地であり、これが彼らの割り当てである」と主なる神は宣言する。³⁰

「これが都市の出口である。北側、測定によって四千五百キュビト。³¹

「都市の門はイスラエルの部族にちなんだ名付けられる。北側の三つの門は、ルベンの門、ユダの門、レビの門である。³²

「東側、四千五百キュビトには三つの門がある。ヨセフの門、ベニヤミンの門、ダンの門である。³³

「南側、測定によって四千五百キュビトには三つの門がある。シメオンの門、イッサカル、ゼブルンの門である。³⁴

「西側、四千五百キュビトには三つの門がある。ガドの門、アシエル、ナフタリの門である。³⁵

「都市は周囲一万八千キュビトである。その時から都市の名前は『主がそこにおられる』となる。」

ダニエル書

1 ユダの王エホヤキムの治世の三年目に、バビロンの王ネブカドネザルがエルサレムに来て、それを包囲した。 2

主はユダの王エホヤキムと神の家の一部の器具を彼の手に渡された。彼はこれらをシナルの地に持ち帰り、自分の神の家に置き、その神の宝庫に収めた。 3

それから王は自分の役人の長アシュベナズに命じて、イスラエルの子孫の中から、王族や貴族の一部を連れて来させた。 4

身体に欠陥がなく、容姿が美しく、あらゆる知恵に通じ、知識に富み、理解力があり、王の宮廷で仕えるのに適した若者たちである。彼らにカルデア人の文学と言語を教えることになっていた。 5

王は彼らに王の選んだ食物と酒を毎日割り当てた。彼らは三年間教育を受け、その後、王の奉仕に就くことになっていた。 6

その中にはユダの子孫のダニエル、ハナニヤ、ミシャエル、アザリヤがいた。 7

役人の長は彼らに新しい名前を与えた。ダニエルにはベルテシャザル、ハナニヤにはシャデラク、ミシャエルにはメシャク、アザリヤにはアベデネゴと名付けた。 8

しかしダニエルは、王の選んだ食物や酒で自分を汚すことを決心せず、役人の長に自分をそのように汚さないように許可を求めた。 9

すると神はダニエルに役人の長の前で好意と慈悲を授けた。 10

役人の長はダニエルに言った、「私は私の主である王を恐れています。彼はあなたの食物と飲み物を割り当てました。なぜあなたが同年代の他の若者たちよりも見劣りするのを見せるのでしょうか？王はあなたのために私の首をはねるでしょう。」 11

ダニエルは、役人の長がダニエル、ハナニヤ、ミシャエル、アザリヤに任命した監視人に言った、 12
「どうかあなたの僕たちを十日間試してください。私たちには野菜だけを食べさせ、水を飲ませてください。」 13

その後、私たちの顔色を、王の選んだ食物を食べる若者たちの顔色と比べて、あなたが見た通りに僕たちを扱ってください。」 14

それで彼はこれに同意し、十日間彼らを試した。 15
十日が終わったとき、彼らは王の選んだ食物を食べたどの若者よりも健康で栄養が良いように見えた。 16

それで監視人は彼らの選んだ食物と酒を与えるのをやめ、代わりに野菜を与え続けた。 17

この四人の若者に、神はあらゆる文学と学問における知識と理解を与えた。また、ダニエルはあらゆる

種類の幻と夢を理解した。 18

王が彼らを奉仕に連れて行くために定めた時が終わったとき、役人の長は彼らをネブカドネザルの前に連れて行った。 19

王は彼らと話し、彼らの中でダニエル、ハナニヤ、ミシャエル、アザリヤのような者は誰も見つからなかった。それで彼らは王の奉仕に就いた。 20

王が彼らに尋ねたあらゆる知恵と理解の問題において、彼は彼らが王国全体のすべての魔術師や呪術師よりも十倍優れていると見出した。 21

そしてダニエルはキュロス王の治世の初年までそこに留まった。

2 ネブカドネザル王の治世の第二年に、彼は夢を見て、その霊が悩まされ、眠ることができなかった。 2

王は魔術師、呪術師、占い師、星占い師を召集して、自分の夢を告げさせるよう命じた。彼らは来て、王の前に立った。 3

彼は彼らに言った、「私は夢を見たが、それが私を悩ませているので、それを理解したい。」 4

星占い師たちはアラム語で王に言った、「王よ、永遠に生きられますように！あなたのしもべたちに夢を告げてください、そうすれば私たちはそれを解釈します。」 5

王は星占い師たちに答えた、「私の決定は確固たるものだ。もしあなたがたが夢とその解釈を告げないなら、あなたがたは手足を引き裂かれ、あなたがたの家は廃墟となるだろう。」 6

しかし、もし夢とその意味を明らかにするなら、あなたがたは私から贈り物、報酬、そして大いなる榮譽を受けるだろう。だから、夢とその解釈を告げなさい。」 7

彼らは再び答えた、「王がそのしもべたちに夢を告げてくだされば、私たちはそれを解釈します。」 8

王は答えた、「あなたがたが時間を稼ごうとしているのは確かだ。私の決定が確固たるものであることを見ているからだ。」 9

もし夢を私に告げないなら、あなたがたにはただ一つの判決がある。あなたがたは状況が変わるまで私の前で誤解を招く言葉話すことを企んでいる。だから、夢を告げなさい、そうすればあなたがたがそれを解釈できることがわかる。」 10

星占い師たちは王に答えた、「地上には王が求めることをできる者はいません。偉大な王や支配者が魔術師、呪術師、星占い師にそのようなことを要求したことはありません。」 11

王が求めることは難しすぎます。それを王に明らかにできるのは神々だけであり、彼らは人間の間に住んでいません。」 12

ダニエル書

この答えに王は非常に怒り、激怒し、バビロンのすべての賢者を処刑するよう命じた。¹³

それで、賢者たちを死刑にする命令が出され、ダニエルとその仲間たちも処刑されることになった。¹⁴

その時、ダニエルはバビロンの賢者たちを処刑しに来た王の護衛隊長アリオクに知恵と慎重さをもって話した。¹⁵

彼は王の役人アリオクに尋ねた、「なぜ王の命令はこんなにも厳しいのですか？」アリオクはダニエルに状況を説明した。¹⁶

これを聞いて、ダニエルは王のもとに行き、夢を解釈するための時間を求めた。¹⁷

ダニエルは家に戻り、友人のハナニヤ、ミシャエル、アザリヤにこの件を知らせた。¹⁸

彼らに、この謎について天の神の慈悲を求めるよう促し、彼とその友人たちがバビロンの他の賢者たちと共に滅びないようにした。¹⁹

夜の幻の中で、その謎がダニエルに明らかにされた。ダニエルは天の神を賛美し²⁰

言った、「神の名は永遠に祝福されますように、知恵と力は彼に属します。²¹

彼は時と季節を変え、王を取り除き、立てる。彼は賢者に知恵を与え、理解する者に知識を与える。²² 彼は深遠で隠されたことを明らかにし、暗闇にあるものを知り、光は彼と共にある。²³

私の先祖の神よ、あなたに感謝し賛美します。あなたは私に知恵と力を与え、私たちが求めたことを明らかにし、王のことを私たちに知らせてくださいました。」²⁴

それからダニエルは、王がバビロンの賢者たちを処刑するように任命したアリオクのもとに行き、「バビロンの賢者たちを処刑しないでください。私を王のもとに連れて行ってください、そうすれば彼の夢を解釈します。」と言った。²⁵

アリオクは急いでダニエルを王の前に連れて行き、「ユダからの捕囚の中に、王の夢を説明できる者を見つけました。」と言った。²⁶

王はダニエル、別名ベルテシャツアルに尋ねた、「あなたは私が夢で見たことを告げ、それを解釈できるのか？」²⁷

ダニエルは王に答えた、「賢者、呪術師、魔術師、占い師は、王が尋ねた謎を説明できません。²⁸ しかし、天には謎を明らかにする神がおられます。彼はネブカドネザル王に後の日に何が起こるかを示しました。あなたの夢と、寝床で心を過ぎった幻はこれです。²⁹

王よ、あなたがそこに横たわっている間、あなたの心は来るべきことに向かい、謎を明らかにする者があなたに何が起こるかを示しました。³⁰

私について言えば、この謎が私に明らかにされたのは、私が他の誰よりも知恵があるからではなく、王がその解釈を知り、心の思いを理解するためです。³¹

王よ、あなたが見たのは、そこに立つ大きな像です。巨大で輝かしい像で、見た目に印象的でした。³²

その像の頭は純金でできており、その胸と腕は銀、その腹と腿は青銅、³³

その脚は鉄、その足は鉄と粘土の混合物でした。³⁴

あなたが見ている間に、人の手によらずに切り出された石が像の鉄と粘土の足を打ち砕きました。³⁵

すると、鉄、粘土、青銅、銀、金はすべて粉々になり、夏の脱穀場のみみ殻のようになりました。風がそれらを跡形もなく吹き去りました。しかし、像を打った石は大きな山となり、全地を満たしました。³⁶

これが夢であり、今、私たちはそれを王に説明します。³⁷

王よ、あなたは王の中の王です。天の神はあなたに支配、力、強さ、栄光を与えました。³⁸

彼はすべての人々、野の獣、空の鳥をあなたの権威の下に置きました。彼らがどこに住んでいても、彼はあなたをそれらすべての支配者とししました。あなたがその金の頭です。³⁹

あなたの後に、あなたのものより劣る別の王国が起ります。それから、第三の王国、青銅のものが全地を支配します。⁴⁰

最後に、鉄のように強い第四の王国が現れます。鉄はすべてを打ち砕き、粉砕します。そして鉄がすべてのものを粉砕するように、それは他のすべてを粉砕し、打ち砕きます。⁴¹

あなたが見たように、足とつま先が部分的に粘土で部分的に鉄でできていたように、これは分裂した王国でありながら、その中に鉄の強さの一部を持っています。⁴²

つま先が部分的に鉄で部分的に粘土であったように、この王国は部分的に強く、部分的に脆いでしょう。⁴³

鉄と粘土が混ざり合っているのを見たように、人々も混合され、一つにまとめることはありません。鉄が粘土と混ざり合わないのと同じです。⁴⁴

その王たちの治世の間に、天の神は決して滅びない王国を立て、他の民に渡されることもありません。それはすべての王国を打ち砕き、終わらせませんが、それ自体は永遠に続きます。⁴⁵

これは、人の手によらずに山から切り出された石の幻の意味です。鉄、青銅、粘土、銀、金を粉々にした石です。偉大な神は王に将来何が起こるかを示しました。夢は真実であり、その解釈は確実です。」

ダニエル書

46

すると、ネブカドネザル王はダニエルの前にひれ伏し、彼を称え、供え物と香を彼に捧げるよう命じた。⁴⁷

王はダニエルに言った、「本当に、あなたの神は神々の神であり、王たちの主であり、謎を明らかにする者だ。あなたがこの謎を明らかにすることができたからだ。」⁴⁸

それから王はダニエルを昇進させ、多くの偉大な贈り物を与えた。彼をバビロン全州の支配者とし、そのすべての賢者の長に任命した。⁴⁹

さらに、ダニエルの要請で、王はシャデラク、メシヤク、アベデネゴをバビロン州の行政官に任命し、ダニエルは王宮に留まった。

3 ネブカデネザル王は、高さ六十キュビト、幅六キュビトの金の像を造り、バビロン州のデュラの平野に立てた。²

王は、総督、知事、長官、相談役、会計官、裁判官、官吏、およびすべての州の役人と呼ばれる、彼が立てた像の奉獻式に参加させた。³

それで、総督、知事、長官、相談役、会計官、裁判官、官吏、およびすべての州の役人が、ネブカデネザル王が立てた像の奉獻式に集まり、その前に立った。⁴

伝令が大声で宣言した。「諸民族、諸国民、諸言語の人々よ、あなたがたに命じられる。⁵

角笛、笛、琴、三角琴、堅琴、風笛、その他すべての楽器の音を聞くとき、ひれ伏してネブカデネザル王が立てた金の像を拝まなければならない。⁶

ひれ伏して拝まない者は、直ちに燃え盛る炉の中に投げ込まれる。」⁷

それゆえ、すべての民族が角笛、笛、琴、三角琴、堅琴、風笛、その他すべての楽器の音を聞くと、すべての民族、諸国民、諸言語の人々はひれ伏して、ネブカデネザル王が立てた金の像を拝んだ。⁸

その時、あるカルデヤ人たちが進み出て、ユダヤ人を訴えた。⁹

彼らはネブカデネザル王に言った。「王よ、永遠に生きられますように。¹⁰

王よ、あなたは、角笛、笛、琴、三角琴、堅琴、風笛、その他すべての楽器の音を聞く者は皆、ひれ伏して金の像を拝まなければならないと命じました。¹¹

ひれ伏して拝まない者は、燃え盛る炉の中に投げ込まれると。¹²

バビロン州の事務を任命されたユダヤ人、すなわちシャデラク、メシヤク、アベデネゴがいますが、彼らは王に従わず、あなたの神々に仕えず、あなたが立てた金の像を拝んでいません。」¹³

ネブカデネザルは激怒し、シャデラク、メシヤク、アベデネゴを連れて来るよう命じた。¹⁴

ネブカデネザルは彼らに言った。「シャデラク、メシヤク、アベデネゴよ、あなたがたが私の神々に仕えず、私が立てた金の像を拝まないというのは本当か？」¹⁵

今、もしあなたがたが準備ができているなら、角笛、笛、琴、三角琴、堅琴、風笛、その他すべての楽器の音を聞くとき、ひれ伏して私が作った像を拝むがよい。しかし、もし拝まないなら、直ちに燃え盛る炉の中に投げ込まれる。そして、どの神が私の手からあなたがたを救い出せるだろうか？」¹⁶

シャデラク、メシヤク、アベデネゴは王に答えた。「ネブカデネザルよ、この件について私たちは自分を弁護する必要はありません。¹⁷

もし私たちが燃え盛る炉の中に投げ込まれるなら、私たちが仕える神はそこから私たちを救い出すことができます。王よ、あなたの手から私たちを救い出されます。¹⁸

しかし、たとえそうでなくても、王よ、私たちはあなたの神々に仕えず、あなたが立てた金の像を拝まないことを知ってください。」¹⁹

すると、ネブカデネザルは激怒し、シャデラク、メシヤク、アベデネゴに対する顔つきが変わった。彼は炉を通常より七倍熱くするよう命じた。²⁰

彼は軍隊の中で最も強い兵士たちに命じて、シャデラク、メシヤク、アベデネゴを縛り、燃え盛る炉の中に投げ込ませた。²¹

それで、これらの男たちはズボン、上着、帽子、その他の衣服を着たまま縛られ、燃え盛る炉の中に投げ込まれた。²²

王の命令が厳しく、炉が非常に熱かったので、シャデラク、メシヤク、アベデネゴを連れて行った兵士たちは火の炎に焼き殺された。²³

そして、この三人の男、シャデラク、メシヤク、アベデネゴは縛られたまま燃え盛る炉の中に落ちた。²⁴

すると、ネブカデネザル王は驚き、急いで立ち上がった。彼は相談役たちに尋ねた。「私たちは縛られた三人の男を火の中に投げ込まなかったか？」彼らは答えた。「確かに、王よ。」²⁵

彼は言った。「見よ！私は四人の男が縛られていないで火の中を歩いているのを見ている。彼らは無傷で、第四の者の姿は神の子のようだ。」²⁶

ネブカデネザルは燃え盛る炉の開口部に近づき、呼びかけた。「シャデラク、メシヤク、アベデネゴ、いと高き神の僕たちよ、出て来てここに来なさい！」それで、シャデラク、メシヤク、アベデネゴは火の中から出て来た。²⁷

ダニエル書

総督、知事、長官、および王の相談役たちは集まり、火がこれらの男たちの体に何の影響も与えなかったのを見た。彼らの頭の髪の毛一本も焼けず、ズボンも焦げず、火の臭いもなかった。²⁸
ネブカデネザルは宣言した。「シャデラク、メシャク、アベデネゴの神は祝福されるべきである。彼は彼の天使を送り、彼を信頼した僕たちを救い出された。彼らは王の命令を無視し、自分たちの神以外のどんな神にも仕えたり拝んだりするよりも命を捨てることを選んだ。²⁹
それゆえ、私は命じる。シャデラク、メシャク、アベデネゴの神に対して何かを言う者は、どの民族、国民、言語であっても、その者は身体を引き裂かれ、その家は廃墟とされる。なぜなら、このように救うことのできる他の神はいないからである。」³⁰
こうして、王はシャデラク、メシャク、アベデネゴをバビロン州で高い地位に昇進させた。

4 ネブカデネザル王から、地上に住むすべての民、国、言語の人々へ：あなたがたの平和が豊かでありますように！²
私は、いと高き神が私のために成し遂げられたしるしと不思議を語ることを喜びとしています。³
そのしるしはなんと偉大であり、その不思議はなんと力強いことでしょう！その王国は永遠の王国であり、その支配は世々にわたって続きます。⁴
私、ネブカデネザルは、自分の家で安らかに過ごし、宮殿で繁栄していました。⁵
私は夢を見て、それに驚かされました。寝床で見た幻が私を恐れさせました。⁶
それゆえ、私はバビロンのすべての賢者を呼び寄せて、その夢を解釈させるように命じました。⁷
すると、魔術師、呪文師、カルデア人、占い師たちがやって来て、私は彼らに夢を語りましたが、彼らはその解釈を私に示すことができませんでした。⁸
最後に、ダニエルが私の前に来ました。彼の名は、私の神の名にちなんでベルテシャザルと呼ばれ、彼の中には聖なる神々の霊が宿っています。私は彼に夢を語りました。⁹
「魔術師の長ベルテシャザルよ、私はあなたの中に聖なる神々の霊が宿っており、どんな秘密もあなたにとって難しくないことを知っています。これが私が見た夢です。どうかその解釈を教えてください。¹⁰
私が寝床で見た幻は次のとおりです。私は見ていると、地の中央に一本の木があり、その高さは非常に高かった。¹¹
その木は成長して強くなり、その高さは天に達し、地の果てまで見渡せました。¹²
その葉は美しく、その実は豊かで、すべての者の食

物がありました。野の獣はその下で影を見つけ、空の鳥はその枝に住み、すべての生き物がそこから養われました。¹³
私が寝床で見た幻の中で、私は天から降りてくる一人の見張り人、聖なる者を見ました。¹⁴
彼は大声で叫び、こう言いました。「その木を切り倒し、その枝を切り払い、その葉を剥ぎ取り、その実を散らせ。獣をその下から逃げさせ、鳥をその枝から追い払え。¹⁵
しかし、その切り株を地に残し、鉄と青銅の帯で縛り、野の柔らかい草の中に置け。彼を天の露で濡らし、彼の分を地の草の中の獣と共にさせよ。¹⁶
彼の心を人のものから変え、獣の心を彼に与えよ。七つの時が彼の上を過ぎるまで。¹⁷
この事を見張り人の命令によるものであり、聖なる者たちの言葉による要求である。これは生ける者が、いと高き方が人間の王国を支配し、彼の望む者にそれを与え、最も卑しい者をその上に立てることを知るためである。」¹⁸
この夢を私は、ネブカデネザル王が見ました。今、ベルテシャザルよ、その解釈を告げよ。私の王国のすべての賢者たちは私にその解釈を知らせることができないが、あなたはできる。あなたの中に聖なる神々の霊が宿っているからだ。」¹⁹
すると、ベルテシャザルと呼ばれるダニエルはしばらくの間驚き、彼の思いは彼を悩ませました。王は語り、言いました。「ベルテシャザルよ、その夢やその解釈があなたを悩ませないように。」ベルテシャザルは答えました。「主よ、その夢があなたの敵に当てはまり、その解釈があなたの敵に当てはまりますように！²⁰
あなたが見た木は、成長して強くなり、天に達し、地の果てまで見渡せるものでした。²¹
その葉は美しく、その実は豊かで、すべての者の食物があり、その下で野の獣が住み、その枝に空の鳥が住んでいました。²²
それはあなたです、王よ。あなたは成長して強くなり、あなたの偉大さは天に達し、あなたの支配は地の果てに及びます。²³
そして、王が見たように、天から降りてきた一人の見張り人、聖なる者が言いました。「その木を切り倒し、それを滅ぼせ。しかし、その切り株を地に残し、鉄と青銅の帯で縛り、野の柔らかい草の中に置け。彼を天の露で濡らし、彼の分を野の獣と共にさせよ。七つの時が彼の上を過ぎるまで。」²⁴
これがその解釈です、王よ。そしてこれは、いと高き方が私の主、王に下した命令です。²⁵
あなたは人々の中から追い出され、あなたの住まいは野の獣と共にあるでしょう。あなたは牛のように

ダニエル書

草を食べさせられ、天の露で濡れ、七つの時があなたの上を過ぎるでしょう。あなたが、いと高き方が人間の王国を支配し、彼の望む者にそれを与えることを知るまで。²⁶

そして、彼らがその切り株を地に残すように命じたことにより、あなたの王国はあなたに確保されるでしょう。あなたが天が支配することを知った後で。²⁷

それゆえ、王よ、私の助言を受け入れてください。義を行うことによってあなたの罪を断ち切り、貧しい者に慈悲を示すことによってあなたの不義を断ち切ってください。そうすれば、あなたの平穩が長く続くかもしれません。」²⁸

これらすべてのことがネブカデネザル王に降りかかりました。²⁹

一年後、彼はバビロンの王宮の屋上を歩いていました。³⁰

王は言いました。「これは私の力強い力によって建てられ、私の威厳の榮譽のために建てられた大バビロンではないか？」³¹

その言葉が王の口にある間に、天から声が降りました。「ネブカデネザル王よ、あなたに告げられる。王国はあなたから去った。」³²

あなたは人々の中から追い出され、あなたの住まいは野の獣と共にあるでしょう。あなたは牛のように草を食べ、七つの時があなたの上を過ぎるでしょう。あなたが、いと高き方が人間の王国を支配し、彼の望む者にそれを与えることを知るまで。」³³

すぐにネブカデネザルについての言葉が成就しました。彼は人々の中から追い出され、牛のように草を食べ、彼の体は天の露で濡れ、彼の髪は鷲の羽のように長くなり、彼の爪は鳥の爪のようになりました。³⁴

その日々の終わりに、私はネブカデネザルが天を見上げ、私の理解が戻り、いと高き方を祝福し、永遠に生きる方を賛美し、尊敬しました。彼の支配は永遠の支配であり、彼の王国は世々にわたって続きます。³⁵

地上のすべての住民は無に等しいとされます。彼は天の軍勢の中で、また地上の住民の中で彼の意志を行います。誰も彼の手を止めることはできず、彼に「何をしたのか」と言うことはできません。」³⁶

同時に私の理性が戻り、私の王国の栄光のために、私の名誉と輝きが戻りました。私の顧問たちと貴族たちは私を探し求め、私は私の王国に復帰し、優れた威厳が私に加えられました。³⁷

今や私はネブカデネザルが天の王を賛美し、称え、尊敬します。彼のすべての業は真実であり、彼の道

は正義です。そして、高慢に歩む者を彼は卑しめることができます。

5 ベルシャツアル王は千人の貴族のために盛大な宴会を開き、彼らの前で酒を飲んだ。²

ベルシャツアルは酒を味わっている間に、父ネブカドネザルがエルサレムの神殿から持ち帰った金と銀の器を持ってくるよう命じた。王と貴族たち、妃たち、側女たちがそれで酒を飲むためであった。³

こうして、エルサレムの神の神殿から持ち帰られた金の器が運ばれ、王と貴族たち、妃たち、側女たちがそれで酒を飲んだ。⁴

彼らが酒を飲みながら、金、銀、青銅、鉄、木、石の神々を賛美した。⁵

突然、人間の手の指が現れ、王の宮殿の燭台の近くの壁の漆喰に書き始めた。王はその手が書くのを見た。⁶

王の顔色は青ざめ、彼の思いは彼を恐れさせた。彼の脚は震え、膝は互いに打ち鳴らした。⁷

王は呪術師、カルデヤ人、占い師を呼び入れるよう命じた。彼はバビロンの賢者たちに宣言した、「この書かれたものを読み、その意味を説明する者には、紫の衣を着せ、首に金の鎖をかけ、王国で第三の権力者とする。」⁸

すると、すべての王の賢者たちが入ってきたが、彼らはその書かれたものを読むことも、王にその意味を説明することもできなかった。⁹

これにより、ベルシャツアル王はさらに恐れ、彼の顔色はさらに青ざめた。貴族たちは困惑した。¹⁰

王と貴族たちの言葉のために、王妃が宴会の間に入ってきた。彼女は言った、「王よ、永遠に生きよ！あなたの思いを恐れさせたり、顔色を青ざめさせたりしないでください。」¹¹

あなたの王国には、聖なる神々の霊を持つ人がいます。あなたの父の時代に、彼は神々のような光明、洞察、知恵を持つことが見出されました。あなたの父ネブカドネザル王は、彼を魔術師、呪術師、カルデヤ人、占い師の長に任命しました。¹²

これは、王がベルトシャツアルと名付けたダニエルが、並外れた霊、知識、洞察、夢を解釈する能力、謎を説明し、難しい問題を解決する能力を持っていることが見出されたからです。ダニエルを呼びなさい、彼がその解釈を明らかにするでしょう。」¹³

そこでダニエルが王の前に連れて来られ、王は彼に言った、「あなたはユダから私の父王が連れて来たユダの捕囚の一人、ダニエルですか？」¹⁴

神々の霊があなたの中にあり、光明、洞察、並外れた知恵を持っていると聞いています。¹⁵

賢者たちと呪術師たちが私の前に連れて来られ、こ

ダニエル書

の書かれたものを読み、その意味を教えてくださいました。彼らはそれを説明できませんでした。

しかし、あなたが解釈を与え、難しい問題を解決できると聞いています。この書かれたものを読み、その意味を教えてくださいながら、紫の衣を着せ、首に金の鎖をかけ、王国で第三の権力者とするでしょう。

するとダニエルは王に答えた、「あなたの贈り物はあなた自身のために保つか、他の誰かに与えることができます。それにもかかわらず、私は王のためにその書かれたものを読み、その意味を教えます。王よ、至高の神はあなたの父ネブカドネザルに主権、偉大さ、栄光、威厳を授けました。

彼に与えられた偉大さのために、すべての民、国、あらゆる言語の人々が彼を恐れ、畏れました。彼が望む者を殺し、望む者を生かし、望む者を昇進させ、望む者を卑しめました。しかし、彼の心が高慢になり、彼の霊が誇りで固くなったとき、彼は王座から退けられ、栄光を奪われました。

彼は人々から追い出され、動物の心を与えられ、野生のロバと共に住み、牛のように草を食べ、彼の体は天の露で濡れました。至高の神が人間の王国を支配し、彼が望む者をその上に立てることを認めるまで。

しかし、あなた、彼の息子ベルシャツアルは、これらすべてを知っていながら、心を低くしませんでした。

むしろ、あなたは天の主に逆らいました。あなたは彼の神殿からの器を持って来させ、あなたと貴族たち、妃たち、側女たちがそれで酒を飲みました。あなたは見ることも聞くことも理解することもできない銀と金、青銅、鉄、木、石の神々を賛美しました。しかし、あなたの命とすべての道をその手に持っている神を敬いませんでした。

それゆえ、彼はそのメッセージを刻む手を送ったのです。

ここに刻まれたメッセージがあります：メネ、メネ、テケル、パルシン。

これらの言葉の意味は次のとおりです：メネ：神はあなたの王国の日数を数え、それを終わらせました。

テケル：あなたは天秤で計られ、欠けていると見なされました。

ペレス：あなたの王国は分割され、メディア人とペルシャ人に渡されました。

ベルシャツアルの命令に従い、ダニエルは紫の衣を着せられ、首に金の鎖をかけられ、王国で第三の権

力者と宣言されました。

その夜、カルデヤの王ベルシャツアルはその終わりを迎えました。

そして、メディア人のダリウスが、62歳で王国を掌握しました。

6 ダリウスは、王国全体にわたって120人の総督を任命することを喜びとした。

そして、その上に3人の大臣を置き、そのうちの1人はダニエルであった。総督たちが彼らに報告し、王が損害を被らないようにするためである。ダニエルは卓越した霊により、大臣や総督たちの中で際立っており、王は彼を王国全体の上に置くことを計画した。

これを受けて、大臣や総督たちはダニエルに対して王国に関する告発の理由を見つけようとしたが、彼には腐敗や怠慢が見当たらなかった。彼は信頼できる人物であったからである。

ついに、これらの者たちは言った。「我々はこのダニエルに対して、彼の神の律法に関連すること以外に告発の理由を見つけることはできないだろう。」

そこで、大臣や総督たちは一団となって王のもとに行き、言った。「ダリウス王よ、永遠に生きられましように。

王の大臣、総督、助言者、知事たちは皆、王が布告を立て、30日間、あなた以外のいかなる神や人間にも祈る者はライオンの穴に投げ込まれるという法令を施行することに同意しました。

今、王よ、その布告を発し、メディア人とペルシャ人の法に従って、それが取り消されないように署名してください。」

こうして、ダリウス王はその書かれた布告に署名した。

ダニエルはその布告に署名されたことを知ると、自分の方に行き、エルサレムに向かって開かれた上階の窓のところで、以前と同様に日に三度ひざまずき、彼の神に祈り、感謝を捧げた。

すると、これらの者たちは一団となって来て、ダニエルが彼の神に祈り、恵みを求めているのを見つけた。

そこで彼らは王のもとに行き、王の布告について話した。「王よ、あなた以外のいかなる神や人間にも30日間祈る者はライオンの穴に投げ込まれるという法令に署名しませんでしたか？」王は答えた。「その布告はメディア人とペルシャ人の法に従って、取り消すことはできない。」

それから彼らは王に言った。「ユダからの捕囚の一人であるダニエルは、王よ、あなたにも、あなたが署名した布告にも注意を払わず、日に三度祈り続け

ダニエル書

ています。」¹⁴
王はこれを聞くと非常に悩み、ダニエルを救おうと心を尽くし、日没まで彼を助けようと努力した。¹⁵
その時、これらの者たちは一団となって王のもとに来て言った。「王よ、メディア人とベルシャ人の法によれば、王が立てた布告や法令は変えることができないことを覚えてください。」¹⁶
そこで王は命じ、ダニエルが連れて来られ、ライオンの穴に投げ込まれた。王はダニエルに言った。「あなたが常に仕えているあなたの神が、あなたを救ってくださるように！」¹⁷
石が持ち込まれ、穴の口に置かれ、王は自分の印章と貴族たちの印章でそれを封じ、ダニエルに関して何も変わらないようにした。¹⁸
王は宮殿に戻り、一晚中断食し、娯楽を拒み、眠ることもできなかった。¹⁹
夜明けに、王は起きて急いでライオンの穴に行った。²⁰
彼が穴に近づくと、悲痛な声で叫んだ。「生ける神のしもべダニエルよ、あなたが常に仕えているあなたの神は、ライオンからあなたを救うことができたのか？」²¹
ダニエルは王に答えた。「王よ、永遠に生きられますように！」²²
私の神は御使いを送り、ライオンの口を閉じさせたので、彼らは私を害しませんでした。私は神の前に潔白であると認められたからです。また、王よ、私はあなたの前でも何も悪いことをしていません。」²³
王は非常に喜び、ダニエルを穴から引き上げるよう命じた。そして、彼が神を信頼していたため、彼には何の傷も見つからなかった。²⁴
王の命令で、ダニエルを悪意を持って告発した者たちが連れて来られ、彼らの子供や妻と共にライオンの穴に投げ込まれた。そして、彼らが穴の底に達する前に、ライオンは彼らを圧倒し、骨をすべて砕いた。²⁵
その後、ダリヨス王は地上に住むすべての民、国、言語に書き送った。「あなたがたの平和が増し加わりますように！」²⁶
私は私の王国のすべての領域で、人々がダニエルの神の前に恐れおののくようにとの布告を出します。彼は生ける神であり、永遠に続く。彼の王国は滅ぼされることなく、彼の支配は終わりが無い。²⁷
彼は救い出し、救い、天と地でしるしと奇跡を行われる。彼はダニエルをライオンの力から救い出された。」²⁸
こうして、ダニエルはダリヨスの治世とベルシャ人のキュロスの治世に栄えた。

7 バビロンの王ベルシャツアルの第一年に、ダニエルは床に就いているときに夢と心の中の幻を経験しました。彼はその夢の要点を記録しました。²
ダニエルは宣言しました、「夜の幻の中で、私は天の四つの風が大海をかき立てるのを見ました。³
四つの強力な獣が海から現れ、それぞれが他のものとは異なっていました。⁴
最初の獣はライオンのようで、鷲の翼を持っていました。私はその翼が取り去られるまで見ていました。そしてそれは地面から持ち上げられ、人のように二本の足で立ち、人間の心が与えられました。⁵
次に、私はクマに似た第二の獣を見ました。それは片側を持ち上げられ、口の中に三本の肋骨を歯の間に持っていました。それは命じられました、『立ち上がり、多くの肉を食べ尽くせ！』⁶
その後、私は見続け、別の獣が現れました。それはヒョウのようで、背中に鳥のような四つの翼を持っていました。この獣は四つの頭を持ち、支配権が与えられました。⁷
夜の幻の中で、私は次に第四の獣を見ました。それは恐ろしい、恐るべき、非常に強力なものでした。それは大きな鉄の歯を持ち、残ったものを食い尽くし、砕き、踏みにじりました。それは前のすべての獣とは異なり、十本の角を持っていました。⁸
角を考えている間に、もう一つの小さな角がそれらの間から現れ、以前の三つの角がその前で引き抜かれました。この角は人間の目のような目と、傲慢に話す口を持っていました。⁹
私が見ていると、王座が設けられ、古の者が座につきました。彼の衣は雪のように白く、彼の頭の髪は純粋な羊毛のようでした。彼の王座は炎で燃え盛り、その車輪は燃える火でした。¹⁰
火の川が彼の前から流れ出ていました。何千もの者が彼に仕え、何万もの者が彼の前に立っていました。裁きの座が設けられ、書物が開かれました。¹¹
私はその角が話している傲慢な言葉のために観察を続けました。私はその獣が殺され、その体が破壊され、燃え盛る火に投げ込まれるまで見ていました。¹²
他の獣については、その支配権は取り去られました。が、一定の期間生きることが許されました。¹³
夜の幻の中で、私は人の子のような者が天の雲と共に来るのを見ました。彼は古の者に近づき、その前に導かれました。¹⁴
彼には支配権、栄光、そして王国が与えられ、すべての民、国、言語が彼に仕えることになりました。彼の支配は永遠で過ぎ去ることはなく、彼の王国は決して滅びることがありません。¹⁵

ダニエル書

私は、ダニエルは、心の中で悩み、幻が私を驚かせました。¹⁶

私は立っている者の一人に近づき、これらすべての解釈を求めました。彼は説明し、これらの事柄の解釈を私に知らせてくれました。¹⁷

『四つの大きな獣は地から起こる四人の王です。¹⁸しかし、至高者の聖なる者たちは王国を受け取り、永遠に、実に永遠にそれを所有するでしょう。』¹⁹それから私は、他のすべてのものとは異なり、非常に恐ろしい第四の獣の意味を理解したいと思いました。それは鉄の歯と青銅の爪を持ち、残ったものをその足で食い尽くし、砕き、踏みにじりました。²⁰また、その頭にある十本の角と、その後に現れた他の角についても知りたかったです。その前に三つが倒れた角で、人間の目のような目と傲慢に話す口を持ち、他のものよりも威圧的に見えました。²¹私が見ていると、この角は聖なる者たちに対して戦争を仕掛け、彼らに勝っていました。²²古の者が来て、至高者の聖なる者たちに有利な裁きが下され、彼らが王国を所有する時が来るまで。²³彼は私にこの説明を与えました、『第四の獣は地上の第四の王国であり、他のすべての王国とは異なり、全地を食い尽くし、踏みにじり、砕くでしょう。²⁴

十本の角はこの王国から起こる十人の王です。その後に別の王が起こり、以前のものとは異なり、三人の王を征服するでしょう。²⁵彼は至高者に対して語り、彼の聖なる者たちを圧迫し、定められた時と法を変えようとするでしょう。聖なる者たちは、時、時々、半時の間、彼の手に渡されるでしょう。²⁶しかし、裁きの座が設けられ、彼の支配権は取り去られ、永遠に滅ぼされ、破壊されるでしょう。²⁷その後、天の下のすべての王国の主権、支配権、偉大さは、至高者の聖なる者たちの民に与えられるでしょう。彼の王国は永遠の王国であり、すべての支配者が彼に仕え、従うでしょう。』²⁸これが事の結論です。私は、ダニエルは、私の考えに非常に悩まされ、顔色が青ざめました、この事を自分の中に留めました。

8 ベルシャツアル王の治世の三年目に、以前に私に現れた幻に続いて、私ダニエルに幻が現れた。²幻の中で、私はエラム州のスサの城におり、ウライ川のほとりにいた。³私は目を上げて、川のほとりに立っている二本の角を持つ雄羊を見た。角は長かったが、一方が他方よりも長く、長い方が後に生えてきた。⁴私はその雄羊が西、北、南に向かって突進するのを

見た。どの獣もそれに立ち向かうことができず、その力から救い出す者はいなかった。それは自分の意のままに行い、大きくなった。⁵

私がこれを考えていると、西から目立つ角を持つ雄山羊が突然現れ、地面に触れることなく全地を横切った。⁶

それは、私が川のほとりに立っているのを見た二本の角を持つ雄羊に近づき、激しい力でそれを攻撃した。⁷

私はそれが雄羊を打ち、二本の角を折るのを見た。雄羊はそれに立ち向かう力がなく、雄山羊はそれを地に投げ倒し、踏みにじった。雄羊をその力から救い出す者はいなかった。⁸

雄山羊は非常に大きくなったが、その力の頂点に達したとき、大きな角が折れ、その代わりに四つの目立つ角が天の四方に向かって生えてきた。⁹

そのうちの一つから小さな角が出てきて、南、東、そして美しい地に向かって非常に大きくなった。¹⁰

それは天の軍勢にまで大きくなり、星の一部を地に投げ倒し、それらを踏みにじった。¹¹

それは主の軍の司令官と同じくらい偉大になろうとし、主から日々の犠牲を取り去り、聖所を覆した。¹²

反逆のために、軍勢と日々の犠牲がそれに引き渡された。それは真理を地に投げ倒し、行うことに成功した。¹³

そのとき、私は一人の聖なる者が話しているの聞き、別の聖なる者が尋ねた。「日々の犠牲、反逆による荒廃、聖所と軍勢の踏みにじりについての幻はいつまで続くのか？」¹⁴

彼は私に言った。「それは**2,300**の夕と朝の間続く。その後、聖所は回復される。」¹⁵

私ダニエルが幻を見て、それを理解しようとしていると、一人の人のように見える者が私の前に立っていた。¹⁶

そして、ウライからの人の声が聞こえ、「ガブリエル、この人に幻を説明せよ」と呼んでいた。¹⁷

彼が私の立っているところに近づくと、私は恐れて顔を伏せた。彼は私に言った。「人の子よ、この幻は終わりの時に関するものであることを理解せよ。」¹⁸

彼が私に話している間、私は顔を地に伏せて深い眠りに落ちたが、彼は私に触れて立ち上がらせた。¹⁹彼は言った。「私は怒りの後の時に何が起こるかを知らせる。この幻は終わりの定められた時に関するものである。²⁰

あなたが見た二本の角を持つ雄羊は、メディアとペルシャの王たちを表している。²¹

目立つ角を持つ雄山羊はギリシャの王を象徴し、そ

ダニエル書

の著名な角は最初の王である。²²
折れた角とその代わりに生えた四つの角は、その国から出てくる四つの王国を表しているが、同じ力を持たない。²³
彼らの支配の後期に、罪人たちが満ちたとき、陰しい顔をした、策略に長けた王が現れる。²⁴
彼の力は強大になるが、自分の力によるものではない。彼は驚異的な破壊を引き起こし、行うことに成功する。彼は強者と聖なる民を滅ぼす。²⁵
彼の狡猾さによって、彼は欺きを手中に収め、心の中で自らを大きくする。彼らが安全だと感じるとき、多くを滅ぼし、君主たちの君主に立ち向かう。しかし、彼は人間の力によらずに打ち砕かれる。²⁶
語られた夕と朝の幻は真実である。しかし、その幻を封じよ。それは多くの日に関するものであるから。²⁷
私ダニエルは疲れ果て、数日間病に伏した。その後、起き上がり、王の仕事に取り掛かった。私は幻に驚愕した。それは理解を超えていた。

9 メディア人のアハシュエロスの子ダリヨスの第一年、カルデヤ人の国を治める王にされた。²
その治世の第一年に、私はダニエルが、預言者エレミヤによって主の言葉として示された、エルサレムの荒廃が続く年数、すなわち七十年を書物から悟った。³
それで私は、主なる神に心を向け、祈りと願いをもって、断食し、粗布をまとい、灰をかぶって求めた。⁴
私は主なる私の神に祈り、告白して言った。「ああ、主よ、大いなる恐るべき神よ、あなたを愛し、あなたの戒めを守る者に契約と慈しみを守られる方よ、⁵
私たちは罪を犯し、悪を行い、逆らい、あなたの戒めと定めから離れました。⁶
私たちはあなたの僕である預言者たちに耳を傾けませんでした。彼らはあなたの名によって私たちの王たち、指導者たち、先祖たち、そして全地の民に語りました。⁷
「義はあなたに属し、主よ、しかし私たちにはこの日、ユダの人々、エルサレムの住民、イスラエル全体、近くにいる者も遠くにいる者も、あなたが彼らを追いやられたすべての国々で、恥があるのです。私たちがあなたに不忠実であったためです。⁸
主よ、私たちには恥があります。私たちの王たち、指導者たち、先祖たちに、私たちがあなたに罪を犯したからです。⁹
主なる私たちの神には、憐れみと赦しがあります。私たちは彼に逆らったからです。¹⁰
私たちは主なる私たちの神の声に従わず、彼の僕で

ある預言者たちを通して私たちの前に置かれた教えに従って歩みませんでした。¹¹
実に、イスラエル全体があなたの律法を犯し、あなたの声に従うことを拒み、背を向けました。それゆえ、神の僕モーセの律法に書かれた呪いと誓いの判決が私たちに降りかかりました。私たちが彼に罪を犯したからです。¹²
彼は私たちに対して、また私たちの指導者たちに対して語った言葉を確認し、大きな災いを私たちにもたらしました。天の下でエルサレムに行われたことのようなことは何も行われていません。¹³
モーセの律法に書かれているように、これらすべての災いが私たちに降りかかりましたが、私たちは罪から離れ、あなたの真理に心を向けて、主なる私たちの神の恵みを求めませんでした。¹⁴
それゆえ、主は災いを心に留め、それを私たちにもたらしました。主なる私たちの神はそのすべての行いにおいて義であられますが、私たちは彼の声に従いませんでした。¹⁵
「そして今、主なる私たちの神よ、あなたは強い手をもってあなたの民をエジプトから導き出し、今日まで続く名をあなたのために作られました。私たちは罪を犯し、悪を行いました。¹⁶
主よ、あなたのすべての義の行いに従って、あなたの怒りと憤りをあなたの都市エルサレム、あなたの聖なる山から取り去ってください。私たちの罪と私たちの先祖の不義のために、エルサレムとあなたの民は私たちの周りのすべての者にとってのことわざとなっています。¹⁷
「それゆえ、今、私たちの神よ、あなたの僕の祈りと願いを聞き、あなたのために、主よ、あなたの顔を荒れ果てた聖所に輝かせてください。¹⁸
私の神よ、耳を傾けて聞いてください。あなたの名を持つ都市の荒廃を見てください。私たちは自分の義のためにあなたの前に願いを差し出すのではなく、あなたの大きな憐れみのためにそうします。¹⁹
主よ、聞いてください！ 主よ、赦してください！ 主よ、聞いて行動してください！
あなたのために、私の神よ、遅れないでください。あなたの都市とあなたの民はあなたの名を持っているからです。²⁰
私が話し、祈り、私の罪と私の民イスラエルの罪を告白し、私の神の聖なる山のために私の願いを主なる私の神の前に差し出している間—²¹
私がまだ祈りの中で話しているとき、以前の幻で見た人ガブリエルが、夕べの供え物の時に急いで私のもとに来ました。²²
彼は私に教えを与え、「ダニエルよ、私は今、あなたに洞察と理解を与えるために来ました。²³

ダニエル書

あなたの願いの始まりに命令が出され、私はあなたに伝えるために来ました。あなたは非常に尊ばれているからです。それゆえ、そのメッセージを考え、幻の理解を得なさい。

「あなたの民とあなたの聖なる都市のために、七十の『七』が定められています。背きを終わらせ、罪を終わらせ、不義を償い、永遠の義をもたらし、幻と預言を封じ、最も聖なる場所に油を注ぐためです。

これを知り、理解しなさい。エルサレムを復興し再建する命令が出されてから、油注がれた者、支配者が来るまで、七つの『七』と六十二の『七』があります。それは街路と堀で再建されますが、困難な時代に行われます。

六十二の『七』の後に、油注がれた者は断たれ、何も持たないでしょう。来るべき支配者の民は都市と聖所を破壊します。終わりは洪水とともに来ます。戦争は終わりまで続き、荒廃が定められています。

彼は多くの者と一つの『七』のために堅い契約を結ぶでしょう。その『七』の中間で、彼は犠牲と供え物を終わらせるでしょう。そして神殿で、彼は荒廃をもたらす憎むべきものを立てるでしょう。それが定められた終わりが彼に注がれるまで。」

10 ペルシャの王キュロスの第三年に、ベルテシャザルとも呼ばれるダニエルに啓示が与えられた。そのメッセージは真実であり、重大な争いに関するものであった。彼はそのメッセージを理解し、幻について洞察を得ていた。

その期間、私ダニエルは三週間にわたって喪に服していた。

私は豊かな食べ物は一切口にせず、肉もワインも口にせず、三週間が過ぎるまで何の油も塗らなかつた。

第一の月の二十四日に、私は大河ティグリスの岸に立っていた。

私は目を上げて、亜麻布の衣をまとい、ウファズの純金の帯を腰に締めた人を見た。

その体はトパーズのように、顔は稲妻のように輝き、目は燃えるたいまつのように、腕と足は磨かれた青銅のように光り、声は多くの人の声のようであった。

私ダニエルだけがその幻を見た。私と共にいた人々はそれを見なかったが、彼らには大きな恐れが襲いかかり、彼らは隠れるために逃げた。

こうして私は一人残され、この大いなる幻を見つめていた。私の力は失われ、顔色は死人のように青ざめ、力がなくなった。

そのとき、彼の言葉の音を聞き、聞いているうちに

、私は地面に顔を伏せて深い眠りに落ちた。

突然、手が私に触れ、私を手と膝で震えさせた。彼は私に言った、「ダニエル、あなたは非常に価値のある者です。私が今からあなたに話す言葉に注意を払いなさい。立ち上がりなさい。私はあなたのものと遣わされてきたのです。」彼がこの言葉を私に話したとき、私は震えながら立ち上がった。

彼は続けて言った、「恐れるな、ダニエル。あなたが理解を求め、あなたの神の前で自らを低くした最初の日から、あなたの言葉は聞かれ、私はそれに応じて来たのです。

しかし、ペルシャ王国の君が二十一日間私に対抗しました。その後、首長の一人であるミカエルが私を助けに来ました。私はペルシャの王たちと共にそこに留まっていました。

私はあなたの民に将来起こることを説明するために来ました。この幻は未来の時に関するものです。」

彼がこれらの言葉を私に話している間、私は地面に顔を伏せて言葉を失った。

すると、人間のような姿をした者が私の唇に触れ、私は口を開いて話し始めた。私は私の前に立っている者に言った、「主よ、この幻のために私は非常に苦しみ、非常に弱っています。

私はあなたのしもべである私が、どうしてあなたと話すことができるでしょうか、主よ。私の力は失われ、息をすることさえできません。」

再び、人の姿をした者が私に触れ、私を強めた。彼は言った、「恐れるな、あなたは非常に尊ばれている者です。平安があなたにありますように。今、強くなりなさい、強くなりなさい。」彼が私に話しかけると、私は強められ、「主よ、お話しください。あなたが私に力を与えてくださったからです」と言った。

それから彼は言った、「なぜ私があなたのもとに来たのか理解していますか。私はすぐにペルシャの君と戦うために戻らなければなりません。そして私が去ると、ギリシャの君が来るでしょう。

しかしまず、私は真理の書に記されていることをあなたに告げます。これらの力に対抗して私を支持する者は、あなたの君であるミカエルを除いて他にいません。

11 メディア人ダリヨスの元年に、私は彼を支え、守るために立ち上がった。

今、私はあなたに真実を告げよう。ペルシャにはさらに三人の王が起り、その後に第四の王が現れる。彼は他のすべての者よりもはるかに裕福である。彼がその富によって強くなると、彼はギリシャの王国に対して全帝国を奮い立たせる。

ダニエル書

その後、強力な王が現れ、大きな権威を持って支配し、自分の意のままに行動する。⁴

彼が立ち上がった後、その王国は砕かれ、天の四方に分割される。しかし、それは彼の子孫には渡らず、彼が持っていた権威も伴わない。彼の主権は引き抜かれ、他の者たちに与えられるからである。⁵
南の王は強くなるが、彼の指揮官の一人がさらに強くなり、大きな力を持って自分の王国を支配する。⁶

数年後、彼らは同盟を結ぶ。南の王の娘が北の王のもとに行き、協定を結ぶが、彼女はその力を保てず、彼も持ちこたえられない。彼女は彼女を連れて行った者たちや彼女の父、彼女を支えた者と共に引き渡される。⁷

彼女の家系から一人が立ち上がり、彼女の代わりを務める。彼は北の王の軍勢を攻撃し、その要塞に入り、彼らと戦って勝利を収める。⁸

彼はまた彼らの神々、金属の像、銀や金の貴重な品々を奪い、エジプトに持ち帰る。数年間、彼は北の王を攻撃することを控える。⁹

その後、北の王は南の王国に侵入するが、自分の国に戻る。¹⁰

彼の子孫たちは戦争の準備をし、大軍を集める。それは止められない洪水のように進み、その要塞まで戦いを運ぶ。¹¹

その時、南の王は怒りに燃えて出陣し、北の王と戦う。北の王は大群を集めるが、それは南の王に渡される。¹²

群衆が運び去られると、南の王は誇りに満たされ、何万人も虐殺するが、それでも勝利を保てない。¹³

北の王はさらに大きな軍を集め、数年後に大軍と多くの装備で進軍する。¹⁴

その時、多くの者が南の王に対して立ち上がる。あなたの民の中の暴力的な者たちは幻の成就を求めて反逆するが、彼らは倒れる。¹⁵

その後、北の王は来て、包囲の坂を築き、よく防備された都市を占領する。南の軍勢は抵抗する力がなく、最良の部隊でも立ち向かう力がない。¹⁶

侵略者は自分の意のままに行動し、誰も彼に立ち向かえない。彼は美しい地に自分を確立し、それを破壊する力を持つ。¹⁷

彼は全王国の力をもって南の王と同盟を結ぶことを決意する。彼は娘を嫁がせて王国を覆そうとするが、その計画は成功せず、彼を助けない。¹⁸

その後、彼は海岸地方に目を向け、多くを占領するが、指揮官が彼の傲慢を終わらせ、その傲慢を彼に返す。¹⁹

その後、彼は自分の国の要塞に戻るが、つまずいて倒れ、見つからなくなる。²⁰

彼の後継者は王室の輝きを維持するために税を集める役人を送り出す。しかし、数年後、彼は怒りや戦いによらずに滅ぼされる。²¹

彼の後を継ぐのは、王位の名誉を与えられていない低い評価の人物である。彼は人々が安心しているときに王国に侵入し、策略でそれを奪う。²²

その後、圧倒的な力が彼の前で一掃され、契約の君主も滅ぼされる。²³

彼と同盟が結ばれた後、彼は欺いて行動し、わずかな人々で権力を得る。²⁴

最も裕福な州が安心しているときに、彼はそれらを侵略し、彼の父や祖先が成し得なかったことを達成する。彼は略奪品、戦利品、所有物を彼の追随者たちに分配する。彼は要塞の転覆を企てるが、しばらくの間だけである。²⁵

彼は大軍をもって南の王に対抗する力と勇気を集める。南の王は大きく非常に強力な軍をもって戦いに挑むが、彼に立ち向かえない。彼に対して企てられた陰謀のためである。²⁶

王の食糧を共有する者たちは彼を滅ぼそうとし、彼の軍は一掃され、多くが戦いで倒れる。²⁷

二人の王は悪に心を傾け、同じテーブルに座り、互いに嘘をつくが、何の成果も得られない。終わりは定められた時に来るからである。²⁸

北の王は大いなる富を持って自国に戻るが、彼の心は聖なる契約に逆らう。彼はそれに対して行動し、再び自国に戻る。²⁹

定められた時に、彼は再び南を侵略するが、今回は以前とは異なる結果になる。³⁰

西の地域からの船が彼に立ち向かい、彼は心を失う。その後、彼は戻り、聖なる契約に対して怒りを発散する。彼は戻り、聖なる契約を捨てて者たちに好意を示す。³¹

彼の軍勢は立ち上がり、神殿の要塞を汚し、日々の犠牲を廃止する。そして、荒廃をもたらす憎むべきものを設置する。³²

滑らかな言葉で、彼は契約を破った者たちを惑わすが、彼らの神を知る民は堅く立ち、彼に抵抗する。³³

民の中の賢者たちは多くの者に知識を伝えるが、しばらくの間、彼らは剣で倒されるか、焼かれるか、捕らえられるか、略奪される。³⁴

彼らが倒れるとき、彼らは多少の助けを受けるが、誠実でない多くの者が彼らに加わる。³⁵

賢者の中にはつまずく者もいるが、それは彼らが精錬され、清められ、無垢にされるためである。終わりの時まで、定められた時に来る。³⁶

王は自分の意のままに行動する。彼はすべての神々の上に自らを高め、大いに誇り、神々の神に対して

ダニエル書

聞いたことのないことを言う。彼は怒りの時が完了するまで成功する。定められたことは必ず起こるからである。³⁷

彼は先祖の神々や女性に愛される者を顧みず、どの神も顧みないが、すべての上に自らを高める。³⁸

彼はその代わりに要塞の神を敬い、先祖が知らなかった神を金銀、貴石、貴重な贈り物で敬う。³⁹

彼は外国の神の助けを借りて最も強力な要塞を攻撃し、彼を認める者たちを大いに敬う。彼は彼らを多くの民の支配者とし、土地を代価をもって分配する。⁴⁰

終わりの時に、南の王は彼と戦いを交えるが、北の王は戦車と騎兵と強力な船団をもって彼に対抗する。彼は多くの国を侵略し、洪水のようにそれらを通り抜ける。⁴¹

彼はまた美しい地を侵略する。多くの国が倒れるが、エドム、モアブ、アンモンの指導者たちは彼の手から逃れる。⁴²

彼は多くの国に力を伸ばし、エジプトは逃れられない。⁴³

彼は金銀の宝物とエジプトのすべての富を支配し、リビア人とクシュ人が従属する。⁴⁴

しかし、東と北からの報告が彼を驚かせ、彼は怒りに燃えて出発し、多くを滅ぼし、絶滅させる。⁴⁵

彼は海と美しい聖なる山の間に王の天幕を張る。しかし、彼は終わりに至り、誰も彼を助けない。

12 「その時、あなたの民を守る大いなる君、ミカエルが立ち上がる。その時には、国々が始まって以来、その時までかつてなかったような苦難の時が来る。しかしその時、あなたの民、すなわち書に記されたすべての者が救われる。

2

地の塵の中で眠っている多くの者が目を覚ます。ある者は永遠の命に、他の者は恥と永遠の侮辱に。³
賢い者たちは天の輝きのように輝き、多くの者を義に導く者たちは、永遠に星のように輝く。⁴

しかしあなたは、ダニエルよ、これらの言葉を秘密にして、終わりの時までその書を封じておけ。多くの者が行き巡り、知識が増す。」⁵

その時、私ダニエルは見た。すると、二人の他の者が立っていた。一人は川のこちらの岸に、もう一人は向こうの岸に。⁶

その一人が、川の水の上にいる亜麻布を着た人と言った。「これらの驚くべきことが成就するまでには、あとどれくらいかかりますか？」⁷

すると、私は川の水の上にいる亜麻布を着た人が、右手と左手を天に向かって上げ、永遠に生きる方に誓って言うのを聞いた。「それは一時、二時、半時である。聖なる民の力が完全に打ち砕かれた時、これらすべてのことが完了する。」⁸

私は聞いたが、理解できなかった。それで言った。「主よ、これらの出来事の結末はどうなるのですか？」⁹

すると彼は言った。「ダニエルよ、あなたの道を行け。これらの言葉は秘密にされ、終わりの時まで封じられている。」¹⁰

多くの者が清められ、白くされ、精錬される。しかし、悪者たちは悪を行い続ける。悪者たちは誰も理解しないが、賢い者たちは理解する。¹¹

定期的な犠牲が廃止され、荒らす憎むべき者が設置される時から、**1,290**日がある。¹²

1,335日の終わりに達する者は幸いである。¹³
しかし、あなたは終わりで自分の道を行け。あなたは休み、そして日々の終わりにあなたの割り当てられた相続を受けるために立ち上がる。」

ホセア書

1 ユダの王たち、ウジヤ、ヨタム、アハズ、ヒゼ
キヤの時代、またイスラエルの王、ヨアシの
子ヤロブアムの時代に、ベエリの子ホセアに臨
んだ主の言葉。

2 主がホセアを通して語り始めたとき、主は彼に言わ
れた、「行って、不貞の妻をめとり、不貞の子を持
ちなさい。この地は主を離れて不貞を働いているか
らである。」

3 そこでホセアは行って、ディブライムの娘ゴメルを
めとり、彼女は身ごもって男の子を産んだ。

4 そのとき主は彼に言われた、「その子をイズレエル
と名づけよ。まもなく私はイズレエルでの血の報い
をエフの家に罰し、イスラエルの王国を終わらせる
からである。」

5 その日、私はイズレエルの谷でイスラエルの弓を折
る。」

6 ゴメルは再び身ごもり、娘を産んだ。主は彼に言わ
れた、「その子をロ・ルハマと名づけよ。私はもは
やイスラエルの家に愛を示さず、彼らを赦さないか
らである。」

7 しかし、私はユダの家に愛を示し、彼らを彼らの神
、主によって救う。弓や剣、戦い、馬や騎兵によっ
てではない。」

8 彼女がロ・ルハマを乳離れさせた後、ゴメルは再び
身ごもり、もう一人の息子を産んだ。

9 そのとき主は言われた、「その子をロ・アンミと名
づけよ。あなたたちは私の民ではなく、私はあなた
たちの神ではないからである。」

10 それでも、イスラエルの人々の数は海の砂のように
測ることも数えることもできないほどになる。彼ら
に『あなたたちは私の民ではない』と言われた場所
で、『生ける神の子ら』と呼ばれるようになる。 11
ユダの人々とイスラエルの人々は一緒に集められ、
一人の指導者を任命し、地から上ってくる。イズレ
エルの日は大いなるものとなる。

2 あなたの兄弟たちに「私の民」と言い、あなた
の姉妹たちに「私の愛する者」と言いなさい。

「あなたたちの母と争いなさい、争いなさい。彼女
は私の妻ではなく、私は彼女の夫ではない。彼女の
顔から不貞を取り除き、彼女の胸の間から姦淫を取
り除かせなさい。」

3 さもなければ、私は彼女を裸にし、彼女が生まれた
日のようにさらけ出す。私は彼女を荒野のようにし
、乾いた地に変え、渇きで彼女を殺す。

4 私は彼女の子供たちに憐れみを示さない。彼らは姦
淫の子供たちだからである。

5 彼らの母は不貞を働き、恥ずかしめの中で彼らを宿
した。彼女は言った、『私のパンと水、私の羊毛と

亜麻、私の油と飲み物をくれる愛人たちを追い求め
る。』

6 それゆえ、私は彼女の道を茨で塞ぎ、彼女を囲んで
道を見つけれないようにする。

7 彼女は愛人たちを追いかけが、捕まえられない。
彼女は彼らを探す、見つけれられない。すると彼女
は言う、『私は最初の夫のもとに戻る。あの時の方
が今よりも良かったから。』

8 彼女は、私が彼女に穀物、新しいぶどう酒、油を与
え、彼女に銀と金を惜しみなく与えたことを認めな
かった。それを彼らはバアルのために使った。

9 それゆえ、私は穀物をその時に取り戻し、新しいぶ
どう酒をその季節に取り戻す。私はまた、彼女の裸
を覆うための羊毛と亜麻を取り去る。

10 今、私は彼女の淫らな行いを愛人たちの目の前でさ
らけ出す。誰も私の手から彼女を救い出せない。

11 私は彼女のすべての祝祭を終わらせる。彼女の祭り
、新月、安息日すべての定められた祭りを。

12 私は彼女のぶどう畑といちじくの木を破壊する。彼
女は言った、『これらは私の愛人たちからの報酬だ
。』私はそれらを茂みに変え、野生の動物がそれを
食い尽くす。

13 私は彼女がバアルたちに香を焚いた日々のために彼
女を罰する。彼女は指輪と宝飾品で身を飾り、愛人
たちを追い求め、私を忘れた」と主は宣言する。

14 「それゆえ、私は彼女を誘い、荒野に連れて行き、
優しく語りかける。

15 そこで私は彼女にぶどう畑を返し、アコルの谷を希
望の扉にする。そこで彼女は若い頃のように応える。
エジプトの地から上ってきた日のように。

16 「その時」と主は宣言する、「あなたは私を『私の
夫』と呼び、『私の主人』とはもう呼ばない。
17 私は彼女の唇からバアルたちの名を取り除く。それ
らはもうその名で呼ばれることはない。

18 その日、私は野の獣、空の鳥、地を這う生き物と彼
らのために契約を結ぶ。私は弓、剣、戦争を地から
廃止し、皆が安全に横たわることができるようにす
る。

19 私は永遠にあなたを私に誓う。私は義と公正、愛と
憐れみであなたを誓う。

20 私は誠実にあなたを誓い、あなたは主を知る。
21 「その時、私は応える」と主は宣言する—

22 「私は天に応え、天は地に応える。

23 そして地は穀物、新しいぶどう酒、油に応え、それ
らはイズレエルに応える。

私は彼女を自分のために地に植える。私は『私の愛
する者ではない』と呼んだ者に憐れみを示す。私は
『私の民ではない』と呼ばれた者に言う、『あなた

ホセア書

は私の民だ』。そして彼らは言う、『あなたは私の神だ』。」

3 主は私に言われた、「もう一度行って、他の男に愛され、不貞を働く女を愛しなさい。それは、たとえ彼らが他の神々に向かい、干しぶどうの菓子喜んでいても、主がイスラエルの民を愛しているのと同じです。」²

それで私は彼女を銀十五シェケルと一ホメルと一レテクの大麦で自分のものにしました。³

私は彼女に言いました、「あなたは多くの日々、私と共にいなければなりません。あなたは娼婦になってはならず、他の男と共にいてはなりません。そして私はあなたに対して同じようにします。」⁴

イスラエルの民は多くの日々、王も君もなく、犠牲も記念碑もなく、エボデも家庭の偶像もなく過ごすことになるからです。⁵

その後、イスラエルの民は帰ってきて、彼らの神、主と彼らの王ダビデを求めます。彼らは主に敬意を持って近づき、終わりの日にその祝福を求めるでしょう。

4 イスラエルの子らよ、主の言葉を聞け。主はこの地の住民に対して訴えを持っている。地には真実も誠実もなく、神の知識もないからだ。²

呪い、欺き、殺人、盗み、姦淫があり、彼らは暴力に訴え、流血が流血を呼んでいる。³

このため、地は嘆き、そこに住むすべての者が衰え、野の獣、空の鳥、さらには海の魚までもが取り去られる。⁴

しかし、誰も責めるな、誰も他人を非難するな。あなたの民は祭司と争う者よだからだ。⁵

あなたは昼に躓き、預言者も夜にあなたと共に躓く。そして私はあなたの母を滅ぼす。⁶

私の民は知識がないために滅ぼされる。あなたが知識を拒んだので、私もあなたを私の祭司として拒む。あなたがあなたの神の律法を忘れたので、私もあなたの子らを忘れる。⁷

彼らが増えるほど、私に対して罪を犯した。私は彼らの栄光を恥に変える。⁸

彼らは私の民の罪を食べ、その不義を望む。⁹

そしてこうなる。民がそうであるように、祭司もそうである。私は彼らの悪しき道の責任を問う、そして彼らの行いに報いる。¹⁰

彼らは食べても満たされず、淫行にふけても増えない。彼らが主に献身することをやめたからだ。¹¹

不貞、酒、新しい酒が彼らの理解を奪う。¹²

私の民は木の偶像に相談し、占い棒が彼らに語る。不貞の霊が彼らを惑わし、彼らは自分の神に対して不誠実になった。¹³

彼らは山の頂で犠牲を捧げ、丘の上で香を焚く。オーク、ポプラ、テレビンの木の下で、その陰が良いからだ。それゆえ、あなたの娘たちは淫行にふけり、あなたの嫁たちは姦淫を犯す。¹⁴

私はあなたの娘たちが淫行にふけるとき、彼女たちを責めない。あなたの嫁たちが姦淫を犯すときも、彼女たちを責めない。男たち自身が娼婦と付き合い、神殿娼婦と共に犠牲を捧げるからだ。理解に欠けた民は滅びる。¹⁵

イスラエルよ、あなたが姦淫を犯しても、ユダが罪を犯さないようにせよ。ギルガルに行くな、ベテ・アヴェンに上るな、「主は生きておられる」と誓うな。¹⁶

イスラエルは頑固で、頑固な若い雌牛のようだ。どうして主が彼らを広い牧場で子羊のように養うことができようか。¹⁷

エフライムは偶像に深く関わっている。彼と共にするな。¹⁸

彼らの飲み物が尽きても、彼らは淫行を続ける。彼らの支配者たちは恥ずべき道を愛している。¹⁹ 旋風が彼らをその翼に包み、彼らはその犠牲のために恥をかく。

5 これを開け、祭司たちよ！
聞け、イスラエルの家よ！

注意せよ、王の家よ！

裁きはあなたたちに向かっているからだ。

あなたたちはミツバで異となり、
タボルで網を広げたからだ。²

反逆者たちは深く墮落しているが、
私は彼ら全員を懲らしめる。³

私はエフライムを知っている。
イスラエルは私から隠れていない。

今や、エフライムよ、あなたは淫行を行い、
イスラエルは自らを汚した。⁴

彼らの行いは彼らを 彼らの神に戻らせない。
淫行の霊が彼らの中にあり、

彼らは主を知らない。⁵

さらに、イスラエルの誇りが彼に対して証言し、
イスラエルとエフライムはその罪の中でつまずく。

ユダもまた彼らと共につまずいた。⁶

彼らは羊の群れと牛の群れを連れて
主を求めるが、彼を見つけることはできない。

彼は彼らから遠ざかったからだ。⁷

彼らは主に対して裏切りを働いた。

彼らは不義の子を産んだからだ。⁸

今、新月が彼らと彼らの地を食い尽くす。

ギベアで角笛を鳴らせ、 ラマでラッパを吹け。

ベテ・アベンで警報を上げよ！

「ベニヤミンよ、気をつけよ！」⁹

ホセア書

エフライムは叱責の日に荒廃する。
イスラエルの部族の中で私は確かなことを知らせる。¹⁰
ユダの指導者たちは境界を動かす者者になった。
私は彼らに水のように怒りを注ぐ。¹¹
エフライムは圧迫され、裁きで打ち砕かれる。
彼は人間の指示に従うことを決意したからだ。¹²
それゆえ、私はエフライムにとって腐敗のようになり、
ユダの家にとって腐食のようになる。¹³
エフライムが自分の病を見、
ユダが自分の傷を見たとき、
エフライムはアッシリアに行き、
王ヤレブに使者を送った。
しかし彼はあなたを癒すことも、
あなたの傷を治すこともできない。¹⁴
私はエフライムにとって猛獣のようになり、
ユダの家にとって若い獅子のようになる。
私、そう、私が引き裂いて去り、
運び去るが、救い出す者はいない。¹⁵
私は去って自分の場所に戻る。
彼らが自分の罪を認め、私の顔を求めるまで。
彼らの苦しみの中で、彼らは熱心に私を求める。

6 「さあ、私たちは主に帰ろう。
主は私たちを引き裂かれたが、必ず癒してくださる。
私たちを打たれたが、必ず傷を包んでくださる。
2 二日後には私たちを生き返らせ、
三日目には私たちを立ち上がらせてくださる。
それで私たちは御前に生きることができる。³
それゆえ、私たちは主を知ろう、
主を知ること努めよう。
主の現れは曉のように確かであり、雨のように、
地を潤す春雨のように私たちに来られる。」⁴
「エフライムよ、私はあなたをどうしたらよいのか。
ユダよ、私はあなたをどうしたらよいのか。
あなたたちの誠実さは朝の雲のようであり、
早く消え去る露のようだ。⁵
それゆえ、私は預言者たちによって彼らを切り裂き、
私の口の言葉によって彼らを殺した。
あなたへの裁きは光のように現れる。⁶
私が喜ぶのは忠実さであって、犠牲ではない。
知識であって、焼き尽くす捧げ物ではない。⁷
しかし、彼らはアダムのように契約を破り、
そこで私に対して裏切りを働いた。⁸
ギルアデは不法を行う者で満ちた町であり、
血の跡で汚れている。⁹
人を待ち伏せする盗賊のように、
祭司の群れはシェケムへの道で殺人を犯す。
確かに彼らは恥ずべきことを行った。¹⁰

イスラエルの家で私は恐ろしいことを見た。
そこにはエフライムの淫行があり、
イスラエルは自らを汚した。¹¹
ユダよ、あなたにも収穫が定められている。
私が私の民の運命を回復する時に。
7 わたしがイスラエルを癒そうとするとき、
エフライムの罪が暴かれ、
サマリアの悪事も明らかになる。
彼らは欺きを行うからだ。 盗人が入り、
外では盗賊の群れが襲う。²
彼らは心の中で考えない、
わたしが彼らのすべての悪を知っていることを。
今や彼らの行いは周りにあり、
わたしの目の前にある。³
彼らの悪によって王を喜ばせ、
役人たちは彼らの欺きに喜ぶ。⁴
彼らは皆、姦淫を行う者、
パン職人が火をかき立てるのをやめる
生地をこねてから発酵するまでの間の
熱せられた炉のようだ。⁵
わたしたちの王の日に、役人たちは酒の熱で病氣
になり、彼はあざける者たちに手を差し伸べた。
6 彼らの心は炉のようで、
陰謀を企てる時に近づく。
彼らの怒りは夜通しくすぶり、
朝になると燃える火のように燃え上がる。⁷
彼らは皆、炉のように燃え上がり、
彼らの支配者を食い尽くす。
彼らの王たちは皆倒れた。
彼らの中でわたしを求める者はいない。⁸
エフライムは諸国民と混じり合い、
エフライムは裏返されない平たいパンのようにな
った。⁹ 異国人が彼の力を食い尽くすが、
彼はそれを知らない。
白髪が彼に散らばっているが、
彼はそれを知らない。¹⁰
イスラエルの誇りが彼に対して証言しているが、
彼らはなおも彼らの神、主に立ち返らず、
すべてにもかかわらず、彼を求めていない。¹¹
それゆえ、エフライムは知恵のない鳩のようにな
り、エジプトを呼び、アッシリアに行く。¹²
彼らが行くとき、わたしは彼らの上に網を広げ、
空の鳥のように彼らを引き下ろす。
わたしは彼らを彼らの集会への知らせに従って懲
らしめる。¹³
彼らに災いあれ、彼らはわたしから離れたからだ
！
彼らに滅びあれ、彼らはわたしに逆らったからだ
！

ホセア書

わたしは彼らを贖おうとしたが、彼らはわたしに
対して偽りを語った。¹⁴
彼らは心からわたしに叫ばず、
彼らの寢床で嘆くとき、
穀物と新しいぶどう酒のために集まり、
わたしから離れる。¹⁵
わたしが彼らの腕を訓練し、強くしたが、
それでも彼らはわたしに対して悪を企む。¹⁶
彼らは向きを変えるが、上には向かわない、
彼らは欺く弓のようだ。
彼らの役人たちは舌の傲慢のために剣で倒れる。
これはエジプトの地で彼らの嘲笑となる。

8 ラッパを吹き鳴らせ！
ワシのように、敵が主の家に攻め寄せる。
彼らは私の契約を破り、
私の律法を無視したからだ。²
彼らは私に呼びかける、
「神よ、イスラエルの我々はあなたを認識してい
ます！」³
イスラエルは良いものから離れ去った。
敵が彼を追いかけるだろう。⁴
彼らは王を立てたが、私の権威によらず、
役人を任命したが、私は相談されなかった。
彼らは自分たちのために銀と金で偶像を作った、
それで彼らは取り除かれるだろう。⁵
サマリアよ、彼はあなたの子牛を拒絶した、
「私の怒りは彼らに対して燃えている！」と宣言
する。彼らが無実でいられないのはいつまでか？
⁶ イスラエルからこれさえも来たのだ！
職人がそれを作ったので、それは神ではない。
サマリアの子牛は確かに砕かれるだろう。⁷
彼らは風を蒔き、つむじ風を刈り取る。
立っている穀物には穂がなく、
それは穀物を生じない。
もしそれが生じたとしても、異邦人がそれを消費
するだろう。⁸
イスラエルは消費されてしまった。
彼らは今、国々の中で誰も喜ばない器のようだ。
⁹ 彼らはアッシリアに上って行った、
孤独な野生のロバのように。
エフライムは愛人を雇った。¹⁰
たとえ彼らが国々の間で同盟者を雇っても、
私は今、彼らを集める。
そして彼らは役人の王の重荷のために
減少し始めるだろう。¹¹
エフライムが罪のために祭壇を増やしたように、
それらは彼にとって罪の祭壇となった。¹²
私が彼のために私の律法の無数の教えを書いたと
しても、それらは異国のものと見なされている。

¹³ 私の犠牲の贈り物については、
彼らは肉を犠牲にしてそれを食べるが、
主はそれを受け入れない。
今、彼は彼らの罪を思い出し、
彼らの罪のために彼らを罰するだろう。
彼らはエジプトに戻るだろう。¹⁴
イスラエルはその創造者を忘れて宮殿を建てた。
ユダは要塞都市を増やしたが、
私はその都市に火を送る。
そしてそれはその城を焼き尽くすだろう。

9 イスラエルよ、国々のように喜び楽しむな。
あなたはあなたの神に対して不誠実だったから
だ。
あなたはすべての脱税場で娼婦の報酬を受した。
² 脱税場も酒ぶねも彼らを養わず、
新しいぶどう酒も彼らを失望させる。³
彼らは主の地に住むことはなく、
エフライムはエジプトに帰り、
アッシリアでは汚れた食物を食べる。⁴
彼らは主にぶどう酒の注ぎの供え物を注ぐことは
なく、彼らのいけにえも主を喜ばせない。
彼らのパンは喪に服する者のパンのようになり、
それを食べる者はみな汚れる。
彼らのパンは自分たちのためだけのもので、
主の家に入ることはない。⁵
あなたは定められた祭の日に、
主の祭の日にどうするのか。⁶
見よ、彼らは滅びを避けて逃げる。
エジプトが彼らを集め、
メンフィスが彼らを葬る。
彼らの銀の宝は雑草に覆われ、
いばらが彼らの天幕に生える。⁷ 罰の日が来た、
報いの日が来た。
イスラエルはこれを知るべきだ。
預言者は愚か者とされ、
靈感を受けた者は狂人とされる。
あなたの罪が大きいかからだ。
あなたの敵意が大きいかからだ。⁸
エフライムは私の神と共にいる見張りであり、預
言者であったが、
彼のすべての道には鳥を捕える者の罠があり、
彼の神の家にはただ敵意がある。⁹
彼らはギベアの日々のように鹽落の深みにまで至
った。彼は彼らの罪を覚え、
彼らの罪を罰する。¹⁰
私は荒野でぶどうのようにイスラエルを見つけた
。
私はあなたの先祖を初物のいちじくのように大切に
にした。

ホセア書

しかし彼らはバアル・ベオルに行き、恥を捧げ、
彼らが愛したもののように忌まわしいものとなつた。¹¹ エフライムの栄光は鳥のように飛び去る。
出産も、妊娠も、受胎もない！¹²
彼らが子供を育てても、
私は彼らを奪い去り、一人も残さない。
私が彼らから去るとき、彼らには災いがある！¹³
私が見るところ、
エフライムはティルスのように牧草地に植えられている。
しかしエフライムはその子供たちを滅びのために
出す運命にある。¹⁴
主よ、彼らに与えてください―何を与えますか？
流産する胎と乾いた乳房を与えてください。¹⁵
彼らのすべての悪はギルガルにある。
確かに、私はそこで彼らを憎むようになった！
彼らの行いの悪さのために、
私は彼らを私の家から追い出す！
私はもはや彼らを受けない。
彼らの指導者はみな反逆者だ。¹⁶
エフライムは打たれ、その根は枯れている。
彼らは実を結ばない。
たとえ彼らが子を産んでも、
私は彼らの胎の愛しい者たちを殺す。¹⁷
私の神は彼らを拒絶する。
彼らが神に聞き従わなかったからだ。
彼らは国々の間でさまよう者となる。

10 イスラエルは繁栄するぶどうの木である。
彼は自分のために実を結ぶ。
実が豊かになるほど、祭壇を多く築いた。
地が繁栄するほど、記念碑を改良した。²
彼らの心は欺いている。
今、彼らはその罪の結果を負わなければならない。
主は彼らの祭壇を取り壊し、
記念碑を破壊する。³
確かに今、彼らは言うだろう、
「私たちには王がない、主を敬わないからだ。
王に関しては、私たちに何ができるだろうか？」⁴
彼らは空虚な言葉を語り、
不誠実な誓いで契約を結ぶ。
そして、裁きは畑の畝に生える有害な雑草のよう
に芽生える。⁵ サマリアの住民は
ベテ・アベンの子牛を恐れる。
確かに、その民はそれを悼み、
その偶像崇拜の祭司たちもそうである。
彼らはそれとその栄光を喜んでいて、
それが去ってしまったからである。⁶
その物自体はアッシリアに
王ヤレブへの貢ぎ物として運ばれる。

エフライムは恥に圧倒され、
イスラエルは自分の策略に当惑する。⁷
サマリアとその王は滅びる、
水面の小枝のように。⁸
さらに、アベンの高き所、イスラエルの罪は破壊
される。その祭壇には茨とアザミが生える。
その時、彼らは山々に「私たちを覆え！」と言い、
丘に「私たちの上に倒れよ！」と言うだろう。⁹
ギベアの日々以来、イスラエルよ、あなたは罪を
犯している。彼らはそこに留まる！
不正の子らに対する戦いがギベアで彼らを襲わな
いだろうか？¹⁰
私の望む時に、私は彼らを懲らしめる。
人々が彼らに対して集められるだろう、
彼らが二重の罪のために縛られるときに。¹¹
エフライムは脱穀を受する訓練された若い雌牛で
ある。私は彼女の美しい首を過ぎた。
私はエフライムにくびきをかける。
ユダは耕し、ヤコブは自分のために耕す。¹²
義によって自分のために種を蒔き、
慈しみに従って刈り取れ。
あなたの未耕地を耕せ、
主を求める時であるから。
彼が来て、あなたに義を降らせるまで。¹³
あなたは悪を耕し、不正を刈り取った。
あなたは偽りの実を食べた。
あなたが自分の道と多くの戦士を信頼したからで
ある。¹⁴ あなたの民の中に騒ぎが起こり、
あなたのすべての要塞が破壊される。
シャルマンが戦いの日にベテ・アルベルを破壊し
たように、
母親たちが子供たちと共に打ち砕かれた時に。¹⁵
そのように、あなたの大きい悪のためにバテル
であなたに行われる。
夜明けにイスラエルの王は完全に滅ぼされる。

11 イスラエルが若かった時、私は彼を愛し、
エジプトから我が子と呼び出した。²
彼らが呼ばれるほど、
彼らはますます遠ざかり、
バアルに犠牲を捧げ続け、偶像に香を焚いた。³
しかし、エフライムに歩くことを教えたのは私で
あり、私は彼らを腕に抱いた。
しかし、彼らは私が彼らを癒したことを悟らな
かった。⁴ 私は人の綱で彼らを導き、愛の絆で、
彼らの顎からくびきを取り除いた。
そして私はかがんで彼らに食べさせた。⁵
彼らはエジプトの地に戻らない。
しかしアッシリアが彼らの王となる。

ホセア書

彼らが私に戻ることを拒んだからである。⁶
剣が彼らの町々に襲いかかり、
彼らの預言者たちを滅ぼし、
彼らの計画のために彼らを消費する。⁷
それゆえ、私の民は私から離れることに固執して
いる。 彼らは高き者に呼びかけるが、
真に彼を崇める者はいない。⁸
どうしてあなたを見捨てられよう、エフライムよ
？
どうしてあなたを引き渡せよう、イスラエルよ？
どうしてあなたをアダムのようにできようか？
どうしてあなたをゼボイムのように扱えようか？
私の心は私の中でかき乱され、
私の憐れみは溢れている。⁹
私は激しい怒りを解き放たない。
私は再びエフライムを滅ぼさない。
私は神であり、人間ではないからだ。
私はあなたの中の聖なる者であり、
怒りをもって来ることはない。¹⁰
彼らは主に従うだろう。
主は獅子のように吠える。 確かに彼は吠え、
彼の子らは西から震えながら来る。¹¹
彼らはエジプトから鳥のように震えながら来る。
そしてアッシリアの地から鳩のように。
そして私は彼らを彼らの家に住まわせる、と主は
宣言する。¹² エフライムは私を偽りで囲み、
イスラエルの家は欺きで囲む。
ユダもまた神に逆らっている。
私が誠実な聖なる者であり続けるにもかかわらず
。

12 エフライムは風を食べ、
絶えず東風を追いかける。
彼は偽りと暴力を増し加える。
さらに、彼らはアッシリアと契約を結び、
油をエジプトに運ぶ。² 主はまたユダと争い、
彼の行いに従ってヤコブを罰し、
彼の行いに応じて彼に報いる。
彼は胎内にいた時から兄のかかとをつかみ、
大人になって神と争った。⁴
そう、彼は天使と格闘して勝ち、
泣いてその恵みを求めた。
彼はベテルで神を見つけ、
そこで神は私たちに語られた。⁵
それは、万軍の神、 主はその名である。⁶
だから、あなたは神に帰り、
慈しみと正義を守り、 絶えず神を待ち望め。⁷
不正なばかりを使う商人は、 欺くことを喜ぶ。⁸
エフライムは言った、「私は確かに富を得た、
私は自分のために財産を見つけた。

私のすべての労苦の中で、
彼らは私に罪となる不正を見つけない。」⁹
しかし、私はエジプトの地からあなたの神、主で
あった。 私はあなたを再び天幕に住まわせる、
定められた祭りの日のように。¹⁰
私はまた預言者たちと語り、 多くの幻を与え、
預言者を通してメッセージを伝えた。¹¹
ギルアデには不正があるのか？
確かに彼らは価値がない。
ギルガルで彼らは雄牛を犠牲にし、
そう、彼らの祭壇は野の畝のそばの石の山のよう
だ。¹² 今、ヤコブはアラムの地に逃れ、
イスラエルは妻のために働き、
妻のために羊を飼った。¹³
しかし、預言者を通して主はイスラエルをエジプ
トから導き出し、 預言者によって彼を守った。¹⁴
エフライムは神を激しく怒らせた。
だから彼の主は彼の血の罪を彼に残し、
彼の恥を彼に返す。

13 エフライムが語ったとき、恐れがあった。
彼はイスラエルで自らを高めたが、
バアルによって罪を犯し、滅びた。²
そして今、彼らはますます罪を犯し続け、
自分たちのために鋳造した金属の像を作り、
銀で巧みに作られた偶像、
すべて職人の手によるものを作る。
彼らはそれについて言う、「犠牲を捧げる人々に
子牛に口づけさせよ！」³
それゆえ、彼らは朝の霧のようになり、
すぐに消える露のように、
脱穀場から吹き飛ばされるもみ殻のように、
煙突からの煙のようになる。⁴
しかし、私はエジプトの地以来、
あなたの神、主であった。
あなたは私以外の神を知ってはならない、
私のほかに救い主はいないからだ。⁵
私は荒野であなたを養った、 乾燥した地で。⁶
彼らが牧草地を得たとき、彼らは満足し、
満足したので、彼らの心は高ぶった。
それゆえ、彼らは私を忘れた。⁷
だから私は彼らにとってライオンのようになり、
ヒョウのように道端で待ち伏せする。⁸
私は子を奪われた熊のように彼らに出会い、
彼らの胸を引き裂く。
私はまた雌ライオンのように彼らをそこに食い尽
くし、 野獣のように彼らを引き裂く。⁹
イスラエルよ、それはあなたの滅びである、
あなたが私に逆らい、 あなたの助けに逆らうから
だ。¹⁰ それなら、あなたの王はどこにいるのか、

ホセア書

彼があなたのすべての町であなたを救うために、
そしてあなたが言った裁判官たちはどこにいるの
か、 「私に王と指導者を与えよ」と？ 11
私は怒りの中であなたに王を与え、
憤りの中で彼を取り去った。 12
エフライムの不正は包まれている。
彼の罪は蓄えられている。 13
彼は知恵のない子ようである、
生まれるべき時に遅れるからだ。 14
私は彼らをシェオルの力から救い出すべきか？
死から彼らを贖うべきか？
死よ、あなたのとげはどこにあるのか？
シェオルよ、あなたの刺しはどこにあるのか？
慈悲は私の目から隠される。 15
彼が葦の間で繁栄しても、 東風が来る、
荒野から上がってくる主の風が。 彼の泉は乾き、
彼の泉は干上がる。
それは彼の宝庫をすべての貴重な品物から略奪す
る。 16 サマリアは彼女の罪の罰を受ける、
彼女が彼女の神に逆らったからだ。
彼らは剣に倒れ、 彼らの子供たちは打ち砕かれ、
彼らの妊婦は引き裂かれる。

14 イスラエルよ、あなたの神、主に帰れ。
あなたは自分の罪のためにつまずいたのだ
。 2 言葉を携えて主に帰れ。 彼に言え、
「すべての罪を赦し、

恵みをもって受け入れてください。
そうすれば、私たちは唇の実を捧げます。 3
アッシリアは私たちを救えない。
私たちは馬に頼らない。
自分の手で作ったものを『私たちの神』とは呼ば
ない。 あなたのの中に孤児は憐れみを見出す。」 4
私は彼らの誠実を回復し、
制限なく彼ら愛する。
私の怒りは彼らから離れ去ったからだ。 5
私はイスラエルにとって朝の露のようになる。
彼はユリのように栄え、
レバノンの杉のように根を張る。 6
彼の枝は広がり、
その輝きはオリーブの木ようであり、
その香りはレバノンの杉ようである。 7
彼の陰に住む者たちは再び穀物を育て、
彼らはブドウのように栄える。
彼の名声はレバノンのワインのようになる。 8
エフライムよ、偶像と私が何をするのか？
私が答え、あなたを見守ってきた。
私は豊かなイチイの木ようである。
あなたの実は私から来る。 9
賢い者はこれらのことを知れ。
分別のある者はこれを認識せよ。
主の道は正しいからである。
正しい者はその中を歩み、
しかし、不正な者はその中でつまずく。

ヨエル書

1 それから、主の言葉がベトエルの子ヨエルに臨んだ。

2 長老たちよ、これを聞け。
地に住むすべての者よ、耳を傾けよ。
あなたたちの日々に、
またあなたたちの先祖の日々に、
このようなことがあったか。 3
これをあなたたちの子供たちに伝えよ、
彼らがその子供たちに伝え、
その子供たちが次の世代に伝えるようにせよ。 4
嘈々いなごが残したものを、群がるいなごが食べ、
群がるいなごが残したものを、這ういなごが食べ、
這ういなごが残したものを、かじるいなごが食べた。 5
目を覚ませ、酔っ払いども、泣け！
すべての酒飲みども、嘆け、 甘い酒のために、
それがあなたたちの唇から奪われたからだ。 6
一つの国が私の地に侵入したからだ、
力強く、数えきれないほどの。
それはライオンの歯を持ち、
雌ライオンの牙を持っている。 7
それは私のぶどうの木を荒らし、
私のいちじくの木を切り株に変えた。
それはその樹皮を剥ぎ取り、投げ捨て、
その枝を白く残した。 8
若い時の夫を失った喪服を着た若い女のように嘆け。 9
穀物の供え物と飲み物の供え物が
主の家から絶たれた。 祭司たちは嘆き、
主の前に仕える者たちは嘆く。 10
畑は荒れ果て、
地は嘆く。 穀物は減び、 新しい酒は干上がり、
オリーブ油は失敗する。 11
絶望せよ、農夫たちよ、
嘆け、ぶどうの栽培者たちよ、
小麦と大麦のために、
畑の収穫が台無しになったからだ。 12
ぶどうの木は干上がり、 いちじくの木は枯れた。
ざくろ、ヤシ、リンゴの木—
野のすべての木々が干上がった。
確かに、人類の喜びは枯れ果てた。 13
喪服を着て嘆け、祭司たちよ；
嘆け、祭壇に仕える者たちよ。
来て、喪服を着て夜を過ごせ、
私の神に仕える者たちよ、
穀物の供え物と飲み物の供え物が
あなたたちの神の家から絶たれたからだ。 14
聖なる断食を宣言せよ； 神聖な集会を招集せよ。
長老たちを集めよ 地に住むすべての者を
あなたたちの神、主の家に、 主に呼び求めよ。 15

ああ、その日よ！ 主の日は近いからだ；
それは全能者からの破壊として来るだろう。 16
食物は私たちの目の前で絶たれ、
喜びと楽しみが、私たちの神の家から絶たれたのではないか？ 17
種は土の下でしおれ、
倉庫は荒れ果て、 穀倉は壊れた、 18
穀物が干上がったからだ。
牛たちはどうしてうめくのか！
群れは目的もなくさまよう 牧草地がないからだ；
羊の群れさえも苦しんでいる。 19
主よ、あなたに呼び求めます、
火が荒野の牧草地を食い尽くし
炎が野のすべての木々を焼き尽くしたからです。
20 野生の動物さえもあなたを求めてあえぎます；
水の流れは干上がり、
火が荒野の牧草地を食い尽くしました。

2 シオンでラッパを吹き鳴らせ。
わが聖なる山で警報を上げよ。
地の住民は皆震えおのけ、
主の日が来るからだ。 確かに、それは近い— 2
暗闇と陰鬱の日、 雲と濃い暗闇の日。
夜明けが山々に広がるように、
偉大で力強い民が起こる。
それに類するものはかつてなく、
多くの世代にわたって再びないであろう。 3
彼らの前では火が焼き尽くし、
彼らの後ろでは炎が食い尽くす。
彼らの前の地はエデンの園のようだが、
彼らの後ろは荒れ果てた荒野である。 —
何も彼らから逃れられない。 4
彼らの姿は馬のようであり、
戦馬のように駆ける。 5
戦車のような音を立てて、
彼らは山頂を飛び越える。
燃え尽くす炎のパチパチという音のように、
戦いのために整列した強大な軍隊のように。 6
彼らの存在に、国々は苦しみ、
すべての顔が青ざめる。 7
彼らは戦士のように突進し、
兵士のように壁をよじ登る。
各々が列を成して進み、
その道から逸れることはない。 8
彼らは互いに押し合わず、
各々がまっすぐに進む。
隊列を乱すことなく防御を突破する。 9
彼らは都市を襲い、 壁に沿って走り、
家に登り、 窓から盗人のように入る。 10
彼らの前では地は震え、 天は揺れ動き、
太陽と月は暗くなり、 星はその輝きを失う。 11

ヨエル書

主はその軍の先頭で雷鳴を轟かせる。
その陣営は非常に偉大であり、
その言葉を実行する者は力強い。
主の日は偉大で非常に恐ろしい。
誰がそれに耐えられるだろうか？
「しかし今でも」と主は言われる。
「心を尽くしてわたしに帰れ、
断食と泣きと嘆きと共に。」
あなたの心を裂け、衣を裂くのではなく。
あなたの神、主に帰れ。
彼は恵み深く、憐れみ深く、
怒るのに遅く、愛に満ちており、
災いを下すことを思い直される。
誰が知っているだろうか？ 彼が思い直し、
祝福を残してくださるかもしれない。
穀物の捧げ物と飲み物の捧げ物を
あなたの神、主に。
シオンでラッパを吹き鳴らせ、断食を聖別し、
聖なる集会を呼び集めよ。 民を集め、
会衆を聖別せよ。 長老を集め、
子供たちと乳飲み子を集めよ。
花婿はその部屋を出、花嫁はその寝室を出よ。
主の前で仕える祭司たちは、
廊下と祭壇の間で泣け。 彼らに言わせよ、
「主よ、あなたの民を惜しんでください。
あなたの相続を恥としないでください、
国々の間でのことわざとしないでください。
なぜ彼らが民の間で、
『彼らの神はどこにいるのか？』と言うべきでし
ょうか？」
そのとき、主はその地を熱心に愛し、その民に憐れ
みを示された。 主はその民に答えられた。

「わたしはあなたに穀物、新しいぶどう酒、油を
送り、 あなたを十分に満たす。
再びあなたを国々の間で恥としない。
「わたしは北の軍隊をあなたから遠ざけ、
乾いた荒地に追いやる。 その先陣を東の海に、
その後陣を西の海に。
その悪臭は上がり、その臭いは立ち上る。」
確かに彼は偉大なことを成し遂げた！
ユダの地よ、恐れるな。 喜びな、
主が偉大なことを成し遂げたからだ！
野の獣よ、恐れるな。
荒野の牧草地が緑になりつつあるからだ。
木々はその実を結び、
いちじくの木とぶどうの木はその富をもたらす。

シオンの民よ、喜べ、

あなたの神、主にあつて喜べ。
彼はその誠実さの中で初めの雨をあなたに与えた。
豊かな雨を送る、
初めの雨も後の雨も以前のように。
脱穀場は穀物で満ち溢れ、
酒ぶねは新しいぶどう酒と油で溢れる。
「わたしはあなたに年々を償う、
いなごが食べた年々を—大いなるいなご、
若いいなご、他のいなご、いなごの群れ—
わたしがあなたの中に送ったわたしの大いなる軍
隊。
あなたは満ち足りるまで食べ、
あなたの神、主の名を賛美する。
彼はあなたのために奇跡を行った。
再びわたしの民は恥をかかされない。
そのとき、あなたはわたしがイスラエルの中にい
ることを知る。
わたしがあなたの神、主であることを知る。
他にはいない。
再びわたしの民は恥をかかされない。
「その後、
わたしはわたしの霊をすべての人に注ぐ。
あなたの息子たちと娘たちは預言し、
あなたの老人たちは夢を見、
あなたの若者たちは幻を見る。
その日には、わたしのしもべたちにも、
男も女もわたしの霊を注ぐ。
わたしは天と地に奇跡を示す、
血と火と煙の柱を。
月は血に変わる。
主の偉大で恐ろしい日が来る前に。
そして、すべて主の名を呼ぶ者は 救われる。
シオンの山とエルサレムには 救いがある。
主が言われたように、
主が呼ぶ生存者たちの中にも。

3 「その時、私はユダとエルサレムの繁栄を回復
します。 私はすべての国々を集め、
ヨシャパテの谷に連れて行きます。
そこで私は彼らと裁きを行います。
私の民、私の相続であるイスラエルのために、
彼らは国々の間に散らされ、
私の地を分割しました。
彼らは私の民のためにくじを引き、
少年を娼婦と交換し、
少女を酒を飲むために売りました。

「さて、あなたたちは私にとって何なのか、ツロ、
シドン、そしてペリシテのすべての地域よ？あなた
たちは私に何かを返しているのか？もし私に返して

ヨエル書

いるのなら、私は速やかにあなたたちの報復をあなたたち自身の頭上に返します。 5

あなたたちは私の銀と金を奪い、私の最上の宝をあなたたちの神殿に持ち込みました。 6

あなたたちはユダとエルサレムの民をギリシャ人に売り、彼らを故郷から遠く離れた場所に移しました。 7

「見よ、私は彼らをあなたたちが売った場所から呼び起こし、あなたたちの報復をあなたたち自身の頭上に返します。 8

私はあなたたちの息子と娘をユダの民の手に売り、彼らは彼らを遠く離れた国のサバ人に売るでしょう。」主がそう語られた。

9 国々の間でこれを宣言せよ：戦争の準備をせよ！ 戦士たちを奮い立たせよ！

すべての兵士たちは前進し、攻撃せよ。 10

鋤を剣に打ち直し、 剪定鉤を槍に変えよ。

弱き者は今、「私は強い！」と言え。 11

速やかに来たれ、周囲のすべての国々よ、そこに集まれ。

主よ、あなたの戦士たちを下し給え。 12

国々を目覚めさせ、 ヨシャパテの谷に進ませよ、そこで私は座して裁きを行う

周囲のすべての国々を。 13

鎌を振れ、収穫は熟した。

来たれ、葡萄を踏み、酒槽は満ち、槽は溢れている—彼らの悪は大いなるものだ！ 14

群衆が群衆を成して決断の谷に集まる！

主の日は決断の谷に近い。 15

太陽と月は暗くなり、 星々はその輝きを失う。 16

主はシオンから吠え、エルサレムから雷鳴を轟かせる；

天と地は震える。

しかし主はその民の避難所となり、

イスラエルの子らの砦となる。 17

「その時、あなたたちは私があなたたちの神、主であることを知るだろう、

私の聖なる山シオンに住む。

エルサレムは聖なる地となり；

二度と異邦人が彼女を通過することはない。 18

「その日、山々は甘い葡萄酒を滴らせ、丘は乳を流し；

ユダのすべての小川は水で満ちる。

主の家から泉が湧き出し、

シッティムの谷を潤す。 19

しかしエジプトは荒れ地となり、

エドムは荒涼とした荒野となる、

ユダの民に対する暴力のために、

彼らの地で無実の血を流したからだ。 20

しかしユダは永遠に住まれ、

エルサレムはすべての世代にわたって。 21

彼らの無実の血を無視しておくべきか？いや、私はそうしない。」

主はシオンに住まわれる！

アモス書

1 テコアの羊飼いの一人であるアモスの言葉。彼がユダの王ウジヤとイスラエルの王ヨアシュの子ヤロブアムの治世中、地震の二年前にイスラエルについて見た幻。² 彼は言った。

「主はシオンから吠え、
エルサレムから声を轟かせる。
羊飼いの牧場は嘆き、カルメルの頂は枯れる。」

³ 主はこう言われる。

「ダマスコの三つの罪のため、四つの罪のために、
私はその罰を撤回しない。
彼らが鉄のそりでギルアデを打ち砕いたからだ。
⁴ 私はハザエルの家に火を送り、
それはベン・ハダデの要塞を焼き尽くす。
⁵ 私はダマスコの門のかんぬきを折り、
アベンの谷から支配者を絶ち、
ベテ・エデンから王杖を持つ者を絶つ。
アラムの民はキルに捕囚されて行く。」

主は言われる。⁶ 主はこう言われる。

「ガザの三つの罪のため、四つの罪のために、
私はその罰を撤回しない。
彼らが共同体全体を捕らえ、
エドムに引き渡したからだ。
⁷ 私はガザの城壁に火を送り、
それは彼女の要塞を焼き尽くす。
⁸ 私はアシュドドから支配者を絶ち、
アシュケロンから王杖を持つ者を絶つ。
私はエクロンに手を向け、
ペリシテ人の残りの者は滅びる。」

主なる神は言われる。⁹ 主はこう言われる。

「ツロの三つの罪のため、四つの罪のために、
私はその罰を撤回しない。
彼らが兄弟の契約を無視して、
共同体全体をエドムに引き渡したからだ。
¹⁰ 私はツロの城壁に火を送り、
それは彼女の要塞を焼き尽くす。」

¹¹ 主はこう言われる。

「エドムの三つの罪のため、四つの罪のために、
私はその罰を撤回しない。 彼が剣で兄弟を追い、
憐れみを抑えたからだ。
彼の怒りは絶え間なく燃え、
その激怒は止まらなかった。
¹² 私はテマンに火を送り、
それはボズラの要塞を焼き尽くす。」

¹³ 主はこう言われる。

「アンモンの子らの三つの罪のため、四つの罪のために、
私はその罰を撤回しない。
彼らがギルアデの妊婦を裂き、
自分たちの領土を広げるために行ったからだ。
¹⁴ 私はラバの城壁に火をつけ、
それは彼女の要塞を焼き尽くす。
戦いの日の叫び声の中で、嵐の日の暴風の中で。
¹⁵ 彼らの王は捕囚されて行く、
彼とその高官たちが共に。」

主は言われる。

2 主はこう言われる。

「モアブの三つの罪のため、四つの罪のために、
わたしはその罰を撤回しない。
彼がエドムの王の骨を焼いて石灰にしたからだ。
² それゆえ、わたしはモアブに火を送る。
それはクリオオテの城壁を焼き尽くす。
モアブは騒ぎの中で死に、
戦いの叫びとラッパの音と共に滅びる。
³ わたしは彼らの中から裁判官を取り除き、
彼と共にすべての指導者を終わらせる」と
主は言われる。

⁴ 主はこう言われる。

「ユダの三つの罪のため、四つの罪のために、
わたしはその罰を撤回しない。
彼らが主の律法を拒み、
その掟を守らなかったからだ。
彼らの偽りが彼らを惑わせた、
彼らの父たちが従ったものが。
⁵ それゆえ、わたしはユダに火を送る。
それはエルサレムの要塞を焼き尽くす。」

⁶ 主はこう言われる。

「イスラエルの三つの罪のため、四つの罪のために、
わたしはその罰を撤回しない。
彼らが正しい者を金で売り、
貧しい者を一足のサンダルで売ったからだ。
⁷ 彼らは貧しい者の頭を地の塵に踏みつけ、
困窮者を道から押しのける。
一人の男とその父が同じ少女と性的関係を持ち、
わたしの聖なる名を汚す。
⁸ 彼らは担保として取った衣服の上にすべての祭壇のそばで横たわり、
彼らの神の家で罰せられた者たちのワインを飲む。
⁹ それでも、わたしが彼らの前からアモリ人を取り除いた。
彼の背丈は杉のようであり、
彼は煙のように強かった。」

アモス書

わたしは彼の上の実と下の根をも滅ぼした。¹⁰
わたしがあなたたちをエジプトの地から連れ出し、
荒野で四十年間導いた。
それはあなたたちがアモリ人の地を所有するため
であった。¹¹
そして、わたしはあなたたちの息子たちの中から
預言者を、
若者たちの中からナジル人を任命した。
これはそうではないか、イスラエルの子らよ？」
主の言葉。¹²
「しかし、あなたたちはナジル人にワインを飲ませ、
預言者たちに命じて言った、
『預言してはならない！』」¹³
見よ、わたしはあなたたちを押しつぶす、
ちょうど穂で満たされた荷車が押しつぶされるように。¹⁴
速い者の逃げ場はなく、
強い者はその力を強めず、
戦士はその命を救えない。¹⁵
弓を引く者は立ち続けず、
足の速い者は逃げられず、
騎兵もその命を救えない。¹⁶
勇敢な戦士たちの中で最も勇敢な者もその日には
裸で逃げる」と主の言葉。

3 イスラエルの民よ、エジプトの地から連れ上った
全家に対して、主があなたがたに語られたこの
言葉を聞け。

²
「地のすべての家族の中で、あなたのみを知っている。
それゆえ、あなたのすべての罪のために、あなたを
罰する。」³
二人が会うことに同意しなければ、一緒に歩むことが
できるだろうか？⁴
獲物がないときに、森でライオンが吠えるだろうか？
若いライオンが何かを捕らえない限り、その巢穴から
うなるだろうか？⁵
鳥が餌のない地面の畛に落ちるだろうか？
何も捕らえていないときに、畛が地面から跳ね上がる
だろうか？⁶
都市でラッパが鳴るなら、人々は震えないだろうか？
災難が都市に降りかかるなら、それを主がもたらさない
だろうか？⁷ 主なる神は何も行わない。
その秘密の計画を
そのしもべである預言者たちに明かさない限り。
⁸ ライオンが吠えた—誰が恐れないだろうか？
主なる神が語られた—

誰が預言せずらいられようか？⁹
アシュドドの要塞とエジプトの地の要塞に告げよ：
「サマリアの山々に集まれ、
その中の大きな混乱と その中の圧迫を見よ。」¹⁰
「彼らは正しいことを行うことを知らない」と主
は宣言する。
「彼らは要塞に暴力と荒廃を蓄えている。」

¹¹
それゆえ、これが主なる神が言われることである：

「敵が地を囲み、 あなたの防御を打ち倒し、
あなたの要塞は略奪される。」

¹² これが主が言われることである：

「羊飼いがライオンの口から
二本の脚や耳の一部を救い出すように、
サマリアのイスラエル人も救われる。
ベッドの隅やソファの布の一部だけで。」¹³
「開け、そしてヤコブの家に対して証言せよ」
と主なる神、万軍の神は言われる。¹⁴
「イスラエルの罪を罰する日に、
ベテルの祭壇も破壊する。
祭壇の角は切り落とされ、 地に落ちる。」¹⁵
冬の家と夏の家を共に取り壊す。
象牙で飾られた家々は滅び、
大きな家々は終わりを迎える」

と主は宣言する。

4 サマリアの山にいるバシヤンの肥えた女たちよ、
この言葉を聞け。

貧しい者を虐げ、乏しい者を押しつぶし、
夫たちに「持つて来い、飲もうではないか」と言う
者たちよ。²
主なる神はその聖さによって誓われた、
「見よ、日があなたたちに臨む。
彼らはあなたたちを肉鉤で引き出し、
最後の者を魚鉤で引き出す。
あなたたちは壁の裂け目を通して出て行き、
各々まっすぐに進み、
ハルモンに投げ出される」と 主は言われる。⁴
「ベテルに行って罪を犯せ、
ギルガルで罪を増やせ！
毎朝あなたたちの犠牲を持つて来い、
三日ごとにあなたたちの十分の一を持つて来い。
⁵ また、発酵したものから感謝の捧げ物を捧げ、
自発的な捧げ物を宣言し、それを知らせよ。
イスラエルの子らよ、これがあなたたちの好むこと
だ」と 主なる神は言われる。⁶
「しかし、私はあなたたちのすべての町で空腹を

アモス書

与え、すべての場所でパンの不足を与えたが、それでもあなたたちは私に帰らなかった」と主は言われる。⁷

「さらに、私は収穫までまだ三か月あるのに、あなたたちから雨を控えた。私は一つの町に雨を降らせ、別の町には雨を降らせない。一つの部分は水を得、雨のない部分は乾ききる。⁸

それで二つか三つの町が他の町に水を飲みにもさまようが、満たされることはない。それでもあなたたちは私に帰らなかった」と主は言われる。⁹

「私は焼けつく風とカビであなたたちを打った。毛虫があなたたちの多くの庭やブドウ畑、イチジクの木、オリーブの木を食い尽くした。それでもあなたたちは私に帰らなかった」と主は言われる。¹⁰

「私はエジプトのように疫病をあなたたちに送った。あなたたちの若者を剣で打ち倒し、捕らえた馬と共に、あなたたちの陣営の悪臭をあなたたちの鼻に立ち上らせた。それでもあなたたちは私に帰らなかった」と主は言われる。¹¹

「私はソドムとゴモラにしたように、あなたたちに破壊をもたらした。あなたたちは火から引き抜かれた燃えさしのようだった。それでもあなたたちは私に帰らなかった」と主は言われる。¹²

「それゆえ、イスラエルよ、私はあなたたちにこれを行う。私がこれをあなたたちに行うゆえに、あなたたちの神に会う準備をせよ、イスラエルよ。」¹³ 見よ、山を形成し、風を創造し、人にその思いを示し、夜明けを暗闇に変え、地の高き所を踏む方、万軍の神、主がその名である。

5 イスラエルの家よ、この言葉を聞け、私があなたに向かってこの哀歌を上げる：

² 「乙女イスラエルは倒れた、彼女はもう立ち上がらない。彼女はその地に見捨てられ、彼女を起こす者はいない。」³

主なる神がイスラエルにこう言われる：
「千を送り出す町は 百が残り、
百を送り出す町は 十が残る。」

⁴ 主がイスラエルの家にこう言われる：

「私を求めよ、そうすれば生きる。⁵
ベテルを求めるな、ギルガルへ行くな、
ベエル・シェバを越えるな；
ギルガルは必ず捕囚に行き、
ベテルは無に帰する。」⁶

主を求めよ、そして生きよ、
さもなければ彼はヨセフの家に火を放ち、
それを焼き尽くし、ベテルのためにそれを消す者はいない。⁷ 正義を苦味に変え、
義を地に投げ捨てる者たちがいる。⁸

ブレアデスとオリオンを造り、
深い闇を朝に変え、 昼を夜に暗くし、
海の水を呼び出し、 それを地の表に注ぐ者
主がその名である。⁹

彼は要塞に突然の破壊をもたらし、
堅固な町に破壊が来る。¹⁰
彼らは門で戒める者を憎み、
真実を語る者を軽蔑する。¹¹

それゆえ、あなたがたは貧しい者に重い賃料を課し、
穀物の税を取るので、
あなたがたが切り石の家を建てても、
そこに住むことはない；
あなたがたが楽しい葡萄園を植えても、
その葡萄酒を飲むことはない。¹²

あなたがたの罪がどれほど多いか、あなたがたの罪がどれほど大きいかを私は知っている。
あなたがたは正しい者を圧迫し、賄賂を受け取り、
門で貧しい者を退ける。¹³

それゆえ、賢い者はこのような時に黙っている、
それは悪い時だからである。¹⁴
善を求め、悪を求めるな、そうすれば生きる；
そうすれば、全能の神、主があなたがたと共にいる、
あなたがたが言うように。¹⁵

悪を憎み、善を愛し、 門で正義を確立せよ。
もしかすると、全能の神、主が
ヨセフの残りの者に恵みを施すかもしれない。

¹⁶ それゆえ、主、全能の神がこう言われる：

「すべての通りで泣き叫びがあり、
すべての広場で苦痛の叫びがある。
農夫たちは嘆きに呼ばれ、
専門の嘆き人たちは哀悼に呼ばれる。¹⁷
すべての葡萄園で哀悼がある、
私があなたがたの中を通り過ぎるからだ」と主は言われる。¹⁸

主の日を待ち望む者たちに災いあれ！
なぜ主の日を望むのか？
それは光ではなく、闇である。¹⁹
それは、ライオンから逃げて

アモス書

熊に出会うようなものだ、
または家に入って壁に手をついて
蛇に噛まれるようなものだ。²⁰
主の日は光ではなく 闇ではないか—
真っ暗で、明るさのかけらもない。²¹
「私はあなたがたの祭りを憎み、軽蔑する；
あなたがたの集会は私にとって悪臭だ。²²
あなたがたが燔祭や穀物の捧げ物を持ってきても、
私はそれを受け入れない。
あなたがたの肥えた動物の和解の捧げ物を顧みない。²³ あなたがたの歌の音を私から取り去れ；
私はあなたがたの堅琴のメロディを聞かない。²⁴
しかし、正義を川のように流れさせ、
義を絶え間ない流れのように流れさせよ。²⁵
「あなたがたは荒野で四十年間、
私に犠牲や捧げ物を捧げたか、イスラエルの家よ？²⁶
あなたがたはあなたがたの王シククトとあなたが
たの偶像キユンを携えた、
あなたがたが自分たちのために作った神々の星を。²⁷
それゆえ、私はあなたがたをダマスコを越えて捕囚に送る」と

主は言われる、その名は全能の神である。

6 シオンで安逸をむさぼる者たち、
サマリアの山で安らかにしている者たちに災いあれ。
イスラエルの家が来る、最も優れた国の著名な人々に。² カルネに渡って見よ、
そこから大ハマテに行き、
そしてベリシデのガテに下れ。
彼らはあなたの王国より優れているか、
その領土はあなたのものより広いのか。³
災いの日を先延ばしにし、
暴力の座を近づける者たちよ。⁴
象牙を飾った寝台に横たわり、
ソファに伸びている者たち、
羊の群れから子羊を食べ、
牛舎の中の子牛を食べる者たちよ。⁵
ダビデのようにハーブをかき鳴らし、
自分たちのために楽器を発明する者たちよ。⁶
ボウルでワインを飲み、
最上の油で自分を塗る者たちよ、
しかしヨセフの没落を悲しんでいない。⁷
それゆえ、彼らは最初に捕囚に行くことになり、
横たわる者たちの宴会は終わる。

8
万軍の神、主はご自身にかけて誓われた、主なる神は宣言される。

「ヤコブの誇りを憎み、 その要塞を嫌う。
それゆえ、私はその都市とその中にあるすべてを引き渡す。」

9
そして、もし一つの家に十人が残っているなら、彼らは死ぬ。¹⁰
そして、親戚や葬儀屋が家から骨を運び出しに来て、家の最も奥にいる者に「他に誰かいますか？」と言ひ、彼が「いない」と答えると、「静かに！主の名を口にしてはならない」と応える。

11
見よ、主が命じられたので、
大きな家を粉々にし、小さな家を瓦礫にする。¹²
馬は岩の裂け目で走るか？ 牛で海を耕すか？
それでもあなたたちは正義を毒に変え、
義の実を苦味に変えた—¹³ ロ・デバルを喜び、
「我々は自分たちの力でカルナウムを捕らえたではないか」と言う者たちよ。¹⁴
「見よ、私はあなたに対して国を起こす、イスラエルの家よ」と 万軍の神、主は宣言される。
「彼らはハマテの入口から
アラバの小川まであなたを圧迫する。」

7 これは神である主が私に示されたことです。主は、王の収獲の直後、遅い作物が芽を出す頃に、いなごの群れを形成していました。²
彼らが地の植物を食い尽くしたとき、私は嘆願しました。「神である主よ、赦してください！ヤコブはどうして耐えられましょうか？彼はとても小さいのです！」³
主はこのことについて思い直されました。「それは起こらない」と主は言われました。⁴
これは神である主が私に示されたことです。主は火による裁きを呼び起こし、大いなる深淵を干上がらせ、地を食い尽くし始めました。⁵
それで私は嘆願しました。「神である主よ、やめてください！ヤコブはどうして耐えられましょうか？彼はとても小さいのです！」⁶
主はこのことについて思い直されました。「これもまた起こらない」と神である主は言われました。⁷
これは主が私に示されたことです。主は垂直に建てられた壁のそばに立ち、手に下げ振りを持っています。⁸
そして主は私に、「アモス、何が見えるか？」と尋ねました。私は答えました、「下げ振りです。」すると主は言われました、「見よ、私はわが民イスラ

アモス書

エルの中に下げ振りを置く。彼らをもう見逃さない。
。

9 イサクの高き所は荒れ果て、
イスラエルの聖所は廃墟となる。
私はエロポアムの家に剣をもって立ち向かう。」

10 そのとき、ベテルの祭司アマツヤはイスラエルの王
エロポアムに使者を送って言いました、「アモスが
イスラエルの心であなたに対して陰謀を企んでいます。国は彼の言葉を耐えられません。」
11 これはアモスが言っていることです：

『エロポアムは剣で死に、
イスラエルは必ず自分たちの地から追放される。
』」

12 それからアマツヤはアモスに言いました、「去れ、
先見者よ！ユダの地に逃げて行け。そこでパンを稼
ぎ、そこで預言せよ。」
13 しかし、ベテルではもう預言してはならない。こ
こは王の聖所であり、王の宮殿だから。」
14 アモスはアマツヤに答えました、「私は預言者でも
預言者の子でもなく、羊飼いであり、いちじく桑の
木を手入れする者でした。」
15 しかし、主は私を羊の群れから呼び出し、『行け、
わが民イスラエルに預言せよ』と命じられました。
16 それゆえ、今、主の言葉を聞け。

あなたは言う、『イスラエルに対して預言するな
、イサクの家に対して説教するな』と。

17 それゆえ、これは主が言われることです：

『あなたの妻は町で娼婦となり、
あなたの息子と娘は剣で倒れ、
あなたの地は測り縄で分けられ、
あなた自身は汚れた土で死ぬ。
そしてイスラエルは必ず自分たちの地から追放さ
れる。』」

8 これは神である主が私に示されたことです。夏
の果物の籠。
2

そして彼は尋ねました、「アモス、何が見える
か？」私は答えました、「夏の果物の籠です。」す
ると主は言われました、「私の民イスラエルの終わ
りが来た。私はもう彼らを容赦しない。」
3 「その日には」と神である主は宣言されます、「神
殿の歌は嘆きに変わる。多くの死体が至る所に投げ
捨てられる！沈黙せよ！」

4

このことを聞け、貧しい者を踏みにじり、地の謙
遜な者を排除する者たちよ、
5

「いつ新月が終わるのか、私たちが穀物を売るた
めに、
安息日が終わるのか、私たちが小麦を市場に出す
ために？」 — 計量を減らし、価格を上げ、
不正なばかりで欺く者たちよ、
6
銀で貧しい者を買ひ、
サンドル一足で困窮者を買ひ、
小麦のくずさえも売る者たちよ。

7 主はヤコブの誇りにかけて誓われた：
「私は彼らの行いを決して忘れない。」

8 このために地は震えないだろうか、
そこに住むすべての者が嘆かないだろうか？
全地はナイル川のように盛り上がり、
かき回され、
そしてエジプトの川のように沈むだろう。

9 「その日には」と神である主は宣言されます、
「私は正午に太陽を沈ませ、
真昼に地を暗くする。」
10 あなたの祭りを嘆きに変え、
あなたの歌をすべて哀歌に変える。
すべての人に荒布を着せ、頭を剃らせる。
それをひとり子のための嘆きのようにし、
その終わりを苦い日とする。
11 「見よ、その日が来る」と神である主は宣言され
ます、
「私は地に飢饉を送る —
パンの飢饉でも水の渇きでもない、
12 主の言葉を聞く飢饉を。
人々は海から海へとさまよい、
北から東へと旅し、
主の言葉を求めるが、
それを見つけることはない。」

13 その日には

美しい若い女性たちと
力強い若い男たちが渇きで気を失う。
14 サマリアの罪を誓う者たち、
『あなたの神が生きているように、ダン』と言う
者たち、
または、『ベエルシェバの道が生きているように
』と言う者たち、
彼らは倒れ、再び立ち上がることはない。」

9 私は祭壇のそばに立っている主を見た。主は言
われた、

「柱の頭を打ち、敷居が震えるようにせよ、

アモス書

そして彼らすべての頭上でそれを砕け！
その後、残りの者を剣で滅ぼす。
逃げる者は逃げられず、
生き残る者は逃れられない。
たとえ彼らがシェオルに掘り下げても、
そこから私の手が必要を取る。
たとえ彼らが天に上っても、
そこから私は彼らを引き下ろす。
たとえ彼らがカルメルの頂に隠れても、
私はそこから彼らを追い出し、捕らえる。
たとえ彼らが私の目から海の底に隠れても、
私はそこから蛇を命じて彼らを噛ませる。
たとえ彼らが敵に捕らえられて捕囚となっても、
そこから私は剣を命じて彼らの終わりをもたらす。
私は彼らに対して悪を行うために目を向け、善を行わない。」
軍勢の神である主、
地を触れてそれを震わせる方、
その中に住むすべての者が嘆く、
それはナイル川のように盛り上がり、
エジプトのナイル川のように沈む。
天にその上の部屋を作り、
地にそのアーチを設ける方、海の水を呼び出し、
それを地の表に注ぐ方、主がその名である。
「イスラエルの子らよ、あなたたちは私にとってエチオピアの子らようではないか？」と主は言われる。
「私はイスラエルをエジプトの地から上らせ、
ペリシテ人をカフトルから、アラム人をキルから
上らせたではないか？」
見よ、主なる神の目は罪深い王国に向けられてい

る。
私はそれを地の面から滅ぼす。
しかし、ヤコブの家を完全には滅ぼさない」と
主は言われる。
私はすべての国々の中でイスラエルの家をふるい
にかけろ。穀物がふるいにかけられるように、
しかし、小石一つも地に落ちない。
私の民の中のすべての罪人は剣で滅びる。
彼らは言う、『災害は私たちを追い越さず、私た
ちに立ち向かわない』と。
その日、私はダビデの倒れた仮庵を復興し、
その破れを修理し、その廃墟をも復興し、
昔の日のようにそれを建て直す。
それは彼らがエドムの残りの者と
私の名を持つすべての国々を継承するためである
」とこれを成し遂げる主は言われる。
「見よ、日が来る」と主は言われる、
「耕す者が刈り取る者を追い越し、
ぶどうを踏み者が種をまく者を追い越す時が来る
。山々は甘いぶどう酒を滴らせ、
すべての丘は崩れる。
私はまた、私の民イスラエルの繁栄を回復し、
彼らは荒廃した都市を再建し、そこに住む。
彼らはまた、ぶどう畑を植え、そのぶどう酒を飲
み、庭を作り、その果実を食べる。
私はまた、彼らを彼らの地に定住させ、
彼らが再び私が与えた地から追い出されることは
ない」と
あなたの神、主は言われる。

オバデヤ書

1 オバデヤの幻。
主なる神がエドムについてこう言われた—

私たちは主からの報告を聞いた。
そして、使者が国々の間に送られ、こう言った、
「立て、彼女に対して戦いに行こう」と— 2
「見よ、私はあなたを国々の間で取るに足らない
者とする。 あなたは大いに軽蔑されている。」 3
あなたの心の高慢があなたを惑わせた。

岩の裂け目に住む者よ、
あなたの住まいの高さにおいて、
あなたは心の中で言う、
『誰が私を地に引き下ろすことができるのか?』 4
たとえあなたが驚のように巢を高く作り、
星の間にそれを置いても、
そこから私はあなたを引き下ろす」と主は宣言さ
れる。 5

「もし盗人があなたのところに来たなら、
夜の略奪者が—
ああ、あなたはどれほど滅ぼされることか!—
彼らは必要なだけ盗むのではないか?
もしぶどうの収穫者があなたのところに来たなら
、 彼らは残りを残さないのではないか?」 6
ああ、エサウはどれほど探し出され、
彼の隠された宝は略奪されることか! 7
あなたと同盟を結んだすべての人々は
あなたを国境まで送る。
あなたと平和にいる人々は
あなたを欺き、圧倒する。
あなたのパンを食べる者たちは
あなたに待ち伏せを仕掛ける。
(彼には理解がない。)

その日には」と主は宣言される、
「私はエドムから賢者を取り除き、
エサウの山から理解を取り除く。」 9
その時、あなたの勇士たちは恐れる、デマンよ、
それで皆が殺されて エサウの山から消される。 10
あなたの兄弟ヤコブに対する暴力のために、
恥があなたを覆い、あなたは永遠に断たれる。 11
あなたが傍観していたその日に、

異邦人が彼の財産を奪い、
外国人が彼の門に入り、
エルサレムのためにくじを引いたその日に—
あなたも彼らの一人であった。 12
あなたの兄弟の日に喜ぶな、 彼の不幸の日に。
ユダの子らの滅亡の日に喜ぶな。
はい、彼らの苦難の日に誇るな。 13
私の民の門に入るな、 彼らの災難の日に。
はい、あなた、彼らの災難の日に彼らの惨めさを
喜ぶな。
彼らの災難の日に彼らの財産を略奪するな。 14
十字路に立って 彼らの生存者を切り倒すな。
彼らの難民を引き渡すな、 彼らの苦難の日に。 15
主の日は近いからだ、 すべての国々にとって!
あなたがしたように、それがあなたにされる。
あなたの行いはあなた自身の頭に返る。 16
あなたが私の聖なる山で飲んだように、
すべての国々は絶えず飲む。
彼らは飲んで飲み込み、
存在しなかったかのようにになる。 17
しかしシオンの山には逃れる者がいる、
そしてそれは聖なるものとなる。
ヤコブの家は彼らの所有物を所有する。 18
その時、ヤコブの家は火となり、
ヨセフの家は炎となる。
しかしエサウの家は藁のようになる。
彼らはそれを燃やし尽くし、
エサウの家に生き残る者は一人もない!」 19
主が語られたからだ。
その時、ネゲブの者たちはエサウの山を所有し、
シェフェラの者たちはベリシテ人の平野を所有す
る。
彼らはまたエフライムの領土とサマリアの領土を
所有し、 ベニヤミンはギルアデを所有する。 20
そしてイスラエルのこの軍隊の捕囚たち、
カナン人の中にいる者たちはツアレファテまで、
セファラデに在るエルサレムの捕囚たちは、
ネゲブの都市を引き継ぐ。 21
救い主たちはシオンの山に上り、
エサウの山を裁く。 そして王国は主に属する。

ヨナ書

1 アミタイの子ヨナに、主の言葉があった。
2

「立って、あの大きな町ニネベに行き、それに
向かって叫べ。
彼らの悪がわたしの前に上ってきたからだ。」

3
しかしヨナは、主の前から逃れようとしてタルシシ
シュに向かった。彼はヤッファに下り、タルシシ行
きの船を見つけた。運賃を払ってそれに乗り込み、
主の前から逃れるためにタルシシへ向かった。 4
しかし主は海に大風を送られたので、海には激しい
嵐が起こり、船は破壊されそうになった。 5
船員たちは恐れて、それぞれ自分の神に呼び求めた。
彼らは船を軽くするために貨物を海に投げ捨てた。
その間に、ヨナは船の奥の方に降りて行き、横に
なって深い眠りに落ちていた。 6
船長が彼のところに来て言った、
「どうして眠っているのか？」

起きて、あなたの神に呼び求めなさい！
そうすれば、あなたの神が私たちに注意を向けてく
ださる、私たちが滅びないようにしてくださるかも
しれない。」 7

船員たちは互いに言った、「さあ、くじを引いて、
この災いが誰のせいだかを知ろう。」彼
らはくじを引き、くじはヨナに当たった。 8
彼らは彼に尋ねた、「この災いは誰のせいだか
を知ろう。あなたの職業は何か？」

どこから来たのか？ あなたの国はどこか？
どの民に属しているのか？」 9

彼は答えた、「私はヘブライ人、海と陸を造られ
た天の神、主を恐れています。」 10

これを聞いて人々は非常に恐れ、彼に言った、「あ
なたは何をしたのか？」彼らは彼が主の前から逃れ
ていることを知っていたからである。彼がそう言っ
たからである。 11

海はますます荒れ狂ってきたので、彼らは彼に尋ね
た、「海を私たちのために静めるために、あなたに
何をすればよいのか？」 12

彼は答えた、「私を持ち上げて海に投げ込んでくだ
さい。そうすれば海は静まります。この大嵐があな
たたちに降りかかっているのは、私のせいだと知っ
ています。」 13

それにもかかわらず、人々は陸に戻ろうと懸命に漕
いだが、できなかった。海はますます彼らに対して
荒れ狂ってきたからである。 14

そこで彼らは主に呼び求めた、「お願いします、主よ
、この人の命のために私たちを滅ぼさないくださ
い。無実の血の責任を私たちに負わせないくださ

い。主よ、あなたは望まれることを行われました。
」 15

彼らはヨナを持ち上げて海に投げ込んだ。すると海
はその激しさをやめた。 16

その時、人々は主を非常に恐れ、主に犠牲を捧げ、
誓いを立てた。 17

主は大きな魚を備えてヨナを飲み込ませた。ヨナは
三日三晩、魚の腹の中にいた。

2 ヨナは魚の腹の中から彼の神である主に祈り、
2 言った、

「私は苦しみの中で主に呼ばわった、
すると主は私に答えられた。陰府の深みから
助けを求めて叫んだとき、
あなたは私の声を聞かれた。 3
あなたは私を深みに投げ込まれた、海の心に、
流れが私を取り囲んだ；
あなたの波と大波がすべて私の上を越えて行っ
た。 4

私は言った、『私はあなたの御目の前から追い出
された；

しかしもう一度、あなたの聖なる宮に向かつて見
よう。』 5 水は私を死の淵まで包み、

深みが私を取り囲んだ；
海藻が私の頭に巻き付いた。 6

私は山々の根元に沈み、
地はその棒で私を永遠に閉じ込めた。

しかしあなたは、私の神、主よ、私の命を穴から
引き上げられた。 7 私の命が消えかけたとき、
私は主を思い出し、私の祈りはあなたに届いた、
あなたの聖なる宮に。 8

虚しい偶像にしがみつく者たちは
彼らの忠誠を捨てる、 9

しかし私は、感謝の声をもって、
あなたに犠牲を捧げます。

私が誓ったことを果たします。
救いは主から来る。」 10

その後、主は魚に命じ、魚はヨナを陸地に吐き出し
た。

3 主からの言葉が再びヨナに届いた。 2
「立って、大いなる町ニネベに行き、私があな
たに告げる言葉をその町に宣べ伝えよ。」 3

ヨナは立ち上がり、主の言葉に従ってニネベに行っ
た。ニネベは非常に大きな町で、三日かかって歩き
回る必要があった。 4

ヨナは町に入り始め、一日分の道のりを進み、「四
十日後にニネベは滅ぼされる」と宣言した。 5

ヨナ書

ニネベの人々は神を信じ、断食を宣言し、最も偉大な者から最も小さな者まで、粗布をまとった。⁶
その知らせがニネベの王に届くと、彼は王座から立ち上がり、王の衣を脱ぎ、粗布をまとい、灰の中に座った。⁷
彼はニネベで布告を出した。「王とその貴族の命令による：人も獣も、牛も羊も、何も味わってはならない。彼らは食べたり飲んだりしてはならない。⁸
しかし、人も獣も粗布をまとい、皆が熱心に神に呼びかけるようにしよう。彼らの悪しき道と手にある暴力を捨てさせよう。⁹
誰が知っているだろうか？神が思い直し、その激しい怒りを収めて、私たちが滅びないようにしてくださるかもしれない。」¹⁰
神は彼らの行動を見て、彼らが悪しき道を離れたのを見て、思い直し、彼らに下すと告げた災いを下さなかった。

4 しかし、ヨナはこれを非常に不快に思い、怒った。²

彼は主に祈った、「主よ、私がまだ自分の国にいたときに言ったのはこれではありませんか？
だからこそ、私はタルシシュに逃げてこれを防ごうとしたのです。私はあなたが恵み深く、情け深い神であり、怒るのに遅く、愛に富み、災害を送ることを思いとどまる神であることを知っていました。³
今、主よ、どうか私の命を取ってください。私は生

きるよりも死にたいのです。」⁴

しかし、主は尋ねた、「あなたが怒るのは正しいことですか？」⁵

ヨナは出て行き、町の東側に座った。そこで彼は自分のために小屋を作り、その陰に座って、町に何が起るかを見守った。⁶

すると、主なる神は植物を備え、それがヨナの頭を覆って彼の不快感を和らげるために成長し、ヨナはその植物を喜んだ。⁷

しかし、翌日の夜明けに、神は虫を備え、それが植物を攻撃して枯れさせた。⁸

太陽が昇ると、神は焼けつくような東風を備え、太陽がヨナの頭を打ちつけたので、彼は気を失いそうになった。彼は死にたいと思い、「私は生きるよりも死にたい」と言った。⁹

しかし、神はヨナに言った、「あなたが植物のことで怒るのは正しいことですか？」

彼は答えた、「そうです。私はとても怒って死にそうです。」¹⁰

しかし、主は言った、「あなたはこの植物のことを気にしていましたが、そのために労働したわけでも、それを成長させたわけでもありません。それは一夜にして生え、一夜にして滅びました。¹¹

そして、私はニネベという大きな町のことを気にかけないわけにはいきません。そこには右手と左手を区別できない12万人以上の人々と多くの動物がいるのです。」

1 ユダの王、ヨタム、アハズ、ヒゼキヤの時代に、モレシエテのミカに臨んだ主の言葉。彼がサマリアとエルサレムについて見たこと。

2 すべての民よ、開け。地とそこにあるすべてのものよ、注意せよ。

主なる神があなたがたに対して証言される。

聖なる宮から主が、

見よ、主はその住まいを出て、地の高き所を歩まれる。4 山々は主の下で溶け、谷は火の前の蠟のように裂ける。

急な斜面に流される水のように。5 これらすべてはヤコブの背信のため、イスラエルの家の罪のためである。

ヤコブの背信とは何か。それはサマリアではないか。

ユダの高き所とは何か。それはエルサレムではないか。6

それゆえ、私はサマリアを野原の廃墟とし、ぶどう畑の植え場所とする。

彼女の石を谷に投げ入れ、その基を露わにする。

7 彼女のすべての偶像は打ち砕かれ、

彼女のすべての稼ぎは火で焼かれ、

彼女のすべての像は荒れ果てる。

彼女が娼婦の稼ぎから集めたものだから、娼婦の稼ぎに戻るのだ。8

これゆえ、私は嘆き悲しみ、裸足で裸で歩かなければならない。

ジャッカルのように嘆き、ダチョウのように悲しむ。9

彼女の傷は癒しがたい、それはユダにまで及んでいる。

私の民の門にまで、エルサレムにまで達している。10

ガテでそれを告げるな、全く泣くな。

ベテ・レアフに塵にまみれよ。11

シャフィンの住民よ、恥ずかしい裸で進め。

ザアンの住民は逃れられない。

ベテ・エゼルの嘆き：「彼はあなたからその支えを奪う。」12 マロテの住民は

良いことを待つが、災いが主からエルサレムの門に下ってきた。13

ラキシユの住民よ、戦車を準備せよー

彼女はシオンの娘への罪の始まりであったーあなたの中に

イスラエルの反逆の行いが見つかったからだ。14

それゆえ、あなたは別れの贈り物を

モレシエテ・ガテに送る。アクジブの家々はイスラエルの王たちに欺くものとなる。15

さらに、私はあなたに所有者をもたらず、

マレシヤの住民よ。

イスラエルの栄光はアドラムに到達する。16

あなたの喜びの子供たちのために、頭を剃り、髪を切れ。鷲のように禿げよ、彼らはあなたから捕囚に行くからだ。

2 災いだ、悪事を計画する者たち、床の上で悪を企む者たち！

夜が明けるとそれを実行する、それを行う力が彼らにあるからだ。2

彼らは畑を欲しがり、それを奪い、家をも奪い取る。彼らは人とその家を、

人とその相続地を奪取る。3 それゆえ、主はこう言われる、

「見よ、わたしはこの家族に災いを計画している。あなたたちはその首を逃れることはできない。

高慢に歩むことはできない、それは悪い時代だからだ。4

その日、人々はあなたたちに対して嘲りの歌を歌い、

嘆きの歌を唱えて言う、

『我々は完全に滅ぼされた！

彼は我々の民の分け前を変えろ。

彼はそれを私から取り去る！

背信者に我々の畑を分け与える。』5

それゆえ、あなたたちには主の集会でくじによって土地を分け与える者がいない。6

『預言するな』と言う。しかし、これらのことについて預言するのを控えれば、あなたたちの恥は取り除かれない。」7

ヤコブの家よ、言われているのか：

「主の霊はせつかなのか？

これらが主の行いなのか？」

わたしの言葉は正しく歩む者に

良いことをしないのか？8

最近、わたしの民は敵として立ち上がったー

あなたたちは通りすがりの者から

戦争から帰った者から衣服を剥ぎ取る。9

あなたたちはわたしの民の女性を

快適な家から追い出す。

彼らの子供たちからわたしの栄光を

永遠に奪い取る。10 立ち上がって去れ、

これは安息の場所ではない、汚れが破壊をもたらすからだ、痛ましい破壊だ。

11 もし風を追う者がいて、嘘について言うなら、「わたしはあなたたちにワインと強い飲み物について預言しよう」と、

彼はこの民の預言者となるだろう。12

わたしは確かにあなたたち全員を集める、ヤコブよ、

わたしは確かにイスラエルの残りの者を集める。

わたしは彼らを羊の囲いのように集める；
牧草地の真ん中の群れのように
彼らは人々で賑やかになる。¹³
道を開く者が彼らの前に進む；
彼らは突破し、門を通り抜け、それを通して出て行く。
それで彼らの王が彼らの前に進み、
主が彼らを導く。」

3 私は言った、 「ヤコブの頭たちよ、
イスラエルの家の支配者たちよ、 今聞け。
正義を知るのはあなたたちではないか。²
善を憎み、悪を愛する者たち、 彼らの皮を剥ぎ、
骨から肉を引き裂く者たち、³
私の民の肉を食べ、 彼らの皮を剥ぎ、
骨を砕き、 鍋の中の肉のように、
釜の中の肉のように切り刻む者たち！」⁴
その時、彼らは主に呼び求めるが、
主は彼らに答えない。
その時、主は顔を隠される。
彼らが悪い行いをしたからである。⁵
私の民を惑わす預言者たちについて、主はこう言われる、
彼らが歯で何かを嚙むとき、
彼らは「平和」と叫ぶが、
口に何も入れない者に対しては 聖戦を宣言する。
6 それゆえ、あなたたちには幻のない夜が来る、
占いのない暗闇が来る。 預言者たちに日は沈み、
彼らの上に日は暗くなる。⁷
見る者たちは恥をかき、 占い師たちは恥じる。
確かに、彼らは皆口を覆う、
神からの答えがないからである。⁸
一方、私は力で満たされている— 主の霊と共に—
正義と勇気で ヤコブにその過ちを告げ、
イスラエルにその罪を告げるために。⁹
今これを聞け、ヤコブの家の頭たちよ、
イスラエルの家の支配者たちよ、 正義を軽蔑し、
正しいことを歪める者たちよ、¹⁰
暴力でシオンを建て、
不義でエルサレムを建てる者たちよ。¹¹
その指導者たちは賄賂で裁きを行い、
その祭司たちは報酬で教え、
その預言者たちは金で占う。
それでも彼らは主に頼り、言う、
「主は我々の中におられないか。
災いは我々に来ない。」¹²
それゆえ、あなたたちのために
シオンは畑のように耕され、
エルサレムは廃墟の山となり、
神殿の山は森の高き所となる。

4 終わりの日に
主の家の山は 山々の中で最も高く立てられ、
丘よりも高くそびえ、
多くの民がそこに流れて来る。
2 多くの国々が来て言う、
「さあ、主の山に登り、
ヤコブの神の家に行こう。
彼がその道を私たちに教えてくださるから、
私たちはその小道を歩もう。」
シオンから律法が出て、
主の言葉がエルサレムから出るからだ。³
彼は多くの民の間を裁き、
遠くの強大な国々に判決を下す。
彼らは剣を打ち直して鋤とし、
槍を打ち直して鎌とする。
国は国に対して剣を上げず、
もはや戦いを学ばない。⁴
各々が自分のぶどうの木の下に、
いちじくの木の下に座り、
恐れる者は誰もいない。
万軍の主の口がこれを語られたからだ。⁵
すべての民がそれぞれ自分の神の名によって歩むが、
私たちは主、私たちの神の名によって
永遠に歩む。
6 「その日には」と主は言われる、
「私は足の不自由な者を集め、
散らされた者を集め、
私が苦しめた者たちを集める。⁷
足の不自由な者を残りの者とし、
追いやられた者を強大な国とする。
主はシオンの山で彼らを治め、
今から永遠に至るまで。⁸ 群れの塔よ、
シオンの娘の丘よ、 あなたにそれが来る。
かつての支配が戻り、
エルサレムの娘の王国が戻る。⁹
今、なぜ大声で叫ぶのか。
あなたの中に王がいないのか、
あなたの助言者が滅びたのか、
出産する女のように苦しみあなたが捕らえたのか。¹⁰ うめき、叫べ、シオンの娘よ、
出産する女のように。 今、あなたは町を去り、
野に住み、 バビロンに行く。
そこであなたは救われ、
そこで主はあなたを贖い、
敵の手から救ってくださる。
今、多くの国々があなたに集まり、
「彼女を汚せ、
11

私たちの目がシオンを見下すようにしよう」と言う。¹² しかし、彼らは主の思いを知らず、その目的を理解していない。
主は彼らを脱穀場の東のように集められたからだ。¹³ 立ち上がり、打ち砕け、シオンの娘よ、私はあなたの角を鉄とし、あなたのひづめを青銅とする。
あなたは多くの民を打ち砕き、彼らの不正な利益を主に捧げ、彼らの富を全地の主に捧げる。

5 今、軍勢を集めよ、戦士の娘よ。
彼らは私たちを包圍した。
イスラエルの裁き人を 頬で打つだろう。²
「ユダの地にあるベツレヘムよ、ユダの支配者たちの中で決して最も小さくはない

。あなたから私の民イスラエルを救する支配者が出る。彼の出現の時は昔から、永遠の昔の日からである。」³
それゆえ、彼は彼らを引き渡すだろう、産む女が産む時まで。その後、彼の親族の残りがイスラエルの子らに戻る。⁴ そして彼は主の力で彼の群れを救するために立つ。
彼の神、主の名の威厳の中で、彼らは安全に住むだろう、その時、彼は地の果てまで 知られるからである。
⁵ そしてこの者が私たちの平和となる。

アッシリア人が私たちの地を侵略するとき、彼が私たちの城塞を踏みじるとき、私たちは彼に対して
七人の牧者と八人の人々の指導者を立てる。⁶
彼らは剣でアッシリアの地を救し、ニムロデの地をその入口で救する。
彼が私たちの地を侵略し、私たちの領土を踏みじるとき、彼は私たちをアッシリア人から救う。⁷
その時、ヤコブの残りは 多くの民の中に主によって送られた露のように、植物の上の雨のように、 人を待たず、人類を遅らせない。⁸ ヤコブの残りは国々の中に、 多くの民の中に森の動物の中の獅子のように、羊の群れの中の若い獅子のように、もし彼が通り過ぎれば、 踏みじり、引き裂き、救う者はいない。⁹

あなたの手はあなたの敵に対して上がり、あなたのすべての敵は排除される。

「私はあなたの中から馬を取り除き、あなたの戦車を破壊する。¹¹
私はまた、あなたの地の都市を排除し、あなたのすべての要塞を取り壊す。¹²
私はあなたの手から魔術を取り除き、あなたには古い師がいなくなる。¹³
私はあなたの彫刻された像を取り除き、あなたの記念碑をあなたの中から取り除く、それでああなたははや
あなたの手の働きにひれ伏さない。¹⁴
私はあなたの中から聖なる柱を根こそぎにし、あなたの都市を荒廃させる。¹⁵
そして私は従わなかった国々に怒りと憤りで復讐を行う。」

6 今、主が言われることを聞け。
「立ち上がり、山々の前であなたの訴えを述べよ、 丘があなたの声を聞くようにせよ。」²
山々よ、主の訴えに耳を傾けよ、地の永遠の基よ、
主はその民に対して訴えを持っており、イスラエルと争うのだ。³
わが民よ、わたしはあなたに何をしたのか、どのようにしてあなたを煩わせたのか。わたしに答えよ。⁴
確かに、わたしはあなたをエジプトの地から連れ上り、 奴隷の家から解放した。
そして、モーセ、アロン、ミリアムをあなたの前に送った。⁵ わが民よ、思い出せ、モアブの王バラクが計画したこと、ベオルの子バラムが彼にどう答えたか、シッティムからギルガルまでのすべての出来事を、 それによって主の正しい行いを知るために。」
⁶ 何を持って主のもとに行き、高き神の前にひれ伏すべきか。
焼き尽くす献げ物を持って行くべきか、一歳の子牛を持って行くべきか。⁷
主は千の雄羊を喜ばれるだろうか、万の油の川を喜ばれるだろうか。
わたしの罪のために初子を、わが身の実をわが魂の罪のために捧げるべきか。
⁸
彼はあなたに示された、人よ、何が良いのかを。主があなたに求めておられるのは何か、ただ公正を行い、慈しみを愛し、あなたの神と共に謙虚に歩むこと。⁹
主の声が町に呼びかける—あなたの名を畏れることは賢明だ：
「聞け、部族よ。誰がその時を定めたのか。」¹⁰

ミカ書

邪悪な家にまだ誰がいるのか、不義の宝を持ち、
呪われた短い計りを持つ者が。¹¹
不正な天秤を容認できるだろうか、
欺く重りの袋を。¹² 町の富者は暴力に満ち、
その住民は嘘をつき、
その舌は口の中で欺いている。¹³
それゆえ、わたしはあなたを病ませ、打ち倒し、
あなたの罪のために荒廃させる。¹⁴
あなたは食べるが、満足しない、
あなたの汚れはあなたの中に残る。
貴重品を確保しようとするとき、
すべてを救うことはできない、
そして、あなたが救うものは剣に渡される。¹⁵
あなたは種を蒔くが、収穫しない。
オリーブを踏むが、油で自分を塗ることはない；
ぶどうを踏むが、ぶどう酒を飲むことはない。¹⁶
オムリの法令と
アハブの家のすべての慣行が守られ、
あなたは彼らの助言に従う。
それゆえ、わたしはあなたを破滅に渡し、
あなたの住民を嘲笑に渡し、
あなたはわが民の嘲りを耐える。」

7 ああ、わたしは悲しい！
夏の果実の収穫のように、ぶどうの収穫の落ち
穂のように、食べるぶどうの房がなく、
わたしの欲する熟したいいちじくもない。²
敬虔な者は地から絶え、
人の中には正しい者はいない。
皆、血を流そうと待ち伏せし、
互いに網で狩り合う。³
悪を行うことにかけては、両手が巧みである。
指導者は賄賂を求め、
裁判官も、大いなる者も、自分の欲望を語る。⁴
こうして彼らは共にそれを企む。
彼らの中で最も良い者は、いばらの茂みのようで、
最も正しい者は、いばらの垣根のようである。
あなたが見張りを立てる日、
あなたの罰が近づいている。
その時、彼らの混乱が起こる。⁵
隣人を信頼してはならない。
親しい友を頼りにしてはならない。
あなたの口の扉を守れ、
あなたの胸の中にいる彼女から。⁶
息子が父に逆らい、娘が母に逆らい、
嫁が姑に逆らう。人の敵はその家の者である。⁷
しかし、わたしは主を待ち望む。
わたしの救いの神を待ち続ける。
わたしの神はわたしに耳を傾けてくださる。⁸

わたしの敵よ、わたしのことで喜ぶな。
たとえ倒れても、わたしはまた立ち上がる。
たとえ闇に住んでも、主はわたしの光である。⁹
わたしは主の怒りを耐え忍ぶ。
それは、わたしが主に罪を犯したからである。
主がわたしの訴えを弁護し、わたしのために正義
を行うまで。主はわたしを光に導き出し、
わたしは主の義を見る。¹⁰
その時、わたしの敵は見るだろう。
そして、わたしに「あなたの神、主はどこにいる
のか」と言った彼女は恥に覆われる。
わたしの目は彼女を見る。
その時、彼女は街の泥のように踏みじられる。¹¹
あなたの城壁を建てる時が来る。
その日、あなたの境界は広がる。¹²
その日は、人々があなたのもとに来る日である。
アッシリアから、エジプトの都市から、
エジプトからユーフラテスに至るまで、
海から海へ、山から山へと。¹³
地はその住民のために荒れ果てるだろう。
彼らの悪行のために。¹⁴
あなたの杖であなたの民を牧し、
あなたの所有の群れを。それは森の中に住み、
豊かな野の中にいる。
彼らをバシアンとギルアデで養え、
昔の日のように。¹⁵
あなたがエジプトの地から出てきた時のように、
わたしはあなたに不思議を示す。¹⁶
国々は見て恥じるだろう。彼らのすべての力を。
彼らは口に手を当て、
彼らの耳は聞こえなくなる。¹⁷
彼らは蛇のように塵をなめ、
地の爬虫類のように。
彼らは皆から震えながら出てくる。
主なる我々の神のもとに恐れを抱いて来る。
彼らはあなたを恐れる。¹⁸
あなたのような神が誰がいるだろうか。
罪を赦し、
その所有の残りの者の反逆を見過ぐす。
主は怒りを永遠に抱かず、
慈しみを喜ばれるからである。¹⁹
主は再び我々に憐れみを示し、
我々の罪を征服される。
はい、あなたは彼らのすべての罪を
海の深みに投げ込まれる。²⁰
あなたはヤコブに真実を与え、
アブラハムに恵みを与える。
それはあなたが昔の日から
我々の先祖に誓ったものである。

ナホム書

1 ニネベについての宣告。エルコシュ人ナホムの幻の書。

2 主はねたむ神、復讐する神である。
主は憤りに満ちており、敵に復讐する。
主は敵に対して怒りを保たれる。
主は怒るのに遅く、力に満ちている。
罪ある者を罰せずには済まずことはない。
その道はつむじ風と嵐の中にあり、
雲はその足の下のちりである。
主は海を叱って干上がらせ、
すべての川を干上がらせる。
バシャンとカルメルはしおれ、
レバノンの花はしぼむ。
山々は主の前で震え、
丘は溶け去る。
地はその前で揺れ動き、
世界とその住民すべてが震える。
誰がその憤りに耐えられるか。
誰がその激しい怒りに耐えられるか。
その怒りは火のように注がれ、
岩はその前で碎ける。
主は善良であり、
苦難の時の砦である。
主に避け所を求める者を知っている。
しかし、圧倒的な洪水で、その場所を終わらせ、
敵を闇に追い込む。
主に対して企てられたことは、主が終わらせる。
苦難は二度と起こらない。
彼らは茨の絡み合いに捕らえられ、
酒に酔って倒れる。
彼らは乾いた刈り株のように食い尽くされる。
ニネベから出てきた者がいる、
主に対して悪を企む者、邪悪な助言者。

12 主はこう言われる：

「彼らが全力で多くても、
彼らは切り倒されて過ぎ去る。
私があなたを苦しめたが、ユダよ、
もうあなたを苦しめない。
今、私はあなたの首から彼らのくびきを碎き、
あなたの束縛を引き裂く。」
主はあなたについて命じた、ニネベ：
「あなたの名はもう永続しない。
あなたの神々の神殿の彫像と偶像を滅ぼす。
あなたの墓を用意する、
あなたは軽蔑されているから。」
見よ、山々の上に、良い知らせを伝える者の足が、
平和を告げる者がいる！祭りを祝え、ユダよ、
誓いを果たせ。
邪悪な者は二度とあなたを侵略しない。
彼らは完全に滅ぼされた。

2 散らす者があなたに向かって上ってきた。
砦を見張れ、道を見守れ。腰を強くし、
力を尽くせ。
主はヤコブの輝きを
イスラエルの輝きのように回復される。
たとえ破壊者が彼らを荒らし、
彼らのぶどうの木を滅ぼしたとしても。
彼の戦士たちの盾は赤く、
兵士たちは緋色の衣をまとい、
戦車はきらめく金属で輝き、
彼が進む準備をしているとき、
杉の槍が振り回される。
戦車は通りで狂ったように走り、
広場で激しく駆け回る。
その姿はたいまつのように、
稲妻のように行き来する。
彼は貴族たちを思い出す。
彼は行進中につまずき、
彼女の壁に急ぎ、
防壁が準備される。
川の門が開かれ、
宮殿は震える。
それは決定された。
彼女は裸にされ、連れ去られ、
彼女の奴隷の女たちは鳩の声のように嘆き、
胸を打つ。
ニネベはその日々には水の池のようであったが、
今や彼らは逃げている。「止まれ、止まれ」、
しかし誰も振り返らない。
銀を奪え、
金を奪え！
宝の尽きることはない。
あらゆる種類の望ましい物の富。
彼女は空になった！
はい、彼女は荒れ果て、無駄になった！
心は溶け、膝は震え、すべての腰が震えている！
すべての顔が青ざめている！
ライオンの巢はどこにあるのか、
若いライオンの餌場はどこにあるのか、
ライオン、雌ライオン、ライオンの子が歩き回り、
何も彼らを邪魔しなかった場所は？
ライオンは子供たちのために十分に引き裂き、
雌ライオンのために十分に殺し、
彼の巢を獲物で満たし、
彼の巢穴を引き裂かれた肉で満たした。
「見よ、わたしはあなたに立ち向かう」と万軍の
主は宣言する。
「わたしは彼女の戦車を煙で焼き尽くし、
剣はあなたの若いライオンを食い尽くす。
わたしはあなたの獲物を地から取り除き、
あなたの使者の声はもはや聞かれない。」

3 血の街よ、災いだ、欺きと略奪で満ちている。
その獲物は決して去らない。
鞭の音、
車輪の轟音、
馬が駆ける音、
戦車が跳ねる音！
騎兵が突進し、

ナホルム書

剣が閃き、槍が輝き、
多くの者が殺され、死体の山、
死体には終わりがない― 彼らは死体につまずく！

⁴ すべては多くの売春婦の売春行為のため、
魅力的な者、魔術の女主人、
彼女の売春で国々を売り、
彼女の魔術で家族を売る。⁵

「見よ、わたしはあなたに立ち向かう」と万軍の
主は宣言する。

「わたしはあなたのスカートを顔の上に持ち上げ
、 あなたの裸を国々に示し、
あなたの恥を王国に示す。⁶

わたしはあなたに恥を積み重ね、
あなたを軽蔑される者とし、
あなたを見せ物にする。⁷

あなたを見るすべての者は、
あなたから逃げて言う、『ニネベは荒廃した！
誰が彼女に同情を示すだろうか？』

あなたのために慰める者をどこで探そうか？」⁸
あなたはノ・アモンよりも優れているか、
ナイルの運河のそばに位置し、 水に囲まれ、
その防壁は海であり、 その壁は海でできていた。⁹

クシュは彼女の力であり、エジプトも限りなく。
プトとルビムは彼女の助け手の中にいた。¹⁰

それでも彼女は捕虜となり、
捕らわれの身となった。
彼女の小さな子供たちもまた、
通りの頭で打ち砕かれた。

彼らは彼女の尊敬される人々のためにくじを引き
、 彼女の偉大な人々はすべて鎖で縛られた。¹¹
あなたもまた打ち負かされ、 隠されるだろう。

あなたもまた敵から避難所を求めるだろう。¹²
あなたのすべての要塞は熟した果実のあるいちじ
くの木のようだ―

揺れると、食べる者の口に落ちる。¹³
見よ、あなたの兵士は女のようにだ！
あなたの国の門は敵に広く開かれている。

¹⁴ 火があなたの門の棒を焼き尽くす。
包囲のために自分のために水を汲みなさい！
あなたの要塞を強化しなさい！

粘土に入り、モルタルを踏みなさい！
レンガ型を手に取りなさい！¹⁵

そこでは火があなたを焼き尽くし、
剣があなたを切り倒す。

それはあなたをいながらのように焼き尽くす。
自分を這ういながらのように増やしなさい、
移動するいながらのように増やしなさい。¹⁶

あなたはあなたの商人を空の星よりも多くした―
這ういながらはその皮を脱ぎ、飛び去る。¹⁷

あなたの廷臣はイナゴのようであり、
あなたの役人はイナゴの群れのようである。

寒い日に石の壁に宿る―
太陽が昇ると彼らは逃げ、
彼らがいる場所は知られていない。¹⁸

あなたの羊飼いは眠っている、アッシリアの王よ
。 あなたの貴族は横たわっている。

あなたの人々は山々に散らばっており、
彼らを集める者はいない。¹⁹

あなたの崩壊には救いがない、
あなたの傷は治らない。

あなたについて聞くすべての者は、
あなたの上で手を叩く。
あなたの悪が絶えず通り過ぎなかった者は誰か？

ハバクク書

1 預言者ハバククが見た神託。
2
主よ、いつまで私は助けを求めて叫びますか、
あなたは聞いてくださらないのですか？
私は「暴力だ！」と叫びますが、あなたは救って
くださらないのです。 3
なぜあなたは私に不義を見せ、
なぜあなたは悪を黙って見ておられるのですか？
破壊と暴力が私の前にあり、 4
紛争と争いが起こっています。
それゆえ、律法は無力であり、
正義は決して現れません。
悪者が正しい者を取り囲み、
それで正義は歪められています。 5
「国々の中を見て、 観察し、驚愕せよ。
私はあなたの時代に働きをしている、
それは告げられても信じられないようなものだ。 6
見よ、私はカルデア人を起こしている、
その恐ろしい、急進的な国民を、
彼らは地の広がりを行進し、
自分たちのものでない住居を奪い取る。 7
彼らは恐ろしい、そして畏怖すべきものである；
彼らの正義と尊厳は自らから出る。 8
彼らの馬は豹よりも速く、
夕方の狼よりも凶暴である。
彼らの騎兵は誇らしげに進み、
彼らの騎兵は遠くから来る。
彼らは驚のように飛び、急いで食い尽くす。 9
彼らは皆、暴力のために来る、
彼らの顔は前方に向いている。
彼らは砂のように捕虜を集める。 10
彼らは王をあざけり、 君主を笑いものにする。
彼らはすべての要塞を笑い、
土を積み上げてそれを取る。 11
それから彼らは風のように通り過ぎる。
しかし彼らは有罪の人々であり、
彼ら自身の力を神としている。」 12
あなたは永遠からの方ではないのですか、
私の神、私の聖なる方、主よ？
あなたは滅びることはない。
主よ、あなたは彼らを裁きのために任命され、
あなたは、岩なる方、彼らを矯正のために立てら
れた。 13
あなたの目はあまりにも純粹で悪を見られず、
あなたは不正を好んで見られない。
なぜあなたは裏切る者たちを顧みられるのですか？
なぜあなたは黙っておられるのですか、悪者が
自分たちよりも正しい者たちを飲み込むときに？ 14
あなたは人間を海の魚のように、

支配者のいない這うもののようにされた。 15
敵は彼らをすべて釣り針で引き上げ、
彼の網で彼らを引きずり出し、
彼の引き網で彼らを集める；
それで彼は喜び、楽しむ。 16
それゆえ、彼は自分の網に犠牲を捧げ、
彼の引き網に供え物をする；
それによって彼は豊かさを享受し、
彼の食物は豊富である。 17
それなら彼は自分の網を空にし続け、
無慈悲に国々を永遠に殺し続けるのですか？

2 私は見張り所に立ち、 砦に身を置きます。
主が私に何を言われるかを見守り、
私がどのように答えるべきかを考えます。

2 すると主は私に答えて言われた、
「この幻を書き記せ。
それを板に明確に書き記せ、
読む者が走ることができるように。 3
この幻は定められた時に成就するからだ。
それは目標に向かって急ぎ、失敗しない。
たとえ遅れても、それを待て。 4
必ず来る、遅れることはない。
「見よ、高慢な者は、
その魂が彼の内に正しくない。
しかし、義人はその信仰によって生きる。 5
さらに、酒は高慢な者を欺く、
彼はその目標に達しない。
彼はシェオルのように欲望を広げ、
死のように満足することがない。
彼はまた、すべての国々を自分に集め、
すべての民を自分に集める。」

6
これらすべての者が彼に対して嘲りの歌を取り上げ
ないだろうか、

彼に対する言葉と暗示を言い、
『自分のものでないものを増やす者に災いあれ—
いつまで— 借金で自分を富ませる者に！』 7
あなたに借りのある者たちが突然立ち上がらない
だろうか、
あなたから取り立てる者たちが目覚めないだろう
か？
確かに、あなたは彼らのための略奪物となる。 8
あなたが多くの国々を略奪したので、
残りのすべての民があなたを略奪する—
人の血の流血と土地に対する暴力のために、 9
町とそのすべての住民に対して。
不正な利益を自分の家のために得る者に災いあれ

ハバクク書

、
災害の手の届かないところに逃れるために！¹⁰
あなたは多くの民を滅ぼすことによって、
自分の家のために恥ずべき計画を立てた。
だから、あなたは自分自身に罪を犯している。¹¹
石が壁から叫び、梁が枠組みからそれに答える。
¹² 血の流血で町を建てる者に災いあれ、
暴力で町を確立する者に！¹³
それは万軍の主からではないか、
人々がただ火のために労働し、
国々が無駄に疲れるのは？¹⁴
地は満たされるであろう、主の栄光の認識で、
水が海を覆うように。¹⁵
隣人に飲ませる者に災いあれ；
あなたが毒を混ぜ、隣人を酔わせるために、
彼らの裸を見ようとする者に！¹⁶
あなたは名誉の代わりに恥で満たされる。
飲む、あなた自身が、そして自分の裸をさらせ！
主の右手の杯があなたに回ってくる、
そして完全な恥があなたの栄光に降りかかる。¹⁷
レバノンに対する暴力があなたを圧倒し、
あなたが彼らを恐れさせた動物の破壊、
人の血の流血と土地に対する暴力のために、
町とそのすべての住民に対して。¹⁸
彫刻した像がその製作者にとって何の価値がある
のか、
鑄造した金属の像、虚偽の教師？
その製作者が自分の手仕事を信頼するのは、
言葉を発しない偶像を作るとき。¹⁹
木の一片に『目覚めよ！』と言う者に災いあれ；
無言の石に『起きよ！』と言う者に？
それがあなたの教師になれるか？
見よ、それは金と銀で覆われているが、
その中には全く息がない。²⁰
しかし、主はその聖なる神殿に住んでおられる。
全地はその前で静まれ。」

3₂ シギオノテに合わせた預言者ハバククの祈り。

主よ、私はあなたの名声を聞き、あなたの業に
畏れを抱きました。
それを私たちの時代に復活させてください。
私たちの日々にそれを知らしめてください。
あなたの怒りの中で憐れみを覚えてください。³
神はデマンから来られ、
聖なる者はパラン山から来られた。セラ
その栄光は天を覆い、その賛美は地を満たした。
⁴ その輝きは日の光のようであり、

光線がその手から放たれ、
そこにその力が隠されていた。⁵
疫病がその前を行き、疫病がその足跡に従った。
⁶ 彼は立ち、地は揺れ動き、
彼は見て、国々は震えた。永遠の山々は砕かれ、
古の丘は崩れた。彼の道は永遠である。⁷
私はクシヤンの天幕が苦しんでいるのを見、
ミディアン⁸の天幕の幕が震えているのを見た。
主は川に対して怒っておられたのか。
あなたの怒りは流れに対してであったのか。
あなたは海に対して怒りを発したのか、
あなたの馬に乗り、救いの戦車に乗って。⁹
あなたは弓を取り出し、多くの矢を呼ばれた。
セラ あなたは地を川で裂かれた。¹⁰
山々はあなたを見て震え、
水の流れが押し寄せた。深淵はその声を上げ、
その波を高く持ち上げた。¹¹
太陽と月はその場所に立ち止まり、
あなたの飛ぶ矢の光で、
あなたの輝く槍の輝きで。¹²
あなたは怒りの中で地を行進し、
怒りの中で国々を打ち砕かれた。¹³
あなたはあなたの民の救いのために出て行かれ、
あなたの油注がれた者を救うために。
あなたは悪の家の頭を打ち砕き、
足から首まで裸にされた。セラ¹⁴
彼の戦士たちの頭を彼自身の槍で突き刺した。
彼らは私たちを散らすために突進し、
密かに虐げられた者を貪り食うかのように誇って
いた。¹⁵ あなたは馬で海を越え、
強大な水をかき立てられた。¹⁶
私は聞いて、心が打ち震え、
その音に唇が震えた。腐敗が骨に入り込み、
足が震えた。しかし、私は静かに待ちます、
私たちを侵略する民に災いの日が来るのを。¹⁷
たとえいちじくの木が花を咲かせず、
ぶどうの木に実がなくても、
オリーブの収穫が失敗し、
畑が食物を生産しなくても、
羊の群れが囲いから消え、
牛が厩舎にいないくても、¹⁸
それでも私は主に喜びを見出し、
私の救い主なる神に喜びを感じます。¹⁹
主なる神は私の力です。
彼は私の足を鹿の足のようにし、
高き所を歩ませてくださいます。

合唱指揮者のために、私の弦楽器に合わせて。

ゼパニヤ書

1 アモンの子、ユダの王ヨシヤの時代に、クシの子、ゲダリヤの子、アマリヤの子、ヒゼキヤの子であるゼパニヤに臨んだ主の言葉。

2 「わたしは地の面からすべてのものを完全に一掃する」と主は宣言される。 3

「わたしは人と獣を一掃し、空の鳥と海の魚を取り除き、廢墟と悪者を共にする。

わたしは地の面から人類を断ち切る」と主は宣言される。 4 「わたしはユダに対して手を伸ばし、エルサレムのすべての住民に対しても。

わたしはこの場所からバアルの残りをすべて断ち切り、偶像礼拝の祭司たちの名を他の祭司たちと共に。

5 屋上で星の軍勢にひれ伏す者たち、主に誓い、またミルコムに誓う者たち、 6 主に従うことをやめた者たち、

主を求めず、彼に尋ねもしない者たち。」 7 主なる神の前で静まれ、主の日が近いからだ。主は犠牲を準備され、彼の客を聖別された。 8

「主の犠牲の日に、わたしは君主たち、王の子たち、 9 そして外国の服を着るすべての者を罰する。

その日にわたしは數居を飛び越えるすべての者を罰し、彼らの主人の家を暴力と欺瞞で満たす者たちを罰する。 10 「その日に」と主は宣言される、

「魚の門から叫び声が聞こえ、第二地区からの嘆き、 11 丘からの大きな崩壊の音が。

市場地区に住む者たちよ、嘆け、あなたの商人たちはすべて滅ぼされ、 12 銀を量る者たちはすべて断ち切られる。

その時、わたしは灯火を持ってエルサレムを探し、 13 自己満足している者たちを罰する、

淬に残されたぶどう酒のような者たち、彼らの心の中で言う、 『主は何もなさらない、良いことも悪いことも。』 14

彼らの富は略奪され、彼らの家は荒廢する。家を建ててもそこに住むことはなく、 15 ぶどう園を植えてもそのぶどう酒を飲むことはない。」 16 主の大いなる日は近い

近く、速やかに来る。主の日の叫びは苦い；戦士はその戦いの叫びを上げる。 17 その日は怒りの日、

苦しみと苦悩の日、廢墟と荒廢の日、 18 暗闇と陰鬱の日、雲と濃い暗闇の日、 19 ラッパと戦いの叫びの日

要塞都市に対して 高い角の塔に対して。 17

「わたしは人類に苦しみをもたらし、彼らは盲人のように歩む、主に対して罪を犯したからだ。

彼らの血は塵のように注がれ、彼らの肉は糞のように。」 18 彼らの銀も金も主の怒りの日に彼らを救うことはできない。

彼の嫉妬の火の中で、 19 全地は消費される、彼は完全な終わりを作る、 実に恐ろしいものを、地のすべての住民に。」

2 集まれ、はい、一緒に集まれ、恥を知らない国よ、 2 命令が成就する前に一日がもみ殻のように過ぎ去る前に—

主の激しい怒りがあなたに臨む前に、主の怒りの日があなたに臨む前に。 3

主を求めよ、 地のすべての謙遜な者たちよ、そのおきてを実行してきた者たちよ。義を求め、謙遜を求めよ。

おそらく、主の怒りの日に隠されることができようだろう。

4 ガザは見捨てられ、アシュケロンは荒廢となる。アシュドは正午に追い出され、

エクロンは根こそぎにされる。 5 海岸の住民たちよ、ケレテ人の国よ、悲しいかな！

主の言葉はあなたに対して、カナン、ペリシテ人の地よ。私はあなたを取り除く、 6 住む者がいなくなるように。

こうして、海岸は牧草地となり、羊飼いのための牧場となり、群れのための囲いとなる。 7

そして海岸はユダの家の残りの者のためのものとなる。彼らはそこに群れを追い、

アシュケロンの家々でタ方に横たわる。主なる彼らの神が彼らを顧み、彼らの運命を回復されるからだ。

8 「私はモアブの侮辱を聞いた、アンモンの子らの嘲笑の言葉を、彼らが私の民を侮辱し、

その領土に対して誇った言葉を。 9 それゆえ、私は生きている」と万軍の主、イスラエルの神が宣言する、

「モアブは確かにソドムのようになり、アンモンの子らはゴモラのようになる— 雑草と塩鉄の地、 永久の荒廢となる。私の民の残りの者が彼らを略奪し、

ゼパニヤ書

私の国の残りの者が彼らを継承する。」¹⁰
これは彼らの高慢に対する報いである、
彼らが万軍の主の民に対して
侮辱し、誇ったからだ。¹¹
主は彼らに恐ろしいものとなる、
彼は地のすべての神々を滅らし、
すべての国々の海岸地帯が彼にひれ伏す、
各々が自分の場所から。

¹² 「あなたも、クシュの人々よ、
私の剣によって殺される。」

¹³ そして彼は北に向かって手を伸ばし、
アッシリアを倒し、ニネベを荒廃させ、
荒野のように乾かす。¹⁴
群れがその中に横たわり、
すべての動物が群れをなして歩き回る。
ペリカンとハリネズミが
その柱の頂で夜を過ごし、窓で鳥が歌い、
しきりに荒廃がある。
彼は杉の細工を暴いたからだ。¹⁵
これは自信過剰な都市である、
安全に住んでいる、彼女の心の中で言う、
「私はあり、私の他には誰もいない。」
彼女がどのように荒廃し、
動物の休息場所となったか！
彼女を通り過ぎるすべての者が口笛を吹き、
軽蔑して手を振る。

3 反逆し汚れた町、圧制の町よ、悲しいかな！²
彼女は声に耳を傾けず、
訓戒を受け入れなかった。

主に信頼を置かず、自分の神に近づかなかった。
³ その中の役人たちは吠える獅子、
その裁判官たちはタ方の狼である。

彼らは朝まで何も残さない。⁴
その預言者たちは高慢で欺く者たち、
その祭司たちは聖所を汚し、律法を犯した。⁵
主はその中であって正しい方である。
不正を行わない。毎朝その正義を光として示し、
失敗しない。しかし、不正な者は恥を知らない。

⁶ 「わたしは国々を滅ぼした。
彼らの角の塔は荒れ果てている。
その通りを荒廃させ、通り過ぎる者もない。
その町々は廃墟となり、人も住む者もない。」⁷
わたしは言った、『あなたは必ずわたしを恐れ、
訓戒を受け入れるだろう』と。
そうすれば、彼女の住まいは滅ぼされることはない。
わたしが彼女のために定めたすべてに従って。

しかし、彼らはその行いを腐敗させることに熱心
だった。⁸
それゆえ、わたしを待て」と主は言われる。
「わたしが証人として立ち上がる日を。
確かに、わたしの決定は国々を集め、
王国を集めることだ。わたしの憤りを注ぎ、
すべての燃える怒りを注ぐために。
すべての地はわたしの熱意の火で消費される。

⁹ その時、わたしは民に 純粋な言葉を与える。
それで彼らは皆、主の名を呼び、
共に仕えることができる。¹⁰
クシュの川の彼方から
わたしの礼拝者、散らされたわたしの民の娘が、
わたしの捧げ物を持ってくる。¹¹
その日、あなたはすべての行いのために
恥を感じることはない。
それによってあなたはわたしに反逆した。
その時、わたしはあなたの中から
誇りを持って祝う者を取り除く。
あなたはわたしの聖なる山で再び高慢になること
はない。¹² しかし、わたしはあなたの中に
謙虚で卑しい人々を残す。
彼らは主の名に避難所を見つける。¹³
イスラエルの残りの者は不正を行わず、
嘘をつかない。
欺く舌は彼らの口に見つからない。
彼らは養われ、横たわり、
誰も彼らを恐れさせる者はいない。」¹⁴
喜び歌え、シオンの娘よ！
勝利を叫べ、イスラエルよ！
心から喜び、歓喜せよ、エルサレムの娘よ！¹⁵
主はあなたに対する裁きを取り除き、
あなたの敵を追い払った。
イスラエルの王、主はあなたの中にいる。
あなたはもはや災害を恐れることはない。¹⁶
その日、エルサレムに言われるだろう：
「恐れるな、シオンよ。
あなたの手を弱らせるな。
あなたの神、主はあなたの中にいる。
救う力強い戦士。
彼は喜びをもってあなたを喜び、
その愛に静かにし、
喜びの歌であなたを歓喜する。¹⁸
わたしは定められた祭りについて嘆く者を集める。
。彼らはあなたから来た、シオンよ。
追放の恥は彼らにとって重荷である。¹⁹
見よ、その時にわたしは行動する。
あなたのすべての圧制者に対して。
わたしは足の不自由な者を救い、

ゼパニヤ書

散らされた者を集める。
彼らの恥を賛美と名声に変える。 全地で。 ²⁰
その時、わたしはあなたを連れて来る。
あなたを集める時に。

確かに、わたしはあなたを名声と賛美にする。
地のすべての民の中で、
あなたの目の前であなたの運命を回復するときに
」と 主は言われる。

ハガイ書

1 ダリヨス王の第2年目の第6の月の第1日に、主の言葉が預言者ハガイを通して、ユダの総督シェアルティエルの子ゼルバベルと、大祭司エホツァダクの子ヨシュアに臨んで、こう言った。²
「万軍の主はこう言われる。

『この民は、「主の家を建て直す時はまだ来っていない」と言っている。』」

3
それから、主の言葉が預言者ハガイを通して臨んで、こう言った。

4 「あなたがたが板張りの家に住む時か、この家が廃墟となっている間に？」

5 万軍の主はこう言われる。

「あなたがたの行いをよく考えよ。⁶
多く蒔いても、収穫は少ない。
食べても、満足することはない。
飲んでも、満たされることはない。
衣を着ても、暖かにならない。
賃金を得る者は、穴の開いた袋に入れるために得る。」

7 万軍の主はこう言われる。

「あなたがたの行いをよく考えよ。⁸
山に登り、木材を持ち帰り、神殿を建てよ。
そうすれば、私はそれを喜び、栄光を受ける」と主は言われる。⁹
「あなたがたは多くを求めたが、見よ、それは少なくなった。
家に持ち帰った時、私はそれを吹き飛ばした。
なぜか？」と万軍の主は言われる。
「私の家が廃墟のままであるからだ。
あなたがたはそれぞれ自分の家に忙しい。¹⁰
それゆえ、あなたがたのために天は露を止め、
地はその産物を止めた。¹¹
私は地と山に、穀物、新しいぶどう酒、油、
地が生み出すすべてのもの、人々と家畜、
あなたがたの手のすべての労働に干ばつを呼びかけた。」

12
それから、シェアルティエルの子ゼルバベルと、大祭司エホツァダクの子ヨシュア、および民の残りの者たちは、彼らの神、主の声と、主が彼を遣わされた預言者ハガイの言葉に従った。そして、民は主を恐れた。¹³
その時、主の使者ハガイは、主のメッセージを民に伝えて言った。

「『私はあなたたちと共にいる』と、

主は言われる。」¹⁴

それで、主はユダの総督シェアルティエルの子ゼルバベルの霊と、大祭司エホツァダクの子ヨシュアの霊と、民の残りの者たちの霊を奮い立たせた。そして彼らは来て、彼らの神、万軍の主の家の工事を始めた。¹⁵

第6の月の第24日、ダリヨス王の第2年目に。

2 第七の月の二十一日に、主の言葉が預言者ハガイを通して臨んだ。

2
「ユダの総督、シェアルティエルの子ゼルバベルに、³
大祭司エホツァダクの子ヨシュアに、
そして残っている民に告げよ。

『あなたがたのうち、かつての栄光の中にこの家を見た者は誰か。
今、あなたがたにはどのように見えるか。
それは比較にならないほど何でもないように見えないか。⁴

しかし今、ゼルバベルよ、強くあれ』と主は言われる。

『大祭司エホツァダクの子ヨシュアよ、強くあれ
。

この地のすべての民よ、強くあれ』と主は言われる。

『働け。わたしがあなたがたと共にいるからだ』⁵
と万軍の主は言われる。

『これはあなたがたがエジプトを出たときに約束したことである。

わたしの霊はあなたがたの中にとどまっている。
恐れるな。』⁶ 万軍の主はこう言われる。

『しばらくして、わたしはもう一度
天と地、海と乾いた地を揺り動かす。⁷
わたしはすべての国々を揺り動かし、
すべての国々の宝が来る。

わたしはこの家を栄光で満たす』と万軍の主は言われる。⁸

『銀も金もわたしのものである』と万軍の主は言われる。⁹

『この後の家の栄光は前のものよりも大きくなる』と万軍の主は言われる。

『そしてこの場所に平和を与える』と万軍の主は言われる。」

10
第九の月の二十四日に、ダリヨスの第二年に、主の言葉が預言者ハガイに臨んだ。

ハガイ書

11 「万軍の主はこう言われる。
『祭司たちに指示を求めよ。』¹²
もし誰かが聖別された肉をその衣の裾に入れて運
び、
パン、煮物、ぶどう酒、油、または他の食物に触
れたなら、それは聖別されるか?』」

祭司たちは答えた、「いいえ。」¹³
するとハガイは言った、

「もし死体に触れて汚れた者がこれらのものに触
れたなら、それは汚れるか?」

祭司たちは答えた、

「はい、それは汚れます。」

14 するとハガイは言った、

『この民とこの国はわたしの目の前でそうである
』と主は言われる。
『彼らが行うこと、彼らが捧げるものはすべて汚
れている。¹⁵
今、この日から後のことをよく考えよ。
主の神殿に石が積まれる前のことを考えよ。¹⁶
誰かが二十の計量を期待して山に来たとき、
そこには十しかなかった。
誰かが五十の計量を取ろうとぶどう酒の槽に行っ
たとき、そこには二十しかなかった。¹⁷
わたしはあなたがたの手のすべての働きを
いなご、さび、ひょうで打ったが、
あなたがたはわたしに帰らなかった』と主は言わ

れる。¹⁸
『この日から、すなわち第九の月の二十四日から
、主の神殿の基が置かれた日をよく考えよ。

考えよ。

19 倉に種が残っているか?
今まで、ぶどうの木、いちじくの木、ざくろの木
、オリーブの木は 実を結ばなかった。
しかしこの日からわたしはあなたがたを祝福する
。』」

20

その月の二十四日に、主の言葉が再びハガイに臨ん
だ。

21

「ユダの総督ゼルバベルにこのメッセージを伝え
よ。『わたしはすぐに天と地を揺り動かす。²²
わたしは王国の王座を覆し、
国々の王国の力を破壊する。
わたしは戦車とその乗り手を覆し、
馬とその乗り手は倒れ、
それぞれが兄弟の剣によって倒れる。²³
その日』と万軍の主は言われる。
『わたしはわたしのしもべ、シェアルティエル
の子ゼルバベルを取る』と主は言われる。
『わたしはあなたをわたしの印章の指輪のように
する。
わたしはあなたを選んだからだ』と万軍の主は言
われる。」

ゼカリヤ書

1 ダリヨスの第2年の第8の月に、主の言葉がベレキヤの子、イドの子である預言者ゼカリヤに臨んだ。²

「主はあなたたちの先祖に対して非常に怒った。³ それゆえ、彼らに言え。万軍の主はこう言われる。『わたしに帰れ』と、万軍の主は言われる。『そうすれば、わたしもあなたたちに帰る』と、万軍の主は言われる。⁴

あなたたちの先祖のようであってはならない。彼らに前の預言者たちが宣言した。万軍の主はこう言われる。『あなたたちの悪い道と悪い行いから立ち返れ』と。しかし、彼らは聞かず、わたしに耳を傾けなかった」と、主は言われる。⁵

「あなたたちの先祖はどこにいるのか。そして預言者たちは、永遠に生きるのか。⁶

しかし、わたしの言葉とわたしの定めは、わたしのしもべである預言者たちに命じたものが、あなたたちの先祖に追いつかなかったか。すると彼らは悔い改めて言った。『万軍の主が、わたしたちの道と行いに従ってわたしたちに行おうと決められたように、そうされた』」⁷

ダリヨスの第2年の第11の月、すなわちシバテの月の24日に、主の言葉がベレキヤの子、イドの子である預言者ゼカリヤに臨んだ。⁸

夜の間に見たところ、見よ、赤い馬に乗った人が谷間のミルトスの木の間に立っていた。その後ろには赤、栗毛、白の馬がいた。⁹

そこで私は言った。「これらは何ですか、主よ？」すると、私と話していた天使が言った。「これが何であるかをあなたに示そう。」¹⁰

ミルトスの木の間に立っている人が答えた。「これらは、地を巡回するために主が送られた者たちです。」¹¹

そして彼らは、ミルトスの木の間に立っている主の使いに報告した。「地を巡回しましたが、見よ、全地は静かで平穏です。」¹²

すると、主の使いが言った。「万軍の主よ、あなたがこれら70年間、怒っておられるエルサレムとユダの町々に、いつまで憐れみをお与えにならないのですか？」¹³

そして、主は私と話していた天使に、恵みと慰めの言葉で応えられた。¹⁴

それで、私と話していた天使が言った。「宣言せよ。万軍の主はこう言われる。『わたしはエルサレムとシオンに対して非常に嫉妬している。¹⁵

そして、安逸を貪る国々に対して非常に怒っている。わたしは少し怒ったが、彼らは災害を増した。』¹⁶

それゆえ、主はこう言われる。『わたしは憐れみを

もってエルサレムに帰る。わたしの家はそこに建て直される』と、万軍の主は言われる。『そして、測り縄がエルサレムの上に引かれる。』¹⁷

さらに宣言せよ。万軍の主はこう言われる。『わたしの町々は再び繁栄で満たされ、主は再びシオンを慰め、エルサレムを選ぶ。』」¹⁸

それから私は目を上げて見た。見よ、四つの角があった。¹⁹

それで、私と話していた天使に尋ねた。「これらは何ですか？」すると彼は言った。「これらはユダ、イスラエル、エルサレムを散らした角です。」²⁰

そして、主は私に四人の職人を示された。²¹

私は尋ねた。「これらは何をしに来たのですか？」すると彼は言った。「これらはユダを散らした角であり、誰も頭を上げられないようにした。しかし、職人たちは彼らを恐れさせ、ユダの地に対して角を上げてそれを散らした国々の角を打ち倒すために来た。」

2 そのとき、私は目を上げて見た。すると、見よ、測り縄を手に持つ一人の人がいた。²

私は尋ねた、「どこへ行くのですか？」彼は答えた、「エルサレムを測り、その幅と長さを決めるためです。」³

見よ、私と話していた天使が去って行き、別の天使が彼に会いに来た。⁴

彼は彼に言った、「走って、あの若者に告げなさい、『エルサレムは、その中の人々と家畜の多さのために、城壁のない町として住まわれる。⁵

主の宣言、『私は彼女の周りに火の壁となり、彼女の中に栄光となる。』」⁶

「来なさい！北の地から逃げなさい」と主は宣言する、「私はあなたたちを天の四方に散らしたからだ」と主は宣言する。⁷

「来なさい、シオンよ！バビロンの娘と共に住む者よ、逃げなさい！」⁸

万軍の主はこう言われる、「あなたを略奪した国々に対して、栄光の後に私を遣わしたのだ。誰でもあなたに触れる者は、彼の目の瞳に触れるのだ。⁹

私は確かに彼らの上に手を振り、彼らの奴隷が彼らを略奪するようにする。そうすれば、万軍の主が私を遣わしたことをあなたは知るだろう。¹⁰

「喜び叫べ、シオンの娘よ。見よ、私は来て、あなたの中に住む」と主は宣言する。¹¹

「その日、多くの国々が主に結びつき、私の民となる。私はあなたの中に住み、万軍の主が私をあなたに遣わしたことをあなたは知るだろう。¹²

主は聖なる地においてユダを彼の分け前として取り、再びエルサレムを選ぶ。¹³

ゼカリヤ書

全人類よ、主の前で静まれ。彼はその聖なる住まいから立ち上がったからだ。」

それから、彼は私に主の使いの前に立っている大祭司ヨシュアを示し、サタンが彼を訴えるためにその右側に立っていた。

主はサタンに言われた、「サタンよ、主がお前を叱責する！エルサレムを選んだ主がお前を叱責する！これは火から引き抜かれた燃えさしではないか？」

さて、ヨシュアは汚れた衣を着て、使いの前に立っていた。

使いは彼の前に立っている者たちに言った、「彼の汚れた衣を取り去れ。」それからヨシュアに言った、「見よ、私はあなたの不義を取り去り、あなたを華やかな衣で着せる。」

それから私は言った、「彼の頭に清いターバンを置け。」そこで彼らは彼の頭に清いターバンを置き、彼を着せた。主の使いはそばに立っていた。

主の使いはヨシュアにこの命令を伝えた：

「万軍の主はこう言われる、『もしあなたが私の道を歩み、私の命令を守るならば、あなたは私の家を治め、私の庭を守ることができ、ここに立っている者たちの中に入り出すことを許される。』

「『大祭司ヨシュアよ、あなたとあなたの前に座っている仲間たち、これからのことを象徴する人々よ、聞け。私は私のしもべ、若枝をもたらそうとしている。』

見よ、私はヨシュアの前に石を置いた！その一つの石には七つの目があり、私はその上に銘を刻む』と万軍の主は言われる、『そして私はこの地の不義を一日で取り除く。』

「『その日には』と万軍の主は宣言される、『あなた方はそれぞれ隣人を招いて、彼のぶどうの木といちじくの木の下に座らせる。』」

4 私と話していた天使が戻ってきて、眠りから覚めた者のように私を起こした。

彼は私に尋ねた、「何が見えるか？」私は答えた、「私は全体が金でできた燭台を見ます。その上に鉢があり、その上に七つの灯火があり、灯火のための七つの通路があります。」

また、そのそばには二本のオリーブの木があり、一つは鉢の右側に、もう一つは左側にあります。」私は私と話していた天使に尋ねた、「これらは何ですか、私の主よ？」

私と話していた天使は答えた、「これらが何であるか分からないのか？」私は言った、「いいえ、私の主よ。」

それで彼は私に言った、「これはゼルバベルへの主

の言葉です：『力によらず、権力によらず、わたしの霊によって』と万軍の主は言われる。

『大いなる山よ、あなたは何ですか？ゼルバベルの前では平地となる。彼は歓声と共に「恵み、恵みがそれにある！」と叫びながら、頂石を持ち出す。』

8 主からのメッセージが私に来て、言った、「ゼルバベルの手がこの家の基礎を据えた；彼の手もまたそれを完成させる。そうすれば、万軍の主が私をあなたに送ったことを知るだろう。」

小さなことの日を軽んじた者は誰か？これらの七つはゼルバベルの手にある測り縄を見て喜ぶであろう—それらは地上全体を行き巡る主の目である。」それから私は彼に尋ねた、「燭台の右と左にあるこの二本のオリーブの木は何ですか？」

そして再び尋ねた、「金の油を注ぐ二本の金の管のそばにあるこの二本のオリーブの枝は何ですか？」

彼は答えた、「これらが何であるか分からないのか？」私は言った、「いいえ、私の主よ。」それから彼は説明した、「これらは全地の主の前に立つ二人の油注がれた者である。」

5 私は再び目を上げて見た。すると、飛んでいる巻物があった。

彼は私に言った、「何が見えるか？」私は答えた、「飛んでいる巻物が見えます。その長さは二十キュビト、幅は十キュビトです。」

すると彼は私に言った、「これは全地に出て行く呪いである。盗む者は皆、その片面に書かれているように取り除かれ、偽って誓う者は皆、その他の面に書かれているように取り除かれる。」

『私はこれを送り出す』と万軍の主は宣言される、『そしてそれは盗人の家と、私の名によって偽って誓う者の家に入り、その家に留まり、その木材と石をもつてそれを滅ぼす。』

それから私と話していた天使が進み出て言った、「今、目を上げてこれが出て行くのを見なさい。」私は尋ねた、「それは何ですか？」彼は答えた、「これは出て行く籠です。」そして彼は付け加えた、「これは全地の不義である。」

見よ、鉛の蓋が持ち上げられ、籠の中に一人の女が座っていた。

彼は言った、「これは悪である。」そして彼は彼女を籠の中に押し戻し、鉛の重りをその開口部に投げた。

それから私は目を上げて見た。すると、二人の女が翼に風を受けて出てきた。彼女たちはコウノトリのような翼を持ち、籠を地と天の間に持ち上げた。私は私と話していた天使に尋ねた、「彼らは籠をどこに運んでいるのですか？」

ゼカリヤ書

彼は答えた、「そのためにシナルの地に家を建てるためである。そしてそれが整ったとき、それはその基礎の上に置かれる。」

6 私は再び目を上げて見た。すると、二つの山の間から四つの戦車が現れた。その山々は青銅できていた。²

最初の戦車は赤い馬に引かれ、二番目は黒い馬に引かれていた。³

三番目は白い馬に引かれ、四番目は強いまだらの馬に引かれていた。⁴

私は私に話していた天使に尋ねた。「これらは何ですか、我が主よ？」⁵

天使は答えた。「これらは天の四つの霊であり、全地の主の前に立った後に出発するのです。」⁶

黒い馬の戦車は北の国へ向かい、白い馬はそれに続き、まだらの馬は南へ向かいます。」⁷

これらの強い馬が出て行くとき、彼らは地を巡回することを熱望していた。そして彼は言った、「行け、地を巡回せよ。」それで彼らは地を巡回した。⁸

その後、彼は私に呼びかけた。「見よ、北の国へ向かう者たちは、北の地で私の霊をなだめた。」⁹

その後、主の言葉が私に臨んだ、言われた。¹⁰

「バビロンから到着した捕囚の民、ヘルダイ、トビヤ、エダヤから銀と金を取り、同じ日にゼファニヤの子ヨシヤの家に行け。」¹¹

銀と金で冠を作り、大祭司ヨツァダクの子ヨシュアの頭に置き。¹²

彼に言え、『万軍の主はこう言われる。「見よ、その名を枝と呼ばれる男がいる。彼はその場所から枝を伸ばし、主の神殿を建てる。」¹³

確かに、彼は主の神殿を建て、威厳をまとい、彼の王座に座して治める。彼はその王座にいる祭司となり、二つの職の間に調和がある。」』¹⁴

その冠は、ヘレム、トビヤ、エダヤ、そしてゼファニヤの子ヘンのために、主の神殿の記念として役立つ。¹⁵

遠くにいる者たちが来て、主の神殿を建てる。そしてあなたがたは、万軍の主が私をあなたがたに遣わしたことを知るであろう。これは、あなたがたがあなたの神、主に従順に従うならば起こるであろう。

7 ダリヨス王の第四年の第九月、キスレウの四日に、主からゼカリヤに言葉があった。²

ベテルの民は、シャレゼルとレガム・メレク、およびその人々を遣わして、主の恵みを求めた。³

彼らは、万軍の主の家の祭司たちと預言者たちに尋ねて言った。「長年行ってきたように、第五の月に嘆き、断食すべきでしょうか？」⁴

すると、万軍の主の言葉が私に臨んだ。⁵

「この地のすべての民と祭司たちに告げよ。『あなたがたがこの七十年間、第五と第七の月に断食し、嘆いたとき、それは本当に私のためだったのか？』⁶

また、あなたがたが食べたり飲んだりするとき、それは自分たちのためではなかったのか？』⁷

エルサレムとその周辺の町々が住民で満ち、繁栄していたとき、ネゲブと低地が住まわれていたとき、主が昔の預言者たちを通して告げた言葉ではないか？』」⁸

そして、再び主の言葉がゼカリヤに臨んだ。⁹

「万軍の主はこう言われる。『真実の正義を行い、互いに慈しみと憐れみを示せ。』¹⁰

未亡人や孤児、外国人や貧しい者を虐げるな。互いに心の中で悪を企むな。』¹¹

しかし、彼らは聞くことを拒み、頑なな肩を向け、耳を塞いで聞こうとしなかった。¹²

彼らは心を石のように硬くし、律法や万軍の主がその霊によって昔の預言者たちを通して送られた言葉を聞こうとしなかった。それゆえ、万軍の主から大いなる怒りが来た。¹³

「『私が呼んだとき、彼らは聞かなかった。それゆえ、彼らが呼んだとき、私は答えなかった』と万軍の主は言われる。¹⁴

『私は彼らを知らない国々の間に嵐の風で散らした。彼らが去った地は荒れ果て、誰も通らなくなった。こうして彼らは美しい地を荒地にした。』」

8 万軍の主からのメッセージが私に与えられた。²

万軍の主はこう言われる。「私はシオンのために非常に嫉妬している。私は彼女のために大いなる嫉妬で燃えている。」³

主はこう言われる。「私はシオンに戻り、エルサレムの中に住む。するとエルサレムは真実の都と呼ばれ、万軍の主の山は聖なる山と呼ばれる。」⁴

万軍の主はこう言われる。「再び、老人と老女がエルサレムの通りに座り、それぞれ年のために杖を持つようになる。⁵

そして、町の広場はそこで遊ぶ少年少女で満たされる。」⁶

万軍の主はこう言われる。「その日々にこの民の残りの者にとってそれが驚くべきことであるならば、それが私にとっても驚くべきことであるだろうか？」と万軍の主は宣言される。⁷

万軍の主はこう言われる。「私は東と西の地から私の民を救う。」⁸

私は彼らをエルサレムに住まわせるために戻す。彼らは私の民となり、私は真実と正義の中で彼らの神となる。」⁹

万軍の主はこう言われる。「あなたがたの手を強く

ゼカリヤ書

しなさい。万軍の主の家の基礎が据えられたときにそこにいた預言者たちによって語られたこれらの言葉を聞く者たちよ、そうすれば神殿が建てられる。

その日々の前には、人々のための賃金も動物のための雇用もなかった。敵のために誰も安全に仕事をすることができなかった。私は皆を隣人に対して立てたからである。

しかし、今や私はこの民の残りの者を過去とは異なる扱いをする」と万軍の主は宣言される。「種は繁榮し、ぶどうの木はその実を結び、土地はその作物を生産し、天はその露を与える。私はこれらすべてのものをこの民の残りの者への相続財産として与える。

あなたがたが諸国民の間で呪いであったように、ユダの家とイスラエルの家よ、私はあなたがたを救い、あなたがたは祝福となる。恐れるな、しかしあなたがたの手を強くしなさい。」

万軍の主はこう言われる。「あなたがたの先祖が私を怒らせたとき、私はあなたがたに災いをもたらすことを決意したように」と万軍の主は言われる、「私は再びエルサレムとユダの家に良いことをすることを決意した。恐れるな。

これらはあなたがたが行うべきことです。互いに真実を語り、門で真実で健全な判断を下しなさい。互いに悪を企てず、偽証を愛してはならない。私はこれらすべてのことを憎む」と主は宣言される。万軍の主からのメッセージが私に与えられた。万軍の主はこう言われる。「第四、第五、第七、第十の月の断食は、ユダの家にとって喜びと楽しみの機会となり、幸せな祭りとなる。それゆえ、真実と平和を愛しなさい。」

万軍の主はこう言われる。「多くの民と多くの都市の住民がまだ来るであろう、そして、一つの都市の住民が他の都市に行き、『さあ、すぐに主の恵みを求め、万軍の主を求めに行こう。私自身も行く』と言うであろう。それで、多くの民と強大な国々がエルサレムに来て、万軍の主を求め、その恵みを求めるであろう。」

万軍の主はこう言われる。「その日々には、すべての言語と国の十人が一人のユダヤ人の衣の裾をしつかりとつかみ、『私たちはあなたと共に歩こう。なぜなら、神があなたと共にいると聞いたからだ』と言うであろう。」

9 メッセージ
主の言葉はハドラクの地に向けられ、ダマスカスをその安息の場とする—

人類の目、特にイスラエルのすべての部族の目が主に向けられているから—

また、隣接するハマデも;
ティルスとシドン、彼らは非常に賢いから。

ティルスは自らのために要塞を築き、
銀を塵のように集め、
金を街の泥のように集めた。

見よ、主は彼女の財産を奪い、
彼女の富を海に投げ入れる。
そして彼女は火で焼かれる。

アシュケロンはそれを見て恐れる。
ガザもまた大いに苦しむ、
またエクロンも、彼女の希望が打ち砕かれたから。
さらに、王はガザから滅び、

アシュケロンは住む者がいなくなる。
そして多様な民がアシュドドに住む、
そして私はペリシテ人の高慢を取り除く。

そして彼らの口から血を取り去り、
彼らの歯の間から忌まわしいものを取り去る。

その後、彼らも我々の神に属し、
ユダの家族のようになり、
エクロンはエブス人のようになる。

しかし私は軍隊のために私の家の周りに宿営し、
通り過ぎて戻る者のために;

そしてもはや圧制者は彼らを通り過ぎない、
今や私は自分の目で見たから。
大いに喜べ、シオンの娘よ!

勝利の叫びをあげよ、エルサレムの娘よ!
見よ、あなたの王があなたのもとに来る。

彼は正しく、勝利を収め、
謙虚で、ロバに乗っている、
それも、子ロバ、ロバの子に。

そして私はエフライムから戦車を取り除き、
エルサレムから馬を取り除く。

そして戦争の弓は折られる。
そして彼は国々に平和を宣言する。

そして彼の支配は海から海まで、
ユーフラテス川から地の果てまで及ぶ。

あなたに関しても、あなたとの契約の血のゆえに、
私はあなたの囚人を水のない穴から解放した。

12 要塞に戻れ、希望に満ちた囚人たちよ;
今日この日、私はあなたに倍を回復すると宣言している。
13 私はユダを私の弓として曲げ、
エフライムを弓に満たす。

そして私はあなたの息子たち、シオンを目覚めさせ、
ギリシャの息子たちに対抗させる。
そして私はあなたを戦士の剣のようにする。

14 その時、主は彼らの上に現れ、
彼の矢は稲妻のように射出される。

ゼカリヤ書

そして主なる神はラッパを鳴らし、
南の嵐の風の中を進む。¹⁵
万軍の主は彼らを守る。
そして彼らは投石器の石を食い尽くし、踏みにじる。
そして彼らはワインのように飲んで歓喜し、
彼らは犠牲の鉢のように満たされ、
祭壇の角のように濡れる。¹⁶
そしてその日、彼らの神、主は彼らを救う。
彼の民の群れとして、彼らは冠の宝石のように、
彼の地で輝く。¹⁷ 彼の善良さはなんと偉大で、
彼の美しさはなんと偉大であることか！
穀物は若者を繁栄させ、
新しいワインは乙女たちを繁栄させる。

10 春の雨の時に主に求めよー
嵐の風を作る主に；
そして彼は彼らに雨のシャワーを提供し、
各人のために畑に植生を与える。²
テラフィムは欺きを語り、占い師は幻を見て
欺く夢を語る；彼らは無駄に慰める。
それゆえ、人々は羊のようにさまよい、
羊飼いがいないために苦しむ。³
「私の怒りは羊飼いたちに対して燃え上がり、
私は雄山羊を罰する；万軍の主はユダの家を訪れ、
彼らを戦いの中で彼の威厳ある馬のように変える。
。 ⁴ 彼らから礎の石が生まれ、
彼らから天幕の釘が、彼らから戦いの弓が、
彼らからすべての支配者が、一緒に。⁵
そして彼らは戦士のようになり、
戦いの中で街の泥の中で敵を踏みつける；
彼らは戦う、主が彼らと共にいるから；
馬に乗る者たちは恥をかく。⁶
そして私はユダの家を強化し、
ヨセフの家を救い、彼らを回復する、
私が彼らに憐れみを示したから；
彼らは私が彼らを捨てなかったかのようになる、
私は彼らの神、主であり、彼らに応える。⁷
エフライムは戦士のようになり、
彼らの心はワインのように喜びに満ちる；
確かに、彼らの子供たちはそれを見て喜び、
彼らの心は主にあって喜ぶ。⁸
私は彼らに合図を送り、彼らを集める、
私が彼らを贖ったから；
彼らは以前のように多くなる。⁹
私が彼らを諸国民の間に散らすとき、
彼らは遠い国々で私を思い出し、
彼らとその子供たちは生きて帰る。¹⁰
私は彼らをエジプトの地から連れ戻し、
アッシリアから彼らを集める；
そして彼らをギルアデとレバノンの地に連れて行

く、彼らのための場所が見つからないまで。¹¹
そして彼らは苦しみの海を通り抜け、
彼は海の波を打ち、
ナイルのすべての深みが干上がる；
アッシリアの誇りは下げられ、
エジプトの杖は去る。¹²
そして私は彼らを主にあって力づけ、
彼の名において彼らは歩む」と主は宣言する。

11 レバノンよ、あなたの扉を開け、
火があなたの杉を焼き尽くすように。²
ヒノキよ、嘆け、杉が倒れたからだ。
威厳ある木々が破壊された！
バシヤンの樫の木よ、嘆け、
密集した森が倒されたからだ！³
羊飼いたちの嘆きを聞け、
彼らの栄光ある牧場が荒れ果てたからだ！
若い獅子たちの吠える声を聞け、
ヨルダンの誇りが荒廃したからだ！⁴

これは私の神、主が言われたことです。「屠殺される運命にある群れを飼いなさい。⁵
彼らの買い手は彼らを屠り、罰を受けない。彼らを
売る者は言う、『主は祝福される、私は富を得たから
だ！』彼ら自身の羊飼いたちは彼らに憐れみを示
さない。⁶
私はもはやこの地の民を憐れまない」と主は宣言す
る。「私は皆を彼らの隣人と王に引き渡す。彼らは
地を押しつぶし、私は彼らの手から救い出さない。
」⁷
そこで私は屠殺される運命にある群れを飼った、特
に群れの中の苦しんでいる者たちを。私は二本の杖
を取り、一つを「恵み」と呼び、もう一つを「連合
」と呼び、群れを飼った。⁸
一か月で私は三人の羊飼いを取り除いた。私の魂は
彼らにうんざりし、彼らもまた私を嫌った。⁹
そこで私は言った、「私はもうあなたたちを飼わな
い。死にゆく者は死に、滅びゆく者は滅びるがよい
。残る者たちは互いの肉を食い合うがよい。」¹⁰
それから私は「恵み」と呼ばれる私の杖を取り、そ
れを折り、私がすべての民と結んだ契約を無効にし
た。¹¹
それはその日に無効となり、私を見ていた群れの苦
しんでいる者たちは、それが主の言葉であることを
知った。¹²
私は彼らに言った、「もしよければ、私の賃金をく
ださい。そうでなければ、それを保ってください。
」そこで彼らは私の賃金として銀三十枚を量った。¹³

ゼカリヤ書

そして主は私に言われた、「それを陶器師に投げよ
—
彼らが私を評価した素晴らしい価値で！」そこで私は銀三十枚を取り、主の家で陶器師に投げた。¹⁴
それから私は「連合」と呼ばれる私の第二の杖を折り、ユダとイスラエルの間の兄弟関係を断ち切った。¹⁵
それから主は私に言われた、「もう一度愚かな羊飼いの道具を取れ。¹⁶
私はこの地に羊飼いを立てようとしている。彼は滅びゆく者を顧みず、散らされた者を探さず、傷ついた者を癒さず、健康な者を養わず、しかし肥えた羊の肉を食い、その蹄を引き裂くであろう。

¹⁷ 群れを見捨てて無価値な羊飼いに災いあれ！
剣が彼の腕と右目を打つように！
彼の腕が完全に萎え、
彼の右目が完全に盲目になるように！」

12 宣言：
イスラエルについての主の言葉。天を広げ、地の基を据え、人の内に霊を形作る主が宣言する。²
「見よ、私はエルサレムを周囲のすべての民を酔わせる杯とする。ユダもエルサレムと共に包囲される。³
その日には、地のすべての国々が彼女に対して集まるとき、私はエルサレムをすべての民にとって動かせない石とする。それを持ち上げようとする者は皆、ひどく傷つく。⁴
その日には」と主は宣言する、「私はすべての馬を恐慌に陥れ、その乗り手を狂気に陥れる。私はユダの家を見守りながら、国々のすべての馬を盲目にする。⁵
すると、ユダの氏族は心の中で言う、『エルサレムの住民は、彼らの神、全能の主によって強い。』⁶
「その日、私はユダの氏族を木の中の火鉢のように、束の中の燃える松明のようにする。彼らは右にも左にも周囲のすべての民を焼き尽くし、エルサレムの住民はエルサレムに留まる。⁷
主はまずユダの住まいを救い、ダビデの家とエルサレムの住民の栄光がユダを超えないようにする。⁸
その日、主はエルサレムの住民を守り、彼らの中で最も弱い者がダビデのようになり、ダビデの家は神のように、彼らの前の主の使いのようになる。⁹
その日、私はエルサレムに立ち向かうすべての国々を滅ぼそうとする。¹⁰
「そして私はダビデの家とエルサレムの住民に恵みと祈りの霊を注ぐ。彼らは彼らが刺した者を見て、ひとり子を失ったように彼のために嘆き、初子を失

ったように激しく彼のために悲しむ。¹¹
その日、エルサレムの嘆きは、メギドの平原でのハダド・リモンの嘆きのようになくなる。¹²
地は嘆き、各家族は別々に、その妻たちは別々に嘆く。ダビデの家の家族は別々に、その妻たちは別々に嘆く。ナダンの家の家族は別々に、その妻たちは別々に嘆く。¹³
レビの子孫は別々に嘆き、各家族とその妻たちは別々に嘆く。シメイの子孫も別々に嘆き、各家族とその妻たちは別々に嘆く。¹⁴
残りのすべての家族も、各家族は別々に、その妻たちは別々に嘆く。

13 「その日、ダビデの家とエルサレムの住民のために、罪と汚れを清めるための泉が開かれる。²
「その日には」と万軍の主は宣言する、「私はこの地から偶像の名を取り除き、もはや思い出されることはない。また、預言者と汚れの霊をこの地から取り除く。³
もし誰かがなおも預言するなら、その生んだ父と母が彼に言う、『あなたは生きてはならない、主の名において偽りを語ったからだ。』そして彼が預言するとき、彼の両親は彼を刺し通す。⁴
その日、すべての預言者は預言するときに自分の幻を恥じ、欺くために毛衣を着ることはない。⁵
それぞれが言う、『私は預言者ではない。私は土を耕す者だ。若い頃からの労働者だ。』⁶
そして誰かが『あなたの体のこれらの傷は何か』と尋ねるなら、彼らは答える、『友人の家で受けた傷だ。』

⁷ 「目覚めよ、剣よ、私の羊飼いに向かって、私の女である人に向かって！」
万軍の主は宣言する。
「羊飼いを打て、羊は散らされる。
そして私は小さき者たちに手を向ける。⁸
そしてこの地全体にわたって」と主は宣言する、
「三分の二は切り捨てられ滅び、
三分の一はその中に残される。⁹
この三分の一を私は火を通して連れて行く。
銀が精錬されるように彼らを精錬し、
金が試されるように彼らを試す。
彼らは私の名を呼び、私は彼らに答える。
私は言う、『彼らは私の民だ。』
そして彼らは言う、『主は私たちの神だ。』」

14 見よ、主の日が来る。あなたの財産が奪われ、あなたの中で分けられる時が来る。²
私はすべての国々をエルサレムに集めて戦わせる。町は占領され、家々は略奪され、女性たち

ゼカリヤ書

は辱められる。町の半分は捕囚にされるが、残りの民は町から追い出されない。³

その時、主は出て行き、戦いの日に戦うようにその国々と戦う。⁴

その日、主の足はエルサレムの東にあるオリーブ山の上に立つ。オリーブ山は東から西に裂け、大きな谷ができる。山の半分は北に移動し、もう半分は南に移動する。⁵

あなたがたは私の山の谷を通して逃げる。それはアゼルまで延びるからである。あなたがたはユダの王ウジヤの時代の地震から逃げたように逃げる。その時、私の神、主が来られ、すべての聖なる者たちが共に来る。⁶

その日、光はなく、光るものは衰える。⁷ それは主だけが知っている特別な日であり、昼と夜の区別がない。夕方になると光がある。⁸

その日、生ける水がエルサレムから流れ出る。半分は東の海へ、半分は西の海へ、夏にも冬にも。⁹ 主は全地の王となる。その日、主はただ一人であり、その名もただ一つである。¹⁰

全地はゲバからリモンまで、エルサレムの南にある平地に変わる。しかしエルサレムは高くなり、その場所に留まる。ベニヤミンの門から第一の門の場所、角の門、ハナネルの塔から王の酒ぶねまで。¹¹ そこには人が住み、もはや破壊はなく、エルサレムは安全に住む。¹²

これは主がエルサレムと戦ったすべての民を打つ疫

病である。彼らの肉は立ったままで腐り、彼らの目は眼窩の中で腐り、彼らの舌は口の中で腐る。¹³

その日、主からの大きな恐慌が彼らに降りかかる。彼らは互いに手を取り合い、互いに手を上げて攻撃する。¹⁴

ユダもエルサレムで戦い、周囲のすべての国々の富、金、銀、衣服が豊かに集められる。¹⁵ 同様の疫病が馬、ラバ、ラクダ、ロバ、およびその陣営のすべての動物を襲う。¹⁶

その後、エルサレムを攻撃したすべての国々の生き残りは、年ごとに上って万軍の主である王を礼拝し、仮庵の祭りを祝う。¹⁷

地上のどの家族もエルサレムに上って万軍の主である王を礼拝しないなら、彼らには雨が降らない。¹⁸ エジプトの家族が上って来ず、入らないなら、彼らには雨が降らない。これは仮庵の祭りを祝うために上らない国々を主が打つ疫病である。¹⁹

これはエジプトの罰であり、仮庵の祭りを祝うために上らないすべての国々の罰である。²⁰

その日、「主に聖なるもの」と馬の鈴に刻まれ、主の家の料理鍋は祭壇の前の聖なる鉢ようになる。²¹

エルサレムとユダのすべての鍋は万軍の主に聖なるものとなり、すべての犠牲を捧げる者がそれを取り、そこで料理する。その日、もはやカナン人は万軍の主の家にいない。

1 マラキを通してイスラエルに告げられた主の言葉のメッセージ： 2

「わたしはあなたたちを愛している」と主は言われる。しかしあなたたちは問う、「どのようにしてわたしたちを愛してくださいましたのか？」と。

「エサウはヤコブの兄ではなかったか？」と主は宣言される。「それでもわたしはヤコブを愛した。」 3
しかしエサウを憎み、彼の山々を荒廃させ、彼の相続地を荒野のジャッカルに与えた。」 4

エドムが言うかもしれない、「わたしたちは打ち負かされたが、戻って廃墟を再建する」と。しかし万軍の主はこう言われる：「彼らが建てるかもしれないが、わたしはそれを壊す。彼らは悪の領土と呼ばれ、主が永遠に憤る民となる。」 5

あなたたちの目はこれを見て、「イスラエルの境を越えても主は偉大である！」と言うだろう。 6

「息子は父を敬い、しもべは主人を敬う。もしわたしが父であるなら、わたしの敬意はどこにあるのか？もしわたしが主人であるなら、わたしの尊敬はどこにあるのか？」と万軍の主はあなたたち、わたしの名を軽んじる祭司たちに言われる。しかしあなたたちは問う、「どのようにしてわたしたちはあなたの名を軽んじたのですか？」 7

汚れた食物をわたしの祭壇に捧げることによって。しかしあなたたちは問う、「どのようにしてわたしたちはあなたを汚したのですか？」と。「主の食卓は軽蔑すべきものだ」と言うことによって。 8

盲目の動物を犠牲として捧げるとき、それは間違っていないのか？また、足の不自由な動物や病気の動物を捧げるとき、それは間違っていないのか？それをあなたの知事に捧げてみなさい！彼はあなたに喜ぶだろうか？彼はあなたを受け入れるだろうか？」と万軍の主は言われる。 9

「しかし今、神の恵みを求めて、彼がわたしたちに恵み深くあられるようにしなさい。あなたたちの手からのそのような捧げ物で、彼はあなたたちの誰かを受け入れるだろうか？」と万軍の主は言われる。 10

「もしあなたたちのうちの誰かが神殿の扉を閉じて、わたしの祭壇に無駄に火を灯さないようにするならば！わたしはあなたたちに喜んでいない」と万軍の主は言われる、「また、あなたたちの手からの捧げ物を受け入れることはない。」 11

太陽の昇るところから沈むところまで、わたしの名は国々の間で偉大であり、すべての場所で香と純粋な捧げ物がわたしの名に捧げられる。わたしの名は国々の間で偉大である」と万軍の主は言われる。 12

「しかしあなたたちはそれを汚し、『主の食卓は汚れており、その食物は軽蔑すべきものだ』と言って

いる。 13
そしてあなたたちは言う、『なんという負担だ！』と軽蔑的に鼻であしらう」と万軍の主は言われる。

「盗まれたものや足の不自由な動物、病気の動物を持ってきて、それを犠牲として捧げるとき、それをあなたたちの手から受け入れるべきだろうか？」と主は言われる。 14

「しかし、群れの中に受け入れられる雄がいて、それを捧げると誓いながら、傷のある動物を主に捧げる欺く者は呪われる。わたしは偉大な王である」と万軍の主は言われる、「そしてわたしの名は国々の間で恐れられるべきである。」

2 「さて、この戒めはあなたたち、祭司たちへのものである。 2

もしあなたたちが聞かず、私の名を敬うことを心に留めないならば」と万軍の主は言われる。「私はあなたたちに呪いを送り、あなたたちの祝福を呪う。実際、私はすでにそれらを呪った、なぜならあなたたちがそれを心に留めていないからだ。」 3

見よ、私はあなたたちの子孫を叱り、あなたたちの顔に祭りの犠牲の糞をまき散らし、あなたたちはそれと共に運び去られる。 4

そのとき、私がこの命令をあなたたちに送ったのは、レビとの私の契約が続くためであることを知るだろう」と万軍の主は言われる。 5

「彼との私の契約は命と平和のものであり、私はそれらを畏敬のしるしとして彼に与えた。それゆえ彼は私を畏れ、私の名を畏敬した。」 6

真実の教えが彼の口にあり、不正は彼の唇に見つからなかった。彼は私と共に平和と正直さの中を歩み、多くの者を悪行から遠ざけた。」 7

祭司の唇は知識を守るべきであり、人々は彼の口から教えを求めるべきである。彼は万軍の主の使者だからである。 8

しかし、あなたたちは道を外れ、あなたたちの教えによって多くの者をつまずかせた。あなたたちはレビとの契約を破った」と万軍の主は言われる。 9

「だから私はあなたたちをすべての人々の前で軽蔑され、辱められるようにした。なぜならあなたたちは私の道を守らず、法の問題で偏見を示したからだ。」 10

私たちには皆、ひとりの父がいるのではないかとひとりの神が私たちを創造したのではないかと？なぜ私たちは互いに裏切り、先祖の契約を汚すのか？ 11

ユダは不誠実であり、イスラエルとエルサレムで忌まわしいことが行われた。ユダは主が愛する聖所を汚し、異教の神の娘と結婚した。 12

このことをする者については、たとえ彼が万軍の主に捧げ物を持って来ても、主がヤコブの天幕から彼

を取り除かれるように。¹³
 そしてこれがあなたたちがするもう一つのことだ。
 あなたたちは涙で主の祭壇をあふれさせ、泣き叫ぶ。
 なぜなら主がもはやあなたたちの捧げ物を顧みず、
 あなたたちの手からのそれらを喜んで受け取らないからだ。¹⁴
 あなたたちは「なぜですか？」と問う。それは主が
 あなたたちと若い頃の妻との間の証人だからだ。あ
 なたたちは彼女に不誠実であったが、彼女はあなた
 たちの伴侶であり、結婚の契約の妻である。¹⁵
 ひとりの神があなたたちを創造したのではないか？
 あなたたちは体と霊において彼に属している。そし
 てひとりの神が何を望むのか？ 敬虔な子孫である。
 だから自分を守り、若い頃の妻に不誠実であっては
 ならない。¹⁶
 「私は離婚を憎む」とイスラエルの神、主は言われ
 る。「そして自分の衣を暴力で覆う者を」と万軍の
 主は言われる。だから自分を守り、不誠実であって
 はならない。¹⁷
 あなたたちは言葉で主を疲れさせた。それでもあな
 たたちは「どのようにして私たちは彼を疲れさせた
 のか？」と言う。「悪を行う者はみな主の目に良い
 者であり、彼は彼らを喜んでいる」と言うことによ
 って、または「正義の神はどこにいるのか？」と言
 うことによって。
3 「見よ、私はあなたの前に使者を送る。彼は私
 の前にあなたの道を準備する。突然、あなたが
 求めている主がその神殿に来る。あなたが喜ん
 でいる契約の使者、見よ、彼は来る」と万軍の主は
 言われる。²
 「しかし、彼の来る日を誰が耐えられるだろうか？
 彼が現れるとき、誰が立ち続けられるだろうか？ 彼
 は精錬者の火のようであり、漂白する者の石鹸のよ
 うであるからだ。³
 彼は銀の精錬者、浄化者として座し、レビの子らを
 清め、金や銀のように彼らを精錬する。彼らが主に
 義の捧げ物を捧げることができるように。⁴
 その時、ユダとエルサレムの捧げ物は、古の時代や
 過去の年のように、主に喜ばれるものとなる。⁵
 「そして私はあなたに近づき、裁きを行う。私は魔
 術師に対して、姦淫者に対して、偽りの誓いを立て
 る者に対して、賃金で雇われた者を虐げる者、未亡
 人、孤児を虐げる者、異邦人の権利を奪う者、そし
 て私を恐れない者に対して迅速な証人となる」と万
 軍の主は言われる。⁶
 「私は主であり、変わることがない。それゆえ、ヤ
 コブの子らよ、あなたたちは滅ぼされていない。⁷
 あなたたちの父祖の日から、あなたたちは私の定め
 から離れ、それを守っていない。私に戻れ、そうす

れば私はあなたたちに戻る」と万軍の主は言われる
 。「しかしあなたたちは言う、『どのようにして私
 たちは戻るべきか？』⁸
 「人が神を奪うことができるだろうか？ それでもあ
 なたたちは私を奪った。しかしあなたたちは言う、『
 』どのようにして私たちはあなたを奪ったのか？』⁹
 と。十分の一と捧げ物において。
 あなたたちは呪いの下にある。あなたたちは私を奪
 った、この全ての国民が。¹⁰
 全ての十分の一を倉に持って来い。私の家に食物が
 あるように。そして今、これで私を試してみよ」と
 万軍の主は言われる。「もし私が天の窓を開き、あ
 なたたちに祝福を注ぎ、それを受けるに足る場所が
 ないかどうか。¹¹
 そして私はあなたたちのために食い荒らす者を叱責
 し、彼があなたたちの地の果実を滅ぼさないように
 する。あなたたちの畑のぶどうの木もその実を時期
 前に落とさない」と万軍の主は言われる。¹²
 「そして全ての国民があなたたちを祝福されると言
 う。あなたたちは喜ばしい地となるからだ」と万軍
 の主は言われる。¹³
 「あなたたちの言葉は私に対して強くあった」と主
 は言われる。「それでもあなたたちは言う、『私た
 ちはどのようにしてあなたに対して多く語ったのか
 ？』¹⁴
 あなたたちは言った、『神に仕えることは無駄であ
 り、私たちが彼の定めを守り、万軍の主の前で悲し
 みながら歩んだことが何の利益になるのか？¹⁵
 そして今、私たちは誇り高い者を幸運だと考える。
 実際、悪を行う者は高められ、神に挑む者は逃れる
 。』¹⁶
 その時、主を恐れる者たちはしばしば互いに語り合
 い、主は耳を傾けて聞かれた。そして主を恐れ、彼
 の名を思う者たちのために記念の書が彼の前に書か
 れた。¹⁷
 「そして彼らは私のものとなる」と万軍の主は言わ
 れる。「私が私の宝石を集めるその日に、私は彼ら
 を惜しむ。ちょうど人が彼に仕える自分の息子を惜
 しむように。」¹⁸
 その時、あなたたちは帰り、義人と悪人の間、神に
 仕える者と仕えない者の間を見分けるだろう。
4 「確かに、その日は来る。それは炉のように燃
 え、すべての高慢な者とすべての悪を行う者は
 藁のようになる。その来る日が彼らを焼き尽く
 し、根も枝も残さない」と万軍の主は言われる。²
 しかし、私の名を敬うあなたがたには、義の太陽が
 翼に癒しを持って昇る。そして、あなたがたは出て
 行き、肥えた子牛のように跳ね回る。³
 そのとき、あなたがたは悪者を足の下に踏みつける

マラキ書

。彼らは私が行動する日に、あなたがたの足の裏で
灰となる」と万軍の主は言われる。

4

「私のしもべモーセの律法を覚えていなさい。ホレ
ブで全イスラエルのために彼に命じた掟と定めを。

5

「見よ、私は主の大いなる恐ろしい日が来る前に、
預言者エリヤをあなたがたに送る。

6

彼は父たちの心を子どもたちに向けさせ、子どもた
ちの心を父たちに向けさせる。さもなければ、私は
来て、地を完全に滅ぼす。」

マタイの福音書

1 これは、イエス・キリストの系図である。彼は
ダビデの子、アブラハムの子である。 2

アブラハムはイサクを生み、イサクはヤコブを
生み、ヤコブはユダとその兄弟たちを生んだ。 3

ユダはペレツとゼラを生んだ。母はタマルである。
ペレツはヘツロンを生み、ヘツロンはラムを生んだ 4

。ラムはアミナダブを生み、アミナダブはナフシオン
を生み、ナフシオンはサルモンを生んだ。 5

サルモンはボアズを生んだ。母はラハブである。ボ
アズはオベデを生んだ。母はルツである。オベデは
エッサイを生んだ。 6

エッサイはダビデ王を生んだ。ダビデはソロモンを
生んだ。母はウリヤの妻であった。 7

ソロモンはレハバアムを生み、レハバアムはアビヤ
を生み、アビヤはアサを生んだ。 8

アサはヨシファテを生み、ヨシファテはヨラム
を生み、ヨラムはウジヤを生んだ。 9

ウジヤはヨタムを生み、ヨタムはアハズを生み、ア
ハズはヒゼキヤを生んだ。 10

ヒゼキヤはマナセを生み、マナセはアモンを生み、
アモンはヨシヤを生んだ。 11

ヨシヤはエコニヤとその兄弟たちを生んだ。バビロ
ンへの捕囚の時である。 12

バビロンへの捕囚の後、エコニヤはシェアルティエ
ルを生み、シェアルティエルはゼルバベルを生んだ 13

。ゼルバベルはアビウドを生み、アビウドはエリアキ
ムを生み、エリアキムはアゾルを生んだ。 14

アゾルはザドクを生み、ザドクはアキムを生み、ア
キムはエリウドを生んだ。 15

エリウドはエレアザルを生み、エレアザルはマタン
を生み、マタンはヤコブを生んだ。 16

ヤコブはヨセフを生んだ。彼はマリアの夫であり、
マリアからキリストと呼ばれるイエスが生まれた。 17

それで、アブラハムからダビデまでの世代は全部で
十四世代、ダビデからバビロンへの捕囚まで十四世
代、捕囚からキリストまで十四世代である。 18

さて、イエス・キリストの誕生は次のようであった
。母マリアはヨセフと婚約していたが、彼らが一緒
になる前に、聖霊によって身ごもっていることがわ
かった。 19

夫ヨセフは正しい人であり、彼女を公に辱めたくな
かったので、密かに離縁しようと決心した。 20

彼がこのことを考えていると、主の使いが夢に現れ
て言った。「ダビデの子ヨセフよ、恐れずにマリア
を妻として迎えなさい。彼女の胎に宿っているものは
聖霊によるのです。 21

彼女は男の子を産むでしょう。その名をイエスと名
付けなさい。彼は自分の民をその罪から救うからで
す。」 22

このすべての出来事は、主が預言者を通して言われ
たことを成就するためであった。 23

「見よ、処女が身ごもって男の子を産む。その名は
インマヌエルと呼ばれる。」これは「神が我々と共
におられる」という意味である。 24

ヨセフは眠りから覚めると、主の使いが命じたとお
りにし、マリアを妻として迎えた。 25

しかし、彼女が男の子を産むまで彼女を知ること
はなかった。そしてその子の名をイエスと名付けた。

2 イエスがユダヤのベツレヘムでヘロデ王の治世
に生まれた後、東方の博士たちがエルサレムに
到着した。 2

彼らは言った、「ユダヤ人の王として生まれた方は
どこにおられますか。私たちはその星が昇るのを見
たので、拝みに来ました。」 3

ヘロデ王はこれ聞いて不安になり、エルサレム中
の人々も同様であった。 4

彼は民のすべての祭司長たちと律法学者たちを集め
、メシアがどこで生まれるべきかを尋ねた。 5

彼らは彼に言った、「ユダヤのベツレヘムです。預
言者がこう書いているからです。 6

『ユダの地、ベツレヘムよ、あなたはユダの支配者
たちの中で決して最も小さくはない。あなたから指
導者が出て、私の民イスラエルを牧するであろう。 7

』」

その後、ヘロデは密かに博士たちを呼び、星が現れ
た正確な時を彼らから聞き出した。 8

彼は彼らをベツレヘムに送り出し、「行ってその子
を注意深く探しなさい。見つけたら私に知らせてく
ださい。私も行って拝むつもりです。」と言った。 9

彼らが王の言葉を聞いた後、彼らは出発し、彼らが
昇るのを見た星が彼らの前を進み、子がいる場所の
上で止まるまで進んだ。 10

彼らはその星を見て、大いに喜んだ。 11

家に入ると、彼らは子とその母マリアを見て、ひれ
伏して拝んだ。そして、彼らの宝物を開けて、金、
乳香、没薬の贈り物を彼に捧げた。 12

そして、夢でヘロデのもとに戻らないように警告を
受けたので、彼らは別の道を通して自分の国に帰っ
た。 13

彼らが去った後、主の使いが夢でヨセフに現れ、「
起きて、子とその母を連れてエジプトに逃げなさい
。私が告げるまでそこにいなさい。ヘロデがその子
を探して滅ぼそうとしているからです。」と言った 14

。

マタイの福音書

そこでヨセフは起きて、夜のうちに子とその母を連れてエジプトへ逃れた。¹⁵
彼はヘロデが死ぬまでそこに滞在した。これは主が預言者を通して言われたことを成就するためであった。「私はエジプトから私の子と呼び出した。」

¹⁶
ヘロデは博士たちに騙されたと気づくと激怒し、博士たちから聞いた時に基づいて、ベツレヘムとその周辺の二歳以下の男の子をすべて殺すように命じた。¹⁷
その時、預言者エレミヤを通して語られたことが成就した。¹⁸
「ラマで声が聞こえる、嘆きと深い悲しみ、ラケルがその子供たちのために泣き、慰めを拒んでいる、彼らがもういないからである。」

¹⁹
ヘロデの死後、主の使いがエジプトにいるヨセフに夢で現れた。²⁰
「起きて、子とその母を連れてイスラエルの地に行きなさい。子の命を狙っていた者たちは死んだからです。」と言った。²¹
そこでヨセフは起きて、子とその母を連れてイスラエルの地に行った。²²
しかし、彼はアルケラオが父ヘロデの代わりにユダヤを治めていると聞いて、そこに行くことを恐れた。夢で警告を受けたので、彼はガリラヤの地方に退いた。²³
そして、ナザレという町に住んだ。これは預言者たちを通して語られたことを成就するためであった。「彼はナザレ人と呼ばれるであろう。」

3 その頃、バプテスマのヨハネが現れ、ユダヤの荒野で宣教していた。²
そして、「悔い改めなさい。天の御国が近づいたからです」と宣言していた。³
これは預言者イザヤによって言われた者である。「荒野で叫ぶ者の声がする、『主の道を整え、荒地地で我らの神のために道をまっすぐにせよ』。」⁴
ヨハネはラクダの毛で作った衣をまとい、腰には革の帯を締めていた。彼の食物はイナゴと野蜜であった。⁵
エルサレム、ユダヤ全土、ヨルダン川周辺の地域の人々が彼のもとに出てきた。⁶
そして、彼らはヨルダン川で彼によってバプテスマを受け、罪を告白した。⁷
彼は多くのパリサイ人とサドカイ人がバプテスマを受けに来るのを見て、彼らに言った。「毒蛇の子孫たちよ！誰が迫り来る怒りを逃れるようにとあなたがたに警告したのか。」⁸

悔い改めにふさわしい実を結びなさい。⁹
そして、『我々の父はアブラハムだ』などと自分たちに言い聞かせてはならない。神はこの石からでもアブラハムの子を起すことができると言っておく。¹⁰
斧はすでに木の根元に置かれている。良い実を結ばない木はすべて切り倒され、火に投げ込まれる。¹¹
「私は悔い改めのしるしとして水であなたがたにバプテスマを授ける。しかし、私の後に来る方は私よりも力のある方で、私はその方の履物を運ぶ値打ちもない。その方は聖霊と火であなたがたにバプテスマを授ける。¹²
その方は手に箕を持ち、脱穀場を徹底的に清め、麦を倉に集め、殻を消えない火で焼き尽くす。」

¹³
その時、イエスはガリラヤからヨルダンに来て、ヨハネからバプテスマを受けようとした。¹⁴
しかし、ヨハネは彼を止めようとして言った。「私こそあなたがたからバプテスマを受ける必要があるのに、あなたが私のところに来られるのですか？」¹⁵
イエスは彼に答えて言われた。「今はそうさせてください。このようにして、すべての義を成就することがふさわしいのです。」そこでヨハネは承諾した。¹⁶
イエスがバプテスマを受けられるとすぐに、水から上がられた。その時、天が開け、神の御霊が鳩のように下って彼の上に留まるのを彼は見た。¹⁷
そして、天から声がした。「これは私の愛する子、私はこれを喜ぶ。」

4 その後、イエスは御霊によって荒野に導かれ、悪魔の誘惑を受けることになった。²
四十日四十夜、断食した後、空腹を覚えた。³
誘惑者が彼に近づいて言った、「あなたが神の子であるなら、この石をパンに変えなさい。」⁴
しかしイエスは答えて言われた、「『人はパンだけで生きるのではなく、神の口から出るすべての言葉によって生きる』と書かれている。」⁵
その後、悪魔は彼を聖なる都に連れて行き、神殿の頂に立たせた。⁶
彼に言った、「あなたが神の子であるなら、下に身を投げなさい。『彼はあなたについて天使たちに命じ、彼らはその手であなたを支え、石に足を打ちつけることがないようにする』と書かれているから。」⁷
イエスは答えられた、「『あなたの神である主を試みてはならない』とも書かれている。」⁸
再び、悪魔は彼を非常に高い山に連れて行き、世のすべての王国とその栄華を見せた。⁹

マタイの福音書

彼に言った、「もし私を拝むなら、これらすべてをあなたに与えよう。」¹⁰

その時、イエスは彼に言われた、「去れ、サタン！『あなたの神である主を拝み、ただ彼に仕えよ』と書かれている。」¹¹

その瞬間、悪魔は彼を離れ、見よ、天使たちが来て彼に仕えた。

¹² イエスはヨハネが捕らえられたと聞いたとき、ガリラヤに退かれた。

¹³ ナザレを去り、ゼブルンとナフタリの地、海沿いのカペナウムに住まわれた—¹⁴

預言者イザヤを通して語られたことを成就するため
に：¹⁵

「ゼブルンの地とナフタリの地、海沿いの地域、ヨルダンの向こう、異邦人のガリラヤ—¹⁶

暗闇に住む民は大きな光を見た。死の陰の地に住む者たちに、光が昇った。」

¹⁷ その時から、イエスは説教を始められた、「悔い改めなさい、天の御国が近づいたから。」¹⁸

イエスがガリラヤ湖のほとりを歩いておられると、シモンと呼ばれるペテロとその兄弟アンデレの二人の兄弟を見られた。彼らは漁師であったので、湖に網を投げていた。¹⁹

イエスは彼らに言われた、「来なさい、私について来なさい。あなたがたを人を取る漁師にしてあげよう。」²⁰

するとすぐに、彼らは網を捨てて彼に従った。²¹ さらに進んで、ゼベダイの子ヤコブとその兄弟ヨハネの二人の兄弟を見られた。彼らは父ゼベダイと共に舟の中で網を繕っていた。彼は彼らと呼ばれた。²²

するとすぐに、彼らは舟と父を残して彼に従った。²³

イエスはガリラヤ中を巡り、彼らの会堂で教え、御国の福音を宣べ伝え、民の間のあらゆる病気や患いを癒された。²⁴

彼についての噂はシリア全体に広まり、さまざまな病気や激しい痛みに苦しむ者、悪霊に取り憑かれた者、てんかんの者、麻痺した者を彼のもとに連れて来た。そして彼は彼らを癒された。²⁵

大勢の群衆がガリラヤ、デカポリス、エルサレム、ユダヤ、そしてヨルダンの向こうから彼に従った。

5 イエスは群衆を見て、山に登り、腰を下ろされた。弟子たちはイエスに近づき、²
イエスは彼らに教え始めて言われた。

³ 「心の貧しい者は幸いです、
天の御国は彼らのものだからです。」⁴

悲しむ者は幸いです、
彼らは慰められるからです。⁵

柔和な者は幸いです、
彼らは地を受け継ぐからです。⁶

義に飢え渴く者は幸いです、
彼らは満たされるからです。⁷

憐れみ深い者は幸いです、
彼らは憐れみを受けるからです。⁸

心の清い者は幸いです、
彼らは神を見るからです。⁹

平和を作る者は幸いです、
彼らは神の子と呼ばれるからです。¹⁰

義のために迫害される者は幸いです、
天の御国は彼らのものだからです。

¹¹ 私のために人々があなたを侮辱し、迫害し、偽ってあらゆる悪を言うとき、あなたは幸いです。¹²

喜びなさい、大いに喜びなさい、天におけるあなたの報いは大きいのです。あなたより前の預言者たちも同じように迫害されたのです。

¹³ あなたは地の塩です。しかし、もし塩がその味を失ったら、どうやって再び塩味をつけることができるでしょうか？それはもはや何の役にも立たず、ただ外に捨てられ、人々に踏みつけられるだけです。¹⁴

あなたは世界の光です。丘の上に立つ町は隠れることができません。¹⁵

また、人々は灯をともして、それを籠の下に置くことはありませんが、燭台の上に置き、家の中のすべての人に光を与えます。¹⁶

同じように、あなたの光を人々の前で輝かせなさい。そうすれば、彼らはあなたの良い行いを見て、天におられるあなたの父を崇めるでしょう。

¹⁷ 私は律法や預言者を廃止するために来たのではない
— 廃止するためではなく、完成するために来たのです。¹⁸

まことにあなたに言います。天地が消え去るまで、律法から一点一画も消え去ることはありません。すべてが成就するまでです。¹⁹

したがって、これらの戒めの中で最も小さいものを破り、他の人にそうするように教える者は、天の御国で最も小さい者と呼ばれるでしょう。しかし、これらの戒めを實踐し、教える者は、天の御国で大いなる者と呼ばれるでしょう。²⁰

私はあなたに言います。あなたの義が律法学者やバ

マタイの福音書

リサイ人の義を超えない限り、決して天の御国に入ることはできません。

21
あなたは昔の人々に言われたことを聞いています。
『殺してはならない、殺す者は裁きを受ける。』²²
しかし、私はあなたに言います。兄弟や姉妹に対して怒る者は誰でも裁きを受けることになります。また、兄弟や姉妹に『ラカ』と言う者は法廷に引き渡され、『愚か者』と言う者は地獄の火に危険があります。²³
したがって、あなたが祭壇で供え物を捧げようとしているとき、兄弟や姉妹があなたに対して何かを持っていることを思い出したなら、²⁴
供え物を祭壇の前に置いて、まず彼らと和解し、それから来て供え物を捧げなさい。²⁵
あなたを訴える相手と早く和解しなさい。そうしないと、相手があなたを裁判官に引き渡し、裁判官が役人に引き渡し、あなたは牢に投げ込まれるかもしれません。²⁶
まことにあなたに言います。最後の一ペニーを支払うまで、あなたはそこから出られません。

27
あなたは『姦淫してはならない』と言われたことを聞いています。²⁸
しかし、私はあなたに言います。女性を欲望を持つて見る者は、すでに心の中で彼女と姦淫を犯したのです。²⁹
もしあなたの右目があなたを罪に陥れるなら、それをえぐり出して捨てなさい。体の一部を失う方が、全身が地獄に投げ込まれるよりも良いのです。³⁰
そして、もしあなたの右手があなたを罪に陥れるなら、それを切り落として捨てなさい。体の一部を失う方が、全身が地獄に行くよりも良いのです。

31
『妻を離縁する者は離縁状を与えなければならない』と言われています。³²
しかし、私はあなたに言います。淫行以外の理由で妻を離縁する者は、彼女に姦淫を犯させることになり、離縁された女性と結婚する者も姦淫を犯すのです。³³
再び、あなたは昔の人々に言われたことを聞いています。『誓いを破ってはならない、主に誓ったことを果たしなさい。』³⁴
しかし、私はあなたに言います。誓いを立ててはいけません。天によっても、それは神の御座だからです。³⁵

地によっても、それは神の足台だからです。エルサレムによっても、それは大王の都だからです。³⁶
また、あなたの頭によっても誓ってはけません。あなたは一本の髪を白くも黒くもできないからです。³⁷
。あなたの言葉は『はい、はい』または『いいえ、いいえ』でなければなりません。それ以上のことは悪から出ています。

38
『目には目を、歯には歯を』という教えを聞いています。³⁹
しかし、私はあなたに言います。悪人に抵抗してはいけません。誰かがあなたの右の頬を打つなら、他の頬も向けなさい。⁴⁰
あなたを訴えてシャツを取ろうとする者には、コートも与えなさい。⁴¹
誰かがあなたを一マイル行かせようとするなら、二マイル一緒に行きなさい。⁴²
求める者に与え、借りたい者を拒んではいけません。
。

43
『隣人を愛し、敵を憎め』と言われたことを聞いています。⁴⁴
しかし、私はあなたに言います。敵を愛し、迫害する者のために祈りなさい。⁴⁵
それは、あなたが天におられるあなたの父の子となるためです。神は悪人にも善人にも太陽を昇らせ、義人にも不義な者にも雨を降らせず。⁴⁶
あなたが愛する者を愛するなら、どんな報いがありますか？徴税人でも同じことをしているではありませんか？⁴⁷
自分の仲間だけを挨拶するなら、他の人より何をしていますのですか？異邦人でも同じことをしているではありませんか？⁴⁸
ですから、天におられるあなたの父が完全であるように、あなたも完全を目指しなさい。

6 「人に見られるために、自分の義を人の前で示さないように注意しなさい。そうでなければ、天におられるあなたがたの父からの報いを受けることはありません。²
「だから、施しをする時には、偽善者たちが会堂や通りで人にほめられるためにするように、ラッパを吹き鳴らしてはなりません。まことに、あなたがたに言います。彼らはすでにその報いを受けています。³
。しかし、あなたがたが施しをする時には、左手が何をしているかを右手に知られないようにしなさい。⁴

マタイの福音書

そうすれば、あなたの施しが隠れているようになり、隠れたところで見ておられるあなたの父が報いてくださいます。

5 「また、祈る時には、偽善者たちのようであってはなりません。彼らは人に見られるために、会堂や街角に立って祈るのを好みます。まことに、あなたがたに言います。彼らはすでにその報いを受けています。6 しかし、あなたが祈る時には、自分の部屋に入り、戸を閉めて、隠れたところにおられるあなたの父に祈りなさい。そうすれば、隠れたところで見ておられるあなたの父が報いてくださいます。7 また、祈る時には、異邦人のようにむなしい繰り返しをしてはなりません。彼らは言葉数が多いことで聞かれると思っています。8 彼らのようになってはいけません。あなたがたの父は、あなたがたが求める前に、あなたがたに必要なものを知っておられます。

9 「このように祈りなさい。

『天におられる私たちの父よ、
み名が聖とされますように。
み国が来ますように。
み心が天で行われるように、
地でも行われますように。11
私たちの日ごとの糧を今日もお与えください。12
私たちの罪をお赦しください。
私たちも私たちに罪を犯した者を赦しました。13
私たちを試みに合わせず、
悪からお救いください。』 み国と力と栄光は、
とこしえにあなたのものです。アーメン

14 もし、人があなたがたに対して罪を犯した時に赦すなら、あなたがたの天の父もあなたがたを赦してください。15
しかし、もし人を赦さないなら、あなたがたの父もあなたがたを赦しません。

16 「断食する時には、偽善者たちのように陰気な顔をしてはいけません。彼らは断食していることを人に見せるために顔をやつしています。まことに、あなたがたに言います。彼らはすでにその報いを受けています。17
しかし、あなたが断食する時には、頭に油を塗り、顔を洗いなさい。18
そうすれば、断食していることが人に見えず、隠れたところにおられるあなたの父にだけ見えるように

なります。そうすれば、隠れたところで見ておられるあなたの父が報いてくださいます。

19

「地上に宝を蓄えてはなりません。そこでは、虫やさびがつき、盗人が穴をあけて盗みます。20
むしろ、天に宝を蓄えなさい。そこでは、虫やさびがつかず、盗人が穴をあけて盗むこともありません。21
あなたの宝のあるところには、あなたの心もあるからです。

22

「目は体のともしびです。あなたの目が澄んでいれば、あなたの全身は光で満たされます。23
しかし、あなたの目が悪ければ、あなたの全身は暗闇で満たされます。だから、もしあなたの内にある光が暗闇であれば、その暗闇はどれほど大きいことでしょう。24
「だれも二人の主人に仕えることはできません。一方を憎んで他方を愛するか、一方を重んじて他方を軽んじるかのどちらかです。あなたがたは神と富とに仕えることはできません。

25

「だから、あなたがたに言います。自分の命のことで何を食べようか、何を飲もうかと心配したり、また体のことで何を着ようかと心配したりしてはいけません。命は食べ物よりも大切であり、体は衣服よりも大切ではありませんか。26
空の鳥を見なさい。彼らは種をまくことも、刈り入れることも、倉に集めることもしません。それでも、あなたがたの天の父は彼らを養ってください。あなたがたは彼らよりもはるかに価値があるのではありませんか。27

あなたがたのうちのだれが、心配することで自分の寿命をほんの少しでも延ばすことができるでしょうか。28

「なぜ衣服のことで心配するのですか。野の花がどのようにに育つかを考えてみなさい。彼らは働くことも、紡ぐこともしません。29

しかし、あなたがたに言います。栄華を極めたソロモンでさえ、このような花の一つほどにも装ってはいませんでした。30

今日あって明日は炉に投げ込まれる野の草を、神がどのように装ってくださるのなら、あなたがたにはもっとよくして下さらないでしょうか。信仰の薄い者たちよ。

31

だから、『何を食べようか』とか『何を飲もうか』

マタイの福音書

とか『何を着ようか』とか言っ32て心配してはいけません。

これらのものはすべて異邦人が切に求めているものです。しかし、あなたがたの天の父は、これらのものがあなたがたに必要であることを知っておられます。33

まず神の国と神の義を求めなさい。そうすれば、これらのものはすべてあなたがたに加えられます。34だから、明日のことを心配してはいけません。明日のことは明日が心配します。一日の苦勞はその日だけで十分です。

7

「人を裁いてはいけません。そうでないと、あなたがたも裁かれることになります。

あなたがたが他人を裁くその裁き方で、自分も裁かれ、あなたがたが使うその尺度で、自分にも量られるのです。

なぜ、兄弟の目の中のちりを見ながら、自分の目の中の梁には気づかないのですか。

どうして、兄弟に『あなたの目からちりを取り除かせてください』と言えるのですか。自分の目には梁があるのに。

偽善者よ、まず自分の目から梁を取り除きなさい。そうすれば、はっきり見えるようになって、兄弟の目からちりを取り除くことができるでしょう。

「聖なるものを犬に与えてはいけません。また、真珠を豚の前に投げてはいけません。彼らはそれを足で踏みつけ、向き直ってあなたがたを引き裂くかもしれません。

「求めなさい。そうすれば与えられます。探しなさい。そうすれば見つかります。叩きなさい。そうすれば開かれます。

求める者は皆受け、探す者は見つけ、叩く者には開かれます。

あなたがたのうち、誰が息子がパンを求めるときに石を与えるでしょうか。

また、魚を求めるときに蛇を与えるでしょうか。

あなたがたは悪い者であっても、自分の子供たちに良い贈り物を知っているのですから、まして天におられるあなたがたの父は、求める者に良いものを与えてくださらないでしょうか。

それゆえ、すべてのことにおいて、人々があなたにしてほしいことを、あなたも彼らにしなさい。これが律法と預言者です。

「狭い門から入りなさい。滅びに至る門は広く、その道は広いからです。そして、多くの者がそこを通ります。

しかし、命に至る門は小さく、その道は狭く、見つける者は少ないのです。

「偽預言者に注意しなさい。彼らは羊の衣を着てあなたがたのところに来ますが、内側は貪欲な狼です。
。

彼らの実によって、あなたがたは彼らを見分けることができます。茨からぶどうを、あざみからいちじくを集めることができるでしょうか。

同様に、良い木は良い実を結び、悪い木は悪い実を結びます。

良い木が悪い実を結ぶことはなく、悪い木が良い実を結ぶこともできません。

良い実を結ばない木は皆、切り倒されて火に投げ込まれます。

このようにして、彼らの実によって、あなたがたは彼らを見分けることができます。

「私に『主よ、主よ』と言う者が皆、天の御国に入るのではなく、天におられる私の父の御心を行う者だけが入るのです。

その日には、多くの者が私に言うでしょう。『主よ、主よ、私たちはあなたの名によって預言し、あなたの名によって悪霊を追い出し、あなたの名によって多くの奇跡を行ったではありませんか。』

そのとき、私は彼らに宣言します。『私はあなたがたを全く知らない。不法を行う者たちよ、私から離れ去りなさい。』

「それゆえ、これらの私の言葉を聞いてそれを行う者は皆、岩の上に家を建てた賢い人に似ています。

雨が降り、洪水が来て、風が吹いてその家に打ちつけましたが、それは倒れませんでした。岩の上に建てられていたからです。

しかし、これらの私の言葉を聞いてそれを行わない者は皆、砂の上に家を建てた愚かな人に似ています。
。

マタイの福音書

雨が降り、洪水が来て、風が吹いてその家に打ちつけると、それは倒れてしまい、その崩れ方はひどいものでした。」

イエスがこれらの言葉を終えられたとき、群衆はその教えに驚きました。

彼は権威ある者のように教えられ、彼らの律法学者のようではなかったからです。

8 イエスが山から降りられると、大勢の群衆がついてきた。 2

すると、重い皮膚病を患っている人が近づいてきて、ひれ伏して言った。「主よ、もし御心なら、私を清めていただけます。」 3

イエスは手を伸ばして彼に触れ、「私は望む。清くなれ。」と言われた。するとすぐに、彼の皮膚病は清められた。 4

イエスは彼に言われた。「誰にも話してはならない。しかし、行って、自分を祭司に見せ、モーセが命じた供え物を捧げて、彼らへの証としなさい。」

5 カペナウムに入ると、一人の百人隊長がイエスに近づき、助けを求めた。 6

「主よ、私のしもべが家で麻痺してひどく苦しんでいます。」 7

イエスは彼に言われた。「私は行って彼を癒そう。」 8

百人隊長は答えて言った。「主よ、私の屋根の下にお入りいただくにはふさわしくありません。ただお言葉をください。そうすれば、私のしもべは癒されます。」 9

私も権威の下にある者で、私の下にも兵士がいます。ある者に『行け』と言えば行きますし、別の者に『来い』と言えば来ます。また、しもべに『これをせよ』と言えば、それをします。」 10

イエスはこれ聞いて驚き、ついてきた人々に言われた。「まことに、イスラエルの中でこれほどの信仰を見たことがありません。」 11

私はあなたがたに言います。多くの人が東からも西からも来て、天の御国でアブラハム、イサク、ヤコブと共に席に着くでしょう。」 12

しかし、元々御国の子らは外の暗闇に追い出されます。そこで泣き叫んで歯がしりするのです。」 13

それからイエスは百人隊長に言われた。「行きなさい。あなたが信じたとおりになるように。」そして、そのしもべはその時に癒された。

14 イエスがペテロの家に来られると、ペテロのしゅう

とめが熱を出して寝ているのを見た。 15

イエスが彼女の手に触れると、熱が引き、彼女は起き上がってイエスに仕え始めた。 16

夕方になると、人々は悪霊に取り憑かれた多くの者をイエスのもとに連れて来た。イエスは言葉で霊を追い出し、病気の者を皆癒された。 17

これは預言者イザヤを通して語られた言葉を成就するためであった。

「彼は私たちの弱さを取り、
私たちの病を負った。」

18 イエスは周りに群衆がいるのを見て、向こう岸に渡るよう命じられた。 19

すると、一人の律法学者が近づいてきて言った。「先生、あなたが行かれる所ならどこへでもついて行きます。」 20

イエスは彼に言われた。「狐には穴があり、空の鳥には巢があるが、人の子には枕する所がありません。」 21

別の弟子が言った。「主よ、まず私に父を葬りに行かせてください。」 22

しかし、イエスは彼に言われた。「私について来なさい。死んでいる者たちに自分の死者を葬らせなさい。」

23 イエスが舟に乗り込まれると、弟子たちも従った。 24

すると突然、激しい嵐が海に起こり、舟は波に覆われた。しかし、イエスは眠っておられた。 25

弟子たちは近づいてイエスを起こし、「主よ、助けてください。私たちは死にそうです！」と言った。 26

イエスは彼らに言われた。「なぜ怖がるのか、信仰の薄い者たちよ。」そして、起き上がって風と海を叱ると、大なぎになった。 27

人々は驚いて言った。「この方はどなたなのだろう。風や海さえも従うとは！」

28 イエスが向こう岸のガダラ人の地に着くと、墓から出てきた二人の悪霊に取り憑かれた者がイエスに立ち向かってきた。彼らは非常に凶暴で、誰もその道を通ることができなかった。 29

彼らは叫んで言った。「神の子よ、私たちと何の関係があるのですか。まだ定めの時ではないのに、私たちを苦しめに來たのですか。」 30

彼らから遠くない所で、大きな豚の群れが餌を食べていた。 31

マタイの福音書

悪霊たちはイエスに願って言った。「もし私たちが追いつくなら、あの豚の群れに送ってください。」

32 イエスは彼らに「行け」と言われた。すると、彼らは出て行って豚に入った。そして、全群れが急な崖を駆け下り、海に入り、溺れて死んだ。
33 豚飼いたちは逃げて町に行き、すべてのことと、悪霊に取り憑かれた者たちに起こったことを報告した。
34

すると、町中の人々がイエスに会いに出てきて、イエスを見たとき、その地域から立ち去ってほしいと願った。

9 イエスは舟に乗り、ガリラヤ湖を渡って、自分の町に来られた。
2

ある人々が、中風の人を担架に乗せてイエスのもとに連れて来た。彼らの信仰を見て、イエスは中風の人に言われた。「安心しなさい、子よ。あなたの罪は赦された。」
3

すると、律法学者たちの中には、「この人は神を冒瀆している」と心の中で言う者がいた。
4

しかし、イエスは彼らの思いを知って言われた。「なぜ心の中で悪いことを考えているのですか。『あなたの罪は赦された』と言うのと、『起きて歩け』と言うのと、どちらが簡単ですか。
5 6

しかし、人の子が地上で罪を赦す権威を持っていることをあなたがたに知らせるために」—それから中風の人に言われた—

「起きて、担架を取り上げて家に帰りなさい。」
7 その人は起き上がり、家に帰った。
8 群衆はこれを見て恐れ、神を崇めた。神が人々にこのような権威をお与えになったからである。

9 イエスがそこを去られると、マタイという名の人が税関に座っているのを見かけた。イエスは彼に「わたしについて来なさい」と言われた。すると、マタイは立ち上がってイエスに従った。
10

その後、イエスが家で食卓についておられると、多くの徴税人や罪人たちが来て、イエスや弟子たちと共に食事をした。
11

これを見て、パリサイ人たちは弟子たちに言った。「なぜあなたがたの先生は徴税人や罪人たちと一緒に食事をするのですか。」
12

これを聞いて、イエスは言われた。「医者が必要とするのは健康な人ではなく、病人です。」
13

『わたしは憐れみを求める、犠牲を求めない』とはどういう意味か、行って学びなさい。わたしは正しい人を招くためではなく、罪人を招くために来たのです。」

14 その時、ヨハネの弟子たちがイエスのもとに来て言った。「なぜ私たちとパリサイ人はよく断食するのに、あなたの弟子たちは断食しないのですか。」
15 イエスは言われた。「花婿と一緒にいる間、婚礼の客が悲しむことができるのでしょうか。花婿が彼らから取り去られる時が来ます。その時には断食するでしょう。
16

誰も新しい布で古い衣を縫ぎ合わせたりしません。そうすれば、縫ぎ布が衣から引き裂かれ、破れがひどくなります。
17

また、人々は新しいぶどう酒を古い革袋に入れません。もしそうすれば、革袋は破れ、ぶどう酒は流れ出て、革袋もだめになります。むしろ、新しいぶどう酒は新しい革袋に入れます。そうすれば、両方とも保存されます。」

18 イエスがこれらのことを話しているとき、ある会堂の指導者が来てひざまずき、「私の娘が今死にました。しかし、来て手を置いてくだされば、生き返ります」と言った。
19

イエスは立ち上がり、彼と共に行かれた。弟子たちも一緒だった。
20

その時、十二年間も出血を患っていた女が後ろから近寄り、イエスの衣のふさに触れた。
21

彼女は心の中で、「ただ彼の衣に触れることができれば、癒される」と思っていた。
22

イエスは振り向いて彼女を見て言われた。「安心しなさい、娘よ。あなたの信仰があなたを癒した。」その瞬間、女は癒された。
23

イエスが会堂の指導者の家に到着し、笛吹きたちと騒がしい群衆を見て、
24

「去りなさい。少女は死んでいない、眠っているのだ」と言われた。すると、彼らはイエスを嘲笑った。
25

群衆が外に出されると、イエスは中に入り、少女の手を取られた。すると、少女は起き上がった。
26 このことがその地域全体に広まった。

27 イエスがそこを去られると、二人の盲人が「ダビデの子よ、私たちを憐れんでください」と呼びながらついて来た。

イエスが家に入られると、盲人たちが彼のもとに来了。イエスは彼らに「わたしがこれをする事ができると信じますか」と尋ねられた。彼らは「はい、主よ」と答えた。
29

そこで、イエスは彼らの目に触れ、「あなたがたの信仰に従って、そうなれ」と言われた。
30

マタイの福音書

すると、彼らの目が開かれた。イエスは厳しく彼らに警告して、「誰にもこのことを知られないように」と言われた。³¹

しかし、彼らは出て行き、その地域全体にイエスのことを広めた。

³² 彼らが去った後、悪霊に取り憑かれて口が利けない人がイエスのもとに連れて来られた。³³

悪霊が追い出されると、口の利けない人が話し始めた。群衆は驚いて言った。「イスラエルではこのようなことはかつて見られなかった。」³⁴

しかし、パリサイ人たちは言った。「彼は悪霊の頭によって悪霊を追い出している。」

³⁵ イエスはすべての町や村を巡り、彼らの会堂で教え、御国の福音を宣べ伝え、あらゆる病気や患いを癒された。³⁶

群衆を見て、彼らが羊飼いのいない羊のように困り果てているのを見て、イエスは彼らを深く憐れまれた。³⁷

それから、弟子たちに言われた。「収穫は多いが、働き手が少ない。」³⁸

だから、収穫の主に、収穫のために働き手を送り出してくださいように祈りなさい。」

10 イエスは十二人の弟子を呼び寄せ、彼らに汚れた霊を追い出し、あらゆる病気や患いを癒す権威を授けられた。²

これが十二使徒である。まず、ペテロと呼ばれるシモンとその兄弟アンデレ、ゼバダイの子ヤコブとその兄弟ヨハネ、³

ピリポとバルトロマイ、トマスと徴税人のマタイ、アルファイの子ヤコブとタダイ、⁴

熱心党のシモンと、後にイエスを裏切ったイスカリオテのユダである。

⁵ これらの十二人をイエスは送り出し、次のように命じられた。「異邦人の道に行ってはならず、サマリア人の町に入ってはならない。⁶

むしろ、イスラエルの失われた羊のところにいきなさい。⁷

行く途中で、このメッセージを宣べ伝えなさい。『天の御国が近づいた。』⁸

病人を癒し、死人をよみがえらせ、らい病人を清め、悪霊を追い出さない。あなたがたはただで受けたのだから、ただで与えなさい。⁹

金や銀や銅を腰袋に入れてはいけな—¹⁰ 旅のための袋や、予備の上着、履物、杖も持つては

ならない。働く者がその糧を得るのは当然だからである。

¹¹ どんな町や村に入っても、そこでふさわしい人を探し、そこを去るまでその家に泊まりなさい。¹²

その家に入るときには、挨拶をしない。¹³

その家がふさわしいなら、あなたの平安がその上にあるようにしなさい。もしふさわしくなければ、あなたの平安はあなたに戻ってくる。¹⁴

もし誰かがあなたを受け入れず、あなたの言葉に耳を傾けないなら、その家や町を去るときに足の塵を払い落とさない。¹⁵

まことにあなたがたに言いますが、裁きの日には、その町よりもソドムとゴモラの方が耐えやすいでしょう。

¹⁶ 「見よ、私はあなたがたを狼の中に羊として送り出す。それゆえ、蛇のように賢く、鳩のように純真でありなさい。¹⁷

人々に注意しなさい。彼らはあなたがたを地方の議会に引き渡し、会堂で鞭打つでしょう。¹⁸

また、私のために総督や王の前に引き出されるでしょう。それは彼らと異邦人への証しとなるためです。¹⁹

しかし、彼らがあなたを引き渡すとき、何をどう言おうかと心配しないでください。その時に言うべきことが与えられるからです。²⁰

それはあなたがたが話すのではなく、あなたがたの父の霊があなたがたを通して話されるのです。

²¹ 「兄弟が兄弟を死に渡し、父が子を死に渡し、子供たちは親に逆らって立ち、彼らを死に追いやるでしょう。²²

あなたがたは私の名のためにすべての人に憎まれるでしょう。しかし、最後まで耐え忍ぶ者は救われるでしょう。²³

ある町で迫害を受けたら、次の町に逃げなさい。まことにあなたがたに言いますが、人の子が来るまでにイスラエルの町々を回り終えることはないでしょう。

²⁴ 「弟子は師以上のものではなく、しもべは主人以上のものではありません。²⁵

弟子がその師のようになり、しもべがその主人のようになるのは十分です。もし家の主人をベルゼブルと呼んだのなら、その家の者たちはなおさら悪く言われるでしょう。

マタイの福音書

26

「だから、彼らを恐れてはなりません。覆われたもので明らかにされないものはなく、隠されたもので知られないものはありません。」²⁷

私が暗闇であなたがたに言うことを、光の中で語りなさい。耳元でささやかれたことを、屋上から宣べ伝えなさい。²⁸

身体を殺しても魂を殺せない者たちを恐れてはなりません。むしろ、魂も身体も地獄で滅ぼすことのできる方を恐れなさい。²⁹

二羽の雀は一アサリオンで売られているではありませんか。それでも、あなたがたの父の許しなしに、その一羽も地に落ちることはありません。³⁰

あなたがたの頭の髪の毛さえも、すべて数えられています。³¹

だから、恐れてはなりません。あなたがたは多くの雀よりも価値があるのです。

32

「だれでも人の前で私を認める者を、私も天におられる私の父の前で認めます。」³³

しかし、人の前で私を否認する者を、私も天におられる私の父の前で否認します。

34

「私が地に平和をもたらすために来たと思ってはなりません。平和ではなく、剣をもたらすために来たのです。」³⁵ 私は

息子を父に逆らわせ、*娘を母に逆らわせ、
嫁を姑に逆らわせるために来たのです。*³⁶
人の敵はその家の者たちとなるでしょう。

37

「父や母を私以上に愛する者は、私にふさわしくありません。息子や娘を私以上に愛する者も、私にふさわしくありません。」³⁸

自分の十字架を負って私に従わない者は、私にふさわしくありません。³⁹

自分の命を得ようとする者はそれを失い、私のために命を失う者はそれを見出すでしょう。

40

「あなたがたを受け入れる者は私を受け入れるのであり、私を受け入れる者は私を遣わされた方を受け入れるのです。」⁴¹

預言者を預言者として受け入れる者は、預言者の報いを受け、義人を義人として受け入れる者は、義人の報いを受けるでしょう。⁴²

これらの小さな者の一人に、弟子であるという理由で冷たい水一杯でも与える者がいれば、まことにあ

なたがたに言いますが、その人は決して報いを失うことはないでしょう。」

11 イエスが十二弟子に教え終えた後、そこから彼らの町で教え、説教するために移動した。

2

ヨハネが牢にいた間に、キリストの行いについて聞き、弟子たちを送って³

彼に尋ねさせた、「来るべき方はあなたですか、それとも他の人を待つべきですか？」⁴

イエスは答えた、「戻って、ヨハネにあなたが聞き、見ていることを報告しなさい：」⁵

盲人は視力を得、足の不自由な人は歩き、らい病の人は清められ、耳の聞こえない人は聞き、死者はよみがえり、貧しい人々に良い知らせが告げられている。⁶ 私につまずかない者は幸いです。」

7

ヨハネの弟子たちが去ると、イエスは群衆にヨハネについて話し始めた、「あなたたちは何を見に荒野に出て行ったのですか？風に揺れる葦ですか？」⁸

そうでないなら、何を見に行ったのですか？柔らかい衣を着た人ですか？いいえ、柔らかい衣を着た人は王の宮殿にいます。⁹

しかし、何を見に行ったのですか？預言者ですか？そうです、私はあなたたちに言います、預言者以上の者です。¹⁰

これは聖書で語られている者です：見よ、私はあなたの前に使者を送る、彼はあなたの前に道を準備する。」¹¹

本当にあなたたちに言います、女から生まれた者の中で、バプテスマのヨハネより偉大な者は現れていません。しかし、天の御国で最も小さい者でも彼より偉大です。¹²

バプテスマのヨハネの日から今まで、天の御国は暴力にさらされ、暴力を振るう者がそれを奪い取っています。¹³

すべての預言者と律法はヨハネまでのことを語っていました。¹⁴

そして、もしあなたがたが受け入れるなら、彼は来るべきエリヤです。¹⁵ 耳のある者は聞きなさい。

16

「この世代を何にとえましょうか？それは市場で座っている子供たちのようです、他の者に呼びかけている：

¹⁷ 『私たちはあなたたちのために笛を吹いたが、
あなたたちは踊らなかった；

マタイの福音書

私たちは悲しみの歌を歌ったが、
あなたたちは嘆かなかった。’

18

ヨハネが来たとき、彼は食べも飲みもしなかった、
そして彼らは言う、『彼は悪霊に取り憑かれている
。』

19

人の子が来たとき、食べたり飲んだりして、彼らは
言う、『ここに大食漢と酒飲みがいる、徴税人や罪
人の友だ。』しかし、知恵はその行いによって正当
化されます。」

20

それからイエスは、彼の奇跡が最も多く行われた町
々を非難し始めた、彼らが悔い改めなかったからで
ある。

21

「わざわざだ、コラジンよ！わざわざだ、ベツサイ
ダよ！あなたたちの中で行われた奇跡が、ティルス
とシドンで行われていたなら、彼らはどうの昔に荒
布をまとい、灰をかぶって悔い改めていただろう。

22

しかし、私はあなたたちに言います、裁きの日には
、ティルスとシドンの方があなたたちよりも耐えや
すいでしょう。

23

そして、あなた、カペナウムよ、あなたは天にまで
高められるでしょうか？いいえ、あなたはハデスに
まで落とされるでしょう。あなたたちの中で行われ
た奇跡が、ソドムで行われていたなら、それは今日
まで残っていただろう。

24

しかし、私はあなたたちに言います、裁きの日には
、ソドムの方があなたたちよりも耐えやすいでし
ょう。」

25

その時、イエスは言った、「私はあなたを賛美しま
す、天と地の主である父よ、あなたはこれらのこと
を賢い者や知識のある者から隠し、小さな子供たち
に明らかにしました。

26

そうです、父よ、これはあなたの目にかなったこと
です。

27

すべてのことは私の父によって私に委ねられていま
す。父を知っているのは子だけであり、子を知って
いるのは父だけであり、子が彼を明らかにしようと
選んだ者だけです。

28

「すべて疲れた者、重荷を負っている者は私のもと
に来なさい、私はあなたに休息を与えます。

29

私のくびきを負い、私から学びなさい、私は心が優
しく、謙遜だからです、そうすればあなたの魂に休
息を見出すでしょう。

30

私のくびきは負いやすく、私の荷は軽いからです。
」

12

その時、イエスは安息日に穀物畑を通して
おられたが、弟子たちは空腹を感じ、穂を
摘んで食べ始めた。

2

これを見たパリサイ人たちはイエスに言った、「見
てください、あなたの弟子たちは安息日にしてはな
らないことをしています。」

3

イエスは答えられた、「ダビデが彼とその仲間たち
が空腹だったときに何をしたか、読んだことがない
のですか？

4

彼は神の家に入り、祭司以外には食べてはならない
聖なるパンを食べ、彼の仲間たちも食べたのです。

5

また、律法の中で、神殿の中の祭司たちが安息日
を犯しても罪に問われないことを読んだことがないの
ですか？

6

しかし、私はあなたがたに言います、神殿よりも大
いなるものがここにあるのです。

7

もしあなたがたが『私は憐れみを望む、犠牲ではな
く』という意味を理解していたなら、無実の者を非
難しなかったでしょう。

8

人の子は安息日の主だからです。」

9 そこを去って、彼は彼らの会堂に入られた。 10
そこには手の萎えた人がいた。彼らはイエスに、「
安息日に癒すことは許されているのですか？」と尋
ねた。彼を訴えようとしていたのである。

11

イエスは彼らに言われた、「あなたがたのうち、羊
を持っている者がいて、その羊が安息日に穴に落ち
たら、それをつかんで引き上げないでしょうか？ 12
人は羊よりもはるかに価値があるではありませんか
！それゆえ、安息日に良いことをすることは許され
ているのです。」

13

それからイエスはその人に言われた、「手を伸ばし
なさい。」彼が手を伸ばすと、その手は他の手と同
じように元どおりになった。

14

しかし、パリサイ人たちは出て行って、どうやって
イエスを滅ぼすか相談した。

15

これを知って、イエスはそこを去られた。多くの
人々が彼に従い、彼は彼らを皆癒された。

16

そして、彼が誰であるかを知らせないようにと彼ら
に警告された。

17

これは預言者イザヤを通して語られたことを成就
するためであった。

18

「見よ、私が選んだ僕、

私の心が喜ぶ愛する者。

マタイの福音書

私は彼の上に私の霊を置く。
彼は国々に正義をもたらす。
彼は争わず、叫ばず、
その声を通りて聞かれることはない。
傷ついた葦を折らず、くすぶる灯心を消さず、
彼が正義を勝利に導くまで。
彼の名において、国々は希望を置く。」

その後、盲目で口のきけない悪霊に取り憑かれた人がイエスのもとに連れて来られ、イエスは彼を癒されたので、その人は話すことも見えるようになった。
すべての人々は驚いて言った、「これはダビデの子ではないでしょうか？」
しかし、パリサイ人たちがこれを聞くと、「この人は悪霊の君ベルゼブルによってのみ悪霊を追い出しているのだ」と言った。
彼らの考えを知って、イエスは彼らに言われた、「内部分裂した王国は荒廃し、内部分裂した町や家は立ち行かない。
もしサタンがサタンを追い出しているなら、彼は自分に逆らって分裂しているのです。では、どうして彼の王国が立ち行くのでしょうか？
もし私がベルゼブルによって悪霊を追い出しているのであれば、あなたがたの息子たちは誰によってそれを追い出しているのですか？それゆえ、彼らがあなたがたの裁判官となるでしょう。
しかし、もし私が神の霊によって悪霊を追い出しているのであれば、確かに神の国があなたがたに来て

います。
また、誰かが強い人の家に入ってその持ち物を奪うには、まずその強い人を縛らなければなりません。そうすれば、その家を略奪することができます。
私と共にいない者は私に逆らう者であり、私と共に集めない者は散らす者です。」

それゆえ、私はあなたがたに言います。どんな罪や冒涇も許されますが、霊に対する冒涇は許されません。
人の子に対して言葉を発する者は許されますが、聖霊に対して言う者は、この時代でも来たるべき時代でも許されません。
木を良いものとして育てれば、その実も良いものとなり、木を悪いものとするれば、その実も悪いものとなります。木はその実によって知られるからです。
毒蛇の子らよ、悪い者でありながら、どうして良い

ことを言うことができるでしょうか？口は心に満ちていることを話すのです。
良い人は自分の中に蓄えられた良いものから良いことを取り出し、悪い人は自分の中に蓄えられた悪いものから悪いことを取り出します。
しかし、私はあなたがたに言います。人々は無駄な言葉を話したことについて、裁きの日に責任を問われます。
あなたの言葉によって無罪とされ、あなたの言葉によって有罪とされるのです。」

その時、律法学者とパリサイ人の何人かが彼に近づいて言った、「先生、私たちはあなたから印を見たいのです。」
彼は答えられた、「邪悪で不貞な世代は印を求めますが、預言者ヨナの印の他には与えられません。
ヨナが三日三晩大魚の腹にいたように、人の子も三日三晩地の心にいるでしょう。
ニネベの人々はこの世代と共に裁きの時に立ち上がり、それを非難します。彼らはヨナの説教で悔い改めたからです。そして今、ヨナよりも大いなる者がここにいます。
南の女王はこの世代と共に裁きの時に立ち上がり、それを非難します。彼女は地の果てからソロモンの知恵を聞くために来たからです。そして今、ソロモンよりも大いなる者がここにいます。」

汚れた霊が人から出て行くと、水のない場所をさまよい、休み場を求めますが、見つかりません。
それから、『私は出てきた自分の家に戻ろう』と言います。来てみると、その家は空いていて、掃除され、整えられています。
それで、さらに自分よりも悪い他の七つの霊を連れて来て、そこに住みつきます。そして、その人の最後の状態は最初よりも悪くなります。この邪悪な世代もそのようになるでしょう。」

イエスが群衆に話しておられる間に、彼の母と兄弟たちが外に立っていて、彼に話したいと思っていた。
誰かが彼に知らせた、「あなたの母と兄弟たちが外に立っていて、あなたに話したいと思っています。」
彼は知らせた者に答えられた、「私の母は誰であり、私の兄弟たちは誰ですか？」
彼の弟子たちを指して言われた、「ここに私の母と私の兄弟たちがいます。」

マタイの福音書

天におられる私の父の御心を行う者が、私の兄弟、姉妹、そして母なのです。」

13 その日、イエスは家を出て、海辺に座っておられた。²

大勢の群衆が集まったので、イエスは舟に乗って座られ、群衆は岸に立っていた。³

イエスは彼らに多くのことをたとえて話し始めた。「種を蒔く人が蒔きに出て行った。⁴

蒔いているときに、ある種は道端に落ち、鳥が来て食べてしまった。⁵

他の種は岩地に落ち、土があまりないところに落ちたので、すぐに芽を出したが、土が浅かったので、⁶

太陽が昇ると焼けて、根がないために枯れてしまった。⁷

他の種は茨の間に落ち、茨が伸びてそれをふさいでしまった。⁸

しかし、他の種は良い地に落ち、あるものは百倍、あるものは六十倍、あるものは三十倍の実を結んだ。⁹ 耳のある者は聞きなさい。」

10 弟子たちは近寄ってきて、「なぜ人々にたとえて話されるのですか」と尋ねた。¹¹

イエスは答えられた。「あなたがたには天の国の奥義を知ることが許されているが、彼らには許されていない。¹²

持っている者にはさらに与えられて豊かになるが、持っていない者からは持っているものまでも取り上げられる。¹³ だから、彼らにたとえて話すのは、

見てはいるが見えず、聞いてはいるが聞かえず、理解できないからである。

14 彼らにはイザヤの預言が成就している。

『あなたがたは聞いても理解せず、
見ても認識しない。¹⁵ この民の心は鈍くなり、
耳は遠くなり、目を閉じている。
目でなければ、¹⁶ 耳で聞き、
心で理解して立ち返り、
私が彼らを癒すだろう。』

16 しかし、あなたがたの目は見えているので幸いであり、あなたがたの耳は聞いているので幸いである。¹⁷ まことに、あなたがたに言います。多くの預言者や義人たちがあなたがたが見ているものを見たいと願ったが見られず、あなたがたが聞いていることを聞きたいと願ったが聞けなかったのです。

18 「では、種を蒔く人のたとえを聞きなさい。¹⁹
誰でも御国の言葉を聞いて理解しないと、悪い者が来て、その人の心に蒔かれたものを奪い去ります。
これが道端に蒔かれた種です。²⁰

岩地に蒔かれた種は、御言葉を聞いてすぐに喜んで受け入れる人です。²¹

しかし、自分の中に根がないので、しばらくは続くが、御言葉のために困難や迫害が起こると、すぐにつまづいてしまいます。²²

茨の間に蒔かれた種は、御言葉を聞くが、この世の心配や富の誘惑が御言葉をふさいで実を結ばない人です。²³

しかし、良い地に蒔かれた種は、御言葉を聞いて理解する人です。彼らは実を結び、あるものは百倍、あるものは六十倍、あるものは三十倍を生み出します。」

24 イエスはまた別のたとえを彼らに示された。「天の国は、自分の畑に良い種を蒔く人のようなものです。²⁵

しかし、人々が眠っている間に、敵が来て麦の中に毒麦を蒔いて去って行きました。²⁶

麦が芽を出して実を結ぶと、毒麦も現れました。²⁷ 地主のしもべたちが来て言いました。『ご主人様、畑に良い種を蒔かれたではありませんか。どうして毒麦があるのですか。』²⁸

彼は彼らに言いました。『敵がこれをしたのです！』しもべたちは彼に言いました。『私たちが行ってそれを集めましょうか。』²⁹

しかし彼は言いました。『いや、毒麦を集めるときに、麦も一緒に抜いてしまうかもしれないからです。³⁰

収穫の時まで、両方とも一緒に育つままにしておきなさい。収穫の時に、私は刈り取る者たちに言います。「まず毒麦を集めて束にして焼き、麦は私の倉に集めなさい。』」³¹

イエスはまた別のたとえを彼らに示された。「天の国は、からし種のようなものです。それは人が取って畑に蒔くものです。³²

それはすべての種の中で最も小さいが、成長すると庭の植物よりも大きくなり、木となり、空の鳥が来てその枝に巣を作るのです。」

33 イエスはまた別のたとえを彼らに話された。「天の国は、女が取って三斗の粉の中に隠し、全体が膨らむまで発酵させるパン種のようなものです。」

マタイの福音書

34

イエスはこれらすべてのことを群衆にたとえで話され、たとえを用いないで彼らに話されることはありませんでした。

35

これは預言者を通して語られたことを成就するためでした。「私はたとえで口を開き、世界の基から隠されていることを語る。」

36

それから、イエスは群衆を去って家に入られた。弟子たちは彼に近づいて、「畑の毒麦のたとえを説明してください」と言った。

37

イエスは答えられた。「良い種を蒔く者は人の子です。」

38

畑は世界であり、良い種は御国の子らを指し、毒麦は悪い者の子らです。

39

それを蒔く敵は悪魔であり、収穫は世の終わりであり、刈り取る者は天使たちです。

40

毒麦が集められて火で焼かれるように、世の終わりにもそうなるでしょう。

41

人の子はその天使たちを送り、御国からすべての罪を犯させるものと不法を行う者を集め、

42

彼らを火の炉に投げ込みます。そこでは泣き叫んで歯ざしりするでしょう。

43

そのとき、正しい者たちは父の御国で太陽のように輝くでしょう。耳のある者は聞きなさい。

44

「天の国は畑に隠された宝のようなものです。それを見つけた人が再び隠し、喜びのあまり、持っているすべてを売ってその畑を買います。」

45

「また、天の国は良い真珠を探している商人のようなものです。」

46

高価な真珠の一つ見つけると、彼は行って持っているすべてを売り、それを買いました。

47

「また、天の国は海に投げ入れられて、あらゆる種類の魚を集める網のようなものです。」

48

それがいっぱいになると、彼らは岸に引き上げ、座って良い魚を籠に集め、悪い魚は捨てました。

49

世の終わりにもそのようになるでしょう。天使たちが来て、悪い者を正しい者から分け、

50

彼らを火の炉に投げ込みます。そこでは泣き叫んで歯ざしりするでしょう。

51

「これらのことをすべて理解しましたか？」イエスが尋ねられると、彼らは「はい」と答えました。そこでイエスは彼らに言われた。「だから、天の国の弟子となった学者は、家の主人のようであり、新しいものと古いものをその倉から取り出します。」

53

イエスがこれらのたとえを終えられると、そこを去

られた。

54

故郷に来られると、彼らの会堂で教え始められたので、人々は驚いて言った。「この人はどこでこの知恵と奇跡を得たのか。」

55

この人は大工の息子ではないか。母はマリヤと呼ばれ、兄弟たちはヤコブ、ヨセフ、シモン、ユダではないか。

56

彼の姉妹たちも皆、私たちと一緒にいるではないか。この人はどこでこれらのことを得たのか。」

57

彼らはイエスにつまずいた。しかし、イエスは彼らに言われた。「預言者は自分の故郷と自分の家族以外では尊敬されないものです。」

58

そして、彼らの不信仰のために、そこでは多くの奇跡を行われなかった。

14 その頃、領主ヘロデはイエスについての噂を聞きました。

2

そして彼は家来たちに言いました、「これはバプテスマのヨハネだ。彼は死者の中からよみがえったのだ。それで彼の中で奇跡的な力が働いているのだ。」

3

というのも、ヘロデはヨハネを捕らえ、縛って牢に入れたからです。それは兄弟フィリポの妻ヘロデヤのためでした。

4

ヨハネが彼に、「あなたが彼女を持つことは律法に反する」と言っていたからです。

5

ヘロデはヨハネを殺したいと思っていましたが、彼を預言者と見なししていた人々を恐れていました。

6

しかし、ヘロデの誕生日が来たとき、ヘロデヤの娘が客の前で踊り、ヘロデを非常に喜ばせました。それで彼は彼女に求めるものは何でも与えると誓いました。

8

彼女は母親にそそのかされて、「ここでバプテスマのヨハネの首を皿に乗せてください」と言いました。

9

王は悲しみましたが、誓いと客のために、それを与えるよう命じました。

10

彼は命令を出し、ヨハネを牢で斬首させました。ヨハネの首は皿に乗せられて女の子に渡され、彼女はそれを母親に持って行きました。

12

ヨハネの弟子たちは来て、遺体を取り去って葬り、それからイエスに知らせました。

13

イエスはこれを聞いて、船で一人で寂しい場所に退けられました。しかし群衆がこれを聞き、町々から徒歩で彼に従いました。

14

マタイの福音書

イエスは岸に上がると、大勢の群衆を見、彼らに対して憐れみを感じ、病人を癒されました。

15

夕方が近づくと、弟子たちはイエスのもとに来て言いました、「ここは人里離れた場所で、もう遅いです。群衆を解散させ、村に行って自分たちで食べ物を買うようにさせてください。」

16

しかしイエスは答えられました、「彼らが去る必要はありません。あなたたちが彼らに何か食べるものを与えなさい。」

17

彼らは言いました、「ここにはパン五つと魚二匹しかありません。」

18

イエスは言われました、「それを私のところに持ってきてなさい。」

19

イエスは人々に草の上に座るよう指示しました。そして五つのパンと二匹の魚を取り、天を見上げて感謝を捧げ、パンを裂きました。それから弟子たちに与え、弟子たちはそれを人々に配りました。

20

皆が食べて満足しました。そして弟子たちは余った破片を十二の籠に集めました。

21

食べた人々は、女と子供を除いて約五千人でした。

22

すぐにイエスは弟子たちに船に乗り込み、彼が群衆を解散させる間に向こう岸に先に行くよう指示しました。

23

彼が群衆を解散させた後、山に一人で祈るために登られました。夕方になると、彼はそこに一人でおられました。

24

しかし、船はすでに陸からかなり離れており、風が逆らっていたため波に打たれていました。

25

夜の第四の見張りの時、イエスは海の上を歩いて彼らのもとに行かれました。

26

弟子たちはイエスが海の上を歩いているのを見て、恐れ、「幽霊だ！」と言って恐怖で叫びました。

27

しかし、イエスはすぐに彼らを安心させて言われました、「勇気を出しなさい！

私だ。恐れることはない。」

28

ペテロは答えて言いました、「主よ、もしあなたなら、私に水の上を歩いてあなたのもとに行くよう命じてください。」

29

イエスは言われました、「来なさい。」それでペテロは船から降り、水の上を歩いてイエスの方に行きました。

30

しかし、風を見て恐れ、沈み始めて叫びました、「主よ、助けてください！」

31

イエスはすぐに手を伸ばして彼を捕まえ、「信仰の薄い者よ、なぜ疑ったのか」と言われました。

32

彼らが船に乗り込むと、風はやみました。

33

すると、船にいた者たちは彼を拝して言いました、「本当にあなたは神の子です。」

34 彼らが渡り終えると、ゲネサレに着きました。35 その場所の人々がイエスを認識すると、周囲の地域全体に知らせを送り、病人を皆イエスのもとに連れて来しました。

36

そして彼らは病人がイエスの衣の裾に触れるだけで治るように願いました。触れた者は皆癒されました。

15 その時、パリサイ人と律法学者たちがエルサレムからイエスのもとに来て、言った。

2

「なぜあなたの弟子たちは長老たちの伝統を無視するのですか？彼らは食事の前に手を洗いません。」

3

イエスは答えて言われた、「では、なぜあなたたちは自分たちの伝統のために神の戒めを破るのですか？」

4

神は言われた、『父と母を敬え』、また、『父や母を悪く言う者は死刑にされなければならない。』しかし、あなたたちは言います、『もし誰かが父や母に、「私から受けるはずの助けは神への贈り物です」と言えば、』

6

その人はそれをもって父や母への義務を果たさなくてもよいと。こうしてあなたたちは自分たちの伝統のために神の言葉を無効にしています。

7

偽善者たちよ！イザヤはあなたたちについて予言したとき、正しかった。

8

『この民は口先では私を敬うが、その心は私から遠く離れている。』

9

彼らの礼拝は無駄である。

彼らの教えは人間の命令にすぎない。』

10

イエスは群衆を集めて言われた、「聞いて理解しなさい。」

11

人を汚すのは口に入るものではなく、口から出るものが人を汚すのです。」

12

その時、弟子たちが近づいてきて言った、「あなたが言ったことを聞いて、パリサイ人たちが気を悪くしたのをご存知ですか？」

13

イエスは答えて言われた、「私の天の父が植えなかった植物はすべて根こそぎにされます。」

14

彼らを放っておきなさい。彼らは盲人の案内者です。盲人が盲人を導けば、二人とも穴に落ちるのです。」

マタイの福音書

15 ペテロが言った、「そのたとえを説明してください。」
16 イエスは彼らに言われた、「まだ理解できないのですか？」
17 口に入るものは胃に入り、そして排泄されることを知らないのですか？」
18 しかし、口から出るものは心から出てきて、それが人を汚すのです。
19 心からは悪い考えが出てきますー
殺人、姦淫、性的な不道德、盗み、偽証、誹謗。
20 これらが本当に人を汚すのです。しかし、洗わない手で食べることは人を汚しません。」

21 イエスはそこを去り、ツロとシドンの地方に退かれた。
22 その地方からカナンの女が来て、叫び声をあげた。「主よ、ダビデの子よ、私を憐れんでください！私の娘はひどく悪霊に取り憑かれています。」
23 しかし、イエスは彼女に一言も答えなかった。それで弟子たちが近づいてきて、彼に頼んで言った、「彼女を追い払ってください。彼女が私たちの後を叫びながらついてきます。」
24 イエスは答えて言われた、「私はイスラエルの失われた羊のためにだけ遣わされたのです。」
25 その女は来て、彼の前にひれ伏して言った。「主よ、助けてください！」
26 イエスは答えて言われた、「子供たちのパンを取って犬に投げるのは良くない。」
27 彼女は言った、「そうです、主よ。しかし、犬も主人の食卓から落ちるパンくずを食べます。」
28 その時、イエスは彼女に言われた、「女よ、あなたの信仰は偉大です！あなたの願いが叶えられました。」そして彼女の娘はその時に癒された。

29 イエスはそこを去り、ガリラヤ湖のほとりを通って行かれた。それから山に登り、座られた。
30 大勢の群衆が彼のもとに来て、足の不自由な人、盲人、身体の不自由な人、口のきけない人、その他多くの人を連れてきて、彼の足元に置いた。そして彼は彼らを癒された。
31 口のきけない人が話し、身体の不自由な人が健康になり、足の不自由な人が歩き、盲人が見えるようになったのを見て、人々は驚き、イスラエルの神を賛美した。

32 イエスは弟子たちを呼び寄せて言われた、「私はこの人々を憐れんでいます。彼らはすでに三日間私と

共にいて、食べるものがありません。私は彼らを空腹のまま帰したくありません。途中で倒れるかもしれません。」

33 弟子たちは答えて言った、「この荒れた場所で、このような群衆を満たすためのパンをどこで手に入れられるでしょうか？」

34 イエスは言われた、「パンはどれくらいありますか？」彼らは答えた、「七つです。そして小さな魚が少し。」

35 彼は群衆に地面に座るように指示された。
36 それから彼は七つのパンと魚を取り、感謝を捧げてからそれを裂き、弟子たちに渡し、弟子たちは群衆に渡した。

37 皆が食べて満足した。その後、弟子たちは余ったかけらを七つの籠に集めた。

38 食べた人々は、女と子供を除いて四千人であった。

39 群衆を解散させた後、イエスは舟に乗り、マガダンの地方に行かれた。

16 パリサイ人とサドカイ人がイエスに近づき、天からのしるしを求めて試みた。

2 イエスは答えて言われた、「夕方には、『空が赤いので晴れるだろう』と言い、
3 朝には、『今日は空が赤く曇っているので嵐になるだろう』と言います。空の様子を見分けることはできるのに、時のしるしを見分けることができないのですか。」

4 邪惡で不貞な世代はしるしを求めますが、ヨナのしるしのほかに与えられません。」そして彼らを残して去って行かれた。

5 弟子たちが湖の向こう側に渡ったとき、パンを持ってくるのを忘れたことに気づいた。

6 イエスは彼らに警告して言われた、「パリサイ人とサドカイ人の影響に注意し、警戒しなさい。」
7 彼らは自分たちの間で話し合って、「パンを持ってこなかったからだ」と言った。

8 イエスは彼らの話し合いを知って言われた、「信仰の薄い者たちよ、なぜパンがないことで話し合っているのですか。」

9 まだ理解していないのですか。五千人に五つのパンを与えたことを覚えていないのですか、そしていくつかのかがを集めたのですか。

10 また、四千人に七つのパンを与えたことを覚えていないのですか、そしていくつかの大きなかがを集めたのですか。

11 なぜ私がパンについて話していないことを理解できないのですか。しかし、パリサイ人とサドカイ人の

マタイの福音書

パン種に注意しなさい。」¹²
そのとき、彼らはイエスがパンに使うパン種ではなく、パリサイ人とサドカイ人の教えに注意するように言っていることを理解した。

¹³
イエスがカイサリア・フィリッピの地方に來られたとき、弟子たちに尋ねられた、「人々は人の子を誰だと言っていますか。」¹⁴
彼らは答えて言った、「バプテスマのヨハネだと言う人もいれば、エリヤだと言う人もいます。また、エレミヤや預言者の一人だと言う人もいます。」¹⁵
イエスは彼らに言われた、「では、あなたたちは私を誰だと言いますか。」¹⁶
シモン・ペテロが答えて言った、「あなたはメシア、生ける神の子です。」¹⁷
イエスは答えて言われた、「あなたは幸いです、ヨナの子シモンよ。これは人間によってあなたに明らかにされたのではなく、天におられる私の父によって明らかにされたのです。」¹⁸
そして私はあなたに言います、あなたはペテロです。この岩の上に私の教会を建てます。ハデスの門もそれに打ち勝つことはできません。¹⁹
私は天の国の鍵をあなたに授けます。地上であなたが縛るものは天でも縛られ、地上であなたが解くものは天でも解かれます。」²⁰
それから、イエスは弟子たちに、自分がキリストであることを誰にも言わないように命じられた。

²¹
その時から、イエスは弟子たちに、自分がエルサレムに行き、長老たち、祭司長たち、律法学者たちの手によって多くの苦しみを受け、殺され、三日目に復活することを説明し始められた。²²
ペテロはイエスを脇に連れて行き、叱り始めた。「主よ、そんなことがあなたに起こるはずがありません!」²³
しかし、イエスは振り向いてペテロに言われた、「サタンよ、私の後ろに下がれ! あなたは私にとってつまずきの石です。あなたは神のことを考えず、人間のことだけを考えています。」

²⁴
それから、イエスは弟子たちに言われた、「誰でも私について来たいと思うなら、自分を捨て、自分の十字架を背負って、私に従いなさい。」²⁵
自分の命を救おうとする者はそれを失い、私のために命を捨てる者はそれを見つけましょう。²⁶
人が全世界を得ても、自分の魂を失ったら何の得があるのでしょうか。また、人は自分の魂を何と交換できるのでしょうか。²⁷

人の子は父の栄光を天使たちと共に持って来るのです。そして、その時、各人の行いに応じて報いを与えます。²⁸

「まことにあなたたちに言います、ここに立っている人々の中には、人の子がその王国に來るのを見るまで死を経験しない者もいます。」

17 六日後、イエスはペテロとヤコブとヤコブの兄弟ヨハネを連れて、高い山に登られた。²

イエスの姿が彼らの前で変わり、その顔は太陽のように輝き、服は光のように白くなった。³
すると、モーセとエリヤが彼らに現れ、イエスと語り合っていた。⁴

ペテロはイエスに言った、「主よ、ここにいるのは良いことです。もしあなたが望まれるなら、私はここに三つの幕屋を作ります。一つはあなたのために、一つはモーセのために、一つはエリヤのために。」⁵

彼がまだ話している間に、輝く雲が彼らを覆い、雲の中から声がして言った、「これは私の愛する子、私が喜ぶ者である。彼の言うことを聞きなさい。」⁶

これを聞いて、弟子たちは非常に恐れて地に伏した。⁷
すると、イエスが近づいて彼らに触れ、「起きなさい、恐れることはない」と言われた。⁸
彼らが目を上げると、イエスのほかには誰も見えなかった。

⁹
山を下るとき、イエスは彼らに命じて言われた、「人の子が死者の中からよみがえるまでは、この幻を誰にも話してはならない。」¹⁰

弟子たちはイエスに尋ねた、「なぜ律法学者たちは、まずエリヤが来るべきだと言うのですか?」¹¹
イエスは答えて言われた、「確かに、エリヤは来て、すべてを回復する。」¹²

しかし、私はあなたがたに言います。エリヤはすでに來たのに、人々は彼を認めず、好きなように彼にした。同じように、人の子も彼らの手によって苦しむことになる。」¹³

そのとき、弟子たちはイエスがバプテスマのヨハネについて話しておられることを悟った。

¹⁴
彼らが群衆のところに來ると、一人の男がイエスに近づき、ひざまずいて言った。¹⁵

「主よ、私の息子を憐れんでください。彼はてんかんでひどく苦しんでいます。しばしば火の中や水の中に倒れ込みます。」¹⁶

マタイの福音書

私は彼をあなたの弟子たちのところに連れて行きましたが、彼らは治すことができませんでした。」¹⁷
イエスは答えて言われた、「信じない曲がった世代よ、いつまで私はあなたがたと共にいなければならないのか？いつまであなたがたに我慢しなければならないのか？その子をここに連れて来なさい。」¹⁸
イエスが悪霊を叱ると、それはその子から出て行き、彼はその場で癒された。

¹⁹
後で、弟子たちはひそかにイエスに近づいて尋ねた、「なぜ私たちはそれを追い出せなかったのですか？」²⁰

イエスは彼らに言われた、「あなたがたの信仰が小さいからです。まことに、あなたがたに言います。もしかし種ほどの信仰があれば、この山に『ここからあそこに移れ』と言えば移るでしょう。何もあなたがたに不可能なことはありません。」²¹
【この種類のものは祈りと断食によらなければ出て行かないのです。】

²²
彼らがガリラヤに集まっているとき、イエスは彼らに言われた、「人の子は人々の手に渡されようとしている。」²³

彼らは彼を殺すでしょう。しかし、三日目に彼はよみがえります。」そして、弟子たちは非常に悲しんだ。

²⁴
彼らがカペナウムに来たとき、二ドラクマの神殿税を集める者たちがペテロに近づいて言った、「あなたの先生は神殿税を払わないのですか？」²⁵

「払います」とペテロは答えた。彼が家に入ると、イエスが先に話しかけて言われた、「シモン、どう思いますか？地上の王たちは誰から関税や税を取るのですか？自分の子供たちからですか、それとも他の人からですか？」²⁶

ペテロは答えた、「他の人からです。」イエスは彼に言われた、「それなら、子供たちは免除されているのです。」²⁷

しかし、私たちが彼らにつまずきを与えないために、湖に行つて釣りをしなさい。最初に釣った魚の口を開けると、四ドラクマの硬貨が見つかるでしょう。それを取って、私とあなたのために彼らに渡しなさい。」

18 その時、弟子たちはイエスに近づいて言った。「天の御国では誰が一番偉大ですか？」²
イエスは一人の子供を呼び寄せ、彼らの真ん中に立

たせた。³
そして言われた。「まことにあなたがたに言います。もし心を変えて子供のようにならなければ、決して天の御国に入ることはできません。」⁴
ですから、この子供のように自分を低くする者が、天の御国で一番偉大です。⁵
そして、私の名によってこのような子供を受け入れる者は、私を受け入れるのです。⁶
しかし、私を信じるこれらの小さな者たちの一人をつまずかせる者がいるなら、その者には、大きな石臼を首にかけられて海の深みに沈められる方がましです。

⁷
「つまずきが来るために、この世は災いだ！つまずきは必ず来るが、それをもたらす人には災いだ！」⁸
もしあなたの手や足があなたを罪に陥らせるなら、それを切り捨てて捨てなさい。両手両足を持って永遠の火に投げ込まれるよりは、片手片足で命に入る方がましです。⁹
もしあなたの目があなたを罪に陥らせるなら、それをえぐり出して捨てなさい。両目を持って地獄の火に投げ込まれるよりは、片目で命に入る方がましです。

¹⁰
「これらの小さな者たちの一人を軽んじないように気をつけなさい。彼らの天使たちは天において、いつも私の天の父の御顔を見ているのです。」¹¹
【人の子は失われた者を救うために来たのです。】¹²
「あなたがたはどう思いますか。ある人が百匹の羊を持っていて、そのうちの一匹が迷い出たなら、九十九匹を山に残して、迷い出た一匹を探しに行かないでしょうか。」¹³
そして、もしそれを見つけたなら、まことにあなたがたに言いますが、迷わなかった九十九匹以上に、その一匹を喜ぶのです。¹⁴
同じように、天におられるあなたがたの父は、これらの小さな者たちの一人でも滅びることを望んでおられません。

¹⁵
「もしあなたの兄弟が罪を犯したなら、行って、二人だけのところでその人を諭しなさい。もし聞き入れたなら、あなたはその兄弟を得たことになります。」¹⁶
しかし、もし聞き入れないなら、一人か二人を一緒に連れて行きなさい。それは、二人または三人の証人の口によって、すべての事が確認されるためです。¹⁷
もし彼らの言うことも聞き入れないなら、教会に告

マタイの福音書

げなさい。そして、教会の言うことさえも聞き入れ
ないなら、その人を異邦人が税取人のように扱いな
さい。

「まことにあなたがたに言います。地上であなたが
たがつなぐことは、天においてもつなぐれ、地上で
あなたがたが解くことは、天においても解かれるの
です。

さらに、まことにあなたがたに言います。もしあな
たがたのうち二人が地上で何かを求めることについ
て心を合わせるなら、天におられる私の父によって
それがかなえられるのです。

二人または三人が私の名によって集まるところには
、私もその中にいるのです。」

その時、ペテロがイエスに近づいて言った。「主よ
、兄弟が私に対して罪を犯した場合、何度まで許す
べきでしょうか。七度までですか？」

イエスは言われた。「七度までではなく、七十七度
までです。

「それゆえ、天の御国は、しもべたちと決算をしよ
うとした王に似ています。

決算が始まると、彼に一万タラントの借りのある者
が連れて来られました。

彼は返済することができなかったので、主人は彼と
その妻、子供たち、そして彼の持ち物すべてを売っ
て返済するように命じました。

そのしもべはひざまずいて彼に懇願しました。『ど
うかお待ちください。すべてお返しますから。』

そのしもべの主人は彼を哀れに思い、借金を帳消し
にして彼を解放しました。

しかし、そのしもべが出て行くと、彼に百デナリの
借りのある仲間のしもべを見つけました。彼はその
仲間を捕まえて首を絞め、『借りを返せ!』と要求
しました。

その仲間のしもべはひざまずいて彼に懇願しました
。『どうかお待ちください。お返しますから。』

しかし、彼は拒否しました。代わりに、その人を投
獄し、借金を返済するまで監禁しました。

他のしもべたちが起こったことを見て非常に悲しみ
、主人にすべてを報告しました。

すると、主人はそのしもべを呼び寄せて言いました
。『悪いしもべだ。あなたが懇願したので、私はす
べての借金を帳消しにしたのだ。

あなたも同じように仲間のしもべを憐れむべきでは
なかったのか?』

主人は怒り、そのしもべを獄吏に引き渡し、彼がす
べてを返済するまで拷問にかけました。

「このように、もしあなたがたが心から兄弟を許さ
ないなら、私の天の父もあなたがたに同じようにさ
れるでしょう。」

イエスがこれらの言葉を終えられると、ガ
リラヤを去り、ヨルダンの向こう側のユダ
ヤ地方に行かれた。

多くの人々が彼に従い、そこで彼は彼らを癒された
。

あるパリサイ人たちが彼に近づき、試みて言った、
「どんな理由であれ、男が妻を離縁することは律法
にかなっていますか？」

彼は答えられた、「あなたたちは読んでいないので
すか、初めに創造主が彼らを男と女にお造りになっ
たことを、

そして、『このために男は父と母を離れて妻と結ば
れ、二人は一体となる』と言われたことを?

したがって、彼らはもはや二人ではなく、一体です
。それゆえ、神が結び合わせたものを、人は分けて
はなりません。」

彼らは言った、「では、なぜモーセは男が妻に離縁
状を渡して彼女を去らせることを命じたのですか？」

彼は答えられた、「モーセはあなたたちの心のかた
くなさのために妻を離縁することを許しましたが、
初めからそうではありませんでした。

私はあなたたちに言います、誰でも不貞のためでな
く妻を離縁し、他の女と結婚する者は姦淫を犯すの
です。」

弟子たちは彼に言った、「もし男と妻の間がこのよ
うであるなら、結婚しない方が良いです。」

彼は彼らに言われた、「この言葉を受け入れること
ができるのは、与えられた者だけです。

生まれつき宦官である者もいれば、人によって宦官
にされた者もあり、また天の御国のために自ら宦官
となる者もあります。受け入れることができる者は受
け入れなさい。」

そのとき、子供たちが彼のもとに連れて来られ、彼
が手を置いて祈るためでしたが、弟子たちは彼らを
叱りました。

イエスは言われた、「子供たちを私のところに来さ
せない。妨げてはなりません。天の御国はこのよ

うであるなら、結婚しない方が良いです。」

彼は彼らに言われた、「この言葉を受け入れること
ができるのは、与えられた者だけです。

生まれつき宦官である者もいれば、人によって宦官
にされた者もあり、また天の御国のために自ら宦官
となる者もあります。受け入れることができる者は受
け入れなさい。」

そのとき、子供たちが彼のもとに連れて来られ、彼
が手を置いて祈るためでしたが、弟子たちは彼らを
叱りました。

イエスは言われた、「子供たちを私のところに来さ
せない。妨げてはなりません。天の御国はこのよ

うであるなら、結婚しない方が良いです。」

彼は彼らに言われた、「この言葉を受け入れること
ができるのは、与えられた者だけです。

生まれつき宦官である者もいれば、人によって宦官
にされた者もあり、また天の御国のために自ら宦官
となる者もあります。受け入れることができる者は受
け入れなさい。」

マタイの福音書

うな者たちのものです。」¹⁵

彼が彼らに手を置いた後、そこを去られた。

16

そしてある人が彼に来て尋ねた、「先生、永遠の命を得るために何を良いことをしなければなりませんか？」¹⁷

彼は答えられた、「なぜ良いことについて私に尋ねるのですか？ 良い方はただ一人です。命に入るためには、戒めを守りなさい。」¹⁸

「どの戒めですか？」彼は尋ねた。イエスは答えられた、「殺してはならない、姦淫してはならない、盗んではならない、偽証してはならない、¹⁹父と母を敬い、隣人を自分自身のように愛しなさい。」²⁰

若者は彼に言った、「私はこれらすべてを守ってきました。まだ何が欠けていますか？」²¹

イエスは彼に言われた、「もし完全でありたいなら、行って、あなたの持ち物を売り払い、貧しい人々に与えなさい。そうすれば天に宝を持つことになります。その後、私に従いなさい。」²²

若者はこれを聞いたとき、悲しんで去って行った。彼は多くの財産を持っていたからである。

23

そのとき、イエスは弟子たちに言われた、「まことにあなたたちに言います、富んでいる者が天の御国に入るのは難しいことです。」²⁴

さらに言いますが、ラクダが針の穴を通る方が、富んでいる者が神の国に入るよりも易しいのです。」²⁵

弟子たちはこれを聞いて非常に驚き、「それでは誰が救われることができるのですか？」と言った。²⁶ イエスは彼らを見て言われた、「人にはこれは不可能ですが、神にはすべてが可能です。」

27

ペテロは答えて言った、「私たちはすべてを捨ててあなたに従いました。それでは私たちには何があるのでしょうか？」²⁸

イエスは彼らに言われた、「まことにあなたたちに言います、すべてのものが新しくするとき、人の子がその栄光の座に座るとき、私に従ったあなたたちも十二の座に座り、イスラエルの十二部族を治めるでしょう。」²⁹

そして、私のために家や兄弟や姉妹や父や母や子供や畑を捨てた者は皆、多くの倍を受け、永遠の命を受け継ぐでしょう。³⁰

多くの先の者が後になり、後の者が先になるでしょう。

20 「天の御国は、朝早くに出て行って、自分のぶどう園のために働く者を雇った地主にたとえることができます。」²

彼は労働者たちと一日一デナリオンで合意し、彼らをぶどう園に送りました。³

三時ごろに彼は出て行き、市場で何もしないで立っている他の人々を見ました。⁴

彼は彼らに言いました、『あなたたちもぶどう園に行きなさい。私はあなたたちにふさわしいものを払います。』それで彼らは行きました。⁵

彼は六時と九時ごろにまた出て行き、同じことをしました。⁶

そして十一時ごろに彼は出て行き、他の人々が立っているのを見つけました。彼は彼らに尋ねました、『なぜ一日中何もしないでここに立っているのですか？』⁷

彼らは答えました、『誰も私たちを雇ってくれないからです。』彼は彼らに言いました、『あなたたちもぶどう園に行きなさい。』⁸

夕方になったとき、ぶどう園の主人は監督に言いました、『労働者たちを呼んで、最後に来た者から始めて最初に来た者で終わるように、彼らに賃金を払いなさい。』⁹

十一時ごろに雇われた労働者たちが来て、各々が一デナリオンを受け取りました。¹⁰

最初に雇われた者たちが来たとき、彼らはもっと多くを受け取ることを期待しましたが、彼らも一デナリオンを受け取りました。¹¹

それを受け取ると、彼らは地主に対して不平を言い始めました。¹²

彼らは言いました、『最後の者たちは一時間しか働いていないのに、あなたは私たちを、日中の重荷と焼けつくような暑さを耐えた私たちと同じにしました。』¹³

しかし彼はそのうちの一人に答えました、『友よ、私はあなたに不当なことをしていません。あなたは私と一デナリオンで合意しませんでしたか？』¹⁴

あなたのものを取って行きなさい。私はこの最後の者にもあなたに与えたのと同じものを与えたいのです。¹⁵

私の金で私がしたいことをするのは法に反しないでしょうか？ それとも、私が寛大であるためにあなたの目がねたんでいるのですか？』¹⁶

このようにして、最後の者が最初になり、最初の者が最後になるでしょう。」

17

イエスがエルサレムに向かう途中で、十二弟子を脇

マタイの福音書

に呼び寄せて彼らに言いました、¹⁸
「私たちはエルサレムに上って行きます。人の子は
祭司長たちと律法学者たちに引き渡され、彼らは彼
を死刑に定めるでしょう。¹⁹
彼らは彼を異邦人に引き渡して、あざけり、むち打
ち、十字架につけるでしょう。そして三日目に彼は
よみがえります。」

²⁰
そのとき、ゼベダイの息子たちの母が彼らの息子た
ちと共にイエスに近づき、ひざまずいて彼に願いを
しました。²¹

彼は彼女に尋ねました、「あなたは何を望みますか
？」彼女は答えました、「私のこの二人の息子が、
あなたの御国で一人はあなたの右に、一人はあなた
の左に座れるようにしてください。」²²

イエスは答えました、「あなたたちは自分が何を求
めているのか分かっていません。私が飲もうとして
いる杯を飲むことができますか？」彼らは彼に言い
ました、「できます。」²³

彼は彼らに言いました、「確かにあなたたちは私の
杯を飲むでしょう。しかし、私の右や左に座ること
は、私が与えるものではありません。それは私の父
によって準備された者たちのためのものです。」²⁴
十人がこれを聞いたとき、彼らは二人の兄弟に腹を
立てました。²⁵

イエスは彼らと呼び寄せて言いました、「異邦人の
支配者たちは彼らを支配し、彼らの高官たちは彼ら
に権威を行使することをあなたたちは知っています
。

²⁶
あなたたちの間ではそうではありません。あなたた
ちの中で偉くなりたい者は、あなたたちのしもべに
ならなければなりません。²⁷

そして、最初になりたい者は、あなたたちのしもべ
にならなければなりません—²⁸

人の子が来たのは、仕えられるためではなく、仕え
るためであり、多くの人のための贖いとして自分の
命を捧げるためです。」

²⁹
彼らがエリコを出発するとき、大勢の群衆が彼に付
き従いました。³⁰

二人の盲人が道端に座っていて、イエスが通り過ぎ
ると聞いたとき、彼らは叫びました、「主よ、ダビ
デの子よ、私たちを憐れんでください！」³¹

群衆は彼らを叱って黙らせようとしたが、彼ら
はますます叫びました、「主よ、ダビデの子よ、私
たちを憐れんでください！」³²

イエスは立ち止まり、彼らと呼び寄せました。「あ
なたたちに何をしたいのですか？」と彼は尋ね

ました。³³
彼らは彼に言いました、「主よ、私たちの目を開け
てください。」³⁴
イエスは憐れみを感じ、彼らの目に触れられました
。するとすぐに彼らは視力を得て、彼に従いました
。

21

彼らがエルサレムに近づき、オリーブ山の
ベテパゲに着いたとき、イエスは二人の弟
子を遣わし、

言われた、「向こうの村へ行きなさい。すぐに、つ
ながれているろばと、そのそばに子ろばがいるのを
見つけるでしょう。それを解いて、私のところに連
れて来なさい。

もし誰かがあなたがたに何か言ったら、『主がそれ
を必要としています』と言いなさい。そうすれば、
すぐに送ってくれるでしょう。」

これは預言者を通して語られたことを成就するため
に起こった。

「シオンの娘に言いなさい、『見よ、あなたの王が
あなたのところに来る。柔和で、ろばに乗って、子
ろば、ろばの子に乗って。』」

弟子たちは行って、イエスが指示されたとおりにし
ました。

彼らはろばと子ろばを連れてきて、その上に自分た
ちの上着を置き、イエスはその上に座られました。

大勢の群衆が自分たちの上着を道に敷き、他の者た
ちは木から枝を切って道に敷きました。

前を行く群衆も、後に続く群衆も叫んでいました、
「ダビデの子にホサナ！主の名によって来られる方
は祝福されますように！いと高きところにホサナ！
」

イエスがエルサレムに入られたとき、町全体が騒然
として、「これは誰ですか？」と言いました。

群衆は答えました、「これはガリラヤのナザレから
来た預言者イエスです。」

イエスは神殿の庭に入り、そこで売買していたすべ
ての者を追い出し、両替商の台と鳩を売る者たちの
席をひっくり返しました。

マタイの福音書

そして彼らに言われました、「『わたしの家は祈りの家と呼ばれる』と書かれているが、あなたがたはそれを『強盗の巣』にしてしまった。』

盲人や足の不自由な者たちが神殿で彼に近づいてきたので、彼は彼らを癒しました。

しかし、祭司長たちと律法学者たちは、彼が行った素晴らしいことや、神殿の庭で「ダビデの子にホサナ」と叫んでいる子供たちを見て、憤慨しました。

彼らは彼に言いました、「これらの子供たちが何を言っているのか聞えますか？」イエスは答えられました、「はい、『幼子や乳飲み子の口からあなたがたは賛美を備えられた』と読んだことがないのですか？」

その後、彼は彼らから去り、町を出てベタニアに行き、そこで一晩過ごしました。

朝早く、イエスが町に戻る途中で、空腹を覚えめました。

道端に一本のいちじくの木を見て近づきましたが、葉のほかには何も見つけれませんでした。彼はそれに言いました、「あなたはもう二度と実を結ぶことがないように！」するとすぐに木は枯れました。

弟子たちはこれを見て驚き、「どうしていちじくの木がこんなに早く枯れたのですか？」と尋ねました。

イエスは答えられました、「まことにあなたがたに言います、もし信仰を持ち、疑わないなら、いちじくの木に起こったことだけでなく、この山に向かって『持ち上げられて海に投げ込まれよ』と言っても、それは実現します。

そして、祈りの中で信じて求めるものはすべて受けるでしょう。」

イエスが神殿の庭に入られたとき、祭司長たちと民の長老たちが彼に近づき、教えている間に言いました、「あなたはどの權威によってこれらのことをしているのですか、そして誰があなたにこの權威を与えたのですか？」

イエスは答えられました、「私もあなたがたの一つの質問をします。それに答えたなら、私がどの權威によってこれらのことをしているのかを教えましょう。

ヨハネのバプテスマはどこから来たのですか？天からですか、それとも人からですか？」彼らは互いに話し合っていて言いました、「もし『天から』と言えば

、彼は『なぜ彼を信じなかったのか』と言うでしょう。

しかし、『人から』と言えば、民衆を恐れます。彼らは皆ヨハネを預言者と考えているからです。」

そこで彼らはイエスに答えました、「わかりません。」すると彼は言われました、「私もどの權威によってこれらのことをしているのかをあなたがたに教えません。」

「どう思いますか？ある人に二人の息子がいました。彼は最初の息子のところに行行って言いました、『息子よ、今日ぶどう園で働きなさい。』

彼は答えました、『行きません。』しかし後で考え直して行きました。

父はもう一人の息子のところに行行って同じことを言いました。彼は答えました、『行きます、父さん。』しかし行きませんでした。

二人のうち、どちらが父の望んだことをしたのですか？」彼らは答えました、「最初の者です。」イエスは彼らに言われました、「まことにあなたがたに言います、徴税人や娼婦たちはあなたがたより先に神の国に入っています。

ヨハネが義の道であなたがたのところに来たのに、あなたがたは彼を信じませんでした。徴税人や娼婦たちは信じました。そしてこれを見ても、あなたがたは心を変えずに彼を信じませんでした。

「もう一つのたとえを聞きなさい。ある地主がぶどう園を作り、周りに柵を設け、酒ぶねを掘り、見張り塔を建てました。それからそのぶどう園を農夫たちに貸して旅に出ました。

収穫の時期が近づくと、彼は収穫物の分け前を受け取るために僕たちを農夫たちのところに送りました。

農夫たちは彼の僕たちを捕まえ、一人を打ち、一人を殺し、一人を石で打ちました。

彼は最初よりも多くの僕たちを再び送りましたが、農夫たちは彼らを同じように扱いました。

最後に彼は息子を彼らのところに送り、『彼らは私の息子を尊重するだろう』と思いました。

しかし、農夫たちは息子を見て、互いに言いました、『これは相続人だ。来て、彼を殺して彼の相続を奪おう。』

マタイの福音書

それで彼らは彼を捕まえ、ぶどう園の外に投げ出し
て殺しました。

では、ぶどう園の主人が来たとき、彼はその農夫た
ちに何をしようか？」

彼らは答えました、「彼はその悪者たちを悲惨な終
わりにし、収穫の時に彼に分け前を与える他の農夫
たちにぶどう園を貸すでしょう。」

イエスは彼らに言われました、「聖書にこう書いて
あるのを読んだことがないのですか、『建築者たち
が捨てた石が礎石となった。主がこれを成し遂げ、
私たちの目には素晴らしいことです』。

それゆえ、私はあなたがたに言います、神の国はあ
なたがたから取り去られ、その実を結ぶ民に与えら
れるでしょう。

この石につまずく者は皆砕かれ、この石が落ちる者
は誰でも粉々にされるでしょう。」

祭司長たちとパリサイ人たちはイエスのたとえを聞
いたとき、彼が自分たちについて話していることに
気づきました。

彼らは彼を逮捕する方法を探しましたが、群衆を恐
れていました。なぜなら、人々は彼を預言者と見な
していたからです。

22 イエスは再びたとえを用いて彼らに語られ
た。

「天の御国は、王がその子のために婚宴を
催したことに似ている。

彼はしもべたちを送り、招かれていた人々を婚宴に
呼びに行かせたが、彼らは来ようとしなかった。

4 再び他のしもべたちを送り、『招かれている人々に
言いなさい。見よ、私は食事を用意しました。私の
牛と肥えた家畜が屠られ、すべてが準備できていま
す。婚宴に来なさい』と言った。

5 しかし、彼らは気にも留めず、一人は自分の畑に、
もう一人は自分の商売に行ってしまった。

6 他の者たちはしもべたちを捕らえ、侮辱し、殺して
しまった。

7 王は怒り、軍隊を送り、その殺人者たちを滅ぼし、
彼らの町を焼き払った。

8 それからしもべたちに言った、『婚宴は準備できて
いるが、招かれていた者たちはふさわしくなかった
。

9 だから、大通りに行って、見つけた者を皆、婚宴に
招きなさい。』

10 しもべたちは通りに出て行き、見つけた者を善人も
悪人も皆集め、婚宴の席は客でいっぱいになった。

11

しかし、王が客を見に入ったとき、婚礼の衣を着て
いない人を見つけた。

12 彼は言った、『友よ、どうして婚礼の衣を着ずにこ
こに入ったのか？』その人は黙っていた。

13 そこで王は召使いたちに言った、『彼の手足を縛り
、外の暗闇に投げ出せ。そこでは泣き叫んで歯ぎし
りするだろう。』

14 招かれる者は多いが、選ばれる者は少ないからであ
る。

15

そのとき、パリサイ人たちは出て行き、どのように
して彼を言葉で罵にかけろかを相談した。

16 彼らはヘロデ党の者たちと共に弟子たちをイエスの
もとに送り、言った。「先生、私たちはあなたが真
実であり、神の道を真実に教えておられることを知
っています。あなたは誰の意見も気にせず、外見に
惑わされない方です。」

17 それで、あなたの意見を教えてください。カエサル
に税を納めることは律法にかなっているでしょうか
、いないでしょうか？」

18 しかし、イエスは彼らの悪意を見抜いて言った。「
なぜ私を試すのか、偽善者たちよ？」

19 税に使われるコインを見せなさい。」彼らはデナリ
を持ってきた。

20 彼は彼らに尋ねた。「これは誰の肖像と銘か？」

21 彼らは「カエサルのです」と答えた。すると彼は言
った。「それなら、カエサルのものはカエサルに、
神のものは神に返しなさい。」

22 これを聞いて、彼らは驚き、彼を残して去って行っ
た。

23

同じ日に、復活を否定するサドカイ人たちが彼に質
問を持って近づいた。

24 「先生、モーセは言いました、『もし人が子を持た
ずに死んだなら、その兄弟はその未亡人を娶り、彼
のために子孫を起こさなければならない』と。

25 今、私たちの中に七人の兄弟がいました。最初の者
が結婚して死に、子を持たずに妻を兄弟に残しまし
た。

26 同様に、二番目も三番目も、七番目までそうでした
。

27 最後に、その女も死にました。

28 それで復活の時には、その女は七人のうち誰の妻に
なるのでしょうか？皆が彼女と結婚していたのです
から。」

29 イエスは答えた。「あなたたちは間違っています。
聖書も神の力も知らないからです。

30 復活の時には、人々は結婚もせず、嫁に出されるこ

マタイの福音書

ともなく、天の御使いのようです。³¹
しかし、死者の復活については、神があなたたちに
言われたことを読んだことがないのですか、³²
『私はアブラハムの神、イサクの神、ヤコブの神で
ある』と？彼は死者の神ではなく、生ける者の神で
す。」³³
群衆はこれを聞いて、彼の教えに驚嘆した。

³⁴
パリサイ人たちは、イエスがサドカイ人たちを黙ら
せたことを知り、一緒に集まった。³⁵
その中の一人、律法の専門家が彼を試そうとして質
問した。³⁶
「先生、律法の中で最も重要な戒めはどれですか？
」³⁷
イエスは答えた。「『心を尽くし、魂を尽くし、思
いを尽くして、あなたの神である主を愛しなさい。
』」³⁸これが第一であり、最も重要な戒めです。³⁹
第二もこれと似ています。『あなたの隣人をあなた
自身のように愛しなさい。』⁴⁰
これら二つの戒めに、律法と預言者のすべてがかか
っています。」

⁴¹
パリサイ人たちが集まっているとき、イエスは彼ら
に尋ねた。⁴²
「メシアについてどう思いますか？彼は誰の子で
すか？」彼らは「ダビデの子です」と答えた。⁴³
彼は彼らに言った。「それでは、どうしてダビデは
霊によって彼を『主』と呼ぶのですか？彼は言って
います、

⁴⁴ 『主は私の主に言われた： 「私の右に座れ
私があなたの敵を あなたの足元に置くまで。」』

⁴⁵
もしダビデが彼を『主』と呼ぶなら、どうして彼の
子であることができるのですか？」⁴⁶
誰も一言も答えることができず、その日から誰も彼
に質問する勇気を持たなかった。

23 そのとき、イエスは群衆と弟子たちに語ら
れた。²

「律法学者たちとパリサイ人たちはモーセ
の座に座っています。³
ですから、彼らが言うことはすべて行い、守りな
さい。しかし、彼らの行いを見習ってはいいけません。
彼らは言うことは言いますが、実行しないのです。
⁴

彼らは重い荷をまとめて人々の肩に載せますが、自
分ではそれを動かすために指一本動かそうとはしま
せん。⁵

彼らの行いはすべて人に見せるためです。彼らは護
符を広くし、衣の房を長くします。⁶
宴会での上座や会堂での上席を好み、⁷
市場での挨拶や他の人々から『ラビ』と呼ばれるこ
とを喜びます。⁸

しかし、あなたがたは『ラビ』と呼ばれてはなりま
せん。あなたがたには一人の教師があり、あなたが
たは皆兄弟姉妹だからです。⁹

また、地上の誰をも『父』と呼んではなりません。
あなたがたには一人の父があり、それは天におられ
る方です。¹⁰

また、指導者と呼ばれてはなりません。あなたがた
には一人の指導者、すなわちキリストがいるからで
す。¹¹

あなたがたの中で一番偉大な者は、あなたがたの僕
となるべきです。¹²

自分を高くする者は低くされ、自分を低くする者は
高くされるのです。

¹³
「しかし、律法学者たちとパリサイ人たち、偽善者
たちよ、あなたがたに災いあれ！あなたがたは人々
の顔の前で天の国の門を閉ざしているのです。自分
では入らず、入ろうとする人々をも入らせないので
す。¹⁴ [14] ¹⁵

「律法学者たちとパリサイ人たち、偽善者たちよ、
あなたがたに災いあれ！あなたがたは一人の改宗者
を作るために陸と海を旅し、彼らが改宗すると、彼
らをあなたがた自身よりも地獄の子にしてしまうの
です。¹⁶

「盲目の案内者たちよ、あなたがたに災いあれ！あ
なたがたは言います、『神殿を誓っても何でもない
が、神殿の金を誓う者はその誓いに縛られる』と。
¹⁷

盲目の愚か者たちよ！どちらが重要なのですか、金
ですか、それとも金を聖別する神殿ですか？¹⁸
また、あなたがたは言います、『祭壇を誓っても何
でもないが、祭壇の供物を誓う者はその誓いに縛ら
れる』と。¹⁹

盲目の者たちよ！どちらが重要なのですか、供物で
すか、それとも供物を聖別する祭壇ですか？²⁰
ですから、祭壇を誓う者はそれとその上のすべてを
誓っているのです。²¹

また、神殿を誓う者はそれとその中に住む方を誓っ
ているのです。²²

また、天を誓う者は神の御座とその上に座る方を誓
っているのです。

²³
「律法学者たちとパリサイ人たち、偽善者たちよ、

マタイの福音書

あなたがたに災いあれ！あなたがたはミント、ディール、クミンの十分の一を捧げますが、律法の重要なこと、すなわち正義、慈悲、忠実を無視しています。これらを実践し、他のこともおろそかにしてはなりません。²⁴

盲目の案内者たちよ！あなたがたは蚊を濾し取りながら、ラクダを飲み込んでいます。²⁵

「律法学者たちとパリサイ人たち、偽善者たちよ、あなたがたに災いあれ！あなたがたは杯と皿の外側を清めますが、その内側は貪欲と放縦で満ちています。²⁶

盲目のパリサイ人よ！まず杯と皿の内側を清めなさい。そうすれば外側も清くなるでしょう。²⁷

「律法学者たちとパリサイ人たち、偽善者たちよ、あなたがたに災いあれ！あなたがたは白く塗られた墓のようです。外側は美しく見えますが、内側は死者の骨とあらゆる汚れで満ちています。²⁸

同じように、あなたがたも外側は人々に正しいと見えますが、内側は偽善と不法で満ちています。²⁹

「律法学者たちとパリサイ人たち、偽善者たちよ、あなたがたに災いあれ！あなたがたは預言者たちの墓を建て、正しい者たちの墓を飾ります。³⁰そして言います、『もし私たちが先祖の時代に生きていたなら、預言者たちの血を流すことに加担しなかっただろう』と。³¹

こう言うことで、あなたがたは預言者たちを殺した者たちの子孫であることを認めています。³²ですから、あなたがたの先祖が始めたことを成し遂げなさい！³³

蛇たちよ！毒蛇の子たちよ！どうして地獄の刑罰を逃れることができるでしょうか？³⁴

ですから、私はあなたがたに預言者、賢者、律法学者を送ります。そのうちの何人かをあなたがたは殺し、十字架につけ、他の者たちを会堂で鞭打ち、町から町へと迫害するでしょう。³⁵

それで、地上に流されたすべての正しい血があなたがたに降りかかるのです。正しいアベルの血から、神殿と祭壇の間であなたがたが殺したベレクヤの子ゼカリヤの血に至るまで。³⁶

まことに、あなたがたに言います。これらすべてがこの世代に降りかかるでしょう。

37

「エルサレム、エルサレム、預言者たちを殺し、あなたに送られた者たちを石で打つ者よ。私はしばしばあなたの子らを集めようとしたが、雌鳥が翼の下にひなを集めるように、あなたがたはそれを望まなかった。³⁸

見よ、あなたがたの家は荒れ果てて残される。³⁹私はあなたがたに言います。『主の名によって来ら

れる方は祝福される』とあなたがたが言うときまで、あなたがたは再び私を見ることはないでしょう。」

24 イエスが神殿を出て行かれるとき、弟子たちが近寄ってきて、神殿の建物を指し示した。²

イエスは彼らに答えて言われた、「これらすべてのものを見ているのですか。まことにあなたがたに言います。ここでは石が他の石の上に残ることなく、すべて崩されるでしょう。」

3

オリーブ山に座っておられるとき、弟子たちがひそかに近寄ってきて言った、「これらのことはいつ起こるのでしょうか。また、あなたの来臨と世の終わりのしるしは何でしょうか。」⁴

イエスは彼らに答えて言われた、「誰にも惑わされないように気をつけなさい。⁵

多くの者がわたしの名を名乗って来て、『わたしはメシアだ』と言い、多くの人を惑わすでしょう。⁶戦争や戦争の噂を聞くでしょうが、慌てないようにしなさい。これらのことは必ず起こりますが、終わりではありません。⁷

国は国に、王国は王国に敵対して立ち上がり、さまざまな場所で飢饉や地震が起こるでしょう。⁸

これらはすべて産みの苦しみの始まりに過ぎません。⁹

9

「そのとき、あなたがたは迫害されて殺され、わたしの名のためにすべての国民に憎まれるでしょう。¹⁰

10

そのとき、多くの者が信仰から離れ、互いに裏切り、憎しみ合うでしょう。¹¹

また、多くの偽預言者が現れて、多くの人を惑わすでしょう。¹²

不法が増すため、多くの人の愛が冷えるでしょう。¹³

13

しかし、最後まで耐え忍ぶ者は救われるでしょう。¹⁴

14

そして、この王国の福音は、すべての国民に対する証として、全世界に宣べ伝えられ、それから終わりが来るでしょう。

15

「それゆえ、預言者ダニエルによって語られた荒らす憎むべきものが聖なる場所に立つのを見たなら（読者は理解するように）、¹⁶

そのとき、ユダヤにいる者たちは山に逃げなさい。¹⁷

17

マタイの福音書

屋上にいる者は、家から何も取り出すために降りてはいけません。¹⁸

畑にいる者は、上着を取りに戻ってはいけません。

19
その日には、妊婦と授乳中の母親にとって苦しい日々となるでしょう。²⁰

あなたがたの逃げるのが冬や安息日にならないように祈りなさい。²¹

そのときには、世界の始まりから今までなかったような、またこれからもないような大きな苦難があるでしょう。²²

もしその日々が短くされなければ、誰も救われないでしょう。しかし、選ばれた者たちのために、その日々は短くされるでしょう。

23
そのとき、もし誰かがあなたがたに『見よ、ここにメシアがいる』または『あそこにいる』と言っても、信じてはいけません。²⁴

偽メシアや偽預言者たちが現れ、大きなしや不思議を行い、できれば選ばれた者たちをも惑わそうとすでしょう。²⁵

見よ、わたしは前もってあなたがたに言いました。

26
だから、もし誰かが『見よ、彼は荒野にいる』と言っても、出て行ってはいけません。また、『見よ、彼は内室にいる』と言っても、信じてはいけません。²⁷

。稲妻が東から出て西にまで見えるように、人の子の来臨もそのようであるでしょう。²⁸

死体があるところには、はげたかが集まるでしょう。

。

29 「その日々の苦難の後、すぐに

『太陽は暗くなり、月はその光を放たず、星は空から落ち、天の力は揺り動かされる。』

30

そのとき、人の子のしるしが天に現れ、地上のすべての民が嘆き、人の子が天の雲に乗って力と大いなる栄光をもって来るのを見るでしょう。³¹

そして、彼は大きなラッパの音とともにその使いたちを送り、彼らは天の四方から、天の果てから果てまで、彼の選ばれた者たちを集めるでしょう。

32

「いちじくの木からこのたとえを学びなさい。その枝が柔らかくなり、葉が出てくるとき、夏が近いことを知ります。³³

同じように、これらすべてのことを見たなら、それが近い、戸口にあることを知りなさい。³⁴

まことにあなたがたに言います。この世代が過ぎ去ることはありません、これらすべてのことが起こるまでは。³⁵

天と地は過ぎ去りますが、わたしの言葉は決して過ぎ去ることはありません。

36

「しかし、その日と時については、誰も知りません。天の御使いたちも、子も知らず、ただ父だけが知っています。³⁷

ノアの時代のように、人の子の来臨もそのようであるでしょう。³⁸

洪水の前の日々、人々は食べたり飲んだり、結婚したり嫁に行ったりしていましたが、ノアが箱舟に入る日まで続けていました。³⁹

そして、洪水が来てすべての者をさらうまで、何が起こるかを知らませんでした。人の子の来臨もそのようであるでしょう。⁴⁰

二人の男が畑にいと、一人は連れ去られ、もう一人は残されるでしょう。⁴¹

二人の女が手挽きで粉をひいていると、一人は連れ去られ、もう一人は残されるでしょう。

42

「だから、目を覚ましていなさい。あなたがたの主が来る日を知らないからです。⁴³

しかし、これを知っておきなさい。家の主人が泥棒が来る時間を知っていたなら、目を覚ましていて、自分の家が破られるのを許さなかったでしょう。⁴⁴

だから、あなたがたも準備していなさい。人の子は思いがけない時に来るからです。

45

「それでは、主人がその家のしもべたちに時宜にかなった食事を与えるために任命した忠実で賢いしもべは誰でしょうか。⁴⁶

主人が帰ってきたときに、そのようにしているのを見つけられるしもべは幸いです。⁴⁷

まことにあなたがたに言います。彼はそのすべての財産を彼に任せるでしょう。⁴⁸

しかし、そのしもべが悪くて心の中で『主人は遅れている』と言い、⁴⁹

そして同僚のしもべたちを打ち始め、酒飲みたちと食べたり飲んだりし始めるなら、⁵⁰

そのしもべの主人は、彼が予期していない日に、彼が知らない時に来るでしょう。⁵¹

彼を厳しく罰し、偽善者たちと同じ場所に割り当てらるでしょう。そこでは泣き叫んで歯ざしりするでしょう。

マタイの福音書

25 「その時、天の御国は、十人の乙女たちに
たとえられるでしょう。彼女たちはそれぞ
れの灯を持って、花婿を迎えに出かけまし
た。²
そのうちの五人は愚かでであり、五人は賢明でした。³

愚かな者たちは灯を持っていましたが、追加の油を
持っていないでした。⁴
しかし、賢い者たちは、灯と共に瓶に油を持ってい
ました。⁵
花婿が遅れたので、彼女たちは皆、眠くなり、眠り
込んでしまいました。⁶
真夜中に叫び声がありました。『花婿だ！
迎えに出なさい！』⁷
すると、乙女たちは皆起き上がり、自分の灯を整え
ました。⁸
愚かな者たちは賢い者たちに言いました、『私たち
の灯が消えそうなので、あなたたちの油を少し分け
てください。』⁹
しかし、賢い者たちは答えました、『いいえ、私た
ちとあなたたちの両方に足りなくなるかもしれませ
ん。むしろ、商人のところへ行行って、自分たちのた
めに買ってきなさい。』¹⁰
彼女たちが油を買いに行っている間に、花婿が到着
しました。準備ができていた者たちは彼と共に婚宴
に入り、扉は閉められました。¹¹
その後、他の乙女たちも来て、『主よ、主よ、私た
ちに扉を開けてください。』と言いました。¹²
しかし、彼は答えました、『本当に、あなたたちを
知らないと言います。』¹³
ですから、目を覚ましていなさい。あなたたちはそ
の日もその時も知らないのですから。

14
「それは、旅に出る人が、自分のしもべたちを呼ん
で、財産を預けたのに似ています。¹⁵
一人には五タラントを、別の者には二タラントを、
さらに別の者には一タラントを、それぞれの能力に
応じて与えました。そして彼は旅に出ました。¹⁶
五タラントを受け取った者はすぐに行って、それで
商売をし、さらに五タラントを得ました。¹⁷
同様に、二タラントを持っていた者もさらに二タラ
ントを得ました。¹⁸
しかし、一タラントを受け取った者は行って、地面
に穴を掘り、主人の金を隠しました。¹⁹
かなりの時間が経った後、しもべたちの主人が帰っ
てきて、彼らと清算をしました。²⁰
五タラントを受け取った者が進み出て、さらに五タ
ラントを持って来て言いました、『主人様、あなた
は私に五タラントを預けました。ご覧ください、私

はさらに五タラントを得ました。』²¹
彼の主人は答えました、『よくやった、良い忠実な
しもべだ。あなたは少しのことに忠実だったので、
私は多くのことを任せます。主人の喜びに入れ。』²²

二タラントを持っていた者も進み出て言いました、
『主人様、あなたは私に二タラントを預けました。
ご覧ください、私はさらに二タラントを得ました。』²³

彼の主人は答えました、『よくやった、良い忠実な
しもべだ。あなたは少しのことに忠実だったので、
私は多くのことを任せます。主人の喜びに入れ。』²⁴

その後、一タラントを受け取った者も進み出て言
いました、『主人様、あなたは蒔かないところから刈
り取り、散らさないところから集める厳しい人であ
ることを知っていました。²⁵
それで私は恐れて出かけ、あなたのタラントを地面
に隠しました。ご覧ください、これがあなたのもの
です。』²⁶

彼の主人は答えました、『悪い怠け者のしもべだ！
私が蒔かないところから刈り取り、散らさないところ
から集めることを知っていたのか？』²⁷
それなら、私の金を銀行に預けておくべきだった。
そうすれば、私が帰ってきたときに利息と共に受け
取れたのに。²⁸

だから、そのタラントを彼から取り上げて、十タラ
ントを持っている者に与えなさい。²⁹
持っている者にはさらに与えられ、豊かになるでし
ょう。持っている者からは、持っているものさえも
取り上げられるでしょう。³⁰
そして、その役に立たないしもべを外の暗闇に投げ
出しなさい。そこでは泣き叫んで歯ざりするでし
ょう。』

31
人の子がその栄光の中に到着し、すべての天使たち
と共にいるとき、彼はその威厳ある玉座に座るでし
ょう。³²
すべての国々が彼の前に集められ、彼は羊を山羊か
ら分ける羊飼いのように、人々を一人一人分けるで
しょう。³³
彼は羊を右側に、山羊を左側に置くでしょう。³⁴
その時、王は右側にいる者たちに言うでしょう、『
私の父に祝福された者たちよ、来なさい。世界の基
が据えられた時からあなたたちのために用意された
御国を受け継ぎなさい。』³⁵
私が空腹だったとき、あなたたちは私に食べ物を与
え、渴いていたとき、私に飲み物を与え、見知らぬ
者だったとき、私を歓迎しました。³⁶

マタイの福音書

私は衣服を必要としていたとき、あなたたちは私に提供し、病気のとき、私を世話し、牢にいたとき、私を訪ねてくれました。』³⁷

しかし、正しい者たちは彼に答えるでしょう、『主よ、いつ私たちはあなたが空腹であるのを見て、食べ物を与え、渴いているのを見て、飲み物を与えたのでしょうか？』³⁸

いつあなたが見知らぬ者であるのを見て、歓迎し、衣服を必要としているのを見て、提供したのでしょうか？』³⁹

いつあなたが病気であるか牢にいたのを見て、訪ねたのでしょうか？』⁴⁰

王は答えるでしょう、『本当にあなたたちに言います。これらの兄弟姉妹の中で最も小さい者の一人にしたことは、私にしたことです。』⁴¹

その後、彼は左側にいる者たちに言うでしょう、『呪われた者たちよ、私から去りなさい。悪魔とその使いたちのために用意された永遠の火に入れ。』⁴²
私が空腹だったとき、あなたがたは私に何も与えず、渴いていたとき、私に何も飲ませませんでした。⁴³

私が見知らぬ者だったとき、あなたたちは私を歓迎せず、衣服を必要としていたとき、提供せず、病気で牢にいたとき、世話しませんでした。』⁴⁴

彼らも答えるでしょう、『主よ、いつ私たちはあなたが空腹であるか渴いているか、見知らぬ者か衣服を必要としているか、病気が牢にいたのを見て、助けなかったのでしょうか？』⁴⁵

彼は答えるでしょう、『本当にあなたたちに言います。これらの最も小さい者の一人にできなかったことは、私にできなかったことです。』⁴⁶
そして彼らは永遠の罰に行き、正しい者たちは永遠の命に行くでしょう。』

26 イエスがこれらの言葉をすべて終えたとき、彼は弟子たちに言われた。²
「あなたがたは知っている通り、2日後に過越が来ます。そして、人の子は引き渡されて十字架につけられるでしょう。』

³ その時、カヤパという名の大祭司の中庭に、祭司長たちと民の長老たちが集まった。⁴
彼らはイエスを密かに捕らえて殺そうと相談した。⁵

しかし彼らは言った、「祭りの間はだめだ。さもないと民衆の間で暴動が起こるかもしれない。』

⁶ イエスがベタニヤで、らい病人と呼ばれるシモンの家にいたとき、⁷

一人の女が非常に高価な香油の入ったアラバスターの壺を持って近づき、彼が食卓についている間にその頭に注いだ。⁸

弟子たちはこれを見て憤り、「なぜこの無駄をするのか？」と言った。⁹

「この香油は高く売れて、そのお金が貧しい人々に与えられたかもしれないに。」¹⁰

しかしイエスはこれを知って彼らに言われた、「なぜこの女を困らせるのか。彼女は私のために良いことをしてくれたのだ。』¹¹

貧しい人々はいつもあなたがたと共にいるが、私はいつもあなたがたと共にいるわけではない。』¹²

彼女がこの香油を私の体に注いだのは、私の埋葬の準備をするためである。¹³

まことに、私はあなたがたに言う。世界中でこの福音が宣べ伝えられるところでは、彼女がしたことと彼女の記念として語られるであろう。』¹⁴

その時、十二弟子の一人であるイスカリオテのユダが祭司長たちのところへ行き、¹⁵

「彼をあなたがたに引き渡すために、私に何をくれるのか？」と言った。そして彼らは銀貨三十枚を彼に教え渡した。¹⁶

その時から、彼はイエスを裏切る良い機会を探していた。¹⁷

種なしパンの祭りの初日に、弟子たちはイエスのところに来て、「過越の食事をするために、どこで準備をしたらよいですか？」と尋ねた。¹⁸

彼は彼らに指示した、「町に入っている人を見つけないさい。そして彼に言いなさい、『先生が言われる、私の時が近づいている。私はあなたの家で弟子たちと共に過越を祝うことになっている。』』¹⁹

弟子たちはイエスの指示通りにして、過越の準備をした。²⁰

夕方になったとき、イエスは十二弟子と共に食卓についていた。²¹

食事の間に、彼は言われた、「まことに、私はあなたがたに言う。あなたがたの一人が私を裏切るであろう。』²²

彼らは非常に悲しみ、一人一人が彼に言い始めた、「まさか私ではないでしょう、主よ？』²³

彼は答えた、「私と共に鉢に手を浸した者が、私を裏切るであろう。』²⁴

人の子は自分について書かれている通りに去って行く。しかし、人の子を裏切るその人には災いがある！その人は生まれなかった方がよかったのだ。』²⁵

マタイの福音書

イエスを裏切ろうとしていたユダが言った、「まさか私ではないでしょう、先生？」イエスは彼に言われた、「あなたがそう言ったのだ。」

26

彼らが食事をしている間に、イエスはパンを取り、祝福してからそれを裂き、弟子たちに与えて言われた、「取って食べなさい。これは私の体である。」

27

そして彼は杯を取り、感謝を捧げてから彼らに与えて言われた、「皆、この杯から飲みなさい。これは罪の赦しのために多くの人のために流される契約の血である。」

しかし、私はあなたがたに言う。私の父の王国で新たにあなたがたと共に飲むその日まで、私はこのぶどうの実から飲むことはない。」

彼らが賛美の歌を歌った後、オリーブ山へ出かけた。

31

その時、イエスは彼らに言われた、「今夜、あなたがたは皆、私のためにつまづくであろう。なぜなら、こう書かれているからである：

『私は羊飼いを打つ、
そして羊の群れは散らされる。』

32

しかし、私が復活した後、あなたがたより先にガラヤヘ行くであろう。」

ペテロは彼に答えて言った、「たとえ皆があなたのためにつまずいても、私は決してつまずきません！」

イエスは彼に言われた、「まことに、私はあなたに言う。この夜、鶏が鳴く前に、あなたは三度私を否むであろう。」

ペテロは彼に言った、「たとえあなたと共に死ななければならなくても、私はあなたを否むことはありません！」他の弟子たちも同じことを言った。

36

その後、イエスは彼らと共にゲッセマネという場所に来て、弟子たちに言われた、「私が向こうへ行つて祈る間、ここに座っていなさい。」

彼はペテロとゼベダイの二人の子を連れて行き、悲しみ始め、悩み始めた。

そして彼は彼らに言われた、「私の魂は死ぬほど悲しい。ここにいて、私と共に見張っていなさい。」

39

彼は少し進んで、顔を地に伏せて祈った、「父よ、もし可能であれば、この杯を私から過ぎ去らせてください。しかし、私の願い通りではなく、あなたの

御心のままに。」

彼は弟子たちのところに戻ってきて、彼らが眠っているのを見つけ、ペテロに言われた、「それで、一時間も私と共に見張っていられなかったのか？」

誘惑に陥らないように、見張って祈っていなさい。心は熱していても、肉体は弱い。」

彼は再び二度目に去って祈った、「父よ、この杯が私から過ぎ去らないのであれば、私がそれを飲むのであれば、あなたの御心が行われますように。」

彼は再び戻ってきて、彼らが眠っているのを見つけた。彼らの目は重かったのである。

彼は彼らを再び残し、去って行き、三度目に同じことを祈った。

その後、彼は弟子たちのところに戻ってきて、彼らに言われた、「まだ眠って休んでいるのか。見よ、時が来た。人の子は罪人の手に引き渡される。」

立ち上がりなさい、行こう。見よ、私を裏切る者が近づいている。」

47

彼がまだ話している間に、十二弟子の一人であるユダが来た。彼は剣や棒を持った大勢の群衆を伴って来た。彼らは祭司長たちと民の長老たちから送られてきたのである。

裏切り者は彼らに合図を与えて言った、「私がキスする者がその人だ。彼を捕らえなさい。」

ユダはすぐにイエスに近づいて言った、「先生、こんにちは！」そして彼にキスをした。

イエスは彼に言われた、「友よ、あなたが来た目的を果たしなさい。」それから彼らはイエスに手をかけて捕らえた。

見よ、イエスと共にいた者の一人が剣を引き抜き、大祭司のしもべに打ちかかり、その耳を切り落とした。

その時、イエスは彼に言われた、「剣を元の場所に収めなさい。剣を取る者は皆、剣で滅びるであろう。」

私が父にお願いすることができないと思うのか。すると、彼はすぐに十二軍団以上の天使を私のために用意してくださるであろう。

もしそうでなければ、どのようにして聖書が成就されるのか。それはこのように起こるべきであると書かれている。」

その時、イエスは群衆に言われた、「あなたがたは私を捕らえるために、まるで反乱を起こしている者のように剣や棒を持って出てきたのか。毎日私は神殿の庭で教えていたが、あなたがたは私を捕らえなかった。」

しかし、すべてこれらのことが起こったのは、預言者たちの書かれたことが成就するためである。」す

マタイの福音書

ると、すべての弟子たちは彼を見捨てて逃げ去った。
。

57

イエスを捕らえた者たちは彼を大祭司カヤパのところに連れて行った。そこには律法学者たちと長老たちが集まっていた。

58

しかしペテロは遠くからイエスについて行き、大祭司の中庭まで行って、結果を見るために中に入って衛兵たちと座った。

59

祭司長たちと全議会はイエスを死刑にするために偽証を探していた。

60

多くの偽証人が出てきたが、彼らは何も見つけれなかった。最後に、二人が進み出て

61

言った、「この人は『私は神の神殿を壊して三日で建て直すことができる』と言った。」

62

大祭司は立ち上がってイエスに言った、「あなたは答えないのか。これらの人々があなたに対して証言していることは何か。」

63

しかしイエスは沈黙を守っていた。大祭司は彼に言った、「生ける神によってあなたに誓わせる。あなたがメシア、神の子であるかどうかを私たちに告げなさい。」

64

イエスは彼に言われた、「あなたがそう言ったのだ。しかし、私はあなたがた全員に言う。今から後、人の子が力の右に座し、天の雲に乗って来るのを見るであろう。」

65

すると大祭司はその衣を裂いて言った、「彼は冒涜した！私たちが証人を必要とする理由が何か。見よ、今あなたがたは冒涜を聞いた。

66

あなたがたはどう思うか。」彼らは答えて言った、「彼は死に値する！」

67

それから彼らは彼の顔に唾を吐き、拳で彼を打ち、他の者たちは彼を平手打ちした。

68

そして言った、「メシアよ、私たちに予言してみよ。あなたを打ったのは誰か。」

69

さて、ペテロは外の中庭に座っていた。すると、一人の召使いの娘が彼に来て言った、「あなたもガラヤ人イエスと一緒にいた。」

70

しかし彼は皆の前で否定して言った、「あなたが何を言っているのか分らない。」

71

彼が門の方に出て行くと、別の召使いの娘が彼を見て、そこにいる人々に言った、「この人はナザレのイエスと一緒にいた。」

72

彼は再び否定して誓って言った、「私はその人を知らない。」

73

少し後、立っている人々がペテロに近づいて言った、「確かにあなたは彼らの一人だ。あなたの話し方

がそれを示している。」

74

すると彼は呪い始め、誓って言った、「私はその人を知らない！」すぐに鶏が鳴いた。

75

そしてペテロはイエスが言われた言葉を思い出した。「鶏が鳴く前に、あなたは三度私を否むであろう。」そして彼は外に出て激しく泣いた。

27 朝になると、すべての祭司長たちと民の長老たちは、イエスを死刑にするために相談しました。

2

彼らはイエスを縛って連れ出し、総督ピラトに引き渡しました。

3

イエスを裏切ったユダは、イエスが罪に定められたことを見て後悔し、銀貨三十枚を祭司長たちと長老たちに返しました。

4

彼は言いました、「私は無実の血を裏切った罪を犯しました。」彼らは答えました、「それが私たちに何の関係があるのか？それはあなたの責任だ。」

5

ユダは銀貨を神殿に投げ入れ、去って行き、自らを吊りました。

6

祭司長たちは銀貨を集めて言いました、「これは血の代価なので、財庫に入れることは許されていません。」

7

彼らはそのお金で陶器師の畑を買い、外国人のための墓地とすることに決めました。

8

それゆえ、その畑は今日まで「血の畑」と呼ばれています。

9

その時、預言者エレミヤを通して語られたことが成就しました：「彼らはイスラエルの子らによってイエスに値付けられた銀貨三十枚を取り、

10

主が私に命じたように、それで陶器師の畑を買いました。」

11

イエスは総督の前に立ちました。総督はイエスに尋ねました、「あなたはユダヤ人の王ですか？」イエスは答えました、「あなたがそう言っています。」

12

祭司長たちと長老たちに告発されたとき、イエスは何も答えませんでした。

13

するとピラトはイエスに言いました、「あなたに対して多くの告発があるのを聞いていませんか？」

14

しかしイエスは、たった一つの告発にも答えず、総督を非常に驚かせました。

15

祭りの時、群衆が選んだ囚人を釈放するのが総督の習慣でした。

16

その時、バラバという悪名高い囚人がいました。

17

マタイの福音書

群衆が集まったとき、ピラトは彼らに尋ねました、「あなたたちは誰を釈放してほしいのですか？ パラバですか、それともメシアと呼ばれるイエスですか？」

彼は、彼らが嫉妬からイエスを引き渡したことを知っていました。

ピラトが裁判席に座っている間に、彼の妻が彼にメッセージを送りました：「あの正しい人には何も関わらないでください。私は今日、彼のために夢で大いに苦しみました。」

しかし、祭司長たちと長老たちは群衆を説得して、バラバを要求し、イエスの処刑を求めさせました。

総督は尋ねました、「二人のうち、どちらを釈放してほしいのですか？」彼らは答えました、「バラバです。」

ピラトは尋ねました、「では、メシアと呼ばれるイエスをどうしたらよいのですか？」彼らは皆答えました、「十字架につけろ！」

「なぜ、彼はどんな罪を犯したのですか？」とピラトは尋ねました。しかし彼らはさらに大声で叫びました、「十字架につけろ！」

ピラトは何も進展がないことを見て、暴動が始まりそうだったので、水を取り、群衆の前で手を洗い、「この人の血について私は無実です。それはあなたたちの責任です！」と言いました。

すべての人々は答えました、「その血は私たちと私たちの子供たちの上に！」

それから彼はバラバを彼らに釈放しました。彼はイエスを鞭打ち、十字架につけるために引き渡しました。

総督の兵士たちはイエスを総督官邸に連れて行き、兵士全体を彼の周りに集めました。

彼らはイエスの衣服を剥ぎ取り、緋色のマントを彼に着せました。

彼らは茨の冠を編んで彼の頭に置き、右手に杖を持たせ、彼の前にひざまずいて、「ユダヤ人の王、万歳！」と嘲笑しました。

彼らは彼に唾を吐きかけ、杖を取り、彼の頭を何度も打ちました。

彼を嘲笑した後、彼らはマントを脱がせ、彼自身の衣服を着せ、彼を十字架につけるために連れ出しました。

彼らが出て行くと、キレネから来たシモンという男を見つけ、彼に十字架を運ばせました。

彼らはゴルゴタという場所に着きました。それは「

頭蓋骨の場所」と訳されます。

そこで彼らはイエスに苦いものを混ぜたぶどう酒を飲ませようとしましたが、味わった後、彼はそれを飲むことを拒否しました。

彼らがイエスを十字架につけた後、彼の衣服をくじ引きで分け合いました。

そして座って、彼を見張っていました。

彼の上には、「これはユダヤ人の王、イエスである」と書かれた罪状書きを掲げました。

二人の犯罪者が彼と共に十字架につけられました、一人は右に、一人は左に。

通り過ぎる人々は彼を侮辱し、頭を振り言いました、「神殿を壊して三日で建て直すと言った者よ、自分を救え！ もしあなたが神の子なら、十字架から降りて来い！」

同じように、祭司長たちも、律法学者や長老たちと共に彼を嘲笑しました。

「彼は他人を救ったが、自分自身を救うことはできない！ 彼はイスラエルの王だ、今すぐ十字架から降りて来い、そうすれば彼を信じる。」

彼は神を信頼している、もし神が彼を喜ぶなら、今彼を救え、彼は『私は神の子である』と言ったのだから。」

同じように、彼と共に十字架につけられた犯罪者たちも彼を侮辱しました。

正午から午後三時まで、全地が暗闇に覆われました。

午後三時ごろ、イエスは大声で叫びました、「エリ、エリ、レマ、サバクタニ？」これは「我が神、我が神、なぜ私をお見捨てになったのですか？」という意味です。

そこに立っていた人々の中には、これを聞いて、「彼はエリヤを呼んでいる」と言う者もいました。

すぐに、一人が走って行き、スポンジに酢を含ませ、杖に付けて、イエスに飲ませました。

他の者たちは言いました、「彼を放っておけ。エリヤが彼を救いに来るか見てみよう。」

そしてイエスは再び大声で叫び、霊を渡されました。

その瞬間、神殿の幕が上から下まで裂け、地が揺れ、岩が裂けました。

墓が開き、多くの聖なる者たちの体が生き返りました。

彼らはイエスの復活後に墓から出て、聖なる都に入り、多くの人々に現れました。

マタイの福音書

百人隊長と彼と共にイエスを見守っていた者たちは、地震と起こったすべてのことを見て非常に恐れ、「本当に、この人は神の子であった！」と叫びました。

多くの女性たちが遠くから見ていました。彼女たちはガリラヤからイエスについて来て、彼に仕えていました。その中には、マグダラのマリア、ヤコブとヨセフの母マリア、ゼベダイの子たちの母がいました。

夕方になると、アリマタヤのヨセフという名の裕福な男が来ました。彼はイエスの弟子となっていました。彼はピラトのところに行き、イエスの体を求めました。ピラトはそれを彼に渡すよう命じました。ヨセフはその体を受け取り、清らかな亜麻布で包みました。そしてそれを彼が岩を掘って作った新しい墓に納め、大きな石を墓の入口に転がして去りました。マグダラのマリアともう一人のマリアが墓の向かいに座っていました。

翌日、準備の日の後、祭司長たちとパリサイ人たちはピラトのところに行きました。彼らは言いました、「閣下、彼がまだ生きていたときに、あの詐欺師が『三日後に私は蘇る』』と言ったことを思い出しました。ですから、三日目まで墓を安全に守るよう命じてください。さもないと、彼の弟子たちが来て体を盗み出し、彼が死者の中から蘇ったと人々に言うかもしれません。この最後の詐欺は最初のものよりも悪いでしょう。」

ピラトは彼らに言いました、「警備兵を連れて行き、できる限り墓を安全に守りなさい。」そこで彼らは行って、石に封印をし、警備を置いて墓を安全にしました。

28 安息日が終わった後、週の初めの日の明け方に、マグダラのマリアと他のマリアが墓を見に行った。見よ、大きな地震が起こった。主の使いが天から降りてきて、石を転がして、その上に座ったからである。その姿は稲妻のように輝き、衣は雪のように白かった。番兵たちは彼を見て恐れおののき、死人のようになった。

天使は女たちに言った。「恐れてはいけません。あなたがたが十字架につけられたイエスを探しているのを私は知っています。彼はここにはおられません。言われたとおりに、復活されたのです。来て、彼が横たわっていた場所を見なさい。それから急いで行って、弟子たちに伝えなさい。『彼は死者の中から復活され、あなたがたより先にガリラヤに行かれる。そこで彼に会える。』見よ、私はあなたがたに言いました。」彼女たちは恐れと大きな喜びを抱いて急いで墓を離れ、弟子たちに知らせに走った。

すると突然、イエスが彼女たちに会い、「おはよう！」と言われた。彼女たちは近寄って、彼の足を抱き、礼拝した。イエスは彼女たちに安心させて言われた。「恐れてはいけません。私の兄弟たちにガリラヤに行くように知らせなさい。そこで私に会える。」

彼女たちが行く途中で、番兵の何人かが町に入り、祭司長たちに起こったことを報告した。祭司長たちは長老たちと相談して計画を立て、兵士たちに多額のお金を渡した。彼らに指示して言った。「『弟子たちが夜の間に来て、私たちが眠っている間に彼を盗み去った』』と言いなさい。もしこれが総督の耳に入ったら、私たちが彼をなだめて、あなたがたを困らせないようにします。」彼らはお金を受け取り、指示されたとおりにした。そしてこの話は今日までユダヤ人の間に広まっている。

それから十一人の弟子たちはガリラヤに行き、イエスが指示された山に行った。彼らはイエスを見て礼拝したが、疑う者もいた。イエスは近づいて彼らに話された。「天と地のすべての権威が私に与えられています。それゆえ、行って、すべての国の人々を弟子とし、父と子と聖霊の名によって彼らにバプテスマを授け、私があなたがたに命じたすべてのことを守るように教えなさい。そして、見よ、私は世の終わりにまでいつもあなたがたと共にいます。」

マルコの福音書

1 神の子イエス・キリストの福音の始まり。 2
預言者イザヤに書かれているように、

「見よ、わたしは使者をあなたの前に遣わす。
彼はあなたの道を備える。 3
荒野で呼ばれる者の声がする。
『主の道を備えよ。
荒れ地でわたしたちの神のために道をまっすぐに
せよ!』」

4
バプテスマのヨハネが荒野に現れ、罪の赦しのため
の悔い改めのバプテスマを宣べ伝えた。 5
ユダヤ全地方とエルサレムのすべての人々が彼のも
とに出て行き、自分の罪を告白してヨルダン川で彼
にバプテスマを受けた。 6
ヨハネはラクダの毛の衣をまとい、腰に革の帯を締
め、いなごと野蜜を食べていた。 7
そして彼は宣べ伝えた。「私の後に来る方は私より
も力のある方で、私はかがんでその方の履物のひも
を解く値打ち也没有ません。 8
私はあなたたちに水でバプテスマを授けますが、そ
の方は聖霊であなたたちを浸すでしょう。」

9
その頃、イエスはガリラヤのナザレから来て、ヨル
ダン川でヨハネからバプテスマを受けた。 10
イエスが水から上がるとすぐに、天が裂けて霊が鳩
のように彼に降りてくるのを見た。 11
そして天から声がした。「あなたは私の愛する子、
私はあなたに満足している。」

12 すぐに霊は彼を荒野に送り出した。 13
彼は四十日間荒野にいて、サタンの誘惑を受けた。
彼は野獣と共におり、天使たちが彼に仕えていた。

14
ヨハネが捕らえられた後、イエスはガリラヤに行き
、神の福音を宣べ伝えた。 15
「時は満ちた」と彼は言った。「神の国は近づいた。
悔い改めて福音を信じなさい!」

16
イエスがガリラヤ湖のほとりを歩いていると、シモ
ンとその兄弟アンデレが湖に網を投げ入れているの
を見た。彼らは漁師だったからである。 17
「来なさい、私について来なさい」とイエスは言っ
た。「あなたたちを人間を取る漁師にしてあげよう
。」 18 彼らはすぐに網を捨てて彼に従った。 19
少し進んでから、彼はゼベダイの子ヤコブとその兄
弟ヨハネが舟で網を繕っているのを見た。 20

彼はすぐに彼らと呼ばひ、彼らは父ゼベダイの舟に残
し、雇い人たちと共に彼に従った。

21
彼らはカペナウムに入り、すぐに安息日にイエスは
会堂に入って教え始めた。 22
人々は彼の教えに驚いた。彼が律法学者たちのよう
ではなく、権威ある者として教えたからである。 23
ちょうどその時、彼らの会堂に汚れた霊に取り憑か
れた人がいて叫んだ。 24

「ナザレのイエス、私たちと何の関係があるのです
か? 私たちを滅ぼしに来たのですか? 私はあなたが
誰か知っています—神の聖者です!」 25
イエスは彼を叱って言った。「黙れ! 彼から出て行
け!」 26
汚れた霊はその人を激しく揺さぶり、大声で叫んで
彼から出て行った。 27
人々は皆驚いて互いに言った。「これは何だ? 新し
い教えだ—
権威がある! 彼は汚れた霊に命じて、それらは彼
に従う。」 28
すぐに彼についての噂がガリラヤ全地方に広まった
。

29
会堂を出るとすぐに、彼らはヤコブとヨハネと共に
シモンとアンデレの家に行った。 30
シモンのしゅうとめが熱を出して寝ており、彼らは
すぐにイエスに彼女ののことを知らせた。 31
そこで彼は彼女のところに行き、手を取って起こし
た。すると熱が彼女から去り、彼女は彼らに仕え始
めた。

32
夕方、日が沈んだ後、人々は病気の者や悪霊に取り
憑かれた者をすべてイエスのもつに連れて来た。 33
町の大勢の人々が戸口に集まった。 34
イエスは様々な病氣にかかっている多くの人々を癒
し、多くの悪霊を追い出したが、悪霊が彼を知って
いたので、それらが話すことを許さなかった。

35
非常に早朝、まだ暗いうちに、イエスは起きて家を出
て、寂しい場所に行き、そこで祈った。 36
シモンとその仲間たちは彼を探しに行った。 37
彼らが彼を見つけたとき、「皆があなたを探してい
ます!」と言った。 38
イエスは答えた。「別の場所、近くの村々に行こう
。そこでも宣教するために来たのだから。」 39
彼はガリラヤ全地方を巡り、彼らの会堂で宣教し、
悪霊を追い出した。

マルコの福音書

46

重い皮膚病を患っている人が彼に近づき、ひざまずいて懇願した。「もしあなたが望むなら、私を清めることができます。」⁴¹

イエスは憐れみを感じ、手を伸ばして彼に触れた。「私は望む。清くなれ！」と言った。⁴²すぐにその重い皮膚病は彼から去り、彼は清められた。⁴³

イエスは彼をすぐに送り出し、厳しく警告した。⁴⁴「誰にもこのことを話さないようにしなさい。しかし、行って自分を祭司に見せ、モーセが命じた清めのための供え物を彼らへの証しとして捧げなさい。」⁴⁵

しかし、彼は出て行き、自由に話し始め、そのことを広めた。その結果、イエスはもはや公然と町に入ることができず、外の寂しい場所に留まった。それでも人々は彼のもとにどこからでもやって来た。

2 数日後、イエスがカペナウムに戻れると、彼が家にいると報告された。²

多くの人々が集まり、ドアの近くにも場所がないほどで、彼は彼らに御言葉を語っておられた。³ある人々が、四人で運んでいる麻痺した人をイエスのもとに連れて来た。⁴群衆のためにイエスのもとに連れて行くことができなかったので、彼らは彼の上の屋根を取り除き、開口部を作った後、麻痺した人が横たわっているマットを下ろした。⁵

イエスは彼らの信仰を見て、麻痺した人に言われた、「子よ、あなたの罪は赦されました。」⁶しかし、律法の教師たちの中には、そこに座っていて、心の中で考えている者がいた。⁷「なぜ彼はこのように話すのか？彼は神を冒瀆している！罪を赦すことができるのは神だけではないか？」⁸

すぐにイエスは、彼らが心の中でこのように考えていることを霊で感じて、彼らに言われた、「なぜ心の中でこのようなことを考えているのですか？」⁹

この麻痺した人に『あなたの罪は赦されました』と言うのと、『起きて、マットを取り、歩け』と言うのと、どちらが簡単だと思いますか？¹⁰

しかし、人の子が地上で罪を赦す権威を持っていることをあなたがたが知るために」－

彼は麻痺した人に言われた、¹¹「あなたに言います、起きて、マットを取り、家に帰りなさい。」¹²

彼は立ち上がり、マットを取り、皆の前で歩いて出て行った。これに皆が驚き、神を賛美して言った、「こんなことは今まで見たことがない！」

13

再びイエスは湖畔に出かけられた。多くの人々が彼のもとに来て、彼は彼らに教え始められた。¹⁴

彼が通り過ぎるとき、アルファイの子レビが税関に座っているのを見て、「私について来なさい」とイエスは彼に言われた。レビは立ち上がって彼に従った。¹⁵

イエスがレビの家で食卓についておられると、多くの税吏や罪人が彼と弟子たちと共に食事をしていた。多くの人々が彼に従っていたからである。¹⁶パリサイ派の律法の教師たちは、彼が罪人や税吏と一緒に食事をしているのを見て、弟子たちに言った、「なぜ彼は税吏や罪人と一緒に食事をするのですか？」¹⁷

これを聞いて、イエスは彼らに言われた、「健康な人には医者はありませんが、病气の人には必要です。私は正しい者を招くためではなく、罪人を招くために来たのです。」¹⁸

さて、ヨハネの弟子たちとパリサイ派の人々は断食をしていた。ある人々がイエスに尋ねた、「なぜヨハネの弟子たちとパリサイ派の弟子たちは断食をするのに、あなたの弟子たちはしないのですか？」¹⁹イエスは答えられた、「花婿が一緒にいる間、客人たちは断食できるでしょうか？彼と一緒にいる限り、彼らは断食できません。」²⁰

しかし、花婿が彼らから取り去られる日が来ます。その日には彼らは断食するでしょう。²¹

「誰も新しい布を古い衣に縫い付けません。さもないと、新しい布が古い衣から引き離され、裂け目が悪化します。」²²

また、誰も新しいぶどう酒を古い革袋に入れません。さもないと、ぶどう酒が袋を破裂させ、ぶどう酒も袋も台無しになります。新しいぶどう酒は新しい革袋に入れます。」²³

そして、イエスが安息日に麦畑を通って行かれると、弟子たちは歩きながら穂を摘み始めた。²⁴

パリサイ派の人々は彼に尋ねた、「なぜ彼らは安息日に違法とされることをしているのですか？」²⁵

彼は彼らに言われた、「ダビデが必要に迫られ、彼とその仲間たちが空腹だったときに何をしたか、読んだことがありませんか？」²⁶

彼が大祭司アビアタルの時代に神の家に入り、祭司だけが食べることを許されている供えのパンを食べ、彼の仲間たちにも与えたことを？」²⁷最後に彼は言われた、「安息日は人のために作られ

マルコの福音書

たのであって、人が安息日のために作られたのではありません。²⁸
したがって、人の子は安息日の主でもあります。」

3 イエスは再び会堂に入られた。そこには片手の
萎えた人がいた。²
彼らはイエスを訴えようとして、安息日にその
人を癒すかどうかを見守っていた。³
イエスはその萎えた手の人に、「皆の前に立ちなさい」と言われた。⁴
そして彼らに言われた、「安息日に善を行うのは許されているか、それとも害を行うのか、命を救うのか、それとも殺すのか。」しかし彼らは黙っていた。⁵
イエスは怒りをもって彼らを見回し、その心の頑なさを嘆いて、その人に「手を伸ばしなさい」と言われた。彼が手を伸ばすと、その手は元どおりになった。⁶
すると、パリサイ人たちは出て行き、すぐにヘロデ党の者たちと共にイエスをどうやって滅ぼすか相談を始めた。

7
イエスは弟子たちと共に海辺へ退かれた。ガリラヤからの大勢の群衆がイエスに従った。⁸
イエスが行っていることを聞いたとき、ユダヤ、エルサレム、イドマヤ、ヨルダンの向こう側、ティルスとシドンの周辺から多くの人々がイエスのもとに来了。⁹
イエスは弟子たちに、群衆が押し寄せないように、小舟を用意するように言われた。¹⁰
イエスは多くの人を癒されたので、病気の人々はイエスに触れようと押し寄せていた。¹¹
汚れた霊がイエスを見ると、ひれ伏して「あなたは神の子です」と叫んだ。¹²
しかしイエスは彼らに、自分のことを知らせないように厳しく命じられた。

13
イエスは山に登り、ご自分が望む者たちを呼ばれた。彼らはイエスのもとに来了。¹⁴
イエスは十二人を任命し、彼らがイエスと共にいるため、また彼らを派遣して宣教させるために悪霊を追い出す権威を持たせるためであった。¹⁵
イエスが選ばれた十二人は次の通りである。シモン（ペテロという名を与えられた）、¹⁷
ゼバダイの子ヤコブとヤコブの兄弟ヨハネ（ボアネルゲス、すなわち「雷の子」という名を与えられた）、¹⁸
アンデレ、ピリポ、バルトロマイ、マタイ、トマス

、アルバヨの子ヤコブ、タダイ、熱心党のシモン、¹⁹そして後にイエスを裏切るイスカリオテのユダ。

20
それからイエスは家に帰られたが、再び群衆が集まり、イエスと弟子たちは食事をすることもできなかった。²¹
イエスの家族がこれを知り、イエスを連れ戻そうとした。「彼は正気を失っている」と言つて。

22
エルサレムから下ってきた律法学者たちは、「彼はペルゼブルに取り憑かれている！悪霊の頭によって悪霊を追い出している」と言った。²³
そこでイエスは彼らと呼び寄せ、たとえて話し始められた。「サタンがサタンを追い出すことができるか。²⁴
もし国が内部分裂しているなら、その国は立ち行かない。²⁵
もし家が内部分裂しているなら、その家は持ちこたえられない。²⁶
そして、もしサタンが自分に対して立ち上がり、分裂しているなら、彼は持ちこたえられない。その終わりが来たのだ。²⁷
強い人の家に入ってその持ち物を奪うことはできない。まずその強い人を縛らなければならない。そうすればその家を略奪できる。²⁸
まことに、すべての罪と人々が口にするどんな冒瀆も許される。²⁹
しかし、聖霊に逆らって話す者は決して許されない。その者は永遠の罪を犯している。」³⁰
イエスがこう言われたのは、彼らが「彼は汚れた霊に取り憑かれている」と言っていたからである。

31
そのとき、イエスの母と兄弟たちが来て、外に立ち、イエスと呼び出すように人を送った。³²
群衆がイエスの周りに座っていた。彼らはイエスに言った、「あなたの母と兄弟たちが外であなたを探しています。」³³
「私の母と兄弟とは誰か」とイエスは尋ねられた。

34
イエスは周りに座っている人々を見て言われた、「ここに私の母と兄弟がいる！」³⁵
神の御心を行う者は誰でも、私の兄弟、姉妹、そして母である。」

4 再び、イエスは海辺で教え始められた。非常に大勢の群衆がイエスのもとに集まったので、イエスは海の上の舟に乗って座られ、群衆はみな水際の岸にいた。²

マルコの福音書

イエスはたとえを用いて多くのことを彼らに教え、その教えの中でこう言われた。³ 「聞きなさい！ 種を蒔く人が種を蒔きに出かけた。⁴ 蒔いているときに、ある種は道端に落ち、鳥が来て食べてしまった。⁵ ほかの種は土の少ない岩地に落ち、すぐに芽を出したが、土が浅かったためである。⁶ しかし、日が昇ると焼けて、根がないために枯れてしまった。⁷ ほかの種は茨の中に落ち、茨が伸びてそれをふさぎ、実を結ばなかった。⁸ しかし、ほかの種は良い地に落ち、成長し、増えて、三十倍、六十倍、百倍の実を結んだ。」⁹ そして言われた、「聞く耳のある者は聞きなさい。」

¹⁰ イエスが一人になったとき、周りにいた者たちと十二弟子がたとえについて尋ねた。¹¹

イエスは彼らに言われた、「神の国の奥義はあなたがたに与えられているが、外の者にはすべてがたとえで語られる。¹² それは、

『彼らは見るには見るが、認識せず、聞くには聞くが、理解しない。

そうでなければ、彼らは立ち返って救われるかもしれない。』」

¹³ それから彼らに言われた、「このたとえがわからないのですか？

それなら、どうしてほかのたとえがわかるでしょうか？¹⁴ 種を蒔く人は御言葉を蒔くのです。¹⁵ 道端に蒔かれる者とは、御言葉が蒔かれるとき、それを聞くやいなや、敵が来て、彼らに蒔かれた御言葉を奪い去る者たちです。¹⁶

岩地に蒔かれる者とは、御言葉を聞くとすぐに喜んで受け入れる者たちです。¹⁷ しかし、彼らは自分の中に根がなく、しばらくの間だけ続きます。御言葉のために困難や迫害が起ると、すぐに倒れてしまいます。¹⁸

茨の中に蒔かれる者とは、御言葉を聞く者たちです。¹⁹ 。しかし、この世の思い煩いや富の誘惑、その他の欲望が入り込んで御言葉をふさぎ、実を結ばなくなります。²⁰

しかし、良い地に蒔かれる者とは、御言葉を聞いて受け入れ、三十倍、六十倍、百倍の実を結ぶ者たちです。」

²¹ イエスは彼らに言われた、「灯火を持って来るのは、籠の下や寝台の下に置くためですか？²² それは燭台の上に置くためではありませんか？ 隠されているものはすべて明らかにされるためであり、隠されているものはすべて光に出されるためです。²³ 聞く耳のある者は聞きなさい。」²⁴ イエスは続けて言われた、「あなたがたが聞くことに注意しなさい。あなたがたが用いる尺度で測られ、さらに多くが加えられます。²⁵ 持っている者にはさらに与えられ、持っていない者からは、持っているものさえも取り上げられます。」

²⁶ また言われた、「神の国は地に種を蒔く人のようなものです。²⁷

彼は夜も昼も寝起きし、種は芽を出し成長しますが、どうしてそうなるのかは知りません。²⁸ 地は自ら作物を生じさせます。まず芽が出て、次に穂が出て、そして穂の中に豊かな実が実ります。²⁹ 作物が熟するとすぐに、彼は鎌を入れます。収穫の時が来たからです。」

³⁰ また言われた、「神の国を何にたとえようか、どのたとえを用いてそれを説明しようか。³¹ それは地に蒔かれる一粒のからし種のようなもので、地上のどの種よりも小さいのです。³² しかし、蒔かれると成長して、すべての庭の植物よりも大きくなり、大きな枝を張り、空の鳥がその陰に巣を作ることができます。」

³³ イエスはこのようなたとえを多く用いて、彼らが理解できるだけ御言葉を語られた。³⁴ イエスはたとえを用いずに彼らに語ることはなく、しかし、弟子たちには個別にすべてを説明された。

³⁵ その日、夕方になったとき、イエスは弟子たちに言われた、「向こう岸に渡ろう。」³⁶ 群衆を後にして、彼らはイエスを舟に乗せたまま連れて行った。他の舟も一緒にあった。³⁷ 大きな暴風が起こり、波が舟に打ち寄せ、舟はすでに満ち始めていた。³⁸ しかし、イエスは船尾で枕をして眠っておられた。彼らはイエスを起こして言った、「先生、私たちが滅びそうなのに、何とも思わないのですか？」³⁹ イエスは起き上がり、風を叱り、海に「静まれ！ 鎮まれ！」と言われた。すると風は止み、大なぎに

マルコの福音書

なつた。⁴⁰
イエスは彼らに言われた、「なぜそんなに怖がるのですか？ まだ信仰がないのですか？」⁴¹
彼らは非常に恐れて互いに言った、「いったいこの方は誰なのか。風や海さえも従うではないか。」

5 彼らは海の向こう側、ゲラサ人の地域に渡つた。²

イエスが舟から降りるとすぐに、汚れた霊に取り憑かれた人が墓から出てきて、彼に会いに来た。³

この人は墓の間に住んでいて、もはや誰も彼を鎖でさえ縛ることができなかった。⁴

彼は何度も足かせや鎖で縛られたが、鎖を引き裂き、足かせを砕いてしまった。誰も彼を抑えることができなかった。⁵

昼も夜も墓や山の中で叫び、石で自分を傷つけていた。

6 彼は遠くからイエスを見て走り寄り、彼の前にひれ伏した。⁷

大声で叫んで言った、「いと高き神の子イエスよ、私と何の関係があるのですか？ 神に誓って、私を苦しめないでください！」⁸

イエスが彼に、「この人から出て行け、汚れた霊よ！」と言っていたからである。⁹

それからイエスは彼に、「あなたの名前は何ですか？」と尋ねた。彼は答えて、「私の名前はレギオンです。私たちは大勢だからです」と言った。¹⁰
そして彼は、彼らをその地域から追い出さないようにとイエスに何度も懇願した。

11 大きな豚の群れが近くの山腹で飼われていた。¹²
悪霊たちはイエスに、「私たちが豚の中に送ってください。そうすれば私たちは彼らに入ることがができます」と懇願した。¹³
イエスは彼らに許可を与え、汚れた霊たちは出て行って豚に入った。群れは約二千頭で、急な崖を駆け下りて海に入り、溺れ死んだ。

14 豚を飼っていた者たちは逃げて町や田舎でこのことを報告し、人々は何が起ったのかを見に来た。¹⁵
彼らがイエスのところに来ると、悪霊の軍団に取り憑かれていた人が服を着て正気になって座っているのを見て、彼らは恐れた。¹⁶
それを見た者たちは、悪霊に取り憑かれていた人に何が起ったのか、また豚について人々に説明した。¹⁷
。

すると人々はイエスにその地域から去るように頼み始めた。

18 イエスが舟に乗ろうとすると、悪霊から解放された人が彼と一緒に行くことを懇願した。¹⁹
イエスは彼を許さず、「自分の家族のところに帰り、主があなたにくださった大きなこと、そしてあなたに憐れみをかけてくださったことを伝えなさい」と言った。²⁰

それで彼は去り、デカポリスでイエスが自分にしてくださった大きなことを宣べ伝え始めた。人々は皆驚いた。

21 イエスが再び舟で向こう岸に渡ると、大勢の群衆が彼の周りに集まった。彼は海辺にいた。²²

すると、会堂の指導者の一人であるヤイロという名の者が来て、イエスを見てその足元にひれ伏した。²³

彼は心から懇願して言った、「私の小さな娘が死にそうです。どうか来て彼女に手を置いてください。そうすれば彼女は癒され、生きるでしょう。」²⁴
それでイエスは彼と一緒に行った。大勢の群衆が彼に従い、彼を取り囲んだ。

25 そして、十二年間も出血に苦しんでいる女がいた。²⁶

彼女は多くの医者の下で多くの苦しみを受け、持っているものをすべて費やしたが、良くなるどころか、ますます悪くなっていた。²⁷

彼女はイエスのことを聞き、群衆の中で後ろから近づいて彼の衣に触れた。²⁸

「もし彼の衣にでも触れれば、私は癒される」と考えたからである。²⁹

するとすぐに彼女の出血は止まり、彼女は自分の体が苦しみから解放されたことを感じた。³⁰

すぐにイエスは自分から力が出て行ったことを感じ、群衆の中で振り向いて、「私の衣に触れたのは誰ですか？」と尋ねた。³¹

弟子たちは答えて言った、「群衆があなたに押し寄せているのが見えます。それでも『誰が私に触れたのか？』とおっしゃるのですか？」³²

しかしイエスは、それをした者を見つけようと見回し続けた。³³

すると、その女は自分に何が起ったのかを知って、恐れおののきながら来て、彼の足元にひれ伏し、すべてを正直に話した。³⁴

イエスは彼女に言った、「娘よ、あなたの信仰があ

マルコの福音書

なたを救ったのです。安心して行きなさい。そしてあなたの苦しみから解放されなさい。」

35

イエスがまだ話している間に、会堂の指導者ヤイロの家から人々が来て言った。「あなたの娘は死にました。もう先生を煩わせることはありません。」³⁶ その言葉を聞いて、イエスは彼に言った、「恐れず、ただ信じなさい。」³⁷

彼はペテロ、ヤコブ、ヤコブの兄弟ヨハネのほかは誰もついて来ることを許さなかった。³⁸

彼らが会堂の指導者の家に着くと、イエスは人々が大声で泣き叫んでいる騒ぎを見た。³⁹

彼は中に入り、彼らに言った、「なぜこの騒ぎと泣き声なのですか？この子は死んでいるのではなく、眠っているのです。」⁴⁰

しかし彼らはイエスを嘲笑った。イエスは皆を外に出した後、子供の父と母、そして彼と一緒にいた弟子たちを連れて、子供がいる場所に入った。⁴¹

彼はその子の手を取り、「タリタ・クム！」（訳すと、「少女よ、あなたに言う、起きなさい！」）と言った。⁴²

するとすぐにその少女は立ち上がり、歩き始めた（彼女は十二歳であった）。それを見て彼らは非常に驚いた。⁴³

イエスはこのことを誰にも知らせないように厳しく命じ、彼女に食べ物を与えるように指示した。

6 イエスはそこを去って故郷に行かれ、弟子たちも従った。²

安息日になったとき、彼は会堂で教え始め、多くの人が聞いて驚いた。彼らは言った、「この人はどこでこれらのことを得たのか。この人に与えられた知恵とは何か、彼の手によって行われるこのような驚くべき奇跡は何か。」³

この人は大工ではないか、マリアの子で、ヤコブ、ヨセ、ユダ、シモンの兄弟ではないか。彼の姉妹たちもここにいるではないか。」そして彼らは彼につまずいた。⁴

イエスは彼らに言われた、「預言者は、自分の故郷、親族、家族の中では敬われないものだ。」⁵

彼はそこでは何の奇跡も行いうことができず、ただ少数の病人に手を置いて癒すだけであった。⁶

彼は彼らの不信仰に驚かれた。それから彼は村々を巡って教え続けた。

7

彼は十二人を呼び寄せ、二人ずつ送り出し、汚れた霊に対する權威を授けた。⁸

彼は旅のために杖以外は何も持たないように命じられた。パンも袋も、帯に金も持たずに—⁹

ただサンダルを履くことは許されたが、二枚の下着を着てはならなかった。¹⁰

彼は彼らに言われた、「どこかの家に入ったら、その場所を去るまでそこに留まりなさい。」¹¹

もしどこかの場所があなたたちを受け入れず、あなたたちの言うことを聞かないなら、そこを去るときに、彼らに対する証しとして足の埃を払い落とささい。」¹²

彼らは出て行き、人々に悔い改めるように宣べ伝えた。¹³

彼らは多くの悪霊を追い出し、多くの病人に油を塗って癒した。

14

イエスの名が広まったので、ヘロデ王はこれを聞いた。ある人々は、「バプテスマのヨハネが死人の中からよみがえったので、これらの奇跡的な力が彼の中で働いているのだ」と言った。¹⁵

他の人々は、「彼はエリヤだ」と言い、また他の人々は、「彼は昔の預言者のような預言者だ」と言った。¹⁶

しかしヘロデはこれを聞いて、「私が首をはねたヨハネがよみがえったのだ」と言った。

17

ヘロデ自身がヨハネを捕らえるように命じ、彼を縛って牢に入れたのは、彼が兄弟ピリポの妻ヘロデヤと結婚したためであった。¹⁸

ヨハネはヘロデに、「あなたが兄弟の妻を持つのは律法に反する」と言っていたからである。¹⁹

ヘロデヤは彼に恨みを抱き、彼を殺したいと思っていたが、できなかった。²⁰

ヘロデはヨハネを恐れ、彼を正しい聖なる人と知って彼を保護していた。ヘロデは彼の話を聞くとき非常に当惑したが、それでも彼の話を喜んで聞いた。

21

ある時、ヘロデが誕生日に貴族や軍の指揮官、ガラヤの主要な人々のために宴会を開いたとき、好機が訪れた。²²

ヘロデヤの娘が入ってきて踊り、ヘロデとその客たちを喜ばせた。王は少女に言った、「あなたが望むものは何でも求めなさい、私はそれをあなたに与えます。」²³

彼は彼女に誓って言った、「あなたが私に求めるものは何でも、私の王国の半分までも与えます。」²⁴

彼女は出て行って母に、「何を求めるべきか」と尋ねた。母は「バプテスマのヨハネの首を」と答えた。²⁵

彼女はすぐに王のもとに急いで行き、「今すぐにバ

マルコの福音書

ブテスマのヨハネの首を皿に載せてください」と求めた。²⁶
王は非常に悲しんだが、誓いと客のために彼女を拒むことを望まなかった。²⁷
そこで彼はすぐに執行人を送り、ヨハネの首を持ってくるように命じた。彼は行って牢でヨハネの首をはね、²⁸
その首を皿に載せて持ってきて少女に渡し、彼女はそれを母に渡した。²⁹
ヨハネの弟子たちはこれを聞いて来て、彼の遺体を引き取り、墓に納めた。

³⁰
使徒たちはイエスの周りに集まり、自分たちが行ったことや教えたことをすべて報告した。³¹
多くの人が来たり行ったりしていて、彼らは食事をする暇もなかったので、彼は彼らに「自分たちだけで静かな場所に行ってしばらく休みなさい」と言った。³²
そこで彼らは自分たちだけで船で人里離れた場所に行った。³³
しかし、多くの人が彼らが去るのを見て彼らを認識し、町々から走って彼らより先に着いた。³⁴
イエスは上陸し、大群衆を見て、彼らが羊飼いのいない羊のようであったので、彼らに対して憐れみを感じ、多くのことを教え始めた。
³⁵
その時にはすでに遅くなっていたので、弟子たちは彼のもとに来て言った、「ここは人里離れた場所です、すでに遅い時間です」。³⁶
人々を解散させて、周囲の田舎や村に行って自分たちで食べ物を買うようにさせてください。」³⁷
しかし彼は答えて言った、「あなたたちが彼らに食べ物を与えなさい。」彼らは言った、「私たちが行って二百デナリのパンを買って彼らに食べさせるべきでしょうか。」³⁸
彼は彼らに言った、「いくつパンがありますか。行って調べなさい。」彼らが調べると、「五つと二匹の魚です」と言った。³⁹
それから彼はすべての人々を緑の草の上に組にして座らせるように指示した。⁴⁰
それで彼らは組織的に座った。⁴¹
五つのパンと二匹の魚を取り、天を見上げて食物を祝福し、パンを裂いて弟子たちに渡して人々に配らせた。また、二匹の魚もすべての人に分けた。⁴²
彼らは皆食べて満腹した。⁴³
そして弟子たちはパンと魚の破片を十二の籠にいっぱい集めた。⁴⁴
パンを食べた男の数は五千人であった。

⁴⁵
すぐに、イエスは弟子たちを船に乗せて向こう岸のベツサイダに先に行かせ、群衆を解散させた。⁴⁶
彼らを送り出した後、彼は山に登って祈った。⁴⁷
夕方になると、船は海の真ん中にあり、彼は一人で陸にいた。⁴⁸
彼らが漕ぐのに苦労しているのを見て、風が彼らに逆らっていたので、夜明け前に彼は海の上を歩いて彼らに近づき、彼らを追い越そうとした。⁴⁹
しかし彼らは彼が海の上を歩いているのを見て、幽霊だと思い、叫んだ。⁵⁰
彼らは皆彼を見て恐れたからである。すぐに彼は彼らに話しかけて言った、「勇気を出しなさい。私だ。恐れることはない。」⁵¹
それから彼は彼らと一緒に船に乗り、風は止んだ。彼らは非常に驚いた。⁵²
彼らはパンの意味を理解していなかったからである。彼らの心は鈍くなっていた。
⁵³
彼らが渡ったとき、ゲネサレに着いてそこに停泊した。⁵⁴
彼らが船から降りると、人々はすぐにイエスを認識した。⁵⁵
彼らはその地域全体を走り回り、彼がいると聞いたところに病人を担架で運んできた。⁵⁶
彼が行くところどこでも—村や町や田舎に—彼らは病人を市場に置き、彼の衣の裾にでも触れさせてくださいと願った。そして触れた者は皆癒された。
7 バリサイ人たちと幾人かの律法学者たちが、エルサレムから来てイエスの周りに集まった。²
そして、彼の弟子たちのうちの何人かが、汚れた手、つまり洗っていない手で食事をしているのを見た。³
(パリサイ人たちとすべてのユダヤ人たちは、長老たちの伝統に従って、儀式的に手を洗わなければ食事をしない。⁴
また、市場から戻ったときには、洗わなければ食事をしない。彼らはまた、カップやビッチャー、銅の器を洗うなど、多くの他の伝統を守っている。)⁵
そこで、パリサイ人たちと律法学者たちは彼に尋ねた。「なぜあなたの弟子たちは長老たちの伝統に従わず、汚れた手で食事をするのですか？」⁶
彼は答えた。「イザヤはあなたたち偽善者について預言したとき、正しかった。書かれている通りです。
『この民は口先では私を敬うが、その心は私から遠く離れている。』⁷

マルコの福音書

彼らは無駄に私を礼拝する。
彼らの教えは人間の戒めにすぎない。』

8
あなたたちは神の命令を脇に置き、人間の伝統を守っている。」
そして彼は続けた。「あなたたちは自分の伝統を守るために、巧みに神の命令を拒んでいる！」
モーセは『あなたの父と母を敬え』と言い、『父または母を呪う者は死刑にされなければならない』と言った。
しかし、あなたたちは言う。もし誰かが、自分の父または母を助けるために使われるべきものをコルバン（つまり、神に捧げられたもの）と宣言するならば—
その人が父または母のために何かをすることを、もはや許さない。
このようにして、あなたたちは自分たちが伝えてきた伝統によって神の言葉を無効にしている。そして、あなたたちは多くの類似の行いをしている。」

14
それから、イエスは再び群衆を呼び寄せて言った。「皆、私の言うことを聞いて、理解しなさい。
人を汚すことができるものは、外からその人に入るものではない。むしろ、その人から出てくるものがその人を汚すのです。」¹⁶【耳のある者は聞け。】

17
群衆を離れて家に入った後、弟子たちはそのたとえについて彼に尋ねた。
彼は彼らに言った。「あなたたちも理解が足りないのですか？外から人に入るものは、その人を汚すことができないとわからないのですか？
それは心に入るのではなく、胃に入り、そして排泄されるからです。」（この言葉によって、イエスはすべての食物を清いと宣言した。）
彼は続けて言った。「人から出てくるものが、その人を汚すのです。
人の心の中から、悪い考えが出てくるからです。すなわち、淫行、盗み、殺人、
姦淫、貪欲、悪意、欺き、好色、ねたみ、中傷、傲慢、愚かさ。
これらの有害なものはすべて内から出てきて、人を汚すのです。」

24
イエスはその場所を去り、ティルス地域に行った。彼は家に入り、誰にも知られたくなかったが、隠れることはできなかった。
しかし、汚れた霊に取り憑かれた小さな娘を持つ女

が彼について聞き、彼の足元に来てひれ伏した。
その女は異邦人で、シリア・フェニキアの出身であった。彼女は彼に娘から悪霊を追い出してくれるように頼んだ。
彼は彼女に言った。「まず子供たちに食べさせなさい。子供たちのパンを取って犬に投げるのは良くない。」
しかし、彼女は答えた。「そうです、主よ。しかし、犬もテーブルの下で子供たちのパンくずを食べます。」
それで彼は彼女に言った。「この答えるために、行きなさい。悪霊はあなたの娘から去りました。」
彼女が家に帰ると、娘がベッドに横たわっており、悪霊は去っていた。

31
イエスはティルスの地域を去り、シドンを通してガリラヤ湖に行き、デカポリスの地域に入った。
そこでは、耳が聞こえず、ほとんど話せない男を彼のもとに連れてきて、彼に手を置いてくれるように頼んだ。
イエスは彼を群衆から離して連れ出し、その男の耳に指を入れた。それから唾を吐いて、その男の舌に触れた。
彼は天を見上げ、深くため息をついて彼に言った。「エファタ！」（これは「開け！」という意味です。）
すると、その男の耳は開かれ、舌は解け、彼ははっきりと話し始めた。
イエスは彼らに誰にも言わないように命じた。しかし、彼がそうすればするほど、彼らはますますそのことを広めた。
人々は非常に驚いて言った。「彼はすべてをよく行なった。彼は耳の聞こえない者を聞こえるようにし、口のきけない者を話せるようにする。」

8
その頃、再び大勢の群衆がいて、食べる物がなかったのので、イエスは弟子たちを呼び寄せて言われた。
「私はこの群衆をかわいそうに思います。彼らはもう三日間も私と一緒にいて、食べる物がありません。
もし彼らを空腹のまま家に帰らせると、途中で倒れてしまうでしょう。中には遠くから来た人もいます。」
弟子たちは答えた。「この荒れた場所で、誰が彼らに食べさせるだけのパンを見つけることができるのでしょうか？」
イエスは彼らに尋ねた。「あなたたちはパンをいくつ持っていますか？」彼らは言った。「七つです。」

マルコの福音書

」⁶
イエスは群衆に地面に座るように指示した。そして、七つのパンを取り、感謝をささげて、それを裂き、弟子たちに配るように渡された。弟子たちはそれを群衆に配った。⁷
また、小さな魚が少しあったので、イエスはそれを祝福し、弟子たちに配るように指示された。⁸
人々は食べて満腹し、残ったパンくずを集めると、七つのかごがいっぱいになった。⁹
そこには約四千人がいた。イエスは彼らを解散させた後、¹⁰
弟子たちと共に舟に乗り、ダルマスタの地方へ行かれた。

¹¹
パリサイ人たちが来て、イエスを試そうとして天からのしるしを求め始めた。¹²
イエスは心の中で深くため息をついて言われた。「なぜこの世代はしるしを求めるのか。まことにあなたたちに言いますが、この世代にはしるしは与えられません。」¹³
そして彼らを離れ、再び舟に乗り、向こう岸へ渡られた。

¹⁴
弟子たちはパンを持ってくるのを忘れ、舟には一つのパンしかなかった。¹⁵
イエスは彼らに注意して言われた。「パリサイ人のパン種とヘロデのパン種に気をつけなさい。」¹⁶
彼らは互いに話し合い、「パンがないからだ」と結論づけた。¹⁷
イエスは彼らの話を知って言われた。「なぜパンがないことについて話しているのですか。まだ理解していないのですか。心が鈍くなっているのですか。」¹⁸

目があっても見えず、耳があっても聞こえないのですか。そして、覚えていないのですか。¹⁹
五千人に五つのパンを裂いた時、どれだけのかごいっぱいパンくずを集めましたか？」彼らは言った。「十二です。」²⁰
「四千人に七つのパンを裂いた時、どれだけのかごいっぱいパンくずを集めましたか？」彼らは答えた。²¹
「七つです。」
イエスは彼らに言われた。「まだ理解していないのですか。」

²²
彼らはベツサイダに來た。人々は盲人をイエスのもとに連れてきて、彼に触れてくださるよう願った。²³
イエスは盲人の手を取って村の外に連れ出し、その

目に唾をつけ、手を置いて、「何か見えるか」と尋ねられた。²⁴
彼は見上げて言った。「人が見えます。木のように歩いているのが見えます。」²⁵
イエスは再びその人の目に手を置かれた。すると彼の目が開かれ、視力が回復し、はっきりと見えるようになった。²⁶
イエスは彼を家に帰らせ、「村に入ってはいけません」と言われた。

²⁷
イエスは弟子たちと共にカイサリア・フィリビの周辺の村々に行かれた。道中、彼らに尋ねられた。「人々は私を誰だと言っていますか。」²⁸
彼らは答えた。「バプテスマのヨハネだと言う人もいれば、エリヤだと言う人もいます。また、預言者の一人だと言う人もいます。」²⁹
「では、あなたたちはどうですか。私を誰だと言いますか。」ペテロは答えた。「あなたはキリストです。」³⁰
イエスは彼らに、自分のことを誰にも言わないように警告された。

³¹
それから、イエスは人の子が多くの苦しみを受け、長老たち、祭司長たち、律法学者たちに拒絶され、殺され、三日後に復活することを教え始められた。³²
イエスはこのことをはっきりと話されたので、ペテロはイエスを脇に引き寄せて諫め始めた。³³
しかし、イエスは振り向いて弟子たちを見て、ペテロを叱って言われた。「サタンよ、私の後ろに下がれ！あなたは神のことを思わず、人間のことを思っている。」

³⁴
それから、イエスは群衆を弟子たちと共に呼び寄せて言われた。「誰でも私の弟子になりたいなら、自分を捨て、自分の十字架を背負い、私に従いなさい」³⁵
自分の命を救おうとする者はそれを失い、私と福音のために命を失う者はそれを救うでしょう。³⁶
人が全世界を得ても、自分の魂を失ったら、何の利益があるのでしょうか。³⁷
また、誰が自分の魂と引き換えに何を差し出すことができるのでしょうか。³⁸
この不信仰で罪深い世代の中で、私と私の言葉を恥じる者がいれば、人の子も父の栄光の中で聖なる御使いたちと共に来る時に、その者を恥じるでしょう。」

マルコの福音書

9 イエスは彼らに言われた、「まことにあなたがたに言います。ここに立っている人々の中には、神の国が力をもって到来するのを見るまで、死を経験しない者がいるのです。」

2
六日後、イエスはペテロ、ヤコブ、ヨハネを連れて高い山に登られた。そこで彼らの前で姿が変わった。

3
その衣は輝き、非常に白くなり、地上のどんな漂白剤もそれほど白くすることはできないほどであった。

4
エリヤとモーセが彼らの前に現れ、イエスと語り合っていた。

5
ペテロはイエスに言った、「ラビ、私たちがここにいるのは良いことです。三つの小屋を建てましょう。あなたのために一つ、モーセのために一つ、エリヤのために一つ。」

6
ペテロは何を言うべきかわからなかった。彼らは恐れていたからである。

7
雲が現れ、彼らを覆い、雲の中から声がした、「これは私の愛する子である。彼の言うことを聞け。」

8
突然、彼らが周りを見回すと、もはや誰も見えず、ただイエスだけが彼らと共にいた。

9
彼らが山を下りるとき、イエスは彼らに、人の子が死者の中からよみがえるまでは、見たことを誰にも話してはならないと命じられた。

10
彼らはこのことを心に留め、「死者の中からよみがえる」とはどういう意味かを話していた。

11
彼らはイエスに尋ねた、「なぜ律法学者たちは、まずエリヤが来なければならないと言うのですか？」

12
イエスは答えられた、「確かにエリヤはまず来て、すべてを回復します。しかし、人の子が多くの苦しみを受け、拒まれると書かれているのはなぜですか？」

13
しかし、私はあなたがたに言います。エリヤはすでに来たのです。そして、彼について書かれているように、彼らは彼に対して好きなことをしました。」

14
彼らが他の弟子たちのところに戻ると、大勢の群衆が彼らを取り囲み、律法学者たちが彼らと議論していた。

15
群衆がイエスを見ると、驚きに満たされ、彼を迎えに走った。

16
イエスは彼らに尋ねられた、「あなたがたは彼らと何を議論しているのですか？」

群衆の一人が答えた、「先生、私は霊に取り憑かれて口がきけない息子をあなたのところに連れてきました。」

18
それが彼を捕らえるときはいつでも、彼を地面に投げ倒します。彼は口から泡を吹き、歯をきしませ、硬直します。私はあなたの弟子たちにその霊を追い出してもらうように頼みましたが、できませんでした。」

19
イエスは答えられた、「ああ、不信仰な世代よ、いつまで私はあなたがたと共にいなければならないのですか？いつまであなたがたを耐え忍ばなければならないのですか？その子を私のところに連れてきなさい。」

20
彼らはその子をイエスのところに連れてきた。霊がイエスを見ると、すぐにその子を激しく引きつけさせた。彼は地面に倒れ、転がりながら口から泡を吹いた。

21
イエスはその子の父親に尋ねられた、「彼はどのくらい前からこうなのですか？」彼は答えた、「幼い頃からです。」

22
それはしばしば彼を火や水に投げ入れて彼を滅ぼそうとしました。しかし、何かできることがあれば、私たちを憐れんで助けてください。」

23
イエスは彼に言われた、「『できるなら』？信じる者にはすべてが可能です。」

24
すぐに、その子の父親は叫んだ、「私は信じます。私の不信仰を助けてください！」

25
イエスは群衆が急速に集まってくるのを見て、汚れた霊を叱責し、「口がきけず耳が聞こえない霊よ、私はあなたに命じます。彼から出て行き、二度と彼に入るな」と言われた。

26
霊は叫び声を上げ、激しく彼を引きつけて出て行った。その子は死体のように見えたので、多くの人が「彼は死んでいる」と言った。

27
しかし、イエスは彼の手を取って起こされると、彼は立ち上がった。

28
イエスが家に入られた後、弟子たちは密かに彼に尋ねた、「なぜ私たちはそれを追い出せなかったのですか？」

29
イエスは答えられた、「この種類のものは祈りによらなければ出て行かない。」

30
彼らはそこを去り、ガリラヤを通過したが、イエスは誰にも知られなくなかった。

31
彼は弟子たちに教えておられた、「人の子は人々の手に渡される。そして彼らは彼を殺すが、三日後に彼はよみがえる。」

32
しかし、彼らはこの言葉を理解せず、彼に尋ねることを恐れていた。

マルコの福音書

33

彼らはカペナウムに到着した。家の中に入られるとき、イエスは彼らに尋ねられた、「道中で何を議論していたのですか？」

34

しかし、彼らは黙っていた。道中で誰が一番偉いかについて議論していたからである。

35

イエスは座って、十二人を呼び寄せて言われた、「誰でも一番になりたいと思うなら、すべての人の最後になり、すべての人のしもべにならなければなりません。」

36

そして、子供を一人連れてきて彼らの中に立たせ、腕に抱いて彼らに言われた、

37

「私の名のためにこのような小さな子供を受け入れる者は、私を受け入れるのです。そして、私を受け入れる者は、私を受け入れるのではなく、私を遣わした方を受け入れるのです。」

38

ヨハネが言った、「先生、あなたの名によって悪霊を追い出している人を見ましたが、彼は私たちの仲間ではなかったので、やめさせようと思いました。」

39

しかし、イエスは言われた、「やめさせてはいけません。私の名によって奇跡を行う者は、すぐに私を悪く言うことはできません。」

40

私たちに反対しない者は、私たちの味方です。まことにあなたがたに言います。キリストに属しているという理由で、あなたがたに水の一杯を与える者は、決してその報いを失うことはありません。」

42

「私を信じるこれらの小さな者の一人をつまずかせる者がいるなら、その者には大きな石臼が首にかけられて海に投げ込まれる方が良いのです。」

43

もしあなたの手がつまずかせるなら、それを切り落とさない。二つの手を持って地獄に行くよりも、片手で命に入る方が良いのです。そこでは火が消えることはありません。」

44

【そこでは彼らの虫は死なず、火は消されない。】

45

もしあなたの足がつまずかせるなら、それを切り落とさない。二つの足を持って地獄に投げ込まれるよりも、片足で命に入る方が良いのです。」

46 【そこでは彼らの虫は死なず、火は消されない。】

47

もしあなたの目があなたをつまずかせるなら、それをえぐり出さない。二つの目を持って地獄に投げ込まれるよりも、片目で神の国に入る方が良いのです。48 そこでは

彼らの虫は死なず、火は決して消されない。

49 すべての人は火で精練されるのです。50

塩は良いものです。しかし、もし塩がその塩気を失ったら、どうやって再び塩気を取り戻せるでしょうか？あなたがたの間に塩を持ち、互いに平和を保ちなさい。」

10 イエスはそこを去り、ユダヤ地方とヨルダンの向こう側に旅をされた。群衆が再びイエスの周りに集まり、いつものように彼ら

に教え始められた。

2

あるパリサイ人たちが近づいてきて、イエスを試すために、男が妻を離婚することが律法にかなっているかどうかを尋ねた。

3

イエスは答えて言われた、「モーセはあなたたちに何と命じたか？」

4

彼らは言った、「モーセは離婚証書を書いて彼女を去らせることを許しました。」

5

イエスは彼らに言われた、「あなたたちの心のかたくなさのために、彼はこの戒めを書いたのです。」

6

しかし、創造の初めから、神は彼らを男と女に創造されました。

7

このために、男は父と母を離れ、妻と結ばれ、

8

二人は一体となるのです。それで、彼らはもはや二人ではなく、一体です。

9

したがって、神が結び合わせたものを、人は分けてはなりません。」

10

彼らが家に戻ったとき、弟子たちはこのことについてイエスに尋ねた。

11

イエスは彼らに言われた、「誰でも妻を離婚して他の女と結婚する者は、妻に対して姦淫を犯すのです。」

12

また、女が夫を離婚して他の男と結婚するなら、彼女は姦淫を犯したと見なされます。」

13

人々はイエスに触れてもらうために小さな子供たちを連れてきたが、弟子たちは彼らを叱った。

14

イエスはこれを見て憤り、彼らに言われた、「子供たちを私のところに来させなさい。妨げてはなりません。神の国はこのような者たちのものです。」

15

まことに、子供の心で神の国を受け入れない者は、決してそこに入ることはできません。」

16

そして、イエスは子供たちを抱き、手を置いて祝福された。

17

イエスが旅に出かけられると、一人の男が駆け寄り、ひざまずいて尋ねた、「良い先生、永遠の命を得るためには何をすべきでしょうか？」

18

マルコの福音書

イエスは答えられた、「なぜ私を良いと言うのですか？神以外に良い者はいません。」¹⁹

あなたは戒めを知っています、『殺してはならない、姦淫してはならない、盗んではならない、偽証してはならない、欺いてはならない、父と母を敬え。』」²⁰

彼は言った、「先生、私はこれらを若い時から守ってきました。」²¹

イエスは彼を見て愛し、言われた、「あなたに欠けているものが一つあります。行って、持っているものをすべて売り払い、貧しい人々に与えなさい。そうすれば、天に宝を持つことになります。それから、私に従いなさい。」²²

これを聞いて、その男の顔は曇り、悲しみながら去って行った。彼は多くの財産を持っていたからである。

²³ イエスは周りを見回し、弟子たちに言われた、「富を持つ者が神の国に入るのは、いかに難しいことでしょう！」²⁴

弟子たちはその言葉に驚いた。しかし、イエスは再び言われた、「子供たちよ、神の国に入るのは、いかに困難なことでしょう！」²⁵

ラクダが針の穴を通る方が、富んだ者が神の国に入るよりも容易です。」²⁶

彼らはますます驚き、互いに言った、「それでは、誰が救われることができるのでしょうか？」²⁷

イエスは彼らを見て言われた、「人には不可能なことも、神には不可能ではありません。神には、すべてのことが可能です。」

²⁸ ペテロはイエスに言い始めた、「私たちはすべてを捨ててあなたに従いました！」²⁹

イエスは答えられた、「まことに、私のため、また福音のために家や兄弟や姉妹や母や父や子供や畑を捨てた者は、³⁰

今の時代において百倍を受け取らない者はありません。家、兄弟、姉妹、母、子供、畑、そして迫害と共に、来るべき時代には永遠の命を受けます。³¹ しかし、多くの先の者が後になり、後の者が先になるでしょう。」

³² 彼らはエルサレムに向かって道を進んでいた。イエスが先頭に立ち、弟子たちは驚き、従う者たちは恐れていた。再びイエスは十二人を脇に呼び、彼に起こることを話し始められた。³³

「私たちはエルサレムに上って行きます」と言われた。「人の子は祭司長たちと律法学者たちに引き渡

されます。彼らは彼を死刑に定め、異邦人に引き渡します。」³⁴

彼らは彼をあざけり、唾をかけ、むち打ち、殺します。しかし、三日後に彼はよみがえります。」

³⁵ そのとき、ゼベダイの子ヤコブとヨハネがイエスのもとに来て言った、「先生、私たちがお願いすることを何でもしていただきたいのです。」³⁶

「何をしてほしいのですか？」とイエスは尋ねられた。

彼らは答えた、「あなたの栄光の中で、一人をあなたの右に、もう一人を左に座らせてください。」³⁸

イエスは彼らに言われた、「あなたたちは自分が何を求めているのか分かっていません。私が飲む杯を飲むことができますか、私が受ける洗礼を受けることができますか？」³⁹

「できます」と彼らは答えた。イエスは彼らに言われた、「あなたたちは確かに私が飲む杯を飲み、私が受ける洗礼を受けるでしょう。」⁴⁰

しかし、私の右や左に座ることは、私が与えるものではありません。それは、備えられた者たちのためのものです。」

⁴¹ 十人の者がこれを聞いて、ヤコブとヨハネに腹を立てた。⁴²

イエスは彼らを呼び寄せて言われた、「あなたたちは、異邦人の支配者とされている者たちが彼らを支配し、偉い者たちが彼らに権威を振るうことを知っています。」⁴³

しかし、あなたたちの間ではそうではありません。むしろ、偉くなりたいと思う者は、あなたたちのしもべにならなさい。」⁴⁴

そして、先になりたいと思う者は、すべての者の奴隷にならなさい。」⁴⁵

人の子も、仕えられるためではなく、仕えるために、また多くの人のために命をあがないとして与えるために来たのです。」

⁴⁶ それから彼らはエリコに来た。イエスと弟子たちが大勢の群衆と共に町を出るとき、ティマイの子である盲人バルティマイが道端に座って物乞いをしていた。⁴⁷

ナザレのイエスだと聞くと、彼は叫び始めた、「ダビデの子イエスよ、私を憐れんでください！」⁴⁸ 多くの人が彼を叱って黙らせようとしたが、彼はますます叫んだ、「ダビデの子よ、私を憐れんでください！」⁴⁹

イエスは立ち止まり、「彼を呼びなさい」と言われ

マルコの福音書

た。それで彼らは盲人を呼び、「勇気を出しなさい、立ちなさい！彼があなたを呼んでいます」と言った。⁵⁰

彼は上着を脱ぎ捨て、跳び上がってイエスのもとに來た。⁵¹

「何をしてほしいのですか？」とイエスは彼に尋ねられた。盲人は言った、「先生、見えるようになりたいのです。」⁵²

イエスは彼に言われた、「行きなさい、あなたの信仰があなたを癒しました。」するとすぐに彼は見えるようになり、道を進みながらイエスに従った。

11 彼らがエルサレムに近づいたとき、オリブ山の近くのベテバゲとベタニアで、イエスは二人の弟子を送り出し、²

彼らに言われた。「向こうの村に行きなさい。入るとすぐに、まだ誰も乗ったことのない子馬がつかがれているのを見つかるでしょう。それを解いて、ここに連れて来なさい。」³

もし誰かが『なぜそんなことをするのか』と尋ねたら、『主がお入り用なのです。すぐにお返しします』と言いなさい。」⁴

彼らは行って、通りの外の戸口に子馬がつかがれているのを見つけ、それを解いた。⁵

そこに立っていた人々が彼らに言った。「なぜ子馬を解くのですか？」⁶

彼らはイエスが言われた通りに答えたので、人々は彼らを許した。⁷

彼らは子馬をイエスのところに連れて行き、自分たちの上着をその上に置いた。イエスはそれに乗られた。⁸

多くの人々が自分たちの上着を道に敷き、他の人々は畑から切った葉の枝を敷いた。⁹

先に行く者たちも、後に続く者たちも叫んだ。

「ホサナ！

主の名によって来られる方に祝福あれ！」¹⁰

「来たるべきダビデの王国に祝福あれ！

いと高きところでホサナ！」

¹¹

イエスはエルサレムに入り、神殿の境内に行かれた。そして、すべてを見回した後、すでに遅かったので、十二弟子と共にベタニアに出かけられた。

¹²

翌日、彼らがベタニアを出発するとき、イエスは空腹を感じられた。¹³

遠くに葉の茂ったいちじくの木を見て、何か実があるかどうか見に行かれた。しかし、そこに着くと、葉しか見つからなかった。いちじくの季節ではなか

ったからである。

¹⁴

イエスはその木に言われた。「今後、誰もあなたから実を食べることがないように。」弟子たちはこれを聞いていた。

¹⁵

彼らがエルサレムに着くと、イエスは神殿の境内に入り、売り買いしている人々を追いつ出し始められた。両替商の台や鳩を売る者たちの腰掛けをひっくり返された。¹⁶

また、誰も神殿の境内を物を運んで通ることを許されなかった。¹⁷

そして、教えられた。「『わたしの家は、すべての国の人々の祈りの家と呼ばれる』と書いてあるではないか。しかし、あなたたちはそれを強盗の巣にしてしまった。」¹⁸

祭司長たちや律法学者たちはこれを聞き、イエスをどのようにして殺そうかと考え始めた。彼らはイエスを恐れていた。群衆がみな、イエスの教えに驚いていたからである。¹⁹

夕方になると、彼らは町を出て行った。

²⁰

朝、彼らが通りかかると、いちじくの木が根元から枯れているのを見た。²¹

ペテロは思い出して、イエスに言った。「先生、ご覧ください。あなたが呪われたあのいちじくの木が枯れています！」²²

イエスは答えられた。「神を信じなさい。」²³

「まことにあなたがたに言います。誰でもこの山に向かつて、『動いて海に入れ』と言い、その心に疑わず、自分の言ったことが成ると信じるなら、その通りになります。」²⁴

だから、あなたがたに言います。祈り求めるものは何でも、すでに受けたと信じなさい。そうすれば、それはあなたがたのものとなります。²⁵

また、立って祈るとき、誰かに対して何か恨みを持っているなら、許してあげなさい。そうすれば、天におられるあなたがたの父も、あなたがたの罪を許してくださいます。」²⁶

【しかし、もしあなたがたが許さないなら、天におられるあなたがたの父も、あなたがたの罪を許されません。】

²⁷

彼らは再びエルサレムに來た。イエスが神殿の境内を歩いておられると、祭司長たち、律法学者たち、長老たちが近づいてきて、²⁸

言った。「何の權威でこれらのことをしているのですか？誰があなたにこの權威を与えたのですか？」²⁹

マルコの福音書

イエスは答えられた。「私は一つの質問をあなたがたにします。それに答えなさい。そうすれば、私が何の権威でこれらのことをしているのかを教えましょう。」³⁰

ヨハネのバプテスマは天からのものですか、それとも人からのものですか？答えなさい。」³¹

彼らは互いに相談して言った。「もし『天からのもの』と言えば、『ではなぜ彼を信じなかったのか』と言うだろう。」³²

しかし、『人からのもの』と言えば...彼らは群衆を恐れていた。皆がヨハネを本当に預言者だと信じていたからである。³³

それで彼らはイエスに答えた。「わかりません。」イエスは言われた。「私も、何の権威でこれらのことをしているのかをあなたがたに言いません。」

12 イエスは彼らにたとえて話し始めた。「ある人がぶどう園を作った。彼はその周りに垣を巡らし、酒ぶねを掘り、やぐらを建てた。それからそれを農夫たちに貸して旅に出た。」²

収穫の時期が来たとき、彼は農夫たちからぶどう園の果実を集めるために一人のしもべを送った。³

しかし彼らはそのしもべを捕らえ、打ち叩き、何も持たせずに送り返した。⁴

次に彼は別のしもべを送ったが、彼らはそのしもべの頭を打ち、恥ずかしめた。⁵

彼はさらに別のしもべを送ったが、そのしもべは殺された。彼は多くのしもべを送ったが、ある者は打たれ、ある者は殺された。⁶

彼にはまだ一人、愛する息子が残っていた。彼は最後にその息子を送り、「彼らは私の息子を敬うだろう」と言った。⁷

しかし農夫たちは互いに言った、『これは後継者だ。さあ、彼を殺して、相続財産を我々のものにしよう。』⁸

それで彼らは彼を捕らえ、殺し、ぶどう園の外に投げ出した。⁹

それでは、ぶどう園の主人はどうするだろうか？彼は来て、農夫たちを殺し、ぶどう園を他の人々に与えよう。¹⁰

あなたたちはこの聖書の箇所を読んだことがないのか？『建築者たちが捨てた石が礎の石となった。これは主がなさったことで、我々の目には素晴らしいことだ』¹²

それから、祭司長たち、律法学者たち、長老たちは彼を捕らえる方法を探した。彼らは彼が自分たちに対してこのたとえを話したことを知っていたからである。しかし彼らは群衆を恐れ、彼を残して去った。

13

その後、彼らはパリサイ人とヘロデ党の者たちをイエスのもとに送り、彼の言葉を罣にかけようとした。¹⁴

彼らは来て彼に言った、「先生、私たちはあなたが誠実な方であり、他の人々に影響されないことを知っています。あなたは偏見を持たず、真理に従って神の道を教えています。カエサルに税金を払うことは正しいですか、そうではありませんか？」¹⁵

払うべきですか、それとも払うべきではありませんか？」しかしイエスは彼らの偽善を知って言った、「なぜ私を試そうとしているのですか？」

デナリを持ってきて見せなさい。」¹⁶

彼らはコインを持ってきた。彼は彼らに尋ねた、「これは誰の肖像ですか？」

そして誰の銘ですか？」彼らは答えた、「カエサルのです。」¹⁷

それからイエスは彼らに言った、「カエサルのものはカエサルに、神のものは神に返しなさい。」彼らは彼に驚嘆した。

18

その後、復活がないと言うサドカイ人たちが彼のもてに来て、質問をした。¹⁹

彼らは言った、「先生、モーセは私たちに書きました。もしある人の兄弟が死んで妻を残し、子供を残さない場合、その人は未亡人と結婚し、兄弟のために子孫を立てるべきです。」²⁰

七人の兄弟がいました。最初の者が結婚し、子供を残さずに死にました。²¹

次の者が未亡人と結婚しましたが、彼もまた子供を残さずに死にました。同じことが三番目の者にも起こりました。²²

実際、七人のうち誰も子供を残しませんでした。最後に、その女性も死にました。²³

復活の時に、彼女は誰の妻になるのでしょうか？

七人全員が彼女と結婚していたのです。」²⁴

イエスは答えた、「あなたたちは聖書も神の力も知らないために間違っているのではありませんか？²⁵ 死人が復活するとき、彼らは結婚もせず、嫁がされることもありません。彼らは天の御使いのようになります。」²⁶

さて、死人の復活についてですが、モーセの書、燃える茂みの箇所、神が彼に『わたしはアブラハムの神、イサクの神、ヤコブの神である』と言われたことを読んだことがないのですか？²⁷

彼は死んだ者の神ではなく、生きている者の神です。あなたたちは確かに間違っています！」

マルコの福音書

28

律法学者の一人が来て、彼らが議論しているのを見て、彼は彼に尋ねた、「すべての戒めの中で、どれが最も重要ですか？」²⁹

イエスは答えた、「最も重要なのはこれです。『イスラエルよ、聞け。われわれの神である主は唯一の主である。』³⁰

あなたの心を尽くし、魂を尽くし、思いを尽くし、力を尽くして、あなたの神である主を愛しなさい。』³¹

第二はこれです。『あなたの隣人をあなた自身のように愛しなさい。』これらより重要な戒めは他にありません。」³²

その人は言った、「先生、よく言われました。神が唯一であり、彼の他に神がないと言われたことは本当にその通りです。」³³

心を尽くし、理解を尽くし、力を尽くして彼を愛すること、そして隣人を自分自身のように愛することは、すべての焼き尽くす捧げ物や犠牲よりも重要です。」³⁴

イエスは彼が賢く答えたのを見て、彼に言った、「あなたは神の国から遠くない。」それから誰も彼に質問する勇気がなかった。

35

イエスが宮で教えているとき、彼は言った、「なぜ律法学者たちはメシアがダビデの子であると言うのですか？³⁶ ダビデは聖霊によって言いました。

『主は私の主に言われた。

「私の右に座っていないさい。 私があなたの敵をあなたの足の下に置くまで。」』

37

ダビデ自身が彼を『主』と呼んでいるのに、どうして彼がその子であることができるのでしょうか？」大勢の群衆は彼を喜んで聞いていた。³⁸

彼が教えているとき、イエスは言った、「律法学者たちに気をつけなさい。彼らは長い衣を着て歩き回るのが好きで、市場で敬意を持って挨拶されるのが好きです。」³⁹

また、会堂の最上席や宴会の上座を好みます。⁴⁰ 彼らは未亡人の家を食い尽くし、見せかけのために長い祈りをします。このような者たちはもっと厳しく罰せられるでしょう。」⁴¹

イエスは献金箱の向かいに座り、群衆がどのようにして宮の宝物庫にお金を入れるかを見ておられた。多くの裕福な人々が多額を投げ入れていた。⁴² しかし、ある貧しい未亡人が来て、ほんの数ペンスの価値しかない非常に小さな銅貨を二枚入れた。⁴³

イエスは弟子たちを呼び寄せて言われた、「まことに、あなたたちに言います。この貧しい未亡人は他のすべての人よりも多くを宝物庫に入れました。⁴⁴ 彼らは皆、豊かさの中から与えましたが、彼女は貧しさの中から、持っているすべて、生活費をすべて入れました。」

13

イエスが神殿から出て行かれるとき、弟子の一人がイエスに言った。「先生、ご覧ください。なんと素晴らしい石、なんと立派な建物でしょう！」²

イエスは答えられた。「これらの立派な建物を見ているのですか。一つの石も他の石の上に残らず、すべて崩されるでしょう。」³

3

イエスが神殿に向かい合ったオリーブ山に座っておられると、ペテロ、ヤコブ、ヨハネ、アンデレがひそかに尋ねた。⁴

「私たちに教えてください。これらのことはいつ起こるのですか。そして、すべてのことが成就しようとしているときのしるしは何ですか？」⁵

イエスは彼らに言い始められた。「誰にも惑わされないように気をつけなさい。」⁶

多くの者が私の名によって来て、『私がそれだ』と言い、多くの人を惑わすでしょう。」⁷

戦争や戦争の噂を聞くとき、驚いてはいけません。それらは必ず起こりますが、終わりではありません。」⁸

。国は国に、王国は王国に敵対して立ち上がるでしょう。さまざまな場所で地震があり、飢饉があるでしょう。これらは産みの苦しみの始まりに過ぎません。」⁹

9

「気をつけてください。あなたがたは地方議会に引き渡され、会堂で鞭打たれるでしょう。私のために総督や王の前に立たされ、彼らへの証となるでしょう。」¹⁰

そして、福音はまずすべての国に伝えられなければなりません。」¹¹

彼らがあなたを捕らえて引き渡すとき、前もって何を話すか心配しないでください。そのときに与えられることを話さない。話すのはあなたではなく、聖霊です。」¹²

兄弟は兄弟を死に渡し、父は子をそうするでしょう。子供たちは親に逆らって立ち上がり、彼らを死に至らせるでしょう。」¹³

あなたがたは私の名のためにすべての人に憎まれるでしょう。しかし、最後まで耐え忍ぶ者は救われるでしょう。」

マルコの福音書

14

「『荒らす憎むべき者』が立つべきでない所に立っているのを見たら（読者は理解せよ）、そのとき、ユダヤにいる者は山に逃げなさい。」

15
屋上にいる者は降りて、家から何かを取り出そうとしてはいけません。

16
畑にいる者は、上着を取りに戻ってはいけません。

17
その日には、妊娠している女と乳飲み子を抱えている女はなんと惨めでしょう。

18
それが冬にならないように祈りなさい。

19
その日々は、神が創造された創造の始めから今に至るまで、またこれからもないほどの苦難の日々だからです。

20
主がその日々を短くされなかったなら、誰も救われないでしょう。しかし、選ばれた者たちのために、主はその日々を短くされました。

21

そのとき、誰かがあなたに『見よ、ここにキリストがいる』または『見よ、そこにいる』と言っても信じてはいけません。

22
偽キリストや偽預言者が現れ、できれば選ばれた者たちをも惑わそうとして、しるしや不思議を行うでしょう。

23
だから、気をつけてください。私はすべてのことを前もってあなたがたに告げました。

24 「しかし、その苦難の日々の後、

太陽は暗くなり、
月はその光を放たなくなるでしょう。
星は空から落ち、
天の力は揺り動かされるでしょう。

26

そのとき、人々は人の子が大いなる力と栄光をもって雲に乗って来るのを見るでしょう。

27
そして、彼は天使たちを送り、地の果てから天の果てまで、四方から選ばれた者たちを集めるでしょう。

。

28

「いちじくの木からこのたとえを学びなさい。その枝が柔らかくなり、葉が出始めると、夏が近いことを知るでしょう。

29
同じように、これらのことが起こるのを見たら、それが近い、戸口にあることを知りなさい。

30
まことに、あなたがたに言います。この世代が過ぎ去ることはありません、これらのことがすべて起こるまでは。

天と地は過ぎ去りますが、私の言葉は決して過ぎ去ることはありません。

32

しかし、その日、その時については、誰も知りません。天の御使いたちも、子も知らず、ただ父だけが知っています。

33
気をつけて、目を覚ましていなさい。その時がいつ来るか、あなたがたは知らないからです。

34
それは、家を出て、しもべたちそれぞれの仕事を任せ、門番に目を覚ましているように命じた人のようです。

35
だから、目を覚ましていなさい。家の主人がいつ帰ってくるか、夕方か、真夜中か、鶏が鳴くときか、朝か、あなたがたは知らないからです。

36
彼が突然来るとき、あなたがたが眠っているのを見つけられないようにしなさい。

37
私があなたがたに言うことは、すべての人に言います。『目を覚ましていなさい！』」

14 さて、過越祭と種なしパンの祭りが近づいていた。祭司長たちと律法学者たちは、なんとかしてイエスを捕らえて殺そうと策略を巡らせていた。

2
「祭りの間はだめだ。さもないと民衆が騒ぎ出すかもしれない。」と言っていた。

3

イエスがベタニアで、ツァラアトに冒されたシモンの家で食卓についておられたとき、一人の女が純粋で非常に高価なナルドの香油を入れた石膏の壺を持って来て、その壺を壊し、香油をイエスの頭に注いだ。

4
そこにいた何人かは憤慨して互いに言った。「なぜこの香油を無駄にしたのか。」

5
この香油は三百デナリ以上で売って、貧しい人々に施すことができたのに。」そして彼女を厳しく責めた。

6
しかしイエスは言われた。「彼女をそのままにしておきなさい。なぜ彼女を困らせるのか。彼女は私に良いことをしてくれたのだ。」

7
貧しい人々はいつもあなたがたと共にいるが、私はいつもいるわけではない。

8
彼女はできることをした。私の体に香油を注いで、埋葬の準備をしてくれたのだ。

9
まことに、あなたがたに言います。福音が世界中で宣べ伝えられるところでは、彼女のしたことも彼女の記念として語られるでしょう。」

10

その後、十二弟子の一人であるイスカリオテのユダ

マルコの福音書

が、イエスを引き渡すために祭司長たちのところに行った。¹¹

彼らはこれを聞いて喜び、彼に銀貨を与えることを約束した。それで彼はイエスを引き渡す機会を探し始めた。

12

種なしパンの祭りの初日、過越の子羊をほふる日、イエスの弟子たちは彼に言った。「どこへ行って、あなたのために過越の食事の準備をしたらよいでしょうか。」¹³

そこで彼は弟子のうちの二人を送り出し、彼らに言われた。「町に行きなさい。水を運んでいる男に会えうしろから、彼について行きなさい。」¹⁴

彼が入る家の主人に言いなさい。『先生が言われます。私が弟子たちと共に過越の食事をする客間はどこですか。』¹⁵

彼は広い二階の部屋を見せてくれるでしょう。そこは整えられているから、そこで準備をしなさい。」¹⁶

弟子たちは出かけて町に行き、イエスが言われたとおりに見つけた。それで過越の食事を準備した。

17 夕方になり、イエスは十二弟子と共に来られた。

18

彼らが食卓について食事をしているとき、イエスは言われた。「まことに、あなたがたに言います。あなたがたのうちの一人が、私を裏切るでしょう。私と一緒に食事をしている者です。」¹⁹

彼らは悲しみ、一人一人がイエスに言い始めた。「まさか、私ではないでしょうか。」²⁰

イエスは答えられた。「それは十二弟子の一人で、私と一緒に鉢に手を入れる者です。」²¹

人の子は、自分について書かれているとおりに去って行きます。しかし、人の子を裏切るその人には災いがあります。その人は生まれてこなかった方がよかったのです。」

22

彼らが食事をしているとき、イエスはパンを取り、感謝をささげてからそれを裂き、弟子たちに与えて言われた。「取って食べなさい。これは私の体を象徴しています。」²³

それから杯を取り、感謝をささげてから彼らに与え、皆その杯から飲んだ。²⁴

「これは多くの人のために流される契約の血を象徴しています。」と彼らに言われた。²⁵

「まことに、あなたがたに言います。私は神の国で新しく飲むその日まで、ぶどうの実から取ったものを再び飲むことはありません。」²⁶

彼らは賛美歌を歌った後、オリーブ山へと向かった。

27

イエスは彼らに言われた。「あなたがたは皆、つまずくでしょう。なぜなら、次のように書かれているからです。

『私は羊飼いを打つ、そして羊は散らされる。』

28

しかし、私が復活した後、あなたがたより先にガラヤに行きます。」²⁹

ペテロは言った。「たとえ皆がつまずいても、私はつまずきません。」³⁰

イエスは言われた。「まことに、あなたに言います。今日、いや今夜、鶏が二度鳴く前に、あなたは三度私を否むでしょう。」³¹

しかしペテロは力強く言い張った。「たとえあなたと一緒に死ななければならないとしても、決してあなたを否むことはありません。」そして他の皆も同じように言った。

32

彼らはゲツセマネという場所に来た。イエスは弟子たちに言われた。「私が祈る間、ここに座っていないさい。」³³

彼はペテロ、ヤコブ、ヨハネを連れて行き、深く悲しみ、悩み始めた。³⁴

「私の魂は死ぬほど悲しい。」と彼らに言われた。「ここにいて、目を覚ましていなさい。」³⁵

少し進んで行き、地にひれ伏して祈った。できることなら、その時が自分から過ぎ去るようにと。³⁶

「アッパ、父よ、あなたにはすべてのことが可能です。この杯を私から取り去ってください。しかし、私の望むのではなく、あなたの望むことが行われますように。」³⁷

それから彼は弟子たちのところに戻り、彼らが眠っているのを見つけた。「シモン、」とペテロに言われた。「眠っているのですか。一時間も目を覚ましていられなかったのですか。」³⁸

誘惑に陥らないように、目を覚まして祈りなさい。心は熱していても、肉体は弱いのです。」³⁹

再び彼は去って、同じ言葉で祈った。⁴⁰

戻って来ると、再び彼らが眠っているのを見つけた。彼らの目は重く、彼らは何も言えなかった。⁴¹

三度目に戻って来て、彼らに言われた。「まだ眠って休んでいるのですか。もう十分です。時が来ました。見なさい、人の子は罪人たちの手に引き渡されます。」⁴²

マルコの福音書

立ち上がりなさい。行きましょう。見なさい、私を裏切る者が来ます。」

43

彼が話していると、十二弟子の一人であるユダが現れた。彼と共に、剣や棒を持った群衆が、祭司長たち、律法学者たち、長老たちによって送られて来た

。 44

裏切る者は彼らと合図を決めていた。「私がキスするのがその人だ。彼を捕まえて、しっかりと連れて行け。」 45

彼はすぐにイエスに近づき、「ラビ！」と言ってキスをした。 46 人々はイエスを捕らえて拘束した。

47

そのとき、そばに立っていた一人が剣を抜き、大祭司のしもべの耳を切り落とした。 48

イエスは言われた。「私が反乱を起こしているとでも言うのか。剣や棒を持って私を捕まえに来るとは

。 49

私は毎日あなたがたと共に神殿の境内で教えていたのに、あなたがたは私を捕まえなかった。それでも聖書が成就しなければなりません。」 50

その瞬間、彼のすべての弟子たちは彼を見捨てて逃げた。

51

ある若者が、亜麻布の衣だけをまとってイエスに従っていた。彼らが彼を捕まえようとする、 52 彼は亜麻布を捨てて裸で逃げた。

53

彼らはイエスを大祭司のところに連れて行った。祭司長たち、長老たち、律法学者たちが皆集まっていた。 54

ペテロは遠くからイエスに従い、大祭司の中庭まで入って行った。そこでは、彼は下役たちと共に座り、火にあたっていた。

55

祭司長たちと全サンヘドリンは、イエスを死刑にするための証拠を求めていたが、何も見つからなかった。 56

多くの者が彼に対して偽証をしたが、その証言は一致しなかった。 57

すると、ある者たちが立ち上がり、彼に対してこの偽証をした。 58

「私たちは彼が、『私は人の手で作られたこの神殿を壊し、三日で人の手で作られない別の神殿を建てる』と言うのを聞きました。」 59

しかし、その時でさえ彼らの証言は一致しなかった。 60

すると大祭司が立ち上がり、イエスに尋ねた。「あなたは何も答えないのですか。この人たちがあなたに対して証言していることについて、どう思いますか。」 61

しかしイエスは黙って何も答えなかった。再び大祭司は彼に尋ねた。「あなたは祝福された方の子、メシアですか。」 62

イエスは言われた。「私はそれです。そして、あなたがたは人の子が力ある方の右に座し、天の雲に乗って来るのを見るでしょう。」 63

これを聞いて、大祭司は自分の衣を裂き、「もう証人は必要ありません。」と言った。 64

「あなたがたは冒瀆を聞きました。どう思いますか。」 65

彼らは皆、彼を死刑に値すると断罪した。すると、彼らの中の何人かが彼に唾を吐きかけ、彼の目を覆い、拳で彼を打ち、「預言しろ！」と言った。そして下役たちは彼を捕まえて打った。

66

ペテロが下の中庭にいますと、大祭司のしもべの一人の女中が来た。 67

彼女がペテロが火にあたっているのを見て、彼をじっと見つめ、「あなたもあのナザレ人イエスと一緒にいましたね。」と言った。 68

しかし彼は否定して、「私はあなたが何を言っているのか知らないし、理解できません。」と言い、入口の方へ出て行った。 69

女中が彼を見て、そこに立っている人々に再び言った。「この人も彼らの仲間です。」 70

再びペテロは否定した。しばらくして、そこに立っている人々がペテロに言った。「確かにあなたも彼らの一人です。あなたはガリラヤ人ですから。」 71

彼は呪いをかけ始め、「私はあなたがたが話しているその人を知らない。」と誓った。 72

すぐに鶏が二度目に鳴いた。するとペテロは、イエスが彼に言われた言葉を思い出した。「鶏が二度鳴く前に、あなたは三度私を否むでしょう。」そして彼は泣き崩れた。

15 朝早く、祭司長たちは、長老たち、律法学者たち、そして全議会と共に相談を開いた。彼らはイエスを縛り、連れ出してピラトに引き渡した。 2

ピラトはイエスに尋ねた、「あなたはユダヤ人の王ですか？」イエスは答えられた、「あなたがそう言っています。」 3

祭司長たちはイエスに対して多くの告発を始めた。 4

ピラトは再びイエスに尋ねた、「答えないのですか？彼らがあなたに対してどれほど多くの告発をして

マルコの福音書

いるか見なさい。」⁵
しかし、イエスはもはや何も答えず、ピラトは驚いた。⁶
祭りの時には、人々が求める囚人を釈放するのが習わしであった。⁷
バラバという名の男が、反乱中に殺人を犯した反乱者たちと共に投獄されていた。⁸
群衆は近づいてきて、いつものようにしてほしいとピラトに頼んだ。⁹
ピラトは彼らに尋ねた、「あなたたちはユダヤ人の王を釈放してほしいのですか？」¹⁰
彼は、祭司長たちが嫉妬からイエスを引き渡したことを知っていた。¹¹
しかし、祭司長たちは群衆をそそのかして、バラバを釈放するようにさせた。¹²
ピラトは再び彼らに尋ねた、「あなたたちがユダヤ人の王と呼ぶこの人をどうしたらよいのですか？」¹³
彼らは叫んだ、「彼を十字架につける！」¹⁴
ピラトは尋ねた、「なぜ、彼はどんな罪を犯したのか？」しかし彼らはさらに大声で叫んだ、「彼を十字架につける！」¹⁵
群衆を満足させるために、ピラトはバラバを彼らに釈放した。イエスを鞭打った後、彼を十字架につけるために引き渡した。¹⁶
兵士たちはイエスをブラエトリウムと呼ばれる宮殿に連れて行き、全兵隊を集めた。¹⁷
彼らはイエスに紫の衣を着せ、茨の冠を編んで彼にかぶせた。¹⁸
彼らは「ユダヤ人の王よ、万歳！」と言って敬礼し始めた。¹⁹
彼らは葦で彼の頭をたたき、唾をかけた。ひざまずいて彼に敬意を表した。²⁰
彼を嘲った後、彼らは紫の衣を脱がせ、彼自身の服を着せた。それから彼を十字架につけるために連れ出した。²¹
彼らは通りがかりの人、キレネ人シモン、アレクサンドロとルフォスの父を無理やりにイエスの十字架を運ばせた。²²
彼らはイエスをゴルゴタ、訳して「髑髏の場所」と呼ばれる場所に連れて行った。²³
彼らは没薬を混ぜたぶどう酒をイエスに差し出したが、彼はそれを受け取らなかった。²⁴
彼らはイエスを十字架につけ、彼の衣服を分け合い、くじを引いて誰が何を取るかを決めた。²⁵
彼らがイエスを十字架につけたのは、三時ごろであ

った。²⁶
彼の上には「ユダヤ人の王」と書かれた罪状書きが掲げられていた。²⁷
彼らはイエスと共に二人の反逆者を十字架につけた、一人は右に、一人は左に。²⁸
【これは、「彼は不法者の中に数えられた」という聖書の言葉を成就した。】²⁹
通りすがりの人々は頭を振りながらイエスを侮辱し、「ああ！神殿を壊して三日で建て直す者よ、自分を救い、十字架から降りて来い！」³⁰
同様に、祭司長たちと律法学者たちは彼を嘲りながら言った、「彼は他人を救ったが、自分を救うことはできない！」³¹
イスラエルの王であるこのキリストが今十字架から降りて来て、私たちが見て信じるようにしろ。」彼と共に十字架につけられた者たちも彼を侮辱した。³²
³³
六時になると、全地が暗くなり、九時まで続いた。³⁴
九時に、イエスは大声で叫ばれた、「エロイ、エロイ、レマ、サバクタニ？」これは「我が神、我が神、なぜ私をお見捨てになったのですか？」という意味である。³⁵
立っていた人々の中には、これを聞いて言う者がいた、「見よ、彼はエリヤを呼んでいる。」³⁶
ある者が走り、酢を含ませたスポンジを葦に付けてイエスに飲ませ、「エリヤが彼を降ろしに来るか見てみよう」と言った。³⁷
イエスは大声で叫び、息を引き取られた。³⁸
神殿の幕は上から下まで真っ二つに裂けた。³⁹
イエスの前に立っていた百人隊長は、彼がどのように息を引き取られたかを見て、「本当にこの人は神の子であった！」と言った。⁴⁰
遠くから見ていた女たちがいた。その中には、マグダラのマリア、小ヤコブとヨセの母マリア、サロメがいた。⁴¹
これらの女たちはガリラヤでイエスに従い、世話をしていた。イエスと共にエルサレムに来た多くの他の女たちもそこにいた。⁴²
それは準備の日、すなわち安息日の前日であった。⁴³
夕方が近づく、アリマタヤのヨセフが、神の国を待ち望んでいた議会の有力なメンバーであり、勇気を出してピラトのところに行き、イエスの体を求めた。⁴⁴
ピラトは、イエスがすでに死んでいると聞いて驚いた。百人隊長を呼び、イエスがすでに死んでいるかどうかを尋ねた。⁴⁵

マルコの福音書

百人隊長から確認を得た後、彼はヨセフに体を引き渡した。⁴⁶

ヨセフは亜麻布を買い、イエスを下ろし、亜麻布で包み、岩に掘られた墓に納めた。彼は墓の入口に石を転がして置いた。⁴⁷

マグダラのマリヤとヨセの母マリヤは、イエスが納められた場所を見届けた。

16 安息日が終わったとき、マグダラのマリヤ、ヤコブの母マリヤ、そしてサロメは、イエスに香油を塗るために香料を買った。²

週の初めの日の非常に早朝、彼女たちは太陽が昇った後に墓に来了。³

彼女たちは、「誰が私たちのために墓の入口から石を転がしてくれるのでしょうか？」と話合っていた。⁴

見上げると、その石は非常に大きかったが、すでに転がされていたことに気づいた。⁵

墓に入ると、白い衣をまとった若者が右側に座っているのを見て、驚いた。⁶

彼は彼女たちに言った、「驚くことはありません。あなたがたは、十字架につけられたナザレのイエスを探しています。彼はよみがえられました。ここにはいません。彼を納めた場所を見なさい。⁷しかし、行って弟子たちとベテロに伝えなさい、『彼はあなたがたより先にガリラヤへ行かれます。そこで彼に会えるでしょう。彼が言われたとおりです。』」⁸

彼女たちは外に出て墓から逃げ去った。震えと驚きが彼女たちを襲ったからである。そして、彼女たちは誰にも何も言わなかった。恐れていたからである。

最も古い写本といくつかの他の古代の証人には9-20節がない。

9 [最も古い写本といくつかの他の古代の証人には9-20節がない。]

週の初めの日の早朝に彼がよみがえられた後、彼は最初にマグダラのマリヤに現れた。彼女からは七つの悪霊を追い出したことがある。¹⁰

彼女は行って、彼と共にいた者たちに知らせた。彼らは嘆き悲しんでいた。¹¹

彼が生きており、彼女に見られたと聞いたとき、彼らはそれを真実だとは受け入れなかった。

¹²その後、彼は彼らのうちの二人に、田舎道を歩いているときに別の姿で現れた。¹³

彼らは戻って他の者たちに報告したが、彼らも信じなかった。

¹⁴後に、彼は十一人の弟子たちに現れ、彼らが食卓についているときに、彼らの不信仰と心のかたくなさを責められた。彼がよみがえられた後に彼を見た者たちを信じなかったからである。¹⁵

そして彼は彼らに言われた、「全世界に行って、すべての造られたものに福音を宣べ伝えなさい。¹⁶

信じてバプテスマを受ける者は救われますが、信じていない者は裁かれます。¹⁷

信じる者には次のようなしるしが伴います。私の名によって悪霊を追い出し、新しい言葉を話し、¹⁸蛇を手にし、たとえ毒を飲んでも害を受けず、病人に手を置けば、彼らは回復します。」

¹⁹主イエスは彼らに語られた後、天に上げられ、神の右に座られた。²⁰

彼らは出て行って至る所で宣教した。主は彼らと共に働き、伴うしるしによって御言葉を確証された。

[[彼らはこれらの指示をすべてベテロとその仲間たちにすぐに報告した。その後、イエス自身が彼らを通して東から西へと永遠の救いの神聖で不滅の宣言を送り出された。]]

ルカの福音書

1 私たちの間で成就した事柄について、多くの人々が記録をまとめようとしました。 2

それは、初めから目撃者であり、御言葉のしもべであった人々から私たちに伝えられたとおりです。 3

それゆえ、私はすべてを初めから注意深く調査したので、最も優れたテオピロ様に、秩序正しい記録を書き送るのが適切だと思いました。 4

それは、あなたが教えられた事柄について確信を持つためです。 5

ユダヤの王ヘロデの時代に、アビヤの組に属するザカリヤという名の祭司がいました。彼にはアロンの娘たちの一人であるエリサベツという妻がいました。 6

彼らは二人とも神の前に正しく、主のすべての戒めと規定を非難されることなく守っていました。 7
しかし、エリサベツは子を産むことができず、彼らは二人とも年を重ねていました。 8

さて、彼が自分の組の順番で神の前で祭司の務めをしているときに、 9
祭司の習慣に従って、くじで選ばれ、主の神殿に入って香をたくことになりました。 10

そして、香をたく時間に、民の全会衆が外で祈っていました。 11
そのとき、主の使いが彼に現れ、香壇の右側に立っていました。 12

ザカリヤは彼を見て動揺し、恐れに襲われました。 13

しかし、天使は彼に言いました。「恐れることはありません、ザカリヤ。あなたの祈りは聞かれました。あなたの妻エリサベツは男の子を産み、あなたはその子をヨハネと名付けなさい。 14

彼はあなたにとって喜びと楽しみとなり、多くの人々が彼の誕生を喜ぶでしょう。 15

彼は主の前で偉大な者となるからです。彼は酒や強い酒を飲まず、母の胎内にいるときから聖霊に満たされるでしょう。 16

彼はイスラエルの多くの子らを彼らの神である主に立ち返らせるでしょう。 17

そして、彼はエリヤの霊と力をもって主の前に進み、父たちの心を子どもたちに向けさせ、不従順な者を義人の知恵に向けさせ、主のために備えられた民を整えるでしょう。」 18

ザカリヤは天使に言いました。「どうしてこれがわかるのでしょうか。私は年を取っており、妻も年を重ね

ています。」 19

天使は答えました。「私はガブリエルです。神の前に立っており、あなたに話し、この良い知らせを伝えるために遣わされました。 20

今、これらのことが起こる日まで、あなたは黙して話すことができません。あなたが私の言葉を信じなかったからです。それらは定められた時に成就するでしょう。」 21

その間、人々はザカリヤを待っており、彼が神殿で遅れていることを不思議に思っていました。 22

彼が出てきたとき、彼は彼らに話すことができませんでした。彼らは彼が神殿で幻を見たことを悟り、彼は彼らに合図をしましたが、話すことができませんでした。 23

彼の奉仕期間が終わったとき、彼は家に帰りました。 24
その後、彼の妻エリサベツは身ごもり、五か月間身を隠していました。 25

「主は私のためにこれをしてくださった。この日々において、彼は私に恵みを示し、人々の間で私の恥を取り去ってくださった。」 26

六か月目に、神は天使ガブリエルをガリラヤのナザレという町に遣わしました。 27

ダビデの家系のヨセフという名の男に婚約している若い女性のところへ。若い女性の名はマリアでした。 28

天使は彼女に近づき、「おめでとう、恵まれた方！主があなたと共におられます。」と言いました。 29
しかし、彼女はその言葉にひどく動揺し、この挨拶がどのようなものかと考えました。 30

天使は彼女に言いました。「恐れることはありません、マリア。あなたは神の恵みを見出しました。あなたは身ごもり、男の子を産むでしょう。その子をイエスと名付けなさい。 31

彼は偉大な者となり、いと高き方の子と呼ばれるでしょう。神である主は彼に彼の祖先ダビデの王座をお与えになります。 32 33

彼はヤコブの子孫を永遠に治め、その王国は終わることがありません。」 34

「どうしてそのようなことが起こるのでしょうか」とマリアは天使に尋ねました。「私はまだ処女です。」 35

天使は答えました。「聖霊があなたに臨み、いと高き方の力があなたを覆います。それゆえ、生まれる聖なる者は神の子と呼ばれるでしょう。 36

あなたの親類のエリサベツも年を取っているのに子を宿しており、彼女は不妊の女と言われていたのに、今は六か月目です。 37

ルカの福音書

神にとって不可能なことは何もありません。」³⁸
マリアは言いました。「私は主のはしためです。あなたの言葉どおりになりますように。」それから天使は彼女から去りました。

³⁹
その時、マリアは立ち上がり、ユダヤの山地の町に急いで行きました。⁴⁰

彼女はザカリヤの家に入り、エリサベツに挨拶しました。⁴¹

マリアの挨拶を聞くと、胎内の子が動き、エリサベツは聖霊に満たされました。⁴²

彼女は大声で言いました。「あなたは女の中で祝福されており、あなたが産む子も祝福されています！」⁴³

しかし、私の主の母が私のところに来られるとは、なんと光栄なことでしょう。⁴⁴

あなたの挨拶が私の耳に届いたとき、胎内の子が喜びで跳ねました。⁴⁵

主が彼女に約束されたことを信じた彼女は祝福されています！」

⁴⁶
そしてマリアは言いました。「私の魂は主をあがめ、⁴⁷ 私の霊は私の救い主である神に喜びます。⁴⁸

彼はそのしもべの卑しい状態に目を留められたからです。今から後、すべての世代が私を祝福された者と呼ぶでしょう。⁴⁹

力ある方が私に大きなことをしてくださったからです。聖なるは彼の名です。⁵⁰

彼の憐れみは、世々にわたって彼を恐れる者に及びます。⁵¹

彼はその腕で力を示し、心の中で高ぶる者を散らされました。⁵²

彼は権力者をその座から引き下ろし、卑しい者を高く上げられました。⁵³

彼は飢えた者を良いもので満たし、富んでいる者を空手で送り返されました。⁵⁴

彼はそのしもべイスラエルを助け、憐れみを覚えておられます。⁵⁵

私たちの先祖に約束されたとおり、アブラハムとその子孫に永遠に。」

⁵⁶
マリアはエリサベツと共に約三か月間滞在し、それから自分の家に帰りました。

⁵⁷
エリサベツが子を産む時が来て、彼女は男の子を産みました。⁵⁸

彼女の近所の人々と親戚は、主が彼女に大きな憐れ

みを示されたことを聞き、彼女の喜びに加わりました。⁵⁹

八日目に彼らは子を割礼するために来て、彼の父ザカリヤにちなんで彼を名付けようとしていました。⁶⁰

しかし、彼の母は答えました。「いいえ！彼はヨハネと呼ばれるべきです。」⁶¹

彼らは彼女に言いました。「しかし、あなたの親戚にはその名の者はいません。」⁶²

それで彼らは父親に合図を送り、子の名を何としたかを尋ねました。⁶³

彼は書板を求め、皆が驚く中で「彼の名はヨハネです」と書きました。⁶⁴

するとすぐに彼の口が開かれ、舌が解け、彼は神を賛美し始めました。⁶⁵

近所の人々は皆、恐れに満たされ、ユダヤの山地全体でこれらのことが話題になりました。⁶⁶

これを聞いたすべての人がそれについて考え、「この子は一体何になるのだろうか？」と言いました。主の手が彼と共にあったからです。

⁶⁷
彼の父ザカリヤは聖霊に満たされ、預言し始めました。

⁶⁸ 「イスラエルの神、主を賛美せよ。

彼はその民に来て、贖いをもたらされたからです。⁶⁹ 彼はそのしもべダビデの家に

力強い救い主を立てられました。⁷⁰

それは昔からの彼の聖なる預言者たちを通して語られたとおりです。⁷¹ 私たちを敵から救い、

私たちを憎むすべての者の手から救うためです。⁷² 私たちの先祖に慈しみを示し、

彼の聖なる契約を覚えるためです。⁷³

彼が私たちの父アブラハムに誓われた約束です。⁷⁴

私たちを敵の手から救い出し、恐れずに彼に仕えることができるようにするためです。⁷⁵

私たちの生涯のすべての日において、彼の前で聖なる者として義を行うことができるようにするためです。⁷⁶

そして、あなた、私の子よ、あなたは最も高き方の預言者と呼ばれるでしょう。

あなたは主の前に行き、その道を備えるからです。⁷⁷ 彼の民に救いの知識を与えるためです。

彼らの罪の赦しを通して、⁷⁸

私たちの神の優しい憐れみによって、天からの夜明けが私たちを訪れるからです。⁷⁹

暗闇と死の影に住む者たちに光を照らし、私たちの足を平和の道に導くためです。」

ルカの福音書

89

その子は成長し、霊において強くなりました。そして、彼はイスラエルに公に現れる日まで荒野に住んでいました。

2 その頃、全世界の住民登録をせよという勅令が皇帝アウグストゥスから出た。 2

これは、シリアの総督クレニウスの時に行われた最初の住民登録であった。 3

人々は皆、登録のためにそれぞれ自分の町に向かった。 4

ヨセフもまた、ガリラヤのナザレの町からユダヤのベツレヘムというダビデの町へ上って行った。彼はダビデの家系であり、血筋であったからである。 5
彼は、身重で婚約者のマリアと共に登録するためであった。 6

彼らがそこにいる間に、マリアの出産の時が来た。 7

そして、彼女は初めての子を産み、布にくるんで飼いやぶに寝かせた。宿屋には彼らのための場所がなかったからである。

8

その地方で、羊飼いたちが野宿をしながら夜通し羊の群れを見守っていた。 9

すると、主の使いが彼らのそばに立ち、主の栄光が彼らを照らしたので、彼らは非常に恐れた。 10

しかし、天使は彼らに言った。「恐れることはありません。私はすべての人々に与えられる大きな喜びの良い知らせを持ってきたのです。 11

今日、ダビデの町で、あなたがたのために救い主が生まれました。この方こそ主キリストです。 12

これがあなたがたへのしるしです。あなたがたは布にくるまれ、飼いやぶに寝ている赤ん坊を見つけるでしょう。」 13

するとたちまち、その天使と共に天の軍勢が現れ、神を賛美して言った。

14 「いと高きところでは神に栄光があるように、地上では御心にかなう人々に平和があるように。」

15

天使たちが彼らから離れて天に帰ったとき、羊飼いたちは互いに言った。「さあ、ベツレヘムへ行って、主が知らせてくださったこの出来事を見てみよう。」 16

彼らは急いで行き、マリアとヨセフと飼いやぶに寝ている赤ん坊を見つけた。 17

彼らはそれを見て、この子について告げられたことを知らせた。 18

それを聞いた人々は皆、羊飼いたちが話したことに驚いた。 19

しかし、マリアはこれらのことをすべて心に納め、思い巡らしていた。 20

羊飼いたちは、見聞きしたことがすべて天使の言った通りであったので、神を賛美し、栄光を帰しながら帰って行った。

21

八日が満ちて、子を割礼する時が来たので、彼はイエスと名付けられた。これは彼が胎内に宿る前に天使がつけた名である。

22

モーセの律法に従って彼らの清めの期間が満ちたとき、彼らはイエスを主に捧げるためにエルサレムに連れて行った。 23

（主の律法に「初めて生まれる男子は皆、主に聖別されるべきである」と書かれている通りである。） 24

そして、主の律法に定められた通りに「山鳩一对、または若い鳩二羽」を捧げるためであった。

25

さて、エルサレムにシメオンという人がいた。この人は正しい人で信仰深く、イスラエルの慰めを待ち望んでいた。そして聖霊が彼の上にあった。 26

彼は、主のキリストを見るまでは死なないと聖霊によって示されていた。 27

霊に導かれて彼は神殿の庭に入った。両親が律法の慣習に従ってイエスに行くために子を連れて来たとき、 28

シメオンは彼を抱き、神を賛美して言った。

29 「主よ、今こそあなたはあなたのしもべをあなたの御言葉に従って安らかに去らせてくださいます。 30

私の目があなたの救いを見たからです。 31

これはすべての民の前に備えられたもの、異邦人を照らす啓示の光、あなたの民イスラエルの栄光です。」 32

33 子の両親は彼について語られたことに驚いた。 34
シメオンは彼らを祝福し、母マリアに言った。「この子はイスラエルの多くの人を倒し、また立ち上がらせるために定められ、反対されるしるしとなるでしょう。 35

それは多くの心の思いが明らかにされるためであり、あなた自身の魂も剣で刺し貫かれるでしょう。」

36

また、アンナという女預言者がいた。彼女はアシェ

ルカの福音書

ル族のファヌエルの娘で、非常に年を取っていた。
結婚してから七年間夫と共に住み、
その後、八十四歳になるまで未亡人であった。彼女は
神殿を離れず、夜も昼も断食と祈りをもって神に
仕えていた。
彼女はちょうどその時に近づいてきて、神に感謝し、
この子についてエルサレムの贖いを待ち望んでい
るすべての人々に語った。

彼らは主の律法に従ってすべてのことを終えた後、
ガリラヤの自分たちの町ナザレに帰った。
子は成長し、強くなり、知恵に満ち、神の恵みが彼
の上にあった。

彼の両親は毎年過越の祭りにはエルサレムに行っ
ていた。
彼が十二歳になったとき、彼らは祭りの慣習に従っ
て上京した。
祭りが終わる、彼の両親が帰る途中で、少年イエス
はエルサレムに残ったが、彼らはそれに気づかなか
った。
彼が一行の中にいると思って一日分の道のりを進ん
だ後、親族や知人の間で彼を探し始めた。
しかし、彼を見つけれなかったので、彼を探しに
エルサレムに戻った。
三日後、彼らは神殿の庭で彼を見つけた。彼は教師
たちの中に座り、彼らの話を聞き、質問していた。

彼の話聞いたすべての人々は、彼の理解力と答え
に驚いていた。
彼の両親が彼を見たとき、驚いた。母は彼に言っ
た。「子よ、なぜこんなことをしてくれたのですか。
あなたの父と私は心配して探していました。」
彼は言った。「なぜ私を探したのですか。私が父の
家にいるべきことを知らなかったのですか。」
しかし、彼らは彼が言ったことを理解しなかった。

それから彼は彼らと共にナザレに下り、彼らに従順
であった。母はこれらのことをすべて心に納めてい
た。
イエスは知恵と背丈において成長し、神と人々に愛
された。

3 ティベリウス・カエサルの治世の第十五年、ポ
ンティウス・ピラトがユダヤの総督であったと
き、ヘロデはガリラヤの領主であり、彼の兄弟
フィリポはイトラヤとトラコニティスの地方の領主
であり、リサニ阿斯はアビレネの領主であった。
2 アンナスとカイアファが大祭司であったとき、神の

言葉が荒野でザカリヤの子ヨハネに臨んだ。
彼はヨルダン周辺の全地方に行き、罪の赦しのため
の悔い改めのバプテスマを宣べ伝えた。
預言者イザヤの言葉の書に書かれているように、

「荒野で呼ばれる者の声がある：
『主の道を備えよ。
荒地で我らの神のために道をまっすぐにせよ。
すべての谷は埋められ、
すべての山と丘は低くされる。
凸凹の地は平らになり、荒れた地は平地となる。
そしてすべての人が神の救いを見るであろう。』
」

7 ヨハネは、自分によってバプテスマを受けるために
出てきた群衆に言った、「まむしの子らよ、来たる
べき怒りを逃れるようにと誰があなたがたに警告し
たのか。
悔い改めにふさわしい実を結べ。そして『我々の父
はアブラハムだ』と言い始めてはならない。神はこ
れらの石からアブラハムの子を起すことができる
と私は言う。
斧はすでに木の根元に置かれている。良い実を結ば
ない木はすべて切り倒され、火に投げ込まれる。」

10 群衆は尋ねた、「私たちは何をすべきでしょうか？」
11 ヨハネは答えた、「二つの下着を持っている者は、
持っていない者と分け合いなさい。そして食物を持
っている者も同様にしなさい。」
12 徴税人たちもバプテスマを受けるために来た。「先
生、私たちは何をすべきでしょうか？」と彼らは尋
ねた。
13 「定められた以上に徴収してはならない」と彼は彼
らに言った。
14 すると兵士たちが彼に尋ねた、「そして私たちは何
をすべきでしょうか？」彼は答えた、「誰からも金
をゆすり取ったり、偽って人を訴えたりしてはなら
ない—あなたの給料で満足しなさい。」

15 人々は期待しており、皆が心の中でヨハネがキリス
トかもしれないと考えていた。
16 ヨハネは皆に答えた、「私は水であなたがたにバプ
テスマを施す。しかし私よりも力ある方が来られる
、その方の履物の紐を解く値打ちも私にはない。そ
の方は聖霊と火であなたがたにバプテスマを施すで
あろう。」
17

ルカの福音書

その方は手に箕を持っておられ、徹底的に脱穀場を清め、小麦を倉に集め、もみ殻を消えない火で焼き尽くされる。」¹⁸
そして多くの他の勧告と共に、ヨハネは人々に良い知らせを宣べ伝えた。

¹⁹
しかし、ヘロデ領主がヨハネによってヘロデヤ、彼の兄弟の妻のことで、また彼が行った他のすべての悪事のことで責められたとき、²⁰
ヘロデは彼の悪事にこれを加えた：彼はヨハネを牢に閉じ込めた。

²¹
すべての人々がバプテスマを受けていたとき、イエスもまたバプテスマを受けた。そして彼が祈っていると、天が開け、²²
聖霊が鳩のような体の形で彼に降り、天から声がした、「あなたは私の愛する子、あなたに私は喜びを見出す。」

²³
さて、イエス自身が公の活動を始められたとき、約三十歳であった。彼は、ヨセフの子と考えられていた、

その父はヘリ、²⁴ マタトの子、
その父はレビ、メルキの子、
その父はヤンナイ、ヨセフの子、²⁵
マタティアの子、アモスの子、
その父はナホム、エスリの子、その父はナガイ、
²⁶ マアテの子、
その父はマタティア、セメインの子、
その父はヨセク、ヨダの子、²⁷
ヨアナンの子、レサの子、
その父はゼルバベル、シェアルティエルの子、
その父はネリ、²⁸ メルキの子、
その父はアディ、コサムの子、
その父はエルマダム、エルの子、²⁹
ヨシュアの子、エリエゼルの子、
その父はヨリム、マタトの子、その父はレビ、³⁰
シメオンの子、その父はユダ、ヨセフの子、
その父はヨナム、エリアキムの子、³¹
メレアの子、メンナの子、
その父はマタタ、ナタンの子、その父はダビデ、
³² エッサイの子、その父はオベデ、ボアズの子、
その父はサルモン、ナフションの子、³³
アミナダブの子、アドミンの子、ラムの子、
その父はヘツロン、ベレツの子、その父はユダ、
³⁴ ヤコブの子、
その父はイサク、アブラハムの子、

その父はテラ、ナホルの子、³⁵
セルグの子、レウの子、
その父はペレグ、エベルの子、その父はシェラ、
³⁶ カインの子、
その父はアルパクシャド、セムの子、
その父はノア、ラメクの子、³⁷
メトセラの子、エノクの子、
その父はヤレド、マハラレルの子、
その父はケナン、³⁸ エノシュの子、
その父はセツ、アダムの子、その父は神。

4 イエスは、聖霊に満たされてヨルダンから帰り、御霊に導かれて荒野に行かれた。²
そこで四十日間、悪魔に誘惑された。その間、何も食わず、日が終わると空腹になった。³
悪魔は彼に言った、「もしあなたが神の子であるなら、この石にパンになるように命じなさい。」⁴
イエスは答えられた、「『人はパンだけで生きるのではない』と書いてある。」

⁵
悪魔は彼を高い所に連れて行き、一瞬のうちに世界のすべての国々を見せた。⁶
そして彼に言った、「私はこれらすべての権威と栄光をあなたに与えよう。それは私に渡されており、私が望む者に与えることができる。」⁷
もし私を拝むなら、すべてがあなたのものになる。⁸
」
イエスは答えられた、「『あなたの神である主を拝み、ただ彼に仕えなさい』と書いてある。」⁹

悪魔は彼をエルサレムに連れて行き、神殿の頂に立たせた。「もしあなたが神の子であるなら、ここから下に身を投げなさい。」¹⁰
「『彼はあなたについてその天使たちに命じてあなたを守らせる』と書いてあるからだ。」¹¹
「また、『彼らはその手であなたを支え、あなたの足が石に打ち当たらないようにする』とも書いてある。」¹²
イエスは答えられた、「『あなたの神である主を試みてはならない』と言われている。」¹³
悪魔はすべての誘惑を終えると、しばらくの間彼から離れた。

¹⁴
イエスは御霊の力を帯びてガリラヤに帰り、彼に付いての噂が周囲の地域に広まった。¹⁵
彼は彼らの会堂で教え、皆から称賛された。

¹⁶
彼は育ったナザレに行き、安息日にいつものように

ルカの福音書

会堂に入り、朗読するために立ち上がった。¹⁷
預言者イザヤの巻物が彼に渡され、彼はそれを開き、次のように書かれている箇所を見つけた。¹⁸
「主の御霊が私の上にある。彼が私を貧しい者に良い知らせを伝えるために油を注がれたからである。彼は私を捕らわれ人に解放を、盲人に視力の回復を告げ、虐げられている者を自由にするために送られた。¹⁹ 主の恵みの年を告げ知らせるために。」²⁰
彼は巻物を巻き、係の者に返して座った。会堂のすべての人の目が彼に注がれていた。²¹
彼は彼らに言い始めた、「今日、この聖書の言葉があなたがたが聞いている間に成就しました。」²²
皆が彼について良いことを言い、彼の口から出る恵み深い言葉に驚いた。「これはヨセフの息子ではないか？」と彼らは言った。²³
イエスは彼らに言われた、「確かにあなたがたはこのことわざを私に言うでしょう、『医者よ、自分を治せ！』そして、『カペナウムで行ったと聞いたことを、ここあなたの故郷でも行ってください』と言うでしょう。」²⁴
彼は続けて言われた、「まことにあなたがたに言います、預言者は自分の故郷では受け入れられないのです。²⁵
私はあなたがたに確かに言います、エリヤの時代にイスラエルには多くの未亡人がいましたが、空が三年六ヶ月間閉ざされ、地に大きな飢饉があったとき、²⁶
エリヤはその中の誰にも送られず、シドンの地域のザレファテの未亡人のもとにだけ送られました。²⁷
また、預言者エリシャの時代にはイスラエルには多くのらい病人がいましたが、その中の誰も清められず、シリア人ナアマンだけが清められました。」²⁸
会堂にいたすべての人々はこれを聞いて激怒した。²⁹
彼らは立ち上がり、彼を町の外に追い出し、町が建てられた丘の端まで連れて行き、崖から突き落とそうとした。³⁰
しかし彼は群衆の中を通り抜けて行かれた。

³¹
それから彼はガリラヤの町カペナウムに行き、安息日に人々に教えられた。³²
彼の教えに人々は驚いた。彼の言葉には権威があったからである。³³
会堂には悪霊に取り憑かれた男がいて、大声で叫んだ。³⁴
「放っておいてくれ！ナザレのイエス、私たちと何の関係があるのですか？私たちを滅ぼしに來たのですか？私はあなたが誰であるか知っていますー神の聖なる者です！」³⁵

イエスは彼を叱って言われた、「黙れ、彼から出て行け！」すると悪霊は彼を皆の前に投げ倒し、傷つけることなく出て行った。³⁶
すべての人々は驚いて互いに言った、「これらの言葉は何だろう！彼は権威と力をもって汚れた霊に命じ、彼らは出て行く！」³⁷
そして彼についての噂が近くの地域に広まった。

³⁸
イエスは会堂を出てシモンの家に行かれた。シモンの姑が高熱で苦しんでおり、彼らはイエスに彼女を助けてほしいと頼んだ。³⁹
そこで彼は彼女の上に立ち、熱を叱られた。すると熱は去り、彼女はすぐに立ち上がって彼らに仕え始めた。⁴⁰
日が沈むと、さまざまな病気で苦しんでいる者を持つすべての人々が彼のもとに連れて來た。彼は一人一人に手を置いて癒された。⁴¹
悪霊も多くの人々から出て行き、「あなたは神の子です！」と叫んだ。しかし彼は彼らを叱り、彼がメシアであることを知っていたので、話すことを許さなかった。

⁴²
夜明けに、イエスは人里離れた場所に出かけられた。人々は彼を探し、彼がいる場所に来て、彼が彼らから去るのを阻止しようとした。⁴³
しかし彼は言われた、「私は他の町々にも神の国の良い知らせを伝えなければなりません。それが私が送られた理由です。」⁴⁴
そして彼はユダヤの会堂で教え続けられた。

5 ある時、イエスがゲネサレ湖のほとりに立っていると、群衆が神の言葉を聞こうと押し寄せてきた。²
彼は水際に二艘の船があるのを見た。漁師たちは船を離れ、網を洗っていた。³
イエスはシモンの船に乗り込み、少し岸から漕ぎ出すように頼んだ。彼は座って、船から人々に教え始めた。⁴
話し終えると、シモンに言った。「深みに漕ぎ出し、網を下ろして魚を捕りなさい。」⁵
シモンは答えた。「先生、私たちは夜通し働きましたが、何も捕れませんでした。しかし、あなたのお言葉ですから、網を下ろします。」⁶
彼らがこれをする、と、大量の魚が捕れたので、網が破れそうになった。⁷
彼らはもう一艘の船にいる仲間に合図して、助けに來てもらった。彼らは來て、両方の船を魚でいっぱいにし、沈みそうになった。⁸
シモン・ペテロはこれを見て、イエスの膝元にひれ

ルカの福音書

伏して言った。「主よ、私から離れてください。私は罪深い人間です！」⁹

彼も一緒にいた者たちも、捕れた魚の多さに驚いたからである。¹⁰

シモンの仲間であったゼベダイの子ヤコブとヨハネも同様であった。イエスはシモンに言った。「恐れることはない。今からは人間を捕るようになるのだ。」¹¹

彼らは船を陸に引き上げ、すべてを捨ててイエスに従った。

¹²
イエスがある町にいと、全身に重い皮膚病を患った男が近づいてきた。彼はイエスを見ると、ひれ伏して願った。「主よ、お望みならば、私を清くすることがおできになります。」¹³

イエスは手を伸ばして彼に触れ、「私の望みだ。清くなれ。」と言われた。すると、すぐに重い皮膚病が彼から去った。¹⁴

イエスは彼に命じた。「誰にも話してはいけない。ただ、祭司に身を見せ、モーセが命じた清めのための供え物をしなさい。それは彼らへの証となる。」¹⁵

しかし、イエスのことがますます広まり、多くの群衆が集まって彼の話を聞き、病気を治してもらうために来た。¹⁶

しかし、イエスはしばしば人里離れた場所に退いて祈っておられた。

¹⁷
ある日、イエスが教えておられると、パリサイ人と律法の教師たちがそこに座っていた。彼らはガリラヤ、ユダヤ、エルサレムのすべての村から来ており、主の力が彼らにあって病人を癒していた。¹⁸

ある男たちが、寝たきりの男を床に乗せて運んできて、イエスの前に置こうとした。¹⁹

群衆のために通る道が見つからなかったので、彼らは屋根に上がり、瓦をはがして床に乗せたままの男を群衆の真ん中に、イエスの前に降ろした。²⁰

彼らの信仰を見て、イエスは言われた。「友よ、あなたの罪は赦された。」²¹

パリサイ人と律法の教師たちは考え始めた。「この男は神を冒瀆することを言っているのは誰だ。神以外に誰が罪を赦すことができるのか。」²²

イエスは彼らの考えを知って言われた。「なぜ心の中でそんなことを考えているのか。」²³

『あなたの罪は赦された』と言うのと、『起きて歩け』と言うのと、どちらが簡単か。²⁴

しかし、人の子が地上で罪を赦す権威を持っていることを知るために。」そして、寝たきりの男に言わ

れた。「あなたに言う。起きて、床を持って家に帰きなさい。」²⁵

すると、彼はすぐに彼らの前で立ち上がり、寝ていた床を持って、神を賛美しながら家に帰った。²⁶
皆は驚き、神を賛美した。彼らは恐れに満たされ、「今日は驚くべきことを見た」と言った。

²⁷
その後、イエスは出て行き、税関に座っているレビという名の税吏を見た。「私に従いなさい。」とイエスは彼に言われた。²⁸
レビは立ち上がり、すべてを捨ててイエスに従った。²⁹

レビは自分の家でイエスのために盛大な宴会を開いた。多くの税吏や他の人々が彼らと共に席に着いていた。³⁰

パリサイ人と彼らの律法学者たちはイエスの弟子たちに不平を言った。「なぜ税吏や罪人と一緒に食べたり飲んだりするのか。」³¹

イエスは彼らに答えた。「健康な人に医者は必要ないが、病人には必要だ。」³²

私は正しい人を招くためではなく、罪人を悔い改めさせるために来た。」

³³
彼らはイエスに言った。「ヨハネの弟子たちはしばしば断食し、祈ります。パリサイ人の弟子たちも同様です。しかし、あなたの弟子たちは食べたり飲んだりしています。」³⁴

イエスは答えられた。「花婿が一緒にいる間、友人たちに断食させることができるでしょうか。」³⁵

しかし、花婿が彼らから取り去られる時が来ます。その日には断食するでしょう。」³⁶

イエスは彼らにこのたとえを話された。「誰も新しい衣から一部分を裂いて古い衣に継ぎを当てることはしません。そうすれば、新しい衣が裂け、継ぎ当てた部分も古い衣と合わないからです。」³⁷

また、誰も新しいぶどう酒を古い革袋に入れませんか。そうすれば、新しいぶどう酒が袋を破り、ぶどう酒が流れ出て袋も駄目になります。」³⁸

新しいぶどう酒は新しい革袋に入れるべきです。」³⁹
また、古いぶどう酒を飲んだ後は誰も新しいものを欲しがりません。彼らは『古いものが良い』と言います。」

6 安息日に、イエスは麦畑を通り抜けておられた。そのとき、弟子たちは穂を摘み、手で揉んで、その穀粒を食べ始めた。²

すると、あるパリサイ人たちが言った、「なぜ安息日にしてはならないことをしているのですか？」³
イエスは彼らに答えて言われた、「ダビデが彼とそ

ルカの福音書

の仲間たちが飢えていたときに何をしたか、読んだことがないのである。⁴

彼は神の家に入り、祭司以外には食べてはならない供えのパンを取り、食べ、そしてその仲間たちにも与えたのです。」⁵

そして彼らに言われた、「人の子は安息日の主です。」⁶

別の安息日に、イエスは会堂に入り教えておられた。そこには右手が萎えている人がいた。⁷

律法学者たちとパリサイ人たちは、イエスが安息日に病気を治すかどうかを見張っていた。それは、イエスを訴える理由を見つけるためであった。⁸

しかし、イエスは彼らの考えを知っておられ、その萎えた手の人に言われた、「立ち上がって、みんなの前に立ちなさい。」そこで彼は立ち上がってそこに立った。⁹

それからイエスは彼らに言われた、「安息日に善を行うこと、または害をなすこと、命を救うこと、または滅ぼすことは、どちらが律法にかなっているのですか？」¹⁰

そして、彼ら全員を見回してから、その人に言われた、「手を伸ばしなさい。」彼がそうすると、その手は元通りになった。¹¹

しかし、彼らは怒りに満ち、イエスに対して何をしようかと互いに話し合い始めた。

¹² その時、イエスは山に行つて祈り、神に祈るために一晩中過ごされた。¹³

朝になると、弟子たちを呼び寄せ、その中から十二人を選び、使徒と名付けられた。¹⁴

シモン（彼はペテロと呼ばれた）、その兄弟アンデレ、ヤコブ、ヨハネ、フィリポ、バルトロマイ、¹⁵ マタイ、トマス、アルパヨの子ヤコブ、熱心党と呼ばれるシモン、¹⁶ ヤコブの子ユダ、そして後にイエスを裏切ったイスカリオテのユダ。¹⁷

彼は彼らと共に下り、平らな場所に立たれた。そこには弟子たちの大群衆がいて、ユダヤ全土から、エルサレムから、ティルスとシドンの海岸地方から来た大勢の人々がいた。¹⁸

彼らはイエスの話を聞き、病気を治してもらうために来ていた。汚れた霊に悩まされていた者たちも治された。¹⁹

そして、皆がイエスに触れようとしていた。力がイエスから出て、彼ら全員を癒していたからである。

²⁰ イエスは弟子たちに向かって言われた：

「貧しい者たちは幸いです。

神の国はあなたがたのものだからです。²¹

今、飢えている者たちは幸いです。

あなたがたは満たされるからです。

今、泣いている者たちは幸いです。

あなたがたは喜ぶからです。²²

人々があなたがたを憎み、除け者にし、侮辱し、

あなたがたの名前を悪いものとして拒むとき、

人の子のために。²³

その日には喜び踊りなさい。見よ、あなたがたの報いは天において大きいからです。彼らの先祖たちも預言者たちに同じようにしたのです。

²⁴ しかし、富んでいる者たちは災いです。

あなたがたはすでに慰めを受けているからです。

²⁵ 今、満腹している者たちは災いです。

あなたがたは飢えるからです。

今、笑っている者たちは災いです。

あなたがたは悲しみ泣くからです。²⁶

すべての人があなたがたを良く言うときは災いです。

彼らの先祖たちも偽預言者たちに同じことをしたのです。²⁷

「しかし、聞いているあなたがたに言います。敵を愛し、あなたがたを憎む者たちに善を行いなさい。²⁸

あなたがたを呪う者たちを祝福し、あなたがたを虐待する者たちのために祈りなさい。²⁹

誰かがあなたの片方の頬を打つなら、もう片方も差し出しなさい。誰かがあなたの上着を奪うなら、下着も拒んではいけません。³⁰

求める者には誰にでも与えなさい。あなたのものを奪う者から取り戻そうとしてはいけません。³¹

人々があなたにしてほしいと望むことを、同じように彼らにしなさい。³²

あなたがたを愛する者たちを愛しても、何の報いがあるでしょうか。義でない者たちも愛する者たちを愛します。³³

あなたがたに善を行う者たちに善を行っても、何の報いがあるでしょうか。義でない者たちも同じことをします。³⁴

返済を期待して貸すなら、何の報いがあるでしょうか。義でない者たちも同じように他の者たちに貸し、全額返済を期待します。³⁵

ルカの福音書

しかし、敵を愛し、彼らに善を行い、何も期待せず
に貸しなさい。そうすれば、あなたがたの報いは大
きく、あなたがたは最も高き方の子どもたちとなる
でしょう。彼は思知らずで悪い者たちにも親切だから
です。³⁶

ですから、あなたがたの父が慈悲深いように、慈悲
を示しなさい。

37

「裁くのをやめなさい。そうすれば、あなたがたも
裁かれません。非難するのをやめなさい。そうすれ
ば、あなたがたも非難されません。赦しなさい。そう
すれば、あなたがたも赦されます。」³⁸

与えなさい。そうすれば、あなたがたにも与えられ
ます。押し固められ、揺さぶられ、溢れるほどの寛
大な量があなたがたの膝に注がれます。あなたがた
が用いる尺度で、あなたがたにも測られるからです
。」

39

彼はまた彼らにこのたとえを話された。「盲人が盲
人を導くことができるでしょうか。彼らは共に穴に
落ちないでしょうか。」⁴⁰

弟子は師以上のものではありませんが、完全に訓練
された者は皆その師のようになります。⁴¹

なぜあなたは兄弟の目の中のちりを見ながら、自分
の目の中の梁に気づかないのですか。⁴²

どうして兄弟に『兄弟よ、あなたの目の中のちりを
取らせてください』と言えるでしょうか。自分の目
の中の梁に気づかないまま。偽善者よ、まず自分
の目から梁を取り除きなさい。そうすれば、兄弟の
目の中のちりを取り除くのがはっきりと見えるよう
になります。

43

良い木は悪い実を結ばず、悪い木は良い実を結びま
せん。⁴⁴

各々の木はその実によって認識されます。人々は茨
からいちじくを取らず、いばからかぶどうを集めま
せん。⁴⁵

良い人は心に蓄えられた良いものから良いことをも
たらし、悪い人は心に蓄えられた悪いものから悪い
ことをもたらします。口は心に満ちていることを話
すからです。

46

「なぜあなたがたは私を『主よ、主よ』と呼びなが
ら、私の指示に従わないのですか。」⁴⁷

私のもとに来て、私の言葉を聞き、それを実行する
者は皆、どのような者であるかをあなたがたに示し
ましょう。⁴⁸

それは、家を建てる人のようです。その人は深く掘
り、岩の上に基礎を据えました。洪水が来たとき、
その家を襲いましたが、揺るがすことができません
でした。それはしっかりと建てられていたからです
。

49

しかし、私の言葉を聞いてもそれを実行しない者は
、基礎なしで地面に家を建てた人のようです。洪水
がその家を襲った瞬間、それは崩れ、その破壊は完
全でした。」

7 イエスが民衆の聞いている前で全ての教えを終
えたとき、カペナウムに入られた。²

ある百人隊長のしもべが病気で死にかけており
、彼にとって非常に大切な者であった。³

百人隊長はイエスのことを聞き、ユダヤ人の長老た
ちをイエスのもとに送り、しもべを癒してください
ようお願いした。⁴

彼らがイエスのもとに来ると、熱心をお願いして言
った。「彼はこのことをしていただくにふさわしい
人です。」⁵

彼は私たちの国を愛し、私たちの会堂を建ててくれ
ました。」⁶

そこでイエスは彼らと共に行かれた。イエスがその
家から遠くないところに来たとき、百人隊長は友人
たちを送り、イエスに言わせた。「主よ、ご自分を
煩わせないでください。私はあなたを私の屋根の下
にお迎えするにふさわしくありません。」⁷

それで、私は自分をあなたのもとに行かせることさ
えふさわしいとは思いませんでした。ただお言葉を
ください。そうすれば私のしもべは癒されます。⁸

私も権威の下にある者で、私の下には兵士たちがい
ます。私はある者に『行け』と言えば行き、別の者
に『来い』と言えば来ます。また、私のしもべに『
これをせよ』と言えば、それをします。」⁹

イエスはこれを聞いて彼に驚き、振り向いて従って
くる群衆に言われた。「あなたがたに言いますが、
イスラエルの中でもこれほどの信仰を見たことがあ
りません。」¹⁰

使いの者たちが家に戻ると、しもべが健康を取り戻
しているのを見つけた。

11

その後まもなく、イエスはナインという町に行かれ
、弟子たちと大勢の群衆が共に行った。¹²

町の門に近づくと、一人の死んだ男が運び出されて
きた。彼は母親の一人息子であり、彼女は未亡人だ
であった。町からの大勢の群衆が彼女と共にいた。¹³
主は彼女を見て、哀れに思い、「泣かないでくださ
い」と言われた。¹⁴

それから近づいて棺に触れると、担い手たちは立ち

ルカの福音書

止まった。イエスは言われた。「若者よ、あなたに
言います。起きなさい！」¹⁵

死んでいた男は起き上がり、話し始めたので、イエ
スは彼を母親に返された。¹⁶

人々は皆恐れを抱き、神を賛美した。「偉大な預言
者が私たちの中に現れた」と言った。「神がその民
を訪れたのだ。」¹⁷

このイエスの話はユダヤと周辺地域全体に広まった
。

¹⁸
ヨハネの弟子たちはこれらのことを彼に報告した。
彼は二人の弟子を呼び寄せ、¹⁹

彼らを主のもとに送り、「来るべき方はあなたです
か、それとも他の方を待つべきでしょうか」と尋ね
させた。²⁰

その人たちがイエスのもとに来ると、「バプテスマ
のヨハネが私たちをあなたのもとに送って、『来る
べき方はあなたですか、それとも他の方を待つべき
でしょうか』と尋ねさせました」と言った。²¹

その時、イエスは多くの人々の病気や苦しみ、悪霊
を追ひ払い、盲人に視力を与えていた。²²

そこでイエスは使いの者たちに答えられた。「ヨハ
ネに見たこと、聞いたことを報告しなさい。盲人は清
められ、耳の聞こえない者は聞き、死者はよみがえ
り、貧しい者に福音が宣べ伝えられています。²³
私につまずかない者は幸いです。」

²⁴
ヨハネの使いの者たちが去った後、イエスは群衆に
ヨハネについて話し始められた。「あなたがたは何
を見に荒野に出て行ったのですか。風に揺れる葦で
すか。」²⁵

そうでないなら、何を見に行ったのですか。立派な
服を着た人ですか。いや、豪華な服を着て贅沢に暮
らしている者は宮殿にいます。²⁶
では、何を見に行ったのですか。預言者ですか。そ
うです、私はあなたがたに言いますが、預言者以上
の者です。²⁷ これはこう書かれている者です。

『見よ、私はあなたの前に使者を送り、
あなたの道を準備させる。』

²⁸
あなたがたに言いますが、女から生まれた者の中で
ヨハネよりも偉大な者はいません。しかし、神の国
で最も小さい者でも彼より偉大です。」²⁹

(民衆と徴税人たちは皆、イエスの言葉を聞いて、
ヨハネのバプテスマを受けていたので、神の正義を
認めました。³⁰

しかし、パリサイ人と律法の専門家たちは、ヨハネ
のバプテスマを受けていなかったので、神の目的を
拒みました。)

³¹
「では、この世代の人々を何にたとえましょうか。
彼らは何に似ているでしょうか。」³²

彼らは市場に座って互いに呼びかける子どもたちの
ようです。

『私たちは笛を吹いたのに、
あなたがたは踊らなかった。
私たちは哀歌を歌ったのに、
あなたがたは泣かなかった。』

³³
バプテスマのヨハネが来たとき、彼はパンも食べず
、ぶどう酒も飲まず、あなたがたは言いました、『
彼は悪霊に取り憑かれている。』³⁴

人の子が来たとき、食べたり飲んだりして、あなた
がたは言いました、『見よ、大食漢で大酒飲み、徴
税人や罪人の友だ。』³⁵

しかし、知恵はそのすべての子どもたちによって正
しいと証明されます。」

³⁶
あるパリサイ人がイエスを食事に招いたので、イエ
スはそのパリサイ人の家に行き、食卓に着かれた。
³⁷

その町に住む罪深い女が、イエスがパリサイ人の家
で食事をしていることを知り、香油の入ったアラバ
スターの壺を持ってきた。³⁸

彼女はイエスの後ろに立ち、涙でイエスの足を濡ら
し始めた。それから自分の髪でそれを拭い、イエス
の足に口づけし、香油を注いだ。³⁹

イエスを招いたパリサイ人はこれを見て、心の中で
思った。「この人が預言者なら、誰が彼に触れてい
るのか、どんな女なのか知っているはずだ。彼女は
罪深い女だ。」⁴⁰

イエスは彼に答えて言われた。「シモン、あなたに
言いたいことがあります。」彼は言った。「先生、
おっしゃってください。」⁴¹

「ある金貸しに二人の借り手がありました。一人は五
百デナリの借金があり、もう一人は五十デナリの借
金がありました。」⁴²

彼らが返済できなかったとき、彼は両方の借金を免
除しました。さて、どちらが彼をもっと愛するでし
ょうか。」⁴³

シモンは答えた。「より多くの借金を免除された方
だと思います。」イエスは言われた。「あなたは正
しく判断しました。」⁴⁴

ルカの福音書

それから女の方を向いて、シモンに言われた。「この女を見ますか。私はあなたの家に入りましたが、あなたは私の足のために水を提供しませんでした。しかし彼女は涙で私の足を濡らし、髪で拭きました。⁴⁵ あなたは私に口づけをしましたが、彼女は私が入って以来、私の足に口づけをやめませんでした。⁴⁶ あなたは私の頭に油を注ぎませんでした、彼女は私の足に香油を注ぎました。⁴⁷ それゆえ、私はあなたに言います。彼女の多くの罪は赦されています。それは彼女の大きな愛が示しているからです。しかし、少ししか赦されていない者は、少ししか愛しません。」⁴⁸ それからイエスは彼女に言われた。「あなたの罪は赦されています。」⁴⁹ 他の客たちは自分たちの間で考え始めた。「罪をも赦すこの人は誰だろうか。」⁵⁰ そしてイエスはその女に言われた。「あなたの信仰があなたを救いました。安心して行きなさい。」

8 その後まもなく、イエスは神の国の良い知らせを宣べ伝えるために、町や村を巡って行かれた。² 十二弟子も彼と共にいた。また、悪霊や病気から癒された幾人かの女たちもいた。マグダラと呼ばれるマリアは、その中から七つの悪霊が出た者であり、³ ヘロデの執事クザの妻ヨハンナ、スザンナ、そして彼らを自分の財産で支えていた他の多くの女たちであった。⁴

大勢の群衆が集まり、いろいろな町からイエスのもとに来ていたとき、彼は彼らにたとえを話された。⁵ 「種を蒔く人が種を蒔きに出かけた。蒔いていると、ある種は道端に落ち、踏みつけられ、空の鳥がそれを食べてしまった。⁶ ある種は岩地に落ち、芽を出したが、水分がないために枯れてしまった。⁷ 他の種は茨の中に落ち、茨と一緒に育ってしまい、窒息させられた。⁸ しかし、他の種は良い土に落ち、育って蒔かれた以上の百倍の実を結んだ。」これを言いながら、彼は叫んだ。「聞く耳のある者は聞きなさい。」

⁹ 弟子たちはこのたとえの意味を尋ねた。¹⁰ 彼は答えた。「あなたがたには神の国の秘密を知ることが許されているが、他の人々にはたとえで話す。それは、

『*見えていても見えず、
聞いていても理解しない*』ためである。」

¹¹ 「このたとえの意味はこうである。種は神の言葉を表している。¹² 道端にある者たちは、聞いた後に敵が来て、彼らの心から言葉を取り去り、信じて救われることがないようにする者たちである。¹³ 岩地にある者たちは、言葉を聞く喜んで受け入れるが、根がないためにしばらく信じていても、試練の時に離れてしまう者たちである。¹⁴ 茨の中に落ちた種は、聞くが、人生の心配事、富、快楽に圧倒されて成熟しない者たちを表している。¹⁵ しかし、良い土にある種は、立派で良い心を持ち、言葉を聞いてそれを保持し、忍耐をもって実を結ぶ者たちを表している。

¹⁶ 「誰もランプを灯して、それを瓶で覆ったり、ベッドの下に置いたりしない。むしろ、入ってくる人々が光を見ることができるよう、ランプスタンドに置く。¹⁷ 隠されているもので明らかにされないものはなく、隠されているもので知られずに光に出されないものはない。¹⁸ だから、どのように聞くかに注意しなさい。持っている者にはさらに与えられ、持っていない者からは、持っていると思っているものさえも取り去られる。」

¹⁹ さて、イエスの母と兄弟たちが彼に会いに来たが、群衆のために彼に近づくことができなかった。²⁰ 誰かが彼に告げた。「あなたの母と兄弟たちが外に立っていて、あなたに会いたがっています。」²¹ 彼は答えた。「私の母と兄弟たちは、神の言葉を聞いてそれを行う者たちである。」

²² ある日、イエスは弟子たちに言われた。「湖の向こう側に渡ろう。」そこで彼らは舟に乗り込み、出発した。²³ 彼らが航行している間、彼は眠りについた。湖に突風が吹き下ろし、舟は水をかぶり、彼らは危険にさらされた。²⁴ 弟子たちは彼に近づいて彼を起こし、「先生、先生、私たちは危険です！」と言った。彼は起き上がり、風と荒れた水を叱りつけた。すると嵐は静まり、すべてが穏やかになった。²⁵

ルカの福音書

「あなたがたの信仰はどこにあるのか？」と彼は弟子たちに尋ねた。彼らは驚きと不思議に満たされて互いに言った。「これは誰なのか？風や水さえも命じると、彼らは彼に従う。」

26

彼らはガリラヤの向こう側にあるゲラサ人の地域に渡った。

27

イエスが岸に上がると、町から悪霊に取り憑かれた男が彼に出会った。この男は長い間、服を着ず、家に住まず、墓に住んでいた。

28

彼はイエスを見ると叫び声を上げ、彼の足元にひれ伏して大声で叫んだ。「至高の神の子イエスよ、私に何をしようとしているのですか？お願いします、私を苦しめないでください！」

29

イエスがその男から汚れた霊を出て行くように命じていたからである。それは何度も彼を捕らえ、彼は手足を鎖で縛られ、監視されていたが、鎖を引きちぎり、悪霊に駆られて孤独な場所へと追いやられていた。

30

イエスは彼に尋ねた。「あなたの名前は何かですか？」彼は答えた。「レギオンです。」多くの悪霊が彼に入っていたからである。

31

そして彼らはイエスに、アピスに送らないようにと何度も懇願した。

32

そこには大きな豚の群れが丘の上で飼われていた。悪霊たちはイエスに豚に入ることを許してほしいと頼み、彼はそれを許した。

33

悪霊たちがその男から出て行くと、豚に入り、群れは急な岸を駆け下りて湖に入り、溺れ死んだ。

34

豚を飼っていた者たちは何が起こったかを見て、町や田舎に知らせに走った。

35

人々は何が起こったのかを見に出て行った。彼らがイエスのもとに来ると、悪霊が出て行った男がイエスの足元に座って、服を着て正気に戻っているのを見つけ、恐れた。

36

それを見た者たちは、悪霊に取り憑かれていた男がどのように癒されたかを人々に知らせた。

37

すると、ゲラサ人の地域のすべての人々が恐怖に圧倒され、イエスに去ってほしいと頼んだ。それで彼は舟に乗り込み、去った。

38

悪霊が出て行った男は彼と共に行きたいと懇願したが、イエスは彼を送り出し、言われた。

39

「家に帰り、神があなたにしてくださったことを伝えなさい。」それで彼は去り、町中にイエスが自分にしてくださったことを宣べ伝えた。

40

イエスが戻られると、群衆が彼を歓迎した。彼らは

皆、彼の到着を待ち望んでいたからである。

41

すると、ヤイロという名の会堂の指導者が来て、イエスの足元にひれ伏し、彼の家に来てほしいと熱心に頼んだ。

42

彼の一人娘、約十二歳の女の子が死にかけていたからである。イエスが行かれるとき、群衆が彼を押しつぶしそうになった。

43

そこに十二年間出血に悩まされていた女がいたが、誰も彼女を癒すことができなかった。

44

彼女は後ろから近づき、彼の衣の縁に触れた。するとすぐに彼女の出血は止まった。

45

「誰が私に触れたのか？」イエスは尋ねた。皆が否定すると、ペテロは言った。「先生、人々があなたに押し寄せています。」

46

しかしイエスは言われた。「誰かが私に触れた。力が私から出て行ったのを知っている。」

47

すると、その女は隠れられないことを悟り、震えながら彼の足元にひれ伏した。すべての人の前で、彼に触れた理由と、どのようにしてすぐに癒されたかを説明した。

48

すると彼は彼女に言われた。「娘よ、あなたの信仰があなたを救った。安心して行きなさい。」

49

イエスがまだ話している間に、会堂の指導者ヤイロの家から人が来て言った。「あなたの娘は死んでしまいました。もう先生を煩わせないでください。」

50

これを聞いて、イエスはヤイロに言われた。「恐れず、ただ信じなさい。そうすれば彼女は癒される。」

51

彼がヤイロの家に着いたとき、ペテロ、ヨハネ、ヤコブ、そしてその子の父と母だけを連れて入った。

52

その間、人々は皆彼女のために嘆き悲しんでいた。「泣くのをやめなさい」とイエスは言われた。「彼女は死んでいない、眠っているのだ。」

53

彼らは彼女が死んでいないと確信していたので、彼を嘲笑った。

54

しかし彼は彼女の手を取り、「子よ、起きなさい！」と言われた。

55

彼女の霊が戻り、彼女はすぐに立ち上がった。それからイエスは彼女に食べ物を与えるように指示した。

56

。彼女の両親は驚いたが、彼は彼らに何が起こったかを誰にも話さないように命じた。

9

イエスが十二人を呼び集めたとき、彼らにすべての悪霊を追い出し、病気を治す力と権威を授けられた。

2

ルカの福音書

そして、神の国を宣べ伝え、病人を癒すために彼らを遣わされた。³

イエスは彼らに言われた、「旅のために何も持って行くな。杖も袋もパンも金も持たず、また予備の上着も持たない。」⁴

「どんな家に入っても、その場所を去るまでそこに留まりなさい。」⁵

「もし人々があなたたちを歓迎しないなら、その町を去り、彼らに対する証として足の塵を払い落としなさい。」⁶

そこで彼らは出かけ、村々を巡り、至る所で福音を宣べ伝え、癒しを行った。

⁷
領主ヘロデは起こっていることすべてを聞いて当惑した。ある人々はヨハネが死者の中から甦ったと言い、⁸

他の人々はエリヤが現れたと言ひ、また他の人々は昔の預言者の一人が甦ったと言っていたからである。⁹

ヘロデは言った、「私はヨハネの首をはねた。では、この人は誰なのか、こんなことを聞くとは？」そして彼はイエスを見ようとした。

¹⁰
使徒たちが帰ってきたとき、彼らは自分たちがしたことをすべてイエスに報告した。イエスは彼らを連れてベツサイダという町にひそかに退かれた。¹¹

しかし群衆はそれを知ってイエスに従った。イエスは彼らを迎え、神の国について語り、癒しを必要とする者たちを癒された。¹²

日が傾きかけたとき、十二人はイエスに近づいて言った、「群衆を解散させて、周囲の村や田舎に行って宿を取り、食べ物を見つけてください。私たちは人里離れた場所にいます。」¹³

イエスは答えられた、「あなたたちが彼らに何か食べさせなさい。」彼らは言った、「私たちに五つのパンと二匹の魚しかありません。さもないと、この群衆すべてのために食料を買いに行かなければなりません。」¹⁴

（そこには約五千人の男がいた。）しかしイエスは弟子たちに言われた、「彼らを五十人ほどの組にして座らせなさい。」¹⁵

弟子たちはそれに従ひ、皆を座らせた。¹⁶
イエスは五つのパンと二匹の魚を取り、天を見上げて感謝し、それを裂いて弟子たちに渡し、群衆に配らせた。¹⁷

皆が食べて満足し、弟子たちは余った破片を十二の籠に集めた。

¹⁸
イエスがひそかに祈っておられたとき、弟子たちが共にいた。イエスは彼らに尋ねられた、「群衆は私を誰だと言っているのか？」¹⁹

彼らは答えた、「ある者はバプテスマのヨハネだと言ひ、他の者はエリヤだと言ひ、また他の者は昔の預言者の一人が甦ったと言っています。」²⁰

「では、あなたたちはどうか？」イエスは尋ねられた。「私を誰だと言うのか？」ペテロは答えた、「神のキリストです。」

²¹
イエスはこれを誰にも言わないようにと厳しく命じられた。²²

そして言われた、「人の子は多くのことに苦しみ、長老たち、祭司長たち、律法学者たちに拒絶され、殺され、三日目に甦らなければならない。」

²³
それからイエスは皆に言われた、「誰でも私について来たいと思うなら、自分を否み、日々自分の十字架を背負って私に従いなさい。」²⁴

「自分の命を救おうとする者はそれを失ひ、私のために命を捨てる者はそれを見出すでしょう。」²⁵

「人が全世界を得ても、自分自身を失ひ、または損なうなら、何の益があるでしょうか？」²⁶

「私と私の言葉を恥じる者は、やがて人の子が父の栄光と聖なる天使たちの栄光の中で来るとき、彼をも恥じるでしょう。」²⁷

「本当にあなたたちに言ひます、ここに立っている者の中には、神の国を見るまで死を味わわない者がいます。」

²⁸
これらの言葉を話してから約八日後、イエスはペテロ、ヨハネ、ヤコブを連れて山に登り、祈られた。²⁹

祈っている間に、イエスの顔の様子が変わり、服がまばゆいほど白くなった。³⁰

二人の人、モーセとエリヤが栄光の中で現れ、イエスと話していた。³¹

彼らはイエスがエルサレムで成し遂げようとしている出発について話していた。³²

ペテロとその仲間たちは非常に眠かったが、完全に目が覚めると、イエスの栄光と共に立っている二人の人を見た。³³

その人たちがイエスから離れようとしたとき、ペテロはイエスに言った、「先生、私たちがここにいるのは良いことです。三つの幕屋を建てましょう。あなたのために一つ、モーセのために一つ、エリヤのために一つ。」（彼は自分が何を言っているのか分

ルカの福音書

かつていなかった。) 34
彼が話している間に、雲が現れて彼らを覆い、彼らは雲の中に入ると恐れた。 35
雲の中から声が聞こえた、「これは私の子、選ばれた者である。彼に聞きなさい。」 36
声が聞こえた後、彼らはイエスだけがいるのを見つけた。弟子たちはこれを自分たちの中に留め、その時には誰にも見たことを話さなかった。

37
翌日、彼らが山から降りてくると、大勢の群衆がイエスに近づいた。 38
群衆の中の一人の男が叫んだ、「先生、私の息子を見てください。彼は私の唯一の子です。」 39
「霊が彼を襲い、突然叫び声を上げさせ、彼を痙攣させて口から泡を吹かせます。それは彼をほとんど離れず、彼を傷つけています。」 40
「私はあなたの弟子たちにそれを追い出すように頼みましたが、彼らはできませんでした。」 41
イエスは答えられた、「不信仰で曲がった世代よ、いつまで私はあなたたちと共にいて、あなたたちに我慢しなければならぬのか？あなたの息子をここに連れてきなさい。」 42
その子が来る間にも、悪霊は彼を地面に投げつけて痙攣させた。しかしイエスは汚れた霊を叱り、少年を癒し、彼を父親に返された。 43
そして彼らは皆、神の威厳に驚嘆した。皆がイエスの行ったことに驚いている間に、イエスは弟子たちに言われた、 44
「私が今からあなたたちに言おうとしていることに注意を払いなさい。人の子は人々の手に渡されようとしている。」 45
しかし彼らはこれが何を意味するのか理解できなかった。それは彼らから隠されていたので、彼らはそれを把握せず、イエスにそれについて尋ねることを恐れていた。

46
弟子たちの間で、誰が一番偉いかという議論が起こった。 47
イエスは彼らの考えを知って、小さな子供を取って彼のそばに立たせた。 48
そして彼らに言われた、「この小さな子供を私の名で受け入れる者は私を受け入れるのであり、私を受け入れる者は私を遣わした方を受け入れるのです。あなたたちの中で最も小さい者が最も偉大なのです。」

49
「先生」とヨハネが言った、「私たちはあなたの名で悪霊を追い出している人を見ましたが、彼は私た

ちの間ではなかったので、やめさせようと思いました。」 50
「やめさせてはいけません」とイエスは言われた、「あなたたちに反対していない者はあなたたちの味方です。」

51
イエスが天に上げられる時が近づくと、彼はエルサレムに向かって決然と進まれた。 52
彼は使者たちを先に送り、彼らはサマリアの村に行つて彼のために準備をした。 53
しかし、彼がエルサレムに向かっていたため、人々は彼を受け入れなかった。 54
弟子のヤコブとヨハネがこれを見て言った、「主よ、私たちが天から火を呼び降ろして彼らを滅ぼすことを望まれますか？」 55
しかしイエスは彼らを振り向いて叱られた。 56
それから彼と弟子たちは別の村に行った。

57
彼らが道を歩いていると、ある人がイエスに言った、「あなたがどこへ行かれても、私はあなたに従います。」 58
イエスは答えられた、「狐には穴があり、空の鳥には巣がありますが、人の子には頭を休める場所がありません。」 59
イエスは別の人に言われた、「私に従いなさい。」しかし彼は答えた、「主よ、まず父を葬りに行かせてください。」 60
イエスは彼に言われた、「死者たちに自分たちの死者を葬らせなさい。しかし、あなたは行つて神の国を宣べ伝えなさい。」 61
また別の人が言った、「主よ、私はあなたに従いますが、まず家族に別れを告げに行かせてください。」 62
イエスは言われた、「鋤に手をかけて後ろを見る者は、神の国にふさわしくありません。」

10
その後、主は他に七十二人を任命し、ご自分が行こうとしているすべての町や場所に二人ずつ先に送り出された。 2
そして彼らに言われた、「収穫は多いが、働き手が少ない。それゆえ、収穫の主は、収穫のために働き手を送り出してくださるよう祈りなさい。」 3
行きなさい。見よ、私はあなたがたを狼の中の子羊のように送り出します。 4
財布も袋も履物も持たず、道中で誰にも挨拶してはいけません。 5
家に入ったらまず、『この家に平安があるように』と言いなさい。 6
もし平和の子がそこにいるなら、あなたがたの平和

ルカの福音書

はその人にとどまります。そうでなければ、あなたがたに戻ってきます。

その家にとどまり、彼らが提供するものを食べたり飲んだりしなさい。働き手はその報酬に値するからです。家から家へ移ってはいけません。

町に入って歓迎されたら、前に出されたものを食べなさい。

そこにいる病人を癒し、『神の国があなたがたに近づいた』と言いなさい。

しかし、町に入って歓迎されなかったら、その通りに出てこう言いなさい、

『あなたがたの町の足についた塵さえも、あなたがたに対して払い落とします。しかし、これを知ってください、神の国が近づいたのです。』

私はあなたがたに言います、その町よりもソドムの方がその日に耐えやすいでしょう。

「わざわいだ、コラジンよ！わざわいだ、ベツサイダよ！あなたがたの中で行われた奇跡がティルスとシドンで行われていたなら、彼らはとうの昔に荒布をまとい、灰をかぶって悔い改めただろう。しかし、裁きの日にはティルスとシドンの方があなたがたよりも耐えやすいでしょう。そして、カペナウムよ、あなたは天にまで上げられるのか？いや、ハデスにまで落とされるのです。あなたがたに耳を傾ける者は私に耳を傾け、あなたがたを拒む者は私を拒み、私を拒む者は私を遣わした方を拒むのです。」

七十二人が喜びに満ちて帰ってきて言った、「主よ、あなたの名によって悪霊たちでさえ私たちに従います。」

イエスは彼らに言われた、「私はサタンが天から稲妻のように落ちるのを見ました。

私はあなたがたに、蛇やサソリを踏みつけ、敵のすべての力を打ち破る権威を与えました。何もあなたがたを害することはありません。

しかし、霊たちがあなたがたに従うことを喜ぶのではなく、あなたがたの名が天に書かれていることを喜びなさい。」

その時、イエスは聖霊によって喜びに満たされて言われた、「天と地の主である父よ、あなたを賛美します。あなたはこれらのことを賢い者や知識ある者から隠し、幼子たちに明らかにされました。そうです、父よ、これはあなたの御心になかったことです。

「すべてのことは父によって私に渡されました。父

が誰であるかを知っているのは子だけであり、子が誰であるかを知っているのは父だけです。そして、子が父を明らかにしようと選んだ者たちだけです。」

それから彼は弟子たちに向かってひそかに言われた、「あなたがたが見ていることを見る目は幸いです。

私はあなたがたに言います、多くの預言者や王たちはあなたがたが見ていることを見たいと願ったが、それを見ることはなく、あなたがたが聞いていることを聞きたいと願ったが、それを聞くことはありませんでした。」

ある時、律法の専門家が立ち上がり、イエスを試そうとして言った、「先生、永遠の命を得るためには何をすればよいでしょうか？」

「律法には何と書いてありますか？」と彼は答えた。「あなたはそれをどう解釈しますか？」

彼は答えて言った、「『心を尽くし、魂を尽くし、力を尽くし、思いを尽くして、あなたの神である主を愛せよ』そして、『あなたの隣人をあなた自身のように愛せよ』」

「あなたは正しく答えました」とイエスは言われた。「これを行いなさい、そうすれば生きるでしょう。」

しかし、自分を正当化しようとして、彼はイエスに言った、「では、私の隣人とは誰ですか？」

イエスは答えて言われた、「ある人がエルサレムからエリコへ下って行く途中、強盗に襲われた。彼らはその人の衣服を剥ぎ取り、打ち倒して半死半生のまま去って行った。

たまたま、ある祭司がその道を下って来たが、その人を見ると反対側を通り過ぎた。

同様に、あるレビ人もその場所に来て彼を見たが、反対側を通り過ぎた。

しかし、あるサマリア人が旅をしていて、その人のところ来ると、彼を見て憐れみを感じた。

彼は近づいて彼の傷を包帯で巻き、油とぶどう酒を注いだ。それから彼を自分の動物に乗せ、宿屋に連れて行って世話をした。

翌日、彼はデナリオン二枚を取り出し、宿屋の主人に渡して言った、『この人の世話をしてください。もし余計な費用がかかったら、私が戻って来た時に返済します。』

「この三人のうち、誰が強盗に襲われた人の隣人になったと思いますか？」

律法の専門家は答えて言った、「彼に憐れみを示し

ルカの福音書

た人です。」イエスは彼に言われた、「行って、あなたも同じようにしなさい。」

38

イエスと弟子たちが道を進んでいると、ある村に入った。そこではマルタという名の女が彼を自分の家に迎え入れた。

39

彼女にはマリアという名の妹がいて、主の足元に座ってその言葉を聞いていた。

40

しかし、マルタは多くの準備で気を取られていた。彼女はイエスのところに来て言った、「主よ、私の妹が私一人に仕事をさせているのを氣にかけてくださらないのですか？彼女に手伝うように言ってください！」

41

「マルタ、マルタ」と主は答えられた、「あなたは多くのことに気を配り、心を乱しています。しかし、必要なことは一つだけです。マリアは良い方を選びました。それは彼女から取り去られることはありません。」

42

11 ある場所でイエスが祈っておられるとき、祈りを終えられると、弟子の一人が近づいて言った。「主よ、ヨハネが弟子たちに教えたように、私たちにも祈りを教えてください。」

2

イエスは答えられた。「祈るときには、こう言いなさい。

『父よ、御名が崇められますように。

御国が来ますように。

3

私たちの日ごとの糧を今日もお与えください。

4

私たちの罪をお赦しください。

私たちも、私たちに罪を犯した者を皆赦します。

私たちを誘惑に陥らせず、

悪からお救いください。』

5

そして彼らに言われた。「あなたがたのうちの一人が友人を持っていて、真夜中に彼のところに行き、『友よ、パンを三つ貸してください。』

6

友人が旅から来たのですが、出してあげるのがありません。』

7

すると、内側から彼が答えて、『私を煩わせないでください。戸はすでに閉められ、子供たちも私も寝ています。起きて何かをあげることはできません。』

8

私はあなたに言います。たとえ彼が友人だからといって起きて何かをあげることはしなくても、彼のしつこさのために起きて必要なだけあげるでしょう。

9

だから、私はあなたに言います。求めなさい、そう

すれば与えられます。探しなさい、そうすれば見つかります。叩きなさい、そうすれば開かれます。10
求める者は皆受け、探す者は見つけ、叩く者には開かれます。11

あなたがたのうちのどの父親が、息子が魚を求めるときに蛇を与えるでしょうか。12

また、卵を求めるときにサソリを与えるでしょうか。13

あなたがたが悪い者であっても、自分の子供たちに良い贈り物を与えることを知っているなら、なおさら天の父は求める者に聖霊を与えてくださるでしょう。」

14

イエスは口のきけない悪霊を追い出しておられたが、その悪霊が出て行くと、口のきけなかった人が話し始め、群衆は驚いた。15

しかし、彼らの中には、「彼は悪霊のかしらベルゼブルによって悪霊を追い出している」と言う者もいた。16

他の者たちは、イエスを試して天からのしるしを求めた。17

しかし、イエスは彼らの思いを知って言われた。「内部分裂した国は荒れ果て、内部分裂した家は倒れます。18

サタンも内部分裂しているなら、その国はどうして立ち続けることができるでしょうか。あなたがたが私がベルゼブルによって悪霊を追い出していると言うからです。19

もし私がベルゼブルによって悪霊を追い出しているなら、あなたがたの子らは誰によって追い出しているのでしょうか。それゆえ、彼らがあなたがたの裁判官となるでしょう。20

しかし、もし私が神の力によって悪霊を追い出しているなら、神の国があなたがたに來たのです。21
強い人が武装して自分の家を守っているとき、その財産は安全です。22

しかし、もっと強い者が襲いかかって彼を打ち負かすと、彼が頼りにしていた武装を奪い、その戦利品を分けます。23

私と共にいない者は私に敵対し、私と共に集めない者は散らします。

24

「汚れた霊が人から出て行くと、水のない場所をさまよって休み場を探しますが、見つからないので、『出てきた自分の家に戻ろう』と言います。25
戻ってみると、その家は掃除され、整えられています。26

そこで、さらに悪い他の七つの霊を連れてきて、そ

ルカの福音書

こに住み着きます。そうすると、その人の最後の状態は最初よりも悪くなります。」

27

イエスがこれらのことを話しておられるとき、群衆の中のある女が声を上げて言った。「あなたが宿した胎と、あなたが吸った乳房は幸いです！」²⁸
しかし、イエスは言われた。「むしろ、神の言葉を聞いて守る人々が幸いです。」

29

群衆が増えていくと、イエスは言い始められた。「この世代は悪い世代です。しるしを求めますが、ヨナのしるしのほかに与えられません。」³⁰

ヨナがニネベの人々にとってしるしであったように、人の子もこの世代にとってしるしとなるでしょう。」³¹

南の女王がこの世代の人々と共に裁きの場に立ち、彼らを罪に定めます。彼女はソロモンの知恵を聞くために地の果てから来たからです。しかし、見よ、ソロモンよりも偉大な者がここにいます。」³²

ニネベの人々がこの世代と共に裁きの場に立ち、これを罪に定めます。彼らはヨナの宣教で悔い改めたからです。しかし、見よ、ヨナよりも偉大な者がここにいます。」³³

33

「誰も灯火を灯して、地下室や籠の下に置くことはありません。それを燭台の上に置き、入ってくる人々が光を見るためです。」³⁴

あなたの目は体の灯火です。あなたの目が健やかであれば、あなたの全身は光で満たされます。しかし、目が悪ければ、あなたの体は闇で満たされます。」³⁵

35

だから、あなたの中の光が闇でないように注意しなさい。」³⁶

もしあなたの全身が光で満ち、暗い部分が全くなければ、灯火がその光であなたを照らすときのように、全身が明るくなるでしょう。」³⁷

37

イエスが話し終わられると、あるパリサイ人がイエスを食事に招いたので、イエスはその家に入り、席に着かれた。³⁸
しかし、そのパリサイ人はイエスが食事の前にまず儀式的に手を洗わないのを見て驚いた。」³⁹

すると、主は彼に言われた。「今、あなたがたパリサイ人は杯や皿の外側をきれいにしますが、その内側は貪欲と悪で満ちています。」⁴⁰

愚かな者たちよ！外側を作った方が内側も作ったのではありませんか。」⁴¹

しかし、内側を施しとして与えなさい。そうすれば、すべてがあなたがたにとって清いものとなります。」⁴²

42

「あなたがたパリサイ人に災いあれ。あなたがたはミントやルバーやあらゆる種類の野菜の十分の一を納めますが、正義と神の愛を無視しています。これらを行うべきであり、他のこともおろそかにしてはなりません。」⁴³

あなたがたパリサイ人に災いあれ。あなたがたは会堂での上座や市場での挨拶を愛しています。⁴⁴
災いあれ。あなたがたは知られずに人々が歩く無印の墓のようです。」

45

律法の専門家の一人がイエスに答えて言った。「先生、これらのことを言うことによって、私たちも侮辱しています。」⁴⁶

イエスは言われた。「律法の専門家たちに災いあれ。あなたがたは人々に負いきれない重荷を負わせ、自分自身はその重荷に指一本触れようとしません。」⁴⁷

災いあれ。あなたがたは預言者たちの墓を建てますが、彼らを殺したのはあなたがたの先祖です。」⁴⁸
したがって、あなたがたは先祖の行いを承認している証人です。彼らは預言者たちを殺し、あなたがたはその墓を建てています。」⁴⁹

このために、神の知恵は言いました。『私は彼らに預言者と使徒を送る。彼らのうちのある者を殺し、他の者を迫害するでしょう。』⁵⁰

それで、世界の創造以来流されたすべての預言者の血がこの世代に求められることになります。」⁵¹

アベルの血から祭壇と聖所の間で殺されたゼカリヤの血に至るまで。まことに、私はあなたがたに言います。それはこの世代に求められるでしょう。」⁵²

「律法の専門家たちに災いあれ。あなたがたは知識の鍵を取り去りました。自分では入らず、入ろうとする人々を妨げました。」⁵³

53

イエスがその場所を去られると、律法学者とパリサイ人たちは激しく反対し、イエスに多くのことについて質問し始めた。⁵⁴
彼の言葉尻を捉えようと企んでいたのである。

12 このような状況で、群衆が何千人も集まり、互いに踏みつけ合うほどになったとき、イエスはまず弟子たちに話し始めて言われた。「パリサイ人のパン種、すなわち偽善に気を付けてなさい。」²

ルカの福音書

隠されているもので明らかにされないものはなく、
隠れているもので知られないものはありません。³
したがって、暗闇で話したことは光の中で聞かれ、
内室でささやいたことは屋上で宣言されるでしょう。
。

4
「わたしの友人たちに言います。体を殺してもそれ
以上何もできない者たちを恐れてはなりません。⁵
しかし、誰を恐れるべきかを示しましょう。殺した
後、地獄に投げ込む力を持つ方を恐れなさい。そう
です、あなたがたに言います、彼を恐れなさい。⁶
五羽のすずめが二ペンズで売られているではありませんか？
それでも、神の前で忘れられているものは一羽もあ
りません。⁷
実に、あなたがたの頭の髪の毛さえもすべて数えら
れています。恐れてはなりません。あなたがたは多
くのすずめよりも価値があります。

8
「わたしはあなたがたに言います。人々の前でわた
しを認める者は皆、人の子も神の御使いたちの前で
認めるでしょう。⁹
しかし、人々の前でわたしを否認する者は、神の御
使いたちの前で否認されるでしょう。¹⁰
人の子に逆らって話す者は許されますが、聖霊に逆
らって話す者は許されません。¹¹
会堂や支配者、権威者の前に連れて行かれるとき、
どのように弁護するか、何を言うかについて心配し
てはなりません。¹²
その時、聖霊があなたがたに何を言うべきかを教え
てくださいます。」

13
群衆の中のある人がイエスに言った。「先生、私の
兄弟に遺産を分けるように指示してください。」¹⁴
しかし、イエスは答えられた。「人よ、誰がわたし
をあなたの裁判官や仲裁者に任命したのですか？」
15
それから彼らに言われた。「あらゆる種類の貪欲に
気をつけ、警戒しなさい。人生は多くの財産を集め
ることではありません。¹⁶
そして彼らにたとえを話された。「ある裕福な人の
土地が非常に豊作でした。¹⁷
彼は自分自身に考えました、『作物をしまう場所が
ない、どうしようか？』¹⁸
それから彼は言いました、『こうしよう。倉を壊し
てもっと大きなものを建て、そこにすべての穀物と
財産をしまおう。¹⁹
そして自分の魂に言おう、「あなたは多くの年のた

めに多くの財産を蓄えた。安心して、食べ、飲み、
楽しめ。』²⁰
しかし、神は彼に言われた、『愚か者よ！今夜あな
たの命が要求される。今、あなたが準備したものは
誰のものになるのか？』²¹
自分のために宝を蓄え、神に対して富むことのない
者はこのようになります。」

22
それからイエスは弟子たちに言われた。「このため
にあなたがたに言います。命のこと、何を食べるか
について心配してはなりません。体のこと、何を着
るかについても心配してはなりません。²³
命は食べ物だけではなく、体は衣服だけではなく、²⁴
カラスを考えてみなさい。彼らは種をまかず、刈り
取らず、倉も納屋も持っていませんが、神は彼らを
養ってくださいます。あなたがたは鳥よりもどれほ
ど価値があることでしょう！²⁵
あなたがたのうち誰が心配することで命の長さを一
時間でも延ばすことができるのでしょうか？²⁶
非常に小さなことさえできないのなら、なぜ他のこ
とを心配するのですか？²⁷
野の花がどのように成長するかを考えてみなさい。
彼らは労働もせず、紡ぎもしません。それでも、ソ
ロモンでさえそのすべての栄華の中でこのように装
われてはいませんでした。²⁸
今日あつて明日は炉に投げ込まれる野の草を神がこ
のように装ってくださるのなら、あなたがたにはど
れほどもっと装ってくださることでしょう—
信仰の薄い者たちよ！²⁹
何を食べるか、何を飲むかに心を置いてはなりませ
ん。心配し続けてはなりません。³⁰
これらのことはすべて、世の国々が熱心に求めてい
るものです。あなたがたの父は、これらのものが必
要であることを知っておられます。³¹
むしろ、神の国を求めなさい。そうすれば、これら
のものもあなたがたに加えられるでしょう。³²
恐れてはなりません、小さな群れよ。あなたがたの
父は喜んで国を与えてくださいます。³³
財産を売って施しをしなさい。古びない財布を用意
し、泥棒が近づかず、虫が壊さない天にある宝を用
意しなさい。³⁴
あなたがたの宝のあるところに、あなたがたの心も
あるのです。

35 「腰に帯を締め、灯をともしていなさい。³⁶
主人が婚宴から帰ってくるのを待っているしもべた
ちのようにしなさい。彼が来てノックしたとき、す
ぐに彼のために戸を開けることができるように。³⁷

ルカの福音書

主人が来たときに目を覚ましているのを見つけるそのしもべたちは幸いです。まことに、わたしはあなたがたに言います。彼は自分を整えて、彼らを食卓に着かせ、来て彼らに仕えるでしょう。³⁸
主人が第二の見張りの時に来ても、第三の見張りの時に来ても、彼らが準備ができていようのを見つけるなら、それはしもべたちにとって良いことです。³⁹
しかし、このことを知っておきなさい。家の主人が泥棒が来る時間を知っていたなら、自分の家が破られることを許さなかったでしょう。⁴⁰
あなたがたも準備していなければなりません。人の子は思いがけない時に来るからです。」

41
ペテロが尋ねた。「主よ、このたとえを私たちに話しているのですか、それとも他のすべての人にですか？」⁴²

主は答えられた。「それでは、主人がしもべたちを管理するために任命する忠実で賢い管理者は誰でしょうか？適切な時に彼らに食物を与えるために。⁴³
主人が帰ってきたときにそのようにしているのを見つけるそのしもべは幸いです。⁴⁴
まことに、わたしはあなたがたに言います。彼は彼のすべての財産をそのしもべに任せるでしょう。⁴⁵
しかし、そのしもべが心の中で『主人が来るのが遅れている』と言い、他のしもべたち、男女を打ち始め、食べたり飲んだりして酔っ払うなら、⁴⁶
そのしもべの主人は、彼が予期しない日に、彼が知らない時間に来て、彼を二つに裂き、不信者たちと同じ場所に割り当てるでしょう。⁴⁷
「主人の意志を知っていながら準備せず、主人の望むことをしないそのしもべは、多くの打ちを受けるでしょう。⁴⁸
しかし、知らずに罰を受けるに値することをする者は、少ない打ちを受けるでしょう。多く与えられた者からは多くが要求され、託された者からはさらに多くが求められるでしょう。」

49
「わたしは地上に火を投じるために来ました。それがすでに燃えていたらどれほどよいことでしょう！」⁵⁰

しかし、わたしには受けるべきバプテスマがあります。それが成し遂げられるまで、どれほど苦しんでいることでしょう！⁵¹
わたしが地上に平和をもたらすために来たと思いますか？いいえ、わたしはあなたがたに言いますが、むしろ分裂です。⁵²
今後、五人の家族が分かれ、三人が二人に、二人が三人に逆らうでしょう。⁵³

彼らは互いに対立するでしょう。父は息子に、息子は父に、母は娘に、娘は母に、姑は嫁に、嫁は姑に。」

54
イエスはまた群衆に言われた。「西に雲が上がるのを見ると、すぐに『雨が来る』と言い、そうなります。⁵⁵
南風が吹くのを感じると、『暑くなる』と言い、そうなります。⁵⁶
偽善者たちよ！地と空の様子を見分けることを知っているのに、どうしてこの時を見分けることができないのですか？

57
「なぜ自分で何が正しいかを判断しないのですか？」⁵⁸

あなたが訴える相手と共に裁判官のもとに行くとき、途中で和解するように努力しなさい。さもないと、彼があなたを裁判官の前に引きずり出し、裁判官があなたを役人に引き渡し、役人があなたを牢に投げ込むでしょう。⁵⁹
あなたがたに言います。最後のペンスを支払うまで、あなたは解放されないでしょう。」

13 その時、ある人々が来て、ピラトがガリラヤ人の血を彼らの犠牲に混ぜたことをイエスに知らせた。²

イエスは答えて言われた、「あなたがたは、これらのガリラヤ人がこのような運命を受けたからといって、他のすべてのガリラヤ人よりも罪深いと思いますか。³
私はあなたがたに言います、そうではありません。しかし、あなたがたも悔い改めなければ、皆同じように滅びます。⁴
また、シロアムの塔が倒れて死んだ十八人のことを、エルサレムに住んでいる他のすべての人々よりも罪深いと思いますか。⁵
私はあなたがたに言います、そうではありません。しかし、あなたがたも悔い改めなければ、皆同じように滅びます。」

6
そして、イエスはこのたとえを話された。「ある人がぶどう園にいちじくの木を植えて、それに実を求めてきたが、何も見つからなかった。⁷
そこで、ぶどう園の番人に言った、『三年間このいちじくの木に実を求めてきたが、何も見つからない。切り倒せ！なぜ土地を無駄に使わせておくのか。』⁸
しかし、番人は答えて言った、『ご主人様、もう一

ルカの福音書

年そのままにしておいてください。私はその周りを掘り、肥料をやります。⁹
もし来年実を結べば、それでよし。そうでなければ、切り倒してください。』」

¹⁰
ある安息日に、イエスが会堂で教えておられたとき、¹¹
十八年間も霊に取り憑かれていた女がいた。彼女は腰が曲がっていて、全く伸ばすことができなかった。¹²
イエスは彼女を見て、呼び寄せて言われた、「女よ、あなたは病から解放されました。」¹³
イエスが彼女に手を置かれると、たちまち彼女はまっすぐになり、神を賛美した。¹⁴
しかし、会堂の指導者は、イエスが安息日に癒されたことに憤慨して、群衆に言った、「働くべき日は六日あります。その日々に来て癒されなさい。安息日には来るべきではありません。」¹⁵

主は彼に答えて言われた、「偽善者たちよ！あなたがたは皆、安息日に牛やろばを飼い葉桶から解いて、水を飲ませに連れて行くではありませんか。¹⁶
それなら、この女、アブラハムの娘であり、サタンによって十八年間も縛られていたこの人を、安息日にその束縛から解放してやるべきではありませんか。」¹⁷
イエスがこう言われると、すべての反対者たちは恥じ入ったが、群衆はイエスが行われたすべての栄光あることを喜んだ。

¹⁸
それからイエスは言われた、「神の国は何に似ているか。何に例えようか。¹⁹
それは、ある人が取って庭に植えたかし種のようなものである。それは成長して木になり、空の鳥がその枝に巣を作った。」

²⁰
再びイエスは言われた、「神の国を何に例えようか。²¹
それは、女が取って三斗の粉に混ぜたパン種のようなもので、すべてが膨らむまで混ぜられた。」

²²
そして、イエスは町や村を通り過ぎながら、エルサレムに向かって教えておられた。²³
ある人がイエスに尋ねた、「主よ、救われる者は少ないのでしょうか。」イエスは彼らに答えて、²⁴
「狭い門から入るように努めなさい。多くの人が入ろうとしても、できないのです。²⁵
家の主人が立ち上がって戸を閉めた後で、あなたが

たは外に立って戸をたたき、『ご主人様、開けてください』と言うでしょう。しかし、彼は答えて、『あなたがたを知らない、どこから来たのかも知らない』と言うでしょう。²⁶
その時、あなたがたは言うでしょう、『私たちはあなたと一緒に食事をし、あなたは私たちの中で教えられた。』²⁷
しかし、彼は答えて、『どこから来たのか知らない。悪を行う者たちよ、私から離れなさい！』と言うでしょう。²⁸
アブラハム、イサク、ヤコブ、そしてすべての預言者たちが神の国にいるのを見ながら、あなたがた自身は外に追い出されるとき、泣き叫び、齧ぎりするでしょう。²⁹
人々は東西南北から来て、神の国で席に着くでしょう。³⁰
実に、最後の者が最初になり、最初の者が最後になるのです。」

³¹
その時、あるパリサイ人たちがイエスのもとに来て言った、「ここを去って、他の場所へ行きなさい。ヘロデがあなたを殺そうとしています。」³²
イエスは答えて言われた、「あの狐に言いなさい、『私は今日も明日も悪霊を追い出し、癒しを行い、三日目に目的を達成する。』」³³
しかし、私は今日も明日もその次の日も旅を続けなければなりません。預言者がエルサレムの外で死ぬことはあり得ないからです。

³⁴
エルサレムよ、エルサレムよ、預言者たちを殺し、あなたに送られた者たちを石で打つ者よ、私は何度もあなたの子らを集めようとしたことか、めんどりが翼の下にひなを集めるように。しかし、あなたはそれを望まなかった。³⁵
見よ、あなたの家は荒れ果てたままにされる。私はあなたがたに言います、『主の名によって来られる方は祝福される』と言う時まで、あなたがたは私を見ることはないでしょう。」

14 安息日に、イエスがパリサイ人の指導者の家で食事をするために行かれたとき、彼らはイエスを注意深く観察していた。²
イエスの前には、ひどいむくみを患っている男がいた。³
イエスはパリサイ人と律法の専門家たちに質問をした。「安息日に癒すことは律法になっているか、いないか？」⁴
しかし、彼らは黙っていた。そこでイエスはその男を抱き、癒して送り出された。⁵

ルカの福音書

そして彼らに言われた。「あなたがたのうち、息子や牛が安息日に井戸に落ちたら、すぐに引き上げない者がいるだろうか？」⁶
彼らはこれに答えることができなかった。

客たちが席の上座を選ぶ様子を見て、イエスは彼らにたとえを話された。⁸

「誰かがあなたを結婚披露宴に招いたとき、上座に座ってはいけない。あなたよりも尊敬される人が招かれているかもしれないからだ。⁹
そうすると、あなたとその人を招いた者が来て、『この人に席を譲ってください』と言うだろう。すると、あなたは恥をかいて、末席に座ることになる。」¹⁰

しかし、招かれたときは、末席に座りなさい。そうすれば、招待した者が来て、『友よ、もっと上座に進みなさい』と言うだろう。すると、他のすべての客の前であなたは尊敬されることになる。¹¹
自分を高くする者は低くされ、へりくだる者は高くされるからである。」

それからイエスは招待した者に言われた。「昼食や夕食を振る舞うとき、友人や兄弟、親族、また裕福な隣人を招いてはいけない。そうすれば、彼らもあなたを招いてお返しをするかもしれないからだ。¹³
宴会を開くときは、貧しい人、障害のある人、足の不自由な人、盲人を招きなさい。¹⁴
そうすれば、あなたは祝福される。彼らはあなたに報いることができないが、正しい者の復活のときに報いを受けるからだ。」¹⁵

イエスと共に席についていた者の一人がこれ聞いて言った。「神の国で食事をする者は幸いです。」¹⁶

イエスは言われた。「ある人が大きな宴会を準備し、多くの客を招いた。¹⁷
宴会の時に、その人は召使いを送り、招かれた者たちに『さあ、すべて準備ができました』と言わせた。¹⁸

しかし、皆一様に言い訳をし始めた。最初の者は言った、『畑を買ったので、見に行かなければなりません。どうかご容赦ください。』¹⁹

別の者は言った、『五対の牛を買ったので、試しに行きます。どうかご容赦ください。』²⁰

また別の者は言った、『結婚したばかりなので、行くことができません。』²¹

召使いは戻ってこれを主人に報告した。家の主人は怒り、召使いに言った、『町の通りや路地に急いで

行き、貧しい人、障害のある人、盲人、足の不自由な人を連れて来なさい。』²²

召使いは言った、『ご主人様、あなたの命じたことは行いましたが、まだ席があります。』²³

主人は召使いに言った、『道や田舎道に出て行き、彼らを連れて来て、私の家を満たしなさい。』²⁴

言うておくが、招かれた者たちは誰一人として私の宴会を味わうことはない。』」

大勢の群衆がイエスと共に旅をしていた。イエスは彼らに向かって言われた。²⁵
「もし誰かが私のものに来て、自分の父や母、妻や子供、兄弟や姉妹、さらには自分の命をも憎まないなら、その人は私の弟子になることはできない。²⁷
自分の十字架を背負って私に従わない者も、私の弟子になることはできない。」²⁸

あなたがたのうち、塔を建てようとする者がいるなら、まず座って費用を計算し、完成させるのに十分なものがあるかどうかを考えないだろうか？²⁹
基礎を据えて完成できないと、見る人すべてがあなたを嘲笑するだろう。³⁰

『この人は建て始めたが、完成できなかった』と言うだろう。³¹

また、ある王が他の王と戦おうとする場合、まず座って、二万人で攻めて来る相手に対して、一万人で対抗できるかどうかを考えないだろうか？³²
もしできないなら、相手がまだ遠くにいるうちに使者を送り、和平を求めるだろう。³³

同様に、あなたがたのうち誰でも、自分の持ち物をすべて捨てないなら、私の弟子になることはできない。

「塩は良いものだ。しかし、もし塩が味を失ったら、どうやって塩味を取り戻せるだろうか？³⁵
それは土にも肥料にも適さず、捨てられる。耳のある者は聞きなさい。」

さて、取税人や罪人たちが皆、イエスの話を聞こうとして近づいてきた。²

すると、パリサイ人や律法学者たちがつぶやいて言った。「この人は罪人たちを迎えて、彼らと一緒に食事をしている。」

そこで、イエスは彼らにこのたとえを話された。³

「あなたがたのうちのだれかが、羊を百匹持っていて、そのうちの一匹を失ったとしたら、九十九匹を野原に残して、失った一匹を見つけるまで探しに行

ルカの福音書

かないでしょうか。⁵
そして、見つけたら、喜んでそれを肩に乗せ、⁶
家に帰って、友人や隣人を呼び集めて、『私と一緒に喜んでください。失った羊を見つけたのですから』⁷
と言うでしょう。
あなたがたに言いますが、それと同じように、一人の罪人が悔い改めると、悔い改めを必要としない九十九人の正しい人々よりも、天に大きな喜びがあるのです。

8
「また、十枚の銀貨を持っている女が一枚を失ったとしたら、灯をつけ、家を掃き、見つかるまで念入りに探さないでしょうか。⁹
そして、見つけたら、友人や隣人を呼び集めて、『私と一緒に喜んでください。失った銀貨を見つけたのですから』¹⁰
と言うでしょう。
同じように、あなたがたに言いますが、一人の罪人が悔い改めると、神の御使いたちの間に喜びがあるのです。」

11
それから、イエスは言われた、「ある人に二人の息子がいました。¹²
弟が父に、『お父さん、私に財産の分け前をください』¹³
と言ったので、父は財産を二人に分けてやりました。
それから間もなく、弟はすべてをまとめて遠い国に旅立ち、そこで放蕩して財産を使い果たしました。

14
すべてを使い果たした後、その国にひどい飢饉が起り、彼は困窮し始めました。¹⁵
そこで、その国のある市民のもとに身を寄せると、その人は彼を畑に送り、豚の世話をさせました。¹⁶
彼は豚が食べているいなご豆で腹を満たしたいと思いました。誰にも彼に何も与えてくれませんでした。¹⁷
彼が自分の状況に気づいたとき、『父のところの雇い人には余ほどの食べ物があるのに、私はここで飢え死にしそうだ！』¹⁸
立ち上がって父のもとに行き、こう言う。「お父さん、私は天に対してもあなたに対しても罪を犯しました。¹⁹
もう息子と呼ばれる資格はありません。雇い人の一人として扱ってください。」²⁰
彼は立ち上がって父のもとに行きました。しかし、まだ遠く離れていたのに、父は彼を見て憐れみ、走り寄って彼を抱き、口づけしました。²¹
息子は言いました、『お父さん、私は天に対してもあなたに対しても罪を犯しました。もう息子と呼ば

れる資格はありません。』²²
しかし、父は僕たちに言いました、『急いで一番良い服を持って来て彼に着せ、指に指輪をはめ、足に履物を履かせなさい。²³
肥えた子牛を連れて来て屠りなさい。食べて祝おう。²⁴
この息子は死んでいたのに生き返り、失われていたのに見つかったのだから。』そして彼らは祝宴を始めました。

25
その間に、兄は畑にいましたが、家に近づくとき音楽や踊りの音が聞こえてきました。²⁶
そこで、僕の一人を呼んで、何かと尋ねました。²⁷
『弟さんが帰ってきました。無事に帰ってきたので、お父さんが肥えた子牛を屠ったのです。』と答えました。²⁸
兄は怒って家に入ろうとしませんでした。そこで父が出てきて彼をなだめました。²⁹
しかし、彼は父に答えて言いました、『ご覧ください！私は長年あなたに仕え、あなたの命令を一度も破ったことはありません。それなのに、友達と祝うための子ヤギ一匹さえもくれませんでした。³⁰
ところが、あなたの財産を娼婦と共に食い潰したこの息子が帰ってくると、肥えた子牛を屠ってやるのですか！』³¹
父は言いました、『息子よ、お前はいつも私と一緒にいるし、私のものはすべてお前のものだ。³²
しかし、この弟は死んでいたのに生き返り、失われていたのに見つかったのだから、祝って喜ぶのは当然だ。』

16 イエスは弟子たちに言われた。「ある裕福な人がいて、その人には管理人がいた。この管理人が財産を浪費していると報告された。²
そこで彼は管理人を呼び、『あなたについて聞いていることは何ですか？
あなたの管理の報告をしなさい。もう管理人を続けることはできません』³
と言った。
管理人は心の中で言った、『主人が私から管理を取り上げようとしているが、どうしようか？
私は掘る力がないし、物乞いをするのは恥ずかしい。⁴
私はどうすればよいかわっている。管理を取り上げられたときに、人々が私を家に迎えてくれるようにしよう。』⁵
そこで彼は主人の債務者を一人一人呼び、『あなたは私の主人にどれだけ借りがありますか？』と尋ね

ルカの福音書

た。⁶
彼は『油**100**バテ』と答えた。管理人は彼に言った、
『あなたの請求書を取り、すぐに座って**50**と書きなさい。』⁷
次に別の人に、『あなたはどれだけ借りがありますか？』と尋ねた。彼は『小麦**100**コル』と答えた。
管理人は彼に言った、『あなたの請求書を取り、**80**と書きなさい。』⁸
主人は不正な管理人を賢く行動したとして称賛した。
なぜなら、この世の子供たちは光の子供たちよりも自分の仲間と賢く付き合うからである。⁹
そして私はあなたがたに言う、不正な富を用いて自分のために友を作りなさい。そうすれば、それがなくなったときに、彼らはあなたを永遠の住まいに迎えてくれるであろう。

¹⁰
非常に少しのことに忠実な者は、多くのことにも忠実であり、非常に少しのことに不正な者は、多くのことにも不正である。¹¹
もしあなたがたが不正な富に忠実でなかったなら、誰が真の富をあなたに委ねるだろうか？¹²
そして、もし他人のものに忠実でなかったなら、誰があなたのものを与えるだろうか？¹³
どんな召使も二人の主人に仕えることはできない。なぜなら、一方を憎んで他方を愛するか、一方に親しんで他方を軽んじるからである。あなたがたは神と富の両方に仕えることはできない。

¹⁴
金を受するパリサイ人たちは、これらすべてのことを聞いて、イエスをあざ笑った。¹⁵
イエスは彼らに言われた、「あなたがたは人々の前で自分を正当化する者たちだが、神はあなたがたの心を知っている。なぜなら、人々の間で高く評価されるものは、神の目には忌まわしいからである。

¹⁶
律法と預言者たちはヨハネまで宣べ伝えられた。それ以来、神の国の福音が宣べ伝えられ、誰もがそれに押し入っている。¹⁷
しかし、律法の一画が落ちるよりも、天地が滅びる方が容易である。¹⁸
妻を離婚して他の女と結婚する者は姦淫を犯し、夫から離婚された女と結婚する者も姦淫を犯す。

¹⁹
ある裕福な人がいて、紫の衣と細布をまとい、毎日贅沢に暮らしていた。²⁰
その門のところにラザロという名の貧しい人が置かれており、彼は全身にできものがあつた。²¹

彼は裕福な人の食卓から落ちるもので腹を満たしたいと思っていた。犬も来て彼のできものをなめた。²²

その貧しい人が死んで、天使たちによってアブラハムのそばに運ばれた。裕福な人も死んで葬られた。²³

彼は苦しみの中で目を上げ、遠くにアブラハムとそのそばにいるラザロを見た。²⁴

彼は叫んで言った、『父アブラハムよ、私を憐れんでください。ラザロを送って指の先を水に浸し、私の舌を冷やしてください。私はこの炎の中で苦しんでいます。』²⁵

しかしアブラハムは言った、『子よ、あなたは生前に良いものを受け、ラザロは悪いものを受けたことを思い出しなさい。しかし今、彼はここで慰められ、あなたは苦しんでいます。』²⁶

さらに、私たちとあなたの間には大きな淵が設けられており、ここからあなたのところへ渡ろうとする者はできず、そこから私たちのところへ渡ることもできません。』²⁷

彼は言った、『それなら、父よ、彼を私の父の家に送ってください—²⁸ 私には五人の兄弟がいます—彼らに警告して、この苦しみのある場所に来ないようにしてください。』²⁹

しかしアブラハムは言った、『彼らにはモーセと預言者たちがいる。彼らに聞きなさい。』³⁰

彼は言った、『いいえ、父アブラハムよ、しかし死者の中から誰かが彼らを訪ねれば、彼らは悔い改めるでしょう。』³¹

しかし彼は言った、『もし彼らがモーセと預言者たちに耳を傾けないなら、たとえ誰かが死者の中からよみがえっても、彼らは納得しないであろう。』」

17 イエスは弟子たちに言われた、「つまずきが来るのは避けられないが、それをもたらす人には災いがある。²

その人がこの小さい者たちの一人を罪に陥れるよりは、むしろ石臼を首にかけられて海に投げ込まれる方がましです。³

気をつけなさい。もし兄弟があなたに対して罪を犯したなら、彼を戒めなさい。そして、もし彼が悔い改めるなら、彼を赦しなさい。⁴

たとえ彼が一日に七度あなたに対して罪を犯し、七度『悔い改めます』と言って戻ってきてても、あなたは彼を赦さなければなりません。」

⁵
使徒たちは主に、「私たちの信仰を強めてください！」と願いました。⁶
主は答えられた、「もしあなたがたにカラシ種ほど

ルカの福音書

の信仰があるなら、この桑の木に『根こそぎにされて海に植えられよ』と言えば、それはあなたに従うでしょう。

7 「あなたがたのうちの誰かに、畑を耕すか羊を飼うしもべがいるとしましょう。しもべが畑から帰ってきたとき、『さあ、すぐに座って食事をしなさい』と言うのでしょうか。 8

むしろ、『私の夕食を用意し、帯を締めて私が食べて飲む間、私に仕えなさい。その後であなたが食べて飲みなさい』と言うわけではありませんか。 9

しもべが命じられたことをしたからといって、しもべに感謝するのでしょうか。 10

同様に、あなたがたも命じられたことをすべて終えたとき、『私たちは無益なしもべです。私たちはただ義務を果たしただけです』と言うべきです。」

11 イエスがエルサレムに向かう途中、サマリアとガラヤの境を通られた。 12

ある村に入ると、十人のらい病人がイエスに出会った。彼らは遠くに立って 13

大声で叫んだ、「イエス様、先生、私たちを憐れんでください！」 14

イエスは彼らを見て、「祭司たちに見せに行きなさい」と言われた。そして彼らが行く途中で清められた。 15

そのうちの一人が、自分が癒されたことを知ると、大声で神を賛美しながら戻ってきた。 16

彼はイエスの足元にひれ伏して感謝を表した—彼はサマリア人であった。 17

イエスは尋ねられた、「十人全員が清められたのはありませんか？他の九人はどこにいますか？ 18

この外国人以外に神をたたえるために戻ってきた者はいないのですか？」 19

それからイエスは彼に言われた、「立ち上がって行きなさい。あなたの信仰があなたを救いました。」

20

ある時、パリサイ人たちが神の国がいつ来るのかを尋ねたとき、イエスは答えられた、「神の国の到来は目に見える形ではありません。 21

人々は『ここにある』とか『あそこにある』とか言うことはありません。なぜなら、神の国はあなたがたの間にあるからです。」

22

それからイエスは弟子たちに言われた、「人の子の日の一つを見たいと切望する日が来ますが、それを見ることはできません。 23

人々はあなたがたに『見よ、そこにいる』とか『ここにいる』と言うでしょう。しかし、彼らの後を追って行つてはいけません。 24

人の子の日には、稲妻が空の一端から他の端まで輝くように、そうなるでしょう。 25

しかしまず、彼は多くのことを苦しみ、この世代によって拒絶されなければなりません。

26

ノアの時代にあったように、人の子の日にもそうなるでしょう。 27

人々は食べたり飲んだり、結婚したり嫁に出したりしていましたが、ノアが箱舟に入るその日まで続けました。そして洪水が来て彼らを皆滅ぼしました。 28

ロトの日にも同様でした。人々は食べたり飲んだり、買ったり売ったり、植えたり建てたりしていました。 29

しかし、ロトがソドムを去ったその日に、火と硫黄が天から降ってきて彼らを皆滅ぼしました。 30

人の子が現れる日にも同じことが起こるでしょう。

31

その日、屋上にいる者は、家の中にある持ち物を取りに下りてはいけません。同様に、畑にいる者も何かを取りに戻つてはいけません。 32

ロトの妻の教訓を忘れてはいけません！ 33

自分の命を救おうとする者はそれを失い、命を失う者はそれを保つでしょう。

34

私は言います、その夜、二人が一つのベッドにいると、一人は連れて行かれ、もう一人は残されます。 35

二人の女が一緒に穀物をひいていると、一人は連れて行かれ、もう一人は残されます。 36

【二人の男が畑にいと、一人は連れて行かれ、もう一人は残されます。】

37

「どこでですか、主よ？」と彼らは尋ねました。イエスは答えられた、「死体のあるところには、はげたかが集まります。」

18

それからイエスは、彼らが常に祈り、気落ちしないようにとたとえを話された。 2

彼は言った、「ある町に、神を恐れず、人を尊重しない裁判官がいました。 3

その町に一人のやもめがいて、彼のところに来ては、『私の相手に対して正義を行ってください』と訴えていました。 4

しばらくの間、彼は拒んでいましたが、後になって

ルカの福音書

彼は心の中で言いました、『私は神を恐れず、人を尊重しないが、⁵
このやもめが私を煩わせるので、彼女に正義を行ってやろう。さもないと、彼女がいつまでも来て私を疲れさせることになるだろう。』⁶
そして主は言われた、「不正な裁判官が言ったことを聞きなさい。⁷
神は昼も夜も彼に叫び求める選ばれた者たちのために、正義を行わないででしょうか。彼らを長く待たせるででしょうか。⁸
あなたがたに言いますが、神は彼らに速やかに正義を行います。しかし、人の子が来るとき、地上に信仰を見つけるででしょうか。」

⁹
また、自分の義に自信を持ち、他人を軽蔑する人々にこのたとえを話された。¹⁰
「二人の人が祈るために神殿に上りました。一人はパリサイ人で、もう一人は徴税人でした。¹¹
パリサイ人は立って、心の中でこう祈りました、『神よ、私は他の人々のように、詐欺師や悪事を働く者、姦淫を犯す者、あるいはこの徴税人のようではないことを感謝します。¹²
私は週に二度断食し、得たものの十分の一を捧げています。』¹³
しかし、徴税人は遠くに立ち、天を見上げることをさえせず、自分の胸を打ちながら言いました、『神よ、罪人の私を憐れんでください。』¹⁴
あなたがたに言いますが、この人は他の人よりも義とされて家に帰りました。なぜなら、自分を高くする者は低くされ、自分を低くする者は高くされるからです。」

¹⁵
人々はまた、イエスに触れてもらうために幼子たちを連れてきました。しかし、弟子たちはそれを見て彼らを叱りました。¹⁶
しかしイエスは子供たちを呼び寄せて言われました、「小さい子供たちを私のところに來させなさい。妨げてはなりません。神の国はこのような者たちのものです。¹⁷
まことにあなたがたに言いますが、誰でも小さい子供のように神の国を受け入れないなら、決してそこに入ることはできません。」

¹⁸
ある指導者がイエスに質問しました、「良い先生、私は永遠の命を受け継ぐために何をすべきでしょうか？」¹⁹
イエスは答えられました、「なぜ私を良いと言うのですか。神お一人のほかに良い者はいません。²⁰

あなたは戒めを知っています、『姦淫をしてはならない、殺してはならない、盗んではならない、偽証してはならない、あなたの父と母を敬え。』」²¹
彼は言いました、「これらはすべて若いころから守ってきました。」²²
イエスはこれ聞いて彼に言われました、「あなたにはまだ一つ欠けているものがあります。持っているものをすべて売り払い、貧しい人々に与えなさい。そうすれば、天に宝を持つことになります。それから私に従いなさい。」²³
彼はこれ聞いて非常に悲しみました。彼は非常に裕福だったからです。

²⁴
イエスは彼を見て言われました、「富んでいる者が神の国に入るのはどれほど難しいことでしょう。²⁵
まことに、ラクダが針の穴を通る方が、富んでいる者が神の国に入るよりも易しいのです。」²⁶
これを聞いていた人々は言いました、「では、誰が救われることができるのでしょうか？」²⁷
イエスは答えられました、「人にはできないことも、神にはできるのです。」

²⁸
ペテロはイエスに言いました、「私たちはあなたに従うために持っていたすべてを捨てました！」²⁹
イエスは彼らに言われました、「まことにあなたがたに言いますが、神の国のために家や妻、兄弟、両親、子供を捨てた者は誰も³⁰
この時代に多くのものを受け、来るべき時代に永遠の命を受けない者はいません。」

³¹
イエスは十二弟子を連れて別にし、彼らに言われました、「私たちはエルサレムに上って行きますが、人の子について預言者たちが書いたことはすべて成就されるでしょう。³²
彼は異邦人に引き渡され、彼らは彼を嘲り、侮辱し、唾をかけるでしょう。³³
彼らは彼を鞭打ち、殺すでしょう。しかし三日目に彼はよみがえります。」³⁴
弟子たちはこれらのことを何も理解しませんでした。この言葉の意味は彼らに隠されており、彼らは言われたことを理解しませんでした。

³⁵
イエスがエリコに近づいていたとき、盲人が道端に座って物乞いをしていました。³⁶
彼は群衆が通り過ぎるのを聞いて、何が起っているのか尋ねました。³⁷
彼らは彼に、「ナザレのイエスが通り過ぎている」

ルカの福音書

と知らせました。³⁸
彼は叫びました、「ダビデの子イエスよ、私を憐れんでください！」³⁹
先頭に行く者たちは彼に黙るように厳しく言いましたが、彼はますます叫びました、「ダビデの子よ、私を憐れんでください！」⁴⁰
イエスは立ち止まり、その人を自分のところに連れてくるように指示しました。彼が近づくと、イエスは彼に尋ねました、⁴¹
「あなたに何をしてほしいのですか？」彼は答えました、「主よ、私は視力を取り戻したいのです。」⁴²
イエスは彼に言われました、「視力を取り戻しなさい。あなたの信仰があなたを救いました。」⁴³
彼はすぐに視力を取り戻し、神を賛美しながらイエスに従いました。すべての人々がそれを見て、神を賛美しました。

19 イエスはエリコに入り、町を通り過ぎて行かれた。²
そこにザアカイという人がいた。彼は税金の徴収人の頭であり、裕福であった。³
彼はイエスがどんな人かを見ようとしていたが、背が低かったので群衆のために見ることができなかった。⁴
それで彼は先に走り、イエスが通られる道のそばのいちじく桑の木に登った。⁵
イエスがその場所に來られたとき、上を見上げて言われた。「ザアカイ、急いで降りて来なさい。今日はあなたの家に泊まることにしているから。」⁶
彼は急いで降りて来て、喜んでイエスを迎えた。⁷
これを見た人々はみなつぶやいて言った。「彼は罪人のところに泊まりに行った。」⁸
しかしザアカイは立ち上がって主に言った。「主よ、ご覧ください。私は財産の半分を貧しい人々に施します。また、誰かから何かをだまし取っていたなら、四倍にして返します。」⁹
イエスは彼に言われた。「今日、この家に救いが来ました。この人もアブラハムの子だからです。¹⁰
人の子は失われた者を捜して救うために來たのです。」¹¹

彼らがこれを聞いているとき、イエスはさらにたとえを話された。彼がエルサレムに近づいており、彼らは神の国がすぐに現れると思っていたからである。¹²
イエスは言われた。「ある貴族が自分のために王国を受けて帰るために遠い国へ行った。¹³
彼は十人のしもべを呼び寄せて、彼らに十ミナを与

え、『私が帰って来るまでこれで商売をしなさい』と言った。¹⁴
しかし彼の国民は彼を憎み、彼の後に使節を送り、『この人が私たちの王になることを望まない』と言った。¹⁵
彼は王位を受けて帰って来た。そして彼は金を与え、しもべたちを呼び寄せ、彼らが商売によってどれだけ儲けたかを知ろうとした。¹⁶
最初の者が来て言った、『主人様、あなたのミナは十ミナを儲けました。』¹⁷
彼は言った、『よくやった、良いしもべだ。あなたは非常に小さなことに忠実だったので、十の町を治めなさい。』¹⁸
次の者が来て言った、『主人様、あなたのミナは五ミナを儲けました。』¹⁹
彼は言った、『あなたも五つの町を治めなさい。』²⁰
そして別の者が来て言った、『主人様、ここにあなたのミナがあります。私はそれを布に包んでしまっておきました。』²¹
あなたが厳しい人で、置かなかったものを取り、蒔かなかったものを刈り取ることを知っていたので、恐れていました。』²²
彼の主人は答えた、『悪いしもべよ、あなたの言葉によってあなたを裁こう。あなたは私が厳しい人で、置かなかったものを取り、蒔かなかったものを刈り取ることを知っていたのか？』²³
それなら、なぜ私の金を銀行に預けなかったのか。そうすれば、私が帰って来たときに利息と共にそれを受け取ることができたのに。』²⁴
彼はそばに立っている者たちに言った、『彼のミナを取り上げて、十ミナ持っている者に与えなさい。』²⁵
』
彼らは彼に言った、『主人様、彼はすでに十ミナ持っています。』²⁶
『私はあなたに言います。持っている者にはさらに与えられ、持っていない者からは、持っているものさえも取り上げられるのです。』²⁷
しかし、私が彼らの王になることを望まなかった私の敵をここに連れて来て、私の前で殺しなさい。』
」

²⁸
これを話した後、イエスは先に進んでエルサレムに向かわれた。²⁹
オリブ山の近くのベテパゲとベタニアに近づいたとき、彼は二人の弟子を送り、³⁰
言われた。「前の村へ行きなさい。そこに入ると、まだ誰も乗ったことのない子ろばがつかがれているのを見つけるでしょう。それを解いて連れて来なさい

ルカの福音書

い。³¹
もし誰かが『なぜそれを解くのですか?』と尋ねたら、『主がそれを必要としておられるのです』と答えなさい。³²
遣わされた者たちは行って、彼が言われた通りに見つけた。³³
彼らが子ろばを解いていると、その持ち主たちが彼らに「なぜ子ろばを解くのですか?」と尋ねた。³⁴
彼らは答えた。「主がそれを必要としておられるのです。」³⁵
彼らは子ろばをイエスのもとに連れて来て、自分たちの上着をその上に置き、イエスを乗せた。³⁶
彼が進むと、人々は自分たちの上着を道に敷いた。³⁷

オリブ山の下り坂に差し掛かると、弟子たちの群衆全体が、彼らが見たすべての奇跡のために大声で喜びながら神を賛美始めた。³⁸
彼らは言った。「主の名によって来られる王に祝福あれ! 天には平和、いと高き所には栄光あれ!」³⁹
群衆の中のあるパリサイ人たちがイエスに言った。「先生、弟子たちを黙らせてください!」⁴⁰
彼は答えられた。「あなたがたに言いますが、もし彼らが黙れば、石が叫ぶでしょう。」

⁴¹ 彼がエルサレムに近づき、町を見て泣かれた。⁴²
そして言われた。「もしあなたが、この日にあなたに平和をもたらすものを知っていたなら。しかし今、それはあなたの目から隠されている。⁴³
あなたがたに敵が来て、あなたがたを取り囲み、四方から囲い込む日が来るでしょう。⁴⁴
彼らはあなたがたとあなたの中にいる子供たちを地に倒し、石を一つも他の石の上に残さないでしょう。神の訪れの時を認識しなかったからです。」

⁴⁵
イエスは神殿の境内に入り、売っている者たちを追い出し始めた。⁴⁶
彼らに言われた。『「わたしの家は祈りの家と呼ばれる』と書かれているのに、あなたがたはそれを強盗の巣にしました。』⁴⁷
毎日彼は神殿で教えておられた。しかし、祭司長たち、律法の教師たち、民の指導者たちは彼を殺そうとたくらんでいた。⁴⁸
しかし、彼らはどうすることもできなかった。民衆がみな彼の言葉に聞き入っていたからである。

20 ある日、イエスが神殿の境内で民に教え、福音を宣べ伝えておられると、祭司長たちと律法学者たち、そして長老たちが近づいてきた。²
彼らはイエスに言った、「あなたがこれらのことを

行う権威は何ですか、また誰がその権威をあなたに与えたのですか?」³
イエスは彼らに答えて言われた、「私も一つ尋ねます。それに答えてください。⁴
ヨハネのバプテスマは天からのものですか、それとも人からのものですか?」⁵
彼らは互いに論じ合って言った、「もし『天から』と言えば、『なぜ彼を信じなかったのか?』と言うだろう。⁶
しかし、『人から』と言えば、民は皆ヨハネを預言者だと確信しているので、私たちを石で打つだろう。』⁷
そこで彼らは、どこからか分からないと答えた。⁸
イエスは言われた、「それなら、私もどの権威によってこれらのことを行うのか、あなたがたに言わない。』⁹

それからイエスはこのたとえを民に話し始められた。「ある人がぶどう園を作り、それを農夫たちに貸して、長い旅に出た。¹⁰
収穫の時に、彼は農夫たちにぶどう園の実を受け取るためにしもべを送った。しかし、農夫たちは彼を打ち、何も持たせずに送り返した。¹¹
彼は別のしもべを送ったが、彼らはそのしもべも打ち、恥ずかしめ、何も持たせずに送り返した。¹²
彼は三人目を送ったが、彼もまた傷つけられ、追い出された。¹³
ぶどう園の主人は考えた、『どうしようか。私の愛する息子を送ろう。彼なら敬ってくれるかもしれない。』¹⁴
しかし、農夫たちは彼を見て、互いに相談して言った、『これは相続人だ。彼を殺して、相続を我々のものにしよう。』¹⁵
そこで彼らは彼をぶどう園の外に投げ出して殺した。では、ぶどう園の主人は彼らに何をするだろうか?」¹⁶
彼は来て、その農夫たちを滅ぼし、ぶどう園を他の人々に与える。」これを聞いた人々は言った、「そんなことがあつてはなりません!」¹⁷
イエスは彼らをじっと見て言われた、「では、次の書かれていることの意味は何ですか:

『**建築者たちが捨てた石が
主要な隅の石となった**』?

¹⁸
その石につまずく者は皆砕かれ、また、その石が落ちる者は粉々にされる。」¹⁹
律法学者たちと祭司長たちはその時イエスを捕らえようとしたが、民を恐れてできなかった。彼らはこ

ルカの福音書

のたとえが自分たちに対して語られたことを理解していたからである。

20

そこで彼らはイエスを注意深く見張り、正しいふりをするスパイを送り、イエスの言葉に何か落ち度を見つけて、総督の権限と支配に引き渡そうとした。

21

スパイたちはイエスに質問して言った、「先生、私たちはあなたが正しく話し、教え、偏りなく神の道を真実に教えていることを知っています。」

それでは、私たちがカエサルに税を納めることは正しいことですか？」

しかし、イエスは彼らの策略を見抜いて言われた、

24

「デナリウス銀貨を見せてください。それには誰の肖像と銘があるのですか？」彼らは答えた、「カエサルのです。」

イエスは言われた、「それなら、カエサルのものはカエサルに、神のものは神に返しなさい。」

彼らは公衆の前でイエスの言葉に落ち度を見つることができず、イエスの答えに驚き、黙ってしまっ

27

た。復活がないと言うサドカイ派の人々がイエスに質問を持って来た。

彼らは言った、「先生、モーセは、ある人の兄弟が死んで妻を残し、子供がいなかった場合、その人はその未亡人と結婚し、兄弟のために子孫を起すべきだと教えました。」

さて、七人の兄弟がいました。最初の兄弟がある女性と結婚し、子供を残さずに死にました。

次に二番目の兄弟が彼女と結婚し、死にました。

そして三番目も彼女と結婚し、死にました。こうして七人全員が彼女と結婚し、子供を残さずに死にました。

最後に、その女性も死にました。それでは、復活の時に彼女は誰の妻になるのでしょうか？七人全員が彼女と結婚していたのですから。

」

イエスは答えられた、「この世の人々は結婚し、嫁に出されます。」

しかし、来るべき世と死者の中からの復活にふさわしいとされる者たちは、結婚も嫁に出されることもありません。

彼らはもはや死ぬことができないからです。彼らは天使のようであり、復活の子として神の子です。

しかし、燃える茂みの物語の中で、モーセさえも死者が復活することを示しました。彼は主を『アブラハムの神、イサクの神、ヤコブの神』と呼んでいま

す。

彼は死者の神ではなく、生ける者の神です。彼の目にはすべてが生きているのです。」

ある律法学者たちは答えて言った、「よく言われました、先生！」

そして彼らはもはや何も質問する勇気がなかった。

41

それからイエスは彼らに言われた、「なぜメシアがダビデの子だと言われるのですか？」

ダビデ自身が詩篇の中で言っています、『主は私の主に言われた、「私の右に座れ

私があなたの敵をあなたの足台とするまで。』』ダビデは彼を『主』と呼んでいます。どうして彼がその子であり得るのでしょうか？」

45

すべての人々が聞いている中で、イエスは弟子たちに言われた、

「律法学者たちに気をつけなさい。彼らは長い衣を着て歩き回ることを好み、市場での挨拶や会堂での上座、宴会での名誉ある席を愛しています。

彼らは未亡人の家を食い尽くし、見せかけのために長い祈りをします。このような人々はより厳しい裁きを受けるでしょう。」

21 イエスが見上げたとき、裕福な人々が神殿の献金箱に贈り物を入れているのを見た。

彼はまた、貧しいやもめが二枚の小さな銅貨を入れているのを見た。

そして彼は言った、「まことにあなたがたに言います。この貧しいやもめは、他のすべての人よりも多くを捧げました。

彼らは皆、豊かさの中から捧げましたが、彼女は貧しさの中から、生活のために持っていたすべてを入れました。」

5

彼の弟子たちの何人かが、神殿が美しい石や献納物で飾られていることについて話していた。しかしイエスは言った、

「あなたがたが見ているこれらのものについて、石が一つも他の石の上に残らず、すべてが崩れる時が来ます。」

彼らは彼に尋ねた、「先生、これらのことはいつ起こるのですか？そして、それらが起こる前兆は何ですか？」

8

彼は答えた、「惑わされないように注意しなさい。多くの者が私の名で来て、『私がそれだ』とか、『

ルカの福音書

時が近づいた』と言います。彼らに従ってはいけません。⁹

戦争や騒乱の噂を聞いても、恐れてはいけません。これらのことはまず起こらなければなりません、¹⁰
終わりはすぐには来ません。」

彼は続けた、「国は国に対して立ち上がり、王国は王国に対して立ち上がります。¹¹
大地震や飢饉、疫病が様々な場所で起こり、恐ろしい出来事や天からの大きな徴が現れます。

¹²
「しかしこれらすべてのの前に、彼らはあなたがたに手をかけ、迫害し、会堂や牢獄に引き渡し、私の名のために王や総督の前に連れて行きます。¹³
これはあなたがたが証を立てる機会となります。¹⁴
だから、どう弁明するかを前もって心配しないと決めなさい。¹⁵

私はあなたがたに、敵が反論できない言葉と知恵を与えます。¹⁶

あなたがたは親や兄弟、親族、友人にまで裏切られ、何人かは殺されるでしょう。¹⁷

私の名のために、すべての人に憎まれるでしょう。¹⁸

しかし、あなたがたの髪の毛一本も失われることはありません。¹⁹

忍耐によって、あなたがたは自分の魂を得るでしょう。

²⁰
「エルサレムが軍隊に囲まれているのを見たら、その荒廃が近いことを知りなさい。²¹

そのとき、ユダヤにいる者は山へ逃げ、町の中にいる者は出て行き、田舎にいる者は町に入ってはいけません。²²

これらは、書かれているすべてを成就するための報復の日々です。²³

その日には、妊婦や授乳中の母親にとってどれほど恐ろしいことでしょう！地には大きな苦難があり、この民に対して怒りがあるでしょう。²⁴

彼らは剣に倒れ、すべての国に捕虜として連れて行かれるでしょう。エルサレムは異邦人に踏みにじられ、異邦人の時が満ちるまで続くでしょう。

²⁵
「太陽と月と星に徴が現れます。地上では、海の轟きと波の騒ぎにより、国々は苦悩と混乱に陥ります。²⁶

人々は、世界に来ることを恐れて気絶するでしょう。天の力が揺り動かされるからです。²⁷

そのとき、人々は人の子が力と大いなる栄光をもって雲に乗って来るのを見るでしょう。²⁸

これらのことが起こり始めたら、立ち上がって頭を上げなさい。あなたがたの贖いが近づいているからです。」

²⁹
彼は彼らにこのたとえを話しました。「いちじくの木とすべての木を見なさい。³⁰

それらが芽吹き始めるとき、あなたがた自身で見て、夏が近いことを知ることができます。³¹

同じように、これらのことが起こるのを見たら、神の国が近いことを認識しなさい。³²

まことにあなたがたに言います。この世代は、これらすべてのことが起こるまで過ぎ去ることはありません。³³

天と地は過ぎ去るかもしれませんが、私の言葉は決して過ぎ去ることはありません。

³⁴
「気をつけなさい。さもないと、あなたがたの心は放蕩や酩酊、生活の心配で重くなり、その日が突然、畏のようにあなたがたに襲いかかるでしょう。³⁵
それは地上のすべての住民に降りかかるからです。³⁶

常に目を覚ましていなさい。そして、これから起こるすべてのことを逃れ、人の子の前に立つ力を持つように祈りなさい。」

³⁷
毎日、イエスは神殿で教え、毎晩オリブ山と呼ばれる丘で過ごしていた。³⁸

そしてすべての人々は朝早く起きて、神殿で彼の話を聞きに来了。

22 さて、過越しと呼ばれる種なしパンの祭りが近づいていた。²

祭司長たちと律法学者たちは、イエスを殺す方法を探していた。彼らは民衆を恐れていたからである。³

その時、十二人の一人であるイスカリオテと呼ばれるユダにサタンが入った。⁴

ユダは行って、祭司長たちや神殿の役人たちと、どのようにしてイエスを裏切るかを相談した。⁵

彼らは喜び、彼に金を与えることに同意した。⁶
彼はそれを受け入れ、群衆のいないところでイエスを引き渡す機会をうかがっていた。

⁷
それから、過越しの小羊をほふるべき種なしパンの日が来た。⁸

イエスはペテロとヨハネを送り、「私たちが食べるために過越しを準備しなさい」と指示された。⁹
彼らはイエスに尋ねた、「どこで準備をすればよい

ルカの福音書

ですか？」¹⁰
イエスは答えられた、「町に入ると、水がめを運んでいる男に会う。その男が入る家に従って行きなさい。¹¹
そして、その家の主人に言いなさい、『先生が尋ねています。私が弟子たちと過越しを食べるための客間はどこですか？』¹²
彼はあなたがたに大きな整った上の部屋を見せる。そこで準備しなさい。」¹³
彼らは行って、イエスが言われたとおりにすべてを見つけ、過越しを準備した。

¹⁴
時が来たとき、イエスは席に着き、使徒たちも共にいた。¹⁵
イエスは彼らに言われた、「私は苦しむ前に、あなたがたとの過越しを食べることを切に望んでいました。¹⁶
私は言いますが、神の国で成就するまで、私はもうこれを食べません。」¹⁷
杯を取り、感謝を捧げてから、イエスは言われた、「これを取り、あなたがたの間で分けなさい。¹⁸
私は言いますが、神の国が来るまで、私はもうぶどうの実から取ったものを飲みません。」¹⁹
イエスはパンを取り、感謝を捧げ、これを裂いて彼らに与え、言われた、「これはあなたがたのために与えられる私の体です。私を記念してこれを行いなさい。」²⁰
同じように、食事の後、杯を取り、言われた、「この杯は、あなたがたのために流される私の血による新しい契約です。

²¹
しかし見なさい、私を裏切る者の手が私と共に食卓にあります。²²
人の子は定められたとおりに行きますが、彼を裏切るその人には災いがあります！」²³
彼らは自分たちの中で誰がこれを行うのかを互いに問い始めた。

²⁴
また、彼らの間で誰が最も偉いかについての議論が起こった。²⁵
イエスは彼らに言われた、「異邦人の王たちは彼らに対して主権を行使し、彼らの上に権威を持つ者たちは恩人と呼ばれます。²⁶
しかし、あなたがたはそうであってはなりません。むしろ、あなたがたの中で最も偉い者は最も若い者のようであり、指導者は仕える者のようであるべきです。²⁷
食卓に着く者と仕える者のうち、どちらが偉いす

か？食卓に着く者ではありませんか？しかし、私はあなたがたの間で仕える者としています。²⁸
あなたがたは私の試練の中で私と共に留まった者たちです。²⁹
そして、私の父が私に王国を与えられたように、私はあなたがたに王国を与えます。³⁰
それは、あなたがたが私の王国で私の食卓に着き、イスラエルの十二部族を治める座に着くためです。

³¹
「シモン、シモン、見なさい、サタンがあなたがたを小麦のようにふるいにかけることを求めました。³²

しかし、私はあなたの信仰が失われないように祈りました。そして、あなたが立ち直ったときに、兄弟たちを強めなさい。」³³
しかし彼は答えた、「主よ、私はあなたと共に牢獄にも死にも行く準備ができています。」³⁴
イエスは言われた、「ペテロ、私はあなたに言いますが、今日、鶏が鳴く前に、あなたは三度私を知らないと言うでしょう。」

³⁵
それからイエスは彼らに尋ねられた、「財布も袋も履物も持たずにあなたがたを送ったとき、何か欠けたものがありましたか？」彼らは答えた、「何もありませんでした。」³⁶
イエスは言われた、「しかし今、財布がある者はそれを持ち、袋も持ちなさい。そして、剣がない者は、外套を売ってそれを買いなさい。³⁷
私はあなたがたに言いますが、『彼は罪人たちと共に数えられた』というこの聖書の言葉は私において成就しなければなりません。私について書かれていることは成就に向かっています。」³⁸
弟子たちは言った、「主よ、ここに二つの剣があります。」イエスは答えられた、「それで十分です！」

³⁹
イエスはいつものようにオリーブ山に出かけ、弟子たちも従った。⁴⁰
その場所に着くと、イエスは彼らに言われた、「誘惑に陥らないように祈りなさい。」⁴¹
イエスは彼らから少し離れたところに行き、ひざまずいて祈られた、⁴²
「父よ、もしあなたの御心なら、この杯を私から取り去ってください。しかし、私の意志ではなく、あなたの御意志が成されますように。」⁴³
[天の使いがイエスを訪れ、力を与えた。]⁴⁴
イエスは苦しみの中で、さらに熱心に祈られ、その汗は血の滴のように地に落ちた。⁴⁵

ルカの福音書

祈りから立ち上がって弟子たちのところに戻ると、彼らが悲しみに打ちひしがれて眠っているのを見つけた。⁴⁶

「なぜ眠っているのですか？」イエスは彼らに言われた。「起きて、誘惑に陥らないように祈りなさい。」⁴⁷

イエスがまだ話しておられるときに、群衆がやって来て、十二人の一人であるユダという男が彼らを率いていた。彼はイエスに接吻しようと近づいた。⁴⁸ しかしイエスは彼に尋ねられた、「ユダ、あなたは接吻で人の子を裏切るのですか？」⁴⁹ 周りにいた者たちは何が起こるかを見て、「主よ、私たちは剣で打つべきですか？」と言った。⁵⁰ そして、彼らの一人が大祭司のしもべを打ち、その右耳を切り落とした。⁵¹

しかしイエスは答えられた、「これ以上はやめなさい！」そしてその男の耳に触れて彼を癒された。⁵² それからイエスは、祭司長たち、神殿の役人たち、そして自分を捕らえにきた長老たちに言われた、「私が反乱を起こしているかのように、剣や棒を持って来たのですか？」⁵³

毎日私は神殿の庭であなたがたと共にいましたが、あなたがたは私に手をかけませんでした。しかし、これはあなたがたの時です——闇がその力を持つ時です。」⁵⁴

それから彼らはイエスを捕らえ、連れ去り、大祭司の家に連れて行った。ペテロは遠くから従った。⁵⁵ 中庭の真ん中で火が焚かれ、彼らが一緒に座ったとき、ペテロも彼らの中に座った。⁵⁶ しもべの女が火の光の中で彼を見て、じっと見つめて、「この人もイエスと一緒にいました」と叫んだ。⁵⁷ しかし彼は答えた、「女よ、私は彼を知らない。」⁵⁸

少し後に、他の誰かが彼を見て言った、「あなたも彼らの一人です。」ペテロは答えた、「違います！」⁵⁹

約一時間後、別の者が主張した、「確かにこの人もイエスと一緒にいました。彼はガリラヤ人ですから。」⁶⁰

ペテロは答えた、「私はあなたが何を言っているのか分かりません！」彼がまだ話していると、すぐに鶏が鳴いた。⁶¹

主は振り向いてペテロを見つめられた。するとペテロは、主が彼に言われた言葉を思い出した、「今日、鶏が鳴く前に、あなたは三度私を知らないと言う

でしょう。」⁶²

そして彼は外に出て、激しく泣いた。⁶³

イエスを見張っていた者たちは、イエスをあざけり、打ち始めた。⁶⁴

彼らはイエスの目を覆い、「予言しろ！誰があなたを打ったのか？」と要求した。⁶⁵

そして、彼に対して多くの他の侮辱的な言葉を投げかけた。⁶⁶

夜が明けると、民の長老たちの会議、祭司長たちと律法学者たちが集まり、イエスは彼らの前に連れて行かれた。⁶⁷

「もしあなたがメシアなら、私たちに言いなさい。」イエスは答えられた、「もし私が言っても、あなたがたは信じないでしょう。」⁶⁸

そして、私が何かを尋ねても、あなたがたは答えないでしょう。⁶⁹

しかし、今から後、人の子は神の力の右に座るでしょう。」⁷⁰

彼らは皆言った、「それでは、あなたは神の子ですか？」イエスは答えられた、「あなたがたがそう言っています。」⁷¹

すると彼らは言った、「なぜさらに証言が必要ですか？私たちは彼自身の口から聞きました。」

23 すると、全会衆が立ち上がり、イエスをピラトのもとに連れて行った。²

彼らはイエスを訴え始めて言った。「この男は我々の国民を惑わし、カエサルに税を納めることに反対し、自分がキリスト、すなわち王であると主張しています。」³

ピラトはイエスに尋ねた、「あなたはユダヤ人の王ですか？」イエスは答えた、「あなたが言うとおりです。」⁴

するとピラトは祭司長たちと群衆に言った、「私はこの男に罪を見出さない。」⁵

しかし彼らはしつこく言った、「彼はガリラヤから始めてここに至るまで、ユダヤ全土で教えながら民衆を煽動しています。」⁶

これを聞いて、ピラトはその男がガリラヤ人かどうかを尋ねた。⁷

そして彼がヘロデの管轄下にあることを知ると、彼をヘロデのもとに送った。その時、ヘロデもエルサレムにいた。⁸

ヘロデはイエスを見て非常に喜んだ。彼はイエスのことを聞いており、長い間彼を見たいと思っていたからであり、何かしるしを行うのを見たいと望んでいた。⁹

ルカの福音書

彼はイエスに多くのことを尋ねたが、イエスは何も答えなかった。¹⁰

祭司長たちと律法学者たちはそこに立って、激しくイエスを訴えた。¹¹

ヘロデはその兵士たちと共にイエスを軽蔑し、あざけた。彼に豪華な衣を着せて、ピラトのもとに送り返した。¹²

その日、ヘロデとピラトは友となった。それまでは敵対していた。

¹³
ピラトは祭司長たち、役人たち、そして民衆を集め、¹⁴

言った、「あなたたちはこの男を民衆を煽動する者として私のもとに連れてきた。私はあなたたちの前で彼を調べたが、彼に対するあなたたちの訴えの根拠を見出さなかった。¹⁵

ヘロデも同様で、彼を我々のもとに送り返した。見てのとおり、彼は死に値することを何もしていない。¹⁶

だから、私は彼を懲らしめてから釈放する。」¹⁷
[祭りの時には、彼は彼らに一人の囚人を釈放する義務があった。]¹⁸

しかし、群衆全体が叫んだ、「この男を取り除け！バラバを我々に釈放せよ！」¹⁹

(バラバは市中での反乱と殺人のために投獄されていた。)²⁰

イエスを釈放したいと望んで、ピラトは再び彼らに語りかけた。²¹

しかし彼らはしつこく叫び続けた、「十字架につけろ！十字架につけろ！」²²

三度目に彼は彼らに言った、「なぜだ？この男はどんな悪事を働いたのか？私は死刑に値する罪を見出さない。だから、私は彼を懲らしめてから釈放する。」²³

しかし彼らはしつこく、大声で彼を十字架につけることを要求し、その声が勝った。²⁴

こうして、ピラトは彼らの要求を受け入れることに決めた。²⁵

彼は反乱と殺人のために投獄されていた男、彼らが求めた者を釈放し、イエスを彼らの意志に任せた。

²⁶
彼らがイエスを連れて行くとき、田舎から来ていたキレネのシモンを捕まえ、イエスの後ろで十字架を運ばせた。²⁷

大勢の群衆がイエスに従い、その中には彼のために嘆き悲しむ女たちもいた。²⁸

イエスは彼女たちに向かって言った、「エルサレムの娘たちよ、私のために泣くな。自分自身とあなた

たちの子供たちのために泣け。²⁹
なぜなら、あなたたちは『子を産まない女、産んだことのない胎、乳を飲ませたことのない乳房は幸いです』と言う時が来るからだ。³⁰ その時、

山に向かって、『我々の上に落ちよ！』と呼び、
丘に向かって、『我々を覆え！』と言うだろう。

³¹
なぜなら、人々が木が青々としている時にこれらのことをするのなら、枯れている時にはどうなるのか？
」

³²
他に二人の犯罪者も共に処刑されるために連れて行かれた。³³

彼らが「髑髏」と呼ばれる場所に着くと、彼らはイエスを犯罪者たちと共に十字架につけた。一人は右に、もう一人は左に。³⁴

イエスは言った、「父よ、彼らをお赦しください。彼らは自分が何をしているのか分かっていないのです。」そして彼らはくじを引いてイエスの衣を分け合った。³⁵

民衆は立って見ており、指導者たちは彼をあざけって言った、「他人を救ったのだから、もし彼が神の選ばれた者、メシアであるなら、自分を救え。」³⁶

兵士たちも彼をあざけり、酸いぶどう酒を差し出し、³⁷

「もしあなたがユダヤ人の王なら、自分を救え」と冗談を言った。³⁸

彼の上には「これはユダヤ人の王である」と書かれた札が掲げられていた。

³⁹
そこに吊るされていた犯罪者の一人が彼を侮辱して言った、「あなたはメシアではないのか？自分と我々を救え！」⁴⁰

しかし、もう一人の犯罪者は彼をたしなめた。「あなたは神を恐れないのか」と言った、「あなたも同じ刑罰を受けているのに。」⁴¹

我々は自分のしたことにふさわしい罰を受けているのだから当然だ。しかし、この人は何も悪いことをしていない。」⁴²

そして彼は懇願した、「イエスよ、あなたの御国に入られる時、私を思い出してください。」⁴³

イエスは彼に答えた、「まことにあなたに言います。今日、あなたは私と共に楽園にいるでしょう。」

⁴⁴
正午ごろ、全地が暗くなり、午後三時まで続いた。⁴⁵

⁴⁶
太陽は光を失い、神殿の幕が真っ二つに裂けた。

ルカの福音書

イエスは大声で叫んだ、「父よ、あなたの手に私の霊を委ねます。」こう言って、息を引き取られた。

47 百人隊長はこれを見て、神を賛美して言った、「確かにこの人は正しい人であった。」 48

この出来事を見に集まった群衆は、起こったことを見て、胸を打ちながら帰って行った。 49

しかし、彼を知っていたすべての人々、ガリラヤから彼に従ってきた女たちを含め、遠くからこれらのことを見ていた。

50 さて、ヨセフという名の人がいた。彼は議会の一員で、良い正しい人であった。 51

彼は彼らの決定と行動に同意しなかった。彼はユダヤの町アリマタヤから来た人で、神の国を待ち望んでいた。 52

彼はピラトのもとに行き、イエスの体を求めた。 53
そしてそれを降ろし、亜麻布で包み、岩に掘られた、まだ誰も葬られたことのない墓に納めた。 54

それは準備の日であり、安息日が近づいていた。 55
ガリラヤからイエスに従ってきた女たちは、ヨセフに従って墓を見て、その体がどのように納められたかを見た。 56

それから彼女たちは帰り、香料と香油を準備した。しかし、彼女たちは戒めに従って安息日を守って休んだ。

24 週の初めの日、夜明けに、女たちは用意した香料を持って墓に来た。 2

彼女たちは墓から石が転がされているのを見つけた。 3

しかし、中に入ると、主イエスの体が見当たらなかった。 4

このことで途方に暮れていると、突然、稲妻のように輝く衣を着た二人の男が彼女たちのそばに立った。 5

恐れた彼女たちは地面に顔を伏せたが、その男たちは言った。「なぜ、生きている方を死者の中に探すのですか？」 6

ここにはおられません。よみがえられたのです！ガリラヤにおられたときに、あなたがたに語られたことを思い出さない。 7

人の子は必ず罪人たちの手に渡され、十字架につけられ、三日目によみがえると。」 8

そのとき、彼女たちはその言葉を思い出した。 9
墓から戻り、これらのことを十一人と他のすべての人に伝えた。 10

マグダラのマリア、ヨハンナ、ヤコブの母マリア、そして彼女たちと一緒にいた他の女たちが、これを

使徒たちに伝えた。 11

しかし、彼らにはその言葉がたわごとのように思えたので、女たちを信じなかった。 12

しかし、ペテロは立ち上がって墓へ走った。かがんで見ると、亜麻布だけが置いてあったので、起こったことに驚きながら帰った。

13
その同じ日、彼らのうちの二人がエマオという村に向かっていった。エルサレムから約六十スタディアの距離であった。 14

彼らは起こったすべてのことについて話し合っていた。 15

これらのことを話し合っていると、イエスご自身が近づいてきて、彼らと一緒に歩き始めた。 16

しかし、彼らの目は遮られていて、イエスだとわからなかった。 17

イエスは彼らに言われた。「歩きながら話し合っていることは何ですか？」彼らは悲しそうな顔をして立ち止まった。 18

そのうちの一人、クレオパという者が答えた。「あなたはエルサレムに滞在している者の中で、最近そこで起こったことを知らないただ一人の方ですか？」 19

「どんなことですか？」とイエスが尋ねられると、彼は答えた。「ナザレのイエスのことです。彼は神とすべての民の前で、行いとことばにおいて力ある預言者でした。 20

そして、祭司長たちや私たちの指導者たちが彼を死刑にするために引き渡し、十字架につけたのです。 21

しかし、私たちは彼がイスラエルを贖う方であると望んでいました。さらにこれらすべてのことが起こってから、今日で三日目です。 22

その上、私たちの中の何人かの女たちが私たちを驚かせました。彼女たちは今朝早く墓に行きましたが、 23

彼の体が見当たらなかったのです。彼女たちは天使たちの幻を見たと言い、その天使たちが彼は生きていたと言ったのです。 24

それから、私たちの仲間の何人かが墓に行って、女たちが言ったとおりであるのを見ましたが、彼は見ませんでした。」 25

イエスは彼らに言われた。「愚かな者たちよ、預言者たちが語ったすべてのことを信じるのに心が鈍いのです。 26

キリストはこれらのことを受けて、その栄光に入る必要があったのではありませんか？」 27

そして、モーセやすべての預言者たちから始めて、

ルカの福音書

聖書全体にわたってご自身について書かれていることを彼らに説明された。

28

彼らが行こうとしていた村に近づくと、イエスはさらに進もうとされるふりをされた。

29

しかし、彼らは強く願って言った。「私たちと一緒に泊まりください。夕方になりかけており、日もほとんど暮れかけています。」それで、イエスは彼らと一緒に泊まるために入られた。

30

彼らと一緒に食卓に着くと、イエスはパンを取り、感謝をささげてから、それを裂いて彼らに渡された。

31

すると、彼らの目が開かれ、イエスだとわかったが、その姿は彼らの前から消えた。

32

彼らは互いに言った。「道で話しておられたとき、また聖書を解き明かしてくださったとき、私たちの心は燃えていたではないか？」

33

彼らはその時すぐに立ち上がり、エルサレムに戻った。そこには十一人と彼らと一緒にいた者たちが集まっていた。

34

そして言った。「主は本当に復活されて、シモンに現れた。」

35

それから、彼らは道で起こったことや、パンを裂かれたときにイエスだとわかったことを話した。

36

彼らがこれらのことを話していると、イエスご自身が彼らの中に立って言われた。「あなたがたに平安があるように。」

37

彼らは驚き、恐れおののき、霊を見たのだと思った。

38

イエスは彼らに言われた。「なぜ、心が騒ぎ、疑いが生じるのですか？」

39

私の手と足を見なさい。まさしく私です！私に触れて、確かめてください。霊にはあなたがたが見るように肉や骨がありません。」

40

こう言って、彼らに手と足を見せられた。

41

彼らは喜びと驚きのあまり、まだ信じられなかったので、イエスは彼らに言われた。「ここに何か食べ物がありますか？」

42

彼らは焼いた魚の一切れを差し出した。

43

イエスはそれを取って、彼らの前で食べられた。

44

イエスは彼らに言われた。「私がまだあなたがたと一緒にいたときに話した言葉はこれです。モーセの律法、預言者たち、詩篇に私について書かれていることは、すべて成就しなければなりません。」

45

それから、彼らが聖書を理解できるように心を開かれた。

46

イエスは彼らに言われた。「こう書かれています。キリストは苦しみを受け、三日目によみがえる。」

47

そして、悔い改めと罪の赦しとその名によって、エルサレムから始めて、すべての国民に宣べ伝えられる。

48

あなたもがたはこれらのことの証人です。見よ、私は父の約束をあなたがたに送ります。しかし、上から力を着せられるまでは、都にとどまっていなさい。」

49

50

それから、イエスは彼らをベタニアまで連れて行き、手を上げて彼らを祝福された。

51

祝福しながら、彼らから離れて行かれ、天に上げられた。

52

彼らはイエスを礼拝し、大いなる喜びをもってエルサレムに戻った。

53

そして、絶えず神殿にいて、神を賛美していた。

ヨハネの福音書

1 初めに言があった。言は神と共にあった。言は神であった。 2

この方は初めに神と共におられた。 3
すべてのものはこの方によって成った。この方なしには成ったものは一つもない。 4

この方に命があった。この命は人々の光であった。 5

光は暗闇の中で輝いている。暗闇はそれに打ち勝たなかった。

6
神から遣わされた人が現れた。その名はヨハネであった。 7

彼は証しのために来た。光について証しするためであり、すべての人が彼を通して信じるためである。 8

彼自身は光ではなく、ただ光について証しするために来た。

9
すべての人を照らす真の光が世に来ようとしていた。 10

彼は世におられた。世は彼によって成ったが、世は彼を認めなかった。 11

彼は自分のところに来たが、自分の民は彼を受け入れなかった。 12

しかし、彼を受け入れた人々、彼の名を信じた人々には、神の子となる特権を与えた。 13

この人々は、血によってではなく、肉の欲によってでもなく、人の欲によってでもなく、神によって生まれたのである。

14
言は肉となって、私たちの間に住まわれた。私たちは彼の栄光を見た。それは父のもとから来られた一人子の栄光であり、恵みと真理に満ちていた。 15

ヨハネは彼について証しし、叫んで言った。「私の後に来られる方は、私よりも優れている。なぜなら、彼は私より先におられたからである。」 16

彼の満ちあふれる恵みから、私たちは皆、恵みの上に恵みを受けた。 17

律法はモーセを通して与えられたが、恵みと真理はイエス・キリストを通して来たのである。 18

いまだかつて神を見た者はいない。しかし、父のふところにいる一人子である神が、神を示されたのである。

19
これは、ユダヤ人の指導者たちがエルサレムから祭司とレビ人をヨハネのもとに送り、「あなたは誰ですか」と尋ねさせたときのヨハネの証しである。 20

彼は告白して否まず、「私はメシアではない」と告白した。 21

彼らは尋ねた。「それでは、あなたは誰ですか。エリヤですか。」彼は言った。「違います。」 22

「預言者ですか。」彼は答えた。「いいえ。」 22
ついに彼らは言った。「あなたは誰ですか。私たちを送った人々に返事を持ち帰らせてください。あなた自身について何と言いますか。」 23

ヨハネは預言者イザヤの言葉を用いて答えた。「私は荒野で叫ぶ者の声である。『主の道を整えよ』」

24
さて、使者たちはパリサイ人からヨハネに尋ねるために送られていた。 25

彼らは彼に質問した。「それでは、なぜあなたはメシアでもなく、エリヤでもなく、預言者でもないのに洗礼を施すのですか。」 26

ヨハネは答えた。「私は水で洗礼を施しますが、あなたがたの中にあなたがたの知らない方が立っております。」 27

その方は私の後に来られる方であり、私はその方の履物のひもを解く値打ちもありません。」 28

これはヨルダンの向こう側のベタニヤで、ヨハネが洗礼を施していたときに起こったことである。

29
翌日、ヨハネはイエスが自分の方に来られるのを見て言った。「見よ、世の罪を取り除く神の小羊である。」 30

これは私が言った方である。『私の後に来られる方は、私よりも優れている。なぜなら、彼は私より先におられたからである。』 31

私は彼を認識しなかったが、彼がイスラエルに現れるために、私は水で洗礼を施して来たのである。」 32

それからヨハネはこの証しをした。「私は霊が鳩のように天から降りて彼の上に留まるのを見た。」 33

私は彼を認識しなかったが、水で洗礼を施すように私を遣わした方が私に言われた。『霊が降りて留まるのを見た人が、聖霊で洗礼を施す方である。』 34
私は見たので、この方が神の子であると証しする。」

35
その翌日、ヨハネは再び二人の弟子と共に立っていた。 36

彼がイエスが通り過ぎるのを見たとき、「見よ、神の小羊である」と言った。 37

これを聞いて、二人の弟子はイエスに従った。 38
イエスは振り返り、彼らがついて来るのを見て言われた。「何を求めているのですか。」彼らは言った

ヨハネの福音書

。「ラビ」（訳すと先生）、あなたはどこにお泊まりですか。」³⁹

「来なさい、そうすれば分かります」と彼は言われた。彼らは行って、彼が泊まっている所を見、彼と共にその日を過ごした。それはおよそ第十時であった。⁴⁰

アンデレ、シモン・ペテロの兄弟は、ヨハネが言ったことを聞いてイエスに従った二人のうちの一人であった。⁴¹

アンデレが最初にしたことは、自分の兄弟シモンを見つけて、「私たちはメシアを見つけた」（訳すとキリスト）と言ったことである。⁴²

彼はシモンをイエスのもとに連れて行った。イエスは彼を見て言われた。「あなたはヨハネの子シモンである。あなたはケファスと呼ばれるであろう」（訳すとペテロ）。

⁴³ 翌日、イエスはガリラヤに行こうと決心された。ピリポを見つけて彼に言われた。「私に従いなさい。」⁴⁴

ピリポはアンデレとペテロと同じく、ベツサイダの町の出身であった。⁴⁵

ピリポはナタナエルを見つけて言った。「私たちはモーセが律法に書き、預言者たちも書いた方を見つけた。ナザレのイエス、ヨセフの子である。」⁴⁶

「ナザレから何か良いものが出るだろうか」とナタナエルは言った。「来て見なさい」とピリポは言った。⁴⁷

イエスがナタナエルが近づいて来るのを見たとき、言われた。「見よ、偽りのないイスラエル人がここにいる。」⁴⁸

「どうして私を知っているのですか」とナタナエルは言った。イエスは答えられた。「ピリポがあなたを呼ぶ前に、あなたがいちじくの木の下にいるのを見た。」⁴⁹

ナタナエルは答えて言った。「ラビ、あなたは神の子です。あなたはイスラエルの王です。」⁵⁰

イエスは言われた。「あなたがいちじくの木の下にいるのを見たと言ったので信じるのですか。あなたはそれよりも大きなことを見るであろう。」⁵¹

さらに言われた。「まことに、まことに、あなたがたに言います。天が開けて、神の使いたちが人の子の上に上り下りするのをあなたがたは見るであろう。」

2 三日目に、ガリラヤのカナで婚礼があり、イエスの母がそこにいた。²

イエスも弟子たちと共にその婚礼に招かれた。

³

ぶどう酒が足りなくなったとき、イエスの母は彼に言った。「彼らにはぶどう酒がありません。」⁴

イエスは答えた。「女の方、私と何の関係がありますか。私の時はまだ来ていません。」⁵

彼の母は召使いたちに言った。「彼が言うことを何でもしてください。」⁶

そこには、ユダヤ人の清めの儀式に用いる石の水がめが六つ置いてあり、それぞれ二、三メトレテス入るものであった。⁷

イエスは召使いたちに言った。「水がめに水を満たしなさい。」彼らはそれを縁まで満たした。⁸

それから彼は言った。「さあ、それをくみ出して宴会の世話役に持って行きなさい。」彼らはそうした。⁹

宴会の世話役は、ぶどう酒に変わった水を味わったが、それがどこから来たのか知らなかった。しかし、水をくみ出した召使いたちは知っていた。彼は花婿を呼び寄せて¹⁰

言った。「誰でもまず良いぶどう酒を出し、人々が酔いしれると劣ったものを出すものですが、あなたは良いぶどう酒を今まで取っておきました。」¹¹

これはイエスがガリラヤのカナで行った最初のしるしであり、彼の栄光を現した。そして弟子たちは彼を信じた。

¹²

この後、彼は母と兄弟たちと弟子たちと共にカペナウムに下り、そこに数日滞在した。

¹³

ユダヤ人の過越の祭りが近づいたとき、イエスはエルサレムに上った。¹⁴

神殿の境内で、牛や羊や鳩を売る者たちと、両替をしている者たちが座っているのを見た。¹⁵

彼は縄でむちを作り、羊や牛もろとも彼らをすべて神殿の境内から追い出し、両替人の金を散らし、その台を倒した。¹⁶

鳩を売る者たちに言った。「これらをここから持ち去りなさい。私の父の家を商売の家にしてはなりません。」¹⁷

弟子たちは、「あなたの家への熱心が私を食い尽くすであろう」と書かれている聖書の言葉を思い出した。

¹⁸

ユダヤ人たちは彼に質問した。「これらのことをする権威を示すしるしを私たちに見せてください。」¹⁹

イエスは答えた。「この神殿を壊しなさい。私は三日でそれを建て直します。」²⁰

彼らは答えた。「この神殿は建てるのに四十六年か

ヨハネの福音書

かりましたが、あなたはそれを三日で建て直すのですか。」²¹

しかし、彼は自分の体の神殿について言っていた。

22

彼が死者の中からよみがえった後、弟子たちは彼がこれを行ったことを思い出し、聖書とイエスが言った言葉を信じた。

23

過越の祭りの間、彼がエルサレムにいますとき、多くの人々が彼の行ったしるしを見て彼の名を信じた。

24

しかし、イエスは彼らに自分を委ねなかった。彼はすべての人を知っていたからである。

25

彼は人間について誰かが証言する必要はなかった。彼自身が各人の中に何があるかを知っていたからである。

3 さて、パリサイ人でニコデモという人がいた。彼はユダヤ人の議員であった。

2

彼は夜、イエスのもとに来て言った。「ラビ、私たちはあなたが神から来られた教師であることを知っています。神が共におられなければ、あなたが行っているこれらのしるしを行うことはできません。」³

イエスは答えられた。「まことに、まことに、あなたに言います。人は新たに生まれなければ、神の国を見ることはできません。」⁴

ニコデモは言った。「人は年をとって、どうして生まれることができるのでしょうか。もう一度母の胎内に入って生まれることができるのでしょうか。」⁵

イエスは答えられた。「まことに、まことに、あなたに言います。人は水と霊によって生まれなければ、神の国に入ることはできません。」⁶

肉から生まれたものは肉であり、霊から生まれたものは霊です。」⁷

あなたがたに『新たに生まれなければならない』と言ったことに驚いてはなりません。」⁸

風は思いのままに吹きます。あなたはその音を聞きますが、それがどこから来てどこへ行くのかは知りません。霊から生まれたすべての者もそのようです。」⁹

「どうしてそんなことがあり得るのでしょうか。」とニコデモは尋ねた。¹⁰

イエスは答えられた。「あなたはイスラエルの教師でありながら、これらのことを理解していないのですか。」¹¹

まことに、まことに、あなたに言います。私たちは

知っていることを話し、見たことを証言しています。あなたがたは私たちの証言を受け入れません。

12

もし私が地上のことを話してあなたがたが信じないなら、天上のことを話したとき、どうして信じるでしょうか。」¹³

天に上った者は誰もいません。ただ天から下ってきた者、人の子だけです。」¹⁴

モーセが荒野で蛇を上げたように、人の子も上げられなければなりません。」¹⁵

それは、信じる者が皆、彼によって永遠の命を持つためです。

16

神はその独り子をお与えになったほどに世を愛された。それは、彼を信じる者が一人として滅びることなく、永遠の命を持つためである。」¹⁷

神が御子を世に送られたのは、世を裁くためではなく、彼によって世を救うためである。」¹⁸

彼を信じる者は裁かれない。しかし、信じない者はすでに裁かれている。神の独り子の名を信じなかったからである。」¹⁹

これが裁きである。光が世に来たのに、人々はその行いが悪いために光よりも闇を愛した。」²⁰

悪を行う者は皆、光を避け、その行いが明るみに出されることを恐れる。」²¹

しかし、真理を行う者は光に来る。その行いが神の前でなされたものであることが明らかになるためである。」

22

その後、イエスと弟子たちはユダヤの地方に行き、そこで彼らと共に過ごし、バプテスマを授けていた。」²³

一方、ヨハネもサリムに近いアイノンでバプテスマを授けていた。そこには水が豊富にあり、人々が来てバプテスマを受けていた。」²⁴

（これはヨハネが投獄される前のことである。）

25

ヨハネの弟子たちの中のある者とあるユダヤ人との間で、清めに関する議論が起こった。」²⁶

彼らはヨハネのもとに来て言った。「ラビ、ヨルダンの向こう側であなたと共にいたあの方、あなたが証言された方が、見てください、バプテスマを授けておられ、皆がその方のもとに行っています。」²⁷

ヨハネは答えた。「人は天から与えられたものでなければ、何も受けることはできません。」²⁸

私はキリストではなく、彼の前に遣わされた者である」と、あなたがたは証言できます。」²⁹

花嫁は花婿のものです。花婿に付き添う友人は、花

ヨハネの福音書

媚の声を聞いて喜びに満ちます。その喜びは私のものであり、今や満たされています。³⁰
彼は増し加わり、私は減らなければなりません。

³¹
上から来る者はすべての上におられます。地から出る者は地に属し、地のことを語ります。天から来る者はすべての上におられます。³²
彼は見たこと、聞いたことを証言しますが、その証言を受け入れる者はありません。³³
彼の証言を受け入れた者は、神が真実であることを確認しました。³⁴
神が遣わされた者は神の言葉を語ります。神は御霊を限りなくお与えになるからです。³⁵
父は御子を愛し、すべてを彼の手に委ねられました。³⁶
御子を信じる者は永遠の命を持ちますが、御子を拒む者は命を見ることがなく、神の怒りがその上にとどまります。

4 イエスが、パリサイ人たちがご自分がヨハネよりも多くの弟子を作り、バプテスマを施している²と聞いたことを知ったとき—
ただし、イエスご自身がバプテスマを施したのではなく、弟子たちが施したのである—³
イエスはユダヤを去り、再びガリラヤへ向かわれた。⁴ イエスはサマリアを通過する必要があった。⁵
そこで、ヤコブがその子ヨセフに与えた土地の近くにあるサマリアの町、シカルに到着された。⁶
そこにはヤコブの井戸があり、旅の疲れたイエスはその井戸のそばに座られた。それは第六時頃であった。

⁷
サマリアの女が水を汲みに来たとき、イエスは彼女に「私に飲み物をください」と言われた。⁸
(弟子たちは食料を買いに町に行っていた。)⁹
サマリアの女はイエスに言った。「どうしてあなたはユダヤ人でありながら、サマリアの女である私に飲み物を求めるのですか？」(ユダヤ人はサマリア人と交際しないからである。)¹⁰
イエスは彼女に答えられた。「もしあなたが神の賜物を知っており、またあなたに『飲み物をください』と言っているのが誰であるかを知っていたなら、あなたは彼に求めていただろうし、彼はあなたに生ける水を与えたことでしょ。う。」¹¹
女はイエスに言った。「主よ、あなたは汲むものを持っておられず、井戸は深いです。では、その生ける水をどこから得るのですか？」¹²
私たちの父ヤコブが私たちにこの井戸を与え、自分自身もその息子たちや家畜と共に飲んだのですが、

あなたはそれよりも偉大なのですか？」¹³
イエスは答えられた。「この水を飲む者は皆、再び渇くでしょう。」¹⁴
しかし、私が与える水を飲む者は決して渇くことがありません。実際、私が与える水は、その人の中で永遠の命に至る泉となるのです。」¹⁵
女はイエスに言った。「主よ、その水を私にください。そうすれば、私は渇くことがなく、ここに水を汲みに来る必要がなくなります。」

¹⁶
イエスは彼女に言われた。「行って、あなたの夫を呼んで戻って来なさい。」¹⁷
「私には夫がいません」と彼女は答えた。イエスは彼女に言われた。「あなたが『夫がいない』と言ったのは正しい。」¹⁸
あなたには五人の夫がいましたが、今一緒にいる男はあなたの夫ではありません。あなたが言ったことは本当です。」¹⁹

驚いた女はイエスに言った。「主よ、あなたが預言者であることがわかります。」²⁰
私たちの先祖はこの山で礼拝しましたが、あなた方ユダヤ人は、礼拝すべき場所はエルサレムにあると言います。」²¹
イエスは彼女に言われた。「女よ、私を信じなさい。あなたがたがこの山でもエルサレムでもなく、父を礼拝する時が来ます。²²
あなた方サマリア人は知らないものを礼拝していますが、私たちは知っているものを礼拝しています。救いはユダヤ人から来るのです。²³
しかし、真の礼拝者が霊と真理で父を礼拝する時が来ますし、今来ています。父はこのような礼拝者を求めておられます。²⁴
神は霊であり、彼の礼拝者は霊と真理で礼拝しなければなりません。」²⁵
女は言った。「私はメシア(キリストと呼ばれる方)が来られることを知っています。その方が来られるとき、私たちにすべてのことを説明してください。」²⁶
するとイエスは宣言された。「あなたに話しているこの私がそれです。」

²⁷
その瞬間、弟子たちが戻ってきて、イエスが女と話しているのを見て驚いた。しかし、誰も「何を求めているのですか？」とか「なぜ彼女と話しているのですか？」とは尋ねなかった。²⁸
女は水がめを置いて町に戻り、人々に言った。²⁹
「来て、私がしたことすべてを話してくれた人を見

ヨハネの福音書

なさい。この方がメシアではないでしょうか？」³⁰
彼らは町を出て、イエスのもとへ向かった。

³¹
その間に、弟子たちはイエスに「ラビ、何か食べてください」と勧めた。³²

しかし、イエスは彼らに答えられた。「私にはあなた方が知らない食物があります。」³³

これを聞いて、弟子たちは互いに「誰かが食べ物を持ってきたのだろうか？」と考えた。³⁴

イエスは言われた。「私の食物は、私を遣わした方の御心を行い、その御業を成し遂げることです。³⁵
あなた方は『収穫までまだ四か月ある』と言っていないませんか？私はあなた方に言います。目を上げて畑を見なさい。それらは収穫のために熟しています。³⁶

今や刈り取る者は賃金を受け、永遠の命のために果実を集めています。それで、蒔く者と刈り取る者が共に喜ぶのです。³⁷

このように『一人が蒔き、別の者が刈り取る』という言葉は真実です。³⁸

私はあなた方を、あなた方が労したことのないものを刈り取るために遣わしました。他の人々が苦労し、あなた方はその労苦の恩恵を受けています。」³⁹

³⁹
その町の多くのサマリア人が、女の証言「彼は私がしたことすべてを話してくれたからです」によってイエスを信じた。⁴⁰

サマリア人たちがイエスのもとに来たとき、彼らはイエスに自分たちと共に滞在するように頼み、イエスは二日間そこに滞在された。⁴¹

そして、イエスの言葉によってさらに多くの人々が信じた。⁴²

彼らは女に言った。「私たちはもはやあなたの言ったことだけで信じているのではありません。私たち自身で聞いて、この人が本当に世の救い主であることを知っています。」

⁴³ その二日後、イエスはガリラヤへ向かわれた。⁴⁴
イエスご自身が預言者は自分の故郷では敬われないと証言されたからである。⁴⁵

イエスがガリラヤに到着されたとき、ガリラヤ人たちはイエスを歓迎した。彼らも祭りでエルサレムでイエスが行ったすべてのことを見ていたからである。

⁴⁶
再びイエスはガリラヤのカナに来られた。そこでは水をぶどう酒に変えられた。そして、カペナウムで息子が病氣であった王室の役人がいた。⁴⁷

この人がイエスがユダヤからガリラヤに来られたと聞いたとき、彼はイエスのもとに行き、息子を癒してくださいるように頼んだ。息子は死にかけていたからである。⁴⁸

するとイエスは彼に言われた。「あなた方はしるしと不思議を見なければ決して信じないでしょう。」⁴⁹

王室の役人は懇願した。「主よ、私の子が死ぬ前に来てください。」⁵⁰

イエスは彼に言われた。「行きなさい。あなたの息子は生きます。」その人はイエスが彼に言われた言葉を信じて去った。⁵¹

彼が帰る途中で、彼のしもべたちが彼に会い、息子が生きていると伝えた。⁵²

彼は息子が良くなった時刻を尋ねたところ、彼らは「昨日の午後一時に熱が引きました」と言った。⁵³

その父親は、これがイエスが彼に「あなたの息子は生きます」と言われた正確な時刻であることを悟った。それで彼と彼の家族全員が信じた。⁵⁴

これは、イエスがユダヤからガリラヤに来られた後に行われた二番目の奇跡のしるしであった。

5 これらの出来事の後、ユダヤ人の祭りがあり、イエスはエルサレムに上った。²

エルサレムには、羊の門の近くに、アラム語でベテスダと呼ばれる池があり、五つの柱廊に囲まれている。³

その柱廊には、多くの病人、盲人、足の不自由な人、麻痺した人々が横たわっていた。⁴ **[4]**⁵

そこに、三十八年間歩けなかった男がいた。⁶

イエスは彼が横たわっているのを見て、長い間その状態にあることを知り、「良くなりたいか」と尋ねた。⁷

病人は答えた。「主よ、水が動くときに私を池に入れてくれる人がいません。私が入ろうとすると、他の人が先に降りてしまいます。」⁸

イエスは彼に言った。「立ち上がり、あなたの敷物を取り上げて歩きなさい。」⁹

するとすぐにその男は癒され、敷物を取り上げて歩き始めた。その日は安息日であった。¹⁰

そこでユダヤ人の指導者たちは、癒された男に言った。「今日は安息日です。敷物を運ぶことは許されていません。」¹¹

しかし彼は答えた。「私を癒してくださった方が、『敷物を取り上げて歩きなさい』と言われたのです。」¹²

彼らは彼に尋ねた。「それを取り上げて歩けと言ったのは誰ですか？」¹³

ヨハネの福音書

癒された男はそれが誰であるかを知らなかった。イエスは群衆の中に紛れ込んでいたからである。

14

その後、イエスは彼を神殿で見つけて言った。「見なさい、あなたは再び良くなった。罪を犯すのをやめなさい、さもないともっと悪いことがあなたに起こるかもしれません。」

15

その男は去って行き、ユダヤ人の指導者たちに、彼を良くしてくださったのはイエスであると伝えた。

16

このため、ユダヤ人の指導者たちはイエスを迫害し始めた。彼が安息日にこれらのことをしていたからである。

17

しかしイエスは彼らに答えた。「私の父は今まで働いておられ、私もまた働いています。」

18

このため、彼らはますますイエスを殺そうとした。彼が安息日を破るだけでなく、神を自分の父と呼び、神と等しいとしたからである。

19

そこでイエスは答えた。「まことに、まことに、あなたがたに言います。子は自分からは何もできません。父がしていることを見て、それをするだけです。父がすることは何でも、子も同じように行います。

20

父は子を愛し、すべてのことを彼に示します。さらに大きな業を彼に示し、あなたがたが驚くためです。

21

父が死人を起こして命を与えるように、子もまた、望む者に命を与えます。

22

さらに、父は誰をも裁きませんが、すべての裁きを子に委ねました。

23

それは、すべての人が父を敬うように子を敬うためです。子を敬わない者は、彼を遣わした父を敬いません。

24

「まことに、まことに、あなたがたに言います。私の言葉を聞き、私を遣わした方を信じる者は永遠の命を持ち、裁かれることはなく、死から命に移っています。」

25

まことに、まことに、あなたがたに言います。死者が神の子の声を聞く時が来ており、今がその時です。そして聞く者は生きるでしょう。

26

父がご自身に命を持っているように、子にもご自身に命を持つようにお与えになりました。

27

また、彼に裁きを行う権威を与えました。彼が人の子だからです。

28

これに驚いてはなりません。墓の中にいるすべての者が彼の声を聞く時が来るのです。

29

そして出てくるでしょう。善を行った者は命に復活し、悪を行った者は裁かれるために復活します。

30

私は自分からは何もできません。聞くままに裁きます。そして私の裁きは正しいです。私は自分を喜ばせようとはせず、私を遣わした方を喜ばせようとするからです。

31

「もし私が自分自身について証言するなら、私の証言は有効ではありません。」

32

私に有利に証言する他の者がいます。そして彼の私についての証言が真実であることを私は知っています。

33

あなたがたはヨハネに使者を送り、彼は真理について証言しました。

34

私は人間の証言に頼るわけではありませんが、あなたがたが救われるためにこれを述べます。

35

ヨハネは燃えて光を放つ灯火でした。そしてあなたがたはしばらくの間、その光を楽しむことを選びました。

36

しかし、私はヨハネの証言よりも大きな証言を持っています。父が私に完成させるために与えた業、その業自体が、父が私を遣わしたことを証言しています。

37

そして、私を遣わした父自身が私について証言しました。あなたがたは彼の声を聞いたこともなく、彼の姿を見たこともありません。

38

また、彼の言葉はあなたがたの中に留まっています。あなたがたは彼が遣わした者を信じないからです。

39

あなたがたは聖書を熱心に研究しています。それに永遠の命があると思っているからです。しかし、それらは私について証言しているのです。

40

それでも、あなたがたは命を得るために私のところに来ようとはしません。

41 私は人々からの栄光を求めません。

42

しかし、私はあなたがたを知っています。あなたがたの中には神の愛がないことを理解しています。

43

私は父の名によって来ましたが、あなたがたは私を受け入れません。しかし、他の者が自分の名によって来るなら、あなたがたは彼を受け入れるでしょう。

44

どうしてあなたがたは信じることができるでしょうか。互いに承認を求め、唯一の神から来る栄光を求めないのです。

45

私はあなたがたを父の前で告発するとは思わないで

ヨハネの福音書

ください。あなたがたの告発者はモーセです。あなたがたの希望は彼にかかっているのです。⁴⁶
もしあなたがたがモーセを信じていたなら、私を信じたでしょう。彼は私について書いたからです。⁴⁷
しかし、彼が書いたことを信じないなら、私が言うことをどうして信じることができるでしょうか？

6 その後、イエスはガリラヤ湖、別名ティベリアス湖の向こう側に行かれた。²

大勢の群衆がイエスに従った。彼らは病人に対して行われたしるしを見たからである。³
イエスは山に登り、弟子たちと一緒にそこに座られた。⁴ ユダヤ人の祭りである過越が近づいていた。⁵

イエスは目を上げ、大勢の群衆が自分の方に来るのを見て、ピリポに言われた。「どこでこの人々のためにパンを買うことができるだろうか？」⁶

これはピリポを試すために言われたのであり、イエスはすでに何をしようとしているかを知っておられた。⁷

ピリポは答えた。「二百デナリのパンでは、各々が少しずつしか取れません。」⁸

弟子の一人で、シモン・ペテロの兄弟であるアンデレが言った。⁹

「ここに五つの大麦のパンと二匹の魚を持っている少年がいますが、こんなに多くの人々の間でそれが何になるのでしょうか？」¹⁰

イエスは言われた。「人々を座らせなさい。」そこには草がたくさんあったので、彼らは座った。男の数は約五千人であった。¹¹

それからイエスはパンを取り、感謝を捧げてから、座っている人々に配られた。また、魚も同じようにして、彼らが望むだけ与えられた。¹²

彼らが満腹したとき、イエスは弟子たちに言われた。「余ったくずを集めなさい。無駄にしてはいけません。」¹³

彼らはそれを集め、五つの大麦のパンの残りのくずで十二の籠を満たした。¹⁴

人々はイエスが行ったしるしを見て、「これは本当に世に来るべき預言者だ」と言った。

15

彼らがイエスを力づくで王にしようとしているのを知って、イエスは再び一人で山に退かれた。¹⁶

夕方になると、弟子たちは海辺に下り、船に乗り込み、カペナウムへ向かって海を渡った。すでに暗くなっており、イエスはまだ彼らに加わっていなかった。¹⁸

強い風のために海は荒れ始めた。¹⁹

彼らが三、四マイル漕いだとき、イエスが海の上を

歩いて船に近づいて来るのを見て、恐れた。²⁰
しかし、イエスは彼らに言われた。「わたしだ。恐れることはない。」²¹

それで彼らはイエスを船に迎え入れ、すぐに船は彼らが向かっていた岸に着いた。

22

翌日、向こう岸に残っていた群衆は、そこに一艘の船しかなかったこと、そしてイエスが弟子たちと一緒にその船に乗りなかつたことを知った。²³

他の船がティベリアスから来て、主が感謝を捧げた後にパンを食べた場所の近くに着いた。²⁴

群衆はイエスも弟子たちもそこにいないことを知ると、船に乗り込み、イエスを探してカペナウムへ行

った。²⁵

彼らが海の向こう側でイエスを見つけたとき、「先生、いつここに來られたのですか？」と尋ねた。²⁶

イエスは答えられた。「まことに、まことに、あなたがたに言います。あなたがたがわたしを探しているのは、しるしを見たからではなく、パンを食べて満腹したからです。」²⁷

滅びる食物のために働くのではなく、永遠の命に至る食物のために働きなさい。それを人の子があなたがたに与えるのです。父なる神がその上に印を押されたからです。」²⁸

彼らはイエスに尋ねた。「神が求められる業を行うためには、何をすればよいのでしょうか？」²⁹

イエスは答えられた。「神の業は、神が遣わした者を信じることです。」

30

彼らはイエスに言った。「どんなしるしを行ってくださいますか？それを見て信じるができるように。どんな業をなさいますか？」³¹

私たちの先祖は荒野でマナを食べました。書かれています通りです。『彼は天からのパンを彼らに与えて食べさせた。』」³²

イエスは彼らに言われた。「まことに、まことに、あなたがたに言います。モーセがあなたがたに天からのパンを与えたのではなく、わたしの父が天からの真のパンをあなたがたに与えます。」³³

神のパンは天から降ってきて、世に命を与えるものです。」³⁴

彼らはイエスに言った。「主よ、いつもこのパンを私たちにください。」

35

イエスは宣言された。「わたしは命のパンです。わたしのもに來る者は決して飢えることがなく、わ

ヨハネの福音書

たしを信じる者は決して渴くことはありません。³⁶
しかし、わたしが言ったように、あなたがたはわたしを見ているのに信じません。³⁷

父がわたしに与えるすべての者はわたしのもとに来ます。そして、わたしのもとに来る者を決して追い出しません。³⁸

わたしは天から降りてきたのは、自分の意志を行うためではなく、わたしを遣わした方の意志を行うためです。³⁹

わたしを遣わした方の意志は、わたしが与えられた者を一人も失わず、最後の日に彼らを復活させることです。⁴⁰

わたしの父の願いは、御子を見て信じる者が皆、永遠の命を持つことであり、わたしが彼らを最後の日に復活させることです。」

⁴¹
このため、ユダヤ人たちはイエスについてつぶやき始めた。彼が「わたしは天から降りてきたパンです」と言ったからである。⁴²

彼らは言った。「これはヨセフの息子イエスではないか？彼の父と母を私たちは知っている。どうして彼が『わたしは天から降りてきた』と言えるのか？」⁴³

イエスは答えられた。「あなたがたの間でつぶやくのをやめなさい。」⁴⁴

わたしを遣わした父がまず彼らを引き寄せない限り、誰もわたしのもとに来ることはできません。そして、わたしは彼らを最後の日に復活させます。⁴⁵
預言者たちに書かれている通りです。『彼らは皆、神によって教えられる。』父の声を聞き、学んだ者は皆、わたしのもとに来ます。⁴⁶

神から来た者以外に、父を見た者はいません。彼だけが父を見たのです。⁴⁷

まことに、まことに、あなたがたに言います。信じる者は永遠の命を持っています。⁴⁸

わたしは命のパンです。⁴⁹
あなたがたの先祖は荒野でマナを食べましたが、死にました。⁵⁰

しかし、ここに天から降りてきたパンがあり、これを食べる者は死ぬことはありません。⁵¹
わたしは天から降りてきた生けるパンです。このパンを食べる者は永遠に生きます。このパンは、世の命のためにわたしが与えるわたしの肉です。」

⁵²
すると、ユダヤ人たちは激しく議論し始めた。「この人はどうやって自分の肉を私たちに食べさせることができるのか？」⁵³

イエスは彼らに言われた。「まことに、まことに、

あなたがたに言います。人の子の肉を食べ、その血を飲まなければ、あなたがたの中に命はありません。⁵⁴

さらに、わたしの肉を食べ、わたしの血を飲む者は永遠の命を持ち、わたしは彼らを最後の日に復活させます。⁵⁵

わたしの肉は真の食物であり、わたしの血は真の飲み物です。⁵⁶

わたしの肉を食べ、わたしの血を飲む者はわたしの中に留まり、わたしも彼らの中に留まります。⁵⁷

生ける父がわたしを遣わし、わたしが父によって生きているように、わたしを食べる者もわたしによって生きるでしょう。⁵⁸

これは天から降りてきたパンです。あなたがたの先祖はマナを食べて死にましたが、このパンを食べる者は永遠に生きます。」⁵⁹

これらの教えをカペナウムの会堂で教えているときに述べられた。⁶⁰

これを聞いて、多くの弟子たちは言った。「これは難しい教えです。誰が受け入れることができるでしょうか？」⁶¹

弟子たちがこれについてつぶやいているのを知って、イエスは彼らに言われた。「これがあなたがたをつまずかせるのですか？」⁶²

もし人の子が元いた所に昇るのを見たらどう思いますか？」⁶³

霊が命を与えるのです。肉は何の役にも立ちません。わたしがあなたがたに話した言葉は霊であり、命です。⁶⁴

しかし、あなたがたの中には信じない者がいます。」イエスは初めから、誰が信じないか、誰が自分を裏切るかを知っておられたからである。⁶⁵

イエスは続けて言われた。「だから、父が許さない限り、誰もわたしのもとに来ることはできないと言ったのです。」

⁶⁶
この時から、多くの弟子たちは離れて行き、もはやイエスに従わなくなった。⁶⁷

「あなたがたも離れて行きたいのですか？」とイエスは十二弟子に尋ねられた。⁶⁸

シモン・ペテロは答えた。「主よ、私たちは誰のところにに行けばよいのでしょうか？あなたは永遠の命の言葉を持っています。」⁶⁹

私たちはあなたが神の聖なる者であると信じ、理解しました。」⁷⁰

イエスは答えられた。「わたしがあなたがた十二人を選んだではありませんか？それなのに、あなた

ヨハネの福音書

がたの一人は悪魔です。」⁷¹
これはシモン・イスカリオテの子ユダのことを指して言われたのである。彼は十二弟子の一人でありながら、後にイエスを裏切ることになる。

7 その後、イエスはガリラヤを巡っておられた。ユダヤではユダヤ人の指導者たちがイエスを殺そうと狙っていたため、そこを避けておられた。² さて、ユダヤ人の仮庵の祭りが近づいていた。³

そこで、イエスの兄弟たちは言った。「ここを去ってユダヤに行き、あなたの弟子たちもあなたがやっている業を見ることができるようになさい。」⁴
誰も、公に知られたいと思っているのに、秘密に行動する者はいません。もしこれらのことを行っているなら、自分を世に現しなさい。」⁵

イエスの兄弟たちでさえ、まだイエスを信じていなかったのである。⁶

そこでイエスは彼らに言われた。「私の時はまだ来ていません。しかし、あなたがたにとっては、いつでも良いのです。」⁷

世はあなたがたを憎むことはできませんが、私を憎みます。なぜなら、私はその行いが悪いことを証しているからです。⁸

あなたがたは祭りに上って行きなさい。私はこの祭りには上って行きません。私の時はまだ完全に来ていないからです。」⁹

これらのことを言われた後、イエスはガリラヤに留まっておられた。

¹⁰ しかし、彼の兄弟たちが祭りに上って行った後、イエスもまた、隠れるようにして上って行かれた。¹¹
そこでユダヤ人の指導者たちは祭りでイエスを探し、「彼はどこにいるのか」と言っていた。¹²

群衆の間では、イエスについて多くのささやきがあった。ある者は「彼は良い人だ」と言い、他の者は「いや、彼は民を惑わしている」と言った。¹³

しかし、ユダヤ人の指導者たちを恐れて、誰も公にイエスについて話者はいなかった。

¹⁴ しかし、祭りの中頃になったとき、イエスは神殿の庭に上って教え始められた。¹⁵
ユダヤ人たちは驚いて言った。「この人はどのようにして正式な教育を受けずにこれほどの学問を得たのか。」¹⁶

イエスは彼らに答えられた。「私の教えは私自身のものではなく、私を遣わされた方のものです。」¹⁷
誰でも神の御心を行おうとするなら、その教えが神からのものか、私が自分から話しているのかを知る

でしょう。¹⁸
自分から話者は自分の栄光を求めますが、彼を遣わされた方の栄光を求める者は真実であり、その中に偽りはありません。¹⁹

モーセはあなたがたに律法を与えましたが、あなたがたの誰もそれを守っていません。なぜ私を殺そうとしているのですか？」²⁰

群衆は答えた。「あなたは悪霊に取りつかれている！誰があなたを殺そうとしているのですか？」²¹

イエスは答えられた。「私は一つの奇跡を行いました。あなたがたは皆驚いています。」²²

モーセがあなたがたに割礼を与えたため（それはモーセからではなく、祖先からのものですが）、あなたがたは安息日に男の子に割礼を施します。²³

もし男の子が安息日に割礼を受けるのがモーセの律法を破らないためであるなら、なぜ私が安息日に人の全身を癒したことで怒るのですか？」²⁴

見かけによって判断せず、正しい判断をしなさい。」²⁵

すると、エルサレムの人々の中には言い始める者がいた。「これは彼らが殺そうとしている人ではないか？」²⁶

しかし、ここで公然と話しているのに、彼らは何も言わない。もしかして、当局は本当に彼がメシアだと結論づけたのか？」²⁷

しかし、私たちはこの人がどこから来たのか知っている。メシアが来るとき、その出自は分からないだろう。」²⁸

その時、イエスは神殿の庭で教え続けながら叫ばれた。「はい、あなたがたは私を知っており、私がどこから来たのかも知っています。私は自分から来たのではなく、私を遣わされた方は真実です。あなたがたはその方を知らないのです。」²⁹

しかし、私はその方を知っています。なぜなら、私はその方から来ており、その方が私を遣わされたからです。」³⁰

これを聞いて、彼らはイエスを捕まえようとしたが、誰も手をかけなかった。なぜなら、彼の時がまだ来ていなかったからである。³¹

しかし、群衆の多くはイエスを信じた。彼らは言った。「メシアが来るとき、この人より多くのしるしを行うだろうか？」³²

パリサイ人たちは群衆がイエスについてささやいているのを聞き、祭司長たちとパリサイ人たちはイエスを逮捕するために役人を送った。³³

そこでイエスは言われた。「私はしばらくの間、あ

ヨハネの福音書

あなたがたと共にいて、それから私を遣わされた方の
もとに行きます。³⁴

あなたがたは私を探すでしょうが、見つけることは
できません。そして、私がいる所にあなたがたは来
ることができません。」³⁵

ユダヤ人たちは互いに言った。「この人はどこへ行
こうとしているのか、私たちが見つけられない場所
に行くのか？ギリシア人の間に散らばっているユダ
ヤ人のもとに行って、ギリシア人を教えるのか？」³⁶
彼が言った『あなたがたは私を探すでしょうが、見
つけることはできません』や『私がいる所にあなた
がたは来ることができません』とはどういう意味な
のか？」

37

祭りの最後の日、最も重要な日に、イエスは立ち上
がり、大声で言われた。「誰でも渇いているなら、
私のもとに来て飲みなさい。」³⁸

私を信じる者は、聖書が言っているように、その人
の内から生ける水の川が流れ出るでしょう。」³⁹
これは、イエスを信じる者が後に受けることになる
御霊を指して言われたのである。その時まで、御霊
はまだ与えられていなかった。なぜなら、イエスは
まだ栄光を受けていなかったからである。

40

この言葉を聞いて、人々の中には「確かにこの人は
預言者だ」と言う者がいた。⁴¹

他の者は「彼はメシアだ」と言った。しかし、ある
者は疑問を持ち、「メシアがガリラヤから来ること
ができるのか？」⁴²

聖書は、メシアがダビデの子孫から、ダビデが住ん
でいた村ベツレヘムから来ると言っていないか？」⁴³

このように、人々はイエスについて意見が分かれた
。⁴⁴

ある者はイエスを捕らえようとしたが、誰も手をか
けなかった。

45

ついに役人たちは祭司長たちとパリサイ人たちのも
とに戻り、彼らは尋ねた。「なぜ彼を連れて来なか
ったのか？」⁴⁶

役人たちは答えた。「この人のように話す者はいま
ませんでした。」⁴⁷

「あなたがたも彼に惑わされたというのか？」とパ
リサイ人たちは言った。⁴⁸

「支配者やパリサイ人の中で彼を信じた者がいるの
か？」⁴⁹

いいない！しかし、この律法を知らない群衆は呪われ
ている。」⁵⁰

以前にイエスのもとに来たことのあるニコデモが、
彼らの一人として言った。⁵¹

「私たちの律法は、まずその人を聞いて、彼が何を
しているのかを知ることなく、その人を裁くのか？」⁵²

彼らは答えた。「あなたもガリラヤ出身なのか？調
べてみなさい。ガリラヤから預言者は起こらないこ
とが分かるだろう。」

一部の初期の写本にはヨハネ

7:53がこの場所にはないが、含まれている

⁵³ [そして、各々が自分の家に帰った。]

8

初期のいくつかの写本には、ヨハネ8:1 -
8:11がこの場所に含まれていませんが、含ま
れているものもあります

イエスはオリブ山に行かれた。

夜明けに、再び神殿の境内に現れ、すべての人々が
彼の周りに集まってきたので、彼は座って彼らに教
え始めた。

律法学者とパリサイ人たちは、森淫の現場で捕らえ
られた女を連れてきて、彼女を中庭の中央に置いた
。

彼らはイエスに言った、「先生、この女は森淫の現
場で捕らえられました。

律法では、モーセはこのような女を石で打つように
命じています。では、あなたは何と言われますか？」
」

彼らはイエスを試して、訴える理由を得ようとこの
質問をした。しかし、イエスは身をかがめて、指で
地面に書き始めた。

彼らが問い続けるので、イエスは身を起こして言わ
れた、「あなたがたの中で罪のない者が、まずこの
女に石を投げなさい。」

再び、彼は身をかがめて地面に書き続けた。

これを聞いた者たちは、一人一人去り始め、年長者
から始まって、イエスだけが残り、女がそこに立っ
ていた。

イエスは身を起こして彼女に尋ねた、「女よ、彼ら
はどこにいるのか？あなたを罪に定めた者はいない
のか？」

ヨハネの福音書

彼女は「主よ、誰もいません」と答えた。するとイエスは言われた、「私もあなたを罪に定めない。行きなさい。そしてもう罪を犯してはならない。」

イエスは再び人々に語られた、「私は世の光です。私に従う者は暗闇を歩むことがなく、命の光を持つでしょう。」

パリサイ人たちは彼に挑んで言った、「あなたは自分自身について証言している。あなたの証言は有効ではない。」

イエスは答えられた、「たとえ私が自分自身について証言しても、私の証言は有効です。なぜなら、私はどこから来たのか、どこへ行くのかを知っているからです。しかし、あなたがたは私がどこから来たのか、どこへ行くのかを知らない。

あなたがたは肉によって、人間の基準で判断するが、私は誰も判断しない。

しかし、たとえ私が判断しても、私の判断は真実です。なぜなら、私は一人ではなく、私を遣わした父と共にいるからです。

あなたがたの律法には、二人の証人の証言は真実であると書かれています。

私は自分自身について証言する者であり、私を遣わした父がもう一人の証人です。」

彼らは彼に尋ねた、「あなたの父はどこにいるのか？」イエスは答えられた、「あなたがたは私も私の父も知らない。もし私を知っていたなら、私の父も知っていたでしょう。」

彼はこれらの言葉を、捧げ物が置かれている場所の近くで神殿の境内で教えているときに語られた。しかし、誰も彼を捕らえなかった。なぜなら、彼の時がまだ来ていなかったからです。

再びイエスは彼らに言われた、「私は去りますが、あなたがたは私を探し、そしてあなたがたの罪の中で死ぬでしょう。私が行くところに、あなたがたは来ることができません。」

これを聞いたユダヤ人たちは、「彼は自殺するつもりなのか、『私が行くところに、あなたがたは来ることができない』と言うのか？」と尋ねた。

しかし、彼は続けて言われた、「あなたがたは地上の領域から来たが、私は上から来た。あなたがたはこの世に属しているが、私はこの世に属していない。

私はあなたがたに言った、あなたがたは自分の罪の中で死ぬでしょう。なぜなら、もし私が彼であると信じないなら、あなたがたは自分の罪の中で確かに死ぬでしょう。」

「あなたは誰ですか？」と彼らは尋ねた。イエスは答えられた、「私は最初からあなたがたに言っているその者です。」

「私はあなたがたを判断することについて多くのことを言わなければなりません。しかし、私を遣わした方は信頼できる方であり、私は彼から聞いたことを世に伝えます。」

彼らは、イエスが彼らに父について話していることを理解しなかった。

それでイエスは言われた、「父が人の子を上げたとき、あなたがたは私が彼であることを知り、理解するでしょう。そして、私は自分の力で何もせず、父が私に教えられたことだけを話すことを知るでしょう。

私を遣わした方は私と共におられます。彼は私を一人にされませんでした。なぜなら、私は常に彼に喜ばれることを行っているからです。」

彼が話していると、多くの人が彼を信じるようになった。

イエスは彼を信じたユダヤ人たちに言われた、「もしあなたがたが私の教えを守るなら、あなたがたは本当に私の弟子です。

そして、あなたがたは真理を知るようになり、真理があなたがたを自由にするでしょう。」

彼らは答えた、「私たちはアブラハムの子孫であり、誰の奴隷になったこともありません。どうして『自由になる』と言えるのですか？」

イエスは答えられた、「まことに、まことにあなたがたに言います。罪を犯す者は皆、罪の奴隷です。

奴隷は家に永遠に在るわけではありませんが、息子は永遠にそこにいます。

だから、もし息子があなたがたを解放するなら、あなたがたは本当に自由になるでしょう。

私はあなたがたがアブラハムの子孫であることを知っています。しかし、あなたがたは私を殺そうとしています。なぜなら、私の言葉があなたがたの中に場所を持っていないからです。

ヨハネの福音書

私は父の前で見たことをあなたがたに伝えています。あなたがたは自分の父から聞いたことを行っています。」

彼らは答えた、「アブラハムが私たちの父です。」イエスは言われた、「もしあなたがたが本当にアブラハムの子供であるなら、アブラハムがしたことを行うでしょう。」

しかし、今、あなたがたは神から聞いた真理を語った私を殺そうとしています。アブラハムはそのようなことをしませんでした。

あなたがたは自分の父のやり方に従っています。」彼らは抗議した、「私たちは不義の子ではありません。私たちの唯一の父は神ご自身です。」

イエスは言われた、「もし神があなたがたの父であるなら、あなたがたは私を愛するでしょう。なぜなら、私は神から来たからです。私は自分の力で来たのではなく、神が私を遣わされたのです。」

なぜ私の言葉があなたがたに明確でないのですか？それはあなたがたが私の言うことを聞くことができないからです。

あなたがたは自分の父である悪魔に属しており、あなたがたは自分の父の欲望を遂げたいと望んでいます。彼は初めから人殺しであり、真理に立っていません。なぜなら、彼の中に真理がないからです。彼が嘘をつくとき、それは彼の母国語で話しているのです。彼は嘘つきであり、嘘の父です。

しかし、私は真理を語っているので、あなたがたは私を信じません！

誰が私を罪に定めることができるのでしょうか？もし私が真理を語っているなら、なぜあなたがたは私を信じないのですか？

神に属する者は神の言葉を聞きます。あなたがたが聞かない理由は、あなたがたが神に属していないからです。」

ユダヤ人たちは彼に答えた、「あなたがサマリア人であり、悪霊に取り憑かれていると言っているのは正しいではありませんか？」

イエスは言われた、「私は悪霊に取り憑かれていません。しかし、私は私の父を敬い、あなたがたは私を侮辱しています。」

しかし、私は自分の栄光を求めません。なぜなら、それを求める方が一人おられ、その方が裁判官です。

まことに、まことにあなたがたに言います。私の言葉を守る者は決して死を見ないでしょう。」

これを聞いて彼らは叫んだ、「今、あなたが悪霊に取り憑かれていることがわかりました！アブラハムも死に、預言者たちも死にました。それなのに、あなたは『私の言葉を守る者は決して死を味わわない』』と言います。」

あなたは私たちの父アブラハムよりも重要なのですか？彼でさえ亡くなり、死にました。そして預言者たちもそうです。あなたは自分を何者だと主張するのですか？」

イエスは答えられた、「もし私が自分自身を栄光化するなら、私の栄光は何の意味もありません。あなたがたが自分の神と主張する私の父が私を栄光化してくださるのです。」

あなたがたは彼を知らないが、私は彼を知っています。もし私が彼を知らないと言ったなら、あなたがたのように不誠実であるでしょう。しかし、私は彼を知っており、彼の言葉を守ります。

あなたがたの父アブラハムは、私の日を見ることを楽しみにしていました。彼はそれを見て喜びました。」

「あなたはまだ五十歳にもなっていないのに、アブラハムを見たと言うのですか？」と彼らは彼に言った。

「まことに、まことにあなたがたに言います」とイエスは答えられた、「アブラハムが生まれる前から、私はいます！」

これを聞いて、彼らは彼に石を投げようとしたが、イエスは身を隠し、神殿の境内から去って行かれた。

9 イエスが通りかかると、生まれつき目の見えな
い人を見かけた。²

弟子たちはイエスに尋ねた。「先生、この人が生まれつき盲目であるのは、誰が罪を犯したからですか？この人ですか、それともその両親ですか？」³

イエスは答えられた。「この人が罪を犯したのではなく、両親が罪を犯したのでもない。神の業がこの人に現れるためである。」⁴

私たちは、私を遣わした方の業を、まだ昼のうちに
行わなければならない。夜が来ると、誰も働くことができない。⁵ 私は世にいる間、世の光である。」

ヨハネの福音書

6

こう言ってから、イエスは地面に唾をし、泥を作ってその人の目に塗った。

7

そして彼に言われた。「シロアムの池に行行って洗いなさい。」（この言葉は「遭わされた」という意味である。）そこで彼は行って洗い、見えるようになって帰ってきた。

8

彼の隣人や、以前彼が物乞いをしていたのを見ていた人々が言った。「これは座って物乞いをしていた人ではないか？」

9

ある者は「この人だ」と言い、他の者は「いや、彼に似ているだけだ」と言った。しかし彼自身は「私がその人です」と言った。

10

「どうしてあなたの目が開いたのですか？」と彼らは尋ねた。

11

彼は答えた。「イエスと呼ばれる人が泥を作って私の目に塗り、シロアムに行行って洗いなさいと言われました。それで行って洗ったら、見えるようになりました。」

12

彼らは彼に尋ねた。「その人はどこにいますか？」彼は「知りません」と言った。

13

彼らは盲目であったその人をパリサイ人のところに連れて行った。

14

イエスが泥を作ってその人の目を開けたのは安息日であった。

15

パリサイ人たちも彼に、どうやって視力を得たのか尋ねた。彼は彼らに言った。「彼が私の目に泥を塗り、私は洗って、今見えるようになりました。」
パリサイ人の中には、「この人は安息日を守らないから、神から来た者ではない」と言う者もいた。しかし他の者は、「罪人がどうしてこのようなしるしを行うことができるのか？」と言った。それで彼らの間に分裂が生じた。

17

彼らは再び盲目であったその人に向かって、「彼があなたの目を開けたのだから、彼についてどう思うか？」と尋ねた。その人は「彼は預言者です」と答えた。

18

ユダヤ人の指導者たちは、彼が盲目であったことや視力を得たことを信じず、視力を得たその人の両親を呼び出した。

19

彼らは彼らに尋ねた。「これはあなたたちの息子で、生まれつき盲目であったとあなたたちが言う人ですか？ どうして今見えるのですか？」

20

彼の両親は答えた。「彼が私たちの息子であり、生まれつき盲目であったことは知っています。

21

しかし、どうして今見えるのか、誰が彼の目を開け

たのかは知りません。彼に聞いてください。彼は成人していますから、自分で話すでしょう。」

22

彼の両親がこう言ったのは、ユダヤ人の指導者たちを恐れていたからである。彼らはすでに、イエスをメシアと認める者は誰でも会堂から追放されると決めていた。

23

それで彼の両親は、「彼は成人していますから、彼に聞いてください」と言った。

24

彼らは再び盲目であったその人を呼び出し、「神に栄光を帰し、真実を話さない。この人は罪人であることを私たちは知っています」と言った。

25

彼は答えた。「彼が罪人であるかどうかは知りません。ただ一つのことは知っています。私は盲目であったが、今は見えるということです。」

26

それから彼らはさらに彼に尋ねた。「彼はあなたに何をしたのですか？ どうやってあなたの目を開けたのですか？」

27

彼は答えた。「すでに話しましたが、あなたたちは聞かなかった。なぜもう一度聞きたいのですか？ あなたたちも彼の弟子になりたいのですか？」

28

彼らは彼を侮辱して言った。「あなたはあの者の弟子です！ 私たちはモーセの弟子です！

29

神がモーセに語られたことは知っていますが、この者については、どこから来たのか知りません。」

30

その人は答えた。「それは驚くべきことです！ あなたたちは彼がどこから来たのか知らないのに、彼は私の目を開けました。」

31

神が罪人の言うことを聞かないことは私たちも知っています。神は、彼の御心を行う敬虔な人の言うことを聞かれます。

32

生まれつき盲目であった人の目を開けた者がいるということは、これまで聞いたことがありません。

33

この人が神から来た者でなければ、何もできなかったでしょう。」

34

彼らはこれに答えて言った。「お前は全く罪の中に生まれたのに、どうして私たちを教えるのか！」そして彼を追い出した。

35

イエスは彼らが彼を追い出したことを聞き、彼を見つけて言われた。「あなたは人の子を信じますか？」

36

その人は尋ねた。「主よ、それはどなたですか？ 私が信じることができるように教えてください。」

37

イエスは言われた。「あなたは今、彼を見ています。あなたと話しているのがその人です。」

38

その人は答えた。「主よ、私は信じます。」そして彼を敬った。

ヨハネの福音書

39

イエスは言われた。「私はこの世に裁きのために来ました。見えない者が見えるようになり、見える者が盲目になるためです。」⁴⁰

彼と一緒にいたパリサイ人の中には、これを聞いて言った。「何ですって？ 私たちも盲目なのですか？」

41

イエスは言われた。「もしあなたがたが盲目であったなら、罪はなかったでしょう。しかし、今あなたがたは『見える』と言っているの、あなたがたの罪は残ります。」

10

「まことに、まことにあなたがたに言います。門から羊の囲いに入らないで、他のところから乗り越える者は、盗人であり強盗です。」

しかし、門から入る者は羊の羊飼いです。

門番は彼を入れ、羊は彼の声聞き、彼は自分の羊を名で呼び、彼らを連れ出します。

彼が自分の羊をすべて連れ出すと、彼は彼らの先に行き、羊は彼の声を知っているの、彼に従います。

彼らは他人には従わず、むしろ逃げ去ります。なぜなら、彼らは他人の声を知らないからです。」

イエスはこのたとえを用いられましたが、彼らは彼が何を言っているのか理解しませんでした。

それでイエスは再び言われました。「まことに、まことにあなたがたに言います。私は羊のための門です。」

私の前に来た者は皆、盗人であり強盗でしたが、羊は彼らに聞き従いませんでした。

私は門です。私を通して入る者は救われ、出入りし、牧草を見つけます。

盗人が来るのは、ただ盗み、殺し、滅ぼすためです。私は彼らが命を得、豊かに持つために来ました。

「私は良い羊飼いです。良い羊飼いは羊のために命を捨てる覚悟があります。」

羊飼いでなく、羊の所有者でもない雇われ人は、狼が来るのを見ると羊を捨てて逃げ去り、狼は彼らを奪い散らします。

彼は雇われ人であり、羊のことを気にかけていないからです。

「私は良い羊飼いです。私は自分の羊を知っており、私の羊も私を知っています—

ちょうど父が私を知っており、私が父を知っているように。そして私は羊のために命を捨てる覚悟があります。」

私はこの囲いに属さない他の羊を持っています。私は彼らも連れて来なければならず、彼らは私の声を聞き、一つの群れ、一人の羊飼いとなるでしょう。

このために父は私を愛してくださいます。私は自分の命を捨て、それを再び取るためです。

誰も私からそれを奪うのではなく、私は自分の意志でそれを捨てます。私はそれを捨てる権威があり、それを再び取る権威があります。この命令を私は父から受けました。」

これらの言葉のために、ユダヤ人の間に再び分裂が生じました。

多くの者が言いました、「彼は悪霊に取りつかれており、狂っている。なぜ彼に耳を傾けるのか？」

他の者は言いました、「これらは悪霊に取りつかれた者の言葉ではありません。悪霊が盲人の目を開けることができるのでしょうか？」

その時、エルサレムで宮清めの祭りが行われていました。それは冬でした。

イエスはソロモンの回廊で宮の中を歩いておられました。

ユダヤ人たちは彼の周りに集まり、「いつまで私たちを不安にさせるのですか？ もしあなたがメシアであるなら、はっきりと教えてください」と言いました。

イエスは答えられました、「私は言いましたが、あなたたちは信じません。私が父の名によって行う業が私について証しています。」

しかし、あなたたちは信じません。なぜなら、あなたたちは私の羊の群れに属していないからです。

私の羊は私の声を聞きます。私は彼らを知っており、彼らは私に従います。

私は彼らに永遠の命を与え、彼らは決して滅びることはありません。誰も私の手から彼らを奪うことはできません。

ヨハネの福音書

私に彼らを与えた父はすべてにまさって偉大です。
誰も父の手から彼らを奪うことはできません。

父と私は一つです。」

これを聞いて、群衆は再び石を取って彼を打とうとしました。

イエスは彼らに言われました、「私は父からの多くの良い業をあなたたちに示しました。それらのどれのために私を石で打つのですか？」

ユダヤ人たちは答えました、「私たちは良い業のためにあなたを石で打つのではなく、冒瀆のためです。あなたは人間でありながら、神を自称しているからです。」

イエスは答えられました、「あなたたちの律法には、『私はあなたたちを「神々」と言った』と書かれていませんか？」

もし神の言葉が来た者たちを「神々」と呼んだのであれば—
そして聖書は無効にされることはありません—

父が聖別して世に遣わした者についてはどうですか？なぜ私が『私は神の子です』と言ったために冒瀆だと非難するのですか？

もし私が父の業を行わないなら、私を信じないでください。

しかし、もしそれを行うなら、たとえ私を信じなくても、その業を信じなさい。それは父が私の中におり、私が父の中にいることを知り、理解するためです。」

彼らは再び彼を捕らえようとしたましたが、彼は彼らの手を逃れました。

彼はヨルダン川を越えて、以前にヨハネがバプテスマを施していた場所に戻り、そこに滞在しました。

多くの人々が彼のもとに来て言いました、「ヨハネは何のしるしも行わなかったが、ヨハネがこの人について言ったことはすべて真実でした。」

そしてその場所で、多くの人々がイエスを信じました。

11 ラザロという名の病気の人がいた。彼はマリアとその姉妹マルタの村、ベタニアの出身であった。²
(このマリアは、主に香油を塗り、髪でその足を拭った人であり、その兄弟ラザロが病気であった。)

3

そこで姉妹たちはイエスに言付けを送って、「主よ、あなたが愛しておられる者が病気で」と言った。⁴

イエスはこれを聞いて言われた、「この病気は死に至るものではありません。神の栄光のためであり、それによって神の子が栄光を受けるのです。」

5

イエスはマルタとその姉妹とラザロを深く愛しておられた。⁶

それで、ラザロが病気でであると聞かれたとき、さらに二日間その場所に留まられた。⁷

そして弟子たちに言われた、「ユダヤに戻りましょう。」⁸

弟子たちは言った、「先生、つい最近、人々はあなたを石で打とうとしました。それでもまた行かれるのですか？」⁹

イエスは答えられた、「昼の時間は十二時間ではありませんか？昼間に歩く者は、この世の光によって見るのでつまずきません。」¹⁰

しかし、夜に歩く者はつまずきます。光がないからです。」

11

これを言われた後、さらに言われた、「私たちの友ラザロは眠っています。しかし、私は彼を起こしに行きます。」¹²

弟子たちは言った、「主よ、眠っているならば、回復するでしょう。」¹³

イエスはラザロの死を指して言われたが、弟子たちは自然な眠りを指していると思った。¹⁴

それでイエスははっきりと彼らに言われた、「ラザロは死にました。」¹⁵

そして、あなたがたのために、私はそこにいなかったことを喜んでいます。それはあなたがたが信じるためです。しかし、彼のもとへ行きましょう。」¹⁶

トマス、別名ディディモと呼ばれる者が他の弟子たちに言った、「私たちも行きましょう。彼と共に死に直面するために。」

17

イエスが到着すると、ラザロがすでに墓に四日間入っていることが分かった。¹⁸

ベタニアはエルサレムからそう遠くない場所にあった。¹⁹

多くのユダヤ人がマルタとマリアのもとに来て、彼らの兄弟について慰めていた。²⁰

マルタはイエスが来られると聞いて、出迎えに行ったが、マリアは家に留まっていた。²¹

マルタはイエスに言った、「主よ、もしあなたがこ

ヨハネの福音書

こにおられたなら、私の兄弟は死ななかつたでしょう。²²

しかし、今でも私は知っています。神はあなたが求めることを何でも与えてくださると。」²³

イエスは彼女に言われた、「あなたの兄弟は蘇るでしょう。」²⁴

マルタは言った、「私は彼が最後の日に復活することを知っています。」²⁵

イエスは彼女に言われた、「私は復活であり、命です。私を信じる者は、たとえ死んでも生きるのです。」²⁶

そして、私を信じて生きる者は決して本当に死ぬことはありません。これを信じますか？」²⁷

彼女は言った、「はい、主よ、私はあなたがメシアであり、神の子であり、この世に来るべき方であると信じています。」²⁸

これを言った後、彼女は戻って、妹マリアを呼び寄せ、そっと言った。「先生がここにおられ、あなたを呼んでおられます。」²⁹

これを聞いて、マリアはすぐに立ち上がり、イエスのもとに行った。³⁰

イエスはまだ村に入っておらず、マルタが出迎えた場所に留まっておられた。³¹

マリアと一緒に家にいて彼女を慰めていたユダヤ人たちは、彼女が急いで立ち上がり出て行くのを見て、彼女が墓に行行って泣くのだと思い、彼女について行った。³²

マリアはイエスがおられる場所に着き、彼を見てその足元にひれ伏した。「主よ、もしあなたがここにおられたなら、私の兄弟は死ななかつたでしょう。」³³

イエスは彼女が泣いているのを見、彼女と一緒に来たユダヤ人たちも泣いているのを見て、霊の中で深く動かされ、心を痛められた。³⁴

「彼をどこに置きましたか？」とイエスは尋ねられた。「主よ、来てご覧ください」と彼らは答えた。³⁵

イエスは涙を流された。³⁶

それで人々は言った、「彼がどれほど彼を愛しておられたかを見なさい！」³⁷

しかし、他の者たちは言った、「盲人の目を開けたこの人が、この人の死を防ぐことができなかったのか？」³⁸

イエスは再び深く動かされて、墓に来られた。それは石が入口に置かれた洞窟であつた。³⁹

「石を取り除けなさい」とイエスは言われた。「し

かし、主よ」とマルタ、亡くなった者の姉妹は言った、「もう臭いがしています。彼は四日間そこにあります。」⁴⁰

イエスは言われた、「もし信仰があれば、あなたは神の栄光を見ると私は言わなかつたでしょうか？」⁴¹

それで彼らは石を取り除けた。イエスは目を上げて言われた、「父よ、あなたが私を聞いてくださったことを感謝します。」⁴²

あなたがいつも私を聞いてくださることを私は知っていますが、ここに立っている人々のために言いました。彼らがあなたが私を遣わされたと信じるためです。」⁴³

これを言った後、イエスは大声で呼ばれた、「ラザロ、出てきなさい！」⁴⁴

亡くなった人が出てきた。彼の手と足は亜麻布で巻かれ、顔には布がかけられていた。イエスは彼らに言われた、「墓の服を取り除いて、彼を行かせなさい。」⁴⁵

その結果、マリアを訪ねてきた多くのユダヤ人が、イエスが行ったことを見て、彼を信じた。⁴⁶

しかし、彼らの中にはバリサイ人のもとに行き、イエスが行ったことを知らせた者もいた。⁴⁷

それで祭司長たちとバリサイ人たちはサンヘドリンを招集した。「私たちは何をしているのか？」彼らは言った。「この人は多くのしるしを行っています。」⁴⁸

もし彼を続けさせるならば、皆が彼を信じるでしょう。そしてローマ人が来て、私たちの神殿と国を奪うでしょう。」⁴⁹

その年の大祭司であつたカヤパという名の一人が言った、「あなたがたは何が必要かを知らないのです！」⁵⁰

一人の人が民のために死ぬ方が、全民族が減じるよりも良いことを理解していないのです。」⁵¹

彼は自分からこのことを言ったのではなく、実際にはその年の大祭司として、イエスがユダヤ民族のために死ぬことをすでに予言していた。⁵²

そして、その民族だけでなく、散らばった神の子供たちをも集め、一つにするためであつた。⁵³

それでその日から彼らは彼の命を終わらせることを計画した。⁵⁴

その結果、イエスはもはやユダヤの人々の間を公然と動き回ることにはなかつた。代わりに、荒野に近いエフライムという村に退かれ、そこで弟子たちと共

ヨハネの福音書

に過ぎされた。⁵⁵
ユダヤの過越の祭りが近づくと、多くの人々が過越の前に儀式的な清めのために田舎からエルサレムに上って来た。⁵⁶

彼らはイエスを探し続け、神殿の庭に立って互いに尋ねた、「どう思いますか？彼は祭りに来るのでしょうか？」⁵⁷

しかし、祭司長たちとパリサイ人たちは、彼がどこにいるかを知った者は誰でも報告するように命じていた。彼らが彼を逮捕できるようにするためである。

12 過越の祭りの6日前に、イエスはベタニヤに來られた。そこには、イエスが死人の中からよみがえらせたラザロがいた。²

イエスのために夕食が用意され、マルタは給仕をし、ラザロはイエスと共に席についていた。³

マリアは、純粋で非常に高価なナルドの香油を一リットル取り、イエスの足に塗り、自分の髪でその足を拭った。家は香油の香りで満たされた。⁴

しかし、イエスを裏切ろうとしていた弟子の一人、イスカリオテのユダが言った。⁵

「なぜこの香油を三百デナリで売って、貧しい人々に施さなかったのか？」⁶

彼がこう言ったのは、貧しい人々を心にかけていたからではなく、彼が盗人であり、金入れを預かっていたので、そこに入れられたものを盗んでいたからである。⁷

イエスは言われた、「彼女をそのままにしておきなさい。彼女は私の埋葬の日のためにこの香油を取っておいのです。⁸

貧しい人々はいつもあなたがたと共にいるが、私はいつもあなたがたと共にいるわけではない。」⁹

多くのユダヤ人の群衆がイエスがそこにいることを知り、イエスのためだけでなく、彼が死人の中からよみがえらせたラザロを見るために来た。¹⁰

それで、祭司長たちはラザロも殺そうとたくらんだ。¹¹

なぜなら、彼のために多くのユダヤ人がイエスを信じるようになったからである。

¹² 翌日、祭りに来ていた大勢の群衆が、イエスがエルサレムに來られると聞いた。¹³

彼らはなつめやしの枝を持って出迎え、叫んだ。

「ホサナ！

主の名によって來られる方に祝福あれ！

イスラエルの王に祝福あれ！」

¹⁴ イエスは若いろばを見つけて、その上に座られた。これは書かれていることを成就するためである。

¹⁵ 「恐れるな、シオンの娘よ。

見よ、あなたの王が來られる。

ろばの子に乗って。」

¹⁶ 最初、弟子たちはこれらのことを理解しなかった。しかし、イエスが栄光を受けた後、これらのことが彼について書かれており、彼らが彼に対してこれらのことを行ったことを悟った。¹⁷

ラザロを墓から呼び出し、死人の中からよみがえらせた時、イエスと共にいた群衆は証言し続けた。¹⁸ この奇跡のしるしを聞いた多くの人々が彼に会いに出かけた。¹⁹

それで、パリサイ人たちは互いに言った、「見てごらん、これでは何も得られない。見よ、全ての人が彼の後について行っている！」

²⁰ さて、祭りの間に礼拝に來た人々の中に、何人かのギリシャ人がいた。²¹

彼らはガリラヤのベツサイダ出身のピリポのところに来て、お願いして言った、「先生、イエスにお会いしたいのですが。」²²

ピリポはアンデレに言い、アンデレとピリポはイエスに伝えた。²³

イエスは答えられた、「人の子が栄光を受ける時が來ました。²⁴

まことに、まことにあなたがたに言います。一粒の麦が地に落ちて死ななければ、それは一粒のままです。しかし、もし死ねば、多くの実を結びます。²⁵ 自分の命を愛する者はそれを失い、この世で自分の命を憎む者はそれを永遠の命に保つでしょう。²⁶

誰でも私に仕えるなら、私に従わなければなりません。そして、私がいるところに私のしもべもいるでしょう。私に仕える者を、父は尊重されます。

²⁷ 「今、私の心は騒いでいます。何と言うべきでしょうか？『父よ、この時から私を救ってください』と言うべきでしょうか？いいえ、このために私はこの時に來たのです。²⁸

父よ、あなたの名を栄光にしてください。」すると、天から声が聞こえた、「私はそれを栄光にし、もう一度栄光にする。」²⁹

そこに立っていた群衆はそれを聞いて雷が鳴ったと言い、他の者は「天使が彼に話しかけた」と言った。³⁰

ヨハネの福音書

イエスは言われた、「この声はあなたがたのために来たのであって、私のためではありません。³¹
今、この世の裁きが行われる時です。今、この世の支配者が追い出されるでしょう。³²
そして、私が地から上げられる時、全ての人を私に引き寄せるでしょう。」³³
彼はどのような死を遂げるかを示すためにこう言われた。

³⁴
群衆は答えた、「私たちは律法から、メシアは永遠に残ると聞いています。では、どうして『人の子は上げられなければならない』と言うのですか？この『人の子』とは誰ですか？」³⁵
すると、イエスは彼らに言われた、「あなたがたはしばらくの間、光を持っています。暗闇があなたがたを追い越す前に、光を持っている間に歩きなさい。暗闇の中を歩く者はどこに行くのか分かりません。³⁶
。光を持っている間に光を信じなさい。そうすれば、光の子となるでしょう。」イエスはこれを話し終えると、彼らから去り、身を隠された。

³⁷
イエスが彼らの前で多くのしるしを行われたにもかかわらず、彼らはなおも彼を信じなかった。³⁸
これは預言者イザヤの言葉を成就するためである。

「主よ、誰が私たちのメッセージを信じましたか？
主の腕は誰に現れましたか？」

³⁹
彼らが信じるができなかったのはこのためであり、イザヤは別のところでこう言っている。

⁴⁰
「彼は彼らの目を盲目にし、
彼らの心を固くした。
それで彼らはその目で見ることができず、
その心で理解することができず、
回心しないので、私は彼らを癒さない。」

⁴¹
イザヤはイエスの栄光を見て、彼について語ったのである。

⁴²
それにもかかわらず、指導者たちの中にも彼を信じる者が多くいた。しかし、パリサイ人たちのために、彼らは自分の信仰を公に認めることを恐れ、会堂から追放されることを恐れた。⁴³
彼らは神からの称賛よりも人からの称賛を重んじたからである。

⁴⁴
それから、イエスは叫んで言われた、「私を信じる者は、私だけでなく、私を遣わされた方をも信じるのです。⁴⁵
私を見る者は、私を遣わされた方を見るのです。⁴⁶
私は光として世に来ました。それは、私を信じる者が誰も暗闇に留まらないようにするためです。⁴⁷
「誰かが私の言葉を聞いてそれを守らないとしても、私はその人を裁きません。私は世を裁くためではなく、救うために来たからです。⁴⁸
しかし、私を拒み、私の言葉を受け入れない者には裁きがあります。私が語った言葉が最後の日にその者を裁くでしょう。⁴⁹
私は自分から語ったのではなく、私を遣わされた父が、私が語るべきことをすべて命じられたのです。⁵⁰
私は彼の命令が永遠の命に至ることを知っています。ですから、私が言うことはすべて、父が私に言うように命じられたことなのです。」

13 過越の祭りの前に、イエスはこの世を去って父のもとに行く時が来たことを知っておられた。世にいるご自分の者たちを愛して、最後まで彼らを愛された。²
夕食の間に、悪魔はすでにシモンの子イスカリオテのユダの心に、イエスを裏切ることを入れていた。³

イエスは、父がすべてのことを自分の手に委ねられたこと、また自分が神から来て神に帰ろうとしていることを知っておられた。⁴
食事の席から立ち上がり、上着を脱いで、手ぬぐいを取って腰に巻かれた。⁵
それから、水をたらいに入れて弟子たちの足を洗い始め、腰に巻いた手ぬぐいで拭き始められた。

⁶
シモン・ペテロのところに來られると、ペテロは言った。「主よ、あなたが私の足を洗ってくださるのですか？」⁷
イエスは答えられた。「今、あなたは私がしていることを理解していないが、後で理解するようになる。」⁸
ペテロは言った。「決して私の足を洗わないでください！」イエスは答えられた。「もし私があなたを洗わなければ、あなたは私と関係がない。」⁹
シモン・ペテロは言った。「主よ、私の足だけでなく、手も頭も洗ってください！」¹⁰
イエスは言われた。「すでに体を洗った者は足だけを洗えばよい。全身が清いのだから。そしてあなたがたは清いが、みんながそうではない。」¹¹

ヨハネの福音書

イエスは誰が自分を裏切るかを知っておられたので、「みんなが清いわけではない」と言われたのであります。

12 彼らの足を洗った後、イエスは上着を着て再び席について言われた。「あなたがたは、私があなたがたにしたことを理解していますか？」 13

あなたがたは私を『先生』また『主』と呼びますが、それは正しいことです。私はそうだからです。 14 もし私があなたがたの主であり先生である私があなたがたの足を洗ったのなら、あなたがたも互いに足を洗うべきです。 15

私はあなたがたに模範を示しました。それは、私があなたがたにしたように、あなたがたもするためです。 16

まことに、まことに、あなたがたに言います。しもべはその主人より偉大ではなく、使者は送った者より偉大ではありません。 17

これらのことを知っているなら、それを行うときにあなたがたは祝福されます。

18 私はあなたがた全員について話しているわけではありません。私は選んだ者たちを知っています。しかし、これは聖書を成就するためです。『私のパンを食べる者が私に逆らってかかとを上げた』とあります。 19

私は今、これが起こる前にあなたがたに言っています。それが起こったときに、あなたがたが私その者であると信じるためです。 20

まことに、まことに、あなたがたに言います。私が送る者を受け入れる者は私を受け入れ、私を受け入れる者は私を送った方を受け入れるのです。」

21 これを言った後、イエスは心に悩み、証言して言われた。「まことに、まことに、あなたがたに言います。あなたがたのうちの一人が私を裏切ります。」 22

弟子たちは互いに顔を見合わせ、誰を指しておられるのか分からなかった。 23

イエスが愛しておられた弟子の一人が、イエスのそばに寄りかかっていた。 24

シモン・ペテロはその弟子に合図して、「誰のことを言っているのか、尋ねてください」と言った。 25 その弟子はイエスに寄りかかって、「主よ、それは誰ですか？」と尋ねた。 26

イエスは答えられた。「私がこのパン切れを浸して与える者がそれです。」それから、パン切れを浸して、シモン・イスカリオテの子ユダに与えられた。

27 ユダがパンを受け取った後、サタンが彼に入った。イエスは彼に言われた。「あなたがしようとしていることを、すぐにしなさい。」 28

食事の席にいた者たちは、なぜイエスが彼にこう言われたのか理解しなかった。 29

ある者たちは、ユダが金入れを持っていたので、イエスが祭りのために必要なものを買うように、または貧しい人々に何かを与えるように言われたのだと思った。 30

ユダはパン切れを受け取った後、すぐに出て行った。そして、それは夜であった。

31 彼が出て行った後、イエスは言われた。「今や人の子は栄光を受け、神も彼において栄光を受けられました。 32

もし神が彼において栄光を受けられるなら、神もご自身において彼に栄光を与え、すぐにそうされます。 33

小さな子たちよ、私はもう少しの間だけあなたがたと共にいます。あなたがたは私を探すでしょうが、ちょうど私がユダヤ人たちに言ったように、今あなたがたにも言います。私が行くところには、あなたがたは来ることができません。 34

私はあなたがたに新しい戒めを与えます。互いに愛し合いなさい。私があなたがたを愛したように、あなたがたも互いに愛し合いなさい。 35

それによって、すべての人があなたがたが私の弟子であることを知ります。あなたがたが互いに愛し合うなら。」

36 シモン・ペテロはイエスに言った。「主よ、どこへ行かれるのですか？」イエスは答えられた。「私が行くところには、あなたは今ついて来ることはできませんが、後でついて来るでしょう。」 37

ペテロは言った。「主よ、なぜ今ついて行けないのですか？私はあなたのために命を捨てます。」 38

イエスは答えられた。「本当にあなたは私のために命を捨てるのですか？まことに、まことに、あなたがたに言います。鶏が鳴く前に、あなたは三度私を知らないと言うでしょう。」

14 「あなたがたの心を騒がせてはなりません。神を信じなさい。また私をも信じなさい。 2

私の父の家には多くの住まいがあります。そうでなければ、私はあなたがたに、あなたがたのために場所を用意しに行くと言ったのでしょうか。 3

そして、もし私が行ってあなたがたのために場所を

ヨハネの福音書

用意したなら、また来て、あなたがたを私のもとに迎えます。私がいるところに、あなたがたもいるためです。

そして、私が行く道をあなたがたは知っています。」

トマスが言った、「主よ、あなたがどこに行かれるのかわかりません。どうしてその道を知ることができるでしょうか。」

イエスは言われた、「私は道であり、真理であり、命です。私を通してでなければ、誰も父のもとに行くことはできません。」

もしあなたがたが本当に私を知っていたなら、私の父も知っていたでしょう。今からは、あなたがたは父を知っており、また見ているのです。」

ピリポが言った、「主よ、私たちに父を示してください。それで私たちは満足します。」

イエスは彼に言われた、「ピリポ、私はこんなに長くあなたがたと一緒にいるのに、あなたは私を知らないのですか。私を見た者は父を見たのです。どうして『私たちに父を示してください』と言うのですか。」

私が父の中におり、父が私の中におられることを信じないのですか。私があなたがたに話す言葉は、私自身の権威からではありません。むしろ、私の中に住んでいる父がその働きをしておられるのです。私が父の中におり、父が私の中におられることを信じなさい。さもなければ、その働き自体のゆえに信じなさい。

まことに、まことにあなたがたに言います。私を信じる者は、私がしている働きをするでしょう。そして、これよりもさらに大きなことをするでしょう。なぜなら、私は父のもとに行くからです。

そして、私の名によって求めることは何でも、私はそれを行います。それは、父が子によって栄光を受けるためです。

私の名によって何かを求めるなら、私はそれを成し遂げます。

「もしあなたがたが私を愛するなら、私の戒めを守るでしょう。」

そして、私は父にお願いし、父は別の助け主をあなたがたに与え、永遠にあなたがたと共にいるようにされます—

真理の御霊です。世は彼を受け入れることができません。なぜなら、世は彼を見もせず、知りもしないからです。しかし、あなたがたは彼を知っています。彼はあなたがたと共に住んでおり、あなたがたの

中にいるからです。
私はあなたがたを孤児のようにしませんが、私はあなたがたのもとに来ます。

しばらくして、世はもう私を見ませんが、あなたがたは私を見ます。私が生きているので、あなたがたも生きるのです。

その日には、私が父の中におり、あなたがたが私の中におり、私があなたがたの中にいることを理解するでしょう。

私の戒めを持ち、それを守る者が私を愛する者です。私を愛する者は私の父に愛され、私も彼を愛し、彼に私自身を現します。」

すると、イスカリオテでないユダが言った、「主よ、どうして私たちにはご自身を現し、世には現さないのですか。」

イエスは答えられた、「誰でも私を愛するなら、私の教えを守ります。私の父は彼を愛し、私たちは彼のもとに来て、彼と共に住みます。」

私を愛さない者は私の教えを守りません。あなたがたが聞いている言葉は私自身のものではなく、私を遣わした父のものです。

「私はまだあなたがたと共にいる間に、これらのことをあなたがたに話しました。」

しかし、助け主、すなわち父が私の名によって送る聖霊が、すべてのことをあなたがたに教え、私があなたがたに言ったすべてのことを思い起こさせます。

私は平安をあなたがたに残し、私の平安をあなたがたに与えます。私は世が与えるようには与えません。あなたがたの心を騒がせてはなりません。また恐れてはなりません。

あなたがたは私が言ったのを聞きました、『私は去って行き、あなたがたのもとに戻って来る』と。もしあなたがたが私を愛しているなら、私が父のもとに行くことを喜ぶでしょう。なぜなら、父は私よりも偉大だからです。

私はそれが起こる前にあなたがたに知らせました。それが起こったときに、あなたがたが信じるためです。

私はもう多くをあなたがたに話しません。この世の支配者が来るからです。彼は私に対して何の力も持っていないませんが、

しかし、彼が来るのは、私が父を愛し、父が私に命じられた通りに行くことを世が理解するためです。「さあ、立ち去りましょう。」

ヨハネの福音書

15 「わたしはまことのぶどうの木であり、わたしの父はその栽培者です。」²

わたしにつながっているが実を結ばない枝はすべて取り除かれ、実を結ぶ枝はすべて、もっと多くの実を結ぶように刈り込みます。³

わたしがあなたがたに話した言葉によって、あなたがたはすでに清くされています。⁴

わたしにつながってはいないさい。そうすれば、わたしもあなたがたにつながっています。枝がぶどうの木につながってなければ自分では実を結ぶことができないのと同じように、あなたがたもわたしにつながってなければ実を結ぶことはできません。⁵

わたしはぶどうの木であり、あなたがたは枝です。わたしにつながっている人は多くの実を結びます。わたしを離れては、あなたがたは何もできないからです。⁶

もし誰かがわたしにつながってなければ、その人は枝のように投げ捨てられて枯れます。そのような枝は集められ、火に投げ込まれて焼かれます。⁷

もしあなたがたがわたしにつながり、わたしの言葉があなたがたにとどまっているなら、望むものを何でも求めなさい。そうすれば、それはあなたがたにかなえられます。⁸

このことによって、あなたがたが多くの実を結び、わたしの弟子であることを証明することによって、わたしの父は栄光を受けます。⁹

父がわたしを愛されたように、わたしもあなたがたを愛しました。わたしの愛にとどまりなさい。¹⁰ もしあなたがたがわたしの戒めを守るなら、わたしの愛にとどまることができます。それは、わたしが父の戒めを守り、父の愛にとどまっているのと同じです。¹¹

わたしはこれらのことをあなたがたに話しました。それは、わたしの喜びがあなたがたのうちにあり、あなたがたの喜びが満ちるためです。¹²

これがわたしの戒めです。わたしがあなたがたを愛したように、互いに愛し合いなさい。¹³ 友のために自分の命を捨てること、これ以上に大きな愛はありません。¹⁴

あなたがたがわたしの命じることを行うなら、あなたがたはわたしの友です。¹⁵

もはやあなたがたをしもべとは呼びません。しもべは主人のしていることを知らないからです。わたしはあなたがたを友と呼びました。わたしが父から聞いたことをすべて、あなたがたに知らせたからです。¹⁶

あなたがたがわたしを選んだのではなく、わたしがあなたがたを選び、任命しました。それは、あなたがたが行って実を結び、その実が残るためです。それで、わたしの名によって父に求めるものは何でも、父があなたがたに与えてくださるのです。¹⁷ これがわたしの命令です。互いに愛し合いなさい。

もし世があなたがたを憎むなら、それがあなたがたを憎む前にわたしを憎んだことを覚えておきなさい。¹⁸

もしあなたがたが世のものであったなら、世は自分のものを愛したでしょう。しかし、あなたがたは世のものではなく、わたしが世からあなたがたを選び出したので、世はあなたがたを憎むのです。¹⁹

わたしがあなたがたに言った言葉を覚えておきなさい。『しもべはその主人よりも偉くはない』と。もし彼らがわたしを迫害したなら、あなたがたをも迫害するでしょう。もし彼らがわたしの言葉を守ったなら、あなたがたの言葉も守るでしょう。²⁰

彼らはわたしの名のためにこれらすべてのことをあなたがたに行うでしょう。それは、わたしを遣わされた方を知らないからです。²¹

もしわたしが来て彼らに語らなかったなら、彼らは罪を知らなかったでしょう。しかし今や彼らにはその罪の言い訳がありません。²²

わたしを憎む者は、わたしの父をも憎みます。²³ もしわたしが彼らの中で他の誰も行わなかったわざを行わなかったなら、彼らは罪を知らなかったでしょう。しかし今や彼らはそれを見て、わたしとわたしの父を憎んでいます。²⁴

これは彼らの律法に書かれていることを成就するためです。『彼らは理由もなくわたしを憎んだ』と。²⁵

助け主が来るとき、わたしが父からあなたがたに遣わす方、父から出る真理の御霊が、わたしについて証します。²⁶

そして、あなたがたも初めからわたしと共にいたので、証ししなければなりません。²⁷

16 「これらのことをあなたがたに話したのは、あなたがたが罪に陥らないようにするためです。」²

彼らはあなたがたを会堂から追放するでしょう。実に、あなたがたを殺す者が、神に奉仕していると思う時が来ます。³

彼らがこれらのことをするのは、父も私も知らないからです。⁴

これらのことをあなたがたに知らせたのは、彼らの時が来たときに、私がそれをあなたがたに話したこ

ヨハネの福音書

とを思い出すためです。私は最初からこれを話さなかったのは、私があなたがたと共にいたからです。

5

しかし、今私は私を遣わした方のもとに帰ろうとしています。そして、あなたがたの誰も私に『どこへ行くのか』と尋ねません。

6

むしろ、これらのことを言ったために、悲しみがあなたがたの心を満たしています。

7

それでも、私は真実を言います。私が去ることはあなたがたにとって益となります。私が去らなければ、助け主はあなたがたのところに来ません。しかし、もし私が去れば、私は彼をあなたがたに送ります。

8

彼が来ると、罪、義、裁きについて世を責めます。

9 罪については、彼らが私を信じないからです。

10

義については、私が父のもとに帰り、あなたがたはもはや私を見ないからです。

11

裁きについては、この世の支配者が裁かれたからです。

12

「まだあなたがたに話すべきことがたくさんありますが、今はそれに耐えることができません。

13

しかし、真理の御霊が来ると、彼はあなたがたをすべての真理に導きます。彼は自分から話すのではなく、聞くことだけを話し、来るべきことをあなたがたに知らせます。

14

彼は私のものを受けて、それをあなたがたに知らせるので、私を栄光化します。

15

父のものはすべて私のものです。だから、御霊が私のものを受けて、それをあなたがたに知らせると言ったのです。

16

「しばらくすると、あなたがたはもはや私を見なくなります。しかし、またしばらくすると、私を見るでしょう。」

17

そこで、弟子たちの中の何人かが互いに言った、「『しばらくすると、あなたがたはもはや私を見なくなり、またしばらくすると、私を見る』と言い、『父のもとに行くから』と言われたのはどういう意味ですか?」

18

彼らは言い続けた、「『しばらく』とはどういう意味ですか? 私たちは彼が言っていることがわかりません。」

19

イエスは彼らがこれについて尋ねたいと思っていることを知って、彼らに言われた、「『しばらくすると、あなたがたはもはや私を見なくなり、またしば

らくすると、私を見る』と言ったとき、あなたがたはそれについて話し合っていますか?」

20

まことに、まことにあなたがたに言います。あなたがたは泣き悲しむが、世は喜ぶでしょう。あなたがたは悲しむが、その悲しみは喜びに変わります。21 女が出産の時には苦しみますが、子供が生まれると、その喜びのために苦しみを忘れず。

22

あなたがたも同様です。今は悲しみの時ですが、私は再びあなたがたに会い、あなたがたの心は喜びに満たされ、その喜びを誰も奪うことはできません。

23

その日には、あなたがたはもはや私に何も尋ねません。まことに、まことにあなたがたに言います。私の名によって父に求めることは何でも、彼が与えてくださいます。

24

これまで、あなたがたは私の名によって何も求めていませんでした。私の名によって求めなさい。そうすれば、受けるでしょう。あなたがたの喜びが満ちるためです。

25

「これらのことをあなたがたに比喩で話しましたが、時が来ると、もはや比喩で話さず、父についてはっきりと話します。

26

その日には、あなたがたは私の名によって求めるでしょう。私はあなたがたのために父に求めるとは言いません。

27

父はあなたがたを愛しておられます。なぜなら、あなたがたが私を愛し、私が神から来たと信じたからです。

28

私は父から来て世にきました。今、私は世を去り、父のもとに帰ります。」

29

すると弟子たちは言った、「今、あなたははっきりと話しておられ、比喩を使っておられません。30 今、私たちはあなたがすべてのことを知っておられ、誰もあなたに質問する必要があることがわかりません。これによって、私たちはあなたが神から来たと信じます。」

31

イエスは答えられた、「今、信じますか?」

32

「見よ、時が来る、いや、すでに来ている、あなたがたが散らされてそれぞれ自分の家に帰り、私を一人に残す時が。それでも私は一人ではありません。父が私と共におられるからです。

33

「これらのことをあなたがたに話したのは、私にあって平安を持つためです。この世では苦難があります。しかし、勇気を出しなさい。私は世に勝ちました。」

ヨハネの福音書

17 イエスはこれらの言葉を話された後、天を見上げて言われた。「父よ、時が来ました。御子があなたを栄光化するために、御子を栄光化してください。² あなたはすべての人に対する権威を彼に与えられました。それは、あなたが彼に託されたすべての者に永遠の命を与えるためです。³ そして、これが永遠の命です。唯一の真の神であるあなたと、あなたが遣わされたイエス・キリストを知ることです。⁴ 私は地上であなたを栄光化しました。あなたが私に与えられた仕事を成し遂げたからです。⁵ そして今、父よ、世界が存在する前にあなたと共に持っていた栄光で、私をあなたの前で栄光化してください。

6 「私は、あなたが世から私に与えられた者たちにあなたの名を明らかにしました。彼らはあなたのものでした。あなたは彼らを私に与え、彼らはあなたの言葉を守りました。⁷ 今、彼らはあなたが私に与えたすべてのものがあなたから来たことを理解しています。⁸ 私はあなたが私に与えた言葉を彼らに与え、彼らはそれを受け入れました。彼らは本当に私があなたから来たことを知り、あなたが私を遣わされたことを信じました。

9 私は彼らのために祈ります。私は世のために祈るのではなく、あなたが私に与えられた者たちのために祈ります。彼らはあなたのものだからです。¹⁰ 私の持っているすべてのものはあなたのものであり、あなたの持っているすべてのものは私のものです。そして私は彼らの中で栄光化されました。¹¹ 私はもはや世にいませんが、彼らは世にいます。そして私はあなたのもとに行きます。聖なる父よ、彼らが私たちと一つであるように、あなたが私に与えられた名前の中で彼らを守ってください。¹² 私が彼らと共にいた間、あなたが私に与えられた名前の中で彼らを守りました。私は彼らを守り、滅びの子以外は誰も失われませんでした。それは聖書が成就するためです。

13 しかし今、私はあなたのもとに行きます。そして彼らが私の喜びを彼らの中に完全に持つために、これらのことを世で話します。¹⁴ 私は彼らにあなたの言葉を伝えました。そして世は彼らを憎みました。彼らが世に属していないからです。私が世に属していないように。¹⁵

私はあなたが彼らを世から取り去ることを求めているのではなく、悪しき者から彼らを守ってくださいることを求めています。¹⁶

彼らは世に属していません。私が世に属していないように。¹⁷

真理によって彼らを聖別してください。あなたの言葉は真理です。¹⁸

あなたが私を世に遣わされたように、私も彼らを世に遣わしました。¹⁹

そして彼らのために私は自分を聖別します。それは彼らも真に聖別されるためです。²⁰

「私はこれらの者たちだけでなく、彼らの言葉を通して私を信じる者たちのためにも祈ります。²¹

父よ、あなたが私の中におられ、私があなたの中にいるように、彼らも私たちの中にいるように、彼らがすべて一つになるためです。それは世があなたが私を遣わされたことを信じるためです。²²

私は彼らにあなたが私に与えられた栄光を与えました。それは彼らが一つになるためです。私たちが一つであるように—²³

私が彼らの中におり、あなたが私の中におられるように—

それは彼らが完全に一つになるためです。そのとき、世はあなたが私を遣わされたことを知り、あなたが私を愛されたように彼らを愛されたことを知るでしょう。

24 「父よ、私がいるところに、あなたが私に与えられた者たちも私と共にいることを願います。それはあなたが世の基を置かれる前に私を愛されたために、私に与えられた私の栄光を見るためです。²⁵

「正しい父よ、世はあなたを知りませんが、私はあなたを知っています。そしてこれらの者たちはあなたが私を遣わされたことを知っています。²⁶ 私は彼らにあなたの名を知らせ、さらに知らせ続けます。それはあなたが私を愛された愛が彼らの中にあり、私も彼らの中にいるためです。」

18 イエスがこれらの言葉を語り終えた後、弟子たちと共にキドロン谷を渡り、そこにある園に入られた。²

イエスを裏切ろうとしていたユダもその場所を知っていた。イエスがしばしば弟子たちと共にそこに集まっていたからである。³

それでユダは、兵士たちと祭司長やパリサイ人からの役人たちを連れて、灯火と武器を持ってそこに来た。⁴

イエスは自分に起こることをすべて知っておられ、

ヨハネの福音書

進み出て彼らに尋ねられた。「誰を探しているのですか？」⁵

彼らは答えた。「ナザレのイエスです。」イエスは彼らに言われた。「それは私です。」イエスを裏切ろうとしていたユダも彼らと共に立っていた。⁶

イエスが「それは私です」と言われたとき、彼らは後退し、地に倒れた。⁷

イエスは再び彼らに尋ねられた。「誰を探しているのですか？」彼らは言った。「ナザレのイエスです。」⁸

イエスは答えられた。「それは私だと言いました。私を探しているのなら、これらの人々を行かせなさい。」⁹

これは、イエスが言われた言葉を成就するためであった。「あなたが私に与えた者のうち、一人も失っていません。」¹⁰

その時、シモン・ペテロは剣を持っており、大祭司のしもべの右耳を切り落とした。そのしもべの名はマルコスであった。¹¹

イエスはペテロに言われた。「剣を鞘に納めなさい。父が私に与えた杯を飲まないでいられようか。」¹²

それから、兵士たちとその指揮官、およびユダヤ人の役人たちはイエスを捕らえ、縛った。¹³

彼らはまずイエスをアンナスのもとに連れて行った。アンナスはその年の大祭司カヤバの義父であった。¹⁴

カヤバは、ユダヤ人の指導者たちに、一人の人が民のために死ぬことが有益であると助言した者であった。¹⁵

シモン・ペテロはイエスに従い、もう一人の弟子も従った。この弟子は大祭司に知られており、イエスと共に大祭司の中庭に入った。¹⁶

しかし、ペテロは外の門のところ立っていた。その大祭司に知られているもう一人の弟子が出てきて、門番の女に話しかけ、ペテロを中に連れ込んだ。¹⁷

門番の女はペテロに言った。「あなたもこの人の弟子の一人ではありませんか？」彼は言った。「違います。」¹⁸

寒かったので、しもべたちと役人たちは炭火を囲んで暖を取っていた。ペテロも彼らと共に立って暖を取っていた。¹⁹

大祭司はイエスに対して、弟子たちとその教えについて尋ねた。²⁰

イエスは答えられた。「私は世に対して公然と語っ

てきました。私はいつも会堂や神殿で教えてきました。すべてのユダヤ人が集まるところです。私は何も秘密にしません。²¹

なぜ私に尋ねるのですか？私の話を聞いた人々に尋ねなさい。彼らは私が何を言ったか知っています。」²²

イエスがこれを言われたとき、そばに立っていた役人の一人がイエスを打ち、「それが大祭司への答え方か？」と言った。²³

イエスは答えられた。「もし私が間違っただけなら、その間違いを証言しなさい。しかし、正しく話したなら、なぜ私を打つのですか？」²⁴

アンナスはイエスを縛ったまま、大祭司カヤバのもとに送った。²⁵

その間、シモン・ペテロはまだ立って暖を取っていた。彼らは彼に言った。「あなたも彼の弟子の一人ではありませんか？」彼は否定して言った。「違います。」²⁶

大祭司のしもべの一人で、ペテロが耳を切り落とした男の親類が言った。「私は園であなたを彼と一緒に見なかったか？」²⁷

ペテロは再び否定し、その瞬間、鶏が鳴いた。²⁸

それから彼らはイエスをカヤバから総督官邸に連れて行った。早朝であり、彼ら自身は過越の食事を食べるために汚れを避けるために総督官邸に入らなかった。²⁹

ピラトは外に出て彼らに尋ねた。「この人に対してどんな罪状を持ってきたのですか？」³⁰

彼らは答えた。「もしこの人が悪いことをしていなかったなら、あなたに引き渡さなかったでしょう。」³¹

ピラトは言った。「あなたたち自身で彼を連れて行き、あなたたちの法律で裁きなさい。」ユダヤ人たちは言った。「私たちには誰も処刑する権限がありません。」³²

これは、イエスがどのような死を遂げるかを示すために言われた言葉を成就するためであった。³³

ピラトは再び総督官邸に入り、イエスを呼び出して尋ねた。「あなたはユダヤ人の王ですか？」³⁴

イエスは答えられた。「それはあなた自身の考えですか、それとも他の人が私についてあなたに話したのですか？」³⁵

ピラトは答えた。「私はユダヤ人ですか？あなたの国民と祭司長たちがあなたを私に引き渡したのですか？あなたは何をしたのですか？」³⁶

ヨハネの福音書

イエスは言われた。「私の王国はこの世のものではありません。もしそうであったなら、私のしもべたちはユダヤ人の指導者たちによる逮捕を防ぐために戦ったでしょう。しかし、私の王国は別の場所から来たものです。」³⁷

「それでは、あなたは王なのですね！」とピラトは言った。イエスは答えられた。「あなたが言う通り、私は王です。このために私は生まれ、この世に来ました。それは真理を証しするためです。真理の側にいる者は皆、私の声を聞きます。」³⁸

ピラトはイエスに言った。「真理とは何ですか？」これを言ってから、彼は再び外に出て、そこに集まっていたユダヤ人たちに言った。「私はこの人に罪を見出しません。」³⁹

しかし、過越の祭日には囚人を一人釈放するのがあなたたちの習慣です。『ユダヤ人の王』を釈放してほしいですか？」⁴⁰

彼らは叫び返した。「この人ではなく、バラバを！」バラバは反逆者であった。

19 そこでピラトはイエスを捕らえ、鞭打たせた。²

兵士たちは茨の冠を編んで彼の頭に置き、紫の衣を着せた。³

彼らは彼に近づいて、「ユダヤ人の王よ、万歳！」と言い、彼の顔を平手で打った。⁴

ピラトは再び外に出て、彼らに言った、「見よ、私は彼をあなたたちのところに連れて来る。彼に罪を見つけないことを知ってもらうためだ。」⁵

イエスは茨の冠と紫の衣を着て出てきた。ピラトは彼らに言った、「見よ、この人だ！」⁶

祭司長たちと役人たちが彼を見たとき、「十字架につけろ！十字架につけろ！」と叫んだ。ピラトは言った、「あなたたち自身で彼を連れて行き、十字架につけなさい。私は彼に罪を見つけない。」⁷

ユダヤ人の指導者たちは答えた、「私たちには律法があり、その律法によれば彼は死ぬべきです。彼は自分を神の子としたからです。」⁸

これを聞いて、ピラトはさらに恐れた。⁹

彼は再び宮殿に入り、イエスに尋ねた、「あなたはどこから来たのですか？」しかしイエスは彼に答えなかった。¹⁰

ピラトは彼に言った、「私に話さないのですか？あなたを釈放する権威も十字架につける権威も私にあることを知らないのですか？」¹¹

イエスは答えた、「あなたが私に対して持つ権威は、上から与えられたものでなければなりません。だから、私をあなたに引き渡した者の罪はより大きいのです。」¹²

この時から、ピラトは彼を釈放しようとしたが、ユ

ダヤ人たちは叫んだ、「この人を釈放するなら、あなたはカエサルの友ではありません。王と主張する者は誰でもカエサルに逆らいます。」

13

ピラトはこれらの言葉を聞くと、イエスを外に連れ出し、敷石の場所、ヘブライ語でガバタと呼ばれる場所で裁判席に座った。¹⁴

それは過越の準備の日で、約第六時であった。彼はユダヤ人たちに言った、「見よ、あなたたちの王だ！」¹⁵

彼らは叫んだ、「彼を取り去れ！十字架につけろ！」ピラトは尋ねた、「あなたたちの王を十字架につけるのか？」祭司長たちは答えた、「私たちにはカエサルの他に王はありません。」

16

それでピラトは彼を十字架につけるために引き渡した。兵士たちはイエスを引き受けた。

17

彼自身の十字架を担いで、彼は頭蓋骨の場所、ヘブライ語でゴルゴタと呼ばれる場所へ出て行った。¹⁸

そこで彼らは彼を十字架につけ、彼と共に他の二人を、イエスを中央にして一人ずつ両側に十字架につけた。¹⁹

ピラトは銘を十字架に書いて掲げた。それには「ナザレのイエス、ユダヤ人の王」と書かれていた。²⁰

多くのユダヤ人がこの銘を読んだ。イエスが十字架につけられた場所は町に近かったからであり、それはヘブライ語、ラテン語、ギリシャ語で書かれていた。²¹

ユダヤ人の祭司長たちはピラトに言った、「『ユダヤ人の王』と書かずに、『彼はユダヤ人の王だと言った』と書いてください。」²²

ピラトは答えた、「私が書いたものは、私が書いたものだ。」

23

兵士たちはイエスを十字架につけたとき、彼の衣服を取り、四つに分けた。各兵士に一つずつ、下着が残った。下着は縫い目のない、一枚で織られたものであった。²⁴

彼らは互いに言った、「それを裂かずに、誰のものになるかを決めるためにくじを引こう。」これは聖書を成就するためであった。「彼らは私の衣服を分け合い、私の衣のためにくじを引いた。」それで兵士たちはこれらのことをした。

25

イエスの十字架のそばには、彼の母、彼の母の姉妹、クロバの妻マリア、マグダラのマリアが立ってい

ヨハネの福音書

た。²⁶
イエスは彼の母と、彼が愛する弟子が近くに立っているのを見て、彼の母に言った、「婦人よ、見よ、あなたの息子です！」²⁷

それから彼はその弟子に言った、「見よ、あなたの母です！」その時から、その弟子は彼女を自分の家に迎え入れた。

²⁸
この後、すべてが成し遂げられたことを知って、聖書を成就するために、イエスは言った、「私は渴いている。」²⁹

そこには酸いぶどう酒の入った瓶があった。それで彼らは酸いぶどう酒をいっぱいに含ませたスポンジをヒソブの枝に付けて、彼の口に持っていった。³⁰
イエスは酸いぶどう酒を受け取った後、「成し遂げられた！」と言ひ、頭を垂れて霊を渡された。

³¹
それは準備の日であり、安息日に体が十字架に残らないようにするために（その安息日は特別な日であった）、ユダヤ人たちはピラトに彼らの足を折って取り去るように頼んだ。³²

兵士たちは来て、彼と共に十字架につけられた最初の人もう一人の足を折った。³³

しかし、イエスに来たとき、彼がすでに死んでいるのを見て、彼の足を折らなかった。³⁴

代わりに、兵士の一人が槍で彼の脇腹を刺し、すぐに血と水が出てきた。³⁵

それを見た者が証ししており、その証しは真実である。彼は自分が真実を語っていることを知っているの、あなたたちも信じることができる。³⁶

これらの出来事は聖書を成就するために起こった。「彼の骨は一つも折られない。」³⁷

また別の聖書には、「彼らは刺した者を見る。」と書かれている。

³⁸
これらの後、アリマタヤのヨセフ、イエスの弟子であったが、ユダヤ人を恐れて秘密にしていた者が、ピラトにイエスの体を取り去ることを求め、ピラトは許可した。それで彼は来て、彼の体を取り去った。³⁹

最初に夜にイエスのもとにきたニコデモもまた、没薬とアロエの混合物を約百リトラ持って来た。⁴⁰
彼らはイエスの体を取り、ユダヤ人の埋葬の習慣に従って、香料と共に亜麻布で包んだ。⁴¹

彼が十字架につけられた場所には庭があり、その庭にはまだ誰も葬られていない新しい墓があった。⁴²
それがユダヤ人の準備の日であり、墓が近かったので、彼らはイエスをそこに葬った。

20 週の初めの日、まだ暗いうちに、マグダラのマリアは墓に来て、石が入口から取り除かれているのを見た。²

彼女はシモン・ペテロともう一人の弟子、すなわちイエスが愛された者のところに走って行き、「主が墓から取り去られました。どこに置かれたのか、私たちには分かりません！」と言った。³

それでペテロともう一人の弟子は墓へ出かけた。⁴
彼らは共に走ったが、もう一人の弟子がペテロよりも速く走り、先に墓に着いた。⁵

彼はかがんで、中にある亜麻布が置かれているのを見たが、中には入らなかった。⁶

その後にシモン・ペテロが来て、墓の中に入った。彼は亜麻布が置かれているのを見た。⁷

そして、イエスの頭に巻かれていた布が、亜麻布と一緒にではなく、別の場所に畳んで置かれているのを見た。⁸

それから、先に墓に着いたもう一人の弟子も中に入り、見て信じた。⁹

彼らはまだ、イエスが死者の中からよみがえらなければならないことを聖書から理解していなかったのである。¹⁰

その後、弟子たちは自分たちの家に帰った。

¹¹
しかし、マリアは墓の外に立って泣いていた。彼女が泣きながら、墓の中をのぞき込むと、白い衣を着た二人の天使が、イエスの体が置かれていた場所に座っているのを見た。一人は頭のところに、もう一人は足のところにいた。¹²
彼らは彼女に、「女よ、なぜ泣いているのか？」と尋ねた。彼女は答えた、「主が取り去られました。どこに置かれたのか、私には分かりません。」¹³

これを言ってから、彼女は後ろを振り向くと、イエスが立っているのを見たが、それがイエスだとは分からなかった。¹⁴
イエスは彼女に言った、「女よ、なぜ泣いているのか？誰を探しているのか？」彼女はそれを庭師だと思い、「もしあなたが彼を運び去ったのであれば、どこに置いたのか教えてください。私が彼を連れて行きます。」と言った。¹⁵

イエスは彼女に言った、「マリア。」彼女は振り向いて、ヘブライ語で「ラボニ！」（これは「先生」という意味）と叫んだ。¹⁶

イエスは彼女に言った、「マリア。」彼女は振り向いて、ヘブライ語で「ラボニ！」（これは「先生」という意味）と叫んだ。¹⁷

イエスは言った、「私にすがりついてはいけない。私はまだ父のもとに上っていないのだから。むしろ、私の兄弟たちのところに行って、『私は私の父でありあなたたちの父である方、私の神でありあなたたちの神である方のもとに上っていく』と伝えなさい。」¹⁸

ヨハネの福音書

マグダラのマリアは弟子たちのところに行つて、「私は主を見ました！」と伝え、彼が彼女に言ったことを話した。

その週の初めの日の夕方、弟子たちが一緒にいて、ユダヤ人の指導者たちを恐れて戸を閉めていたとき、イエスが来て彼らの中に立ち、「平安があなたたちにあるように！」と言った。

こう言ってから、彼は彼らに手と脇腹を見せた。弟子たちは主を見て喜んだ。

イエスは再び言った、「平安があなたたちにあるように！父が私を遣わされたように、私もあなたたちを遣わします。」

これを言ってから、彼は彼らに息を吹きかけ、「聖霊を受けなさい。

もし誰かの罪を赦すなら、その罪は赦されます。もし誰かの罪を赦さないなら、その罪は赦されません。」

さて、十二弟子の一人であるトマス、別名ディディモは、イエスが来たときに彼らと一緒にいなかった。

そこで他の弟子たちは彼に、「私たちは主を見ました！」と伝えた。しかし彼は答えた、「私は彼の手に釘の跡を見、釘の跡に指を入れ、脇腹に手を入れない限り、信じません。」

一週間後、弟子たちは再び家の中にいて、トマスも彼らと一緒にいた。戸が閉められていたが、イエスが来て彼らの中に立ち、「平安があなたたちにあるように！」と言った。

それから彼はトマスに言った、「ここに指を入れ、私の手を見なさい。手を伸ばして私の脇腹に入れなさい。疑わずに信じなさい。」

トマスは彼に叫んで言った、「あなたは私の主、私の神です！」

イエスは彼に言った、「あなたは私を見たので信じたのです。見ずに信じる者は幸いです。」

イエスは他にも多くの奇跡のしるしを弟子たちの前で行われたが、それらはこの書には書かれていない。

しかし、これらが書かれたのは、あなたたちがイエスがメシア、神の子であることを信じるためであり、信じることによって彼の名によって命を得るためである。

21 これらの出来事の後、イエスはティベリアス湖のほとりで再び弟子たちにご自身を現された。その現し方は次のとおりであった

。シモン・ペテロ、ディディモと呼ばれるトマス、ガリラヤのカナ出身のナタナエル、ゼベダイの子たち、そして他の二人の弟子が一緒にいた。

シモン・ペテロが彼らに言った、「私は漁に行きます。」彼らは答えた、「私たちも一緒にいきます。」それで彼らは出て行き、舟に乗ったが、その夜は何も捕れなかった。

夜明けが近づくと、イエスが岸に立っておられたが、弟子たちはそれがイエスであることに気づかなかった。

イエスは彼らに呼びかけて言われた、「子供たちよ、魚があるか？」彼らは答えた、「ありません。」

イエスは彼らに言われた、「舟の右側に網を投げなさい。そうすれば見つかるでしょう。」彼らが網を投げると、多くの魚が入って引き上げることができなかった。

それで、イエスが愛された弟子がペテロに言った、「主です！」シモン・ペテロはそれを聞くと、（仕事のために裸になっていたの）上着をまといて海に飛び込んだ。

他の弟子たちは小舟で続き、魚のいっぱい入った網を引きながら来た。彼らは陸から遠くなく、約二百キュビットのところにいた。

陸に上がると、炭火があり、その上に魚とパンが置かれていたのを見た。

イエスは彼らに言われた、「今捕った魚を持ってきなさい。」

シモン・ペテロは舟に乗り込み、網を陸に引き上げた。それは大きな魚でいっぱい、全部で153匹あった。しかし、その多さにもかかわらず、網は破れなかった。

イエスは彼らに言われた、「さあ、朝食を取りなさい。」弟子たちは誰も「あなたはどなたですか？」と尋ねる勇気がなかった。主であることを知っていたからである。

イエスは近づいてパンを取り、彼らに与え、魚も同様にされた。

これは、イエスが死者の中からよみがえられた後、弟子たちに現れた三度目のことであった。

彼らが食事を終えた後、イエスはシモン・ペテロに言われた、「ヨハネの子シモンよ、これらの者以上に私を愛していますか？」彼は答えた、「はい、主よ、あなたが私を愛していることを知っています。」

ヨハネの福音書

」イエスは言われた、「私の子羊を養いなさい。」¹⁶

イエスは再び彼に言われた、「ヨハネの子シモンよ、私を愛していますか？」彼は答えた、「はい、主よ、あなたが私を愛していることを知っています。」

」イエスは言われた、「私の羊を飼いなさい。」¹⁷

イエスは三度目に彼に言われた、「ヨハネの子シモンよ、私を愛していますか？」ペテロは、イエスが三度目に「私を愛していますか？」と言われたので心を痛めて言った、「主よ、あなたはすべてをご存じです。あなたが私を愛していることを知っています。」イエスは言われた、「私の羊を養いなさい。」¹⁸

まことに、まことにあなたに言います。あなたが若かったときは、自分で帯を締めて、行きたいところに行きました。しかし、年を取ると、手を伸ばし、他の人があなたに帯を締めて、行きたくないところに連れて行くでしょう。」¹⁹

これは、ペテロがどのような死によって神を栄光化するかを示すために言われたことであった。こう言われた後、イエスは彼に言われた、「私に従いなさい！」

²⁰

ペテロは振り向いて、イエスが愛された弟子が彼ら

について来るのを見た。その弟子は、晚餐のときにイエスの胸に寄りかかって、「主よ、あなたを裏切るのは誰ですか？」と尋ねた者である。²¹

彼を見て、ペテロはイエスに言った、「主よ、この人はどうですか？」²²

イエスは言われた、「もし私が彼を私が戻るまで留めさせたいと思うなら、それがあなたに何の関係がありますか？あなたは私に従いなさい。」²³

それで、この弟子は死なないという噂が兄弟たちの間に広まった。しかし、イエスは彼に「彼が死なない」とは言われなかった。ただ、「もし私が彼を私が戻るまで留めさせたいと思うなら、それがあなたに何の関係がありますか？」と言われただけである。
。

²⁴

これらのことについて証をし、それを書き記したのはこの弟子である。私たちは彼の証が真実であることを知っている。²⁵

イエスが行われた他の多くのことがある。それらがすべて書き記されたなら、私は思うに、世界そのものも書かれた書物を収めることができないであろう。
。

使徒の働き

1 テオピロよ、前の書では、私はイエスが行き、
教え始められたすべてのことを記録しました。

2 彼が選ばれた使徒たちに聖霊を通して命じた後、天に上げられた日までのことです。

3 彼の苦しみの後、彼は多くの確かな証拠をもって彼らにご自身を現し、四十日にわたって現れ、神の国について語られました。

4 ある時、彼らを集めて、イエスは彼らにエルサレムを離れないで、父の約束を待つように命じました。

5 「それは、あなたが私から聞いたことです。
ヨハネは水でバプテスマを授けましたが、あなたがたは間もなく聖霊によってバプテスマを受けるからです。」

6 それで彼らが集まったとき、彼に尋ねました。「主よ、今こそイスラエルに国を回復してくださるのですか？」

7 彼は答えました。「父がご自身の権威で定められた時や時期を知ることは、あなたがたの知るところではありません。」

8 しかし、聖霊があなたがたの上に臨むとき、あなたがたは力を受けます。そして、エルサレム、ユダヤとサマリアの全土、および地の果てにまで、私の証人となります。」

9 これを言った後、彼らが見ている間に彼は上げられ、雲が彼を彼らの視界から隠しました。

10 彼が行くとき、彼らが空をじっと見つめていると、突然、白い衣を着た二人の男が彼らのそばに立ちました。

11 「ガリラヤの人たちよ、なぜ空を見上げて立っているのですか？あなたがたから天に上げられたこのイエスは、あなたがたが見たとおりに天に行かれたのと同じ方法で戻って来られます。」

12 それから彼らは、エルサレムに近いオリーブ山と呼ばれる丘からエルサレムに戻りました。それは安息日の日程の距離です。

13 彼らが到着すると、彼らは滞在していた部屋の上階に上がりました。そこにはペテロ、ヨハネ、ヤコブ、アンデレ、ピリポ、トマス、バルトロマイ、マタイ、アルバヨの子ヤコブ、熱心党のシモン、ヤコブの子ユダがいました。

14 これらすべての者が、女性たち、イエスの母マリア、そして彼の兄弟たちと共に、絶えず祈りに専念していました。

15 その日々の中で、ペテロは信者たちの間に立ち上がり（約120人の集まり）言いました。

16 「兄弟姉妹たち、聖霊がダビデを通してユダについて語った聖書が成就しなければなりませんでした。彼はイエスを逮捕した者たちの案内役を務めました。」

17 彼は私たちの仲間に数えられ、この務めを共にしました。」

18 （この男は不義の報酬で畑を手に入れ、頭から落ちて真ん中が裂け、すべての内臓が飛び出しました。

19 これがエルサレムの住民全員に知られるようになり、その畑は彼らの言語でアケルダマ、すなわち血の畑と呼ばれました。）

20 「ペテロは言いました、『詩篇の書に書かれているとおりです：

彼の住まいは荒れ果てさせ、
そこに住む者がいなくなるように、

そして、

彼の職を他の者が取るように。』

21 それゆえ、主イエスが私たちの間に出入りされた全期間、私たちと共にいた男性の中から一人を選ぶ必要があります。

22 ヨハネのバプテスマから始まり、私たちから上げられた日まで。これらの中の一人が、私たちと共に彼の復活の証人となるべきです。」

23 それで彼らは二人の男性を提案しました：パルサバスと呼ばれるヨセフ（ユストとも呼ばれる）とマティアスです。

24 それから彼らは祈りました。「すべての心を知っておられる主よ、あなたが選ばれたこの二人のうちのどちらを私たちに示してください。」

25 この務めと使徒職を引き継ぐために、ユダが自分の場所に行くために去ったのです。」

26 それから彼らはくじを引き、マティアスが選ばれました。こうして彼は十一人の使徒に加えられました。

2 五旬節の日が来たとき、彼らは皆、一つ所に集まっていた。

3 突然、天から激しい風の吹くような音がして、彼らが座っていた家全体に響き渡った。

4 そして、彼らは炎のような舌が分かれて現れ、一人一人の上に留まるのを見た。

彼らは皆、聖霊に満たされ、霊が語らせるままに、他国の言葉で話し始めた。

使徒の働き

5

さて、天の下のあらゆる国から来た敬虔なユダヤ人たちがエルサレムに住んでいた。

6

この音がすると、多くの人々が集まってきて、彼らがそれぞれ自分の言葉で話すのを聞いて、驚きあきれた。

7

彼らは非常に驚いて言った、「話しているこれらの人々は皆ガリヤ人ではないか。」

8

どうして私たちがそれぞれ自分の生まれ故郷の言葉で聞くことができるのか。

9

パルティア、メディア、エラムから来た人々、メソポタミア、ユダヤ、カッパドキア、ポントス、アジアに住む人々、

10

フリュギア、パンフィリア、エジプト、キレネに近いリビアの地方から来た人々、ローマから来た旅人たちが、ユダヤ人も改宗者も、

11

クレタ人とアラビヤ人— 私たちは彼らが私たちの言葉で神の偉大な業を語っているのを聞いている。」

12

彼らは皆驚き、また戸惑いながら、「これは一体何を意味するのか」と互いに言い合った。

13

しかし、他の者たちは彼らをあざけて、「彼らは新しい酒に酔っているのだ」と言った。

14

すると、ペテロは十一人と共に立ち上がり、声を上げて群衆に語った、「ユダヤの人々とエルサレムに住むすべての人々よ、これを知ってください。そして私の言葉に耳を傾けてください。」

15

あなたがたが思っているように、これらの人々は酔っているのではありません。今はまだ朝の九時です。

16

むしろ、これは預言者ヨエルを通して語られたことです。

17

『終わりの日に、神は言われる、私はすべての人に私の霊を注ぐ。

あなたがたの息子や娘は預言し、若者は幻を見、老人は夢を見る。

18

私のしもべたちにも、男にも女にも、その日には私の霊を注ぐ。

そして彼らは預言する。

19

上は天に不思議を示し、下は地にしるしを示す。血と火と煙の雲。

20

太陽は暗くなり、月は血に変わる。

主の偉大で輝かしい日が来る前に。

21

そして、主の名を呼ぶ者は皆、救われる。』

22

「イスラエルの人々よ、これを知てください。ナザレのイエスは、神があなたがたの間で行われた奇

跡と不思議とするしによって、あなたがたに示された人です。

23

この人は、神の定めた計画と予知によってあなたがたに引き渡されましたが、あなたがたは不法な人々の手を借りて、十字架につけて殺しました。

24

しかし、神は彼を死からよみがえらせ、死の苦しみから解放しました。死が彼を捕らえておくことは不可能だったからです。

25

ダビデは彼についてこう言っています。

『私はいつも主の前に見ていた。

主が私の右におられるので、私は揺るがされない。

26

それゆえ、私の心は喜び、私の舌は歓喜する。

そして私の体も希望の中に安らぐ。

27

あなたは私を死の領域に捨て置かず、あなたの聖なる者を朽ち果てさせないからです。

あなたは私に命の道を示し、

あなたの御前で私を喜びで満たしてください。』

29

「兄弟たちよ、私はあなたがたに自信を持って言えます。族長ダビデは死んで葬られ、その墓は今日までここにあります。

30

しかし、彼は預言者であり、神が彼に誓って彼の子孫の一人を彼の王座に座らせると約束されたことを知っていました。

31

彼はこれを予見して、メシアの復活について語りました。彼は死の領域に捨て置かれず、その体は朽ち果てなかったのです。

32

神はこのイエスをよみがえらせました。そして私たちは皆、この事実の証人です。

33

神の右に高められた彼は、父から約束された聖霊を受け、あなたがたが今見て聞いているものを注ぎ出されたのです。

34

ダビデは天に昇らなかったのですが、彼はこう言いました。

『主は私の主に言われた、

「私の右に座れ

私があなたの敵をあなたの足元に置くまで。」』

36

「それゆえ、イスラエルの全家は確信を持って知ってください。あなたがたが十字架につけたこのイエスを、神は主とメシアにされたのです。」

37

人々はこれ聞いて心を打たれ、ペテロと他の使徒たちに、「兄弟たちよ、私たちはどうすればよいのでしょうか」と言った。

38

ペテロは答えました、「悔い改めて、あなたがた一人一人が罪の赦しのためにイエス・キリストの名に

使徒の働き

よってバプテスマを受けなさい。そうすれば、聖霊の賜物を受けるでしょう。³⁹

この約束は、あなたがたとあなたがたの子供たち、そして遠くにいるすべての人々、すなわち私たちの神である主が召されるすべての人々に与えられています。」⁴⁰

彼は他にも多くの言葉で彼らに警告し、「この墮落した世代から救われなさい」と勧めました。⁴¹

彼の言葉を受け入れた者たちはバプテスマを受け、その日、約三千人が彼らの仲間に加えられました。

⁴² 彼らは使徒たちの教えと交わり、パンを裂くことと祈りに専念しました。⁴³

すべての人が使徒たちによって行われた多くの奇跡としるしに驚嘆しました。⁴⁴

信者たちは皆一緒にいて、すべてのものを共有していました。⁴⁵

彼らは自分の財産や持ち物を売り、必要がある人に分け与えました。⁴⁶

彼らは毎日、心を一つにして宮に集まり、家でパンを裂き、喜びと真心をもって食事を共にしました。⁴⁷

神を賛美し、すべての人々の好意を得ていました。そして主は、救われる人々を日々彼らに加えられました。

3 ペテロとヨハネは、祈りの時間である第九時に神殿に上っていた。²

生まれつき足の不自由な男が、美しい門と呼ばれる神殿の門に運ばれてきた。彼は毎日そこに置かれ、神殿の庭に入る人々から施しを求めている。³

ペテロとヨハネが神殿の庭に入ろうとしているのを見て、彼らに施しを求めた。⁴

ペテロはヨハネと共に彼を見つめて、「私たちを見なさい」と言った。⁵

その男は彼らに注意を向け、何かをもらえんと思っていた。⁶

ペテロは言った。「銀や金は私にはないが、私にあるものをあなたにあげます。ナザレのイエス・キリストの名によって、立ち上がって歩きなさい。」⁷ 彼の右手を取って立たせると、たちまち彼の足と足首が強くなった。⁸

彼は跳び上がって立ち、歩き始め、彼らと共に神殿の庭に入り、歩きながら跳びはねて神を賛美した。⁹

すべての人々が彼が歩き回り、神を賛美しているのを見た。¹⁰

そして彼らは、彼が美しい門と呼ばれる神殿の門に

座って施しを求めている同じ男であることを認識し、彼に起こったことに驚きと驚嘆で満たされた。

¹¹ 彼がペテロとヨハネにしがみついている間、すべての人々が驚きのあまり、ソロモンの柱廊と呼ばれる場所に彼らのもとに駆け寄った。¹²

ペテロはこれを見て、人々に向かって言った。「イスラエルの人々よ、なぜこのことに驚いているのですか？なぜ私たちを見つめるのですか？まるで私たち自身の力や敬虔さによって彼を歩かせたかのよう

に。¹³ アブラハム、イサク、ヤコブの神、私たちの父祖の神は、あなたがたが引き渡し、ピラトの前で否認したそのしもペイエスを栄光にしました。彼は彼を釈放しようと決めていたのに。¹⁴

あなたがたは聖で正しい方を否認し、殺人者をあなたがたに釈放するように求めました。¹⁵

あなたがたは命の君を殺しましたが、神は彼を死者の中からよみがえらせました。そして私たちはその証人です。¹⁶

イエスの名による信仰によって、あなたがたが見て知っているこの男は強くされました。それはイエスの名と、彼を通して来る信仰が、あなたがたすべての前で彼にこの完全な健康を与えたのです。

¹⁷ 「そして今、兄弟たちよ、あなたがたが無知のうちに行動したことを知っています。あなたがたの支配者たちも同様です。¹⁸

しかし神は、すべての預言者を通して前もって告げられたことを成就されました。それは、彼のキリストがこのように苦しむということです。¹⁹

だから、悔い改めて神に立ち返りなさい。そうすれば、あなたがたの罪が消し去られ、主からの新たな時が来るでしょう。²⁰

そして、あなたがたのために任命されたメシア、すなわちイエスを送ってくださるでしょう。²¹

天は、神がすべてを回復する時が来るまで彼を迎えなければなりません。それは、神が昔から彼の聖なる預言者たちを通して約束されたことです。

²² モーセは言いました、『あなたがたの神である主は、あなたがたの民の中から私のような預言者をあなたがたのために起こされるでしょう。あなたがたは彼が言うすべてのことを聞かなければなりません。²³

その預言者の言うことを聞かない者は、民の中から完全に断たれるでしょう。』²⁴

本当に、サムエルから始めて、話したすべての預言

使徒の働き

者たちはこれらの日々を告げました。²⁵
あなたがたは、預言者たちと、神があなたがたの父祖たちと結ばれた契約の相続人です。神はアブラハムに言いました、『あなたの子孫を通して地上のすべての民族が祝福されるでしょう。』²⁶
神が彼のしもべを起こされたとき、まずあなたがたを祝福するために彼をあなたがたに送りました。それは、あなたがた一人一人を罪深い道から離れさせることによってです。」

4 彼らが民に話していると、祭司たち、宮の守衛の長、サドカイ人たちが近づいてきた。²
使徒たちが民を教え、イエスを通して死者の復活を宣べ伝えているので、非常に悩んでいた。³
彼らはペテロとヨハネを捕らえ、すでに夕方だったので、翌日まで拘留した。⁴
しかし、メッセージを聞いた多くの者が信じ、信じた男の数は約五千人に増えた。

⁵
翌日、統治者たち、長老たち、律法学者たちがエルサレムに集まった。⁶
大祭司アンナス、カヤパ、ヨハネ、アレクサンドロ、および大祭司の家系の他の者たちがそこにいた。⁷

彼らはペテロとヨハネを彼らの前に立たせて、問い始めた。「どんな力によって、またはどんな名によって、あなたがたはこれをしたのか?」⁸
するとペテロは聖霊に満たされて彼らに言った。「民の統治者たち、長老たちよ、
もし私たちが今日、障害のある人に対して行った善行について、彼がどのように癒されたかを問われているのなら、¹⁰
あなたがたすべてとイスラエルのすべての民に知らしめてください。ナザレのイエス・キリストの名によって、この人はあなたがたの前に立って癒されています。あなたがたが十字架につけ、神が死者の中からよみがえらせた方です。」¹¹ 彼は

『あなたがた建築者たちが捨てた石、それが主要な礎石となった。』

¹²
そして、他の誰にも救いはありません。天の下で人間に与えられた名は他にないからです。私たちが救われるべき名は。」

¹³
彼らはペテロとヨハネの大胆さを見て、彼らが無学で普通の人々であることを知り、驚き、彼らがイエスと共にいたことを認識した。¹⁴
しかし、癒された人が彼らと共に立っているのを見

て、反対することは何も言えなかった。¹⁵
それで彼らは彼らを議会から退かせ、互いに相談した。¹⁶

「これらの人々をどうしようか? エルサレムに住むすべての人々に明らかな奇跡が彼らを通して行われたことは明白であり、私たちはそれを否定できない。¹⁷
しかし、これが民の間にさらに広がるのを防ぐために、彼らにこの名で誰にも話さないように警告しよう。」¹⁸

そして彼らと呼ばひ戻し、イエスの名で一切話したり教えたりしないように命じた。¹⁹
しかし、ペテロとヨハネは彼らに答えた。「あなたがた自身で判断してください。神の前であなたがたに聞き従うのが正しいかどうか。²⁰

私たちは見たことと聞いたことを皆に伝えずにはいられないのです。」²¹
さらに脅した後、彼らを釈放した。彼らを罰する方法が見つからなかったからである。すべての人々が起こったことに対して神を賛美していたからである。²² 癒された人は四十歳以上だった。

²³
釈放されると、ペテロとヨハネは自分たちの仲間のところに戻り、祭司長たちや長老たちが彼らに言ったことをすべて報告した。²⁴
これを聞いたとき、彼らは声を合わせて神に言った。「主よ、あなたは天と地と海とその中のすべてのものを造られました。²⁵
あなたは聖霊を通してあなたの僕、私たちの父ダビデの口を通して言われました：

『なぜ国々は騒ぎ立ち、
民はむなしく計画するのか?
地の王たちは立ち上がり、統治者たちは共に集まる主に対して、彼の油注がれた者に対して。』

²⁷
確かに、ヘロデとポンテオ・ピラトは、異邦人とイスラエルの民と共に、この町であなたの聖なる僕イエスに対して行動するために集まりました。あなたが油注がれた方です。²⁸

彼らはあなたの力と意志が前もって決めたことを実行しました。²⁹
そして今、主よ、彼らの脅しに目を留め、あなたの僕たちに大胆にあなたの言葉を語る能力を与えてください。³⁰

あなたの聖なる僕イエスの名によって、癒しとしるしと不思議を行うために手を伸ばしながら。」³¹
彼らが祈った後、彼らが集まっていた場所が揺れ動

使徒の働き

いた。彼らは皆、聖霊に満たされ、神の言葉を大胆に語った。

32

信者の集まりは心も魂も一つであった。誰も自分の所有物を自分のものと主張せず、彼らは持っているすべてのものを共有した。

33

使徒たちは主イエスの復活を力強く証しし、豊かな恵みが彼らすべてにあった。

34

彼らの間には必要な人は一人もいなかった。時折、土地や家を所有している者はそれを売り、収益を持ってきて

35

使徒たちの足元に置き、必要のある者に分配された。

36

キプロス出身のレビ人で、使徒たちからバルナバ（「励ましの子」という意味に翻訳される）と呼ばれていたヨセフは、

37

自分の所有する畑を売り、そのお金を持ってきて使徒たちの足元に置いた。

5 アナニヤという名の男が、妻サップィラと共に財産を売った。

2

彼は妻の承知の上で、代金の一部を自分のために残し、残りを使徒たちの足元に置いた。

3

するとペテロが言った、「アナニヤ、なぜサタンがあなたの心を満たし、聖霊を欺いて土地の代金の一部を残しておいたのですか。」

4

売る前はあなたのものでしたし、売った後もあなたの自由になったのではありませんか。なぜこのことを心に抱いたのですか。あなたは人に対してではなく、神に対して嘘をついたのです。」

5

これらの言葉を聞いたとき、アナニヤは倒れて息絶えた。そしてこれ聞いたすべての人に大きな恐れが襲った。

6

若者たちは立ち上がり、彼を包んで運び出し、埋葬した。

7

約三時間後、彼の妻が何が起こったか知らずに入ってきた。

8

ペテロは彼女に尋ねた、「あなたとアナニヤが土地のために受け取った代金はどの金額ですか。」彼女は答えた、「はい、その金額です。」

9

ペテロは彼女に言った、「どうして主の霊を試みることを共謀したのですか。見なさい、あなたの夫を埋葬した者たちの足が戸口にあり、彼らはあなたをも運び出すでしょう。」

10

彼女は即座に彼の足元に倒れて息絶えた。若者たちは入ってきて彼女が死んでいるのを見つけ、彼女を運び出して夫の隣に埋葬した。

11

教会全体とこれらの出来事を聞いたすべての人に深い畏敬の念が広がった。

12

多くのしるしと不思議が使徒たちによって人々の間で行われ、信者たちは皆ソロモンの柱廊に集まっていた。

13

他の者は誰も彼らに加わる勇気がなかったが、人々は彼らを高く評価していた。

14

それにもかかわらず、主に加わる信者が増え、男女の群れが増えていった。

15

その結果、人々は病人を通りに運び出し、少なくともペテロの影が通り過ぎるときに彼らにかかるようにと、寝台や敷物に寝かせた。

16

エルサレム周辺の町々から群衆が集まり、病人や汚れた霊に悩まされている者を連れてきたが、皆が癒された。

17

そのとき、大祭司と彼の仲間たち、すなわちサドカイ派の者たちは嫉妬に満たされた。

18

彼らは使徒たちを逮捕し、公の牢に入れた。

19

しかし夜中に、主の使いが牢の扉を開けて彼らを連れ出した。

20

「行って、神殿の庭に立ち、この新しい命について人々に語りなさい。」と言った。

21

夜明けに、彼らは神殿の庭に入り、教え始めた。大祭司とその仲間たちが来たとき、彼らはイスラエルの長老たちの全会議、すなわちサンヘドリンを召集し、使徒たちを牢から連れてくるように命じた。

22

しかし、役人たちが到着したとき、彼らは牢の中に誰も見つけられず、戻って報告した。

23

「牢はしっかりと閉じられ、門番が戸口に立っていましたが、開けてみると中には誰もいませんでした。」

24

神殿の警備隊長と祭司長たちはこれを知り、それがどうなるのかと当惑した。

25

そのとき誰かが来て言った、「見なさい！あなたがたが牢に入れた男たちが神殿の庭に立ち、人々に教えています。」

26

それで、警備隊長は役人たちと共に行き、使徒たちを力を使わずに連れ戻した。彼らは人々が石を投げるのを恐れていたからである。

27

使徒たちは連れてこられ、大祭司によってサンヘドリンの前に立たされた。

28

「この名によって教えるはならないと厳しく命じたではないか。」彼は言った。「それなのに、あなたたちはエルサレムをこの教で満たし、この人の血を我々に負わせようとしている。」

29

使徒の働き

ペテロと他の使徒たちは答えた、「我々は人間に従うよりも神に従わなければなりません！」³⁰

私たちの祖先の神は、あなたがたが十字架にかけて殺したイエスを死者の中からよみがえらせました。

³¹ 神は彼を君主と救い主としてご自分の右手に上げ、イスラエルに悔い改めと罪の赦しを与えるためにされました。³²

私たちはこれらのことの証人であり、神が従う者に与えられた聖霊もそうです。」

³³ 彼らはこれを聞いて激怒し、使徒たちを殺そうとした。³⁴

しかし、ガマリエルという名のパリサイ派の律法の教師で、すべての人々に尊敬されている者がサンヘドリンで立ち上がり、しばらくの間、彼らを外に出すように命じた。³⁵

そして彼はサンヘドリンに向かって言った、「イスラエルの人々よ、これらの人々に対して何をしようとしているのか、よく考えなさい。」³⁶

しばらく前にテウダという者が現れ、自分が何者かであると主張し、約四百人の男たちが彼に従った。彼は殺され、彼の追隨者たちは散らされ、すべては無に帰した。³⁷

その後、ガリラヤ人ユダが国勢調査の時に現れ、人々を率いて反乱を起こした。彼もまた滅び、彼の追隨者たちは皆散らされた。³⁸

したがって、現在の状況では、私はあなたがたにこう言います：これらの人々を放っておきなさい！彼らを行かせなさい！もし彼らの目的や活動が人間のものであるなら、それは失敗するでしょう。³⁹

しかし、もしそれが神から来たものであるなら、あなたがたは彼らを止めることができず、神に逆らう者となるかもしれません。」

⁴⁰ 彼の言葉は彼らを説得した。彼らは使徒たちを呼び入れ、鞭打ち、イエスの名によって話さないように命じてから解放した。⁴¹

使徒たちはサンヘドリンを去り、その名のために恥を受けるに値する者とされたことを喜んだ。⁴² 日々、神殿の庭や家々で、彼らはイエスがメシアであるという良い知らせを教え、宣べ伝え続けた。

6 その頃、弟子の数が増えていたので、ギリシヤ語を話すユダヤ人たちが、ヘブライ語を話すユダヤ人たちに対して不平を言い始めた。彼らの未亡人が日々の食物の配給で無視されていたからである。² そこで十二使徒は弟子たち全員を呼び集めて言った

。「私たちが神の言葉をないがしろにして食卓の世話をするのは適切ではありません。」³

ですから、兄弟姉妹たち、あなたがたの中から評判の良い、御霊と知恵に満ちた七人の男性を選び出し、この務めに任命しましょう。⁴

私たちは祈りと御言葉の奉仕に専念します。」⁵ この提案は全会衆を喜ばせた。彼らは信仰と聖霊に満ちたステパノを選び、さらにビリポ、プロコロ、ニカノル、ティモン、パルメナ、アンティオキアの改宗者ニコラオを選んだ。⁶

これらの人々は使徒たちの前に連れて来られ、使徒たちは祈り、彼らに手を置いた。

⁷ 神の言葉はますます広まり、エルサレムで弟子の数が非常に増え、多くの祭司たちが信仰に従うようになった。

⁸ 恵みと力に満ちたステパノは、人々の間で大いなる奇跡としるしを行っていた。⁹

しかし、解放された者たちの会堂のメンバー、すなわちキレネ人、アレクサンドリア人、キリキヤとアジアから来た他の者たちが立ち上がり、ステパノと議論を始めた。¹⁰

しかし、彼らはステパノが語る知恵と御霊に対抗することができなかった。¹¹

そこで彼らは密かに人々を唆して、「この者がモーセと神に対して冒瀆的な言葉を語るのを聞いた」と言わせた。¹²

彼らは民衆、長老たち、律法の教師たちを扇動し、ステパノを捕えてサンヘドリンに連れて行った。¹³ 彼らは偽証人を立てて証言させた。「この人はこの聖なる場所と律法に対して絶えず語っています。」¹⁴

私たちは彼が、『ナザレのイエスがこの場所を破壊し、モーセが私たちに伝えた習慣を変える』と言うのを聞きました。¹⁵

サンヘドリンに座っていたすべての人がステパノをじっと見つめると、彼の顔が天使の顔のように見えた。

7 大祭司はステパノに尋ねた、「これらの告発は正しいのか？」²

ステパノは答えた、「兄弟たち、父たちよ、聞いてください！栄光の神が、私たちの先祖アブラハムにメソポタミアにいたとき、ハランに住む前に現れました。」³

そして彼に指示しました、『あなたの国と親族を離れ、私があなたに示す地に行きなさい。』⁴ それでアブラハムはカルデヤ人の地を出て、ハランに住みました。彼の父が死んだ後、神は彼をあなた

使徒の働き

がたが今住んでいるこの地に移しました。⁵
彼にはここでの相続地を一足の地も与えませんでした。しかし、彼にそれを所有地として、また彼の後の子孫に与えると約束しました、彼にはその時子供がいなかったのに。⁶
神はこう言われました、『あなたの子孫は自分たちのものではない地で寄留者となり、四百年間奴隷となり虐げられる。⁷
しかし、彼らが仕える国を私は裁く』と神は言われ、『その後、彼らは出てきてこの場所で私を礼拝する。』⁸
それから彼に割礼の契約を与えました。それでアブラハムはイサクの父となり、八日目に彼に割礼を施しました。そしてイサクはヤコブの父となり、ヤコブは十二人の族長の父となりました。⁹
「族長たちは嫉妬からヨセフをエジプトに売りしました。しかし神は彼と共におられ、¹⁰
彼をすべての苦難から救い出し、エジプトの王ファラオの前で恵みと知恵を授け、彼をエジプトとその全家の支配者に任命しました。¹¹
「その時、エジプトとカナン全土に飢饉が起こり、大きな苦しみがあり、私たちの先祖は食べ物を見つけることができませんでした。¹²
ヤコブがエジプトに穀物があると知ったとき、彼は私たちの先祖を最初の旅に送り出しました。¹³
二度目の訪問で、ヨセフは兄弟たちに自分の身元を明かし、ファラオはヨセフの家族を知りました。¹⁴
ヨセフは父ヤコブとそのすべての親族、合計七十五人を呼び寄せました。¹⁵
ヤコブはエジプトに下り、彼と私たちの先祖はそこで死にました。¹⁶
彼らの遺体はシェケムに運ばれ、アブラハムがシェケムのハモルの子から金で買った墓に葬られました。¹⁷
「神がアブラハムに約束されたことを成就する時が近づくと、私たちの民の人口はエジプトで大いに増加しました。¹⁸
ヨセフを知らない新しい王がエジプトに現れるまで。¹⁹
この王は私たちの民を利用し、先祖を虐げ、彼らの赤ん坊を捨てさせて生き延びられないようにしました。²⁰
「その時、モーセが生まれましたが、彼は並外れた子供でした。彼は三ヶ月間父の家で養われました。²¹
彼が外に出されたとき、ファラオの娘が彼を連れて

自分の息子として育てました。²²
モーセはエジプト人のすべての知恵を学び、言葉と行いにおいて影響力がありました。²³
「彼が四十歳になったとき、彼の心にイスラエルの兄弟たちを訪ねる思いが生じました。²⁴
彼らの一人が虐げられているのを見て、彼を弁護し、虐げられている者をかばってエジプト人を打ち倒しました。²⁵
彼は兄弟たちが神が彼を通して彼らに救いを与えていることを理解するだろうと思いましたが、彼らは理解しませんでした。²⁶
翌日、彼は二人のイスラエル人が争っているのを見て、彼らを和解させようとして言いました、『人々よ、あなたがたは兄弟ではないか。なぜ互いに傷つけ合うのか?』²⁷
しかし、隣人を傷つけていた者は彼を押しのかけて言いました、『誰があなたを私たちの支配者や裁判官にしたのか?』²⁸
昨日あなたがエジプト人を殺したように、私を殺すつもりか?』²⁹
この言葉を聞いて、モーセは逃げ、ミデヤンの地で外国人となり、そこで二人の息子の父となりました。³⁰
「四十年が過ぎた後、天使がシナイ山近くの荒野で燃える柴の中で彼に現れました。³¹
モーセはそれを見て驚き、その光景をもっと詳しく見ようと近づいたとき、主の声が彼に聞こえました：³²
『私はあなたの先祖の神、アブラハム、イサク、ヤコブの神である。』モーセは恐れおののき、見る勇氣がありませんでした。³³
そのとき主は彼に言いました、『あなたの履物を脱ぎなさい、あなたが立っている場所は聖なる地である。³⁴
私は確かにエジプトでの私の民の虐げを見、彼らのうめきを聞いた。私は彼らを救い出すために降りてきた。さあ、私はあなたをエジプトに送り返す。』³⁵
「彼らが『誰があなたを支配者や裁判官にしたのか?』』と言って拒んだこのモーセを、神は柴の中に現れた天使の助けをもって支配者と救い主として送りしました。³⁶
彼は彼らを導き出し、エジプトで、紅海で、そして四十年間荒野で奇跡としるしを行いました。³⁷
「このモーセはイスラエルの人々に、『神はあなたがたの同胞の中から私のような預言者を立てられる』』と言いました。³⁸

使徒の働き

彼は荒野での会衆と共におり、シナイ山で彼に語った天使と共に、また私たちの先祖と共におり、私たちに伝えるために生ける言葉を受けました。³⁹

「しかし、私たちの先祖は彼に従うことを拒みました。代わりに彼を拒絶し、心の中でエジプトに戻りたいと望みました。⁴⁰

彼らはアロンに言いました、『私たちの前を行く神々を作ってください。私たちをエジプトから導き出したこのモーセについては、何が起こったのかわからない!』⁴¹

その時、彼らは子牛の形をした偶像を作り、それに犠牲を捧げ、自分たちの手で作ったものを喜びました。⁴²

しかし、神は彼らから顔を背け、太陽、月、星を拝むように彼らを任せました。預言者の書に書かれているように：

『イスラエルの家よ、荒野で四十年間、
あなたがたは私に犠牲と供え物を捧げたか？⁴³
あなたがたはモロクの幕屋と
あなたがたの神レファンの星を担いでいた。
あなたがたが拝むために作った偶像。
それゆえ、私はあなたがたをバビロンの彼方に追放する。』

⁴⁴
「私たちの先祖は荒野で契約の幕屋を持っています。それは神がモーセに指示し、彼が見た型に従って作られました。⁴⁵

私たちの先祖はそれを受け取り、ヨシュアと共に、神が彼らの前から追い出された国々を占領したときにそれを持ち込みました。それはダビデの時代までその地に残りました。⁴⁶

ダビデは神の恵みを得て、ヤコブの神のために住まいを提供したいと願いました。⁴⁷

しかし、それはソロモンが神のために家を建てました。⁴⁸

それにもかかわらず、至高者は人の手で作られた建物には住まわれません。預言者が言うように：

⁴⁹ 『天は私の王座であり、地は私の足台である。
あなたがたはどのような家を私のために建てるのか？』と主は言われる。
『また、私の安息の場所はどこにあるのか？⁵⁰
これらすべてのものを作ったのは私の手ではないか？』

⁵¹
「あなたがたは頑固で、心と耳に割礼を受けていない者たちよ！あなたがたはいつも聖霊に逆らっている。あなたがたの先祖と同じように。⁵²

あなたがたの先祖が迫害しなかった預言者が誰かいるか？彼らは義なる方の来臨を告げた者たちを殺し、今やあなたがたはその方を裏切り、殺した者となった—⁵³

あなたがたは天使を通して与えられた律法を受けたが、それを守らなかった。」⁵⁴

サンヘドリンのメンバーはこれを聞いて激怒し、彼に歯ざしりしました。⁵⁵

しかし、聖霊に満たされたステパノは天を見上げ、神の栄光と神の右に立っておられるイエスを見ました。⁵⁶

「見よ」と彼は言いました、「天が開けて、人の子が神の右に立っておられるのを見ます。」⁵⁷

これを聞いて、彼らは大声で叫び、耳を覆い、一斉に彼に突進しました。⁵⁸

彼らは彼を町の外に引きずり出し、石を投げ始めました。その間、証人たちは自分の衣服をサウロという若者の足元に置きました。⁵⁹

彼らがステパノに石を投げつけている間、彼は叫びました、「主イエスよ、私の霊を受け入れてください!」⁶⁰

そして彼はひざまずき、「主よ、この罪を彼らに負わせなくてください」と叫びました。これと言って、彼は眠りにつきました。

8 サウロは彼の死を承認した。その日、エルサレムの教会に対して激しい迫害が起こり、使徒たちを除くすべての者がユダヤとサマリアの地方に散らされた。²

信仰深い人々がステパノを葬り、彼のために深く嘆いた。³

しかしサウロは教会を荒らし、家々に押し入り、男や女を引きずり出して牢に入れた。⁴

それゆえ、散らされた者たちは御言葉を宣べ伝えながら行った。⁵

ビリポはサマリアの町に下り、キリストを彼らに宣べ伝え始めた。⁶

群衆はビリポの話に耳を傾け、彼が行ったしるしを見た。⁷

多くの汚れた霊に取りつかれた者たちが、大声で叫びながら出て行き、また多くの麻痺した者や足の不自由な者が癒された。⁸

その結果、その町には大きな喜びがあった。

⁹
さて、シモンという名の男がいて、以前からその町で魔術を行い、サマリアの人々を驚かせ、自分が偉

使徒の働き

大な者であると称していた。¹⁰
小さな者から大きな者まで、すべての人々が彼に注目し、「この人は神の偉大な力だ」と言った。¹¹
彼が長い間魔術で彼らを驚かせていたので、人々は彼に従った。¹²
しかし、彼らがビリボの神の国とイエス・キリストの名についての良い知らせを信じたとき、男も女もバプテスマを受けた。¹³
シモン自身も信じ、バプテスマを受けた後、ビリボに付き従った。彼はしるしと大きな奇跡を見て驚いた。

¹⁴
エルサレムの使徒たちは、サマリアが神の言葉を受け入れたと聞き、ペテロとヨハネを彼らのもとに送った。¹⁵
彼らが到着すると、彼らが聖霊を受けるように祈った。¹⁶
聖霊はまだ誰にも降っていないかった。彼らはただ主イエスの名によってバプテスマを受けただけだった。¹⁷

それでペテロとヨハネが彼らに手を置くと、彼らは聖霊を受けた。¹⁸
シモンは、使徒たちが手を置くことによって霊が与えられるのを見て、彼らに金を差し出し、¹⁹
「私もこの権威を与えてください。私が手を置く者が皆、聖霊を受けるように」と言った。²⁰
しかしペテロは彼に言った、「あなたの金はあなたと共に滅びるがよい。あなたは神の賜物を金で得ようと思ったからだ。²¹
あなたはこの務めに関与することはできない。あなたの心は神の前で正しくないからだ。²²
それゆえ、この悪事を悔い改め、主に祈りなさい。もし可能なら、あなたの心の意図が許されるように」。²³
私はあなたが苦い胆汁に満ち、罪に囚われているのを見ている。」²⁴
シモンは答えた、「私のために主に祈ってください。あなたが言ったことが何も私に起こらないように」。²⁵

彼らは主の言葉を証しし、話した後、エルサレムに戻り、多くのサマリアの村で福音を宣べ伝えた。

²⁶
主の使いがビリボに語りかけて、「立ち上がり、エルサレムからガザに下る道に行きなさい。」（これは荒野の道である）と言った。²⁷
彼は立ち上がり、行った。そこには、エチオピアの宦官で、エチオピアの女王カンダケの高官であり、

彼女のすべての財宝を管理している者がいた。彼は礼拝のためにエルサレムに来ていた。²⁸
彼は帰途につき、車に座って預言者イザヤの書を読んでいた。²⁹
霊がビリボに、「この車に近寄り、これに加わりなさい」と言った。³⁰
ビリボは走り寄り、彼が預言者イザヤを読んでいるのを聞き、「あなたが読んでいることを理解していますか？」と尋ねた。³¹
彼は答えた、「誰かが導いてくれない限り、どうして理解できるでしょうか？」そしてビリボを招いて一緒に座るように言った。³²
彼が読んでいた聖書の箇所は次のとおりであった：

「彼は屠られる羊のように導かれ、
毛を刈る者の前で黙っている子羊のように、
彼は口を開かない。³³
彼の卑しめの中で、正義は彼に否定された。
誰が彼の子孫について語ることができるだろうか
？彼の命は地上から取り去られたからである。」

³⁴
宦官はビリボに尋ねた、「どうか教えてください。預言者はこのことを誰について言っているのですか？自分自身についてですか、それとも他の誰かについてですか？」³⁵
それからビリボは話し始め、この聖書の箇所から始めて、イエスのメッセージを彼に伝えた。³⁶
彼らが道を進んでいると、水のある場所にきたので、宦官は言った、「見てください、水があります。私がバプテスマを受けるのを妨げるものは何ですか？」³⁷

【この節は一部の写本に伝統的に含まれています：
「ビリボは言った、『もしあなたが心から信じるなら、受けることができます。』彼は答えた、『私はイエス・キリストが神の子であると信じます。』」³⁸

そして彼は車を止めるように命じた。ビリボと宦官は共に水に下り、ビリボは彼にバプテスマを受けた。³⁹
彼らが水から上がったとき、主の霊がビリボを連れ去り、宦官は彼を再び見なかったが、喜びながら道を進んだ。⁴⁰
しかしビリボはアソトに現れ、通り過ぎるとき、カイサリアに到着するまで、すべての町で福音を宣べ伝えた。

9 サウロはなおも主の弟子たちに対して脅迫と殺意を抱きながら、大祭司のもとに行き、²
ダマスコの会堂宛ての手紙を求めた。それは、もし「この道」に属する者を見つけたら、男女を問

使徒の働き

わずかり上げてエルサレムに連行するためであった。
3
彼が旅をしてダマスコに近づいたとき、突然天からの光が彼の周りを照らした。
4
彼は地に倒れ、「サウロ、サウロ、なぜ私を迫害するの か？」という声を聞いた。
5
彼は尋ねた、「主よ、あなたはどなたですか？」すると答えがあった、「私は、あなたが迫害しているイエスである。」
6
立ち上がって町に入りなさい。そうすれば、あなたが何をすべきかが告げられる。」
7
サウロと共に旅をしていた人々は、声は聞こえるが誰も見えないので、言葉を失って立ち尽くしていた。
8
サウロは地面から立ち上がったが、目は開いているのに何も見えなかった。それで彼らは手を引いてダマスコに連れて行った。
9
彼は三日間、目が見えないままで、食べたり飲んだりしなかった。
10
ダマスコにはアナニヤという名の弟子がいた。主が幻の中で彼に語りかけた、「アナニヤ。」彼は答えた、「主よ、ここにあります。」
11
主は彼に言われた、「まっすぐという通りに行き、ユダの家でタルソス出身のサウロという名の者を尋ねなさい。彼は祈っている。」
12
彼はアナニヤという名の人が入ってきて、彼の視力を回復させるために手を置くのを幻で見た。」
13
アナニヤは答えた、「主よ、この人がエルサレムであなたの聖徒たちにどれほどの害を与えたか、多くの人から聞いています。」
14
そして彼は、あなたの名を呼ぶすべての者を捕らえる権限を大祭司たちから受けてここに来ています。」
15
しかし主は彼に言われた、「行きなさい。彼は私の選ばれた器であり、異邦人、王たち、イスラエルの民に私の名を伝える者である。」
16
彼が私の名のためにどれほど苦しむべきかを彼に示そう。」
17
そこでアナニヤは行ってその家に入り、彼に手を置いて言った、「兄弟サウロ、あなたが旅していた道であなたに現れた主イエスが、あなたが視力を回復し、聖霊に満たされるようにと私を遣わされました。」
18
するとすぐに、鱗のようなものが彼の目から落ち、彼は視力を回復した。彼は立ち上がって洗礼を受け、
19

食事を取った後、力を得た。サウロはダマスコで弟子たちと数日を過ごした。
20
すぐに彼は会堂でイエスを宣べ伝え、「彼は神の子である」と宣言した。
21
彼の言葉を聞いたすべての者は驚き、「この人はエルサレムでこの名を呼ぶ者たちの間で混乱を引き起こした者ではないか、そして彼らを縛って大祭司たちのもとに連れて行くためにここに来たのではないか」と言った。
22
しかしサウロはますます力を増し、イエスがメシアであることを証明してダマスコに住むユダヤ人たちを困惑させた。
23
多くの日が過ぎた後、ユダヤ人たちは彼を殺すことを企てたが、
24
その計画はサウロに知られた。彼らは彼を殺すために昼も夜も町の門を見張っていた。
25
しかし彼の弟子たちは夜に彼を連れ出し、壁の穴から籠に乗せて降ろした。
26
彼がエルサレムに着いたとき、弟子たちに加わろうとしたが、彼が弟子であることを信じず、皆が彼を恐れていた。
27
しかしバルナバは彼を連れて使徒たちのもとに連れて行き、サウロが道で主を見たこと、主が彼に語られたこと、彼がダマスコでイエスの名によって大胆に宣教したことを彼らに説明した。
28
こうしてサウロは彼らと共に過ごし、エルサレムで自由に動き回り、主の名によって大胆に語った。
29
彼はギリシャ語を話すユダヤ人たちと論じ合ったが、彼らは彼を殺そうとした。
30
信者たちがこれを知ると、彼をカイサリアに連れて行き、タルソスに送り出した。
31
その後、ユダヤ、ガリラヤ、サマリア全土の教会は平和の時を享受し、強められた。主を恐れ敬い、聖霊に励まされて、信者の数を増やしていった。
32
ペテロが地方を巡回していたとき、リダに住む聖徒たちを訪ねた。
33
そこにアエネアという名の男がいて、彼は麻痺して八年間寝たきりであった。
34
「アエネアよ」とペテロは彼に言った、「イエス・キリストがあなたを癒される。起きて、自分の床を整えなさい。」すると彼はすぐに起き上がった。
35

使徒の働き

リダとシャロンの住民は彼を見て、主に立ち返った

。

36

ヨッパにはタビタ（ギリシャ語ではドルカス）という名の弟子がいた。彼女はいつも善行を行い、貧しい人々を助けていた。

37

その頃、彼女は病気になって死に、彼女の体は洗われて上の部屋に置かれた。

38

リダがヨッパに近かったので、弟子たちはペテロがそこにいることを聞き、彼に「すぐに来てください」と頼んで二人の男を送った。

39

ペテロは彼らと共に行き、到着すると、上の部屋に連れて行かれた。すべての未亡人たちは彼の周りに立ち、泣きながら、ドルカスが生前に作った衣服や衣装を見せた。

40

ペテロは皆を部屋から出し、ひざまずいて祈った。そして体に向かって、「タビタ、起きなさい」と言った。彼女は目を開け、ペテロを見て座り上がった。

41

。

彼は彼女の手を取って立たせた。それから聖徒たちと未亡人たちを呼び、彼女を生きたまま彼らに見せた。

42

このことはヨッパ中に知れ渡り、多くの人が主を信じるようになった。

43

ペテロは多くの日をヨッパで、皮なめし職人のシモンという名の者の家に滞在した。

10 カイサリアに、コルネリウスという名の人がいきました。彼はイタリア隊の百人隊長でした。

2

彼は敬虔な人で、家族全員と共に神を恐れ、ユダヤの人々に多くの施しをし、神に常に祈っていました。

3

午後3時ごろ、彼は神の使いが彼に来て、「コルネリウス！」と言うのを幻の中で明確に見ました。

4

コルネリウスは彼をじっと見つめ、恐れで満たされました。「主よ、何ですか？」と彼は尋ねました。

天使は言いました、「あなたの祈りと貧しい人々への施しは、神の前で記念の捧げ物として上がりました。

5

今、ヨッパに人を送り、シモンという名の人を連れて来なさい。彼はペテロとも呼ばれています。

6

彼は海辺にある皮なめし職人のシモンの家に泊まっています。」

7

彼に話しかけた天使が去った後、彼は召使いのうちの二人と、彼の従者の中から敬虔な兵士を呼びました。

8

彼らに必要な詳細をすべて伝えた後、彼は彼らをヨッパに送りました。

9

翌日、彼らが旅をして町に近づいているとき、ペテロは祈るために正午ごろ屋上に上がりました。彼は空腹を感じ、何か食べたいと思いましたが、食事が準備されている間に、彼は恍惚状態に陥りました。

11

彼は天が開かれ、四隅から地上に降ろされる大きな布のようなものを見ました。

12

その中には、あらゆる種類の四足の動物、爬虫類、鳥がいました。

13

すると声が彼に言いました、「立ち上がれ、ペテロ。殺して食べなさい。」

14

しかしペテロは答えました、「決して、主よ！私は汚れたものや不浄なものを食べたことはありません。」

15

声は再び彼に言いました、「神が清めたものを、汚れていると言ってはならない。」

16

これが三度起こり、すぐにその布は天に引き上げられました。

17

ペテロが幻の意味を考えている間に、コルネリウスが送った人々がシモンの家を見つけ、門のところに立っていました。

18

彼らは呼びかけ、ペテロとも呼ばれるシモンがそこに滞在しているかどうか尋ねました。

19

ペテロがまだ幻について考えていると、霊が彼に言いました、「見なさい、三人の男があなたを探しています。」

20

立ち上がって、下に降り、ためらわずに彼らと一緒に行きなさい。私は彼らを送ったのです。」

21

ペテロは男たちのところに降りて行き、「あなたがたが探しているのは私です。訪問の理由は何ですか？」と言いました。

22

彼らは答えました、「コルネリウスという百人隊長、正義で神を恐れる人で、ユダヤの国全体から良い評判を得ている人が、あなたを彼の家に招いて、あなたの話を聞くようにと聖なる天使によって指示されました。」

23

そこでペテロは彼らを招き入れ、宿を提供しました。翌日、彼は準備を整え、彼らと共に出発し、ヨッパからの信者たちも同行しました。

24

翌日、彼はカイサリアに到着しました。コルネリウスは彼らの到着を待ち望み、親族や親しい友人を集めていました。

25

ペテロが入ってくると、コルネリウスは彼に会い、敬意を表して彼の足元にひれ伏しました。

26

使徒の働き

しかしペテロは彼を起こし、「立ち上がりなさい。私もただの人間です。」と言いました。²⁷

彼と会話しながら、ペテロは中に入り、大勢の人々が集まっているのを見ました。²⁸

彼は彼らに言いました、「あなたがたは、ユダヤ人が異邦人と交わったり訪問したりすることが法律に反することを知っています。しかし、神は私に、誰も汚れているとか不浄だとか言うてはならないことを示してくださいました。²⁹

それで、私は招かれたとき、何の異議も唱えずに来ました。なぜ私を招いたのか、理由をお聞かせいただけますか？」

30

コルネリウスは答えました、「四日前のこの時間、私は家で午後3時に祈っていました。すると、輝く服を着た人が私の前に立ち、³¹

『コルネリウス、あなたの祈りは聞かれ、貧しい人々への施しは神の前で思い起こされています。³²

ヨッパに人を送り、シモンという名のペテロを招きなさい。彼は海辺にある皮なめし職人のシモンの家に滞在しています。』³³

それで私はすぐにあなたを招きました。あなたが来てくださって感謝しています。今、私たちは皆、神の前で、主があなたに命じたすべてのことを聞くためにここにいます。」

34

するとペテロは話し始めました、「私は今、本当に理解しました。神は人を差別しません。³⁵

しかし、どの国の人でも、神を恐れ、正しいことを行う者は神に受け入れられます。³⁶

あなたがたは、神がイスラエルの人々に送ったメッセージ、すなわち、すべての者の主であるイエス・キリストを通して平和の良い知らせを宣べ伝えたことを知っています。³⁷

あなたがたは、ヨハネが宣べ伝えた洗礼の後、ガラヤから始まり、ユダヤ全土で起こったことを知っています—³⁸

神がナザレのイエスに聖霊と力を注ぎ、神が彼と共におられたので、彼が良いことを行い、悪魔に虐げられているすべての人を癒したことを。³⁹

私たちは、彼がユダヤ人の地とエルサレムで行ったすべてのことの証人です。彼らは彼を木にかけて殺しましたが、⁴⁰

神は彼を三日目に死者の中からよみがえらせ、彼を見せました。⁴¹

すべての人々にではなく、神が既に選んだ証人、すなわち、彼が死者の中からよみがえった後、彼と共に食べたり飲んだりした私たちにはです。⁴²

彼は私たちに、人々に宣べ伝え、彼が生きている者と死んでいる者の裁き主として神に任命されたことを証言するように命じました。⁴³

すべての預言者は彼について証言しています。彼を信じるすべての人が彼の名によって罪の赦しを受けることを。」

44

ペテロがこれらの言葉をまだ話している間に、聖霊がメッセージを聞いているすべての人に降りました⁴⁵

。ペテロと共に来たユダヤ人の信者たちは、聖霊の賜物が異邦人にも注がれたことに驚きました。⁴⁶

彼らは彼らが様々な言語で話し、神を賛美しているのを聞きました。それからペテロは言いました、⁴⁷

「確かに、これらの人々が水でバプテスマを受けるのを妨げることはできません。彼らは私たちと同じように聖霊を受けたのです。⁴⁸

それで彼は彼らがイエス・キリストの名によってバプテスマを受けるように指示しました。それから彼らはペテロに数日間彼らと共に滞在するように頼みました。

11 ユダヤ全土にいる使徒たちや兄弟たちは、異邦人たちも神の言葉を受け入れたことを聞いた。²

ペテロがエルサレムに上ったとき、割礼を受けた者たちが彼を非難した。³

「あなたは無割礼の人々の家に入って、彼らと一緒に食事をした」と言った。⁴

そこでペテロは一部始終を順序立てて説明し始めた。⁵

「私はヨッパの町で祈っていると、うっとりして幻を見ました。天から大きな布のようなものが四隅を吊るされて降りてきて、私のところまで来ました。⁶

それを見つめると、地の四足の動物、野獣、はうもの、空の鳥が見えました。⁷

そのとき、『ペテロ、立ち上がって、ほふって食べなさい』という声が聞こえました。⁸

しかし私は言いました。『主よ、とんでもないことです。汚れたものや清くないものは、決して私の口に入ったことはありません。』⁹

すると、再び天から声がありました。『神が清めたものを、汚れていると言ってはならない。』¹⁰

これが三度あり、それからすべてが再び天に引き上げられました。¹¹

ちょうどそのとき、カイサリアから私のもんに送られてきた三人の男たちが、私たちが滞在していた家に到着しました。¹²

使徒の働き

御霊が私に、ためらわずに彼らと一緒に行くように言われました。この六人の兄弟たちも私と一緒に行き、私たちはその人の家に入りました。¹³

彼は、自分の家で天使を見たことを私たちに話しました。その天使は言いました。『ヨッパに人を送って、ペテロと呼ばれるシモンを招きなさい。¹⁴ 彼があなたとあなたの家のすべての者に救いをもたらす言葉を伝えるでしょう。』¹⁵

私が話し始めたとき、聖霊が私たちに降ったように、彼らにも降りました。¹⁶ そのとき、主が言われたことを思い出しました。『ヨハネは水でバプテスマを授けたが、あなたたちは聖霊によってバプテスマを受ける。』¹⁷

ですから、神が主イエス・キリストを信じた私たちに与えられたのと同じ賜物を彼らにも与えられたのであれば、私が神に逆らうことができるでしょうか。¹⁸

彼らはこれを聞いて沈黙し、神を賛美して言いました。「それなら、神は異邦人にも命に至る悔い改めをお与えになったのだ。」

¹⁹ ステパノに関する迫害によって散らされた人々は、フェニキア、キプロス、アンティオキアまで行き、ユダヤ人にだけ御言葉を伝えていた。²⁰

しかし、その中の幾人かは、キプロスとクレネから来た人々で、アンティオキアに行き、ギリシヤ人にも主イエスの良い知らせを伝え始めた。²¹

主の御手が彼らと共にあり、多くの人々が信じて主に立ち返った。²²

このことがエルサレムの教会に伝わり、彼らはバルナバをアンティオキアに派遣した。²³

彼が到着して神の恵みを見たとき、彼は喜び、心を尽くして主に忠実であるように皆を励ました。²⁴

彼は良い人で、聖霊と信仰に満ちており、多くの人々が主に加わった。²⁵

それからバルナバはサウロを探しにタルソスへ行った。²⁶

彼を見つけると、アンティオキアに連れて行った。バルナバとサウロは一年間教会に集まり、多くの人々を教えた。弟子たちは初めてアンティオキアでクリスチャンと呼ばれた。²⁷

そのころ、預言者たちがエルサレムからアンティオキアに来了。²⁸

その中の一人、アガボという名の者が立ち上がり、霊によってローマ全土に大飢饉が起こることを予言した。これはクラウディウスの治世中に起こった。²⁹

弟子たちは、それぞれの力に応じて、ユダヤに住む兄弟たちに援助を送ることを決めた。³⁰

彼らはこれを実行し、バルナバとサウロの手によって長老たちに贈り物を送った。

12 この頃、王ヘロデは教会のある者たちに手をかけ、害を加えようとした。² 彼はヨハネの兄弟ヤコブを剣で殺しました³

。これがユダヤ人を喜ばせるのを見て、彼はペテロも逮捕しました。これは種なしパンの祭りの間に行われました。⁴

彼を逮捕した後、彼を牢に入れ、四組の兵士に守らせました。ヘロデは過越の祭りの後に彼を公の裁判にかけようつもりでした。⁵

ペテロは牢に入れられていましたが、教会は彼のために神に熱心に祈っていました。

⁶ ヘロデが彼を裁判にかけようとする前夜、ペテロは二人の兵士の間で鎖に繋がれて眠っており、入口には見張りが立っていました。⁷

突然、主の天使が現れ、牢に光が輝きました。彼はペテロの脇腹を叩いて起こし、「急いで立ち上がれ」と言いました。すると鎖がペテロの手から落ちました。⁸

天使は彼に「帯を締めてサンダルを履け」と指示しました。ペテロはそうしました。それから彼は「上着をまとめて私について来なさい」と言いました。⁹

ペテロは彼に従って牢を出しましたが、何が起きているのか現実だとは気づかず、幻を見ているかと思っていました。¹⁰

彼らは第一と第二の見張りを通り過ぎ、街に通じる鉄の門に来ました。それは自動的に開きました。彼らはそれを通り抜け、一つの通りを歩いて行き、突然天使は彼を離れました。¹¹

ペテロは我に返り、「今や確かに主が彼の天使を送って、ヘロデの手から、またユダヤ人が期待していたすべてから私を救い出してくださった」と言いました。¹²

これに気づいた彼は、ヨハネとも呼ばれるマルコの母マリアの家に行きました。そこには多くの人々が集まり、祈っていました。¹³

ペテロが外の入口をノックすると、ロダという名の召使いの少女が応答に来ました。¹⁴

ペテロの声を認識すると、彼女はあまりにも喜んで扉を開けずに戻り、「ペテロが戸口にいる！」と叫びました。¹⁵

使徒の働き

彼らは彼女に「あなたは気が狂っている」と言いました。しかし彼女はそれが本当だと主張し続けました。彼らは「それは彼の天使に違いない」と言いました。¹⁶
ペテロはノックし続け、彼らが扉を開けて彼を見たとき、彼らは驚きました。¹⁷
ペテロは手で静かにするように合図し、主が彼を牢から連れ出してくださったことを説明しました。「これらのことをヤコブと兄弟たちに伝えてください」と彼は言い、それから別の場所へ去りました。

¹⁸
朝になると、兵士たちの間でペテロがどうなったのかについて大騒ぎが起きました。¹⁹
ヘロデが彼を探しても見つからなかったとき、彼は見張りを調べて彼らを処刑するよう命じました。それから彼はユダヤからカイサリアに下り、そこに滞在しました。

²⁰
彼はツロとシドンの人々と対立していました。彼らは一致して彼のもとに来て、王の侍従ブラストの支持を得て、和平を求めました。彼らの地域は王の国からの食料に依存していたからです。²¹
定められた日に、ヘロデは王の衣をまとい、玉座に座って公の演説をしました。²²
人々は叫びました、「これは人間の声ではなく、神の声だ。」²³
直ちに、ヘロデが神に栄光を帰さなかったため、主の天使が彼を打ち倒し、彼は虫に食われて死にました。

²⁴ しかし、神の言葉は成長し広がり続けました。²⁵
バルナバとサウロは使命を終えた後、エルサレムから戻り、ヨハネとも呼ばれるマルコを連れて行きました。

13 アンティオキヤにある教会には、預言者と教師がいた。バルナバ、ニゲルと呼ばれるシメオン、キレネ人ルキオ、ヘロデ・テトラルカと共に育てられたマナエン、そしてサウロである。²
彼らが主に仕え、断食していると、聖霊が言われた。「バルナバとサウロを私のために選び出さない。彼らを私が呼んだ働きに就かせるためです。」³
そこで、彼らは断食して祈り、彼らに手を置いて送り出した。

⁴
こうして、聖霊によって送り出された彼らは、セレウキヤに下り、そこからキプロスへ船で渡った。⁵
サラミスに着くと、彼らはユダヤ人の会堂で神の言

葉を宣べ伝えた。ヨハネも助手として彼らと共にいた。⁶
彼らは島全体を巡り、パポスに到着した。そこにはバル・イエスという名のユダヤ人の魔術師で偽預言者がいた。⁷
彼は総督セルギウス・パウルスと共にいた。セルギウス・パウルスは賢明な人で、バルナバとサウロを呼び寄せて神の言葉を聞きたいと思った。⁸
しかし、魔術師エリマ（その名の訳）は彼らに反対し、総督を信仰から遠ざけようとした。⁹
その時、サウロ、別名パウロは、聖霊に満たされ、彼をじっと見つめて¹⁰
言った。「あなたは全ての欺きと悪事に満ちた者、悪魔の子、全ての正義の敵です。主のまっすぐな道を曲げるのをやめないのですか？」¹¹
今や主の手があなたの上にあり、あなたはしばらくの間、目が見えなくなり、太陽を見ることができなくなるでしょう。」するとすぐに霧と暗闇が彼に降りかかり、彼は手を引いてくれる人を探し回った。¹²

総督はこの出来事を見て、主の教えに驚き、信じた。
。

¹³
パウロとその仲間たちはパボスから船で出発し、パンフィリアのペルガに着いた。そこでヨハネは彼らから離れてエルサレムに戻った。¹⁴
彼らはペルガからビシディアのアンティオキヤに進んだ。安息日に彼らは会堂に入り、座った。¹⁵
律法と預言者の朗読の後、会堂の指導者たちは彼らに言葉を送り、「兄弟たち、もし民に対して励ましの言葉があるなら、どうぞ話してください。」¹⁶
パウロは立ち上がり、手を振って言った。「イスラエルの人々と神を恐れるあなたがた、聞いてください。¹⁷
イスラエルの民の神は私たちの先祖を選び、彼らがエジプトに滞在している間に民を繁栄させ、高く挙げた腕で彼らをそこから導き出しました。¹⁸
約四十年間、彼は荒野で彼らを世話しました。¹⁹
彼はカナンで七つの国を滅ぼし、その地を彼の民に相続地として与えました。²⁰
これらすべては約450年かかりました。その後、彼はサムエル預言者の時代まで彼らに士師を与えました。²¹
その後、民は王を求め、神はベニヤミン族の人、キシシュの子サウルを与えました。彼は四十年間統治しました。²²
彼を退けた後、神はダビデを彼らの王として立てました。神は彼について証言しました。「私はエッサイの子ダビデを見出した。彼は私の心にかなる者で

使徒の働き

、私が望むことをすべて行うだろう。」²³
ダビデの子孫から、神は約束通りにイエスをイスラエル²⁴の救い主として送り出しました。
イエスの来る前に、ヨハネはイスラエルの全ての民に悔い改めのバプテスマを宣べ伝えました。²⁵
ヨハネがその働きを終えようとしていた時、彼は言いました。「あなたがたは私を誰だと思えますか？ 私は彼ではありません。しかし、私の後に来る方がいます。その方の履物のひもを解く値打ちも私はありません。」

²⁶
「兄弟たち、アブラハムの家族の子供たち、そして神を恐れる異邦人たちよ、この救いのメッセージは私たちに送られました。²⁷
エルサレムの人々とその指導者たちはイエスを認識せず、彼を非難することで、毎安息日に読まれる預言者たちの言葉を成就しました。²⁸
彼らは死刑に値する理由を見つけられなかったにもかかわらず、ピラトに彼を処刑するよう求めました²⁹。
彼らが彼について書かれているすべてを成し遂げた時、彼らは彼を十字架から降ろし、墓に葬りました。³⁰
しかし、神は彼を死者の中から復活させました。³¹
そして、彼はガリラヤからエルサレムに同行した者たちに何日も現れました。彼らは今や私たちの民への彼の証人です。³²
「私たちはあなたがたに良い知らせをもたらします。神が私たちの先祖に約束されたことを、³³
神はイエスを復活させることによって、彼らの子供である私たちのために成就されました。第二詩篇に書かれているように：

『あなたは私の子である。
今日、私はあなたの父となった。』

³⁴
神は彼を死者の中から復活させ、彼が決して腐敗しないようににされました。神はこう言われました、

『私はダビデに約束された聖なる確かな祝福をあなたに与える。』

³⁵ それゆえ、他の箇所でもこう述べられています：
『あなたの聖なる者を決して腐敗させない。』

³⁶
「さて、ダビデが自分の世代で神の目的に仕えた後、彼は死に、先祖と共に葬られ、その体は腐敗しました。³⁷
しかし、神が死者の中から復活させた者は腐敗を経

験しませんでした。³⁸
「それゆえ、私の友よ、イエスを通して罪の赦しがあな³⁹がたに宣べ伝えられていることを知ってください。
彼を通して信じる者は皆、モーセの律法の下では得られ⁴⁰なかったすべての罪から解放されます。
預言者たちが言ったことがあなたがたに起こらないように注意してください：

⁴¹ 『見よ、あざける者たちよ、驚いて消え去れ、私はあなたがたの時代に何かを行うつもりだ、誰かがあなたがたに告げても信じないようなことを。』」

⁴²
パウロとバルナバが会堂を去る時、人々は次の安息日にこれらのことについてもっと話してくれるように頼んだ。⁴³
会衆が解散した時、多くのユダヤ人とユダヤ教に改宗した敬虔な者たちがパウロとバルナバに従い、彼らは彼らと話し、神の恵みに留まるように勧めた。

⁴⁴
次の安息日には、ほぼ全市が集まり、主の言葉を聞いた。⁴⁵
ユダヤ人の指導者たちは群衆を見て嫉妬に満たされ、パウロの言うことに反対し、彼に対して悪口を言った。⁴⁶
すると、パウロとバルナバは大胆に言った。「神の言葉をまずあなたがたに話すことが必要でした。あなたがたがそれを拒絶し、永遠の命に値しないと自らを判断するので、私たちは今、異邦人に向かいます。⁴⁷ 主が私たちに命じられたからです：

『私はあなたを異邦人の光とし、地の果てにまで救いをもたらすために。』」

⁴⁸
異邦人たちはこれを聞いて喜び、主の言葉を導びき、永遠の命に定められていた者は皆、信じた。⁴⁹
主のメッセージは地域全体に広まった。⁵⁰
しかし、ユダヤ人の指導者たちは高位の敬虔な女性たちと市の指導者たちを扇動し、パウロとバルナバに対する迫害を引き起こし、彼らをその地域から追放した。⁵¹
そこで、彼らは彼らに対する証として足の塵を払い落とし、イコニオンに向かった。⁵²
弟子たちは喜びと聖霊に満たされていた。

14 イコニオンで、パウロとバルナバは共にユダヤ人の会堂に入り、話をしたところ、多くのユダヤ人とギリシャ人が信じるように

使徒の働き

なった。²
しかし、信じなかったユダヤ人たちは異邦人を煽動し、兄弟たちに対して彼らの心を毒した。³
そのため、パウロとバルナバはそこに長い間滞在し、主に依り頼んで大胆に語った。主は彼らを通してしるしと不思議を行わせ、その恵みの言葉を確証させた。⁴
町の人々は分裂し、一部はユダヤ人側に、一部は使徒たち側についた。⁵
異邦人とユダヤ人、その指導者たちが共に陰謀を企て、彼らを虐待し石で打とうとしたとき、⁶
彼らはそれを知り、リュカオニアの町々、リストラとデルベ、およびその周辺地域に逃れた。⁷
そこで彼らは福音を宣べ伝え続けた。

⁸
リストラには、生まれつき足の不自由な男が座っていた。彼は生まれつき足が不自由で、一度も歩いたことがなかった。⁹
この男はパウロが話しているのを聞いていた。パウロは彼をじっと見て、癒される信仰があるのを見て、¹⁰
大声で「自分の足でまっすぐに立ちなさい！」と言った。すると、その男は跳び上がり、歩き始めた。¹¹
群衆はパウロがしたことを見て、リュカオニア語で「神々が人間の姿をとって私たちのところに降りてきた」と叫んだ。¹²
彼らはバルナバをゼウスと呼び、パウロを主な話し手であるためヘルメスと呼び始めた。¹³
町の外にあるゼウスの神殿の祭司は、牛と花輪を門に持ってきて、群衆と共に犠牲を捧げようとした。

¹⁴
これを聞いた使徒バルナバとパウロは自分たちの衣を裂き、群衆の中に駆け込んで叫んだ。¹⁵
「皆さん、なぜこんなことをするのですか？ 私たちもあなた方と同じ性質を持つ人間です。無駄なものから離れて、天と地と海とその中のすべてのものを造られた生ける神に立ち返るように、良い知らせを伝えているのです。¹⁶
過去の世代には、すべての国々が自分の道を行くことを許されました。¹⁷
しかし、彼は自らを証ししないままにはされませんでした。天からの雨と実り豊かな季節を与え、食物と喜びであなた方の心を満たしてくださったのです。」¹⁸
これらの言葉をもってしても、彼らは群衆が犠牲を捧げるのをやっとのことで止めた。

¹⁹
その後、アンティオキアとイコニオンからユダヤ人が来て、群衆を説得し、パウロを石で打ち、死んだと思って町の外に引きずり出した。²⁰
しかし、弟子たちが彼を取り囲んでいる間に、彼は立ち上がり、町に戻った。翌日、彼はバルナバと共にデルベに出発した。

²¹
彼らはその町で福音を宣べ伝え、多くの弟子を得た後、リストラ、イコニオン、アンティオキアに戻った。²²
弟子たちを強め、信仰にとどまるように励まし、「神の国に入るためには多くの苦難を経なければならぬ」と言った。²³
パウロとバルナバは各教会で彼らのために長老を任命し、祈りと断食をもって、彼らが信じた主に委ねた。

²⁴ 彼らはピンディアを通してパンフィリアに来た。
²⁵
ベルガで御言葉を宣べ伝えた後、アタリアに下った。
²⁶
そこから、彼らは海路でアンティオキアに戻った。そこでは、彼らが成し遂げた働きのために神の恵みに委ねられていた。²⁷
彼らが到着すると、教会を集め、神が彼らを通してなさったすべてのことと、異邦人に信仰の門を開かれたことを報告した。²⁸
そして、彼らは弟子たちと共にかなりの時間を過ごした。

15 ある人々がユダヤからアンティオキアに下ってきて、信者たちに「モーセの教えによる割礼を受けなければ救われない」と教え始めた。²
これにより、パウロとバルナバと彼らとの間で激しい対立と議論が生じた。その結果、パウロとバルナバ、そして他の数人の信者が、エルサレムに上ってこの問題について使徒たちと長老たちに相談することになった。³
教会は彼らを送り出し、彼らはフェニキアとサマリヤを通過しながら、異邦人の改宗について詳しく話し、すべての信者に大きな喜びをもたらした。⁴
彼らがエルサレムに到着すると、教会、使徒たち、長老たちに歓迎され、神が彼らを通して成し遂げたすべてのことを報告した。⁵
しかし、パリサイ派の一部の信者たちが立ち上がり、「異邦人は割礼を受け、モーセの律法を守るように教えられるべきだ」と宣言した。

使徒の働き

6

使徒たちと長老たちはこの問題について協議するために集まった。

7

多くの議論の後、ペテロが立ち上がって彼らに言った。「兄弟たち、あなたがたは知っているように、しばらく前に神はあなたがたの中から選んで、異邦人が私の口から福音の言葉を聞いて信じるようにされた。

8

心を知る神は、私たちに与えられたように彼らにも聖霊を与えて証しされた。

9

神は私たちと彼らの間に何の差別もせず、信仰によって彼らの心を清められた。

10

それなのに、なぜあなたがたは、私たちの先祖も私たちも負うことができなかつたくびきを弟子たちの首にかけて、神を試みるのですか。

11

実際、私たちは彼らと同じように、主イエスの恵みによって救われると確信しています。」

12

全会衆は静かになり、バルナバとパウロが神が彼らを通して異邦人の間で行われたしるしと不思議について話すのを聞いた。

13

彼らが話し終えると、ヤコブが言った。「兄弟たち、私の言うことを聞いてください。

14

シメオンが、神が最初に異邦人の中からご自分の名のために民を選び出されたことを説明しました。

15

預言者たちの言葉もこれと一致しています。それは書かれている通りです。

16

『この後、私は戻り

倒れたダビデの家を立て直す。

その廃墟を建て直し、再びそれを立て上げる。」

17

それによって、残りの人々が主を求めるようになり、

私の名を呼ばれるすべての異邦人もそうなる。』

18

これらのことを昔から知らせている主が言われる。

19

したがって、私の判断では、神に立ち返る異邦人を悩ませるべきではありません。

20

むしろ、彼らに偶像に汚された食物、性的な不道德、絞め殺された動物の肉、血を避けるように書き送るべきです。

21

モーセの律法は古くからあらゆる町で説かれ、毎週の安息日に会堂で読まれているからです。」

22

それから、使徒たちと長老たち、全会衆は、自分たちの中から数人を選び、パウロとバルナバと共にア

ンティオキアに送ることにした。彼らはユダ、別名バルサバス、そしてシラスを選んだ。彼らは信者たちの中で指導的な人々であった。

23

彼らは次のような手紙を持たせて送った。「使徒たちと長老たち、あなたがたの兄弟たちから、アンティオキア、シリア、キリキヤにいる異邦人の信者たちへ。挨拶を送ります。

24

私たちの許可なく出て行った者たちが、あなたがたを混乱させ、彼らの言葉で心を乱したと聞いています。

25

それゆえ、私たちは全員一致して、私たちの愛する友人バルナバとパウロと共に数人を選んであなたがたのもとに送ることに決めました。

26

彼らはすでに私たちの主イエス・キリストの名のために命を危険にさらした者たちです。

27

したがって、私たちはユダとシラスを送り、彼らが私たちの書いていることを口頭で確認することにした。

28

聖霊と私たちは、これらの必要なこと以外にあなたがたに負担をかけないことが良いと考えました。

29

あなたがたは偶像に捧げられた食物、血、絞め殺された動物の肉、性的な不道德を避けるべきです。これらのことを避けるなら、あなたがたは良いでしょう。さようなら。

30

そこで、彼らは派遣されてアンティオキアに下り、教会を集めて手紙を渡した。

31

人々はそれを読んで、その励ましのメッセージに喜んだ。

32

ユダとシラスも預言者であり、信者たちを励まし、強めるために多くのことを語った。

33

彼らがそこにしばらく滞在した後、信者たちは彼らを送り出し、平和の祝福をもって彼らを送り出した。 [しかし、シラスはそこに留まることにした。]

35

しかし、パウロとバルナバはアンティオキアに留まり、多くの他の人々と共に主の言葉を教え、宣べ伝えた。

36

しばらくして、パウロはバルナバに言った。「私たちが主の言葉を宣べ伝えたすべての町の信者たちを訪ねて、彼らがどうしているか見に行きましょう。」

37

バルナバはヨハネ、別名マルコを連れて行くことを考えていた。

38

しかし、パウロは彼を連れて行くのは賢明でないと考えた。彼はパンフィリアで彼らを離れ、仕事を続けなかつたからである。

39

使徒の働き

彼らの意見の相違は非常に激しく、彼らは別々の道を行くことになった。バルナバはマルコを連れてキプロスへ船で渡った。⁴⁹

しかし、パウロはシラスを選び、信者たちに主の恵みに委ねられて出発した。⁴¹
彼はシリアとキリキヤを通り、教会を強めた。

16 パウロはデルベに行き、それからリストラに行った。そこにはデモテという名の弟子がいて、彼は信者であるユダヤ人女性の息子であったが、父はギリシヤ人であった。²
リストラとイコニオンの信者たちは彼を高く評価していた。³
パウロは彼を旅に同行させたいと思い、地域のユダヤ人のために彼を割礼した。彼の父がギリシヤ人であることを皆が知っていたからである。⁴
彼らが町々を旅する中で、エルサレムの使徒たちと長老たちが決定した戒めを人々に守らせるために伝えた。⁵
こうして教会は信仰において強められ、日々その数を増していっていった。

⁶
パウロとその仲間たちはフリュギアとガラティア地方を旅し、アジアで御言葉を語ることを聖霊によって禁じられた。⁷
彼らがミュシアの境に達したとき、ビテニアに入ろうとしたが、イエスの霊がそれを許さなかった。⁸
それで、ミュシアを通り過ぎて、トロアスに下った。⁹
夜の間に、パウロはマケドニア人の男が立って彼に「マケドニアに渡ってきて、私たちを助けてください」と懇願する幻を見た。¹⁰
その幻を見た後、私たちはすぐにマケドニアに行くことに決めた。神が私たちを呼んで彼らに福音を宣べ伝えさせたのだと結論づけた。

¹¹
トロアスから船出し、サモトラケに直行し、翌日ネアポリスに着いた。¹²
そこから、マケドニアの主要都市でローマの植民地であるビリピに行き、数日間この都市に滞在した。¹³

安息日に、私たちは町の門を出て川岸に行き、祈りの場所を見つけることを期待した。そこに座り、集まっていた女性たちに話しかけ始めた。¹⁴
ティアティラ市出身の紫布の商人で神を敬うリディアという女性が聞いていた。主は彼女の心を開いて、パウロのメッセージに応答させた。¹⁵
彼女とその家族が洗礼を受けたとき、彼女は私たちに「もし私を主に忠実だとお考えなら、私の家に来

て泊まってください」と頼んだ。彼女は私たちを説得した。

¹⁶
私たちが祈りの場所に行く途中、占いの霊を持つ女奴隷に出会った。彼女は占いで主人たちに多くの利益をもたらしていた。¹⁷
彼女はパウロと私たちについてきて、「この人たちは至高の神の僕であり、あなたたちに救いの道を宣べ伝えている」と叫んだ。¹⁸
彼女は何日もこれが続けた。パウロは非常に苛立ち、霊に向かって「イエス・キリストの名によって、彼女から出て行け！」と言った。そしてそれはその瞬間に彼女から出て行った。

¹⁹
彼女の主人たちは利益の望みがなくなったことを見て、パウロとシラスを捕らえ、市場の当局者の前に引きずり出した。²⁰
彼らは裁判官の前に連れて行き、「この人たちはユダヤ人であり、私たちの町で問題を起こしています」²¹
、
私たちローマ人が受け入れたり実践したりすることができない習慣を勧めています」と言った。²²
群衆も彼らに対して攻撃に加わり、裁判官たちは彼らの衣服を剥ぎ取り、棒で打つよう命じた。²³
多くの打撃を加えた後、彼らを牢に投げ込み、看守に厳重に見張るよう命じた。²⁴
その命令を受けた看守は、彼らを内側の牢に入れ、足を木枷に固定した。

²⁵
真夜中頃、パウロとシラスは祈りを捧げ、神に賛美の歌を歌っていた。他の囚人たちはそれを聞いていた。²⁶
突然、大地震が起こり、牢の土台が揺れ動き、すぐにすべての扉が開き、皆の鎖が外れた。²⁷
看守が目覚まし、牢の扉が開いているのを見て、囚人たちが逃げたと思い、自殺しようとして剣を抜いた。²⁸
。
しかし、パウロは大声で叫び、「自害してはいけません。私たちは皆ここにいます！」と言った。

²⁹
看守は灯りを求め、駆け込んで、恐れおののきながらパウロとシラスの前にひれ伏した。³⁰
彼は彼らを外に連れ出し、「紳士たち、私はどうすれば救われるでしょうか？」と尋ねた。³¹
彼らは答えた。「主イエスを信じなさい。そうすれば、あなたもあなたの家族も救われます。」³²
彼らは彼とその家のすべての者に主の言葉を伝えた

使徒の働き

。その夜のその時に、彼は彼らを連れて行き、傷を洗い流した。そしてすぐに彼とその家族全員が洗礼を受けた。

彼は彼らを家に連れて行き、食事を提供し、神を信じるようになったことに喜びを感じた。彼とその家族全員がそうであった。

夜が明けると、裁判官たちは役人を送り、「あの男たちを釈放せよ」と命じた。看守はこのことをパウロに報告し、「裁判官たちはあなたたちを釈放するように言ってきました。さあ、出て行って平和に行きなさい」と言った。しかし、パウロは役人たちに言った。「彼らは私たちを公然と裁判なしで打ち、ローマ市民である私たちを牢に投げ入れました。今、彼らは私たちを秘密裏に釈放したいのですか？決してそうではありません！彼ら自身が来て、私たちを送り出してください。」

役人たちはこれらの言葉を裁判官たちに報告し、パウロとシラスがローマ市民であると聞いて驚いた。

彼らは彼らをなだめ、牢から連れ出し、町を去るよう頼んだ。

牢を出た後、彼らはリディアの家に行き、兄弟姉妹たちと会い、彼らを励ました。それから彼らは出発した。

17 パウロとその仲間たちがアンピポリスとアポロニアを通して旅をし、テサロニケに着したとき、そこにはユダヤ人の会堂があった。

パウロはいつものように会堂に入り、三つの安息日にわたって聖書から彼らと論じ合った。

キリストが苦しみを受け、死者の中からよみがえらなければならないことを説明し、証明して、「私があなたがたに宣べ伝えているこのイエスこそキリストです」と言った。

ユダヤ人の中には納得してパウロとシラスに加わった者もあり、神を敬うギリシア人の大勢と、かなりの数の著名な女性たちもいた。

しかし、ユダヤ人たちはねたみに燃え、市場からならず者たちを集めて暴徒を形成し、町を騒がせた。彼らはヤソンの家を襲い、彼らを人々の前に引き出そうとした。

彼らが見つからなかったとき、ヤソンと他の信者たちを町の当局者の前に引きずり出し、「世界中を騒がせたこの者たちがここにも来ています。

ヤソンは彼らを迎え入れました。彼らは皆、カエサ

ルの法令に逆らって行動し、他に王がいる、すなわちイエスだと言っています。」
群衆と町の役人たちはこれを聞いて動揺した。彼らはヤソンと他の者たちから保証金を取った後、彼らを解放した。

その夜、信者たちはすぐにパウロとシラスをベレアへ送り出した。到着すると、彼らはユダヤ人の会堂に入った。

ベレアのユダヤ人たちはテサロニケの人々よりも高貴な心を持っており、非常に熱心にメッセージを受け入れ、パウロの言うことが本当かどうかを確かめるために毎日聖書を調べた。

その結果、多くの者が信じ、著名なギリシア人の女性や男性もかなりの数が信じた。

しかし、テサロニケのユダヤ人たちは、パウロがベレアでも神の言葉を宣べ伝えていることを知ると、そこにも来て群衆を扇動し、騒ぎを起こした。信者たちはすぐにパウロを海岸に送り出し、シラスとテモテはベレアに留まった。

パウロを護送した者たちは彼をアテネまで連れて行き、シラスとテモテにできるだけ早く彼に合流するよう指示を受けてから、出発した。

パウロがアテネで彼らを待っている間、彼の霊はその町が偶像で満ちているのを見て心を痛めた。そこで彼は会堂でユダヤ人や神を敬うギリシア人たちと論じ合い、また毎日市場で出会った人々と論じ合った。

エピクロス派とストア派の哲学者たちも彼と論じ合った。ある者は「このおしゃべりは何を言おうとしているのか？」と言い、他の者は「彼は外国の神々を宣べ伝えているようだ」と言った。彼がイエスと復活を宣べ伝えていたからである。

彼らは彼をアレオパゴスに連れて行き、「あなたが述べているこの新しい教えが何であるかを知りたい。

あなたは私たちの耳に奇妙なことを持ち込んでいるので、それが何を意味するのか知りたいのです。」

（アテネの人々とそこに住む外国人は、何もせずに最新の考えを話したり聞いたりすることに時間を費やしていた。）

パウロはアレオパゴスの真ん中に立って言った。「アテネの人々よ、私はあなたがたがあらゆる点で非常に宗教的であることを見て取ります。私が歩き回り、あなたがたの礼拝の対象を調べてい

使徒の働き

ると、『知られざる神に』と刻まれた祭壇を見つけました。それゆえ、あなたがたが無知のうちに礼拝しているものを、私はあなたがたに宣べ伝えます。

24

世界とその中のすべてのものを造られた神は、天地の主であり、人の手で作られた神殿には住まわれません。

25

また、彼は何かを必要としているかのように人の手によって仕えられることもありません。彼自身がすべての人に命と息とすべてのものを与えておられるからです。

26

彼は一人の人からすべての国の人々を造り出し、地の全面に住ませ、彼らの定められた時代と住む場所の境界を決められました。

27

それは、彼らが神を求めるためであり、もし可能なら手探りで彼を見つけることができるようにするためです。実際、彼は私たち一人一人から遠く離れてはいません。

28

私たちは彼によって生き、動き、存在しているので、あなたがたの詩人の中にも、『私たちは確かに彼の子孫である』と言った者がいます。

29

したがって、私たちは神の子孫であるので、神の性質が金や銀や石のように、人の技術と工夫によって作られた像のようなものであるとは考えるべきではありません。

30

神はこのような無知の時代を見過ごしておられましたが、今はどこにいる人々にも悔い改めを命じておられます。

31

それは、彼が定めた人によって義をもって世界を裁く日を定められたからです。そして、彼を死者の中からよみがえらせることによって、すべての人にその証拠を与えられました。」

32

死者の復活について聞いたとき、ある者たちはあざ笑ひ、他の者たちは「このことについてもう一度聞きたい」と言った。

33

それで、パウロは会議を去った。しかし、ある人々は彼に加わり、信じた。その中にはアレオパゴスのディオヌシオ、ダマリスという女性、その他の者たちがいた。

34

これらの出来事の後、パウロはアテネを去り、コリントへ旅した。

2

そこで、ボントス出身のユダヤ人で、最近イタリアから妻プリスキラと共に来たアクラという名の人物に出会った。これは、クラウディウスがすべてのユダヤ人にローマを離れるよう命じたためであった。パウロは彼らに近づき、

3

彼らと同じ職業であったため、彼らと一緒に滞在し

、一緒に働いた。彼らは職業として天幕作りをしていた。

4

毎週の安息日に、パウロは会堂で議論を行い、ユダヤ人とギリシャ人の両方を説得しようとした。

5

シラスとテモテがマケドニアから到着したとき、パウロは御言葉に専念し、イエスがキリストであることをユダヤ人に証言した。

6

しかし、彼らが反対し、彼を罵ったとき、彼は衣を振り払い、彼らに宣言した。「あなたがたの血はあなたがた自身の頭にかかる！私は無罪である。今後は異邦人の方に向かう。」

7

彼は会堂を去り、神を敬うティティオ・ユストの家に行った。その家は会堂に隣接していた。

8

会堂の指導者クリスポは、家族全員と共に主を信じた。そして、パウロの話を聞いた多くのコリント人が信じて洗礼を受けた。

9

ある夜、主は幻の中でパウロに語った。「恐れずに語り続け、沈黙してはならない。」

10

私はあなたと共におり、誰もあなたを攻撃したり害を加えたりしない。私はこの町に多くの人々を持っている。」

11

こうしてパウロは1年6か月間コリントに留まり、彼らに神の言葉を教えた。

12

ガリオがアカイアの総督であったとき、ユダヤ人はパウロに対して一致して攻撃し、彼を法廷に連れて行った。

13

「この男は人々に律法に反する方法で神を礼拝するよう説得している」と言った。

14

パウロが話し始めようとしたとき、ガリオはユダヤ人に言った。「もしこれが不正行為や重大な犯罪に関することであれば、ユダヤ人の皆さん、私はあなたがたの訴えを聞くのが当然である。」

15

しかし、これは言葉や名前、あなたがた自身の律法に関する問題であるため、自分たちで処理しなさい。私はそのような事柄の裁判官になることを拒否する。」

16

そして、彼は彼らを法廷から追い出した。

17

すると、彼らは会堂の指導者ソステネを捕らえ、法廷の前で彼を打った。しかし、ガリオはこれに全く関心を示さなかった。

18

パウロはコリントにしばらく留まった後、兄弟姉妹に別れを告げ、プリスキラとアクラを伴ってシリアへ向けて出帆した。出帆する前に、彼はケンクレア

使徒の働き

で誓いを立てたため髪を切った。¹⁹
彼らはエフェソに到着し、パウロはプリスキラとアクラを残して、彼自身は会堂に入り、ユダヤ人と議論を行った。²⁰
彼らは彼にもっと長く留まるように求めたが、彼は留まることを選ばなかった。²¹
しかし、彼は去る際に言った。「神が望まれるなら、私はあなたがたのところに戻ってくるでしょう。」そして彼はエフェソから出帆した。

²²
カイサリアに上陸すると、彼はエルサレムに上り、教会に挨拶し、それからアンティオキアに下った。²³
しばらくそこに滞在した後、パウロは出発し、ガラテヤとフリュギアの地域を巡り、すべての弟子たちを強めた。

²⁴
その間に、アレクサンドリア出身で雄弁なユダヤ人アポロがエフェソに到着した。彼は聖書に精通していた。²⁵
彼は主の教えを受けており、霊に燃えて、イエスに関する事柄を正確に話し、教えていたが、ヨハネの洗礼しか知らなかった。²⁶
彼は会堂で大胆に話し始めた。プリスキラとアクラが彼を聞いたとき、彼を連れて行き、神の道をもっと正確に説明した。²⁷
アポロがアカイアに渡りたいと思ったとき、兄弟たちは彼を励まし、弟子たちに彼を歓迎するように手紙を書いた。彼が到着すると、恵みによって信じた人々を大いに助けた。²⁸
彼は公の討論でユダヤ人を力強く反駁し、聖書を通してイエスがキリストであることを示した。

19 アポロがコリントにいる間に、パウロは内陸の地域を通してエフェソに到着しました。²
そこで彼は弟子たちに出会いました。
彼は彼らに尋ねました、「信じたときに聖霊を受けましたか？」彼らは答えました、「聖霊があるかどうかさえ聞いたことがありません。」³
パウロはさらに尋ねました、「では、何のためにバプテスマを受けたのですか？」彼らは答えました、「ヨハネのバプテスマです。」⁴
パウロは説明しました、「ヨハネは悔い改めのバプテスマを行い、彼の後に来る者、すなわちイエスを信じるように人々に教えました。」⁵
これを聞いて、彼らは主イエスの名によってバプテスマを受けました。⁶
パウロが彼らに手を置いたとき、聖霊が彼らに降り

、彼らは異言を語り、預言をし始めました。⁷
全部で約十二人の男たちがいました。

⁸
パウロは会堂に入り、三か月間大胆に語り、神の国について議論し、説得しました。⁹
しかし、ある者たちが頑固になり、信じようとせず、集会の前で道を悪く言ったとき、彼は彼らから離れ、弟子たちを連れて行き、ティラノの講堂で毎日議論を行いました。¹⁰
これが二年間続き、アジアの住民全員、ユダヤ人もギリシヤ人も、主の言葉を聞きました。

¹¹ 神はパウロを通して驚くべき奇跡を行いました。¹²
彼の肌に触れたハンカチやエプロンが病人に持ち込まれると、病気が去り、悪霊が出て行きました。

¹³
ある巡回するユダヤ人の祓魔師たちが、悪霊に取り憑かれた者たちに「パウロが宣べ伝えるイエスによってお前たちに命じる」と言って、主イエスの名を唱えようとしていました。¹⁴
スケワというユダヤ人の祭司長の七人の息子たちがこれを行っていました。¹⁵
しかし、悪霊は答えました、「イエスは知っているし、パウロも知っているが、お前たちは誰だ？」¹⁶
すると、悪霊に取り憑かれた男が彼らに飛びかかり、全員を圧倒し、打ち負かしたので、彼らは裸で傷ついてその家から逃げ出しました。¹⁷
この出来事はエフェソの住民全員、ユダヤ人もギリシヤ人も知るところとなり、恐れが彼ら全員に降りかかり、主イエスの名は高く評価されました。¹⁸
多くの信者が進み出て、自分の行いを告白し、明らかにしました。¹⁹

魔術を行っていた多くの者がその書物を持ち寄り、人々の前で焼きました；その書物の価値を計算すると、五万枚の銀貨になりました。²⁰
こうして、主の言葉は力強く成長し、広まりました。

²¹
これらの出来事の後、パウロは霊に導かれてエルサレムに行くことを決心し、マケドニアとアカイアを通過することにし、「そこに行ったら、ローマも訪れなければならない」と言いました。²²
彼は二人の助手、テモテとエラストをマケドニアに送り、自分はしばらくアジアに留まりました。

²³
その頃、「道」について大きな騒動が起こりました。
。

使徒の働き

アルテミスの銀の神殿を作る銀細工師のデメトリオが、職人たちにかなりの商売をもたらしていました。²⁵

彼は彼らを集め、関連する職業の労働者たちと共に言いました、「皆さん、この商売から私たちの繁栄が得られることを知っています。²⁶

そして、エフェソだけでなく、ほぼ全アジアで、このパウロが多くの人々を説得し、手で作られた神々は神ではないと主張して、彼らを引き離しているのを見聞しています。²⁷

私たちの商売が評判を失う危険があるだけでなく、偉大な女神アルテミスの神殿も信用を失い、アジアと世界中が崇拝する彼女の威厳が失われるでしょう。」²⁸

これを聞いたとき、彼らは怒りに満ち、「エフェソのアルテミスは偉大だ!」と叫び始めました。²⁹ 町全体が混乱に陥り、彼らは一斉に劇場に押し寄せ、マケドニアから来たパウロの旅の仲間であるガイオとアリスタルコを引きずり込みました。³⁰ パウロは集会に入らなかったが、弟子たちは彼を許しませんでした。³¹

アジアの指導者たちの中にもパウロの友人がいて、彼に言葉を送り、劇場に入らないように勧めました。³²

集会は混乱していました：ある者はこれを叫び、ある者はあれを叫び、ほとんどの者はなぜ集まったのかを知らませんでした。³³

群衆の中のユダヤ人たちはアレクサンドロを前に押し出し、彼は人々の前で弁明しようとして手を振りました。³⁴

しかし、彼がユダヤ人であると認識されると、彼らは約二時間にわたって一斉に「エフェソのアルテミスは偉大だ!」と叫び続けました。³⁵

町の書記官が群衆を静めて言いました、「エフェソの人々よ、偉大なアルテミスの神殿と天から落ちた彼女の像の守護者であることを知らない者はいません。³⁶

これらの事実は否定できないので、あなた方は冷静に行動し、軽率な行動を取らないようにすべきです。³⁷

あなた方はこれらの者をここに連れてきましたが、彼らは神殿を冒涇したわけでも、私たちの女神に対して悪口を言ったわけでもありません。³⁸

もしデメトリオと彼の同業者たちが誰かに対して不満を持っているなら、裁判所は開かれており、総督たちもいます；彼らは互いに訴えを起こすべきです

。³⁹ もしさらに何かを解決したいことがあるなら、それは合法的な集会で解決されなければなりません。⁴⁰ 今日の出来事のために暴動を起こしたと非難される危険があります。この騒動には正当な理由がなく、この無秩序な集会を説明することはできません。」⁴¹

このように話し終えると、彼は集会を解散させました。

20 騒動が収まった後、パウロは弟子たちを呼び寄せ、彼らを励ました後、別れを告げてマケドニアへ出発した。²

彼はその地方を通り、たくさんの励ましを人々に与え、ついにギリシャに到着した。³

彼はそこに三か月間滞在した。しかし、シリアへ船で行こうとしていたとき、ユダヤ人たちが彼に対して陰謀を企てたため、彼はマケドニアを経由して戻ることに決めた。⁴

彼は、ベレア出身のビュロの子ソパテル、テサロニケ出身のアリスタルコとセクンド、デルベ出身のガイオ、ティモテ、アジア州出身のテキコとトロフィモと共に旅をした。⁵

これらの者たちは先に進んで、トロアスで私たちを待っていた。⁶

私たちは、種なしパンの祭りの後にピリビから船で出発し、五日後にトロアスで彼らに合流し、そこで七日間滞在した。⁷

週の初めの日に、私たちはパンを裂くために集まった。パウロは人々に話し、翌日出発するつもりだったので、彼のメッセージは真夜中まで続いた。⁸ 私たちが集まっていた上の部屋は、多くの灯りでよく照らされていた。⁹

ユテコという若者が窓の縁に座っていたが、パウロの話が長引くうちに深い眠りに落ちた。眠りに負けて、彼は三階から落ちて、死んだ状態で拾い上げられた。¹⁰

パウロは下に降りて、彼に身を投げかけ、抱きしめて言った。「心配しないでください、彼は生きています。」¹¹

パウロは再び上に戻り、パンを裂いて食べた。そして夜明けまで話し続け、出発した。¹²

若者は生きたまま家に連れて行かれ、彼らは大いに慰められた。¹³

私たちは先に船に乗り、アソスへ向けて出航した。そこでパウロを乗せる手はずだったので、彼は陸路で行くことにしていた。¹⁴

使徒の働き

彼がアソスで私たちに会ったとき、私たちは彼を船に乗せてミティレネに向かった。¹⁵

そこから航海し、翌日キオスの対岸に到着し、その翌日サモスに渡り、その次の日にミレトスに着いた。¹⁶

パウロはアジアで時間を費やさないようにエフェソを通り過ぎることに決めていた。彼は可能であればペンテコステの日までにエルサレムに到着したいと急いでいた。

¹⁷ ミレトスから彼はエフェソに使者を送り、教会の長老たちを呼び寄せた。¹⁸

彼らが到着したとき、彼は彼らに言った。「あなたがたは、私がアジアに足を踏み入れた最初の日から、あなたがたと共にいた間、どのように生活していたかを知っています。¹⁹

私は大いなる謙遜と涙をもって主に仕え、ユダヤ人たちの陰謀によって私に降りかかった試練に耐えてきました。²⁰

私はあなたがたに有益なことを何もためらわずに宣べ伝え、公に、また家から家へと教えてきました。²¹

私はユダヤ人にもギリシヤ人にも、神への悔い改めと私たちの主イエスへの信仰について厳かに証しました。

²² 「そして今、私は御霊に導かれてエルサレムに向かっています。そこで何が私を待っているのか分かりませんが、²³ 聖霊がどの町でも私に、投獄と困難が待っていると警告していることを除いては。²⁴

しかし、私は自分の命を少しも惜しいとは思いません。私の唯一の目標は、神の恵みの福音を証するために主イエスから受けた務めを完了することです。²⁵

「今、私はあなたがたの中で神の国を宣べ伝えてきた者の誰もが、再び私の顔を見ることはないと思っています。²⁶

それゆえ、私は今日あなたがたに宣言します。私はあなたがたの誰に対しても責任がないことを。²⁷ 私は神の全計画をあなたがたにためらわずに宣べ伝えたからです。²⁸

あなたがた自身と、聖霊があなたがたを監督者としたすべての群れに気をつけなさい。神がご自身の血で買い取られた教会を牧しなさい。²⁹

私が去った後、凶暴な狼があなたがたの中に入り込み、群れを惜しまずに襲うことを私は知っています。³⁰

あなたがた自身の中からも、弟子たちを引き寄せるために真理を曲げる者たちが現れるでしょう。³¹ それゆえ、目を覚ましていなさい! 私は三年間、昼も夜も涙をもってあなたがた一人一人を警告し続けたことを思い出しなさい。

³² 「今、私はあなたがたを神とその恵みの言葉に委ねます。それはあなたがたを築き上げ、すべての聖なる者たちの中で相続を与えることができるものです。³³ 私は誰の銀や金や衣服も欲しがったことはありません。³⁴

あなたがた自身が知っているように、これらの手が私自身の必要と仲間たちの必要を賄ってきました。³⁵

私はすべてのことにおいて、このような勤勉な働きによって弱い者を助けるべきであることを示しました。主イエスの言葉を思い出しなさい、『受けるよりも与える方が幸いである』と。」

³⁶ パウロが話し終えると、彼は皆と共にひざまずいて祈った。³⁷

彼らは皆泣きながらパウロを抱きしめ、何度も彼に口づけした。³⁸

彼らの最大の悲しみは、彼がもう彼の顔を見ることはないと言った言葉だった。それから彼らは彼を船まで見送った。

21 彼らと別れてから、私たちは船出し、コスに直行し、翌日にはロードスに行き、そこからパトラに行きました。²

フェニキアに渡る船を見つけたので、私たちは乗り込んで出帆しました。³

キプロスが見えてきたとき、左手にそれを残してシリアに向かい、ティルスに上陸しました。そこで船は貨物を降ろすことになっていました。⁴

私たちは弟子たちを探し出し、そこで七日間滞在しました。彼らは霊によってパウロにエルサレムに行かないようにとしきりに言っていました。⁵

そこにいる時間が終わると、私たちは出発し、旅を続けました。彼らは皆、妻や子供たちと共に私たちを町の外まで見送り、海岸でひざまずいて祈りました。⁶

互いに別れを告げた後、私たちは船に乗り込み、彼らは家に戻りました。

⁷ 私たちはティルスからの航海を終え、プトレマイスに到着し、兄弟姉妹たちに挨拶し、彼らと一日を過

使徒の働き

8
ごしました。
翌日、私たちは出発し、カイサリアに行き、伝道者
フィリポの家に入り、彼は七人の一人であり、彼と
9
共に滞在しました。
彼には結婚していない四人の娘がいて、彼女たちは
10
預言しました。
11
私たちがそこに数日間滞在している間に、アガボと
いう名の預言者がユダヤから下ってきました。
12
彼は私たちのところに来て、パウロの帯を取り、自
分の足と手を縛り、「聖霊がこう言われます、『この
帯の持ち主をエルサレムでユダヤ人がこのように
縛り、異邦人に引き渡す』』と言いました。
13
これを聞いたとき、私たちと地元の人々はパウロに
エルサレムに行かないように懇願しました。
14
するとパウロは答えました、「なぜ泣いて私の心を
砕くのですか？私は縛られるだけでなく、主イエス
の名のためにエルサレムで死ぬ覚悟もできています
。」
15
彼が説得されないので、私たちはやめて、「主の御
心が行われますように」と言いました。
16
これらの日の後、私たちは準備をしてエルサレムに
上りました。
17
カイサリアからの弟子たちの何人かも私たちに同行
し、私たちをキプロス出身の初期の弟子であるムナ
ソンの家に連れて行き、そこで滞在することになっ
ていました。
18
エルサレムに到着すると、兄弟姉妹たちは私たちに
暖かく迎えてくれました。
19
翌日、パウロは私たちと共にヤコブに会いに行き、
すべての長老たちが出席していました。
20
彼らに挨拶した後、パウロは自分の奉仕を通じて神
が異邦人の間で行われたことを一つ一つ詳しく説明
しました。
21
彼らはこれ聞いて神を賛美し、彼に言いました、
「兄弟よ、見てください、信じたユダヤ人が何千人
もおり、彼らは皆律法に熱心です。
22
彼らはあなたが異邦人の間でユダヤ人にモーセを捨
てるよう教え、子供たちに割礼を施さないようにし
、我々の習慣に従わないようにしていると聞かされ
ています。
23
どうすべきでしょうか？彼らは確かにあなたが来た
ことを聞くでしょう。
24
それゆえ、私たちがあなたに勧めることを行いな
さい：私たちと共に誓願を立てた四人の男がいます。
25
彼らを連れて行き、彼らと共に身を清め、彼らの費

用を支払い、彼らが頭を剃ることができるようにし
なさい。そうすれば、あなたについての報告に真実
がないことが皆にわかり、あなた自身が律法を守っ
26
ていることがわかるでしょう。
異邦人の信者については、偶像に供えたもの、血、
絞め殺したものの、そして不品行を避けるべきである
という私たちの決定を書き送りました。」
27
翌日、パウロはその男たちを連れて行き、彼らと共に
身を清め、各自のために捧げ物がされるまで清め
の日々が完了したことを告げるために神殿に入りました。
28
七日がほぼ完了したとき、アジアから来たユダヤ人
たちは彼を神殿で見て群衆を煽り、彼に手をかけま
した。
29
叫んで言いました、「イスラエルの人々よ、助けて
ください！この男は、私たちの民、律法、この場所
に反対して、至る所で皆に教えている者です。さら
に、彼はギリシア人を神殿に連れてきて、この聖な
る場所を汚しました。」
30
（彼らは以前にトロフィモというエフェソ人が彼と
共に町にいるのを見ており、パウロが彼を神殿に連
れてきたと思い込んでいました。）
31
町全体が騒然となり、人々は一斉に駆け寄り、パウ
ロを捕らえて神殿から引きずり出し、すぐに門が閉
じられました。
32
彼を殺そうとしている間に、エルサレム全体が混乱
しているという知らせがローマの部隊の指揮官に届
きました。
33
彼は直ちに兵士と百人隊長を連れて群衆のところに
駆け下りました。彼らが指揮官と兵士を見ると、パ
ウロを打つのをやめました。
34
指揮官は近づいて彼を逮捕し、二本の鎖で縛るよう
命じました。そして彼が誰であるか、何をしたのか
を尋ねました。
35
群衆の中には一つのことを叫ぶ者もいれば、別のこ
とを叫ぶ者もいました。指揮官は騒動のために真実
を確かめることができず、彼を兵営に連れて行くよ
う命じました。
36
パウロが階段に達したとき、群衆の暴力があまりに
も激しかったので、彼は兵士によって運ばれること
になりました。
37
群衆は「彼を取り去れ！」と叫びながらついてきま
した。
38
パウロが兵営に連れて行かれようとしたとき、彼は
指揮官に「あなたに何か言ってもよろしいでしょ
うか？」と尋ねました。彼は答えました、「あなたは

使徒の働き

ギリシア語を話すのですか？³⁸
それでは、以前に反乱を起こし、四千人の暗殺者を
荒野に導いたエジプト人ではないのですか？」³⁹
パウロは言いました、「私はキリキアのタルソス出
身のユダヤ人で、無名ではない都市の市民です。ど
うか、民に話をさせてください。」⁴⁰
許可を受けた後、パウロは階段に立ち、手で人々に
合図しました。大きな静けさが訪れたとき、彼はヘ
ブライ語の方言で彼らに話しました。

22 「兄弟たち、父たちよ、今あなたがたに申
し上げる私の弁明を聞いてください。」²
彼らが彼にヘブライ語の方言で話している
のを聞いたとき、さらに静かになった。そして彼は
言った。³
「私はユダヤ人で、キリキアのタルソスで生まれま
したが、この町で育ちました。私はガマリエルの下
で、私たちの祖先の律法に厳格に従って教育を受け
、今日あなたがた全員がそうであるように、神に対
して熱心でした。」⁴
私はこの道を容赦なく追い求め、男も女も縛り上げ
て牢に入れました。」⁵
大祭司と長老会全体が証しできます。私は彼らから
ダマスコにいる仲間への手紙を受け取り、そこに行
って、そこにいる者たちをもエルサレムに連れて行
き、罰を受けさせるために行きました。
⁶

「しかし、私が旅をしていて、正午ごろダマスコに
近づいたとき、突然、天から非常に明るい光が私を
囲みました。」⁷
それから私は地に倒れ、『サウロ、サウロ、なぜ私
を迫害するのか？』と言う声を聞きました。⁸
私は尋ねました、『主よ、あなたはどなたですか？
』
すると答えがありました、『私はナザレのイエスで
あり、あなたが迫害している者です。』⁹
私と共にいた者たちは光を見ましたが、私に話して
いる者の声を理解しませんでした。¹⁰
そして私は言いました、『主よ、私は何をすべきで
すか？』
すると主は私に言われました、『立ち上がってダマ
スコに行きなさい。そこであなたがすべきことがす
べて告げられるでしょう。』¹¹
その光の明るさのために見るのができなかったの
で、私は共にいた者たちに手を引かれてダマスコに
入りました。

12
「さて、アナニヤという人がいて、律法の基準に従
って敬虔で、そこに住むすべてのユダヤ人から評判

の良い人でした。¹³
彼は私のところに来て、近くに立って私に言いま
した、『兄弟サウロ、視力を取り戻しなさい！』
そしてその瞬間、私は彼を見上げました。¹⁴
彼は言いました、『私たちの祖先の神は、あなたに
彼の意志を知り、義なる者を見、彼の口からのメッ
セージを聞くように定められました。』¹⁵
あなたは彼のために、あなたが見たことと聞いたこ
とをすべての人々に証しするでしょう。¹⁶
今、なぜ遅れるのですか？
立ち上がり、バプテスマを受け、彼の名を呼んであ
なたの罪を洗い流しなさい。』

17
「私がエルサレムに戻り、神殿で祈っていると、幻
に陥りました。」¹⁸
そして彼が私に言うのを見ました、『急いでエルサ
レムを早く去りなさい。彼らは私についてのあなたの
証しを受け入れないからです。』¹⁹
私は言いました、『主よ、彼ら自身が知っているよ
うに、私はあなたを信じる者たちを次々と会堂で投
獄し、打ちました。』²⁰
そしてあなたの殉教者ステパノの血が流されている
とき、私はそこにいて、それを承認し、彼を処刑す
る者たちの衣服を見守っていました。』²¹
すると彼は私に言いました、『行きなさい！
私はあなたを遠く異邦人のもとに遣わすのです。』

22
彼らはこの言葉まで彼の話聞いていましたが、そ
の後、声を上げて言いました、「このような者を地
上から取り去れ、彼は生きること許されるべきで
はない！」²³
彼らが叫び、衣を脱ぎ、空中に塵を投げているとき
、²⁴
司令官は彼を兵舎に連れて行くよう命じ、なぜ彼ら
がそのように彼に対して叫んでいるのか理由を知る
ために鞭打ちで尋問するように言いました。²⁵
しかし、彼を革ひもで縛り上げたとき、パウロはそ
ばに立っている百人隊長に言いました、「判決を受
けていないローマ市民を鞭打つことは合法ですか？
』²⁶
百人隊長がこれを知ると、司令官のところに行き報
告しました、「あなたは何をしようとしているので
すか？ この人はローマ市民です。」²⁷
司令官は来てパウロに尋ねました、「言ってみな
さい、あなたはローマ市民ですか？」
彼は「はい」と言いました。²⁸
司令官は答えました、「私は多額の金を払ってこの
市民権を得ました。」

使徒の働き

パウロは言いました、「しかし、私は実際に生まれながらの市民です。」²⁹

したがって、彼を尋問しようとしていた者たちはすぐに彼から離れました。そして司令官もまた、彼がローマ市民であり、彼を鎖につないだことを知って恐れました。

30

翌日、ユダヤ人がパウロを告発した理由を確かめたいと思い、彼を解放し、大祭司と全ての議會を召集し、パウロを連れてきて彼らの前に置きました。

23 パウロは議會をじっと見つめて言った。「兄弟たちよ、私は今日まで神の前で良心に従って行動してきました。」²

すると、大祭司アナニヤは、そばに立っている者たちに、パウロの口を打つよう命じた。³

パウロは言い返した。「神があなたを打たれるでしょう、白く塗られた壁よ！あなたは律法に従って私を裁くために座っているのに、律法に違反して私を打つよう命じるのですか！」⁴

そばにいた者たちは言った。「あなたは神の大祭司に対してそのように言うのですか？」⁵

パウロは答えた。「兄弟たちよ、彼が大祭司であることを私は知りませんでした。『あなたの民の指導者を悪く言うてはならない』と書かれているからです。」

6

パウロは、ある者がサドカイ派で、他の者がパリサイ派であることを見て、議會で叫んだ。「兄弟たちよ、私はパリサイ派の者で、パリサイ派の子孫です。私は死者の復活の希望について裁かれているのです。」⁷

彼がこれを言うと、パリサイ派とサドカイ派の間に争いが生じ、集会は分裂した。⁸

（サドカイ派は復活も天使も霊もないと言い、パリサイ派はそれらすべてを認めている。）⁹

大騒ぎが起り、パリサイ派の一部の律法学者たちが立ち上がり、激しく論じて言った。「この人には何の罪も見当たりません。もし霊や天使が彼に語ったとしたらどうでしょうか？」¹⁰

争いが激しくなり、指揮官はパウロが彼らによって引き裂かれるのではないかと恐れ、兵士たちに命じて、彼を力ずくで連れ出し、兵營に連れて行くように命じた。

11

その夜、主がパウロに現れて言われた。「勇気を出さない！あなたがエルサレムで私について証言し

るように、ローマでも証言しなければなりません。」

12

翌朝、ユダヤ人の一団が陰謀を企て、パウロを殺すまで食べたり飲んだりしないと誓った。¹³

この陰謀には四十人以上が加わっていた。¹⁴

彼らは祭司長たちと長老たちのところに行き、「私たちはパウロを殺すまで何も食べない」と厳粛に誓いました。¹⁵

今、あなた方と議會は、彼の事件をもっと詳しく調べるふりをして、彼をあなた方のところに連れて来るよう指揮官に請願すべきです。私たちは彼が到着する前に彼を殺す準備ができています。」

16

しかし、パウロの姉妹の息子がこの待ち伏せを聞きつけ、兵營に入り、パウロに知らせた。¹⁷

パウロは百人隊長の一人を呼び、「この若者を指揮官のところに連れて行ってください。彼には報告することがあります。」と言った。¹⁸

そこで、百人隊長は彼を指揮官のところに連れて行き、「囚人のパウロが私を呼び、この若者をあなたのもとに連れて行くように頼みました。彼にはあなたに伝えることがあります。」と言った。¹⁹

指揮官は彼の手を取り、脇に連れて行き、個人的に尋ねた。「私に報告することは何ですか？」²⁰

彼は言った。「ユダヤ人たちは、明日パウロを議會に連れて来るように頼むことで合意しました。彼についてもっと詳しく調べるつもりです。」²¹

彼らに説得されないうでください。四十人以上が彼を待ち伏せしており、彼を殺すまで何も食べたり飲んだりしないと誓っています。彼らは今、あなたの同意を待っています。」²²

指揮官は若者を解放し、「私にこれを報告したことを誰にも言わないように。」と指示した。

23

それから彼は二人の百人隊長を呼び、「夜の三時にカイサリアに行くために、二百人の兵士、七十人の騎兵、二百人の槍兵を準備しなさい。」と指示した。²⁴

「パウロを安全に総督フェリクスのもとに連れて行くために馬を用意しなさい。」

25 彼は次の内容の手紙を書いた。²⁶

「クラウドゥス・リュシアスから、尊敬すべき総督フェリクスへ。ご挨拶申し上げます。」²⁷

この男はユダヤ人たちに捕らえられ、彼らによって殺されそうになっていましたが、彼がローマ市民であることを知って、私は兵士たちと共に介入し、彼

使徒の働き

を救いました。²⁸
彼に対する告発の根拠を確認したいと思い、彼を彼らの議会に連れて行きました。²⁹
彼が彼らの律法に関する問題で告発されていることを知りましたが、死刑や投獄に値する罪はありませんでした。³⁰
彼に対する陰謀を知らされたとき、私は直ちに彼をあなたのもとに送り、彼の告発者たちにあなたの前で彼に対する訴えを述べるよう命じました。」

³¹
兵士たちは命令に従い、パウロを連れて夜にアンティパトリスに行った。³²
翌日、彼らは騎兵を彼と共に続けさせ、自分たちは兵営に戻った。³³
騎兵がカイサリアに到着すると、彼らは手紙を総督に渡し、パウロを引き渡した。³⁴
総督は手紙を読んで、パウロがどの州から来たのかを尋ねた。彼がキリキヤから来たことを知ると、³⁵
彼は言った。「あなたの告発者たちが到着したときに、あなたの事件を聞きましょう。」それから彼はパウロをヘロデの官邸で監視下に置くよう命じた。

24 五日後、大祭司アナニヤは長老たちと弁護士²のテルツロと共にカイサリアに下り、総督に対してパウロを告発した。

パウロが召喚されると、テルツロは告発を始め、総督に言った。「あなたの下で大いなる平和を享受し、あなたの先見の明によってこの国に改革がもたらされました。³
あらゆる面において、そしてどこにおいても、最も優れたフェリクス様、私たちはこれを心から感謝しております。⁴
しかし、これ以上あなたを煩わせないように、どうかあなたの親切によって短くお聞きいただければと思います。⁵
私たちはこの男が公衆の脅威であり、世界中のユダヤ人の間で騒動を引き起こし、ナザレ派の首謀者であることを発見しました。⁶
彼は神殿を冒流しようとさえしましたので、私たちは彼を捕らえました。⁷
[そして私たちは彼を私たちの法律に従って裁こうとしました]⁸
あなた自身が彼を調べることによって、私たちが彼に対して持ち出しているこれらすべての告発の真実を確認することができますでしょう。」⁹
他のユダヤ人たちもこの告発に加わり、これらのことが事実であると主張しました。

¹⁰
総督が彼に話すようにうなずくと、パウロは答えま

した。「私はあなたが長年この国の裁判官であることを知っています。それゆえ、喜んで私の弁護を行います。¹¹
私が礼拝のためにエルサレムに上ったのは十二日以上前ではないことを確認できます。¹²
彼らは神殿で誰かと争っている私を見つけたわけではなく、会堂や市内のどこでも群衆を煽動しているわけでもありません。¹³
また、彼らが今私に対して行っている告発をあなたに証明することもできません。¹⁴
しかし、私は私たちの先祖の神を「道」に従って礼拝していることを告白します。彼らはこれを派と呼びますが、私は律法と預言者書に書かれているすべてを信じています。¹⁵
そして、私は義人と悪人の両方の復活があるという神への希望を共有しています。¹⁶
このことを考慮して、私は常に神と人の前で清い良心を保つよう努めています。

¹⁷
数年後、私は私の国に慈善の贈り物を持ってきて、捧げ物を捧げるために来ました。¹⁸
私は儀式的に清められた状態で、群衆や騒動もなく神殿の境内でこれを行っているときに見つかりました。しかし、アジアから来たユダヤ人がいました—¹⁹

彼らはここに来て、もし私に対して何かがあるなら告発すべきです。²⁰
または、私が評議会の前に立ったときに彼らが私に見つけた罪をここにいる人たちに述べさせてください—²¹
ただし、私が彼らの間に立って叫んだこの一つの声明を除いては：「私は今日あなたの前で死者の復活に関して裁判を受けているのです。」」

²²
その後、「道」についてかなり正確な知識を持っていたフェリクスは、手続きを延期しました。「司令官リュシアが来たときに、私はあなたの事件を決定します」と彼は言いました。²³
彼は百人隊長にパウロを拘留するよう命じましたが、彼にある程度の自由を与え、彼の友人たちが彼の必要を満たすのを妨げないようにしました。

²⁴
数日後、フェリクスはユダヤ人の妻ドルシラと共に到着しました。彼はパウロを呼び、キリスト・イエスへの信仰について話を聞きました。²⁵
パウロが義と節制、そして来るべき裁きについて話すと、フェリクスは恐れを抱き、「今はもう十分です！あなたは退席してよい。都合が良くなったら呼

使徒の働き

びます。」と言いました。²⁶
同時に、彼はパウロが金を提供することを期待していたので、頻繁に彼を呼び出して話をしました。²⁷
二年が過ぎた後、フェリクスはボルキウス・フェストゥスに後を継がれましたが、フェリクスはユダヤ人に恩恵を与えたいと思っていたため、パウロを監禁したままにしました。

25 フェストゥスは州に到着して数日後、カイサリアからエルサレムに行った。²
すると、大祭司たちとユダヤ人の指導者たちがパウロを訴え、フェストゥスに懇願した。³
彼らはパウロに対する好意を求め、彼をエルサレムに連れてくるように頼んだが、その途中で彼を殺すための待ち伏せを計画していた。⁴
フェストゥスは、パウロがカイサリアに拘留されており、自分もすぐに出発するつもりであると答えた。⁵
。彼は言った、「あなたがたの中で有力な者たちが私と一緒に来て、その人に何か不正があるなら、そこで訴えを起こしなさい。」

⁶
彼らと八日か十日過ぎた後、フェストゥスはカイサリアに下った。翌日、彼は裁判席に座り、パウロを彼の前に連れてくるよう命じた。⁷
パウロが到着すると、エルサレムから来たユダヤ人たちが彼の周りに立ち、多くの重大な訴えをしたが、証明することはできなかった。⁸
パウロは自分を弁護して言った、「私はユダヤの律法、神殿、またはカエサルに対して何も悪いことをしていません。」⁹
フェストゥスはユダヤ人に好意を示したいと思い、パウロに尋ねた、「これらの訴えについて私の前でエルサレムに行行って裁判を受けることを望みますか？」¹⁰
パウロは答えた、「私はカエサルの裁判席の前に立っており、そこで裁かれるべきです。私はユダヤ人に対して何も悪いことをしていません、あなたもよく知っている通りです。¹¹
もし私が有罪で死に値することをしたなら、死を拒みません。しかし、私に対する訴えが真実でないなら、誰も私を彼らに引き渡す権利はありません。私はカエサルに上訴します！」¹²

フェストゥスは評議会と相談した後、「あなたはカエサルに上訴したので、カエサルのもとに行くことになる」と宣言した。

¹³
数日後、アグリッパ王とベルニケがフェストゥスを訪問するためにカイサリアに到着した。¹⁴

彼らがそこに多くの日を過ごしていたので、フェストゥスは王とパウロの事件について話し、「フェリクスが残した囚人がいます。」¹⁵

私がエルサレムにいたとき、大祭司たちとユダヤ人の長老たちが彼を訴え、死刑判決を求めました。¹⁶
私は彼らに、告発者と対面し、訴えに対して自分を弁護する機会を持たずに誰かを引き渡すのはローマの習慣ではないと伝えました。¹⁷

彼らが私と一緒にここに来たとき、私は遅れることなく、翌日裁判を開き、その人を連れてくるよう命じました。¹⁸

告発者たちが立ち上がったとき、彼らは私が予想していた犯罪で彼を訴えませんでした。¹⁹

むしろ、彼らは彼自身の信仰と死んだイエスについて、パウロが生きていると主張したことについての論点を持っていました。²⁰

私はそのような問題を調査する方法がわからず、彼がエルサレムに行行ってそこで裁判を受けることを望むか尋ねました。²¹

しかし、パウロが皇帝の決定を求めて上訴したとき、私は彼をカエサルに送るまで拘留するよう命じました。²²

アグリッパはフェストゥスに言った、「私自身でその人を聞きたい。」フェストゥスは答えた、「明日、あなたは彼を聞くことになるでしょう。」

²³
翌日、アグリッパとベルニケは大いなる威厳をもって来て、高位の軍事指導者たちや市の有力者たちと共に聴衆の部屋に入った。フェストゥスの命令で、パウロが連れて来られた。²⁴

フェストゥスは言った、「アグリッパ王、そしてここにいる皆さん、この人について、エルサレムでもここでも、彼がもう生きるべきではないと叫んでいるユダヤ人全体が私に訴えました。²⁵

私は彼が死に値することを何もしていないと判断しましたが、彼が皇帝に上訴したので、彼をローマに送ることに決めました。²⁶

しかし、彼について陛下に書くべき確かなことが何もありません。したがって、私は彼を皆さんの前に、特にアグリッパ王の前に連れてきました。この調査の後、何か書くべきことがあるかもしれません。²⁷

囚人をローマに送るのに、彼に対する訴えを明示しないのは不合理に思えるからです。」

26 するとアグリッパはパウロに言った。「自分のために話すことを許されている。」そこでパウロは手を振って弁明を始めた。²
「アグリッパ王よ、今日、ユダヤ人によって私に対

使徒の働き

してなされたすべての告発について、あなたの前で
弁明できることを幸運に思います。

特に、あなたがユダヤの習慣や問題に精通している
ので、どうか忍耐強く私の話をお聞きください。

「私の若い頃からの生活については、私の国とエル
サレムで過ごしたことを、すべてのユダヤ人が知っ
ています。

彼らは私を長い間知っており、証言する気があれば
、私が私たちの宗教の最も厳格な派、パリサイ人と
して生きてきたことを知っています。

そして今、私は私たちの先祖に神が約束された希望
のために裁判にかけられています。

これは、私たちの十二部族が昼も夜も熱心に神に仕
えることで達成しようと望んでいる約束です。この
希望のために、王よ、私はユダヤ人によって告発さ
れています。

なぜ、神が死人をよみがえらせることをあなたがた
の誰も信じられないと思うのでしょうか？

「私もまた、ナザレのイエスの名に反対するために
できる限りのことをすべきだと確信していました。

そして、まさにそのことをエルサレムで行いました
。大祭司たちの権威のもとに、多くの聖徒を投獄し
、彼らが死刑にされるときには、私は彼らに反対す
る投票をしました。

私はしばしばすべての会堂で彼らを罰し、冒涇を言
わせようとしました。極度の怒りの中で、私は外国
の都市にまで彼らを追いかけました。

「このことに従事している間に、大祭司たちの権威
と委任を受けてダマスコに向かっていました。

正午ごろ、王よ、私は太陽よりも明るい天からの光
が私と一緒に旅をしていた者たちの周りに輝くのを
見ました。

私たちは皆地面に倒れ、私はヘブライ語で私に話し
かける声を聞きました。『サウロ、サウロ、なぜ私
を迫害するのか？あなたにとって突き棒を蹴るのは
難しい。』

私は尋ねました、『王よ、あなたは誰ですか？』す
ると主は答えました、『私はあなたが迫害している
イエスである。』

しかし、立ち上がって足に立ちなさい。私はあなた
に現れ、あなたを僕とし、あなたが見たこととこれ
から示すことの証人として任命するために現れたの
です。

私はあなたを自分の民と異邦人から救い出します。
私はあなたを彼らに送ります。

彼らの目を開き、暗闇から光へ、サタンの力から神
へと立ち返らせ、私に対する信仰によって聖別され
た者たちの中に罪の赦しと場所を受けるためです。

「それで、アグリッパ王よ、私は天からの幻に従順
でした。

まずダマスコの人々に、次にエルサレムとユダヤ全
土の人々に、そして異邦人に、彼らが悔い改めて神
に立ち返り、その行いによって悔い改めを示すべ
きだと宣べ伝えました。

これが理由で、あるユダヤ人たちは私を神殿で捕ら
え、殺そうとしました。

しかし、神は今日まで私を助けてくださり、私はこ
こに立つて、小さな者にも大きな者にも証言し、預
言者たちとモーセが起ると言ったこと以外は何も
言っていません。

それは、メシアが苦しみを受け、死人の中から最初
に復活し、自分の民と異邦人に光を宣べ伝えるとい
うことです。」

この時点で、フェストゥスはパウロの弁明を遮り、
大声で言いました。「パウロ、あなたは正気を失っ
ている！あなたの多くの学びがあなたを狂わせてい
る。」

しかし、パウロは答えました。「私は狂っていません
、最も優れたフェストゥスよ、しかし真実と理性の
言葉を話しています。

王はこれらのことを知っており、私は彼に自信を持
って話しています。これが隅で行われたことではな
いので、彼の注意を逃れていないと確信しています。

アグリッパ王よ、あなたは預言者たちの言葉を信じ
ますか？私はあなたが信じていることを知っていま
す。」

するとアグリッパはパウロに言いました。「こんな
短い時間で私をキリスト者に説得できると思います
か？」

パウロは答えました。「短い時間であれ長い時間で
あれ、私は今日私の話を聞いているすべての人が、
これらの鎖を除いて私になることを神に祈り
ます。」

王は立ち上がり、総督とベルニク、および彼らと共
に座っていた者たちも立ち上がりました。

彼らが部屋を出た後、彼らは互いに話し合い始め、
「この人は死刑や投獄に値することを何もしてい
ない。」と言いました。

使徒の働き

アグリッパはフェストゥスに言いました。「この人はカエサルに上訴しなければ、自由にされていたかもしれない。」

27 イタリアへ航海することが決まったとき、パウロと他の囚人たちは、アウグスタ隊の百人隊長ユリウスに引き渡されました。²

私たちはアドラミテオンの船に乗り込み、アジア沿岸の港々へ向かうことになり、テサロニクから来たマケドニア人アリストアルコが同行しました。³

翌日、私たちはシドンに到着しました。ユリウスはパウロに親切を示し、友人たちのもとに行って世話を受けることを許しました。⁴

そこから再び出航し、風が逆らっていたため、キプロスの陰を通して航行しました。⁵

キリキアとパンフィリアの沿岸を航海した後、私たちはルキアのミラに到着しました。⁶

そこで百人隊長はイタリア行きのアレクサンドリア船を見つけ、私たちをその船に移しました。⁷

私たちは何日もかけてゆっくりと進み、クニドス沖にたどり着きました。風が進むことを許さなかったので、クレタの陰を通してサルモネ沖を航行しました。⁸

私たちは難航しながら沿岸を進み、ラセアの町に近いフェアヘブンズと呼ばれる場所に到着しました。⁹

多くの時間が失われ、航海が危険になった後、すでに贖罪の日を過ぎていたため、パウロは彼らに警告し始めました。¹⁰

「皆さん、この航海は貨物と船だけでなく、私たちの命にも損害と大きな損失をもたらすと私は感じています。」¹¹

しかし、百人隊長はパウロの言葉よりも、船長と船主の意見を信じました。¹²

港が冬を過ごすのに適していなかったため、多数の者が出航を決め、南西と北西を向いたクレタの港フェニックスに到達して冬を過ごすことを望みました。¹³

南風が穏やかに吹き始めたとき、彼らは目的を達成したと思い、錨を上げてクレタ沿岸を航行しました。¹⁴

しかし、まもなく、ノルエスターと呼ばれる激しい風が島から吹き下ろしました。¹⁵

船は嵐に捕まり、風に向かって進むことができず、私たちはそれに任せて流されました。¹⁶

カウダという小さな島の陰を通ったとき、私たちは船のボートを確保するのにやっとの思いでした。¹⁷ それを船に引き上げた後、彼らは船を補強するため

にローブを使いました。シルティスの砂州に乗り上げることを恐れ、海錨を下ろして船を流されるままにしました。¹⁸

翌日、嵐に激しく揺さぶられたため、彼らは貨物を投げ捨て始めました。¹⁹

三日目には、彼らは自らの手で船の装備を捨てました。²⁰

何日も太陽も星も見えず、嵐が続いたとき、私たちはついに救われる希望を完全に失いました。²¹

彼らが長い間食事を取らずにいた後、パウロは彼らの中に立って言いました。「皆さん、クレタから出航しないようにという私の忠告に従っていれば、この損害と損失を避けられたでしょう。²²

しかし今、私はあなたたちに勇気を出すよう勧めます。あなたたちの中で一人も失われることはありません。ただし、船だけは失われます。²³

私が属し、仕えている神の御使いが夜に私のもとに来て、²⁴

『恐れるな、パウロ。あなたはカエサルの前に立たなければならない。そして、神はあなたと一緒に航海しているすべての者の命を恵みによって与えた。』²⁵

だから、皆さん、勇気を出してください。私は神を信じています。それは彼が私に言った通りに起こるでしょう。²⁶

それでも、私たちは何らかの島に乗り上げなければなりません。」

27 **14**日目の夜、私たちがアドリア海を流されていると、真夜中に船員たちは陸地に近づいていると感じました。²⁸

彼らは測深を行い、水深が**20**ファズムであることを確認しました。しばらくして再び測深を行うと、水深は**15**ファズムでした。²⁹

岩に乗り上げることを恐れ、彼らは船尾から**4**つの錨を下ろし、夜明けを待ちました。³⁰

船員たちは船から逃げようとし、船首から錨を下ろすふりをして船のボートを海に下ろしました。³¹

そのとき、パウロは百人隊長と兵士たちに言いました。「これらの者が船に留まらなければ、あなたたちは救われません。」³²

そこで兵士たちは船のボートをつなぐローブを切り、それを流しました。³³

夜明け前、パウロは皆に食事を取るよう勧めました。「過去**14**日間、あなたたちは絶え間ない緊張の中で食事を取らず、何も食べていませんでした。³⁴

使徒の働き

今、私はあなたたちに食事を取るよう勧めます。それはあなたたちの生存に必要です。あなたたちの中で一人も髪の毛一本失うことはありません。」³⁵
これを言った後、彼はパンを取り、皆の前で神に感謝を捧げ、それを裂いて食べ始めました。³⁶
皆は勇気を得て、食事を取りました。³⁷
合計で、私たちは船に276人いました。³⁸
彼らが満腹になると、船を軽くするために小麦を海に投げ捨てました。

³⁹
夜が明けると、彼らは陸地を認識しませんでした。が、砂浜のある湾を見つけ、そこに船を乗り上げる計画を立てました。⁴⁰
錨を切り離して海に残し、同時に舵をつないでいたロープを解きました。そして、彼らは風に向かって前帆を上げ、浜に向かいました。⁴¹
しかし、船は砂州に乗り上げて座礁しました。船首はしっかりと動かず、船尾は波の激しい打撃で砕けました。⁴²
兵士たちは囚人たちが泳いで逃げるのを防ぐために彼らを殺そうとしました。⁴³
しかし、百人隊長はパウロの命を救いたいと思い、彼らの計画を阻止しました。泳げる者はまず海に飛び込んで陸に上がるよう命じました。⁴⁴
残りの者は板や船の一部に乗って続けました。このようにして、全員が無事に陸に到着しました。

28 私たちが安全に到着すると、その島がマルタと呼ばれていることがわかりました。²
島の人々は私たちに驚くべき親切を示しました。彼らは火を焚いて、雨が降って寒かったので、私たち全員を歓迎してくれました。³
パウロが薪の束を集めて火にくべたとき、熱に迫われた毒蛇が彼の手に噛みつきました。⁴
島の人々は彼の手にぶら下がっている蛇を見て、「この人は確かに殺人者だ。海からは逃れたが、正義は彼を生かしておくことを許さなかった」と互いに言いました。⁵
しかし、パウロはその蛇を火に振り落とし、何の害も受けませんでした。⁶
人々は彼が腫れ上がるか突然死ぬのを期待していましたが、長い間待っても彼に何も異常が起こらないのを見て、考えを変え、彼を神だと宣言しました。

⁷
その近くには、島の主な役人であるポプリオの所有する屋敷がありました。彼は私たちを歓迎し、3日間にわたって寛大なもてなしをしてくれました。⁸
ポプリオの父は熱と赤痢で寝込んでいました。パウロは彼を訪れ、祈った後、彼に手を置いて癒しまし

た。⁹
この出来事の後、島の他の病人たちも来て癒されました。¹⁰
島の人々は私たちを多くの方法で称賛し、出航の準備が整ったとき、必要な物資を提供してくれました。¹¹
3か月後、私たちは島で冬を過ごしたアレクサンドリアの船に乗って出航しました。その船の船首には双子の神カストルとポルックスの像がありました。¹²

私たちはシラクサに到着し、そこで3日間滞在しました。¹³
そこから航海してレギオンに到着しました。翌日、南風が吹き始め、その翌日にはブテオリに到着しました。¹⁴
そこで、兄弟姉妹たちを見つけ、彼らが1週間私たちを泊めてくれました。そして、私たちはローマに到着しました。¹⁵
そこにいる兄弟姉妹たちは、私たちの到着を聞いて、アッピア街道のフォルムと三つの宿屋まで迎えに来てくれました。彼らを見て、パウロは神に感謝し、勇気を得ました。¹⁶
私たちがローマに到着したとき、パウロは一人で住むことを許され、兵士が彼を見張っていました。

¹⁷
3日後、パウロは現地のユダヤ人指導者たちを呼び集めました。彼らが集まったとき、彼は言いました。「兄弟たち、私は私たちの民や先祖の習慣に反することは何もしていないのに、エルサレムで逮捕され、ローマ人に引き渡されました。¹⁸
彼らは私を調べ、死に値する罪がないので、釈放しようとしていました。¹⁹
しかし、ユダヤ人が反対したため、私はカエサルに上訴せざるを得ませんでした。私の国に対して何か訴えがあったわけではありません。²⁰
このため、私はあなた方に会って話をすることを求めました。イスラエルの希望のために私はこの鎖につながれているのです。」²¹
彼らは答えました。「私たちはあなたについてユダヤから何の手紙も受け取っていませんし、ここに来た兄弟たちもあなたについて悪いことを報告したり話したりしていません。²²
しかし、私たちはあなたの意見を聞きたいと思います。この宗派については、至る所で人々が反対していることを知っています。」

使徒の働き

23

彼らはある日にパウロと会うことを決め、さらに多くの人々が彼の宿にきました。彼は朝から晩まで神の国について証しし、モーセの律法と預言者たちからイエスについて説得しようとしていました。

24

彼の言葉に納得する者もいましたが、信じようとしていない者もいました。

25

彼らは互いに意見が分かれ、パウロがこの最後の言葉を述べた後、去り始めました。「聖霊はイザヤ預言者を通してあなた方の先祖に正しく語りました。

26 言いました、

『この民に行って言え、
「あなたたちは聞いても理解せず、
見ても認識しないだろう。」
この民の心は鈍くなり、

27

彼らは耳でほとんど聞かず、
目を閉じてしまった。
さもなければ、彼らは目で見、
耳で聞き、心で理解して立ち返り、
私が彼らを癒すことができるのに。』

28

「したがって、この神の救いが異邦人に送られたことを理解しなさい。彼らは聞くでしょう。」

29

[彼がこれらのことを言ったとき、ユダヤ人たちは去り、彼らの間で大きな議論をしていました。] 30
パウロはそこに2年間、自分の借りた家に住み、訪れるすべての人を歓迎しました。 31
神の国を宣べ伝え、主イエス・キリストについて大胆に、妨げられることなく教えました。

ローマ人への手紙

1 キリスト・イエスの忠実な従者であり、使徒として任命され、神の福音のために選ばれたパウロ

それは、彼が聖なる聖書の中で預言者たちを通して長い間約束していたものであり、彼の御子についてであり、肉によればダビデの子孫であり、死者の中からの復活によって、聖なる霊に従って力を持って神の御子と宣言された、私たちの主イエス・キリスト。

彼を通して、私たちは恵みと使徒職を受け、すべての異邦人の中で彼の名のために信仰の従順をもたらすために受けました。

そして、あなた方もまた、イエス・キリストに属するように召された者たちの中にいます。

ローマで神に愛され、聖徒として召されたすべての人々へ：私たちの父なる神と主イエス・キリストからの恵みと平安がありますように。

まず第一に、あなた方すべてのために、あなた方の信仰が全世界に宣べ伝えられているので、イエス・キリストを通して私の神に感謝します。彼の御子の福音を宣べ伝えることにおいて、私の霊で仕えている神が、どれほど絶えずあなた方を思い出しているかの証人です。いつも祈りの中で、ついに神の御心によってあなた方のもとに行くことができるように願っています。

あなた方に会いたいと切に願っているのは、あなた方を強めるために何らかの霊的な賜物を分かち合いたいからです。

それは、私たちの信仰、あなた方の信仰と私の信仰によって互いに励まし合うためです。

兄弟姉妹たち、私はしばしばあなた方のもとに行こうと計画していましたが（今まで妨げられていました）、他の異邦人の中で収穫を得るように、あなた方の中でも収穫を得るためです。

私はギリシャ人にも非ギリシャ人にも、賢い者にも愚かな者にも義務があります。それゆえ、ローマにいるあなた方にも福音を宣べ伝えることを切に願っています。

私は福音を恥じていません。それは信じるすべての人にとっての救いのための神の力であり、まずユダヤ人に、次に異邦人にです。その中に神の義が啓示されています。それは信仰による義であり、初めから終わりまで信

仰によるものです。書かれているとおり、「義人は信仰によって生きる」。

神の怒りは、すべての不敬虔と不義に対して天から啓示されています。それは彼らが不義によって真理を抑えているからです。

なぜなら、神について知られていることは彼らに明らかであり、神がそれを彼らに明らかにされたからです。世界の創造以来、神の見えない性質—彼の永遠の力と神性—

は、作られたものを通して明確に認識され、理解されているので、人々には弁解の余地がありません。

彼らは神を知っているが、神として彼を敬わず、感謝もしませんでした。彼らの考えは無駄になり、愚かな心は暗くなりました。

彼らは知恵があると主張しながら、愚かになり不滅の神の栄光を、死すべき人間や鳥や動物や爬虫類に似た像と交換しました。

それゆえ、神は彼らを心の欲望に従って不浄に引き渡し、互いに体を汚すようにされました。彼らは神の真理を偽りと交換し、創造者よりも被造物を礼拝し、仕えました。彼は永遠に祝福されています。アーメン。

この理由で、神は彼らを恥ずべき情欲に引き渡されました。彼らの女も自然な関係を不自然なものと交換しました。

同様に、男も女との自然な関係を捨て、互いに対する情欲に燃えました。男は男と恥ずべき行いをし、その誤りに対する当然の報いを自分たちの中に受けました。

さらに、彼らは神の知識を保つ価値がないと考えたため、神は彼らを墮落した心に引き渡し、してはならないことを行わせました。

彼らはあらゆる種類の不義、悪、食欲、墮落で満たされています。彼らは嫉妬、殺人、争い、欺き、悪意に満ちています。彼らは陰口を言う者であり、中傷者であり、神を軽蔑する者であり、無礼であり、高慢であり、自慢する者であり、悪を行う方法を考え出し、親に従いません。

彼らは理解力、誠実さ、愛、慈悲を欠いています。彼らはこのような行動をする者が死に値するという

ローマ人への手紙

神の正しい命令を知っているが、それらを続けるだけでなく、それを行う者をも認めています。

2 それゆえ、他人を裁くあなた、誰であろうと、
弁解の余地はありません。あなたが他人を裁く
とき、あなた自身を罪に定めているのです。な
ぜなら、あなたも同じことをしているからです。 2
私たちは、そうしたことを行う者に対する神の裁き
が真理に基づいていることを知っています。 3

ですから、あなたはただの人間でありながら彼らを
裁き、同じことをしているとき、神の裁きを逃れる
と思いますか？ 4

それとも、神の慈愛、忍耐、寛容の富を軽んじて、
神の慈愛があなたを悔い改めに導くためのものであ
ることを理解していないのですか？ 5

しかし、あなたの頑固さと悔い改めない心のために
、あなたは神の義なる裁きが現れる怒りの日に、自
分のために怒りを積み上げています。 6

神は各人にその行いに応じて報います。 7

善を行うことに忍耐し、栄光、誉れ、不死を求める
者には、永遠の命を与えます。 8

しかし、自己中心的で真理を拒み、不義に従う者
には、怒りと憤りがあります。 9

悪を行うすべての人間には、苦しみと悩みがあり
ます。まずユダヤ人に、次にギリシヤ人に。 10

しかし、善を行うすべての人には、栄光、誉れ、平
和があります。まずユダヤ人に、次にギリシヤ人に
。 11 神は偏り見ることがないからです。

12
律法なしに罪を犯した者は皆、律法なしに滅び、律
法の下で罪を犯した者は皆、律法によって裁かれま
す。 13

神の前で義とされるのは、律法を聞くだけの者では
なく、律法を行う者です。 14

実際、律法を持たない異邦人が、自然に律法の要求
を行うとき、彼らは律法を持たなくても、自分自身
に対する律法となっています。 15

彼らは、律法の要求が彼らの心に書かれていること
を示しています。彼らの良心も証ししており、彼ら
の思いは時には彼らを責め、また時には彼らを弁護
します。 16

これは、神がキリスト・イエスを通して人々の秘密
を裁く日、私の福音が宣べ伝えるとおりに起こること
です。

17
さて、あなたがユダヤ人と名乗り、律法に頼り、神
を誇りに思うなら、 18
もしあなたが律法によって教えられているので、神
の御心を理解し、優れたものを承認するなら、 19

もしあなたが盲人の案内者、暗闇にいる者の光であ
ると確信しているなら、 20

愚かな者の教師、幼児の教師であると、律法に知識
と真理の具現があるからだとするなら— 21

それなら、他人を教えるあなたは、自分自身を教え
ないのですか？盗むなど説くあなたが、盗むのです
か？ 22

姦淫すると言うあなたが、姦淫するのですか？偶
像を憎むあなたが、神殿を略奪するのですか？ 23

律法を誇るあなたが、律法を破ることで神を侮辱す
るのですか？ 24

書かれているとおりです。「あなたたちのせいで、
神の名は異邦人の間で冒瀆されています。」 25

割礼は、あなたが律法を守るなら価値がありますが
、律法を破るなら、割礼を受けていないのと同じで
す。 26

ですから、割礼を受けていない者が律法の要求を守
るなら、彼らは割礼を受けた者と見なされないでし
ょうか？ 27

肉体的に割礼を受けていないが、律法を守る者は、
書かれた律法と割礼を持ちながら律法を破るあなた
を裁くでしょう。 28

外見上だけでユダヤ人である者がユダヤ人ではなく
、割礼も外見上、肉体的なものだけではありません
。 29

いいえ、内面的にユダヤ人である者がユダヤ人であ
り、割礼は心の割礼であり、霊によるもので、文字
によるものではありません。そのような者の称賛は
人からではなく、神からです。

3
それでは、ユダヤ人の利点は何でしょうか。ま
た、割礼の利益は何でしょうか。 2

あらゆる面で多くあります。まず第一に、彼ら
は神の言葉を託されているのです。 3

もしある者たちが信じなかったならばどうでしょう
か。彼らの不信仰が神の真実を無にするのでしょ
うか。 4

決してそんなことはありません！神は真実であり、
人は皆偽り者であるとされるべきです。それは次の
ように書かれている通りです。

「*それであなたは言葉において義とされ、
裁かれるときに勝利を得る。*」

5
しかし、もし私たちの不義が神の義を際立たせるな
ら、何とすべきでしょうか。神が私たちに怒りを
下すことは不正でしょうか。（私は人間的に言って
います。） 6

ローマ人への手紙

決してそんなことはありません！もしそうであれば、どうして神が世を裁くことができるでしょうか。

しかし、もし私の偽りによって神の真実が彼の栄光に増すなら、なぜ私はなおも罪人として裁かれるのでしょうか。

そして、なぜ「善が来るために悪を行おう」と言わないのでしょうか。私たちがそう言っている中傷されているように。彼らの非難は正当です。

それではどうでしょうか。私たちは何か優れているのでしょうか。決してそんなことはありません！私たちはすでに、ユダヤ人もギリシャ人も皆、罪の支配下にあると告発しました。

それは次のように書かれています。

「義人はいない、一人もない。」

理解する者はいない、神を求める者はいない。

皆が離れ去り、無価値となった。

善を行う者はいない、一人もない。」

「彼らの喉は開いた墓であり、
その舌で欺き続ける。」

「毒蛇の毒が彼らの唇にある。」

「彼らの口は呪いと苦々しきで満ちている。」

「彼らの足は血を流すのに違いない。」

破壊と苦悩が彼らの道にあり、

彼らは平和の道を理解せず、知らない。」

「彼らの目の前に神への畏れがない。」

今や、律法が言うことは、律法の下にある者たちに言われていることを私たちは知っています。それは、すべての口を閉じさせ、全世界が神に対して責任を負うためです。

したがって、律法の行いによっては、誰も神の前で義とされることはありません。律法によって罪の知識が来るからです。

しかし今や、律法とは別に、神の義が明らかにされ、律法と預言者によって証されました。

この義は、イエス・キリストへの信仰によって、信じるすべての人に与えられます。区別はありません。

すべての人が罪を犯し、神の栄光に達しないからです。

そして、すべての人がキリスト・イエスにある贖いによって、彼の恵みにより無償で義とされます。

神は、信仰によって受け入れられるように、キリストを贖いの犠牲として示されました。彼は、以前に犯された罪を罰せずに忍耐されたことによって、彼の義を示すためにこれを行いました。

彼は、現在の時に彼の義を示すためにこれを行います。

した。それは、彼がイエスへの信仰を持つ者を義とするために、正しい者であり、義とする者であるためです。

それでは、誇ることはどこにあるのでしょうか。それは排除されています。どのような律法によってですか。行いの律法によってですか。いいえ、信仰の律法によってです。

私たちは、人が律法の行いとは無関係に信仰によって義とされると考えています。

それとも、神はユダヤ人だけの神でしょうか。異邦人の神でもあるのではないのでしょうか。確かに、異邦人の神でもあります。

なぜなら、神はただ一人であり、割礼を受けた者を信仰によって、割礼を受けていない者を同じ信仰によって義とされるからです。

それでは、この信仰によって律法を無にするのでしょうか。決してそんなことはありません！むしろ、私たちは律法を確立します。

4 では、肉による私たちの先祖アブラハムがこの件で発見したことは何でしょうか。

もしアブラハムが行いによって義とされたのであれば、彼には誇るがありますが、それは神の前ではありません。

聖書は何と言っていますか。「アブラハムは神を信じ、それが彼の義とみなされた」とあります。

今、働く者にとって、賃金は贈り物としてではなく、当然のものとして計算されます。

しかし、働かない者で、不敬虔な者を義とする方を信じる者には、その信仰が義とみなされます。

ダビデもまた、行いとは別に神が義とみなす人の祝福について語っています。

7 「幸いなことよ、その不法が赦され、その罪が覆われた人々は。

8 主が罪を認めない人は幸いである。」

この祝福は割礼を受けた者だけのものですか、それとも無割礼の者にも及ぶのですか。私たちは、信仰がアブラハムに義とみなされたと言っています。

それはどのような状況でみなされたのですか。割礼を受けている時ですか、それとも無割礼の時ですか。それは割礼を受けている時ではなく、無割礼の時でした。

そして彼は、無割礼の時に信仰によって得た義の印として割礼のしるしを受けました。それは、彼が割礼を受けていない者であっても信じるすべての者の父となり、彼らにも義がみなされるためです。

そして彼はまた、割礼を受けた者の父でもあります。彼らは割礼を受けているだけでなく、私たちの父

ローマ人への手紙

アブラハムが割礼を受ける前に持っていた信仰の足跡をたどる者たちです。¹³

アブラハムとその子孫が世界の相続人となるという約束を受けたのは、律法によるのではなく、信仰による義によるのです。¹⁴

もし律法に頼る者たちが相続人であるなら、信仰は無効になり、約束は無効になります。¹⁵

なぜなら、律法は怒りをもたらすからです。そして、律法がないところには違反ありません。¹⁶

したがって、約束は信仰に基づいており、それが恵みによって成り立ち、アブラハムのすべての子孫に確実にされるためです。それは律法に属する者だけでなく、アブラハムの信仰を共有する者にも及びます。彼は私たちすべての父です。¹⁷

書かれているとおりです。「私はあなたを多くの国民の父とした。」彼は神の前で私たちの父です。その神は死者に命を与え、存在しないものと呼び出される方です。¹⁸

すべての希望に反して、アブラハムは希望を持って信じ、多くの国民の父となりました。それは彼に言われたとおりです。「あなたの子孫はこうになる。」¹⁹

彼は信仰において弱まることなく、自分の体を考えました。それは彼が約百歳であり、サラの胎が死んでいることを考慮してのことです。²⁰

それでも彼は神の約束について不信仰によってためらうことなく、信仰において強められ、神に栄光を帰しました。²¹

彼は神が約束されたことを成し遂げる力を持っていると完全に確信していました。²²

これが「それが彼に義とみなされた」とされる理由です。²³

「それが彼に義とみなされた」という言葉は、彼のためだけに書かれたものではありません。²⁴

それはまた、私たちのためにも書かれています。私たちは、主イエスを死者の中からよみがえらせた方を信じる者たちです。²⁵

彼は私たちの罪のために死に渡され、私たちの義のために生き返られました。

5 このようにして、信仰によって義とされているので、私たちは私たちの主イエス・キリストを通して神との平和を享受しています。²

彼を通して、私たちは信仰によってこの恵みにも入ることができ、この恵みの中に立ち続けています。そして、神の栄光の希望を喜んでいます。³

それだけでなく、私たちは苦難の中でも喜んでいきます。苦難が忍耐を生み出すことを知っているからです。⁴

そして、忍耐は練られた品性を生み出し、練られた

品性は希望を育みます。⁵

希望は私たちが失望させません。なぜなら、神の愛が私たちの心に注がれているからです。それは私たちに与えられた聖霊を通してです。⁶

私たちがまだ無力であったとき、ちょうどその時にキリストは不敬虔な者たちのために死なれました。⁷

正しい人のために死ぬ者はほとんどいませんが、良い人のためには誰かが死ぬことを敢えてするかもしれません。⁸

しかし、私たちがまだ罪人であったときにキリストが私たちのために死なれたことによって、神は私たちに対する愛を示されました。⁹

それならなおさら、今や彼の血によって義とされている私たちは、彼を通して神の怒りから救われるでしょう。¹⁰

もし私たちが敵であったときに彼の子の死を通して神と和解させられたのなら、和解させられた今、なおさら彼の命によって救われるでしょう。¹¹

そして、それだけでなく、私たちは私たちの主イエス・キリストを通して神を喜んでいきます。彼を通して今や和解を受けたのです。¹²

したがって、一人の人を通して罪が世界に入り、罪を通して死が入り、このようにして死がすべての人に広がったように、すべての人が罪を犯したからです。¹³

律法の前にも罪は世界にありましたが、律法がないときには罪は誰にも計算されません。¹⁴

それにもかかわらず、アダムからモーセまでの間、死は支配しました。アダムの違反のように罪を犯さなかった者たちにさえ、来るべき者の型であるアダムに似た者たちにも。¹⁵

しかし、賜物は違反のようではありません。もし一人の人の違反によって多くの者が死んだのなら、なおさら神の恵みと一人の人、イエス・キリストの恵みによる賜物は多くの者にあふれました。¹⁶

賜物は一人の人の罪の結果のようではありません。裁きは一つの罪に続いて非難をもたらしましたが、賜物は多くの違反に続いて義をもたらしました。¹⁷

もし一人の人の違反によって死がその一人を通して支配したのなら、なおさら恵みの豊かさと義の賜物を受ける者たちは、一人の人、イエス・キリストを通して命において支配するでしょう。¹⁸

したがって、一つの違反によってすべての人に非難がもたらされたように、一つの義の行為によってすべての人に義と命がもたらされました。¹⁹

一人の人の不従順によって多くの者が罪人とされたように、一人の人の従順によって多くの者が義とされるでしょう。²⁰

ローマ人への手紙

律法は違反が増えるために導入されました。しかし、罪が増したところには、恵みがさらに増しました。²¹
それは、罪が死において支配したように、恵みもまた義を通して支配し、私たちの主イエス・キリストを通して永遠の命をもたらすためです。

6 それでは、何と言いましょ。か。恵みが増すために罪にとどまるべきでしょうか。²

決してそんなことはありません！私たちは罪に死んだ者であるのに、どうしてなおもその中に生きることができのでしょうか。³
それとも、キリスト・イエスにバプテスマを受けた私たちが、彼の死にバプテスマを受けたことを知らないのですか。⁴

それゆえ、私たちはバプテスマによって彼と共に死に葬られたのです。それは、キリストが父の栄光によって死者の中からよみがえられたように、私たちも新しい命に歩むためです。⁵

もし私たちが彼の死の様に結び合わされているなら、彼の復活の様に結び合わされるでしょう。⁶

このことを知っているからです。私たちの古い自己は彼と共に十字架につけられたので、罪の体が無力にされ、私たちがもはや罪の奴隷でなくなるためです。⁷

死んだ者は罪から解放されています。⁸
もし私たちがキリストと共に死んだのなら、彼と共に生きることにも信じます。⁹

キリストは死者の中からよみがえられたので、もはや死ぬことはなく、死は彼を支配しません。¹⁰

彼は一度だけ罪に対して死にましたが、今は神に対して生きています。¹¹

同じように、あなたがたも自分を罪に対して死んだ者、神に対して生きている者と考へなさい。¹²

したがって、あなたがたの死ぬべき体に罪が支配して、その欲望に従うことがないようにしなさい。¹³

あなたがた自身を不義の器として罪に捧げるのではなく、死から命に移された者として神に捧げ、あなたがたのすべての部分を義の器として神に捧げなさい。¹⁴

罪はあなたがたを支配しません。あなたがたは律法の下ではなく、恵みの下にいますからです。¹⁵

それでは、どう結論づけるべきでしょうか。私たちは律法の下ではなく、恵みの下にいますからといって、罪を犯すべきでしょうか。決してそんなことはありません！¹⁶

あなたがたは、自分を誰かに従順な奴隷として捧げるとき、その従う者の奴隷であることを知らないのですか。それは死に至る罪の奴隷か、義に至る従順の奴隷です。¹⁷

しかし、神に感謝します。あなたがたは罪の奴隷で

あったのに、心から委ねられた教えの型に従うようになりました。¹⁸

あなたがたは罪から解放され、義の奴隷となりました。¹⁹

私はあなたがたの肉の弱さのために人間的な言い方をしています。あなたがたが以前、自分の体の部分を汚れと不法に奴隷として捧げたように、今はそれを義に奴隷として捧げ、聖化に至らせなさい。²⁰
あなたがたが罪の奴隷であったとき、義に対して自由でした。²¹

その時、今では恥じていることから何の利益を得ましたか。それらの終わりは死です。²²

しかし、今や罪から解放され、神の奴隷となったあなたがたは、聖化に至る利益を得、その結果は永遠の命です。²³

罪の報酬は死ですが、神の恵みの賜物は、私たちの主キリスト・イエスにおける永遠の命です。

7 兄弟たち（私は律法を知っている人々に話しています）、律法が人に対して権威を持つのは、

その人が生きている間だけだということを知らないのですか。²

例えば、結婚している女性は、夫が生きている間は法律によって夫に結ばれています。しかし、夫が死ねば、彼女は夫に結びつけていた律法から解放されます。³

したがって、夫が生きている間に他の男と一緒にいるなら、彼女は姦淫の女と呼ばれます。しかし、夫が死ねば、その律法から自由になるので、他の男と一緒にいても姦淫の女ではありません。⁴

ですから、兄弟たち、あなたがたもキリストの体を通して律法に対して死んだのです。それは、私たちが神のために実を結ぶために、死者の中からよみがえった方に属するためです。⁵

私たちが肉の領域にいたとき、律法によって引き起こされた罪深い情欲が私たちの中で働いて、死のために実を結んでいました。⁶

しかし今は、私たちが縛っていたものに対して死んだので、私たちは律法から解放され、古い文字の方法ではなく、霊の新しい方法で仕えるのです。⁷

それでは、何と言いましょ。か。律法は罪なのでしょ。か。決してそんなことはありません！むしろ、私は律法を通してでなければ罪が何であるかを知らなかったでしょう。律法が「むさぼってはならない」と言わなかったなら、むさぼりが何であるかを知らなかったでしょう。⁸

しかし、罪は戒めによって与えられた機会を利用して、あらゆる種類のむさぼりを私の中に生み出しました。律法がなければ、罪は死んでるのです。⁹
私はかつて律法なしに生きていましたが、戒めが来

ローマ人への手紙

たとき、罪が生き返り、私は死にました。¹⁰
命をもたらすはずの戒めが、実際には死をもたらす
ことがわかりました。¹¹

罪は戒めによって与えられた機会を利用して私を欺
き、それによって私を死に至らせました。¹²
したがって、律法は聖であり、戒めは聖であり、正
しく、良いものです。¹³

それでは、良いものが私にとって死になったのでし
ょうか。決してそんなことはありません！むしろ、
それは罪であり、良いものを通して私の死をもたら
すことによって罪として認識されるためであり、戒
めを通して罪が極めて罪深いものとなるためです。¹⁴

私たちは律法が霊的であることを知っていますが、
私は肉体的であり、罪の奴隷として売られています。¹⁵

私は自分の行動に混乱しています。私は自分がした
いことを行わず、むしろ嫌っていることを行ってい
るのです。¹⁶

そして、自分の欲望に反して行動するなら、律法が
良いものであることを認めています。¹⁷

現状では、それを行っているのはもはや私ではなく
、私の中に住んでいる罪です。¹⁸

私の中、つまり私の肉の中には良いものが住んでい
ないことを知っています。私は良いことをしたいと
いう願望を持っていますが、それを実行することが
できません。¹⁹

私はしたいと思っている良いことを行わず、むしろ
したくない悪を行い続けています。²⁰

もし私がしたくないことを行っているなら、それを
行っているのはもはや私ではなく、私の中に住んで
いる罪です。²¹

それで私はこの原則を見つけました。良いことをし
たいと思っているのに、悪が私と共にあるのです。²²

内心では、私は神の律法を喜んでいますが、²³
しかし、私の中で働いている別の律法を見ます。そ
れは私の心の律法に対して戦いを挑み、私を私の体
の中で働いている罪の律法の囚人にしています。²⁴

私はなんと苦しんでいるのでしょうか！この死に定め
られた体から私を救い出してくれるのは誰でしょう
か。²⁵

私たちの主イエス・キリストを通して私を救ってく
ださる神に感謝します！それで、私は心では神の律
法に仕えていますが、肉では罪の律法に仕えていま
す。

8したがって、今やキリスト・イエスにある者に
は何の罪の宣告もありません。²

キリスト・イエスにある命の御霊の法則が、罪
と死の法則からあなたを解放したからです。³

肉によって弱められたために律法が成し得なかった
ことを、神はご自身の御子を罪深い肉の姿で罪のた
めに送り、その肉において罪を宣告することによっ
て成し遂げました。⁴

それは、律法の正しい要求が、肉に従ってではなく
御霊に従って生きる私たちにおいて成就されるため
です。⁵

肉に従って生きる者は肉のことを考えますが、御霊
に従って生きる者は御霊のことを考えます。⁶

肉に支配された心は死ですが、御霊に支配された心
は命と平安です。⁷

肉に心を置くことは神に敵対することだからです。
それは神の律法に服従せず、また服従することもで
きません。⁸

肉に従って生きる者は神を喜ばせることができま
せん。⁹

しかし、もし神の御霊があなたの方の中に住んでい
るなら、あなた方は肉の領域にではなく御霊の領域に
います。キリストの御霊を持たない者は、彼に属し
ていません。¹⁰

しかし、もしキリストがあなたの方の中にいるなら、
体は罪のために死に定められていますが、御霊は義
のために命です。¹¹

そして、イエスを死者の中からよみがえらせた方の
御霊があなたの方の中に住んでいるなら、キリストを
死者の中からよみがえらせた方は、あなたの方の中
に住んでいる御霊を通して、あなたの方の死ねべき体
にも命を与えてくださいます。¹²

したがって、兄弟姉妹たち、私たちには義務があり
ますが、それは肉に従って生きるためのものではありません
。¹³

もし肉に従って生きるなら、あなた方は死に直面し
ます。しかし、御霊によって肉の行いを殺すなら、
あなた方は命を得ます。¹⁴

神の御霊に導かれる者は皆、神の子供です。¹⁵
あなた方は再び恐れに導く奴隷の霊を受けたのでは
なく、養子としての霊を受けたのです。それによっ
て私たちは「アバ、父」と叫びます。¹⁶

御霊ご自身が私たちの霊とともに、私たちが神の子
供であることを証ししています。¹⁷

そして、もし私たちが子供であるなら、相続人でも
ありません。

神の相続人であり、キリストと共同の相続人です。
もし私たちが彼の苦しみと共にあずかるなら、彼の
栄光にも共にあずかるためです。¹⁸

私は、現在の苦しみは、私たちに現れる栄光と比べ
るに値しないと考えます。¹⁹

被造物は神の子供たちの現れを熱心に待ち望んでい
ます。²⁰

ローマ人への手紙

被造物はその意志によらず、むしろそれを服従させた方の意志によって虚無に服従させられたのです。

21

それは、被造物自体が腐敗の束縛から解放され、神の子供たちの栄光の自由に入ることを望んでいるからです。

22

私たちは、全被造物が今に至るまで共にうめき、共に産みの苦しみをしていることを理解しています。

23

それだけでなく、御霊の初穂を持つ私たち自身も、内にうめきながら、養子としての身分、すなわち私たちの体の贖いを熱心に待ち望んでいます。

24

この希望によって私たちは救われました。しかし、見える希望は希望ではありません。誰がすでに見ているものを望むでしょうか？

25

しかし、まだ見ていないものを望むなら、忍耐をもつて待ちます。

26

同様に、御霊も私たちの弱さを助けてくださいます。私たちは何を祈るべきかを知りませんが、御霊ご自身が言葉にできないうめきをもって私たちのために取り成してくださいます。

27

そして、心を探る方は御霊の思いを知っています。御霊は神の御心に従って神の民のために取り成してくださるからです。

28

そして、神を愛する者たち、すなわち神の目的に従って召された者たちのために、神がすべてのことを共に働かせて益としてくださることを私たちは確信しています。

29

神は前もって知っておられた者たちをも、その御子の姿に似るように前もって定められました。それは、彼が多くくの兄弟姉妹の中で初子となるためです。

30

そして、前もって定められた者たちをも召し、召された者たちをも義とし、義とされた者たちをも栄光で飾られました。

31

これらのことに対して、私たちは何と言うべきでしょうか？神が私たちの味方であるなら、誰が私たちに対敵できるでしょうか？

32

ご自身の御子を惜しまず、私たちすべてのために彼をささげられた方が、どうして彼と共にすべてのものを恵んでくださらないのでしょうか？

33

神が選ばれた者たちに対して、誰が告発をするのでしょうか？義とされるのは神です。

34

それでは、誰が罪に定めるのでしょうか？誰もいません。死んでくださったキリスト・イエスが—

それ以上に、よみがえられた方が—

神の右に座しておられ、私たちのために取り成してくださっています。

35

誰がキリストの愛から私たちを引き離すのでしょうか？

か？苦難、または困難、または迫害、または飢え、または裸、または危険、または剣でしょうか？
聖書に書かれている通りです：

36

「あなたのために、私たちは一日中死に直面しています。

私たちは屠られる羊と見なされています。」

37

いいえ、これらすべてのことにおいて、私たちは私たちを愛してくださった方によって、より以上に勝利者とされています。

38

私は確信しています。死も生も、天使も支配者も、現在のものも未来のものも、どんな力も、高さも深さも、その他のどんな被造物も、私たちの主キリスト・イエスにある神の愛から私たちを引き離すことはできません。

39

9 私はキリストにあつて真実を語り、偽りを言っていない。私の良心も聖霊において私と共に証ししています。

2

私には大きな悲しみと絶え間ない心の痛みがあります。

3

私は自分自身が呪われてキリストから離されることを願うほどです。それは私の同胞、肉による私の親族のためです。

4

彼らはイスラエル人です。彼らには子としての養子縁組、栄光、契約、律法の授与、神殿の奉仕、約束があります。

5

彼らには父祖たちがあり、彼らから肉によればキリストが出てこられました。キリストはすべての上にある神であり、永遠に祝福されています。アーメン。

6

神の言葉が失敗したわけではありません。イスラエルから出た者がすべてイスラエルではないからです。

7

また、アブラハムの子孫だからといってすべての者が子供ではありません。「イスラエルから出る者があなたの子孫と呼ばれる」と言われています。

8

つまり、肉による子供が神の子供ではなく、約束の子供が子孫と見なされるのです。

9

この約束の言葉はこうです。「定められた時に私は来る、そしてサラには男の子が生まれる。」

10

それだけでなく、リベカも一人の人、私たちの父イスラエルによって双子を身ごもりました。

11

双子が生まれる前に、善悪を行う前に、神の選びの目的が立つために、

12

行いによらず、召す方によって、「兄が弟に仕える」と言われました。

13

聖書に表現されているように、「ヤコブを愛し、エサウを愛さなかった。」

14

ローマ人への手紙

何を結論づけるべきでしょうか。神に不正がありますか。絶対にそんなことはありません！¹⁵
彼はモーセに宣言しました、

「私は憐れむ者を憐れみ、
慈悲をかける者に慈悲をかける。」

¹⁶
したがって、それは人間の願望や努力によるのではなく、神の憐れみによるのです。¹⁷

聖書はファラオにこう言っています。「私はこの目的のためにあなたを立てた。それは私の力をあなたに示し、私の名が全地に宣言されるためである。」¹⁸

したがって、彼は憐れむ者を憐れみ、硬くする者を硬くします。¹⁹

それなら、あなたはこう言うかもしれません。「なぜ彼はまだ過ちを見つけるのですか。誰が彼の意志に逆らうことができるでしょうか。」²⁰

しかし、あなたは誰ですか、単なる人間が神に言い返すのですか。形成されたものが形成した者に、「なぜ私をこのように作ったのか」と言うのでしょうか。²¹

陶器師は同じ粘土の塊から特別な目的のための器と一般的な用途の器を形作る権限を持っていないのでしょうか。²²

もし神が、その怒りを示し、その力を知らしめるために、滅びのために準備された怒りの器を大いに忍耐して耐えたとしたらどうでしょうか。²³

もし彼が、栄光の富を憐れみの器に知らしめるために、彼が栄光のために前もって準備したとしたらどうでしょうか。²⁴

それには、彼が召した私たちも含まれます。ユダヤ人だけでなく、異邦人からもです。²⁵

彼がホセアで言われたように：

「私は『私の民ではない』者を『私の民』と呼び、
『愛されていない』者を『愛されている者』と呼ぶ。」²⁶
そして、「彼らに『あなたは私の民ではない』と言われた場所で、
彼らは『生ける神の子供』と呼ばれる。」

²⁷ イザヤはイスラエルについて宣言しています：

「たとえイスラエルの子孫の数が海の砂のようであっても、
残りの者だけが救われる。」²⁸
主は地上でその言葉を
徹底的かつ迅速に実行される。」

²⁹ そして、イザヤが以前に言ったように：

「もし全能の主が
私たちに子孫を残されなかったなら、
私たちはソドムのようになり、
ゴモラのようになっていただろう。」

³⁰

何を結論づけるべきでしょうか。義を追求しなかった異邦人が、信仰による義を得たということです。³¹

しかし、イスラエルは義の律法を追求しながら、その律法に達しませんでした。³²

なぜでしょうか。それは彼らが信仰によってではなく、行いによって追求したからです。彼らはつまずきの石につまずきました。³³

聖書が言っているように：

「見よ、私はシオンに人々をつまずかせる石を置く、
そして彼を信じる者は決して恥をかかない。」

10 兄弟たち、私の心の願いと彼らのための神への祈りは、彼らが救いを得ることです。²

私は彼らが神に対して熱心であることを証言できますが、それは知識に基づいていません。³

彼らは神の義を知らずに自分自身の義を立てようとし、神の義に従わなかったのです。⁴

キリストは律法の成就であり、信じるすべての人に義を与えられるためです。⁵

モーセは律法による義について書いています：「これらのことを行う人はそれによって生きる。」⁶

しかし、信仰による義はこう言います：「心の中で『誰が天に昇るのか？』と言ってはならない。」（それは、キリストを下ろすことです）⁷

または「『誰が深みに下るのか？』」（それは、キリストを死者の中から引き上げることです）。⁸

しかし、それは何と言っていますか？「言葉はあなたの近くにあり、あなたの口と心にある。」それは、私たちが宣べ伝えている信仰の言葉です。⁹

もしあなたが口で「イエスは主である」と認め、心で神が彼を死者の中からよみがえらせたと信じるなら、あなたは救われるでしょう。¹⁰

心で信じて義とされ、口で告白して救われるのです。¹¹

聖書は言います、「彼を信じる者は誰も恥をかかない。」¹²

ユダヤ人とギリシア人の間に区別はなく、同じ主がすべての人の主であり、彼を呼び求めるすべての人に豊かに祝福を与えます。¹³

「主の名を呼び求める者は皆、救われる。」¹⁴
では、彼らが信じていない者をどうして呼び求める

ローマ人への手紙

ことができるでしょうか？また、聞いたことのない者をどうして信じることができるでしょうか？そして、宣べ伝える者がいなければ、どうして聞くことができるのでしょうか？¹⁵

また、遣わされなければ、どうして宣べ伝えることができるのでしょうか？書かれている通りです：「良い知らせを伝える者の足はなんと美しいことでしょう！」¹⁶

しかし、すべての人が良い知らせに従ったわけではありません。イザヤは言います、「主よ、私たちの報告を信じた者は誰ですか？」¹⁷

それで、信仰は聞くことから生まれ、聞くことはキリストの言葉によるのです。¹⁸

しかし、私は尋ねます：彼らは聞かなかったのですか？確かに聞きました：

*「彼らの声は全地に響き渡り、
彼らの言葉は世界の果てまで届いた。」*

¹⁹ 再び私は尋ねます：イスラエルは理解しなかったのですか？まず、モーセは言います、

*「私は国でない者たちによってあなたを嫉妬させ、
理解のない国によってあなたを怒らせる。」*

²⁰ そしてイザヤは大胆に宣言します、

*「私を求めなかった者たちに見出され、
私を尋ねなかった者たちに自分を現した。」*

²¹ しかし、イスラエルについては、彼は言います、

*「一日中、私は反抗的で頑固な民に
手を差し伸べていた。」*

11 それでは、神はご自分の民を捨てられたのでしょうか。決してそんなことはありません！私もイスラエル人であり、アブラハムの子孫で、ベニヤミン族の者です。²

神は前もって知っておられたご自分の民を捨てられたのではありません。エリヤについて聖書が何と言っているか、あなたがたは知らないのですか。彼がイスラエルに対して神に訴えたことを。³

「主よ、彼らはあなたの預言者たちを殺し、あなたの祭壇を壊しました。私だけが残されましたが、彼らは私の命を求めています。」⁴

しかし、神の彼に対する答えは何だったのでしょうか。「私はバアルに膝をかがめていない七千人を自分のために残している。」⁵

同じように、今の時にも恵みによって選ばれた残りの者がいます。⁶

そして、もしそれが恵みによるのであれば、それは

もはや行いによるものではありません。さもなければ、恵みがもはや恵みではなくなります。⁷

ではどうでしょうか。イスラエルが熱心に求めたものは得られず、選ばれた者が得ました。他の者たちはかたくなにされました。⁸

それは次のように書かれているとおりです。

*「神は彼らに鈍い霊を与え、
見えない目と聞こえない耳を与えられた。
今日に至るまで。」*

⁹ そしてダビデは言います。

*「彼らの食卓は饕とわな、
つまずきの石と報いとなれ。
彼らの目は暗くされて見えなくなり、
彼らの背は常に曲がっていなさい。」*

¹¹

それでは、彼らはつまずいて倒れてしまったのでしょうか。決してそんなことはありません！しかし、彼らの罪過によって、救いが異邦人に及び、イスラエルをねたませるためです。¹²

今、彼らの罪過が世界の富となり、彼らの失敗が異邦人の富となるなら、彼らの満ちることはどれほどの富をもたらすでしょうか。¹³

私は異邦人であるあなたがたに話しています。私は異邦人への使徒である限り、私の務めを重んじます。¹⁴

もし何とかして、私の民をねたませ、彼らのうちの幾人かを救うことができるなら。¹⁵

彼らの拒絶が世界の和解となるなら、彼らの受け入れは死者の中からの命以外の何でしょうか。¹⁶

もし初穂が聖なるものであれば、全体も聖なるものであり、もし根が聖なるものであれば、枝もそうです。¹⁷

もし幾つかの枝が折られ、あなたが野生のオリーブの木であるにもかかわらず、その中に接ぎ木され、オリーブの根からの豊かな樹液を共に受けるようになったなら、¹⁸

その枝に対して誇ってはいけません。もし誇るなら、あなたが根を支えているのではなく、根があなたを支えていることを覚えておきなさい。¹⁹

あなたは言うかもしれませんが、「枝が折られたのは、私が接ぎ木されるためです。」²⁰

その通りです。彼らは不信仰のために折られ、あなたは信仰によって立っています。高ぶらずに、むしろ恐れなさい。²¹

神が自然の枝を惜しまなかったのなら、あなたをも惜しまないでしょう。²²

したがって、神の慈しみと厳しさを考えなさい。例

ローマ人への手紙

れた者には厳しさが、あなたには慈しみが示されています。ただし、その慈しみに留まるならです。さもなければ、あなたも切り落とされるでしょう。²³そして、彼らが不信仰に留まらなければ、彼らも接ぎ木されるでしょう。神は彼らを再び接ぎ木することができからです。²⁴もしあなたが自然に反して野生のオリーブの木から切り取られ、栽培されたオリーブの木に接ぎ木されたのであれば、自然の枝である彼らが自分のオリーブの木に接ぎ木されるのは、どれほど容易でしょうか。²⁵兄弟たち、この奥義をあなたがたに知らないでいてほしくありません。それは、あなたがたが自分を賢いと思わないためです。イスラエルは部分的にかたくなにされており、異邦人の満ちる時まで続くのです。²⁶そして、このようにして全イスラエルが救われるでしょう。次のように書かれているとおりです。

「救い主がシオンから来て、
ヤコブから不敬虔を取り除く。²⁷
そして、これが彼らと結ぶ私の契約です、
彼らの罪を取り除くとき。」

²⁸福音に関して言えば、彼らはあなたがたの益のために敵対者ですが、選びに関して言えば、先祖たちのゆえに愛されています。²⁹神の賜物と召しは変わることがありません。³⁰かつては神に不従順であったあなたがたが、今は彼らの不従順によって憐れみを受けたように、³¹彼らも今は不従順になっていますが、あなたがたへの神の憐れみによって、今や彼らも憐れみを受けるのです。³²神はすべての人を不従順の中に閉じ込めて、すべての人に憐れみを施すためです。

³³ああ、神の知恵と知識の富の深さよ！
その判断は測り知れず、その道は探りがたい。³⁴
「誰が主の心を知ったのか。
誰が主の助言者となったのか。」³⁵
「誰が神に何かを与えたのか、
神がそれを彼に返すべきだと。」³⁶
すべてのものは神から出て、神によって保たれ、
神のために存在します。
栄光が永遠に神にありますように。アーメン。

12 それゆえ、兄弟たちよ、神の憐れみによってあなたがたに勧めます。あなたがたの体を神に喜ばれる聖なる生ける供え物として捧げなさい。これがあなたがたの真実で霊的な礼拝

です。²
この世の型に従ってはいけません。むしろ、心を新たにすることで変えられなさい。そうすれば、神の御心が何であるか、すなわち、善であり、喜ばれ、完全である御心を見分けることができるようになります。³
私に与えられた恵みによって、あなたがた一人一人に言います。自分を過大評価してはいけません。むしろ、神が各自に分け与えられた信仰の尺度に应じて、慎み深く考えなさい。⁴
私たちが一つの体に多くの部分を持っているように、これらの部分はすべて同じ機能を持っているわけではありません。⁵
同様に、私たちはキリストにあって一つの体として結ばれ、各部分は他のすべての部分とつながっています。⁶
私たちはそれぞれに与えられた恵みに応じて異なる賜物を持っています。もしあなたの賜物が預言であるなら、信仰に应じて預言しなさい。⁷
もしそれが奉仕であるなら、奉仕しなさい。もしそれが教えることであるなら、教えなさい。⁸
もしそれが励ますことであるなら、励ましを与えなさい。もしそれが与えることであるなら、惜しみなく与えなさい。もしそれが導くことであるなら、勤勉に行いなさい。もしそれが慈悲を示すことであるなら、喜んで行いなさい。⁹
愛は偽りなく、偽善を離れ、悪を憎み、善にしっかりと結びつきなさい。¹⁰
兄弟愛をもって互いに深く愛し合い、互いに尊敬し合いなさい。¹¹
熱心さを欠かず、霊に燃えて、主に仕えなさい。¹²
希望を持って喜び、苦難に耐え、祈りに忠実でありなさい。¹³
聖徒たちの必要に貢献し、もてなしを実践しなさい。¹⁴
あなたがたを迫害する者を祝福しなさい。祝福し、呪ってはいけません。¹⁵
喜ぶ者と共に喜び、悲しむ者と共に悲しみなさい。¹⁶
互いに調和して生活しなさい。高ぶらず、低い地位の人々と交わることをいとわず、自分を賢いと考えてはいけません。¹⁷
誰に対しても悪をもって悪に報いてはいけません。全ての人の前で正しいことを行うように心掛けなさい。¹⁸
できる限り、すべての人と平和に暮らしなさい。¹⁹
復讐してはいけません、親愛なる者たちよ。むしろ、神の怒りに任せなさい。なぜなら、「復讐は私の

ローマ人への手紙

もの、私が報いる」と主が言われたからです。 20
むしろ、

あなたの敵が飢えているなら、食物を与えなさい。
。 渴いているなら、飲み物を与えなさい。
そうすることで、彼の頭に燃える炭を積むこと
になります。

21

悪に打ち勝たれてはいけません。むしろ、善をもって悪に打ち勝ちなさい。

13 すべての人は、上に立つ権威に従うべきです。なぜなら、神から出たものでない権威はなく、存在する権威はすべて神によって立てられたものだからです。 2

したがって、権威に逆らう者は、神が定めたものに逆らうことになり、逆らう者は自分自身に裁きを招くことになります。 3

支配者は、善を行う者に対して恐れの原因ではなく、悪を行う者に対してです。権威を恐れずに済みますか？

正しいことを行いなさい。そうすれば称賛を受けるでしょう。 4

権威はあなたの益のために神のしもべです。しかし、悪を行うなら恐れなさい。それは無駄に剣を持つのではなく、神のしもべであり、悪を行う者に怒りをもたらす復讐者です。 5

したがって、怒りを避けるためだけでなく、良心のためにも権威に従うことが必要です。 6

これが、あなたがたが税金を払う理由です。権威は神のしもべであり、この務めに専念しているのです。 7

すべての人に対して、彼らにふさわしいものを返しなさい。税金を払うべき人には税金を、収入を払うべき人には収入を、敬意を払うべき人には敬意を、名誉を払うべき人には名誉を。 8

互いに愛し合うこと以外に、誰に対しても負債を残してはなりません。他者を愛する者は律法を全うしたのです。 9

「姦淫してはならない」「殺してはならない」「盗んではならない」「むさぼってはならない」という戒め、その他のどんな戒めも、この言葉に要約されています。「あなたの隣人を自分自身のように愛しなさい。」 10

愛は隣人に害を与えません。それゆえ、愛は律法の成就です。 11

そして、今の時を理解して、これを行いなさい。あなたがたが眠りから目覚める時が来たのです。私たちの救いは、初めて信じた時よりも今の方が近いのです。 12

夜はほとんど過ぎ去り、昼が近づいています。ですから、闇の行いを捨て、光の武具を身に着けましよう。 13

昼間のように品位を持って行動し、宴会や酩酊、淫乱や放蕩、争いや嫉妬にふけることなく過ごしましょう。 14

むしろ、主イエス・キリストを身にまとい、肉の欲望を満たすことを考えないようにしなさい。

14 信仰が弱い人を受け入れなさい。しかし、異なる意見について議論してはいけません。 2

ある人はすべてのものを食べてもよいと信じていますが、信仰が弱い人は野菜だけを食べます。 3

すべてを食べる人は、食べない人を見下してはいけません。また、食べるのを控える人は、食べる人を裁いてはいけません。神が彼らを受け入れてくださったからです。 4

他人のしもべを裁くあなたは何者ですか？彼らは自分の主人に対して立つか倒れるかします。そして彼らは立つでしょう。主が彼らを立たせることができるからです。 5

ある人はある日を他の日より神聖だと考え、他の人はすべての日を同じように考えます。それぞれの人は自分の心の中で十分に確信を持つべきです。 6

特定の日を特別だと考える人は主のためにそうします。食べる人は主のために食べ、神に感謝をささげます。そして、控える人も主のためにそうし、神に感謝をささげます。 7

私たちの誰もが自分自身のために生きているのではなく、また自分自身のために死ぬのでもありません。 8

もし生きるなら、主のために生き、もし死ぬなら、主のために死にます。したがって、生きるにしても死ぬにしても、私たちは主に属しています。 9

この目的のために、キリストは死んで再び生き返りました。それは、死者と生者の主となるためです。 10

なぜあなたは兄弟や姉妹を裁くのですか？また、なぜ彼らを見下すのですか？私たちは皆、神の裁きの座の前に立つことになるからです。 11

書かれているとおりです：

『「私が生きている限り」と主は言われる、
『すべての膝は私の前にかがみ、
すべての舌は神を認める。』』

12

それゆえ、私たち一人一人が神に対して個人的な報告をすることになります。 13

したがって、互いに裁くのをやめましょう。むしろ

ローマ人への手紙

、兄弟や姉妹の道に障害やつまづきを置かないこと
を決めましょう。¹⁴

私は主イエスにおいて、何もそれ自体で汚れている
ものはないと確信しています。しかし、もし誰かが
何かを汚れていると考えるなら、その人にとっては
それは汚れています。¹⁵

もしあなたの兄弟や姉妹があなたの食べることで悩
んでいるなら、あなたはもはや愛をもって行動して
いません。キリストが死んだ人を、あなたの食べる
ことで滅ぼしてはいけません。¹⁶

あなたの良い行いが他人によって悪いと呼ばれない
ようにしてください。¹⁷

神の国は食べたり飲んだりすることではなく、義と
平和と聖霊による喜びです。¹⁸

このようにキリストに仕える者は神に喜ばれ、人間
にも承認されます。¹⁹

したがって、平和と相互の向上をもたらすものを追
求しましょう。²⁰

食べ物のために神の業を台無しにははいけません
。すべての食べ物は清いですが、他の人をつまづか
せるものを食べるのは間違っています。²¹

肉を食べたり、酒を飲んだり、兄弟や姉妹をつま
づかせるようなことをするのは良くありません。²²

これらのことについてあなたが信じることは、神と
自分の間に保ってください。自分が承認することで
自分を非難しない人は幸いです。²³

しかし、疑いを持ちながら食べる者は罪に定められ
ます。なぜなら、その食べることが信仰から出てい
ないからです。そして、信仰から出ていないことは
すべて罪です。

15 私たち強い者は、力のない人々の弱さを担
うべきであり、自分自身を喜ばせるだけで
あってはなりません。²

私たち一人一人が、隣人を喜ばせ、その益となるよ
うにし、彼らを立て上げるべきです。³

キリストでさえも自分の喜びを求めませんでした。
それどころか、「あなたが侮辱する者たちの侮辱が
私に降りかかった」と書かれている通りです。⁴

以前に書かれたものはすべて、私たちの教訓のため
に書かれたのです。それは、私たちが忍耐と聖書の
励ましを通して希望を持つためです。⁵

忍耐と励ましを与える神が、あなたがたにキリスト
・イエスに従って互いに同じ思いを持たせてくださ
いますように。⁶

それは、心と意思を一つにして、私たちの主イエス
・キリストの神であり父である方を栄光をもって賛
美するためです。⁷

ですから、キリストがあなたがたを受け入れてくだ
さったように、あなたがたも互いに受け入れ合いな

さい。それは神の栄光のためです。⁸

私は言います。キリストは、神の真理のためにユダ
ヤ人のしもべとなり、先祖たちに与えられた約束を
確証するために来られました。⁹

そして異邦人が神の憐れみを賛美するようになるた
めです。次のように書かれています。

「それゆえ、私は異邦人の中であなたを賛美し、
あなたの名を歌います。」

¹⁰ さらに、こうも言われています。

「異邦人よ、彼の民と共に喜べ。」

¹¹ また、こうも宣言されています。

「主を賛美せよ、すべての異邦人よ。すべての民
よ、彼を称えよ。」

¹² さらに、イザヤはこう宣言しています。

「エッサイの根が現れ、
国々を治めるために立ち上がる方がいる。
異邦人は彼に希望を置く。」

¹³

今、希望の神が信仰によってあなたがたをすべての
喜びと平和で満たし、聖霊の力によって希望にあふ
れさせてくださいますように。¹⁴

私自身、兄弟たちよ、あなたがたが善意に満ち、あ
らゆる知識に満たされ、互いに教え合うことができ
ると確信しています。¹⁵

しかし、私は神から与えられた恵みによって、いく
つかの点について大胆に書きました。それは再び思
い起こさせるためです。¹⁶

異邦人に対するキリスト・イエスのしもべとして、
神の福音を祭司のように奉仕し、異邦人の捧げ物が
聖霊によって聖なるものとされ、受け入れられるよ
うにするためです。¹⁷

ですから、私は神に関することにおいて、キリスト
・イエスにあって誇りを持っています。¹⁸

私は、異邦人を言葉と行いによって神に従わせるた
めに、キリストが私を通して成し遂げられたこと以
外は何も語るつもりはありません。¹⁹

しるしと不思議の力によって、聖霊の力によって、
エルサレムからイルリコに至るまで、私はキリスト
の福音を十分に宣べ伝えました。²⁰

そして、このようにして、私は他の人の基礎の上に
建てないように、キリストがすでに知られている場
所ではなく、福音を宣べ伝えることを目指しました
。²¹ しかし、聖書が言うように、

ローマ人への手紙

「彼について知らされていなかった者たちが見るであろう、
聞いたことのない者たちが理解するであろう。」

22

このため、私はしばしばあなたがたのところに行くことが妨げられてきました。

23

しかし、今やこれらの地域に私のための場所がなく、また長年あなたがたを訪れることを切望してきたので、

24

スペインに行くときにそうするつもりです。通りがかりにあなたがたに会い、しばらくの間あなたがたの仲間を楽しんだ後、旅の途中で助けてもらえることを望んでいます。

25

しかし今、私はエルサレムに向かっており、聖徒たちに奉仕しています。

26

マケドニアとアカイアは、エルサレムの聖徒たちの中の貧しい人々のために貢献することを喜びました。

27

彼らはそれを喜んで行い、実際に彼らに負っているのです。異邦人がユダヤ人の霊的な祝福にあずかったのなら、物質的な祝福を彼らと分かち合う義務があります。

28

したがって、この任務を完了し、彼らのこの実を確実にした後、私はスペインに行き、途中であなたがたを訪れるつもりです。

29

私は、あなたがたのところに行くとき、キリストの完全な祝福を持って到着することを確認しています。

30

兄弟たちよ、私たちの主イエス・キリストと霊の愛によって、私のために神に祈ることによって私の闘いに加わるようにお願いします。

31

ユダヤで不従順な者たちから救い出され、エルサレムのための私の奉仕が聖徒たちに好意的に受け入れられるように、

32

それによって、神の御心によって喜びをもってあなたがたのところに行き、あなたがたの仲間で新たにされることができるよう。

33

今、平和の神があなたがたすべてと共にありますように。アーメン。

16 ケンクレアにある教会の奉仕者である私たちの姉妹フィベをあなたがたに紹介します。

2

彼女を主にあって聖徒にふさわしい方法で迎え入れ、彼女があなたがたに求めるどんなことでも助けてあげてください。彼女は多くの人々、私自身を含めての恩人です。

3

キリスト・イエスにおける私の同労者プリスカとアクラによろしく伝えてください。

4

彼らは私の命を危険にさらしました。私だけでなく、異邦人のすべての教会も彼らに感謝しています。

5

彼らの家で集まる教会にもよろしく伝えてください。私の親しい友人エベネットにもよろしく、彼はアジアでキリストに最初に帰依した人です。

6

あなたがたのために熱心に働いているマリアによろしく伝えてください。

7

私の同胞であり、同じく囚われの身であるアンドロニコとユニアによろしく伝えてください。彼らは使徒たちの中で名高く、私より前にキリストにあった人たちです。

8

主にあって愛されているアンブリアトによろしく伝えてください。

9

キリストにおける私たちの同労者ウルバヌスと、私の親しい友人スタキスによろしく伝えてください。

10

キリストにおける忠実さが証明されているアベレによろしく伝えてください。アリストプロの家の者たちによろしく伝えてください。

11

私の同胞ヘロデオンによろしく伝えてください。ナルキッソの家の者たちで主にある人々によろしく伝えてください。

12

主にあって熱心に働いているトリュフェナとトリュフォサによろしく伝えてください。主にあって非常に熱心に働いた私の親しい友人ペルシスによろしく伝えてください。

13

主に選ばれたルフォスと、私にとっても母のような彼の母によろしく伝えてください。

14

アスクリト、フレゴン、ヘルマス、パトロバ、ヘルマス、および彼らと共にいる兄弟姉妹たちによろしく伝えてください。

15

フィロロゴ、ユリア、ネレウスとその姉妹、オリンパ、および彼らと共にいるすべての聖徒たちによろしく伝えてください。

16

聖なる口づけをもって互いに挨拶しなさい。キリストのすべての教会があなたがたによろしくと言っています。

17

兄弟姉妹たちよ、あなたがたが学んだ教えに反して分裂や障害を引き起こす者たちに注意し、彼らを除けなさい。

18

そのような者たちは私たちの主キリストに仕えているのではなく、自分の欲望に仕えているのです。彼らは滑らかな言葉とお世辞で、無邪気な人々の心を欺きます。

19

あなたがたの従順はすべての人に知られており、私はあなたがたのことを喜んでいます。しかし、私はあなたがたが善に対して賢く、悪に対して無垢であることを望みます。

20

ローマ人への手紙

平和の神はすぐにサタンをあなたがたの足の下に置くでしょう。私たちの主イエスの恵みがあなたがたと共にありますように。²¹

私の同労者テモテがあなたがたによろしくと言っています。また、ルキウス、ヤソン、ソシパテル、私の同胞たちもよろしくと言っています。²²

この手紙を書いた私、テルティウスも主にあってよろしくと言います。²³

私と全教会をもてなしているガイオがあなたがたによろしくと言っています。市の会計係エラストと兄弟クアルトもあなたがたによろしくと言っています

。²⁴
[私たちの主イエス・キリストの恵みがあなたがたすべてと共にありますように。]²⁵

今、私の福音とイエス・キリストの宣教に従って、長い時代にわたって隠されていた神秘の啓示に従って、あなたがたを確立することができる方に、²⁶
しかし今や、永遠の神の命令によって預言的な書物を通じて明らかにされ、知られるようになり、すべての国民が信仰から来る従順に至るために—²⁷
唯一の真の神に、イエス・キリストを通して永遠に栄光があるように。アーメン。

コリント人への手紙第一

1 神の御心によってキリスト・イエスの使徒として任命されたパウロと、兄弟ソステネから、² コリントにある神の教会へ、キリスト・イエスにあって聖なる者とされた人々、すなわち、私たちの主イエス・キリストの名を呼び求めるすべての人々と共に召された聖徒たちへ：³

私たちの父なる神と主イエス・キリストから、恵みと平安があなたがたにありますように。⁴ 私は、キリスト・イエスにおいてあなたがたに与えられた神の恵みのゆえに、いつも私の神に感謝しています。⁵

あなたがたはすべての点で、言葉においても知識においても、彼にあって豊かにされているからです。⁶

キリストについての証があなたがたの間で確かなものとされたように、⁷ それによって、あなたがたは主イエス・キリストの現れを待ち望む間、何一つ霊的な賜物に欠けることがないのです。⁸

彼はまた、私たちの主イエス・キリストの日に、あなたがたを責められるところのない者として終わりまで堅く保ってくださいます。⁹

神は真実であり、あなたがたをその御子、私たちの主イエス・キリストとの交わりに召されたのです。¹⁰

さて、兄弟たちよ、私は私たちの主イエス・キリストの名によってあなたがたにお願いする。あなたがたは皆、同じことを言い、あなたがたの間に分裂がないようにし、同じ心と思い完全に結び合わされるようにしてください。¹¹

私の兄弟たちよ、クロエの家の者たちからあなたがたについて知らせを受けました。あなたがたの間には争いがあるとのことでした。¹²

私が言っているのは、あなたがた一人一人が、「私はパウロに属する」、「私はアポロに属する」、「私はケファに属する」、「私はキリストに属する」と言っているということです。¹³

キリストが分割されたのですか？パウロがあなたがたのために十字架につけられたのですか？それとも、あなたがたはパウロの名によってバプテスマを受けたのですか？¹⁴

私はクリスボとガイオ以外の誰にもバプテスマを授けなかったことを神に感謝します。¹⁵

それは、誰もあなたがたが私の名によってバプテスマを受けたと言わないためです。¹⁶

しかし、私はステファナの家の者たちにもバプテスマを授けました。それ以外に誰かにバプテスマを授けたかどうかは覚えていません。¹⁷

キリストが私を遣わされたのは、バプテスマを授け

るためではなく、福音を宣べ伝えるためです。それも、言葉の知恵によらず、キリストの十字架が無効にならないためです。¹⁸

十字架の言葉は滅びに向かう者には愚かに見えますが、救われる私たちには神の力です。¹⁹ 聖書にこう書かれています：

「私は知恵ある者の知恵を滅ぼし、賢い者の理解を無にする。」

20

知恵ある者はどこにいるのか？学者はどこにいるのか？この世の論者はどこにいるのか？神はこの世の知恵を愚かにされたのではないか？²¹

神の知恵によって、この世はその知恵によって神を知ることができませんでした。それゆえ、神は宣べ伝えられるメッセージの愚かさによって信じる者を救うことを喜ばれました。²²

ユダヤ人はしるしを求め、ギリシャ人は知恵を追い求めます。²³

しかし、私たちは十字架につけられたキリストを宣べ伝えます。それはユダヤ人にはつまずき、異邦人には愚かさです。²⁴

しかし、召された者たちには、ユダヤ人にもギリシヤ人にも、キリストは神の力であり、神の知恵です。²⁵

神の愚かさは人間の知恵よりも賢く、神の弱さは人間の強さよりも強いのです。²⁶

兄弟たちよ、あなたがたの召しを考えてみなさい。肉によって知恵ある者は多くなく、力ある者も多くなく、高貴な者も多くありません。²⁷

しかし、神はこの世の愚かなものを選んで知恵ある者を恥じ入らせ、神はこの世の弱いものを選んで強いものを恥じ入らせるのです。²⁸

そして、神はこの世の取るに足らないものや軽蔑されるもの、すなわち無に等しいものを選んで、有るものを無にするのです。²⁹

それは、誰も神の前で誇ることがないようにするためです。³⁰

しかし、あなたがたがキリスト・イエスにあるのは神によるのです。キリストは私たちにとって神からの知恵となり、義と聖と贖いとなりました。³¹ それゆえ、聖書に書かれていますとおり、「誇る者は主を誇れ」と言われています。

2 兄弟姉妹たち、私があなたがたのところに行ったとき、神の証をあなたがたに伝えるにあたって、優れた話術や知恵を持って行ったのではありません。²

私はあなたがたの間で、イエス・キリストと、十字架につけられた彼以外の何も知らないことに決めた

コリント人への手紙第一

からです。³
私は弱さと恐れと多くの震えの中であなたがたと共にいました。⁴

私の言葉と宣教は、人間の知恵に基づく説得力のある言葉ではなく、霊と力の現れによるものでした。⁵

それは、あなたがたの信仰が人間の知恵ではなく、神の力に基づくようになるためです。⁶

しかし、私たちは成熟した者たちの間では知恵を語ります。しかし、それはこの時代のものでも、この時代の滅びゆく支配者たちのものでもありません。⁷

私たちは神の知恵を神秘の中で語ります。それは、神が私たちの栄光のために時代の前に定めた隠された知恵です。⁸

この知恵は、この時代のどの支配者にも理解されませんでした。もし彼らが理解していたなら、栄光の主を十字架につけることはなかったでしょう。⁹
しかし、ちょうど書かれているように、

「目が見たことのないもの、耳が聞いたことのないもの、心に思い浮かばないもの、神が彼を愛する者たちのために備えたすべてのもの。」

¹⁰
神はこれらのことを私たちに霊を通して明らかにされました。霊はすべてのこと、神の深みさえも探ります。¹¹

人の思いを知るのは、その人の中にある霊以外に誰がいるでしょうか。同じように、神の思いを知るのは神の霊以外に誰もいません。¹²

今、私たちは世の霊を受けたのではなく、神からの霊を受けました。それは、神が私たちに自由に与えてくださったものを理解するためです。¹³

私たちはこれらのことを表現しますが、それは人間の知恵によって教えられた言葉ではなく、霊によって教えられた言葉であり、霊的な思いを霊的な言葉で結びつけるものです。¹⁴

しかし、自然の人は神の霊の事柄を受け入れません。それは彼にとって愚かに見えるからです。そして、それらを理解することができません。なぜなら、それらは霊的に識別されるからです。¹⁵
しかし、霊的な人はすべてのことを評価しますが、彼自身は誰にも評価されません。¹⁶ なぜなら、

主の心を知り、彼を教えることができる者は誰か？

しかし、私たちはキリストの心を持っています。

3 そして、兄弟姉妹たちよ、私はあなたがたを霊的な者としてではなく、世俗的な者として、キリストにある幼子として扱わざるを得ませんでした。²

私はあなたがたに乳を与え、固い食物を与えませんでした。あなたがたはまだそれに耐えられなかったからです。実際、今でもまだ耐えられません。³
あなたがたはまだ世俗的です。あなたがたの間にねたみや争いがあるからです。あなたがたは世俗的で、ただの人間のように振る舞っているではありませんか？⁴

ある者が「私はパウロに属する」と言い、別の者が「私はアポロに属する」と言うとき、あなたがたはただの人間のように振る舞っているではありませんか？⁵

アポロとは何ですか？パウロとは何ですか？彼らは、主がそれぞれに割り当てたとおりに、あなたがたが信じるに至ったしもべです。⁶

私は植え、アポロは水をやりましたが、成長させたのは神です。⁷

それゆえ、植える者も水をやる者も重要ではなく、成長をもたらす神だけが重要です。⁸

今、植える者と水をやる者は一つの目的を持ち、それぞれ自分の労働に応じて報いを受けます。⁹

私たちは神の協力者であり、あなたがたは神の畑であり、神の建物です。¹⁰

私に与えられた神の恵みによって、私は賢い建築者として基礎を築き、他の者がその上に建てています。しかし、各人は注意して建てるべきです。¹¹

すでに築かれた基礎、すなわちイエス・キリスト以外に誰も基礎を築くことはできません。¹²

誰かがこの基礎の上に金、銀、宝石、木、草、わらを使って建てるなら、¹³

その人の仕事はそのまま明らかにされます。というのも、その日がそれを明らかにするからです。それは火で明らかにされ、その火が各人の仕事の質を試すでしょう。¹⁴

もし建てられたものが残るなら、その建築者は報いを受けます。¹⁵

もしそれが焼けてしまえば、その建築者は損失を被りますが、それでも救われます。ただし、火を通り抜けるようにしてです。¹⁶

あなたがたは神の神殿であり、神の霊があなたがたの中に住んでいることを知らないのですか？¹⁷

もし誰かが神の神殿を傷つけるなら、神はその人を滅ぼします。神の神殿は聖なるものであり、あなたがたはその神殿です。¹⁸

誰も自分を欺いてはいけません。この世の基準で賢いと思う者がいるなら、「愚か者」となって賢くな

コリント人への手紙第一

るべきです。¹⁹
この世の知恵は神の目には愚かであるからです。書かれておおり、「彼は賢い者をその策略にける」。²⁰
さらに、「主は賢い者の思いが無駄であることを知っている」とも言われています。²¹
それゆえ、人間の指導者を誇ることはもうやめましょう！すべてのものはあなたがたのものです。²²
パウロであれ、アポロであれ、ケファであれ、世界であれ、命であれ、死であれ、現在であれ、未来であれ—すべてはあなたがたのものです。²³
そして、あなたがたはキリストに属し、キリストは神に属しています。

4 このように、人は私たちをキリストのしもべ、神の奥義の管理者と見なすべきです。²

この点で、管理者には忠実であることが求められます。³

しかし、私にとっては、あなた方によって、あるいは人間の法廷によって判断されることは重要ではありません。実際、私は自分自身をも判断しません。⁴

私には自分に対して何もやましいことはありませんが、それによって私が義とされるわけではありません。私を判断するのは主です。⁵

ですから、時が来る前に判断を下すことをやめ、主が来られるのを待ちなさい。主は暗闇に隠されたことを明るみに出し、人の心の動機を明らかにされます。そしてその時、各人は神から称賛を受けるでしょう。⁶

兄弟姉妹たちよ、これらのことをあなた方の益のために、私とアポロに当てはめて比喩的に語りました。それは、私たちにおいて書かれていることを超えないことを学び、誰も他の人に対して傲慢にならないようにするためです。⁷

誰があなたを他より優れていると見なすのですか？あなたが受けていないものを持っているのですか？もし受けたのなら、受けていないかのように誇るのはなぜですか？⁸

あなた方はすでに満ち足り、すでに富んでおり、私たちなしで王となっています。実際、あなた方が王となっていることを願います。そうすれば、私たちもあなた方と共に王となることができます。⁹
私は思いますに、神は私たち使徒を、死に定められた者のように最後に示されたのです。なぜなら、私たちは世界に対して、天使にも人間にも見せ物となつたからです。¹⁰

私たちはキリストのために愚か者ですが、あなた方はキリストにあって賢い者です。私たちは弱いですが、あなた方は強いです。あなた方は尊ばれていま

すが、私たちは尊ばれていません。¹¹
今この瞬間まで、私たちは飢え渴き、粗末な服を着せられ、虐待され、家もありません。¹²

そして私たちは、自分の手で働きながら労働しています。罵られると祝福し、迫害されると耐え忍びます。¹³

中傷されると、友として応じます。私たちは今に至るまで、世界の屑、すべてのもののかすのようになっています。¹⁴

私はこれらのことをあなた方を恥じ入らせるために書いているのではなく、私の愛する子供たちとして忠告するためです。¹⁵

たとえあなた方がキリストにあって無数の指導者を持っていたとしても、多くの父を持つわけではありません。なぜなら、私はキリスト・イエスにあって福音によってあなた方の父となったからです。¹⁶
ですから、私はあなた方に勧めます、私の模範に倣いなさい。¹⁷

このために、私はあなた方に私の愛する忠実な子ティモテを送りました。彼は主において私の道を思い起こさせるでしょう。それは私がどの教会でも教えていることです。¹⁸

今、一部の者は私があなた方のところに行かないかのように思い上がっています。¹⁹

しかし、主が許せば、私はすぐにあなた方のところに行きます。そして、思い上がっている者たちの言葉ではなく、その力を知ることになるでしょう。²⁰
神の国は言葉ではなく、力によって示されるものです。²¹

あなた方はどちらを望みますか？私が杖を持ってあなた方のところに行くことを、あるいは愛と柔和な精神を持って行くことを？

5 あなたがたの間に不品行があり、しかも異邦人の間にもないような不品行、すなわち、ある者がその父の妻を持っているということが実際に報告されています。²

あなたがたは誇り高くなり、むしろ悲しむことなく、この行いをした者をあなたがたの中から取り除くべきでした。³

私自身は、たとえ体は離れていても霊において共におり、現にいるかのように、このことを行つた者をすでに裁いています。⁴

私たちの主イエスの権威によって、あなたがたが集まり、私も霊において共にいるとき、私たちの主イエスの力をもって、⁵

私はそのような人をサタンに引き渡すことに決めました。それは彼の肉体が滅ぼされ、彼の霊が主の日に救われるためです。⁶

あなたがたの誇りは益になりません。少しのパン種

コリント人への手紙第一

が生地全体に影響を与えることを知らないのですか。⁷

古いパン種を取り除き、新しい生地となるためです。実際、あなたがたは無酵母です。私たちの過越の小羊であるキリストもすでに犠牲にされました。⁸ですから、古いパン種や悪意と邪悪のパン種ではなく、誠実と真実の無酵母のパンで祭りを守りましょう。⁹

以前の手紙で、私は不品行な者と交わらないようにと忠告しました。¹⁰

この世の不品行な者、貪欲な者、詐欺師、偶像礼拝者とは全く意味しませんでした。そうでなければ、あなたがたは世を去らなければならないでしょう。¹¹

しかし実際には、私はあなたがたに、もしある者が不品行な者、貪欲な者、偶像礼拝者、口汚い者、酔っぱらい、詐欺師であるなら、いわゆる兄弟と交わらないように書きました。そのような者とは一緒に食事することさえしないように。¹²

外部の者を裁くことが私の関心事であるのでしょうか。教会内の者を裁かないのですか。¹³

しかし、外部の者は神が裁かれます。悪者をあなたがたの中から追い出さない。

6 あなたがたのうちの ある者が他の者と争いがあるとき、聖徒の前でなく、不義の者の前で訴訟を起こすことを敢えてするのですか？²

それとも、聖徒たちが世を裁くことを知らないのですか？

もし世があなたがたによって裁かれるのなら、些細な事件を裁くことができないのですか？³

私たちが天使をも裁くことを知らないのですか？ましてこの世の事柄を扱うことができないのでしょうか？⁴

この世の事柄について訴訟がある場合、教会で軽んじられている者を裁判官に任命するのですか？⁵

私はあなたがたを恥じさせるために言っています。あなたがたの中に兄弟姉妹の間を裁くことができる賢い者が一人もいないのですか？⁶

それなのに、兄弟が兄弟を訴え、しかも信じていない者の前で訴えるのです！⁷

実際、あなたがたが互いに訴訟を起こすこと自体がすでに敗北です。むしろ不当に扱われる方が良いのではないのですか？

騙される方が良いのではないのですか？⁸

それどころか、あなたがた自身が不正を行い、騙し、しかもそれを兄弟姉妹に対して行っているのです！⁹

それとも、不義を行う者が神の国を受け継ぐことができないことを知らないのですか？

誤解してはいけません。淫らな者、偶像礼拝者、姦淫する者、自然に反する行いをする者、¹⁰

盗む者、貪欲な者、常習的に酔う者、悪口を言う者、詐欺を働く者は、神の国を受け継ぐことができません。¹¹

あなたがたの中には、以前はそのような者もありました。しかし、あなたがたは洗われ、聖なる者とされ、主イエス・キリストの名によって、また私たちの神の御霊によって義とされました。¹²

すべてのことは私に許されていますが、すべてのことが益になるわけではありません。すべてのことは私に許されていますが、私は何ものにも支配されません。¹³

食物は胃のためにあり、胃は食物のためにありますが、神はこれらのものを共に滅ぼされます。しかし、体は淫行のためではなく、主のためにあり、主は体のためにあります。¹⁴

神は主をよみがえらせ、またその力によって私たちをもよみがえらせてくださいます。¹⁵

あなたがたの体がキリストの肢体であることを知らないのですか？

では、キリストの肢体を取って、娼婦の肢体とするのですか？ 決してそうではありません！¹⁶

それとも、娼婦と結びつく者は彼女と一つの体になることを知らないのですか？

「二人は一つの肉となる」と言われているのです。¹⁷しかし、主と結びつく者は主と一つの霊です。¹⁸

淫行を避けなさい。他のすべての罪は体の外で犯されますが、淫行を行う者は自分の体に対して罪を犯します。¹⁹

それとも、あなたがたの体が、あなたがたのうちにある神から受けた聖霊の宮であり、あなたがた自身のものではないことを知らないのですか？²⁰

あなたがたは代価をもって買い取られたのです。それゆえ、あなたがたの体をもって神を栄光あらしめなさい。

7 さて、あなたがたが書いてきたことについて言えば、男が女と親しい関係を持たないのは称賛に値します。²

しかし、性的な不道徳のために、各人は自分の妻を持ち、各女性は自分の夫を持つべきです。³

夫は妻に対する義務を果たし、同様に妻も夫に対する義務を果たすべきです。⁴

妻は自分の体に対する単独の権限を持っていませんが、夫がそれを共有します。同様に、夫も自分の体に対する単独の権限を持っていませんが、妻がそれを共有します。⁵

お互いに自分を控えないでください。ただし、祈りに専念するために一時的に合意する場合を除きます

コリント人への手紙第一

。そして再び一緒になり、サタンがあなたがたの自制心の欠如を利用して誘惑しないようにしてください。⁶

これは指示ではなく、提案として言っています。⁷ すべての人が私のようであればよいと思います。しかし、各人は神からの自分自身の賜物を持っており、一人はこの種類の賜物を、もう一人は別の種類の賜物を持っています。⁸

しかし、未婚者と未亡人に言いますが、彼らが私のように留まるのは良いことです。⁹

しかし、もし自制できないなら、結婚すべきです。情熱に燃えるよりも結婚の方が良いからです。¹⁰ 結婚している人々に対して、私はこの指示を与えます。これは私ではなく、主の指示です。妻は夫と別れてはなりません。¹¹

（しかし、もし別れるなら、未婚のままでいるか、夫と和解するべきです）、そして夫は妻を離婚してはなりません。¹²

他の人々に対して、私は言いますが、これは主ではありません。もし兄弟が信者でない妻を持っており、彼女が彼と共に住むことを望むなら、彼は彼女を離婚してはなりません。¹³

そして、もし女性が信者でない夫を持っており、彼が彼女と共に住むことを望むなら、彼女は夫を離婚してはなりません。¹⁴

信者でない夫は妻を通じて聖別され、信者でない妻は信者の夫を通じて聖別されます。さもなければ、あなたがたの子供たちは汚れていることになりませんが、今は聖なるものです。¹⁵

もし信者でないパートナーが去ることを選ぶなら、そうさせてください。兄弟や姉妹はそのような状況で拘束されていませんが、神は私たちを平和に生きるように召されました。¹⁶

妻よ、どうしてあなたが夫を救いに導くことができるか確信できますか？または、夫よ、どうしてあなたが妻を同じように導くことができるか確信できますか？¹⁷

それにもかかわらず、主が各人に割り当てたように、神が召されたように、それに従って生きなさい。

これは私のすべての教会における規則です。¹⁸ 割礼を受けた状態で召された者はいますか？割礼の痕跡を取り除こうとしてはなりません。割礼を受けていない状態で召された者はいますか？割礼を求めてはなりません。¹⁹

割礼や無割礼の物理的な状態は重要ではありませんが、本当に重要なのは神の戒めを守ることです。²⁰ 各人は召された状態に留まるべきです。²¹

奴隷として召されたのですか？それを気にする必要はありません。しかし、自由を得ることができるな

ら、その機会を利用してください。²²

主において奴隷として召された者は、主の自由な者です。同様に、自由な状態で召された者はキリストの僕です。²³

あなたがたは代価を払って買われたのです。したがって、人々によって奴隷になつてはなりません。²⁴ 兄弟姉妹よ、各人は神と共に召された状態に留まるべきです。²⁵

さて、未婚者については、主からの命令はありませんが、主の慈悲によって信頼できる者として私の意見を述べます。²⁶

それで、現在の危機を考慮すると、人がそのままでいるのは良いことだと思います。²⁷

妻に縛られていますか？解放を求めてはなりません。妻から自由ですか？妻を求めてはなりません。²⁸

しかし、もし結婚するなら、罪を犯していません。そして、処女が結婚するなら、彼女は罪を犯していません。しかし、そのような人々はこの人生で困難に直面するでしょう、そして私はあなたがたをそれから免れさせたいのです。²⁹

しかし、これを言います、兄弟姉妹よ：時間は短いので、今から妻を持つ者は持たない者のように生きるべきです。³⁰

そして、悲しむ者は悲しまない者のように、喜ぶ者は喜ばない者のように、買う者は何も持たない者のように、³¹

そして、世を利用する者は、それに完全に関与しない者のように。なぜなら、この世の現在の形は過ぎ去ろうとしているからです。³²

私はあなたがたが心配から解放されることを望みます。未婚の男は主のことに集中し、どのようにして主を喜ばせるかを考えます。³³

しかし、結婚している男は世俗的なことを気にし、どのようにして妻を喜ばせるかを考えます。³⁴

そして彼の関心は分かれています。未婚の女性と処女は主のことに集中し、体と霊の両方で聖なる者となるようにします。しかし、結婚している女性は世俗的なことを気にし、どのようにして夫を喜ばせるかを考えます。³⁵

私はあなたがたの利益のためにこれを言っているのであり、制限を課すためではなく、適切なことを促進し、主に対する妨げのない献身を確保するためです。³⁶

しかし、誰かが婚約者に対して適切に振る舞っていないと思うなら、彼女が結婚の年齢を過ぎており、それが必要であると思われるなら、彼が望むようにさせてください。彼は罪を犯していません。彼らは結婚すべきです。³⁷

しかし、心の中でしっかりと立ち、強制されず、自

コリント人への手紙第一

分の意志を制御し、心の中で婚約者を保つことを決めた者は、良いことをします。³⁸

したがって、婚約者を結婚させる者は良いことをし、彼女を結婚させない者はさらに良いことをします。³⁹

妻は夫が生きている限り夫に縛られています。しかし、もし夫が亡くなるなら、彼女は望む者と結婚する自由があります。ただし、主においてです。⁴⁰ 私の意見では、彼女がそのままにいる方が幸せです。そして、私も神の霊を持っていると信じています。⁴¹

8 さて、偶像に供えた食物については、私たちは皆、知識を持っていることを知っています。知識は人を高慢にしますが、愛は人を育てます。⁴²

もし誰かが自分は知識を持っていると思うなら、彼はまだ知るべきほどには知っていません。⁴³

しかし、神を愛する者は、神に知られています。⁴⁴ したがって、偶像に供えた食物を食べることについては、偶像は世の中で無意味であり、神は唯一であることを理解しています。⁴⁵

たとえ天や地に「神々」と呼ばれるものがあつたとしても、実際には多くの「神々」や多くの「主」がいます。⁴⁶

しかし、私たちに唯一の神、父がいて、すべてのものは父から出ており、私たちは父のために存在しています。そして唯一の主、イエス・キリストがいて、すべてのものは彼を通して存在し、私たちも彼を通して存在しています。⁴⁷

それにもかかわらず、すべての人がこの理解を持っているわけではありません。ある人々は今まで偶像に慣れているため、偶像に供えられたものとして食物を食べ、その良心が弱いために汚されています。⁴⁸

食物は私たちが神に近づけません。食べなくても悪くならず、食べても良くなりません。⁴⁹

しかし、この自由が、弱い者たちにとってつまずきの石とならないように注意してください。⁵⁰

もし誰かが、知識を持っているあなたが偶像の神殿で食事をしているのを見たら、その人の良心が弱い場合、偶像に供えられたものを食べることを奨励されることはないでしょうか？⁵¹

あなたの知識によって、弱い者、キリストが死んだ兄弟姉妹が害を受けるのです。⁵²

このように、兄弟姉妹に対して罪を犯し、その良心が弱いときに傷つけることによって、あなたはキリストに対して罪を犯しているのです。⁵³

したがって、もし食物が私の兄弟をつまずかせるな

ら、私は決して肉を食べないでしょう。そうすれば、兄弟をつまずかせることはありません。

9 私は自由ではないのか。私は使徒ではないのか。私は私たちの主イエスを見たことがないのか。あなたがたは私の主における労苦の結果ではないのか。²

たとえ他の人々にとって私は使徒でなくても、あなたがたにとっては確かにそうである。なぜなら、あなたがたは主における私の使徒職の証だからである。³

私を吟味する者たちへの私の弁明はこれである。⁴ 私たちには食べたり飲んだりする自由がないのか。⁵

私たちには、他の使徒たちや主の兄弟たちやケファと同様に、信仰を持つ妻を伴う権利がないのか。⁶ それとも、働かない権利がないのはバルナバと私だけなのか。⁷

誰が自分の費用で兵士として仕えるのか。誰がぶどう園を植えてその実を食べないのか。また、誰が群れを飼ってその乳を飲まないのか。⁸

私はこれらのことを人間の判断に従って言っているのではないのか。それとも律法もこれらのことを言っていないのか。⁹

モーセの律法にはこう書かれている。「脱穀している牛に口籠をはめてはならない。」神は牛のことだけを心配しているのか。¹⁰

それとも、私たちのために全くそう言っているのか。そう、これは私たちのために書かれたのである。なぜなら、耕す者は希望を持って耕すべきであり、脱穀する者も収穫を分かち合う希望を持って脱穀すべきだからである。¹¹

もし私たちがあなたがたに霊的な祝福を分け与えたのなら、あなたがたから物質的な支援を期待するのは過度なことなのか。¹²

もし他の人々があなたがたに対してこの権利を共有しているなら、私たちはなおさらそうではないのか。それにもかかわらず、私たちはこの権利を行使せず、キリストの福音に妨げを与えないようにすべてのことを耐えている。¹³

神聖な務めを行う者たちは神殿の供え物を食べ、祭壇に仕える者たちは祭壇に供えられたものを分かち合うことを知らないのか。¹⁴

同様に、主は福音を宣べ伝える者たちが福音によって生活を立てるべきだと命じた。¹⁵

しかし、私はこれらの権利の一つも使っていないし、私のためにそうされるようにこれを書いているのではない。私の誇りが空虚なものになるよりは死んだ方がましだからである。¹⁶

なぜなら、私が福音を宣べ伝えるなら、それは私の

コリント人への手紙第一

誇りではない。私はそうすることを強いられているからである。実に、福音を宣べ伝えなければ私は災いである。¹⁷

もし私が自発的にこれを行うなら、私は報酬を得る。しかし、意に反して行うなら、私は委託された務めを果たしているのである。¹⁸

それでは、私の報酬は何か。それは、私が福音を宣べ伝えるとき、無償でそれを提供し、福音における私の権利を十分に行使しないことである。¹⁹

私はすべての人から自由であるが、より多くの人を得るために自らをすべての人の奴隷とした。²⁰

ユダヤ人にはユダヤ人のようになった。それはユダヤ人を得るためである。律法の下にある者たちには、私自身は律法の下にないが、律法の下にある者のようになった。それは律法の下にある者たちを得るためである。²¹

律法のない者たちには、神の律法を持たないが、キリストの律法の下にある者として、律法のない者のようになった。それは律法のない者たちを得るためである。²²

弱者には弱者のようになった。それは弱者を得るためである。私はすべての人に対してすべてのものとなった。それは何とかして幾人かを救うためである。²³

私は福音のためにすべてのことを行う。それはその祝福にあずかるためである。²⁴

競技場で走る者たちが皆走るが、一人だけが賞を受けることを知らないのか。勝つように走りなさい。²⁵

競技に参加する者はすべてのことにおいて自制する。それは朽ちる冠を得るためであるが、私たちは朽ちない冠を得るためである。²⁶

したがって、私は目標のないように走らない。また、空を打つように拳を振るわない。²⁷

むしろ、私は自分の体を厳しく鍛え、それを奴隷とする。それは、他の人々に宣べ伝えた後で、自分が失格者とならないためである。

10 兄弟たちよ、私はあなたがたが知らないでいることを望まない。私たちの先祖は皆、雲の下にあり、皆、海を通過しました。²そして皆、雲と海の中でモーセにバプテスマを受けました。³ 皆、同じ霊的な食物を食べ、⁴ 皆、同じ霊的な飲み物を飲みました。彼らは彼らに伴った霊的な岩から飲んでいたので。そしてその岩はキリストでした。⁵

しかし、彼らの大多数に対して、神は満足されませんでした。彼らの体は荒野に散らされました。⁶ これらの出来事は私たちへの例として起こったのであり、私たちが彼らのように有害なものを欲しがら

ないようにするためです。⁷

彼らの中の何人かがそうであったように、偶像礼拝者になってはいけません。書かれている通りです。

「民は座って食べたり飲んだりし、立ち上がって遊んだ。」⁸

彼らの中の何人かがそうであったように、不道徳に關与してはいけません。一日に二万三千人が倒れました。⁹

彼らの中の何人かがそうであったように、主を試してはいけません。そして蛇によって滅ぼされました。¹⁰

彼らの中の何人かがそうであったように、不平を言うてはいけません。そして滅ぼす者によって滅ぼされました。¹¹

これらのことは彼らに警告として起こり、時代の終わりが来た私たちのために記録されました。¹²

だから、立っていると思う者は、倒れないように注意しなさい。¹³

人間に共通の誘惑以外には、あなたがたを襲うものはありません。神は忠実であり、あなたがたが耐えられないほどの誘惑に遭わせることはなく、誘惑と共に逃れる道も備えてくださるので、それに耐えることができるのです。¹⁴

したがって、私の親愛なる友よ、偶像礼拝を避けなさい。¹⁵

私は賢明な人々としてあなたがたに話します。私の言うことを考えてください。¹⁶

私たちが祝福する祝福の杯は、キリストの血への参加ではありませんか。私たちが裂くパンは、キリストの体への参加ではありませんか。¹⁷

一つのパンがあるので、私たち多くの者は一つの体です。私たちは皆、その一つのパンを分け合うからです。¹⁸

イスラエルの民を考えてみなさい。犠牲を食べる者たちは祭壇の間ではありませんか。¹⁹

それでは何を意味しているのでしょうか。偶像に捧げられた食物が何かであるとか、偶像が何かであるとか言っているのでしょうか。²⁰

いいえ、私は言います。異邦人が捧げるものは、神にではなく悪霊に捧げているのです。そして私はあなたがたが悪霊と仲間になることを望みません。²¹ 主の杯と悪霊の杯を共有することはできません。主の食卓と悪霊の食卓に預かることはできません。²² それとも、主の忍耐を挑発するのでしょうか。確かに、私たちは彼よりも強いわけではありません。²³

「すべてのことは許されている」、しかしすべてのことが有益ではありません。「すべてのことは許されている」、しかしすべてのことが築き上げるわけではありません。²⁴

コリント人への手紙第一

誰も自分の利益を求めず、むしろ隣人の利益を求めなさい。

肉市場で売られているものは、良心の問題を持ち出さずに食べなさい。

地とその中にあるすべてのものは主のものだからです。

もし不信者があなたを招き、あなたが行きたいと思うなら、良心の問題を持ち出さずに、前に置かれたものを食べなさい。

しかし、もし誰かが「これは犠牲に捧げられたものです」と言ったなら、その人のために、そして良心のために、それを食べてはいけません。

私はあなた自身の良心を意味しているのではなく、他の人の良心を意味しています。なぜ私の自由が他人の良心によって判断されるべきでしょうか。

もし私が感謝して分け合うなら、なぜ感謝していることで批判されるのでしょうか。

したがって、食べるにしても飲むにしても、すべてのことを神の栄光のために行いなさい。

ユダヤ人にもギリシャ人にも、神の教会にも、つまずきを与えないようにしなさい。

私がすべてのことにおいて、皆の利益を求め、自分の利益を求めず、多くの人が救われるために努力しているように。

11 ですから、私がキリストを模範としているように、私を模範としてください。

あなたがたがすべてのことにおいて私を覚え、私が伝えた伝統をしっかりと守っていることを称賛します。

私はあなたがたに理解してほしいのです。キリストはすべての男の指導者であり、男は女の指導者であり、神はキリストの指導者です。

祈りや予言をする際に頭を覆う男は、自分の頭を辱めます。

しかし、頭を覆わずに祈りや予言をする女は、自分の頭を辱めます。彼女は頭を剃られた者と同じです。

女が頭を覆わないなら、髪を切るべきです。しかし、女が髪を切ったり頭を剃ったりするのが恥ずかしいなら、頭を覆うべきです。

男は頭を覆うべきではありません。彼は神の姿と栄光だからです。しかし、女は男の栄光です。

男は女から出たのではなく、女が男から出たのです。

実際、男は女のために作られたのではなく、女が男のために作られたのです。

したがって、女は天使たちのために、頭に権威のしるしを持つべきです。

しかし、主にあっては、女は男から独立しておらず

、男も女から独立していません。

女が男から出たように、男も女を通して生まれます。そして、すべてのものは神から出ています。

自分で考えてみてください。女が頭を覆わずに神に祈るのは適切ですか？

自然そのものが、男が長い髪を持つことは彼にとって恥ずかしいことだと教えていませんか？

しかし、女が長い髪を持つことは彼女の栄光です。彼女の髪は覆いとして与えられているからです。

しかし、誰かが議論を望むなら、私たちには他の習慣はありませんし、神の教会にもありません。

次の指示を与えるにあたって、あなたがたを称賛することはできません。なぜなら、あなたがたの集まりは益よりも害をもたらすからです。

まず第一に、あなたがたが教会として集まるとき、あなたがたの間に分裂があると聞いています。そして、ある程度それを信じています。

実際、あなたがたの中に違いがあるのは、誰が神の承認を受けているかを示すためです。

あなたがたが集まる時、それは本当に主の晩餐を食べるためではありません。

なぜなら、あなたがたが食べる時、各自が自分の食事を先に進めるからです。一人は空腹のままで、もう一人は酔っ払います。

何ということでしょう！食べたり飲んだりする家がないのですか？それとも、神の教会を軽蔑し、何も持たない者を辱めるのですか？あなたがたに何を言うべきでしょうか？あなたがたを称賛すべきでしょうか？この件に関しては、称賛しません。

私は主から受けたことをあなたがたに伝えました。それは、主イエスが裏切られた夜にパンを取り、感謝を捧げた後、それを裂いて言われた、「これはあなたがたのための私の体です。私を記念してこれを行いなさい。」

同様に、食事の後、杯を取り、「この杯は私の血による新しい契約を表しています。これを、飲むたびに、私を記念して行いなさい。」と言われました。

このパンを食べ、この杯から飲むたびに、主が来られるまで、主の死を告知知らせるのです。

したがって、主のパンを食べたり、杯から飲んだりする者は、主の体と血に対して罪を犯すことになり

ます。各自が自分自身を反省してから、パンを食べ、杯から飲むべきです。

キリストの体を識別せずに食べたり飲んだりする者は、自分自身に対して裁きを招きます。

このため、あなたがたの中には弱く病気の者が多く、何人かは亡くなっています。

コリント人への手紙第一

しかし、もし私たちが自分自身をもっと識別していたなら、このような裁きを受けることはなかったでしょう。³²

しかし、私たちがこのように主によって裁かれるとき、私たちは矯正されているのです。それは、最終的に世と共に有罪とされないためです。³³

したがって、兄弟姉妹たちよ、食べるために集まるときは、皆で共に分かち合うべきです。³⁴

誰かが空腹なら、家で食べるべきです。そうすれば、集まるときに裁きを招くことはありません。そして、私が来たときにさらに指示を与えます。

12 さて、霊的な賜物についてですが、親愛なる友人たち、あなたがたに無知でいてほしくありません。²

あなたがたは、信仰を持たなかったとき、どのようにして導かれていようと、無言の偶像に導かれていたことを知っています。³

それゆえ、私はあなたがたに宣言します。神の霊によって語る者は誰も「イエスは呪われよ」とは言わず、また誰も「イエスは主である」と言うことはできません。ただし、聖霊によってのみです。⁴

さて、賜物にはさまざまな種類がありますが、同じ霊です。⁵

また、奉仕にはさまざまな種類がありますが、同じ主です。⁶

働きにはさまざまな種類がありますが、すべてのことをすべての人に成し遂げるのは同じ神です。⁷

しかし、各人に霊の現れが与えられており、すべての人の利益のためです。⁸

ある人には霊を通して知恵の言葉が与えられ、別の人には同じ霊によって知識の言葉が与えられます。⁹

別の人には同じ霊によって信仰が与えられ、また別の人には同じ霊によって癒しの賜物が与えられます。¹⁰

また別の人には奇跡を行う力が与えられ、別の人には預言が与えられ、別の人には霊を見分ける力が与えられ、別の人にはさまざまな言語が与えられ、別の人には言語の解釈が与えられます。¹¹

しかし、これらすべてにおいて働いているのは同じ一つの霊であり、彼が選ぶままに各人に個別に分配します。¹²

ちょうど体が一つであり、多くの部分を持っているように、体のすべての部分が多くても一つの体であるように、キリストもそうです。¹³

一つの霊によって、私たちは皆、一つの体にバプテスマを受けました。ユダヤ人であろうとギリシャ人であろうと、奴隷であろうと自由人であろうと、皆一つの霊を受けるようにされました。¹⁴

体は一つの部分で構成されているのではなく、多くの部分で構成されています。¹⁵

もし足が「私は手ではないから、体に属していない」と言ったとしても、それは体の一部でないという理由にはなりません。¹⁶

また、耳が「私は目ではないから、体に属していない」と言ったとしても、それは体の一部でないという理由にはなりません。¹⁷

もし体全体が目であつたら、聴覚はどうなるでしょうか？もし全体が聴覚であつたら、嗅覚はどうなるでしょうか？¹⁸

しかし今、神は各部分を体に置き、それぞれを意図した通りに配置しました。¹⁹

もしすべてが一つの部分であつたら、体はどこにあるでしょうか？²⁰

しかし、現実には、多くの部分がありますが、一つの体です。²¹

目は手に「あなたは必要ない」と言うことはできず、また頭は足に「あなたは必要ない」と言うこともできません。²²

逆に、体の中で弱く見える部分が不可欠であることが多いのです。²³

そして、私たちがあまり名誉を与えないと考える体の部分には、より大きな名誉を与え、私たちの見えにくい部分はより慎重に扱われます。²⁴

一方で、私たちの見えやすい部分にはその必要はありません。しかし、神は体をこのように構成し、欠けている部分により豊かな名誉を与えました。²⁵

それは体に分裂がなく、各部分が互いに同じ配慮を持つためです。²⁶

そして、体の一部が苦しむなら、すべての部分が共に苦しみ、一部が栄誉を受けるなら、すべての部分が共に喜びます。²⁷

今、あなたがたはキリストの体であり、個々にその部分です。²⁸

そして、神は教会において、まず使徒、次に預言者、第三に教師、その後奇跡、癒しの賜物、助け、管理、さまざまな言語を任命しました。²⁹

すべてが使徒であるわけではありませんか？すべてが預言者であるわけではありませんか？すべてが教師であるわけではありませんか？すべてが奇跡を行う者であるわけではありませんか？³⁰

すべてが癒しの賜物を持っているわけではありませんか？すべてが言語を話すわけではありませんか？すべてが解釈するわけではありませんか？³¹

しかし、より大きな賜物を熱心に求めなさい。そして、私はあなたがたにもっと優れた道を示そうとしています。

コリント人への手紙第一

13 たとえ私が人間や天使の言葉で話しても、
愛がなければ、鳴り響く銅鐃や鳴り響くシンバルのようなものです。²

たとえ私が預言の賜物を持ち、すべての神秘とすべての知識を理解し、山を動かす完全な信仰を持っていたとしても、愛がなければ、私は無に等しいのです。³
たとえ私がすべての財産を慈善に寄付し、自分の体を誇るために差し出しても、愛がなければ、私には何の益もありません。⁴

愛は忍耐強く、親切です。ねたまず、自慢せず、高慢ではありません。⁵

無礼ではなく、自己中心的ではありません。簡単に怒らず、悪を記録しません。⁶

不正を喜ばず、真理を喜びます。⁷
すべてを守り、すべてを信じ、すべてを望み、すべてを耐え忍びます。⁸

愛は決して失敗しません。しかし、預言があれば、それは終わり、異言があれば、それはやみ、知識があれば、それは消え去ります。⁹

私たちは部分的に知り、部分的に預言します。¹⁰
しかし、完全なものが来ると、部分的なものは消え去ります。¹¹

私は子供のとき、子供のように話し、子供のように考え、子供のように理屈を言いました。しかし、大人になったとき、子供のことを捨てました。¹²

今は鏡に映るぼんやりとしたものを見ていますが、そのときには顔と顔を合わせて見るでしょう。今は部分的に知っていますが、そのときには完全に知るでしょう。ちょうど私が完全に知られているように。¹³

そして今、これら三つが残ります。信仰と希望と愛です。しかし、これらの中で最も偉大なのは愛です。¹⁴

14 愛を追い求めなさい。そして、特に預言することを熱心に求めなさい。²

異言を語る者は人ではなく神に語るのです。誰も理解しないからです。彼は霊において奥義を語っています。³

しかし、預言する者は人に語り、彼らを強め、励まし、慰めます。⁴

異言を語る者は自分を高めますが、預言する者は教会を高めます。⁵

今、私はあなたがた全員が異言を語ることを望みますが、さらに預言することを望みます。預言する者は異言を語る者よりも偉大です。ただし、誰かが解釈するのであれば、教会が高められるためです。⁶
しかし今、兄弟姉妹たちよ、もし私があなたがたのところに異言を語って行ったとしても、啓示、知識、

預言、または教えを持って行かない限り、どのよう

うにしてあなたがたに益をもたらすでしょうか？⁷
それでも、命のない楽器、たとえば笛やハーブであっても、音を出すときに音色の区別を出さなければ、笛やハーブで何が演奏されているのかどうしてわかるでしょうか？⁸

もしラッパが不明瞭な音を出すなら、誰が戦いの準備をするでしょうか？⁹

それと同様に、あなたがたも、異言でわかりやすい言葉を出さなければ、何が話されているのかどうしてわかるのでしょうか？あなたがたはただ空気に向かって話していることになります。¹⁰

世の中には多くの種類の言語があるでしょうが、どれも意味がないわけではありません。¹¹

ですから、もし私がその言語の意味を知らないなら、私は話す者にとって外国人であり、話す者も私にとって外国人です。¹²

ですから、あなたがたも霊的な賜物を熱心に求めているのであれば、教会を高めることにおいて優れるように努めなさい。¹³

したがって、異言を語る者はそれを解釈できるように祈るべきです。¹⁴

もし私が異言で祈るなら、私の霊は祈りますが、私の心は実を結びません。¹⁵

では、結果はどうでしょうか？私は霊で祈りますが、心でも祈ります。私は霊で歌いますが、心でも歌います。¹⁶

さもなければ、もしあなたがたが霊でのみ神を祝福するなら、外部の者があなたの感謝に「アーメン」と言うことがどうしてできるのでしょうか？彼はあなたが何を言っているのか理解していないからです。¹⁷

あなたは十分に感謝していますが、他の人は高められていません。¹⁸

私はあなたがた全員よりも多くの異言を語ることを神に感謝しています。¹⁹

しかし、教会では、理解できる五つの言葉を語り、他の人を教える方が、異言で一万の言葉を語るよりも良いのです。²⁰

兄弟姉妹たちよ、考えにおいて子供であってはいけません。悪に対しては幼子でありなさい。しかし、考えにおいては成熟した者でありなさい。²¹

律法にはこう書かれています：

「異国の舌を持つ人々と 外国人の唇によって
私はこの民に語る、
それでも彼らは私に聞き従わない」
と主は言われます。

22

それゆえ、異言は信じる者のためではなく、不信者のためのしるしです。しかし、預言は不信者のため

コリント人への手紙第一

ではなく、信じる者のためのものです。²³
したがって、教会全体が一緒に集まり、皆が異言を語り、外部の者や不信者が入ってきたら、彼らはあなたがたが正気でないと言うのでしょうか？²⁴
しかし、皆が預言をしているときに、不信者や外部の者が入ってきたら、彼らは皆によって説得され、皆によって責められます。²⁵
彼らの心の秘密が明らかにされるので、彼らは顔を伏せて神を礼拝し、神が本当にあなたがたの中にいると宣言するでしょう。²⁶
では、結果はどうでしょうか、兄弟姉妹たちよ？あなたがたが集まる時、各々が詩篇、教え、啓示、異言、解釈を持っています。すべてのことは高めるために行われるべきです。²⁷
もし誰かが異言を語るなら、二人、または多くても三人が順番に語り、誰かが解釈しなければなりません。²⁸
しかし、解釈者がいないなら、彼らは教会で黙っていなければならない、自分自身と神に語るべきです。²⁹
二人または三人の預言者が語り、他の者たちが評価しなさい。³⁰
しかし、座っている別の者に啓示が与えられたなら、最初の者は黙っていなければなりません。³¹
あなたがたは皆、一人一人が預言することができ、すべての人が学び、すべての人が励まされるためです。³²
そして、預言者の霊は預言者の支配下にあります。³³
神は混乱の神ではなく、平和の神です。すべての聖徒の教会においても同様です。³⁴
女性は教会で黙っているべきです。彼女たちは話すことを許されておらず、律法も言っているように、従うべきです。³⁵
もし何かを学びたいのであれば、彼女たちは家で自分の夫に尋ねるべきです。教会で女性が話すことは不適切です。³⁶
神の言葉があなたから出たのでしょうか？それとも、それが到達したのはあなただけですか？³⁷
誰かが自分を預言者または霊的な者と考えたら、私があなたがたに書いていることが主の命令であることを認めるべきです。³⁸
しかし、これを認めない者がいるなら、その者は認められません。³⁹
したがって、兄弟姉妹たちよ、預言することを熱心に求め、異言を語ることを禁じてはなりません。⁴⁰
しかし、すべてのことは適切に、秩序正しく行われるべきです。

15 さて、親愛なる友よ、私があなたがたに宣べ伝えた福音を、今あなたがたに知らせます。それはあなたがたが受け入れ、また堅く立っているものです。²
この福音によって、あなたがたは救われるのです。ただし、私があなたがたに宣べ伝えた言葉をしっかりと保っているならばです。さもなければ、あなたがたの信仰は無駄になってしまいます。³
私は最も重要なこととして、私自身が受けたものをあなたがたに伝えました。それは、キリストが聖書に従って私たちの罪のために死んだこと、⁴
そして葬られ、三日目に聖書に従ってよみがえったことです。⁵
彼はケファに現れ、その後十二人に現れました。⁶
その後、彼は一度に五百人以上の兄弟たちに現れました。その中の大多数は今も生きていますが、ある者は眠りにつきました。⁷
その後、彼はヤコブに現れ、次にすべての使徒たちに現れました。⁸
そして最後に、時期外れに生まれた者のように、私にも現れました。⁹
私は使徒の中で最も小さい者であり、神の教会を迫害したために使徒と呼ばれるに値しない者です。¹⁰
しかし、神の恵みによって、私は今の私になりました。そして、彼の私に対する恵みは無駄ではありませんでした。私は彼らすべてよりも多く働きましたが、それは私ではなく、私と共にある神の恵みです。¹¹
それで、私であれ彼らであれ、これが私たちが宣べ伝えたことであり、これがあなたがたが信じたことです。¹²
さて、キリストが死者の中からよみがえったと宣べ伝えられているのに、あなたがたの中に死者の復活がないと言う者がいるのはどうしてですか。¹³
しかし、もし死者の復活がないなら、キリストもよみがえっていないことになります。¹⁴
そして、もしキリストがよみがえっていないなら、私たちの宣教は無駄であり、あなたがたの信仰も無駄です。¹⁵
さらに、私たちは神について偽証する者とされます。なぜなら、もし死者がよみがえらないのであれば、神がキリストをよみがえらせたと言ったからです。¹⁶
もし死者がよみがえらないのであれば、キリストもよみがえっていないことになります。¹⁷
そして、もしキリストがよみがえっていないなら、あなたがたの信仰は無駄であり、あなたがたはまだ罪の中にいます。¹⁸
その場合、キリストにあって眠った者たちも滅びた

コリント人への手紙第一

ことになります。¹⁹
もし私たちがこの世の命のためだけにキリストに希望を持っているなら、私たちはすべての人の中で最も哀れな者です。²⁰
しかし今や、キリストは死者の中からよみがえり、眠った者たちの初穂となりました。²¹
死が一人の人を通して来たように、死者の復活もまた一人の人を通して来ます。²²
アダムにあってすべての人が死ぬように、キリストにあってすべての人が生かされるのです。²³
しかし、各々自分の順番で：キリストが初穂であり、その後、彼の来臨のときにキリストに属する者たちです。²⁴
その後、終わりが来ます。彼がすべての支配とすべての権威と力を滅ぼした後、王国を私たちの神と父に引き渡すときです。²⁵
彼はすべての敵を彼の足の下に置くまで、支配しなければなりません。²⁶
最後に滅ぼされる敵は死です。²⁷
彼はすべてのものを彼の足の下に服従させました。しかし、「すべてのものが服従させられた」と言うとき、それは彼にすべてのものを服従させた方を除外することは明らかです。²⁸
すべてのものが彼に服従させられるとき、御子自身もまた、すべてのものを彼に服従させた方に服従するでしょう。それは神がすべてにおいてすべてとなるためです。²⁹
さもなければ、死者のためにバプテスマを受ける者たちは何をするのでしょうか。もし死者が全くよみがえらないのであれば、なぜ彼らはそのためにバプテスマを受けるのですか。³⁰
なぜ私たちは毎時間危険に直面しているのでしょうか。³¹
私は、私たちの主イエス・キリストにあってあなたがたに対する誇りによって宣言しますが、私は毎日死に直面しています。³²
もし人間的な動機からエフェソで野獣と戦ったとしても、それは私にとって何の利益があるのでしょうか。もし死者がよみがえらないのであれば、
「食べて飲もう、明日は死ぬのだから。」
³³
惑わされてはいけません。「悪い仲間は良い道徳を腐らせる。」³⁴
義に目覚め、罪を犯すのをやめなさい。神を知らない者がいるのです。私はあなたがたの恥のためにこれを言います。³⁵
しかし、誰かが尋ねるでしょう。「死者はどのようによみがえるのですか。そしてどのような体で来る

のですか。」³⁶
愚かな者よ！あなたが植えるものは、死ななければ生き返りません。³⁷
そして、あなたが蒔くものは、将来の体ではなく、裸の種、たとえば小麦や他の何かです。³⁸
しかし、神はそれに彼が望む体を与え、各々の種にそれ自身の体を与えます。³⁹
すべての肉が同じではありません。人間には一つの種類があり、動物には別の種類があり、鳥には別の種類があり、魚には別の種類があります。⁴⁰
また、天の体と地の体がありますが、天の栄光は一つの種類であり、地の栄光は別の種類です。⁴¹
太陽の栄光は一つ、月の栄光は別のもの、星の栄光はまた別のものです。星は栄光において星と異なります。⁴²
死者の復活も同様です。体は朽ちるものとして蒔かれ、朽ちないものとしてよみがえります。⁴³
それは無名で蒔かれ、栄光においてよみがえり、弱さで蒔かれ、力においてよみがえります。⁴⁴
それは自然の体として蒔かれ、霊的な体としてよみがえります。自然の体があるなら、霊的な体もまたあります。⁴⁵
それは書かれている通りです：「最初の人アダムは生きる者となった。」そして最後のアダムは命を与える霊となりました。⁴⁶
しかし、霊的なものが最初に来たのではなく、自然のものが来て、その後に霊的なものが来ました。⁴⁷
最初の人とは地から来た者であり、塵から作られました。第二の人とは天から来た者です。⁴⁸
塵から来た者のように、塵から来た者たちもそうです。そして天から来た者のように、天から来た者たちもそうです。⁴⁹
私たちが塵から来た者の像を持っているように、天から来た者の像も持つでしょう。⁵⁰
さて、親愛なる友よ、私はこれを宣言します。肉と血は神の国を受け継ぐことはできません。朽ちるものは朽ちないものを受け継ぐことはできません。⁵¹
聞いてください、私はあなたがたに一つの秘密を告げます。私たちは皆眠るわけではありませんが、皆変えられるでしょう。⁵²
瞬間に、最後のラッパの音で。ラッパが鳴り響き、死者は朽ちないものとしてよみがえり、私たちは変えられるでしょう。⁵³
この朽ちるものは朽ちないものをまとうなければならず、この死ぬべきものは不死をまとうなければなりません。⁵⁴
しかし、この朽ちるものが朽ちないものをまとい、この死ぬべきものが不死をまとうとき、書かれてい

コリント人への手紙第一

る言葉が成就します：
「死は勝利に飲み込まれた。

55 死よ、お前の勝利はどこにあるのか？
死よ、お前のとげはどこにあるのか？」

56 死のとげは罪であり、罪の力は律法です。 57
それゆえ、私たちの主イエス・キリストを通して、
私たちに勝利を与えてくださる神に感謝します。 58
それゆえ、私の愛する友よ、堅固で動かされず、主
の働きにおいて常に優れているようにしなさい。あ
なたがたの労苦が主にあって無駄でないことを知っ
ているからです。

16 信者のための献金については、ガラテヤの
諸教会に指示したように、あなたがたも同
じようにしなさい。 2

毎週の初めの日に、各自が自分の収入に応じて蓄え
ておきなさい。私が行ったときに献金を集める必要
がないようにするためです。 3

私が到着したときに、あなたがたが認めた人々を、
手紙を持たせてエルサレムにあなたがたの贈り物を
届けるために送ります。 4

もし私が行くのが適当であるならば、彼らは私と一
緒に行くでしょう。 5

私はマケドニアを通過した後にあなたがたのところ
に行きます。私はマケドニアを通過しているからで
す。 6

そして、あなたがたのところに滞在するか、あるいは
冬を過ごすかもしれません。そうすれば、私がど
こへ行くにしても、あなたがたが私を旅立たせてく
れるでしょう。 7

私は今、短時間だけあなたがたに会いたいとは思ひ
ません。主が許せば、しばらくの間、あなたがたと
共にいたいと思っています。 8

しかし、私はペンテコステまでエフェソに留まるつ
もりです。 9

なぜなら、効果的な働きのための大きな機会が開か
れており、多くの反対者がいるからです。 10

さて、もしテモテが来たならば、彼があなたがたと

共にいる間に恐れることがないようにしてください
。彼は私と同じように主の働きをしているからです
。 11

ですから、彼を軽んじてはいけません。彼を平和の
うちに送り出し、私のところに来させてください。 12

私は彼を兄弟たちと共に待っています。 12
さて、私たちの兄弟アポロについてですが、私は彼
に兄弟たちと共にあなたがたのところに行くよう強
く勧めました。しかし、彼は今行く意志が全くあり
ませんでしたが、機会があれば行くでしょう。 13
目を覚ましていなさい。信仰に堅く立ちなさい。勇
気を持ちなさい。強くありなさい。 14

あなたがたのするすべてのことを愛をもって行いな
さい。 15

さて、兄弟たちよ、私はあなたがたに勧めます。あ
なたがたはステファナの家族を知っています。彼ら
はアカイアの初穂であり、聖徒たちへの奉仕に専念
しています。 16

そのような人々や、働きに協力し、労苦するすべて
の人に従うべきです。 17

私はステファナ、フォルトゥナト、アカイクスの到
着を喜んでいます。彼らはあなたがたの不足を補っ
てくれました。 18

彼らは私の霊とあなたがたの霊を爽やかにしてくれ
ました。それゆえ、そのような人々を認めなさい。
19

アジアの諸教会があなたがたによろしくと言ってい
ます。アキラとプリスカが、彼らの家に集まる教会
と共に、主にあって心からあなたがたによろしくと
言っています。 20

すべての信者があなたがたによろしくと言っていま
す。聖なるロづけをもって互いに挨拶しなさい。 21

この挨拶は私パウロが自分の手で書いています。 22
もし誰かが主を愛さないならば、その人は呪われる
べきです。マラナタ！ 23

主イエスの恵みがあなたがたと共にありますように
。 24

私の愛はキリスト・イエスにあってあなたがたすべ
てと共にあります。アーメン。

コリント人への手紙第二

1 神の御心によってキリスト・イエスの使徒となったパウロと、兄弟デモテから、

アカイア全土にいるすべての聖徒たちと共に、コリントにある神の教会へ。

私たちの父なる神と主イエス・キリストから、恵みと平安があなたがたにありますように。

私たちの主イエス・キリストの父である神、慈悲深い父、すべての慰めの源に賛美がありますように。

神は私たちのすべての苦しみの中で私たちを慰め、私たち自身が神から受ける慰めをもって、苦しんでいる人々を慰めることができるようにしてくださいます。

私たちがキリストの苦しみに豊かにあずかっているように、キリストによって私たちの慰めも豊かにあふれます。

しかし、もし私たちが苦しみに遭うなら、それはあなたがたの慰めと救いのためであり、もし私たちが慰められるなら、それはあなたがたの慰めのためであり、それはあなたがたが私たちと同じ苦しみに耐え忍ぶのを助けるのです。

そして、あなたがたに対する私たちの希望は揺るぎません。なぜなら、あなたがたが私たちの苦しみにあずかるように、慰めにもあずかることを知っているからです。

兄弟たちよ、私たちがアジアで直面した苦しみについて、あなたがたに知らずにいてほしくありません。それは私たちの耐えられる力を超えて重荷となり、命さえも絶望するほどでした。

実際、私たちは死の宣告を受けたと思いました。それは私たちが自分自身に頼らず、死者をよみがえらせる神に頼るためでした。

神はそのような死の危険から私たちを救い出し、今後も救い出してくださいます。私たちは神に希望を置いており、神はさらに私たちを救い出してくださいましょう。

もしあなたがたも祈りをもって私たちを助けてくださるなら、多くの人々が私たちのために祈りを通して与えられた恵みについて感謝をささげることができるでしょう。

私たちの誇りはこれです。すなわち、私たちがこの世において、特にあなたがたに対して、世の知恵ではなく神の恵みによって、聖なる純真さと神の誠実をもって行動してきたという、私たちの良心の証です。

私たちは、あなたがたが読んで理解すること以外には何も書いていません。そして、あなたがたが完全に理解することを望んでいます。

ちょうどあなたがたが部分的に私たちを理解したよ

うに、私たちがあなたがたの誇りの理由であるように、あなたがたも私たちの誇りの理由であることを、私たちの主イエスの日に知ることができるでしょう。

この確信において、私は最初にあなたがたを訪れるつもりでした。それはあなたがたが二重の祝福を受けるためです。

つまり、マケドニアに行く途中であなたがたのところを通り、再びマケドニアからあなたがたのところに来て、ユダヤに向かう際にあなたがたに助けってもらうためです。

それゆえ、私がこれをしようと意図したとき、優柔不断ではなかったでしょうか？ また、私が計画することは、人間の基準に従って計画するのでしょうか？ それで私と共に「はい、はい」と「いいえ、いいえ」があるのでしょうか？

しかし、神が真実であるように、私たちのあなたがたへのメッセージは「はい」と「いいえ」の混合ではありません。

なぜなら、神の御子キリスト・イエスは、私たちによって、私とシルワノとデモテによってあなたがたの間で宣べ伝えられた方ですが、「はい」と「いいえ」の混合ではなく、常に彼において「はい」であるからです。

神のすべての約束は彼において「はい」となり、それゆえ私たちは彼を通して神の栄光のために「アーメン」を述べます。

私たちとあなたがたをキリストにおいて確立して下さるのは神です。神は私たちに油を注ぎくださいました。

また、神は私たちに所有の印を押し、保証として御霊を私たちの心に与えてくださいました。

しかし、私は神を証人として呼びます。それは、あなたがたを惜しんで、コリントに戻らなかったのです。

私たちがあなたがたの信仰を支配しているのではなく、あなたがたの喜びのために共に働いているのです。なぜなら、信仰によってあなたがたは堅く立っているからです。

2 しかし、私は自分のために決心しました。再び悲しみをもってあなたがたを訪れることはしない。

もし私があなたがたに悲しみをもたらしなら、私を喜ばせるのは誰でしょうか？ 私によって悲しんでいるその人以外に。

これはまさに私があなたがたに書いたことです。それは、私が到着したときに、私に喜びをもたらしべき人々から悲しみを受けないためです。あなたがた全員が私の喜びを共有してくれると確信しているか

コリント人への手紙第二

らです。⁴
多くの苦悩と心痛から、私は多くの涙をもってあなたがたに書きました。それはあなたがたに悲しみをもたらすためではなく、特にあなたがたに対する私の愛を理解してもらうためです。⁵
しかし、もし誰かが苦悩を引き起こしたなら、それは私に対してではなく、ある程度は—誇張せずに言えば—あなたがた全員に対してです。⁶

そのような人にとっては、多数によって課されたこの罰が十分です。⁷
したがって、逆にあなたがたはむしろ彼を許し、慰めるべきです。さもなければ、そのような人は過度の悲しみに圧倒されるかもしれません。⁸
したがって、私はあなたがたに彼に対する愛を再確認するように促します。⁹
この目的のために私はまた書きました。あなたがたがすべてのことにおいて従順であるかどうかを試すためです。¹⁰
しかし、あなたがたが誰かを許すなら、私も許します。実際、私が何かを許したなら、それはキリストの前であなたがたの利益のために行いました。¹¹
それは、私たちがサタンに出抜かれないためです。私たちは彼の策略を知っているからです。¹²
さて、私はキリストの福音のためにトロアスに来たとき、主において機会が開かれたとき、¹³
私は私の兄弟ティトスを見つけられず、私の霊に安らぎを見出せませんでした。それで彼らに別れを告げてマケドニアへ行きました。¹⁴
しかし、神に感謝します。神はいつもキリストにおいて私たちを勝利に導き、私たちを通して彼の知識の香りをあらゆる場所に広めてくださいます。¹⁵
私たちは救われる者たちの間でも滅びる者たちの間でも、神に対してキリストの心地よい香りです。¹⁶
ある者にとっては死から死への香り、他の者にとっては命から命への香りです。そして、これらのことに十分な者は誰でしょうか？¹⁷
私たちは多くの者のように神の言葉を売り物にするのではなく、誠実さから、神からの者として、神の前でキリストにおいて語ります。

3 私たちは再び自分自身を称賛し始めるのでしょうか。それとも、ある人々のように、あなたがたに対して、あるいはあなたがたから推薦状を必要とするのでしょうか。²

あなたがたは私たちの手紙であり、私たちの心に刻まれ、すべての人に認められ、理解されています。³

あなたがた自身が、私たちによって届けられたキリストの手紙であることを示しています。それはイン

クで書かれたのではなく、生ける神の霊によって書かれたものであり、石の板ではなく、人間の心の板に書かれたものです。⁴

これが、私たちがキリストを通して神に持っている確信です。⁵

私たち自身が何かを自分から出たものとして主張するのに十分ではありませんが、私たちの十分さは神から来るのです。⁶

神はまた、私たちを新しい契約の務めを果たす者として適任にしてくださいました。それは文字によるのではなく、霊によるものです。文字は死をもたらしますが、霊は命を与えます。⁷

しかし、もし死をもたらす務めが、石に刻まれた文字であっても栄光を伴っていたので、イスラエルの子らがモーセの顔の栄光のために、その顔をじっと見つめることができなかったとすれば、⁸
霊の務めは、さらに栄光に満ちているのではないでしょう。か。⁹

もし、罪を定める務めが栄光を持っていたなら、義をもたらす務めはさらに栄光に満ちているのです。¹⁰

かつて栄光を持っていたものは、今ではその超える栄光に比べて栄光を持たないのです。¹¹

もし、消え去るものが栄光と共にあったなら、残るものはさらに栄光に満ちているのです。¹²

それゆえ、このような希望を持っているので、私たちは大胆に語ります。¹³

そして、私たちはモーセのようではありません。彼はイスラエルの子らが消え去るものをじっと見つめないように、自分の顔に覆いをかけていました。¹⁴
しかし、彼らの心は鈍くなっていました。今日に至るまで、古い契約が読まれるとき、その同じ覆いが取り去られずに残っています。それはキリストにおいて取り去られるのです。¹⁵

しかし、今でもモーセが読まれるとき、覆いが彼らの心を覆っています。¹⁶

しかし、誰かが主に向くとき、その覆いは取り去られます。¹⁷

主は霊であり、主の霊が宿るところには自由があります。¹⁸

しかし、私たちは皆、覆いのない顔で、鏡に映るように主の栄光を見つめ、その同じ姿に栄光から栄光へと変えられていきます。それは主である霊から来るのです。

4 このように、私たちはこの務めを持っているので、受けた憐れみによって、心を失うことはありません。

コリント人への手紙第二

しかし、私たちは恥ずべき隠れたことを捨て、欺き歩まず、神の言葉を改ざんせず、真理を公然と宣言することによって、神の御前であらゆる人の良心に自らを推薦します。

たとえ私たちの福音が覆われていても、それは失われている人々に対してのみ覆われているのです。

その場合、この世の神が不信者の心を盲目にして、神の姿であるキリストの栄光の福音の光を見ることができないようにしています。

私たちは自分自身を宣べ伝えるのではなく、主であるキリスト・イエスを宣べ伝え、イエスのためにあなたがたのしもべとして自分たちを宣べ伝えます。

「光が闇から輝き出る」と言われた神が、キリストの顔における神の栄光の知識の光を与えるために、私たちの心を照らされたのです。

しかし、私たちはこの宝を土の器に持っており、その力の卓越した偉大さが神からであり、私たちからではないことが明らかになるためです。

私たちは四方から苦しめられますが、押しつぶされることはありません。時には混乱しますが、絶望することはありません。

迫害されても見捨てられることはなく、打ち倒されても滅ばされることはありません。

いつもイエスの死を体に帯びているのは、イエスの命もまた私たちの体に現れるためです。

私たち生きる者は、イエスのために絶えず死に渡されていますが、それはイエスの命もまた私たちの死ぬべき肉体に現れるためです。

したがって、死は私たちの中で働き、命はあなたがたの中で働いています。

しかし、「私は信じた、それゆえに語った」と書かれているように、同じ信仰の霊を持っているので、私たちも信じ、それゆえに語ります。

主イエスをよみがえらせた方が、イエスと共に私たちもよみがえらせ、あなたがたと共に私たちを御前に立たせてくださることを知っています。

すべてのことはあなたがたの益のためであり、恵みがますます多くの人々に広がり、神の栄光のために感謝があふれるようになるためです。

ですから、私たちは心を失うことはありません。たとえ私たちの外なる人は衰えても、内なる人は日ごとに新たにされています。

私たちの一時的な軽い苦しみは、比べ物にならない永遠の重い栄光を私たちのために生み出しています。

私たちは見えるものではなく、見えないものに目を向けています。見えるものは一時的ですが、見えないものは永遠です。

5 私たちは知っています、もし私たちの地上の住まい、すなわち私たちの家を取り壊されるならば、神からの建物があり、人の手で作られていない永遠の天にある住まいがあります。

2 本当に、この住まいにおいて私たちはうめき、天の住まいを着ることを切望しています。

3 実際、いったん着ると、裸で見つかることはありません。

4 本当に、この住まいにいる私たちはうめき、重荷を感じています。なぜなら、裸でいたくないからであり、着ることを望んでいるからです。それで、死ぬべきものが命に包まれるのです。

5 今や、この目的のために私たちを備えてくださったのは神であり、保証として御霊を与えてくださいました。

6 それゆえ、常に勇気を持ち、体にいる間は主から離れていることを認識しています。

7 私たちは見えるものによってではなく、信仰によって歩んでいるからです。

8 しかし、私たちは勇気を持っており、体を離れて主と共にいることを望んでいます。

9 それゆえ、私たちは家にいるにせよ離れているにせよ、彼に喜ばれることを目標としています。

10 私たちは皆、キリストの裁きの座の前に現れなければならないので、それぞれが体を通して行った行いに応じて、良いことであれ悪いことであれ、報いを受けるのです。

11 それゆえ、主の畏敬を知っているので、人々を説得しますが、私たちは神に完全に知られています。そして、あなたがたの良心にも完全に知られていることを望んでいます。

12 私たちは再び自分自身をあなたがたに推薦しているのではなく、私たちを誇る機会を提供しています。それは、心ではなく外見を誇る人々に対して応答を持ためです。

13 もし私たちが正気を失ったように見えるなら、それは神のためです。もし私たちが正気であるなら、それはあなたがたのためです。

14 キリストの愛が私たちを駆り立てます。すべての人

コリント人への手紙第二

のために一人が死んだと結論付けたからです。それゆえ、すべての人が死んだのです。¹⁵

そして、彼はすべての人のために死にました。それは、生きる者がもはや自分自身のために生きるのではなく、彼らのために死んで復活した方のために生きるためです。¹⁶

それゆえ、今からは私たちは肉に従って誰も見ません。たとえ私たちが肉に従ってキリストを知っていたとしても、今はもはやそのようには知りません。¹⁷

それゆえ、誰でもキリストの中にいるなら、その人は新しい創造です。古いものは過ぎ去り、見よ、新しいものが来ました。¹⁸

今や、これらすべてのことは神から来ています。彼はキリストを通して私たちに御自身と和解させ、和解の務めを私たちに委ねられました。¹⁹

すなわち、神はキリストにおいて世を御自身と和解させ、彼らの過ちを彼らに数えず、和解の言葉を私たちに委ねられました。²⁰

それゆえ、私たちはキリストの代表者です。まるで神が私たちを通して訴えているかのように。私たちはキリストのためにあなたがたに懇願します。神と和解してください。²¹

彼は罪を知らない方を私たちのために罪とされました。それは、私たちが彼の中で神の義となるためです。

6 そして、私たちは神と共に働く者として、あなたがたに神の恵みは無駄に受けないように勧めます—² 神は言われます、

「恵みの時にあなたがたに耳を傾け、
救いの日にあなたを助けた。」

見よ、今は「恵みの時」、見よ、今は「救いの日」です—

³ 何事にもつまずきを与えず、私たちの務めが非難されないようにし、⁴

むしろ、あらゆる事において、私たちは神のしもべとして自らを示します。多くの忍耐、苦難、困難、窮地において、⁵

打たれ、投獄され、暴動に遭い、労苦し、眠れず、飢えにおいて、⁶

純潔、知識、寛容、親切、聖霊、偽りのない愛において、⁷

真理の言葉、神の力によって、右手と左手に義の武器を持って、⁸

榮譽と不名誉、悪評と良評によって、欺く者と見なされながらも真実であり、⁹

知られない者とされながらもよく知られ、死にかけ

ているようで見よ、生きており、罰せられているように死に至らず、¹⁰

悲しんでいるようで常に喜びを見だし、貧しいように多くの人を豊かにし、何も持たないようで全てを所有しています。¹¹

私たちの口はあなたがたに対して自由に語り、コリントの人々よ、私たちの心は広く開かれています。¹²

あなたがたを制限しているのは私たちではなく、むしろあなたがた自身の愛情があなたがたを制約しています。¹³ 今、同じように交換として—私は子供たちに話すように—

あなたがたの心を広く開いてください。¹⁴

不信者と不釣り合いな軛を負わないでください。義と不法が何を共有しているのか、光と闇が何を共有しているのか。¹⁵

キリストとベリアルが何の一致を持っているのか、信者と不信者が何を共有しているのか。¹⁶

神の神殿と偶像の間にどんな合意があるのか。私たちは生ける神の神殿です。神が宣言されたように：

「私は彼らの間に住み、彼らの間を歩む。

そして、私は彼らの神となり、彼らは私の民となる。

¹⁷ それゆえ、

彼らの中から出て、別れなさい」と主は言われる。

「汚れたものに触れてはならない。

そうすれば、私はあなたを受け入れる。

¹⁸ そして

私はあなたに父となり、
あなたは私の息子と娘となる」とと
全能の主は宣言される。

7 したがって、これらの約束を持っているので、親愛なる友人たちよ、体と霊を汚すすべてのものから自分を清め、神への畏敬の念から聖さを追い求めましょう。²

私たちに心を開いてください。私たちは誰にも害を与えず、誰も墮落させず、誰からも利益を得ていません。³

これはあなたを非難するために言っているのではありません。以前に言ったように、あなたは私たちの心にあり、共に死と命を分かち合うのです。⁴

あなたに対する私の信頼は大きく、あなたに対する私の誇りは計り知れません。私は慰めに満ち、すべての困難にもかかわらず喜びにあふれています。⁵ 私たちがマケドニアに到着したときでさえ、私たちの体には休息がなく、あらゆる面で困難に直面しま

コリント人への手紙第二

した。外には争いがあり、内には恐れがありました。⁶

しかし、落胆する者を励ます神は、ティトスの到来によって私たちを励ましてくださいました。⁷

そして彼の到来だけでなく、彼があなたから受けた励ましによって、彼は私たちにあなたの切望、悲しみ、私に対する熱意を語ってくれたので、私はさらに喜びました。⁸

私の手紙であなたに悲しみをもたらしたとしても、私はそれを後悔していません。手紙が一時的にあなたに悲しみをもたらしたことを見て後悔しましたが、⁹

今は喜んでいます。それはあなたが悲しんだからではなく、その悲しみが悔い改めに導いたからです。あなたは神の御心に沿った方法で悲しんだので、私たちから何の損失も受けませんでした。¹⁰

神の御心に沿った悲しみは、救いに至る悔い改めをもたらし、後悔を残しませんが、世の悲しみは死をもたらしす。¹¹

この神の御心に沿った悲しみがあなたにどれほどの熱心さを生み出したかを見てください。自己弁護、憤り、恐れ、切望、熱意、誤りの是正！あらゆることにおいて、あなたはこの件において無実であることを示しました。¹²

したがって、私はあなたに手紙を書きましたが、それは犯した者のためでも、被害者のためでもなく、私たちのためのあなたの熱心さが神の前で明らかにされるためでした。¹³

この理由で私たちは慰められました。そして私たち自身の慰めに加えて、ティトスの喜びのためにさらに多くの喜びを感じました。彼の霊はあなた方全員によって新たにされました。¹⁴

もし私があなたについて何かを彼に誇ったとしても、私は恥をかくことはありませんでした。私たちがあなたに真実を語ったように、ティトスに対する私たちの誇りもまた真実であることが証明されました。¹⁵

彼のあなたに対する愛情はますます深まり、あなた方全員の従順さを思い出し、彼を敬意と謙虚さで迎えたことを思い出しています。¹⁶
私はすべてのことにおいてあなたに信頼を持っていることを喜んでいます。

8 親愛なる兄弟姉妹たちよ、私たちはマケドニアの諸教会に授けられた神の恵みをあなたがたと共有したいと思います。²

彼らは激しい試練の中で、豊かな喜びと深い貧しさが溢れ出し、豊かな寛大さに至りました。³

私は証言できますが、彼らはその能力に応じて、さらにはその能力を超えて、自発的に与えました。⁴

聖徒たちの支援に参加する恩恵を求めて、私たちに熱心に懇願しました。⁵

そしてこれは、私たちが予想していた以上であり、彼らはまず主に、そして私たちに神の御心に従って捧げました。⁶

それで、ティトに以前始めたように、この恵みの業をあなたがたの間で完成させるよう奨励しました。⁷

しかし、あなたがたが信仰、言葉、知識、すべての熱心さ、そして私たちがあなたがたに植え付けた愛において優れているように、この恵みの業にも優れていることを見てください。⁸

私はこれを命令としてではなく、他の人々の熱心さを通じてあなたがたの愛の誠実さを試す手段として述べています。⁹

あなたがたは私たちの主イエス・キリストの恵みを知っています。彼は富んでおられたのに、あなたがたのために貧しさを受け入れられたのです。それは彼の貧しさによってあなたがたが富むためです。¹⁰

この件に関して私の意見を述べますが、それはあなたがたの利益のためです。あなたがたは1年前にこれを始めただけでなく、それを望んでいたのです。¹¹

しかし今、それを行うことを完成させなさい。そうすれば、それを行う意欲があったように、あなたがたの能力によってそれを完成させることができるでしょう。¹²

意欲があるならば、それは人が持っているものに依じて受け入れられ、持っていないものに依じてではありません。¹³

これは他の人々を樂にし、あなたがたを負擔させるためではなく、公平の問題です。¹⁴

現在、あなたがたの豊かさが彼らの必要を満たし、彼らの豊かさもあなたがたの必要を満たすことになり、公平に至るのです。¹⁵

聖書に書かれているように、「多く集めた者も余ることなく、少なく集めた者も不足することがなかった。」¹⁶

しかし、ティトの心にあなたがたへの同じ熱心さを与えてくださる神に感謝します。¹⁷

彼は私たちの要請を受け入れてだけでなく、自ら非常に熱心で、進んであなたがたのもとに行きました。¹⁸

私たちは彼と共に、福音の事柄で評判がすべての教会に広まっている兄弟を送りました。¹⁹

それだけでなく、彼は教会によってこの恵みの業において私たちと共に旅するよう任命されました。この業は主ご自身の栄光のために、私たちの準備を示すために管理されています。²⁰

コリント人への手紙第二

この寛大な贈り物の取り扱いにおいて、誰も私たちを非難しないように注意を払っています。²¹

私たちは主の目だけでなく、人々の目にも名譽あることを心がけています。²²

私たちは彼らと共に、何度も試され、多くのことにおいて勤勉であることがわかった兄弟を送りましたが、今はあなたがたに対する大きな信頼のためにさらにそうです。²³

ティトについて言えば、彼は私の仲間であり、あなたがたの間で共に働く者です。私たちの兄弟たちは教会の使者であり、キリストへの栄光です。²⁴

したがって、すべての教会の前で、あなたがたの愛の証拠と、私たちがあなたがたを誇りに思っている理由を彼らに示してください。

9 聖徒たちへのこの奉仕について、あなたがたに書く必要はありません。²

あなたがたの熱心さを私は知っており、それをマケドニア人に話しました。アカイアは昨年準備ができており、あなたがたの熱意が彼らの多くを奮い立たせました。³

しかし、私たちのあなたがたについての誇りがこの場合に空にならないように、また私が言ったように、あなたがたが準備できているように、兄弟たちを送りました。⁴

そうでないと、もし私と共にマケドニア人が来て、あなたがたが準備できていないのを見つけたら、この確信において私たちは—

あなたがたは言うまでもなく—恥をかくことになります。⁵

それで、兄弟たちに先に行行って、前もって約束された寛大な贈り物を準備するように促すことが必要だと考えました。それが貪欲による嫌々のものではなく、寛大な贈り物として準備されるためです。⁶

さて、私はこれを言います。少しでも蒔く者は少しでも刈り取り、豊かに蒔く者は豊かに刈り取ります。⁷

各人は心に決めたとおりに与えるべきであり、嫌々ながらや強制されてではなく、神は喜んで与える者を愛されます。⁸

そして、神はすべての恵みをあなたがたに豊かに与えることができるので、すべてのことにおいて常に十分であり、すべての良い行いにおいて卓越することができます。⁹ 聖書に書かれているとおりです：

「彼は広く散らし、貧しい者に与えた。
その義は永遠に続く。」

10

今、蒔く者に種を与え、食物のためのパンを与える方が、あなたがたの蒔くための種を供給し、増やし

、あなたがたの義の収穫を増大させます。¹¹

あなたがたはすべての面で豊かになり、すべての寛大さのために、私たちを通して神への感謝をもらいます。¹²

この奉仕の務めは、聖徒たちの必要を完全に満たすだけでなく、多くの感謝を通して神に溢れています。¹³

この奉仕によって証明されたために、彼らはあなたがたのキリストの福音への告白への従順さと、彼らおよびすべての人へのあなたがたの寛大な貢献のために神を栄光化します。¹⁴

彼らもまた、あなたがたのために祈りを通して、あなたがたを慕い、あなたがたの中にある神の驚くべき恵みのゆえに慕います。¹⁵

言葉に尽くせない神の賜物に感謝します！

10 私はパウロです。キリストの謙遜と優しさをもってあなた方に訴えます。私はあなた方と共にいる時は謙虚ですが、離れている時は大胆です。²

私があなた方と共にいる時、世の基準に従って生きていると考えている人々に対して計画しているほど大胆である必要がないことを願っています。³

私たちは世に生きていますが、世のように戦うものではありません。⁴

私たちの戦いの武器はこの世のものではなく、要塞を破壊する神の力を持っています。⁵

私たちは神の知識に逆らうあらゆる議論や偽りの主張を打ち砕き、あらゆる思いを捕らえてキリストに従わせます。⁶

そして、あなた方の従順が完全になった時、すべての不従順な行為を罰する準備ができています。⁷

あなた方は外見に基づいて判断しています。もし誰かが自分がキリストに属していると確信しているなら、私たちも同様にキリストに属していることを再考すべきです。⁸

たとえ私があなた方を建て上げるために与えられた主の権威について多少自由に誇るとしても、それを恥じることはありません。⁹

それは、私の手紙であなた方を怖がらせようとしているように見えないためです。¹⁰

ある人々は言います、「彼の手紙は重くて力強いが、本人は存在感がなく、話すことは大したことがない」と。¹¹

そのような人々は、私たちが不在の時に手紙であるように、現場でも行動であることを理解すべきです。¹²

私たちは、自分自身を推薦する人々と自分を分類したり比較したりすることを敢えてしません。彼らが自分の基準で自分を測り、自分と自分を比較する時

コリント人への手紙第二

、彼らは知恵を欠いています。¹³
しかし、私たちは適切な範囲を超えて誇ることはせず、神自身が私たちに指定した範囲に限って誇ります。それにはあなた方も含まれています。¹⁴
私たちは誇ることに於いて越権しているわけではありません。もし私たちがあなた方に來ていなかったならそうであったでしょうが、私たちはキリストの福音をもってあなた方に到達しました。¹⁵
他人の働きについて誇ることで限界を超えることもありません。私たちの希望は、あなた方の信仰が成長し続けるにつれて、あなた方の間での私たちの活動の範囲が大いに拡大することです。¹⁶
それによって、あなた方を越えた地域で福音を宣べ伝えることができるようにするためです。他人の領域で既に成し遂げられた働きについて誇ることを望んでいません。¹⁷
しかし、「誇る者は主を誇れ」。¹⁸
自分を称賛する者が認められるのではなく、主が称賛する者が認められるのです。

11 少し愚かなことを言うことを許してほしい。
2 実際、あなた方はすでにそうしている。

私は神の熱心さをもってあなた方を心配している。私はあなた方を一人の夫に婚約させ、キリストに純潔な花嫁として捧げるためである。³
しかし、蛇がその狡猾さでエバを欺いたように、あなた方の心がキリストへの純粋で誠実な献身から逸れてしまうのではないかと恐れている。⁴
もし誰かが来て、私たちが宣べ伝えなかった別のイエスを宣べ伝えたり、あなた方が受けたことのない異なる霊を受けたり、受け入れたことのない異なる福音を受け入れたりするなら、あなた方はこれを非常に良く耐えている！⁵
私は、これらの最も優れた使徒たちに対して、何ら劣っているとは思わない。⁶
たとえ私が話す技術に欠けていても、知識には欠けていない。実際、あらゆる点で私たちはこれをあなた方に明らかにしてきた。⁷
それとも、あなた方が高められるために自分を低くして、神の福音を無償であなた方に宣べ伝えたことで、私は間違いを犯したのか？⁸
私は他の教会から支援を受け、彼らの援助を受け入れてあなた方に仕えた。⁹
そして、私があなた方と共にいて必要があったとき、誰にも負担をかけなかった。マケドニアから兄弟たちが來たとき、彼らは私の必要を十分に満たしてくれた。そして、すべてにおいて私はあなた方に負担をかけないようにし続けている。¹⁰
キリストの真実をもって、私はアカイアの地域でこ

の私の誇りが沈黙させられないことを宣言する。¹¹
それは私があなた方を愛していないからか？神は私のあなた方への愛の深さを知っている。¹²
しかし、私がしていることを続けるのは、彼らが誇っていることについて私たちと同じように見られたいと望む人々から機会を取り除くためである。¹³
そのような人々は偽徒であり、欺く働き人であり、キリストの使徒として偽装している。¹⁴
驚くことではない。サタンでさえ光の天使として偽装するのだから。¹⁵
したがって、彼のしもべたちも義のしもべとして偽装することは驚くべきことではない。その終わりは彼らの行いに応じてである。¹⁶
再び言うが、誰も私を愚かだと思わないでほしい。しかし、もしそう思うなら、私を愚か者として受け入れてほしい。そうすれば私も少し誇ることができる。¹⁷
私が言っていることは、主が言うようではなく、むしろ愚かさの精神で、誇りの自信をもって言っている。¹⁸
多くの人が世の基準に従って誇るので、私も誇る。¹⁹

あなた方は賢いので、愚かな者を喜んで耐えている。²⁰
誰かがあなた方を奴隷にし、食い尽くし、利用し、自分を高め、顔を打つなら、あなた方はそれを耐えている。²¹
残念ながら、私たちは比較して弱かったことを認めなければならぬ。しかし、誰かが大胆であるならば—私は愚かさで話している—私も大胆である。²²
彼らはヘブライ人か？私もそうである。彼らはイスラエル人か？私もそうである。彼らはアブラハムの子孫か？私もそうである。²³
彼らはキリストのしもべか？—
私は正気を失ったかのように話している—
私はそれ以上である。はるかに多くの労働、はるかに多くの投獄、数え切れないほどの打撃、しばしば死の危険にさらされた。²⁴
ユダヤの権威から五度、四十の鞭打ちを一つ減らして受けた。²⁵
三度、棒で打たれ、一度は石で打たれ、三度、難破し、一夜と一日を海で漂った。²⁶
頻繁な旅に出て、川の危険、強盗の危険、自分の民からの危険、異邦人からの危険、都市での危険、荒野での危険、海での危険、偽兄弟たちの間での危険に遭った。²⁷
労働と苦難にあり、多くの眠れない夜を過ごし、飢えと渇きにあり、しばしば食物なしで、寒さと露出にあった。²⁸

コリント人への手紙第二

そのような外的な事柄とは別に、すべての教会への心配の毎日の圧力がある。²⁹

誰が弱くても私がその弱さを共有しないでいられるか？誰が罪に導かれても私が激しい心配をしないでいられるか？³⁰

もし誇らなければならないなら、私は自分の弱さを示すすべてのことを誇る。³¹

私たちの主イエスの神と父は永遠に祝福されている方であり、私は嘘をついていないことを知っている。³²

ダマスコでは、アレタス王の下で総督がダマスコ人の都市を見張って私を捕らえようとしていた。³³

そして私は、壁の窓から籠に入れられて降ろされ、彼の手から逃れた。

12 利益にはならないが、私は主の幻と啓示を続けなければならない。²

私はキリストにある人を知っている。その人は十四年前に—

体の中にいたのか、体の外にいたのか、私は知らない、神だけが知っている—

第三の天に引き上げられた。³

そして私はその人を知っている—

体の中にいたのか、体の外にいたのか、私は知らない、神だけが知っている—⁴

その人は楽園に引き上げられ、言い表せない言葉を聞いた。それは誰も語ることを許されていないものである。⁵

そのような人のために、私は誇るが、自分自身のためには誇らない。ただし、自分の弱さについては別である。⁶

もし私が誇ることを選んでも、愚かではない。なぜなら、私は真実を語るからだ。しかし、私は控える。誰も私を見たり聞いたりする以上に評価しないようにするためだ。⁷

啓示の並外れた偉大さのために、私が高慢にならないように、肉体に棘が与えられた。それはサタンの使いであり、私を苦しめ、高慢にならないようにするためである。⁸

このことについて、私はそれが私から去るようにと主に三度懇願した。⁹

すると主は私に言われた、「私の恵みはあなたに十分である。力は弱さの中で完全にされるからである。」だから、私はキリストの力が私のうちに宿るために、最も喜んで自分の弱さを誇る。¹⁰

したがって、私はキリストのために、弱さ、侮辱、困難、迫害、苦難を喜んで受ける。なぜなら、私が弱いときにこそ、私は強いからである。¹¹

私は愚かになった。あなたがたが私を強いたのだ。実際、私はあなたがたから称賛されるべきだった。

なぜなら、私は最も優れた使徒たちに劣らないからだ。それでも私は何者でもない。¹²

真の使徒のしるしは、あなたがたの間で忍耐をもって、しるしと不思議と奇跡によって行われた。¹³

他の教会と比べて、あなたがたが劣って扱われた点は何か？それは私自身があなたがたに負担をかけたことだけである。この不正を許してください！¹⁴

三度目に、私はあなたがたのもとに行く準備ができている。そして、私はあなたがたに負担をかけない。なぜなら、私はあなたがたのものを求めるのではなく、あなたがた自身を求めるからだ。子供たちは親のために蓄える義務はないが、親は子供たちのために蓄える義務がある。¹⁵

私はあなたがたの魂のために、最も喜んで費やし、費やされるだろう。もし私があなたがたをもっと愛するのなら、私はより少なく愛されるべきだろうか？¹⁶

それでも、私はあなたがたに負担をかけなかった。それにもかかわらず、巧妙で、私は策略であなたがたを捕らえた。¹⁷

確かに、私はあなたがたに送った者たちを通じて、あなたがたを利用したことはないだろうか？¹⁸

私はテトスに訪問を勧め、彼と共に兄弟を送った。テトスはあなたがたを利用しなかっただろうか？私たちは同じ精神で行動し、同じ道を歩んだのではないか？¹⁹

この間ずっと、あなたがたは私たちがあなたがたに弁明していると思っていた。しかし、実際には、神の前でキリストにおいて語っている。そして、すべてはあなたがたの徳を高めるためである、愛する者たちよ。²⁰

なぜなら、私が来るとき、あなたがたが私が望むように見つけれられず、あなたがたも私を望むように見つけれられないかもしれないと恐れている。そこには争い、嫉妬、怒り、自己中心、誹謗、中傷、高慢、混乱があるかもしれない。²¹

再び来るとき、私の神があなたがたの前で私をへりくだらせ、過去に罪を犯し、不純、性的な不道德、そして彼らが行ってきた不品行を悔い改めていない多くの者たちを嘆くことになるかもしれないことを恐れている。

13 これは私があなたがたのところに行く三度目です。すべての事柄は二人または三人の証人の証言によって確認されるべきです。²

私は以前、二度目に行ったときに言いましたが、今是不在でありながら、過去に罪を犯した者たちと他のすべての者たちに前もって言います。もし再び行

コリント人への手紙第二

くなら、誰も容赦しないでしょう。³

あなたがたは、私を通して語られるキリストの証拠を求めているのです。彼はあなたがたの中で弱くはなく、むしろ力強いのです。⁴

実際、彼は弱さの中で十字架につけられましたが、神の力によって生きています。私たちも彼の中で弱いですが、あなたがたに向けられた神の力によって彼と共に生きるのです。⁵

信仰の中にいるかどうか、自分自身を試し、吟味しなさい。あるいは、イエス・キリストがあなたがたの中にいることを認識していないのですか？ そうでなければ、試験に失敗しているのです。⁶

しかし、私たち自身が試験に失敗していないことをあなたがたが理解することを期待しています。⁷

今、私たちはあなたがたが何も悪いことをしないように神に祈っています。それは私たちが試験に合格したように見えるためではなく、たとえ私たちが失敗したように見えても、あなたがたが正しいことを行うためです。⁸

私たちは真実に反することは何もできません。私た

ちはただ真実のために働くのです。⁹

私たち自身が弱くてもあなたがたが強いとき、私たちは喜びます。これもまた、あなたがたが完全に成熟することを祈っています。¹⁰

このために、私は不在の間にこれらのことを書いています。それは、出席したときに厳しくする必要がないようにするためです。主が私に与えた権威は、築き上げるためであり、壊すためではありません。¹¹

最後に、兄弟姉妹たちよ、喜びなさい。修復を目指し、励まし合い、同じ心を持ち、平和に暮らしなさい。そうすれば、愛と平和の神があなたがたと共にいるでしょう。¹²

聖なるキスで互いに温かく挨拶しなさい。¹³
すべての信者たちがあなたがたに挨拶を送ります。

¹⁴

私たちの主イエス・キリストの恵み、神の愛、聖霊の交わりが、いつまでもあなたがたすべてと共にありますように。

ガラテヤ人への手紙

1 使徒パウロ
人からではなく、人間を通してでもなく、イエ
ス・キリストと、彼を死者の中からよみがえら
せた父なる神によって—
2 および私と共にいるすべての兄弟たちから、ガラテ
ヤの諸教会へ。
3 父なる神と私たちの主イエス・キリストから、恵み
と平安があなたがたにありますように。
4 彼は私たちの罪のためにご自身をささげ、この現在
の悪の時代から私たちを救い出すために、私たちの
神であり父である方の御心に従いました。
5 栄光が永遠にわたって彼にありますように。アーメ
ン。
6 私は驚いています。あなたがたがキリストの恵みによ
ってあなたがたを呼び出した方を、こんなにも早く
離れて、異なる福音に移ってしまうとは—
7 それは本当の意味での別の福音ではありません。し
かし、あなたがたをかき乱し、キリストの福音を変
えようとしている者たちがいるのです。
8 しかし、たとえ私たち自身や天からの御使いであ
っても、私たちがあなたがたに宣べ伝えた福音に反す
る福音を宣べ伝えるなら、その者は呪われるべきで
す！
9 私たちが以前に言ったように、今もう一度言いま
す。もし誰かがあなたがたに受けたものに反する福音
を宣べ伝えているなら、その者は呪われるべきです
！
10 私は今、人々の承認を求めているのでしょうか、そ
れとも神の承認を求めているのでしょうか？あるい
は人々を喜ばせようとしているのでしょうか？もし
まだ人々を喜ばせようとしているのなら、私はキリ
ストのしもべではありません。
11 親愛なる友よ、私が宣べ伝えた福音は人間から出た
ものではないことを理解してほしいのです。
12 私はそれを人から受けたのではなく、教えられたの
でもなく、イエス・キリストからの啓示によって受
けたのです。
13 私のかつてのユダヤ教における生活については、あ
なたがたは聞いたことがあるでしょう。私は激しく
神の教会を迫害し、それを滅ぼそうとしました。
14 私は同世代の多くの同胞を超えてユダヤ教において
進んでおり、先祖の伝統に対して非常に熱心でした
。
15 しかし、私を母の胎から選び出し、その恵みによ
って私を召された方が、
16 異邦人の間で彼を宣べ伝えるために彼の御子を私
の中に啓示することを喜ばれたとき、私はすぐに人間
と相談することはせず、
17 私より前に使徒たちがいたエルサレムにも上らず、

アラビアに行き、その後ダマスコに戻りました。
18 それから三年後、私はケファに会うためにエルサレ
ムに上り、彼と十五日間過ごしました。
19 私は主の兄弟であるヤコブ以外の他の使徒には会
いませんでした。
20 私は神の前で、あなたがたに書いていることが偽り
でないことを保証します。
21 その後、私はシリアとキリキアの地方を旅しまし
た。
22 私はキリストにあるユダヤの諸教会には顔を知られ
ていませんでした。
23 彼らはただ、「かつて私たちを迫害していた者が、
今や彼が滅ぼそうとした信仰を宣べ伝えている」と
の報告を聞いただけでした。
24 そして、彼らは私を通して起こったことのゆえに神
を賛美しました。

2 それから十四年後、私はバルナバと共に再びエル
サレムに上り、ティトスも連れて行きました
。
2 私は啓示によって上り、異邦人の間で私が宣べ伝
えている福音を高名な人々に示しました。それは私が
無駄に走っていないか、または走ったことが無駄で
なかったかを確認するために、個人的に行ったので
す。
3 しかし、私と共にいたギリシャ人のティトスでさえ
、割礼を受けることを強いられませんでした。
4 この問題は、キリスト・イエスにおける私たちの自
由を偵察し、私たちを奴隷にしようとする偽兄弟た
ちが私たちの中に忍び込んできたために生じました
。
5 私たちは、福音の真理があなたがたと共に留まるた
めに、彼らに一瞬たりとも屈しませんでした。
6 高名な人々について言えば—
彼らが何であつたかは私にとって何の違いもありま
せん。神は人を偏り見ません—
彼らは私のメッセージに何も付け加えませんでした
。
7 むしろ、彼らは私が無割礼者に福音を伝える責任を
与えられていることを認めました。それはちょうど
ペテロが割礼者に対してそうであつたようにです。
8 ペテロを割礼者への使徒として働かせた同じ神が、
異邦人への私にも働いておられました。
9 私に与えられた恵みを認識し、柱とされているヤコ
ブ、ケファ、ヨハネは、私とバルナバに交わりの右
手を差し伸べ、私たちが異邦人に行き、彼らが割礼
者に行くことに同意しました。
10 彼らはただ、貧しい人々を覚えておくようにと求め
ましたが、それは私がまさに熱心に行おうとしてい

ガラテヤ人への手紙

たことでした。¹¹
しかし、ケファがアンティオキアに来たとき、私は彼に対して公然と話しました。彼が明らかに間違っていたからです。¹²
ある人々がヤコブから来る前は、彼は異邦人と共に食事をしていました。しかし、彼らが到着すると、割礼派の人々を恐れて、彼は身を引き、別れました。¹³
他のユダヤ人たちも彼と共にこの偽善に陥り、バルナバさえも彼らの偽善によって惑わされました。¹⁴
彼らが福音の真理に従って行動していないのを見たとき、私は皆の前でケファに言いました。「あなたがユダヤ人でありながら異邦人のように生き、ユダヤ人のように生きていないのに、どうして異邦人にユダヤの習慣を強いることができるのですか？」¹⁵
「私たちは生まれながらのユダヤ人であり、罪深い異邦人ではありません。¹⁶
しかし、私たちは、人が律法の行いによってではなく、イエス・キリストへの信仰によって義とされることを知っています。それで私たちもキリスト・イエスを信じました。それは、律法の行いによってではなく、キリストへの信仰によって義とされるためです。律法の行いによっては誰も義とされないからです。¹⁷
しかし、キリストにおいて義とされようとする間に、私たち自身が罪人であると見なされるなら、キリストは罪の促進者ですか？決してそんなことはありません！¹⁸
もし私が破壊したものを再び建てるなら、私は自分自身を違反者として証明します。¹⁹
私は律法によって律法に死んだのです。それは私が神のために生きるためです。²⁰
私はキリストと共に十字架につけられました。もはや私が生きているのではなく、キリストが私の内に生きておられるのです。今、私が肉体の中で生きている命は、私を愛し、私のためにご自身を捧げられた神の御子への信仰によって生きています。²¹
私は神の恵みを無にしません。もし義が律法によって得られるなら、キリストは無駄に死なれたこととなります。

3 愚かなガラテヤ人たちよ！誰があなたがたを惑わしたのか？あなたがたの目の前で、イエス・キリストが十字架につけられたことがはっきりと描かれていたのに。²
私はただこれだけをあなたがたに尋ねたい。あなたがたは律法を行うことによって御霊を受けたのか、それとも信仰をもって聞くことによってか？³
あなたがたはそんなに愚かなのか？御霊によって始めたのに、今は肉によって完成を求めているのか？

4
あなたがたはそんなに多くのことを無駄に経験したのか—もしそれが本当に無駄であったなら。⁵
それでは、あなたがたに御霊を与え、あなたがたの間で奇跡を行う方は、律法の行いによってそうされるのか、それとも信仰をもって聞くことによってか？⁶
ちょうどアブラハムが神を信じたので、それが彼に義と認められたように。⁷
したがって、信仰による者たちがアブラハムの子孫であることを理解しなさい。⁸
聖書は、神が異邦人を信仰によって義とされることを予見し、アブラハムに「すべての国民はあなたによって祝福される」と前もって福音を告げた。⁹
それゆえ、信仰を持つ者たちは、信仰の人であったアブラハムと共に祝福される。¹⁰
律法の行いに頼る者はすべて呪いの下にある。なぜなら、「律法の書に書かれているすべてのことを行わない者は皆、呪われる」と書かれているからである。¹¹
神の前で律法によって義とされる者がいないことは明らかである。なぜなら、「義人は信仰によって生きるからである。」¹²
律法は信仰によるものではない。むしろ、「それを行う者はそれによって生きる。」¹³
キリストは私たちのために律法の呪いを受けて、私たちを律法の呪いから贖い出された。なぜなら、「木にかけられる者は皆、呪われる」と書かれているからである。¹⁴
彼は、アブラハムの祝福がキリスト・イエスによって異邦人に来るために、また私たちが信仰によって御霊の約束を受けるために、私たちを贖い出された。¹⁵
兄弟たちよ、人間の言葉で言うが、人間の契約でも、一度確定したものは取り消したり、追加したりすることはできない。¹⁶
約束はアブラハムとその子孫に語られた。聖書は「子孫たち」と言わず、「あなたの子孫」と言っている。それは一人を指しており、それがキリストである。¹⁷
私が言いたいのはこれである。**430**年後に来た律法は、神によって以前に確定された契約を無効にし、約束を無効にするものではない。¹⁸
もし相続が律法によるものであれば、それはもはや約束によるものではない。しかし、神はアブラハムに約束によってそれを与えた。¹⁹
それでは、なぜ律法が与えられたのか？それは、約束がされた子孫が来るまで、違反のために付け加えられたものであり、天使たちによって仲介者の手を

ガラテヤ人への手紙

通して定められたものである。²⁰
仲介者は一方だけを意味するものではないが、神は一つである。²¹
それでは、律法は神の約束に反するのか？決してそうではない！もし命を与えることができる律法が与えられていたなら、義は確かに律法によって基づいていただろう。²²
しかし、聖書はすべてを罪の下に閉じ込めた。それは、イエス・キリストへの信仰による約束が信じる者たちに与えられるためである。²³
この信仰が来る前に、私たちは律法の下で監禁され、来るべき信仰が明らかにされるまで閉じ込められていた。²⁴
したがって、律法はキリストが来るまで私たちの監督者であった。それは、私たちが信仰によって義とされるためである。²⁵
しかし、今や信仰が到来したので、私たちはもはや監督者の下にいない。²⁶
なぜなら、あなたがたは皆、キリスト・イエスにおける信仰によって神の子供だからである。²⁷
キリストにバプテスマを受けたあなたがたは皆、キリストを身にまとった。²⁸
ユダヤ人もギリシャ人もなく、奴隷も自由人もなく、男も女もない。なぜなら、あなたがたは皆、キリスト・イエスにあって一つだからである。²⁹
そして、もしあなたがたがキリストにあるなら、あなたがたはアブラハムの子孫であり、約束による相続人である。

4 相続人が子供である間は、すべてのものの所有者であっても、奴隷と何ら変わりはありません。²
彼は父によって定められた時まで、後見人や管理人の下にあります。³
同様に、私たちも子供であったとき、この世の基本的な原則の下に束縛されていました。⁴
しかし、時が満ちたとき、神はご自分の御子を遣わされました。御子は女から生まれ、律法の下に生まれました。⁵
律法の下にある者を贖うためであり、私たちが子としての養子を受けるためです。⁶
あなたがたが子であるので、神は御子の御霊を私たちの心に遣わされました。それは「アバ、父よ！」と叫ぶものです。⁷
したがって、あなたはもはや奴隷ではなく、子です。そして子であれば、神を通して相続人でもあります。⁸
以前は、神を知らなかったとき、自然に神ではないものに奴隷として仕えていました。⁹
しかし今は、神を知っている、いやむしろ神に知ら

れているのに、どうして再び弱く無価値な原則に戻って、再びそれに奴隷として仕えたいと思うのですか？¹⁰
あなたがたは特定の日、月、季節、年を細かく守っています。¹¹
私はあなたがたのために心配しています。もしかすると、私は無駄にあなたがたのために労苦したのかもしれない。¹²
兄弟姉妹たち、私はあなたがたに懇願します。私のようになしてください。私はあなたがたのようになりました。あなたがたは私に何の害も与えていません。¹³
あなたがたは知っていますが、私が最初に福音をあなたがたに宣べ伝えたのは病気のためでした。¹⁴
私の状態があなたがたにとって試練であったにもかかわらず、あなたがたは私を軽蔑せず、拒絶せず、神の使者として、キリスト・イエスご自身として私を受け入れました。¹⁵
では、あなたがたの祝福の感覚はどこにあるのでしょうか？私は証言しますが、もしできたなら、あなたがたは自分の目をえぐり出して私に与えたことでしょう。¹⁶
私はあなたがたに真実を語ったことで、あなたがたの敵になったのでしょうか？¹⁷
彼らはあなたがたを熱心に引き寄せようとしていますが、それは良いことではありません。彼らはあなたがたを孤立させ、彼らのために熱心になるようにしたいのです。¹⁸
目的が良いものである限り、熱心であることは良いことです。そしてそれは、私があなたがたと共にいるときだけでなく、常にそうであるべきです。¹⁹
私の愛する子供たちよ、私は再びあなたがたの中にキリストが形作られるまで、出産の苦しみをしています。²⁰
今、私はあなたがたと共にいて、口調を変えることができれと思います。私はあなたがたについて困惑しています。²¹
律法の下にいたいと思うあなたがたに言うてください。あなたがたは律法を聞いていないのですか？²²
アブラハムには二人の息子がいたと書かれています。一人は女奴隷から、もう一人は自由な女からです。²³
女奴隷の息子は肉によって生まれましたが、自由な女の息子は約束によって生まれました。²⁴
これらのことは寓話です。女たちは二つの契約を表しています。一つはシナイ山からで、奴隷となる子供を産むものです。彼女はハガルです。²⁵
今、ハガルはアラビアのシナイ山を表しており、現在のエルサレムに対応しています。彼女は子供たち

ガラテヤ人への手紙

と共に奴隷です。²⁵
しかし、上にあるエルサレムは自由であり、彼女は私たちの霊的な母です。²⁷
それは書かれています：

「喜べ、不妊の女よ、あなたは産まない者です。
叫び声をあげ、歓声をあげよ、あなたは陣痛のない者です。
夫のある者よりも荒れ果てた者の子供が多いからです。」

²⁸
今、兄弟姉妹たちよ、あなたがたはイサクのように、約束の子供です。²⁹
しかし、当時、肉によって生まれた子供が霊によって生まれた者を迫害したように、今もそうです。³⁰
しかし、聖書は何と言っていますか？「女奴隷とその息子を追い出せ。女奴隷の息子は自由な女の息子と共に相続を受けることはない。」³¹
したがって、兄弟姉妹たちよ、私たちは女奴隷の子供ではなく、自由な女の子供です。

5 キリストは自由を得させるために私たちを自由にしてくださったのです。それゆえ、しっかりと立ち、再び奴隷のくびきにつながれてはいけません。² 聞きなさい！私、パウロはあなたがたに言います。もし割礼を受けるなら、キリストはあなたがたに何の益ももたらさないでしょう。³
そして、私は割礼を受けるすべての人に繰り返して言いますが、その人は律法全体を守る義務を負うことになります。⁴
律法によって義とされようとするあなたがたは、キリストから離れ、恵みから落ちてしまいました。⁵
私たちは、霊によって、信仰により義の望みを熱心に待ち望んでいます。⁶
キリスト・イエスにあっては、割礼も無割礼も何の意味もありません。重要なのは、愛をもって働く信仰です。⁷
あなたがたはよく走っていました。誰があなたがたを真理に従うことから妨げたのですか？⁸
この影響は、あなたがたを呼んでくださる方から来たものではありません。⁹
少しのパン種が、全体の生地を膨らませます。¹⁰
私は主にあって、あなたがたが他の考えを抱かないことを確信しています。しかし、あなたがたを混乱させている者は、誰であれ、その罰を受けるでしょう。¹¹
兄弟たち、もし私がまだ割礼を説いているなら、なぜ今も迫害を受けているのでしょうか？
その場合、十字架のつまずきは取り除かれたことになります。¹²

あなたがたを動揺させている者たちは、自ら去勢してしまえばよいのと思います！¹³
兄弟たち、あなたがたは自由を得るために召されました。ただし、その自由を肉の機会として用いるのではなく、愛をもって互いに仕えなさい。¹⁴
律法全体は一つの命令に要約されます。「あなたの隣人をあなた自身のように愛しなさい。」¹⁵
もしあなたがたが互いに噛み付き合い、食い合うなら、互いに滅ぼされないように気をつけなさい。¹⁶
私は言います。霊によって歩みなさい。そうすれば、肉の欲望を満たすことはありません。¹⁷
肉は霊に逆らうものを欲し、霊は肉に逆らうものを欲します。これらは互いに対立しているのです、あなたがたは自分の望むことを行うことができません。¹⁸
しかし、もし霊によって導かれるなら、あなたがたは律法の下にはいません。¹⁹
肉の行いは明白です。すなわち、淫行、汚れ、放蕩、
偶像礼拝、魔術、敵意、争い、嫉妬、怒りの爆発、自己中心的な野心、不和、派閥、²¹
ねたみ、酩酊、乱交、その他の類似のことです。私は前にも言いましたが、これらのことを行う者は神の国を受け継ぐことはありません。²²
しかし、霊の実は、愛、喜び、平和、忍耐、親切、善良、誠実、²³
柔和、自制です。これらに対しては、律法はありません。²⁴
キリスト・イエスに属する者は、肉を情欲や欲望とともに十字架につけたのです。²⁵
もし私たちが霊によって生きるなら、霊に従って進みましょう。²⁶
互いに挑発し合ったり、ねたま合ったりして、虚栄心を持つことはやめましょう。

6 兄弟たちよ、もし誰かが何かの過ちに陥ったなら、霊によって導かれているあなたがたは、その人を優しさの精神で回復させなさい。しかし、あなた自身も誘惑されないように注意しなさい。²
互いの重荷を担い合い、そうすることでキリストの律法を全うしなさい。³
もし誰かが何でもないので何かであると思っているなら、その人は自分自身を欺いています。⁴
各人は自分の行いを吟味しなさい。そして、他人と比較することなく、自分自身だけで誇るようになるようにしなさい。⁵
なぜなら、各人は自分自身の荷を担わなければならないからです。⁶
御言葉の教えを受ける者は、教える者とすべての良

ガラテヤ人への手紙

いものを分かち合いなさい。⁷
欺かれてはいけません。神は侮られることはありません。⁸
人は蒔いたものを刈り取るのです。
自分の肉を喜ばせるために蒔く者は、肉から滅びを
刈り取り、霊を喜ばせるために蒔く者は、霊から永
遠の命を刈り取るのです。⁹
善を行うことに飽きてはいけません。適切な時に、
もし諦めなければ、刈り取りをすることになるので
す。¹⁰
したがって、機会がある限り、すべての人に、特に
信仰の家族に属する者に善を行きましょう。¹¹
私が自分の手で書いている大きな文字に注目してく
ださい！¹²
肉において良い印象を与えたい者たちは、キリスト
の十字架のための迫害を避けるために、あなたがた
に割礼を受けさせようとしています。¹³

割礼を受けている者たちでさえ、自分自身で律法を
守っていませんが、あなたがたに割礼を受けさせて
、あなたの肉について誇りたいのです。¹⁴
しかし、私は私たちの主イエス・キリストの十字架
以外に何も誇りません。それによって、世界は私に
対して十字架につけられ、私も世界に対して十字架
につけられたのです。¹⁵
割礼も無割礼も何の意味もありません。重要なのは
新しい創造です。¹⁶
この規則に従うすべての者に、そして神のイスラエ
ルに、平和と慈悲がありますように。¹⁷
今後は、誰も私を煩わせないでください。私は自分
の体にイエスの印を持っているのですから。¹⁸
私たちの主イエス・キリストの恵みが、あなたがた
の霊と共にありますように、親愛なる友よ。アーメ
ン。

エペソ人への手紙

1 神の御心によってキリスト・イエスの使徒とな
ったパウロから、エフェソにいる聖なる者たち
、キリスト・イエスにあって忠実な者たちへ。

2 私たちの父なる神と主イエス・キリストからの恵み
と平安があなたがたにありますように。

3 私たちの主イエス・キリストの父である神は、ほめ
たたえられますように。神はキリストにあって、天
上におけるあらゆる霊的祝福をもって私たちを祝福
してくださしました。

4 神は、世界の基が置かれる前から、私たちをキリス
トにあって選び、御前で聖く傷のない者にしようと
されました。愛のうちに、

5 イエス・キリストによって私たちを子としてくださ
ることを、御心のままにあらかじめ決めておられま
した。

6 それは、神が愛する者のうちに私たちに与えてくだ
さった恵みの栄光をほめたたえるためです。

7 私たちはこのキリストにあって、神の恵みの富に従
い、彼の犠牲による贖い、すなわち罪の赦しを受け
ています。

8 神はあらゆる知恵と理解をもって、この恵みを私た
ちに豊かに与えてくださいました。

9 神は、御心の奥義を私たちに明らかにしてください
ました。それは、キリストにあって御心のままに定
められたことです。

10 それは、時が満ちるに及んで、天にあるものも地に
あるものもすべて、キリストのもとに一つにまとめ
られることです。

11 私たちはキリストにあって、御心の計画に従ってす
べてを行う方の目的に従い、あらかじめ定められて
、相続を受ける者となりました。

12 それは、最初にキリストに望みを置いた私たちが、
神の栄光をほめたたえるためです。

13 あなたがたもまた、真理の言葉、すなわちあなたが
たの救いの福音を聞き、それを信じたときに、約束
された聖霊によってキリストにあって証印を押され
ました。

14 この聖霊は、神の所有とされる者たちの贖いまで、
私たちの相続の保証であり、神の栄光をほめたたえ
るためです。

15 このため、主イエスに対するあなたがたの信仰とす
べての聖なる者たちに対する愛を聞いて以来、

16 私はあなたがたのために感謝をさげることをやめ
ず、祈りの中であなたがたを覚えています。

17 どうか私たちの主イエス・キリストの神、栄光の父
が、あなたがたに知恵と啓示の霊を与え、神をより
深く知ることができますように。

18 また、あなたがたの心の目が開かれ、神が召してく

ださった希望がどのようなものであるか、聖なる者
たちの中にある神の栄光に富む相続がどのようなも
のであるかを知ることができますように。

19 また、信じる私たちに対する神の非常に大きな力が
どのようなものであるかを知ることができますよう
に。その力は、力強い力と同じです。

20 神はこの力をキリストに働かせて、彼を死者の中か
らよみがえらせ、天上で御自分の右の座に着かせま
した。

21 それは、すべての支配、権威、力、主権、またこの
世だけでなく、来るべき世においても名が呼ばれる
すべての名の上に高く置かれています。

22 神はまた、すべてのものをキリストの足の下に従わ
せ、教会のために彼をすべてのものの頭として与え
られました。

23 教会はキリストの体であり、すべてをあらゆる方法
で満たす方の満ちるところです。

2 あなたがたは、自分の罪過と罪の中で霊的に死
んでいました。

3 その中で、かつてこの世の流れに従い、空中の
権威を持つ支配者、今も不従順の子らの中に働いて
いる霊に従って歩んでいました。

4 私たちも皆、かつては彼らの中で、肉の欲望に従っ
て生活し、体と心の欲するままを行い、他の人々と
同じように、生まれながらにして怒りの子でした。

5 しかし、神は豊かな憐れみのゆえに、私たちを愛し
てくださったその大いなる愛によって、

6 私たちが罪過の中で霊的に死んでいた時にも、キリス
トと共に私たちを生かしてくださいました。あな
たがたは恵みによって救われたのです。

7 そして、キリスト・イエスにおいて、私たちを彼と
共に蘇らせ、天の領域に座らせてくださいました。

8 それは、来たるべき時代において、キリスト・イエ
スにおいて私たちに示されたその恵みの計り知れな
い富を示すためです。

9 あなたがたが救われたのは、信仰を通しての恵みによ
るものであり、それは自分自身から出たものでは
なく、神の賜物です。

10 行いによるものではありません。それは、誰も誇るこ
とがないためです。

11 私たちは神の作品であり、キリスト・イエスにおい
て良い行いをするために創造されました。それは神
が前もって備えてくださったものです。

12 ですから、かつて肉において異邦人であり、「割礼
を受けていない者」と呼ばれ、人の手によって肉に
施される「割礼を受けた者」と呼ばれていたあなた
がたは、思い出してください。

エペソ人への手紙

その時、あなたがたはキリストから遠く離れ、イスラエルの国民に属さず、約束の契約に関与せず、希望もなく、神もない者でした。¹³

しかし今や、キリスト・イエスにおいて、かつては遠くにいたあなたがたが、彼の血によって近くに引き寄せられました。¹⁴

彼こそが私たちの平和であり、彼の犠牲によって敵意の障壁を取り除き、私たちを一つにしてくださいました。¹⁵

規則に含まれる戒めの律法を廃棄することによって、彼は二つのものから一つの新しい人類を創造し、こうして平和を確立しました。¹⁶

そして、十字架を通して、私たち両者を一つの体として神と和解させ、敵意を終わらせました。¹⁷

彼は来て、遠くにいたあなたがたに平和を、そして近くにいた者たちに平和を宣べ伝えました。¹⁸

彼を通して、私たちは共に一つの霊によって父に近づくことができますのです。¹⁹

したがって、あなたがたはもはや他国人でも寄留者でもなく、聖徒たちと共に市民であり、神の家族の一員です。²⁰

使徒と預言者たちによって築かれた土台の上に建てられ、キリスト・イエスご自身が隅の石です。²¹

彼において、全ての建物が一緒に組み合わせられ、主において聖なる神殿として成長します。²²

彼において、あなたがたもまた、神がその霊によって住む住まいとなるために共に建てられています。

3 このために、あなたがた異邦人のためにキリスト・イエスの囚人となっている私パウロは—²
あなたがたのために私に与えられた神の恵みの管理について、確かに聞いたことがあるでしょう。³

啓示によってその奥義が私に知らされたことは、以前に簡単に書いたとおりです。⁴

これを読むことによって、あなたがたはキリストの奥義に対する私の理解を知ることができるでしょう。⁵

それは、今や御霊によって聖なる使徒たちと預言者たちに明らかにされたように、過去の世代の人々には知らされていませんでした。⁶

この奥義とは、異邦人が福音を通してキリスト・イエスにおける約束の共同相続人であり、同じ体の一部であり、共に約束にあずかる者であるということです。⁷

私は神の力の働きによって私に与えられた神の恵みの賜物によって、この福音の奉仕者となりました。⁸

すべての聖徒の中で最も小さい私に、この恵みが与えられたのは、異邦人にキリストの計り知れない富

を宣べ伝えるためです。⁹

また、すべてのものを創造した神に隠されていたこの奥義の管理をすべての人に明らかにするためです。¹⁰

神の多様な知恵が、今や教会を通して天の領域にいる支配者たちや権威者たちに明らかにされることが神の目的でした。¹¹

それは、私たちの主キリスト・イエスにおいて成し遂げられた永遠の目的に従ったものです。¹²

彼にあって、また彼に対する信仰によって、私たちは大胆に自信を持って神に近づくことができます。¹³

ですから、あなたがたの栄光である私の苦しみのために落胆しないようにお願いしています。¹⁴

このために、私は父の前にひざまずきます。¹⁵

天と地にあるすべての家族がその名を得ている方から、¹⁶

彼の栄光ある富から、あなたがたが内なる人において御霊によって力を与えられるように祈ります。¹⁷

それは、信仰によってキリストがあなたがたの心に住まわれるためであり、あなたがたが愛に根ざし、基づいていることを祈ります。¹⁸

すべての聖徒と共に、キリストの愛の広さ、長さ、高さ、深さを理解する力を持つことができますように。¹⁹

そして、知識を超えたこの愛を知り、神の満ち満ちたものに満たされることができますように。²⁰

今、私たちのうちに働く力によって、私たちが求めること、考えることをはるかに超えて成し遂げることができる方に、²¹

教会において、またキリスト・イエスにおいて、すべての世代にわたって、永遠に栄光がありますように。アーメン。

4 主にある囚人として、私はあなたがたに、召された召しにふさわしく歩むように勧めます。²

全く謙遜と柔和をもって、忍耐し、愛をもって互いに支え合い、³

平和の絆によって御霊の一致を保つように努めなさい。⁴

体は一つ、御霊は一つです。あなたがたが召された時の、召しの望みが一つであったのと同様です。⁵

主は一人、信仰は一つ、バプテスマは一つです。⁶

すべての上におられ、すべてを貫き、すべての中におられる、すべての者の父なる神は一人です。⁷

しかし、私たち一人一人に、キリストの賜物の計りに従って、恵みが与えられています。⁸

それゆえ、こう言われています。

エペソ人への手紙

「彼が高い所に昇った時、
人々に賜物を与えた。」

9

（「彼が昇った」とは、彼がまた地の低い所に降りたということではないでしょうか。
降りた者は、すべての天よりもはるかに高く昇った者であり、すべてのものを満たすためです。）
そして、彼はある人々を使徒に、ある人々を預言者に、ある人々を伝道者に、ある人々を牧師と教師に与えました。

それは、キリストの体を強めるために、神の民を奉仕のために備えるためです。
私たちが皆、信仰と神の子の知識において一致に達し、成熟した大人となり、キリストの満ち満ちた身丈に達するまでです。

それからは、もはや子供ではなく、波に揺られ、教えの風に吹き回され、人の策略や欺瞞的な陰謀によって運ばれることがないようにします。

むしろ、愛において真実を語り、すべてのことにおいて、頭であるキリストに向かって成長します。
彼から、体全体が、あらゆる支え合う靱帯によって結び合わされ、結合され、各部分がその役割を果たすことで、愛において成長し、自らを築き上げます。

それで、私はこれを言い、主において証します。あなたがたはもはや異邦人のように虚しい思いで歩んではなりません。

彼らはその理解において暗くなり、心の硬さのために、彼らの中にある無知のために、神の命から疎外されています。

彼らはすべての感覚を失い、放縱に身を任せ、貪欲にあらゆる種類の不浄を行っています。

しかし、これはあなたがたがキリストを知るようになった方法ではありません。

もしあなたがたが彼を聞き、イエスにある真理として彼に教えられたのであれば。

あなたがたの以前の生活様式について、欺瞞的な欲望によって腐敗している古い自分を捨てるように教えられました。

心の態度において新たにされ、
神の真の義と聖さを反映するように作られた新しい自分を受け入れるように。

それゆえ、偽りを捨てて、各々が隣人と真実を語りなさい。私たちは皆、互いの一部だからです。

「怒っても罪を犯してはならない」：怒ったままで日が暮れることがないようにしなさい。

悪魔に足場を与えてはいけません。

盗んでいた者はもう盗んではならず、むしろ自分の手で有益なことをして働き、必要な人に分け与える

ことができるようにしなさい。

腐った言葉を口から出してはならず、聞く人に恵みを与えるために、彼らの必要に応じて他の人を築き上げるのに役立つことだけを話さない。

神の聖霊を悲しませてはいけません。あなたがたは贖いの日のために彼によって封印されています。

すべての苦味、怒り、憤り、騒ぎ、中傷を、すべての悪意と共に取り除きなさい。

互いに親切で、思いやりを持ち、神がキリストにおいてあなたがたを赦したように、互いに赦し合いなさい。

ですから、愛されている子供として、神に倣う者となりなさい。

また、キリストがあなたがたを愛し、私たちのためにご自身を神への香ばしい供え物と犠牲として捧げられたように、愛の道を歩みなさい。

しかし、あなたがたの間では、神の聖なる民にふさわしく、性的な不道徳やあらゆる種類の不純、または貪欲が少しでもあってはなりません。

また、卑猥な言葉や愚かな話、下品な冗談もあってはなりません。それらは不適切です。むしろ感謝をしなさい。

このことを確かに知っておきなさい。淫らな者、不純な者、貪欲な者—

そのような者は偶像礼拝者です—

は、キリストと神の王国において何の相続も持ちません。

誰にも空しい言葉で欺かれてはなりません。このようなことのために、神の怒りが不従順な者たちに下るのです。

したがって、彼らと共にいることを避けなさい。
あなたがたはかつては暗闇の中にいましたが、今は主にあつて光です。光の子供として生きなさい。

（光の実は、すべての善良さ、正義、真実に見られます。）
そして、主を喜ばせることを学びなさい。

実を結ばない暗闇の行いに関与せず、むしろそれらを明らかにしなさい。
不従順な者たちが密かに行うことは、言及するのも恥ずべきことです。

しかし、光によって明らかにされるすべてのものは見えるようになり、照らされるすべてのものは光となります。

「眠っている者よ、目を覚ませ、
死者の中から起き上がれ、
キリストの光があなたに輝くであろう。」

15

ですから、賢く行動しながら、どのように生きるか

エペソ人への手紙

を非常に注意しなさい。¹⁶
時代が困難だからこそ、あらゆる機会を最大限に活用しなさい。¹⁷
したがって、愚かにならず、主の御心を理解することを求めなさい。¹⁸
酒に酔ってはいけません。それは乱行に導きます。むしろ、御霊に満たされなさい。¹⁹
詩篇、賛美歌、霊的な歌で互いに語り合い、心から主に向かって歌い、音楽を奏でなさい。²⁰
いつも、すべてのことについて、私たちの主イエス・キリストの名において、神である父に感謝を表しなさい。²¹
キリストに対する畏敬の念から、互いに従い合いなさい。²²
妻たちよ、自分の夫に対して、主に対するように従いなさい。²³
夫は妻の頭であるように、キリストは教会の頭であり、その体であり、彼が救い主です。²⁴
今や教会がキリストに従うように、妻たちもすべてのことにおいて夫に従うべきです。²⁵
夫たちよ、キリストが教会を愛し、彼女のためにご自身を捧げられたように、妻を愛しなさい。²⁶
彼女を聖別し、言葉を通して水で洗って清めるためです。²⁷
しみやしわ、または他の欠点のない栄光の教会としてご自身に捧げるために、聖く、非の打ち所のないものとするためです。²⁸
このように、夫たちは自分の体を受するように妻を愛すべきです。妻を愛する者は自分自身を愛するのです。²⁹
結局、誰も自分の体を憎んだことはありません。むしろ、それを養い、世話をします。それはキリストが教会をそうするのと同じです。³⁰
私たちは彼の体の一部だからです。³¹
「このために、人は父と母を離れ、妻と結ばれ、二人は一つの肉となる。」³²
これは深遠な神秘ですが、私はキリストと教会について述べています。³³
しかし、あなたがた一人一人もまた、自分の妻を自分自身のように愛し、妻は夫を尊敬しなければなりません。

6 子供たちよ、主にあつて両親に従いなさい。これは正しいことだからです。²
「あなたの父と母を敬え」—これは約束を伴う最初の戒めです—³
「そうすれば、あなたがたが幸せになり、地上で長生きすることができる。」⁴
父たちよ、子供たちを怒らせてはいけません。むしろ、主の訓練と教えによって育てなさい。⁵

奴隸たちよ、地上の主人に対してキリストに従うように、敬意と恐れをもって、心から従いなさい。⁶
それは、彼らが見ているときだけ彼らの好意を得るためではなく、キリストのしもべとして、心から神の御心を行うためです。⁷
人にはではなく、主に仕えるように、善意をもって仕えなさい。⁸
誰であれ、良いことをする者は、奴隸であろうと自由人であろうと、主から報いを受けることを知っているからです。⁹
そして主人たちよ、同じように奴隸を扱いなさい。脅すことをやめなさい。彼らの主人もあなたがたの主人も天におられ、偏りを見ることはないことを知っているからです。¹⁰
最後に、主にあつて、その力強い力によって強くなりなさい。¹¹
神の全ての武具を身に着け、悪魔の策略に対抗して立ち続けることができるようにしなさい。¹²
私たちの戦いは、単なる人間の敵に対するものではなく、支配者たち、権威者たち、この暗い世界の力に対するもの、天の領域における悪の霊的な力に対するものです。¹³
それゆえ、神の全ての武具を取りなさい。そうすれば、悪い日に抵抗し、全てを成し遂げた後に立ち続けることができるでしょう。¹⁴
それゆえ、真理の帯を腰に締め、正義の胸当てを着けて、しっかりと立ちなさい。¹⁵
そして、平和の福音の備えを足に履きなさい。¹⁶
これらすべてに加えて、信仰の盾を取りなさい。それによって悪しき者の火の矢をすべて消すことができるのです。¹⁷
救いの兜と、神の言葉である御霊の剣を受け取りなさい。¹⁸
すべての祈りと願いをもって、御霊において常に祈りなさい。このことを心に留め、すべての聖徒のために常に祈り続けなさい。¹⁹
また私のためにも祈ってください。私が語るときに言葉が与えられ、福音の奥義を大胆に知らせることができるように。²⁰
私はこのために鎖につながれた使者です。私が語るべきように大胆にそれを宣言することができるように祈ってください。²¹
愛される兄弟であり、主における忠実なしもべであるテキコが、私の状況や私が何をしているかをあなたがたに知らせるでしょう。²²
私はこの目的のために彼をあなたがたのもとに送りました。あなたがたが私たちのことを知り、彼があなたがたの心を慰めるためです。²³
神の父と主イエス・キリストから、兄弟姉妹に平和

エペソ人への手紙

と信仰に伴う愛がありますように。

24

するすべての者に恵みがありますように。

私たちの主イエス・キリストを不滅の愛をもって愛

ピリピ人への手紙

1 キリスト・イエスのしもべであるパウロとデモテから、ピリピにいるキリスト・イエスにあるすべての聖なる者たち、監督たちおよび執事たちへ。

2 私たちの父なる神と主イエス・キリストから、恵みと平安があなたがたにありますように。

3 私は折るたびに、あなたがたを思い起こして私の神に感謝します。

4 いつも、すべての祈りの中で喜びをもってあなたがたすべてのために祈り、

5 最初の日から今に至るまで、福音におけるあなたがたの交わりのゆえに、

6 このことを確信しています。すなわち、あなたがたのうちに良い働きを始められた方が、キリスト・イエスの日までにそれを完成させてくださることを。

7 私がこのようにあなたがたすべてについて思うのは当然です。なぜなら、私が鎖につながれている時も、福音を弁護し確認する時も、あなたがたすべてが私と共に神の恵みにあずかっているからです。

8 私がキリスト・イエスの深い愛情をもってあなたがたすべてをどれほど慕っているか、神が証してください。

9 私の祈りはこうです。あなたがたの愛が、真の知識とあらゆる洞察力によってますます豊かになりますように。

10 それによって、あなたがたが本当に重要なことを見分け、キリストの日に備えて純粋で責められるところのない者となることができますように。

11 イエス・キリストによって義の実を満たされ、神の栄光と賛美がもたらされますように。

12 さて、兄弟たちよ、私の状況が実際には福音の進展に役立っていることを知ってほしい。

13 その結果、私がキリストのために鎖につながれていることが、全宮廷衛兵と他のすべての人々に明らかになりました。

14 そして、私の鎖のゆえに、兄弟たちの多くが主にあって確信を持ち、恐れることなくますます大胆に神の言葉を語るようになりました。

15 確かに、ある者たちは嫉妬と競争心からキリストを宣べ伝え、他の者たちは善意からそうしています。

16 後者は愛からそうしており、私が福音の弁護のために任命されていることを知っています。

17 前者は利己的な野心からキリストを宣べ伝え、誠実ではなく、私が鎖につながれている間に私に困難を引き起こそうと考えています。

18 しかし、それが何であろうと、重要なのは、偽りの動機であれ真実であれ、あらゆる方法でキリストが

宣べ伝えられていることです。そしてこのことを私は喜んでます。はい、私はこれから喜び続けます。

19 なぜなら、あなたがたの祈りとイエス・キリストの御霊の助けによって、私に起こったことが私の救いとなることを知っているからです。

20 私は熱心に期待し、希望しています。私は決して恥じることなく、今も常にキリストが私の体において生きるにしても死ぬにしても尊ばれるように、十分な勇気を持つことができるように。

21 私にとって、生きることはキリストであり、死ぬことは益です。

22 もし肉体において生き続けるなら、それは私にとって実り多い労働を意味します。しかし、私はどちらを選ぶべきか分かりません！

23 私はその二つの間に引き裂かれています。私は去ってキリストと共にいることを望んでいます、それははるかに良いことです。

24 しかし、あなたがたのためには、肉体にとどまる必要です。

25 このことを確信して、私はあなたがたすべてと共にとどまり、信仰における進歩と喜びのために続けることを知っています。

26 それによって、私が再びあなたがたと共にいることによって、あなたがたのキリスト・イエスにおける誇りが私のゆえに豊かになるように。

27 ただ、キリストの福音にふさわしく生活しなさい。そうすれば、私が行ってあなたがたを見るにしても、不在のままであなたがたのことを聞くにしても、あなたがたが一つの霊において堅く立ち、福音の信仰のために共に奮闘していることを知るでしょう。

28 あなたがたに反対する者たちによっていかなる方法でも恐れさせられることなく。これは彼らにとっては滅びのしるしであり、あなたがたにとっては救いのしるしであり、それは神から来るものです。

29 なぜなら、キリストのために、あなたがたが彼を信じるだけでなく、彼のために苦難を耐えることも許されているからです。

30 あなたがたは私において見た、そして今も私にあると聞いている同じ闘いを経験しているのです。

2 ですから、キリストと共にあることからの励みがあるなら、その愛からの慰めがあるなら、御霊における交わりがあるなら、愛情と憐れみがあるなら、

2 同じ思いを持ち、同じ愛を分かち合い、心を一つにし、一つの目的に集中することによって、私の喜びを満たしてください。

3 利己的な野心や虚栄心から何も行わず、むしろ謙遜

ピリピ人への手紙

に、他の人を自分よりも重要と考へなさい。⁴
自分自身の利益だけでなく、他の人の利益も考へな
さい。⁵
キリスト・イエスにあったのと同じ心構えを持ちな
さい。

⁶ 神の形で存在していた方が、
神と等しいことを自分の利益のために掴もうとは
考へなかつた。⁷ しかし、しもべの形を取り、
人間の姿になって、自分を無にされた。⁸
そして人としての姿で見出され、
十字架の死に至るまで従順であつたことによつて
、自分を低くされた。⁹
それゆゑ、神は彼を高く引き上げ、
すべての名にまさる名を彼に授けられた。¹⁰
それは、イエスの名によつてすべての膝がかがむ
ためであり、
天にあるもの、地にあるもの、地の下にあるもの
すべてが、¹¹
すべての舌がイエス・キリストが主であることを
告白し、父なる神に栄光をもたらすためである。

¹² ですから、私の愛する人たちよ、あなたがたがいつ
も従順であつたように、私がいる時だけでなく、今
はなおさら私がいない時に、恐れおののいて自分の
救いを成し遂げなさい。¹³
なぜなら、神があなたがたの中で働いて、彼の良き
目的を成就するために、意志と行動の両方をもち
しているからです。¹⁴
すべてのことを不平や不満を言わずに行いなさい。
¹⁵

それは、ゆがんだ曲がつた世代の中で、欠点のない
神の子供として、非難されることなく純粋であるた
めです。その時、あなたがたは空の星のように彼ら
の間で輝くでしょう。¹⁶
命の言葉をしっかりと持ちながら。そして、その時
、私はキリストの日に、無駄に走ったり労したりし
なかつたことを誇りに思うことができるでしょう。
¹⁷

しかし、たとえ私があなたがたの信仰の犠牲と奉仕
の上に注がれる飲み物の捧げ物として注がれている
としても、私は喜び、あなたがた全員と共に喜びま
す。¹⁸
同じように、あなたがたも喜び、私と共に喜びなさ
い。¹⁹
しかし、私は主イエスにあつて、ティモテをすぐに
あなたがたのもとに送ることを望んでいます。そう
すれば、あなたがたの状況を知つて、私も励まされ
るでしょう。²⁰

なぜなら、あなたがたの福祉を真に心配する同じ精
神を持つ者が他にいないからです。²¹

なぜなら、彼らは皆、自分自身の利益を追求し、キ
リスト・イエスの利益を追求しないからです。²²
しかし、彼が福音の働きにおいて、父と共にいる息
子のように私と共に仕えたことを、あなたがたは知
っています。²³

したがつて、私は彼をすぐに送ることを望んでいま
す。私の状況がどうなるかを見たらすぐに。²⁴

そして、私は主にあつて、私自身もすぐに来ること
ができると確信しています。²⁵

しかし、私はあなたがたにエパフロディトを送り返
すことが必要だと考へました。彼は私の兄弟であり
、協力者であり、共に戦う兵士であり、あなたがた
の使者であり、私の必要に仕える者です。²⁶

なぜなら、彼はあなたがた全員を恋しく思い、彼が
病氣であつたことを聞いて心を痛めているからです
。²⁷

実際、彼は病氣で、ほとんど死にかけました。しか
し、神は彼に憐れみをかけ、彼だけでなく私にも憐
れみをかけて、悲しみを重ねることを免れさせてく
ださいました。²⁸

したがつて、私は彼を送ることを一層熱望していま
す。そうすれば、彼を見るときにあなたがたは喜び
、私の不安も軽減されるでしょう。²⁹

それゆゑ、主にあつて彼を全ての喜びをもつて迎え
、彼のような人々を高く評価しなさい。³⁰

なぜなら、彼はキリストの働きのために死に近づき
、私に与えることができなかった助けを補うために
命を危険にさらしたからです。

3 最後に、私の兄弟姉妹たちよ、主にあつて喜び
なさい。同じことを書くのは私にとって苦では
なく、あなたがたにとって安全です。²

犬ども、悪を行う者ども、肉を切り刻む者どもに注
意しなさい。³

私たちは真の割礼を受けた者であり、神の霊によつ
て礼拝し、キリスト・イエスを誇り、肉に頼らない
者です。⁴

私自身は肉に頼る理由があります。他の誰かが肉に
頼る理由があると思うなら、私はさらに多くの理由
があります。⁵

私は八日目に割礼を受け、イスラエルの民、ベニヤ
ミン族、ヘブル人の中のヘブル人として生まれ、律
法についてはパリサイ人です。⁶

熱心さについては教会を迫害し、律法に基づく義に
ついては非の打ち所がありません。⁷

しかし、私が持っていたどんな利益も、キリストの
ために損失と見なしています。⁸

実際、私は私の主キリスト・イエスを知ることの卓

ピリピ人への手紙

越した価値のために、すべてを損失と見なしています。そのために私はすべてのものを失い、それらをゴミと見なしています。それはキリストを得るためです。

そして、律法に基づく自分自身の義ではなく、キリストへの信仰による義、すなわち信仰に基づく神からの義を持って、彼の中に見出されることです。私はキリストと彼の復活の力、彼の苦しみの交わりを知りたいのです。彼の死に似る者となることです。

そして、何とかして死者の中からの復活に達することです。

私はすでにこれを得たわけではなく、すでに完全にされたわけでもありませんが、キリスト・イエスが私を捉えた目的を捉えるために進み続けています。

兄弟姉妹たちよ、私はまだそれを捉えたとは考えていません。しかし、私がする一つのこと、後ろのものを忘れ、前のものに向かって努力することです。

私は神がキリスト・イエスにおいて上に召してくださる賞を得るために、目標に向かって進み続けます。

それゆえ、成熟した私たちは皆、このように考えるべきです。そして、もし何かについて異なる考えを持っているならば、それも神があなたに明らかにしてくださるでしょう。

私たちがすでに達したところに従って生き続けましょう。

私の例に従って一緒に進みなさい、兄弟姉妹たちよ。そして、私たちの中にある模範に従って生きる者たちを観望しなさい。

私は以前にも何度もあなたに言いましたが、今も涙をもって言います。多くの者がキリストの十字架の敵として生きています。

彼らの終わりは滅びであり、彼らの神は彼らの腹であり、彼らの栄光は彼らの恥にあります。彼らの心は地上的なものに向かっています。

しかし、私たちの本当の故郷は天にあり、そこから救い主、主イエス・キリストの来臨を熱心に待ち望んでいます。

彼はすべてを自分の支配下に置く力によって、私たちの卑しい体を彼の栄光の体のように変えてくださいます。

ですから、私の愛する兄弟姉妹たち、私が愛し、待ち望んでいる者たち、私の喜びと冠である者たちよ、このように主にあつて堅く立ちなさい、私の愛する友たちよ。

私はユオディヤとシュンテケに勧めます、主にあつ

て調和を見つけるように。

はい、私はあなたにお願いする、私の真実な仲間よ、福音のために私と共に奮闘したこれらの女性たちを助けてください、クレメンスと私の他の同労者たちと共に、その名が命の書に記されている者たちです。

常に主にあつて喜びを見つけないさい。もう一度言います：喜びなさい！

あなたの穏やかな心をすべての人に示しなさい。主は近いのです。

何事も心配しないで、すべての状況で、祈りと願いを感謝と共に神に申し上げなさい。

そして、すべての理解を超えた神の平和が、キリスト・イエスにあつてあなたの心と意思を守るでしょう。

最後に、兄弟姉妹たち、真実なこと、尊いこと、正しいこと、純粋なこと、愛すべきこと、称賛に値すること、もし優れたことや称賛に値することがあれば、それらのことを考えなさい。

私から学んだこと、受けたこと、聞いたこと、見たことを実行しなさい。そうすれば、平和の神があなたと共にいるでしょう。

あなたが私への関心を新たにしてくれたことを、主にあつて大いに喜びました。実際、あなたは関心を持っていましたが、それを示す機会がなかったのです。

私は必要があるから言っているのではありません。私はどんな状況でも満足することを学んだからです。

私は謙虚に生きることを知っており、豊かに生きることも知っています。私はどんな状況でも満足する秘訣を学びました。満腹している時も、飢えている時も、豊かに暮らしている時も、欠乏している時も。

私を強めてくださる方によって、私はすべてのことができます。

それでも、あなたが私の困難を分かち合ってくれたことは親切でした。

さらに、ピリピの人々よ、あなた方が知っているように、福音に親しんだ初期の頃、私がマケドニアを去った時、与えることと受け取ることに於いて私と分かち合った教会は、あなた方だけでした。

私がテサロニケにいた時でさえ、あなた方は私の必要のために何度も援助を送ってくれました。

私は贈り物自体を求めているのではなく、あなた方の口座に増える利益を求めているのです。

私は十分な支払いを受け、十分以上に満たされています。エバフロディトから受け取ったあなた方の贈り物は、香ばしい香りの捧げ物、神に喜ばれる受け

ピリピ人への手紙

入れられる犠牲です。¹⁹
そして、私の神はキリスト・イエスにおける栄光の
富をもって、あなた方の必要をすべて満たしてくだ
さるでしょう。²⁰
私たちの神と父に、世々限りなく栄光がありますよ
うに。アーメン。²¹
キリスト・イエスにあるすべての聖徒によりしく伝

えてください。私と共にいる兄弟姉妹たちが挨拶を
送ります。²²
すべての聖徒たちがあなた方に挨拶を送ります。特
にカエサルの家の人たちが。²³
主イエス・キリストの恵みがあなた方の霊と共にあ
りますように。

コロサイ人への手紙

1 神の御心によってキリスト・イエスの使徒とな
ったパウロと、兄弟デモテから、²

コロサイにいるキリストにある聖なる忠実な兄
弟姉妹たちへ。私たちの父なる神からの恵みと平安
があなたがたにありますように。³

私たちはあなたがたのために祈るたびに、私たちの
主イエス・キリストの父である神に絶えず感謝を捧
げています。⁴

それは、あなたがたがキリスト・イエスに対する信
仰と、すべての聖徒に対する愛を持っていることを
聞いたからです⁵

あなたがたのために天に蓄えられている希望のゆえ
にです。この希望は、あなたがたがすでに福音の真
理の言葉を聞いたときに知ったものです。⁶

それはあなたがたにきたものです。同じように、福
音は全世界で実を結び成長しています。それは、あ
なたがたがそれを聞き、神の恵みを真に理解した日
から、あなたがたの間でもそうしているのです。⁷
あなたがたは私たちの愛する同僚であるエパfras
からそれを受けました。彼は私たちのためにキリス
トに忠実に仕えています。⁸

そして彼はまた、あなたがたの霊における愛を私た
ちに知らせてくれました。⁹

このため、私たちはあなたがたのことを聞いた日か
ら、あなたがたのために祈ることをやめず、すべて
の霊的な知恵と理解を通して神の御心の知識であな
たがたを満たしてくださるようにと願っています。¹⁰

それは、あなたがたが主にふさわしい生活を送り、
あらゆる面で彼を喜ばせるためです：すべての良い
行いにおいて実を結び、神の知識において成長する
ためです。¹¹

彼の栄光の力に従ってすべての力で強められ、偉大
な忍耐と寛容を持ち、喜びをもって¹²

光の王国における聖徒たちの相続にあなたがたを参
加させる資格を与えてくださった父に感謝を捧げる
ためです。¹³

彼は私たちを暗闇の支配から救い出し、愛する御子
の王国に移してくださいました。¹⁴

彼において私たちは贖いと赦しを持っています。¹⁵
御子は見えない神の姿であり、すべての創造物の初
子です。¹⁶

彼においてすべてのものが創造されました：天にあ
るもの、地にあるもの、見えるもの、見えないもの
、王座であれ、主権であれ、支配者であれ、権威で
あれ、すべてのものが彼を通して、彼のために創造
されました。¹⁷

彼はすべてのものの前に存在し、彼によってすべて
のものが保たれています。¹⁸

そして彼は体である教会の頭であり、初めてであり、
死者の中からの初子であり、すべてのことにおいて
第一位を持つためです。¹⁹

すべての満ちるものが彼に宿ることを父が喜ばれた
からです。²⁰

そして彼を通して、地にあるもの、天にあるものを
問わず、彼の十字架の血によって平和を確立し、す
べてのものを彼自身と和解させるためです。²¹

かつてあなたがたは神から疎外され、心の中で敵対
し、悪い行いに従事していました。²²

しかし今、彼はキリストの肉体による死を通してあ
なたがたを和解させ、彼の前で聖なる、傷のない、
非難のない者としてあなたがたを立たせるためです
²³

もしあなたがたが信仰に留まり、確立され、堅固で
あり、福音によって提供される希望から離れないな
らば。この福音はあなたがたが聞いたものであり、
天の下すべての被造物に宣べ伝えられたものであ
り、私パウロがその僕となったものです。²⁴

今、私はあなたがたのために苦しむことを喜びとし
、私の肉体においてキリストの苦しみの不足を満た
しています。それは彼の体である教会のためです。²⁵

私は神が私に割り当てた任務によってその僕となり
、神の言葉を完全にあなたがたに伝えるためです²⁶

それは世々にわたって隠されていた神秘であり、今
や主の民に明らかにされたものです。²⁷

神は異邦人の中にこの神秘の栄光の富を明らかにす
ることを選ばれました。それはあなたがたの中にある
キリスト、栄光の希望です。²⁸

彼こそが私たちが宣べ伝える方であり、すべての知
恵をもってすべての人を警告し、教え、キリストに
おいて完全に成熟した者としてすべての人を立たせ
るためです。²⁹

この目的のために、私は労苦し、キリストが私の中
で力強く働くすべての力をもって努力しています。

2 あなたがたラオデキアにいる人々、また私の
顔を直接見たことのないすべての人々のために
、私がどれほど苦闘しているかを理解してほしい。²

私の目的は、彼らの心が愛によって結ばれ、励まさ
れ、理解の完全な確信から来るすべての富に達し、
神の奥義であるキリストご自身の真の知識に導かれ
ることです。³

その中に、知恵と知識のすべての宝が隠されていま
す。⁴

私はこれを言うのは、誰も説得力のある議論であな
たがたを欺かないようにするためです。⁵

コロサイ人への手紙

私が体では不在であっても、霊ではあなたがたと共にあり、あなたがたの秩序ある行動とキリストに対する信仰の堅さを見て喜んでます。⁶

したがって、あなたがたが主としてキリスト・イエスを受け入れたように、彼の中を歩み続けなさい。⁷

彼の中に根ざし、築き上げられ、教えられたように信仰に確立され、感謝に満ち溢れなさい。⁸

誰も空虚で欺瞞的な哲学によってあなたがたを捕らえないように注意しなさい。それは人間の伝統とこの世の基本的な霊的力に基づいており、キリストに基づいていません。⁹

キリストの中に、神の本質のすべての満ち満ちたものが肉体の形で宿っています。¹⁰

そして、彼の中であなたがたは完全にされました。彼はすべての支配者と權威の頭です。¹¹

彼の中で、あなたがたも人の手によらない割礼を受け、肉体の体を脱ぎ捨て、キリストの割礼を受けました。¹²

洗礼によって彼と共に葬られ、神の力強い働きによって彼が死者の中から蘇らせられたことを信じる信仰を通して、あなたがたも彼と共に蘇らされました。¹³

そして、あなたがたが罪過と肉体の無割礼の中で死んでいたとき、神は彼と共にあなたがたを生かし、私たちのすべての罪過を赦してくださいました。¹⁴ 私たちに対して立っていた負債の記録を、その法的要求と共に取り消し、それを十字架に釘付けにしました。¹⁵

彼は支配者と權威を武装解除し、彼らを公然と見せしめにし、十字架によって彼らに勝利しました。¹⁶ したがって、食べ物や飲み物の問題、祭り、新月、または安息日に関して、誰もあなたがたを裁かせてはなりません。¹⁷

これらは将来のものの影に過ぎませんが、実体はキリストにあります。¹⁸

偽りの謙遜と天使の崇拜を主張し、幻にふけり、霊的でない心によって理由もなく膨れ上がっている者に、あなたがたを失格にさせてはなりません。¹⁹

そして、全身が関節と韌帯によって養われ、結び合わされ、神からの成長をもって成長する頭にしっかりとつかまっています。²⁰

もしあなたがたがキリストと共にこの世の事柄に対して死んでいるなら、なぜその規則に従ってまだ世に生きているかのように行動するのですか？²¹

「触れてはならない、味わってはならない、触れてはならない！」？²²

これらは滅びる運命にあるものであり、人間の命令と教えに基づいています。²³

これらは自己課した宗教、偽りの謙遜、身体の厳しい扱いにおいて知恵の外観を持っていますが、感覚的な放縱を抑える価値はありません。

3 それゆえ、キリストと共に復活させられたなら、上にあるものを求めなさい。そこには、キリストが神の右に座しておられるのです。²

地上の事ではなく、上にあるものに心を留めなさい。³

あなたがたは死んでおり、あなたがたの命はキリストと共に神の内に隠されているのです。⁴

あなたがたの命であるキリストが現れるとき、あなたがたも彼と共に栄光のうちに現れるでしょう。⁵

それゆえ、地上の性質の部分、すなわち、淫らな行い、汚れ、情欲、悪い欲望、そして食欲を死んだものとしなさい。食欲は偶像礼拝です。⁶

これらのために、不従順な者たちに神の怒りが臨もうとしています。⁷

あなたがたもかつてはこれらの中を歩んでいました。それは以前の生活の中でのことです。⁸

しかし今は、これらすべて、すなわち、怒り、憤り、悪意、そしり、口から出る卑しい言葉を捨て去りなさい。⁹

互いに嘘をついてはいけません。古い自己をその行いと共に脱ぎ捨てたのですから。¹⁰

そして、新しい自己を身に着けたのです。この新しい自己は、創造者の姿に従って知識において新たにされ続けています。¹¹

ここには、ギリシャ人もユダヤ人も、割礼のある者もない者も、野蛮人もスキタイ人も、奴隷も自由人も区別はありません。キリストがすべてであり、すべての中におられるのです。¹²

神に選ばれた者、聖なる愛されている者として、憐れみの心、親切、謙遜、柔和、忍耐を身に着けなさい。¹³

互いに忍び合い、誰かが他の人に不満を持っているなら、互いに許し合いなさい。主があなたがたを許されたように、あなたがたもそうしなさい。¹⁴

これらすべての上に、愛を身に着けなさい。それはすべてを完全に結び合わせる帯です。¹⁵

キリストの平和があなたがたの心を支配するようにしなさい。あなたがたは一つの体として平和に招かれたのです。そして感謝の心を育みなさい。¹⁶

キリストの言葉があなたがたのうちに豊かに宿るようにしなさい。すべての知恵をもって互いに教え、戒め合い、詩篇と賛美と霊的な歌をもって、感謝の心で神に向かって歌いなさい。¹⁷

言葉であれ行いであれ、何をするにも、すべて主イエスの名によって行い、彼を通して父なる神に感謝しなさい。¹⁸

コロサイ人への手紙

妻たちよ、主にふさわしく、夫に従いなさい。¹⁹
夫たちよ、妻を愛し、彼女たちに辛く当たっては
いけません。²⁰
子供たちよ、すべてのことにおいて両親に従いな
さい。これは主に喜ばれることです。²¹
父たちよ、子供たちを怒らせてはいけません。彼ら
が氣落ちすることのないように。²²
奴隷たちよ、地上の主人にすべてのことにおいて従
いなさい。人の目があるときだけでなく、彼らの好
意を得るためではなく、心から主を恐れて行いな
さい。²³
何をするにも、心を込めて行いなさい。それは人に
ではなく、主に仕えるようにしているのです。²⁴
主から報いとして相続を受けることを知っているの
です。あなたがたは主キリストに仕えているのです。²⁵
悪を行う者は、その悪に対して報いを受けるでし
う。そこには偏りはありません。

4 主人たちよ、天にあなたがたにも主人がいるこ
とを知って、奴隷に正義と公平を与えなさい。²

感謝の心を持って目を覚まして祈りに専念しなさい。³
また、私たちのためにも祈ってください。神が私た
ちのメッセージのために門を開いてくださり、私が
鎖につながれているキリストの奥義を宣べ伝えるこ
とができるように。⁴
私が語るべきように明確に語れるように祈ってくだ
さい。⁵
外部の人々に対して賢く行動し、機会を最大限に生
かしなさい。⁶
あなたがたの会話はいつも恵みに満ち、塩で味付け
されているようにしなさい。それによって、各人に
どのように答えるべきかを知ることができるように。⁷
愛する兄弟であり、忠実な奉仕者であり、主におけ

る同労者であるテキコが、私のすべての事情をあな
たがたに知らせるでしょう。⁸
彼をあながたのもとに送るのはこのためであり、
あなたがたが私たちの状況を知り、彼があながた
の心を励ますためです。⁹
彼と共にいるのは、あなたがたの一人である忠実で
愛する兄弟オネシモです。彼らはここで起こってい
るすべてのことをあなたがたに知らせるでしょう。¹⁰

私の同囚であるアリスタルコがあながたに挨拶を
送り、バルナバのいとこであるマルコも挨拶を送り
ます。（彼についての指示を受けているので、彼が
来たら迎えてください。）¹¹

ユストと呼ばれるイエスも挨拶を送ります。これら
は割礼を受けた者の中から神の国のために働く唯一
の同労者であり、私にとって慰めとなっています。¹²

あなたがたの一人であり、キリスト・イエスのしも
べであるエバフラスが挨拶を送ります。彼はいつも
あなたがたのために祈りに奮闘しており、あなたが
たが神のすべての御心において成熟し、完全に確信
を持つことができるようにと願っています。¹³
私は彼があながたとラオデキアとヒエラポリスの
人々のために深い関心を持っていることを証言しま
す。¹⁴

愛する医者ルカとデマスが挨拶を送ります。¹⁵
ラオデキアにいる兄弟姉妹と、ニンファと彼女の家
で集まる教会に私の挨拶を伝えてください。¹⁶
この手紙があながたの間で読まれた後、ラオデキ
アの教会でも読まれるようにし、あなたがたもラオ
デキアからの手紙を読むようにしてください。¹⁷
アルキッポに、主において受けた務めを果たすよう
に励ましてください。¹⁸

私パウロが自分の手でこの挨拶を書いています。私
の投獄を覚えていてください。恵みがあなたがたと
共にありますように。

テサロニケ人への手紙第一

1 パウロ、シルワノ、デモテから、
父なる神と主イエス・キリストにあるテサロニ
ケ人の教会へ。

恵みと平安があなたがたにあるように。²
私たちはいつもあなたがたすべてのために神に感謝
し、祈りの中であなたがたを思い起こしています。³

私たちの神と父の前で、あなたがたの信仰の働き、
愛の労苦、そして私たちの主イエス・キリストにあ
る希望の忍耐を絶えず思い起こしています。⁴

神に愛されている兄弟姉妹たち、神があなたがたを
選ばれたことを知っています。⁵

私たちの福音は言葉だけでなく、力と聖霊と十分な
確信を伴ってあなたがたに伝えられました。私たち
があなたがたの間でどのような者であったかを、あ
なたがたは知っています。⁶

あなたがたは大きな苦難の中で聖霊の喜びをもって
御言葉を受け入れ、私たちと主の模範に倣う者とな
りました。⁷

そのため、あなたがたはマケドニアとアカイアにい
るすべての信者の模範となりました。⁸

主の言葉があなたがたから響き渡り、マケドニアと
アカイアだけでなく、あらゆる場所であなたがたの
神に対する信仰が知られるようになったので、私た
ちが何も言う必要がないほどです。⁹

彼ら自身が私たちに、あなたがたがどのようにして
偶像から神に立ち返り、生ける真の神に仕えるよう
になったか、そして私たちがあなたがたからどのよう
な歓迎を受けたかを語っています。¹⁰

そして、神が死者の中からよみがえらせた御子、す
なわち、私たちを来たるべき怒りから救い出してく
ださるイエスを天から待ち望んでいます。

2 兄弟たちよ、あなたがた自身知っているよう
に、私たちがあなたがたのところに行ったことは
無駄ではありませんでした。²

しかし、あなたがたが知っているように、私たちは
ビリビで苦しみと虐待を受けた後、私たちの神にあ
って大胆に神の福音をあなたがたに語りました。そ
れは多くの反対にもかかわらずでした。³

私たちの勧めは、誤りや不純から出たものではなく
、欺きによるものでもありません。⁴

むしろ、私たちは神によって福音を委ねられるにふ
さわしい者と認められたので、人を喜ばせるのでは
なく、心を探られる神を喜ばせるために語っていま
す。⁵

あなたがたが知っているように、私たちは決してお
世辞を言ったことはなく、貪欲のために動機を持っ
たこともありません。神が証人です。⁶

また、キリストの使徒として権威を主張することも

できたのに、人からの誉れを求めたこともありませ
ん。あなたがたからも、他の人々からも。⁷

しかし、私たちはあなたがたの間で優しく振る舞い
ました。それは、乳を与える母が自分の子供を優しく
世話するようにです。⁸

同じように、私たちはあなたがたに対して深い愛情
を抱き、神の福音だけでなく、私たち自身の命も喜
んで分かち合いました。なぜなら、あなたがたが私
たちにとって非常に大切な存在となったからです。⁹

兄弟たちよ、あなたがたは私たちの労苦と苦難を思
い出してください。私たちは、誰にも負担をかけな
いように、昼も夜も働きながら、神の福音をあなた
がたに宣べ伝えました。¹⁰

あなたがたも神も、私たちが信者であるあなたがた
に対して、どれほど敬虔に、正しく、非の打ち所な
く振る舞ったかの証人です。¹¹

あなたがたが知っているように、私たちは父が自分
の子供にするように、各々の者を励まし、慰め、促
しました。¹²

それは、あなたがたが神の御国と栄光に召された者
としてふさわしく歩むためです。¹³

このために、私たちはまた、あなたがたが私たちか
ら聞いた神の言葉を受け入れたとき、それを人間の
言葉としてではなく、実際にそうであるように、神
の言葉として受け入れたことを、絶えず神に感謝し
ています。それはまた、信じるあなたがたの中で働
いています。¹⁴

兄弟たちよ、あなたがたはユダヤにあるキリスト・
イエスにある神の教会を模倣する者となりました。
なぜなら、あなたがたも自国の人々から同じ苦しみ
を受けたからです。それは彼らがユダヤ人から受け
たものと同じです。¹⁵

彼らは主イエスと預言者たちを殺し、私たちを追い
出しました。彼らは神を喜ばせることなく、すべて
の人に敵対しています。¹⁶

彼らは異邦人に語ることを妨げて、彼らが救われ
ることを妨げています。その結果、彼らは常に罪の限
度に達しています。怒りが完全に彼らに臨んでいま
す。¹⁷

しかし、兄弟たちよ、私たちは短い間、顔を合わせ
ることはできませんでしたが、心では離れていま
せんでした。あなたがたの顔を見ることを非常に切望
して、ますます熱心になりました。¹⁸

私たちはあなたがたのところに行きたかったのです
。私、パウロは何度も試みましたが、サタンが私た
ちを妨げました。¹⁹

私たちの希望、喜び、誇りの冠は何でしょうか。そ
れは、主イエスが来られるとき、彼の前にいるあな

テサロニケ人への手紙第一

たがたではないでしょうか。²⁰
あなたがたは本当に私たちの誇りと喜びです。

3 それゆえ、私たちはもう耐えられなくなったとき、アテネで一人残されることを決めました。²

そして、私たちの兄弟であり、キリストの福音を広める同労者であるデモテを送り、あなたがたの信仰を支え、励ますために送りました。³

それは、誰もこれらの困難によって動揺しないようにするためです。あなたがた自身が知っているように、私たちはこのために定められていますのです。⁴
私たちがあなたがたと共にいたときでさえ、私たちは困難に直面することを前もって警告し続けました。そして、あなたがたが知っているように、それは実際に起こりました。⁵

この理由から、私ももう耐えられなくなったとき、あなたがたの信仰について知るために送りました。誘惑者があなたがたを誘惑し、私たちの労苦が無駄になることを恐れたからです。⁶

しかし、今、デモテがあなたがたから私たちのもとに来て、あなたがたの信仰と愛についての良い知らせをもたらし、私たちがいつも親切に思い、私たちと同様にあなたがたも私たちに会いたいと願っていることを知らせてくれました。⁷

そのため、兄弟姉妹たち、私たちのすべての苦難と困難の中で、あなたがたの信仰を通して私たちは慰められました。⁸

今や、あなたがたが主に堅く立っているなら、私たちは本当に生きるのです。⁹

あなたがたのために、私たちが神にどれほどの感謝を捧げることができるでしょうか。あなたがたのために私たちが神の前で喜びに満ちているすべての喜びに対して。¹⁰

私たちが昼も夜も熱心に祈り続けているのは、あなたがたに顔と顔を合わせて会い、あなたがたの信仰に欠けているものを補うことができるようにするためです。¹¹

今、私たちの神と父ご自身と、私たちの主イエスが、私たちの道をあなたがたに導いてくださいますように。¹²

そして、主があなたがたを互いに、またすべての人に対する愛において成長させ、豊かにしてくださいますように。それは私たちがあなたがたに対してもそうしているように。¹³

それは、主がすべての聖なる者たちと共に来られるとき、私たちの神と父の前であなたがたの心を聖なる中で非難のないものとして確立してくださるためです。

4 さて、兄弟たちよ、主イエスにあって、私たちからどのように歩んで神を喜ばせるべきかを教えられたように（実際に歩んでいるように）、さらにますます進歩するようにお願いし、勧めます。²

あなたがたは、主イエスの権威によって私たちがあなたがたに与えた教えを知っています。³

これは神のあなたがたに対する願い、すなわちあなたがたの聖化です。それは、あなたがたが不品行を避けることです。⁴

それぞれが自分の器を聖化と尊敬をもって持つことを知ることです。⁵

神を知らない人々のように情欲にふけるのではなく、⁶

この事において兄弟を欺いたり、搾取したりしないことです。なぜなら、主はこれらすべてのことにおいて正義をもたらす方だからです。私たちが以前にあなたがたに話し、厳かに警告したとおりです。⁷
神は私たちが汚れにではなく、聖なる生活をするように召されました。⁸

したがって、これを拒む者は、人を拒むのではなく、あなたがたに聖霊を与える神を拒むのです。⁹

さて、互いの愛については、誰かがあなたがたに書く必要はありません。なぜなら、あなたがた自身が神によって互いに愛し合うことを教えられているからです。¹⁰

実際、あなたがたはマケドニア全域の兄弟たちにこの愛を示しています。それでも、兄弟たちよ、さらにますます進歩するように勧めます。¹¹

静かに生活し、自分のことに専念し、自分の手で働くことを目指さない。これは私たちがあなたがたに指示したとおりです。¹²

それは、あなたがたが外部の人々に対して適切に振る舞い、誰にも依存しないようにするためです。¹³

しかし、兄弟たちよ、私たちは、亡くなった人々についてあなたがたが知らないであることを望みません。希望のない他の人々のように悲しまないためです。¹⁴

もしイエスが死んで復活したと信じるならば、神はイエスにあって眠った人々をも彼と共に連れて来られるでしょう。¹⁵

主の言葉によってあなたがたに告げますが、私たち生き残っている者が主の来臨まで残るならば、眠った者たちに先んじることはありません。¹⁶

主ご自身が天から命令の叫びと大天使の声と神のラッパと共に降りて来られ、キリストにあって死んだ者たちがまず復活します。¹⁷

その後、私たち生き残っている者が彼らと共に雲に引き上げられ、空中で主に会うのです。そして、こ

テサロニケ人への手紙第一

うしていつも主と共にいるでしょう。¹⁸
ですから、この言葉をもって互いに励まし合いなさい。

5 さて、時と時期については、親愛なる友よ、あなたがたに書く必要はありません。²

主の日が夜の盗人のように突然来ることを、あなたがたはよく知っています。³

彼らが「平和と安全だ」と言っているときに、突然の破壊が妊婦に産みの苦しみが来るように彼らに襲いかかり、彼らは逃れることができません。⁴

しかし、親愛なる友よ、あなたがたは暗闇の中にいるのではないので、その日が盗人のようにあなたがたを驚かせることはありません。⁵

あなたがたは皆、光の子、昼の子だからです。私たちは夜や暗闇に属していません。⁶

したがって、他の人々のように眠っているのではなく、目を覚まし、心を澄まさせていきましょう。⁷

眠る者は夜に眠り、酔う者は夜に酔います。⁸

しかし、私たちは昼に属しているので、信仰と愛の胸当てを着け、救いの希望を兜として、心を澄まさせていきましょう。⁹

神は私たちを怒りに定めたのではなく、私たちの主イエス・キリストを通して救いを受けるように定められたからです。¹⁰

彼は私たちのために死なれたので、私たちが目を覚ましていても眠っていても、彼と共に生きることができるのです。¹¹

それゆえ、あなたがたはすでにしているように、互いに励まし合い、互いを築き上げなさい。¹²

しかし、親愛なる友よ、あなたがたの間で働き、主

にあってあなたがたを世話し、教える者たちを認めてください。¹³

彼らの働きのために、愛をもって最も高く評価し、互いに平和に暮らしなさい。¹⁴

私たちはあなたがたに勧めます、親愛なる友よ、怠惰で混乱を引き起こす者たちを警告し、気落ちしている者を励まし、弱い者を助け、すべての人に忍耐強く接しなさい。¹⁵

誰も悪をもって悪に報いることがないようにし、常に互いに、そしてすべての人に対して良いことをするよう努めなさい。¹⁶ 常に喜びなさい、¹⁷ 絶えず祈り続けなさい、¹⁸

すべての状況で感謝を表しなさい。これがキリスト・イエスにおける神のあなたがたに対する御心です。¹⁹ 御霊を消そうとしないでください、²⁰ 預言を軽蔑してはいけません。²¹

むしろ、すべてを吟味し、良いものをしっかりと持ちなさい、²² あらゆる形の悪を避けなさい。²³

今、平和の神ご自身があなたがたを完全に聖別し、あなたがたの霊、魂、体が、私たちの主イエス・キリストの来臨において責められることなく保たれますように。²⁴

あなたがたを召された方は真実であり、必ずそれを成し遂げてくださいます。²⁵

親愛なる友よ、私たちのために祈ってください。²⁶

すべての兄弟姉妹に温かい挨拶をしてください。²⁷

私は主の前であなたがたにこの手紙をすべての兄弟姉妹に読ませるように求めます。²⁸

私たちの主イエス・キリストの恵みがあなたがたと共にありますように。アーメン。

テサロニケ人への手紙第二

1 パウロ、シルワノ、デモテから、
私たちの父なる神と主イエス・キリストの教会
であるテサロニケ人へ。

父なる神と主イエス・キリストから、恵みと平安が
あなたがたにありますように。

3 兄弟姉妹たち、あなたがたの信仰が豊かに増し、互
いに対する愛がますます大きくなっているのです、私
たちは常に神に感謝すべきです。それは当然のこと
です。

4 このようにして、私たちは神の諸教会の中で、あな
たがたの忍耐と信仰を誇りに思っています。それは
、あなたがたが耐えているすべての迫害と苦難の中
でのことです。

5 これは、あなたがたが神の国にふさわしいと認めら
れるために、まさにそのために苦しんでいることを
示す、神の正しい裁きの明白な証拠です。

6 神があなたがたを悩ます者たちに苦しみをもたらす
ことは正しいことです。

7 そして、主イエスが力ある天使たちと共に燃える炎
の中で天から現れるとき、悩んでいるあなたがたに
、私たちと共に安息を与えることです。

8 神を知らない者たちと、私たちの主イエスの福音に
従わない者たちに正義をもたらすことです。

9 これらの者たちは、主の御前とその力の栄光から離
れて、永遠の滅びの報いを受けるでしょう。

10 その日、主が聖徒たちの中で栄光を受け、信じたす
べての者たちの中で驚かれるとき、私たちの証があ
なたがたに信じられたからです。

11 このために、私たちは常にあなたがたのために祈っ
ています。私たちの神があなたがたを召しにふさわ
しい者と認め、善の願いと信仰の働きを力をもって
成就してくださるよう。

12 それは、私たちの神と主イエス・キリストの恵みによ
って、私たちの主イエスの御名があなたがたの中
で栄光を受け、あなたがたがその中で栄光を受ける
ためです。

2 私たちの主イエス・キリストの来臨と、私たち
が彼に集められることについて、愛する兄弟姉
妹たちにお願いがあります。

2 霊やメッセージ、または私たちからのものであると
主張する手紙によって、主の日がすでに来たと示唆
されて、簡単に動揺したり驚いたりしないでくださ
い。

3 誰にもどのような方法でも惑わされないでください
。その日が来る前に、まず反逆が起こり、不法の人
、滅びの子が現れるからです。

4 彼はすべてのいわゆる神や礼拝の対象に対抗し、自
らを高め、神の宮に座して自分を神として示しま
す。

私がまだあなたがたと一緒にいたときに、これらの
ことを話していたのを覚えていませんか？

6 そして、彼が適切な時に現れるために、現在彼を抑
えているものをあなたがたは知っています。

7 不法の秘密の力はすでに働いていますが、今それを
抑えている方が取り除かれるまで続けるでしょう。
8

その時、不法の者が現れますが、主イエスはその口
の息で彼を滅ぼし、その来臨の輝きで終わらせるで
しょう。

9 それは、サタンの働きに従って到来する者であり、
すべての力と欺瞞的なしるしと不思議を伴います。

10 そして、滅びゆく者たちに対するすべての悪の欺瞞
を伴います。彼らは救われるための真理の愛を受け
入れなかったからです。

11 このために、神は彼らが偽りを信じるように強い錯
覚に影響されることを許されます。

12 それは、真理を信じずに悪を喜んだすべての者が裁
かれるためです。

13 しかし、主に愛されている兄弟姉妹たち、神が初め
からあなたがたを選び、霊の聖化と真理への信仰に
よって救いに導かれたことを、私たちはいつも神に
感謝すべきです。

14 この目的のために、彼は私たちの福音を通じてあな
たがたを召し、私たちの主イエス・キリストの栄光
を共有するようにされました。

15 したがって、愛する兄弟姉妹たち、しっかりと立ち
、口頭であれ手紙であれ、私たちがあなたがたに伝
えた教えをしっかりと守りなさい。

16 今、私たちの主イエス・キリストご自身と、私たち
を愛し、その恵みによって永遠の励ましと良い希望
を与えてくださった神である私たちの父が、
17 あらゆる良い行いとことばにおいて、あなたがたの
心を励まし、強めてくださいますように。

3 最後に、親愛なる友人たちよ、主の言葉が速や
かに広まり、あなたがたの間でそうであったよ
うに栄光を受けるように、私たちのために祈っ
てください。

2 そして、私たちが不道徳で悪い人々から救われるよ
うに祈ってください。すべての人が信仰を持ってい
るわけではないからです。

3 しかし、主は信頼できる方であり、あなたがたを強
め、悪しき者から守ってくださいます。

4 私たちは、あなたがたが私たちの指示に従って行動
していること、そしてこれからもそうすることを、
主において確信しています。

5 どうか主があなたがたの心を神の愛とキリストの忍
耐に向けて導いてくださいますように。

テサロニケ人への手紙第二

さて、親愛なる友人たちよ、私たちは主イエス・キリストの名によってあなたがたに命じます。私たちが受けた伝統に従わず、無秩序な生活を送るすべての信者から離れてください。⁷

あなたがた自身が私たちの模範に従うべきであることを知っているからです。私たちはあなたがたの間で無秩序に振る舞ったわけではありません。⁸

誰のパンもただで食べたことはなく、むしろ労働と苦勞をもって昼も夜も働き、誰にも負担をかけないようにしました。⁹

それは、支援を受ける権利がないからではなく、あなたがたが模倣するための模範を示すためです。¹⁰ 私たちがあなたがたのところにいたときさえ、働きたくない者は食べるべきではないと指示しました。¹¹

あなたがたの中には無秩序に生活し、何も仕事をせずに他人のことに干渉している者がいると聞いています。¹²

主イエス・キリストにおいて、そのような人々に静

かに働き、自分のパンを食べるように命じ、促します。¹³

しかし、親愛なる友人たちよ、良いことをするのに疲れないでください。¹⁴

この手紙の指示に従わない者がいれば、その人に注意を払い、恥を感じるように彼らと交際しないでください。¹⁵

しかし、彼らを敵と見なさず、兄弟として警告してください。¹⁶

どうか平和の主ご自身が、どのような状況においてもあなたがたに平和を絶えず与えてくださいますように。主があなたがたすべてと共におられますように。¹⁷

私、パウロが自らの手でこの挨拶を書いています。これはすべての手紙における特徴であり、これが私の書き方です。¹⁸

私たちの主イエス・キリストの恵みがあなたがたすべてと共にありますように。アーメン。

テモテへの手紙第一

1 私たちの救い主である神の命令によって、また
私たちの希望であるキリスト・イエスによって
、キリスト・イエスの使徒となったパウロから

2 信仰において真実な子であるテモテへ。父なる神と
私たちの主キリスト・イエスから、恵みと憐れみと
平安があなたにありますように。

3 私がマケドニアに向かう際にあなたに勧めたように
、エフェソに留まって、ある人々に異なる教えを教
えないように命じてください。

4 また、神話や終わりのない系図に注意を払わないよ
うにしてください。それらは信仰による神の計画を
進めるのではなく、無益な推測を引き起こします。

5 私たちの教えの目的は、純粹な心、良心、そして誠
実な信仰から来る愛です。
6 ある人々はこれらの原則から逸脱し、無意味な議論
7 に陥っています。

彼らは律法の教師になりたがっていますが、自分た
ちが言っていることや、自信を持って主張している
事柄を理解していません。

8 しかし、律法が適切に用いられるならば、それが有
益であることを私たちは理解しています。

9 律法は正しい人のために作られたのではなく、無法
で反抗的な者、神を敬わない者、罪人、不敬虔で冒
瀆的な者、父や母を殺す者、殺人者のために作られ
たことを認識しています。

10 不道德な行為をする者、他人を搾取する者、嘘をつ
く者、偽証する者、そして健全な教えに反するすべ
てのこのために作られています。

11 それは、私に委ねられた祝福された神の栄光の福音
に一致しています。

12 私を強めてくださった私たちの主キリスト・イエス
に感謝します。彼は私を忠実とみなし、彼の奉仕に
任命してくださいました。

13 以前は冒険者であり、迫害者であり、暴力的な攻撃
者であったにもかかわらず、私は無知と不信仰の中
で行動したため、憐れみを受けました。

14 そして、私たちの主の恵みは、キリスト・イエスに
ある信仰と愛とともに非常に豊かに与えられました。

15 キリスト・イエスが罪人を救うために世に來られた
というのは、信頼に値し、完全に受け入れるに値す
る言葉です。私はその罪人の中で最たる者です。

16 しかし、この理由のために私は憐れみを受けました
。それは、私のような最たる罪人の中において、イ
エス・キリストが彼の完全な忍耐を示し、永遠の命
を信じる者への模範とするためです。

17 今、永遠の王、不死で見えない唯一の神に、栄誉と

18 栄光が永遠にありますように。アーメン。

この命令を、テモテ、私の子よ、あなたに委ねます
。それは、以前あなたについてなされた預言に従っ
て、それによって良い戦いを戦うためです。

19 信仰と良心を保ちなさい。ある人々はそれを拒絶し
、その結果、信仰に関して難破しました。

20 その中にはヒメナイとアレクサンドロがいます。私
は彼らをサタンに引き渡しました。それは彼らが冒
瀆を学ばないようにするためです。

2 まず第一に、すべての人のために、願い、祈り
、執り成し、感謝が捧げられることを勧めます。

2 王たちやすべての権威ある地位にある人々のために
も、私たちが敬虔で威厳のある平穩で静かな生活を送
ることができるように。

3 これは、私たちの救い主である神の御前に良いこと
であり、受け入れられることです。

4 神はすべての人が救われ、真理を理解するに至るこ
とを望んでおられます。

5 神は唯一であり、神と人間との間の仲介者も唯一で
あり、それは人であるキリスト・イエスです。

6 キリストはすべての人のためにご自身を贖いとして
捧げました。それは適切な時に証しされました。

7 このために、私は宣教師および使徒として任命され
ました（私は真実を語っており、嘘をついていませ
ん）、信仰と真理において異邦人の教師として。

8 したがって、私はすべての場所で男性が怒りや争い
をせずに、聖なる手を挙げて祈ることを望みます。

9 同様に、女性が適切な服装で、慎み深く、控えめに
身を飾ることを望みます。編んだ髪や金、真珠、高
価な衣装ではなく、

10 むしろ、敬虔を公言する女性にふさわしい良い行い
によって。

11 女性は静かに、完全な敬意をもって学ぶべきです。

12

しかし、私は女性が教えたり、男性に対して権威を
持ったりすることを許可しません。彼女は静かでな
ければなりません。

13 なぜなら、アダムが最初に造られ、次にエバが造ら
れたからです。

14 そして、騙されたのはアダムではなく、女性が騙さ
れて罪を犯したのです。

15 しかし、女性は信仰、愛、聖潔、自制を続けるなら
、出産を通じて安全に保たれるでしょう。

3 この言葉は信頼できるものです。もし誰かが監
督の役割を望むなら、彼は立派な仕事を望んで
いるのです。

テモテへの手紙第一

それゆえ、監督は非難されるところがなく、一人の妻の夫であり、節度があり、慎み深く、尊敬され、親切で、教えることができる人でなければなりません。³
過度の飲酒にふけらず、暴力的でなく、穏やかで、争いを好まず、金銭を愛さない人でなければなりません。⁴
彼は自分の家庭をよく管理し、すべての威厳をもって子供たちを尊敬させる人でなければなりません。⁵

(しかし、もし誰かが自分の家庭を管理する方法を知らないなら、どうやって神の教会を世話することができるのでしょうか?)⁶
そして、新しく改宗した者であってはならず、そうでない和高慢になり、悪魔によってもたらされる裁きに陥ることになります。⁷
さらに、彼は教会の外の人々からも良い評判を持っていないべからず、そうでないと不名誉に陥り、悪魔の罠にかかることになります。⁸
同様に、執事も威厳があり、偽善的でなく、多くの酒にふけらず、不正な利益を貪らない人でなければなりません。⁹
しかし、誠実な良心をもって信仰の神秘を守る人でなければなりません。¹⁰
これらの人々もまず試されなければなりません。そして、非難されるところがないと認められたなら、執事として仕えることができます。¹¹
女性も同様に威厳があり、中傷者でなく、節度があり、すべてのことに忠実でなければなりません。¹²
執事は一人の妻に忠実であり、子供たちと自分の家庭を効果的に管理する人でなければなりません。¹³
執事としてよく仕えた者は、自分自身のために高い地位とキリスト・イエスにある信仰における大きな確信を得ます。¹⁴
私はこれらのことを書いていますが、すぐにあなたを訪れることを望んでいます。¹⁵
しかし、もし遅れることがあれば、私は神の家でどのように振る舞うべきかをあなたに知るために書いています。それは生ける神の教会であり、真理の柱であり支えです。¹⁶
疑いなく、敬虔の神秘は深遠です。

肉において現れ、¹ 霊において義とされ、
天使たちに見られ、² 諸国民の間で宣べ伝えられ、
世界中で信じられ、³ 栄光の中に上げられた方。

4 しかし、御霊は明らかに言われます。後の時代に、ある人々は信仰から離れ、惑わす霊や悪の教えに心を傾けるようになるでしょう。²
それは、偽りを語る者たちの偽善によるものであり

、彼らの良心は焼きごてで焼かれたかのようなです。³
彼らは結婚を禁じ、神が感謝して受けるために創造された食物を避けることを勧めます。それは信じて真理を知る者たちによって受けられるべきものです。⁴
神が創造されたものはすべて良いものであり、感謝して受けられるなら、何一つ拒むべきではありません。⁵
それは神の言葉と祈りによって清められるからです。⁶
これらのことを兄弟姉妹に思い起こさせることによって、あなたはキリスト・イエスの良いしもべとなり、信仰の言葉とあなたが従ってきた健全な教えによって常に養われます。⁷
しかし、無意味な老女のような話を避け、敬虔のために自分を訓練しなさい。⁸
身体訓練にはいくらかの価値がありますが、敬虔はあらゆる面で価値があり、現在の生活と来るべき生活の両方に約束を持っています。⁹
これは完全に受け入れるに値する言葉です。¹⁰
私たちが労し、努力するのはこのためであり、私たちは生ける神に希望を置いています。神はすべての人の救い主であり、特に信じる者たちの救い主です。¹¹
これらのことを教え、指導しなさい。¹²
誰にもあなたの若さを軽んじさせてはなりません。むしろ、言葉、行い、愛、信仰、純潔において信じる者たちの模範となしなさい。¹³
私が来るまで、公の朗読、勧め、教えに専念しなさい。¹⁴
長老たちの会議による按手と預言を通してあなたに与えられた霊的な賜物を軽んじてはなりません。¹⁵
これらのことに熱心でありなさい。それに没頭しなさい。そうすれば、あなたの進歩がすべての人に明らかになるでしょう。¹⁶
あなたの生活と教えを注意深く見守りなさい。それを続けなさい。そうすることによって、あなた自身とあなたの言うことを聞く人々の救いを確実にするでしょう。

5 年上の男性を厳しく叱責せず、むしろ父親に対するように励まし、若い男性を兄弟として励ましなさい。²
年上の女性を母親として、若い女性を姉妹として、完全な純潔をもって励ましなさい。³
本当に困っている未亡人を尊重しなさい。⁴
しかし、未亡人に子供や孫がいる場合は、自分の家庭に対して適切な敬虔を示し、親に報いることを学ばなければなりません。これは神の目にかなうことです。⁵

テモテへの手紙第一

本当に未亡人で一人残された者は、神に希望を置き、昼も夜も願いと祈りを続けています。⁶

しかし、自己放縦に生きる者は、生きている間に死んでいるのと同じです。⁷

これらの指示も提供し、彼らが非難されないようにしなさい。⁸

しかし、自分の者、特に自分の家庭の者を世話しない者は、信仰を否定しており、不信者よりも悪いです。⁹

未亡人は、60歳以上で一人の夫の妻であった場合にのみ名簿に載せるべきです。¹⁰

良い行いの評判を持っていること：子供を育てたこと、見知らぬ人に親切を示したこと、聖徒の足を洗ったこと、困っている人を助けたこと、すべての良い行いに専念したこと。¹¹

しかし、若い未亡人を登録することを拒否しなさい。彼らがキリストから離れる肉体的欲望を感じると、結婚したくなるからです。¹²

以前の誓いを放棄したため、非難を受けます。¹³同時に、彼らは家から家へと回りながら怠惰を学びます。そして単に怠惰であるだけでなく、ゴシップやおせっかいになり、言うべきでないことを話します。¹⁴

したがって、私は若い未亡人が結婚し、子供を持ち、家庭を管理し、敵に非難の機会を与えないことを望みます。¹⁵

すでに迷い、今はサタンに従っている者もいます。¹⁶

信者である女性が扶養している未亡人を持っている場合、彼女は彼らを助けなければならず、教会は負担を負わないようにしなければなりません。そうすれば、本当に未亡人である者を助けることができます。¹⁷

よく指導する長老は、特に説教と教えに熱心な者は、二重の尊敬に値するものとみなされるべきです。¹⁸

聖書には、「脱税している牛に口輪をはめてはならない」と「労働者はその賃金に値する」と書かれています。¹⁹

二人または三人の証人によって確認されない限り、長老に対する告発を受け入れてはなりません。²⁰罪を続ける者をすべての人の前で叱責しなさい。そうすれば、他の者も恐れるでしょう。²¹

神とキリスト・イエスと選ばれた天使たちの前で、偏見なくこれらの原則を守り、部分的な精神で何も行わないように、切に勧めます。²²

誰に対しても軽率に手を置いてはならず、他人の罪に加担することなく、自分を罪から自由に保ちなさい。²³

水だけを飲むことに限定せず、胃のために、また頻繁な病気のために少しのワインを使いなさい。²⁴

ある人々の罪は非常に明白であり、裁きに先立って現れます。他の人々の罪は後から続きます。²⁵

同様に、良い行いも非常に明白であり、そうでないものは隠すことができません。

6 奴隷としてのくびきの下にあるすべての者は、自分の主人をすべての名誉に値する者として尊重しなさい。それは、神の名と私たちの教えが非難されないためです。²

信者を主人として持つ者は、彼らが兄弟姉妹であるからといって彼らを軽んじてはいけません。むしろ、彼らの奉仕から利益を得る者が信者であり、愛されている者であるので、さらに良く仕えるべきです。これらの原則を教え、説きなさい。³

もし誰かが異なる教えを広め、私たちの主イエス・キリストの健全な言葉や敬虔に一致する教えに同意しないならば、⁴

彼はうぬづれて何も理解しておらず、論争の的となる質問や言葉の争いに対する不健康な欲望を持っており、そこから嫉妬、争い、悪口、悪意のある疑いが生じます。⁵

そして、真実を奪われた墮落した心の人々の間での絶え間ない摩擦があり、彼らは敬虔を利益を得る手段と考えています。⁶

しかし、敬虔は確かに満足を伴うときに大きな利益の源です。⁷

私たちは何も持たずにこの世に來たので、何も持ち出すことはできません。⁸

食物と衣服があれば、それで満足しましょう。⁹しかし、富を望む者は誘惑と罠に陥り、多くの愚かで有害な欲望に陥り、人々を破滅と滅亡に陥れます。¹⁰

金銭を愛することはあらゆる悪の根であり、それを切望することによって信仰から迷い出て、多くの悲しみで自分自身を刺した者もいます。¹¹

しかし、これらのことを避けなさい、神の人よ、そして義、敬虔、信仰、愛、忍耐、優しさを追い求めなさい。¹²

信仰の高貴な闘いに参加しなさい。あなたが召された永遠の命を抱きしめ、多くの証人の前で良い告白をしたのです。¹³

私はすべてのものに命を与える神の前で、そしてポンテオ・ピラトの前で良い告白をされたキリスト・イエスの前であなたに命じます。¹⁴

私たちの主イエス・キリストの現れるまで、汚れや非難のない状態で命令を守りなさい。¹⁵

それは定められた時に明らかにされるでしょう。祝福された唯一の主権者、王の王、主の主である方、

テモテへの手紙第一

16

唯一不死を持ち、近づくことのできない光に住んでいる方、誰も見たことがなく、見ることもできない方に、名誉と永遠の支配がありますように。アーメン。

17

この現世で富んでいる者に命じて、高慢にならず、富の不確実性に望みを置かず、私たちにすべてのものを豊かに与えて楽しませてくださる神に望みを置くようにしなさい。

18

彼らに良い行いをするように導き、良い働きに豊か

で、寛大で分かち合う意欲を持つようにしなさい。

19

将来のために良い基盤の宝を蓄え、本当に命をつかむことができるようにしなさい。

20

ティモテよ、あなたに託されたものを守りなさい。世俗的で空虚なおしゃべりや、偽りの「知識」と呼ばれる反対の議論を避けなさい。

21

それを公言し、その結果、信仰から離れてしまった者もいます。

恵みがあなたと共にありますように。

テモテへの手紙第二

1 神の御心によってキリスト・イエスの使徒とな
ったパウロから、キリスト・イエスにある命の
約束に従って、² 愛する子テモテへ。
父なる神と私たちの主キリスト・イエスから、恵み
と憐れみと平安があなたにありますように。³
私は、先祖がそうしたように、清い良心をもって仕
えている神に感謝しています。私は夜も昼もあなた
のことを祈りに覚えているからです。⁴
あなたの涙を思い出し、あなたに会いたいと切に願
っています。それによって私は喜びに満たされるで
しょう。⁵
私はあなたの中にある偽りのない信仰を思い起こし
ています。それはまずあなたの祖母ロイスと母ユネ
ケのうちに宿ったものであり、あなたの中にもある
と確信しています。⁶
このために、私はあなたに思い起こさせます。私の
手を置いたことによってあなたの中にある神の賜物
を再び燃え立たせなさい。⁷
神は私たちに臆病の霊ではなく、力と愛と慎みの霊
を与えてくださいました。⁸
ですから、私たちの主の証や、主の囚人である私を
恥じることなく、むしろ神の力によって福音のため
に私と共に苦しみを受けなさい。⁹
神は私たちを救い、聖なる召しをもって召してくだ
さいました。それは私たちの行いによるのではなく、
ご自身の目的と恵みによるものであり、これは永
遠の昔にキリスト・イエスにあって私たちに与えら
れたものです。¹⁰
しかし今や、私たちの救い主キリスト・イエスの出
現によって明らかにされました。キリストは死を廃
し、福音によって命と不滅を明らかにされました。
¹¹
私はこの福音のために宣教者、使徒、教師として任
命されました。¹²
このために私はこれらの苦しみを受けていますが、
恥じてはいません。私は自分が信じている方を知っ
ており、その方がその日まで私に委ねられたものを
守ることができると確信しています。¹³
私から聞いた健全な教えの模範を、キリスト・イエ
スにある信仰と愛のうちに守りなさい。¹⁴
私たちのうちに宿る聖霊によって、あなたに委ねら
れた宝を守りなさい。¹⁵
アジアにいるすべての者が私から離れ去ったことを
、あなたは知っています。その中にはフィゲロとヘル
モグネもいます。¹⁶
主がオネシポロの家に憐れみを示してくださいませ
うように。彼はしばしば私を元気づけ、私の鎖を恥じ
ませんでした。¹⁷
彼はローマにきたとき、熱心に私を探し出して見つ

けてくれました—¹⁸
その日、主が彼に憐れみを見出させてくださいます
ように。彼がエペソでどれほど多くの奉仕をしたか
、あなたはよく知っています。

2 だから、わが子よ、キリスト・イエスにある恵
みによって強くなりなさい。²
多くの証人の前で私から聞いたことを、他の人
々にも教えることのできる信頼できる人々に託しな
さい。³
キリスト・イエスの良い兵士として、私と共に困難
を耐え忍びなさい。⁴
現役の兵士は、彼を徴兵した者を喜ばせるために、
日常生活の事柄に巻き込まれません。⁵
また、競技者が競技に参加する場合、規則に従って
競技しなければ、勝者として冠を受けることはありません。⁶
勤勉な農夫は、最初に収穫にあずかるべきです。⁷
私の言うことを考えなさい。そうすれば、主がすべ
てのことについて理解を与えてくださるでしょう。
⁸
私の福音において宣べ伝えられたように、ダビデの
子孫であるイエス・キリストが死者の中からよみが
えられたことを思い起こしなさい。⁹
このために私は犯罪者として投獄されるほどの苦し
みを耐え忍んでいます。しかし、神の言葉は束縛さ
れていません。¹⁰
このために私は選ばれた者たちのためにすべてのこ
とを忍び、彼らもまたキリスト・イエスにある救い
と永遠の栄光を得ることができるようになっています
。¹¹ この言葉は信頼できます。

もし私たちが彼と共に死んだなら、
私たちは彼と共に生きるでしょう。¹²
もし私たちが耐え忍ぶなら、
私たちは彼と共に治めるでしょう。
もし私たちが彼を否むなら、
彼もまた私たちを否むでしょう。¹³
もし私たちが不信仰であっても、
彼は信実であり続けます。
彼はご自身を否むことができないからです。

14
これらのことを彼らに思い起こさせ、神の前で言葉
について争わないように真剣に勧めなさい。それは
無益であり、聞く者たちの破滅を招くからです。¹⁵
神に認められた者として、恥じることのない働き人
として、真理の言葉を正しく扱うように努めなさい
。¹⁶
しかし、不敬虔で空虚な話を避けなさい。それはさ
らに不敬虔に進むからです。¹⁷

テモテへの手紙第二

彼らの話は悪性の感染のように広がります。その中にはヒメナイとピレトがあります。

彼らは真理から逸れており、復活がすでに起こったと主張して、一部の人々の信仰を覆しています。それでも、神の堅固な基礎は立ち続け、「主はご自身の者を知っておられる」というこの印を持ち、「主の名を呼ぶ者は皆、不義から離れなければならない」と言われています。

大きな家には、金や銀の器だけでなく、木や土の器もあり、あるものは尊い目的に、あるものは卑しい目的に用いられます。ですから、これらのことから自分を清める者は、尊い目的に用いられる器となり、聖別され、主人にとって有用で、あらゆる良い働きのために備えられた者となります。

若い時の欲望を避け、清い心で主を呼び求める人々と共に、義、信仰、愛、平和を追い求めなさい。しかし、愚かで無知な論争を避けなさい。それが争いを生むことを知っているからです。主のしもべは争うべきではなく、すべての人に親切で、教えるのが上手で、悪を耐え忍び、反対する者を優しく戒めなさい。もしかすると、神が彼らに悔い改めを与えて、真理の知識に至らせてくださるかもしれません。そして、彼らが正気に戻り、悪魔の罠から逃れ、彼に捕らえられて彼の意志を行うことができるようになるかもしれません。

しかし、これを知っておきなさい。終わりの日には困難な時代が来ることを。人々は自己中心的で、金銭を愛し、自慢し、傲慢で、中傷し、親に従わず、感謝せず、神聖を汚し、愛情がなく、和解せず、悪意のある噂をし、自己制御ができず、残忍で、善を憎む者となるでしょう。

裏切り者で、軽率で、自惚れ、神への献身よりも快楽を好む者となるでしょう。敬虔さの外見を保ちながら、その力を否定する者たちです。そのような人々を避けなさい。彼らの中には、家庭に入り込み、罪に悩む弱い女性たちを捕らえ、さまざまな欲望に導かれる者たちがいます。常に学んでいるが、真理の知識に達することができないのです。ヤンネとヤンブレがモーセに反対したように、これらの者たちも真理に抵抗します。彼らは腐敗した心を持ち、信仰に関しては無価値です。しかし、彼らはさらに進むことはできません。彼らの愚かさはすべての人に明らかになるでしょう。ち

ょうどヤンネとヤンブレの愚かさがそうであったように。

しかし、あなたは私の教え、行動、目的、信仰、忍耐、愛、忍耐を追ってきました。迫害と苦しみ、アンティオキア、イコニオン、リストラで私に起こったような迫害を経験しましたが、そのすべてから主は私を救い出してくださいました。

実際、キリスト・イエスにおいて敬虔な生活を送りたいと願うすべての人は迫害を受けるでしょう。しかし、悪人や詐欺師はますます悪化し、欺かれるでしょう。

しかし、あなたは学んだことを続け、それを確信しなさい。それを誰から学んだかを知っているのですから。

そして、幼い頃から聖書を知っており、それがキリスト・イエスに対する信仰を通じて救いに導く知恵を与えることができることを知っています。すべての聖書は神の霊感によるもので、教え、戒め、矯正、義の訓練に有益です。それは、神のしもべが完全に有能で、あらゆる良い働きに備えられるためです。

私は、神と生ける者と死んだ者を裁くキリスト・イエスの前で、またその現れとその王国によって、あなたに厳かに命じます。

御言葉を宣べ伝えなさい。時が良くても悪くても、準備をしなさい。大いなる忍耐と注意深い教えをもって、戒め、叱り、励ましなさい。時が来ると、彼らは健全な教えを受け入れず、自分の耳を喜ばせるために、自分の好みに合った教師たちを集めるでしょう。そして、彼らは真理を聞くことから離れ、神話に逸れて行くでしょう。

しかし、あなたはすべてのことにおいて自制し、苦難に耐え、伝道者の働きをし、あなたの務めを全うしなさい。

私はすでに注ぎの供え物として捧げられつつあり、私の旅立ちの時が近づいています。私は良い戦いを戦い抜き、走るべき道のりを終え、信仰を守り通しました。

今からは、義の冠が私のために用意されています。それは正しい裁き主である主が、その日には私に授けてくださるものです。そして私だけでなく、主の現れを慕うすべての人にも授けてくださるのです。できるだけ早く私のところに来てください。デマスはこの世を愛して私を見捨て、テサロニケへ行きました。クレセンスはガラテヤへ、テトスはダルマティアへ行きました。ルカだけが私と共にいます。マルコを連れて来てく

テモテへの手紙第二

ださい。彼は私の働きに役立つからです。¹²
私はテキコをエペソに送りました。¹³
来るときに、トロアスでカルボに残してきた私の外套と、書物、特に羊皮紙を持って来てください。¹⁴
銅細工人アレクサンドロスには私に多くの害を与えました。主は彼の行いに応じて報いられるでしょう。¹⁵

あなたも彼に注意しなさい。彼は私たちの言葉に激しく反対しました。¹⁶
私の最初の弁護のとき、誰も私を支持せず、皆私を見捨てました。それが彼らに責められることがありますように。¹⁷
しかし、主は私のそばに立ち、私に力を与えてくださいました。それは、私を通して御言葉が十分に宣

べ伝えられ、すべての異邦人がそれを聞くためです。そして私は獅子の口から救い出されました。¹⁸
主はあらゆる悪事から私を救い出し、無事に御国に入れてくださるでしょう。栄光が永遠に主にありますように。アーメン。¹⁹
プリスカとアクラ、およびオネシフォロの家によりよく伝えてください。²⁰
エラストはコリントに留まりましたが、私はトロフィモを病気のままミレトスに残しました。²¹
冬が来る前にできるだけ早く来てください。ユプロ、ブデンス、リヌス、クラウディア、およびすべての兄弟姉妹があなたによりしくと言っています。²²
主があなたの霊と共にありますように。
恵みがあなたと共にありますように。

テトスへの手紙

1 神のしもべであり、イエス・キリストの使徒であるパウロから、神の選ばれた者たちの信仰と、敬虔に至る真理の知識のために— 2

偽ることのない神が、永遠の昔に約束された永遠の命の希望に基づいて、 3
今や、定められた時に、私たちの救い主である神の命令によって私に委ねられた宣教を通して明らかにされたものです。 4

共通の信仰における真実な子テトスへ：父なる神と私たちの救い主キリスト・イエスからの恵みと平安がありますように。 5

私があなたをクレタに残したのは、あなたが残されたことを整え、私が指示したように、町ごとに長老を任命するためです。 6

長老は非難されることなく、一人の妻の夫であり、信仰を持つ子供たちを持ち、放蕩や不従順で非難されることのない者でなければなりません。 7

監督者は神の管理者であるため、非難されることなく、自己主張せず、すぐに怒らず、酒に溺れず、暴力的でなく、不正な利益を貪らない者でなければなりません。 8

むしろ、彼はもてなし好きで、善を愛し、慎み深く、正しく、聖で、節制のある者でなければなりません。 9

彼は教えられた通りの忠実なメッセージをしっかりと保持し、それによって健全な教えで他者を励まし、それに反対する者を論駁できるようにしなければなりません。 10

反抗的な者、無駄話をする者、欺く者が多く、特に割礼派の者たちがいます。 11

彼らは黙らせなければなりません。なぜなら、彼らは不正な利益のために教えてはならないことを教え、家々を混乱させているからです。 12

彼ら自身の預言者の一人が言ったように、「クレタ人はいつも嘘つきで、悪い獣で、怠惰な大食漢です。」 13

この証言は真実です。それゆえ、彼らを厳しく戒め、信仰において健全であるようにしなさい。 14

そして、ユダヤの神話や真理から逸れた人々の命令に注意を払わないようにしなさい。 15

清い者には、すべてのものが清いが、汚れた者や信じない者には、何一つ清いものはありません。実際、彼らの心と思いは汚れています。 16

彼らは神を知っていると公言しますが、その行いによって神を否定しています。彼らは忌まわしく、不従順で、どんな良い働きにも不適格です。

2 あなたは、健全な教えに合致することを伝えなさい。 2

年配の男性は、節度があり、威厳があり、自己

制御ができ、信仰において、愛において、忍耐において健全であるべきです。 3

同様に、年配の女性も敬意を持って行動し、中傷や過度の飲酒を避け、良いことを教えるべきです。 4

このようにして、彼女たちは若い女性たちに夫や子供を愛するように勧めることができます。 5

分別があり、純粹で、家庭で勤勉で、親切で、自分の夫に従順であるようにし、神の言葉が非難されないようにします。 6

同じように、若い男性たちに分別を持つように勧めなさい。 7

あらゆる点で、良い行いの模範を示し、教えにおいて誠実で、威厳があり、 8

非難されることのない健全な言葉を持ち、反対者が私たちについて何も悪いことを言えないように、恥じ入るようにしなさい。 9

奴隷たちには、あらゆることにおいて主人に従順であるように、喜ばれるように、議論好きでないように勧めなさい。 10

盗みをせず、完全な信頼性を示し、あらゆる面で私たちの救い主である神の教えを引き立てるようにしなさい。 11

神の恵みが現れ、すべての人に救いを提供しました。 12

不敬虔と世俗的な欲望を捨て、この現代において自己制御し、正しく、敬虔な生活を送るように教えています。 13

私たちの偉大な神であり救い主であるイエス・キリストの栄光の現れと祝福された希望を待ち望みながら、 14

彼は私たちをすべての不義から贖い、ご自身のために熱心に良い行いをする民を清めるためにご自身を捧げました。 15

これらのことを話し、励まし、すべての権威をもって戒めなさい。誰にもあなたを軽んじさせてはなりません。

3 彼らに、支配者や権威に従うこと、従順であること、あらゆる良い働きに備えることを思い出させなさい。 2

誰の悪口も言わず、争いを避け、優しく、すべての人に完全な礼儀を示すこと。 3

私たち自身もかつては愚かで、不従順で、欺かれ、さまざまな情欲と快楽に奴隷となり、悪意と嫉妬の中に生き、憎まれ、互いに憎み合っていました。 4

しかし、私たちの救い主である神の慈愛と愛が現れたとき、 5

私たちを救ってくださいました。それは、私たちが義によって行った行いによるのではなく、神の憐れみによるもので、再生と聖霊による新生の洗いを通

テトスへの手紙

してでした。⁶
この聖霊を、私たちの救い主イエス・キリストを通して豊かに注いでくださいました。⁷
それは、私たちが彼の恵みによって義とされ、永遠の命の希望の相続人となるためです。⁸
この言葉は信頼できるものであり、私はあなたがこれらのことを強調することを望みます。それは、神を信じた者たちが良い行いに専念するように注意深くなるためです。これらのことは、すべての人にとって優れたものであり、有益です。⁹
しかし、愚かな議論、系図、争い、律法についての論争を避けなさい。それらは無益で無意味です。¹⁰
分裂を引き起こす人を一度警告し、次に二度目に警告しなさい。それ以上は関わらないようにしなさい。¹¹

そのような人は墮落して罪を犯しており、自分自身を罪に定めていることを知っています。¹²
アルテマスかテキコをあなたのところに送ったときは、ニコポリスで私と会うように最善を尽くしなさい。私はそこで冬を過ごすことに決めています。¹³
法律家のゼナスとアポロを旅の途中で熱心に助け、何も不足しないようにしなさい。¹⁴
私たちの人々は、緊急の必要に応じるために良い行いに専念することを学ばなければなりません。それによって彼らは無益ではなくなります。¹⁵
私と共にいるすべての者があなたに挨拶を送ります。信仰の中で私たちを愛する人々に挨拶を送りなさい。恵みがあなたがたすべてと共にありますように。

ピレモンへの手紙

1 キリスト・イエスの囚人であるパウロと、兄弟
テモテから、私たちの愛する友であり、同労者
であるピレモンへ— 2

姉妹アピア、私たちの同胞兵アルキッポ、およびあ
なたの家で集まる教会へ： 3

私たちの父なる神と主イエス・キリストから、恵み
と平安があなたがたにありますように。 4

私はいつも祈りの中であなたのことを思い起こし、
私の神に感謝しています。 5

それは、あなたが主イエスとすべての聖徒に対して
持っている愛と信仰を聞いているからです。 6

あなたの信仰の交わりが、キリストのために私たち
が共有するすべての良いことを理解することによっ
て効果的になるように祈っています。 7

兄弟よ、あなたの愛は私に大きな喜びと慰めをもた
らしました。なぜなら、あなたが聖徒たちの心を癒
してくれたからです。 8

したがって、私はキリストにおいてあなたに適切な
ことを命じる自信が十分にありますが、 9

むしろ愛のためにあなたに訴えることを選びます—
パウロとして、年老いた者であり、今はまたキリス
ト・イエスの囚人である私が— 10

私の囚われの身で生んだ息子オネシモのためにあな
たに訴えます。 11

彼は以前はあなたにとって無益でしたが、今はあな
たにも私にも有益です。 12

私は彼をあなたに送り返します。私自身の心の一部
を送るのです。 13

私は彼を私と共に留めておきたかったのですが、福
音のための私の囚われの間、あなたの代わりに私に
仕えることができるように。 14

しかし、あなたの同意なしに何もしたくありません

でした。それは、あなたの善意が強制によるもので
はなく、自発的なものであるようにするためです。 15

おそらくこの理由で彼はしばらくの間あなたから離
れていたのです。それは、彼を永遠に持つことがで
きるように— 16

もはや単なるしもべとしてではなく、それ以上に、
愛する兄弟として、特に私にとって、しかしあなた
にとっては肉においても主においてもどれほどもつ
とでしょう。 17

もし私を仲間と考えるなら、私を受け入れるように
彼を受け入れてください。 18

もし彼があなたに何か害を与えたか、何かを負って
いるなら、それを私の責任と考えてください。 19

私、パウロが自分の手でこれを書いていす—
私はそれを返済します— 20

あなた自身も私に負っていることは言わずに。 20

はい、兄弟よ、主においてあなたから何か利益を得
させてください。キリストにおいて私の心を癒して
ください。 21

あなたの従順を信じて、私はあなたに書いています
。あなたが私の求める以上のことをしてくれること
を知っています。 22

同時に、私のために客室を用意してください。あな
たの祈りを通してあなたに戻されることを望んでい
ます。 23

キリスト・イエスのために私と共に囚われているエ
パfrasがあなたに挨拶を送ります。 24

マルコ、アリストアルコ、デマス、ルカも同様に、私
の同労者です。 25

主イエス・キリストの恵みがあなたの霊と共にあり
ますように。アーメン。

ヘブル人への手紙

1 昔、神は預言者たちを通して、様々な時に、また多くの方法で私たちの先祖に語られました。

2

しかし、この終わりの時には、御子を通して私たちに語られました。神は御子を万物の相続者に任命し、また御子を通して宇宙を創造されました。

3

御子は神の栄光の輝きであり、神の本質の正確な姿であり、その力強い言葉によって万物を支えています。罪の清めを成し遂げた後、彼は高き所の威厳の右に座しました。

4

このようにして、彼は天使たちよりもはるかに優れた者となり、彼が受け継いだ名は彼らのものよりも優れたものとなりました。

5

神がどの天使に対しても、かつてこう宣言したことがあるのでしょうか。

「あなたは私の子である。今日
私はあなたの父となった。」

または、

「私は彼の父となり、彼は私の子となる。」

6

さらに、神が長子を世に送り出すとき、こう宣言します。

「すべての神の天使たちは彼を礼拝せよ。」

7 天使たちについては、こう言われます。

「彼は天使たちを風とし、
そのしもべたちを火の炎とする。」

8 しかし、御子については、こう言われます。

「神よ、あなたの御座は永遠に続き、
あなたの王国の杖は正義の杖である。
あなたは正義を愛し、不義を憎んだ。
それゆえ、神、あなたの神は
喜びの油をあなたの仲間たち以上に注がれた。」

9

10 また、こう宣言されます。

「初めに、主よ、あなたは地の基を据え、
天はあなたの手の業である。
それらは過ぎ去るが、あなたは残る。
それらはすべて衣のように古びる。
あなたはそれらを外套のように巻き、
衣のように変わる。
しかし、あなたは変わることなく、
あなたの年は終わることがない。」

11

12

13

神がどの天使に対しても、かつてこう宣言したことがあるのでしょうか。

「私の右に座れ、
あなたがあなたの敵を
あなたの足台とするまで。」

14

すべての天使は、救いを受け継ぐ者たちに仕えるために遣わされた奉仕の霊ではないのでしょうか。

2 このため、私たちは聞いたことに最も注意を払わなければなりません。そうしないと、それから離れてしまうこととなります。

2

天使を通して語られたメッセージが不変であり、すべての違反と不従順が正当な罰を受けたならば、このような大いなる救いを無視したら、どうして私たちは逃れることができるでしょうか。この救いは、最初に主によって語られ、彼を聞いた人々によって私たちに確認されました。

4

神もまた、しるしと不思議とさまざまな奇跡、そして御心に従って配られた聖霊の賜物によって、それを証しされました。

5

私たちが話している来るべき世界を、神は天使たちに服従させたものではありません。

6

しかし、ある人がどこかで証言して言いました、

「人とは何者なので、あなたが彼を心に留められるのですか、
また、人の子とは何者なので、あなたが彼を顧みられるのですか。
あなたは彼を天使たちより少し低くされました。
あなたは彼に栄光と誉れの冠を授けました。
そして、すべてのものを彼の足の下に置かれました。」

7

8

すべてのものを彼に服従させるにあたり、神は彼に服従しないものを何も残されませんでした。しかし現在、私たちはまだすべてのものが彼に服従しているのを見ていません。

9

しかし、私たちはイエスを見えています。彼は短い間、天使たちより少し低くされ、今は栄光と誉れの冠を授けられています。それは、神の恵みによって、彼がすべての人のために死を味うためです。すべてのものが彼のために存在し、彼を通して存在する方にとって、多くの息子と娘を栄光に導くために、彼らの救いの先駆者を苦しみによって完全にすることは適切でした。

11

聖別する者も、聖別される者たちも、すべて一つの父から出ています。このため、彼は彼らを兄弟姉妹と呼ぶことを恥じていません。

12

言って、

ヘブル人への手紙

「私はあなたの名を私の兄弟姉妹に告げ、
会衆の中であなたを賛美します。」

13 さらに、

「私は彼に信頼を置きます。」

また、

「ここに私はいます、神が私に与えた子供たちと
共に。」

14

子供たちが肉と血を共有しているので、彼自身も同様にそれを分かち合いました。それは、死を持つ力を持つ者、すなわち悪魔を死によって滅ぼすためです。

15

そして、死の恐怖によって一生奴隷状態にあった人々を解放するためです。

16

確かに、彼は天使たちを助けるのではなく、アブラハムの子孫を助けます。

17

したがって、彼はすべての点で兄弟たちと同じようにならなければなりません。それは、神に関する事柄において、憐れみ深く忠実な大祭司となり、人々の罪を贖うためです。

18

彼自身が苦しんで誘惑を受けたので、誘惑を受けている人々を助けることができます。

3 したがって、天の召しにあずかる聖なる兄弟姉妹たちよ、私たちの告白の使徒であり大祭司であるイエスに心を向けなさい。

2

彼は、モーセがその家全体で忠実であったように、彼を任命した方に忠実でした。

3

家を建てる者がその家よりも多くの栄誉を受けるように、イエスはモーセよりも大いなる栄光に値するとみなされています。

4

すべての家は誰かによって建てられますが、神はすべてのものの創造者です。

5

モーセは神の家全体で証しをするしもべとして忠実でした。

6

しかし、キリストは神の家を治める子として忠実です。そして、もし私たちが自信と誇りとする希望をしっかりと持ち続けるなら、私たちは彼の家です。

7 したがって、聖霊が表現するように：

「今日、もし彼の声を聞くなら、
あなたがたの心をかたくなにしてはならない、反抗の時のように、
荒野での試みの時のように、

9

あなたがたの祖先が私を試し、試み、四十年間私の業を見た場所です。

10

それゆえ、私はその世代に怒り、
言った、『彼らの心は常に迷い、
私の道を知らなかった。』

11

それで私は怒りの中で誓った、
『彼らは決して私の安息に入れない。』」

12

兄弟姉妹たちよ、あなたがたのうちに、悪しき、不信仰な心を持って生ける神から離れる者がいないように気をつけなさい。

13

しかし、「今日」と呼ばれている限り、毎日互いに励まし合いなさい。そうすれば、あなたがたのうちの誰も罪の欺きによって心をかたくなにされることがないように。

14

私たちは、初めの確信を最後までしっかりと持ち続けるなら、キリストにあずかる者となります。次のように言われているように：

15

「今日、もし彼の声を聞くなら、
あなたがたの心をかたくなにしてはならない、反抗の時のように。」

16

聞いて反抗したのは誰ですか？モーセによってエジプトから導き出された者たちではなかったのですか？

17

そして、神が四十年間不満を抱いたのは誰ですか？それは罪を犯し、荒野でその体が倒れた者たちではなかったのですか？

18

そして、彼が安息に入れないと宣言したのは誰に対してですか？それは、不従順な者たちではなかったのですか？

19

それで、彼らが不信仰のために入ることができなかったことがわかります。

4 したがって、彼の安息に入る約束がまだ残っている間に、誰もそれに達しなかったように見えないように注意しましょう。

2

実際、私たちには彼らと同じように良い知らせが伝えられました。しかし、彼らが聞いたメッセージは彼らに利益をもたらしませんでした。なぜなら、彼らは信仰を持って聞いた人々と結びついていなかったからです。

3

私たちは信じた者としてその安息に入ります。彼が言われた通りに、

「私は怒りにおいて誓った、
『彼らは決して私の安息に入らない。』」
彼の業は世界の基礎が置かれたときから完了しているにもかかわらず。

ヘブル人への手紙

4

彼はどこかで第七日についてこう言っています。「
そして神は第七日にすべての業を休まれた。」⁵
そしてこの箇所でも再び、「彼らは決して私の安息
に入らない。」⁶
したがって、まだそれに入るべき者がいる一方で、
以前に良い知らせを伝えられた者たちは不従順のため
に入らなかったのです、⁷
彼は再び「今日」と呼ばれる特定の日を定め、長い
時間が経った後にダビデを通して語っています。前
に引用されたように、

「今日、もし彼の声を聞くならば、
あなたたちの心をかたくなにはならない。」

8

もしヨシュアが彼らに安息を与えていたならば、神
は後に別の日を言及しなかったでしょう。⁹
その結果、神の民にはまだ安息日が残されています。¹⁰
彼の安息に入る者は誰でも、自分の業を休むのです。
神がご自身の業を休まれたように。¹¹
したがって、誰も彼らの不従順の例に従って倒れない
ように、その安息に入るためにあらゆる努力をしま
しょう。¹²
神の言葉は生きていて活動的であり、どんな両刃の
剣よりも鋭く、魂と霊、関節と骨髄を分けるほどに
貫き、心の思いや意図を判断します。¹³
そして、すべての創造物の中で彼の目から隠れてい
るものは何もありません。すべてが明らかにされ、
私たちが説明をしなければならぬ彼の目の前にさ
らけ出されています。¹⁴
したがって、私たちには天を通過した偉大な大祭司
、神の子イエスがいますので、私たちが告白する信仰
をしっかりと握りましょう。¹⁵
私たちには、私たちの弱さに同情できない大祭司が
いるのではなく、私たちと同じようにあらゆる点で
誘惑されたが、罪を犯さなかった方がいます。¹⁶
それゆえ、私たちは大胆に恵みの御座に近づき、必
要なときに助けを得るために憐れみを受け、恵みを見
つけましょう。

5 大祭司はすべて人々の中から選ばれ、神に関す
る事柄で人々に代わって行動するように任命さ
れ、罪のために贈り物と犠牲を捧げます。²
彼自身も弱さを抱えているので、無知で迷っている
人々に優しく接することができます。³
このために、彼は自分自身の罪のためにも、人々の
罪のためにも犠牲を捧げる必要があります。⁴
そして、誰も自分からこの名誉を受けるのではなく
、アロンのように神に呼ばれて受けるのです。⁵

同様に、キリストも大祭司となることで自らを栄光
化したのではなく、神が彼に言われたのです。

「あなたはわたしの子、
今日、わたしがあなたを生んだ。」

⁶ また、他の箇所でも宣言しています。

「あなたは永遠に祭司である、
メルキゼデクの位に従って。」

7

彼の地上での生活の日々において、彼は死から救う
ことのできる方に向かって、声高に叫び、涙をもっ
て祈りと願いを捧げ、敬虔な服従のゆえに聞き入れ
られました。⁸
彼は子でありながらも、経験を通して従順を学びま
した。⁹
そして、完全に達したとき、彼は彼に従う者たちにと
って永遠の救いの源となりました。¹⁰
神によってメルキゼデクの位に従った大祭司として
任命されたのです。¹¹
これについて多くを語りたいのですが、説明するの
が難しいのです。あなたがたが理解するのに鈍くな
っているからです。¹²
この時までには教師であるべきなのに、神の言葉の
基本的な原則を再び教えてもらう必要があります。
あなたがたは固い食物ではなく、乳を必要としてい
ます！¹³
乳を飲んでいる者は誰でも、義についての教えに不
慣れであり、まだ幼児です。¹⁴
しかし、固い食物は成熟した者のためのものであり
、彼らは絶え間ない実践を通して善悪を識別する訓
練を積んでいます。

6 ですから、キリストについての初歩的な教えを
後にして、成熟に向かって進みましょう。死に
至る行いからの悔い改めと、神に対する信仰の
基礎を再び築くことなく、²
洗礼の教え、按手、死者の復活、永遠の裁きについ
ての教えを続けましょう。³
そして、もし神が許されるなら、これを行います。
⁴

一度光を受け、天の賜物を味わい、聖霊にあずかっ
た者たちが、⁵
神の言葉の豊かさと、来るべき時代の力を経験し、
⁶
それから墮落した場合、再び悔い改めに立ち返るこ
とは不可能です。彼らは神の子を再び十字架につけ
、公然と恥をかかせているのです。⁷
しばしば降る雨を吸い込み、それを耕す人々に役立つ
植物を生じる土地は、神からの祝福を受けます。

ヘブル人への手紙

8

しかし、茨とあざみを生じるなら、それは無価値で呪われる寸前であり、最後には焼かれます。

9

しかし、愛する者たちよ、私たちはこのように話していても、あなたがたについては、救いに伴うより良いことを確信しています。

10

神は不正ではありません。あなたがたの働くと、聖徒たちに仕え、仕え続けているその御名に対する愛を忘れられません。

11

そして、私たちはあなたがた一人ひとりが、最後まで希望の完全な確信を実現するために、同じ勤勉さを示すことを願っています。

12

それは、あなたがたが怠惰にならず、信仰と忍耐によって約束を受け継ぐ者たちを模範とするためです。

13

神がアブラハムに約束をされたとき、御自身よりも偉大な者を指して誓うことができなかったので、御自身を指して誓われました。

14

「確かにあなたを祝福し、あなたを大いに増やす」と言われました。

15

このようにして、アブラハムは忍耐強く待った後に、約束されたものを受けました。

16

人々は自分よりも偉大な者を指して誓いを立て、その誓いはすべての争いを終わらせる確認として機能します。

17

同様に、神は約束の相続人たちに御自分の目的の不変性を非常に明確に示したいと望み、誓いをもってそれを確認されました。

18

それは、神が偽ることが不可能な二つの不変の事柄によって、避難所を求めて逃れた私たちが、前に置かれた希望をしっかりと持つための強い励ましを得るためです。

19

私たちはこの希望を魂のための錨として持っています。それは確固としており、安全であり、垂れ幕の奥の内なる聖所に入ります。

20

そこにイエスが私たちの先駆者として入り、メルキゼデクの位に従って永遠の大祭司となりました。

7 このメルキゼデクは、サレムの王であり、いと高き神の祭司であって、諸王を打ち破って帰ってきたアブラハムを迎えて祝福した。

2

アブラハムは彼にすべてのものの十分の一を与えた。まず、彼の名前の訳によれば、義の王であり、次にサレムの王、すなわち平和の王である。

3

父も母もなく、系図もなく、日々の始まりも命の終わりもなく、神の子に似た者として、永遠に祭司として残っている。

4

彼がどれほど偉大であったかを考えてみなさい。族長アブラハムでさえ、彼に選りすぐりの戦利品の十分の一を与えたのです。

5

レビの子孫で祭司職を受ける者たちは、律法において、民、すなわち彼らの同胞イスラエル人から十分の一を集める命令を受けていますが、彼らもアブラハムから出た者です。

6

しかし、彼らから系図がたどられないこの人は、アブラハムから十分の一を集め、約束を受けた者を祝福しました。

7

争いなく、小さい者が大きい者によって祝福されるのです。

8

この場合は、死ぬべき人々が十分の一を受けますが、あの場面では、彼が受けていると証されている者が受けます。

9

言わば、アブラハムを通して十分の一を受けるレビも、十分の一を支払ったのです。

10

彼はまだ生まれておらず、彼の先祖から生まれていない時に、メルキゼデクが彼に会ったのです。

11

もしレビの祭司職によって完全が達成されていたなら（その上に民は律法を受けたのですから）、なぜメルキゼデクの位に従って他の祭司が立ち、アロンの位に従って呼ばれる必要があったのでしょうか。

12

祭司職が変わるときには、律法の変更も必ずあるのです。

13

これらのことが言われている方は、祭壇で奉仕したことのない他の部族に属していました。

14

私たちの主がユダから出たことは明らかであり、モーセは祭司について何も言っていない部族です。

15

そして、メルキゼデクに似た他の祭司が立ち上がるなら、これはさらに明らかです。

16

彼は系図に関する規則に基づいてではなく、不滅の命の力によって祭司となったのです。

17

彼についてはこう宣言されています：

「あなたは永遠に祭司である、メルキゼデクの位に従って。」

18

以前の規則は弱く無効であったために廃止されました。

19

（律法は何も完全にしなかったのです）、そして私たちが神に近づくことができるより良い希望が導入されました。

20

そしてそれは確かに誓いを伴っていました！他の者たちは誓いなしに祭司となりましたが、彼は神が彼に言ったときに誓いをもって祭司となりました：

21

「主は誓い、その心を変えない：『あなたは永遠に祭司である。』」

ヘブル人への手紙

22

この誓いのために、イエスはより良い契約の保証となりました。

23

死が彼らが職務を続けるのを妨げたため、多くの祭司がいました。

24

しかし、イエスは永遠に生きておられるので、彼の祭司職は永続的です。

25

したがって、彼は彼を通して神に来る者たちを完全に救うことができます。彼は常に彼らのためにとりなして生きておられるからです。

26

私たちには、このような大祭司がふさわしいのです。聖で、無垢で、汚れなく、罪人から分けられ、天よりも高くされている。

27

他の大祭司たちとは異なり、彼は自分自身の罪のため、次に民の罪のために、日々犠牲を捧げる必要はありません。彼は自分自身を捧げたとき、一度で彼らの罪のための犠牲を捧げました。

28

律法は弱い人々を大祭司として任命しますが、律法の後に来た誓いの言葉は、永遠に完全にされた御子を任命します。

8 私たちが議論していることの主な点はこれです：私たちには、大祭司がいて、その方は天における威光の御座の右に座しておられます。

2

その方は、聖所と真の幕屋における奉仕者であり、その幕屋は主が設けられたものであり、人の手によるものではありません。

3

すべての大祭司は、贈り物と犠牲を捧げるために任命されています。それゆえ、この大祭司もまた、何かを捧げる必要があります。

4

もし彼が地上にいたなら、彼はまったく祭司ではなかったでしょう。なぜなら、律法に従って贈り物を捧げる祭司たちがいるからです。

5

彼らは、天上のものの写しと影である聖所で奉仕しています。モーセが幕屋を建設しようとしたときに警告されたように、「山で示された型に従ってすべてを作るように気をつけなさい。」

6

しかし今、彼はもっと優れた奉仕を得ており、それは彼がより良い約束に基づいて設けられたより良い契約の仲介者でもあるからです。

7

もし最初の契約に欠点が無かったなら、第二の契約の必要はなかったでしょう。

8

人々に欠点を見つけて、彼は言います：

「見よ、日が来る、と主は言われる。

私はイスラエルの家とユダの家とに

新しい契約を結ぶ。

9

それは、私が彼らの先祖と結んだ契約のようではない。

私が彼らの手を取って

エジプトの地から導き出した日の契約である。

彼らが私の契約に留まらなかったで、

私は彼らを顧みなかった、と主は言われる。

10

これがその日々の後に

私がイスラエルの家と結ぶ契約である、と主は言われる。

私は私の律法を彼らの心に置き、

彼らの心に書き記す。私は彼らの神となり、彼らは私の民となる。

11

そして彼らは、各々その隣人に、また各々その兄弟に、『主を知れ』と言って教えることはない。

彼らは皆、私を知るようになるからである。

小さい者から大きい者まで。

12

私は彼らの不義に対して憐れみを示し、彼らの罪をもはや思い出さない。」

13

この契約を「新しい」と呼ぶことによって、彼は最初のものを古くしました。そして古くなり、老いているものは、やがて消え去るでしょう。

9 さて、最初の契約には、神の礼拝に関する規定と地上の聖所が含まれていました。

2

幕屋が設けられ、その外の部屋には燭台、机、聖なるパンが置かれていました。この区域は聖所と呼ばれます。

3

第二の垂れ幕の後ろには、至聖所と呼ばれる部屋がありました。

4

そこには金の香炉と、すべてが金で覆われた契約の箱がありました。この箱の中には、金のマナの壺、芽を出したアロンの杖、契約の石板が納められていました。

5

箱の上には、栄光のケルビムがあり、贖いの蓋を覆っていました。しかし、これらのことを詳しく述べることは今はできません。

6

このようにすべてが整えられたとき、祭司たちは定期的に外の部屋に入り、その務めを果たしました。

7

しかし、内の部屋には大祭司だけが入り、彼は年に一度だけ、常に自分自身と人々の知らずに犯した罪のために血を持って入りました。

8

聖霊は、最初の幕屋がまだ立っている間は、至聖所への道がまだ明らかにされていないことを示していました。

9

これは現在の時代の象徴であり、捧げられている贈り物や犠牲が礼拝者の良心を完全にすることができないことを示しています。

10

これらは食物、飲み物、さまざまな儀式的な洗いに
関する規定に過ぎず、改革の時まで課された外部の
規定です。

11

しかし、キリストが来られたとき、彼は人の手で作

ヘブル人への手紙

られたものでない、すなわちこの創造物に属さない、より偉大で完全な幕屋を通して、良いものの大祭司として来られました。¹²

彼は山羊や子牛の血によってではなく、自分自身の血によって、すべてのために一度だけ至聖所に入り、永遠の贖いを確保されました。¹³

もし山羊と雄牛の血や、汚れた者に振りかけられる牝牛の灰が彼らを聖別し、外面的に清めるのであれば、¹⁴

永遠の霊を通して自らを無傷のまま神に捧げたキリストの血は、どれほど私たちの良心を死に至る行いから清め、生ける神に仕えることができるようになることでしょう！¹⁵

この理由で、キリストは新しい契約の仲介者であり、召された者たちが約束された永遠の相続を受けることができるように、彼は最初の契約の下で犯された罪から彼らを解放するために贖いとして死なれました。¹⁶

遺言の場合、遺言を作った者の死を証明することが必要です。¹⁷

なぜなら、遺言は誰かが死んだときにのみ有効であり、遺言を作った者が生きている間は決して有効ではないからです。¹⁸

このため、最初の契約も血なしには始められませんでした。¹⁹

モーセがすべての民に律法のすべての命令を宣言したとき、彼は子牛と山羊の血を水、緋色の羊毛、ヒソブと共に取り、巻物とすべての民に振りかけました。²⁰

彼は宣言しました、「これは神があなたがたに守るよう命じた契約の血です。」²¹

同様に、彼は幕屋とその儀式で使われるすべての器具にも血を振りかけました。²²

実際、律法によれば、ほとんどすべてのものは血によって清められ、血を流さなければ赦しはありません。²³

したがって、天上のものの写しがこれらの犠牲で清められることが必要でしたが、天上のものの自体はこれよりも優れた犠牲で清められる必要がありました。²⁴

キリストは人の手で作られた聖所、すなわち真のものの写しに入ったのではなく、天そのものに入り、今や私たちのために神の前に現れています。²⁵

彼は自分自身を繰り返し捧げるために天に入ったのではなく、大祭司が自分のものでない血を持って毎年至聖所に入るようにしたものではありません。²⁶

さもなければ、キリストは世界の創造以来何度も苦しむ必要があったでしょう。しかし今や、時代の終わりにおいて、彼は自分自身を犠牲にして罪を取り

除くために一度だけ現れました。²⁷

人々が一度死ぬことが定められており、その後に裁きがあるのと同様に、²⁸

キリストも多くの人の罪を負うために一度だけ捧げられました。そして彼は二度目に現れるとき、罪を取り扱うためではなく、彼を熱心に待ち望んでいる人々に救いをもたらすために来られるのです。

10 律法は、来るべき良いものの影にすぎず、それらの実体ではないので、年ごとに絶えず捧げられる同じ犠牲によって、礼拝に近づく者たちを完全にすることは決してできません。²

そうでなければ、捧げることをやめたのではないのでしょうか。なぜなら、礼拝者たちは一度きりで清められたなら、もはや罪の意識を持たないはずだからです。³

しかし、それらの犠牲には、年ごとの罪の思い出があります。⁴

雄牛と山羊の血は、罪を取り除くことができないからです。⁵

それゆえ、キリストが世に来られたとき、こう言われました。

「あなたは犠牲と捧げ物を望まれず、しかし、私のために体を備えられました。

⁶ 焼き尽くす捧げ物と罪のための捧げ物には、喜びを見いだされませんでした。

⁷ そのとき私は言いました、『見よ、私は来ました — 書の巻物に私について書かれているとおりに — あなたの御心を行うために、神よ。』」

⁸ 上記のように、「犠牲と捧げ物、焼き尽くす捧げ物と罪のための捧げ物をあなたは望まれず、それに喜ばれませんでした」 —

それらは律法に従って捧げられたのに — ⁹ その後で彼は言いました、「見よ、私はあなたの御心を行うために来ました。」彼は最初のものを取り去って、二番目のものを確立されます。¹⁰

そしてその御心によって、私たちはイエス・キリストの体の捧げ物によって、一度きりで聖なるものとされました。¹¹

毎日、祭司は立って宗教的な務めを果たし、繰り返し同じ犠牲を捧げますが、それらは決して罪を取り除くことができません。¹²

しかし、この祭司は、罪のために一度きりの犠牲を捧げた後、神の右に座られました。¹³

ヘブル人への手紙

彼の敵が彼の足台とされる時を待ちながら。¹⁴
彼は一つの捧げ物によって、聖なるものとされる者
たちを永遠に完全にされました。¹⁵
聖霊もまた、これについて私たちに証言しています。
まず彼は言います。

¹⁶ 「これが私が彼らと結ぶ契約です
その日々の後に、と主は言われます。
私は彼らの心に私の律法を置き、
彼らの思いにそれを書きます。」

¹⁷ その後、彼は続けます。

「彼らの罪と不法な行いを
私はもはや思い出さない。」

¹⁸ これらの赦しがあるところでは、罪のための捧げ物
はもはや必要ありません。¹⁹
したがって、親愛なる友よ、私たちはイエスの血に
よって至聖所に入る自信を持っています。²⁰
私たちのために開かれた新しい生ける道で、それは
彼の肉を通してです。²¹
そして私たちは神の家の上に偉大な大祭司を持っ
ています。²²

誠実な心と信仰の完全な確信を持って神に近づきま
しょう。私たちの心は悪い良心から清められ、体は
純粋な水で洗われています。²³

約束された方は忠実ですから、私たちの希望の告白
を揺るがずにしっかりと保ちましょう。²⁴
そして、互いに愛と良い行いを促す方法を考えま
しょう。²⁵

ある人たちが習慣としているように、集まることを
怠らず、互いに励まし合いましょー
その日が近づいているのを見ているのですから、な
おさらです。²⁶

もし私たちが真理の知識を受けた後に故意に罪を犯
し続けるなら、もはや罪のための犠牲は残っていま
せん。²⁷
ただし、敵を食い尽くす激しい火の裁きと恐ろしい
期待だけがあります。²⁸

モーセの律法を無視した者は、二人または三人の証
人の証言によって、憐れみを受けて死にました。²⁹

神の子を足で踏みじり、彼らを聖なるものとした
契約の血を汚れたものと見なし、恵みの霊を侮辱し
た者が、どれほど厳しく罰せられるに値すると思ひ
ますか。³⁰

「復讐は私のものである。私は報いる。」と言われ
た方を私たちは知っています。また、「主はご自分
の民を裁かれる。」とも言われました。³¹

生ける神の手に落ちることは恐ろしいことです。³²
しかし、啓示を受けた後の初めの頃を思い出してく
ださい。その時、あなたは多くの苦しみの中で大き
な闘争に耐えました。³³
時には侮辱と迫害によって公然と見せ物にされ、また
時にはそのような扱われた者たちと共に立ちまし
た。³⁴

あなたは囚人たちに同情し、自分の財産が没収され
ることを喜んで受け入れました。なぜなら、あなた
自身にとってより良く、永続する所有物を持つてい
ることを知っていたからです。³⁵

したがって、あなたの自信を捨てないでください。
それは豊かに報われるでしょう。³⁶

あなたが神の御心を行った後に約束されたものを受
けるためには、忍耐が必要です。³⁷

非常に短い時間で、来るべき方が到着し、遅れるこ
とはありません。³⁸

しかし、私の義人は信仰によって生きる。そして、
後退する者には私の喜びはありません。³⁹
しかし、私たちは後退して滅びる者ではなく、信仰
を持ち魂を保つ者です。

11 さて、信仰は望んでいる事柄の確信であり
、見えない事柄の証拠です。²
古の人々はこの信仰によって称賛されまし
た。³

信仰によって、私たちは宇宙が神の言葉によって創
造されたことを理解しています。それは、見えるも
のが目に見えるものからできたのではないからです
。⁴

信仰によって、アベルはカインよりも優れた犠牲を
神に捧げ、そのことによって彼は義人と認められま
した。神が彼の捧げ物を証しされたのです。信仰に
よって、彼は死んでいるにもかかわらず、なおも語
っています。⁵

信仰によって、エノクは死を見ないように取り去ら
れました。神が彼を取り去られたので、彼は見つかり
ませんでした。彼が取り去られる前に、神に喜ば
れる者と称賛されていたからです。⁶

信仰がなければ、神を喜ばせることは不可能です。
神に近づく者は、神が存在することと、神が熱心に
求める者に報いてくださることを信じなければなり
ません。⁷

信仰によって、ノアはまだ見ていない事柄について
神から警告を受け、敬虔な恐れを抱いて家族を救う
ために箱舟を建造しました。このことによって、彼
は世を罪に定め、信仰による義の相続人となりました。
信仰によって、アブラハムは相続地として受け取る
べき地に行くように召されたときに従いました。彼

ヘブル人への手紙

は行き先を知らずに出発しました。⁹
信仰によって、彼は約束の地に外国人として住み、
イサクやヤコブと共に天幕に住みました。彼らも同
じ約束の共同相続人でした。¹⁰
彼は、基礎のある都市を待ち望んでいました。その
設計者であり建設者は神です。¹¹
信仰によって、サラ自身も年を過ぎていたにもかかわらず、子を宿す力を受けました。彼女は約束され
た方を真実であると考えたからです。¹²
それゆえ、一人の人から、しかも死んでも同然の人
から、天の星のように数多く、海辺の砂のように数
えきれない子孫が生まれました。¹³
これらの人々は皆、信仰のうちに死にました。約束
を受けることはありませんでしたが、それを遠くから
見て歓迎し、地上では旅人であり寄留者であるこ
とを認めました。¹⁴
このようなことを言う人々は、自分の故郷を求めて
いることを明らかにしています。¹⁵
もし彼らが出てきた土地のことを思っていたなら、
帰る機会があったでしょう。¹⁶
しかし実際には、彼らはもっと良い故郷、すなわち
天の故郷を望んでいました。それゆえ、神は彼らの
神と呼ばれることを恥とされませんでした。神は彼
らのために都市を準備されたのです。¹⁷
信仰によって、アブラハムは訓練を受けたときにイ
サクを捧げました。約束を受けた彼が、自分の一人
息子を捧げようとしていたのです。¹⁸
彼に対して「イサクによってあなたの子孫が呼ばれ
る」と言われたのです。¹⁹
彼は神が死人をよみがえらせることができると考え
ました。そして比喩的に言えば、彼はイサクをよみ
がえりとして受けたのです。²⁰
信仰によって、イサクはヤコブとエサウを将来のこ
とについて祝福しました。²¹
信仰によって、ヤコブは死ぬときにヨセフの息子た
ちをそれぞれ祝福し、杖の先に寄りかかって礼拝し
ました。²²
信仰によって、ヨセフは死ぬ間際にイスラエルの子
らの脱出について語り、自分の骨について指示を与
えました。²³
信仰によって、モーセは生まれたときに両親によつ
て三か月間隠されました。彼らは彼が特別な子であ
ることを見たからであり、王の命令を恐れなかった
のです。²⁴
信仰によって、モーセは成人したときに、パロの娘
の息子と呼ばれることを拒みました。²⁵
罪の一時的な快楽を享受するよりも、むしろ神の民
と共に苦しむことを選びました。²⁶
彼はキリストのために受ける恥辱をエジプトの財宝

に勝る富と考えました。彼は報いを見ていたからで
す。²⁷
信仰によって、彼はエジプトを去り、王の怒りを恐
れませんでした。彼は見えない方を見ているようにし
て忍耐しました。²⁸
信仰によって、彼は過越と血の注ぎを行いました。
それは、長子を滅ぼす者が彼らに触れないようにす
るためでした。²⁹
信仰によって、彼らは紅海を乾いた地のように渡り
ました。しかし、エジプト人たちがそれを試みたど
き、彼らは溺れました。³⁰
信仰によって、エリコの城壁は、民が七日間それを
回った後に倒れました。³¹
信仰によって、娼婦ラハブは不従順な者たちと共に
滅びませんでした。彼女は偵察者たちを平和的に迎
え入れたからです。³²
さらに何を言いたいでしょうか。ゲデオン、バラク、サ
ムソン、エフタ、ダビデ、サムエル、そして預言者
たちについて話すには、時間が足りないでしょう。³³
彼らは信仰によって王国を征服し、正義を行い、約
束を得、獅子の口を閉じ、³⁴
炎の激しさを消し、剣の刃を逃れ、弱さから強くさ
れ、戦に強くなり、外国の軍隊を退けました。³⁵
女たちは復活によって自分の死者を受け取りまし
た。ある者たちは拷問を受け、解放を受け入れず、よ
り良い復活を得ようとしていました。³⁶
他の者たちは嘲りと鞭打ち、さらに鎖と投獄を経験
しました。³⁷
彼らは石で打たれ、鋸で引かれ、剣で殺されました
。羊の皮や山羊の皮をまとい、乏しく、苦しめられ
、虐待されました。³⁸
この世は彼らにふさわしくありませんでした—
彼らは荒野や山々、洞窟や地の穴をさまよいました
。³⁹
これらすべての人々は信仰によって称賛されまし
たが、約束されたものを受けませんでした。⁴⁰
神が私たちのためにより良いものを備えておられた
ので、彼らは私たちと別にして完全にされることは
なかったのです。

12 このように多くの証人に囲まれているので
、私たちはすべての妨げと、容易に絡みつ
く罪を捨て去り、私たちの前に置かれてい
る競走を忍耐をもって走りましょう。²
信仰の創始者であり完成者であるイエスに目を留め
ましょう。彼は、前に置かれた喜びのために、十字
架を忍び、その恥を軽んじ、神の御座の右に座され
ました。³
罪人たちからのこのような敵対を忍ばれた方を考え

ヘブル人への手紙

なさい。それは、あなたがたが疲れ果てて心を失わないためです。⁴

罪と戦うあなたがたは、まだ血を流すまで抵抗したことがありません。⁵

そして、あなたがたを子として扱う勧告を忘れていませんか？

「わが子よ、主の懲らしめを軽んじてはならない

。主があなたを叱るときに、気を落としてはならない。⁶ 主は愛する者を懲らしめ、

受け入れるすべての子を打たれる。」

7

苦しみを懲らしめとして耐え忍びなさい。神はあなたがたを子として扱っておられます。父が懲らしめない子がいるでしょうか。⁸

すべての人が受ける懲らしめを受けないなら、あなたがたは私生児であり、本当の子ではありません。⁹

さらに、私たちは肉の父がいて、私たちを懲らしめたので、私たちは彼らを敬いました。まして、霊の父に服従して生きるべきではないでしょうか。¹⁰

彼らは自分たちの思うままに短い期間私たちを懲らしめましたが、神は私たちの益のために、私たちがその聖さにあずかるように懲らしめられます。¹¹

すべての懲らしめは、その時は喜ばしいものではなく、むしろ悲しいものと思われます。しかし、後になると、それによって訓練された人々に義と平和の実を結ばせます。¹²

ですから、疲れた手と弱った膝を強めなさい。¹³ 足のためにまっすぐな道を作りなさい。そうすれば、足の不自由な人が不具になることなく、むしろ癒されるでしょう。¹⁴

すべての人と平和を追い求め、また聖さを追い求めなさい。これがなければ、誰も主を見ることができません。¹⁵

誰も神の恵みから落ちないように、また苦い根が生えてきて、多くの人を悩ませ、汚さないように注意しなさい。¹⁶

誰も一杯の食物のために長子の権利を売ったエサウのように、不品行で神を敬わない者にならないようにしなさい。¹⁷

その後、あなたがたが知っているように、彼は祝福を受け継ぎたいと願ったとき、拒絶されました。彼は涙を流してそれを求めたが、悔い改めの機会を見つけないことができませんでした。¹⁸

あなたがたは、触れることができる山、燃える火、暗闇、黒雲、嵐に來たものではありません。¹⁹ ラッパの音や、言葉を語る声に來たのでもありません。

ん。それを聞いた者たちは、これ以上言葉が語られないようにと懇願しました。²⁰

彼らはこの命令に耐えられなかったのです。「たとえ動物でも山に触れるなら、石で打たなければならない。」²¹

その光景は非常に恐ろしかったので、モーセは言いました。「私は恐れおののいています。」²²

しかし、あなたがたはシオンの山、生ける神の都、天のエルサレム、そして喜びの集会にいる無数の天使たちに来ました。²³

天に名が記されている長子たちの総会と教会、すべての者の裁き主である神、完全にされた義人たちの霊に來ました。²⁴

新しい契約の仲介者であるイエス、そしてアベルの血よりも良いことを語る注がれた血に來ました。²⁵

語る方を拒まないように注意しなさい。地上で警告した方を拒んだ彼らが逃れられなかったなら、まして天から警告する方を背く私たちは、どうして逃れることができるでしょうか。²⁶

その時、彼の声は地を揺り動かしましたが、今は約束されています。「もう一度、私は地だけでなく天も揺り動かします。」²⁷

「もう一度」という言葉は、揺り動かされるもの、すなわち造られたものが取り除かれることを示しています。それは、揺り動かされないものが残るためです。²⁸

したがって、揺り動かされない王国を受ける私たちは、感謝し、畏敬と畏怖をもって神を受け入れられる方法で礼拝しましょう。²⁹

私たちの神は焼き尽くす火だからです。

13

兄弟愛を続けなさい。²

見知らぬ人をもてなすことを忘れてはいけません。そうすることで、ある人たちはけ

らずに天使たちをもてなしたのです。³

牢にいる人々を、自分と共に囚われているかのように思い出し、虐待されている人々を、自分自身も体を持っている者として思い出しなさい。⁴

結婚はすべての人に尊ばれるべきであり、結婚の床は汚されてはなりません。神は姦淫する者と不品行な者を裁かれるからです。⁵

金銭を愛することのないようにし、今持っているもので満足しなさい。神ご自身がこう言われたからです。

「わたしは決してあなたを離れず、決してあなたを見捨てない。」

6

だから、私たちは確信を持ってこう言うことができます。

ヘブル人への手紙

「主は私の助け手である。私は恐れない。
人間が私に何をできようか。」

7

神の言葉をあなたに語った指導者たちを思い出さない。彼らの生き方の結末を考え、その信仰を見習いなさい。

8

イエス・キリストは、昨日も今日も、いつまでも同じです。

9

多様で奇妙な教えに惑わされてはいけません。心が恵みによって強められることが良いのであって、食物によるものではありません。それに専念する者たちは益を得ていません。

10

私たちには、幕屋に仕える者たちが食べることを許されていない祭壇があります。

11

大祭司は動物の血を罪のために聖所に持ち込みますが、その体は宿営の外で焼かれます。

12

それゆえ、イエスもまた、ご自身の血によって民を聖別するために、門の外で苦しみを受けられました。

13

したがって、私たちも宿営の外に出て、彼の受けた辱めを共に担いましょう。

14

ここには永続する都市はなく、私たちは来るべき都市を求めています。

15

それゆえ、私たちはイエスを通して、神に賛美の犠牲を絶えず捧げましょう。それは、彼の名を告白する唇の実です。

16

善を行い、他人と分かち合うことを忘れないでください。そのような犠牲は神に喜ばれるからです。指導者たちに従い、その権威に服従しなさい。彼らはあなたの魂のために見張っており、報告をしなければならぬ者たちです。彼らが喜びをもってこれを行い、嘆きながらではないようにしなさい。それはあなたにとって益にならないからです。

17

18

私たちのために祈ってください。私たちは良心が清いことを確信しており、すべてのことにおいて立派に行動したいと願っています。

19

私は特にあなたがたに祈るように勧めます。それは、私がより早くあなたがたのもとに戻れるようになるためです。

20

さて、平和の神、すなわち羊の大牧者である私たちの主イエスを、永遠の契約の血によって死者の中からよみがえらせた方が、

21

イエス・キリストを通して、彼に栄光が世々限りなくありますように。アーメン。

22

兄弟姉妹たちよ、この勧めの言葉を辛抱強く聞いてください。私は短く書きました。

23

私たちの兄弟デモテが解放されたことを知ってください。もし彼が早く来れば、私は彼と共にあなたがたに会いに行きます。

24

すべての指導者とすべての聖徒によろしく伝えてください。イタリアからの人々があなたがたによろしくと言っています。

25

恵みがあなたがた一同と共にありますように。

ヤコブの手紙

1 神と主イエス・キリストのしもべヤコブから、
諸国に散らされている十二部族へ。挨拶を送り
ます。 2

私の兄弟姉妹たち、さまざまな試練に遭うときは、
それをこの上ない喜びと思いなさい。 3

信仰が試されると忍耐が生まれると知っているから
です。 4

その忍耐を完全に働かせなさい。そうすれば、何も
欠けたところのない成熟した完全な者となります。
5

あなたがたの中に知恵が欠けている人がいるなら、
その人は、責めることなくすべての人に惜しみなく
与える神に願いなさい。そうすれば与えられます。
6

ただし、疑わずに信仰を持って願いなさい。疑う人
は、風に吹かれて揺れ動く海の波のようです。 7

そのような人は、主から何かを受け取るとは考える
べきではありません。 8

彼らは二心の子であり、その行動すべてにおいて不
安定です。 9

低い境遇にある信者は、自分の高い身分を誇りとし
なさい。 10

しかし、富んでいる者は、自分の卑しい身分を誇り
としなさい。彼らは野の花のように過ぎ去ってしま
うからです。 11

太陽が昇って焼けつく暑さで草を枯らし、その花は
落ち、その美しさは失われます。同じように、富ん
でいる者もその活動の中で消え去ります。 12

試練を耐え忍ぶ者は幸いです。試練を乗り越えた者
には、主が愛する者たちに約束された命の冠が与え
られるからです。 13

誘惑に遭うとき、「私は神に誘惑されている」と言
ってはいけません。神は悪によって誘惑されることが
なく、また、ご自身が誰かを誘惑することもあり
ません。 14

人が誘惑されるのは、それぞれ自分自身の欲望に引
かれ、誘われるからです。 15

そして、欲望がはらむと罪を生み、罪が成熟すると
死を生みます。 16

愛する兄弟姉妹たち、惑わされてはいけません。 17

すべての良い賜物、完全な賜物は、上からのもので
あり、変わることはない天の光の父から下ってきます。
18

神はご自身の意志によって、真理の言葉を通して私
たちを生み出し、私たちが神の創造物の初穂のよう
になるためです。 19

愛する兄弟姉妹たち、このことを心に留めてくださ
い。すべての人は聞くことに早く、話すことに遅く
、怒ることに遅くあるべきです。 20

人の怒りは神の望む義を達成しないからです。 21
ですから、すべての不道德と蔓延する悪を捨て、あ
なたがたに植え付けられた御言葉を謙虚に受け入れ
なさい。それはあなたがたの魂を救うことができま
す。 22

御言葉をただ聞くだけでなく、それを実行する者と
なりなさい。そうでないと、自分自身を欺くことに
なります。 23

御言葉を聞いてもそれを行わない人は、自分の顔を
鏡で見る人のようです。 24

そして、自分を見た後、すぐに自分がどのような人
であったかを忘れてしまいます。 25

しかし、自由を与える完全な律法をじっくりと見つ
め、それを続ける人は、聞いたことを忘れずに実行
する人であり、その行いにおいて祝福を見出すでし
ょう。 26

自分を信心深いと思っている者が、舌を制御しない
なら、その人は自分自身を欺いており、その信心は
無価値です。 27

私たちの父なる神が純粹で欠けのないものとして受
け入れる信心はこれです。困っている孤児や未亡人
を世話し、世から汚れないように自分を守ること
です。

2 わたしの兄弟たち、栄光の主イエス・キリスト
を信じる者たちは、個人的なえこひいきの態度
を持って信仰を抱いてはなりません。 2

たとえば、金の指輪をはめ、立派な服を着た人があ
なたがたの集会に入ってきたとし、また、みすばら
しい服を着た貧しい人も入ってきたとします。 3

もし、立派な服を着た人に特別な注意を払い、「こ
ちらの良い席にお座りください」と言い、貧しい人
には「そこに立っていなさい」または「わたしの足
元に座りなさい」と言うなら、 4

あなたがたは自分たちの間で差別をし、悪い動機を
持つ裁判官になったではありませんか。 5

聞きなさい、わたしの愛する兄弟たちよ。神は世の
目には貧しい者を選んで、信仰において富む者とし
、神を愛する者に約束された王国の相続人とされま
せんでしたか。 6

しかし、あなたがたは貧しい者を侮辱しました。あ
なたがたを圧迫し、法廷に引きずり込むのは金持ち
ではありませんか。 7

彼らはあなたがたが呼ばれている高貴な名を冒しし
ているではありませんか。 8

もし、あなたがたが聖書にある「自分を愛するよう
に隣人を愛しなさい」という王の律法を本当に守る
なら、あなたがたは良いことをしています。 9

しかし、えこひいきをするなら、あなたがたは罪を
犯しており、律法によって違反者として責められま

ヤコブの手紙

す。¹⁹
なぜなら、全ての律法を守っている者でも、一つの点でつまずくなら、全てを破った者とされるからです。¹¹

「姦淫してはならない」と言われた方はまた「殺してはならない」とも言われました。もし姦淫を犯さなくても、殺人を犯すなら、あなたは律法の違反者となったのです。¹²

自由を与える律法によって裁かれる者として語り、行動しなさい。¹³

なぜなら、憐れみを示さない者には憐れみのない裁きがあるからです。憐れみは裁きに勝るのです。¹⁴

わたしの兄弟たちよ、もし誰かが信仰を持っていると言いが行いがいなら、何の益があるでしょうか。そのような信仰がその人を救うことができるでしょうか。¹⁵

もし兄弟または姉妹が衣服や日々の食物に欠けているなら、¹⁶

あなたがたのうちの誰かが彼らに「平安に行きなさい。暖かくして満腹になりなさい」と言っても、その身体の必要を何も満たさないなら、何の益があるでしょうか。¹⁷

同様に、信仰も、それだけでは、行いが伴わなければ、死んでいるのです。¹⁸

しかし、誰かが言うかもしれません。「あなたには信仰があり、わたしには行いがあります。」行いのないあなたの信仰を見せてください。わたしは行いによってわたしの信仰を見せます。¹⁹

あなたは神が唯一であることを認めています。それは良いことです。しかし、悪霊たちもそれを認めて震えています。²⁰

愚かな人よ、行いのない信仰が無益であることを知りたいですか。²¹

わたしたちの父アブラハムがその子イサクを祭壇に捧げたとき、行いによって義とされたものではありませんか。²²

彼の信仰と行いが調和しており、彼の信仰は行いによって完成されたことがわかります。²³

そして、「アブラハムは神を信じ、それが彼の義と認められた」と言われた聖書が成就し、彼は神の友と呼ばれました。²⁴

人が行いによって義とされるのであり、信仰だけでは行いがわかります。²⁵

同様に、遊女ラハブが使者たちを受け入れ、別の道から送り出したとき、行いによって義とされたものではありませんか。²⁶

ちょうど身体が霊を持たないと死んでいるように、行いのない信仰も死んでいるのです。

3 私の兄弟たちよ、多くの者が教師になろうとしてはなりません。私たちが教える者として、より厳しく裁かれることを知っているからです。

²
私たちは皆、多くの点でつまずきます。もし言葉でつまずかない人がいるなら、その人は完全であり、体全体をも制御することができます。³

馬を従わせるために、その口にくつわをはめると、私たちはその全身を導くことができます。⁴

また、船を考えてみなさい。あれほど大きく、強い風に押される船も、非常に小さなかじで操縦士の望むところに進みます。⁵

同様に、舌も体の小さな部分ですが、大きなことを誇ります。小さな火がどれほど大きな森を燃やすかを見てください。⁶

舌もまた火であり、体の部分の中で不義の世界です。それは全身を汚し、生涯の進路を燃やし、地獄の火によって燃やされます。⁷

あらゆる種類の動物、鳥、爬虫類、海の生き物は人間によって飼いならされてきましたが、⁸

舌を飼いならすことができる人間はいません。それは落ち着かない悪であり、死をもたらす毒で満ちています。⁹

私たちはそれで主であり父である神を祝福し、またそれで神のかたちに造られた人々を呪います。¹⁰

同じ口から祝福と呪いが出てきます。私の兄弟たちよ、このようなことがあってはなりません。¹¹

泉が同じ口から甘い水と苦い水を出すことができるでしょうか。¹²

私の兄弟たちよ、いちじくの木がオリーブの実を結ぶことができるでしょうか。また、ぶどうの木がいちじくを結ぶことができるでしょうか。同様に、塩水の泉が甘い水を出すことはできません。¹³

あなたがたの中で賢く理解力のある者は誰ですか。その人は良い行いによって、自分の知恵を謙虚さの中で示しなさい。¹⁴

しかし、もしあなたがたの心に苦いねたみや利己的な野心を抱いているなら、それを誇ったり、真理を否定したりしてはいけません。¹⁵

そのような知恵は上から来るものではなく、地上的で、霊的でなく、悪魔的です。¹⁶

ねたみや利己的な野心のあるところには、混乱とあらゆる悪い行いがあります。¹⁷

しかし、上からの知恵はまず純粋であり、その後には平和を愛し、優しく、譲り合い、慈悲と良い実に満ち、公平で誠実です。¹⁸

平和を作る人々は平和の種を蒔き、義の実を収穫します。

ヤコブの手紙

4 あなたがたの間の争いや争いの原因は何ですか？それはあなたがたの体の中で戦う欲望から生じるではありませんか？ 2

あなたがたは欲しても持っていないので、殺人を犯します。欲しがっても得られないので、争い、戦います。あなたがたは神に求めないので、持っていないのです。 3

求めても受け取れないのは、あなたがたが不純な動機で求めているからです。それは自分の快楽に使うためです。 4

不貞な人たちよ、世の友となることが神に対する敵意であることを知らないのですか？したがって、世の友となことを選ぶ者は、神の敵となるのです。 5

あるいは、聖書が理由なく語と思うのですか？神が私たちの内に住まわせた霊を嫉妬深く求めると言っているのです。 6

しかし、神は私たちにより大きな恵みを与えてくださいます。だから、聖書はこう言っています：

「神は高慢な者に敵対し、
謙遜な者に恵みを与える。」

7 だから、神の権威の下に自分を置きなさい。悪魔に立ち向かいなさい。そうすれば、彼はあなたから逃げ去るでしょう。 8

神に近づきなさい。そうすれば、神もあなたに近づいてくださいます。罪人たちよ、手を清めなさい。 9

二心の者たちよ、心を清めなさい。苦しみ、嘆き、泣きなさい。あなたの笑いを嘆きに、喜びを憂いに変えなさい。 10

主の前で自分を低くしなさい。そうすれば、主はあなたを高めてくださいます。 11

兄弟姉妹たちよ、互いに悪口を言うてはいけません。兄弟や姉妹に対して悪口を言ったり、裁いたりする者は、律法に対して悪口を言い、裁くのです。律法を裁くなら、律法の実行者ではなく、裁く者です。 12

立法者であり裁き主はただ一人です。その方は救うことも滅ぼすこともできるのです。しかし、あなたは隣人を裁く者ですか？ 13

さあ、今言う人たちよ、「今日か明日、私たちはこの町やあの町に行き、一年そこに滞在し、商売をして利益を得よう」と。 14

しかし、あなたがたは明日自分の命がどうなるかを知らないのです。あなたがたはしばらくの間現れて消えてしまう霧です。 15

むしろ、「主の御心ならば、私たちは生きてこれを行い、あれを行う」と言うべきです。 16

しかし、現状では、あなたがたは自分の傲慢な計画を誇っています。そのような誇りはすべて悪です。 17

したがって、良いことを知っていてそれを行わない者は、それが彼にとって罪です。

5 今、富んでいる人々よ、聞きなさい。あなたがたに降りかかろうとしている惨事のために嘆きなさい。 2

あなたがたの富は腐り、あなたがたの衣服は虫に食われています。 3

あなたがたの金や銀は錆び、その錆びはあなたがたに対する証拠となり、火のようにあなたがたの肉を食い尽くします。あなたがたは終わりの日に富を蓄えました。 4

見よ、あなたがたが畑を刈り取る労働者から不当に取り上げた賃金が叫び声を上げており、刈り入れをする者たちの叫びが万軍の主の耳に届いています。 5

あなたがたは地上で贅沢と快楽にふけり、屠殺の日のために心を肥やしました。 6

あなたがたは正しい人を罪に定めて殺しました。彼はあなたがたに抵抗しません。 7

ですから、兄弟たちよ、主の来られる時まで耐え忍びなさい。農夫が土の貴重な収穫を待ち、初めと後の雨を辛抱強く待つように。 8

あなたがたも耐え忍び、心を強くしなさい。主の来られる時が近づいているからです。 9

兄弟たちよ、互いに不平を言い合わないにしましょう。そうすれば裁かれることはありません。見よ、裁き主が戸口に立っておられます。 10

兄弟たちよ、主の名によって語った預言者たちを苦難と忍耐の模範として取りなさい。 11

確かに、耐え忍んだ者たちは幸いですと考えます。あなたがたはヨブの忍耐を聞き、主がどのように彼に報いたかを見ました。主は情け深く、憐れみ深い方です。 12

何よりもまず、兄弟たちよ、誓ってはいけません。天にかけても、地にかけても、他のどんな誓いでも。あなたがたの「はい」は「はい」、「いいえ」は「いいえ」としなさい。そうすれば、裁きに陥ることはありません。 13

あなたがたの中に苦しんでいる者がいますか。その人は祈りなさい。喜んでいる者がいますか。その人は賛美の歌を歌いなさい。 14

あなたがたの中に病気の者がいますか。その人は教会の長老たちを呼び、主の名によって油を塗り、彼のために祈ってもらいなさい。 15

信仰の祈りは病んでいる者を回復させ、主はその人を立ち上がらせます。もし罪を犯しているなら、そ

ヤコブの手紙

の罪は赦されます。¹⁶
ですから、互いに罪を告白し合い、互いのために祈りなさい。そうすれば、癒されます。正しい人の祈りは大きな力があり、効果があります。¹⁷
エリヤは私たちと同じ人間でしたが、雨が降らないように熱心に祈り、三年六か月の間、地に雨が降りませんでした。¹⁸

そして再び祈ると、天は雨を降らせ、地はその作物を実らせました。¹⁹
兄弟たちよ、あなたがたの中に真理から迷い出た者がいて、誰かがその人を連れ戻すなら、²⁰
このことを知っておきなさい。罪人をその道の誤りから引き戻す者は、その魂を死から救い、多くの罪を覆うのです。

ペテロの手紙第一

1 イエス・キリストの使徒ペテロから、
ポントス、ガラティア、カッパドキア、アジア
、ビテニアに散らされている選ばれた寄留者た

ちへ²
父なる神の予知に従い、御霊の聖めによって、イエ
ス・キリストに従い、その血によって清められるた
めに選ばれた者たちへ：

恵みと平安が豊かにありますように。³

私たちの主イエス・キリストの神であり父である方
がほめたたえられますように。神はその大きな憐れ
みによって、イエス・キリストの死者の中からの復
活を通して、私たちを生ける望みへと新たに生まれ
させていただきました。⁴

朽ちることも汚れることも消えることもない、天に
蓄えられている相続を受けるためです。⁵

あなたがたは信仰によって、最後の時に現される準
備ができていて救いのために神の力によって守られ
ています。⁶

このことにおいて、あなたがたは大いに喜んでいま
すが、今しばらくの間、必要であれば、さまざまな
試練によって悩まされています。⁷

それは、あなたがたの信仰の証が、火で試されても
滅びる金よりも貴重であることが明らかにされ、イ
エス・キリストの現れのときに、称賛と栄光と誉れ
をもたらすためです。⁸

あなたがたは、彼を見たことはないが愛しており、
今は見ていないが信じており、言葉に尽くせない喜
びと栄光に満ちた喜びで大いに喜んでいます。⁹
信仰の結果として、あなたがたの魂の救いを得てい
るのです。¹⁰

この救いについては、あなたがたに来るはずの恵み
を予告した預言者たちが、熱心に探し求めました。¹¹

彼らは、キリストの中にある御霊が、キリストの受
難とその後の栄光を予告したときに、どの時代また
はどのような時代を指しているのかを知ろうとしま
した。¹²

彼らには、自分たちのためではなく、あなたがたの
ために仕えていることが明らかにされました。これ
らのことは、天から遣わされた聖霊によってあなた
がたに福音を宣べ伝えた者たちを通して、今あなた
がたに告げられたことです。

天使たちが見たいと願っている事柄です。¹³

ですから、行動のために心を整え、霊において慎み
、イエス・キリストの現れのときにあなたがたにも
たらされる恵みに完全に望みを置きなさい。¹⁴

従順な子供として、無知であったときの以前の欲望
に従ってはいけません。¹⁵

むしろ、あなたがたを召された聖なる方のように、

すべての行動において自分自身も聖でありなさい。

16
なぜなら、「わたしが聖であるから、あなたがたも
聖でなければならない」と書かれているからです。

17
もし、各人の行いに応じて偏りなく裁く方を父と呼
ぶなら、地上での滞在中は畏敬の念を持って生活し
なさい。¹⁸

あなたがたが先祖から受け継いだ無益な生活から、
銀や金のような朽ちるものではなく、¹⁹
傷もなく汚れもない小羊のような貴重なキリストの
血によって贖われたことを認識しなさい。²⁰

彼は世界の基が据えられる前から知られていました
が、あなたがたのためにこの終わりの時代に現れま
した。²¹

彼を通して、あなたがたは神を信じるようになりました。
神は彼を死者の中からよみがえらせ、栄光を
与えられたので、あなたがたの信仰と希望は神にあり
ます。²²

あなたがたは、真理に従うことによって魂を清め、
兄弟姉妹を心から愛するために、心から熱心に互い
に愛し合いなさい。²³

あなたがたは朽ちる種からではなく、朽ちない種か
ら、神の生ける永遠の言葉を通して新たに生まれた
のです。²⁴ なぜなら、

「すべての人間は草のようであり、
その栄華はすべて草の花のようだ。 草は枯れ、
花は散る。²⁵ しかし、主の言葉は永遠に残る。」

そして、これがあなたがたに宣べ伝えられた言葉で
す。

2 ですから、あらゆる悪意、欺き、偽善、ねたみ
、あらゆる中傷を捨て去りなさい。²

そして、新生児のように純粋な霊的な乳を慕い
求めなさい。それによって、救いにおいて成長する
ことができるように。³

主の慈しみを味わったことがあるならば。⁴

そして、あなたがたが彼のもとに来るとき、人々に
拒まれたが神の目には選ばれた、貴重な生ける石で
ある彼に、⁵

あなたがたもまた、生ける石のように、霊的な家に
建て上げられ、聖なる祭司職となり、イエス・キ
リストを通して神に受け入れられる霊的な犠牲を捧げ
るのです。⁶ 聖書にはこう書かれています。

「見よ、わたしはシオンに選ばれた石、
貴重な隅の石を置く。 彼に信頼する者は
決して恥をかかれない。」

ペテロの手紙第一

7
この貴重な価値は、信じるあなたがたのためのもの
ですが、信じない者たちにとっては、

「建築者たちが拒んだ石、
これが隅の頭石となった。」

8そして、

「つまずきの石、妨げの岩」
彼らがつまずくのは、御言葉に従わないからであ
り、またそのために定められているのです。

9

しかし、あなたがたは選ばれた民、王の祭司、聖な
る国民、神の所有とされた民です。それは、あなた
がたを暗闇からその驚くべき光に招いてくださった
方の素晴らしさを宣べ伝えるためです。

かつては民でなかったあなたがたが、今は神の民で
あり、かつては憐れみを受けなかったが、今は憐れ
みを受けたのです。

愛する者たちよ、私はあなたがたに勧めます。旅人
であり寄留者であるあなたがたは、魂に戦いを挑む
罪深い欲望を避けなさい。

異邦人の中であなたがたの行いを立派に保ちなさい
。そうすれば、彼らがあなたがたを悪事を働く者と
して中傷することがあっても、あなたがたの良い行
いを見て、訪問の日に神を崇めるようになるでし
ょう。

主のために、すべての人間の権威に従いなさい。最
高の権威である王に対しても、

また、悪を行う者を処罰し、善を行う者を称賛す
るために彼によって遣わされた総督に対しても。

なぜなら、善を行うことによって、無知な人々の愚
かな話を沈黙させることが神の御心だからです。

自由な人として生きなさい。しかし、その自由を悪
の隠れ蓑として用いず、神の僕として生きなさい。

すべての人を敬い、兄弟愛を持ち、神を恐れ、王を
敬いなさい。

僕たちよ、すべての敬意を持って主人に従いなさい
。良くて優しい者だけでなく、厳しい者にも。

神を意識して不当な苦しみを耐えるなら、それは称
賛に値します。

罪を犯して厳しく扱われたときに忍耐することに何
の価値があるでしょうか。しかし、正しいことを行
って苦しみ、それを忍耐するなら、それは神に喜ば
れることです。

なぜなら、このためにあなたがたは召されたので
す。キリストもあなたがたのために苦しみを受け、あ

なたがたがその足跡に従うように模範を残されたか
らです。

22

彼は何の罪も犯さず、
その口には偽りも見出されなかった。

23

侮辱されても仕返しせず、苦しんでも脅すことなく
、正しく裁く方に自分を委ねました。

そして、私たちが罪に死んで義に生きるために、彼
自身が私たちの罪をその体に負って十字架につけら
れました。彼の傷によってあなたがたは癒されたの
です。

あなたがたは羊のように迷っていましたが、今はあ
なたがたの魂の牧者であり監督者である方に立ち返
ったのです。

3 同じように、妻たちよ、自分の夫に従いなさい
。それは、たとえ御言葉に従わない者であって
も、妻の行いによって、言葉なしに勝ち取られ
るためです。

彼らがあなたがたの純粹で敬虔な行いを観察するか
らです。

あなたがたの飾りは、髪を編んだり、金の装飾品を
身につけたり、衣服を着たりする外面的なものであ
ってはなりません。

むしろ、神の目に価値のある、穏やかで静かな霊の
永続的な美しさを持つ内面的なものでありなさい。

5

過去の聖なる女性たちもこのようにして自分を飾り
、神に希望を置き、自分の夫に従っていました。

サラがアブラハムに従い、彼を主と呼んだようにで
す。そして、あなたがたが正しいことを行い、恐れ
に屈しないなら、彼女の子供となるのです。

夫たちよ、同じように、理解を持って妻と共に生活
しなさい。彼女は女性であり、弱い器としての存在
だからです。そして、命の恵みを共に受け継ぐ者と
して彼女を尊重しなさい。そうすれば、あなたがた
の祈りが妨げられることはありません。

最後に、皆が調和し、同情し、愛し、思いやりを持
ち、謙虚でありなさい。

悪に対して悪を返したり、侮辱に対して侮辱を返し
たりせず、むしろ祝福を与えなさい。あなたがたは
祝福を受け継ぐためにこの目的で召されたのです。

10 なぜなら、

「命を愛し、
その舌を悪から守り、
その唇を欺きから守らなければならない。
彼らは悪から離れて善を行い、
平和を求めてそれを追い求めなければならない。」

11

ペテロの手紙第一

¹² 主の目は正しい者に向けられ、
その耳は彼らの祈りに注意を払う。
しかし、主の顔は悪を行う者に対して向けられる。¹

¹³ そして、もしあなたがたが善を行うことに熱心であるなら、誰があなたがたに害を加えるでしょうか。
¹⁴

しかし、たとえ正しいことをして苦しむことがあっても、あなたがたは祝福されています。彼らの脅しを恐れず、心を乱されてはなりません。¹⁵
むしろ、心の中でキリストを主として聖別しなさい。そして、あなたがたの中にある希望について説明を求める人には誰にでも、優しさと敬意を持って答える準備を常にしていなさい。¹⁶

そして、良心を保ちなさい。そうすれば、あなたがたが中傷されることにおいて、キリストにおけるあなたがたの良い行いを非難する者たちは恥をかくことになるでしょう。¹⁷

なぜなら、神の御心であるなら、悪を行うよりも善を行って苦しむ方が良いからです。¹⁸

キリストもまた、罪のために一度だけ苦しみ、義なる者が不義なる者のために、あなたがたを神に導くために苦しみました。彼は肉において死に渡されましたが、霊において生かされました。¹⁹

その霊において、彼は監禁されている霊たちに宣言しに行きました。²⁰

それは、ノアの時代に箱舟が作られている間、神が忍耐強く待っておられたときに、かつて不従順であった者たちです。その中で、わずかに数人、すなわち八人が水を通して救われました。²¹

そしてこの水は今、あなたがたをも救うバプテスマを象徴しています。それは肉体の汚れを取り除くことではなく、神に対する良心の誓いです。それはイエス・キリストの復活によってあなたがたを救います。²²

彼は天に昇り、神の右に座しておられます。天使たち、権威たち、力ある者たちが彼に従うようになっています。

4 キリストが肉体で苦しみを受けられたので、あなたがたも同じ心構えを持って備えなさい。肉体で苦しんだ者は、罪から離れたからです。²

それは、残された肉体の時を人間の欲望のためではなく、神の御心のために生きるためです。³

異邦人の欲望を遂げた過去の時は、あなたがたにとって十分です。あなたがたは、淫らな行い、欲望、酩酊、宴会、酒盛り、そして放蕩な偶像礼拝を追い求めました。⁴

このことにおいて、彼らはあなたがたが同じ放蕩に走らないのを不思議に思い、あなたがたを中傷します。⁵

しかし、彼らは生きている者と死んでいる者を裁く準備ができている方に申し開きをしなければなりません。⁶

このために、福音は死んでいる者にも宣べ伝えられました。それは、彼らが人間として肉体で裁かれることがあっても、神の御心に従って霊において生きるためです。⁷

すべてのことの終わりが近づいています。それゆえ、祈りのために心を清め、慎み深くありなさい。⁸

何よりもまず、互いに熱心に愛し合いなさい。愛は多くの罪を覆うからです。⁹

不平を言わずに、互いに親切に接しなさい。¹⁰

各々が特別な賜物を受けたように、それを用いて神の多様な恵みの良い管理者として互いに仕えなさい。¹¹

話す者は、神の言葉を語る者として語り、仕える者は、神が与える力によって仕えなさい。それは、すべてのことにおいて、神がイエス・キリストを通して栄光を受けるためです。栄光と支配は永遠に彼にあります。アーメン。¹²

愛する者たちよ、あなたがたの間に起こる火の試練を、何か奇妙なことが起こっているかのように驚いてはなりません。¹³

むしろ、キリストの苦しみにあずかる限り、喜び続けなさい。それは、彼の栄光が現れるときにも喜びに満ち溢れるためです。¹⁴

キリストの名のために非難されるなら、あなたがたは幸いです。栄光の霊、すなわち神の霊があなたがたの上にとどまっているからです。¹⁵

あなたがたの中で、殺人者や盗人、悪事を働く者、または厄介な干渉者として苦しむ者がいないようにしなさい。¹⁶

しかし、キリスト者として苦しむなら、恥じることなく、この名において神を栄光化しなさい。¹⁷

神の家から裁きが始まる時が来たからです。そして、もしそれがまず私たちから始まるなら、神の福音に従わない者たちの結末はどうなるでしょうか。¹⁸

そして、

義人が辛うじて救われるのなら、
不信心な者や罪人はどうなるのでしょうか。

¹⁹

それゆえ、神の御心に従って苦しむ者たちは、善を行うことによって、忠実な創造者に自分の魂を委ねなさい。

ペテロの手紙第一

5 ですから、あなたがたの中にいる長老たちに勧めます。同じ長老として、またキリストの苦しみ¹の証人であり、さらに現れる栄光にあずかる者として。²
あなたがたの世話をしている神の群れを牧しなさい。神の御心に従って、いやいやながらではなく、喜んで世話をし、卑しい利得を求めるのではなく、熱心³に。
あなたがたに委ねられた人々を支配するのではなく、むしろ群れの模範となるようにしなさい。⁴
そうすれば、大牧者が現れるときに、あなたがたは消えない栄光の冠を受けるでしょう。⁵
同様に、若い人たちよ、長老たちに従いなさい。そして皆互いに謙遜を身に着けなさい。なぜなら、

「神は高ぶる者に敵対し、
へりくだる者に恵みを与えるからです。」

6
ですから、神の力強い御手の下で自分を低くしなさい。そうすれば、神は適切な時にあなたがたを高くしてくださいます。⁷
あなたがたの思い煩いをすべて神にゆだねなさい。神があなたがたを心に掛けてくださるからです。⁸

目を覚まして、慎んでいなさい。あなたがたの敵である悪魔が、ほえたける獅子のように歩き回り、食い尽くすべき者を捜し求めています。⁹
固く信仰に立って、彼に立ち向かいなさい。世界中のあなたがたの兄弟姉妹も同じ苦しみを経験していることを知っているからです。¹⁰
しばらくの間苦しんだ後、あらゆる恵みの神、すなわちキリストにおいてあなたがたをその永遠の栄光に召された方が、ご自身であなたがたを回復し、強め、力づけ、確立してくださいます。¹¹
力が永遠に神にありますように。アーメン。¹²
忠実な兄弟シルワノを通して、私は短く書き送りました。あなたがたを励まし、これが神の真の恵みであることを証言するためです。この恵みにしっかりと立ちなさい。¹³
バビロンにいる、あなたがたと共に選ばれた教会が、あなたがたによりしくと言っています。そして、私の息子マルコもよりしくと言っています。¹⁴
愛のしるしをもって互いに温かく挨拶し合いなさい。
。キリストにあるすべてのあなたがたに平和がありますように。

ペテロの手紙第二

1 シモン・ペテロ、イエス・キリストのしもべであり使徒、

私たちと同じ種類の信仰を、私たちの神であり救い主であるイエス・キリストの義によって受けた人々へ。

2 神と私たちの主イエスの知識を通して、恵みと平安があなたがたに豊かにありますように。

3 彼の神の力が、私たちを彼自身の栄光と徳によって召された方の真の知識を通して、命と敬虔に必要なすべてのものを私たちに与えてくださったからです。

4 これらを通して、彼は私たちに貴重で素晴らしい約束を与えてくださいました。それによって、あなたがたは欲望のために世にある腐敗を逃れ、神の性質にあずかる者となるのです。

5 このために、あらゆる努力を尽くして、あなたがたの信仰に徳を加え、徳に知識を、

6 知識に自制を、自制に忍耐を、忍耐に敬虔を育て、
7 敬虔に兄弟愛を、兄弟愛に愛を加えなさい。

8 これらの資質があなたがたのものであり、成長しているならば、私たちの主イエス・キリストの真の知識において無効または非生産的であることを防ぐでしょう。

9 これらの資質を欠いている者は盲目であり、近視眼的であり、過去の罪の清めを忘れているのです。
10 ですから、兄弟姉妹たちよ、彼の召しと選びを確かなものとするために、ますます努力しなさい。これらのことを実践する限り、あなたがたは決してつまづくことはありません。

11 このようにして、私たちの主であり救い主であるイエス・キリストの永遠の王国への入口が豊かに提供されるのです。

12 ですから、あなたがたがすでにこれらのことを知っており、あなたがたにある真理に確立されているにもかかわらず、私は常にこれらのことを思い出させる準備ができています。

13 私は、この地上の体にいる限り、思い出させることであなたがたを奮い立たせるのが正しいと考えています。

14 私の地上の体の除去が差し迫っていることを、私たちの主イエス・キリストが私に明らかにしてくださったからです。

15 私の離去の後、いつでもこれらのことを思い出せるように、私はまた努力します。

16 私たちがあなたがたに私たちの主イエス・キリストの力と来臨を知らせたとき、巧妙に考え出された物語に従ったのではなく、私たちは彼の威厳の目撃者でした。

17 彼が父なる神から誉れと栄光を受けたとき、このよ

うな宣言が威厳ある栄光から彼にされました。「これは私の愛する子、私は彼を喜んでいる」

18 そして私たち自身も、聖なる山で彼と一緒にいたとき、天からのこの声を聞きました。

19 そして私たちは預言の言葉を確認しました。暗い場所で輝く灯火に注意を払うように、あなたがたはそれに注意を払うと良いでしょう。日が昇り、明けの明星があなたがたの心に昇るまで。

20 しかし、まず第一に知っておくべきことは、聖書の預言は誰かの解釈から来るものではないということです。

21 なぜなら、預言は決して人間の意志によってなされたのではなく、聖霊に動かされた人々が神から語ったからです。

2 しかし、偽預言者たちが民の中に現れたように、あなたがたの間にも偽教師たちが現れ、彼らはひそかに有害な教えを持ち込み、彼らを贖った主さえも否定し、速やかな滅びを招くでしょう。

3 多くの者が彼らの不道徳な行いに従い、そのために真理の道が悪く言われることになります。

4 彼らは貪欲のために偽りの言葉であなたがたを利用します。彼らの裁きは昔から遅れておらず、彼らの滅びは眠っていません。

5 神が罪を犯した天使たちを容赦せず、地獄に投げ入れ、裁きのために暗闇の穴に閉じ込めたのであれば、

6 また、古代の世界を容赦せず、不敬虔な者たちの世界に洪水をもたらしたとき、義の宣教者ノアと他の七人を守ったのであれば、

7 また、ソドムとゴモラの町を灰にして滅ぼし、不敬虔な者たちに対する見せしめとしたのであれば、
8 また、不道徳な人々の行いに悩まされた義人ロトを救ったのであれば、

9 (彼が見聞きしたことによって、その義人は彼らの中に住んでいる間、彼の義なる魂が彼らの無法な行いによって日々苦しまれたのです)、

10 主は敬虔な者を試練から救い出し、不義な者を裁きの日まで罰の下に置くことを知っておられます。特に、腐敗した欲望で肉を追い求め、権威を輕蔑する者たちです。無謀で自己中心的な彼らは、天使の威厳を恐れずに中傷します。

11 しかし、力と権力において彼らよりも偉大な天使たちは、主の前で彼らに対して中傷の裁きを下しません。

12 しかし、これらの者たちは、捕らえられて殺されるために本能のままに生まれた理性のない動物のように、無知なことについて中傷し、その動物たちの滅びの中で滅びされます。

ペテロの手紙第二

不正の報いとして害を受けます。彼らは昼間に楽しむことを喜びとし、あなたがたと共に宴会を楽しむとき、欺瞞に満ちた汚点であり、欠点です。¹⁴
彼らの目は姦淫で満ち、罪を犯すことをやめず、不安定な魂を誘惑し、食欲に訓練された心を持ち、呪われた子供たちです。¹⁵
正しい道を捨てて迷い出し、不義の報酬を愛したベオルの子バラムの道に従いました。¹⁶
しかし、彼は自分の過ちのために叱責を受けました。言葉を話すことのできないロバが人間の声で話し、預言者の狂気を抑えました。¹⁷
これらは水のない泉であり、嵐に追われる霧であり、最も深い暗闇が彼らのために予約されています。¹⁸

価値のない傲慢な言葉を語り、肉体の欲望と不道德な行いで、誤りの中に住む者たちからかろうじて逃れた者たちを誘惑します。¹⁹
彼らに自由を約束しながら、自分自身は腐敗の奴隷です。何によって人が打ち負かされるかによって、その人は奴隷となるのです。²⁰
彼らが主であり救い主であるイエス・キリストの知識によって世の汚れから逃れた後、再びそれに巻き込まれ、打ち負かされるなら、最後の状態は最初よりも悪くなります。²¹
彼らにとって、義の道を知らないほうが、知っているながら彼らに伝えられた聖なる戒めから背を向けるよりも良いでしょう。²²
これは真のことわざによって示されています：

「犬は自分の吐いたものに戻る」

そして、

「豚は洗った後に泥の中で転げ回る。」

3 愛する者たちよ、これは今あなたがたに書いている2通目の手紙であり、思い起こさせることによってあなたがたの純粋な心を奮い立たせています。²
聖なる預言者たちによって前もって語られた言葉と、あなたがたの使徒たちによって語られた主であり救い主の命令を思い出すためです。³
まず第一に理解しなさい。終わりの日には、あざける者たちが現れ、自分の欲望に従って歩むでしょう。⁴
そして、「彼の来臨の約束はどこにあるのか？先祖たちが眠りについた時から、すべてのものは創造の

始めからそのままである」と問いかけます。⁵
彼らがこれを主張するとき、神の言葉によって天が昔から存在し、地が水から出て水によって形作られたことを見過ごしています。⁶
そのことによって、その時代の世界は水で洪水に遭い、滅ぼされました。⁷
しかし、彼の言葉によって、現在の天と地は火のために取って置かれ、不敬虔な人々の裁きと滅びの日のために保たれています。⁸
しかし、愛する者たちよ、この一つの真実を忘れないでください。主にあつては、一日は千年のようであり、千年は一日のようです。⁹
主はその約束を遅らせているのではなく、ある人々が遅いと考えるように、あなたがたに対して忍耐しており、誰も滅びることを望まず、すべての人が悔い改めに至ることを望んでいます。¹⁰
しかし、主の日は盗人のようにやって来ます。その時、天は轟音とともに消え去り、元素は激しい熱で溶け、地とその業は露わにされます。¹¹
これらのすべてのものがこのように溶け去るのであれば、あなたがたはどのような人々であるべきでしょうか。聖なる行いと敬虔さにおいて、¹²
神の日の来臨を待ち望み、急がせるべきです。その日には天が燃え上がり、元素は激しい熱で溶けるのですから！¹³
しかし、彼の約束に従って、私たちは義が宿る新しい天と新しい地を待ち望んでいます。¹⁴
それゆえ、愛する者たちよ、これらのことを待ち望むにあたって、彼によって汚れのない、責められることのない、平和のうちに見出されるように努めなさい。¹⁵
そして、私たちの主の忍耐を救いと考へなさい。ちょうど私たちの愛する兄弟パウロが、彼に与えられた知恵に従って、あなたがたに書いたように。¹⁶
彼はすべての手紙の中でこれらの事柄について語っていますが、その中には理解しにくいことがいくつかあり、無学で不安定な人々が他の聖書と同様にそれを曲解し、自分たちの滅びを招いています。¹⁷
したがって、愛する者たちよ、これを前もって知っている、無法な人々の誤りに導かれて自分の堅固な立場から落ちないように注意しなさい。¹⁸
しかし、私たちの主であり救い主であるイエス・キリストの恵みと知識において成長し続けなさい。
今も永遠に彼に栄光がありますように。アーメン。

ヨハネの手紙第一

1 初めからあったもの、私たちが聞いたもの、目で見たもの、注意深く観察し、手で触れたもの、命の言葉について— 2

その命が現れたので、私たちはそれを見た。そして証し、あなたがたにその永遠の命を宣べ伝える。それは父と共にあり、私たちに現れたものである— 3

私たちが見たこと、聞いたことをあなたがたにも宣べ伝える。それはあなたがたも私たちと交わりを持つためである。私たちの交わりは父と、その御子イエス・キリストとの交わりである。 4

私たちはこれらのことを書き送る。それは私たちの喜びが満ちるためである。 5

これが私たちが彼から聞いてあなたがたに宣べ伝えるメッセージである。神は光であり、彼の中には全く暗闇がない。 6

もし私たちが彼との交わりを持っていると言いながら、暗闇の中を歩んでいるなら、私たちは真実を語っておらず、真理を行っていない。 7

しかし、もし私たちが彼自身が光の中におられるように光の中を歩むなら、私たちは互いに交わりを持ち、彼の御子イエスの血が私たちをすべての罪から清める。 8

もし私たちが罪を持っていないと言うなら、私たちは自分自身を欺いており、真理は私たちの中にある。 9

もし私たちが自分の罪を告白するなら、彼は真実で正しい方であるので、私たちの罪を赦し、すべての不義から私たちを清めてくださる。 10

もし私たちが罪を犯していないと言うなら、私たちは彼を偽り者とし、彼の言葉は私たちの中にある。 11

2 私の愛する子たちよ、私はあなたがたが罪を避けるためにこれらのことを書いています。しかし、もし誰かが罪を犯したとしても、私たちに父のもとに弁護者、すなわち義なるイエス・キリストがいます。 2

彼こそが私たちの罪のための贖いの供え物であり、私たちのためだけでなく、全世界の罪のためでもあります。 3

これによって、もし私たちが彼の戒めを守るなら、私たちは彼を知っていることを理解します。 4

「私は彼を知っている」と言いながら、その戒めを守らない者は、自分自身を欺いており、真理はその中にある。 5

しかし、彼の言葉を守る者には、神の愛が本当に完成されています。これによって、私たちは彼の中にあることを理解します。 6

彼の中に留まっていると言う者は、彼が歩まれたように自分も歩むべきです。 7

親愛なる友よ、私はあなたがたに新しい戒めを書いているのではなく、初めから持っていた古い戒めを書いています。その古い戒めはあなたがたが聞いた言葉です。 8

しかし、私はあなたがたに新しい戒めを書いています。それは彼の中で、またあなたがたの中で真実であるからです。暗闇が過ぎ去り、真の光がすでに輝いているからです。 9

光の中にいると主張しながら、兄弟姉妹を憎む者は、今もお暗闇の中にいます。 10

兄弟姉妹を愛する者は光の中に留まり、その中にはつまずかせるものは何もありません。 11

しかし、兄弟姉妹を憎む者は暗闇の中において、暗闇の中を歩んでおり、どこに行くのか分かりません。暗闇がその目をくらませているからです。 12

小さな子たちよ、私はあなたがたに書いています。 。

あなたがたの罪が彼の名によって赦されているからです。 13

父たちよ、私はあなたがたに書いています。初めからおられる方を知っているからです。 。

若者たちよ、私はあなたがたに書いています。あなたがたが悪しき者に打ち勝ったからです。 。

若者たちよ、私はあなたがたに書きました。あなたがたが悪しき者に打ち勝ったからです。 14

子たちよ、私はあなたがたに書きました。あなたがたが父を知っているからです。 。

父たちよ、私はあなたがたに書きました。初めからおられる方を知っているからです。 。

若者たちよ、私はあなたがたに書きました。あなたがたが強く、神の言葉があなたがたの中に留まっており、 。

あなたがたが悪しき者に打ち勝ったからです。 15

世やそのもののもの愛してはなりません。もし誰かが世を愛しているなら、父の愛はその中にありません。 16

世の中にあるもの、すなわち肉の欲、目の欲、生活の誇りは、父から出たものではなく、世から出たものです。 17

世は過ぎ去り、その欲も過ぎ去ります。しかし、神の御心を行う者は永遠に生き続けます。 18

子たちよ、これが最後の時です。あなたがたが聞いたように、反キリストが来る時が来ています。そして今、多くの反キリストが現れています。これによって、これが最後の時であることを理解します。 19

ヨハネの手紙第一

彼らは私たちから出て行きましたが、実際には私たちのものではありませんでした。もし彼らが私たちのものであったなら、私たちと共に留まっていたことでしょう。しかし、彼らが出て行ったのは、彼らが皆私たちのものでないことが明らかになるためです。²⁰

しかし、あなたがたは聖なる方からの油注ぎを受けており、すべてのことを知っています。²¹

私はあなたがたが真理を知らないから書いたのではなく、知っているから書きました。そして、真理からは偽りが出ないからです。²²

イエスがキリストであることを否定する者は誰でしょうか。それは偽り者であり、父と子を否定する者、すなわち反キリストです。²³

子を否定する者は誰も父を持っていません。子を認める者は父をも持っています。²⁴

あなたがたに関しては、初めから聞いたことがあなたがたの中に留まるようにしなさい。もし初めから聞いたことがあなたがたの中に留まるなら、あなたがたも子と父の中に留まるでしょう。²⁵

これは彼が私たちに約束されたもの、すなわち永遠の命です。²⁶

これらのことを、あなたがたを惑わそうとする者たちについて書きました。²⁷

あなたがたに関しては、彼から受けた油注ぎがあなたがたの中に留まっており、誰からも教えを受ける必要はありません。しかし、その油注ぎがすべてのことについてあなたがたを教え、真実であって偽りではないように、あなたがたは彼の中に留まるべきです。²⁸

さて、愛する子たちよ、彼の中に留まりなさい。そうすれば、彼が現れるとき、私たちは確信を持ち、彼の来臨のときに恥じて退くことがないでしょう。²⁹

彼が義であることを知っているなら、義を行う者は皆、彼から生まれたことを認識します。

3 父が私たちに与えてくださった素晴らしい愛を見てください。それは、私たちが神の子と呼ばれるためです。そして実際に私たちはそうです。だからこそ、世が私たちを認識しないのです。それは、世が彼を認識しなかったからです。²

親愛なる者たち、今や私たちは神の子です。しかし、私たちが何になるのかはまだ明らかにされていません。彼が現れるとき、私たちは彼になることを知っています。なぜなら、私たちは彼をありのままに見るからです。³

この希望を彼に抱く者は皆、彼が純粋であるように、純粋さを求めます。⁴

罪を犯す者は皆、不法をも犯しています。そして、

罪は不法です。⁵

彼が罪を取り除くために現れたことをあなたがたは知っています。そして彼には罪がありません。⁶

彼にとどまる者は誰も罪を犯し続けません。罪を犯し続ける者は誰も彼を見たこともなく、彼を知ってもしません。⁷

子供たちよ、誰にも惑わされないようにしなさい。義を行う者は義人であり、彼が義であるように義です。⁸

罪を犯す者は悪魔に属しています。悪魔は初めから罪を犯しているからです。神の子が現れたのは、このためであり、悪魔の業を打ち破るためです。⁹

神から生まれた者は誰も罪を犯し続けません。なぜなら、神の種が彼の中にとどまっているからです。そして彼は罪を犯し続けることができません。なぜなら、彼は神から生まれたからです。¹⁰

このことによって、神の子と悪魔の子が明らかになります。義を行わない者は誰も神に属していません。また、兄弟姉妹を愛さない者もそうです。¹¹

これはあなたがたが初めから聞いているメッセージです。それは、私たちが互いに愛し合うべきだということです。¹²

カインのようではなく、彼は悪しき者に属し、兄弟を殺しました。なぜ彼は彼を殺したのですか？それは、彼自身の行いが悪く、兄弟の行いが義であったからです。¹³

兄弟姉妹たちよ、世があなたがたを憎むなら驚かないでください。¹⁴

私たちは死から命に移ったことを知っています。それは、私たちが兄弟姉妹を愛しているからです。愛さない者は死にとどまっています。¹⁵

兄弟姉妹を憎む者は皆、人殺しです。そして、どの人殺しもその中に永遠の命がとどまっていないことをあなたがたは知っています。¹⁶

私たちはこれによって愛を理解します。それは、彼が私たちのために命を捨てたことです。そして私たちも兄弟姉妹のために命を捨てるべきです。¹⁷

しかし、物質的な所有物を持っている者が兄弟姉妹の必要を見て、心を閉ざすなら、どうして神の愛がその中にとどまるでしょうか？¹⁸

子供たちよ、言葉や口先だけでなく、行いと真実をもって愛しましょう。¹⁹

これによって、私たちは真理に属していることを知り、彼の前で心を安心させることができます。²⁰

もし私たちの心が私たちを責めるなら、神は私たちの心よりも偉大であり、すべてのことを知っておられます。²¹

親愛なる者たち、もし私たちの心が平安であるなら、神の前で確信を持つことができます。²²

ヨハネの手紙第一

そして、私たちが求めるものは何でも彼から受けます。それは、私たちが彼の戒めを守り、彼に喜ばれることを行っているからです。²³

これが彼の戒めです。それは、彼の子イエス・キリストの名を信じ、彼が命じられたように互いに愛し合うことです。²⁴

彼の戒めを守る者は彼にとどまり、彼もその人にとどまります。彼が私たちに与えてくださった御霊によって、彼が私たちにとどまっていることを私たちは知っています。

4 愛する者たちよ、すべての霊を信じてはいけません。神からのものであるかどうかを見分けるために霊を試しなさい。多くの偽預言者が世に出て行ったからです。²

神の霊を認識する方法はこれです。イエス・キリストが肉体をもって来られたことを認める霊はすべて神からのものです。³

イエスを認めない霊はすべて神からのものではありません。これは反キリストの霊であり、あなたがたが来ると聞いているもので、今やすでに世にあります。⁴

あなたがたは神に属しています、愛する子供たちよ。そして彼らに打ち勝ちました。なぜなら、あなたがたの内ににおられる方が世にいる者よりも偉大だからです。⁵

彼らは世から出た者です。それゆえ、世の観点から話し、世は彼らに耳を傾けます。⁶

私たちは神に属しています。神を知っている者は私たちに耳を傾け、神から出ていない者は私たちに耳を傾けません。これによって、私たちは真理の霊と誤りの霊を認識します。⁷

愛する者たちよ、互いに愛し合いましょう。愛は神から出ているからです。愛する者はすべて神から生まれ、神を知っています。⁸

愛さない者は神を知らないのです。なぜなら、神は愛だからです。⁹

神の愛が私たちの間に現れたのはこれです。神はご自身の独り子を世に送り、私たちが彼を通して生きるようにされたのです。¹⁰

これが愛です。私たちが神を愛したのではなく、神が私たちを愛し、私たちの罪のために贖いの供え物として御子を送られたのです。¹¹

愛する者たちよ、神がこのように私たちを愛されたのですから、私たちも互いに愛し合うべきです。¹² 誰も神を見たことはありません。もし私たちが互いに愛し合うなら、神は私たちの内におられ、神の愛は私たちの内で完全にされます。¹³

これによって、私たちが神の内におり、神が私たちの内におられることを知ります。神がご自身の霊を

私たちに与えてくださったからです。¹⁴

私たちは見て、父が御子を世の救い主として送られたことを証しています。¹⁵

イエスが神の子であることを認める者は誰でも、神はその人の内におられ、その人も神の内にあります。¹⁶

私たちは神が私たちに持っておられる愛を知り、信じています。神は愛です。愛にとどまる者は神にとどまり、神もその人にとどまります。¹⁷

これによって、愛は私たちの間で完全にされ、私たちが裁きの日に確信を持つことができるようになります。なぜなら、彼がそうであるように、私たちもこの世においてそうだからです。¹⁸

愛には恐れがありません。完全な愛は恐れを追い出します。恐れには罰が伴うからです。恐れる者は愛において完全にされていません。¹⁹

私たちが神を愛するのは、神がまず私たちを愛してくださったからです。²⁰

もし誰かが「私は神を愛している」と言いながら、兄弟姉妹を憎むなら、その人は偽り者です。見ている兄弟姉妹を愛さない者は、見たことのない神を愛することはできません。²¹

そして、これが神から受けた命令です。神を愛する者は兄弟姉妹も愛さなければなりません。

5 イエスがキリストであると信じる者はすべて神から生まれた者であり、父を愛する者は皆、その方から生まれた子をも愛します。²

私たちが神の子たちを愛していることを知るののは、神を愛し、その戒めを守るときです。³

神を愛するとは、神の戒めを守ることです。そして、その戒めは重荷ではありません。⁴

なぜなら、神から生まれた者は皆、世に打ち勝つからです。そして、世に打ち勝った勝利は私たちの信仰です。⁵

世に打ち勝つ者とは誰でしょうか。それは、イエスが神の子であると信じる者です。⁶

この方は、水と血とによって来られたイエス・キリストです。水だけでなく、水と血とによって来られました。そして、証しするのは御霊です。御霊は真理だからです。⁷ 証しする者は三つあります。⁸ 御霊と水と血です。そして、この三つは一致しています。⁹

人の証しを受け入れるなら、神の証しはそれにまされます。神の証しとは、神がその子について証しされたことです。¹⁰

神の子を信じる者は、その証しを自分の内に持っています。神を信じない者は、神を偽り者とするのです。神がその子について証しされた証しを信じなかったからです。¹¹

ヨハネの手紙第一

その証しとは、神が私たちに永遠の命を与えられた
ということです。そして、この命は神の子の内にあ
ります。¹²

神の子を持つ者は命を持っています。神の子を持た
ない者は命を持っていません。¹³

私は、神の子の名を信じるあなたがたに、これらの
ことを書きました。それは、あなたがたが永遠の命
を持っていることを知るためです。¹⁴

これが、神の前で私たちが持っている確信です。す
なわち、神の御心にかなうことを求めるなら、神は
聞いてくださるということです。¹⁵

そして、私たちが求めることを神が聞いてくださ
ると知っているなら、私たちは神に求めた願いを得た
ことを知っています。¹⁶

兄弟や姉妹が死に至らない罪を犯しているのを見
たら、その人のために祈りなさい。そうすれば、神
はその人に命を与えてくださいます。死に至る罪も

あります。そのために祈るようには言いません。
¹⁷

すべての不正は罪です。しかし、死に至らない罪も
あります。¹⁸

神から生まれた者は誰も罪を犯し続けません。神か
ら生まれた方がその人を守ってくださるので、悪い
者はその人に触れることができません。¹⁹

私たちは神から出た者であり、全世界が悪い者の支
配下にあることを知っています。²⁰

また、神の子が来られたことと、私たちに理解を与
えてくださったことを知っています。それは、私た
ちが真実な方を知るためです。そして、私たちは真
実な方の内にあり、その方の子イエス・キリストの
内にあります。この方こそ真実の神であり、永遠の
命です。²¹

子どもたちよ、偶像から自分を守りなさい。

ヨハネの手紙第二

1 長老から、
選ばれた婦人とその子供たちへ。私はあなたが
たを真実に愛しています。そして私だけでなく²
、真理を知るすべての人もそうです。
それは、私たちの中にある真理のためであり、それ³
は常に私たちと共にあるからです。
恵みと憐れみと平安が、真理と愛のうちに、父なる⁴
神と父の御子イエス・キリストから私たちのものと
なりますように。
あなたの子供たちの中に、父から命じられたとおりに⁵
真理のうちは歩んでいる者がいることを知って、
私は非常に喜んでいます。
さて、婦人よ、私は新しい戒めを書いているのでは⁶
なく、初めから私たちが持っていたもの、すなわち
互いに愛し合うことを求めます。
そしてこれが愛です。すなわち、私たちが神の戒めに⁷
従って歩むことです。これが戒めであり、あなたが
たが初めから聞いているとおりに、これに従って
歩むべきです。
多くの惑わす者が世に出てきており、イエス・キリ
ストが肉体をもって来られたことを認めない者たち

です。このような者は惑わす者であり、反キリスト⁸
です。
あなたがた自身に気をつけなさい。私たちが成し遂⁹
げたものを失わないようにし、完全な報いを受ける
ためです。
キリストの教えを越えて進み出て、それにとどまら¹⁰
ない者は神を持っていません。その教えにとどまる
者は、父と御子の両方を持っています。
もし誰かがあなたがたのところに来て、この教えを¹¹
持っていないなら、その者を家に迎え入れたり、挨
拶をしたりしてはいけません。
その者に挨拶をする者は、その悪い行いに加担する¹²
ことになります。
あなたがたに書きたいことは多くありますが、紙と¹³
インクを用いることはしたくありません。むしろ、
あなたがたのところに行って、顔と顔を合わせて話
したいのです。それによって、あなたがたの喜びが
満たされるように。
選ばれたあなたの姉妹の子供たちが挨拶を送ります
。

ヨハネの手紙第三

1 長老から、
真実の中で愛する親愛なるガイオへ。²
親愛なる友よ、あなたの魂が繁栄しているよう
に、すべての面で繁栄し、健康であるように祈りま
す。³
兄弟たちが来て、あなたの真実について証言したと
き、特にあなたが真実の中で生きていることについ
て、私は大いに喜びました。⁴
私の子供たちが真実の中で生きていると聞くことほ
ど大きな喜びはありません。⁵
親愛なる友よ、あなたは兄弟姉妹たちのために、彼
らが見知らぬ人であっても、忠実に行動しています
。⁶
彼らは教会の前であなたの愛について語りました。
あなたは、神を敬う方法で彼らを送り出すと良いで
しょう。⁷
彼らは御名のために出て行き、異邦人からの援助を
受け入れませんでした。⁸
したがって、私たちはそのような人々を支援するべ
きです。それによって、私たちは真実のための協力
者となるのです。⁹
私は教会に手紙を書きましたが、彼らの中で第一に

なりたがっているディオトレフェスは、私たちの権
威を認めません。¹⁰
このため、もし私が行くなら、彼がしていること、
つまり私たちについて悪意のあるナンセンスを広め
ていることを取り上げます。それに満足せず、彼は
兄弟たちを迎え入れることを拒み、そうしたいと思
う人々をも止め、教会から追い出しています。¹¹
親愛なる友よ、悪を模倣せず、善を模倣しなさい。
善を行う者は神から出た者であり、悪を行う者は神
を見たことがありません。¹²
デメトリオは皆から、そして真実そのものからも良
い評判を得ています。私たちも彼について良いこと
を言いますし、あなたも私たちの証言が信頼できる
ことを知っています。¹³
あなたに書くべきことがたくさんありますが、ペン
とインクでそうすることは控えたいと思います。¹⁴
すぐにあなたを訪ね、顔を合わせて話したいと思っ
ています。¹⁵
平和があなたと共にありますように。ここにいる友
人たちが挨拶を送ります。そちらの友人たちに名前
で挨拶をしてください。

ユダの手紙

1 イエス・キリストのしもべであり、ヤコブの兄弟であるユダから、召され、父なる神に愛され、イエス・キリストのために保たれている人々へ。²
あなたがたに、豊かなあわれみと平安と愛があるように。³
愛する者たちよ、共に受けた救いについてあなたがたに書きたいと熱望していたところ、聖徒たちに一度限りで伝えられた信仰のために、真剣に戦うように勧める必要を感じました。⁴
なぜなら、ある人々がひそかに忍び込んできたからです。彼らは昔からこの裁きに定められていた不敬虔な者たちで、私たちの神の恵みを放縱に変え、唯一の主権者であり主であるイエス・キリストを否定する者たちです。⁵
あなたがたがすべてのことを一度限りで知っているとはいえ、主がエジプトの地から民を救い出した後、信じなかった者たちを滅ぼされたことを思い出させたいのです。⁶
また、自分の領域を守らず、住むべき所を捨てた天使たちを、主は大いなる日の裁きのために、永遠の鎖で暗闇に閉じ込めておられます。⁷
ソドムとゴモラとその周辺の町々も、同じように不品行にふけり、異常な肉欲を追い求めたため、永遠の火の刑罰を受けて見せしめとなっています。⁸
同じように、これらの人々も夢に頼り、肉を汚し、権威を軽んじ、栄光ある者たちを冒涇します。⁹
しかし、大天使ミカエルでさえ、モーセの体について悪魔と争ったとき、彼に対して冒涇的な裁きを下すことを敢えてせず、「主がお前を戒められるように」と言いました。¹⁰
しかし、これらの人々は理解しないことを冒涇し、本能的に理解することによって滅びます。それは理性のない動物のようです。¹¹
彼らに災いあれ！彼らはカインの道を行き、利益のためにバラムの過ちに突進し、コラの反逆で滅びました。¹²
彼らはあなたがたの愛餐において汚点であり、恐れずに共に宴を楽しむ者たちです。彼らは自分のことしか考えない牧者であり、水のない雲であり、風に吹き流される者たちです。実を結ばない秋の木、二

度死んで根こそぎにされた者たちです。¹³
海の荒波であり、自分の恥を泡立たせる者たちです。彼らはさまよう星であり、彼らのために最も暗い闇が永遠に用意されています。¹⁴
アダムから七代目のエノクも彼らについて預言して言いました。「見よ、主は幾千もの聖なる者たちと共に来られる。¹⁵
すべての者を裁き、不敬虔な者たちが不敬虔に行ったすべての不敬虔な行いと、彼に対して語ったすべての厳しい言葉について、彼らを有罪とするためです。」¹⁶
彼らは不平を言う者たちであり、欠点を探す者たちであり、自分の悪しき欲望に従う者たちです。彼らは自分自身を誇り、利益のために他人をおだてます。¹⁷
しかし、愛する者たちよ、私たちの主イエス・キリストの使徒たちによって前もって語られた言葉を思い出しなさい。¹⁸
彼らはあなたがたに言いました。「終わりの時には、自分の不敬虔な欲望に従うあざける者たちが現れるでしょう。」¹⁹
彼らは分裂を引き起こす者たちであり、世俗的なことに集中し、御霊を持たない者たちです。²⁰
しかし、愛する者たちよ、最も聖なる信仰によって自分を築き上げ、聖霊によって祈りなさい。²¹
神の愛の中に自分を保ち、私たちの主イエス・キリストのあわれみを待ち望んで、永遠の命に至るようにしなさい。²²
疑いを持つ者たちに対しては、憐れみを示しなさい。²³
他の者たちを火から引き抜いて救いなさい。恐れを混ぜた憐れみを示し、汚れた肉によって汚された衣服さえも憎みなさい。²⁴
今、あなたがたをつまずかせずに守り、栄光の御前に大きな喜びをもって無垢な者として立たせることのできる方に—²⁵
私たちの救い主である唯一の神に、私たちの主イエス・キリストを通して、栄光、威厳、主権、権威が、すべての時代の前も、今も、永遠にありますように。アーメン。

ヨハネの黙示録

1 イエス・キリストの黙示、これは神が彼に与え、すぐに起こるべきことをその僕たちに示すためである。彼はその使いを送ってその僕ヨハネに知らせた。

2 彼は神の言葉とイエス・キリストの証し、すなわち彼が見たすべてのことを証した。

3 この預言の言葉を朗読する者と、それを聞いて守る者たちは幸いである。時が近づいているからである。

4 ヨハネから、アジアにある七つの教会へ。今おられ、かつておられ、やがて来られる方から、またその御座の前にいる七つの霊から、恵みと平安があなたがたにあるように。

5 また、忠実な証人、死者の中から最初に生まれ、地上の王たちの支配者であるイエス・キリストから。私たちを愛し、その血によって私たちを罪から解放してくださった方に—

6 私たちを王国とし、彼の神であり父である方に仕える祭司としてくださった方に、栄光と権威が永遠にあるように。アーメン。

7 見よ、彼は雲と共に来られる。すべての目が彼を見るであろう、彼を刺した者たちも。地上のすべての部族が彼のために嘆くであろう。そのようになるであろう！アーメン。

8 「私はアルファでありオメガである」と主なる神は言われる。「今おられ、かつておられ、やがて来られる方、全能者である。」
9 私は、あなたがたの兄弟であり、イエスにおける患難と王国と忍耐の仲間であるヨハネである。私は神の言葉とイエスの証しのためにパトモス島にいた。

10 私は主の日に御霊の中にあり、後ろにラッパのように響く大きな声を聞いた。
11 その声は、私に見たことを書き物にして、エペソ、スミルナ、ベルガモン、テアテラ、サルディス、フィラデルフィア、ラオデキアにある七つの教会に送るようにと命じた。

12 それから、私に語りかけている声を見ようとして振り向いた。すると、七つの金の燭台を見た。
13 その燭台の中に、人の子のような方がいて、足まで届く衣をまとい、胸には金の帯を締めていた。
14 その頭と髪の毛は羊毛のように白く、雪のように白く、その目は火の炎のようであった。
15 その足は炉で精錬された真鍮のように輝き、その声は多くの水の音のようであった。
16 その右手には七つの星を持ち、その口からは鋭い両

刃の剣が出ていた。その顔は強く輝く太陽のようであった。

17 彼を見たとき、私は死んだ者のように彼の足元に倒れた。すると、彼は右手を私に置いて言われた。「恐れるな。私は初めてであり、終わりであり、
18 生きている者である。私は死んだが、見よ、永遠に生きている。そして、死とハデスの鍵を持っている
19 。

それゆえ、あなたが見たこと、今あること、これから起こることを書き記せ。

20 あなたが私の右手に見た七つの星と七つの金の燭台について言えば、七つの星は七つの教会の天使たちであり、七つの燭台は七つの教会である。

2 「エペソにある教会の天使に書き送りなさい。右手に七つの星を持ち、七つの金の燭台の間を歩く者がこう言われる。

2 わたしはあなたの行いと労苦と忍耐を知っている。また、あなたが悪い人々を我慢できないことも知っている。あなたは自称使徒である者たちを試し、彼らが偽り者であることを見抜いた。

3 あなたはわたしの名のために忍耐し、疲れることなく耐え忍んできた。
4 しかし、あなたに対して責めるべきことがある。あなたは最初の愛を捨ててしまった。

5 あなたがどこから落ちたかを思い出し、悔い改めて最初の行いをしなさい。もし悔い改めないなら、わたしはあなたのところに行き、あなたの燭台をその場所から取り除く。

6 しかし、あなたにはこのことがある。あなたはニコライ派の行いを憎んでいる。わたしもそれを憎んでいる。

7 耳のある者は、御霊が諸教会に言われることを聞きなさい。勝利を得る者には、神の楽園にある命の木から食べることを許そう。

8 「スミルナにある教会の天使に書き送りなさい。最初であり最後である者、死んでまた生きた者がこう言われる。

9 わたしはあなたの苦難と貧しさを知っている。しかし、あなたは富んでいる。自称ユダヤ人では実はずでない者たちの中傷も知っている。彼らはサタンの会堂である。

10 あなたがこれから受けようとしている苦しみを恐れてはならない。見よ、悪魔があなたがたのうちの何人かを牢に投げ込もうとしている。それはあなたがたが試されるためであり、十日間の苦難を受けるであらう。死に至るまで忠実でありなさい。そうすれば、わたしはあなたに命の冠を与えよう。

11 耳のある者は、御霊が諸教会に言われることを聞きなさい。勝利を得る者は、第二の死によって害を受

ヨハネの黙示録

けることはない。¹²
「ペルガモにある教会の天使に書き送るなさい。鋭い両刃の剣を持つ者がこう言われる。¹³
わたしはあなたがどこに住んでいるかを知っている。そこはサタンの座があるところである。それでもあなたはわたしの名を堅く保ち、わたしの忠実な証人アンティパスがあなたがたの中で殺されたときでさえ、わたしへの信仰を否まなかった。そこはサタンが住んでいる場所である。¹⁴
しかし、あなたに対していくつか責めるべきことがある。あなたの中には、バラムの教えを持つ者たちがいる。彼はバラクにイスラエルの子らの前に偶像に供えた物を食べさせ、淫行を行わせるつまずきを置くよう教えた。¹⁵
同様に、あなたの中にはニコライ派の教えを持つ者たちもいる。¹⁶
だから、悔い改めなさい。そうでなければ、わたしはすぐにあなたのところに行き、わたしの口の剣で彼らと戦う。¹⁷
耳のある者は、御霊が諸教会に言われることを聞きなさい。勝利を得る者には、隠されたマナを与えよう。また、その者には白い石を与え、その石には受け取る者だけが知っている新しい名が書かれている。¹⁸
。「テアテラにある教会の天使に書き送るなさい。目が燃える炎のようで、足が磨かれた青銅のような神の子がこう言われる。¹⁹
わたしはあなたの行いと愛と信仰と奉仕と忍耐を知っている。そして、あなたの最近の行いが最初のものよりも優れていることも知っている。²⁰
それにもかかわらず、あなたに対して責めるべきことがある。あなたは自称預言者である女イゼベルを許している。彼女はわたしのしもべたちを惑わし、淫行を行わせ、偶像に供えた物を食べさせている。²¹
わたしは彼女にその淫行から離れる時間を与えたが、彼女は悔い改めようとしなかった。²²
見よ、わたしは彼女を苦しみの床に投げ入れる。また、彼女と姦淫を行う者たちも、彼女の行いを悔い改めない限り、激しい苦しみを受ける。²³
わたしは彼女の子供たちを殺す。そうすれば、すべての教会は、わたしが心と意思を探る者であり、あなたがた一人ひとりにその行いに応じて報いる者であることを知るであろう。²⁴
今、テアテラにいるあなたがたのうち、彼女の教えを持たず、サタンの深い秘密と呼ばれるものを学んでいない他の者たちに言う。わたしはあなたがたに他の重荷を負わせない。²⁵
ただ、わたしが来るまで、あなたが持っているもの

をしつかりと保ちなさい。²⁶
勝利を得る者、そして最後までわたしの意志を行う者には、国々を治める権威を与えよう—²⁷
その者は『鉄の杖で彼らを治め、陶器のように砕く』であろう—
ちょうどわたしが父から権威を受けたように。²⁸
わたしはまた、その者に明けの明星を与えよう。²⁹
耳のある者は、御霊が諸教会に言われることを聞きなさい。

3 「サルディスにある教会の天使に書き送るなさい。神の七つの霊と七つの星を持つ者の言葉。
私はあなたの行いを知っている。あなたは生きていては評判があるが、実は死んでいる。²
目を覚まし、死にかけている残りのものを強めなさい。私はあなたの行いが私の神の前で不完全であることを見つけたからです。³
だから、あなたが受けたこと、聞いたことを思い出し、それをしっかりと守り、悔い改めなさい。もし目を覚ましていないなら、私は盗人のように来る。そして、あなたは私がいつ来るかを知らない。⁴
しかし、サルディスには自分の衣を汚していない者が少しいる。彼らは白い衣を着て私と共に歩む。彼らは価値があるからです。⁵
勝利を得る者は彼らのように白い衣を着せられ、私は彼らの名を命の書から消しはしない。むしろ、私の父とその天使たちの前で彼らの名を認める。⁶
耳のある者は、御霊が教会に言うことを聞きなさい。⁷
。「フィラデルフィアにある教会の天使に書き送るなさい。聖なる者、真実な者、ダビデの鍵を持つ者の言葉。彼が開くものは誰も閉じることができず、彼が閉じるものは誰も開くことができない。⁸
私はあなたの行いを知っている。見よ、私はあなたの前に誰も閉じることのできない開かれた門を置いた。あなたには少しの力があるが、私の言葉を守り、私の名を否認しなかった。⁹
私は、サタンの会堂に属する者たち、ユダヤ人であると主張しながらそうでない者たち、偽り者たちを、あなたの足元に来てひれ伏させ、私をあなたを愛していることを認めさせる。¹⁰
あなたが忍耐を守ったので、私は地上の住民を試すために全世界に来ようとしている試練の時からあなたを守る。¹¹
私はすぐに来る。あなたが持っているものをしっかりと守り、誰にもあなたの冠を奪われないようにしなさい。¹²
勝利を得る者を私の神の神殿の柱とし、彼らは決してそこを去ることはない。私は彼らに私の神の名と、私の神の都、新しいエルサレムの名、私の神から

ヨハネの黙示録

天から下ってくるその名を書き記す。また、私の新しい名も彼らに書き記す。¹³

耳のある者は、御霊が教会に言うことを聞きなさい。¹⁴

「ラオデキアにある教会の天使に書き送りなさい。アーメン、忠実で真実な証人、神の創造の始まりの者の言葉。¹⁵

私はあなたの行いを知っている。あなたは冷たくもなく熱くもない。私はむしろあなたが冷たくあるか熱くあることを望む。¹⁶

だから、あなたは生ぬるく、熱くも冷たくもないので、私はあなたを口から吐き出そうとしている。¹⁷ あなたは『私は富んでいる。富を得て何も必要としない』と言う。しかし、あなたは自分が惨めで、衰れで、貧しく、盲目で、裸であることを知らない。¹⁸

私はあなたに、火で精錬された金を私から買い、富むようにし、白い衣を着て恥ずかしい裸を隠し、目に塗る目薬を買って見えるようにすることを勧める。¹⁹

私は愛する者を叱責し、懲らしめる。だから、熱心になり、悔い改めなさい。²⁰

見よ、私は戸の外に立って叩いている。誰でも私の声を聞いて戸を開けるなら、私はその人のところに入り、彼と共に食事をし、彼も私と共に食事をする。²¹

勝利を得る者には、私と共に私の王座に座る権利を与える。ちょうど私が勝利を得て、私の父と共にその王座に座ったように。²²

耳のある者は、御霊が教会に言うことを聞きなさい。」

4 これらの出来事の後、私は見た。すると、天に開かれた戸があった。最初に聞いたラッパのような声が言った。「ここに上がって来なさい。そうすれば、これらの後に起こるべきことをあなたに示そう。」²

たちまち私は御霊の中にいた。すると、天に一つの御座が設けられており、その上に座っている方がいた。³

そこに座っている方は、碧玉と赤玉のような姿をしており、エメラルドに似た虹が御座を囲んでいた。⁴

御座の周りには二十四の座があり、それらの座には二十四人の長老が座っていた。彼らは白い衣を着ており、頭には金の冠をかぶっていた。⁵

御座からは稲妻と声と雷鳴が発していた。御座の前には七つの灯火が燃えており、これが神の七つの霊である。⁶

御座の前には、水晶のように澄んだガラスの海のよ

うなものがあった。そして、御座の中央と周りには、前後に目が満ちた四つの生き物がいた。⁷

第一の生き物は獅子のようであり、第二の生き物は子牛のようであり、第三の生き物は人の顔をしており、第四の生き物は飛ぶ鳥のようであった。⁸

四つの生き物はそれぞれ六つの翼を持ち、周りと内側には目が満ちていた。そして昼も夜も絶えず言い続けていた。

「聖なるかな、聖なるかな、聖なるかな、
全能の神である主、
昔あり、今あり、後に來たる方。」

⁹ 生き物が、永遠に生きておられる御座に座っている方に栄光と誉れと感謝をささげるとき、¹⁰ 二十四人の長老は御座に座っている方の前にひれ伏し、永遠に生きておられる方を拝む。そして彼らの冠を御座の前に置いて言う。

¹¹ 「主よ、我らの神よ、
あなたは栄光と誉れと力を受けるにふさわしい方です。
あなたが万物を創造されたからです。
あなたの御心によって、それらは存在し、創造されました。」

5 私は、玉座に座っている方の右手に、内側にも外側にも文字が書かれ、七つの封印で封じられた巻物を見ました。²

それから、力強い声で「誰がこの巻物を開き、その封印を解くにふさわしいのか？」と叫ぶ強い天使を見ました。³

しかし、天にも地にも地の下にも、その巻物を開くことも、それを見ることもできる者はいませんでした。⁴

私は、巻物を開くことも、それを見ることもできるにふさわしい者が見つからなかったので、激しく泣きました。⁵

すると、長老の一人が私に言いました。「泣かないでください！見よ、ユダ族の獅子、ダビデの根が勝利を得ました。彼が巻物とその七つの封印を開くことができます。」⁶

そして、私は玉座と四つの生き物と長老たちの間に立っている小羊を見ました。それは、屠られたように見えました。それには七つの角と七つの目があり、それは全地に遣わされた神の七つの霊です。⁷

彼は進み出て、玉座に座っている方の右手から巻物を受け取りました。⁸ 彼が巻物を受け取ったとき、四つの生き物と二十四人の長老は小羊の前にひれ伏しました。彼らはそれぞれハーブと、香のいっぱい入った金の鉢を持って

ヨハネの黙示録

いました。それは神の民の祈りです。⁹
そして彼らは新しい歌を歌いました。言いました：

「あなたは巻物を取り、それを開くにふさわしい方です。

あなたは屠られ、あなたの血で神のために人々を買い取られました。

すべての部族、言語、民、国から。¹⁰

あなたは彼らを王国とし、私たちの神に仕える祭司とされました。

そして彼らは地上で王となるでしょう。」

¹¹
それから私は見、玉座と生き物と長老たちを囲む多くの天使の声を聞きました。その数は千々、万々でした。¹² 彼らは大声で言っていました：

「屠られた小羊は、
力、富、知恵、力、誉れ、栄光、祝福を受けるにふさわしい！」

¹³
そして、私は天に、地に、地の下に、海にいるすべての被造物とそこにあるすべてのものが言うのを聞きました：

「玉座に座っておられる方と小羊に、
祝福と誉れと栄光と支配が永遠にありますように！」

¹⁴
四つの生き物は「アーメン」と言い、長老たちはひれ伏して礼拝しました。

6 小羊が七つの封印のうちの一つを開いたとき、私は見た。そして、四つの生き物の一つが雷のような声で言うのを聞いた、「来なさい！」²

私は見た、すると白い馬がいた！その乗り手は弓を持っており、冠が彼に与えられ、彼は勝利を得てさらに勝利するために出発した。³

小羊が第二の封印を開いたとき、私は第二の生き物が言うのを聞いた、「来なさい！」⁴

すると、もう一頭の馬が現れた、燃えるような赤い馬だ。その乗り手には地から平和を奪う力が与えられ、人々が互いに殺し合うようになった。そして、大きな剣が彼に与えられた。⁵

小羊が第三の封印を開いたとき、私は第三の生き物が言うのを聞いた、「来なさい！」私は見た、すると黒い馬がいた！その乗り手は手に天秤を持っていた。⁶

すると、四つの生き物の間からのように聞こえる声があった、「小麦一クォートは一デナリ、そして大麦三クォートは一デナリ；油とぶどう酒を害しては

ならない。」⁷

小羊が第四の封印を開いたとき、私は第四の生き物の声が言うのを聞いた、「来なさい！」⁸

私は見た、すると青ざめた馬がいた！その乗り手の名は死であり、ハデスが彼のすぐ後に従っていた。彼らには地の四分の一を剣、飢饉、疫病、そして地の野獣によって殺す権威が与えられた。⁹

小羊が第五の封印を開いたとき、私は祭壇の下に、神の言葉のために殺された者たちの魂を見た。¹⁰ 彼らは大声で叫んだ、「いつまで、主よ、聖なる真実な方よ、地の住民を裁き、私たちの血を復讐してくださいませんか？」¹¹

すると、彼ら一人一人に白い衣が与えられ、彼らはもうしばらくの間休むように言われた、彼らの同じしもべたちと兄弟姉妹たちの数が、彼らと同じように殺されるまで満たされるまで。¹²

彼が第六の封印を開いたとき、私は見た。大地震があり、太陽は毛で作られた粗布のように黒くなり、月全体が血のように赤くなった。¹³

そして、空の星々は地に落ちた、強い風に揺さぶられたイチジクの木が未熟な実を落とすように。¹⁴ 空は巻物が巻き上げられるように消え去り、すべての山と島が移動した。¹⁵

すると、地の王たち、貴族たち、司令官たち、富者たち、権力者たち、そして他のすべての者、奴隷も自由人も、洞窟や山の岩の間に隠れた。¹⁶

彼らは山と岩に呼びかけた、「私たちの上に落ちて、玉座に座る方の御顔と小羊の怒りから私たちを隠してください！」¹⁷

彼らの怒りの大いなる日が来たのです、そして誰がそれに耐えられるでしょうか？」

7 この後、私は四人の天使が地の四隅に立っているのを見た。彼らは地の四つの風を押さえて、風が地にも海にも、どんな木にも吹かないようにしていた。²

また、私はもう一人の天使が東から上ってくるのを見た。その天使は生ける神の印を持っていた。彼は地と海を害する力を与えられた四人の天使に大声で叫んだ。³

「私たちが私たちの神のしもべたちの額に印を押すまで、地にも海にも木々にも害を与えてはならない。」⁴

そして、私は印を押された者たちの数を聞いた。それは、イスラエルの子らのすべての部族から印を押された者が十四万四千人であった。

⁵ ユダの部族から印を押された者、十二千人、
ルベンの部族から、十二千人、
ガドの部族から、十二千人、⁶

ヨハネの黙示録

アシェル⁹の部族から印を押された者、十二千人、
ナフタリの部族から、十二千人、
マナセの部族から、十二千人、⁷
シメオンの部族から印を押された者、十二千人、
レビの部族から、十二千人、
イッサカルの部族から、十二千人、⁸
ゼブルンの部族から、十二千人、
ヨセフの部族から、十二千人、
ベニヤミンの部族から印を押された者、十二千人
。

9

これらの出来事の後、私は見た。すると、誰も数えることのできない大群衆が、あらゆる国民、部族、民族、言語から来て、御座の前と小羊の前に立っていた。彼らは白い衣を着て、手にシュロの枝を持っていた。¹⁰そして、彼らは大声で叫んだ。

「救いは、御座に座っておられる私たちの神と小羊にある。」

11

すべての天使たちは御座の周りに立っており、長老たちと四つの生き物もいた。そして、彼らは御座の前にひれ伏して神を礼拝した。¹²言った。

「アーメン！ 祝福、栄光、知恵、感謝、誉れ、力、そして力が
私たちの神に永遠にありますように。
アーメン。」

13

すると、長老の一人が私に話しかけて、「白い衣を着ているこれらの者たちは誰で、どこから来たのか」と尋ねた。¹⁴

私は答えた。「主よ、あなたがご存じです。」すると彼は私に言った。「これらの者たちは大きな患難から出てきた者たちであり、彼らの衣を洗って小羊の血で白くしたのです。」

15

それゆえ、彼らは神の御座の前にいて、昼も夜も神の宮で仕えているのです。御座に座っておられる方が彼らをその臨在で覆われます。¹⁶

彼らはもはや飢えることも渴くこともなく、太陽が彼らを打つことも、どんな焼けつく暑さもありません。¹⁷

御座の中央にいる小羊が彼らの牧者となり、命の水の泉に導かれるからです。そして、神が彼らの目からすべての涙をぬぐわれます。」

8 子羊が第七の封印を解いたとき、天に約半時間の静けさがあった。²

それから、神の前に立っている七人の天使たちを見た。彼らには七つのラッパが与えられた。³もう一人の天使が金の香炉を持って来て、祭壇の前に立った。彼は多くの香を与えられ、すべての聖徒の祈りとともに、玉座の前の金の祭壇に捧げるためであった。⁴

香の煙は、聖徒たちの祈りとともに、天使の手から神の前に上った。⁵

それから、天使は香炉を取り、祭壇の火でそれを満たし、地に投げつけた。すると、雷鳴、轟き、稲妻、そして地震が起こった。⁶

そして、七つのラッパを持っていた七人の天使たちは、それを吹く準備をした。⁷

第一の天使がラッパを吹いた。すると、血と混じった雹と火があり、それが地に投げつけられた。地の三分の一が焼け、木の三分の一が焼け、すべての青草が焼けた。⁸

第二の天使がラッパを吹いた。すると、火で燃えている大きな山のようなものが海に投げ込まれた。海の三分の一が血に変わった。⁹

海の生き物の三分の一が死に、船の三分の一が破壊された。¹⁰

第三の天使がラッパを吹いた。すると、たいまつのように燃えている大きな星が天から落ちてきて、川の三分の一と水の源に落ちた。¹¹

その星はニガヨモギと呼ばれる。水の三分の一が苦くなり、多くの人々がその水のために死んだ。なぜなら、それが苦くなったからである。¹²

第四の天使がラッパを吹いた。すると、太陽の三分の一、月の三分の一、星の三分の一が打たれた。それで、三分の一が暗くなり、昼の三分の一が輝かず、夜も同様であった。¹³

それから私は見た。そして、天の中空を飛ぶ鷲が大声で言うのを聞いた。「地に住む者たちに災いあれ、災いあれ、災いあれ、残りの三人の天使が吹こうとしているラッパの音のために！」

9 第五の天使がラッパを吹き鳴らしたとき、私は天から地に落ちた星を見た。彼には底知れぬ穴の鍵が与えられた。²

彼が底知れぬ穴を開けると、そこから大きな炉の煙のような煙が立ち上り、太陽と空気がその穴からの煙で暗くなった。³

その煙の中からイナゴが地上に出てきて、彼らには地のサソリのような力が与えられた。⁴

彼らは地の草や、どんな緑のもの、どんな木も害してはならないと命じられた。ただし、神の印が額にない人々だけを害するようにと。⁵

ヨハネの黙示録

彼らは人々を五か月間苦しめることは許されたが、殺すことは許されなかった。彼らに与える苦しみは、サソリが刺すときのようなものであった。⁶
その日には、人々は死を求めるが見つからず、死にたいと願うが、死は彼らを避けるであろう。⁷
イナゴの姿は、戦いのために備えられた馬のようであった。彼らの頭には金の冠のようなものがあり、顔は人間の顔のようであった。⁸
彼らの髪は女の髪のようにであり、歯はライオンの歯のようであった。⁹
彼らは鉄の胸当てのような胸当てを持ち、彼らの翼の音は、多くの馬と戦車が戦いに急ぐ音のようであった。¹⁰
彼らはサソリのような刺し針を持つ尾を持ち、その尾には人々を五か月間苦しめる力があつた。¹¹
彼らの王は底知れぬ穴の天使であり、彼の名はヘブライ語でアバドン、ギリシャ語でアポリオンである。¹²
第一の災いは過ぎ去った。見よ、まだ二つの災いが来ようとしている。¹³
第六の天使がラッパを吹き鳴らしたとき、私は神の前の金の祭壇の四つの角から声を聞いた。¹⁴
その声はラッパを持つ第六の天使に、「太いなる川ユーフラテスに縛られている四人の天使を解き放て」と命じた。¹⁵
その四人の天使は、時、日、月、年のために備えられており、人類の三分の一を殺すために解き放れた。¹⁶
騎兵の数は二億であった。私はその数を聞いた。¹⁷
これは私が幻の中で見た馬と騎兵の姿である。騎兵は火のような赤、暗い青、硫黄の黄色の胸当てを着ていた。馬の頭はライオンの頭のようであり、その口から火、煙、硫黄が出ていた。¹⁸
これらの口から出る火、煙、硫黄の三つの災いによって、人類の三分の一が殺された。¹⁹
馬の力はその口と尾にあった。彼らの尾は蛇のようであり、頭を持ち、それで害を与えた。²⁰
これらの災いで殺されなかった人類の残りの者たちは、なおも自分たちの手の業を悔い改めず、悪霊や、見ることも聞くことも歩くこともできない金、銀、銅、石、木の偶像を拝み続けた。²¹
また、彼らは自分たちの殺人、魔術、淫行、盗みを悔い改めなかった。

10 私はもう一人の強い天使が天から降りてくるのを見た。その天使は雲をまとい、頭には虹がかかっていた。顔は太陽のように輝き、足は火の柱のようであった。²
彼の手には小さな巻物が開かれていた。彼は右足を海に、左足を地に置いた。³

彼は獅子が吠えるような大声で叫んだ。そして彼が叫ぶと、七つの雷の音が響いた。⁴
七つの雷が響いたとき、私は書き留めようとしたが、「七つの雷が語ったことを封じて、それを書き記してはならない」と天からの声を聞いた。⁵
それから、私が見た海と地に立っている天使が右手を天に上げた。⁶
そして、永遠に生きておられる方、天とそこにあるもの、地とそこにあるもの、海とそこにあるものを創造された方にかけて誓った。「もはや時が延ばされることはない。⁷
しかし、第七の天使がラッパを吹こうとする日には、神の奥義が完成される。それは神がご自分のしもべである預言者たちに告げられたとおりである。」⁸
それから、私が天から聞いた声が再び私に語りかけた。「行って、海と地に立っている天使の手にある開かれた巻物を取りなさい。」⁹
そこで私は天使のところに行つて、その小さな巻物をくださいと言った。すると彼は私に言った。「取って食べなさい。それはあなたの胃を苦くするが、口には蜜のように甘い。」¹⁰
私は天使の手から小さな巻物を取り、それを食べた。それは口には蜜のように甘かったが、食べ終わると胃が苦くなった。¹¹
それから私は、「あなたは多くの民族、国民、言語、王たちについて再び預言しなければならない」と言われた。

11 私は杖のような測り竿を与えられ、「立ち上がって神の神殿と祭壇、そしてそこで礼拝する者たちを測りなさい」と指示されました。²
しかし、外庭は除いて測つてはならない。それは異邦人に与えられているからである。彼らは聖なる都を四十二か月間踏みにじるであろう。³
そして、私は私の二人の証人に権威を与え、彼らは**1,260**日間、荒布をまといて預言するであろう。」⁴
これらは地の主の前に立つ二本のオリーブの木と二つの燭台である。⁵
もし誰かが彼らを害しようとするなら、火が彼らの口から出て敵を焼き尽くす。このようにして、彼らを害しようとする者は必ずこの方法で殺されなければならない。⁶
彼らは預言している間、雨が降らないように天を開ける力を持っており、また水を血に変える権威を持ち、彼らが望むときにいつでも地をあらゆる災害で打つことができる。⁷
彼らが証を終えたとき、底なしの穴から上がってく

ヨハネの黙示録

る獣が彼らと戦い、彼らに勝って殺すであろう。⁸
彼らの死体は、霊的にソドムとエジプトと呼ばれる
大いなる都の通りに横たわるであろう。そこは彼ら
の主も十字架につけられた場所である。⁹
三日半の間、あらゆる部族、言語、国の人々が彼ら
の死体を見て、彼らを墓に葬ることを拒むであろう
。¹⁰
地に住む者たちは彼らのことで喜び楽しみ、互いに
贈り物を送り合うであろう。なぜなら、これらの二
人の預言者が地に住む者たちを悩ませたからである
。¹¹
三日半の後、神からの命の息が彼らに入り、彼らは
足で立ち上がり、彼らを見た者たちに大いなる恐れ
が襲った。¹²
そのとき、彼らは天からの大声を聞いて、「ここに
上れ」と言われた。そして彼らは雲に乗って天に上
り、敵たちはそれを見た。¹³
その瞬間、大地震が起こり、都の十分の一が崩壊し
た。地震で七千人が死に、生き残った者たちは恐れ
て天の神に栄光を帰した。¹⁴
第二の災いは過ぎ去った。見よ、第三の災いが速や
かに来る。¹⁵
第七の天使がラッパを吹き鳴らした。そして天に大
声が響き渡り、こう宣言した。

「世界の王国は
我らの主とそのメシアの王国となった。
彼は永遠に支配される。」

¹⁶
そして、神の前に座っている二十四人の長老たちは
、顔を伏せて神を礼拝した。¹⁷ 彼らは宣言した。

「全能の神、主よ、
いますものであり、かつていたものである方よ、
あなたは大きな力を取って
支配を始められたことに感謝します。¹⁸
諸国民は怒ったが、あなたの怒りが来た。
死者を裁く時が来た。

あなたのしもべである預言者たちと
聖徒たち、あなたの名を恐れる者たち、
小さな者も大きな者も報いを受ける時が来た。
地を滅ぼす者たちを滅ぼす時が来た。」

¹⁹
すると、天にある神の神殿が開かれ、彼の契約の箱
がその神殿の中に見えた。稲妻が光り、雷鳴が鳴り
響き、地震が起こり、大きな雹が降った。

12 大いなるしるしが天に現れた。太陽をまとい、
月を足の下にし、頭に十二の星の冠をかぶった女がいた。²

彼女は身ごもっており、産みの苦しみと痛みの中で
叫んでいた。³
すると、もう一つのしるしが天に現れた。見よ、大
きな赤い龍が七つの頭と十の角を持ち、その頭には
七つの冠があった。⁴
その尾は天の星の三分の一を払い落として地に投げ
た。龍は出産しようとしている女の前に立ち、生ま
れた子を食い尽くそうとしていた。⁵
彼女は男の子を産んだ。その子は鉄の杖で全ての国
を治める者であった。彼女の子は神とその御座のも
とに引き上げられた。⁶
女は荒野に逃げた。そこには神によって彼女のため
に備えられた場所があり、彼女はそこで1,260日
の間養われることになっていた。⁷
そして天で戦いが起こった。ミカエルと彼の天使た
ちが龍と戦い、龍とその天使たちも戦った。⁸
しかし彼らは勝てず、天にはもはや彼らの居場所は
なかった。⁹
その大いなる龍、すなわち悪魔またはサタンと呼ば
れる古い蛇、全世界を惑わす者が投げ落とされた。
彼は地に投げ落とされ、彼の天使たちも共に投げ落
とされた。¹⁰
その時、私は天で大きな声がこう言うのを聞いた。

「今や、我らの神の救いと力と
王国とそのキリストの権威が来た。
我らの兄弟姉妹を告発する者、
昼も夜も我らの神の前で彼らを告発する者が
投げ落とされたからである。¹¹ 彼らは小羊の血と
彼らの証の言葉によって彼を打ち負かした。
彼らは命を惜しまず、
死に至るまで愛さなかった。¹²
それゆえ、天とその中に住む者たちよ、喜べ！
しかし地と海には災いがある。
悪魔が大きな怒りを持ってあなたがたのところに
降りてきたからである。
彼は自分の時間が短いことを知っている。」

¹³
龍は自分が地に投げ落とされたことを知ると、男の
子を産んだ女を追いかけた。¹⁴
女は大きな鷲の二つの翼を与えられ、荒野に備えら
れた場所に飛んで行き、そこでは蛇の顔から離れて
、時、時々、半時の間養われることになっていた。¹⁵
蛇は女の後ろに川のような水を口から吐き出し、彼
女を洪水で押し流そうとした。¹⁶
しかし地は女を助け、その口を開いて龍が口から吐
き出した川を飲み込んだ。¹⁷
すると龍は女に対して激しく怒り、神の戒めを守り

ヨハネの黙示録

、イエスについての証を堅く保つ彼女の他の子孫と戦うために出て行った。

13 竜は海辺の砂の上に立っていた。そして私は、海から上がってくる獣を見た。それは十の角と七つの頭を持ち、その角には十の冠があり、その頭には神を冒瀆する名があった。² 私が見た獣はヒョウのようであり、その足は熊の足のようであり、その口はライオンの口のようであった。竜はその力、その王座、大いなる権威をその獣に与えた。³ その頭の一つは致命的に傷つけられたように見えたが、その致命的な傷は治った。全地は驚嘆して獣に従った。⁴ 人々は獣に権威を与えた竜を拝み、また獣を拝んで言った、「誰がこの獣に似ているか、誰がこれと戦うことができるか？」⁵ それは高慢な言葉と冒瀆を語る口を与えられ、四十二か月の間行動する権威を与えられた。⁶ それは口を開いて神を冒瀆し、その名とその住まい、天に住む者たちを中傷した。⁷ それは聖徒たちと戦ってこれを打ち負かすことを許され、あらゆる部族、民族、言語、国民を支配する権威を与えられた。⁸ 地に住む者たちは皆、命の書に名が記されていない者たち、すなわち世界の基が据えられた時から屠られた子羊を拝むであろう。⁹ 耳のある者は聞くがよい。

¹⁰ 「捕囚に定められた者は、捕囚に行くであろう。剣で殺す者は、剣で殺されなければならない。」

これは聖徒たちの忍耐と信仰を必要とする。¹¹ そして私は、地から上がってくるもう一つの獣を見た。それは小羊のような二つの角を持っていたが、竜のように話した。¹² それは最初の獣の代理としてそのすべての権威を行せしめ、地とその住民に、致命的な傷が治った最初の獣を拝ませた。¹³ それは大いなるしるしを行い、人々の目の前で天から地に火を降らせた。¹⁴ それは最初の獣の代理として行うことを許されたしるしによって、地に住む者たちを惑わした。そして剣の傷を受けながらも生きている獣を称える像を作るように命じた。¹⁵ それは獣の像に息を吹き込み、その像が話し、像を拝まない者をすべて殺すことができるようにする力を与えられた。¹⁶ それは小さな者も大きな者も、富める者も貧しい者も、自由な者も奴隸も、すべての人に右手または額

に刻印を受けさせた。¹⁷ それは、獣の名またはその名の数字を持つ者以外は誰も買うことも売ることできないようにした。¹⁸ ここに知恵がある。理解のある者は獣の数字を計算せよ。それは人間の数字である。その数字は**666**である。

14 それから私は見た。見よ、小羊がシオン山の上に立っており、彼と共に十四万四千人がいて、彼の名とその父の名が彼らの額に書かれていた。² また、私は天からの声を聞いた。それは多くの水の轟きのようであり、また大きな雷鳴のようであった。私が聞いたその声は、琴を弾く者たちが琴を弾く音のようであった。³ 彼らは御座の前で、新しい歌を歌った。また四つの生き物と長老たちの前で歌った。そして、その歌を学ぶことができる者は、地から贖われた十四万四千人のほかにはいなかった。⁴ これらは女と交わって身を汚していない者たちであり、彼らは純潔である。彼らは小羊が行く所にはどこにでも従って行く。彼らは人々の中から神と小羊に初穂として贖われた者たちである。⁵ 彼らの口には偽りが見つからなかった。彼らは欠けたところがない。⁶ それから私はもう一人の天使が空の中を飛んでいるのを見た。彼は地に住む者たち、すなわちあらゆる国民、部族、言語、民族に宣べ伝えるための永遠の福音を持っていた。⁷ 彼は大声で言った。「神を恐れ、彼に栄光を帰せよ。彼の裁きの時が来たからである。天と地と海と水の源を造られた方を礼拝せよ。」⁸ また別の、第二の天使が続いて言った。「倒れた、大いなるバビロンが倒れた。彼女はその淫行の怒りのぶどう酒をすべての国民に飲ませた者である。」⁹ それから別の、第三の天使が彼らに続いて、大声で言った。「もし誰かが獣とその像を拝み、その額や手に刻印を受けるならば、¹⁰ その者もまた、神の怒りのぶどう酒を飲むことになる。それは彼の怒りの杯に純粋に注がれている。彼らは聖なる天使たちと小羊の前で火と硫黄で苦しめられる。¹¹ そして彼らの苦しみの煙は永遠に上り続ける。獣とその像を拝む者、またその名の刻印を受ける者には、昼も夜も休みがない。」¹² ここに神の戒めを守り、イエスへの信仰を持つ聖徒たちの忍耐がある。¹³ また私は天からの声を聞いた。「書け、『今から後、主において死ぬ死者は幸いである。』」「そうで

ヨハネの黙示録

す」と御霊は言われる。「彼らはその労苦から休むことができる。彼らの行いが彼らに従うからである。」¹⁴

それから私は見た。見よ、白い雲があり、雲の上に人の子のような者が座っていた。その頭には金の冠があり、その手には鋭い鎌があった。¹⁵

また別の天使が神殿から出てきて、雲に座っている方に大声で叫んだ。「あなたの鎌を入れて刈り取ってください。刈り取る時が来たからです。地の収穫は熟しているからです。」¹⁶

それで雲に座っている方が地に鎌を振ると、地は刈り取られた。¹⁷

また別の天使が天にある神殿から出てきた。彼もまた鋭い鎌を持っていた。¹⁸

それから火を司る権威を持つ別の天使が祭壇から出てきて、鋭い鎌を持つ者に大声で叫んで言った。「あなたの鋭い鎌を入れて、地のぶどうの房を集めてください。そのぶどうは熟しているからです。」¹⁹

それで天使は地に鎌を振るい、地のぶどうの房を集めて、神の怒りの大きな酒ぶねに投げ入れた。²⁰そして酒ぶねは町の外で踏まれ、血が酒ぶねから流れ出て、馬のくつわに届くほどになり、千六百スタディオンの距離にわたった。

15 私はまた、天に大いなる驚くべきしるしを見た。それは、最後の七つの災いを持つ七人の天使たちであり、それによって神の怒りが完了する。²

私はまた、火が混じったガラスの海のようなものを見た。そして、獣とその像とその名の数に打ち勝った者たちが、神から与えられた琴を持ってガラスの海の上に立っていた。³

彼らは神のしもべモーセの歌と子羊の歌を歌って言った、

「主なる神、全能者よ、
あなたのみわざは偉大で驚くべきものです。
あなたの道は正しく真実です、諸国の王よ。⁴
主よ、誰があなたを恐れず、あなたの名を崇めないでしょうか。あなただけが聖なる方です。
すべての国々があなたの前に来て礼拝します、
あなたの正しい行いが明らかにされたからです。」⁵

これらの後、私は見た。天にある証しの幕屋の神殿が開かれた。⁶

七つの災いを持つ七人の天使たちが神殿から出てきた。彼らは清く輝く亜麻布をまとい、胸には金の帯を締めていた。⁷

四つの生き物の一つが、永遠に生きておられる神の

怒りで満たされた七つの金の鉢を七人の天使たちに与えた。⁸

神殿は神の栄光とその力からの煙で満たされ、七人の天使たちの七つの災いが完了するまで、誰も神殿に入ることができなかった。

16 それから、私は神殿から大きな声がするのを聞いた。それは七人の天使たちに、「行け、神の怒りの七つの鉢を地に注げ」と命じていた。²

第一の天使が行って、その鉢を地に注いだ。すると、獣の刻印を持ち、その像を拝む人々に、悪性で痛みを伴う腫れ物ができた。³

第二の天使がその鉢を海に注いだ。すると、それは死んだ者の血のようになり、海のすべての生き物が死んだ。⁴

第三の天使がその鉢を川と水の泉に注いだ。すると、それらは血になった。⁵すると、水を司る天使が言うのを聞いた、

「義なる方、今おられ、かつておられた聖なる方よ、
あなたはこれらの裁きを下されたので、正しいのです。⁶

彼らは聖徒と預言者たちの血を流したので、
あなたは彼らに血を飲ませたのです、
彼らはそれに値するのです。」

⁷そして、祭壇が言うのを聞いた、

「はい、全能の神、主よ、
あなたの裁きは真実で正しいのです。」⁸

第四の天使がその鉢を太陽に注いだ。すると、人々を火で焼く力が与えられた。⁹

人々は激しい熱で焼かれ、これらの災いを支配する神の名を冒涇したが、彼に栄光を帰すために悔い改めなかった。¹⁰

第五の天使がその鉢を獣の王座に注いだ。すると、その王国は暗闇に覆われ、人々は苦しみで舌を嚥んだ。¹¹

そして、彼らは痛みと腫れ物のために天の神を冒涇したが、その行いを悔い改めなかった。¹²

第六の天使がその鉢を大河ユーフラテスに注いだ。すると、その水が干上がり、東から来る王たちの道が整えられた。¹³

そして、私は竜と獣と偽預言者の口から、蛙のような三つの汚れた霊が出てくるのを見た。¹⁴

これらは印を行う悪霊であり、全世界の王たちのもとに出て行き、全能の神の大いなる日の戦いのために彼らを集める。¹⁵

ヨハネの黙示録

「見よ、私は盗人のように来る。目を覚まして自分の衣を守る者は幸いである。そうすれば、裸で歩き回って恥をさらすことがない。」¹⁶

そして、彼らはヘブライ語でハルマゲドンと呼ばれた場所に王たちを集めた。¹⁷

第七の天使がその鉢を空中に注いだ。すると、神殿の中から、玉座から、大きな声が出て、「成った」と言った。¹⁸

すると、稲妻がひらめき、雷鳴がとどろき、激しい地震が起こった。人類が地上に存在して以来、このような大地震はかつてなかったほどの大きさであった。¹⁹

大いなる都は三つに裂け、諸国の都市は崩壊した。大いなるバビロンは神の前に覚えられ、彼の激しい怒りのぶどう酒を満たした杯を与えられた。²⁰
すべての島は逃げ去り、山々は見つからなかった。²¹

一タラントンほどの重さの大きな雹が天から人々の上に降った。雹の災いが非常に激しかったので、人々は神を冒涇した。

17 七つの鉢を持つ七人の天使の一人が来て、私に話しかけて言った、「来なさい。多くの水の上に座っている大淫婦の裁きをあなたに見せましょう。」²

地の王たちは彼女と不品行を行い、地に住む者たちは彼女の不品行のぶどう酒に酔いました。」³

それから彼は私を霊の中で荒野に連れて行きました。そこには、冒涇的な名で満たされた緋色の獣に座っている女がいました。その獣には七つの頭と十の角がありました。⁴

その女は紫と緋色の衣をまとい、金と宝石と真珠で飾られていました。彼女は手に金の杯を持っており、それは忌まわしいものと彼女の不品行の汚れで満たされていました。⁵

彼女の額には、ある神秘の名が書かれていました：「大バビロン、淫婦たちと地の忌まわしいものの母。」⁶

私はその女が聖徒たちの血とイエスの証人たちの血に酔っているのを見ました。彼女を見たとき、私は非常に驚きました。⁷

すると天使は私に言いました、「なぜ驚いているのですか？」

私はその女と彼女を運ぶ獣の神秘をあなたに教えましょう。それは七つの頭と十の角を持っています。⁸

あなたが見た獣は、かつては存在し、今は存在せず、やがて底知れぬ所から上がってきて滅びに行くのです。地の住民で、世界の基が据えられた時から命の書に名が書かれていない者たちは、その獣を見て

驚くでしょう。なぜなら、それはかつて存在し、今は存在せず、やがて来るからです。⁹

ここには知恵のある心が必要です。七つの頭は、女が座っている七つの丘です。¹⁰

それらはまた七人の王です。五人は倒れ、一人は今おり、もう一人はまだ来ていません。しかし、彼が来るとき、短い間だけ留まらなければなりません。¹¹

かつて存在し、今は存在しない獣は、また八番目の王であり、七人の中に属しており、滅びに行きます。¹²

あなたが見た十の角は、まだ王国を受けていない十人の王を表していますが、彼らは獣と共に短い期間だけ王としての権威を与えられます。¹³

これらは一つの目的を持ち、その力と権威を獣に与えます。¹⁴

彼らは小羊と戦いますが、小羊は彼らに打ち勝ちます。なぜなら、彼は主の主、王の王だからです。そして彼と共にいる者たちは、召された者、選ばれた者、忠実な者たちです。」¹⁵

彼は私に言いました、「あなたが見た水は、淫婦が座っている場所であり、それは人々、群衆、国々、言語です。」¹⁶

あなたが見た十の角と獣は、淫婦を憎みます。彼らは彼女を荒れ果てさせ、裸にし、彼女の肉を食べ、火で彼女を焼きます。¹⁷

なぜなら、神は彼らの心に彼の目的を実行するために共通の目的を持たせ、彼らの王国を獣に与えるようにしたからです。神の言葉が成就するまでです。¹⁸

あなたが見た女は、地の王たちを支配する大いなる都です。」

18 この後、私はもう一人の天使が天から降りてくるのを見た。その天使は大いなる権威を持っており、地はその栄光によって輝いていた。² 彼は力強い声で叫んだ、

「倒れた、倒れた、大バビロン！」

彼女は悪霊の住処となり、

あらゆる汚れた霊の牢獄、

あらゆる汚れた忌まわしい鳥の牢獄となった。³

すべての国々が彼女の不品行の怒りのぶどう酒を飲み、

地の王たちは彼女の贅沢の不品行を行い、

地の商人たちは彼女の贅沢の過剰から富を得た。⁴

」

⁴ その時、私は天から別の声を聞いた、

「私の民よ、彼女から出て行け、

そうすれば彼女の罪に巻き込まれず、

ヨハネの黙示録

彼女の災いを受けることはない。
彼女の罪は天にまで積み重なり、
神は彼女の不義を思い出された。
彼女がしたように彼女に報い、
彼女の行いに応じて倍返しせよ。
彼女が混ぜた杯には、倍の分量を混ぜて彼女に与えよ。

彼女が自らを栄光とし、贅沢に暮らした程度に、
彼女に苦痛と悲しみを与えよ。
彼女は心の中で言っている、『私は女王として座し、未亡人ではない、悲しみを見たことがない。』
死、悲しみ、飢饉。彼女は火で焼き尽くされる、
彼女を裁く主なる神は力強いからである。

「地の王たち、彼女と不品行を行い、贅沢に暮らした者たちは、彼女の燃える煙を見て彼女のために泣き悲しむ。

彼女の苦痛を恐れて遠くに立ち、言う、

『災いだ、災いだ、大いなる都、バビロン、強き都よ！あなたの裁きは一時間で来たのだ。』

「地の商人たちは彼女のために泣き悲しむ、なぜならもはや彼らの貨物を買う者がいないからである—

金、銀、宝石、真珠の貨物；上等の麻布、紫、絹、緋色の布；あらゆる種類のシトロンの木、象牙の品、貴重な木、青銅、鉄、大理石で作られたあらゆる品；

香料、香水、香；ぶどう酒、オリーブ油、上等の小麦粉、小麦；家畜と馬車、人間の奴隷として取引された者たち。

彼らは言う、『あなたが望んだ果実はあなたから去った。あなたのすべての贅沢と輝きは消え去り、再び見つかることはない。』

彼女から富を得た商人たちは、彼女の苦痛を恐れて遠くに立ち、泣き悲しむ、そして言う、

『災いだ、災いだ、大いなる都、上等の麻布、紫、緋色の布をまとい、金、宝石、真珠で飾られた都よ；

一時間でそのような大いなる富が荒廃したのだ！』
すべての船長、すべての乗客、船員、海で生計を立てる者たちは遠くに立ち、
彼女の燃える煙を見て叫び、『大いなる都に似た都はどこにあるのか？』と言う。
彼らは頭に塵をかぶせ、泣き悲しみ、叫んで言う、

『災いだ、災いだ、大いなる都、海に船を持つすべての者が彼女の富から富を得たのだ！ 一時間で彼女は荒廃したのだ！』
「天よ、彼女のために喜べ、聖徒たち、使徒たち、預言者たちよ、
神はあなたたちのために彼女に対して裁きを宣告されたのだ。」

その後、力強い天使が大きな石臼のような石を拾い上げて海に投げ込み、言った、

「このように激しく、大いなる都バビロンは投げ倒され、再び見つかることはない。
ハーブ奏者、音楽家、笛吹き、ラッパ吹きの音は再びあなたの中で聞かれることはない。
どの職人もあなたの中で再び見つかることはない。

石臼の音も再びあなたの中で聞かれることはない。
再びあなたの中で輝くことはない。

花婿と花嫁の声は再びあなたの中で聞かれることはない。
あなたの商人たちは世界の力ある人々だった。
あなたの魔術によってすべての国々が惑わされた。
彼女の中には預言者たちと聖徒たちの血、そして地上で殺されたすべての者の血があった。

これらの出来事の後、私は天において大群衆の轟くような声を聞いた。それはこう宣言していた。

「ハレルヤ！ 救いと栄光と力は我らの神のもの、
その裁きは真実で正しいからである。
彼はその淫行で地を墮落させた大淫婦を裁き、彼のしもべたちの血を彼女に報復された。」

3 彼らは再び言った。

「ハレルヤ！ 彼女の煙は永遠に立ち上る。」

二十四人の長老と四つの生き物は座におられる神を拝して言った。

「アーメン、ハレルヤ！」

5 その時、座から声が出て言った。

「我らの神を賛美せよ、彼のすべてのしもべたち、
彼を恐れる者たち、小さき者も大いなる者も！」

ヨハネの黙示録

6

そして私は、大群衆の声のような、多くの水の音のような、力強い雷鳴のような声を聞いた。それは言った。

「ハレルヤ！

我らの神、全能者が王として君臨される。」 7

我らは喜び楽しみ、彼に栄光を帰そう。

子羊の婚礼が来たからである。

その花嫁は自らを整えた。」 8

彼女は輝く清い麻布を着ることを許された。

(その麻布は聖徒たちの正しい行いを表している。)

9

彼は私に言った、「これを書き記せ、『子羊の婚宴に招かれた者は幸いである。』」そして彼は言った、「これらは神の真実の言葉である。」 10

私は彼の足元にひれ伏して拝もうとした。しかし彼は私に言った、「そうしてはいけない！

私はあなたやイエスの証を持つ兄弟姉妹たちと同じしもべである。神を拝しなさい！

イエスの証は預言の霊である。」 11

私は天が開かれるのを見た。すると、そこに白い馬があった。その乗り手は忠実かつ真実と呼ばれ、義をもって裁き、戦う。 12

彼の目は燃える炎のようであり、その頭には多くの冠があった。彼自身しか知らない名が記されている。 13

彼は血に染まった衣をまとい、その名は神の言葉である。 14

天の軍勢は、純白で輝く麻布をまとい、白い馬に乗って彼に従っていた。 15

彼の口からは鋭い剣が出ており、それで国々を打ち、鉄の杖をもって彼らを治める。彼は全能の神の激しい怒りの酒ぶねを踏む。 16

彼の衣と腿にはこの称号が記されている。諸王の王、諸主の主。 17

私は太陽の中に立つ一人の天使を見た。彼は空中を飛ぶすべての鳥に向かって大声で叫んだ、「来たれ、神の大いなる宴会に集まれ、 18

それは王たち、司令官たち、強者たちの肉、馬とその乗り手たちの肉、すべての人々の肉、自由人も奴隷も、小さき者も大いなる者も食べるためである。」 19

私は獣と地の王たちがその軍勢を集め、馬に乗る者と彼の軍勢に対して戦おうとしているのを見た。 20
しかし獣は捕らえられ、彼と共に偽預言者も捕らえられた。彼はその前でしるしを行い、それによって獣の刻印を受け、その像を拝んだ者たちを惑わした

。この二人は硫黄で燃える火の湖に生きたまま投げ込まれた。 21

残りの者たちは、馬に乗る者の口から出る剣で殺され、すべての鳥は彼らの肉を飽きるまで食べた。

20

私は、底知れぬ所の鍵と大きな鎖を手にとって天から降りてくる一人の天使を見た。 2

彼は、あの古い蛇である竜、すなわち悪魔でありサタンである者を捕らえ、千年の間縛り上げた。 3
彼を底知れぬ所に投げ込み、閉じ込めてその上に封印した。それは、千年が終わるまで、彼がもはや諸国民を惑わすことがないようにするためである。その後、彼はしばらくの間解放されなければならない。 4

私はまた、いくつかの王座を見た。そして、それらに座っている者たちが裁く権威を与えられていた。また、イエスの証と神の言葉のために首をはねられた者たちの魂、そして獣やその像を拝まず、額や手にその刻印を受けなかった者たちを見た。彼らは生き返り、キリストと共に千年の間王として支配した。 5

その他の死者は、千年が終わるまで生き返らなかった。これが第一の復活である。 6

第一の復活にあずかる者は幸いであり、聖なる者である。第二の死は彼らを支配しない。彼らは神とキリストの祭司となり、千年の間彼と共に王として支配する。 7

千年が終わると、サタンはその牢から解放される。 8

そして、地の四方にいる諸国民、ゴグとマゴグを惑わし、戦いのために彼らを集めるために出て行く。その数は海辺の砂のようである。 9

彼らは地の広い平原を進み、神の民の陣営と愛された都を囲んだ。しかし、天から火が降ってきて彼らを焼き尽くした。 10

彼らを惑わした悪魔は、獣と偽預言者がいる火と硫黄の池に投げ込まれた。彼らは昼も夜も永遠に苦しめられる。 11

そして、私は大きな白い王座とその上に座っている方を見た。その御前から地と天が逃げ去ったが、それらのための場所は見つからなかった。 12

私はまた、死者たちが大きい者も小さい者も王座の前に立っているのを見た。そして、いくつかの書物が開かれた。もう一つの書物が開かれたが、それは命の書であった。死者たちはその行いに応じて書物に記されたことに基づいて裁かれた。 13

海はその中にいる死者を引き渡し、死とハデスもその中にいる死者を引き渡し、各人はその行いに応じて裁かれた。 14

ヨハネの黙示録

それから、死とハデスは火の池に投げ込まれた。この火の池が第二の死を表している。¹⁵
命の書に名が記されていない者は皆、火の池に投げ込まれた。

21 私は新しい天と新しい地を見た。最初の天と最初の地は過ぎ去り、もはや海もなかった。²

私は聖なる都、新しいエルサレムが、神のもとから天から下ってくるのを見た。それは夫のために飾られた花嫁のように整えられていた。³

そして、私は玉座から大きな声がこう言うのを聞いた。「見よ、神の住まいが人々の間にある。神は彼らと共に住み、彼らは神の民となる。神ご自身が彼らと共にいて、彼らの神となる。」⁴

神は彼らの目からすべての涙をぬぐい去り、もはや死もなく、悲しみも叫びも痛みもない。以前のものは過ぎ去ったからである。」⁵

玉座に座っておられる方が言われた。「見よ、私はすべてを新しくする！」そして言われた。「これを書き記せ。これらの言葉は信頼でき、真実である。」⁶

また言われた。「成し遂げられた。私はアルファでありオメガである。始まりであり終わりである。渴いている者には、命の水の泉から無償で飲ませよう。」⁷

勝利を得る者はこれらを受け継ぎ、私は彼らの神となり、彼らは私の子となる。」⁸

しかし、臆病な者、不信仰な者、忌まわしい者、殺人者、不品行な者、魔術師、偶像礼拝者、そしてすべての偽り者の分は、燃える硫黄の火の湖にある。これが第二の死である。」⁹

すると、七つの最後の災いを満たした七つの鉢を持つ七人の天使の一人が来て、私に言った。「来なさい、子羊の妻である花嫁を見せよう。」¹⁰

そして彼は私を霊の中で大きく高い山に連れて行き、神のもとから天から下ってくる聖なる都、エルサレムを見せてくれた。」¹¹

それは神の栄光を持ち、その輝きは非常に貴重な石、ジャスパーのようで、水晶のように澄んでいた。¹²

それには大きく高い壁があり、十二の門があった。門には十二人の天使がいて、イスラエルの子らの十二部族の名前が書かれていた。」¹³

東に三つの門、北に三つの門、南に三つの門、西に三つの門があった。」¹⁴

都の壁には十二の基礎があり、それらには子羊の十二使徒の名前が書かれていた。」¹⁵

私に話していた天使は、都とその門とその壁を測るために金の測り竿を持っていた。」¹⁶

都は四角形に配置され、その長さは幅と等しかった。彼はその測り竿で都を測り、それが一万二千スタディオンの長さであり、その長さ、幅、高さが等しいことを見つけた。」¹⁷

彼はその壁を測り、それは人間の測り方、すなわち天使の測り方で百四十四キュビットの厚さであった。」¹⁸

その壁はジャスパーで作られ、都は純金でできており、透明なガラスのようであった。」¹⁹

都の壁の基礎はあらゆる種類の貴石で飾られていた。第一の基礎はジャスパー、第二はサファイア、第三はカルセドニー、第四はエメラルド、²⁰

第五はオニキス、第六はカーネリアン、第七はクリソライト、第八はベリル、第九はトパーズ、第十はクリソプレーズ、第十一はジャシンス、第十二はアメジストであった。」²¹

十二の門は十二の真珠でできており、各門は一つの真珠から作られていた。都の大通りは純金でできており、透明なガラスのようであった。」²²

私は都の中に神殿を見つけなかった。全能の神である主と子羊がその神殿だからである。」²³

都は太陽や月が照らす必要がない。神の栄光がそれを照らし、子羊がその灯であるからである。」²⁴

諸国民はその光によって歩み、地の王たちはその栄光をもたらす。」²⁵

その門は昼の間は決して閉じられない。そこには夜がないからである。」²⁶

諸国民の榮譽と栄光がそこにもたらされる。」²⁷

何も汚れたものは決してそこに入ることがなく、恥ずべきことや偽りを行う者も入ることはない。ただし、子羊の命の書に名前が書かれている者だけが入る。」

22 御使いはまた、神と小羊の御座から流れ出る、水晶のように輝く命の水の川を私に見せた。

その川は都の大通りの中央を流れていた。川の兩岸には命の木があり、十二種類の実を結び、毎月その実を実らせていた。その木の葉は諸国の民を癒すためである。

もはや呪われるものは何もない。神と小羊の御座が都の中にあり、神のしもべたちは神に仕える。

彼らは神の顔を仰ぎ見る。また、彼らの額には神の名が記されている。

ヨハネの黙示録

もはや夜がない。彼らは灯火の光も太陽の光も必要としない。神である主が彼らを照らされるからである。そして彼らは世々限りなく王として治める。

御使いは私に言った。「これらの言葉は信頼でき、真実である。預言者たちの霊の神である主は、すぐに起こるべきことをそのしもべたちに示すために、御使いを遣わされた。」

「見よ、私はすぐに来る。幸いなのは、この書の預言の言葉を守る者である。」

これらのことを聞き、また見たのは私、ヨハネである。私はこれらのことを聞き、また見たとき、それを私に示してくれた御使いの足もとにひれ伏して拝もうとした。

しかし、彼は私に言った。「やめなさい。私はあなたやあなたの兄弟である預言者たち、またこの書の言葉を守る者たちと同じしもべである。神を拝みなさい。」

それから彼は私に言った。「この書の預言の言葉を封じてはならない。時が近いからである。」

不正を行う者はさらに不正を行い、汚れた者はさらに汚れを増し、正しい者はさらに正しいことを行い、聖なる者はさらに聖なる者となりなさい。」

「見よ、私はすぐに来る。私の報いは私と共にあり、それぞれの行いに応じて報いる。」

私はアルファでありオメガである。最初であり最後であり、初めであり終わりである。」

自分の衣を洗う者たちは幸いである。彼らは命の木に対する権利を持ち、門を通して都に入ることができる。

外には、魔術を行う者、淫らな者、殺人者、偶像を拝む者、偽りを愛し行う者がいる。

「私は、イエスである。私はこれらのことを教会に証しするために私の使いを遣わした。私はダビデの根であり、その子孫であり、輝く明けの明星である。」

御霊と花嫁が言う。「来てください。」これを聞く者も言いなさい。「来てください。」渴いている者は来なさい。命の水を欲する者は、ただで受けなさい。

私は、この書の預言の言葉を聞くすべての者に警告する。もし誰かがこれに付け加えるなら、神はこの書に書かれている災いをその者に加えられる。

もし誰かがこの預言の書の言葉から取り去るなら、神はこの書に書かれている命の木と聖なる都におけるその者の分を取り去られる。

これらのことを証しする方が言われる。「そうです、私はすぐに来ます。」アーメン。主イエスよ、来てください。

主イエスの恵みがすべての者と共にありますように。アーメン。